マタイ 1 章には、イエス・キリストの系図と誕生が記されています。この章は、アブラハムからダビデ、ダビデからバビロン捕囚まで、そして捕囚からイエスまでをたどる系譜から始まります。また、マリアが処女であったにもかかわらず、どのようにして聖霊によって妊娠し、イエスを出産したかについても詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、アブラハムからダビデ王、イエス・キリストに至る 42 世代をたどる系図から始まります。各セグメントは、アブラハムからダビデまでの 14 世代に分かれています。ダビデからバビロンに捕囚されるまで。そしてその時点からキリストの誕生まで(マタイ1:1-17)。この血統により、イエスはアブラハム系とダビデ系の両方において正当な相続人として確立されます。

第 2 段落: 次の部分 (マタイ 1:18-25) はマリアの奇跡的な妊娠について語ります。ヨセフと婚約しているにもかかわらず、彼女は聖霊によって妊娠します。ジョセフは当初、静かに彼女と離婚することを考えていましたが、夢の中に天使が現れ、マリアの子供は聖霊によって宿され、人々を罪から救うだろうと説明しました。

第 3 段落: この最後のセクションでは、ジョセフは天使の幻を通して伝えられた神の命令に従い、マリアが出産するまで結婚を完了させることなくマリアを妻として迎えます。天使の指示に従って、彼らは息子に「イエス」と名付けました。彼の名前は「彼は民を罪から救う」ことを意味し、来るべき救い主に関する旧約聖書の預言を成就します。

マタイ 1:1 アブラハムの子ダビデの子イエス・キリストの世代の書。

この聖句は、ダビデとアブラハムの息子であるイエス・キリストの系図を紹介しています。

1. イエス・キリストの世代の流れ：今日の私たちにとってそれが何を意味するか

2. アブラハムとダビデの足跡をたどる：私たちの霊的遺産

1. ローマ人への手紙 4:1-12 – アブラハムの信仰と神の約束

2. 詩篇 89:3-4 – 神とダビデの間の契約

マタイ 1:2 アブラハムはイサクを生みました。そしてイサクはヤコブを生んだ。そしてヤコブはユダとその兄弟たちをもうけた。

アブラハムの系譜は、イサクからヤコブ、そしてユダとその兄弟に至るまでたどられます。

1: アブラハムからヤコブ、そしてその後に至るまでの約束を守る神の忠実さ。

2: 神の約束を伝えることを選択する際の神の完璧な計画とタイミング。

1: 創世記 12:1-3;アブラハムを偉大な国民にするという神の約束。

2: 創世記 28:10-16;神はヤコブに対する約束を再確認しました。

マタイ 1:3 そしてユダはタマルのファレスとザラをもうけた。ファレスはエスロムを生んだ。そしてエスロムはアラムを生んだ。

この箇所は、イエス・キリストの系図を、彼の先祖であるユダの家系を通して説明しています。

1. 神の約束を履行するイエス・キリストの忠実さ

2. 私たちの祖先の重要性

1. ローマ 15:8 - ここで、イエス・キリストは神の真理のために、先祖たちに対する約束を確認するために割礼の奉仕者であったと言います。

2. イザヤ書 11:1-3 - そして、エッサイの幹から棒が出て、根から枝が生えるでしょう。そして、主の霊、知恵と理解の霊が彼の上にとどまるでしょう。、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊。

マタイ 1:4 そしてアラムはアミナダブを生んだ。アミナダブはナアソンを生んだ。そしてナッソンはサーモンを生んだ。

この箇所では、イエスが誕生する数世代前の系図について言及しています。

1: イエスの道をたどる – 私たちの先祖の模範から学びます。

2: 私たちのルーツに感謝する - 私たちの家族の歴史の重要性を認識する。

1: ルカ 3:23-38 - イエスの系図。

2: 申命記 7:7-8 - アブラハムの子孫に対する神の約束。

マタイ 1:5 そしてサルモンはラチャブのブーズを生んだ。そしてブーズはルツのオベドを生んだ。オベドはエッサイを生んだ。

サルモンはブズの父であり、ブズの父はオベドの父であり、ブズの父はエッサイの父でした。

1. 神はどんな状況からも良いものをもたらすことができる

2. 神の忠実さは私たちの伝統に見られます

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. 哀歌 3:22-23 - 主の偉大な愛のおかげで、私たちは滅びることはありません。主の憐れみは決して絶えることがないからです。それらは毎朝新しくなります。あなたの忠実さは素晴らしいです。

マタイ 1:6 そしてエッサイはダビデ王を生んだ。ダビデ王はウリアスの妻であった彼女からソロモンをもうけた。

この箇所は、ウリアスの妻から生まれたエッサイの息子であるダビデ王の系図について語っています。

1. 良いことも悪いことも含め、私たちの人生のあらゆる細部に神の手があり、神はそのすべてをご自身の栄光のために用いられます。

2. 私たちは皆、神が語られる大きな物語の一部であり、私たちの人生は過去の世代、そしてこれからの世代の人生とつながっています。

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. 詩篇 78:67-68 - さらに、彼はヨセフの幕屋を拒否し、エフライムの部族ではなく、ユダの部族、つまり彼が愛したシオンの山を選びました。

マタイ 1:7 そしてソロモンはロボアムを生んだ。そしてロボアムはアビアを生んだ。アビアはアサを生んだ。

この箇所はソロモン王の系譜について論じています。

1. イエス・キリストによる神の救いの計画は、ソロモン王の系譜で確立されました。

2. 神の忠実さと約束を思い出させるものとして、ソロモン王の系譜に目を向けることができます。

1. ローマ人への手紙 8:28-29 - 「そして、私たちは、神を愛する人々、つまりご自身の目的に従って召された人々のために、神はすべてのことにおいて益として働いてくださることを知っています。神は、その像に似せられることをあらかじめ予知されていた人々のためにも、あらかじめ定めておられたのです」それは、彼が多くの兄弟姉妹の間で長子となるためである。」

2. ヘブライ 11:7-8 - 「信仰によって、ノアはまだ見ていないことについて警告されたとき、聖なる恐怖の中で家族を救うために箱舟を建てました。信仰によって彼は世を罪に定め、信仰によってもたらされる義の相続人になりました」。」

マタイ 1:8 そしてアサはヨサファトを生んだ。ヨサファトはヨラムをもうけた。ヨラムはオジアスを生んだ。

この箇所では、アサからオジアスに至るイエスの系譜が詳しく説明されています。

1. 神の忠実さは、代々約束を守り、預言を成就する忠実さによって明らかにされます。

2. 私たちの家族は、私たちの生活における神の忠実さを反映しています。

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. 詩篇 103:17-18 - しかし、主の憐れみはとこしえからとこしえまで、主を畏れる者の上にあり、その義は子らの子らに与えられる。神の契約を守る者たちと、それを行うようにという神の戒めを覚えている者たちに。

マタイ 1:9 そしてオジアスはヨアサムをもうけた。ヨアサムはアハズを生んだ。アハズはエゼキアスを生んだ。

この箇所はイエスの系図であり、オジアスからエゼキアスまで彼の先祖をたどります。

1. 代々にわたって約束を果たされる神の忠実さ

2. イエスの使命に対するイエスの祖先の重要性

1. ヘブライ人への手紙 11:11-12 - 「信仰によって、サラ自身も子を宿す力を得、年齢を過ぎたときに子供を授かりました。なぜなら、彼女は約束した人を忠実だと判断したからです。それで、そこで一人の子供さえ生まれました。彼は死んだも同然で、空の星のように多く、海岸沿いの無数の砂のように。」

2. ルカ 3:23-38 - 「そして、イエス自身もおよそ 30 歳になり始め、（想定されていたように）ヨセフの息子でした。ヨセフはヘリの息子であり、ヨセフはマタトの息子でした。レビの子、メルキの子、ヤンナの子、ヨセフの子、マッタティアの子、アモスの子、ナウムの子、エスリの息子、ナゲの息子、マアスの息子、マッタティアの息子、セメイの息子、ヨセフの息子、ユダの息子、ヨアンナはレサの息子、ゾロバベルの息子、サラティエルの息子、ネリの息子、メルキの息子、アディの息子、コサムの息子エルモダムの息子、エルの息子、ホセの息子、エリエゼルの息子、ヨリムの息子、マタトの息子、レビの息子、どれがシメオンの子、どれがユダの子、どれがヨセフの子、どれがヨナンの子、どれがエリアキムの子か。」

マタイ 1:10 そしてエゼキアスはマナセスを生んだ。マナセスはアモンを生んだ。アモンはヨシアスを生んだ。

この箇所では、ダビデ王からヨシアスで終わるイエスの系図が詳しく説明されています。

1. 世代を超えた祝福：イエスの血統を祝う

2. ダビデ王の子孫であることの意味

1. 詩篇 89:3 - 「わたしは自分の選んだ者と契約を結び、わたしの僕ダビデに誓った。」

2. ルカ 3:23-38 - ルカが記録したイエスの系図。

マタイ 1:11 そしてヨシアスは、バビロンに連れ去られたころ、エコニアスとその兄弟たちをもうけた。

この箇所は、ヨシアスから始まり、バビロンに連れ去られたジェコニアスで終わるイエスの系図を説明しています。

1. 私たちの信仰は、神に選ばれた民の深く不変の血統に根ざしています。

2. 人生の困難に関係なく、私たちの救いに対する主の計画は永遠であり、変わることはありません。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

マタイ 1:12 彼らがバビロンに連れて行かれた後、エコニアスはサラティエルをもうけた。そしてサラティエルはゾロバベルを生んだ。

エコニアスの子孫はバビロンに運ばれ、ゾロバベルを通じて王統が確立されました。

1. 神の計画は常に勝利する - 神の主権はジェコニアの系図においてどのように示されるか

2. 神の憐れみと忠実さ - 罪の結果にも関わらず神の恵みがどのように持続するか

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

2. イザヤ書 46:10-11 - 初めから、また古代からまだ行われていないことの終わりを宣言し、「私の助言は有効であり、私は私の目的をすべて達成します。」と言いました。

マタイ 1:13 そしてゾロバベルはアビウドを生んだ。そしてアビウドはエリアキムをもうけた。そしてエリアキムはアゾールを生んだ。

一節の要約: ゾロバベルはアビウドの父であり、アビウドはアゾールの父エリアキムの父でした。

1. 血統と家族の歴史の大切さ

2. 世代を超えた祝福の力

1. ルカ 3:23-38 - イエスの系図

2. 出エジプト記 20:6 - あなたの父と母を敬えという戒め

マタイ 1:14 そしてアゾルはサドクを生んだ。サドクはアヒムを生んだ。そしてアヒムはエリウドを生んだ。

この一節には、先祖アゾルから始まるイエスの系図が記録されています。

1: 神の摂理はイエスの血統に見られる。

2: 私たちは歴史を通して神の働きをたどることができます。

1: ローマ 8:28-29 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう協力して働くことを知っています。

2: イザヤ 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

マタイ 1:15 そしてエリウドはエレアザルをもうけた。そしてエレアザルはマタンを生んだ。マタンはヤコブを生んだ。

この箇所は、イエスの先祖エリウドを通してイエスの系図を説明しています。

1: イエスの血統を守る神の忠実さ

2: 神に選ばれた血統の一員であることの重要性

1: 創世記 12:1-3、アブラハムに対する神の約束

2: ルカ 3:23-38、ルカの福音書におけるイエスの系図

マタイ 1:16 そしてヤコブはマリアの夫ヨセフをもうけたが、そのマリアからキリストと呼ばれるイエスが生まれた。

マタイ 1 章 16 節のこの聖句は、ヨセフがマリアの夫であり、イエス・キリストが彼らから生まれたことを明らかにしています。

1. イエスの強大な血統: 神の成就の力に関する研究

2. 義にかなった結婚の力: ヨセフとマリアの忠実な結合

1. ルカ 3:23-38 – イエスの系図

2. エペソ人への手紙 5:31-32 – キリストにおける結婚の奥義

マタイ 1:17 つまり、アブラハムからダビデまでの世代はすべて 14 世代になります。ダビデからバビロンに移されるまでは十四世代である。バビロンへの移送からキリストに至るまでは14世代です。

この聖句は、イエス・キリストの系譜はアブラハムにまで遡り、それぞれ 14 世代に及ぶと述べています。

1. 私たちは皆、神の家族の一員であり、イエス・キリストを通して共通の祖先を共有しています。

2. 私たちは皆、神の計画の中で独自の位置を占めており、共有の遺産によってつながっています。

1. マタイ 22:32 - 「わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神ですか。神は死者の神ではなく、生きている者の神です。」

2. ローマ 4:11-12 - 「彼は割礼のしるし、つまり割礼を受けていない間に持っていた信仰の義の印を受けました。それは、割礼を受けていなくても、次のことを信じるすべての人々の父となるためです。」彼らにも義が押しつけられるかもしれない。」

マタイ 1:18 さて、イエス・キリストの誕生は次のとおりでした。彼の母マリアがヨセフと結婚したとき、二人が一緒になる前に、彼女は聖霊の子であることがわかりました。

この一節は、聖霊によるイエス・キリストの奇跡的な受胎について説明しています。

1. イエス誕生に関する神の計画: 奇跡の物語

2. 聖霊の力: 神の介入の物語

1. イザヤ書 7:14 「それゆえ、主ご自身があなたにしるしをお与えになるでしょう。見よ、処女がみごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶでしょう。」

2. ルカ 1:34-35 - 「それからマリアは天使に言った、『私は人間を知らないのに、どうなるのでしょうか？』すると天使は答えて彼女に言った、『聖霊があなたに臨み、神の力が降るでしょう』いと高き者があなたを覆うでしょう。それゆえ、あなたから生まれるその聖なるものも神の子と呼ばれるでしょう。」

マタイ 1:19 そこで夫のヨセフは正義の人であり、彼女を公の場に見せたくなかったので、ひそかに彼女を遠ざけようと考えました。

ジョセフは正義感があり、世間の軽蔑からメアリーを守りたいという願望から、内密に彼女と離婚する計画を立てました。

1: たとえその行動が困難であっても、神は正義に行動する人に報いを与えます。

2: 愛と慈悲は正義とのバランスが取れていなければなりません。

1: 箴言 21:15 - 正義が行われるとき、それは正しい者には喜びをもたらしますが、悪を行う者には恐怖をもたらします。

2: ローマ 12:17-21 - 誰に対しても悪を悪で返すのではなく、常にお互いにとって、そして他の人にとって良いことをするよう努めてください。

マタイ 1:20 しかし、彼がこれらのことを考えていると、見よ、主の御使いが夢の中で彼に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、恐れることなくあなたの妻マリアを迎え入れてください。身ごもったもののためです」彼女の中には聖霊が宿っている。

ヨセフは夢の中で主の天使から、マリアの妊娠は聖霊による奇跡にもかかわらず、恐れることなく妻として迎えることができると励まされました。

1. 恐れるな：困難な状況における神の安心感

2. 神の備え: 聖霊の奇跡

1. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. ルカ 1:34-35 - そしてマリアは天使に言った、「私は処女ですから、どうなるのでしょうか？」すると天使は彼女に答えた、「聖霊があなたに臨み、いと高き方の力があなたを覆うでしょう。それゆえ、生まれる子は聖なる、つまり神の子と呼ばれます。」

マタイ 1:21 そして彼女は男の子を産むでしょう、そしてあなたはその名をイエスと呼ぶでしょう：彼は彼の民を彼らの罪から救うからです。

イエスは人類を罪から救うために生まれました。

1. 神の救いの計画: イエス・キリスト

2. イエスへの信仰の重要性

1. ローマ 10:9-10 - 「もしあなたが口で『イエスは主である』と告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるからです。」なぜなら、あなたが信じて義とされるのは心によってであり、告白して救われるのは口だからである。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるのです。これは自分から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることができないからです。」

マタイ 1:22 さて、このすべてのことが行われたのは、預言者が主についてこう言われたことが成就するためである。

この箇所は、預言者によって語られた主の預言が成就した出来事を描いています。

1. 成就した預言の力: 神の忠実さを思い出す

2. 信仰によって生きる: 神の約束を信頼する

1. イザヤ書 46:9-11 - 昔のことを思い出してください。なぜなら、私は神であり、他には誰もいないからです。私は神であり、私のような人は誰もいません。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

マタイ 1:23 見よ、処女が子を宿し、男の子を産むであろう。そして彼らはその名をインマヌエルと呼ぶであろう。これは、解釈されると、神が私たちと共におられるという意味である。

神が私たちと共におられる、インマヌエルに対する神の約束は果たされました。

1. インマヌエル: 私たちに対する神の愛と備え

2. クリスマスの意義: インマヌエル、私たちと共におられる神よ

1. イザヤ書 7:14 - したがって、主ご自身があなたにしるしを与えてくださいます。見よ、処女はみごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶだろう。

2. ヨハネ 1:14 - そして、言葉は受肉して私たちの間に住まわれ、私たちは神の栄光、恵みと真理に満ちた父からの独り子のような栄光を見ました。

マタイ 1:24 それから、眠りから起き上がったヨセフは、主の天使が彼に命じたとおりにして、妻を迎え入れた。

ヨセフは神の指示に従い、マリアを妻として迎えました。

1. 神の御心に従う: ジョセフからの教訓

2. 神が呼びかけたら、私たちは応えなければなりません

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻よ、主に従うように夫に従いなさい。

2. ヨシュア記 24:15 - 今日、誰に仕えるかを決めてください

マタイ 1:25 そして、彼女が長子を産むまで、彼女のことを知りませんでした。そして、彼はその名をイエスと呼びました。

ヨセフとマリアには息子がおり、ヨセフはその子をイエスと名付けました。

1. 神の救いの計画: イエスの誕生が預言をどのように成就したか

2. 従順の重要性: ジョセフはどのようにして神の御心に従ったのか

1. イザヤ書 7:14: したがって、主ご自身があなたにしるしを与えてくださいます。見よ、処女が身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶだろう。

2. ルカ 2:7: そして、彼女は長子を産み、産着で包み、飼い葉桶に寝かせた。旅館には彼らのためのスペースがなかったからです。

マタイ 2 章には、東方三博士の訪問、ヘロデ王によるイエス殺害の陰謀、聖家族のエジプトへの逃亡とヘロデの死後の帰還など、イエスの誕生後の出来事が詳しく記されています。

第 1 段落: この章は、星を追ってイエスを見つけて崇拝する東方の賢者たちの訪問から始まります。彼らはイエスを「ユダヤ人の王」と呼んでいます。この調査はヘロデ王とエルサレム全土を警戒させました。彼は、自分も礼拝したいというふりをして、イエスがどこにいるかを知らせるように彼らに欺きに頼みます（マタイ 2:1
- 8）。

第 2 段落: 東方の三博士は、星に導かれてマリアと一緒にイエスを見つけ、贈り物を差し出します。しかし、夢の中でヘロデのもとに戻るなと警告を受けて、彼らは別の道で祖国に向けて出発しました。ヘロデは彼らに出し抜かれたことに気づき、イエスを殺そうとベツレヘムで２歳以下の男児全員を虐殺するよう命じました（マタイ２：９－１８）。

第 3 段落: マタイ 2:19-23 では、天使が夢の中でヨセフに、ヘロデの致命的な意図について警告し、マリアと幼子イエスとともにエジプトに逃げるよう促しています。彼らはヘロデの死後、再び天使がヨセフの夢に現れ、もう安全に戻ってこられると告げるまでそこに留まりました。アーケラを恐れて

マタイ 2:1 さて、ヘロデ王の時代に、イエスがユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東方から博士たちがエルサレムにやって来た。

ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムで生まれたイエスを、東方の博士たちが訪ねてきました。

1: 私たちは賢者たちから、神を求め、自分の賜物をもって神を礼拝することを学ぶことができます。

2: 私たちは喜んで神に従い、神が導いてくださるところならどこへでも行くべきです。

1: イザヤ書 60:1-2 「起きよ、輝け。あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に昇る。見よ、闇が地を覆い、深い闇が民を覆っている。しかし、主はあなたの上に立ち上がり、彼の栄光があなたの上に現れます。」

2: マタイ 16:24-25 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと願う者は、それを失うことになるからです』しかし、わたしのために命を失った者は誰でもそれを見つけるだろう。」

マタイ 2:2 こう言う、「ユダヤ人の王として生まれた者はどこにいるのか」。私たちは東で彼の星を見たので、彼を崇拝するために来たからです。

賢者たちは、ユダヤ人の王の星を東に見たので、どこで生まれたのかと尋ねました。

1. 信仰の力: 賢者たちはどのように星を追ったのか

2. 希望の約束: 予期せぬ場所でキリストを見つける

1. イザヤ書 9:6-7 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の

君と呼ばれるでしょう。

2. ルカ 1:26-38 第 6 月に、天使ガブリエルは神からナザレというガリラヤの町に遣わされ、ダビデ家のヨセフという名前の男と婚約した処女に遣わされました。そして処女の名前はマリアでした。

マタイ 2:3 ヘロデ王はこれらのことを聞いて悩み、エルサレム全土も彼とともにいた。

ヘロデとエルサレムの人々は、メシア到来の知らせを聞いて動揺しました。

1. メシアの到来を心配しないでください - マタイ 2:3

2. 困難な時代に忠実でありなさい - マタイ 2:3

1. イザヤ 7:14 - それゆえ、主ご自身があなたにしるしを与えられます。処女は子を宿し、男の子を産み、その子をインマヌエルと呼ぶでしょう。

2. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられ、政府はその肩にかかるからです。そして彼は、素晴らしい助言者、力ある神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。彼の政府と平和の偉大さには終わりがありません。彼はダビデの王座とその王国を統治し、その時から永遠に正義と義をもって王国を確立し維持します。全能の主の熱意がこれを達成します。

マタイ 2:4 イエスは祭司長たちと民の律法学者たちをすべて集めて、キリストがどこで生まれるかを彼らに尋ねた。

ヘロデは祭司長や民の律法学者を集めて、メシアはどこで生まれるのか尋ねました。

1. メシアに関する神の計画: 預言の成就がどのようにしてキリストの誕生につながったのか

2. ヘロデのイエスへの恐れ: 神の計画を受け入れるための闘い

1. イザヤ書 7:14、「それゆえ、主ご自身があなたにしるしを与えられるであろう。見よ、処女はみごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶだろう。」

2. ミカ書 5:2、「しかし、ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族の一員になるには小さすぎるのですが、あなたの中からイスラエルの統治者となる人が私のために出てくるでしょう。その出てくるのは昔からです」、古代から。

マタイ 2:5 そこで彼らは言った、「ユダヤのベツレヘムにいる。預言者はこう書いているからである。」

東の人々はヘロデに生まれたばかりの王の居場所を尋ね、ヘロデは経典に書かれているベツレヘムを紹介しました。

1. 私たちは人生の導きと方向性として常に神の言葉に目を向けなければなりません。

2. たとえ自分の野心を犠牲にすることになっても、私たちは何よりも神に仕えるよう努めるべきです。

1. イザヤ書 7:14 したがって、主ご自身があなたにしるしを与えてくださいます。見よ、処女が身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶだろう。

2. マタイ 22:37-40 イエスは彼に言われた、「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。』」これは第一の、そして偉大な戒めです。そして二番目も同様です、「隣人を自分のように愛さなければならない」。この二つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。」

マタイ 2:6 そして、ユダの地のベツレヘムよ、あなたはユダの君主の中で最も小さな者ではありません。あなたから総督が来て、私の民イスラエルを統治するからです。

イエス・キリストの誕生は、ユダの君主の中で最も小さいベツレヘムで起こると預言されました。彼はイスラエルの民を導く統治者になると予告されていました。

1: 私たちが取るに足らないと感じるときでも、イエスはすべての支配者です。

2: たとえ自分が最低だと感じているときでも、私たちはイエスのうちに自分の価値を見出すことができます。

1: ヨハネ 1:1-5 初めに言があった、言は神と共にあった、言は神であった。彼は初めから神と共にありました。すべてのものは神を通して造られ、神なしには造られたものは何もありませんでした。彼の中に命があり、その命は人間の光でした。

2: イザヤ書 9:6-7 私たちに幼子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩に乗るでしょう。そして彼の名前は、素晴らしい、助言者、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。神の政府と平和の拡大については、ダビデの王座と神の王国の上で、それを命じ、裁きと正義をもってそれを確立することに、その時から永遠にさえ、終わりはありません。万軍の主の熱意がこれを成し遂げるでしょう。

マタイ 2:7 そこで、ヘロデは博士たちをひそかに呼んで、その星がいつ現れるかを熱心に尋ねました。

ヘロデは賢者たちに、現れた星についての情報を求めました。

1: 助けやアドバイスを求めることを恐れないでください。

2: 難しい決断に直面したときは、賢明な助言を求めてください。

1: 箴言 11:14 「導きのないところには民は倒れるが、助言者が豊富にあれば安全である。」

2: ヤコブ 1:5 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

マタイ 2:8 そこで、イエスは彼らをベツレヘムに遣わして、「行って、幼い子を熱心に捜しなさい」と言われた。そしてあなたがたが彼を見つけたら、また私に知らせを持ってきてください、私も来て彼を崇拝することができます。

この一節は、ヘロデ王がその子に敬意を表できるように、ベツレヘムで生まれたばかりのイエスを探すようヘロデ王から賢者たちがどのように指示されたかを説明しています。

1. メシアの到来に関する神の計画は、賢者とヘロデ王の両方によって指揮されました。

2. ヘロデ王の命令に対する賢者たちの従順は、最終的には人類救済のための神の計画の一部でした。

1. イザヤ 7:14 - それゆえ、主ご自身があなたにしるしを与えられます。処女はみごもって男の子を産み、その子をインマヌエルと呼ぶでしょう。

2. ルカ 2:1-7 - 当時、カエサル アウグストゥスは、ローマ世界全体について人口調査を行うよう布告を出しました。これはキリニウスがシリア総督であった間に行われた最初の国勢調査であった。そして、誰もが自分の町に登録に行きました。それでヨセフもガリラヤのナザレの町からユダヤ、ダビデの町ベツレヘムに上りました。なぜなら、彼はダビデの家であり、家系に属していたからです。彼は結婚を誓約し、子供を妊娠しているメアリーと登録するためにそこに行きました。彼らがそこにいる間に、赤ちゃんが生まれる時が来て、彼女は初子である息子を出産しました。彼らに利用できるゲストルームがなかったため、彼女は彼を布で包み、飼い葉桶に寝かせました。

マタイ 2:9 彼らは王の言葉を聞いて立ち去った。すると、見よ、彼らが東に見た星が彼らの前を行き、ついにやって来て、幼い子供のいる場所の上に立った。

魔術師は星を追って、生まれたばかりのキリストを見つけました。

1: キリストに従うことは信仰の旅です。

2: 私たちが神に信頼を置けば、神は私たちを導いてくださいます。

1: イザヤ書 30:21 - 右に曲がっても左に曲がっても、あなたの耳には後ろからこう言う声が聞こえます。その中を歩いてください。」

2: 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

マタイ 2:10 彼らはその星を見て、非常に喜んだ。

賢者たちはベツレヘムの星を見て大喜びしました。

1: 私たちは、神が私たちに送ってくださる希望と救いのしるしを喜んで祝うべきです。

2:たとえ前途が不明確であっても、私たちは神を信頼して喜ぶべきです。

1: イザヤ書 35:10 - そして、主の身代金が戻ってきて、歌いながらシオンに来るでしょう。永遠の喜びが彼らの頭にあるでしょう。彼らは喜びと喜びを獲得し、悲しみとため息は消え去ります。

2: 詩篇 16:11 - あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの臨在の中には喜びが満ち溢れています。あなたの右手には永遠の楽しみがあります。

マタイ 2:11 彼らが家に入ると、幼子が母マリアと一緒にいるのを見て、ひれ伏して彼を拝み、宝物を開けて贈り物を彼に贈った。黄金、乳香、没薬。

博士たちは若いイエスを見て崇拝し、黄金、乳香、没薬の贈り物を彼に与えました。

1. イエスを崇拝する: 献身を示し、イエスの神性を認識する

2. 与える力: 寛大さと感謝の心

1. ピリピ人への手紙 2:9-11 - そこで、神はイエスをいと高き所に高め、あらゆる名に勝る名を与え、天においても地においても地においても、イエスの名においてはすべての膝がかがむべきである、そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であることを認めます。

2. マタイ 10:8 - 病人を癒し、死者を蘇らせ、らい病の人を清め、悪霊を追い出します。あなたは無償で受け取りました。自由に与えます。

マタイ 2:12 そして、夢の中で、ヘロデのもとに戻ってはならないと神から警告を受けて、彼らは別の道から自分たちの国へ出発した。

神はヨセフとマリアにヘロデを避けるよう警告し、彼らは従った。

1. 神は常に私たちを見守っており、私たちは神の導きを信頼すべきです。

2. 神の御心に従うことは、私たちを神に近づけ、私たちの人生に対する神の計画にもっと沿うよう助けます。

1. 申命記 6:24 - 「そして主は、これらすべての掟を守り、私たちの益のために常に私たちの神、主を畏れ、今日のように私たちを生かしてくださるようにと私たちに命じられました。」

2. 詩篇 25:4-5 - 「主よ、あなたの道を私に示してください。あなたの道を教えてください。あなたの真実に私を導き、教えてください。あなたは私の救いの神だからです。私は一日中あなたのことを待っています。」

マタイ 2:13 彼らが去ったとき、見よ、主の天使が夢の中でヨセフに現れて言った、「起きて、幼い子供とその母親を連れてエジプトに逃げなさい。そして、私が連れて行くまでそこにいなさい」言葉: ヘロデは幼い子供を捜して自分を滅ぼそうとするからです。

ヨセフは夢の中で、イエスを殺すというヘロデの計画から逃れるために、イエスとマリアをエジプトに連れて行くよう指示されました。

1. ヨセフとイエスの物語: 忠実な従順の物語

2. 夢の力: 私たちの潜在意識を通した神のメッセージ

1. 出エジプト記 14:13-14 - そしてモーセは民に言った、「恐れるな。立ち止まって、今日あなたたちに示される主の救いを見なさい。あなたたちが今日見たエジプト人のために、あなたがたはもう永遠に彼らに会うことはないだろう。主はあなたのために戦ってくださいます、そしてあなたたちは平和を保つでしょう。

2. マタイ 1:20-21 - しかし、彼がこれらのことを考えている間に、見よ、主の天使が夢の中で彼に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、あなたの妻マリアを迎えることを恐れないでください。なぜなら、彼女の中に宿ったものは聖霊によるものだからです。

マタイ 2:14 彼は起き上がると、夜のうちに幼子と母親を連れてエジプトへ出発した。

ヨセフとマリアは幼いイエスをヘロデ王から守るためにエジプトに逃げました。

1. イエスの保護: 神の忠実さと導きがどのように私たちを安全に保ってくれるか。

2. ジョセフ: 従順と神の御心への信頼の模範。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. マタイ 1:23 - 「見よ、処女はみごもって男の子を産み、彼らはその名をインマヌエルと呼ぶだろう。」（つまり、神が私たちと共におられるという意味）。

マタイ 2:15 そして、ヘロデの死までそこにありました。それは、預言者が主について語った、「わたしはエジプトから息子を呼び出した」ということが成就するためでした。

マタイの福音書には、イエスが幼少の頃、ヘロデ王の怒りから逃れるためにエジプトに連れて行かれたと記されています。これは、主の御子がエジプトから呼び出されるという預言者によって語られた主の預言を成就しました。

1) 「預言の力: 神の言葉はどのように約束を実現するか」

2) 「神の呼びかけ: 私たちは人生の中で神の呼びかけにどのように応えるのか」

1) イザヤ書 11:1 - 「エッサイの切り株から芽が出て、根から枝が生える。」

2) 詩篇 78:1-7 - 「私の民よ、私の教えに耳を傾けてください。私の口の言葉に耳を傾けてください。私はたとえ話で口を開きます。私は昔からの暗い言葉を言います。」

マタイ 2:16 そこでヘロデは、自分が賢者たちから嘲笑されているのを見て激しく怒り、人を送り出し、ベツレヘムとその沿岸全域にいた二歳以下の子供たちを皆殺しにした。、彼が賢者たちに熱心に尋ねた時間によると。

ヘロデ王は激怒して、ベツレヘムとその周囲の2歳以下の子供たちを皆殺しにするよう命じました。

1. 神の主権: マタイ 2 章におけるヘロデの怒りの研究

2. 嫉妬の結果: マタイ 2 章におけるヘロデの罪の研究

1. ローマ 8:28- そして私たちは、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。

2. ヨブ 5:19- 彼は 6 つの困難であなたを救い出します。そうです、7 つの困難であなたに悪が及ぶことはありません。

マタイ 2:17 そのとき、預言者エレミが次のように言ったことが成就しました。

この一節は、ヘロデがベツレヘムで子供たちを殺したとき、預言者エレミヤの預言がどのように成就したかを説明しています。

1. 成就した預言の力: 神の言葉はどのように真実であるか

2. ヘロデの罪の悲劇: 神から離れた結果

1. エレミヤ 31:15 - 主はこう言われる。ラマで嘆きの声と苦々しい泣き声が聞こえた。子供たちのために泣いていたレイチェルは、子供たちが慰められることを拒否しました。

2. マタイ 2:18 - ラーマの中に、嘆きの声、すすり泣く声、そして深い悲しみの声が聞こえました。ラケルは子供たちのために泣いていましたが、彼らは慰められないでしょう、なぜなら彼らはそうではないからです。

マタイ 2:18 ラーマの中に、嘆きの声と泣き声、そして深い悲しみの声が聞こえました。ラケルは子供たちのために泣いていましたが、子供たちは慰められないだろう、なぜなら彼らはそうではないからです。

マタイ 2 章 18 節では、亡くなって慰められないラケルの子供たちのために嘆き泣く声がラーマに聞こえます。

1. 悲しみの時に他の人を慰める方法を学ぶ

2. 主の御言葉に力と慰めを見出す

1. ヨハネ 14:18 - 「私はあなたたちを孤児として放置しません。私はあなたのところに行きます。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての創造物には存在しないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

マタイ 2:19 しかし、ヘロデが死んだとき、見よ、主の御使いが夢の中にエジプトにいるヨセフに現れた。

ヨセフは夢の中で主の天使からマリアとイエスをイスラエルに連れ帰るように指示されました。

1. 神は主権者であり、たとえ困難な状況にあっても神の民を気遣ってくださいます。

2. 物事が不確かに見えるときでも、神は私たちの人生に計画と目的を持っています。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. イザヤ書 55:8-11 - 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、私の道はあなたの道や私の考えよりも高いからである」あなたの考えよりも。」

マタイ 2:20 言う、「立って、幼い子とその母親を連れて、イスラエルの地に行きなさい。幼い子の命を狙った彼らは死んだのです。」

賢者たちはヘロデ王の命令からイエスとその母親を守るためにイスラエルに戻るように言われました。

1. 神は常に神に忠実な人々を守ってくださいます。

2. 私たちは危険に直面しても神が忠実であると信頼できます。

1. 詩篇 91:11-12 - 神はあなたの天使たちに、あらゆる道であなたを守るよう命じるからです。彼らはあなたを手で持ち上げて、足を石にぶつけないようにします。

2. ヘブライ 13:6 - ですから、私たちは自信を持ってこう言います。怖くないよ。ただの定命の者が私に何ができるというのでしょうか？」

マタイ 2:21 そこでイエスは立ち上がって、幼い子とその母親を連れて、イスラエルの地に入った。

ヨセフとマリアは幼いイエスをイスラエルの地に連れて行きます。

1. 神の御心に従うことの重要性。

2. 困難なときでも神の計画に従う。

1. エペソ人への手紙 5:15-17 「では、自分がどのように歩むかをよく見てください。愚かな者としてではなく、賢明な者として、時を最大限に活用して、悪しき日なのですから。ですから、愚かではなく、人の意志を理解してください。」主がおられるのです。」

2. マルコ 1:15 - 「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」

マタイ 2:22 しかし、アルケラオが父ヘロデの部屋でユダヤの統治者であったと聞くと、そこへ行くのが怖くなった。にもかかわらず、夢の中で神の警告を受けて、ガリラヤ地方へ脇道に逸れた。

ヨセフは夢の中でアルケラオスを避けるように警告されたため、代わりに家族とともにガリラヤに移りました。

1. 神の導きに従うという知恵

2. 夢の力

1. 使徒 16:6-10 - マケドニアへの聖霊の導きに耳を傾けるパウロとシラス

2. 創世記 20:3-7 - 神は夢の中でアビメレクにサラを連れて行かないよう警告する

マタイ 2:23 そして、彼はナザレという町に来て住みました。それは、預言者たちが言った、「彼はナザレ人と呼ばれるであろう」ということが成就するためでした。

イエスは預言者たちの預言を成就するためにナザレに移りました。

1. 私たちに対する神の計画は、私たちが期待するものではないかもしれませんが、常に完璧です。

2. 成就した神の預言の力を目の当たりにするにつれて、私たちの信仰は強められます。

1. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っています」と主は言われます、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2. イザヤ書 55:11 - わたしの口から出るわたしの言葉も同様である。それは私に無駄に返されることはありませんが、私の望むことを達成し、私がそれを送ったもので繁栄するでしょう。

マタイ 3 章では、バプテスマのヨハネの人柄と宣教、彼の悔い改めのメッセージ、そしてイエス・キリストのバプテスマについて紹介されています。この章では、ヨハネがイエスの先駆者として描かれ、悔い改めを説き、ヨルダン川で洗礼を授けることで人々にイエスの到来に備えさせました。

第 1 段落: この章は、洗礼者ヨハネがユダヤの荒野に現れ、「天国が近づいた」という理由で悔い改めのメッセージを説くところから始まります。彼は預言者イザヤによって語られた人物、つまり「荒野で呼びかける者の声、『主のために道を備えよ』」であると特定されています。彼はラクダの毛で作った服を着て、イナゴや野生の蜂蜜を食べるという禁欲的な生活様式を送っています（マタイ 3:1-6）。

第 2 段落: この部分 (マタイ 3:7-12) で、ヨハネは洗礼を受けに来たパリサイ派とサドカイ派を叱責します。彼は、アブラハムの先祖の血統に基づく彼らの正義の推定に異議を唱え、代わりに、良い実を生み出す真の悔い改めを強調しました。彼はまた、自分よりも強い者が来て、聖霊と火でバプテスマを授けるだろうとも預言しています。

第 3 段落: 最後のセクション (マタイ 3:13-17) では、イエスがヨハネからバプテスマを受けるためにガリラヤからヨルダンに来る様子が描かれています。ヨハネはイエスの方が自分より優れていると考えていたため、最初は乗り気ではありませんでしたが、イエスの主張に同意します。イエスがバプテスマを受けるとすぐに、天が開き、神の御霊が鳩のようにイエスの上に降臨し、天からの声がイエスを神の最愛の子であると宣言します。

マタイ 3:1 そのころ、バプテスマのヨハネが来て、ユダヤの荒野で説教していました。

洗礼者ヨハネはユダヤの荒野で悔い改めを説きました。

1. 悔い改めの力

2. 悔い改めを通して人生を変える

1. イザヤ書 40:3-5 - 主の道を備え、荒野をまっすぐに、私たちの神のための道を作りなさい。

2. ルカ 13:3 - あなたが悔い改めない限り、あなたがたは皆同様に滅びるでしょう。

マタイ 3:2 そして言った、「悔い改めなさい。天の御国は近づいているからです。」

この箇所は、天国に入るためには悔い改めが必要であることについて語っています。

1. 悔い改めの緊急性: 天国に入るために私たちがしなければならないこと。

2. 悔い改めの恵み：私たちに対する神の憐れみと愛。

1. ルカ 13:3 - 「言っておくが、そうではない。しかし、悔い改めなければ、あなた方も皆滅びるであろう。」

2. 使徒 17:30-31 - 「以前は神はそのような無知を見逃していましたが、今はどこにいてもすべての人に悔い改めるよう命じています。なぜなら、神はご自分が任命した人によって正義をもって世界を裁く日を定められたからです。神は、彼を死からよみがえらせることによって、このことをすべての人に証明しました。」

「荒野で叫ぶ者の声、『汝ら主の道を備えよ、その道をまっすぐにせよ』」と語られた人物である。

この箇所は洗礼者ヨハネがイエスの到来を宣言したものです。 1. 主の来臨に向けて心を備えることの重要性を考える。2. 洗礼者ヨハネがイエスを宣言したことの重要性。1. イザヤ書 40:3-5; 2. ルカ 3:4-6。

マタイ 3:4 また、同じヨハネは、らくだの毛の着物を着て、腰に革の帯を締めていました。彼の肉はイナゴと野生の蜂蜜だった。

洗礼者ヨハネは、らくだの毛で作った服を着て、いなごや野生の蜂蜜を食べて、とても質素な生活を送っていました。

1. 神の御心に従うためには、私たちは謙虚で単純な人生を歩まなければなりません。

2. 私たちは神が私たちに与えてくださるどんな糧でも満足すべきです。

1. マタイ 5:3 「心の貧しい人たちは幸いです。天の国は彼らのものです。」

2. ピリピ人への手紙 4:12-13 「わたしは、どのように貧しくなるべきか、またどのように豊かになるべきかを知っています。どこにいても、すべてのことにおいて、満腹することも飢えることも、豊かであることも欠乏に耐えることも教えられています。私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできるのです。」

マタイ 3:5 それから、エルサレム、ユダヤ全土、ヨルダンの周囲の全地域が彼のところに出て行って、

この箇所は、エルサレム、ユダヤ、そしてヨルダン川周辺の地域の人々が、洗礼者ヨハネのもとに赴き、彼のメッセージを聞いて洗礼を受けることについて語っています。

1: 神は、ご自身の救いの賜物を受けるために、ご自分の民に悔い改めを呼びかけます。

2: 私たちは神の呼びかけに従い、神の御心に従わなければなりません。

1: イザヤ書 55:6-7 「見いだされるうちに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼びなさい。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。彼を主に立ち返らせなさい。そうすれば彼は彼を憐れみ、私たちの神に憐れみを与えることができます。なぜなら彼は豊かに赦してくださるからです。」

2: エレミヤ 29:13 「あなたが心を尽くしてわたしを捜すとき、あなたはわたしを捜し求め、わたしを見つけるでしょう。」

マタイ 3:6 そして彼らはヨルダンで自分たちの罪を告白してバプテスマを受けました。

人々はヨルダンで洗礼者ヨハネから洗礼を受け、自分の罪を告白しました。

1. 告白の力: 罪の告白がどのように新たな信仰につながるのか

2. 洗礼の意義: 洗礼がどのようにして神とのより緊密な関係をもたらすのか

1. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

2. 使徒 2:38 - ペテロは答えました。「悔い改めて、あなたがたは皆、イエス・キリストの名によって、罪の赦しのためにバプテスマを受けなさい。そしてあなたは聖霊の賜物を受けるでしょう。

マタイ 3:7 しかし、イエスは、多くのパリサイ人やサドカイ人がバプテスマを受けに来るのを見て、彼らに言った、「まむしの世代よ、来たるべき怒りから逃げる

ように誰があなたたちに警告したのですか。」

洗礼者ヨハネはパリサイ派とサドカイ派に神の怒りが来ると警告しました。

1. マムシの世代: 神の怒りに備える

2. 警告に注意してください: 来たるべき怒りから逃げましょう

1. エゼキエル書 3:17-21

2. ルカ21:34-36

マタイ 3:8 したがって、悔い改めにつながる実を結びなさい。

この箇所は、悔い改めにふさわしい実を結ぶようにと洗礼者ヨハネからの勧めです。

1. 悔い改めの成果: 真の信仰の要件の検討

2. 悔い改めにふさわしい人生を送る: 行動への呼びかけ

1. ルカ 3:8-14 - 洗礼者ヨハネの悔い改めと洗礼の呼びかけ

2. エペソ人への手紙 5:9-10 - 悔い改めにふさわしい愛と光の人生を生きる

マタイ 3:9 そして、あなたがた自身の心の中で、「私たちの父にはアブラハムがいます。」と言わないように考えてください。なぜなら、あなたがたに言いますが、神はこれらの石からアブラハムの子供たちを育てることができるからです。

神の力は無限であり、誰も自分の先祖を誇ることはできません。

1: 神の全能と全知を忘れてはなりません

2: 私たちの祖先は私たちに特別な特権を与えることはできません

ローマ人への手紙 4:16 したがって、それは恵みによるものであり、信仰によるものです。最後までその約束はすべての種に確かなものとなるかもしれない。律法

に基づくものだけではなく、アブラハムの信仰に基づくものにもです。私たち全員の父親は誰ですか。

ローマ人への手紙 9:7 また、彼らはアブラハムの子孫であるため、全員が子供であるわけではありません。しかし、あなたの子孫はイサクと呼ばれるでしょう。

マタイ 3:10 そして今、木の根元にも斧が置かれています。したがって、良い実を結ばない木はすべて切り倒され、火の中に投げ込まれます。

斧は木の根元に置かれ、良い実を結ばない木は切り倒されて火に投げ込まれます。

1. 人生において良い実を結ぶことの大切さ

2. 良い実を結ばなかった場合の結果

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

2. ヤコブ 2:17 −同様に、行いがなければ信仰もまた、それ自体で死んだものです。

マタイ 3:11 私は確かに、悔い改めのために水であなたにバプテスマを授けます。しかし、私の後に来られる方は、私よりも強い方です。私はその靴を履くに値しません。彼は聖霊と火であなたにバプテスマを授けるでしょう。

バプテスマのヨハネは、悔い改めに至るまで水のバプテスマを授け、イエスのために道を備えました。イエスは聖霊と火によってバプテスマを授けます。

1. イエスの洗礼: 神の愛の象徴

2. 聖霊の力: 魂の火

1. 使徒 2:4 - そして、彼らは皆、聖霊に満たされ、御霊が彼らに発語を与えたように、他の言語で話し始めました。

2. コリント第一 12:13 - というのは、ユダヤ人であろうと異邦人であろうと、奴隷であろうと自由であろうと、私たちは皆、一つの御霊によって一つの体となるバプテスマを受けているからです。そして皆が一つの御霊に飲み込まれているのです。

マタイ 3:12 その扇子を手に持っていると、床を徹底的に掃除し、小麦を穀倉地帯に集めます。しかし、彼は消えることのない火でそのもみがらを焼き尽くします。

洗礼者ヨハネは神の裁き、すなわち小麦が穀倉に集められ、もみがらは消えることのない火で焼かれることについて警告しています。

1. 悔い改めの必要性: 洗礼者ヨハネからの警告

2. 神の裁きの力: 聖性への招待

1. イザヤ書 5:24 - それゆえ、火が刈り株を焼き尽くし、炎がもみがらを焼き尽くすように、彼らの根は腐ったようになり、彼らの花は塵のように立ち上るであろう。彼らは主の律法を捨てたからである。そしてイスラエルの聖者の言葉を軽蔑した。

2. ヘブライ 10:26-27 - なぜなら、私たちが真理の知識を得た後、故意に罪を犯したとしても、罪のための犠牲はもう残されていません。ただ、敵をむさぼり食うであろう裁きと激しい憤りを求めるある種の恐ろしいものがあるからです。。

マタイ 3:13 それから、イエスはバプテスマを受けるために、ガリラヤからヨルダンへヨハネのところに来られました。

イエスは洗礼を受けるためにヨハネのところに来ました。

1: イエスは、自分自身をへりくだって、神が私たちの人生に働いてくださることを受け入れることの大切さを教えてくださいました。

2: イエスの足跡に倣い、私たちは神の御心に従うように努めるべきです。

1: ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスのうちにあるこの心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にしてしまったのです。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

2: ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。

マタイ 3:14 しかしヨハネは、「私はあなたから洗礼を受ける必要があるのに、あなたは私のところに来ませんか？」と言って彼を禁じました。

バプテスマのヨハネはイエスにバプテスマを施すことを拒否し、代わりにイエスからバプテスマを受けることを求めました。

1. 洗礼者ヨハネの謙虚さ: 自己認識の教訓

2. イエスの力: 権威についての教訓

1. ピリピ2:3-8

2. ルカ9:46-48

マタイ 3:15 すると、イエスは答えて言われた、「今はそうなるように耐えなさい。そうすれば、私たちはすべての義を成就できるのです。」それから彼は彼を苦しめました。

イエスはバプテスマのヨハネにバプテスマを授け、すべての義を成就させました。

1. あらゆる義を全うすることの重要性

2. 犠牲の力

1. ピリピ 2:8 - そして、イエスは人間の姿で見出されて、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

2. ヘブライ 12:2 - 信仰の先駆者であり完成者であるイエスに目を留めます。御前に置かれた喜びのために、イエスは十字架に耐え、その恥を軽蔑し、神の御座の右に座られた。

マタイ 3:16 イエスは、バプテスマを受けたとき、すぐに水から上がった。すると、見よ、天が彼の前に開かれ、神の霊が鳩のように降ってきて、イエスを照らすのを見た。

イエスはバプテスマを受け、天が彼に開かれました。彼は神の霊が鳩のように降下し、彼を照らすのを見た。

1. 洗礼の力: イエスの模範

2. 聖霊：私たちの慰め者であり導き手

1. イザヤ書 11:2-3 - 「そして主の霊が彼の上にとどまる。それは知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊である。」

2. ヨハネ 1:32-34 - 「そしてヨハネは、「聖霊が鳩のように天から降りてくるのを見た、そしてそれが彼の上にとどまった。そして私は彼のことを知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けるために私を遣わした方です。同じことが私にも言われました、「御霊がその上に降り、その上にとどまるのを見るであろう聖霊でバプテスマを授ける者も同じである。」

マタイ 3:17 すると、天からの声がした、「これはわたしの愛する子、わたしはこの子を喜ぶ」。

神は天から、愛する御子イエスを承認する言葉を語られました。

1. 神の肯定の力 - 神の肯定の言葉がどのように私たちを励まし、強めてくれるか。

2. 最愛の息子 - イエスと神との独特の関係と、それが私たちの人生に与える影響について考察します。

1. イザヤ書 42:1 - 「見よ、わたしが支えている僕。私の選ばれた人、私の魂は彼を喜ばせます。わたしは彼に霊を託しました。彼は異邦人に裁きを下すでしょう。」

2. コリント人への第二の手紙 1:20 - 「この方のうちにある神の約束はすべてそうです。アーメン、わたしたちによって神の栄光が現われますように。」

マタイ 4 章では、イエスの荒野での誘惑、ガリラヤでの宣教、そして最初の弟子たちの召しについて取り上げています。イエスがどのようにしてサタンの誘惑に打ち勝ち、天の王国について宣べ伝え始め、追随者を集めたかが強調されています。

第 1 段落: この章は、イエスがサタンの誘惑を受けるために御霊に導かれて荒野に行くところから始まります。40昼夜断食した後、彼はサタンから3度誘惑を受ける。石をパンに変えること、神の加護を試す神殿の尖塔から飛び降りること、そして世界のすべての王国と引き換えにサタンを崇拝することである。いずれの場合も、イエスは聖書を用いてこれらの誘惑をはねつけます（マタイ 4:1-11）。

第 2 段落: ヨハネの逮捕後、イエスはナザレを離れ、ガリラヤのカペナウムに向かい、そこで公の奉仕を始めます。マタイ 3 章 2 節のヨハネのメッセージを反映して、彼は「天国は近づいたから悔い改めなさい」と宣言しています（マタイ 4 章 12 ～ 17 節）。

第 3 段落: この最後のセクション (マタイ 4:18-25) では、イエスが最初の弟子たち、つまり漁師のシモン・ペテロとその弟アンデレ、そして他の 2 人の兄弟ゼベダイの子ヤコブとその弟ヨハネを呼んでいるのが分かります。彼らはすぐに網を離れて主に従いました。彼らはガリラヤ中を一緒に旅しながら、会堂で教え、神の王国について宣べ伝え、人々のさまざまな病気を癒します。

マタイ 4:1 それから、イエスは悪魔の誘惑を受けるために、御霊によって荒野に導かれました。

イエスは悪魔の誘惑を受けるために御霊によって荒野に導かれました。

1. 神は私たちの葛藤を知っており、私たちがそれに耐えられるよう常に助けてくださいます。

2. イエスは誘惑に直面し、最終的にはそれを克服し、私たちに自分自身の強さと立ち直りを思い出させました。

1. ヘブライ 4:15 - 「私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいません。しかし、私たちと同じようにあらゆる面で誘惑に遭った大祭司がいますが、それでも彼は罪を犯しませんでした。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人類に共通する誘惑以外に、あなたがたを襲った誘惑はありません。そして神は真実です。あなたが耐えられないほどの誘惑を受けることはありません。しかし、あなたが誘惑されたとき、神はまた、誘惑を与えてくださいます。」あなたが耐えられるように逃げてください。」

マタイ 4:2 そして、四十日四十夜断食した後、彼は空腹になった。

40日40晩断食した後、イエスは空腹になりました。

1: たとえ困難な状況に陥ったとしても、私たちは霊性の実践において用心深くなければなりません。

2: 祈りと断食の力は私たちを神に近づけます。

1: ヤコブ 5:16 「ですから、互いに罪を告白し、いやされるように互いに祈りなさい。義人の祈りは力強く、効果があります。」

2: 1 コリント 9:24-27 「レースでは、すべての走者が走りますが、賞を受け取るのは 1 人だけであることを知らないのですか。だから、賞を得るために走りなさい。すべての選手は、何事においても自制心を働かせます。彼らはそうしています。」「それは朽ちる花輪を受け取るためですが、私たちは朽ちないものです。だから私は目的もなく走ったり、空を蹴るようにボクシングをしたりしません。しかし、私は自分の体を訓練し、コントロール下に置いています。他の人に説教した後で私自身が失格にならないようにします」。」

マタイ 4:3 誘惑する者が彼のところに来ると、「もしあなたが神の子なら、これらの石をパンにするように命じてください」と言った。

悪魔はイエスを誘惑し、もし神の子なら石をパンに変えるよう求めます。

1. 誘惑の危険性: 闘争を解決する方法。

2. 信仰の力: 神の助けによって誘惑に打ち勝つ。

1. ヤコブ 1:12-15 – 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2. コリント人への第一の手紙 10:13 – 人間にとって珍しい誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

マタイ 4:4 しかし彼は答えて言った、「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉で生きると書いてある」。

人間はパンだけで生きられるのではなく、神が語るすべての言葉で生きていけるのです。

1) 神の言葉の力: 私たちが神の約束からどのように命を受け取るかを理解する

2) キリストにとどまる: あらゆる必要に応じてキリストに頼る方法

1) イザヤ書 40:8 - 草は枯れ、花はしぼみますが、私たちの神の言葉は永遠に残ります。

2) 詩篇 119:89 - 主よ、永遠に、あなたの御言葉は天に堅く定められます。

マタイ 4:5 それから、悪魔は彼を聖なる都に連れて行き、神殿の頂上に立たせます。

悪魔は聖都でイエスを誘惑し、神殿の頂点に立たせます。

1. たとえ私たちが孤独に見えるときでも、神はいつも私たちとともにおられます。

2. 私たちが何か悪いことをしようとする誘惑に駆られたとき、神は抵抗する力を与えてくださいます。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ヤコブ 1:12-15 - 「試練を耐え忍ぶ人は幸いです。なぜなら、その試練に耐えたその人は、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。誘惑に遭ったとき、誰もすべきではありません。」「神が私を誘惑している」と言う。なぜなら、神は悪によって誘惑されることはなく、また人を誘惑することもありませんが、人はそれぞれ、自分の邪悪な欲望に引きずり込まれ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望が孕んだ後、それは罪を生み出します。成長し、死を産みます。」

マタイ 4:6 そして彼に言った、「もしあなたが神の子なら、身を投げなさい。なぜなら、彼は天使たちにあなたについて命じるでしょう。そして、あなたがいつでも襲わないように、彼らは彼らの手であなたを支えるでしょう」と書いてあるからです足を石に打ちつけてください。

サタンはイエスに身を投げて自分が神の子であることを証明するよう誘惑しますが、イエスは神が彼を守ってくれるという聖書の言葉を引用して応答します。

1. 信仰の強さ：誘惑に負けず毅然と立ち向かう

2. 聖書の力: 私たちを導く神の言葉

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2. 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

マタイ 4:7 イエスは彼に言われた、「『あなたの神、主を試みてはならない』とまた書いてある。」

この箇所は、神を試みないようにというイエスの教えを強調しています。

1.「神の言葉の力：神を信頼し、神の命令に従うこと」

2.「主を試してはいけない：信仰と従順の人生を生きる」

1. ヤコブ 1:13-14 - 「誘惑されているとき、『私は神に誘惑されている』と誰も言ってはなりません。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、神ご自身も誰も誘惑されないからです。しかし、人は誰でも、自分が誘惑されるときに誘惑されます。自分の欲望に引っ張られ、誘惑されるのです。」

2. 申命記 6:16 - 「マサでしたように、あなたの神、主を試してはなりません。」

マタイ 4:8 再び、悪魔は彼を非常に高い山に連れて行き、世界のすべての王国とその栄光を彼に見せます。

悪魔はイエスを高い山に連れて行き、世界のすべての王国とその栄光を見せました。

1. 山上のイエス・キリストの誘惑

2. 明らかになる敵の力

1. ルカ4:5-13

2. エペソ人への手紙 6:10-12

マタイ 4:9 そして彼に言った、「もしひれ伏して私を拝むなら、これらのものをすべてあなたにあげましょう」。

サタンはイエスを崇拝するなら全世界の富を差し出すことでイエスを誘惑します。

1. 誘惑の力: 抵抗し、克服する方法

2. 忠実さの代償: 神への献身的な態度を保つには

1. コリント人への第一の手紙 10:13 – 「人間によくある誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり，あなたが自分の能力を超えた誘惑に遭うことはお許しになりませんが，誘惑に耐えられるように，誘惑の際には逃げ道も備えてくださるのです。」

2. ヤコブ 1:13-15 – 「誘惑されているとき、『私は神に誘惑されている』と誰も言ってはなりません。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、ご自身も誰も誘惑されないからです。しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され誘惑されることがあります。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は成長すると死を生み出します。」

マタイ 4:10 それから、イエスは彼に言われた、「サタンよ、引きなさい。『あなたの神、主を礼拝し、主だけに仕えなさい』と書いてあるからです。」

イエスはサタンを叱責し、信者はただ神を崇拝し仕えるべきだという聖書の言葉を引用して立ち去るよう命じました。

1.「神に仕える代償：誘惑に負けずに強く立つ」

2.「言葉の力：悪に対抗する聖書の力」

1. エペソ人への手紙 6:11-13 - 「悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。私たちは血肉に対して戦っているのではなく、支配者に対して、権力に対して、権力に対して戦っているからです。」

2. ヤコブ 4:7-8 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたに近づきます。罪人よ、手を清めなさい。そしてあなたの手を清めなさい。」心よ、あなたたちは二重の心を持っています。」

マタイ 4:11 そのとき、悪魔が彼から離れると、見よ、天使たちがやって来て彼に仕えた。

イエスが荒野で40日間断食した後、悪魔は三度イエスを誘惑しました。しかし、イエスが抵抗したため、悪魔はイエスから離れました。すると天使たちが現れて彼に仕えました。

1. 誘惑に抵抗する神の恵みの力

2. 試練の時に信仰を強く保つ方法

1. ヘブライ 4:14-16 - ですから、私たちには天を通った偉大な大祭司、神の子イエスがいるのですから、私たちが告白する信仰をしっかりと持ち続けましょう。なぜなら、私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいないのですが、私たちと同じように、あらゆる面で誘惑に遭いながらも、罪を犯さなかった大祭司がいるからです。

2. ヤコブ 1:12-15 - 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。なぜなら、その人は試練に耐えた後、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。誘惑に遭ったときに、「私は神に誘惑されている」などと誰も言ってはなりません。神が悪に誘惑されることはあり得ませんし、人を誘惑することもありません。しかし、人はそれぞれ、自分の邪悪な欲望に引きずられ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望は妊娠した後、罪を生み出します。そして罪が大きくなると死を生み出します。

マタイ 4:12 さて、イエスはヨハネが投獄されたと聞いて、ガリラヤへ出発された。

イエスはヨハネが投獄されたと聞いてガリラヤへ出発されました。

1. イエスの同情 - イエスがどのようにヨハネに同情し、愛を示すために行動したか。

2. 困難な時代 - 困難な時に希望を持ち、忠実であり続ける方法。

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. マタイ 11:28 - 「すべて苦労している人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。」

マタイ 4:13 それからイエスはナザレを出て、ザブロンとネフタリムの境にある海岸沿いのカペナウムに来て住みました。

イエスは説教し教えるためにカペナウムに移動します。

1. イエスの模範に従い、福音を広めるために快適な場所から出ていきましょう。

2. イエスは説教し教えるためにカペナウムに移りました。私たちはこの時間を利用して神の言葉を探し求めましょう。

1. マタイ 28:19-20 それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまで。アーメン。

2. マルコ 16:15 そしてイエスは彼らに言った、「あなたがたは全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

マタイ 4:14 それは、預言者エザヤがこう言ったことが成就するためです。

この箇所は、イエスがイザヤ書の預言をどのように成就したかについて書かれています。

1. 神の完璧な計画: 聖書の中でイエスがどのように預言されていたか

2. 神の御心に従う: イエスはどのように預言を成就したか

1. イザヤ書 7:14 「それゆえ、主ご自身があなたにしるしを与えられます。見よ、処女はみごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶでしょう。」

2. マタイ 3:15、「しかし、イエスは彼に答えられた、『今はそのようにしなさい。このようにしてすべての義を成就するのが私たちにふさわしいのです。』」すると彼は同意してくれました。」

マタイ 4:15 ザブロンの地とネフタリムの地、海の道、ヨルダンの向こう、異邦人のガリラヤ。

この箇所では、ガリラヤはヨルダン川の向こうの海沿いに位置し、異邦人の故郷であったザブロンとネフタリムの地であると説明されています。

1. 神の備え: 困難な時代に希望を見出す

2. 許しの力: 逆境を克服する方法

1. ローマ 15:4 - 「昔に書かれたものはすべて、忍耐と聖書の励ましによって希望を持つため、私たちの指示のために書かれたものだからです。」

2. イザヤ書 43:1-2 - 「恐れるな。わたしはあなたをあがなったからである。わたしはあなたの名前を呼んだ。あなたはわたしのものである。あなたが水の中を通るとき、私はあなたとともにいる。そして川を通って彼らは行くであろう」あなたを圧倒しないでください。火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎があなたを焼き尽くすことはありません。」

マタイ 4:16 暗闇の中に座っていた人々は大きな光を見た。そしてその地域と死の影に座っていた彼らに光が芽吹く。

この一節は、暗闇に光をもたらすという神の約束を明らかにしています。

1. 神は暗闇の中で希望の光を与えてくださる

2. 絶望の時にキリストの光を抱きしめる

1. イザヤ書 9:2: 「やみの中を歩いている民は大いなる光を見た。深い闇の地に住む者たちに光が明けた。」

2. ヨハネ 8:12: 「イエスは再び人々に語られたとき、こう言われました。『わたしは世の光です。わたしに従う者は決して暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。』」。

マタイ 4:17 その時から、イエスは宣べ伝え始め、「悔い改めなさい。天の御国は近づいているから」と言い始めました。

イエスは天国が近づいたという良いたよりを宣べ伝え始めました。

1: 悔い改めて天国を信じなさい

2: 天国を求めて新しい人生を見つける

1: ルカ 13:3、「悔い改めなければ、あなたがたも皆滅びるでしょう。」

2: ヨハネ 3:16-17、「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

マタイ 4:18 イエスはガリラヤ湖畔を歩いておられたとき、二人の兄弟、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが海に網を投げているのをご覧になった。彼らは漁師だったからである。

イエスは、漁師の兄弟ペテロとアンデレに出会いました。

1. 人間漁師に手を差し伸べる：伝道への呼びかけ

2. 友情の力: イエスと弟子たち

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」、私は世の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

2. 伝道の書 4:9-12 - 「二人は一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労苦に対して良い報いがあるからです。なぜなら、彼らが倒れても、誰かが仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れても一人で、支えてくれる者がいない人は不幸です。繰り返しますが、二人が一緒に寝れば暖かさを保ちますが、どうやって一人で暖かく保つことができますか？そして、一人の男が孤独な一人に勝つかもしれないが、二人は彼に抵抗するだろう、三重の紐はすぐに切れるものではない。」

マタイ 4:19 そこでイエスは彼らに言われた、「わたしについてきなさい。そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます」。

イエスは弟子たちに、自分に従って人間を取る漁師になるよう呼びかけます。

1. イエスに従う: 福音を分かち合うという呼びかけ

2. 神の王国を拡大するために自分の才能を活用する

1. エペソ 4:11-12 - そして、イエスは使徒、預言者、伝道者、羊飼い、教師たちに、聖徒たちに奉仕の働き、キリストのからだを築き上げるための備えを与えました。

2. 箴言 11:30 - 義人の実は命の木、魂を捕らえる者は賢い。

マタイ 4:20 そこで彼らはすぐに網を捨ててイエスを追った。

二人の漁師はイエスの呼びかけを聞くと、すぐに網を捨ててイエスを追った。

1. イエスに従うには、即時の決意が必要です。

2. イエスは私たちの心からの献身を受けるに値するお方です。

1. マルコ 8:34-38 - 「もしだれかがわたしについて来ようとするなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしについてきなさい。

2. ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

マタイ 4:21 そこから進んでいくと、他の二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父ゼベダイとともに船で網を繕っているのが見えた。そして彼は彼らに電話をかけた。

イエスは、二人の兄弟、ヤコブとヨハネが父親と一緒に網を繕っているのを見て、イエスに従うように呼びかけました。

1. 弟子への呼びかけ - 神の呼びかけに従うことの重要性を理解する。

2. イエスに従う - イエスに従うことで人生が変わる影響を発見します。

1. ルカ 9:23-24 - 「そしてイエスは皆に言った、『もし誰かがわたしについて来るなら、自分を捨て、毎日自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救おうとする者はそれを失うことになるが、誰であろうとも。私が救うために彼の命を落としてください。」

2. マタイ 16:24 - 「それからイエスは弟子たちに言われた、「もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

マタイ 4:22 そこで彼らはすぐに船と父親を離れて、父親を追った。

この箇所は、イエスが二人の兄弟、シモンとアンデレに従うように呼びかけた内容です。

1. イエスに従う：すべてを後にせよという呼びかけ

2. キリストに近づく: 神の言葉への従順

1. ヨハネ 12:26 - 「わたしに仕える者はわたしに従わなければなりません。わたしがいるところには、わたしの召し使いもなります。わたしの父は、わたしに仕える者を敬うでしょう。」

2. ルカ 9:23 - それからイエスは皆に言った、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、日々自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

マタイ 4:23 それから、イエスはガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民のあらゆる病気やあらゆる病気をいやされた。

イエスはガリラヤ地方中を巡り、会堂で教え、福音を宣べ伝え、病人や病人を癒しました。

1. イエス：偉大な癒し手

2. 御国の福音を実践する

1. 詩篇 103:3 - 神はあなたのすべての罪を赦し、あなたのすべての病気を癒してくださいます

2. 使徒 10:38 - 神はどのようにしてナザレのイエスに聖霊と力を注いで善行を行ない、悪魔に抑圧されているすべての人を癒しました。

マタイ 4:24 そして、彼の名声はシリア全土に広まった。そして彼らは、さまざまな病気や苦痛に苦しんでいるすべての病人、悪魔に取り憑かれている人、精神異常者、中風の人たちをすべて彼のところに連れてきた。そして彼は彼らを癒しました。

イエスの名声はシリア全土に広がり、病気や苦痛に苦しんでいる多くの人々が癒しを求めてイエスのもとに連れて来られました。

1. 癒しにおける神の憐れみ: イエスの癒しの働きを探る

2. 思いやりを持って手を差し伸べる: イエスの病人への宣教

1. イザヤ書 53:4 - 確かに、彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しめられたと確かに思いました。

2. マタイ 9:35 - そして、イエスはすべての町や村を巡り、会堂で教え、神の国の福音を宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気をいやされました。

マタイ 4:25 それから、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、ヨルダンの向こうから大ぜいの人々が続いた。

地域のさまざまな地域から大勢の人々がイエスに従ってきました。

1: イエスに従うと真の喜びがもたらされます。

2: イエスに従うには、人生のあらゆる面から来ることが求められます。

1: マルコ 8:34-35 「イエスは弟子たちとともに民を呼び寄せて言われた、『だれでもわたしの後から来る者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。』自分の命を救う者はそれを失いますが、私と福音のために自分の命を失う者は、同じようにそれを救うでしょう。」

2: 使徒 2:41-42 「それから、イエスの言葉を喜んで受け入れた人々はバプテスマを受けました。そして、同じ日に、約三千人の魂が彼らに加えられました。そして彼らは、使徒たちの教義と交わり、そしてパンを裂くことを堅く守り続けました」そして祈りのうちに。」

マタイ 5 章は、イエスの最も重要な教えの 1 つである山上の説教の始まりです。この章では至福の教えを紹介し、律法の履行について議論し、殺人、姦淫、離婚、誓い、報復、敵への愛に関する伝統的な教えの新しい解釈を提供します。

第 1 段落: この章は、イエスが至福の教えを伝えるところから始まります。これは、柔和さや慈悲などの特定の美徳を体現する人々に対する一連の祝福です。これらの声明は、世俗的な価値観よりも精神的な価値観を強調しています。このセクション (マタイ 5:1-12) でイエスはまた、追随者たちに、天国での報いが大きいので迫害を喜ぶよう勧めています。

第 2 段落: 前進して (マタイ 5:13-32)、イエスは「地の塩」であり「世の光」であることについて教え、イエスに従う者は他の人に良い影響を与えるべきであり、自分の信仰を隠すのではなく、信じるべきであることを強調します。誰が見ても輝いています。次に彼は、律法と預言者を廃止するのではなく成就するためにどのようにして来たのかについて説明します。彼は、殺人（怒り）、姦淫（好色な意図）、離婚（性的不道徳を理由とする場合を除いて不法行為）に関する法律を再解釈し、文字通りの遵守を超えたより深い理解を提供します。

第 3 段落: マタイ 5:33-48 でイエスは続けて、偽りの誓いをしないようにと忠告しています。代わりに、何も誓うことなく正直さを奨励します。そして、殴られたときは別の頬を向け、復讐には目には目を求めるのではなく、敵を愛するよう指示した。これは報復ではなく許しを促進し、敵を愛することは神の無条件の愛を反映して個人的なサークルを超えて愛を広げる挑戦として機能します。

マタイ 5:1 それから、イエスは群衆を見て山に登られた。そして立ち上がると、弟子たちがイエスのところに来た。

イエスは山頂で弟子たちに至福の教えを教えます。

1. 「視点の力：逆境の中で喜びを見つける」

2.「王国の考え方で生きる: 神の祝福」

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはいけません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. 詩篇 34:8 - 「ああ、味わって、主が善い方であることを見てください。主に避難する人は幸いです!」

マタイ 5:2 そこでイエスは口を開いて、彼らに教えて言われた。

イエスは山の上で大勢の群衆に説教しました。

1: イエスの言葉の力と、それが私たちの生活にどのような変化をもたらすのか。

2: 信仰生活を送り、主を信頼することの大切さ。

1: ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

2: ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して起こります。」

マタイ 5:3 心の貧しい人たちは幸いです。天の国は彼らのものだからです。

この聖句は、謙虚で神への依存を認める人には天国での永遠の命が与えられると宣言しています。

1.「謙虚さの祝福」

2.「精神的な貧しさの報い」

1. 箴言 22:4 - 「謙虚さと主への畏れに対する報いは、富と名誉と命です。」

2. ヤコブ 4:6 - 「しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。それゆえ、神はこう言われます。「神は高ぶる者には抵抗しますが、へりくだる者には恵みを与えられます。」

マタイ 5:4 悲しんでいる人々は幸いです。彼らは慰められるからです。

イエスは、悲しむ人は神によって慰められると宣言されました。

1. 「悲しむ人に対する神の慰め」。神がどのようにして悲しむ人に慰めを与えられるかに焦点を当てています。

2. 「喪の価値」、喪がなぜ有益であるかを強調します。

1. 詩篇 34:18、「主は心の打ち砕かれた者に近づき、心の打ちひしがれた者を救ってくださいます。」

2. イザヤ書 61:2、「主の恵みの年と私たちの神の復讐の日を告げ知らせ、悲しむすべての人を慰めるためです。」

マタイ 5:5 柔和な人々は幸いです。彼らは地を受け継ぐからです。

この箇所は、柔和の祝福と、柔和な人が地を受け継ぐという報いを受けることについて語っています。

1. 「柔和の力」- 柔和の霊的な力と、それが神にとってなぜそれほど重要なのかを考察します。

2.「地球の継承」- 地球の継承の概念とそれを実現する方法を探ります。

1. ヤコブ 3:13-18 - 怒りと誇りを克服する柔和と知恵の力を考察します。

2. 詩篇 37:11 - 主を信頼し、その導きに頼る人々に対する主の約束について話し合います。

マタイ 5:6 義に飢え渇く者たちは幸いです。彼らは満たされるからです。

イエスは、義を求める人はその努力が報われると教えています。

1.「正義の果実」

2.「義を求めることの祝福」

1. ガラテヤ 5:22-23: 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制です。これらに反する律法はありません。」

2. ローマ人への手紙 8:28: 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

マタイ 5:7 憐れみ深い人たちは幸いです。彼らは憐れみを得るからです。

この聖句は、私たちが慈悲の見返りとして受け取ることができるので、他の人に対して慈悲深くなるように勧めています。

1. 慈悲の力: 他人に優しさを示すことがどのように祝福をもたらすか

2. 憐れみの報酬: 思いやりを持つことでどのように私たちが神に近づくのか

1. ルカ 6:36 - 「あなたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。」

2. 箴言 11:17 - 「親切な人は自分に利益をもたらしますが、残酷な人は自分に災いをもたらします。」

マタイ 5:8 心の清い人たちは幸いです。彼らは神を見るでしょう。

この聖句は、神との親密な関係を経験するためには純粋な心を持つことの重要性を強調しています。

1. 純粋な心の力: 神聖な人生を送り、神の臨在を体験する方法

2. 清らかさの美しさ：神を追い求める純粋な心で生きる

1. ヨハネ第一 3:2-3 - 「愛する人たち、私たちは今神の子です。私たちがどのようになるかはまだ現れていません。しかし、私たちは、神が現れるとき、私たちも神のようになることを知っています。なぜなら、私たちは神のありのままの姿を見るからです」そして、このように彼に期待する人は皆、彼が純粋であるように自分自身を清めます。」

2. 詩篇 24:3-4 - 「だれが主の山に登るでしょうか。また、だれがその聖所に立つでしょうか。清い手と清い心を持ち、偽りや邪悪な事柄に対して自分の魂を高めない者です。」偽りの誓いはしない。」

マタイ 5:9 平和を実現する人々は幸いです。彼らは神の子と呼ばれるからです。

イエスは、平和を実現する者は祝福され、神の子と呼ばれることになると教えています。

1.「平和づくりの祝福 神の子となる」

2.「平和構築の道：イエスの足跡をたどる」

1. ローマ 12:18 - 「できることなら、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。」

2. イザヤ書 11:6-9 - 「オオカミは子羊と一緒に暮らし、ヒョウはヤギ、子牛、ライオン、そして一歳の子たちと一緒に寝ます。そして幼い子供が彼らを導きます...彼らはどちらもしません」私の聖なる山すべてを傷つけることも破壊することもありません。水が海を覆うように、地は主の知識で満たされるからです。」

マタイ 5:10 義のために迫害されている人々は幸いです。天の国は彼らのものです。

この聖句は、正しいことを行っているために迫害されている人々に、神は最終的には天国への入場という報いを与えてくださるので、忠実であり続けるよう励ましています。

1. 強く立ちなさい - 迫害に直面しても忠実であり続けるよう励ます

2. 自分が蒔いたものを刈り取る - 正しいことを行うことによる霊的な報酬

1. ローマ人への手紙 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちの内に現れるであろう栄光と比較するに値しないと考えています。」

2. ペテロ第一 4:12-13 - 「愛する人たち、あなたたちを試みる激しい試練については、何か奇妙なことがあなたたちに起こったかのように、不思議なことではないと考えてください。しかし、あなたたちはキリストの苦しみにあずかっているので、喜びなさい。彼の栄光が現されるとき、あなたがたもまた、この上ない喜びをもって喜ぶであろう。」

マタイ 5:11 わたしのために、人々があなたたちをののしり、迫害し、あなたたちに対して偽ってあらゆる悪口を言うとき、あなたがたは幸いです。

クリスチャンは、イエス・キリストへの信仰を理由に迫害されたり、嘘をつかれたりするときに祝福されます。

1. 迫害における祝福: キリストのために苦しみを受け入れる

2. 毅然とした態度を保つ: 福音のために拒絶に耐える

1. ヨハネ 15:18-21 - 「もし世があなたを憎んでいるなら、まず世がわたしを憎んだことを思い出してください。もしあなたが世に属しているなら、世はあなたを自分のものとして愛するでしょう。現状では、あなたは世に属していません。「しかし、わたしはあなたを世から選びました。それが、世があなたを憎む理由です。私があなたに言ったことを思い出してください。『僕は主人より偉いわけではない』。」」

2. ヘブライ 12:1-2 - 「ですから、私たちはこれほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、邪魔するものや、簡単に絡まる罪をすべて捨て去ろうではあ

りませんか。そして、このレースを粘り強く走ろうではありませんか」「私たちは、信仰の先駆者であり完成者であるイエスに目を向けています。イエスは、目の前に与えられた喜びのために十字架に耐え、その恥を軽蔑し、神の御座の右に座りました。」

マタイ 5:12 喜び、大いに喜びなさい。天におけるあなたの報いは大きいからです。あなた以前の預言者たちは非常に迫害されたからです。

この聖句は、信者たちが以前の預言者たちと同じように迫害されてきたため、天での報いという神の約束に喜びと感謝を抱くよう勧めています。

1. 天国の約束を喜ぶ - マタイ 5:12 の考察

2. 迫害された人々に対する天における神の報い - マタイ 5:12 の解説

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2. コリント人への第二の手紙 4:17-18 - 私たちの軽い一時的な困難は、それらすべてをはるかに上回る永遠の栄光を私たちにもたらしているからです。したがって、私たちは見えるものではなく、見えないものに目を向けます。なぜなら、見えるものは一時的なものですが、見えないものは永遠だからです。

マタイ 5:13 あなたがたは地の塩です。しかし、その塩が風味を失ったとしたら、どうやって塩漬けにすることができますか。以後、それは何の役にも立たず、追放され、人々の足の下に踏みつけられるだけである。

地の塩: 世界の前向きな模範となることの重要性。

1: 地の塩になる - 私たちの賜物と才能を使って世界にポジティブな影響を与える。

2: 失われた味わい - 私たちの行動がポジティブな影響を与える能力にどのような影響を与えるかを理解します。

1: コロサイ 4:6 - 会話は常に恵みに満ち、塩で味付けしてください。そうすれば、誰にでも答えられるようになります。

2: 1 ペテロ 3:15 - しかし、あなたがたは心の中でキリストを主として崇めなさい。あなたが抱いている希望の理由を尋ねてきた人には、いつでも答える準備をしておいてください。ただし、これは優しさと敬意を持って行います。

マタイ 5:14 あなたがたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。

イエスは信者たちに、丘の上の都市のように世界の光となるよう呼びかけます。

1. 私たちの光: 世界のキリストのために輝く

2. 光になれ：イエスに従う者たちへの呼びかけ

1. ピリピ 2:15 - 「それは、曲がった曲がった国民のただ中で、神の子として、とがめられることのない、罪のない者となり、その国民の間で、世の光として輝くためです。」

2. マタイ 5:16 - 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父をあがめることができます。」

マタイ 5:15 人はろうそくに火をつけてブッシェルの下に置くのではなく、ろうそく立ての上に置きます。そしてそれは家の中にいるすべての人に光を与えます。

この聖句は、自分の信仰を他の人と分かち合うことの重要性を強調しています。

1. 信仰の光: 自分の信仰を他の人と分かち合うことがなぜ重要なのか

2. 聖火を渡す: 自分の信仰を他の人と共有する方法

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、彼らはどうして信じなかった方を呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？「良いたよりを宣べ伝える人々の足は何と美しいのでしょう。」と書かれているとおりです。

2. ピリピ人への手紙 2:14-16 「すべてのことを不平や論争をせずに行いなさい。そうすれば、あなたがたはとがめられるところもなく、罪のない者となり、曲がりくねった世代のただ中で、傷のない神の子となり、その人々の間で世の光として輝きます。」「命の言葉をしっかり握りなさい。そうすれば、私はキリストの日に、自分が走ったことが無駄でなく、労苦も無駄ではなかったと誇ることができるでしょう。」

マタイ 5:16 あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父をあがめることができます。

この聖句は信者に、目に見える、神の栄光を讃える人生を送るよう勧めています。

1. 私たちの光を輝かせようという呼びかけ: 神に見える人生を送るための挑戦

2. 善行の力：神の栄光を讃える人生を送る

1. エペソ 2:10 - なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られ、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ備えてくださったものだからです。

2. イザヤ書 43:7 - わたしの名で呼ばれるすべての人、わたしが栄光のために創造した者たち。私は彼を作りました、そう、私は彼を作りました。

マタイ 5:17 わたしが律法や預言者を滅ぼすために来たなどと考えないでください。滅ぼすために来たのではなく、成就するために来たのです。

イエスは律法と預言者を滅ぼすためではなく、それらを成就するために来られました。

1: イエスは神の救いの計画を実現するために来ました。

2: イエスは私たちに与えられた律法と預言者を完成させるために来られました。

1: イザヤ書 42:21 - 主はご自身の義を喜ばれます。彼は律法を拡大し、それを名誉あるものとします。

2: ガラテヤ 3:19 - それでは、なぜ律法に従うのでしょうか。それは、約束がなされた種が来るまで、違反のために追加されました。

マタイ 5:18 まことにあなたがたに言います。天地が滅びるまでは、すべてが成就するまでは、一紙一銭も律法から逸脱してはならないのです。

この箇所は、イエスが旧約聖書の律法が成就するまで有効であると約束したことを説明しています。

1. 神の律法の不変の性質

2. 変化する世界において神の言葉を堅持する

1. ローマ人への手紙 3:31、「それでは、私たちは信仰によって律法を無効にするのでしょうか。神は禁じています。そうです、私たちは律法を確立します。」

2. ヤコブ 1:22-25、「しかし、あなたがたは、ただ聞くだけで自分を欺くのではなく、みことばを行う者になりなさい。もし、実行者ではなく、みことばを聞く者がいるとしたら、その人は見ている人のようなものだからです」ガラスの中の彼の自然な顔: なぜなら、彼は自分自身を見て、自分の道を進み、自分がどんな人間だったのかすぐに忘れてしまうからです。しかし、完全な自由の法則を見つめ、そこに留まり続けている人は、忘れっぽい聞き手ではなく、聞き手であるのです。その仕事を行う者、この人はその行為において祝福されるであろう。」

マタイ 5:19 したがって、これらの最も小さな戒めの一つを破り、そのように人々に教える者は、天の国で最も小さい者と呼ばれます。しかし、それを実行し、教える者は、神の国では偉人と呼ばれます。天国。

イエスは追随者たちに、神の戒めをすべて守り、他の人にも同じように教えるよう勧めています。これを行う人が天の王国で偉大と呼ばれるからです。

1. 従順の偉大さ: 神の命令に従うことがどのようにして永遠の報いをもたらすのか

2. 神の命令を教える: どうすれば神の言葉を広め、神の祝福を受けることができるか

1. 申命記 11:18-19 - 「それゆえ、あなたは私のこの言葉を心と魂の中に蓄え、しるしとして手に結び、目の間の前飾りのようにしなさい。」あなたは家に座っているとき、道を歩いているとき、横になっているとき、そして起きているときに、彼らのことを話しながら、子供たちに彼らのことを教えなければなりません。」

2. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって実行者ではないとしたら、その人は鏡で自分の自然な顔を観察している人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を観察し、立ち去ってしまい、自分がどんな人間だったのかをすぐに忘れてしまうからです。しかし、完全な自由の法則を見つめ、それを継続し、聞き忘れる者ではなく、その働きを行う者は、その行いにおいて祝福されるであろう。」

マタイ 5:20 あなたがたに言いますが、あなたの義が律法学者やパリサイ人の義を超えない限り、あなたがたは決して天国に入ることはできません。

イエスは群衆に、天国に入るには律法学者やパリサイ人よりも大きな義を持たなければならないと言いました。

1. 義を超えることの必要性

2. 人間ではなく神を喜ばせるために生きる

1. ローマ 10:3-4 - 彼らは神の義を知らず、自分の義を立てようとしていて、神の義に服従していないからです。

2. ヤコブ 4:4-5 - 姦淫する人たちよ！世との友情は神との敵対であることを知らないのか？したがって、世の友人でありたいと願う者は、自らを神の敵にしてしまうのです。

マタイ 5:21 あなたがたは、昔から、「人を殺してはならない」と言われたことを聞いたことがあるでしょう。そして殺す者は誰でも裁きの危険にさらされるだろう。

この一節は、人を殺すことは禁じられており、殺した者は裁かれるだろうと述べています。

1. 命を絶つことの重大な結果

2. すべての人間の命の価値

1. ローマ 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

マタイ 5:22 しかし、あなたがたに言います。理由もなく兄弟に対して怒る者は、裁きの危険にさらされます。また、兄弟、ラカに言う者は議会の危険にさらされます。しかし、言う者は誰でも、議会の危険にさらされます。、愚か者よ、地獄の火の危険にさらされるであろう。

イエスは、理由もなく兄弟に腹を立てる者は裁かれるが、兄弟を侮辱する者はさらに大きな罰を受けるだろうと警告しています。

1.「言葉を測る：対立にどう対処するか」

2.「言葉の力：お互いに対する私たちの責任」

1. 箴言 12:18 - 軽率な言葉を剣で突き刺すような人がいますが、賢者の舌は癒しをもたらします。

2. ヤコブ 3:9-10 - 私たちはそれによって私たちの父であり主である主を祝福し、それによって神に似せて造られた人々を呪います。同じ口から祝福と呪いが生まれます。兄弟たち、このようなことはあってはならないのです。

マタイ 5:23 したがって、もしあなたが自分の贈り物を祭壇に持ってきて、そこであなたの兄弟があなたに不利なことをしたことを思い出したら、

キリストは私たちに、神を礼拝する前に兄弟たちと和解するよう呼びかけています。

1: 「汝の隣人を愛せよ - 和解への呼びかけ」

2:「和解の祭壇」

1: ローマ人への手紙 12:18、「できることなら、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。」

2: ヤコブ 4:7、「それでは、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたたちから逃げます。」

マタイ 5:24 あなたの贈り物を祭壇の前に置いて、行きなさい。まずあなたの兄弟と和解してから、来てあなたの贈り物を捧げてください。

神に贈り物を捧げる前に、兄弟との和解が必要です。

1. 和解の優先順位: 神を礼拝する前に関係を修復する方法

2. 和解の力：神の愛で団結して交わりを再び結びつける

1. エペソ人への手紙 4:2-3 「完全に謙虚で柔和でありなさい。忍耐強くあり、愛をもって互いに忍耐しなさい。平和のきずなを通して御霊の一致を保つようあらゆる努力をしなさい。」

2. ヤコブ 3:17-18 「しかし、上からの知恵は、何よりもまず純粋です。また、平和を愛し、常に優しく、他の人に喜んで譲ります。それは憐れみと善行に満ちています。それは何も示しません。えこひいきで、いつも誠実です。」

マタイ 5:25 あなたが彼の邪魔をしている間、あなたの敵にすぐに同意しなさい。いつ敵対者があなたを裁判官に引き渡し、裁判官があなたを役人に引き渡し、あなたが刑務所に投げ込まれることがないように。

法廷に向かう前に、相手とすぐに同意してください。

1. 「手放して神に任せる：平和的な方法で紛争を解決する」

2.「妥協の力：信仰と愛で対立を解決する」

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和があなたがたの心を守るでしょう。」そしてあなたがたの心はキリスト・イエスのうちにあります。」

マタイ 5:26 まことにあなたに言いますが、最後のお金を払い終えるまでは決してそこから出てはなりません。

この一節は借金を全額返済することの大切さを語っています。

1: 私たちの資源を上手に管理する - 神は私たちがお金を賢く使い、借金を全額返済することを期待されています。

2: 責任を持つことの重要性 - 私たちは自分の財政に対して責任を持ち、借金を確実に返済しなければなりません。

1: 箴言 22:7 - 金持ちは貧しい人を支配し、借り手は貸し手の僕です。

2: ルカ 16:11 - それゆえ、あなたがたが不義の富に忠実でなかったとしたら、誰があなたに真の富を委ねるでしょうか。

マタイ 5:27 あなたがたは、昔から、「姦淫してはならない」と言われていたことを聞いたことがあるでしょう。

この箇所は十戒、特に「姦淫してはならない」という戒めに従うことの大切さを強調しています。

1. コミットメントの力 - 約束を守ることで正しい道を歩み続けることができる方法

2. 従順の価値 - 神の命令に従うことがなぜ私たちを神に近づけるのか

1. ヘブライ 13:4 - 結婚はすべてにおいて尊いものであり、床は汚れていません。しかし、売春婦と姦通者は神によって裁かれます。

2. 箴言 6:20-23 - わが子よ、あなたの父の戒めを守り、あなたの母の律法を捨てないでください。絶えずあなたの心に結びつけ、あなたの首に結びなさい。あなたが行くとき、それはあなたを導くでしょう。あなたが眠っているとき、それはあなたを守ってくれるでしょう。そしてあなたが目覚めると、それはあなたと話すでしょう。戒めはともし火だからです。そして法は軽い。そして、教えを叱責することが生き方なのです。

マタイ 5:28 しかし、あなたがたに言います。女を見て情欲を抱く者は、すでに心の中でその女と姦淫を犯したのです。

女を情欲的に見る者は、心の中で姦淫を犯したことになる。

1.「思考の力: 淫らな欲望の影響」

2. 「純粋さへの呼びかけ: 心と心の神聖さを達成する」

1. テサロニケ人への第一の手紙 4:3-5 - 「これは、あなたがたが淫行を避けること、つまりあなたの聖化でさえも神のご意志であるからです。あなたがた一人一人が、聖化と名誉において自分の器を所有する方法を知っているべきです。神を知らない異邦人のように貪欲です。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に合わせてはいけません。むしろ、心を新たにして自分を変えてください。それは、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するためです。」

マタイ 5:29 もしあなたの右目があなたを怒らせるなら、それを抜き取ってあなたから投げ捨てなさい。あなたの体全体が地獄に投げ込まれるよりも、あなたの体の一部が滅びる方があなたにとって有益だからです。

聖書のこの一節は、私たちを神のご意志から誤らせる可能性のある自分の一部を喜んで犠牲にするよう勧めています。

1. 神のために急進的な行動をとる: 神の計画に従うために困難な犠牲を払う

2. 誘惑に襲われたときに介入することの重要性

1. 箴言 4:23 - 「何よりも自分の心を守りなさい。あなたの行動はすべて心から出てくるからです。」

2. マタイ 6:24 - 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだ。」

地獄に投げ込まれるよりも、あなたの体の一人が滅びる方があなたにとって有益だからです。

イエスは、全身を地獄に投げ込まれる危険を冒すよりも、罪を犯させる原因となるものを生活から取り除くほうが良いと教えています。

1. 「行動は言葉よりも雄弁に語る：日常生活の中で福音を生きる」

2. 「神聖な人生を生きる：キリストにもっと似ていく」

1. ローマ 6:12-14 - したがって、罪があなたの死ぬべき肉体を支配して、その邪悪な欲望に従わないようにしてください。自分の一部を悪の道具として罪に捧げるのではなく、死から命に戻された者として自分自身を神に捧げてください。そして自分のすべての部分を義の道具として神に捧げなさい。

2. コリント第一 6:18-19 - 性的不道徳から逃げてください。人が犯すその他の罪はすべて体の外にありますが、性的に罪を犯す人は、自分の体に対して罪を犯していることになります。あなたがたの体は、あなたのうちに内在し、神から受け取った聖霊の神殿であることを知らないのですか。あなたはあなた自身のものではありません。

マタイ 5:31 「妻を離別する者は、離婚届を彼女に渡しなさい。」

この一節には、配偶者と離婚する者は離婚証明書を渡さなければならないと言われていると書かれています。

1. 結婚は神聖な契約であり、慎重かつ献身的に締結されるべきです。

2. 離婚は最後の手段であるべきであり、実際にそうなった場合には、配偶者は細心の注意を払って扱われるべきです。

1. マラキ書 2:16 - 「『わたしは離婚を憎む』とイスラエルの神、主は言われる、『その衣を不正で覆う者も』と万軍の主は言われる。「だから、自分の精神に気をつけて、不当な行為をしないようにしなさい。」

2. ローマ 7:2-3 - 「既婚女性は、夫が生きている間、法律によって夫に拘束されているからです。しかし、夫が死亡すると、彼女は夫に関する法律から解放されます。それで、もし彼女の夫が生きている間に彼女が他の男と結ばれたなら、彼女は姦淫者と呼ばれるでしょう。しかし、夫が死ねば、彼女は法律から解放されるので、たとえ他の男性と結ばれたとしても、姦淫ではないのです。」

マタイ 5:32 しかし、わたしはあなたがたに言います。姦淫の理由を除いて妻を離別する者は、彼女に姦淫を行わせるのです。また、離婚した妻と結婚する者は姦淫を犯します。

イエスは、男性が妻と離婚する場合、不品行の理由を除いて、それは妻が姦淫を犯すことになると言われます。さらに、女性が再婚した場合、彼女と結婚した男性は姦淫を犯します。

1. 結婚: 愛の神聖さ

2. 離婚: 神の視点

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻たちよ、主に対するのと同じように、自分の夫に従いなさい。

2. マラキ書 2:14-16 - 主のため、イスラエルの神は離婚を憎むと言われます。

マタイ 5:33 また、あなたがたは、昔から彼らがこう言ったのを聞いたことがあるでしょう、「あなたは自分を捨てず、主への誓いを果たさなければなりません。」

この一節は、誓いを尊重し、約束を破らないようにすることについて語っています。

1. 約束を守ることの重要性

2. 誠実の力

1. ヤコブ 5:12 - 「しかし、何よりもまず、兄弟たちよ、天にも地にも他のどんなものにも誓ってはなりません。「はい」ははい、「いいえ」はいいえにしなさい、そうでないと非難されます。」

2. 箴言 12:22 - 「主は偽りのくちびるを嫌いますが、信頼できる人を喜ばれます。」

マタイ 5:34 しかし、私はあなたがたに言います。決して誓ってはいけません。天によるものでもない。それは神の玉座だからです。

この箇所は、悪態をつくことを警告し、天に誓って誓うことさえも間違っている、なぜならそれは神の御座であるからである、と警告しています。

1. 言葉を神聖に保つことの重要性

2. 何よりも神を敬うことの美徳

1. ヤコブ 5:12 - 「兄弟たち、何よりもまず、天や地やその他のいかなるものによっても誓ってはなりません。「はい」ははい、「いいえ」はいいえにしなさい、そうでないと非難されます。」

2. 詩篇 24:3-4 - 「だれが主の山に登ることができますか。誰が神の聖所に立つことができるでしょうか？汚れのない手と純粋な心を持ち、偶像を信頼せず、偽りの神に誓わない人。」

マタイ 5:35 地によってもです。それは彼の足台だからです。エルサレムによってでもありません。それは偉大な王の都市だからです。

神は全創造物を統べる偉大な王であり、エルサレムは神の都です。

1. 神は王の中の王であり、主の中の主である

2. 私たちは常に神の都エルサレムを敬い、敬わなければなりません

1. イザヤ書 66:1 - 「主はこう仰せられる。『天はわたしの王座、地はわたしの足台である。あなたがわたしのために建ててくださる家は何でしょうか、わたしの安息の地は何でしょうか。』

2. 詩篇 48:2 - 「その高さは美しく、全地の喜び、それは北の側にあるシオンの山、偉大な王の都市です。」

マタイ 5:36 髪の毛一本も白くしたり黒色にしたりすることはできないのですから、自分の頭にかけて誓ってはなりません。

イエスは弟子たちに、髪の色をコントロールできないからといって、頭で誓ってはいけないと教えています。

1.「頭で悪口を言うことの無力さ」

2.「イエスの教えに従うことの大切さ」

1. ヤコブ 5:12 - 「しかし何よりも、兄弟たちよ、天や地やその他の何によっても誓わないでください。あなたの「はい」は「はい」、あなたの「いいえ」は「いいえ」にしなさい、そうでなければあなたはそうなるでしょう。非難された。」

2. ヨシュア記 9:18-20 - 「しかし、イスラエルの人々は彼らを攻撃しませんでした。議会の支配者たちがイスラエルの神、主によって彼らに誓いを立てていたからです。」それから議会全員が指導者に対して不平を言いました。しかし、指導者たちは皆、「私たちはイスラエルの神、主によって彼らに誓いを立てたので、今は彼らに触れることができません」と答えた。これが私たちが彼らに行うことです。私たちが彼らに誓った誓いを破ったことで神の怒りが私たちに降りかからないように、私たちは彼らを生かします。」

マタイ 5:37 しかし、あなたのコミュニケーションは、「そうだ、そうだ」のようにしましょう。いいえ、いいえ、これらを超えるものは何であれ、悪がやってくるからです。

私たちはスピーチにおいて率直かつ正直であるべきであり、誇張や装飾は避けるべきです。

1. 愛をもって真実を語ろう - エペソ 4:15

2. 持っているもので満足する - ヘブライ 13:5

1. ヤコブ 3:1-12 - 舌を飼いならす

2. 箴言 10:19 - 真実の唇は永遠に続く

マタイ 5:38 「目には目を、歯には歯を」と言われているのをあなたがたも聞いたことがあるでしょう。

イエスは報復するのではなく、もう片方の頬を向けるように教えています。

1. イエスは私たちに愛と許しというより高い生活水準を求めます。

2. 報復は選択肢ではありません。私たちは謙虚さと平和を選択しなければなりません。

1. ローマ人への手紙 12:17-21 - 「誰にも悪を悪で返してはなりません。すべての人の目に正しいことを行うように注意してください。それが可能であれば、それがあなた次第である限り、すべての人と平和に暮らしてください。」「親愛なる友よ、復讐するのではなく、神の怒りが来る余地を残しておきなさい。「復讐するのはわたしの仕事だ。わたしが報復する」と主は言われるからです。

「敵がお腹を空かせているなら、彼に食事を与えなさい。喉が渇いたら、何か飲み物をあげてください。そうすることで、彼の頭に燃える石炭を積むことになります。」悪に負けるのではなく、善をもって悪を克服してください。

2. コロサイ 3:12-14 - したがって、神に選ばれた聖なる民として、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。お互いに忍耐し、誰かに対して不満を抱いている人がいたら許し合いましょう。主があなたを赦してくださったように、赦してください。そして、これらすべての美徳の上に愛がかぶせられ、それがそれらすべてを完全な統一に結びつけます。

マタイ 5:39 しかし、私はあなたたちに言います、あなたたちは悪に抵抗しないでください。しかし、あなたの右の頬を打つ者は、もう一方の頬も彼に向きなさい。

イエスは追随者たちに、悪に抵抗するのではなく、反対の頬を向けるように勧めています。

1. 「より大きな人間になろう: 反対側の頬を向けることが紛争解決のモデルとなる方法」

2. 「謙虚さの強さ: 他の頬を向けることで恩恵を受ける」

1. ローマ人への手紙 12:17-21 - 「だれにも悪に悪を返してはなりません。しかし、すべての人の目に名誉あることをするように考えてください。できれば、あなた次第ですが、すべての人と平和に暮らしてください。愛する人、決してしないでください。」自分で復讐するが、神の怒りに任せなさい。「復讐はわたしのするわたしが報復する、と主は言われる」と書いてあるからです。それどころか、「敵がお腹を空かせているなら食べさせなさい。喉が渇いているなら何か飲み物を与えなさい。そうすることによって、燃える石炭を彼の頭に山盛りにすることになるからです。」悪に負けるのではなく、善をもって悪を克服してください。

2. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。あなたがたは一人一人、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

マタイ 5:40 もし誰かがあなたを法に訴えて、あなたの上着を取り上げようとするなら、その人にもあなたの上着を持たせなさい。

この聖句は、他人と接する際に寛大で寛容になるよう私たちに勧めています。

1. 寛大さの力 - 周囲の人々との関係において寛大であることの重要性を探ります。

2. 許しの心 - 私たちを不当に扱った人々に恵みと慈悲を与える方法を発見します。

1. ルカ 6:27–36 - 善きサマリア人のたとえ。

2. ローマ人への手紙 12:19-21 - 善をもって悪を克服する。

マタイ 5:41 そして、あなたに一マイル行くことを強要する人は、二人で行きなさい。

この聖句は、求められていることを超えて、期待されていること以上のことをするよう私たちに勧めています。

1: 期待を超えて進む - マタイ 5:41

2: 従順ではなく同情 - マタイ 5:41

1: ピリピ 2:3-4、「利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。」

ガラテヤ 6 章 2 節「互いに重荷を担いなさい。そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。」

マタイ 5:42 あなたを求める者に与えなさい。あなたから借りようとする者から離れてはならない。

イエスは私たちに、困っている人には惜しみなく貸してあげるよう勧めておられます。

1. 寛大な心: 与える喜び

2. 救いの手を差し伸べる: 分かち合う愛

1. ヨハネ第一 3:17-18 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見ていても、その兄弟に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人の内に宿るでしょうか。子供たちよ、言葉や話で愛するのはやめましょう」しかし、行為と真実において。」

2. 箴言 11:24-25 「人は惜しみなく与えても、ますます豊かになる。ある人は与えるべきものを差し控えて、ただ欠乏に苦しむだけです。祝福をもたらす者は豊かになり、水を注ぐ者は自分も注がれる。」

マタイ 5:43 「汝は隣人を愛し、汝の敵を憎め」と言われているのを聞いたことがあるだろう。

この聖句は、隣人と敵を愛するように私たちに教えています。

1. 愛の力: 隣人や敵を愛する方法

2. 敵を許す: 困難な状況で愛する方法

1. ローマ人への手紙 12:20-21 - 「だから、あなたの敵が飢えているなら食べさせなさい。渇いているなら水を飲ませなさい。そうすることで、あなたは彼の頭に火炭を積むことになるからです。悪に勝つのではなく、悪に勝ちなさい。」いいよ。」

2. ルカ 6:27-28 - 「しかし、聞いているあなたたちに言います。敵を愛し、あなたたちを憎む者たちに善を行い、あなたたちを呪う者たちを祝福し、あなたたちを不当に利用する者たちのために祈りなさい。」

マタイ 5:44 しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを呪う者を祝福し、あなたを憎む者に善を行い、あなたを不当に利用しあなたを迫害する者のために祈りなさい。

敵を愛し、あなたを憎む人々に善を行いなさい。

1. すべての人への愛 - ガラテヤ 5:14。ローマ人への手紙 13:10

2. 敵を愛する - ピリピ 2:3-4。ルカ 6:27-36

1. ローマ人への手紙 12:14-21

2. ヨハネ第一4:7-21

マタイ 5:45 それは、あなたがたが天におられるあなたがたの父の子となりますためです。父は、悪人の上にも善人の上にも太陽を昇らせ、正しい者にも不正な者の上にも雨を降らせてくださるからです。

神は善人か悪人かに関係なく、すべての人に対して慈悲深く、愛を持っておられます。

1. 神の無条件の愛: 太陽と雨のたとえ

2. 神の恵みと慈悲: 彼の手の届かない人は誰もいない

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

マタイ 5:46 もしあなたがたが、あなたを愛してくれている人たちを愛したら、どんな報いがあるでしょうか。徴税人ですら同じではないでしょうか？

この聖句は、自分を愛してくれる人だけでなく、自分を愛していない人も愛すべきだと教えています。

1: 私たちは、自分を愛してくれないかもしれない人を愛することによって、他の人に神の愛を示すことができます。

2: イエスがなさったように、私たちも愛を示さない人たちに愛を差し伸べるべきです。

1: ルカ 6:31-32 「自分にしてもらいたいことを、他の人にもしなさい。自分を愛してくれる人を愛したら、それがあなたに何の功績があるでしょうか。『罪人』ですら、自分を愛してくれる人を愛します。」

自分が見た兄弟を愛さない者は、神を愛することはできません。彼は見ていない。」

マタイ 5:47 また、もしあなたがたが兄弟たちだけに挨拶するとしたら、他の人たちよりも何をしているでしょうか。取税官もそうではないでしょうか？

この一節は、たとえ部外者と見なされている人であっても、すべての人々に愛と優しさを差し伸べることの重要性を語っています。

1. 隣人を愛してください: すべての人に優しさを与えることの重要性。

2. 表紙で本を判断しないでください。相手が誰であっても、敬意を持って接します。

1. ガラテヤ人への手紙 5:13-14 「兄弟たち、あなたがたは自由を得るために召されているのです。自由を肉体のためだけに使うのではなく、愛によって互いに仕えなさい。なぜなら、すべての律法は一言で成就するからです。このことにおいて、あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。」

2. ローマ人への手紙 12:9-10 - 「愛を異化せずに持ちなさい。悪を憎み、善を固守しなさい。兄弟愛をもって互いに優しく愛し合い、敬意を持ってお互いを好みなさい。」

マタイ 5:48 ですから、天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたがたも完全になりなさい。

イエスはクリスチャンたちに、神が完全であるのと同じように、完璧を目指すよう励まされています。

1. 信仰による完全さ: 神聖な生活を送る方法

2. 完璧の力: 人生における神の意志の追求

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. ヘブライ 12:14 - すべての人々との平和と聖さを追い求めなさい。それがなければ誰も主を見ることができません。

マタイ 6 章は山上の説教の一部であり、3 つの大きなテーマを扱っています。それは、貧しい人への施しを含む正義の行為、祈り（主の祈りを含む）、断食です。地上の宝を蓄えることに対する警告。そして心配しないようにという忠告。

第 1 段落: この章は、イエスが弟子たちに義の行為を行う方法を教えるところから始まります。彼は、他人の賞賛のために公の場で敬虔さを実践しないよう警告しています。貧しい人々への寄付であれ、祈りや断食であれ、これらは内密に行われるべきです。なぜなら、神は秘密裏に行われたことを見て、それに応じて報いるからです。このセクションには、「主の祈り」として知られる、イエスが弟子たちにどのように祈るべきかを教えられたことが含まれています（マタイ 6:1-18）。

第 2 段落: 次に、イエスは物質的な所有物について語られます (マタイ 6:19-24)。彼は、破壊されたり盗まれたりする可能性のある宝物を地球上に保管しないよう警告しています。その代わりに、神は追随者たちに永遠の宝を天に蓄えるよう勧めておられます。彼はまた、誰も神とお金という二人の主人に仕えることはでき

ないとも教えています。

第 3 段落: 最後のセクション (マタイ 6:25-34) でイエスは、食べ物や衣服などの生活必需品について心配しないようアドバイスしています。なぜなら、神は空の鳥や野のユリと同じように、必要なものをすべてご存じであり、備えてくださるからです。人は世のことを心配する代わりに、他のすべても同様に与えられるという約束とともに、まず神の国と神の義を求めるべきです。

マタイ 6:1 あなたがたは、人に見られるために人々の前で施しをしないように気をつけなさい。そうしなければ、あなたがたの天の父からの報いを受けられないのです。

神だけがあなたに報いてくださるので、善行をこれ見よがしにしないでください。

1. 隠れた寛大さ：神のご褒美をモチベーションとして利用する

2. 従順の祝福: 賞賛を求めずに良いことをする

1. テモテ第一 6:17-19 – 「良いことを行い、良い行いで豊かになり、惜しみなく分かち合い、来るべき時に備えて良い基盤を蓄えて、しっかりと蓄えるように彼らに教えてください。」永遠の命について。」

2. 箴言 11:25 – 「祝福をもたらす者は豊かになり、水を注ぐ者は自分も潤される。」

マタイ 6:2 ですから、あなたが施しをするときは、偽善者たちが人々の栄光を得るために会堂や街路でしているように、あなたの前でラッパを吹き鳴らしてはならない。はっきり言っておきますが、彼らには報いがあります。

イエスは、偽善者たちが会堂や街頭で行うように、人間から認められることを目的として良い行いをしないよう警告しています。

1. 正しい理由で良い行いをする

2. 善行に対する誇りの危険性

1. 箴言 28:25-26 高慢な心の者は争いを引き起こす。しかし、主に信頼する者は太る。自分の心に信頼する者は愚か者である。しかし、賢く歩む者は救われるであろう。

2. ピリピ 2:3-4 争いや見栄によって何事も行わないでください。しかし、へりくだった心で、お互いが自分よりも他人を尊敬しなさい。すべての人が自分自身のことに目を向けるのではなく、すべての人が他人のことに目を向けてください。

マタイ 6:3 しかし、あなたが施しをするときは、あなたの右手が何をしているかを左手に知らせないでください。

この聖句は、見返りや評価や報酬を求めずに慈善を行うよう信者に勧めています。

1. 「無私無欲の与える人生を生きる」

2.「秘密の中の寛大さの力」

1. 箴言 11:25 - 寛大な人は豊かになり、水を与える人は水を得ます。

2. ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすれば与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。なぜなら、あなたが使う尺度によって、それはあなたに合わせて測られるからです。

マタイ 6:4 そうすれば、あなたの施しは秘密にされます。そして、隠れて見ているあなたの父が公にあなたに報いてくださるでしょう。

私たちは、神が公然と私たちに報いてくださることを知って、ひそかに他の人に与えるべきです。

1. 秘密の寄付の力: 人知れず寄付することがどのようにして豊かな報酬につながるのか

2. 寛大さの祝福: 神が私たちに与えるように他の人に与える

1. コリント人への手紙第 9 章 7-8 節「だれが自分の責任でいつでも戦争をするのですか。ぶどう畑を植えても、その実を食べないのはだれですか。あるいは、群れに餌を与えても、その乳を食べないのはだれですか。？」

2. マタイ 19:21 - 「イエスは彼に言われた、『もしあなたが完全になりたければ、行って持っているものを売って、貧しい人たちに施しなさい。そうすればあなたは天に宝を持つでしょう。そして、わたしに従ってきなさい。』」

マタイ 6:5 そして、あなたが祈るとき、あなたは偽善者たちのようであってはなりません。彼らは人々に見られるように、会堂や街角に立って祈るのが大好きだからです。はっきり言っておきますが、彼らには報いがあります。

イエスは、偽善者のように、他人に見られるために祈ることはしないようにと警告しています。報酬はすでに受け取っているからです。

1. 祈りにおける誇りと謙虚さ

2. 人間の承認ではなく主の承認を求める

1. ヤコブ 4:6 - 「しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。だから彼はこう言います、神は高ぶる者には抵抗しますが、へりくだる者には恵みを与えます。」

2. イザヤ書 29:13 - 「そこで主は言われた、『この民は口ではわたしに近づき、唇ではわたしを敬っているが、心はわたしから遠く離れており、わたしに対する彼らの恐れは神の教えによって教えられている』男の戒め。」

マタイ 6:6 しかし、あなたは、祈るときはクローゼットに入り、ドアを閉めたときは、秘密にいるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、ひそかに見ておられるあなたの父が公然とあなたに報いてくださるでしょう。

イエスは私たちに、ひそかに神に祈るように命じられました。そうすれば、神は公然と私たちに報いてくださいます。

1. 神は私たちが行うすべてのことを見て、個人的な信仰行為に報いてくださいます。

2. 密かに祈ることで、私たちは神に対して正直で誠実になることができます。

1. テサロニケ第一 5:16-18 – 常に喜び、絶えず祈り、どんな状況でも感謝しなさい。なぜなら、これがあなたに対するキリスト・イエスにおける神の御心だからです。

2. 詩篇 34:17-19 – 義人が助けを求めて叫ぶとき、主は聞き入れて、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださいます。主は心の傷ついた人の近くにいて、霊的に打ちひしがれた人を救ってくださいます。義人には多くの苦しみがありますが、主は彼をそれらすべてから救い出してくださいます。

マタイ 6:7 しかし、あなたがたが祈るとき、異教徒がするように、無駄に繰り返してはなりません。彼らは、たくさん話せば聞いてもらえると思っているからです。

祈りは誠実であるべきであり、無駄な繰り返しであってはなりません。

1: 神は私たちからの空虚な言葉ではなく、心からの正直な祈りを望んでいます。

2: 神が私たちの祈りを聞いてくださるのは、私たちが言う言葉の数ではなく、私たちの心の誠実さによるものであることを覚えておく必要があります。

1: ヤコブ 5:16。義人の祈りは力強く、効果的です。

2: ヨハネ第一 5:14。これは、私たちが神に近づく際に抱く確信です。つまり、私たちが神のご意志に従って何かを求めるなら、神は私たちの話を聞いてくださるということです。

マタイ 6:8 ですから、あなたがたは彼らのようにはなりません。あなたがたの父は、あなたがたが尋ねる前に、あなたがたに何が必要かを知っているからです。

神は私たちが求める前から私たちの必要をご存じなので、心配する必要はありません。

1: 神は私たちが必要とするものを備えてくださる

2: 神のタイミングを信頼する

1: ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、どんな状況でも、感謝を込めて祈りと願いによって、自分の願いを神に伝えてください。

2: イザヤ書 40:29-31 - 神は疲れた者に力を与え、弱い者の力を強めます。若者でさえ疲れて疲れ果て、若者はつまずいて転んでしまいます。しかし、主に望みを持つ者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

マタイ 6:9 したがって、このように祈ってください。「天におられる私たちの父よ、あなたの御名が崇められますように。」

イエスは私たちに天の父なる神に祈る方法を教えてくださいました。

1. 信仰を持って祈る：神とのコミュニケーションを学ぶ

2. 御名が崇められますように: 聖なる祈りの力

1. ローマ 8:26 – 「同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきかわからないからです。しかし、御霊ご自身が、言葉にならないうめきをもって私たちのためにとりなしをしてくれます。」

2. ヤコブ 5:16 – 「あなたがたが癒されるように、互いに自分の過ちを告白し、互いに祈りなさい。義人の効果的な熱心な祈りは大いに役立ちます。」

マタイ 6:10 あなたの御国が来ますように。あなたの御心が天で行われるように、地でも行われます。

イエスは私たちに、神の王国が地上に到来し、神のご意志が天で行われるのと同じように地上でも行われるように祈るよう教えておられます。

1.「神の王国の到来を祈る：神の御心は地上で行われます」

2.「神の意志に服従する：天国と同じように」

1. ルカ 11:2 - 「そしてイエスは彼らに言われた、「あなたが祈るときは、こう言いなさい。『父よ、あなたの御名があがめられますように。あなたの御国が来

ますように。』」

2. ヘブライ 13:21 - 「神のご意志を行うことができるように、すべての良いものを備えてください。イエス・キリストを通して、神の目に喜ばれることを私たちの内に働かせてください。永遠に栄光がありますように。アーメン。"

マタイ 6:11 今日、私たちに日々の糧を与えてください。

この聖句は、毎日必要なものを与えてくださる神を信頼するよう私たちに勧めています。

1) 神の備えを信頼する - 神がどのように私たちの忠実な供給者であるか、そしてどのようにしてどのような状況でも神への信仰を持てるかを探ります。

2) 神を第一に求める - 私たちの生活の中で神の御心と王国を優先することがいかに平和と満足につながるかを理解します。

1) ピリピ 4:6-7 - 心配しないで、どんな状況でも、祈りと願いを通して、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。

2) マタイ 6:33 - まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてのものはあなたに加えられるでしょう。

マタイ 6:12 そして、私たちが債務者を赦すように、私たちの負債も赦してください。

この一節は私たちに許しの重要性を思い出させます。それは、私たちが神に赦されたのと同じように他の人を赦すべきであるということです。

1: 許し - 人生の必需品

2: 許しの力 - 恵みの扉を開く

1: エペソ 4:31-32 - すべての恨み、憤り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともにあなたから遠ざけましょう。神がキリストにあってあなたを赦してくださったように、互いに親切にし、心を優しくし、許し合いなさい。

2: コロサイ 3:13 - 互いに忍び合い、もし一方が他方に不満を持っている場合は、互いに許し合います。主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。

マタイ 6:13 そして、私たちを誘惑に導かないで、悪から救い出してください。王国と力と栄光は、永遠にあなたのものだからです。アーメン。

この一節は、神が私たちを誘惑から導き、悪から救い出すことができることを示唆しています。

1: 私たちを誘惑から救う神の力を認識する

2: 神の王国と栄光: 行動への呼びかけ

1: 1 コリント 10:13 - 「人間によくある誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり，あなたが自分の能力を超えた誘惑に遭うことはお許しになりませんが，誘惑に耐えられるように，誘惑の際には逃げ道も備えてくださるのです。」

2: ヤコブ 1:12-15 「試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。」誘惑に遭ったときに、「私は神に誘惑されている」などと誰も言ってはなりません。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、ご自身も誰も誘惑されないからです。しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され誘惑されることがあります。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は成長すると死を生み出します。」

マタイ 6:14 なぜなら、あなたがたが人の罪過を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださるでしょう。

一節 イエスは、天の父も私たちを赦してくださるように、自分の利益のために他人を赦すよう私たちに勧めます。

1. 許しの力: 許しが私たち自身の人生をどのように変えることができるか

2. 許しの約束: 他人を許すことの利点

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

2. コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、赦しなさい。」

マタイ 6:15 しかし、もしあなたがたが人の罪過を赦さないなら、あなたがたの父もあなたの罪過を赦さないでしょう。

私たちが神から赦しを受けるためには、赦しが不可欠です。

1: 神の許しは私たちの他者の許しにかかっています

2: 許しの力: 天の祝福を解き放つ

1: エペソ人への手紙 4:32 - 「神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、赦し合いなさい。」

2: コロサイ 3:13 「互いに忍び合い、もし一方が他方に不平を言うことがあれば、互いに許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。」

マタイ 6:16 さらに、あなたがたが断食するときは、偽善者のように悲しい顔をしてはいけません。彼らは断食しているように人々に見せるために顔を傷つけているからです。はっきり言っておきますが、彼らには報いがあります。

イエスは偽善的な断食に対して警告し、見栄のために断食をする人は神ではなく人々から報いを受けることになると強調しました。

1. 「見せかけの断食: 偽善の危険性」

2.「断食の心：神のご褒美を求める」

1. イザヤ書 58:6-7 - 「これがわたしが選んだ断食ではないでしょうか。悪の束縛を解き、重荷を解き、抑圧されている人々を解放し、あなたがたがあらゆるくびきを打ち負かすことではないでしょうか。飢えた人たちにパンを配らないこと、追い出された貧しい人たちを自分の家に連れてくること、裸を見たら覆いをすること、そして自分の肉から身を隠さないことですか？」

2. ヤコブ 1:27 - 「神と父の前に汚れのない純粋な宗教とは、苦しみの中にある父のいない人ややもめを訪ね、世から汚れないようにすることです。」

マタイ 6:17 しかし、あなたは、急いでいるときは、頭に油を注ぎ、顔を洗いなさい。

この箇所は、断食するときは頭に油を注ぎ、顔を洗う必要があると教えています。

1. 断食の力 - 断食の霊的な力と、それがどのように神に近づくのに役立つかについて。

2. 油注ぎの意義 - 断食時に頭に油を注ぎ、顔を洗うことの意義について。

1. イザヤ書 58:6-7 - 「これがわたしが選んだ断食ではないでしょうか。悪の束縛を解き、重荷を解き、抑圧されている人々を解放し、あなたがたがあらゆるくびきを打ち負かすことではないでしょうか。飢えた人たちにパンを配らないこと、追い出された貧しい人たちを自分の家に連れてくること、裸を見たら覆いをすること、そして自分の肉から身を隠さないことですか？」

2. マタイ 5:6 - 「義に飢え渇く者たちは幸いです。彼らは満たされるからです。」

マタイ 6:18 あなたは、断食するために人々に現れるのではなく、ひそかにおられるあなたの父に現われなさい。そうすれば、ひそかにご覧になるあなたの父は、公然とあなたに報いてくださるでしょう。

イエスは、断食はひそかに行うべきであり、断食をする人には神がご褒美を与えると教えています。

1.「秘密の断食の報酬」

2.「個人的な祈りの力」

1. マタイ6:18

2. ヤコブ 5:16b - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

マタイ 6:19 自分のために地上に宝を積んではなりません。そこでは虫とさびが腐敗し、盗人が侵入して盗みます。

この一節は、破壊されたり盗まれたりする可能性のある物質的な所有物を溜め込まないよう警告しています。

1: 本当の宝: あなたの富を天国に蓄えなさい

2: 心を守る: 富を信頼しないでください

1: ヤコブ 4:13-17 ― さあ、「今日か明日、どこそこの町に行って、そこで一年過ごして貿易をして儲けよう」と言っている人たちよ。

2: コロサイ 3:1-3 - もしあなたがキリストとともによみがえったのなら、上にあるもの、つまり神の右に座しておられるキリストがおられる場所を探してください。地上のものではなく、上にあるものに心を向けなさい。

マタイ 6:20 しかし、あなたがたは自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫もさびも腐らず、盗人も押し入ったり盗んだりすることはありません。

イエスは、宝が汚されたり盗まれたりすることがないように、地上ではなく天に宝を蓄えるよう私たちに勧めています。

1：「永遠の宝の祝福」

2: 「天国への投資の価値」

1: マルコ 10:21-22 – イエスは、私たちは天の宝を得るために地上の財産を喜んで捨てなければならないと言われました。

2: コロサイ 3:1-2 – 私たちは地上のことではなく天のことに心と思いを向けなければなりません。

マタイ 6:21 あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるのです。

この聖句は、地上の所有物ではなく、神と神の王国に心と宝を集中するよう勧めています。

1：「永遠の視点で生きる」

2:「まず王国を求めて」

1: コロサイ 3:1-2 - 「もし、あなたがキリストとともによみがえったのなら、神の右に座しておられるキリストがいる場所、上にあるものを探しなさい。物ではなく、上にあるものに思いを向けなさい。」それは地球上にあります。」

2: ヘブライ 13:5 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

マタイ 6:22 体の光は目です。したがって、あなたの目が一つであれば、あなたの全身は光で満たされるでしょう。

目は人の焦点の比喩として機能し、目が一つであるということは、その人の焦点が神に向いていることを意味し、それが光の充足をもたらします。

1: 一心に集中して神の光を求めます。

2: 神を第一にすれば、あなたの人生は光で満たされるでしょう。

1: 箴言 4:18-19 「しかし、義人の道は夜明けの光のようで、その光は一日中ますます明るく輝きます。悪者の道は深い闇のようなものです。彼らは自分が何につまずくのか知りません。」

2: 詩篇 119:105 「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

マタイ 6:23 しかし、もしあなたの目が邪悪であれば、あなたの全身は暗闇で満たされるでしょう。したがって、あなたの中にある光が闇であるとすれば、その闇はどれほど大きいことでしょう。

イエスは、心を暗くすることは私たちの全存在を暗くすることになるので、危険であると警告しています。

1. 光の力: 心を闇から守る方法

2. 闇の危険: 邪眼の誘惑を避ける

1. エペソ人への手紙 5:8-10 - 「あなたがたは、かつては闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として生きてください。光はあらゆる種類の善と義と真理を生み出すからです。何が主に喜ばれるかを学ぶように努めてください」。」

2. ヨハネ 12:35-36 - 「それからイエスは彼らに言われた、「あなたがたには、もう少しだけ光がある。闇があなたを襲う前に、光があるうちに歩きなさい。暗闇の中を歩く者は、どこにいるのか分からない」「彼らは去っていきます。光があるうちに、光を信頼してください。そうすれば、あなた方は光の子になれるでしょう。」

マタイ 6:24 だれも二人の主人に仕えることはできません。どちらかが一方を憎み、他方を愛するからです。さもなければ、彼は一方に固執し、他方を軽蔑するでしょう。あなたがたは神と富に仕えることはできない。

イエスは、二人の主人に仕えることは不可能だと教えています。なぜなら、私たちは最終的に一方を愛し、もう一方を憎むことになるからです。

1. 世の道ではなく神の道に従う

2. 神を愛するかお金に奉仕するかの選択

1. ヤコブ 4:4 姦淫する者も姦淫する者も、世の友情は神との敵対であることを知らないのですか。したがって、世の友人となる者は誰でも神の敵です。

2. ヘブライ 13:5-6 貪欲な会話をしないようにしましょう。そして、あなたがたが持っているようなもので満足しなさい。なぜなら、彼は言ったからです、私は決してあなたを離れず、あなたを見捨てません。それは、私たちが大胆に、「主は私の助け手です。人が私に何をしようとも私は恐れません」と言えるためです。

マタイ 6:25 そこで私はあなたがたに言います、何を食べるか、何を飲むか、自分の命のことなど考えないでください。また、あなたが身に着ける物についてもまだです。命は肉以上のものであり、肉体は衣服以上のものではないでしょうか？

イエスは、私たちの命は食べ物や衣服よりも大切であるため、自分の命や肉体的な必要性について心配する必要はない、と教えています。

1. キリストにおける満足感：主のうちに平安を見いだし、主の備えを信頼する

2. 心配しないでください: 不安を克服し、主に頼ることを学ぶ

1. ピリピ 4:11-13 - 私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。

2. イザヤ書 26:3 - あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保ってくださいます。なぜなら、彼はあなたを信頼しているからです。

マタイ 6:26 空の鳥を見よ。彼らは種を蒔かず、刈り取らず、納屋に集めないからである。しかし、あなたがたの天の父は彼らを養ってくださいます。あなたがた

は彼らよりもはるかに優れているのではありませんか？

イエスは、神は空の鳥さえも顧みられるので、心配する必要はない、と私たちに思い出させます。

1.「神の備え：神の配慮を信頼することを学ぶ」

2.「神の愛ある配慮による慰め」

1. マタイ 10:29-31 - 「二羽のスズメが 1 ペニーで売られているのではありませんか。しかし、それらのうちの一つも、あなたがたの父の世話を離れて地に落ちることはありません。そして、あなたの頭の毛にもすべて番号が付けられています。ですから、恐れることはありません。あなたには多くのスズメよりも価値があるのです。」

2. 詩篇 121:2 - 「私の助けは天地の造り主である主から来ます。」

マタイ 6:27 あなたがたのうち、よく考えて身長を一キュビト増やすことができる人はいますか。

この聖句は、心配しても私たちの生活状況は変わらないことを思い出させます。

1: 心配する必要はありません - ピリピ 4:6-7

2: 神を信頼する - 箴言 3:5-6

1: ヤコブ1:2-4

2: ペテロ第一5:7

マタイ 6:28 それなのに、なぜあなたがたは考えを衣服として考えるのですか。野のユリがどのように成長するかを考えてみましょう。彼らは働かず、紡ぎもしない。

1: 神は私たちに備えてくださるし、私たちの提供者でもあるので、神を信頼してください。

2: 神は私たちの必要を満たしてくださるので、心配する必要はありません。

1: ピリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。

マタイ 6:29 しかし、私はあなたがたに言いますが、栄華を極めたソロモンでさえ、このような服装をしていたわけではありません。

イエスは自然の美しさを指摘し、栄光の栄華を誇っていたソロモンでさえ、神の被造物の一人ほど身なりが整っていなかった、と示唆しています。

1.「自然の威厳：神の栄光の反映」

2. 「人間の謙虚さ: ソロモンからの教訓」

1. 詩篇 19:1 - 「天は神の栄光を告げ知らせ、大空は神の御手の業を告げ知らせる。」

2. 伝道者の書 2:7-8 - 「私は男性と女性の歌手を獲得し、男性の心の喜びであるハーレムも手に入れました。私はエルサレムで以前にいた誰よりもはるかに偉大になりました。このすべてにおいて私の知恵は私に残りました。。」

マタイ 6:30 ですから、もし神が、今日はかまどに投げ込まれる野の草にそのように服を着せてくださるのなら、信仰の薄い者たちよ、それ以上にあなたがたに服を着せてくださるではありませんか。

神は私たちを気遣い、私たちの必要をすべて満たしてくださいます。

1: 神はすべてを与え、すべてを思いやります

2: 主の備えを信仰しましょう

1: エレミヤ 29:11-13 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っています」と主は言われる、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけない計画であり、あなたに希望と未来を与える計画である。そのときあなたはわたしを呼ぶだろう」「来て、私に祈ってください。そうすれば、あなたの言うことを聞きます。あなたが心を尽くして私を捜し求めれば、私を探して、私を見つけるでしょう。」

2: ピリピ 4:19 「そして、わたしの神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます。」

マタイ 6:31 ですから、「何を食べようか」などと考えないでください。または、何を飲もうか?それとも、何を着ればよいのでしょうか？

この一節は、何を食べるか、何を飲むか、何を着るかについて心配しないように勧めています。

1: 神が備えてくださるので、自分の必要について心配する必要はありません。

2: 私たちは主が自分の必要を満たしてくださると信頼できます。

1: ピリピ 4:19 - 「そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。」

2: マタイ 6:25-26 「だから、わたしはあなたたちに言います。自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、あるいは自分の体のこと、何を着るかなど心配しないでください。命は食べ物や体よりも大切ではないでしょうか」服より大事なの？」

マタイ 6:32 (なぜなら、異邦人はこれらすべてのことを求めているからです。) あなたがたにこれらすべてのものが必要であることを、あなたがたの天の父は知っているからです。

神は私たちの必要をご存じであり、私たちが世俗的なものを求めるのではなく、神が私たちに備えてくださると信頼することを望んでおられます。

1.「満足：神の備えを信頼する」

2.「満足の心：神を第一に考える」

1. ピリピ人への手紙 4:12-13 「私は、困っていることがどういうことかを知っていますし、たくさんあることがどういうことかを知っています。私は、十分な食事ができても、お腹が空いていても、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。豊かに暮らしていても、不足していても。」

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 「世や世の何ものかを愛してはなりません。世を愛する人がいるとしても、その人の中には父への愛がありません。世のすべてのもの、つまり肉の欲望、」

マタイ 6:33 しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

まず神を求めなさい。そうすれば神は私たちの必要をすべて満たしてくださいます。

1. 神を求めなさい、そうすれば神は与えてくださる - マタイ 6:33

2. 神に頼りなさい - マタイ 6:33

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2. 詩篇 37:25 - 私は若く、今は年をとりましたが、見捨てられた義人やその子供たちがパンを乞うのを見たことはありません。

マタイ 6:34 ですから、明日のことは考えないでください。明日は、自分のことだけを考えなければなりません。その悪は今日まで十分です。

明日のことは心配するな;今日とその課題に焦点を当てます。

1: 今この瞬間を生きる - 神を信頼し、毎日を一歩ずつ進んでください。

2: 心配しないで、幸せになりましょう - 主に信頼し、明日の心配は明日に任せましょう。

1: ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、どんな状況でも、感謝を込めて祈りと願いによって、自分の願いを神に伝えてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2: 1 ペテロ 5:7 - 神はあなたのことを気にかけてくださっているので、あなたの不安をすべて神に投げかけてください。

マタイ 7 章は、イエスが裁き、神の助けを求めること、天国への道、そして御言葉を実践することの重要性について論じ、山上の説教を締めくくっています。

第 1 段落: この章は、イエスが追随者たちに他人を偽善的に裁かないように指示するところから始まります。彼は、自分の目にある板を無視しながら、他人の目には斑点が見えるという比喩を使っています。人は他人を厳しく判断するのではなく、まず自分自身を吟味すべきです（マタイ 7:1-5）。また、神聖なものを感謝できない人に与えることについても警告しています（マタイ 7:6）。

第 2 段落: 次に、イエスは追随者たちに、必要なものを神に求めるよう勧め、彼らの願いは答えられると約束しました。彼は、律法と預言者を要約する黄金律、つまり自分がしてほしいと思うように他人を扱うという黄金律を紹介します（マタイ 7:7-12）。次に、彼は 2 つの道について説明します。それは、ほとんどの人が見つけられない命に至る狭い門であり、もう 1 つは滅びに至る広い門であり、多くの人がそこにいます (マタイ 7:13-14)。

第 3 段落: この最後のセクション (マタイ 7:15-29) で、イエスは、一見無害であるように見えても、内的には有害な偽預言者について警告しています。彼らはその成果や行動によって認識されるだろう。そして、彼を主と呼ぶ人全員が天国に入るわけではなく、神のご意志を行う人だけが天国に入ることができると強調します。この章は、賢明な建設者と愚かな建設者を対比させるたとえ話で終わります。神の教えを聞いてそれを実践する人は、嵐の中でも家がしっかりと立つ賢い建築家のようなものですが、そうでない人は、嵐が来ると家が倒れる愚かな建築家のようなものです。

マタイ 7:1 あなたがたが裁かれないようにするため、裁いてはなりません。

この一節は、神が最終的な審判者であるため、他人を裁かないようにと思い出させるものです。

1. 恵みの力: どうすれば判断せずに愛することができるか

2. 許しの心: 裁きを手放す

1. ヤコブ 4:12 - 立法者と裁判官はただ一人、救うことも滅ぼすこともできるお方です。

2. ローマ 14:10-13 - それでは、あなたはなぜ兄弟を裁いたり、兄弟を見下したりするのですか。なぜなら、私たちは皆、神の裁きの座の前に立つからです。

マタイ 7:2 なぜなら、あなたがたはどのような裁きで裁くかということによって、あなたがたも裁かれるであろうし、どのような量りであなたがたを測るかということは、あなたがたにも再び量られることになるからである。

他人を裁くことは、同じように裁かれることになります。

1: 「判断する前によく考えてください」

2：「自分がしてほしいように他人に接しなさい」

1: ルカ 6:37 - 「裁くな、そうすればあなたがたは裁かれることはない。罪に定めない、そうすればあなたがたは罪に定められることはない。赦しなさい、そうすればあなたがたは赦されるであろう。」

2: ヤコブ 4:11-12 - 「兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟の悪口を言い、兄弟を裁く者は、法の悪口を言い、法を裁くのである。しかし、もしあなたが法を裁くなら、あなたは法の実行者ではなく、裁判官である。立法者が一人いて、救うことも滅ぼすこともできるのに、他人を裁くあなたは誰ですか？」

マタイ 7:3 そして、なぜあなたは、兄弟の目にある破片を見るのに、自分の目の中にある梁については考えないのですか。

他人を批判する前に、自分自身の欠点に気づいてください。

1: 他人を批判する前に、謙虚になり、自分の内側を見つめてください。

2: プライドを捨て、なぜ私たちが裁くのかを理解するために神の助けを求めてください。

1: ヤコブ 4:11-12 「兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟を悪く言い、兄弟を裁く者は、律法に対して悪口を言い、律法を裁いているのです。しかし、あなたが律法を裁くなら、あなたもそうなのです。」法の実行者ではなく裁判官です。

2: ガラテヤ 6:1-2 「兄弟たち、もしだれかが罪に捕らえられたら、霊的なあなたがたは、その人を優しさの精神で立ち直らせなければなりません。あなたも誘惑に遭わないように、自分に気をつけていてください。互いに重荷を負いなさい。キリストの律法を全うせよ。」

マタイ 7:4 あるいは、あなたはあなたの兄弟に、「あなたの目から破片を抜いてあげましょう。」とどう言うつもりですか。そして、見よ、あなた自身の目に光線が入っていますか？

キリストは、私たちがより大きな問題を抱えているときに、他人を裁くことを戒めています。

1: 他人の欠点や罪を指摘する前に、自分自身の欠点や罪に焦点を当てなければなりません。

2: 私たちは皆、罪人であることを認識し、謙虚に判断すべきです。

1: ローマ人への手紙 3:10-12 - 「書いてあるとおり、義人は一人もいない、いや、一人もいない。理解する者もいない、神を求める者もいない。彼らは皆、道から外れてしまった、彼らはいる」一緒にすると不利益になる、善を行う者はいない、いや、一人もいない。」

2: ヤコブ 4:11-12 「兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟の悪口を言い、兄弟を裁く者は、律法の悪口を言い、律法を裁いているのです。しかし、あなたが律法を裁くなら、「あなたは法の実行者ではなく、裁判官です。救うことも破壊することもできる立法者が一人います。他の人を裁くあなたは誰ですか？」

マタイ 7:5 偽善者よ、まず自分の目から光線を放ちなさい。そうすれば、はっきりと見えるようになり、兄弟の目から破片を追い出すことができます。

私たちはまず自分自身を判断するまで、他人を判断すべきではありません。

1. 高慢を克服し、他人を裁く: マタイ 7:5 の研究

2. はっきりと見る: 謙虚になり、兄弟姉妹を愛する

1. ヤコブ 4:11-12 - 「兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟に悪口を言い、兄弟を裁く者は、律法に逆らって悪を語り、律法を裁くのです。しかし、もしあなたが法を裁くなら、あなたは法の実行者ではなく裁判官です。

2. ローマ人への手紙 12:3 - 「わたしに与えられた恵みによって、あなたがたのうちのすべての人に言います。自分を必要以上に高く評価せず、神が定められた信仰の尺度に従って、冷静な判断をもって考えなさい。」割り当てました。」

マタイ 7:6 聖なる物を犬に与えてはなりません。また、真珠を豚の前に投げてはいけません。豚が真珠を足で踏みつけて、またひっくり返して引き裂くことのないように。

自分の神聖なものを価値を感じない人に渡したり、価値を認めようとしない人に見せたりしないでください。それらがあなたに害を及ぼす可能性があります。

1. 感謝しない人のためにあなたの祝福を無駄にしないでください。

2. 自分の霊的な賜物を誰と分かち合うかは賢く考えてください。

1. 箴言 25:12 - 「金の耳飾りや純金の装飾品のように、従順な耳には賢い叱責がある。」

2. 伝道者の書 9:10 - 「あなたの手にやりたいことは何でも、力を尽くしてやりなさい。あなたの行くところの墓には、仕事も装置も知識も知恵もないからです。」

マタイ 7:7 求めなさい、そうすれば与えられるでしょう。探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば開かれます。

イエスは、必要なものを得るために尋ね、探し、門をたたくようにと私たちに勧めています。

1. 天国の扉をノックしてください: 神の祝福を受け取る方法

2. 尋ね、求め、ノックする: 信仰を通じて成功を達成する

1. ヤコブ 4:2-3 (あなたがたは求めていないので、そうしていません。)

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 (どんなことでも気をつけてください。しかし、何事においても、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。)

マタイ 7:8 求める者はみな得られるのです。そして探求する者は発見する。そしてノックする者には開かれるであろう。

私たちが求めるなら、神は私たちが求めるものを与えてくださいます。

1: 私たちは神に祈り、粘り強く願い続けなければなりません。そうすれば神はご意志に従って私たちに答えてくださいます。

2: 信仰とは、たとえそれが私たちが望んでいないものであっても、神が私たちに必要なものを与えてくださると信じることです。

1: ヤコブ 4:2-3 - あなたが求めていないので、あなたは持っていません。あなたは、自分の情熱にそれを費やしてほしいと求めても、それを受け取らないのは、あなたが間違って求めているからです。

2: ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

マタイ 7:9 あるいは、息子がパンを求めたら、石を与えるだろうか、あなたの中に誰がいるでしょうか。

イエスは、息子に必要なものを与えようとする父親の意志について修辞的な質問をします。

1. 父親の愛の力 - 父親の愛は非常に強いので、常に息子の必要を満たします。

2. パンと石のたとえ - イエスのたとえを使って、愛する人の必要を満たすことの重要性を説明します。

1. ヨハネ第一 3:1 - 「私たちが神の子と呼ばれるために、父が私たちにどのような愛を与えてくださったか見てください。そして私たちもそうです。」

2. ローマ人への手紙 8:35 - 「誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか。艱難か、苦難か、迫害か、飢餓か、裸か、危険か、それとも剣か？」

マタイ 7:10 それとも、魚に尋ねたら、蛇を与えるでしょうか。

この一節は、子供が良いものを求めた場合、良い親は子供に有害なものを与えるかどうかを問う修辞的な質問です。

1. 愛情深く同情的な親であることの重要性。

2. 神の善意と備えを信頼することを学ぶ。

1. ガラテヤ 6:7-10 - だまされてはなりません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは、神も刈り取るからです。

2. ルカ 4:4 ーするとイエスは答えられた、「『人はパンのみにて生きるにあらず』と書いてある。」

マタイ 7:11 もし、あなたが悪者であるのに、自分の子供たちに良い贈り物を与える方法を知っているなら、天におられるあなたがたの父は、ましてや求める者たちに良いものを与えてくださるでしょうか。

神は、私たちが求めるものをはるかに超えた良い賜物を私たちに与えたいと望んでおられます。

1. 神の愛と恵みの豊かさ

2. 神の備えの良さ

1. ローマ人への手紙 8:32: 「ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに、私たちにすべてのものを慈しみ深く与えて下さらないのでしょうか。」

2. エペソ人への手紙 3:20: 「さて、私たちの内に働いている力に応じて、私たちが求めたり思ったりすることよりもはるかに豊かなことをしてくださる方に… … 」

マタイ 7:12 ですから、あなたがたは、人にしてほしいと望むことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからです。

この聖句は、律法と預言者がそうであるように、自分がしてもらいたいように他の人にも接するようにと勧めています。

1. 黄金律: 愛の法則を実践する

2. 返報性の法則を実践する: 自分が自分にしてあげたいことを他の人にもする

1. ルカ 6:31: 「自分にしてもらいたいことを、他の人にもしなさい。」

2. ガラテヤ 5:14: 「律法全体は、『隣人を自分のように愛しなさい』という一つの命令に要約されています。」

マタイ 7:13 あなたがたは海峡の門から入りなさい。滅びに至る門は広く、その道は広く、そこに入る者がたくさんいるからです。

狭い道は命につながり、広い道は破滅につながります。

1. 救いへの狭い道

2. 広いパスの結果

1. 箴言 14:12 - 人にとっては正しいと思われる道がありますが、その行き着く先は死への道です。

2. 詩篇 16:11 - あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの臨在の中には喜びが満ち溢れています。あなたの右手には永遠の楽しみがあります。

マタイ 7:14 なぜなら、命に至る門は狭く、その道は狭く、それを見つける人はほとんどいないからです。

人生への道は困難であり、それを見つける人はほとんどいません。

1. 狭い道 - マタイ 7:14 の考察

2. それを見つける人はほとんどいない - クリスチャンの歩みの課題

1. マタイ 19:23-24 - イエスは弟子たちに言われた、「はっきり言っておくが、金持ちが天国に入るのは難しい。もう一度言いますが、ラクダが通るのは簡単です」裕福な人が神の国に入るよりも、針の穴のようなものです。」

2. ヨハネ 14:6 - イエスは、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに来ることはできない。」と言われました。

マタイ 7:15 偽預言者に気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたたちのところにやって来ますが、内心は貪欲な狼です。

変装してやってくる偽預言者に注意してください。

1: 変装して動機を疑問視する人たちに常に注意してください。

2: 羊の皮をかぶって狼に変装した者たちに気をつけなさい。

1: 1 ヨハネ 4:1 - 「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出て行ったからです。」

2: 箴言 14:15 - 「素朴な人はすべてを信じるが、思慮深い人は自分の歩みをよく考える。」

マタイ 7:16 あなたがたはその実によって彼らを知るでしょう。人はいばらのブドウを集めますか、それともアザミのイチジクを集めますか？

イエスは私たちに、言葉ではなく行動で人を判断するよう勧めています。

1.「御霊の実によって生きる」

2.「義と主の道」

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、そして自制です。」

2. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけでなく、御言葉を行う者になりなさい。もし誰かが御言葉を聞く者であって、行う者ではないとしたら、その人は、自分の自然な顔を観察している人のようなものだからです。というのは、彼は自分自身を観察し、去っていき、自分がどんな人間だったかをすぐに

忘れてしまうからです。しかし、完全な自由の法則を見つめ、それを継続する人、そして忘れることを聞く人ではなく、その仕事を実行する人、この人です。彼のやることは祝福されるだろう。」

マタイ 7:17 同じように、すべての良い木は良い実を結びます。しかし、腐った木は悪い実を生みます。

良い木は良い実を生みますが、腐敗した木は悪い実を生みます。

1. 人生の果実: あなたの果実はどのようなものですか?

2. 私たちの選択は永続的な影響を及ぼします: マタイ 7:17 の研究

1. ガラテヤ 5:22-23、「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

2. ヤコブ 3:17-18、「しかし、上からの知恵は、まず純粋で、次に平和で、優しく、理性が開かれ、憐れみと良い実とに満ち、公平で誠実です。そして義の収穫は、それらの人たちによって平和のうちに蒔かれます。」平和を作る人たちよ。」

マタイ 7:18 良い木が悪い実を結ぶことはできませんし、腐った木が良い実を結ぶこともできません。

この一節は、善と悪は相互に排他的であり、組み合わせることはできないことを強調しています。

1. 選択の力: 私たちの行動の結果を理解する

2. 実を結ぶ: 自分の行動が重要であることを認識する

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

2. ヤコブ 3:17-18 - 「しかし、上から来る知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、扱いやすく、憐れみと良い実とに満ちていて、偏りや偽善がありません。」

マタイ 7:19 良い実を結ばない木はすべて切り倒され、火の中に投げ込まれます。

良い作品を生み出さなかった人は非難され、火の中に投げ込まれます。

1. 実を結ぶ: 人生において良い行いをすることの大切さ。

2. 非難の火: 正しい道を歩まなかった場合の結果。

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

2. ヤコブ 2:17 −同様に、行いがなければ信仰もまた、それ自体で死んだものです。

マタイ 7:20 したがって、あなたがたはその実によってそれを知ることになる。

この聖句は、人の行動がその人を識別し、その人の性格を決定するために使用できると述べています。

1. 「霊の実: 私たちの行動が私たちの性格をどのように明らかにするか」

2.「果実で人を知る：自分自身を調べる」

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

2. ヤコブ 3:17 - 「しかし、上からの知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、理性を受け入れ、憐れみと良い実とに満ちており、公平で誠実です。」

マタイ 7:21 「主よ、主よ」とわたしに言う者がみな、天の御国に入るわけではありません。しかし、天におられるわたしの父の御心を行う者です。

イエスは、「主よ、主よ」と言うだけでは天国に入ることが保証されず、むしろ神のご意志を行うことが天国に入ることが保証されると警告しています。

1.「あなたの言葉ではなく、神の御心を信じなさい」

2. 「口先だけの奉仕ではなく、従順を重視する」

1. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟たち、もし誰かが自分には信仰があるが行いがないと言ったら、何の益があるのでしょうか。信仰がその人を救うことができますか。兄弟や姉妹が裸で毎日の食べ物に欠けているとしたら、そして自分はあなたがたは彼らに、「安らかに出発し、体を温め、満たされなさい。」と言っているが、体に必要なものを与えていないのに、それが何の益となるのか。信仰もまた、行いがなければ、それ自体で、死んでいる。

2. ローマ 2:13 - 律法を聞く人が神の前に義とされるのではなく、律法を行う人が義とされるからです。

マタイ 7:22 その日、多くの人が私にこう言うでしょう、主よ、主よ、私たちはあなたの御名によって預言したのではありませんか？そしてあなたの名において悪

魔を追い出したのですか？そしてあなたの名において多くの素晴らしい業を成し遂げましたか？

裁きの日には、多くの人が、預言したり、悪霊を追い出したり、偉大な業を行ったりするなど、主の名において多くの偉大な業を行ったと宣言するでしょう。

1. 聖性の必要性: 聖なる生活を送ることの重要性と、審判の日にそうしなかった場合の結果について。

2. 信仰の力: 信仰の力と、それによって人が主の御名において達成できる力となる業について。

1. マタイ 5:20 - 「あなたがたに言いますが、あなたの義が律法学者やパリサイ人の義を超えない限り、あなたがたは決して天の御国に入ることはできません。」

2. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟たち、人が自分には信仰があるのに行いをしていないと言ったら、それが何の益になるのでしょうか。信仰がその人を救うことができますか。もし兄弟や姉妹が裸で、日々の食べ物に困っていたら、そして、あなたがたのうちの一人が彼らに言います、「安らかに出発し、あなたがたは暖かくなり満たされます。にもかかわらず、あなたは体に必要なものを彼らに与えません。それが何の益になりますか？それでも、信仰は、もしそれが機能しないなら、死んだものです、一人でいる。"

マタイ 7:23 そこで、私は彼らに告白します、「私はあなた方を知りませんでした。不法行為を働く者たちよ、私から離れなさい。」

イエスは悪を行う者たちに、裁きの日に彼らを退けるだろうと警告しています。

1. 手遅れになる前に神の憐れみを受け入れましょう

2. 悪より正義を選ぶ

1. 詩篇 97:10: 「主を愛する者は悪を憎む。」

2. ヤコブ 4:17: 「ですから、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪なのです。」

マタイ 7:24 したがって、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は誰でも、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。

この聖句は、私たちの生活に強い霊的基盤を築くために、イエスの教えと命令に従うことの重要性を示しています。

1.「岩の上に私たちの生活を築く：信仰の基盤を確立する」

2.「イエスの言葉に耳を傾ける：霊的成長の鍵」

1. コリント人への第一の手紙 3:10-15 - 土台の上に建物を建てることに関するパウロの例え

2. 詩篇 40:1-3 - 神に聞かれ答えられたことに対するダビデの賛美の歌

マタイ 7:25 すると、雨が降り、洪水が起こり、風が吹いてその家を襲った。しかし、それは落ちませんでした。それは岩の上に基礎があったからです。

この節は、岩の上に建てられ、雨、洪水、風の影響を受けなかった家について語っています。

1. 堅固な基盤の強さ：イエス・キリストの岩の上に私たちの生活を築く

2. 嵐を乗り切る: 困難な時にどうやって毅然とした態度を保つか

1. イザヤ書 28:16 - 「それゆえ、主なる神はこう言われる、『見よ、わたしはシオンに石、試された石、堅く据えられた土台の高価な礎石を置いている。それを信じる者は動揺しない。」

2. 詩篇 25:5 - 「あなたの真実において私を導き、教えてください。あなたは私の救いの神だからです。私はあなたのことを一日中待っています。」

マタイ 7:26 そして、私のこれらの言葉を聞いて実行しない人は皆、砂の上に家を建てた愚かな人にたとえられるでしょう。

イエスは、自分の言葉に従わない人は砂の上に家を建てる愚かな人のようになる、と教えています。

1.「私たちの生活の基盤：岩の上に建てる」

2.「神の言葉を無視することの危険性」

1. 箴言 10:25 - 「つむじ風が過ぎると、悪者はいなくなりますが、義人は永遠の基盤を持ちます。」

2. 詩篇 11:3 - 「もし土台が破壊されたら、義人は何ができるでしょうか。」

マタイ 7:27 すると、雨が降り、洪水が起こり、風が吹いてその家を打ちつけた。そしてそれは落ちました：そしてそれの落ちは素晴らしかったです。

イエス・キリストという強い土台の上に建てられた家は、人生の嵐にも負けずしっかりと立っています。

1: しっかりした基礎の上に家を建てる

2: 人生の嵐の中でも強く立つ

1: 詩篇 18:2 - 主は私の岩、私の要塞、私の救出者です。私の神は私の岩であり、私の避難所であり、私の救いの盾であり角であり、私の砦です。

2: エペソ人への手紙 2:20 - キリスト・イエスご自身を主要な礎石として、使徒と預言者の基礎の上に建てられました。

マタイ 7:28 そして、イエスがこれらの言葉を終えると、人々は彼の教義に驚いた。

人々はイエスの教えに驚きました。

1. イエス：私たちの教師であり導き手

2. イエスの言葉の力

1. エペソ 4:20-21 - しかし、それはあなたがキリストを学ぶ方法ではありません! - 真理がイエスの中にあるように、あなたがキリストについて聞いて、キリストのうちに教えられたと仮定しているのです。

2. コロサイ 3:16-17 - 詩篇、賛美歌、御霊の歌を通して知恵を尽くして互いに教え、戒め合い、心の中で感謝の気持ちを込めて神に歌いながら、キリストのメッセージがあなたがたの間に豊かに宿るようにしましょう。

マタイ 7:29 というのは、イエスは律法学者のようにではなく、権威を持つ者として彼らを教えたからです。

この箇所は、律法学者と比較して、以前に教えられたことをただ暗唱するのではなく、権威を持ってイエスがどのように教えたかを説明しています。

1. 権威の力 - イエスがどのようにして新しいメッセージを携えてやって来て、宗教の教えの現状に異議を唱えたか。

2. 従順の価値 - 権威あるイエスの言葉にどのように従うことが有意義な人生につながるか。

1. 1 コリント 12:28 - そして神は教会の中で、第一に使徒、第二に預言者、第三に教師を任命されました。

2. イザヤ書 50:4-5 - 主なる神は、疲れた人を言葉で支える方法を知るために、教えを受ける者の舌を私に与えてくださいました。彼は朝ごとに目覚めます。彼は教えられた者として聞く私の耳を目覚めさせます。

マタイ 8 章には、イエスが行ったいくつかの奇跡が紹介されており、病気、自然、霊的領域に対するイエスの権威が示されています。また、弟子になるためにかかる費用も浮き彫りになります。

第 1 段落: この章は、信仰を持ってイエスに近づいたハンセン病の人をイエスが癒すところから始まります (マタイ 8:1-4)。この後、イエスはローマの百人隊長の従者を遠くから言葉だけで癒しました。この出来事は、イエスが百人隊長の偉大な信仰を称賛することにつながります（マタイ 8:5-13）。その後、イエスはペテロの義母や、悪霊に取りつかれたか病気になった多くの人々を癒し続けられました（マタイ 8:14-17）。

第 2 段落: マタイ 8:18-22 では、イエスは弟子となる可能性のある人々と交流しています。ある人がどこへでもイエスについて行くと言うと、イエスは弟子としての修行に伴う困難、さらには頭を置く場所さえないことについて警告されます。イエスに従う前に父親を埋葬する時間をくれと言う別の者に、イエスは死者に自分の死者を埋葬させるべきだと答えた。彼の義務は神の国に従い、それを宣べ伝えることです。

第 3 段落: 最後のセクション (マタイ 8:23-34) では、イエスが自然と悪霊に対する権威を示すさらに 2 つの奇跡が紹介されています。まず、神は風と波を叱責することによって海の嵐を静め、自然要素に対する神の力を実証しました（マタイ 8:23-27）。それからガダラ人の領土で、彼は二人の男から悪霊を豚の群れに追い出し、豚の群れは急な岸辺から水に飛び込み、死にました。これに恐怖を感じた町民は、自分たちの地域から立ち去るよう神に要求するようになる。

マタイ 8:1 イエスが山から下りてくると、大群衆がついて来た。

イエスは大勢の人々に続いて山を下りられました。

1. イエスは、大勢の人たちにフォローされ、配慮されることを望んでおられます。

2. イエスは謙虚なリーダーシップの模範です。

1. ヨハネ 13:13-17 - イエスは謙虚なリーダーシップの例として弟子たちの足を洗いました。

2. マタイ 19:27-30 - イエスに従うという裕福な若い支配者の願いと、それが弟子として何を意味するか。

マタイ 8:2 すると、見よ、らい病人が来て、彼を拝んで言った、「主よ、御心ならば、わたしを清めてくださることがおできになります。」

あるハンセン病患者がイエスのもとにやって来て、イエスが御心であれば、清めてくださると言って治してほしいと願いました。

1. 信仰の力: イエスは信仰の祈りに喜んで応え、私たちのすべての罪を清めてくださいます。

2. イエスの憐れみ: イエスはハンセン病患者を癒し、神との正しい関係を回復させることによって、彼に憐れみと同情を示しました。

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、不可能であると私は確信しているからです。それは、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すためです。

2. マルコ 10:45-46 - 人の子ですら、仕えられるために来たのではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのです。

マタイ 8:3 すると、イエスは手を伸ばして彼に触れて、「そうします」と言われた。清くありなさい。するとすぐに彼のハンセン病は治りました。

この箇所は、イエスがハンセン病患者を治した物語を語っています。

1: イエスは私たちの罪を癒し、赦す力を持っています。

2: イエスによるハンセン病患者の癒しは、私たちを回復し、再生し、変えるイエスの力を思い出させます。

1: イザヤ 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。

2: ヤコブ 5:15 - そして、信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、赦されるでしょう。

マタイ 8:4 するとイエスは彼に言われた、「だれにも話さないでください。しかし、あなたの道を行き、祭司に姿を現し、モーセが命じた贈り物を彼らへの証しとして捧げなさい。

イエスは治癒したハンセン病患者に、自分の治癒を秘密にし、祭司のところに行き、モーセの戒めに従って犠牲を捧げるよう指示しました。

1. 従順の力: イエスの命令に従うことがどのように奇跡的な癒しにつながるか。

2. 従順の祝福: 神の戒めを守ることがどれほど信じられないほどの祝福をもたらすか。

1. レビ記 14:2-32 - らい病人の清めに関する祭司への指示。

2. マルコ 1:45 - ハンセン病患者は、自分の治ったことを誰にも話さないようにと指示しました。

マタイ 8:5 イエスがカファルナウムに入られると、百人隊長がイエスのところに来て懇願した。

百人隊長がイエスのところに来て懇願します。

1. 信仰の力: イエスへの信仰が人生の課題を克服するのにどのように役立つか

2. 継続の力: 疑いを克服し信じ続ける方法

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

マタイ 8:6 そして言った、「主よ、私の僕は中風で家にいて、ひどく苦しんでいます。」

イエスは中風の人を癒します。

1. 私たちの体と魂を癒す神の力。

2. 主への信仰と信頼の重要性。

1. マルコ 2:1-12 - イエスは中風の人を癒します。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、イエスは私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。私たちの平和のための懲罰が主の上にあり、主の打ち傷によって私たちは癒されました。

マタイ 8:7 するとイエスは彼に言われた、「わたしが来て彼をいやしてみよう」。

イエスは困っている人を癒そうと申し出ます。

1. 神の癒しの憐れみ - イエスはいつでも私たちに肉体的、霊的な癒しを与えて下さるということ。

2. 信仰の力 - 神への信仰がどのように私たちに並外れた祝福をもたらすのか。

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。」

2. ヤコブ 5:14-16 - 「あなたたちの中に病気の人はいますか。彼らに教会の長老たちを呼んで彼らのために祈ってもらい、主の名において油を注いでもらいましょう。そして、信仰をもってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したなら、彼らは赦されるでしょう。ですから、お互いに罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りましょう。義人の祈りは強力で効果的です。」

マタイ 8:8 百人隊長は答えて言った、「主よ、私はあなたが私の屋根の下に来る資格はありません。ただ、言葉だけを話してください。そうすれば私の僕は癒されます。」

百人隊長は、イエスにはその場にいなくても召使を癒す力があることに気づきました。彼は自分が無価値であることを謙虚に認め、イエスの治癒能力に対する信仰を表明しました。

1. 謙虚さと信仰: イエスに頼ることを学ぶ

2. 自分の無価値さと神の偉大さを認識する

1. マタイ8:5-13

2. イザヤ書40:28-31

マタイ 8:9 というのは、私は権威の下にある人間であり、自分の下に兵士がいるからです。そして、私がこの人に「行きなさい」と言うと、彼は行きます。そして別の人には、来てください、そうすれば彼は来ます。そして私のしもべに、「これをしなさい。そうすれば、彼はそれを行います。」

この聖句は、イエスの権威と、イエスが他の人たちにどのようにご自身の意志を行うよう命じているかについて語っています。

1. 神の権威: イエスの従順の模範

2. 神の意志に対する私たちの従順

1. ローマ 6:16 - あなたは、誰かに従順な奴隷として自分を示すなら、死に至る罪の奴隷であるか、義に至る従順の奴隷であることを知らないのですか。

2. フィリピ 2:8 - そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

マタイ 8:10 イエスはそれを聞いて驚いて、続いて来た人々に言った、「はっきり言っておきますが、私はこれほど大きな信仰をイスラエルの中に見つけたことがありません。」

イエスはローマの百人隊長の偉大な信仰に驚嘆されました。

1. 神の目を通して偉大な信仰を見る

2. 日常生活の中で信仰を生きる

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

マタイ 8:11 そして、あなたがたに言います。東からも西からも多くの人が来て、天の御国でアブラハム、イサク、ヤコブとともに座ることになります。

多くの人があらゆる方向から天国に歓迎されるでしょう。

1. 天国の終わりのない歓迎：すべての人に対する神の愛と慈悲

2. 多様性の受け入れ：天の統一を祝う

1. エペソ人への手紙 2:13-18 - しかし今、かつては遠く離れていたあなたがたも、キリスト・イエスにあって、キリストの血によって近づけられました。

2. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

マタイ 8:12 しかし、王国の子供たちは外の暗闇に放り出され、泣き叫んで歯ぎしりするでしょう。

この聖句は、神の王国を拒否した場合の結果、つまり、泣きながら歯ぎしりしながら外の暗闇に放り出されるということについて語っています。

1. 拒絶の代償：神の王国を拒否した場合の結果

2. 罪の闇: 神の王国を拒否することの重大さを理解する

1. ルカ 13:25-28 - 迷った羊のたとえ

2. テサロニケ第二 1:6-10 - 明らかにされた神の怒り

マタイ 8:13 イエスは百人隊長に言われた、「行きなさい。行きなさい。」そして、あなたが信じたとおり、あなたにもそうなりますように。そして彼の僕は同じ時間に癒されました。

イエスは信仰によって百人隊長の僕を癒します。

1. 信仰の力とそれがどのように治癒するか

2. イエスは癒しを通して慈しみを示す

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヤコブ 5:15 - 「信仰によってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせます。もし彼らが罪を犯したとしても、彼らは赦されます。」

マタイ 8:14 イエスがペテロの家に入られると、妻の母親が熱を出して横たわっているのを見られた。

イエスがペテロの家を訪れると、義母が熱で苦しんで横たわっているのを見ました。

1. 病気の時に神を信頼する - 困難な状況に直面したときに神に頼ることを学びます。

2. イエスの同情 - イエスの癒しと奉仕への意欲から励ましを得る。

1. ヘブライ 13:5-6 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

2. ヤコブ 5:14-15 - 「あなたたちの中に、病気の人はいますか。教会の長老たちを呼んで、彼らのために祈ってもらい、主の御名において油を塗ってもらいましょう。そうすれば、信仰によってささげられた祈りが病気になります。」「その人は元気です。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したとしても、彼らは赦されます。」

マタイ 8:15 そこでイエスが彼女の手に触れると、熱が下がり、彼女は起き上がって彼らに仕えた。

この箇所は、イエスがどのようにして女性を癒し、熱から解放されたかを説明しています。

1: 私たちは、必要なときにイエスが癒してくださると信頼できます。

2: イエスが私たちを癒してくださるとき、他の人に奉仕する力を私たちに与えてくださいます。

1: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち傷を負いました。私たちの平和のための懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2: ヤコブ 5:14-15 - 「あなたたちの中に病気の人はいますか。その人に教会の長老たちを呼んでもらい、主の名において油を塗って彼のために祈ってもらいましょう。そうすれば信仰の祈りが生まれます。」病人を救え、そうすれば主は彼をよみがえらせ、罪を犯したなら赦されるであろう。」

マタイ 8:16 夕方になると、人々は悪霊に取り憑かれた多くの人々を彼のところに連れて来ました。すると、彼は言葉によって悪霊を追い出し、病人をすべていやされました。

この箇所では、イエスが言葉によって多くの病人を癒し、悪霊を追い出したことが描かれています。

1. 神には私たちを癒し、悪から守る力があります。

2. イエスの力を通して、私たちは癒しと完全性を得ることができます。

1. 詩篇 103:2-3 「私の魂よ、主をほめたたえよ。その恩恵をすべて忘れないでください。主はあなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病気をいやしてくださいます。」

2. イザヤ書 41:10 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください。わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを力づけます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます。」私の正義。」

マタイ 8:17 それは、預言者エザヤが言った、「ご自身が私たちの弱さを取り、私たちの病気を担ってくださった」ことが実現するためです。

イエスはイザヤの預言を成就するために病人を癒しました。

1. イエスの癒し: マタイ 8:17 についての考察

2. 預言成就の力: マタイ 8:17 の研究

1. イザヤ書 53:4-5 - 「確かに彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2. ルカ 4:18-19 - 「主の御霊が私の上にあります。貧しい人たちに良いたよりを宣べ伝えるために主が私に油を注がれたからです。彼は捕虜に自由を、目の見えない人に視力の回復を宣言し、抑圧されている人々に自由を与え、主の恵みの年を宣言するために私を遣わしたのです。」

マタイ 8:18 さて、イエスは自分の周りに大勢の群衆がいるのを見て、向こう側へ出発するように命令された。

イエスは大勢の群衆を見て、向こう側に行くように命じられました。

1. イエスは、同情心と思いやりを持って大勢の群衆にどのように対応するかを模範としています。

2. 決断を下す前に、一歩下がって状況を評価することを学ぶことができます。

1. マタイ 9:35-38 - イエスは大群衆に憐れみを持って答えました。

2. 出エジプト記 14:15 - モーセは、神への信仰と信頼をもって大群衆にどのように対応するかを模範としました。

マタイ 8:19 すると、ある律法学者が来て、彼に言った、「先生、あなたが行かれるところならどこへでも、私はついていきます」。

この律法学者は、イエスがどこに行ってもついて行きたいという願いを表明しました。

1: イエスに従うには、イエスが導かれるところならどこへでも行くという献身と意欲が必要です。

2: 私たちは、自分の快適な場所を離れ、イエスが連れて行ってくださるところならどこへでも喜んで従わなければなりません。

1: ルカ 9:23 ーそしてイエスは皆に言った、「もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従ってきなさい。」

2: ヨハネ 10:27 - わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従ってきます。

マタイ 8:20 そこでイエスは彼に言われた、「キツネには穴があり、空の鳥には巣がある。しかし、人の子には頭を置く場所がありません。

イエスはある人に、自分は人の子であるため、他の生き物のように生きる場所がないと言いました。

1. イエスの犠牲: 人の子ホームレス

2. 弟子としての代償: イエスの謙遜さの模範

1. フィリピ 2:5-7 - キリスト・イエスにもあったこの思いをあなたの中に持ちましょう。キリストは神の姿をしていて、神と同等であることが強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、そして、彼は僕の姿をとり、人間に似せて造られた。

2. ヘブライ 4:14-15 - それでは、私たちには天に渡された偉大な大祭司、神の子イエスがいるのを見て、自分たちの職業を堅持しようではありませんか。私たちには、私たちの弱さの感情に触れることのできない大祭司がいないからです。しかし、あらゆる点で私たちと同じように誘惑に遭いましたが、罪はありませんでした。

マタイ 8:21 すると、もう一人の弟子が彼に言った、「主よ、まず私が父を埋葬に行ってください。」

弟子はイエスに、イエスに従う前に父親を埋葬することを許可してほしいと願いました。

1. 「今を生きる：イエスといるのは今です」

2. 「神の呼びかけ: 他の責任にもかかわらず神に従う」

1. ルカ 9:59-60: 「彼は別の人に、『わたしに従ってきなさい』と言った。」しかし彼は、「主よ、まず父を埋葬に行かせてください」と言いました。そこでイエスは彼に言われた、「死者には自分の死者を葬らせなさい。しかし、あなたは行って神の国を宣べ伝えなさい。」

2. 伝道の書 11:4: 「風を見る者は植えることはできません。雲を見る者は刈り取ることはできません。」

マタイ 8:22 しかし、イエスは彼に言われた、「わたしに従いなさい。」そして死者に死者を埋葬させてください。

この聖句は、他のすべての約束よりもイエスに従うことを追求するよう私たちを励ましています。

1: 私たちの十字架を背負ってイエスに従います。

2: 私たちの計画を放棄して神の計画に従うこと。

1: ルカ 9:23-24 「そして、イエスは皆に言った、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。』

2: マタイ 16:24-25 「そこで、イエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。』」

マタイ 8:23 そして、イエスが船に乗り込まれると、弟子たちはイエスを追った。

イエスと弟子たちは舟に乗り込み、出発し始めました。

1. イエスは私たちの力と励ましの源です

2. イエスに従う: 信仰の旅

1. ヘブライ 13:5 - お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足してください。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。

2. ヨハネ 10:27 - わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従ってきます。

マタイ 8:24 すると、見よ、海に大嵐が起こり、船は波に覆われたが、彼は眠っていた。

弟子たちは海上の大嵐に怯えていましたが、イエスは眠っておられました。

1. 困難な時代におけるイエスの平和

2. 困難な状況で神に頼る

1. 詩篇 31:24 - 主に望みを持つすべての人よ、勇気を出してください。そうすれば主はあなたの心を強めてくださいます。

2. イザヤ書 26:3 - あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保ってくださいます。なぜなら、彼はあなたを信頼しているからです。

マタイ 8:25 すると、弟子たちがイエスのところに来て、彼を起こして言った、「主よ、私たちを救ってください。私たちは滅びます。」

イエスの弟子たちは恐れを抱き、危険から救ってくださるようイエスに願いました。

1. 困難な時代における信仰の力

2. 必要なときにイエスに頼る

1. 詩篇 91:2 - 「主について言います。彼は私の避け所であり、私の砦です。私の神です。私は彼に信頼します。」

2. ローマ人への手紙 10:13 - 「主の御名を呼び求める者は救われるからです。」

マタイ 8:26 そこでイエスは彼らに言われた、「信仰の薄い者よ、なぜ恐れるのか」。それから彼は立ち上がって、風と海を叱責した。そして大きな静けさがありました。

イエスは弟子たちになぜ恐れるのかと尋ね、その後ご自身の権威で海と風を静めました。

1. 信仰の力: 神は信じる者にどのように報われるか

2. 恐怖に立ち向かう: イエスは不安を克服するためにどのように助けてくださるか

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

マタイ 8:27 ところが人々は驚いて言った、「風も海も彼に従うとは、何という人だろう」。

この箇所は、風と海を支配するイエスの力を人々が目撃して驚いた場面を描写しています。

1. 畏怖と驚異: イエスの力の再発見

2. 天地の主：イエスの奇跡的な力

1. ヨブ記9:5-10

2. イザヤ書55:8-9

マタイ 8:28 そして、彼が対岸のゲルゲサ人の国に来たとき、悪霊に取り憑かれた二人が墓から出てきて、非常に獰猛で、誰もその道を通れないように彼に出会った。

イエスはゲルゲセン人の国へ旅行した際、悪霊に取り憑かれた二人の男に遭遇しました。男たちはとても獰猛だったので、誰も彼らの前を通り抜けることができませんでした。

1. イエスを救い主として受け入れる：どんな悪霊も邪魔することはできない

2. 信仰を通じて恐怖と疑いを克服する

1. ヤコブ 4:7-8 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたに近づくでしょう。」

2. マタイ 16:24 - 「それからイエスは弟子たちに言われた、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

マタイ 8:29 すると、見よ、彼らは叫んで言った、「神の御子イエスよ、私たちはあなたと何の関係があるのですか」。あなたはその時が来る前に私たちを苦しめるためにここに来たのですか？

悪霊の群れがイエスに叫び、なぜイエスが彼らを苦しめるためにそこにいるのか、時間切れになる前に尋ねました。

1. イエスの力: どのようにしてすべてを征服するのか

2. イエス・キリスト: 失われた者にとっての唯一の希望

1. ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物のいかなるものも、私たちを神の愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスのうちにあるのです。

2. ローマ 10:13 - 「主の名を呼び求める者は皆救われる」からです。

マタイ 8:30 すると、彼らからかなり離れたところに、たくさんの豚の群れが餌をやっていました。

イエスは人々の群れから離れて移動中に豚の群れに遭遇しました。

1. イエスの力: 権威の実証

2. イエスの宣教が他者の人生に与える影響

1. マルコ 5:1-17 - イエスは悪霊の軍団を人間から豚の群れに追い出しました。

2. ルカ 8:26-33 - イエスは悪霊の軍勢を人から追い出し、彼らが豚の群れに入るのを許可されました。

マタイ 8:31 それで、悪魔たちは彼に、「もしあなたが私たちを追い出すなら、豚の群れに入るのを許してください。」と懇願しました。

悪霊たちはイエスに、自分たちを追い出すなら豚の群れに入るのを許してほしいと頼みました。

1: 神は悪魔の力を最終的に制御しており、神に従うように命じます。

2: 私たちは悪魔の勢力に用心し、悪魔の勢力からの保護を神に頼らなければなりません。

1: ヤコブ 4:7 - 「ですから、神に従いなさい。悪魔に抵抗しなさい、そうすれば彼はあなたから逃げます。」

2: エペソ人への手紙 6:11-13 - 「悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。なぜなら、私たちは血肉に対して戦うのではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的勢力に対して戦うのだから。」

マタイ 8:32 そこでイエスは彼らに言われた、「行きなさい」。そして、出てくると、彼らは豚の群れの中に入りました。そして、見よ、豚の群れ全体が険しい場所を海に激しく駆け下り、水の中で死んだのです。

イエスは二人のグループに立ち去るように言いました。そして、彼らが去ったとき、豚の群れが急な丘を駆け下りて海に落ち、そこで全員が死にました。

1. イエスの言葉の力: 従順はどのように奇跡をもたらすのか

2. 誘惑を避ける: 欲望に従った結果

1. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2. ペテロ第一 5:8 - 身を慎み、用心深くありなさい。それは、あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、誰を食い尽くすべきかを求めて歩き回っているからである。

マタイ 8:33 そこで、彼らを守っていた者たちは逃げて都に入り、悪魔に取り憑かれた者たちに起こったことをすべて話した。

取り憑かれた人々を管理していた人々は逃走し、市内で何が起こったのかを広めた。

1. 困難を克服する神の力

2. 困難な時代におけるコミュニティの強さ

1. 詩篇 46:1 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。」

2. 使徒 16:25-26 - 「真夜中ごろ、パウロとシラスは神に祈り、賛美歌を歌っていました。他の囚人たちはそれを聞いていました。突然大地震が起こり、刑務所は土台まで揺れました。すぐにすべてのドアが開き、囚人全員の鎖が外れました。」

マタイ 8:34 すると、見よ、町中がイエスを迎えに来た。そして、イエスを見ると、海岸から出て行ってくださるようにと懇願した。

町中の人々がイエスに会いに来ましたが、海岸から立ち去るようイエスに願いました。

1: イエスは、たとえその場で歓迎されないとしても、謙虚さと神のご意志を喜んで行おうとする模範です。

2: 私たちはイエスから、どんな犠牲を払ってでも神のご意志を行うことに集中することを学ぶことができます。

1: ピリピ人への手紙 2:5-8 「この心を持ちなさい。この思いはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にして、」

2: ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

マタイ 9 章では引き続きイエスの奇跡が語られ、罪を赦し、病人を癒し、死者を蘇らせるイエスの権威が実証されています。また、罪人を呼び寄せるという神の使命と、神の収穫における働き手の必要性についても論じられています。

第 1 段落: この章は、イエスが罪の赦しを宣言した後、中風の人を癒すところから始まり、肉体的な病気と霊的な赦しに対するイエスの権威を示しています (マタイ 9:1-8)。それから彼は徴税人のマタイを呼び、イエスに従うように言いました。これは他の徴税人や罪人たちとの食事につながり、そこでイエスは義人のためではなく罪人のために来たことを明らかにされました（マタイ9:9-13）。

第 2 段落: 次に、イエスによって行われたさらに 3 つの奇跡です。信仰によってイエスの外套に触れただけで 12 年間出血していた女性の癒し (マタイ 9:2 0-22)、ヤイロの娘を死から蘇らせた (マタイ 9:23) -26)、そして彼をダビデの子として認め、彼をメシアとして信じる信仰を確認した二人の盲目の男性の視力を回復しました(マタイ 9:27-31)。また、彼は口のきけない男から悪霊を追い出し、再び話せるようにしました。これは群衆を驚かせましたが、悪霊の君主の力を利用しているというパリサイ人からの非難を引き起こしました(マタイ9:32-34)。

第 3 段落: この最後のセクション (マタイ 9:35-38) では、イエスは町や村全体で教え、癒しを続けています。群衆が飼い主のいない羊のように嫌がらせを受け、無力であることを見て、神は彼らに対して同情心を抱かれます。彼は弟子たちに、収穫は豊富だが働き手は少ない、と言って締めくくっています。したがって、彼らは収穫の主、つまり神ご自身が働き人を神の畑に送り出すように祈らなければなりません。

マタイ 9:1 それから彼は船に乗り、海を渡り、自分の町に入った。

イエスは船で故郷へ向かいました。

1: イエスは神の計画を信頼し、リスクを負ってそれに従う。

2: イエスは、神の王国を前進させようと努めながら、私たちがどのようにして自分のルーツとのつながりを維持できるかを模範としています。

1: イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎はあなたを焼き尽くすことはない」。」

2: ヨハネ 4:35 「あなたがたは、『まだ四か月もある、収穫の時期が来る』と言わないのか。見なさい、言っておくが、目を上げて、畑が収穫のために白くなっているのを見なさい。」

マタイ 9:2 すると、見よ、彼らが、中風で床に横たわっている人を連れて来た。すると、イエスは彼らの信仰を見て、中風の病人に言われた。息子よ、元気でいてください。あなたの罪は赦されますように。

中風の人がイエスのところに連れてこられたとき、イエスは彼を連れてきた人々の信仰を見て、その人に「彼の罪は赦された」と言われました。

1. イエス・キリストを信じる信仰の力

2. イエスによる許しの賜物

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

2. エペソ人への手紙 1:7 - 私たちはこの方において、その血による救い、すなわち、その豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

マタイ 9:3 すると、見よ、律法学者の中には、「この人は冒涜している」と心の中で言った者たちがいた。

この箇所は、何人かの律法学者がイエスを冒涜しているとして非難していたことを明らかにしています。

1: イエスは不当に冒涜の罪で告発されましたが、自分の教えを忠実に守り続けました。

2: 神の真理は常に挑戦されますが、私たちの信仰は逆境に直面しても揺るぎません。

1: イザヤ書 53:7 - 「彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。屠殺場に連れて行かれる子羊のように、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、彼は口を開かなかった。」

2: ガラテヤ 6:9 「善を行うことに飽きないようにしましょう。あきらめなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。」

マタイ 9:4 すると、イエスは彼らの考えを知って言われた、「なぜあなたがたは心の中で邪悪なことを思うのか」。

イエスは人々の考えを知っていて、なぜ彼らが心の中で悪いことを考えるのかと尋ねました。

1. 思考の力を理解する: 私たちの思考が私たちの生活にどのような影響を与えるか

2. 義なる心の力：正しく考えることを選ぶ祝福

1. 箴言 23:7 - 「その人は心の中で思っているとおりである」

2. ローマ 8:6-8 - 「肉的な思いを持つことは死です。しかし、霊的な思いを持つことは命と平安です。なぜなら、肉的な思いは神に対する敵対だからです。なぜなら、それは神の律法に従わないからです。できるよ。」

マタイ 9:5 というのは、「あなたの罪は赦されますように」と言うほうが簡単だからです。それとも「起きて歩きなさい」と言うのでしょうか？

イエスは、罪を赦すのと体の病気を治すのとどちらが簡単か、と質問されました。

1. 神の比類のない憐れみ - イエスは神の赦しの能力をどのように実証したか

2. イエスの力 - イエスの力は信じる人の人生をどのように変えることができるか

1. イザヤ書 43:25 - 「わたしは、わたし自身のために、あなたの罪を消し去る者です。そして、わたしはあなたの罪を思い出しません。」

2. 詩篇 103:12 - 「東が西から遠く離れているように、神はこれまで私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。」

マタイ 9:6 しかし、人の子が地上で罪を赦す力を持っていることをあなたがたに知らせるために、（そこで彼は中風の病人にこう言いました）「起きて、床を担ぎ、あなたの家に帰りなさい。」

イエスは中風の人を癒すことによって罪を赦す権威を示しました。

1. 罪を赦すイエスの力

2. イエスの癒し：信仰の奇跡

1. ヨハネ 8:36 - 「だから、御子があなたを自由にしてくれるなら、あなたは確かに自由になるでしょう。」

2. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

マタイ 9:7 そこで彼は立ち上がって、家に帰って行った。

イエスは中風のある人の罪を赦すことによって同情と憐れみを示しました。

1: イエスは、困っている人たちにいつでも憐れみと同情心を示します。

2: 私たちはイエスの模範に従い、他の人に憐れみと同情心を示すよう努めるべきです。

1: コロサイ 3:12-14 - したがって、神に選ばれた聖なる民として、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。

2: ヤコブ 2:13 - 憐れみを示さなかった者には裁きは容赦ないからです。慈悲は裁きに打ち勝ちます。

マタイ 9:8 しかし、群衆はそれを見て驚き、人間にこれほどの力をお与えになった神を賛美した。

群衆はイエスの力に驚き、人間にこれほどの力を与えてくださった神を讃美しました。

1: 私たちは、神が私たちに偉大なことを行う力を与えてくれたと信じることができます。

2: 神はすべての力の源であるため、私たちは常に神の栄光を讃えなければなりません。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2: 詩篇 62:11 - 「神は一度、二度私はこれを聞きました。その力は神のものです。」

マタイ 9:9 イエスがそこから去って行かれたとき、マタイという名前の人が習慣の受付に座っているのを見て、彼に言われた、「わたしに従ってきなさい」。そし

て彼は立ち上がって彼の後を追った。

この箇所は、イエスがマタイに自分について来るように呼びかけた経緯を語っています。

1. イエスの呼びかけ - イエスの呼びかけを進んで受け入れて従うことの重要性。

2. イエスに従う - イエスに従い、イエスが私たちの前に定めた道を受け入れることの重要性。

1. ルカ 5:27-28 - イエスは彼らの信仰を見て、中風の人にこう言われました。「子よ、あなたの罪は赦された。」28 そこで、律法学者の中には、イエスが語られた権威について疑問を抱く者たちがいた。

2. ヨハネ 15:16 - あなたが私を選んだのではありませんが、私があなたを選んで任命したのは、あなたが行って実を結ぶため、つまり永続する実を結ぶためであり、あなたが私の名において求めるものは何でも父があなたに与えてくださるためです。

マタイ 9:10 イエスが家の中で食事に座っておられると、見よ、多くの取税人や罪人たちがやって来て、イエスと弟子たちと一緒に座った。

イエスが弟子たちと家で食事をしていたとき、多くの取税人や罪人がイエスに加わりました。

1. イエスの無条件の愛と受け入れ

2. 許しの力

1. ルカ 19:10 「人の子は、失われた人たちを捜し、救うために来たのです。」

2. ローマ 5:8 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。」

マタイ 9:11 パリサイ人たちはそれを見て、弟子たちに言った、「なぜあなたの主を取税人や罪人たちと一緒に食べるのですか。」

イエスは取税人や罪人と一緒に食事をしたとしてパリサイ人から批判されました。

1. 私たちは皆罪人ですが、イエスは愛と受容の模範によって私たちに救いの道を示してくださいました。

2. 神はすべての人を愛しています。神の模範に従い、すべての人に愛と受け入れを示すことが私たちの仕事です。

1. ルカ 6:37、「裁いてはなりません。そうすれば、あなたがたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、あなたがたは罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。」

2. ヨハネ第一 4:7-8、「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は神だからです。」愛"。

マタイ 9:12 しかし、イエスはそれを聞いて、彼らに言われた、「健康な人には医者はいらない、病人には必要だ」。

イエスは、霊的にも肉体的にも病んでいる人々を癒すためには医師が必要であると教えています。

1. 病人には医師が必要：癒しに関するイエスの教えを探る

2. 病気から抜け出す: イエスはどのようにして完全さをもたらすことができるか

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ヤコブ 5:14 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。

マタイ 9:13 しかし、あなたがたは行って、それが何を意味するのか学びなさい。「わたしは犠牲を与えるのではなく、憐れみを与えます。わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。」

慈悲は犠牲より価値があります。神は義人ではなく、罪人に悔い改めを求めます。

1: 慈悲は重要です: 不義な者に手を差し伸べる

2: 悔い改めの力

1: ルカ 5:32 - イエスは、「わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。」と言われました。

2: イザヤ書 1:10-17 - たとえあなたの罪が緋のようであっても、それは雪のように白くなるでしょう。たとえそれらが深紅のように赤いとしても、それらは羊毛のようになるでしょう。

マタイ 9:14 そのとき、ヨハネの弟子たちがイエスのところに来て言った、「なぜ私たちやパリサイ人たちはよく断食しているのに、あなたの弟子たちは断食しな

いのですか。」

ヨハネの弟子たちは、なぜイエスの弟子たちはパリサイ人のように頻繁に断食しないのかと尋ねます。

1. 復活の力: イエスの復活が断食をどのように変えるか

2. 断食の奨励: 断食の規律を再燃させる呼びかけ

1. マタイ9:14

2. ローマ 8:11 - 「しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださるでしょう。」

マタイ 9:15 そこでイエスは彼らに言われた、「花婿が一緒にいる限り、花婿の部屋の子供たちは悲しむことができますか」。しかし、花婿が彼らから取り上げられ、断食する日が来るでしょう。

イエスは弟子たちに、ご自分が共におられる間は断食する必要はないが、いつかご自分が連れ去られる日が来るので、その時は断食するようにと言われます。

1. イエス・キリストの臨在の中で楽しく生きる

2. 花婿の到来に備える

1. ローマ人への手紙 12:12 - 希望を抱いて喜ぶ。苦難の患者。祈りを瞬時に続けます。

2. ルカ 5:34-35 - そこでイエスは彼らに言われた、「花婿が一緒にいる間、花婿の部屋の子供たちに断食をさせることができますか」。しかし、花婿が彼らから取り去られる日が来て、そのとき彼らは断食することになる。

マタイ 9:16 古い衣に新しい布を着せる人はいません。それを埋めるために入れられた布は衣から取り去られ、裂け目はさらに悪化します。

この一節は、使い古された衣服を新しい布で補修しようとしても、破れがさらに悪化するだけだという考えを強調しています。

1. 物質的なものとの壊れた関係を修復しようとすべきではありません。それは状況を悪化させるだけです。

2. 私たちは自分自身の解決策で自分の罪を修復しようとすべきではありません。私たちの傷を再び新しくできるのは神だけです。

1. イザヤ書 1:18 - 「さあ、さあ、一緒に論じましょう、と主は言われる。たとえあなたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなるであろう。たとえ深紅のように赤くても、それらは羊毛のようになるであろう。」

2. コリント人への第二の手紙 5:17 - 「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去り、見よ、すべてが新しくなります。」

マタイ 9:17 人は、古い瓶に新しいぶどう酒を入れません。そうしないと、瓶が割れ、ぶどう酒がなくなり、瓶が腐ってしまいます。しかし、彼らは、新しいぶどう酒を新しい瓶に入れるので、両方とも保存されます。

この一節は、古いものは新しいものを含むことができないので、古いものに新しいものを当てはめようとするべきではないことを思い出させます。

1: 私たちは常に未来の可能性にオープンであるよう努めなければなりません。

2: たとえなじみのないものであっても、新しいことに挑戦することを恐れるべきではありません。

1: エペソ人への手紙 4:22-24 「あなたがたは、欺瞞的な欲望に従って堕落した古い人との以前の会話を脱ぎ捨て、心の霊において新たになり、新しい人を着なさい。それは神が義と真の聖さのうちに創造された後である。」

2: イザヤ書 43:18-19 - 「あなたがたは、昔のことを思い出してはなりません。また、昔のことを考えてはいけません。見よ、わたしは新しいことをします。今、それが芽生えます。あなたがたはそれを知らないのですか。わたしは、荒野の道も、砂漠の川も。」

マタイ 9:18 イエスがこれらのことを彼らに話していると、見よ、ある支配者が来て、彼を拝んで言った、「私の娘は今も死んでいます。しかし、来て彼女に手を置いてください。そうすれば娘は生きます。」

支配者がイエスのところに来て、亡くなったばかりの娘が生きられるように、来てその上に手を置いてほしいと頼みました。

1. 信仰の力: イエスはあなたの人生をどのように変えることができるか

2. 父の愛: 希望をあきらめない

1. マルコ 5:21-43 - イエスによる出血の女性の癒し

2. ヨハネ第一 5:14-15 - 癒しを求めて神に祈ることへの自信

マタイ 9:19 そこで、イエスは立ち上がって従い、弟子たちも同様だった。

イエスは徴税人とともに謙虚に歩み、神に従う模範を示しました。

1. 神に従う: 謙虚さの一例

2. 他者への愛: イエスのような心

1. ピリピ 2:5-8 - 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿をとっておられましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。」

2. ルカ 19:1-10 - 「彼はエリコに入り、そこを通っていました。そして、ザアカイという人がいました。彼は徴税人の頭で、金持ちでした。そして、彼はイエスが誰であるかを知ろうとしていましたが、彼は背が小さかったので、群衆の前に立つことができませんでした。「ザアカイ、急いで下って来なさい。今日はあなたの家に泊まらなければならないからです。」それで彼は急いで降りてきて、喜んで彼を迎えました。」

マタイ 9:20 すると、見よ、十二年間血の病気を患っていた女が彼の後ろに来て、彼の衣の裾に触れた。

この一節は、イエスが自分を癒す能力を持っているという女性の信仰について語ります。

1: 信仰の力 - 血の問題を抱えた女性の物語は、山を動かす信仰の力を示しています。

2: イエスの癒し - イエスの同情心と癒しの力は、血の問題を抱えた女性の物語に描かれています。

1: マルコ 5:25-34 - イエスは血の問題を抱えた女性を癒し、ご自身の力と信仰が山をも動かすことができることを実証しました。

2: ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。

マタイ 9:21 彼女は心の中でこう言ったからです、「彼の衣に触れさえすれば、私は元気になるだろう」。

この一節は、出血性疾患を患っている女性がイエスの衣に触れたところ治ったという内容です。

1. 信仰の力 - あらゆる困難にもかかわらず主を信頼する

2. イエスの癒しのタッチ - イエスはどのようにして私たちの生活に癒しをもたらすことができるか

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

2. ヤコブ 5:14-15 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださるでしょう。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

マタイ 9:22 しかし、イエスは彼を振り向かせ、彼女を見ると、こう言われた、「娘よ、元気を出してください。」あなたの信仰があなたを完全にしました。そして女性はその時から完全になった。

この箇所は、イエスがイエスへの信仰を示した女性を苦しみから癒してくださった物語を語っています。

1. 信仰の力: イエスはどのようにあなたの人生を変えてくれるのか

2. キリストにあって慰めを受ける: 困難な時に希望を見出す

1. ヘブライ 11:6 - 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければなりません。」

2. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

マタイ 9:23 イエスが支配者の家に入られ、吟遊詩人や人々が騒いでいるのを見て、

イエスは支配者の家の騒々しい集会を静めました。

1: イエスは私たちに、ご自身の権威の力と、私たちがどのようにして神の御前に静まり続けることができるかを示してくださいました。

2: 混乱の真っ只中でも、私たちはイエスのうちに平安を見出すことができます。

1: ルカ 1:79 - 神は暗闇と死の影に座っている者たちに光を与え、私たちの足を平和の道に導いてくださいます。

2: ヨハネ 14:27 - わたしはあなたたちに平安を残し、わたしの平安をあなたたちに与えます。世が与えるのではなく、私があなたたちに与えます。心を騒がせてはいけないし、恐れてはいけない。

マタイ 9:24 イエスは彼らに言った、「場所を譲ってください。はしためは死んだのではなく、眠っているのです。」そして彼らは彼を嘲笑した。

イエスが少女は死んでおらず、眠っているだけだと言ったとき、人々は笑いました。

1. 恐怖よりも信仰 - 不確実性と恐怖の時代でも神を信頼する必要性。

2. イエスにある希望 - 死んだ人々に命を吹き込むイエスの力。

1. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。これを信じますか？

マタイ 9:25 しかし、民が外に出されると、イエスは中に入って彼女の手を取ると、はしためは起き上がった。

この箇所には、イエスが中風になった女性を癒されたことが描かれています。

1: イエスの憐れみは私たちに優しさと愛の力を示します。

2: イエスの癒しの例は、困っている人を助けることの重要性を示しています。

1: マルコ 5:34-35 - イエスは女性に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを癒したのです。安らかに行き、苦しみから解放されましょう。」

2: ルカ 7:13-15 - 主は彼女を見たとき、心は憐れみで溢れました。彼は彼女に「泣かないで」と言った。それから彼が前に出て棺に触れると、担ぎ手たちは立ち止まりました。彼は言いました、「若者よ、起きなさい！」

マタイ 9:26 そして、この名声は国中に広まりました。

イエスの癒しの名声は国中に広がりました。

1. 神の愛の力: イエスはどのように国を変えたのか

2. 信仰の奇跡: イエスの癒しから学べること

1. マタイ 4:23-25 - イエスはガリラヤ中を巡り、会堂で教え、王国の良いたよりを宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気を治されました。

2. マルコ 5:19-20 - イエスはそうさせず、「自分の民のところに帰り、主があなたたちにどれほどのことをしてくださったか、また、あなたたちをどれほど憐れんでくださったかを話してください。」と言われました。そこで男は立ち去り、イエスが自分のためにどれだけのことをしてくれたかをデカポリスで語り始めた。

マタイ 9:27 イエスがそこから去られると、二人の盲人が泣きながらついて来て、「ダビデの子よ、私たちを憐れんでください」と言った。

この箇所は、二人の盲人がイエスに従い、彼らを憐れんでくださいと叫びながら従うというものです。

1. 信仰の力: 視覚障害がどのようにして視力に至るのか

2. 適切な情報源に助けを求める: 主を信頼する

1. ルカ 18:35-43 – 盲目の物乞いのたとえ

2. マタイ 21:14-15 – 子どもたちの憐れみの叫び

マタイ 9:28 イエスが家に入ると、目の見えない人たちがイエスのところに来た。イエスは彼らに言われた、「わたしにそんなことができると信じますか。」彼らは彼に言った、「そうです、主よ。」

イエスは二人の盲人に会い、イエスが彼らを癒すことができると信じるかどうか尋ねました。男たちはイエスを信じたと答えました。

1. 主を信頼し、主は何でもできると信じましょう

2. イエスは奇跡を起こすことができる

1. ヘブライ 11:6 - 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければなりません。」

2. ヨハネ 14:12-14 - 「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしを信じる者は、わたしが行う業をも行うであろう。また、これらよりも大きな業を行うであろう。わたしは父のもとに行くからである」「あなたがたがわたしの名において望むことは何でも、わたしはそうします。父が子によって栄光を受けるためです。あなたがたがわたしの名において何か求めるなら、わたしはそれを行います。」

マタイ 9:29 それからイエスは彼らの目に触れて、「あなたの信仰どおりになりますように」と言われた。

この箇所では、イエスが二人の盲人を癒し、信仰の大切さを強調していることが示されています。

1. 「信仰の力: 当面の状況を超えて見る」

2.「信じることの美しさ：信仰による奇跡」

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。完璧で完全で、何も欠けていない。」

マタイ 9:30 すると彼らの目は開かれた。そこでイエスは彼らを厳しく責めて、「誰もそれを知らないようにしなさい」と言われた。

イエスは二人の盲人を癒し、そのことを秘密にするように指示しました。

1. イエスの癒しの力

2. イエスの命令を守ることの重要性

1. マルコ 5:43 - 「そしてイエスは、だれにもそのことを知られるべきではないと彼らに厳しく命じ、彼女に何か食べるものを与えるように命じました。」

2. イザヤ書 35:5-6 - 「そのとき、目の見えない人の目は開かれ、聾唖者の耳は止まらなくなる。そのとき、足の不自由な人は心臓のように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌う。荒野に水が湧き出て、砂漠に小川が流れるだろう。」

マタイ 9:31 しかし、彼らが去ったとき、彼らはその国中に彼の名声を広めました。

この箇所は、イエスの追随者たちがその地域から去った後、イエスの名声がどのように広まったかを語っています。

1: 私たちはキリストの証人となり、キリストのメッセージを周囲の人々に伝える必要があります。

2: イエスの宣教の力は、それを直接目撃した人々に限定されません。

1: 使徒 1:8 「しかし、あなたがたは力を受けるでしょう。その後、聖霊があなたがたに臨まれます。そしてあなたがたは、エルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そしてイスラエルの最果てに至るまで、わたしの証人となるでしょう。」地球。"

2: マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい」「そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世の終わりまでです。アーメン。」

マタイ 9:32 彼らが出て行くと、見よ、悪霊に取り憑かれた口のきけない男を連れて来た。

人々のグループが、悪霊に取り憑かれて話すことができない男性をイエスのもとに連れてきました。

1. 悪に打ち勝つ神の力: マタイ 9:32 の研究

2. 信仰の力: マタイ 9:32 でイエスが憑依された人をどのように癒したか

1. ルカ 11:14、「そして、彼は悪魔を追い出していましたが、それは口がきけませんでした。そして、悪魔が出て行ったとき、口のきけない者が声を上げたので、人々は驚いたのでした。」

2. マルコ 9:25、「イエスは、人々が一緒に走って来るのを見て、その汚い霊を叱責して言われた、『この口のきけない、耳の聞こえない霊よ、わたしはあなたに命じます。あの人から出て行き、もう彼の中に入るな。」」

マタイ 9:33 悪魔が追い出されたとき、口のきけない者が声を上げた。すると、群衆は驚いて、「イスラエルではこんなことはかつてなかった」と言った。

群衆は、悪霊を追い出し、それまで口がきけなかった人が話せるようになったイエスの力に驚きました。

1. 傷ついた人々を癒し、回復させるイエスの力は比類のないものです。

2. イエスを信頼すると、無数の可能性への扉が開かれます。

1. ルカ 4:18-19 - 「主の御霊が私の上にあります。貧しい人たちに福音を宣べ伝えるために主が私に油を注いでくださったからです。神が私を遣わされたのは、心の傷ついた人を癒し、捕虜に救出を宣べ伝え、目の見えない人に視力の回復を宣べ伝え、打ち傷を負った人たちを自由にするためであり、19 主の受け入れられる年を宣べ伝えるためである。」

2. 使徒 10:38 - 「神はどのようにナザレのイエスに聖霊と力を注いだか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人を癒して回った。神が彼とともにおられたからである。」

マタイ 9:34 しかし、パリサイ人たちは、「彼は悪魔の首領を通して悪魔を追い出している」と言った。

パリサイ人たちはイエスが悪魔の力によって悪霊を追い出したと非難しました。

1: 私たちは他人をすぐに裁いてはならず、代わりに神の御心を信頼しなければなりません。

2: 神に対する私たちの信仰は、虚偽や悪意のある言葉によって揺るがされてはなりません。

1: エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っています」と主は言われます、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2: 1 ペテロ 5:7 - 「あなたが心配しているすべてを彼に委ねなさい。彼はあなたのことを気にかけているからです。」

マタイ 9:35 それから、イエスはすべての町や村を巡り、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気をいやされた。

イエスはすべての都市や村を巡り、会堂で教え、王国の福音を宣べ伝え、人々のあらゆる病気を癒しました。

1. 福音の力: イエスは病人を癒すためにどのように福音を用いたのか

2. 癒しの奉仕: イエスの模範に倣うよう勧める

1. ペテロ第一 2:24 「神ご自身が、木の上で私たちの罪をその身に負ってくださいました。それは、私たちが罪に対して死に、義に対して生きるためです。彼の傷によって、あなたがたはいやされたのです。」

2. ヤコブ 5:14-15 - 「あなたがたの中に病気の人はいますか。その人は教会の長老たちを呼んで、主の御名において油を注いで彼のために祈ってもらいましょう。そうすれば信仰の祈りは「病人を救ってください。そうすれば、主は彼をよみがえらせてくださいます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、彼は赦されます。」

マタイ 9:36 しかし、イエスは群衆を見て、彼らに対して同情の心を抱いた。なぜなら、彼らは飼い主のいない羊のように気を失い、海外に散らされたからである。

イエスは羊飼いのいない道に迷った群衆に同情を示されました。

1. イエスと迷える羊: どのように慈悲が救いにつながるか

2. 羊飼いのいない人: イエスの中に慰めと強さを見つける

1. イザヤ書 40:11 - 彼は羊飼いのように自分の群れを養う。腕で子羊を集めて胸に抱き、子連れの子たちを優しく導く。

2. ペテロ第一 5:4 - そして、羊飼いのかしらが現れるとき、あなたがたは消えることのない栄光の冠を受けるでしょう。

マタイ 9:37 それからイエスは弟子たちに言った、「収穫は本当に多いが、働き手が少ない。

収穫は多いが、働き手は少ない。

1. 神の愛の豊かさ: 神の祝福を享受するために私たちが一歩を踏み出さなければならない理由

2. 福音の緊急性: 良いたよりを伝えるために今すぐ行動しなければならない理由

1. ヨハネ 4:35-38 - イエスが弟子たちに行って、王国の良いたよりを世界に宣べ伝えるようにと指示されました。

2. 詩篇 126:5-6 - 主の民が主の真理を他の人に伝えるときの喜び。

マタイ 9:38 したがって、収穫の主であるあなたがたは、収穫のために労働者を送り出してくださるように祈りなさい。

イエスは弟子たちに、収穫を手伝うために働き人を送ってくださるように収穫の主に祈るよう呼びかけます。

1. 祈りの力：神の働きに対する神の備えを求める

2. 神の大使命を果たす：イエスの奉仕への呼びかけに応える

1. ヤコブ 1:5-8 - もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めてください。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

2. イザヤ書 6:8 - また、私は主の声を聞いた、「誰を遣わそうか、誰が私たちのために行くだろうか」。それから私は言いました、「ここにいます。」私に送ってください。

マタイ 10 章には、12 使徒の任命、彼らの使命の指示、およびイエスに従うための費用が詳しく記載されています。

第 1 段落: この章は、イエスが 12 人の弟子たちに、不純な霊を追い出し、あらゆる病気を癒す権威を与えたところから始まります (マタイ 10:1-4)。これらの弟子たちは使徒として指名されます。

第 2 段落: マタイ 10:5-15 で、イエスは彼らに彼らの使命について指示します。彼らはイスラエルの失われた羊のところにのみ行き、天の王国が近づいていることを宣言することです。彼らにはまた、病人を癒し、死者を蘇らせ、ハンセン病患者を清め、悪霊を追い出す力も与えられています。彼らは旅のためにお金や余分な衣服を持ってはいけませんが、糧として地元のもてなしを頼りにしています。町が彼らを歓迎しなかったり、彼らのメッセージに耳を傾けなかったら、立ち去るときに足についた埃を払い落としるべきです。

第 3 段落: 最後のセクション (マタイ 10:16-42) は、今後の迫害について警告していますが、神が共におられるので恐れないように勧めています。彼らは神のせいで家族が分裂することを覚悟しなければなりません。神よりも家族を愛する者は神にふさわしくありません。神のために命を失った者は誰でもそれを見つけるでしょう。イエスの追随者を歓迎する者もまたイエスを歓迎し、それに応じた報酬を受け取ることになります。

マタイ 10:1 そして、イエスは十二人の弟子たちを呼び寄せたとき、彼らに汚れた霊を追い出し、あらゆる病気や病気を治す力をお与えになった。

イエスは12人の弟子たちに、汚れた霊を追い出し、あらゆる種類の病気を癒す力を与えました。

1. 癒す力: イエスはどのようにして私たちに使命を果たす力を与えてくださったのか

2. 病気の鎖からの解放: イエスはどのようにして私たちを病気の束縛から解放してくださったのか

1. 使徒 3:6-7 - そこでペテロは言いました、「私には金も銀も持っていませんが、持っているものをあなたにあげましょう。ナザレのイエス・キリストの名によって歩きなさい。」彼が彼の右手を取り、立ち上がるのを手伝うと、たちまち男の足と足首が強くなった。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

マタイ 10:2 さて、十二使徒の名前は次のとおりです。一人目はペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレです。ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ。

イエスは福音を広めるために12使徒を任命しました。

1: イエスの模範に従い、神の言葉を広めるために他の人を任命することの重要性。

2: 弟子になることの重要性と私たちが残せる遺産。

1: 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたに臨んだとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすれば、あなたがたはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらには地の最も辺鄙な地域に至るまでわたしの証人となるであろう。

2: マルコ 16:15 - イエスは彼らに言われた、「全世界に出て行って、すべての被造物に福音を宣べ伝えなさい。

マタイ 10:3 ピリポとバルトロマイ。トーマスと取税人のマシュー。ヤコブはアルファイオスとレバエウスの息子で、姓はタダイであった。

イエスは十二使徒を任命します。

1. 神の計画を信頼する: イエスは十二使徒を任命する

2. 呼びかけに従って: イエスの十二使徒

1. ヨハネ 15:16 - 「あなたが私を選んだのではありません。しかし、私があなたを選んで任命したのは、あなたが行って実を結ぶためです。それは長く続く実です。」

2. 1 コリント 12:12-13 - 「体は 1 つですが、多くの部分がありますが、その多くの部分がすべて 1 つの体を形成しているのと同じように、それはキリストについても同様です。なぜなら、ユダヤ人であろうと異邦人であろうと、奴隷であろうと自由民であろうと、私たちは皆、一つの体を形成するために一つの御霊によってバプテスマを受け、また、飲むべき一つの御霊を与えられたからです。」

マタイ 10:4 カナン人シモンと、同じく彼を裏切ったイスカリオテのユダ。

この箇所にはカナン人シモンとイエスを裏切ったイスカリオテのユダについて言及されています。

1. 裏切りの危険: ユダの例から学ぶ

2. イエスの赦し：カナン人シモンからイスカリオテのユダまで

1. マタイ 18:21-22 - 許しについてのペテロのイエスへの質問

2. ルカ 22:47-48 - イエスは裏切りを理由にユダを叱責する

マタイ 10:5 イエスはこの十二人を遣わして言われた、「異邦人の道には入ってはならない。サマリア人のどの町にも入ってはならない。

イエスは12使徒を派遣し、異邦人やサマリア人のところに行かないよう指示を与えました。

1. イエスの宣教への呼びかけ: 自信を持って進みなさい

2. 使徒の使命を理解する

1. 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなたたちはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。

2. マタイ 28:19 - それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授けなさい。

マタイ 10:6 しかし、むしろイスラエルの家の失われた羊のところに行きなさい。

イエスは弟子たちに、教えを広めるためにイスラエルの人々のところへ行くように指示しました。

1. イエスの宣教の力: 迷子の羊を家に連れ帰る

2. 失われた人々に手を差し伸べるようイエスの呼びかけを受け入れる

1. イザヤ書 53:6 - 「羊のようにわたしたちはみな迷い、ひとりひとりが自分の道に戻った。そして主はわたしたち全員の咎を彼の上に負わせられた。」

2. エゼキエル 34:11-12 - 「主なる神はこう言われる。見よ、わたしも、わたしも、わたしの羊を捜し求め、彼らを捜し出す。羊飼いが自分の羊の中にいる日に自分の群れを捜し出すように」「散り散りになった羊たち。だから、わたしは自分の羊を捜し出し、曇りの暗い日の中に散り散りになったすべての場所から彼らを救い出すだろう。」

マタイ 10:7 そして、あなたがたは行きながら、「天の御国は近づいた」と宣べ伝えなさい。

イエスは弟子たちに出て行って説教し、天の王国が近づいていることを宣言します。

1. 「天国は近づいた: なぜ私たちはどこでもそれを宣言しなければならないのか」

2. 「天国の近さ: それが私たちの生活に与える影響」

1. ルカ 10:9 - 「そこにいる病人を癒して、彼らに言いなさい、『神の国はあなたたちのところに近づいた』。」

2. イザヤ書 52:7 - 「良い知らせを伝え、平和を知らせる者、良い知らせを伝え、救いを知らせる者、シオンに向かって、あなたの神が統治すると言われる者の足は、山々の上で何と美しいことでしょう。」

マタイ 10:8 病人を癒し、らい病人を清め、死者をよみがえらせ、悪霊を追い出しなさい。あなたがたは、無償で受け、無償で与えなさい。

神から受け取ったものを惜しみなく与えてください。

1: 与えるという賜物 – 神が私たちに与えてくださった賜物を使って他者に奉仕する

2: 自由に与える - 神が私たちに与えてくださったものをどのように実践するか

1: 2 コリント 9:7 - あなたがた一人一人は、しぶしぶではなく、あるいは強制でなく、自分の心の中で捧げようと決めたものを捧げるべきです。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。

2: ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完全な賜物は上から来て、変化による変化や影のない光の父から降りてきます。

マタイ 10:9 財布の中に金も銀も真鍮も入れてはなりません。

この箇所は、説教するときにお金を持ち歩いてはいけないと教えています。

1. 与える力: 与える目的を理解する

2. 何も持たずに生きることを学ぶ: 物質的な所有物を手放すことの利点

1. コリント人への第二の手紙 9:7 - 人はみな、心の中で思っているとおりに、与えなさい。しぶしぶではなく、必然的にではありません。神は陽気な与える人を愛しているからです。

2. マタイ 6:19-20 - 自分のために宝を地上に積んではなりません。そこでは虫やさびが腐敗し、盗人が侵入して盗みます。そして泥棒が侵入したり盗んだりしない場所です。

マタイ 10:10 旅の支度品も、二枚の上着も、靴も、まだ杖も持たないでください。労働者はその肉に値するからです。

労働者は受け取る賃金を受け取る権利があります。

1: 神は私たちの手の働きを評価しており、私たちもそうすべきです。

2: 熱意と卓越性を持って仕事をすることは神に敬意を表し、報われます。

1: コロサイ 3:23-24、「何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受けられると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

2: エペソ人への手紙 4:28、「盗みをしていた者は、もはや盗んではなりません。困っている人たちに何かを分け与えるために、自分の手で役に立つことをして

働きなさい。」

マタイ 10:11 そして、どこの都市や町に入ろうとも、その中に誰がふさわしいかを尋ねなさい。そして、あなたがそこに行くまでそこに留まります。

この聖句は、私たちが交友に値する人を探し、一緒にいるよう勧めています。

1. 価値ある人生: 適切な人を探し、一緒に過ごす

2. 仲間関係の価値: 私たちを高めてくれる人々とのつながり

1. 箴言 13:20 - 「賢い者とともに歩む者は賢くなるが、愚か者の仲間は害を受けるであろう。」

2. テサロニケ第一 5:11-「ですから、あなたがたのように、互いに励まし合い、高め合いなさい。」

マタイ 10:12 また、家に入ったら、敬礼しなさい。

この聖句は、人々を家で温かく迎えるよう勧めています。

1. 愛と敬意を持って他人に挨拶する力

2. おもてなしの心：他人を家に迎える

1. ローマ 12:10 - 兄弟愛をもって互いに親切に愛情を注ぎなさい。お互いを優先することに敬意を表して。

2. 箴言 3:27 - あなたの手に力があるとき、善を与えられるべき者にそれを差し控えてはなりません。

マタイ 10:13 もしその家が価値のあるものであれば、その家に平安が訪れますように。しかし、もしその家が価値のないものであれば、平安があなたに戻ってきますように。

この聖句は、平和に値する人々に平和を広め、そうでない人々から平和を取り戻すよう私たちに勧めています。

1: 平和を誰に与えるかを心に留め、平和を与えるに値しない人たちにそれを無駄にしないようにしましょう。

2: 私たちは他の人に平和をもたらすよう努めるべきですが、同時に誰が平和に値するのかを識別する必要があります。

1: ローマ人への手紙 12:18 - できることなら、あなたがたのうちにある限り、すべての人と平和に暮らしてください。

2: ヤコブ 3:17-18 - しかし、上から与えられる知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、懇願されやすく、憐れみと良い実とに満ちており、偏りや偽善がありません。

マタイ 10:14 また、あなたがたを受け入れず、あなたの言葉を聞かない者は、あなたがたがその家や町を出るとき、足の塵を払い落としなさい。

イエスは弟子たちに、家や街で歓迎されない場合には足の埃を払い落とすように指示されました。

1. 拒絶の力: 望ましくない状況からどうやって前進するか

2. イエスの慰め：拒絶されてもイエスを信頼する

1. ローマ人への手紙 12:19-21 - 「親愛なる友人たち、復讐をしないでください。むしろ、神の怒りを招く余地を残しておきなさい。『復讐するのはわたしの仕事だ。わたしが報復する』と主は言われるからです。それどころか、主は言われるのです。」: 「敵がお腹が空いているなら食べさせなさい。喉が渇いているなら何か飲み物を与えなさい。そうすることで、あなたは彼の頭に燃える石炭を積むことになるでしょう。」

2. 箴言 17:13 - 「もし人が善のために悪を返すなら、悪は決してその家から出ることはありません。」

マタイ 10:15 真実にあなたがたに言います。裁きの日には、ソドムとゴモラの地は、あの町よりも耐えられるでしょう。

イエスは、自分のメッセージを拒否した場合の結果について警告し、メッセージを受け取らなかった者に対する罰はソドムとゴモラの罰よりも大きいと述べています。

1. 神の言葉を拒否することの危険性

2. 不従順に対するイエスの警告

1. エゼキエル書 16:48-50

2. ルカ17:26-30

マタイ 10:16 見よ、わたしはあなたたちを羊のように狼の中に送り出す。だからあなたたちは蛇のように賢く、鳩のように無害であれ。

キリストは弟子たちに、危険の中でも賢く無害であるようにと命じられました。

1.「危険な世界で賢く生きる」

2.「知恵と無害性のバランス」

1. 箴言 4:5-7、「知恵を得よ、理解を得よ。それを忘れてはいけない。私の口から離れてはならない。彼女を見捨てるな。そうすれば彼女はあなたを守るだろう。彼女を愛しなさい。そうすれば彼女はあなたを守るだろう。知恵は最も重要なことは、それゆえ知恵を得なさい、そして全力を尽くして理解を得るのです。」

2. ヤコブ 1:5、「もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は、すべての人に惜しみなく与え、決して非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

マタイ 10:17 しかし、人々には気をつけなさい。彼らはあなたたちを議会に引き渡し、会堂であなたたちをむち打ちするからです。

男性からの迫害の危険に注意してください。

1. 主を信頼してください。主は決してご自分のものを見捨てないからです。

2. 主は迫害を通して私たちを支えてくださいます。

1. 詩篇 27:10 - 「たとえ父と母が私を見捨てても、主は私を受け入れてくださいます。」

2. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

マタイ 10:18 そして、あなたがたは、わたしのために、総督や王たちの前に引き出され、彼らと異邦人に対する証言を受けることになる。

イエスは弟子たちに、彼らと異邦人に対して不利な証言をするために総督や王たちの前に引き出されるだろうと告げます。

1. 証の力: 福音を広める私たちの役割

2. 恐怖を克服し、信仰を堅持する

1. 使徒 4:29-31 - 「そして今、主よ、彼らの脅しに目を留めて、あなたが癒しのために手を差し伸べ、しるしと不思議なことが行われる間、あなたのしもべたちに大胆に御言葉を語り続けることをお許しください。あなたの聖なる僕イエスの名を。」そして、彼らが祈ったとき、彼らが集まっていた場所は揺れ、彼らは皆聖

霊に満たされて、大胆に神の言葉を語り続けました。

2. ペテロ第一 3:14-15 - しかし、たとえ義のために苦しむとしても、あなたは祝福されるでしょう。彼らを恐れたり、心配したりしてはなりません。しかし、心の中で主であるキリストを聖なる者として讃え、あなたの中にある希望の理由を尋ねる人に対して常に弁護する用意をしておいてください。ただし、優しさと敬意を持ってそれを行います。

マタイ 10:19 しかし、彼らがあなたたちを引き渡すとき、あなたたちがどのように、何を話すかは考えてはいけません。あなたたちが何を話すかは、その同じ時間に与えられるからです。

この一節は、困ったときに神が語る言葉を与えてくださるという神への信頼を人々に勧めています。

1. 「主を信頼してください。主の約束は真実です」

2. 「主を信頼し、主の力に頼りなさい」

1. 詩篇 56:3-4 「わたしが恐れるときは、わたしはあなたを信頼します。私は神にあって神の言葉を賛美し、神に信頼を置きます。肉が私に何をしようと私は恐れません。」

2. イザヤ書 41:10 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。」

マタイ 10:20 なぜなら、話しているのはあなたがたではなく、あなたがたの父の御霊があなたがたのうちに話しているからです。

神の御霊は私たち自身の言葉を通してではなく、私たちを通して語られます。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 神の愛の生き証人となる

1. ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名において遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなた方はエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。」

マタイ 10:21 そして、兄弟は兄弟を殺し、父親は子供を引き渡し、子供たちは両親に反抗して立ち上がって、彼らを殺さなければなりません。

兄弟や父親がお互いや子供たちを死に追いやるかもしれないし、子供たちが親に反抗して死刑に追い込むかもしれない。

1. 困難な時代における家族愛の重要性

2. 裏切りがあるときの許しの課題

1. ローマ 12:17-21 - 誰に対しても悪を悪で返すのではなく、すべての人の目に何が尊いのかを考えてください。可能であれば、それがあなた次第である限り、すべての人たちと平和に暮らしてください。愛する人よ、決して自分で復讐しないで、神の怒りに任せてください。「復讐はわたしのなす、わたしが報復する、と主は言われる」と書いてあるからである。いいえ、「敵がお腹を空かせているなら、彼らに食事を与えなさい。彼らが喉が渇いたら、何か飲み物を与えてください。こうすることで彼らの頭に燃え盛る石炭を積むことになるからです。」悪に負けるのではなく、善をもって悪を克服してください。

2. ペテロ第一 4:8 - 何よりも、お互いに対する絶え間ない愛を保ちなさい。愛は多くの罪を覆うからです。

マタイ 10:22 そして、あなたがたは、わたしの名のゆえにすべての人から憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

この聖句は、イエスを信じる信仰には、進んで迫害に苦しむ必要があることを思い出させますが、最後まで忠実を保つ人は救われると知って安心できるのです。

1. 迫害の中でも忠実であり続ける: キリストにあって耐え忍ぶ力

2. 信者の救いの約束を喜ぶ

1. 使徒 5:41 - 「そして彼らは、自分たちが彼の名のために恥をかかされるに値するとみなされたことを喜びながら、議会の前から立ち去った。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、あなたがたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。あなたがたの信仰の試みが忍耐を生むということを知っているのです。しかし、あなたがたが完璧になり、まったく、何も望まない。」

マタイ 10:23 しかし、彼らがこの町であなたたちを迫害するときは、他の町に逃げなさい。よく言っておくが、人の子が来るまでは、あなたたちはイスラエルの町々を越えてはならない。

イエスは弟子たちに、イスラエルの都市で迫害を受けるだろうが、すべての都市に行かないとイエスは来られないので、別の都市に逃げるように言いました。

1. 迫害の中で強さを見つける：イエスはどのように私たちに忍耐を呼びかけられるか

2. キリストの再臨の約束：困難な時代に私たちが抱く希望

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ローマ人への手紙 8:18 - 「今の苦しみは、私たちの内に現されるであろう栄光と比較するに値しないと私は考えています。」

マタイ 10:24 弟子は主人より上ではありませんし、しもべも主人より上ではありません。

イエスは弟子たちに、自分たちはイエスよりも優れているわけでも、それ以上の存在でもないことを思い出させています。

1. イエスは師であり、私たちはその弟子です

2. 召使いの主に対する忠誠心

1. ヨハネ 13:15 - 「わたしがあなたにしたように、あなたがたも模範を示したのです。」

2. ピリピ人への手紙 2:5-8 - 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあるものです。キリストは神の姿でありながら、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました」「召使いの姿をとり、人間と同じように生まれました。そして人間の姿で発見され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。」

マタイ 10:25 弟子は自分の主人であり、僕は自分の主人であるだけで十分です。もし彼らが家の主人をベルゼブブと呼んだのなら、さらに彼らをその家の者と呼ぶだろうか。

弟子は、たとえ師よりも大きな批判や中傷にさらされるとしても、師のようになるよう努めるべきです。

1. 批判に直面しても強くあれ - マタイ 10:25

2. 召しにふさわしい人生を送りましょう - ピリピ 1:27

1. ピリピ 1:27 - 「何をするにも、人のためではなく、主のためのように、心を込めて働きなさい。」

2. ローマ人への手紙 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。」

マタイ 10:26 だから、彼らを恐れないでください。覆われていること、明らかにされていないことは何もないからです。そして隠れた、それは知られてはならない。

神には何も隠されておらず、すべてをご存じであるため、神は私たちがどんな状況でも恐れることを望んでおられません。

1. 神はすべてをご存じです: 神を信頼してください

2. 恐怖に立ち向かう勇気

1. ヨハネ 3:20-21 「悪いことをする者は皆、光を憎み、その行いが暴かれることを恐れて、光のもとに来ないからです。しかし、真実を行う者は光にさらされ、その働きが神の中で行われたことがはっきりと分かるようになる。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてのことにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。」そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたたちの心と思いを守るでしょう。」

マタイ 10:27 わたしが暗闇の中であなたがたに告げること、それはあなたがたに光の中で語ること、そしてあなたがたが耳で聞くこと、それは屋根の上であなたがたに宣べ伝えることである。

イエスは弟子たちに、愛と希望のメッセージを他の人に広めるよう勧めています。

1:「神の愛と希望を分かち合う」

2:「世界に福音を宣べ伝える」

1: ローマ人への手紙 10:14-15 「それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めることができますか。また、聞いたことのない方をどうして信じることができますか。また、説教者なしにどうして聞くことができますか。「遣わされない限り、彼らは説教するのですか？」と書かれているとおりです、「平和の福音を宣べ伝え、良いことの嬉しい知らせをもたらす彼らの足は何と美しいのでしょう！」

2: マルコ 16:15 「そしてイエスは彼らに言われた、『あなたがたは全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。』」

マタイ 10:28 肉体を殺しても魂を殺すことができない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と肉体の両方を地獄で滅ぼすことができる者を恐れなさい。

イエスは私たちに、体を殺すことしかできない人を恐れるのではなく、体と魂の両方を地獄で滅ぼすことができる神を恐れなさいと言われます。

1. 恐れるな：困難な時代の安心感

2. 計り知れない神の力

1. イザヤ書 8:12-13 「この民が陰謀と呼んでいることをすべて陰謀と呼んではなりません。彼らが恐れるものを恐れたり、恐れたりしてはならない。しかし万軍の主よ、あなたはこの方を聖者として讃えなければなりません。この方をあなたの者としなさい。」恐れなさい、そして彼をあなたの恐怖にしましょう。

2. ローマ人への手紙 8:38-39 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には、決して不可能であると私は確信しています。」私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。」

マタイ 10:29 二羽のスズメが 1 ファースで売られているではないか。そして、あなたの父がなければ、そのうちの一人が地面に落ちることはありません。

神は、たとえ最も小さなものであっても、すべての生き物を見守っています。

1: 私たちは、神が常に私たちを見守ってくれているという信仰を持つことができます。

2: 私たちに対する神の愛と配慮は非常に大きいので、スズメがいつ落ちるかさえ知っています。

1: イザヤ書 40:12-17 - 手のくぼみで水を測り、天をその幅で測り、地の塵を量りで把握し、天秤で山と丘の重さを量った方バランスが取れていますか？

2: 詩篇 147:9 - 神は獣に食べ物を、そして鳴く若いカラスに与えます。

マタイ 10:30 しかし、あなたの頭の毛にはすべて番号が付いています。

神は彼らの人生のほんの些細なことさえ知っており、気にかけてくださるので、イエスは聞き手に恐れないように勧めます。

1. 神の私たちへの配慮 – 神が私たちの生活を熟知していることは、私たちに対する深い愛を示しています。

2. 恐れるな - なぜ私たちは神を信頼し、どんな状況でも恐れるべきではないのか。

1. 詩篇 139:1-6 - 主よ、あなたは私を調べ、私を知ってくださいました。

2. マタイ 6:25-34 - したがって、私はあなたに言います。自分の人生について心配しないでください。

マタイ 10:31 ですから、恐れる必要はありません。あなたがたは多くの雀よりも価値のある者なのです。

イエスは追随者たちに、彼らは多くのスズメよりも価値があるので、恐れないように勧めています。

1.「それぞれの命の大切さ」

2.「神の加護の確信」

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助ける。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 91:9-10 - 「いと高き方、つまり私の避け所である主を住まいとするなら、どんな害もあなたに降りかからず、あなたの天幕に災いが訪れることはありません。」

マタイ 10:32 したがって、人々の前でわたしを告白する者はだれでも、わたしも天におられるわたしの父の前でも告白します。

イエスは人々の前で告白する人たちに、天の御父の前で告白することによってその好意に報いてくれると確信するよう勧めています。

1. 声を上げる勇気: 人々の前でイエスを告白する力

2. 告白の約束: イエスの言葉に力強さを見つける

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「もしあなたが口で『イエスは主です』と告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるのです。なぜなら、あなたが救われるのはあなたの心によるからです。」信じて義とされ、口で告白して救われるのです。」

2. ヨハネ第一 4:15 - 「イエスが神の子であると告白する者は誰でも、神はその人の内に住んでおり、その人も神の内にいます。」

マタイ 10:33 しかし、人々の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で否認します。

イエスは、人々の前で自分を否む者は天の父の前でも否認されるだろうと警告しています。

1. 信仰の重要性: なぜイエスを否定してはいけないのか

2. イエスを否定した結果: 信じないことを選択すると何が起こるか

1. ローマ人への手紙 10:9-10 「それは、もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心で義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。」

2. ヨハネ第一 4:15 「イエスが神の子であると告白する者はだれでも、神はその人の内に住まわれ、その人も神の内に宿ります。」

マタイ 10:34 わたしが地上に平和を送るために来たなどと考えないでください。わたしが来たのは、平和をもたらすためではなく、剣を送るためです。

イエス・キリストは世界に平和ではなく分裂をもたらすために来られました。

1. 真実の剣: 世からの分離を求めるイエスの呼びかけ

2. 信仰の剣を取る必要性

1. エペソ人への手紙 6:10-17 - 神の武具

2. ヤコブ 4:4 - 世との友情は神に対する敵意である

マタイ 10:35 なぜなら、わたしが来たのは、人を父親に対して、娘を母親に対して、嫁を姑に対して争わせるためである。

イエスのメッセージが家族を分裂させる: イエスの福音のメッセージは、メンバーが異なる信念や価値観を持っている場合、家族に分裂をもたらします。

1: 信仰によって家族が分断されるのではなく、信仰を家族を近づけるためのツールとして利用してください。

2: たとえ分裂の時代であっても、イエスのメッセージは平和と和解に関するものであったことを思い出してください。

1: エペソ人への手紙 4:1-3 「ですから、主の囚人であるわたしは、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、愛のうちに互いに忍び合い、受けた召しにふさわしい生き方をするよう、あなたたちに勧めます。」平和の絆における御霊の一致を維持するためにあらゆる努力を払っています。」

2: ローマ人への手紙 12:18、「できることなら、あなた次第ですが、すべての人たちと平和に暮らしてください。」

マタイ 10:36 そして人の敵は自分の家の者たちである。

この一節は、人の敵が自分の家族の中から現れる可能性があることを語っています。

1. 許しの力: 家族の不和を克服する

2. 意外な敵: 家族を愛することを学ぶ

1. マタイ 5:44 - しかし、私はあなたに言いますが、敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。

2. ローマ人への手紙 12:20 - 「敵が飢えているなら、食べさせなさい。喉が渇いたら、何か飲み物をあげてください。そうすることで、彼の頭に燃える石炭を積むことになります。」

マタイ 10:37 私よりも父や母を愛する者は、私にふさわしくありません。また、私よりも息子や娘を愛する者は、私にふさわしくありません。

イエスは家族の前でご自身への絶対的な忠誠を求められます。

1: 私たちは家族への愛よりも神への愛を優先しなければなりません。

2: 私たちは、最も親しい家族よりも、自分の生活の中で神を第一に考えなければなりません。

1: マタイ 22:37-40 - イエスは彼に言われた、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛せよ」。

2: ローマ人への手紙 8:35-39 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？艱難か苦悩か迫害か飢餓か裸か危険か剣か？

マタイ 10:38 また、自分の十字架を負わず、わたしに従って来る者は、わたしにふさわしくない。

イエスは、イエスにふさわしい者となるためには、進んで十字架を背負ってイエスに従わなければならないと教えています。

1. イエスの十字架：イエスに従うという呼びかけ

2. 十字架を負う: キリストにふさわしい者への道

1. ルカ 9:23 - 「そして、イエスは皆に言った、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい』。」

2. ガラテヤ 6:14 - 「しかし神は、私たちの主イエス・キリストの十字架を除いて、私が栄光を放つことを禁じられています。この十字架によって、世界は私のために十字架につけられ、私も世のために十字架につけられました。」

マタイ 10:39 自分の命を見つける者はそれを失います。そして、私のために自分の命を失う者はそれを見つけるでしょう。

キリストのために命を捨てる人は、真の命を得るのです。

1. 本当の命は、自分の命をイエスに明け渡すことによって見出されます

2. 人生には私たち自身の欲望よりも高い目的がある

1. ヨハネ 12:25 - 自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者はそれを永遠の命のために保持します。

2. ピリピ 1:21 - 私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは利益だからです。

マタイ 10:40 あなたがたを受け入れる人はわたしを受け入れ、わたしを受け入れる人はわたしを遣わした方を受け入れます。

イエスを受け入れることは、イエスを遣わした父を受け入れることです。

1. イエス：父から遣わされた人

2. イエスを受け入れる: 父からの祝福

1. ヨハネ 14:9 - イエスは、「わたしを見た者は父を見たのだ」と言われました。

2. イザヤ書 9:6 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられ、政府はその肩にかかるからです。そして彼は、素晴らしい助言者、力ある神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

マタイ 10:41 預言者の名において預言者を受け入れる者は、預言者の報いを受けるであろう。そして、義人の名において義人を受け入れる者は、義人の報酬を受け取るであろう。

イエスは、私たちが神に与えるのと同じ栄誉を彼らに与えることによって、神の働きをする人々を敬うようにと勧めておられます。

1.「神の僕を敬うことの祝福」

2.「正義の報酬」

1. ヘブライ 6:10 - 神は不公平ではありません。彼はあなたの仕事と、あなたが彼の民を助け、そして彼らを助け続けるときにあなたが示した愛を忘れることはありません。

2. 箴言 19:17 - 貧しい人に親切な人は主に貸します。そうすれば主は彼らの行いに報いてくださいます。

マタイ 10:42 また、これらの小さな者たちの一人に、弟子の名だけで一杯の冷たい水を飲ませようとする者には、よく言いますが、その人は決してその報いを失うことはありません。

この聖句は、どんなに小さな仕事でも、どんなにささやかな報酬でも、困っている人を助けるよう私たちに勧めています。

1. 「親切の報い：弟子の名において冷たい水を一杯与える」

2. 「小さな行動の力: 一杯の冷たい水が大きな違いを生む方法」

1. ルカ 6:38 - 「与えなさい、そうすれば、与えられるでしょう。良い量りを、押しつけたり、一緒に振ったり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。なぜなら、あなたが使う量りで、それは測られるからです」あなた。"

2. コリント人への第二の手紙 9:6-7 「これを覚えておきなさい。控えめに種を蒔く人は、刈り取りも少なくなり、惜しみなく種を蒔く人は、惜しみなく刈り取ることになる。あなたがたはそれぞれ、自分の心に与えようと決めたものを、嫌々ではなく、あるいは無理にではなく、与えるべきである」神は陽気な与える人を愛しておられるからです。」

マタイ 11 章には、バプテスマのヨハネの疑念に対するイエスの反応、悔い改めない都市に対するイエスの批判、そしてイエスのうちに安らぎを見つけるよう勧められたことが記録されています。

第 1 段落: この章は、現在投獄されているバプテスマのヨハネが、弟子たちをイエスのところに送り、イエスが本当にメシアであるかどうかを確認するところから始まります (マタイ 11:1-6)。イエスは、ご自身が救世主である証拠として行った奇跡を指摘してこれに応えます。ヨハネの弟子たちが去った後、イエスはヨハネを預言者として、また預言者以上のもの、つまり自分のために道を備える者として称賛します。しかし、彼はまた、天の国の最も小さな者はヨハネよりも偉大であるとも言います（マタイ 11:7-15）。

第 2 段落: 次に、イエスは、ご自身の奇跡のほとんどが行われたにもかかわらず悔い改めなかった都市、コラジン、ベツサイダ、カペナウムを批判されます (マタイ 11:20-24)。彼は彼らを、そのような奇跡を見ていたら悔い改めたであろうティルス、シドン、ソドムと不利に比較します。このことは、神の国のしるしを目撃しているにもかかわらず、彼らの心のかたくなさを浮き彫りにしています。

第 3 段落: この最後のセクション (マタイ 11:25-30) で、イエスは、ご自身と王国についての真理を賢明で学識のある者ではなく、幼い子供たち、つまり神の前に謙虚な者たちに明らかにしてくださった神に感謝の祈りをささげています。それから神は、疲れて重荷を負っているすべての人に、休息のために御自分のところに来るよう勧めます。なぜなら、主のくびきは軽く、主に従うことで宗教的律法主義によって課せられた重荷から解放されることを示しているからです。

マタイ 11:1 そして、イエスは十二弟子たちへの命令を終えると、彼らの町で教え、宣教するためにそこを去られた。

一節 イエスは12人の弟子たちに教えを終え、その後他の都市に教え、説教に出かけました。

1. 「イエスのメッセージを分かち合う弟子の責任」

2.「福音を宣べ伝える力」

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」, 世の終わりまで、私はいつもあなたと一緒です。」

2. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。」

マタイ 11:2 さて、ヨハネは牢獄でキリストのみわざを聞いたとき、二人の弟子を遣わした。

洗礼者ヨハネは弟子たちからイエスの働きについて聞き、そのうちの二人を遣わしてイエスにメシアかどうか尋ねさせます。

1. 証言の力 - 洗礼者ヨハネは投獄されても、イエスの働きについての良いたよりを喜んで伝えた方法

2. 忠実さの重要性 - 逆境に直面しても、真理に対するヨハネの揺るぎない献身

1. ヘブライ 11:1-2 - さて、信仰とは、私たちが望んでいることに対する確信であり、目に見えないものについての確信です。これは古代人が賞賛されたものです。

2. ローマ 10:14-15 - それでは、どうやって信じていない人を呼び求めることができるのでしょうか。そして、彼らは聞いたこともない人のことをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かに説教されずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、遣わされない限り、どうやって説教できるでしょうか？

マタイ 11:3 そして彼に言った、「あなたが来るべき人ですか、それとも別の人を探しますか？」

エルサレムの人々は、洗礼者ヨハネに、イエスが期待されているメシアなのか、それとも他の人を探すべきなのかを尋ねました。

1. たとえ質問が答えられないとしても、私たちは主にあって確信を得ることができます。

2. たとえ期待が満たされなかったとしても、私たちは主を信頼することができます。

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主に望みを持つ者は力を新たにします。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

2. 詩篇 37:3-4 - 主を信頼し、善を行いなさい。土地に住み、安全な牧草地を楽しむ。主を喜びなさい、そうすれば主はあなたの心の願いを叶えてくださいます。

マタイ 11:4 イエスは答えて彼らに言われた、「行って、あなたがたが見たり聞いたりしていることをもう一度ヨハネに見せなさい。

イエスは人々に、ヨハネのところに戻って、自分たちが見聞きした素晴らしいことについて話すように言いました。

1: 戻って、私たちが見聞きした素晴らしいことをイエスの名において他の人に伝えましょう。

2: 私たちはキリストと私たちに対するキリストの愛についての良いたよりを分かち合うことを決して忘れてはなりません。

1: ピリピ 1:27 - 「ただ、あなたの生き方がキリストの福音にふさわしいものになりなさい。そうすれば、私があなたに会いに来ても、不在でも、あなたが一つの精神でしっかりと立っていることを聞くことができます。福音の信仰のために力を合わせて努力してください。」

2: 使徒 1:8 「しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまでわたしの証人となるでしょう。」

マタイ 11:5 目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な人は歩き、らい病人は清められ、耳の聞こえない人は聞こえ、死者はよみがえらされ、貧しい人は福音を宣べ伝えられます。

イエスの奇跡は、状況に関係なく、すべての人に対するイエスの力と配慮を示しています。

1: イエスは私たち全員を気遣い、私たちがイエスに頼れば喜んで癒してくださいます。

2: イエスは私たちを暗闇から導き、素晴らしい光の中へ導く力を持っています。

ヨハネ 8:12 - 「そこで、イエスは再び彼らに言われた、「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つであろう。」

イザヤ書 61:1 - 「主なる神の御霊がわたしの上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせを宣べ伝えるためにわたしに油を注がれたからです。神は心の傷ついた人々を癒し、捕虜に自由を宣言し、縛られている人々に刑務所の開放を宣言するために私を遣わしたのです。」

マタイ 11:6 わたしを傷つけない人は幸いです。

イエスは、自分に従う人たちに、自分に腹を立てないように勧めます。

1.「イエスを信頼することの祝福」

2.「揺るぎない信念の強さ」

1. 詩篇 37:5 - 主に自分の道を捧げ、主を信頼しなさい、そうすれば主は行動してくださいます。

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

マタイ 11:7 そして、彼らが立ち去るとき、イエスはヨハネについて群衆に言い始めた、「あなたたちは何を見るために荒野に出て行ったのですか。」風で揺れる葦？

バプテスマのヨハネは並外れた人物でした。イエスは人々に、なぜ彼に会うために荒野に出て行ったのかと尋ねました。

1: バプテスマのヨハネは偉大な信仰と勇気の人でした。イエスは人々に、なぜ自分を捜しに荒野に出て行ったのかと尋ねました。

2: イエスは、人々が荒野でバプテスマのヨハネを捜し求めた動機を知りたいと思われました。私たちは皆、ヨハネの信仰と勇気を見習うよう努めるべきです。

1: ルカ 7:28 - あなたがたに言いますが、女性から生まれた者の中で、洗礼者ヨハネより偉大な預言者はいません。

2: イザヤ書 40:3-5 - 荒野で叫ぶ者の声、「汝ら主の道を備えよ、荒野にまっすぐに私たちの神への道を造れ。」すべての谷は高くなり、すべての山と丘は低くなり、曲がったものはまっすぐになり、荒れた場所は平らになります。そして主の栄光が現され、すべての肉なる者が共にそれを見るであろう。主の口がそれを語られたからである。

マタイ 11:8 しかし、あなたがたは何を見に出かけたのですか。柔らかい衣服を着た男？見よ、柔らかい服を着ている人たちは王の家にいる。

この聖句は、他人の価値を評価する際に、外見や物質的な所有物を超えて見ることの重要性を強調しています。

1.「王の服：表面を超えて見ることについてのレッスン」

2. 「王国の富: 価値を判断する神の方法」

1. ルカ 7:25 - しかし、あなたがたは何を見るために出かけたのですか。預言者？そう、私はあなたたちに言いますが、単なる預言者以上の存在です。

2. ヤコブ 2:1-7 - 兄弟たちよ、人に対する敬意に関して、栄光の主である私たちの主イエス・キリストへの信仰を持っていません。

マタイ 11:9 しかし、あなたがたは何を見に出かけたのですか。預言者？そうです、私はあなたたちに言いますが、預言者以上のものです。

マタイのこの一節は、単なる預言者以上のイエスの偉大さを物語っています。

1. イエスは私たちの最大の贈り物です：イエスを預言者以上のものとして認識する

2. イエスの重要性: 私たちの生活におけるイエスの役割を理解する

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます: そして政府は彼の肩にあります: そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父, 平和の王子。

2. ヨハネ 1:14-18 - そして、言葉は肉となって、恵みと真理に満ちて、私たちの間に住まわれました（そして私たちは彼の栄光、父の独り子としての栄光を見た）。

マタイ 11:10 「見よ、わたしはあなたの前に使者を送ります。その者はあなたの前にあなたの道を備えるでしょう。」と書かれているのはこの人です。

この箇所は、イエスのために道を備えるために遣わされたバプテスマのヨハネについて書かれています。

1. 洗礼者ヨハネがイエスのためにどのように道を備えたか

2. 聖書における洗礼者ヨハネの重要性

1. イザヤ書 40:3-5 - 呼びかける者の声。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。

4 すべての谷は高くされ、すべての山と丘は低くされる。荒れた地面は平らになり、険しい場所は平地になります。

2. マラキ書 3:1 - 「私は使者を送ります。彼は私の前に道を備えさせます。すると突然、あなたが探している主が神殿に来られます。あなたが望む契約の使者が来るだろう」と全能の主は言われる。

マタイ 11:11 まことに、あなたがたに言います。女から生まれた者の中で、洗礼者ヨハネより偉大な者は現れません。にもかかわらず、天の御国で最も小さい者が彼よりも偉大であるにもかかわらずです。

この聖句は、イエスが神のメッセージに対する献身的なバプテスマのヨハネを高く評価したが、天の王国では最も謙虚な人でさえ彼よりも偉大であることを教えていま

す。

1. 洗礼者ヨハネの偉大さ: 私たちはどのように彼の模範に倣えるか

2. 天の王国の謙虚さ: どうすればその教えに謙虚に従うことができるか

1. マタイ 5:3-12 - 心の貧しい人たちは幸いです。天国は彼らのものだからです。

2. イザヤ書 40:3-5 - 主の道を備えなさい。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。

マタイ 11:12 そして、バプテスマのヨハネの時代から今に至るまで、天の王国は暴力にさらされており、暴力的な者たちは力ずくでそれを奪います。

天の王国は、力ずくで奪う者たちによって激しく求められています。

1. 信仰の力: 力ずくで天国を奪う

2. 信念の強さ：天国をつかむ

1. ルカ 16:16 - 律法と預言者はヨハネの時代まで存在しました。その時以来、神の国が宣べ伝えられ、すべての人がそこに押し入っています。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

マタイ 11:13 ヨハネに至るまで、すべての預言者と律法が預言していたからです。

この箇所には、ヨハネに至るまですべての預言者と律法が預言したと記されています。

1. 預言の成就 - 洗礼者ヨハネの到来が聖書における預言の成就をどのようにマークしたかを考察します。

2. 預言の進歩 - 神が旧約聖書の預言者を通してどのようにして徐々にご自身の意志を明らかにされたかを探ります。

1. イザヤ書 40:3 - 「荒野で叫ぶ者の声、『汝ら主の道を備えよ、荒野に真っ直ぐ、私たちの神への道を造れ』。」

2. マラキ書 3:1 - 「見よ、わたしは使者を遣わす。そして彼はわたしの前に道を備えるであろう。そして、あなたがたが求めている主が、突然その神殿に来られるであろう。それは、あなたがたが喜ぶ契約の使者でもある」「見よ、彼は来る、と万軍の主は言われる。」

マタイ 11:14 もしあなたがたがそれを受け取るなら、これは来るべきエリアスです。

イエス・エリヤは彼の前に来る者としての預言者です。

1. エリヤの到来：神のタイミングと目的を知る

2. 聖書におけるエリヤの重要性: 神の忠実さの研究

1. マラキ書 4:5-6 「見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたに遣わす。彼は父親の心を子に向け、子の心を自分の心に向けるであろう。」父親たちよ、さもなければ私は来てこの土地を完全に破壊するでしょう。」

2. ヨハネ 1:19-21 - 「さて、これはエルサレムのユダヤ人の指導者たちが祭司とレビ人を遣わしてヨハネが誰なのか尋ねたときのヨハネの証言でした。ヨハネは告白を怠らず、率直にこう告白しました。『わたしはメシアではありません』。」 '彼らは彼に、「では、あなたは誰ですか？エリヤですか？」と尋ねました。彼は『そうではない』と言いました。」

マタイ 11:15 聞く耳のある者は、聞いてください。

この箇所は、イエスの言葉に耳を傾けることの重要性を強調しています。

1. 私たちはイエスの言葉に注意を払い、私たちの人生におけるその力と意味を理解する必要があります。

2. イエスは、私たちがイエスの教えに対して心と思いを開き、イエスの愛と恵みを体験できるように望んでおられます。

1. ルカ 8:18 - 「だから、どのように聞くかに注意しなさい。持っている者はその人に与えられ、持っていない者は、持っているように見えるものさえもその人から取り上げられるからである。」

2. ヤコブ 1:19 - 「ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。」

マタイ 11:16 しかし、この世代を何に喩えたらよいでしょうか。それは、市場に座って仲間たちに呼びかける子供たちのようなものです。

この一節は、現在の世代を、市場で互いに呼びかけ合う子供たちに例えています。

1. 私たちの世代を理解する

2. 市場で知恵を求める

1. 箴言 1:20-33 - 知恵は街頭で呼びかけます

2. 伝道の書 12:1-7 - 知恵のない人生の危険

マタイ 11:17 そして言った、「私たちはあなたがたに笛を吹いたのに、あなたがたは踊っていません。」私たちはあなたがたを悲しんでいますが、あなたがたは嘆いていません。

イエスが言葉を伝えようとしたにもかかわらず、人々はイエスの言葉に反応しませんでした。

1. イエスの言葉の力: 私たちはどう対応すべきか

2. 神の導きに耳を傾けることの重要性

1. イザヤ書 55:3 - 「耳を傾けて、わたしのもとに来なさい。聞いてください。そうすればあなたの魂は生きるでしょう。そしてわたしはあなたと永遠の契約を結びます。それはダビデの確かな憐れみです。」

2. ヤコブ 1:19 - 「ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。」

マタイ 11:18 ヨハネは食べたり飲んだりしなかったので、人々は「彼には悪魔が取り憑いている」と言います。

洗礼者ヨハネは犠牲と自己否定の人生を送りましたが、人々は彼を批判し、悪霊に取り憑かれていると不当に非難することを選びました。

1. 犠牲と自己否定の人生を送ると、批判や冤罪が起こることがよくあります。

2. イエスは、世界が私たちの行動の神聖さを常に認めるとは限らないと警告しています。

1. マタイ 7:16-20、「あなたがたはその実によって彼らを知るでしょう。人はいばらのぶどうを集めるのでしょうか、それともアザミのいちじくを集めるのでしょうか。」

2. ペテロ第一 4:12-14、「愛する人たち、あなたを試みる激しい試練については、何か奇妙なことがあなたに起こったかのように、不思議ではないと考えてください。」

マタイ 11:19 人の子が食べたり飲んだりしてやって来たので、彼らは言う、「見よ、大食漢で、酒を飲む人、取税人や罪人の友人だ」。しかし、知恵は彼女の子

供たちにとって正当なものです。

イエスは罪人や徴税人たちと飲食したため、大食いで大酒飲みであると非難されました。しかし、主の知恵は、主に従った人々によって真実であることが証明されました。

1. イエスの知恵の力: イエスの教えが私たちの生活に与えた影響を探る

2. 謙遜の美しさ: イエスの謙虚さは私たちにどのようなインスピレーションを与えるのか

1. ヨハネ 5:39-40 - 「あなたが聖書を調べているのは、聖書の中に自分に永遠の命があると思っているからです。聖書こそが私のことを証言しているのに、命を得るために私のところに来ようとしないのです。」

2. ヤコブ 3:17 - 「しかし、上からの知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、理性を受け入れ、憐れみと良い実とに満ちており、公平で誠実です。」

マタイ 11:20 それからイエスは、自分の力強い業のほとんどが行われた都市を非難し始めました。彼らが悔い改めなかったからです。

イエスは、ご自分の奇跡を見ても悔い改めようとしない都市を厳しく叱責されました。

1: イエスは、私たちの過去に関係なく、私たちに悔い改めを呼びかけます。

2: たとえ私たちがこれまで信じたことがなくても、イエスは私たちに恵みを示してくださいます。

1: ルカ 15:7 - 「あなたたちに言いますが、同じように、悔い改める一人の罪人の方が、悔い改める必要のない九十九人の正しい人よりも、天ではもっと大きな喜びがあるでしょう。」

2: エゼキエル 33:11 - 「彼らに言いなさい、『わたしが生きているのと同じように、わたしは悪人の死を喜ばない、むしろ彼らがその道を離れて生きることを主権者なる主はお告げになる』。」

マタイ 11:21 コラジン、あなたは不幸です。ベツサイダよ、あなたは不幸だ！なぜなら、もしあなたのうちになされた力強い業がティルスとシドンでなされたとしたら、彼らはとっくの昔に荒布と灰の中で悔い改めたであろうからである。

イエスは、彼らの中で行われた偉大な業にもかかわらず、コラジンとベツサイダに対して不快感を表明します。なぜなら、もし同じ業がティルスとシドンで行われていたら、彼らは深い悲しみの中で悔い改めたであろうからです。

1. 悔い改めと許しの力

2. 正しく生きることの重要性

1. 使徒 2:38 - そこでペテロは彼らに言った、「悔い改めて、あなたがた一人一人、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすればあなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう」。

2. ペテロ第一 1:17 - もしあなたがたが、人を尊重することなく、あらゆる人の働きに応じて裁かれる父を呼び求めるなら、ここでの滞在を恐れながら過ごしてください。

マタイ 11:22 しかし、あなたがたに言います。裁きの日には、あなたよりもティルスとシドンの方が耐えられるでしょう。

イスラエルの民はティルスやシドンの民よりも高い裁き基準にさらされることになる。

1: 審判の日が近づいています - 準備を整えてください!

2: 今すぐ主に信仰を置き、報酬を受け取りましょう

1: 黙示録 20:11-15 - 偉大な白い御座の裁き

2: イザヤ書 3:10-11 - 悪人に対する神の裁き

マタイ 11:23 そして、カペナウムよ、あなたは天にまで高められていますが、地獄に落とされるでしょう。もしあなたの中で行われた偉大な業がソドムで行われていたなら、それは今日まで残っていたでしょう。

この一節は、悔い改めなければソドムとゴモラと同じように地獄に落とされるだろうというカペナウムへの警告を語っています。

1:

神は、私たちが悔い改めなければ、カファルナウム、ソドム、ゴモラと同じように神の怒りにさらされることになると警告しています。

2:

神は忍耐強く慈悲深いお方ですが、私たちは神の警告に耳を傾け、罪から目を背けなければ、その結果に直面しなければなりません。

1: ローマ人への手紙 2:4-10 – 善と悪を行った者に対する神の裁きと憐れみ。

2: ルカ 13:3-5 – 悔い改めなければ裁きを受けるようにというイエスの警告。

マタイ 11:24 しかし、私はあなたに言います。裁きの日には、あなたよりもソドムの地が耐えられるでしょう。

イエスを拒絶した者に対する裁きは、そうでない者よりも厳しいものとなるでしょう。

1: イエスを拒否すると、最も厳しい裁きがもたらされます。

2: イエスを受け入れることは憐れみと恵みをもたらします。

1: ルカ 6:37 - 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたがたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、あなたがたは罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。」

2: ローマ人への手紙 10:9-10 「それは、もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心で義を信じているからです」そして口による告白は救いに至るのです。」

マタイ 11:25 そのときイエスは答えて言われた、「天と地の主よ、父よ、あなたに感謝します。あなたはこれらのことを賢明で思慮深い者たちから隠し、幼子たちに明らかにしてくださったからです。」

イエスは、謙虚で純朴な人々に神の真理を明らかにしてくださったことを神に感謝します。

1: 神は謙虚な者に真実を明らかにされる

2: 神の真理の啓示に対するイエスの感謝の心

1: ヤコブ 4:6 - 「神は高ぶる者に敵対しますが、謙遜な者には恵みを与えます。」

2: 1ペテロ5:5 - 「神は高ぶる者には抵抗しますが、謙遜な者には恵みを与えます。」

マタイ 11:26 それでも、父よ、あなたの目にはそれが良いように見えたからです。

この聖句は、神の究極の主権、つまり神のご意志は常に行われ、それは常に最善であることについて語っています。

1: 神がコントロールしておられる - どんなに困難に見えても、神の意志は常に完全であると私たちは信じるべきです。

2: 神の意志は常に最善である - 私たちは神の意志が常に最善であることを受け入れ、神の望むことを行うように努めなければなりません。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

マタイ 11:27 すべてのものは父からわたしに与えられています。そして、父のほかには誰も息子を知りません。父なる神も子を除いては誰も知りません。そして、子が彼を明らかにする者を除いては誰でもありません。

御子は人類に御父を明らかにできる唯一の存在であり、御父はすべてを御子に引き渡されました。

1. 父を知る: 他の人に主を明らかにする特権

2. キリストの独自性: 父と子のつながりを理解する

1. ヨハネ 14:9-11、イエスは彼に言われた、「フィリポ、私は長い間あなたと一緒にいたのに、あなたは私のことを知らないのですか。」私を見た者は父を見たのです。では、どうやって「父を見せてください」と言えるでしょうか？あなたは私が父の中にいて、父が私の中にいると信じないのですか？私があなたたちに話す言葉は、私自身の権威に基づいて話しているのではありません。しかし、わたしのうちに住む父がその働きをしてくださる。

11 わたしが父のうちにおられ、父がわたしのうちにおられることを信じてください。さもなければ、行いそのもののためにわたしを信じてください。

2. ヘブライ 1:1-3、神は、過去に預言者たちによってさまざまな時期に、さまざまな方法で先祖たちに語られましたが、この終わりの日には、御子によってわたしたちに語られ、その御子を万物の相続人に任命されました。、彼を通してまた世界を造られた。この方は、神の栄光の輝きであり、御人格の明確な姿であり、御力の御言葉によってすべてを支え、御自身で私たちの罪を清められた時、高台にある陛下の右の座に座っておられました。

マタイ 11:28 すべて、重荷を負って働いている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。

イエスは、重荷を負い疲れた人々に、休息を求めてご自分のところに来るように勧められます。

1. 休息のためにイエスのところに来なさい - マタイ 11:28

2. キリストのうちに安息を見出す - マタイ 11:28

1. イザヤ書 40:29-31 - 神は疲れた者に力を与え、弱い者の力を高めます。

2. 詩篇 62:5-7 - 彼だけが私の岩であり、私の救いです。彼は私の要塞です、私は決して動揺しません。

マタイ 11:29 わたしのくびきを負い、わたしのことを学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった者だから、あなたがたは魂に安らぎを得るだろう。

この聖句は、私たちの魂の安らぎを得るために、柔和で謙虚なイエスから学ぶよう勧めています。

1. 謙虚であることを学ぶ: イエスのくびきを負う

2. 平安のうちに休む: イエスから学ぶ

1. ピリピ 2:5-8 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿でありながら、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2. 詩篇 37:7 - 主の前に静まり、辛抱強く主を待ちなさい。自分の道で繁栄する人や邪悪な策略を実行する人について心配しないでください。

マタイ 11:30 わたしのくびきは軽く、荷は軽いからです。

この箇所は、イエスに従う者たちの荷物が軽くなるというイエスの約束について書かれています。

1: イエスが答えです - 彼のくびきは軽く、彼の重荷は軽いです。

2: 義の道 - イエスは私たちに困難を負わない生き方を提供します。

1: 詩篇 55:22 - あなたの重荷を主に委ねなさい。そうすれば主はあなたを支えてくださるでしょう。

2: 1 ペテロ 5:7 - 神はあなたを気遣ってくださっているので、すべての思い煩いを神に託してください。

マタイ 12 章には、安息日の遵守、ご自身が神殿やヨナよりも偉大であるというイエスの認識、そして真の親族関係に関するイエスの教えをめぐるイエスとパリサイ人の間の対立が描かれています。

第 1 段落: この章は、イエスの弟子たちが穀物を摘んで食べるという安息日の律法に違反したとしてパリサイ人を非難するところから始まります (マタイ 12:1
- 8)。イエスは彼らを擁護し、人間の必要性は儀式法よりも優先されると述べました。彼は自分自身を「安息日の主」であると宣言し、宗教的伝統に対する彼の権威を主張します。安息日に関する別の論争は、イエスがシナゴーグで手のしわが寄った男性を癒されたときに起こります（マタイ 12:9-14）。パリサイ派の反対に

もかかわらず、イエスは安息日に善を行うことは合法であると主張しました。

第 2 段落: 悪霊に取り憑かれた男性の視力と言語を回復するなど、さらなる癒しを行った後、イエスは奇跡のためにベルゼブル (サタン) の力を利用しているというパリサイ人からの非難に直面します (マタイ 12:22-37)。この主張を拒否し、彼は、それ自体に対して分裂した王国は存続できないと指摘しました。したがって、サタンが悪霊を追い出す力を神に与えようと考えるのは非論理的です。彼はさらに、神の働きをサタンのせいにする、聖霊に対する冒涜についても警告しているが、それは許されない。一部の律法学者やパリサイ人にしるしを求められたとき、彼はヨナが魚の腹の中で 3日間自分の死と復活を預言したこと、つまり「ヨナのしるし」に言及しました。

第 3 段落: この最後のセクション (マタイ 12:38-50) で、イエスは、しるしを求めている世代を邪悪で不貞であると述べ、宣教を通じてすでに証拠が提供されているにもかかわらず、神に対する不忠実を示しています。その後、母親と兄弟たちがイエスと話したいと思って外で待っていると告げられると、イエスは家族を生物学的な関係ではなく神のご意志を行うことに基づいて再定義しました。

マタイ 12:1 そのとき、イエスは安息日にトウモロコシの中を行かれた。弟子たちはお腹が空いて、トウモロコシの穂を摘んで食べ始めた。

イエスと弟子たちは安息日にトウモロコシを摘みます。

1: 神の律法は制限的なものではありません。むしろ、それらは私たちを神に近づける方法として見なされるべきです。

2: イエスは、愛と憐れみが法律の遵守よりも重要であることを実証しました。

1: 出エジプト記 20:8-11 - 安息日を聖く保つために、安息日を覚えておいてください。

2: マタイ 23:23 - 偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたがたは災いです。あなたがたは、ミント、アニス、クミンの十分の一を納め、律法、裁き、慈悲、信仰というより重要な事柄を省略しているからである。これらはあなたがすべきであり、他のことをやり残したままにしてはいけない。

マタイ 12:2 しかし、パリサイ人たちはそれを見て、イエスに言った、「見よ、あなたの弟子たちは、安息日にしてはならないことをしている。」

パリサイ人たちは、イエスの弟子たちが安息日に律法を破っているのを観察しました。

1. 安息日は私たちが主にあって休む時であり、この世のことを心配する必要はありません。

2. 安息日は、私たちと交わされた神の契約と、神が私たちのためにしてくださったことすべてを思い出す日です。

1. 出エジプト記 20:8-11 - 安息日を覚えて、それを聖く保ちましょう。

2. イザヤ書 58:13-14 - あなたが安息日を喜びと呼ぶなら、主はあなたの心の願いをかなえてくださいます。

マタイ 12:3 しかしイエスは彼らに言った、「ダビデが飢えたとき、また彼と一緒にいた人々が何をしたか読んだことがないのか」。

この箇所は、主の日の重要性についてのイエスの教えと、ダビデと彼の追随者たちがそれをどのように尊重したかについて書かれています。

1. 従順の力: イエスの教えは主の日を尊重するよう私たちをどのように導くか

2. 誠実に生きる: イエスの献身的な人生の模範に倣う

1. 出エジプト記 20:8-11 - 安息日を聖く保つために、安息日を覚えておいてください。

2. ローマ 12:1-2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試しながら識別できるようになります。

マタイ 12:4 どうして彼は神の家に入り、祭司たちだけが食べることは許されていなかった聖パンを食べたのでしょうか。

イエスは神の家に入り、祭司だけに許された供えのパンを食べました。

1. 神への従順を示すために規則を破るイエスの意志

2. イエスの従順の模範が今日の私たちにとってなぜ重要なのか

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、私の命令を守ってください。」

2. ローマ 13:8-10 - 「互いに愛し合うという継続的な負い目を除いて、負債を残してはなりません。人を愛する者は律法を全うしたのです。」

マタイ 12:5 それとも、あなたがたは、安息日に神殿の祭司たちが安息日を汚すのに、どうして罪がないのか、律法を読んだことがないのか。

この一節は、神殿の司祭たちがいかに安息日を冒涜しているにもかかわらず、依然として無罪であると考えられているかについて述べています。

1. 神の法則は人間の法則よりも偉大である

2. 正しいことと間違ったことの違いを知る

1. ローマ 7:12-14 - したがって、律法は聖であり、戒めも聖であり、義であり、良いものです。

2. 出エジプト記 20:8-11 - 安息日を聖く保つために、安息日を覚えておいてください。

マタイ 12:6 しかし、私はあなたがたに言います、この場所には神殿よりも偉大な場所があります。

イエスは、ご自身が神殿よりも偉大であり、神殿よりも偉大な何かがこの場所に存在すると教えておられます。

1. イエスはどんな神殿よりも偉大である - マタイ 12:6 におけるイエスの教えの重要性を探る

2. より偉大なものの存在を受け入れる - イエスの神性の神秘を祝う

1. ヨハネ 10:30 - 「わたしと父は一つです。」

2. コロサイ 2:9 - 「彼の内には神の満ち満ちたものが肉体的に宿っているからです。」

マタイ 12:7 しかし、もしあなたがたが、「わたしは犠牲ではなく憐れみを与えます」ということが何を意味するのかを知っていたなら、あなたがたは無罪の人たちを罪に定めなかったでしょう。

慈悲は宗教上の規則や規制に従うことよりも重要です。

1: 神の愛と憐れみは常に勝利する

2: 神の恵みと慈悲を受け入れる

1: ヤコブ 2:13 - 憐れみを示さなかった者には裁きは容赦ないからです。慈悲は裁きに打ち勝ちます。

2: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

マタイ 12:8 人の子は安息日の主だからです。

この箇所は、イエスが安息日の主であると述べています。

1. 「安息日の主であるとはどういう意味ですか?」

2. 「イエスを安息日の主として敬うことの大切さ」

1. 出エジプト記 20:8-11 - 安息日を聖く守るという神の戒め。

2. コロサイ 2:16-17 - 安息日に関する神の命令を守ることの重要性。

マタイ 12:9 そして、そこから立ち去ると、イエスは彼らの会堂に入って行かれた。

イエスは会堂に出席して人々に教えました。

1. イエスは、会堂に出席することで、コミュニティと交わりの大切さを私たちに教えてくださいました。

2. イエスは会堂で教えることによって謙虚さと恵みを示しました。

1. ヘブライ 10:24-25 - ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、互いに励まし合い、愛と良い行いをするようお互いを鼓舞する方法を考えましょう。

2. 使徒 20:7 - 週の初めの日、私たちがパンを裂くために集まったとき、パウロは翌日出発するつもりで彼らと話し、話を真夜中まで延長しました。

マタイ 12:10 すると、見よ、手がなえた人がいた。そこで彼らは、「安息日に病気を治すのは合法ですか？」と尋ねた。彼らが彼を告発するかもしれないからです。

イエスは安息日にパリサイ人の質問に答えて、手の枯れた男性を癒しました。

1. 神の慈悲は人間の法則を覆す

2. 信仰の癒しの力

1. イザヤ書 43:25 - 「わたしは、わたし自身が、あなたの罪を消し去り、もはやあなたの罪を思い出さない者です。」

2. ヤコブ 5:15 - 「信仰によってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したなら、彼らは赦されるでしょう。」

マタイ 12:11 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたたちの中に、羊を一匹飼っている人がいるでしょうか。もし安息日に羊が穴に落ちたら、それを捕まえて、引き上げないでしょうか。」

イエスは、安息日に一匹の羊を連れて穴に落ちた人について、そしてその人はどうするかという修辞的な質問をされました。

1. 思いやりの力 – 慈悲と優しさを示すことで、最も神聖な法律さえも超越できる方法

2. 時間をかけてケアする – いつ、どのように日常生活から休憩を取るかを理解する

1. マタイ 12:7 – 「しかし、『私は犠牲ではなく憐れみを望んでいます』ということが何を意味するかを知っていたなら、無罪の人たちを非難することはなかったでしょう。」

2. ルカ 6:35-36 – 「しかし、敵を愛し、善を行い、何の見返りも期待せずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの報いは大きく、あなたがたは至高者の子となるであろう。神は感謝のない者や邪悪な者に親切だからです。」

マタイ 12:12 それでは、人間は羊よりどれほど優れているのでしょうか。したがって、安息日に善いことをするのは合法である。

この箇所は、安息日に善を行うことの重要性を強調しており、安息日は羊よりも重要であると考えられています。

1.「安息日に善を行う力」

2. 「安息日に善を行うという崇高な使命」

1. イザヤ書 58:13-14 - 「もし、あなたが安息日を破らず、私の聖日に好きなように行動しないようにするなら、もしあなたが安息日を喜び、主の聖日を名誉あるものと呼び、それを次のように称えるなら。」自分の道を行かず、自分の好きなように行動せず、無駄なことを言わなければ、あなたは主にあって喜びを見つけるでしょう。」

2. ヤコブ 1:27 - 「私たちの父なる神が純粋で非の打ちどころのないものとして認めている宗教は、苦悩している孤児や未亡人を世話し、世によって自分自身を汚さないようにするための宗教です。」

マタイ 12:13 それから彼はその人に言った、「手を伸ばしてください。」そして彼はそれを前に伸ばした。そしてそれは他のものと同じように完全に復元されました。

イエスはある人の手を伸ばすように命じて癒しました。

1. 私たちを肉体的にも霊的にも癒し、回復させるイエスの力。

2. イエスの命令に従うことの重要性。

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は主にあり、主の傷によって私たちは癒されました。」

2. 詩篇 103:3 - 「神はあなたのすべての罪を赦し、あなたのすべての病気を癒してくださいます。」

マタイ 12:14 それから、パリサイ人たちは出て行って、どのようにして彼を滅ぼすことができるかについて、彼に対して協議を行った。

パリサイ人たちはイエスを滅ぼそうと共謀しました。

1: たとえ彼らが私たちの破滅を意図しているように見えても、私たちを不当に扱った人々を赦すことを常に忘れないようにしてください。

2: 私たちは神への信仰を保ち、私たちに危害を加える者たちから神が私たちを守ってくださると信頼しなければなりません。

1: ローマ 12:19-21 - 親愛なる友人たち、復讐をしないでください。むしろ、神の怒りが来る余地を残しておきなさい。「復讐するのはわたしの仕事だ。わたしが報復する」と主は言われるからです。それどころか、「敵がお腹が空いているなら食べさせなさい。喉が渇いているなら、何か飲み物を与えなさい。そうすることで、あなたは彼の頭に燃える石炭を積むことになるだろう。」

2: 詩篇 27:1 - 主は私の光であり、私の救いです。私は誰を恐れるべきでしょうか？主は私の人生の砦です。私は誰を恐れるべきでしょうか？

マタイ 12:15 しかし、イエスはそれを知ると、そこから立ち去った。すると、大群衆がイエスについて来たので、イエスは彼ら全員をいやした。

イエスはご自分に従った大群衆をいやされました。

1: イエスはすべての癒し主である

2: イエスによる癒し

1: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち傷を負いました。私たちの平和のための懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2: ヤコブ 5:14–15 - 「あなたたちの中に病気の人はいますか。その人に教会の長老たちを呼んでもらい、主の名において油を塗って彼のために祈ってもらい

ましょう。そうすれば信仰の祈りが生まれます。」病人を救え、そうすれば主は彼をよみがえらせ、罪を犯したなら赦されるであろう。」

マタイ 12:16 そして、イエスのことを知らせてはならないと彼らに命じた。

一節 イエスは弟子たちに、自分の身元を秘密にしておくように言いました。

1. 沈黙の力: 信仰において慎重であることを学ぶ

2. イエスを影に隠しておく：神との歩みにおける秘密の必要性

1. マタイ 6:5-6: 「そして、祈るときは、偽善者たちのようになってはいけません。彼らは、他の人に見られるように会堂や街角に立って祈るのが好きなのです。真実に言いますが、彼らは受けました」「彼らの報酬は全額受け取られます。しかし、祈るときは、自分の部屋に入り、ドアを閉めて、目に見えないあなたの父に祈りなさい。」

2. コロサイ 4:5-6: 「部外者に対する賢明な行動を心がけ、あらゆる機会を最大限に活用しましょう。会話は常に恵みに満ち、塩味で味付けしてください。そうすれば、誰にでも答えることができるようになります。」」

マタイ 12:17 それは、預言者エザヤがこう言ったことが成就するためです。

イエスはイザヤが語った預言を成就させました。

1: イエスは預言の成就です - 彼がどのようにして死から命をもたらすのか。

2: イザヤの預言を成就するイエスの使命の力。

1: イザヤ 53:4-5 - 確かに、彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに見ました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2: ヨハネ 1:45 - ピリポはナタナエルを見つけて彼に言った、「私たちは彼を見つけました。律法のモーセと預言者がその人について書いた、ナザレのイエス、ヨセフの子です。」

マタイ 12:18 見よ、わたしが選んだ僕である。私の愛する人よ、私の魂は喜んでいます。私は彼に私の霊を置きます、そして彼は異邦人に裁きを下すでしょう。

この箇所は、神の選ばれた僕と、異邦人に正義をもたらすという彼の使命について語っています。

1. 神の愛の力: イエスを主に選ばれた僕として理解する

2. 正義の使命: 異邦人に対する神の計画を実行する

1. イザヤ書 42:1-4 - 主の僕

2. 使徒 10:34-35 - 異邦人への説教

マタイ 12:19 彼は努力したり、叫んだりしません。街頭で彼の声を聞く人もいないでしょう。

この箇所はイエスの柔和さを物語っており、公の場で喧嘩したり騒ぎ立てたりしなかったことが強調されています。

1. 柔和の美しさ: イエスから学べること

2. 自制の力: イエスの模範から学ぶ

1. 箴言 15:1 - 「優しい答えは怒りを遠ざけますが、厳しい言葉は怒りを引き起こします。」

2. ペテロ第一 3:4 - 「むしろ、それはあなたの内なる自己、穏やかで静かな精神の色あせることのない美しさであるべきであり、それは神の目に非常に価値があります。」

マタイ 12:20 勝利への裁きを下すまでは、傷ついた葦を折ることはなく、亜麻の煙を消すことはできない。

神は弱い者を打ち砕くことはせず、正義が果たされるまで力を与えてくださいます。

1: 神は弱い者に、人生の苦闘を耐え忍ぶ力を与えてくださいます。

2: 神は抑圧されている人々に正義を与えます。

1: イザヤ書 40:29 神は気弱な者に力を与えられる。そして力のない者たちには力を増し加えられる。

2: 詩篇 9:9 主はまた、抑圧されている人々の避け所、苦難の時の避け所となってくださいます。

マタイ 12:21 そして、異邦人は彼の名によって信頼します。

この箇所は、異邦人としてイエスの名を信頼することの重要性を強調しています。

1: イエスに信頼を置くとき、私たちはイエスが私たちに備えてくださるという信仰を持つことができます。

2: イエスに頼ると、必要なときにイエスに頼ることができます。

1: イザヤ書 12:2 - 「見よ、神は私の救いです。私は信頼します、そして恐れません。主なる神は私の力であり、私の歌であり、私の救いとなってくださったからです。」

2: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

マタイ 12:22 そのとき、悪魔に取り憑かれた、盲目で口のきけない人が彼のところに連れて来られた。すると、彼は彼をいやしたので、目の見えない者も口のきけない者も、話すことも見ることもできるほどになった。

イエスは悪霊に取り憑かれた男性を癒し、視力と言語の両方を与えました。

1. イエスの癒しの力

2. イエスは神の権威を実証する

1. マタイ 8:16 – 夕方になると、悪霊に取り憑かれた多くの人々が彼のところに連れて来られ、彼は言葉で悪霊を追い出し、すべての病人を癒しました。

2. マルコ 16:17-18 – そして、これらのしるしは、信じる者たちに伴います。私の名において、彼らは悪霊を追い出します。彼らは新しい言語で話すでしょう。彼らはヘビを手で拾います。彼らが猛毒を飲んでも、それはまったく害を及ぼさないでしょう。彼らは病人に手を置くと彼らは回復するでしょう。

マタイ 12:23 すると民はみな驚いて言った、「これはダビデの子ではないか」。

イエスの時代の人々は、イエスがダビデの子であることを見て驚きました。

1. 神の計画: ダビデの子の預言に従う

2. 約束を信じる：ダビデの子を喜ぶ

1. イザヤ書 11:1 - 「エッサイの幹から棒が出て、根から枝が生える。」

2. ミカ 5:2 - 「しかし、ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの千人の中では小さい者であるが、イスラエルの支配者となる者があなたの中からわたしのもとに出てくるであろう。」

マタイ 12:24 しかし、パリサイ人たちはこれを聞いて、「この人は悪魔を追い出しているのではなく、悪魔の君ベルゼブブによって追い出しているのだ」と言った。

パリサイ人たちは、イエスが悪魔の王子ベルゼブブの力によって悪魔を追い出したと非難しました。

1. イエスの力: イエスが悪を克服する方法

2. パリサイ人とその告発: 不信仰を理解する

1. エペソ 6:12 - なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この時代の闇の支配者に対して、天上の悪の霊的な軍勢に対して戦うからです。

2. コロサイ 2:15 - 主は諸君国と権力を武装解除して、それらを公に見せしめ、その中で彼らに勝利を収めました。

マタイ 12:25 イエスは彼らの考えを知っていて、彼らに言われた、「自分たちに敵対して分裂したすべての王国は荒廃する。そして、それ自体に対して分裂したすべての都市や家は存続できなくなります。

分裂した王国や家は成り立ちません。

1. 団結の強さ: 人間関係を強化する方法

2. 分裂を克服する: 分裂した王国を統一する方法

1. エペソ人への手紙 4:1-3 「ですから、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに忍耐をもって、召された召しにふさわしい態度で歩むよう、あなたたちに勧めます。」愛のうちに、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。」

2. 詩篇 133:1 - 「見よ、兄弟たちが団結して暮らすのは、なんと素晴らしく、楽しいことだろう。」

マタイ 12:26 そして、サタンがサタンを追い出したとしても、サタンは自分に対して分裂するでしょう。それでは彼の王国はどうなるでしょうか？

イエスは、もし彼らが自分たちに対して分裂した場合、サタンはどのようにしてサタンを追い出すことができるのかと尋ねました。そうすれば神の王国は存続できなくなるからです。

1. 自分がいつサタンに試みられているかを知る方法

2. 悪と戦う団結の力

1. エペソ人への手紙 6:10-18 - 主とその力の強さにおいて強くありなさい。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

マタイ 12:27 もし私がベルゼブブによって悪霊を追い出したとしたら、あなたの子供たちは誰によって悪霊を追い出すでしょうか。したがって、彼らはあなたの裁判官となるでしょう。

イエスは、悪霊を追い出すパリサイ人の子供たちの権威に疑問を投げかけ、悪霊を追い出す自分の権威を擁護しました。

1: イエスは至高者です - 私たちの主イエスは、悪の勢力に対する権威を持つ唯一のお方です。

2: 究極の裁判官 - イエスが最終的な裁判官であるため、私たちはイエスが最終的な判断を下すことを信頼できます。

1: コロサイ 1:17 - 神はすべてのものの前にあり、すべてのものは彼の内にまとまっています。

2: ヨハネ 5:22 - 父は誰も裁かず、すべての裁きを子に与えたからです。

マタイ 12:28 しかし、もし私が神の御霊によって悪霊を追い出すなら、神の国はあなたがたのところに来るでしょう。

イエスは、自分は神の国の出身であり、神の御霊によって悪霊や悪霊を追い出す力があると主張します。

1. 神の力: イエスが神聖な権威をどのように実証したか。

2.神の王国を理解する: イエスが本当に私たちに語っておられること。

1. ルカ 11:20 - しかし、もし私が神の指で悪魔を追い出したら、間違いなく神の国があなた方に到来します。

2. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父, 平和の王子。彼の政府と平和の拡大には終わりがありません。

マタイ 12:29 それとも、まず強い人を縛り付ける以外に、どうして強い人の家に入って、その持ち物を台無しにすることができようか。そうすれば彼は自分の家を台無しにするでしょう。

この箇所は、イエスが救いをもたらすためにサタンが拘束されることについて述べています。

1. イエスの力: 強い人を縛り、その家を台無しにする

2. 救いの影響: サタンを解放し、神の王国を回復する

1. コロサイ 2:14-15 - 「私たちに反する、私たちに反する要求の手書きの文字を消し去ってくださいました。神はそれを邪魔にならないように取り除き、十字架に釘付けにされました。」

2. ローマ人への手紙 8:1-2 - 「ですから、今ではキリスト・イエスにある者たちには罪に定められることはありません。キリスト・イエスにある命の御霊の法則が、あなた方を罪と死の法則から解放したからです。」

マタイ 12:30 私と一緒にいない者は私に敵対しています。そして私と一緒に集まらない者は海外に散ってしまう。

神と一致しない者は神に敵対し、その努力は散り散りになってしまいます。

1: 努力で成功したいなら、私たちは神とともになければなりません。

2: 神と本当に一致するには、私たちは神のもとに集まり、努力を分散させてはなりません。

1: 伝道の書 4:9-12 - 二人の方が協力してより多くのことを成し遂げるので、一人よりも優れています。

2: 箴言 27:17 - 鉄は鉄を研ぐので、ある人は別の人を研ぎます。

マタイ 12:31 したがって、私はあなたがたに言います、あらゆる罪と冒涜は人間に赦されますが、聖霊に対する冒涜は人間に赦されません。

罪と冒涜は許されますが、聖霊に対する冒涜は許されません。

1: 神は慈悲深く寛容ですが、私たちは神の忍耐を試してはなりません。

2: 私たちが間違いを犯したときでも、神は慈しみ深く愛してくださいますが、私たちは神の恵みを当然のことと考えてはいけません。

私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。恵みによってあなたは救われました。 —

2: 1 ヨハネ 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

マタイ 12:32 そして、人の子に逆らって言葉を語る者は、誰でも許されるでしょう。しかし、聖霊に逆らう者は、この世でも来るべき世でも許されません。

イエスは、人の子に敵対する者は誰でも許されるが、聖霊に敵対する者は許されないと教えています。

1. イエスの許しの力

2. 聖霊の神聖さ

1. ローマ 8:26-27 - 同様に、御霊は私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきなのかわからないからです。しかし、御霊ご自身が言葉にならないほど深いうめきをもって私たちのために執り成してくださいます。

2. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

マタイ 12:33 木を良くし、その実を良くするか、どちらかです。さもなければ、木を腐敗させ、その果実を腐敗させるでしょう。なぜなら、木はその果実によって知られるからです。

その木はその果実によって知られています。良い木は良い実を生み、腐敗した木は腐敗した実を生みます。

1. 私たちの行動の力: 私たちの選択が私たちのレガシーをどのように決定するか

2. 私たちが世に出すもの: 私たちの言葉と行動の結果

1. ガラテヤ 6:7-8 - だまされてはなりません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは、神も刈り取るからです。 8 自分の肉に種を蒔く人は、肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は、御霊から永遠の命を刈り取るからです。

2. ヤコブ 3:17-18 - しかし、上からの知恵は、まず純粋で、次に平和で、優しく、理性を受け入れ、慈悲と良い実とに満ち、公平で誠実です。 18 そして、義の収穫は、平和を実現する人々によって、平和のうちに蒔かれます。

マタイ 12:34 おお、まむしの世代よ、あなたたちは悪人であるのに、どうして良いことを言えますか。心の豊かさの中から口が語られるからです。

口は心の豊かさに応じて話すので、悪人は良いことを話すことができません。

1. 問題の核心: 心の豊かさが私たちのスピーチに与える影響

2. 発言に気をつけろ: 私たちの言葉が私たちの性格をどのように明らかにするか

1. ヤコブ3:1-12 - 舌の力

2. マタイ 15:18-20 - 人を汚すもの

マタイ 12:35 善人は心の善い宝から善を生み出し、悪人は邪悪な宝から悪を生み出します。

善人は心から善を生み出し、悪人は心から悪を生み出します。

1. 私たちの思考の力: 私たちが考えたこと、私たちはなる

2. 神聖さと純粋さの心を養う

1. ピリピ 4:8-9 - 「最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、それにふさわしいことがあれば、」

2. ヘブライ 10:22 - 「私たちは、悪い良心を振り払って心を清め、清い水で体を洗いながら、信仰を完全に確信して真の心をもって近づきましょう。」

マタイ 12:36 しかし、私はあなたたちに言います。人々が話すすべての無駄な言葉は、裁きの日に責任を負います。

語られたあらゆる無駄な言葉は裁きの日に裁かれます。

1: 自分の言葉に注意を払う - マタイ 12:36

2: 言うことに気をつけなさい - マタイ 12:36

1: ヤコブ 3:1-12 - 舌を飼いならす

2: 箴言 18:21 - 生と死の力は舌にあります。

マタイ 12:37 なぜなら、あなたの言葉によって、あなたは義とされ、あなたの言葉によって、あなたは罪に定められるからです。

この聖句は、私たちの言葉が私たちの正当化または非難を決定することを教えています。

1: 言葉の力 - 言葉は自分自身や他人に強力かつ永続的な影響を与える可能性があるため、言葉を賢く使用する必要があります。

2: 私たちの言葉の結果 - 私たちの言葉は、その使い方に応じて、プラスまたはマイナスの結果を生み出す可能性があります。

1: ヤコブ 3:5-8 - 私たちの言葉には祝福することもあれば呪うこともできる力があるので、人を高め、励ますような方法で言葉を使うよう努めるべきです。

2: 箴言 12:18 - 適切なタイミングで適切な言葉をかけると、癒しと平安がもたらされます。

マタイ 12:38 すると、律法学者やパリサイ人の中の何人かが答えて、「先生、私たちはあなたからのしるしが見えるでしょう。」と言いました。

律法学者とパリサイ人はイエスに、ご自分の権威を証明するしるしを求めました。

1) リクエストの力: 質問がどのように答えにつながるか

2) しるしを求める: パリサイ人が信仰について私たちに教えてくれること

1) マタイ16:1-4

2) ヨハネ4:48-51

マタイ 12:39 しかしイエスは答えて彼らに言った、「邪悪で姦淫の世代はしるしを求めています。それには、預言者ヨナスのしるしのほかに、いかなるしるしも与えられない。

イエスは人々に、預言者ヨナのしるしが与えられると告げます。

1. ヨナのしるし: 私たちの人生への神の介入について聖書が教えていること

2. しるしを求める：日常生活における神の奇跡を認識する

1. ルカ 11:29-30 - 群衆が増えてきたとき、イエスはこう言い始めました。「この世代は邪悪な世代です。それはしるしを求めますが、ヨナのしるし以外には何も与えられません。

2. 詩篇 78:12-14 - 神は海を分けてそこを通らせ、水を山のように立たせた。昼間は雲で彼らを導き、夜は燃えるような光で彼らを導きました。彼は荒野で岩を割って、深いところから湧き出るように豊富に水を飲ませました。

マタイ 12:40 というのは、ヨナスが三日三晩クジラの腹の中にいたように、そのようにして、人の子は地の中心に三日三晩滞在することになる。

ヨナスがクジラの腹の中で過ごした時間は、イエスの死と復活の象徴として機能します。

1: イエスは私たちを罪から救うために死んで復活されました。

2: イエスは復活であり命です。彼を信じることは永遠の命をもたらします。

1: ヨハネ 11:25 イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きます。

2: ローマ 5:8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。

マタイ 12:41 ニネベの人たちは、この世代とともに裁きに立ち上がって、それを非難するでしょう。なぜなら、彼らはヨナスの説教で悔い改めたからです。そして見よ、ジョナスよりも偉大な者がここにいます。

ニネベの人々は、たとえ民が神から遠く離れていても、悔い改めが救いにつながることを実証しています。

1. 人生のどこにいても、悔い改めは救いにつながります。

2. 神の恵みは私たちの想像を超えるものです。

1. ヨナ 3:1-10 - ニネベの人々は神のメッセージを信じて悔い改めました。

2. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

マタイ 12:42 南の女王はこの世代とともに裁きに立ち上がって、それを非難するでしょう。彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たのですから。そして見よ、ソロモンよりも偉大な者がここにいます。

この箇所は、この世代に来て裁くであろうソロモンよりも大きな力について語っています。

1: 南の女王がソロモンの知恵を求めたように、私たちは神の知恵を求めなければなりません。

2: 神の力を過小評価してはなりません。神は世のどの指導者よりも偉大だからです。

1: ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人はすべての人に惜しみなく与え、非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2: 箴言 2:1-5 - 「わが子よ、もしあなたが私の言葉を受け入れ、私の戒めをあなたに隠したいなら、そうすればあなたは知恵に耳を傾け、理解に心を注ぐことができます。そうです、もしあなたが知識を求めて叫ぶのなら」「そして、理解するために声を上げなさい。もしあなたが銀のように彼女を求め、隠した宝を探すかのように彼女を捜すなら、そうすればあなたは主への畏れを理解し、神の知識を見出すであろう。」

マタイ 12:43 汚れた霊が人から出ると、その人は休息を求めて乾いた場所を歩きますが、何も見つかりません。

汚れた霊は乾いた場所に安息を求めますが、見つかりません。

1. 疲れた世界で休息を見つける苦闘

2. 落胆したときに慰めを見つける

1. イザヤ書 40:30-31 - 若者でさえ気を失い、疲れ果て、若者は疲れ果てて倒れます。しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。

2. 詩篇 127:2 - あなたが早く起きて遅く休み、心配して苦労してパンを食べるのは無駄です。なぜなら、彼は愛する人に眠りを与えるからです。

マタイ 12:44 それから彼は言いました、「出てきた家に戻ります。」そして彼が来ると、そこは空っぽで、掃除され、飾り付けられているのがわかります。

イエスは、家に帰ると家が空っぽで清くなっていることに気づく男性について語られます。

1. 「清潔の力: イエスのたとえ話から学ぶ」

2.「空き家に満足を見つける」

1. イザヤ書 40:11 - 彼は羊飼いのように自分の群れを世話します。彼は子羊を腕に集めます。彼は彼らを胸に抱き、子供たちと一緒にいる人たちを優しく導きます。

2. 箴言 24:3-4 - 家は知恵によって建てられ、理解によって確立されます。知識によって、部屋はすべての貴重で楽しい富で満たされます。

マタイ 12:45 それから、彼は行って、自分より邪悪な他の七つの霊を連れて行き、彼らはそこに入り、そこに住みます。そして、その人の最後の状態は最初の状態よりも悪いです。たとえそうであっても、それはこの邪悪な世代にも当てはまります。

イエスは人々に、罪を犯すと以前よりも悪い状態になること、そして同じことが現在の邪悪な世代にも当てはまると警告しています。

1. 罪の危険性: イエスからの警告

2. 悪の代償: イエスから学ぶ

1. ヤコブ 1:14-15 - しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され誘惑されることがあります。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は完全に成長すると死をもたらします。

2. 箴言 14:12 - 人にとっては正しいと思える道がありますが、その終わりは死への道です。

マタイ 12:46 彼がまだ人々と話している間、見よ、彼の母親と兄弟たちが外に立って、彼と話をしたいと思っていた。

イエスの家族は、イエスが人々に教えている間、イエスに話しかけようとしました。

1. たとえ家族が気をそらそうとしたとしても、目の前の仕事に集中し続けることの重要性。

2. 自分の家族よりも他人のニーズを優先する方法を示すイエスの例。

1. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2. マルコ 3:31-35 - イエスの母親と兄弟たちがイエスのところにやって来ましたが、イエスは、「神のご意志を行う者はだれでも、私の兄弟であり、姉妹であり、母です。」と答えました。

マタイ 12:47 そのとき、ある人が彼に言った、「見よ、あなたのお母さんとあなたの兄弟たちが外に立って、あなたと話したいと思っています。」

イエスのところに母親や兄弟たちが話しかけてきました。

1. 家族の大切さと、最も近い人々との関係を優先する必要性。

2. イエスは宣教の最中であっても、家族と話すために時間をとった模範。

1. マルコ 3:31-35 – イエスの家族がイエスを制止しようとしたこと。

2. マタイ 10:37 – 家族を愛することの大切さについてのイエスの教え。

マタイ 12:48 しかし、彼は答えて言った、「私の母は誰ですか。」そして私の兄弟は誰ですか？

イエスは家族の意味を問い、伝統的な定義に異議を唱えます。

1. 家族は単なる血のつながり以上のもの: 生物学的関係を超えた家族の意味を探る

2. 愛への呼びかけ: 私たちに共通する人間性を認識するためのイエスの挑戦

1. マタイ 22:34-40 - 善きサマリア人のイエスのたとえ話

2. マルコ 12:28-31 - 神と隣人を愛するというイエスの戒め

マタイ 12:49 そしてイエスは弟子たちに向かって手を差し伸べて言われた、「見なさい、わたしの母とわたしの兄弟たち！」

イエスは弟子たちが自分の家族であると宣言しました。

1: 私たちが選ぶ家族は、私たちが生まれた家族と同じくらい重要なものになる可能性があります。

2: 神の命令に従うことで、私たちは神に近づき、同じ家族の一員になれるのです。

1: ヨハネ 15:13 - 「人が友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2: ガラテヤ 6:10 「ですから、私たちには機会があるので、すべての人、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

マタイ 12:50 天におられるわたしの父の御心を行う者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、そして母です。

この聖句は、神の御心を実現することの大切さを教えています。

1: 神の御心に従うとき、私たちは皆、キリストにおいて一つになります。

2: 神の御心に従うことは、私たちを神との交わり、そしてお互いの交わりに導きます。

1: ヨハネ 15:14 - 「わたしの命じることを行うなら、あなた方はわたしの友です。」

2: 使徒 10:34-35 - 「それからペテロは口を開いてこう言いました。「神が偏りを示さないことはよくわかりますが、どの国でも神を畏れ正しいことを行う者は誰でも神に受け入れられます。」

マタイ 13 章は、イエスが天国について説明するために用いたたとえ話を集めたもので、その価値、成長、最終的な成就を示しています。

第 1 段落: この章は種まき人のたとえ話 (マタイ 13:1-9) で始まり、さまざまな種類の地面に蒔かれた種は神の言葉に対するさまざまな反応を表しています。弟子たちがたとえ話の使い方についてイエスに尋ねたとき、イエスは、心を開いている人には真理を明らかにし、そうでない人にはそれを隠すためにそれを用いられると説明されました(マタイ13:10-17)。次に、彼は弟子たちに種まき人のたとえ話を解釈します（マタイ 13:18-23）。

第 2 段落: イエスは王国についてさらにたとえ話をします。小麦の中の雑草のたとえ話は、神が善悪を分かつ終末の時まで善と悪が共存することを説明しています (マタイ 13:24-30)。からし種と酵母菌のたとえ話は、王国がいかにして存在するかを強調しています。初めは小さくても、大きく成長します (マタイ 13: 31-33)。これらのたとえ話をした後、イエスは弟子たちに雑草のたとえの背後にある意味を個人的に説明しました（マタイ 13:36-43）。

第 3 段落: この最後のセクションでは、イエスはさらに 3 つの短いたとえ話をします – 隠された宝、真珠商人、漁網 – すべては王国の計り知れない価値と、王国がそれを求める人々にいかに全面的な献身を要求しているかを強調しています (マタイ 13:44-50)。イエスが故郷ナザレでこれらの教えを終えると、人々は驚きますが、彼の家族を知っているので怒りも感じます。したがって、彼の知恵と奇跡的な行為にもかかわらず、彼らは、預言者が故郷と親戚の間でのみ名誉を持たないと言ったようにイエスを導いたことを信じていません。

マタイ 13:1 その日、イエスは家を出て、海辺に座っておられた。

イエスは教えるために海辺へ行きました。

1: イエスは海辺へ行き、いつでもご自分の知恵と知識を私たちに分かち合う用意ができていることを教えました。

2: イエスは海辺へ行き、良いたよりを広めるために喜んで進んでいるということを私たちに示しました。

1: マルコ 4:1-2 - そして、再び海辺で教え始めた。すると、大勢の群衆が彼のところに集まってきたので、彼は船に乗り込み、海に座った。そして群衆はみな陸の海のそばにいた。

2: ヨハネ 21:25 - また、イエスがなさったことは他にもたくさんありますが、それらをすべて書き記すとしたら、世界そのものですら書かれるべき本を収めることはできないと思います。アーメン。

マタイ 13:2 すると、大勢の群衆が彼のところに集まってきたので、彼は船に乗り込んで座った。そして群衆全員が岸に立った。

群衆がイエスの周りに集まったので、イエスは船に乗り、そこから彼らに話しかけました。

1. イエスは人々に手を差し伸べるために、あらゆる努力を惜しみませんでした。

2. 私たちは常に他の人に手を差し伸べることにオープンでなければなりません。

1. ヨハネ 4:7-8 – 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する人は神から生まれ、神を知っています。神は愛であるため、愛しない人は神を知りません。」

2. マルコ 12:29-31 – 「イエスは答えられました。『最も重要なことは、『聞け、イスラエルよ、私たちの神、主はただ一人である』ということです。」そしてあなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。』第二は、「隣人を自分のように愛しなさい」です。これより偉大な戒めは他にありません。」

マタイ 13:3 そしてイエスはたとえで彼らに多くのことを語って言われた、「見よ、種まき人が種をまきに出かけた。

イエスは種まき人のたとえを通して福音を広めることの大切さについて教訓を教えています。

1: 「種まき人のたとえ話: 神の言葉の力」

2: 「種まき人のたとえ話: 蒔いたものを刈り取る」

1: ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して起こります。」

2: マタイ 28:19-20 「だから、行って、すべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

マタイ 13:4 そして、彼が種を蒔いたとき、いくつかの種が道端に落ちたので、鳥がやって来て、それを食い荒らしました。

種まき人のたとえ話は、神の言葉がどのように広まるかを説明しています。

1.「信仰の種まき：祝福の収穫を刈り取る」

2.「鶏と種まき人：敵の力を理解する」

1. マルコ4:14-20

2. 詩篇126:5-6

マタイ 13:5 土があまりない石だらけの場所に落ちた者もいたが、土が深くなかったので、すぐに起き上がった。

種まき人のたとえ話は、種が成長するには深く根を張らなければならないことを教えています。

1. 根が深ければ深いほど、収穫も大きくなる

2. 信仰の心を養う

1. コロサイ 2:7 - あなたがたは教えられてきたように、キリストのうちに根を張り、築き上げられ、信仰を確立し、その中に感謝があふれています。

2. 詩篇 1:3 - 彼は水の川のほとりに植えられ、季節に応じて実を結ぶ木のようになる。彼の葉も枯れることはない。そして彼の行うことはすべて成功するでしょう。

マタイ 13:6 日が昇ると、彼らは焼け焦げた。そして根がなかったため枯れてしまいました。

種まき人のたとえ話は、根を持つ人と持たない人の違いを示しています。

1. 信仰という確固たる基盤を持つことの価値

2. 表面的な信仰を持つことの危険性

1. コロサイ 2:7 - 「教えられたとおりに、キリストのうちに根を張り、築き上げられ、信仰を確立し、感謝にあふれています。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

マタイ 13:7 また、いばらの中に落ちた者もいた。するといばらが生えてきて、彼らを窒息させました。

種まき人のたとえ話は、世の誘惑によって信仰が閉ざされてしまう人がいることを教えています。

1: 真の信仰は神の言葉に根ざしており、世の誘惑から守られています。

2: 強い信仰を持つためには、神の言葉を聞いて理解することに投資しなければなりません。

1: コロサイ 3:2 - 地上のものではなく、上にあるものに心を留めなさい。

2: ヘブライ 12:1 - ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、目の前に定められたレースを忍耐強く走り抜けましょう。

マタイ 13:8 しかし、あるものは良い地に落ち、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びました。

良い土壌は素晴らしい収穫をもたらします。

1: 良い収穫は良い土壌から決まります

2: 良い土壌は豊かさをもたらす

1: 2 コリント 9:6-8 「しかし、私はこう言います。控えめに種を蒔く人は、刈り取りも少なく、豊かに種を蒔く人は、豊かに刈り取ります。だから、一人一人、しぶしぶではなく、心の中で意図したとおりに与えましょう。」」

2: ヨハネ 4:35-38 「あなたがたは、『まだ四か月もある、そして収穫が来る』と言わないのか。見よ、あなたがたに言いますが、目を上げて畑を見なさい。畑はもう真っ白だからです」そして，刈り取る人は賃金を受け取り，永遠の命のために実を集めます。それは，種を蒔く人も刈り取る人も共に喜ぶためです。このことばは真実だからです。「一人が蒔き，もう一人が刈り取る」。「私はあなたがたが苦労していないものを刈り取るためにあなたを遣わしたのです。他の人が苦労して働いたのに、あなたは彼らの労苦に加わったのです。」

マタイ 13:9 聞く耳のある者は、聞いてください。

この聖句は、心を開いて神の言葉に耳を傾けるように思い出させます。

1.「神の言葉に耳を傾けましょう」

2. 「心と思いを開いて神の言葉を聞く」

1. イザヤ書 50:4-5 - 「主なる神は、疲れた人を言葉で支える方法を知るために、教えを受ける者の舌を私に与えてくださいました。彼は朝ごとに目覚めます。彼は教えられた者として聞く私の耳を目覚めさせてくれます。」

2. ヤコブ 1:19-21 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。したがって、すべての汚れとはびこる邪悪を遠ざけ、あなたの魂を救うことができる植え付けられた言葉を柔和に受け入れてください。」

マタイ 13:10 すると、弟子たちがやって来て、イエスに言った、「なぜたとえで彼らに話すのですか」。

弟子たちはイエスに、なぜたとえで人々に話すのかと尋ねました。

1: 神は、より深い理解を求めるよう私たちに挑戦するような方法で語られます。

2: 神はたとえで私たちに語りかけ、私たちが神に近づき、霊的な真理を理解できるように助けます。

1: 詩篇 78:2 - 私はたとえ話で口を開きます。私は昔からの暗い言葉を口にします。

2: ルカ 8:9-10 - そこで、弟子たちはイエスに尋ねて、「このたとえは何でしょう?」と言いました。そして彼は言った、「あなたたちには、神の国の奥義を知ることが与えられていますが、他の人たちにはたとえ話で。見ても見えないかもしれないし、聞いても理解できないかもしれないからです。

マタイ 13:11 イエスは答えて言われた、「あなたがたには天の国の奥義を知ることが与えられているが、彼らにはそれが与えられていないからです。」

イエスは弟子たちに天の国の奥義を説明します。

1. 天の国の謎を理解する

2. 天の国の謎を解き明かすための神の知恵を求める

1. ヤコブ 1:5 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. 詩篇 25:14 「主の秘密は主を恐れる者たちと共にあり、主は彼らに契約を示される。」

マタイ 13:12 持っている人には与えられ、さらに豊かになるでしょう。しかし、持っていない人は、持っているものさえ取り上げられます。

持っている人にはさらに与えられ、持っていない人には持っているものは奪われます。

1. 神の民に対する神の豊かさ: 繁栄の祝福を理解する

2. 満足の祝福: 逆境の中で平和を見つける

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2. 詩篇 37:25 - 私は若く、今は年をとりましたが、見捨てられた義人やその子供たちがパンを乞うのを見たことはありません。

マタイ 13:13 そこで、私はたとえで彼らに話します。彼らは見ているのに見えないからです。聞いても聞こえず、理解もしない。

人々は天国を理解できないので、イエスはたとえ話を通して天国について教えます。

1. 天国を理解する: イエスのたとえ話を探る

2. 識別力：神が私たちに示してくださっていることを忠実に聞き、見ること

1. 箴言 4:7 - 知恵は最も重要なものです。したがって、知恵を得てください。そして、全力を尽くして理解を得るのです。

2. ヨハネ 8:31-32 - それからイエスは、自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしあなたがたが私の言葉を信じ続けるなら、あなたがたは確かに私の弟子だ。そしてあなたがたは真実を知り、真実はあなたを自由にするだろう。

マタイ 13:14 そして、彼らの中で、「あなたがたは聞いても聞くであろうが、理解することはできない」と言うエザヤの預言が成就します。そして、あなたがたは見るであろうが、知覚することはないであろう。

イザヤの預言は、聞いたことを理解せず、見たことを認識しない人々の中で成就します。

1.「見たり聞いたりしても理解できない：イザヤの預言の成就」

2. 「理解しないという選択：イザヤの預言の成就を乗り越える」

1. イザヤ書 6:9-10 - 「そして彼は言った、「行って、この民に言いなさい、あなたがたは確かに聞いているが、理解していない。また、あなたがたは確かに見ているが、認識してはいけない。この民の心を太らせ、彼らの耳を豊かにしなさい」重いので、目を閉じてください。そうしないと、目で見、耳で聞き、心で理解し改心して癒されません。」

2. ローマ人への手紙 11:8-10 - 「書かれているとおり、神は彼らに眠りの霊、見てはいけない目、聞いてはいけない耳を今日まで与えられたのです。そしてダビデは言いました。食卓をわな、わな、つまずきの石とし、彼らへの報いとしてください。彼らの目を暗くして、見えないようにして、常に背中をかがめなさい。」

マタイ 13:15 この民の心はひどく荒れ、耳は聞こえなくなり、目は閉じてしまっている。そうしないと、いつでも彼らが目で見て、耳で聞き、心で理解し、改心し、私が彼らを癒さなければなりません。

この箇所は、人々がどのようにして霊的に盲目になり、神の言葉が聞こえなくなるかについて語っています。

1: 神の言葉に目を閉じないでください

2: 心を開いて神の言葉を聞き、見る

1: イザヤ書 6:9-10 - 行って、この民に告げなさい。そしてあなたがたは確かに見ているが、認識していない。この民の心を太らせ、耳を重くし、目を閉じてください。そうしないと、目で見て、耳で聞いて、心で理解し、回心して癒されないからです。

2: ヨハネ 12:37-40 - しかし、彼は彼らの前で非常に多くの奇跡を行ったにもかかわらず、彼らは彼のことを信じませんでした。預言者エサイアスが言った言葉が成就するためです、主よ、誰が私たちの報告を信じましたか？主の御腕は誰に現されたのか。したがって、彼らは信じることができませんでした。なぜなら、エサイアスが再び言ったからです、「神は彼らの目を盲目にし、彼らの心をかたくなにさせた。」それは、彼らが目で見たり、心で理解したりして回心してはならず、私が彼らを癒さなければならないということです。

マタイ 13:16 しかし、あなたの目は見えるので祝福され、あなたの耳は聞くことができるので祝福されています。

イエスは、ご自分の教えを見聞きできる人を祝福されます。

1. 視覚と聴覚の賜物：神のメッセージを見たり聞いたりすること。

2. 神の言葉を見聞きすることの祝福を喜びましょう。

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. 詩篇 119:18 - 私の目を開いてください。あなたの律法から出てくる素晴らしいものを見ることができるように。

マタイ 13:17 本当にあなたがたに言いますが、多くの預言者や正しい人たちは、あなたがたが見ているものを見たいと望んでいたのに、まだ見ていません。そして、あなたがたが聞いているのに聞いていないことを聞くことです。

過去の預言者や義人たちは、現在の世代に与えられている祝福を経験することを切望していました。

1: 私たちに与えられた特権に感謝し、それを神の栄光を現すために使いましょう。

2: わたしたちは、過去の預言者や義人たちと同じ祝福を経験できるよう、義にかなった生活を送るよう努めるべきです。

1: エペソ人への手紙 5:20-「私たちの主イエス・キリストの御名において、常にすべてのことについて神と父に感謝しなさい。」

2: 詩篇 112:1-「主をほめたたえよ。主を畏れ、主の戒めを大いに喜ぶ人は幸いである。」

マタイ 13:18 ですから、種まき人のたとえ話を聞きなさい。

種まき人のたとえ話は、神の言葉を理解することの重要性についての教訓です。

1: 種を蒔く人と種: 種を蒔く人のたとえ話が神の言葉について教えてくれること

2: たとえ話の力: たとえ話が神の言葉を理解するのにどのように役立つか

1: イザヤ書 55:10-11 - 「雨と雪が天から降って、そこには戻らず、地に水を与え、芽を出し、種を蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与えるように、私の口から出る私の言葉はこうであろう。それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。

2: テモテ第二 3:16-17 - 「聖書はすべて神によって吹き出されたものであり、神の人が有能であらゆる善い業に備えられるように、教え、戒め、矯正し、義を訓練するのに有益です。」

マタイ 13:19 だれでも御国の言葉を聞いても理解できないとき、邪悪な者が来て、その心に蒔かれたものを奪い去ります。道端で種をもらった彼です。

一節 誰かが御国の言葉を聞いても理解できないと、邪悪な者がやって来て、その人の心に植えられた種を奪い去ります。

1. 邪悪な者が私たちの心を盗むことを許さないようにしましょう

2. 御国の言葉を理解することは霊的な成長に不可欠です

1. ルカ 8:11-15 - 種まき人のたとえ

2. エペソ人への手紙 6:11-12 - 神の武具をすべて身に着けなさい

マタイ 13:20 しかし、石の多い場所に種を受け入れた者は、その言葉を聞く者と同じであり、すぐに喜んでそれを受け取ります。

神の言葉を聞いて喜んで受け入れる人は、石の多い地に種を蒔いた人です。

1. 神の言葉を受け入れる喜び

2. 石だらけの地面に福音の種を植える

1. 詩篇 119:162 - 私は大きな戦利品を見つけた人のようにあなたの言葉を喜びます。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生まれ、聞くことは神の言葉によって始まります。

マタイ 13:21 しかし、彼は自分の中に根を張らず、しばらく耐えています。なぜなら、言葉のせいで艱難や迫害が起こると、彼は次第に気分を害するからです。

根のなさは、困難に直面したときの気まぐれさにつながります。

1: 迫害にもかかわらず信仰を貫く

2: キリストにあるしっかりとした基盤を持つことの必要性

1: ローマ人への手紙 5:3-5 「それだけではなく、私たちは自分の苦しみを誇りに思っています。なぜなら、苦しみが忍耐、忍耐、品性、そして品性、希望を生み出すことを私たちは知っているからです。そして、希望は私たちを恥じることはありません。なぜなら、神の愛だからです。」私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれています。」

2: ヤコブ 1:2-4 「兄弟姉妹の皆さん、さまざまな試練に直面するときはいつでも、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが成熟するために、忍耐がその働きを終えさせてください。」そして完全で、何も欠けていない。」

マタイ 13:22 また、いばらの中で種を受けた者は、み言葉を聞く者です。そして、この世の世話と富の欺瞞が言葉を閉ざし、彼は実を結ばなくなります。

世の配慮や富の欺瞞は神の言葉を窒息させ、実を結ばないものにしてしまう可能性があります。

1: 私たちが真に実を結ぶためには、世の所有物ではなく神に焦点を当てる必要があります。

2: お金への愛は、神の言葉を聞くのを妨げる可能性があります。

1: ルカ 12:15 「そしてイエスは彼らに言われた。「貪欲に気をつけなさい。人の命は、その人の持っている物の豊かさによって決まるわけではない。」

2: テモテ第一 6:10 - 「金銭への愛はあらゆる種類の悪の根源であり、そのために貪欲さのゆえに信仰から逸れ、多くの悲しみで自分を貫いた人もいます。」

マタイ 13:23 しかし、良い地に種を入れた人は、言葉を聞き、それを理解する人です。それも実を結び、あるものは 100倍、あるものは60倍、あるものは30倍を生み出します。

種まき人のたとえ話は、神の言葉を聞いてそれを理解する人は多くの実を結ぶことを示しています。

1. 実を結ぶ: 従順の力

2. 信仰の成長: 神の言葉を聞いて理解することの報酬

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

2. 詩篇 19:7-8 - 主の律法は完全であり、魂を生き返らせます。主のあかしは確かであり、単純な人を賢くする。主の戒めは正しく、心を喜ばせます。主の戒めは純粋であり、目を啓発します。

マタイ 13:24 イエスは別のたとえを彼らに話して、こう言われました。「天国は、自分の畑に良い種を蒔いた人にたとえられます。

イエスは天の王国を説明するために、畑に良い種を蒔いた人のたとえ話をされました。

1. 神の収穫：神の王国の良い種

2. 種まき人のたとえ: 天の御国に良い種を蒔く方法

1. ガラテヤ 6:7-8 - 「だまされないでください。神は嘲笑されません。人が何を蒔くとしても、それを刈り取ります。自分の肉に種を蒔く人は、その肉から腐敗を刈り取るからです。御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るでしょう。」

2. マタイ 7:15-20 - 「偽預言者に気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたたちのところに来るが、内心は貪欲な狼です。あなたたちは彼らをその実で見分けられるでしょう。ブドウはいばらの茂みから集められるのでしょうか、それとも、いちじくはアザミから集められるのでしょうか。健康な木は良い実を結びますが、病気の木は悪い実を結びます。健康な木が悪い実を結ぶことはできませんし、病気の木が良い実を結ぶこともできません。良い実を結ばない木はすべて切り倒されて火の中に投げ込まれます。その果実によって彼らを認識するだろう。」

マタイ 13:25 ところが、人々が眠っている間に、敵がやって来て、麦の間に毒麦を蒔き、彼の方へ去って行った。

神の民の敵は、人々が眠っている間に麦の間に毒麦を蒔きました。

1. 霊的生活における自己満足の危険性

2. 誘惑の世界で常に警戒し続ける

1. エペソ人への手紙 6:10-18 (悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい)

2. ペテロ第一 5:8 (心を冷静にし、気をつけなさい。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのように、食いつくすべき者を求めて歩き回っています。)

マタイ 13:26 しかし、刃が生えて実を結ぶと、毒麦も現れました。

小麦と毒麦のたとえ話は、良いことの真っ只中にさえ、悪いことが現れる可能性があることを明らかにしています。

1. 小麦と毒麦のたとえ: 人生の良いことと悪いことを認識する

2. 忍耐の価値: 小麦と毒麦のたとえ話から学ぶ

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはいけません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。完璧で完全で、何も欠けていない。」

マタイ 13:27 そこで、家の者の使用人たちが来て彼に言った、「先生、あなたは畑に良い種を蒔かれませんでしたか。」では、どこから毒麦がかかるのでしょうか？

使用人たちは、良い種を蒔いた畑に雑草が生えていることについて家の人に質問しました。

1. 神は私たちの不完全さを利用して、ご自身の完全な意志を実現します。

2. 神が何をなさっておられるのか理解できなくても、私たちは神を信頼することができます。

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. イザヤ書 55:8-9 - 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の道はあなたの道よりも高いからです」自分の考えよりも考え。」

マタイ 13:28 イエスは彼らに言われた、「敵がこんなことをしたのだ。」使用人たちは彼に言った、「それでは、私たちが行って彼らを集めてはいかがですか？」

ある家の主人は、小麦畑に雑草が植えられていることに気づきました。使用人たちは雑草を取りに行くべきか尋ねますが、主人は敵がやったと告げます。

1. 私たちの魂の敵は、私たちの生活に疑いと恐怖という雑草を蒔こうとしています。

2. 私たちは敵の働きを真に無視することは決してできませんが、その代わりに用心深く、私たちの人生に対する神の計画に焦点を合わせ続けなければなりません。

1. エペソ 6:10-13 - 最後に、主とその力の強さによって強くなりましょう。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

マタイ 13:29 しかし彼は、「いいえ、そうではありません」と言った。あなたがたが毒麦を集めている間に、麦も一緒に根こそぎにすることのないように。

小麦と毒麦のたとえ話は、善と悪を区別する際には、その過程で意図せず害を及ぼしてしまう可能性があるため、注意しなければならないことを教えてくれます。

1.「主の識別:善と悪を分ける」

2.「小麦と毒麦のたとえ話: 識別力についての教訓」

1. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

マタイ 13:30 収穫まで、両方とも一緒に育てましょう。そして収穫の時、私は刈り取り人たちに言います、「まず毒麦を集めて、それを束ねて燃やしなさい。ただし、小麦は私の納屋に集めなさい。」

イエスは小麦と毒麦のたとえ話をします。そこでは、小麦と毒麦は収穫まで一緒に成長することが許されています。収穫の時、刈り取り人は毒麦を束にして燃やし、小麦を納屋に保管するように指示されます。

1. 小麦と毒麦のたとえ: 収穫の準備

2. 忠実さを培う: マタイ 13:30 の研究

1. ガラテヤ 6:7-9 - だまされてはなりません。神は嘲られることはありません。人がまくものは、それを刈り取るからです。

2. ヤコブ 3:18 - そして義の収穫は、平和を実現する人々によって平和のうちに蒔かれます。

マタイ 13:31 もう一つのたとえ話で、イエスは彼らにこう言われました、「天国は、人が取って畑に蒔いたからし種一粒に似ています。

天の御国は小さなからし種にたとえられます。

1. からし種：信仰の象徴

2. 小さな従順行為の力

1. ルカ 17:6 - 「そして主は言われた。もしあなたがからし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこのスイカミンの木にこう言うだろう。『根を抜かれ、海に植えられなさい。そうすればそれはあなたに従うはずです。」

2. マルコ 4:31 - 「それはからし種一粒のようなもので、地に蒔かれると、地にあるすべての種よりも小さいのです。」

マタイ 13:32 これは確かにすべての種の中で最も小さいものですが、成長すると薬草の中で最も大きくなり、空の鳥がやって来てその枝に留まるほどの木になります。

この一節は、一見小さな始まりの偉大さを示しています。

1.「小さな始まりの力」

2.「小さなものの可能性を活かす」

1. コリント人への第一の手紙 1:27-29 - 「しかし、神は知恵ある者に恥をかかせるために、この世の愚かな者を選びました。神は強い者に恥をかかせるために、この世で弱いものを選びました。28 神は世で卑しく軽蔑されているもの、さらにはそうでないものを選び、有るものを無にするようにされたのです。29 それは、人間が神の御前で誇ることがないようにするためです。」

2. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。」

マタイ 13:33 彼は別のたとえを彼らに話しました。天の王国はパン種のようなもので、女性がパン種を取り、三度の食事の中に隠し、全体がパン種になるまで待ちました。

天の王国は、女性が完全に発酵するまで小麦粉3量の中に隠した酵母のようなものです。

1.「少しの信仰の力」

2.「神の国の奇跡の業」

1. マタイ 16:17、「ヨナの子シモン、あなたは幸いです。このことは、肉と血によってではなく、天におられるわたしの父によってあなたに啓示されたからです。」

2. ガラテヤ 5:9、「少量のイースト菌が生地全体に働きます。」

マタイ 13:34 これらすべてのことを、イエスはたとえで群衆に語られました。そして彼はたとえ話をせずに彼らに話さなかった。

イエスはたとえを通して群衆に教えました。

1: イエスはたとえ話を使ってメッセージを伝える優れた教師でした。

2: たとえ話は、深い精神的な真実を伝える効果的な方法です。

1: 箴言 1:5-7 - 賢い人は聞いて学びを深め、理解力のある人は賢明な助言を得るでしょう。

2: 箴言 9:9 - 賢い人に教えれば、彼はさらに賢くなり、義人に教えれば、さらに学びが増すでしょう。

マタイ 13:35 それは、預言者がこう言ったことが成就するためです。世界の根幹から秘密にされてきたことを私は語ります。

神は聞く者にその秘密を明らかにします。

1: 神の声を聞くこと。

2: たとえ話の力。

1: イザヤ書 28:9-10、「神は誰に知識を教えようか。そして神は誰に教義を理解させようとするのでしょうか？乳から引き離され、乳房から引き出されるそれら。なぜなら、戒めには戒めを重ね、戒めを重ねなければならないからです。ラインにライン、ラインにライン。ここにも少し、あそこにも少し。」

2: 詩篇 25:14、「主の奥義は主を畏れる者たちと共にある。そうすれば神は彼らに契約を示すであろう。」

マタイ 13:36 それから、イエスは群衆を追い出して、家にお入りになった。すると、弟子たちがイエスのところに来て、「野の毒麦のたとえを私たちに告げてください」と言った。

イエスは群衆を追い払い、家の中に入って行かれた。弟子たちは彼に、野の毒麦のたとえを説明するように頼みました。

1. 生活の分野で忠実さを育む

2. 信仰の分野で忍耐と忍耐を実践する

1. ガラテヤ 6:9 - そして、善行に疲れないようにしましょう。私たちが失神しなければ、しかるべき季節が来れば刈り取ることができるからです。

2. ヤコブ 5:7 - ですから、兄弟たち、主の到来まで辛抱してください。見よ、農夫は大地の貴重な実りを待ち、早い雨と遅い雨が降るまで長い間忍耐している。

マタイ 13:37 イエスは答えて言われた、「良い種を蒔くのは人の子です。良い種を蒔くのは人の子です。」

人の子は良い種を蒔く人です。

1. 人の子：私たちの救い主であり、良い種を蒔く方

2. 人の子とその良き子孫の意義

1. ルカ 8:11 - 「さて、たとえは次のとおりです。種は神の言葉です。」

2. ヨハネ 15:5 - 「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。わたしにつながっている人、わたしもその人につながっていて、多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからです。」

マタイ 13:38 野は世界です。良い種は王国の子供たちです。しかし、毒麦は邪悪な者の子供たちです。

この聖句は、世界を善と悪の両方の種を持つ畑として語り、神の子供たちと邪悪な者の子供たちを表しています。

1: 世界は良い影響と悪い影響で満ちているので、私たちは神とともに歩む際に用心深くなければなりません。

2: 私たちは自分の生活に必ず良い種を蒔かなければなりません。なぜなら、私たちが刈り取る収穫は私たちが植えた種の産物だからです。

1: ガラテヤ 6:7-8 「騙されないでください。神は嘲笑されません。人が何を蒔くとしても、それを刈り取るのです。自分の肉に種を蒔く人は、その肉から腐敗を刈り取るからです。御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るでしょう。」

2: エペソ人への手紙 6:11 - 「悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。」

マタイ 13:39 彼らに種を蒔いた敵は悪魔です。収穫は世界の終わりです。そして刈り取る者は天使です。

悪魔は世界に嘘と偽りの種をまきますが、神は天使たちを通して終末に真実と正義をもたらします。

1. 嘘や欺瞞に対する私たちの闘いは、最終的には神によって報われるでしょう。

2. 私たちは、神の天使たちが最後には正義をもたらすと信頼できます。

1. ヨハネ 8:44 - 「あなたは自分の父である悪魔に属しており、あなたは父の望みを実行したいのです。彼は最初から殺人者であり、真理を保持していませんでした。彼の中に真理がないからです。彼は嘘つきであり、嘘の父だから、自分の母国語を話します。」

2. 黙示録 20:10-「そして、彼らを欺いた悪魔は、獣と偽預言者が投げ込まれた燃える硫黄の湖に投げ込まれました。彼らは、昼も夜も、永遠に苦しみを受けるでしょう。」

マタイ 13:40 したがって、毒麦は集められて火で焼かれます。この世の終わりにもそうなるだろう。

毒麦のたとえ話は、世の終わりには別れがあることを教えています。

1. 毒麦のたとえ: 最後の審判を理解する

2. 毒麦のたとえ話は私たちが正しく生きるのにどのように役立つか

1. マタイ 25:31-46 - 羊とヤギのたとえ

2. コリント人への第二の手紙 5:10 - 私たちは皆、キリストの裁きの座の前に出なければなりません。

マタイ 13:41 人の子は天使たちを遣わし、彼らは罪を犯すすべてのものと不法を行うものを王国から集めます。

人の子は、罪を犯したり不正を行ったりするすべての者を王国から排除するために天使たちを派遣します。

1: 私たちは神の王国に留まるために、常に義と謙虚さをもって生きるよう努めなければなりません。

2: 私たちは常に警戒し、私たちの生活やコミュニティからすべての邪悪を取り除くよう努めなければなりません。

1: 1 コリント 6:9-10 - 「不義な者は神の国を受け継がないことを知らないのですか。騙されないでください。性的に不道徳な者も、偶像崇拝者も、姦淫する者も、同性愛を行う者も、泥棒も、貪欲な者も、大酒飲みも、ののしりも、詐欺師も、神の王国を受け継ぐことはできません。」

2: ガラテヤ 5:19-21 - 「今、肉の業が明らかになりました。性的不道徳、不純さ、好色、偶像崇拝、魔術、敵意、争い、ねたみ、発作的な怒り、競争、意見の相違、分裂、ねたみ、酩酊、乱交パーティーなど。以前に警告したように、そのようなことをする者は神の国を受け継がないと警告します。」

マタイ 13:42 そして彼らを火の炉に投げ込むと、泣き叫び、歯ぎしりが起こるであろう。

イエスは、人生で実を結ばない人は火の炉に投げ込まれ、そこで多くの悲しみと苦しみが生まれると教えています。

1. 実を結ぶ: 善行の必要性

2. 実を結ばないことの結果

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、そして自制です。

2. マタイ 7:21-23 - 私に「主よ、主よ」と言う人全員が天国に入るわけではなく、天におられる私の父の御心を行う人だけが天国に入ることができます。

マタイ 13:43 そのとき、義人は父の王国で太陽のように輝きます。聞く耳のある人は聞いてください。

義人は神の国で神の栄光で輝きます。

1: 主の教えに耳を傾け、王国で主の栄光を体験する準備を整えてください。

2: 神の王国の一員となるために、義であることを喜びましょう。

1: ピリピ 3:20-21 - しかし、私たちの国籍は天にあり、私たちはそこから救い主、主イエス・キリストを待っています。主イエス・キリストは、私たちの卑しい体を、神の栄光の体のように変えてくださるのです。すべてを自分自身に委ねなさい。

2: 1 コリント 15:51-53 - 見よ！謎を教えます。私たちは皆眠っているわけではありませんが、最後のラッパの音とともに、一瞬のうちに、またたく間に、私たちは皆変わってしまうのです。ラッパが鳴り響き、死人は朽ちないものとしてよみがえらされ、私たちは変えられるからです。なぜなら、この朽ちる体は必ず朽ちないものを着なければならず、この死ぬべき体は不滅のものを着なければならないからです。

マタイ 13:44 もう一度言いますが、天の王国は野原に隠された宝のようなものです。人はそれを見つけると隠し、それを喜んで行って、持っているものをすべて売り、その畑を買います。

イエスは、野原に隠された宝を見つけ、喜びのあまり、その野原を買うために全財産を売り払った男のたとえ話を語られます。

1. 天国を見つけた喜び

2. 天国を見つけるのにかかる費用

1. 詩篇 37:4 - 主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いをかなえてくださるでしょう。

2. コロサイ 3:12-14 - ですから、神に選ばれた者として、聖く愛される同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身につけて、互いに忍び合い、もし誰かが互いに不満を持っているなら、お互いを許しましょう。他の;主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。そして何よりも、これらは愛を身に着けており、それがすべてを完璧な調和で結びつけます。

マタイ 13:45 もう一度言いますが、天の御国は、良い真珠を求める商人に似ています。

天の御国は、貴重な真珠を探す商人のようなものです。

1. 天の国の価値

2. 良い真珠を探す

1. マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2. 箴言 8:10-11 - 「銀ではなく私の教えを選び、金ではなく知識を選びなさい。知恵はルビーよりも貴重であり、あなたが望むものは彼女に匹敵するものではありません。」

マタイ 13:46 その人は、高価な真珠を一個見つけたので、行って全財産を売り払って、それを買いました。

マタイ 13 章 46 節のこの一節は、非常に価値のある真珠を見つけ、それを所有するために全財産を喜んで差し出した男のことを語っています。

1. 「魂の価値」- 人間の人生の価値と、福音を他の人に伝えるために私たちが持っているすべてを喜んで放棄する方法を探ります。

2. 「愛の犠牲」- イエスが私たちを救うためにどのようにすべてを捨てたか、そして私たちが愛のためにどのように喜んで犠牲を払うべきかに焦点を当てます。

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ピリピ人への手紙 2:5-8 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身をむなしくしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

マタイ 13:47 もう一度言いますが、天の王国は、海に投げ込まれ、あらゆる種類のものを集めた網のようなものです。

天の御国はあらゆる種類の魚を捕まえる網のようなものです。

1. 神の王国の包括性 - 神の王国はあらゆる種類の人々を歓迎します。

2. 神の王国の知恵 - 神の王国は賢明であり、常に計画を持っています。

1. ルカ 15:3-7 - 失われた羊と失われたコインのたとえ。

2. イザヤ書 11:6-9 - オオカミは子羊と一緒に暮らし、ライオンは牛のようにわらを食べるでしょう。

マタイ 13:48 それが満ちると、彼らは岸に引き上げて座って、良いものを器に集め、悪いものは捨てました。

ネットのたとえ話は、神が終わりの時に善と悪を区別することを教えています。

1: 私たちは、神が義人と悪人を分ける裁きの日に備えなければなりません。

2: 神の裁きは公平かつ公正であるため、私たちは善良な生活を送り、神の憐れみに値するよう努めなければなりません。

1: マタイ 25:31-46 - イエスの羊とヤギのたとえ。

2: 2 コリント 5:10 - 私たちは皆、キリストの裁きの座の前に出なければなりません。

マタイ 13:49 世の終わりにも、天使たちが出てきて、正しい者の中から悪者を断ち切るでしょう。

世の終わりには、天使たちが正しい者と邪悪な者を分けます。

1: 私たちは義であるよう努力し、神のご意志に従わなければなりません。世の終わりに、神は正しい者を邪悪な者から分けるからです。

2: 結局、義人はその忠実さで報われますが、悪人は不従順で罰せられます。

1: マタイ 25:31-46 - イエスの羊とヤギのたとえ。

2: ローマ人への手紙 2:6-10 - 神の義の裁き。

マタイ 13:50 そして、彼らを火の炉に投げ込むと、泣き叫び、歯ぎしりが起こるでしょう。

イエスは、悪人の運命について語ります。彼らは火の炉に投げ込まれ、そこで泣き叫び、歯ぎしりを経験するでしょう。

1. 地獄の現実: 罪の結果を認識する

2. 悔い改めの緊急性: 時間が重要です

1. 黙示録 14:10-11 - 悪人は聖なる天使たちの前と小羊の前で火と硫黄で苦しめられます。

2. ユダ 1:7 - 同様に、性的不道徳にふけり不自然な欲望を追求したソドムとゴモラとその周辺の都市も、永遠の火の刑罰を受けることによって模範となっています。

マタイ 13:51 イエスは彼らに言われた、「あなたがたはこれらすべてのことを理解したか」。彼らは彼に言った、「そうです、主よ」。

イエスは弟子たちにたとえが理解できたかどうか尋ねましたが、弟子たちはイエスと答えました。

1: 信仰を通して理解を歩む

2: イエスを通してより深い理解を追求する

1: 箴言 4:5–7 - 知恵を得て、理解を得る。それを忘れてはなりません。どちらも私の口からの言葉を拒否しません。彼女を見捨てないでください、そうすれば彼女はあなたを守ってくれるでしょう：彼女を愛してください、そうすれば彼女はあなたを守ってくれるでしょう。知恵が最も重要です。したがって、知恵を得てください。そして、全力を尽くして理解を得るのです。

2: コロサイ 1:9-10 このような理由から、私たちも、それを聞いた日以来、あなたがたのために祈り、あらゆる知恵と霊的理解力によって神のご意志の知識で満たされることを願ってやみません。;それは、あなたがたが主にふさわしく歩み、すべての人に喜ばれ、あらゆる良い業で実を結び、神についての知識が増すためである。

マタイ 13:52 それからイエスは彼らに言った、「ですから、天の御国に向けて教えられた律法学者は皆、自分の宝から新しいものや古いものを取り出す家の人に似ています。」

イエスは天の王国で教えを受ける律法学者たちを、自分の宝から新しいものと古いものを生み出す家の人に例えました。

1. 天の王国と書記: 家の人のたとえ話を探る。

2. 新しい宝物と古い宝物：天国で何が重要かを再発見します。

1. コロサイ 3:1-2、「もし、あなたがキリストと共によみがえったのなら、上にあるもの、神の右に座しておられるキリストがおられる場所を探しなさい。地上のものではなく、上にあるものに心を向けなさい。」

2. ルカ 12:33、「持ち物を売って、貧しい人たちに施しなさい。古くならないお金の袋と、盗人が近づかず、虫も壊さない天の宝を備えてください。」

マタイ 13:53 イエスはこれらのたとえを終えると、そこから立ち去られた。

イエスは出発する前に群衆に一連のたとえ話を教えました。

1. イエスのたとえ話は、神の王国と私たちの人生についての貴重な教訓を教えてくれます。

2. イエスはたとえ話を用いて、信仰と従順の力を説明しました。

1. マタイ 7:24-27 - したがって、私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は誰でも、私は彼を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。

2. ルカ 18:15-17 - そこで、彼らは、触らせようと、幼児たちも連れて来ました。しかし、弟子たちはそれを見て、彼らを叱責しました。

マタイ 13:54 それでイエスは自分の国に帰ったとき、会堂で彼らに教えましたが、彼らはとても驚いて、こう言いました、「この人はこの知恵と力強い業をどこから持っているのですか」。

イエスはその知恵と力強い業で人々を驚かせました。

1: イエスは知恵と力の化身です。

2: イエスは希望と力の源です。

1: 箴言 2:6-7 「主は知恵を与えてくださるからです。その口からは知識と理解力が出ます。神は正しい人のために健全な知恵を蓄えます。誠実に歩む者の盾です。」

2: 使徒 10:38 「神はナザレのイエスに聖霊と力を注がれました。彼は善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人々を癒して回りました。神が彼とともにおられたからです。」

マタイ 13:55 この人は大工の息子ではないでしょうか。彼の母親はメアリーという名前ではないですか？彼の兄弟たち、ヤコブ、ホセ、シモン、ユダは？

この箇所はイエスの家族が特定されることについて書かれています。

1. イエスは大工の息子でしたが、それ以上の息子でもありました。

2. 神は普通の人々を通して働き、並外れた物事を達成します。

1. ピリピ人への手紙 2:7-8 - 「しかし、自分自身を何の評判も持たず、召使いのような姿をとり、人間に似せて作られました。死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。」

2. マタイ 12:46-47 - 「彼がまだ人々と話している間、見よ、彼の母親と兄弟たちが外に立って、彼と話したいと思っていた。すると、一人が彼に言った、「見よ、あなたの母親とあなたの兄弟たちが外に立っている、あなたと話したいのです。」

マタイ 13:56 そして彼の姉妹たち、彼らはみな私たちと一緒ではないでしょうか。それでは、この男はこれらすべてのものをどこから持ってきたのでしょうか？

この箇所は、イエスの家族がイエスの奇跡を行う能力に疑問を抱いていることについて書かれています。

1. イエスは神から遣わされたので奇跡を起こすことができました。

2. イエスは、ご自分に従う者たちにとって、神への信仰と信頼の模範でした。

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。

マタイ 13:57 すると彼らはイエスに対して腹を立てた。しかしイエスは彼らに言われた、「預言者に名誉がないわけではない、自分の国と自分の家以外では。」

イエスは、預言者は自分たちの故郷では受け入れられないと教えました。

1. 認識されていない預言者: いつ反対派を押し切るかを知っている

2. 自分の価値を知る: 他人の不利な認識を拒否する

1. エレミヤ 1:5-7 - 「私はあなたを胎内に形成する前から知っており、あなたが生まれる前に私はあなたを聖別しました。私はあなたを諸国の預言者に任命し

ました。」

2. マタイ 5:13-14 - 「あなたは地の塩ですが、もし塩の味が失われたら、どうやってその塩味を取り戻すことができますか。もう放り出されて人々の足の下に踏みつけられる以外何の役にも立ちません。」

マタイ 13:58 そして、彼らの不信仰のために、イエスはそこで力強い業をあまり行わなかった。

イエスが特定の場所で多くの奇跡を行わなかったのは、人々がイエスを信じなかったからです。

1. 信じることは見ることです: 信仰が私たちの生活をどのように変えるか

2. 不信仰: 信じないと何が起こるか

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」

2. ヤコブ 1:6-8 - 「しかし、疑わずに、信仰をもって尋ねなさい。疑う人は、風に動かされ、翻弄される海の波のようなものだからです。その人は、自分が自分のことを思っていると思ってはなりません。」彼は主から何でも受け取ります。彼は二心のある人で、あらゆる点で不安定です。」

マタイ 14 章はマタイによる福音書の 14 章であり、バプテスマのヨハネの死、イエスが 5,000 人に食事を与える、イエスが水の上を歩くなどの重要な出来事が含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスの宣教に対するヘロデの反応と、イエスが死者の中からよみがえられたバプテスマのヨハネであるという彼の誤った信念についての記述で始まります (マタイ 14:1-12)。ヘロデは、ヘロデの不法結婚を非難したためにヨハネを投獄しました。しかし、誕生日のお祝いの席で、ヘロデは継娘の願いを何でも叶えると軽率な約束をしました。母親に促されて、彼女はジョンの首を大皿にのせてほしいと頼んだ。ヘロデはしぶしぶ彼女の要求を聞き入れ、ヨハネを処刑させました。

第 2 段落: その後、物語は、イエスがたった 5 つのパンと 2 匹の魚で大勢の群衆に食事を与えるところに移ります (マタイ 14:13-21)。イエスはヨハネの死を知ると、人里離れた場所に退かれた。しかし、群衆が徒歩でイエスを追った。彼らが食べ物を必要としているのを見て、イエスは彼らを憐れみ、奇跡的にパンと魚を増やして、約5000人の男性と女性と子供たちを養わせました。全員が満足した後、残り物が入ったカゴ12個が集まりました。

第 3 段落: この章は、イエスが水の上を歩くという驚くべき出来事で終わります (マタイ 14:22-36)。嵐の夜、弟子たちがガリラヤ湖を舟で渡っていたとき、彼らは幽霊だと思うものが自分たちに向かって歩いてくるのを見ました。しかし実際には、恐れることはないと彼らに安心させたのはイエスでした。ピーターも水の上を歩く許可を求めましたが、疑問を抱いたとき、沈み始めました。彼らが目的地のゲネサレットに到着したとき、イエスは彼を救い出し、嵐を静めました。到着すると多くの人々がイエスを「神の子」と認識し、癒しのために病人を連れてきました。

要約すれば、

マタイの第 14 章では、ヘロデの手によるバプテスマのヨハネの死と、その後にイエスが数個のパンと魚で 5,000 人に奇跡的な食事を与えたことが詳しく語ら

れています。

そこにはガリラヤ湖の嵐の夜にイエスが水の上を歩いてペテロを救ったという驚くべき出来事も含まれています。

この章では、群衆に対するイエスの同情心、奇跡を起こす神聖な力、そして自然に対するイエスの権威に焦点を当てています。それは肉体的な必要を満たそうとする神の意欲を示しており、恐怖の時に安心感を与えます。この章では、人々がイエスを「神の子」として認識し、イエスに癒しを求める中で、イエスの人間性と神聖な特質の両方を紹介します。

マタイ 14:1 そのとき、領主ヘロデはイエスの名声を聞き、

ヘロデはイエスの名声を聞きます。

1. 神の名声は広範囲に及び、信仰や背景に関係なく、すべての人々に影響を与えます。

2. イエスの名声は暗闇にいる人々にとって光となり、彼らが自分の可能性を理解できるようになります。

1. マタイ 5:14-16 – 「あなたは世の光です。丘の上に築かれた街を隠すことはできません。ランプを灯してボウルの下に置く人もいません。代わりにスタンドに置くと、家にいる人全員に光が与えられます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせて、彼らがあなたの善行を見て、天の父に栄光を帰してください。」

2. ルカ 4:18-19 – 「主の御霊が私の上にあります。貧しい人たちに良いたよりを宣べ伝えるために主が私に油を注いでくださったからです。彼は囚人の自由と目の見えない人の視力の回復を宣言し、抑圧されている人々を解放し、主の恵みの年を宣言するために私を遣わしました。」

マタイ 14:2 そして家来たちに言った、「これはバプテスマのヨハネです。彼は死からよみがえりました。したがって、力強い業が彼の中に現れます。

洗礼者ヨハネは死者の中から復活したことが明らかにされ、彼の存在は力強い業として現れます。

1. 希望の力：洗礼者ヨハネの復活

2. 奇跡の人生を生きる: 洗礼者ヨハネの遺産を探る

存在しないものを呼び起こしてくださるのです。存在する。

2. マルコ 16:19 −それから、主イエスは彼らに話された後、天に上げられ、神の右に座された。

マタイ 14:3 というのは、ヘロデは、弟ピリポの妻ヘロディアのために、ヨハネを捕まえて縛り、牢に入れたからです。

洗礼者ヨハネはヘロデの不法結婚に反対したとして逮捕され、投獄されました。

1. たとえ困難な場合でも、正しいことのために立ち上がることの重要性。

2. 神は、たとえそれが困難な結果をもたらす場合でも、私たちの従順を用いてご自身の意志を達成することができます。

1. 使徒 5:29 - 「しかし、ペテロと使徒たちは、『人間ではなく神に従わなければなりません』と答えました。」

2. マタイ 10:28 - 「体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂も肉体も地獄で滅ぼす者を恐れなさい。」

マタイ 14:4 というのは、ヨハネが彼に言った、「あなたが彼女を抱くのは違法だ」。

洗礼者ヨハネはヘロデ・アンティパスに、兄の妻ヘロディアを自分の妻とするのは違法であると警告しました。

1: たとえ都合がよい場合でも、神の律法を破る誘惑に駆られてはなりません。

2: 私たちの行動は他の人に影響を与える可能性があることを覚えておく必要があります。

1: エペソ人への手紙 5:3 – 「しかし、あなたがたの間には、性的不道徳、あるいはいかなる不純さ、あるいは貪欲の片鱗さえあってはならない。これらは神の聖なる民にとってふさわしくないからである。」

2: ヤコブ 4:17 – 「ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとって、それが罪なのです。」

マタイ 14:5 そして、彼を死刑にしようとしたとき、彼は群衆を恐れました。なぜなら、彼らは彼を預言者とみなしたからです。

ヘロデは洗礼者ヨハネを殺したいと思っていましたが、人々が彼を預言者とみなしていたため、そうすることを恐れました。

1. 危険に直面しても神の加護がある

2. 世論の力

1. 詩篇 23:4 - たとえ私が最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

2. 箴言 29:25 - 人間への恐れは罠となるが、主を信頼する者は安全に保たれる。

マタイ 14:6 しかし、ヘロデの誕生日が守られたとき、ヘロデヤの娘が彼らの前で踊り、ヘロデを喜ばせた。

ヘロデの誕生日に、娘が踊ってヘロデを喜ばせました。

1. 誘惑に負ける危険性

2. 他人を喜ばせる力

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

マタイ 14:7 そこで彼は、彼女が求めるものは何でも与えると誓いを立てた。

この箇所は、ヘロデがどのようにしてサロメが求めたものは何でも与えると誓いを立てたかを説明しています。

1. 誓いの力 - 誓いが私たちを何かをするように縛り付ける方法と、約束を守ることの重要性。

2. お世辞の危険 - 誘惑に負けた場合の結果と、それがどのように衝動的な決定につながるか。

1. 伝道の書 5:5 - 「誓いを立てて果たさないよりは、誓わない方が良い」。

2. 詩篇 15:4 - 「自分を傷つけて変わらないと誓う者」。

マタイ 14:8 そこで彼女は、母親から事前に指示を受けて、「洗礼者ヨハネの首を充電器に入れてここに渡してください」と言った。

この一節は、ヘロディアの娘が洗礼者ヨハネの首をヘロデに要求したことを説明しています。

1. たとえ困難な任務や要求に直面したとしても、私たちは義と知恵を求めて努力しなければなりません。

2. 私たちは自分の決定と、自分の行動が周囲の人たちにどのように永続的な影響を与える可能性があるかを心に留めておく必要があります。

1. ヤコブ 1:5-8 - 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。しかし、疑うことなく、信仰を持って尋ねましょう。疑う人は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからです。その人は主から何かを受け取るだろうと考えてはなりません。彼は二面性があり、あらゆる点で不安定な男だ。」

2. 箴言 3:5-7 - 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。あなた自身の目には賢明ではありません。主を畏れ、悪から離れなさい。」

マタイ 14:9 王は残念に思いました。それにもかかわらず、誓いの言葉と、一緒に肉を食べていた人々のために、それを彼女に与えるように命じました。

王はそれが彼を悲しませたにもかかわらず、誓いを守りました。

1: たとえ困難なことがあっても約束を守ります。

2: たとえ大変なことがあっても、約束は守ります。

1: 詩篇 15:4、「自分を傷つけて誓う者は、変わらない。」

2: ヤコブ 5:12、「しかし何よりも、兄弟たちよ、天や地やその他の何によっても誓わないでください。あなたの「はい」は「はい」、あなたの「いいえ」は「いいえ」にしなさい、そうでなければあなたはそうなるでしょう。非難された。」

マタイ 14:10 そこで彼は人を遣わして、獄中でヨハネの首をはねた。

洗礼者ヨハネの殉教: 洗礼者ヨハネはヘロデ王の命令により斬首されました。

1. 神の計画は私たちの計画よりも大きく、時には私たちは神のために苦しみを受け入れ、耐えなければなりません。

2. 私たちの人生は儚いものであり、私たちの真の報いは天国にあります。

1. ローマ人への手紙 8:18、「私は、今の苦しみは、これから私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えています。」

2. コリント人への手紙第二 4:17-18、「というのは、私たちが目に見えるものではなく、目に見えないものに目を向けるとき、この一時的な軽い苦しみは、どんな比較にもならない永遠の栄光の重みを私たちに備えているからです。目に見えるものは一時的ですが、目に見えないものは永遠です。」

マタイ 14:11 そして、彼の首は充電器に入れられて運ばれ、乙女に渡された。そして乙女はそれを母親のところに持ってきた。

洗礼者ヨハネは斬首され、その首はヘロデの娘に送られ、ヘロデはそれを母親に届けました。

1. 逆境に直面した忍耐の力

2. 家族への忠誠の重要性

1. 詩篇 118:6 - 「主は私の味方です。私は恐れません。人は私に何ができるでしょうか。」

2. 箴言 17:17 - 「友はいつでも愛し、兄弟は逆境のために生まれる。」

マタイ 14:12 すると、弟子たちが来て、遺体を引き取って埋葬し、イエスに告げに行った。

イエスの弟子たちは、イエスの死後、遺体を引き取って埋葬し、イエスに告げました。

1. 愛の力: イエスの弟子たちはイエスの死後もどのように献身を示したか

2. 死者の世話: イエスの弟子たちの例

1. ローマ人への手紙 12:15 - 「喜ぶ人たちとともに喜び、悲しむ人たちとともに悲しみなさい。」

2. コリント第一 13:13 - 「そして今、この三つが残っています。信仰、希望、愛です。しかし、その中で最も大いなるものは愛です。」

マタイ 14:13 イエスはそれを聞くと、そこから船で人里離れた所へ出発した。それを聞いた人々は、町々から歩いてイエスを追った。

イエスは事態の知らせを受けて、船で遠く離れた場所へ行くことにしました。人々はそれを聞いて、都市から歩いてイエスに従いました。

1. 「イエスを信頼してください: 人生が困難になったとき」

2.「神の摂理：信仰をもってイエスに従う」

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ペテロ第一 5:7 - 神はあなたのことを気にかけてくださっているので、あなたの不安をすべて神に投げかけてください。

マタイ 14:14 それから、イエスは出て行って、大勢の群衆を見て、彼らに対して同情の心を抱き、彼らの病人をいやされた。

イエスは病人に同情心を示し、彼らを癒しました。

1: イエスは私たちに、苦しんでいる人を含むすべての人に思いやりと愛を示すよう呼びかけています。

2: イエスは私たちに、無条件の愛と思いやりをもって人生を生きる方法を教えてくださいました。

1: ルカ 10:25-37 - 善きサマリア人のたとえ。

2: 1 ヨハネ 3:16-18 - 私たちに対する神の愛、そして私たちが互いに愛し合うようにという神の呼びかけ。

マタイ 14:15 夕方になると、弟子たちがイエスのところに来て、「ここは荒れ果てた場所です。もう時は過ぎました。」と言った。群衆を追い払って、村々に行き、食料を買うようにしてください。

イエスの弟子たちは、夕方で、人里離れた場所にいるので、群衆を食べ物を買いに行かせてほしいとイエスに頼みました。

1. 私たちが神を信頼するなら、神は私たちの必要をすべて満たしてくださいます。

2. 私たちは困っている兄弟姉妹の世話をすべきです。

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2. ヤコブ 2:15-17 - 兄弟や姉妹が薄着で毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたがたのどちらかが、「安心して行きなさい。体を温め、お腹を満たしてください」と言い、生活に必要なものを与えなかったとしたら、体、それが何の役に立つの？

マタイ 14:16 しかしイエスは彼らに言われた、「彼らは出発する必要はない。あなたがたに食べさせてください。

イエスは弟子たちに食べ物を与えるように指示し、人々に同情心を示しました。

1: イエスは私たちに、困っている人たちに対して同情心と寛大さを持つように教えてくれます。

2: イエスは、私たちが持っているものを分かち合うだけで十分であることを教えてくださいました。

1: マタイ 25:35-40 - 私はお腹が空いていたので、あなたは私に食べ物を与えてくれました。私は喉が渇いていたので、あなたは私に何か飲み物をくれました。私は見知らぬ人でしたが、あなたは私を招待してくれました。

2: ヨハネ第一 3:17-18 - 物質的な所有物を持っていて、困っている兄弟や姉妹を見ていても同情しない人がいるとしたら、どうしてその人の中に神の愛があり得ますか。親愛なる子供たち、言葉や言葉ではなく、行動と真実によって愛しましょう。

マタイ 14:17 すると彼らは彼に言った、「ここにはパンが五つと魚が二匹しかない。」

イエスは5,000人に5つのパンと2匹の魚を与えました。

1: イエスは、たとえ資源がどんなに小さくても、私たちのあらゆる必要に応えてくださるお方です。

2: イエスの奇跡は、私たちに備えてくださるイエスの力と権威を示しています。

1: ピリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2: イザヤ書 40:28-31 - 知らないのですか？聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失ったり、疲れたりすることはありません。彼の理解は探ることができない。彼は気弱な者に力を与え、力のない者に力を与えます。若者でさえ気を失い、疲れ果て、若者は疲れ果てて倒れるでしょうしかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。

マタイ 14:18 彼は言った、「それらを私のところに連れて来なさい」。

イエスは弟子たちに、人々に食事を与えられるよう、人々を自分のところに連れてくるように言いました。

1: イエスは私たちの必要を満たしてくださることによって、私たちに対する愛と配慮を示してくださいます。

2: たとえ打ちのめされそうになったときでも、イエスが私たちを養ってくれると信頼することができます。

1: ピリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2: マタイ 6:31-33 - ですから、「何を食べようか」と心配しないでください。または「何を飲もうか？」または「何を着ましょうか？」というのは、異邦人はこれらすべてのものを求めており、あなたがたの天の父は、あなたがたがそれらすべてを必要としていることを知っているからです。しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。

マタイ 14:19 それから、イエスは群衆に草の上に座るよう命じ、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて祝福し、裂き、パンを弟子たちと弟子たちに与えた。

大勢の人に。

イエスは5つのパンと2匹の魚を祝福し、それを裂き、群衆に与えるために弟子たちに与えました。

1. イエスの寛大さと他者への配慮の模範。

2. 信仰と祝福の力。

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2. ルカ 12:22-34 - それからイエスは弟子たちにこう言われました。または自分の体について、何を着るかについて。

マタイ 14:20 こうして皆は食べて満腹になり、残ったかけらを拾って十二かごいっぱいになった。

弟子たちは少量の食物で大勢の群衆に食事を与えることができました。

1: 神の備えは私たちの必要をすべて満たすのに十分です。

2: 主が与えてくださると信頼してください。

1: ピリピ人への手紙 4:19 「そして、わたしの神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます。」

2: 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

マタイ 14:21 食事をしたのは、女と子供のほかに、男が五千人ほどだった。

この一節は、たった5つのパンと2匹の魚で5,000人を養った奇跡について語っています。

1. 信仰の力: イエスはどのようにして 5 つのパンと 2 匹の魚を 5,000 人に奇跡的に食べさせたのか

2. いのちのパン: イエスが人類への愛を象徴するためにパンをどのように使ったか

1. ヨハネ 6:1-14 – イエスは五千人に食事を与える

2. ルカ 9:10-17 – イエスは四千人に食事を与える

マタイ 14:22 そこでイエスは、すぐに弟子たちに船に乗り、自分より先に向こう岸へ行くよう強い、その間に群衆を追い去らせた。

イエスは弟子たちに、群衆を送り出す間に船に乗って向こう岸に向かうように指示されました。

1: たとえ理由が分からなくても、イエスの指示には従わなければなりません。

2: 私たちはイエスが導かれるところならどこへでもイエスに従う用意ができていなければなりません。

1: ルカ 5:4-5 「そして、話し終わると、彼はシモンに言った、「深いところに出て、網を降ろして獲物を捕りなさい。」「先生、私たちは一晩中働いたのに何も取れませんでした。しかし、あなたのお言葉で網を下ろします。」とシモンは答えました。

2: ヨハネ 21:22 - イエスは彼に言われた。あなたは私をフォローしてください！

マタイ 14:23 イエスは群衆を送り出すと、祈るためにバラバラに山に登られた。夕方になると、イエスは一人でそこにおられた。

イエスは群衆を追い払い、夕方祈るために一人で山に登られました。

1. 静かになり、祈りの時間を見つけることを学びます。

2. 神とともに時間を過ごすことで神に近づく。

1. ピリピ 4:6-7 - 「何事についても心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に言いなさい。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたたちの心と思いを守るでしょう。」

2. 詩篇 63:1 - 「神よ、あなたは私の神です。私はあなたを心から求めています。私の魂はあなたを求めて渇いています。水のない乾いた疲れた土地にいるかのように、私の肉体はあなたのために気を失います。」

マタイ 14:24 しかし、船は海の真ん中にあり、風が逆だったので波に揺れていました。

弟子たちは海の真ん中で舟に乗っていて、強い風のせいで波にさらわれていました。

1. 逆境を乗り越える - 人生の嵐の中で強さを見つける

2. 恐怖に直面した信仰 - 神の計画を信頼することを学ぶ

1. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない。」

2. 詩篇 46:1-3 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に今もいる助けです。それゆえ、たとえ大地が崩れても、山々が海の中心に移動しても、水が轟音を立てて泡立ち、山々がその膨らみに震えても、私たちは恐れることはない。」

マタイ 14:25 夜の四番のとき、イエスは海の上を歩きながら彼らのところに行かれた。

夜の四番目の当直のとき、イエスは弟子たちのところへ海の上を歩いてご自分の力を実証されました。

1. 自然に対するイエスの力と権威

2. イエスの奇跡的な備え

1. マルコ 6:45-51 - 水の上を歩くイエス

2. 詩篇 18:30 - 救い、守る神の力

マタイ 14:26 弟子たちは、彼が海の上を歩いているのを見て、「これは霊だ」と言って困惑した。そして彼らは恐怖のあまり叫びました。

弟子たちはイエスが海の上を歩いているのを見て恐れました。

1. 恐れるな：主の力を信頼する

2. 信仰の飛躍を恐れないでください

1. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 46:1-3 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。ですから、たとえ地が崩れ、山々が海の中心に落ちても、その水がたとえ流れても、私たちは恐れることはありません」轟音と泡が立ち上り、山々はその高波で震える。」

マタイ 14:27 しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけて言われた。私である;恐れるな。

イエスは弟子たちに勇気を持ち、恐れないように勧めます。

1.「神は私たちと共におられる：信仰を通して恐怖を克服する」

2. 「元気を出してください：イエスの約束に頼って」

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ヘブライ 13:5-6 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。ですから、私たちは自信を持って、「主は私の助け手です。私は恐れません。人間が私に何ができるでしょうか？」と言うことができます。

マタイ 14:28 するとペテロが答えて言った、「主よ、もしあなたでしたら、水の上であなたのところに来るように命じてください。」

ペテロはイエスが呼びかけると答え、本当にイエスが話しているのかと尋ね、もしそうであれば、水の上で自分のところに来るようにイエスに命じてくださいと頼みました。

1. 信仰の力 - ペテロのようにイエスを信頼することで、私たちは想像もできなかった場所にどのように導かれるか。

2. イエスのためにリスクを負う – リスクを冒してイエスへの忠実さを示すことが、どのように大きな報酬につながるのか。

1. エペソ 3:20 - さて、私たちの内に働いている神の力に応じて、私たちが求めたり想像したりするすべてを計り知れないほど多くのことを成し遂げてくださる方に。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

マタイ 14:29 するとイエスは、「来なさい」と言われた。そしてペテロが船から降りると、イエスのところへ行くために水の上を歩いた。

ペテロはイエスからイエスのところに来るように指示され、水の上を歩いてその通りにしました。

1. 神の力と信仰: ペテロはどのように水の上を歩いたか。

2. イエスとともに不可能な信仰の一歩を踏み出す。

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者はだれでも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

2. ヨハネ 14:6 - 「イエスは答えられた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに来ることはできない。」

マタイ 14:30 しかし、風が激しく吹いているのを見て、彼は恐れた。そして沈み始めたので、彼は叫びながら、「主よ、助けてください」と言った。

ペテロは強い風を見て海に沈み始め、主に助けてと叫びました。

1. 主を信頼することによって恐怖を克服する

2. 困難な時代でも希望を捨てないでください

1. マタイ 8:25-26 - すると、弟子たちがイエスのところに来て、彼を起こして、「主よ、私たちを救ってください。私たちは滅びます。」と言った。そしてイエスは彼らに言った、「信仰の薄い者よ、なぜ恐れるのか」。

2. 詩篇 34:17-19 - 義人の叫び、主は聞き届けられ、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださいます。主は心の傷ついた者たちの近くにいます。そして悔い改めた精神を持つ者を救いなさい。義人の苦しみは多い。しかし、主は彼をそれらすべてから救ってくださる。

マタイ 14:31 するとすぐに、イエスは手を伸ばして捕まえて言われた、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」。

イエスは海で溺れていたペテロを救い、信仰が薄いことを叱責されました。

1. 信仰の力: 疑いの時にイエスはどのように助けられるか

2. イエスの愛: いつでも助けてくれる準備ができています

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」

マタイ 14:32 そして彼らが船に乗り込むと、風は止んだ。

イエスと弟子たちが船に乗り込むと、風はすぐに止みました。

1. 私たちはイエスの信仰と神への信頼の模範から学ぶことができます。

2. たとえ激動の時代であっても、私たちは神のうちに平和と慰めを見いだすことができます。

1. 詩篇 56:3 「恐れるとき、私はあなたに信頼します。」

2. ローマ 8:28 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

マタイ 14:33 そのとき、船に乗っていた人々がやって来て、イエスを拝んで言った、「確かに、あなたは神の子です。」

舟に乗っていた人々はイエスの力に非常に驚き、イエスを崇拝し、イエスが神の子であると宣言しました。

1. イエスの力: イエスの奇跡的な行為は彼の神性をどのように証明するか

2. イエスの崇拝: イエスが御子であるという真実をどのように宣言するか

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれるでしょう、相談者、力強い神、永遠の父、平和の王子。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。なぜなら、神は世を罪に定めるために御子をこの世に遣わしたのではありません。しかし、彼を通して世界が救われるためです。

マタイ 14:34 そして彼らは渡って、ゲネサレトの地に入った。

イエスと弟子たちはガリラヤ湖を渡り、ゲネサレの地に到着しました。

1. 神は私たちに目的地に到達するためのリソースを提供してくださいます。

2. たとえそれが不可能に見えるときでも、神は私たちを望みの場所に導いてくださいます。

1. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない」。」

2. 詩篇 23:2 - 「神は私を緑の牧草地に寝かせてくださいます。彼は私を静かな水辺に導かれます。」

マタイ 14:35 そこで、その場所の人々がイエスのことを知ると、その周りの全土に人を送り、病気の人をすべて彼のところに連れてきた。

イエスはその地域の病人を癒しました。

1: イエスの癒しの奇跡: 彼の力はどのように時間と空間を超越するのか

2: 否定できない奇跡: イエスの治癒力

1: イザヤ書 53:5、「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち傷を負った。私たちの平和のための懲罰が彼に臨んだ。そして彼の打ち傷によって私たちは癒された。」

2: 詩篇 103:3、「あなたのすべての咎を赦してくださる方、あなたのすべての病気をいやしてくださる方。」

マタイ 14:36 そして、衣の裾だけを触らせてほしいと懇願した。すると、触れた者はみな、完全に回復した。

群衆の人々はイエスに、衣の裾に触れさせてくださるよう懇願し、そうした人々は癒されました。

1. 信仰の力: イエスとの群衆の出会いから学ぶ

2. イエスの奇跡的な接触: 解放と癒しの体験

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

マタイ 15 章には、真の清さ、イエスの癒しの奇跡、そして 4,000 人の食物についてのイエスの教えが示されています。

第 1 段落: この章は、パリサイ人と律法学者が、食事の前に手を洗わないことで伝統を破ったとしてイエスの弟子たちを非難するところから始まります (マタイ 1 5:1-2)。イエスは彼らに反論し、彼ら自身が伝統のために神の戒めを破っている彼らの偽善を批判します。彼は、人を汚すものは口に入ったものではなく、心から出たものであると教えています。これは、道徳的な不純さは儀式の不純さよりも深刻であることを示しています（マタイ 15:10-20）。

第 2 段落: ガリラヤを出てティルスとシドンの地域に向かうイエスは、悪霊に取り憑かれた娘の癒しを懇願するカナン人の女性に出会います (マタイ 15:21-28)。イエスは最初、イスラエルの失われた羊のためにのみ遣わされたと答えました。しかし、執拗な嘆願と主を主として認めることによって表現された彼女の信仰に動かされて、主は彼女の願いを聞き入れます。

第 3 段落: ガリラヤ湖に戻ったイエスは、足の不自由な人、目の見えない人、口のきけない人など、連れてこられた多くの人々を癒し、群衆を驚嘆させます (マタイ 15:29-31)。この章の最後に、女性と子供のほかに四千人の男性に七つのパンと数少ない小魚を与えるという奇跡が記されています（マタイ１５：３２－３９）。先ほどの 5,000 人の食料供給の奇跡と同様に、これもまた、貧しい人々に対する神の思いやりと神の神聖な力を強調しています。

マタイ 15:1 そのとき、エルサレムの律法学者やパリサイ人たちがイエスのところに来て、こう言った。

この箇所は、エルサレムから律法学者とパリサイ人がイエスのところに来たことを示しています。

1. 私たちは常にイエスとその教えに倣うよう努めるべきです。

2. 私たちの違いに関係なく、イエスは私たち全員を愛し、歓迎してくださいます。

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛しなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。これによって、すべての人はあなたがたがわたしの弟子であることを知るであろう。あなたがたは互いに愛を持っています。」

2. ローマ人への手紙 12:10 - 「兄弟愛をもって互いに親切に愛し合い、敬意を持って互いに愛し合いなさい。」

マタイ 15:2 なぜあなたの弟子たちは長老たちの伝統に背くのですか。彼らはパンを食べるときに手を洗わないからです。

この箇所は、イエスの弟子たちがパンを食べるときに手を洗わないという長老たちの伝統に違反していることについて述べています。

1. 伝統に従い、権威を尊重することの重要性。

2. ルールにただ盲目的に従うのではなく、なぜそのようなことをするのかを理解する。

1. 箴言 3:5-6 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

2. コロサイ 3:17 「そして、言葉においても行いにおいても、すべてを主イエスの名によって行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。」

マタイ 15:3 しかしイエスは答えて彼らに言った、「なぜあなた方は自分たちの言い伝えによって神の戒めに違反するのか」。

この箇所は、人間の伝統ではなく神の命令に従うことの重要性を語っています。

1. 神の命令に従うことの重要性

2. 伝統を正しい行いの邪魔にしないでください

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守るでしょう。」

2. 申命記 11:26-28 - 「見よ、わたしは今日、あなたの前に祝福と呪いを用意する。それは、わたしが今日あなたに命じる、あなたの神、主の戒めにあなたが従うなら、祝福である。あなたの神、主の戒めに従わないなら、のろいを受けるであろう。」

マタイ 15:4 神はこう命じられた、「あなたの父と母を敬え。そして、父や母を呪う者は死なせなさい。」

神は私たちに両親を敬えと命じており、両親を呪う者は罰せられます。

1. 両親を敬う呼びかけ - 両親への敬意と従順は神の秩序の基礎です。

2. 軽蔑の結果 - 両親を呪うことは深刻な結果をもたらす重大な犯罪です。

1. エペソ 6:1-3 - 子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。「あなたの父と母を敬え」―これは約束を伴う第一の戒めですが―「そうすればあなた方はうまくいき、地上で長生きを楽しむことができます。」

2. 箴言 23:22 - あなたに命を与えてくれた父親の言うことを聞き、年老いた母親を軽蔑してはならない。

マタイ 15:5 しかし、あなたがたは言う、「父や母に『それは贈り物だ』と言う者はだれでも、あなたが私から得するであろうあらゆることによって、それは贈り物です。」

イエスは、両親を敬う代わりに神に贈り物をする習慣を非難しています。

1. 両親を敬うことは神からの戒めであり、私たちの信仰のしるしです。

2. 私たちは生活の中で神の戒めを何よりも優先するよう努めるべきです。

1. エペソ人への手紙 6:1-3 - 「子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。それは正しいことだからです。あなたの父と母を敬え。これが約束を伴う最初の戒めです。地球上で長生きしてください。」

2. 出エジプト記 20:12 - 「あなたの父と母を敬え。そうすればあなたの神、主が与えられる土地で長く生きることができる。」

マタイ 15:6 父親や母親を敬わないでください。彼は自由になります。このように、あなたがたは、神の戒めを自分たちの伝統によって何の効果も持たないものにしてしまったのだ。

この一節は、人間が作った伝統を支持して神の命令を無視することに対する警告です。

1: 私たちは何よりも主の命令を尊重することを常に忘れてはなりません。

2: 私たちは神の命令を無視したり、自分たちの伝統に置き換えたりしてはなりません。

1: 申命記 10:12-13 「さて、イスラエルよ、あなたの神、主があなたに求めておられるのは、あなたの神、主を畏れ、主の道をすべて歩むこと、主を愛し、あなたの神、主に仕えることである。」心を尽くし、精神を尽くして、あなたの益のために今日私があなたに命じた主の戒めと掟を守るのですか？」

2: ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えなさい。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

マタイ 15:7 偽善者たちよ、エザヤはあなたがたについて預言してこう言いました。

マタイ 15 章 7 節のこの一節では、イエスがパリサイ人の偽善を非難し、彼らについてのイザヤの預言を引用していると述べられています。

1.「教会の偽善」

2.「不義に対する神の裁き」

1. イザヤ書 29:13 - 「主はこう言われた。「この民は口で近づき、くちびるでわたしを敬うが、心はわたしから遠く離れており、わたしを恐れるのは人間が教える戒めだからである。」

2. ヤコブ 2:10 - 「律法全体を守っても、一点で失敗する者は、そのすべてに対して責任を負うことになるからです。」

マタイ 15:8 この民は口でわたしに近づき、唇でわたしを敬っている。しかし彼らの心は私から遠く離れています。

この箇所は、表面的には神に敬意を示しているが、心は神から遠く離れている人々について語っています。

1: 私たちは、ただ口先だけで神に奉仕するのではなく、自分の心が本当に神に捧げられるように注意しなければなりません。

2: 宗教は外見にとらわれがちですが、神への畏敬の念と愛に満ちた心を必ず持つ必要があります。

1: ヤコブ 1:22 - 自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

2: ルカ 6:45 - 善良な人は、心の善い宝から善いものを生み出します。そして悪人は心の邪悪な宝から邪悪なものを生み出します。

マタイ 15:9 しかし、彼らは私を崇拝し、教義のために人間の戒めを教えていますが、無駄です。

イエスは、神の言葉ではなく人間の戒めに基づいた教義を教えているなら、神を崇拝するのは無駄であると宣言されます。

1. 私たちは自分の欲望ではなく神の言葉に従わなければなりません

2. 霊と真実をもって神を礼拝する

1. ヨハネ 4:24 - 「神は霊です。神を崇拝する者は、霊と真理によって神を崇拝しなければなりません。」

2. 詩篇 119:172 - 「私の舌はあなたの言葉を語ります。あなたの戒めはすべて義だからです。」

マタイ 15:10 そこでイエスは群衆を呼んで言われた、「聞いて、悟りなさい。

イエスは神の言葉を理解することの大切さを教えています。

1: 私たちは神の御心に従って生きることができるように、神の言葉を理解するよう努めなければなりません。

2: イエスの愛と恵みから恩恵を受けるためには、イエスの教えに耳を傾け、理解することが不可欠です。

1: 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足を導く灯火であり、私の道の光です。」

2: テモテ第二 3:16-17 - 「聖書はすべて神の霊感によるもので、何が真実であるかを教え、人生の何が間違っているのかを気づかせるのに役立ちます。聖書は、私たちが間違っているときは正し、行うべきことを教えます」何が正しいのか。」

マタイ 15:11 口に入るものが人を汚すわけではありません。しかし口から出るものは人を汚す。

この聖句は、私たちが不純になるのは何を消費するかではなく、私たちが何を言い、どのように行動するかであることを強調しています。

1:私たちの言葉には力があります。私たちはそれらを注意深く賢明に使用しなければなりません。

2: 私たちを聖くするために外部の力に頼ることはできません。重要なのは私たちの内なる思考と行動です。

1: ヤコブ 3:8-10 - 舌は体の小さな部分ですが、非常に自慢します。小さな火花によって偉大な森が燃え上がる様子を考えてみましょう。

2: エペソ 4:29 - 堕落させるような話をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く人たちに恵みを与えるために、その場に応じて築き上げるのに良いような話だけをしてください。

マタイ 15:12 そのとき、弟子たちが来てイエスに言った、「パリサイ人たちがこの言葉を聞いて腹を立てたことを知っていますか。」

イエスがある言葉を語られたとき、パリサイ人たちは非常に腹を立てました。

1. イエスの言葉は強力で、人々を怒らせました。私たちは他人を傷つけないように話し方や行動に注意しなければなりません。

2. イエスは権威と確信を持って語り、たとえ結果が生じても、私たちが信じるもののために立ち上がることを教えました。

1. コロサイ 4:6 - 誰にでもどのように答えるべきかを知ることができるように、常に塩味を利かせた礼儀正しい話し方をしましょう。

2. ヤコブ 1:19-20 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

マタイ 15:13 しかしイエスは答えて言われた、「わたしの天の父が植えなかった植物はみな、根を張ることになる。」

イエスは、神が植えたものでないものは最終的には根こそぎにされるだろうと警告しています。

1.「神の植林の永続する性質」

2.「神の愛に根ざしている」

1. イザヤ書 61:3 - イスラエルで悲しむすべての人に、神は灰の代わりに美しい冠を、嘆きの代わりに喜びの祝福を、絶望の代わりにお祝いの賛美を与えます。彼らの義においては、彼らは主がご自身の栄光のために植えられた大きな樫の木のようになるでしょう。

2. 詩篇 92:13 - 彼らは年をとっても実を結び、みずみずしく緑を保ち、こう宣言します。彼は私の岩であり、彼には悪意はありません。」

マタイ 15:14 彼らを放っておいてはなりません。彼らは盲人の盲目の指導者なのです。そして、盲人が盲人を先導すると、両方とも溝に落ちます。

盲目の指導者は、自分に従う者たちを危険に導きます。

1: 私たちは誰に従うかを注意しなければなりません。

2: 神は私たちが賢明な決断を下し、神の導きに頼ることを望んでおられます。

1: 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

2: イザヤ書 30:21 - 「あなたが右に曲がったり左に曲がったりするたびに、あなたの耳には後ろから『これが道だ、そこを歩きなさい』という言葉が聞こえるでしょう。」

マタイ 15:15 そこでペテロに答えて言った、「このたとえを私たちに宣言してください。」

イエスは礼拝において心の大切さを教えています。

1: 神は私たちの心を望んでおられる

神は礼拝において何よりも私たちの心を望んでおられます。私たちが神の前に出るとき、私たちが捧げる最も重要な捧げ物は心でなければなりません。

2: 命をかけて神を敬う

神は私たちが命をかけて神を敬うことを望んでおられます。私たちは教会で行うことだけでなく、神の栄光のためにあらゆることを行うように努めるべきです。

1: マタイ 22:37 - イエスは彼に言われた、「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』」

2: 箴言 4:23 - 心を一生懸命に保ちなさい。人生の問題はそこから出てくるからです。

マタイ 15:16 そこでイエスは言われた、「あなたがたもまだ理解できないのか」。

イエスは周囲の人々の無理解に不信感を表明します。

1: 私たちの中で最も賢明なイエスでさえ、時々自分の教えが理解できずにイライラしたことがありました。

2: 私たちはイエスに本当に従う前に、イエスの教えを理解するよう努めなければなりません。

1: ヤコブ 1:5 - あなたがたのうちに知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

2: 箴言 2:6-9 - 主は知恵を与えてくださるからです。その口からは知識と理解力が生まれます。神は義人のために健全な知恵を蓄えます。彼は正しく歩む者たちにとっては屈服者です。彼は裁きの道を守り、聖徒たちの道を守ります。そうすれば、あなたは正義と裁きと公平を理解するでしょう。そう、どれも良い道だ。

マタイ 15:17 あなたがたは、口から入るものは腹に入り、すきま風の中に放り出されるということをまだ理解していませんか。

マタイ 15:17 のこの一節は、口に入ったものはすべて最終的に通過して排出されることを説明しています。

1: 体に入れたものは最終的には排出されるので、注意しなければなりません。

2: 私たちの体は最終的にそれを拒否するので、何を摂取するかに注意する必要があります。

1: 箴言 4:23 - 「あなたの心を全力で保ちなさい。人生の問題はそこから出てくるからです。」

2: ピリピ 4:8 - 「最後に、兄弟たち、どんな真実でも、どんな正直でも、どんな正しいことでも、どんな清いことでも、どんな美しいことでも、どんな良い報告でも、どんな徳でもあるなら、そして、何か賞賛があるなら、これらのことを考えてください。」

マタイ 15:18 しかし、口から出るものは心から出ます。そして彼らは男を汚します。

この一節は、私たちが心から発する言葉と、それがいかに人を汚すかについて語っています。

1. 言葉の力: 私たちの言葉がどのように私たちを汚すのか

2. 人生を語ろう: 言葉を壊すのではなく築き上げよう

1. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にある。

2. ヤコブ 3:1-12 - 舌の力と、それがどのように人を欺き、大きな害をもたらすかについて見てみましょう。

マタイ 15:19 悪い考え、殺人、姦淫、不品行、窃盗、偽証、冒涜は心から出てくるからです。

この一節は人間の心に生じる悪について語っています。

1: 神は私たちに、悪の心から離れ、義を求めて神に立ち返るよう呼びかけておられます。

2: 私たちは心を純粋に保ち、邪悪な考えや行為を持たないように努めるべきです。

1: 箴言 4:23 - 全力を尽くして心を保ちなさい。なぜなら、そこには人生の問題があるからです。

2: エレミヤ 17:9 - 心は何よりも欺瞞的で、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。

マタイ 15:20 これらは人を汚すものですが、洗っていない手で食べることは人を汚しません。

この一節は、外的な行為が必ずしも人の霊的状態を定義するわけではないことについて述べており、重要なのは人の体に入るものではなく、そこから何が出るのかであることを強調しています。

1. 「問題の核心: 中身が最も重要」

2. 「きれいな手かきれいな心: 純粋さの真の尺度」

1. ヤコブ 3:12 - 「兄弟たちよ、いちじくの木はオリーブの実を生み、ブドウの木はいちじくを実らせることができますか。塩池も真水を生み出すことはできま

せん。」

2. 箴言 4:23 - 「何よりも自分の心を守りなさい。それは命の泉だからです。」

マタイ 15:21 それから、イエスはそこへ行かれ、ティルスとシドンの海岸へ行かれた。

イエスはティルスとシドンの海岸に行かれました。

1. すべての人々に手を差し伸べるために、あらゆる手段を講じるイエスの意欲。

2. 信仰の力と、信仰が困難な時期を乗り越えるのにどのように役立つか。

1. エレミヤ 29:11 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、それはあなたに将来と希望を与えるために、悪の計画ではなく福祉の計画である。」

2. ヘブライ 11:1 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

マタイ 15:22 すると、見よ、カナンの女が同じ海岸から来て、彼に向かって叫んで言った、「主よ、ダビデの子よ、私を憐れんでください。私を憐れんでください。」私の娘は悪魔にひどく悩まされています。

カナンの女性は、悪魔にひどく悩まされている娘のために慈悲を求めてイエスに叫びました。

1. 信仰の力：神の治癒能力を信頼する

2. 逆境の克服: 困難な時にイエスに頼る

1. ペテロ第一 5:7 - 「あなたの思い煩いをすべて彼に投げかけてください。彼はあなたを気遣っているからです。」

2. ヤコブ 4:6 - 「しかし、神はさらに多くの恵みを与えます。だから、「神は高ぶる者に反対しますが、謙虚な者には恵みを与えます。」と書かれています。

マタイ 15:23 しかしイエスは彼女に一言も答えなかった。すると弟子たちがやって来て、「彼女を追い払ってください」と懇願した。彼女は私たちの後を追って泣いているからです。

イエスは癒しを求めるカナン人の女性の願いに答えることを拒否されましたが、弟子たちは彼女を追い返すように懇願しました。

1.「粘り強さの力：困難に直面しても神を信頼する」

2. 「とりなしの力: イエスは私たちの祈りにどのように応えられるか」

1. ヤコブ 5:16 - 「ですから、癒されるために、互いに罪を告白し、互いに祈りなさい。義人の祈りは大きな力を持って働いています。」

2. ヨハネ第一 5:14-15 「そして、これが私たちが神に対して抱いている確信です。私たちが神の御心に従って何かを求めるなら、神は私たちの言うことを聞いてくださるということです。そして、私たちが求めることは何でも神が聞いてくださると知っているなら、私たちはそれを知っています」私たちが彼に求めていた要望があることを。」

マタイ 15:24 しかしイエスは答えて言われた、「わたしはイスラエルの家の失われた羊のところに遣わされたのではありません。」

イスラエルの失われた羊に対するイエスの使命。

1: イスラエルの失われた羊に対するイエスの愛と配慮。

2: イスラエルの失われた羊に対するイエスの使命の重要性。

1: イザヤ書 53:6 - 「羊のようにわたしたちはみな迷い、ひとりひとりが自分の道に戻った。そして主はわたしたち全員の咎を彼の上に負わせられた。」

2: 詩篇 23:1 - 「主は私の羊飼いです。私は欲しがることはありません。」

マタイ 15:25 それから彼女はやって来て、イエスを拝んで、「主よ、助けてください」と言った。

一人の女性がイエスのところに来て助けを求めました。

1. イエスを主として認める: マタイ 15:25 の研究

2. 困難を克服し、イエス・キリストにある強さを見つける

1. マタイ 11:28-30 - すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。

2. イザヤ書 55:6-7 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼んでください。

マタイ 15:26 しかしイエスは答えて言った、「子供たちのパンを取って犬に投げつけるのはふさわしくない」。

イエスは私たちに、自分よりも困っている人を優先するよう教えています。

1: 私たちは常に自分よりも困っている人たちを喜んで助ける必要があります。

2: イエスは私たちに、自分の必要よりも他人の必要を優先するように教えられます。

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはいけません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。」

2: ヤコブ 2:15-17 「ある兄弟または姉妹が衣服も食べるものも持たないとしましょう。あなたがたのうちの一人が彼らに、『安心して行きなさい。暖かくして十分な食事を与えてください』と言いましたが、彼らの身体的ニーズについては何もしてくれません。それが何の役に立つでしょうか？」

マタイ 15:27 すると彼女は言った、「主よ、本当です。それでも犬は主人の食卓から落ちるパンくずを食べます。」

イエスは、部外者と思われている人も含めて、すべての人に対する神の愛を明らかにしています。

1: 部外者に対する神の愛 - ルカ 15:1-2

2: すべての人に対する神の憐れみ - エペソ 2:4-7

1: ルカ 15:1-2 「さて、徴税人や罪人たちは、皆、イエスの話を聞くために集まっていた。しかし、パリサイ人や律法学者たちはつぶやいて言った。「この人は、罪人たちを歓迎して、一緒に食事をしているのだ。」

2: エペソ 2:4-7 「しかし、憐れみに富む神は、私たちに対する大きな愛のゆえに、私たちが罪を犯して死んでいたときでさえ、キリストとともに生かしてくださいました。あなたが救われたのは恵みによるのです。」そして神は私たちをキリストとともによみがえらせ、キリスト・イエスにあって天の領域に共に座させてくださった。それは、来るべき時代に、キリスト・イエスにおける私たちへの優しさによって表される、比類のない恵みの豊かさを示すためである。」

マタイ 15:28 すると、イエスは答えて彼女に言われた、「お嬢さん、あなたの信仰はすばらしいですね。あなたの望むままになさい。」そして彼女の娘はその瞬間から完全になりました。

この箇所では、イエスが女性の偉大な信仰を賞賛し、その瞬間から彼女の娘を癒したことについて説明しています。

1.「信仰の力」

2. 「イエスを信じる祝福」

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者はだれでも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

2. ヤコブ 5:15 - 「信仰によってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したなら、彼らは赦されるでしょう。」

マタイ 15:29 それから、イエスはそこを出発し、ガリラヤ湖に近づいた。そして山に登り、そこに座りました。

イエスはある場所を出発してガリラヤ湖に行き、それから山に登ってそこに座られます。

1. イエスの祈りのパターン: 彼の模範が今日私たちをどのように導くことができるか

2. 孤独の力: キリストは孤独の中でどのようにして神とつながったのか

1. イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2. マルコ 1:35 「そして朝、日が暮れるずっと前に起きて、外に出て、人里離れた場所に行き、そこで祈った。」

マタイ 15:30 すると、大群衆が足の不自由な人、目の見えない人、口のきけない人、障害のある人、その他多くの人を連れてイエスのもとに来て、イエスの足もとにひれ伏した。そして彼は彼らを癒しました。

大勢の人々がイエスの周りに集まったとき、イエスは足の不自由な人、目の見えない人、口のきけない人、障害のある人など、体の病気を患っている多くの人々を癒しました。

1. イエスは私たちの癒し手です - 神の恵みがどのようにすべての人に希望と癒しを与えるのか

2. 慈悲の力 - 神の愛がどのように肉体的および霊的な病気を癒すか

1. イザヤ書 53:4-5 - 確かに彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに見ました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ヤコブ 5:14-15 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださるでしょう。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

マタイ 15:31 群衆は、口のきけない人が話すこと、障害のある人が健常であること、足なえの人が歩けること、目の見えない人が見えることを見て、非常に驚き、イスラエルの神を讃美した。

群衆は病人や弱者の奇跡的な癒しを目撃して驚き、神の慈しみを讃美した。

1. 神の憐れみと慈悲: イエスの奇跡を祝う

2. 信仰の力: 神の愛が私たちをどのように変えるか

1. イザヤ書 35:5-6 - 「そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は止まらなくなります。そのとき、足の不自由な人は鹿のように飛び跳ね、口の利けない人の舌は喜びのために歌います。」

2. 詩篇 103:3-5 - 「あなたの咎をすべて赦してくださる方、あなたのすべての病気を癒してくださる方、あなたの命を穴から救い出してくださる方、揺るぎない愛と憐れみの冠をあなたに授けてくださる方。」

マタイ 15:32 それから、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、「群衆を憐れんでいます。彼らは今三日も私と一緒にいるのに、何も食べるものがないのです。そして、彼らが気を失ってしまわないように、断食させて送り出すつもりはありません」道。

イエスは、3日間イエスについて来て食べ物に困っていた大勢の群衆に同情心を示されました。

1. 行動における思いやり: イエスとその追随者たち

2. 信仰の力: イエスと群衆

1. ヤコブ 2:15-16 - 「兄弟や姉妹が着衣も貧弱で、毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたがたのうちの誰かが、彼らに必要なものを与えずに、「安心して行きなさい。体を温め、お腹を満たしなさい」と言ったら、彼らに必要なものを与えません。体、それが何の役に立つの？」

2. ローマ 12:15 - 「喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。」

マタイ 15:33 弟子たちは彼に言った、「荒野でこんなにたくさんの群衆を満腹させるほど、どこからパンが手に入るでしょうか。」

弟子たちはイエスに、荒野で大勢の群衆に食べさせるのに十分なパンはどこにあるのかと尋ねました。

1. 備えの力：神の豊かさを信頼する

2. 疑いの克服: 主のうちに強さを見つける

1. フィリピ 4:19 - 「私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。」

2. イザヤ書 41:10 - 「だから恐れないでください。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。」

マタイ 15:34 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたたちはパンをいくつ持っていますか」。すると彼らは、「七匹と、小さな魚が数匹」と言いました。

イエスが弟子たちにパンと魚は何匹あるかと尋ねると、彼らはパン7個と魚数匹と答えました。

1. イエスは私たちの必要を気遣ってくださいます - 弟子たちが持っていたわずかなものを取り、それを増やして群衆を養うことは、イエスが私たちの必要を喜んで満たそうとしていることを示しています。

2. 欠乏の中の豊かさ - イエスは、資源が不足しているように見える状況でも豊かさを見つけることができることを教えてくれました。

1. コリント人への第二の手紙 9:8 - そして、神はあなたに対してあらゆる恵みを豊かにすることができます。それは、あなたがいつもすべてのことに十分に満ちていて、あらゆる良い行いを豊かにできるようにするためです。

2. フィリピ 4:19 - しかし、私の神は、キリスト・イエスによって、栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

マタイ 15:35 それからイエスは群衆に地に座るよう命じられた。

イエスは数個のパンと魚を群衆に食べさせました。

1. 神は私たちが欠けているにもかかわらず、私たちの必要を満たしてくださいます。

2. 私たちは他の人たちに祝福を与えることができて幸いです。

1. フィリピ 4:19 - 「そして私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたのあらゆる必要を満たしてくださいます。」

2. ルカ 6:38 - 「与えなさい。そうすれば、与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。なぜなら、あなたが使う尺度によって、それはあなた自身に測られるからです。」

マタイ 15:36 それからイエスは七つのパンと魚を取り、感謝をささげてそれを裂き、弟子たちに与え、また弟子たちも群衆に与えた。

イエスが感謝をささげて裂いた後、弟子たちは7つのパンと魚を群衆に与えた。

1. イエスは備えと祝福の源です。

2. 感謝の力。

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に言いなさい。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたたちの心と思いを守るでしょう。」

2. エペソ人への手紙 5:20 「私たちの主イエス・キリストの御名において、常に、またあらゆることについて父なる神に感謝しなさい。」

マタイ 15:37 こうして皆は食べて満腹になり、残った砕けた肉を拾って七つのかごいっぱいになった。

この箇所には、イエスと弟子たちによって7つのパンと2匹の魚が与えられた大勢の人々が描かれています。全員が食べて満腹になった後も、割れた破片が入った籠が７つ残っていた。

1. 神は限られた資源で想像を絶することを行うことができます。

2. 神の豊かさは私たち全員を養うことができます。

1. ヨハネ 6:12-13 – それらが満たされると、イエスは弟子たちに言った、「何も失われないように、残っている断片を集めなさい」。そこで彼らはそれらを集め、食べた彼らの上に残っていた五つの大麦のパンのかけらを十二の籠に詰めた。

2. ルカ 9:16-17 – それからイエスは 5 つのパンと 2 匹の魚を取り、天を見上げてそれらを祝福し、ブレーキをかけ、群衆の前に置くように弟子たちに与えました。そして彼らは食べて、みな満腹した。そして、残った破片は拾われて十二かごになった。

マタイ 15:38 そして食事をしたのは、女と子供のほかに男四千人であった。

この箇所では、イエスが女性と子供を除く4,000人に食事を与えたことが語られています。

1.「神の豊かさ: 群衆を養う奇跡」

2. 「イエスの力: イエスの民に対する超自然的な備え」

1. イザヤ書 55:1 - 「さあ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て、買って食べなさい。さあ、お金も費用もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。」

2. 列王下 4:42-44 - ある人がバアル・シャリシャから来て、初穂からの食物、すなわち大麦二十個のパンと新鮮な穂を袋に入れて持ってきました。エリシャは「それを人々に与えて食べさせてください」と言いました。しかし、召使は「どうしてこれを百人の前に言えるでしょうか？」と言いました。「それを民に与えて、食べさせてください。『彼らは食べて余る』と主はこう言われるからです。」そこで彼はそれを彼らの前に置くと、彼らは食べて余った。主の言葉どおりに。

マタイ 15:39 それからイエスは群衆を追い返し、船に乗ってマグダラの海岸に入った。

イエスは群衆を追い払い、船に乗ってマグダラの町へ向かいました。

1. イエスの模範の力: イエスは、謙虚さと恵みをもって他の人に仕える心構えを私たちに示してくださいました。

2. 同情の強さ: イエスは、彼らを助けるために全力を尽くすことによって、他の人への愛を示します。

1. ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはいけません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、あなた方一人一人が他人の利益に目を向けてください。」

2. マタイ 11:28-29 「すべて疲れた者、重荷を負っている者は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたがたを休ませてあげます。私のくびきを負って、私から学んでください。私は心優しく謙虚だから、そうすればあなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。」

マタイ 16 章では、パリサイ派とサドカイ派の教えについてのイエスの警告、ペテロによるイエスをメシアとしての告白、そしてイエスの死と復活についての預言が示されています。

第 1 段落: この章は、パリサイ派とサドカイ派の人々が、天からのしるしを示すようイエスに求めてイエスを試すところから始まります (マタイ 16:1-4)。彼は、彼らが天気のパターンを解釈できるにもかかわらず、霊的な兆候を解釈できないことを叱責しました。彼は彼らに、来るべき死と復活を指す「ヨナのしるし」以外にはいかなるしるしも与えられないと告げる。その後、イエスは弟子たちに、パリサイ人とサドカイ派のパン種（教え）について警告しますが、彼らはそれを彼らの教義に対する警告として理解しています。

第 2 段落: イエスとは誰であるかを人々が尋ねると、弟子たちはさまざまな答えを返します – 洗礼者ヨハネ、エリヤ、または預言者の一人です。しかし、イエスは誰だと思うかと尋ねられたとき、ペテロはイエスが「生ける神の子キリスト」であると告白します(マタイ16:13-20)。肉と血ではなく天の父によって与えられたこの啓示に応えて、イエスはペテロが祝福され、この岩（ペテロの信仰または彼の告白）の上にハデスの門が乗り越えられないご自身の教会を建てると宣言されました。

第 3 段落: この最高点の後に、彼の苦しみについての最初の明確な予測が来ます - 彼はエルサレムに行かなければならず、そこで長老たち祭司長たち律法学者の手によって多くの苦しみを受け、殺されるが三日目によみがえるというものです (マタイ 16:21-28) 。ペテロがそのような道からイエスを思いとどまらせようとすると、イエスは神のことよりも人間のことに思いを馳せているペテロを厳しく叱責されました。次に、神に従うことは高価だが価値があることについて教え、命を

救いたい者はそれを失うが、自分のために命を失うことは、時間的観点から永遠を強調していることに気づくと述べています。

マタイ 16:1 パリサイ人たちもサドカイ人たちと一緒に来て、天からのしるしを見せてほしいと誘惑した。

パリサイ派とサドカイ派はイエスに天からのしるしを求めました。

1. 神を試す危険

2. 信仰の重要性

1. 申命記 6:16 – 「あなたの神、主を試してはなりません」

2. ヘブライ 11:1 – 「さて、信仰は、望んでいる事柄を保証し、目に見えない事柄を確信するものです。」

マタイ 16:2 イエスは答えて言われた、「夕方になると、あなたがたは、天気が良くなるだと言っています。空が赤いからです。」

イエスは群衆に、空の様子に基づいて天気を予測する能力について教えます。

1. 神の創造: 自然界を利用して神の計画を理解する

2. 識別力: 神が何を言われているかを知る

1. 詩篇 19:1-2 - 「天は神の栄光を告げ知らせ、大空は神の御手の業を告げ知らせる。」

2. 1 コリント 2:13-14 - 「これは私たちが話すことです。人間の知恵によって教えられた言葉ではなく、御霊によって教えられた言葉で、御霊が教えた言葉で霊的な現実を説明しています。御霊のない人は受け入れません。神の御霊から来るものは愚かであると考えており、御霊を通してのみ識別できるため、理解することができません。」

マタイ 16:3 そして、朝になると、今日は天気が悪くなるでしょう。空が赤く低くなっているからです。おお汝ら偽善者よ、汝らは空の顔を識別できる。しかし、あなたがたは時代の兆しを識別できないのか？

イエスはパリサイ人とサドカイ人が時代のしるしを認識せず、霊的な識別力が欠如していることを叱責されました。

1. 試練の時における識別力

2. 現代におけるスピリチュアルな認識の必要性

1. エレミヤ 6:16 – 「主はこう言われる。『道の傍らに立ち、見よ、古き道を求めよ。どこに良い道があるのか。そしてその中を歩き、魂の休息を見つけてください。」

2. イザヤ書 5:20 – 「悪を善と呼び、善を悪と呼び、闇を光に、光を闇に、苦を甘いに、甘いを苦に変える人々は災いです。」

マタイ 16:4 邪悪で姦淫した世代はしるしを求めます。それには、預言者ヨナスのしるしのほかに、いかなるしるしも与えられない。そして彼は彼らを残して立ち去った。

邪悪で姦淫の世代はしるしを求めていますが、彼らに与えられる唯一のしるしは預言者ヨナスのしるしです。

1. 神は心を知っておられるので、悪人によって試みられることはありません。

2. 預言者ヨナスのしるしは、神の恵みの力を示しています。

1. ヨナ 1:17 - さて、主はヨナを飲み込むために大きな魚を用意されました。そしてヨナは三日三晩魚の腹の中にいました。

2. エゼキエル 18:31 - あなたが犯した罪をすべて捨て去り、新しい心と新しい霊を持ちなさい。

マタイ 16:5 弟子たちが向こう岸に来たとき、彼らはパンを持ってくるのを忘れていた。

イエスの弟子たちは向こう岸に来たとき、パンを食べるのを忘れていました。

1. 備えの必要性: イエスの弟子たちからの教訓

2. 信仰の力: イエスとともに困難を克服する

1. ローマ人への手紙 12:12 - 希望を抱いて喜ぶ。苦難の患者。祈りの瞬間を続けます。

2. ピリピ 4:6-7 - 無駄に気をつけなさい。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、人知を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを保つでしょう。

マタイ 16:6 そこでイエスは彼らに言われた、「パリサイ人やサドカイ人のパン種に気をつけなさい。」

イエスは弟子たちに、パリサイ派とサドカイ派の教えを認識するように警告されました。

1. 誤った教えに注意してください

2. イエスの弟子たちへの警告

1. エペソ人への手紙 4:14 - 私たちは今後、教義のあらゆる風に振り回され、あちこちに振り回される子供ではなくなります。

2. 使徒 20:29-31 - 私はこれを知っています。私が出発した後、群れを容赦せずに、恐ろしいオオカミがあなたたちの中に入るでしょう。また、あなたがた自身からも人々が立ち上がり、ひねくれたことを語り、弟子たちを引き離すであろう。ですから、覚えておいてください、三年も経つうちに、私は毎晩涙を流しながら警告しなくなったのです。

マタイ 16:7 そこで彼らは、「私たちがパンを持っていないからだ」と言い合った。

彼らは飢えのために誤った思い込みをしていたのです。

1: 私たちの信仰は、肉体的な必要によって左右されるべきではありません。

2: 主を求めることは、下心を持たずに心から行われるべきです。

1: ピリピ 4:13 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

2: 箴言 3:5-6 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

マタイ 16:8 イエスはそれを見て、彼らに言われた、「信仰の薄い者たちよ、パンを持って来ないのに、なぜ自分たちで議論するのか」。

イエスは、弟子たちがパンを持って来ないことを心配していることに気づき、信仰の欠如を叱責されました。

1.「神の備え：恐れではなく信仰に焦点を当てる」

2. 「心配です。何が意味があるのですか?」

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてのことにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。」そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたたちの心と思いを守るでしょう。」

2. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

マタイ 16:9 あなたがたは、まだ理解していないのか、五千個のうちの五つのパンを覚えているのか、籠をいくつ取り上げたかも覚えていないのか。

イエスは弟子たちに、5つのパンと2匹の魚で5,000人に奇跡的な食事を与えたことと、その後どれだけの籠が取り上げられたかを思い出させます。

1. 小さな信仰の力: イエスは、小さな信仰が山をも動かすことができることを示しました。

2. イエスの奇跡: イエスはわずか 5 つのパンと 2 匹の魚で 5,000 人に奇跡的な食事を与えた方法。

1. マルコ 8:17-21 - イエスは 4,000 人に 7 つのパンと数匹の小魚を与えます。

2. ルカ 9:10-17 - イエスは 5 つのパンと 2 匹の魚で 5,000 人に食事を与えます。

マタイ 16:10 四千個のうち七つのパンでもないのに、あなたがたは何個の籠を取り上げたのか。

イエスは弟子たちに、神が過去になさったことを思い出すことの大切さを教えておられました。

1: 私たちは、神が過去に私たちに与えてくださった祝福と、私たちの生活の中で神がどのように働いてくださったかを常に覚えておくべきです。

2: 神が私たちにどのように備えてくださったか、私たちの生活の中で神がどのように働いてくださったかを決して忘れてはなりません。

1: マタイ 6:31-33 - ですから、「何を食べようか」などと考えないでください。または、何を飲もうか?それとも、何を着ればよいのでしょうか？... しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

2: 詩篇 103:2 - 私の魂よ、主を祝福してください。そして主の恩恵をすべて忘れないでください。

マタイ 16:11 あなたがたは、わたしがパンのことについてあなたがたに話したのではなく、パリサイ人とサドカイ派のパン種に気をつけなければならないとあなたがたに話したのではないことが、どうしてわからないのですか。

この箇所は、イエスが弟子たちにパリサイ派とサドカイ派の教えに用心するよう警告したことを強調しています。

1. 誤った教えの危険性

2. 識別力における知恵

1. エペソ人への手紙 4:14 - 私たちは今後、あらゆる教義の風に翻弄され、人々の策略や狡猾な狡猾さによって、騙そうと待ち伏せする子供ではなくなります。

2. 使徒 20:28-30 - したがって、あなたがた自身とすべての群れに注意しなさい。聖霊があなたがたを監督者とし、神がご自身の血で買い取られた神の教会を養うようにしてください。なぜなら、私が去った後、群れを容赦せずに、恐ろしいオオカミがあなたたちの中に侵入するであろうということを私は知っているからです。また、あなたがた自身からも人々が立ち上がり、ひねくれたことを語り、弟子たちを引き離すであろう。

マタイ 16:12 すると彼らは、イエスがパンのパン種にではなく、パリサイ人とサドカイ人の教義に気をつけなさいとどのように命じられたのかを理解しました。

イエスは弟子たちに、パンのパン種ではなく、パリサイ派とサドカイ派の教えに注意するように警告されました。

1. 偽りの教義の危険性

2. 聖書による識別の必要性

1. 箴言 4:7 - 「知恵は最も重要なことである。だから、知恵を得なさい。そして、全力を尽くして理解を得なさい。」

2. コロサイ 2:8 - 「キリストに従うのではなく、人間の伝統に倣い、世の初歩に倣って、哲学や無駄な欺瞞によってあなたを台無しにする人がいないように気をつけなさい。」

マタイ 16:13 イエスはピリピ・カイザリヤの海岸に来たとき、弟子たちに尋ねて言われた、「人々はわたしを人の子だと何者だと言うのですか。」

イエスは弟子たちに、人々は自分を誰だと思っているかと尋ねました。

1. 「イエスは誰だと思いますか?」

2.「イエスを知ることの大切さ」

1. ヨハネ 8:12 - イエスは言われました、「わたしは世の光です。わたしに従う者は決して暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

2. コロサイ 2:9-10 - キリストのうちに神の満ち足りたすべてが肉体の中に生きており、あなたはキリストのうちに満ち溢れているからです。彼はあらゆる権力と権威を統べる長です。

マタイ 16:14 すると彼らは言った、「あなたはバプテスマのヨハネだと言う人もいます。エリアス、ある人もいます。あなたは洗礼者ヨハネだと言う人もいます。」そして他の人、エレミヤ、または預言者の一人。

ベツサイダとピリピ・カイサリアの人々はイエスに、預言者なのかと尋ねました。

1. 不安なときは、イエスに導きと答えを求めなければなりません。

2. 私たちはベツサイダとピリピ・カイサリアの人々から、イエスへの信仰を決して揺るがないようにすることができます。

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれるでしょう、相談者、力強い神、永遠の父、平和の王子。

2. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、誰も父のもとに来ることはない。」

マタイ 16:15 イエスは彼らに言われた、「しかし、あなたがたは、わたしが誰であると言うのか。」

イエスは弟子たちに、自分が何者であるかを宣言するように求めました。

1: 「イエスが誰であるかを宣言せよ」

2: 「私たちの主を知ることを求めて」

1: マルコ 8:29 ーそしてイエスは彼らに言った、「しかし、あなたがたは、わたしが誰だというのか。」

2: ルカ 9:20 - イエスは彼らに言った、「しかし、あなたがたは、わたしを何者だと言うのか。」

マタイ 16:16 するとシモン・ペテロは答えて言った、「あなたはキリスト、生ける神の子です。」

シモン・ペテロはイエスがキリスト、生ける神の子であると宣言します。

1. 神の子イエス - イエスの神性を探る

2. 神を知る - 私たちの生活の中で生ける神を体験する

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれるでしょう、相談者、力強い神、永遠の父、平和の王子。

2. ヨハネ 1:1-5 - 初めに言葉があり、言葉は神とともにあり、言葉は神でした。神も初めは同じでした。すべてのものは彼によって造られました。そして彼なしでは何も作られませんでした。彼の中には命があった。そしてその命は人々の光であった。そして光は暗闇の中で輝きます。そして闇はそれを理解できなかった。

マタイ 16:17 するとイエスは答えて言われた、「シモン・バルヨナ、あなたは幸いです。肉と血がそれをあなたに明らかにしたのではなく、天におられるわたしの父がそれをあなたに明らかにしたのです。」

神は私たちに真実を明らかにし、それを受け入れる私たちを祝福してくださいます。

1: 私たちは神が私たちに明らかにしてくださった真実に対してオープンでなければなりません。

2: 私たちは人生における神の祝福に感謝すべきです。

1: イザヤ書 6:8 - 「そのとき、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか。そして誰が私たちに代わってくれるでしょうか？」そして私は言いました、「ここにいます。送ってください！」

2: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

マタイ 16:18 また、わたしはあなたに言います、あなたはペテロです、そしてわたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。そして地獄の門もそれに打ち勝つことはできない。

イエスはペテロに、自分の上に教会を建てる、そしてどんな地獄の力もそれに打ち勝つことはできない、と言われます。

1. 教会の強さ - 教会は決して地獄の力に打ち負かされることはないというイエスの約束に焦点を当てます。

2. 教会の基礎 - 教会の建設におけるペテロの重要性と信仰の役割を探ります。

1. イザヤ書 54:17 - あなたに対して作られたいかなる武器も成功しません。そして、裁きにおいてあなたに対して立ち上がるすべての舌を、あなたは非難するであろう。

2. エペソ 6:11-12 - 悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。なぜなら、私たちは血肉に対して戦っているのではなく、公国に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にいる霊的な邪悪に対して戦っているからです。

マタイ 16:19 そして、わたしはあなたに天国の鍵を与えます。あなたが地上でつなぐものはすべて天でもつながれ、あなたが地上で解くものはすべて天でも解かれるでしょう。

この箇所は、天の王国に対してイエスに与えられた権威について論じています。

1. イエスの力: 王国への鍵の権威を理解する

2. 従順な人生を生きる: イエスが地上で縛り、あるいは緩めるものを受け入れる

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにしても、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

2. マタイ 7:21 - 私に「主よ、主よ」と言う人全員が天国に入るわけではなく、天におられる私の父のご意志を行う人だけが天国に入ることができます。

マタイ 16:20 それからイエスは弟子たちに、自分がイエス・キリストであることを誰にも言ってはいけないと言いました。

この箇所では、イエスが弟子たちに自分がキリストであることを明かさないように指示したことが説明されています。

1. 秘密の生涯: なぜイエスは知られぬままでいることを選んだのか

2. 思慮深さへの呼びかけ: 主の秘密を守ることの重み

1. マタイ 6:3-4 「しかし、困っている人に施しをするときは、右手がしていることを左手に知らせないでください。そうすれば、施しがひそかに行われます。そうすれば、隠れて見ておられるあなたの父が報いてくださいます」あなた。"

2. 箴言 11:13 - 「中傷をする者は秘密を明らかにするが、霊において信頼できる者は物事を隠しておく。」

マタイ 16:21 その時から、イエスは弟子たちに、自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長、律法学者たちから多くの目に遭い、殺されて三日目によみがえらなければならないことを教え始めました。

イエスは弟子たちに、自分がエルサレムで苦しみ、殺される運命にあること、そして3日後に復活することを示し始めます。

1. イエスの苦しみと復活: 究極の犠牲を理解する

2. 信仰の力: イエスはどのように勇気と忍耐を示したのか

1. ローマ人への手紙 4:25 - 「彼は私たちの罪のために引き渡され、私たちが義とされるためによみがえられました。」

2. コリント人への手紙第一 15:3-4 「なぜなら、私も受け取ったことを、何よりも重要なこととしてあなたがたに伝えたからです。それは、キリストが聖書に従って私たちの罪のために死なれたこと、そして葬られ、十字架の上によみがえられたことです。」聖書に従って三日目に。」

マタイ 16:22 そこでペテロは彼を連れて叱責し始めて言った、「主よ、あなたから遠く離れていても、こんなことはあなたには許されません。」

ペテロはイエスが自分の死を予告したとき、それを叱責します。

1. 弟子の力: たとえ傷ついたとしてもイエスに従う方法

2. 献身の代償: 主のために犠牲の人生を生きる

1. ルカ 9:23-25 - 「そして、イエスはすべての人に言った、『もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。』自分の命を救おうとする者はそれを失うが、私の為に自分の命を失う者は誰でもそれを救うからである。というのは、人間が全世界を手に入れても、自分自身を失ったり放棄したりしたら、何の得があるというのか？」

2. ヨハネ 12:23-26 - 「イエスは彼らに答えられた、『人の子が栄光を受ける時が来た。』本当に、本当に、あなたに言いますが、一粒の麦は、地に落ちて死なない限り、一粒のままです。しかし、死ねば多くの実を結びます。自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者はそれを永遠の命のために保持することになる。誰かが私に仕えるなら、彼は私に従わなければなりません。そして、私がいるところには、私のしもべもいるでしょう。もし誰かが私に仕えるなら、父はその人を尊敬してくださるでしょう。」

マタイ 16:23 しかし、彼は振り向いてペテロに言った、「サタンよ、お前は私の後ろに下がってください。あなたは私を侮辱しています。なぜなら、あなたは神から出たものではなく、人間から出たものを味わっているからです。」

イエスは神の御心を理解していないペテロを叱責されました。

1: 私たちは人間の意志ではなく、神の意志を理解するよう努めなければなりません。

2: 神の基準に従っていないときは、進んで矯正を受け入れなければなりません。

1: コロサイ 3:1-3 - 「もし、あなたがたがキリストとともによみがえったのなら、キリストが神の右に座しておられる、上にあるものを探しなさい。地上のも

のではなく、上にあるものに愛情を向けなさい。あなたがたは死んでおり、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されています。」

2: 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださる。」

マタイ 16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた、「もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

イエスは弟子たちに、自分を捨て、十字架を負い、イエスに従うように指示されました。

1. 犠牲の力: 自分を否定することでどのように神に近づくことができるか

2. 焦点の十字架: 自分の十字架を負うことがどのように信仰生活につながるのか

1. ピリピ人への手紙 3:7-8 「しかし、私にとって得だったものが何であれ、今ではキリストのために損だと考えています。さらに、私の主であるキリスト・イエスを知ることの計り知れない価値のゆえに、すべてを損だと考えています。私はすべてのものを失いました。それらをゴミだと思っています、それは私がキリストを獲得するためです。」

2. マルコ 8:34-35 - 「それからイエスは、弟子たちと一緒に群衆を自分のところに呼び寄せて言われた、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしについて来なければなりません。自分の命を救いたい者は誰でもです。」それを失うことになるが、私と福音のために命を落とす者は誰でもそれを救うだろう。」

マタイ 16:25 自分の命を救おうとする者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者はそれを見つけるでしょう。

イエスに信頼を置く人は誰でも真の命を得るでしょう。

1: イエスにある真の命を得るために、私たちは喜んで命を捨てなければなりません。

2: 私たちはイエスに信頼を置き、真の命を見つけるために自分の命を喜んで犠牲にしなければなりません。

1: ルカ 9:23-24 「そして、イエスは皆に言った、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従ってきなさい。』自分の命を救う者は、それを失うであろう。しかし、私のために自分の命を失う者は、同じようにそれを救うであろう。」

2: ヨハネ 12:24-25 - 「まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一人で残ります。しかし、もし死ねば、それは多くの実を結びます。自分の命を愛する者はそれを失うだろう。そして、この世で自分の命を憎む者は、それを永遠の命に保つだろう。」

マタイ 16:26 もし人が全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか。あるいは、人は自分の魂と引き換えに何を与えるでしょうか？

この聖句は、世俗的な利益よりも霊的な事柄を優先することの重要性を強調しています。

1. 私たちの魂は地上のどんな所有物よりも価値があります

2. 世界を手に入れるが、魂は犠牲にしない

1. マルコ 8:36-37 - 「人は全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか。それとも、人は自分の魂と引き換えに何を与えるでしょうか？」

2. ルカ 12:15 - 「そしてイエスは彼らに言われた。『貪欲に気をつけなさい。人の命は、その人の持っている物の豊かさによって決まるのではない。』」

マタイ 16:27 人の子は天使たちとともに父の栄光のうちに来るでしょう。そして、神はすべての人にその働きに応じて報いを与えるであろう。

人の子は天使たちとともに栄光のうちに来て、すべての人をその行いに応じて裁きます。

1. 義にかなった生き方: 人の子の裁き

2. 人の子の到来に備える: 正義の裁きを求める

1. 伝道の書 12:14 「神は、善であれ悪であれ、すべての行い、すべての秘密を裁かれるからです。」

2. ローマ人への手紙 2:6-8 「神は、その行いに応じて、おのおのに恵みを与えてくださいます。善行を忍耐して栄光と名誉と不死を求める者には、永遠の命を与えてくださいます。しかし、利己的で真理に従わず、不義に従う者には怒りと激怒があるでしょう。」

マタイ 16:28 まことにあなたがたに言います。ここに立っている人たちは、人の子がその王国に来るのを見るまでは死を味わわないでしょう。

イエスは、弟子たちの中には死ぬ前に人の子が神の王国に来るのを見る人もいるだろうと預言されました。

1: イエスは、再臨の約束によって私たちに希望を与えてくださいました。

2: 主の到来に備えてください。

1: 黙示録 22:12 - 「見よ、わたしはすぐに来る。わたしの報いはわたしとともにあり、各人の働きに応じて与えるためである。」

2: 使徒 1:11 - 「ガリラヤの人たちよ、なぜあなたは天を見つめて立っているのですか。あなたから天に上げられたこの同じイエスも、あなたが天に上げられるのを見たのと同じように来られるでしょう。」

マタイ 17 章では、イエスの変容、悪霊に取り憑かれた少年の癒し、信仰と税金についての教訓が語られています。

第 1 段落: この章はイエスの変容から始まります (マタイ 17:1-13)。イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネを高い山に連れて行き、そこで彼らの前で姿を変えられます。彼の顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなります。モーセとエリヤが現れて彼と話しています。ピーターは彼らのために 3つの避難所を作ることを提案しますが、彼がまだ話している間、明るい雲が彼らを包み込み、雲からの声が「これは私の愛する息子です。私は彼に満足しています。彼の言うことを聞いてください！」と言いました。これを聞いた弟子たちは恐怖にひれ伏しますが、イエスは彼らに触れて、恐れるなと言われます。彼らが山から下りてくるとき、イエスは彼らに、死からよみがえるまでは自分たちが見たことを誰にも話さないようにと指示されました。

第 2 段落: 彼らは下山すると、悪霊にとりつかれてひどい苦しみを負っているてんかんの息子を哀願する男性を含む群衆に出会った (マタイ 17:14-20)。弟子たちは少年を癒そうとしましたが失敗したため、イエスが信仰の欠如を叱責すると、からし種ほどの小さなものであっても、信仰から来る力を即座に示して少年を癒しました。

第 3 段落: イエスは個人的に、弟子たちに苦しみをもたらすご自分の死と復活を再び予告されました (マタイ 17:22-23)。その後、カペナウムで 2 ドラクマの神殿税の徴収人がペテロに、先生が税金を払っているかどうか尋ねると、ペテロはそうですと答えます (マタイ 17:24-27)。しかし、イエスがそのことについて話す前に家に入ると、イエスは自らその問題を持ち出し、息子たちは免除されるが、誰も怒らせないように自分がそれを支払うと説明しました。この支払いを賄うために、神はピーターに、開いた湖で魚を釣りに行き、最初に釣られた魚が口の中にあるコインを取り、それが両方の税金に十分であると言い、神の超自然的な知識が民事上の義務を尊重していることを示しています。

マタイ 17:1 それから六日後、イエスはペテロ、ヤコブ、その兄弟ヨハネを連れて高い山に連れて行かれ、

イエスは神から特別な啓示を受けるために、3人の弟子を山に連れて行きました。

1. 変容の力: イエスはどのようにして自分の本性を明らかにしたか

2. 三人の弟子: イエスはどのようにして追随者たちに特別な使命を与えたか

1. ペテロ第二 1:16-18 - なぜなら、私たちが権力を持って私たちの主イエス・キリストの到来についてあなたがたに話したとき、私たちは巧みに考え出された話に従ったのではなく、彼の威厳の目撃者だったからです。

2. マルコ 9:2-8 - 6 日後、イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネを連れて高い山に連れて行きましたが、そこでは彼らはみな一人になっていました。そこで彼は彼らの前で変貌した。彼の服はまばゆいばかりの白になり、世界中の誰が漂白することもできないほど白くなりました。

マタイ 17:2 そして、彼らの前で姿が変わり、顔は太陽のように輝き、衣は光のように白くなった。

イエスは弟子たちの前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなりました。

1. イエスの変容：聖性への呼びかけ

2. イエスの輝き: 世界の光

1. コリント人への第二の手紙 3:18 - 「そして、私たちはみな、顔を覆い、主の栄光を見ながら、ある栄光から次の栄光へと、同じ姿に変えられていくのです。これは御霊である主から来るからです。」

2. イザヤ書 6:1-3 - 「ウジヤ王が亡くなった年、私は主が高く上げられた玉座に座っておられるのを見た。そして彼のローブの列が寺院を満たしました。彼の上にはセラフィムが立っていた。それぞれに6枚の翼があり、2枚で顔を覆い、2枚で足を覆い、2枚で空を飛びました。そして、ある者が別の者に呼びかけて言った。「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主。全地が彼の栄光に満ちているのです！」

マタイ 17:3 すると、見よ、モーセとエリアスが彼らのところに現れて、彼と話していた。

この箇所には、モーセとエリヤがイエスに現れ、三人で話し合っている様子が描かれています。

1: 神は、特別な出会いを祝福することで、神を敬う人たちを敬います。

2: イエスとモーセおよびエリヤとのやりとりから多くのことを学ぶことができます。

1: ヘブライ 11:6 - 信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がご自身であり、熱心に神を求める人々に報いてくださる方であることを信じなければなりません。

2: ヤコブ 4:8 - 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。罪人よ、手を清めなさい。そして心を浄化しなさい、二心のあなた。

マタイ 17:4 それからペテロが答えて、イエスに言った、「主よ、私たちがここにいるのは良いことです。もしお望みなら、ここに三つの幕屋を建てましょう。」一つはあなたに、もう一つはモーセに、そしてもう一つはエリアスに。

ペテロは、イエス、モーセ、エリヤの前にいることの栄光を認識しており、この特別な瞬間の永遠の思い出を作りたいと考えています。

1. イエスの栄光を認識することの重要性

2. いつまでも残る思い出を作ることの価値

1. ヨハネ 1:14 - そして、言葉は肉となって、恵みと真理に満ちて、私たちの間に住まわれました（そして私たちは彼の栄光、父の独り子としての栄光を見た）。

2. 伝道の書 3:11 - 神はその時代にすべてのものを美しくされました。また、神が最初から最後まで造られた業を誰も知ることができないように、神は彼らの心の中に世界を置きました。

マタイ 17:5 彼がまだ話している間、見よ、明るい雲が彼らを覆いました。そして見よ、雲の中から声が聞こえました。彼に聞いてください。

この箇所は、神がイエスを承認されたことを明らかにし、イエスの言葉に耳を傾けることの重要性を強調しています。

1: 私たちはイエスの言葉に耳を傾け、その教えに従わなければなりません。

2: 私たちはイエスに献身し、彼の言葉を信頼すべきです。

1: ヨハネ 14:15、「わたしを愛するなら、わたしの戒めを守ってください。」

2: 使徒 4:12、「他の名前にも救いはありません。天の下で人間の間に与えられた名前は、それ以外に私たちが救われなければならない名前はないからです。」

マタイ 17:6 弟子たちはそれを聞いてひれ伏し、非常に恐れた。

この箇所は、イエスの神性が彼らに明らかにされたことに対する弟子たちの反応を説明しています。

1: 私たちはイエスの神性に対して、謙虚さ、畏怖の念、敬意を持って対応すべきです。

2: イエスがどのような方であるかをより深く理解するために、私たちは誇りや恐れを喜んで捨てるべきです。

1: ピリピ 2:5-11 - イエスは神聖であるにもかかわらず、へりくだって神のご意志に服従しました。

2: イザヤ 6:5 - 主の幻を見たときのイザヤの反応は畏怖と畏敬の念でした。

マタイ 17:7 すると、イエスが来て彼らに触れ、「起きなさい。恐れるな」と言われた。

この箇所では、イエスが弟子たちを安心させるような触れ合いと優しい言葉で慰めていることが分かります。

1: 「神の愛: 恐怖の時の慰め」

2: 「恐怖を克服するイエスの力」

1: イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2: テモテ第二 1:7 「神は私たちに恐れの霊ではなく、力と愛と自制の霊を与えてくださったからです。」

マタイ 17:8 彼らが目を上げたとき、イエスのほかには誰も見えなかった。

弟子たちが見上げると、イエスだけが見えました。

1. 神はいつも私たちとともにいます - 何があっても

2. 私たちの行動すべてにおいてイエスを見る

1. 創世記 28:15 - 「見よ、わたしはあなたとともにいて、どこへ行ってもあなたを守ってあげる。」

2. コロサイ 3:17 - 「そして、言葉であれ、行いであれ、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。」

マタイ 17:9 そして、彼らが山から下りてくると、イエスは彼らに命じて言われた、「人の子が死人の中からよみがえるまでは、その幻を誰にも言ってはいけない」。

弟子たちはイエスから、イエスが死からよみがえるまでは自分たちが見た幻のことを誰にも話さないようにと命じられました。

1. 復活の希望をもって生きる

2. 主の日への備え

1. ヨブ 19:25-27 - わたしは、わたしを救い主が生きておられ、最後には地の上に立つことを知っているからです。そして、私の皮膚がこのように破壊された後でも、私の肉体の中で私は神を見るでしょう、私は自分自身で神を見るでしょう、そして私の目は他のものではなく見るでしょう。

2. ローマ 8:18-25 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。というのは、被造物は神の子たちの出現を切望して待っているからです。

マタイ 17:10 そこで弟子たちがイエスに尋ねた、「では、なぜ律法学者たちはエリアスが先に来なければならないと言うのか」。

イエスの弟子たちは、なぜ律法学者たちはエリヤが先に来なければならないと教えたのか尋ねました。

1. イエスの教えは律法学者の教えとどう違うのか

2. 信仰をもって質問することの重要性

1. マラキ書 4:5-6 - 「見よ、わたしは主の大いなる恐ろしい日が来る前に、預言者エリヤをあなたに送ります。」

2. ヤコブ 1:5-6 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人はすべての人に惜しみなく与え、決して非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

マタイ 17:11 するとイエスは答えて言われた、「エリアスがまず本当に来て、すべてを回復するだろう」。

イエスは弟子たちに、すべてを回復するにはまずエリヤが来なければならないと言いました。

1. 神の完璧なタイミング: 救いへの道の準備

2. 回復の力: 神はどのようにして壊れた状態を変えることができるか

1. マラキ書 4:5-6 - 「見よ、わたしは主の大いなる恐るべき日が来る前に、預言者エリヤをあなたに遣わす。そして彼は父たちの心を子たちに、そして父たちの心を向けさせるであろう」私が来て、呪いで地球を打ち負かさないように、子供たちを彼らの父親に送りなさい。」

2. イザヤ書 40:3-5 - 「荒野で叫ぶ者の声、『汝ら主の道を備えよ、荒野にまっすぐに私たちの神への道を造れ。』すべての谷は高くされ、すべての山と丘は低くなり、曲がったものはまっすぐになり、荒れた場所は平らになります：そして、主の栄光が明らかにされ、すべての肉なる者は一緒にそれを見るでしょう：主の口がそれを語られた。」

マタイ 17:12 しかし、あなたがたに言います。エリアスはすでに来ていますが、彼らは彼のことを知りませんでしたが、列挙したことはすべて彼にしたのです。同様に、人の子も彼らによって苦しむでしょう。

イエスは、エリヤがすでに来ているのに、人々は彼を認識せず、自分の好きなように彼を扱ったことを明らかにしました。イエスはまた、人の子にも同じことが起こるとも述べています。

1. 予期せぬ形で神の臨在を認識する

2. 神に従い苦しみに備える

1. イザヤ書 53:3 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2. マタイ 5:10-12 - 義のために迫害されている人々は幸いです。天の国は彼らのものだからです。わたしのために、人々があなたをののしり、迫害し、あなたに対して偽りのあらゆる悪口を言うとき、あなたがたは幸いである。喜んで、非常に喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいからです。なぜなら、あなた以前の預言者たちは非常に迫害されたからです。

マタイ 17:13 すると弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネのことを話されたのだと理解しました。

弟子たちは、イエスが彼らに話されたとき、バプテスマのヨハネのことを指していることが分かるようになりました。

1. 私たちは皆、神の計画において果たすべき目的を持っています。

2. イエスの言葉に耳を傾けることの大切さ。

1. ヨハネ 1:6-8、「神から遣わされた人がいて、その名はヨハネでした。この人は証しのために、光の証しをするために来ました。それは、彼を通して信じられるようにするためでした。彼はそのような光ではなく、しかし、その光を証しするために遣わされたのです。」

2. マタイ 4:17、「その時から、イエスは宣べ伝え始め、『悔い改めなさい。天の国は近づいた』と言い始めた。」

マタイ 17:14 そして、彼らが群衆のところに来ると、ある人が彼のところに来て、ひざまずいてこう言った。

この箇所は、息子の癒しを求めてイエスのもとにやって来た男性について描写しています。

1: 私たちは必要なときにイエスに頼ることができ、イエスは私たちが求めている癒しを与えてくださいます。

2: たとえ他の人に頼ることができないと感じるときでも、イエスはいつでも私たちの話を聞いて慰めとなってくださいます。

1: 詩篇 34:18 - 主は心の打ち砕かれた者に寄り添い、霊的に打ちひしがれた者を救ってくださいます。

2: ヘブライ 4:15-16 - 私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいませんが、私たちと同じようにあらゆる面で誘惑に遭ったにもかかわらず、罪を犯さなかった大祭司がいます。そして、私たちが必要なときに憐れみを受け、助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って神の恵みの御座に近づきましょう。

マタイ 17:15 主よ、私の息子を憐れんでください。彼は気が狂い、ひどくイライラしています。しばしば火の中に落ち、しばしば水の中に落ちます。

イエスは悪霊に取り憑かれた少年を癒します。

1: 神の憐れみは非常に大きいので、最も悲惨な状況にも癒しをもたらすことができます。

2: 私たちは、必要なときには常に神に立ち返り、私たちを救う神の力を信頼すべきです。

1: 詩篇 107:19-20 - そこで彼らは苦難の中で主に叫び、主は彼らを苦しみから救われた。彼は言葉を発して彼らを癒しました。彼は彼らを墓から救い出しました。

2: ヤコブ 5:15-16 - そして、信仰によってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したなら、彼らは赦されるでしょう。ですから、お互いに罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りましょう。

マタイ 17:16 そこで私は彼をあなたの弟子たちのところに連れて行きましたが、彼らは彼を治すことができませんでした。

この箇所は、悪霊に取り憑かれた少年を弟子たちが癒すことができなかったことを描写しています。

１：どんなに頑張っても、自分の力だけでは何もできません。私たちはイエスに助けを求めなければなりません。

2: 私たちの力や能力には限界がありますが、神は私たち全員を合わせたよりも偉大です。

1: ヨハネ 15:5 「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。あなたがわたしにつながっており、わたしもあなたがたにつながっていれば、あなたは豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたは何もできない。」

2: ピリピ 4:13 - 「私に力を与えてくださる方によって、私はこのすべてを行うことができます。」

マタイ 17:17 するとイエスは答えて言われた、「おお、不信仰でよこしまな世代よ、私はいつまであなたたちと一緒にいられるでしょうか。」いつまであなたを苦しまなければなりませんか？彼を私のところに連れてきてください。

イエスは人々の信仰と忍耐の欠如を叱責されました。

1: イエスは私たちに、ご自分への信仰と忍耐を持つよう呼びかけています。

2: イエスは忍耐強く、私たちがどれほど失敗しても喜んで許してくれます。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2: ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

マタイ 17:18 そしてイエスは悪魔を叱責されました。すると、子供はその時から治りました。

悪魔は叱責され、子供はすぐに癒されました。

1. 叱責の力: マタイ 17:18 についての研究

2. 信仰による癒し: マタイ 17:18 の考察

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. イザヤ書 53:4-5 - 「確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち砕かれました。彼は私たちの罪のために打ち砕かれました。」彼は私たちに平和をもたらした懲罰であり、彼の打ち傷によって私たちは癒されたのです。」

マタイ 17:19 それから、弟子たちはバラバラになってイエスのところに来て、「どうして彼を追い出せなかったのですか」と言った。

イエスは弟子たちに信仰の力を教えます。

1: 主を信頼してください。そうすれば主はあなたに力を示してくださいます。

2: 最も困難な時期にあっても信仰を持ちなさい。

1: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2: マタイ 21:21-22 - そこでイエスは彼らに答えて言われた。この山に向かって、「引き上げられて海に投げ込まれる」、それが起こるでしょう。

マタイ 17:20 そこで、イエスは彼らに言われた、「あなたがたの不信仰のせいです。はっきり言いますが、もしあなたがからし種一粒ほどの信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって『ここから向こうへ行け』と言いなさい。」そしてそれは取り除かれるであろう。そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

イエスが信者たちに、からし種のように山を動かすほどの小さな信仰を持つように勧められたことから、信仰の力が強調されています。

1.「信仰の力」

2.「信仰で山を動かす」

1. マルコ 11:22-24 - するとイエスは答えて彼らに言われた、「神を信じなさい。」まことに、わたしはあなたに言います、この山に向かって、「あなたは取り除かれ、海に投げ込まれます。」と言う者は誰でも、あなたは海に投げ込まれます。そして心の中で疑うことはなく、自分の言ったことは必ず実現すると信じるであろう。彼は自分の言うことは何でも持つだろう。

2. ヘブライ 11:1- さて、信仰は、望まれている物事の本質であり、目に見えない物事の証拠です。

マタイ 17:21 ところが、この種の者は祈りと断食によってしか出て行かないのです。

この聖句は、祈りと断食が霊的な強さと力のために必要であることを説明しています。

1: 私たちは神の力を体験するために、祈りと断食に専念しなければなりません。

2: 断食と祈りは私たちを神に近づけ、霊的な力を開きます。

1: ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、どんな状況でも、感謝を込めて祈りと願いによって、自分の願いを神に伝えてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2: ヤコブ 5:16 - ですから、お互いに罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りましょう。義人の祈りは力強く、効果的です。

マタイ 17:22 彼らがガリラヤに住んでいたとき、イエスは彼らに言われた、「人の子は人の手に渡されるであろう。

答え：

人の子は裏切られて人間の手に渡されるでしょう。

1. 裏切りに直面した神の忠実さ

2. 迫害の最中に神の計画を知る

1. イザヤ書53:7-12

2. ヨハネ13:21-30

マタイ 17:23 そして彼らは彼を殺し、三日目に彼は生き返るであろう。そして彼らはとても残念に思っていました。

イエスは弟子たちに、自分は殺されて三日目によみがえると告げ、弟子たちはその知らせを聞いて悲しみました。

1. 「逆境に直面したときの信仰の力」

2. 「最も困難な時でもイエスを信頼する」

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

マタイ 17:24 彼らがカペナウムに来たとき、貢物を受け取った人たちがペテロのところに来て言った、「あなたの主人は貢物を支払わないのですか。」

徴税人たちはカペナウムでペテロに近づき、イエスが税金を払ったかどうか尋ねました。

1. 服従の力: 権威に服従することの利点を理解する

2. カエサルへの寄付: 税金を支払う私たちの責任

1. ローマ 13:1-7 - すべての人が統治当局に服従しましょう。なぜなら、神以外に権威はなく、存在するものは神によって定められたものだからです。

2. ピリピ 4:4-9 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい。あなたの合理性を皆に知らせてください。

マタイ 17:25 彼はこう言いました。そして、彼が家に入ると、イエスは彼を制止して、「シモン、あなたはどう思うか」と言われた。地上の王たちは誰の習慣や敬意を表しますか？自分の子供たちのものですか、それとも見知らぬ人のものですか？

イエスはシモンに、地上の王たちは自分の子供や見知らぬ人から税金を取っているのかと尋ねました。

1. 神の子供たちへの愛: イエスはどのように私たちを気遣ってくださったか

2. 税金の性質: 誰が負担するのか?

1. ローマ 8:15-17 - あなたがたは、再び恐怖に陥る奴隷の霊を受けたのではなく、養子として養子となる霊を受けたのです。その霊によって、私たちは「アバ！」と叫びます。父親！"

2. ヘブライ 13:5-6 - お金への執着から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。

マタイ 17:26 ペテロは彼に言った、「見知らぬ人のことです。」イエスは彼に言われた、「そうすれば子供たちは自由になる。」

イエスは子供たちは神殿税の支払いを免除されると教えています。

1.子供たちに対する神の恵みと憐れみ

2. キリストにあって「自由」であるとはどういう意味か

1. ガラテヤ 3:26-27 - キリストにおいては、ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も存在しません。

2. ローマ 8:15-17 - 私たちは神の相続人であり、キリストと共に苦しむならキリストとの共同相続人です。

マタイ 17:27 それにもかかわらず、私たちが彼らを怒らせないように、あなたは海に行き、釣り針を投げ、最初に上がってくる魚を捕まえてください。そして、あなたが彼の口を開いたとき、あなたはお金を見つけるでしょう：それを受け取って、私とあなたのために彼らに渡してください。

イエスは、たとえ犠牲が必要であっても、他人に対して敬意を払うよう教えています。

1: イエスは私たちに、自分よりも他人を優先するよう呼びかけています。

2: 私たちは、たとえ犠牲を払っても、常に敬意を払うように努めなければなりません。

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはいけません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、あなた方一人一人が他人の利益に目を向けてください。」

2: ペテロ第一 4:8-9 「何よりもまず、互いに深く愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。不平不満を言わずにお互いをもてなしましょう。あなた方一人一人は、さまざまな形での神の恵みの忠実な管理者として、自分が受け取った賜物をすべて他の人に仕えるために用いるべきです。」

マタイ 18 章では、天の御国における真の偉大さの性質、失われた羊のたとえ、教会の規律のガイドライン、そして慈悲のない僕のたとえについて論じられています。

第 1 段落: この章は、イエスの弟子たちが天国で誰が一番偉いかと尋ねるところから始まります (マタイ 18:1-5)。それに対してイエスは、幼い子供を彼らの中に置き、彼らが変化して子供のように、つまり謙虚で信頼できる者にならない限り、決して王国に入ることはできないと言われます。また主は、主を信じるこれらの小さな者たちの一人をつまずかせないよう警告しています。

第 2 段落: 次に、迷える羊のたとえ話が続きます。そこでは、イエスが各個人に対する神の愛と、誰も失いたくないという神の願いを説明しています (マタイ 1 8:10-14)。次にイエスは、共同体の中で罪にどう対処するかについて指示を与えます。兄弟があなたに対して罪を犯した場合、兄弟が聞くなら、あなたは兄弟を説得したことになりますが、兄弟が聞くことを拒否する場合は、それでも拒否する場合は教会に言ってください。彼を異教徒または徴税人として扱い、体であるキリストの中での和解と回復の責任の重要性を強調します（マタイ18:15-20）。

第 3 段落: ペテロは、自分に対して罪を犯した人を何回赦すべきかと尋ねます。 7回？イエスは、この点を「憐れみのない僕」のたとえ話で例証するために、7 回ではなく77回も答えています(マタイ18:21-35)。この物語では、王は家来が負っている莫大な借金を赦しますが、同じ家来は少額の借金を許すことを拒否します 王様がそれを聞くと、最初の家来を呼び戻し、借金をすべて返済できるまで投獄します そうでない限り、私の天の父もあなたにそうしてくださるでしょうそれぞれが心から兄弟を赦し、赦しのクリスチャン生活の大切さを示しています。

マタイ 18:1 同時に、弟子たちがイエスのところに来て、「天の御国で誰が一番偉いのですか」と言った。

弟子たちはイエスに、天の御国で誰が一番偉いのか尋ねました。

1. 私たちの価値は階級ではなく、イエスへの信仰によって測られます。

2. 私たちは天国で最も小さな者になるよう努力すべきです。

1. マタイ 20:26-27 - 「しかし、あなたがたの間ではそうではありません。しかし、あなたがたの間で偉い人は、あなたの大臣になりなさい。あなたがたの間で長になる人は、その人をあなたのしもべにしなさい。」

2. マタイ 23:11-12 - 「しかし、あなたがたの中で一番偉い人は、あなたのしもべとなる。また、自分を高める者は卑しめられる。自分を低くする者は高められる。」

マタイ 18:2 そこで、イエスは幼い子供を呼び寄せて、彼らの中に立たせて言われた。

イエスは幼い子供を例に挙げて、謙虚さと子供のような信仰について教えています。

1: 謙虚さの力 - 謙虚な姿勢を持ち、子供たちから学ぶことで、私たちは神に近づくことができます。

2: 子どものような信仰の重要性 - 神との関係を築くために、私たちは子どものような単純な信仰を受け入れなければなりません。

1: マタイ 18:3 - 「そして言った。『よく言っておくが、あなたがたは回心して幼子のようにならなければ、天の御国に入ることはできない。』」

2: ヤコブ 4:6-10 - 「しかし、彼はさらに恵みを与えます。だから彼は言います、神は高ぶる者には抵抗しますが、謙虚な者には恵みを与えます。だから、あなたがたは神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださるでしょう罪人よ、手を清めなさい。二心の者よ、心を清めなさい。苦しみ、嘆き、泣きなさい。笑いを悲しみに、喜びを重苦しさに変えましょう。. 主の御前で謙虚になりなさい、そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

マタイ 18:3 そして言った、「よくよく言いますが、あなたがたが回心して幼子のようにならなければ、天の御国に入ることはできません。」

この箇所は、イエスが弟子たちに、天国に入るためには回心して子供のようにならなければならないと語った内容です。

1. 謙虚さの力：子供のような信仰を通して天国への道

2. 回心の重要性：神の子となること

1. ヤコブ 4:10 - 「主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分でしたことではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

マタイ 18:4 したがって、この幼子のようにへりくだる者は、天の御国でも最も偉大です。

この聖句は謙虚さを奨励し、これが天国で持つべき最大の美徳であることを教えています。

1.？謙虚の美徳: 王国生活のモデル??

2.？へりくだることの祝福: マタイ 18:4 の研究??

1. ピリピ人への手紙 2:3-8 - ?決して利己的な野心や無駄なうぬぼれからではありません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。お互いの関係において、キリスト・イエスと同じ考え方を持ちましょう。キリストは、本質的には神でありながら、神との平等を自分の利益のために利用されるものとは考えませんでした。むしろ、彼は召使いの性質そのものをとり、人間に似せて造られることによって、自分自身を無のものにしました。そして、人間の姿で現れた彼は、へりくだって死に至るまで従順になりました??十字架の死にさえ!??

2. ヤコブ 4:6 - ?彼は私たちにさらに恵みを与えてくださいます。だからこそ聖書はこう言っているのです。쁆 od は高慢な人には反対しますが、謙虚な人には好意を示します。ユーロ?

マタイ 18:5 そして、わたしの名においてそのような幼い子供を一人受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。

イエスは、自分の名において子供を受け入れることは、自分を受け入れることであると教えています。

1.「真の信者の構成：子供たちの受け入れ」

2.「王国の本質:子供を通してイエスを受け入れる」

1. ヤコブ 1:27 - 「父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児ややもめを訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。」

2. ルカ 18:15-17 「さて、彼らは、触らせようと、幼児さえもイエスのもとに連れて来ていた。弟子たちはそれを見て、彼らを叱責した。しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「さあ、子供たちが来るよ」「私に言いなさい。そして彼らを妨げないでください。神の国はそのような者のものだからです。はっきり言いますが、子供のように神の国を受け入れない者は、そこに入ることはできません。」

石臼を首に掛けられ、深海の中に沈められた方が、その人にとっては良いことである。

イエスは，ご自分の追随者に危害を加えた者は厳しく罰せられるべきだと警告しています。

1. 神の子供たちを傷つけた結果

2. イエスの言葉の力

1. 詩篇 34:18 ?主は心の傷ついた人に寄り添い、精神的に打ちひしがれた人を救ってくださいます。

2. 箴言 14:31 ?貧しい人々を抑圧する者は造り主に対する軽蔑を示しますが、貧しい人々に親切にする者は神に敬意を表します。

マタイ 18:7 罪のせいで世は災いなります。なぜなら、犯罪が起こるのは必然だからです。しかし、罪を犯した人は不幸です！

犯罪は避けられませんが、それを引き起こす人は悲惨です。

1. 「犯罪の危険性」

2. 「他人を傷つける責任」

1. ルカ 17:1-2 - イエスは、他の人のつまずきにならないように、自分自身に注意し、気をつけるようにと教えておられます。

2. ヤコブ 3:2 - 私たちは、犯罪を起こさないように自分の言葉と行動に注意しなければなりません。

マタイ 18:8 ですから、もしあなたの手や足があなたを怒らせるなら、それらを切り落として、あなたから投げ捨ててください。両手や二本の足が永遠に投げ込まれるよりは、止まったり傷ついたりして命に入るほうがあなたにとって良いのです。火。

イエスは、永遠の刑罰よりも一時的な損失を受けるほうが良いため、たとえ肉体的な快適さを犠牲にすることであっても、私たちに罪を引き起こすものを取り除くようにと教えておられます。

1.「罪を犯した代償」

2.「誘惑を取り除くことの利点」

1. ヤコブ 1:14-15 「しかし、人はそれぞれ、自分の邪悪な欲望に惹かれ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望が孕んだ後、それは罪を生み、罪が成長すると、死を生みます。」

2. ローマ 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。」

マタイ 18:9 もしあなたの目があなたを怒らせたら、それを抜き取ってあなたから投げ捨ててください。両目が地獄の火に投げ込まれるよりは、片目で命に入る方が良いのです。

イエスは、たとえそれが失明を意味するとしても、罪から遠ざかるために極端な措置を講じるよう私たちに勧めています。なぜなら、罪の結果は身体的障害よりもはるかに悪いからです。

1: 犠牲が大きければ大きいほど、報酬も大きくなる

2: 罪の結果は重大です

1: 1コリント6:18、「性的不道徳から逃げなさい。人が犯すその他の罪はすべて体の外にありますが、性的に不道徳な人は自分の体に対して罪を犯します。」

2: ローマ人への手紙 12:1-2、「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたにお願いします。あなたがたの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげることが、あなたがたの霊的な崇拝です。この世界では、しかし、あなたの心を一新することによって変えられ、それによって、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試すことによって識別できるようになるのです。」

マタイ 18:10 この小さな者たちを一人も軽蔑しないように気をつけなさい。というのは、あなたがたに言いますが、彼らの天使たちは天でいつも天におられるわたしの父の御顔を見つめているからです。

神は私たちに、社会の弱い立場にある人々を虐待しないように注意するよう警告しています。彼らは天の天使によって常に見守られているからです。

1. 思いやりの力: 弱い立場の人に尊厳を持って接する方法。

2. 愛とともに生きる: 小さな子どもたちの価値を理解する。

1. ヤコブ 1:27 - 「私たちの父なる神が純粋で非の打ちどころのないものとして認めている宗教は、苦悩している孤児や未亡人を世話し、世によって自分自身を汚さないようにするための宗教です。」

2. マタイ 25:40 - 「王はこう答えるでしょう、『はっきり言いますが、あなたが私の兄弟姉妹の中で最も小さい者の一人にしたことは、私のためにもしたのです。

マタイ 18:11 人の子は失われたものを救うために来たのです。

イエスは失われた人を救うために来られました。

1. 救いの力 - イエスは失われた人々をどのように救ったか

2. 行動への呼びかけ - 失われた人々に手を差し伸べる使命を引き受ける

1. ルカ 19:10 - ?それとも人の子は、失われた人々を探し、救うために来たのですか??

2. ローマ人への手紙 5:8 - ?では、神は私たちに対するご自身の愛を次のように表しています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

マタイ 18:12 あなたはどう思いますか。ある人が百匹の羊を持っていて、その一匹が迷ったとしたら、その人は九十九匹を残して山に入り、迷った羊を捜さないでしょうか。

イエスは、迷った一匹の羊を捜すために、九十九匹の羊を残した羊飼いのたとえ話をされました。

1. 失われた者たちに対する神の愛 - 迷子の羊のたとえを振り返って

2. 迷子を見つける喜び - 羊飼いの忠実さを祝う

1. ルカ 15:3-7 - 迷った羊のたとえ

2. エゼキエル 34:11-16 - 羊に対する神の配慮

マタイ 18:13 もし彼がそれを見つけたとしたら、はっきりとあなたがたに言いますが、彼は迷わなかった九十九匹の羊よりも、その羊のことをもっと喜ぶでしょう。

イエスは、迷子になった一匹の羊が見つかると、迷わなかった九十九匹の羊よりも大きな喜びがあると教えています。

1. 迷子の羊を見つける喜び

2. 一人の力: 一人の行動の影響

1. ルカ 15:3-7、迷子の羊のたとえ

2. ルカ 15:11-32、放蕩息子のたとえ

マタイ 18:14 それでも、これらの小さな者たちの一人が滅びることは、天におられるあなたがたの父のご意志ではありません。

神の御心は、子供が一人も死なないことです。

1: 神の御心が地上で行われるよう、私たちは皆、罪のない若者を守るよう努めるべきです。

2: 神が私たち全員を愛してくださっているように、私たちは皆、互いに愛し合い、親切になるように努めるべきです。

1: 1 ヨハネ 4:7-8 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです。

2: マタイ 7:12 それゆえ、あなたがたは、人にしてほしいと願うことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからである。

マタイ 18:15 さらに、もしあなたの兄弟があなたに対して不法行為をするなら、行って、あなたと彼だけの間で彼の過ちを話してください。もし彼があなたの言うことを聞くなら、あなたはあなたの兄弟を獲得したことになります。

この聖句は、私たちに不当な扱いをした兄弟のところにひっそりと行って問題の解決に努めるよう勧めています。

1. 和解の力: 他者との関係を修復する方法

2. 許し：敵を愛すること

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

2. ルカ 6:37 - 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、罪に定められることはありません。赦してください。そうすれば、あなたは赦されます。」

マタイ 18:16 しかし、もし彼があなたの言うことを聞かないなら、あと一人か二人連れて行ってください。そうすれば、二人か三人の証人の口であらゆる言葉が立証されるでしょう。

イエスは追随者たちに、真理を立証するために、罪を犯した人に直面するときは他の人を1人か2人連れて行くようにと指示しました。

1. コミュニティの力: 団結を通じて強さを見つける

2. 説明責任の祝福: 証言のサポート

1. ガラテヤ 6:1-2 - 兄弟たち、もし人が落ち度に陥ったなら、霊的な者であるあなたがたは、そのような人を柔和な精神で回復させてください。あなたも誘惑に遭わないように、自分自身のことを考えてください。

2. エペソ 4:32 - そして、神がキリストのためにあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも互いに親切にし、心優しく、許し合いなさい。

マタイ 18:17 もし彼が彼らの言うことを聞くのを怠るなら、それを教会に言いなさい。しかし、もし彼が教会の言うことを聞くのを怠るなら、彼は異教徒で取税人であるかのようにあなたの前にいてください。

この聖句は、教会の勧告に耳を傾けない人は部外者として扱われるべきであると教えています。

1. 神の命令に従うことの重要性

2. 人生を変える教会の力

1. ヘブライ 13:17 - 指導者に従い、その権威に服従します。彼らは、説明をしなければならない人間としてあなたたちを見守り続けます。彼らの仕事が重荷ではなく喜びとなるように、彼らに従いなさい。それはあなたにとって何のメリットもないからです。

2. テモテ第一 3:15 - もし私が遅れても、人々が神の家でどのように振る舞うべきかを知っているでしょう。神の家とは、生ける神の教会であり、真理の柱であり土台です。

マタイ 18:18 まことに、あなたがたに言います。あなたが地上でつなぐものは、天でもつながれます。また、あなたが地上で解くものは、天でも解かれるのです。

この聖句は、私たちの言葉や行動には霊的な領域に変化をもたらす力があることを思い出させてくれます。

1. 私たちの言葉の力: スピリチュアルな領域にどのように影響を与えることができるか

2. 信者の権威と責任: 地上と天国で私たちが何ができるかを理解する

1. ヤコブ 3:2-5 - 「私たちは皆、さまざまな点でつまずきます。そして、自分の言うことにつまずかない人がいるなら、その人は完全な人であり、全身を手綱でつなぐこともできます。もし私たちが口にビットを入れたら、船も見てください、とても大きくて強風で動かされていますが、パイロットの意志次第でどこにでも非常に小さな舵で導かれます。舌も同様に小さな部分ですが、偉大なことを誇っています。」

2. 箴言 18:21 - 「死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。」

マタイ 18:19 もう一度あなたたちに言います。もしあなたたちが地上で、彼らが求めることについて触れることに同意するなら、それは天におられるわたしの父が彼らのためにしてくださるでしょう。

この箇所は、信者間の合意と団結の力について語っています。

1: 一致の力 - マタイ 18:19

2: 合意の強さ - マタイ 18:19

1: 伝道の書 4:9-12 - 二人は一人よりも優れています。彼らはその労働に対して良い報酬を得ているからです。

2: ピリピ 2:2 - あなたがたが同じ思いを抱き、同じ愛を抱き、心を一つにし、心を一つにするという私の喜びを満たしてください。

マタイ 18:20 二人や三人がわたしの名のもとに集まっているところには、その中にわたしもいるのです。

イエスは私たちに、ご自分の名において団結するよう勧めておられます。イエスの名のもとに二人や三人が集まればどこでも、イエスは彼らの真っ只中におられるのです。

1. 団結の力: イエスはどのようにして私たちを団結させたのか

2. イエスから力を引き出す: どのようにイエスに頼ることができるか

1. ピリピ 4:13: ?私を強くしてくれる彼を通して、쏧は何でもできるのです。

2. ヨハネ第一 4:4: ?小さな子供たちよ、あなたは神から来て、彼らを克服しました。なぜなら、あなたの中にいる神は、この世にいる者よりも偉大だからです。

マタイ 18:21 それからペテロが彼のところに来て言った、「主よ、私の兄弟はどれほど私に対して罪を犯しますか。私は彼を許します。」7回まで？

イエスは、私たちは無制限に赦すべきだと教えています。

1. 無条件の許し: 神の恵みの模範

2. 恵みの力: キリストの無条件の許しを理解する

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

2. コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、赦しなさい。」

マタイ 18:22 イエスは彼に言われた、「七回まではあなたには言いませんが、七十倍までは」。

イエスはたとえ話の中で、人を7回だけではなく、70回も赦すようアドバイスしています。

1. 許しの力: 神の恵みの深さを探る。

2. 無条件に愛する方法: イエスの限りない慈悲を理解する。

1. コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、赦しなさい。」

2. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

マタイ 18:23 したがって、天の王国は、その僕たちを考慮に入れたある王にたとえられます。

天の王国と、家臣たちの記録を残そうとする王との比較を説明するために、あるたとえ話が示されています。

1. 王とその召使のたとえ話: 神の憐れみを理解する

2. 王とその召使いのたとえ: 謙虚さの重要性

1. ルカ 16:1-13、不正な執事のたとえ

2. 詩篇 103:8-14、神の変わらぬ愛と憐れみ

マタイ 18:24 そして、彼が計算し始めたとき、一万タラントの借金があるものが彼のところに連れて来られました。

この一節は、他人に多額の借金をしている男性について説明しています。

1: 神の許しは私たちの負債よりも大きいです。

2: 私たちがどのようにして神に赦されるのかを理解することの重要性。

1: イザヤ書 43:25 - 「わたし、つまりわたしこそが、自分のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者です。」

2: 詩篇 103:12 - 「東が西から遠く離れているように、神はこれまで私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。」

マタイ 18:25 しかし、彼が支払う必要がなかったので、彼の主は彼に、妻と子供たち、そして彼の財産すべてを売り渡して支払うように命じました。

ある男が領主への借金を返済できなかったため、領主は彼に家族と財産ごと売り飛ばすよう命じた。

1. 借金を支払わなかった場合の結果。

2. 財務に対して正直で責任を持つことの重要性。

1. 箴言 22:7 ?金持ちは貧乏人を支配し、借り手は貸し手の奴隷となる。

2. マタイ 6:19-21 ?蛾やさびが滅び、泥棒が侵入して盗む地上に自分のために宝を蓄えるのではなく、虫もさびも滅びず、盗人が侵入して盗むことのない天に宝を蓄えなさい。あなたの宝物があるところには、あなたの心もあるからです。

マタイ 18:26 そこでしもべはひれ伏して彼を拝んで言った、「主よ、忍耐してください。私がすべてをお返しします」。

使用人は謙虚に忍耐を懇願し、借金を全額返済すると約束しました。

1: 借金があるときは謙虚に忍耐を求め、自分の行動に責任を持つべきです。

2: 私たちは高慢になるのではなく、必要なときには謙虚になり慈悲を求めるべきです。

1: ルカ 18:13-14、?徴税人は少し離れたところに立っていた。彼は天を見上げることさえせず、胸をたたきながらこう言いました。ああ、罪人の私を憐れんでください。??言っておきますが、この人は、他の人ではなく、神の前に義とされて家に帰りました。

2: ヤコブ 4:6-7、?彼は私たちにさらに恵みを与えてくださいます。だからこそ聖書はこう言っているのです。쏥 od は高慢な者には反対しますが、謙虚な者には好意を示します。??それでは、神に服従してください。悪魔に抵抗すれば悪魔はあなたから逃げてしまうでしょう。

マタイ 18:27 すると、そのしもべの主人は同情して、彼を釈放し、借金を免除しました。

領主は憐れみを示し、召使の借金を免除しました。

1. 思いやりの力 - 思いやりがどのように許しにつながるのか

2. 許しは選択です - 状況にもかかわらず、許すことを選択する

1. コロサイ 3:13 - 「互いに忍び合い、もし一方が他方に不平を言うなら、互いに許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。」

2. マタイ 6:14-15 - 「もしあなたが他の人の罪過を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださいますが、もしあなたが他の人の罪過を許さなければ、あなたの父もあなたの罪過を赦してはくれません。

マタイ 18:28 ところが、そのしもべが出て行って、百ペンの借金をしている仲間のしもべの一人を見つけたので、その男に手をかけ、喉をつかんで、「借りを返してください」と言いました。

ある使用人が別の使用人から借金を抱えており、同僚の使用人の喉を掴んで支払いを強要しようとした。

1. 許しの力

2. 貪欲の代償

1. ルカ 6:37 - 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたがたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、あなたがたは罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。」

2. エゼキエル 18:20 - 「罪を犯した魂は死ぬ。子は父の咎を負わず、父も子の咎を負わない。義人の義はその子にある。悪者の邪悪が彼に臨むであろう。」

マタイ 18:29 すると、彼の仲間のしもべが彼の足元にひれ伏して、「忍耐してくれ。すべては私が払うから」と懇願した。

しもべは借金を返済するのに忍耐を求めました。

1: 神の忍耐は私たちにとって祝福であり、私たちの生活に適用されるべきです。

2: 他の人の忍耐に対して感謝の意を示すべきであり、それを利用すべきではありません。

1: エペソ人への手紙 4:2 - ?謙虚さと優しさ、忍耐力、そして愛を持ってお互いに耐えることです。

2: コロサイ 3:13 - ?お互いに耳を傾け、一方が他方に対して不満を持っている場合は、お互いを許します。主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。

マタイ 18:30 しかし、彼はそうしようとはせず、行って、借金を返済するまで彼を刑務所に投げ込んだ。

ある男性が借金の支払いを拒否したため、借金が返済されるまで刑務所に入れられました。

1. 未払いの借金の結果: マタイ 18:30

2. 金融負債の霊的代価: マタイ 18:30

1. 箴言 22:7 - 金持ちは貧しい人を支配し、借り手は貸し手の僕です。

2. ローマ人への手紙 13:8 - 互いに愛し合うことのほかには、だれにも借りはありません。

マタイ 18:31 そこで、彼の仲間の僕たちは、事の成り行きを見て、非常に残念に思い、やって来て、主君に事の成り行きをすべて話しました。

主人の使用人たちは、主人が債務者に対して厳しい態度をとっているのを見て、とても残念に思いました。

1. 批判や怒りではなく、慈悲と同情を示すことの重要性。

2. 自分の行動の結果を認識し、それらに対して喜んで責任を負います。

1. ルカ 6:36-37 ?あなたがたの父が慈悲深いのと同じように、あなたも慈悲深いのです。裁かないでください。そうすれば、あなたも裁かれることはありません。非難しないでください。そうすればあなたも非難されることはありません。許してください、そうすれば許されます。

2. ガラテヤ 6:7-8 ?騙されないでください。神を嘲笑することはできません。人は自分が蒔いたものを刈り取ります。自分の肉を喜ばせるために種を蒔く者は、その肉から滅びを刈り取るでしょう。御霊を喜ばせるために種を蒔く人は誰でも、御霊から永遠の命を刈り取るでしょう。

マタイ 18:32 そこで、彼の主君は、彼を呼んだ後、彼に言った、「おお、邪悪な僕よ、あなたが私を望んでくださったので、私はあなたの借金をすべて赦しました。

主人は従者を許しましたか？彼の要求による借金。

1: 私たちがどれほど大きな負債を負っているとしても、神は常に私たちの罪を喜んで赦してくださいます。

2: 私たちの罪がどれほど大きいとしても、私たちは常に神に許しを求めるべきです。

1: エペソ人への手紙 1:7 ?彼において、私たちは彼の血による救い、彼の恵みの豊かさによる私たちの罪の赦しを持っています。

2: 詩篇 103:12 ?東が西から遠く離れているように、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいます。

マタイ 18:33 私があなたを憐れんだのと同じように、あなたもあなたの同胞を憐れむべきではなかったでしょうか。

イエスは私たちに、神が私たちを赦してくださったのと同じように、同情心を持ち、他の人を赦すように教えられます。

1. 神の憐れみ: 許しの力

2. 思いやりを理解する: マタイ 18:33 におけるイエスの教えの研究

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

2. ルカ 6:36 - 「あなたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。」

マタイ 18:34 そこで彼の主人は激怒し、彼に支払わなければならないすべてを支払わなければならないまで彼を拷問者に引き渡した。

使用人は主人に借金がありますが、支払うことができません。彼の怒りに支配された領主は、借金が全額支払われるまで彼を拷問者に引き渡します。

1. 不従順の代償: 罪の結果を理解する

2. 恵みの力: 神の憐れみはどのようにして私たちの負債を克服できるのか

1. ローマ人への手紙 6:23、「罪の報酬は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。」

2. コロサイ 2:13-14、「そして、罪と肉の無割礼で死んでいたあなたを、神は私たちに不利な負債の記録を帳消しにして、すべての罪を赦して、ご自分とともに生かしてくださいました。」彼はこれを脇に置き、十字架に釘付けにした。」

マタイ 18:35 もしあなたがたが兄弟一人一人の罪過を心から赦さないなら、天の父も同じようにしてくださるでしょう。

この聖句は、兄弟たちの罪を心から赦すことの大切さを語っています。

1. 許しの力 - 許したいという意志が私たちをどのように神に近づけるか。

2. 神の慈悲 - 神の恵みと私たちを赦して下さる神の意志を探ります。

1. コロサイ 3:13 - 互いに忍耐し、誰かが互いに不満を抱いている場合は許し合います。

2. エペソ 4:32 - 神がキリストにあってあなたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、許し合いなさい。

マタイ 19 章では、離婚、子供たちの祝福、金持ちの若者とイエスとの出会い、そして天の御国での報いについてのイエスの教えについて述べています。

第 1 段落: この章は、男性がいかなる理由であれ妻と離婚することが合法であるかどうかについて、パリサイ人がイエスを試すところから始まります (マタイ 1 9:1-9)。イエスは彼らを、神が彼らを男性と女性に創造し、生涯にわたる結合として結婚を定めた創造秩序に遡るように言及しました。彼は、神が結合したものを人間が分離すべきではないと主張します。彼は、モーセが彼らの心のかたくなさのために離婚を許可したことを認めていますが、最初からそうではなかった、性的不道徳を除いて妻と離婚し、別の人と結婚する人は誰でも姦淫を犯すことになると明らかにしました。

第 2 段落: 次に、人々は祝福を求めて小さな子供たちを主のもとに連れてきます。弟子たちが彼らを叱責しようとすると、イエスは、天国はこのようなものであると言って子供たちをご自分のところに来させるよう主張し(マタイ19:13-15)、弟子としての模範として子供の信仰を強調します。

第 3 段落: 次に、永遠の命を得るためにどんな良いことをしなければならないかを尋ねる金持ちの若者に出会います (マタイ 19:16-30)。若者が若い頃からすべて守ってきたと主張する戒めについて最初に話し合った後、イエスは彼に一つ欠けていることを告げました。それは、財産を売り、貧しい人に与えなさい、天に宝を持ちなさい、私に従ってきなさい、というものです。しかし、この男が莫大な富を持っていたことを聞いて、彼が王国に入るのに富がもたらす困難を示しているのを聞いて、悲しくなって立ち去ります。これは、金持ちが王国に入るよりラクダが目の針を通るほうが簡単であるという教えにつながりますが、人間には不可能なことです。神ペテロは次に、すべてを残して彼に従う人々に報酬について尋ね、永遠の命を百倍受け継ぐという保証を促しますが、警告でもあります最初が最後、最後が最初になることに注意してください。これは、神の基準が世の基準とは異なることを示しています。

マタイ 19:1 イエスはこれらのことばを言い終えると、ガリラヤを出発し、ヨルダンを越えてユダヤの海岸に入った。

イエスはガリラヤを出発し、ユダヤに到着します。

1: イエスはすべての人々に希望と平和をもたらすことを意図し、ガリラヤで旅を始めました。

2: 私たちの人生はイエスのように、周囲の人々に希望と平和をもたらすために旅を続けるべきです。

1: マタイ 28:19-20 – 「それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように彼らに教えなさい」：そして、見よ、私はいつもあなたと一緒にいます、たとえ世界の終わりまで。アーメン。"

2: ヨハネ 14:27 – 「わたしはあなたたちに平安を残します。わたしの平安をあなたたちに与えます。世が与えるのではなく、私があなたたちに与えます。心を騒がせてはいけないし、恐れてはいけない。」

マタイ 19:2 すると、大群衆がイエスに従った。そこで彼は彼らをいやした。

この箇所には、大勢の群衆がイエスに従う中、イエスが多くの人々を癒されたことが描かれています。

1. イエスは病人を癒し、すべての人を愛しています。

2. 霊的および肉体的な癒しのためにイエスのところに来てください。

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために傷つけられ、私たちの咎のために打たれた。私たちの平和のための懲罰が彼にあり、彼の打ち傷によって私たちは癒された。」

2. ヤコブ 5:14-15 - 「あなたがたの中に病気の人はいますか。その人は教会の長老たちを呼んで、主の御名において油を注いで彼のために祈ってもらいましょう。そうすれば信仰の祈りは「病人を救え。そうすれば、主は彼をよみがえらせてくださる。そして、もし彼が罪を犯したなら、赦されるだろう。」

マタイ 19:3 パリサイ人たちも彼のところにやって来て、彼を誘惑し、「男がどんな理由があろうとも自分の妻を別離することは許されるのか」と言った。

パリサイ人たちは、男性が何らかの理由で妻と離婚することが合法であるかどうかをイエスに尋ねて、イエスを試しました。

1. 結婚の神聖さ: 聖書の視点

2. 離婚: 傷ついた気持ちをどうケアするか

1. コリント人への手紙第一 7:10-11 - 「既婚者たちに、私は（私ではなく主に）このように命じます。妻は夫と別居すべきではありません（しかし、別居する場合は、未婚のままでいるべきです。そうでなければ、夫と和解すべきです）」彼女の夫）そして夫は妻と離婚すべきではありません。」

2. ヘブライ 13:4 - 「結婚はすべての人の間で名誉をもって行われ、結婚の床は汚されないようにしなさい。神は性的に不道徳で姦淫した者を裁かれるからです。」

マタイ 19:4 そこでイエスは答えて言われた、「あなたたちは、初めに彼らを造られた方が、彼らを男と女に造ったということを読んだことがないのか、

イエスは、神が人間を男と女として創造したと教えました。

1. 創造における神の設計: 多様性の美しさ

2. 結婚という神聖な制度: 家族の基礎

1. 創世記 1:27 そこで、神は人間をご自分に似せて創造し、神の似姿に創造されました。彼は男性と女性を創造しました。

2. エペソ人への手紙 5:31 「このため、人は父と母を離れて妻と結ばれ、二人は一体となるのです。」

マタイ 19:5 そして言った、「このために、人は父と母を離れ、妻に固く結ばれなければなりません。そうすれば二人は一体となるでしょうか？」

この一節は、夫婦としての男女の関係の重要性を述べています。

1. 結婚の約束: 愛の誓約

2. 夫婦の誓いの炎を再燃させる

1. 創世記 2:24 - それゆえ、人は父と母を離れ、妻に固く結ばれ、二人は一体となる。

2. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻たちよ、主に対するのと同じように、自分の夫にも服従しなさい。なぜなら、キリストが教会の頭であるのと同じように、夫は妻の頭であり、キリストは体の救い主だからです。したがって、教会がキリストに従うのと同じように、妻もすべてのことにおいて自分の夫に従いなさい。

マタイ 19:6 したがって、彼らはもはや双子ではなく、一体です。したがって、神が結び合わせたものを、人がバラバラにしてはなりません。

神の結婚計画は、分離ではなく一致の計画です。

1.「愛はひとつになる：神の結婚計画」

2.「団結の強さ：結婚における神の祝福」

1. エペソ人への手紙 5:21-33

2. 創世記2:24

マタイ 19:7 彼らは彼に言った、「それではなぜモーセは離婚届を渡し、彼女を遠ざけるように命令したのですか」。

イエスは、なぜモーセが離婚を命じたのかというパリサイ人の質問に答えて、それは人々の心がかたくなだったからであると思い出させました。

1. イエスの愛は人間の法則を超えます

2. 人間の傷心を克服する神の恵みの力

ローマの信徒への手紙3章23節から24節に「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。」

2. エレミヤ 31:3 - 「主は遠くから彼に現れて言われた、『わたしは永遠の愛をもってあなたを愛した。だから、わたしは慈しみをもってあなたを引き寄せた』。」

マタイ 19:8 彼は彼らに言った、「モーセは、あなたがたの心のかたくなさのせいで、あなたが妻たちを引き離すのに苦労しました。しかし、最初からそうではありませんでした。」

昔は離婚が必ずしも簡単ではなかったと指摘しました。

1. 結婚は神からの贈り物であり、祝われ、育まれるべきです。

2. 離婚は簡単な選択肢であってはならず、可能な限り避けるべきです。

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻たちよ、主に対するのと同じように、自分の夫に従いなさい。なぜなら、キリストが教会の頭であり、その体であり、ご自身が教会の救い主であるのと同じように、夫は妻の頭だからです。

2. コリント第一 7:10-11 - 既婚者たちに、私はこう言います（私ではなく主です）：妻は夫と別居すべきではありません（しかし、別居する場合は、未婚のままでいるか、そうでなければ夫と和解すべきです）夫）、夫は妻と離婚すべきではありません。

マタイ 19:9 そして、あなたがたに言います。淫行のためでない限り、自分の妻を離別して他の人と結婚する者は、姦淫を犯しています。離された妻と結婚する者は、姦淫を犯しているのです。

マタイ 19 章 9 節でイエスは、性的不道徳の場合を除いて配偶者と離婚し、再婚する者は姦淫を犯していると述べています。

1. 結婚の神聖さ: 聖書の視点

2. 離婚と再婚: この主題に関する神の言葉

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻たちよ、主に対するのと同じように、自分の夫に従いなさい。なぜなら、キリストが教会の頭であり、その体であり、ご自身が教会の救い主であるのと同じように、夫は妻の頭だからです。

2. ヘブライ 13:4 - 結婚はすべての人の間で名誉を重んじられ、結婚の床は汚されないようにしてください。神は性的に不道徳で姦淫した者を裁かれるからです。

マタイ 19:10 弟子たちは彼に言った、「もしその男が妻にそうであるなら、結婚するのはよくない」。

イエスの弟子たちは、ある男性とその妻の事例に基づいて、結婚についての懸念を表明しています。

1. 結婚の祝福: 神を讃える結合の賜物に感謝する

2. 結婚の課題: 神を敬いながら困難に立ち向かう

1. エペソ人への手紙 5:21-33 - 結婚生活における服従と相互尊重

2. コリント第一 13:4-8 - 結婚における愛と犠牲

マタイ 19:11 しかしイエスは彼らに言われた、「このことばを与えられた人以外、すべての人はこのことばを受け入れることはできない。」

イエスは、誰もが自分の教えを受け入れることができるわけではなく、選ばれた人にのみ与えられると教えました。

1. 選択の力: イエスの教えを受け入れる選択を探る

2. 神の賜物: イエスの教えを受け入れるという賜物を探る

1. ヨハネ 6:44-45 - 私を遣わした父が彼らを引き寄せない限り、誰も私のところに来ることはできません、そして私は終わりの日に彼らをよみがえらせます。

2. 使徒 16:14 - 主は彼女の心を開いて、パウロの言ったことに耳を傾けさせました。

マタイ 19:12 というのも、母の胎からそのように生まれた宦官もいるし、人の宦官にされた宦官もいるし、天の御国のために自ら宦官となった宦官もいるからだ。それを受け取ることができる人は、それを受け取りましょう。

この箇所でイエスは宦官について、そして宦官になるためのさまざまな方法について教えています。理解できる人には教えを受けるよう勧めています。

1. 天国: イエスに従うために犠牲を払う

2. イエスの包括的な愛: 誰も置き去りにされない

1. ルカ 14:25-33 - 大晩餐のたとえ

2. ガラテヤ 5:1-6 - モーセの律法からのキリストにおける自由

マタイ 19:13 そのとき、イエスのもとに幼い子供たちが連れて来られ、その上に手を置いて祈ってほしいと言われたので、弟子たちは彼らを叱責した。

イエスは両手を広げて子供たちを歓迎し、愛を示しました。

1: イエスは子供たちを歓迎し、愛することの大切さを私たちに教えてくれました。

2: イエスは、最も必要とする人々に同情心を示す力を実証しました。

1: ルカ 18:15-17 - イエスは、「子供たちをわたしのもとに来させなさい。彼らを妨げないでください。神の国はそのような者のものです。」と言われました。

2: マタイ 18:1-5 - イエスは、「わたしの名によってそのような子を一人受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。そして、わたしを受け入れる人は、わたしではなく、わたしを遣わした方を受け入れるのです。」と言いました。

マタイ 19:14 しかし、イエスは言われた、「小さな子供たちを苦しめなさい。彼らが私のところに来ることを禁じないでください。天国はそのようなものだからです。」

イエスは、子供たちは天の国の一部であるため、私たちの信仰の旅に子供たちを受け入れ、参加させるよう勧めておられます。

1. 王国の子供たちを受け入れる - 包括的な信仰コミュニティを築く方法

2. 小さいながらも力強い - 天国の子供たちの力を理解する

1. マルコ 10:14-16 - 子供たちを歓迎することに関するイエスの教え

2. 詩篇 8:2 - 神の目に映る子供たちの不思議

マタイ 19:15 そしてイエスは彼らの上に手を置き、そこから立ち去られた。

イエスは子供たちを祝福してから立ち去られました。

1. イエスは子供たちを祝福することの重要性を私たちに示しました。

2. 私たちはすべての人に対する愛と憐れみのイエスの模範に従わなければなりません。

1. マルコ 10:16 - 「そしてイエスは彼らを腕に抱き、彼らの上に手を置いて祝福した。」

2. ルカ 18:15-17 - 「そして、彼らは、触らせようと、幼児たちも連れて来ました。しかし、弟子たちはそれを見て、彼らを叱責しました。しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「幼い子供たちが私のところに来るのを我慢してください。彼らを禁じないでください。神の国はそのようなものだからです」。はっきり言っておきますが、幼い子供のように神の国を受け入れない者は、決してそこに入ることはできません。」

マタイ 19:16 すると、見よ、一人が来て彼に言った、「先生、永遠の命を得るために、どんな良いことをしたらいいでしょうか？」

この箇所には、永遠の命を得るために何をしなければならないかをイエスに尋ねた男性が描かれています。

1. イエス・キリストを通して永遠の命を求めることの重要性。

2. 永遠の命を得るために神の意志と命令に従う力。

1. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。」

マタイ 19:17 するとイエスは言った、「なぜあなたはわたしを良い人だと言うのですか。」ただ一人、つまり神以外に善い者はいない。しかし、もしあなたが人生に入ろうとするなら、戒めを守りなさい。

イエスは、命に入るためには戒めを守らなければならないと教えています。彼はまた、神だけが善であるとも述べています。

1. 神の目に映る善 - 永遠の命を得るために神の命令に従う必要があることを理解します。

2. 善の源 - 神だけが本当に善であることを認識し、神の意志に従って生きることを学びます。

1. ローマ 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

2. 詩篇 119:172 - 私の舌はあなたの言葉について語ります。あなたの戒めはすべて義だからです。

マタイ 19:18 彼は彼に言った、「どれですか？」イエスは、「人を殺してはならない、姦淫してはならない、盗んではならず、偽りの証言をしてはならない」と言いました。

この箇所は、イエスが金持ちの若い統治者に与えた、戒めを守るようにという命令を説明しています。

1. 戒めの力: 神の律法を守ることで私たちの生活はどのように変わるのか

2. 金持ちの若い統治者: 従順の研究

1. 出エジプト記 20:1-17 - 十戒

2. マルコ 12:28-34 - 最も重要な戒め

マタイ 19:19 あなたの父と母を敬え。そして、自分のように隣人を愛さなければならない。

この一節は、両親を敬い、隣人を自分のように愛することの重要性を強調しています。

1. 隣人を愛する力: キリストは私たちにどのように思いやりと優しさを示すかを教えられるか

2. 両親を敬う: 聖書の視点

1. エペソ 6:1-3 - 子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。「あなたの父と母を敬え」――これが約束を伴う第一の戒めである――「そうすれば、あなたはうまくいき、地上で長生きできるようになる。」

2. レビ記 19:18 - 「あなたの民のだれに対しても復讐したり恨みを抱いたりしてはなりません。あなたの隣人を自分のように愛してください。わたしは主です。

マタイ 19:20 若者は言った、「若いころからこれらすべてのことを守ってきました。私にまだ何が欠けているのでしょうか。」

この一節は、若い頃からの戒めを守ってきたと主張し、他に何をしなければならないかを考えている若い男性について書かれています。

1. 法律を越える必要性: 弟子としての深みを探る

2. 誠実な人生を送る: 完全に献身的な信者の献身

1. ルカ 10:25-37 - 善きサマリア人のたとえ

2. ヤコブ 1:22-25 - 聞く人だけではなく、みことばを行う人

マタイ 19:21 イエスは彼に言われた、「もしあなたが完全になりたければ、行って持っているものを売り、貧しい人たちに施しなさい。そうすればあなたは天に宝を持つでしょう。そして、わたしに従ってきなさい」。

イエスは私たちに、物質的な所有物を脇に置き、神に信頼を置くよう勧めておられます。

1: 私たちは地上の所有物を手放して、イエスへの信仰を置かなければなりません。

2: イエスのために生きるとは、物質的なものではなく、自分の命をイエスに投資することを意味します。

1: マタイ 6:19-21 「虫とさびが滅び、盗人が押し入って盗む地上に自分のために宝を積んではなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさず、盗人がいない天に宝を蓄えなさい。」侵入したり盗んだりしないでください。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。」

2: コロサイ 3:1-2 「あなたがキリストとともによみがえったのなら、上にあるもの、つまり神の右に座しておられるキリストがおられる場所を探しなさい。地上のものではなく、上にあるものに心を向けなさい。」

マタイ 19:22 しかし、若者はその言葉を聞くと、悲しみながら立ち去った。彼はたくさんの財産を持っていたからである。

この箇所は、イエスの言葉を聞いて、自分の大きな財産のために悲しみながら去った若者について語ります。

1. 金持ちの若者: 所有物が私たちに何をもたらすのか

2. 神に向かう旅の力：しがみついているものを離れる

1. ルカ 12:15 (NIV): 「それからイエスは彼らに言った、『気をつけなさい！』あらゆる種類の貪欲に対して用心してください。人生は豊かな所有物によって成り立つのではない。」

2. 伝道の書 5:10 (NIV): 「お金を愛する者は、決して十分なお金を持っていません。富を愛する者は決して自分の収入に満足しない。これも無意味です。」

マタイ 19:23 それから、イエスは弟子たちに言われた、「はっきり言っておきますが、金持ちは天国に入るのが難しいのです。」

金持ちは天国に入るのが難しい。

1: 救いはお金では買えません、神の愛は貴重です。

2: この世ではお金は強力な力ですが、お金で天国に入る道を買うことはできません。

1: マルコ 10:25 「金持ちが神の国に入るよりは、ラクダが針の穴を通るほうが易しい。」

2: ヤコブ 2:5-7 「親愛なる兄弟姉妹たち、聞いてください。神は、信仰が豊かになり、ご自分を愛する者たちに約束された王国を受け継ぐために、世の目に貧しい人々を選ばれたのではありませんか。」

マタイ 19:24 もう一度言います、金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方が簡単です。

裕福な人が神の国に入るのは難しい。

1: 富は神の国に入る障害にはなりません。

2: 真の富はキリストに従う中に見出されます。

1: ルカ 16:13 召使は二人の主人に仕えることはできません。どちらかが一方を憎み、もう一方を愛するからです。さもなければ、彼は一方に固執し、他方を軽蔑するでしょう。あなたがたは神と富に仕えることはできない。

2: マタイ 6:19-21 あなたがたは、虫やさびが腐敗し、盗人が押し入って盗む地上に宝を積んではなりません。しかし、あなたがたは天に宝を積んでください。そこでは虫もさびも腐敗せず、泥棒が侵入したり盗んだりしない場所です。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。

マタイ 19:25 弟子たちはそれを聞いて非常に驚いて言った、「それでは誰が救われるのでしょうか」。

金持ちが天国に入るのは難しいとイエスが言われたとき、弟子たちは驚き、それでは誰が救われるのかと尋ねました。

1.「富の困難」

2. 「救われるには何が必要ですか?」

1. ルカ 18:24-25 - 「イエスは、自分がとても悲しんでいるのを見て、こう言われた、『富を持っている者は、なかなか神の国に入れないのではないか！ラクダが針の穴を通るほうが簡単だから』金持ちが神の国に入るよりも。」

2. 使徒 4:12 - 「他の名前にも救いはありません。天の下で人間の間に与えられた名前は、それ以外に私たちが救われなければならない名前はないからです。」

マタイ 19:26 しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人間にはそんなことは不可能です。しかし、神にとってはすべてのことが可能です。

この聖句は、人間には不可能に思えることでも、神にとってはすべてのことが可能であることを強調しています。

1. 神は私たちの疑いを超えた偉大な方であり、私たちの苦闘を助けてくださいます。

2. 神にとって難しすぎることは何もありません。私たちは神の力を信頼すべきです。

1. エレミヤ 32:17 - ああ、主なる神よ！見よ、あなたはあなたの偉大な力と伸ばされた腕によって天と地を創造されました。あなたにとって難しすぎることは何もありません。

2. ルカ 1:37 - 神にとって不可能なことは何もありません。

マタイ 19:27 そこでペテロが答えて言った、「見よ、わたしたちはすべてを捨ててあなたに従いました。それで何を食べましょうか？

ペテロはイエスに、すべてを捨ててイエスに従った場合、どのような報いを受けるのかと尋ねます。

1. 忠実な奉仕に対する報酬

2. 弟子としての費用

1. ヘブライ 11:24-26 - 信仰によって、モーセは年を重ねたとき、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒否しました。一時的に罪の喜びを楽しむよりも、むしろ神の民とともに苦難に苦しむことを選択する。キリストの非難をエジプトの宝よりも大きな富とみなした。それは、キリストが報いの報いを尊重していたからである。

2. マタイ 19:29 - そして、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、妻、子供、土地を捨てた者は皆、百倍の報いを受け、永遠に受け継がれるであろう。人生。

マタイ 19:28 そこでイエスは彼らに言われた、「はっきり言っておくが、わたしに従って来たあなたがたは、人の子がその栄光の座に座る再生のとき、あなたがたもまた十二の玉座に座り、人々を裁くことになるだろう」イスラエルの十二部族。

イエスは弟子たちに、自分に従うことで報酬を受け取ることを約束しました。それは、人の子が栄光の王座に座るときにイスラエルの12部族を裁く機会です。

1. イエスは忠実な弟子たちに報酬を約束する

2. 再生: 神の栄光の玉座

1. コリント人への第一の手紙 3:10-15 - 信者が忠実な奉仕に対して受け取る報酬

2. 詩篇 45:6 - 神の栄光と威厳の御座

マタイ 19:29 そして、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、妻、子供、土地を捨てた者は皆、百倍の報いを受け、永遠の命を受け継ぐであろう。

イエスは追随者たちに、ご自分の名のために物質的な所有物や家族を捨てるよう勧め、その見返りとして 100倍ものものを受け取り、永遠の命を受け継ぐと約束されました。

1. 犠牲の力：王国のために愛するものを手放すことを学ぶ

2. 豊かな人生: 忠実さと従順の報酬を得る

1. ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. 1 コリント 13:3 - 「たとえ、貧しい人たちを養うために全財産を与えても、自分の体を焼かれるために差し出し、慈善をしなかったとしても、それは私に何の益もありません。」

マタイ 19:30 しかし、最初にいた多くの人は最後になるでしょう。そして最後のものが最初になります。

イエスは、最初の人が最後になるかもしれないし、最後にいる人が最初になるかもしれないと教えています。

1. 「形勢逆転：イエスは私たちをどのように異なるランク付けをしたのか」

2. 「最低の場所を求める: なぜ謙虚さが重要なのか」

1. ルカ 14:7-11 - イエスは結婚披露宴のたとえを教える

2. ピリピ 2:3-8 - 謙虚さと無私の心に関するパウロの教え

マタイ 20 章には、ぶどう園の労働者のたとえ話、イエスの死と復活に関する 3 回目の預言、王国での名誉ある地位の要求、そして二人の盲人の癒しが記されています。

第 1 段落: この章は、ぶどう園の労働者のたとえ話で始まります (マタイ 20:1-16)。この物語では、地主は一日を通してさまざまな時間に労働者を雇いますが、最終的には全員に同じ賃金、つまり 1 デナリオンを支払います。雇われた人たちは最初、この一見不公平について不満を言いましたが、地主は彼らに合意した金額を支払ったので不公平ではないと主張しました。このたとえ話は、神の恵みが人間の公平性の考えに作用しないこと、そして「後の者が最初になり、最初の者が後になる」ことを示しています。

第 2 段落: 彼らがエルサレムに上る途中、イエスは 12 人の弟子を脇に引き連れ、三度目の死の復活を預言されました (マタイ 20:17-19)。彼は、祭司長や律法の教師たちに裏切られ、死刑を宣告され、異邦人に引き渡され、十字架につけられるだろうが、三日目に復活するであろう、と彼は言います。

第 3 段落: その後、母ゼベダイの息子たちジェームス・ジョンがやって来て、イエスに自分の息子たちを神の王国の右に置くよう尋ねましたが、イエスは、それらの場所は父が用意した場所だと言いました (マタイ 20:20-28)。これは、異邦人の支配者のように他人を威圧することではなく、息子マンが奉仕に来なかったのと同じように奉仕し、多くの命を犠牲にして奉仕するという王国の偉大さについての教えにつながります。最後に、この章は、エリコの近くで慈悲を求めて叫ぶ二人の盲人を癒して、イエスを子ダビデと認め、信仰の粘り強さを示し、彼に従う視力を獲得することで終わります（マタイ20:29-34）。

マタイ 20:1 というのは、天の御国は、ぶどう園に労働者を雇うために朝早く出かけた家の人に似ているからです。

ぶどう園のために労働者を雇う家の人のたとえ話は、天の王国を表しています。

1. 神の愛と恵みは、信仰の働きや信仰の時期に関係なく、すべての人に与えられます。

2. 私たちは皆、神が私たちに与えてくださったあらゆる賜物や能力を使って神に仕えるよう招かれています。

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ペテロ第一 4:10 - それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良き管理人として、その賜物を用いて互いに仕えなさい。

マタイ 20:2 そして、一日一ペニーで労働者たちと合意すると、彼らを自分のぶどう園に送り込んだ。

地主はブドウ畑で働く労働者を雇い、一日一ペニーを支払うことに同意しました。

1. 神の寛大さ - 神はどれほど寛大であり、私たち全員が神の恵みを受けるに値する者であるかを示してくださいます。

2. 仕事の重要性 - 勤勉の重要性と、それがどのように私たちを祝福してくれるかを理解します。

1. 詩篇 37:4 - 主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いをかなえてくださるでしょう。

2. エペソ 2:10 - なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られたからであり、神は私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。

マタイ 20:3 それで、三時ごろに出て行ったところ、他の人たちが市場で何もせずに立っているのが見えた。

この箇所は、イエスが午後3時に人々が市場で何もせずに立っているのを観察されたときのことを描写しています。

1. 神は私たちが有意義な仕事と生産的な生活を目指して努力することを望んでいます。

2. 私たちは時間を賢く使うべきであり、重要なことをするのに最後の瞬間まで待たないでください。

1. 箴言6:6-11

2. エペソ人への手紙 5:15-17

マタイ 20:4 そして彼らに言った。あなたもぶどう園に行きなさい、そうすれば正しいものは何でもあなたに与えます。そして彼らは自分たちの道を進みました。

イエスは追随者たちにぶどう園での仕事に参加するよう勧め、彼らが何をしたとしても公正に報いると約束されました。

1. イエスの招き: 神の王国のために力を合わせて

2. 従順の祝福: 正しいことを行うことで報われる

1. コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。

2. 箴言 16:3 - 何をするにも主に委ねなさい、そうすればあなたの計画は成功するでしょう。

マタイ 20:5 彼はまた、六時と九時ごろに出て、同じようにした。

この箇所では、イエスが6時と9時にさらに2回市場を訪れ、1回目と同じことをしたことが語られています。

1. 私たちが何度神を呼び求めても、神はいつでも私たちに寄り添ってくださいます。

2. イエスは私たちに、自分よりも他人を優先し、神に信頼するように教えられます。

1. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

2. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてのものはあなたに加えられるでしょう。

マタイ 20:6 十一時ごろ、イエスは外に出て、ほかの人たちが何もせずに立っているのを見つけて、彼らに言った、「なぜ一日中ここで何もせずに立っているのか」。

イエスは、何人かの人々が何もせずに立っていることに気づき、なぜ働かないのかと尋ねました。

1: 私たちは時間を生産的かつ目的を持って使う方法を常に模索する必要があります。

2: 怠けているのではなく、熱心に努力し、時間を賢く使いましょう。

1: 伝道の書 9:10 「あなたの手にやりたいことは何でも、全力を尽くしてやりなさい。」

2: コロサイ 3:23-24 「何をするにも、人のためではなく主のために熱心に働きなさい。報酬として主から相続財産を受けられることを知ってください。あなたは主キリストに仕えているのです。」

マタイ 20:7 彼らは彼に言った、「誰も私たちを雇ってくれないからです。」彼は彼らに言った、「あなたたちもぶどう園に行きなさい。」そして正しいものは何であれ、あなたがたはそれを受け取ります。

ぶどう園の労働者のたとえ話は、いつ仕事に参加するかに関係なく、誰もがその労働に対して報われることを教えています。

1. 神の寛大さ - 神の過分のご好意を受け取ることを学ぶ

2. 神の恵み - 神の善意の恩恵を享受する方法

1. エペソ人への手紙 2:8-9、あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2. フィリピ 4:19、しかし、私の神は、キリスト・イエスによって、栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

マタイ 20:8 そこで、夕方になったとき、ぶどう園の主人は家令に言った、「労働者たちを呼んで、最後の人から最初の人まで順番に雇ってください。」

通路 ブドウ園の主人は、夕方になったら最後尾から先頭まで労働者に給料を支払うよう管理人に命じました。

1. 神は最も小さい者たちを気遣ってくださいます: マタイ 20:8 の A

2. 公平性の重要性: マタイ 20:8 の A

1. エペソ 6:9 - そして、あなたがた主人たちよ、脅迫を我慢して、彼らに対して同じことをしなさい。あなたの主人も天国にいるのを知っていてください。彼には人に対する敬意もありません。

2. ガラテヤ 6:7 - だまされてはいけません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは何でも、彼も刈り取るからです。

マタイ 20:9 そして、十一時ごろに雇われた人々が来たとき、彼らは一人当たり一ペニーを受け取りました。

ぶどう園の労働者のたとえ話は、神の寛大な恵みと正義について語っています。

1. 神の正義と恵み: 神の祝福を得るのに遅すぎることはない

2. 神の寛大さ: 受けるに値する以上のものを受け取る

1. エペソ人への手紙 2:8-10 あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、9 だれも誇ることがないように、行いの結果ではありません。 10 なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られたからであり、神は、私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。

2. ルカ 6:36 あなたがたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。

マタイ 20:10 しかし、最初の者が来たとき、彼らはもっと多くのものを受け取るべきだったと考えました。そして彼らは同様にすべての人にペニーを受け取りました。

ブドウ園の労働者は、いつ雇われたかにかかわらず、同じ給料を受け取りました。

1. 神はあらゆる取引において寛大で公平です。

2. 私たちは他人と自分を比べるべきではなく、与えられたもので満足すべきです。

1. エペソ人への手紙 4:2-3 - 「完全に謙虚で柔和でありなさい。忍耐強くあり、愛をもって互いに忍耐しなさい。平和のきずなを通して御霊の一致を保つようあらゆる努力をしなさい。」

2. ピリピ人への手紙 4:11-12 - 「私は困っているからこんなことを言っているのではありません。私はどんな状況でも満足することを学んだからです。私は困っていることがどういうことかを知っていますし、持っていることがどういうことかを知っています」私は、食べ物が十分にあっても空腹であっても、豊かに暮らしていても不足していても、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。」

マタイ 20:11 彼らはそれを受け取ると、家の主人に対してつぶやいた。

一節 畑の労働者たちは給料を受け取りましたが、家の主人に対して不平を言いました。

1.「神の恵み 溢れる寛大さ」

2.「神の油そそがれた者の権威を尊重する」

1. エペソ 6:5-9 - 奴隷の皆さん、キリストに従うのと同じように、敬意と恐れを持って、そして誠実な心をもって地上の主人に従いなさい。

2. ヤコブ 2:1-7 - 兄弟姉妹の皆さん、あなたはえこひいき的な行為をしていますが、私たちの栄光の主イエス・キリストを本当に信じていますか。

マタイ 20:12 こう言う、「この人たちはたった一時間しか働いていないのに、あなたは彼らを、その日の重荷と暑さに耐えてきた私たちと同等にしてくださったのです。」

1時間しか働かなかった労働者には、一日中働いた労働者と同じ賃金が与えられました。

1. 神は正義の神です。どれだけ長く働いても、誰もがその努力に対して報われます。

2. 私たちが受けるに値しないときでも、神は恵みをもって私たちに報いてくださいます。

1. コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。

2. エペソ 6:7-8 - 人々ではなく主に仕えているかのように、心を込めて仕えなさい。奴隷であろうと自由であろうと、主は各人がどんな良いことをしても報われると知っているからです。

マタイ 20:13 しかし、彼はそのうちの一人に答えて言った、「友よ、私はあなたに何も悪いことはしていません。あなたは一銭でも私に同意しませんでしたか？」

この箇所は、公平と正義についての教訓を教えたイエスについて語っています。

1. 公平の力: 正義に関するイエスの教え

2. ぶどう園の労働者のたとえ話: 公正なものを支払うための教訓

1. エペソ人への手紙 4:25-32 - 新しい自分を着て義に生きる

2. 箴言 16:11 - 公正な天秤と秤は主のものである

マタイ 20:14 あなたのものを受け入れて、あなたの道を行きなさい。私はあなたに与えるのと同じように、これを最後に与えます。

イエスは追随者たちに、自分に与えられたものを受け入れ、他人の祝福を妬まないようにと教えておられます。

1. 「主にある満足：私たちが持っているもので満足することを学ぶ」

2.「欲しがるな：羨望の危険性」

1. ピリピ人への手紙 4:11-13 「私は、困っていることについて話しているのではありません。私は、どんな状況でも満足することを学んだのです。私は、どのように落ち込むかを知っており、どのようにして豊かになるかを知っています。そしてあらゆる状況において、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。

2. ローマ人への手紙 12:15 - 「喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。」

マタイ 20:15 私が自分のことを自分のしたいようにするのは合法ではないでしょうか。私が善人だから、あなたの目は邪悪なのでしょうか？

イエスは自分を中傷する人々の動機を尋ね、自分が寛大であることに憤慨しているのかと尋ねます。

1. イエスの寛大さ - イエスの無私の親切な行為が、彼の動機を疑問視する人々にどのように挑戦したか。

2. 同情の代償 - イエスの無私な行為の重要性と、それが今日の私たちにとって何を意味するかを考察します。

1. ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2. ヨハネ 13:12-17 - 「イエスは彼らの足を洗い終えると、服を着て、自分の場所に戻りました。「わたしがあなたのために何をしたか、分かりますか。」「あなたは私を『先生』とか『主』と呼んでいますが、それは当然のことです。それが私なのですから。あなたの主であり教師である私があなたたちの足を洗ったのですから、あなたたちもお互いの足を洗いなさい。「私があなたのためにしたように、あなたも模範を示したのです。本当に、あなたに言いますが、主人より偉大な僕はいませんし、彼を遣わした者より偉大な使者もいません。これらのことを知ったところで、あなたはそれを行えば祝福されるでしょう。」

マタイ 20:16 したがって、最後の者が最初であり、最初の者が最後となる。呼ばれる者は多いが、選ばれる者は少ないからである。

神の計画は、最も可能性の低い人を一番上に、最も可能性の高い人を一番下に置くことです。

1. 神の挑戦: 現状の逆転

2. 神の変わらぬ愛の力

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ヤコブ 2:5 - 「聞いてください、愛する兄弟たち、神は信仰の富む者、またご自分を愛する者たちに約束された神の国の相続人となるために、世の貧しい人々を選ばれたのではありませんか。」

マタイ 20:17 イエスはエルサレムに上って行かれたとき、途中で十二弟子を引き離して言われた。

イエスはエルサレムへ向かう途中、12人の弟子たちに謙虚さと奉仕についての重要な教訓を教えました。

1: イエスが 12 弟子に仕えたように、私たちは謙虚になって他の人に仕えなければなりません。

2: イエスは私たちの模範です。私たちは神の謙虚さと奉仕の模範に倣う必要があります。

1: ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2: マルコ 10:42-45 - イエスは彼らを呼び集めて言われた、「異邦人の支配者とされている人たちが異邦人を支配し、その高官たちが異邦人に対して権威を

行使しているのはご存知でしょう。あなた方はそうではありません。むしろ、あなたたちの中で偉くなりたい人は、あなたの召使いにならなければなりません。

マタイ 20:18 見よ、私たちはエルサレムに上ります。そして人の子は祭司長たちと律法学者たちに裏切られ、彼らは彼に死刑を宣告するだろう。

この箇所は、イエスが裏切られて死刑を宣告されたことを語っています。

1: たとえ理解するのが難しい場合でも、神の計画は私たちの利益になるという信仰と信頼を持たなければなりません。

2: 私たちに対するイエスの無私の愛は、私たちがどのように互いに仕えるべきかを示す例です。

1: ピリピ 2:5-8 「あなたがたの間でこの心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿でありながら、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。」

2: ローマ人への手紙 8:28 「そして、神を愛する者たち、すなわち神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

マタイ 20:19 そして彼を異邦人に引き渡し、あざけり、鞭打ち、十字架につけさせるであろう。そして三日目に彼はよみがえるであろう。

イエスの磔刑は彼を嘲り、鞭打ち、磔にすることでしたが、それでも彼は三日目に復活します。

1. 復活の希望: イエスの勝利の力

2. イエスの犠牲の意義: 贖いの代償

1. イザヤ書 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、主は私たちの罪のために傷を負い、私たちの咎のために傷を負われました。私たちの平和のための懲罰が主の上にあり、主の打ち傷によって私たちは癒されました。

2. ヨハネ 11:25 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きるだろう。

マタイ 20:20 そのとき、ゼベダイの子供たちの母親が息子たちとともに彼のところに来て、彼を崇拝し、彼にあることを望んだ。

ゼベダイの子供たちの母親は息子たちとともにイエスに近づき、お願いを求めました。

1. イエスはいつでも私たちの要求に耳を傾け、ご意志に従って答えてくださいます。

2. イエスに近づく信仰と祈りの力。

1. マタイ 7:7-11 - 「求めなさい。そうすれば、与えられるでしょう。探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば開かれます。だれでも求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれるからである。それとも、もし息子がパンを欲しがったら、石をくれる人があなたの中にいるでしょうか？それとも、もし彼が魚を求めたら、彼は彼に蛇を与えるでしょうか？それで、あなたが悪人であっても、子供たちに良い贈り物を与える方法を知っているなら、天におられるあなたの父は、なおさら、求める者たちに良いものを与えてくださるでしょう。

2. ヤコブ 1:5-6 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく、とがめられることなく与えてくださいます。そうすれば、それは与えられるでしょう。しかし、疑うことなく、信仰を持って尋ねましょう。疑う者は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからです。

マタイ 20:21 そこでイエスは彼女に言った、「何をしたいのですか」。彼女は彼に言った、「私の二人の息子が、あなたの王国で、一人はあなたの右に、もう一人は左に座ることができるようにしてください。」

ヤコブとヨハネの母親はイエスに、自分の二人の息子に王国の中で特別な場所を与えて、右手と左手に座ってほしいと願いました。

1. 信仰と粘り強さの力 - ヤコブとジョンの母から学ぶ

2. 愛する人たちのために犠牲を払う - ジェームズとジョンの母

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - なぜなら、あなたがたは恵みによって信仰によって救われたからです。そしてそれはあなた自身によるものではなく、神の賜物であるということ。行いの結果としてではなく、誰も誇ることがないように。

2. ペテロ第一 5:6-7 - ですから、神の力強い御手の下で謙虚になってください。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを高め、すべての思い煩いを神に委ねてくださるでしょう。神はあなたを気遣っておられるからです。

マタイ 20:22 しかし、イエスは答えて言われた、「あなたがたは何を求めているのかわからない。」あなたがたは、わたしが飲む杯を飲み、わたしが受ける洗礼の洗礼を受けることができるだろうか。彼らは彼に言った、「私たちにはできます」。

イエスは、弟子たちが直面するであろう同じ苦しみを受け入れることができるかどうかを尋ねることによって、弟子たちの忠誠心とイエスに従う意欲を試されます。

1. 苦しみの杯：神に「はい」と言う方法を学ぶ

2. イエスからバプテスマを受ける：キリストの弟子になる

1. ピリピ 3:10 - 「それは、私が彼と、彼の復活の力と、彼の死に至るまで適合させられた彼の苦しみの交わりを知るためです。」

2. ローマ人への手紙 8:17 - 「そして、子どもであれば、相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。そうであれば、私たちがキリストとともに苦しみを受けるなら、私たちも一緒に栄光を受けることができるでしょう。」

マタイ 20:23 そしてイエスは彼らに言った、「あなたがたは確かにわたしの杯を飲み、わたしが受けたバプテスマでバプテスマを受けるであろう。しかし、わたしの右手に座ることも、左手に座ることも、わたしが与えることではない。それは、わたしの父がそのために用意された者たちに与えられるであろう。

イエスは謙虚さと奉仕の大切さを教えています。

1. 謙虚さの力: 神と他者に仕えることを学ぶ

2. 神の計画における私たちの位置を認識する: 忠実な奉仕の報酬

1. ピリピ 2:3-4: 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。あなたがたは一人一人、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

2. マタイ 6:24-25: 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神とお金に仕えることはできない。」

マタイ 20:24 十人はそれを聞いて、二人の兄弟に対して憤りを感じた。

10人は二人の兄弟の要求に腹を立てました。

1. 神は羨望や高慢ではなく、謙虚さと満足を望んでいます。

2. 自分より他人を優先すれば、神はあなたを尊重してくださいます。

1. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2. 箴言 22:4 - 謙虚さと主への畏れは富と名誉と命をもたらします。

マタイ 20:25 しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「あなたがたは、異邦人の君主たちが彼らを支配しており、彼らに対して大きな権威を行使していることを知っています。」

イエスは弟子たちに、異邦人の支配者が異邦人の民を支配し、異邦人に対して強力な権威を行使していることを教えました。

1. 権威の力: 支配と偉大さに関するイエスの教え

2. イエスの教えに照らして他者に対する支配の行使を理解する

1. ローマ 13:1-2 - すべての人が統治当局に服従しましょう。なぜなら、神以外に権威はなく、存在するものは神によって定められたものだからです。

2. ペテロ第一 2:13-14 - 主のために、最高位の皇帝であろうと、悪を行う者を罰し善を行う者を賞賛するために皇帝から遣わされた総督であろうと、人間のあらゆる制度に服従しなさい。。

マタイ 20:26 しかし、あなたがたの間ではそうではありません。あなたがたの間で偉い人がいたら、その人を大臣にしなさい。

イエスは教会内での謙虚さと隷属の重要性を強調されました。

1: イエスの奉仕への呼びかけ: 奉仕を通じて偉大さを認識する。

2: 自分自身よりも他人を優先する: 謙虚な姿勢で行動する。

1: ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、あなた方一人一人が他人の利益に目を向けてください。」

2: 1 ペテロ 5:5-6 - 「あなたがたは皆、互いに謙虚さを身に着けなさい。『神は高ぶる者に敵対し、謙虚な者に好意を示す』からです。」したがって、神の力強い御手の下で謙虚になりなさい。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを引き上げてくださるでしょう。」

マタイ 20:27 そして、あなたがたのうちで長になる者は、あなたのしもべになりなさい。

イエスは、偉大になる方法は奉仕者になることだと教えています。

1. 奉仕によって導く: イエスは謙虚さと奉仕を通して導くよう私たちにどのように教えられるか

2. 権威に服従する: イエスの謙虚さの模範に従うことの力

1. ピリピ2:3-11

2. マルコ10:35-45

マタイ 20:28 まさに、人の子が来たのは、奉仕されるためではなく、奉仕するためであり、多くの人の身代金として自分の命を与えるためでした。

イエスは多くの人に仕え、多くの人のために命を捧げるために来られました。

1: イエスは私たちに無私の心と犠牲の究極の模範を示しました。

2: イエスの模範に従うことで、私たちは他の人を愛し、仕えることを学ぶことができます。

1: ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

2: ガラテヤ 5:13 - 私の兄弟姉妹たち、あなたがたは自由になるために召されました。しかし、肉を楽しむために自分の自由を利用しないでください。むしろ、愛をもって謙虚に互いに仕えなさい。

マタイ 20:29 そして彼らがエリコから出発すると、大群衆がイエスを追った。

エリコの人々は、イエスが自分たちの街から出発するときを追った。

1: イエスに従う - 私たちの住む街の快適さを超えて、より大きな目的を追求する勇気を見つけます。

2: 他者に奉仕する - イエスは、たとえ不快なときでも、自分よりも他者を優先する方法を教えてくれました。

1: ルカ 9:23 – 「それからイエスは皆に言われた、『わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい』。」

2: ヨハネ 12:26 – 「わたしに仕える者はわたしに従わなければなりません。そして、私がいるところには、私のしもべもいるでしょう。父は私に仕える人を尊敬してくださるでしょう。」

マタイ 20:30 すると、見よ、道端に座っていた二人の盲人が、イエスが通りかかったのを聞くと、叫んで言った、「主よ、ダビデの子よ、私たちを憐れんでください」。

道端に座っていた二人の盲人は、イエスが通りかかったのを聞き、憐れみを求めて声をかけました。

1.「盲人の叫び：主にある希望」

2.「信仰の呼びかけ：イエスに手を差し伸べる」

1. 詩篇 146:8 - 「主は目の見えない人の目を開かれ、かがんでいる者を主はよみがえらせます。」

2. マルコ 10:46-52 - 「それから彼らはエリコに来た。イエスと弟子たちが大勢の群衆と一緒に町を出ようとしていたとき、盲人バルティマイ（「ティマイオスの子」という意味）が座っていた。それがナザレのイエスだと聞くと、彼は「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください！」と叫び始めました。多くの人が彼を叱責し、静かにするように言いましたが、彼はますます叫びました、「ダビデの子よ、私を憐れんでください！」イエスは立ち止まって、「彼を呼びなさい」と言われました。そこで彼らは盲人に「元気出して！立ち上がって！呼んでるよ。」と呼びかけました。彼はマントを脱ぎ捨て、飛び起きてイエスのもとにやって来ました。」

マタイ 20:31 そこで群衆は、平和を保つべきだから彼らを叱責したが、彼らはますます叫び、「主よ、ダビデの子よ、私たちを憐れんでください」と言った。

群衆はイエスに憐れみを求めていた二人の盲人を叱責したが、男たちは助けを求め続けた。

1. 追放者に対する同情: マタイ 20:31 の考察

2. 障害の克服: マタイ 20:31 の助けを求める叫び

1. 詩篇 41:1 「貧しい人を思う人は幸いです。主は苦難の時に彼を救い出してくださいます。」

2. ヤコブ 2:13 「慈悲を示さなかった者には、慈悲のない裁きが下されるからです。そして慈悲は裁きを喜ぶのです。」

マタイ 20:32 そこで、イエスは立ち止まって彼らを呼んで言われた、「わたしはあなたたちに何をするつもりですか」。

イエスは目の見えない人たちに、彼らを助けるために何ができるか尋ねました。

1. イエスは、困っている人たちを常に喜んで助けるべきであることを教えてくださいました。

2. 困難に直面したとき、私たちはためらうことなく神に助けを求めるべきです。

1. ヤコブ 1:27 - 「父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児ややもめを訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和があなたがたの心を守るでしょう。」そしてあなたがたの心はキリスト・イエスのうちにあります。」

マタイ 20:33 彼らは彼に言った、「主よ、私たちの目が開かれるようにしてください」。

イエスは答えて言われました、「わたしは世の光です。わたしに従う者は誰でも暗闇の中を歩むことはなく、命の光を持つでしょう。」

イエスは、ご自身が世の光であり、イエスに従う者たちは暗闇の中を歩むことなく、命の光を持つようになる、と宣言されました。

1. イエスは道を照らす光です。

2. イエスに従うことは私たちに命と希望を与えます。

1. コリント人への第二の手紙 4:6 なぜなら、「闇から光が輝け」と言われた神は、私たちの心に輝き、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を知る光を与えてくださったからです。

2. ヨハネ 8:12 イエスは再び彼らにこう言われました。「わたしは世の光です。わたしに従う者は暗闇の中を歩むことはなく、命の光を持つでしょう。」

マタイ 20:34 そこで、イエスは彼らを憐れんで、彼らの目に触れられた。すると、彼らの目はすぐに見えるようになり、彼らはイエスについて行った。

イエスは目の見えない人たちを憐れんで癒してくださいました。

1. 思いやり: 愛の力

2. イエス：私たちの癒し手

1. マルコ 5:34 - イエスは、「娘よ、あなたの信仰があなたを癒しました。安心して行き、苦しみから解放されなさい。」と言われました。

2. ペテロ第一 2:24 - イエスご自身が十字架の上で私たちの罪をその身に負ってくださいました。それは、私たちが罪に対して死に、義のために生きるためです。彼の傷によってあなたは癒されました。

マタイ 21 章には、イエスがエルサレムに入城し、神殿を清め、イチジクの木を呪い、宗教指導者たちと議論したことが詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、イエスのエルサレム入城から始まります (マタイ 21:1-11)。彼は二人の弟子を遣わして、ロバとその子を連れて来させます。預言の成就としてこれらに乗って、道にマントや枝を広げた群衆が「子ダビデにホサナ！」と叫びながらイエスを歓迎します。「主の御名によって来る者は幸いです！」「ホサナ、最高の天よ！」これにより、弟子たちは誰ですかと尋ね、ナザレ・ガリラヤ出身の預言者イエスですと答える人々が市に騒ぎを起こします。

第 2 段落: エルサレムに到着すると、イエスは神殿の区域に入り、そこで売り買いする人々を追い出し、台をひっくり返し、両替商がハトを売る人々をベンチに置きます（マタイ 21:12-17）。彼は彼らが家の祈りを巣穴強盗に変えていると非難した。それから盲目の足の不自由な人が神殿にいるイエスのところに来て、イエスは彼らを癒してくださいます。祭司長の律法の教師たちが素晴らしいものを見ると、子供たちはホサナと叫び、憤慨しますが、イエスは詩篇を引用して、「口から幼児の子ら、主はあなたの賛美を呼び起こした」と言ったことはありませんか？この後、彼は街を去り、ベタニーはそこで夜を過ごします。

第三段落：朝、街に戻る途中、道端でイチジクの木を見かけますが、葉以外は何もないので、二度と実がならないように言いました、すぐに木は枯れてしまいます（マタイ21:18-22）。弟子たちがこれに驚くと、イエスは信仰の力の祈りについて語り、もし信仰があれば、いちじくの木で行われたことができるだけでなく、山に向かって「海に身を投げなさい」と言うことができることを疑わないでください、信じている祈りが受け取ることは何でも行われるでしょう、と語られます。その後祭司長たち長老たちからイエスの行動の背後にある権威について異議を申し立てられたとき、イエスは二人の息子にぶどう園の労働者がたとえ話をして、バプテスマのヨハネのメッセージを受け入れることを拒否している偽善を説明し、悔い改めの王国の神を説きました（マタイ 21:23-46）。たとえ話が自分たちに関するものであることを認識しているにもかかわらず、彼らは主を逮捕する方法を探していますが、群衆は主を預言者だと考えているため、群衆を恐れています。

マタイ 21:1 そして、彼らがエルサレムに近づき、オリーブ山のベテパゲに来たとき、イエスに二人の弟子を遣わした。

イエスは二人の弟子をオリーブ山のベテファゲに送ります。

1. 弟子を派遣するというイエスの模範に従うことの重要性。

2. イエスのように弟子を送り出すことに対する従順と信頼。

1. ルカ 10:1-12 - 70 人の弟子の派遣。

2. ヨハネ 20:21 - イエスが弟子たちに福音を広めるよう命じたこと。

マタイ 21:2 彼らに言った、「あなたたちに敵対する村に行ってください。そうすればすぐに、つながれたろばと子ろばを見つけるでしょう。それらを解き、私のところに持ってきてください。」

イエスは弟子たちに、ロバとその子馬を見つけて連れてくるように指示しました。

1: 従順の力 - イエスは弟子たちに指示を与え、彼らは従いました。私たちはここで弟子たちが示したのと同じように主に従順になるように努めるべきです。

2: イエスは自分が何を必要としているかを知っていました - イエスは自分が何を望んでいるのか、何を必要としているのかを正確に知っていました。たとえそれが私たちの期待と異なる場合でも、神は私たちにとって何が最善であるかを知っていると信じるべきです。

1: ヨハネ 14:15 - 「もしあなたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守るでしょう。」

2: 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。」

マタイ 21:3 もし誰かがあなたにこうすべきだと言うなら、あなたがたは、「主が彼らを必要としておられるのです。」と言うべきです。そしてすぐに彼らを送ります。

この一節は、イエスが預言を成就するために、ロバとその子ろばを探すために二人の弟子を遣わしたという内容です。

1. 神の計画を信頼する: イエスの指示に忠実に従うことを学ぶ

2. 自分を主に奉献する: 主の御心に強さを見つける

1. ルカ 22:42 「父よ、もし御心であれば、この杯を私から取り去ってください。まだ私の意志ではありませんが、あなたの意志は行われます。」

2. 詩篇 27:14 「主を待ち望みなさい。強くなり、勇気を出して主を待ち望みなさい。」

マタイ 21:4 これらすべてが行われたのは、預言者がこう言ったことが成就するためです。

イエスはロバに乗ってエルサレムに入城されたとき、ゼカリヤ書 9章9節の預言を成就されました。

1: イエスは旧約聖書の預言を成就し、世界に救いをもたらすために来られました。

2: イエスがロバに乗って謙虚に入場したことを通して、イエスが神の預言と力を成就されたことが分かります。

1: ゼカリヤ書 9:9 - シオンの娘よ、大いに喜びなさい。叫びなさい、エルサレムの娘よ。見よ、あなたの王があなたのもとに来られます。彼は正義であり、救いを持っています。身分が低く、ロバに乗り、ロバの子ろばに乗っています。

2: マタイ 11:29 - わたしのくびきを負い、わたしについて学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった者だから、あなたがたは魂に安らぎを得るだろう。

マタイ 21:5 シオンの娘に告げなさい。見よ、あなたの王が、柔和でろばとろばの子ろばの上に座って、あなたのもとに来られます。

この箇所はイエスが子ろばに乗ってエルサレムに入城する様子を描写しており、これはイエスの柔和さと謙虚さを象徴しています。

1. イエスの謙虚さが私たちに謙虚さをどのように教えているか

2. イエスが子馬に乗ってエルサレムに入城するという預言

1. ピリピ 2:5-8 - 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿をとっておられましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。」

ろばに乗って子ろばに乗っている」、ロバの子です。」

マタイ 21:6 そこで、弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりに行った。

7 そしてろばとろばを連れてきて、彼らに服を着せ、その上に着せた。

イエスは弟子たちに、ろばと子ろばを持ってきて、彼らの上に置くように命じました。

1. キリストの弟子たちの従順

2. イエスの権威の力

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守るでしょう。」

2. フィリピ 2:8 - 「そして、人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。」

マタイ 21:7 それから、ろばとろばを連れてきて、彼らに服を着せ、その上に着せた。

イエスがロバと子ろばに乗ってエルサレムに入城すると、人々はその上に服を着せました。

1. 謙遜の力: ロバに乗ってエルサレムに入城したイエスの謙虚さの実証。

2. 民衆の力: イエスへの敬意のしるしとして、喜んで外套を脱ぐ民衆。

1. フィリピ 2:5-8 - キリスト・イエスにもあったこの思いをあなたの中に持ちましょう。キリストは神の姿をしていて、神と同等であることが強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、そして、彼は召使の姿をとり、人間と同じように造られました。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

2. ゼカリヤ 9:9 - シオンの娘よ、大いに喜びなさい。叫びなさい、エルサレムの娘よ。見よ、あなたの王があなたのもとに来られます。彼は正義であり、救いを持っています。身分が低く、ロバに乗り、ロバの子ろばに乗っています。

マタイ 21:8 すると、非常に多くの群衆が自分たちの衣を道に広げた。他の者は木から枝を切り落とし、道にわらを敷きました。

大群衆は衣服を広げ、木の枝を切り、イエスのための道を作りました。

1. イエスは私たちの尊敬と献身に値するお方です。

2. 私たちは喜びと熱意を持ってイエスを祝うべきです。

1. イザヤ書 40:3-5 - 声が叫びます。「荒野に主の道を備えよ。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。すべての谷は持ち上げられ、すべての山と丘は低くされる。でこぼこした地面は平らになり、荒れた場所は平地になります。そして主の栄光が現され、すべての肉なる者が共にそれを見るであろう、主の口が語られたからである。」

2. ヨハネ 12:12-15 - 翌日、宴会に来ていた大勢の群衆は、イエスがエルサレムに来られることを聞きました。そこで彼らはヤシの木の枝を持って出迎え、「ホサナ！」と叫びました。主の御名によって来る者、イスラエルの王も幸いです！」するとイエスは、「シオンの娘よ、恐れるな。恐れることはない。シオンの娘よ。」と書かれているとおり、若いロバを見つけてその上に座りました。見よ、あなたの王が子ロバに乗ってやって来る！」

マタイ 21:9 すると、前に行った群衆も後から来た群衆も叫んで言った、「ダビデの子にホサナ。主の御名によって来る者は幸いです。主の御名によって来られる方は幸いです。」最高位のホサナ。

群衆はイエスをダビデの子として称賛し、主の御名によって来られたイエスを祝福しました。

1. 賛美の力: イエスを祝った群衆を探る

2. ホサナの希望: ダビデの子としてのイエスの役割を理解する

1. 詩篇 118:26-27 「主の御名によって来られる方は幸いです。私たちは主の家からあなたを祝福します。主は神であり、その光は私たちを照らしてくださいます。」

2. イザヤ書 11:1-2 「エッサイの切り株から芽が出、根元から枝が実を結びます。主の御霊が彼の上にとどまります。知恵と理解の御霊、助言の御霊です。」そして力、知識と主への畏れの御霊。」

マタイ 21:10 そして、彼がエルサレムに入ると、町中が感動して、「この人は誰だ」と言った。

イエスがエルサレムに到着されたとき、エルサレムの人々は驚きと畏怖の念で満たされました。

1. イエスの驚異: イエスの臨在の影響を探る。

2. 畏怖と信仰: イエスの模範を通して信仰を再発見する。

1. マタイ 2:2 - 「東で見た星は彼らの先を進み、子のいた場所の上で止まりました。」

2. 詩篇 96:9 - 「聖性の輝きの中で主を礼拝せよ。全地よ、彼の前に震えなさい。」

マタイ 21:11 すると群衆は言った、「これはガリラヤのナザレの預言者イエスです。」

この箇所は、人々がイエスをガリラヤのナザレ出身の預言者として認識していることを説明しています。

1. イエスはすべての人にとって希望と救いの源です。

2. 私たちはイエスとその教えに導きを求めるよう求められています。

1. イザヤ書 9:6 - 「私たちに子が生まれ、息子が与えられ、政府はその肩に乗るでしょう。そして彼は素晴らしい助言者、力ある神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。」」

2. ヨハネ 14:6 - 「イエスは答えられた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに来ることはできない。」

マタイ 21:12 それから、イエスは神の宮にはいって、宮で売り買いをしていた者たちをみな追い出し、両替屋の台と、はとを売る者たちの椅子をひっくり返し、

イエスは神殿から両替商や売り手を一掃します。

1: イエスは、神の家は市場ではなく祈りと礼拝の場であるべきだと教えています。

2: 私たちは、自分の生活の中で用心深くなり、神から気をそらされるものをすべて取り除くよう思い出させるために、神殿を掃除するというイエスの例を取るべきです。

1: ヨハネ 2:13-17 - イエスは、父の家が祈りの家になると言われ、神殿で売買していた人々を追い出しました。

2: イザヤ書 56:7 - 安息日を守り、わたしの喜ぶことを選び、わたしの契約をしっかり守る者たちさえ、わたしはわたしの聖なる山に連れて行き、わたしの祈りの家で彼らに喜びを与える。

マタイ 21:13 そして彼らに言った、「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書いてある。」しかし、あなたがたはそこを盗賊の巣窟にしました。

この聖句は、人々がどのように祈りの家を盗賊の巣窟に変えたかを語っています。

1.「信仰と祈りの生活を送る：神の家の中心」

2.「祈りの家の変容：罪から救いへ」

1. イザヤ書 56:7、「わたしの家はすべての民のための祈りの家と呼ばれるからです。」

2. ヤコブ 4:2-3、「あなたがたが持っていないのは、あなたが求めないからです。求めても受け取らないのは、自分の情熱に費やしてほしいと間違って求めているからです。」

マタイ 21:14 すると、目の見えない人や足の不自由な人が宮にいるイエスのところに来た。そして彼は彼らを癒しました。

イエスは神殿にやって来た目の見えない人や足の不自由な人を癒しました。

1. イエスの癒しの触れ合い: イエスの慈悲はどのようにあらゆる障壁を超えるのか

2. 愛の奇跡: イエスの目の見えない人と足の不自由な人の癒し

1. イザヤ書 35:5-7 - そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は妨げられなくなります。そのとき、足の不自由な人はハートのように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌うでしょう。荒野に水が湧き、砂漠に小川が流れるからです。

2. 詩篇 146:7-8 - 神は抑圧されている人々のために裁きを執行します。飢えた人々に食べ物を与えます。主は囚人を解き、目の見えない人の目を開かれ、かがんでいる者をよみがえらせる。

マタイ 21:15 祭司長たちと律法学者たちは、彼のなさった驚くべきことと、子供たちが神殿で泣きながら、「ダビデの子にホサナ」と言っているのを見た。彼らはひどく不満を抱いていましたが、

イエスは権威と率直さをもって行動しましたが、それは祭司長や律法学者たちを大いに不快にさせました。

1. 真の権威は人が作った制度ではなく、イエスのうちにある

2. ダビデの子イエスへのホサナ

1. マタイ21:12-17

2. 詩篇118:25-29

マタイ 21:16 そして彼に言った、「これらの言うことを聞きますか。」するとイエスは彼らに言われた、「そうだ。あなたは読んだことがないのですか、あなたは赤ん坊や乳飲み子の口から賛美を完成させましたか？

イエスは子供たちの言葉に耳を傾け、神が子供たちの口を用いて完全な賛美をなされたという聖句を参照されました。

1. 私たちの子供たち、私たちの未来: 神は私たちの最年少世代を通してどのように希望を与えてくださるのか

2. 新世代の賛美：子供たちを手放し、神に用いていただく

1. 詩篇 8:2 - あなたは、赤ん坊や乳飲み子の口から、あなたの敵のために力を定められました。それは、あなたが敵と復讐者を鎮めるためです。

2. 箴言 22:6 - 子供をその進むべき道に沿って訓練しなさい。そして彼が年をとっても、その道から離れることはありません。

マタイ 21:17 それからイエスは彼らを残して、町を出てベタニヤへ行かれた。そして彼はそこに泊まった。

イエスはエルサレムを離れ、ベタニヤに行き、そこに滞在しました。

1. イエスは常にご自身の意志よりも神の意志を優先しました。

2. 困難の真っただ中にあっても、イエスは決して諦めませんでした。

1. イザヤ書 53:7 彼は抑圧され、苦しんでいましたが、口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2. ヤコブ 1:2-4 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな試練に直面するときはいつも、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

マタイ 21:18 朝、町に戻ると、彼はお腹が空いていた。

イエスは朝になると町に戻りましたが、お腹が空いていました。

1. イエスは、神の子であるご自身も飢えと肉体的必要を経験したと教えています。

2. たとえ肉体的な飢えを経験したとしても、私たちは神を信頼すべきです。

1. 詩篇 34:10 - 主を求める者には良いものが欠けることはありません。

2. マタイ 6:25-34 - 自分の人生や、何を食べ、何を飲むか、または自分の体のこと、何を着るかについて心配しないでください。

マタイ 21:19 そこで、道に一本のいちじくの木があるのを見つけて、そこに近づいてみると、そこには何もなく、葉だけがあったので、「これからは、いつまでも実がならないようにしてください」と言いました。そしてすぐにイチジクの木は枯れてしまいました。

イチジクの木は実を結ばなかったためにイエスによって呪われました。

1. 実を結ぶ: イチジクの木のたとえ

2. 言葉の力: イチジクの木からの教訓

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、忠実、優しさ、そして自制です。そのようなことを禁止する法律はありません。

2. ヤコブ 3:17-18 - しかし、天から来る知恵はまず第一に純粋です。そして平和を愛し、思いやりがあり、従順で、慈悲と良い実りに満ち、公平で誠実です。平和の中で種を蒔く平和主義者は義の収穫を刈り取ります。

マタイ 21:20 弟子たちはそれを見て驚いて言った、「いちじくの木は、こんなに早く枯れてしまうなんて！」

弟子たちは、いちじくの木が突然枯れてしまったのを見て驚きました。

1. 神の力は私たちが想像できるものよりも偉大です。

2. たとえ何かが不可能に見えるときでも、神はそれを実現させることができます。

1. 詩篇 33:9 - 彼が話し、それが実現したからです。彼が命じると、それはしっかりと立った。

2. 出エジプト記 14:21 - そこでモーセが海の上に手を差し伸べると、主は一晩中強い東風で海を追い払い、海を乾いた陸地とし、水は分かれた。

マタイ 21:21 イエスは答えて言われた、「はっきり言いますが、もしあなたがたが信仰を持っていて、疑っていないなら、いちじくの木にしたことをするだけでなく、この山に対してこう言うなら、あなたも同じことをしなさい。」あなたは取り除かれ、海に投げ込まれます。それは行われるであろう。

イエスは、イエスへの信仰が山をも動かすことができると教えています。

1: 信仰があれば、不可能なことは何もありません。

2: イエスを信じれば、何でもできます。

1: マタイ 17:20 - そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたの不信仰のせいです。はっきりとあなたに言います。もしあなたがからし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって『ここから向こうへ行け』と言うでしょう。」そしてそれは取り除かれるであろう。そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

2: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできるのです。

マタイ 21:22 また、あなたが信じて祈り求めるものはすべて、あなたがたに与えられます。

イエスは、信仰を持って祈りなさいと願うものはすべて与えられると教えています。

1. 祈りの力: 信仰を通して神の祝福を解き放つ方法

2. 神から受け取る信仰を持つ：どのように祈り、求めたものを受け取るか

1. ヤコブ 1:6-7 - しかし、疑うことなく、信仰をもって尋ねましょう。疑う人は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからです。

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。

マタイ 21:23 イエスが宮に入られると、祭司長たちと民の長老たちが、イエスが教えているところに来て、「あなたは何の権威によってそんなことをするのです

か」と言った。そして誰があなたにこの権限を与えたのでしょうか？

イエスは神殿で教える権限について質問されます。

1. 教会における権威: 主の承認を得ることの重要性。

2. イエスの教えの力: 謙虚さと信仰の教訓。

1. 使徒 4:7-12 — イエスの権威を証言したペテロとヨハネの大胆さ。

2. ペテロ第一 5:5 — 神が私たちの人生における究極の権威であることを認めます。

マタイ 21:24 するとイエスは答えて言われた、「わたしも一つお尋ねします。もしあなたがたが言ってくれれば、私も同様に賢明にも、私がどのような権威をもってこれらのことを行っているかをあなたたちに教えましょう。」

イエスは人々に質問をし、もし人々が彼の質問に答えたら答えると約束しました。

1. イエスの教え - 権威と従順

2. 質問の力 - 質問することでどのように洞察が得られるか

1. ヨハネ 7:17 - 「だれでも自分の意志を行おうとするなら、それが神から出たものであろうと、あるいは私自身について話したものであろうと、その人はその教義を知るであろう。」

2. イザヤ書 1:18 - 「さて、さあ、一緒に論じましょう、と主は言われる。たとえあなたの罪が緋色であっても、雪のように白くなるであろう。」

マタイ 21:25 ヨハネのバプテスマはどこから来たのですか。天からですか、それとも人間からですか？そして彼らは自分の中で考えてこう言った、「もし言うなら、天から。」彼は私たちにこう言うだろう、「なぜあなたがたはその時彼を信じなかったのか」。

人々は洗礼者ヨハネの洗礼の起源に疑問を抱いていました。

1. 神の使者とその働きを信じる

2.神の力を疑ってはいけない

1. マルコ 1:7 「そして彼はこう言って説教した。『わたしよりも強い方がわたしの後に来るが、そのサンダルの紐をわたしがかがんで解くにはふさわしくない』。」

2. ローマ 10:17 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

マタイ 21:26 しかし、もし私たちが言うなら、「人間について」です。私たちは人々を恐れています。というのは、誰もがヨハネを預言者として信じているからです。

この箇所は、バプテスマのヨハネが神から遣わされたのかどうかというイエスの質問に答えるかどうかを決める祭司長や長老たちのジレンマを描写しています。

1. 難しい決断を迫られたときは、選択をする前に必ず証拠を調べてください。

2. たとえそれがどれほど難しいものであっても、私たちはすべての決断において神の導きを求めるべきです。

1. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵が欠けている人がいるなら、神に頼んでください。神は、あら探しをすることなく、すべての人に惜しみなく与えてくださいます。そうすれば、知恵は与えられるでしょう。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あらゆる面で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくださるでしょう。

マタイ 21:27 すると彼らはイエスに答えて、「それはわかりません」と言った。そして彼は彼らに言った、「私がどのような権威によってこれらのことをしているのか、どちらにも教えてはいけません。」

イエスは宗教指導者たちに、どのような権威によって奇跡を行っているのかと尋ねましたが、彼らは答えることができませんでした。

1. 権威の力 - 神の権威に服従したイエスの模範を探ります。

2. 答えの探求 - すべての答えを持っていないかもしれないときに、真実と理解を見つける方法。

1. イザヤ書 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。

9 天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの思いはあなたの思いよりも高いからです。

2. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、誰も父のもとに来ることはない。」

マタイ 21:28 しかし、あなたがたはどう思いますか。ある男には二人の息子がいました。そして彼は最初のところに来て、「息子よ、私のぶどう園で毎日働いてください。」と言いました。

ある男性が二人の息子にブドウ園で働くように頼みます。

1. 仕事への呼びかけ: 父親から子供たちへの誘い

2. 服従の力: 困難にもかかわらず指示に従う

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

マタイ 21:29 彼は答えて、「私はそうしません」と言った。しかし、その後、彼は悔い改めて、去った。

イエスは最初は従うことを拒否しましたが、その後考えを変えて従いました。

1. 悔い改めの力 - 心を変え、正しいことを行うことの重要性を強調します。

2. 従順の知恵 - 神の意志に従うことの報酬を強調します。

1. イザヤ書 55:6-7 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼んでください。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。彼を主に立ち返らせてください。そうすれば、彼は彼を憐れみ、私たちの神に憐れみを与えることができます。なぜなら、彼は豊かに赦してくださるからです。

2. コリント第二 7:10 - 神のみこころに添った悲しみは、救いにつながる悔い改めをもたらし、後悔を残しませんが、世の悲しみは死をもたらします。

マタイ 21:30 そして彼は二番目のところに来て、同じように言いました。すると彼は答えて、「行きます、先生」と言いましたが、行きませんでした。

イエスは二人の人に一緒に来るように言いましたが、そのうちの一人だけが従ったのです。

1. 神の呼びかけに従うことの重要性

2. 約束をやり遂げる力

1. ルカ 9:23 - 「そして、イエスは皆に言った、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい』。」

2. ヨハネ第一 2:3-6 「そして、私たちが彼の戒めを守るなら、私たちはこの神を知っていることがここでわかります。「私は彼のことを知っているが、彼の戒めを守らない」と言う人は偽り者であり、真実はそうではありません。」

マタイ 21:31 彼らのうち二人は父の意志を実行したでしょうか。彼らは彼に言った、「最初の者です。」イエスは彼らに言われた、「まことにあなたたちに言います、取税人や娼婦たちがあなたたちより先に神の国に入るように」。

イエスは、悔い改めて神の恵みを受け入れる人は宗教指導者よりも先に神の国に入るだろうと教えています。

1. 神への真の道: 悔い改め、信仰、そして恵み

2. 神の憐れみの力: 王国では罪人さえも歓迎される理由

1. ローマ人への手紙 3:21-26 - キリストへの信仰による義認

2. ルカ 15:11-32 - 放蕩息子のたとえ

マタイ 21:32 というのは、ヨハネが義の道を持ってあなたがたのところに来たのに、あなたがたは彼を信じなかったが、取税人や遊女たちは彼を信じた。そして、あなたがたはそれを見て、その後彼を信じようと悔い改めなかったのである。

洗礼者ヨハネは義の音信を説きましたが、エルサレムの人々は彼を拒否しました。しかし、取税人や売春婦は彼のメッセージを受け入れ、信じました。真実を見たにもかかわらず、エルサレムの人々は依然として悔い改めてヨハネのメッセージを信じることを拒否しました。

1. 許しの力: 神の無条件の愛がどのように私たちの葛藤を克服するのに役立つのか

2. 信仰の重要性: 神の言葉を信じることがなぜ不可欠なのか

1. ローマ 5:8 しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. マルコ 11:22-24 「神を信じなさい」とイエスは答えました。「真実に言いますが、もし誰かがこの山に『行って、海に身を投げなさい』と言い、心の中で疑うことをせず、言ったとおりになると信じるなら、そのとおりになります。したがって、私はあなたに言います、あなたが祈りで求めるものは何であれ、あなた

がそれを受け取ったと信じなさい、そうすればそれはあなたのものになります。」

マタイ 21:33 別のたとえを聞いてください。ある家の主人がいて、ぶどう畑を植え、周りに生け垣を作り、その中にぶどう酒搾り場を掘り、塔を建て、それを農夫たちに貸し出し、遠い国へ行きました。:

家の人はブドウ畑を植え、生け垣で囲み、ワイン搾り場を掘り、塔を建て、農家に貸してから旅に出ます。

1: 私たちは自分の所有物を賢明に管理し、それを使って神に栄光をもたらし、他の人に利益をもたらすべきです。

2: 自分の資源を他人に委ねるとき、私たちは神と自分が仕える人々に対して忠実であり続けなければなりません。

1: ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。

2: 1 コリント 4:2 - さらに、管理人には忠実であることが求められます。

マタイ 21:34 そして、実りの時が近づいたとき、イエスは、その実を受け取らせるために、しもべたちを農場主たちのところに遣わしました。

イエスは、収穫物を集めるために、しもべたちを農場主のところに遣わしました。

1. 神に仕えるときの従順の重要性

2. 神の意志を行う上での犠牲の力

1. ルカ 10:2 「イエスは彼らに言われた。『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるよう、収穫の主に熱心に祈りなさい。』」。

2. ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

マタイ 21:35 そこで、農場主たちは家臣たちを連れて、一人を殴り、一人を殺し、また一人に石を投げつけた。

マタイ 21 章 35 節の農夫のたとえ話は、神の言葉を拒否する者は報いを受けることを示しています。

1. 神の言葉を拒否すると、その結果に直面することになる

2. ハズバンドマンのたとえ: 神の言葉を拒否する者たちへの警告

1. ガラテヤ 6:7-8 - だまされてはなりません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは、神も刈り取るからです。自分の肉に種を蒔く人は肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るからです。

2. ローマ 2:5-6 - しかし、あなたはかたくなで悔い改めない心のせいで、神の正しい裁きが明らかにされる怒りの日に、自分のために怒りを蓄えているのです。神は自分の行いに従って一人一人に奉仕を与えます。

マタイ 21:36 またしても、イエスは最初の僕たちよりも多くの他の僕を遣わしました。そして、彼らも彼らに同じようにしました。

この一節は、最初の一組の僕たちが無視された後、イエスがさらに多くの僕たちを送ったことを説明しています。

1: 神は私たちに対する愛を常に持ち続けており、たとえ私たちが神を無視したとしても、神は私たちに手を差し伸べ続けてくださいます。

2: たとえ何度拒絶されても、他の人に愛と優しさを提供することを決して諦めてはなりません。

1: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: ルカ 6:27-28 - 「しかし、私の話を聞いている人に言います。敵を愛し、あなたを憎む人に善を行い、あなたを呪う人を祝福し、あなたを虐待する人のために祈りなさい。

マタイ 21:37 しかし、最後にイエスは息子を彼らに遣わして、「彼らは私の息子を尊敬するでしょう」と言わせました。

この一節は、神がご自分の民に息子を送り、彼らが彼を尊敬することを期待したことについて語っています。

1: 私たちは神の子イエス・キリストに対する敬意と敬意を示すべきです。

2: 私たちはイエス・キリストという神の贈り物を尊重し、大切にすることを忘れてはならない。

1: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2: ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

マタイ 21:38 ところが、農場主たちはその息子を見て、「これが跡継ぎだ」と言いました。さあ、彼を殺して、彼の遺産を奪いましょう。

農夫たちはブドウ園の所有者の息子を見て、その相続財産を奪うために彼を殺そうと共謀した。

1. 貪欲の危険と罪の結果

2. 愛の力と救いの希望

1. 箴言 28:20、「忠実な人は祝福に満ちる。しかし、金持ちになろうと急ぐ者は潔白ではない。」

2. ローマ人への手紙 8:18、「今の苦しみは、私たちの内に現される栄光に比べれば値しないと私は考えています。」

マタイ 21:39 そこで彼らは彼を捕まえて、ぶどう園から追い出し、殺しました。

ブドウ園の借主が所有者の息子を殺害した。

1. 神の御心に従うことの重要性。

2. 神の意志に対する不従順の結果。

1. 箴言 1:7 - 「主を恐れることは知識の始まりである。愚か者は知恵と教えを軽蔑する。」

2. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、あなたは私の戒めを守るでしょう。」

マタイ 21:40 それで、ぶどう園の主人が来たら、あの農夫たちに何をするでしょうか。

一節 イエスは、収穫物を取りに来たときに借主たちが自分の分け前を与えてくれないぶどう園の領主のたとえ話をします。

1. 小作人のたとえ話: 従順と犠牲に関するイエスの教えを理解する

2. 良き管理人の責任: 他者に対する扱い方に関する神の計画に従うこと

1. ローマ 12:10 - 愛をもって互いに献身的に尽くしなさい。自分よりもお互いを尊重しましょう。

2. コロサイ 3:23 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。

マタイ 21:41 彼らは彼に言った、「彼はあの悪人たちを惨めに滅ぼし、自分のぶどう畑を他の農夫たちに貸して、彼らが季節に応じて実をもたらすだろう。」

イエスは邪悪な借家人たちのたとえを教え、神の裁きと憐れみを強調します。

1. 神の裁きは正当である - マタイ 21:41

2. 神の憐れみは慈悲深い - マタイ 21:41

1. ローマ 12:19 - 復讐するのではなく、神の怒りを受ける余地を残してください。「復讐するのはわたしの仕事である。わたしが報復する」と主は言われるからです。

2. ヤコブ 4:12 - 立法者と裁判官はただ一人、救いも滅ぼすこともできるのは一人だけです。しかし、あなたは――隣人を裁くあなたは何者ですか？

マタイ 21:42 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは聖書を読んだことがないのか、『家を建てる人たちが捨てた石が隅の頭になった』。これは主の御業であり、私たちの目には驚くべきことである。」

イエスは人々に，建設者たちが拒否した主要な礎石となった石について聖書の中で読んだことがあるかどうか尋ねました。彼は、これは主の御業であり、誰にとっても驚くべきことであると宣言しました。

1. 主の奇跡的な備え: 予期せぬ場所での神の御手を見る

2. 高められることを拒否される: 最も低い場所における神の救いを理解する

1. イザヤ書 28:16 - それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに土台として石、試された石、貴重な隅の石、確かな土台を置いた。信じる者は急いではならない。」

2. 詩篇 118:22 - 建築家たちが断った石が隅の頭石となる。

マタイ 21:43 そこで、あなたたちに言います。神の国はあなたたちから奪われ、その実を結ぶ国民に与えられます。

神の国は人々から奪われ、その実を結ぶ国家に与えられるでしょう。

1.神の国で実を結ぶことの大切さ

2. 忠実な人に対する神の慈しみと忠実さ

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、忠実、柔和、自制です。」

2. ヤコブ 2:17 - 「同様に、信仰も、行動が伴わなければ、それ自体では死んだものになります。」

マタイ 21:44 そして、この石の上に落ちる者は砕かれます。しかし、それが落ちる者は粉々に砕かれます。

イエスは、自分の教えを受け入れない人は打ち砕かれるが、受け入れる人は救われると警告しています。

1: イエスの教えを受け入れて救われます。

2: イエスの教えを拒否して砕け散る。

1: イザヤ書 8:14-15 「彼は聖所となる。イスラエルとユダの両方にとって、彼は人々をつまずかせる石であり、倒れさせる岩となる。そしてエルサレムの人々にとって彼は聖なる場所となるだろう」「罠と罠だ。彼らの多くはつまずき、転んで折れ、罠にはまって捕らえられるだろう。」

2: 1 ペテロ 2:6-7 - 「聖書には次のように書かれています。「見よ、わたしは選ばれた貴重な礎石である石をシオンに置いた。彼に信頼する者は決して恥をかかされることはない。」さて、信じるあなたたちにとって、この石は貴重なものです。」

マタイ 21:45 祭司長たちとパリサイ人たちは、彼のたとえを聞いて、彼が自分たちのことを話していることに気づきました。

祭司長とパリサイ人は、イエスのたとえが自分たちに関するものであることを認識していました。

1. 神のメッセージを無視することの危険性

2. 神の声を聞くことの重要性

1. イザヤ書 1:18-19 - 「さあ、一緒に論じましょう、と主は言われます。たとえあなたの罪が緋のようであっても、それは雪のように白くなるでしょう。」たとえそれらが深紅のように赤いとしても、それらは羊毛のようになるでしょう。19 あなたが喜んで従順であれば、その地の良いものを食べるであろう。

20 しかし、もしあなたがそれを拒否し、反抗するなら、あなたは剣で食べられるでしょう。主の口が語られたからである。」

2. ヨハネ 10:27-30 - 「私の羊は私の声を聞き、私は彼らを知っており、彼らは私に従ってきます。28 わたしは彼らに永遠の命を与えます。彼らは決して滅びず、誰も彼らをわたしの手から奪い取ることはありません。29 それらを私に与えてくださった私の父は、誰よりも偉大であり、誰もそれらを父の手から奪い取ることはできません。30 私と父は一つです。」

マタイ 21:46 しかし、彼らがイエスに手を伸ばそうとしたとき、群衆は彼を預言者とみなしたので恐れました。

イエスが神殿で教えていたとき、祭司長や民の長老たちの何人かがイエスを逮捕しようとしたが、群衆はイエスの教えに非常に感銘を受け、イエスに触れることを恐れた。

1. 説教の力: イエスはどのように神の言葉を用いて人生を変えたか

2. イエスの権威: 彼の教えが宗教指導者たちにどのような挑戦を与えたか

1. ルカ 4:31-32 - ナザレの会堂にいるイエス

2. マルコ 11:27-33 - 神殿で問われたイエスの権威

マタイ 22 章はマタイによる福音書の 22 章であり、イエスによるいくつかのたとえと教えが含まれています。この章では、イエスは宗教指導者たちと討論し、税金の支払いに関する質問に答え、結婚の祝宴のたとえ話をします。

第 1 段落: この章は、婚宴または王の息子のたとえとして知られるたとえ話で始まります (マタイ 22:1-14)。イエスは天の王国を、息子のために結婚披露宴の準備をしたものの、招待された人々が来ることを拒否した王にたとえています。その後、王は宴会場を埋めるためにあらゆる立場の人々を招待します。しかし、適切な服装をしていなかったゲストの 1 人が外の暗闇に放り出されます。このたとえ話は、神の救いへの招きを説明しており、最初に選ばれた多くの人がそれを拒否する一方で、他の人はそれを受け入れる可能性があることを強調しています。

第 2 段落: 宗教指導者たちは税金の支払いに関する質問でイエスを陥れようとします (マタイ 22:15-22)。彼らは、カエサルに税金を支払うことが合法かどうかを尋ねます。それに応じて、イエスは鋭いコインを要求し、自分のものはカエサルに返し、自分のものは神に与えるのが適切であると宣言しました。彼の答えは、市民の責任と精神的な献身の両方を強調しながら、罠にはまることを回避しています。

第 3 段落: 別の宗教指導者グループであるサドカイ派が、復活の結婚についての質問をイエスに持ちかけます (マタイ 22:23-33)。彼らは、レビレートの結婚習慣により、7 人の兄弟が順番に 1 人の女性と結婚するという仮説的なシナリオを提示しています。サドカイ派は天国では誰の妻になるのかと尋ねます。イエスは、天国には結婚は存在しないと説明することで応答しますが、燃える藪の中でご自身を「アブラハム、イサク、ヤコブの神」であると述べた神の言葉に言及して、復活の現実を肯定します。この出会いは、神学的問題に対するイエスの権威と、誤った信念を反論するイエスの能力を示しています。

要約すれば、

マタイによる福音書第 22 章には婚宴のたとえ話が登場し、神の救いへの招きと、その招きが受け入れられるか拒否されるかを示しています。

イエスは税金の支払いについて宗教指導者たちと議論し、復活における結婚についての質問に答えます。

この章では、イエスの知恵、困難な状況を切り抜ける能力、神学的問題に対するイエスの権威に焦点を当てています。救いへの神の招きを受け入れ、市民の責任と精神

的な献身の両方を正しく理解して生きることの重要性を強調しています。

マタイ 22:1 するとイエスは答えて、またたとえを用いて彼らに語って言われた。

婚宴のたとえ: イエスは婚宴に関するたとえ話をして宗教指導者たちに答えました。

1: イエスはこのたとえを通して、すべての人が天の国の喜びに加わるよう招かれていることを教えられます。

2: イエスは、私たちが天の国の婚宴への招待を受け入れ、その喜びに参加しなければならないことを思い出させます。

1: 黙示録 19:7-9 - 私たちは喜び、喜び、神に栄光を帰しましょう。小羊の結婚式がやって来て、彼の花嫁は準備を整えたからです。

2: ルカ 14:15-24 - そこで、主人はしもべに、「道や田舎道に出て、彼らを強制的に中に入れさせなさい。そうすれば、私の家はいっぱいになります。」と言いました。

マタイ 22:2 天の御国は、息子のために結婚をしたある王に似ています。

結婚の宴のたとえ話は、神がすべての人に神の王国への招待を受け入れるよう招いていることを示しています。

1. 神の招待: 神からの無償の贈り物を受け入れる

2. 王国の結婚の祝宴: すべての人にとっての機会

1. ヨハネ 3:16 - 「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. イザヤ書 55:1 - 「さあ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て、買って食べなさい。さあ、お金も費用もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。」

マタイ 22:3 そして、結婚式に招かれた人々を呼びに家来たちを遣わしたが、彼らは来なかった。

マタイ 22 章 3 節の婚宴のたとえ話は、神の救いへの招きが多くの人に拒否されたことについてです。

1. 救いへの神の招き: マタイ 22:3 の考察

2. 神の無条件の招き: イエスの婚宴のたとえ話

1. ルカ 14:23 - それから、主人はしもべに言った、『街道や生け垣に出て行って、彼らを強制的に中に入れて、私の家がいっぱいになるようにしなさい。

2. ヨハネ 6:37 - 父がわたしに与えてくださるものはすべてわたしに来るでしょう。そして、私のもとに来る者を、私は決して追い出しません。

マタイ 22:4 またイエスは、ほかのしもべたちを遣わして言わせた、「命じられた者たちに告げなさい。見よ、わたしは夕食の準備をした。牛も肥えた家畜も殺され、すべての準備ができた。結婚に来なさい」。

イエスはしもべを遣わして、牛や肥えた動物を主な料理として用意した宴会に人々を招待します。

1. イエスは私たちを、ご一緒に食事をし、ご臨在の祝福を祝うよう招いておられます。

2. 人生の晩餐会へのイエスの招待を受け入れることは、喜びと満足感につながります。

1. マタイ 11:28-30 - すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。

2. コリント人への第一の手紙 5:7b-8 - 過越の子羊であるキリストが犠牲になったからです。したがって、古いパン種、悪意と悪のパン種ではなく、誠実さと真実の種なしパンで祭りを祝いましょう。

マタイ 22:5 しかし、彼らはそれを軽視し、一人は彼の農場へ、もう一人は彼の商品へ、とそれぞれの道を歩いて行きました。

このたとえ話は、宴会に招待されたものの、その誘いを断った人々のことを話しています。

1. 神は私たちを永遠の命の宴に参加するよう招いておられますが、多くの人はその招待を無視することを選びます。

2. 私たちは救いの宴への神の招きを受け入れなければならず、それを軽視してはなりません。

1. ルカ 14:16-24 - 大宴会のたとえ

2. イザヤ書 55:1-7 - 渇きと飢えた人への招待

マタイ 22:6 残りの者は家臣たちを捕まえて意地悪く懇願して殺しました。

婚宴のたとえ話に出てくる客の残りが、王の家臣たちを意地悪に扱い、殺しました。

1. 神の救いへの呼びかけは愛の呼びかけですが、私たちは神の愛を当然のことと考えてはなりません。

2. 私たちは従順と愛の奉仕を通して神に感謝の気持ちを示さなければなりません。

1. ローマ人への手紙 6:13、「自分の一部を悪の道具として罪に捧げてはなりません。むしろ、死から命に戻された者として自分自身を神に捧げ、自分のすべての部分を神に捧げなさい。」正義の道具。」

2. エペソ人への手紙 5:2、「そして、キリストが私たちを愛し、私たちのためにご自身を神への香りの良い供え物、犠牲としてささげられたように、愛のうちに生きなさい。」

マタイ 22:7 しかし、王はこれを聞いて激怒し、軍隊を派遣して、人殺したちを滅ぼし、彼らの町を焼き払った。

王は家来の殺害に激怒し、それに応じて殺人者とその都市を破壊しました。

1. 神の正義: 召使殺害に対する国王の反応

2. 復讐は我にあり: 神の正義の報復

1. ローマ 12:19 - 親愛なる友人たち、復讐をしないでください。神の怒りを招く余地を残しておいてください。次のように書かれているからです。わたしが報います」と主は言われます。

2. 詩篇 94:1 - 主よ、復讐する神よ、輝き出てください。立ち上がれ、地の審判者よ。誇りに思っている人たちに、彼らが受けるべきものを返してください。

マタイ 22:8 それから彼は家来たちに言った、「結婚式の準備はできていますが、招かれた者たちはふさわしくありませんでした。」

イエスは召使たちに、招待客が出席するに値しないにもかかわらず、婚宴の準備ができたと告げます。

1. 人間の無価値さと神の寛大さ

2. イエスの婚宴への招待

1. ローマ人への手紙 3:10-12 - 「義人は一人もいない、いや、一人もいない。理解する者もいない、神を求める者もいない。彼らはみな道から外れ、一緒になって無益になっている。良いことをする人は一人もいません、いいえ、一人もいません。」

2. ルカ 14:15-24 - 大宴会のたとえ話 - 「そして、彼と一緒に肉の席に座っていた人々の一人がこれらのことを聞いたとき、彼は彼に言った、「神の国でパンを食べる人は幸いです。しかし、神の国でパンを食べる人は幸いです。」「ある男が盛大な晩餐を作り、多くの人たちに命じました。そして夕食の時間に召使いを遣わして、命じられた者たちに『来なさい。もうすべての準備ができたから』と言いました。」

マタイ 22:9 それゆえ、あなたがたは街道に出て、見つけた限り多くの人に結婚を申し込んでください。

イエスは追随者たちに、すべての人を結婚の宴に招待するように指示されました。

1.「婚宴への招待状 誰もが受け入れるべき招待状」

2.「すべての人への神の招待: 包括的な愛」

1. イザヤ書 55:1-7 - 渇いている人はみな、来て水に来なさい。お金のないあなたは、来て、買って、食べてください！さあ、お金もコストもかからずにワインと牛乳を買ってください。

2. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

マタイ 22:10 そこで、召し使いたちは街道に出て、悪い人も良い人も、見つけた限り全員を集め、結婚式には招待客が集まった。

使用人たちは結婚の宴を開くために善人も悪人も集めました。

1. 神の招き: 神は価値のない者たちをどのように歓迎するか

2. 従順の力: 従順がどのように喜びと充実感をもたらすか

1. ルカ 14:15-24 - 大宴会のたとえ

2. ローマ人への手紙 5:8 - ふさわしくない者に対する神の愛

マタイ 22:11 そこで、王が客たちに会いに来ると、そこに婚礼の衣装を着ていない男がいるのを見ました。

王様は、婚礼衣装を着ていない客を見ました。

1. プレゼンテーションの力 - 特定の状況で自分自身をどのように表現するかを選択することは、重大な影響を与える可能性があります。

2. 適切な服を着る - 私たちは常に、敬意を持って適切な方法で自分自身を表現するよう努めなければなりません。

1. エペソ 6:11-13 - 悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2. コロサイ 3:12-14 - したがって、聖なる愛される神に選ばれた者として、いつくしみの心、優しさ、謙虚な心、柔和、忍耐を身に着けなさい。

マタイ 22:12 すると彼は言った、「友よ、どうして婚礼の衣装を着なかったのですか。」そして彼は言葉を失った。

男性は結婚式にふさわしい服装をしていなかったが、それについて尋ねると言葉を失った。

1. 特別な機会にふさわしい服装をすることの重要性。

2. イベントに参加する前に慎重に考える必要がある。

1. ペテロ第一 3:3-4 - 「あなたの美しさは、手の込んだ髪型や、金の装飾品や高級服の着用など、外側の装飾から来るものであってはなりません。むしろ、それはあなたの内面の美しさ、色褪せない美しさであるべきです。」穏やかで静かな精神、それは神の目から見て非常に価値のあるものです。」

2. 箴言 31:22 - 「彼女はベッドの覆いを作り、上質な亜麻布と紫の服を着ている。」

マタイ 22:13 それから王は家臣たちに言った、「手足を縛って連れ去り、外の暗闇に放り込みなさい」。泣き叫び、歯ぎしりが起こるであろう。

王は家臣たちに、泣きながら歯ぎしりしながら誰かを外の暗闇に投げ込むことによって罰するように命じました。

1: 主の罰を当然のことと考えるべきではありません。それは私たちが想像できるよりもはるかに深刻だからです。

2: 私たちは主に背いて神の怒りを危険にさらすほど愚かなことは決してあってはならない。

1: ローマ人への手紙 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

2: ヘブライ 10:31 - 生ける神の手に落ちるのは恐ろしいことです。

マタイ 22:14 召される人は多いが、選ばれる人は少ないからです。

多くの人が神の王国に招待されますが、その招待を受け入れることを選択する人はほとんどいません。

1: 私たちは神によって召されており、神の呼びかけを受け入れて従うかどうかの選択は、最終的には私たちにあります。

2: 神の王国への参加への神の招待はすべての人に開かれていますが、それを受け入れることを選択した人だけが選ばれます。

1: ルカ 14:15-24 - 大宴会のたとえ。

2: ヨハネ 15:16 - あなたが私を選んだのではなく、私があなたを選びました。

マタイ 22:15 それからパリサイ人たちは行って、どのようにしてイエスを話に巻き込むことができるか相談した。

パリサイ人たちはイエス自身の言葉でイエスを罠にかける計画を立てました。

1: 神の知恵は人間の計略よりも優れています。

2: 私たちは自分の言葉と行動に常に注意しなければなりません。

1: 箴言 16:9 - 人間は心の中で自分の進路を計画しますが、主はその歩みを定めます。

2: コロサイ 4:6 - 会話は常に恵みに満ち、塩で味付けしてください。そうすれば、誰にでも答えられるようになります。

マタイ 22:16 そこで彼らは、ヘロデ派の人々とともに自分たちの弟子たちをイエスのもとに遣わして言った、「先生、私たちはあなたが真実であり、真実に神の道を教えておられることを知っています。あなたは誰のことも気に留めていません。あなたは人のことなど考えていないのですから」。男性。

ヘロデ家はイエスが真実であり、えこひいきすることなく真実に神の道を教えていることを認めて、弟子たちをイエスのもとに送りました。

1. 真理の力 - イエスは偏りなく教えた方法

2. 神の変わらぬ愛 - イエスを真理の源として認める

1. ヤコブ 2:1-13 - 金持ちとラザロのたとえ

2. ローマ人への手紙 2:11-16 - 真理に基づく神の裁き

マタイ 22:17 そこで、私たちに教えてください。「あなたはどう思いますか。」カエサルに貢物を捧げるのは合法なのか、それとも違法なのか？

イエスは、カエサルに税金を与えるのは合法であると教えました。

1: イエスは私たちにその国の法律に従うように教えました。

2: カエサルに敬意を表することは、神への従順を示します。

1: ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂が高次の力に服従しましょう。

2: マタイ 5:43-48 - 敵を愛し、あなたを憎む者に善を行います。

マタイ 22:18 しかし、イエスは彼らの邪悪さに気づいて、「偽善者たちよ、なぜわたしを誘惑するのか」と言われた。

イエスは質問する人々の悪意に気づいていて、彼らの偽善を非難しました。

1. 偽善の危険性: それを特定して回避する方法

2. イエス：誘惑の時の私たちの導き手

1. マタイ 6:1-2 - 「人々に認められるために、他の人たちの前で自分の義を実践することに気をつけなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父から何の報いも受けられなくなるからです。ですから、困っている人たちに与えるときは、偽善者たちが他の人から称賛されるためにシナゴーグや街路でしているように、あなたの前でラッパを吹いてはなりません。」

2. ヤコブ 1:12-13 - 「試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。いつになるかは誰にも言わないでください」彼は、「私は神に誘惑されている」と誘惑するのです。なぜなら、神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、神自身も誰も誘惑しないからです。」

マタイ 22:19 貢物を見せてください。そして彼らは彼に一ペニーを持って来ました。

イエスはパリサイ人たちに、貢物の例としてペニーを見せるように言いました。

1. 1 ペニーの力: 私たちの小さな行動が大きな違いを生む方法。

2. 教師イエス: マスターから知るべきことを学ぶ。

1. 箴言 22:7 - 「金持ちは貧乏人を支配し、借りる者は貸す者の僕である。」

2. ルカ 12:48 - 「多くを与えられた人には、その人がさらに求められるからです。そして、多くを捧げた人には、より多くを求めるでしょう。」

マタイ 22:20 そこでイエスは彼らに言われた、「この像とその上書きはだれのですか」。

イエスはパリサイ人に、コインに誰の像と碑文が刻まれているかを特定するように求めました。

1. あなたは誰に仕えていますか?

2. 人生において神を第一にする

1. マタイ 6:24 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神とお金に仕えることはできない。」

2. マタイ 6:33 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられるでしょう。」

マタイ 22:21 彼らは彼に言った、「カエサルのものだ」。それから彼は彼らに言った、「だから、カエサルのものをカエサルに返しなさい。そして神のものは神のもとに。

イエスは、私たちが神と統治当局の両方に従わなければならないと教えています。

1: 神のものを神にささげる: マタイ 22:21

2: 神の栄光を現すために人生を生きる: ローマ人への手紙 12:1-2

1: ローマ人への手紙 13:1-7

2: ダニエル3:16-18

マタイ 22:22 彼らはこの言葉を聞いて驚いて、イエスのもとを去り、自分たちの道を去った。

宗教指導者たちはイエスの言葉に驚き、何も答えずに立ち去りました。

1. 神の言葉の力 - イエスの言葉はどのように人生を変えることができるか

2. 質問の力 - 適切な質問がどのようにして明確さをもたらすのか

1. 使徒 4:13 - さて、彼らはペテロとヨハネの大胆さを見て、彼らが教育も訓練も受けていない人間であることに気づき、驚きました。そして彼らは、自分たちがイエスと一緒にいたことに気づきました。

2. ルカ 4:32 - そして彼らはイエスの教えに驚いた。イエスの言葉には権威があったからである。

マタイ 22:23 その日、復活はないと主張するサドカイ派の人々が彼のところにやって来て、こう尋ねた。

サドカイ派の人々はイエスのところに来て、復活があるかどうか尋ねました。

1. 復活を理解する - 復活に関するイエスの教えがあなたの人生をどのように変えることができるか

2.不信者に直面する - 復活の信仰にしっかりと立つ方法

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. コリント人への第一の手紙 15:12-19 - さて、もしキリストが死者の中からよみがえられたと宣言されているのなら、死者の復活などないとどうして皆さんのうちに言えるのでしょうか。しかし、死者の復活がないのであれば、キリストですら復活していないことになります。そして、もしキリストがよみがえらなかったら、私たちの説教は無駄になり、あなたがたの信仰も無駄になります。私たちは、神がキリストをよみがえらせたと神について証言したので、神を偽って伝えているとさえ判明します。死者がよみがえらないのが本当なら、神はキリストをよみがえらせなかったのです。死者がよみがえらなければ、キリストですらよみがえらなかったことになるからです。そして、キリストがよみがえらなかったなら、あなたの信仰は無駄であり、あなたは依然として罪の中にいます。そのとき、キリストにあって眠りについた人々も滅びました。もし私たちがキリストにあってこの世でのみ希望を持っているとしたら、私たちはすべての人々の中で最も憐れまれるべき存在です。

マタイ 22:24 モーセは言った、「もし人が子供を持たずに死ぬなら、その兄弟はその妻と結婚し、彼の兄弟に子孫を残すでしょう。」

イエスに質問が投げかけられ、男性が子供を持たずに亡くなった場合、兄弟は子孫を残すために妻と結婚するべきであるというモーセの律法が適用されるかどうかを尋ねました。

1. 遺産を残すことの大切さ

2. 喪失に直面したときの愛と家族の絆

1. ルカ 14:26-27 – 「わたしのところに来て、自分の父と母と妻と子供たちと兄弟姉妹を憎まない人は、そうです、そして自分の命さえも憎まない人は、わたしの弟子になることはできません。自分の十字架を背負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。」

2. 箴言 13:22 – 「善人は自分の子孫に相続財産を残すが、罪人の富は義人のために蓄えられる。」

マタイ 22:25 さて、私たちには七人の兄弟がいました。最初の兄弟は、妻と結婚したのですが、亡くなってしまい、何の問題もなかったのですが、妻を兄に任せました。

イエスのたとえ話は、モーセの律法がレビレート結婚の実践をどのように許可したかを示しています。

1. 愛と従順：人間関係において神の律法を実践する

2. 愛の力：レビレート結婚による神の愛の契約

1. 申命記25:5-6

2. ルツ1:4-5

マタイ 22:26 2 番目も同様に、3 番目から 7 番目までです。

この箇所では2番目から7番目までが言及されています。

1. 私たちの生活は、第 2 から第 7 までの神の命令に従うという決意に基づいていなければなりません。

2. 私たちは、第二番目から第七番目まで主に従順であるように努めるべきです。

1. 申命記 6:4-5 - 「イスラエルよ、聞け、私たちの神、主は唯一である。あなたは心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。」

2. マタイ 22:37-40 - 「そしてイエスは彼に言った、『あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。すべての律法と預言者はこの二つの戒めに依存しています。」

マタイ 22:27 そして最後に、その女性も亡くなりました。

物語の中の女性は最後に亡くなりました。

1: 人生そのものも含めて、この世に永続的なものは何もありません。

2: 私たちは毎日を、それが最後であるかのように生きなければなりません。

1: ヤコブ 4:13-14 さあ、「今日か明日、あんな町に行って一年過ごし、貿易をして儲けよう」と言っている人たちよ。 14 それでも、明日はどうなるかわからないのです。もたらします。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。

2: 伝道の書 3:1-2 - 天の下のすべての事柄には、季節と時があります。2 生まれるのに時があり、死ぬのに時があります。

マタイ 22:28 それでは、復活のとき、彼女は 7 人のうちの誰の妻となるでしょうか。なぜなら、彼らは皆彼女を持っていたからです。

復活の際、サドカイ派の人々はイエスに、7人の異なる男性と結婚したある女性について質問しました。彼らは、復活したら誰の妻になるのかと尋ねました。

1. 神の愛は無条件です:サドカイ派の質問がイエスについて明らかにしたこと

2. 復活の力: 死後の世界を再考する

1. マタイ 22:37-40 - イエスは、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛してください。」と答えられました。

2. ローマ 6:4 - したがって、私たちが死のバプテスマによってキリストとともに葬られたのは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命に生きるためです。

マタイ 22:29 イエスは答えて言われた、「あなたたちは聖書も神の力も知らずに、間違いを犯しているのです。」

イエスは、聖書や神の力を知らなかった宗教指導者たちを非難します。

1. 神の力: 聖書を理解する

2. 聖書を知る: 神の力を明らかにする

1. イザヤ書 55:8-9 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の思いも高いからです」あなたの考えよりも。」

2. ローマ人への手紙 1:16-17 「私はキリストの福音を恥じていません。それは、信じるすべての人、そしてまずユダヤ人、そしてギリシャ人にも救いをもたらす神の力だからです。そこには、神の義は信仰から信仰へと明らかになります。「義人は信仰によって生きる」と書かれているとおりです。

マタイ 22:30 というのは、復活のとき、彼らは結婚することも、結婚させられることもなく、天にいる神の天使のようなものだからです。

この聖句は復活の性質と、それが地上の生命とどのように異なるかを語っています。

1: 愛は永遠 - 墓を越えた愛の本質を探る

2: 天使のようになる - 復活の準備

1: 1 コリント 15:35-49 - 復活の性質に関するパウロの議論

2: ルカ 20:27-38 - サドカイ派に対するイエスの死後の世界についての答え。

マタイ 22:31 しかし、死者の復活に関して、あなたがたは神があなたがたに語られた次の言葉を読んだことがないのか。

イエスはマタイ 22 章で死者の復活について教えています。

1. 復活の希望: イエスはどのように永遠の命の約束を支持するか

2. 復活はキリストにおける新しい命をどのように約束するか

1. エペソ人への手紙 2:4-6 - しかし、憐れみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、キリストとともに私たちを生かしてくださいました（恵みによってあなたがたは救われました）。そして、私たちを一緒によみがえらせ、キリスト・イエスにあって天の場所に一緒に座らせてくださいました。

2. ローマ 8:11 - しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住んでいる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かされるでしょう。

マタイ 22:32 わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神ですか？神は死者の神ではなく、生きている者の神です。

イエスは、神は死者の神ではなく、生きている者の神であると断言します。

1. 神の変わらぬ忠実さ

2. 死者の神ではなく、生者の神

1. ローマ 4:16-17 - 「ですから、この約束は信仰によってもたらされるので、それは恵みによって、アブラハムのすべての子孫に、律法を持っている人だけでなく、法を持っている人にも保証されるのです。」アブラハムの信仰。彼は私たち全員の父親です。

2. ヘブライ 11:13-16 - これらの人々は皆、亡くなったときもまだ信仰によって生きていました。彼らは約束されたものを受け取りませんでした。彼らは遠くから彼らを見て、彼らを歓迎し、彼らが外国人であり、地球上では見知らぬ人であることを認めただけでした。このようなことを言う人は、自分の国を探していることを示しています。もし彼らが去った国のことを考えていたら、戻る機会があっただろう。むしろ、彼らはより良い国、つまり天国を切望していました。したがって、神は彼らの神と呼ばれることを恥とはされません。なぜなら、神は彼らのために都を用意したからです。

マタイ 22:33 群衆はこれを聞いて、彼の教義に驚いた。

群衆はイエスの教義に驚きました。

1. イエスの教義を理解する - 聞いて学ぶ方法

2. イエスの教えの影響 - 多くの人をも驚かせる

1. マタイ 7:28-29 - そして、イエスがこれらの言葉を終えると、人々は彼の教義に驚いた。というのは、イエスは律法学者としてではなく、権威を持つ者として彼らを教えたからである。

2. 使徒 2:42 - そして、彼らは使徒の教義と交わり、パンを裂く祈りを忠実に続けました。

マタイ22:34 ところが、ファリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を黙らせたと聞いて、一緒に集まった。

イエスがサドカイ派の議論を黙らせたとき、パリサイ人たちは激怒した。

1. 知識の力: イエスはサドカイ派の人々を沈黙させるために自分の権威をどのように利用したか

2. 自分の信念を貫くことの重要性: イエスの勝利に対するパリサイ人の反応

1. 箴言 15:2 - 「賢者の舌は知識を飾りますが、愚か者の口は愚かさを吐き出します。」

2. ヤコブ 1:19 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。人はみな、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。」

マタイ 22:35 そのとき、そのうちの一人、弁護士が、彼を誘惑して質問し、こう言いました。

イエスは神と隣人を愛することの大切さを教えています。

1: 神を愛し、隣人を愛しなさい - マタイ 22:35-40

2: 最も重要な戒めの履行 - マタイ 22:35-40

1: 申命記 6:5 - 心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2: レビ記 19:18 - 自分のように隣人を愛しなさい。

マタイ 22:36 先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか。

イエスは、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」と答えました。

イエスは律法の重要な戒めについての質問に、それは心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くしてあなたの神である主を愛することであると答えました。

1.「主を愛してください: 献身を全うするための呼びかけ」

2.「心、魂、思い、すべては神のために」

1. 申命記 6:5 - 「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。」

2. マルコ 12:30 - 「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」

マタイ 22:37 イエスは彼に言われた、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。」

イエスは私たちに、心、魂、思いを尽くして神を愛するようにと言われます。

1. 「心、魂、思いを尽くして神を愛する」

2.「最大の戒めを守る」

1. 申命記 6:5 - 「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。」

2. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。なぜなら神は神だからです。」愛。"

マタイ 22:38 これは最も重要な第一の戒めです。

第一にして最大の戒めは、心、魂、思いを尽くして神を愛することです。

1. 愛の力：心、魂、精神を尽くして神を愛することを学ぶ

2. 最大の戒め: 何よりも神を愛すること

1. 申命記 6:5 - 「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。」

2. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、私の命令を守ってください。」

マタイ 22:39 そして二番目もこれに似ています、「あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません」。

イエスは、二番目に重要な戒めは、隣人を自分のように愛することであると教えています。

1. 隣人を愛しなさい: 2番目に重要な戒めを実践する

2. 愛の力: イエスの戒めを実践する

1. ヨハネ第一 4:7-12 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。

2. ローマ 12:9-10 - 愛を偽りのないようにしましょう。邪悪なものを憎みます。良いことに固執してください。

マタイ 22:40 この二つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。

イエスは、律法と預言者はすべて 2 つの戒めに要約できると教えています。

1. 「法の中心：神を愛し、隣人を愛せよ」

2.「律法の充足の中で生きる：信仰の旅」

1. 申命記 6:5-6;レビ記 19:18 「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。」

2. ローマ 13:8-10 - 「互いに愛し合うこと以外には、だれにも借りはありません。人を愛する者は律法を全うしたのです。」

マタイ 22:41 パリサイ人たちが集まっていると、イエスは彼らに尋ねられた。

イエスはパリサイ人にメシアについての質問を投げかけます。

1: 私たちはイエスの質問から知恵を見つけ、答えを探すことができます。

2: パリサイ人に対するイエスの質問は、神の言葉を理解することの重要性を私たちに思い出させます。

1: ヤコブ 1:5 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神は惜しみなく、とがめられることなくすべての人に与えてくださるでしょう。そうすれば、それは与えられるでしょう。

2: ピリピ 4:6-7 - 何も思い煩うことはありません。すべてのことにおいて感謝を持って祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを守るでしょう。

マタイ 22:42 こう言う、「あなたはキリストについてどう思いますか。」彼は誰の息子ですか？彼らは彼に言った、「ダビデの子だ」。

イエスは当時の宗教指導者たちに、メシアの正体に関する質問に答えるよう挑戦しました。

1. メシアの正体: イエス・キリストとは誰ですか?

2. 聖書を利用してダビデの子を特定する

1. イザヤ書 9:6-7 - 「私たちに子が生まれ、息子が与えられます。そして政府はその肩にあります。そしてその名は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠のもの父よ、平和の君よ。」

2. ローマ人への手紙 1:3-4 - 「御子イエス・キリストについて、私たちの主は、肉によればダビデの子孫から造られ、聖なる霊によれば、力を持つ神の子であると宣言されました。死者の中からの復活。」

マタイ 22:43 彼は彼らに言った、「それでは、どうしてダビデは霊において彼を主と呼んでいるのでしょう、こう言いました。

この箇所では、ダビデが霊においてどのように自分を主と呼んでいるかについて、イエスがパリサイ人にどのように質問したかについて説明しています。

1. イエスの力 - イエスがどのように主であるのか、そして私たちはどのようにして彼の力を認識できるのか。

2. ダビデの言葉 - ダビデの言葉が今日でもどのように意味を持ち、それがイエスについてどのように私たちに教えてくれるのか。

1. ピリピ 2:5-11 - イエスの謙虚さと高揚について話し合います。

2. 詩篇 110 - イエスの主権について語る。

マタイ 22:44 主はわたしの主に言われた、「わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまで、あなたはわたしの右に座っていなさいか。」

イエスはマタイ 22 章 44 節で詩篇 110 篇を引用し、敵が打ち負かされるまでイエスに名誉と権威の地位を与えるという神の約束について言及しています。

1. キリストの権威の力

2. 神の主権: 統治するという神の約束

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。ダビデの王座とその王国の上に、ダビデの政府と平和を拡大し、それを確立し、正義と義をもってこれを維持することは、これからも永遠に終わりがありません。

2. 詩篇 110:1 - 主は私の主に仰せられます。「わたしがあなたの敵を足台にするまでは、わたしの右に座っていなさい。」

マタイ 22:45 もしダビデが彼を「主」と呼ぶとしたら、どうして彼は彼の息子なのでしょうか。

この箇所は、イエスが主と呼ばれる場合、イエスとダビデの関係に疑問を投げかけています。

1. イエスの主権: イエスがダビデの子であることをどのように証明したか

2. イエスの謎: 彼の本質の矛盾を探る

1. イザヤ書 7:14: 「ですから、主ご自身があなたにしるしを与えられます。見よ、処女はみごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶだろう。」

2. 黙示録 22:16: 「私、イエスは、教会のためにこれらのことについてあなたに証言するために、天使を送りました。私は輝く明けの明星であるダビデの根であり子孫です。」

マタイ 22:46 そして、誰も彼に一言も答えることができず、その日以来、誰も彼に質問することを望まなかった。

イエスは質問されましたが、誰も答えることができず、その後は別の質問をすることさえできないような方法で答えられました。

1. イエスの言葉の力: イエスの答えが答えのない質問にどのようにつながるか

2. イエスの言葉に耳を傾けることの重要性: イエスの答えがすべての人の基準となる

1. 箴言 18:13 - 「聞く前に答える者は、愚かであり、恥である。」

2. ヤコブ 1:19 - 「それでは、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。」

マタイ 23 章には、偽善に対して警告する律法学者とパリサイ人に対するイエスの批判と、エルサレムに対するイエスの嘆きが含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスが群衆や弟子たちにパリサイ派の律法学者について話すところから始まります (マタイ 23:1-12)。彼は彼らの権威を認めていますが、彼らの偽善と自己宣伝を批判しています。彼らは人々の肩に背負うのが難しい重荷を縛り付けますが、彼ら自身はそれを動かすために指一つ上げようとはしません。彼らは他人に見られるためにあらゆる行為を行います。対照的に、神は弟子たちに謙虚さを実践するよう奨励し、「自分を高める者は低くされ、自分を低くする者は高められる」と述べています。

第 2 段落: 次に、イエスは律法学者パリサイ人に対して 7 つの災難を宣告します (マタイ 23:13-36)。彼は、彼らが天国の天国を妨げ、自分自身が入ることも他人が入ることも許さないことを非難します。法律は些細な問題に焦点を当て、正義、慈悲、忠実さなどのより重要な問題を無視したことに対して。外見は清潔でありながら、内面は貪欲で自己満足であること。墓を建てた預言者たちは、自分たちは預言者の殺害には加わらなかったと主張し、自分たちも預言者を殺した祖先と

同じ罪であることをほのめかしている。

第三段落：最後に、イエスはエルサレム市が預言者を殺し、石を投げ、雌鳥が羽の下に雛を集めるように子供たちを集めたいという願望を表明してエルサレム市を送ったが、市はその保護に参加しようとしないことを嘆いている（マタイ 23:37-39）。彼は、荒廃した寺院が、「主の名において来る者は幸いです」と言うまで再び彼に会わないだろうと言うと予測しました。これは、差し迫った裁きに対する深い悲しみを示しながらも、彼らが彼を救世主と認めるとき、将来の和解を期待していることを示しています。

マタイ 23:1 それから、イエスは群衆と弟子たちに言われた。

イエスは群衆と弟子たちに謙虚さと神への従順の重要性について語ります。

1. 従順の謙虚さ: なぜ神のご意志に従わなければならないのか

2. イエスの言葉を聞くことの大切さ

1. ピリピ 2:5-8 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にすることによって、召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2. ヨハネ第一 5:3 - 私たちが神の戒めを守ることこそが神の愛だからです。そして神の戒めは重荷ではありません。

マタイ 23:2 こう言う、「律法学者とパリサイ人たちはモーセの席に座っている。

イエスは当時の宗教指導者の偽善について警告しました。

1. 教会における偽善の危険性

2. スピリチュアルなリーダーシップにおける謙虚さの力

1. ヤコブ 4:6 - 「しかし、神はさらに恵みを与えます。だから、「神は高ぶる者に反対しますが、謙遜な者には恵みを与えます。」と書かれています。

2. マタイ 5:3-5 - 「心の貧しい人たちは幸いです。天の国は彼らのものです。悲しんでいる人々は幸いです、彼らは慰められるからです。柔和な者たちは幸いである、彼らは地を受け継ぐからだ。」

マタイ 23:3 したがって、彼らがあなたがたに命じたことはすべて、守り、実行するものです。しかし、あなたがたは彼らの行いを追いかけてはいけません。彼らは言いますが、そうではありません。

1. 律法に従うか、信仰の模範に従うか

2. 悪い例があっても神の命令を守る

1. ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞き手ではなく、行動する実行者となる人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。

2. ピリピ 3:17 - 兄弟たち、私に倣い、あなたが私たちの中に持っている模範に従って歩む人々に目を留めてください。

マタイ 23:4 なぜなら、彼らは重荷と悲惨な重荷を縛り、人々の肩に担ぐからです。しかし、彼ら自身は指一本で動かそうとはしません。

イエスの時代の宗教指導者たちは偽善者であり、他人に不可能な重荷を負わせながら、助けようとすることを一歩も拒んでいました。

1.「偽善の重荷：イエスの言葉から学ぶ」

2.「不当な期待の耐えられない重み」

1. イザヤ書 58:6-7 - 「これがわたしが選んだ断食ではないでしょうか。悪の束縛を解き、重荷を解き、抑圧されている人々を解放し、すべてのくびきを打ち負かすことではないでしょうか？飢えた人たちにパンを配らないこと、追い出された貧しい人たちを自分の家に連れてくること、裸を見たら覆いをすること、そして自分の肉から身を隠さないことですか？」

2. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

マタイ 23:5 しかし、彼らの仕事はすべて、人々に見られるために行うものであり、聖経箱を広くし、衣服の境界を広げ、

マタイ 23 章 5 節の一節には、パリサイ人の働きは神の栄光のためではなく、他の人に見て賞賛されるために行われたと述べられています。

1.「正しい理由で良い仕事をする」

2. 「自分自身の栄光ではなく、神の栄光に焦点を当てる」

1. エペソ 2:10 - なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られ、その良い行いの中を歩むように神が前から定めておられたからです。

2. コロサイ 3:23 - そして、あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように心から行いなさい。

マタイ 23:6 また、宴会の最上階の部屋と会堂の主席を愛しなさい。

この一節は、お祝い事や宗教施設の最高の場所を愛することについて述べています。

1. 他者に奉仕する喜び

2. お祝いの時の謙虚さ

1. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう

2. ルカ 14:7-14 - イエスは謙虚さに関するたとえ話をして、「自分を高める者はみな低くされ、自分をへりくだる者は高められるからです。」と言いました。

マタイ 23:7 また、市場では挨拶をし、人々からは「ラビ、ラビ」と呼ばれてください。

この一節は、他人から認められ、賞賛されることを望むことの危険性について語っています。

1: 高慢は倒れる前にある - 箴言 16:18

2: 謙虚になり、他の人に仕えなさい - ピリピ 2:3-4

1: ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

2: マタイ 6:1-4 - 他人から認められ、賞賛されることを求める偽善者のようにならないでください。

マタイ 23:8 しかし、あなたがたはラビと呼ばれてはなりません。なぜなら、一人はあなたの主人、つまりキリストだからです。そしてあなたがたはみな兄弟です。

イエスは、すべての信者は平等であり、誰も他の信者より高い称号を与えられるべきではないと教えています。

1. 教会における平等の価値

2. 謙虚に奉仕する力

1. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

2. ピリピ 2:3-4 - 「競争心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。各自、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

マタイ 23:9 そして、地上にいる人をあなたの父と呼んではなりません。一人は天におられるあなたの父だからです。

イエスは追随者たちに、地上の人間に名誉を与えないようにと指示しました。天におられる彼らの父は神だけだからです。

1. 「私たちの究極の父：神を私たちの天の父として認める」

2. 「主を讃えよ：いかなる人間も台座の上に置くことを拒否する」

1. エペソ人への手紙 3:14-15 「このため、私は父の前にひざまずきます。天と地のすべての家族の名前は父から来ています。」

2. イザヤ書 40:25 「では、あなたは私を誰と比べて、私が彼のようになるだろうか。と聖者は言います。」

マタイ 23:10 あなたがたも主人と呼ばれてはなりません。あなたの主人はキリストです。

イエスは、自分だけが真の主人であるため、自分を主人と呼ぶことに対して警告しています。

1. 「キリストは私たちの主人です。それは私たちにとって何を意味しますか?」

2. 「プライドの危険性: キリストの前に自分を置く」

1. 箴言 16:18 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

2. ピリピ 2:3 「利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。」

マタイ 23:11 しかし、あなたがたの中で一番偉い人が、あなたのしもべとなるでしょう。

イエスは、私たちの中で最も偉大な人は謙虚になって他の人に仕えるべきだと教えています。

1.「真の偉大さは奉仕にある」

2. 「他者への奉仕: 充足への道」

1. ピリピ2:5-8

2. ルカ22:24-27

マタイ 23:12 だれでも自分を高める者は卑しめられるでしょう。そして自分をへりくだる者は高められるであろう。

謙虚になれば、あなたは高められます。自分を高めれば、謙虚になる。

1. 神は謙虚さによって神を敬うことを選んだ人たちを敬います。

2. 高慢と傲慢は破壊につながりますが、謙虚さは栄光につながります。

1. ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

2. 箴言 16:18- 高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。

マタイ 23:13 しかし、偽善者である律法学者とパリサイ人たち、あなたがたは災いです。あなたがたは人間に対して天の王国を閉ざしているからです。あなたがたは自らその中に入ることもせず、そこに入ろうとする者たちが入ることを許さないからです。

イエスは、自ら天国に入るのを拒否し、他の人が天国に入るのを妨げる律法学者やパリサイ人の偽善を非難されます。

1. 偽善の危険性: イエスからの警告

2. 私たちが説いていることを実践する: 信仰を実践する

1. ヤコブ 1:22: 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

2. ヨハネ第一 1:9: 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」

マタイ 23:14 偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたがたは災いです。あなたがたは未亡人の家をむさぼり食ったり、見せかけのために長い祈りをしたりするからである。それゆえ、あなたがたはより大きな罰を受けるであろう。

イエスは律法学者とパリサイ人が未亡人を利用し、長い祈りをすることで宗教的なふりをしたとして非難します。

1. 宗教的なふりをすることの危険性

2. 困っている人を利用しないでください

1. ヤコブ 2:15-17 - 「兄弟や姉妹が着衣も貧弱で、日々の食べ物にも欠けているとき、あなたがたのどちらかが、彼らに必要なものを与えずに、『安らかに行きなさい。体を温めてお腹を満たしなさい』と言ったら、彼らに必要なものを与えません。」体、それが何の役に立つの？」

2. ヨハネ第一 3:17-18 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見ていても、その兄弟に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人の内に宿るでしょうか。子供たちよ、言葉や言葉で愛さないようにしましょう。」口では言いますが、行為と真実で。」

マタイ 23:15 偽善者である律法学者とパリサイ人たち、あなたがたは災いです。なぜなら、あなたがたは一人の改宗者を作るために海と陸を巡回し、その人が作られるとき、あなたがたはその人を自分たちの二倍の地獄の子にするからである。

律法学者とパリサイ人は、改宗者を作ろうとし、彼らを自分たちよりもさらに悪くしたとして非難されました。

1. 偽善の危険性: イエスからの警告

2. ウォーク・ザ・ウォーク: 本物の人生を生きる

1. ヤコブ 4:17 - 「ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを行わない者は、その人にとって、それは罪です。」

2. エペソ人への手紙 4:15 - 「むしろ、愛をもって真実を語ることによって、私たちは頭である方、キリストへとあらゆる面で成長しなければなりません。」

マタイ 23:16 「神殿にかけて誓う者は、何の役にも立たない。しかし、神殿の黄金にかけて誓う者は、債務者です。

イエスは、人々が神殿にかけて宣誓することを許可しながら、神殿の金によって誓うことを要求し、より大きな借金を負わせたことでパリサイ人を批判されました。

1. 人々を誤解させる危険性: パリサイ人がどのようにして責任を果たさなかったのか

2. 言葉の力: 私たちの言葉がどのように結果をもたらし、他の人に影響を与えるか

1. 箴言 11:9 - 偽善者は口で隣人を滅ぼします。しかし、正しい人は知識によって救われます。

2. 箴言 12:13 - 悪人はその唇の罪に捕らわれます。しかし正しい人は苦難から立ち直ります。

マタイ 23:17 愚かで盲目な者たちよ。金と、金を神聖化する神殿とどちらが偉いのか。

この一節では、金とそれを神聖化する神殿との比較が強調され、どちらがより偉大であるかが問われています。

1. 聖化の重要性 - 神殿にあることで金の価値がどのように高まるかを強調します。

2. 物の真の価値 - 金が真の価値ではなく、むしろそれを神聖化する神殿であることを強調します。

1. ペテロ第一 1:7 - 「それは、あなたがたの信仰の試された真正さが、火で試されても朽ちる金よりも貴重であることが、イエス・キリストの啓示の時に賞賛と栄光と栄誉をもたらすことが分かるためです。」

2. コリント人への手紙第一 3:16-17 - 「あなたがたは神の神殿であり、神の霊があなたがたのうちに宿っていることを知らないのですか。誰かが神の神殿を破壊するなら、神はその人を滅ぼすでしょう。神の神殿は聖であり、あなたがその神殿だからです」。」

マタイ 23:18 また、祭壇にかけて誓う者は、何もありません。しかし、その上にある贈り物によって誓う者は誰でも有罪です。

イエスは追随者たちに、祭壇のそばで誓うことは悪いことではないが、祭壇に置かれた贈り物によって誓うなら有罪であると教えます。

1. 誓いの力: 約束についてイエスが教えてくれたこと

2. 誓いの重要性に関するイエスの教えを理解する

1. ヤコブ 5:12 - 「しかし何よりも、兄弟たちよ、天や地やその他の何によっても誓わないでください。あなたの「はい」は「はい」、あなたの「いいえ」は「いいえ」にしなさい、そうでなければあなたはそうなるでしょう。非難された。

2. 伝道の書 5:4-5 - 「神に誓いを立てたら、それを遅らせてはなりません。彼は愚か者を喜ばない。誓いを果たします。誓いを立ててそれを果たさないよりは、誓いを立てない方が良いのです。

マタイ 23:19 愚かで盲目な者たちよ。賜物と、その賜物を神聖なものとする祭壇とでは、どちらが偉大なのでしょうか。

イエスはパリサイ人が正義と憐れみを無視して什分の一を納める偽善を叱責しています。

1.「私たちの言葉の重み：イエスとパリサイ人」

2.「愛の優先順位：神への贈り物を犠牲にすること」

1. ルカ 6:37-38 - 「裁くな、そうすればあなたがたは裁かれることはない。罪に定めない、そうすればあなたがたは罪に定められることはない。赦しなさい、そうすればあなたがたは赦されるであろう。」

2. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟たち、人が自分には信仰があると言いながら、行いをしていないとしても、それが何の益になるのでしょうか。信仰がその人を救うことができますか。」

マタイ 23:20 したがって、祭壇にかけて誓う者は、祭壇にかけて、またその上のすべてのものにかけて誓うのである。

イエスは、誰かが祭壇にかけて誓うとき、その人は祭壇にあるすべてのものにかけても誓うことになると教えています。

1. 言葉の力: 誓いの意味を理解する

2. 聖さの重要性: 約束を守ること

1. ヤコブ 5:12 - 「しかし何よりも、兄弟たちよ、天や地やその他の何によっても誓わないでください。あなたの「はい」は「はい」、あなたの「いいえ」は「いいえ」にしなさい、そうでなければあなたはそうなるでしょう。非難された。」

2. 伝道の書 5:2-4 - 「神の前で何かを言おうと、口を急がず、心の中で急いではいけません。神は天におり、あなたは地にいるのですから、言葉は少なくしましょう。多くの心配事があり、多くの言葉が愚か者の発言を特徴づけるときに夢は訪れる。」

マタイ 23:21 神殿にかけて誓う者は、神殿と、そこに住む者にかけて誓うのである。

イエスは、神殿にかけて誓う人は、実際には神殿の中に住む神にかけて誓っているのだと教えておられます。

1. 誓いの力: 神殿による誓いの重さと、そこに宿る神の重要性を探ります。

2. 誓いを立てる: 神殿との関係と、言葉を通して神を敬うことの重要性を検討します。

1. ヤコブ 5:12-14 - 「しかし何よりも、兄弟たちよ、天にかけても地にかけても、あるいはその他のいかなる誓いでも誓わないで、「はい」ははい、「いいえ」はいいえにしなさい。」

2. イザヤ書 65:16 - 「地で祝福を願う者は、忠実の神によってそうするであろう。また、地で誓う者は、忠実の神によって誓うであろう。」

マタイ 23:22 また、天にかけて誓う者は、神の御座と、そこに座しておられる方にかけて誓うのである。

この一節は、神とその玉座にかけて誓うことの重要性を強調しています。

1:「誓いにおいて主を敬え」

2：「神の玉座の力」

1: イザヤ書 66:1 「主はこう言われる。天はわたしの王座、地はわたしの足台である。あなたがたがわたしのために建てる家はどこにあるのか。」

2: エレミヤ 17:12 - 「初めからの輝かしい高い王座が、私たちの聖所の場所です。」

マタイ 23:23 偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたがたは災いです。あなたがたは、ミント、アニス、クミンの十分の一を納め、律法、裁き、慈悲、信仰というより重要な事柄を省略しているからである。これらはあなたがすべきであり、他のことをやり残したままにしてはいけない。

マタイ 23 章 23 節のこの箇所は、裁き、憐れみ、信仰といったより重要な事柄を無視して、律法の些細な事柄に焦点を当てた律法学者とパリサイ人の偽善について語っています。

1. 「正義と慈悲を求める: 法のより重要な問題」

2. 「忠実に正しく生きる: マタイ 23:23 についての考察」

1. ミカ書 6:8 「人よ、神はあなたに、何が良いことなのかを教えてくださいました。そして、主はあなたに何を求めておられますか。公正に行動し、憐れみを愛し、謙虚にあなたの神と共に歩むことです。」

2. ガラテヤ 5:22-23 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、そして自制です。そのようなものを禁じる律法はありません。」

マタイ 23:24 ブヨに力を入れ、ラクダを飲み込む盲目の案内人たちよ。

この聖句は、些細な点に注目し、より大きな問題を見落とす宗教指導者の偽善について歌っています。

1. 全体像を見る: 私たちの生活の中の偽善を暴露する

2. ブヨからラクダへ: 選択的服従の危険性

1. イザヤ書 29:13-14 - 不義の法令を布告し、自ら定めた悲惨な出来事を書き記す者たちは災いである。貧しい人々を裁きから遠ざけ、私の民の貧しい人々から権利を奪い、未亡人が彼らの餌食となり、父親のいない人々から略奪するためです。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし言葉を実行する者ではなく聞く者がいるとしたら、その人は、ガラスの中で自分の自然な顔を眺める人間に似ているからである。なぜなら、彼は自分自身を見つめ、自分の道を進み、自分がどんな人間だったのかをすぐに忘れてしまうからである。しかし、完全な自由の法則を見つめ、それを継続し、忘れることを聞く人ではなく、働きを行う人は、その行為において祝福されるであろう。

マタイ 23:25 偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたがたは災いです。あなたがたはカップや大皿の外側をきれいにしますが、その内側は強奪と過剰で満ちているからです。

律法学者とパリサイ人は、内面の変化よりも外見に焦点を当てました。

1: 私たちは外見ではなく内面の変革に焦点を当てるべきです。

2: 私たちは神の指示に従い、純粋な心で生きることに集中すべきです。

1: コロサイ 3:12-17 - それでは、神に選ばれた者として、聖なる愛される同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、そして忍耐を身につけてください。

2: ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

マタイ 23:26 盲目のパリサイ人よ、まず杯と皿の中のものを清めて、外側も清くなるようにしなさい。

この一節は、外見を気にする前に、自分の心の内側に注意を向けることの大切さを語っています。

1. 「問題の核心: まず内部を掃除する」

2. 「外見は欺瞞になる可能性がある: 内面の浄化の必要性」

1. 詩篇 51:10 - 「神よ、私の中に清い心を造り、私の中に正しい霊を新たにしてください。」

2. 箴言 4:23 - 「あなたの心を全力で保ちなさい。人生の問題はそこから出てくるからです。」

マタイ 23:27 偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたがたは災いです。なぜなら、あなたがたは白い墓のようなものであり、それは確かに外面的には美しく見えますが、内側は死者の骨とあらゆる不浄で満ちているからです。

イエスは律法学者とパリサイ人が、表面的には神聖であるように見えても、心は罪と堕落でいっぱいであるとして非難されます。

1. 偽善に対するイエスの警告

2. 敬虔さを偽装する危険性

1. ローマ人への手紙 3:23 - すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

マタイ 23:28 それと同じように、あなたがたも、外見上は人々に義人のように見えますが、内心は偽善と不法に満ちています。

この聖句は、内なる偽善と罪を隠しながら、表面的には正義であるように見えることを警告しています。

1: 本当の正義は、外見からではなく、内面から生まれます。

2: 私たちは自分自身に正直であり、表面上の正義ではなく、真の正義を目指して努力しなければなりません。

1: ピリピ人への手紙 3:8-9 「確かに、私の主キリスト・イエスを知ることの計り知れない価値のゆえに、私はすべてを損失とみなします。キリストのために、私はすべてのものを失い、それらをゴミとみなしています。キリストを得るかもしれない。」

2: 1 ヨハネ 1:8-10 「もし私たちが自分に罪がないと言うなら、私たちは自分を欺いていることになります。そして、真理は私たちの中にありません。もし私たちが罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、清めてくださいます」「私たちをあらゆる不義から救い出します。もし私たちが罪を犯していないと言うなら、私たちは彼を嘘つきにしてしまい、彼の言葉は私たちの中にありません。」

マタイ 23:29 偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたがたは災いです。あなたがたは預言者の墓を建て、義人の墓を飾っているからです。

律法学者とパリサイ人は、自分たちが迫害した人々に敬意を表しているという偽善者です。

1. 敬意を払うという偽善

2. 偽善の危険性

1. イザヤ書 29:13 - 「この民は口でわたしに近づき、くちびるでわたしを敬うが、彼らの心はわたしから遠く離れている。」

2. ヤコブ 2:17 - 「たとえ信仰が働かなかったとしても、それは孤独であり、死んだものです。」

マタイ 23:30 そして言え、「もしわたしたちが先祖の時代に生きていたら、わたしたちは預言者の血にあずかることはなかったでしょう。」

イエスの時代の人々は偽善的で、実際には同じことをしていたにもかかわらず、先祖たちがしたように預言者を迫害することはなかったと主張しました。

1. 偽善の危険性: 虚偽を認識し回避する

2. 反対の時代でも真実を貫く: 信仰にしっかりと立つ

1. イザヤ書 29:13 - 「主はこう言われた。「この民は口で近づき、くちびるでわたしを敬うが、心はわたしから遠く離れており、わたしを恐れるのは人間が教える戒めだからである。」

2. ヤコブ 2:17 - 「ですから、行いがなければ信仰もそれ自体死んだものです。」

マタイ 23:31 ですから、あなたがたは、預言者を殺した者たちの子供であるという証人になりなさい。

イエスはパリサイ人たちに、彼らは預言者を殺した者の子供たちであると警告しました。

1. 私たちの行動の結果

2. 精神的なプライドの危険性

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. ヤコブ 1:19-20 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。なぜなら、人間の怒りは神の求める義を生み出さないからです。

マタイ 23:32 それなら、あなたがたの先祖たちの量を満たしなさい。

イエスはパリサイ人や律法学者たちに先祖たちの罪を思い出させ、彼らの偽善の危険性を警告しました。

1. 神との歩みにおける正直さと謙虚さの重要性

2. 神の命令に従わなかった場合の結果

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. 箴言 28:13 - 自分の罪を隠す者は繁栄しないが、告白してそれを捨てる者は憐れみを得るであろう。

マタイ 23:33 蛇よ、まむしの世代よ、どうして地獄の刑罰から逃れることができるでしょうか。

イエスはパリサイ人の偽善を非難し、彼らの悪行の結果について警告しました。

1. 偽善: 避けられない罪

2. 神の真実を拒否する代償

1. ローマ人への手紙 2:1-5 - ですから、裁く人たちよ、あなたたちには言い訳の余地はありません。なぜなら、他人に裁きを下すことで、あなたは自分自身を非難することになるからです。なぜなら、裁判官であるあなたも全く同じことを実践しているからです。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとって罪です。

マタイ 23:34 そこで、見よ、わたしは預言者、賢者、律法学者をあなたがたに遣わします。あなたがたは彼らのうちの何人かを殺し、十字架につけなければなりません。そして彼らのうちの何人かはあなたがたの会堂で鞭打ち、町から町へと迫害するであろう。

イエスは神の僕たちに対する迫害について警告しています。

1. 神の僕たちの迫害: 逆境にもかかわらず毅然として立つ

2. 私たちの使命: 迫害にもかかわらず愛すること

1. ヘブライ人への手紙 11:35-40 - 神の僕たちの信仰

2. ヨハネ 15:17-19 - 神の僕たちの愛

マタイ 23:35 それは、義人アベルの血から、神殿と祭壇の間であなたがたが殺したバラキアスの子ザカリアの血に至るまで、地上に流されたすべての義人の血があなたの上に来るためです。

この箇所は、人々の罪、特に罪のない血を流した人々に対する神の裁きについて語っています。

1: 罪の結果

2: 神の怒り

1: 創世記 4:10 - そしてイエスは言われた、「あなたは何をしたのですか」。あなたの兄弟の血の声が地面から私に叫びます。

2: ローマ人への手紙 12:19 - 親愛なる皆さん、自分自身に復讐するのではなく、むしろ怒りに身を任せてください。「復讐は私のものである」と書いてあるからです。わたしが報いる、と主は言われる。

マタイ 23:36 はっきり言っておきますが、これらすべてのことはこの世代に降りかかるでしょう。

この箇所は、現在の世代に降りかかる裁きについて語っています。

1. 私たちは自分自身に裁きを与えないよう、神を尊重し敬う生き方をしなければなりません。

2. 私たちの行動は、この世と来世の両方に結果をもたらします。

1. ヘブル人への手紙 9:27 「そして、人間には一度死ぬことと、その後に裁きが来ることが定まっているのと同じです。」

2. ローマ 2:5-6 - 「しかし、あなたがたはかたくなで悔い改めない心のせいで、神の正しい裁きが明らかにされる怒りの日に、自分のために怒りを蓄えているのです。」

マタイ 23:37 ああ、エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、あなたのもとに遣わされた者たちを石で打ち殺すあなた、雌鶏が翼の下に鶏を集めるように、私は何度あなたの子供たちを集めただろうか。

イエスは、歴史を通じて多くの預言者がエルサレムに送られてきたにもかかわらず、エルサレムがイエスを受け入れることを拒否したことに深い悲しみを表明されています。

1. 神の愛は永続する: エルサレムに対するイエスの無条件の愛

2. 呼びかけを拒否する: 神の救いの申し出を拒否した場合の結果

1. イザヤ書 53:3 - 「彼は人々から軽蔑され、拒絶され、悲しみを持ち、悲しみを知っていた人でした。」

2. エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

マタイ 23:38 見よ、あなたの家は荒れ果てたままにされる。

イエスはパリサイ人たちに、悔い改めを拒否したために彼らの家は荒廃したままになるだろうと警告されました。

1. かたくなな心の結果 - マタイ 23:38 の A

2. 悔い改めの拒否 - パリサイ人の不信仰とその結果としての彼らの家の荒廃について

1. ヘブライ 3:7-14 - 心がかたくなになることに対する警告。

2. イザヤ書 6:9-10 - 悔い改めを求める神の呼びかけ。

「主の御名によって来る者は幸いです」と言うまでは、今後私に会わないでください。

イエスは、人々が主からの彼の権威を認めるまで、二度と現れることはないと宣言されました。

1. 認識の力: 私たちの生活における神の権威をどのように認識するか

2. 祝福の価値: 主にあって喜ぶ喜びを経験する

1. イザヤ書 11:10 - 「その日にはエッサイの根があり、それは民の旗を表すでしょう。異邦人はそれを求めます。そして彼の安息は輝かしいものになるでしょう。」

2. 詩篇 118:26 - 「主の御名によって来る者に祝福あれ。わたしたちは主の家からあなたを祝福しました。」

マタイ 24 章では、神殿の破壊、終末のしるし、イエスの再臨を待ち望んで見守ることの重要性について述べられています。

第 1 段落: この章は、イエスが神殿の破壊を予告するところから始まります (マタイ 24:1-2)。弟子たちが来るべき終わりの時代のしるしについて尋ねると、偽キリストに惑わされたり、戦争の噂や戦争に惑わされたりしないようにと警告します。彼は、国家が国家に対して立ち上がり、王国が王国に対して立ち上がり、各地で飢餓が起こり、地震が起こっているが、これらはまだ産みの苦しみが始まったばかりである(マタイ24:3-8)。

第 2 段落: 次に、信者は多くの人を欺く偽預言者に直面するであろう迫害について説明し、邪悪な行為が増え、愛は冷たくなりますが、最後まで毅然と立ち向かう者は救われます。福音の王国が全世界に宣べ伝えられ、すべての国民が証言し、その後終わりが来ます(マタイ24:9-14)。彼は、聖なる場所に立っている預言者ダニエルを通して語られた「忌まわしい荒廃」について言及し、世界の始まりから今に至るまで、二度と匹敵することのない大きな苦痛が待っているため、ユダヤにいる人々に遅滞なく山から逃げなさいと警告しています。

第 3 段落: イエスは続けて、苦難の直後のしるしについて話し合う、日、月、星、暗くなった、天体が揺れた、子、人が来て、雲、力を持って天、大いなる栄光、大声でラッパの呼びかけで天使を送る、四方の風から選ばれた者が集まる、一方の端は天のもう一方である (マタイ 24:29-31) ）。彼はイチジクの木に、小枝が柔らかい葉を出すと、夏が近づいていることを知っているというたとえ話をします。これと同じように、これらすべてを見ると、夏が近づいていることがわかりますしかし、正確な日の時刻は、天の天使や父だけの子でさえ誰も知りません。ノアの日々がそうだったように、息子マンが来てもそうなるだろう、ノアが箱舟に入った日人々は飲み食いし、結婚し、結婚を諦める、彼らは洪水について何も知らなかった、彼らを押し流した、息子マンがどうやって来るのか、常に見守る必要がある、なぜなら分からないからだあなたの主が来られる日（マタイ 24:32-44）。

マタイ 24:1 それから、イエスが出て行って神殿を出られたので、弟子たちが神殿の建物を見せてもらうためにイエスのところに来た。

イエスは神殿を去り、弟子たちは神殿の建物をイエスに見せました。

1. 神の臨在はどこにでもある：イエスが神殿を出た意味を理解する

2. 敬意と畏怖の大切さ：寺院の建物を鑑賞する

1. 詩篇 46:4-5 「神の都、いと高き方の聖なる住まいを喜ばせる川がある。神は彼女の真ん中におられます。彼女は動かされることはない。朝が明けたら神が彼女を助けてくれるでしょう。」

2. イザヤ書 66:1 「主はこう言われる。『天はわたしの王座、地はわたしの足台。あなたが私のために建ててくれる家は何ですか、私の安息の場所は何ですか？」

マタイ 24:2 するとイエスは彼らに言われた、「あなたがたには、これらすべてのことが見えないのか。」まことに、わたしはあなたがたに言います、ここには、一つの石がまた別の石の上に残されてはならず、投げ落とされることはありません。

イエスはエルサレム神殿の破壊を予告します。

1: イエスが滅びの可能性があると警告したように、私たちは予期せぬ事態に備えなければなりません。

2: たとえそれが悲惨で困難に見えるときでも、私たちは主の計画を信頼しなければなりません。

1: ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2: イザヤ書 41:10 - だから恐れないでください。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。

マタイ 24:3 そして、イエスがオリーブ山に座っておられると、弟子たちがひそかに彼のところに来て、「これらのことがいつ起こるか教えてください。」と言った。そしてあなたの到来と世界の終わりのしるしは何でしょうか？

弟子たちはイエスがオリーブ山に座っていたとき、再臨と世の終わりのしるしについて質問しました。

1. 信仰の力: イエスの再臨に備えるには

2. 見守り待つことの重要性: イエスの再臨と世界の終わり

1. ローマ人への手紙 13:11-12 「それに加えて、あなたは時が来たこと、つまり眠りから目覚める時間が来たことを知っています。なぜなら、私たちが最初に信じた時よりも今の方が救いは私たちに近づいているからです。夜はとうに過ぎ去った。その日が近づいています。それでは、闇の業を脱ぎ捨て、光の鎧を身に着けましょう。」

2. テトス 2:11-14 「神の恵みが現れて、すべての人々に救いをもたらし、不敬虔と世俗の情念を捨て、現代において自制して正しく敬虔に生きるよう私たちを訓練し、待っているからです。」それは、私たちの祝福された希望、すなわち、私たちの偉大な神であり救い主イエス・キリストの栄光の現われであるからです。イエス・キリストは、私たちをあらゆる不法行為から救い出し、善行に熱心な民をご自分の所有物として清めるために、私たちのためにご自身を捧げてくださったのです。」

マタイ 24:4 するとイエスは答えて彼らに言われた、「だれにもだまされないように気をつけなさい」。

イエスは弟子たちに、自分たちを欺こうとする者たちに注意するように警告されました。

1.「欺瞞の危険性」

2.「識別力」

1. エペソ人への手紙 5:15-17。「それでは、自分がどのように生きるかに非常に注意してください。賢くないのではなく、賢いように、あらゆる機会を最大限に活用してください。時代は悪いからです。ですから、愚かではなく、主の御心が何であるかを理解してください。」

2. 箴言 14:15。「素朴な人は何でも信じますが、賢明な人は自分の歩みをよく考えます。」

マタイ 24:5 多くの人が私の名によって来て、「私はキリストだ」と言うからです。そして多くの人を欺くだろう。

多くの偽教師がイエスの名においてやって来て、多くの人を誤解させるでしょう。

1. 偽預言者: 欺瞞の危険性

2. キリストの権威: 偽りの教えを避ける

1. 使徒 20:29-31 – 偽教師に対するパウロの警告

2. ペテロ第二 2:1-3 – 偽預言者とその懲罰

マタイ 24:6 そして、あなたがたは戦争や戦争の噂を聞くでしょう。心配しないように気を付けてください。これらすべてのことは必ず実現するはずですが、まだ終わりではありません。

この一節は、まだ終わりが来ていないので、戦争や戦争が起こるという噂に悩まされないことについて述べています。

1. 心配しないで、忠実でありなさい - 世俗的な問題に悩まされるのではなく、神を信頼することに集中してください。

2. 終わりの日の困難に耐える - 信仰を保ち、恐れに負けず、終わりの時に備えてください。

1. ローマ人への手紙 8:18 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えています。」

2. イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

マタイ 24:7 というのは、国は国に対して、王国は王国に対して立ち上がり、さまざまな場所で飢餓、疫病、地震が起こるからです。

この一節は、国家間の紛争、飢餓、疫病、そして各地で地震がどのように起こるかについて語っています。

1. 苦難の時でも神は依然として支配しておられます。

2. 私たちは世界で何が起こっているかを心配するべきではなく、神に信頼を置くべきです。

1. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 46:1-3 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。ですから、たとえ地が崩れ、山々が海の中心に落ちても、その水がたとえ流れても、私たちは恐れることはありません」轟音と泡が立ち上り、山々はその高波で震える。」

マタイ 24:8 これらすべては悲しみの始まりです。

イエスは、世の終わりまでに多くの困難な時期が来ると警告しています。

1.「終末の悲しみ：私たちに対するイエスの警告」

2. 「イエスの言葉の力: 来るべきことに備える」

1. イザヤ書 61:1-2 - 「主権者である主の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良いたよりを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。神は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚人を暗闇から解放するために私を遣わしたのです。」

2. ローマ人への手紙 8:18-19 - 「私たちの今の苦しみは、将来私たちの内に現れる栄光に比べれば価値がないと思います。被造物は神の子たちが現れるのを熱心に待っているからです。」

マタイ 24:9 そのとき、彼らはあなたがたを引き渡して苦しめ、そしてあなたを殺すであろう。そしてあなたがたは、わたしの名のためにすべての国々から憎まれるであろう。

イエスに従う者たちはイエスの名のために迫害され、殺されるでしょう。

1. イエスは私たちに、迫害に直面しても忠実であるよう呼びかけています。

2. イエスの御名の力は擁護する価値があります。

1. ヨハネ 15:18-20 - 「もし世があなたを憎んでいるなら、まず世がわたしを憎んだことを心に留めておいてください。もしあなたが世に属しているなら、世はあなたを自分のものとして愛するでしょう。現状では、あなたは世に属していません。」「世ではありますが、わたしはあなたを世から選びました。それが世があなたを憎む理由です。私があなたに言ったことを思い出してください。『召使いは主人より偉いわけではない』。」彼らが私を迫害したなら、あなたも迫害するでしょう。」

2. ペテロ第一 4:12-13 - 「親愛なる友人たち、あなたを試すためにあなたに降りかかる激しい試練に驚かないでください。まるで何か奇妙なことがあなたに起こったかのように。しかし、あなたが苦しみに加わっている限り、喜びなさい。」キリストよ、その栄光が現されるとき、あなたがたも大いに喜ぶように。」

マタイ 24:10 そのとき、多くの人が腹を立て、互いに裏切り、憎み合うでしょう。

多くの人は気分を害し、互いに敵対し、憎しみにつながるでしょう。

1. 「隣人を愛せよ: 他人を傷つける危険性」

2. 「裏切りの代償：マタイ 24:10 の考察」

1. ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. コリント第一 13:4-7 - 「愛は忍耐強く、親切です。愛はねたんだり自慢したりしません。傲慢でも無礼でもありません。自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりしません。「悪事を喜ぶが、真実を喜ぶ。愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。」

マタイ 24:11 そして、多くの偽預言者が立ち上がり、多くの人を欺くでしょう。

多くの偽預言者が偽りの教えを広め、多くの人々を迷わせるでしょう。

1. 偽預言者に気をつけなさい - ガラテヤ 1:6-9

2. すべてをテストする - テサロニケ人への第一の手紙 5:21-22

1. エレミヤ14:14。23:25-32

2. ペテロ第二 2:1-3;黙示録 19:20

マタイ 24:12 そして、不法がはびこるから、多くの人の愛は冷めるでしょう。

罪が増えると愛が薄れてしまいます。

1: 私たちは罪の誘惑と闘い、代わりに人生の中で愛を育まなければなりません。

2: 私たちは信仰において常に用心深くなければならず、罪に圧倒されないようにしてください。

1: ローマ人への手紙 12:9-10 - 愛は誠実でなければなりません。悪を憎む。良いものにしがみつく。

2: 1 ヨハネ 4:7-8 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。

マタイ 24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

この聖句は、救われるためには忍耐が重要であることを強調しています。

1: 困難な時代に強く立つ - 逆境に直面した忍耐力の重要性に焦点を当てる

2: 聖徒たちの不朽の信仰 - 忠実さの報いを強調する

1: ヘブライ 10:35-36 - 「ですから、自信を捨ててはいけません。その自信には大きな報いがあるからです。神のご意志を行った後に約束を受けるためには、あなたには忍耐が必要だからです。」

2: ヤコブ 1:12 - 「試練を耐え忍ぶ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。」

マタイ 24:14 そして、御国のこの福音は、すべての国民への証しとして、全世界に宣べ伝えられるでしょう。そして終わりが来るだろう。

この箇所は、神の言葉を宣べ伝えることの重要性と、それがどのようにして時の終わりを告げるかについて語っています。

1. 説教の力: 神の言葉がどのように私たちを団結させ、永遠に備えさせるのか

2. 大使命：神のメッセージをどのように分かち合い、終わりの到来を近づけるか

1. 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなたたちはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。

2. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

マタイ 24:15 したがって、預言者ダニエルが語った荒廃という憎むべきものが聖所に立つのをあなたがたが見るとき、（これを読む者は、理解させなさい。）

イエスは追随者たちに、預言者ダニエルが語った「忌まわしい荒廃」について警戒し、それに気づくように警告されました。

1. 忌まわしい荒廃: それが今日の私たちにとって何を意味するか

2. 備えてください：マタイ 24 章のイエスの警告

1. ダニエル 9:27 - 「そして、彼は一週間の間、多くの者と契約を確認するであろう。そして週の半ばには、彼はいけにえと献金を中止させ、忌まわしい行為が蔓延するためにそれを荒廃させるだろう。それは成就するまでであり、定められたものは荒廃した者たちに注がれるであろう。」

2. テサロニケ人への第二の手紙 2:3 - 「いかなる手段によっても、人を欺いてはなりません。その日は来ないのです。まず堕落が起こり、その罪の人、滅びの子が明らかにされるのです。」

マタイ 24:16 それから、ユダヤにいる者たちは山に逃げなさい。

この一節は、ユダヤの人々に、危険なときには山に逃げるよう勧めています。

1. 私たちは危険が近づいたら逃げる準備をしなければなりません。

2. 私たちは安全を保つために神の警告に従わなければなりません。

1. 箴言 22:3 - 賢明な人は悪を予見し、身を隠すが、単純な人は通り過ぎて罰せられる。

2. 詩篇 91:14-16 - 彼は私に愛を注いだので、私は彼を救い出します。彼は私の名前を知っているので、私は彼を高く上げます。彼は私を呼びます、そして私は彼に答えます：私は困っているときに彼と一緒にいます。私は彼を救い出し、彼に敬意を表します。私は長生きして彼を満足させ、私の救いを示します。

マタイ 24:17 屋上にいる者は、家から物を持ち出すために降りてはいけません。

イエスは人々に、町から逃げるときは家に戻らないようにと指示されました。

1. 神は私たちにとって何が最善かを知っており、私たちを安全に保つために必要な保護を与えてくださいます。

2. 神への信仰は、私たちが神の指示に耳を傾けて従うときに報われます。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. マタイ 6:25-33 「だから、わたしはあなたたちに言います。何を食べるか、何を飲むか、自分の命のこと、何を着るか、自分の体のことを思い煩わないでください。命は食べ物以上のものではないでしょうか」「そして、衣服よりも体ですか？空の鳥を見てください。彼らは種を蒔くことも、刈り取ることも、納屋に集めることもありません。それでも、あなたがたの天の父は彼らに餌を与えます。あなたは彼らよりも価値があるのではありませんか？...」

マタイ 24:18 野にいる者も、衣服を取りに戻ってはなりません。

この聖句は、特に差し迫った危険に直面した場合に、急いで仕事を放棄しないよう警告しています。

1. 人生の短さを理解する: マタイ 24:18 についての考察。

2. 予期せぬ困難に備える: マタイ 24:18 の研究。

1. ルカ 14:28-30 - 「あなたがたのうち、塔を建てたいと思って、それを完成させるのに十分なお金があるかどうか、まず座って費用を計算しない人はいるでしょうか。さもなければ、基礎を築いたものの、まだ十分でないときです。」完成できたが、それを見た人は皆、『この人は作り始めたのに完成できなかった』と言って彼を嘲笑し始める。」

2. ヘブライ 10:35-36 - 「ですから、大きな報いがある自信を捨ててはなりません。神の御心を行ったときに約束のものを受け取るためには、あなたには忍耐が必要だからです。」

マタイ 24:19 また、子を持つ者たちと、その時代に乳を飲む者たちには災いがある。

マタイ 24章19節でイエスは，終末期に妊婦や授乳中の母親に降りかかる困難について警告しています。

1. 「最も困難な時代: 終末期の妊娠中および授乳中の母親」

2. 「イエスの警告: 母親にとっての耐え難い困難」

1. イザヤ書 40:11 - 「彼は羊飼いのように羊の群れを飼い、小羊を腕に集め、胸に抱き、子連れの子たちを優しく導く。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:3 - 「というのは、彼らが『平和だ、安全だ』と言うとき、子供を抱えた女性が苦難を受けるように、突然の滅びが彼らに襲いかかり、彼らは逃れることはできないからです。」

マタイ 24:20 ただし、逃げるのが冬でもなく、安息日でもないように祈ってください。

この一節は、安息日や冬には逃げないように警告しています。

1: 私たちの信仰は、私たちに備えをするよう求めますが、同時に神に対する義務にも留意するよう求めます。

2: 人生の失望によって神の戒めを忘れてはいけません。

1: 申命記 5:12-15 - 安息日を尊重し、それを神聖に保ちなさい。

2: イザヤ書 40:31 - 主を待ち望む者は力を新たにします。

マタイ 24:21 そのとき、世の初めから今に至るまでなかったような、いや、これからも決してないような大艱難が起こるからです。

大患難とは、イエスが再臨される前に起こる激しい苦しみの期間のことです。

1: 神は私たちを支配しており、私たちを大患難を通して導いてくださいます。

2: 私たちは大患難の中でも神を信頼し、神に忠実であり続けなければなりません。

1: ローマ 8:31-39 - 私たちを神の愛から引き離すものは何もありません。

2: イザヤ書 41:10 - 恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

マタイ 24:22 そして、その日が短縮されなければ、肉は救われるべきではありません。しかし、選ばれた者たちのために、その日は短縮されるでしょう。

神は選ばれた者たちのために艱難の日々を短縮してくださるでしょう。

1. 神の選民への愛: 困難な時代に神の憐れみがどのように民を守るか

2. 神の保護の約束: 神の備えがどのように私たちを苦難から救ってくれるのか

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. イザヤ書 54:17 - あなたに対して作られた武器は成功しません。そして、裁きにおいてあなたに対して立ち上がるすべての舌を、あなたは非難するであろう。これは主の僕たちの遺産であり、彼らの義はわたしのものである、と主は言われる。

マタイ 24:23 そのとき、誰かがあなたに、「見よ、ここにキリストがいる、あるいはそこにいる」と言うとしたら、信じられない。

イエスは弟子たちに、たとえ特定の場所でメシアであると主張する人であっても、信じないようにとアドバイスしました。

1.「偽預言者に気をつけなさい」

2. 「虚偽の主張を信じることの危険性」

1. エレミヤ 29:8-9 「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。あなたの中にいるあなたの預言者や占い師たちがあなたを欺いてはならない。また、あなたがたが抱く夢に耳を傾けてはならない。」彼らはわたしの名においてあなたたちに偽りの預言をしているからである、「わたしは彼らを遣わしたのではない、と主は言われる。」

2. ペテロ第二 2:1-3 「しかし、あなたがたの中にも偽教師がいるのと同じように、民の中にも偽預言者がいました。彼らは、ひそかに忌まわしい異端を持ち込み、自分たちを買い取ってくださった主を否定さえして、自分たちに罪をもたらすでしょう」急速な滅びだ。そして多くの人が彼らの邪悪なやり方に従うだろう。その理由で、真理の道は邪悪に語られるだろう。そして貪欲さによって、偽りの言葉で彼らはあなたを商品にするだろう。その裁きは今も長続きせず、彼らの判決は長引くことはない。地獄は眠りません。」

マタイ 24:24 というのは、偽キリストと偽預言者が現れて、大いなるしるしと不思議を示すからである。可能であれば、彼らはまさに選ばれた人々を欺くだろう。

偽教師や偽預言者は、可能であれば、選ばれた人々さえも欺くでしょう。

1. 偽教師と偽預言者を認識する

2. 偽りの教えに騙されないでください

1. マタイ 7:15-20 - 偽預言者に気をつけなさい

2. ヨハネ第一 4:1-6 - 霊が神から来たものであるかどうかをテストする

マタイ 24:25 見よ、前にも言いました。

イエスは弟子たちに、神の国の到来に備えて用心するように警告されました。

1. 知っておいてください: イエスは神の王国の到来に備えるよう私たちに勧めています

2. イエスの警告に従うことの重要性

1. テサロニケ人への第一の手紙 5:2-4 - あなたがたは、主の日が夜の盗人のように来ることをよく知っているからです。

2. コリント人への第一の手紙 16:13 - 目を覚まして、信仰にしっかりと立ち、人間らしく行動し、強くありなさい。

マタイ 24:26 ですから、もし彼らがあなたがたに、「見よ、彼は砂漠にいる」と言ったとしたら、彼は砂漠にいるでしょう。出てはいけない。見よ、彼は秘密の部屋にいる。信じられない。

この聖句は、偽預言者を信じず、代わりに神の言葉を信頼するように警告しています。

1. 嘘を信じないでください: 神の言葉を信頼する

2. 偽預言者: 今日の世界における識別力

1. テモテ第二 3:16-17 「聖書はすべて神によって吹き出されたものであり、教え、戒め、矯正し、義を訓練するのに有益です。それは、神の人が完全でありあらゆる良い行いをする備えが備わっているためです。」

2. イザヤ書 8:20 「教えとあかしについて！もし彼らがこの言葉に従って語らないとしたら、それは彼らに夜明けがないからだ。」

マタイ 24:27 稲妻が東から出て西にまで輝くように、人の子の到来も同様である。

人の子の到来は稲妻のようであり、すべての人に見えるでしょう。

1. 世の光: 人の子の到来について

2. イエスが来られる: 希望と救いについて

1. 使徒 1:11: 「あなたがたから天に上げられたこの同じイエスは、あなたがたが天に入るのを見たのと同じように来られます。」

2. イザヤ書 9:2: 「暗闇の中を歩いていた民は大いなる光を見た。死の影の国に住む民はその上に光を照らした。」

マタイ 24:28 死骸があるところには、必ず鷲が集まるからです。

この聖句は、死と滅びがその出来事に注目を集めるというイエスの言葉を反映しています。

1: 鷲の集まりは死と破壊を象徴しており、私たちに人生のはかなさを熟考させるはずです。

2: 鷲の集まりは、備えのない者には死と滅びが訪れるというイエスの警告を思い出させます。

1: 詩篇 34:18 - 主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救ってくださいます。

2: ヤコブ 4:14 - 明日何が起こるかわかりません。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。

マタイ 24:29 その時代の艱難の直後、太陽は暗くなり、月は光を与えず、星は天から落ち、天の力は揺るがされるでしょう。

イエスは、患難の時代が終わると、太陽は暗くなり、月は光を与えなくなり、星が空から落ち、天の力が揺るがされるだろうと予言されました。

1. 人生の困難に備える方法 - マタイ 24:29

2. 困難な時に神の守りに頼る - マタイ 24:29

1. イザヤ書 13:10 - 天の星とその星座は光を発しないからです。太陽は出て行くと暗くなり、月はその光を輝かせません。

2. ヘブライ人への手紙 12:26-27 - そのとき、その声は地を震わせました。しかし今、彼はこう約束されました、「それでももう一度、わたしは地だけでなく天も震わせます。」そして、この言葉は、もう一度、揺るぎないものを残すために、作られたものと同じように揺さぶられるものを取り除くことを意味します。

マタイ 24:30 そのとき、人の子のしるしが天に現れるでしょう。そのとき、地上のすべての部族は悲しみ、人の子が力と大いなる栄光をもって天の雲に乗って来るのを見るでしょう。

イエスの再臨は、人の子が天に現れ、イエスが雲に乗って来るというしるしを伴う輝かしい出来事となるでしょう。

1. イエスの再臨の威厳

2. 王の帰還に備える

1. 黙示録 1:7 - 見よ、彼は雲に乗って来る。そしてすべての目は彼を見るだろう、そして彼を刺した者たちもまた彼を見るだろう：そして地球上のすべての同族は彼のために嘆くだろう。

2. ゼカリヤ 14:5 - そして、あなたは山の谷に逃げなければなりません。山の谷はアザルに達するからです。そうです、あなたがたは、ウジヤ王の時代に地震の前から逃げたように、逃げなければなりません。ユダ：そうすれば、私の神、主が来られ、すべての聖徒たちもあなたとともに来られるであろう。

マタイ 24:31 そして、神はラッパの音を響かせて天使たちを遣わし、彼らは天の端から端まで、四方から選ばれた者たちを集めるであろう。

イエスはラッパの音を響かせながら天使たちを送り、地の四隅から選ばれた人々を集めます。

1: ラッパが鳴り響き、イエスの再臨とその民の集合を告げる。

2: どんなに遠くに離れていても、私たちは皆、イエスと再会します。

1: 1 テサロニケ 4:16-17 - というのは、主ご自身が、命令の叫びと、大天使の声と、神のラッパの音とともに天から降って来るからです。そして、キリストにある死者が最初によみがえります。

2: 黙示録 11:15 - そのとき、第 7 の天使がラッパを吹くと、天に大きな声が聞こえてこう言いました。」

マタイ 24:32 さて、いちじくの木のたとえを学びましょう。彼の枝がまだ柔らかく、葉が出てくると、夏が近づいていることがわかります。

イチジクの木のたとえ: 枝が柔らかくなり、葉が現れる夏が近づいています。

1. 新しい季節の希望

2. 変化への準備

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ガラテヤ 6:9 - 善行に疲れないようにしましょう。気を失わなければ、しかるべき季節が来れば刈り取ることができるからです。

マタイ 24:33 同じように、あなたがたは、これらすべてのものを見るとき、それが戸口にさえ近づいていることを知ります。

イエスは私たちに、彼の到来の兆候を認識し、それに備えるようにと言われます。

1.「備えよ、主の到来のしるし」

2. 「主の差し迫った存在: 主が近くにおられることを知る」

1. ルカ 21:28 - 「さて、これらのことが起こり始めたら、背筋を伸ばして頭を上げなさい。あなたの救いは近づいているからです。」

2. マタイ 24:44 - 「ですから、あなたがたも備えていなければなりません。人の子はあなたが予期しない時に来るからです。」

マタイ 24:34 はっきり言っておきますが、これらのことがすべて成就するまでは、この世代は過ぎ去ることはありません。

この一節は、預言されたすべての出来事が今の世代に起こると述べています。

1. 神の言葉は真実です: 私たちは神の約束を信頼できます

2. 預言された出来事に照らして生きる: 今すぐ行動を起こす

1. イザヤ書 40:8: 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に立つ。」

2. エペソ人への手紙 1:13-14: 「あなたがたも、真理の言葉、救いの福音を聞いて、この方を信じたとき、約束の聖霊によって証印を押されました。聖霊は、私たちの相続財産の保証です。彼の栄光を称賛するために、私たちはそれを所有するのです。」

マタイ 24:35 天と地は滅びますが、わたしの言葉は滅びません。

この節は、たとえ他のすべてが失敗したとしても、神の言葉は揺るぎないものであると宣言しています。

1. 神の言葉は永遠です

2. 神の言葉の不変の性質

1. イザヤ書 40:8 - 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に残る。」

2. ペテロ第一 1:25 - 「しかし、主の言葉は永遠に残ります。そしてこの言葉はあなたに宣べ伝えられた良い知らせです。」

マタイ 24:36 しかし、その日とその時については誰も、いや、天の天使たちも知らず、わたしの父だけが知っています。

世界の終わりがいつ来るかは誰にもわかりません、神だけが知っています。

1. 神のタイミングを信頼することの重要性。

2. 未知の日にどう備えるか。

1. エレミヤ 29:11 「わたしはあなたに対して持っている計画を知っている」と主は言われる、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画である。」

2. 詩篇 31:15 「私の時はあなたの御手の中にあります。」

マタイ 24:37 しかし、ノエの時代がそうであったように、人の子の到来もまたそうなるでしょう。

人の子の到来はノアの時代に似ています。

1: ノアの時代、世界は罪と邪悪で満ちていましたが、神はそれでもノアとその家族を通して救いの道と希望の約束を与えられました。

2: 私たちの周りの世界が悪と罪で満たされているように見えるときでも、私たちは神への信仰と信頼を常に忘れないようにしなければなりません。

1: 創世記 6:5-9 – 主は、地上で人類の邪悪がどれほど大きくなったのか、また人間の心のあらゆる思考傾向が常に悪でしかないことをご覧になりました。

2: ローマ 5:12-14 – したがって、一人の人を通して罪が世界に入り、罪を通して死が入り込んだのと同じように、このようにして死がすべての人にやって来ました。なぜなら、すべての人が罪を犯したからです。

マタイ 24:38 洪水前の日々と同じように、ノエが箱舟に入るその日まで、彼らは食べたり飲んだり、結婚したり結婚したりしていました。

洪水前の数日間、人々は差し迫った判決など気にせずに日常生活を送っていた。

1: 私たちの人生は儚いものです。いつでも裁かれる可能性があるので、私たちは常に裁きに備えなければなりません。

2: 神が私たちに与えてくださった命を当然のものだと思ってはなりません。それは一瞬で奪われる可能性があるからです。

1: 創世記 6:5-8 - 神は、地上では人間の邪悪がはびこっており、人間の心の思いを想像することはすべて、絶えず悪でしかないことをご覧になりました。

2: 1 ペテロ 3:20 - かつてノアの時代に神の辛抱強さが待っていたとき、彼らは箱舟が準備であり、そこでは少数の、つまり 8人の魂が水によって救われました。

マタイ 24:39 そして、洪水が来て、彼ら全員を連れ去ってしまうまで、知りませんでした。人の子の到来も同様である。

人の子の到来は洪水のように突然、予期せぬものとなるでしょう。

1: 主の再臨に備える

2: キリストの再臨に備える

1: ルカ 12:35-40 - 主の来臨に備えよ

2: テサロニケ人への第一の手紙 5:1-11 - 主の再臨に備えて警戒しなさい

マタイ 24:40 そのとき、二人が野原にいるであろう。片方は取られ、もう片方は残される。

2人が野原で引き離され、1人は連れて行かれ、もう1人は残されます。

1. 神の裁きは公平であり、誰もそれを逃れることはできません。

2. 神の裁きに備えることが不可欠です。

1. コリント人への手紙第二 5:10 −なぜなら、私たちは皆、善であれ悪であれ、自分の行いに応じて、体で行われたことを受け取るために、キリストの裁きの座の前に出なければならないからです。

2. ローマ人への手紙 14:12 - それで、私たちはそれぞれ、神に対して自分自身の説明をしなければなりません。

マタイ 24:41 二人の女が水車小屋で粉をひくであろう。片方は取られ、もう片方は残される。

二人が同じことをしているのに、一人は取られ、もう一人は取り残されてしまいます。

1. 主の到来に備えることの大切さ。

2. 私たちはそれぞれ主の到来に備える必要があります。

1. テサロニケ人への第一の手紙 5:2-4 −なぜなら、主の日が夜の泥棒のように来ることを、あなたがた自身がよく知っているからです。「平和だ、安全だ」と言っている間に、妊婦の陣痛とともに突然破滅が襲いかかり、逃れることはできません。

2. ルカ 21:34-36 - 「しかし、気を引き締めて、散逸と酩酊とこの世の心配事で心が重くのしかかり、その日が突然罠のようにあなた方に襲いかかることのないように。なぜなら、それは全地の表面に住むすべての者に降りかかるからである。しかし常に目を覚ましていて、これから起こるこれらすべての出来事を逃れ、人の子の御前に立つ力を得ることができるように祈りなさい。」

マタイ 24:42 だから気をつけなさい。あなたがたは、あなたの主が何時に来られるか知らないからだ。

イエスは、イエスがいつ来られるかわからないので、私たちが常に警戒し、イエスの到来に気をつけるべきであると教えています。

1. 「見張って待ってください：主の到来に備えてください」

2. 「用心しなさい：イエスの再臨を見逃すな」

1. ヘブライ人への手紙 9:28 - 「このように、キリストは多くの人の罪を負うために一度だけささげられたのです。キリストを待ち望む人々に、罪とは別に、救いのために二度目に現れます。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:2-4 - 「主の日が夜中に盗人のように来ることは、あなたたち自身がよく知っています。というのは、彼らが「平和だ、安全だ」と言うときだからです。そのとき、妊婦に陣痛がかかるように、突然の滅びが彼らに降りかかります。そして彼らは逃れることはできません。」

マタイ 24:43 しかし、このことを知っておいてください。もし家の主人が、いつ盗人が来るかを知っていたら、見張っていて、家が取り壊されることはなかったでしょう。

家の番人は、いつ泥棒が来るかを知っていたら備えていただろう。

1. 予期せぬ事態に備えてください - マタイ 24:43

2. 気づかずに捕らえられてはなりません - マタイ 24:43

1. 箴言 22:3 - 賢明な人は悪を予見し、身を隠すが、単純な人は通り過ぎて罰せられる。

2. ペテロ第一 5:8 - 身を慎み、用心深くありなさい。それは、あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、誰を食い尽くすべきかを求めて歩き回っているからである。

マタイ 24:44 ですから、あなたがたも備えをしなさい。あなたがたが思っているような時間に、人の子は来ないからです。

人の子は予期せぬ時にやって来ますので、備えをしておいてください。

1. 「備えをしなさい：人の子の予期せぬ帰還に備える」

2. 「備えをしておこう：人の子の帰還を期待して生きる」

1. テサロニケ人への手紙第一 5:2-4 「あなたがた自身、主の日が夜の盗人のように来ることをよく知っています。人々が「平和で安全だ」と言っている間に、突然滅びがやって来ます。妊婦が陣痛に襲われるように、彼らは逃げられない。しかし、兄弟たち、あなたがたはその日、泥棒のように驚かされるために暗闇の中にいるわけではない。

2. ヤコブ 5:7-8 - ですから、兄弟たち、主が来られるまで辛抱してください。農夫が、早い雨と遅い雨が降るまで、大地の貴重な実りを辛抱強く待っている様子を見てください。あなたも、我慢してください。主の来臨が近づいているので、心をしっかり立てなさい。

マタイ 24:45 それでは、主が適期に肉を与えるために家族の統治者に任命した、忠実で賢い僕とは誰でしょうか。

この聖句は、主の忠実で賢明な僕であることの重要性を強調しています。

1. 「忠実で賢明な僕たちへの呼びかけ」

2.「神の僕としての責任を果たす」

1. 箴言 2:6-9 - 主は知恵を与えてくださるからです。その口からは知識と理解力が生まれます。神は義人のために健全な知恵を蓄えます。彼は正しく歩む者たちにとっては屈服者です。彼は裁きの道を守り、聖徒たちの道を守ります。そうすれば、あなたは正義と裁きと公平を理解するでしょう。そう、どれも良い道だ。

2. ヤコブ 1:5-8 - もしあなたがたのうちに知恵のない人がいるなら、その人は神に求めてください。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。しかし、何も揺るがず、信仰をもって尋ねてみましょう。なぜなら、揺れ動く者は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからである。その人は、主から何かを受け取るだろうと考えてはなりません。二心のある人はあらゆる点で不安定です。

マタイ 24:46 そのしもべは幸いである、彼の主が来たときにそのようにしているのを見つけるであろう。

イエスは追随者たちに、主が再臨されるときに報われるので、忠実に勤勉に奉仕を続けるよう勧めています。

1. 主が再臨されるまで忠実でありなさい

2. 忠実な奉仕の報いを得る

1. 箴言 13:4 - 怠け者の魂は何も求めても何も得られませんが、勤勉な者の魂は豊かに与えられます。

2. コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人のためではなく主のために、心から働きなさい。報酬として主から相続財産を受け取れることを知ってください。あなたは主キリストに仕えています。

マタイ 24:47 まことにあなたがたに言いますが、彼は彼を自分のすべての財産の支配者とするでしょう。

この一節は、忠実な僕が主人のすべての財産を統治するよう任命されたことについて語っています。

1: 私たちが神のすべての財産の支配者となるとき、私たちの忠実さは報われるでしょう。

2: 私たちは神に忠実であり続け、神の意志に従順でなければなりません。そうすることでより大きな報いが得られるからです。

1: ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る人は誰でも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。

2: コロサイ 3:23 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。

マタイ 24:48 しかし、もしあの邪悪な僕が心の中でこう言うとしたら、主よ、彼の到着を遅らせます。

この箇所は、イエスの帰還を待つ際の自己満足や信仰の欠如に対して警告しています。

1: 主の来臨に備えて目を覚ましていなさい。

2: 主はご自身の時に来られると信じてください。

1: ルカ 12:35-40 「主人が帰ってくるときに目覚めているのを見つけた僕たちは幸いです。」

2: 1 ペテロ 4:7 - 「すべてのことの終わりが近づいています。ですから、祈ることができるように、目を覚まし、冷静な心を持ちなさい。」

マタイ 24:49 そして、彼の仲間の僕たちを殺し、酔った者たちと一緒に飲食し始めるだろう。

この一節は、誰かが仲間の使用人を虐待し始めたり、酒に酔ったりし始めたことについて語っています。

1: 利己的になったり他人を虐待したりせず、すべての人に優しさと愛を示しましょう。

2: 私たちは酩酊することは罪であり、神に不快なことであるため、行ってはなりません。

1: エペソ人への手紙 4:31-32 「すべての苦い思い、怒り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともに、あなたがたから遠ざけましょう。互いに親切にし、心を優しくし、キリストにあって神があなたがたを赦してくださったように、互いに許し合いなさい」。」

2: 箴言 20:1 - 「ぶどう酒はあざける者、強い酒は喧嘩屋、それに惑わされる者は賢くない。」

マタイ 24:50 そのしもべの主は、自分を顧みない日のうちに、また自分の気づかないうちに来るであろう。

主は予期せぬ時に来られます。

1: 主の再臨に常に備えるようにしてください。

2: 主がいつ来られるかわからないからといって、自分の信仰に満足してはいけません。

1: ルカ 12:35-40 - イエスは追随者たちに、ご自分の帰還に備えて気を引き締めるよう励ましています。

2: 1 テサロニケ 5:2-4 - パウロは教会に、目を覚まして慎み深くなり、暗闇の中で生きないよう勧めています。

マタイ 24:51 そして彼をばらばらに切り裂き、偽善者たちとの分け前に任命するであろう。泣き叫んで歯ぎしりするであろう。

イエスは、忠実でないと生じる結果について警告しています。その結果には、神から引き離され、偽善者たちと分け前を分け合うことになり、偽善者たちは泣き叫んだり歯ぎしりする経験をすることになります。

1. イエスの警告: 最後の審判への備え

2. 忠実であるか、結果に直面するか：泣き叫ぶことと歯ぎしり

1. 詩篇 35:13 – しかし、私に関して言えば、彼らが病気だったとき、私の服装は荒布でした。私は断食して自分の魂を謙虚にしました。そして私の祈りは私の懐に戻ってきました。

2. マタイ 25:41 – それから彼は左側の彼らにも言うだろう、「呪われた者たちよ、わたしから離れて永遠の火に入れ、悪魔とその天使たちに備えよ。」

マタイ 25 章には 10 人の処女とタラントのたとえが含まれており、諸国の裁きで終わります。

第 1 段落: この章は 10 人の処女のたとえ話で始まります (マタイ 25:1-13)。このたとえ話では、10 人の処女がランプを持って花婿に会いに行きます。 5 人は賢明で余分な石油を持ってきますが、5 人は愚かでありません。花婿が遅れると、みんな眠ってしまいます。真夜中に「花婿だ！」という叫び声が響きわたります。彼に会いに来てください！処女は皆起きてランプを整えますが、愚かな者は油がなくなっています。賢い者に分けてもらいますが、賢い者は私たち二人には足りないかもしれないと言って拒否します。彼らが石油を買いに行く途中、花婿が到着しました。準備ができていた人々は彼と一緒に結婚披露宴へ行きましたが、ドアは閉められていました。その後、他の人たちもやって来て、「主よ、主よ、私たちのためにドアを開けてください！」と言いました。しかし彼は「本当のところ、私はあなたのことを知りません」と答えました。そこでイエスは、日も時も分からないので、いつでも備えていなさいと警告しています。

第 2 段落: この後に才能のたとえが続きます (マタイ 25:14-30)。旅に出る人は、能力に応じて自分の財産を召使いたちに、15タラント、2タラント、 1タラントずつ能力に応じて預けます。最初の 2 つはさらに多くの利益を投資しますが、3 つ目は彼の才能を埋もれ、恐怖のマスターを打ち消します。主人が戻ってくると、最初の二人の召使いには賞賛を送りますが、三番目の召使いは率先力の欠如で失敗し、与えられたものを効果的に使えば「持っている者にはもっと与えられるし、豊かになるだろう、持っていない者は持っているものさえ取り上げられるだろう」と非難します。彼らからは。」

第 3 段落: 最後にイエスは裁きの諸国民について説明します (マタイ 25:31-46) そこでは、御子人間が栄光のうちに来られ、その栄光の玉座に座ります。神の前に集まった諸国民は、羊飼いが羊とヤギを分けるように、人々を一人一人分離し、羊を右のヤギの上に乗せます。彼の左。それから主は、主の権利を持つ者たちに、基礎世界から彼らのために用意された王国を受け継ぎなさいと招きます。なぜなら、主がお腹が空いていたとき、のどが渇いたとき、裸の見知らぬ人、刑務所で病気になったとき、彼らは主に食べ物を与え、飲み物を与え、服を着て主を歓迎し、主を訪ねる世話をしてくれたのに対し、主の左の人々はこれらのことをしなかったので、彼らは彼らを招待しました。永遠の刑罰は去り、正義の永遠の命は、私たちがキリストご自身を気遣うかのように、私たちの中で最も小さなことを気遣うことの重要性を示しています。

マタイ 25:1 そのとき、天の御国は、ともしびを持って花婿を迎えるために出て行った十人の乙女にたとえられるでしょう。

マタイ 25 章 1 節で、イエスは天の王国を、ともしびを持って花婿を迎えた 10 人の処女に例えています。

1. 準備の重要性: 10 人の処女のたとえ話がキリストの再臨に備えるよう私たちをどのように励ますか

2. 賢者と愚か者: 10 人の処女のさまざまな結果の考察

1. ペテロ第二 3:14 - 「ですから、愛する人よ、あなたはこれらの人々を待っているのですから、しみも傷もなく、平安のうちに神に見つけられるよう、熱心に努めなさい。」

2. ピリピ 4:5 - 「あなたの道理をすべての人に知らせてください。主はすぐそばにおられます。」

マタイ 25:2 そして、そのうち五人は賢い人で、五人は愚かでした。

10 人の処女のたとえ話は、キリストの再臨に備えることが賢明であることを教えています。

1. 準備を整えてください: キリストの再臨に備える

2. 賢明な生き方: 10 人の処女のたとえ話から得た教訓

1. ルカ 12:35-48 - 忠実な僕のたとえ

2. ローマ人への手紙 13:11-14 - 光の鎧を着なさい

マタイ 25:3 愚かな者たちはともしびを持ち出し、油も持ち歩かなかった。

愚か者たちはランプを持って行きましたが、旅の準備として油を持ってきませんでした。

1: 成功するために必要なものすべてを持って人生の旅に臨む準備ができていなければなりません。

2: 成功するために必要なリソースに留意し、それらを賢く利用する必要があります。

1: 箴言 16:9、「人の心は自分の道を考案するが、主はその歩みを導かれる。」

2: エペソ6:10-18、「最後に、主にあって、その力の強さによって強くなりなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。」

マタイ 25:4 しかし、賢い人たちは、ランプと一緒に器に油を入れました。

十人の処女のたとえに出てくる賢い乙女たちは、ランプと一緒に使うために、器に余分な油を入れていました。

1. 人生の予期せぬ課題に備えるための知恵

2. 人生の未知のことに備えておくことの利点

1. ヤコブ 4:13-15 さあ、「今日か明日、あんな町に行って一年過ごし、貿易をして儲けよう」と言っている人たちよ。 14 それでも、明日はどうなるかわからないのです。もたらします。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。15 そうではなく、「主が御心なら、私たちは生きてあれこれするつもりです。」と言うべきです。

2. 箴言 21:5 - 勤勉な人の計画は必ず豊かさをもたらしますが、性急な者はみな貧困に陥るだけです。

マタイ 25:5 花婿が遅れている間、皆はまどろんで眠っていました。

この一節は、ゲストの到着を待つ花婿の忍耐強さを強調しています。

1: 忍耐は美徳である - 箴言 16:32

2: 主を待ち望むことは祝福をもたらす - イザヤ書 40:31

1: ルカ 12:35-36 - 主の到来に備えなさい

2: ローマ人への手紙 12:12 - 希望を持って喜びなさい、苦難には耐えなさい

マタイ 25:6 そして真夜中に、「見よ、花婿が来る」という叫び声がした。彼に会いに出かけなさい。

真夜中に、花婿に会いに出かけるよう電話がかかります。

1. 花婿: 再臨の準備をする

2. イエスを迎える準備をする: 花婿に会う準備をする

1. イザヤ書 62:5 - 若者が処女と結婚するように、あなたの息子たちもあなたと結婚するでしょう。花婿が花嫁を喜ぶように、あなたの神もあなたのことを喜ぶでしょう。

2. 黙示録 19:7 - 私たちは喜び、喜び、彼に敬意を表しましょう。小羊の結婚が到来し、彼の妻は準備を整えているからです。

マタイ 25:7 そこで、おとめたちはみな立ち上がり、ともしびの火を整えた。

この一節は、賢い乙女と愚かな乙女のたとえ話について語っており、賢い乙女はランプに十分な油を用意していましたが、愚かな乙女はそうではありませんでした。

1. 賢明になり、神の言葉に投資することによって、将来に備える。

2. 時間をかけて神との関係を大切にし、信仰に熱心に取り組む。

1. 箴言 6:6-11 - 怠け者よ、アリのところに行け。そのやり方をよく考えて賢明になってください！

2. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、神に頼めばよい。神はすべての人に、あら探しをすることなく惜しみなく与えてくださる。そうすれば、知恵は与えられるであろう。

マタイ 25:8 愚かな者は賢い者に言った、「あなたの油をください。私たちに油をください。」私たちのランプが消えてしまったからです。

賢い乙女たちはランプ用の油を持っていましたが、愚かな乙女たちは持っていなかったので、賢い乙女に油の一部を求めました。

1: キリストは私たちに、ご自身の来臨に備えるよう呼びかけておられます。

2: 私たちは信仰に熱心に取り組み、予期せぬ事態に備えなければなりません。

1: マタイ 24:44、「ですから、あなたがたも備えていなければなりません。人の子はあなたがたが予期しない時に来るからです。」

2: 箴言 19:2、「知識のない欲望は良くない。足で急ぐ者は道を誤る。」

マタイ 25:9 しかし賢い人たちは答えて言った、「そうではない。私たちとあなたたちには十分なものがないので、むしろ売っているところに行き、自分たちで買ってください。

賢明な人は、リソースを共有するのではなく、自分用にもっと購入することを提案します。

1. 決断を下すときは神の知恵を信頼してください。

2. リソースを共有することによる影響に注意してください。

1. 伝道の書 11:2 - 「七人に、そうです、八人にでも分け与えなさい。どんな災難がこの地に起こるかわからないからです。」

2. 箴言 11:24 - 「人は惜しみなく与えても、ますます豊かになります。ある人は与えるべきものを差し控えて、ただ欠乏に苦しむだけだ。」

マタイ 25:10 彼らが買いに行っていると、花婿がやって来た。そして、準備ができていた人々は彼と一緒に結婚式に行きました。そして、ドアは閉められました。

五人の賢い乙女たちが油を買いに出かけている間に花婿がやって来たので、準備ができた者だけが結婚式に入ることができました。

1. 準備ができていること: 花婿の帰りの準備をする

2. 不測の事態に備える必要性

1. ローマ 13:11-14 - 主イエス・キリストを着て、肉の欲望を満たすために何も備えをしません。

2. 伝道者の書 9:10 - あなたがやりたいと思ったことは何でも、全力を尽くしてやりなさい。あなたが行く墓の中には、仕事も装置も知識も何もないからです。

マタイ 25:11 その後、他のおとめたちもやって来て、「主よ、主よ、私たちに心を開いてください」と言った。

10 人の処女のたとえは、私たちが主の再臨に向けて備えをし、注意深く見張らなければならないことを教えています。

1. 主の再臨に備えて準備を整えてください

2. 不確実性に直面したときの用心深さと用心深さ

1. マタイ24:42-44

2. ルカ12:35-40

マタイ 25:12 しかし彼は答えて言った、「はっきり言っておきますが、私はあなたのことを知りません。」

マタイ 25:12 のこの一節は、永遠の命を得るためにイエスを知ることの重要性を強調しています。

1. 「イエスを知ることの価値を認識する」

2. 「救い主を知ることの必要性」

1. ヨハネ 17:3、「そして、これが永遠の命です。それは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知るためです。」

2. ヨハネ第一 5:12、「御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。」

マタイ 25:13 ですから、あなたがたは人の子が来る日も時刻も知らないので、気をつけていてください。

目を覚まして主の到来に備えてください。

1: 主の再臨に備えて注意を払ってください。

2: イエスの再臨に備えて目を覚ましてください。

1: マタイ 24:36-44 - イエスが再臨される正確な日や時間を誰も知りません。ですから、私たちは常に警戒し、備えをしておかなければなりません。

2: ルカ 12:35-40 - イエスが再臨されるときに備えられるように、私たちは備えをし、霊的な武具を身に着けていなければなりません。

マタイ 25:14 天の御国は、遠い国に旅をする人が、自分の僕たちを呼んで、自分の持ち物を彼らに届けるようなものです。

タラントのたとえは、神の賜物を責任を持って生産的な方法で使用することの重要性を強調しています。

1: 私たちは神が与えてくださった賜物を神の王国の建設に役立てなければなりません。

2: 私たちは、他の人に祝福を与えるために神が私たちに与えてくださった賜物を忠実に管理しなければなりません。

1: コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人のためではなく主のために熱心に働きなさい。報酬として主から相続財産を受け取れることを知ってください。あなたは主キリストに仕えています。

2: 1 コリント 4:2 - さらに、管理人には忠実であることが求められます。

マタイ 25:15 そして、ある人には五タラント、別の者には二タラント、そしてまた別の者には一タラントを与えた。すべての人に、その能力に応じて。そしてすぐに旅に出た。

イエスは一人一人の能力に応じて才能を与えて、旅を続けます。

1. 神は私たちの能力に応じて賜物を託され、それを神の栄光のために使うよう呼びかけておられます。

2. タラントのたとえ話は、神を敬い、他の人を祝福するために自分の賜物を活用することを教えています。

1. ローマ人への手紙 12:6-8 - 私たちは与えられた恵みに応じてさまざまな賜物を持っており、それを共通の利益のために用いなければなりません。

2. ペテロ第一 4:10-11 - それぞれの人は、自分が受け取った賜物を何でも使って他の人に仕え、さまざまな形で神の恵みを忠実に執行しなければなりません。

マタイ 25:16 それから、五タラントを受け取った人は、行って、それを交換し、他の五タラントに変えた。

この箇所は、5 タラントを与えられ、それを使ってさらに 5 タラントを稼ぐことができた男の物語です。

1. 与えられたものを最大限に活用する

2.神の王国への投資

1. 箴言 13:11 - 急いで得た富は減りますが、少しずつ集める人はそれを増やします。

2. マタイ 6:20-21 - 自分のために宝を天に積みましょう。そこでは虫もさびも滅ぼさず、盗人が押し入って盗むこともありません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

マタイ 25:17 そして、同じように、二個得た者は、さらに二個も得たのです。

2タラントを与えられた人は、さらに2タラントを得ることができました。

1. 「投資の力」 – 人材への投資がどのようにして利益の倍増につながるのか。

2. 「神の寛大さ」 – 神は自分の持っているものに忠実な人々にどのように報い、その祝福を増やすか。

1. 箴言 22:29 - 「自分の仕事に熟練した人がいるのを見ますか。彼は王たちの前に立つだろう。彼は無名の人々の前には立たないだろう。」

2. エペソ人への手紙 4:28 - 「盗人はもう盗むのではなく、困っている人に何かを分け与えられるように、自分の手で正直に働きながら働かせなさい。」

マタイ 25:18 しかし、それを受け取った者は、行って土を掘り、主君のお金を隠した。

イエスが語られたたとえ話は、何かを与えられた人はそれを賢く責任を持って使用すべきであることを示しています。

1. 才能のたとえ: 自分の才能を責任を持って使用する

2. 神の王国への投資: 才能のたとえ話が教えてくれること

1. 箴言 3:9-10 - あなたの富とすべての産物の初穂をもって主を敬え

2. ルカ 16:10 - ほんの少しのことに忠実な人は、多くのことにも忠実です。

マタイ 25:19 長い時が経って、そのしもべたちの主が来て、彼らと勘定をする。

主人は召使たちにお金を預け、長い時間が経った後、彼らがそのお金で何をしたかの責任を問うために戻ってきます。

1. 主は見ておられる：才能の寓話における管理職

2. 備えをせよ：主の再臨に備える

1. マタイ 24:44-51 - したがって、あなたがたも備えをしておいてください。なぜなら、あなたがたが考えているような時間に、人の子は来ないからです。

2. ルカ 12:35-38 - 腰を締め、光を灯しなさい。そしてあなたがた自身も、主が結婚式から帰ってくるのを待つ人々のようなものである。

マタイ 25:20 そこで、五タラントを受け取った人が来て、さらに五タラントを持ってきて言った、「主よ、あなたは私に五タラントを差し入れてくださいました。見よ、私は彼らのほかにさらに五タラントも得ました」。

ある人に5タラントンが与えられ、最初の投資で利益を得て、さらに5タラントを持ち帰った。

1. 投資のたとえ: 神の資源の管理を学ぶ

2. 機会を最大限に活用する: 祝福を倍増の祝福に変える

1. 箴言 13:11 – 一攫千金計画で得た富はすぐに消えてしまいます。勤勉から得られる富は時間の経過とともに増加します。

2. コリント人への第一の手紙 4:2 - さて、信頼を与えられた人は忠実であることを証明することが求められています。

マタイ 25:21 彼の主は彼に言った、「よくやった、善良で忠実な僕よ。あなたはいくつかのことに忠実でしたが、私はあなたを多くのことに対して支配者にしてあげます。あなたは主の喜びの中に入れてください。」

この箇所は、イエス・キリストが忠実な僕を賞賛し、より大きな責任を与えて報いられたことについて書かれています。

1. 忠実さの報酬 - 神への忠誠心がどのようにより大きな祝福につながるか。

2. 奉仕の喜び - 神の意志を実現することから得られる幸福。

1. 1 コリント 15:58 - ですから、愛する兄弟たちよ、あなたがたはしっかりして、動かず、常に主の働きに精を出しなさい。あなたがたの労苦が主にあって無駄ではないことを知っているからです。

2. 詩篇 37:3-5 - 主を信頼し、善を行いなさい。そうすれば、あなたはその地に住み、確かに養われるであろう。あなたも主にあって喜びなさい。そうすれば彼はあなたの心の望みを叶えてくれるでしょう。あなたの道を主に委ねなさい。彼も信頼してください。そして彼はそれを実現させるだろう。

マタイ 25:22 また、二タラントを受け取った人も来て、こう言いました。「主よ、あなたは私に二タラントを与えてくださいました。見よ、私はそのほかに二タラントも得ました。」

2 つのタラントを持つ人は、さらに 2 つのタラントを獲得することで報われました。

1. 神は努力に報いてくださいます。

2. 王国への投資は利益をもたらします。

1. フィリピ 4:19 - 「そして私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたのあらゆる必要を満たしてくださいます。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

マタイ 25:23 彼の主君は彼に言った、「よくやった、善良な忠実な僕よ」。あなたはいくつかのことに忠実でしたが、私はあなたを多くのことの支配者にします。あなたは主の喜びの中に入れてください。

この箇所は、忠実な僕がその勤勉な働きに対して報われることについて書かれています。

1.「忠実な奉仕に対する報酬」

2.「神の祝福の喜び」

1. コロサイ 3:23-24 - 「何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

2. ヤコブ 1:12 - 「試練を耐え忍ぶ人は幸いです。その人は試練に耐えた後、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。」

マタイ 25:24 そのとき、一タラントを受け取った人が来て言った、「主よ、あなたが大変な人で、蒔いていないところで刈り取り、わらも蒔いていないところで集めているのは知っていました。

1タラントの人が主のところに来て、主のご性質について不平を言い、自分は蒔いていないところから刈り取ると主張します。

1. 神の性質 - 神の恵みと憐れみを認識する

2. 才能ある人生の力 - 自分が持っているものを最大限に活用する

1. 詩篇 145:8-9 - 主は慈しみ深く慈悲深く、怒るのが遅く、揺るぎない愛に溢れています。

2. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟たち、信仰はあるが行ないをする人がいるとしたら、それが何の役に立つでしょうか。その信仰が彼を救うことができるでしょうか？兄弟や姉妹が粗末な着衣を着ており、毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたのどちらかが彼らに、体に必要なものを与えずに、「安らかに行きなさい。体を温めてお腹を満たしなさい」と言ったら、それが何の役に立つでしょうか。

マタイ 25:25 それで、私は恐れて、行ってあなたの才能を地に隠しました。見よ、あなたはそこにあなたのものを持っています。

人は恐れを抱き、自分の才能を使わずに土に埋めてしまいます。

1.「恐怖の危険性: 恐怖を克服して神から与えられた才能を活用する」

2. 「神の栄光を現すために私たちの賜物を活用する」

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

マタイ 25:26 彼の主人は答えて彼に言った、「あなたは邪悪で怠惰な僕よ、あなたは私が種を蒔かなかったところから刈り取り、わらを刈らなかったところから集めることを知っていました。

ある主人は、仕事をしない怠惰な使用人を叱り、仕事をする機会は十分にあると指摘しました。

1. クリスチャン生活における怠惰の危険性

2. 勤勉による祝福の約束

1. 箴言 12:24 - 勤勉な手は支配するが、怠惰は強制労働に終わる。

2. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

マタイ 25:27 ですから、あなたは私のお金を両替業者に預け、私が来るときに高利貸しで私のお金を受け取るべきでした。

この一節は、事前の計画と賢明な投資の重要性を教えています。

1. 王国への投資: 賢明な計画の利点

2. お金を働かせる: 才能のたとえ話から学べること

1. 箴言 13:11 - 不正なお金は減っていきますが、少しずつお金を集める人はそれを増やします。

2. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

マタイ 25:28 だから、その人からその一タラントを取り上げ、十タラントを持つ者に与えなさい。

タラントのたとえ話は、神が私たちに与えられた賜物や才能をうまく活用することを期待していることを教えています。

1: 神は私たちにすべての賜物と才能を与えてくれたものであり、それらを賢く、能力の限り活用することが私たちの責任です。

2: 私たちは神に敬意を表し、他の人に仕えるために神から与えられた賜物と才能を活用すべきです。

1: エペソ人への手紙 4:7-8 - しかし、キリストが割り当ててくださったように、私たち一人一人に恵みが与えられています。それで，「彼は高い所に昇られたとき，捕虜を列車に乗せて人々に贈り物を与えた」と書かれています。

2: 1 ペテロ 4:10 - 人はそれぞれ、自分が受けた賜物を何でも使って他の人に仕え、さまざまな形で神の恵みを忠実に執行しなければなりません。

マタイ 25:29 というのは、持っている者はみな与えられ、豊かに持つことになるが、持っていない者は持っているものさえ取り上げられるからである。

持っている人にはさらに与えられるが、何も持っていない人にはそれさえも奪われてしまう。

1: 神は私たちがすでに持っているものに対してさらに祝福してくださるので、私たちは自分が持っているものに感謝すべきです。

2: 神は彼らのわずかしか持っていないものを取り上げてしまうかもしれないので、私たちは自分の持っているものをより少ないものを持っている人々と分かち合うべきです。

1: ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。

2: 箴言 19:17 - 貧しい者を憐れむ者は主に貸します。そして彼が与えたものを彼は再び彼に支払うでしょう。

マタイ 25:30 そして、あなたがたは無益な僕を外の暗闇に投げ捨てなさい。そこには泣き叫び、歯ぎしりがあるでしょう。

利益のない僕は外の暗闇に放り出され、そこで泣き叫んで歯ぎしりすることになるだろう。

1. 「私たちの行動の結果: 不利益な使用人が刈り取るもの」

2.「無益な召使いに対する神の裁き」

1. 箴言 6:1-5 - わが子よ、もしあなたがあなたの友人の保証人であるなら、もしあなたが見知らぬ人で手を打ったなら、あなたはあなたの口の言葉で罠にかか

り、あなたはあなたの口の言葉で捕らわれます。息子よ、今これを実行し、あなたが友人の手に渡ったとき、あなた自身を救ってください。行って、謙虚になって、あなたの友人を確認してください。あなたの目に眠らないように、またあなたのまぶたにも眠らないでください。狩人の手からは卵として、鳥の手からは鳥として、汝自身を救い出しなさい。

2. 箴言 21:13 - 貧しい人の叫びに耳を止める者は、自分も叫びますが、聞こえません。

マタイ 25:31 人の子がすべての聖なる天使たちとともに栄光のうちに来るとき、彼は栄光の王座に座るであろう。

イエスは聖なる天使たちを伴って栄光のうちに再び来られ、栄光の玉座に着座されます。

1. キリストの栄光ある再臨

2. 天の威厳: キリストの再臨に備える

1. 黙示録 22:12 - 「見よ、わたしはすぐに来る。わたしの報酬はわたしとともにある、すべての人にその働きに応じて与えることである。」

2. 詩篇 96:13 - 「主のみ前に。主は来られる、地を裁くために来るからである。主は義をもって世を裁き、その真理をもって民を裁かれるであろう。」

マタイ 25:32 そして、すべての国民が彼の前に集められ、羊飼いが自分の羊を山羊から分けるように、彼は彼らを互いに分けるであろう。

この箇所は、すべての国民が神の前に集まり、神が彼らを羊とヤギに分けることを描写しています。

1. 最後の審判、最後に別れるのは誰?

2. 羊とヤギ: 私たちの運命は何によって決まるのか?

1. イザヤ書 10:17 - 「そしてイスラエルの光は火となり、その聖なる者は炎となる。そしてそれは一日のうちに彼のとげと彼の茨を燃やし、食い尽くすでしょう。」

2. ルカ 17:24-25 - 「稲妻が光り、空を端から端まで照らすように、人の子もその時代にいます。しかし、まず彼は多くの苦しみを経験し、この世代に拒絶されなければなりません。」

マタイ 25:33 そして羊を右手に、やぎを左手に置く。

この箇所には、正しい人が右手に、正しくない人が左手に置かれていると書かれています。

1. 大きな分断: 正義の者と不義の者

2. 審判の日: 羊とヤギを分ける

1. マタイ 7:21-23 - 「わたしに『主よ、主よ』と言う者が皆、天国に入るわけではありません。ただ、天におられるわたしの父の御心を行う者だけが天国に入るのです。その日、多くの人が天国に入るのです。」「主よ、主よ、私たちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊を追い出し、あなたの名において多くの奇跡を行いませんでしたか？」と私に言います。それから私は彼らにはっきりと言います、「私はあなたのことを知りませんでした。私から離れなさい、悪を行う者たち！」。

2. ローマ 2:6-8 - 神は「各人がその行いに応じて報いてくださいます。粘り強く善を行うことによって栄光、名誉、そして不滅を求める人々に、神は永遠の命を与えてくださいます。しかし、利己的な人、真理を拒否して悪に従う人には怒りと怒りが起こるでしょう。悪を行うすべての人間には、困難と苦痛が伴うでしょう。」

マタイ 25:34 そのとき、王は右手で彼らに言うであろう、「来なさい、わたしの父に恵まれた者よ、世の初めからあなたがたのために備えられた王国を受け継ぎなさい。

王は義人を世の初めから準備された王国に迎え入れます。

1. 神は常に私たちのために救いと永遠の命の計画を持っていました。

2. 義にかなった生活を送ることは、この世のどんな富や楽しみよりも大きな報酬です。

1. エペソ人への手紙 2:8-9: あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ペテロ第一 1:3-4: 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。主はその豊かな憐れみによって、イエス・キリストの死者の中からの復活によって、私たちを生き生きとした希望へと、朽ちない相続物へと再び生み出してくださいました。汚れがなく、消えることのないものは、あなたのために天国に予約されています。

マタイ 25:35 私が飢えていたのに、あなたがたは私に肉を与え、私が渇いていたのに、あなたがたは飲み物を与え、私が見知らぬ人だったのに、あなたがたは私を受け入れてくれました。

この一節は、困っている人たちを世話することの重要性を強調しています。

1: 私たちは皆、困っている兄弟姉妹のために、もてなしと無私の奉仕を実践するよう求められています。

2: イエスは私たちに、他の人の必要に気を配り、時間、資源、配慮を惜しみなく与えるよう呼びかけています。

1: ヤコブ 2:14-17 - 兄弟たち、信仰はあるが行いはないと言う人が何の役に立つでしょうか。その信仰が彼を救うことができるでしょうか？

2: マルコ 12:31 - 「あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません。」

マタイ 25:36 裸なのに、あなたがたは私に服を着ました。私が病気だったので、あなたがたは私を訪ねてきました。私が刑務所にいるのに、あなたがたは私のところに来ました。

この一節は、困っている人たちへの思いやりのある奉仕の重要性を強調しています。

1. 私たちの思いやりの呼びかけ: イエスの奉仕を遂行する

2. キリストの愛をもって他者に仕える

1. ガラテヤ人への手紙 5:13-14 「兄弟たち、あなたがたは自由を得るために召されているのです。自由を肉体のためだけに使うのではなく、愛によって互いに仕えなさい。なぜなら、すべての律法は一言で成就するからです。このことにおいて、あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。」

2. ヤコブ 1:27 - 「神と父の前に汚れのない純粋な宗教とは、苦しみの中にある父のいない人ややもめを訪ね、世から汚れないようにすることです。」

マタイ 25:37 そのとき、義人たちは彼に答えて、「主よ、私たちが飢えているのを見て、あなたに食事を与えたでしょうか。」それとも喉が渇いたので飲み物を与えましたか？

この箇所は、飢え渇いた人々をいつ世話したかという神の質問に義人たちが答えたことを語っています。

1: 私たちは、恵まれない人々に仕え、飢え渇いている人々を気遣うことによって神の愛を示す心を持たなければなりません。

2: 私たちはなぜキリストを信じる信仰生活を送っているのかについて答えを出し、それを自分の行動を通して実証する用意ができていなければなりません。

1: マタイ 22:37-40 - 「イエスは彼に言われた、『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。』これが第一の重要な戒めです。そして第二の戒めです。」それと同じです。「あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。これらの 2つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。」

2: ヤコブ 2:14-17 「兄弟たち、人が信仰があるのに行いをしていないと言ったら、それが何の益になるのでしょうか。信仰がその人を救うことができますか。もし兄弟や姉妹が裸で、日々の食べ物に困っていたら、そして、あなたがたのうちの一人が彼らに言います、「安らかに出発し、あなたがたは暖かくなり、満たされます。にもかかわらず、あなたは体に必要なものを彼らに与えません。それが何の益になりますか？それでも、信仰は、もしそれが機能しないなら、死んだものです、一

人でいる。"

マタイ 25:38 私たちがあなたをよそ者と見て、迎え入れたのはいつですか。それとも裸で服を着ているのですか？

この一節は、もてなしの大切さと、困っている人たちへの配慮の重要性を強調しています。

1: マタイ 25:38 に概説されているように、私たちは寛大にもてなすよう求められています。

2: マタイ 25:38 で教えられているように、私たちは見知らぬ人を神の同胞としてみなし、親切と同情心を示さなければなりません。

1: ヘブライ 13:2 - 「見知らぬ人をもてなすことを怠ってはなりません。それによって、知らず知らずのうちに天使をもてなしている人もいるからです。」

2: ヤコブ 2:15-16 - 「もし兄弟や姉妹が薄着で毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたがたのうちの誰かが、彼らに必要なものを与えずに、『安らかに行きなさい。体を温め、お腹を満たしなさい』と言ったら、彼らに必要なものを与えません。」体、それが何の役に立つの？」

マタイ 25:39 あるいは、私たちがあなたが病気か牢獄にいるのを見て、あなたのところに来たのはいつですか。

この一節は、病人や投獄されている人の世話の重要性について語っています。

1. 「イエスの慈悲: 病人や投獄された人々の世話」

2.「愛の力: 弱者や傷ついた者に慈悲を示す」

1. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟姉妹たち、信仰があると言いながら行いを持たない人がいたら、何の役に立つのでしょう。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか。ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物もないとしましょう。もしあなたがたの誰かが彼らに、「安心して行きなさい。暖かくして十分な食事をしなさい」と言いながら、彼らの肉体的な必要について何もしてくれなかったら、それが何の役に立つでしょうか?同じように、信仰が行動を伴わないなら、信仰だけでも、死んでいる。"

2. イザヤ書 58:6-7 - 「これは私が選んだ種類の断食ではないでしょうか。不正の鎖を解き、くびきの紐を解き、抑圧されている人々を解放し、すべてのくびきを打ち破るためではないでしょうか。それは分かち合うことではないでしょうか。」飢えた人たちに食べ物を与え、貧しい放浪者に避難所を提供するため、裸を見たら彼らに服を着せ、自分の血と肉から目をそらさないようにするためですか？」

マタイ 25:40 そこで王は答えて彼らに言うであろう、「よく言っておくが、あなたがたがこのわたしの兄弟のうち最も小さい者の一人にしたのと同じように、わたしにしたのである。」

この箇所は、私たちがキリストご自身を助けるのと同じように、最も小さな兄弟たちを助けることの重要性を強調しています。

1. 「思いやりのある人生を生きる：最も小さな兄弟たちに仕える」

2.「愛の力：信仰の表現としての役割」

1. ヤコブ2:14-17

2. ルカ10:25-37

マタイ 25:41 それから彼は左側の彼らにも言うだろう、「呪われた者たちよ、わたしから離れて永遠の火に入れ、悪魔とその天使たちに備えなさい。」

邪悪な者たちは悪魔とその天使たちに備えて永遠の火の中に送られるでしょう。

1: 悪の結果は永遠の天罰です。

2: 悪の約束に騙されないでください。それは破壊につながるだけです。

1: 黙示録 20:10-15 - そして、彼らを欺いた悪魔は、獣と偽預言者がいる火と硫黄の湖に投げ込まれ、昼も夜も永遠に苦しめられるでしょう。

2: 2テサロニケ 1:7-9 - そして、悩んでいるあなたがたは、私たちと一緒に休んでください。そのとき、主イエスはその強力な天使たちとともに天から現れ、燃える火の中で、神を知らず、従わない者たちに復讐されます。私たちの主イエス・キリストの福音：主の臨在とその力の栄光から永遠の滅びの罰を受ける者。

マタイ 25:42 私は飢えていたのに、あなたがたは私に肉を与えなかったし、私は渇いていたのに、あなたがたは私に飲み物を与えなかった。

この一節は、困っている人たちに食べ物を提供しないことについて語っています。

1.「困っている人たちに与える：思いやりへの呼びかけ」

2. 「持たざる者を助ける：忠実な者の責任」

1. ヤコブ 2:15-16 「兄弟や姉妹が着衣も貧弱で、毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたがたのどちらかが、「安心して行きなさい。体を温め、お腹を満たしなさい」と言い、生活に必要なものを与えなかったとしたら、体、それが何の役に立つの？」

2. ヨハネ第一 3:17-18 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見ていても、その兄弟に対して心を閉ざしている人がいるとした

ら、どうして神の愛がその人の内に宿るでしょうか。子供たちよ、言葉や話で愛するのはやめましょう」しかし行為と真実において。」

マタイ 25:43 私は見知らぬ人でした、そしてあなたがたは私を連れて行きませんでした：裸で私に服を着せませんでした：病気で刑務所にいるのに、あなたがたは私を訪問しませんでした。

この聖句は、私たちが困っている人たちをもてなし、助けを差し伸べるよう勧めています。

1: わたしたちは、困っている人たちをもてなすよう求められています。

2: 私たちは、苦しんでいる人や助けを必要としている人を助けることによって、思いやりと慈悲を示さなければなりません。

1: ヤコブ 1:27 - 神と父の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦境にある孤児や未亡人を訪ね、自分を世から知られないようにすることです。

2: イザヤ書 58:7 - 飢えた人たちにパンを分け与えたり、追い出された貧しい人たちを自分の家に連れて来たりすることではないでしょうか。裸を見るとき、あなたは彼を覆い、自分の肉体から身を隠さないでしょうか？

マタイ 25:44 そのとき、彼らもまた彼に答えて言うであろう、「主よ、私たちが飢えたり、渇いたり、旅人、裸、病人、あるいは牢獄にいるあなたを見たときに、あなたに仕えなかったのですか。」

この聖句は、私たちが他の人、たとえ助けを必要としている人であっても、あたかもキリストご自身であるかのように扱うべきであることを語っています。

1. 慈悲への呼びかけ: 貧しい人々を愛し、奉仕する私たちの義務

2. 黄金律: 自分がしてほしいように他人に接する

1. ガラテヤ 6:9-10 「善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、しかるべき時に収穫が得られます。ですから、機会があれば、すべての人に善を行ないましょう」特に信者の家族に属する人たちに。」

2. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟姉妹たち、信仰があると言いながら行いを持たない人がいたら、何の役に立つのでしょう。そのような信仰が彼らを救えるでしょうか。ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物もないとしましょう。もしあなたがたの誰かが彼らに、「安心して行きなさい。暖かくして十分な食事をしなさい」と言いながら、彼らの肉体的な必要について何もしてくれなかったら、それが何の役に立つでしょうか?同じように、信仰が行動を伴わないなら、信仰だけでも、死んでいる。"

マタイ 25:45 その時、彼は彼らに答えて言うであろう、「よく言っておくが、あなたがたがこの最も小さい者の一人にもしなかったのと同じように、わたしにもしなかったのである。」

イエスは、困っている人を助けることは、神を助けることと同じだと教えています。

1: イエスは私たちに、ご自分に仕えるために、困っている人に仕えるよう呼びかけておられます。

2: 他の人への奉仕は、イエスに対する私たちの愛を明らかにします。

1: ガラテヤ 6:9-10 - 善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、適切な時期に収穫を得ることができるからです。したがって、機会があれば、すべての人々、特に信者の家族に属する人々に善を行ないましょう。

2: ヤコブ 2:14-17 - 兄弟姉妹の皆さん、もし信仰があると主張しながら行いを持たない人がいたら、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか？兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物も持たないと仮定してください。あなたがたのうちの誰かが彼らにこう言ったら、「安心して行きなさい。暖かくして、十分な食事を与えてください」と言いましたが、彼らの身体的ニーズについては何もしませんでした、それが何の役に立つでしょうか？同様に、信仰は、行動が伴わなければ、それ自体では死んでいます。

マタイ 25:46 そして、これらの人々は永遠の罰を受けて去りますが、義人は永遠の命に入ります。

この箇所は、不義な者は永遠の罰に直面し、義人は永遠の命を受けることを強調しています。

1. 永遠の選択: 私たちの行動の結果と向き合う

2. 永遠の命の約束: 霊的変容への招待

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. 1 コリント 15:19-22 - この世で私たちだけがキリストにある希望を持っているとしたら、私たちはすべての人間の中で最も悲惨です。しかし今、キリストは死者の中からよみがえられ、眠っている者たちの初穂となられたのです。なぜなら、人によって死が来たのと同じように、死者の復活も人によって来たからですなぜなら、アダムにあってはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからである。

マタイ 26 章には、イエスに対する陰謀、ベタニヤでのイエスの油注ぎ、最後の晩餐、ゲツセマネでの祈り、逮捕とその後の大祭司の前での裁判、そしてペテロのイエス否認が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、イエスが 2 日後の過ぎ越しの祭りで自分の死を予告するところから始まります (マタイ 26:1-5)。一方、祭司長や長老たちはイエスを逮捕しようと画策しています。ベタニヤでは、女性がイエスに高価な香油を注ぐが、イスカリオテのユダはそれを無駄だと考えた。これをきっかけに、ユダは銀貨 3 0 枚でイエスを裏切ることに同意するようになります (マタイ 26:6-16)。

第 2 段落: 最後の晩餐の際、イエスは罪の赦しのために多くの人に捧げられるご自分の体と血の象徴としてパンとぶどう酒を弟子たちに分け与えます (マタイ 2 6:17-29)。また、彼らのうちの一人が彼を裏切るだろうとも予言し、各弟子たちは自分たちが裏切るのかと疑問を抱きます。夕食後、彼らはオリーブ山に出かけ、そこでイエスは鶏が鳴く前にペテロの否認を予言します。たとえ他の人たちがそうするとしても、自分は決して離れたり、キリストを否定したりしないとペテロが強く

反対したにもかかわらず。

第 3 段落: ゲツセマネで、差し迫った苦しみの死について熱心に祈りながら、イエスは弟子たちに目を覚まして祈ってくださいとお願いしましたが、戻ってくると彼らは眠っているのに気づき、人間の弱さと神の強さの対比を示しました (マタイ 26:36-46)。ユダが群衆を連れて到着するとすぐに、祭司長たちが送った剣の棍棒を武装させ、長老たちはイエスを裏切ってキスをし、イエスを逮捕しました。弟子がしもべ大祭司を殴って耳を切り落とすが、イエスはしもべを叱責し、剣で生きる者は剣で死ぬと言い、その後連れ去られる カヤファの大祭司は、律法長老たちが集まっている場所に連れて行かれる一方、ペテロは中庭までの距離を追い、大祭司は外で見張りに座るそこでの手続きで、彼は、キリストが以前にマタイ26:47-75で言われたことが成就すると予言したとおりに、キリストが鶏の鳴き声を3 回鳴らしたということを知っていることを否定しています。

マタイ 26:1 イエスはこれらすべてのことばを言い終えたとき、弟子たちに言われた、

イエスは弟子たちへの教えを終え、これから待ち受ける試練に直面する準備が整いました。

1: たとえどんな試練が私たちに降りかかっても、私たちは忠実であり続け、主に信頼しなければなりません。

2: 私たちはイエスに従い、人生において自分の十字架を負う覚悟をしなければなりません。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人のためではなく主のために熱心に働きなさい。報酬として主から相続財産を受け取れることを知ってください。あなたは主キリストに仕えています。

マタイ 26:2 あなたがたは、二日後に過越の祭りがあり、人の子が裏切られて十字架につけられることを知っています。

この箇所は過越の祭りとイエスが裏切られ十字架につけられることについて書かれています。

1. イエスの犠牲: 究極の贈り物

2. 神の計画の実現の不可能性

1. イザヤ書 53:4-6 (確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。それでも、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しめられたと尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。私たちの平和の懲らしめが彼に臨み、彼の打ち傷によって私たちは癒された。羊のように私たちはみな迷い、一人一人が自分の道に戻った。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせられた。）

2. ヘブライ 9:14-15 (まして、永遠の御霊によって、汚れのないご自身を神にささげたキリストの血は、生ける神に仕えるために、あなたの良心を死んだ行いから取り除いてくれるでしょうか。そしてこの目的のために、キリストは仲介者なのです。新約聖書では、第一約聖書に基づいて犯された罪を死によって贖うために

召された者は永遠の相続の約束を受けることができるというものである。）

マタイ 26:3 それから、祭司長たち、律法学者、民の長老たちは、カヤパという大祭司の宮殿に集まった。

祭司長、律法学者、民の長老たちは大祭司カヤパの宮殿に集まりました。

1. イエスの罪への勝利 - イエスの死と復活がどのように私たちに罪を克服する力を与えてくれるのか。

2. 団結の力 – 協力することで目標を達成することができます。

1. マタイ 18:20 - 「二人や三人がわたしの名によって集まっているところには、わたしもその中にいます。」

2. ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死です。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。」

マタイ 26:4 そして彼らは、巧みにイエスを捕まえて殺そうと相談した。

祭司長と律法学者たちは、騒ぎを起こさずにイエスを連れて行き、殺す方法を模索しました。

1. 困難における神の主権 - 困難な状況に直面したときでも、私たちは神が支配しておられると信頼できます。

2. プライドの危険 - 私たちは、プライドに屈して問題を自分の手で解決しようとしないように注意しなければなりません。

1. イザヤ書 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

2. ヤコブ 4:13-17 - さあ、こう言う人たちよ。今日か明日、私たちはこれこれの町に行き、そこで一年を過ごし、貿易をして利益を得るでしょうか？それでも、明日何が起こるかわかりません。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。代わりに、こう言うべきです。主の御心ならば、私たちは生きてあれやこれやをするでしょう。??そのままでは、あなたは自分の傲慢さを誇っています。そのような自慢はすべて悪です。したがって、なすべき正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとってそれが罪なのです。

マタイ 26:5 しかし彼らは、「民の間で騒ぎが起こるといけないので、祭りの日にはやめてください」と言った。

人々はベタニヤでのイエスの油注ぎに反対しました。その日は祭りの日だったからです。

1. 神の定められた時を尊重することの重要性。

2. 反対の中で神の知恵を実践する。

1. 申命記 16:16 - 「年に三回、あなたの男性はすべて、主が選ばれた場所で、あなたの神、主の前に出なければなりません。種なしパンの祭、週の祭、仮庵の祭のときです。そして彼らは手ぶらで主の前に出てはならない。」

2. 箴言 15:2 - 「賢者の舌は知識を正しく用いるが、愚か者の口は愚かさを注ぎ出す。」

マタイ 26:6 さて、イエスがベタニヤのらい病人シモンの家におられたとき、

イエスはベタニヤのらい病人シモンの家にいました。

1. 無条件の力: ハンセン病患者の家へのイエスの訪問を探る

2. キリストの憐れみ: 価値がないとみなされた人々に対するイエスの愛

1. マタイ 9:12 - しかし、イエスはそれを聞いて、彼らに言われた、「健康な人には医者はいらない、病人には必要だ。」

2. ヨハネ 8:7 - それで、彼らが尋ね続けると、イエスは体を起こして彼らに言った、「あなたがたの中で罪を犯していない人が、まず彼女に石を投げてください。」

マタイ 26:7 ある女が、非常に貴重な軟膏の入った雪花石膏の箱を持って彼のところに来て、肉を食べている彼の頭にそれを注いだ。

この箇所は、イエスに非常に貴重な香油を塗る女性について語ります。

1: イエスは油そそがれるに値する人である - ルカ 4:18-19

2: 奉仕行為を通じてイエスへの愛と敬意を示す - ヨハネ 12:1-8

1: 詩篇 133:2 - 神の民が団結して一緒に暮らすのは、なんと素晴らしく楽しいことでしょう。

2: ヨハネ 13:34-35 - 私があなたに与える新しい戒めは、あなたがたは互いに愛し合うことです。私があなたを愛したように、あなたも互いに愛し合うべきです。

マタイ 26:8 しかし、弟子たちはこれを見て憤慨して、「これが一体何の目的で使われるのか」と言った。

この箇所は、イエスが香水を無駄遣いしているのを見た弟子たちの憤りを強調しています。

1: 私たちは無駄をせず、自分のリソースを他の人に利益をもたらすために使用すべきです。

2: 私たちは、特に主に仕える場合には、自分の資源を賢明に管理する必要があります。

1: 箴言 21:20 - 賢者の家には貴重な宝と油があるが、愚かな人はそれを使い果たしてしまう。

2: 2 コリント 8:7 ですから、あなたがたは、信仰、発言、知識、あらゆる勤勉さ、そして私たちへの愛において、すべてのことに豊かであるように、この恵みにも豊かであるように気をつけてください。

マタイ 26:9 この軟膏は高値で売られ、貧しい人たちに与えられたかもしれないからです。

この箇所は、埋葬のために自分の体に油を塗るために大量の貴重な軟膏を使用したイエスの寛大な行為について語っています。

1. 寛大さの力: 愛から惜しみなく与えることを選択する

2. 思いやりの代償：他人のために犠牲を払うこと

1. コリント人への第二 8:9 - あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っているからです。彼は富んでいましたが、あなたがたのために貧しくなり、その貧しさを通してあなたがたが豊かになるためでした。

2. ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすればそれはあなたに与えられるでしょう。いい加減に、押しつけられ、一緒に揺さぶられ、そして駆け寄って、人々はあなたの胸に屈服するでしょう。なぜなら、あなたがたが測定したのと同じ尺度で、それは再びあなたがたに測定されるからである。

マタイ 26:10 イエスはそれを理解すると、彼らに言われた、「なぜあなたがたは女を煩わせるのか」。彼女は私に良い働きをしてくれたからです。

イエスは、高価な油を自分に塗ってくれた女性に同情心を示しました。

1. 行動における思いやり: イエスの模範に倣う

2. 無私の崇拝の行為: 私たちの資源を使って神を敬う

1. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれから何もせず、謙虚に他の人が自分より優れていると考えてください。

2. ルカ 10:25-37 - 善きサマリア人のたとえ。

マタイ 26:11 あなたがたにはいつも貧しい人たちがいます。しかし、あなたがたはいつもそうしているわけではありません。

マタイのこの一節は、イエスが常に私たちとともにいるわけではないが、貧しい人々は常に私たちの社会に存在することを強調しています。

1: イエスは私たちに、常に貧しい人々に気を配り、世話をするように教えています。

2: イエスが常に私たちとともにおられるわけではないことを覚えておき、イエスの教えを人生の指針として活用する必要があります。

1: ヤコブ 1:27 - 父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児や未亡人を訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。

2: 申命記 15:7-8 - ?あなたの中で、あなたの兄弟の一人が貧しくなった場合、あなたの神、主があなたに与えられるあなたの土地のどの町でも、あなたは貧しい兄弟に対して心をかたくなにしたり手を閉ざしたりしてはならず、自分の心を開かなければなりません。それが何であれ、彼に手を差し伸べて、彼の必要に十分な量を貸してください。

マタイ 26:12 彼女がこの軟膏を私の体に注いだということは、私の埋葬のためにしたのです。

その女性は、埋葬の準備としてイエスの体に軟膏を塗ることで、イエスへの愛と敬意を示しました。

1: イエスは死に直面しても、周囲の人々から大きな愛と尊敬を受けていました。

2: イエスに軟膏を塗る女性の行為は、信仰と敬意の表れでした。

1: マルコ 14:8 彼女はできる限りのことをしました。埋葬する私の体に油を塗るために、彼女は先に来ました。

2: ヨハネ 12:3 それからマリアは、非常に高価なスパイクナードの軟膏一ポンドを持って行き、イエスの足に油を注ぎ、彼女の髪の毛で足を拭きました。すると、家中に軟膏の匂いが充満しました。

マタイ 26:13 まことに、あなたがたに言います。全世界のどこででも、この福音が宣べ伝えられるところには、この女のしたことも、彼女の記念として伝えられるでしょう。

この一節は、女性が行った親切と奉仕の行為を忘れないことの重要性を強調しています。

1: 私たちは女性たちが私たちのためにしてくれた親切な行為を尊重し、覚えておくべきです。それは女性たちにとって記念となるからです。

2: 親切な行為や奉仕をした人たちを讃えましょう。彼らは永遠に記憶されるからです。

1: 箴言 31:30-31 - ?危害は欺瞞的であり、美しさは無駄ですが、主を恐れる女性は賞賛されるべきです。彼女の手の果実を彼女に与え、彼女の作品を門の中で彼女に賞賛させてください。

2: マタイ 25:34-40 - ?では、王は右にいる者たちにこう言います。わたしの父に祝福されたあなたたちよ、天地の初めからあなたたちのために用意された王国を受け継ぎましょう。なぜなら、私がお腹が空いていたのにあなたは食べ物をくれた、喉が渇いていたのに飲み物をくれた、見知らぬ私を歓迎してくれた、裸の私にあなたは服を着せてくれた、私が病気だったのにあなたは見舞いに来てくれた、私は刑務所にいたのにあなたは私を訪ねてきたからです。??すると義人は彼に答えてこう言うだろう。ああ、あなたがお腹を空かせて食べ物を与えたり、喉が渇いて飲み物を与えたりするのをいつ見たでしょうか？そして、私たちがあなたを見知らぬ人と見て歓迎したり、裸で服を着たりしたのはいつですか？それで、私たちがあなたが病気か刑務所にいるのを見て、いつ訪問しましたか??ユーロ?

マタイ 26:14 そこで、十二人のうちの一人、イスカリオテのユダという人が祭司長たちのところに行って、

ユダはイエスを祭司長たちに裏切ります。

1. 裏切りの危険 - ユダのイエスに対する裏切りは、罪と誘惑の力について私たちに警告としてどのように役立っているか。

2. 許しの力 - ユダの裏切りに対するイエスの反応は、恵みと許しの癒しの力をどのように示しているか。

1. マルコ 14:10-11 - 弟子の一人が裏切るというイエスの予言。

2. ローマ 5:8 - 私たちがまだ罪人であったとき、神は私たちに対する愛を実証されました。

マタイ 26:15 そこで彼らに言った、「あなたがたは私に何をくれますか。私は彼をあなたがたに渡しましょう」。そして彼らは銀貨三十枚で彼と契約を結んだ。

祭司長と律法学者たちは、イエスを裏切るためにイスカリオテのユダに銀貨30枚を差し出しました。

1. 裏切りの高い代償: 私たちが信じていることのために何を放棄する価値があるのか?

2. 貪欲の危険性: 貪欲の誘惑を認識する。

1. 箴言 15:16 - 主を恐れるのは少しでも、大きな宝とそれによる困難よりも良い。

2. ヤコブ 4:2-3 - あなたがたは、欲望するが、持たない。あなたがたは、殺し、手に入れたいと願うが、手に入らない。あなたがたは戦い、戦争するが、求めていないので、手に入れていない。あなたがたが求めても、受け取らないのは、欲望に従ってそれを消費するためにあなたがたが間違っているからです。

マタイ 26:16 それ以来、彼は裏切る機会を狙っていました。

イスカリオテのユダはイエスを裏切る決心をした瞬間から、その機会を積極的に探しました。

1. イエスの裏切り: ユダの行動を考察する。

2. ユダから学ぶ: 私たち自身の行動を吟味する。

1. ルカ 22:3-6 - イエスは、ユダが自分を裏切る計画を知っていましたが、それが起こるのを許しました。

2. ヨハネ 13:21-30 - イエスは、ユダがご自分を裏切った後でも、ユダに対する愛を示しました。

マタイ 26:17 さて、種なしパンの祭りの初日、弟子たちがイエスのところに来て、こう言った、「過越の食事をどこで食べるつもりですか。」

イエスは弟子たちに過ぎ越しの準備をするように指示されました。

1. 過ぎ越しの準備をせよというイエスの呼びかけ: それは今日の私たちにとって何を意味しますか?

2. 過越の祭りを思い出す: イエスからの信仰と従順の教訓。

1. 出エジプト記 12:3-14 - イスラエル人に対する過越祭の遵守に関する神の指示。

2. ルカ 22:15-18 - イエスが過越祭における主の晩餐を制定したこと。

マタイ 26:18 するとイエスは言った、「町に入って、そんな人のところに行って、『先生は言われた、私の時が近づいています。』と言いなさい。」わたしは弟子たちとともにあなたの家で過越の祭りを行います。

イエスは弟子たちに、過越の食事の準備をするために市内の男のところに行くように指示されました。

1. 過越の祭りの準備の重要性

2. イエスのタイミングは常に完璧です

1. ルカ 22:7-13 - イエスは弟子たちに過ぎ越しの準備をするよう指示

2. 出エジプト記 12:1-14 - 過越の祭りに関する神の指示

マタイ 26:19 弟子たちはイエスが命じられたとおりにした。そして彼らは過越の祭りの準備をした。

弟子たちはイエスの指示に従い、過越の食事の準備をしました。

1. 従順：神の命令に従う力

2. 準備: 神が私たちに命じたことに備える

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、あなたは私の戒めを守るでしょう。」

2. 詩篇 119:60 - 「私はあなたの戒めを守るために急いで遅らせません。」

マタイ 26:20 さて夕方になったとき、イエスは十二人たちと一緒に座った。

この箇所は、イエスが弟子たちと過越の食事のために集まっている様子を描写しています。

1: イエスが弟子たちとパンを裂いた例は、愛する人や友人と集まることの大切さを教えています。

2: イエスが弟子たちと集まったことは、私たちの関係に感謝し、それを大切にすることを思い出させます。

1: 使徒 2:42-46 - 初代教会は交わりのために集まり、パンを裂きました。

2: 詩篇 133:1 - 「見よ、兄弟たちが団結して暮らすのは、なんと素晴らしく、楽しいことだろう。」

マタイ 26:21 そして、彼らが食事をしているときに、イエスは言った、「よく言いますが、あなたたちの中の一人が私を裏切るでしょう。」

弟子たちは、彼らのうちの一人がイエスを裏切るだろうと警告されました。

1 - 悔い改めへの呼びかけ: 弟子たちの裏切りから学ぶ

2 - 忠実さへの呼びかけ: 困難な状況にもかかわらず忠実であること

1 - ルカ 22:21-22 ?見よ、私を裏切った者の手が私と一緒にテーブルの上にある。そして、本当に人の子は、定められたとおりに行きます。しかし、裏切られた人は不幸です??

2 - ヨハネ 13:21-30 ?イエスがこのように言われたとき、彼は精神的に動揺し、証言してこう言いました、「本当に、本当に、あなたに言います、あなたたちの中の誰かが私を裏切るでしょう。??」

マタイ 26:22 すると、彼らは非常に悲しみ、皆で彼に言い始めた、「主よ、私ですか？」

弟子たちは悲しみでいっぱいになり、イエスが彼らのうちの一人が自分を裏切るだろうと話したとき、それは彼らのことを指しているのかとイエスに尋ねました。

1. 内省の力: 自分自身の失敗と向き合う

2. 思いやりのある生活を送る：人間関係に慈悲を示す

1. フィリピ 3:12-14 - 私はすでにそれを手に入れたわけでも、すでに完全になったわけでもありませんが、キリスト・イエスによって私がつかみ取られたものをしっかりと掴むために前進します。兄弟の皆さん、私はまだそれを掴んでいるとは思っていません。しかし、私がしていることは一つです。後ろにあるものを忘れ前にあるものに手を伸ばし、キリスト・イエスにおける神の上向きの呼びかけという賞を得るために、目標に向かって突き進んでいきます。

2. ヤコブ 5:16 - ですから、互いに罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りなさい。義人の効果的な祈りは多くのことを成し遂げることができます。

マタイ 26:23 すると彼は答えて言った、「私と一緒に手を皿に浸す者は、同じように私を裏切るでしょう。」

イエスは弟子の一人が自分を裏切るだろうと予言しました。

1. 裏切りと信頼の崩れ: マタイ 26:23 の研究

2. 裏切りの結果: マタイ 26:23 のイエスの裏切りから学ぶ

1. ヨハネ 13:21-26 - イエスは自分の裏切りを予告します。

2. 詩篇 41:9 - 友人の裏切り。

マタイ 26:24 人の子は、その人について書かれているとおりに行きます。しかし、人の子を裏切ったその人は不幸です。あの人は生まれてこなければよかったのに。

この箇所は、イエスを裏切らないように警告しています。その人は生まれなかった方が良かったのです。

1. 裏切りの代償: 死よりも悪い運命を避ける方法

2. イエスに背を向けることの危険性

1. ルカ 22:22 - 「そして、本当に人の子は、定められたとおりに行きます。しかし、裏切られた人は不幸です。」

2. イザヤ書 53:3 - 「彼は軽蔑され、人々から拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っています。そして私たちはあたかも彼から顔を隠しました。彼は軽蔑され、私たちは彼を尊敬しませんでした。」

マタイ 26:25 すると、彼を裏切ったユダが答えて言った、「先生、私ですか？」彼は彼に言った、「あなたは言いました。」

ユダはイエスに、自分が裏切るつもりなのかと尋ねました。イエスはそれが自分であることを確認しました。

1. 誠実に生きる: 裏切りの結果を理解する

2. イエスの恵み: 裏切りにもかかわらず慈悲

1. 詩篇 55:12-14 ?そうでなければ、私を非難するのは敵ではありません。そうすれば、私はそれに耐えることができたでしょう。また、それは私に対して自分自身を誇張する敵ではありません。そうすれば、私は彼から身を隠していたでしょう。しかし、それはあなたであり、私と同等の人であり、私のガイドであり、私の知人でした。私たちは優しい助言を受け入れ、一緒に神の家まで歩きました。

2. ローマ人への手紙 2:4 「それとも、神の善良さ、寛容さ、辛抱強さの富を軽蔑しているのですか。神の善意があなたを悔い改めに導くことを知らないのですか。」

マタイ 26:26 彼らが食事をしていると、イエスはパンを取り、祝福して裂き、弟子たちに与えて、「取って食べなさい」と言われた。これは私の体です。

この箇所は、イエスがパンを祝福し、それが自分の体であると言って、それを弟子たちに食べさせた様子を説明しています。

1. イエスは命のパンです: イエスの重要性を探りますか?犠牲_

2. 命のパンを食べる：神を受け入れるには？救いの贈り物

1. ヨハネ 6:35 - ?イエスは彼らに言った。私は命のパンです。わたしのもとに来る者はだれでも飢えず、わたしを信じる者は決して渇くことはない。ユーロ?

2. イザヤ書 55:1-3 - ? 쏞喉が渇いている人は皆、水に来てください。お金のない人は来て、買って食べてください！さあ、お金も値段もなしにワインと牛乳を買ってください。なぜパンにならないものにお金を使い、満足しないものに労力を使うのでしょうか？私の言うことをよく聞いて、おいしいものを食べて、豊かな食べ物を楽しんでください。

マタイ 26:27 そこでイエスは杯を取り、感謝をささげて、彼らに与えて言われた、「全部飲みなさい。すべて飲みなさい。」

イエスは救いの杯を弟子たちに分け与え、それにあずかるように命じられました。

1. 救いの杯：神の約束を飲む

2. 渇きの答え：カップを通してイエスの愛を体験する

1. イザヤ書 55:1 - ? 쏞喉が渇いている人は皆、水に来てください。お金のない人は来て、買って食べてください！さあ、お金も値段もなしにワインと牛乳を買ってください。

2. 詩篇 116:13 - ? 쏧は救いの杯を掲げ、主の御名を呼びます。

マタイ 26:28 これは、罪の赦しのために多くの人のために流される、新約聖書における私の血です。

この箇所は、罪の赦しのためのイエスの犠牲について語っています。

1: 神の子羊イエス - 彼の恵みと慈悲の驚くべき賜物。

2: 苦しみのしもべイエス - 彼の究極の愛と献身的な行為。

1: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: エペソ 1:7 - 私たちはこのキリストにおいて、神の豊かな恵みに応じて、その血による贖い、つまり罪の赦しを得ています。

マタイ 26:29 しかし、あなたがたに言いますが、父の御国であなたがたと一緒に新しいものを飲むその日まで、私は今後このぶどうの木の実を飲みません。

この箇所は、父の王国で新たに飲むまではぶどうの実を飲まないというイエスの約束について語っています。

1. 天国の希望: 約束されたイエスの帰還

2. 困難な時に力を見つける: イエスの慰めの言葉

1. 黙示録 21:1-4 - 新しい天と新しい地の約束

2. イザヤ書 25:6-9 - 主はすべての顔から涙をぬぐってくださる

マタイ 26:30 そして、彼らは賛美歌を歌い終わると、オリーブ山に出て行った。

賛美歌を歌った後、イエスと弟子たちはオリーブ山へ向かいました。

1. 私たちの生活における祈りと礼拝の重要性

2. イエスの生涯におけるオリーブ山の重要性を理解する

1. マルコ 14:26、「そして、彼らは賛美歌を歌い終わると、オリーブ山に出て行った。」

2. ルカ 22:39、「イエスは出てきて、いつものようにオリーブ山に行かれた。弟子たちもイエスについて行った。」

マタイ 26:31 それから、イエスは彼らに言われた、「今夜、あなたがたは皆、わたしのせいで怒るでしょう。『わたしは羊飼いを殺し、群れの羊は散らされる』と書いてあるからです。」

イエスは弟子たちに、彼らは自分のせいで傷つくだろう、そして羊飼いは打たれ、群れの羊は散らされると書かれていると告げます。

1. 羊の散り方：マタイ 26:31 の考察

2. 羊飼いの打撃を理解する: 信仰と忍耐について

1. ゼカリヤ書 13:7 - ? 「剣よ、目覚めよ、わたしの羊飼いに対して、そしてわたしの仲間である男に対して、と万軍の主は言われる。羊飼いを打て、そうすれば羊は散り散りになる。そしてわたしは小さな者たちに手を向ける。??」

2. ヘブライ人への手紙 13:20 - ?永遠の契約の血によって、あの偉大な羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせてくださった平和の神に感謝します。

マタイ 26:32 しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤに行きます。

イエスは弟子たちに、復活して彼らより先にガリラヤに行くと言われました。

1. 希望と信仰の力：イエスの復活と私たちの信仰の旅

2. 復活したキリストの約束: 復活の希望を理解し、適用する

1. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待するでしょうか？しかし、目に見えないものを望むなら、私たちはそれを忍耐強く待ちます。

2. コリント人への第一の手紙 15:13-14 - しかし、死者の復活がないのであれば、キリストですら復活していないことになります。そして、もしキリストがよみがえらなかったら、私たちの説教は無駄になり、あなたがたの信仰も無駄になります。

マタイ 26:33 ペテロは答えて言った、「すべての人はあなたのせいで気分を害するでしょうが、私は決して気分を害することはありません。」

ペテロは、他の人たち全員に見捨てられるかもしれないという脅迫にもかかわらず、イエスに対する揺るぎない忠誠を表明します。

1. 信仰にしっかりと立つ：困難な時でもイエスへの献身を持ち続ける

2. イエスへの忠誠心: ペテロ?揺るぎないこだわりの例

1. ヘブライ 11:1- さて、信仰とは、私たちが望んでいることに対する確信であり、目に見えないものについての確信です。

2. ローマ人への手紙 12:9- 愛は誠実でなければなりません。悪を憎む。良いものにしがみつく。

マタイ 26:34 イエスは彼に言われた、「よくあなたに言いますが、今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを否認するでしょう。」

イエスは鶏が鳴く前に、ペテロが差し迫ったイエスの否認について警告します。

1: 神への約束を急いではいけない

2: 本当の信仰は言葉ではなく行動で表される

1: ヤコブ 2:17-18 「それでも、もし信仰が働かなければ、孤独では死んだものです。そうです、人はこう言うかもしれません。『あなたには信仰があり、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください。そして、わたしの行いによってわたしの信仰をあなたに示しましょう。」

2: 箴言 14:23 - 「すべての労働には利益がある。しかし、口先の話は損をするだけである。」

マタイ 26:35 ペテロは彼に言った、「たとえあなたと一緒に死ぬとしても、私はあなたを否定しません」。弟子たちもみな同様に言いました。

弟子たちは、たとえそれが死を意味するとしても、イエスに対する揺るぎない忠実さを宣言しました。

1: たとえ犠牲を払っても、信仰のために立ち上がることを恐れてはなりません。

2: イエスとその教えに忠実であり続けましょう。

1: ローマ人への手紙 8:31-39 - 神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2: ピリピ 1:21 - 私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益だからです。

マタイ 26:36 それから、イエスは彼らと一緒にゲツセマネという場所に来て、弟子たちに言われた、「私があそこに行って祈っている間、あなたたちはここに座っていなさい。」

イエスは弟子たちをゲツセマネと呼ばれる場所に連れて行き、祈りに行く間イエスを待つように言いました。

1. 祈りの力: イエスの模範から学ぶ

2. 神の臨在の強さ：試練の時に神を信頼する

1. 詩篇 139:7-10 - あなたの御霊のもとから、私はどこへ行けばよいでしょうか？それともあなたの前からどこへ逃げればよいでしょうか？

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。

マタイ 26:37 そして、イエスはペテロとゼベダイの二人の息子を連れて行き、悲しみ、非常に重く感じ始めた。

悲しみ、重くなったイエスに弟子たちは付き添いました。

1: イエスは、人生において悲しみや絶望を感じても大丈夫であり、友人や家族に慰めを求めることを恥じるべきではないことを教えてくださいました。

2: イエスは、困難な時に人生の中でサポートしてくれる人がいることの重要性を教えてくれました。

1: 伝道者の書 4:9-10 - ? 쏷ウォは 1 人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労苦に対して良い報酬を得られるからです。なぜなら、彼らが倒れても、誰かが仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れても一人で、支えてくれる人もいない彼にとっては不幸なことだ!??

2: 箴言 17:17 - ?いつでも友人を愛し、逆境のために兄弟が生まれました。

マタイ 26:38 それから彼は彼らに言った、「わたしの魂は死に至るほど悲しみに暮れています。あなたがたはここに留まって、わたしと一緒に見守っていてください。」

イエスは深い悲しみを表し、弟子たちにそばにいて一緒に見守ってくれるよう頼みます。

1. 真の交わりの力 ― イエスが弟子たちに留まって一緒に見守るよう求めたことは、共同体の強さをどのように私たちに教えているか

2. イエスの愛の深さ - 弟子たちに留まって一緒に見守ってほしいというイエスの願いは、イエスの同情の深さを示しています

1. 詩篇 23:4 - たとえ死の影の谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

2. ヘブライ 13:5 - お金への執着から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい、と彼は言いました。쏧は決してあなたを離れたり、見捨てたりしません。

マタイ 26:39 それから、イエスはもう少し進んで、ひれ伏して祈って言われた、「わたしの父よ、できることなら、この杯をわたしから去らせてください。それでも、わたしの思いのままではなく、あなたのお望みのままに。」

イエスは神に祈り、苦しみの杯を自分から取り除いてください、しかしイエスの意志ではなく神の意志が行われるようにと願いました。

1. 降伏の人生を生きる: 神の御心を理解する

2. 十字架につけられた人生: 神の苦しみを経験する

1. フィリピ 2:8-11 - イエスはへりくだり、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。

2. イザヤ書 53:10-12 - しかし、彼を打ち砕いて苦しませるのは主のご意志でした。主は彼の命を罪のいけにえとされますが、彼の子孫を見て、彼の寿命を延ばします。主は彼の手の中で栄えます。

マタイ 26:40 それから、イエスは弟子たちのところに来て、彼らが眠っているのを見つけて、ペテロに言った、「なんということですか。一時間も一緒に見ていただけないのですか。」

弟子たちは、イエスが必要なときに、目を覚ましてイエスと一緒にいることができませんでした。

1. 私たちは信仰において用心深く、困難にもかかわらずイエスとともに目を覚ましていなければなりません。

2. 私たちは、イエスへの献身と献身を示すために、たとえ最も困難な時であってもイエスのためにそこにいなければなりません。

1. エペソ 6:10-18 - 悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2. ローマ 12:12 - 希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。

マタイ 26:41 誘惑に陥らないように、気をつけて祈ってください。霊は確かに意欲的ですが、肉は弱いのです。

この聖句は、弱い人間性にもかかわらず、誘惑を避けて霊を意欲的に保つために、目を覚まして祈るよう勧めています。

1. 「祈りの力：誘惑に対して自分を強める」

2. 「見張って祈ってください：誘惑に直面しても自分を大切にしましょう」

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちな誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、能力を超えた誘惑には遭わせませんが、

誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

マタイ 26:42 彼は二度目に立ち去って、こう祈った、「わたしの父よ、もし私が飲まなければ、この杯が私から去らないようにしてください。あなたの御心が行われますように」。

イエスは神に祈り、たとえそれが苦しみの杯を飲むことを意味したとしても、神の御心を受け入れました。

1.「苦しみの杯：神の意志を受け入れる」

2.「祈りの力：神の計画に身を委ねることを学ぶ」

1. ヤコブ 4:13-15 - 「さあ、来なさい、『今日か明日、私たちはあんな町に行って、そこで一年過ごして、売り買いして儲けよう』と言っているのに、あなたたちはそうしているのです。明日は何が起こるか分からないのに、あなたの人生は何ですか?それはほんの少しの間現れては消えてしまう蒸気でさえもです。代わりに、あなたはこう言うべきです、主の御心ならば、私たちは生きてこれやこれをするでしょう.??

2. ローマ 12:1-2 - ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたは自分の体を、神に受け入れられる、聖なる生きたいけにえとして捧げてください、それがあなたがたの当然の奉仕です。そして、この世に順応するのではなく、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明できるように、心を新たにして変えられなさい。

マタイ 26:43 それでイエスが来て見ると、彼らは再び眠っていた。彼らの目は重かったからである。

イエスは弟子たちが疲れているにもかかわらず、また眠っているのを見つけました。

1.？準備完了: 目を覚まして注意してください??

2.？忠実な人: イエスを覚えていますか??犠牲??

1. イザヤ書 40:31 - ?主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは失神せずに歩けるでしょう。

2. ヘブライ人への手紙 11:1 - ?信仰は、期待されるものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

マタイ 26:44 それから、イエスは彼らを残して、再び立ち去り、同じ言葉を言って三度目に祈った。

イエスはゲツセマネの園で三度祈り、そのたびに同じ言葉を繰り返しました。

1. 祈りの力: ゲツセマネの園におけるイエスの模範

2. 繰り返しの祈りの慰め：ゲツセマネの園におけるイエスの模範

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 - ?何事も心配しないでください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. ヤコブ 5:16 - ?したがって、あなたが癒されるように、互いに罪を告白し、お互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力を持って働きます。

マタイ 26:45 それからイエスは弟子たちのところに来て言われた、「さあ、寝て、休みなさい。見よ、時が近づいており、人の子は罪人の手に渡される。」

イエスは弟子たちのところへ行き、裏切りの時が近づいているので休むように言いました。

1. 試練の時の休息の重要性

2. 神の計画を理解し、受け入れる

1. 詩篇 4:8 - 平和のうちに、私は横になって眠ります。主よ、あなただけが私を安全に住まわせてください。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

マタイ 26:46 立って、行きましょう。見よ、私を裏切る者がすぐ近くにいます。

この箇所はイエスの差し迫った裏切りについて語っています。

1. 裏切りに直面したイエスの強さ

2. 逆境に直面したときの許しの力

1. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない」。」

2. ヨハネ 14:27 - 「わたしは平安をあなたたちに残します。わたしの平和をあなたたちに与えます。世が与えるのとは違い、わたしはあなたたちに与えます。あなたたちの心を騒がせてはなりませんし、恐れさせてはなりません。」

マタイ 26:47 彼がまだ話している間に、見よ、十二人の一人であるユダが、祭司長や民の長老たちから剣や杖を持った大勢の群衆とともにやって来た。

イエスの12人の弟子の一人であるユダが、剣と杖で武装した祭司長や民の長老たちからの大群衆とともに到着しました。

1. ユダの裏切り: 信仰を揺るがす危険

2. 困難な時にしっかりと立つ: イエスの逮捕からの教訓

1. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人類によくある誘惑以外に、あなたがたを襲った誘惑はありません。そして神は真実です。耐えられる以上の誘惑には遭わせません。しかし、あなたが誘惑されたとき、神はまた、誘惑を与えてくださいます。」あなたが耐えられるように逃げてください。」

2. 詩篇 37:5-7 - 「あなたの道を主に委ねなさい。主を信じなさい。そうすれば主はこうしてくださるでしょう。主はあなたの義を夜明けのように輝かせ、あなたの大義の正義を真昼の太陽のように輝かせてくださいます。神の前でじっとしていなさい。」主よ、忍耐強く彼を待ち望み、人々が自分の道で成功したとき、邪悪な計画を実行したとき、心配しないでください。」

マタイ 26:48 さて、自分を裏切った者は、彼らにしるしを与えて言った。

イエスは弟子たちに、しるしを通して裏切り者を見分けるように指示しました。

1. イエスの裏切り: イエスの指示の重要性を理解する。2. 裏切りにもかかわらずイエスの愛の力を明らかにする。

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。 2. ルカ 22:48 - イエスは彼に言われました。쏪 udas、あなたはキスで人の子を裏切るのですか？

マタイ 26:49 すると、すぐにイエスのところに来て、「先生、万歳」と言った。そして彼にキスをした。

イエスの弟子ユダはイエスにキスをして挨拶しました。

1. キスの力: ユダから何を学べるか?

2. 園での裏切り: ユダの行動を理解する。

1. ルカ 22:47-48、?そして、彼がまだ話している間に、見よ、群衆がいて、12人の一人であるユダと呼ばれる彼が彼らの前に行き、イエスに近づき、キスをしました。しかしイエスは彼に言った、「ユダ、キスで人の子を裏切るのか？」

2. コリント第二 11:14、?驚くべきことではありません。サタン自身が光の天使に変身するからです。

マタイ 26:50 するとイエスは彼に言われた、「友よ、どうして来たのですか」。それから彼らがやって来て、イエスに手を置いて、彼を捕まえた。

イエスは裏切られて逮捕されます。

1: イエスは、裏切りに直面しても愛と友情を模範としています。

2: イエスは、困難な状況にもかかわらず神に忠実を保つ方法の模範です。

1: ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

17 なぜなら、神は世を罪に定めるために御子を世に遣わされたのではありません。しかし、彼を通して世界が救われるためです。

2: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。

3 このことを知って、信仰を試すには忍耐が必要です。

4 しかし、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完全で完全なものになることができます。

マタイ 26:51 すると、見よ、イエスと一緒にいた者の一人が手を伸ばして剣を抜いて、大祭司の家来に斬りかかり、その耳を切り落とした。

イエスは弟子たちが自分を守るために暴力を振るうのを防ぎました。

1: 問題を解決するためにすぐに暴力に訴えてはいけません。

2: 困難な状況では、もう片方の頬を向けてイエスの例に倣いましょう。

1: ローマ 12:17-21 - 誰にも悪に悪を返さず、すべての人の目に名誉あることを行うよう考えてください。可能であれば、それがあなた次第である限り、すべての人たちと平和に暮らしてください。

2: マタイ 5:38-42 - あなたはこう言われたのを聞いたことがあるでしょう。目には目を、歯には歯を。??しかし、私はあなたに言います、悪しき者に逆らうな。しかし、誰かがあなたの右頬を平手打ちした場合は、もう片方の頬もその人のほうを向いてください。

マタイ 26:52 そこで、イエスは彼に言われた、「あなたの剣を再び彼の代わりに立てなさい。剣を取る者はみな剣で滅びるからです。」

イエスは弟子に剣を納めるように言い、剣を取る者は剣によって滅びると警告しました。

1. 私たちの行動には結果がある - 箴言 16:18

2. もう一方の頬を向ける - マタイ 5:38-39

1. ローマ人への手紙 12:19-21

2. ヤコブ4:1-3

マタイ 26:53 私が今、父に祈ることができないと思いますか、そして父は今私に十二軍団以上の天使を与えてくださるでしょう。

この聖句はイエスの力を示しており、イエスは御父に12軍団以上の天使を送ってくださるよう呼びかけることができると述べています。

1. 祈りの力: イエスの模範から学ぶ

2. 全能者への信仰を持つ：神の力と強さに頼る

1. ルカ 18:27 - 永遠の命を受け継ぐためには何をしなければならないかを尋ねた金持ちの支配者に、イエスはこう答えました。帽子は人間には不可能ですが、神には可能です。

2. エペソ人への手紙 3:20 - ?私たちの内に働いている力に応じて、私たちが求めたり考えたりすることよりもはるかに豊かに行うことができる神のおかげです。

マタイ 26:54 しかし、では、こうでなければならないという聖書の言葉は、どのようにして成就するのでしょうか。

イエスは聖書を参照して、預言が成就するためには何かが起こらなければならないと説明しました。

1. 預言の力: 神の言葉が私たちの生活をどのように実現するか

2. 聖書に従って生きる: 預言をどのように実現できるか

1. イザヤ書 46:10-11 - わたしは初めから、古代から、これから起こることの終わりを知らせます。私は言う、？あなたの目的は変わりません、そして私は私が望むすべてを行います。

2. ガラテヤ 3:8 - 聖書は、神が異邦人を信仰によって義とされることを予見し、事前にアブラハムに福音を告げました。あなたを通してすべての国々が祝福されるでしょう。

マタイ 26:55 その同じ時間に、イエスは群衆に言われた、「あなたがたは、私を連れて行くために、剣や杖を持って強盗に対抗するつもりで出てくるのか。」私は毎日神殿であなたたちと一緒に座って教えていましたが、あなたたちは私を束縛しませんでした。

イエスは、毎日神殿で公然と教えていたときに、泥棒と同じようにイエスを逮捕する群衆の偽善を非難しました。

1. 偽善の危険性: イエスは群衆の不当な行為をどのように非難したか

2. 神の正義: イエスはどのようにして群衆の悪行を正しく非難したのか

1. マタイ 23:27-28 - 「偽善者である律法学者とパリサイ人たち、あなたたちは災いです。あなたたちは白い墓のようなものです。墓は確かに外面的には美しく見えますが、中は死者の骨とあらゆる汚れで満ちています。それでもです。あなたがたもまた、人々に対して外面的には義人に見えるが、内心は偽善と不法に満ちている。」

2. ローマ人への手紙 2:1-3 「ですから、おお、あなたが裁く者は誰であれ、あなたは許しがたいのです。なぜなら、あなたが他の人を裁くとき、あなたは自分自身を非難するのです。なぜなら、裁くあなたも同じことをするからです。しかし、私たちはその裁きが正しいと確信しています。」」

マタイ 26:56 しかし、これらすべては預言者の経典が成就するために行われたのです。すると弟子たちはみな彼を見捨てて逃げた。

この箇所は、旧約聖書の預言を成就するために弟子たちがどのようにイエスを捨てたかを説明しています。

1. 「逆境に直面してもしっかりと立つ：弟子たちとイエスからの教訓」

2.「神の計画の実現: 弟子たち、イエス、そして預言者の聖書」

1. 詩篇 22:1-31 - わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

マタイ 26:57 それから、イエスを捕らえていた人々は、大祭司カヤパのところへ連れて行き、そこには律法学者や長老たちが集まっていた。

イエスは捕らえられ、律法学者や長老たちを伴って大祭司カヤパのもとに連れて行かれます。

1. イエスの逮捕の意味 - 逮捕されて裁判にかけられるとはどういう意味ですか?

2. 大祭司カヤファの重要性 - 大祭司の役割はイエスの物語にどのような影響を与えますか?

1. ヨハネ 18:12-14 - それから、ユダヤ人の隊列と隊長と役人たちはイエスを捕まえて縛り、まずアンナスのところへ連れて行きました。なぜなら、彼は同年大祭司だったカイアパの義父だったからである。

2. 使徒 4:5-7 - そして翌日、彼らの支配者たち、長老たち、律法学者たち、大祭司アンナス、カイアファ、ヨハネ、アレクサンダー、そしてそのほかの人々も同様のことになった。大祭司の親族がエルサレムに集まった。

マタイ 26:58 しかし、ペテロは遠くからイエスを追って大祭司の宮殿まで行き、中に入り、召使いたちと一緒に座って最後を見届けた。

ペテロは危険を顧みず、イエスを追って大祭司の宮殿まで行きました。

1. 私たちは、危険にもかかわらずイエスに従ったペテロの勇気と信仰から学ぶことができます。

2. 神から遠く離れていると感じるときでも、私たちは神に近づくための一歩を踏み出すことができます。

1. ヘブライ 11:8-10 - 信仰によって、アブラハムは、後に相続財産として受け取るべき場所に出て行くように召されたとき、従った。そして彼はどこへ行ったのか分からずに出て行きました。

2. マタイ 14:29 - そしてイエスは、「来なさい」と言った。そしてペテロが船から降りると、イエスのところへ行くために水の上を歩いた。

マタイ 26:59 さて、祭司長たち、長老たち、そして議会の全員が、イエスを死刑にするためにイエスに対する偽証を求めた。

祭司長や他の宗教当局はイエスに死刑を宣告するための虚偽の証言を求めた。

1. 冤罪の危険性

2. 真実の力

1. 詩篇 25:2-3 - 「ああ、わが神よ、私はあなたを信頼します。私を恥じさせないでください。私の敵が私を喜ばせてはなりません。本当に、あなたを待ち望む者は誰も恥をかかされることはありません。彼らは恥をかかされるでしょう。」不当な裏切り者を恥じなさい。」

2. 箴言 12:17 - 「真実を語る者は正直な証拠を述べるが、偽りの証人は欺きを言う。」

マタイ 26:60 しかし、何も見つかりませんでした。そうです、多くの偽証人が来ましたが、誰も見つけられませんでした。最後に二人の偽証人が現れました。

大祭司とサンヘドリンはイエスに不利な証言をする証人を見つけるのに苦労したが、最終的に二人の偽証人を見つけた。

1. 真実の力: たとえ偽りの証人であっても、嘘を正すことはできません。

2. たとえ偽証に直面しても、信仰を堅持することの重要性。

1. 詩篇 119:160 - 「あなたの言葉の要約は真実です。あなたの正しい裁きはすべて永遠に続きます。」

2. ヨハネ 8:44 - 「あなたがたは、あなたの父である悪魔から生まれました。そして、あなたがたは、あなたの父の欲望に従うでしょう。彼は最初から殺人者であり、真理に住んでいません。なぜなら、彼の中に真理がないからです。彼は嘘をつき、自分自身のことを話します。彼は嘘つきであり、嘘つきの父だからです。」

マタイ 26:61 そして言った、「この人は、わたしには神の宮をこわして、三日もあれば建てることができると言っていた。」

大祭司はイエスが神の神殿を破壊し、3日で再建できると主張したとして非難した。

1: 言葉の力 - 私たちが話す言葉がどのように創造または破壊する力を持っているか。

2: イエスの権威 - イエスの神聖な権威は、彼の言葉を通して示されました。

1: ヤコブ 3:5-6 「舌も小さな部分ですが、偉大なことを誇っています。このような小さな火で森が燃え上がるとは、何と大きなことでしょう。そして舌は火であり、不義の世界です」. 舌は私たちのメンバーの間で設定され、体全体を汚し、生涯を通じて火をつけられ、そして地獄によって火をつけられます。」

2: 箴言 18:21 - 「死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。」

マタイ 26:62 そこで大祭司は立ち上がって彼に言った、「何も答えないのか」。彼らがあなたに対して証言しているのは何ですか？

大祭司はイエスに答える機会を与えずに質問します。

1: 性急に判断したり質問したりして、人々に答える機会を与えてはいけません。

2: 特に権威のある人に話すときは、話す言葉に注意してください。

1: ヤコブ 1:19 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしましょう。

2: 箴言 18:13 - 聞く前に答えるなら、それはその人の愚かさであり、恥である。

マタイ 26:63 しかし、イエスは黙っておられた。すると大祭司は答えて言った、「生ける神にかけて申し上げます。あなたが神の子キリストであるかどうか教えてください。」

大祭司はイエスに、自分は神の子キリストなのかと尋ねましたが、イエスは答えられませんでした。

1. 難しい選択に直面したときは、神の御心を求め、神の導きを信頼してください。

2. 最も困難な状況にあっても、私たちは神の計画に忠実であり続けることができます。

1. ヨハネ 14:27 - 「わたしはあなたたちに平安を残します。わたしの平和をあなたたちに与えます。世が与えるのではなく、わたしがあなたたちに与えます。あなたの心を騒がせてはなりませんし、恐れさせてはなりません。」

2. イザヤ書 26:3 - 「あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保たれます。なぜなら、彼はあなたを信頼しているからです。」

マタイ 26:64 イエスは彼に言われた、「あなたは言いました。それでも、あなたに言います。あなたがたは、これから、人の子が権力の右に座し、天の雲に乗って来るのを見るでしょう。」

イエスは人の子としての権威と力を宣言します。

1: イエスは王の中の王であり、主の中の主です。

2: イエスは雲に乗って再び来られるメシアです。

1: 黙示録 19:11-16 - イエスは王の中の王、主の中の主です。

2: ゼカリヤ 14:4-5 - イエスは雲に乗って来られます。

マタイ 26:65 そこで、大祭司は衣服を引き裂いて、「彼は冒涜を言った。私たちに証人がこれ以上必要ですか？見よ、今あなたがたは彼の冒涜を聞いた。

大祭司はイエスを冒涜の罪で非難します。

1: たとえ難しい場合でも、神の真実を語ります。

2: 自分の信じるもののために立ち上がることを恐れないでください。

1: ヨハネ 15:13 - 人が友人のために自分の命を捨てること以上に大きな愛はありません。

2: 1 コリント 15:58 - ですから、愛する兄弟たちよ、あなたがたはしっかりして、動かず、常に主の働きに精を出しなさい。自分の労苦が主にあって無駄ではないことを知っているからです。

マタイ 26:66 あなたはどう思いますか。彼らは答えて、「彼は死の罪を犯している」と言いました。

この箇所は、イエスを告発した人々がイエスに死刑の有罪を宣告した評決を説明しています。

1. 弟子としての代価: 人類の救いのためのイエスの犠牲

2. 十字架の力: イエスの死と復活を理解する

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

マタイ 26:67 それから彼らは彼の顔に唾を吐きかけ、彼を殴りつけた。他の者たちは手のひらで彼を殴り、

イエスは屈辱と身体的虐待を受けました。

1: イエスの苦しみと、イエスが私たちのためにそれを喜んで経験してくださったことを忘れてはなりません。

2: たとえ試練の時であっても、私たちは謙虚で神に従順であるように努めるべきです。

1: イザヤ書 50:6 「わたしは打つ者たちに背中を与え、髪の毛をむしり取る者たちに頬を差し出した。恥と唾を吐きかけることから顔を隠さなかった。」

2: ヘブル人への手紙 12:2-3 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見てください。イエスは、目の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。」。」

マタイ 26:68 こう言う、「キリストよ、わたしたちに預言してください。あなたを打ったのは誰ですか。」

この箇所は、イエスの裁判中に大祭司とその付添人がイエスを嘲笑したことについて述べています。

1: イエスの忍耐、謙虚さ、許しの模範は、困難な時代における私たちの模範です。

2: 私たちは、逆境に直面したときのイエスの勇気と信仰の模範から学ぶことができます。

1: イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2: 1 ペテロ 2:21-23 - あなたがこのために召されたのは、キリストがあなたのために苦しみ、あなたがその足跡に従うように模範を残されたからです。? eは何の罪も犯していませんし、彼の口には何の偽りも見つかりませんでした。??彼らが彼に侮辱を投げかけたとき、彼は報復しませんでした。苦しんでいるときも、彼は脅しをしませんでした。むしろ、正しく裁く方に自分を委ねたのです。

マタイ 26:69 さて、ペテロが宮殿の外に座っていたとき、乙女が彼のところに来て、「あなたもガリラヤのイエスと一緒にいたのです」と言った。

ペテロはイエスを三度否認しましたが、この箇所は三度目の否認について語っています。

1: 私たちの行動には結果が伴うため、私たちは自分の信仰を反映した人生を送るように注意しなければなりません。

2: 私たちは、外部からの圧力に関係なく、謙虚さを保ち、恥じることなく信仰を宣言するよう努めるべきです。

1: 1 ヨハネ 2:28 - そして今、幼い子供たちよ、イエスの内にとどまりなさい。それは、彼が現れるとき、私たちが自信を持って、彼の再臨の際に彼の前で恥じることがないようにするためです。

2: マタイ 10:33 - しかし、人の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で否認します。

マタイ 26:70 しかし、彼は皆の前で否定して、「あなたが何を言っているか知りません」と言った。

この箇所では、ペテロがイエスを三度否定したことが詳しく語られています。

1: 逆境に直面しても、私たちは信仰に忠実であり、信念をしっかりと貫かなければなりません。

2: たとえプレッシャーや危険に直面したとしても、私たちはイエスを知っていると認めることを決して恥じるべきではありません。

1: ヨハネ 16:33 - 「わたしがこれらのことを言ったのは、あなたがわたしのうちに平安を得るためです。世ではあなたがたに患難があるでしょう。しかし、元気を出してください。わたしは世に勝ったのです。

2: テモテ第一 6:12 - ?信仰の戦いを頑張ってください。あなたが召され、多くの証人の面前でそれについて良い告白をした永遠の命を掴んでください。

マタイ 26:71 そして、彼が玄関に出て行ったとき、別の女中が彼を見て、そこにいた人々に言った、「この人もナザレのイエスと一緒にいました。」

メイドはペテロがナザレのイエスと一緒にいた人であることを認識しました。

1: たとえ人々に認められなくても、私たちは常にイエスに従うべきです。

2: たとえ批判に直面しても、私たちは信仰を守ることができます。

1: マタイ 10:32-33 ?したがって、人々の前でわたしを告白する者は誰であれ、わたしも天におられるわたしの父の前で告白するであろう。しかし、人々の前で私を否認する者は誰でも、私は天におられる私の父の前でもその者を否認するであろう。

2: ピリピ人への手紙 1:27-28 ?あなたの行動がキリストの福音にふさわしいものとなるようにしてください。そうすれば、私があなたに会いに来ても、不在でも、あなたの事情を聞くことができます。そして、あなたが精神を一つにしてしっかりと立ち、心を一つにして神の信仰のために共に努力してください。福音。？？

マタイ 26:72 そしてまた彼は、「私はその男を知りません」と誓って否定した。

ペテロは、誓いを立てたにもかかわらず、イエスを知らないことを三度否定しました。

1. キリストを否認する危険 - ペテロが犯したのと同じ間違いを避けるにはどうすればよいか。

2. 神の恵みの力 - イエスがペテロの否認にもかかわらずどのようにしてペテロに許しを与えたか。

1. ローマ 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が主を死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということ。

2. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

マタイ 26:73 しばらくして、そばにいた人々がペテロのところに来て、「確かにあなたも彼らの一人です。」と言った。あなたのスピーチはあなたを惑わすからです。

ペテロはイエスを弟子の一人であると認めた後、イエスを三度否定しました。

1: ペテロのようにならないでください。自分の信仰と信念をしっかりと持ちなさい。

2: 逆境に直面しても勇気を持ち、声を上げることを恐れないでください。

1: ヨシュア記 1:9 「わたしがあなたに命じたではありませんか。強く、勇気を持ちなさい。恐れることなく、落胆することはありません。あなたの神、主はどこへ行ってもあなたとともにおられます。」

2: ヘブライ 10:35 - 「だから、あなたの自信を捨ててはなりません。それは大きな報いをもたらします。」

マタイ 26:74 それから、彼はののしり、ののしり始めて、「私はその男を知りません」と言った。そしてすぐにコッククルー。

この箇所には、鶏が鳴く前にペテロがイエスを三度否定したことが記されています。

1. キリストを否認することの危険性: ペテロの否認についての考察

2. 一瞬の力: ピーターの否認におけるタイミングの重要性

1. マタイ 26:31-35 - イエスはペテロの否認を予告する

2. ペテロ第一 5:8 - 警戒し、冷静な心を持ちなさい。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのように食いつくべき者を探して歩き回っています。

マタイ 26:75 そこでペテロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを否むだろう」と言われたイエスの言葉を思い出した。そして彼は外に出て激しく泣きました。

イエスが警告したにもかかわらず、ペテロはイエスを三度否定しました。

1: 私たちはペテロの間違いから学び、困難な状況に直面しても信仰を堅持し続けなければなりません。

2: イエスが何かについて私たちに警告したとき、それを真剣に受け止め、イエスの導きを信頼することが重要です。

1: ルカ 22:31-32 「主は言われた、『よ、イモン、シモン！』確かに、サタンはあなたを麦のようにふるいにかけようと願った。しかし、わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った」そしてあなたがわたしのもとに戻ったら、兄弟たちを力づけてください。

2: ヤコブ 1:12 - 「誘惑に耐える人は幸いです。その人は認められたとき、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。」

マタイ 27 章はマタイによる福音書の 27 章であり、イエスの十字架、死、埋葬に至るまでの出来事に焦点を当てています。

第 1 段落: この章はイエスの裏切りと裁判から始まります (マタイ 27:1-26)。イエスの弟子の一人であるイスカリオテのユダは、自分の裏切りを後悔し、銀貨30枚を祭司長たちに返しました。罪悪感に圧倒されたユダは首を吊って自殺します。一方、イエスはローマ総督ピラトの前に連れて行かれます。イエスに何の落ち度もなかったにもかかわらず、ピラトは群衆の圧力に屈し、イエスの代わりに悪名高い犯罪者であるバラバを釈放します。そこでピラトはイエスに鞭打って磔刑に引き渡すよう命じた。

第 2 段落: 兵士たちはイエスをゴルゴダの丘に連れて行き、磔刑に処す前にイエスを嘲笑し罵倒します (マタイ 27:27-44)。彼らはイエスに緋色のローブを着せ、イバラの冠をかぶせ、イエスをユダヤ人の王として嘲笑します。イエスは二人の犯罪者と一緒に彼らの間に十字架に釘付けにされます。宗教指導者たちがイエスを救えるというイエスの主張に異議を唱える中、通行人もイエスを嘲笑します。正午から午後 3 時まで闇が地上に降り注ぎます。

第 3 段落: イエスが十字架上で息を引き取ると (マタイ 27:45-66)、地震が発生し、墓が開き、死んだ聖徒の一部が復活します。ある百人隊長は、まさに「この人は神の子だった」と告白します。密かにイエスに従う弟子であるアリマタヤのヨセフは、埋葬のためにイエスの遺体を管理する許可をピラトに大胆に求めますジョセフはそれを清潔な亜麻布で包み、マグダラのマリアともう一人のマリアが見守る中、岩を彫った自分の新しい墓に置きます。

要約すれば、

マタイの福音書第 27 章では、ユダの後悔と自殺、ピラトの前でのイエスの裁判、犯罪者と並んでの十字架刑、そして最終的な死と埋葬が描かれています。

兵士たちはイエスをあざけり、虐待し、十字架につけるためゴルゴダの丘に連れて行きました。闇が土地を覆い、通行人は彼を嘲笑し、宗教指導者は彼の主張に異議を唱えます。

イエスが十字架で死ぬと、地震が起こり、墓が開き、百人隊長がイエスが神の子であると告白します。アリマタヤのヨセフは、マグダラのマリアともう一人のマリアが見守る中、イエスの遺体を自分の墓に埋葬するよう大胆に要請します。この章では、人類の救いのためのイエスの犠牲をめぐる厳粛な出来事を紹介します。

マタイ 27:1 朝になると、祭司長たちと民の長老たちは皆、イエスを死刑にしようと相談した。

祭司長たちと長老たちはイエスを殺そうと共謀しました。

1. 人ではなく神に仕える - 使徒 5:29

2. 世に自分をその型にはめ込まれないでください - ローマ 12:2

1. ローマ人への手紙 3:23、「すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。」

2. ローマ人への手紙 5:8、「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

マタイ 27:2 そして彼らは彼を縛って連れ去り、総督ポンテオ・ピラトに引き渡した。

イエスは逮捕されて縛り上げられ、総督ポンテオ・ピラトに引き渡されました。

1. 迫害に直面したときの信仰の力

2. イエスの奇跡的な愛

1. 使徒 4:19-20 - しかし、ペテロとヨハネは答えて彼らに言った、「神よりもあなたがたの言うことを聞くことが神の目に正しいかどうか、あなたがたは判断してください。」なぜなら、私たちは見聞きしたことを語らざるを得ないからです。

2. ペテロ第一 2:21-22 - あなたがたもここに召されたのです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残して、その足跡に従うようにとされたからです。誰が罪を犯さなかったのか、彼の口には悪意が見出されませんでした。

マタイ 27:3 そこで、彼を裏切ったユダは、自分が有罪に定められたのを見て悔い改めて、銀貨三十枚を祭司長たちと長老たちに再び持ってきて、

ユダは悔い改め、イエスを裏切ったために与えられたお金を返しました。

1: 私たちは自分の行動の結果を常に認識し、神に許しを求めなければなりません。

2: 失敗したときは、謙虚に悔い改めを求め、罪を償わなければなりません。

1: エレミヤ 31:19 「私は立ち戻った後、悔い改めました。そして教えられた後、私は自分の太ももを打ちました。私は若い頃に非難を受けていたので、恥ずかしく、屈辱的でもありました。」

2: ルカ 17:3-4 「自分に注意を払いなさい。「もしあなたの兄弟が罪を犯したら叱責し、悔い改めたなら赦してください。もし兄弟が一日に七回あなたに対し

て罪を犯し、七回あなたの方を向いて『悔い改めました』と言ったら、あなたは彼を赦さなければなりません。」

マタイ 27:4 「私は罪のない人の血を裏切ったという点で罪を犯しました。」そして彼らは言いました、「それは私たちにとって何ですか？」それを見てください。

ピラトはユダヤ人たちにイエスをどうするべきかと尋ねると、彼らはイエスをどうするかを決めるのは自分の責任であるとピラトに答えました。

1. 自分の行動に責任を持つことの重要性

2. 思いやりと許しの必要性

1. エレミヤ 17:9-10 - 「心は何よりも欺瞞的であり、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。主であるわたしは心を探り、手綱を試み、すべての人にその道に従って与えることさえします。彼の行いの結果によると」

2. ヤコブ 3:17-18 - 「しかし、上からの知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、扱いやすく、憐れみと良い実とに満ちていて、偏りや偽善がありません。正義は平和をもたらす者たちの平和の中に蒔かれるのです。」

マタイ 27:5 それから彼は銀貨を神殿に投げ捨てて立ち去り、行って首を吊った。

イエスの弟子の一人であるイスカリオテのユダはイエスを裏切り、後悔の念に満ちていました。彼は裏切りの対価として支払われた金を返し、その後首を吊って自殺した。

1. 裏切りの危険 - ユダの裏切り行為がイエスと彼自身の人生にどのような影響を与えたか。

2. 悔い改めの力 - ユダの悔い改めと後悔の行為は、罪から離れる力をどのように示しました。

1. 詩篇 51:17 - 「神の犠牲は打ち砕かれた霊、打ち砕かれて悔いた心です、神よ、あなたは軽蔑されません。」

2. ルカ 15:11-32 - 放蕩息子のたとえ - 悔い改めて父親のもとに戻る息子のイエスの物語。

マタイ 27:6 そこで祭司長たちは銀貨を受け取って言った、「これは血の代価なので、宝物庫に入れるのは違法である」。

祭司長たちは血の代価である銀貨を受け取ったが、それを国庫に入れるのは違法であると宣言した。

1. 私たちは、自分の不正行為の対価として報酬を受け取った場合、それを自分の利益のために使用すべきではありません。

2. たとえ疑わしい情報源からのものであっても、私たちは与えられたリソースに対して責任を負わなければなりません。

1. 箴言 16:8 - 義にかなったわずかな収入は、義のない莫大な収入よりも優れています。

2. ペテロ第一 4:3-4 - 過ぎ去った時間は、異邦人がしたいことをし、官能、情念、酩酊、乱交、飲み会、不法の偶像崇拝の中で生きるのに十分だからです。この点に関して、あなたが同じ放蕩の洪水に加わらないと彼らは驚き、あなたを中傷します。

マタイ 27:7 そこで彼らは相談して、よそ者たちを埋めるために陶芸家の畑を買いました。

祭司長や民の長老たちは相談し、イエスを裏切ったことで受け取った金で畑を買い、そこに見知らぬ人を埋めることにした。

1. 「無私の人生を生きる：祭司長と長老たちの模範」

2.「慈悲の力：陶芸家の畑」

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛し合うことです。わたしがあなたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきです。これによって、すべての人はあなたがわたしの弟子であることを知るでしょう」お互いに愛があれば。」

2. イザヤ書 58:6-7 - 「これが私の選んだ断食ではないでしょうか。悪の束縛を解き、くびきの紐を解き、抑圧されている人々を解放し、すべてのくびきを打ち破ることです。飢えた人たちにパンを分け与えたり、ホームレスの貧しい人たちを家に招き入れたりすることではないでしょうか。裸の人を見るとき、自分の肉体から身を隠すのではなく、彼を覆うためですか？」

マタイ 27:8 したがって、今日に至るまで、その野は血の野と呼ばれています。

アケルダマの畑は、イスカリオテのユダがイエスを裏切って得たお金で購入されたため、血の畑と呼ばれていました。

1. キリストの裏切り: 罪の結果の探求

2. 弟子としての代償: イエスのためにすべてを捨てる

1. 使徒 1:18-19、アケルダマの畑の購入について記録

2. ルカ 14:25-33、弟子としての代価について論じている

マタイ 27:9 そのとき、預言者エレミがこう言ったことが成就した。「そして彼らは、イスラエルの人々が大切に思っていた人の代価である銀貨三十枚を受け取った。

この箇所は、イエスのために銀貨30枚が支払われたとき、預言者エレミヤの預言がどのように成就したかについて語っています。

1: 神の計画は必ず実現します。

2: 主の御心と計画を信頼します。

1: イザヤ書 55:11 「わたしの口から出たわたしの言葉は、そのようになります。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送ったもので栄えるでしょう。」

2: 箴言 16:3 「あなたの行いを主に委ねなさい。そうすればあなたの思いは確立される。」

マタイ 27:10 そして、主が私に任命されたとおり、それらを陶工の畑のために与えてくださいました。

ピラトは主から、銀貨30枚を陶芸家に渡すよう命じられ、陶芸家はそれを使って見知らぬ人を埋葬するための畑を購入しました。

1. 神に従うことで変化を起こす - 主に対するピラトの従順が他の人々の生活にどのような影響を与えたか。

2. 小さな贈り物の力 - 一見取るに足らない贈り物が、いかに計り知れない永続的な効果をもたらすか。

1. 使徒 10:38 - 神はすべての人に対する愛と配慮において、どのように偏りを示さないのでしょうか。

2. 箴言 19:17 - 貧しい人に親切な人は主に貸します、そして主はその行いに報いてくださいます。

マタイ 27:11 イエスが総督の前に立たれたので、総督はイエスに尋ねて、「あなたはユダヤ人の王ですか」と言った。するとイエスは彼に言われた、「あなたはそう仰います。」

イエスは尋ねられたとき、ピラトの前で自分の王権を断言しました。

1: イエスは王の中の王、主の中の主である - 黙示録 19:16

2: イエスはこの世の人ではありません - ヨハネ 18:36

1: イエスは栄光の王である - 詩篇 24:10

2: ピラトはイエスに、自分がユダヤ人の王かどうか尋ねた - マルコ 15:2

マタイ 27:12 また、祭司長や長老たちから非難されたとき、彼は何も答えなかった。

この箇所には、イエスが祭司長や長老たちから非難されているにもかかわらず、沈黙を保って応じなかったことが描かれています。

1. 沈黙の力: 告発者に対するイエスの反応を考察する

2. 声を上げることを学ぶ: いつ自分の声を活用するか

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2. ヤコブ 1:19 - 親愛なる兄弟姉妹の皆さん、次のことに注意してください。誰もがすぐに聞き、ゆっくりと話し、ゆっくり怒るべきです。

マタイ 27:13 そこでピラトは彼に言った、「彼らがあなたに対してどれほど多くのことを証言しているか、あなたは聞かないのですか。」

人々はイエスをいろいろと非難しましたが、ピラトはイエスが彼らの言うことを聞いたかどうか尋ねました。

1. 告発に対するイエスの反応: イエスはどのようにして穏やかで平和的な態度で告発に直面したか。

2. 反応したいという衝動に抵抗する: 冤罪に対して怒りや苦々しい気持ちで反応しない。

1. ペテロ第一 2:23 - イエスはののしられても、ののしり返しませんでした。イエスが苦しんだとき、脅迫はせず、正しく裁かれる方に身を委ねました。

2. マタイ 5:43-44 - 「隣人を愛し、敵を憎め」と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを呪う人々を祝福し、あなたを憎む人々に善を行いなさい。

マタイ 27:14 するとイエスは、何も言わないと答えた。知事も非常に驚いたほどだった。

イエスがピラトの前で沈黙したことは、イエスが神の御心に忠実であることを示しています。

1: イエスの神のご意志への献身は非常に強かったので、死に直面しても沈黙を保った。

2: 神のご意志に対するイエスの従順は非常に強かったので、ためらうことなく自分の命を捨てました。

1: ピリピ 2:5-8 - イエスはへりくだり、僕の姿をとり、従順に命を捨てました。

2: イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しんでいましたが、口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれました。

マタイ 27:15 さて、その祭りのとき、総督は民が望んでいる捕虜を釈放することが常だった。

ある祝宴の際、ピラトは民から選ばれた捕虜を釈放するのが慣例であった。

1. 憐れみの力: マタイ 27:15 のピラトの模範を調べる

2. 復讐よりも同情を選ぶ：マタイ 27:15 のピラトの選択を探る

1. 出エジプト記 34:7 - 「何千人もの人々に憐れみを与え、咎と罪と罪を赦しますが、それは決して罪を晴らすものではありません。」

2. ローマ人への手紙 12:19-21 - 「愛する人よ、自分で復讐するのではなく、むしろ怒りに身を任せなさい。『復讐はわたしのすることだ。わたしが報復する、と主は言われる。だから、あなたの敵が飢えているなら、彼に食事を与えなさい。「彼が渇いているなら、水を飲ませなさい。そうすることで、あなたは彼の頭に火の炭を積むことになるからです。悪に勝つのではなく、善をもって悪に勝ちなさい。」

マタイ 27:16 そして彼らには、バラバという名の著名な囚人がいました。

マタイ 27:16 のこの箇所は、著名な囚人であるバラバについて言及しています。

1. 許しの意味 - イエスはどのようにバラバを許したか

2. 憐れみの力 - イエスがバラバにどのように憐れみを示したか

1. ルカ 23:13-25 - ピラトはイエスかバラバを解放するよう申し出ます

2. エペソ人への手紙 2:4-9 - イエスを通しての神の憐れみと恵み

マタイ 27:17 そこで、彼らが集まったとき、ピラトは彼らに言った、「あなたがたは誰をあなたがたに釈放したいのですか。」バラバ、あるいはキリストと呼ばれるイエス?

ピラトは群衆に、バラバとキリストとして知られるイエスのどちらを釈放すべきかと尋ねました。

1. 自由の賜物: 神の恵みがどのように私たちを解放するか

2. 選択の力: 私たちはどのようにして賢明な決定を下すよう求められているのか

1. ローマ人への手紙 6:14-15 - 罪はあなたを支配することができません。あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるからです。

2. エペソ人への手紙 4:17-19 - したがって、私はこれを言い、主にあって証します。あなたがたは今後、他の異邦人のように空虚な思いで歩むのではありません。

マタイ 27:18 なぜなら、彼らがねたみのために自分を救い出したことを彼は知っていたからです。

イエスは妬みから同胞たちに裏切られ、十字架につけられるために引き渡されました。

1. 羨望の力: それがどのように破壊につながるのか

2. 愛の最大の贈り物: 人類のためのイエスの犠牲

1. 箴言 14:30 - 健全な心は肉の命である、しかし骨の腐りを羨む。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

マタイ 27:19 彼が裁判の座に着くと、彼の妻が彼のもとに人を遣わして言った、「あなたはあの正しい人とは何も関わらないでください。私は今日、夢の中で彼のせいで多くの苦しみを味わったのです。」

この箇所は、ピラトの妻が夫にイエスの無実について警告した内容を詳しく述べています。

1. 神は罪のない人々を守るために超自然的な手段を用います。

2. 配偶者の影響力。

1. ダニエル 2:28-30 - 神は選ばれた人々に奥義を明らかにされます。

2. 箴言 31:11-12 - 妻の助言を求め、それに耳を傾けるべきです。

マタイ 27:20 しかし、祭司長たちと長老たちは、バラバに頼んでイエスを滅ぼすべきだと群衆を説得した。

祭司長と長老たちはイエスの代わりにバラバを釈放するよう群衆を説得し、イエスは死に至りました。

1. 神の意志は人間の選択よりも大きい。

2. 説得ではなく信仰に基づいて正しい決定を下す。

1. イザヤ書 55:8-9 - 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道や私の考えよりも高いからです」あなたの考えよりも。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

マタイ 27:21 総督は答えて彼らに言った、「あなたがたは二人のうちのどちらをあなたに釈放するつもりですか。」彼らは「バラバ」と言いました。

群衆はイエスではなくバラバを選びました。

1.「正しいことをするか、流行っていることをするか」

2. 「イエスに従うとはどういう意味ですか?」

1. イザヤ書 53:12 - 「だから、わたしは彼に分け前を偉い者たちに分け与え、彼は戦利品を強い者たちに分け与えるであろう。彼は死に至るまで魂を注ぎ出したからだ。」

2. マタイ 16:24 - 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。』」

マタイ 27:22 ピラトは彼らに言った、「それでは、キリストと呼ばれるイエスをどうすればよいでしょうか。」彼らはみな彼に、「十字架につけろ」と言います。

人々はイエスを十字架につけるよう要求しました。

1: イエスは私たちの究極の犠牲です。

２：国民の力と政府の権威。

1: イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2: ヨハネ 19:11 - イエスは答えられた、「もしあなたが上から与えられなかったら、あなたには私に対して何の力もないでしょう。ですから、私をあなたに引き渡した者の罪はもっと重いのです。」

マタイ 27:23 すると総督は言った、「いったい、彼はどんな悪事をしたのか」。しかし彼らはますます叫び、「十字架につけろ」と言いました。

ピラトがなぜイエスが間違ったことをしたのか尋ねたにもかかわらず、群衆はイエスを十字架につけるように要求した。

1. 群衆の力: 周囲からの圧力がどのようにして誤った判断につながるのか

2. イエスの磔刑: 犠牲と許しの最大の例

1. マタイ 27:23 - 「十字架につけさせなさい」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

マタイ 27:24 ピラトは、自分では何も打ち負かすことができず、むしろ騒ぎが起こっているのを見て、水を汲み、群衆の前で手を洗い、こう言いました、「私はこの正しい人の血について無実です。あなたがたはそれに注意してください」。

ピラトは群衆を制御できず、イエスの死に対する無実の象徴として手を洗いました。

1. 聖書における象徴の力

2. 正義と不義の対立

1. イザヤ書 1:15-18 - あなたが手を広げて祈るとき、私はあなたから目を隠します。たとえあなたがたくさん祈っても、私は聞き入れません。手が血だらけになってるよ！

2. 詩篇 51:1-2 - 神よ、あなたの変わらぬ愛に従って、私を憐れんでください。あなたの深い憐れみにより、私の罪を消し去ってくださいます。私の咎をすべて洗い流し、罪から私を清めてください。

マタイ 27:25 それから民全員が答えて言った、「彼の血は私たちと私たちの子供たちに降りかかりますように。」

この聖句は、イエスの死の結果を自分たちのこととして受け入れる人々の姿勢について語っています。

1.「言葉の力：自分の言葉と行動を自分のものにする」

2.「イエスの血：彼の犠牲、私たちの救い」

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神は、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、私たちに対する愛を示してくださいました。」

2. ルカ 23:34 - 「そしてイエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分たちが何をしているのか分かっていません。」

マタイ 27:26 それからバラバを彼らに釈放し、イエスを鞭打った後、十字架につけるよう引き渡した。

ピラトはバラバを釈放し、イエスを鞭打ってから十字架につけさせました。

1. 私たちの救いの代償: 犠牲の愛と十字架

2. 許しの力: イエスの最大の贈り物

1. ルカ 23:34 - そこでイエスは、「父よ、彼らをお赦しください」と言われました。彼らは自分たちが何をしているのか分かっていないからです。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

マタイ 27:27 それから、総督の兵士たちはイエスを集会所に連れて行き、兵士全員をイエスのもとに集めた。

総督の兵士たちはイエスを集会所に連れて行き、大勢の兵士を集めた。

1. 神は私たちのために計画を持っており、私たちが最も暗い瞬間にさえ、神は今も私たちとともにおられます。

2. 私たちは自分の行動の結果に喜んで向き合い、神の意志を受け入れなければなりません。

1. イザヤ書 43:1-2 - 「しかし今、主はこう言われます。ヤコブよ、あなたを創造した方、イスラエルよ、あなたを形作った方です。「恐れるな、わたしはあなたを贖ったからである。」私はあなたを名前で呼びました。あなたは私のものです。あなたが水域を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして、あなたが川を通過するとき、川はあなたを押し流すことはありません。火の中を歩いても火傷することはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。」

2. イザヤ書 41:10 - 「だから恐れないでください。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。」

マタイ 27:28 そして彼らはイエスの服をはぎ取り、緋色の衣を着せた。

兵士たちはイエスの裸を剥ぎ取り、緋色のローブを着せました。

1. 屈辱の緋色のローブ：私たちの救いのためのイエスの犠牲

2. 謙虚さのローブ: 王の中の王からの謙虚さの教訓

1. イザヤ書 53:3: 「彼は人々に軽蔑され、拒絶され、悲しみの人で、悲しみを知っていました。そして、人々が顔を隠す者として彼は軽蔑され、私たちは彼を尊敬しませんでした。」

2. ピリピ人への手紙 2:5-8: 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿でありながら、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にして、」

マタイ 27:29 そして、いばらの冠をかぶせて、それを彼の頭にかぶせ、右手に葦を持たせ、彼の前に膝をかがめて、「ユダヤ人の王、万歳」と言って彼を嘲笑した。

兵士たちはイエスの頭にいばらの冠をかぶせ、右手に葦を置き、「ユダヤ人の王万歳」と言ってイエスを嘲笑した。

1. 嘲りの力: イエスは屈辱にいかに勝利したか

2. 真の王: イエスは苦しみにもかかわらずどのように認められたか

1. イザヤ書 53:3-5 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑さ

れており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2. ピリピ 2:8-11 - そして、男性としての流行に見出され、へりくだり、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

マタイ 27:30 そこで彼らはイエスに唾を吐きかけ、葦を取り上げて頭を打った。

兵士たちはイエスを嘲笑し、暴行を加えました。

1: イエスは私たちに救いをもたらすために屈辱や肉体的苦痛を喜んで受け入れました。

2: 私たちは喜んでイエスの模範に従い、恵みをもって苦しみに耐えるべきです。

1: ペテロ第一 2:20-21 「罪を犯し、そのために打たれたときに耐えたとしても、何の功績があるでしょうか。しかし、善を行い、そのために苦しみを耐え忍ぶなら、それは神の目にはありがたいことです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残して、その足跡に従うようになられたからです。」

2: イザヤ書 53:5-6 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通されました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に与えられた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。私たち羊のような者は皆、道に迷ってしまったのです。私たちは――誰もが――自分の道を向いた。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせた。」

マタイ 27:31 そして、彼らは彼を嘲笑した後、その上着を脱がせ、自分の着物を着せ、十字架につけるため連れ去った。

イエスは嘲笑され、十字架につけられるために連れ去られました。

1: 私たちがどれほど嘲笑され迫害されても、イエスは逆境に直面したときの謙虚さと勇気の究極の模範でした。

2: わたしたちは、反対に直面しても忍耐と信仰を示したイエスの模範に慰められるべきです。

1: ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスにあって、この心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2: 1 ペテロ 2:21-23 - あなたがこのために召されたのは、キリストもあなたのために苦しみ、あなたがその足跡に従うように模範を残されたからです。彼は罪を犯しておらず、彼の口に偽りも見られませんでした。彼はののしられても、ののしり返しませんでした。苦しんでいるときも、脅すことはせず、正しく裁いて下さる方に身を委ね続けました。

マタイ 27:32 彼らが出てくると、キレネ人、名はシモンという人を見つけた。彼らは彼に十字架を背負わせた。

二人のローマ兵がキレネのシモンにイエス・キリストの十字架を運ぶのを手伝わせるよう強要する。

1. イエスは他の人の助けによって苦しみと悲しみを克服しました。

2. 互いに重荷を負い合うことは、キリストの十字架を担うことです。

1. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

2. マタイ 11:28-30 - 「すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。「あなたはあなたの魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の重荷は軽いからです。」

マタイ 27:33 そして、彼らはゴルゴタと呼ばれる場所、つまりどくろの場所に来たとき、

イエスが磔刑に処せられた場所はゴルゴタと呼ばれ、「頭蓋骨の場所」という意味です。

1. イエスの頭蓋骨：私たちの救いの象徴

2. ゴルゴタの意味：磔刑の場所

1. ルカ 23:33-34 - 彼らは髑髏と呼ばれる場所に来ると、そこでイエスと犯罪者たちを一人ずつ右に、一人を左に十字架につけました。

2. ヨハネ 19:17-18 - そこで彼らはイエスを連れて行き、イエスはご自分の十字架を背負って、ヘブライ語でゴルゴタと呼ばれる頭蓋骨の場所と呼ばれる場所へ出て行かれました。そこで彼らはイエスを十字架につけ、イエスとともに他の二人の男、一人は両側に、イエスはその間にいた。

マタイ 27:34 彼らは彼に胆汁を混ぜた酢を与えたが、彼はそれを味見したが、飲もうとしなかった。

兵士たちはイエスに酢と胆汁を混ぜたものを勧めましたが、イエスはそれを飲むことを拒否されました。

1. イエスの苦しみ: すべてが絶望的に見えるときにどう対処するか

2. 神の計画に対するイエスの揺るぎない信仰と信頼

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開けませんでした。彼は子羊として屠殺場に連れて行かれ、毛を刈る者の前に立つ羊のように口が利けないので、口を開かなかったのです。

2. マタイ 26:39 - そして、彼は少し進んで、ひれ伏して、こう言いました。しおれる。

を引いて衣を分けた。「彼らはわたしの衣を彼らの間で分け、わたしの衣についてくじを引いた」という預言者が言ったことが成就するためである。

イエスは十字架につけられ、彼の衣服が人々に分けられ、彼の衣服がくじ引きで分けられるという預言が成就しました。

1. イエスの忠実さ: 預言の成就

2. 私たちの決断の力: くじ引きの重要性

1. イザヤ書 53:12 「それゆえ、わたしは彼に偉い者たちに分け与え、彼は戦利品を強い者たちに分け与えるであろう。彼は死に至るまで魂を注ぎ出したからである。そして彼は罪を犯した者たちと数えられ、そして彼はその罪を負った」多くの人の罪を犯し、違反者のために執り成しを行ったのです。」

2. 箴言 16:33 「くじはひざに投げられますが、その処分はすべて主から出ます。」

マタイ 27:36 そこで彼らは座ってそこにいるイエスを見つめた。

兵士たちはイエスが十字架につけられているのを見つめました。

1. 証しの力: 十字架の兵士たちから学ぶ

2. イエスの犠牲：究極の愛の表現

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. ヨハネ 15:13 - 「友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

マタイ 27:37 そして、彼の頭の上に、「これはユダヤ人の王イエスです」と書いた告発文を掲げた。

十字架上のイエスの頭上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書かれた看板が置かれていました。

1. イエスの王権: それが私たちにとって何を意味するか

2. イエスの王権のしるし: それが私たちにとって何を意味するか

1. ヨハネ 3:17 - 「神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、世が御子を通して救われるためです。」

2. ローマ人への手紙 8:1-3 - 「ですから、今ではキリスト・イエスにある者たちに罪に定められることはありません。命の御霊の法則が、キリスト・イエスにあってあなたを罪と死の法則から解放したからです。神がそうしてくださったからです。「肉によって弱められた律法ではできなかったことをしたのです。ご自分の御子を罪深い肉に似せて罪のために遣わすことによって、肉において罪を罪に定めたのです。」

マタイ 27:38 そのとき、二人の強盗がイエスとともに十字架につけられ、一人は右手、もう一人は左手であった。

イエスは二人の犯罪者とともに十字架につけられ、一人は彼の右に、もう一人は左に置かれました。

1. イエスの十字架の意味: イエスの最後の時間の重要性を理解する

2. 許しの力: イエスの謙虚さと慈悲の模範

1. ルカ 23:43 - するとイエスは彼に言われた、「はっきり言っておくが、今日あなたはわたしと一緒にパラダイスにいるであろう。」

2. ヨハネ 8:1-11 - しかし、イエスはオリーブ山へ行かれました。朝早く、彼は再び神殿にやって来ました。人々はみな彼のところにやって来たので、彼は座って彼らに教えました。

マタイ 27:39 すると、そこを通りかかった人々が、頭を振りながらイエスをののしった。

イエスのそばを通りかかった人々はイエスを嘲笑し、不支持を示しました。

1. 「言葉の力: 築き上げるか壊すかをどのように選択できるか」

2. 「イエスの苦しみを理解する：イエスの必要な時に寄り添う」

1. ヘブライ 13:12-13 - 「それで、イエスも、ご自分の血で民を聖別するために、門の外で苦しみを受けました。ですから、私たちは、彼の非難を耐えながら、陣営の外で彼のところへ出て行こうではありませんか。」

2. 箴言 18:21 - 「死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べるであろう。」

マタイ 27:40 そして言った、「神殿を破壊し、三日で建てる者よ、自分を救ってください。」もしあなたが神の子なら、十字架から降りてください。

群衆はイエスを嘲笑し、神の子なら自分を救えと言いました。

1: イエスは、逆境や疑いに直面しても信仰の力をどのように示されましたか。

2: たとえ全世界が私たちに敵対しているように見えるときでも、神に信頼を置くことの重要性を理解する。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: マタイ 16:24-26 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救おうとする者はそれを失うが、負ける者はだれでもあるからである』」

マタイ 27:41 同様に、祭司長たちも、律法学者や長老たちとともに、彼をあざけてこう言った。

祭司長、律法学者、長老たちはイエスを嘲笑しました。

1: 嘲笑の危険性

2: 謙虚さの力

1: ヤコブ 4:10、「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

2: エペソ人への手紙 4:29、「あなたがたの口からは、堕落させるような話を出してはなりません。ただ、聞く者に恵みを与えるために、時宜に応じて、人を築き上げるのに役立つような話だけをしてください。」

マタイ 27:42 彼は他の人を救いました。彼自身を救うことはできない。もし彼がイスラエルの王なら、今すぐ十字架から降りてもらいましょう。そうすれば私たちは彼を信じます。

人々はイエスが自分がイスラエルの王であると主張していることを嘲笑し、信じてほしければ十字架から降りてくださいと頼みました。

1. イエスの謙虚さ: イエスが私たちの救いのために十字架の死にどのようにへりくだったのか。

2. 信仰の力: 疑いや恐れにもかかわらず、イエスへの信仰がどのように私たちに救いをもたらすのか。

1. ピリピ人への手紙 2:7-8 – 「しかし、自分自身を何の評判も持たず、召使の姿をとり、人間に似せて作られました。そして、男性のようにファッションされていることがわかり、へりくだったので、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。」

2. ヘブライ 11:1 – 「さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

マタイ 27:43 彼は神を信頼しました。もし彼が彼を手に入れたいなら、今すぐ彼を救ってあげましょう。彼は言ったからです、私は神の子です。

祭司長や律法教師たちはイエスを嘲笑し、もし彼が本当に神の子なら救い出してくれるように神に呼び掛けた。

1. 神の救いの計画: イエスの苦しみがどのように私たちに希望をもたらすか

2. 信頼の力: 状況にかかわらず神に従うことを学ぶ

1. イザヤ書 53:4-5 - 「確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しめられたと尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために刺され、彼は私たちの咎のために打ち砕かれました。彼は私たちに平安をもたらした懲罰であり、彼の傷によって私たちは癒されたのです。」

2. ヘブル人への手紙 12:2 - 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ながら、イエスはご自身の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。」

マタイ 27:44 彼と一緒に十字架につけられた強盗たちも、同じものを彼の歯に投げ入れました。

イエスと一緒に十字架につけられた強盗たちはイエスを嘲笑しました。

1: イエスは嘲笑に耐え、最も暗い時期にあっても信仰を強く持ち続けました。

2: たとえ嘲笑されても、どんな状況でも忠実であり続けることをイエスから学ぶことができます。

1: 1 ペテロ 2:21-23 「なぜなら、あなたがたもここに召されたのです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残して、その足跡に従うようにされたからです。誰が罪を犯さなかったのか、彼の口には悪意が見出されませんでした。、ののしられたときは、再びののしられることはありませんでした。苦しんでいるときも、脅迫はしなかった。しかし、正しく裁く方に身を委ねたのです。」

2: ヘブライ 12:2-3 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見なさい。この人は、自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。なぜなら、あなたがたが疲れ果てて気を失ってしまわないように、自分に対して罪人たちのそのような矛盾に耐えたイエスのことを考えなさい。」

マタイ 27:45 さて、六時から九時まで全地が暗闇となった。

正午になると、3時間にわたって暗闇が全土を覆いました。

1: イエスの犠牲は、私たちが神と和解する道を与えてくれました。

2: イエスが十字架で死んだとき、それは世界にとって陰鬱で暗い時でした。

1: イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通されました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。」

2: ルカ 23:44-46 - 「今、六時ごろでしたが、九時まで全地が闇に包まれました。太陽が輝きを止めたからです。そして神殿の幕が真っ二つに裂けました。イエスは大声で「父よ、わたしの霊を御手に委ねます」と呼びかけられました。そう言い終えたとき、彼は息を引き取った。」

マタイ 27:46 そして九時ごろ、イエスは大声で叫んで言われた、「エリ、エリ、ラマ・サバクタニ？」つまり、わが神、わが神、なぜあなたは私をお見捨てになったのですか。

イエスは、十字架上で苦しみを受けてから9時間目に、なぜ自分が見捨てられたのかを苦しみながら神に叫びました。

1. イエスの苦しみ: 救い主の犠牲を理解する

2. 究極の愛の行為: イエスの放棄を探る

1. 詩篇 22:1-2 - 「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか。なぜあなたは私を救おうとせず、私の苦しみの叫びから遠く離れたのですか。私の神よ、私は日中叫んでいますが、あなたは夜になっても答えないでください、しかし私は休むことができません。」

2. イザヤ書 53:3-4 - 「彼は人類から軽蔑され、拒絶されました。苦しみの人で、痛みをよく知っていました。人々が顔を隠す人と同じように、彼も軽蔑され、私たちは彼を軽蔑していました。確かに彼は彼を軽蔑していました。」私たちの痛みを引き受け、苦しみを引き受けてくれました。」

マタイ 27:47 そこに立っていた人々のうちの何人かは、それを聞いて、「この人はエリアスを呼んでいるのだ」と言った。

この箇所は、イエスの磔刑を目撃した何人かの人々が、イエスがエリヤを呼んでいると答えたことを詳しく述べています。

1. イエスの磔刑: 救いの機会

2. イエスの死における神の目的

1. 詩篇 22:1-21 – イエスの十字架上の死に関するメシアの預言

2. イザヤ書 53:4-6 – イエスの死と彼がもたらすであろう救いの預言

マタイ 27:48 そこで、そのうちの一人がすぐに走って行き、スポンジを取り、それに酢を満たし、葦の上に置き、彼に飲ませた。

イエスは十字架上で飲むために葦につけられた酢を与えられました。

1. 犠牲的な愛の力

2. 行動を通じて信仰を証明する

1. ヨハネ 15:13 - 人が友人のために自分の命を捨てること以上に大きな愛はありません。

2. ピリピ人への手紙 2:7-8 - しかし、自分自身を何の評判も持たず、召使いのような姿をとり、人間に似せて造られました。死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順です。

マタイ 27:49 残りの者たちは、「エリアスが彼を救いに来るかどうか、見てみようではないか」と言った。

イエスの磔刑を見守る群衆は、エリヤがイエスを救いに来るのかと疑問を抱いていました。

1: 私たちは神の計画を疑うのではなく、むしろ神の御心を信頼すべきです。

2: 私たちはイエスの模範に目を向け、イエスの犠牲を信頼すべきです。

1: ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2: イザヤ書 41:10 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。落胆しないで。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

マタイ 27:50 イエスは再び大声で叫ぶと、幽霊を降ろした。

イエスは自分の死を大声で宣言して亡くなりました。

1. イエスの犠牲: 愛と従順の究極の行為

2. イエスの最後の言葉: 力強い信仰の証し

1. ローマ 5:8: しかし、神は、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、私たちに対する愛を示してくださいます。

2. フィリピ 2:8: そして、人間の姿で発見された彼は、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

マタイ 27:51 すると、見よ、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けてしまった。そして大地は揺れ、岩は裂けた。

神殿の幕が上から下まで真っ二つに引き裂かれ、大地が揺れ、岩が割れた。

1. 神はベールを分けてくださいました: 私たちの生活の中に神の栄光を見る

2. 大地が揺れ、岩が割れた: 祈りを通して神の力を体験する

1. イザヤ書 64:1 - 「ああ、あなたが天を引き裂いて降りて来られたら、山々があなたの前で震えるでしょう。」

2. 詩篇 18:6-7 - 「苦しみの中で、私は主に呼びかけました。助けを求めて神に叫びました。主は神殿から私の声を聞きました。私の叫びは彼の前に、彼の耳に届きました。」

マタイ 27:52 そして墓が開かれた。そして眠っていた多くの聖徒たちの遺体が起き上がり、

この箇所は、イエスが十字架につけられた後、死者が復活したことを語っています。

1. 死を克服するイエスの力

2. 聖徒復活の約束

1. イザヤ書 25:8 - 彼は勝利のうちに死を飲み込むでしょう

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスはこう言われました。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きます。」

マタイ 27:53 そして、復活した後、墓から出てきて、聖なる都に入り、多くの人に現れた。

イエスは復活された後、墓から出てきてエルサレムに入り、多くの人々の前に現れました。

1. 復活の力: キリストの復活が私たちの生活をどのように変えるか

2. イエスの復活後の出現の意義

1. ローマ 6:4-5 - 私たちも、新しい人生の中を歩むかもしれません。

2. ヨハネ 21:1-14 - イエスは浜辺で弟子たちに現れます。

マタイ 27:54 さて、百人隊長と、一緒にイエスを見ていた人々は、地震とその出来事を見て、非常に恐れて、「まことに、この人は神の子だった」と言った。

この一節は、イエスの死を取り巻く地震やその他の出来事を観察した百人隊長と彼と一緒にいた人々の反応を説明しています。彼らはイエスが神の子であることに気づきました。

1. イエスの力: 百人隊長はどのようにして神の子を認識したか

2. イエスの奇跡を目撃する: 彼の力を受け入れる

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ヨハネ 20:30-31 - さて、イエスは弟子たちの前で他の多くのしるしを行いましたが、それはこの本には書かれていません。しかし、これらは、あなたがイエスが神の子キリストであることを信じ、信じることによってイエスの名において命を得るために書かれたものです。

マタイ 27:55 また、多くの婦人たちが、ガリラヤからイエスを追ってイエスに仕えているのを遠くから眺めていた。

この箇所には、多くの女性がイエスに仕えるためにガリラヤからエルサレムまでイエスを追ったことが記されています。

1: イエスは最後まで周囲の人々にとても気遣われました。

2: キリストにある私たちの姉妹や兄弟をサポートすることには、大きな力、愛、そして慰めがあります。

1: マルコ 14:3-9 - マリアはイエスへの愛のしるしとして貴重な油をイエスに注ぎます。

2: 箴言 31:10-31 - 理想的な女性、自分の賜物と能力を使って他の人に仕え、奉仕する人。

マタイ 27:56 その中にはマグダラのマリア、ヤコブとホセの母マリア、そしてゼベダイの子供たちの母もいた。

マグダラのマリア、ヤコブとホセの母マリア、ゼベダイの子供たちの母も、イエスの十字架を目撃した人々の中にいた。

1. 忠実な証人: マグダラのマリアとヤコブとホセの母マリアの勇気を調べる

2. 連帯して立つ: イエスの磔刑がどのように私たちの信仰を団結させるか

1. ヘブライ 12:1-2 「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、定められたレースを忍耐強く走り抜けましょう。」私たちの前に。"

2. ヨハネ 11:25-26 - 「イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことがない。これを信じますか？

マタイ 27:57 夕方になると、ヨセフという名のアリマタヤの金持ちがやって来ました。彼自身もイエスの弟子でした。

アリマタヤのヨセフはイエスの献身的な弟子であり、イエスの適切な埋葬を行いました。

1. アリマタヤのヨセフの献身: イエスに従う模範

2. 犠牲の力: アリマタヤのヨセフはどのように信仰を示したか

1. ヨハネ 19:38-42 - アリマタヤのヨセフによるイエスの埋葬

2. マルコ 15:43-46 - アリマタヤのヨセフからイエスの遺体を引き渡すピラトの願い

マタイ 27:58 彼はピラトのところに行き、イエスの遺体を懇願した。そこでピラトは遺体を引き渡すよう命じた。

ピラトは、アリマタヤのヨセフがイエスの遺体を引き取りたいと懇願した後、その願いを聞き入れました。

1. アリマタヤのヨセフがイエスの遺体を求めて示した信仰と忍耐の力。

2. アリマタヤのヨセフが実証した、祈りによって神に願い事をすることの重要性。

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. マタイ 21:22 - 「信仰があるなら、祈りで求めるものは何でも受け入れられます。」

マタイ 27:59 ヨセフは遺体を引き取ると、それをきれいな亜麻布で包み、

ジョセフはイエスの体を清潔な亜麻布で包み、イエスへの愛を示しました。

1: 愛は感情ではなく行動です。ジョセフと同じように、私たちも行動を通してイエスへの愛を示すことができます。

2: ジョセフの謙虚さとイエスへの奉仕の模範は、私たちが主に仕えることを決して忘れないことを思い出させてくれます。

1: ヨハネ 13:34-35、「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。」これによって、あなた方が互いに愛を持っているなら、すべての人々はあなた方が私の弟子であることを知るでしょう。」

2: ヨハネ第一 4:19-21、「わたしたちが愛するのは、主が最初にわたしたちを愛してくださったからです。神を愛していると主張しながら兄弟や姉妹を憎む人は嘘つきです。なぜなら、目に見える兄弟姉妹を愛さない人は、目に見えない神を愛することはできないからです。そして彼は私たちに次の命令を与えました：神を愛する者は自分の兄弟や姉妹も愛さなければなりません。」

マタイ 27:60 それから、岩を掘って作った自分の新しい墓にそれを置き、大きな石を墓の入り口に転がして、立ち去った。

アリマタヤのヨセフはピラトにイエスの遺体を求め、岩を掘って作った新しい墓にそれを安置し、大きな石で墓を封印しました。

1. イエスの死と埋葬: 彼の命は無駄に奪われたわけではありません。

2. アリマタヤのヨセフの信仰と神のご意志への従順の重要性。

1. イザヤ書 53:9 - 「そして彼は、その死の際に、悪人たちとともに、また金持ちたちとともにその墓を築いた...」

2. ルカ 23:50-53 - 「見よ、ヨセフという名の相談役の男がいた。彼は善良な人で正義の人だった。(同じ人は彼らの相談と行為に同意しなかった。)彼はアリマタヤというユダヤ人の都市の出身で、彼自身も神の国を待ち望んでいたのですが、この人はピラトのところに行き、イエスの遺体を懇願し、それを引き取り、亜麻布で包み、その中に安置しました。それは石で掘られた墓であり、これまで人間が埋葬されたことはなかった。」

マタイ 27:61 すると、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓のほうに座っていた。

この箇所は、イエスの墓にマグダラのマリアともう一人のマリアが存在したことを描写しています。

1. 復活を喜ぶ ― イエスの弟子たちはイエスの埋葬と復活を目撃してどのように勇気と信仰を示したか

2. 忠実な悲しみ - マグダラのマリアともう一人のマリアがイエスの死を悼み、どのようにイエスへの献身を示したか

1. ヨハネ 20:1-18 - イエスの復活

2. ルカ 24:1-12 - 復活したイエスが弟子たちに現れた物語

マタイ 27:62 さて、準備の日の翌日、祭司長たちとパリサイ人たちはピラトのところに集まって言った。

祭司長たちとパリサイ人たちは準備日の翌日にピラトのところにやって来ました。

1: 備えの力 - マタイ 27:62

2: いつ行動すべきかを知る - マタイ 27:62

1: ルカ 14:28-30 - あなたがたのうち、塔を建てようとして、最初に座って、それを完成させるのに十分なお金があるかどうかを計算しない人はいるでしょうか。

2: エペソ 5:15-17 - それでは、あなたがたは、愚か者としてではなく、賢人として、時を償うために慎重に歩むように気を付けてください。日々は悪いからです。

マタイ 27:63 こう言います、「先生、私たちは、あの詐欺師がまだ生きていたときに、『三日後にはよみがえります』と言ったのを覚えています。」

ユダヤ人の指導者たちは、イエスが3日後に復活するという預言を知っていました。

1. 神の忠実さ: イエスの復活の予言についての考察

2. イエスの力: イエスの言葉の影響を調べる

1. ダニエル 6:20-23 - ダニエルをライオンの穴から救い出した神の忠実さについての考察

2. 詩篇 16:10 - 死と復活に対するイエスの勝利についての熟考

マタイ 27:64 それゆえ、弟子たちが夜に来て彼を盗み、民に『彼は死からよみがえった』と言わないように、三日目まで墓を厳重にしておくように命じなさい。最初。

祭司長とパリサイ人たちは、イエスの弟子たちがイエスの遺体を盗み、イエスが死からよみがえったことを人々に告げるのではないかと心配し、ピラトに墓を守るように頼んだ。

1. 恐怖と不信仰: 祭司長とパリサイ人はイエスの復活にどう反応したか

2. 予期せぬ事態に備える: 困難な時代における信仰の必要性

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

マタイ 27:65 ピラトは彼らに言った、「あなたたちは見張りをしています。できるだけ確実に行きなさい。」

ピラトは祭司長や長老たちに、思い通りにイエスを確保するよう勧めます。

1. 私たちの責任の力: 私たちの選択がどのような結果をもたらすか

2. 信仰を確かにする: 神の計画を信頼する

1. エゼキエル 18:20 - 罪を犯した魂は死ぬ。子は父の咎を負わず、父も子の咎を負わない。義人の正義は彼の上にあり、悪人の悪は彼の上にある。

2. マタイ 6:34 - したがって、明日のことを心配する必要はありません。明日は自分自身のことを心配するからです。毎日にはそれ自体で十分な問題があります。

マタイ 27:66 そこで彼らは行って、墓を堅固にし、石に封印し、見張りを設置した。

衛兵たちは墓を封鎖し、立って見張っていた。

1. イエスの復活: 死に対する究極の勝利

2. キリストの犠牲の力: キリストの死がどのようにして罪を克服したか

1. イザヤ書 53:10-11 - しかし、彼を打ち砕いて苦しませるのは主のご意志でした。主は彼の命を罪のいけにえとされますが、彼の子孫を見て、彼の寿命を延ばします。主は御手の中で栄えます。

2. ヨハネ 10:17-18 - 父が私を愛してくださっているのは、私が命を捨て、ただ再び立ち上がるためです。誰も私からそれを取り上げませんが、私はそれを自分の意志で置きました。私にはそれを放棄する権限と、それを再び取り上げる権限があります。この命令は私が父から受けたものです。

マタイ 28 章には、イエスの復活、女性と弟子たちへのイエスの出現、そしてイエスが追随者たちに与えた大使命が記されています。

第 1 段落: この章はマグダラのマリアともう一人のマリアがイエスが埋葬された墓を見に行くところから始まります。主の天使が天から降りてきて、墓を覆っていた石を転がしてその上に座り、イエスが言われたとおりに復活したことを人々に告げます(マタイ28:1-7)。天使は彼らに、急いで行って、死からよみがえったイエスが彼らより先にガリラヤに行かれ、そこでイエスに会われることを弟子たちに伝えるように指示しました。彼らは恐怖と喜びが入り混じった気持ちで満たされて去っていきます。

第 2 段落: 彼らがこのメッセージを伝えるために向かう途中、イエスご自身が彼らに会いました。彼らは神の前にひれ伏し、足を握りしめながら神を礼拝します。イエスは彼らに、恐れることはない、兄弟たちにガリラヤに行って、そこでイエスに会えると言いなさいと言われます（マタイ 28:8-10）。一方、墓の番人が何が起こったのか報告すると、祭司長の長老たちは計画を立て、兵士たちに多額の賄賂を渡し、「弟子たちが夜中にやって来て、私たちが眠っている間に彼を盗んだ」と言い、警備員の失敗に対する潜在的な罰から兵士を守ると約束した（マタイによる福音書）28:11-15）。

第 3 段落: その後、11 人の弟子たちはガリラヤに向かい、そこで山の上でイエスに会いました。ある者は彼を崇拝しましたが、他の者は疑いました。「大使命」として知られるものの中で、イエスは前に出て、天上のすべての権威がイエスに与えられているので、すべての国の弟子を作りに行き、父・子・聖霊の名においてバプテスマを授け、すべてに従うように教えなさいと最終的な指示を与えます。常に終わりの時代とともにあることを約束しました（マタイ 28:16-20）。これは、マタイの福音書が世界中に福音を広める継続的な宣教教会を強調する頂点を示しています。

マタイ 28:1 安息日の終わり、週の初めに夜が明け始めたころ、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に来た。

二人のマリアは週の最初の日の明け方に墓にやって来ました。

1: 復活の希望: 最も暗い日々の中でも、イエスは私たちに希望をもたらしてくれます。

2: 死への信仰: 死においても、私たちの主イエス・キリストが私たちとともにおられるという慰めを得る。

1: ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2: 1 コリント 15:55-57 - 「死よ、あなたの勝利はどこにありますか。死神よ、あなたの刺し傷はどこにあるのか？」死のとげは罪であり、罪の力が律法です。しかし、私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。

マタイ 28:2 すると、見よ、大きな地震が起きた。主の使いが天から降りてきて、戸口の石を転がして、その上に座ったからである。

主の天使が天から降りてきて、地震を起こして扉の石を転がしてしまいました。

1. 神の力が働く

2. 神の働きを行う主の天使

1. 使徒 4:31 「そして彼らはみな聖霊に満たされ、神の言葉を大胆に語った。」

2. イザヤ書 30:30 「主はその輝かしい声を響かせ、その怒りの憤りと、焼き尽くす火の炎と、飛び散り、暴風とともに、その腕に光が降り注ぐことを示されるであろう」、そして雹。」

マタイ 28:3 彼の顔は稲妻のようで、着物は雪のように白かった。

イエスの墓の天使はまばゆいばかりに明るく、白い服を着ていました。

1: 私たちは常にイエスの墓の天使の明るさに倣うよう努めるべきです。

2: 私たちが不完全であるにもかかわらず、神は私たちを神の道具として用いることができます。

1: イザヤ書 6:1-7 - 「聖なる、聖なる、聖なる」と叫ぶセラフィムに囲まれ、玉座に座る主のイザヤの幻。

2: マタイ 5:14-16 - イエスは山の上で、私たちが「世の光」になるべきだと教えています。

マタイ 28:4 すると、番人たちは彼を恐れて震え上がり、死人のようになりました。

墓の番人たちは、復活したイエスを見て、死人のようになってしまったとき、恐れでいっぱいでした。

1. 主を恐れることは知恵の始まりです。

2. イエスの復活の力は、私たちを畏敬の念と畏敬の念で満たすはずです。

1. 箴言 9:10 - 主を恐れることは知恵の始まりであり、聖なる方についての知識は洞察力です。

2. ローマ人への手紙 1:4 - そして、私たちの主イエス・キリストが死者の中から復活されたことによって、聖霊に従って力を持った神の御子であると宣言されました。

マタイ 28:5 すると天使は答えて女たちに言った、「あなたがたは恐れるな。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜していることは、わたしにはわかっているからである」。

天使は女性たちに、十字架につけられたイエスを探しているのはわかっているので、恐れるな、と言いました。

1. イエスを知ることの慰め

2. 恐怖に直面したときの信仰の強さ

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 56:3-4 - 「恐れるとき、私はあなたに信頼します。私がその言葉を賛美する神に、私は神に信頼します。私は恐れることはありません。肉が私に何ができますか？」

マタイ 28:6 彼はここにはいません。彼が言ったように、復活したからです。さあ、主が横たわられた場所を見に来てください。

イエスは死からよみがえられ、弟子たちはイエスが横たわっていた場所を見に行くように勧められます。

1. キリストの復活: 希望の祭典

2. イエスの犠牲の力: 信仰への呼びかけ

1. ローマ 6:9-10 - 「私たちは、死者の中からよみがえられたキリストが決して再び死ぬことはないことを知っています。死はもはや彼を支配することができません。彼が死んだのは、一度きりの罪に対して死んだのですが、その生涯は神に対して生きているのです。」

2. コリント人への第一の手紙 15:20-22 - 「しかし実際、キリストは死人の中からよみがえられ、眠っている人々の初穂とされました。なぜなら、人によって死が来たように、人によって死者の復活も来たからです。アダムにあってはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからである。」

マタイ 28:7 そして、急いで行って、イエスが死人の中からよみがえったことを弟子たちに伝えてください。そして見よ、彼はあなたより先にガリラヤに行く。そこであなたがたは彼に会うでしょう：見よ、私はあなたに言いました。

イエスは死からよみがえられ、弟子たちの前にガリラヤへ行かれ、そこでイエスに会われます。

1. 復活の力: イエスの凱旋を祝う

2. 復活したキリストの希望: 人生を変える良いたよりを受け入れる

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. ローマ 8:11 - イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

マタイ 28:8 すると、彼らは恐れと大いなる喜びを胸に、急いで墓から立ち去った。そして弟子たちに知らせを伝えるために走った。

女性たちはイエスの墓が空であることに気づき、喜びと恐怖でいっぱいになって立ち去りました。

1. 空になったイエスの墓はどのように私たちを喜びと希望で満たしてくれるのか

2. イエスにおける喜びを通して恐怖を克服する

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。ダビデの王座とその王国の上に、ダビデの政府と平和を拡大し、それを確立し、正義と義をもってこれを維持することは、これからも永遠に終わりがありません。

2. ヨハネ 20:19-22 - その日の夕方、つまり週の初めの日、ユダヤ人を恐れて弟子たちがいる場所に戸が施錠されていたとき、イエスが来て彼らの間に立って言われた、「平和よ」あなたと一緒に。"そう言うと、彼は彼らに手とわき腹を見せた。すると弟子たちは主を見て喜びました。イエスは再び彼らに言われた、「あなたたちに平和があるように。父が私を遣わされたように、私もあなたを遣わします。」そして、これを言い終わると、イエスは彼らに息を吹きかけて、こう言われた「聖霊を受けなさい。

マタイ 28:9 そして、彼らが弟子たちに知らせに行ったとき、見よ、イエスは彼らに出会って、「万歳」と言われた。そして彼らはやって来て、イエスの足を掴んで拝んだ。

イエスは二人の弟子に会い、足を抱いて拝みました。

1. イエスを崇拝する: イエスの権威と力を認識する

2. イエスの臨在の力: 救い主の臨在の中にいること

1. ピリピ人への手紙 2:10-11 - 天においても地においても地の下においても、イエスの御名によってすべての膝がかがみ、すべての舌がイエス・キリストが主であることを告白し、父なる神の栄光を現わすこと。

2. ヘブライ 12:2 - 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けます。イエスは、目の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。

マタイ 28:10 そこでイエスは彼らに言われた、「恐れることはない。行って、ガリラヤに行って兄弟たちに告げなさい。そうすれば彼らはそこで私に会えるだろう」。

イエスは弟子たちに、恐れることなく、兄弟たちにガリラヤに行くように言い、そこでイエスに会うように勧めました。

1. 勇気を出してください：イエスは恐れないようにと私たちに呼びかけます

2. 手を差し伸べる：イエスは福音を広めるために私たちを遣わされました

1. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. ヨハネ第一 4:7-12 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。

マタイ 28:11 さて、彼らが出発していたとき、見よ、番兵の何人かが町に入ってきて、行われたすべてのことを祭司長たちに見せた。

見張りの中にはイエスの墓で起きた出来事を祭司長たちに報告する者もいた。

1. 証しの力: 時計を用いて神の力を証しする神の忠実さ。

2. 報われる忠実さ: 神に忠実な人々に報いる神の忠実さ。

1. 詩篇 37:3-4 「主を信頼し、善を行いなさい。この地に住み、忠実を友としなさい。主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いをかなえてくださいます。」

2. 使徒 1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまでわたしの証人となるでしょう。」

マタイ 28:12 そこで彼らは長老たちと集まって相談をした後、兵士たちに多額の金を与えた。

長老たちと兵士たちは相談に応じ、長老たちは兵士たちにお金を与えました。

1. 助言の力: 長老から学ぶ

2. 管理責任: 神の栄光のために資源を使う

1. 箴言 11:14 - 「導きのないところには民は倒れるが、助言者が豊富にいるところには安全がある。」

2. 使徒 4:32-35 - 「さて、信じた人々はみな、心も魂も一つであり、自分の持ち物が自分のものであるとは誰も言わなかったが、彼らにはすべて共通点があった。使徒たちは力強く主イエスの復活について証言しており、彼ら全員に大きな恵みが降り注いでいました。彼らの中には貧しい人は一人もいなかったのです。土地や家の所有者と同じくらい多くの人がそれらを売ってその収益をもたらしたからです。売られたものを集めて使徒たちの足元に置き、必要に応じて各自に配った。」

マタイ 28:13 「イエスの弟子たちが夜に来て、私たちが眠っている間にイエスを盗んで行った、と言いました。」

この箇所は、イエスの弟子たちが眠っている間にイエスの遺体を盗んだという祭司長や長老たちの虚偽の告発について説明しています。

1. 神の力: 復活の奇跡を理解する

2. 勇気ある信仰: 反対に立ち向かう毅然とした態度

1. ヨハネ 11:25–26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. テサロニケ第一 5:21 - しかし、すべてを試してください。良いものをしっかりと持ち続けてください。

マタイ 28:14 もしこのことが総督の耳に入るなら、私たちは総督を説得してあなたを確保します。

この箇所は、弟子たちが当局からイエスを守るために、どのように説得を試みたかを説明しています。

1: たとえ自分自身を危険にさらすことを意味するとしても、私たちは正しいことのために立ち上がらなければなりません。

2: 私たちは、正しいことを行うための勇気と強さを神が与えてくださるという信仰を持たなければなりません。

1: 箴言 28:1 - 悪人は誰も追わないと逃げるが、正しい人はライオンのように大胆です。

2: ダニエル 3:17-18 - もしそうであれば、私たちが仕えている神は、燃え盛る炉から私たちを救い出すことができ、王よ、あなたの手から私たちを救い出してくださいます。しかし、そうでない場合は、王よ、私たちがあなたの神々に仕えたり、あなたの立てられた黄金の像を崇拝したりしないことをあなたに知っておいてください。

マタイ 28:15 そこで彼らは金を受け取って、教えられたとおりにした。このことわざは今日までユダヤ人の間で広く伝えられている。

ユダヤ人たちは金を受け取ってイエスに関する偽りの話を広め、この偽りの話は今日まで繰り返されている。

1: 私たちはイエスについて嘘ではなく真実を広めるように注意する必要があります。

2: 私たちは聞いた話に警戒し、その真実性を必ず再確認する必要があります。

1: コロサイ 2:8 - キリストに従ってではなく、人間の伝統に従って、世界の元素の霊に従って、誰もあなたを哲学や空虚な欺瞞の虜にしないように気をつけてください。

2: 1 ヨハネ 4:1 - 愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出ているからです。

マタイ 28:16 それから、十一人の弟子たちはガリラヤ、イエスが指定された山に行った。

11人の弟子たちはイエスから集合するよう指示されたガリラヤの山に行きました。

1. イエスに従う: 弟子への呼びかけ

2. 揺るぎない信仰: イエスの呼びかけに忠実に生きる

1. マタイ 4:19-20 – 「そしてイエスは彼らに言われた、『わたしについて来なさい。そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます。』」彼らはすぐに網を離れて彼を追った。

2. ヘブライ 11:1 – 「さて、信仰は、望んでいる事柄を保証し、目に見えない事柄を確信するものです。」

マタイ 28:17 彼らはイエスを見て崇拝したが、疑う者もいた。

この箇所は、復活後にイエスが生きておられるのを見たときのイエスの弟子たちの反応について語っています。ある者はイエスを崇拝しましたが、ある者は疑いました。

1: 私たちは皆、神の力と慈しみを信じ、礼拝を通して神への信仰を示すよう招かれています。

2: たとえ奇跡的な出来事に遭遇したとしても、信仰はもろく揺らぐことがありますが、神の恵みは豊かであり、神は私たちに対して忍耐強く接してくださいます。

1: ローマ人への手紙 4:17-21 - アブラハムは神を信じ、それが神の義であると認められました。

2: ヘブライ 11:1-3 - 信仰によって、私たちは宇宙が神の言葉によって創造されたので、目に見えるものは目に見えるものから作られたのではないことを理解します。

マタイ 28:18 すると、イエスが来て彼らに言われた、「天においても地においても、わたしにはすべての力が与えられている。」

この箇所には、イエスには天と地のすべての権限が与えられていると書かれています。

1. 私たちは、私たちと世界に対するイエスの力と権威を思い出します。

2. 私たちはイエスの力を信頼し、すべてのことにおいてイエスに頼ることができます。

1. ピリピ 2:9-11 - したがって、神は彼を高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けました。

2. ダニエル 4:34-35 - 日々の終わりに、私、ネブカドネザルは目を天に上げ、理性が私に戻り、いと高き方を祝福し、永遠に生きておられる方を称賛し、敬意を表しました。統治は永遠の統治であり、彼の王国は世代から世代へと存続します。

マタイ 28:19 それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民に教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。

神は私たちに、出て行って世界中に神のメッセージを広めるよう命じられています。

1: イエスは私たちに、外に出て福音の良いたよりをすべての国に伝えるという大きな使命を与えてくださいました。

2: 私たちは皆、イエスの弟子となり、イエスの愛の証人となるよう招かれていることを覚えておかなければなりません。

1: 使徒 1:8 しかし、聖霊があなたがたに臨んだ後、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして地の果てに至るまで、わたしの証人となるであろう。。

2: イザヤ書 6:8 また、わたしは主の声を聞いた、「だれを遣わそうか、だれがわたしたちのために行くだろうか」。それから私は言いました、「ここにいます。」私に送ってください。

マタイ 28:20 わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えます。見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。アーメン。

イエスは弟子たちに自分の教えをすべて守るよう命じ、世の終わりまで彼らと共にいることを約束しました。

1. イエスの臨在の力 - 常に私たちと共にいるというイエスの約束を探ります。

2. イエスの戒めを守る - イエスの教えに従うことの重要性を理解します。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. 申命記 31:6 - 「強く勇敢であれ。彼らを恐れたり恐れたりしてはなりません。あなたとともに行かれるのはあなたの神、主だからです。彼はあなたを離れたり、見捨てたりしません。」

マルコ 1 章では、バプテスマのヨハネの宣教、イエスのバプテスマと誘惑、イエスの公の宣教の始まり、そしてイエスによって行われたさまざまな癒しが紹介されています。

第 1 段落: この章は、主のために道を準備する使者についてのイザヤの預言から始まります。これは、荒野で説教して人々に悔い改めを呼び、ヨルダン川で洗礼を授ける洗礼者ヨハネによって成就されます(マルコ1:1-8)。そのとき、イエスはナザレからヨハネのところに来て洗礼を受けられます。イエスが水の中から上がって

くると、天が開き、聖霊が鳩のようにイエスの上に降り立ち、天からの声が「あなたは私の子、私の愛する人です。私はあなたに満足しています。」（マルコ1:9-11）と宣言します。

第 2 段落: バプテスマの直後、聖霊がイエスを荒野に導き、そこでイエスは40 日間サタンの誘惑に遭いますが、毅然とした態度を保っています (マルコ 1:1 2-13)。ヨハネが逮捕された後、イエスはガリラヤに入り、「時が来た」と神の国の良い知らせを宣べ伝えました。「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい！」。（マルコ 1:14-15）。イエスはガリラヤ湖のそばを歩きながら、シモン・ピーター・アンドリュー・ジェイムズの息子ゼベダイと弟のジョンを弟子にし、彼らを漁師にして網を置いてすぐに従うと約束します。

第 3 段落: 彼らはカペナウムに行き、そこで安息日にイエスは会堂で教え、教師法とは異なり、その権威で人々を驚かせました (マルコ 1:21-22)。そこで彼は、彼を聖なる唯一の神として認識する不純な霊を追い出し、さらに驚くべき人々を導き、名声が地域全体に急速に広がりました（マルコ 1:23-28）。それからシモン・ペテロの家で、熱で寝込んでいる義母を癒し、すぐに彼女は彼らに奉仕し始めます。夕方、日が沈むと町全体がドアに集まり、病気の悪魔が取り憑いて、さまざまな種類の病気を治し、多くの悪魔を追い出しました。翌朝、まだ暗いうちに人里離れた場所でシモンを祈ります。他の人が彼を見つけて、みんながあなたを探していると言いましたが、彼は答えました、どこか別の場所に行きましょう、近くの村もそこに説教できます、なぜここに来たのか、ガリラヤ中を旅してシナゴーグで悪霊を追い出し説教します（マルコ 1: 29-39）。最後にハンセン病の男性を癒す ひざまずいて「御心なら私を清めてくださいますよ」と懇願し、感動した同情の念を抱き、イエスは手を差し伸べて彼に触れ、「私は喜んで清くなります」と言う すぐにハンセン病を残した男性は清くなり、誰にも言わないようにと警告するモーセは彼らの証言として自分の姿を見せなさい、祭司はいけにえを捧げなさいと命じましたが、人間はそのニュースを広く広めたので、もはや町に入ることができなくなり公然と寂しい場所の外に留まりましたが、人々は四半期ごとに彼にやって来ました。

マルコ 1:1 神の子イエス・キリストの福音の始まり。

この箇所は神の子イエス・キリストの福音の始まりについて書かれています。

1. 良いたよりの本当の起源

2. 福音の力

1. ローマ人への手紙 1:1-4 - キリスト・イエスのしもべであり、使徒として召され、神の福音のために取り分けられたパウロは、

2. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

マルコ 1:2 預言者に書かれているとおり、見よ、わたしはあなたの前に使者を送ります、あなたの前にあなたの道を備えるでしょう。

使者は主が到着する前に、主のために道を準備しています。

1: 主のために道を整える: 神の臨在のための場所を作る。

2: 預言の声: 主の言葉を聞くこと。

1: イザヤ書 40:3 - 呼びかける者の声。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。

2: ゼカリヤ 3:8 - 大祭司ヨシュアよ、あなたとあなたの前に座っている仲間たちよ、さあ聞いてください。それは驚くべきしるしだからです。見よ、私は私のしもべである枝を生み出しているからである。

マルコ 1:3 「主の道を備えよ、主の道をまっすぐにせよ」と荒野で叫ぶ人の声。

洗礼者ヨハネの声は人々に、イエスの来臨に備え、その道をまっすぐにするよう呼びかけます。

1. イエスのために備えなさいという呼びかけ：洗礼者ヨハネのメッセージに応える

2. まっすぐな道を作る：主のために備えることの重要性についての考察

1. イザヤ書 40:3-5 - 慰めよ、わたしの民を慰めよ、とあなたの神は言われます。エルサレムに優しく語りかけ、彼女の厳しい奉仕が完了したこと、彼女の罪が償われたこと、彼女がすべての罪の倍増を主の手から受けたことを彼女に宣言してください。

2. ルカ 3:4-6 - 預言者イザヤの言葉の本に次のように書かれています。あらゆる谷は埋められ、あらゆる山や丘は低くされる。曲がった道はまっすぐになり、でこぼこした道は平らになります。そしてすべての人は神の救いを見るでしょう。」

マルコ 1:4 ヨハネは実際に荒野でバプテスマを授け、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えました。

洗礼者ヨハネは、悔い改めと罪の赦しの必要性を説きました。

1. 悔い改めの力: 許しの必要性を認識する

2. 私たちの行動の重要性: 悔い改めの必要性を受け入れる

1. エゼキエル 18:21-32 - 悔い改めによる義

2. ルカ 24:47 - イエスの名による悔い改めと罪の赦し

マルコ 1:5 そこで、ユダヤ全土とエルサレムの人々がイエスのもとに出て行って、ヨルダン川でイエスからバプテスマを受け、自分たちの罪を告白した。

ユダヤとエルサレムの人々はヨルダン川で洗礼者ヨハネから洗礼を受けるために出かけ、自分たちの罪を告白しました。

1: 告白の力 - 罪の告白は信仰の旅における重要なステップです。

2: 洗礼の力 - 洗礼は内面の変化の外面的なしるしであり、信仰の強力な象徴です。

1: 1 ヨハネ 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

2: ローマ人への手紙 6:3-4 - それとも、キリスト・イエスへのバプテスマを受けた私たち全員が、その死へのバプテスマを受けたことをご存知ないのですか？したがって、私たちが死へのバプテスマによってキリストとともに葬られたのは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命を生きるためです。

マルコ 1:6 ヨハネはらくだの毛の服を着て、腰に皮の帯を締めていた。そして彼はイナゴと野生の蜂蜜を食べました。

洗礼者ヨハネは謙虚で厳格な人で、質素な服を着て質素な食事をすることで犠牲的な生活を示しました。

1. 犠牲と謙虚な人生を送る

2. 洗礼者ヨハネの例

1. マタイ 3:4 - さて、ヨハネ自身もラクダの毛をまとい、腰に革のベルトを締めていました。彼の食べ物はイナゴと野生の蜂蜜でした。

2. ミカ 6:8 - おお、主はあなたに、何が良いことであるかを教えてくださいました。そして主があなたに求めておられるのは、正義を行い、親切を愛し、謙虚に神と共に歩むこと以外に何があるでしょうか？

マルコ 1:7 そして、こう言って説教した、「わたしより強い者がわたしの後に来るが、その靴の掛け金をわたしがかがんで緩めるにはふさわしくない」。

イエスは、自分よりも力のある者が自分の後にやって来る、そして自分にはサンダルの紐を解く資格さえないと宣言されました。

1. 謙虚さの力 - イエスは、謙虚な心が私たちを神に近づけると教えてくれます。

2. 主の到来 - イエスは、ご自分よりも強力な方が来ることを予告されます。

1. マタイ 3:1-2 - その頃、バプテスマのヨハネが来て、ユダヤの荒野で説教し、こう言いました。「悔い改めなさい。天国は近づいているからです。」

2. マタイ 4:17 - その時から、イエスは宣べ伝え始め、「悔い改めなさい。天国は近づいているからです」と言い始めました。

マルコ 1:8 わたしは確かにあなたがたに水のバプテスマを授けましたが、彼はあなたがたに聖霊のバプテスマを授けるでしょう。

この箇所は、イエスが人々に聖霊でバプテスマを授けたことについて語っています。

1: イエスはご自分を求める人々にご自身を現し、彼らに聖霊の賜物を与えられます。

2: 悔い改めとイエスへの信仰は、私たちを神との関係に導き、聖霊の力を与えます。

1: 使徒 2:38 - そこでペテロは彼らに言った、「悔い改めて、あなたがた一人一人、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすればあなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう」。

2: ローマ人への手紙 8:14-15 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。なぜなら、あなたがたは恐れる束縛の精神を再び受けていないからです。しかし、あなたがたは養子縁組の御霊を受けました。それによって私たちは叫びます、アバ、父よ。

マルコ 1:9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来られ、ヨルダンでヨハネからバプテスマをお受けになった。

イエスはヨルダンでヨハネからバプテスマを受けました。

1: バプテスマの力: イエスのバプテスマがどのように私たちに模範を示したか

2: 洗礼の意味: 洗礼が私たちの信仰にとって何を意味するか

1: マタイ 3:13-17 - ヨハネによるイエスのバプテスマ

2: 使徒 2:38 - バプテスマを通して聖霊の賜物を受ける

マルコ 1:10 そして、水から上がってくるとすぐに、天が開け、御霊が鳩のように自分の上に降りてくるのが見えた。

イエスはヨルダン川でバプテスマを受け、水から上がると、天が開け、鳩のような御霊がイエスの上に降りてくるのが見えました。

1. イエスの力とその神性

2. 私たちの生活における洗礼の重要性

1. マタイ 3:16-17 - イエスがバプテスマを受けたとき、天からの声がこう言いました、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者です。」

2. イザヤ書 42:1 - 見よ、わたしが支持する僕よ。私の魂が喜ぶ私の選ばれた者。私は彼に私の霊を置きました。彼は国々に正義をもたらします。

マルコ 1:11 すると、天から声が聞こえてこう言った、「あなたはわたしの愛する子です。わたしはこの子を喜ばしく思います。」

天からの神の声は、イエスが御父が喜ばれるご自分の愛する子であると宣言しました。

1: 父親の息子への愛

2: 息子に対する父の喜び

1: ルカ 3:22 - すると、聖霊が鳩のような姿になって彼の上に降り、天から声が聞こえた、「あなたは私の愛する子です。あなたは私の愛する子です。」私はあなたの中でとても満足しています。

2: マタイ 3:17 - すると、天からの声がした、「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」。

マルコ 1:12 するとすぐに、御霊が彼を荒野に追いやった。

この一節は、イエスが御霊によって荒野へ断食と祈りの時を過ごすために駆り立てられる様子を示しています。

1. 従順に生きる：私たちの生活における御霊の力を理解する

2. 断食と祈り: 私たちの信仰に必要な部分

1. 使徒 1:2 - 「神が聖霊によって、自分が選んだ使徒たちに戒めを与えた後、取り上げられる日まで。」

2. ルカ 4:1-2 - 「それから、イエスは聖霊に満たされてヨルダン川から戻り、御霊に導かれて荒野に入り、四十日間悪魔の誘惑に遭われた。」

マルコ 1:13 そして、彼は四十日間荒野にいて、サタンの誘惑を受けました。そして野獣たちと一緒にいました。そして天使たちは彼に仕えました。

この一節は、イエスが荒野で40日間過ごし、サタンからの誘惑に直面し、天使たちに奉仕されたことを描写しています。

1. イエスの強さ: イエスは荒野で誘惑にどう立ち向かったか

2. 信仰の力: 天使の助けで誘惑に打ち勝つ

1. ヤコブ 1:12-15 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2. エペソ 6:10-18 - 悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

マルコ 1:14 ヨハネが投獄された後、イエスはガリラヤに来られ、神の国の福音を宣べ伝えられた。

イエスはヨハネが投獄された後、ガリラヤで神の国の福音を宣べ伝え始めました。

1. 許しの力：ヨハネ投獄後のイエスの宣教

2.神の国の福音：ガリラヤへのイエスのメッセージ

1. ルカ 6:37-38、「裁いてはなりません。そうすれば、あなたは裁かれません。罪に定めてはなりません。そうすれば、罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたは赦されます。」

2. マタイ 11:2-5、「さて、ヨハネは牢獄でキリストの御業を聞いたとき、二人の弟子を遣わして彼に言った、「来るべきはあなたですか、それとも別の人を探しますか、イエス。」「行って、あなたたちが見聞きしていることをもう一度ヨハネに見せなさい。目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な人は歩き、らい病人は清められ、耳の聞こえない人は聞こえるようになり、死者はよみがえり、貧しい人はよみがえります」と彼らは答えた。彼らに福音を宣べ伝えてください。」

マルコ 1:15 そして言った、「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」

人々が悔い改めて神の国の良いたよりを信じる時が来ました。

1: 悔い改めて神の国のために生きる

2: 永遠の命の福音を信じなさい

1: ルカ 17:20-21 - イエスは言われました、「神の国は目に見えるものとともに来るわけではありません。また、『見よ、ここにある』とは言わないでしょう」または「あるよ！」実際、神の王国はあなた方の間にあるからです。」

2: ローマ 10:9-10 - 「イエスは主です」と口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。なぜなら、あなたが信じて義とされるのは心によってであり、告白して救われるのは口だからである。

マルコ 1:16 さて、彼がガリラヤの海のほとりを歩いていると、シモンとその兄弟アンデレが海に網を投げているのが見えました。彼らは漁師だったからです。

シモンとアンデレはガリラヤ湖畔を歩いていた漁師でした。

1: 神は私たちに、どんな仕事であっても、人間を取る漁師になるよう呼びかけています。

2: イエスはシモンとアンデレを見て、彼らを弟子に招かれた。

1: マタイ 4:19 - 「来なさい、わたしに従ってきなさい。そうすれば、あなたを人々を漁るために送り出します。」とイエスは言われました。

2: ルカ 5:10 - イエスはシモンに言われました。これからあなたは人を漁ることになります。」

マルコ 1:17 そこでイエスは彼らに言われた、「わたしについて来なさい。わたしはあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます。」

イエスは弟子たちに、イエスに従って人間をとる漁師になるよう呼びかけます。

1: イエスに従う: 真の成就への道

2: 人間をとる漁師になる: 弟子への呼びかけ

1: ヨハネ 15:8 - あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子であることを証明することによって、わたしの父は栄光を受けるのです。

2: マタイ 4:19 ーそしてイエスは彼らに言われた、「わたしに従ってきなさい。そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげましょう。」

マルコ 1:18 すると彼らはすぐに網を捨ててイエスを追った。

イエスが話しかけられるとすぐに、二人の漁師がイエスを追った。

1. 何があってもイエスに従う - イエスは私たちにすべてを捨ててイエスに従うように呼びかけています

2. ためらうことなくイエスに従う - なぜ私たちはすぐにイエスを信頼し従わなければならないのか

1. マタイ 16:24-25 - 「それから、イエスは弟子たちに言われた、「わたしについて来たい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと願う者は負けるからです」しかし、わたしのために命を失った者は、それを見つけるだろう。」

2. ヨハネ 10:27 - 「わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従ってきます。」

マルコ 1:19 そこから少し進んでみると、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、やはり船の中で網を繕っているのが見えた。

イエスはヤコブとヨハネに、イエスに従って人間をとる漁師になるよう呼びかけます。

1. イエスは私たちに、快適な場所を離れてイエスに従うよう呼びかけています。

2. 私たちの人生の目的は、人間をとる漁師になることです。

1. マタイ 4:19 - 「そしてイエスは彼らに言われた、『わたしについて来なさい。そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげましょう。』」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

マルコ 1:20 そこで、イエスはすぐに彼らを呼び寄せた。すると、彼らは父ゼベダイを雇った僕たちとともに船に残して、後を追った。

イエスが呼びかけると、弟子たちは父親を残してイエスについて行きます。

1) イエスに従うには、時には家族を残してでも犠牲を払う必要があります。

2) イエスの呼びかけは非常に強いので、私たちの他の責任や関係を無効にすることがあります。

1) マタイ 8:21-22 - 「そして、彼の弟子のもう一人が彼に言った、「主よ、まず私が父を埋葬に行ってください。」しかしイエスは彼に言われた、「わたしに従いなさい。」そして死者に死者を埋葬させてください。」

2) ルカ 9:59-62 - 「そして彼は他の人に、『わたしに従ってきなさい』と言った。しかし彼は言いました、「主よ、まず私が父を埋葬に行ってください。」イエスは彼に言った、「死者に死者を葬らせなさい。しかし、あなたは行って神の国を宣べ伝えなさい。」また、別の人も言いました、「主よ、私はあなたに従いま

す。」でも、まずは私の家にいる彼らに別れを告げに行かせてください。するとイエスは彼に言われた、「鋤に手を当てて後ろを振り返るような人は、神の国にふさわしい者はいない。」

マルコ 1:21 それから彼らはカファルナウムに入った。そして安息日にはすぐに会堂に入って教えました。

イエスはカファルナウムの会堂に入り、安息日に教えました。

1: イエスは、たとえ忙しいスケジュールの中でも、信仰と霊的生活が優先されるべきであることを示してくださいました。

2: イエスは忠実さの模範を示し、単純な従順の行為でさえ大きな影響を与える可能性があることを私たちに示しました。

1: ヘブライ 10:22-25 - 「私たちは、悪い良心を心に振り払い、清い水で体を洗い、信仰を完全に確信して、真の心をもって近づきましょう。揺るがずに信仰告白を堅持しましょう。（彼は約束した忠実な方だからです。）そして、愛と良い行いを促すためにお互いを考慮しましょう。ある人々のように、一緒に集まることを放棄しないでください。しかし、互いに励まし合っているのです。そして、その日が近づいているのを見ると、なおさらです。」

2: ヤコブ 2:17-18 - 「それでも、もし信仰が働かなかったとしても、それは孤独であり、死んだものです。そうです、ある人はこう言うかもしれません、「あなたには信仰があり、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください。そうすれば、私は私の行いによってあなたの信仰を示します。」

マルコ 1:22 彼らは彼の教義に驚いた。というのは、彼は律法学者のようにではなく、権威を持つ者として彼らを教えたからである。

人々はイエスの教えに驚きました。イエスは律法学者とは違って権威をもって語られたからです。

1. イエスは真理と義に関する究極の権威です。

2. 神の言葉は人生に関する究極の権威です。

1. ヨハネ 17:17、「真理において彼らを神聖なものとしてください。あなたの言葉は真実です。」

2. 詩篇 119:105、「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

マルコ 1:23 そして、彼らの会堂に、汚れた霊に取り憑かれた男がいた。そして彼は叫びました、

イエスは悪魔払いの力によって悪霊に対する権威を示します。

1: 私たちは悪を克服するイエスの権威を認識しなければなりません。

2: 私たちの心を清めるイエスの力に畏敬の念を抱き続けましょう。

1: 2 コリント 10:4-5 - 私たちの戦いの武器は肉的なものではなく、神を通して強力であり、要塞を打ち破り、議論や、神の知識に対して高揚するあらゆる高尚なものを打ち倒すことができます。

2: マタイ 16:23 - しかし、彼は振り返ってペテロに言った、「サタン、後ろに下がってください。あなたは私にとってつまずきの石です。あなたは神のことを考えておらず、ただ人間のことを考えているだけだ。」

マルコ 1:24 こう言う、「私たちを放っておいてください。ナザレのイエスよ、私たちはあなたと何の関係があるのですか？私たちを滅ぼしに来たのですか？私はあなたが神の聖者であることを知っています。

この一節は、イエスがカファルナウムの会堂で汚れた霊に直面したことを描写しています。霊はイエスを神の聖者として認識します。

1: イエスは神の聖者であり、私たちの賛美と服従に値します。

2: 私たちはイエスを神の聖者として認め、謙虚な心をもってイエスのもとに来なければなりません。

1: イザヤ書 41:10 - 恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2: 1 ペテロ 2:9 - しかし、あなたがたは選ばれた民族であり、王の祭司職であり、聖なる国民であり、ご自分の所有物である民であり、あなたがたを暗闇からその驚くべき光の中に召してくださった神の優秀さを宣べ伝えるためのものです。

マルコ 1:25 そこでイエスは彼を叱責して言われた、「安心して彼から出て行け」。

この一節には、イエスが男性を叱責し、黙って男性の体から離れるように命じられたことが記述されています。

1. 心の平和と自由をもたらすことができるのはイエスだけです。

2. 神は癒し、回復、解放をもたらすことができるお方です。

1. イザヤ書 53:4-5 - 「確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち砕かれました。彼は私たちの罪のために打ち砕かれました。」彼は私たちに平和をもたらした懲罰であり、彼の打ち傷によって私たちは癒されたのです。」

2. マタイ 8:16 - 夕方になると、悪霊に取り憑かれた多くの人々が彼のところに連れて来られたが、彼は言葉で悪霊を追い出し、病人をすべていやした。

マルコ 1:26 そして、汚れた霊が彼を引き裂き、大声で叫んだとき、彼は彼の中から出て来た。

ある男が汚れた霊に取り憑かれ、大声で叫んだ後、霊は男から去っていきました。

1. イエスには汚れた霊を追い出す力があります。

2. 神は常に私たちを悪霊から守り、救い出してくださいます。

1. エペソ 6:12 - なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この時代の闇の支配者に対して、天上の悪の霊的な軍勢に対して戦うからです。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に従いなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

マルコ 1:27 すると、彼らはみな驚いて、互いに尋ね合って言った、「これは何ですか」。これはどんな新しい教義ですか？なぜなら、神は権威をもって汚れた霊たちさえも命令し、彼らは神に従うからである。

人々は、イエスが汚れた霊たちに対して持っておられた権威に驚き、汚れた霊たちはイエスに従ったのです。

1: すべてのものに対するイエスの権威は称賛されるべきです。

2: 罪と死に対するイエスの権威は賞賛されるべきです。

1: コロサイ 2:15 - 「そして、イエスは権力と権威を武装解除して、十字架によって彼らに勝利を収めて、彼らを公衆の面前で見せられました。」

2: ヘブライ 2:14-15 - 「子供たちは血と肉を持っているので、彼もまた彼らの人間性を分かち合いました。それは、自分の死によって、死の力を持っている者、つまり悪魔の力を打ち砕くためでした。死の恐怖によって生涯奴隷として囚われていた人々を解放してください。」

マルコ 1:28 するとすぐに、彼の名声はガリラヤの周りの全地域に広まりました。

イエスはカペナウムの会堂で汚れた霊に取り憑かれた男性を驚くべき癒しを行い、その知らせはすぐにガリラヤ地方中に広がりました。

1. イエスの奇跡的な力を理解する

2. 奇跡的な治癒の影響

1. 使徒 3:16 - 「そして、彼の御名は、御名への信仰を通して、あなたが見て知っているこの人を強くしました。そうです、彼を通して来る信仰が、あなた方全員の前で彼にこの完全な健全さを与えたのです」。」

2. マタイ 8:16 - 「夕方になると、人々は悪霊に取り憑かれた多くの人々をみもとに連れて来ました。すると、イエスは言葉で霊を追い出し、病人をすべていやされました。」

マルコ 1:29 そしてすぐに、彼らは会堂から出て、ヤコブとヨハネとともに、シモンとアンデレの家に入った。

イエスと弟子たちは会堂に出席した後、シモンとアンデレの家に入ります。

1. イエスと弟子たちとの交わりの大切さ。

2. シナゴーグに参加する利点。

1. 使徒 2:42-47 - 使徒たちは交わり、パンを裂き、祈りに専念しました。

2. ヘブライ 10:24-25 - ある人々の習慣のように、集まることを怠らずに、愛と良い行いをするようお互いを鼓舞する方法を考えてみましょう。

マルコ 1:30 ところが、シモンの妻の母親が熱で倒れたので、そのことをシモンに伝えました。

サイモンの妻の母親が熱で倒れ、その知らせはすぐにサイモンに伝わりました。

1. いかなる病気も私たちを神の愛から引き離すことはできません - ローマ 8:38-39

2. 苦難を通した信仰の力 - ヤコブ 1:2-4

1. マタイ 8:14-15 - イエスはシモンの義母をいやした

2. ペテロ第一 5:7 - 神はあなたを気遣ってくださっているので、すべての不安を神に投げかけてください。

マルコ 1:31 すると、イエスが来て、彼女の手を取って抱き上げた。すると彼女はすぐに熱が下がり、彼らに仕えた。

イエスは女性の熱を癒し、彼女はお返しとして彼らに仕えました。

1. あなたのすべてを神に捧げなさい、そうすれば神はあなたを養ってくださるでしょう。

2. 人生を癒し、変えるイエスの力。

1. マタイ 11:28-30 - 「すべて苦労している人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。」

2. ヤコブ 5:14-15 - 「あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼び、彼らに彼のために祈り、主の名において油を注いでもらいましょう。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださいます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、赦されるでしょう。」

マルコ 1:32 そして、夕方、日が沈むと、人々は、病気の人や悪霊に取り憑かれている人たちをすべて彼のところに連れて来ました。

人々は日没に、病気の人や悪霊に取り憑かれた人たちをイエスのもとに連れてきました。

1. イエスは自分を必要とするすべての人を気遣う

2. イエスによる癒しと解放

1. イザヤ書 53:4-5 - 「確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち砕かれました。彼は私たちの罪のために打ち砕かれました。」彼は私たちに平和をもたらした懲罰であり、彼の打ち傷によって私たちは癒されたのです。」

2. マタイ 8:16 - 夕方になると、悪霊に取り憑かれた多くの人々が彼のところに連れて来られたが、彼は言葉で悪霊を追い出し、病人をすべていやした。

マルコ 1:33 すると町中の人が皆、戸口に集まった。

イエスが到着すると、町の全員が戸口に集まりました。

1. イエスの臨在の力: イエスが私たちに団結を促す方法

2. コミュニティの力: イエスはどのようにして私たちを交わりに結び付けてくださったのか

1.マタイ 8:16-17、「その夜、人々は悪霊に虐げられている多くの人々を彼のところに連れて来ました。そして彼は言葉で霊を追い出し、病人をすべていやされました。これは預言者イザヤが語ったことが成就するためでした。」: 「彼は私たちの病気を引き受け、私たちの病気を背負った。」

2.使徒 2:44-45、「そして、信じた人たちはみな一緒にいて、すべての共通点がありました。そして彼らは必要に応じて自分たちの所有物や持ち物を売り、その収益を全員に分配していました。」

マルコ 1:34 また、彼はさまざまな病気で苦しんでいる多くの人を癒し、多くの悪霊を追い出しました。そして悪魔たちは彼のことを知っていたので、話すことを許されなかった。

イエスは多くの人々を癒し、多くの悪霊を追い出しましたが、人々はイエスだと認識したため、話すことを妨げられました。

1. イエスは病気と悪霊に対する自分の力と権威を実証しました。

2. 神の愛は悪を克服する強力な力です。

1. マタイ 12:22-30 - イエスが悪霊を追い出すと、人々は彼の権威に驚きました。

2. 詩篇 103:3 - 「神はあなたのすべての罪を赦し、あなたのすべての病気を癒してくださいます。」

マルコ 1:35 そして朝、日が暮れるずっと前に起きて、外に出て、人里離れた場所に行き、そこで祈った。

イエスは一日が始まる前に一人で祈りました。

1: 困難な時には主に避難所を求める。

2: 祈りの中で平安を見出す。

1: 詩篇 91:1-2 - いと高き方の避難所に住む者は全能者の影にとどまります。私の避難所であり、私の砦である、私が信頼する私の神、主に言います。

2: マタイ 6:6 - しかし、祈るときは、自分の部屋に入り、ドアを閉めて、隠れておられるあなたの父に祈りなさい。そして、ひそかに見ておられるあなたの父があなたに報いてくださいます。

マルコ 1:36 そこでシモンと彼と一緒にいた人々も彼の後を追った。

イエスがシモンの家に行くと、一緒にいた人々も続いた。

1. イエスの臨在の力: イエスに従うことで人生はどのように変わるのか

2. コミュニティの力: 一緒にイエスに従うことで信仰がどのように強化されるか

1. マタイ 4:18-22 - イエスは最初の弟子たちを呼びます

2. コリント第一 12:12-27 - キリストの体とその重要性

マルコ 1:37 そして、イエスを見つけたとき、彼らは言った、「人は皆、あなたを捜している。」

イエスはすべての人に求められていました。

1: イエスを求めなさい、そうすれば平安が得られます。

2: イエスはすべての力と希望の源です。

1: イザヤ書 41:10 - 恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2: 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

マルコ 1:38 そこでイエスは彼らに言った、「次の町へ行きましょう。そこでも宣べ伝えることができるのです。そのためにわたしは出てきたのです。」

イエスは弟子たちに、そこで説教できるように次の町に行くように頼みます。

1. イエスは福音を宣べ伝える方法を教えてくださる

2. イエスの説教の力

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

2. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。」

マルコ 1:39 そして、イエスはガリラヤ中の彼らの会堂で宣教し、悪霊を追い出しました。

イエスはガリラヤ全域で宣教し、悪魔を追い出しました。

1: 私たちは、環境に関係なく、イエスの模範に従い、イエスの言葉を宣べ伝えるべきです。

2: 私たちは福音を広め、自分自身の生活の中で悪を拒絶するよう努めるべきです。

1: マタイ 28:19-20、「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」、私は世の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

2: ルカ 4:18-19、「主の御霊がわたしの上にあります。貧しい人たちに良い知らせを宣べ伝えるために、主がわたしに油を注いでくださったからです。彼は捕虜に自由を、目の見えない人に視力の回復を宣言し、抑圧されている人々に自由を与え、主の恵みの年を宣言するために私を遣わしたのです。」

マルコ 1:40 すると、一人のらい病人が彼のところに来て、懇願し、彼の前にひざまずいて、「もしお望みなら、私を清めていただけますか」と言った。

ハンセン病患者がイエスのもとにやって来て、治してほしいと願いました。

1: イエスは、信仰と謙虚さをもってご自分のもとに来る人々をいつでも助ける用意ができています。

2: イエスは、私たちの状態に関係なく、私たちを癒し、回復させたいと望んでおられます。

1: マタイ 11:28 - すべて働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたがたを休ませてあげます。

2: ヤコブ 4:6-7 - しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。したがって、「神は高ぶる者に反対するが、へりくだる者には恵みを与える」と書かれています。したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

マルコ 1:41 そこで、イエスは同情の心を抱いて、手を差し出して彼に触れ、言われた、「そうします」。清くありなさい。

イエスはハンセン病患者を癒して同情を示しました。

1: 同情心はイエスに従うために不可欠な部分です - ルカ 6:36-38

2: イエスの癒しの力は、イエスの憐れみの一例です - ルカ 5:17-26

1: 1 ペテロ 3:8 - 最後に、皆さん、同じ考えを持ち、同情心を持ち、互いに愛し合い、同情心と謙虚さを持ちましょう。

2: ヘブライ 4:15-16 - 私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいませんが、私たちと同じようにあらゆる面で誘惑に遭ったにもかかわらず、罪を犯さなかった大祭司がいます。そして、私たちが必要なときに憐れみを受け、助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って神の恵みの御座に近づきましょう。

マルコ 1:42 そして、彼が話すとすぐに、らい病は彼から去り、彼はきよめられた。

あるハンセン病患者が癒しを求めてイエスに近寄ると、イエスが癒しの言葉を語り、そのハンセン病患者は直ちにハンセン病から清められた。

1. イエスは私たちの身体的および霊的な病気を癒す力を持っています。

2. イエスの言葉は力強く、私たちの人生を変えることができます。

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。」

2. マタイ 8:2-3 - 「ハンセン病の人がやって来て、ひざまずいて懇願しました。『もし御心であれば、私を清めていただけますか』。」イエスは憤慨されました。彼は手を伸ばしてその男に触れた。「喜んで」と彼は言った。「きれいになってください！」

マルコ 1:43 そこで彼は彼を厳しく非難し、すぐに追い返した。

イエスは自分が治したその人に、自分が行った奇跡のことを誰にも話さないようにと命じられました。

1. イエスの力: 奇跡を証明する

2. 従順の重要性: イエスの命令に従うこと

1. マタイ 8:4 - 「そしてイエスは彼に言われた、「あなたは誰にも何も言わないようにして、行って祭司に姿を現し、モーセが命じた贈り物を彼らに証明するために捧げなさい。」

2. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守るでしょう。」

マルコ 1:44 そして彼に言った、「あなたは誰にも何も言わないでください。しかし、行って祭司に姿を現し、モーセが命じたこれらのことを彼らに証しするために、あなたの清めのために差し出しなさい。」

この箇所は、イエスが男性に、自分の癒しを秘密にして、祭司のところに行き、モーセが命じたものを証言として差し出すよう指示した内容です。

1: 神の癒しと備え

2: 証言の力

1: 出エジプト記 12:3-5 「イスラエルのすべての会衆に言いなさい。『今月の十日に、彼らは先祖たちの家にしたがって、家ごとに子羊を一頭ずつ持って来るであろう』」: 家族が子羊にとって少なすぎる場合は、その人とその家の隣の隣人に、魂の数に応じてそれを取らせなさい。各人は自分の食べる量に応じて、子羊の数を数えなければなりません。あなたの子羊はなくなります。傷、一年生の雄、羊か山羊から取り出さなければなりません。」

2: ヨハネ 8:32 「そうすれば、あなたがたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

マルコ 1:45 しかし、イエスは外に出て、それを大々的に出版し、この問題を広く広め始めたので、イエスはもはや公然と町に入ることができず、外の荒れ地におられた。そして、人々は四方八方からイエスのところに来た。。

イエスの名声は急速に広がり、世界中から人々がイエスのもとにやって来ましたが、イエスはもう公然と街に入ることができませんでした。

1. たとえ人気がなくても、あるいは都合が悪くても、キリストに従うこと。

2. いつ退いて神がご自身のやり方で働くのを許すべきかを知る。

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

マルコ 2 章では、イエスの癒しの奇跡や教え、宗教指導者からの反対の増大など、イエスの宣教の記録が続けられています。

第 1 段落: この章は、イエスがカペナウムで中風の人を癒すところから始まります。群衆のために 4人の男が中風患者を屋根から下ろすと、イエスはまず罪を許しますが、その場にいた何人かの法教師は、罪を赦せるのは神だけであるためイエスを冒涜していると考えました。罪を赦すご自身の権威を地上で実証するために、イエ

スはその男性を癒し、その男性はマットを手に取り、彼ら全員が見守る中歩き去っていきました(マルコ2:1-12)。

第 2 段落: 次に、イエスはレビ (マタイ) を徴税人に呼び、彼に従うよう命じます。その後、レビの家で多くの徴税人や罪人たちと食事をしているときに、パリサイ人たちは、なぜレビがそのような人々と食事をするのかと質問しました。イエスは、医者が必要な人は健康ではないが、病人が来たのは義人ではなく罪人であると答えられました（マルコ2:13-17）。その後、ヨハネの弟子たちのパリサイ人は断食しますが、人々はなぜヨハネの弟子のパリサイ人は断食するのに、彼の弟子たちは断食しないのかと尋ねます。彼は、新しいワイン、古い革袋、花婿、結婚式のゲストという比喩を使って説明し、神の臨在が断食のような古い習慣を当面は不適切なものにする新しい時代の到来を示唆していると説明しています（マルコ 2:18-22）。

第 3 段落: この章は 2 つの安息日論争で終わります。まず、安息日に穀物畑を歩きながら、弟子たちはパリサイ人が安息日に違法とみなす穀物の穂を摘み食べ始めました。これに対してイエスは、空腹のときに聖別されたパンを食べたダビデの例を挙げ、「安息日は人間のためにあるのであって、人間が安息日のためにあるのではない」と主張し、厳格な律法主義に対する柔軟性を示しています（マルコ 2:23-28）。2番目の例では、シナゴーグで手のしわが寄った男性がいて、パリサイ人が理性を求めてイエスを非難しているのを見ていたにもかかわらず、イエスは安息日にその男性を癒してくださいました。これにより、パリサイ人はすぐにヘロデ派にイエスを殺す方法を計画させ、イエスの宗教当局間の緊張が高まっていることを示しています。

マルコ 2:1 そして、数日後に再びカファルナウムに入った。そして彼が家にいるという音が聞こえた。

しばらくしてイエスがカファルナウムに入られ、イエスが家にいることが広まりました。

1. イエスの臨在の力: イエスがどのように希望と癒しをもたらすか

2. イエスの逆説: イエスはどのようにして一度にどこにでもいられるのか

1. 詩篇 107:20 - 神は言葉を発し、彼らをいやされました。彼は彼らを墓から救い出しました。

2. マタイ 18:20 - わたしの名のもとに二人や三人が集まるところ、その中にわたしもいるからです。

マルコ 2:2 すると、すぐに多くの人が集まり、受け入れる余地もないほど、いや、戸口のあたりまでだったので、イエスは彼らに御言葉を宣べ伝えた。

イエスの御言葉を聞くために多くの人が集まりました。

1. 説教の力 - イエスはどのようにして群衆を集め、御言葉を説教することができたのか。

2. 神のためのスペースを作る - 人生の中に神の言葉のためのスペースをどのように作ることができるか。

1. 使徒 2:42 - そして、彼らは使徒の教えと交わり、パンを裂くことと祈りに専念しました。

2. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いましょう。

マルコ 2:3 そして、彼らは、四人のうちに生まれた中風の一人の患者を連れて、彼のところにやって来た。

四人は中風の人を癒してもらうためにイエスのもとに連れて行きました。

1: イエスには私たちを癒し、回復する力があります。

2: 私たちは最大の課題をイエスに持ちかけ、私たちを助ける彼の力を信頼することができます。

1: イザヤ書 40:31 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2: ヤコブ 5:16 「あなたがたが癒されるように、互いに自分の過ちを告白し、互いに祈りなさい。義人の熱心な祈りは効果的です。」

マルコ 2:4 そして、報道陣がイエスに近づくことができなかったので、イエスがいたところの屋根を外し、それを壊してから、中風患者が横たわっていたベッドを降ろした。

イエスは、群衆がイエスへの接近を妨げたにもかかわらず、中風の人を癒しました。

1. 信仰の力: イエスは癒しのためにどのように障害を克服したか

2. イエスの慈悲: 人々がいる場所で出会う

1. マタイ 17:20 - そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたの不信仰のせいです。はっきり言いますが、もしあなたがからし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって『ここから向こうへ行け』と言うでしょう。」そしてそれは取り除かれるであろう。そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

2. ルカ 5:17-26 - そして、ある日、彼が教えていると、ガリラヤとユダヤのすべての町から来たパリサイ人や律法学者たちが傍らに座っていたことがわかった。エルサレム：そして主の力が彼らを癒すために臨んだ。

マルコ 2:5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人たちに言われた、「子よ、あなたの罪は赦されますように。」

イエスは中風の男の周囲の人々の信仰を見て、彼の罪は赦されたと言われました。

1. 逆境を乗り越える信仰の力

2. 私たちの罪を赦してくださる神の恵み

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

マルコ 2:6 ところが、律法学者の中には、そこに座って心の中で論じている者たちがいた。

イエスは律法学者たちの前で中風の人を癒します。

1. イエスの癒しと回復の力。

2. 困難な状況における信仰の重要性。

1. マタイ 9:1-8 - イエスは中風の人を癒しました。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

マルコ 2:7 なぜこの人はこのように冒涜を言うのでしょうか。神以外に誰が罪を許すことができるでしょうか？

イエスは中風のある人の罪を赦すことによって神聖な力を実証されました。

1: イエスは神であり、イエスだけが私たちの罪を赦す力を持っています。

2: 私たちはイエスを神聖な存在として認識し、私たちの罪を赦す彼の力を受け入れるべきです。

1: コロサイ 2:13-14 - 私たちが罪を犯して死んでいたときでさえ、神は私たちをキリストとともに生かしてくださいました。あなたが救われたのは恵みによるのです。

2: イザヤ書 43:25 - 私、つまり私こそが、私自身のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない人です。

マルコ 2:8 そして、イエスは、彼らが心の中でそのように考えているのを霊で察知すると、すぐに彼らに言われた、「なぜあなたがたは心の中でそんなことを考えているのか」。

マルコ 2章8節の一節は，イエスが人々の考えを知っていて，彼らの論理に疑問を抱いていたことを明らかにしています。

1. イエスは私たちの考えをご存じです - マタイ 12:25

2. 私たちがどのように考えるかが重要 - 箴言 23:7

1. マタイ 12:25 - 「イエスは彼らの考えを知っていて、彼らに言われた、『自分たちに敵対して分裂したすべての王国は荒廃し、自分たちに敵対して分裂したすべての都市や家は立ち行かなくなる。』

2. 箴言 23:7 - 「その人は、心の中で思うとおり、『食べなさい、飲みなさい』とあなたに言います。しかし、その心はあなたとともにありません。」

マルコ 2:9 中風の病人に、「あなたの罪は赦されますように」と言うのが簡単かどうか。それとも、「起きて、床を担いで、歩きなさい」と言うのでしょうか？

イエスは群衆に、罪を赦すのと病人を癒すのはどちらが難しいかを決めるよう挑戦します。

1. 許しの力: イエスの許しの奇跡は私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 神の奇跡: イエスの奇跡的な癒しの背後にある意味を理解する

1. ルカ 5:20-24 - イエスは中風の人を癒し、罪を赦される

2. マタイ 21:21-22 - イエスはイチジクの木を癒し、信仰と許しについて教える

マルコ 2:10 しかし、人の子には罪を赦す力が地上にあるということをあなたがたが知るためです。（彼は中風の病人にこう言いました。）

イエスは人の麻痺を治すことによって、罪を赦すご自身の権威を実証されました。

1: イエスは癒しと許しの究極の源です。

2: イエスとその赦しと癒しの力を信じてください。

1: イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2: ヤコブ 5:15 - そして、信仰によってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したなら、彼らは赦されるでしょう。

マルコ 2:11 わたしはあなたに言います、起きて、床を担ぎ、あなたの家に入りなさい。

イエスは麻痺した男性を癒し、ベッドを持ち上げて家に帰るように言いました。

1.「神の奇跡:信仰の力」

2.「前に進む力：重荷を引き受ける」

1. イザヤ書 35:3-6 - 弱者を強める

2. エペソ人への手紙 3:20 - 私たちの内に働く神の力

マルコ 2:12 そこで、イエスはすぐに立ち上がって、床を担ぎ、皆の前に出て行った。あまりにも彼らは皆驚いて、「こんなやり方では見たことがない」と言って神を讃えた。

イエスは中風の人を癒し、人々に自分の力と栄光を示し、人々は畏敬の念を持って神を賛美しました。

1: イエスはいつも私たちとともにいて、癒しと希望を与えてくださいます。

2: 私たちの人生を癒し、変えるイエスの力を信じてください。

1: エレミヤ 33:6 ?ほら、私は彼らに健康と癒しをもたらし、彼らを癒し、彼らに豊かな平和と真実を明らかにします。

2: マタイ 8:17 ?預言者エサイアスが言った、「ご自身が私たちの弱さを取り、私たちの病気をさらってくださった」という言葉が成就するかもしれません。

マルコ 2:13 それから彼は再び海辺に出て行った。すると群衆は皆彼に頼ったので、彼は彼らに教えた。

イエスは海辺で教え、大勢の群衆を集めました。

1. イエスの教えの力: マスターの教え方を考察する

2. イエスに引き寄せられる: 群衆を引き寄せるイエスの言葉の力

1. マタイ 5:1-2 「イエスは群衆を見て山に登られた。そして立ち上がると、弟子たちが近寄ってきた。そして口を開いて、彼らに教えて言われた。」

2. ヨハネ 6:60-63 「それで、弟子たちの多くは、これを聞いて言った、「これは厳しい言葉だ。誰が聞くことができるだろう。」イエスは、弟子たちがそのことにつぶやいているのを心の中で知って、言われた。彼ら、「これはあなた方を怒らせますか。人の子が以前いた場所に昇るのを見たらどうなりますか。活性化するのは霊です。肉には何の利益もありません。私があなたたちに話す言葉、それらは霊であり、彼らは彼らです」人生だ。」

マルコ 2:14 そこを通りかかったとき、アルファイの子レビが税関の受付に座っているのを見て、彼に言った、「わたしに従ってきなさい」。そして彼は立ち上がって彼を追った。

イエスはレビに従うように呼びかけ、レビは従った。

1. キリストの呼びかけに従うことの重要性。

2. イエスの招きの力。

1. ローマ 12:1-2 - ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の観点から、皆さんに勧めます。慈悲、神に喜ばれる神聖な生きたいけにえとして自分の体を捧げるということですか？それがあなたの真の適切な崇拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。そうすれば、あなたは神が何であるかをテストし、承認することができるでしょう？셲意志は何ですか？봦は良い、楽しい、そして完璧な意志です。

2. マタイ 4:19 - イエスは彼らに言われました。さあ、私について来なさい、そうすればあなたを人間漁師にしてあげます。

マルコ 2:15 イエスが家で肉を食べているとき、多くの取税人や罪人たちも、イエスとその弟子たちと一緒に座っていた。

イエスは罪人を交わりのために家に迎え入れました。

1: 罪人を歓迎し受け入れるイエスの模範。

2: すべての人に対するイエスの無条件の愛。

1: ルカ 5:31-32 - イエスは彼らに答えて言われた、「医者が必要なのは健康な人ではなく、病人です。わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。」

2: ヨハネ 8:1-11 - イエスはオリーブ山に行かれました。朝早く、彼は再び神殿にやって来ました。人々はみな彼のところにやって来たので、彼は座って彼らに教えました。

マルコ 2:16 律法学者やパリサイ人たちは、イエスが取税人や罪人たちと食事をしているのを見て、弟子たちに言った、「どうして彼は取税人や罪人たちと飲食するのか」。

イエスは罪人たちと一緒に食事をし、神の愛と彼らへの受け入れを示しました。

1: イエスは両手を広げて罪人を歓迎し、罪にもかかわらず人々を愛し受け入れることを思い出させます。

2: イエスは、過去に関係なく、神の恵みと憐れみがすべての人に与えられることを示しました。

1: ルカ 15:1-2 「さて、取税人や罪人たちは皆、イエスの話を聞こうと集まっていた。しかし、パリサイ人や律法学者たちはつぶやいた、「あの人は罪人たちを歓迎して、一緒に食事をするのだ。」

2: ローマ人への手紙 5:8 ?では、神は私たちに対するご自身の愛を次のように表しています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

マルコ 2:17 イエスはこれを聞いて言われた、「元気な人には医者はいらない、ただ病人には必要である。わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためである。」

イエスは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くために来たと教えています。

1. 悔い改めの力: 救いの希望

2. 神の無条件の愛: 罪人に悔い改めを呼び掛ける

1. ローマ人への手紙 3:23-25 ?あるいは、すべての人が罪を犯して神の栄光を受けられなくなったら、キリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。神はこのキリストを立て、その血によって信じる者のために罪を償う供え物となさいました。彼の寛容さにより、神は以前に犯した罪を見逃してくださいました。

2. ルカ 5:31-32 ?イエスは答えて彼らに言った、「健康な人には医者は必要ありません。」しかし、彼らは病気です。私が来たのは義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。

マルコ 2:18 ヨハネの弟子たちとパリサイ人の弟子たちはいつも断食をしていた。すると、彼らが来てイエスに言った、「なぜヨハネの弟子たちやパリサイ人の弟子たちは断食しているのに、あなたの弟子たちは断食しないのですか」。

ヨハネの弟子たちとパリサイ人たちは、自分たちの弟子たちが断食しているのに、なぜ自分の弟子たちは断食しなかったのかとイエスに質問しました。

1. 私たちの霊的生活における断食の重要性。

2. 弟子になること: イエスから学び、その模範に従うこと。

1. マタイ 6:16-18 - 霊的修行の一環としての断食。

2. ヨハネ 15:1-5 - キリストのうちに留まり、弟子となること。

マルコ 2:19 そこでイエスは彼らに言われた、「花婿が一緒にいる間、花婿の部屋の子供たちは断食できるのか」。花婿が一緒にいる限り、断食することはできません。

イエスは、花婿がまだいる間は断食する必要はない、と教えています。

1. 喜びが溢れているときは断食は必要ありません

2. 今この瞬間を生きる: 花婿の存在を楽しむ

1. ヨハネ 16:20-22 - イエスは死ぬ前の喜びについて語ります。

2. イザヤ書 58:3-5 - 神は断食よりも憐れみと喜びを望んでいます。

マルコ 2:20 しかし、花婿が彼らから取り去られる日が来るでしょう。そしてその日、彼らは断食することになります。

花婿が連れ去られる日が来て、その時は断食の時が来ます。

1: 悲しみの時の断食

2: 悲しい時に強さを見つける

1: イザヤ書58:6-9

2: マタイ6:16-18

マルコ 2:21 古い衣服に新しい布を縫い付ける人もいません。そうしないと、それを埋めていた新しい布が古い衣服から取り去られ、裂け目はさらに悪化します。

この聖句は、古い衣服を新しい布で繕おうとすることの愚かさを語っています。それは破れをさらに悪化させるだけです。

1: 古い生活様式を新しい習慣で取り繕おうとするのはやめるべきです。それは状況を悪化させるだけだからです。

2: 私たちは古いやり方を手放し、イエス・キリストにある新しい命を喜んで受け入れなければなりません。

1: エペソ人への手紙 4:22-24 「あなたがたは、欺瞞的な欲望に従って堕落した古い人との以前の会話を脱ぎ捨て、心の霊において新たになり、新しい人を着なさい。それは神が義と真の聖さのうちに創造された後である。」

2: コロサイ 3:5-10 「だから、地上にいるあなたがたの成員たち、不品行、汚れ、過度の愛情、邪悪な好色、そして偶像崇拝である貪欲を辱めなさい。そのために神の怒りが子供たちに下るのです」不服従の罪: あなたがたも、その中に住んでいたとき、その道を歩いたことがあります。しかし今は、怒り、怒り、悪意、冒涜、口から出る不潔なコミュニケーションなど、これらすべてを遠ざけました。互いに嘘をつかないでください。あなたがたは、その行いとともに古い人を脱ぎ捨て、自分を創造した人の姿に倣って知識を新たにした新しい人を着たのです。」

マルコ 2:22 そして、古い瓶に新しいぶどう酒を入れる人は誰もいません。そうしないと、新しいぶどう酒が瓶を破ってしまい、ぶどう酒がこぼれて瓶が傷んでしまいます。しかし、新しいぶどう酒は新しい瓶に入れなければなりません。

古いボトルに新しいワインを入れると、ボトルが破裂してワインがこぼれる恐れがありますので、絶対に行わないでください。

1. 変化は必要 - リニューアルの課題

2. 成長のための余地を作る - 新たな祝福に備える

1. イザヤ書 43:18-19 ?昔のことを思い出したり、昔のことを考えたりしません。見よ、私は新しいことをしている。今それが湧き出ています、あなたはそれを認識しませんか？荒野や砂漠の川に道を作っていきます。

2. コリント第二 5:17 ?したがって、誰かがキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去った。見よ、新しいものが来た。

マルコ 2:23 それで、彼は安息日にトウモロコシ畑を通った。そこで弟子たちは行きながらトウモロコシの穂を摘み始めた。

一節 イエスと弟子たちが安息日にトウモロコシ畑を歩いていると、弟子たちはトウモロコシの穂を摘み始めました。

1. 安息日の休みの重要性

2. 日常生活における神への従順

1. 出エジプト記 20:8-11 -安息日を聖く保つために、その日を覚えておいてください。

2. 申命記 5:12-15 - あなたの神、主が命じられたとおり、安息日を守りなさい。

マルコ 2:24 そこで、パリサイ人たちはイエスに言った、「見よ、どうして彼らは、律法に反することを安息日にするのか」。

パリサイ人たちはイエスに、なぜ弟子たちが安息日に律法を守らないのか尋ねます。

1.「許しの力：律法主義からの自由を見つける」

2.「安息日の意味：休息と喜びの日」

1. ルカ 6:1-5 - イエスの弟子たちは安息日に穀物を摘み取り、イエスは憐れみの答えを示しました。

2. コロサイ 2:16-17 - 律法主義に対するパウロの警告。

マルコ 2:25 そこでイエスは彼らに言った、「あなた方は、ダビデが必要があって飢えていたときに、彼と彼と一緒にいた人々が何をしたかを読んだことがないのか」。

イエスは弟子たちに、ダビデの模範と、困難な時期に彼がどのように信仰を示したかを思い出すように勧めました。

1. 神への信仰は、必要なときにこそ発揮されます。

2. 神を信頼すれば、神は私たちの必要を満たしてくださいます。

1. 詩篇 37:25 - 私は若かったが、今は年をとったが、見捨てられた義人やその子供たちがパンを乞うのを見たことがない。

2. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

□□□ 2:26 □□□□

人の子は安息日の主です。

1. 神は万物を支配しておられる

2. 私たちは神の命令に従うべきです

1. 詩篇 46:10 ?私はまだ、そして私が神であることを知っています。

2. マタイ 5:17-19 ?私が律法や預言者を廃止するために来たとは考えません。私はそれらを廃止するために来たのではなく、それらを成就するために来たのです。本当に、あなたに言いますが、天と地が滅びるまで、すべてが達成されるまでは、一条も点も律法から外れることはありません。したがって、これらの最も小さな戒めの 1 つを緩め、他の人に同じように教える者は天国で最も小さい者と呼ばれますが、それを実行し、教える者は天国で偉人と呼ばれます。

マルコ 3 章では、12 使徒の選出、奇跡の行い、宗教指導者からの告発への対峙など、イエスの宣教の記録が続けられています。

第 1 段落: この章は、安息日に会堂で手のしわが寄った男性をイエスが癒すところから始まります。イエスがパリサイ人たちに、安息日に善を行うのは許されるのか、悪を行うのは許されるのかと尋ねると、彼らは沈黙したままです。怒りに満ちた彼らを見回し、彼らのかたくなな心に深く心を痛めた後、イエスはパリサイ人を導き出て行った男を癒し、ヘロデ派とともにどのようにしてイエスを殺すかを計画し始めました(マルコ3:1-6)。それからイエスは弟子たちとともに湖に退かれ、ガリラヤから来た大勢の群衆もその後に続きました。彼が多くの人を癒したとき、病気の人たちは皆、彼に触れようと彼の周りに押し寄せました。そして、汚れた霊がイエスを見るたびに、彼らはイエスの前にひれ伏し、「あなたは子神です」と叫びましたが、イエスは彼らに、イエスのことを他の人に知らせないようにと厳しい命令を与えました（マルコ3:7-12）。

第 2 段落: 次に、イエスは山に登り、来てほしかった人たちを呼び、12 人の使徒を任命し、宣教の権威を説いて悪霊を追い出すために一緒に送り出します (マルコ 3:13-19)。これらには、彼がピーター・ジェームズ・ジョンと名付けたシモン、彼が息子の雷鳴を意味するボアネルゲスという名前を付けた人、アンドリュー・フィリップ・バーソロミュー・マシュー・トーマス・ジェイムズの息子アルファエウス・タダイウス・シモン・熱心党・ユダ・彼を裏切ったイスカリオテが含まれます。

第三段落：再び帰宅すると群衆が集まり食事もできなくなるが、それを聞いた家族は「彼は正気を失っている」と言って彼の世話をしに行く。教師の法律には「悪魔王子がベルゼブルに取り憑いて悪魔を追い出す」とある。これに応じてイエスはたとえ話で、もしサタンが自分に反対するなら、分裂した家は同じようには耐えられない、分裂した自分の終わりが来たのは耐えられない、そして聖霊に対する冒涜について語り、永遠の罪を示す永遠の罪を示すものであり、拒否の働きを示唆している、聖霊は神の恵みを拒否することになるので許されない、と述べた。ついに救いをもたらした 彼の母親の兄弟が到着し、外に立って誰かを呼び寄せた 周りに座っていた群衆が言う、「私の母親の兄弟は誰ですか？」弟子たちは「ここに私の母、兄弟がいます。誰がそうするかは神よ、私の兄弟、姉妹の母です」と言い、信者間の精神的な絆が生物学的な関係よりも優先されることを示しています。

マルコ 3:1 それから、イエスは再び会堂に入った。そこには手の枯れた男がいた。

イエスは会堂で手のなえた男性を癒します。

1: イエスは最も絶望的な状況でも私たちを気遣ってくださいます。

2: 奇跡は今日も起こります。

1: イザヤ書 41:13 「あなたの神、主であるわたしがあなたの右の手を握ってあなたに言う、『恐れるな、わたしがあなたを助ける』。」

2: ヘブル人への手紙 4:15-16 「私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいませんが、あらゆる点で私たちと同じように誘惑に遭いながらも、罪を犯さなかったのです。ですから、大胆に恵みの御座に来ようではありませんか。私たちが慈悲を得て、必要なときに助けてくれる恵みを得ることができるように。」

マルコ 3:2 そこで彼らは、安息日に彼をいやしてくれるだろうかと見ていた。彼らが彼を告発するかもしれないからです。

この箇所は、ユダヤ人の指導者たちが、イエスを告発するために安息日に人を癒すかどうかを監視していたことについて語っています。

1. イエスの力と権威: イエスはどのように障害を克服したか

2. イエスの愛と思いやり: 反対にもかかわらず他人を気遣う

1. マタイ 12:1-14 - 安息日に関するイエスの教え

2. ルカ 6:6-11 - 安息日に癒されたイエス

マルコ 3:3 そして彼は、手のなえた人に言った、「前に出なさい」。

イエスは手の枯れた男に、立ち上がるように命じました。

1. 神は単なる癒し手ではありません。彼は慰め者でもあります。

2. 正しいことのために立ち上がることには力がある。

1. イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

2. 詩篇 46:1 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。

マルコ 3:4 そこでイエスは彼らに言った、「安息日に善を行うのが許されるのか、それとも悪を行うのが許されるのか」。命を救うか、それとも殺すか？しかし彼

らは平和を保った。

イエスは、律法と安息日に善を行うためのその適用について質問し、当時の宗教指導者たちに挑戦しました。

1: 私たちは、たとえ安息日であっても、どんな状況でも善を行うように努めるべきです。

2: 私たちは神の律法に従うべきですが、善を行うことを犠牲にしてはなりません。

1: マタイ 12:12 「だから、わたしはあなたたちに言いますが、あなたが祈りで求めるものはすべて、あなたがそれを受け取ったと信じなさい。そうすれば、それはあなたのものになります。」

2: ヤコブ 2:14-17 「兄弟姉妹たち、もし信仰があると言いながら行いを持たない人がいたら、何の役に立つのでしょう。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか。ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物もないとしましょう。あなた方の一人が彼らに、「安らかに、暖かくして、十分な食事をしなさい。」と言っていますが、彼らの肉体的な必要については何もしません。それが何の役に立つのですか?同じように、信仰は、行動を伴っていなければ、それ自体で意味があるのです。、死んでいる。"

マルコ 3:5 そして、イエスは、彼らの心のかたくなさを悲しみながら、怒りを込めて彼らを見回した後、その人に言った、「手を伸ばしてください。」そして彼はそれを伸ばすと、彼の手はもう一方と同じように完全に復元されました。

イエスは人々の心のかたくなさに怒り、悲しみながらも、その人の手をいやされました。

1. イエスを拒絶した人々に対するイエスの同情心と愛

2. 私たちの罪にもかかわらず癒す神の力

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

2. ダニエル 4:35 - 地上のすべての住民は無に等しいものとみなされ、神は天の軍勢と地上の住民の間でご自分の意志に従って行動します。そして誰も彼の手から離れず、「何をしたの？」と彼に言うこともできない。

マルコ 3:6 そこでパリサイ人たちは出て行って、直ちにヘロデ派の人々と、どうやって彼を滅ぼすかについて相談した。

パリサイ人はヘロデ派と共謀してイエスを滅ぼそうとしました。

1: イエスが自分に最も近い人々からの憎しみと裏切りに直面したことを決して忘れてはなりません。

2: 私たちの主であり救い主は、彼を信じるべき人々からさえも迫害に耐えられました。

1: ヨハネ 15:18-19 ?世界があなたを憎んでいるとしても、あなたがたを憎む前に世界が私を憎んでいたことをあなたは知っています。もしあなたがたが世の人であれば、世は自分のことを愛するでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、私があなたを世から選んだのですから、世はあなたを憎んでいるのです。

2: 箴言 24:17-18 ?敵が倒れても喜んではいけないし、敵がつまずいても心を喜ばせてはならない。主がそれを見て不快に思われ、怒りを彼から遠ざけられないように。

マルコ 3:7 しかし、イエスは弟子たちとともに海へ退かれた。すると、ガリラヤとユダヤからの大群衆が従った。

イエスは弟子たちとともに海へ退かれると、ガリラヤとユダヤからの大群衆がイエスを追った。

1. イエスの臨在の力：イエスが退いても従う

2. 堅固な信仰: 困難にもかかわらずイエスに従う

1. マタイ 14:22-23 - イエスはすぐに弟子たちを舟に乗らせて向こう岸へ先に行かせ、その間に群衆を解散させました。そしてイエスは彼らを解散させた後、祈るために一人で丘に登られました。

1. ヨハネ 6:1-3 - この後、イエスはガリラヤ湖（またはティベリア海）を渡られました。イエスが病人たちに行っているしるしを見たので、大勢の群衆がイエスに従った。それからイエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこにお座りになりました。

マルコ 3:8 エルサレム、イドマエア、ヨルダンの向こうから。ティルスとシドンについては、大群衆が、彼がどれほど偉大なことをしたのかを聞いて、彼のところに来た。

ヨルダン、ティルス、シドンを越えたエルサレム、イドマエアからの群衆が、イエスの偉大な業を聞いて、イエスのもとにやって来ました。

1. イエスの偉大な業はすべての人をイエスに引き寄せます

2. イエスの奇跡はあらゆる階層の人々を結びつける

1. ヨハネ 11:43-44 - そして、このように話したとき、彼は大声で、「ラザロ、出てきなさい」と叫びました。そして死んだ者が出てきて、手足を墓服で縛られ、顔にはナプキンが巻かれていた。イエスは彼らに言われた、「彼を解き放って、放してください」。

2. 使徒 2:41-42 - それから、彼の言葉を喜んで受け入れた人々はバプテスマを受けました。そして、同じ日に、約三千人の魂が彼らに加えられました。そし

て、彼らは使徒たちの教義と交わり、パンを裂く祈りを毅然として続けました。

マルコ 3:9 それからイエスは弟子たちに言った、「群衆が多いので、押し寄せないように、小さな船で待っていてください」。

イエスは弟子たちに、群衆に押しつぶされないように小さな舟を用意するように指示されました。

1. 従順の重要性: マルコ 3:9 のイエスの指示に従うこと。

2. 群衆の力: マルコ 3:9 に圧倒されるのを避ける方法。

1. マタイ 8:18-22 - イエスは嵐を静めます。

2. ルカ 9:10-17 - 5,000 人の食事。

マルコ 3:10 彼は多くの人をいやしたからです。疫病に罹っている者と同じくらい彼らは、彼に触れることを強く求めた。

イエスは多くの人々を癒し、イエスが行った奇跡のゆえに人々はイエスに触れようとしました。

1. 奇跡の力

2. タッチの重要性

1. 使徒 3:1-10 - ペテロとヨハネは足の不自由な人を癒しました

2. イザヤ書 53:4 - 神は私たちの弱さを取り、私たちの病気を負ってくださいました。

マルコ 3:11 すると、汚れた霊たちがイエスを見ると、彼の前にひれ伏して叫び、「あなたは神の子だ」と言った。

イエスは神の子であり、崇拝に値するお方です。

1. イエスへの崇拝がイエスの神性への信仰をどのように反映しているか

2. 礼拝の価値と、礼拝がイエスについて教えてくれること

1. ピリピ人への手紙 2:9-11 - そこで、神はイエスをいと高き所に高め、あらゆる名に勝る名を与え、天においても地においても地においても、イエスの名においてはすべての膝がかがむべきである、そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であることを認めます。

2. 黙示録 5:12-13 - 彼らは大声でこう言いました。屠られた小羊が力と富と知恵と力と名誉と栄光と賛美を受けるのは正しいのか??その時、私は天と地と地と海とそのすべてのすべての生き物の声を聞きました。が彼らの中にいて、こう言っています。王座に座る者よ、小羊に賞賛と名誉と栄光と力がありますように、永遠に??

マルコ 3:12 そしてイエスは、自分のことを知らせてはいけないと、きっぱりと彼らに言いました。

イエスは 12 人の弟子たちに、自分の身元を秘密にしておくように指示しました。

1. 秘密の力: イエス・キリストの願いを尊重することの重要性と、それが私たちの信仰の旅にどのように役立つか。

2. 親密さの力: イエスと弟子たちとの特別な関係は、神との個人的な関係の重要性を明らかにしています。

1. ルカ 9:21 - イエスは、このことを誰にも話さないようにと彼らに厳しく警告されました。

2. マタイ 6:6 - しかし、祈るときは、自分の部屋に入り、ドアを閉めて、隠れておられるあなたの父に祈りなさい。

マルコ 3:13 そして彼は山に登り、望む者を呼び求めると、彼らは彼のところに来た。

イエスは追随者たちに、山にいる自分のところに来るように呼びかけました。

1. イエスの呼びかけ: 神の招きに応える。

2. イエスと一緒に過ごす時間を取る: 神を求めることの大切さ。

1. ルカ 5:16 ???イエスはよく寂しい場所にこもって祈っていました。

2. 詩篇 27:4 ???私が主に求めることは何もありません。私が求めるのはこれだけです。生涯ずっと主の家に住み、主の美しさを見つめ、主を神殿に求めることです。

マルコ 3:14 そして、イエスは十二人を命じて、彼らを自分と一緒にいて、宣べ伝えるために遣わすようにと命じた。

この箇所では、イエスが同行して説教するために12人の弟子を任命されたことが語られています。

1. クリスチャンの交わりの力: 団結がどのように信仰を強めるか

2. 説教への呼びかけ: 大使命に関する研究

1. 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなたたちはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに私は、時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。

マルコ 3:15 そして、病気を癒し、悪霊を追い出す力を持つために。

イエスには病人を癒し、悪霊を追い出す力が与えられました。

1. 「イエスの奇跡的な力: 人生で癒しを受ける方法」

2.「イエスの権威：悪霊の抑圧を克服する」

1. イザヤ書 53:4-5 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ヤコブ 5:14-15 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださるでしょう。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

マルコ 3:16 そしてシモンはペテロと名づけた。

イエスは12人の弟子を任命し、それぞれに特別な目的を与えました。イエスはまた、彼らが主への奉仕において送る新しい人生を意味する新しい名前を彼らに与えました。

1: イエスは私たちを新しい奉仕の生活に招き、そうする力を与えてくださいます。

2: イエスは、私たちがイエスに従うときに、独自の目的とアイデンティティを与えてくださいます。

1: ルカ 6:13 - イエスは彼らの中から 12 人を選び、使徒と名付けました。

2: ローマ人への手紙 8:29 - 神は、御子の似姿に形作られることをあらかじめ定めておられた人々であるからです。

マルコ 3:17 ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ。そして彼は彼らにボアネルゲス、つまり雷の息子たちと名付けました。

イエスはゼベダイの息子ヤコブとヨハネに「雷の子」を意味するボアネルゲスという名前を付けました。

1. 雷鳴のような信仰を持って生きる

2. 宣教の影響を反響させる

1. マタイ 4:18-22 - イエスはヤコブとヨハネに従うよう呼びかけます。

2. ルカ 9:51-56 - イエスは祈りと断食を基礎にして自分の王国を築くことについて語る

マルコ 3:18 アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、カナン人シモン、

イエスは福音を広めるために12人の弟子を任命しました。

1: イエスは並外れた事を行うために普通の人々を選びました。

2: イエスの愛の力は比類のないものです。

1: ルカ 6:13-16 - イエスは 12 人の使徒を任命し、彼らを一般の人々の中から選びました。

2: ヨハネ 15:13 - イエスは、比類のない愛を通して、追随者たちに並外れた事を行う力をお与えになりました。

マルコ 3:19 また、イスカリオテのユダも彼を裏切ったので、彼らは家に入った。

イエスと弟子たちは、自分を裏切ったイスカリオテのユダの家に行きました。

1. 裏切りの力 - 裏切りを回避し、克服する方法

2. イスカリオテのユダの救い - 神の恵みと許し

1. マタイ 26:14-16 - ユダの裏切りに関するイエスの知識

2. 詩篇 41:9 - 親しい友人の裏切り

マルコ 3:20 すると、群衆が再び集まってきたので、パンも食べることができなくなった。

大勢の群衆がイエスの教えを聞くために集まり、食べる暇もないほど長居しました。

1. イエスの言葉に耳を傾けることの重要性: 最も重要なことに時間を割く必要がある理由

2. イエスは御言葉で私たちを養う：聖書で私たちの魂を養う方法

1. ヘブル人への手紙 4:12 なぜなら、神の言葉は生きていて活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄の分裂を刺し通し、心の思いや意図を見分けるからです。

2. ピリピ人への手紙 4:19 そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

マルコ 3:21 それで、彼の友人たちは、それを聞いて、彼を捕まえようと出て行った。

イエスの友人たちは、イエスが正気を失っているのではないかと考えました。

1: 私たちは他人をすぐに判断せず、代わりに彼らの行動を理解するよう努めるべきです。

2: 感情に任せて軽率な決定を下さないように注意する必要があります。

1: ヤコブ 4:11-12 「兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟を悪く言い、兄弟を裁く者は、律法に対して悪口を言い、律法を裁いているのです。しかし、あなたが律法を裁くなら、あなたも同じです。」彼らは法の実行者ではなく、裁判官である。」

2: マタイ 7:1-2 「裁いてはなりません。裁かれないようにするためです。あなたが宣告する裁きによってあなたは裁かれ、あなたが用いる尺度によってそれはあなたに測られるからです。」

マルコ 3:22 そこで、エルサレムから下ってきた律法学者たちは、「彼はベルゼブブを持っており、悪魔の君によって悪魔を追い出している」と言った。

エルサレムの律法学者たちは、悪魔を追い出すために悪魔の王子ベルゼブブを使ったとしてイエスを非難しました。

1. イエスは悪魔から出たものではなく、神のものであり、彼の力はすべて神から来ています。

2. 私たちの言葉と行動は、世の非難ではなく、常にイエスの愛を反映すべきです。

1. マタイ 12:28-29 - ?もし私が神の御霊によって悪魔を追い出すなら、神の国はあなたたちのところに来るでしょう。あるいは、どうやって強い人の中に入ることができるでしょうか？最初に強い男を縛ることを除いて、家に帰り、彼の財産を台無しにするのですか？そして彼は家を台無しにするでしょう。

2. ヨハネ 10:30 - ? 쏧と私の父は一つです。

マルコ 3:23 そこでイエスは彼らを呼び寄せて、たとえで彼らに言った、「どうしてサタンがサタンを追い出すことができようか」。

イエスはたとえ話の形でサタンがどのようにしてサタンを追い出すことができるのかを弟子たちに尋ねました。

1. イエスの力: どのようにしてサタンを支配するのか

2. 神の権威: サタンは全能ではない

1. マタイ 12:25-29 - 悪霊を追い出すイエスの力

2. ヨハネ第一 3:8 - イエスによるサタンの最終的な敗北

マルコ 3:24 もし王国が自分たちに対して分裂したなら、その王国は存続できません。

イエスは、自分たちに対して分裂した王国は存続できないと教えています。

1.神の王国における一致

2. 分裂の危険

1. エペソ人への手紙 4:3 - 「平和のきずなを通して御霊の一致を保つためにあらゆる努力をしなさい。」

2. コリント第一 1:10 - 「兄弟姉妹の皆さん、私たちの主イエス・キリストの御名において、皆さんにお願いします。皆さんがお互いの言うことに同意し、皆さんの間に分裂がないようにしてください。あなたは心と思考が完全に統一されています。」

マルコ 3:25 また、もし家が自分たちに敵対して分裂すれば、その家は存続できません。

この聖句は、分裂した家は存続できないことを説明し、一致の重要性を強調しています。

1. 「ハウスユナイテッド: 団結の重要性」

2. 「しっかりと立つ：分裂したときに団結する方法」

1. 詩篇 133:1 - 「見よ、兄弟たちが一致団結して住むことは、なんと良いことであり、なんと楽しいことだろう。」

2. エペソ人への手紙 4:3 - 「平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努めなさい。」

マルコ 3:26 そして、サタンが自分に対して立ち上がって分裂したとしても、彼は耐えることができませんが、終わりがあります。

サタンは自分に対して分裂しているときは耐えられません。

1: 分裂しているとき、私たちは弱くなります。団結すれば私たちは強くなれる。

2: 私たちが信仰と神への献身で団結すれば、悪の力を打ち負かすことができます。

1: エペソ人への手紙 6:11-12 - ?悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的な力に対して戦っているのです。

2: ガラテヤ人への手紙 5:22-23 - ?御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、優しさ、善良、忠実、優しさ、自制心です。そのようなことを禁止する法律はありません。

マルコ 3:27 だれも、まず強い人を縛り付ける以外は、強い人の家に入ってその家財を損なうことはできません。そうすれば彼は自分の家を台無しにするでしょう。

まず強者を拘束することなく、強者の家に侵入して勝利を主張することはできません。

1: □□□□

マルコ 3:30 それは、人々が、「彼は汚れた霊に取り憑かれている」と言ったからである。

イエスは汚れた霊に憑かれているとして非難されました。

1: 恵みと忍耐をもって冤罪に対処したイエスの模範から学ぶことができます。

2: この聖句の中で、神は私たちを誤って判断した人々に直面したときにどのように対応すべきかを示しています。

1: マタイ 5:11-12 ?他の人があなたを罵り、迫害し、私のせいであなたに対してあらゆる種類の悪を誤って発するとき、あなたは軽蔑されます。喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したからです。

2: ローマ人への手紙 12:14-15 あなたを迫害する人々を祝福してください。彼らを祝福し、呪わないでください。喜ぶ人と一緒に喜び、泣く人と一緒に泣きましょう。

マルコ 3:31 そのとき、彼の兄弟たちと母親が来て、外に立って彼を呼び寄せた。

イエスの家族、母親や兄弟たちが家の外からイエスに声をかけようとした。

1. 家族の大切さと、家族への愛をどのように示すことができるか。

2. 信仰の力と、信仰が必要なときにどのように私たちを助けてくれるのか。

1. マタイ 12:46-50 - 家族が呼びかけたときのイエスの反応。

2. エペソ人への手紙 6:1-3 - 両親を敬い、従うようにという教え。

マルコ 3:32 すると、群衆が彼の周りに座って、「見よ、あなたの母も兄弟もあなたを捜さないのに」と言った。

イエスの母親と兄弟たちはイエスと話したいと言い、大勢の人々がイエスの周りに集まりました。

1. イエスの使命と目的にもかかわらず、イエスの家族のイエスへの愛

2. 家族関係の大切さ

1. マタイ 12:46-50 - イエスの使命と目的にもかかわらず、イエスの家族はイエスを愛した

2. エペソ人への手紙 5:21-33 - 家族関係の重要性

マルコ 3:33 そこでイエスは彼らに答えて言われた、「わたしの母、あるいはわたしの兄弟とはだれですか。」

イエスは、自分の母親や兄弟が誰なのかを尋ねることによって、自分の家族の権威に疑問を抱きます。

1: イエスは、神に従う人の中に真の家族が見られることを示しました。

2: イエスは血のつながりよりも信仰を優先することの重要性を示しています。

1: マタイ 12:48-50 - イエスは、御父の御心を行う者は誰でも真の家族の一員であると説明されています。

2: ガラテヤ 6:10 - 良い行いは血のつながりよりも大切です。

マルコ 3:34 それから、イエスは自分の周りに座っている人々を見回して、「見なさい、わたしの母とわたしの兄弟たちよ」と言った。

イエスは、自分の本当の家族は自分に従い、その教えを信じた人々のグループであると宣言しました。

1. 私たちは皆、神の家族の一員です - マルコ 3:34

2. イエスを信じることで私たちは団結する - マルコ 3:34

1. ガラテヤ 3:26-29 - あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰によって神の子だからです。

2. エペソ 2:19 - ですから、あなたがたはもはや見知らぬ人や外国人ではなく、聖徒たちと同じ国民であり、神の家族の一員なのです。

マルコ 3:35 神の御心を行う者は、私の兄弟、妹、母も同じです。

この聖句は、イエスの家族の一員となるという神のご意志に従うことの重要性を強調しています。

1. 「意志の力: 家族とイエスの王国への所属」

2. 「弟子としての代償：神の御心を行い、家族になること」

1. ローマ人への手紙 12:1-2 - 「ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の御前に、私はあなた方に勧めます。憐れんでください、あなた方の体を、聖なる、神に喜ばれる生きたいけにえとして捧げてください。これはあなた方の真実で正しいものです。」" _ _ _ _

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 「世を愛してはいけません。世を愛している人がいるとしても、その人の中には父への愛がありません。世のすべてのものを愛しているのでしょうか？彼は肉に欲情しています。」_ _

マルコ 4 章には、種まき人のたとえ、ランプのたとえ、からし種のたとえなどのたとえ話でイエスが教えられる場面が描かれています。また、イエスが嵐を静める奇跡も記録されています。

第 1 段落: この章は、イエスが湖のほとりで大勢の群衆にたとえを用いて教えるところから始まります。「種をまく人のたとえ話」では、神の言葉に対するさまざまな反応を表す、さまざまな種類の土壌に種を蒔く農夫について描写されています（マルコ 4:1-9）。弟子たちや周囲の人々と二人きりのとき、イエスは、種は言葉である神であり、4種類の土はそれに対する4つの反応を表すというたとえ話の意味を説明します。道沿いにあるものは言葉が蒔かれますが、サタンが来てそこに蒔かれた言葉を奪い取り、他のものは種子のようなものです。岩場に蒔かれた種は言葉を聞くとすぐに喜んで受け入れますが、根がないので短期間しか続かず、言葉による迫害が起こるとすぐに消えてしまいます、また、いばらの中に蒔かれた種のように言葉を聞くと心配、人生、欺瞞、富、欲望、その他のものが入ってきます。窒息して実を結ばなくなり、最終的には、良い土に蒔かれた種のように、他の人がその言葉を受け入れると、作物は 360倍にも100倍にも増えます（マルコ4:1 0-20）。

第 2 段落: 次に「ランプのたとえ」が続きます。これは、隠されたものは何も残らないので、ランプはボウルやベッドの下に隠さず、代わりに台の上に置き、隠されたものはすべて明らかにすることを意味します (マルコ 4: 21-25）。これに続く「たとえのからし種」は、すべての種は地面で最も小さいが、植えると成長し、鳥が枝にとまるほどの大きな枝を持つ園芸植物は最大となり、神の王国がどのように小さく始まって指数関数的に成長するかを示しています（マルコ 4:26-34）。これらすべての教えは、人々の理解に合わせてたとえ話の形で与えられ、説明は弟子たちに内密に与えられます。

第 3 段落: この章は、イエスが嵐を静める記述で終わります。彼らがボートで湖を渡っていると、激しい嵐が起こり、ボートに波が打ち寄せ、湖がほぼ水浸しになります。弟子たちが命の危険を感じてパニックに陥る中、イエスは船尾のクッションの上で眠っておられます。彼らはイエスを起こして、溺れても構わないのかと尋ねます。風に告げる波を「静かに！静かに！」と叱責した後、風が止むと完全に穏やかな海が彼らに言います、「なぜそんなに怖いのですか？まだ信仰がないのですか？」弟子たちは、風波さえも従うこの男は誰なのかを互いに尋ねて恐怖を感じさせ、自然要素に対する彼の権威を示しています（マルコ4:35-41）。

マルコ 4:1 それで、イエスは再び海辺で教え始めた。すると、大勢の群衆が彼のところに集まってきたので、彼は船に乗り込み、海に座った。そして群衆はみな陸の海のそばにいた。

イエスは海辺で大勢の群衆に教え、舟に乗って教えを続けました。

1. 大勢の群衆が神の言葉を広めることを妨げないようにしてください。

2. 困難な時期にあなたを導いてくれるイエスを信じてください。

1. イザヤ書 40:31: しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. マタイ 11:28-30: すべて働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。私のくびきを負って、私のことを学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった者だから、あなたがたは魂に安らぎを得るだろう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。

マルコ 4:2 そしてイエスはたとえ話によって彼らに多くのことを教え、教義の中でこう言われた。

この箇所では、イエスがたとえ話や教義を通して追随者たちに教えられたことが語られています。

1. 心を開いてイエスの教えに従うこと

2. 私たちの生活におけるたとえ話の力

1. マタイ 13:34-35 - イエスはこれらすべてのことをたとえで群衆に語られました。彼はたとえを使わずに彼らに何も言いませんでした。35 このようにして、預言者を通して語られた、「わたしはたとえで口を開き、天地創造以来隠されていた事柄を語るであろう。」が成就したのである。

2. ルカ 8:9-10 - 弟子たちは、このたとえが何を意味するのか彼に尋ねました。 10 彼は言った、「神の国の奥義についての知識はあなたがたには与えられていますが、他の人たちにはたとえで話します。それは、『見えても見えないかもしれない』ためです。聞いても理解できないかもしれません。」

マルコ 4:3 聞いてください。見よ、種まき人が種を蒔くために出て行った。

種まき人のたとえ話は、神の言葉に耳を傾けることの大切さを教えています。

1.「信仰の種を蒔く：種を蒔く人のたとえ話」

2. 「聞くことの賜物: 神の言葉は私たちの生活をどのように変えるか」

1. 詩篇 19:7-11 - 「主の律法は完全であり、魂を生き返らせます。主のあかしは確かであり、単純な人を賢くします。」

2. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

マルコ 4:4 そして、彼が種を蒔いたとき、いくつかは道端に落ち、空の鳥がやって来て、それを食い尽くした。

種まき人のたとえ話は、神の言葉がどのように配布され、根付く前に一部が取り去られてしまうかを説明しています。

1. 悪魔に神の言葉を奪わせないでください - 私たちの信仰の敵を特定する

2. 王国の種を蒔く - 忍耐をもって信仰を培う

1. ペテロ第一 5:8 - 「身を慎み、用心していなさい。あなた方の敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくされる者を求めて歩き回っているからです。」

2. コロサイ 3:23 - 「あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対して行うように、心から行いなさい。」

マルコ 4:5 そして、ある者は土の少ない石の多い地に倒れた。すると、土の深さがなかったので、すぐに湧き出ました。

種は土があまりない石だらけの地面に落ちましたが、深さがなかったため芽を出しました。

1. 状況がどんなに困難であっても、神は不可能を可能にします。

2. 神は私たちの最も小さな者を取り除いて、私たちを偉大にすることができます。

1. 詩篇 40:2 「神は私を恐ろしい穴、泥だらけの粘土の中から引き上げ、私の足を岩の上に置き、私の行き先を定めました。」

2. ローマ人への手紙 8:31 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？」

マルコ 4:6 しかし、太陽が昇ると、あたりは焼けていました。そして根がなかったため枯れてしまいました。

この一節は、蒔かれた種が、それを生かし続ける根がなかったため、枯れてしまったというものです。

1. 強い信仰の基盤を持つことの重要性。

2. 根のないものを焼き尽くし、破壊する太陽の力。

1. マタイ 13:5-6 - 「土の少ない岩場に落ちたものもありました。土が浅かったのですぐに芽を出しました。しかし、太陽が昇ると、植物は焼けて枯れてしま

いました。」彼らには根がなかったからです。」

2. 詩篇 1:1-3 - 「悪者たちと歩調を合わせず、罪人たちの道を妨げず、あざける者たちと同席せず、主の律法を喜ぶ人は幸いです。その人は、水の流れのほとりに植えられた木のようなもので、季節に応じて実を結び、葉が枯れることがなく、何をしても繁栄します。」

マルコ 4:7 ある者はいばらの中に落ち、いばらが伸びてそれをふさぎ、実を結ばなかった。

種蒔きのたとえ話は、いばらの中に落ちて実を結ばない種もあることから、種をまく場所の重要性を強調しています。

1: 実り豊かなクリスチャンになる - 神の言葉を肥沃な土壌に植える。

2: 信仰を育てる - 適切な場所に種を蒔いて信仰を育てます。

1: ルカ 8:4-15 - 種まき人のたとえとその重要性を理解する。

2: コロサイ 1:6 - 神についての知識が成長します。

マルコ 4:8 また、ほかの木は良い地に落ち、実を結び、芽を出して増えました。そして、30人、60人、100人ほどが生まれました。

種まき人のたとえ話は、種が異なれば、実る量も異なることが分かります。

1.「神の豊かさ 百倍の収穫の祝福」

2.「豊かな果実を生み出す能力」

1. ヨハネ 15:5 - 「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。わたしにつながっている者、わたしもその人につながっている者は、多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからです。」

2. マタイ 13:23 - 「良い土地に蒔かれたものについて言えば、この人は御言葉を聞いてそれを理解する人です。彼は確かに実を結び、ある場合には百倍、別の場合には六十倍、また別の場合には三十倍の収穫をもたらします。。」

マルコ 4:9 そこでイエスは彼らに言われた、「聞く耳のある者は聞いてください。」

イエスは聞く耳のある人たちに、積極的にご自分の教えに耳を傾けるよう勧めておられます。

1. 聞く力: 神の声を聞く方法

2. 聞く心を養う：神の御心を見極めることを学ぶ

1. ヤコブ 1:19 - 「聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅い。」

2. 箴言 18:13 - 「聞く前に答える者は愚かであり、恥である。」

マルコ 4:10 そして、イエスが一人になったとき、十二人とともに彼の周りにいた人々は、イエスにたとえを尋ねた。

イエスは弟子たちにたとえ話を教えます。

1. たとえ話による神の知恵: イエスの教えをどのように理解できるか

2. イエスのたとえ話: 神の王国についての洞察を得る

1. マタイ 13:34-35 - イエスはこれらすべてのことをたとえで群衆に語られました。彼はたとえを使わずに彼らに何も言いませんでした。このようにして、預言者を通して語られたことが成就したのです。「わたしはたとえで口を開き、天地創造以来隠されていた事柄を語ります。」

2. ルカ 8:9-10 - 弟子たちは、このたとえが何を意味するのか彼に尋ねました。「神の国の秘密の知識はあなたたちに与えられていますが、他の人たちにはたとえで話します。それは、『見えても見えないかもしれない』ためです」と彼は言いました。聞いても理解できないかもしれません。」

マルコ 4:11 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたには、神の国の奥義を知ることが与えられている。しかし、外にいる者たちには、これらすべてのことはたとえ話の中で行われるのである。

イエスは自分が選んだ人々には神の国の奥義を明らかにしますが、外部の人々にはたとえで語られます。

1. 神の国の奥義：イエスに従う者たちへの呼びかけ

2. 神の王国の一員であることの意味

1. マタイ 13:10-17 - イエスはたとえを説明する

2. コリント人への第二 4:3-4 - パウロは信仰を通して明らかにされた神の奥義について語っています。

マルコ 4:12 それは、彼らが見ることはできるが、認識することができないためです。聞いても理解できないかもしれない。それは、いつでも彼らが回心し、彼らの罪が赦されるためである。

イエスは人々に、御言葉を聞いても理解できないかもしれないし、回心して罪が赦されないかもしれないと警告しています。

1: 神の言葉は力強く、人生を変える

2: 誰もが改宗するわけではない

1: ローマ人への手紙 10:14-17 - それでは、信じていない人をどのようにして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？

2: ヤコブ 1:22-25 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

マルコ 4:13 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたはこのたとえを知らないのですか。」それでは、どうやってすべてのたとえを知ることができるのでしょうか？

イエスは弟子たちにたとえが理解できたかどうか尋ね、すべてのたとえを理解するように挑戦しました。

1: 神は、私たちが神に心を開くなら、神の教えを理解する能力を与えてくださいます。

2: 神の王国に住みたいなら、私たちは霊的真理を理解する努力を惜しまなければなりません。

1: コロサイ 1:9-10 - このようなわけで、私たちはあなたのことを聞いた日以来、あなたのために祈り、あらゆる霊的な知恵と理解力を通してご自身の御心を知る知識であなたを満たしてくださるよう神に祈り続けています。

2: ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるかを、試しながら識別できるようにするためです。

マルコ 4:14 種まき人は言葉を蒔きます。

この箇所では、神の言葉を蒔くことの重要性が論じられています。

1. 神の言葉: 私たちの信仰の基礎

2. 神の言葉の種を蒔くことの利点

1. イザヤ書 55:10-11 - 「雨と雪が天から降って、そこには戻らず、地に水を与え、芽を出し、種を蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与えるように、私の口から出る私の言葉はこうであろう。それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。」

2. ヤコブ 1:21-22 - 「ですから、すべての汚れとはびこる悪を遠ざけ、あなたがたの魂を救うことができる植え付けられた言葉を柔和に受け入れてください。しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

マルコ 4:15 これらは、言葉が蒔かれている道端の人々です。しかし、彼らが聞くと、サタンはすぐに来て、彼らの心に蒔かれた言葉を奪い去ります。

神の言葉はそれを聞く人の心に蒔かれますが、悪魔はすぐにそれを奪い取りに来ます。

1. 神の言葉の力: 敵に対して強く立つ

2. 私たちの心に対する悪魔の攻撃に抵抗する

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. エペソ人への手紙 6:10-11 - 「最後に、主にあって、その力の強さによって強くなりなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。」

マルコ 4:16 石の多い地に蒔かれたものは、これらと同じです。み言葉を聞くとすぐに喜んで受け入れます。

イエスのたとえ話は、神の言葉を喜んで受け入れる人々についてのものです。

1.「神の言葉を喜んで受け入れなさい」

2.「神の言葉を聞いて受け入れる喜び」

1. ルカ 8:13 - 「岩の上にいる人たちは、みことばを聞いて喜んで受け入れますが、根がありません。彼らはしばらく信じますが、試みの時には離れてしまいます。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

マルコ 4:17 そして、自分自身に根がないので、しばらく耐えるだけです。その後、御言葉のために苦しみや迫害が起こると、すぐに彼らは腹を立てます。

この箇所は、強い信仰を持たない人が、神の言葉のために苦しみや迫害に直面したときに、いかに簡単に腹を立てて諦めてしまうかについて語っています。

1: 逆境に直面してもしっかりと立つ

2: 忍耐の祝福

1: ヤコブ 1:12 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2: マタイ 5:10-12 - 義のために迫害されている人々は幸いです。天国は彼らのものだからです。他の人があなたを罵り、迫害し、私のせいであなたに対して偽りのあらゆる種類の悪を言うとき、あなたは幸いです。喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したからです。

マルコ 4:18 いばらの中に蒔かれたものはこれらである。その言葉を聞くなど、

この聖句は、神の言葉を聞く人々について語っていますが、世の混乱のせいで、神の言葉が彼らの心に根付くことは許されていません。

1. 世のせいで神の言葉から気をそらされてはいけない

2. 世のとげに神の言葉を絞められてはいけない

1. ヨハネ第一 2:15-17 - 世を愛するのではなく、心を尽くしてあなたの神、主を愛してください。

2. 詩篇 119:11 - 私はあなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心の中に隠しました。

マルコ 4:19 そして、この世の思い煩い、富の欺瞞、そして他のものへの欲望が入り込んで、言葉を閉ざし、それは実を結ばなくなります。

富や世の思い煩いの欺瞞は神の言葉を窒息させ、実を結ばないものにしてしまう可能性があります。

1. 富や世俗的な煩悩の欺瞞を避けるには

2. 世俗的な欲望を神の言葉に押し込める危険性

1. マタイ 6:33、「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられるでしょう。」

2. 伝道の書 5:10、「お金を愛する人はお金に満足せず、豊かさを愛する人はその収入に満足しません。これも虚栄心だ。」

マルコ 4:20 これらは良い地に蒔かれたものです。御言葉を聞いて受け入れ、ある者は三十倍、ある者は六十倍、ある者は百倍の実を結びます。

神の言葉を聞いて受け入れる人は、人生に実を結ぶでしょう。

1: 神の言葉を受け入れると、大きな報いがもたらされます。

2: 神の言葉はあなたの人生に豊かな実をもたらします。

1: 1 コリント 3:6-9 - 私は植え、アポロは水を与えました。しかし神は増加を与えました。

2: ヤコブ 1:21 - したがって、すべての汚れと余分ないたずらを捨て、あなたがたの魂を救うことができる接ぎ木された言葉を柔和に受け入れてください。

マルコ 4:21 そこでイエスは彼らに言った、「ろうそくを持ってきたのは、ブッシェルの下に置くためですか、それともベッドの下に置くためですか。」そして燭台に設定されないでしょうか？

イエスは聴衆に、ろうそくを燭台の上に置くのではなく、ブッシェルやベッドの下に隠すのが正しいかどうか尋ねます。

1. 暗闇を照らす: イエスのろうそくのたとえ話の意味

2. 神の真実を隠す罪

1. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上に築かれた街を隠すことはできません。ランプを灯してボウルの下に置く人もいません。代わりにスタンドに置くと、家にいる人全員に光が与えられます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせて、彼らがあなたの善行を見て、天の父に栄光を帰してください。」

2. エペソ人への手紙 5:8-13 - 「あなたがたはかつては闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として生き（光の実はすべての善、正義、真実から成るからです）、何が主に喜ばれるかを見つけてください。闇の無益な行為とは何の関係もなく、むしろそれを暴露してください。不従順な人たちが秘密で行っていることを言及することさえ恥ずべきことです。しかし、光にさらされたものはすべて見えるようになり、照らされたものはすべて光になります。」

マルコ 4:22 隠されていて表れないものは何もないからです。何も秘密にされているわけではなく、それが海外に公開されるべきだということだった。

この一節は、何も隠されておらず、すべてが明らかになるということを強調しています。

1. 透明性の力

2. オープンな生活を送る

1. ルカ 8:17 - 「隠されていて明らかにならないものはなく、知られても明るみに出ない秘密は何もないからです。」

2. 箴言 28:13 - 「自分の罪を隠す者は繁栄しないが、罪を告白して捨てる者は同情心を抱くであろう。」

マルコ 4:23 聞く耳のある人は、聞いてください。

この聖句は、イエスの言葉に耳を傾ける人々に呼びかけています。

1. イエスの言葉を聞く: イエスの教えを聞き、心に留める方法

2. イエスの言葉の力: イエスの言っていることに注意を払う

1. 箴言 2:1-5 - わが子よ、もしあなたが私の言葉を受け入れ、私の戒めを大切にし、知恵に耳を傾け、理解に心を傾けるなら。そうです、もしあなたが洞察力を求め、理解のために声を上げるなら、銀のようにそれを探し、隠された宝を探すかのように探し出すなら、あなたは主への畏れを理解し、神の知識を見出すでしょう。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

マルコ 4:24 そこでイエスは彼らに言われた、「聞いていることをよく心に留めなさい。あなたがたが何を測るかで、それはあなたがたにも測られるであろう。そして聞く者には、さらに多くのものが与えられるであろう。」

神は私たちが良い聞き手になることを望んでおられ、それに対してご褒美を与えてくださるでしょう。

1.「神の言葉を聞く：報酬と祝福」

2.「あなたの信仰の尺度: あなたが受け取る尺度」

1. ヤコブ 1:19-21 - 「愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。人の怒りは神の義を働かせないからです。ですから、すべての汚れと余分なものを捨て去ってください。」いたずらをやめ、あなたの魂を救うことができる接ぎ木された言葉を柔和に受け入れてください。」

2. 箴言 1:5-7 - 「賢い人は聞き、学びを深めます。そして理解力のある人は賢明な助言に達するでしょう：箴言とその解釈、賢者の言葉とその闇を理解すること」「主を畏れることは知識の始まりだが、愚か者は知恵と教えを軽蔑する。」

マルコ 4:25 持っている者には与えられ、持たない者には持っているものさえ取り上げられるからである。

持っている人はさらに与えられ、何も持っていない人は持っているものさえ取り上げられます。

1: 私たちは自分が持っているものに感謝し、それを賢明に使用する必要があります。なぜなら、それはいつでも私たちから奪われる可能性があるからです。

2: 私たちは自分の祝福を、恵まれない周囲の人たちを助けるために活用すべきです。

1: ヤコブ 1:17 - すべての良い完全な賜物は上から来て、天の光の父から降りてくるものであり、移り変わる影のように変わることはありません。

2: 伝道の書 11:1 - あなたのパンを水の上に投げなさい。何日も経つと、あなたは再びそれを見つけるだろう。

マルコ 4:26 そして彼は言った、「神の国も、人が種を地に蒔くようなものです。

神の国は、人が地面に種を蒔くようなものです。

1. 種まきの働きにおける神の忠実さ

2. 神の王国に投資する喜び

1. コリント人への第二の手紙 9:10-11 - 「さて、種を蒔く人に種を供給し、食糧となるパンを供給してくださる方は、あなたがたの種の蓄えも供給して増やし、あなたの義の収穫を拡大してくださるでしょう。あなたはあらゆる面で豊かになり、あらゆる機会に寛大になれるようになり、私たちを通してあなたの寛大さが神への感謝につながるでしょう。」

2. イザヤ書 55:10-11 - 「雨と雪が天から降って来るように、地に水を与え、芽を出し、繁栄させずには天に戻ってはなりません。そうすれば、種を蒔く人には種を、人々にはパンを生み出すことができます。」「食べる人よ、私の口から出る私の言葉も同様です。それは空しく私に戻ってくることはなく、私の望むものを達成し、私がそれを送った目的を達成します。」

マルコ 4:27 そして、昼も夜も眠って起きれば、種は芽を出して成長するはずですが、彼はその方法を知りません。

種まき人のたとえ話は、神の言葉が成長することと、それが常に理解されるわけではないことを示しています。

1. 神の言葉の力: 神の言葉の成長を探る

2. 神の言葉の奥義を明らかにする: 種まき人のたとえ話の考察

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. 詩篇 19:7-8 - 主の律法は完全であり、魂を改心させます。主の証しは確かであり、単純な人を賢くします。主の掟は正しく、心を喜ばせます。主の戒めは純粋で、目を啓発します。

マルコ 4:28 地は自ら実を結ぶからです。最初に刃、次に耳、その後、耳の中に完全なトウモロコシを入れます。

地球は自らから実を生み出します。刃から始まり、次に穂、そして最後に完全なトウモロコシです。

1. 成長の力: 忍耐と忍耐がどのように達成感をもたらすか

2. 信仰の報酬: 神を信頼することで恩恵を受ける

1. ヤコブ 5:7-8 - ですから、兄弟たち、主が来られるまで辛抱してください。農夫が、早い雨と遅い雨が降るまで、大地の貴重な実りを辛抱強く待っている様子を見てください。あなたも、我慢してください。主の来臨が近づいているので、心をしっかり立てなさい。

2. ガラテヤ 6:7-9 - だまされてはなりません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは、神も刈り取るからです。自分の肉に種を蒔く人は肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るからです。そして、善を行うことに飽きないようにしましょう。なぜなら、私たちが諦めなければ、やがて刈り取ることができるからです。

マルコ 4:29 しかし、実が結ばれると、収穫が来たので、すぐに鎌を入れる。

収穫物はここにあるので、すぐに集めなければなりません。

1: 福音を分かち合うのを待つ必要はありません。今こそ実を結ぶときです。

2: 神は私たちに、その使命に積極的に取り組み、魂の収穫を刈り取るよう呼びかけています。

1: マタイ 9:37-38 それから彼は弟子たちに言った、「収穫は本当に豊富だが、働き手が少ない。したがって、収穫の主であるあなたがたは、収穫のために労働者を送り出してくださるように祈りなさい。

2: ヨハネ 4:35-38 「まだ四か月もあるのに、収穫が来るのではないか」と言うな。見よ、私はあなたに言います、目を上げて野原を見てください。すでに収穫できる真っ白だからだ。そして刈り取る者は賃金を受け取り、永遠の命に至る実を集めます。それは種を蒔く者も刈り取る者も共に喜ぶためです。

マルコ 4:30 そこで彼は言った、「神の国を何に例えましょうか。」あるいは何と比較しましょうか？

イエスは神の王国について質問をし、それを他のものとどのように比較できるかを尋ねました。

1. イエスの質問: 神の王国について何を学ぶことができますか?

2.神の国の謎を探る

1. ルカ 17:20-21 - 「かつて、神の国はいつ来るのかとファリサイ派の人々に尋ねられたとき、イエスはこう答えました。『神の国はあなたが注意して観察していれば来るわけではありませんし、人々が「ここにある」とは言わないでしょう』「ある」または「そこにある」、なぜなら神の国はあなたの中にあるからです。」

2. ヨハネ 18:36 - 「イエスは言われた。『わたしの王国はこの世のものではない。もしそうだとしたら、わたしの僕たちはユダヤ人の指導者たちによるわたしの逮捕を阻止するために戦うだろう。しかし今、わたしの王国は別の場所にある。』」

マルコ 4:31 それはからし種一粒のようなもので、地に蒔かれると、地にあるすべての種よりも小さいのです。

イエスは神の王国を、あらゆる種の中で最も小さいからし種にたとえています。

1.「からし種が育つとき：信仰の探求」

2.「からし種の力：神の国を解き放つ」

1. エレミヤ 17:7-8 「しかし、主を信頼し、主を信頼する人は幸いです。彼らは、水のほとりに植えられ、流れのほとりに根を張る木のようになるでしょう。それは恐れません。」」

2. マタイ 17:20 - 「イエスは答えました。「あなたは信仰があまりにも薄いからです。真実に言いますが、からし種ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。」

マルコ 4:32 しかし、蒔かれると、それは成長し、すべての薬草よりも大きくなり、大きな枝を出します。空の鳥がその影の下にとどまるように。

からし種のたとえ話は、信仰の力と、信仰がどのように成長してすべてを超えることができるかを示しています。

1. 信仰の力: どのように成長し、影響を与えることができるか

2. からし種: 信仰と忍耐の教訓

1. マタイ 13:31-32 「イエスは彼らの前に別のたとえ話をして言われた。「天の御国は、人が取って畑に蒔いたからし種一粒のようなものです。すべての種子の中で最も小さいですが、成長するとすべての園芸植物よりも大きくなり、空の鳥がやって来て枝に巣を作るほどの木になります。」

2. ルカ 17:6 「そして主は言われた、「もしあなたがからし種一粒のような信仰を持っているなら、この桑の木に『根を抜かれ、海に植えられなさい』と言うことができるでしょう。そうすれば桑の木は従うでしょう。」

マルコ 4:33 そしてイエスは、そのような多くのたとえを用いて、彼らが聞くことのできるその言葉を彼らに語られた。

イエスは弟子たちに理解できるように多くのたとえ話をされました。

1. 教育と学習におけるストーリーの力

2. イエスのたとえ話の力を理解する

1. ルカ 8:4-15 – 種まき人のたとえ話

2. マタイ 13:3-23 – 種を蒔く人と種のたとえ話

マルコ 4:34 しかし、イエスはたとえ話もせずに彼らに話さなかった。そして、彼らが一人になったとき、イエスは弟子たちにすべてのことを詳しく説明された。

イエスはたとえを用いて人々に霊的な真理を説明されました。

1: たとえ話は、難しい概念を理解しやすい方法で説明するための強力なツールです。

2: イエスとその教えを信じてください。そうすれば、イエスはあなたに霊的な真理を説明してくださいます。

1: ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名によって遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2: ルカ 10:27 - 「イエスは答えた、『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい』。そして、「隣人を自分のように愛しなさい。」」

マルコ 4:35 その日、夕方になったとき、イエスは彼らに言った、「向こう岸に渡ろう」。

イエスは弟子たちに湖の向こう側へ渡るよう勧めます。

1: イエスに従いなさいというイエスの呼びかけ - イエスが私たちをどこへ連れて行ってくれるのか分からないときでも、私たちはイエスの道が最善の道であると信じることができます。

2: 恐れる必要はありません - 湖を渡ろうというイエスの招きは、イエスが私たちとともにおられること、そして、どんな危険があってもイエスが私たちを守ってくださるという信仰を持つべきであることを思い出させます。

1: マタイ 8:18-27 - イエスは海の嵐を静め、自然界に対しても自分の力と権威を示しました。

2: ヨハネ 6:16-21 - イエスは水の上を歩き、自分がすべての創造物の主人であることを弟子たちに示しました。

マルコ 4:36 そして、群衆を追い払った後、船にいたままイエスを連れて行った。そして、他の小さな船も彼と一緒にいました。

イエスと弟子たちは大勢の群衆に演説した後、ボートを使って湖を渡りました。

1. 忙しい生活の中で休息をとるイエスの模範。

2. 協力的なコミュニティを持つことの重要性。

1. マタイ 11:28-30 - 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。」

2. 使徒 2:42-47 - 「そして、彼らは使徒の教えと交わり、パンを裂くことと祈りに専念した。そして、すべての魂に畏怖の念が臨み、多くの不思議としるしが使徒たちを通して行われていました。そして、信じた人たちは皆一緒で、すべての共通点がありました。そして彼らは必要に応じて自分たちの所有物や持ち物を売りその収益を全員に分配していました。そして毎日、一緒に神殿に参列し、家でパンを裂き、喜んで寛大な心で食べ物を受け取り、神を賛美し、すべての民に好意を持っていました。そして主は救われる人々の数を日に日に加えられたのです。」

マルコ 4:37 すると、激しい風が起こり、波が船に打ち寄せたので、船は満員になった。

大きな嵐が起こり、船は水と波で満たされました。

1. 人生の嵐の中で強さを見つける

2. 困難な時に神を信頼する

1. 詩篇 107:23-24 – 「船で海に下り、大海原で商売をする者たち。彼らは主の御業とその深みの驚異を見ます。」

2. マタイ 8:23-27 – 「そして、イエスが船に乗り込まれると、弟子たちはイエスを追った。すると、見よ、海で大嵐が起こり、船は波に覆われたが、彼は眠っていた。すると弟子たちが彼のところに来て、彼を起こして言った、「主よ、私たちを救ってください。私たちは滅びます。」そしてイエスは彼らに言った、「信仰の薄い者よ、なぜ恐れるのか」。それから彼は立ち上がって、風と海を叱責した。そして大きな静けさがありました。しかし人々は驚いて言った、「風も海も彼に従うなんて、この人は何という人だろう！」

マルコ 4:38 すると、彼は船の後部で、枕の上で眠っていた。そこで彼らは彼を起こして、こう言った、「先生、私たちが滅びることを気にしませんか？」

イエスは海の嵐を静め、弟子たちの信仰を試します。

1. イエスは常に嵐をコントロールしておられる：困難な時にイエスを信頼する

2. 恐怖に直面しても信仰と勇気を持ちましょう

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. マタイ 6:25-34 - 心配したり心配したりしないことに関するイエスの教え。

マルコ 4:39 そこで彼は立ち上がって風を叱責し、海に向かって、「平和よ、静かにしていなさい」と言った。そして風も止み、とても静かになりました。

イエスには嵐を静める力がありました。

1: イエスは人生の嵐のただ中にある私たちの平安です。

2: イエスは混沌の風を静め、私たちに静けさと休息をもたらしてくれます。

1: イザヤ 26:3 - あなたは、心の堅い人たちを完全な平和の中に保ってくださいます。彼らはあなたを信頼しているからです。

2: 詩篇 46:10 - 静まって、私が神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるだろう。

マルコ 4:40 そこでイエスは彼らに言った、「なぜあなたがたはそんなに恐れるのか」。あなたがたに信仰がないのはどうしてですか？

イエスは追随者たちに、なぜそんなに恐れるのかと尋ね、なぜ信仰が欠けているのかを尋ねました。

1. 神を信頼する: 信仰を通じて恐怖を克服する

2. 恐れるな：信仰を行使する方法を学ぶ

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを込めて、自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

マルコ 4:41 そこで、彼らは非常に恐れて、互いに言った、「風や海さえも彼に従うとは、この人は何という人だろう」。

イエスの弟子たちは、風と海を超えるイエスの力に驚き、イエスを恐れました。

1. イエス：私たちの主でありマスター

2. イエスの力と権威

1. マタイ 8:26-27 - イエスは風を叱責し、波にこう言われました。じっとしてて！」その後、風も止み、すっかり穏やかになりました。

2. 詩篇 89:8 - 全能の神、主よ、あなたのような人は誰ですか？主よ、あなたは力強く、あなたの忠実さがあなたを包みます。

マルコ 5 章には、イエスが行った 3 つの重要な奇跡が記されています。悪霊に取り憑かれた男性の癒し、慢性出血の女性の癒し、そしてヤイロの娘の死からの復活です。

第 1 段落: この章は、イエスと弟子たちがゲラサネス地方に到着するところから始まります。ここで彼らは、鎖でさえ拘束することができない墓の中に住む汚れた霊に取り憑かれた男に遭遇します。イエスが霊が出て来るように命じると、それは多くの「軍団」であることが明らかになります。悪霊たちはイエスに、自分たちをその地域から追い出すのではなく、近くの豚の群れの中に送ってほしいと懇願します。彼は彼らに許可を与え、彼らは豚の中に入り、約 2,000頭の豚が急な岸辺を駆け下りて湖に溺死させました（マルコ5：1-13）。牧畜民は逃げ出し、町で何が起こったかを報告します。田舎の人々は何が起こったのかを見に来ますが、以前は憑依されていた男が正気を装いそこに座っているのを見つけ、イエスに彼らの地域から立ち去るように求めました（マルコ5:14-20）。

第2段落: 湖を渡って戻ってくると、ヤイロの周りに群衆が集まり、会堂のリーダーの一人が彼の足元にひれ伏し、幼い娘が死につつあると熱心に神に懇願し、生きて癒されるように彼女に手を当てに来るように頼む(マルコ5:21-) 24）。彼らが進んでいくと、大勢の群衆がイエスの周りに押しつけられ、その中には出血に苦しむ女性もいた。12年間医師にかかったが、むしろ良くなるどころか、イエスのことを聞くとさらに悪くなった。群衆の後ろからやって来てイエスのマントに触れた彼女は、「服に触れればいいのに」と思ったからだ。癒されますよ。」すぐに出血が止まり、彼女の体は苦しみから解放されたと感じました。力が抜けたことに気づいた彼は振り向くと、群衆は誰が服に触れたか尋ね、弟子たちは、人々があなたに群がっているのを見ても、「誰が私に触れたのか」と尋ねると言いました。しかし周りを見回し続けて、それが終わったのを見て、女性は何が起こったのかを知っていて、恐怖で足下に倒れ込み、彼にすべての真実を告げ、「娘よ、あなたの信仰があなたを癒しました、あなたは苦しみから解放されて安らかに行きます」（マルコ5：25-34）と言いました。

第 3 段落: まだ話している間に、ヤイロのシナゴーグのリーダーの家から何人かの人々が来て、「あなたの娘は死んだので、なぜこれ以上先生に迷惑をかけるのですか？」と言いました。彼らの言うことを無視する イエスはヤイロに恐れるな、ただ信じなさいと言った ピーター・ジェームス以外は誰も自分に従わせなかった ジョン兄弟のジェームスが家に着くと、人々が大声で泣き叫びながら騒ぎを見て、子供は死んでいないが眠っていると言い、全員を外に出した後、笑い声が子供を奪った。父母の弟子たちは彼と一緒にいて、子供が彼女を手で連れて行き、「タリサ・クーム！」と言いました。これは、「お嬢さん、起きなさいと言います！」という意味です。すぐに、少女は 12歳だったので立ち歩き、これに完全に驚きましたが、このことを誰にも知らせないよう厳しい命令を出し、何か食べなさいと言われました（マルコ5：35-43）。これらの奇跡は、死そのものを含む霊的物理的領域に対するキリストの権威をさらに実証しています。

マルコ 5:1 そして彼らは海の向こう、ガダラ人の国にやって来た。

人々は海を渡ってガダラ人の国へ向かいました。

1. 越えて行こう：信仰の旅

2. 障害を乗り越えて目的地に到達する

1. ヘブライ 11:1 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ピリピ人への手紙 3:13-14 「兄弟姉妹の皆さん、私は自分がまだそれを掴んでいるとは思っていません。しかし、私がしていることはただ一つ、後ろのものを忘れて前のものに向かって力を尽くし、目標に向かって突き進むことです。」神がキリスト・イエスにおいて私を天に召してくださった賞を勝ち取りましょう。」

マルコ 5:2 そして、彼が船から上がると、すぐに、汚れた霊に取り憑かれた男が墓から出てきて彼に出会った。

汚れた霊に取り憑かれた男は、船から降りてくるイエスに出会った。

1: 神の意志に従う: イエスと憑依された男の物語

2: 誘惑: イエスと汚れた霊

1: エペソ人への手紙 4:27 - 「悪魔に足がかりを与えてはいけません」

2: マタイ 4:1-11 - 「イエスは悪魔の誘惑を受けるために、御霊に導かれて荒野に行かれた。」

マルコ 5:3 だれが墓の中に住まいを持ったのか。そして、誰も彼を縛ることはできませんでした、いや、鎖で縛ることはできませんでした。

この一節は、墓の中に住んでおり、鎖で拘束することができなかった男性について説明しています。

1. 聖霊の力: 聖霊の力がすべての障害をどのように克服できるかを学びます。

2. 投獄の克服: 罪の束縛から解放される方法についてのレッスン。

1. 使徒 10:38 - 「神はどのようにしてナザレのイエスに聖霊と力を注いだか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人を癒して回った。神が彼とともにおられたからである。」

2. コリント人への第二の手紙 5:17 - 「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去り、見よ、すべてが新しくなります。」

マルコ 5:4 なぜなら、彼はしばしば足かせや鎖でつながれ、その鎖は彼によって引きはがされ、足かせは粉々に砕かれたからだ。

ガダラ人の悪魔は制御不能で、足かせや鎖を打ち破ったので誰も彼を手なずけることができませんでした。

1. 束縛の鎖を断ち切るイエスの力

2. 制御できない罪の性質

1. ローマ人への手紙 6:6-14 - 私たちはイエスの力によって罪の束縛から解放されました。

2. ヨハネ 8:34-36 - イエスは、罪を犯す者は皆、罪の奴隷であると言われました。

マルコ 5:5 そして、彼はいつも昼も夜も山の中や墓の中にいて、泣きながら石で自分の体を切っていました。

この一節には、いつも山や墓に行って泣きながら石で自傷行為をしていた男のことが語られています。

1. 内なる戦い：自傷行為の闘いを理解する

2. 暗闇を乗り越える：苦しみの中に希望を見つける

1. マタイ 11:28 - 「すべて苦労している者、重荷を負っている者は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。」

2. 詩篇 34:18 - 「主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救ってくださいます。」

マルコ 5:6 しかし、イエスを遠くに見ると、走って礼拝し、

その男はイエスを見たとき恐怖でいっぱいでしたが、それでも彼に駆け寄って礼拝しました。

1: 恐怖に直面したとき、私たちの最初の反応は神を信頼し、神を崇拝することです。

2: 恐怖でいっぱいになったとき、私たちは神に駆け寄ることによって、神への献身を示すことができます。

1: イザヤ書 12:2 - 「確かに神は私の救いです。私は信頼し、恐れません。主、主ご自身が私の力であり、私の守りです。彼は私の救いとなりました。」

2: 詩篇 27:1 - 「主は私の光であり、私の救いです。私は誰を恐れるべきでしょうか。主は私の人生の砦です、私は誰を恐れるべきでしょうか？」

マルコ 5:7 そして、大声で叫んで言った、「いと高き神の子イエスよ、私とあなたと何のかかわりがあるんですか。」神にかけてあなたにお願いします、あなたが私を苦しめないように。

悪霊の軍勢に取り憑かれた男はイエスに大声で叫び、自分と何の関係があるのか尋ね、イエスに自分を苦しめないでくれと懇願しました。

1. 信仰の力: 悪魔の軍団に取り憑かれた男からの教訓

2. コントロールを放棄し、神に身を委ねる時が来たとき

1. ルカ 4:33-34 「すると、会堂に、汚れた悪魔の霊に取り憑かれた男がいて、大声で叫んで言った、『放っておいてください。あなたと何の関係があるので

すか』ナザレのイエスですか？あなたは私たちを滅ぼしに来たのですか？私はあなたが誰であるかを知っています、神の聖者です。」

2. ローマ人への手紙 10:13 「主の御名を呼び求める者は救われるからです。」

マルコ 5:8 彼は彼に言った、「汚れた霊よ、その人から出て行け」。

この箇所は、イエスが汚れた霊に人から出るように命じた内容です。

1. 悪霊を指揮するイエス・キリストの力

2. 罪深い欲望の克服における聖霊の役割

1. エペソ人への手紙 6:10-11 - 「最後に、主とその偉大な力によって強くなりなさい。悪魔の陰謀に立ち向かうことができるように、神の完全な武具を身に着けてください。」

2. ルカ 4:36 - 「民はみな驚いて、『何という言葉だろう』と互いに言い合った。彼は権威と力を持って不浄な霊たちに命令を出し、彼らは出てくるのです！」

マルコ 5:9 そこでイエスは、「あなたのお名前は何ですか」と尋ねた。すると彼は答えて言った、「私の名前はレギオンです。私たちは大勢いるからです。」

レギオンはイエスに話しかける多くの悪霊に満ちた男でした。

1: イエスの力はどんな悪霊よりも強く、どんな暗闇からも私たちを救い出すことができます。

2: どんなに絶望的な状況であっても、私たちはイエスにあって希望を見出すことができます。

1: マタイ 4:23-24 - イエスはガリラヤ中を巡り、会堂で教え、王国の良いたよりを宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気を治されました。

2: マタイ 8:16-17 - その夜、悪霊に取りつかれた多くの人々がイエスのもとに連れて行かれました。彼は言葉で霊を追い出し、すべての病人を癒しました。これは、「神は私たちの病気を取り除き、私たちの病気を取り除いてくれた」という預言者イザヤを通しての主の言葉が成就しました。

マルコ 5:10 そこでイエスは、彼らを国外に追い出さないようにと強く懇願した。

イエスは汚れた霊を追い払わず、悪霊に取り憑かれた人に同情を示しました。

1: 私たちは皆、困難で困難な状況でも同情心と憐れみを示すイエスの模範から学ぶことができます。

2: イエスは常に愛と理解の心を持ち、私たち自身の生活においてどのようにイエスのようになれるかを教えてくださいました。

1: ルカ 6:36 - 「あなたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。」

2: マタイ 7:12 「ですから、あなたが他人にしてもらいたいことは、すべて他人にも同じようにしなさい。これが律法と預言者なのです。」

マルコ 5:11 さて、山々の近くに豚の大群が餌を食べていました。

この一節は、山の近くにいた豚の大群について語っています。

1. 境界線を維持し、誘惑を避けることの重要性。

2. イエスに従い、その導きを信頼しましょう。

1. ピリピ 4:13 - 私は、私を強めてくださるキリストを通して、何でもできるのです。

2. 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

マルコ 5:12 すると、悪霊たちがみな彼に、「豚の中へ送ってください。彼らの中に入ることができるようにしてください。」と頼んだ。

イエスは汚れた霊を人から追い出し、その霊が豚の群れの中に入るのを許しました。

1. 悪魔の力に打ち勝つイエスの力

2. より大きな善: 難しい決断を下すとき

1. マタイ 8:28-34 - 二人の男から悪霊を追い出すイエス

2. ルカ 9:37-42 - 少年から悪霊を追い出すイエス

マルコ 5:13 すると、イエスはすぐに彼らに帰らせた。汚れた霊たちは出て行って、豚の中に入った。そして、その群れは険しい場所を海に向かって激しく走り下

り（二千頭ほどだった）、海の中で窒息した。

イエスは汚れた霊が豚の中に入る許可を与え、豚は海に逃げ込み、その結果彼らは死に至りました。

1. イエスの力: 彼の言葉と行動が私たちの周りの世界にどのような影響を与えるか

2. 信仰の力: 奇跡を起こす

1. 使徒 8:5-8 – ピリポの説教と奇跡

2. マタイ 8:28-34 – イエスは嵐を飼いならし、悪霊に取り憑かれた人々を治した

マルコ 5:14 そこで、豚を飼っていた者たちは逃げて、町にも田舎にもそのことを告げた。そして彼らは、何が行われたのかを見に出かけました。

イエスが人間から悪霊を追い出すと、牧夫たちは逃げ出し、奇跡の知らせを伝えます。

1: イエスは素晴らしい奇跡を起こすことができ、その力を過小評価すべきではありません。

2: 私たちはイエスの奇跡を喜んで目撃し、イエスの偉大さのニュースを広めるべきです。

1: 詩篇 107:20 神は言葉を送って彼らを癒し、彼らを滅びから救い出されました。

2: ルカ 6:19 すると、群衆全員が彼に触れようとした。彼から徳が出て、彼ら全員を癒したからである。

マルコ 5:15 そこで彼らは、イエスのところに来ると、悪魔に取り憑かれ、軍団を率い、着衣を着て座っており、正気であるのを見たので、彼らは恐れた。

人々は、悪魔に取り憑かれていた男が、今は服を着て座っており、正気であるのを見て驚きました。

1. 人生を回復し、変えるイエスの力

2. 神への畏れは知恵の始まり

1. ルカ 8:26-37、悪霊を回復し追い出すイエスの力

2. 箴言 9:10、主を恐れることは知恵の始まり

マルコ 5:16 それを見た人々は、悪魔に取り憑かれたあの人に、また豚のことがどのように起こったかを話した。

この箇所では、イエスが悪霊に取り憑かれた男を癒した物語を見た人々が、豚の群れも影響を受けたという事実を含め、何が起こったのかを他の人に伝えたと説明されています。

1.「神の力は止められない」

2.「神の憐れみは永遠です」

1. 詩篇 115:3 - 「私たちの神は天におられます。彼は御心に適うことをすべて行われます。」

2. ルカ 6:36 - 「あなたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。」

マルコ 5:17 そこで彼らは、海岸から出て行ってくださるようにと祈り始めた。

ゲラサ人の人々はイエスに、自分たちの地域を離れるように頼みました。

1. イエスはゲラサ人の願いを謙虚に受け入れ、敬意と謙虚さの大切さを示しました。

2. イエスは反対に直面しても、愛と受容のメッセージを広め続けました。

1. マタイ 10:14 - そして、あなたを受け入れない者、あなたの言葉を聞かない者は、あなたがその家や町から出るとき、足の塵を払い落としなさい。

2. マタイ 6:14–15 - もしあなたがたが人々の罪過を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださいます。しかし、もしあなたが人々の罪過を赦さないなら、あなたがたの父もあなたの罪過を赦さないでしょう。

マルコ 5:18 そして、彼が船に乗り込むと、悪魔に取り憑かれていた人が、一緒にいてくれるようにと祈った。

悪魔に取り憑かれていたその人は、癒された後もイエスのもとにいてほしいと願い出ました。

1. 人生を変えるイエスの力

2. イエスに対する切実な必要性

1. 詩篇 34:4-5 「私は主を求めました、そして主は私に答えて、すべての恐れから私を救い出してくださいました。彼を仰ぎ見る者は光り輝いており、その顔は決して恥じられることはない。」

2. 使徒 10:38 「神はどのようにしてナザレのイエスに聖霊と力を注がれたのか。神が彼とともにおられたので、彼は善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人々を癒して回りました。」

マルコ 5:19 ところが、イエスは彼を苦しめず、「家に帰って、あなたの友人たちに、主があなたのためにどれほど大きなことをして下さり、あなたを憐れんでくださったかを話してください」と言われた。

イエスはある男性に、主が自分のためにどんなに素晴らしいことをしてくださり、憐れみを示してくださったかを友達に伝えに行くようにと言われました。

1. 神の憐れみと愛 - どのように良いたよりを伝えるべきか

2. 証の力 - あなたの人生における主の働きを宣言する

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、信じていない人をどのようにして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？そして、彼らは遣わされる以外に、どうやって説教するでしょうか？

2. 使徒 4:20 - 私たちは見聞きしたことを語らずにはいられないからです。

マルコ 5:20 そして彼は立ち去り、イエスが自分のためにどれほど偉大なことをしてくださったかをデカポリスで発表し始めた。すると、すべての人が驚嘆した。

イエスが男性を癒すと、その男性はイエスがなさった偉大なことについて人々に語り始めました。

1: イエスは私たちのすべての苦しみを癒すことができるので、私たちは彼の偉大さを世界に伝えるべきです。

2: 私たちはイエスの力と、イエスが私たちの人生のためにしてくださることに対してオープンであり、それを他の人と分かち合うべきです。

1: 使徒 4:13-14 - 「さて、彼らはペテロとヨハネの大胆さを見て、自分たちが無学で無知な人間であることに気づき、驚き、彼らがイエスと共にいたことを知りました。」

2: ローマ人への手紙 1:16 - 「私はキリストの福音を恥じていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。まずユダヤ人、そしてギリシャ人にもです。」

マルコ 5:21 イエスが再び船で向こう岸に渡られたとき、多くの人々がイエスのもとに集まったので、イエスは海の近くにおられた。

イエスは海の上を通り過ぎるとき、多くの人に囲まれます。

1: イエスはいつもイエスを求める人々に囲まれています。

2: 私たちは主を求める多くの人々の一員になれるよう努力すべきです。

1: マタイ 7:7-8 「求めなさい、そうすれば与えられます。捜しなさい、そうすれば見つかります。門をたたきなさい、そうすれば開かれます。求める者はみな受けます。捜す者は見つけます。そして、それをたたく者は開かれるであろう。」

2: ルカ 11:9-10 「そして、わたしはあなたがたに言います、求めなさい、そうすれば与えられます。捜しなさい、そうすれば見つけます、たたきなさい、そうすれば開かれます。求める者はみな受けます。そして彼は与えられます。」探し求める者は見つけ、ノックする者には開かれるであろう。」

マルコ 5:22 すると、見よ、会堂の支配者の一人、ヤイロという人がやって来た。そして彼を見ると、その足元にひれ伏した。

会堂の支配者ヤイロは謙虚にイエスの足もとにひれ伏しました。

1. 謙虚さの力: ヤイロの模範がどのように私たちに神の御心を求めるよう促すことができるか。

2. 行動における信仰: イエスを信頼するヤイロの例に倣う。

1. ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

2. マタイ 8:10 - 「イエスはこれを聞いて驚いて、後からついてきた者たちに言われた、『はっきり言っておくが、イスラエルでこれほど強い信仰を持った人は見たことがない』。」

マルコ 5:23 そして、彼に強く懇願して言った、「私の小さな娘が瀕死の状態にあります。どうか、来て彼女に手を置いてください。治してください。」そして彼女は生きるだろう。

イエスは少女を死にかけた状態から癒します。

1. イエスは私たちを死の淵から連れ戻すことができる癒し手です。

2. マルコ 5:23 の父の信仰から学べること。

1. イザヤ書 53:4-5 - 確かに彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに見ました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ヤコブ 5:15 - 信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

マルコ 5:24 イエスも一緒に行かれた。すると多くの人々が彼に従い、彼に群がった。

この箇所には、イエスが男性と一緒に行き、大勢の群衆が後を追っている様子が描かれています。

1. 群衆の中のイエス：その臨在の力

2. コミュニティの価値: イエスと群衆

1. ルカ 8:42-48 - イエスは血の問題を抱えた女性を癒す

2. マタイ 14:22-33 - イエスは水の上を歩き、嵐を静めます

マルコ 5:25 また、十二年間血の悩みを抱えていたある女性が、

この箇所は、12年間出血し続けていた女性が、イエスの衣の裾に触れたときに癒されたという物語です。

1: 信仰の力 - イエスへの信仰と信頼があれば、私たちは癒されることができます。

2: 神の癒しのタッチ - 私たちが神を求めるとき、神は私たちに癒しをもたらすことができます。

1: ヤコブ 5:14-15 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださるでしょう。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

2: エレミヤ 17:14 - 主よ、私を癒してください。そうすれば私は癒されます。私を救ってください、そうすれば私は救われます：あなたは私の賛美です。

マルコ 5:26 そして、多くの医者から多くの苦しみを受け、全財産を使い果たしたが、何も良くならず、むしろ悪化した。

その女性は多くの苦しみを味わい、持てるすべてを使い果たしましたが、それでも癒されませんでした。

１：私たちの苦しみや闘いは決して無駄ではありません。神は必ず私たちを導いてくださいます。

2: 私たちの信仰は試されますが、神は決して私たちを離れることはありません。

1: ヤコブ 1:2-4 「兄弟たち、さまざまな試練に遭ったとき、それを喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなた方は知っているからです。そして、完全になるために、堅固さが最大限に発揮されましょう。」そして完全で、何も欠けていない。」

2: ローマ人への手紙 8:28 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

マルコ 5:27 彼女はイエスのことを聞いて、後ろから押し車に乗ってやって来て、イエスの衣に触れた。

マルコ 5:27 に出てくる女性は、イエスのことを聞いて、後ろに来て、イエスの衣に触れました。

1. 信仰の力: マルコ 5 章 27 節の女性は、イエスに対する揺るぎない信仰と信頼をどのように示したか。

2. 障害の克服: マルコ 5:27 の女性が群衆をかき分けてイエスのところへたどり着いた様子。

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ルカ 18:27 - 「しかし、イエスは、「人間には不可能なことも、神には可能である」と言いました。

マルコ 5:28 彼女は、「もし彼の服に触れさえすれば、私は元気になるだろう」と言ったからです。

マルコ 5:28 のこの箇所は、信仰の力とイエスの衣を通して癒される能力を強調しています。

1. 山を動かし、病人を癒す信仰の力について。

2. 肉体的および霊的な病気を癒すキリストの衣の力について。

1. マタイ 17:20 - 「イエスは答えました、「あなたがたは信仰があまりにも薄いからです。はっきり言いますが、からし種ほどの小さな信仰があれば、この山

に向かって『ここからあそこへ移れ』と言えるでしょう。」「そうすれば動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. ヤコブ 5:14-15 - 「あなたたちの中に、病気の人はいますか。教会の長老たちを呼んで、彼らのために祈ってもらい、主の御名において油を塗ってもらいましょう。そうすれば、信仰によってささげられた祈りが病気になります。」「その人は元気です。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したとしても、彼らは赦されます。」

マルコ 5:29 すると、すぐに彼女の血の泉は枯れた。そして彼女はその疫病が癒されたことを自分の体で感じました。

血の問題を抱えていた女性は、イエスに触れるとすぐに癒されました。

1. イエスの力: 癒す力

2. イエスの奇跡: 信仰へのインスピレーション

1. マタイ 9:20-22 - 血の問題を抱えていた女性は信仰によって癒されました。

2. ヘブライ 13:8 - イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に同じです。

マルコ 5:30 するとイエスは、自分の中から徳が消え去ったことをすぐに悟り、印刷機の中を向き直して、「だれが私の服に触れたのか」と言われた。

イエスは自分から力が消えたことを知り、誰がイエスの服に触れたのか尋ねました。

1. イエスの臨在の力: イエスの徳が私たちの生活にどのような影響を与えるかを探る

2. イエスを信頼する: イエスの癒しを求める人々の信仰と献身を理解する

1. 使徒 3:16 - そして、主の御名は、御名への信仰を通して、あなたがたが見知っているこの人を強くしました。そうです、主による信仰が、あなたがた全員の前でこの完全な健全さを彼に与えたのです。

2. コリント人への第二の手紙 12:9 - そして彼は私に言った、「私の恵みはあなたに十分です。私の強さは弱さの中で完全になるからです。」したがって、キリストの力が私の上に宿るように、私はむしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います。

マルコ 5:31 そこで弟子たちが彼に言った、「あなたは群衆があなたに群がっているのを見て、『誰が私に触れたのか』とあなたは言います。」

イエスは、触れられたときの反応を通して、信仰の超自然的な力に気づいていることを示しました。

1: イエスは、たとえ目に見えなくても、信仰は強力で広範囲に及ぶ可能性があると教えました。

2: イエスは、群衆の規模に関係なく、信仰をもってご自分に手を差し伸べる人々に同調していることを示されました。

1: マタイ 17:20 - 本当に、あなたに言いますが、からし種一粒のような信仰があるなら、この山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きますが、何も起こらないでしょう。あなたには不可能です。

2: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

マルコ 5:32 そこで彼は、このことをした彼女を見つけようとあたりを見回した。

この一節では、イエスが自分に触れた女性を見つけるために辺りを見回したことが語られています。

1. 信仰を持ってイエスに手を差し伸べる：マルコ 5:32 の研究

2. 疑いに直面したときの勇気: マルコ 5:32 の考察

1. ヘブル人への手紙 4:16 - 「それでは、私たちが憐れみを受け、困ったときに助ける恵みを見いだすことができるよう、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

2. ヤコブ 4:8 - 「神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたに近づいてくださいます。罪人たちよ、手を清めなさい。二心のあなたたちよ、心を清めなさい。」

マルコ 5:33 ところが、その女は、自分の身に起こったことを知り、恐れおののきながら、彼の前にひれ伏し、真実をすべて話した。

女性は恐れていましたが、イエスのところに来て真実を明らかにしました。

1. 恐れる必要はありません。主はいつもあなたとともにおられます。

2. 困難で恥ずかしい状況に直面したときでも、常にイエスを信頼してください。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. ヨハネ 16:33 - 「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしのうちに平安を得るためです。世では患難があるでしょう。しかし、気を取り直してください。私は世界を克服しました。」

マルコ 5:34 すると彼は彼女に言った、「娘よ、あなたの信仰があなたを丈夫にしたのです。」安らかに行きなさい、そしてあなたの疫病は完全になります。

この聖句は、イエスが信仰によって女性の体の病気を癒したことについて語っています。

1. 信仰の力: 神は私たちの信仰を通してどのように癒してくださるのか

2. 信仰を通して神の恵みを体験する

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヤコブ 5:15 - 「信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そして、もしその人が罪を犯したなら、赦されます。」

マルコ 5:35 彼がまだ話している間に、会堂の支配人から、「あなたの娘は死んだのに、なぜこれ以上主を悩ませるのですか」と言う人が来た。

会堂の指導者からの使者が来て、イエスが話していた男性の娘が亡くなったことをイエスに知らせました。

1. 信仰の力: 困難な時でも希望を捨てないでください

2. イエスは逆境に直面しても忍耐することをどのように教えられたか

1. ローマ人への手紙 5:3-5、「それだけではなく、苦しみが忍耐を生み、忍耐が品性を生み、品性が希望を生むことを知っているので、私たちは苦しみを喜びます。なぜなら、神の愛が私たちを恥じることがないからです。」私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれています。」

2. ヘブライ人への手紙 10:35-36、「だから、自信を捨ててはいけません。それは大きな報いをもたらします。あなたには忍耐が必要です。そうすれば、神のご意志を行ったときに、約束のものを受け取ることができるからです。」

マルコ 5:36 イエスは、その言葉を聞くとすぐに、会堂の支配人に言われた、「恐れるな、ただ信じなさい。」

イエスは会堂の支配者の嘆願を聞き、恐れることなく信じなさいと言いました。

1.「信仰に生きる：信念を通じて恐怖を克服する」

2. 「逆境に直面しても勇気を持とう：目に見えないものを信じる」

1. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

マルコ 5:37 そして、ペテロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネのほかには、だれも彼に従おうとしなかった。

マルコ 5 章 37 節のこの箇所は、イエスが奇跡を行ったとき、弟子のうちペテロ、ヤコブ、ヨハネの 3 人だけがイエスに従うことを許されたことを示しています。

1: イエスは私たちに、誰に従うことを許可するかに注意し、関係の量ではなく質を重視するように教えました。

2: イエスは、最も信頼できる追随者たちとプライベートな時間を喜んで共有しました。私たちは、親密な関係を築き、その関係を育むことの重要性を認識しなければなりません。

1: 箴言 13:20 (NIV) - 賢い者とともに歩み、賢くなりなさい。愚か者の仲間は害を受けるからです。

2: 箴言 18:24 (NIV) - 多くの仲間を持つ人は破滅するかもしれないが、兄弟よりも寄り添う友人がいる。

マルコ 5:38 それから、彼は会堂の支配者の家に来ると、騒ぎと、激しく泣き叫んでいる人々を見た。

イエスが会堂の支配者の家に行くと、人々が泣き叫ぶ大騒ぎに遭遇しました。

1. 混乱の時代におけるイエスの力

2. 困難な時代に平和を見つける

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ヨハネ 14:27 - 「わたしは平安をあなたたちに残します。わたしの平和をあなたたちに与えます。世が与えるのとは違い、わたしはあなたたちに与えます。あなたたちの心を騒がせてはなりませんし、恐れさせてはなりません。」

マルコ 5:39 それで、イエスが入ってくると、彼らに言った、「なぜあなたがたはこんな騒ぎを起こして泣いているのか」。乙女は死んでいませんが、眠っています。

少女は死んでおらず、眠っているだけだった。

1: イエスは絶望している人々に希望をもたらします。

2: イエスは、必要とする人々に命を与えます。

1: マタイ 11:28-30 - すべて働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。

2: ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

マルコ 5:40 すると彼らは彼をあざ笑った。しかし、彼はそれらをすべて外に出すと、乙女の父親と母親、そして一緒にいた人たちを連れて、乙女が横たわっていた場所に入りました。

イエスは、病気の少女を良くしてあげることができると人々に話して笑われましたが、人々を追い出してから、少女が父親と母親と一緒に寝ている部屋に入っていきました。

1. イエスは不信仰に直面しても力を発揮される

2. 信仰を通じて障害を克服する

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. ヨハネ 8:32 - そして、あなたは真理を知り、真理はあなたを自由にします。

マルコ 5:41 そこで、イエスは娘の手を取って、「タリタ・クミ」と言った。それは解釈されると、ダムゼル、私はあなたに言います、立ち上がってください。

この一節は、イエスが「タリタ・クミ、解釈すると、乙女よ、立ち上がってください」と言って若い女の子を生き返らせるというものです。

1. 死を克服するイエスの力

2. 命を回復するイエスの権威

1. ヨハネ 11:25-26 イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。 26 そして、わたしを信じて生きる者は決して死ぬことがありません。

2. ルカ 7:14-15 それからイエスが近づいてきて棺に触れると、それを運んでいた人々は立ち止まった。そして彼は言った、「若者よ、立ち上がってください。」15 すると、死人は起き上がって話し始めたので、イエスは彼を母親に渡した。

マルコ 5:42 すると娘はすぐに立ち上がって歩きました。彼女は12歳だったからです。そして彼らは大変驚いた。

少女は回復し、すぐに歩けるようになったが、それを目撃した者は皆大いに驚いた。

1. イエスの奇跡: 12歳の少女の癒し

2. イエスの力: 不可能なことさえも可能にする方法

1. ルカ 7:13-15 - イエスは彼女を見ると、彼女を前に呼び、「婦人よ、あなたは障害から解放されました」と言われました。それから彼が彼女に手を置くと、彼女はすぐに背筋を伸ばして神を賛美しました。

2. マタイ 9:22 - イエスは振り向いて彼女を見た。「安心してください、娘さん、あなたの信仰があなたを癒したのです。」と彼は言いました。そしてその瞬間から女性は癒されました。

マルコ 5:43 そしてイエスは、だれにもそのことを知られるべきではないと、きっぱりと彼らに命じた。そして彼女に何か食べさせるように命じました。

この一節は、イエスが出血性疾患に苦しんでいた女性を癒し、その場にいた人々に誰にも言わないように指示した物語を伝えています。

1. 信仰の力: イエスは出血性疾患の女性をどのように癒したか

2. 従順の祝福: 奇跡を秘密にしなさいというイエスの命令に従う

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. マタイ 7:24-25 - 「ですから、私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は皆、岩の上に家を建てた賢者のようなものです。雨が降り、川が増水し、風が吹いてその家を打ちつけました。しかし、岩の上に基礎があったので倒れませんでした。

マルコ 6 章には、イエスの故郷での拒絶、十二使徒の追放、洗礼者ヨハネの斬首、五千人の食事、そして水の上を歩くイエスなど、いくつかの重要な出来事が記されています。

第 1 段落: この章は、イエスが故郷の会堂で教えているところから始まります。しかし、彼と彼の家族を知る地元の人々からは、彼に対して懐疑と不信感が向けられています。彼らが主に対して腹を立てるのは、主の謙虚な始まりについての知識と、主の知恵と奇跡的な行為とを調和させることができないからです(マルコ6:1-3)。このことからイエスは、「預言者は、自分の町、自分の家の親戚の間以外では名誉がないわけではない」(マルコ6:4)と述べています。彼らの不信仰のため、イエスは少数の病人に手を置いて彼らを癒す以外、そこではいかなる奇跡も行うことができませんでした(マルコ6:5-6)。

第 2 段落: 次に、イエスは 12 人の弟子を 2 人ずつ送り出し、彼らに不浄な霊に対する権威を与えます。彼らは、スタッフ以外は何も持たず、パンも持たず、バッグも持たず、ベルトも持たず、サンダルを着用し、余分なシャツを着ないように指示されています。また、彼らは、自分たちを歓迎しない、あるいは自分たちの言うことを聞かない人たちに対する証しとして、足の埃を払い落として町を出るまで、ふさわしい住居を見つけるように言われています（マルコ 6:7-11）。弟子たちは出かけて人々に悔い改めを説き、多くの悪霊を追い出し、多くの病人に油を注ぎ、油で癒します（マルコ 6:12-13）。一方、ヘロデはイエスのことを聞き、自分が斬首した洗礼者ヨハネが死んで蘇ったと考えていると、ヘロデがいかにヘロディアがヨハネに対して恨みを抱いていたかをフラッシュバックで説明し、ヨハネを逮捕させて殺そうとしたが、ヘロデが恐れていたため、ヨハネが彼のことを知っていて守ってくれたのではないかと説明し、正義の聖なる人は彼の話を聞くのを楽しんでいたと知っている。困惑したが、彼の話を聞くのが好きだった。ヘロデの誕生日の宴会で、ヘロディアの娘が要求するものは何でも宣誓するとき、彼女は王国の半分まででも彼女が首を要求する ジョン洗礼者の大皿はしぶしぶ王が死刑執行人を送り、首を持ってくる ジョン大皿は女の子に与える 女の子は母親を与える これを聞いた弟子たちがこれを聞いて死体を取りに来て墓に置く（マルコ6章6章）:14-29)。

第 3 段落: 使徒たちが戻ってくると、すべてのことを教え終えたと報告し、人けのない場所に退却して休むが、多くの人々は、彼らがすべての町から歩いてそこに着くのを認識し、土地が見えると、大群衆が彼らに同情し、彼らは羊飼いのいない羊のようなものであるため、多くの人を教え始めます一日が終わりかけたので、弟子たちは群衆を追い払うように勧めましたが、何か食べてくださいと言いました 5つのパンを取り、2匹の魚が天を見上げて感謝しました パンを割って弟子たちにセットを与えました 人々も2匹の魚を全員に分けて食べました 満足した 12の籠が割れました人間が食べた魚の残りのパンの数は約5,000でした（マルコ6:3 0-44）。その後、弟子たちをボートに乗せて先に進め ベツサイダ 祈りを終えて群衆を解散させながら山腹の夕方がボートの真ん中の湖に来る 彼は一人で陸に上がる 夜明けが近づいて歩く直前に弟子たちが風に逆らって漕いでいるのを見て湖を通り過ぎるつもりだ 見て怖くなって幽霊だと叫ぶ すぐに話がかかる勇気は「恐れるな」と言い、それから船に登る 風は完全に驚いて死ぬ パンのことを理解した 心は固くなった 後で陸を渡る ゲネサレ湿原のボート 人々は彼がいると聞くところならどこでも病気のマットを持ってくるのを認識する 端のマントでも触れさせてくださいと懇願する それに触れる人は全員です癒されました（マルコ 6:45-56）。

マルコ 6:1 そして彼はそこを出て、自分の国に帰った。そして弟子たちも彼に従う。

イエスは故郷を去り、弟子たちも追いかけました。

1. イエスに従う力。

2. リスクを負ってキリストに従うこと。

1. マタイ 16:24-25 - 「それからイエスは弟子たちに言われた、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

2. ヨハネ 10:27-28 - 「私の羊は私の声を聞きます。私は彼らを知っています、そして彼らは私に従っています。わたしは彼らに永遠の命を与えます、そして彼らは決して滅びることはありません。誰も私の手からそれらを奪うことはできません。」

マルコ 6:2 安息日が来ると、イエスは会堂で教え始めた。すると、それを聞いていた多くの人々が驚いて、「この人はどこからそんなことを持ってきたのか」と言った。そして、このような偉大な仕事さえも彼の手によって成されるとは、彼に与えられた知恵とは何でしょうか？

この箇所は、イエスが安息日に会堂で教え、人々がその教えとイエスが行った力強い業に驚いた様子を語っています。

1. 「驚異の人生を生きる」- イエスの教えがどのように私たちの生活に驚きと畏怖をもたらすのかを探ります。

2. 「信仰の力」- イエスの教えと働きが信仰の力をどのように実証しているかを考察します。

1. マタイ 13:54-56 - イエスの権威ある教えと群衆の驚き。

2. 使徒 2:22 - イエスの力強い働きが神の力のしるしであることを説明。

マルコ 6:3 この大工は、ヤコブとホセ、ユダとシモンの兄弟であるマリアの息子ではないでしょうか。彼の姉妹たちは私たちと一緒にここにいるのではありませんか？そして彼らは彼に対して腹を立てた。

この箇所は、イエスが伝道するために故郷に戻ったときの家族や隣人の不信仰について述べています。

1. 信仰の力：たとえ意味が分からないとしても、神の計画を信じることを学びましょう。

2. 逆境の克服: イエスは福音の良いたよりを伝えるために、ご自分の民の疑いを克服しました。

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. ヨハネ 15:18-19 - もし世があなたを憎んでいるなら、まず世が私を憎んだことを心に留めておいてください。もしあなたが世界に属しているなら、世界はあなたを世界のものとして愛してくれるでしょう。そのままでは、あなたは世に属していませんが、わたしはあなたを世から選びました。だからこそ、世界はあなたを嫌っているのです。

マルコ 6:4 しかし、イエスは彼らに言われた、「預言者は名誉がないわけではない。自分の国、自分の親族、自分の家の中にいるのである。」

イエスは、預言者が自分の家で尊敬されることを期待することはできないと教えています。

1: たとえあなたの才能や才能を理解していなくても、あなたに最も近い人たちを尊重しましょう。

2: たとえその目的が理解できなくても、神から召しを与えられた人を尊重しましょう。

1: マタイ 10:40-42 「あなたを歓迎する人は私を歓迎し、私を歓迎する人は私を遣わした方を歓迎します。預言者を預言者として迎える者は預言者の報いを受け取り、義人を義人として迎える者は義人の報いを受け取ります。

2: ルカ 14:7-11 イエスは、客たちがどのように名誉ある場所を選んでいるのかに気づき、次のたとえ話をしました。あなたが招待されたよりも優れています。そうすれば、二人を招待したホストが来て、「この人に席を譲ってください」と言うでしょう。そうすれば、屈辱的に、あなたは最も重要でない場所に就かなければなりません。しかし、招待されたときは、一番低い場所に座りなさい。そうすれば、ホストが来たときに、「友達、もっと良い場所に行きなさい」と言われるでしょう。そうすれば、他のゲスト全員の前で栄誉を授かることができます。

マルコ 6:5 そして、数人の病人に手を置いて彼らをいやした以外には、大した仕事はできなかった。

イエスは故郷を訪れたとき、ほんの数回の癒ししかできませんでした。

1. 神の力は私たちの理解を超えています - マルコ 6:5

2. イエスへの信仰の重要性 - マルコ 6:5

1. マタイ 17:20 - 「イエスは答えました。「あなたは信仰が薄いからです。真実に言いますが、からし種ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. ヨハネ 14:12 - 「まことに真実に言いますが、わたしを信じる者は、わたしが行ってきた業を行い、さらにそれよりも大きな業を行うでしょう。わたしは父のもとに行くからです。」

マルコ 6:6 そして彼は、彼らの不信仰に驚いた。そして彼は村々を回って教えました。

イエスは人々の信仰のなさに驚き、教えのために村々を歩き回りました。

1. 信仰の力を信じる

2. 知識を広めることの重要性

1. ヘブライ 11:1 「さて、信仰は、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

マルコ 6:7 そこでイエスは十二人を呼び、二人ずつ送り出し始めた。そして彼らに汚れた霊を支配する力を与えた。

この箇所では、イエスが十二使徒を呼び、宣べ伝えて汚れた霊を追い出すために二人ずつ派遣する様子が描かれています。

1: イエスは福音を宣べ伝え、汚れた霊を追い出すために十二使徒を遣わし、私たちが神の言葉を広め、霊的な悪と戦うよう招かれていることを示しました。

2: イエスは12人に御名において大きな働きをする権限を与え、彼らに大きな使命を託されました。私たちも神に仕え、神のメッセージを広めるように神から召されています。

1: ルカ 9:1-2 - イエスは十二人を呼び集めたとき、すべての悪霊を追い出し、病気を治す力と権威を彼らに与え、神の国を宣べ伝え、病人を癒すために彼らを送り出しました。

2: マタイ 28:18-20 - それから、イエスが彼らのところに来て言われた、「天と地のすべての権威がわたしに与えられました。それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに、私は時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

マルコ 6:8 そして、旅には何も持って行かず、杖だけを持っていくようにと命じた。彼らの財布には原稿もパンもお金もありません。

イエスは弟子たちに、杖以外は何も持って行かないよう命じられました。

1. シンプルさの力: 身軽に旅行する方法を学ぶ

2. 神の備えを信頼する: 信仰生活を始める

1. マタイ 10:9-10 - 「財布の中に金も銀も真鍮も用意しないでください。旅の必需品も用意しません。上着も靴も杖も二枚も用意してはいけません。職人にはその肉に値するものがあるからです。」

2. マタイ 6:25-34 「だから、わたしはあなたがたに言います。何を食べるか、何を飲むか、自分の命のことを考えないでください。また、自分の体のこと、何を着るかなども考えないでください。」

マルコ 6:9 ただし、サンダルを履いてください。二度塗りはしないでください。

イエスは弟子たちに、上着を2枚重ね着するのではなく、サンダルを着るように指示しました。

1. 「単純さへの呼びかけ: イエスの満足の例」

2.「正しい靴を履く：必要なものに集中する」

1. マタイ 6:25-34 - 物質的な所有物について心配せず、質素に生きることについてのイエスの教え。

2. ルカ 12:22-32 - イエスの金持ちの愚か者のたとえと、富を追い求めることに対する警告。

マルコ 6:10 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたは、どこの家に入っても、そこから出るまでそこに留まりなさい。」

弟子たちは、出発するまで同じ場所に留まるように指示されました。

1. 従順の力: たとえ意味が分からないとしてもイエスの指示に従う

2. 信仰の旅：人生のあらゆる季節に神を信頼する

1. マタイ 7:24-27 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いてそれを実行する者は誰でも、私はその人を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。」

2. ペテロ第一 5:7 - 「あなたのすべての気遣いを彼に委ねてください。彼はあなたのことを気にかけているからです。」

マルコ 6:11 また、あなたがたを受け入れず、あなたの言うことを聞かない者は、あなたがたが出発するとき、彼らに対する証言のために足の下の塵を払い落としなさい。真実にあなたに言います、裁きの日には、あの都市よりもソドムとゴモラの方が耐えられるでしょう。

イエスは弟子たちに、福音の拒否に抗議して、無反応な都市の塵を払い落とすように命じられます。

1. 「証人の人生を生きる: 拒絶に対する私たちの反応」

2.「大胆さへの呼びかけ: 塵を振り払う」

1. 使徒 13:51-52、「そして、彼らは彼らに当たる足の塵を振り払って、イコニオンに向けて出発した。そして、弟子たちは喜びと聖霊に満たされた。」

2. マタイ 10:14-15、「そして、あなたを受け入れない者、あなたの言葉を聞かない者は、その家や町を出るとき、足の塵を払い落としなさい。まことに、あなたに言います。その都市よりも、裁きの日のソドムとゴモラの地の方が耐えられる。」

マルコ 6:12 そこで彼らは出て行って、人々は悔い改めるべきだと宣べ伝えた。

イエスは人々に悔い改めを説くために弟子たちを派遣しました。

1. 今すぐ悔い改めなさい：イエスの呼びかけ

2. 悔い改めの力: なぜそれが重要なのか

1. 使徒 2:38 - 「悔い改めて、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。」

2. ルカ 13:3 - 「いいえ、言います。しかし、悔い改めなければ、あなたがたも皆同じように滅びるでしょう。」

マルコ 6:13 彼らは多くの悪霊を追い出し、多くの病人に油を注いで彼らをいやした。

イエスの弟子たちは多くの病人を癒し、油を塗って悪霊を追い出しました。

1. 行動における信仰の力: イエスの弟子たちは、病人を癒したり、悪霊を追い出したりすることによって、信仰の力を実証しました。

2. キリストの癒しの力: 弟子たちが病人を癒すために油を注ぐことは、キリストの癒しの力の象徴です。

1. ヤコブ 5:13-17 - あなたたちの中に苦しんでいる人はいますか。彼に祈ってもらいましょう。何か陽気ですか？彼に詩篇を歌わせてください。

2. マタイ 10:1 - そして、イエスは 12 人の弟子たちを呼び寄せたとき、彼らに汚れた霊に対抗し、追い出し、あらゆる種類の病気や病気を癒す力を与えました。

マルコ 6:14 ヘロデ王は彼のことを聞いた。（彼の名前は海外に広まったからです：）そして彼は言いました、「バプテスマのヨハネは死からよみがえったので、力強い業が彼の内に現れるのです。」

ヘロデ王はイエスのことを聞き、洗礼者ヨハネが死からよみがえったこと、そしてイエスが行った奇跡が証拠であると信じました。

1: たとえ何かが理解できなくても、神の力は見えます。

2: 神にとって不可能なことは何もありません - 死者の復活さえも。

1: ローマ人への手紙 4:17 - 「わたしはあなたを多くの国民の父とした」と書かれているとおり、彼が信じた神の御前で、死者に命を与え、存在しないものを呼び起こしてくださるのです。存在する。

2: ルカ 18:27 - しかし彼は、「人間には不可能なことも、神には可能です」と言いました。

マルコ 6:15 他の人たちは、「それはエリアスだ」と言った。またある人たちは、「それは預言者だ、あるいは預言者の一人だ」と言った。

イエスは預言者、あるいは預言者の一人であると伝えられています。

1. 神の言葉は生きています: 真の預言者を見分ける方法を学ぶ

2. 宣言の力: 神の預言をどのように実現するか

1. コリント人への第二 13:5 - 自分自身を吟味して、信仰を持っているかどうかを確認してください。自分自身をテストしてください。それとも、イエス・キリストがあなたの内におられるということを自分自身で理解していないのですか。実際にテストに失敗しない限りは！

2. エペソ人への手紙 4:11-13 - そして、イエスは使徒、預言者、伝道者、羊飼い、教師たちに、聖徒たちに奉仕の働き、キリストの体を築き上げるための備えを与えました。信仰と神の御子についての知識の一致、成人としての成熟、キリストの満ち足りた身長の尺度への一致。

マルコ 6:16 しかし、ヘロデはこれを聞くと、「それは私が首をはねたヨハネです。彼は死者の中からよみがえったのです」と言った。

ヘロデは、自分が斬首した洗礼者ヨハネが死からよみがえったと聞いてショックを受けました。

1. 復活の力

2. 許しを通して罪を克服する

1. エペソ 2:4-5 - しかし、神は憐れみに富んでおり、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。

2. ローマ 8:11 - イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

マルコ 6:17 というのは、ヘロデ自身がヨハネを遣わして捕らえ、兄フィリポの妻ヘロデヤのために牢に入れたのです。

ヘロデは、兄フィリポの妻ヘロディアと結婚したとして洗礼者ヨハネを投獄しました。

1. 隣人を愛する: どこまでできるでしょうか?

2. 嫉妬の力とそれがどのように破壊につながるのか

1. マタイ 5:43-44 「『隣人を愛し、敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたも聞いているでしょう。」しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。

2. ヤコブ 4:5 それとも、「神は私たちのうちに宿らせた霊をねたみながら切望している」という聖書の言葉は無意味だと思いますか。

マルコ 6:18 というのは、ヨハネがヘロデに言った、「あなたがあなたの兄弟の妻をめとることは違法である」と言ったからです。

ヨハネはヘロデに、兄の妻を持つことは違法であると警告しました。

1. 結婚は二人の間の神聖な契約であり、尊重されなければなりません。

2. 私たちの行動は結果をもたらす可能性があり、私たちの選択が周囲の人たちにどのような影響を与えるかに留意することが重要です。

1. エペソ人への手紙 5:31-33 - 「それゆえ、人は父と母を離れて妻をしっかりしなさい。そうすれば二人は一体となるでしょう。」

2. ローマ 12:18 - 「できることなら、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。」

マルコ 6:19 そこで、ヘロディアは彼に対して口論になり、彼を殺そうとした。しかし彼女にはそれができませんでした。

ヘロディアは洗礼者ヨハネに対して強い嫌悪感を抱き、彼を殺そうとしました。

1. 神は私たちをあらゆる害から守ってくださいます。

2. 怒りを暴力に導いてはなりません。

1. 詩篇 121:7-8 「主はあなたをあらゆる害から守り、あなたの人生を見守り、今も永遠にあなたの行き帰りを見守ってくださいます。」

2. ヤコブ 1:20 「人の怒りは神の義を達成しないからです。」

マルコ 6:20 というのは、ヘロデはヨハネが正しい人であり、聖なる者であることを知っていたので、ヨハネを恐れ、彼を観察したからです。そして彼の言うこと

を聞くと、彼は多くのことをし、喜んで彼の言うことを聞きました。

ヘロデはヨハネを公正で聖なる人として尊敬し、喜んで彼の言うことを聞きました。

1. 義の力: ヨハネの例

2. 正しく神聖であることの報酬

1. 箴言 11:18 - 悪人は欺瞞的な報酬を得るが、義の種を蒔く者は確実な報いを得る。

2. コリント第二 6:14 - 不信者たちと不平等にくびきを負わないでください。義と不法との間にどのような協力関係があるのでしょうか。あるいは、闇と光を持つ交わりとは何でしょうか？

マルコ 6:21 都合のよい日が来たので、ヘロデは誕生日に、領主たち、大尉たち、ガリラヤの領地長たちに晩餐を用意した。

この一節には、ヘロデが領主、高位の船長、ガリラヤの首長たちを招いて誕生日を祝ったことが記されています。

1. 人生の祝福を祝うことを学ぶ

2. 謙虚さと感謝の気持ちを持って生きる

1. エペソ人への手紙 5:20、「私たちの主イエス・キリストの御名によって、常にすべてのことについて神と父に感謝しなさい。」

2. ルカ 12:15、「そしてイエスは彼らに言われた。『気をつけて、むさぼりに気をつけなさい。人の命は、その人が持っている物の豊かさによって決まるのではないからである。』

マルコ 6:22 ところで、前記ヘロデヤの娘が入ってきて、踊り、ヘロデといっしょに座っていた人々を喜ばせたとき、王は乙女に言った、「何でも私に聞いてください、そうすればあげます」。

彼女が求めるものは何でも与えると言った。

1. 世界を喜ばせることの危険性

2. 誘惑に直面したときの自制の力

1. マタイ 4:8-10 - 悪魔によるイエスの誘惑

2. ヤコブ 4:7 - 神に従い、悪魔に抵抗しなさい

マルコ 6:23 そして彼は彼女に、「あなたが私に求めるものは何でも、私の王国の半分をあなたに与えます」と誓った。

イエスはその女性に王国の半分を差し出し、彼女が求めるものは何でも喜んで与えました。

1: 神は、ご意志の範囲内であれば、私たちが求めるものは何でも喜んで与えてくださいます。

2: イエスは、他の人たちに同情心と憐れみを示すためにどんな努力も惜しみませんでした。

1: ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも心配してはなりません。どんな場合でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に言いなさい。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたたちの心と思いを守るでしょう。」

2: ヤコブ 4:2-3 「あなたがたにはないのは、神に求めないからです。あなたが求めても、得られないものは得られません。なぜなら、あなたは間違った動機で求めているからです。得たものを自分の楽しみに使ってよいと願っているのです。」

マルコ 6:24 そこで彼女は出て行って、母親に言った、「何を尋ねましょうか。」そして彼女は、「洗礼者ヨハネの頭です」と言いました。

ヘロディアの娘が母親に何を頼めばよいかと尋ねたところ、ヘロディアは洗礼者ヨハネの首を頼むように言いました。

1. 罪の結果: 洗礼者ヨハネの首を求めるヘロディアの要求を調べる

2. 罪を超えて生きる: 神の言葉に照らして誘惑に応答する

1. マタイ 4:1-11 - 荒野におけるイエスの誘惑

2. 詩篇 119:11 - 「私はあなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心の中に隠しました。」

マルコ 6:25 そこで彼女は、急いで王のところに来て、「洗礼者ヨハネの首を、充電器に入れて少しずつ私に譲っていただきたいのですが」と尋ねた。

ヘロディアの娘は、充電器に入れてヘロデ王に洗礼者ヨハネの首を要求しました。

1. 信仰を損なう危険 - マルコ 6:25

2. 不義の結果 - マルコ 6:25

1. コリント第一 10:12 −だから、立っていると思う人は、倒れないように気をつけなさい。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

マルコ 6:26 すると王は非常に残念そうでした。しかし、彼の誓いのために、そして彼と一緒に座っていた彼らのために、彼は彼女を拒否しませんでした。

王はその女性をとても残念に思いましたが、誓いを守ったので彼女を拒否しませんでした。

1. 私たちは皆、約束に拘束されており、たとえそれが難しい場合でも、約束を守るよう努めなければなりません。

2. 難しい決断を迫られたとき、私たちはその決断によって影響を受けるすべての人たちを考慮に入れることを忘れてはならない。

1. 伝道者の書 5:4-5 - 神に誓いを立てるときは、それを返済するのを延期してはならない。彼は愚か者を喜ばないからです。あなたが誓ったものを払いなさい。誓約をしてお金を支払わないよりは、誓約をしないほうが良いのです。

2. ヤコブ 5:12 - しかし、何よりもまず、兄弟たちよ、天にかけても、地にかけても、他のいかなる誓いによっても誓ってはなりません。そして、あなたのいいえ、いいえ。あなたがたが非難に陥ることのないように。

マルコ 6:27 そこで、王はすぐに死刑執行人を遣わして、その首を持ってくるように命じたので、行って牢獄で首を刎ねた。

王はただちに洗礼者ヨハネを処刑しました。

1: 私たちはバプテスマのヨハネの模範から学び、信仰のために勇敢に立ち向かうことができます。

2: 私たちの行動には結果が伴うため、その責任を取ることが重要です。

1: マタイ 10:28 「体を殺しても、魂を殺すことができない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と体を地獄で滅ぼすことができる者を恐れなさい。」

2: ピリピ人への手紙 1:21-24 「私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利得です。しかし、私が肉で生きるなら、これは私の労働の成果です。

しかし、私が何を選択するかは私にはわかりません。「私は板挟みにあり、離れたいという願望と、キリストとともにいたいという願望を持っています。どちらの方がはるかに良いのです。それでも、肉体に留まるほうがあなたにとって必要です。」

マルコ 6:28 そして、彼の頭を充電器に入れて乙女に渡し、乙女はそれを母親に渡した。

洗礼者ヨハネは斬首され、その首は若い女性に差し出され、女性はそれを母親に渡しました。

1. 主のために生きる：洗礼者ヨハネの勇気

2. 母の愛の力: マルコ 6:28 の一例

1. ヘブライ 11:35-38 - 洗礼者ヨハネを含む信仰生活を送った人々の例。

2. 箴言 31:28-31 - マルコ 6:28 の女性によって示された母親の理想的な特質。

マルコ 6:29 それを聞いた弟子たちは来て、彼の死体を引き取り、墓に納めた。

イエスの弟子たちはイエスの遺体を引き取り、墓に納めました。

1. イエスの弟子たちの犠牲的な愛

2. 弟子としての費用

1. ヨハネ 15:13 - 「友人のために自分の命を捨てること、これより大きな愛を持っている人は誰もいません。」

2. ピリピ人への手紙 2:7-8 - 「しかし、自分自身を何の評判も持たず、召使の姿をとり、人間に似せて造られました。そして、男のようにファッションされていることがわかり、へりくだったので、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。」

マルコ 6:30 そこで使徒たちはイエスのもとに集まり、自分たちがしたことや教えたことなどをすべて話し合った。

使徒たちは自分たちの宣教と教えについてイエスに報告しました。

1. コミュニティの力: 神に仕えるために協力する

2. 忠実な弟子になる: 福音に従って生きる

1. 使徒 2:42-47 - 初代教会の交わりに対する取り組み

2. マタイ 28:16-20 - 行ってすべての国の弟子を作りなさい

マルコ 6:31 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは、離れて荒れ地に来て、しばらく休んでください。出入りする人が多くて、食べる暇もなかったのです。」

弟子たちは、行き交う人の数が圧倒的に多かったので、人里離れた場所で休むように勧められました。

1. 休息と内省の重要性: 自分のために時間を割くことで、他の人により良い奉仕ができるようになる

2. 孤独の祝福: 静かな時間の価値を再発見する

1. マタイ 11:28-30 – すべて働いている人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。そうすれば私はあなたたちを休ませてあげます。

2. 詩篇 46:10 – 静かに、私が神であることを知りなさい。

マルコ 6:32 それから彼らは、ひとりで船で荒れ地へ出発した。

弟子たちは一人で船で砂漠へ出発しました。

1: 困難な時には、イエスは私たちに、避難と回復のための静かな場所を意図的に見つけるよう呼びかけています。

2: イエスは私たちに、この世から離れてご自分と一緒にいて休息を取るよう呼びかけておられます。

1: 詩篇 46:10 「静まって、わたしが神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるだろう！」

2: マタイ 11:28-30 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。」

マルコ 6:33 民は彼らが出発するのを見て、多くの人が彼を知って、すべての町からそこへ歩いて走り、彼らを追い出して、一緒に彼のところに来た。

人々はイエスに気づき、近くのすべての町からイエスのところに走って行きました。

1: イエスはとても重要な方なので、人々は遠くの町からイエスのもとに走って行きました。

2: イエスは私たちの愛と献身すべてにふさわしい方です。

1: ヨハネ 15:13-14 - 友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。

2: マタイ 22:37-39 - イエスは答えられました。「『あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛さなければなりません。』これは第一で最大の戒めです。第二も同様に重要です。「隣人を自分のように愛しなさい」。

マルコ 6:34 イエスは出て来られると、多くの人々を見て、彼らに対して同情の心を覚えた。彼らは飼い主のいない羊のようなものであったからである。そして、彼らに多くのことを教え始められた。

イエスは羊飼いがいない人々に同情の念を抱き、彼らに教え始めました。

1. 思いやりのある愛: イエスは失われた人々を気遣う

2. 羊飼いへの呼びかけ: 導きへの神の招き

1. 詩篇 23:1-3 - 主は私の羊飼いです。私は欲しません。彼は私を緑の牧草地に横たわらせ、静かな水辺に連れて行ってくれます。彼は私の魂を回復し、御名のために私を義の道に導いてくださいます。

2. ルカ 10:27 - すると彼は答えて言った、「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」そしてあなたの隣人もあなた自身と同じように。

マルコ 6:35 そして、日も暮れてきたとき、弟子たちがイエスのところに来て言った、「ここは荒れ果てたところです。もう時は過ぎ去ったのです。

弟子たちは、時間が遅くなり、自分たちが人けのない場所にいることに気づきました。

1. 最も人里離れた場所であっても、神は常に私たちとともにおられます。

2. 困難の真っただ中にあっても、神は備えてくださる。

1. マタイ 28:20 - 「そして確かに、わたしは世の終わりまで、いつもあなたたちとともにいます。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

マルコ 6:36 彼らを追い払って、周りの田舎や村々に行ってパンを買ってください。食べるものがないからです。

弟子たちはイエスに、周囲の村でパンを買えるように群衆を追い払ってほしいと頼みました。

1. 神はご自身を求める人々に常に備えてくださいます。

2. 私たちは、困っている人たちを世話するように召されています。

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

2. ガラテヤ 6:10 - せっかく機会があるのですから、すべての人、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

マルコ 6:37 イエスは答えて彼らに言った、「彼らに食べさせてください」。そこで彼らは言った、「行って二百ペニー相当のパンを買って、彼らに食べさせましょうか?」

イエスは、限られた資源にもかかわらず、飢えた人々に食料を提供するよう弟子たちに命じました。

1. 私たち自身の限界にもかかわらず、他の人に備えたイエスの素晴らしい模範。

2. イエスに従う際の無私無欲の重要性。

1. マタイ 25:40 - 「そして王は彼らに答えるでしょう、『はっきり言っておきますが、あなたが私の兄弟たちの中で最も小さい者の一人にしたように、あなたも私にしたのです。』」

2. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。あなたがたは一人一人、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

マルコ 6:38 彼は彼らに言った、「あなたたちはパンをいくつ持っていますか」。行って見ろよ。そして、彼らはそれを知ったとき、「5匹と2匹の魚」と言った。

イエスは弟子たちに、自分たちが持っているもので群衆を養うように言いました。

1. 信仰があれば奇跡は起こります

2. 弱さを補う

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

2. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が小さいからです。はっきり言っておきますが、からし種ほどの信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう。」ここからあそこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

マルコ 6:39 それからイエスは、全員を緑の芝生の上に集団で座らせるように命じられた。

イエスは弟子たちに、人々をグループに分けて緑の芝生の上で休むように命じました。

1: イエスの命令は常に私たちの利益になります。

2: イエスの他者に対する配慮と同情心は、イエスが人々の身体的な必要にどのように配慮を示したかを見れば明らかです。

1: マタイ 14:13-21 - イエスは 5,000 人に食事を与えます。

2: マタイ 9:35-38 - イエスは群衆を憐れみました。

マルコ 6:40 そして彼らは、百人ごと、五十人ごとに列を成して座った。

イエスは五千人に五つのパンと二匹の魚を与えました。

1: イエスは私たちに信仰と奇跡の力を示します。

2: イエスは寛大さの力について教えてくれます。

1: ヨハネ 6:5-13 - イエスは奇跡的に 5 千人に 5 つのパンと 2 匹の魚を与えました。

2: マタイ 14:13-21 - イエスは 5,000 人に食事を与えるために奇跡を行いました。

マルコ 6:41 イエスは五つのパンと二匹の魚を取り終えると、天を見上げて祝福し、パンを裂き、弟子たちに配るように与えた。そして二匹の魚が彼をそれら全員に分けました。

イエスはたった5つのパンと2匹の魚で5,000人に食事を与えました。

1. イエスは神を信頼する力を実証しました。

2. イエスは私たちに無私無欲の寄付の価値を示しました。

1. マタイ 14:13-21 - イエスは五千人に食事を与える

2. ヨハネ 6:1-14 - イエスは五千人に食事を与える（再び）

マルコ 6:42 そして彼らは皆食べて満腹した。

群衆はイエスが用意した食べ物を食べて満席になりました。

1. イエスは私たちの糧と満足の源です。

2. 私たちはイエスに信頼を置くことによって満足感を得ることができます。

1. マタイ 14:13-21 - イエスは 5,000 人に食事を与えました。

2. ヨハネ 6:35 - イエスは命のパンです。

マルコ 6:43 そこで彼らは、破片と魚を十二かごいっぱいに拾い上げた。

この箇所は、イエスがたった 5 つのパンと 2 匹の魚で 5,000 人に食事を与えたという奇跡的な出来事を語っています。

1: 私たちが神に信頼を置くなら、神は私たちのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2: 私たちに対するイエスの憐れみと愛は、私たちが想像できる以上に大きいです。

1: マタイ 14:13-21 - イエスは 5 つのパンと 2 匹の魚を使って 5,000 人を養います。

2: ピリピ 4:19 - 神は栄光に富んだ富に応じて、私たちの必要をすべて満たしてくださいます。

マルコ 6:44 実際にパンを食べた者は五千人ほどであった。

この一節には、約5,000人がパンで食事を与えられたと述べられています。

1: 神の備えは私たちにとって十分以上です。

2: 私たちは神のすべての祝福に感謝することを忘れなければなりません。

1: ヨハネ 6:11 - それからイエスはパンを取り、感謝をささげ、座っている人々に好きなだけ配りました。

2: フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

マルコ 6:45 そしてすぐに、イエスは弟子たちに船に乗って対岸のベツサイダに行くように言いつけ、その間に民を追い去らせた。

イエスは弟子たちに、民を送り出す間、ベツサイダへ船で出発するように命じられました。

1. 人々を送り出すイエスの行為は、私たちが他人のために自分の欲望を喜んで犠牲にすべきであることを思い出させます。

2. イエスが喜んで人々を追い払ったということは、周囲の人々に対する無私の愛を示しています。

1. ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2. マタイ 22:37-39 - 「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが第一で最も重要な戒めです。第二も同様です、『隣人を自分のように愛しなさい』。」

マルコ 6:46 そして、イエスは彼らを送り出すと、祈るために山へ行かれた。

イエスは弟子たちの時間を離れて神に祈りました。

1: 私たちは常に時間をかけて神に祈り、神の導きを求めなければなりません。

2: イエスは祈りを優先する方法の例です。

1: マタイ 14:23 - そして、イエスは群衆を解散させた後、祈るために一人で山に登られた。

2: テサロニケ人への第一の手紙 5:17 - 絶えず祈りなさい。

マルコ 6:47 そして、夕方になると、船は海の真ん中にあり、陸には彼だけがいた。

イエスは弟子たちを船に乗せて送り出し、一人で陸に留まりました。

1. たとえ恐ろしいように思えても、神の計画を信頼することの大切さ。

2. 孤独な時に強さを見つける。

1. 詩篇 23:4 - 「たとえ最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めます。」

2. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

マルコ 6:48 そこでイエスは、彼らが苦労して漕いでいるのを見た。風が彼らに逆だったからである。そして夜の四番の頃、彼は海の上を歩きながら彼らのところに来て、彼らの横を通り過ぎるだろう。

イエスは弟子たちの苦悩に寄り添い、耐え忍ぶ勇気と強さを与えて彼らに同情心を示しました。

1. 神は、たとえ困難な時であっても、常に私たちの生活の中に存在します

2. イエスが示されたのと同じ思いやりと愛を持って生きるように努めましょう

1. 詩篇 138:7 - 私は困難の真っただ中を歩いていますが、あなたは私の命を守ってくれます。あなたは私の敵の怒りに対して手を差し伸べ、あなたの右手は私を救い出します。

2. マタイ 9:36 - イエスは群衆を見て、彼らを憐れみました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のように、苦しめられ、無力であったからです。

マルコ 6:49 しかし、イエスが海の上を歩いているのを見たとき、彼らは、それは霊だろうと思い、叫びました。

弟子たちはイエスが海の上を歩いているのを見て、イエスが霊だと思いました。

1: イエスは非常に強力なので、水の上を歩くこともできます。

2: イエスは奇跡を起こすことができ、私たちの人生でも同じことを行うことができます。

1: マタイ 14:22-33 - 水の上を歩き、嵐を静めるイエス。

2: ヨハネ 3:16 - 私たちに対する神の愛は、御子イエスを遣わすことによって示されました。

マルコ 6:50 というのは、皆がイエスを見て、悩んだからである。そしてすぐに彼は彼らと話し、彼らに言った、「元気を出してください。それは私です。」恐れるな。

イエスの弟子たちは、イエスが水の上を歩いているのを見て怖がりましたが、イエスは恐れることはないと言って彼らを安心させました。

1. イエス・キリストへの信仰を通じて恐怖を克服する

2. 困難な時にイエスから与えられる安心感

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. 詩篇 23:4 - 「たとえ死の影の谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。」

マルコ 6:51 それからイエスは彼らのところに上がって船に乗り込んだ。すると風はやんだ。そして彼らは計り知れないほど自分自身にひどく驚き、不思議に思った。

イエスが荒れ狂う海を静めると、弟子たちは驚きと畏怖の念を抱きました。

1: イエスは自然を支配しており、人生の嵐を静めることができます。

2: 私たちがイエスを呼び求めるとき、イエスはご自身の力で答えてくださいます。

1: マタイ 8:23-27 - イエスはガリラヤ湖の嵐を静めました。

2: 詩篇 107:29 - 神は嵐を静め、波は静まります。

マルコ 6:52 彼らはパンの奇跡など考えもせず、心がかたくなになっていたからです。

この一節は、人々が心をかたくなにしてパンの奇跡を認識できなかったことを強調しています。

1. 神の力は私たち自身の理解を超える – マタイ 19:26

2. 時間をかけて神の祝福を認識し、感謝する – 詩篇 34:8

1. エペソ人への手紙 4:18 – 「彼らの心の盲目さのせいで、理解力が暗くなり、彼らの中にある無知によって神のいのちから疎外されています。」

2. コリント人への第二の手紙 3:14 – 「しかし、彼らの心は盲目になっていました。というのは、今日に至るまで、旧約聖書を読む際に、同じベールが取り去られずに残っているからです。そのベールはキリストにおいて取り除かれます。」

マルコ 6:53 そして、彼らは渡ってから、ゲネサレトの地に入り、岸に近づいた。

海を渡った後、イエスと弟子たちはゲネサレトの地に到着し、その海岸に立ち寄りました。

1. イエスのゲネサレへの旅: 方向性の力

2. ゲネサレト: イエスと弟子たちの安息の地

1. イザヤ書 30:21 – 「あなたの耳は、右に曲がるときも、左に曲がるときも、後ろから『これが道だ、そこを歩きなさい』という言葉を聞くでしょう。」

2. マタイ 11:28-30 – 「すべて働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、あなたがたを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。」

マルコ 6:54 そして、船から上がってくると、すぐにイエスだと分かりました。

イエスの弟子たちは船から降りるとすぐにイエスに気づきました。

1. 日常生活の中でイエスを認識する

2. 信仰の奇跡的な力

1. ヨハネ 8:19 - そこで彼らは彼に言った、「あなたの父はどこにいるのですか。」イエスは答えられました。「あなたはわたしもわたしの父も知りません。もしあなたが私を知っているなら、あなたは私の父のことも知っているでしょう。」

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

マルコ 6:55 それから、その地域中を駆け回って、イエスがいると聞いたところで、病人たちを寝床で運び始めた。

その地域の人々はイエスのところに走って行き、癒しを受けるために病人をベッドに運びました。

1. 私たちはイエスを信頼し、イエスがどんな苦しみからも癒してくださるという信仰を持たなければなりません。

2. イエスはいつも喜んで私たちを癒し、希望を与えてくださいます。

1. マタイ 8:14-17 - イエスはカペナウムで病人を癒します。

2. イザヤ書 53:5 - 彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。私たちの平和のための懲罰が主の上にあり、主の打ち傷によって私たちは癒されました。

マルコ 6:56 そして、彼が村、都市、田舎のどこに入っても、人々は病人を路上に置き、もしそれが彼の衣の境界線に過ぎないなら、触ってほしいと彼に求めた。全体的に作られました。

イエスが行かれた村、都市、田舎の人々は、癒しを求めるあまりに切望していたので、病人を路上に寝かせ、衣の端に触れさせてくださいとイエスに懇願しました。彼に触れた者は誰でも癒されました。

1. 信仰の力 - 人々の信仰がどれほど強かったのか、それが人々を癒したのです。

2. イエスの力 - イエスに触れた人々を癒す奇跡。

1. マタイ 14:36 - 「そして、衣の裾だけに触れてほしいと彼に願いました。すると、触れた者はすべて完全に回復しました。」

2. 使徒 19:11-12 - 「そして、神はパウロの手によって特別な奇跡を起こされました。こうして、彼の体から病気のハンカチやエプロンが運ばれ、病気がそれらから去り、悪霊がそれらから出て行ったのです」」

マルコ 7 章には、儀式の純粋さに関するパリサイ人との論争、人を本当に汚すものについての教え、そしてシロフェニキア人の女性の娘の癒しと聾唖の男性の癒しという 2 つの重要な奇跡を含む、いくつかの重要な出来事が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、一部の弟子たちが汚れた手、つまり洗っていない手で食べ物を食べていることに気づいたパリサイ人と一部の律法教師から始まります。彼らは、食事の前に手を洗うことを要求する長老たちの伝統に固執しているため、このことについてイエスに質問します(マルコ7:1-5)。イエスは、神の戒めを無視しながら人間の伝統にしがみついている彼らの偽善を批判してこれに応えます。彼はイザヤの言葉を引用し、「これらの人々は、口先ではわたしを敬っていますが、心はわたしから遠く離れています。彼らはむなしくわたしを崇拝しています。彼らの教えは人間の規則にすぎません。」（マルコ 7:6-8）と述べています。彼は、モーセの戒めを無視して父母を敬い、コルバン（賜物を捧げる神）を許可し、それによって酒の伝統のために神という言葉を無効にした例を示しています（マルコ 7:9-1 3）。

第 2 段落: 次に、イエスは群衆に呼びかけ、外部の人が彼らの中に入って彼らを汚すことはできない、むしろ彼らを汚すのは人から出てくるものであると教え、性的不道徳、窃盗、殺人、姦淫、貪欲、悪意、欺瞞、猥褻、嫉妬、中傷、傲慢、愚かさ、これらすべての悪は由来するものであると説明します。内側が人を汚します（マルコ 7:14-23）。その後、彼がティルス異邦人地域に入ると、シロフェニキア人の女性が彼に悪霊を追い出してほしいと懇願し、娘が最初に「子供たちのパンを犬に投げるのは間違っているから、先に子供たちに食事を与えてください」と言い、彼女は「主よ、テーブルの下の犬ですら子供のパンくずを食べるのです」と答え、そして彼は彼にこう言った。この返事は、悪魔があなたの娘さんを残して家に帰ったとき、床に横たわっている子供を見つけたので、悪魔がいなくなり、民族宗教の境界を超えた悪魔の領域に対する彼の力を示したからであると彼女に言いました（マルコ7：24-30）。

第 3 段落: 地域への移動 デカポリスは聾唖の男に出会う 人々は彼に懇願し、手を添えて男を脇に連れ出す こっそりと耳に指を置く 唾を吐きかける 舌に触れる上を向く 天はため息をつき、彼に「エフファタ！」と言う。これは「開かれなさい！」という意味です。この男の耳が開かれ、舌が緩むと、彼ははっきりと話し始めた。彼らが広めたニュースを宣言する以上、これ以上誰にも命令するな、と人々は驚きに圧倒され、「彼はすべてをうまくやって、耳が聞こえない人に話が聞こえるようになった」と言い、体の病気に対する彼の権威を再び示した人々への思いやり社会的障壁に関係なく苦しみます（マルコ 7:31-37）。

マルコ 7:1 そこで、パリサイ人たちと、エルサレムから来た律法学者たちとが、彼のところに集まった。

パリサイ人と律法学者たちはエルサレムからイエスのもとに集まりました。

1: イエスは、誰であろうと、ご自分のところに来る人を両手を広げて歓迎します。

2: 私たちはどこの出身であっても、常にイエスに従うよう努めるべきです。

1: ルカ 15:2 「すると、パリサイ人や律法学者たちはつぶやいて言った、『この人は罪人たちを受け入れて、一緒に食事をしているのだ。』」

2: ヨハネ 8:3-11 「そこで、律法学者とパリサイ人たちは、姦淫の場で捕らえられた女をイエスのもとに連れて来ました。そして、彼女を真ん中に置いたとき、

彼らは彼に言った、『先生、この女は、姦淫の場で捕らえられたのです。さて、モーセは律法の中で、「そのような者は石で打たれるべきだ、と命じました。しかし、あなたは何と言いますか？」彼らはこう言い、彼を告発しなければならないかもしれないと誘惑しました。しかし、イエスはかがみ込み、指で地面に字を書きました。「彼らの声が聞こえていないかのように。それで、彼らが尋ね続けると、イエスは体を起こして彼らに言った、「あなたたちの中で罪を犯していない人が、まず彼女に石を投げましょう。そして再び身をかがめて書きました」「そして、それを聞いた人々は、自分の良心に有罪判決を受けたので、長男から始めて最後まで、一人ずつ出て行った。そして、イエスだけが残され、女性は真ん中に立っていました。」

マルコ 7:2 そして、弟子たちの何人かが汚れた手で、つまり洗っていない手でパンを食べているのを見て、彼らは落ち度を見つけた。

パリサイ人はイエスの弟子たちが洗っていない手で食事をしていることを非難しました。

1: 批判によってイエスへの信仰が揺らがないようにしてください。

2: 清潔さと神聖さは同じではありません。

1: マタイ 23:25-28 - イエスはパリサイ人が霊的な清潔さではなく外見的な清潔さに焦点を当てたことを叱責されました。

2: ヤコブ 4:11 - 愛する兄弟たち、互いに悪口を言ってはいけません。

マルコ 7:3 パリサイ人もユダヤ人もみな、長老たちの言い伝えに従って、手を洗う以外は食事をしません。

パリサイ人とユダヤ人は食事の前に手を洗う伝統を持っていました。

1: イエスは私たちの信仰における伝統の重要性を思い出させます。

2: たとえ小さなことであっても伝統を守るパリサイ人の例から学ぶことができます。

1: ルカ11:42～?パリサイ人よ、あなたたちは災いです！というのは、あなたがたはミントとルーとあらゆる種類のハーブを十分の一に納め、裁きと神の愛を無視しているからだ。これらはあなたがすべきであり、他のことをやり残してはならない。

2: マタイ 23:23 - ?偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたたちに感謝します！あなたがたは、ミント、アニス、クミンの十分の一を納め、法律、裁き、慈悲、信仰というより重要な事柄を省略しているからです。これらはあなたがすべきであり、他のことをやり残したままにしてはいけません。

マルコ 7:4 また、彼らは市場から帰ってくると、体を洗う以外は何も食べません。他にも、カップ、鍋、真鍮製の容器、テーブルを洗うなど、彼らが受け取ったものはたくさんあります。

イエスは弟子たちに、市場で買った食べ物を食べる前には洗わなければならないこと、またカップ、鍋、真鍮の器、テーブルを洗う場合にも同じ原則が当てはまること

を教えています。

1. イエスによる清潔な生活を送る方法

2. 日常生活における精神的な清潔さの重要性

1. イザヤ書 1:16-17 - 身を洗いなさい。自分を清めなさい。あなたの行いの悪を私の目の前から取り除いてください。悪事をするのをやめる。

17 善を行うことを学びなさい。正義を求め、抑圧を正す。父親のいない人々に正義をもたらし、未亡人に訴えますか？原因。

2. テトス 2:11-12 - 神の恵みが現れて、すべての人々に救いをもたらし、12 現代において不敬虔と世俗の情念を捨て、自制的で正しく敬虔な生活を送れるように私たちを訓練してくださったからです。

マルコ 7:5 そこで、パリサイ人と律法学者たちは、「なぜあなたの弟子たちは長老たちの言い伝えに従わずに、洗わない手でパンを食べるのですか」と尋ねた。

パリサイ人と律法学者たちはイエスに、なぜ弟子たちは伝統に従わず、洗っていない手でパンを食べるのかと尋ねました。

1: 神への私たちの信仰は人間の伝統より強い

2: 人間の道ではなく神の道に従う

1: マタイ 15:8-9 - この民は口で私に近づき、唇で私を敬います。しかし彼らの心は私から遠く離れています。しかし無駄に、彼らは私を崇拝し、教義のために人間の戒めを教えています。

2: コロサイ 2:20-23 - それゆえ、あなたがたは、世の初めからキリストとともに死んでいるのであれば、なぜ、あなたがたは、あたかもこの世に生きているかのように、儀式に服従するのでしょうか。人間の戒めや教義に従って、それを使うと滅びるということですか？意志の崇拝、謙虚さ、そして肉体の軽視において、どの事柄が確かに知恵の現れであるか。それは肉体を満足させるためではありません。

マルコ 7:6 イエスは答えて彼らに言った、「この民は口先ではわたしを敬っているが、心はわたしから遠く離れている、と書いてあるとおり、エザヤはあなたがた偽善者について預言したではないか」。

イエスはパリサイ人たちの表面的な宗教遵守を叱責されました。

1: 私たちは表面的な宗教的遵守に罪を犯してはならず、代わりに神に献身的な心を追求しなければなりません。

2: 私たちは口先だけで神を敬う偽善者であってはならず、むしろ心で神を敬うべきです。

1: 申命記 11:16-17 - 自分の心が欺かれないよう気を付けて、あなたがたは脇を向いて他の神々に仕え、それらを崇拝しません。そして、主の怒りがあなたに対して燃え上がり、主は天を閉ざし、雨が降らず、地が実を結ばないようにした。

2: エレミヤ 29:13 - そして、あなたがたが心を尽くして私を捜すとき、あなたがたは私を探し、私を見つけるでしょう。

マルコ 7:7 彼らは私を崇拝し、教義のために人間の戒めを教えていますが、それは無駄です。

この聖句は、神ではなく人間の教えに基づいて礼拝を行っているのであれば、神を礼拝するのは無意味であると述べています。

1. 人が作った教義に依存する危険性

2. なぜ聖書の教義に頼るべきなのか

1. コロサイ 2:8 - 「キリストに従うのではなく、人間の伝統や世界の元素の霊に従って、誰もあなたがたを哲学や空虚な欺瞞の虜にしないように気をつけてください。」

2. イザヤ書 29:13 - 「そして主は言われた。「なぜなら、この民は口で近づき、くちびるでわたしを敬うが、彼らの心はわたしから遠く離れており、彼らがわたしを恐れるのは人間が教えた戒めだからである。」」

マルコ 7:8 あなたがたは、神の戒めを脇に置いて、鍋や杯を洗うことなど、人間の伝統を守っています。また、他の多くの似たようなことをあなたがたは行っています。

一節 人々は神の命令を無視し、代わりに自分たちの伝統に従っています。

1. 私たち自身の伝統ではなく、神の命令に従うことの重要性。

2. 神の命令を無視した場合の結果。

1. マタイ 15:3-9 - イエスはパリサイ派とサドカイ派に、自分たちの伝統ではなく神の命令を守ることの大切さを教えました。

2. コロサイ 2:8 - パウロはコロサイの人々に、伝統によって福音の単純さから惑わされる危険について警告しました。

マルコ 7:9 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたは、自分の伝統を守るために、神の戒めを拒否しても構いません。」

人々は自分たちの伝統を守るために神の戒めを拒否していました。

1. 神の言葉の力: 私たち自身の伝統の代わりに戒めを受け入れる

2. 世界の伝統を拒否し、神の戒めを受け入れる

1. イザヤ書 8:20 - 「律法と証しに対して、もし彼らがこの言葉に従って語らないとしたら、それは彼らのうちに光がないからである。」

2. コロサイ 2:8 - 「キリストに従うのではなく、人間の伝統に倣い、世の初歩に倣って、哲学や無駄な欺瞞によってあなたを台無しにする人がいないように気をつけなさい。」

マルコ 7:10 モーセは言った、「あなたの父と母を敬え。あなたの父と母を敬え。」そして、父や母を呪う者は、死なせてください。

マルコ 7:10 のこの聖句は、両親を敬うことの重要性を強調しています。

1. 親を敬うことの価値

2. 第五戒の独自性

1. エペソ人への手紙 6:1-3

2. 出エジプト記 20:12-17

マルコ 7:11 しかし、あなたがたは言う、もし人が自分の父か母に、「それはコルバンです、つまり、あなたが私から得するものは何でも、贈り物です。」と言うとしたら、あなたは言います。彼は自由になるだろう。

イエスは、神に贈り物をするという口実を使って親に対する責任を回避するパリサイ人の習慣を批判しました。

1. 行動を通じて両親に敬意を払うことの重要性。

2. 義務を回避するために宗教的な口実を使うことの危険性。

1. 申命記 5:16 - 「あなたの神、主があなたに命じられたとおり、あなたの父と母を敬え。あなたの神、主があなたに与えられる地であなたの命が長くなり、あ

なたがうまくいくように。。」

2. エペソ人への手紙 6:2-3 - 「あなたの父と母を敬え。これは約束のある第一の戒めである。それは、あなたが無事で、地上で長生きできるようにするためである。」

マルコ 7:12 そして、あなたがたは、彼がもう父親や母親のためにするべきことがなくなっているのを苦しんでいます。

この一節は、人々が両親を助けることを妨げられるべきではないと述べています。

1: 私たちはできる限りの方法で両親を助け、両親に敬意を払うべきです。

2: 私たちの文化は、人々が両親を助けるのに障害を設けるべきではありません。

1: エペソ人への手紙 6:2-3 ?あなたのお父さんとお母さんに感謝します。これは約束のある最初の戒めです。あなたが無事でありますように、そしてあなたが地上で長生きできますように。

2: 出エジプト記 20:12 ?あなたの父と母に祈りを捧げなさい。あなたの神、主があなたに与えられる土地であなたの日々が長く続くように。

マルコ 7:13 あなたがたが伝えてきた伝統によって、神の言葉を何の効果も持たないものにしてしまっている。そして、同様のことをあなたがたは数多く行っている。

この聖句は、伝統が神の言葉に取って代わられるべきではないことを思い出させます。

1: 神の言葉を無効にする伝統に注意しなければなりません

2: 聖書よりも伝統を優先すると信仰の欠如につながる

1: コロサイ 2:8 - キリストにではなく、人間の伝統に倣い、世の初歩に倣って、哲学や無駄な欺瞞によってあなたを台無しにする人がいないように気をつけてください。

2: 2 テモテ 3:16 - 聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に役立ちます。

マルコ 7:14 そしてイエスは民全員を呼び寄せて言われた、「あなたがた一人一人、わたしの言うことを聞いて、悟りなさい。

イエスは人々に耳を傾けて理解するように教えました。

1: イエスの言葉を聞き、その教えを理解する

2: イエスに理解と知恵を求める

1: ヤコブ 1:5 - あなたがたのうちに知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

2: 箴言 2:3-6 - そうだ、もしあなたが知識を求めて叫び、理解するために声を上げるなら。もしあなたが彼女を銀のように探し、隠した宝物のように彼女を探すなら。そうすれば、あなたは主への畏れを理解し、神についての知識を見出すであろう。主は知恵を与えてくださるからです。その口からは知識と理解力が生まれます。

マルコ 7:15 人の外から出て、人の中に入るもので、人を汚すものは何もありません。しかし、人から出てくるもの、それが人を汚すのです。

イエスは、人を汚すのはその人の中に入るものではなく、その人から出てくるものであると説明されます。

1. 言葉の力: 言葉が私たちをどのように定義するか

2. 私たちの行動は言葉よりも雄弁です

1. ヤコブ 3:6-10 - 舌の力と、舌がどのように善と悪を行うのか

2. マタイ 12:33-37 - 良い木と悪い木、そしてそれらが生み出す果実に関するイエスのたとえ

マルコ 7:16 聞く耳のある人は、聞いてください。

この聖句は、神の言葉に注意を払い、心を開いて神が言われていることを聞くよう私たちを励ましています。

1: 神の声を聞きなさい - マルコ 7:16

2: 耳を開いて聞いてください - マルコ 7:16

1: ヤコブ 1:19 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。人はみな、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。」

2: 詩篇 95:7-8 「彼は私たちの神であり、私たちは彼の牧場の民であり、彼の手の羊です。今日、彼の声を聞いても、心をかたくなにしてはいけません...」

マルコ 7:17 そして、イエスが人々から家に入られたとき、弟子たちは、そのたとえについてイエスに尋ねた。

イエスの弟子たちは、イエスが人々に教えたばかりのたとえを説明するように求めました。

1. 質問する力：私たちの霊的な質問に対する答えを探すことの重要性を探ります。

2. 信仰の一歩を踏み出す: 信仰を持って一歩踏み出し、難しい質問をするのに必要な勇気を検討します。

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても心配しないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

マルコ 7:18 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたも理解力がないのか。」あなたがたは気づかないのか、外から来たものが何であれ人間の中に入り込んでも、それは人間を汚すことはできない。

イエスは弟子たちに霊的に清いものとは何かについての理解を尋ね、人を汚すのは人の中に入るものではなく、出てくるものであると教えます。

1. 私たちを本当に汚すものについてのイエスの教え

2. 私たちの心を真の清潔さのために検査する

1. マタイ 15:11 - 「口に入るものが人を汚すのではなく、口から出るものが人を汚すのです。」

2. ローマ人への手紙 14:14 - 「私は知っていますし、主イエスにそう説得されています。それ自体が汚れているわけではありません。しかし、何かを汚れているとみなす者にとって、それは汚れているのです。」

マルコ 7:19 それは、心臓ではなく腹に入り、すきま風の中に出て、すべての肉を追い出すからでしょうか。

イエスは、体内に入った食べ物は人を汚すのではなく、すきま風の中に出て行き、すべての肉を浄化すると説明しています。

1. イエスが穢れの原因となる食べ物に関心を持たなかった理由

2. 食べ物の浄化力: イエスが食事について教えてくれたこと

1. マタイ 15:11 - 「口に入るものが人を汚すのではなく、口から出るものが人を汚すのです。」

2. ローマ 14:17 - 「神の国は飲み食いの問題ではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです。」

マルコ 7:20 そしてイエスは、「人から出るもの、人を汚すものである」と言った。

私たちが行うことや言うことは、私たちの心から出たものであり、私たちを汚すものです。

1.？帽子は私たちを汚すのですか??

2.？私たちの言葉と行動の力??

1. マタイ 15:11 - ?人を汚すのは口に入るものではなく、口から出るものです。これは人を汚します。

2. ヤコブ 3:2-12 - ?あるいは、私たちは皆、さまざまな面でつまずきます。自分の言うことにつまずかなければ、その人は完璧な人であり、全身を手綱で縛ることもできる。

マルコ 7:21 なぜなら、人の内から、心の外から、邪悪な考え、姦淫、不品行、殺人、

この一節は、心の内側から生じる人間の邪悪さを強調しています。

1. 心の中の悪：誘惑に打ち勝つ方法

2. 心の力：人間の本性の深さを理解する

1. ヤコブ 1:14-15 - しかし、人は誰でも、自分の邪悪な欲望に引きずられ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望は妊娠した後、罪を生み出します。そして罪が大きくなると死を生み出します。

2. ローマ人への手紙 3:10-18 - 次のように書かれています。ここには義人は一人もいない、一人もいない。理解できる人は誰もいない。神を求める人は誰もいません。全員が背を向け、一緒に無価値になった。良いことをする人は一人もいません。

マルコ 7:22 窃盗、貪欲、邪悪、欺き、好色、邪悪な目、冒涜、高慢、愚かさ:

この箇所には、窃盗、貪欲、邪悪、欺瞞、好色、邪悪な目、冒涜、高慢、愚かさなど、聖書で非難されているいくつかの罪が列挙されています。

1.「心の罪：目に見えない罪を認識する」

2. 「舌の力: 冒涜はなぜ禁じられているのか」

1. 箴言 11:3 - 「正しい者の誠実は彼らを導くが、違反者の邪悪な行為は彼らを滅ぼすであろう。」

2. ヤコブ 4:17 - 「ですから、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪なのです。」

マルコ 7:23 これらの邪悪なものはすべて内側から出てきて、人を汚します。

イエスは、悪は人の内側から出て人を汚す、と教えています。

1. 「問題の核心: なぜ罪は私たちの内側から始まるのか」

2. 「福音の力: どうすれば罪を克服できるか」

1. ヤコブ 1:14-15 「しかし、人はそれぞれ、自分の邪悪な欲望に引きずり込まれ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望は孕んだ後、罪を生み出し罪が成長すると罪が生まれます。」、死を生みます。」

2. ローマ 6:12-14 - 「ですから、罪があなたの死ぬべき肉体を支配し、その邪悪な欲望に従わないようにしてください。自分の一部を悪の道具として罪に差し出してはなりません。むしろ、自分自身を神に差し出してください。」

マルコ 7:24 そこから彼は立ち上がって、ティルスとシドンの境に入り、家の中に入ったが、誰にも知らせたくなかったが、隠すことはできなかった。

イエスは孤独とプライバシーを求めてティルスとシドンに行きました。

1: イエスは一人になり、自分の使命について考える時間を望んでおり、必要としていました。

2: 私たちは皆、一人になり、自分の人生と目的について深く考える時間が必要です。

1: マタイ 6:6 - ?祈るときは、自分の部屋に入り、ドアを閉めて、隠れておられるあなたの父に祈りなさい。そして、密かに見ているあなたの父はあなたに報酬を与えます。

2: 詩篇 46:10 - ?私はまだ、そして私が神であることを知っています。わたしは諸国民の間で高められるだろうし、地でも高められるだろう!??

マルコ 7:25 というのは、汚れた霊に取りつかれた幼い娘を持つある婦人が彼のことを聞きつけてやって来て、彼の足もとにひれ伏したからである。

ある女性の娘が汚れた霊に取り憑かれていたため、イエスのことを聞き、助けを求めてイエスのもとにやって来ました。

1. 信仰の力: イエスの奇跡が私たちの生活をどのように変えるのか

2. 困難を克服する: イエスが私たちの力の源である

1. マタイ 15:21-28 - イエスはカナン人の女性の娘を癒す

2. マルコ 5:24-34 - イエスは血の問題を抱えた女性を癒す

マルコ 7:26 その女性はギリシャ人で、国民的にはシロフェニキア人でした。そして彼女は娘から悪魔を追い出してくれるよう彼に懇願した。

その女性はシロフェニキア民族のギリシャ人で、娘から悪魔を追い出してほしいとイエスに願いました。

1: イエスはユダヤ人だけでなく、すべての国々に対して愛と憐れみを示します。

2: 神は私たちを通して働かれ、私たちに神の手足となる機会を与えてくださいます。

1: 使徒 10:34-35 - 神は偏りを示さず、どんな国の人でも進んで受け入れます。

2: ヤコブ 2:15-17 - 行いのない信仰は死んだものです。私たちは行動を通して信仰を示さなければなりません。

マルコ 7:27 しかし、イエスは彼女に言われた、「まず子供たちを満腹させなさい。子供たちのパンを取って犬に投げつけるのはふさわしくないからです」。

イエスは、犬を助ける前にまず子供たちのニーズが満たされるべきだと主張します。

1: 他の人を助ける前に、まず家族のニーズを優先しなければなりません。

2: 私たちは利己的ではなく、困っている人を助けることを常に忘れないでください。

1: ピリピ人への手紙 2:3-4 ?決して利己的な野心や無駄なうぬぼれからではありません。むしろ、謙虚に自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

2: ガラテヤ 6:10 ?したがって、機会があるので、すべての人々、特に信者の家族に属する人々に良いことをしましょう。

マルコ 7:28 すると彼女は答えて言った、「はい、主よ。それなのに、テーブルの下の犬が子供たちのパンくずを食べています。」

この一節は、イエスが娘を癒せると信じているかどうかというイエスの質問に、ある女性がイエスへの信仰を肯定し、子供のパン粉を食べる犬のたとえを示してどのように答えたかを説明しています。

1. イエスへの信頼は回復と希望をもたらす

2. 神の恵みは最も小さい私たちにも溢れます

1. マタイ 15:21-28 - イエスによるカナン人の女性の娘の癒し

2. ローマ人への手紙 5:6-8 - イエス・キリストを通して与えられた神の豊かな恵み

マルコ 7:29 すると彼は彼女に言った、「この言葉に従って、あなたの道を行きなさい。」悪魔はあなたの娘から出て行った。

イエスは女性の娘から悪魔を追い出して癒しました。

1: イエスの愛と癒しの力を決して過小評価してはなりません。

2: 最も暗い状況に直面したときでも、イエスはすべての人に光と希望をもたらすことができます。

1: 詩篇 34:18 「主は心の打ち砕かれた者に近づき、心の打ちひしがれた者を救われる。」

2: イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。あなたが川を通るとき、川はあなたを押し寄せることはない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはない、炎はあなたを炎上させることはありません。」

マルコ 7:30 そして、彼女が家に来ると、悪魔が出て行って、娘が床に横たわっていた。

ある女性は、家に帰ると娘が悪霊にとり憑かれていたのが治っていたことに気づきました。

1. イエスは私たちを罪とその結果から解放する力を持っています。

2. 神の力はどんな悪の力よりも偉大です。

1. ルカ 8:26-35 - イエスは汚れた霊を女性から追い出しました。

2. マタイ 18:10 - イエスは弟子たちに、幼い子供たちをつまずかせないよう注意するように警告されました。

マルコ 7:31 そして再び、イエスはティルスとシドンの海岸を出発し、デカポリスの海岸の真ん中を通ってガリラヤの海に来た。

イエスはティルスとシドンの海岸を出発し、デカポリスの海岸の真ん中を通ってガリラヤ湖に到着しました。

1. イエスの全土の旅は、すべての人に良いたよりを宣べ伝えるというイエスの決意を示しています。

2. イエスの宣教は、すべての人々に手を差し伸べるために、イエスがどこまでも進んで行こうとしていることの証しでした。

1. マタイ 4:23-25 - そして、イエスはガリラヤ中を巡回し、諸会堂で教え、神の国の福音を宣べ伝え、民のあらゆる種類の病気やあらゆる病気をいやされました。

2. マルコ 16:15 - そしてイエスは彼らに言った、「あなたがたは全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

マルコ 7:32 そこで彼らは、耳が聞こえず、話すのに障害のある人を連れて来た。そして彼らは彼に手を置いてくださいと懇願します。

あるグループの人々が、言語障害のある耳の聞こえない男性を癒してもらうためにイエスのもとに連れて行きます。

1. 信仰の力 - 耳の聞こえない男性をイエスのもとに連れて行った人々の信仰がどのようにして奇跡的な癒しを可能にしたのか。

2. 困難な時期を乗り越える - 神は私たちの困難をどのように利用して、私たちを神に近づけるか。

1. ヤコブ 5:14-15 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼は教会の長老たちを呼んで彼のために祈ってもらい、主の名において油を注ぐべきである。そ

して、信仰をもってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼をよみがえらせてくださいます。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

マルコ 7:33 そこでイエスは彼を群衆から脇に連れて行き、指を耳に入れ、唾を吐き、舌に触れた。

イエスは耳と舌に触れて耳の聞こえない男性を癒しました。

1: イエスは、恵まれない人々に対して同情心と憐れみを示すよう教えられます。

2: イエスは、信仰と祈りの力が病人を癒すことができることを示してくださいました。

1: ヤコブ 5:15 - 「信仰によってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせます。もし彼らが罪を犯したとしても、彼らは赦されます。」

2: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

マルコ 7:34 そしてイエスは天を見上げてため息をつき、「エファタ、つまり、開けなさい」と言った。

聾唖の男性の癒し：イエスはその男性の耳と口を開いてくださいました。

1. 神の癒しの同情: イエスはどのようにして聾唖者を開いたのか

2. 奇跡と信仰: すべての逆境を克服するイエスの力

1. イザヤ書 35:5-6 - そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は止まらなくなります。そのとき、足の不自由な人は鹿のように飛び跳ね、口の利けない人の舌は喜びで歌うだろう。

2. 詩篇 146:8 - 主は盲人の目を開かれます。主はひれ伏している者を立ち上がらせてくださる。主は義人を愛されます。

マルコ 7:35 するとすぐに耳が開かれ、舌ひもが解けて、はっきりと話した。

イエスは聾唖の男を癒し、はっきりと話せるようになりました。

1. 神の力は癒しと変革をもたらします。

2. イエスは私たちの壊れた部分を回復することができます。

1. 詩篇 103:3 - 神はあなたのすべての罪を赦し、あなたのすべての病気を癒してくださいます。

2. イザヤ書 35:5-6 - そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は止まらなくなります。そのとき、足の不自由な人は鹿のように飛び跳ね、口の利けない人の舌は喜びで歌うだろう。

マルコ 7:36 そして彼は、誰にも話さないようにと彼らに命じた。しかし、彼が彼らに要求すればするほど、彼らはそれを大々的に公表した。

イエスは耳の聞こえない男性を癒し、証人たちに誰にも言わないように指示しましたが、とにかく彼らはそのニュースを広めました。

1. イエスの力: 彼の奇跡はどのように神の神聖な権威を示しているか

2. 目撃する力: 私たちの行動が他の人にどのような影響を与えるか

1. ルカ 5:15-16 - しかし、彼の名声はますます広まり、多くの群衆が話を聞き、彼の病気を治してもらうために集まってきました。そして彼は荒野に身を引いて祈りました。

2. 使徒 4:20 - 私たちは見聞きしたことを語らずにはいられないからです。

マルコ 7:37 すると、人々は計り知れないほど驚いて、「神はすべてのことをよくしてくださった。耳の聞こえない人にも聞こえるようにし、口のきけない人にも話せるようにしてくださった。」と言った。

人々はイエスの奇跡、特に聾唖者や口のきけない人の癒しに驚きました。

1. 神の奇跡的な力: イエスの癒しの奇跡を見てみる

2. イエス：私たちの癒し手であり救い主

1. イザヤ書 35:5-6: そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は妨げられなくなります。そのとき、足の不自由な人はハートのように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌うでしょう。荒野に水が湧き、砂漠に小川が流れるからです。

2. ヘブライ 13:8: イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。

マルコ 8 章には、4,000 人の食事、しるしを求めるパリサイ人との論争、ベツサイダでの盲人の癒し、ペテロのキリストの告白、イエスの死と復活の予言など、いくつかの重要な出来事が記されています。

第 1 段落: この章は、食べるものも持たずにイエスの周りに集まってくる別の大勢の群衆から始まります。彼は彼らに懸念を表明し、彼らに餌を与えることにしました。7つのパンと数匹の小魚を持って彼は感謝を捧げ、パンを割って弟子たちに配る 同じ魚を食べて全員が満足した その後、かご一杯分の 7個の破片が残り、約 4000人が食べた 群衆がボートに乗り込み、ダルマヌータ地方へ行く 8:1-10）。そこへパリサイ人たちがやって来て、彼を試して天からのしるしを求めると主張し始めたが、彼は深いため息をつきながら「なぜこの世代はしるしを求めるのか？本当に言っておくが、それにはしるしは与えられない」と言い残し、彼らはボー トに戻って反対側に渡った。（マルコ 8:11-13）。

第 2 段落: 弟子たちと船に乗っている間、彼らはパンを持ってくるのを忘れたことについて話し合います。彼は彼らに「気をつけろ！酵母パリサイ人ヘロデに気をつけろ」と警告します。彼らはこのことについて、「パンがないからだ」と話し合っています。彼らの議論に気づいているイエスは、なぜパンがないことについて話すのかと尋ねます、理解していますが、見えません、心はかたくなです、目は見えません、耳は聞こえません、いつ覚えていないですか、5つのパンを割ったとき、5,0 00個、7つのパンを割ったとき、かご一杯は何個拾ったか、4,000個かごいっぱいのピースはまだ理解できませんでした（マルコ8:14-21）。

第3段落: ベツサイダに来ると、何人かの人々が盲人を連れてきて、イエスに懇願する、彼に触れ、盲人を手に取り、村の外に連れ出す、彼の目に唾を吐きかける、彼に手を置く、何か見えるか尋ねる、見上げると、人々が歩き回っている木のように見えると言う、彼の手に手を置く目が再び開かれ、目が回復し、すべてがはっきりと見え、「村にさえ入るな」と家に帰ります（マルコ 8:22-26）。次に、村を旅するカイサリア ピリピの道で、人々が誰だと思っているかを弟子たちに尋ねます。答えには洗礼者ヨハネ、エリヤが含まれます。預言者の一人が、誰だと思うかを尋ねます。ペテロは、「あなたはメシアです」と答えます。このことを誰にも言うなと警告し始める 多くのことを苦しめなければならないと教え始める 拒否された長老たち祭司長たち 教師たち 法律は三日後に殺さなければならない 再び立ち上がる はっきりと話す ペテロを叱責する 彼は向きを変え、弟子たちを見つめる ペテロを叱責する、「サタン、後ろに下がってください！あなたは心配など考えていません」神は人間に関係しているだけです」（マルコ 8:27-33）。弟子たちとともに群衆を呼び寄せる、命を救いたい者は誰でも命を失う、主のために命を失う者は福音が救うと教える、誰かが全世界を得るのに何の役に立つのか、魂を失う、もし誰かが主を恥じたら、魂と引き換えに何を与えることができるのか、言葉は姦淫の罪深い世代である、息子父の栄光が来るとき、人は恥じ入るであろう、聖なる天使たちは、ここに立っている者たちは神の国が力を与えられるのを見る前に死を味わうことになるだろうと真に告げて結論づけている(マルコ8:34-38)。

マルコ 8:1 その頃、群衆は非常に多く、食べるものがなかったので、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた。

イエスは群衆に食事を与えます。誰もが十分に持っています。

1: 神は常に備えてくださる。私たちは決して困っているわけではありません。

2: イエスはすべての必要を満たしてくださる方です。

1: ピリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2: マタイ 6:25-34 - したがって、私はあなたに言います。自分の人生や何を食べるか、何を飲むかについて心配する必要はありません。または自分の体について、何を着るかについて。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？

マルコ 8:2 わたしは群衆を憐れみます。なぜなら、彼らは三日もわたしと一緒にいて、食べるものが何もないからです。

イエスは、三日間イエスと一緒にいて何も食べるものがなかった群衆に同情を示されました。

1. イエスの憐れみ: 私たちはイエスの模範にどのように従うべきか

2. 信仰の力: 大勢から学ぶ

1. マタイ 14:14 - イエスは出て行って、大勢の群衆を見て、彼らに対して同情の心を抱き、彼らの病人をいやされた。

2. ヨハネ 6:5-7 - それからイエスは目を上げ、大勢の仲間が自分のところに来るのを見て、フィリポに言った、「この人たちが食べるためにパンをどこで買えばいいのですか」。そしてこれを彼は証明するために言った。なぜなら彼自身、自分が何をするか知っていたからである。

マルコ 8:3 それで、私が彼らを断食させて自分の家に送り届けたら、彼らは途中で気を失うでしょう。彼らのダイバーは遠くから来ているからです。

イエスの弟子たちは、イエスが教えている人々のことを心配していました。彼らは遠くから来ており、断食して家に帰されたら空腹で気を失いかねないからです。

1. イエスは、私たちがイエスの求めたことを実行することが難しい場合でも、私たちの幸福を気にかけてくださいます。

2. イエスは、たとえ私たちにとって難しい場合でも、他の人の必要に気を配るようにと願っておられます。

1. マタイ 25:35-36 - 「私はお腹が空いていたのに、あなたは何か食べるものを与え、喉が渇いていたのに、あなたは私に飲み物を与え、見知らぬ私を招き入れてくれました。」

2. ヤコブ 2:14-16 - 「兄弟姉妹たち、信仰があると言いながら行いを持たない人がいたら、何の役に立つのでしょう。そのような信仰が彼らを救えるでしょうか。ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物もないとしましょう。あなたの誰かが彼らに、「安らかに、暖かくして、十分な栄養を与えてください」と言うのに、彼らの身体的必要については何もしてくれなかったら、それが何の役に立つでしょうか？」

マルコ 8:4 そこで弟子たちが答えた、「人はどこからこの荒野でこの人たちをパンで満足させることができようか。」

弟子たちはイエスに、どうすればたった数個のパンで荒野の大勢の群衆に食事を与えることができるのかと尋ねました。

1. 信仰の力: イエスは、最も困難な状況であっても、信仰が不可能を可能にすることができることを私たちに示しました。

2. 祈りの力: 圧倒的な困難に直面したとき、祈りは私たちに希望と力をもたらします。

1. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、『あなたの信仰が小さいからだ』。本当に言っておくが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山にこう言うだろう。ここからあそこへ、??そしてそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

2. ヤコブ 5:16 - 「ですから、癒されるために、互いに罪を告白し、互いに祈りなさい。義人の祈りは大きな力を持って働いています。」

マルコ 8:5 そこでイエスは、「パンをいくつ持っていますか」と彼らに尋ねた。すると彼らは、「セブン」と言いました。

イエスが弟子たちにパンは何斤あるかと尋ねると、彼らは7つと答えました。

1. 信仰の力: イエスは、信仰がいかに小さな捧げ物であっても、多くの人にとって祝福に変わることを実証しました。

2. 神の備え: イエスは、神が一見取るに足らない資源をどのようにして人々の必要を満たすために使用できるかを私たちに示しました。

1. マタイ 14:13-21 - イエスは 5 つのパンと 2 匹の魚を使って 5,000 人に食事を与えました。

2. ヨハネ 6:1-14 - イエスは、5 つのパンと 2 匹の魚を、5,000 人分の奇跡的な食事に変えました。

マルコ 8:6 それからイエスは民に地に座るように命じ、七つのパンを取り、感謝をささげて裂き、弟子たちに配るように与えた。そして彼らはそれを人々の前に置きました。

イエスは感謝をささげ、弟子たちの前で七つのパンを裂き、弟子たちはそれを人々の前に置きました。

1. 感謝する力

2. 他者に奉仕することの重要性

1. マタイ 15:36 - 「そしてイエスは七つのパンと魚を取り、感謝をささげてそれを裂き、弟子たちに与え、弟子たちも群衆に与えた。」

2. ピリピ人への手紙 4:6 - 「何事にも気をつけなさい。しかし、どんなことにおいても、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。」

マルコ 8:7 彼らは小魚を数匹飼っていたので、イエスは祝福して、それも彼らの前に置くように命じられた。

イエスは数匹の小魚を使って大勢の群衆に食事を与えました。

1: イエスは人生の小さなことを利用して、大きな業を行いました。

2: イエスは私たちに、自分が持っているもので満足し、神が与えてくださると信頼するように教えられました。

1: ピリピ人への手紙 4:11-13 「私は、困っていることについて話しているのではありません。私は、どんな状況でも満足することを学んだのです。私は、どのようにして落ち込むかを知っていますし、どのようにして豊かになるかを知っています。あらゆる状況において、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。

2: マタイ 6:25-34 ?ここで私はあなたに言います。自分の人生のこと、何を食べるか、何を飲むか、また自分の体のこと、何を着るかについて心配しないでください。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？空の鳥を見てください。彼らは種を蒔くことも、刈り取ることも、納屋に集めることもありませんが、あなたがたの天の父は彼らに餌を与えます。あなたには彼らよりも価値があるのではありませんか？そして、心配することで寿命を一時間でも延ばせるのは誰ですか?では、なぜ服装にこだわるのでしょうか？野のユリを考えてみてください。どのように成長するのかを考えてください。彼らは苦労もせず、紡ぎもしませんが、あなたに言いますが、栄華を極めたソロモンでさえ、これらのユリのように整列していませんでした。...

マルコ 8:8 こうして彼らは食べて満腹し、残った砕けた肉を七つの籠に拾い上げた。

弟子たちはイエスが用意してくださったパンと魚を食べて満腹しましたが、まだ七かごの食べ物が残っていました。

1. 神は私たちに豊かな物を与えることができます。

2. 信仰と祈りの力。

1. マタイ 14:13-21 - 5,000 人の食事

2. ルカ 17:11-19 - イエスは 10 人のらい病人を清める

マルコ 8:9 食べた者は四千人ほどだったので、イエスは彼らを追い払った。

この箇所は、イエスがわずか数個のパンと魚で4,000人を養った奇跡を描いています。

1. イエスの奇跡の力: 神は必要な時にどのようにして豊かさを与えられるか

2. イエスの憐れみ: 神はご自分の民すべてをどのように気遣っておられるか

1. ヨハネ 6:1-14 - イエスは奇跡的に 5,000 人に食事を与えた

2. マタイ 14:13-21 - 弟子たちに会うために水の上を歩くイエス

マルコ 8:10 それから、イエスはすぐに弟子たちとともに船に乗り、ダルマヌタの地方に入って行かれた。

イエスと弟子たちは船に乗り、ダルマヌータへ向かいました。

1. 従順の力: ダルマヌータへのイエスの旅

2. 主の導きに従って: ダルマヌータへの旅

1. ヨハネ 14:15 ?あなたが私を愛しているなら、あなたは私の戒めを守ってくれるでしょう。

2. ルカ 9:23 ?そして彼は皆に言った、「もし誰かが私を追ってくるなら、自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って私について来なさい。」

マルコ 8:11 そこで、パリサイ人たちが出てきて、天からのしるしを求めて彼に質問し始め、彼を誘惑した。

パリサイ人たちは天からのしるしを求めてイエスを誘惑しました。

1. イエスの誘惑: しるしや不思議ではなく、神を信頼する

2. 信仰の力: 神の言葉を通して誘惑に打ち勝つ

1. マタイ 4:1-11 - イエスは悪魔の誘惑に遭いました。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

マルコ 8:12 そして彼は霊の中で深くため息をついて言った、「なぜこの世代にしるしを求めるのか」。まことに、あなたがたに言います、この世代にはいかなるしるしも与えられないでしょう。

イエスは人々の信仰の欠如に不満を表し、彼らにしるしを与えることを拒否しました。

1.神の王国はしるしではなく信仰に基づいて築かれます

2. 神は忠実な民を求めている

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. ヨハネ 20:29 - イエスは彼に言われました。私を見たから信じたのですか？まだ見ていないのに信じている人は幸いです。

マルコ 8:13 そしてイエスは彼らを残して、再び船に乗り込み、向こう岸へ去った。

イエスは船に乗って海の向こうへ出発されました。

1. イエスの従順: 神の命令に従うことを学ぶ

2. イエスの力: 海を渡る奇跡

1. ヨハネ 6:21 - すぐに舟は彼らが行っていた陸地に着きました。

2. マタイ 14:22-33 - イエスはすぐに弟子たちを舟に乗らせ、自分より先に向こう岸へ行かせ、その間に群衆を解散させました。

マルコ 8:14 さて、弟子たちはパンを持っていくのを忘れており、船にもパンを一個しか持っていなかった。

弟子たちはパンを持ってくるのを忘れて、パンを一個しか持っていませんでした。

1: 弟子たちがそうではなかったように、私たちはあらゆる状況に備える必要があります。

2: 弟子たちはパンを 1 つしか持っていなかったので、私たちは自分の持っている資源に注意する必要があります。

1: マタイ 6:25-34 - イエスは私たちに、将来のことを心配せず、神を信頼するように教えています。

2: 箴言 21:20 - 貴重な宝と油は賢者の中にある?しかし、愚かな男がそれを食い荒らします。

マルコ 8:15 そこでイエスは彼らに命じて言った、「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種に気をつけなさい。」

私たちはパリサイ人の誤った教えとヘロデの誤った教えを認識しなければなりません。

1. 偽りの教えの危険性

2. 世界の欺瞞を見抜く

1. エペソ人への手紙 5:6-7 - 「だれも空虚な言葉であなたがたを欺いてはなりません。これらのことのゆえに、神の怒りが不従順の子らに降りかかるからです。ですから、彼らに加わってはなりません。」

2. コロサイ 2:8 - 「キリストに従ってではなく、人間の伝統に従って、世界の元素の霊に従って、誰もあなたがたを哲学や空虚な欺瞞の虜にしないように気をつけてください。」

マルコ 8:16 そこで彼らは、「パンがないからだ」と言い合った。

弟子たちは、パンがないことがイエスの教えの理由であると推論しました。

1: イエスは私たちに、自分の肉体的な必要を超えて、周囲の人々の霊的な必要にも目を向けるよう思い出させます。

2: イエスは常に私たちに霊的な栄養を与えてくださっていることを覚えておく必要があります。

1: マタイ 6:25-34 - イエスは私たちに、肉体的な必要を心配するのではなく、まず神の王国を求めるように教えられます。

2: 詩篇 23 - たとえ私たちが死の影の谷を歩くとしても、神は私たちに慰めと糧を与えてくださいます。

マルコ 8:17 イエスはそれを知って、彼らに言われた、「パンがないのに、なぜ理屈を言うのか」。あなたがたはまだ気づいていません、どちらも理解していませんか？あなたの心はまだかたくなになっていますか？

イエスは人々に、まだ認識も理解もしていないにもかかわらず、なぜパンがないことについて質問するのかと尋ねました。

1. 心の硬化：神の計画を理解する

2. 信仰の目を通して見る：神の備えを信じる

1. エレミヤ 17:7-8 - 「主を信頼し、主を信頼する人は幸いです。その人は、水のほとりに植えられ、流れのほとりに根を張る木のようです。いつになっても恐れません。」"

2. ヘブライ人への手紙 3:14-15 - 「もし私たちが最初の信念を最後までしっかりと持ち続けるなら、私たちはキリストにあずかることができました。今言われたように、「今日、もし彼の声を聞いたら、自分の心をかたくなにしてはいけません。」反乱の時と同じように心を動かしてください。」

マルコ 8:18 目があるのに、見えないのか。耳があるのに、聞こえないのか？そしてあなたがたは覚えていないのか？

イエスは、見る目と聞く耳を持っている弟子たちが、なぜイエスが教えたことを理解しないか覚えていないのかと尋ねています。

1. 見ることと信じること: 神の言葉を理解する

2. 従うために聞く：学んだことを思い出す

1. 詩篇 19:7-9 - 主の律法は完全であり、魂を生き返らせます。主のあかしは確かであり、単純な人を賢くする。主の戒めは正しく、心を喜ばせる。主の戒めは清く、目を照らします。

2. 箴言 1:7 - 主を恐れることは知識の始まり。愚か者は知恵と教えを軽蔑します。

マルコ 8:19 わたしが五千のパンのうち五つのパンを砕いたとき、あなたがたは、破片の入った籠をいくつ拾っただろうか。彼らは彼に言った、「12」。

イエスは飢えた群衆に食べ物を提供することによって、ご自分の偉大な力を実証されました。

1. 神の力: イエスの奇跡的な摂食からの教訓

2. 分かち合いの祝福: イエスの寛大さの模範

1. ルカ 9:13-17 - イエスは五千人に食事を与える

2. ヨハネ 6:1-14 - イエスは四千人に食事を与える

マルコ 8:20 それで、四千人のうち七人になったとき、あなたがたは、破片の入った籠をいくつ拾ったでしょうか。すると彼らは、「セブン」と言いました。

イエスは弟子たちに、7つのパンと数匹の小魚を4,000人に食べさせた後、いくつの籠を取ったかと尋ねました。弟子たちは、かごを７つとったと答えました。

1. 神の豊かさ: 神への信仰がどのようにして十分以上のものを与えてくれるのか。

2. 愛の力: イエスがどのように愛を分かち合い、他の人々の必要を満たしたのか。

1. ヨハネ 6:1-14 - イエスは 5 つのパンと 2 匹の魚で 5,000 人に食事を与えました。

2. マタイ 14:13-21 - イエスは 4,000 人に 7 つのパンと数匹の小魚を与えました。

マルコ 8:21 そこでイエスは彼らに言った、「どうしてあなたがたは理解できないのか」。

イエスは弟子たちに、なぜ理解できないのかと尋ねます。

1: 従順と信仰に満ちた人生を送るためには、神の言葉を理解する必要があります。

2: 主は常に私たちが御言葉を理解できるよう喜んで導いてくださいます。

1: イザヤ書 40:28-31 - あなたは知らなかったのですか？永遠の神、地の果ての創造主である主は気を失うことも、疲れることもないことを、あなたは聞かなかったのか。彼の理解を探る必要はありません。

2: ヨハネ 16:12-15 - 私はあなたがたに言いたいことがまだたくさんありますが、あなたがたは今はそれに耐えることができません。しかし、真理の御霊である彼が来られるとき、彼はあなたをすべての真理に導いてくれるでしょう。なぜなら、彼は自分自身について語らないからです。しかし、彼が聞くことは何でも、彼は話します。そして彼はあなたに将来のことを示すでしょう。

マルコ 8:22 そして彼はベツサイダに来る。そこで彼らは、目の見えない人を彼のところに連れてきて、触ってくれるように頼みました。

この盲人はベツサイダのイエスのところに連れて来られ、癒しを求められました。

1: たとえ最も暗い瞬間であっても、私たちは癒しを求めてイエスに頼ることができます。

2: イエスには私たちの最も困難な苦しみさえも癒す力があります。

1: イザヤ書 41:10 ?耳を傾けないでください、私はあなたと一緒にいるからです。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。私はあなたを強くし、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2: ヤコブ 5:14-15 ?あなたの中に病気の人はいますか？彼に教会の長老たちを呼び、彼らに彼のために祈り、主の名において油を注いでもらいましょう。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださいます。

マルコ 8:23 そこでイエスは、盲人の手を取って町の外に連れ出した。そして、彼の目に唾を吐き、手をその上に置いたとき、彼は彼に、見るべきものがあるかどうか尋ねました。

イエスは盲人の手を取って町の外に連れ出しました。それから彼は男の目に唾を吐き、手をその上に置き、何か見えたかどうか尋ねた。

1. イエスの癒しの力：マルコ 8 章におけるイエスの奇跡の考察

2. イエスは盲人を気遣う: マルコ 8 章における社会から疎外された人々に対するイエスの同情の研究

1. イザヤ書 35:5-6 - そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は妨げられなくなります。そのとき、足の不自由な人はハートのように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌うでしょう。荒野に水が湧き、砂漠に小川が流れるからです。

2. マタイ 10:8 - 病人を癒し、らい病人を清め、死者をよみがえらせ、悪霊を追い出しなさい。あなたがたは無償で受け取り、無償で与えなさい。

マルコ 8:24 そして彼は目を上げて言った、「人間が歩いている木のように見えます。」

イエスの弟子たちは、イエスが見上げて、木のような人たちが歩いているのが見えると言っているのを目撃しました。

1. 信仰をもって歩む: イエスに従うとはどういう意味かを理解する

2. 大切なものを見失わないでください：霊的な目で見ることについての考察

1. エペソ人への手紙 5:15-17 「では、自分がどのように歩むかをよく見てください。愚かな者としてではなく、賢明な者として、時を最大限に活用して、悪しき日なのですから。ですから、愚かではなく、人の意志を理解してください。」主がおられるのです。」

書6:9-10 - 「そして彼は言った、「쏥 ｏ、そしてこの民にこう言いなさい。聞いても分からない、見続けても分からない。」この民の心は鈍くなり、耳は重くなり、目を盲目にします。彼らが目で見、耳で聞き、心で理解し、立ち返って癒されないように。

マルコ 8:25 それから、イエスは再び手を彼の目に当てて、顔を上げさせた。すると、彼は立ち直り、すべての人がはっきりと見えた。

イエスは目の見えない男性を癒しました。

1. イエスは私たちの癒しと回復の究極の源です。

2. 私たちは神が明晰さと理解をもたらしてくださると信頼できます。

1. 詩篇 147:3 「主は心の打ち砕かれた者を癒し、その傷を包んでくださる。」

2. イザヤ書 61:1 「主なる神の御霊がわたしの上にあります。なぜなら、主は柔和な者たちに良い知らせを宣べ伝えるためにわたしに油を注がれたからです。主は心の傷ついた者を縛り、捕虜や捕虜に自由を宣言するために、わたしを遣わされました。」縛られた者たちに牢獄を開くのだ。」

マルコ 8:26 そこでイエスは、「町には行ってはいけない。町のだれにもこのことを告げてはいけない」と言って、彼を自分の家に送り返した。

イエスは、町に行ったり、自分の治ったことを誰にも話さないようにとの指示を与えて、男性を家に送り返しました。

1. イエスは愛を分かち合うよう私たちに呼びかける：キリストを証しする力

2. イエスに従順な人生を送る方法

1. マタイ 10:27 - 「わたしが暗闇であなたがたに言うことは、明るいところで話しなさい。そして、耳に聞こえることは、屋上で宣べ伝えなさい。」

2. ヨハネ 5:19-20 - 「すると、イエスは答えて言われた、『はっきり言っておきますが、子は父がなさるのを見ていること以外には、自分からは何もできません。何をするにしても、子はそれを行うのです。』』

マルコ 8:27 それから、イエスは弟子たちとピリピ・カイサリアの町々に出て行った。そして、途中で弟子たちに尋ねて言われた、「人々はわたしのことを何者だと言っているのか」。

イエスは弟子たちに、人々は自分を誰だと思っているかと尋ねました。

1. イエスとは誰ですか?

2. イエスの本質を理解する

1. ヨハネ 8:58 - イエスは彼らに言われました。そうです、本当に、あなたに言いますが、アブラハムが生まれる前から、私はいます。

2. コロサイ 1:15-17 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。なぜなら、天においても地においても、目に見えるものも目に見えないものも、王座であれ、統治権であれ、支配者であれ、権威であれ、すべてのものは彼によって創造されたからです。すべてのものは彼を通して、そして彼のために創造されました。そして彼はすべてのものの前にあり、彼の中ですべてのものはまとまっています。

マルコ 8:28 すると彼らは、「バプテスマのヨハネ」と答えた。しかし、ある者たちはエリアスと言う。など、預言者の一人。

「人々は私を誰だと言うのですか？」と尋ねたとき、人々がどの預言者について言及しているのか確信が持てなかったことを明らかにしています。洗礼者ヨハネと答える人もいましたが、エリアスと答える人、さらには預言者の一人と答える人もいます。

1. 知覚の力: 私たちはイエスをどう見るか

2. 私を誰だと言いますか?

1. ヨハネ 5:39 - 聖文を調べてください。なぜなら、あなたがたはそれらの中に永遠の命があると思っているからです。そしてそれらは私について証しするものなのです。

2. マタイ 16:15-16 - 彼は彼らに言った、「しかし、あなたがたは、わたしが誰であると言うのか。」するとシモン・ペテロは答えて言った、「あなたはキリスト、生ける神の子です。」

マルコ 8:29 そこでイエスは彼らに言った、「しかし、あなたがたは、わたしを誰だと言うのか。」するとペテロは答えて、「あなたはキリストです」と言った。

イエスは弟子たちに自分を誰だと思うかと尋ね、ペテロはイエスはキリストだと答えました。

1. 信じる力: ペテロの信仰がキリスト教をどのように形作ったか

2. イエスを知ることの重要性: イエスが誰であり、私たちにとってイエスが何を意味するのかを理解する

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます: そして政府は彼の肩にあります: そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父, 平和の王子。

2. ヨハネ 1:41-42 - 彼はまず自分の兄弟シモンを見つけて、彼に言った、「わたしたちはメシア、つまりキリストと解釈されているのを見つけました。」

マルコ 8:30 そしてイエスは、自分のことを誰にも話してはいけないと彼らに命じた。

マルコ 8:30 のこの一節は、イエスが追随者たちに自分の身元を秘密にするよう命じたことを示しています。

1: 神の秘密を守る: 裁量権

2: 神の秘密を明らかにする: 信仰の勇気

1: 箴言 11:13 – 噂話は信頼を裏切りますが、信頼できる人は秘密を守ります。

2: 1 コリント 4:2 - さて、信頼を与えられた人は忠実であることを証明することが求められています。

マルコ 8:31 そしてイエスは、人の子は多くの苦しみを受け、長老たち、祭司長、律法学者たちから拒絶され、殺され、三日後によみがえるに違いない、と彼らに教え始めた。

イエスは、人の子は三日後に再び立ち上がる前に、苦しみ、拒絶されなければならないと彼らに教えました。

1: イエスの苦しみと拒絶 - それが神の恵みの重要性を理解するのにどのように役立つか。

2: イエスの勝利 - イエスの復活の勝利を祝います。

た。私たちは皆、羊のように、私たちは道に迷い、それぞれが自分の道に戻り、主は私たち全員の咎を彼に負わせました。」

2: ローマ人への手紙 14:8-9 「私たちは、生きるなら主に対して生き、死ぬなら主に対して死ぬからです。では、生きても死んでも、私たちは主なのですか？」なぜなら、この目的のために、キリストは死んで再び生き、死者と生者の両方の主となるためである。」

マルコ 8:32 そして、彼はこの言葉を公然と語った。そこでペテロは彼を連れて叱責し始めた。

イエスは自分が苦しんで死ぬだろうと公言し、ペテロはそれを叱責しました。

1: イエスは私たちの救いのために苦しみと死を進んで受け入れました

2: たとえそれが私たちに挑戦を与えたとしても、私たちは神の計画を受け入れるよう努力しなければなりません

1: イザヤ書 53:4-6 「確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち砕かれました。彼は私たちの罪のために打ち砕かれました。」彼は私たちに平和をもたらした懲罰であり、彼の打ち傷によって私たちは癒されたのです。」

2: フィリピ 2:8 - 「そして、人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」

マルコ 8:33 しかし、彼は振り向いて弟子たちを見渡すと、ペテロを叱責して言った、「サタンよ、後ろに下がってください。あなたは神から出たものではなく、人間から出たものを味わっているのです。」

イエスはペテロが神の道を理解せず、人の道に従うことを叱責されました。

1. 神のやり方と人間のやり方の違いを知る

2. 神の道に従うときの叱責の力

1. マタイ 7:13-14 - ?狭い門を通って入ってください。というのは、門は広く、滅びに至る道は容易であり、そこから入る者は多いからである。というのは、命に至る門は狭く、その道は険しく、それを見つける人は少ないからです。

2. マタイ 6:24 - ?人は二人の主人に仕えることができます。なぜなら、一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するからです。神とお金に奉仕することはできません。

マルコ 8:34 イエスは弟子たちとともに民を呼び寄せて言われた、「だれでもわたしの後について来る者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。」

イエスは私たちに、自分を捨てて十字架を背負ってイエスに従うよう勧めておられます。

1. 神の前に自分を置く: イエスに従うために何を否定する必要があるか

2. 過激な愛: 十字架を背負ってイエスに従う

1. マタイ 16:24-26 「それからイエスは弟子たちに言われた、『わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい』。」

2. ルカ 9:23-25 - 「それからイエスは皆に言った、『わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従ってきなさい』。」

マルコ 8:35 自分の命を救おうとする者は、それを失うのです。しかし、わたしと福音のために命を落とす者は誰でも、同じように救われるのです。

イエスは追随者たちに、長期的には命を救うために自分の命を喜んで犠牲にするよう勧めています。

1. 「イエスのために生きる: 永遠の命への真の道」

2.「キリストに従う代償：究極の犠牲」

1. ローマ人への手紙 8:35-39 - 「誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？艱難、苦難、迫害、飢餓、裸、危険、剣でしょうか？」

2. マタイ 10:39 - 「自分の命を見つける者はそれを失います。そして、私のために自分の命を失う者はそれを見つけるでしょう。」

マルコ 8:36 もし人が全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか。

この一節は、世俗的な成功は魂を犠牲にするほどの価値はないというイエスからの警告です。

1. 世俗的な成功の代償: マルコ 8:36 の警告を考察する

2. 最も重要なこと: マルコ 8:36 に照らして自分の魂の価値を理解する

1. マタイ 16:26 - 「人は、全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか。あるいは、自分の魂と引き換えに何を与えるでしょうか。」

2. 伝道者の書 1:2 - 「虚栄の中の虚栄、説教者は言います、虚栄の中の虚栄心、すべては虚しいです。」

マルコ 8:37 あるいは、人は自分の魂と引き換えに何を与えるでしょうか。

この一節は、自分の魂の重要性と、それと引き換えに何を提供しなければならないかという問題について語っています。

1. 魂の価値: 自分の最も貴重な所有物を大切にする方法

2. 償還の代償: 魂と引き換えに何を捧げなければなりませんか?

1. マタイ 16:26 - 「人が全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか。」

2. 箴言 11:4 - 「富は怒りの日に利益をもたらさないが、義は死から救い出す。」

マルコ 8:38 したがって、この姦淫と罪深い時代に、わたしとわたしの言葉を恥じる者はいない。人の子もまた、聖なる天使たちとともに父の栄光のうちに来るとき、その者を恥じるであろう。

人の子は、この罪深い世代において、ご自身とその言葉を恥じる者たちを恥じるでしょう。

1: キリストにおける自分のアイデンティティを知り、その中にしっかりと立つ。

2: 福音を恥じることなく、大胆に福音を宣べ伝えます。

1: 1 ヨハネ 4:17 - 「これによって、私たちの間で愛が完全になりました。それは、私たちが裁きの日に大胆になれるためです。なぜなら、神がそうであるように、私たちもこの世にいるからです。」

2: エペソ人への手紙 6:19-20 - 「そして、私のために、その言葉が私に与えられるかもしれません。それは、私が福音の奥義を知らせるために、大胆に口を開くためです。私はそのために、絆を持った大使です。語るべきことは大胆に語ってもよい。」

マルコ 9 章には、イエスの変容、不純な霊に取り憑かれた少年の癒し、イエスの死と復活の予言、神の王国で誰が最も偉大であるかについての教え、他人に罪を犯させないよう警告するなど、いくつかの重要な出来事が記されています。

第 1 段落: この章は、イエスがペテロ、ヤコブ、ヨハネを高い山に連れて行き、そこでイエスの変容を目撃するところから始まります。彼らは、主の服がまばゆいほど白くなり、エリヤとモーセが現れて主と話しているのを見ました。ピーターは、それぞれに 3つの避難所を作ることを提案しますが、彼が話していると、雲がそれらを覆い、雲から声が聞こえます。「これは私の愛する息子です。彼の言うことを聞いてください！」突然、彼らが周りを見回すと、イエス以外には誰も一緒にいるのが見えなくなりました（マルコ 9:2-8）。彼らが山を下りるとき、イエスは、息子マンが死んでよみがえるまで、見たことを誰にも話さないようにと命じられました（マルコ9:9-10）。

第 2 段落: 他の弟子たちと合流すると、彼らが教師と法律について議論しているのを発見する 周囲に大勢の群衆が駆け寄って挨拶する 群衆は連れてきた息子について説明する 取り憑かれた霊が彼を捕まえるたびに口をきかなくなる 地面に泡を投げ、口がぎしぎし歯が硬くなる 尋ねる弟子たちは霊を追い出しましたが、追い出すことができませんでした(マルコ9:14-18)。不信仰な世代の命令を叱責した後、霊がイエスを見ると少年を連れて来る すぐに少年をけいれんさせて転がる 泡を吹く口の中で地面を転がる 父親に尋ねる 子供の頃からこのようだったのはどのくらいだった 父親は、何かできるかどうか懇願すると答え、憐れんで私たちを助けてくださいとイエスは答えた「もしそうなら」「できる？信じる人にはすべてが可能だ」と父親が叫ぶ、「私は信じています。不信仰を克服するのを手伝ってください！」群衆が走っている光景を見て、不純な霊が「この耳の聞こえない霊よ、出て行け、この少年には二度と入るな」と叱責する 霊が金切り声を上げ、激しく痙攣して出てくる 少年は死体に非常によく似ており、多くの人が彼は死んだと言うが、イエスは彼の手を取って彼を持ち上げる立ち上がる（マルコ 9:19-27）。その後、個人的に家の弟子たちがなぜそれを追い出せなかったのかと尋ねると、彼は祈りだけを出してください（またはいくつかの写本には断食が含まれています）と答えました（マルコ9:28-29）。

第 3 段落: ガリラヤの旅が続く中、弟子たちに 3 日目の死の復活の予言を教えながら、動きを秘密にしようとしましたが、理解できず、恐れてそれについて神に尋ねました (マルコ 9:30-32)。カペナウムの家に着くと、告白する方法について何が議論されていたのかと尋ね、誰が一番偉い人が座るのかに電話をかけると、 12人は、一番になりたい人は最後の召使いでなければならないと言い、その後、小さな子供を彼らの中に置き、子供たちの武器を取り、誰がこの小さな子供たちを歓迎するかと言います、私の名前は歓迎します私を歓迎する人は誰でも私を歓迎しませんが、誰かを追加して私を送った人は奇跡を起こします私の名前は、私たちに反対しない人のためにすぐに私の悪口を言うことはできません誰かが何かを引き起こした場合は私たちも警告します、これらの小さな子たちはつまずいたほうが彼らにとって良いと信じています 大きな石臼が吊るされています首にかける 海は結論として、みんなが塩漬けになると言う 火の塩は良い塩味が失われたらどうすれば塩味を取り戻すことができる お互いに平和に塩を摂る 謙虚さの重要性を示す 奉仕の王国 神が警告する重大な結果 他人を罪に導く重要性 善良さを保つこと コミュニティ内で塩が表す純度信者たち（マルコ 9:33-50）。

マルコ 9:1 そこでイエスは彼らに言った、「よく言っておくが、ここに立っている彼らの中には、神の国が力をもって来るのを見るまでは死を味わわない者もいるであろう。」

イエスは力をもって神の国の到来を予告します。

1.神の国の力

2. 今、神の王国を体験する

クロス-

1. 使徒 1:6-8 - 父の約束を待ち望みます

2. ダニエル 2:44-45 - 神の国は到来し、決して滅ぼされません。

マルコ 9:2 六日後、イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネを連れて、彼らだけで高い山に連れて行った。すると、イエスは彼らの前で姿を変えられた。

イエスは三人の弟子を山に連れて行き、彼らの前で姿を変えられました。

1: 神は私たちにご自身を現されるとき、驚くべきことを行われます。

2: 神と二人きりになれる場所で神を求めてください。

1: マタイ 17:1-8 - イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネを山に連れて行き、彼らの前で姿を変えられました。

2: 2 コリント 3:18 - 顔を覆い隠した私たちは、ある栄光から別の栄光へと、同じ姿に変えられています。

マルコ 9:3 すると、彼の着物は輝き、雪のように白くなった。地球上のどのフラーもそれらを白くすることはできません。

イエスの姿は、地上のどんなものよりも明るく白く輝いていました。

1. 変容：神はイエスの栄光を明らかにする

2. 日常を超えて見る: 日常を超越する

1. コリント人への第二の手紙 3:18 - そして、私たちは皆、顔を覆わずに主の栄光を見ながら、ある段階の栄光から別の段階へと、同じ姿に変えられていくのです。

2. マタイ 17:1-8 - 六日後、イエスはペテロとヤコブ、そしてその兄弟ヨハネを連れて、彼らだけで高い山に登られた。するとイエスは彼らの前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。

マルコ 9:4 すると、エリアスがモーセとともに彼らのところに現れた。彼らはイエスと話していた。

モーセとエリヤはイエスと弟子たちの前に現れてイエスと話していました。

1. 神との会話の大切さ

2. 預言者に語ってもらうことの意義

1. ヨハネ 15:7 (?あなたがわたしのうちにとどまり、わたしの言葉があなたのうちにとどまるなら、何でも願いを求めなさい。そうすれば、それがあなたのために行われます。??

2. 出エジプト記 33:11 (?人が友人に話すように、主は面と向かってモーセに語られるでしょう。??

マルコ 9:5 そこでペテロはイエスに答えて言った、「先生、私たちがここにいるのは良いことです。そして三つの幕屋を作りましょう。」一つはあなたに、もう一つはモーセに、そしてもう一つはエリアスに。

ピーターはこの瞬間の重要性を認識し、この特別な場所に留まりたいという願望を表明します。

1: 時間をかけて人生の特別な瞬間を認識し、感謝の意を表しましょう。

2: 恵みの瞬間を大切にし、感謝の気持ちを持ちましょう。

1: 詩篇 118:24 ?その日は主が定められた日です。それを喜び、喜びましょう。

2: エペソ人への手紙 5:20 ?私たちの主イエス・キリストの御名において、常に、そしてすべてのことについて、父なる神に感謝して生きます。

マルコ 9:6 彼は何を言えばいいのか分からないからだ。彼らはひどく恐れていたからである。

この箇所は、山でイエスと一緒にいたときの弟子たちの恐怖と、彼らがどのように言えばよいのかわからなかった様子を強調しています。

1: 恐怖は麻痺するかもしれませんが、イエスは常に私たちとともにいて、それを通して私たちを導いてくださいます。

2: たとえ何を言えばよいのかわからず恐れているときでも、神は私たちとともにいて力を与えてくださいます。

1: イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2: 詩篇 56:3-4 - 「恐れるとき、私はあなたに信頼します。私がその言葉を賛美する神に、私は神に信頼します。私は恐れることはありません。肉が私に何ができますか？」

マルコ 9:7 すると、雲が彼らを覆いました。すると、雲の中から声が出て、「これは私の愛する子です。聞いてください」と言った。

この箇所は、イエスが変容され、雲から声が彼を神の最愛の子であると宣言することについて書かれています。

1. 変容: イエス??神性のしるし

2. 天からの声: 彼の言うことを聞いて従いましょう

1. マタイ 17:5-6 - ?彼はまだ話していましたが、見よ、明るい雲が彼らを覆い、雲からの声が言いました。彼は私の最愛の息子であり、私は彼に満足しています。彼の言うことを聞きなさい。？？

2. ペテロ第二 1:17 - ?あるいは、彼が父なる神から名誉と栄光を受けたとき、そのような声が荘厳な栄光によって彼に届けられました。彼は私の最愛の息子であり、私は彼に満足しています。

マルコ 9:8 そこで突然、彼らが辺りを見回したとき、もう誰も見えず、イエスだけが自分たちと一緒にいるのが見えた。

イエスの弟子たちは辺りを見回して、そこにいるのはイエスだけであることに気づきました。

1. イエスだけに頼る – 私たちの必要を満たし、私たちに必要なものを与えてくださるのは神だけです。

2. イエスの内に留まる - 私たちがイエスの臨在の中に留まるとき、イエスは私たちの導き手であり、守護者となってくださるでしょう。

1. 詩篇 91:1-2 いと高き方の避難所に住む者は、全能者の影にとどまります。

2. 申命記 31:6 強く勇敢であれ。彼らを恐れたり恐れたりしてはなりません。あなたとともに行かれるのはあなたの神、主だからです。神はあなたを離れたり、

見捨てたりしません。

マルコ 9:9 そして、彼らが山から下りてくると、イエスは、人の子が死人の中からよみがえるまでは、見たことを誰にも話してはいけないと彼らに命じた。

イエスは弟子たちに、復活するまで自分の奇跡を秘密にしておくように指示しました。

1. 信仰の力: イエスの奇跡は、神への信仰と信頼の力を示しています。

2. 忍耐の重要性: イエスは、忍耐強く神のタイミングを待つことの重要性を教えています。

1. マタイ 17:9 - そして、彼らが山を下りてきたとき、イエスは彼らにこう命じられました。人の子が死者の中からよみがえるまでは、誰にも幻を見せてはいけません。

2. 使徒 1:3 - 苦しみの後、イエスは彼らの前に姿を現し、自分が生きているという説得力のある証拠をたくさん述べました。イエスは 40日間にわたって彼らに現れて、神の国について語りました。

マルコ 9:10 そして彼らは、この言葉を自分の中に持ち続け、死者の中からの復活が何を意味するのかを互いに問い合った。

イエスの弟子たちは死からの復活が何を意味するのかよくわかりませんでした。

1. 希望の力: 信仰の強さを見つける

2. 信仰を通じて恐怖を克服する

1. ローマ人への手紙 10:9 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。」

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - 「しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪を犯して死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。」

マルコ 9:11 そこで彼らはイエスに尋ねた、「律法学者たちはなぜエリアスが先に来なければならないと言うのですか」。

イエスはエリアスがメシアの前に来ることについて教えます。

1. メシアとしてのイエス: エリアスの到来を理解することの重要性。

2. エリアスの到来の意義：イエスをメシアとして備えること。

1. マラキ書 4:5-6 - 「見よ、わたしは主の大いなる恐ろしい日が来る前に、預言者エリヤをあなたに送ります。」

2. ルカ 1:17 - 「そして、彼はエリアスの霊と力で彼の前に行き、父たちの心を子たちに向け、不従順な者たちを義人の知恵に向けさせ、準備のできた民を整えるためである」主。"

マルコ 9:12 そこでイエスは答えて彼らに言った、「エリアスが一番先に来て、万物を回復してくださる。そして、人の子について、彼は多くの苦しみを受け、無にならなければならないとどのように書かれているか。

イエスは、エリヤが自分の前に来てすべてを回復すること、そして人の子について書かれているように多くの苦しみを負わなければならないことを説明されました。

1.「人の子の苦しみ」

2.「エリヤの到来」

1. イザヤ書 53:3-5 「彼は軽蔑され、人々から拒絶され、悲しみの人で、悲しみを知っています。そして私たちは、まるで彼から顔を隠しました。彼は軽蔑され、私たちは彼を尊敬していませんでした。確かに彼は彼を尊敬していませんでした。」「彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくれました。それでも私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しめられたと尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。彼の縞模様は私たちを癒します。」

2. マラキ書 4:5-6 「見よ、わたしは主の大いなる恐るべき日が来る前に、預言者エリヤをあなたに遣わす。そして彼は父の心を子に、子たちの心をも向けるであろう」彼らの先祖たちに、私が来て呪いで地球を打ち負かさないように。」

マルコ 9:13 しかし、私はあなたがたに言います、エリアスは確かに来ました、そして彼らは彼について書かれているように、彼らが列挙したすべてのことを彼にしたのです。

エリアスがやって来て、彼を取り巻く預言は成就しました。

1: たとえ神が約束を守らなかったと思われる場合でも、私たちは神の言葉に忠実であり続けなければなりません。

2: 私たちは、周囲に何があろうとも、神の言葉は神の時に成就すると信じなければなりません。

1: ローマ人への手紙 4:17-21 - たとえ意味が分からなくても、私たちが信じるとき、神の約束は実現します。

2: マタイ 24:35 - 天と地は滅びるかもしれませんが、神の言葉は決して滅びません。

マルコ 9:14 そして、イエスが弟子たちのところに来ると、彼らの周りに大勢の群衆がいて、律法学者たちが彼らと一緒に質問しているのが見えた。

イエスが到着すると、弟子たちが大勢の群衆に囲まれ、律法学者たちが尋問しているのを見つけました。

1. イエスが危機に直面する: 信仰をもってどのように対応するか

2. 自分の信じることのために立ち上がる: 弟子たちの模範

1. マタイ 16:24-25 - 「それからイエスは弟子たちに言われた、『わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと願う者は負けるからです』しかし、わたしのために命を失った者は、それを見つけるだろう。』

2. ヨハネ 16:33 - 「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を得られるようにするためです。世ではあなたがたに患難があるでしょう。しかし元気を出してください、わたしは世に勝ったのです。

マルコ 9:15 すると民は皆、イエスを見て、すぐに非常に驚き、走って彼に向かって敬礼した。

人々はイエスを見て驚き、駆け寄って挨拶しました。

1.「不確実性にもかかわらずイエスの力」

2. 「イエスは私たちの賛美に値するお方です」

1. ヨハネ 4:25-26 - ?女は彼にこう言いました。メシア（キリストと呼ばれる方）が来られることを知ってください。彼が来たら、すべてのことを私たちに教えてくれるでしょう。??イエスは彼女に言った。あなたと話しているのは彼ですか?ユーロ?

2. ルカ 8:48 - ?そして彼は彼女に言いました、？さあ、あなたの信仰があなたを元気にしました。平和に行きましょう。ユーロ?

マルコ 9:16 そこでイエスは律法学者たちに尋ねた、「あなたたちは彼らに何を質問しますか。」

律法学者たちはイエスに質問しました。

1: 私たちは常にイエスに質問できるようにしておかなければなりません。

2: 私たちは進んでイエスから知恵を求めなければなりません。

1: ヤコブ 1:5 - ?もしあなたたちの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に尋ねてみましょう。神はとがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださいます。そうすれば、それは与えられるでしょう。

2: 詩篇 27:8 - ?あなたの心はあなたのことを言っていますか？쏶彼の顔を求めますか??あなたの顔を求めます、主よ、私は求めます。

マルコ 9:17 すると、群衆の中の一人が答えて言った、「先生、私は物言わぬ霊を持った息子を連れてきました。

父親が、物言わぬ霊を持つ息子を癒してもらうためにイエスのもとに連れて行きます。

1. 信仰の力: イエスはどのようにして私たちの葛藤を癒してくださるのか

2. 神に頼る: 奇跡を起こすために主を信頼する

1. マタイ 17:15-20 - イエス??悪霊に取りつかれた少年の癒し

2. ルカ 8:26-39 - イエス??嵐を静め、悪霊に取り憑かれた人を癒す

マルコ 9:18 そして、彼が連れて行くところはどこでも、彼を引き裂き、泡を立て、歯ぎしりして、引き離します。そして、私はあなたの弟子たちに、彼らが彼を追い出すように言いました。そしてそれはできませんでした。

イエスの弟子たちは人から悪霊を追い出すことができなかったので、イエスが介入して自ら悪霊を追い出しました。

1. 私たちは自分の力ではどうしようもない困難に直面したとき、イエスを信頼することができます。

2. 障害を克服するには、私たちの信仰とイエスの力に頼らなければなりません。

1. マタイ 17:18-20 - イエスは、弟子たちが悪霊を追い出すことができないことを認め、それは彼らの信仰の欠如によるものであると説明されました。

2. ヘブライ 4:15-16 - イエスは、私たちの弱さを理解し、私たちに代わって執り成してくれる憐れみ深い大祭司です。

マルコ 9:19 彼は答えて言った、「不信仰な世代よ、私はいつまであなたたちと一緒にいられるでしょうか。」いつまであなたを苦しまなければなりませんか？彼

を私のところに連れてきてください。

イエスは自分が宣べ伝えている不信仰な世代に対する不満を表明し、汚れた霊に取り憑かれた子供を自分のところに連れてくるように言いました。

1. 信仰のない世代: なぜ私たちの間で信仰が欠如しているのでしょうか?

2. イエスの力: なぜ私たちはイエスに重荷を負わなければならないのか。

1. マタイ 17:14-20 - 信仰についてのイエスと弟子たちの会話。

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

マルコ 9:20 そこで、彼らは彼を彼のところに連れて行った。そして彼を見ると、すぐに霊が彼を引き裂いた。そして彼は地面に倒れ、泡を飲み込んだ。

その少年はイエスのところに連れて来られ、イエスを見るとすぐに霊が彼を攻撃し、彼は地面に倒れて泡を吹きました。

1. 悪魔の活動に対する神の力

2. イエスの宣教の奇跡的な性質

1. マタイ 8:16 - 夕方になると、悪霊に取り憑かれた多くの人々がイエスのもとに連れて来られ、イエスは言葉で悪霊を追い出されました。

2. ルカ 4:35 - イエスが悪霊を叱責すると、悪霊はその人から出てきて、その瞬間から悪霊は癒されました。

マルコ 9:21 そこで彼は父親に尋ねた、「このことが自分に起こってからどれくらい経ちますか」。そして彼はこう言いました、「子供のことです。」

ある父親がイエスに、息子がどのくらい前からこの病気に苦しんでいるのかと尋ねたところ、父親は、子供の頃からそうだと答えました。

1. 信仰の力: イエスはどのように病人を癒したか

2. 忍耐の祝福: 困難な時に神に頼ること

1. マタイ 17:20 - 本当に、あなたに言いますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山にこう言うでしょう。ここからあそこまで、移動します。あなたにとって不可能なことは何もありません。

2. ヤコブ 5:7-11 - ですから、兄弟たち、主が来られるまで辛抱してください。農夫が、早い雨と遅い雨が降るまで、大地の貴重な実りを辛抱強く待っている様子を見てください。あなたも、我慢してください。主の来臨が近づいているので、心をしっかり立てなさい。兄弟たち、裁かれないようにするために、互いに不平を言ってはいけません。見よ、裁判官が戸口に立っている。苦しみと忍耐の例として、兄弟たち、主の名において語った預言者を挙げてください。見よ、私たちは、堅固さを保った人々を祝福されていると考えます。あなたはヨブの堅実さについて聞いたことがあり、主の目的、主がいかに憐れみ深く慈悲深いかを見たことがあります。

マルコ 9:22 そして、しばしば、彼を滅ぼすために、火や水の中に投げ込まれました。しかし、あなたに何かできることがあれば、私たちを憐れんで、私たちを助けてください。

この箇所は、悪霊に取り憑かれた息子を助けてほしいとイエスに頼む父親の物語です。

1. 神の憐れみと力: 主の力を信頼することを学ぶ

2. 逆境の克服：困難な時に希望を見つける

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

マルコ 9:23 イエスは彼に言われた、「もしあなたが信じることができるなら、信じる者にはどんなことでも可能です。」

イエス・キリストを信じる信仰の力は、驚くべき働きをします。

1: イエスへの信仰は、あらゆる可能性を解き放つ鍵です。

2: イエスを信じれば、何でも達成できるでしょう。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2: ヨハネ 14:12-14 「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしを信じる者は、わたしが行う業をも行うであろう。また、これらよりも大きな業を行うであろう。わたしは父のもとに行くからである」「あなたがたがわたしの名において望むことは何でも、わたしはそうします。父が子によって栄光を受けるためです。あなたがたがわたしの名において何か求めるなら、わたしはそれを行います。」

マルコ 9:24 するとすぐに、その子の父親は大声で叫び、涙ながらにこう言いました。あなたが私の不信仰を助けてください。

マルコ 9 章 24 節で、子供の父親は信仰を表明し、不信仰に対する助けを求めています。

1. 神への信頼: 助けを求める父の叫び

2. 信仰と不信仰の違いを知る

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

マルコ 9:25 イエスは、人々が一緒に走って来るのを見て、その汚い霊を叱責して言われた、「この愚かで耳の聞こえない霊よ、わたしはあなたに命じます。あの人から出て行き、もう彼の中に入るな。」

イエスは群衆を見て、汚れた霊を叱責し、その男から立ち去り、決して戻ってこないように命じました。

1. キリストの力: イエスはどのようにして闇の力を克服したか

2. イエスの権威：イエスを通して私たちの勝利を主張する

1. ヨハネ 16:33 - 「わたしがこれらのことをあなたに言ったのは、あなたがわたしのうちに平安を得るためです。世ではあなたがたに患難があるでしょう。しかし、元気を出してください。わたしは世に勝ったのです。

2. コロサイ 2:15 - 「そして、彼は権力と権威を武装解除して、十字架によって彼らに勝利して、彼らを公衆の面前で見せました。」

マルコ 9:26 すると、霊が叫び、彼を引き裂き、彼の中から出てきた。すると、彼は死んだようになった。多くの人が彼は死んだと言ったほどです。

イエスは悪霊を追い出し、犠牲者を死んだかのようにさせました。多くの人は彼が死んだと信じていた。

1. 悪に対するイエスの力

2. 治癒の奇跡

1. ルカ 8:26-39 - イエスは多くの悪霊に取り憑かれた人を癒す

2. マタイ 17:14-20 - イエスは汚れた霊に取り憑かれた少年を癒す

マルコ 9:27 しかし、イエスは彼の手を取って持ち上げた。そして彼は起き上がった。

イエスは死んだ子供を復活させることによって、死に対する自分の力と権威を実証しました。

1: イエスは死を克服し、死んだ人々に命をもたらす力と権威を持っています。

2: イエスは最も困難な状況でも癒し、最も絶望的な人々に希望をもたらすことができます。

1: ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことがない。」

2: ローマ 6:9-10 - 私たちは、死者の中からよみがえられたキリストが二度と死ぬことはないことを知っています。死はもはや彼を支配することができません。死に関しては、彼は一度限り、罪に対して死んだのですが、その人生は神に対して生きています。

マルコ 9:28 それで、イエスが家に入られると、弟子たちはひそかに彼に尋ねた、「なぜ私たちは彼を追い出せなかったのか」。

イエスの弟子たちは、なぜ悪霊を追い出せなかったのかとイエスに尋ねます。

1. 信仰の力: イエスとともに困難を克服する方法

2. 希望を失わないでください: 一見不可能に見えるタスクに直面したとき

1. マタイ 17:20 - 彼は彼らに言った。それはあなたの小さな信仰のせいです。本当に、あなたに言いますが、からし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山にこう言うでしょう。ここからあそこまで、移動します。あなたにとって不可能なことは何もありません。

2. エペソ人への手紙 6:10-18 - 最後に、主とその力の強さにおいて強くありなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。

マルコ 9:29 そこでイエスは彼らに言われた、「この種の者は、祈りと断食によらなければ、何によっても生まれることができない。」

この聖句は、困難な霊的戦いを克服するための祈りと断食の重要性を強調しています。

1. 祈りと断食の力：霊的な戦いを克服する方法

2. 祈りと断食の必要性: 勝利の鍵

1. ヤコブ 5:16 ?したがって、あなたがたはお互いに罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りましょう。正しい人の祈りは強力で効果的です。

2. マタイ 6:16-18 ?断食するときは、偽善者のように暗い顔をしてはいけません。彼らは断食していることを他の人に見せるために顔を傷つけるからです。真実に言いますが、彼らは報酬を全額受け取りました。しかし、断食するときは、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。そうすれば、あなたが断食していることが他の人には明らかにならず、目に見えないあなたの父だけが知ることができます。そうすれば、秘密裏に行われたことを見たあなたの父があなたに報酬を与えるでしょう。

マルコ 9:30 そして彼らはそこから出発し、ガリラヤを通過した。そして彼は誰にもそれを知られるべきではなかった。

弟子たちはそこを離れてガリラヤを旅しましたが、イエスはそのことを誰にも知られたくないと思われました。

1. 秘密の力 - 直感に反するように思える場合でも、秘密を守ることができることの重要性。

2. プライバシーの価値 - 人目から離れて時間を過ごすことの重要性を理解します。

1. 箴言 11:13 - 「噂話は信頼を裏切りますが、信頼できる人は秘密を守ります。」

2. マタイ 6:1-4 - ?人々に認められるために、自分の義を人々の前で実践することを意識しなさい。そうすれば、あなたは天におられるあなたの父から何も報われないからです。ですから、困っている人たちに施しをするときは、偽善者たちが他の人から称賛されるためにシナゴーグや街頭でしているように、自分の前でラッパを吹いてはいけません。本当に、あなたがたに言いますが、彼らは報いを受けました。しかし、困っている人に寄付をするときは、あなたの寄付が秘密になるように右手がしていることを左手に知らせないでください。

マルコ 9:31 というのは、イエスは弟子たちに教えて、「人の子は人の手に渡される、そして彼らは彼を殺すだろう」と言われたからである。そして彼は殺された後、三日目によみがえります。

人の子は人々に引き渡され、殺され、そして三日目に復活することになっています。

1: イエスは私たちの救い主であり、復活されます。

2: 私たちはイエスとその復活に対する信仰を持たなければなりません。

1: 1 コリント 15:3-4 - なぜなら、私が受け取ったこと、つまり、キリストが聖書に従って私たちの罪のために死なれ、葬られ、三日目によみがえられたこ

とを、最も重要なこととしてあなたがたに伝えたからです。聖書に従っている日。

2: コロサイ 2:12-13 - バプテスマを受けてイエスとともに埋葬され、その中であなたもまた、イエスを死者の中からよみがえらせた神の力強い働きに対する信仰を通して、イエスとともによみがえらされました。そして、自分の罪過と肉の無割礼によって死んでいたあなたを、神は私たちのすべての罪過を赦して、ご自分とともに生かしてくださいました。

マルコ 9:32 しかし、彼らはその言葉が理解できず、恐れてイエスに尋ねました。

弟子たちはイエスにその言葉についての説明を求めるのを恐れました。

1. 神の言葉は強力で意図的なものです - 質問することを恐れないでください

2. 恐れるな：イエスは真実を明らかにする - 明確さを求める勇気を持ってください

1. ヨハネ 16:12-15 - イエスは聖霊が真理において私たちを導いてくださることについて語られます。

2. 箴言 1:5-7 - 私たちが求める必要があるのは主からの知恵です

マルコ 9:33 それからイエスはカファルナウムに来て、家の中にいて、「ところで、あなたがたの間で何を争ったのですか」と尋ねた。

イエスはカペナウムに来て、弟子たちにそこに向かう途中で何を議論していたか尋ねました。

1. 聞く力: マルコ 9:33 のイエスから学ぶ

2. 思いつきではない: マルコ 9:33 にある質問の重要性

1. ヤコブ 1:19、「愛する兄弟たち、このことを知ってください。人はみな、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。」

2. ルカ 6:31、「そして、他の人にしてほしいと願うように、他の人にもそうしなさい。」

マルコ 9:34 しかし、彼らは平和を保った。なぜなら、誰が一番偉いかということで、彼らの間で争いがあったからである。

イエスの弟子たちの人々は、自分たちの中で誰が一番偉いかについて議論していました。

1: クリスチャンとして、私たちは最も偉大であることではなく、互いに愛し合い、仕えることに焦点を当てるべきです。

2: イエスは私たちに、偉大さを競うのではなく、謙虚さを示し、他の人に仕えるように教えられます。

1: ピリピ人への手紙 2:3-4: ?決して利己的な野心や無駄なうぬぼれからではありません。むしろ、謙虚に自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

2: マタイ 23:11-12: ?あなたたちの中で一番偉い人があなたのしもべになるでしょう。自分を高める者は低くされ、自分を低くする者は高められるからです。

マルコ 9:35 それからイエスは座って十二人を呼び、彼らに言った、「もしだれかが一番になりたいと思うなら、同じ人がすべての人の最後になり、すべての人に仕えることになるだろう」。

この聖句は、人が一番になりたいと思うなら、すべての人に奉仕するように行動し、一番最後になるべきであることを強調しています。

1: イエスは私たちに、謙虚になり、自分自身を最後にして他の人に仕えるよう呼びかけています。

2: イエスがマルコ 9:35 で教えたように、私たちは謙虚になって他の人に仕えるよう努めるべきです。

1: ピリピ 2:3-4 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。

2: ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。

マルコ 9:36 そこでイエスは、子供を連れて彼らの真ん中に置き、腕に抱いて彼らに言った、

イエスは弟子たちに、子供たちに愛と同情心を示すことの大切さを教えました。

1.？慈悲の力：イエス?子供への愛??

2.？幼少期の神聖さ：イエス?子供たちを愛し、守るよう呼びかけます??

1. マタイ18:1-6

2. ヨハネ第一4:7-21

□□□ 9:37 □□□□

1. 許しの力

2. 受け入れられるという奇跡

1. マタイ 6:14-15 「他の人があなたに対して罪を犯したときに、あなたがたが赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださいます。しかし、あなたが他の人の罪を赦さないなら、あなたがたの父もあなたの罪を赦してはくれません。」

2. コロサイ 3:13 「あなたがたのうちに誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、赦しなさい。」

マルコ 9:40 私たちに敵対しない者は、私たちに味方しているからです。

イエスは追随者たちに、自分たちに敵対しない人は誰でも自分たちの味方であるとして受け入れるよう勧めています。

1.「神の側：すべてを受け入れ、歓迎する」

2. 「団結の力：敵対しない人々と協力する」

1. ローマ 12:18 - 「できることなら、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。」

2. ピリピ 2:3 - 「利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。」

マルコ 9:41 だれでも、わたしの名によってあなたがたに一杯の水を飲ませてくれる者は、あなたがたはキリストに属しているのですから、よく言いますが、その人はその報いを失うことはありません。

この聖句は、キリストに属する人々に対してもてなしと優しさを示すことの重要性を強調しています。そうする人は誰でも報酬を受け取ります。

1. 親切の報い: キリストにおいてもてなしはどのように報われるか

2. 一杯の水の力: 小さな親切な行為が大きな影響を与える

1. マタイ 10:42 - 「そして、弟子の名だけで、この小さな者たちの一人に一杯の冷たい水を飲ませようとする者には、よく言いますが、その人は決してその報いを失うことはありません。」

2. ヘブライ 13:2 - 「見知らぬ人をもてなすことを忘れないでください。それによって、気づかずに天使をもてなした人もいます。」

マルコ 9:42 また、わたしを信じるこれらの小さな者たちの一人を怒らせる者は、石臼を首に掛けられ、海に投げ込まれたほうが、その人にとっては良いことである。

この一節は、子供たちを守り世話することの重要性について語り、子供たちに危害を加える者は厳しく罰せられるだろうと警告しています。

1. 保護の力: 子どもたちの安全を守る

2. 警告: イエスの言葉に耳を傾ける

1. 箴言 22:6 - 子どもたちは進むべき道を歩み始めなさい、そしてたとえ年老いても、そこから離れることはありません。

2. マタイ 18:6 - ?誰かがこれらの小さな問題を引き起こしたでしょうか？誰が私を信じますか？つまずくなら、大きな石臼を首に掛けられ、深海の中に沈められた方がマシだ。

マルコ 9:43 もしあなたの手があなたを怒らせたなら、その手を切りなさい。両手を持って地獄に、決して消えることのない火に入るよりは、不具の命に入るほうがあなたにとって良いのです。

罪を避けることの重要性はマルコ 9:43 で強調されています。地獄に行くよりは、障害を持って人生に入るほうが良いのです。

1. マルコ 9:43 の警告: より良い方法は罪を避けることです。

2. 障害はあるが救われた: マルコ 9:43 から学ぶ。

1. マタイ 5:29-30: ?あなたの右目が罪を犯したなら、それを引き裂いて捨ててください。なぜなら、体全体が地獄に投げ込まれるよりは、メンバーの一人を失う方が良いからです。そして、あなたの右手があなたに罪を犯させるなら、それを切り取って捨ててください。だって、全身が地獄に落ちるよりは、メンバーの一人を失う方がマシだからです。

2. エペソ人への手紙 5:3-7: ?聖徒の間で当然であるように、性的不道徳とあらゆる不純物や貪欲は、あなた方の間でも名指しされてはなりません。場違いな、不潔な話、愚かな話、下品な冗談を言わず、代わりに感謝を捧げましょう。というのは、性的に不道徳な者、不純な者、あるいは貪欲な者（つまり偶像崇拝者）は皆、キリストと神の王国において相続財産を持たないということをあなたも確信しているかもしれません。誰も空虚な言葉であなたをだまさないでください。これらのことのせいで、神の怒りが不従順の子らに降りかかるからです。したがって、彼らとパートナーにならないでください。

マルコ 9:44 そこでは彼らの虫も死なず、火も消えない。

この聖句は、神と神の言葉を拒否する者たちに待っている永遠の罰について語っています。

1: 地獄は現実です: 不服従の破壊的な結果

2: 永遠の天国の希望: 従順の報酬

1: マタイ 25:41、「そのとき、彼は左の者たちにもこう言われる、『呪われた者たちよ、わたしから離れて、悪魔とその天使たちのために備えられた永遠の火の中に入れ』。」

2: 黙示録 20:14-15、「それから、死とハデスは火の湖に投げ込まれました。これが第二の死、火の湖です。そして、誰かがいのちの書に書かれた名前は見つかりませんでした。彼は、火の湖に投げ込まれました。」

マルコ 9:45 もしあなたの足があなたを怒らせるなら、それを切り落としなさい。両足が地獄に、決して消えることのない火に投げ込まれるよりは、命を止められた方があなたにとって良いのです。

地獄に行くよりはこの世で何かを失う方が良いため、罪深い行動を避けることの重要性が強調されています。

1. 罪の代償: この世で何かを失うことは地獄に行くよりも良い

2. 正義か罪かの選択: リスクを負う価値はありますか?

1. マタイ 5:29-30 - 「もし右目があなたに罪を犯させたなら、くり抜いて捨てなさい。全身が地獄に投げ込まれるよりは、体の一部を失った方が良いのです。」「もしあなたの右手があなたに罪を犯させるなら、それを切り取って捨てなさい。全身が地獄に落ちるよりは、体の一部を失った方が良いのです。」

2. ヘブライ 12:1-2 - 「ですから、私たちはこれほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、邪魔するものや、簡単に絡まる罪をすべて捨て去ろうではありませんか。そして、このレースを粘り強く走ろうではありませんか」「私たちは、信仰の先駆者であり完成者であるイエスに目を向けています。イエスは、目の前に与えられた喜びのために十字架に耐え、その恥を軽蔑し、神の御座の右に座りました。」

マルコ 9:46 そこでは彼らの虫も死なず、火も消えない。

この一節は、終わりのない地獄の苦しみについて語っています。

1: 私たちは聖なる生活を送り、地獄の火を避けるように注意しなければなりません。

2: 私たちは天国での永遠の命の約束に慰めを感じなければなりません。

1: ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: マタイ 25:41 - それから彼は左側の人々にこう言います、「呪われている者たちよ、わたしから離れて、悪魔とその天使たちのために用意された永遠の火の中に入れなさい。」

マルコ 9:47 あなたの目があなたの気分を害するなら、その目を摘み取りなさい。両目が地獄の火に投げ込まれるよりは、片目で神の国に入る方が良いのです。

高慢になって結果に苦しむよりも、謙虚になって神の御心を受け入れる方が良いのです。

1. プライドの代償: 謙虚な従順を求める努力。

2. 神への信頼を通じて誘惑に打ち勝つ。

1. 箴言 16:18-19 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。貧しい者たちに対して卑しい精神でいるほうが、高慢な者たちに戦利品を分けるより良い。」

2. ピリピ人への手紙 2:5-8 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスに対するあなたのものです。キリストは神の姿をとっておられましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にして、」

マルコ 9:48 そこでは彼らの虫も死なず、火も消えない。

この聖句は、神の憐れみを拒否した者に対する終わりのない懲罰について語っています。

1: 神の憐れみを拒否した場合の終わりのない結果

2: 神の裁きの永遠の性質

1: マタイ 25:46 - 「そして、これらの人々は永遠の懲罰に入りますが、正しい人たちは永遠の命に入ります。」

2: ダニエル 12:2 - 「そして、地の塵の中で眠っている人々の多くは目覚め、ある者は永遠の命に、またある者は恥と永遠の軽蔑を受けるであろう。」

マルコ 9:49 なぜなら、すべての人は火で塩漬けされ、すべてのいけにえは塩で塩漬けされるからです。

神のために行われるあらゆる行為は火で試されることになり、誠実に行われなければなりません。

1: 私たちは自分の行動に誠実であり、心を開いて謙虚な心で神に捧げなければなりません。

2: 私たちは神のための行動に伴う試練や火の試練を喜んで受け入れなければなりません。

1: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2: 1 ペテロ 1:6-7 - あなたがたはこのことを大いに喜んでいますが、今ではしばらくの間、あらゆる種類の試練で悲しみを経験しなければならなかったかもしれません。これらはあなたの信仰が本物であることが証明されるようになったのでしょうか？たとえ火によって精製されても消滅する金よりも価値のあるものは何でしょうか？イエス・キリストが現されるとき、それらは賞賛、栄光、名誉をもたらします。

マルコ 9:50 塩は良いものですが、その塩の塩味がなくなったら、あなたがたはどうやって味付けするのですか。自分の中に塩を持ち、互いに平和を保ちましょう。

塩はクリスチャンと他者との関係の比喩であり、人はすべてとの平和を目指して努力する必要があります。

1: 私たちの人間関係において塩分を持つことの重要性と、すべての人々との平和を目指して努力する方法。

2: 私たちの生活に味付けをする塩の力と、強い関係を築く塩の必要性。

1: コロサイ 4:6 - 一人一人にどのように答えるべきかを知ることができるように、常に塩味を利かせた丁寧な話し方をしましょう。

2: マタイ 5:13-16 - ?あなたは地の塩ですが、もし塩の味が失われたら、どうやってその塩味を取り戻すのでしょうか？もう放り出されて人に踏みつけられる以外何の役にも立たない？足。?あなたは世界の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。

マルコ 10 章には、離婚に関する教え、幼い子供たちの祝福、金持ちの青年との出会い、イエスの 3 度目の死と復活の予言、ヤコブとヨハネによる王国での名誉ある地位の要請、神の癒しなど、いくつかの重要な出来事が詳しく語られています。盲目のバーティミアス。

第 1 段落: この章は、男性が妻と離婚するのは合法かどうかを尋ねて、パリサイ人がイエスを試すところから始まります。彼はモーセが彼らに何を命じたかを尋ねて答えます。彼らは、モーセが彼女を送り出す離婚証明書を書くことを許可したと答えましたが、モーセは、心の硬さは創造の秩序に遡るためであると言い、「しかし、創造の初めに、神は彼らを『男性を女性にしました』」「このため、人は父親を離れ、母親を離れて彼のものに結合するでしょう」と述べています。妻二人は一体となるだろう。』「ですから、彼らはもはや二人ではなく、一体なのです。ですから、神が結び合わせたものは、だれも引き離すことがありません。」（マルコ10:1-9）裏家の弟子たちがこのことについて再度尋ねると、誰でも離婚すれば妻は別の女と結婚し、離婚すれば夫が別の男と結婚し、女は姦淫を犯すと言う（マルコ 10: 10-12）。

第 2 段落: 人々が小さな子供たちを連れてイエスのもとに来ましたが、彼らに触れさせてくださいと弟子たちがこれを見てイエスを叱責し、イエスは憤慨して言われました、「小さな子供たちを来させなさい、彼らを妨げないでください。神の王国はこのようなものだからです。はっきり言っておきますが、神の国を受け入れる人は誰もいません」小さな子供が決してそこに入らないように、」子供たちを腕に抱き、彼らに手を置き、彼らを祝福します（マルコ 10：13-16）。そこに金持ち

の若者がやって来て、若い頃から戒めを守ってきたことを確認した後、永遠の命をどう受け継がなければならないかを尋ねます。イエスは彼を愛していました、「あなたに欠けているものが一つあるので、与えたものをすべて売り払いなさい。そうすれば天国の宝を手に入れることができます。それから私に従って来てください。」この男の顔を見て、彼が莫大な富を持っていたことを悲しく思いました。次にイエスは、金持ちが王国に入るのはいかに難しいかを述べ、神は金持ちが王国に入るよりもらくだの方が目の針を通りやすいと述べ、弟子たちは驚いて誰が救われるのかと尋ねると、「人間には不可能だが、神には不可能だが、神にはすべてが可能だ」とペテロが思い出させます。すべては彼に従いなさい、家を出た者は誰もいないことを保証します、兄弟、姉妹、母親、父親、子供たち、畑、酒、福音が失敗して百倍も受け取ります、現代、家、兄弟、姉妹、母親、子供たち、畑、迫害に沿って永遠の命、多くの人が来ます、最初の人は最後になります（マルコ 10章10節）:17-31)。

第3段落: エルサレムが12人を脇に登る途中、三度目の出来事が起こることを神に告げ、息子がどのように祭司長たちに引き渡されたのか、教師の法は死刑を宣告し、異邦人に引き渡し、模擬唾を吐き、鞭を十字架にかけ、3日後に復活する(マルコ10:32-34)。それから、ジェームス・ジョン・ゼベダイの息子たちがやって来て、右に左に栄光を座らせてくださいと尋ねましたが、彼は何を求めているのかわかりませんと言った カップを飲むことができます 計画的に飲む 洗礼を受ける予定の洗礼を受けると断言します 準備した人たちに与えることができます 父は休む 10人は憤慨したと聞いた 2人の兄弟は誰が座っていてもいいと言いました息子の男が奉仕に来なかったのと同じように、奉仕に来て命を与え、身代金を与えてください。道端に座っている多くの盲目のバーティミアスは、通りすがりの叫び声を聞きます。「息子よ、ダビデよ、私を憐れんでください！」何度も彼を叱責し、静かにせよと言うが、さらに同じように叫ぶ 言葉が止まる 呼びかける マントを脇に投げる 飛び上がる イエスがやって来て、何をしてほしいのかと尋ねる「ラビに会いたい」と答える 行けと言う 信仰は癒される すぐに視力が得られる 道に従って力を実証する 肉体的に霊的に回復する主が必要であると認識した人は信仰に近づきます(マルコ10:35-52)。

マルコ 10:1 そして彼はそこから立ち上がって、ヨルダンの向こう側のユダヤの海岸にやって来た。すると民は再び彼に頼った。そしていつものように、再び彼らに教えました。

イエスは立ち上がってヨルダン川を渡ってユダヤの海岸に戻り、人々は彼の教えを聞くために彼の周りに集まりました。

1. イエスの教えの力: イエスがどのように言葉を用いて人生に影響を与えたか

2. イエスの周りに集まることの重要性: イエスの臨在からどのように恩恵を受けることができるか

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉は、そのようになります。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送ったもので栄えるでしょう。」」

2. マタイ 7:28-29 - 「イエスがこれらの言葉を終えると、人々は彼の教義に驚いた。イエスは律法学者としてではなく、権威を持つ者として彼らを教えたからである。」

マルコ 10:2 そこで、パリサイ人たちがイエスのところに来て、「男が自分の妻を引き離すことは許されるのか」と尋ねた。彼を誘惑している。

パリサイ人たちはイエスに、男性が妻と離婚するのは合法なのかと尋ね、イエスを試しました。

1. 結婚の力: イエスに対するパリサイ人たちの挑戦を見てみる

2. 神の律法を守ることの重要性: パリサイ人に対するイエスの反応を考察する

1. マラキ書 2:14-16 - 離婚と契約の重要性に対する主の警告

2. マタイ 19:3-9 - 結婚の永続性と離婚の例外についてのイエスの説明。

マルコ 10:3 そこでイエスは答えて彼らに言った、「モーセはあなたたちに何を命じましたか。」

パリサイ人たちはイエスに、モーセが彼らに命じたことを尋ねました。

1: イエスはパリサイ人が神の律法をどの程度理解しているかをテストしています。

2: たとえ挑戦されても、神の言葉を決して忘れないでください。

1: 申命記 6:5 - 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2: ローマ人への手紙 13:10 - 愛は隣人に害を与えません。したがって、愛は律法の実現です。

マルコ 10:4 そこで彼らは、「モーセは離婚届を書いて彼女を引き離すのに苦労した」と言った。

パリサイ人たちはイエスのもとにやって来て、離婚について尋ねました。イエスは、モーセが離婚の請求を許可した例を挙げて答えました。

1. 神の結婚計画 - 聖書に照らして離婚を理解する

2. 困難な時期を乗り越えて配偶者を愛する - 聖書に基づいて離婚に対処する方法

1. マラキ書 2:16 - 「イスラエルの神、主は離婚を憎むと言われるからです。」

2. ローマ 7:2-3 - 「既婚女性は、夫が生きている間、法律によって夫に拘束されているからです。しかし夫が死ねば、彼女は夫の法から解放される。したがって、もし彼女の夫が生きている間に彼女が他の男性と結ばれた場合、彼女は姦淫者と呼ばれるでしょう。しかし、夫が死ねば、彼女は律法から解放されるので、たとえ他の男性と結ばれたとしても、姦淫者ではないのです。」

マルコ 10:5 イエスは答えて言われた、「あなたがたの心のかたくなさのために、この戒めを書いたのです。」

イエスは、モーセの律法は人々の心のかたくなさを説明するために書かれたと説明されました。

1. 律法の背後にある理由を知る - 神が私たちに律法を与えた理由について、より深い意味を探ります。

2. 神の恵みと救い - 私たちの罪を赦して下さる主の意志を理解する。

1. ローマ人への手紙 3:23-25 - すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。

2. ヘブライ 10:16-18 - これがわたしが彼らと結ぶ契約である。わたしはわたしの律法を彼らの心に刻み、彼らの心に書き記す。

マルコ 10:6 しかし、神は創造の初めから、彼らを男と女に造られました。

この一節は、神が人類を太古の初めから男性と女性として創造されたことを強調しています。

1. 神の創造の美しさ: 男性と女性の役割の重要性を理解する

2. 結婚の神聖さ: 男性と女性に対する神の計画を尊重する

1. 創世記 1:27 - そこで、神は人間をご自分の姿に似せて創造されました。神の似姿に似せて人を創造されました。彼は男性と女性を創造しました。

2. エペソ人への手紙 5:31-32 - 「それゆえ、人は父と母を離れて妻をしっかりと抱き、二人は一体となる。」この神秘は奥深く、私はそれがキリストと教会を指していると言っているのです。

マルコ 10:7 このような理由から、人は父と母を離れ、妻に固く結ばれます。

男は父と母を離れ、妻と結ばれるように命じられています。

1. 結婚への呼びかけ: 家族を離れ、配偶者との絆を結ぶ

2. 愛の力: 生涯のパートナーを選ぶ

1. エペソ人への手紙 5:31 – 「ですから、人は父と母を離れて妻をしっかりと抱きなさい。そうすれば二人は一体となるでしょう。」

2. 創世記 2:24 – 「それゆえ、人は父と母を離れ、妻をしっかりと抱きなさい。そうすれば二人は一体となる。」

マルコ 10:8 そして、二人は一つの肉体となるでしょう。そのとき、彼らはもはや二人ではなく、一つの肉体になります。

この一節は、結婚によって二人は一体となると述べ、結婚の一体性と分離不可能性を強調しています。

1: 結婚は 2 人の個人間の神聖な結合であり、分離できない単一の単位を作り出す結合です。

2: 結婚は二人を一つに結びつける契約であり、神聖な絆として大切にすべきです。

1: エペソ人への手紙 5:31 「このため、人は父と母を離れて妻と結ばれ、二人は一体となるのです。」

2: 創世記 2:24 「だから、人は父と母を離れて妻と結ばれ、二人は一体となるのです。」

マルコ 10:9 ですから、神が結び合わせてくださったものを、人がバラバラにしてはなりません。

神の結婚の契約は神聖な結びつきであり、破ってはなりません。

1. 結婚は契約ではなく契約である - マルコ 10:9 の研究

2. 神は契約を尊重される - 絆としての結婚の重要性

1. マラキ書 2:14-16 - 結婚における忠実さに関する主の契約

2. エペソ人への手紙 5:22-33 - 夫と妻は結婚の聖約を守る

マルコ 10:10 そして、家の中で弟子たちが同じことをもう一度尋ねた。

イエスは結婚と離婚について教えています。

1: 結婚は神聖な契約であり、尊重され尊重されるべきです。

2: 離婚を経験した人には神の恵みと許しが与えられます。

1: エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻たちよ、主に従うのと同じように夫に従いなさい。

2: ローマ人への手紙 12:9-10 - 愛は誠実でなければなりません。悪を憎む。良いものにしがみつく。

マルコ 10:11 そしてイエスは彼らに言った、「だれでも自分の妻を離して他の人と結婚する者は、彼女に対して姦淫を犯すことになる。」

イエスは離婚は間違っており、離婚して再婚する者は姦淫を犯すと教えています。

1. 結婚に対する神の愛: 離婚の結果を理解する

2. 結婚生活において忠実であり続ける: イエスが離婚について教えたこと

1. マラキ書 2:16 - イスラエルの神、主は、離婚を憎む、それは暴力で衣服を覆うからである、と万軍の主は言われる。したがって、自分の精神に注意して、不実な取引をしないようにしてください。

2. 1 コリント 7:10-11 - 既婚者に、私はこの命令を与えます (私ではなく主に): 妻は夫から離れてはなりません。しかし、そうするならば、彼女は未婚のままでいなければなりません、さもなければ夫と和解しなければなりません。そして夫は妻と離婚してはならない。

マルコ 10:12 また、女が夫を捨てて他の人と結婚するなら、姦淫を犯すことになります。

マルコ 10章12節のこの箇所は，女性が夫と離婚して別の男性と結婚した場合，姦淫を犯していることになると説明しています。

1. 結婚の誠実さ: 姦淫という許されない罪を考察する

2. 結婚の価値: 結合の神聖さを守る

1. エペソ人への手紙 5:21-33 - キリストへの畏敬の念から互いに服従しなさい。

2. ヘブライ 13:4 - 結婚はすべての人によって尊重されるべきであり、結婚の床は清く保たれるべきです。神は姦通者とすべての性的に不道徳な者を裁かれるからです。

マルコ 10:13 そこで、彼らは幼い子供たちをイエスのところに連れて来て、彼らに触れさせようとした。すると、弟子たちは連れてきた者たちを叱責した。

イエスは弟子たちの反対にもかかわらず、子供たちを歓迎し、彼らに優しさを示しました。

1. 優しさの力: 子供たちに対するイエスの模範

2. イエスの模範に従って子供たちを迎える

1. マタイ 19:14 - 「しかし、イエスは言われた。『幼い子供たちをわたしのところに来させなさい。邪魔をしないでください。天国はそのような者のものです。』」

2. マタイ 18:5 - 「そして、わたしの名においてそのような子供を一人受け入れる者は、わたしを受け入れます。」

マルコ 10:14 しかし、イエスはそれを見て非常に不快になり、彼らに言われた、「幼い子供たちがわたしのところに来るのを我慢しなさい。決して禁じないでください。神の国はそのようなものだからです。」

イエスは、子供たちがご自分のところに来るのを妨げる人々に不快感を示し、神の国はそのような人々で構成されていると強調されました。

1. 「子供たちをイエスのところに来させることの大切さ」

2.「小さな子供たちを神の王国に含める」

1. ルカ 18:15-17 - 子供たちを歓迎するイエス

2. マタイ 18:1-5 - 神の王国における謙虚さの重要性について教えるイエス

マルコ 10:15 まことに、あなたがたに言います。幼い子供のように神の国を受け入れない者は、そこに入ることはできません。

この聖句は、謙虚さと子供のように神を信じることの重要性を強調しています。 1.「神の王国で謙虚さを見つける」2.「神の王国での信仰の力」。1. マタイ 18:3-4 - 「そして言った、「はっきり言っておきますが、あなたがたは回心して幼子のようにならなければ、天の御国に入ることはできません。4 したがって、誰でもこの幼子のように謙虚でなければなりません。天の王国でも同じことが最も偉大です。」 2. ルカ 18:16-17 「しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、『幼い子供たちがわたしのもとに来るのを許してはならない。決して禁じないでください。神の国はそのようなものなのです。』17 まことに、あなたがたに言います。幼い子供のように神の国を受け入れなければ、そこに入ることは賢明ではありません。」

マルコ 10:16 そしてイエスは彼らを腕に抱き上げ、その上に手を置いて祝福した。

この箇所では、イエスが二人の子供を連れて手を置き、祝福した様子が描かれています。

1. イエスの祝福の力: イエスの触れ合いが人生をどのように変えるか

2. イエスの愛の力: 困っている人に手を差し伸べる

1. 創世記 48:14-16 - ヤコブの孫たちの祝福

2. ヨハネ 4:4-42 - 井戸でサマリア人の女性を癒すイエス

マルコ 10:17 そして、彼が道に出て行くと、一人が走って来て、彼のところにひざまずいて尋ねた、「先生、永遠の命を受け継ぐためには何をしたらよいでしょうか」。

この箇所は、永遠の命を受け継ぐために何をしなければならないかをイエスに尋ねた男の物語を語っています。

1. 永遠の命の賜物：それをどのように受け取り、大切にするか

2. 永遠の命を受け継ぐには何をしなければなりませんか

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

マルコ 10:18 するとイエスは彼に言われた、「なぜあなたはわたしを良い人だと言うのですか」。唯一の神、すなわち神以外に善い者はいない。

イエスはその人に、神だけが善であることを思い出させます。

1: 私たちは皆罪人であり、善いのは神だけです。

2: 救われるためには、神だけが善であることを認識し、神に立ち返らなければなりません。

1: ローマ人への手紙 3:10-12 - 正しい人は一人もいません。

2: 1 ヨハネ 1:8-10 - もし私たちが自分に罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いていることになり、真理は私たちの中にありません。

マルコ 10:19 あなたは戒めを知っています。「姦淫してはならない、殺してはならない、盗んではいけない、偽りの証言をしてはならない、だまし取ってはならない、父と母を敬え。」

この聖句は、十戒、特に姦淫、殺人、窃盗、偽りの証言、詐欺、両親の尊敬に関する十戒に従うことの重要性を強調しています。

1. 「誠実に生きる: 十戒を守る方法」

2.「神の愛の法則：十戒を守ること」

1. ローマ人への手紙 13:8-10 - 「互いに愛し合うことのほかには、だれにも何の義務もありません。人を愛する人は律法を全うしているからです。「姦淫してはならない、殺してはならない、してはならない」という戒めについては、「盗んではいけない、貪ってはならない」、そしてその他の戒めは、「隣人を自分のように愛さなければならない」という言葉に要約されています。愛は隣人に対して何も悪いことをしない、したがって愛は律法を全うすることである。」

2. マタイ 22:34-40 「しかし、ファリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を黙らせたと聞いて、一緒に集まった。そしてそのうちの一人、律法の専門家が、イエスを試そうとして質問した。「先生、これは最も重要な掟です」法律で？」「あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛さなければなりません。これが最も重要な第一の戒めです。第二の戒めも同様です。「隣人を同じように愛さなければならない」すべての律法と預言者はこれら 2 つの戒めに依存しています。」

マルコ 10:20 するとイエスは答えて言った、「先生、これらすべては私が若い頃から観察してきたことです。」

マルコ 10章20節の男は、幼い頃から神の戒めを忠実に守っていました。

1. 忠実な生活の力

2. 神への従順の価値

1. 詩篇 119:9-11 「若者はどこで自分の道を清めるでしょうか。あなたの言葉に従ってそれに注意を払うことによって。私は心からあなたを求めました。おお、あなたの戒めから逸れないでください。あなたに対して罪を犯さないように、私はあなたの言葉を心の中に隠しました。」

2. マタイ 19:16-19 「すると、見よ、一人が来て言った、「先生、永遠の命を得るために、どんな良いことをしたらいいでしょうか？」そして彼は彼に言った、「なぜあなたは私を良い人だと呼ぶのですか？」ただ一人、つまり神以外に善い者はいない。しかし、もしあなたが人生に入ろうとするなら、戒めを守りなさい。彼は彼に言った、「どれですか？」イエスは、「人を殺してはならない、姦淫をしてはならない、盗んではならず、偽りの証言をしてはならない、父と母を敬え、そして隣人を自分のように愛さなければならない」と言われました。

マルコ 10:21 そのとき、イエスは彼を見て彼を愛して言われた、「あなたに足りないことが一つあります。行きなさい。持っているものをすべて売り、貧しい人たちに施しなさい。そうすればあなたは天に宝を持つでしょう。そして来て、その物を取りに行きなさい。」渡って、私に従ってください。

イエスは私たちを愛し、自分の持ち物を他の人を助けるために使うよう励ましています。

1. 私たちに対する神の愛: 謙虚さと犠牲の力

2. イエスに従う：十字架を負い、他の人に仕える

1. マタイ 25:35-40 - 私がお腹が空いていたのに、あなたは何か食べるものを与え、のどが渇いていたのに、あなたは私に飲み物を与え、私が見知らぬ人だったのに、あなたは私を家に招いてくれたからです。

2. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

マルコ 10:22 彼はその言葉を聞いて悲しみ、悲しみながら立ち去った。彼はたくさんの財産を持っていたからである。

金持ちの青年は、イエスが自分の持ち物を差し出すように言われたとき、深く悲しみました。

1. オープンハンドで生きる: 所有物を惜しみなく与える方法

2. 弟子としての代償: イエスに従うことの代償

1. 箴言 3:9-10 - あなたの財産と、あなたのすべての増加の初穂をもって主を敬え。

2. ルカ 12:15 - 貪欲に注意し、用心しなさい。人の人生は、自分が所有する物の豊かさによって決まるわけではないからである。

マルコ 10:23 そこで、イエスは辺りを見回して、弟子たちに言われた、「富を持っている者は、神の国に入るのがいかに難しいことか。」

イエスは、富を持つ者が神の国に入るのは難しいと警告しています。

1. 富と神の王国: 適切なバランスを見つける

2. 金持ちのジレンマ: 永遠の命を求めて

1. ルカ 12:15 - 「イエスは彼らに言われた。『気をつけて、むさぼりに気をつけなさい。人の命は、その人が持っている物の豊かさによって決まるのではないからである。』

2. テモテ第一 6:17 - 「この世で富んでいる人々に、高ぶることなく、不確かな富に頼るのではなく、私たちに享受できるすべてのものを豊かに与えてくださる生ける神に頼るように命じなさい。」

マルコ 10:24 弟子たちは彼の言葉に驚いた。しかし、イエスは再び答えて、彼らに言った、「子供たちよ、富を信頼する彼らが神の国に入るのは、どれほど難しいことでしょう。」

イエスは弟子たちに、富を信頼する人が神の国に入るのは難しいことについて警告されました。

1. 富の危険性: 神よりもお金を信頼する

2. 神に信頼を置く: 富よりも信仰の必要性

1. 箴言 11:28 - 「自分の富に頼る者は倒れるが、正しい者は緑の葉のように栄える。」

2. マタイ 6:24 - 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神とお金に仕えることはできない。」

マルコ 10:25 金持ちが神の国に入るよりも、ラクダが針の穴を通るほうが易しい。

物質的な富を持っている人が神の国に入るのは難しいです。

1: 私たちは神の国で真の幸福と喜びを見つけるために、物質的な富を超えて目を向けなければなりません。

2: 神の国は、経済的地位に関係なく、すべての人に開かれています。

1: マタイ 19:23-24 - イエスは弟子たちにこう言われました。「はっきり言いますが、金持ちが天国に入るのは難しいのです。もう一度言いますが、金持ちが神の国に入るよりも、ラクダが針の穴を通る方が簡単です。」

2: ヤコブ 2:5-7 - 親愛なる兄弟姉妹の皆さん、聞いてください。神は、信仰が豊かになり、ご自分を愛する人々に約束された王国を受け継ぐために、世の目に貧しい人々を選ばれたのではありませんか。しかし、あなたは貧しい人々に不名誉を与えました。あなたを搾取しているのは富裕層ではないでしょうか？あなたを法廷に引きずり込んでいるのは彼らではないですか？あなたが属する神の高貴な御名を冒涜しているのは彼らではないのか。

マルコ 10:26 そこで彼らは、計り知れないほど驚いて、「それでは誰が救われるのか」と言い合った。

弟子たちは、金持ちが神の国に入るのは難しいことを知って驚きました。

1: すべての人に対する神の愛 - 私たちがどれだけ富を持っていても、私たちに対する神の愛は変わりません。

2: イエスに従うという挑戦 - 私たちが主に従うには、自分の富と所有物を喜んで主に明け渡さなければなりません。

1: ピリピ 4:11-13 - 私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。私は、どのように卑屈になるか、そしてどのように豊かになるかを知っています。どこにいても、すべてのことにおいて、満腹することと空腹であることの両方、豊かであることと欠乏に耐えることの両方を教えられています。

2: ルカ 12:22-34 - それからイエスは弟子たちに言われた、「だから、あなたがたに言います、自分の命のこと、何を食べるかなど考えてはいけません。体のためでも、着るもののためでもありません。命は肉以上のものであり、肉体は衣服以上のものです。カラスについて考えてみましょう。彼らは種を蒔くことも刈り取ることもしないからです。倉庫も納屋もありません。そして神は彼らに餌を与えます。あなたがたは家禽よりもどれほど優れているのですか？

マルコ 10:27 イエスは彼らを見て言われた、「人間には不可能だが、神には不可能である。神にはすべてが可能だからである。」

神には何でもできますし、不可能なことは何もありません。

1: 神は全能であり、神の能力を超えるものは何もありません

2: 神の無限の力を信頼する

1: イザヤ書 40:28-29 - 「知らなかったのですか。聞いたことがありませんか。主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失うことも、疲れることもありません。彼の理解力は探ることができません。」

2: 詩篇 115:3 - 「私たちの神は天におられ、御心のままに行われます。」

マルコ 10:28 そこでペテロが彼に言い始めた、「見よ、私たちは皆を捨てて、あなたに従ってきました。」

ペテロは、自分と他の弟子たちがすべてを捨ててイエスに従ったことをイエスに認めました。

1. 偉大な交換: イエスに従うときに私たちが後に残すもの

2. 信仰の力: イエスに従うことで得られるもの

1. マタイ 19:27-30 - すべてを残してイエスに従うことができなかった金持ちの青年

2. ルカ 5:11 - 魚の奇跡的な漁獲とペテロがイエスを神の子として認めた物語

マルコ 10:29 するとイエスは答えて言われた、「よく言っておくが、わたしのために家を、兄弟、姉妹、父、母、妻、子供、土地を捨てた人はいない。そして福音の、

イエスと福音のためには、誰も何も放棄することはできません。

1. イエスと福音のために物事を放棄する

2. イエスのための犠牲の力と福音

1. マタイ 19:27-30 - 金持ちの若者

2. ヘブライ 11:24-26 - 神の民との苦難に苦しむことを選んだモーセ

マルコ 10:30 しかし、彼は今、家、兄弟、姉妹、母親、子供たち、そして土地を百倍の迫害を受けるでしょう。そして来るべき世では永遠の命が与えられます。

イエスは、ご自分に従う者たちに、家、兄弟、母親、子供、土地、そして迫害を含むこの世での百倍の報酬を約束されています。死後の世界では、永遠の命が与えられます。

1. 人生で何が起ころうとも、イエスに従うことは常にあなたを永遠に導きます。

2. 主はご自分に従う者たちに、家、兄弟、母、子供、土地、迫害などの百倍の報いを約束されます。

1. マタイ 19:29 - 「そして、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子供、土地を残した者は皆、百倍を受け、永遠の命を受け継ぐであろう。」

2. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはむなしくわたしに返ることはなく、わたしの目的を達成し、わたしがそれを送った目的を達成するであろう。」

マルコ 10:31 しかし、最初にいた多くの人は最後になるでしょう。そして最後が最初。

この箇所は、最初のものは最後であり、最後のものは最初であるため、神の道は世の道とは異なることを強調しています。

1. 「神の型破りなやり方: 神の働きを理解する」

2.「王国のパラドックス：最後でありながら同時に最初であること」

1. ルカ 13:30 - 「見よ、最初になる最後のものと、最後になる最初のものが存在します。」

2. ヤコブ 4:6 - 「しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。だから彼はこう言います、神は高ぶる者には抵抗しますが、へりくだる者には恵みを与えます。」

マルコ 10:32 そして彼らはエルサレムに上る途中であった。イエスが彼らの前に行かれたので、彼らは驚いた。そして彼らは後を追ったが、恐れを抱いた。そして彼は再び十二人を連れて、自分に何が起こるかを話し始めました。

イエスが彼らをエルサレムに導き、来るべき運命について語り始めたとき、弟子たちは驚きと恐れを抱きました。

1. イエスは私たちの人生に対する神の計画を信頼し、私たちを未知の世界へ大胆に導きます。

2. たとえ恐怖に直面しても、私たちはイエスに従い、その計画を信頼することを選択できます。

1. 申命記 31:8 - 「あなたに先立って行かれるのは主です。主はあなたとともにおられます。あなたを離れず、見捨てられません。恐れたり落胆したりしてはなりません。」

2. 詩篇 56:3 - 「恐れるとき、私はあなたに信頼します。」

マルコ 10:33 こう言う、「見よ、私たちはエルサレムに上ります。そして人の子は祭司長たちと律法学者たちに引き渡される。そして彼らは彼に死刑を宣告し、異邦人に引き渡すであろう。

イエスはご自身の苦しみと死を予告されました。

1: イエスは神のご意志への愛と従順によって、世界の救いのために苦しみ、死に至りました。

2: イエスの究極の犠牲は、勇気と信仰を持って人生を生きる方法を私たちに示しています。

1: イザヤ書 53:3-5 彼は人々から軽蔑され、拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っています。そして私たちは、いわば、顔を神から隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2: ピリピ 2:5-8 キリスト・イエスのうちにあったこの思いを、あなたの中に持ちましょう。キリスト・イエスは、神の姿をとっておられながら、それを神と同等のものであるとは考えず、むしろ、自分自身を何の評判も持たず、名誉を傷つけました。奴隷の姿であり、人間と同じ姿で来ます。そして、人間の姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

マルコ 10:34 そして、彼らは彼をあざけり、むち打ちし、つばを吐きかけ、殺すであろう。そして、彼は三日目によみがえるであろう。

イエスは嘲笑され、鞭打たれ、殺されますが、三日目に復活します。

1: イエスは死を克服し、復活を通して私たちに希望を与えてくださいました。

2: 私たちが命と救いを得られるように、イエスは苦しみと痛みに耐えられました。

1: 1 コリント 15:54-55 - 「死は勝利にのみ込まれました。死神よ、あなたの勝利はどこにあるのでしょうか？死神よ、あなたの刺し傷はどこにあるのか？」

2: ローマ人への手紙 6:9-10 - 「私たちは、死者の中からよみがえられたキリストが決して再び死ぬことはないことを知っています。死はもはや彼を支配することができません。彼が死んだのは、一度きりの罪に対して死んだのですが、その生涯は神に対して生きているのです。」

マルコ 10:35 すると、ゼベダイの子ヤコブとヨハネが彼のところに来て、こう言った、「先生、私たちの望むことは何でもしてくださいますようお願いいたします。」

ゼベダイの息子ヤコブとヨハネは、自分たちの望むことは何でもしてほしいとイエスに頼みます。

1. イエスは、私たちが求めれば、喜んで私たちの必要を満たしてくださいます。

2. 祈りの力 - 必要なものをイエスに尋ねたヤコブとヨハネの例。

1. マタイ 7:7-11 - 求めなさい、そうすれば与えられるでしょう。探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば開かれます。

2. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスによって、栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

マルコ 10:36 そこでイエスは彼らに言った、「わたしに何をしてほしいですか」。

イエスは弟子たちに何をしてほしいと尋ねました。

1. 困ったときに神に助けを求める方法をどのように学べますか?

2. 他の人に喜んで仕えるイエスの模範から何を学べますか?

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてのことにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和があなたがたの心を守るでしょう。」そしてあなたがたの心はキリスト・イエスのうちにあります。」

2. マタイ 20:28 - 「人の子が来たのは、仕えるためではなく仕えるためであり、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのと同じです。」

マルコ 10:37 彼らは彼に言った、「あなたの栄光の中で、一人はあなたの右に、もう一人はあなたの左手に座ることができるようにしてください。」

イエスは謙虚さと無私無欲について教えます。

1: 私たちは神に従い、他の人に仕えるために、自分の欲望を進んで脇に置かなければなりません。

2: 私たちは謙虚で親切であるよう努め、自分の必要よりも他人の必要を優先すべきです。

1: ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2: ヤコブ 4:10 - 主の前に謙虚になりなさい、そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

マルコ 10:38 しかし、イエスは彼らに言われた、「あなたがたは自分が何を求めているのか知らない。わたしが飲む杯を飲めるのか」。私がバプテスマを受けるのと同じバプテスマを受けるでしょうか？

イエスは、ご自分に従うことが何を意味するかについて弟子たちの理解を問い、彼らが歩まなければならない困難な道について考えるよう求められました。

1. 弟子への呼びかけ: イエスに従う準備はできていますか?

2. 苦しみの杯を抱く: イエスに従うとはどういう意味ですか?

1. ピリピ 1:29 - あなたがたには、キリストのために、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも与えられているからです。

2. マタイ 16:24 - それからイエスは弟子たちに言われた、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。

マルコ 10:39 すると彼らは彼に言った、「できます」。そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは確かに、わたしが飲む杯を飲むであろう。そして、私がバプテスマを受けたのと同じバプテスマによって、あなたがたもバプテスマを受けるでしょう。

イエスは弟子たちに、彼らも同じ苦しみを味わい、自分と同じ洗礼を受けるだろうと言いました。

1: イエスは私たちを、人生の苦しみとバプテスマの生活に加わるよう呼びかけています。

2: イエスは私たちに、ご自分の杯に加わり、一緒にバプテスマを受けるよう呼びかけます。

1: ローマ人への手紙 8:17、「そして、子どもであれば、相続人、つまり神の相続人であり、キリストとの共同相続人であるなら、確かに私たちが神とともに苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができるのです。」

2: マタイ 28:19、「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授けなさい。」

マルコ 10:40 しかし、私の右手と左手に座ることは、私が与えることではありません。しかし、それは備えられた者たちに与えられるであろう。

イエスは、名誉の座は誰にでも与えられるものではなく、神によって用意されるものであると教えています。

1: 名誉や評価は私たちに与えられるものではなく、神によって用意されているものであるため、決して求めてはなりません。

2: イエスは、誰に名誉と尊敬が与えられるかを最終的に決定するのは神であるため、名誉を気にする必要はない、と教えています。

1: マタイ 20:26-28 - しかし、あなたがたの間ではそうではありません。しかし、あなたがたの中で偉くなりたいと願う者は、あなたの召使いになりなさい。

2: ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心やうぬぼれによって何事も行わず、へりくだった心で、自分よりも他の人を尊敬しなさい。

マルコ 10:41 十人はそれを聞いて、ヤコブとヨハネに対して非常に不満を抱き始めた。

ヤコブとヨハネが神の国で優遇されたいという願いを聞いたので、他の10人の弟子たちは不満を抱きました。

1. イエスは私たちに、謙虚になり、自分の栄光ではなく神の栄光を求めるように教えました - マルコ 10:41

2. 私たちは特別な扱いを期待すべきではなく、神が私たちに与えてくださった賜物に満足すべきです - マルコ 10:41

1. ピリピ 2:3 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事もせず、謙虚に他の人を自分よりも優れていると考えなさい。」

2. ヤコブ 1:17 「すべての良い完全な賜物は上から来て、天の光の父から下って来ます。父は移り変わる影のように変わらないのです。」

マルコ 10:42 しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「異邦人を支配しているとされる者たちが彼らに対して主権を行使していることを、あなたがたは知っています。彼らは異邦人を支配しているのです。」そして彼らの偉い人たちは彼らに権威を行使します。

イエスは、権力者は自分の権威を利用して他人を抑圧することが多いと教えています。

1: 私たちは自分の権威を自分の利益のためではなく、他人の利益のために使用しなければなりません。

2: 私たちは自分の力を他者を抑圧するために使用するのではなく、他者を持ち上げるために使用しなければなりません。

1: イザヤ書 58:10-12 - もしあなたが飢えた人々のために自分の身を費やし、虐げられている人々の必要を満たすなら、あなたの光は暗闇の中に輝き、あなたの夜は真昼のようになるでしょう。

2: ヤコブ 2:1-13 - 隣人を自分のように愛し、偏りを見せません。

マルコ 10:43 しかし、あなたがたの間ではそうではありません。あなたがたの間で偉い人が、あなたの大臣になるでしょう。

この一節は奉仕の精神と、お互いに奉仕することにどれほど偉大さが見出されるかについて書かれています。

1. 「偉大さへの道: 互いに奉仕し合う」

2.「真の偉大さ: 奉仕の生涯」

1. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。各自、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

2. マタイ 20:26-28 - 「あなたがたの中で偉いと思う者はあなたの僕にならなければなりません。そして、人の子が仕えられるためではなく仕えるために来たのと同じように、あなたがたの間で偉いと思う者はあなたの奴隷でなければなりません。多くの人たちの身代金として自分の命を差し出してください。」

マルコ 10:44 そして、あなたがたのうちで長になる者は、すべての人に仕える者となるでしょう。

私たちの中で最も優れた者は、すべての人に仕える者でなければなりません。

1: 私たちは皆、互いの奉仕者となるよう招かれています。

2: リーダーは模範を示し、他者に奉仕すべきです。

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはいけません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、あなた方一人一人が他人の利益に目を向けてください。」

2: マタイ 20:26-27 「しかし、あなたがたの間で偉いと思う者はあなたの僕となり、あなたがたの間で一番になりたい者はあなたの奴隷でなければなりません。」

マルコ 10:45 なぜなら、人の子ですら、仕えられるためではなく、仕えるためであり、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たからです。

イエスは他の人に仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来られました。

1. 奉仕の意味: 与えることについてイエスが教えてくれたこと

2. 犠牲と救い: 多くの人の身代金

1. ピリピ 2:5-8 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にすることによって、召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

2. ヨハネ 15:13 - 友人のために命を捨てるという愛以上に大きな愛はありません。

マルコ 10:46 彼らはエリコに来た。そして、弟子たちや大勢の人々とともにエリコから出たとき、ティマイオスの子、盲目のバルティマイが街道わきに座って物乞いをしていた。

バルティマイは盲人でしたが、イエスに癒されて視力が回復しました。

1. 「新しいビジョン: イエスはどのように私たちに新しい視点を与えてくださるか」

2. 「信仰の力: 私たちの信念がどのように奇跡をもたらすのか」

1. ヨハネ 9:35-38 - イエスは生まれつき目の見えない人を癒しました。

2. ヘブライ 11:1 - 信仰は、望んでいることを確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。

マルコ 10:47 そして、それがナザレのイエスだと聞くと、彼は叫び始めて、「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください」と言いました。

盲人は、イエスがダビデの子であることを認識したので、憐れんでくださいとイエスに叫びました。

1. イエスを救い主として認める

2. イエスを認識する力

1. マタイ 1:1-25 - ダビデの子イエス・キリストの系図。

2. 1 コリント 1:30 - しかし、あなたがたはキリスト・イエスのうちにあり、神は私たちに知恵と義と聖化と救いを与えてくださいました。

マルコ 10:48 そして、多くの人が彼に、平和を保つようにと言いましたが、彼はますます叫びました、ダビデの子よ、私を憐れんでください。

その男はイエスに憐れみを求めて叫びましたが、多くの人が彼に黙っているように言いました。

1. 信仰の力 - たとえ他の人が私たちに静かにするように言ったとしても、神は私たちの祈りに答えてくださると信じること。

2. イエスに手を差し伸べる - どんなに困難な状況であっても、イエスはいつも耳を傾け、憐れみを求める私たちの願いに答えてくださいます。

1. ルカ 18:38-39 - そして彼は叫んで、「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください」と言った。そして、先に行った人々は、彼が平和を保つように彼を叱責しました。しかし、彼はますます叫びました、ダビデの子よ、私を憐れんでください。

2. 詩篇 86:15 - しかし、主よ、あなたは憐れみに満ち、慈悲深く、忍耐強く、憐れみと真実に満ちた神であられます。

マルコ 10:49 そこで、イエスは立ち止まって、彼を呼ぶように命じられた。そして彼らは盲人を呼び、「安心して、起きてください。」と言った。彼はあなたを呼びます。

盲人はイエスの命令によって呼び出され、慰められました。

1: イエスは私たちを側に呼び、慰めを与えてくださいます。

2: 私たちは弱いときにイエスのうちに強さを見つけることができます。

1: イザヤ書 41:10 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2: 詩篇 145:18 「主はご自分を呼び求めるすべての人、真実に主を呼び求めるすべての人の近くにおられます。」

マルコ 10:50 すると彼は、上着を脱ぎ捨てて立ち上がって、イエスのところに来た。

この箇所は、上着を脱ぎ捨ててイエスに近づいた男の物語を語っています。

1. 手放す力: 信仰に足を踏み出すと、どのように私たちがイエスに近づくのか

2. 信仰のリスク: 勇気を持ってイエスに従うことで私たちの人生はどのように変わるのか

1. マタイ 17:7-8 - すると、イエスが来て彼らに触れて、「起きて、恐れることはない」と言われた。そして、彼らが目を上げたとき、彼らにはイエスだけが見えました。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

マルコ 10:51 するとイエスは答えて言われた、「わたしはあなたに何をしたいのですか」。盲人は彼に言った、「主よ、目が見えるようにしてくださいますように」。

盲人はイエスに、目が見えるように癒してほしいと願いました。

1. 信仰の力: 盲人のイエスに対する信仰が彼の癒しにつながりました。

2. 祈りの力: イエスは、私たちがしなければならないのは助けを求めるだけで、イエスは答えてくださるということを私たちに示してくださいました。

1. マタイ 21:22 - 「あなたが信じて祈り求めるものはすべて、あなたがたは受けるでしょう。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

マルコ 10:52 するとイエスは彼に言われた、「あなたの道を行きなさい。」あなたの信仰があなたを完全にしました。すると彼はすぐに目が見えるようになり、イエスに従って道を進みました。

イエスは目の見えない人を癒し、信仰のおかげで彼は元気になったと言いました。

1. 信じて受け取る: 信仰の力

2. イエスに従う: 信仰の生涯

1. ヤコブ 2:17-18 - 「それでも、もし信仰が働かなかったとしても、それは孤独であり、死んだものです。そうです、ある人はこう言うかもしれません、「あなたには信仰があり、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を示してください。そうすれば、私は私の行いによってあなたの信仰を示します。」

2. ヘブライ 11:1-3 - 「さて、信仰は望んでいることの本質であり、目に見えないものの証拠です。それによって長老たちは良い報告を得たからである。信仰を通して、私たちは世界が神の言葉によって形作られており、目に見えるものは実際に現れるものでできているのではないことを理解します。」

マルコ 11 章には、イエスのエルサレム入城、実のないイチジクの木の呪い、神殿の清め、信仰と祈りについての説教など、いくつかの重要な出来事が記されています。

第 1 段落: 彼らがエルサレムに近づくとき、オリーブ山の近くのベテファゲとベタニヤで、イエスは二人の弟子を遣わし、そこにまだ誰も乗ったことのない子ろばがつながれているのを見つけるように指示しました。彼らはそれを解き、主のもとに持って来なければなりません。もし誰かがなぜこんなことをするのかと尋ねたら、「主がそれを必要としていて、すぐにここに送り返してくださるでしょう」と答えるべきです（マルコ 11:1-3）。イエスが言われたとおり、彼らは子ろばを見つけ、それを持って来てください、彼は子ろばに外套を投げます、彼はエルサレムに入るときにその上に座ります、多くの人が外套を道に広げ、他の人は畑を切った枝を広げます、先に行く人は後から来る人は叫びました、「ホサナ！来る者は祝福されていますように」主の御名において! 来るべき王国に祝福あれ、我らの父ダビデ! いと高き天のホサナ!」（マルコ 11:4-10）。もう遅くなったので、すべてを見回した後、ベタニヤは十二人とともに出かけます（マルコ11:11）。

第 2 段落: 次の日、彼らがベタニヤを発つとき、イエスは、イチジクの木を見て、遠くにある葉を見てお腹が空いた、「二度と誰もあなたの実を食べないように」と呪いの言葉を残すだけでした。弟子たちはイエスがこれを言うのを聞きました (マルコ 11:12-14)。彼らがエルサレムに到着すると、イエスは神殿の法廷に入り、そこで買う者たちを追い出し始める、テーブルをひっくり返す両替商のベンチ、ハトを売る者たちは、神殿の法廷を通って商品を運ぶことを誰にも許さないと教え「『私の家はすべての国の家の祈りと呼ばれる』と書いてあるではないか」と教えた。しかし、あなたは、夕方になるとイエスの弟子たちが町に出て行ったとき、群衆全体がその教えに驚いたため、彼らが彼を恐れたため、祭司長の教師たちにこれを聞かせて、巣強盗をさせて彼を殺そうとしました（マルコ11:15-19）。

第 3 段落: 朝、通り過ぎるイチジクの根が枯れているのを見て、ピーターは「ラビ、見てください! あなたが呪ったイチジクの木が枯れてしまったのです!」と言ったのを覚えています。イエスは答えられました。「神を信じなさい。もし誰かがこの山で『海に身を投げなさい』と言ったら、その言うことは彼らのために成されると心は信じていることを疑いません。ですから、私はあなたに何を祈りますか、あなたの祈りが受け入れられたと信じて言います。そして、いつでも言います」「誰かに何かを恨むことがあれば、立って祈ってください。天の父が罪を赦してくださるように、赦してください」と語られる力強い言葉、信仰の大切さ、赦しが神の赦しを受けることを示しています（マルコ 11:20-26）。彼らは歩いているうちに再びエルサレムに到着します。神殿の宮廷、祭司長、教師、法律の長老たちがやって来ます。権威に質問します。これらのことをしますか？洗礼ヨハネが天の地上の起源であるかどうかを尋ねます。彼らの反応に基づいて答えを約束します。人々は答えを恐れています。ヨハネは本当に預言者であると考えているので、答えはわかりません。したがって、自分自身に関する質問への答えを拒否します。権威が知恵を示し、反対者に対処し、誠実さに異議を唱え、霊的指導者が最終章（マルコ11:27-33）。

マルコ 11:1 彼らがエルサレム、オリーブ山のベテパゲとベタニヤに近づいたとき、イエスは二人の弟子を遣わした。

イエスはエルサレム到着の準備として二人の弟子をベトファゲとベタニヤに送ります。

1: 謙虚さと無私の心を示す、イエスのエルサレムへの謙虚な入場。

2: 私たちの人生にイエスが到来するために備えることの重要性。

1: ピリピ人への手紙 2:5-8、「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にして、召使いの姿をとり、人間と同じように生まれることによって。そして人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。」

2: マタイ 21:5、「シオンの娘に言いなさい。『見よ、あなたの王が、謙虚で、重荷の獣の子ろば、子ろばに乗って、あなたのところに来られます。』」

マルコ11:2 そして彼らに言った、「あなたたちに向かって村に入って行きなさい。そして、あなたたちがそこに入るとすぐに、人が座ったことのない子ろばがつながれているのが見つかるでしょう。」彼を解放して連れて来なさい。

イエスは弟子たちに、誰も乗ったことがない子ろばを見つけて持ち帰るように指示しました。

1. 信仰の力：誰も乗ったことがない子ろばを見つけて連れて帰るというイエスの弟子たちへの指示は、信仰がいかに山をも動かすことができるかを示す強力な例として役立ちます。

2. 従順：イエスが弟子たちに命じた、誰も乗ったことがない子ろばを見つけて連れて帰るという命令は、神の指示に従い、従順であることの重要性を思い出させるものとして機能します。

1. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が少ないからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. フィリピ 2:8 - 「そして、人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。」

マルコ 11:3 もし誰かがあなたにこう言うなら、「なぜあなたはそんなことをするのですか」。あなたがたは、主が彼を必要としておられると言いなさい。そしてすぐに彼をここに送ります。

イエスは弟子たちに、なぜロバを連れて行くのか尋ねる人には、主がロバを必要としており、送り返すと告げるように言われます。

1. 神は私たちに求められるすべてのことに目的と計画を持っています。

2. たとえ奇妙に思えるときでも、私たちは主と私たちに対する主の計画を信頼しなければなりません。

1. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っています」と主は言われます、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

マルコ 11:4 それで、彼らは進んでいくと、二つの道が交わるところで、外の戸口に子ろばがつながれているのを見つけた。そして彼らは彼を失います。

この箇所は、イエスと弟子たちが、二つの道が交わる場所で繋がれた子ろばをどのように見つけたかを説明しています。

1. イエスは道であり、真理であり、命であり、私たちが人生の道を見つけるのを助けてくださいます。

2. いつリスクを冒して神の計画を信頼すべきかを知るのは難しいかもしれませんが、イエスが常に私たちとともにおられることを覚えておく必要があります。

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

マルコ 11:5 すると、そこに立っていたある者たちが彼らに言った、「子ろばをなくしてどうするのですか」。

イエスの弟子たちはろばを失ったとして尋問されました。

1: イエスの弟子たちは、子ろばを失った理由を尋ねられ、正しい行動の重要性と適切な説明の力を示しました。

2: イエスの弟子たちが彼らの行動について質問されたとき、それは私たちの行動が常に精査の対象であり、それを説明する準備ができていなければならないことを示しました。

1: エペソ人への手紙 6:7、「ですから、納めるべき者には税金を、習慣には習慣を、恐れには恐れを、名誉には名誉を納めなさい。」

2: 箴言 3:27、「あなたの手に力があるとき、善を与えるべき者にそれを差し控えてはならない。」

マルコ 11:6 そこで彼らは、イエスが命じられたとおりに言った、そして彼らを行かせた。

この一節は、イエスが弟子たちに、自分が乗れるようにロバと子ろばを放すように命じられたことを描写しています。

1. 従順の力 - 弟子たちに対するイエスの単純な命令は、神のご意志に従うことの重要性をどのように示しています。

2. 必要なときに力を見つける - イエスが自分の使命を助けるために弟子たちにどのように頼ったか、そして私たちが必要なときにどのように神に頼ることができるか。

1. エペソ人への手紙 5:15-17 「では、自分がどのように歩むかをよく見てください。愚かな者としてではなく、賢明な者として、時を最大限に活用して、悪しき日なのですから。ですから、愚かではなく、人の意志を理解してください。」主がおられるのです。」

2. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

マルコ 11:7 そこで彼らは子ろばをイエスのところに連れてきて、自分たちの衣をイエスに着せた。そして彼は彼の上に座った。

イエスは子ろばを与えられ、それに乗って衣服を着せられました。

1. イエスは私たちの完璧な王です - マルコ 11:7

2. イエスへの服従の力 - マルコ 11:7

1. 詩篇 20:7 - ある者は戦車を信頼し、ある者は馬を信頼します。しかし、私たちは私たちの神、主の御名を覚えます。

2. フィリピ 2:5-8 - キリスト・イエスにもあったこの思いをあなたの中に持ちましょう。キリストは神の姿をしていて、神と同等であることが強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、そして、彼は召使の姿をとり、人間と同じように造られました。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

マルコ 11:8 また、多くの人が衣を道に広げ、またある者は木の枝を切り、道にわらを置いた。

エルサレムの人々は、衣服を広げ、木の枝を切って道にばらまき、イエスを歓迎しました。

1. 神の民は、礼拝行為を通じてイエスへの愛と敬意を示します。

2. 信仰と献身をもってイエスを私たちの生活に迎える方法。

1. ヨハネ 12:12-13 - 翌日、祭りに来ていた多くの人々は、イエスがエルサレムに来られると聞くと、ヤシの木の枝を持って出迎え、ホサナと叫びました。主の御名によって来られるイスラエルの王に祝福あれ。

2. 詩篇 96:7-9 - 民よ、主に捧げよ、栄光と力を主に捧げなさい。御名にふさわしい栄光を主に捧げなさい。ささげ物を持って、主の法廷に来なさい。おお、神聖さの美しさの中で主を礼拝せよ。全地よ、主の前に恐れよ。

マルコ 11:9 すると、先に行った者も後から来た者も、叫びながら言った、「ホサナ」。主の御名によって来る者は幸いです。

人々はエルサレムに入城されたイエスを称賛し、「ホサナ、主の御名によって来る者は幸いなり」と宣言した。

1. イエスとその御名の力を賛美する

2. ホサナの意味と私たちの生活におけるその位置

1. ピリピ人への手紙 2:9-11 - そこで、神はイエスをいと高き所に高め、あらゆる名に勝る名を与え、天においても地においても地においても、イエスの名においてはすべての膝がかがむべきである、そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であることを認めます。

2. 詩篇 118:25-26 - 主よ、私たちを救ってください。主よ、私たちに成功を与えてください！主の御名によって来る者は幸いです。主の家からあなたを祝福します。

マルコ 11:10 主の御名によって来る、私たちの父ダビデの王国、いと高きところにあるホサナに祝福あれ。

イエスのエルサレム入城は、父なる神への賛美と祝福をもって祝われます。

1: 私たちは、どんなに謙虚であれ、勝利を収めているかに関係なく、どんな状況でも父なる神に栄光を帰すことができます。

2: わたしたちは父なる神のうちに、困難なときも喜びのときも忠実を保つ強さを見つけることができます。

1: 詩篇 118:24 - これは主が定められた日です。それを喜び、喜びましょう。

2: ピリピ 4:4 - 常に主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい。

マルコ 11:11 それから、イエスはエルサレムに入り、神殿に入られた。そして、すべてを見回して夕方になったので、十二人たちとともにベタニヤに出て行った。

イエスはエルサレムと神殿に入り、その中のすべてのものを観察されました。それから彼は12人の弟子たちとともにベタニヤに向けて出発しました。

1. メシアとしての預言を成就するイエスの忠実さ

2. イエスの従順の模範に従うことの重要性

1. イザヤ書 35:5-6 - 「そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は開かれる。そのとき、足の不自由な人はハートのように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌うだろう。荒野に水が湧き、砂漠に小川が流れるからである。」

2. ヨハネ 12:1-3 - 「それから、イエスは過ぎ越しの六日前にベタニヤに来られた。そこには死んだラザロがいて、彼はラザロを死者の中からよみがえらせた。そこで彼らは彼に夕食を作りました。マルタが給仕しましたが、ラザロも一緒に食卓に着いたうちの一人でした。それからマリアは、非常に高価なスパイクナードの軟膏1ポンドを取り、イエスの足に油を注ぎ、彼女の髪の毛で足を拭きました。すると、家は軟膏の匂いで満たされました。」

マルコ 11:12 そして翌日、彼らがベタニヤから帰ってきたとき、イエスはお腹が空いていた。

一節 イエスと弟子たちはベタニアに行き、翌日戻ってくると、イエスはお腹が空いていました。

1. イエスは人間です: 新約聖書におけるイエスの人間性を理解する

2. 飢えた人に食べ物を与える: マルコ 11:12 におけるイエスの飢えの意味

1. マタイ 4:4 (「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。」)

2. イザヤ書 58:10 (「飢えた人に食べ物を与え、困っている人を満足させるなら、あなたの光は暗闇の中に浮かび上がります。」)

マルコ 11:13 そして、遠くにいちじくの木に葉が生えているのを見て、できればそこに何か見つけられないかと思ってやって来た。イチジクの時期はまだ来ていなかったからだ。

イチジクの木に何かを見つけようとイチジクの木に近づいたイエスの行動は、神が与えてくださる希望と信仰を示しています。

1. 神と神の備えに対する希望。

2. 目に見えないものへの信仰。

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. マタイ 6:25-34 - 「だから、わたしはあなたたちに言います。自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、あるいは自分の体のこと、何を着るかなど心

配しないでください。命とは食べ物以上のものではないでしょうか。」

マルコ 11:14 するとイエスは答えて言われた、「今後、永遠に、だれもあなたの実を食べることはありません。」そして弟子たちはそれを聞いた。

イエスはイチジクの木に、その実を二度と食べてはいけないと言いました。

1: イエスは私たちの供給者であり、すべてを支配しておられます。

2: 私たちは自分の人生に対する神の計画に対して信仰と信頼を持たなければなりません。

1: マタイ 6:25-34 - 自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、自分の体のこと、何を着るかなど心配しないでください。

2: ルカ 12:22-32 - 明日のことは心配しないでください。明日は自分自身のことを心配するからです。毎日にはそれ自体で十分な問題があります。

マルコ 11:15 それから彼らはエルサレムに来る。そこでイエスは神殿にはいって、神殿で売り買いする者たちを追い出し始め、両替屋の台や鳩を売る者たちの椅子をひっくり返した。

イエスは、神の家を搾取している人々を追い出すことによって、神殿におけるご自身の権威を示します。

1: 私たちの神は正義と憐れみの神であり、神の家を利用しようとする者には正しい裁きが与えられます。

2: イエスはすべての主であり、神のご意志に従って生きていない人々に挑戦する権威を持っています。

1: エゼキエル 34:2-3: 「人の子よ、イスラエルの羊飼いたちに対して預言しなさい。預言して、彼らにこう言いなさい。『主なる神は羊飼いたちにこう言われる。自分たちで食べているイスラエルの羊飼いたちには災いがある！』羊飼いが群れに餌をやるんじゃないの？」

2: マタイ 21:12-13: 「そして、イエスは神の宮にはいって、宮で売り買いする者たちをみな追い出し、両替商の台と、はとを売る者たちの椅子をひっくり返し、「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書いてあるのに、あなたがたはそこを盗賊の巣窟にしている。」

マルコ 11:16 また、どんな器物を持って神殿を通る人であっても、苦にはならないでしょう。

イエスは礼拝の場に敬意を示すことが大切だと教えました。

1: 神は私たちに、礼拝の場に敬意を払うよう呼びかけています。

2: 私たちは神が崇拝される場所を尊重すべきです。

1: ペテロ第一 2:17 すべての人に適切な敬意を払いましょう。

2: 出エジプト記 20:7 「あなたの神、主の御名を悪用してはならない。主は御名を悪用する者を無罪にはされないからである。」

マルコ 11:17 そこでイエスは彼らに言った、「わたしの家はすべての国の人々から祈りの家と呼ばれる、と書いてあるではないか」と教えられた。しかし、あなたがたはそこを盗賊の巣窟にしました。

この一節は、祈りの家を泥棒の巣窟としてではなく、本来の目的のために使用することの重要性を強調しています。

1.神の家は泥棒ではなく祈りで満たされるべきである

2. 神の家: 悪用ではなく礼拝の場

1. エレミヤ 7:11 - 「わたしの名で呼ばれるこの家は、あなたの目には強盗の巣窟になったのか。」

2. マタイ 21:13 「そしてイエスは彼らに言われた、『わたしの家は祈りの家と呼ばれると書いてあるのに、あなたがたはそこを強盗の巣窟にする』。」

マルコ 11:18 律法学者や祭司長たちはそれを聞いて、どうすれば彼を滅ぼせるかを探した。民がみな彼の教えに驚いていたので、彼らは彼を恐れたからである。

イエスの教えは非常に強力だったので、律法学者や祭司長たちはイエスを恐れ、イエスを滅ぼそうとしました。

1. イエスの教えの力 - ルカ 4:32

2. イエスの権威に対する恐れ - マタイ 21:23-27

1. ヨハネ 7:46-52 - イエスの教えに対するユダヤ人の指導者たちの反応

2. ルカ 19:39-40 - ユダヤ人の指導者によって拒否されたイエスの権威

マルコ 11:19 そして夕方になると、イエスは町を出て行った。

イエスは夕方に町を出られました。

1. イエスの力: イエスは、夕方になると街から出て行こうという意志を通して、ご自身の力を実証されました。

2. 夜の散歩: 夕方に時間をかけて外出することは、平和と明晰さを見つけるための強力な方法です。

1. 詩篇 46:10 - 「静まって、私が神であることを知りなさい。」

2. ヨハネ 14:27 - 「わたしは平安をあなたたちに残します。わたしの平安をあなたたちに与えます。わたしは世が与えるようにあなたたちに与えません。あなたたちの心を騒がせてはならず、恐れてはいけません。」

マルコ 11:20 そして朝、彼らが通りかかったとき、いちじくの木が根元から枯れているのを見た。

弟子たちは、いちじくの木が根元から枯れているのを見た。

1: 神は不可能を可能にすることができます。

2: 信仰を持てば、神は山をも動かすことができます。

1: マタイ 17:20 - 彼は答えました、「あなたは信仰が薄いからです。真実に言いますが、からし種ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。

2: ヤコブ 1:6 - しかし、尋ねるときは、信じて疑わないようにしなければなりません。疑う人は、風に吹かれて翻弄される海の波のようなものだからです。

マルコ 11:21 そこで、ペテロが思い出を呼び掛けて言った、「先生、ご覧ください、あなたが呪ったいちじくの木が枯れてしまったのです。」

イエスがいちじくの木を呪って枯れてしまった様子を思い出し、ペテロの信仰は強められます。

1. 信仰の力: イエスを信じて奇跡を起こす

2. イエスの奇跡: イエスが神聖な力をどのように実証したか

1. マタイ 17:20-21 - イエスは弟子たちに、からし種のような信仰があれば、不可能なことは何もないと言われます。

2. マタイ 21:19-21 - イエスがいちじくの木を呪うと、すぐに枯れてしまいます。

マルコ 11:22 するとイエスは答えて彼らに言われた、「神を信じなさい。」

イエスは弟子たちに神への信仰を持つよう勧めました。

1.「神は善い方です - 神の約束を信じてください」

2.「神への信仰の力」

1. ペテロ第一 5:7 - 「心配ごとをすべて神に委ねなさい。神はあなたを気遣ってくださっているからです。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを込めて、自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

マルコ 11:23 まことに、わたしはあなたがたに言います、だれでもこの山に向かって、「あなたは取り除かれ、海に投げ込まれます。」と言う者はいません。そして心の中で疑うことはなく、自分の言ったことは必ず実現すると信じるであろう。彼は自分の言うことは何でも持つだろう。

この聖句は、自分の言ったことは必ず実現すると信じれば、信仰は山をも動かすことができることを示しています。

1. 信仰の力 - 信仰を持ち続ければ、どのようにして偉大な成果を達成できるか。

2. Speak It Into Existence - 私たちの夢や目標を現実に語る力。

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヤコブ 2:17 - 「ですから、行いがなければ信仰もまた、それ自体で死んだものです。」

マルコ 11:24 そこで、わたしはあなたがたに言います。「あなたが望むものは何でも、祈ったら、それが与えられると信じなさい。そうすれば、それが得られるでしょう。」

祈ったときに信じて、望むものを受け取りましょう。

1. 祈りを信じる：信じて新たな高みに到達する

2. 祈りを通じて目標を達成する: 信じることと受け入れること

1. ヤコブ 1:5-8 - もしあなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、あら探しをすることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めるべきです。そうすれば、知恵は与えられるでしょう。

6 しかし、尋ねるときは、信じて疑わないようにしなければなりません。疑う人は、風に吹かれて揺れる海の波のようなものだからです。

2. ピリピ 4:6-7 - 何事についても心配しないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。 7 そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたがたの心と思いを守るでしょう。

マルコ 11:25 そして、あなたがたが立って祈っているとき、何かに反対すべきことがあったなら、赦してください。天におられるあなたがたの父も、あなたの罪過を赦してくださいますように。

私たちが神に赦されるためには、私たちに不当な扱いをした人たちを赦さなければなりません。

1. 許しの力 - 私たちの人生と他の人の人生をより良くするために、許しの力を受け入れます。

2. 許しの本質 - 許しの重要性と、それが私たちの生活のあらゆる側面にどのように適用されるかを理解します。

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

2. コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたを赦してくださったように、赦してください。」

マルコ 11:26 しかし、もしあなたがたが赦さないなら、天におられるあなたがたの父もあなたの罪を赦さないでしょう。

マルコ 11:26 のこの聖句は、私たちが他人を赦さないと天の御父は赦してもらえないので、私たちに他者を赦すよう勧めています。

1. 許し：神の恵みを解き放つ鍵

2. 許しのなさが神の祝福を受けるのを妨げる理由

1. エペソ人への手紙 4:31-32 - 「すべての恨み、怒り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともに、あなたがたから遠ざけましょう。互いに親切にし、心を優しくし、キリストにあって神があなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい」。」

2. ルカ 6:37 - 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたは裁かれることはありません。罪に定めないでください。そうすれば、罪に定められることはありません。赦してください。そうすれば、あなたは赦されます。」

マルコ 11:27 そして、彼らは再びエルサレムに来る。そして、イエスが宮の中を歩いていると、祭司長たち、律法学者、長老たちがやって来て、

イエスは神殿で祭司長、律法学者、長老たちと対峙します。

1. マルコ 11:27 のイエスの例に基づいて、たとえ権威が私たちの意見に反する場合でも権威を尊重する方法

2. マルコ 11:27 のイエスの例に基づく、反対に直面したときの謙虚さの重要性

1. マタイ 17:24-27 - ペテロの不信仰にもかかわらず、イエスが神殿税を支払ったとき。

2. コロサイ 3:12-14 - 他の人との関わりにおいて、愛、謙虚さ、許しを身につけること。

マルコ 11:28 そして彼に言う、「あなたは何の権威によってこれらのことをするのですか」。そして、誰があなたにこれらのことを行う権限を与えたのですか？

イエスは、それを主張する人々の権威に疑問を抱くことが重要であると教えました。

1. イエスの権威 - イエスの権威をどのように認識し、それを私たちの生活にどのように適用するかを理解します。

2. 権威を問う - 権威を主張する人々の資格を調査し、彼らの決定に対する責任を問います。

1. 使徒 5:27-29 - サンヘドリンの権威に疑問を呈したペテロの大胆さについて議論。

2. ローマ 13:1-2 - 統治当局の権威に服従するという考えを探ります。

マルコ 11:29 するとイエスは答えて言われた、「わたしも一つ質問して、それに答えてください。わたしがどのような権威をもってこれらのことをしているかをお話ししましょう。」

イエスは、自分の権威に疑問を抱く人々の権威に疑問を抱きます。

1. イエスの権威: 彼のメッセージの力。

2. イエスに質問する権限は何ですか?

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. マタイ 28:18-20 - そして、イエスが来て彼らに言われた、「天と地におけるすべての権威がわたしに与えられました。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

マルコ 11:30 ヨハネのバプテスマは、天からのものでしょうか、それとも人からのものでしょうか。答えて下さい。

イエスは人々に、ヨハネのバプテスマが天からのものか人間からのものかを答えるように求めました。

1. 私たちの信念と実践の源を見極めることの重要性。

2. 私たちの人生に対する神の権威を認識する必要性。

1. ガラテヤ 1:10 - 私は今、人間の承認を求めているのでしょうか、それとも神の承認を求めているのでしょうか。それとも私は人を喜ばせようとしているのでしょうか？もし私がまだ人を喜ばせようとしていたとしたら、私はキリストの僕ではないでしょう。

2. テサロニケ第一 2:4 - しかし、私たちが福音を託されることを神から認められたのと同じように、私たちは人を喜ばせるためではなく、私たちの心を試す神を喜ばせるために話します。

マルコ 11:31 そこで彼らは、自分たちで論じて言った。彼は言うだろう、「それでは、なぜあなたがたは彼を信じなかったのですか？」

宗教指導者たちはイエスの質問に、ヨハネのバプテスマは天からであるか、それとも人間からであるか、どちらで答えるかを決めようとしていました。

1. 私たちは、自分自身の信念を考慮し、神に信仰を置くことによって、宗教指導者の間違いから学ぶことができます。

2. 真実と虚偽を区別し、真実である方への信仰を持つことの重要性。

1. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるためにご自分の御子を世に遣わされたのではありません。」世界だけでなく、彼を通して世界を救うためです。」

2. ヤコブ 1:5-6 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいたら、あら探しをせずにすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。しかし、求めたときは、信じて疑わず、なぜなら疑う者は、風に吹かれて翻弄される海の波のようなものだからである。」

マルコ 11:32 しかし、もし私たちが言うなら、「人間について」です。彼らは人々を恐れた。なぜなら、すべての人がヨハネを確かに預言者だと信じていたからである。

人々は洗礼者ヨハネが預言者であると信じていたため、洗礼者ヨハネが誰であるかを答えることを恐れていました。

1. より高い力を信じる力

2. 逆境の時に信念を持つことの大切さ

1. イザヤ書 9:6 - 「私たちに子が生まれ、息子が与えられます。そして政府はその肩にあります。そしてその名は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父、平和の王子よ。」

2. マタイ 17:5 - 「これは私の愛する子です。私はこの子を喜びます。聞いてください。」

マルコ 11:33 すると彼らはイエスに言った、「それはわかりません。」するとイエスは答えて言われた、「わたしがどのような権威をもってこれらのことを行うのかについても、わたしはあなたたちに言いません。」

イエスは自分の行動に関する権威の問題に答えることを拒否しました。

1: 私たちはイエスの権威を疑うことなく喜んで受け入れなければなりません。

2: たとえイエスの行動の背後にある目的が理解できなくても、私たちはイエスの権威を信頼しなければなりません。

1: ヘブライ 11:6 - しかし、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る人は、神がご自身であり、熱心に神を求める人々に報いてくださる方であることを信じなければなりません。

2: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

マルコ 12 章には、小作人のたとえ話、カエサルへの納税に関する質問、復活、最大の戒め、未亡人の捧げ物に関するイエスの教えなど、いくつかの重要な出来事が詳しく語られています。

何人かの農民に貸した男のたとえを語ることから始まります。収穫の時期に果物を集めるために家来たちを遣わしたとき、彼らは殴られたり殺されたりしました。彼の息子さえも送られたときに殺された。イエスは、飼い主はどうするのかと尋ねます。彼は来て小作人を滅ぼし、他の人にぶどう畑を与えます(マルコ12:1-9)。宗教指導者たちは、このたとえ話が自分たちに不利であることに気づき、イエスを逮捕しようとしましたが、群衆を恐れたため、イエスは立ち去ってしまいました (マルコ12:10-12)。

第2段落：パリサイ派のヘロデ教徒が罠を送り、税金の支払いについて質問する カエサルは自分たちの偽善を知っているが、なぜ罠を仕掛けようとするのかと尋ねる 彼はデナリオンに誰の像が刻まれているか尋ねる「カエサルを返せ、何がカエサルの神で、何が神のものなのか」と答え、その答えに驚いて立ち去る（マルコ 1 2章）:13-17)。次に、復活はないと主張するサドカイ派は、法律に従って 7人の兄弟と結婚した女性の継承について仮定の質問をします。モーセは誰も子供を残さず、彼女の死の復活について彼女は誰の妻ですか？彼は、聖書が神に力を与え、復活者は天使のように結婚しない、天は神を加える、死んで生きている神ではなく神を加える、という聖書の力を知らないと、死後の命の復活を肯定するのは大きな間違いであると叱責します（マルコ12:18-27）。

第 3 段落: ある教師は、議論を聞き、よく答えられたことに気づき、最も重要な戒めはどれであるかを尋ねます。「最も重要な戒めは、『聞け、イスラエルよ、私たちの神、主よ、あなたの神、主を愛しなさい、心と魂と精神力を尽くして』です。」 2つ目は「隣人を自分のように愛しなさい」。これ以上の戒めはありません。」先生は法律に同意します、彼の言うことは正しいと先生は言います、彼のほかに主は一人です、彼を愛しています、心から彼を愛しています、力を理解しています、隣人を愛してください、もっと重要です、全焼のいけにえは答えられているのを見て賢明に彼に言います、遠くない王国、神は誰もそれ以上質問しようとしなかった後（マルコ12:28-）34）。神殿法廷での教えの中で、「ダビデ自身が聖霊によって『敵を足元に置くまで右手に座れと主は言われた』と宣言した」と宣言している。ダビデ自身も彼を「主」と呼んでいます。ではどうして彼が彼の息子になれるのでしょうか？」大勢の群衆は、単なるダビデの子孫であるという一般的な見解とは対照的に、神の子であると主張することに喜んで耳を傾けていました（マルコ 12:35-37）。彼は、教師たちに気をつけろ、なびくローブを着て歩き回る、敬意を払う、市場には最も重要な席がある、シナゴーグの場所は名誉ある宴会をする、見せしめのために未亡人の家をむさぼり食う、長い祈りをする、そのような男は最も厳しく罰せられるだろう、宗教的偽善搾取に対する軽蔑を示している、と警告している（マルコ 12:38）-40)。最後に、人々が寺院の宝物庫にお金を入れているのを見ながら、貧しい未亡人がほんの数セントの価値のある非常に小さな銅貨を 2枚入れたことを指摘し、こう言いました。貧しさはすべてに注ぎ込まれ、彼女が生きていくためのすべてを費やしました」と、王国の視点を与える犠牲的な価値、富の寛大さを強調しています（マルコ11:41-44）。

マルコ 12:1 そしてイエスはたとえを使って彼らに語り始めた。ある男がぶどう園を植え、その周りに生け垣を設け、ぶどう酒の脂肪のための場所を掘り、塔を建て、それを農夫たちに貸し出し、遠い国へ行きました。

ある男はブドウ畑を植え、防護柵、ワイン脂肪、塔を設置し、遠い国へ出発する前にブドウ畑の手入れをする農夫を雇った。

1. 信仰の旅における障害を克服する

2. 準備の力

1. 詩篇80:8-19

2. ルカ13:6-9

マルコ 12:2 そして、季節になると、彼は農夫たちに召使いを遣わして、農夫たちからぶどう園の果実を受け取らせた。

このたとえ話は、神がブドウ畑から果物を集めるためにご自分の僕たちを遣わしましたが、彼らは拒絶され虐待されたことを示しています。

1. 私たちは神の使者を尊重し、当然の栄誉を与えなければなりません。

2. 神の恵みと憐れみは、神の僕を通して私たちに与えられます。

1. イザヤ書 40:10-11 – 「見よ、主なる神は力をもって来られ、その腕は彼のために支配される。見よ、神の報いは神とともにあり、神の報いは神の前にある。神は羊飼いのように羊の群れを世話します。彼は子羊たちを腕に集めます。神は彼らを胸に抱き、若い者たちを優しく導いてくださるでしょう。」

2. エペソ人への手紙 6:7 – 「ですから、すべての者に納めるべきものを返してください。税金は納めるべき者に、慣習は慣習に、恐れは恐れ者に、名誉は名誉に与えてください。」

マルコ 12:3 そこで彼らは彼を捕まえて殴り、空っぽにして追い返した。

この聖句は、イエスが当時の宗教指導者たちから虐待を受けていたことを明らかにしています。

1. 反対にもかかわらず、信仰を堅持することの重要性。

2. 虐待に直面したときの愛と許しの力。

（聖書）：

1. マタイ 5:43-44 – 「『隣人を愛し、敵を憎め』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたたちに言います、あなたの敵を愛し、あなたたちを迫害する人々のために祈りなさい。」

2. テモテ第二 2:12 – 「私たちが耐え忍ぶなら、私たちも彼とともに統治します。私たちが彼を否定すれば、彼も私たちを否定するでしょう。」

マルコ 12:4 そしてまた、また別のしもべを彼らに遣わした。そして彼らは彼に向かって石を投げ、頭に怪我をさせ、恥ずべき扱いで彼を追い返しました。

人々は地主から派遣された使用人を拒否し、虐待しました。

1. 私たちが受けるに値しないときでも、神の憐れみ。

2. たとえ困難なことがあっても、正しいことを行う。

1. ルカ 6:27-36 - 敵を愛しなさい。

2. マタイ 5:43-48 - 敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りましょう。

マルコ 12:5 そしてまた、また別の者を遣わした。そして彼らが殺した彼、そして他の多くの人たち。ある者を殴り、ある者を殺す。

イエスは福音を宣べ伝えるために複数の召使を送りましたが、その多くは信仰のゆえに殺されたり殴られたりしました。

1. 「反対に立ち向かう忍耐力」

2.「逆境に負けずしっかりと立ち続ける」

1. ヘブル人への手紙 13:3 - 「絆に結ばれている人たちを、自分たちと結びついていること、そして逆境に苦しんでいる人たちを、あなたたちも体の中にあることとして思い出しなさい。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、あなたがたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。あなたがたの信仰の試みが忍耐を生むということを知っているのです。しかし、あなたがたが完璧になり、まったく、何も望まない。」

マルコ 12:6 それで、彼は自分の最愛の息子がまだ一人いたので、彼を最後に彼らのところに遣わして、「彼らは私の息子を尊敬するだろう」と言った。

この箇所は、神がすべての人から尊敬されるように、愛する御子イエスを世に遣わされたことについて語っています。

1. 私たちの生活におけるイエスの臨在の重要性と、イエスが受けるに値する尊敬。

2. 愛する御子を私たちに送ってくださった神の計り知れない愛。

1. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ヘブライ人への手紙 9:15 - 「このため、彼は新約の仲介者です。それは、第一の約に基づいて犯された罪を死によって贖うために、召された者が永遠の約束を受けるためです。」継承。"

マルコ 12:7 ところが、農夫たちは、「この人が相続人だ、私は相続人だ」と言いました。さあ、彼を殺しましょう。そうすれば遺産は私たちのものになります。

ハズバンドマンたちは相続財産を得るために相続人を殺害する計画を立てました。

1. 貪欲の危険と富の誘惑

2. 神の遺産を守る

1. 箴言 28:25 高慢な心の者は争いを引き起こす。しかし、主に信頼する者は太る。

2. ヤコブ 4:13-17 さあ、「今日か明日、あんな町に行って一年過ごし、貿易をして儲けよう」と言っているのに、明日はどうなるかわからないという人たちよ。。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。代わりに、「主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやをするつもりです。」と言うべきです。そのままでは、あなたは自分の傲慢さを誇っています。そのような自慢はすべて悪です。したがって、なすべき正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとってそれが罪なのです。

マルコ 12:8 そこで彼らは彼を捕らえて殺し、ぶどう園から追い出した。

この一節は、ブドウ畑の手入れをするという同意を守らなかったために男性を殺害した地主の物語を語っています。

1. 不従順の代償: マルコ 12:8 からの教訓

2. 約束の履行とそれを怠った場合の結果

1. 伝道の書 5:4-5 - 神に誓いを立てるときは、それを果たせるのを遅らせてはいけません。彼は愚か者を喜ばない。誓いを果たします。

2. マタイ 21:33-41 - イエスは地主とその召使、そして約束を果たさない場合の結果について語ります。

マルコ 12:9 それで、ぶどう園の主人はどうするでしょうか。彼は来て農夫たちを滅ぼし、ブドウ畑を他の人に与えるだろう。

領主は忠実に働かない者を裁き、ブドウ園の権限を他の者に与えるだろう。

1. 神は忠実に働く者に権威を与えます。

2. 忠実に働かなかった場合の結果。

1. ガラテヤ 6:7-9 - だまされてはいけません。人が何を蒔くとしても、神はそれを刈り取るので、神は嘲笑されることはありません。

2. コロサイ 3:23-24 - 何をするにも、人のためではなく、主のために、心を込めて働きなさい。

マルコ 12:10 そして、あなたがたはこの聖書を読んだことがないのですか。建築業者が拒否した石が隅の頭になっています。

捨てられた石は神の建物の礎石になりました。

1: 神は、ご自分の名に栄光をもたらすために、最も可能性の低い人々や状況を利用することができます。

2: 神の主権と力は、神の予期せぬ選択を通して示されます。

1: マタイ 21:42 - イエスは彼らに言われた、「あなたたちは聖書で『家を建てる者たちが捨てた石が隅の親石となった、その石は隅の親石になった』ということを読んだことがないのか」。

2: イザヤ書 28:16 - それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはエルサレムに礎石を据えている。試された石、貴重な礎石、確かな土台である。」信頼する人は決して落胆することはありません。

マルコ 12:11 これは主の御業であり、私たちの目には驚くべきことでしょうか。

イエスは神の働きに驚嘆し、人々にも同じように勧めます。

1. 神の驚くべき働きに驚嘆する

2. 神の創造の驚異を理解する

1. 詩篇 139:14 - 「私はあなたをほめます。私は恐ろしいほどに素晴らしく造られています。あなたの御業は素晴らしいです。私の魂はそれをよく知っています。」

2. ローマ人への手紙 11:33-36 - 「ああ、神の富と知恵と知識の深さよ! 神の裁きは何と探り難く、神のやり方は何と不可解なのでしょう! 誰が主の心を知っていたのか、あるいは誰が神の思いをしてきたのか。」

マルコ 12:12 そこで彼らはイエスを捕まえようとしたが、人々を恐れた。人々は、イエスが自分たちに対してたとえを語られたことを知っていたので、イエスを離れて立ち去った。

この箇所は、イエスが自分たちに対してたとえを語られたことを知っていたため、人々がイエスに対して行動を起こすことを恐れていたことを明らかにしています。

1. キリストの言葉の力 - イエスの言葉がどのように心と考えを良い方向に変えることができるか。

2. 人間への恐怖と神への恐怖 - 人間への恐怖を抑制しなければ、私たちはどのように誤ってしまう可能性があるか。

1. 箴言 29:25 - 人間への恐れは罠となるが、主を信頼する者は安全に保たれる。

2. ヨハネ 8:59 - そこで、人々は石を拾ってイエスに投げつけたが、イエスは群衆から逃れて身を隠した。

マルコ 12:13 そこで彼らは、彼の言葉を理解させるために、パリサイ人とヘロデ派の人々のうちの何人かを彼のもとに遣わした。

パリサイ派とヘロデ派はイエスの言葉を理解しようと人々を送りました。

1. 神の言葉は力強く、永続する - マルコ 12:13

2. 言うことに気をつけなさい - マルコ 12:13

1. マタイ 22:15-22 - パリサイ人とヘロデ派に対するイエスの答え

2. ヨハネ 8:31-32 - イエスの内にある自由についてのイエスの教え

マルコ 12:14 そして彼らが来ると、彼らは彼に言った、「先生、あなたが真実で、人を顧みないことは私たちも知っています。あなたは人のことなど考えず、真実に神の道を教えておられるからです。そうですか」カエサルに貢物を捧げるのは合法か否か？

宗教指導者たちはイエスに、カエサルに貢物を捧げることは合法かどうかと質問しました。

1. 隣人を愛する: 意見の合わない人を愛する

2. 人間の期待ではなく、神の言葉に従って生きる

1. マタイ 22:37-40 - 神を愛することと隣人を愛することについての宗教指導者に対するイエスの答え。

2. ローマ 13:1-7 - 権威に従うことと税金を支払うことについてのパウロの教え。

マルコ 12:15 与えるべきでしょうか、それとも与えないでしょうか。しかし彼は、彼らの偽善を知っていたので、彼らに言った、「なぜあなたがたは私を誘惑するのですか？」見てもらえるように、一ペニー持ってきてください。

イエスは税金に関する偽善的な質問をした宗教指導者たちを叱責されました。

1. イエスは私たちに、信仰における謙虚さと誠実さを求めます。

2. 神は私たちがただ期待されることをするのではなく、神を求めることを望んでおられます。

1. ルカ 18:9-14 - パリサイ人と徴税人のたとえ

2. マタイ 23:23-28 - パリサイ人の偽善に対するイエスの非難

マルコ 12:16 それで彼らはそれを持ってきた。そして彼は彼らに言った、「この像と上書きは誰のものですか？」すると彼らは彼に言った、「カエサルのものだ」。

人々のグループがイエスのところにコインを持ってきて、誰の像と碑文が書かれているか尋ねます。彼らはそれがシーザーのものだと彼に言いました。

1. 自分が誰にサービスを提供しているのかを知ることの重要性

2. 人間ではなく神に仕える

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. 詩篇29:2-4

マルコ 12:17 するとイエスは答えて言われた、「カエサルのものはカエサルに、神のものは神に返しなさい」。そして彼らは彼に驚いた。

イエスは、人々は税金を払い、正当に神のものであるものを神に捧げるべきだと教えています。

1. 神の優先事項: 神のものを神に捧げることを学ぶ

2. カエサルと神に与える: バランスを理解する

1. ローマ 13:6-7 - 「そのために、あなたがたも税金を納めているのです。当局は神の奉仕者であり、まさにこのことに取り組んでいます。納税すべき者全員に税金を納める。誰の習慣。誰を恐れるのか。誰に敬意を表します。」

2. 申命記 16:16-17 - 「年に三回、種なしパンの祭り、週の祭り、仮小屋の祭りのときに、あなたの男性はすべて、主が選ばれる場所で、あなたの神、主の

前に出なければならない。」そして彼らは手ぶらで主の前に出てはならない。人はみな、あなたに与えられたあなたの神、主の祝福に応じて、できる限りのことを与えなさい。」

マルコ 12:18 それから、サドカイ派の人々が彼のところに来て、復活はないと言っている。そこで彼らは彼に尋ねて言った、

サドカイ派の人々はイエスに復活はあるのかと尋ねましたが、イエスは肯定的に答えられました。

1: 私たちは皆、天国で神とともに永遠に生きる運命にあります。

2: 復活の力を信じて、永遠に直面する準備をしてください。

1: 1 コリント 15:35-58 - 死者の復活に関するパウロの教え。

2: 1 テサロニケ 4:13-18 - 信者の復活に関するパウロの教え。

マルコ 12:19 先生、モーセは私たちに書きました、「もし人の兄弟が亡くなり、妻を残して子供を残さないなら、その兄弟は妻をめとって、兄弟の子を育てるべきです。」

この一節は、未亡人を妻として迎え、彼女から子供を育てるなど、亡くなった兄弟に対する男性の義務について述べています。

1. 最大の愛: 兄弟愛の戒めを全うする

2. 他者のために犠牲を払う: モーセの例に倣う

1. 申命記 25:5-10 - 亡くなった兄弟の妻を娶った兄弟の例について話し合う

2. ヨハネ第一 4:7-12 - 神から命じられたとおりに互いに愛し合うという概念を探る

マルコ 12:20 さて、兄弟が七人いたが、最初の兄弟は妻をめとったが、死ぬと子孫は残らなかった。

この一節は 7 人の兄弟の物語を語ります。最初の兄弟は妻を娶りましたが、子供を残さずに亡くなりました。

1. 悲劇に直面したときの神の忠実さ

2. 信者の記憶を讃える

1. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

2. 伝道者の書 7:14 - 「繁栄の日には喜び、逆境の日に考えなさい。神は、自分の後に来るものを人が見つけられないように、一方も他方も造られたのです。」

マルコ 12:21 二番目は彼女を引き取り、種を残さず死にました。三番目も同様でした。

この一節では、2人目の男がその女性を妻として迎え、子供を残さずに亡くなり、3人目の男も同じことをしたことが語られています。

1. 人生を祝い、与えられた時間を最大限に活用することの重要性。

2. 将来の世代に遺産を残すことの大切さ。

1. 伝道の書 9:10 - 「あなたの手にやりたいことは何でも、全力を尽くしてやりなさい。あなたが行こうとしている死の世界には、働くことも、計画も、知識も知恵もないからです。」

2. 詩篇 90:12 - 「知恵の心を得るために、私たちに日数を数えるよう教えてください。」

マルコ 12:22 七人は彼女を産んだが、種を残さず、最後にこの女も死んだ。

マルコ 12:22 に出てくる女性は 7 人の夫と結婚していましたが、誰も子供を残していませんでした。結局、女性は亡くなってしまいました。

1. 神の忠実さ: 死に直面しても、神は忠実に私たちを支えてくださいます。

2. 命の価値: すべての命は価値があり、大切にすべきです。

1. ローマ人への手紙 8:38-39 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には、決して不可能であると私は確信しています。」私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。」

2. コリント第一 15:55-57 「死よ、あなたの勝利はどこにありますか。死よ、あなたのとげはどこにありますか。死のとげは罪であり、罪の力が律法です。しかし、神に感謝します。私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださる方です。」

マルコ 12:23 それで、復活のとき、彼らが立ち上がるとき、彼女は彼らのうちの誰の妻になるでしょうか？というのは、７人が彼女を妻に迎えたからである。

サドカイ派の人々はイエスに、復活と同じ妻を持つ7人の兄弟について質問しました。

1: サドカイ派の人々に対するイエスの答えは、復活では結婚の性質が変わること、そしてこれにより私たちが物質的な面よりもむしろ人生の霊的な面に焦点を当てるべきであることを明らかにしています。

2: サドカイ派の質問は、彼らが復活の力と栄光についての理解が不足していること、そして私たちが来るべき天の御国についてより深く理解するよう努めるべきであることを明らかにしています。

1: ルカ 20:34-36 - イエスは彼らに言われた、「この年齢の息子たちは結婚し、結婚して授けられますが、その年齢に達して死者の中からの復活にふさわしいと考えられる人たちは結婚も授与もされません」結婚すると、彼らは天使と同等であり、神の子であり、復活の子であるため、もう死ぬことはできません。

2: 1 コリント 15:51-52 - 見よ！謎を教えます。私たちは皆眠っているわけではありませんが、最後のラッパの音とともに、一瞬のうちに、またたく間に、私たちは皆変わってしまうのです。ラッパが鳴り響き、死人は朽ちないものとしてよみがえらされ、私たちは変えられるからです。

マルコ 12:24 するとイエスは答えて言われた、「あなたがたは聖書も神の力も知らないから、それで間違いを犯さないのか」。

聖文と神の力を理解していない人は、間違いを犯しやすいです。

1: 賢明な決定を下せるように、私たちは常に聖文と神の力を理解するよう努めるべきです。

2: わたしたちは聖文と神の力についての知識を深め続ける必要があります。

1: テモテ第二 3:16-17 - 「聖書はすべて神によって吹き出されたものであり、神の人が完全であり、あらゆる善い業に備えられるように、教え、戒め、矯正し、義を訓練するのに有益です。」

2: 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

マルコ 12:25 彼らは死人の中からよみがえるとき、結婚もしないし、結婚もしないからである。しかし、それは天にいる天使のようです。

死者は天国では結婚しません。彼らは天国にいる天使のようです。

1. 天国での永遠の命の喜び

2. 結婚の目的

1. ルカ 20:34-36 - イエスはサドカイ派の人たちに、あの世には結婚はないと説明しました。

2. コリント第一 7:25-40 - 結婚の目的と神の王国との関係に関するパウロの教え

マルコ 12:26 そして、死人に触れると、彼らはよみがえります。モーセの書を読んだことがありませんか。茂みの中で神が彼にこう言われた、「わたしはアブラハムの神、イサクの神、そしてイサクの神である」ヤコブの神？

この箇所は、アブラハム、イサク、ヤコブと神との関係、そして神が死者の神であることについて語っています。

1. 神の永遠の性質: 神はどのようにしていつも私たちのためにそこにいてくださるのか

2. 神の民に対する神の忠実さ: アブラハム、イサク、ヤコブ

1. 創世記22:15-18

2. ローマ人への手紙 4:16-17

マルコ 12:27 神は死者の神ではなく、生きている者の神です。ですから、あなたがたは大きな間違いを犯しています。

神は死んだ人の神ではなく、生きている人の神であり、そうでないと信じる人は間違っています。

1. 神は今日も私たちの中で生きて働いておられる

2. 生命の力：神の臨在を体験する

1. ローマ 8:11 - 「イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。」

2. ヘブライ 13:8 - 「イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。」

マルコ 12:28 そこで、律法学者の一人がやって来て、彼らが一緒に論じているのを聞いて、うまく答えたのを感じて、「すべての戒めの中で第一はどれですか」と尋ねた。

律法学者はイエスとパリサイ人が一緒に論じているのを聞いて、すべての掟の中でどれが第一の掟なのかイエスに尋ねました。

1. 心を尽くして神を愛する

2. 人生において神を第一にする

1. 申命記 6:5 - 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2. マタイ 6:33 - 何よりも神の国を求め、正しく生きなさい。そうすれば神はあなたに必要なものをすべて与えてくださるでしょう。

マルコ 12:29 するとイエスは答えられた、「すべての戒めの第一は、『聞け、イスラエルよ。私たちの神、主は唯一の主です。

イエスは、唯一の主である神に聞き従うという第一の戒めの大切さを教えています。

1. 神に聞き従う: 信仰の基礎

2. 神の一致：私たちの唯一の力の源

1. 申命記 6:4-5 - イスラエルよ、聞け、私たちの神、主は唯一の主である。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

マルコ 12:30 そして、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛せよ、これが第一の戒めである。

マルコ 12:30 のこの一節は、心、魂、思い、力を尽くして神を愛することの重要性について語っており、これが第一の戒めです。

1. 最大の戒め - 心、魂、思い、力のすべてを尽くして神を愛すること。

2. 従順な生活を送る - 神の戒めに従順な生活を送ることについて。

1. 申命記 6:4-5 - 「イスラエルよ、聞け、私たちの神、主は唯一である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。

2. マタイ 22:37-39 - そしてイエスは彼に言った、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。これは偉大な第一

の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。」

マルコ 12:31 そして、二番目は、つまり、これのようです、「あなたは自分のように隣人を愛さなければなりません」。これらより偉大な戒めは他にありません。

自分自身のように隣人を愛しなさい。これより大きな戒めはありません。

1. 黄金律: 自分のように隣人を愛せよ

2. 愛せよという命令：和解のメッセージ

1. ヨハネ 15:12 - 「これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。」

2. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は神だからです。」愛。"

マルコ 12:32 そこで律法学者は彼に言った、「先生、あなたは真実をおっしゃいました。神はただ一人だからです。」そして彼以外には誰もいません。

律法学者は神が唯一であることを認めています。

1. 神の主権 - 唯一の真の神を認識することは、信仰生活を送るために不可欠です。

2. 信仰の生活を送る - 唯一の真の神を認めることは、聖なる生活を送るための基礎です。

クロス-

1. 申命記 6:4-5 - イスラエルよ、聞け、私たちの神、主は唯一の主である。そして、あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。

2. イザヤ書 43:10 - あなたがたは私の証人であり、私が選んだ私のしもべであると主は言われます。それはあなたがたが私を知り、信じ、そして私が彼であることを理解するためです：私の前に神は造られなかったし、神も造られないでしょう私の後に来てください。

マルコ 12:33 また、心を尽くし、知力を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして神を愛し、隣人を自分のように愛することは、あらゆる全焼のいけにえや犠牲よりも大切なことです。

イエスは、神を愛し、隣人を自分のように愛することの大切さを強調しました。それは、どんな全焼のいけにえや犠牲よりも大切なことです。

1. 神を愛し、隣人を愛しなさい - 最も重要な戒め

2. 愛の力 - 何よりも捧げもの

1. コリント第一 13:13 - 「そして今、信仰、希望、愛の三つが残っています。しかし、その中で最も偉大なものは愛です。」

2. ヨハネ 15:12 - 「わたしの命令はこれです。わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。」

マルコ 12:34 イエスは、彼が慎重に答えたのを見て、「あなたは神の国からそう遠くないところにいる」と言われた。そしてその後、誰も彼に質問をしなくなりました。

イエスはある男性の質問に対する答えに感銘を受け、自分は神の国に近づいていると語られました。この後、他の誰もイエスにそれ以上質問しようとしませんでした。

1.「神の国の近さ」

2.「回答の裁量」

1. マタイ 5:3-12 - 「心の貧しい人たちは幸いです。天の国は彼らのものです。」

2. 箴言 15:28 - 「義人の心は答えようと学ぶが、悪人の口は悪いことを注ぎ出す。」

マルコ 12:35 イエスは宮で教えながら答えて言われた、「律法学者たちはどうしてキリストがダビデの子だと言うのか」。

イエスは神殿で教え、律法学者たちにどうしてキリストがダビデの子だと言えるのかと尋ねました。

1. 信仰をさらに深めるために質問することの重要性

2. キリストの力とダビデとの関係

1. ローマ人への手紙 8:32、「ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに、すべてのものを慈しみ深く私たちに与えて下さらないのでしょうか。」

2. 詩篇 89:27、「わたしは彼を長子、地上の王の中で最も位の高い者とする。」

マルコ 12:36 というのは、ダビデ自身が聖霊によって、「主はわたしの主に言われた、『わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまで、あなたはわたしの右に座っていなさい』と言われたからである。」

マルコ 12:36 で、イエスはダビデの言葉を引用し、「主は主に、敵を征服されるまで自分の右に座るように言われた」と述べています。

1. イエスの力: 神の子の権威を理解する

2. 敵に勝つ：イエスの力を利用する

1. 詩篇 110:1 - 「主は私の主に言われます。『わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまで、わたしの右に座っていなさい。』

2. ヘブライ 1:3 - 「御子は神の栄光の輝きであり、神の存在を正確に表しており、その力強い言葉によってすべてのものを支えています。彼は罪を清めた後、天の陛下の右に座された。」

マルコ 12:37 したがって、ダビデ自身も彼を主と呼んでいます。それでは、彼はどこから彼の息子なのでしょうか？そして庶民は喜んで彼の言うことを聞きました。

この箇所は、イエスの教えが一般の人々にどのように受け入れられ、どのように驚かれたかを示しています。

1. イエスの教えの力: イエスと一般の人々とのつながり

2. 奇跡を理解する: イエスの神聖な息子としての謎を探る

1. ヨハネ 4:1-26 – サマリアの女性と関わるイエス

2. ルカ 5:1-11 – イエスはシモン・ペテロと他の漁師たちを人間をとる漁師になるよう呼びかける

マルコ 12:38 そしてイエスは教義の中で彼らに言った、「律法学者たちに気をつけなさい。彼らは長い服を着て行き、市場での挨拶が大好きです。

イエスは弟子たちに、派手な服を着て市場で注目を集めるのを楽しんでいた律法学者たちに注意するように警告されました。

1. 外見上のプライドの危険性

2. お世辞に注意する

1. 箴言 16:18 - 「高ぶりは滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

2. ヤコブ 4:6 - 「しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。だから彼はこう言います、神は高ぶる者には抵抗しますが、へりくだる者には恵みを与えます。」

マルコ 12:39 また、会堂の主席、および祝宴の最上階の部屋は次のとおりである。

イエスは人々に、会堂の最も重要な席や祝宴で最も目立つ場所を求めないよう警告されました。

1. 高慢は堕落する前に失われる: 謙虚さに関する研究

2. 沈黙の証人: 聞いて受け取ることを学ぶ

1. ルカ 14:7-11、イエスは、結婚式の祝宴で最も重要な席に着こうとする男のたとえを語る

2. 箴言 18:12、「人の心は滅びの前では高慢であり、名誉の前では謙虚である。」

マルコ 12:40 やもめの家を食い荒らして、口実として長い祈りをする者は、より大きな懲罰を受けるであろう。

この箇所は、敬虔なふりをして長い祈りをすることで、自分の利益のために弱者を利用する人々について警告しています。

1. 私たちの忠実さは、祈りに費やした時間の長さによって測られるべきではなく、最も弱い立場にある人々をどのように扱うかによって測られるべきです。

2. 私たちは自分の利己心を隠れ蓑として敬虔さを利用すべきではありません。

1. ヤコブ 1:27 - 父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児や寡婦を訪問し、世から汚れないように保つことです。

2. マタイ 23:14 - 偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたがたは災いです。あなたたちは未亡人の家を食い荒らして、見せかけのために長い祈りをしているからです。したがって、あなたはさらに大きな非難を受けるでしょう。

マルコ 12:41 それから、イエスは宝物庫のほうに座って、人々が宝物庫にお金を投げ入れる様子をご覧になった。

イエスは人々が国庫にお金を寄付しているのを観察されました。裕福な人々の多くは寛大に寄付しました。

1. 寛大さの力: 寄付がどのように人生を変えることができるか

2. 最大の贈り物: イエスは与える行為を通して愛を示すことをどのように教えられたか

1. コリント人への第二 9:6-8 「これを覚えておきなさい。控えめに種を蒔く人は、刈り取りも少なくなり、惜しみなく種を蒔く人は、たっぷりと刈り取ることになる。あなた方一人一人が、嫌々ではなく、あるいは強制ではなく、自分の心の中で捧げると決めたものを捧げるべきです。なぜなら、神は陽気に与える人を愛しているからです。そして神はあなたを豊かに祝福してくださるので、いつでも、あらゆることにおいて、あなたが必要なものをすべて持ち、あらゆる良い行いを豊かに行うことができるでしょう。」

2. ヨハネ第一 3:17 - 「もし物質的な所有物を持っていて、困っている兄弟や姉妹を見て、それを憐れまない人がいるとしたら、どうしてその人の中に神の愛があり得ますか。」

マルコ 12:42 そこへ、ある貧しいやもめがやって来て、一ファースになるダニを二粒投げ入れた。

この一節は、貧しいにも関わらず寛大な捧げ物をする貧しい未亡人の物語に焦点を当てています。

1. 「寛大の心」- 供物の規模に関係なく、寛大な心で与えることの重要性について。

2. 「忠実な従順の力」- 小さいながらも忠実な従順の行為を通して信仰を実践する力について。

1. コリント人への第二の手紙 9:7 - 「あなたがたは一人一人、しぶしぶでなく、あるいは強いられてでもなく、心に決めたものをささげるべきです。神は喜んで与える人を愛してくださっているからです。」

2. ルカ 21:1-4 - 「イエスは顔を上げたとき、金持ちたちが神殿の宝物庫に贈り物を入れているのを見ました。また、貧しいやもめが非常に小さな銅貨を二枚入れているのを見ました。「真実を言います」と彼は言いました。「この貧しい未亡人は、他の人たちよりも多くを注ぎ込みました。これらの人々は皆、自分の富から贈り物をしました。しかし、彼女は貧しい中から、生きていくために必要なすべてを注ぎ込みました。」

マルコ 12:43 そこで、イエスは弟子たちを呼んで、彼らに言った、「よく言いますが、この哀れなやもめは、宝物庫に投げ込んだすべてのお金よりも多くを投げ込んだのです。

イエスは、最後の二枚の硬貨を国庫に寄付した貧しい未亡人の寛大さを称賛します。

1. 寛大に生きる: 犠牲を与える力

2. 神の心: 最も小さな贈り物に価値を見出す

1. 箴言 3:9-10 - あなたの富とすべての産物の初穂をもって主を敬え。そうすれば、あなたの納屋はたくさんのワインで満たされ、あなたの桶はワインでいっぱいになるでしょう。

2. コリント人への第二 9:7-8 - 神は喜んで与える人を愛しておられるので、各人は嫌々ではなく、あるいは強制ではなく、自分の心に決めたとおりに与えなければなりません。そして神は、あらゆる恵みをあなたに豊かに与えることができるので、あなたは常にすべてのことにおいて十分に満たされ、あらゆる良い行いに豊かになれるでしょう。

マルコ 12:44 彼らは自分たちの豊かさをすべて注ぎ込んだのです。しかし、彼女は自分が望んでいたものをすべて、自分の命のすべてを注ぎ込みました。

この聖句は犠牲を捧げることの重要性を強調しています。

1: 与えるときは犠牲的に与えるべきです。私たちの豊かさだけでなく、私たちが持っているすべてを捧げるまでにさえ。

2: 私たちは惜しみなく与えるべきであり、惜しみなく与えるだけでなく、犠牲的に与えるべきです。

1: 2 コリント 8:2-4 – 「苦難という厳しい試練の中で、彼らの豊かな喜びと極度の貧困が、彼らの豊かな寛大さの中に溢れ出ているからです。なぜなら、私が証言できるように、彼らは資力に応じて献金し、自らの意思で資力を超えて、聖徒たちの救済に参加してくださるよう私たちに熱心に懇願したからである。」

2: 使徒 4:32-35 – 「さて、信じた人々の総数は心も魂も一つであり、自分のもののどれかが自分のものであるとは誰も言わなかったが、彼らにはすべての共通点があった。そして使徒たちは力強く主イエスの復活について証言しており、彼ら全員に大きな恵みが降り注いでいました。彼らの中には貧しい人は一人もおらず、土地や家の所有者と同じくらい多くの人がそれを売り、その売った代金を持ってきて使徒たちの足元に置き、必要に応じて各自に分配したからである。」

マルコ 13 章には、神殿の破壊、終末のしるし、人の子の到来、そして注意深く見守るよう勧めることについてのイエスの預言的な言説が含まれています。

第 1 段落: この章は、一人の弟子が壮大な神殿の建物について言及することから始まります。イエスは、すべての人が投げた石は一つも残らず、別の石も残らないと預言されました（マルコ 13:1-2）。その後、ピーター・ジェームス・ジョン・アンドリュー寺院の向かい側にあるオリーブ山で、これらのことがいつ起こるのか、そこにあるすべてのことが成就する兆候は何なのかを個人的に尋ねました。イエスは、誰にも騙されないよう警告します。多くの人が神の名のもとに来て、「私は彼です」と主張し、多くの戦争、噂、戦争、それでも終わりは来る、国家が国家に対して立ち上がり、王国が王国に対して、地震が起こり、様々な場所で飢餓が起こり、これらの産みの苦しみが起こる（マルコ13:3-8）。。

第2段落: 彼は議会に引き渡されると警告し続けている 鞭打ちのシナゴーグが総督たちの前に立つ 王たちが証人として立つ 逮捕され裁判が起こされるたびに、まず神の福音がすべての国に宣べ伝えられなければならない 事前に心配する必要はない その時に言われたことは何であれ、話さないが、聖霊の兄弟は裏切る兄弟が死んだ 父親が子 子が親に反抗した 親が死ぬから皆が憎んでいる しかし、断固として立ち向かう者は、「忌まわしいことが荒廃を引き起こす」を見ると救われるだろう居場所のない場所に立っている 読者が理解している 逃げる 山 人 家の屋上に降りる 家に入る 何かを持ち出す 人 野原に行くマントを取り戻してください、妊娠中の授乳中の母親の日、これが起こらないように祈ってください、冬の安息日、神が創造した世界の始まりから今に至るまで、比類のない苦痛が存在するでしょう、もし主がその日々を短縮しなければ、誰も生き残ることはできなかったでしょう、選ばれた人が短縮したからですそのとき、誰かが「キリストはここを見なさい、あそこを見てください」と言ったら、偽キリストを信じない、預言者は不思議なしるしを行う、選ばれた人さえも欺く、警戒している可能性がある、したがってすべてを前もって話しました（マルコ13:9-23）。

第3段落：あの頃は苦難のあと、太陽が暗くなり、月が光を与え、星が落ち、空、天体が揺れ、それから息子を見る、人間が来る、雲、大いなる力、栄光を送る、天使が集まる、選ぶ、4つの風が終わる、地球が終わる、天が教訓を学ぶ、イチジクの木、やがて小枝が柔らかい葉が出てくる、夏を知る近くにいても、これらのことが起こっているのを見ると、右のドアの近くで知ってください、これらすべてのことが起こるまで、世代は確実に過ぎ去ります、天の地が過ぎ去ります、言葉は決して過ぎません、昼の時間については誰も知りません、天使も天も息子も知らないのは父だけです、注意して見守ってください男が家を出るように、いつ時間が来るかわからない 使用人は責任を負い、それぞれの割り当てられた仕事はドアで人に告げます 見張りをしなさい したがって、所有者の家がいつ来るかはわかりません 夕方、鶏の鳴き声が夜明けになるかどうか 突然来たら、眠っているのを見つけたら、みんなが何を言うか見てください！信者たちに、正確なタイミングが不確実であるにもかかわらず、イエスの再臨を待ち望む状態での準備をするよう勧める（マルコ 13:24-37）。

マルコ 13:1 イエスが神殿から出て行くとき、弟子の一人が彼に言った、「先生、ここにどんな石やどんな建物があるのか見てください。」

イエスと弟子たちは神殿の素晴らしさに驚きました。

1. 神の家の素晴らしさ：神の創造の美しさを見る

2. 私たちの生活における神の威厳を認識することの重要性

1. 詩篇 29:2 - 御名にふさわしい栄光を主に帰しなさい。聖性の輝きの中で主を礼拝してください。

2. 詩篇 8:3-4 - 私があなたの天、あなたの指の働き、あなたが定められた月と星を見るとき、あなたがその人に思いを馳せているとは、人間とは何なのか、そして人の子とは何なのか。あなたが彼のことを気にかけているということですか？

マルコ 13:2 するとイエスは答えて言われた、「この大きな建物が見えるか」。一つの石が他の石の上に残ることはなく、投げ落とされることはありません。

イエスはエルサレム神殿の破壊を予告します。

1. 地球構造のはかなさ

2. イエスの預言の真実性

1. ヘブライ 12:28 - ですから、私たちは揺るぎない王国を受けているのですから、感謝の気持ちで満たされ、敬意と畏敬の念を持って受け入れられるように神を礼拝しましょう。

2. コリント人への第二の手紙 4:18 - ですから、私たちは見えるものではなく、見えないものに目を向けます。なぜなら、見えるものは一時的なものですが、見えないものは永遠だからです。

□□□ 13:3 □□□□

1: エレミヤ 29:13 - あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を探し、私を見つけるでしょう。

2: テサロニケ人への第一の手紙 5:21 - すべてを試してください。良いものをしっかりと持ち続けてください。

マルコ 13:6 多くの人がわたしの名によって来て、「わたしはキリストだ」と言うだろう。そして多くの人を欺くだろう。

多くの人が自分はメシアだと主張し、多くの人を欺くでしょう。

1. 偽預言者に気をつけなさい - マタイ 7:15-20

2. 敵の嘘 - エペソ人への手紙 6:10-17

1. コリント第二 11:13-15

2. 使徒8:9-11

マルコ 13:7 戦争や戦争の噂を聞いても、心配しないでください。そのようなことは必然だからです。しかし、終わりはまだないでしょう。

この聖句は、戦争やその他のトラブルの報告に悩まされないようにと信者に勧めています。戦争やその他のトラブルは人生の一部ですが、世界の終わりはまだではありません。

1. 私たちのための神の計画: 人生は簡単ではないが、神に頼ることはできるということを理解する

2. 終わりはまだない: 困難に直面してもどうやって耐えるか

1. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている」と主は宣言されます、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。そして、私たちに与えられた聖霊を通して神の愛が私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

マルコ 13:8 というのは、国は国に対して、王国は王国に対して立ち上がるからです。そして、さまざまな場所で地震が起こり、飢餓と困難が起こります。これらは悲しみの始まりです。

悲しみの始まりには、戦争、地震、飢餓、困難などが含まれます。

1. 苦しみの最中における神の憐れみ

2. 困難な時期に備えて

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、あなたがさまざまな誘惑に陥ったとき、それをすべて喜びと考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。しかし、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完璧で完全なものになることができます。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

マルコ 13:9 しかし、気をつけなさい。彼らはあなたたちを議会に引き渡すだろう。そして、あなたがたは会堂で打たれ、わたしのために、彼らに対する証言のために、支配者や王たちの前に引き出されるであろう。

弟子たちはイエスとその教えに忠実であるために迫害されるでしょう。

1. 信仰に堅く立つ: 迫害に直面してもイエスにしっかりし続ける

2. 勇気ある証人: 危害の脅威にもかかわらずイエスについて証言する

1. ヨハネ 15:18-20 - 「もし世があなたを憎んでいるなら、まず世がわたしを憎んだことを心に留めておいてください。もしあなたが世に属しているなら、世はあなたを自分のものとして愛するでしょう。現状では、あなたは世に属していません。」「世ではありますが、わたしはあなたを世から選びました。それが世があなたを憎む理由です。私があなたに言ったことを思い出してください。『召使いは主人より偉いわけではない』。」彼らが私を迫害したなら、あなたも迫害するでしょう。」

2. マタイ 5:10-12 - 「義のゆえに迫害されている人々は、幸いである、天国は彼らのものだからである。人々があなたを侮辱し、迫害し、私のせいであなたに対してあらゆる種類の悪口を誤って言うとき、あなたは幸いである」「喜びなさい。喜びなさい。天でのあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちを同じように迫害したからです。」

マルコ 13:10 そして、福音はまずすべての国民に出版されなければなりません。

福音はすべての国に広められなければなりません。

1: 大使命 - すべての国に福音を伝える

2: 福音を広めることの無限の可能性

1: マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。

2: 使徒 1:8 - しかし、あなたがたは力を受けるであろう。その後、聖霊があなたがたに臨んだ後、あなたがたはエルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして世界の最果てに至るまで、わたしの証人となるであろう。地球。

マルコ 13:11 しかし、彼らがあなたたちを導き、引き揚げるときは、何を話そうか、前もって考えてはなりませんし、計画も立てません。しかし、その時に与えられるものを何でも話してください。それはあなたたちではないからです。聖霊以外は語れません。

クリスチャンは迫害されたときに何を言えばよいか心配する必要はありません。聖霊が導き、語る言葉を与えてくださるからです。

1. 聖霊を信頼する - 神の導きに慰めを得る

2. 試練の時に真実を語る - 聖霊の力に頼る

1. ヨハネ 16:13 - 「しかし、真理の御霊が来られるとき、彼はあなたをすべての真理に導いてくださいます。なぜなら、彼は自分の権威に基づいて話すのではなく、聞いたことを何でも話すからです。そして彼はそうするでしょう」これから起こることを教えてください。」

2. ローマ 8:26 - 「同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。私たちは何を祈るべきか分かりませんが、御霊ご自身が、言葉にならないうめきをもって私たちのために執り成しをしてくださいます。」

マルコ 13:12 さて、兄弟は兄弟を殺し、父は子を裏切るであろう。そして子供たちは両親に対して反抗し、彼らを死刑に追い込むであろう。

兄弟が裏切り、子供たちが親に反抗し、家族の絆は崩壊する。

1. 家族の裏切り: 絆を壊した結果

2. 父親と母親を敬う: 家族の絆を保つ祝福

1. 創世記 2:24 - このため、人は父と母を離れて妻と結ばれ、二人は一体となるでしょう。

2. エペソ 6:1-3 - 子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。?あなたのお父さんとお母さんは？앪 € 봶これは約束のある最初の戒めですか？쐓おお、あなたとうまくいき、地上で長生きを楽しめますように。

マルコ 13:13 そして、あなたがたは、わたしの名のゆえにすべての人から憎まれるであろう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われるであろう。

イエスに従う者は皆憎しみを経験しますが、耐え忍ぶ者は救われます。

1: 試練を耐え忍ぶ - マルコ 13:13

2: 忍耐の力 - マルコ 13:13

1: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。

2: ペテロ第一 5:8-9 - 注意深く、冷静な心を持ちなさい。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのように、食いつくべき者を探して歩き回っています。信仰にしっかりと立って、彼に抵抗してください。

マルコ 13:14 しかし、預言者ダニエルが語った、忌まわしい荒廃が、立ってはならない場所に立っているのを見たときは、ユダヤにいる者は山に逃げなさい。

イエスは追随者たちに、預言者ダニエルが語った荒廃という忌まわしい行為を見た時は山に逃げるよう警告されました。

1. 神の警告: 預言者の言葉に耳を傾ける

2. 山へ逃げる：イエスの呼びかけに耳を傾ける

1. ダニエル 11:31 - 「...そして彼らは力の聖所を汚し、日々のいけにえを奪い取り、荒廃させる忌まわしいものを置くでしょう。」

2. マタイ 24:15-16 - 「それゆえ、預言者ダニエルが語った、忌まわしい荒廃が聖所に立つのを見るとき、（読む者は理解させなさい。）そのときは、ユダヤにいる者たちは逃げなさい。」山の中へ。」

マルコ 13:15 屋上にいる者は、家から物を持ち出すために、家に下りたり、中に入ったりしてはならない。

イエスは追随者たちに、家の屋根に留まり、何かを取りに家の中に入ってはいけないと指示しました。

1. イエスの指示に忠実に従うことの重要性

2. 信念と回復力をもって予期せぬ事態に備える

1. マタイ 7:24-27 - したがって、私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は誰でも、私は彼を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。

2. ガラテヤ 6:9 - 善行に疲れないようにしましょう。気を失わなければ、しかるべき季節が来れば刈り取ることができるからです。

マルコ 13:16 野にいる者は、衣を取りに再び引き返してはならない。

イエスは弟子たちに、もし誰かが野原にいるなら、後ろに下がって衣服を奪ってはならないと教えられました。

1. 目の前の仕事に集中し続けることの重要性。

2. 謙虚さと満足感の価値。

1. ピリピ人への手紙 4:11-13 「私は、困っていることについて話しているのではありません。私は、どんな状況でも満足することを学んだのです。私は、どのように落ち込むかを知っており、どのようにして豊かになるかを知っています。そしてあらゆる状況において、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。

2. ヤコブ 4:13-15 - さあ、こう言う人たちよ。今日か明日、私たちはこれこれの町に行き、そこで一年を過ごし、貿易をして利益を得るでしょうか？それでも、明日何が起こるかわかりません。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。代わりに、こう言うべきです。主の御心ならば、私たちは生きて、あれやこれやをするでしょう。

マルコ 13:17 しかし、子を持つ者たちと、その時代に乳を飲む者たちには災いがある。

イエスは、患難の時代に妊婦や授乳中の母親が直面する困難について警告しています。

1. 出産の困難: 聖書からの教訓

2. 困難な時に母親をサポートする方法

1. イザヤ書66:7-9

2. エレミヤ6:24-26

マルコ 13:18 そして、冬に逃亡しないように祈ってください。

イエスは弟子たちに、天候やその他の困難がより深刻になる可能性がある冬に危険から逃れることができないように祈るように指示されました。

1. 信仰をもって恐怖に立ち向かう：困難な時に神を信頼することを学ぶ

2. 逆境の中で強さを求める：困難な時に慰めと自信を見つける

1. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない」。」

2. 詩篇 46:1 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に今もいる助けです。」

マルコ 13:19 その時代には、神が創造された天地創造の初めから今日に至るまでなかったような苦難が、これからも起こらないからである。

この一節は、これまでに見たことのない、そして今後も決して見られないであろう大きな苦難の時代について警告しています。

1. 主は大きな苦しみの時代について私たちに警告しておられる - マルコ 13:19

2. 困難の時に備える方法 - マルコ 13:19

1. イザヤ書 2:12-21 - 神ですか？神の警告を無視したすべての者に裁きを下す

2. マタイ 24:4-14 - イエス?終わりの時についての警告と、忠実を保つ方法についての指示。

マルコ 13:20 そして、主がその日を短くしなかった限り、肉なる者は救われるべきではありません。しかし、主が選ばれた者たちのために、主はその日を短縮されました。

主は選ばれた人々のために日を短縮されました。

1: 選ばれた者に対する神の忠実さ

2: 信じる者すべてに神の憐れみを

1: ローマ 8:28-39 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2: テサロニケ第二 2:13-17 - しかし、主に愛されている兄弟たち、私たちは常にあなたたちのために神に感謝しなければなりません。なぜなら、神はあなたたちを、御霊による聖化と真理への信仰を通して救われる初穂として選んだからです。

マルコ 13:21 それで、もし誰かがあなたに、「見よ、ここにキリストがいる。あるいは、見よ、彼はそこにいる。彼を信じないでください：

イエスは追随者たちに、メシアであると主張する人を信じたり、メシアがどこにいるのかを知ったりする人を信じないようにと警告しています。

1. 偽預言者の危険性

2. イエスに従う??例: 偽預言者に対する識別力を保つ

1. ヨハネ第一 4:1-3 「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、その霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出て行ったからです。これによってあなたは神の霊を知ることができます。」: イエス・キリストが肉となって来られたと告白するすべての霊は神から出たものであり、イエスを告白しないすべての霊は神から出たものではありません。これは反キリストの霊であり、あなたがたが到来すると聞いていたものであり、今はすでにこの世にいます。」

2. コリント人への第二の手紙 11:13-15 - 「そのような人たちは、キリストの使徒に変装した偽使徒、欺瞞の働き者なのです。それも不思議ではありません。サタンでさえ光の天使に変装しているのですから。しもべたちもまた、義のしもべを装う。彼らの終わりは彼らの行為に応じて起こるだろう。」

マルコ 13:22 というのは、偽キリストと偽預言者たちが立ち上がって、しるしと不思議なわざを示し、できれば選ばれた者たちさえも誘惑するであろうからである。

偽預言者は、神の選ばれた民さえも、しるしや不思議な出来事によって欺こうとします。

1. 偽預言者の危険性と真実を識別することの重要性。

2. 神に選ばれた民がどのように騙されるのか、そしてどのように警戒を続けるのかを理解する。

1. エレミヤ 14:14 - 「預言者たちはわたしの名において偽りを預言しています。わたしは彼らを遣わしたわけでも、任命したわけでも、彼らに話したわけでもありません。彼らはあなたがたに偽りの幻、占い、偶像礼拝、そして自分たちの心の妄想を預言しているのです。」

2. ペテロ第二 2:1-3 - 「しかし、あなたがたの中にも偽教師が現れるのと同じように、民の中にも偽預言者もいました。彼らは破壊的な異端を密かに広め、自分たちを買い取ってくださった主権者である主さえ否定するのですか？」"

マルコ 13:23 しかし、あなたがたは注意してください。見よ、わたしはあなたがたにすべてのことを予告しました。

この聖句は、イエスがこれから起こることについてすでに警告しているように、私たちに注意を払い、用心深くするよう思い出させます。

1. 「準備をしなさい：イエスの警告に耳を傾けなさい」

2. 「気を付けてください: イエスの予告が私たちに備えをさせます」

1. ペテロ第一 5:8 - 「心を冷静にし、気をつけなさい。あなたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくす者を求めて歩き回っています。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:6 - 「それでは、他の人たちのように眠らずに、目を覚まして、しらふでいようではありませんか。」

マルコ 13:24 しかし、その時代には、その患難の後、太陽は暗くなり、月は光を与えなくなり、

イエスは、大患難の時代とそれに続く暗黒の時代について警告しています。

1. 暗闇を恐れないでください: 困難な時期に備える方法

2. 神の光の約束: 困難な状況の中で希望を見出す

1. イザヤ書 60:19-20 - 主はあなたの永遠の光となり、あなたの神はあなたの栄光となります。

2. マタイ 5:14-16 - あなたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。

マルコ 13:25 そして、天の星が落ち、天にある力が揺るがされるであろう。

天の星と力は揺るがされるでしょう。

1. 揺るぎない神の王国: 天の星はいかに落ちるか

2. 天の力: 私たちの信仰はどのようにして揺るぎないのか

1. イザヤ書 34:4 - 「そして、天の軍勢はすべて溶けて、天は巻き物のように巻き上げられる。そして、その軍勢はすべて、ぶどうの木から葉が落ちるように、また落ちるもののように倒れるだろう」イチジクの木から採れたイチジクです。」

2. ヘブライ人への手紙 12:26-27 - 「そのとき、その声は地を震わせました。しかし今、彼はこう約束されました。『もう一度、わたしは地だけでなく、天も震わせます。そして、もう一度、この言葉は、取り除くことを意味します』揺るがされるものは、造られたものと同じように、揺るぎないものが残るためである。」

マルコ 13:26 そのとき、彼らは人の子が大いなる力と栄光をもって雲に乗って来るのを見るであろう。

イエスは力と栄光を帯びて戻って来られ、すべての人の目に見えます。

1. イエスが来られるとき: イエスの再臨の力と栄光

2. 主の到来の雲: 備えをしなさいという勧め

1. マタイ 24:30 - 「そのとき、人の子のしるしが天に現れるでしょう。そしてそのとき、地上のすべての民は、人の子が力と偉大な栄光をもって天の雲に乗って来るのを見て嘆き悲しむでしょう。」。」

2. 黙示録 1:7 - 「見よ、彼は雲に乗って来る。そして、彼を突き刺した者たちも含め、すべての目は彼を見るだろう。そして地上のすべての民は彼のために悲しむだろう。そのようになるだろう！アーメン。」」

マルコ 13:27 それから彼は天使たちを遣わし、地の果てから天の果てまで、四方から選ばれた者たちを集めるであろう。

イエスは天使たちを遣わして、世界中から選ばれた人々を集めます。

1.神の力?天使たち: イエスはどのようにして選ばれた者を集めるために使者を送ったのか

2. 神の成就?約束: イエスはどのようにして選ばれた者を家に連れ戻すために天使を遣わすのか

1. イザヤ書 27:13 「その日、大ラッパが吹き鳴らされ、アッシリアの地で滅びようとしていた者たちと、エジプトの地で追放された者たちが来るであろう。エルサレムの聖なる山で主を礼拝するであろう。」

2. マタイ 24:30??1 「そして、人の子のしるしが天に現れるでしょう。そのとき、地上のすべての部族は悲しみ、人の子が天の雲に乗って来るのを見るでしょう。」「力と大いなる栄光。そして彼はラッパの音を響かせて天使たちを遣わし、彼らは天の端から端まで四方から彼の選ばれた者を集めるだろう。」

マルコ 13:28 さて、いちじくの木のたとえを学びましょう。彼女の枝がまだ柔らかく、葉が出てくると、夏が近づいていることがわかります。

イチジクの木は夏の到来のたとえです。

1. イチジクの木: 希望の寓話

2. イチジクの木: 準備の図解

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ヤコブ 5:7-8 - ですから、兄弟たち、主の到来まで辛抱してください。見よ、農夫は大地の貴重な実りを待ち、早い雨と遅い雨が降るまで長い間忍耐している。あなたがたも忍耐強くありなさい。心を安定させなさい。主の来臨が近づいているからである。

マルコ 13:29 ですから、あなたがたも同じように、これらのことが起こるのを見るとき、それが戸口に迫っていることを知りなさい。

イエスは終わりの時に備える必要性を強調しています。

1: イエスが言われたように、終わりの時が近づいていることに備えてください。

2: 終わりの時に備えなさいというイエスの警告は、現状に満足してはいけないことを思い出させます。

1: マタイ 24:42-44 ですから、目を覚ましていなさい。あなたの主がいつ来られるか、あなたがたは知らないからです。しかし、これを知っておいてください。家の主人が、夜のどの時間に泥棒が来るかを知っていたら、彼は起きていて、家に侵入されることを許さなかったでしょう。したがって、人の子がいつ来るかわからないので、あなたも警戒しなさい。

2: 1 テサロニケ 5:1-5 兄弟姉妹の皆さん、時と季節については、何も書いてもらう必要はありません。なぜなら、主の日が夜の盗人のように来ることをあなたがた自身がよく知っているからです。彼らが言うとき、?ここは平和で安全ですが、妊婦に陣痛が襲うように、突然の破滅が彼らを襲い、逃げ場はありません。しかし、兄弟姉妹の皆さんは、その日が泥棒のように襲いかかるために、暗闇の中にいるわけではありません。いいえ、皆さんは光の子、日の子です。私たちは夜や闇の者ではありません。

マルコ 13:30 まことにあなたがたに言いますが、これらすべてのことが完了するまでは、この世代は過ぎ去らないでしょう。

この聖句は、すべての預言が同じ世代に成就することを示唆しています。

1. この世代における私たちの忠実さが、次の世代の将来を決定します。

2. 私たちは自分の信念を堅持し、神の愛の輝く模範とならなければなりません。

1. マタイ 24:34-36 - 「真実に言いますが、これらすべてのことが起こるまでは、この世代は決して過ぎ去ることはありません。天と地は過ぎ去りますが、

私の言葉は決して過ぎ去りません。」

2. ヘブライ人への手紙 10:35-36 - 「だから、自信を捨ててはいけません。その自信は豊かに報われます。神のご意志を行ったときに、約束されたものを受け取ることができるように、あなたは忍耐しなければなりません。」

マルコ 13:31 天と地は滅びますが、わたしの言葉は滅びません。

神の言葉は決して消えることはありません。

1: 神の言葉と約束を信じる

2: 困難の中でも神の言葉にしっかりと立つ

1: マタイ 24:35 - 天と地は過ぎ去りますが、私の言葉は決して過ぎ去りません。

2: イザヤ書 40:8 - 草は枯れ、花はしぼむが、私たちの神の言葉は永遠に立つ。

マルコ 13:32 しかし、その日、その時のことは、誰も、いや、天にいる天使たちも、子も、父も知りません。

世の終わりがいつ来るかは誰にも分からず、天の天使や子でさえも、父だけが知りません。

1: 世界がいつ終わるかは神だけが知っているので、そのことに気を取られず、神に喜ばれる人生を送ることに集中してください。

2: 世界の終わりは未知数ですが、その不確実性の真っ只中にも神が私たちとともにおられると確信できます。

1: マタイ 6:25-34 - 心配しないで、代わりに神の国と義を求めてください。

2: 詩篇 46:1-3 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。

マルコ 13:33 あなたがたは、気を付けて、見張って、祈っていなさい。時がいつなのか、あなたがたは知らないからです。

目を覚まして主の到来に備えてください。

1. 準備をしましょう: 主の再臨に備える

2. 現時点の緊急性: 見守って祈ってください

1. ローマ人への手紙 13:11-14 - 時が来たこと、今が眠りから目覚める時であることを知っています。なぜなら、私たちの救いは私たちが信じた時よりも近づいているからです。

2. ルカ 12:35-40 - 腰を締め、光を灯しなさい。そしてあなたがた自身も、主が結婚式から帰ってくるのを待つ人々のようなものである。それは、彼が来てノックすると、彼らがすぐに彼に心を開くことができるようにするためです。

マルコ 13:34 人の子は、家を出て、家来たちと自分の仕事すべての人に権威を与え、番人に見張りを命じた、遠い旅をする人のようなものだからです。

人の子は、僕たちに権威を与え、彼らに任務を任せた旅人です。彼はまた、ポーターに監視するよう命じた。

1. 主から私たちに託された任務の重要性。

2. 生活の中で常に警戒し警戒し続けることの重要性。

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ。

2. ペテロ第一 5:8-9 - 身を慎んで、悪魔がほえるライオンのようにうろつくことに注意してください。

マルコ 13:35 だから、あなたがたは気をつけなさい。家の主人が、夕方なのか、真夜中なのか、鶏の鳴き声のときなのか、朝なのか、いつ来るのか、あなたがたは知らないからだ。

イエスは追随者たちに、いつ戻ってくるか誰にも分からないので常に警戒し、イエスの帰還を見守るようにと指示されました。

1. 「備えをしなさい：キリストの再臨を待ち望みながら生きる」

2. 「警戒せよ：キリストの再臨に備える」

1. テサロニケ人への第一の手紙 5:1-11 ??主の再臨とそれに照らしてどのように生きるかについてのパウロの指示。

2. マタイ 24:36-44 ??再臨と備えを保つ方法についてのイエスの教え。

マルコ 13:36 眠っているあなたを彼が突然見つけてしまうかもしれない。

イエスは弟子たちに、人の子がいつ戻ってくるかわからないので、目を覚ましていて目を覚ましているように勧めます。

1.「準備ができて待っている: 主の再臨に備えて警戒を続ける方法」

2. 「目を覚まして見ていなさい: 主の再臨を期待して生きることの大切さ」

1. エペソ人への手紙 5:14-17 「だから、賢くない者としてではなく、賢い者としてどのように歩むかに注意し、時間を最大限に活用しなさい。悪しき日々が続いているからです。ですから、愚かではなく、何が意図されているかを理解してください。」「主の御言葉はあります。そしてぶどう酒に酔ってはなりません。それは散逸なのですから、御霊に満たされなさい。」

2. コロサイ 4:5 - 「機会を最大限に活用し、部外者に対して知恵を持って行動しなさい。」

マルコ 13:37 そして、私があなたがたに言うことは、すべての人に言います。

イエスは弟子たちに、常に警戒し、見守っていなさいと言いました。

1. 「目を覚ましてください！目を覚ましてイエスを迎える準備をしてください」

2. 「イエスの再臨に備えなさい」

1. マタイ 24:42 - 「だから、目を覚ましていなさい。あなたの主がいつ来られるかわからないからです。」

2. ペテロ第一 4:7 - 「すべてのことの終わりが近づいています。ですから、祈ることができるように、目を覚まし、冷静な心を持ちなさい。」

マルコ 14 章には、イエス殺害計画、ベタニヤでの油注ぎ、最後の晩餐、ゲツセマネでのイエスの祈り、サンヘドリンでのイエスの逮捕と裁判、ペテロの否認など、いくつかの重要な出来事が記されています。

第 1 段落: この章は、祭司長と律法の教師たちが、イエスを逮捕して殺すためのずるい方法を探しているところから始まります。しかし彼らは、人々が暴動を起こすのを恐れて、祭りの間は行わないことに決めました(マルコ14:1-2)。ベタニアの家にシモンのらい病の女性がやって来て、アラバスターの壺を割ってやって来て、純粋なナルドで作った非常に高価な香水を彼の頭に注ぎました。出席者の中には、貧しいことを考えると、彼女の無駄遣いは一年分の賃金以上で売られたかもしれないと叱責する人もいたが、イエスは彼女を弁護し、彼女は美しいことをした、貧しい彼はいつでも彼らを助けてくれるだろうが、いつでも助けてもらえるとは限らない、彼女は事前に体に香水を注ぐことができることをした世界中で福音が宣べ伝えられるところならどこでも、彼女のしたことは彼女の記憶として語り継がれるであろう (マルコ14:3-9)。

第 2 段落: それから、イスカリオテのユダ 12 人が行って、祭司長たちは彼を裏切り、お金を与えるという約束を聞いて喜んだので、渡す機会を待っていました (マルコ 14:10-11)。祭りの初日、慣習的な犠牲であった種なしパン 過越の祭りの子羊 弟子たちはどこに行きたいのかと尋ね、過越の食事を準備しなさい 彼は二人の弟子を街に送り、水瓶を運ぶ男についていくように言いました オーナーの家だと言います 先生が尋ねます「過越の食事を食べられる客室はどこですか」私の弟子たちと一緒に？』彼は大きな上の部屋を見せ、準備が整い、そこに夕方が来てテーブルを横たえる 12時、食事中に、本当に人は裏切る、食べる人はボウルに浸したパンを与える、パンを私と一緒にボウルに浸す人は言う、息子の男は彼のことについて書かれているとおりに行きます、悲しい人は息子をより良く裏切りますもし彼が生まれていなかったら、その人のために（マルコ 14:12-21）。食事中にパンを取り、感謝の気持ちを表し、休憩中に「これは私の体です」と言って杯を取り、感謝の意を表して全員に飲み物を差し出し、「これは私の血の契約であり、多くの人が注ぎ出したもので、日が来るまで果物のつるはもう飲まないと本当に言います」「王国の神」と賛美歌を歌った後、出て行けとオリーブ山が弟子たちに告げる、たとえすべてが離れ去ることはないとピーターに今日はそうだ、今夜鶏が鳴く前に自分は三度勘当する、とピーターは主張するが、たとえあなたと一緒に死んだとしても決して勘当しないとペテロは激しく宣言する（マルコ）14:22-31）。

第 3 段落: 彼らはゲツセマネと呼ばれる場所に行きました イエスは弟子たちに座って祈りながら言いました 深く苦しんでいます 悩んでいます 魂は打ちのめされます 悲しみの点で死はここに留まります ここに留まって見守ってください もう少し先へ進みます 地面が落ちます できれば時間が過ぎますように祈ります「アバ、父よ、私から可能な限りすべてを私から杯を奪ってください、それでもだめです」私が望むもの、しかしあなたが望むもの」と戻って眠っているのを見つけて尋ねますピーター・サイモンは眠っていて 1時間も見張っていられませんか？見てください、誘惑に落ちるのを見なさい、精神は意志の強い肉体が再び弱くなります、祈ってください、同じことが再び戻ってきます、眠っているのを見つけます、なぜなら重い目は何が起こるか知っていたからです、三度目は言う、十分な時間が来ます、見てください、息子、男は手を渡しました、罪人は立ち上がります、私たちを行かせてください、話している間に裏切り者が来ます、ユダが現れます群衆が武装した剣を派遣し、祭司長が教師たちを派遣し、法を裏切る者が事前に合図を出し、キスをする男を逮捕、警備の下で連行し、イエスを逮捕する、弟子たちはみなイエスを見捨てる亜麻布の服しか着ていない若者がイエスを追った、イエスを捕まえると衣服を残したまま裸で逃走した（マルコ） 14:32-52）。彼らはイエスを大祭司に連行し、そこに祭司長や長老の教師たちが集まっていた。ピーターは中庭に向かって右に行った大祭司に、警備員たちが座って体を温めた 祭司長はサンヘドリン全体でイエスに不利な証拠を探し、死刑にすることができるようにしたが、イエスに不利な虚偽の証言はほとんど見つからなかったが、彼らの陳述は一致せず、立ち上がった者たちは彼に対して虚偽の証言をした。「私たちは彼が『人間の手で作られたこの神殿を三日以内に破壊して、人間の手で作られていない別の神殿を建てる』と言っているのを聞いた。」しかし彼らの証言さえ一致しなかった。彼らの前に立ち上がってイエスに尋ねた、「答えないのですか？この人たちがあなたに不利な証言をしているのは何ですか？」しかし、沈黙を保ったまま答えはなく、大祭司は再び「あなたはメシアの息子で祝福された人ですか？」と尋ねました。「私はいます、そしてあなたは息子の男が右手に座っているのを見るでしょう、雲天に来る力ある者が」大祭司は服を引き裂き、これ以上証人が必要ですかと言いました冒涜を聞いたのですがどう思いますか？彼らは皆、価値ある死を非難し、中には彼に唾を吐きかけ、目隠しをして殴り、「預言せよ！」と言い始めた者もいた。警備員が殴りを担当しました（マルコ 14:53-65）。一方、ペテロは中庭の下で一人の召使の少女大祭司がやって来て、暖をとりながらよく見て言った、あなたもナザレ人と一緒だった、とイエスは否定した、何の話をしているのか分からない、玄関に出てきた鶏の鳴き声を上げた召使いの少女は、周りに立っている人たちを見た、この人が言ったしばらくして彼らは再び否定しましたが、近くに立っていた人々は、確かに彼らはガリラヤ人だとペテロに言った、彼は呪いを呼び始めた、誓った、私は知らない、この男が鶏が二回鳴く前にすぐに鶏が鳴いたことについて話している ペテロはイエスが彼に言われた言葉を思い出した「鶏が二度鳴く前に」三度勘当する。」そして彼は泣き崩れた(マルコ14:66-72)。

マルコ 14:1 二日後に過越の祭りと種なしパンの祭りがあったので、祭司長たちと律法学者たちは、どのようにしてイエスを舟で連れて行き、死刑にできるかを探した。

過越の祭りの2日前に、祭司長と律法学者たちはイエスを捕まえて殺そうと計画しました。

1: 神の意志は人間の計画よりも大きい - 箴言 19:21

2: 神の前での謙虚さ - ペテロ第一 5:5-6

1: マタイ26:3-5

2: ヨハネ11:45-53

マルコ 14:2 しかし彼らは、「民の騒ぎが起こるといけないから、祭りの日にはやめなさい」と言った。

群衆の中には、大騒ぎを引き起こす可能性があるため、祭りの日にイエスが油そそがれることに反対した人もいました。

1. たとえ計画に反する場合でも、神のタイミングを信頼することを学ぶ。

2. 神の御心を達成する上での謙虚さと服従の重要性を理解する。

1. イザヤ書 55:8-9 - 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の道はあなたの道よりも高いからである」自分の考えよりも考え。」

2. ヤコブ 4:7-10 - 「だから、あなたがたは神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げるでしょう。神に近づきなさい。そうすれば神はあなたに近づくでしょう。罪人よ、手を清めなさい。そしてあなたの手を清めなさい。」」_

マルコ 14:3 ベタニアのらい病人シモンの家で、食事の席に座っていると、非常に貴重なスパイクナードの軟膏が入った雪花石膏の箱を持った女が来た。そして彼女は箱を壊し、それを彼の頭に注ぎました。

この箇所には、非常に高価なスパイクナードの軟膏をイエスに塗る女性が描かれています。

1: 神は、神を愛する人々の贅沢な献身の行為を評価し、祝福します。

2: イエスは私たちの最も貴重な贈り物や捧げ物にふさわしい方です。

1: 2 コリント 9:7 - あなたがた一人一人は、しぶしぶではなく、あるいは強制でなく、自分の心の中で捧げようと決めたものを捧げるべきです。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。

2: ルカ 7:36-50 - イエスは罪深い女から高価な香油を注がれました。

マルコ 14:4 また、ある者たちは心の中で憤りを感じて、「なぜこんな軟膏を無駄にしたのだろうか」と言った。

この一節は、女性が作った軟膏を無駄遣いしたことに憤慨した人々について語っています。

1. 寛大さの力を信じる

2. 物質的なものに対する把握を手放す

1. コリント人への第二の手紙 9:6-7 - ?これを覚えておいてください。控えめに種を蒔く人は、刈り取りも控えめに行い、惜しみなく種を蒔く人は、寛大に刈り取ります。あなた方一人一人が、しぶしぶや強制されるのではなく、自分の心の中で捧げると決めたことを捧げるべきです。なぜなら、神は陽気に与える人を愛しているからです。

2. マタイ 25:40 - ?王はこう答えるだろう？はっきり言っておきますが、あなたが私の兄弟姉妹の中で最も小さい者の一人にしたことは、私のためにもしてくれたのです。ユーロ?

マルコ 14:5 それは三百ペンス以上で売られて、貧しい人々に与えられたかもしれないからです。そして彼らは彼女に対してつぶやいた。

この箇所は、貧しい人々に与えずに高価な油をイエスの足に注いだマリアに対して、イエスの弟子たちがいかに腹を立てたかを示しています。

1: イエスはこの物語を通して、たとえそれが自分の大切にしているものを犠牲にすることになっても、自分よりも他人を優先することを教えてくれます。

2: イエスがマリアの行動を通して示したように、私たちは困っている人たちに喜んで犠牲を与えるべきです。

1: ガラテヤ 6:10 - それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

2: ピリピ 2:3-4 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。

マルコ 14:6 そこでイエスは、「彼女を放っておいてください。」と言われた。なぜ彼女を困らせるのですか？彼女は私に良い働きをしてくれました。

イエスは自分に良い行いをした女性を弁護します。

1. 善を行う人々を擁護するイエスの模範

2. 良い行いに対して感謝の気持ちを示すことの重要性

1. マタイ 5:7、?慈悲深い者は弱い者である：彼らは慈悲を得るであろうから。

2. ガラテヤ 6:10、?したがって、私たちには機会があるので、すべての人、特に信仰の家族に属する人たちに善を行いましょう。

マルコ 14:7 というのは、あなたがたにはいつも貧しい人たちがいるからであり、いつでも望むときに彼らに善いことをしてあげてください。しかし、あなたがた

はいつもそうしているわけではありません。

貧しい人たちはいつもそこにいるので、私たちはできる限り彼らを助ける準備ができている必要がありますが、イエスがいつも私たちと一緒にいるとは限りません。

1. 困っている人たちに惜しみなく寄付してください。それがイエスに仕える方法だからです。

2. イエスはいつも私たちとともにおられるわけではありません。ですから、イエスがここにおられる間、機会を利用してイエスに仕えましょう。

1. ピリピ 4:19 そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2. ヤコブ 1:27 父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児や寡婦を訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。

マルコ 14:8 彼女はできる限りのことをしました。埋葬する私の体に油を塗るために、彼女は先に来ました。

ある女性は自分にできることをしました。それは、葬儀の準備のために早めに来てイエスの体に油を塗ることでした。

1. 小さなジェスチャーの力: マルコ 14:8 の女性の行動がどのように偉大な信仰を明らかにするか

2. 私たちにできることを行う: たとえどんなに小さなことであっても、私たちの行動がどのように変化をもたらすことができるか

1. コリント人への手紙第一 13:1-3 - 「たとえわたしが人間や天使の言葉で話し、慈愛を持たなかったとしても、わたしは鳴り響く真鍮、あるいはチリンチリンと鳴るシンバルのようになっています。そして、わたしには預言の賜物がありますが、すべての神秘とすべての知識を理解しています。そして、山を取り除くことができるほどの信仰を持っていますが、慈善活動をしていませんが、私は何者でもありません。そして、貧しい人たちを養うために全財産を与え、そして人々に自分の体を捧げていますが、私は無に等しいのです。火傷になっても、慈善活動をしなければ、私には何の利益もありません。」

2. マタイ 7:12 「ですから、あなたがたは、人にしてほしいと望むことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからです。」

マルコ 14:9 まことに、あなたがたに言います。この福音が全世界に宣べ伝えられるところはどこでも、彼女の記念として彼女のしたことも語り継がれるでしょう。

この一節は、イエスの足に高価な香水を注ぐという女性の寛大な行為と、その行為が無私の愛と献身の一例として記憶されることについて語っています。

1: 献身の代価 – イエスの足に高価な香水を注ぐという女性の無私な行為を見てください。

2: 寛大な人生を送る - この女性の寛大さの模範にどのように倣えるかを見てみましょう。

1: ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすれば、それはあなたに与えられるでしょう。いい加減に、押しつけられ、一緒に揺さぶられ、そして駆け寄って、人々はあなたの胸に屈服するでしょう。

2: 2 コリント 9:7 - 人はみな、心の中で思っているとおりに、与えなさい。しぶしぶではなく、必然的にではありません。神は陽気な与える人を愛しているからです。

マルコ 14:10 そこで、十二人の一人、イスカリオテのユダが、自分を裏切ろうと祭司長たちのところへ行った。

イスカリオテのユダはイエスを祭司長たちに裏切りました。

1: 裏切りの結果とそれが私たちの生活に与える影響。

2: 忠誠と裏切りの対比。

1: マタイ 26:14-16 - それから、十二人の中の一人、イスカリオテのユダという人が祭司長たちのところに行って、彼らに言った、「あなたたちは私に何をくれますか。私は彼をあなたたちに渡しますか」。そして彼らは銀貨三十枚で彼と契約を結んだ。

2: ヨハネ 13:21-30 - イエスがこのように言われたとき、彼は心の中で動揺し、証言してこう言いました、「まことに、まことに、あなたがたに言いますが、あなたがたのうちの一人が私を裏切るでしょう。」

マルコ 14:11 人々はそれを聞いて喜び、彼に金を与えると約束した。そして彼はどうすれば都合よく裏切ることができるかを模索した。

この箇所は、イエスが金のためにユダに裏切られたことを物語っています。

1. 裏切りと許し - イエスは裏切り者さえもどのように許したか

2. お金の力 - 貪欲がどのように裏切りにつながるのか

1. ヨハネ 13:21-30 - イエスは弟子たちの足を洗う

2. 詩篇 41:9 - 私が信頼し、私のパンを食べた親友でさえ、私に対してかかとを上げました

マルコ 14:12 種なしパンの最初の日、過越の食事をほぐしたとき、弟子たちは彼に言った、「過越の食事をするために、どこに行って準備をしましょうか。」

イエスと弟子たちは過越の食事をする準備をしました。

1. キリストの最後の晩餐が今日の私たちの生活にどのような影響を与えているか

2. 親睦における準備の力

1. ルカ 22:14-20 - 最後の晩餐を共にしたイエスと弟子たちの記述

2. マタイ 26:17-30 - 過越の食事の準備をするよう弟子たちに指示されたイエス

マルコ 14:13 そこで、イエスは二人の弟子を遣わして、彼らに言った、「あなたがたは町へ行きなさい。そうすれば、水がめを持った人に出会うでしょう。ついて来なさい」。

イエスは二人の弟子を町に送り、水差しを持った男についていくように言いました。

1. イエスの指示の力: イエスの指示に従うと、どのように私たちが予期せぬ場所に導かれるか。

2. 従順の重要性：たとえ結果が分からなくても神を信頼すること。

1. マタイ 10:7-8 - 「そして、行きながら、『天の御国は近づいた』と宣言しなさい。」病人を癒し、死者を蘇らせ、らい病人を清め、悪霊を追い出しなさい。」

2. ヨハネ 15:14 - 「わたしの命令を守るなら、あなたたちはわたしの友です。」

マルコ 14:14 そして、彼がどこに入ろうとも、家の主人に言いなさい、と主人は言いました、「客間はどこですか、そこで私は弟子たちと過越の食事をするのですか」。

イエスは弟子たちに、過越の食事を一緒に食べられる家の主人に尋ねるように言いました。

1. 招きの力: 神の恵みを広げて受け取ることを学ぶ

2. 過越の祭りの独自性: 救いの賜物を思い出す

1. ヨハネ 13:13-17 - 弟子たちの足を洗うイエス

2. 申命記 16:1-8 - 過越の祭りを守るための指示

マルコ 14:15 そして彼は、家具が備え付けられ、準備された大きな上の部屋をあなたに見せます。そこで私たちのために準備を整えてください。

この箇所は、イエスが弟子たちに、最後の晩餐のために大きな上の部屋を用意するように言ったところです。

1. 準備の重要性: イエスの最後の晩餐からの教訓

2. キリストのための場所を作る：キリストが私たちの人生を変えてくださるようにする。

1. ピリピ 2:5-8 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にすることによって、召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2. マタイ 26:17-19 - 種なしパンの最初の日に、過越の小羊を犠牲にしたとき、弟子たちは彼に言った。「ここで、私たちに過越の食事を準備させてくださいませんか？」そして、イエスは二人の弟子を遣わして、彼らに言った。街へ行けば、水の入った瓶を持った男が出迎えてくれます。彼についていく。？？

マルコ 14:16 そこで、弟子たちは出て行って町に入ると、イエスが彼らに言われたとおりで、過越の食事の準備をした。

弟子たちはイエスの指示に従い、過ぎ越しの準備をしました。

1. 従順は祝福をもたらす - イエスの指示に従うことは、私たちをイエスに近づけ、祝福につながります。

2. 信仰の力 - イエスの指示に信仰が従い、過ぎ越しの成功につながりました。

1. ヘブライ 11:6 - しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければならないからです。

2. ヨハネ 14:31 - しかし、それは私が父を愛していることを世が知るためです。そして父が私に戒めを与えたように、私もそうします。起きて、それでは行きましょう。

マルコ 14:17 そして夕方になると、彼は十二人と一緒に来ます。

その晩、イエスは十二人とともに弟子たちのところに来られました。

1: イエスは私たちが最も必要とするときにいつも現れてくださいます。

2: イエスをあなたの人生に招くことを恐れないでください。

1: ヨハネ 14:27 「わたしは平安をあなたがたに残し、わたしの平安をあなたがたに与えます。世が与えるのではなく、わたしがあなたがたに与えます。あなたの心を騒がせてはならず、恐れさせてはなりません。」

2: ローマ人への手紙 8:38-39 「私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、現在のものも、これから来るものも、高さも、深さも、その他のいかなる被造物も、ないと確信しています。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるでしょう。」

マルコ 14:18 そして、彼らが座って食事をしていると、イエスは言われた、「よく言いますが、あなたがたのうち、私と一緒に食事をする者の一人が、私を裏切るでしょう。」

イエスは、一緒に食事をしていた人の一人が自分を裏切るだろうと予言しました。

1. 聖書における裏切り: イエスは自分の裏切りにどう対処したか

2. 裏切りから離れ、忠実を目指す

1. 詩篇 41:9 - 私が信頼し、私のパンを食べた親しい友人でさえ、私に対してかかとを上げました。

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 世や世のあらゆるものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父への愛はありません。世界のすべてのために？彼は肉の欲望、目の欲望、そして人生の誇りを持っていますか？父からではなく、世界から来たものです。世界とその欲望は過ぎ去りますが、神のご意志を行う者は永遠に生きます。

マルコ 14:19 すると、彼らは悲しみ始め、「私ですか？」と一人ずつ言い始めた。そして別の人は、「それは私ですか？」と言いました。

イエスの弟子たちは誰がイエスを裏切るのか疑問に思いました。

1. 裏切りに直面したときのイエスの忠実さと不動心

2. 人間関係における説明責任の重要性

1. マタイ 26:21-25 - イエスは自分の裏切りを予告する

2. ヨハネ 13:1-11 - イエスは弟子たちの足を洗う

マルコ 14:20 するとイエスは答えて彼らに言った、「わたしと一緒に皿に浸しているのは、十二人のうちの一人です。」

イエスは自分を裏切るのはユダであることを明らかにします。

1: イエスは、最も暗い時であっても恵みと憐れみを模範とし、私たちが従うべき模範を示しました。

2: イエスは私たちに、謙虚になり、何があっても神の御心を信頼して自分の運命を受け入れるように教えられます。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: マタイ 26:39 - そして、彼は少し進んで、ひれ伏して、こう言いました、「父よ、できることなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。それでも、私が望むようにではなく、あなたのようにしてください」しおれる。

マルコ 14:21 人の子は、その人について書かれているとおり、確かに行きます。しかし、人の子を裏切ったその人は不幸です。あの人は生まれてこなければよかったのに。

人の子は書かれているとおりに進みますが、彼を裏切る者は不幸です。彼は生まれてこなければ良かったでしょう。

1. 裏切りの危険性

2. 私たちの選択の力

1. マタイ 26:24 - 「人の子は、書かれているとおりに進みます。しかし、裏切られた人は不幸です。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

マルコ 14:22 彼らが食事をしていると、イエスはパンを取り、祝福して裂き、彼らに与えて、「取って食べなさい。これはわたしのからだだ」と言われた。

イエスは弟子たちに、自分の体の象徴としてパンを食べるように指示しました。

1. 命のパン: 最後の晩餐におけるイエスの言葉の意味を理解する

2. 象徴的な行為の力: イエスはメッセージを伝えるためにどのように象徴を用いたのか

1. ヨハネ 6:35 - 「イエスは彼らに言われた、『わたしは命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渇くことはない。』

2. ルカ 22:19 「そして、イエスはパンを取り、感謝をささげ、それを裂いて、彼らに与えて言われた、『これは、あなたがたのために与えられたわたしのからだです。これは、わたしの記念として行いなさい。』」

マルコ 14:23 そして、イエスは杯を取り、感謝をささげてから、それを彼らに与えた。そして、彼らはみな、それを飲んだ。

イエスは最後の晩餐の際、差し迫った犠牲を意味し、弟子たちと永続する契約を結ぶためにワインを分かち合いました。

1. 犠牲的な愛の重要性

2. 私たちの生活における契約の力

1. エペソ人への手紙 5:2 - ?キリストも私たちを愛し、甘い香りのために神への捧げ物といけにえを私たちのために捧げてくださったように、愛のうちを歩みましょう。

2. ルカ 22:19-20 - ?そして彼はパンを取り、感謝をささげ、それを打ち砕いて、彼らに与えて言った、「これはあなたたちに与えられた私の体です。これは私を記念して行います。」同様に、夕食後の杯も、「この杯は、あなたのために流される私の血の新約です。」

マルコ 14:24 そしてイエスは彼らに言われた、「これは多くの人のために流される、新約聖書のわたしの血である。」

イエスはご自身の血の犠牲を通して新しい契約を制定されました。

1. イエスの犠牲: 新しい契約の基礎

2. イエスの血の意味と意義

1. ヘブライ 9:14-15 - キリストの死がどのように新しい契約を確立するか

2. ローマ人への手紙 3:24-25 - イエスの犠牲による罪の贖い

マルコ 14:25 はっきり言っておきますが、神の国で新しく飲むその日までは、私はもうブドウの実を飲みません。

この聖句は、困難なときでも最後まで自分の使命に忠実であり続けるというイエスの決意を強調しています。

1.？使命に忠実ですか??- 逆境に直面したときのイエスの忍耐の模範に焦点を当てています。

2.？天国の喜び?? - 神の王国における喜びと永遠の命の希望に焦点を当てています。

1. ローマ人への手紙 8:18 - 私は、この時の苦しみは、私たちの内に明らかにされる栄光と比較するに値しないと考えているからです。

2. ヘブライ 12:1-2 - ですから、私たちも、これほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷や、いとも簡単に私たちを捕らえてしまう罪を脇に置いて、耐え忍んでレースを走ろうではありませんか。私たちの前に置かれたイエスは、私たちの信仰の創始者であり完成者であり、喜びのために恥を軽んじ、十字架に耐え、神の御座の右に座っておられます。

マルコ 14:26 そして、賛美歌を歌い終わると、オリーブ山に出て行った。

最後の晩餐の間、イエスと弟子たちはオリーブ山へ出発する前に賛美歌を歌いました。

1. 困難な時代における礼拝の力

2. これからの旅に向けて強さを見つける方法

1. 詩篇 100:2 - 「喜んで主に仕えなさい。歌いながら主のみもとに来なさい。」

2. ルカ 10:2 - 「イエスは彼らに言った、『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主にお願いして、収穫畑に働き手を送ってください。』

マルコ 14:27 イエスは彼らに言われた、「今夜、あなたがたは皆、わたしのせいで怒るでしょう。『わたしは羊飼いを打って、羊は散らされる』と書いてあるからです。」

イエスは自分が苦しみ、弟子たちが散り散りになるだろうと説明しています。

1: イエスに腹を立てないでください - マルコ 14:27

2: 羊飼いの打撃 - マルコ 14:27

1: イザヤ書 53:5-6 - 彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。私たち羊のような者は皆、道に迷ってしまったのです。私たちは向きを変えましたか？とても一つですか？自分のやり方で。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせました。

2: ゼカリヤ 13:7 - 剣よ、目覚めよ、私の羊飼いに対して、私の隣に立つ男に対して、と万軍の主は宣言される。?羊飼いを捕まえれば、羊は散り散りになるだろう。私は小さな者たちに手を向けます。

マルコ 14:28 しかし、その後、わたしはよみがえったので、あなたがたより先にガリラヤに行きます。

マルコ 14:28 のこの箇所は、イエスが死からよみがえった後、彼らより先にガリラヤに行くという弟子たちへの約束について語っています。

1. 復活の約束: 新しい人生を受け入れる

2. イエスに信頼を置きましょう：困難な時代を乗り越えてあなたを導いてくださいます

1. ヨハネ 14:1-3 ?心配しないでください。神を信じる;私も信じてください。父の家にはたくさんの部屋があります。そうでなかったら、私があなたのために場所を用意しに行くと言ったでしょうか？そして、もし私が行って、あなたのために場所を用意したら、また来て、あなたを自分のところに連れて行きます。そうすれば、私がいる場所にあなたもいるかもしれません。

2. ローマ人への手紙 8:28 そして、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

マルコ 14:29 しかしペテロは彼に言った、「皆は怒るだろうが、私は怒らない」。

ペテロは、たとえ他の人がイエスを見捨てたとしても、イエスへの献身を宣言しました。

1. 揺るぎないこだわりの強さ

2. 逆境に直面してもしっかりと立つ

1. ヘブライ人への手紙 3:12-14 - イエスがどんな困難にも耐えた様子を見てください。

2. ヤコブ 1:12 - 試練と誘惑の真っただ中で神の忠実さを振り返る

マルコ 14:30 そこでイエスは彼に言われた、「まことに、あなたに言います。今日、今夜であっても、鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを否認するであろう。」

イエスはペテロの否認を予言しました。

1: 私たちは誘惑に直面しても信仰を堅く保ち、神を信頼しなければなりません。

2: 約束を守り、自分自身に対しても神に対しても正直であることが重要です。

1: マタイ 26:33-35 「ペテロは答えて言った、『すべての人はあなたのために腹を立てるだろうが、わたしは決して腹を立てない』。イエスは彼に言われた、『まことに、あなたに言います、今夜、前に』「鶏が鳴く、あなたは私を三度否認するでしょう。ペテロは彼に言った、『私はあなたとともに死ぬべきですが、それでも私はあなたを否認しません。弟子たちも皆、同様に言いました。』」

2: ルカ 22:31-34 「そして主は言われた、『シモン、シモン、見よ、サタンはあなたを麦のようにふるいにかけようと望んでいる。しかし、わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った。』「あなたが改心したら、あなたの兄弟たちを力づけてください。そして彼は言いました、「主よ、私はあなたと一緒に、刑務所にも、死に至るまで行く用意があります。」そして彼は言いました、「あなたに言います、ペテロ、今日は鶏が鳴きません」その前に、あなたは私を知っていることを三度否定しなければなりません。」

マルコ 14:31 しかし、彼はますます激しく言った、「もしあなたと一緒に死ぬとしても、私はいかなる点においてもあなたを否定しません。」彼らもまた同様に言いました。

弟子たちは、死に至るまでイエスと共にあるという決意を確認しました。

1: たとえどんな犠牲を払っても、私たちはイエスに献身し続けなければなりません。

2: たとえ死に直面しても、私たちはあらゆる状況においてイエスの側に立つべきです。

1: マタイ 16:24-25 - それから、イエスは弟子たちに言われた。自分の命を救う者はそれを失うであろうし、私のために自分の命を失う者はそれを見つけるであろう。

2: ヘブライ 13:5-6 - 貪欲な会話をしないようにしましょう。そして、あなたがたが持っているようなもので満足しなさい。なぜなら、彼は言ったからです、私は決してあなたを離れず、あなたを見捨てません。それは、私たちが大胆に、「主は私の助け手です。人が私に何をしようとも私は恐れません」と言えるためです。

マルコ 14:32 そして彼らはゲツセマネという場所に来た。そこでイエスは弟子たちに言った、「わたしが祈る間、ここに座っていなさい。」

イエスは弟子たちに、ゲツセマネで祈る間待つように言いました。

1: 苦しい時の祈りの大切さ。

2: 神の計画とタイミングを信頼することを学ぶ。

1: ヤコブ 5:13-16 - 苦しみの時の祈りの力。

2: イザヤ書 40:31 - 主に信頼を置きます。

マルコ 14:33 そして、彼はペテロ、ヤコブ、ヨハネを連れて行くと、ひどく驚き、非常に重くなり始めた。

イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネを連れて悲しみに暮れました。

1. 感情の深みと向き合う：悲しみを受け入れることを学ぶ

2. 存在の力: 仲間関係の快適さ

1. イザヤ書 53:3 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人であり、悲しみを知っている。

2. ヨハネ 11:35 - イエスは涙を流されました。

マルコ 14:34 そして彼らに言った、「わたしの魂は死に至るまで悲しみに暮れています。あなたがたはここに留まって見守っていてください。」

イエスは弟子たちに、自分の魂が死に至るまで悲しみ続けていることを告げ、そこにいて見守るように言いました。

1. ゲツセマネのイエス: 同情と自己犠牲の力

2. イエスの悲しみと強さ：受難の考察

1. 詩篇 22:1-2 - わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか。なぜあなたは私を救うことから遠く離れ、私のうめき声から遠く離れているのですか？

2. ピリピ 2:8 - イエスは、人間の姿で見出されて、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。

マルコ 14:35 それから彼は少し進み、地にひれ伏して、できればその時間が過ぎ去りますようにと祈った。

イエスは神から時間が過ぎ去るよう祈ることによって、神への謙虚さと服従を示しました。

1. 謙虚さと神への服従の力

2. イエスに従う??祈りの例

1. ピリピ 2:8-10 ?外見的には人間であることが判明したため、彼はへりくだり、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。それゆえ、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る御名を授けたので、イエスの名のもとに、天も地も地もすべての膝がかがみ、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白する。父なる神の栄光のために。

2. ヤコブ 5:13 ?あなたの中で苦しんでいる人はいますか？彼に祈ってもらいましょう。陽気な人はいますか？彼に賛美を歌わせてください。

マルコ 14:36 すると彼は言った、「アバ、父よ、あなたにはどんなことでも可能です。この杯を私から取り去ってください。それでも、私が望むことではなく、あなたが望むことです。

イエスは、苦しみの杯を取り除いてください、しかし神の御心を受け入れてくださいと神に祈ります。

1. 神の計画を信頼する - マルコ 14:36 のイエスの祈りの研究

2. 神の御心に従う - マルコ 14:36 のイエスの祈りの考察

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ヤコブ 4:15 - そのためには、あなたがたはこう言うべきです、「主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやをするでしょう。」

マルコ 14:37 すると、イエスが来て、彼らが眠っているのを見つけて、ペテロに言った、「シモン、あなたは眠っているのですか」。 1時間見てもらえませんか？

イエスはペテロに、なぜ一時間も起きていられないのかと尋ねました。

1. 祈りの中で常に目を覚ましていることの重要性。

2. 私たちには見えないものを見るイエスの力。

1. エペソ 6:18 - すべての聖徒のために、常に御霊によって祈りと願いを込めて祈り、忍耐と祈りを込めてそれを見守りなさい。

2. ルカ 21:36 - したがって、あなたがたは目を覚まして、これから起こるであろうこれらすべての事柄を逃れて、人の子の御前に立つのにふさわしい者とみなされるように、いつも祈っていなさい。

マルコ 14:38 誘惑に陥らないように、目を覚まして祈っていなさい。精神は本当に準備ができていますが、肉体は弱いです。

私たちは常に警戒し、誘惑に抵抗する力を祈り続けなければなりません。

1: 私たちは主と主の力によって強くなれるのです。

2: 誘惑に遭ったとき、私たちは神の力を求めることができます。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2: 2 コリント 10:3-5 - 「私たちは肉のうちに歩いていますが、肉に従って戦わないからです。（私たちの戦争の武器は肉的なものではなく、神を通して強力な砦を破壊するほど強力だからです。）想像力や、神の知識に対して高揚するあらゆる高尚なものを投げ捨て、キリストへの従順に対するあらゆる考えを捕らえる。」

マルコ 14:39 それから、彼はまた立ち去って、祈り、同じ言葉を語った。

イエスはゲツセマネの園で二度目に祈りました。

1. 絶え間ない祈りの力: ゲツセマネの園でイエスから学ぶ

2. 困難な状況に陥ったとき: ゲツセマネでのイエスの模範から力を得る

1. ルカ 22:44、「そして、苦しみながら、彼はさらに熱心に祈りました。そして、彼の汗は、地面に落ちた大粒の血のようでした。」

2. ヘブライ人への手紙 5:7、「肉の時代に、強い叫びと涙をもって祈りと願いをささげた人は、彼を死から救うことができ、恐れていたことによって聞き入れられました。」

マルコ 14:40 それで彼が戻ってくると、彼らはまた眠っていた（彼らの目は重かったので）。

イエスがゲツセマネの園で祈っている間、弟子たちは眠ってしまいました。彼らはとても疲れていたので、イエスが戻ってこられたとき、どう答えてよいのかわかりませんでした。

1. イエスと私たちの関係: 目を覚ましていて、いつでも対応できるようにする

2. 祈り続ける：イエスの力？とりなし_

1. ヘブライ人への手紙 4:15-16 - ?それとも、私たちの弱さに共感できない大祭司はいませんが、私たちと同じようにあらゆる面で誘惑されてきた大祭司がいますか？しかし、彼は罪を犯しませんでした。それでは神に近づいてみましょうか？私たちが慈悲を受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの王座を築いてください。

2. エペソ人への手紙 6:18 - ?あらゆる種類の祈りやお願いをするときは、いつでも御霊によって祈ってください。このことを念頭に置いて、常に注意を払い、すべての主のために祈り続けてください。셲人。

マルコ 14:41 そして、彼は三度目に来て、彼らに言った、「今は寝て、休んでください。もう十分です、時が来ました。」見よ、人の子は罪人たちの手に渡される。

イエスは三度弟子たちのところに来て、罪人の手に渡される時が来たので休むように言いました。

1. 最期の私たちに対するイエスの愛

2. 裏切りに直面したキリストの勇気

1. ローマ人への手紙 8:31 - 「それでは、これらのことに答えて何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

2. ヘブライ 12:2 - 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を留めましょう。イエスは喜びのために十字架に耐え、その恥を軽蔑し、十字架の右に座されました。神。"

マルコ 14:42 立って、行きましょう。見よ、私を裏切る者が近づいている。

イエスは、自分を裏切る者が近くにいると宣言します。

1. イエスの裏切り: イエスの犠牲を理解する

2. 裏切りに対して毅然とした態度で臨む

1. マタイ 26:45 - それから、イエスは弟子たちのところに来て、彼らに言った、「今は寝て、休みなさい。見よ、時が近づいており、人の子は罪人の手に渡さ

れる。」

2. 詩篇 41:9 - 私が信頼していた親しい友人でさえ、私のパンを食べていましたが、私に対してかかとを上げました。

マルコ 14:43 そして、イエスがまだ話している間に、すぐに、十二人の一人であるユダが、祭司長、律法学者、長老たちから剣や杖を持った大勢の群衆とともにやって来た。

ユダは大勢の群衆を率いてイエスを裏切ります。

1. イエスの裏切りは私たち自身の誘惑との闘いをどのように反映しているか

2. 裏切りに直面したときの許しの力

1. マタイ 26:47-56 ??イエスは逮捕され、ペテロは?彼を否定する

2. ヨハネ 13:1-20 ??弟子たちの足を洗うイエスと、裏切るために立ち去るユダ

マルコ 14:44 そして、自分を裏切った者は、彼らに証を渡して、「誰にキスしようとも、それは彼だ」と言った。彼を連れて、安全に連れて行ってください。

裏切り者はイエスを特定するためのサインを出しました。彼はキスされることになっていた。

1: 裏切りの最中の愛 - 裏切られたときでも、私たちに対するイエスの愛はどのように揺るぎませんでしたか。

2: 愛の証 - 私たちに対するイエスの愛は、イエスが裏切られた方法によってどのように証明されるか。

1: ヨハネ 13:34-35 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うことです。これによってすべての人は、あなたがたがわたしの弟子であることを知るでしょう。お互いに愛を持っています。」

2: 1 ヨハネ 4:19-21 - 「私たちが神を愛するのは、神が最初に私たちを愛してくださったからです。誰かが「神を愛しなさい」と言い、自分の兄弟を憎んでいるなら、その人は嘘つきです。自分の兄弟を愛さない人は嘘つきです。「彼は見たのに、どうして見たことのない神を愛することができるでしょうか？そして、私たちが神から与えられたこの戒めは、神を愛する者は自分の兄弟も愛さなければならないということです。」

マルコ 14:45 そして、彼は来るとすぐに彼のところに行き、「先生、先生」と言った。そして彼にキスをした。

イエスが到着し、愛情をもって主人に挨拶します。

1. イエスの愛における優しさの力

2. イエスの模範: 愛情のこもった挨拶

1. ルカ 22:47-48 ?そして、彼がまだ話している間に、見よ、群衆がいて、12人の一人であるユダと呼ばれる彼が彼らの前に行き、イエスに近づき、キスをしました。しかしイエスは彼に言った、「ユダ、キスで人の子を裏切るのか？」

2. コリント第一 16:20 ?兄弟の皆さん、よろしくお願いします。神聖なキスでお互いに挨拶しましょう。

マルコ 14:46 そこで彼らはイエスの上に手を置き、彼を捕らえた。

弟子たちはイエスを逮捕しました。

1: イエス?苦しみにもかかわらず従順さと謙虚さの例。

2: 困難な時期に神を信頼することの大切さ。

1: ピリピ人への手紙 2:5-8 ?この心をあなた方の間で大切にしなさい。それはキリスト・イエスのうちにあるあなたのものです。イエスは神の姿をしていましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、しもべの姿をとることによって自分を無にしました。男性に似て生まれました。そして人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、自らを謙虚にしました。」

2: ヨハネ 15:13 ? 쏥ハンターの愛にはこれ以上の人はいません、誰かが友達のために命を捨てるということ。

マルコ 14:47 すると、そばに立っていた者の一人が剣を抜いて、大祭司の家来に斬りかかり、その耳を切り落とした。

イエスと一緒に立っていた人の一人が剣を抜いて、大祭司の僕の耳を切り落としました。

1. イエスは非暴力であることを教えます - マタイ 5:39

2. 許しの力 - エペソ人への手紙 4:32

1. ルカ 22:50-51 - イエスはしもべの耳をいやした

2. マタイ 26:52 - 暴力に対するイエスの対応は、憐れみと許しを示すことだった

マルコ 14:48 するとイエスは答えて言われた、「あなたがたは、強盗に対抗するように、剣と杖を持って、私を連れて行くために出てくるのか」。

イエスは、群衆が剣や杖を持ってイエスを逮捕しに来た目的に疑問を抱きました。

1: 私たちは自分の思い通りにするために武力や暴力を用いるべきではなく、代わりに謙虚になり、平和を見つけるために神の愛を用いるべきです。

2: すぐに判断するのではなく、時間をかけて周囲の人々の動機を理解する必要があります。

1: マタイ 5:9 「平和を実現する人々は幸いです。彼らは神の子と呼ばれます。」

2: ヤコブ 1:19 - 「親愛なる兄弟姉妹の皆さん、次のことに注意してください。誰もがすぐに聞き、ゆっくりと話し、ゆっくり怒るべきです。」

マルコ 14:49 私は毎日あなたがたと一緒に神殿で教えていましたが、あなたがたは私を受け入れませんでした。しかし、聖書の言葉は成就しなければなりません。

イエスは弟子たちに、神殿でのイエスの臨在と聖文が成就することの重要性を思い出させました。

1. イエス：私たちの従順の完璧な模範

2. 聖書の力: 神の言葉を実現する

1. ルカ 4:16-21 (会堂のイエス)

2. 詩篇 119:105 (あなたの御言葉は私の足の灯、私の道の光です)

マルコ 14:50 すると彼らは皆、彼を見捨てて逃げた。

イエスが逮捕されたとき、弟子たちはイエスを見捨てました。

1.「信仰の力：逃げ出した弟子たちにもかかわらずイエスのそばに立つ」

2. 「希望の強さ：逆境におけるイエスの忍耐の模範」

神は決してあなたを離れたり、あなたを見捨てたりしない、と彼は言ったからです。」

2. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

マルコ 14:51 すると、裸の体に亜麻布を巻いた、ある若者が彼の後に続いた。すると若者たちは彼を捕まえた。

若者が亜麻布を体に巻きながらイエスの後を追い、他の若者たちが彼を捕まえる。

1. たとえ犠牲を払ってでもイエスに従う力

2. 大胆な方法で信仰を実践する

1. マタイ 16:24-25 - ?イエスは弟子たちにこう言いました。私の弟子になりたい人は、自分自身を否定し、十字架を背負って私に従わなければなりません。ユーロ?

2. テモテ第二 2:3-4 - ?キリスト・イエスの良き兵士として苦しみを味わってください。兵士の目的は入隊した人を喜ばせることなので、民間人の追跡に巻き込まれることはありません。

マルコ 14:52 そして、イエスは亜麻布を脱ぎ捨て、裸で彼らから逃げた。

イエスはゲツセマネの園で逮捕された際、着ていた亜麻布を脱ぎ捨て、裸のまま逃走しました。

1. 信仰の力: 結果にもかかわらず、神を信頼し、神の計画に従おうとするイエスの意欲。

2. 私たちの誇りの剥奪: イエスは使命を完遂するためにどのように自分自身をへりくだったのか。

1. マタイ 26:36-45 - ゲツセマネの園でのイエスの祈り。

2. ピリピ 2:5-11 - イエスの謙虚さと従順の模範。

マルコ 14:53 それから、彼らはイエスを大祭司のところに連れて行った。そして、祭司長、長老、律法学者たちも皆、イエスと一緒に集まっていた。

祭司長、長老、律法学者たちはイエスを大祭司のところへ連れて行きました。

1) コミュニティの力 - 数の力を良い面にも悪い面にもどのように活用できるか

2) 影響力 - リーダーの模範が周囲の人々にどのような影響を与えるか

1) 使徒 4:23-31 - 反対に直面したペテロとヨハネの大胆さ

2) ローマ人への手紙 12:1-2 - 心を新たにすることによって変えられる

マルコ 14:54 ペテロは遠く離れてイエスの後を追って、大祭司の宮殿まで入った。そして、召使いたちと一緒に座り、たき火で暖をとった。

ペテロは逆境に直面してイエスを否定しました。

1: 私たちは恐れに振り回されず、信仰を強く持たなければなりません。

2: 私たちは反対に直面しても神に力と勇気を求めなければなりません。

1: ヨシュア記 1:9 - 「わたしがあなたに命じたではありませんか。強く勇敢であれ。恐れることなく、落胆することはありません。あなたの神、主はどこへ行ってもあなたとともにおられます。」

2: イザヤ書 41:10 - ?耳を傾けないでください、私はあなたと一緒にいるからです。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。私はあなたを強くし、助け、私の義の右手であなたを支えます。

マルコ 14:55 そこで祭司長たちと議会の全員は、イエスを死刑にするためにイエスに対する証人を求めた。そして何も見つかりませんでした。

祭司長たちと議会はイエスを死刑にするための証拠を探しましたが、何も見つかりませんでした。

1. 神は私たちの守護者であり、私たちが必要なときに決して私たちを見捨てることはありません。

2. 神の保護があれば、誰も私たちに逆らうことはできません。

1. ローマ人への手紙 8:31 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

2. ヨハネ第一 4:4 「子たちよ、あなたは神から出た者であり、彼らに打ち勝ったのです。あなたがたのうちにおられる方は、世にいる方よりも偉大だからです。」

マルコ 14:56 というのは、多くの者が彼に対して偽りの証言をしたのに、彼らの証言は一致しなかったからだ。

この箇所は、いかに多くの証人がイエスに対して偽りの証言をしたにもかかわらず、その証言が矛盾していて一致していないかを強調しています。

1: 神はすべてを見ておられるので、すべての言葉と行動において正直であることを忘れないようにしましょう。

2: 私たちは、誰に対しても虚偽の証言をしないように注意すべきです。それは神の御心と一致しないからです。

1:出エジプト記20:16～?汝は隣人に対して虚偽の証言をしてはならない。

2: 箴言 12:17 - ?真実を語れば誠実な証拠が得られますが、偽証人は欺瞞を口にします。

マルコ 14:57 すると、彼に対して、次のような、あからさまな虚偽の証言があった。

イエスの裁判で偽証人たちはイエスに対して偽証をした。

1: 私たちは常に正直であり、他人に対して偽りの証言を決してしてはなりません。

2: 隣人を自分のように愛し、彼らに対して偽りのことを言ってはなりません。

1: エペソ人への手紙 4:25 「ですから、偽りを捨てて、あなたがたは、おのおの隣人に対して真実を語りましょう。私たちはお互いの一員だからです。」

2: 箴言 14:5 - 「忠実な証人は嘘をつきませんが、偽りの証人は嘘を吐きます。」

マルコ 14:58 わたしたちは、彼が、「わたしは手で造ったこの神殿をこわして、三日以内に、手で造った別の神殿を建てる」と言うのを聞きました。

イエスはエルサレム神殿の破壊とご自身の復活を預言されました。

1: イエスはご自身の復活と神殿の破壊を予言しましたが、これらの予言は現実になりました。

2: イエスは強力で信頼できる情報源です。彼は神殿は破壊されても復活すると言い、その約束は果たされました。

1: ヨハネ 2:19-22 - イエスは彼らに答えて言われました。この寺院を占領し、3日以内にそれを再建します。

2: マタイ 26:61 - そして、「この男は、私には神の神殿を壊して、三日もあれば建てることができると言っていた」と言いました。

マルコ 14:59 しかし、彼らの証人の意見も一致しませんでした。

イエスの裁判の証人たちは証言に同意しませんでした。

1. 神は不忠実であっても忠実です

2. 逆境に直面してもしっかりと立つ

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、あなたに将来と希望を与えるために、悪ではなく福祉の計画を立てている。

マルコ 14:60 すると、大祭司が真ん中に立って、イエスに尋ねて言った、「何も答えないのか」。彼らがあなたに対して証言しているのは何ですか？

複数の証人がイエスに対して不利な発言をした後、大祭司はイエスに質問します。

1. 「目撃する力：私たち自身の動機と行動を吟味する」

2.「神の主権: 試練の時の神の計画を理解する」

1. ヨハネ 8:46 - 「あなたがたのうち、私に罪があると認めるのはだれですか。」

2. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎はあなたを焼き尽くすことはない」。」

マルコ 14:61 しかし彼は黙って何も答えなかった。大祭司は再び彼に尋ねて、「あなたはキリストであり、祝福された者の子ですか？」と言いました。

イエスは大祭司に質問されましたが、黙って答えました。

1: 私たちの信仰は、たとえ疑問を持たれたとしても、揺るぎないものであり続けられるほど十分に強いものでなければなりません。

2: たとえプレッシャーにさらされたとしても、自分の信念を決して曲げてはなりません。

1: ローマ人への手紙 8:35-39 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？艱難か苦難か迫害か飢餓か裸か危険か剣か？

2: ヘブライ 13:6 - したがって、私たちは自信を持ってこう言えます。主は私の助け手です。私は恐れません。人間は私に何ができるでしょうか？

マルコ 14:62 するとイエスは言われた、「わたしです。そして、あなたがたは、人の子が力の右に座し、天の雲に乗って来るのを見るでしょう。」

イエスは自分が人の子であることを明らかにし、彼の再臨を予告します。

1: 神の正義は勝利する - イエスがご自身を人の子であると認められたことは、神が正義が行われるのを見て、その力が世に現れることを私たちに示しています。

2: イエスの再臨に備える - イエスがご自身を人の子であると明らかにされたことは、イエスの再臨が確実であり、私たちが準備をしなければならないことを示しています。

1: ダニエル 7:13-14 - ? 쏧は夜の幻の中で見ました、そして見よ、天の雲とともに人の子のような人がやって来て、日の古き者に来て彼の前に提示されました。そして彼には支配と栄光と王国が与えられ、すべての民族、国家、言語が彼に仕えるようになった。彼の支配は過ぎ去ることのない永遠の支配であり、彼の王国は破壊されることのないものです。

2: マタイ 24:30 - ?鶏は人の子のしるしとして天に現れ、そのとき地上のすべての部族は悲しみ、人の子が力と偉大な栄光を持って天の雲に乗ってやってくるのを見るでしょう。

マルコ 14:63 そこで、大祭司は衣服を裂いて、「これ以上、何が必要ですか」と言った。

大祭司はイエスが有罪であることを確信していたので、喪のしるしとして服を引き裂きました。

1: 私たちは自分の信仰に確信を持ち、自分の信じるものを喜んで支持しなければなりません。

2: 私たちは何かを決定する前に、自分の信念を確信しなければなりません。

1: マタイ 21:25-27 - イエスは、何かを建てる前に必ず正しい基礎を持たなければならないと教えています。

2: 箴言 14:15 - 賢明な人は自分の歩みを注意深く考慮する。

マルコ 14:64 あなたがたはその冒涜を聞いた。あなたがたはどう思うか。そして彼らは皆彼を死刑の有罪として非難した。

イエスは人々から冒涜の罪で死刑を宣告されました。

1: キリストの十字架上の死は私たちの罪のための犠牲であり、そのように記憶されるべきです。

2: たとえ私たちが罪を犯していても、神の愛と憐れみは私たちの愛と憐れみよりも大きいです。

1: ローマ人への手紙 5:8 - ?では、神は私たちに対するご自身の愛を次のように表しています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: ヨハネ 3:16 - ?それとも、神はご自分の独り子を与えたほど世界を愛され、彼を信じる者は滅びずに永遠の命を得ることができるようになりました。

マルコ 14:65 すると、ある者たちが彼につばきをかけたり、顔を覆ったり、たたきつけたり、「預言しなさい」と言い始めたりした。すると、召使たちは彼を手のひらで殴りつけた。

この聖句は、イエスが十字架につけられる前に受けた虐待について語っています。

1. 赦しの力 - イエスが不当な扱いをした人たちを喜んで赦そうとすることを理解する。

2. 忍耐の強さ - 逆境に直面したイエスの勇気を振り返る。

1. コロサイ 3:13 - 「互いに忍び合い、もし一方が他方に不平を言うなら、互いに許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。」

2. エペソ人への手紙 4:32 - 「神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、赦し合いなさい。」

マルコ 14:66 ペテロが宮殿の下にいると、大祭司の侍女の一人がやって来た。

ペテロは大祭司の宮殿の中庭でイエスを三度否認します。

1. 私たちはペテロの間違いから学び、イエスのうちに強さと勇気を見出すことができます。

2. 難しい決断に直面したとき、私たちは神の計画を信じ、信頼する必要があります。

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人類に共通する誘惑以外に、あなたがたを襲った誘惑はありません。そして神は真実です。あなたが耐えられないほどの誘惑を受けることはありません。しかし、あなたが誘惑されたとき、神はまた、誘惑を与えてくださいます。」あなたが耐えられるように逃げてください。」

マルコ 14:67 彼女はペテロが体を温めているのを見て、彼を見つめて言った、「あなたもナザレのイエスと一緒にいたのですね。」

ペテロはイエスを三度否定し、召使の少女に問い詰められました。

1. 否認の力 - ペテロのイエス否認は私たち自身の信仰との闘いについてどのように教えてくれますか

2. 逆境に直面しても勇気を持って生きる - ピーターの行動が困難を克服するよう私たちをどのように鼓舞するか

1. ヤコブ 1:2-4 - 試練に直面したときはすべてを喜びと数えなさい

2. コリント人への第一の手紙 10:13 - 人間によくある誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

マルコ 14:68 しかし、彼は否定して、「あなたの言っていることが、私には分かりません。私にも分かりません。」と言いました。そして彼はポーチに出ました。そしてコッククルー。

彼はイエスを否定し、鶏が群がるときポーチに出ました。

1. 拒否の力: 誘惑に抵抗する方法

2. ニワトリのカラスの重要性: ピーターの間違いから学ぶ

1. ヤコブ 1:14-15: 「しかし、人はそれぞれ、自分の邪悪な欲望に引きずり込まれ、そそのかされるときに誘惑に遭います。そして、欲望は孕んだ後に罪を生み、罪が成長すると罪が生まれます。」、死を生みます。」

2. ルカ 22:31-32: ? 쏶イモン、シモン、サタンはあなた方全員を小麦のようにふるいにかけるよう求めています。しかし、シモン、あなたの信仰がなくならないように、私はあなたのために祈りました。そして、あなたが引き返したら、兄弟たちを力づけてください。

マルコ 14:69 すると、一人の女中が再びイエスを見て、そばに立っていた彼らに言い始めた、「これもその中の一人です。」

この箇所は、イエスが大祭司の前に連れて行かれたとき、召使の少女によってイエスであることがどのようにして識別されたかについて述べています。

1. イエスは預言の成就??神の救いの計画はどのように実現したか

2. 信仰の回復力?困難な時にどうすればイエスに従うことができるか

1. イザヤ書 53:2-3 ??「彼は彼の前では柔らかい植物のように、乾いた地から出る根のように成長するでしょう。彼には姿も美しさもありません。そして私たちが彼を見るとき、そこには何もありません」」

2. マタイ 16:21 ??「その時から、イエスは弟子たちに、自分がエルサレムに行き、長老たち、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、そして殺され、そしてよみがえらなければならないことを教え始められた。三日目。"

マルコ 14:70 そして彼はまたそれを否定した。そして少し後、そばに立っていた人々が再びペテロに言った、「確かにあなたも彼らの一人です。あなたはガリラヤ人であり、あなたの話はそれに同意します。」

ペテロは、忠実であり続けると約束したにもかかわらず、イエスを三度否定しました。

1. 逆境に直面したときの希望の力

2. 誘惑に負けない信仰の強さ

1. ローマ 5:3-5 - 「それよりも、私たちは苦しみを喜んでいます。苦しみは忍耐を生み、忍耐は品性を生み、品性は希望を生み、希望は私たちに恥をかかせるものではないことを知っています。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

マルコ 14:71 しかし、彼はののしり、ののしり始めて、「あなたがたが話しているこの男を、私は知りません」と言いました。

大祭司はイエスに、あなたはメシアですかと尋ねましたが、イエスは質問には答えず、代わりに大祭司は罵り、罵り始めました。

1. イエスの自制心: イエスは迫害にどのように対応したか

2. 私たちの声を見つける: 私たちが信じていることのために立ち上がる

1. ヨハネ 15:13 - これより大きな愛はありません。人を捨てることですか？一人の人生?友達。

2. イザヤ書 50:7 - 主なる神が私を助けてくださるからです。したがって、私は恥をかかされていません。したがって、私は自分の顔を火打石のように設定しました、そして私は恥をかかせないことを知っています。

マルコ 14:72 そして二度目は鶏の乗組員たち。そしてペテロはイエスが彼に言われた言葉を思い出した、「鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを否むだろう」。そして彼はそのことを考えて泣きました。

この箇所は、ペテロがイエスを三度否認したことと、それが起こる前のイエスの言葉を思い出させたことについて語っています。

1. 言葉の力: 言葉は私たちの心をどのように明らかにするか

2. 主のタイミングを信頼することを学ぶ

1. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。

2. 詩篇 31:24 - 主を待ち望むすべての人たちよ、強くあれ、心に勇気を与えなさい。

マルコ 15 章には、ピラトの前でのイエスの裁判、十字架、死、埋葬など、いくつかの重要な出来事が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、イエスが祭司長たちによってピラトの前に連れてこられるところから始まります。彼らはイエスを多くのことで非難しますが、ピラトは驚いたことにイエスは何も答えませんでした。祭りの間、ピラトは群衆の要求に応じて捕虜を釈放するのが慣例であった。バラバは、蜂起中に殺人を犯した反政府勢力とともに刑務所にいた。群衆はバラバの釈放を求めたが、祭司長らがこれを煽動した。「ユダヤ人の王」をどうするべきかと問われると、彼らは「十字架につけろ！」と叫びました。なぜ彼がどんな罪を犯したのかを尋ねた後も、彼らはさらに大声で「十字架につけろ！」と叫びました。群衆を満足させたかったピラトはバラバを釈放し、鞭打った後イエスを十字架につけるため引き渡しました（マルコ15:1-15）。

第 2 段落: 兵士たちはイエスを宮殿 (プラエトリアム) に連れて行き、中隊全員を呼び集め、紫色のローブをイエスに着せ、ねじり合わせた王冠のとげをイエスに置き、「ユダヤ王万歳!」と叫び始めた。再び職員長が彼に唾を吐きかけ、ひざまずき、嘲笑したときに彼に敬意を表し、紫色のローブを脱ぎ、自分の服を着て外に導き出し、彼を十字架につけたシモン・キュレネの父アレクサンダー・ルーファスが道を通り過ぎ、国を強制的に担ぎ、十字架を持って来た、ゴルゴタと呼ばれる場所は頭蓋骨が混合されたワインを提供したという意味ですミルラはそれを受け入れませんでした 磔刑にされた 分割された服を投げるくじ引き 書面による通知のどの部分を取得するか見てください 読むことに対する告発 ユダヤ王は二人の反逆者を右と左に磔刑にされた人々は侮辱を投げつけられ首を振りながらこう言いました「だから！神殿を破壊しようとしている者たちは三日後に降りて来い」クロスセーブしてください！」同じように、祭司長の教師たちは、救われた人は自分自身を救うことはできない、と仲間内で嘲笑されたように、イスラエル王キリストを今十字架に降ろさせてください。そうすれば、十字架につけられた人々が彼に山ほどの侮辱を加えていることを私たちが信じることができるでしょう（マルコ15:16-32）。

第３段落：正午になると暗闇が全土を覆い、午後３時までイエスは大声で「エロイエロイ、レマサバクタニ？」と叫んだ。これは「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか？」という意味です。近くに立っていた何人かがこれを聞いた、聞いてください、エリヤを呼ぶ人がいます 誰かがスポンジにワインビネガーを詰めて走って棒を置き、飲み物を差し出して言いました、さあ立ち去ってください、エリヤが降ろすかどうか見てください、しかしイエスは大声で叫びました、最後のベー ルの神殿が引き裂かれました 上下2人の百人隊長が前に立って、のこぎりで最後に息をしました確かに言いました男よ、神よ！マグダラのマリアの間で距離を見守る何人かの女性たち マリアの母ヤコブの弟 ホセ・サロメ これらの女性たちは気遣いの必要に応じた ガリラヤ また、他の多くの女性たちが夕方になるとエルサレムにやって来た。なぜなら安息日の前日の準備日だったからである。ジョセフ・アリマタヤの著名な議員 評議会の善良な正しい人が同意していなかった決定行動 評議会は大胆に行動したピラトは遺体を尋ねた イエスは驚いた すでに死んだと聞いて 百人隊長を呼び寄せた ずっと前に死んだのかと尋ねた 百人隊長は遺体を差し出した ヨセフは亜麻布を買った 体を包んだ亜麻布を敷いた 墓を切った岩を転がし、入り口の墓に石を転がした マグダラのマリア 母の母ホセは埋葬されている場所を見て、人生の最期を語った死、埋葬の準備、復活（マルコ 15:33-47）。

マルコ 15:1 そして、朝になるとすぐに、祭司長たちは長老たち、律法学者たち、および議会全体と協議し、イエスを縛り、連れ去り、ピラトに引き渡した。

祭司長たちは協議を行ってイエスを縛り、その後ピラトに引き渡しました。

1. イエスは究極の犠牲の子羊であり、神の意志を成就するために縛られてピラトに引き渡されることに喜んで服従しました。

2. 人生でどれほどの反対に直面しても、私たちは信仰を堅持し、神の計画が勝利することを信頼しなければなりません。

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。屠殺場に連れて行かれる子羊のように、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、彼は口を開かなかった。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

マルコ 15:2 そこでピラトは、「あなたはユダヤ人の王ですか」と尋ねた。すると彼は答えて言った、「あなたがおっしゃるとおりです。」

この箇所は、自分がユダヤ人の王であるかどうかというピラトの質問に対するイエスの答えを明らかにしています。

1. 言葉の力: 誠実な人生を生きる

2. 信仰を守る: イエスの勇気ある自信の模範

1. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。

2. ルカ 4:3-4 - すると悪魔は彼に言った。「あなたが神の子なら、この石にパンになるように命じなさい。」4 するとイエスは答えた。って書いてあるけ

ど？人はパンのみにて生きるにあらず。ユーロ?

マルコ 15:3 祭司長たちは彼をいろいろと非難したが、彼は何も答えなかった。

この箇所は、祭司長たちの告発に直面したイエスの沈黙を例証しています。

1: 私たちは、不当な告発に対して威厳ある沈黙を貫いたイエスの例に倣うよう努めるべきです。

2: 逆境に直面しても強く立つイエスの模範の力は、困難な時期に忠実を保つのに役立ちます。

1: 1 ペテロ 2:21-23 - 「なぜなら、あなたがたもここに召されたからです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残して、その足跡に従うようにされたからです。誰が罪を犯さなかったのか、彼の口には悪意が見出されませんでした。彼はののしられても再びののしらず、苦しんでも脅さず、正しく裁く方に身を委ねた。」

2: 1 ペテロ 3:15-16 - 「しかし、あなたがたの心の中で主なる神を聖別しなさい。そして、あなたのうちにある希望の理由を尋ねるすべての人に、柔和と恐れをもっていつでも答えられるように備えなさい。それは、彼らが悪を行う者のように、あなた方の悪口を言う一方で、あなた方がキリストにある善良な会話を誤って非難することを恥じるためである。」

マルコ 15:4 そこでピラトはもう一度尋ねて言った、「何も答えないのか」。彼らがあなたに対してどれほど多くのことを目撃しているかを見てください。

ピラトはイエスに二度目の質問をし、イエスに対する数々の非難を指摘した。

1. 証人の力: 他人から告発されたときの対応方法

2. 告発に対して毅然とした態度で臨む

1. マタイ 10:17-20 - イエス?告発への対応方法について弟子たちに指示

2. ヤコブ 1:19 - ?したがって、愛する兄弟たちよ、すべての人は、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

マルコ 15:5 しかしイエスはまだ何も答えられなかった。それでピラトは驚いた。

ピラトはイエスが質問に答えず沈黙を保ったことに驚いた。

1. 沈黙の力: イエスは言葉をどのように賢明に用いたのか

2. イエスの重要性?従順: 神への服従が義をどのように体現するか

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2. ヤコブ 1:19 - 親愛なる兄弟姉妹の皆さん、次のことに注意してください。誰もがすぐに聞き、ゆっくりと話し、ゆっくり怒るべきです。

マルコ 15:6 さて、その祭りのとき、イエスは、彼らが望む者を一人、捕虜として彼らに釈放した。

祝宴の席で、ピラトは一人の捕虜を人々に解放し、人々は好きな人を選ぶことができました。

1. 「すべての人に親切にしなさい：ピラトからの教訓」

2.「選択の力: 正しい決断を下す」

1. ルカ 6:31 「自分にしてもらいたいことを、他の人にもしなさい。」

2. マタイ 7:12 「だから、何事においても、自分にしてもらいたいことを他の人にしなさい。これが律法と預言者の要約です。」

マルコ 15:7 バラバという名の者がいたが、バラバは、彼と一緒に暴動を起こした者たちと一緒に横たわり、暴動の中で殺人を犯した。

バラバは暴動中に殺人を犯した犯罪者でした。

1. 間違った群衆に従うな: バラバからの教訓

2. 正義と慈悲の代償: バラバの物語を考察する

1. ルカ 6:27-36 - 敵を愛し、あなたを憎む人たちに善を行います。

2. コロサイ 3:12-17 - 同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身につけてください。

マルコ 15:8 すると、群衆は声をあげて叫び、イエスが今まで自分たちにしてきたようにしてほしいと願い始めた。

大勢の群衆がイエスに、過去に自分たちにしてくれたことをしてほしいと頼みました。

1. 神の助けを求める力

2. イエスの模範に従うことの祝福

1. ヤコブ 4:3 - 「あなたが求めても、受け取らないのは、それを自分の情熱に費やそうと間違って求めているからです。」

2. ルカ 11:9-10 - 「言っておくが、求めなさい。そうすれば与えられる。捜しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれるだろう。求める者は皆、受け取るであろう。そして、探す者は見つけ、叩く者には開かれる。」

マルコ 15:9 しかし、ピラトは彼らに答えて言った、「あなたがたは、わたしがユダヤ人の王をあなたがたに釈放したいのか。」

ピラトは人々に、ユダヤ人の王イエスを釈放すべきかどうか尋ねました。

1: イエスの模範を通して、私たちは謙虚さを保ち、進んで他の人に仕えるべきです。

2: 私たちは自分の信じていることのために立ち上がることを恐れるべきではなく、優雅さと謙虚さを持ってそうすべきです。

1: ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスのうちにあるこの心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にしてしまったのです。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2: マタイ 20:25-28 - しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われました。異邦人の支配者たちが彼らを支配し、異邦人の偉い人たちが彼らに対して権威を行使していることを私たちは知っています。あなたがたの間ではそうではありません。しかし、人の子が仕えられるためではなく奉仕するために、そして多くの人の身代金として自分の命を捧げるために来たのと同じように、あなたがたの中で偉いと思う人はあなたの僕でなければならず、あなたがたの間で一番になりたい人はあなたの奴隷でなければなりません。??

マルコ 15:10 彼は、祭司長たちがねたみのために自分を引き渡したことを知っていたからである。

イエスは処刑のために祭司長たちに引き渡されましたが、彼らは妬みからそうしたのです。

1. 羨望の力: 競争への衝動を克服する方法

2. 許しの祝福: 裏切りに対するイエスの慈悲の模範

1. 箴言 14:30 - ?安らかな心は体に生命を与えますが、嫉妬は骨を腐らせます。

2. ルカ 6:27-36 - ?私の話を聞いている人に言います。敵を愛し、あなたを憎む人に善を行い、あなたを呪う人を祝福し、あなたを虐待する人のために祈りなさい。

マルコ 15:11 しかし祭司長たちは、むしろバラバを彼らに解放すべきだと民を動かした。

祭司長たちはピラトに、イエスの代わりにバラバを釈放するよう求めた。

1. たとえ理解できなくても、神の計画を信頼してください。

2. 多数派の意見に振り回されないでください。

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ヤコブ 4:6 - しかし、神はさらに多くの恵みを与えてくださいます。したがって、次のようになります。 쏥 od は高慢な者には反対しますが、謙虚な者には恵みを与えます。

マルコ 15:12 そこでピラトは答えて、もう一度彼らに言った、「それでは、あなたがたがユダヤ人の王と呼んでいる彼に、わたしは何をするつもりですか」。

ピラトは人々に、ユダヤ人の王と呼ばれるイエスをどうすべきか尋ねました。

1. 選択の力: マルコ 15:12 の考察

2. 重要な質問: 私たちはイエスに対して何をしますか?

1. ヨハネ 18:36-37 - ピラトに対するイエスの返答

2. ルカ 23:13-15 - ピラトとイエスについての人々との会話

マルコ 15:13 すると彼らは再び、「十字架につけろ」と叫んだ。

人々はイエスを十字架につけるよう要求しました。

1. イエスの十字架上の死：究極の犠牲

2. 人民の力：なぜ私たちは大衆の意志に応えなければならないのか

1. ルカ 23:21 - 「しかし彼らは叫び続けた、『十字架につけろ！十字架につけろ！？』

2. ピリピ人への手紙 2:8 - 「そして、彼は人間の姿で発見され、死に至るまで従順になることによって自分自身をへりくだったのでしょうか？十字架上の死にさえ！」

マルコ 15:14 そこでピラトは彼らに言った、「いったい、彼はどんな悪事をしたのか」。そして彼らはますます大声で、「彼を十字架につけろ」と叫びました。

イエスがどんな悪いことをしたのかというピラトの質問にもかかわらず、群衆はイエスを十字架につけるよう要求した。

1: イエスの十字架の死は究極の愛の犠牲でした。

2: イエスの死と復活は私たちに救いと希望をもたらします。

1: ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2: ローマ 5:8 - 「しかし、神は、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、私たちに対するご自身の愛を明らかにしてくださいました。」

マルコ 15:15 そこでピラトは、民を満足させようとして、バラバを彼らに解放し、鞭打たれたイエスを十字架につけさせた。

ピラトは群衆の要求に屈してバラバを釈放し、鞭打たれたイエスを十字架につけるよう引き渡しました。

1. 集団思考の力: ピラトに対する群衆の影響の分析

2. イエス：逆境に直面したときの勇気の究極の模範

1. マタイ 27:25-26 「すると民は皆答えて言った、『彼の血は私たちと私たちの子供たちに降りかかる。そしてバラバを彼らに釈放した。そしてイエスを鞭打った後、十字架につけるために引き渡した。』

2. ヘブル人への手紙 12:2-3 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見てください。イエスは、目の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。」。」

マルコ 15:16 そこで兵士たちは彼を官邸と呼ばれる広間に連れて行った。そして彼らはバンド全体を招集します。

兵士たちはイエスをプラエトリウムに連れて行き、楽隊全員を集めました。

1. 団結の力: 団結した人々のグループに囲まれているイエスの例。

2. しっかりと立つ強さ: 逆境に直面したときのイエスの忍耐力。

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - キリストの体の一致

2. ヘブライ 12:2 - 忍耐の究極の模範としてのイエス。

マルコ 15:17 そこで人々は彼に紫色の服を着せ、いばらの冠をかぶせて、頭に置きました。

イエスは紫色の衣を着て茨の冠をかぶせられ、嘲笑され、軽蔑されました。

1. 謙虚さの力: 嘲笑や拒絶を克服する

2. キリストの変わらぬ愛: 拒絶の痛みに耐える

1. イザヤ書 53:3-5 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2. ペテロ第一 2:21-23 - あなたがたもここに召されたのです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみを受け、私たちに模範を残して、その足跡に従うようにとされたからです。誰が罪を犯さなかったのか、彼の口には悪意が見出されませんでした。、ののしられたときは、再びののしられることはありませんでした。苦しんでいるときも、脅迫はしなかった。しかし、正しく裁く方に身を委ねました。

マルコ 15:18 そして、「ユダヤ人の王、万歳」と挨拶し始めた。

群衆はイエスをあざけり、「ユダヤ人の王」と呼びました。

1. 嘲笑の力: イエスの苦しみと私たち自身の苦しみを理解する

2. 神の王国: ユダヤ人と世界の希望

1. イザヤ書 53:3-5 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

4 確かに、彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると見なしました。

2. ヨハネ 18:33-37 - それから、ピラトは彼らのところに出て行って、「あなたたちはこの男に対してどんな非難をするのですか」と言った。彼らは答えて彼に言った、「もし彼が犯罪者でなければ、私たちは彼をあなたに引き渡さなかったでしょう。」そこでピラトは彼らに言った、「あなたがたは彼を連れて行って、あなたの律法に従って彼を裁いてください。」そこでユダヤ人たちは彼に言った、「人を死刑にすることは、私たちにとって合法ではない。それは、イエスがどのような死を遂げるべきかを意味して言った、イエスの言葉が成就するためである。」

マルコ 15:19 そこで彼らは、葦でイエスの頭を打ち、唾を吐きかけ、膝をかがめて彼を拝んだ。

ローマ兵はイエスに唾を吐きかけ、葦で打ち、ひざまずいて模擬礼拝を行った。

1. 逆境に直面したイエスのふさわしさ

2. 嘲笑に直面したときの謙虚さの力

1. ピリピ人への手紙 2:5-11

2. イザヤ書53:3-5

マルコ 15:20 そして、彼らは彼を嘲笑した後、彼から紫色の服を脱ぎ、自分の服を着せ、十字架につけるために外に連れ出した。

イエスは十字架に掛けられる前に、紫の上着を脱がされ、自分の服を着せられました。

1. イエスの屈辱と従順 - ピリピ 2:5-11

2. 究極の犠牲 - ヨハネ 3:16

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。屠殺場に連れて行かれる子羊のように、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、彼は口を開かなかった。

2. マタイ 27:35-44 - そして彼らはイエスを十字架につけると、くじを引いてその衣を彼らに分けました。それから彼らはそこに座って彼を見守りました。そして彼らは彼の頭の上にこう書いた告訴状を載せた。彼はユダヤ人の王イエスです。その後、二人の強盗がイエスと一緒に、一人は右、もう一人は左で十字架につけられました。

マルコ 15:21 そして彼らは、田舎から出てきて通りかかったキレネ人シモン、アレクサンダーとルフォスの父に十字架を負わせる。

シモンはイエスの十字架を背負い、信仰と献身を示すよう求められました。

1: 困難な課題に直面したとき、私たちはたとえ犠牲を払ってでも喜んでイエスに忠実に従うべきです。

2: キリストに対する私たちの忠実さは、十字架を背負って彼に従う意欲によって証明されます。

1: マタイ 16:24-25 - 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしについて来なければなりません。自分の命を救いたい者は、それを失うことになるのですが、だれでも、彼らの命が失われるのは、私が見つけるからです。」

2: ルカ 9:23 - 「それからイエスは皆に言った、『わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従ってきなさい。』

マルコ 15:22 そして彼らは彼をゴルゴタの場所に連れて行きます。それは解釈では、頭蓋骨の場所です。

人々はイエスを髑髏の場所として知られるゴルゴタの場所に連れて行きました。

1. イエスの死は私たちに対する神の愛をどのように示しているか

2. ゴルゴダの意味

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. イザヤ書 53:10 - しかし、彼を打ち砕いて苦しませるのは主のご意志でした。主は彼の命を罪のいけにえとされますが、彼は子孫を見て寿命を延ばすでしょう、そして主の御心は彼の手の中で繁栄するだろう。

マルコ 15:23 そこで人々は没薬を混ぜたぶどう酒を飲ませたが、彼はそれを受け取らなかった。

イエスは、死の苦しみを和らげるための飲み物を飲むことを拒否されました。

1: たとえ困難な状況であっても、私たちは神の御心を受け入れることを選択できます。

2: イエスは愛ゆえに私たちのために死の苦しみに耐えてくださいました。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

2: ヘブライ 12:2 - 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けてください。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。」

マルコ 15:24 そして彼らはイエスを十字架につけると、その衣を分けて、各人がどれを取るべきかをくじ引きにした。

イエスの死は、ローマの兵士たちがイエスの衣服を分け与えるくじ引きをしたことによって特徴付けられました。

1. イエスの犠牲の力 - イエスの死が世界をどのように変えたのか、そして私たちへの愛を示すためにイエスがどれほどの努力をされたのか。

2. 召使いの心 - イエスが十字架上で私たちのために示してくださった謙虚さと無私の模範。

1. ピリピ 2:7-8 - 彼は自分自身を何も造らず、召使いの性質をそのまま取り、人間に似せて造られました。そして、人間の姿で見出され、へりくだって死に至るまで従順になったのでしょうか？十字架上の死を忘れてください！

2. イザヤ 53:3-6 - 彼は人類から軽蔑され、拒絶され、苦しみを経験し、痛みを知っていました。人々が顔を隠す人のように彼は軽蔑され、私たちは彼を低く評価しました。確かに彼は私たちの痛みを引き受け、私たちの苦しみを引き受けてくれましたが、私たちは彼を神から罰せられ、打ちのめされ、苦しんでいると考えました。しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

マルコ 15:25 それから三時間が経過したので、人々は彼を十字架につけました。

イエスは3時間目に十字架につけられました。

1. 復活したキリスト - 苦しみの中での揺るぎない信仰

2. イエスの磔刑 - 彼の変わらぬ愛の証し

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

2. ピリピ 2:5-8 - 「お互いの関係において、キリスト・イエスと同じ考え方を持ちなさい。キリストは、本質的に神であるにもかかわらず、神との平等を自分の利益のために利用されるものとは考えなかった。むしろ、「彼は召使いの性質そのものをとり、人間に似せて造られたことによって、自分を無のものにしたのです。そして、人間の姿で見出されて、死に至るまで従順になることによって自分自身をへりくだったのでしょうか？十字架の死にさえ従順でした！」

マルコ 15:26 そして、彼の告発の上書きは、「ユダヤ人の王」と上書きされた。

ローマの兵士たちはイエスの王権主張を嘲笑するために「ユダヤ人の王」と書きました。

1. イエスは世から嘲笑されましたが、依然として王の中の真の王でした。

2. イエスは私たちの救いのために、嘲笑され、十字架につけられることを謙虚にされました。

1. ピリピ 2:6-8 - イエスはへりくだって、僕の姿をとられました。

2. 黙示録 19:16 - イエスは王の中の王であり、主の中の主です。

マルコ 15:27 そして、彼らは彼とともに二人の強盗を十字架につけました。1 つは彼の右手に、もう 1 つは左手にあります。

イエスは二人の犯罪者の間に十字架につけられました。

1. 最大の犠牲: イエスは私たちにどのように無条件の愛を示したか

2. 許しの力: イエスは十字架につけられた加害者さえもどのように赦されたか

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ルカ 23:39-43 - そこで絞首刑になっていた犯罪者の一人が彼に侮辱を投げかけました。쏛レン?あなたはメシアですか？あなたと私たちを救ってください!??しかし、他の犯罪者は彼を叱責しました。?オンですか？あなたは神を恐れていますか??彼は言いました、?あなたも同じ判決を受けているのですか？私たちは自分の行為に値するものを得ているので、正当に罰されます。しかし、この男は何も悪いことはしていません。??すると彼は言いました。イエス様、あなたの王国に来たら私を思い出してください。??イエスは彼に答えました。쏷 ruru 言っておくが、今日あなたは私と一緒に楽園にいるだろう。

マルコ 15:28 そして、「そして、彼は罪を犯した者たちと数えられた」という聖書の言葉が成就した。

イエスは聖書に書かれた預言を成就して、二人の犯罪者とともに十字架につけられました。

1. 神の言葉の力: イエスはマルコ 15:28 の預言をどのように成就したか

2. 私たちの救いの計り知れない代償: マルコ 15:28 のイエスの犠牲を理解する

1. イザヤ書 53:12 - 「それゆえ、わたしは彼に偉い者たちに分け与え、彼は戦利品を強い者たちに分け与える。彼は死に至るまで魂を注ぎ出したからだ。そして彼は罪を犯す者たちと数えられ、そして彼は裸になった」多くの人の罪を赦し、違反者のためにとりなしを行った。」

2. ルカ 22:37 - 「あなたがたに言いますが、書かれていることは、わたしの中で必ず成就するはずです。そして、彼は罪を犯した者たちの中に数えられました。わたしに関することには終わりがあるからです。」

マルコ 15:29 すると、そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしり、「ああ、神殿をこわして三日で建てる者よ、

イエスの通行人たちは、イエスが神殿を破壊して三日で再建したと言ってイエスを嘲笑した。

1. 神は不可能を可能にします: イエスの力を理解する。

2. 信仰の力: 嘲笑と嘲笑を克服する。

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヨハネ 2:18-22 - 「それでユダヤ人たちは彼に言った、『これらのことをするために私たちに帽子のしるしを見せてくれますか? 』イエスは彼らに答えて、『この神殿を破壊してください、そして私は三日以内にそれを建てます』それからユダヤ人たちは言いました、「この神殿を建てるのに 46 年もかかったのに、3 日で建て上げてくれませんか???しかし、彼は自分の体の神殿について話していました。したがって、彼はそうしていたとき」死からよみがえったとき、弟子たちはイエスがこう言ったことを思い出し、聖書とイエスが語られた言葉を信じました。」

マルコ 15:30 自分を救って、十字架から降りなさい。

エルサレムの人々は、イエスが十字架に架けられている間、自分を救って降りて来いと言ってイエスを嘲笑しました。

1. 不信仰の力: 十字架上でのイエスの拒絶が人間の不信仰の深さをどのように明らかにするか

2. 救いの逆説: イエスはどのようにして?十字架の死は永遠の救いをもたらした

1. ヨハネ 19:25-27 - イエスの十字架の近くに彼の母親が立っていた、彼の母親? 妹、クロパスの妻マリア、マグダラのマリア。イエスはそこにいる母親と、近くに立っている愛する弟子を見て、母親に「親愛なる婦人よ、ここにあなたの息子がいます」と言い、弟子に「ここにあなたの母親がいます」と言われました。

2. フィリピ 2:8-9 - そして、外見が男性であることが判明したので、死に至るまで従順になり、謙虚になったのでしょうか。十字架上の死を 忘れてください！そこで神は彼を最高の地位に高め、あらゆる名に勝る名を与えた。

マルコ 15:31 同様に、祭司長たちも、律法学者たちとの間で、「イエスは他の人たちを救われた」と嘲笑していた。彼自身を救うことはできない。

祭司長や律法学者たちは、イエスは他人を救うことはできても、自分自身を救うことはできないと言ってイエスを嘲笑した。

1: イエスの力。イエスを嘲笑する人々を前にしても、私たちのために愛と犠牲を払ってくださいました。

2: たとえ嘲笑に直面しても、自分の信じるもののために立ち上がることの大切さ。

1: ヨハネ 15:13 - 「これより大きな愛はありません。人を捨てること？人のために命？友達。」

2: 1 コリント 16:13-14 - 「用心深く、信仰にしっかり立ちなさい。勇気を出して、強くありなさい。すべてを愛のうちに行いなさい。」

マルコ 15:32 イスラエルの王キリストが今十字架から降りてください、それは私たちが見て信じることができるようにするためです。そして、彼とともに十字架につけられた人々は彼をののしった。

イエスの磔刑を見ていた人々は、イエスが信じられるように十字架から降りてほしいと嘲笑しました。

1. 信仰の力: イエス??十字架の死を例に

2. 嘲りの堕落: イエス??警告としての十字架刑

1. ヘブル人への手紙 12:2 - 「信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を留めています。イエスは喜びのために十字架に耐え、恥を軽んじ、神の御座の右に座されました。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

マルコ 15:33 そして六時が来ると、九時まで全地が暗闇になった。

6 時間目に、9 時間目まで闇が国全体を覆いました。

1. 闇の力 - 私たちの闘いの真っ只中に訪れる闇と、そこから何を学べるかを考察します。

2. 光の価値 - 暗闇の中で希望の光を求めることの重要性を探ります。

1. 詩篇 23:4 - たとえ私が最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

、将来私たちの内に現れる栄光に比べれば価値がないと思います。

マルコ 15:34 そして九時に、イエスは大声で叫んで言われた、「エロイ、エロイ、ラマ・サバクタニ？」これは解釈すると、わが神、わが神、なぜあなたは私をお見捨てになったのですか？

イエスは9時間目に苦しみながら神に叫び、なぜ自分は見捨てられたのかと尋ねました。

1. 暗闇の中での信仰：不確実な時代に神を信頼することを学ぶ

2. 答えられない祈り: 失望にどう対処するか

1. コリント第二 1:8-10 - 兄弟たち、私たちがアジアで経験した苦しみについて、あなたがたに知らないでほしくないからです。なぜなら、私たちは自分の力では到底及ばないほどの重荷を負っていたので、人生そのものに絶望していたからです。確かに、私たちは死刑宣告を受けたと感じました。しかし、それは私たちが自分自身ではなく、死者をよみがえらせてくださる神に頼るようにするためでした。

2. 詩篇 22:1-2 - わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか。私のうめき声の言葉から、なぜあなたは私を救うことからそれほど離れているのですか？おお、わが神よ、私は日中泣いていますが、あなたは答えてくれません、そして夜になっても私は休むことがありません。

マルコ 15:35 すると、そばにいた人々のうちの何人かが、それを聞いて言った、「見よ、その人はエリアスと呼ばれている。」

この箇所は、十字架上でイエスがエリヤに呼びかける声を近くにいた人々がどのように聞いたかを語っています。

1. 信仰の力: 絶望の真っ只中でも神を信頼するイエスの模範。

2. コミュニティの力: 私たちがお互いの希望と力の源となるにはどうすればよいか。

1. マタイ 11:2-6: 洗礼者ヨハネのイエスについての証言。

2. ヘブライ 12:2: 忍耐と信仰の究極の模範としてイエスを仰ぎ見ます。

□□□ 15:36 □□□□

1. ヘブライ 10:19-20 - したがって、兄弟たち、私たちはイエスの血によって、つまりイエスが幕を通して私たちのために開いてくださった新しい生きた道によって、つまりイエスの肉を通して聖所に入る自信を持っています。

2. ルカ 23:44-45 - 今、約 6 時でしたが、9 時まで全地が暗闇でしたが、太陽は？ライトが失敗しました。そして神殿の幕が真っ二つに裂けました。

マルコ 15:39 すると、彼に立ち向かっていた百人隊長は、彼が大声を上げて幽霊をあきらめたのを見て、「本当にこの人は神の子だった」と言った。

この箇所は、百人隊長が十字架で死ぬイエスを見たときにイエスを神の子であると認識したことを示しています。

1.「イエスを神の子と認める力」

2.「百人隊長の信仰の証」

1. ローマ人への手紙 10:9 - 「もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

マルコ 15:40 遠くから見守っている婦人たちもいた。その中にはマグダラのマリアと、ヤコブとホセとサロメの母マリアもいた。

この箇所には、イエスの磔刑に立ち会った4人の女性、マグダラのマリア、ヤコブとホセの母マリア、そしてサロメについて言及されています。

1. 信仰の力: 十字架上の女性たちの証人

2. 苦しみから得られる強さ: イエスの模範

1. ヘブライ 12:2 - 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けます。この人は、自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。

2. ローマ人への手紙 8:17 - そして子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

マルコ 15:41 (彼もガリラヤにいたとき、彼に従い、彼に仕えました。) そして、彼と一緒にエルサレムに上ってきた他の多くの女性たち。

この箇所には、ガリラヤからエルサレムまでイエスに従い、途中でイエスに仕えた様子が描かれています。

1. 奉仕の美しさ: イエスがどのように女性たちに支えられ、奉仕されたか。

2. 仲間の力: イエスはどのようにして献身的な追随者たちに囲まれていたのか。

1. ローマ 12:10-13 ??兄弟愛をもって互いに献身しなさい。お互いに敬意を表して p を与えます。勤勉さにおいて遅れをとらず、精神的に熱心で、主に仕える。希望に喜び、苦難に耐え、祈りに専念する。

2. ヘブライ 6:10 ?? 神は、あなたが聖徒たちに奉仕し、今も奉仕している中で、神の名に対して示した愛とあなたの働きを忘れるほど不公平ではないからです。

マルコ 15:42 さて夕方になったとき、それは準備、つまり安息日の前日だったからです。

安息日の前日は準備日でした。

1: 神は私たちのために安息日を休息の日として備えてくださったのですから、私たちはその準備日を利用して、来たるべき安息の日に備えましょう。

2: 神は私たちに安息日を与え、休息して神の慈しみについて考えるようになりました。そのため、準備の日を自分自身の人生と、どのようにすれば神に最も敬意を表できるかを考えるために使いましょう。

1: 出エジプト記 20:8-11 - 安息日を聖く保つために、安息日を覚えておいてください。

2: コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

マルコ 15:43 同じく神の国を待ち望んでいた立派な顧問、アリマタヤのヨセフがやって来て、大胆にピラトのところへ行き、イエスのからだを切望した。

アリマタヤのヨセフは、イエスの死後、勇気を持ってピラトに遺体を求めました。

1: 神の王国は私たちの中にあり、私たちは困難なことをする勇気を見つけることができます。

2: 勇気を出して、自分の信じるもののために立ち上がってください。

1: イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2: エペソ人への手紙 6:10-13 「最後に、主にあって、その力の強さによって強くなりなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。わたしたちはそうするのだから」血肉と戦うのではなく、支配者たち、権威者、この現在の暗闇を支配する宇宙の力、天上の悪の霊的勢力と格闘しなさい。悪の日に耐え、すべてをやり遂げて、しっかりと立つために。」

マルコ 15:44 そこでピラトは、自分がすでに死んでいたのかと驚いた。そして百人隊長を呼んで、死んでからしばらく経ったのかと尋ねた。

ピラトはイエスがすでに亡くなっていたことを知って驚き、百人隊長に確認を求めました。

1: イエスの死はピラトさえも驚かせるほど重大なものでした。

2: イエスの死は、間違いのないほど最終的なものでした。

1: イザヤ書 53:9 - そして彼は、自分の死において、悪人たちと金持ちたちとともに墓を設けました。なぜなら、彼は暴力をふるったことがなく、口に偽りもなかったからだ。

2: ヘブライ 9:28 - それで、キリストはかつて多くの人の罪を負うために捧げられました。そして彼を捜し求める者たちに、彼は罪を犯さずに二度目に現れて救いを得るであろう。

マルコ 15:45 そして百人隊長のことを知り、その遺体をヨセフに引き渡した。

イエスの死が百人隊長によって確認されたとき、ジョセフはイエスの遺体を引き取る許可を与えられました。

1. 信仰の力: アリマタヤのヨセフからの教訓

2. イエスに従う代償：アリマタヤのヨセフ

1. マタイ 27:57-61 - アリマタヤのヨセフはピラトにイエスの遺体を埋葬する許可を求める

2. ルカ 23:50-56 - アリマタヤのヨセフは、イエスの遺体を引き取って自分の墓に埋める許可を求めます。

マルコ 15:46 そこで、イエスは上等の亜麻布を買い、彼を降ろして亜麻布で包み、岩をくり抜いて造った墓の中に置き、墓の入り口に石を転がした。

イエスは岩をくり抜いて大きな石で封印された墓に埋葬されました。

1. イエスの犠牲 - イエスの死と墓への埋葬。

2. イエスの力 - 彼の人生は死後も死を克服し続けています。

1. ローマ 6:9 - 「キリストが死者の中から復活されたので、再び死ぬことはできないことを私たちは知っています。死はもはや彼を支配することができません。」

2. イザヤ書 53:9 - 「彼は、暴力をふるわず、口に偽りもなかったにもかかわらず、その死には悪人たちと金持ちたちとの墓が割り当てられました。」

マルコ 15:47 マグダラのマリアとホセの母マリアは、ヨセフが横たわっているところを見た。

この一節は、マグダラのマリアとホセの母マリアが、十字架につけられたイエスが横たわった場所をどのように目撃したかを説明しています。

1: マグダラのマリアとホセの母マリアの忠実さから、困難な状況下であってもイエスが埋葬された場所を証言することができます。

2: 私たちは、マグダラのマリアとホセの母マリアの模範に従い、逆境の中でも信仰を貫くよう招かれています。

1: ルカ 23:55-56 - ?ガリラヤからイエスと一緒に来た女性たちはヨセフを追って、墓とその中に遺体が安置されている様子を見ました。それから彼らは家に帰ってスパイスと香水を準備しました。

2: ヨハネ 19:25-27 - ?イエスの十字架の耳には、母親、母親の妹、クロパスの妻マリア、そしてマグダラのマリアが立っていました。イエスはそこに母親がいて、愛する弟子が近くに立っているのを見て、母親に言った。耳女よ、ここにあなたの息子がいます。??そして彼は弟子に言った。あなたのお母さんはいますか？

マルコ 16 章には、イエスの復活、さまざまな弟子たちへのイエスの出現、そして天への昇天という重要な出来事が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメがイエスの体に油を塗りに行くために香辛料を買うところから始まります。週の最初の日の早朝、日の出直後、彼らは墓に向かう途中で、誰が墓の入り口から石を転がすか尋ねました。しかし、彼らが見上げると、非常に大きな石が転がされているのが見えました（マルコ 16:1-4）。彼らが墓に入ると、右側に座っている白いローブを着た若い男が驚いてこう言いました。「心配しないでください。あなたは十字架につけられたナザレ人イエスを探しています。彼は復活しました！ここにはいません。彼が横たわった場所を見てください。しかし、彼のところに行きなさい。」弟子ペテロ「あなたがたより先にガリラヤに行かれる方は、あなたに言われたとおり、そこでお会いします。」震えながら当惑した女たちは墓から逃げ出して行きましたが、怖かったので誰も何も言いませんでした（マルコ16:5-8）。

第 2 段落: イエスが週の初日早く起きた後、最初にマグダラのマリアが現れ、7 人の悪霊を追い出したマグダラのマリアは、イエスが生きているのを見たと聞いて悲しんで泣いている人々に告げたが、歩きながら国に戻った二人の様子が異なって現れた後、彼女は信じなかったが、実際にそうした彼らも信じませんでした 後で現れた11人は、復活した後彼を見た人々が信じなかったため、不信仰の頑固さを叱責し、「全世界に行ってすべての創造物に福音を宣べ伝えなさい、洗礼を受けたと信じる者は誰でも救われます、信じない者は誰でも非難されます、これらのしるしは、信じる者に付随する名前の衝動です」と言いました悪霊が出て新しい言葉を話し蛇を拾い、手で猛毒を飲み、彼らを傷つけ、横たわった手を病気にし、回復する」と弟子たちに命じた復活後の姿を詳しく語っています（マルコ16:9-18）。

第 3 段落: 主イエスが語られた後、彼らは天に上げられ、神の右に座った その後、弟子たちはどこにでも出て説教を行った 主は確認された言葉のしるしを伴って働き、昇天で終わる 神のお墨付き 勝利の即位を示す付随する奇跡を通して彼らの使命を締めくくった キリストの最高点 福音書マルコ (マルコ) 16:19-20）。

マルコ 16:1 安息日が過ぎたとき、マグダラのマリアとヤコブの母マリアとサロメは、来てヤコブに油を塗るために甘い香料を買っていた。

マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、安息日の後にイエスに油を塗るために香料を購入しました。

1. イエスの復活における女性の力

2. マグダラのマリア、ヤコブとサロメの母マリアの献身

1. ルカ 23:56 - 「そして彼らは戻ってきて、香料と軟膏を用意し、戒めに従って安息日を休みました。」

2. マタイ 27:61 - 「そしてマグダラのマリアともう一人のマリアが墓のほうに座っていた。」

マルコ 16:2 そして、週の初めの朝早く、日の出とともに彼らは墓に来た。

週の最初の日、早朝、人々は日の出とともに墓にやって来ました。

1. 復活した御子: イエスの復活がすべてを変える

2. 復活の力: イースターが重要な理由

1. コリント第一 15:20-22 - 「しかし今、キリストは死人の中からよみがえられ、眠っていた人々の初穂となられました。なぜなら、人によって死が来たのと同じように、死者の復活も人によって来たからです。アダムにあってはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからである。」

2. ローマ 6:4-5 - 「ですから、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。なぜなら、私たちが神の死に似て団結したのであれば、確かに私たちは彼の復活にも似ているはずだからです。」

マルコ 16:3 そこで彼らは、「誰が私たちを墓の戸から石を転がしてくれるだろうか」と言い合った。

弟子たちは、誰がイエスの墓の入り口から石を転がすのかと不思議に思っていました。

1. 信仰の力: イエスはどのようにして最大の障害さえも克服したのか

2. 祈りの力：どんな困難も乗り越えるために神に頼る

1. マタイ 17:20 - そしてイエスは彼らに言われた、「あなたたちの信仰が小さいからです。というのは、本当にあなたに言いますが、もしあなたがからし種ほどの信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます。そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

2. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。

マルコ 16:4 そこで彼らが見ると、石が転がされているのが見えた。それは非常に大きかったからである。

イエスの墓の入り口を封鎖していた石は転がされていました。

1: イエスの復活: 最大の奇跡

2：転がり落ちた石の意味

1: ヨハネ 10:17-18、「ですから、父は私を愛してくださいます。私が命を捨てたのは、再び命を取り戻すためです。誰も私からそれを取り上げませんが、私はそれを自分の意志で置きました。私にはそれを撤回する権限があり、またそれを取り上げる権限もあります。この告発は私が父から受けたものです。」

2: ヘブル人への手紙 2:14-15、「ですから、子らは血と肉を分かち合っているのですから、彼自身も同様に同じものにあずかりました。それは、死の力を持つ者、すなわち悪魔を死によって滅ぼすためでした。そして死の恐怖によって生涯奴隷にされたすべての人々を救い出します。」

マルコ 16:5 そして墓に入ると、白い長い衣を着た若者が右側に座っているのが見えた。そして彼らは驚いた。

女性たちは墓に入ると、白い長い服を着た若い男性を見て怖くなりました。

1. 恐れるな：不確実な時代における神からの安心感

2. 困難な時代における神の慰めの力

1. イザヤ書 41:10: 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右

の手であなたを支える。」

2. 詩篇 23:4: 「たとえ死の影の谷を歩くとしても、私は悪を恐れません。あなたが私とともにおられるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めます。」

マルコ 16:6 そしてイエスは彼らに言った、「恐れるな。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを求めている。彼はよみがえった。」彼はここにはいません。彼らが彼を寝かせた場所を見てください。

イエスの復活は、恐れではなく、お祝いと希望をもたらすものです。

1: キリストは復活した!主の奇跡的な復活を喜び、主を信頼してください。

2: 恐れることはありません。十字架につけられたナザレのイエスは復活されました。

1: 1 コリント 15:3-4 - なぜなら、私が受け取ったこと、つまり、キリストが聖書に従って私たちの罪のために死なれ、葬られ、三日目によみがえられたことを、最も重要なこととしてあなたがたに伝えたからです。聖書に従っている日。

2: 1 ペテロ 1:3-4 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神にほめたたえられますように。神の偉大なる憐れみにより、神は私たちを、イエス・キリストの死者の中からの復活を通して生ける希望へと、また朽ちず、汚れも、色褪せることもない相続財産として、あなたのために天に保たれ、生まれ変わらせてくださいました。

マルコ 16:7 しかし、行きなさい。弟子たちとペテロに、彼があなたより先にガリラヤに行くと伝えなさい。彼があなたに言ったように、そこで彼に会うでしょう。

イエスの弟子とペテロは、イエスが約束されたとおり、ガリラヤに行ってイエスに会うように勧められました。

1. 信仰の力：ガリラヤで弟子たちに会うというイエスの約束は、たとえイエスの計画の完全性を理解していなくても、イエスを信頼するよう私たちに思い出させます。

2. 希望の慰め：ガリラヤにおけるイエスの臨在は、たとえ人生が不確実であるように感じられるときでも、イエスが私たちの人生にもたらしてくれる希望を思い出させてくれます。

1. ローマ 5:1-5 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。私たちも、この方を通して、信仰によってこの恵みにアクセスすることができ、その恵みの中に立っており、神の栄光を望んで喜んでいます。それだけでなく、苦しみが忍耐を生み、忍耐が人格を生み、人格が希望を生むことを知っているので、私たちは苦しみを喜びます。

2. 詩篇 23:4 - たとえ死の影の谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

マルコ 16:8 そこで彼らは急いで出て行って、墓から逃げた。彼らは震えて驚いたので、誰にも何も言わなかった。彼らは恐れていたからである。

イエスの墓を訪れた女性たちは恐怖のあまりすぐに逃げ出し、自分たちが見たことを誰にも話さなかった。

1. 目撃における恐怖の力

2. 信仰における証の重要な役割

1. 申命記 6:4-9 - 聞け、イスラエルよ、私たちの神、主はただ一人です！あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。

2. 詩篇 91:1-2 - いと高き方の秘密の場所に住む者は、全能者の影の下にとどまるでしょう。私は主についてこう言います、「彼は私の避け所であり、私の砦です。私の神よ、私は彼に信頼します。」

マルコ 16:9 さて、イエスは週の初めの日に早くよみがえられたとき、まずマグダラのマリアに現われ、マグダラのマリアから七人の悪魔を追い出されました。

イエスは週の最初の日に早く起きられ、マグダラのマリアが最初にイエスに会いました。

1. 復活の力: イエスがどのようにして死からよみがえって世界を変えたか

2. 許しの力: イエスはマグダラのマリアから7人の悪魔をどのように追い出したか

1. ヨハネ 20:11-18 - マグダラのマリアは復活の主に出会う

2. ルカ 8:1-3 - マグダラのマリアは、7 つの悪霊から救出されたイエスの追随者の一人です。

マルコ 16:10 彼女は行って、イエスと一緒にいた人々に告げた。彼らは悲しみ、泣いていた。

復活後のイエスを見た婦人たちが行って、悲しみ、泣いている弟子たちに告げました。

1. 喪の時に希望を見つける方法

2. キリストの復活を目撃する力

1. ヨハネ 20:1-18 - マグダラのマリアが墓に行き、イエスの復活を目撃した物語

2. ローマ 5:3-5 - 苦しみや悲しみにもかかわらず、私たちがキリストにあって抱く希望。

マルコ 16:11 彼らは、イエスが生きていて、彼女の姿を見たということを聞いても、信じなかった。

この箇所は、復活後に生きたイエスを見た女性たちの不信について語っています。

1. 復活を信じる：信仰の力

2. 百聞は一見に如かず: 疑いの克服

1. ヨハネ 20:24-29 - トマスの不信仰とその後の信仰

2. ペテロ第一 1:3-9 - 復活の信仰による希望の力

マルコ 16:12 その後、イエスは、歩いている二人に、別の姿で現れて、田舎に入って行かれた。

イエスは二人の弟子の前に別の姿で現れました。

1: イエスは私たちの最も暗い時にも私たちとともにおられ、さまざまな形で私たちの前に現れてくださいます。

2: たとえイエスの存在が明らかでなくても、私たちの生活の中にイエスがいることに感謝し、認識しましょう。

1: マタイ 28:20 - 「わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えています。見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。アーメン。」

2: 使徒 1:3 - 「彼はまた、多くの間違いのない証拠によって、受難の後に生きている自分を示し、四十日間彼らを見られ、神の国に関する事柄について語った。」

マルコ 16:13 そこで彼らは行って、残った者たちにそのことを話したが、彼らも信じなかった。

弟子たちはイエスの復活について他の人に話しても信じられませんでした。

1. 証人の力: 疑念にもかかわらず良いたよりを広める方法

2. 恐怖よりも信仰: 自分の信念を堅持する方法

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. 使徒 4:20 - 私たちは、見聞きしたことについて語らずにはいられないからです。

マルコ 16:14 その後、イエスは十一人が肉の席に座っているときに現れ、彼らの不信仰と心のかたくなさで彼らを非難した。なぜなら、復活した後にイエスを見た人々が彼らを信じなかったからである。

彼は、復活後に彼に会った人々に対する信仰の欠如について11人を叱責しました。

1. 信仰の力: 不信仰の克服

2. キリストの復活を信じることの重要性

1. ヘブライ 11:1-3 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。それによって昔の人々は賞賛を得たからである。信仰によって、私たちは宇宙が神の言葉によって創造されたので、目に見えるものは目に見えるものから作られたのではないことを理解します。

2. ヨハネ 20:24-29 - さて、双子と呼ばれる十二人の一人であるトマスは、イエスが来たとき彼らと一緒にいませんでした。そこで他の弟子たちは彼に、「私たちは主を見ました」と言いました。しかし彼は彼らに言った、「彼の手に釘の跡が見えるのを見て、私の指を釘の跡に置き、私の手を彼のわき腹に当ててみない限り、私は決して信じない。」8日後、弟子たちは再び屋内に入り、トマスも一緒にいました。ドアは施錠されていましたが、イエスが来て彼らの間に立って、「あなたたちに平和があるように」と言われました。それから彼はトーマスに言った、「ここに指を置いて、私の手を見てください。そして手を出して私の脇に置いてください。信じないのではなく、信じてください。」トマスは彼に答えました、「わが主よ、わが神よ！」イエスは彼に言った、「あなたは私を見たので信じましたか？」見たこともないのに信じた人たちは幸いです。」

マルコ 16:15 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

イエスは弟子たちに、世界中のすべての人に福音を広めるよう命じられました。

1. 福音の力: イエスのメッセージが今日でもいかに重要であるか

2. 弟子としての緊急性: 福音を世界に伝える

1. イザヤ書 6:8 そのとき、私は主の声を聞いてこう言いました。「誰を遣わそうか。そして誰が私たちに代わってくれるでしょうか？」そして私は言いました、「ここにいます。送ってください！」

2. マタイ 28:19-20 それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに私は、時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。

マルコ 16:16 信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし信じない者は罰せられるであろう。

イエスを信じてバプテスマを受ける人は救われますが、信じない人は罪に定められます。

1. 私たちの救いにおける信仰と洗礼の重要性

2. イエスを信じなかった場合の結果

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心で信じるなら、あなたは救われるでしょう。なぜなら、人は心で信じて義とされるからです。人は口で告白して救われるのです。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分でしたことではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

マルコ 16:17 そして、信じる者にはこれらのしるしが続くでしょう。私の名において、彼らは悪魔を追い出すだろう。彼らは新しい言語で話すでしょう。

この箇所は、悪魔を追い出したり、新しい言語で話したりするなど、イエスの名を信じる者に起こるしるしについて語っています。

1. 信仰の力: 私たちの生活の中で奇跡を解き放つ

2. 兆候と驚異: 超自然の領域を明らかにする

1. ルカ 10:17-20 - イエスは弟子たちに、御名によって悪霊を追い出すように指示されました。

2. 使徒 2:1-4 - 弟子たちは聖霊に満たされて新しい言語で話す

マルコ 16:18 彼らは蛇を捕らえます。そして、もし彼らが致命的なものを飲んだとしても、それは彼らを傷つけることはありません。彼らは病人に手を置くでしょう、そして彼らは回復するでしょう。

イエスは、ご自分に従う者たちに危害からの超自然的な保護が与えられ、病人を癒すことができると約束されました。

1. キリストの約束を信頼する: 信仰の力

2. 恐怖と疑いの克服: 失うものが何もないとき

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

2. ヘブライ 11:1-「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

マルコ 16:19 そこで、主が彼らに語られた後、イエスは天に上げられ、神の右に座された。

イエスは天に昇られ、神の右に座されました。

1: 私たちはイエスの約束と、イエスが神の右に座しておられるということにいつでも信頼できます。

2: イエスが私たちとともにおられ、イエスが神の右であることによって、私たちは慰めと希望を持つことができます。

1: 使徒 1:9-11 - イエスは雲に引き上げられ、神の右に座されました。

2: エペソ人への手紙 1:19-23 - 神はキリストを死人の中からよみがえらせ、天の領域で彼の右に座させました。

マルコ 16:20 そこで彼らは出て行って、どこでも宣べ伝えたが、主は彼らとともに働き、その後にしるしをもって御言葉を確証された。アーメン。

弟子たちはどこにでも行って説教し、主は弟子たちと協力して奇跡によって彼らの言葉を確証されました。

1.「神の言葉の力：権威ある説教」

2.「神の働きの奇跡的な性質」

1. 使徒 10:38 - 「神はどのようにしてナザレのイエスに聖霊と力を注がれたのか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人を癒して回った。神は共におられたからである。」

2. ローマ 15:19 - 「しるしと不思議の力、神の御霊の力によって、私はエルサレムからイリュリクムまでずっとキリストの福音の奉仕を果たしました。」

ルカ 1 章は、天使のお告げによって予告された洗礼者ヨハネとイエスの誕生をめぐる奇跡的な状況を詳しく語り、イエスの誕生の舞台を整えます。

第 1 段落: この章は、ルカがテオピロスにこの記述を書いた目的を説明し、それが慎重な調査と目撃報告に基づいていることを保証するところから始まります (ルカ 1:1-4)。次に、義人であったが子供がいなかったゼカリヤとエリサベトから始まる、イエスの誕生前の出来事に移ります。ゼカリヤが神殿で奉仕していると、天使が現れ、彼らは年老いているにもかかわらず、主の再臨に人々を備えるヨハネという息子が生まれるだろうと告げました。ゼカリヤは高齢のため疑い、これらのことが実現するまで口がきけませんでした(ルカ1:5-25)。

第 2 段落: 6 か月後、天使ガブリエルはナザレのマリアを訪れ、聖霊によってイエスという偉大な息子を妊娠すると発表しました。その子は偉大な御子であり、いと高き神が彼に王座を与え、父ダビデがヤコブの子孫を永遠に統治します。王国は決して終わることはありません。この挨拶に気を悪くし、これがどのような挨拶なのか疑問に思ったメアリーは、自分は処女だったのにどうしてこんなことが起こるのかと尋ねました。ガブリエルは、神にとって不可能なことは何もないと説明しましたマリアは謙虚に「私は主の僕です、あなたのお言葉が成就しますように」（ルカ1:26-38）と言って受け入れました。

第 3 段落: この発表の後、メアリーはジョンを妊娠している親戚のエリザベスを訪ねました。エリザベスがマリアの挨拶を聞いたとき、赤ん坊が飛び跳ねた 胎内に聖霊が満たされ、女性たちの間で祝福された実りの子宮 どうして私が母であることが許されたのか、私の主が来られるのはなぜだろう あなたの挨拶が耳に届くとすぐに赤ん坊の胎内が飛び跳ねた 祝福された喜びが主が言われたことを信じた 彼女は約 3ヶ月滞在してから家に戻った（ルカ 1:39-56）。そうこうしているうちに、エリザベスが男の子を出産する時が来て、主が大きな憐れみを示して彼女を喜ばせたと聞いた近所の親類が、8日目に父親ゼカリアの母親が「いいえ、ヨハネと呼ぶことにした」と声を上げた後、割礼の子供が来て名前を付けようとした。彼らは、親戚の中に名前を書いた人はいないと言い、彼が電話をかけたいと思ったものを調べて、タブレットに「彼の名前はジョン」と書いてもらいました。誰もが驚き、すぐに口を開いて舌を解放し、神を賛美しながら話し始めました。丘陵地中の隣人は畏敬の念に満ちていました。ユダヤの人々はこれらすべてのことについて話していました。誰もが聞いて、心の中で「それでは子供はどうなるのですか？」と考えました。主の御手によって父ゼカリヤは聖霊に満たされ、息子の将来の宣教を預言し、最後の節には、息子がメシアを告げる役割を含む神の救いの計画を説明する既知のベネディクタスを讃える歌が含まれています（ルカ1:57-80）。

ルカ 1:1 私たちの間で最も確実に信じられている事柄を宣言するために、多くの人が手に取りました。

この一節はルカによる福音書の序文で、多くの人々が最も広く受け入れられているイエスの教えを文書化することに取り組んでいることを説明しています。

教会に受け入れられるイエスの教えを忠実に文書化するよう求めています。

2. イエス・キリストの福音を宣べ伝えることは重要な責任であり、私たちはそれが将来の世代に正確に伝えられるように措置を講じなければなりません。

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

2. テモテ第二 3:16-17 - 聖書はすべて神の息吹であり、教え、叱責、矯正し、義について訓練するのに役立ちます。それにより、神の僕はあらゆる良い働きに完全に備えることができます。

ルカ 1:2 彼らが彼らを私たちに引き渡してくれたときも、彼らは初めから目撃者であり、御言葉の奉仕者でした。

この一節は、福音書の記述の源が御言葉の目撃者であり奉仕者であると述べています。

1. 福音書の中で明らかにされている神の言葉に従うことの重要性。

2. 証しの力と信仰の伝達におけるその役割。

1. ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け主、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださるでしょう。」

2. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そしてあなたがたはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらには地の最も辺鄙な場所にまでわたしの証人となるでしょう。」

ルカ 1:3 私にとっても、初めからすべてのことを完全に理解していましたので、あなたに順番に手紙を書くのは良いことのように思えました、最も優れたテオピロスよ、

著者はすべてのことを完全に理解しており、それを書面による説明の形でテオフィラスに共有したいと考えています。

1. 神の意志を知る: 神の完全な理解をどのように見分けるか

2. 優れたテオフィルスであること: その名に恥じないことの意味

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵が欠けている人がいるなら、その人は神に尋ねるべきです。神はすべての人に、あら探しをすることなく惜しみなく与えてくださいます。そうすれば、知恵は与えられるでしょう。

ルカ 1:4 それは、あなたが教えられた事柄の確実性をあなたが知るためです。

ルカは、福音を教えられた者はその教えの確かさを知ることができるという神の言葉を記録しています。

1. 神の言葉の揺るぎない確かさ

2. 神の約束の保証を理解する

1. ローマ 15:4 - 以前に書かれたものはすべて、私たちが学ぶために書かれたものであり、忍耐と聖文の慰めを通して私たちが希望を持つことができるようにするためです。

2. テモテ第二 3:16 - 聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に役立ちます。

ルカ 1:5 ユダヤの王ヘロデの時代に、アビアの道にザカリアという祭司がいました。彼の妻はアロンの娘で、名前はエリザベトでした。

ザカリアとエリサベトは、ユダヤ王ヘロデの時代の敬虔な夫婦でした。

1. 神はご自身の意志を遂行するために最も謙虚な人々を選びます。

2. ザカリヤとエリザベートの忠実さは、私たち全員にとっての模範です。

1. ヤコブ 4:10 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

2. ローマ 12:2 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

ルカ 1:6 そして、彼らは二人とも神の前に義人であり、主のすべての戒めと儀式を潔白に守っていました。

ザカリアとエリザベトは二人とも神の前に義人であり、主のすべての戒めと掟を忠実に守っていました。

1. 「義にかなった生き方：聖性への呼びかけ」

2.「従順に生きる: 神の民への祝福」

1. 申命記 6:24-25 - 「そして主は、これらすべての掟を守り、私たちの益のために常に私たちの神、主を畏れ、今日のように私たちを生かしてくださるようにと私たちに命じられました。そうすれば、それはそうなるでしょう」わたしたちが義とされるのは、主がわたしたちに命じられたとおり、わたしたちの神、主の御前でこれらすべての戒めを注意深く守るならばです。」

2. イザヤ書 33:15 - 「正しく歩み、正しく話す者、圧制の利益を軽蔑する者、手で身振りをして賄賂を拒否する者、流血を聞かないように耳を塞ぎ、悪を見ないように目を閉じる者。」

ルカ 1:7 そして、エリサベトは不妊で、二人とももう何年も病気になっていたので、彼らには子供がありませんでした。

エリザベートと彼女の夫は二人とも高齢で、エリザベートが不妊だったために子供がいませんでした。

1.「主にある希望 - エリザベートとその夫からの教訓」

2.「神のタイミングは完璧です - エリザベートとその夫の研究」

1. 詩篇 37:4 - 「主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いを叶えてくださいます。」

2. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

ルカ 1:8 そして、彼がその行程に従って神の御前で祭司の職を務めている間に、次のことが起こった。

この一節では、ゼカリヤが祭司の務めを果たしている様子が描かれています。

1. 神の計画を信頼する: 逆境を通じて忍耐と忠実であることを学ぶ

2. 神から与えられた目的を達成する: 司祭奉仕の召しを全うする

1. 詩篇 119:105 「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2. ピリピ 4:13 「私に力を与えてくださる方によって、私はこのすべてを行うことができます。」

ルカ 1:9 祭司職の習慣によれば、彼は主の神殿に入るときに香をたくことになっていた。

祭司ゼカリヤは主の神殿で香をたくために選ばれましたが、これは祭司としての義務の一部でした。

1. 私たちの召しを生きる: 私たちの賜物を使って主に仕える

2. 奉仕を通じて神を礼拝する方法

1. 歴代誌16:23-25 - 「全地よ、主に向かって歌え。来る日も来る日も主の救いを宣言せよ。主の栄光を諸国民の間に、主の驚くべき御業をすべての民に宣言せよ。主は偉大であり、最もふさわしい方だからである」賛美; 彼はすべての神よりも恐れられるべきです。」

まさにそのことを語る者として話すべきです」」

ルカ 1:10 そして、群衆は皆、香を焚かずに祈っていた。

僧侶が焼香をしている間、当時の人々は祈りを捧げるために集まりました。

1. 神の民は祈り、団結して集まるよう呼びかけられています。

2. 共同の祈りの重要性と私たちの信仰におけるその役割。

1. 使徒 2:42-47 - 初代教会は祈り、教え、交わり、パンを裂くことに専念しました。

2. 詩篇 66:18 - 私が心の中で不正を考えても、主は聞き入れられません。

ルカ 1:11 すると、主の御使いが香の祭壇の右側に立って彼の前に現れた。

この聖句は、バプテスマのヨハネの父であるゼカリヤが神殿で香を捧げているときに天使が現れた様子を描写しています。

1. 「信仰の力: 神は私たちの忠実な行動を用いてご自身の意志をどのように示されるか」

2. 「従順の価値: 神は私たちの忠実な奉仕にどのように報われるか」

1. ヘブライ人への手紙 11:1-3 - 「さて、信仰とは、期待されている事柄の保証であり、目に見えない事柄の確信です。なぜなら、昔の人々はそれによって賞賛を得たからです。信仰によって、私たちは宇宙が言葉によって創造されたことを理解します。」目に見えるものは、目に見えるものから作られたのではありません。」

2. ヤコブ 2:17-18 - 「ですから、行いがなければ信仰も、それ自体では死んだものです。しかし、ある人は、「あなたには信仰があり、私には行いがある」と言うでしょう。あなたの行いとは別にあなたの信仰を私に示してください、そうすれば私は私の行いによってあなたの信仰を示します。」

ルカ 1:12 ザカリヤは彼を見たとき、動揺し、恐怖に襲われた。

ザカリアは天使を見たとき、悩み、恐怖でいっぱいでした。

1. 神の使者は恐怖を引き起こすべきではない

2. 信仰を通じて恐怖を克服する

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助ける。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ピリピ人への手紙 4:4-7 - 「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。あなたの優しさがすべての人に明らかになるようにしましょう。主は近くにおられます。何事にも思い煩わないでください。ただ、祈りによってすべてにおいてください。」「感謝しつつ、嘆願し、あなたの願いを神に伝えなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。」

ルカ 1:13 しかし、天使は彼に言った、「ザカリア、恐れることはありません。あなたの祈りは聞き届けられます。」そしてあなたの妻エリザベスはあなたに息子を産み、あなたはその名前をジョンと呼ぶでしょう。

天使はザカリヤに、祈りが聞き届けられ、妻エリザベートが男の子を産み、その名前はヨハネとなるので、恐れないように言います。

1. 神は常に私たちの祈りに耳を傾け、完璧なタイミングで祈りに答えてくださいます。

2. たとえそれが意味をなさないとしても、神の計画を信頼することは、私たちの信仰の旅にとって不可欠です。

1. ヨハネ 14:13-14 - 「そして、父が子によって栄光を受けるように、わたしの名においてあなたが求めることは何でも行います。私の名前で何でも聞いてください、そうしてあげます。」

2. 詩篇 37:5 - 主に道を捧げなさい。彼を信頼すれば、彼はこうしてくれるでしょう。

ルカ 1:14 そうすれば、あなたは喜びと喜びを得るでしょう。そして多くの人が彼の誕生を喜ぶだろう。

ルカ 1:14 のこの一節は、イエスの誕生によってもたらされる喜びを強調しています。

1. イエスの喜び: ルカ 1:14 の意味を探る

2. イエスの誕生を喜ぶ：ルカ 1:14 を振り返って

1. イザヤ書 9:6-7: 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ピリピ 4:4: いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい。

ルカ 1:15 その人は主の目に偉大な人となり、ぶどう酒も強い酒も飲まないであろう。そして彼は母親の胎内から聖霊に満たされるであろう。

彼は神の目に偉大な者となり、生まれたときから聖霊に満たされるでしょう。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 私たちの生活に対する聖さの影響

1. 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなたたちはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。

2. ペテロ第一 1:15-16 - しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたも何をするにも聖でありなさい。「わたしは聖なる者であるから、聖なる者となりなさい。」と書いてあるからである。

ルカ 1:16 そして、イスラエルの子らの多くは彼らの神、主に立ち返るであろう。

洗礼者ヨハネは、イスラエルの多くの子らを彼らの神、主に立ち返らせると約束されました。

1.「神の祝福にふさわしい人生を送る」

2.「神を通して人生の目的を見つける」

1. イザヤ書 55:6-7: 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼びなさい。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。彼を主に立ち返らせてください。そうすれば、彼は彼を憐れみ、私たちの神に憐れみを与えることができます。なぜなら、彼は豊かに赦してくださるからです。

2. ヤコブ 4:8: 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。罪人よ、手を清めよ、二心の君よ、心を清めよ。

ルカ 1:17 そして、彼はエリアスの霊と力で彼の前に行き、父たちの心を子供たちに向け、不従順な者たちを正しい者の知恵に向けさせるでしょう。主のために備えられた民を整えるためです。

この箇所は、人々を神に立ち返らせ、主のために民を備えるという洗礼者ヨハネの使命について語っています。

1. 主のために心を備える: 洗礼者ヨハネはどのようにして悔い改めと義のメッセージを説いたのか

2. 説教の力: 洗礼者ヨハネのメッセージと宣教の影響

1. マタイ 3:1-2 - 洗礼者ヨハネの悔い改めと義の奉仕

2. ローマ 10:14-15 - 救われるために人々は主に立ち返る必要性

ルカ 1:18 ザカリアは天使に言った、「どうしてそんなことがわかるのですか。」というのは、私は老人であり、妻は長年にわたって重い病気を患っているからです。

ザカリアは天使に、自分の約束の真実をどうやって知るかについて尋ねます。

1: 主が備えてくださるので、主を信頼してください。

2: 不確実性に直面しても、私たちは信仰と勇気を持たなければなりません。

1: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2: 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

ルカ 1:19 すると、答えた天使は彼に言った、「私は神の前に立っているガブリエルです。」そしてあなたに語りかけ、これらの嬉しい知らせを伝えるために遣わされたのです。

天使ガブリエルはザカリヤに洗礼者ヨハネの誕生の吉報を伝えるために遣わされました。

1. 神の使者: 聖書における天使の役割

2. 神の約束: イエスと洗礼者ヨハネの誕生

1. 詩篇 103:20 - 力に優れ、主の御言葉の声に耳を傾け、主の戒めを行う天使たちよ、主を祝福してください。

2. ヘブライ 13:2 - 見知らぬ人をもてなすことを忘れないでください。それによって、気づかずに天使をもてなした人もいるからです。

ルカ 1:20 そして、見よ、これらのことが行われる日まで、あなたは口が利けず、話すことができないであろう。なぜなら、あなたは、その季節に成就するわたしの言葉を信じないからである。

洗礼者ヨハネの父ゼカリヤに天使が現れ、天使の言葉を信じなかったので、告げられた預言が実現するまで口が利けないと告げました。

1. 信仰の力: 神の言葉を信頼して生きる

2. 自信を持って生きる：神の約束を信頼する

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. 詩篇 56:3 - 恐れるとき、私はあなたに信頼を置きます。

ルカ 1:21 人々はザカリヤを待ち、彼が神殿で長い間待っていたことに驚いた。

ザカリアが神殿に行くと、人々は彼がそこに長く留まっていたことに驚きました。

1. 神のタイミングは完璧です - 神がどのように私たち一人一人のために計画を持っており、神のタイミングが最適であるかを話し合います。

2. 忍耐は美徳です - ザカリアの忍耐がどのように報われたか、そして人生のあらゆる面で忍耐強くいることがどのように重要であるかを話します。

1. 詩篇 37:7 - 「主の前に静まり、辛抱強く主を待ちなさい。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

ルカ 1:22 そして、出てきたとき、イエスは彼らに話しかけることができなかった。そして彼らは、イエスが神殿で幻を見たのだと気づいた。イエスは彼らを手招きしたまま、言葉を失っていたからである。

ザカリアは神殿で幻を見た後、口がきけなくなりました。

1. 理解できないときでも神を信頼する

2. 神の沈黙を通して神の意志を理解する

1. イザヤ書 6:9-10 – 「そして彼は言った、「行って、この民に言いなさい、あなたがたは確かに聞いていますが、理解するのはやめてください。」そしてあなたがたは確かに見ているが、認識していない。この民の心を太らせ、耳を重くし、目を閉じてください。そうしないと、彼らは目で見て、耳で聞いて、心で理解し、改心して癒されないのです。」

2. ハバクク 2:20 – 「しかし、主は聖なる神殿におられます。全地が彼の前に沈黙を保ちましょう。」

ルカ 1:23 そして、奉仕の日々が終わるとすぐに、彼は自分の家へ去った。

ヒゼキヤは宣教を終えて自分の家に戻りました。

1. 神の民への備えにおける神の忠実さ

2. 神から与えられた目的が達成された

1. イザヤ書 38:5 「行ってヒゼキヤに告げなさい。『あなたの父ダビデの神、主はこう言われる。わたしはあなたの祈りを聞きました。わたしはあなたの祈りを聞きました。』私はあなたの涙を見ました。見よ、あなたの命をさらに15年増やしてやろう。」

2. 詩篇 103:17 「しかし、とこしえからとこしえまで、主の愛は主を恐れる者たちとともにあり、主の義はその子らの子らとともにある。」

ルカ 1:24 その日の後、彼の妻エリサベトは身ごもり、五か月間身を隠してこう言いました。

エリザベートは妊娠し、5か月間身を隠します。

1. 神の忠実さの祝福

2. 神の計画への信頼を高める

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. 詩篇 46:10 - 「静まって、わたしが神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるだろう！」

ルカ 1:25 主は、人々の間での私の非難を取り除くために、私を見つめていた日々に、このように私を扱ってくださいました。

主はマリアを憐れみ、人々の間での彼女の非難を取り除いてくださいました。

1. 神の憐れみ: 神の変わらぬ愛の一例

2. 主にあって喜ぶ：主の祝福を受け入れる

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

2. 詩篇 34:5 - 主を仰ぎ見る者は輝き、その顔は決して恥じられることはない。

ルカ 1:26 そして第六の月に、天使ガブリエルが神からナザレというガリラヤの町に遣わされました。

六か月目に、神の御使いがガリラヤの町ナザレにやって来ました。

1. 神の使者はどのようにして希望をもたらすのか

2. 私たちの生活における神の訪問の力

1. イザヤ書 40:3-5 - 呼びかける者の声。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。4 すべての谷は高くされ、すべての山と丘は低くされる。荒れた地面は平らになり、険しい場所は平地になります。5 そして主の栄光が現され、すべての人が共にそれを見るであろう。

2. ルカ 2:10-11 - しかし、天使は彼らに言った、「恐れることはありません。すべての人々に大きな喜びをもたらす良い知らせをお届けします。 11 今日、ダビデの町で、あなたがたに救い主が生まれました。彼はメシア、主です。

ルカ 1:27 ダビデ家のヨセフという名の男性と結婚した処女に。そして処女の名前はマリアでした。

マリアはダビデ王の家系に属するヨセフという男性と婚約していました。

1. 私たちの生活における血統と家族の歴史の重要性。

2. マリアとヨセフに対する神の奇跡的な備え。

1. ローマ人への手紙 8:28、「そして、神を愛する者たち、すなわち神のご計画に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

2. 詩篇 139:13-14、「あなたは私の手綱をつかみ、母の胎内で私を覆ってくださいました。私はあなたをほめます。私は恐ろしくも素晴らしく造られています。あなたのみわざは素晴らしいです。そして私の魂は正しいことを知っています」良い。"

ルカ 1:28 すると、天使が彼女のところに来て、「万歳、あなたはとても恵まれています。主はあなたとともにおられます。あなたは女の中で祝福されています」と言った。

この一節は、マリアがイエスの母に選ばれたと告げたとき、天使ガブリエルがマリアに挨拶したことを記述しています。

1. 神の好意: あなたの人生で神の好意の祝福を経験する

2. マリアの応答: 神の呼びかけに忠実に応答することを学ぶ

1. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている」と主は宣言されます。「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2. ルカ 2:19 - しかし、マリアはこれらすべてのことを大切に保管し、心の中でよく考えました。

ルカ 1:29 彼女は彼を見たとき、彼の言葉に困惑し、これはどのような挨拶の仕方であるべきかを心の中に思い浮かべた。

天使ガブリエルがマリアに現れたとき、マリアは当惑し、悩みました。

1: 私たちに対する神の計画は、時には混乱したり厄介なことがありますが、それは常に私たちの利益となるでしょう。

2: 神は、私たちに喜びと目的をもたらすために、最も予期せぬ使者を通して働くことができます。

1: イザヤ書 55:8-9 「私の考えはあなたの考えではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道や私の考えよりも高いからです」あなたの考えよりも。」

2: ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

ルカ 1:30 すると天使は彼女に言った、「マリア、恐れることはありません。あなたは神の好意を得たのです。」

天使がマリアに現れ、神の好意を得たので恐れる必要はないと告げました。

1. 神の好意: それを認識し受け取る方法

2. 神の恵みを信じて恐怖に立ち向かう

1. 詩篇 5:12、「主よ、あなたは義人を祝福してくださいます。あなたは彼を盾のように好意で覆います。」

2. イザヤ書 41:10、「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

ルカ 1:31 そして、見よ、あなたは胎内に宿り、男の子を産み、その名をイエスと呼ぶであろう。

天使はマリアに、男の子を産んでイエスと名付けると宣言しました。

1: クリスチャンとして、私たちは、たとえそれが可能性が低い、または困難であると思われる場合でも、神の計画を信頼することを覚えておく必要があります。

2: 私たちは神の呼びかけに心を開いて、喜び、敬意、謙虚さを持って神の意志を受け入れなければなりません。

1: ローマ人への手紙 8:28 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

2: ピリピ 4:4-7 「いつも主にあって喜びなさい。繰り返し言いますが、喜びなさい。あなたの節度をすべての人に知らせてください。主はすぐそばにおられます。無駄に注意してください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、人知を超えた神の平安が、キリスト・イエスを通してあなたがたの心と思いを保つでしょう。」

ルカ 1:32 彼は偉大になり、いと高き者の子と呼ばれるであろう。そして主なる神は彼に父ダビデの王座を与えられるであろう。

主なる神は御子に父ダビデの王位を与えられます。

1. 永遠の王国に関する神の約束: イエス・キリストの治世に生きる

2. 神の計画を知ることの祝福: ダビデの王座を理解する

1. イザヤ書 9:7 - 「ダビデの王座とその王国に、その政府と平和の拡大に終わりはなく、それを命じ、裁きと正義をもってそれを確立することは、今後、これまで。万軍の主の熱意がこれを成し遂げるであろう。」

2. 黙示録 3:21 - 「勝利した者に、私とともに王座に座ることを許します。私もまた勝利し、父とともに王座に着いたのと同じです。」

ルカ 1:33 そして彼は永遠にヤコブの家を統治するでしょう。そして彼の王国には終わりがない。

この箇所は、ヤコブの家に対するイエスの永遠の統治を説明しています。

1: イエスの永遠の愛と憐れみは、私たちの日常生活における力の源です。

2: 私たちはイエスが永遠の王国を持っていることを決して忘れてはならず、イエスに忠実に仕えるように努めるべきです。

1: ヘブル人への手紙 13:8、「イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。」

2: 詩篇 146:10、「シオンよ、あなたの神よ、主は世々にわたってとこしえに統治される。」

ルカ 1:34 そこでマリアは天使に言った、「私は人間を知らないのに、どうなるのでしょうか？」

マリアは天使に、処女なのにどうすれば子供ができるのか尋ねました。

1: 不確実性に直面したマリアの信仰の模範。

2: 神の意志を実現する神の奇跡的な力。

1: 創世記 18:14 主にとって難しすぎることはありますか。

2: イザヤ書 40:28-31 あなたは知らないのですか。永遠の神、地の果ての創造主である主は気を失うことも、疲れることもないことを、あなたは聞かなかったのか。彼の理解を探る必要はありません。

ルカ 1:35 すると天使は答えて彼女に言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き方の力があなたを覆うでしょう。それゆえ、あなたから生まれる聖なるものも神の子と呼ばれるでしょう。」

天使はマリアに、聖霊の力によって神の御子を宿すことを告げました。

1. 聖霊の力: 神はどのようにして私たちの生活に奇跡を起こされるのか

2. イエスの召命: マリアは神の招きにどのように応えたか

1. イザヤ書 7:14 - 「それゆえ、主ご自身があなたにしるしをお与えになります。見よ、処女はみごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶだろう。」

2. ローマ 8:11 - 「イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊を通して、あなたがたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。」

ルカ 1:36 そして、見よ、あなたのいとこエリザベト、彼女も高齢になって男の子を身ごもりました。そして、不妊と言われた彼女は、今年で六か月目になります。

エリザベートは、不妊症であったにもかかわらず、高齢になって奇跡的に子供を妊娠しました。

1: 神の奇跡 – 神はどのようにして、最もありそうにない状況でも深遠な奇跡を起こすことができるのか。

2: 年齢は障壁ではありません - 神はどのようにして年齢にもかかわらず人々の生活の中で働くことができるのでしょうか。

1: イザヤ書 46:4 - あなたの老いと白髪に至るまで、わたしは彼であり、あなたを支える者である。私はあなたを作りました、そして私はあなたを運びます。私はあなたを支え、あなたを救い出します。

2: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

ルカ 1:37 神にとって不可能なことは何もありません。

この一節は神の力と、神にとって難しすぎるものはないということを思い出させます。

1.「終わりなき神の力」

2.「私たちの神に不可能なことはない」

1. エレミヤ 32:17 ああ、主なる神よ！見よ、あなたはその偉大な力と伸ばした腕によって天と地を創造されました。あなたにとって難しすぎることは何もありません。

2. マタイ 19:26 しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人間にはそれは不可能です。しかし、神にとってはすべてのことが可能です。

ルカ 1:38 するとマリアは言った、「見よ、主のはしためです。あなたの御言葉どおりに私もそうなりますように。そして天使は彼女から去った。

マリアは信仰と信頼をもって主の御心を謙虚に受け入れました。

1: 私たちは神の計画を信頼することで強さを得ることができます。

2: 難しい決断に直面したとき、私たちは主の導きを信頼できます。

1: 1 ペテロ 5:7 - すべての気遣いを彼に注ぎなさい。彼はあなたのことを気にかけているからです。

2: ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。

ルカ 1:39 そのころ、マリアは起きて、急いで山地、ユダの町に入った。

マリアは急いでユダヤへ向かいました。

1. 困難な時期に直面したとき、私たちは集中力を維持し、神のご意志に従順でいるべきです。

2. 神の計画に対するマリアの忠実さと従順は、私たち全員に対する模範です。

1. 箴言 3:5-6 「心を尽くして主に信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

2. ルカ 1:38 「するとマリアは言った、「見よ、主のはしためです。あなたの言葉どおり、わたしになりますように。」

ルカ 1:40 それからザカリアの家に入り、エリサベトに挨拶した。

メアリーはエリザベスを訪ね、自宅に挨拶しました。

1. 姉妹関係の力: メアリーとエリザベスの忠実な友情

2. 奉仕の美しさ: マリアのエリザベス訪問

1. 箴言 18:24 (多くの仲間を持つ人は滅びるかもしれないが、兄弟よりも寄り添う友がいる。)

2. ローマ人への手紙 12:10 (兄弟愛をもって互いに愛し合いなさい。敬意を示すことにおいてはお互いに負けません。)

ルカ 1:41 すると、エリザベトがマリアの挨拶を聞くと、赤ん坊が胎内で飛び上がった。そしてエリサベトは聖霊に満たされました。

マリアの挨拶を聞いたエリザベトは聖霊に満たされ、赤子は飛び跳ねて喜びました。

1: 主の御前で喜ぶ。

2: 聖霊の喜びに焦点を当てる。

1: ヨハネ 16:22 「ですから、あなたがたも、今は悲しんでいますが、わたしはまたあなたに会います。そうすれば、あなたがたの心は喜び、だれもあなたの喜びをあなたから奪うことはありません。」

2: 詩篇 16:11 「あなたは、いのちの道をわたしに知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ちています。あなたの右には、とこしえに喜びがあります。」

ルカ 1:42 彼女は大声を出して言った、「あなたは女の中で祝福されています、あなたの胎の実も祝福されています。」

天使ガブリエルによるイエスの誕生の発表に対するマリアの反応: マリアはイエスの祝福について神を賛美しました。

1. 神の祝福は無条件です

2. 神の祝福に感謝する人生

1. 詩篇 28:7 - 主は私の力であり、私の盾です。私の心は彼を信頼しており、助けられています。それゆえ、私の心は大いに喜びます。そして私の歌で彼を讃美します。

2. エペソ人への手紙 5:20 - 私たちの主イエス・キリストの御名において、すべてのことについて常に神と父に感謝しなさい。

ルカ 1:43 それで、私の主の母が私のところに来るということは、一体どこから私に起こったのでしょうか。

マリアはメシアが生まれるという知らせを聞いて喜びに満たされます。

1: 私たちも神から祝福を受けると喜びで満たされます。

2: 神が私たちの人生にどのように働いているかを考えるとき、私たちは驚きと畏敬の念で満たされるはずです。

1: エペソ人への手紙 1:3-14 - エペソ教会に対するパウロの神の恵みの祝福

2: 詩篇 139:1-18 - 主啊，你已經鑒察我，認識我。

詩篇 1:44 我的心和我的肉體向永生神發出歡呼。

我們如何在我們的生活中經歷神的同在？

1. 禱告

2. 讀經

1. 以弗所書 5:22-23 - 你們作妻子的，當順服自己的丈夫，如同順服主。

2. 詩篇 5:11 - 但凡投靠你的，都要喜樂；他們要永遠歡呼，因為你保護他們；愛你名的人，都要因你歡喜。

詩篇 1:45 我的肉體和我的心腸都消滅了，但神是我心裡的力量，是我的福分，直到永遠。

我們如何在困難時期保持堅強？

1: 哥林多後書 12:9-10 - 但他對我說：我的恩典夠你用的，因為我的能力是在人的軟弱上顯得完全。

2: 詩篇 46:1-3 神是我們的避難所，是我們的力量，是我們在患難中隨時的幫助。

1: 箴言 3:5-6 你要全心信賴耶和華，不可倚靠自己的聰明；在你一切所行的事上，都要認定他，他必指引你的路。

2: 詩篇 11:1 我投靠耶和華，你們對我的心怎麼說，還說逃到你們的山上去吧！

詩篇 1:46 我的靈魂尊主為大，我的心靈因神我的救主而喜樂。

我們如何在生活中榮耀神？

1. 感恩

2. マリアの賛美の歌: 感動的な感謝の例。

1. 詩篇 103:1-2 - 「私の魂よ、私の内にあるすべてのものよ、主を祝福してください。主の聖なる御名を祝福してください。私の魂よ、主を祝福してください。そして主の恩恵をすべて忘れないでください。」

2. コロサイ 3:16 - 「キリストの言葉があなたがたのうちに豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め合い、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いなさい。」

ルカ 1:47 そして私の霊は私の救い主である神を喜びました。

マリアは救い主である主にあって喜びを宣言します。

1: 私たちは主に希望と信頼を置くとき、主にあって喜びを得ることができます。

2: イエスを通して、私たちは人生に永続する喜びと平和を見つけることができます。

1: 詩篇 30:5 「泣きは一晩耐えられるかもしれないが、喜びは朝に来る。」

2: ピリピ人への手紙 4:4 「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい！」

ルカ 1:48 というのは、彼は自分のはしための身分を低く見ていたからです。見よ、これから先、世々が私を祝福者と呼ぶでしょう。

神は謙虚な者たちに目を留め、彼らを高め、恵みと恵みを与えてくださいます。

1: 神の恵みは謙虚で柔和な者に与えられます。

2: いつの時代も、へりくだる者は祝福された者と呼ばれます。

1: 箴言 3:34 - 「神はあざける者をやめさせ、高慢な者を叱責し、彼らを貶めるであろう。」

2: ヤコブ 4:6 - 「しかし、神はさらに恵みを与えてくださるのです。だから彼はこう言われました。『神は高ぶる者には抵抗するが、へりくだる者には恵みを与えられる。』」

ルカ 1:49 力ある方が私に偉大なことをしてくださったからです。そして彼の御名は神聖なものです。

マリアは神が彼女のためにしてくださった偉大なことを称賛し、神の聖さを宣言します。

1. 強大で聖なる神: 神の力の大きさと神聖さを讃える

2. 主から力を得る: 神が私たちのためにしてくださった偉大なことを経験する

1. 詩篇 99:3-4 - あなたの偉大にして恐るべき御名を彼らに讃美させてください。それは神聖なものだからです。王の力はまた裁きを好みます。あなたは公平を確立し、ヤコブにおいて裁きと正義を執行します。

2. ネヘミヤ 9:5-6 - 立ち上がって、永遠にあなたの神、主を祝福してください。そしてあなたの栄光ある御名が祝福されますように。それはあらゆる祝福と賛美にまさって崇められます。あなたは、あなたでさえ、主お一人です。あなたは天国、天の天国、そのすべてのホスト、地球、そしてそこにあるすべてのもの、海とそこにあるすべてのものを作り、そしてあなたはそれらすべてを保存しています。そして天の軍勢はあなたを崇拝します。

ルカ 1:50 そして、彼の憐れみは、代々彼を恐れる人々の上にあります。

この一節は、代々神を崇める人々に対する神の憐れみについて語っています。

1. 忠実な世代: 神への畏敬の力

2. 世代を超えた慈悲：神の変わらぬ愛に敬意を表する

1. 詩篇 103:17 - 「しかし、とこしえからとこしえまで、主の愛は主を畏れる者たちとともにあり、主の義はその子らの子らとともにある。」

2. マラキ書 3:17 - 「わたしが自分の宝物を作る日には、それらはわたしのものとなる」と全能の主は言われます。父親が同情心を持って自分に仕える息子を惜しまないように、私も彼らを赦します。」

ルカ 1:51 彼は腕で力を示した。彼は高慢な者たちを彼らの心の想像の中に散らした。

神の力は、謙遜な者を守り、高ぶる者を謙虚にすることによって明らかにされます。

1: 神の力は私たちの力よりも大きい

2: プライドは崩れる前に来る

1: ヤコブ 4:6 - 「神は高ぶる者に敵対しますが、謙遜な者には恵みを与えます。」

2: 箴言 16:18 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

ルカ 1:52 神は有力者をその座から降ろし、身分の低い者を高められた。

この聖句は、神がどのようにして力ある者を低くし、謙虚な者を高めるかについて語っています。

1. 謙虚さの力と、それをどのようにして神の栄光を現すことができるかについて。

2. 神が競争の場を平等にするためにどのように働いているか、そして神の目から見て私たちが平等であることを私たちに示すためにどのように働いているかについて。

1. ペテロ第一 5:5-7 「同様に、年下の者たちも、年長者に従いなさい。「神は高ぶる者には敵対するが、謙虚な者には恵みを与える」ため、皆さん、互いに謙虚な姿勢を身に着けてください。それゆえ、神の力強い御手の下で謙虚になりなさい。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを高め、あなたのすべての思い煩いを神に託してくださるでしょう。神はあなたを気遣っておられるからです。」

2. ヤコブ 4:10 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

ルカ 1:53 神は飢えた人々を良いもので満たされました。そして彼が送った金持ちは空っぽになった。

神は飢えた人に与え、富む人から奪います。

1. 神は謙虚な人に報われる: 神は私たちの必要をどのように利用して私たちを祝福されるか

2. 神の備え: 神の寛大さに頼ることを学ぶ

1. ヤコブ 2:5-7 「聞いてください、愛する兄弟たち。神は、信仰の富む者、またご自分を愛する者たちに約束された王国の相続人となるために、世の貧しい人々を選ばれたのではありませんか。しかし、あなたは貧しい人の名誉を傷つけました。金持ちがあなたを抑圧し、法廷に引きずり込むのではありませんか？彼らはあなたがそう呼ばれているその高貴な名前を冒涜しているのではありませんか？」

2. マタイ 5:3 「心の貧しい人たちは幸いです。天の国は彼らのものです。」

ルカ 1:54 彼は、その憐れみを記念して、そのしもべイスラエルを助けました。

この一節は、神の僕イスラエルを助ける神の憐れみを強調しています。

1. 神の忠実な憐れみ: 神のいつくしみはいかに衰えることがなく、励みとなるか

2. 記憶の力: 神はどのように記憶を用いてご自身の愛を示されるか

1. 出エジプト記 34:6-7 「すると、主は彼の前を通り過ぎて、こう言われた、『主、主なる神は、慈悲深く慈悲深く、寛容で、善と真理に富み、千人を憐れみ、咎と罪を赦して下さる』そして罪」

2. 哀歌 3:22-23 - 「私たちが滅ぼされないのは、主の憐れみによるものです。主の憐れみは絶えないからです。彼らは朝ごとに新しくなります。あなたの忠実さは偉大です。」

ルカ 1:55 彼は私たちの先祖たち、アブラハム、そして永遠の子孫に語ったとおりです。

神はアブラハムとその子孫と永遠に続く契約を結びました。

1. 神の愛と忠実の契約：私たちの信仰の父アブラハム

2. 神の約束に生きる: アブラハムとその子孫に対する絶対の約束

1. ローマ 4:13-17 - なぜなら、彼が世の相続人になるという約束は、アブラハムやその子孫に対して、律法を通してではなく、信仰の義を通して行われたからです。

2. ヘブライ 6:13-18 - 神がアブラハムに約束をされたとき、彼は偉い人に対して誓うことができなかったので、自分自身で誓ったのです。

ルカ 1:56 そこでマリアは三か月ほど一緒に暮らして、自分の家に戻った。

メアリーはエリザベスと一緒に3か月間滞在し、その後自分の家に戻りました。

1. 神の計画: マリアとエリザベスの時代を振り返る

2. 交わりの力: メアリーとエリザベスの例

1. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

2. ヨハネ 15:12-13 - 「これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。これより大きな愛はありません。友人のために命を捨てることです。」

ルカ 1:57 さて、エリサベトが救われる時が来ました。そして彼女は息子を産んだ。

エリザベートは息子を出産しました。

1: 神のタイミングは完璧です - ルカ 1:57

2: 神の約束を待ち望む - ルカ 1:57

1: イザヤ書 40:31 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2: イザヤ書 46:10-11 - 「終わりを初めから宣言し、まだ行われていないことを古代から宣言して、こう言いました。『私の助言は有効です、そして私はすべての喜びを尽くします。東、遠い国から私の助言を実行する男です。そうです、私はそれを話しました、私はそれを実現させます、私はそれを計画しました、そして私もそれを実行します。」

ルカ 1:58 そして、彼女の近所の人たちやいとこたちは、主が彼女にどれほど大きな憐れみを与えられたかを聞いた。そして彼らは彼女と一緒に喜びました。

主はマリアに深い憐れみを示され、隣人や親戚もマリアを喜ばせました。

1: 私たちはマリアの例から、神が憐れみを示してくださったときにどのように喜びに満たされるかを学ぶことができます。

2: 神の憐れみは、私たちの状況に関係なく、常に私たちに与えられます。

1: 詩篇 118:24 「これは主が定められた日である。それを喜び、喜びましょう。」

2: ローマ 5:20-21 「罪が増えると、恵みもさらに増し、罪が死を支配したように、恵みも義によって支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命をもたらすのです。」

ルカ 1:59 そこで、八日目に、彼らはその子に割礼を施すために来た。そして彼らは彼を父親の名前にちなんでザカリアと呼びました。

この箇所は、ユダヤ教の慣習に従って子供のザカリアに名前を付けることについて語っています。

1. 宗教的遵守における伝統と遺産の重要性。

2. 聖書における子供の名前の重要性。

1. 創世記 17:12-14 - 神との契約の一部としての割礼の重要性。

2. マタイ 1:21 - イエスの名前の重要性とその預言の成就。

ルカ 1:60 すると母親は答えて言った、「そうではない。しかし、彼はジョンと呼ばれることになる。

洗礼者ヨハネの母エリザベスは、息子の名前を父親が選んだ名前ではなくヨハネにすることを宣言しました。

1. 「母の祝福の力: 神から与えられた名前に忠実に生きる」

2. 「忠実な従順の力: 他人の考えにもかかわらず神の意志に従う」

1. 創世記 17:5 - 「あなたの名前はもはやアブラムではありません。あなたの名前はアブラハムになります。私はあなたを多くの国民の父にしたからです。」

2. マタイ 1:21 - 「彼女は男の子を産むでしょう。そして、あなたはその子にイエスという名前を付けてください。彼は彼の民を罪から救うからです。」

ルカ 1:61 そこで彼らは彼女に言った、「あなたの親戚の中でこの名前で呼ばれている人は一人もいません」。

エリザベスとゼカリヤの親族は、息子のジョンと同じ名前を持つ親族を見つけることができませんでした。

1. 神の計画は私たちの計画よりも偉大です。

2. 逆境に直面したときの信仰と祈りの力。

1. エペソ人への手紙 3:20 - さて、私たちの内に働く力に応じて、私たちが願い、考えていることをはるかに超えて豊かに行うことができる方に祈ります。

2. ヤコブ 5:13-16 - あなたたちの中に苦しんでいる人はいますか。彼に祈ってもらいましょう。何か陽気ですか？彼に詩篇を歌わせてください。

ルカ 1:62 そこで彼らは、父親に、どのように呼んでもらうかについて、合図をした。

洗礼者ヨハネの父親は、息子の名前を尋ねられました。

1: ゼカリヤに息子の名前をヨハネと名付けられたように、神は私たちすべてに信仰と従順を求めておられます。

2: ゼカリヤが息子にヨハネと名付けたように、私たちは神を信頼し、神の賜物を受け入れなければなりません。

1: イザヤ書 9:6 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2: マタイ 1:21 - 彼女は男の子を産むでしょう、そしてあなたは彼の名前をイエスと呼ぶべきです、彼は彼の民を罪から救うからです。

ルカ 1:63 そこで、彼は書き物台を求めて、「彼の名前はヨハネです」と書きました。そして彼らは皆を驚かせた。

ゼカリヤが息子ヨハネの名前を書いたとき、人々は驚きました。

1: 名前の力 - 誰かに名前を付けると、その人にアイデンティティが与えられます。

2: ヨハネの重要性 - 聖書におけるヨハネの役割の重要性と、それが今日の私たちにとって何を意味するか。

1: イザヤ書 9:6 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2: マタイ 1:21 - 彼女は男の子を産むでしょう、そしてあなたは彼の名前をイエスと呼ぶべきです、彼は彼の民を罪から救うからです。

ルカ 1:64 すると、すぐに口が開き、舌が緩み、話し、神を賛美した。

この箇所は、ゼカリヤが天使の訪問後に言葉が回復した瞬間を描写しています。

1. 神の力: 私たちの言論を回復する。

2. 賛美の奇跡: 舌から喜びを解放します。

1. イザヤ書 35:5-6 - そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は妨げられなくなります。そのとき、足の不自由な人はハートのように

飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌うだろう。

2. 詩篇 51:15 - 主よ、私の唇を開いてください。そうすれば私の口はあなたの賛美を明らかにするでしょう。

ルカ 1:65 そして、彼らの周りに住んでいたすべての人に恐怖が襲い、これらすべての言葉がユダヤの山地全体に響き渡りました。

洗礼者ヨハネの誕生にまつわる奇跡的な出来事を聞いて、ユダヤ地方の人々の間に恐怖が広がりました。

1. 神の力は私たちの恐れよりも大きいです。

2. 人生が不確実であっても、私たちは神を信頼することができます。

1. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. 詩篇 56:3-4 - 恐れるとき、私はあなたに信頼を置きます。私は神の御言葉を賛美し、神を信頼します。私は恐れることはありません。肉は私に何ができるでしょうか？

ルカ 1:66 そして、それを聞いた人たちは皆、心の中でそれを思い起こして言った、「これは何という子だろう」。そして主の御手が彼とともにあった。

この箇所は、ゼカリヤとエリサベトが子供を妊娠したという知らせを聞いたエルサレムの人々の畏怖の念と驚きを表しています。

1. 神は新しいことをなさっておられます: ご自分の素晴らしい業を喜びましょう

2. 神の力と臨在の確信の中で休む

1. イザヤ書 43:19 - 見よ、私は新しいことをしている。今それが湧き出ています、あなたはそれを認識しませんか？

2. 詩篇 46:10 - 静かに、私が神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるでしょう！

ルカ 1:67 そして、彼の父ザカリヤは聖霊に満たされて、預言してこう言った。

ザカリヤは聖霊に満たされ、神の民に祝福があると預言しました。

1. 困難な時の神の忠実さ

2. 聖霊の力

1. イザヤ書 12:2-3 - 「見よ、神は私の救いです。私は信頼し、恐れません。主なる神は私の力であり、私の歌であり、私の救いとなられたからです。」

2. 使徒 2:4 - 「そして、彼らは皆、聖霊に満たされて、御霊が彼らに語らせたとおりに、他の言語で話し始めました。」

ルカ 1:68 イスラエルの神、主にほめたたえられますように。神はご自分の民を訪れて救ってくださったからです。

神はご自身の民を訪れ、彼らを救い出しました。

1: イエスは私たちを罪から救うために来られました。

2: 神の憐れみと恵みは無限であり、広範囲に及びます。

1: テトス 2:14、「この方は、あらゆる不法行為から私たちを救い出し、善行に熱心な民をご自分の所有物として清めるために、私たちのためにご自身をささげられたのです。」

ローマの信徒への手紙3章23節から24節に「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。」とあります。

ルカ 1:69 そして、私たちのために、その僕ダビデの家に救いの角を立ててくださいました。

この箇所は、神がご自分のしもべダビデの家で私たちのために救いの角を立てられたことについて語っています。

1. ダビデの家を通した神の救いの備え

2. 神の僕たちを通して働く神の救いの力

1. イザヤ書 11:1-2 - 「エッサイの幹から棒が出て、根から枝が生える。そして、主の霊、知恵と霊が彼の上にとどまる。」理解力、助言と力の精神、知識と主への畏れの精神。」

2. サムエル記下 7:12-13 - 「そして、あなたの日々が満ち、あなたがあなたの先祖たちと一緒に眠るとき、私はあなたの子孫をあなたの後に立て、あなたの腸から出て行き、彼の王国を確立します。彼は私の名のために家を建て、私は彼の王国の王位を永遠に確立します。」

ルカ 1:70 彼は、世が始まって以来、聖なる預言者の口でこう語りました。

神は世界の初めから預言者を通して語られました。

1. 神の言葉の力 - 世界の始まり以来、神が預言者を通してどのように私たちに語りかけてきたかを探ります。

2. 神の言葉の時代を超えたもの - 世界の始まり以来、神の言葉がどのように指針となってきたかを探ります。

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. 詩篇 33:4 - 「主の言葉は正しく、その御業はすべて真実に行われる。」

ルカ 1:71 それは、私たちが敵や私たちを憎むすべての手から救われるためです。

この一節は、敵や私たちを憎む人々から救われることについて語っています。

1: 神の愛は私たちを敵や憎む者たちから救います。

2: 神への信仰を通して、私たちは敵や私たちを憎む人々からの解放を見つけることができます。

1: ローマ 8:37 いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて私たちは征服者以上の存在です。

2: 詩篇 34:17-18 義人が助けを求めて叫ぶとき、主は聞き入れて、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださいます。主は心の傷ついた人の近くにいて、霊的に打ちひしがれた人を救ってくださいます。

ルカ 1:72 私たちの先祖に約束された憐れみを実行し、その聖なる契約を思い出すためです。

この箇所は神の約束を果たし、神の聖なる契約を思い出すことについて語っています。

1. 果たされた約束: 神の憐れみ

2. 神の契約を思い出す：神に対する私たちの決意

1. イザヤ書 55:3 - 「耳を傾けて、わたしのもとに来なさい。聞いてください。あなたの魂が生きるためです。そうすれば、わたしはあなたと永遠の契約を結びます。ダビデに対するわたしの揺るぎない確かな愛です。」

2. 詩篇 105:8 - 「彼は自分の契約を、自分が命じた言葉を、千世代にわたって永遠に覚えている。」

ルカ 1:73 彼が私たちの父アブラハムに誓った誓いは、

神はアブラハムに約束をし、それを実行しました。

1: 神は忠実であり、約束を必ず果たされます。

2: たとえ成就するまでに長い時間がかかったとしても、私たちは神の約束を信頼することができます。

1: 民数記 23:19 - 神は嘘をつくような人間ではありません。人の子も、悔い改めるべきではないと、言ったのに、そうしないのだろうか。それとも、彼が話したので、それを良くするつもりではないでしょうか？

2: 2 コリント 1:20 - 神の約束はすべてイエスのうちにあり、アーメン、わたしたちによって神の栄光が現われますように。

ルカ 1:74 わたしたちが敵の手から救われ、恐れることなく神に仕えることができるように、神がわたしたちに与えてくださいますように。

ルカ 1 章 74 節で、神はご自分の民を敵から守り救い出し、彼らが平和に恐れることなく神に仕えることができるようにすると約束されました。

1.「守りの約束：恐れることなく神に仕える」

2.「神の救い: 自由に神に仕える」

1. 詩篇 34:7 - 主の御使いは、主を恐れる者の周りに陣を張り、彼らを救い出す。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

ルカ 1:75 私たちは生涯を通じて、神の御前で聖さと義を保ちます。

ルカ 1 章のこの一節は、神の前での聖さと義の生活について語っています。

1. 神の前で聖さと義に満ちた生活を送る

2. 私たちの生活における神聖さと義の力

1. ペテロ第一 1:15-16 - 「しかし、あなたがたを呼んだ方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。「わたしが聖であるから、あなたも聖になる。」と書いてあるからです。

2. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞く者ではなく実行する者は、その行いにおいて祝福されるであろう。」

ルカ 1:76 そして、子よ、あなたはいと高き方の預言者と呼ばれるであろう。あなたは主の前に出て主の道を整えるからである。

この箇所は、洗礼者ヨハネがいと高き者の預言者と呼ばれ、主の前に出て自らの道を整えることについて語っています。

1. 洗礼者ヨハネの召命: 主のために道を備える

2. 洗礼者ヨハネの預言的使命：神の王国に心を備える

1. イザヤ書 40:3-5 - 主の道を備え、荒野をまっすぐに、私たちの神のための道を作りなさい。

2. マラキ書 3:1 - 「見よ、わたしは使者を遣わす。彼はわたしの前に道を備えるであろう。」

ルカ 1:77 罪の赦しによって神の民に救いの知識を与えるため、

この一節は、神が御子を世に遣わした目的は、神の民に救いの知識を与え、罪を赦すことであったことを表現しています。

1. 救いの賜物: 神は御子を通してどのように私たちを救ってくださるのか

2. 神の恵み: 罪の許しを理解する

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために

死んでくださいました。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるのです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。ですから、誰も誇ることができません。」

ルカ 1:78 私たちの神の優しい憐れみによって。そうすれば、高いところから夜明けが私たちを訪れ、

神の憐れみにより、私たちは天から夜明けを迎えました。

1. 日常生活の中で神の憐れみを見る

2. 主の憐れみの中で慰めと希望を見出す

1. 詩篇 86:15 - しかし、主よ、あなたは慈悲深く慈悲深く、怒るのが遅く、揺るぎない愛と忠実さに満ちた神です。

2. ヤコブ 5:11 - 見よ、私たちは、堅固であり続けた祝福された人々を考慮します。あなたはヨブの堅実さについて聞いたことがあり、主の目的、主がいかに憐れみ深く慈悲深いかを見たことがあります。

ルカ 1:79 暗闇と死の影に座っている人々に光を与え、私たちの足を平和の道に導くためです。

この一節は、暗闇と絶望の中にある人々に光と導きを与え、彼らを平和へと導くことについて語っています。

1. 「平和への道」- キリストを通して平和を見出す祝福を探ります。

2.「暗闇の中の光」- 神への信頼から生まれる希望と喜びを考察します。

1. イザヤ書 9:2 - 「暗闇の中を歩いている人々は大いなる光を見た。深い闇の地に住む人々の上に光が明けた。」

2. 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

ルカ 1:80 そして、その子は成長し、精神がますます強くなり、イスラエルに姿を現すその日まで荒野にいました。

幼子イエスは、イスラエルに御自身を現すまで、砂漠で暮らしながら成長し、霊的に強くなりました。

1: 私たちの人生に対する神の計画は私たちには分からないかもしれませんが、私たちは神の導きを信頼できます。

2: たとえ時間がかかっても、神が私たちを運命に導いてくださると信頼できます。

1: エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っている」と主は言われます、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2: 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼し、自分の理解に頼ってはならない。すべてにおいて神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくださるでしょう。」

ルカ 2 章はイエスの誕生と幼少期の物語を続け、ベツレヘムでのイエスの誕生、羊飼いや天使の訪問、神殿でのイエスのプレゼンテーションなどの重要な出来事に焦点を当てています。

第 1 段落: この章は、国勢調査を実施すべきであるというカエサル アウグストゥスからの布告で始まります。ダビデ家の出身であるヨセフは、妊娠していたマリアとともにベツレヘムに行きました。彼らがそこにいる間、マリヤは長男を産み、宿屋には彼らのためのスペースがなかったので、彼を産着で包み、飼い葉桶に寝かせました(ルカ2:1-7)。同じ地域で、羊飼いたちが夜に羊の群れを見守っていたところ、天使が現れました。天使は彼らに大きな喜びの良い知らせをもたらしました。それは、ベツレヘムで救い主が生まれたということでした。突然、天の大勢の軍勢が天使に加わり、神を賛美し、「いと高き天には神に栄光あれ、地には神の御心に適う人々の間に平和がありますように」(ルカ2:8-14)と言いました。

第 2 段落: 天使からこのメッセージを聞いた後、羊飼いたちは赤ん坊のイエスを見つけるためにベツレヘムに急ぎました。彼らはマリアとヨセフと赤ん坊が飼い葉桶に横たわっているのを見つけました。羊飼いたちは自分たちが見たり聞いたりしたことを他の人たちと共有し、彼らは彼らの言葉に驚嘆しました（ルカ 2:15-1 8）。8日後、ユダヤ人の男子幼児に対する習慣に従って、イエスは割礼を受け、受胎前に天使の指示に従ってイエスと名付けられました。出産が過ぎ、ユダヤ教の律法に従ってマリアの清めの時期が来たとき、エルサレムに必要な捧げ物が行われ、ヨセフ マリアはイエスをエルサレムに連れて行き、そこに書かれているとおりに主を差し出しました 法主よ すべての雄が聖なる子宮と呼ばれる子宮を開きます 主よ、つがいの鳩が二羽の若い鳩を捧げます（ルカ2: 21-24）。

第3段落：当時エルサレムにはシメオンという正義の信心深い男が住んでいたが、イスラエルの慰めを待っていたが、親が子イエスを連れて神殿の法廷に連れて行ったとき、慣習として律法が武器を取って神を讃美したとき、聖霊に導かれて主のメシアが神殿の庭に入るのを見るまでは死を見ることはないと聖霊が明らかにした。「主権者よ、あなたはあなたのしもべを安らかに出発させてください。目は見た救いの備えられた臨在、すべての民の光の啓示、異邦人、イスラエルの民に栄光をもたらします。」それから子供のことを預言した、主は運命を定められた、多くのイスラエルが滅びるのは立ち上がるしるしが反対されるので、思考が明らかになった、剣は魂をも突き刺すであろう、アンナ預言者は高齢になっても神殿から出たことはなかった、礼拝を行っていた、断食の祈りが前に出てきた、子供が神に感謝したのを見た瞬間、皆が救いを語った、エルサレムは戻ってきた、ナザレは強くなった彼に知恵の恵みが満ちました（ルカ 2:25-40）。

ルカ 2:1 そのころ、カエサル・アウグストゥスから全世界に課税すべきだという布告が出された。

カエサル・アウグストゥスは、世界中のすべての人々に課税を義務付ける法令を出しました。

1. イエスの誕生は、すべての人に対する神の救いの計画を実現します。

2. たとえ課税の時代であっても、神に感謝し、従順であることを忘れないでください。

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 13:7 - あなたが負っているものをすべての人に与えなさい。税金を負っているなら、税金を払いなさい。収益の場合は収益。尊重するなら尊重する。名誉なら名誉。

ルカ 2:2 (そして、この課税はキレニウスがシリアの総督だったときに初めて行われました。)

この一節は、シリア総督だったキレニウスの時代に国勢調査がどのように実施されたかを説明しています。

1. 神の計画は常に神のタイミングで明らかにされます。

2. 私たちが主の導きに従うとき、祝福が続きます。

1. 伝道の書 3:1-8 - 天の下では、すべてのことには時があり、あらゆる活動には季節があります。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。

ルカ 2:3 そして、皆、税金を課せられるために、おのおの自分の町へ行った。

マリアとヨセフは国勢調査のためにベツレヘムに行く必要があったため、自分たちの街で課税を受けることになりました。

1. 律法に従うことの重要性: マリアとヨセフの従順を見てみる

2. 忠実の力: マリアとヨセフの神への信頼

1. マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2. フィリピ 4:19 - 「そして私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたのあらゆる必要を満たしてくださいます。」

ルカ 2:4 ヨセフもガリラヤからナザレの町を出てユダヤに入り、ベツレヘムと呼ばれるダビデの町に上った。 (なぜなら彼はダビデの家系であり、血統だったからです:)

この箇所は、ダビデの町でメシアが生まれるという預言を成就するために、ヨセフとマリアがナザレからベツレヘムまで旅したことを語っています。

1. 神の言葉は常に真実であり、必ず実現します。

2. 神は私たち一人ひとりに計画を持っており、神を信頼することが重要です。

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. エレミヤ 29:11 - わたしは、あなたがたに対して思っている思いを知っている、と主は言われる、それは、あなたがたに期待される結末を与えるためであり、悪の思いではなく、平和の思いである、と。

ルカ 2:5 子宝に恵まれた彼の配偶者マリアとともに課税されること。

この箇所では、ヨセフとマリアが税金を徴収するためにベツレヘムに行く様子が描かれており、その時マリアは妊娠していました。

1. イエス、権威への従順の完璧な模範

2. マリアとともに: 困難な時にどのようにイエスに従うことができるか

1. ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂はより高い力に服従しましょう。

2. マタイ 28:18-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。

ルカ 2:6 こうして、彼らがそこにいる間に、彼女が救出されるまでの日々が終わった。

マリアとヨセフは国勢調査に登録するためにベツレヘムに行き、滞在中にマリアはイエスを出産しました。

1: 神のタイミングは常に完璧です。物事がどのように見えても、神は常にコントロールしておられます。

2: マリアとヨセフの神への信仰は揺るぎませんでした。彼らは、たとえそれが自分たちにとって意味がなかったとしても、神の計画に従いました。

1: 箴言 3:5-6 「心を尽くして主に信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにし

てくださる。」

2: ヘブライ人への手紙 11:1 「信仰とは、私たちが望んでいることに対する確信であり、目に見えないものについての確信です。」

ルカ 2:7 彼女は長子を産み、産着で包み、飼い葉桶に寝かせた。旅館には彼らのためのスペースがなかったからです。

イエスの誕生は、宿屋には彼らのためのスペースがなかったため、質素なものでした。

1. イエスの謙虚な誕生: 謙虚さを受け入れることを学ぶ。

2. イエスの誕生の意義: 神の恵みの影響を考える。

1. ピリピ 2:5-11 - キリストの謙虚さと高揚。

2. イザヤ書 9:6-7 - 素晴らしい助言者、力ある神、永遠の父、そして平和の君としてのイエス。

ルカ 2:8 また、同じ国に羊飼いたちが野原に住み、夜な夜な群れの番をしていた。

同じ国の羊飼いたちが夜に自分たちの群れを見守っていました。

1. 羊飼いの絶え間ない警戒

2. 夜の力

1. ヨハネ 10:11 - 「わたしは良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捧げます。」

2. イザヤ書 40:11 - 「彼は羊飼いのように自分の群れを養う。腕で小羊を集めて胸に抱き、子連れの子たちを優しく導く。」

ルカ 2:9 すると、見よ、主の御使いが彼らの上に来て、主の栄光が彼らの周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。

主の天使が羊飼いたちに現れ、主の栄光が彼らの周りを照らし、彼らは恐怖で満たされました。

1. 神の臨在の慰め

2. 恐れるな：神はいつも近くにいる

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 46:1-3 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。ですから、たとえ地が崩れても、山々が海の中心に移されても、その水がたとえ移されても、私たちは恐れることはありません」轟音と泡が立ち上るが、山々はその膨らみに震える。」

ルカ 2:10 すると天使は彼らに言った、「恐れることはありません。見よ、わたしはすべての人々に起こる大きな喜びの良い知らせをあなたたちに伝えます。」

天使はイエスの誕生を告げ、すべての人々に大きな喜びの知らせをもたらしました。

1. イエスの喜び：主の福音を喜ぶこと。

2. 神の恵み: 神の無条件の愛を祝います。

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます: そして政府は彼の肩にあります: そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父, 平和の王子。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

ルカ 2:11 なぜなら、今日、あなたがたに、ダビデの町で救い主、すなわち主キリストが生まれたからです。

この聖句は、世界の救い主イエス・キリストの誕生の重大な発表を明らかにしています。

1. クリスマスの喜び：世界の救い主イエスの誕生を喜ぶ

2. 救い主の誕生: イエス・キリストによる救いの希望

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ルカ 2:12 そして、これはあなたに対するしるしとなるでしょう。あなたは赤ん坊が産着に包まれて飼い葉桶に横たわっているのを見つけるでしょう。

イエスの誕生のしるし：産着を着て飼い葉桶に横たわる赤ん坊。

1. 神の計画: 飼い葉桶から十字架まで

2. 単純なことの中に喜びを見つける

1. イザヤ書 60:1-3 - 立ち上がれ、輝け、あなたの光が来て、主の栄光があなたに昇るからです。

神との平等を自分の利益のために利用されるものとは考えませんでした。むしろ、彼は召使いの性質そのものを奪うことによって、自分自身を無にしました。

ルカ 2:13 すると突然、天の軍勢の大勢が天使とともに神を賛美し、こう言いました。

天使には、神を賛美する大勢の天の軍勢が加わりました。

1. 賛美の力: 私たちの言葉を通してどのように神が呼び起こされるか

2. 礼拝の喜び: 賛美の祝福を発見する

1. 詩篇 103:1-5 - 主を祝福してください、おお私の魂と私の内にあるすべてのものよ、主の聖なる御名を祝福してください。

2. ヘブライ 13:15 - ですから、私たちは、この方を通して、賛美のいけにえ、すなわち、御名を認める唇の実を絶えず神にささげましょう。

ルカ 2:14 いと高きところには神に栄光があり、地には平和と人々に対する善意がありますように。

この箇所はイエスの誕生と、イエスの到来がもたらす平和、善意、栄光を祝っています。

1. 平和の贈り物：イエスの誕生の意味を探る

2. 男性に対する善意: 神の言葉の影響を理解する

1. イザヤ書 9:6-7 なぜなら、私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられるからです。そして政府は彼の肩にあります。そしてその名は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父、平和の王子。

2. ピリピ人への手紙 2:5-8 この思いをあなたの中に持ちなさい。それはキリスト・イエスにもあったのです。キリストは、神の姿をしていて、神と同等であることが強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、自分の地位を奪ったのです。そして彼は召使の姿を身に着け、人間に似せて造られた。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。

ルカ 2:15 天使たちが天に去っていくとき、羊飼いたちは互いに言った、「さあ、ベツレヘムまで行って、主がなさっておられるこの出来事を見てみようではないか」私たちに知らされました。

羊飼いたちは天使たちからイエスの誕生を告げられ、生まれたばかりの赤ちゃんを自分の目で見るためにベツレヘムへ行くことにしました。

1. 神の言葉の力: 羊飼いたちがどのように従順で、言われたことに喜んで行動したか。

2. 信仰の重要性: 羊飼いたちがどのように神の言葉を信頼し、神に信仰を置いたか。

1. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

2. ヤコブ 2:26 - 霊のない体が死んだのと同じように、行いのない信仰も死んだものだからです。

ルカ 2:16 彼らは急いでやって来て、マリアとヨセフと飼い葉桶に横たわっている赤子を見つけた。

この箇所は、天使からイエスの誕生を知らされ、急いでイエスを探しに行った羊飼いたちの物語です。

1. 「キリスト降誕物語における羊飼いの重要性」

2.「天使のお告げの力」

1. イザヤ書 40:11-「彼は羊飼いのように群れを養い、小羊を腕に集め、胸に抱き、子連れの子たちを優しく導く。」

2. 詩篇 23:1-「主は私の羊飼い、私は望まない。」

ルカ 2:17 そこで、彼らはそれを見て、この子に関して告げられた言葉を外に知らせた。

羊飼いたちはイエスを見た後、他の人たちにイエスの誕生について話しました。

1. 神の約束に対する忠実さ - ルカ 2:11

2. 良いたよりを分かち合うことの大切さ - ルカ 2:17

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあるだろう。そして彼の名は、素晴らしい、相談者、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

7 神の政府と平和の拡大については、ダビデの王座とその王国の上で、それを命じ、裁きと正義をもってそれを確立することに、その時から永遠にさえ、終わりはありません。万軍の主の熱意がこれを成し遂げるでしょう。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。」アーメン。

ルカ 2:18 そして、それを聞いた人たちはみな、羊飼いたちが告げた事柄に驚いた。

羊飼いたちはイエス誕生の良い知らせを伝え、それを聞いた人々は驚きました。

1. 神の計画を信仰する

2. 良いたよりを喜ぶ

1. ルカ 2:10-11: 「そして天使は彼らに言った、『恐れるな。見よ、わたしはあなたたちに大きな喜びの知らせを持っている。それはすべての人々に与えられるであろう。あなたたちは今日この町で生まれたのだから』救い主ダビデ、それは主キリストです。」

2. ローマ人への手紙 10:14-15: 「では、彼らは、信じたことのない方をどのようにして呼び求めることができますか。また、聞いたことのない方をどのようにして信じることができますか。また、説教者なしでどのようにして聞くことができますか。彼らは遣わされない限り説教するのか？」

ルカ 2:19 しかし、マリアはこれらすべてのことを心に留め、心の中でよく考えました。

マリアはイエスの誕生に関する神の奇跡的な発表を心に留め、心の中で深く考えました。

1: 私たちは神の言葉を大切にし、祈りの中でそれを熟考するマリアの模範から学ぶことができます。

2: 心の中で神の言葉を深く考えることによって、私たちは神にさらに近づき、神の約束の中に平安を見出すことができます。

1: 詩篇 119:11 「私は、あなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心の中に隠しました。」

2: マタイ 6:21、「あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。」

ルカ 2:20 そこで、羊飼いたちは、告げられたとおりに、聞いたこと、見たことすべてについて神をたたえ、賛美しながら戻ってきました。

羊飼いたちは、自分たちが聞いたこと、見たことについて神を賛美し、賛美しました。

1: 私たちの周りの奇跡について神を賛美する

2: 神の驚異を喜ぶことを学ぶ

1: 詩篇 150:2 - 彼の力強い行いを讃えなさい。彼の優れた偉大さに応じて彼を称賛してください！

2: 詩篇 103:2 - 私の魂よ、主を祝福してください。そして主の恩恵をすべて忘れないでください。

ルカ 2:21 そして、八日間の割礼が終わると、その子の名前はイエスと呼ばれました。これは、胎内に宿る前の天使にちなんで名付けられたものです。

8日間の割礼の後、イエスは受胎前に天使によって告げられた名前を与えられました。

1. 名前の力 - 私たちが選んだ名前が私たちのアイデンティティをどのように反映するか

2. イエス：すべての名前の上にある名前

1. マタイ 1:23 - 「見よ、処女が子を宿し、男の子を産むであろう。そして彼らはその名をインマヌエルと呼ぶであろう。これは解釈されると、神は我々と共におられる」と解釈される。

2. ピリピ人への手紙 2:9-11 「それゆえに、神はまたイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る名を与え、天にある者も地にある者も、イエスの名のもとにすべての膝をかがめるべきである。そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白すべきである。」

ルカ 2:22 そして、モーセの律法による彼女の清めの日が終わると、人々は彼を主に差し出すためにエルサレムに連れて行った。

マリアとヨセフは、モーセの律法に従って清めの日々を過ごした後、イエスをエルサレムに連れて行き、主に献上しました。

1. 神の律法に従うことの重要性

2. 私たちの人生を主にどのように捧げるか

1. 申命記 6:5-9 - 心と魂と力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2. マタイ 22:37-40 - 心、魂、思いを尽くしてあなたの神、主を愛してください。

ルカ 2:23 (主の律法に書いてあるとおり、子宮を開くすべての男子は主に聖なる者と呼ばれる。)

この一節は、生まれたすべての男児は主にとって聖なる者と呼ばれなければならないという主の律法について論じています。

1. 神の律法は今日でも有効です

2. 神の子の神聖さ

1. 創世記 17:12-13 「そして、あなたがたの世代のすべての男児、家で生まれた者、または他人の金で買った者、つまり他人のお金で買った者は、あなたがたの間で生後八日目の者に割礼を受けなければならない。「あなたの子孫よ。あなたの家に生まれる者、あなたのお金で買われる者は、割礼を受けなければなりません。そうすれば、私の契約は永遠の契約のためにあなたの肉体に宿るでしょう。」

2. 出エジプト記 12:48-49 - 「また、よそ者があなたと一緒に滞在し、主に過越の祭りをするときは、その男性全員に割礼を受けさせ、それから彼が近づいてそれを守るようにしなさい。そうすれば彼は次のようになるであろう」」

ルカ 2:24 また、主の律法に定められているとおり、山鳩のつがい、または鳩の若二羽をいけにえとしてささげること。

主の律法によれば、マリアとヨセフは神殿にイエスを献上する際、山鳩二羽か若い鳩二羽を犠牲として捧げました。

1. 犠牲の意義：神殿でのイエスの犠牲を考察する

2. 従順の重要性: 主の律法に従うマリアとヨセフの例

1. レビ記 12:8 と犠牲に関するモーセの律法の背景

2. マタイ 5:17 と律法の履行に関するイエスの教えの背景。

ルカ 2:25 見よ、エルサレムにシメオンという人がいた。そして同じ人は正しくて敬虔で、イスラエルの慰めを待っていました。そして聖霊が彼の上にありました。

シメオンはエルサレムでイスラエルの慰めを待ち望んでいた公正で敬虔な人であり、聖霊に満たされていました。

1. 信者の生活における献身の重要性

2. 私たちの生活における聖霊の力

1. ヤコブ 1:19-20 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

2. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待するでしょうか？しかし、目に見えないものを望むなら、私たちはそれを忍耐強く待ちます。

ルカ 2:26 そして、主のキリストを見る前に、死を見るべきではないことが聖霊によって彼に啓示されました。

この箇所は、主のキリストを見るまでは死を見ることはないだろうという、イエスに関するシメオンの預言について語っています。

1. メシアの約束: イエスはシメオンの預言をどのように成就したか

2. イエス: 神の永遠の約束の成就

1. イザヤ書 7:14 「それゆえ、主ご自身があなたにしるしをお与えになるでしょう。見よ、処女がみごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶでしょう。」

2. 詩篇 16:10 - 「あなたは私の魂を地獄に置き去りにはされません。また、あなたの聖者に腐敗を見ることを許しません。」

ルカ 2:27 それから、イエスは御霊によって宮にはいった。そして両親が、律法の習慣に従って彼のために何かをするために幼子イエスを連れてきたとき、

マリアとヨセフは律法の要求を満たすために幼子イエスを神殿に連れて行きました。

1. 神の命令に従うことの重要性

2. イエスの誕生の意義

1. ミカ 6:8 - 死すべき者よ、神はあなたに、何が良いものかを示してくださいました。そして主はあなたに何を求めておられるのでしょうか？公正に行動し、慈悲を愛し、謙虚に神とともに歩むこと。

2. ルカ 1:26-38 - エリサベトの妊娠 6 か月目に、神は天使ガブリエルをガリラヤの町ナザレに遣わし、ダビデの子孫であるヨセフという男性との結婚を誓約した処女を与えました。処女の名前はメアリーでした。天使は彼女のところに行って言いました、「こんにちは、とても恵まれている人たちよ。主があなたとともにおられます。」

ルカ 2:28 それから彼は彼を両腕に抱き上げ、神を祝福して言った。

この箇所は、シメオンが幼子イエスを見た後、イエスを両腕に抱き、神を賛美し、祝福の言葉を述べた瞬間を描写しています。

1. 「神の御前にいることの喜び」- ルカ 2 章でシメオンが示しているように、神の御前に来る喜びを探求します。

2. 「イエスの祝福」- ルカ 2 章でシメオンが証言した、イエスの祝福の力を考察します。

1. ピリピ 4:4 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います：喜んでください！

2. 詩篇 34:1 - 私はいつも主を祝福します。彼の賛美が絶えず私の口に残るでしょう。

ルカ 2:29 主よ、今こそあなたのしもべを、あなたの言葉どおりに安らかに去らせてください。

この箇所は、神殿で幼子イエスを見た後のシメオンの感謝の祈りについて言及しています。彼は喜びを表し、死ぬ前にメシアに会わせてくれた神に感謝した。

1. 主の御前で喜ぶ：神の約束の成就を祝う

2. 満足に生きる：神の御心を知ることで平安を見出す

1. ローマ 15:13 - さて、希望の神は、聖霊の力によって、あなたがたが希望に満ち溢れるように、信じることによるあらゆる喜びと平安であなたを満たしてくださいます。

2. フィリピ 4:7 - そして、人知を超えた神の平安が、キリスト・イエスを通してあなたがたの心と思いを保つでしょう。

ルカ 2:30 わたしの目はあなたの救いを見た、

この箇所はシメオンから見たイエスによってもたらされた救いについて語っています。

1. 救いの約束：世界の希望

2. 神の救いを見る喜び

1. イザヤ書 9:6-7 (私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、その名は素晴らしい助言者、力ある神、永遠の父、王子と呼ばれるでしょう。平和。）

2. ヨハネ 3:16 (神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。)

ルカ 2:31 あなたはそれをすべての人の面前で用意されました。

天使たちはイエスがすべての人々に救いをもたらすという神の約束の成就であると宣言しました。

1: 神の救いの約束はすべての人にあります。

2: イエスは神の約束の成就です。

1: イザヤ書 9:6-7 なぜなら、私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられ、政府はその肩にかかるからです。そして彼は、素晴らしい助言者、力ある神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2:テトス 2:11-14 すべての人に救いを与える神の恵みが現れたからです。それは私たちに、不敬虔や世俗的な情熱に「ノー」と言い、この現代において自制的で正しく敬虔な生活を送ることを教えています。

ルカ 2:32 異邦人を照らす光、あなたの民イスラエルの栄光。

この箇所は、イエスが異邦人にとっての光であり、イスラエルの人々の栄光であることを語っています。

1.「世の光：すべての人々の希望の光としてのイエス」

2. 「イエスをイスラエルの栄光とみなす」

1. イザヤ書 9:2 - 「暗闇の中を歩いていた人々は大きな光を見ました。深い闇の地に生きる者たちに光が射した。」

2. 詩篇 106:21 - 「彼らはエジプトで偉業を成し遂げた救い主である神を忘れました。」

ルカ 2:33 そして、ヨセフとその母親は、彼について語られた事柄に驚いた。

ヨセフとマリアはイエスについて語られた預言に驚きました。

1. 神の言葉は真実であり、忠実です - ルカ 2:33

2. イエスは驚きと畏怖に値するお方です - ルカ 2:33

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩に乗るでしょう。そして彼の名前は、素晴らしい、助言者、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ピリピ人への手紙 2:9-11 - したがって、神もイエスを高く評価し、あらゆる名前に勝る名前を与え、イエスの名のもとに、天にある者も地にある者も、すべての膝をかがめるようになりました。そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白すべきである。

ルカ 2:34 そこでシメオンは彼らを祝福し、母マリアに言った、「見よ、この子はイスラエルの多くの者たちの堕落と復活に備えている。そして反対されるべきしるしのために。

シメオンはマリアとイエスを祝福し、イエスはイスラエルの多くの人々が倒れたり立ち上がったりするしるしであり、悪口を言われるだろうと預言した。

1. 多くの人の復活: 神の救いにおけるイエスの役割

2. 反対すべきしるし：神の王国のための迫害を受け入れる

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ローマ 8:31 - それでは、これらのことに答えて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

ルカ 2:35 (そうです、剣があなた自身の魂をも突き刺すでしょう) それは、多くの心の思いが明らかにされるためです。

この箇所は、イエスの死がどのように多くの人々の心の考えに啓示をもたらすかを語っています。

1. 啓示の力: キリストの死が私たちの心を明らかにする

2. 犠牲の愛: イエスは死を通してどのように愛を示したか

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヘブライ人への手紙 4:12-13 - 神の言葉は生きていて、活動しているからです。それはどんな両刃の剣よりも鋭く、魂と精神、関節と骨髄を分断するまで突き刺す。それは心の考えや態度を判断します。

ルカ 2:36 また、アセル族のファヌエルの娘で女預言者アンナがいた。彼女は高齢で、処女から七年も夫と暮らしていた。

アンナはアセル族出身の女預言者で、処女で結婚して7年目でした。

1. 結婚中もアンナが神に忠実であったことを思い出してください。

2. たとえ結婚していても、神を敬って生きるよう励ましましょう。

1. 箴言 18:22、「妻を見つける者は良いものを見つけ、主の恵みを得る。」

2. コリント人への手紙第一 7:3-5、「夫は妻に、妻にふさわしい愛情を注ぎましょう。同様に、妻も夫に尽くしましょう。妻には自分の体に対する権限がありませんが、夫には権限があります。そして同様に、夫には自分の体に対する権威がありませんが、妻にはあります。断食と祈りに専念するために、一時的に同意する場合を除いて、お互いに奪い合ってはなりません。自制心の欠如を理由にサタンがあなたを誘惑しないように、もう一度団結してください。」

ルカ 2:37 彼女は約 4 歳と 4 歳のやもめでしたが、神殿から離れず、昼も夜も断食と祈りを捧げて神に仕えました。

この一節は、昼も夜も断食と祈りを捧げて神に仕えた84歳の未亡人アンナについて描写しています。

1: 礼拝の生活 - 祈りと断食を通して自分の人生を神に捧げます。

2: 充実した人生の価値 - アンナの生涯にわたる忠実さに感謝します。

1: テサロニケ第一 5:17 - 絶えず祈りなさい。

2: ピリピ 4:6 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。

ルカ 2:38 そして、その瞬間にやって来た彼女は、同様に主に感謝をささげ、エルサレムで救いを求めていたすべての人々に主のことを語った。

マリアは主に感謝をささげ、エルサレムで救いを求めていた人々に主のことを語りました。

1. 神の贖い: イエスはどのように私たちを贖ってくださるのか

2. 神の約束: マリアの物語を振り返る

1. イザヤ書 53:5-6、「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. ローマ 5:8、「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしてくださいます。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

ルカ 2:39 そして、彼らは主の律法に従ってすべてのことを行った後、ガリラヤの自分たちの町ナザレに戻った。

マリアとヨセフの夫婦は、主の律法の要求をすべて満たした後、故郷のナザレに戻りました。

1. 主の命令に従う - 律法への従順がどのように私たちを帰還させるか

2. 思い出に残る里帰り ― マリアとヨセフがナザレに戻ったことの意義

1. 申命記 10:12-13 - さて、イスラエルよ、あなたの神、主があなたに求めておられることは、あなたの神、主を畏れ、主の道をすべて歩み、主を愛し、あなたの神、主に仕えることである。心を尽くし、精神を尽くして、あなたの益のために今日私があなたに命じている主の戒めと掟を守るために？

2. 詩篇 122:1 - 彼らが私に「主の家に行こう！」と言ったとき、私はうれしかったです。

ルカ 2:40 すると、その子は成長し、霊が強くなり、知恵に満たされ、神の恵みがその子の上にあったのです。

幼子イエスは成長し、ますます霊的に強くなり、賢くなり、神の恵みに満たされました。

1. 恵みの中で成長する: 霊的に一新された人生を送る方法

2. イエスの知恵: 神の祝福を受ける方法

1. エペソ人への手紙 4:23、「心の霊を新たにしなさい。」

2. マタイ 7:7、「求めなさい。そうすれば、与えられるでしょう。探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば開かれます。」

ルカ 2:41 さて、彼の両親は毎年過ぎ越しの祭りにエルサレムに行きました。

イエスの両親は毎年過越祭のためにエルサレムに旅行しました。

1. 主の祝日を守ることの大切さ。

2. 神への従順は礼拝を通して示されます。

1. 申命記 16:16 - 「年に三回、あなたの男性はすべて、種なしパンの祝日と、数週間の祝日と、幕屋：それは空のまま主の前に出てはならない。」

2. 出エジプト記 23:14-17 - 「年に三回、あなたはわたしのために祭りをしなければなりません。あなたは種なしパンの祝日を守りなさい：（わたしがあなたに命じたように、あなたは、定められた時間内に、種なしパンを七日間食べなければなりません）アビブの月、あなたはエジプトから出て来たので、私の前に空っぽの人は誰も現れないでしょう:) そして収穫の祭り、あなたが畑に蒔いたあなたの労働の初穂、そして収穫の祭りです。それは年末で、あなたが畑から苦労して集まってきたときです。」

ルカ 2:42 そして彼が十二歳になったとき、彼らは祭りの習慣に従ってエルサレムに上った。

イエスは12歳のとき、祭りの習慣に従い、両親とともにエルサレムに行きました。

1. 私たちの生活における家族の伝統の重要性

2. 聖なる祭りを守る力

1. 創世記 17:9-14、アブラハムとの神の契約

2. ルカ 2:22-24、神殿におけるイエスのプレゼンテーション

ルカ 2:43 そして、彼らが日々を終えて戻ってきたとき、幼子イエスはエルサレムに留まりました。そしてヨセフと彼の母親はそのことを知りませんでした。

イエスの家族のエルサレムへの旅は、ヨセフとマリアが知らないうちにイエスが残ったまま終わりました。

1. リスクを取ることを恐れず、神の計画を信頼してください。

2. 他人のニーズと家族の重要性に留意してください。

1. マタイ 6:25-34 - 心配しないで、神を信頼してください。

2. 箴言 17:17 - 友人はいつでも愛し、兄弟は逆境の時に生まれる。

ルカ 2:44 しかし、彼らは、彼が一緒にいると思って、一日かけて旅をした。そして彼らは親族や知人の中に彼を捜した。

マリアとヨセフはエルサレムから一日かけて家族や友人の中にイエスを探しましたが、見つけることができませんでした。

1. 神の御心に臨在し、注意を払うことの重要性

2. 家族とコミュニティの価値

1. ピリピ 4:4-7 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、「喜びなさい」。あなたの合理性を皆に知らせてください。主はすぐそばにおられます。何事も心配しないでください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. 箴言 11:14 - 導きのないところに民は倒れるが、助言者が豊富であれば安全である。

ルカ 2:45 そして、イエスが見つからなかったので、彼らはイエスを探して再びエルサレムに引き返した。

マリアとヨセフはイエスを失い、エルサレムでイエスを探しました。

1. 希望がなくなったときに神を信頼することを学ぶ。

2. 私たちの生活における忠実さの重要性。

1. イザヤ書 40:31 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. マタイ 19:26 「しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人間にはそれは不可能ですが、神にはどんなことでも可能です。」

ルカ 2:46 そして三日後、イエスが神殿で医者たちの真ん中に座って、二人とも話を聞いたり、質問したりしているのを見つけた。

イエスは私たちに、学び、知識を求めることの大切さを教えています。

1: 知識を求める知恵 - ルカ 2:46

2: 学びのモデルとしてのイエス - ルカ 2:46

1: 箴言 4:7 - 「知恵は最も重要なことである。だから、知恵を得なさい。そして、全力を尽くして理解を得なさい。」

2: コロサイ 2:3 - 「知恵と知識のすべての宝は、この方のうちに隠されています。」

ルカ 2:47 そして、彼の話を聞いた人は皆、彼の理解力と答えに驚いた。

人々はイエスの知恵とイエスが与えた答えに驚きました。

1. 知恵の力: イエスの比類のない理解を調べる

2. イエス: 忠実な知識の完璧な模範

1. 箴言 1:7 - 主を恐れることは知識の始まりです。愚か者は知恵と教えを軽蔑します。

2. コロサイ 2:3 - この人の中には、知恵と知識のすべての宝が隠されています。

ルカ 2:48 そこで、人々はイエスを見て驚いた。母親は彼に言った、「息子よ、なぜ私たちをこのように扱うのですか。」見よ、あなたの父と私はあなたが悲しんでいるのを捜しました。

イエスの両親は神殿でイエスを見つけて驚き、なぜそんなことをしたのかと尋ねました。

1: 私たちはイエスの模範から、時間をかけて神の御前にいることを学ぶことができます。

2: 親は子供を世話し、子供が危険にさらされないようにする必要があります。

1: 箴言 22:6 - 子供をその進むべき道に訓練しなさい。たとえ年老いても、彼はそこから離れることはありません。

2: 申命記 6:5-7 - 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。今日私があなたに与えるこれらの戒めは、あなたがたの心に留めておくべきです。あなたの子供たちにそれらを印象付けてください。家で座っているとき、道を歩いているとき、横になっているとき、起きているときに、そのことについて話してください。

ルカ 2:49 するとイエスは彼らに言った、「どうしてわたしを捜したのですか」。あなたがたは、私が父の仕事について話しているに違いないとは思いませんか？

イエスは両親に、父の仕事を遂行するのに忙しいのに、なぜ自分を捜しているのかと尋ねました。

1. 神は私たち全員のための計画を持っており、それに従うのが私たちの義務です。

2. 迷ったときは、常に神と神の御心に頼ってください。

1. マタイ 6:33 – 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2. 箴言 3:5-6 – 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。」

ルカ 2:50 そして彼らは、イエスが彼らに言った言葉を理解できなかった。

イエスは両親に従順の教訓を教えます。

1. 神の御心に従う: イエスからの教訓

2. 神の言葉を理解する力

1. エペソ人への手紙 5:17 「だから、愚かなことをしてはなりません。主の御心が何であるかを理解してください。」

2. マタイ 11:29 「わたしのくびきを負い、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった者だから、あなた方は魂に安らぎを得るでしょう。」

ルカ 2:51 それから、イエスは彼らと一緒に下って、ナザレに来て、彼らに服従した。しかし、彼の母親は、これらの言葉をすべて心に留めていた。

イエスは両親とともにナザレに下り、両親に従順でしたが、一方マリアはイエスが言われたすべてのことを心の中で大切にしていました。

1. 親に従う: イエスの模範から学ぶ

2. 神の言葉を大切にする: マリアの模範

1. エペソ人への手紙 6:1-2 「子たちよ、主にあって両親に従いなさい。それは正しいことだからです。『父と母を敬え』――これが約束の第一の戒めです ――」

2. 詩篇 119:11 「私は、あなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心に蓄えました。」

ルカ 2:52 そして、イエスは知恵と身長が増し、神と人に好意を寄せられた。

イエスは知恵も身長も成長し、神と人々の両方から好意を寄せられるようになりました。

1. 知恵の成長: イエスの模範を振り返る。

2. 神と人間との好意: 両方との関係を育む方法。

1. ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスにもあったこの思いをあなたの中に持ちなさい。

2. ヤコブ 3:17-18 - 上からの知恵は純粋で、平和で、優しく、懇願しやすいものです。

ルカ 3 章は、バプテスマのヨハネの宣教と、イエスの公の宣教の道を準備する際の彼の役割に焦点を当てています。また、イエスの系図を示し、アダムまで遡ってイエスの系図を示します。

第 1 段落: この章は、荒野に説教に来た洗礼者ヨハネの紹介から始まります。イエスは人々に悔い改めを呼び掛け、悔い改めとメシアの到来への備えの象徴として洗礼を授けました（ルカ 3:1-6）。ルカはヨハネのメッセージを詳しく説明し、宗教指導者に対する激しい叱責と、悔い改めにふさわしい実を結ぶよう人々に呼びかけた点を強調しています。群衆が彼に何をすべきかを尋ねると、彼は困っている人たちと分かち合うこと、他の人を公平に扱うこと、立場を利用しないことなどの実践的な指示を与えました（ルカ 3:7-14）。

第 2 段落: 次にルカは、当時ガリラヤを統治していたヘロデ・アンティパスについて言及します。ヨハネは、ヘロデが兄の妻ヘロディアと不法に結婚したことを公に批判しました。これにより、ヨハネはヘロデによって逮捕され、投獄されました（ルカ 3:19-20）。この記述の後に、ルカはイエス・キリストの系図を示し、そ

の先祖をダビデからアダムに至るまで遡ります。これは、イエスと人類とのつながりと、その血統を通じて神の約束を成就するイエスの正当な立場を強調しています（ルカ3:23-38）。

第 3 段落: この章は、ヨルダン川でのヨハネによるイエスのバプテスマという重要な出来事で終わります。イエスがバプテスマを受けて祈っていると、天が開け、聖霊が鳩のような姿でイエスの上に降りました。天からの声が「あなたはわたしの愛する子です。わたしはあなたのことを喜びます」（ルカ 3:21-22）と宣言しました。これは、イエスが神の御霊によって油そそがれ、神の子であると確認されたとき、イエスの公の宣教の始まりとなりました。ルカ 3章に記録されているこれらの出来事を通して、私たちはヨハネがイエスの宣教のために準備した働きと、イエスの身分と使命が神から確認されたことの両方を見ることができます。

ルカ 3:1 さて、ティベリウス・カエサルの治世の十五年目、ポンテオ・ピラトはユダヤの総督、ヘロデはガリラヤの領主、その兄弟ピリポはイトゥラエアとトラコニティス地方の領主、ルサニアスはアビリネの領主であった。、

ティベリウス・カエサルの治世の 15年目、ポンテオ・ピラトはユダヤ総督であり、ヘロデ、フィリッポスとリュサニアスはそれぞれガリラヤ、イトゥラエア、アビリネの四分領主であった。

1.「神の権威: ティベリウス・カエサルの治世の擁護」

2. 「奉仕の力: ピラトと四分領主」

1. ローマ 13:1 - 「すべての人を統治する権威に服従させなさい。神以外に権威はなく、存在する権威は神によって定められたものだからです。」

2. コロサイ 3:23 - 「何をするにも、人のためではなく、主のためのように、心を込めて働きなさい。」

ルカ 3:2 アンナスとカヤパが大祭司であったとき、神の言葉が荒野でザカリヤの子ヨハネに臨んだ。

バプテスマのヨハネは、イエスのために道を備えるために荒野で説教するように神から召されました。

1. 神は私たちに、自分の快適ゾーンから出て、イエスのために備えるという大変な努力をするよう呼びかけています。

2. 神の言葉は力強く、どこにいても私たちに届きます。

1. イザヤ書 40:3-5 - 主の道を備える。

2. マタイ 3:1-3 - イエスのために道を整えるヨハネの奉仕。

ルカ 3:3 そして、彼はヨルダン周辺の全土に来て、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。

洗礼者ヨハネはヨルダンに来て、悔い改めと罪の赦しを説きました。

1. 悔い改めの力: 神の救いの計画

2. 赦しの人生を生きる: キリストのうちに平和と喜びを見出す

1. 使徒 2:38 - 「悔い改めて、あなたがた一人一人、罪の赦しのためにイエス・キリストの名においてバプテスマを受けなさい。」

2. ヘブライ人への手紙 10:17 - 「彼らの罪と咎を、私はもう思い出すことはありません」

ルカ 3:4 預言者エザヤの言葉の書に書かれているとおり、「荒野で叫ぶ者の声、『汝ら主の道を備えよ、その道をまっすぐにせよ』」。

この箇所は、主の道をまっすぐにすることによって主の来臨に備えることについて語っています。

1: 「野性の呼び声: 主の再臨に備えて」

2: 「まっすぐで狭い道：主の道を明らかにする」

1: マタイ 3:3 「これは、預言者エサイアスによって語られた、『荒野で叫ぶ者の声、主の道を備えよ、その道をまっすぐにせよ』と言われた方です。」

2: イザヤ書 40:3 - 「荒野で叫ぶ者の声、『汝ら主の道を備えよ、荒野に真っ直ぐ、私たちの神への道を造れ』。」

ルカ 3:5 すべての谷は埋められ、すべての山や丘は低くなります。そして曲がった道はまっすぐになり、でこぼこの道は滑らかになるでしょう。

ルカ 3:5 の一節は、神はどんな状況であっても、神を求める者のために道を備えてくださることを強調しています。

1: 神の愛と備えは、どんなに困難な旅であっても、私たちに道を与えてくれます。

2: 神が私たちの人生の山も谷も平らにしてくれると信頼できます。

1: イザヤ書 40:4-5 - すべての谷は高くなり、すべての山と丘は低くなります。でこぼこした地面は平らになり、荒れた場所は平地になります。

2: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。

ルカ 3:6 そしてすべての肉なる者は神の救いを見るであろう。

洗礼者ヨハネは悔い改めのメッセージを説き、すべての人が神の救いを目撃できるようになると預言しました。

1. 悔い改めの力: 洗礼者ヨハネのメッセージを理解する

2. 神の救いを目撃する：神の恵みに備えて

1. イザヤ書 40:5 そして、主の栄光が現され、すべての人が共にそれを見るであろう。

2. 詩篇 98:2 主はご自身の救いを知らせてくださいました。彼は諸国民の前で自分の義を明らかにした。

ルカ 3:7 そこでイエスは、バプテスマを受けるために出てきた群衆に言った、おお、まむしの世代よ、来るべき怒りから逃げるように誰があなたがたに警告したのですか。

洗礼者ヨハネの洗礼を受けに来た群衆は、怒りが来ると警告されました。

1. 真の悔い改めとイエスを救い主として受け入れることが、神の怒りを避ける唯一の方法です。

2. 神の怒りは現実であり、私たちはそれを無視してはなりません。

1. ヨハネ 3:16-17 – 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 6:23 – 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

ルカ 3:8 ですから、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。そして、自分の心の中で、「私たちは父にアブラハムを持っています。あなたがたに言いますが、神はこれらの石からアブラハムの子供たちを育てることができるのです。」と言わないようにしなさい。

洗礼者ヨハネは、先祖アブラハムに頼るのではなく、善行を積んで真の悔い改めを示すよう人々に勧めています。彼は、神は石の上からでもアブラハムの子供たちを立ち上がらせることができると強調しています。

1. 真の悔い改めへの呼びかけ: ルカ 3:8 の考察

2. 先祖に頼るか、神の好意を求めるか：ルカ 3:8 の研究

1. ローマ 4:13-16 - アブラハムの信仰は彼の義と認められました。

2. ヤコブ 2:14-26 - 行いのない信仰は死んだものです。

ルカ 3:9 さて、また、木の根元に斧が置かれ、良い実を結ばない木はすべて切り倒され、火の中に投げ込まれます。

実を結ばない木を裁くために斧が置かれ、良い実を結ばない木は切り倒されて火に投げ込まれる。

1. 実を結ばない木に対する神の裁き: 悔い改めないことの結果を理解する

2. 悔い改めの実: 良い実を結ぶ人生を培う

1. ヨハネ 15:2、「[イエスは言われた。] 実を結ばない私の枝はすべて彼が取り除き、実を結ぶすべての枝を取り除き、より多くの実を結ぶようにします。」

2. エレミヤ 17:7-8、「主を信頼し、主を希望とする人は幸いです。なぜなら、彼は水辺に植えられ、川辺に根を伸ばす木のようになり、暑さが来ると見えなくなりますが、その葉は緑色になるからです。干ばつの年にも気をつけず、実を結ぶことをやめてはならない。」

ルカ 3:10 そこで人々はイエスに尋ねた、「それではどうすればよいでしょうか」。

人々はヨハネに、救われるためには何をすべきか尋ねました。

1: すべての人は救いを求めて神に立ち返るべきです。

2: 時間をかけて自分の人生を振り返り、自分の悪行を悔い改めましょう。

1: 使徒 2:38 - 「あなたがたは皆、悔い改めて、罪の赦しのために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。」

2: ローマ人への手紙 10:9 - 「もしあなたが口で『イエスは主である』と宣言し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

ルカ 3:11 彼は答えて彼らに言った、「二枚の上着を持っている者は、何も持っていない者に分け与えなさい。」肉を持っている者も同様にしなさい。

洗礼者ヨハネは、余分な資源を持っている人たちに、何も持っていない人たちにその資源を分かち合うように指示します。

1.「寛大さの祝福」

2.「私たちが持っているものを共有する」

1. ヤコブ 1:17 - すべての良い完全な賜物は上から来て、天の光の父から降りてくるものであり、移り変わる影のように変わることはありません。

2. マタイ 25:40 - 「王はこう答えるでしょう、『はっきり言いますが、あなたが私の兄弟姉妹の中で最も小さい者の一人にしてくれたことは、私にしてくださったのです。』

ルカ 3:12 そのとき、取税人たちもバプテスマを受けに来て、彼に言った、「先生、どうしましょうか。」

人々は洗礼者ヨハネに、洗礼を受けるには何をすべきか尋ねました。

1. 謙虚に神とその預言者からの導きを求めることの重要性。

2. バプテスマによる悔い改めと許しの力。

1. エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し求め、私を見つけるでしょう。」

2. 使徒 2:38 - 「悔い改めて、罪の赦しのために、イエス・キリストの名において、あなたがた一人一人バプテスマを受けなさい。」

ルカ 3:13 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたに命じられたこと以上は、絶対に行ってはなりません。」

この一節は、与えられたもの以上のものを取らないことについて述べています。

1. 満足感：自分が持っているものに喜びを見つける

2. 寛大さ: 神の賜物で他者を祝福する

1. ピリピ 4:12-13 「わたしは、どのようにして低くされるかを知っており、どのようにして豊かになるかを知っています。いかなる状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。」

2. ヘブライ 13:5 「お金への愛から人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。『わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない』と神は言われたからです。」

ルカ 3:14 すると、兵士たちも同じように彼に要求して言った、「どうしましょう？」そして彼は彼らに言った、「人に暴力をふるってはいけません。また、誰かを無実の罪で告発してはいけません。」そして給料に満足してください。

一節の要約: 洗礼者ヨハネは兵士たちに、暴力や冤罪を慎み、給料に満足するように指示しています。

1. 満足感: 神にとってそれがなぜ重要なのか

2. 非暴力と誠実さへの呼びかけ

1. ピリピ人への手紙 4:11-13 - 「私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。私は、どのように卑屈になるかを知っていますし、どのように豊かになるかを知っています。「どこにいても、どんなことでも、私は満腹することも飢えることも、豊かになることも必要に耐えることも教えられています。私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできるのです。」

2. マタイ 5:9 - 「平和を実現する人々は幸いです。彼らは神の子と呼ばれるからです。」

ルカ 3:15 そして、人々が期待していたように、そしてすべての人が心の中でヨハネについて考え、彼がキリストであるかどうかを考えました。

洗礼者ヨハネは人々に、罪の赦しを受けるために悔い改めて洗礼を受けるように求めました。

1: 悔い改めてバプテスマを受けなさい - ルカ 3:15

2: 期待の力- ルカ3:15

1: 使徒 2:38 - 「悔い改めて、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。」

2: マルコ 1:4 - 「洗礼者ヨハネが荒野に現れ、罪の赦しのための悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。」

ルカ 3:16 ヨハネは答えて、彼ら全員に、「わたしは確かにあなたたちに水のバプテスマを授けます。しかし、私よりも強い人が来ます、私がその靴の掛け金を解く資格はありません：彼は聖霊と火であなたにバプテスマを授けるでしょう：

洗礼者ヨハネは、聖霊と火によって洗礼を授ける者としてのイエスの到来を宣言します。

1. イエスの再臨: 聖霊と火のバプテスマ

2. 洗礼者ヨハネの意義：イエスの到来を宣言する

1. 使徒 2:1-4 - ペンテコステの聖霊の降臨

2. マタイ 3:11-12 - ヨハネの悔い改めのバプテスマとイエスの聖霊のバプテスマ

ルカ 3:17 その扇子は手にあり、床を徹底的に掃除し、小麦を穀倉に集めます。しかし、もみがらは消えることのない火で燃やされるでしょう。

洗礼者ヨハネは主への道を備えるために悔い改めを求めます。

1: 悔い改めて主の再臨に備えなさい。

2: 神の再臨の裁きの前に、神の御心に従うよう努めなさい。

1: イザヤ書 55:6-7 - 主が見つかるうちに主を求め、近くにおられるうちに呼び求めなさい。

2: エゼキエル 18:30-31 - 悔い改めて自分の罪から立ち去りなさい。不法行為はあなたの報いではないからです。

ルカ 3:18 このほかにも、イエスは勧めの中で多くのことを人々に宣べ伝えました。

洗礼者ヨハネは人々に多くの勧めを説きました。

1. 勧めの力 - 神の御言葉にどのように頼って導きを得ることができるか

2. 聞くことの重要性 - 神の声を聞いて従う方法を学ぶ

1. ローマ 15:4 - 「昔に書かれたものはすべて、忍耐と聖書の励ましによって希望を持つため、私たちの指示のために書かれたものだからです。」

2. 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

ルカ 3:19 ところが、領主ヘロデは、兄フィリポの妻ヘロディアと、ヘロデが行ったあらゆる悪のことで、ヘロデから叱責され、

ヘロデは、ヘロデヤと弟ピリポとの不道徳な関係と、彼が犯した多くの悪行を理由に洗礼者ヨハネから叱責されました。

1. 私たちの罪に関係なく、神は常に見守っています。

2. 悔い改めは許しにつながる可能性があります。

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. 詩篇 51:17 - 神の犠牲は砕かれた霊です。打ち砕かれ悔い改めた心を神よ、あなたは軽蔑されません。

ルカ 3:20 さらに、何よりも、ヨハネを牢獄に閉じ込めたことが付け加えられました。

この箇所は、洗礼者ヨハネがヘロデによって投獄されたことを明らかにしています。

1: 私たちの状況に関係なく、神は依然として支配しておられます。

2: 私たちは逆境に直面しても神に忠実であり続けるよう求められています。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: ヤコブ 1:2-4 「兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭ったとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。完璧で完全で、何も欠けていない。」

ルカ 3:21 さて、民全員がバプテスマを受けたとき、イエスもバプテスマを受けて祈っていると、天が開かれた。

イエスはバプテスマを受け、祈っている間に天が開きました。

1. イエスは私たちに祈りと神への献身の大切さを教えてくれました。

2. イエスのバプテスマは、神への信仰の力をどのように示しているか。

1. マタイ 11:28 - すべて働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたがたを休ませてあげます。

2. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

ルカ 3:22 すると、聖霊が鳩のような姿になって彼の上に降り、天から声が聞こえた、「あなたは私の愛する子です。あなたは私の愛する子です。」私はあなたの中でとても満足しています。

聖霊が鳩の姿でイエスの上に降り、天からの声が彼を承認しました。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. イエスを神の愛する子として神が認める

1. ヨハネ 1:32-34。そしてヨハネは、「御霊が鳩のように天から降りてくるのを見た、そしてそれが彼の上にとどまった」と記録を残しました。

2. イザヤ書 42:1。見よ、わたしが支持する僕のしもべを見よ。私の選ばれた人、私の魂は彼を喜ばせます。わたしは彼に霊を置いた。彼は異邦人に裁きを下すだろう。

ルカ 3:23 そして、イエスご自身はおよそ 30 歳になり始め、（想定されていたように）ヘリの息子であるヨセフの息子でした。

イエスは30歳くらいで、ヘリの子ヨセフの息子でした。

1: イエスは、宣教を始めたとき30歳であったため、人間の経験の完璧な例でした。

2: イエスの旅から、私たちの年齢やライフステージに関係なく、神は私たち全員を用いられることが分かります。

1: 2 コリント 5:21 - なぜなら、神は、一度も罪を犯さなかったキリストを、私たちの罪のいけにえとして造られたからであり、それは、私たちがキリストを通して神に対して正しい者とされるためである。

2: ピリピ 2:5-7 - あなたもキリスト・イエスと同じ態度をとらなければなりません。彼は神でありながら、神との平等に執着するものとは考えていませんでした。その代わりに、彼は神聖な特権を放棄しました。彼は奴隷という謙虚な立場を取り、人間として生まれました。人間の姿で現れたとき、彼は神に従って謙虚になり十字架上で犯罪者の死を遂げました。

ルカ 3:24 だれがマタトの子、だれがレビの子、だれがメルキの子、だれがヤナの子、だれがヨセフの子、

この聖書箇所はイエスの系図について書かれており、その系図をヨセフにまで遡ります。

1. 祖先の重要性: イエスの血統に関する研究

2. イエスの神性を証明する上でのイエスの血統の重要性

1. マタイ 1:1-17 - イエス・キリストの系図

2. ヘブライ 7:14 - イエスの先祖はメルキゼデクの家系でした

ルカ 3:25 マタティアの子、アモスの子、ナウムの子、エスリの子、ナゲの子、

この一節には、マタティアスからナゲまでのイエス・キリストの系譜が列挙されています。

1. イエスの祖先は彼の神聖な血統を示しており、他のすべての人々の中でイエスが唯一であることを示しています。

2. イエスの家系図は、神の忠実さと約束に対する取り組みを思い出させます。

1. 創世記 22:18 - 「あなたはわたしの声に従ったので、あなたの子孫によって地上のすべての国々は祝福されるでしょう。」

2. マタイ 1:1–17 - 「ダビデの子、アブラハムの子イエス・キリストの系図の書。アブラハムはイサクを生み、イサクはヤコブを生み、ヤコブはユダとその兄弟たちを生みました。」

ルカ 3:26 マアトの子、マタティアの子、セメイの子、ヨセフの子、ユダの子、

この箇所はヨセフからユダに至るイエス・キリストの系譜を説明しています。

1. イエス・キリストの驚くべき系譜

2. 血統を通じた神の約束の力

1. マタイ 1:1-17;イエス・キリストの系図

2. ローマ人への手紙 1:3。イエス・キリスト、肉によればダビデの子孫

ルカ 3:27 だれがヨアンナの子、だれがレサの子、だれがゾロバベルの子、だれがサラティエルの子、だれがネリの子、

この箇所はイエスの系図、特にサラティエルからネリまでについて書かれています。

1. イエスの生涯と宣教における家族と血統の重要性

2. 私たちの生活における神の役割を認識することの重要性

1. マタイ 1:1-17 - イエス・キリストの系図

2. ローマ人への手紙 4:13-16 - アブラハムとその子孫はすべての国民に祝福を与えます

ルカ 3:28 だれがメルキの子、だれがアディの子、だれがコサムの子、だれがエルモダムの子、だれがエルの子、

ルカはエルに遡るイエスの系図を示しています。

1. 神は並外れた物事を達成するために普通の人々を用いられる

2. 忠実な信者の長蛇の列

1. 創世記 22:18 - 「あなたはわたしの声に従ったので、あなたの子孫によって地上のすべての国々が祝福されるでしょう。」

2. ヘブライ 11:4 - 「信仰によって、アベルはカインよりも優れたいけにえを神にささげました。信仰によって、神が彼のささげ物をよく言われたとき、彼は義人としてほめられました。」

ルカ 3:29 だれがホセの子、だれがエリエゼルの子、だれがヨリムの子、だれがマタトの子、だれがレビの子、

この一節にはイエス・キリストの系図が列挙されています。

1. イエスは私たちの主であり救い主です - 彼のアイデンティティがいかに重要であるか

2. 私たちの家系図を知ることの重要性

1. マタイ 1:1-17 - マタイによるイエスの系図

2. ルカ 1:26-38 - ルカによるイエスの誕生

ルカ 3:30 シメオンの子、ユダの子、ヨセフの子、ヨナンの子、エリアキムの子、

イエスは長い先祖の子孫です。

1. 私たちの血統を思い出す: イエスと私たちの家系図

2. キリストにおけるアイデンティティ: 私たちの遺産を祝う

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. エペソ人への手紙 2:19-22 - ですから、あなたがたはもはや見知らぬ人や外国人ではなく、聖徒たちと同じ国民であり、神の家族の一員であり、使徒と預言者の基礎の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその主であられます。この礎石によって、建物全体が結合されて、主にある聖なる神殿へと成長します。あなたもキリストのうちに、御霊によって神の住まいとして共に建てられているのです。

ルカ 3:31 メレアの子、メナンの子、マタタの子、ナタンの子、ダビデの子、

この箇所はイエスの系図を示し、その系図をダビデ王まで遡ります。

1. メシアとしてのイエスの立場におけるイエスの血統の重要性

2. ダビデ王に対する神の約束の重要性

1. イザヤ書 9:6-7 - 「わたしたちに子が生まれ、息子が与えられる。そして政府はその肩に乗り、その名は、すばらしい助言者、力ある神、永遠の父、君と呼ばれるであろう」平和の。」

2. ローマ人への手紙 1:3-4 - 「肉によればダビデの子孫であり、死者の中からの復活によって聖霊に従って力を持つ神の子であると宣言された御子イエス・キリストについて、主。"

ルカ 3:32 エッサイの子、オベデの子、ブズの子、サルモンの子、ナアソンの子、

ルカ 3章32節には，エッサイから始まりナアソンで終わる系譜が記されています。

1. イエスの家系図: メシアの系譜を調べる。

2. 遺産の重要性: 先祖たちの物語を保存すること。

1. マタイ 1:1-17 - イエス・キリストの系図。

2. ルツ 4:18-22 - ルツとボアズによるイエス・キリストの系図。

ルカ 3:33 アミナダブの子、アラムの子、エスロムの子、ファレスの子、ユダの子、

この箇所では、ユダ出身のイエスの家系について言及しています。

1. イエスの血統を守る神の忠実さ

2. 私たち自身の家族の歴史を理解することの重要性

1. ローマ 9:5 - 「彼らは族長たちであり、彼らからは永遠に讃美される万物の上にある神であるメシアの人間の祖先がたどられます。アーメン。」

2. マタイ 1:1-17 - 「これはアブラハムの子ダビデの子メシアであるイエスの系図です。…そしてマリアの夫ヨセフの父ヤコブからイエスが生まれました。メシアと呼ばれています。」

ルカ 3:34 ヤコブの子、イサクの子、アブラハムの子、タラの子、ナコルの子、

イエス・キリストの系図はアブラハムにまで遡ります。

1. アブラハム：不確実な時代における信仰の灯台

2. アブラハムの足跡をたどる: 従順のモデル

1. 創世記 22:17-18: 「わたしは必ずあなたを祝福し、あなたの子孫を空の星や海岸の砂のように多くします。あなたの子孫は敵の都市を占領します。18 あなたが私に従ったので、あなたの子孫は地上のすべての国々に祝福されるでしょう。」

2. ローマ 4:13-17: アブラハムとその子孫が世の相続人になるという約束を受けたのは、律法を通してではなく、信仰によってもたらされる義を通してでした。

15 律法は怒りをもたらすからです。そして法のないところには違反はありません。

16 したがって、その約束は信仰によってもたらされるので、それは恵みによって、アブラハムのすべての子孫、律法に従う者だけでなく、アブラハムの信仰に従う者にも保証されるものとなるのです。彼は私たち全員の父親です。17 「わたしはあなたを多くの国民の父とした」と書いてあるとおりです。彼は、死者に命を与え、存在しなかったものを呼び起こす神を信じ、神の目から見ると私たちの父です。

ルカ 3:35 だれはサルクの子、だれがラガウの子、だれがファレックの子、だれがヘベルの子、だれがサラの子、

ヘベルの子孫はルカ 3:35 に記されています。

1: イエス・キリストの家系図。

２：血統を辿ることの大切さ。

1: マタイ 1:1-17 - アブラハムからヨセフまでのイエスの系図。

2: 創世記 10:21-30 - ヘベルの子孫。

ルカ 3:36 だれがカイナンの子、だれがアルパクサドの子、だれがセムの子、だれがノエの子、だれがレメクの子、

ルカ 3:36 のこの箇所は、ノエからレメクまでの系図をたどって、イエス・キリストの系図を説明しています。

1. 神の忠実さ: イエスはどのようにして救いの約束を達成したか

2. イエスの系譜: 先祖の重要性を理解する

1. 創世記 5:1-32。6:9-9:17 - ノアの物語と神の救いの約束

2. マタイ 1:1-17 - イエスの系図と預言の成就

ルカ 3:37 マトゥサラの子、エノクの子、ヤレドの子、マレエルの子、カイナンの子、

イエスの系図はカイナンにまで遡ります。

1. 私たちの霊的血統の重要性を認識する

2. 私たちの精神的遺産が私たちの生活をどのように形作るか

1. ローマ人への手紙 4:17 - 「わたしはあなたを多くの国民の父とした」と書かれているとおりです。

2. テモテ第二 1:5 - 私はあなたの誠実な信仰を思い出します。その信仰は最初あなたの祖母ロイスとあなたの母ユニケの中に生きていましたが、今ではあなたの中にも生きていると私は確信しています。

ルカ 3:38 それはエノスの子、セトの子、アダムの子、神の子でした。

この箇所は、神から始まり神の子イエスで終わるイエスの系譜を説明しています。

1: 私たちは皆、神の子であり、神の似姿に造られ、愛と信仰の人生を送る力を与えられています。

2: イエスは神の子であり、彼の犠牲の死と復活は私たちに救いと救いの希望と確信を与えます。

1: ローマ人への手紙 8:14-17 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2: 1 ヨハネ 3:1 - 私たちが神の子と呼ばれるために、父が私たちにどのような愛を与えてくださったか見てください。そして私たちもそうです。

ルカ 4 章には、荒野でのイエスの誘惑と、イエスの教えと奇跡的な行為を含むイエスの公の宣教の始まりが詳しく語られています。

第 1 段落: イエスはバプテスマを受けた後、聖霊に導かれて荒野に行き、そこで 40 日間断食されました。この間、サタンは三度イエスを誘惑しました。まず、サタンは空腹を満たすために石をパンに変えようとイエスを誘惑しましたが、イエスは聖書の言葉を引用して答えました、「人はパンだけで生きるものではない」(ルカ4:1-4)。次に、サタンはイエスに世界のすべての王国を示し、もしイエスを崇拝するなら、それらに対する権威を与えました。しかし、イエスは聖書で再びサタンを叱責しました。「あなたはあなたの神、主を崇拝し、主だけに仕えなさい」（ルカ 4:5-8）。最後に、サタンはイエスをエルサレムの頂点に連れて行き、文脈を無視して聖書の言葉を引用して、身を投げるように促しました。さらにイエスは聖書によって反撃し、誘惑に抵抗されました（ルカ 4:9-13）。

第 2 段落: イエスは誘惑に勝利した後、御霊の力に満たされてガリラヤに戻りました。彼は地域中の会堂で教え、彼の知恵に驚く人々から広く賞賛を得ました（ルカ 4:14-15）。イエスが育ったナザレでは、安息日に会堂に入り、貧しい人々に良いたよりをもたらし、捕虜に自由を宣言するというイザヤの預言を読み上げました。イエスは、これらの言葉がご自分において成就されたと宣言されました(ルカ4:16-21)。しかし、彼の故郷の群衆からは予想通り賞賛を受けるどころか、彼らは彼の主張に激怒し、彼に危害を加えようとしました。しかし、奇跡的に無傷で彼らの真っ只中を通り抜けました。彼は旅を続けました（ルカ 4:22-30）。

第 3 段落: 拒絶されてナザレを去り、そこへ行きました カペナウムの街 ガリラヤは人々に教え始めました 驚きの権威 言葉は悪魔を追放しました シナゴーグの男汚れた霊はこう言って叫びました、「はあ！あなたは何をしに来たのですか？私たちを滅ぼすのですか？聖なる唯一の神がいることを知ってください！」しかし、「黙って出て行け！」と叱責されました。傷つけずに人を目の前に放り投げた別の者は驚いて話し、別の者は「この教えは何だ？権力によって汚れた霊が出てくるように命じるのだ！」と言いました。周囲の地域に広がり、多くの病気が癒された 救世主が預言を成就したと認められたため、悪霊に駆り立てられた聖書 癒しの奉仕活動

はシナゴーグで説教を続けた ユダヤも悪霊を追い出した ガリラヤの奉仕活動は力強い教えを特徴づけた 権威ある行動が神の力の臨在を示した ルカが舞台を休ませた福音の物語が資格を確立した 来られた御子神がもたらしてくださった人類の救い。

ルカ 4:1 イエスは聖霊に満たされてヨルダンから戻り、御霊に導かれて荒野へ行かれた。

この箇所では、イエスが聖霊に満たされ、御霊に導かれて荒野に行かれる様子が描かれています。

1. イエスが荒野に入った理由

2. イエスの生涯における聖霊の力

1. 詩篇 23:4 「そうです、たとえ私が死の影の谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたは私とともにおられるからです。」あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。」

2. イザヤ書 40:31 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。」

ルカ 4:2 四十日間、悪魔の誘惑を受けました。そして、その頃、彼は何も食べませんでした。そして、食事が終わると、その後、彼は空腹になりました。

40日間断食し、悪魔の誘惑を受けるイエス。

1: イエスは誘惑に耐え、断食と祈りによって誘惑に打ち勝ちました。

2: 誘惑に耐え、誘惑に打ち勝つ方法について、イエスを模範として見ることができます。

1: 1 コリント 10:13 - 「人間にありがちなこと以外の誘惑は、あなたがたを襲ったことはありません。神は真実ですので、能力を超えた誘惑には遭わせませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

2: ヤコブ 1:12-15 「試練を耐え忍ぶ人は幸いです。なぜなら、その試練に耐えたその人は、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。いつ彼が死ぬのか、誰も言わないでください。」「私は神に誘惑されている。なぜなら、神が悪によって誘惑されることはあり得ず、神ご自身も誰も誘惑されないからである。しかし、人はそれぞれ、自分の欲望に誘惑され誘惑されるときに誘惑されるのである。そして、欲望が思いついたとき、欲望は与えてくれる」生まれてから罪が生まれ、罪が完全に成長すると死がもたらされます。」

ルカ 4:3 そこで悪魔は彼に言った、「もしあなたが神の子なら、この石にパンになるように命じなさい」。

イエスは悪魔に誘惑されて、自分の力を使って石をパンに変えました。

1: イエスが誘惑しなかったように、私たちも誘惑に負けるべきではありません。

2: 誘惑に直面したときのイエスの模範から学ぶことができます。

1: ヤコブ 1:12-15 - 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。なぜなら、その人は試練に耐えた後、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2: マタイ 4:1-11 - それから、イエスは悪魔の誘惑を受けるために、御霊に導かれて荒野に行かれました。

ルカ 4:4 するとイエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるものではなく、神のすべての言葉で生きる』と書いてある」。

人は肉体的な糧だけでなく、神の言葉からも力と糧を得なければなりません。

1. 「神の言葉に従って生きる」- 神の約束を信頼し、神の言葉に頼ることの重要性を強調します。

2. 「命のパン」- 命のパンであるイエス・キリストからもたらされる霊的な栄養に焦点を当てます。

1. 申命記 8:3 - 「そして彼はあなたを謙虚にし、あなたを飢えさせ、あなたもあなたの先祖たちも知らなかったマナをあなたに与えました。それは、人はパンだけで生きるものではないことをあなたに知らせるためでした」しかし、主の口から出る一つ一つの言葉によって人は生きるのである。」

2. マタイ 4:4 「しかし、彼は答えて言った、『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」

ルカ 4:5 すると、悪魔は彼を高い山に連れて行き、たちまちのうちに世界のすべての王国を彼に見せました。

悪魔は世界のすべての王国を使ってイエスを誘惑しました。

1. イエスの強さ：誘惑に打ち勝つ

2. 世界のアイドルにもかかわらず、神の計画に忠実であり続ける

1. マタイ 4:1-11 - イエスは荒野で悪魔の誘惑を受ける

2. コリント人への第一の手紙 10:13 - 人間によくある誘惑があなたを襲ったことはありません。

ルカ 4:6 すると悪魔は彼に言った、「この力をすべてあなたに、そして彼らの栄光をあなたにあげましょう。それはわたしに与えられたのです。」そして誰にでもそれをあげます。

一節 悪魔はイエスが自分を崇拝する代わりに、この世のすべての力と栄光をイエスに差し出します。

1. 誘惑の危険性: イエスは悪魔の申し出にどのように抵抗したか

2. 服従の力: イエスはどのように神の御心に従ったのか

1. ヤコブ 1:12-15 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

ルカ 4:7 ですから、もしあなたがわたしを崇拝するなら、すべてはあなたのものになります。

サタンは世の所有物と引き換えにイエスを崇拝するよう誘惑します。

1. 誘惑の危険性: サタンの誘惑に抵抗する方法

2. 礼拝の力: 神に従うことの報酬を理解する

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. 詩篇 8:9 - 「主よ、私たちの主よ、あなたの御名は全地になんと荘厳なものでしょう。あなたはご自分の栄光を天に高く掲げられました。」

ルカ 4:8 するとイエスは答えて言われた、「サタンよ、お前を後ろに引きなさい。『あなたの神、主を礼拝し、主にのみ仕えなさい』と書いてあるからである」。

この箇所は、イエスのみを崇拝するという神の命令を守るために、イエスがサタンに自分から離れるように命じたことを示しています。

1. 神の言葉を守ることの重要性。

2. サタンの誘惑を拒否する。

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. 申命記 6:13 - 「あなたはあなたの神、主を畏れ、仕え、その名にかけて誓うべきである。」

ルカ 4:9 そこで、イエスは彼をエルサレムに連れて行き、神殿の頂上に立たせて言った、「もしあなたが神の子なら、そこから身を投げなさい。

悪魔はイエスを神殿の頂上から身を投げるよう誘惑しました。

1. 私たちは毅然とした態度を保ち、誘惑に抵抗しなければなりません。

2. 私たちは謙虚で神を信頼しなければなりません。

1. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちなこと以外の誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

2. 詩篇 46:10 - 「静まりなさい。わたしが神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるでしょう。」

ルカ 4:10 「神は、あなたを守るために、御使いたちにあなたを指揮させるであろう」と書いてあるからです。

この一節には、神は天使たちを通して神を信じる者たちに保護を与えてくださると書かれています。

1: 神の愛と保護が常に私たちとともにあるので、私たちは決して一人ではありません。

2: 人生で何に直面しても、神がいつも私たちとともにおられると知っていれば、私たちは安心することができます。

1: 詩篇 91:11-12 - 神はあなたの天使たちに、あらゆる道であなたを守るよう命じるからです。彼らはあなたを手で持ち上げて、足を石にぶつけないようにします。

2: ヘブライ 1:14 - すべての天使は、救いを受け継ぐ人々に仕えるために遣わされた奉仕の霊ではないでしょうか。

ルカ 4:11 そして、いつでも足を石に打ちつけないように、彼らはあなたを手で支えるでしょう。

この箇所は、神を信じる者を神が守ってくださることについて語っています。

1. 心から主を信頼する - 箴言 3:5-6

2. 神は私たちの避け所であり盾である - 詩篇 34:7-8

1. 詩篇 91:11-12 - 神は御使いたちにあなたを監視させ、あらゆる道であなたを守ってくださるからです。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。がっかりしないでください、私はあなたの神だからです。私はあなたを強めます、そうです、私はあなたを助けます、私は私の義の右手であなたを支えます。

ルカ 4:12 するとイエスは答えて言われた、「『あなたの神、主を試みてはならない』と言われています。」

この一節は神の忍耐を試すことに対して警告しています。

1.「忍耐の力」

2.「神は試されるべきではない」

1. ヤコブ 1:12-15。誘惑に耐えた人は幸いである。なぜなら、彼が試みられるとき、彼は主が彼を愛する者たちに約束した命の冠を受けるからである。

2. 申命記 6:16。あなたがたがマサで誘惑したように、あなたの神、主を誘惑してはならない。

ルカ 4:13 そして悪魔はすべての誘惑を終えると、一時期悪魔から離れました。

イエスは悪魔の誘惑を受けましたが、悪魔がすべての誘惑を終えた後、しばらくの間立ち去りました。

1. 神はあなたを誘惑から守ってくれる

2. 誘惑に遭ったら、神の力を求めなさい

1. コリント人への第一の手紙 10:13 - 人間にとって珍しい誘惑はあなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

2. ヤコブ 1:12-15 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。誘惑に遭ったときに、「私は神に誘惑されている」などと誰も言ってはなりません。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、ご自身も誰も誘惑されないからです。しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され誘惑されることがあります。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は完全に成長すると死をもたらします。

ルカ 4:14 そして、イエスは御霊の力によってガリラヤに戻られた。すると、イエスの名声が周囲に広まった。

イエスは御霊の力によってガリラヤに戻り、彼の名声はその地域中に広がりました。

1. イエス：聖霊の力とその名の名声

2. 御霊の力とそれがどのようにイエスの名声を広めるか

1. 使徒 10:38 - 神はどのようにしてナザレのイエスに聖霊と力を注いだのか。

2. イザヤ 11:2 - 主の霊、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊が彼の上にとどまります。

ルカ 4:15 そしてイエスは彼らの会堂で教え、すべての人から栄光を受けました。

この箇所は、イエスが会堂で説教したときに歓迎され、尊敬されたことを示しています。

1: イエスは、その説教を聞いたすべての人から賞賛され、栄光を受けました。

2: 私たちも賞賛され、栄光を受けることができるように、できる限りキリストに似るように努めるべきです。

1: マタイ 5:16 - 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父を讃えることができます。」

2: ピリピ人への手紙 2:5-8 「この思いをあなたがたも持ちなさい。それはキリスト・イエスのうちにもあったのです。キリストは、神の姿をしていながら、神と同等であることは強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たなかったのです。そして召使の姿をとり、人間に似せて造られた。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。」

ルカ 4:16 それから、彼は生まれ育ったナザレに来て、いつものように安息日に会堂に入り、本を読むために立ち上がった。

彼は習慣に従って安息日にシナゴーグに行きました。

1. 伝統を守ることの大切さ

2. 習慣的な忠実さの力

1. マタイ 11:28-30 - 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。」_

2. 箴言 13:9 - 「正しい者の光は喜ぶが、悪者の灯は消える。」

ルカ 4:17 そして、預言者エザヤの書が彼に渡された。そして本を開いたとき、彼はそれが書かれている場所を見つけました。

イエスはイザヤ書を開いてそこを読みました。

1. イエスの宣教における聖書の重要性

2. 神の言葉の力

1. 詩篇 119:105-112、「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です」

2. ローマ人への手紙 10:17、「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

ルカ 4:18 主の御霊が私の上にあります。貧しい人たちに福音を宣べ伝えるために主が私に油を注いでくださったからです。彼は心の傷ついた人を癒し、捕虜に救出を説き、目の見えない人に視力の回復を説き、打ち傷を負った人たちを解放するために私を遣わしたのです。

一節を要約します:

イエスは主の御霊によって、貧しい人々に福音を宣べ伝え、心の傷ついた人々を癒し、捕虜に救いをもたらし、目の見えない人に視力をもたらすという使命を果たす力を与えられています。

1. イエスの使命がもたらす高揚する力

2. 癒されて解放される: イエスはどのように解放をもたらすか

1. イザヤ書 61:1-2 - 「主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせをもたらすために私に油を注がれたからです。主は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言するために私を遣わされました。」、そして拘束されている人々への刑務所の開放。

2. ガラテヤ 5:1 - 「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださったのです。だからしっかり立ちなさい。奴隷のくびきに再び屈しないでください。」

ルカ 4:19 主の受け入れられる年を宣べ伝えるためです。

この箇所は、イエスが宣教活動において主の恵みの良いたよりを宣べ伝えたことに言及しています。

1. 「神の無条件の愛: 神が受け入れられる年を見つける」

2. 「イエスの賜物：主の年に生きる」

1. イザヤ書 61:1-2: 「主権者である主の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせを告げ知らせるために私に油を注がれたからです。主は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言するために私を遣わされました。」そして囚人たちを暗闇から解放してください。」

2. ローマ 5:8: 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

ルカ 4:20 そこで彼は本を閉じ、再び牧師に渡して座った。そして、会堂にいた人々全員の目が彼に釘付けになった。

イエスが会堂でイザヤ書を朗読すると、皆がイエスに注目します。

1. 神は私たちの人生についての計画を持っており、イエスはそれを模範を通して私たちに示してくださいました。

2. 私たちは聖書を通して神が私たちに送ってくださるメッセージに対してオープンでなければなりません。

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている」と主は宣言されます。「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

ルカ 4:21 そしてイエスは彼らに言い始めた、「今日、この聖書の言葉があなたたちの耳に成就したのです。」

イエスは聖書の言葉が人々の前で成就したと宣言されました。

1. 約束を果たそうとする神の忠実さ。

2. イエスの言葉に耳を傾けることの大切さ。

1. 詩篇 33:4-5 「主の言葉は正しく真実です。主はすべての行いに忠実です。主は義と公正を愛します。地は彼の変わらぬ愛で満ちています。」

2. ヨハネ 14:23-24 「イエスは答えられた。「わたしを愛する者はだれでも、わたしの教えに従うでしょう。わたしの父も彼らを愛してくださるでしょう。そして、わたしたちは彼らのところに行って、彼らと一緒に家を作ります。わたしを愛さない者は従いません。」私の教え。」

ルカ 4:22 そして皆が彼に証言し、彼の口から出た慈悲深い言葉に驚いた。すると彼らは言った、「この人はヨセフの息子ではないか」。

この箇所は、恵みと知恵に満ちたイエスの言葉に対する人々の反応を描いています。彼らは彼がヨセフの息子かどうか尋ねました。

1. イエスの言葉にある神の恵みの力

2. 賢明なスピーチの模範としてのイエス

1. コロサイ 4:6 - それぞれの人にどのように答えるべきかを知ることができるように、常に塩味を利かせた丁寧な話し方をしましょう。

2. ヤコブ 3:13-17 - あなたがたのうち、知恵があり理解力のある人は誰ですか。彼の良い行いによって、彼は柔和な知恵の中で自分の行いを示しましょう。

ルカ 4:23 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたは必ずこのことわざを私に言うでしょう、『医者よ、自分を治してください。カファルナウムで行われたと聞いたことはすべて、あなたの国でも行いなさい』。」

イエスは故郷の人々に、カペナウムでしたのと同じことをするよう期待すべきだと言いました。

1. イエスの力: イエスは宣教活動を通じてどのように奇跡を起こしたのか

2. イエスを拒否する: イエスを信じることを拒否する代償

1. マタイ 4:23-25 - イエスはガリラヤで宣教を始める

2. マルコ 1:21-28 - イエスは汚れた霊に取り憑かれた男を会堂で癒す

ルカ 4:24 すると彼は言った、「よく言いますが、自分の国では預言者は受け入れられません。」

イエスは、預言者は自分の国では受け入れられないと宣言されました。

1. 「イエスの拒絶: 私たち自身の拒絶を理解する」

2.「拒絶の苦難：神の受け入れを知る」

1. イザヤ書 53:3 - 「彼は人々から軽蔑され、拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っています。」

2. ローマ 15:7 - 「ですから、神に賛美をもたらすために、キリストがあなたがたを受け入れてくださったように、互いに受け入れなさい。」

ルカ 4:25 しかし、真実のことを言います。エリアスの時代、イスラエルには多くのやもめたちがいました。そのとき、天は三年六か月閉ざされ、全土に大飢饉があったときです。

ルカ 4 章 25 節でイエスは、エリヤの時代、イスラエルには多くのやもめがいて、大飢饉が 3 年半続いたことを語られています。

1. やもめの信仰: 必要なときに神がどのようにして民を気遣われるか

2. 神の備え：困難な時に神の豊かさを体験する

1. ヤコブ 1:27 - 私たちの父なる神が純粋で非の打ちどころのないものとして認めている宗教は、苦しんでいる孤児や未亡人の世話をし、世によって自分自身を汚さないようにするための宗教です。

2. 詩篇 68:5 - 父親のいない者の父であり、やもめの保護者は聖なる住まいにおける神です。

ルカ 4:26 しかし、エリアスはシドンの町サレプタと未亡人の女性を除いて、彼らの誰にも遣わされなかった。

エリアスはシドンの都市サレプタに未亡人の女性のもとに送られました。

1. 最も貧しい人々に対する神の無条件の愛

2. 逆境に直面したときの信仰の力

1. ヤコブ 2:5-6 - 「親愛なる兄弟姉妹たち、聞いてください。神は、信仰が豊かになり、ご自分を愛する者たちに約束された王国を受け継ぐために、世の目に貧しい人々を選ばれたのではありませんか。」

2. イザヤ書 61:1-3 - 「主権者である主の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。主は心の傷ついた人を縛り、捕虜に自由を宣べ伝えるために私を遣わされました。」そして囚人たちを暗闇から解放し、主の恵みの年と私たちの神の復讐の日を宣言し悲しむすべての人を慰め、シオンで悲しむ人々に備えをするために、彼らに美しさの冠を授けるのです。「灰、悲しみの代わりに喜びの油、絶望の精神の代わりに賛美の衣。それらは正義の樫の木、主の栄光を示すために主が植えられたものと呼ばれるでしょう。」

ルカ 4:27 預言者エリセウスの時代、イスラエルには多くのらい病人がいました。そして誰も清められず、シリア人ナアマンは救われた。

預言者エリセウスの時代、イスラエルには多くのハンセン病患者がいましたが、シリア人のナアマンを除いて、誰も治癒しませんでした。

1. 神の憐れみはすべての人にあります - あなたが誰であっても、神は憐れみと癒しを示すことができます。

2. 信仰の力 - ナアマンは神への信仰のおかげで癒されました。

1. ヤコブ 5:15 - 「信仰によってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせます。もし彼らが罪を犯したとしても、彼らは赦されます。」

2. ヨハネ 5:14 - 「その後、イエスは神殿で彼を見つけて言われた、「見よ、あなたは完全になった。もっと悪いことがあなたに降りかかることのないように、もう罪を犯してはいけない。」

ルカ 4:28 会堂にいた人々はみな、これらのことを聞いて怒りに満ちた、

会堂にいた人々はイエスの言葉を聞いて怒りに満ちました。

1: 私たちは、自分の信念を揺るがす何かを聞いたときに、心を開いて怒りに満たされないように努めるべきです。

2: イエスは人々を不快にさせたり怒らせたりするような言葉を頻繁に言いましたが、それでも神のご意志に従ったことを覚えておく必要があります。

1: エペソ人への手紙 4:2-3 - 徹底的に謙虚で優しくありなさい。忍耐強く、愛をもって互いに忍耐しなさい。平和の絆を通じて御霊の一致を保つためにあらゆる努力をしてください。

2: コロサイ 3:12-14 - したがって、神に選ばれた聖なる民として、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。お互いに忍耐し、誰かに対して不満を抱いている人がいたら許し合いましょう。主があなたを赦してくださったように、赦してください。そして、これらすべて

の美徳の上に愛がかぶせられ、それがそれらすべてを完全な統一に結びつけます。

ルカ 4:29 そこで、立ち上がって彼を町の外に突き出し、彼らの町が建てられている丘のふもとまで連れて行き、真っ逆さまに投げ落とそうとした。

ある町の人々は立ち上がり、イエスを町から追い出し、崖から投げ落とそうと、自分たちの町が建てられている丘の端までイエスを導きました。

1. 知識のない宗教的熱意の危険性

2. 逆境に直面したときの信仰の力

1. 詩篇 23:4 - たとえ私が最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

ルカ 4:30 しかし、彼は彼らの中を通り抜けて行き、

ルカ 4:30 は、イエスが途中で群衆の間を通り抜ける様子を要約しています。

1. 平和の君イエス：群衆の中を通り過ぎるイエスの穏やかな存在。

2. イエスの行動が私たちに教えてくれること: 困難な状況のただ中での無私の存在と優しさの重要性。

1. エペソ人への手紙 2:14-17、主ご自身が私たちの平和であり、私たちを一つにし、その肉において敵意の隔ての壁を打ち破られたからです。

2. マタイ 5:43-44、「『隣人を愛し、敵を憎め』と言われていたことを、あなたがたも聞いているでしょう。」しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。

ルカ 4:31 それからガリラヤの町カファルナウムに下りて、安息日に彼らに教えた。

イエスはガリラヤのカペナウムの町に降り、安息日に人々を教えました。

1. 安息日を最大限に活用する方法

2. イエスの教えの力

1. マタイ 12:9-14 - イエスは安息日について教える

2. マルコ 2:23-28 - イエスは安息日の重要性について語る

ルカ 4:32 彼らは彼の教義に驚いた。彼の言葉には力があったからである。

イエスの教えが権威をもって伝えられたため、人々はイエスの教えに驚きました。

1. 権威者と話す方法

2. イエスの教えの力と権威

1. イザヤ書 55:11、「わたしの口から出たわたしの言葉は、そのようになります。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送ったもので栄えるでしょう。」」

2. エペソ人への手紙 6:19-20、「そして、私にその言葉が与えられるのは、私が福音の奥義を知らせるために、大胆に口を開くためです。私はそのために、絆の大使となっています。語るべきことは大胆に語ってもよい。」

ルカ 4:33 すると、会堂に、汚れた悪魔の霊に取り憑かれた男がいて、大声で叫んだ。

会堂にいる男が汚れた悪魔の霊に取り憑かれ、大声で叫びました。

1. 誘惑を受け入れて抵抗する: ルカ 4:33 の会堂にいる男の研究

2. 闇の力の克服: ルカ 4:33 からの考察

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. ペテロ第一 5:8-9 - 「身を慎み、用心していなさい。なぜなら、あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、誰を食い尽くせるかを求めて歩き回っているからです。彼らは、同じ苦しみがあることを知りながら、信仰に堅く抵抗します。」この世にいるあなたの同胞たちの中でそれが成し遂げられました。」

ルカ 4:34 こう言います。ナザレのイエスよ、私たちはあなたと何の関係があるのですか？私たちを滅ぼしに来たのですか？私はあなたが誰であるかを知っています。神の聖なる方。

ナザレの人々はイエスを拒絶し、イエスが自分たちを滅ぼすつもりであると非難しました。

1: イエスの拒絶は結果をもたらす

2: イエスは神の聖者です

1: イザヤ書 43:3 - わたしはあなたの神、主、イスラエルの聖者、あなたの救い主だからです。

2: ヨハネ 10:30 - 私と父は一つです。

ルカ 4:35 そこでイエスは彼を叱責して言われた、「安心して彼から出て行け」。そして、悪魔が彼を真ん中に投げ込んだとき、彼は彼の中から出てきましたが、彼を傷つけませんでした。

イエスは人から悪霊を追い出しましたが、悪霊は人に危害を加えませんでした。

1. イエスは暗闇と絶望の中に命と光をもたらします。

2. イエスの力はどんな悪よりも偉大です。

1. コロサイ 1:13-14 - 神は私たちを暗闇の領域から救い出し、愛する御子の王国に移してくださいました。その御子によって私たちは救い、罪の赦しを得ます。

2. ヨハネ 12:46 - わたしを信じる者が闇の中に留まらないように、わたしは光として世に来ました。

ルカ 4:36 すると彼らはみな驚いて、「何という言葉だろう」と互いに話し合った。なぜなら、彼は権威と力をもって汚れた霊たちに命令し、彼らは出てくるからです。

人々は汚れた霊たちを指揮するイエスの権威と力に驚き、イエスに従いました。

1. イエスは私たちの権威と力です

2. 従順の力

1. マタイ 8:16 - 夕方になると、人々は悪霊に取り憑かれた多くの人々をイエスのもとに連れてきました。そして彼は言葉で霊を追い出し、病人をすべていやした

2. ヨハネ第一 4:4 - 幼い子供たちよ、あなたたちは神から出た者であり、彼らに打ち勝ったのです。なぜなら、あなたたちの中にいる神は、世にいる神よりも偉大だからです。

ルカ 4:37 そして、彼の名声は国中に広まりました。

イエスが行った奇跡の結果、イエスの名声はガリラヤ地方中に広がりました。

1. 信仰の力: イエスの奇跡はどのように信仰の力を明らかにしたか

2. 不可能を信じる: イエスは歴史の流れをどのように変えたか

1. マタイ 4:23-24 - イエスはガリラヤ中を巡り、会堂で教え、王国の良いたよりを宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気を治されました。

24 彼の消息はシリア全土に広まり、人々はさまざまな病気の人、激しい痛みに苦しんでいる人、悪霊に取り憑かれた人、発作を起こしている人、麻痺している人をみな彼のところに連れてきました。そして彼は彼らを癒しました。

2. マルコ 6:34- イエスは上陸して大勢の群衆を見て、彼らを憐れみました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のようなものだったからです。それで彼は彼らに多くのことを教え始めました。

ルカ 4:38 それからイエスは会堂から立ち上がって、シモンの家に入った。そしてシモンの妻の母親が高熱を出して倒れた。そして彼らは彼に彼女を求めた。

イエスは会堂を出た後、シモンの義母を高熱から癒しました。

1. シモンの家で実証されたイエスの癒しの力

2. 病気を克服するイエスへの信仰の力

1. マルコ 1:41-42 - イエスは病人に対する憐れみの心に動かされ、彼らを癒してくださいました。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、イエスは私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。私たちの平和のための懲罰が主の上にあり、主の打ち傷によって私たちは癒されました。

ルカ 4:39 そこでイエスは彼女の上に立って、熱を叱責した。すると彼女はすぐに立ち上がって彼らに仕えた。

イエスは奇跡的に熱を出した女性を癒し、奉仕を許可されました。

1. 人生を癒し、変えるイエスの力

2. 他者に奉仕する喜び

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. ペテロ第一 4:10 - あなたがたはそれぞれ、さまざまな形での神の恵みの忠実な管理者として、自分が受け取った賜物をすべて使って他の人に仕えるべきです。

ルカ 4:40 さて、日が沈むと、さまざまな病気にかかっている人が皆、それをイエスのところに連れてきました。そしてイエスは彼ら一人一人に手を置いて彼らをいやした。

太陽が沈むと、さまざまな病気を患っている人たちが皆、イエスのところに彼らを連れて行き、イエスは彼ら一人一人に手を置いて彼らを癒しました。

1: イエスに対する信仰と希望の力。

2: イエスの癒しと、必要なときにイエスを求めることの重要性。

1: マタイ 8:2-3 - すると、見よ、らい病人が彼のところに来て、彼の前にひざまずいて、「主よ、御心ならば、私を清めてくださることがおできになります」と言いました。するとイエスは手を伸ばして彼に触れ、「そうします、清くなります」と言われた。するとすぐに彼のハンセン病は治りました。

2: マルコ 5:25-29 - また、12 年間血の分泌物が出る状態にあった女性がいました。彼女は医者に全財産を費やしたにもかかわらず、誰にも治してもらえませんでした。彼女は彼の後ろに近づき、彼の衣服の縁に触れると、すぐに出血が止まりました。するとイエスは、「私に触れたのは誰ですか？」と言われました。全員がそれを否定すると、ペテロは言いました。「先生、群衆があなたを取り囲んで、あなたに迫っています！」しかしイエスは、「誰かが私に触れた。私から力が出てしまったのが分かった。」と言われました。

ルカ 4:41 また、悪魔も多くの中から出てきて、「あなたは神の子キリストだ」と叫びました。そして彼は彼らを叱責し、彼らが話さないようにした。彼らは彼がキリストであることを知っていたからである。

この箇所は、イエスが自分を神の子と認識した悪霊を叱責したことを語っています。

1. イエスは主です: 逆境に直面してもしっかりと立っています

2. 悪に対するイエスの権威の力

1. コロサイ 1:13-14 - 神は私たちを暗闇の力から救い出し、私たちをご自身の愛の御子の王国に導いてくださいました。

14 私たちはキリストにあって、その血による救い、罪の赦しを持っています。

2. ピリピ 2:5-11 - キリスト・イエスにあってあなたのものであるこの心を持ちなさい。

6 彼は神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えなかった。

7 しかし、召使の姿をとり、人間と同じように生まれて、自分を無にしました。

8 そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になり、自分をへりくだらせました。

9 それゆえ、神は彼を高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けた。

10 それは、天においても地においても地の下においても、イエスの御名によってすべての膝がかがむためである。

11 そしてすべての舌は、父なる神の栄光のために、イエス・キリストが主であると告白します。

ルカ 4:42 そして、日が暮れると、イエスは出て行って、荒れ果てた所へ行かれた。すると、人々はイエスを捜し、近寄って来て、彼が彼らから離れないように、彼を留めた。

人々はイエスを捜し求め、一緒にいてくれるように頼みました。

1: 私たちは人生においてイエスを求め、イエスに従うべきです。

2: 私たちは積極的に自分の信仰を他の人と分かち合うべきです。

1: 1 ヨハネ 4:19 - 私たちが愛するのは、主が最初に私たちを愛してくださったからです。

2: ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。

ルカ 4:43 そこでイエスは彼らに言った、「わたしは他の都市にも神の国を宣べ伝えなければなりません。そのためにわたしは遣わされたのです。」

イエスは、他の都市に神の国を宣べ伝えるために遣わされたと述べています。

1. イエスの使命：神の国の宣教

2. イエスの緊急性: すべての都市への伝道

1. 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなたたちはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。

2. マタイ 24:14 - そして、この御国の福音はすべての国民へのあかしとして全世界に宣べ伝えられ、その後、終わりが来ます。

ルカ 4:44 そして、彼はガリラヤの会堂で宣教した。

イエスはガリラヤの会堂で説教しました。

1. 説教の力: 神の言葉を宣べ伝えるという挑戦を受け入れる

2. 福音を宣べ伝える: 神の愛と恵みをすべての人に分かち合う

1. イザヤ書 61:1-3 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせをもたらすために私に油を注がれたからです。彼は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、縛られた人々に刑務所の開放を宣言するために私を遣わしたのです。

2. マタイ 10:7-8 - そして、行きながら、「天国は近づいた」と宣言してください。病人を癒し、死者を蘇らせ、らい病人を清め、悪霊を追い出しなさい。料金を支払わずに受け取りました。無給で与える。

ルカ 5 章は、魚の奇跡的な漁獲、ハンセン病の治癒、弟子たちの召しなど、イエスの宣教における重要な出来事を強調しています。

第 1 段落: イエスはガリラヤ湖のほとりにおられ、そこで二隻の小舟を見られました。彼はシモン（後にピーターと呼ばれる）の所有する船に乗り、岸から少し押し出すように頼みました。そこからイエスは群衆に教えました。教えを終えた後、イエスはシモンに、深い水に入って網を降ろして獲物を獲るように言われました。シモンは一晩中漁をしても成果がなかったので疑いましたが、イエスの命令に従いました。指示に従って網を投げたところ、網が破れてしまうほど大量の魚が捕獲されました。彼らは別のボートに助けを求めましたが、両方のボートは魚でいっぱいでした。この奇跡に圧倒されたシモンはイエスの足もとにひれ伏し、イエスが主であることを認めました。イエスは、それ以来、彼らは代わりに人々を捕まえることになると答えました(ルカ5:1-11)。

第 2 段落: イエスが宣教を続けていると、ハンセン病に覆われた男性が癒しを求めてイエスに近づきました。ハンセン病は感染力が強いと考えられており、罹患者は社会から孤立していました。しかし、この男性は信仰により、イエスがお望みであれば癒してくださると信じるようになりました。イエスは憐れみの心に動かされて、手を差し伸べてその人に触れ、「喜んで清くなさい」と言われました。すぐに彼のハンセン病は消えました（ルカ 5:12-13）。癒された人に、誰にも言わず、モーセの律法に従って清めのために司祭に身を差し出すように指示したにもかかわらず。この奇跡的な治癒に関するニュースはさまざまな地域に広がりました。

第 3 段落: ルカはまた、ローマ当局との関わりや汚職の評判のせいで多くの人から軽蔑されていた徴税人レビ (マタイとしても知られる) をイエスがどのように呼び出したかについても記録しています。レビは徴税所などすべてを後ろに置き、求められるとイエスに従いました（ルカ 5:27-28）。ルカ 5 章の後半で、レビの家でパリサイ派の律法学者たちが、徴税人を罪人として食べている弟子たちを批判しましたが、健康で医者はいらない、病気で来たのは正しい罪人に悔い改めを呼び掛ける、と述べてご自身を弁護し、失われたものを救い求める彼の使命を示しています（ルカ 5:29-32）。この章は、奇跡を通して自然に対するイエスの権威を実証するだけでなく、社会でのけ者や疎外されていると考えられている人々に対するイエスの同情を示しながら、罪人に関連する純潔の法則に関する社会規範に異議を唱え、背景や地位に関係なくすべての人が利用できる包括的なメッセージの救いの道を開く

ルカ 5:1 人々が神の言葉を聞くよう彼に迫ったとき、彼はゲネサレト湖のほとりに立って、

イエスはゲネサレット湖畔で大勢の群衆に説教します。

1. 従うべき呼びかけ: イエスの招きにどう応えるか

2. 他者への思いやり: 思いやりと愛に満ちた人生を送る

1. マタイ 4:19 – 「そして彼は彼らに言った、『わたしに従ってきなさい、そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます。』」

2. ヨハネ第一 3:17-18 – 「しかし、この世に良いものを持っていながら、自分の兄弟が困っているのを見て、自分の同情心を彼から閉ざしている者が、どうして彼の中に神の愛が宿るでしょうか。私の小さな子供たちよ、言葉でも舌でも愛さないようにしましょう。しかし、行為と真実において。」

ルカ 5:2 すると、二隻の船が湖のほとりに立っているのが見えた。しかし、漁師たちはそこから出て行って、網を洗っていた。

この一節には、湖のほとりで網を洗う漁師の様子が描かれています。

1. 人間漁師たちへのイエスの呼びかけ - ルカ 5:2-11

2. 勤勉の大切さ - ルカ 5:2-3

1. エレミヤ 16:16 - 「見よ、わたしは多くの漁師を遣わす、と主は言われる。そうすれば彼らは彼らを漁るだろう。そしてその後、わたしは多くの狩人を遣わす、そして彼らはすべての山から、すべての丘から彼らを狩るだろう。そして岩の穴から出てきた。」

2. エゼキエル 47:10 - 「そして、漁師たちがエンゲディからエネグレイムまでその上に立つことになる。そこは網を広げる場所となる。彼らの魚は、魚のようにその種類に応じたものとなる。」多くの者を超えた偉大な海の。」

ルカ 5:3 それからイエスは、シモンの船のうちの一隻に乗り込み、陸から少しでも出てくれるように祈った。そして彼は座って、船から人々を教えました。

通路 イエスはシモンの舟に乗り込み、民を教えるための台として使えるように陸地から遠ざけるように頼みました。

1. 従順の力: イエスの要求に従うことがどのように信じられない結果につながるか。

2. 生きた言葉: イエスの教えがどのように世界に命をもたらすか。

1. 使徒 17:25-29 - パウロはアレオパゴスにいます。

2. ヨハネ 3:16 - 世界に対する神の愛。

ルカ 5:4 さて、話が終わると、彼はシモンに言った、「深いところに漕ぎ出して、すきま風を吸うために網を下ろしなさい」。

イエスはシモンに、魚を捕まえるために深い水に網を置くように言いました。

1. イエスの導きに頼る - ルカ 5:4

2. 信仰の飛躍を遂げる - ルカ 5:4

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。

2. 詩篇 23:2 - 神は私を緑の牧草地に寝かせます。彼は私を静かな水辺に導いてくれます。

ルカ 5:5 するとシモンが答えて言った、「先生、私たちは一晩中働いたのに何も得られませんでした。それでもあなたのお言葉で網を下ろします。」

シモンとその乗組員たちは一晩中働いたが何も捕れなかったが、イエスの命令で網を出し、たくさんの魚を捕まえた。

1. 神の言葉には力があります - ルカ 5:5

2. 神への従順は豊かさをもたらす - ルカ 5:5

1. エレミヤ 33:3 - 「私に呼びかけてください。そうすれば、私はあなたに答え、あなたが知らない偉大な隠されたことを話します。」

2. 詩篇 107:23-24 - 「ある者は船に乗って海に出た。彼らは広大な海の商人でした。彼らは主の御業、深淵におけるその驚くべき御業を見た。」

ルカ 5:6 こうして彼らは、おびただしい数の魚を囲い込み、網を壊した。

ガリラヤ湖で舟に乗っていた二人の漁師が網を投げると、網が割れるほどの大魚をたくさん捕まえました。

1. 神の祝福は私たちの期待を超えています。

2. 神の備えは常に十分以上です。

1. エペソ人への手紙 3:20 - 「さて、私たちの内に働く力に応じて、私たちが求めることや考えることをはるかに豊かに行うことができる方に祈ります。」

2. 詩篇 40:5 - 「主よ、私の神よ、あなたのなさったすばらしい御業はたくさんあり、あなたの思いは私たちに向けられています。それらはあなたにとって数え切れないほどです。もし私が宣言して話したいとしても、その数は数え切れないほどです。」

ルカ 5:7 そして彼らは、他の船に乗っていた仲間たちに、来て助けてほしいと手招きした。そして彼らがやって来て、両方の船を満たしたので、船は沈み始めました。

２隻の船が沈没寸前まで魚を満載し、漁師たちはもう１隻の船の仲間に助けを求めた。

1. 神は、必要なときに私たちを助けるためのリソースを私たちに提供してくださいます。

2. 協力することで、私たちは目標に近づくことができます。

1. フィリピ 4:19 - 「私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。」

2. 伝道の書 4:9-12 - 「二人は一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労働の見返りが大きいからです。どちらかが倒れても、一方がもう一方を助けることができます。しかし、倒れても助けてくれる人がいない人は可哀想です。また、二人で寝転ぶと暖かいです。しかし、どうやって一人で体を温めることができるのでしょうか？1 人が圧倒されても、2 人なら自分自身を守ることができます。3本の撚り線からなるコードはすぐに切れることはありません。」

ルカ 5:8 シモン・ペテロはそれを見て、イエスのひざまずいて言った、「わたしから離れてください。」主よ、私は罪深い人間だからです。

シモン・ペテロはイエスの前で自分が無価値であることを認識し、イエスに自分から離れてくださるよう懇願します。

1. 神の前で自分が無価値であることを認識する

2. キリストの許しの力

1. 詩篇 51:3-4 - 私は自分の罪を認めており、私の罪は常に私の前にあるからです。あなたに対して、あなただけが、私は罪を犯し、あなたの目の前でこの悪を行いました。

2. ローマ 5:6-8 - 私たちがまだ力がなかったとき、やがてキリストは不敬虔な人々のために死んでくださいました。というのは、義人にとって人は滅多に死ぬことはないからである。しかし、もしかしたら善良な人間であれば、あえて死をも選ぶ人もいるかもしれない。しかし、神は、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、私たちに対するご自身の愛を示してくださいます。

ルカ 5:9 というのは、彼も、一緒にいた者たちも皆、捕まえた魚の喫水に驚いたからである。

魚の大漁というイエスの奇跡は、漁師たちとイエスと一緒にいた人々を驚かせました。

1. イエスの奇跡的な力と慈悲: 神の予期せぬ祝福を体験する

2. 神の驚くべき備え: 予期せぬ事態に対して主に頼ることを学ぶ

1. 詩篇 34:8 - 主が善良であることを味わってください。彼に避難する人は幸いです。

2. マタイ 19:26 - イエスは彼らを見て、「人間にはそれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」と言われました。

ルカ 5:10 また、シモンのパートナーであったゼベダイの子ヤコブとヨハネも同様でした。するとイエスはシモンに言われた、「恐れるな。これからあなたは人々を捕まえるでしょう。

イエスは弟子の一人であるシモンに、恐れることはなく、今から人々を捕まえるつもりであると言われます。サイモンのパートナーの二人であるジェームズとジョンも出席しています。

1. イエスに従いなさいというイエスの呼びかけ - ルカ 5:10

2. 主に仕え、従う - ルカ 5:10

1. マタイ 4:19 - 「そしてイエスは彼らに言われた、『わたしについてきなさい。そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます。』」

2. ヨハネ 1:43 - 「翌日、イエスはガリラヤに行くことに決めた。彼はフィリポを見つけて、「ついて来なさい」と言った。

ルカ 5:11 そして、彼らは船を陸に引き上げると、すべてを捨てて、イエスに従った。

この箇所は、船を陸揚げした後、イエスに従うという漁師たちの決意を描写しています。

1: たとえそれが自分の計画や財産を捨てることになっても、私たちはイエスが私たちを導いてくださると信頼すべきです。

2: イエスに従うには、私たちが持っているすべてを放棄し、自分の人生をかけてイエスに信頼する必要があります。

1: マタイ 16:24-25 – 「それから、イエスは弟子たちに言われた、「もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」自分の命を救う者はそれを失い、私のために自分の命を失う者はそれを見つけるからです。」

2: マルコ 8:34-35 – 「そして、イエスは弟子たちとともに人々を呼び寄せたとき、彼らに言われた、「だれでもわたしの後に来る者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従ってきなさい。」自分の命を救おうとする者は、それを失うことになるからである。しかし、わたしと福音のために命を落とす者は誰でも、同じように救われるのです。」

ルカ 5:12 そして、ある町にいるとき、見よ、ハンセン病にかかった人がいた。その人はイエスを見るとひれ伏して、こう言った、「主よ、御心ならば、私を清めてくださいますように」。

イエスは憐れみを示して、ハンセン病の人を治しました。

1: イエスの模範から、私たちは周りの人々に同情心と優しさを示すことを学ぶことができます。

2: 信仰と祈りの力を決して過小評価してはなりません。

1: マタイ 8:2-3 - すると、見よ、らい病人が来て、彼を拝んで言った、「主よ、御心ならば、あなたはわたしを清くしてくださることがおできになります。」するとイエスは手を伸ばして彼に触れて、「そうします」と言われた。清くありなさい。

2: ヤコブ 5:15 - 信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

ルカ 5:13 するとイエスは手を差し出して彼に触れて、「わたしはそうします。あなたは清くなります。」と言った。するとすぐに、ハンセン病は彼から去っていきました。

キリストに触れられた力がハンセン病患者を癒しました。

1. イエス・キリストを信じる信仰の力

2. 神聖なタッチの癒しの力

1. マタイ 8:1-3 - イエスはらい病人に触れて癒されました

2. ヤコブ 5:14-15 - 癒しをもたらす祈りの力

ルカ 5:14 そこでイエスは、誰にも言わないようにと命じた。「行って、祭司に姿を現し、モーセの命じたとおり、彼らに証しするために自分の清めの献げ物をしなさい」。

この箇所は、モーセの命令に従い、清めのために祭司に行って身を呈しなさいというイエスの命令に従うことの重要性を強調しています。

1. 従順の力：司祭のところに行って姿を現すというイエスの命令

2. 指示に従うことの重要性: イエスとモーセに従うこと

1. 出エジプト記 29:20,21 - また、あなたは主に近づくレビ人を祭司にし、彼らが主に仕えるように彼らを聖別しなければならない。彼らは火で造られた主の贈り物をささげるからである。そして彼らの神のパン、それゆえに彼らは聖なるであろう。

2. ヘブライ人への手紙 13:20-21 - さて、永遠の契約の血によって、あの偉大な羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた平和の神よ、あなたをご自分のあらゆる善行において完全にしてくださいますように。イエス・キリストを通して、彼の目に喜ばしいことをあなたの内に働かせてくださいます。誰に永遠に栄光がありますように。アーメン。

ルカ 5:15 しかし、彼の名声はますます広まり、多くの群衆が話を聞き、彼の病気を治してもらうために集まってきた。

イエスの名声は広範囲に広がり、多くの人々がイエスの話を聞き、癒されるために集まりました。

1. イエスの力: イエスの言葉と奇跡がどのようにして多くの人々を惹きつけたのか

2. イエスの癒しの奉仕: イエスの奇跡がどのように慰めと希望をもたらしたか

1. マタイ 4:23-24 - イエスはガリラヤ中を巡り、会堂で教え、王国の良いたよりを宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気を治されました。

2. 使徒 3:1-8 - さて、ペテロとヨハネは、祈りの時間である九時に神殿に登っていました。そして、生まれつき足の不自由な男性が運ばれており、彼らは毎日、

美しい門と呼ばれる寺院の門にその男性を横たえ、寺院に入る人々に施しを求めていました。

ルカ 5:16 それから彼は荒野に引きこもって祈りました。

この箇所では、イエスが祈るために荒野に身を引いたことが語られています。

1. イエスの祈りの模範と、私たちの霊的生活に対するその重要性を探ります。

2. 祈りと黙想のために荒野に退くというキリストの模範に倣うよう呼びかけます。

1. マタイ 6:5-6 - 「そして、祈るときは、偽善者たちのようになってはいけません。彼らは、他の人に見られるように会堂や街角に立って祈るのが好きなのです。」真実に言いますが、彼らは報酬を全額受け取りました。しかし祈るときは、自分の部屋に入り、ドアを閉めて、目に見えないあなたの父に祈りなさい。」

2. ヘブライ 4:14-16 - 「ですから、私たちには天に昇られた偉大な大祭司、神の子イエスがいるのですから、私たちが告白する信仰をしっかりと持ち続けましょう。なぜなら、私たちの弱さに同情できない大祭司はいないのですが、私たちと同じようにあらゆる面で誘惑に遭ったにもかかわらず、罪を犯さなかった大祭司がいるからです。そうすれば、私たちが必要なときに憐れみを受け、助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って神の恵みの御座に近づこうではありませんか。」

ルカ 5:17 そして、ある日、彼が教えていると、ガリラヤ、ユダヤ、エルサレムのすべての町から来たパリサイ人や律法学者たちが傍らに座っていたことがわかった。主が彼らを癒すために臨在されました。

ある日、イエスはガリラヤ、ユダヤ、エルサレムから来たパリサイ人や律法学者の群衆の中で教えておられました。主の力が彼らを癒すために存在しました。

1. イエスによる癒しの力

2. 主の癒しに頼りましょう

1. マタイ 9:35 - そして、イエスはすべての町や村を巡り、会堂で教え、王国の福音を宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気をいやされました。

2. 詩篇 103:3 - あなたの咎をすべて赦してくださる方。あなたの病気をすべて治してくださる方です。

ルカ 5:18 すると、見よ、人々が中風で運ばれてきた男をベッドに連れてきて、彼を連れてきてその前に横たわらせる手段を探した。

あるグループの人たちが中風の男をイエスのところに連れてきて、イエスの前に横たわる方法を探しています。

1.「神は癒せる：麻痺した男の奇跡」

2.「信仰の力：中風の人をイエスのもとに導く」

1. イザヤ書 35:3-6 - あなたがたは弱い手を強くし、弱い膝を支えなさい。

2. ヤコブ 5:14-16 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。

ルカ 5:19 そして、群衆のせいでどうやって彼を連れて来ることができなかったので、彼らは家の屋上に行き、長椅子と一緒に彼をタイルの間からイエスの前の真ん中に降ろした。

中風のある男性が大勢の群衆のせいでイエスのところに行くことができなかったとき、友人たちが屋上に上がり、天井から彼をベッドごとイエスの前の群衆の中心に降ろしました。

1. 神は人々をご自分のもとに導くために、並外れた努力をします。

2. たとえ困難な状況にあっても、私たちは神が道を切り開いてくださると信頼できます。

1. ローマ 8:28: そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. イザヤ書 43:19: 見よ、私は新しいことをしているのだ！今、それは湧き出ます。あなたはそれを認識していませんか？荒野や小川に道を作っています。

ルカ 5:20 そして、イエスは彼らの信仰を見て、「おい、あなたの罪は赦された」と言われた。

イエスはその人の信仰を見て、彼の罪は赦されたと言いました。

1. 信仰の力: 私たちの信念がどのように奇跡を引き起こすのか

2. 許し：恵みを受け入れ、与える

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る人は誰でも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

2. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

ルカ 5:21 そこで、律法学者とパリサイ人たちは、「冒涜を言っているのは誰だろう」と論じ始めた。神以外に誰が罪を赦すことができるでしょうか？

イエスは罪を赦す力を実証し、宗教当局に挑戦します。

1: イエスの罪を赦す力は、私たちがどれほど道に迷っていたとしても、神はイエスを通して私たちを赦してくださることを示しています。

2: 当時の宗教権威に対するイエスの挑戦は、私たち全員に謙虚で神の許しに対してオープンであることを思い出させます。

1: イザヤ書 43:25 - 「わたし、つまりわたしこそが、自分のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者です。」

2: エペソ人への手紙 1:7 - 「私たちはこの方にあって、神の豊かな恵みに応じて、その血による贖い、すなわち罪の赦しを得ます。」

ルカ 5:22 しかし、イエスは彼らの考えを察知して、彼らに言われた、「あなたがたは何を心に思っているのか」。

イエスは群衆に、自分たちの判断についてもっと深く考えるよう求めました。

1: 私たちは他人の視点に対してオープンであり、彼らをよりよく理解するよう努めるべきです。

2: 性急に判断しないでください。すべての判断は神から下されるべきだからです。

1: ローマ人への手紙 12:19 - 親愛なる皆さん、自分自身に復讐するのではなく、むしろ怒りに身を任せてください。「復讐は私のものである」と書いてあるからです。わたしが報いる、と主は言われる。

2: ヤコブ 4:11-12 - 兄弟たち、お互いに悪口を言ってはいけません。兄弟の悪口を言い、兄弟を裁く者は、法の悪口を言い、法を裁くのである。しかし、もしあなたが法を裁くなら、あなたは法の実行者ではなく、裁判官である。

ルカ 5:23 「あなたの罪は赦されますように」と言うのはどちらが簡単でしょうか。それとも、立ち上がって歩きなさいと言うのでしょうか？

イエスは、人の罪を赦すのと、体の病気を治すのと、どちらが簡単ですか、と質問しました。

1. 許しの力: イエスはどのように私たちに同情と憐れみを示すよう促したのか

2. イエスの奇跡: 彼の行動は言葉よりも雄弁である

1. マタイ 9:1-8 - イエスは中風の人を赦し、癒してくださる

2. マルコ 2:1-12 - イエスは人の弱さを許し、癒してくださる

ルカ 5:24 しかし、人の子が地上で罪を赦す力を持っていることをあなたがたに知ってもらうために、（彼は中風の病人にこう言いました）私はあなたに言います、起きて、寝椅子を取り上げて、あなたの家に入りなさい。家。

イエスは中風の人を癒し、ベッドを取り上げて家に入るように告げることによって、罪を赦すご自身の力を実証されました。

1. 罪を赦すイエスの力と権威

2. イエスにおける癒しと許し

1. マタイ 9:6 - しかし、人の子が地上で罪を赦す力を持っていることをあなたがたが知るためです。（それで彼は中風の病人に言います。）起きて、床を担ぎ、あなたの家に行きなさい。

2. マルコ 2:10 - しかし、人の子には罪を赦す力が地上にあるということをあなたがたが知るためです（彼は中風患者にこう言いました）。

ルカ 5:25 そこで、イエスはすぐに彼らの前に立ち上がって、寝ていたものを担いで、神を讃美しながら自分の家へ出発した。

この一節は、イエスが麻痺した人を癒し、その人がすぐに立ち上がって神を讃えて家に帰った物語を語っています。

1. 神の癒しの力: イエスの奇跡的な働きは私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 賛美の力: 神の奇跡に対する感謝の気持ちを表現する

1. 使徒 3:1-10 – 足の悪い人の癒し

2. 詩篇 117 – すべての民が主を賛美しましょう

ルカ 5:26 すると、彼らはみな驚いて、神をあがめ、恐れでいっぱいになって、「今日は奇妙なものを見ました」と言った。

弟子たちは、イエスが中風の男を奇跡的に癒されたのを目撃し、驚き、神を讃美しました。このようなものをこれまで見たことがなかったので、彼らは恐怖でいっぱいでした。

1. 神は何でもできるお方です - ローマ人への手紙 4:17 (書かれているとおり、わたしはあなたを多くの国民の父としました) 彼が信じた神の前では、死者を生き返らせ、そうでないものを呼び起こす神さえもまるでそうだったかのように。

2. 神の力を信じなさい - マタイ 17:20 (そしてイエスは彼らに言った、「あなたの不信仰のせいです。はっきりとあなたに言います、もしあなたがからし種一粒ほどの信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって言うでしょう、「取り除いてください」したがって、向こうの場所へ;そしてそれは取り除くでしょう;そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。）

1. マタイ 8:5-13 (イエスがカファルナウムに入られると、百人隊長が彼のところに来て懇願し、こう言った、「主よ、私の僕は中風でひどく苦しんで家にいます。するとイエスは彼に言われました」「私が行って彼を癒します。百人隊長は答えて言いました、主よ、私はあなたが私の屋根の下に来られるほどの資格はありません。しかし、言葉だけを話してください。そうすれば私の僕は癒されます。イエスはそれを聞いて驚いて、「はっきり言っておきますが、私はこれほど大きな信仰を、イスラエルには見つけられませんでした。そして、あなたがたに言います、多くの人が東と西から来て、アブラハムと一緒に座るであろう、そしてイサクとヤコブは天の御国にいます。しかし、御国の子供たちは外の暗闇に放り出されるでしょう。そこで泣き、歯ぎしりが起こるでしょう。そしてイエスは百人隊長に言われました。「あなたの道を行きなさい。そして、あなたが信じたとおりです。」、あなたもそうしてください。そして彼の僕は同じ時間に癒されました。）

2. マルコ 2:3-12 (そして、彼らは、4 人の子供が患った中風の病気の 1 人を連れて彼のところにやって来ました。そして、報道陣のために彼のところに近づくことができなかったので、彼らは彼のいた場所の屋根を外しました。「彼らがそれを壊したとき、彼らは中風の病人が横たわっていたベッドを降ろしました。イエスは彼らの信仰を見て、中風の病人に言いました、「子よ、あなたの罪は赦されます。」しかし、律法学者の中には何人かがいました。そこに座って、彼らの心の中で論じています、「なぜこの人はこのように冒涜を言うのですか？神以外に誰が罪を許すことができますか？そしてイエスは、彼らが自分の中でそのように論じているのを霊で認識するとすぐに、彼らに言った、「なぜあなたがたはこれらのことを理屈で考えるのですか」あなたがたの心の中では、中風の病人に、「あなたの罪は赦されますように」と言うのと、「起きて、床を担いで歩きなさい」と言うのと、どちらが楽なのでしょうか。しかし、人の子には力があることをあなたがたが知るためです。地上で罪を赦すために、（彼は中風の病人に言いました）私はあなたに言います、起きて、あなたのベッドを取り上げ、あなたの家に入りなさい。そしてすぐに立ち上がって、ベッドを取り上げ、皆の前に出て行った。あまりにも彼らは皆驚いて、「このようなやり方は見たことがない」と言って神を讃えた。）

ルカ 5:27 これらのことが終わってから外に出て、レビという名の取税人が税関の受付に座っているのを見て、彼に言った、「わたしに従ってきなさい」。

レビはイエスに従うようイエスに召されました。

1. イエスに従うという呼びかけ：神の招きに応える

2. 弟子としての資質: イエスに従うという人生を変える決意

1. マタイ 4:18-22 - 最初の弟子たちの呼びかけ

2. ヨハネ 4:34-35 - イエスに従い、その働きをするようにというイエスの招き

ルカ 5:28 そこで、イエスはすべてを捨てて立ち上がって、従った。

この箇所は、レビが自分の仕事と財産を捨ててイエスに従った様子を説明しています。

1: イエスは私たちに、執着しているすべてのものを捨てて、神に従い、仕えるよう呼びかけています。

2: イエスの呼びかけは、私たち自身の欲望を捨て、心からイエスに従うよう求める呼びかけです。

1: マタイ 16:24-25 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたい者はそれを失いますが、命を失う者は自分の命を失うからです』私にとって人生はそれを見つけるでしょう。」

2: ヘブライ 11:24-26 「信仰によって、モーセは成長したとき、ファラオの娘の息子として知られることを拒否しました。彼は罪のつかの間の喜びを楽しむよりも、神の民とともに虐待されることを選びました。彼はキリストのための恥辱をエジプトの宝よりも価値のあるものとみなした。なぜなら彼は自分への報いを見据えていたからである。」

ルカ 5:29 そこで、レビは自分の家で盛大な宴会を開いた。取税人や他の人たちも大勢集まって、一緒に席に着いた。

レビは盛大な宴会を主催してイエスをもてなしました。

1: 私たちはレビのもてなしの模範に従い、イエスを家に招くべきです。

2: レビがイエスにしたように、私たちは他の人にもてなしを示すべきです。

1: ローマ人への手紙 12:13 - 「聖徒たちの必要に貢献し、もてなしの心を示すように努めなさい。」

2: ペテロ第一 4:9 「不平不満を言わずに互いにもてなしなさい」。

ルカ 5:30 ところが、律法学者やパリサイ人たちは、弟子たちに向かってつぶやいて、「なぜあなたたちは取税人や罪人たちと飲食をするのか」と言いました。

イエスの弟子たちは取税人や罪人たちと飲食したとして律法学者やパリサイ人から批判されました。

1. 同情の力: イエスは罪人にどのように愛を示したか

2. イエスの過激な愛: 社会が拒絶する人々に手を差し伸べる

1. マタイ 9:10-13 - イエスは義人ではなく罪人を悔い改めに招くことについて語ります。

2. ヨハネ 8:1-11 - イエスは姦淫の現場で捕まった女性に憐れみを示す

ルカ 5:31 するとイエスは答えて言われた、「健康な人には医者は必要ない。しかし、彼らは病気です。

イエスは、霊的に病んでいる人には医師が必要だが、霊的に健康な人には医師が必要ないと教えました。

1. 「魂の医者：私たちの心の癒し手としてのイエス」

2. 「肉体的な全体と精神的な全体の違い」

1. マタイ 9:12-13 「しかし、イエスはそれを聞いて言われた、「健康な人には医者はいらない、むしろ病人には必要だ。行って、これが何を意味するかを学びなさい。『私は憐れみを望んでいます』」、そして犠牲ではありません。わたしが来たのは義人を招くためではなく、罪人を招くためである。」

2. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、彼は私たちの咎のために打ち砕かれた。彼の上に懲らしめがあり、私たちに平和をもたらし、彼の傷によって私たちは癒された。」

ルカ 5:32 わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。

イエスは罪人を悔い改めさせるために来られました。

1: イエスはすべてを救うために来られた

2: 悔い改めの力

1: ローマ人への手紙 10:13 - 主の御名を呼び求める者は皆救われるからです。

2: 使徒 2:38 - あなたがたは皆、罪を赦すために、イエス・キリストの名によって、悔い改めてバプテスマを受けなさい。

ルカ 5:33 そこで彼らはイエスに言った、「なぜヨハネの弟子たちはよく断食し、祈りをしているのですか。パリサイ人の弟子たちも同じようにしているのですか。」しかし、あなたは食べたり飲んだりしますか？

人々はイエスに、なぜ弟子たちはヨハネやパリサイ人の弟子のように断食と祈りを実践しないのかと尋ねました。

1. イエスと弟子たち: 信仰に生きる例

2. 信者の生活における断食と祈りの力

1. マタイ 6:16-18、「断食するときは、偽善者のように暗い顔をしてはいけません。彼らは断食していることを他の人に見せるために顔を傷つけるからです。真実に言いますが、彼らは報酬を全額受け取りました。しかし、断食するときは、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。そうすれば、あなたが断食していることが他の人には明らかにならず、目に見えないあなたの父だけが知ることができます。そうすれば、秘密裏に行われたことを見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださるでしょう。」

2. テサロニケ第一 5:17、「絶えず祈りなさい。」

ルカ 5:34 そこでイエスは彼らに言った、「花婿が一緒にいる間、花婿の部屋の子供たちに断食をさせることができますか」。

イエスは弟子たちに、花婿がいるときに断食するのは不適切であることを思い出させました。

1. 花婿の喜び: あなたの人生における神の臨在を祝いましょう。

2. キリストにあって豊かさと感謝の人生を送ります。

1. イザヤ書 61:10 - 私は主にあって大いに喜び、私の魂は私の神にあって喜びます。神は私に救いの衣を着せ、義の衣を私に着せてくださったからです。

2. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

ルカ 5:35 しかし、花婿が彼らから取り去られる日が来ます。そのとき、彼らは断食することになります。

イエスは弟子たちに、ご自分が取り去られる時が来たら、その日は断食するようにと教えられます。

1. 断食の力 - 断食がいかに私たちを神に近づけるか。

2. 花婿の約束 - イエスの再臨の約束がどのように信者に希望と喜びをもたらすか。

1. イザヤ書 58:6-7 - これは私が選んだ断食ではないでしょうか？悪の束縛を解き、重荷を解き、抑圧されている人々を解放し、すべてのくびきを打ち破るためですか？

7 飢えている人たちにパンを配り、追い出された貧しい人たちを自分の家に連れてくることではないのか。裸を見たら、あなたは彼を覆いなさい。そして、あなたは自分自身の肉体から身を隠さないでしょうか？

2. マタイ 6:16-18 - また、断食するときは、偽善者のように悲しい顔をしてはいけません。彼らは断食しているように人々に見せるために顔を傷つけているからです。はっきり言っておきますが、彼らには報いがあります。

17 しかし、あなたは、急いで頭に油を注ぎ、顔を洗いなさい。

18 あなたは、人々に断食するのではなく、隠れておられるあなたの父に現れなさい。そして、隠れておられるあなたの父は、公然とあなたに報いてくださるでしょう。

ルカ 5:36 また、イエスは彼らにたとえ話も語られた。古い衣服に新しい衣服を着せる人はいません。そうでない場合、新しいものは両方とも家賃を発生し、新しいものから取り出された部分は古いものと一致しません。

古いものに新しいものをパッチしようとするのは成功しないので、誰もすべきではありません。

1. 新しい生き方: 古いものと新しいものを融合させようとしてもうまくいかない理由

2. 新たな始まり: 変化を受け入れ、神の計画を受け入れる

1. エペソ 4:22-24 - あなたは、以前の生き方に関して、欺瞞的な欲望によって堕落しつつある古い自分を脱ぎ捨てなさいと教えられました。心の態度が新しくされること。そして、真の義と聖さにおいて神に似た者となるように創造された、新しい自分を着るのです。

2. ガラテヤ 6:15 - 割礼の有無には何の意味もありません。重要なのは新しい創造です。

ルカ 5:37 また、古い瓶に新しいぶどう酒を入れる人はいません。そうしないと、新しいワインが瓶を破ってこぼれ、瓶が腐ってしまいます。

新しいワインを古いボトルに入れると、ボトルが破裂してワインがこぼれる恐れがありますので、絶対に行わないでください。

1 - 新しいものを古いパラダイムに当てはめようとしないでください。物事を行うための新しい方法を探します。

2 - リスクを恐れず、新しいことに挑戦してください。

1 - イザヤ 43:19 - 見よ、わたしは新しいことをする。今、それは湧き出てくるでしょう。あなたがたはそれを知らないだろうか？荒野にも道を作り、砂漠にも川を作ります。

2 - ヘブライ 13:8 - イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に同じです。

ルカ 5:38 ただし、新しいぶどう酒は新しい瓶に入れなければなりません。そして両方とも保存されています。

この一節は、新しいものを保存するためには注意して扱う必要があることを教えています。

1. 新しさの価値: 新しいものを大切にすることを学ぶ

2. 新たな始まり: 新たな機会を受け入れる

1. 伝道の書 3:1-8 - 天の下では、すべての事柄には季節があり、時があります。

2. 詩篇 118:24 - これは主が定められた日です。それを喜び、喜びましょう。

ルカ 5:39 古いワインを飲んだ後、すぐに新しいワインを望む人はいません。彼は、「古いワインのほうが良い」と言うからです。

イエスは、すでに良いものを持っている場合、通常は新しいものを望まないと教えています。

1. 「古いものと新しいもの：私たちが持っているものを正しく理解することを学ぶ」

2.「身近なものを大切にする：知っていることで満足する」

1. 伝道の書 1:9 「これまであったものは、これからもあるものです。そして行われたことはこれからも行われることである、そして太陽の下に新しいことはない。」

2. ヘブライ 13:8 「イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に変わらない。」

ルカ 6 章には、安息日のイエスの行動、12 使徒の選出、平地での説教など、イエスの宣教における重要な教えと出来事が詳しく記されています。

第 1 段落: この章は 2 つの安息日論争から始まります。ある出来事では、イエスと弟子たちが安息日に穀物畑を歩いていました。弟子たちは穀物の穂をいくつか摘んで食べましたが、パリサイ人は安息日にそれは違法であると批判しました。イエスは、ダビデが空腹だったときの旧約聖書の出来事を引き合いに出し、彼らを擁護しました（ルカ 6:1-5）。安息日のシナゴーグでの別の出来事では、イエスが安息日の律法の解釈を破るかどうか監視していた宗教指導者たちの反対にもかかわらず、イエスは手のしわが寄った男性を癒しました（ルカ6:6-11）。

第 2 段落: これらの出来事の後、イエスは全弟子の中から 12 人を使徒として選ぶ前に、一晩中祈りました (ルカ 6:12-16)。これらの人々は、シモン・

ペテロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネ、フィリポ、バーソロミュー/ナタナエル、マシュー/レビ（徴税人）、トマス/疑うトマス（「双子」）、アルファイウスの息子ヤコブ/小さいか若いか未成年か小さな者でした。ジェームズまたはジェームス ザ レッサー ジェームス/未成年者ジェイコブス/未成年者ヤコブス/イアコブス マイナー/ヤコブス レス/ヤコブス リトル/イアコボス ミクロス/イアコボス ミクロテロス/イアコボス ホ ミクロス/ヤコブス ミニムス/ヤコフ ハカタン/ヤコフ カタン/ジェイムズの息子メアリー/メアリーの息子ジェームズ/メアリーの息子ヤコブス/息子メアリー・ヤコフ/息子メアリー・ヤーコフ/息子メアリー・イアコボス/息子メアリー・ヤコブ/マリアムの息子ジェイコブ/マリアムの息子ヤコフ/マリアムの息子イアコヴォス/マリアムの息子イアコボス/イエシュア・バル・ミリアム/イェシュア バル ミリアム/イエス バー ミリアム/イェホシュア バル ミリアム/ブラザー イェシュア/ブラザー イェホシュア/ブラザー イェシュア/ブラザー ジーザス /兄弟主/主兄弟/主兄弟/兄弟主/聖なる兄弟/聖なる兄弟/聖なる同胞 神/神 聖なる兄弟/神 聖なる兄弟/聖なる兄弟 神/神 聖なる兄弟/神 兄弟 ホーリネス/兄弟ホーリネス 神/神 兄弟 ホーリネス/兄弟 神 ホーリネス/ホーリネス 神の兄弟/ホーリネス 神の兄弟/ツァディク/ツァディク/ザディク/ザディク/使徒ザディキム/使徒ザディクム/使徒ツァドカイト/使徒ツェドゥキム/使徒サドゥカイオス/使徒サドゥカイア/使徒ツァドカイトの熱心党/ツァドカイトの熱心党/ツァドカイトの熱心党/ツァドカイトの熱心党/ツァドカイトの熱心党/ゼロテス/ゼロテス・サドゥカイオス/ゼロテス・サドゥカイオス/ゼロテス サドゥカイオス/サドゥカイオス ゼロテス/サドゥカイオス・ゼロテス/サドゥカウス・ゼロテス/ゼロテス・サドゥカウス/ツァドキ人の熱狂者/ツァドク人の熱狂者/ツァドク人の熱狂者/ツァドク人の熱狂者 /ツァドキムの熱狂者/ツァドキムの熱狂者/サドカイスの熱狂者/サドカイスの熱狂者、カナーン人シモン(シモン)狂信者と呼ばれる）、イスカリオテではなくヤコブ/ユダの息子サデウス/ユダ、そして後に彼を裏切るイスカリオテのユダ。それから彼は山から下り、ユダヤ、エルサレム、ツロ、シドンから来た大勢の群衆に囲まれました。彼らは神の教えを聞き、病気を癒すためにやって来ました。イエスはまた悪霊を追い出しました(ルカ6:17-19)。

第 3 段落: この群衆で満たされた環境で、イエスはルカの平原の説教として知られるマタイの山上の説教に似た説教をされました。この説教には、貧しい人、飢えた人、泣く人、嫌われる人、排除される人、息子のせいで排除される人、侮辱される人への祝福が含まれていました。人は大きな報酬を与えます、天国の苦しみ、豊かな笑い、よく話すすべての人々の言葉、預言の伝統を反映するもの、旧約聖書が社会規範の価値観に挑戦するものです（ルカ 6:20-26）。イエスは続けて、見返りを期待せずに善を行う敵を愛すること、憐れみ深い父のように慈悲深く、他人を裁いたり非難したりせず、間違った者を赦し、惜しみなく与えることについての教えを続けられました（ルカ6:27-38）。最後に、盲目の生徒を指導する盲人が先生のようになる、良い木が良い実を生む、悪い木が悪い実が重要である、賢い人が嵐に耐えられる堅固な家を建てるように、神の言葉を実践するというたとえで締めくくった。愚かな人が嵐に耐えられない基礎のない家を建てたのとは違う。（ルカ 6:39-49）。これらの教えは、根本的な愛、慈悲、許し、中心的な教義、キリスト教の倫理、弟子であることを強調しました。

ルカ 6:1 そして、最初の安息日の後の二番目の安息日、彼はトウモロコシ畑を通った。そして弟子たちはトウモロコシの穂を摘み、手でこすりながら食べた。

第二安息日、イエスと弟子たちはトウモロコシの穂を摘んで食べました。

1. イエスは、神の律法が憐れみと同情に関するものであることを私たちに示しました。

2. 私たちは神の律法に調和して生活すべきです。

1. マタイ 12:1-2 「そのとき、イエスは安息日に穀物畑を通られた。弟子たちはお腹が空いていたので、穂を摘んで食べ始めた。しかし、パリサイ人たちはそれを見てイエスに言った」, 「見なさい、あなたの弟子たちは安息日に禁じられていることをしているのです。」

2. マタイ 12:7-8 「そして、『私は犠牲ではなく憐れみを望んでいます』という言葉の意味を知っていたなら、無罪の人を罪に定めなかったでしょう。人の子は安息日の主だからです。」

ルカ 6:2 すると、パリサイ人たちのある人たちが彼らに言った、「なぜあなたたちは、律法で禁じられていることを安息日にするのか」。

パリサイ人たちは、なぜ弟子たちが安息日に違法なことをしているのかと尋ねました。

1: 法律への従順が神への従順よりも重要になってはなりません。

2: 私たちは主の日を当然のことと考え、それを自分の利益のために利用しないように注意する必要があります。

1: コロサイ 2:16-17 - したがって、あなたが何を食べたり飲んだりするか、あるいは宗教的な祭り、新月のお祝いや安息日に関して、誰にもあなたを判断させてはなりません。これらは、これから起こることの影です。しかし、現実はキリストの中に見出されます。

2: ヘブライ 4:9-11 - したがって、神の民には安息日が残っています。なぜなら、神の安息に入る人は誰でも、神が自分の仕事から休んだのと同じように、自分の仕事からも休むからです。ですから、不従順の模範に従って滅びる人がいないように、その安息に入るためにあらゆる努力をしましょう。

ルカ 6:3 イエスは彼らに答えて言われた、「あなたがたは、ダビデが飢えたとき、またダビデと一緒にいた人々が何をしたか、これほど読んだことがないのか」。

イエスは、空腹のときに勇気と無私の心を示したダビデの例に倣うべきだと教えました。

1: わたしたちは、困難に直面したときに勇気と無私心を示すダビデの模範に倣うよう努めるべきです。

2: ダビデのように、私たちは逆境に直面しても勇気を出して無私になるべきです。

1: 1 コリント 11:1 - 「わたしがキリストに倣う者であるように、あなたもわたしに倣う者となりなさい。」

2: 1 ペテロ 2:21 - 「あなたがたはこのために召されたのです。キリストもあなたのために苦しみ、あなたがその足跡に従うように模範を残されたからです。」

ルカ 6:4 イエスは神の家に入り、実際に聖パンを取って食べ、一緒にいた人たちにも与えた。祭司だけが食べることは合法ではないのですか？

イエスは神の家に入り、祭司だけが食べることができる供えのパンを取り、一緒にいた人たちに分け与えました。

1. 共有と寛大さの重要性。

2. イエスは伝統的な規則や法律を無視した。

1. 使徒 2:42-47 - 初代教会の財産と所有物の共有。

2. マタイ 22:36-40 - 最大の戒めに関するイエスの教え。

ルカ 6:5 そこでイエスは彼らに言った、「人の子は安息日の主でもある」。

イエスはご自分が安息日の主であることを教え、安息日における癒しの模範を示します。

1. 安息日の癒しの力

2. 安息日の主としてのイエスを理解する

1. イザヤ書 58:13-14 - 「もしあなたが安息日から足をそらし、私の聖日に自分の楽しみを行うことから離れ、安息日を喜び、主の聖日を尊いものと呼ぶなら、自分の道を行かず、自分の楽しみを求めず、無駄なことを言わず、それを守るなら、あなたは主を喜びとし、私はあなたを地の高みに乗せてあげる。」

2. マルコ 2:27 - 「そしてイエスは彼らに言われた。『安息日は人間のために設けられたのであって、人間が安息日のために設けられたのではない。』」

ルカ 6:6 また別の安息日にも、彼は会堂に入って教えていたが、そこに右手のなえた人がいた。

安息日、イエスは会堂に入って教えておられたが、そこで右手が枯れた男性に出会った。

1. イエスの癒しのタッチ - イエスは思いやりと愛を通して人生をどのように変えたのか

2. 逆境を克服する - 困難な時期を乗り越えてどのようにイエスに近づくことができるか

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. マタイ 19:26 - 「しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人間にはそれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」

ルカ 6:7 そこで、律法学者とパリサイ人たちは、彼が安息日に病気を治してくれるだろうかと注目していた。彼らが彼に対する告発を見つけられるように。

イエスは律法学者とパリサイ人によって悪行の兆候がないか監視されています。

1: イエスの行動は常に善であり真実なので、私たちはイエスに倣うよう努めるべきです。

2: 私たちは批判や疑惑によって正しいことをすることを決して思いとどまってはなりません。

1: フィリピ 2:5-8 - 「キリスト・イエスにもあったこの思いを、あなたがたも心に持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながら、神と同等であることは強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たなかったのです。「そして、召し使いの姿をとり、人間に似せて造られた。そして、人間のように格好よく見られたので、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。」

2: マタイ 7:12 「ですから、あなたがたは、人にしてほしいと願うことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者なのです。」

ルカ 6:8 しかし、イエスは彼らの考えを知って、手のなえた人に言った、「起き上がって、真ん中に立ちなさい」。そして彼は立ち上がって立ち上がった。

イエスはパリサイ人の考えを知っていて、手のなえた男を真ん中に立たせるように呼びました。

1. イエスの同情: イエスは、手のなえた男性の必要を認識し、それに応えることによって、その男性に対する同情を示しました。

2. 信仰の力: イエスへの信仰は、最も絶望的な状況であっても、私たちに力と癒しをもたらします。

1. マタイ 8:3 - するとイエスは手を伸ばして彼に触れて、こう言われた。清くありなさい。するとすぐに彼のハンセン病は治りました。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

ルカ 6:9 そこで、イエスは彼らに言われた、「一つだけ聞きます。安息日に善を行うことは合法ですか、それとも悪を行うことは合法ですか?命を救うか、それとも破壊するか？

イエスは、安息日に善悪を行うことの合法性に疑問を呈しました。

1. 安息日には神聖さと敬意の念を持ち続けることの重要性。

2. 現状に挑戦し、私たちの物事の見方を再定義するキリストの力。

1. イザヤ書 58:13-14 - もしあなたが安息日から足をそらし、私の聖なる日に自分の楽しみを行うことから離れるなら。そして安息日を喜び、主の聖なる日、尊い日と呼びなさい。そして、自分のやり方をしたり、自分の楽しみを見つけたり、自分の言葉を語ったりせず、主を敬うべきです。

2. ローマ 14:5-6 - ある人は、ある日を他の人よりも大切にしますが、別の人は毎日同じように大切にします。すべての人は自分自身の心の中で完全に説得されましょう。その日を重視する者は、それを主に考慮する。そして、その日を重視しない者は、主にとってはその日を重視しないのである。食べる者は主のために食べる、なぜなら彼は神に感謝するからである。食べない者は主に食べず、神に感謝する。

ルカ 6:10 そして、イエスは彼ら全員を見回して、その人に言った、「手を伸ばしてください。」そして彼はそうしました。そして彼の手はもう一方と同じように完全に復元されました。

この箇所には、イエスが手のなえた人を癒す様子が描かれています。

1. イエスはいつでも助けを求める私たちの祈りに答えてくださいます。

2. 不可能を可能にする信仰の力。

1. マルコ 11:22-24 - 信仰と祈りに関するイエスの教え。

2. ヤコブ 5:16 - 困っている人を助ける祈りの力。

ルカ 6:11 そして彼らは狂気に満ちていた。そして、イエスに対して何をするかを互いに語り合いました。

人々は怒りに満ちて、イエスに対して何ができるかを話し合いました。

1. 人間の怒りに対する神の愛 - ローマ人への手紙 8:38-39

2. 神の愛において団結する - エペソ 4:1-3

1. ローマ人への手紙 8:38-39 なぜなら、私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、現在のものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のいかなる被造物も、決して存在しないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるのです。

2. エペソ人への手紙 4:1-3 したがって、主の囚人である私は、あなたがたが召された召命にふさわしく歩むように、とお願いします。平和の絆の中で御霊の一致を保つよう努めます。

ルカ 6:12 そのころ、彼は祈るために山へ行き、一晩中神に祈り続けた。

イエスは祈りのために山に行き、神と話すために一晩中そこに留まりました。

1. 祈りの力: 神との関係を深める方法についてのイエスの模範。

2. 時間を奪う：神と二人きりの時間で平和を見つける方法について、イエスの例から学びます。

1. マタイ 6:6 - 「しかし、祈るときは、自分の部屋に入って戸を閉め、隠れておられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れておられるあなたの父があなたに報いてくださるでしょう。」

2. 詩篇 55:17 - 「夕と朝と正午、私は不平とうめき声を上げます、そして彼は私の声を聞きます。」

ルカ 6:13 そして、日が暮れると、イエスは弟子たちを呼び寄せた。そしてその中から十二人を選び、彼らを使徒と名付けた。

イエスは弟子たちを呼び、その中から12人を使徒として選びました。

1. 選択する力：イエスの権威の中で生きる

2. 弟子としての召し: 神の奉仕への呼びかけに応える

1. マタイ 10:1-4、イエスは 12 人の弟子を呼び、不純な霊を追い出し、あらゆる病気を癒す権威を彼らに与えました。

2. 使徒 26:16-18、パウロの使命は、イエス・キリストの真理を宣べ伝え、人々を神の御心に従うように導くことです。

ルカ 6:14 シモン（ペテロとも名づけた）とその兄弟アンデレ、ヤコブとヨハネ、フィリポとバルトロマイ、

イエスは12人を弟子として選びました。

1. 選択の力: 弟子たちを選ぶ神の決断

2. リーダーシップにおける忠実さ: 12 人の弟子の使命

1. マタイ 10:1-4 - イエスは 12 人の弟子たちを呼び寄せ、彼らに汚れた霊を追い出す権威を与えました。

2. ヨハネ 15:16 - あなたが私を選んだのではありませんが、私があなたを選んで任命したのは、あなたが行って実を結ぶため、つまり長く続く実を結ぶためです。

ルカ 6:15 マタイとトマス、アルパヨの子ヤコブ、およびゼロテスと呼ばれるシモン、

この箇所では、イエスの12使徒のうちの4人、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、そしてゼロテスと呼ばれるシモンについて言及しています。

1. イエスは並外れた事を行うために普通の人々を選んだ

2. 神は、私たちの背景に関係なく、神に仕えるよう私たちを招いておられます。

1. ヨハネ 15:16 - あなたが私を選んだのではありませんが、私があなたを選んで任命したのは、あなたが行って実を結び、その実がとどまるようにするためです。あなた。

2. エペソ人への手紙 4:11-13 - そして、イエスは使徒、預言者、伝道者、牧師、教師たちに、聖徒たちに宣教の働き、キリストの体を築き上げるための備えを与えました。信仰と神の御子についての知識の一致、成人としての成熟、キリストの満ち足りた身長の尺度への一致。

ルカ 6:16 それから、ヤコブの兄弟ユダと、やはり裏切り者のイスカリオテのユダ。

イエスは、後に裏切ることになるイスカリオテのユダを含む12人の弟子を選びました。

1. 私たちは、過去の失敗によって人を判断しないように注意しなければなりません。

2. イエスは、イスカリオテのユダを 12 弟子の一人に選ぶことで、無条件の愛と恵みを示しました。

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

ルカ 6:17 それから、イエスは彼らとともに下って、弟子たちと、ユダヤ全土とエルサレム、およびティルスとシドンの海岸から来た大群衆とともに、平地に立たれた。彼の言うことを聞いてください、そうすれば彼らの病気は癒されます。

ユダヤ、エルサレム、ツロ、シドンから大勢の人々がイエスの話を聞き、病気を治してもらうためにやって来ました。

1. イエスは私たちの癒し手です

2. イエスへの信仰は癒しをもたらす

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために打ち砕かれた。彼の上に懲らしめがあり、私たちに平和をもたらし、彼

の傷によって私たちは癒された。」

2. 詩篇 103:3 - 「神はあなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病気を癒してくださいます。」

ルカ 6:18 汚れた霊に悩まされていた人々も、いやされた。

イエスは悪霊に苦しめられている人々を癒しました。

1.「イエスの奇跡的な癒しの力」

2.「信仰の力：試練と艱難を乗り越える」

1. マルコ 16:17-18 - そして、これらのしるしは信じる者たちに続きます。彼らはわたしの名において悪霊を追い出します。彼らは新しい言語で話すでしょう。

2. ヤコブ 5:13-16 - あなたたちの中に苦しんでいる人はいますか。彼に祈ってもらいましょう。陽気な人はいますか？彼に詩篇を歌わせてください。あなたの中に病気の人はいますか？彼に教会の長老たちを呼び、彼らに彼のために祈り、主の名において油を注いでもらいましょう。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださいます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、赦されるでしょう。

ルカ 6:19 すると、群衆全員が彼に触れようとした。彼から徳が出て、彼ら全員を癒したからである。

大勢の群衆がイエスの周りに集まり、イエスに触れようとした。イエスの存在だけで彼らを癒す力があったからである。

1. 神の臨在の力 - イエスの臨在が、助けを必要とする人々にどのように癒しをもたらしたか。

2. 思いやりの美徳 - イエスの思いやりと理解がどのようにすべての人に癒しをもたらしたか。

1. マタイ 8:17 - 「これは預言者イザヤが語った次の言葉を成就するためでした。「神は私たちの弱さを負い、私たちの病気を負われた。」

2. 使徒 10:38 - 「神はナザレのイエスに聖霊と力をどのように注がれたか、そしてどのようにしてイエスが善いことを行い、悪魔の力の下にあるすべての人々を癒して回ったか。神がイエスとともにおられたからである。」

ルカ 6:20 そしてイエスは弟子たちに目を上げて言われた、「貧しいあなたがたは幸いであるように。神の国はあなたのものだからです。」

貧しい人たちは幸いです。神の国は彼らのものだからです。

1: 謙虚で神に頼る者を神は祝福してくださいます。

2: 神の国は神を信じ信頼する者たちのためにあります。

1: マタイ 5:3 「心の貧しい人たちは幸いです。天の国は彼らのものです。」

2: ヤコブ 2:5 「聞いてください、親愛なる兄弟姉妹たち。神は、信仰が豊かになり、ご自分を愛する者たちに約束された王国を受け継ぐために、世の目に貧しい人々を選ばれたのではありませんか。」

ルカ 6:21 今飢えているあなたがたは幸いです。あなたがたは必ず満たされるからです。今泣いているあなたがたは幸いです。あなたがたは笑うからです。

イエスは、今苦しんでいる人は将来祝福され、報われると教えています。

1.「喜びの約束 苦しみの中に希望を見つける」

2.「涙の恵み 苦難の報い」

1. ローマ人への手紙 8 章 18 節、「私は、今の苦しみは、私たちの内に現される栄光に比べれば値しないと考えています。」

2. ヤコブ 1:12、「試練を耐え忍ぶ人は幸いです。その人は試練に耐えた後、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。」

ルカ 6:22 人々があなたがたを憎み、人の子のためにあなたを仲間から引き離し、非難し、あなたの名を悪者として追い出すとき、あなたがたは幸いである。

イエスは、ご自分への信仰のゆえに拒絶され、嫌われ、追い出された人々を祝福されます。

1.「拒絶の祝福」

2. 「憎しみに直面しても毅然とした態度で臨む」

1. ヨハネ 15:18-20 - 「もし世があなたを憎んでいるなら、まず世がわたしを憎んだことを心に留めておいてください。もしあなたが世に属しているなら、世はあなたを自分のものとして愛するでしょう。現状では、あなたは世に属していません。」「しかし、私はあなたを世界から選びました。それが、世界があなたを憎む理由です。」

2. ペテロ第一 4:12-14 - 「親愛なる友よ、あなたを試すためにあなたに降りかかる激しい試練に驚かないでください。まるで何か奇妙なことがあなたに起こったかのように。しかし、あなたが苦しみに加わっている限り、喜びなさい。」」

ルカ 6:23 その日、あなたがたは喜び、喜びに飛び跳ねなさい。見よ、あなたがたの報いは天において大きいからである。なぜなら、彼らの先祖も預言者たちに対して同じようにしたからである。

この聖句は、私たちの先祖が預言者にしたように、天での報いを喜び喜ぶよう勧めています。

1. 喜びに満ちた心：天からの報酬を喜ぶ

2. 私たちの受け継ぎ：神の祝福を喜ぶ

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2. 詩篇 126:2-3 - 私たちの口は笑いで満たされ、舌は喜びの歌で満たされました。そのとき諸国の人々の間で、「主は彼らのために大いなる事をなされた」と言われました。

ルカ 6:24 しかし、裕福なあなたがたは災いです。あなたがたは慰めを受けたからである。

イエスは、裕福な人はすでに慰めを受けているので、誇るべきではないと警告しています。

1. 富の危険性: プライドと貪欲を避ける方法

2. 富の誘惑に抵抗する: 満足の祝福

1. 箴言 30:8–9 - 「虚栄心と偽りを私から遠ざけてください。私に貧しさも富も与えません。私にとって都合の良い食べ物を与えてください。」

2. 伝道の書 5:10 - 「銀を愛する者は銀に満足しないであろう。豊かさを増し増しに愛する者も同様である。これもまた虚栄である。」

ルカ 6:25 満腹しているあなたたちは災いです。あなたがたは飢えることになるからである。今笑うあなたは不幸だ！あなたがたは悲しみ、泣くことになるからです。

自己満足している人たちは不幸です、彼らは必要と悲しみを経験するでしょう。

1: 自己満足な人への警告 – ルカ 6:25

2: 本当に価値のあるものを喜びなさい – ルカ 6:25

1: 箴言 23:4-5 – 自分の力を女性に費やしてはならず、王を破滅させる者たちに精力を費やしてはならない。レムエルよ、王がワインを飲むのはそうではなく、支配者がビールを渇望するのはそうではありません。

2: コロサイ 3:2 – 地上のものではなく、上にあるものに心を留めなさい。

ルカ 6:26 すべての人があなたのことを良く言うとき、あなたは不幸です。彼らの先祖たちも偽預言者たちと同じだったからである。

イエスは、偽預言者が過去に受け入れられたのと同じように、人々に好かれることについて警告しています。

1. 人の承認に気をつけなさい: イエスの言葉からの教訓。

2. 賛美の危険性: 承認を求めることについてイエスが教えてくれたこと。

1. エレミヤ 5:31 - 「預言者は偽りの預言をし、祭司は自分たちの手段で統治を行います。そして私の民はそうすることを望んでいます。」

2. マタイ 23:27-28 - 「偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたたちは災いです。なぜなら、あなたがたは白い墓のようなものであり、それは確かに外面的には美しく見えますが、内側は死者の骨とあらゆる不浄で満ちているからです。それにもかかわらず、あなたがたもまた、人々に対して外面的には義人のように見えますが、内心は偽善と不法に満ちています。」

ルカ 6:27 しかし、聞いているあなたがたに言います、「敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行いなさい。

この聖句は、敵を愛し、私たちを憎む人々に善を行うよう私たちに勧めています。

1. 敵への愛: 救いへの道

2. 私たちを憎む人々に善を行う: 信仰への呼びかけ

1. ローマ人への手紙 12:17-21 - 「誰にも悪に悪を返してはなりません。誰の目にも正しいことを行うよう注意してください。できることなら、それはあなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。親愛なる皆さん、復讐をしないでください。しかし、神の怒りが来る余地を残しておきなさい。こう書かれているからです。わたしが報います」と主は言われます。それどころか、「敵が飢えているなら、彼に食事を与えなさい。敵が飢えているなら、彼に食べさせなさい。」喉が渇いたら、何か飲み物をあげてください。そうすることで、彼の頭に燃える石炭を積むことになります。」悪に負けるのではなく、善をもって悪を克服してください。

2. マタイ 5:43-45 - 「『隣人を愛し、敵を憎みなさい』と言われていたのをあなたは聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、あなたが天の父の子供になるように、あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。神は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、義人にも不正人にも雨を降らせます。

ルカ 6:28 あなたを呪う者たちを祝福し、あなたを不当に利用する者たちのために祈りなさい。

私たちを厳しく扱う人々を祝福し、私たちに意地悪をした人々のために祈るべきです。

1.「祝福の力：不親切にどう対処するか」

2.「祈りの力：不親切にどう対処するか」

1. ヤコブ 3:9-10 - 「私たちは舌で私たちの主であり父である主を賛美し、舌で神に似せて造られた人間を呪います。同じ口から賛美と呪いが生まれます。兄弟姉妹です。」、そんなはずはありません。」

2. ローマ人への手紙 12:14 - 「あなたたちを迫害する者たちを祝福しなさい。祝福して、呪わないでください。」

ルカ 6:29 そして、あなたの片方の頬を打つ者には、もう片方の頬も差し出しなさい。そして、あなたの外套を脱ぐ者は、あなたの外套も奪うことを禁じる。

イエスは、もう片方の頬を向け、私たちの所有物を奪う者を禁じてはならないと教えています。

1. 許しの力: 相手の頬を向けることを学ぶ

2. 寛大さの強さ: 何も持っていないときでも与える方法

1. マタイ 5:38-42 – 「『目には目を、歯には歯を』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、悪を行う者に抵抗してはなりません。ただし、誰かがあなたの右頬を平手打ちした場合は、もう片方の頬もその人のほうを向いてください。」

2. ローマ 12:17-21 – 「だれにも悪に悪を返さず、すべての人の目に名誉あることをすることを考えてください。可能であれば、それがあなた次第である限り、すべての人たちと平和に暮らしてください。愛する人よ、決して自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せてください。「復讐はわたしのすること、わたしが報復する、と主は言われる。」と書いてあるからです。それどころか、『敵がお腹を空かせているなら、食べさせなさい。喉が渇いたら、何か飲み物を与えてくださいそうすることによって、あなたは彼の頭に燃え盛る石炭を積むことになるからです。』悪に負けず、善をもって悪を克服してください。」

ルカ 6:30 あなたに求める者はみな与えなさい。そして、あなたの財産を奪う者については、二度と彼らに尋ねないでください。

この聖句は、困っている人たちに惜しみなく与えるよう私たちに勧めています。

1. 寛大さの力: 他人に思いやりを示す方法。

2. 寛大な人生を送る: イエスの模範に従う方法。

1. 箴言 19:17 - 貧しい人に親切な人は主に貸します、そして主はその行いに報いてくださいます。

2. ガラテヤ 6:9-10 - 善行に疲れないようにしましょう。気を失わなければ、しかるべき季節が来れば刈り取ることができるからです。したがって、私たちには機会があるので、すべての人、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

ルカ 6:31 そして、あなたがたも、人にしてほしいと思うように、同じように人にしなさい。

イエスは、自分がしてもらいたいように他の人にも接するべきだと教えています。

1. 「黄金律: 自分を愛するように他人を愛する」

2.「自分にしてもらいたいことを他人にする」

1. ローマ人への手紙 12:10 - 「愛をもって互いに献身しなさい。自分よりもお互いを敬いなさい。」

2. マタイ 7:12 - 「ですから、何事においても、自分にしてもらいたいことを他の人にしなさい。これが律法と預言者の要約です。」

ルカ 6:32 もしあなたがたが、あなたを愛してくれている人たちを愛しているなら、どんな感謝をしているでしょうか。罪人も自分を愛してくれる人を愛するからです。

この聖句は、罪人であっても同じように、私たちを愛していない人たちも愛するようにと勧めています。

1.「無条件に愛する方法」

2.「私たちに求められる愛の基準」

1. ローマ人への手紙 12:14-16 - あなたを迫害する人々を祝福してください。祝福し、呪わないでください。喜ぶ人たちと一緒に喜びましょう。悲しむ人たちとともに悲しむ。お互いに調和して生きてください。高慢にならず、立場の低い人々と積極的に付き合いましょう。うぬぼれないでください。

2. マタイ 5:44-45 - しかし、私はあなたたちに言いますが、あなたたちが天の父の子供となるように、敵を愛し、あなたたちを迫害する人々のために祈りなさい。神は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、義人にも不正人にも雨を降らせます。

ルカ 6:33 もしあなたがたが、自分によくしてくれる人たちに善いことをしたとしたら、どれほど感謝するでしょうか。罪人も同じことをするからです。

イエスは、罪人であっても同じことをするのですから、自分に善いことをしてくれた人に善いことをしたとき、人はどのような感謝を抱くのかと尋ねます。

1. 計り知れない思いやり: 慈悲の境界を再定義する

2. 壁を超えた愛：過激な愛の精神で生きる

1. ローマ 12:9-13 - 愛は本物であってください。悪を憎む。良いものをしっかり持ちなさい。

2. ヨハネ第一 4:7-8 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。

ルカ 6:34 もしあなたがたが、受けたいと思っている人たちに貸したら、どんな感謝をするでしょうか。なぜなら、罪人もまた同じだけ受け取るために、罪人に貸しているからです。

罪人であっても同様であるように、信者はお金を貸すときに他人からの感謝を期待すべきではありません。

1. 無私の寄付の重要性

2. 神の僕であることが本当に意味すること

1. マタイ 5:38-42 - 「目には目を、歯には歯を」と言われたのを聞いたことがあるでしょう。しかし、私はあなたに言います、悪人に抵抗してはいけません。誰かがあなたの右の頬を平手打ちした場合は、もう一方の頬も彼らに向けてください。

40 そして、誰かがあなたを訴えてあなたのシャツを取り上げようとするなら、あなたのコートも渡しなさい。 41 もし誰かがあなたに一マイル行くように強制したなら、一緒に二マイル行きなさい。42 求める人には与えなさい。借りようとする人に背を向けないでください。

2. ピリピ 2:4 - あなたがた一人一人は、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。

ルカ 6:35 しかし、あなたがたは敵を愛し、善を行い、また何も期待せずに貸しなさい。そうすれば、あなたの報酬は大きくなり、あなたがたはいと高き方の子供となるでしょう。彼は感謝のない者にも悪人にも親切だからです。

イエスは私たちに、敵を愛し、善を行い、見返りを期待せずに貸すよう勧めておられます。神は恩知らずな者や悪人に対しても親切だからです。

1. 無条件の愛の力

2. 神の子であるとはどういう意味か

1. ローマ人への手紙 12:14-21 - あなたを迫害する人々を祝福してください。祝福し、呪わないでください。

2. マタイ 5:44-45 - 敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りましょう。

ルカ 6:36 あなたがたの父が憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深くありなさい。

神が私たちに慈悲深く親切であるように、他の人にも慈悲深く親切になってください。

1. 神の憐れみ: 私たちへの模範

2. 神の憐れみの賜物

1. 出エジプト記 34:6-7 - 「すると、主は彼の前を通って言われた、『主よ、主よ、慈悲深く慈しみ深く、怒るのに遅く、変わらぬ愛と忠実に満ちた神です。』」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。」

ルカ 6:37 裁くな、そうすればあなたがたは裁かれることはない、罪に定めない、そうすればあなたがたは罪に定められることはない：赦しなさい、そうすればあなたがたは赦されるであろう：

この聖句は、他人と接する際に思いやりと許しを示すよう私たちに教えています。

1. 許しの力：人間関係において思いやりと慈悲を示す方法

2. 恵みの賜物: 恨みを手放す喜びを発見する

1. エペソ人への手紙 4:32 - キリストによって神があなたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。

2. マタイ 5:7 - 憐れみ深い人たちは幸いです、彼らは憐れみを受けるからです。

ルカ 6:38 与えなさい、そうすれば、それはあなたに与えられるでしょう。いい加減に、押しつけられ、一緒に揺さぶられ、そして駆け寄って、人々はあなたの胸に屈服するでしょう。なぜなら、あなたがたが測定したのと同じ尺度で、それは再びあなたがたに測定されるからである。

イエスは私たちに惜しみなく与えるよう励まし、それが私たちに返ってくると約束しています。

1. 寛大な寄付の祝福

2. 与える心の力

1. コリント人への手紙第二 9:6-7 「しかし、私はこう言います。惜しみなく種を蒔く者は、刈り取りも少なく、豊かに種を蒔く者は、また豊かに刈り取ります。人はみな、自分の心の中の意図に従って、与えなさい。しぶしぶや必然的にではなく、神は陽気な与える人を愛されるからです。」

2. 箴言 11:24-25 - 「散らばりながらも増えるものもあれば、満たされる以上に差し控えるものもあるが、それは貧しくなる。自由な魂は太り、水を注ぐ者は潤される」彼自身もね。」

ルカ 6:39 そしてイエスは彼らにたとえを話された、「目の見えない人が目の見えない人を導くことができるだろうか」。二人とも溝に落ちてしまうのではないだろうか？

イエスは、正しい道が見えない人に盲目的に従うことの危険性について、たとえ話をします。

1. 盲目的に従うべきではない: 知識のないリーダーシップに従うことの危険性

2. 誰がその道をリードしているのか?知恵と洞察力を持つ人々からの指導

1. 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださる。」

2. マタイ 15:14 「彼らを放っておいてください。彼らは盲人の盲目の指導者です。そして、盲人が盲人を導けば、二人とも溝に落ちます。」

ルカ 6:40 弟子は主人よりも優れているわけではありません。しかし、完全な人は皆、主人と同じになるのです。

イエスは、弟子は完璧になるように努めるべきであり、師のようになろうと努力すべきであると教えています。

1. 完璧であること: イエスのようになろうと努力する

2. マスターの足跡をたどる: 完璧になる

1. エペソ人への手紙 4:13 – 「私たち全員が信仰と神の御子についての知識の一致に達し、成熟した人間に達し、キリストの満ち足りた身長に達するまで。」

2. ピリピ 2:5-11 – 「キリスト・イエスにもあったこの態度を自分の中に持ちなさい。イエスは神の姿で存在したにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にして、奴隷の姿をしており、人間に似せて造られている。人間の姿で見出されたイエスは、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、ご自身をへりくだらせました。また、この理由から、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る御名を彼に授け、天と地と地にある者たちのすべてがイエスの名のもとに膝をかがめるようになった。父なる神の栄光のために、あらゆる舌がイエス・キリストが主であると告白するでしょう。」

ルカ 6:41 それで、なぜあなたは、兄弟の目の中にある破片を見ているのに、自分の目の中にある光には気づかないのですか。

他人を批判する前に、自分の欠点に気づいてください。

1. 「石を投げる」- 他人を批判する前に自分を省みることの重要性。

2. 「モテとビーム」- 隣人を批判する前に、自分自身の欠点を認識します。

1. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。」

2. ヤコブ 4:11-12 - 「兄弟姉妹たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟姉妹を悪く言う人、あるいは彼らを裁く者は、律法に対して悪口を言い、律法を裁いているのです。あなたが律法を裁くとき、あなたはそのようになります。」それを守るのではなく、それを判断して座っているのです。」

ルカ 6:42 あなた自身が自分の目の中にある梁を見ないのに、どうしてあなたの兄弟に、「兄弟、あなたの目にある破片を抜かせてください」と言えますか。偽善者よ、まず自分の目から光線を放ち、それからはっきりと見えるようになり、兄弟の目にある破片を取り除きなさい。

イエスは、目についた破片を治療する兄弟を助ける前に、まず自分の目に入った丸太を取り除きなさいと教えています。

1. 「はっきりと見る：私たちの目の中の丸太を取り除く」

2.「良い兄弟であること: 兄弟の目からモテる部分を取り除く」

1. マタイ 7:1-5 「裁かれないようにするため、裁いてはなりません」

2. ヨハネ第一 4:20-21 「『私は神を愛している』と言いながら自分の兄弟を憎む人は、偽り者です。目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することはできないからです」。」

ルカ 6:43 良い木は腐った実を結びません。腐った木が良い実を結ぶこともありません。

良い木が悪い実を生むことはありませんし、悪い木が良い実を生むこともありません。

1. 私たちの人生の成果: 私たちの行動が私たちの性格をどのように反映するか

2. 木のたとえ: 良い行動と悪い行動の結果

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

2. エレミヤ 17:7-8 - 「主を信頼する人は幸いです、その人が主を信頼します。彼は水のほとりに植えられ、流れのほとりに根を張り、葉が緑色を保つので暑さが来ても恐れず、実を結ぶのをやめないので干ばつの年にも心配しない木のようなものである。。

ルカ 6:44 すべての木は、その実によって知られています。なぜなら、人はいばらからいちじくを集めたり、いばらの茂みからブドウを集めたりしないからです。

私たちが実る果実は、私たちがどのような木であるかを示します。悪いことから良い実を受け取ることは期待できません。

1. 私たちの人生の成果 - 私たちの行動が私たちの真の性格をどのように反映しているか

2. 良い習慣の力 - 私たちの日々の決定が私たちの未来をどのように形作るか

1. 箴言 13:20 - 「賢者とともに歩む者は賢くなり、愚か者の仲間は害を受ける。」

2. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなことに対しては法律はありません。」

ルカ 6:45 善良な人は、心の善い宝から善いものを生み出す。そして、悪人は心の邪悪な宝から邪悪なものを引き出します。なぜなら、彼の口は心の豊かさについて話すからです。

私たちの言葉や行動は、私たちの心の中にあるものを表します。私たちは自分の言動によって、自分がどんな人間であるかを知ることができます。

1. 純粋な心の大切さ - ルカ 6:45

2. 私たちの言葉の力 - ルカ 6:45

1. 箴言 4:23 - 全力を尽くして心を保ちなさい。なぜなら、そこには人生の問題があるからです。

2. マタイ 15:18-19 - しかし、口から出るものは心から出ます。そして彼らは男を汚します。なぜなら、心から悪い考え、殺人、姦淫、淫行、窃盗、偽りの証言、冒涜が生まれるからです。

ルカ 6:46 それで、なぜあなたがたは私を「主よ、主よ」と呼んでいるのに、私の言うことを信じないのですか。

この節は、人々がイエスの教えに従わないのに、なぜイエスを主として敬うのかを尋ねています。

1. 「イエスの弟子として生きる：従順を通してイエスを敬う」

2. 「イエスに従うという挑戦：彼の命令に従う」

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、あなたは私の戒めを守るでしょう。」

2. ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

ルカ 6:47 わたしのところに来て、わたしの言葉を聞き、それを実行する者はだれでも、その人がどのような者であるかを、わたしはあなたに示しましょう。

彼は岩の上に家を建てた賢者のようなものです。

1. イエスへの強い信仰の基盤の上に私たちの人生を築きます。

2. イエスの教えを日々の生活の中で実践する。

1. マタイ 7:24-27 - したがって、私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は誰でも、私はその人を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

ルカ 6:48 彼は、家を建て、深く掘って、岩の上に基礎を置いた人のようなものです。そして、洪水が起こると、川がその家に激しく打ちつけ、それを揺るがすこ

とができませんでした。岩の上で。

この一節は、しっかりとした基礎を築くことの重要性を強調しています。

1. 岩の上に築く：人生の強固な基盤を確立する

2. 基盤の強化：困難な時代に強く立ち向かう

1. マタイ 7:24-27 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は誰でも、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると雨が降り、洪水が起こり、風が吹いて、その家をたたきましたが、倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。そして、私のこれらの言葉を聞いて実行しない人は皆、その上に家を建てた愚かな人にたとえられるでしょう砂：そして、雨が降り、洪水が来て、風が吹いて、その家を打ち、そしてそれは倒れました：そして、その崩壊は大きかった。」

2. エペソ人への手紙 2:19-20 「ですから、あなたがたはもはやよそ者や外国人ではなく、聖徒たちと同胞であり、神の家族の一員です。そして、使徒と預言者という土台の上に建てられており、イエス・キリストご自身がそのかしらです」礎石。」

ルカ 6:49 しかし、聞いても聞かない人は、土台もなしに地上に家を建てた人のようなものです。川が激しく打ち寄せ、すぐに川は落ちた。そしてその家の廃墟は素晴らしかった。

イエスは、ご自分の言葉を聞いてそれに従わない人は、基礎のない家を建ててすぐに風雨で壊れてしまうようなものだと警告しています。

1. 「私たちの人生の基礎: 神の言葉に基づいて構築する」

2. 「イエスの言葉に従わないことの危険性」

1. マタイ 7:24-27 - 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いてそれを行う者は誰でも、私はその人を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。」

2. 詩篇 11:3 - 「もし土台が破壊されたら、義人は何ができるでしょうか。」

ルカ 7 章ではイエスの宣教の物語が続き、百人隊長の召使いの癒しや未亡人の息子の蘇生などの奇跡が詳しく述べられています。また、イエスと洗礼者ヨハネの弟子たちとの出会いや、愛と許しについてのイエスの教えも含まれています。

第 1 段落: この章は、カペナウムのローマの百人隊長がユダヤ人の長老たちを派遣して、イエスに召使いを癒してもらうよう依頼するところから始まります。この百人隊長は、イエスが一言話すだけで僕を癒すことができると信じており、驚くべき信仰を示しました。イエスは彼の信仰に感動し、会いに行くこともなくしもべを癒しました(ルカ7:1-10)。この奇跡の直後、イエスはナインに行き、そこで未亡人の一人息子の葬列に遭遇しました。同情の念を抱いた彼は、棺に触れ、若者に起き上がるように命じました。彼は生き返って母親に返されました（ルカ 7:11-17）。

第 2 段落: 一方、刑務所にいたバプテスマのヨハネは、弟子たちを通して起こっているこれらすべてのことについて聞きました。彼はそのうちの二人を遣わして、イエスが本当に「来るべき方」なのか、それとも別の者を期待すべきなのかを尋ねさせました。それに応じてイエスは、彼らが見聞きしたことについて語られました。目が見えなくなった人、足の不自由な歩くハンセン病の人が清められた、耳が聞こえない死者が蘇った、貧しい人がよみがえった、良いたよりを宣べ伝えてもらった、さらに「つまずかない人は幸いです」と付け加えられました。この答えは、ヨハネが彼の救世主であることを確信させました。メシアの働きに関するイザヤの預言は、その役割を果たしました（ルカ 7:18-23）。

第 3 段落: その後、ヨハネの弟子たちが去ったとき、イエスはヨハネの預言者としての役割について群衆に語り始め、預言者としての役割について、預言者としての使者としての準備以上のことを述べられました。主はまた、生まれた女性たちの間で偉大な者はいないが、最も小さい王国であると述べ、神の偉大さを肯定され、新しい時代が神の宣教の始まりを示していると述べました。より高いレベルの啓示の成就をもたらします（ルカ 7:24-28）。知恵を正当化する行動にもかかわらず、ヨハネ自身も人々の世代も、さまざまな理由で彼らを拒否し、元は悪霊に取り憑かれた後者は大食漢、大酒飲みの友人、徴税人、罪人とレッテルを貼り、メッセージがどのように伝えられたとしても、先入観の偏見のために常にそれを拒否する人がいることを暗示しています（ルカ 7:29-35）。この章の結論 罪深い女 油そそがれた足 高価な香水 泣いた 髪を拭いた家 シモンという名のパリサイ人は彼女を批判したが擁護し、彼女は多く赦されたので多くの愛を示したのに対し、シモンは赦しの必要性が低いと認識されていたためほとんどもてなさなかったと説明した たとえ話 二人の債務者がポイントを説明する 赦しは愛につながる 少し赦した者は誰でも愛する多くの人が赦されたにもかかわらず、彼女の罪はほとんどなかった――なぜなら彼女は多くを愛したが、赦された者はほとんど愛していないからだ、女性の罪は赦される、平和に行けと告げられ、社会から疎外された社会に向けて徹底的な包括的な愛、慈悲の恵みを再び示している。

ルカ 7:1 さて、イエスは群衆の中ですべての言葉を言い終えると、カペナウムに入った。

イエスは人々との話を終えて、カペナウムに入りました。

1. イエスの人生における優先事項 - ルカ 7:1

2. 神への従順の重要性 - ルカ 7:1

1. マタイ 4:13-17 - イエスはナザレを去り、カファルナウムに定住する

2. ヨハネ 2:12-22 - エルサレムの神殿を清めるイエス

ルカ 7:2 そして、ある百人隊長の大切な召し使いが病気で、今にも死のうとしていました。

この一節は、百人隊長の家来が病気で死に直面した様子を描写しています。

1. 私たちにとって大切な人たちが困っているときに、思いやりと愛情を持って接することを忘れないようにしましょう。

2. 病気や苦しみの時には、神の慈しみと憐れみを信頼して神に近づきましょう。

1. ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちと一緒に喜びましょう。悲しむ人たちとともに悲しむ。

2. ヤコブ 5:13-14 - あなたたちの中に、困っている人はいますか。彼らに祈ってもらいましょう。幸せな人はいますか？彼らに賛美の歌を歌わせてください。

ルカ 7:3 そこで、イエスのことを聞くと、ユダヤ人の長老たちを遣わして、来てしもべを治してくれるように懇願した。

ユダヤ人の指導者はイエスに、ユダヤ人の長老たちをイエスのところに送って、しもべを癒してほしいと願いました。

1. 神に忠実：祈りの力と主の癒しの力。

2. 神のタイミング: 主の計画を信頼し、主がご自身のタイミングで働いてくださることを理解します。

1. ヤコブ 5:13-16 - 信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。

2. 詩篇 103:2-5 - 主の癒しの力と、私たちのすべての罪を赦してくださった事実を讃美します。

ルカ 7:4 そこで、彼らはイエスのところに来ると、すぐに懇願して言った、「彼は誰のためにこんなことをするに値する人だ」。

この箇所は、人々がイエスのところに来て助けを求める物語です。

1: 助けが必要なとき、私たちはイエスを信頼できます。

2: 私たちは自分の必要をいつでもイエスに頼り、イエスの助けを求めることができます。

1: マタイ 11:28 - 「すべて苦労している人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。」

2: ピリピ人への手紙 4:6–7 「何事についても心配してはならない。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝を込めて神に願いを捧げなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるだろう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

ルカ 7:5 神は私たちの国を愛しており、私たちに会堂を建ててくださいました。

イエスはイスラエル国民を愛し、会堂の建設を助けました。

1. イエスの無条件の愛 - イエスが人々にどのように愛を示しているかを探ります。

2. コミュニティの力 - シナゴーグがイスラエル人にとってどのように集まる場所であったかを考察します。

1. ヨハネ 13:34-35 - イエスは、私たちを愛してくださったように、互いに愛し合うようにと命じられました。

2. ヘブライ 10:24-25 - 信仰を貫くよう互いに励まし合い、そうするために集まる。

ルカ 7:6 それから、イエスも彼らと一緒に行かれた。そして、彼が家からそう遠くないとき、百人隊長は友人たちを彼のところに遣わして、彼に言った、「主よ、ご心配なく。私にはあなたが私の屋根の下に入ってくださる資格はないのです。」

百人隊長は友人たちをイエスのところに送り、自分はイエスの臨在にふさわしくないから家に来ないようにと伝えます。

1. 百人隊長の謙虚さ: 自分の無価値を認識する力

2. 私たちの場所を知る：百人隊長のイエスへのささやかな願い

1. ピリピ 2:3- 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2. ヤコブ 4:10 - 主の前に謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

ルカ 7:7 ですから、私自身も、あなたのところに来る価値があるとは思いませんでした。しかし、一言言ってください。そうすれば、私の僕は癒されるでしょう。

この箇所は、イエスが自分に助けを求める人のところに来る資格がないと認めながらも、その人の願いを一言で聞き入れたイエスの謙虚さと憐れみについて語っています。

1. 謙虚さの力：自分の欠点を認識し、受け入れることを学ぶ

2. キリストの憐れみ: イエスは求めるすべての人にどのように憐れみを示されたか

1. ヤコブ 4:10 - 「主の御前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

2. マタイ 8:8 - 「百人隊長は答えて言った、『主よ、あなたが私の屋根の下に来る資格はありません。しかし、言葉だけを話してください。そうすれば私の僕は癒されます。』」

ルカ 7:8 というのは、私も権威の下に置かれている人間であり、自分の下に兵士がいるのですが、ある人に「行きなさい」と言うと、彼は行きます。そして別の人には、来てください、そうすれば彼は来ます。そして私のしもべに、「これをしなさい。そうすれば、彼はそれを行います。」

神は私たちに対する権威を持っており、私たちは神に従うべきです。

1: 神に従い、神の祝福を受けましょう

2: 神の権威に服従する

1: 伝道者の書 8:4-5 - 王の言葉のあるところには力があります。そして誰が王に「あなたは何をしているのですか」と言うことができますか。そうでなければ、なぜあなたはそのようにするのですか？

2: ピリピ人への手紙 2:10-11 - 天にあるもの、地にあるもの、そして地にあるもの、イエスの御名によってすべての膝がかがむこと。そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白すべきです。

ルカ 7:9 イエスはこれらのことを聞いて驚いて振り向いて、ついて来た人々に言った、「あなたがたに言いますが、私はこれほど大きな信仰をイスラエルの中に見つけたことがありません。」

イエスは、イスラエル人ではないにもかかわらず、ローマの百人隊長の信仰に驚き、その信仰を褒めました。

1: 私たちは皆、ローマの百人隊長の例から学び、彼と同じくらい偉大な信仰を持つように努めることができます。

2: たとえイスラエル人でなくても、私たちは皆、ローマの百人隊長と同じくらい強い信仰を持つよう霊感を受けることができます。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2: マタイ 17:20 「イエスは彼らに言われた、『あなたがたの不信仰のせいです。はっきり言います、もしあなたがからし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって、「ここから向こうへ行け」と言いなさい。そうすればそれは取り除かれるでしょう、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

ルカ 7:10 それで、遣わされた者たちが家に帰ってみると、病気だった召使が元気になっているのを見つけた。

イエスは病気のしもべを癒し、使者たちが家に戻ったとき、しもべは完全に癒されました。

1. イエスは私たちの身体的および霊的な病気を治すことができる偉大な医師です。

2. 神は私たちの癒しと力の源です。

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために打ち砕かれた。彼の上に懲らしめがあり、私たちに平和をもたらし、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. ヤコブ 5:14-15 - 「あなたたちの中に、病気の人はいますか。教会の長老たちを呼んで、彼らのために祈ってもらい、主の御名において油を塗ってもらいましょう。そうすれば、信仰によってささげられた祈りが病気になります。」「その人は元気です。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したとしても、彼らは赦されます。」

ルカ 7:11 そして翌日、彼はナインという町に行った。そして彼の弟子たちの多くと多くの人々が彼と一緒に行った。

この箇所は、イエスが多くの弟子たちや大勢の群衆とともにナインの町を訪れた様子を語っています。

1: イエスは私たちにコミュニティと交わりの大切さを教えます。

2: イエスは、同情心と憐れみがクリスチャン生活の本質的な特徴であることを私たちに示しました。

1: ガラテヤ 6:2 - 互いに重荷を担い、そうしてキリストの律法を全うしましょう。

2: ヨハネ 13:34-35 - 私があなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたは互いに愛し合うことです。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。あなたたちが互いに愛を持っているなら、これによってすべての人はあなたたちが私の弟子であることを知るでしょう。

ルカ 7:12 さて、彼が町の門に近づいたとき、見よ、死人が運び出されるのがあった。その母親の一人息子は未亡人であった。そして、町の多くの人々が彼女と一緒にいた。

この一節は、一人息子の死体を運び出す際に市内から多くの人々に付き添われた未亡人の物語です。

1. 思いやりの力: 悲しんでいる人々をどのように慰め、サポートできるか

2. 悲しみの時のコミュニティの役割

1. イザヤ書 61:1-3 - 主なる神の霊が私の上にあります。なぜなら、主は苦しんでいる人たちに良い知らせをもたらすために私に油を注がれたからです。神は、心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を、囚人に自由を宣言するために私を遣わしました。

2. ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。

ルカ 7:13 主は彼女を見て、憐れんで彼女に言われた、「泣くな」。

イエスは、息子を亡くしたばかりの未亡人を見て、同情心に満ちていました。彼は彼女に泣かないでと言った。

1. 慈悲深い愛：イエスとナインの未亡人

2. 神の慰め: 人生の苦しみの中で強さを見つける

1. マタイ 9:36 - イエスは群衆を見て、彼らを憐れみました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のように、苦しめられ、無力であったからです。

2. コリント人への第二 1:3-4 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神、憐れみの父であり、あらゆる慰めの神がほめたたえられますように。私たち自身が神によって慰められるという慰めを持って、どんな苦難の中にもいます。

ルカ 7:14 すると、イエスが来て、棺に触った。すると、彼を担いでいた者たちは、立ち止まった。そして彼は言った、「若者よ、あなたに言います、起きなさい。」

イエスは、棺に触れるだけで若者を生き返らせます。

1. 神の力: イエスは若者の復活を通して神の力を私たちに示しました。

2. 信仰と奇跡: イエスは、信仰が奇跡を呼び起こすことができると教えています。

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。そして私を信じて生きる者は決して死ぬことはありません。

2. マルコ 5:41-42 - 死んだ女の子の手を取って、「タリタ・クミ」と言われました。これは、「お嬢さん、言っておきます、起きなさい！」という意味です。すぐに女の子は立ち上がって歩き始めました。

ルカ 7:15 すると、死んだ者が起き上がって、話し始めた。そして彼を母親に引き渡しました。

この一節は、イエスが死んだ人を生き返らせ、その後話し始め、母親に引き渡されたという奇跡について語ります。

1. 命の力: イエスは私たちに対する限りない愛をどのように示されたか

2. 奇跡: イエスの奇跡はイエスの神性をどのように証明するか

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことがない。」

2. ローマ 6:4 - したがって、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

ルカ 7:16 そこで、すべての人に恐れが生じた。そして、彼らは神を讃えて、「偉大な預言者が私たちの中によみがえられたのです。」と言いました。そして、神がご自分の民を訪れたこと。

イエスが奇跡を行ったとき、人々は恐怖でいっぱいになり、自分たちに遣わされた偉大な預言者について神を賛美しました。

1. 主への畏れ: 不確実な時代に神はどのように私たちに慰めを与えてくださるのか

2. 神の訪問: イエスを偉大な預言者として認める

1. イザヤ書 11:2-3 - 「そして、主の霊が彼の上にとどまる。それは、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊である。」

2. 使徒 3:19-20 - 「だから、あなたがたは悔い改め、回心しなさい。そうすれば、主の御前からさわやかな時が来るとき、自分の罪はぬぐい去られるでしょう。」

ルカ 7:17 そして、彼のこの噂はユダヤ全土とその周囲の地域全体に広まった。

この箇所は、イエスの知らせがユダヤとその周辺地域にどのように広まったかを説明しています。

1. 喜びの噂: イエスのメッセージの広がり

2. 行動する希望: 福音を分かち合った結果

1. ローマ人への手紙 10:13-15 (「主の名を呼び求める者は皆救われるからです。」)

2. 使徒 1:8 (しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたがたは力を受けるでしょう。そしてあなたがたはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまでわたしの証人となるでしょう。)

ルカ 7:18 そこでヨハネの弟子たちは、これらすべてのことをヨハネに示した。

ヨハネの弟子たちはイエスの力強い働きの知らせをヨハネに伝えました。

1. 神は常に、私たちが神の意志を実現すると予想しない方法で働いておられます。

2. たとえそれが私たちにとって意味をなさないとしても、イエスが正しく最善のことをしてくださると信頼できます。

1. イザヤ書 55:8-9 - 「わたしの考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではありません」と主は言われます。「天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いのです。

2. エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っているからです」と主は宣言されます。

ルカ 7:19 そこで、ヨハネが二人の弟子を呼び寄せて、彼らをイエスのところに遣わして言った、「あなたが来るべき人ですか」。それとも別のものを探しますか？

バプテスマのヨハネは二人の弟子をイエスのもとに送り、イエスが期待されているメシアであるかどうか尋ねました。

1. メシアの期待 - ルカ 7:19

2. イエスを信じなさい - ルカ 7:19

1. マタイ 11:2-3 - ヨハネは、牢獄でキリストがなさろうとしていることを聞いたとき、弟子たちを遣わして、「あなたが来るべき人ですか、それとも他の人を期待すべきでしょうか」と尋ねさせました。

2. イザヤ書 35:4 - 恐れる心を持っている人たちにこう言いなさい。あなたの神は来られます、彼は復讐して来られます。神の報いをもって、彼はあなたを救いに来るでしょう。」

ルカ 7:20 人々がイエスのところに来ると、「バプテストのヨハネが私たちをあなたのところに遣わして、『あなたが来るべき人ですか』と言った」と言った。それとも別のものを探しますか？

洗礼者ヨハネからの二人の使者がイエスに、自分たちが期待していた救世主なのかと尋ねます。

1.「洗礼者ヨハネの信仰：イエスに目を向ける」

2. 「イエスをメシアとして迎えるとはどういう意味ですか?」

1. ペテロ第一 2:4-5 「あなたがたは、人々に拒絶された生ける石であっても、神の前では選ばれ、尊いものとして神の御許に来るとき、自分自身を生きた石のように、霊的な家として建てられています。聖なる神権、イエス・キリストを通して神に受け入れられる霊的な犠牲をささげること。」

2. イザヤ書 9:6 - 「私たちに子供が生まれ、息子が与えられます。そして政府はその肩に乗り、その名は素晴らしい助言者、力ある神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。」。」

ルカ 7:21 そして、その同じ時間に、イエスは彼らの病気や疫病、そして悪霊の多くを治した。そして盲目の多くの人たちに視力を与えた。

イエスは多くの人々の身体的および霊的な病気を癒しました。

1: イエスの憐れみと憐れみ: 私たちの主であり救い主がどのように癒しと回復をもたらすか

2: 信仰によって癒される: 奇跡を信じる力

1: マタイ 9:35 - そして、イエスはすべての町や村を巡り、会堂で教え、王国の福音を宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気をいやされました。

2: 1 ペテロ 2:24 - 御自身が木の上でご自分の体で私たちの罪を負ってくださったのは、罪に対して死んでいる私たちが義に向かって生きるためであり、その打ち傷によってあなたがたは癒されました。

ルカ 7:22 すると、イエスは答えて彼らに言われた、「行きなさい。あなたが見聞きしたことをヨハネに話してください。」目の見えない人がどのように見え、足の不自由な人が歩き、らい病人が清められ、耳の聞こえない人が聞こえ、死者がよみがえり、貧しい人に福音が宣べ伝えられるのか。

イエスは、ご自分の業を証することは貧しい人々に福音を宣べ伝えることであると教えています。

1: イエスの力 - イエスの働きはイエスの福音の力をどのように実証するか。

2: 貧しい人々に福音を宣べ伝える - イエスの働きは、貧しい人々に福音を宣べ伝えることの重要性を示しています。

1: マタイ 11:5 - 目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な人は歩き、らい病人は清められ、耳の聞こえない人は聞こえ、死者はよみがえらされ、貧しい人は福音を宣べ伝えられます。

2: イザヤ書 61:1 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は柔和な人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。彼は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚われの者たちに牢獄の開放を宣言するために私を遣わしたのです。

ルカ 7:23 そして、わたしに対して腹を立てない人は幸いです。

イエスは弟子たちに、自分を信じる者は祝福されると言いました。

1. イエスを信じる祝福

2. 信仰の課題を克服する

1. ヨハネ 14:1-4 - イエスは弟子たちに、自分を信じる者は誰でも自分が行ってきた業を行うことができると言われました。

2. ローマ 8:37-39 - パウロは信者たちに、何ものもキリスト・イエスにおける神の愛から引き離すことはできないと励ましています。

ルカ 7:24 ヨハネの使者たちが立ち去ったとき、ヨハネは人々にヨハネのことについて話し始めた、「あなたたちは何を見るために荒野に出て行ったのですか。」風で揺れる葦？

イエスは人々にバプテスマのヨハネについて語り、何を見るために荒野に出て行ったのか、風に揺れる葦？と尋ねます。

1. 信仰の力: 何を見に出かけましたか?

2. 洗礼者ヨハネの生涯: 荒野の証人

1. マタイ 11:7-11 – 「あなたは何を見るために荒野に出ましたか。風に揺れる葦？」

2. イザヤ書 40:3-5 – 「声が叫びます。『荒野に主の道を備えよ。荒野に主の道を備えよ。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。」

ルカ 7:25 しかし、あなたがたは何をしに出かけたのですか。柔らかい衣服を着た男？見よ、豪華な衣装を着て繊細に暮らす彼らは、王の宮廷にいる。

イエスは、外見上裕福で贅沢な生活を送っている人たちに感銘を受けないよう警告しています。そのような人たちは王の宮廷にもいるからです。

1. 富や贅沢に感動してはいけない - ルカ 7:25

2. 世俗的な利益よりも神による満足を求めなさい - ルカ 7:25

1. 箴言 30:8-9 - 「虚栄心と偽りをわたしから遠ざけてください。貧しさも富も与えず、わたしに都合のよい食べ物を与えてください。わたしが満腹して、あなたを否み、『主とはだれですか』と言わないようにしてください。」そうしないと、私は貧しく、盗みをし、無駄に神の名をとります。」

2. ピリピ人への手紙 4:11-13 - 「私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。私は、どのように卑屈になるかを知っており、どのように豊かになるかを知っています。「どこにいても、どんなことでも、私は満腹することも飢えることも、豊かになることも必要に耐えることも教えられています。私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできるのです。」

ルカ 7:26 しかし、あなたがたは何をしに出かけたのですか。預言者？そう、私はあなたたちに言いますが、預言者以上のものです。

この箇所は、単なる預言者をはるかに超えたイエスの偉大さを物語っています。

1. イエス：預言者以上のもの

2. イエスの比類のない栄光

1. ヘブライ 1:1-2 - 過去、さまざまな時期に、さまざまな方法で預言者たちによって先祖たちに語られた神は、この終わりの日に御子によって私たちに語られ、その御子を万物の相続人に任命されました。、彼を通してまた世界を造られた。

2. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩に乗るでしょう。そして彼の名前は、素晴らしい、助言者、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。神の統治と平和の拡大には終わりがありません。

ルカ 7:27 この人について、「見よ、わたしはあなたの前に使者を送ります。あなたの前にあなたの道を備えるでしょう。」と書かれているのはこの人です。

この箇所は、イエスが旧約聖書に書かれている人物であり、神の再臨に向けて道を備えるために神によって遣わされた人物であることを語っています。

1: イエスは神の救いの計画の実現者です。

2: 私たちは、イエスがなさったように、主のために道を備えるよう招かれています。

1: イザヤ書 40:3-5 – 呼びかける者の声。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。

2: マラキ書 3:1 – 「見よ、わたしは使者を遣わす。わたしの前に道を備えさせる者だ。すると突然、あなたが探している主が神殿に来られます。あなたが望む契約の使者が来るだろう」と全能の主は言われる。

ルカ 7:28 あなたがたに言いますが、女から生まれた者の中で洗礼者ヨハネより偉大な預言者はいません。しかし、神の国で最も小さい者こそが彼よりも偉大なのです。

この箇所は、洗礼者ヨハネが女性から生まれた預言者の中で最も偉大な預言者であるが、神の国の最も小さな預言者でさえ彼よりも偉大であると宣言しています。

1. 王国の力: 神の力の偉大さを理解する

2. 神の計画に従う: 神の王国で最も小さい者を受け入れる

1. マタイ 11:11 - 「真実に言いますが、女から生まれた人の中で、洗礼者ヨハネより偉い人はいません。しかし、天の御国で一番小さい者でも、彼より偉いのです。」

2. ペテロ第一 2:9 「しかし、あなたがたは選ばれた民であり、王の祭司職であり、聖なる国民であり、神の特別な所有物です。それは、あなたがたを暗闇からその素晴らしい光の中に召してくださった方への賛美を宣言するためです。」

ルカ 7:29 そして、彼の話を聞いたすべての民と取税人は、ヨハネのバプテスマを受けて神を義とした。

イエスの話を聞いた人々と取税人はヨハネからバプテスマを受け、神を義と認めました。

1. 私たちはヨハネのバプテスマを受け入れ、神を義と認めなければなりません。

2. イエスの言葉の力と、その言葉がどのように人々を集めて神を義と認められるか。

1. ルカ7:29

2. ローマ人への手紙 3:25-26 - 「神はイエスを罪の犠牲としてささげられたからです。イエスが自分の命を犠牲にし、血を流したと信じるとき、人は神に対して正しい者とされます。これは、神が寛容であったことを示すために行われたのです。事前に犯した罪は罰されずに放置された。」

ルカ 7:30 しかし、パリサイ人や律法学者たちは、バプテスマを受けていなかったので、自分たちに対する神の勧告を拒否しました。

パリサイ人と弁護士は神の助言を受け入れることを拒否し、神からバプテスマを受けることを拒否しました。

1. 神の勧告を受け入れ、神の前にへりくだること。

2. 洗礼を受けることの重要性と、それが神と私たちの関係に与える影響。

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「口で主イエスを告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心で信じるなら、あなたは救われるでしょう。 10 なぜなら、人は心で義を信じ、そして口による告白は救いに至るのです。」

2. ヤコブ 4:6-7 - 「しかし、神はさらに恵みを与えます。それゆえ、神はこう言われます。「神は高ぶる者には抵抗しますが、へりくだる者には恵みを与えま

す。」7 だから、神に従いなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げてしまうでしょう。」

ルカ 7:31 そこで主は言われた、「それでは、この時代の人たちを何にたとえようか。」そしてそれらはどのようなものですか？

主イエスは、この時代の人たちはどのような人たちなのかと尋ねました。

1. この世代の男性: 今日の社会を聖書の基準と比較する

2. 聖書の基準を尊重しない世界に住む

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。

2. ヤコブ 4:4 - 姦淫する人たちよ！世との友情は神との敵対であることを知らないのか？

ルカ 7:32 彼らは、市場に座って、互いに呼び合って、「私たちはあなたたちにパイプを吹いているのに、あなたたちは踊っていません。あなたたちは踊っていません。」と言っている子供のようなものです。私たちはあなたがたに哀悼の意を表しましたが、あなたがたは泣いていません。

この人々は、互いに電話をかけあっても望ましい応答が得られない市場の子供たちにたとえることができます。

1: 私たちは神の呼びかけに喜んで応え、神がもたらす喜びや悲しみに対して心を開く必要があります。

2: 神からの伝達に無関心にならないように注意しなければなりません。それは霊的な停滞につながる可能性があります。

1: イザヤ書 55:6 - 「見いだされるうちに主を求めなさい。近くにいらっしゃるうちに呼び求めなさい。」

2: ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えなさい。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

ルカ 7:33 というのは、バプテスマのヨハネはパンも食べず、ぶどう酒も飲まずに来たからです。そしてあなたがたは、「彼には悪魔がいる」と言う。

人々は洗礼者ヨハネが自分たちと同じ社会習慣に従わないとして、彼には悪魔が憑いていると主張して批判しました。

1. 批判に礼儀正しく対応する方法。

2. 自制心の重要性。

1. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちなこと以外の誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

2. ピリピ 4:5 - 「あなたの道理をすべての人に知らせてください。主はすぐそばにおられます。」

ルカ 7:34 人の子が来て、食べたり飲んだりする。そしてあなたがたは言う、「見よ、大食漢であり、酒飲みであり、取税人や罪人の友人だ！」

人の子は食べたり飲んだりしてやって来ましたが、大食漢で酒飲み、取税人や罪人の友人であると非難されています。

1. キリストの受け入れとその奉仕

2. イエスがすべての人に開かれたこと

1. マタイ 11:19 - 「人の子が食べたり飲んだりしてやって来た。すると彼らは言った、『見よ、大食いで大酒飲み、徴税人や罪人の友だ！』」しかし、知恵は彼女の行為によって正当化されます。」

2. ヨハネ 8:12 - 「イエスは再び彼らに言われた、「わたしは世の光です。わたしに従う者は暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

ルカ 7:35 しかし、知恵は彼女のすべての子供たちに正当化されます。

イエスは人々に、賢い人は自分の子供たちによって義とされるだろうと教えています。

1. 真の知恵は報われる

2. 知恵の祝福

1. 箴言 2:6-7 - 主は知恵を与えてくださるからです。彼の口からは知識と理解が生まれます。彼は正しい人のために健全な知恵を蓄えます。彼は誠実に歩む者にとっての盾です。

2. コロサイ 2:3 - この人の中には、知恵と知識のすべての宝が隠されています。

ルカ 7:36 そこで、パリサイ人の一人が、一緒に食事をしたいと願った。そして彼はパリサイ人の家に入り、座って肉を食べた。

イエスはパリサイ人の家に食事に招待されました。

1. もてなしの意味: イエスを家に迎える

2. 招待の力: 他者に手を差し伸べる

1. ローマ 12:13 - 困っている主の民と分かち合いましょう。ホスピタリティを実践しましょう。

2. ヘブライ 13:2 - 見知らぬ人にもてなしを示すことを忘れないでください。そうすることで、知らず知らずのうちに天使にもてなしを示している人もいるからです。

ルカ 7:37 すると、見よ、市内の罪人だった女が、イエスがパリサイ人の家で肉を食べているのを知って、香油の入った雪花石膏の箱を持ってきて、

罪人として知られていたある女性は、軟膏の入ったアラバスターの箱を持ってきて、イエスへの愛と賞賛を示しました。

1. 愛と感謝を示す力

2. イエスの無条件の許し

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. マタイ 6:12 - そして、私たちが債務者を赦したように、私たちの負債も赦してください。

ルカ 7:38 そして、彼の後ろで彼の足元に立って泣きながら、涙で彼の足を洗い始め、彼女の頭の毛でそれを拭き、彼の足に口づけし、軟膏を塗った。

一人の女性が涙と髪でイエスの足を洗い、口づけし、油を塗りました。

1. 私たちの愛と献身にふさわしいイエス

2. イエスへの愛をどのように示すか

1. ヨハネ 13:1-17 - 弟子たちの足を洗うイエス

2. ローマ人への手紙 12:1-2 - 自分自身を生きたいけにえとして神にささげる

ルカ 7:39 さて、彼に入札したパリサイ人はそれを見て心の中で言いました、「もしこの人が預言者だったら、この人が自分に触れてきた女性が誰で、どのような様子か知っていただろう。彼女は女性だからだ」罪人。

イエスを夕食に招待したパリサイ人は、罪深い女性が涙と髪でイエスの足を洗っているのを見てショックを受け、真の預言者ならこのことを知っていただろうと信じていました。

1. イエスは、不道徳な女性に足を洗うことを許可することによって、恵みと許しの力を私たちに示してくださいました。

2. 私たちは、過去に関係なく、すべての人々を喜んで受け入れ、赦さなければなりません。

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

2. マタイ 7:1 - 裁いてはなりません。裁かれないようにするためです。

ルカ 7:40 するとイエスは答えて言われた、「シモン、あなたに言いたいことがあります。」そして彼は言いました、「マスター、続けてください。」

イエスはシモンに会い、何か言いたいことがあり、シモンに話を続けてほしいとお願いしました。

1. イエスは私たち全員に言いたいことがあります。恐れずに聞いて、もっと求めてください。

2. イエスに心と思いを開きましょう - イエスはあなたの人生を変えるかもしれないことをあなたに言いたいのです。

1. ヨハネ第一 3:18、「子たちよ、言葉や舌で愛するのではなく、行いと真実によって愛しましょう。」

2. ヤコブ 1:19-20、「それでは、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

ルカ 7:41 ある債権者に二人の債務者がいて、一人は五百ペンス、もう一人は五十ペンスを借りていました。

二人の債務者のたとえ話は、許しの重要性を強調しています。

1: 神の許しは私たちの許しよりも無限に大きいので、私たちは自分たちに不当な扱いをした人たちをすぐに許すべきです。

2: 私たちは皆、負うべき罪があるので、他人を過度に批判すべきではありません。

1: マタイ 6:14-15 - 「他の人があなたに対して罪を犯したときにあなたが赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださるでしょう。しかし、もしあなたが他人の罪を赦さないなら、あなたの父はあなたの罪を赦さないでしょう。」

2: エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

ルカ 7:42 そして、彼らが何も支払うものがなかったとき、イエスは率直に彼ら二人を赦されました。それで教えてください、彼らのうち誰が彼を最も愛するでしょうか？

イエスは、どちらも借金を赦された二人の債務者についてのたとえ話をし、誰が最もイエスを愛するだろうかと尋ねました。

1. キリストの無条件の愛

2. 許しに対する感謝の気持ち

1. エペソ 2:4-5 - しかし、神は憐れみに富んでおり、私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。

2. 詩篇 103:11-12 - 神を恐れる人々に対する神の愛ある親切は、天が地の上にあるのと同じくらい大きいからです。東が西から遠いのと同じように、これまでのところ、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

ルカ 7:43 シモンは答えて言った、「彼が最も赦したのは彼だと思います。」そして彼は彼に言った、「あなたは正しく判断しました。」

シモンは、イエスが二人の債務者のうち大きい方を赦したと正しく推測しました。

1. イエスの憐れみ - たとえ私たちが受ける資格がないとしても、イエスは喜んで私たちの罪を赦してくださいます。

2. イエスの裁き - 神の御心に従って正しい決断を下すために私たちはどのように努力すべきか。

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

ルカ 7:44 そこでイエスは女のほうを向いてシモンに言った、「この女が見えますか。」私はあなたの家に入りましたが、あなたは私の足に水を与えませんでした。しかし、彼女は涙で私の足を洗い、頭の毛で拭いてくれました。

イエスは私たちに、もてなしと思いやりを示すことの大切さを教えてくれます。

1. 「思いやりをもって生きる: イエスのもてなしの模範」

2. 「思いやりの力: イエスはシモンの心をどのように変えたのか」

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、赦し合いなさい。」

2. ヤコブ 2:13 - 「憐れみを示さなかった者には裁きは容赦ないからです。憐れみは裁きに勝利します。」

ルカ 7:45 あなたは私に口づけをしませんでしたが、この女性は私が来たときから私の足に口づけをやめませんでした。

この箇所は、イエスが罪深い女性に憐れみと恵みを示した一方、イエスは同様の敬意をもって歓迎されなかったと語っています。

1. 憐れみに値する: イエスはすべての人を愛をもって歓迎するよう教えられる

2. 恵みを受け入れる: 許しと思いやりを受け取る方法

1. エペソ 4:32 - そして、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。

貧しいすべての人の権利のために声を上げてください。率直に発言し、公正に判断してください。貧しい人々や困窮している人々の権利を守ります。

ルカ 7:46 あなたは私の頭に油を塗ってくれませんでしたが、この女は私の足に軟膏を塗ってくれました。

この箇所は、女性がイエスの足に軟膏を塗る行為について語っています。

1: イエスは、親切な行為と無私の愛が伝統や儀式よりも重要であると教えてくれます。

2: イエスは、私たちが何をするかではなく、それを行う心こそが重要であることを教えてくださいました。

1: ヨハネ 13:34-35、「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛しなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。これによって、すべての人は、あなたがたがわたしの弟子であることを知るであろう。あなたがたは互いに愛を持っています。」

2: 1 ヨハネ 4:7-8、「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は神だからです」愛。"

ルカ 7:47 したがって、私はあなたに言います、彼女の多くの罪は赦されています。彼女は多くを愛したからです。しかし、少ししか許されない人は、同じように少ししか愛しません。

この聖句は、人はたくさん赦されると、たくさん愛するようになる、ということを強調しています。逆に、少ししか許されなかった人は、ほとんど愛なくなります。

1. 許しが大きければ大きいほど、愛も大きくなります

2. 許しによる愛の力

1. ヨハネ第一 4:19 - 神が最初に私たちを愛してくださったので、私たちは愛します。

2. エペソ 4:32 - そして、神がキリストのためにあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも互いに親切にし、心優しく、許し合いなさい。

ルカ 7:48 するとイエスは彼女に言った、「あなたの罪は赦されました」。

ルカ 7:48 のこの一節は、イエスが女性の罪を赦されたことについて語っています。

1: 神の憐れみと愛は、神に許しを求めるすべての人に与えられます。

2: イエスの許しの言葉は、それを求める人々に癒しと希望をもたらします。

1: エペソ人への手紙 4:32 「そして、神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、憐れみ合い、互いに赦し合いなさい。」

2: ローマ人への手紙 3:22-25 - 「ユダヤ人と異邦人の違いはありません。同じ主がすべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人を豊かに祝福してくださいます。なぜなら、「主の御名を呼び求める者はみな、救われました。」それでは、どうやって信じていない人を呼び求めることができますか?そして、聞いたことのない人をどうやって信じることができますか?そして、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができますか?そして、誰かが説教していない限り、どうやって説教することができますか? 「良いたよりをもたらす者の足は何と美しいのでしょう！」と書かれているとおりです。

ルカ 7:49 そこで、イエスとともに肉の席に座っていた人々は、心の中で言い始めた、「罪を赦してくださるのは、いったい誰なのか」。

イエスが何者なのか疑問に思い始めました。

1. イエスは世界の救い主です: イエスの許しがすべてを変える

2. 許しの力: イエスの愛が人生をどのように変えるか

1. エペソ 1:7 - 私たちはキリストにあって、その血による救い、つまり神の豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

2. コロサイ 1:14 - 私たちはこのキリストによって、その血による救い、さらには罪の赦しを得ることができます。

ルカ 7:50 そこでイエスは女に言った、「あなたの信仰があなたを救ったのです。」平和に行きなさい。

イエスはある女性の信仰を褒め、安らかに行きなさいと言いました。

1. イエス・キリストを信じる信仰の力

2. イエスへの信仰を通して平和な生活を送る

1.エペソ2:8-9、「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分で行ったものではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

2. ヤコブ 3:17-18、「しかし、上からの知恵は、まず純粋で、次に平和で、優しく、理性が開かれ、憐れみと良い実とに満ち、公平で誠実です。そして義の収穫は、それらの人たちによって平和のうちに蒔かれます。」平和を作る人たちよ。」

ルカ 8 章にはイエスからの重要な教えが含まれており、種まき人のたとえ、嵐の静けさ、癒しの奇跡など、いくつかの重要な奇跡が語られています。

第 1 段落: この章は、イエスが町から町へと旅をし、神の国について説教するところから始まります。彼には、12 人の弟子たちと、悪霊や病気から癒された数人の女性たちが同行していました (ルカ 8:1-3)。次にイエスは、神の言葉に対するさまざまな反応を説明するために種まき人のたとえを話されました。良い土地に落ちた種は、神の言葉を聞いてそれを守り、作物を実らせる人々を表しています(ルカ8:4-15)。彼はまた、ランプを隠すためだけにランプを灯す人はいない、とも強調しました。同様に、私たちの生活の中で、明らかにされないように隠されていたり、知られないよう秘密にされたりすることはありません（ルカ 8:16-1 8）。

第 2 段落: イエスが教えておられると、母親と兄弟たちがイエスに会いに来ましたが、群衆のためにイエスに連絡することができませんでした。このことについて聞かされたイエスは、神の言葉を聞いてそれを実行する人が神の真の家族であると答えられました(ルカ8:19-21)。その後、弟子たちと湖を渡っているときに嵐が

起こり、経験豊富な漁師もいたにもかかわらず、彼らは命の危険を感じました。対照的に、静かに眠っている船は目覚め、風は叱責され、嵐は静まり、自然に対する権威を示しています。弟子たちは神の力に不思議に思い、「これは誰ですか？彼は風水さえも命じ、彼らは彼に従うのです。」（ルカ8:22-25）と尋ねました。

第 3 段落: 反対側の湖地域に到着したゲラセネス人は、多くの悪魔が彼の中に侵入したため、自分自身をレギオンと呼ぶ悪魔に取り憑かれた人間の墓に遭遇しました。悪魔たちはアビスに行けと命令しないでくれと懇願し、代わりに近くの豚の群れに入るのを許可し、豚は急な岸辺を駆け下りて湖に落ち、霊的な力に対する力を示し、闇の救出によって人間は正気を取り戻し、家に戻り、自分が何をしたのかを町中に宣言した(ルカ8:26-39)。この章は、相互に関連した2つの癒しの物語を締めくくります 12年間血を流した女性 端に触れた衣服 信仰を癒した ヤイロのシナゴーグ指導者の娘が臨終の時を迎え家に到着した 少女はすでに死んでいたが、彼女の手を取り、「子供よ、起きなさい！」と言った。彼女は一度起きて食事をし始めましたが、これらの出来事は、病気の死に対する権威を確認し、そこに絶望的な病気の死があるところに完全性の生命をもたらす能力を確認しました。

ルカ 8:1 その後、イエスはあらゆる町や村を巡って、神の国の福音を宣べ伝え、宣べ伝えた。そこで十二人も彼と一緒にいた、

イエスは神の国の良いたよりを宣べ伝えるために旅をし、12人もイエスと一緒にいました。

1. イエスは良い知らせを伝える者である - ルカ 8:1

2. 弟子としての呼びかけ - ルカ 8:1

1. マタイ 9:35 - 36 イエスはすべての町や村を巡り、会堂で教え、王国の良いたよりを宣べ伝え、あらゆる病気を癒しました。

2. マルコ 6:34 イエスは上陸して大勢の群衆を見て、彼らを憐れみました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のようなものだからです。それで彼は彼らに多くのことを教え始めました。

ルカ 8:2 また、悪霊と病を癒されたある婦人たち、マグダラと呼ばれるマリア、その中から七人の悪魔が出てきた、

この箇所には、悪霊や病気を癒されたマグダラのマリアについて言及されています。

1. 癒しの力とキリストの愛について。

2. 逆境の克服と、それを乗り越えて神がどのように私たちを助けてくださるかについて。

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. ヤコブ 5:16 - ですから、お互いに罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りましょう。義人の祈りは力強く、効果的です。

ルカ 8:3 また、ヘロデの家令チュザの妻ヨアンナ、スザンナ、その他多くの人々がヘロデに仕えていた。

この一節は、自分の資源を使ってイエスとその宣教に貢献した多くの女性に焦点を当てています。

1.「たくましく生きる～女性支援の力～」

2. 「王国の女性: 献身と投資のモデル」

1. 箴言31:10-31

2. ルカ16:10-13

ルカ 8:4 そして、多くの人々が集まり、あらゆる町からイエスのところに来たとき、イエスはたとえ話をして言われた。

大勢の群衆がイエスの教えを聞くためにどの町にも集まりました。

1. イエスはたとえ話を通して教える

2. イエスの言葉の力

1. マタイ 13:3-9 - イエスは種まき人のたとえを説明します。

2. 詩篇 19:7-8 - 主の律法は完全であり、魂を生き返らせます。主のあかしは確かであり、単純な人を賢くする。

ルカ 8:5 種まき人が種を蒔こうと出かけました。種を蒔いていると、道端に倒れたものもありました。そしてそれは踏みつけられ、空の鳥がそれを食い荒らしました。

種まき人が種を配りに出かけましたが、種の一部が落ちた場所に落ち、鳥に踏まれて食べられてしまいました。

1. 種を蒔く人の忠実さ??種を蒔く人の行動を通して神の忠実さがどのように分かるか

2. 手を差し伸べるリスク??手を差し伸べて福音の種を蒔くには、進んでリスクを負わなければなりません。

1. マタイ 13:3-9 ??イエスは種まき人と種のたとえを説明されます。

2. ヨハネ 4:35-38 ??イエスは弟子たちに福音の種を蒔くよう励まされました。

ルカ 8:6 ある者は岩に落ち、ある者は岩に落ちた。そして、芽が出ても水分がなかったため、すぐに枯れてしまいました。

岩の上に落ちた種は水分不足で枯れてしまいました。

1: 神の備えは常に私たちにとって十分です。繁栄するためには、それを注意深く探し出さなければなりません。

2: 人生で繁栄したいのであれば、神の言葉にどのように反応するかに注意しなければなりません。

1: 詩篇 1:3 「その人は、水の流れのほとりに植えられ、季節に応じて実を結び、葉が枯れない木のようなものです。」

2: イザヤ書 58:11 - 「主は絶えずあなたを導き、焼け焦げた場所でもあなたの欲望を満たし、あなたの骨を丈夫にしてくださいます。そしてあなたは水の満ちた庭園のように、水の泉のようになり、その水は絶えることがありません。」

ルカ 8:7 そして、いばらの中に落ちた者もいた。するといばらが一緒に生えてきて、窒息してしまいました。

この聖句は、気を散らすものを生活に根付かせると、信仰の成長が妨げられる可能性があることを教えています。

1. 「気が散っても信仰の種を蒔く」

2. 「困難にもかかわらず信仰を成長させる」

1. コロサイ 3:2 - 「地上のことではなく、天のことに心を留めなさい。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちな誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、能力を超えた誘惑には遭わせませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

ルカ 8:8 また、ほかの木は良い地に落ち、芽を出し、百倍の実を結びました。そして、これらのことを言い終わると、彼は叫びました、「聞く耳のある者は、聞いてください。」

種まき人のたとえ話は、成長して実を結ぶために神への信仰を置くよう聞き手を促します。

1. 私たちが神に信仰を置くとき、神は私たちに備えてくださるでしょう

2. 人生を変える神への信仰の力

1. コリント人への第二の手紙 9:8 - そして神は、あなたがたにあらゆる恵みを豊かに与えることができるので、あなたは常にすべてのことにおいて十分に満たされ、あらゆる良い行いに満ち溢れることができます。

2. マタイ 17:20 - 彼は彼らに言った。それはあなたの小さな信仰のせいです。本当に、あなたに言いますが、からし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山にこう言うでしょう。ここからあそこへ、そしてそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

ルカ 8:9 そこで、弟子たちがイエスに尋ねて言った、「このたとえは何でしょうか」。

この箇所は、イエスの弟子たちがイエスの話したたとえの意味を尋ねていることを語っています。

1. 神の言葉をより深く理解するために、私たちは常に進んで質問しなければなりません。

2. 私たちは、真理と知恵を求め、心を開いて神に近づくべきです。

1. 箴言 2:3-5 - 洞察力を求めて声を上げ、理解しようと声を上げるなら、銀のように探し求め、隠された宝を探すかのように探し求めるなら、あなたは主への畏れを理解し、知識を見つけるでしょう。神の。

2. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、神に頼めばよい。神はすべての人に、あら探しをすることなく惜しみなく与えてくださる。そうすれば、知恵は与えられるであろう。

ルカ 8:10 そして彼は言った、「あなたがたには神の国の奥義を知ることが与えられているが、他の人にはたとえ話で知ることができる。見ても見えないかもしれないし、聞いても理解できないかもしれないからです。

神の国の奥義は、それを求める人々には明らかにされますが、そうでない人々には隠されたままです。

1. 信仰の力：神の国の神秘を求めて

2. 不信仰のベール: 神の国の謎を明らかにする

1. マタイ 13:11-17 - 種まき人のたとえ話

2. ヨハネ 6:44-45 - すべてを神のもとに引き寄せる

ルカ 8:11 さて、たとえ話はこうです。「種は神の言葉です。」

このたとえ話は、神の言葉は種のようなもので、成長して実を結ぶためには蒔かれ、手入れが必要であることを教えています。

1.「神の言葉は種のようなもの」

2.「神の言葉を通して信仰を成長させる」

1. マタイ 13:1-9 - 種まき人のたとえ話

2. ヤコブ 1:18-25 - 御言葉を実行する者となる

ルカ 8:12 道端で聞いているのは彼らです。そのとき、悪魔が来て、彼らが信じて救われないように、彼らの心から言葉を奪い取ります。

神の言葉は常にすべての人に受け入れられるわけではなく、悪魔はそれを受け入れない人からすぐにそのメッセージを奪い取ります。

1. 神の言葉に耳を傾ける: 受け入れる力

2. 神の言葉を拒否する: 不従順の結果

1. マタイ 13:18-23 - 種まき人のたとえ

2. ヤコブ 1:21 - 実践された真理の言葉

ルカ 8:13 岩の上にいるのは彼らであり、彼らは聞くと喜んでその言葉を受け入れます。そして、これらには根がなく、しばらく信じても、誘惑の時には離れてしまいます。

種まき人のたとえ話は、神の言葉を聞いた人全員がそれを真に受け取るわけではないことを教えています。それを受け入れる人もいますが、試されたときに忠実であり続けるほど根が深くありません。

1. 深い根を培う: 誘惑に直面したときに忠実さを保つ方法

2. 種まき人のたとえ話: 神の言葉をより深く理解する

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、あなたがさまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。 3 なぜなら、信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているからです。4 忍耐力を働かせて、何一つ欠けることのない成熟した完全な者となるようにしましょう。

2. コロサイ 2:6-7 - ですから、あなたがキリスト・イエスを主として受け入れたのと同じように、キリストのうちに自分の人生を生き続け、 7 キリストのうちに根を張って築き上げられ、教えられたとおりに信仰を強め、感謝にあふれてください。。

ルカ 8:14 そして、いばらの中に落ちたのは、それを聞いて出て行って、この世の心配と富と楽しみで窒息し、何の成果も完成させない人々です。

種まき人のたとえ話は、神の言葉を聞いても、世の煩悩や楽しみにすぐに気を取られ、実を結ぶのを妨げてしまう人がいることを明らかにしています。

1: この世の心配ごとにあなたの信仰を妨げられないでください。

2: 世間の気を散らすものを排除し、神に集中し続けます。

1: マタイ 6:24-34 - イエスは、世の心配事で心が重荷にならないようにと励まされています。

2: ヤコブ 4:7-10 - 悪魔に抵抗し、神に近づきなさい。

ルカ 8:15 しかし、彼らは良い地盤に立っていて、正直で善良な心で御言葉を聞いてそれを守り、忍耐をもって実を結びます。

神の言葉を聞いて心に留め、忍耐と忍耐を示す人は良い実を結ぶでしょう。

1. クリスチャン生活における忍耐の力

2. 善良で正直な心を育む

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2. 詩篇 51:10 - 神よ、私の中に清い心を創造し、私の中に不動の霊を新たにしてください。

ルカ 8:16 だれも、ろうそくに火を灯したとき、それを器で覆ったり、ベッドの下に置いたりしません。しかし、それを燭台の上に置き、中に入る者が光を見ることができるようにする。

点灯したライトを隠す人は誰もいません。代わりに、他の人が見ることができる目に見える場所に配置されます。

1: 世界に向けて自分の光を輝かせ、他の人にとって希望の光となりましょう。

2: 私たちは光の灯となり、福音の真理を世界に伝えるよう招かれています。

1: マタイ 5:16 - 人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができるように、あなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。

2: ヨハネ 1:4-5 - 彼の中に命があり、その命は人の光でした。光は闇の中で輝いていますが、闇はまだ光を克服していません。

ルカ 8:17 秘密であり、明らかにされないものは何もないからです。何も隠していないので、それが知られて外に出ることはありません。

何も隠されておらず、何も秘密のままになることはありません。すべての秘密が明らかになります。

1: 神はすべてを見ておられ、何も隠されていないため、私たちは誠実かつ正直に生きるよう努めるべきです。

2: 神は主権者であり、神に対して秘密は隠されていません。私たちは従順であり、神の意志に従って行動するよう努めるべきです。

1: ヨブ 34:21-22 - 彼の目は人の道にあり、彼の行く末をすべて見ているからです。悪を行う者たちが身を隠すことができる暗闇や死の影はありません。

2: 箴言 5:21 - 人間の道は主の目の前にあり、主は自分の行く末をすべて熟考される。

ルカ 8:18 ですから、どのように聞くかに注意してください。持っている者には、その人に与えられるからです。そして、持っていない者は、持っているように見えるものさえも彼から取り上げられるであろう。

イエスは、神からの祝福を受け、すでに持っているものを失わないようにするために、聞いたことに注意を払うようにと教えています。

1. 信仰の耳を身につける：神の言葉を聞くことを学ぶ

2. 聞く心に祝福をもたらす: 神の言葉の豊かさを解き放つ

1. ヤコブ 1:19-21 - 神の言葉は完全であり、私たちの生活に適用されるべきであることを理解してください。

2. 詩篇 119:105 - 神の言葉をより深く理解するために、昼も夜も神の言葉を黙想してください。

ルカ 8:19 それから、彼の母親と兄弟たちが彼のところに来たが、報道機関のために彼に近づくことができなかった。

イエスの母親と兄弟たちはイエスに近づこうとしましたが、大勢の群衆のためにできませんでした。

1. 神を求めることをどんな障害にも妨げられないでください。

2. 家族や神との関係を優先することが重要です。

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

2. マルコ 3:31-35 - そのとき、彼の兄弟たちと母親が来て、外に立って彼を呼び寄せた。すると群衆が彼の周りに座り、「見よ、あなたの母も兄弟もあなたを捜さないのに」と言った。そこで彼は彼らに答えて言った、「私の母は誰ですか、それとも私の兄弟は誰ですか？」そして彼は自分の周りに座っている人々を見回しこう言いました、「見なさい、私の母と私の兄弟たちよ！」神の御心を行う者は誰であれ、私の兄弟、私の妹、そして母も同じだからです。

ルカ 8:20 すると、ある者が彼に告げた、「あなたのお母さんとあなたの兄弟たちが、あなたに会いたがって外に立っているのです。」

イエスは、母親と兄弟たちが外に出てイエスに会いたがっていると人々から知らされました。

1.？쏤 amily Ties: イエス自身に対するイエスの愛??

2.？愛の力: イエスの無条件の愛??

1. マタイ 12:46-50 (母親と兄弟に対するイエスの返答)

2. マルコ 3:31-35 (母親と兄弟に対するイエスの返答)

ルカ 8:21 するとイエスは答えて彼らに言った、「わたしの母とわたしの兄弟たちは、神の言葉を聞いてそれを行う人たちです。」

私の母と兄弟たちは神の言葉に耳を傾け、それに基づいて行動する人たちです。

1. 神の言葉に従って生きることの大切さを強調する「豊かな人生の約束」

2.「聞く力」、時間をかけて神の言葉を深く聞くことの重要性を強調

1. ヤコブ 1:22-25、ただ聞く者ではなく御言葉を行う者であることについて語っています。

2. ヨハネ 14:15-21。戒めを守る人々に対するイエスの永遠の命の約束について語られています。

ルカ 8:22 さて、ある日のこと、イエスは弟子たちと一緒に船に乗り、彼らに言われた、「湖の向こう側へ行こう」。そして彼らは出発した。

イエスと弟子たちは舟に乗り、湖の反対側へ向かいました。

1. 弟子たちとのイエスの旅: 団結の力

2. イエスと弟子たちの信仰：困難な状況において神を信頼することを学ぶ

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

ルカ 8:23 しかし、航海中に彼は眠ってしまった。すると、湖に嵐が吹いた。そして彼らは水で満たされ、危険にさらされていました。

弟子たちはイエスと一緒に航海中に嵐に遭遇し、沈没の危険にさらされました。

1. 危険や不確実な状況のときに、私たちは神を信頼できます。

2. 物事が制御不能に見えるときでも、神は制御しておられ、どんな状況でも私たちを乗り越えさせることができます。

1. 詩篇 46:1-3 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。

2. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

ルカ 8:24 そこで彼らはイエスのところに来て、彼を起こして言った、「先生、先生、私たちは滅びます。」それから彼は立ち上がって、風と水の荒れを叱責しました。すると、それらは止み、静まり返りました。

弟子たちは嵐で死んでしまうのではないかと心配しましたが、イエスは風と水を静められました。

1. 困難なとき、私たちは平和をもたらしてくれるイエスを信頼できます。

2. 神は自然のすべての要素を統治しており、嵐の真っ只中でも私たちを守ってくださいます。

1. マタイ 6:25-27 - したがって、私はあなたに言います。自分の人生や何を食べるか、何を飲むかについて心配する必要はありません。または自分の体について、何を着るかについて。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？空の鳥を見てください。彼らは種を蒔いたり、刈り取ったり、納屋に保管したりはしませんが、あなたがたの天の父は彼らを養ってくださいます。あなたは彼らよりもずっと価値があるのではありませんか？

2. 詩篇 46:10 - 彼はこう言います。私は静止しており、私が神であることを知っています。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるだろう。

ルカ 8:25 そこでイエスは彼らに言った、「あなたの信仰はどこにあるのか」。そこで彼らは恐れて不思議に思い、互いに言い合った、「この人は何という奴だ！」神は風や水さえも命令し、彼らはそれに従うからである。

信仰は神の命令に従うために不可欠です。

1.「信仰の力：神の命令に従う」

2.「恐れるな：信仰の強さ」

1. ヘブライ人への手紙 11:1-6

2. ローマ人への手紙 10:17

ルカ 8:26 そして彼らは、ガリラヤと対峙するガダラ人の国に到着した。

この箇所は、イエスと弟子たちがガリラヤの向かいにあるガダラ人の国に到着したことを語っています。

1. イエスの反対側への旅 - ガダラ人の国でのイエスの奇跡の意味を探る

2. 快適な環境から抜け出す - ガダラ人の国へのイエスの宣教の例

1. マタイ 8:28-34 - ガダラ人の国におけるイエスの奇跡

2. マルコ 5:1-20 - ガダラ人の国における悪霊に取り憑かれた男に対するイエスの奇跡

ルカ 8:27 それで、彼が陸に出て行くと、町から出てきたある男に出会った。その男は、長年悪霊に取り憑かれており、衣服も着ておらず、どこの家にも住んでおらず、墓の中に住んでいた。

一節 悪霊に取り憑かれ、衣服も着ず墓の中で暮らしていた男が、陸に着いたときにイエスに出会った。

1. 追放された者の希望: イエスは最も失われた者たちをどのようにして救ったのか。

2. イエスの無条件の愛: すべての人にどのように手を差し伸べるか。

1. マタイ 12:22-28 - イエスは悪霊を追い出し、ベルゼブルの力によって悪霊を追い出したとして非難されます。

2. マルコ 5:1-20 - イエスは多くの悪霊を人から追い出し、豚の群れの中に送り込みました。

ルカ 8:28 彼はイエスを見ると、叫び、その前にひれ伏し、大声で言った、「神のいと高き御子イエスよ、私と何の関係があるのですか。」お願いです、私を苦しめないでください。

その男はイエスが神の子であることを認めているので、自分を苦しめないでほしいとイエスに頼みました。

1. イエスを神の子として認める力

2. イエスを信頼することの重要性

1. マタイ 8:29 - 「すると、見よ、彼らは叫んで言った、『神の御子イエスよ、私たちはあなたと何の関係があるのですか』。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも気をつけなさい。しかし、どんなことにおいても、感謝を込めて祈りと願いをささげることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、人知を超えた神の平安が、あなたがたの心と心を保ってくれるでしょう。」キリスト・イエスを通して思いを馳せるのです。」

ルカ 8:29 (というのは、イエスは汚れた霊に、その人から出て行けと命じておられたからである。というのは、汚れた霊がしばしば彼を捕らえたからだ。そして、彼は鎖や足かせでつながれ、その紐を破り、悪魔に追いやられたのである。荒野。）

この箇所には、悪魔に鎖でつながれていた男性のことが書かれていますが、イエスは汚れた霊にその人から出るように命じられました。

1: 私たちは絶望の瞬間にいつでもイエスに頼ることができます。なぜなら、イエスは必ず私たちを解放してくださるからです。

2: 私たちが無力だと感じているときでも、イエスは私たちに囚われの鎖を断ち切る力を与えてくださいます。

1: ローマ人への手紙 8:1-2 (したがって、キリスト・イエスにある者たち、肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は何の罪にも定められていません。なぜなら、キリスト・イエスにある命の御霊の法則が私を自由にしてくださったからです。罪と死の法則から。）

2: 詩篇 146:7 (虐げられた者に裁きを執行する者、飢えた者に食物を与える者。主は囚人を解き放つ:)

ルカ 8:30 そこでイエスは彼に尋ねて、「あなたの名前は何ですか」と言われた。そして彼は言った、「軍団：多くの悪魔が彼の中に入れられたからです。」

この箇所は、イエスが多くの悪魔に取り憑かれた男に出会った様子を説明しており、イエスが名前を尋ねると、男は「レギオン」と答えた。

1. イエスへの信仰を通して内なる悪霊を克服する

2. キリストにおける私たちのアイデンティティを理解する

1. マタイ 8:28-34 ??イエスは二人の男から悪霊を追い出す

2. ローマ人への手紙 8:37-39 ??どんな力も私たちをキリスト・イエスにおける神の愛から引き離すことはできません。

ルカ 8:31 そこで彼らは、深みに行くように命令しないでほしいと懇願した。

悪霊の群れはイエスに、自分たちを深みに送らないようにお願いしました。

1. 信仰の深さ: イエスを信頼することを学ぶ

2. 誘惑に打ち勝つ：サタンの嘘を拒絶する

1. マタイ 4:1-11 - 荒野におけるイエスの誘惑

2. ヤコブ 4:7 - 悪魔に抵抗しなさい、そうすれば悪魔はあなたから逃げます。

ルカ 8:32 すると、山でたくさんの豚の群れが餌を食べていた。彼らは、豚の中に入るようにしてほしいと頼んだ。そして彼は彼らに苦しみました。

豚の群れはイエスによって山に入ることが許されました。

1: イエスは恵みと憐れみに満ちており、私たちにとって最善のことをしてくださると信頼できることを覚えておく必要があります。

2: イエスの力は無限であり、私たちが想像できない方法で癒し、助けることができます。

1: マタイ 8:1-3 - イエスがカペナウムに入られたとき、百人隊長がイエスのところに来て、しもべの助けを求めました。

2: ヨハネ 8:1-11 - イエスは姦淫の現場で捕らえられた女を許し、「行ってもう罪を犯さないように」と言われました。

ルカ 8:33 それから、悪霊たちがその人から出て、豚の中に入った。すると、群れは険しい場所を湖に激しく走り下り、窒息した。

悪魔たちは男を置き去りにして豚の群れに取り憑き、険しい場所を駆け下りて湖で死んでしまいました。

1. 悪魔の憑依を克服するイエスの力

2. 主に信頼することの重要性

1. マタイ 8:28-34 - イエスが悪霊たちを支配する権威を得る

2. ヤコブ 1:2-4 - 試練や艱難の中に喜びを見出す。

ルカ 8:34 彼らに食事を与えていた人々は、事の成り行きを見て逃げ、町や田舎に行ってそのことを告げ知らせた。

悪霊に取り憑かれた人に餌を与えていた人々は、イエスが悪霊を追い出されるのを見て恐れを抱き、何が起こったのかを他の人に知らせようと走って行きました。

1. イエス・キリストの力 - イエスはどんなことも克服する力を持っています。

2. イエスの奇跡に応答する - イエスが行った奇跡と不思議な出来事に私たちはどのように応答すべきか。

1. マタイ 8:16 - 夕方になると、悪霊に取り憑かれた多くの人々がイエスのもとに連れて来られ、イエスは言葉で悪霊を追い出し、病人をすべていやされました。

2. マルコ 5:19 - しかし、イエスはそれを許さず、彼に言われた。ああ、自分の民に帰って、主があなたのためにどれほどのことをしてくれたのか、そしてあなたにどれほど慈悲を与えてくださったのかを伝えてください。

ルカ 8:35 それから、彼らは何が起こったのかを見に出かけた。そして、イエスのところに来ると、悪魔が去ったその男が、服を着て正気でイエスの足もとに座っているのを見つけたので、彼らは恐れた。

悪霊に憑かれた男はイエスによって癒され、衣服を着て健全な精神でイエスの足元にいたのが発見されました。

1. 私たちを癒し、回復させる神の力はイエスの中にあります。

2. イエスは私たちの希望と癒しの源です。

1. イザヤ書 53:5 - ?彼は私たちの罪のために刺し貫かれ、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. マタイ 11:28 - ?疲れて重荷を負っているすべての人たちよ、私があなたたちに休息を与えます。

ルカ 8:36 それを見た人々も、悪霊に取り憑かれていた人がどのようにして癒されたのかを話しました。

この箇所は、イエスが悪魔に憑かれた人をどのように癒したかを語っています。

1. 抑圧された人々を癒す神の力

2. イエスの救う力の真実

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち傷を負いました。私たちの平和のための懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2. 使徒 10:38 - 「神はどのようにしてナザレのイエスに聖霊と力を注いだか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人を癒して回った。神が彼とともにおられたからである。」

ルカ 8:37 そこで、周囲のガダラ人の国の群衆は皆、彼に彼らから離れるように懇願した。彼らは大きな恐怖を抱いたので、彼は船に乗り込み、再び戻った。

ガダラ人の人々は恐れを抱いてイエスに自分たちの町から立ち去るように懇願しました。それからイエスは舟に戻り、去って行かれました。

1. 神の力と臨在は、神を知らない人にさえ恐怖をもたらすことがあります。

2. 私たちが圧倒されたり怖くなったりしたとき、イエスはいつも私たちを助けてくれます。

1. 詩篇 34:7 - 主の天使は、彼を恐れる者の周りに陣を張り、彼らを救い出します。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

ルカ 8:38 さて、悪霊たちを追い出したその人は、一緒にいてほしいと願ったが、イエスはこう言われて彼を追い返された。

悪霊から解放されたその人はイエスのもとに留まりたいと願いましたが、イエスは行って何が起こったのか良いたよりを広めるように言われました。

1. 証言することの重要性 - その男性はイエスと一緒にいることを求めましたが、イエスは外に出て何が起こったのか良い知らせを広めるように言われました。

2. イエスの力 - イエスは悪霊を追い出し、人を解放する強力な能力を持っていました。

1. マルコ 16:15-20 - そしてイエスは彼らに言った、「あなたがたは全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

2. 使徒 1:8 - しかし、あなたがたは力を受けるであろう。その後、聖霊があなたがたに臨んだ後、あなたがたはエルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして世界の最果てに至るまで、わたしの証人となるであろう。地球。

ルカ 8:39 自分の家に帰り、神があなたにどれほど大きなことをしてくださったかを見せてください。そして彼は出発し、イエスが自分にどれほど偉大なことをしてくださったかを町中に広めました。

ある男性はイエスによって癒され、家に帰り、町の人々にイエスの癒しの力について話しました。

1. イエスの力がどのように人生を癒し、変えるのか

2. 証言の力: 私たちのストーリーが世界にどのような影響を与えることができるか

1. マルコ 5:19 - ?そして彼は、誰にもそのことを知られるべきではないと厳しく命じています。そして彼女に何か食べさせるように命じました。

2. ローマ人への手紙 10:14-15 - ?さて、それでは彼らはまだ信じていない彼を呼び求めるべきでしょうか？聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？そして、彼らは遣わされる以外にどうやって説教するでしょうか？

ルカ 8:40 そして、イエスが戻られると、人々は喜んでイエスを迎えた。皆がイエスを待っていたからである。

人々はイエスの再臨を心待ちにしていました。

1: 主を待ち望むことは喜びと満足感をもたらします。

2: 神は時々遅らせますが、決して失望させません。

1: 詩篇 27:14 - 主を待ち望みなさい。強くなり、勇気を出して主を待ち望みましょう。

2: イザヤ書 40:31 - しかし、主に望みを持つ者は力を新たにします。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

ルカ 8:41 すると、見よ、ヤイロという名前の人が来た。彼は会堂の支配人だった。すると、イエスの足もとにひれ伏して、家においでと懇願した。

会堂の支配人であるヤイロという男がイエスの足もとにひれ伏して、家に来てくれるように懇願した。

1. ヤイロの謙虚さと信仰

2. イエスの臨在の力

1. マタイ 15:22-28 - カナン人の女性の信仰

2. マルコ 5:21-43 - イエスは出血の女性を癒し、ヤイロの娘を死からよみがえらせた

ルカ 8:42 なぜなら、彼には十二歳ほどの一人娘がいたが、彼女は瀕死の状態にあったからである。しかし、彼が行くと人々が彼に群がりました。

この一節は、12歳ほどの娘が一人いて、瀕死の状態にあった父親のことを語っています。彼が行くと、周りの人々が彼に押し寄せた。

1. 家族の価値: 悲しみの時の父親の愛

2. 思いやりの力: 必要なときの父親の悲しみ

1. 詩篇 34:18 - ? 쏷主は心の傷ついた人の近くにいて、精神的に打ちひしがれた人を救います。

2. マタイ 9:36 - ?群衆を見て、彼は彼らに同情しました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のように、嫌がらせを受け、無力であったからです。

ルカ 8:43 また、ある女性は血の問題を抱えて十二年間、医者にかかって生活のすべてを費やしてきたのですが、どちらの病気も治りませんでした。

この一節は、12年間出血性疾患に苦しみ、全財産を治療に費やしたが効果がなかった女性について語ります。

1. 神は究極の癒し手であり、私たちの癒しの希望は神にあります。

2. 神の力は、私たちがあらゆる努力を結集したよりも偉大です。

1. ヤコブ 5:14-15 ?あなたの中に病気の人はいますか？彼らに教会の長老たちを呼んで彼らのために祈ってもらい、主の名において油を注いでもらいましょう。そして、信仰をもってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせてくださいます。

2. イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

ルカ 8:44 彼の後ろに来て、彼の衣の縁に触れると、すぐに彼女の血は止まりました。

ルカ 8 章 44 節のこの箇所は、重篤な病状を患っていた女性が、イエスの衣の裾に触れたときに癒されたという物語です。

1. イエスの癒しの力：彼の神性のしるし

2. 信仰と奇跡: 逆境を克服するために私たちの信念がどのように役立つか

1. マタイ 9:20-22 (すると、見よ、12 年間血の病気を患っていた女性が彼の後ろに来て、彼の衣の裾に触れた。彼女は心の中でこう言った。「彼の衣服、私は完全になります。しかし、イエスは彼を振り向かせ、彼女を見ると、言いました、「娘よ、安らかに過ごしてください。あなたの信仰があなたを完全にしました。そして、その女性はその時から完全になりました。」

2. ヘブライ 11:1 (さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。)

ルカ 8:45 するとイエスは、「だれがわたしに触れたのですか」と言われた。全員が否定すると、ペテロと彼と一緒にいた人々は言いました、「先生、群衆があなたに群がってあなたに迫り、あなたはこう言います、誰が私に触れたのですか？」

イエスは大勢の群衆に囲まれていたにもかかわらず、誰が自分に触れたのか尋ねられました。

1. タッチの力: イエスはあらゆる祈りと従順の行為をどのように見ているか

2. 感情的なつながりの重要性: イエスは弟子たちとの関係を求めている

1. ヨハネ 20:27-29 - イエス?トーマスへの姿と、トーマスに触れるよう呼びかける様子。

2. マタイ 9:20-22 - イエス?血の問題を抱えた女性の癒しと、彼女が主に触れることを可能にした信仰の力。

ルカ 8:46 するとイエスは言われた、「誰かが私に触れました。私の中から徳が消え去ったのがわかります。」

イエスは誰かが自分に触れ、自分の力が自分から出ていったのを感じました。

1. イエスの力??タッチ: 神を受け入れることを学ぶ?恵みと慈悲

2. イエスの奇跡??タッチ：神の癒しの力を体験

1. マルコ 5:30、「イエスは、自分の中から徳が消え去ったことをすぐに悟り、印刷機の中を向き直して、「だれが私の服に触れたのか」と言われた。

2. ヤコブ 5:14-16、「あなたたちの中に病気の人はいますか。その人に教会の長老たちを呼んでもらい、主の名において油を塗って彼のために祈ってもらいましょう。そうすれば信仰の祈りが生まれます。」「病人を救いなさい。そうすれば、主は彼をよみがえらせてくださいます。そして、もし彼が罪を犯したなら、それは赦されます。あなたがたが癒されるように、お互いに自分の過ちを告白し、お互いのために祈りなさい。効果的な熱心な祈りです。」正しい人は多くのことを役に立ちます。」

ルカ 8:47 そこで、女は自分が隠れていないのを見て、震えながら彼の前にひれ伏し、何のために彼に触れたのか、またどのようにしてすぐに癒されたのかをみんなの前で宣言した。

女性はイエスの力を認め、イエスの前にひれ伏し、なぜイエスに触れたのか、またどのようにして癒されたのかを告白しました。

1. 信仰の力: イエスの力を認識する

2. 信仰の癒し：イエスの奇跡を体験する

1. マタイ 9:20-22 - 「すると、見よ、12 年間血の分泌に苦しんでいた女性が彼の後ろに来て、彼の衣の裾に触れた。彼女は心の中でこう言ったからである。私は触れるだけだ」彼の衣服、私は良くなります。??イエスは振り向いて、彼女を見て言われました、「安心してください、娘さん、あなたの信仰があなたを良くしました。??そしてすぐに女性は良くなりました。」

2. マルコ 5:25-34 - そして、そこには 12 年間出血し続けている女性がいました。彼女は多くの医師の治療を受けて大変苦しみ、持てるすべてを費やしてきましたが、症状は良くなるどころか悪化してしまいました。彼女はイエスのことを聞いたとき、群衆の中でイエスの後ろに近づき、彼のマントに触れました。 쏧 f 彼の服に触れるだけで、私は癒されます。??すぐに彼女の出血は止まり、彼女は苦しみから解放されたことを体で感じました。

ルカ 8:48 すると彼は彼女に言った、「娘よ、元気になってください。あなたの信仰のおかげであなたは元気になりました。あなたは元気になりました。」平和に行きなさい。

この聖句は、平和をもたらす信仰の重要性を強調しています。

1: 神への信仰は、困難な時に私たちに平安と慰めをもたらします。

2: たとえ人生が困難なときでも、私たちは主にあって平安と慰めを得ることができます。

1: フィリピ 4:7 - そして、人知を超えた神の平安が、キリスト・イエスを通してあなたがたの心と思いを保つでしょう。

2: イザヤ書 26:3 - あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保ってくださいます。なぜなら、彼はあなたを信頼しているからです。

ルカ 8:49 彼がまだ話している間に、会堂の家の支配人が来て、彼に言った、「あなたの娘は亡くなりました。」困るのはマスターではない。

イエスが会堂の支配者と話していると、娘が亡くなったという知らせを伝える使者が到着しました。使者は彼に、マスターの邪魔をしないように言いました。

1. イエスは気遣う：思いやりと愛の力

2. しるしと奇跡: イエスはどのように人生を変えたのか

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われました。쏧 は復活であり、命です。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. マルコ 5:35-36 - 彼がまだ話している間、支配者の家から何人かの人たちが来てこう言いました。私たちの娘が亡くなりました。なぜこれ以上先生を悩ま

せるのでしょうか？しかし、彼らの言葉を聞いて、イエスは会堂の支配者にこう言いました。恐れることはありません、ただ信じてください。

ルカ 8:50 しかし、イエスはそれを聞くと、答えて言われた、「恐れるな。ただ信じなさい。そうすれば彼女は治るだろう」。

この一節はイエスへの信仰を奨励し、癒しを約束します。

1. イエスを信頼する: 信じて彼の癒しを受けましょう

2. 恐れる必要はありません: イエスに信仰を置き、イエスの祝福を受けましょう

1. ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る人は、神がご自身であり、神を求める人々に報いてくださる方であることを信じなければなりません。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。私はあなたを強めます、はい、私はあなたを助けます、私の義の右手であなたを支えます。

ルカ 8:51 そして、イエスが家に入ったとき、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、そして乙女の父と母以外には、誰も中に入るのを許しませんでした。

イエスは病気の少女の家に入り、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、そして少女の両親だけが入ることを許可します。

1. イエスの力: イエスはどのように病気の少女を癒したか

2. 父の信仰: 父の信仰が歴史の流れをどのように変えたか

1. マタイ 8:14-15 ??イエスは病人を癒す

2. マルコ 5:22-43 ??イエスはヤイロの娘を死からよみがえらせる

ルカ 8:52 そこで皆は泣いて彼女を嘆いたが、彼は言った、「泣かないでください。」彼女は死んでいませんが、眠っています。

死んだと思われていた女性は眠っているだけだったので、イエスは悲しむ群衆に「泣かないように」と命じられた。

1: 信仰の中で泣く - 悲しみの時に神を信頼する

2: イエスの力 - イエスはどのようにして死者に命を吹き込んだのか

1: ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われました。쏧 は復活であり、命です。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2: マルコ 5:35-43 - イエスはヤイロの娘を死からよみがえらせます。

ルカ 8:53 そこで彼らは、彼女が死んだのを知って、彼をあざ笑った。

人々はイエスが死んだ女性を生き返らせることができると主張したことを笑いました。

1. イエス：永遠の命の希望

2. たとえ不可能に思えてもイエスを信じなさい

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスはこう言いました。쏧 は復活であり、命です。私を信じる者は死んでも生き、生きていて私を信じる者は決して死なない。

2. マタイ 17:20 - 彼は彼らに言った。それはあなたの小さな信仰のせいです。本当に、あなたに言いますが、からし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山にこう言うでしょう。ここからあそこへ、そしてそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

ルカ 8:54 そこで、イエスはそれらをすべて外に出し、彼女の手を取って呼んで、「お嬢さん、起きてください」と言った。

イエスは、長い間病気に苦しんでいた女性の手を取り、立ち上がるように言い、彼女を癒しました。

1. イエスへの信仰は癒します: イエスの奇跡的な力に関する研究

2. イエスの名において奇跡的な癒しを体験する

1. マタイ 9:2-8;イエスは中風の人を癒す

2. マルコ 5:25-34。イエスは出血した女性を癒す

ルカ 8:55 すると、彼女の霊が再び臨んで、彼女はすぐに立ち上がった。そして、イエスは彼女に肉を与えるように命じた。

この箇所では、イエスが女性の霊に命を回復させ、食べ物を与えるように命じて女性を癒したことについて説明しています。

1. 癒し、糧を与えるイエスの力

2. イエスの命令に従うことの重要性

1. マタイ 8:2-3 「すると、見よ、らい病人が来て、彼を拝んで言った、『主よ、御心ならば、私を清めてくださいます。』すると、イエスは手を差し出して、彼に触れて、こう言われました。するとすぐに彼のハンセン病は清められたのです。」

2. マルコ 1:40-41 - 「すると、一人のらい病人が彼のところに来て、懇願し、ひざまずいて言った、『御心ならば、わたしを清くしてくださることがおできになります。』すると、イエスは憐れみの心に動かされて、こう言われました。手を出して彼に触れ、「そうします、あなたは清くなります」と言った。」

ルカ 8:56 すると両親は驚いた。しかし、両親は、このことを誰にも話してはいけないと言いつけた。

ルカ 8 章 56 節のこの一節は、死後しばらく経っていた少女にイエスが行った奇跡的な癒しについて語っています。そして、少女の両親に、何が起こったのか誰にも言わないよう頼んだ。

1.「信仰の力：少女の奇跡の癒し」

2.「神の意志: 奇跡を秘密にする」

1. マタイ 8:1-4、イエスはハンセン病の人を癒す

2. 使徒 5:12-16、ペテロは神殿の門で足の不自由な人を癒します

ルカ9章には、12人の弟子の派遣、5,000人の食事、ペテロのキリストの告白、イエスの変容が含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスが 12 人の弟子たちに悪霊を追い出し、病気を治す力と権威を与えたところから始まります。神は神の国を宣べ伝え、病人を癒すために彼らを派遣しました。イエスは彼らに、旅には何も持って行かず、メッセージを受け取る人たちのもてなしを頼りにするようにと指示されました(ルカ9:1-6)。一方、ヘロデ・アンティパスは、起こっていることすべてを聞き、ヨハネが死からよみがえったと言う人もいたので当惑しました(ルカ9:7-9)。

第2段落: 伝道旅行から戻った後、イエスはベツサイダの近くでひっそりと弟子たちを脇に連れて行ったが、群衆はイエスの後を追って人々を歓迎し、王国について話したことがわかった 十二日の服を着ていた日は癒しが必要な人々を神は癒してくれた 群衆は困難に直面しても近くの村で食料の宿泊施設を見つけることができると示唆したので解散させた「あなたは彼らに何か食べるものをあげます。」彼らは、全員が食料を買いに行かない限り、パン 5個、魚2匹だけと抗議した。しかし、 50人の群衆グループを組織し、弟子たちにパンを配らせ、感謝を捧げた後、奇跡的な増殖を行い、全員が満足して 12個の籠を食べ、残りの部分を集めました。これは、神の備えである同情心が多くの人を必要としていることを示しています（ルカ9:10-17）。

第三段落：その後、個人的な場面で、群衆がイエスは誰だと弟子たちに尋ね、バプテストのヨハネ、エリヤ、さらには古代の預言者の一人が生き返ったという考えを報告し、それから「では、あなたはどうですか？私は誰だと思いますか？」と尋ねました。ペテロは「神のメシア」と答え、イエスの真の使命を認めました（ルカ 9:1 8-20）。これに続いてイエスは、拒否された長老たち祭司長、教師たちは多くのことを受けなければならないと教え始め、三日目に命を上げ、法律で殺さなければならないと教え始めた。また、イエスに続く代価についても話し、自分の十字架を負い、毎日自分の命を失うことは、それを得るために恥じている者たちに警告することだった。聖なる天使の父よ、栄光が来ます（ルカ 9:21-27）。この章は、イエスがピーター・ジョン・ジェームスを山に連れて行った変容の物語であり、姿が変わり、衣服がまばゆい白になり、モーセ・エリヤが現れ、輝かしい輝きが現れ、成就をもたらすと語った出発をエルサレムが目撃し、天が「この子が選んだのです。聞いてください！」と断言する声を天が目撃した。この経験は秘密にされ、誰にも語られなかったが、最後の章では、失敗した悪魔祓い、後に不純な霊を叱責することで悪魔に取り憑かれた少年の治癒に成功、少年を再び父親に戻す、精神的な力に対する権威を示す、簡単な教え、小さな子供たちを歓迎する、名前の予測、彼の裏切りも含まれる欲望 どこへでもついてきなさい 矯正 間違った熱意 ジェームズ・ジョンは、打ち下ろしを呼び掛けたかった サマリアの村はイエスの旅を歓迎しなかったエルサレムは過激な要求を強調し、代償を払う 弟子としての慣習的な期待への挑戦 従うとはどういう意味か、王国神に仕える。

ルカ 9:1 それからイエスは十二人の弟子たちを集めて、すべての悪魔を治し、病気を治す力と権威を彼らに与えました。

イエスは12人の弟子を呼び、彼らに悪霊を克服し、病気を治す力と権威を与えました。

1. イエスの力: イエスは弟子たちに治癒の力と権威をどのように与えたか

2. 弟子たちに対するイエスの愛: イエスは弟子たちに権威を与えることを通して、どのようにして偉大な愛を示したのか

1. マタイ 10:1 - そして、イエスは 12 人の弟子たちを呼び寄せたとき、彼らに汚れた霊に対抗し、追い出し、あらゆる種類の病気や病気を癒す力を与えました。

2. マルコ 6:7 - そこでイエスは十二人を呼び、二人ずつ送り出し始めた。そして彼らに汚れた霊を支配する力を与えました。

ルカ 9:2 そして、神は神の国を宣べ伝え、病人を癒すために彼らを遣わした。

イエスは神の国のメッセージを宣べ伝え、病人を癒すために弟子たちを遣わしました。

1. 説教の力: イエスは福音を通して人生をどのように変えたのか

2. 信仰による癒し: イエスの奇跡を理解する

1. マタイ 10:6-8 「むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところに行きなさい。そして行きながら、『天の御国は近づいた』と宣言しなさい。」病人を癒し、死者を蘇らせ、らい病人を清め、悪霊を追い出しなさい。」

2. ヤコブ 5:13-16 - 「あなたたちの中に苦しんでいる人はいますか。祈ってください。元気な人はいますか。賛美を歌ってください。あなたたちの中に病気の人はいますか。教会の長老たちを呼んで祈ってもらいましょう。」「彼に、主の御名において油を注ぎました。そして、信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみが

えらせます。そして、もし彼が罪を犯したなら、彼は赦されます。」

ルカ 9:3 そこでイエスは彼らに言った、「旅には杖も聖書もパンもお金も何も持って行かないでください。」どちらもそれぞれ2回のコートを持っています。

イエスは弟子たちに、旅には何も持っていかないようにと指示されました。

1. 慣れない状況で神を信頼する

2. シンプルな生活を送る

1. マタイ 10:9-10 「財布の中に金も銀も真鍮も用意してはならない。旅の必需品も用意してはならない。上着も靴も杖も二枚も用意してはいけない。職人にはその肉に値するからだ。」

2. 申命記 8:2-3 「そして、あなたの神、主がこの四十年間荒野であなたを導かれ、あなたを謙虚にし、あなたを証明し、あなたの心のうちを知るために、あなたが望んでいたかどうかを知るために導かれた道をすべて思い起こしなさい。」彼の戒めを守るか、そうでないか。そして彼はあなたを謙虚にし、あなたを飢えさせ、あなたが知らなかった、あなたの先祖も知らなかったマナをあなたに与えました。それは、人はパンだけで生きるものではなく、主の口から出る一つ一つの言葉によって生きるということを、あなたに知らせるためである。」

ルカ 9:4 そして、あなたがたはどの家に入っても、そこに住み、そしてそこから去ります。

ルカのこの一節は、信者たちに、歓迎される場所に留まり、出発の時が来たら立ち去るよう勧めています。

1. ホスピタリティの力: 他者を歓迎することで私たちの生活はどのように変わるのか

2. 従順の祝福: 神の命令に従うことでどのように報酬がもたらされるか

1. ローマ 12:13 - 「聖徒たちの必要に応え、もてなしの心を示すように努めなさい。」

2. ヘブライ 13:2 - 「見知らぬ人をもてなすことを怠ってはなりません。それによって、知らず知らずのうちに天使をもてなしている人もいるからです。」

ルカ 9:5 そして、あなたがたを受け入れようとしない人は、その町を出るとき、彼らに対する証言として、足の塵を払い落としなさい。

この箇所では、イエスのメッセージを受け入れない人々に対して証言することの重要性が論じられています。

1. 証言の力: 神の言葉を広めるために証人を活用する方法

2. 沈黙を拒否する: 拒絶に直面したときの信仰の強さ

1. 使徒 5:29-32 - ペテロと他の使徒たちは、人間ではなく神に従うという決断をしました。

2. エレミヤ 5:1 - エルサレムに忠実さを求める神の呼びかけ。

ルカ 9:6 それから、彼らは出発して、町々を巡回して、あらゆる場所で福音を宣べ伝え、癒しを行った。

イエスは福音を宣べ伝え、病人を癒すために弟子たちを送りました。

1. イエスの宣教の力: イエスはどのようにして弟子たちを説教と癒しのために遣わしたのか

2. 神の愛の実践: イエスの説教と癒しの奉仕の例

1. 使徒 10:38 - 「神はどのようにしてナザレのイエスに聖霊と力を注がれたのか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人々を癒して回った。神は共におられたからである。」

2. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上にある町を隠すことはできません。また、彼らはランプを灯して籠の下に置くのではなく、燭台の上に置きます。」

ルカ 9:7 さて、領主ヘロデは、ヨハネが行ったすべてのことを聞いて当惑した。ヨハネが死人の中からよみがえったという話が一部で流れていたからである。

ヘロデ王は、洗礼者ヨハネが死からよみがえったという主張に当惑しました。

1: イエスの力は死よりも大きく、イエスにとって不可能なことは何もありません。

2: 私たちは神の力に戸惑うことはできず、神の忠実さを信頼しなければなりません。

1: ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。そして生きていて私を信じる者は決して死ぬことはありません。」

2: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、それができないと私は確信しているからです。それは、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すためです。

ルカ 9:8 また、ある人たちは、エリアスが現れたと言いました。そして他の人たちの話では、古い預言者の一人が復活したという話もありました。

人々はエリヤと古い預言者の一人が復活した奇跡的な出来事について聞いていました。

1. 奇跡は信仰によって起こります

2. 困難な時代における希望の力

1. マタイ 17:1-9 - イエスの変容

2. ヨハネ 11:17-44 - イエスはラザロを死者の中からよみがえらせる

ルカ 9:9 ヘロデは言った、「ヨハネは私が首を切りました。しかし、そのようなことを聞いているこの人は誰ですか？」そして彼は彼に会いたかったのです。

この箇所は、ヘロデがイエスのことを聞いて、会いたいと思った物語を語っています。

1. イエスの名声の力: 福音はどのように広まるのか

2. ヘロデの好奇心: 神は私たちの欲望をどのように用いられるか

1. マルコ 6:14-16 - イエスに対するヘロデの反応は、ヘロデがイエスの奇跡について聞いてイエスに会いたがったという話と似ています。

2. 箴言 16:3 - 自分の仕事を主に委ねなさい、そうすればあなたの計画は確立されるでしょう。

ルカ 9:10 使徒たちは戻ってくると、自分たちがしたことをすべて彼に話した。そして彼は彼らを連れて、ベツサイダと呼ばれる都市に属する砂漠の場所にひそかに脇に行った。

使徒たちは自分たちが行ったことをすべてイエスに話しました。それからイエスは彼らをベツサイダ市近くの荒れた場所に連れて行きました。

1. 従順の力: 行動を通じてイエスに従う

2. イエス: 思いやりのあるリーダーシップの模範

1. ルカ 6:40、「弟子は師より優れているわけではありません。しかし、十分に訓練されれば、誰でも師のようになります。」

2. マタイ 9:35-36、「イエスはすべての町や村を巡り、会堂で教え、王国の良いたよりを宣べ伝え、あらゆる病気をいやされた。群衆を見て、彼らを憐れみ、彼らは羊飼いのいない羊のように、虐げられて無力だったからです。」

ルカ 9:11 人々はそれを知ってイエスに従って来た。するとイエスは彼らを迎えて神の国のことを語り、癒しの必要な人々をいやされた。

イエスは自分に従う大勢の群衆を迎え、彼らに神の王国について語り、癒しを必要としている人々を癒しました。

1. イエスの歓迎の愛: イエスはどのように群衆を歓迎し、癒したか

2. 王国の力: イエスはどのように神の王国を実証したか

1. コロサイ 1:13-14 - なぜなら、神は私たちを暗闇の支配から救い出し、愛する御子の王国に私たちを導き入れてくださったからです。

2. ローマ 12:12 - 希望を持って喜び、苦難を耐え忍び、忠実に祈りなさい。

ルカ 9:12 日が暮れはじめたとき、十二人たちがやって来て、彼に言った、「群衆を追い出して、周りの町や田舎に行って、泊まって、食料を得ることができるようにしなさい。私たちはいるからです」ここは砂漠の場所。

弟子たちはイエスに、食べ物と宿泊施設を見つけるために、イエスを追ってきた群衆を荒野に追い払ってほしいと頼みました。

1. イエスは、困難な状況にあっても群衆に同情心を示しました。

2. 特に困難な時には、他の人のニーズに配慮する必要があります。

1. マタイ 14:13-21 – イエスは 5,000 人に食事を与えました。

2. 使徒 6:1-7 – 初代教会は、やもめのニーズに応える執事を任命しました。

ルカ 9:13 しかしイエスは彼らに言った、「彼らに食べさせてください」。すると彼らは、「パンが五つと魚が二匹しかありません。ただし、この人々全員のために肉を買いに行く必要があります。

イエスの弟子たちは、あまりにも多くの人が少ない食べ物で食べていけるので心配していましたが、イエスは彼らに、彼らが持っているものを人々に与えるように言われました。

1. 神は、私たちが持っているものを神の意志を達成するために使うことができます。

2. たとえそれが不可能に見えるときでも、神が備えてくださると信頼してください。

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2. マタイ 14:16-21 - イエスは 5 つのパンと 2 匹の魚を取り、祝福して裂き、5,000 人に食事を与えました。

ルカ 9:14 彼らは五千人ほどだったからである。そしてイエスは弟子たちに言った、「集団の中で五十歳までに座らせなさい」。

イエスは5,000人に5つのパンと2匹の魚を食べさせ、弟子たちに人々を50人のグループに分けるように言いました。

1. イエスの寛大さともてなしの模範。

2. 弟子たちが主の命令を実行することの重要性。

1. マタイ 14:13-21 - イエスは五千人に食事を与える

2. ヨハネ 6:1-15 - イエスは再び五千人に食事を与える

ルカ 9:15 そこで彼らはそうして、全員を座らせた。

弟子たちはイエスの命令に従い、全員を座らせました。

1: 神は私たちが生活の秩序と平和を保つために神の命令に従うことを望んでいます。

2: イエスに従うとき、私たちはイエスへの信仰と信頼を示します。

1: エペソ 6:1-3 - 子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。「あなたの父と母を敬え」―これは約束を伴う第一の戒めですが―「そうすればあなた方はうまくいき、地上で長生きを楽しむことができます。」

2: マタイ 28:19-20 - それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに私は、時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。

ルカ 9:16 それから、イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げてそれらを祝福し、裂いて、群衆の前に置くように弟子たちに与えた。

イエスは5つのパンと2匹の魚を取り、祝福してから群衆に配りました。

1. 神の備え – イエスがほんの少しのパンと魚で群衆に食事を与えた奇跡。

2. イエスの慈悲 - 人々に対するイエスの配慮と慈悲は、人々の身体的および精神的な必要を満たします。

1. ヨハネ 6:5-13 - イエスは 5,000 人に食事を与えました。

2. マタイ 15:32-39 - イエスは 4,000 人に食事を与えました。

ルカ 9:17 そして彼らは食べて、みな満腹した。そして、残りのかけらを拾うと十二かごになった。

イエスは大勢の群衆にパン五つと魚二匹を食べさせ、全員が満腹になりました。残り物が入ったバスケットが12個ありました。

1. 神は不可能を可能にする - ルカ 9:17

2. 寛大さの力 - ルカ 9:17

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2. コリント人への第二の手紙 9:8 - そして神は、あなたがたにあらゆる恵みを豊かに与えることができるので、あなたは常にすべてのことにおいて十分に満たされ、あらゆる良い行いに豊かになれるようになるのです。

ルカ 9:18 そして、イエスが一人で祈っていると、弟子たちも一緒にいたので、イエスは彼らに尋ねて言った、「わたしのことを誰だと言いますか。」

一節 イエスは弟子たちに尋ねました、「人々は私を誰だと言いますか？」

1. イエスとは誰だと思いますか?

2. 日常生活の中でイエスを認識する

1. マタイ16:13-20

2. ヨハネ1:1-18

ルカ 9:19 彼らは答えて言った、「バプテスマのヨハネ。しかし、エリアス、と言う人もいます。また、古い預言者の一人が復活したとも言う人もいます。

この箇所では、ある人はバプテスマのヨハネ、ある人はエリヤ、そしてある人は古い預言者の一人が復活したと言っています。

1. 罪の許し: 悔い改めと信仰の力

2. 神の意志に従う: 古い預言者の遺産

1. ルカ 15:7 - 「ですから、あなたたちに言いますが、悔い改める一人の罪人のほうが、悔い改めの必要のない九十九人の正しい人よりも、天に大きな喜びがあるでしょう。」

2. イザヤ書 55:8-9 - 「私の考えはあなたの考えではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道や私の考えよりも高いからです」あなたの考えよりも。」

ルカ 9:20 イエスは彼らに言った、「しかし、あなたがたは、わたしを誰だと言うのか。」ペテロは答えて、「神のキリスト」と言いました。

この箇所は、イエスが弟子たちに自分を誰だと思うかと尋ね、ペテロがイエスは神のキリストであると答えたときのことを語っています。

1. 証言の力: イエスが神のキリストであると言うことが意味すること

2. イエスの正体: イエスを神のキリストとして認識することを学ぶ

1. ローマ 10:9-10 - イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。

10 人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからです。

2. コロサイ 1:13-20 - 神は私たちを暗闇の支配から救い出し、愛する御子の王国に移してくださいました。その御子によって私たちは救い、罪の赦しを得ます。17 そして、神は万物に先立って存在し、神の内に万物は一つにまとまっている。 18 そして彼は教会という組織のかしらです。彼は始まりであり、死の中から最初に生まれた者であり、すべてにおいて優れているためです。

ルカ 9:21 そして、イエスは彼らを厳しく責め、そのことを誰にも話さないようにと命じた。

イエスは弟子たちに、来るべき死と復活を秘密にしておくように命じられます。

1. 秘密の力 - より大きな目的のために、神はどのようにして特定の知識を世界から隠しておくように私たちに求められるのでしょうか。

2. 信仰を保つ - 理由が分からない場合でも、信仰は神のために秘密を守るのにどのように役立ちますか。

1. マタイ 16:20-21 - それからイエスは、自分がキリストであることを誰にも言わないようにと弟子たちに厳しく命じました。

2. ヨハネ 20:19 - その日の夕方、つまり週の初めの日、ユダヤ人を恐れて弟子たちがいる場所に戸が施錠されていたとき、イエスが来て彼らの間に立って言われた、「平和があるように」あなた。"

ルカ 9:22 こう言う、「人の子は多くの苦しみを受け、長老たち、祭司長、律法学者たちから拒絶され、殺されて三日目によみがえらなければならない」。

イエスは、死と復活の前に、大きな苦しみと拒絶に耐えなければなりません。

1: 十字架: イエスの苦しみと拒絶

2: 復活の力

1: ピリピ人への手紙 3:10-11 「それは、私が彼と、彼の復活の力と、彼の苦しみの交わりを知り、彼の死に順応できるようにするためです。もし何らかの手段で死者の復活に到達することができれば。」。」

2: イザヤ書 53:7-8 「彼は抑圧され、苦しめられたのに、口を開かなかった。彼は子羊として屠殺場に連れて行かれ、毛を刈る者の前に羊のように口が利けないので口を開かなかった」「彼の口から。彼は牢獄と裁きから連れ去られた。そして誰が彼の世代を宣言するだろうか？彼は生者の国から切り離されたからである。私の民の罪のために彼は打ちのめされたのだ。」

ルカ 9:23 それからイエスは皆に言った、「もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」。

この箇所は、私たち一人一人がイエスに従うために自分自身を捨て、日々十字架を負うことを求めています。

1: 「十字架を負う準備をしなさい」

2: 「自分を捨ててイエスに従いなさい」

1: マルコ 8:34 - イエスは弟子たちとともに群衆を自分のところに呼び寄せて、こう言われました。

2: ガラテヤ 2:20 - 私はキリストとともに十字架につけられ、もう生きていませんが、キリストが私の内に生きておられます。私が今、肉体の中で生きている人生は、私を愛し、私のためにご自身を差し出してくださった神の御子への信仰によって生きています。

ルカ 9:24 自分の命を救う者は、それを失うでしょう。しかし、わたしのために自分の命を失う者は、同じようにそれを救うのです。

イエスは追随者たちに、イエスのために自分の命を喜んで犠牲にするよう勧めています。それが本当に救いの唯一の方法だからです。

1. 「犠牲の力: 命を捨てることが真の命につながる」

2. 「キリストのために生きる: 自己犠牲の人生を生きる方法」

1. ヨハネ 15:13 - 「友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. ローマ 12:1 - 「ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これがあなた方の真の正しい崇拝です。」

ルカ 9:25 もし人が全世界を手に入れても、自分を失ったり、捨てられたりしたら、何の得があるでしょうか。

この一節は、世俗的な利益よりも個人的な価値の重要性について述べています。

1. 「自分を失ったら、世界に何の意味があるでしょうか?」

2. 「物質的な利益よりも自分自身の価値」

1. マタイ 16:26 - 「人が全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか。」

2. 箴言 22:1 - 「莫大な富よりも良い名を、銀や金よりも愛情に満ちた好意を選ぶべきである。」

ルカ 9:26 わたしとわたしの言葉を恥じる者は、人の子も、自分の栄光と、父の栄光と、聖なる天使たちの栄光のうちに来るとき、その人を恥じるであろう。

この聖句は、イエスが栄光のうちに再臨されるときに私たちを恥じるであろうから、私たちはイエスとその言葉を恥じるべきではない、と教えています。

1. イエスのうちにしっかり立つ: イエスの言葉を恥じない

2. 弟子としての代償: イエスの私たちへの期待

1. マタイ 10:32-33 - 「他の人の前で私を認める人は、私も天の父の前で認めます。しかし、他の人の前で私を否認する者は誰でも、私は天の父の前で否認します。」

2. ローマ 1:16 - 「私は福音を恥とは思っていません。福音は、最初にユダヤ人に、次に異邦人にと、信じるすべての人に救いをもたらすのは神の力だからです。」

ルカ 9:27 しかし、本当のことを言いますが、ここに立っている人たちは神の国を見るまでは死を味わわないでしょう。

イエスは弟子たちに、彼らの中には神の国を見るまで死なない人もいると言われます。

1. 天国の生ける希望: イエスの永遠の命の約束を理解する

2. 神の王国を知る: それを見る準備はできていますか?

1. コリント人への第一の手紙 15:50-58 - 神の国に入るためには、私たちの死ぬべき体が不滅の体に変えられなければならないことを説明する

2. ヨハネ第一 3:2-3 - 神の王国を見たときに私たちがどのようになるかを説明する

ルカ 9:28 このように言ってから八日ほどして、イエスはペテロ、ヨハネ、ヤコブを連れて、祈るために山に登られた。

イエスがいくつかの重要な発言をしてから約8日後、弟子たちはイエスと一緒に祈るために山に登りました。

1. 祈りとイエスと過ごす時間の大切さ

2. イエスの言葉の重要性とそれが私たちの生活に与える関連性

1. コロサイ 4:2 - 「目を覚まして感謝しつつ、祈りに専念しなさい。」

2. ヨハネ 15:7 - 「あなたがわたしのうちにとどまり、わたしの言葉があなたの内にとどまるなら、何でも願い事を求めなさい。そうすれば、そのとおりになるでしょう。」

ルカ 9:29 そして祈っていると、彼の顔つきは変わり、衣は白く輝いた。

イエスが祈っている間、イエスの容貌は変わり、衣服はまばゆいばかりに明るくなりました。

1: イエスの祈りの生活は非常に強力だったので、彼の外見と服装が変わりました。

2: イエスの祈りへの献身は、彼の変わり果てた姿と服装に明らかでした。

1: マタイ 17:2 「そして、イエスは彼らの前で姿を変えられ、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。」

2: 1 コリント 15:52 - 「すぐに、瞬く間に、最後のラッパが鳴り響きます。ラッパが鳴り響き、死人は朽ちないものとしてよみがえらされ、私たちは変えられるからです。」

ルカ 9:30 すると、見よ、二人の男が彼と話した、それはモーセとエリアスであった。

一節 イエスはモーセとエリヤと話していました。

1. 会話の力: ルカ 9:30 のイエスから学ぶ

2. イエスとモーセおよびエリヤの出会い: 彼らの交流から学べること

1. ヘブライ 11:24-26 - 信仰によって、モーセは年を重ねたとき、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒否しました。一時的に罪の喜びを楽しむよりも、むしろ神の民とともに苦難に苦しむことを選択する。キリストの非難をエジプトの宝よりも大きな富とみなした。それは、キリストが報いの報いを尊重していたからである。

2. マタイ 17:3 - すると、見よ、モーセとエリアスが彼らに現れて彼と話していた。

ルカ 9:31 その人は栄光のうちに現われ、エルサレムで成し遂げられるべき自分の死について語った。

イエスは栄光のうちに現れ、エルサレムでその死を遂げるであろうと語られました。

1. 神の計画に対するイエスの従順: 私たちの人生のモデル

2. イエスの犠牲の栄光: 私たちの救いのためのイエスの死

1. フィル。2:5-11 - 「あなたがたの間でこの思いを持ちなさい。それはキリスト・イエスのうちにあるのです。キリスト・イエスは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身をむなしくしました。彼は召使の姿であり、人間と同じように生まれました。そして、人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだり、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順でした。それゆえに、神は彼を高く評価し、彼にその名を与えました。それはどんな名前よりも重要なことだ。」

2.ヘブ。12:1-2 「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、目の前に定められたレースを忍耐強く走ろうではありませんか。私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ています。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。」

ルカ 9:32 しかし、ペテロと彼と一緒にいた人々は眠くて眠くて、目が覚めると、彼の栄光と、彼と一緒に立っていた二人の人を見ました。

ペテロとその仲間たちは眠気に襲われましたが、目が覚めたとき、彼らはイエスの栄光とイエスと一緒にいた二人の男を見ました。

1. キリストの栄光の力: 耐え忍ぶ強さを発見する

2. 神の臨在への目覚め: 神の威厳と慈悲を認識する

1. エペソ人への手紙 5:14 - 「眠っている人よ、目覚めなさい。死人の中から起き上がりなさい。そうすれば、キリストがあなたを照らしてくださるでしょう。」

2. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。」

ルカ 9:33 そして、彼らがイエスのもとから去っていくとき、ペテロはイエスに言った、「先生、私たちがここにいるのは良いことです。それで、三つの幕屋を作りましょう。」一つはあなたに、もう一つはモーセに、そしてもう一つはエリアスに、彼が何を言ったかは知りませんでした。

ペテロは、自分の提案の意味を理解せずに、イエス、モーセ、エリヤを讃えるために 3 つの幕屋を建てることを提案します。

1. 私たちが言うこと、そしてそれが私たちの信仰の旅にどのような影響を与えるかに留意してください。

2. 信仰においてリスクを恐れず、神の導きを信頼してください。

1. 箴言 15:28 - 義人の心は答えようと考えるが、悪人の口は悪いことを吐き出す。

2. ピリピ 4:6-7 - 無駄に気をつけなさい。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、人知を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを保つでしょう。

ルカ 9:34 彼がこのように話していると、雲が来て彼らを覆ったので、彼らは雲の中に入って恐れた。

雲が来て彼らを覆ったとき、弟子たちは恐怖でいっぱいでした。

1. 主を恐れることは知恵の始まりです。

2. 神の臨在は、慰めとなると同時に圧倒されることもあります。

1. 詩篇 111:10: 「主を畏れることは知恵の始まりです。これを実践する人は皆、良い理解を持っています。主の賛美は永遠に続きます。」

2. イザヤ書 6:5: 「私は不幸です。私は道に迷っています。私は唇が汚れた人間であり、唇が汚れた民の中に住んでいます。私の目は王、主を見たからです。」ホスト達よ！」

ルカ 9:35 すると、雲の中から声が聞こえて言った、「これは私の愛する子です。聞いてください。」

この一節はイエス・キリストの神性を強調し、信者に彼の言葉に耳を傾けるよう勧めています。

1. 私たちは常に主の言うことを聞かなければなりません。主は神の愛する子だからです。

2. 主に従うことは選択ではなく特権です。私たちは喜んで主の言うことを聞かなければなりません。

1. マタイ 17:5 - 彼がまだ話している間、明るい雲が彼らを覆い、見よ、雲の中から声が言った、「これは私の愛する子です。私はこの子に満足しています。彼の言うことを聞いてください。」

2. ヨハネ 3:34 - 神が遣わした方は、計り知れない御霊を与えてくださるので、神の言葉を発します。

ルカ 9:36 そして、声が去ったとき、イエスは一人で発見されました。そして彼らはそれを秘密にし、当時、自分たちが見たことを誰にも話さなかった。

イエスは声が聞こえ、弟子たちがそれについて黙っていた後、一人で発見されました。

1. 霊的な経験に直面したときの沈黙の重要性

2. イエスの謙虚さと従順の模範

1. マタイ 17:5 - 「彼がまだ話している間、見よ、明るい雲が彼らを覆いました。すると、突然雲の中から声が聞こえてきてこう言いました。「これは私の愛する子です。私は喜んでいます。彼の言うことを聞いてください」！」

2. ヤコブ 3:17 - しかし、上から来る知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、喜んで譲歩し、憐れみと良い実とに満ち、偏りや偽善がありません。

ルカ 9:37 次の日、彼らが山から下りてくると、大勢の人々がイエスに会った。

翌日、イエスは大勢の群衆に出会った。

1: イエスの教えと宣教は非常に力強いので、世界中から人々がイエスに引き寄せられます。

2: イエスの教えと宣教のニュースを他の人に伝えることを恐れるべきではありません。

1: 使徒 2:46-47 「そして、彼らは毎日、一緒に神殿に参列し、家でパンを裂き、喜んで寛大な心で食べ物を受け取り、神を賛美し、すべての民に好意を持っていました。そして主は救われる人々の数を日に日に加えられたのです。」

2: ピリピ 1:15-18 「確かに、ねたみや敵対心からキリストを宣べ伝える人もいますが、善意からキリストを宣べ伝える人もいます。後者は、私が福音を弁護するためにここに置かれているということを知っていて、愛からそうしているのです。前者は、私が鎖につながれている間に彼らが私のために問題を引き起こす可能性があると仮定して、心からではなく利己的な野心からキリストを宣言します。しかし、それが一体何なのでしょうか？重要なことは、偽りの動機からであろうと真実であろうと、あらゆる方法でキリストが宣べ伝えられるということです。そしてこのおかげで私は喜んでいます。はい、そして私はこれからも喜びます。」

ルカ 9:38 すると、見よ、仲間の男が叫んで言った、「先生、お願いです。私の息子を見てください。彼は私の一人子だからです。」

一人息子を持つ男がイエスに自分を見てほしいと頼みました。

1. イエスに助けを求める特権

2. 信仰と祈りの力

1. マルコ 10:46-52 - イエスは盲目のバルティマイを癒す

2. ヤコブ 5:13-16 - 祈りと告白の力

ルカ 9:39 すると、見よ、霊が彼を捕まえ、彼は突然叫びます。そして再び泡を立てると彼は引き裂かれ、打撲傷が彼から離れることはほとんどない。

霊が男に襲いかかり、男は苦しみの叫び声を上げ、口から泡を吹き、彼から離れる前に大きな苦痛を与えます。

1.「敵の力：精神的な攻撃に毅然と立ち向かう」

2.「信仰の強さ：神の助けで困難を乗り越える」

1. ペテロ第一 5:8-9 - 「心を静め、気をつけなさい。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのようにうろつき、誰かをむさぼり食おうとしています。同じ種類の苦しみがあることを知って、信仰を固く持って彼に抵抗してください。」世界中のあなた方の兄弟愛が経験しているのです。」

2. ヤコブ 4:7-8 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたに近づきます。罪人よ、手を清め、あなたの手を清めてください。」心よ、あなたは二心のあるのよ。」

ルカ 9:40 そこで私はあなたの弟子たちに彼を追い出すように頼みました。そしてそれはできませんでした。

イエスは弟子たちに悪霊を追い出すように言いましたが、彼らはそうすることができませんでした。

1. 信仰の力：困難な状況でも神を信頼することを学ぶ

2. 恐怖の克服：力と勇気を神に頼る

1. マタイ 17:20 - そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたの不信仰のせいです。はっきり言いますが、もしあなたがからし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって『ここから向こうへ行け』と言うでしょう。」そしてそれは取り除かれるであろう。そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

2. マルコ 9:23 - イエスは彼に言われた、「もしあなたが信じることができるなら、信じる者にはすべてのことが可能です。」

ルカ 9:41 するとイエスは答えて言われた、「不信仰でよこしまな世代よ、わたしはいつまであなたたちと一緒にいて、あなたたちを苦しめなければならないのですか」。あなたの息子をここに連れてきてください。

イエスは人々の信仰の欠如を叱責し、息子を連れて来るよう求めました。

1: 私たちは神を信じ、困難を乗り越えさせてくださると信頼しなければなりません。

2: 私たちは忍耐と忍耐を持って、自分の問題を神に報告しなければなりません。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: ヤコブ 1:3-4 「あなたがたは、信仰が試されるとき、あなたの忍耐が伸びるチャンスがあることを知っているからです。だから、成長させてください。なぜなら、あなたの忍耐が完全に培われたとき、あなたは完全で完全で、何も必要としないからです」。」

ルカ 9:42 そして、彼がまだ来ようとしていたとき、悪魔は彼を投げ倒し、毒麦を引き裂いた。そしてイエスは汚れた霊を叱責し、その子を癒し、再び父親の元に引き渡した。

イエスは悪魔に取り憑かれた子供に出会い、癒し、父親のもとに引き渡しました。

1. イエスは奇跡を通して自分の権威を明らかにする

2. 困難を克服する信仰の力

1. マタイ 8:28-34、イエスが悪霊を追い出す

2. マルコ 5:1-20、イエスは悪霊に取り憑かれた人を癒す

ルカ 9:43 すると彼らは皆、神の偉大な力に驚いた。しかし、彼らがイエスのしたことすべてに皆を不思議に思っている間、イエスは弟子たちに言った、

弟子たちはイエスが示した神の力に驚きました。

1. 神の力に畏敬の念を抱きましょう

2. 神の力を感謝する方法をイエスから学びましょう

1. 詩篇 33:6 - 主の言葉によって天は造られた。そして彼らのホスト全員が彼の口の息によって。

2. マタイ 19:26 - しかし、イエスは彼らを見て言われました、「人間にはそれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」

ルカ 9:44 これらの言葉をあなたの耳に染み込ませてください。人の子は人の手に渡されるからです。

人の子は人々の手に渡されるでしょう。

1: 私たちの救い主イエス・キリストは、私たちの救いのために自らを進んで人間に引き渡してくださいました。

2: 私たちの神、主は、私たちを罪から救うために、人の手によって苦しむことをいとわなかった。

1: ヨハネ 3:16 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: ローマ 5:8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

ルカ 9:45 しかし、彼らはこの言葉を理解できなかったし、それが彼らに隠されていて、気づかなかったので、その言葉について彼に尋ねるのを恐れた。

弟子たちはイエスの言葉を理解できず、恐れのあまりイエスに説明を求めることができませんでした。

1: たとえ最初は理解できなかったとしても、私たちはイエスの教えを理解するように努めなければなりません。

2: 理解できないことについては、勇気を持って説明を求めなければなりません。

1: イザヤ書 55:8-9 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。」天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2: ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そうすればそれは彼に与えられるであろう。」

ルカ 9:46 そこで、彼らの間で、誰が一番偉いかという議論が起こった。

この箇所は、神の国で誰が一番偉いかについて弟子たちがどのように議論したかについて語っています。

1. 高慢が私たちの召命をどのように脅かすか: ルカ 9:46 の弟子たちの傲慢さを考察する

2. 謙虚さを保つ方法: ルカ 9:46 の「自尊心を手放す」

1. ルカ 22:24-27 - イエスは弟子たちに、謙虚になって互いに仕えるように教えられます。

2. マタイ 23:11-12 - イエスはパリサイ人が偉大さを求めることを叱責し、謙虚さを賞賛しました。

ルカ 9:47 そこで、イエスは彼らの心の思いを察知して、一人の子供を取り、自分のそばに置いた、

イエスは弟子たちの排除的な態度に対して、子供を歓迎する模範を示して答えました。

1: イエスの例から、私たちは誰でも歓迎されるべきであることを学ぶことができます。

2: 私たちは、背景に関係なく、すべての人に愛とおもてなしを差し伸べるイエスの例に倣う必要があります。

1: マルコ 10:13-14 「さわってもらうために、彼らが子供たちを連れて来ていたので、弟子たちは彼らを叱責した。しかし、イエスはそれを見て憤慨し、彼らに言った、「子供たちを私の所に来させなさい。子供たちを私のところに来させてください。」彼らを妨げないでください。神の国はそのような者たちのものだからです。」

2: エペソ人への手紙 5:1-2 「ですから、愛する子供たちとして、神に倣う者となりなさい。そして、キリストが私たちを愛し、私たちのためにご自身を神への香りの良い捧げ物、犠牲として捧げられたように、愛のうちに歩みなさい。」

ルカ 9:48 そして彼らに言った、「わたしの名によってこの子を受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。そして、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。あなたがた全員の中で一番小さい者でも、同じように偉いのです。」

イエスは弟子たちに、自分の名によって子供を迎える者はイエスを歓迎することになり、イエスを迎える人はイエスの送り主も歓迎する、と語られました。さらに彼は彼らの中の最も小さい者が最も偉大になるだろうと彼らに言いました。

1.「迎える力」

2.「謙虚さの価値」

1. マタイ 18:3-4 - 「そして言った、「はっきり言っておきます。あなたがたが回心して幼子のようにならなければ、天国に入ることはできません。」したがって、この幼子のようにへりくだる者は誰でも、天国でも同じことが最も偉大である。」

2. ヤコブ 4:10 - 「主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

ルカ 9:49 するとヨハネが答えて言った、「先生、私たちはあなたの御名によって悪魔を追い出している人を見ました。そして私たちは彼を禁じました、なぜなら彼は私たちと一緒に従わないからです。

ヨハネと弟子たちは、イエスの名において悪魔を追い出さないように、彼らに従わなかった人を禁じました。

1. キリストの体の一致の重要性。

2. イエスの権威が悪霊を追い払う。

1. コリント人への手紙第一 12:12-20 - というのは、体は一つであり、多くの部分があり、またその一つの体のすべての部分は、多くても一つの体であるのと同じように、キリストも同様です。

2. マルコ 3:14-15 - そして、イエスは十二人を命じ、彼らが自分とともにいて、彼らを宣教に遣わし、病気を癒し、悪霊を追い出す力を持つようにと命じた。

ルカ 9:50 そこでイエスは彼に言われた、「禁じないでください。私たちに敵対しない者は私たちの味方なのです。」

イエスは弟子たちに、自分たちに反対しない人は誰でも彼らに味方するのだから、誰かが自分たちに加わるのを止めないようにと言いました。

1. 力を合わせれば私たちはより強くなります: 多様性の中で団結を受け入れることを学びます。

2. 信仰を持って前進する: 反対を克服し、前向きなものを受け入れる。

1. ガラテヤ 6:2 - 互いに重荷を担い、そうしてキリストの律法を全うしましょう。

2. ローマ 12:18 - 可能であれば、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。

ルカ 9:51 そして、迎えられる時が来たので、彼はエルサレムに行くために毅然として顔を向けた、

イエスは自らの使命と運命を全うするためにエルサレムに顔を向けました。

1: イエスは、たとえ犠牲を払ってでも、自分の使命と運命を果たそうと決意していました。

2: 神のご意志に従うというイエスの決意は、私たちも進んで同じようにしなければならないことを示しています。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスのうちにあるこの心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を空しくしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

ルカ 9:52 そこで、イエスの前に使者を遣わした。彼らは行って、サマリア人の村に入り、イエスを迎える準備をした。

この節は、イエスがサマリア人の村に到着する準備をするために、どのようにして自分より先に使者を送ったかについて述べています。

1. 準備と準備の重要性。

2. 福音を広める際の謙虚さの重要性。

1. マタイ 28:19-20 – 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

2. ピリピ人への手紙 2:1-4 – 「ですから、キリストによる励まし、愛による慰め、御霊への参加、愛情と同情があるなら、同じ思いを持ち、同じ愛を持って、私の喜びを満たしてください。完全に一致し、心を一つにすること。競争心やうぬぼれから何も行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしてください。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。」

ルカ 9:53 イエスはエルサレムへ行くような顔をしていたので、人々は彼を受け入れなかった。

イエスと弟子たちはエルサレムへ向かう途中でしたが、イエスがエルサレムに向かっているように見えたので、出会った人々は彼らを歓迎しませんでした。

1. イエスは神の意志を実現するために拒絶に耐えた

2. たとえ困難なときでも、喜んで神に犠牲的に仕えるべきである

1. ヨハネ 15:13 - 「友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. マタイ 16:24 - 「それからイエスは弟子たちに言われた、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

ルカ 9:54 弟子のヤコブとヨハネはこれを見て言った、「主よ、エリアスがしたように、私たちが天から火を降らせ、彼らを焼き尽くすよう命じていただけませんか。」

ヤコブとヨハネはイエスに、エリヤのように天から火を降らせてサマリア人を焼き尽くすことができるかどうか尋ねました。

1. 熱狂的になるな: 過度の熱意の危険性

2. 拒絶に愛を持って対応する

1. マタイ 5:43-48 - 「『隣人を愛し、敵を憎め』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい...」

2. ヤコブ 1:19-20 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

ルカ 9:55 しかし、イエスは振り返って、彼らを叱責して、「あなた方は、自分たちがどのような精神を持っているか知らないのです。」

イエスは人々がどのような霊を持っているかを理解していないと叱責されました。

1. 叱責の力: イエスの悔い改めへの呼びかけに関する研究

2. 神の御霊を理解する: 主に従うとはどういう意味か

1. エペソ人への手紙 4:30-32 - 「また、あなたがたが救いの日のために証印を押された神の聖霊を悲しませてはなりません。あらゆる恨み、激怒、怒り、喧嘩や中傷、そしてあらゆる形の悪口を取り除きなさい。」キリストによって神があなたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

2. ヘブライ人への手紙 12:14-15 - 「すべての人たちと平和に暮らし、聖くなれるようあらゆる努力をしなさい。聖さがなければ、誰も主を見ることができません。神の恵みに欠ける人がいないように、そして苦しまないように気をつけてください。」根は成長して問題を引き起こし、多くの人を汚します。」

ルカ 9:56 人の子は、人の命を滅ぼすために来たのではなく、救うために来たのです。そして彼らは別の村に行きました。

人の子は命を滅ぼすためではなく、救うために来たのです。

1: 私たちは破壊ではなく、他者に救いをもたらすよう努めるべきです。

2: イエスは、私たちが命を滅ぼすのではなく、救うことに焦点を当てることを望んでおられます。

1: ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: マタイ 5:44-45 - しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを呪う者を祝福し、あなたを憎む者に善を行い、あなたを不当に利用しあなたを迫害する者のために祈りなさい。それは、あなたがたが天におられるあなたがたの父の子供となるためです。

ルカ 9:57 さて、彼らが道を歩いていると、ある人が彼に言った、「主よ、あなたの行くところならどこへでもついていきます」。

イエスの弟子たちは、イエスの行くところならどこへでも熱心に従おうとする男に出会います。

1. キリストの使命に献身することの重要性。

2. 偉大な業を成し遂げようとする意欲的な心の力。

1. マタイ 16:24 - 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい』。」

2. ローマ人への手紙 12:1 - 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたにお願いします。自分のからだを、神に受け入れられる、聖なる生きたいけにえとして捧げてください。それが、あなたがたの当然の奉仕です。」

ルカ 9:58 そこでイエスは彼に言われた、「キツネには穴があり、空の鳥には巣がある。しかし、人の子には頭を置く場所がありません。

イエスは、真の弟子としての生活には、物質的な所有物を進んで放棄し、自分自身を養う覚悟が必要であると教えられました。

1: 真の弟子であるためには、この世の所有物を捨て、神が自分の必要を満たしてくれると信頼することが求められます。

2: 物質的な所有物を持たない生活に関するイエスの模範は、私たちに神の備えを信頼することを教えてくれます。

1: マタイ 6:25-34 - イエスは私たちに、基本的な必要を心配するのではなく、神の備えを信頼するように教えられます。

2: ピリピ 4:19 - 神は栄光の富に応じて、私たちの必要をすべて満たしてくださいます。

ルカ 9:59 そして彼は他の人に、「わたしに従ってきなさい」と言った。しかし彼は言いました、「主よ、まず私が父を埋葬に行ってください。」

この箇所は、父親を埋葬した後、イエスに従ってほしいと頼んだ男性に対するイエスの反応を強調しています。

1: たとえそれが神に対する私たちの約束と矛盾するとしても、私たちは最も近い人々との約束を常に覚えていなければなりません。

2: 私たちの現在の約束や状況に関係なく、神は常に私たちに神に従うよう呼びかけています。

1: マタイ 8:21-22 - 「また、弟子のもう一人が彼に言った、『主よ、まず父を葬りに行ってください、許してください。しかし、イエスは彼に言われました、わたしに従ってきなさい、死者たちに死者を埋葬させてください』。」

2: ピリピ人への手紙 3:13-14 「兄弟たち、私は自分自身を理解したとは思っていません。しかし、私がしているこの一つのことは、後ろのものを忘れて、前のものに手を伸ばし、目標に向かって突き進んでいます」キリスト・イエスにおける神の高い召しの賞です。」

ルカ 9:60 イエスは彼に言われた、「死者に死者を葬らせなさい。しかし、あなたは行って、神の国を宣べ伝えなさい。」

イエスはある人に、死者の埋葬に従事する代わりに、行って神の国を宣べ伝えるよう勧めます。

1. 人間の優先事項よりも神の使命を優先する

2. 徹底した服従の生活を送る

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。

2. マルコ 16:15-16 - そしてイエスは彼らに言った、「あなたがたは全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」信じてバプテスマを受ける者は救われるでしょう。しかし信じない者は罰せられるであろう。

ルカ 9:61 また、別の人も言った、「主よ、私はあなたに従います。」でも、まずは私の家にいる彼らに別れを告げに行かせてください。

イエスは私たちに、家族やこの世の所有物よりも神への献身を優先することの大切さを教えています。

1: イエスへの献身は私たちの最優先事項であるべきです

2: 私たちは何よりもイエスを選ばなければなりません

1: マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

2: ヘブライ 12:1-2 - ですから、私たちはこれほど多くの証人の雲に囲まれているのですから、妨げとなるすべてのものと、いとも簡単に絡まる罪を捨て去ろうではありませんか。そして、信仰の先駆者であり完成者であるイエスを見つめながら、私たちのために示されたレースを粘り強く走り抜けましょう。

ルカ 9:62 そこでイエスは彼に言われた、「鋤に手をかけて後ろを振り返るような人は、神の国にふさわしい者はいない」。

畑を耕しながら後ろを振り返る人は神の国にふさわしくありません。

1: 私たちは周囲の世界に気を取られず、主に集中し続けるよう努めなければなりません。

2: 私たちは自分の信仰を堅固に保ち、後戻りする誘惑に遭ってはなりません。

1: ピリピ 3:13-14 「兄弟姉妹の皆さん、私はまだそれを掴んでいるとは思っていません。しかし、私がしていることは一つです。後ろのものを忘れ、前のものに向かって力を尽くし、神がキリスト・イエスにおいて私を天に召してくださった賞を獲得するという目標に向かって突き進んでいきます。」

2: ヘブライ 12:1-2 「ですから、私たちはこれほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、妨げとなるものや、容易に絡みつく罪をすべて捨て去ろうではありませんか。そして、信仰の先駆者であり完成者であるイエスを見つめながら、このレースを粘り強く走り抜けましょう。」

ルカ 10 章には、72 人の弟子の派遣、善きサマリア人のたとえ、そしてマルタとマリアの家へのイエスの訪問が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、イエスが他の 72 人の弟子を任命し、行こうとしていたすべての町に二人一組で派遣するところから始まります。彼は彼らにどのように行動すべきかを指導し、彼らはオオカミの中の子羊のようなものだと強調した。彼らはお金や余分な衣服を持ち歩くべきではなく、むしろ歓迎してくれる人々のもてなしに頼るべきでした(ルカ10:1-12)。悪霊さえもイエスの名によって彼らに服従したので彼らが喜んで戻ってきたとき、イエスは彼らが霊を支配する力を喜ぶのではなく、彼らの名前が天に記されているということを思い出させました(ルカ10:17-20)。

第 2 段落: このやり取りの後、イエスは、賢明で学識のある者ではなく、「幼い子供たち」、つまり神の啓示を受け入れるほど謙虚な人々にこれらのことを啓示された神を賞賛されました。また彼は、子としての神との独特の関係を確認しました。父を完全に知る者は父だけであり、その逆に、父を他の人に明らかにできるのは一人だけです（ルカ 10:21-24）。それから弁護士が、永遠の命を受け継ぐために何をしなければならないかを尋ねてイエスを試しました。それに応じて、イエスは彼に、神を愛せよ、心を尽くし、魂の力を尽くし、精神を尽くし、隣人自身をこの解釈に同意し、ストーリーを追加した、善きサマリア人は、真の隣人とは社会的宗教的境界に限定されるものではなく、民族や地位に関係なく、誰もが必要とする慈悲の同情を示すことを含むと述べた律法を指し示しました。（ルカ 10:25-3 7）。

第 3 段落: この章は、イエスがマルタとマリアの家を訪問した記述で終わります。マルタが客人をもてなすあらゆる準備で忙しい間、妹のマリアはイエスの足元に座って教えを聞いていました。マーサが自分ですべての仕事をしなければならないことに不満を言い、主に姉妹に助けを告げてくださいとお願いしたとき、主は「マー サ、マーサ、あなたは多くのことで心配して動揺しています。必要なものはほとんどありません。実際、マリアはただ一人だけです。マリアはそれを奪われない方が良いことを選んだのです。」と答えました。この出来事は、おもてなしのような良いものに奉仕する忙しさよりも、霊的な栄養を与える関係を優先することの重要性を浮き彫りにしています。

ルカ 10:1 これらの事の後、主は他の七十人を任命し、彼らを二人ずつ、また二人ずつ、ご自身がおいでになるあらゆる町や場所に、目の前に遣わされた。

主はさらに70人を任命し、ご自身が来る予定のすべての都市や場所に行きました。

1. 神は私たちに重要な任務を託されており、私たちはそれを遂行するために忠実で従順を保たなければなりません。

2. 主は私たちのあらゆる努力において私たちとともにおられ、ご自身の意志を達成するための導きと力を私たちに与えてくださいます。

1. マタイ 28:18-20 - 「そして、イエスが来て彼らに言われた、「天と地のすべての権威がわたしに与えられている。だから行って、すべての国の人々を弟子とし、父の名によって彼らにバプテスマを授けなさい。」」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。」

ルカ 10:2 そこでイエスは彼らに言われた、「収穫は実に多いが、働き手が少ない。だから収穫の主よ、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」

イエスは弟子たちに、収穫を手伝うためにさらに多くの労働者を送ってくださるよう神に祈るよう勧めています。

1. 祈りの力と神の備え - 祈りの重要性と、私たちが求めるときに与えてくださる神の忠実さを強調します。

2. 収穫の素晴らしさと労働者の必要性 - 労働者の多大な必要性と収穫の重要性を強調します。

1. マタイ 9:35-38 - イエスは説教と癒しのために弟子たちを派遣しました。

2. ヤコブ 5:13-18 - 祈りの力と神の忠実さ。

ルカ 10:3 あなたの道を行きなさい。見よ、わたしはあなたたちを狼の中の子羊として送り出す。

この箇所では、イエスが弟子たちを狼の中に子羊として送り出したことが語られています。

1. 恐れることのない信仰への呼びかけ: 困難な状況で神の力を受け入れる

2. 羊の勇気：逆境に立ち向かう

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

ルカ 10:4 財布、手帳、靴を持ってはいけません。また、誰に対しても挨拶をしてはいけません。

この聖句は、イエスの追随者たちに、身軽に旅行し、他の人との交流において謙虚になるよう勧めています。

1: 謙虚に生きる - 富や誇りを示す所有物を持たず、敬意と謙虚さを持って人々に挨拶するようにというクリスチャンへのメッセージ。

2: 身軽に旅行しましょう - イエスの追随者たちに、旅に必要なもの以上のものを持たず、神の備えを信頼するよう思い出させます。

1: マタイ 10:8-10 - あなたがたは無償で受け取り、無償で与えました。財布の中に金も銀も真鍮も用意しないでください。旅の必需品も用意しません。上着も靴も杖も用意しません。職人はその肉に値するからです。

2: ピリピ 4:19 - しかし、私の神は、キリスト・イエスによって、栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

ルカ 10:5 そして、どの家に入っても、まず「この家に平和がありますように」と言いなさい。

イエスは弟子たちに、どの家に入っても「この家に平和がありますように」と挨拶するように指示されました。

1.「平和は神からの贈り物」

2.「平和な気持ちで他人に挨拶する」

1. ヨハネ 14:27 - 「わたしは平安をあなたたちに残します。わたしの平安をあなたたちに与えます。わたしは世が与えるようにあなたたちに与えません。あなたたちの心を騒がせてはならず、恐れてはいけません。」

2. ローマ 12:18 - 「できることなら、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。」

ルカ 10:6 もし平和の子がそこにいるなら、あなたの平和はその子の上にあるでしょう。そうでなければ、平和は再びあなたに向かうでしょう。

平和の子は、彼を受け入れる人々にとって祝福であり、平和の源です。1. 平和の御子の力 2. 平和の御子の祝福を受けてください。1. ローマ 5:1-2 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。2. フィリピ 4:7 - そして、すべての理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたがたの心と思いを守るでしょう。

ルカ 10:7 そして、同じ家に残って、彼らが与えるものを食べたり飲んだりしてください。労働者は雇われる価値があるからです。家から家へ行ってはいけません。

この一節は、労働者は賃金に値するものであるため、同じ家に滞在し、提供されるものは何でも食べたり飲んだりすることの重要性を強調しています。

1. 勤勉の重要性とその報酬を理解する。

2. 職場で謙虚さと感謝の気持ちを実践します。

1. マタイ 20:1-16 - ブドウ園の労働者の物語。

2. エペソ 4:28 - 誠実に働き、賃金を稼ぎましょう。

ルカ 10:8 そして、どこの町に入っても、彼らがあなたを迎え入れたら、あなたの前に置かれたものを食べなさい。

この聖句は、もてなしを丁重に受け入れ、提供された食べ物を食べるよう私たちに勧めています。

1：おもてなしを礼儀正しく感謝の気持ちで受け止めます。

２：感謝の気持ちを行動で示す。

1: ローマ人への手紙 12:13 - 聖徒たちの必要に応じて分配する。おもてなしに与えられました。

2: ヘブライ 13:2 - 見知らぬ人をもてなすことを忘れないでください。それによって、気づかずに天使をもてなした人もいるからです。

ルカ 10:9 そして、そこにいる病人を癒して、彼らに言いなさい、「神の国はあなたたちのところに近づいた」。

イエスは弟子たちに、病人を癒し、神の国の到来を宣言するように指示されました。

1. 善きサマリア人: 同情心を示し、神の王国を宣言する

2. 良いたよりを宣べ伝える: 神の王国の到来

1. イザヤ書 61:1-2 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は柔和な人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。彼は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚われの者たちに刑務所の開放を宣言するために私を遣わしたのです。

2. ヨハネ 14:27 - わたしはあなたたちに平安を残し、わたしの平安をあなたたちに与えます。世が与えるのではなく、私があなたたちに与えます。心を騒がせてはいけないし、恐れてはいけない。

ルカ 10:10 しかし、どこの町に入っても、彼らがあなたを受け入れてくれないなら、同じ通りに出て、こう言いなさい。

ルカ 10 章 10 節の一節は、たとえ人々が福音を受け入れることを拒否したとしても、読者に福音を宣べ伝えるよう勧めています。

1: 私たちは、行動と言葉を通して福音のメッセージを広めるという使命に決して落胆してはなりません。

2: 主は、反応がどうであれ、福音の良いたよりをすべての人に伝えるよう私たちに命じられます。

1: マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。」

2: マルコ 16:15 - 「全世界に出て行って、すべての被造物に福音を宣べ伝えなさい。」

ルカ 10:11 私たちを襲うあなたの街のまさに塵さえ、私たちはあなたに対して払い落とします。にもかかわらず、神の国があなたがたに近づいていることをあなたがたは確信しています。

神の国は、どこに住んでいるかに関係なく、すべての人々の近くにあります。

1: 私たちに対する神の愛は無条件であり、常に存在します。

2: 私たちは日常生活の中で神の国を求めるよう招かれています。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 「というのは、死も、命も、天使も、支配者も、今あるものも、これから来るものも、力も、高さも、深さも、その他すべてのものは、何もないと私は確信しているからです」創造物は、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるでしょう。」

2: 詩篇 34:8 - 「ああ、味わって、主が善い方であることを見てください。主に避難する人は幸いです!」

ルカ 10:12 しかし、私はあなたがたに言いますが、その日は、あの町よりもソドムのほうが耐えられるでしょう。

神は、神に従順でない者を、従順な者よりも厳しく裁かれます。

1: 神は正義の裁き人であり、悪人を罰せずにはおかないでしょう。

2: 神に従い、神の目に義と認められなさい。

1: ローマ人への手紙 2:6-8 - 神は「各自の行いに応じて、永遠の命を与えてくださいます。忍耐強く善を行い続けて栄光、名誉、不死を求める人々には永遠の命を与えますが、自己を求める人々には永遠の命を与えます。」真理には従わず、不義、つまり憤りと怒りに従いなさい。

2: イザヤ書 1:16-17 - 身を洗い、清くなさい。あなたの行いの悪を私の目の前から遠ざけてください。悪を行うのをやめて、善を行うことを学びましょう。正義を求め、抑圧者を叱責せよ。父親のいない人を守り、未亡人のために嘆願します。

ルカ 10:13 コラジン、あなたは災いです。ベツサイダよ、あなたは不幸だ！なぜなら、その偉大な業がティルスとシドンで行われたのと同じように、あなた方の中で行われたのであれば、彼らはずっと前に悔い改め、荒布を着て灰の中に座っていたからです。

イエスは、ご自分の力強い御業を目撃したにもかかわらず悔い改めを拒否したガリラヤの二つの町に災難があると宣言されました。

1. 神の奇跡を認識し、悔い改めをもって応答する

2. 神の力を認めることを拒否した場合の結果

1. イザヤ書 45:22 - 「地の果てのすべてよ、わたしに立ち返って救われなさい。なぜなら私は神であり、他に神は存在しないからです。」

2. ローマ 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、あなたが信じて義とされるのは心によってであり、告白して救われるのは口だからである。」

ルカ 10:14 しかし、裁きのときは、あなたよりもティルスとシドンのほうが耐えられるでしょう。

イエスは弟子たちに、自分たちを拒絶する者に対する罰はティルスやシドンよりも厳しいものになるだろうと警告します。

1.「イエスの証人として生きる: 拒絶の結果」

2. 「神の怒り: 福音の拒否が無知よりも悪い理由」

1. マタイ 11:20-24 - イエスは、コラジン、ベツサイダ、カペナウムの都市に対し、不信仰に対するより大きな懲罰について警告されました。

2. ローマ 11:22 - 神の憐れみは神を知らない者たちにまで及びますが、神の怒りは神を拒絶した者たちに与えられます。

ルカ 10:15 そして、カペナウムよ、あなたは天に昇り、地獄に突き落とされるでしょう。

イエスはカファルナウムに、もし悔い改めなければ地獄に落とされるだろうと警告しました。

1. イエスの警告: 悔い改めなければ永遠の罰を受ける

2. 悔い改めを拒否した結果: 警告としてのカペナウム

1. マタイ 11:20-24 - イエスは、ご自分の奇跡にもかかわらず悔い改めなかったコラジンとベツサイダの町を叱責されました。

2. イザヤ 5:14 - 神は御言葉を拒む者を罰します。

ルカ 10:16 あなたがたの言うことを聞く人は、わたしの言うことを聞きます。あなたを軽蔑する者は私を軽蔑します。そして、私を軽蔑する者は、私を遣わした者を軽蔑します。

この箇所は、イエスの弟子たちは尊敬されるべきであり、弟子たちに向けられる軽蔑はイエスと神を軽視することと同じであることを強調しています。

1. イエスの弟子たちは神の意志の代表とみなされ、敬意を持って扱われるべきです。

2. イエスの弟子たちを軽視することは、イエスと神を軽視することに等しいので、すべきではありません。

1. ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂はより高い力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

2. マタイ 7:12 - それゆえ、あなたがたは、人にしてほしいと望むことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからである。

ルカ 10:17 すると、七十人は喜びながら再び戻ってきて、「主よ、あなたの名によって悪魔さえも私たちに服従します」と言った。

弟子たちは、イエスの名によって悪魔を支配する権威を持っていることを知り、喜びに満ちました。

1. イエスの御名の力 - 信者の権威の検討

2. 奉仕の喜び - 弟子の反応から学ぶ

1. マタイ 28:18-20 - イエスの大使命と信者に与えられた権威

2. エペソ 6:10-18 - 霊的戦いのために神の武具を着る

ルカ 10:18 そしてイエスは彼らに言った、「私はサタンが天から稲妻が落ちるのを見た。」

この箇所は、サタンが稲妻のように天から放り出されるというイエスの幻視を描写しています。

1. 私たちの生活におけるサタンの現実と力

2. 神の権威を拒否した結果

1. イザヤ書 14:12-15 - サタンの堕落

2. エペソ人への手紙 6:11-12 - 神の武具を身につける

ルカ 10:19 見よ、わたしはあなたに、蛇やさそりを踏み、敵のあらゆる力を制する力を与える。そして、あなたを傷つけるものは決してない。

イエスは私たちに敵のあらゆる力に打ち勝つ力を与え、何も私たちに害を及ぼさないと約束してくださいます。

1. イエスの力: 敵から傷つけられない方法

2. イエスの力で恐怖を克服する

1. ローマ 8:31 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. 詩篇 91:3-4 - きっと主はあなたを飼い鳥の罠と、煩わしい疫病から救い出してくださるでしょう。彼はあなたを羽で覆い、その翼の下であなたは信頼するでしょう。彼の真実があなたの盾となり、締めつけます。

ルカ 10:20 にもかかわらず、霊があなたに従属することを喜んではいけません。むしろ喜んでください。なぜなら、あなたがたの名前は天に記されているからです。

霊に対する権威を持つことではなく、救われ、自分の名前が天に記されることを喜びましょう。

1. 救いを喜ぶ：天に記された私たちの名前

2. 権威の力：私たちに服従する精神を喜ぶ

1. ローマ人への手紙 10:13 - 主の御名を呼び求める者は救われるからです。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

ルカ 10:21 その時、イエスは霊において喜び、こう言われた、「天と地の主よ、父よ、あなたがこれらのことを賢明で思慮深い者たちから隠し、幼子たちに明らかにしてくださったことに感謝します。それでも、父親;というのは、あなたの目にはそれが良いように見えたからです。

イエスは、謙虚で子供のような人々に神の真理を明らかにするという御父の決断を喜ばれました。

1. 父の御心を喜ぶ：神の神聖な啓示を祝う

2. 主の前での謙虚さ: 子どものような信仰の祝福

1. マタイ 11:25-26 「その時、イエスは言われた。「天地の主よ、父よ、あなたをほめます。あなたはこれらのことを知恵ある者や学識のある者たちに隠し、幼子たちに明らかにしてくださいました。」はい、お父様、これはあなたが喜んでなさったことでしたから。」

2. ヤコブ 4:6-10 「しかし、神は私たちにさらに恵みを与えてくださいます。だから聖書はこう言っています。「神は高ぶる者に敵対するが、謙虚な者には恵みを示す。」ですから、神の強大な力の下で、しかるべき時に謙虚になりなさい。神はあなたを栄誉をもって引き上げてくださるでしょう。あなたの心配事や気遣いをすべて神に捧げなさい、神はあなたのことを気にかけているからです。自制し、警戒しなさい。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのように、誰かをむさぼり食うものを探して歩き回っています。立って彼に抵抗してください。信仰が堅いのは、世界中の兄弟姉妹が同じような苦しみを経験していることを知っているからです。そして、あなたがしばらく苦しんだ後、キリストにある永遠の栄光にあなたを招いてくださったすべての恵みの神が、ご自身があなたを回復し、あなたを強く、堅固にし、揺るぎないものにしてくださるでしょう。」

ルカ 10:22 すべては父からわたしに与えられています。そして、父以外には、子が誰であるかを誰も知りません。そして、父は誰なのか、子以外に誰なのか、そして子が彼を明らかにする人。

イエスは、自分だけが父を知っており、父だけがイエスを知っていることを明らかにし、自分が選んだ人々に父を明らかにします。

1. イエスの啓示的な性質 - イエスが選んだ人々に父なる神を啓示することの重要性を理解する。

2. 父と子の謎 - 父と子の独特の関係と、それが私たちに与える影響を探ります。

1. マタイ 11:25-27 - その時、イエスは答えて言われました、「天地の主よ、父よ、あなたに感謝します。あなたはこれらのことを賢明で思慮深い者たちから隠し、幼子たちに明らかにしてくださったからです。」

2. ヨハネ 16:25-27 - これらのことを、私は箴言であなたがたに話しました。しかし、時が来ます。その時は、私はもう箴言であなたがたに話すことはなく、父についてはっきりとあなたがたに示すでしょう。

ルカ 10:23 それから、イエスは弟子たちのほうを向いて、ひそかにこう言われた、「あなたがたの見ているものを見る目は幸いです。

弟子たちは自分たちが見ているものを見ることができて幸いです。

1: 神は私たちに、ご自身の創造物の驚異を見ることができるという大きな祝福を与えてくださいました。

2: 私たちは目を通して神の愛と備えの喜びを体験することができます。

1: イザヤ書 6:1-3 - ウジヤ王が亡くなった年、私は主が高く上げられた玉座に座っておられるのを見ました。そして彼のローブの列が寺院を満たしました。

2: マタイ 5:8 - 心の清い人たちは幸いです、彼らは神を見るでしょう。

ルカ 10:24 言っておきますが、多くの預言者や王たちは、あなたがたが見ているものを見たいと願いながら、まだ見ていません。そして、あなたがたが聞いているのに聞いていないことを聞くことです。

この聖句は、多くの預言者や王たちが体験したいと望んだ、福音の事柄を見たり聞いたりできる特権を強調しています。

1.「福音を聞く特権」

2.「預言者や王たちが切望したものを見る価値」

1. イザヤ書 29:18-19、「その日、耳の聞こえない人はその本の言葉を聞き、目の見えない人の目は、暗闇の中から、暗闇の中から見えるようになる。柔和な人もまた、その喜びを増すであろう。」主よ、そして人々の中の貧しい人々はイスラエルの聖者を喜ぶでしょう。」

2. マタイ 13:16-17、「しかし、あなたがたの目は幸いです、それは見えるからです。そして、あなたの耳は、彼らが聞くからです。本当に、あなたがたに言いますが、多くの預言者や正しい人たちが、あなたがたが見ているものを見ることを望んでいたのです」そして、あなたがたが聞いているのに聞いていないことを聞くことです。」

ルカ 10:25 すると、見よ、ある律法学者が立ち上がって、彼を誘惑して言った、「先生、永遠の命を受け継ぐにはどうしたらよいでしょうか。」

弁護士はイエスに、永遠の命を受け継ぐには何をしなければならないかを尋ねました。

1. 神の計画の実現: 永遠の命を得る方法。

2. 弁護士の質問: 永遠の命を得るには何をしなければなりませんか?

1. マタイ 19:16-30 - 金持ちの若者

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、神を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

ルカ 10:26 彼は彼に言った、「律法には何と書いてありますか。」あなたはどれくらい読めますか？

イエスは、神の御心を知るには、神の言葉を研究して理解する必要があると教えています。

1. 神の言葉を知り理解することの重要性

2. 神の言葉に従順な人生を送る

1. 詩篇 119:11 - 「私があなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心の中に隠しました。」

2. イザヤ書 8:20 - 「律法と証しに対して、もし彼らがこの言葉に従って語らないとしたら、それは彼らのうちに光がないからである。」

ルカ 10:27 すると彼は答えて言った、「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」そしてあなたの隣人もあなた自身と同じように。

イエスは私たちに、心、魂、力、思いを尽くして神を愛し、隣人を自分自身のように愛するように教えられます。

1. 「神を愛し、隣人を愛せよ」

2.「最大の戒め」

1. マタイ 22:37-40 - 「イエスは彼に言われた、『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。』これは第一の、そして偉大な戒めです。そして第二も同様です、『隣人を自分のように愛さなければならない』。」

2. ヨハネ第一 4:20-21 - 「もし誰かが『私は神を愛している』と言いながら自分の兄弟を憎むなら、その人は嘘つきです。なぜなら、見たことのある兄弟を愛さない人が、どうして見たこともない神を愛することができるでしょうか。そして、私たちが神から与えられたこの戒めは、神を愛する者は自分の兄弟も愛さなければならないということです。」

ルカ 10:28 するとイエスは、「あなたの答えは正しかった。そうすればあなたは生きられる」と言った。

この聖句は、救われて生きるために神の命令に従うことの重要性を強調しています。

1. 神の命令は命を与える - ルカ 10:28

2. 神に従って生きなさい - ルカ 10:28

1. 申命記 30:19-20 - 「今日、私は天と地にあなたに対する証人を呼びます。私があなたの前に生と死、祝福と呪いを置いたことを。それゆえ、あなたとあなたの子孫が生きるために、命を選びなさい。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分でしたことではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

ルカ 10:29 しかし、彼は自分を正当化しようとして、イエスに言った、「私の隣人とは誰ですか？」

ある男がイエスに隣人とは誰なのか尋ねます。

1. 「隣人を愛せよ: 神の戒めと私たちのコミュニティ」

2. 「思いやりの心: 私の隣人は誰ですか?」

1. マタイ 22:39 - 「第二もこれと同じです。『あなたは自分のように隣人を愛さなければなりません。』」

2. ローマ人への手紙 13:8-10 - 「互いに愛し合うこと以外には、だれにも借りはありません。人を愛する者は律法を全うしたからです。そのために、あなたは姦淫を犯してはならない、殺してはならない、盗んではなりません」, あなたは偽りの証言をしてはなりません, あなたはむさぼりをしてはなりません; そして他に何か戒めがあるとすれば、それはこの格言で簡潔に理解されます、すなわち、あなたは自分自身のようにあなたの隣人を愛してください. 愛は隣人に悪影響を及ぼしません：したがって、愛は律法の履行です。」

ルカ 10:30 するとイエスは答えて言われた、「ある人がエルサレムからエリコに下って行って、盗賊に遭い、着物をはぎ取られて負傷し、半死半生のまま立ち去った。」

ある男がエルサレムからエリコに行ったところ、強盗に襲われ半死半生となりました。

1: 善きサマリア人がしたように、私たちは困っている人たちに同情心を持たなければなりません。

2: 善きサマリア人の物語から、他の人を第一に考えることを学ぶことができます。

1: マタイ 22:37-40 - 「イエスは彼に言われた。『あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これは最も重要な第一の戒めですが、第二の戒めも同様です、「隣人を自分のように愛さなければならない」。この二つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。」

2: ヤコブ 2:14-17 「兄弟たち、もし誰かが自分には信仰があるが行いがないと言ったら、何の益があるのでしょうか。信仰がその人を救うことができますか。兄弟や姉妹が裸で毎日の食べ物に欠けているとしたら、あなたがたは彼らに、「安らかに旅立ち、体を温め、満たされなさい。」と言っているのに、体に必要なものを与えないのに、それが何の益になるのですか。同様に、信仰も、行いがなければ、それ自体で、死んでいる。"

ルカ 10:31 すると、偶然、ある祭司がそこへ下りて来て、彼を見ると、向こう側を通り過ぎて行きました。

司祭は困っている人を見て反対側を通り過ぎました。

1. 思いやりの力: 困っている人を愛し、助けることを学ぶ

2. 神の愛を証しする: 他の人の人生にどのように変化をもたらすことができるか

1. ヤコブ 2:16 「あなたがたのうちの誰かが、『安心して行きなさい。暖かくして十分な食事をしなさい』と言いながら、彼らの体の必要について何もしなかったら、それが何の役に立つでしょうか。」

2. マタイ 25:35-40 「私がお腹が空いていたのに、あなたは何か食べるものを与え、私が渇いていたのに、あなたは飲み物を与え、私が見知らぬ人だったのに、あなたは招き入れ、私が服を必要としていたのに、あなたは私に服を着せてくれました。私が病気だったのにあなたは世話をしてくれて、私が刑務所にいたのにあなたは見舞いに来てくれました。」

ルカ 10:32 同じように、レビ人もその場所にいたとき、やって来て彼を眺め、反対側を通り過ぎた。

善きサマリア人のたとえ: イエスは、背景に関係なく、困っている人を助けることについての教訓を教えています。

1.「慈悲の心：すべての人の隣人であること」

2.「Love for All：誰に対しても優しさを示す」

1. ガラテヤ 6:9-10 「善を行うことに飽きないようにしましょう。あきらめなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。ですから、機会があれば、すべての人に善を行ないましょう。特に信仰の家族に属する人たちに。」

2. ヤコブ 1:27 - 「父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児ややもめを訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。」

ルカ 10:33 ところが、あるサマリア人が、旅の途中、自分のいるところにやって来た。そして、彼を見て憐れみを抱き、

善きサマリア人は困っている人に対して思いやりを持っていました。

1. 思いやりの力

2. 謙虚さの力

1. マタイ 9:36 - イエスは群衆を見て、彼らを憐れみました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のように、苦しめられ、無力であったからです。

2. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟姉妹の皆さん、信仰があると主張しても行いがなかったとしたら、それが何の役に立つでしょうか。そのような信仰では彼らを救うことはできません。兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物も持たないと仮定してください。あなたがたのうちの誰かが彼らにこう言ったら、「安心して行きなさい。暖かくして、十分な食事を与えてください」と言いましたが、彼らの身体的ニーズについては何もしませんでした、それが何の役に立つでしょうか？同様に、信仰は、行動が伴わなければ、それ自体では死んでいます。

ルカ 10:34 それから、彼のところに行き、油とぶどう酒を注ぎながら傷を包んで、自分の獣の上に乗せ、宿屋に連れて行き、世話をした。

あるサマリア人が強盗に襲われて負傷した男性を助け、傷を縛り、油とワインをかけ、宿屋に連れて行き手当てをしました。

1. 善きサマリア人: 思いやりの模範

2. 宿屋の主人の寛大さ: 見知らぬ人への気遣い

1. イザヤ書 58:10 - 「もしあなたが飢えた人々のために自分の身を費やし、虐げられている人々の必要を満たすなら、あなたの光は暗闇の中に輝き、あなたの夜は真昼のようになるでしょう。」

2. ヨハネ第一 3:17 - 「物質的な所有物を持っていて、困っている兄弟や姉妹を見て、それを憐れまない人がいるとしたら、どうしてその人の中に神の愛があり得ますか。」

ルカ 10:35 そして、翌日、出発するとき、彼は二ペンスを取り出して主人に渡し、「世話をしてください」と言った。そしてあなたがそれ以上使った分は、私が再び来たときにあなたに返済します。

この箇所は、イエスがホストに2枚の硬貨を託し、追加でかかった費用はすべて返済すると言ったところを物語っています。

1. 寛大な人生を送る。

2. イエスの信頼の模範に従う。

1. コリント人への第二 9:7-8 「あなたがたは一人一人、しぶしぶでなく、あるいは強いられてでもなく、自分の心の中で捧げようと決めたものを捧げるべきです。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。そして神はあなたを豊かに祝福してくださるので、いつでも、あらゆることにおいて、あなたが必要なものをすべて持ち、あらゆる良い行いを豊かに行うことができるでしょう。」

2. 箴言 11:25 - 「寛大な人は繁栄する。寛大な人は繁栄する。」他の人をリフレッシュする人は、自分もリフレッシュされます。」

ルカ 10:36 あなたは、この三人のうちどれが、盗賊に陥った人の隣人だと思いますか。

善きサマリア人のたとえ話は、困っている人の隣人とは誰なのかを尋ねます。

1. 私たちは自分自身よりも他人を優先し、困っている人たちを助けるべきです。

2. 隣人を愛することは、隣に住んでいる人よりも大きな意味があります。

1. マタイ 22:37-40 - 心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2. ガラテヤ 6:10 - それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

ルカ 10:37 するとイエスは、「彼を憐れんでくださった方です」と言った。それからイエスは彼に言った、「行って、あなたも同じようにしなさい」。

この聖句は、他人に慈悲を示すことの重要性を強調しています。

1.「慈悲をもって生きる：無条件の愛と優しさを実践する」

2. 「慈悲の力: 慈悲は人生をどのように変えることができるか」

1. ミカ 6:8 - 「おお、神はあなたに、何が良いことであるかを教えてくださいました。そして主があなたに求めておられるのは、正義を行い、親切を愛し、謙虚に神と共に歩むこと以外に何があるでしょうか？」

2. マタイ 5:7 - 「憐れみ深い人たちは幸いです。彼らは憐れみを受けるからです。」

ルカ 10:38 さて、一行が進んでいくと、彼はある村に入ると、マルタという名の女が彼を家に迎え入れた。

マルタはイエスを家に迎え入れました。

1. おもてなしの教訓: 他人を家に歓迎すること。

2. もてなす方法についてマーサの例から学びます。

1. ローマ人への手紙 12:13 - 「困っている主の民に分け与えなさい。ホスピタリティを実践してください。」

2. ペテロ第一 4:9 「不平を言わずに互いにもてなしなさい」。

ルカ 10:39 彼女にはマリアという妹がいたが、彼女もイエスの足もとに座って、イエスの言葉を聞いていた。

マリアはマルタの妹で、イエスの教えを熱心に聞いていました。

1) イエスの教えを聞く献身が最も重要です

2) イエスの教えを聞いたマリアの模範は感動的です

1) ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞き手ではなく、行動する実行者となる人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。

2) 箴言 4:20-22 - わが子よ、私の言葉に注意を払ってください。私の言葉に耳を傾けてください。彼らをあなたの目から逃がさないでください。心の中に留めておいてください。なぜなら、それを見つけた者にとってそれらは命であり、肉体全体を癒すものだからです。

ルカ 10:40 ところがマルタは、仕えることが多くて困っていたので、彼のところに来て言った、「主よ、妹が私を一人で仕えさせたことを気にされませんか。」したがって、私を助けてくれるように彼女に頼みました。

マルタは、妹がすべての仕事を自分に一人でやらせているとイエスに不平を言い、妹に手伝ってくれるように伝えてほしいとイエスに頼みました。

1. 一致団結して協力することの重要性

2. 引き受けすぎないことの大切さ。

1. 1 コリント 12:14-26 - キリストの体がどのように連携し、それぞれの部分がどのように重要であるかを説明します。

2. 伝道の書 4:9-10 - 人生において仲間を持つことの重要性と、離れているよりも一緒にいる方がより多くのことを達成できることについて説明しています。

ルカ 10:41 するとイエスは答えて彼女に言われた、「マルタ、マルタ、あなたはいろいろな事で用心深く、悩んでいます。」

マルタは過度に心配していましたが、イエスは彼女に優先順位を付けるように教えました。

1：自分の意志よりも神の意志を優先する

2: 心と心の静けさ

1: ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはならない。どんな状況においても、祈りと願いによって、感謝を込めて自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平安が、あなたの願いを守ってくれるだろう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

2: マタイ 6:25-34 「だから、わたしはあなたたちに言います。自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、あるいは自分の体のこと、何を着るかについて心配するのはやめてください。命は食べ物以上のものであり、体はもっと重要なものではないでしょうか」衣服よりもはるかに価値があるのではありませんか? 空の鳥を見てください。彼らは種を蒔いたり、刈り取ったり、納屋にしまったりはしませんが、それでもあなたがたの天の父は彼らに餌を与えます。あなたは彼らよりはるかに価値があるのではありませんか? あなた方の中で、心配して何かを一つ追加できる人はいますか?命まであと１時間？」

ルカ 10:42 しかし、必要なことが一つあります。それは、マリアがその良い部分を選んだのであり、それが彼女から取り上げられることはありません。

メアリーは、必要なもの、それが彼女から奪われないものを一つ選びました。

1. 必要なこと: 何が最善かを選択すること

2. メアリーの例: 最も重要なことを追求する

1. 箴言 4:23、「何よりも自分の心を守りなさい。あなたの行動はすべて心から出てくるからです。」

2. マタイ 6:33、「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。」

ルカ 11 章には、主の祈り、祈りについてのイエスの教え、パリサイ人や律法学者とのイエスの論争、そして不信仰についての警告が含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスの弟子の一人がイエスに祈り方を教えてほしいと頼むところから始まります。それに応えて、イエスは「主の祈り」として知られる模範的な祈りを示されました（ルカ 11:1-4）。それから彼は、真夜中にパンを求めてやって来る友人についてのたとえ話を通して、粘り強く祈り続けることについて教えました。その友人は友情のためではなく、彼の大胆さと粘り強さのために助けを得ます(ルカ11:5-8)。イエスは、神は求める者に良い贈り物を与える良い父親のような方であるため、人々が求め、求め、祈りをたたきなさいと強調されました(ルカ11:9-13)。

第 2 段落: この祈りに関する教えの後、イエスはある人から悪霊を追い出し、そのおかげで彼は話せるようになりました。群衆の中には、ベルゼブル（サタン）によって悪霊を追い出されたとイエスを非難する人もいましたが、イエスは、もしサタンが自分に対して分裂しているなら、彼の王国は成り立たないと言ってこれに反論しました。彼はまた、もし彼がベルゼブルによって悪魔を追い出すなら、彼らの信者は誰によって彼らを追い出すのでしょうか？したがって、彼ら自身が裁判官となりその論理の矛盾を示し、さらに、神の国と善と悪との間の霊的な戦いが来たときに、彼に反対する者以外は彼と一緒に集まらない散在者が中立を示し、選択肢がないことを示しています（ルカ11:14-23）。

第 3 段落: 次に、イエスは、人が休息を求めて乾燥した場所を歩き回るのに、「元の家に帰ります」と言うのが見つからない汚れた霊について話されました。それが到着すると、家はきれいに整えられ、その後、自分より邪悪な他の 7人の霊を連れて行き、彼らはそこに住み始めます。最終的な状態は、最初の警告よりも悪い人であり、危険です。真の悔い改めのない空虚な宗教心は、以前よりもさらに悪い状態の霊的束縛につながります（ルカ 11:24-）26）。イエスがこれらのことを言っていると、女性群衆が「祝福された子宮があなたに乳房を与え、あなたを育ててくれました！」と叫びました。しかし、「言葉を聞く人は幸いです、神はそれに従うのです」と答え、物理的な生物学的つながりよりも従順の信仰の重要性を強調し、最終章でシリーズの結論が明らかになった苦悩、パリサイ人の専門家、法律、偽善律法主義、正義の無視、愛、神の光のランプ、体の目は健康、全身は完全に光っているが、不健康な体は完全に暗闇である慎重に注意して、暗闇ではなく自分の中に光を確保することは、外見よりも内面の純粋さが重要であることを意味し、宗教的な行事を意味します。

ルカ 11:1 そして、彼がある場所で祈っていたとき、立ち止まったとき、弟子の一人が彼に言った、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈り方を教えてください。」

弟子たちはイエスに祈り方を教えてほしいと頼みました。

1. イエスとともに祈ることを学ぶ: 神との親密な関係を築く方法

2. 祈りの力: 神の奇跡と祝福にアクセスする方法

1. ヨハネ 15:7 - 「あなたがわたしのうちにとどまり、わたしの言葉があなたのうちにとどまるなら、何でも願い事を求めなさい。そうすれば、それがかなえられます。」

2. ヘブライ 4:16 - 「それでは、私たちが憐れみを受け、必要なときに助ける恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

ルカ 11:2 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたが祈るときは、『天におられるわたしたちの父よ、あなたの御名があがめられますように』と言いなさい。」あなたの王国が来ますように。あなたの御心は天におけるように地においても行われます。

イエスは弟子たちに祈り方を教え、神を「天の父」と呼び、神のご意志が天で行われるように地上でも行われるように祈るように指示されました。

1. 神の御心を祈ります: イエスの教えの意味と関連性

2. 神の王国を求める：祈りを通して地上に天国をもたらす

1. マタイ 6:9-13 - 主の祈りに関するイエスの教え

2. ヨハネ第一 5:14-15 - 神の御心に従って祈る

ルカ 11:3 わたしたちに日ごとの糧を与えてください。

この聖句は、毎日の糧を与えてほしいというイエスから神への願いです。

1. 「デイリーブレッドを頼むとはどういう意味ですか?」

2.「神への忠実な請願の力」

1. マタイ 6:11 – 「今日、私たちに日々の糧を与えてください。」

2. 詩篇 145:15-16 – 「すべての人の目はあなたに向き、あなたは彼らに適切な時期に食べ物を与えます。あなたは手を開きます。あなたはあらゆる生き物の欲望を満たします。」

ルカ 11:4 そして、私たちの罪をお赦しください。なぜなら、私たちはまた、私たちに恩義のあるすべての人を赦すからです。そして私たちを誘惑に導かないでください。しかし、私たちを悪から救い出してください。

この聖句は、誘惑に導かれず、悪から解放されるよう、神に許しを求めるよう勧めています。

1. 悔い改めと許しへの呼びかけ

2. 誘惑からの神の守り

1. マタイ 6:12-15 - 私たちが債務者を赦すように、私たちの負債も赦してください。

2. ヤコブ 1:13-15 - だれも、誘惑されているとき、「私は神に誘惑されている」などと言ってはなりません。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、ご自身も誰も誘惑されないからです。

ルカ 11:5 そこでイエスは彼らに言った、「あなたたちの中に友達がいるなら、真夜中に彼のところに行って、『友よ、パンを三つ貸してください。』と言いなさい。」

イエスは、困ったときは他の人に助けを求めるよう私たちに勧めています。

1: 困ったときは、恐れずに他人に助けを求めるべきです。

2: 神が私たちを助けてくださったのと同じように、私たちも困っている人たちを進んで助けるべきです。

1: ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすれば、それはあなたに与えられるでしょう。いい加減に、押しつけられ、一緒に揺さぶられ、そして駆け寄って、人々はあなたの胸に屈服するでしょう。

2: ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

ルカ 11:6 というのは、旅中の友人が私のところに来たのですが、私は彼の前に何も用意するものがないのですか。

友人が訪問していますが、講演者は彼らに提供できるものが何もありません。

1. もてなしの大切さ: ルカ 14:12-14

2. 信仰の力: マタイ 17:20

1. 箴言 25:21: 敵が飢えているなら、彼に食べるパンを与えなさい。そして喉が渇いたら水を飲ませてください。

2. ローマ 12:13: 困っている主の民と分かち合いましょう。ホスピタリティを実践しましょう。

ルカ 11:7 すると彼は中から答えて言うだろう、「心配しないでください。今はドアが閉まっていて、子供たちは私と一緒にベッドにいます。心配しないでください。」私は立ち上がってあなたに与えることはできません。

男性は、子供たちが一緒に寝ているため、外に立っている人に求めているものを与えるために立ち上がってドアを開けることを拒否しました。

1. 家族の力: 家族を守り、家族に投資することの重要性を探ります。

2. 寛大さの価値: 他人に優しさを示すことが及ぼす影響について話し合います。

1. エペソ人への手紙 6:4 - 「父親たち、子供たちを激怒させないでください。その代わりに、主の訓練と教えを受けて彼らを育ててください。」

2. マタイ 25:35-36 - 「私はお腹が空いていたのに、あなたは何か食べるものを与え、喉が渇いていたのに、あなたは私に飲み物をくれ、見知らぬ私を招き入れてくれました。」

ルカ 11:8 あなたがたに言います、彼は友人だから立ち上がって彼に与えることはありませんが、しかし、彼の重要性のために彼は立ち上がって、彼が必要とするだけ彼に与えるでしょう。

イエスは、たとえ要求が拒否されたとしても、粘り強く続ければ、必要なものは与えられるだろうと説明され、粘り強さと決意の重要性が強調されています。

1.「粘り強さの力：否定を超えて到達する」

2.「忍耐による神の備え」

1. ヤコブ 5:16 - 「互いに自分の過ちを告白し、癒されるように互いに祈りなさい。義人の熱心な祈りは効果的であり、大いに役立ちます。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも気をつけなさい。しかし、どんなことにおいても、感謝を込めて祈りと願いをささげることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、人知を超えた神の平安が、あなたがたの心と心を保ってくれるでしょう。」キリスト・イエスを通して思いを馳せるのです。」

ルカ 11:9 そして、私はあなたに言います、「求めなさい。そうすれば、与えられるでしょう。」探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば開かれます。

私たちが求め、求め、門をたたくなら、神は私たちの祈りに答えてくださいます。

1. 私たちが信仰を持って祈るなら、神は私たちの必要を満たしてくださいます。

2. 私たちが真剣に神を求めるなら、神は扉を開いてくださいます。

1. ヤコブ 1:5-8 - もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めてください。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

2. マタイ 7:7-8 - 求めなさい、そうすれば与えられるでしょう。探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば、それはあなたに開かれます。そして探求する者は発見する。そしてノックする者には開かれるであろう。

ルカ 11:10 求める者はみな得られるのです。そして探求する者は発見する。そしてノックする者には開かれるであろう。

神は尋ね、探し、門をたたく者に報いてくださいます。

1: 祈りの力 – 神は常に私たちの祈りに答え、私たちの必要に応じて扉を開いてくださいます。

2: 信仰の祝福 - 神は常に私たちに備えてくださるという信仰を持ちましょう。

1: ヤコブ 4:8 - 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。

2: 1 ヨハネ 5:14-15 - これは、私たちが神の御前に抱いている確信です。すなわち、私たちが神の御心に従って何かを求めるなら、神は聞いてくださるということです。そして、私たちが求めるものは何でも神が聞いてくださると知っているなら、私たちは神から求めた願いを私たちが持っていることが分かります。

ルカ 11:11 もし、あなたがたの父親である誰かに息子がパンをねだったとしたら、石をあげるでしょうか。それとも魚に頼んだら、魚の代わりに蛇をくれるでしょうか？

イエスは群衆に、親と子の関係、そして父親は息子にパンや魚の代わりに石や蛇を与えるかどうかについて修辞的な質問をします。

1. 父親の愛 - 父親が子供に対して抱く無条件の愛を探ります。

2. 修辞的質問の力 - 聴衆に挑戦し、インスピレーションを与えるためにイエスが修辞的質問を用いた力を探ります。

1. マタイ 7:9-11 - 「もし息子がパンを欲しがったら、あなたがたのうち誰が彼に石を与えるでしょうか。」

2. イザヤ書 28:23-29 - 「彼は北からのさわやかなそよ風、砂漠からの暖かい突風のようです。彼は疲れた人々を元気づけ、乾いた疲れた土地の水の泉のように彼らを活気づけます。」

ルカ 11:12 それとも、もし彼が卵を求めたら、サソリを差し出すだろうか？

この箇所は、なぜ神は甘いものを求めた代わりに苦いものを与えるのかを尋ねています。

1: 神は私たちにふさわしいものを与えてくださるのではなく、私たちが必要とするものを与えてくださるのです。

2: 必要なものを神に求めてください。神は最善のものを与えてくださいます。

1: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2: ローマ 8:28 - そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

ルカ 11:13 もし、あなたが悪者であるのに、子供たちに良い贈り物を与える方法を知っているなら、あなたがたの天の父は、ましてや、求める者たちに聖霊を与えてくださるでしょうか。

神はご自分に求める者に聖霊を与えたいと切望しておられます。

1. 聖霊の賜物 - 神の愛は私たちの愛よりもいかに大きいか

2. 聖霊を求めることを学ぶ - 信仰と神との関係において成長する

1. ヤコブ 4:2-3 - あなたが求めていないので、あなたは持っていません。

2. ヨハネ第一 5:14-15 - 求めなさい。そうすれば、あなたは与えられます。そうすれば、あなたの喜びは満たされます。

ルカ 11:14 そして彼は悪魔を追い出していましたが、それは愚かでした。そして、悪魔が出て行ったとき、愚かな声が上がりました。そして人々は不思議に思いました。

イエスが男性から悪霊を追い出したところ、その男性は話す能力を取り戻しました。人々はその奇跡に驚きました。

1. 回復する神の力: 口のきけない人を癒したイエスの奇跡

2. 異常な状況における神の忠実さ

1. マタイ 9:6-7 - しかし、人の子が地上で罪を赦す力を持っていることをあなたがたが知るためです。（そこで彼は中風の病人にこう言います）「起きて、床を取り上げ、あなたのところに行きなさい」家。そして彼は起き上がり、自分の家へ出発した。

2. 詩篇 103:1-5 - 私の魂よ、主を祝福してください。そして私の内にあるすべてのもの、主の聖なる御名を祝福してください。おお、私の魂よ、主を祝福してください。そして主の恩恵をすべて忘れないでください。主はあなたのすべての咎を赦してくださいます。あなたの病気をすべて治してくださる方。あなたの命を滅

びから救い出す人。慈愛と優しい慈悲をあなたに冠してくださる方。良いものであなたの口を満足させる人は誰ですか。そうすれば、あなたの若さがワシのように新しくなりますように。

ルカ 11:15 しかし、彼らの中には、「彼は悪魔のかしらベルゼブブを通して悪魔を追い出している」と言う人もいた。

イエスが悪魔を追い出すために悪霊の長ベルゼブブを使ったとして非難する人もいました。

1. イエスの告発: 虚偽の申し立てにどう対応するか

2. イエスの力: イエスはどのように反対を克服したか

1. マタイ 12:28-29、「しかし、もし私が神の御霊によって悪霊を追い出したのなら、必ず神の国はあなたがたの上に来たのです。あるいは、最初に縛り付けない限り、どうして強い人の家に入り込み、その財産を略奪することができますか」「強い男ですか？そして彼は彼の家を略奪するでしょう。」

2. ローマ人への手紙 8:31-32、「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために引き渡してくださった方は、どうして御子とともに私たちにすべてのものを無償で与えて下さらないのでしょうか？」

ルカ 11:16 また、他の人たちは、彼を誘惑して、天からのしるしを求めました。

イエスを試すために天からのしるしをイエスに求めた人もいました。

1. 神を試す危険

2. イエスへの信仰の重要性

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. マタイ 4:7 - 「イエスは彼に言われた。『また書いてある。『あなたの神、主を試してはならない』と。」

ルカ 11:17 しかし、イエスは彼らの考えを知って、彼らに言った、「自分たちに敵対して分裂した王国はすべて荒廃する。そして家が家に対立して分裂する。

分裂した王国はすべて滅ぼされます。

1: 成功にはコミュニティ間の団結が不可欠です。

2: 一体感は強さと安定をもたらします。

1: マタイ 12:25 - イエスは、「自分たちに敵対して分裂したすべての王国は滅び、自分たちに敵対して分裂したすべての都市や家庭は存続できなくなります。」と言われました。

2: エペソ 4:3 - 平和のきずなを通して御霊の一致を保つためにあらゆる努力をしてください。

ルカ 11:18 もしサタンも自分に対して分裂したら、彼の王国はどうなるでしょうか。あなたがたは、私がベルゼバブを通して悪魔を追い出したと言っているからです。

サタンの王国は、イエスが自分に対して分裂している場合には成り立ちませんが、イエスの敵は、ベルゼバブを通して悪魔を追い出したとしてイエスを不当に非難しました。

1. 悪の究極の無益さ - 神の力は常にサタンの計画を打ち破ります。

2. 真実の重要性 - イエスには嘘と冤罪を克服する力があります。

1. エペソ 6:12 - なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にある霊的な邪悪に対して格闘しているからです。

2. ヨハネ第一 4:4 - あなたがたは神から出た幼な子らであり、彼らに打ち勝ったのです。なぜなら、あなたがたのうちにいる者は、世にいる者よりも偉大だからです。

ルカ 11:19 もし私がベルゼブブによって悪霊を追い出したとしたら、あなたの息子たちは誰によって悪霊を追い出すのでしょうか。したがって、彼らはあなたの裁判官となるでしょう。

イエスはパリサイ人たちに神の子としての権威を受け入れるよう問いかけ、もしイエスが天から来たのでないとしたら、イエスの奇跡の力をどう説明するのかと尋ねました。

1: ルカ 11:19 のイエスの言葉は、私たちが喜んで神の権威を受け入れ、神の子として従わなければならないことを思い出させてくれます。

2: 私たちは謙虚になってイエスの奇跡の力を認識し、神の子としての彼の権威を受け入れることを選択しなければなりません。

1: マタイ 28:18-20 - 「すると、イエスが来て彼らに言われた、「天と地のすべての権威がわたしに与えられた。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

2: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

ルカ 11:20 しかし、もし私が神の指で悪霊を追い出したら、間違いなく神の国があなたがたに来るでしょう。

イエスが神の指で悪魔を追い出したとき、神の国が到来しました。

1. 神は私たちとともにおられ、私たちに天国をもたらすために来られました。

2. イエスはメシアであり、神の力によって救いをもたらします

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩に乗るでしょう。そして彼の名前は、素晴らしい、助言者、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ローマ 14:17 - 神の国は飲み食いではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです。

ルカ 11:21 武装した強い者が宮殿を守るとき、彼の財産は平和です。

この聖句で言及されている強い男は、力があり安全な人々がどのようにして自分の持ち物を簡単に守ることができるかを象徴しています。

1. 私たちを守る神の力

2. 困難な時代における信仰の強さ

1. 詩篇 91:1-2 - いと高き方の秘密の場所に住む者は、全能者の影の下にとどまる。私は主について言います、主は私の避難所であり、私の砦です。私の神です。私は彼を信頼します。

2. ローマ 8:31-32 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？ご自身の御子を惜しまず、私たち全員のために引き渡してくださった方は、どうして御子とともに私たちにすべてのものを惜しみなく与えて下さるはずがありませんか。

ルカ 11:22 しかし、自分より強い者が彼に襲いかかり、彼に勝つとき、彼は信頼していたすべての武具を彼から奪い、戦利品を分け与える。

強者は弱者の信頼を奪うこともある。

1: 神の力だけが真の守りです。

2: 私たちは神以外の力に頼ることに用心しなければなりません。

1: 詩篇 18:2 - 主は私の岩であり、私の砦であり、私の救出者、私の神、私の岩、私が避け所、私の盾、私の救いの角、私の砦です。

2: エペソ 6:10-13 - 最後に、主とその力の強さによって強くなりましょう。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的な力に対して格闘しているからです。

ルカ 11:23 わたしと一緒にいない者はわたしに敵対し、わたしと一緒に集まらない者は散らされる。

神の側にない者は神に敵対し、集まるのではなく散り散りになるでしょう。

1: 私たちは神のもとに集められるために、神の側に立つことを選択しなければなりません。

2: 私たちはバラバラにならないように、神への信仰において団結しなければなりません。

1: マタイ 12:30 - 「わたしと一緒にいない者はわたしに敵対しており、わたしと一緒に集まらない者は海外に散らばる。」

2: ヤコブ 4:4 「姦淫する者たちよ、姦淫する者たちよ、世の友情は神との敵対であることを知らないのか。したがって、世の友人となる者は神の敵である。」

ルカ 11:24 汚れた霊が人から出ると、人は休息を求めて乾いた場所を歩きます。そして何も見つからなかった、「出てきた家に戻るよ」と彼は言いました。

汚れた霊は人間から追放されると、新たに住む場所を探しますが、安息を見つけることができず、元の人間に戻ります。

1. 神の力は汚れた霊に打ち勝つことができます

2. 謙虚さと祈りは汚れた霊に抵抗するのに役立ちます

1. ヤコブ 4:7-8 ですから、神に従いなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2. エペソ 6:12 なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にある霊的な悪に対して格闘しているからです。

ルカ 11:25 そして、彼が来ると、それが掃除され、飾り付けられているのがわかりました。

この通路は、誰もいない、整然とした家について語っています。

1. 「準備の代償」 – 主が再臨されるときに備えて、規則正しい生活を送ることの重要性について。

2. 「秩序の美しさ」 – 私たちの生活における秩序と規律の美しさと力について。

1. マタイ 6:33 – 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2. 箴言 16:9 – 「人の心は自分の道を計画するが、主はその歩みを導かれる。」

ルカ 11:26 それから彼は出て行って、自分より邪悪な他の七つの霊を連れて行きます。そして彼らはそこに入り、そこに住みます。そして、その人の最後の状態は最初の状態よりも悪いです。

イエスは、汚れた霊が人の生活に戻ることを許されると、他の7つの汚れた霊を連れてきて、以前よりもさらにひどい状態になると警告しています。

1. 敵が自分の人生に戻ってくることを許す危険。

2. 自分の心と思いを罪から守ることの大切さ。

1. エペソ 6:10-18 - 悪の霊的な力から身を守るために、神の完全な武具を身に着けてください。

2. ペテロ第一 5:8-10 - 目を覚まして冷静になり、悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔は逃げます。

ルカ 11:27 彼がこれらのことを話していると、仲間の女性が声を張り上げて彼に言った、「あなたを産んだ子宮と、あなたが吸った乳汁は幸いですように」。

ある女性はイエスが祝福された子宮から生まれ、祝福された生い立ちをされたことを称賛しました。

1. どうすればイエスから祝福を受けることができるか

2. 賛美と祝福の力

1. ルカ 1:42 - 「すると彼女は大声で言った、『あなたは女の中で祝福されています、あなたの子宮の実も祝福されています。』」

2. 詩篇 103:1-5 - 「私の魂よ、主を祝福してください。そして私の内にあるすべてのものよ、主の聖なる御名を祝福してください。主を祝福してください、私の魂よ、そして主の恩恵をすべて忘れないでください。あなたの咎をすべて赦してくださるお方です」「あなたのすべての病気を治してくださる方、あなたの命を滅びから救い出してくださる方、慈愛と優しい憐れみであなたに冠を授けてくださる方、良いものであなたの口を満足させてくださる方、あなたの若さがワシのように新たになるように。」

ルカ 11:28 しかしイエスは、「神の言葉を聞いてそれを守る人たちは、むしろ幸いである」と言った。

イエスは、神の言葉に聞き従う人は祝福される、と宣言されました。

1. 従順の祝福

2. 神の言葉を聞く力

1. ヤコブ 1:22-25 しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

2. 詩篇 119:11 あなたに対して罪を犯さないように、私はあなたの言葉を心の中に隠しました。

ルカ 11:29 人々が大勢集まってきたとき、イエスは言い始めた、「これは邪悪な世代です。彼らはしるしを求めています。彼らはしるしを求めています。そして、預言者ヨナスのしるし以外には、いかなるしるしも与えられないであろう。

この箇所は、信仰の代わりにイエスにしるしを求める人々に対するイエスの戒めについて語っています。

1.「信仰のしるし：神を信頼することを学ぶ」

2.「ヨナのしるし: 従順の研究」

1. イザヤ書 7:9 - 「信じなければ、あなたは確立されません。」

2. ヤコブ 2:17-18 - 「ですから、信仰も、行いがなければ、それ自体では死んだものです。しかし、ある人は、『あなたには信仰がある、私には行いがある』と言うでしょう。あなたの行いとは別にあなたの信仰を私に示してください、そうすれば私は私の行いによってあなたの信仰を示します。」

ルカ 11:30 というのは、ヨナがニネベ人に対するしるしであったように、人の子もこの世代に対するしるしとなるのです。

ヨナがニネベ人にとってのしるしであったのと同じように、イエスはこの世代にとってのしるしです。

1. イエスは旧約聖書の預言の成就である

2. 新しい世代に対するイエスにある希望

1. ヨナ書 1:1-3、「さて、主の言葉がアミタイの子ヨナに臨んだ、こう言われた、『立って、あの大いなる都ニネベに行き、それに反対せよと大声で叫べ。彼らの悪が前に出てきたからだ。』自分。'しかしヨナは立ち上がり、主の御前からタルシシュへ逃げました。彼はヨッパに下り、タルシシュ行きの船を見つけました。」

2. マタイ 16:4、「邪悪で姦淫の世代はしるしを求めていますが、ヨナのしるし以外には何のしるしも与えられません。」

ルカ 11:31 南の女王は、この世代の人々とともに裁きに立ち上がって、彼らを罪に定めるでしょう。彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たのですから。そして見よ、ソロモンよりも偉大な者がここにいます。

神の知恵は地上のどんな知恵よりも優れています。

1: 何よりも神の知恵を求めなさい

2: 南の女王は神の知恵を求めることの重要性を教えてくれる

1: ヤコブ 1:5 - あなたがたのうちに知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

2: 箴言 2:1-5 - わが子よ、もしあなたが私の言葉を受け入れ、私の戒めをあなたに隠したいなら。そうすれば、あなたは知恵に耳を傾け、理解に心を傾けてください。そう、あなたが知識を求めて叫び、理解を求めて声を上げるなら。もしあなたが彼女を銀のように探し、隠した宝物のように彼女を探すなら。そうすれば、あなたは主への畏れを理解し、神についての知識を見出すであろう。

ルカ 11:32 ニネベの人たちは、この世代とともに裁きに立ち上がって、それを非難するでしょう。彼らはヨナスの説教を聞いて悔い改めたからです。そして見よ、ジョナスよりも偉大な者がここにいます。

この世代に対する神の裁きは、ヨナの説教に対するニネベ人の悔い改めとの比較から下されるでしょう。

1: 神の恵みを受けるためには、私たちはへりくだって自分の罪を悔い改めなければなりません。

2: この世代に対する神の裁きは、ヨナの説教に対するニネベ人の悔い改めと比較することによって下されることを私たちは覚えておく必要があります。

1: ヨエル 2:12-13 「それでも、断食し、泣き、悲しみながら、心を尽くしてわたしに立ち帰りなさい。衣を裂くのではなく、心を引き裂きなさい。」と主は言われます。あなたの神、主に立ち帰りなさい。主は慈しみ深く慈悲深く、怒るのが遅く、揺るぎない愛に満ちておられるからです。

2: イザヤ書 55:6-7 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼びなさい。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。彼を主に立ち返らせてください。そうすれば、彼は彼を憐れみ、私たちの神に憐れみを与えることができます。なぜなら、彼は豊かに赦してくださるからです。

ルカ 11:33 だれも、ろうそくに火を灯したとき、それを秘密の場所、つまり、入ってくる人がその光を見ることができるように、ブッシェルの下ではなく、ろうそく立ての上に置くことはありません。

イエスは人々に知識と真理の光を分かち合い、入ってくる人がその光から恩恵を受けることができるように勧めています。

1.「道を照らす: 知識と真実の光を共有する」

2. 「ブッシェルとローソク足: 他者を照らす力」

1. マタイ 5:14-16 「あなたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちがあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができるように、あなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。」

2. 箴言 4:18 「しかし、義人の道は夜明けの光のようで、その光は一日中ますます明るく輝きます。」

ルカ 11:34 体の光は目です。ですから、あなたの目が一つであれば、あなたの全身も光で満たされます。しかし、あなたの目が邪悪であれば、あなたの体も暗闇で満たされます。

イエスは、目が良ければ全身が光で満たされるが、目が悪ければ全身が闇で満たされると教えています。

1. 信仰の目で見る

2. 神の言葉の光の中を歩む

1. エペソ 5:8 - あなたがたは時には闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩みなさい。

2. マタイ 6:22-23 - 目は体のともし火です。つまり、目が健康であれば全身が光で満たされますが、目が悪くなると全身が暗闇になります。

ルカ 11:35 ですから、あなたの内にある光が闇にならないように気をつけてください。

イエスは追随者たちに、自分たちの中にある光が闇に取って代わられないよう警告しています。

1. 世界の光: 信仰の力

2. イエスの光を通して罪の暗闇を克服する

1. マタイ 5:14-16 – 「あなたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちがあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができるようにあなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。」

2. ピリピ 2:15-16 – 「それは、あなたがたが、とがめられるところのない罪のない者となり、曲がりくねった世代の中で、傷のない神の子となり、命の言葉をしっかり持ち、その人々の間で世の光として輝きますように」」

ルカ 11:36 したがって、もしあなたの全身が光に満ちていて、暗い部分がなければ、ろうそくの明るい輝きがあなたに光を与えるように、全体が光に満ちることになるでしょう。

イエスは、私たちの全身が光で満たされていれば、ろうそくが光を与えるのと同じように照らされると教えています。

1.「世界の光：キリストの光を受け入れ、分かち合う」

2.「光の体：キリストの光の中でどのように生きるか」

1. マタイ 5:14-16 - 「あなたがたは世の光です。丘の上にある町を隠すことはできません。人々があなたの良い行いを見て、あなたの父を讃えるように、あなたの光を人々の前で輝かせてください。」それは天国にあります。」

2. ヨハネ 8:12 - 「そこで、イエスは再び彼らに言われた、『わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つであろう。』」

ルカ 11:37 そして、彼が話していると、あるパリサイ人が彼に一緒に食事をしてくれと頼んだので、彼は中に入り、座って肉を食べた。

パリサイ人はイエスに夕食を一緒に食べてほしいと頼みました、そしてイエスはそれを受け入れました。

1. 招待に応じる: イエスの謙虚さの模範

2. ホスピタリティの力: イエスを私たちの生活に迎える

1. マタイ 11:29 - 「わたしのくびきを負い、わたしから学びなさい。わたしは心が優しく謙虚だから、そうすればあなた方は魂に安らぎを得るでしょう。」

2. エペソ人への手紙 5:1-2 「ですから、愛する子供たちとして神に倣う者となりなさい。そして、キリストが私たちを愛し、私たちのためにご自身を神への香りの良い捧げ物、犠牲として捧げられたように、愛のうちに歩みなさい。」

ルカ 11:38 パリサイ人はそれを見て、夕食の前に体を洗わなかったことに驚いた。

パリサイ人は、イエスが夕食を食べる前に体を洗わなかったことに驚きました。

1. 「洗うことの意味：イエスからの教訓」

2. 「イエスの行動の重要性: ルカ 11:38 からの考察」

1. ヨハネ 13:12-17 - イエスは愛と謙虚さを示すために弟子たちの足を洗いました。

2. マルコ 7:1-5 - イエスは、内面の清さの重要性よりも儀式的な洗浄を重視しているパリサイ人を批判しました。

ルカ 11:39 すると主は彼に言われた、「さあ、パリサイ人たちよ、杯と皿の外側を清めなさい。しかし、あなたの内面は貪欲と邪悪さに満ちています。

主はパリサイ人の偽善的な性質を叱責されました。

1: 私たちは自分自身を見つめ、心が純粋で邪悪なものがないことを確認しなければなりません。

2: 私たちは自分の信仰において本物であるよう努力し、自分たちが説いていることを実践しなければなりません。

1: マタイ 15:8-10 「この人たちは、口先ではわたしを敬っていますが、心はわたしから遠く離れています。彼らは無駄に私を崇拝します。彼らの教えは単なる人間のルールにすぎません。」

2: ヤコブ 1:26-27 「自分は宗教的であると思っていながら、自分の口をしっかりと抑えていない人は、自分を欺いていることになり、自分の宗教には価値がありません。私たちの父なる神が純粋で非の打ちどころのないものとして認める宗教とは、苦悩する孤児や未亡人の世話をし、世によって自分自身を汚さないようにすることである。」

ルカ 11:40 愚か者たちよ、外にあるものを造った者は、内にあるものも造ったではないか。

イエスは、神が人間の外面と内面の両方を創造したことを理解していなかったパリサイ人を叱責されました。

1. 神の創造の力 - 神の力と愛が私たちの外的存在と内的存在の両方の創造においてどのように明らかであるかを探ります。

2. 内面的な成長の必要性 - 身体的な成長と並んで内面的な精神的な成長の必要性を理解します。

1. 創世記 1:27 - そこで、神は人間をご自分の姿に似せて創造し、神の似姿に人間を創造されました。彼は男性と女性を創造しました。

2. 詩篇 139:13-14 - あなたは私の最も奥深い存在を創造されました。あなたは母の胎内で私を結びつけたのです。私があなたを讃美するのは、私が恐ろしいほどに素晴らしく造られているからです。あなたの作品は素晴らしいです、私はそれをよく知っています。

ルカ 11:41 むしろ、あなたがたが持っているものを寄付しなさい。そして見よ、あなたにとってはすべてが清いのです。

イエスは追随者たちに慈善を行い、神が彼らを赦してくださることを認識するよう勧めています。

1. 持っているものを使って他者を助ける: 慈善活動への挑戦

2. 汚れたものから清いものへ: 許しの力

1. マタイ 6:1-4 - 「あなたがたは、人々に見られるために人々の前で施しをしないように気をつけなさい。そうしなければ、あなたがたは天におられるあなたがたの父から報いを受けられません。したがって、あなたが施しをするときは、偽善者たちが人々の栄光を得るために会堂や街路でしているように、あなたの前でラッパを吹いてはなりません。はっきり言っておきますが、彼らには報いがあります。「しかし、あなたが施しをするときは、あなたの右手が何をしているかを左手に知らせてはなりません。そうすればあなたの施しは秘密裏に行われます。そうすれば、隠れて見ているあなたの父が公然とあなたに報いてくださるでしょう。」

2. ヤコブ 2:15-17 - 「もし兄弟や姉妹が裸で毎日の食べ物に困っていて、あなたがたの一人が彼らに『安らかに旅立ちなさい』と言ったら、あなたがたは体を温め、満たされなさい。それにもかかわらず、あなたは体に必要なものを彼らに与えません。それは何の利益があるのですか？たとえそうであったとしても、もし信仰が機能しなかったとしても、それは孤独であり、死んでいるのと同じです。そうです、ある人はこう言うかもしれません、「あなたには信仰があり、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください。そうすれば、私は私の行いによってあなたの信仰を示します。」

ルカ 11:42 しかし、パリサイ人たちよ、あなたがたは災いです。というのは、あなたがたはミントとルーとあらゆる種類のハーブを十分の一に納め、裁きと神の愛を乗り越えているからである。これらはあなたがすべきであり、他のことをやり残してはならない。

この聖句は、パリサイ人が律法の文字に従うことよりも霊的な事柄を優先しなかったことを語っています。

1: 私たちは自分の霊的生活を優先し、行動だけでなく心をこめて神に仕えるよう努めなければなりません。

2: 私たちは同胞に愛を示すことを忘れてはなりません。なぜなら、私たちは愛を通して神への献身を示すからです。

精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』」これは第一の、そして偉大な戒めです。そして二番目も同様です、「隣人を自分のように愛さなければならない」。この二つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。」

2: 申命記 10:12-13 - さて、イスラエルよ、あなたの神、主があなたに求めておられることは、あなたの神、主を畏れ、主の道をすべて歩み、主を愛し、あなたの神、主に仕えることである。心を尽くし、精神を尽くして、あなたの益のために今日私があなたに命じる主の戒めと主の掟を守るだろうか？

ルカ 11:43 パリサイ人たち、あなたがたは災いです。なぜなら、あなたがたは会堂の最上席や市場での挨拶が大好きだからです。

パリサイ人は名誉ある地位に就くことを好み、公共の場で認められることを求めるため叱責されています。

1: パリサイ人に対する主のメッセージは、代わりに謙虚さの中に名誉を求めることです。

2: 私たちは認められることを動機とするのではなく、謙虚に他者に奉仕するよう努めるべきです。

1: マタイ 23:12 - 「だれでも自分を高める者は低くされ、自分を低くする者は高められる。」

2: ピリピ 2:3 - 「争いや見栄によって何もしてはなりません。むしろ、へりくだった心をもって、お互いを自分よりも大切にしなさい。」

ルカ 11:44 偽善者である律法学者とパリサイ人たち、あなたがたは災いです。なぜなら、あなたがたは目に見えない墓のようなものであり、その上を歩いている人たちもそれに気づいていないからです。

イエスは律法学者とパリサイ人の偽善を批判します。

1: 私たちはただ単に行動を起こすのではなく、自分の信仰に正直でなければなりません。

2: 私たちは自分の信仰に決して満足せず、ただ行動を続けるだけではないように注意しなければなりません。

1: マタイ 23:27-28 - 「律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ、あなたたちは災いです。あなたは白塗りの墓のようなもので、外側は美しく見えますが、内側は死者の骨と汚れたものでいっぱいです。同様に、あなたは外見上は正義の人のように人々に見えますが、内面は偽善と邪悪に満ちています。」

2: イザヤ書 29:13 - 「これらの人々は、口ではわたしに近づき、くちびるではわたしを敬いますが、彼らの心はわたしから遠く離れています。彼らの私への崇拝は、彼らが教えられた単なる人間のルールに基づいています。」

ルカ 11:45 そこで、律法の一人が答えて言った、「先生、あなたは私たちも責めておられるとおっしゃいました。」

弁護士はイエスが弁護士と律法学者を偽善で非難したことを叱責した。

1. 偽善の罪: 虚偽を暴き、真実を愛する

2. 誠実な人生を送る: 私たちが説いていることを実践する

1. ローマ人への手紙 12:9 - 「愛は本物であってください。悪を憎み、善を堅く保ちなさい。」

2. ヤコブ 4:17 - 「ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを怠る者は、その人にとって、それが罪なのです。」

ルカ 11:46 すると彼は言った、「弁護士たちよ、あなたがたも災いです。」なぜなら、あなたがたは人々に背負うべき重荷を負わせているのに、あなたがた自身はその重荷に指一本触れていないからである。

イエスの時代の弁護士は人々に重荷を負わせて抑圧し、彼らを助けることを拒否しました。

1. 私たちは、苦しんでいる人々を助ける義務を忘れてはなりません。

2. 困っている人を助けることを拒否する人々の偽善。

1. ヤコブ 2:14-17 - 金の指輪をはめ、立派な服を着た人が集会に来て、みすぼらしい服装をした貧しい人も入ってきたとしたら、あなたは立派な服を着ている人に注目してこう言います。、「ここの良い場所に座ってください」と貧しい人に言いながら、「そこに立ってください」、または「私の足元に座ってください」と言いながら、あなたは自分自身の間で区別をし、邪悪な考えを持って裁判官になったことはありませんか？

2. マタイ 25:31-46 - 「人の子が栄光のうちに来て、すべての天使たちも彼とともに来るとき、彼はその栄光の王座に座ります。すべての国々が彼の前に集められ、彼は人々を分けます。」羊飼いが羊とヤギを分けるように、一匹ずつ羊を分けていきます。

ルカ 11:47 あなたは災いです。あなたがたは預言者の墓を築き、あなたがたの先祖が預言者を殺したからだ。

この一節は、先祖が殺した預言者の記念碑を建てる者たちを非難している。

1. 私たちは、単に記念碑を建てて預言者を讃えるのではなく、預言者を思い出し、その教えから学ばなければなりません。

2. 私たちは先祖の過ちを繰り返さないように注意し、代わりに義を目指して努力しなければなりません。

1. マタイ 5:7 - 「憐れみ深い人たちは幸いです。彼らは憐れみを示されるからです。」

2. ヤコブ 2:13 - 「憐れみを示さなかった者には裁きは容赦ないからです。憐れみは裁きに勝利します。」

ルカ 11:48 確かに、あなたがたは、自分の先祖たちの行為を容認していると証言します。彼らは確かに彼らを殺し、あなたがたは彼らの墓を建てているからです。

イエスは、預言者の警告を無視しながら、預言者を殺した先祖の行為を尊重したパリサイ人を非難しています。

1. 悪人ではなく義人を敬う

2. 私たちの歴史を思い出し、そこから学ぶ

1. マタイ 23:29-31 - 「偽善者である律法学者とパリサイ人たち、あなたがたは災いです。あなたがたは預言者の墓を建て、義人の墓を飾り、こう言うのです。『もし私たちが先祖の時代にいたら』「私たちは、預言者の血にあずかることはなかったでしょう。だから、あなたがたは、預言者を殺した彼らの子供であることの証人となるのです。」

2. 箴言 27:1 - 「明日のことを誇るな。一日が何をもたらすかはあなたには分からないからだ。」

ルカ 11:49 そこで、神の知恵もこう言われました、「わたしは彼らに預言者と使徒を送り、彼らのうちの何人かを殺し、迫害するであろう。」

神は預言者や使徒を民に遣わしましたが、中には迫害され、殺された者もいます。

1. 迫害に直面したときの信仰の強さ

2. 神の知恵と愛の力

1. ヘブライ 11:32-39 – 迫害されながらも忠実を保った信仰の英雄たち。

2. ローマ 5:8 – 私たちのために迫害されるために御子イエスを遣わされた神の愛。

ルカ 11:50 それは、世の初めから流されたすべての預言者の血が、この世代に求められるためです。

この世代には、太古の昔から流されてきた預言者たちの血に対する責任があります。

1: すべての人は、太古の昔から神の預言者に対して行われてきた暴力と不当行為に対して神に対して責任を負っています。

2: 私たちは皆、私たちの世代と私たち以前の世代が犯した不正義に対して責任を負わなければなりません。

1: イザヤ書 58:1 - 「大声で叫びなさい。惜しまず、ラッパのように声を上げて、わたしの民に彼らの罪を、ヤコブの家に彼らの罪を見せなさい。」

2: ミカ 6:8 「おお、主はあなたに、何が良いことなのかを教えてくださいました。また、義を行い、憐れみを愛し、謙虚にあなたの神と共に歩むこと以外に、主があなたに何を求めておられるでしょうか。」

ルカ 11:51 アベルの血から、祭壇と神殿の間で死んだザカリヤの血に至るまで、はっきり言いますが、それはこの世代に求められるものです。

この箇所は、ある世代の罪が彼らに課せられる結果について語っています。

1. 神の正義と慈悲: 罪の結果を理解する

2. 不服従の代償: 過去から学ぶ

1. ヘブライ 9:22 - 「そして、ほとんどすべてのものは律法によって血によって清められており、血を流すことなしには赦しはありません。」

2. ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死です。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。」

ルカ 11:52 弁護士たちよ、あなたがたは災いです。あなたがたは知識の鍵を取り去ったからです。あなたがたは自分自身の中に入らず、あなたがたに入っていた者たちが妨げたのです。

弁護士たちは知識の鍵を奪い、他の人がそれを入手できないようにしていました。

1: 私たちは他の人が知識を得るのを妨げるべきではなく、むしろ彼らの旅を助けるべきです。

2: 知識を持ったときは、それを自分だけのものにせず、謙虚さを保つことを忘れないでください。

1: ヤコブ 3:17-18 - しかし、天から来る知恵はまず第一に純粋です。そして平和を愛し、思いやりがあり、従順で、慈悲と良い実りに満ち、公平で誠実です。平和の中で種を蒔く平和主義者は義の収穫を刈り取ります。

2: 箴言 11:9 - 神を信じない人は口で隣人を滅ぼそうとしますが、義人は知識によって救われます。

ルカ 11:53 イエスがこれらのことを彼らに話していると、律法学者やパリサイ人たちは激しくイエスを促し、いろいろなことを話すように促し始めた。

律法学者とパリサイ人はイエスを大いに刺激して、多くのことを話させました。

1. スピーチの力: 私たちの言葉が私たちの生活に与える影響

2. イエス対律法学者とパリサイ人: 彼らの対立から何を学べますか?

1. マタイ 12:36-37 – 「しかし、私はあなたがたに言いますが、人々が話すすべての無駄な言葉は、裁きの日に責任を負わなければなりません。あなたの言葉によってあなたは義とされ、あなたの言葉によって非難されるからです。」

2. 詩篇 19:14 – 「主よ、私の力、私の救い主よ、私の口の言葉と私の心の黙想があなたの目に受け入れられますように。」

ルカ 11:54 彼らは彼を告発するために、横になって待ち、彼の口から何かを聞き出そうとしていました。

宗教指導者たちはイエスの口から何かを取り出してイエスを罠にかけ、非難しようとしていました。

1. プライドに惑わされる危険性

2. 迫害に直面したときの謙虚さの力

1. ヤコブ 1:19-20 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。人はみな、聞くのを早くし、話すのを遅くし、怒るのを遅くしなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

2. 箴言 16:18 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

ルカ 12 章には、偽善、心配、富、用心深さ、分裂に関するイエスの教えが取り上げられています。

第 1 段落: この章は、イエスが弟子たちにパリサイ人の偽善について警告し、体を殺すことはできてもそれ以上のことはできない人々を恐れないよう励ましたところから始まります。むしろ、体と魂の両方に対して権威を持つ神を畏れるべきです(ルカ12:1-7)。また彼は、他人の前で神を認める者は神の天使たちの前でも認められるだろうと強調しました。しかし、神を否認する者は否認されます(ルカ12:8-12)。イエスに、兄弟に家族の遺産を分けてくれるように言ってほしいという男性の願いに応えて、イエスはあらゆる貪欲に対して警告し、自分のために富を蓄えたものの、神に対しては豊かではなかった金持ちの愚か者についてのたとえ話をされました（ルカ12章）:13-21)。

第 2 段落: 貪欲に関するこの教えに続いて、イエスは弟子たちに目を向け、神は彼らの必要をご存じであるため、生活の必需品について心配しないようにと励まされ

ました。物質的なことを心配する代わりに、彼らは神の国を求めるべきであり、それらのものも同様に与えられます(ルカ12:22-31)。彼は彼らに、それは父の幸いです、王国を与えてください、だから恐れる必要はありません、小さな群れはむしろ所有物を売りなさい、施しを与えなさい、財布がすり減ることがないように、絶え間ない宝物を提供してください、泥棒が近寄らない天国、蛾が破壊するあなたの宝物がそこにあるあなたの心はまた、霊的永遠の価値を優先することを強調します一時的な物質的なもの（ルカ 12:32-34）。

第 3 段落: ルカ 12 章の後半は、息子人間の到来に対する警戒の準備に焦点を当てており、予期せぬ到着泥棒の夜や結婚式の宴会で主人が戻ってくることを比較しています。使用人は常に準備を整えて主人の帰りを待っていなければなりません。主人が来るときに警戒している人は幸いです (ルカ 12:35) -40)。ペテロは、たとえ話が弟子たちだけを意味しているのか、それとも全員が別のたとえ話に答えた主人が召使いたちに責任を負わせる忠実で賢明な管理者 適切なタイミングで食事を与える 対照的な邪悪な召使が心の中で言う「ご主人様が来るのに時間がかかる」従者を殴り始める 女中は食べる、飲む、酔う召使いの主人が予期しない日が来る 時間に気づかない切り片が場所を割り当てる 不貞である 深刻な結果を示す 不貞である 準備ができていない 主の再臨は分裂をさらに強調する 主のメッセージは家族内にももたらすであろう主に続く費用負担を強調する 最終的に結論を下した兆候 時間 人々の能力は天気の兆候を解釈するが、失敗は解釈する現時点での警告の注意の兆候は、緊急の必要性を認識しており、悔い改めの準備ができています。

ルカ 12:1 その間、無数の大勢の人々が集まってきて、互いに踏み合うほどになったとき、イエスは、まず第一に弟子たちに言い始めた、「パリサイ人のパン種に気をつけなさい。偽善。

イエスは弟子たちに、パリサイ人の偽善に注意するように警告されました。

1.「偽善の危険性」

2.「誠実な人生を送る」

1. マタイ 23:27-28 - 「偽善者である律法学者とパリサイ人たち、あなたたちは災いです。あなたたちは白い墓のようなものです。墓は確かに外面的には美しいように見えますが、中は死人の骨とあらゆる汚れで満ちています。」

2. ローマ人への手紙 12:9 - 「愛を偽りのないようにしましょう。悪を憎み、善を固く守りなさい。」

ルカ 12:2 覆われていないもの、明らかにされないものは何もないからです。どちらも隠していないので、知られることはありません。

神はすべての秘密を明らかにし、何も隠されたままにはなりません。

1. 神は私たちが隠していることを明らかにしてくださるので、すべての行動において誠実かつ正直でありなさい。

2. 私たちの行いはすべて神の前に暴露されるので、神の目に正しいことを行いなさい。

1. 伝道の書 12:14 - 神は、善であれ悪であれ、隠されたすべての事柄を含め、あらゆる行為を裁かれるからです。

2. 箴言 28:13 - 罪を隠す者は繁栄しないが、罪を告白して放棄する者は憐れみを得る。

ルカ 12:3 したがって、あなたがたが暗闇の中で話したことは、光の中で聞こえるでしょう。そして、あなたがクローゼットの中で耳元で話したことが、家の屋上で宣言されるでしょう。

自分の発言は聞かれ、繰り返される可能性があるため、人々は自分の発言に注意する必要があります。

1: 死ではなく生を語る - 言葉には、築き上げたり、壊したりする力があります。他の人に命を吹き込み、啓発する言葉を選びましょう。

2: 自分の言うことに注意してください - 自分の口から出た言葉は繰り返し聞かれるので、自分の口から出る言葉に注意してください。

1: 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べるであろう。

2: ヤコブ 3:5-10 - それでも、舌は小さな一員であり、大きなことを誇ります。見よ、小さな火が燃え上がるのはなんと素晴らしいことだろう！そして舌は火であり、不法行為の世界です。私たちの成員の間でも舌は同様であり、体全体を汚し、自然の流れを燃やします。そして地獄の火が放たれます。というのは、あらゆる種類の獣、鳥、蛇、そして海の生き物は飼い慣らされており、人間にも飼い慣らされているからです。しかし、舌を飼いならすことはできません。それは手に負えない悪であり、猛毒に満ちています。それによって私たち神、さらには父を祝福してください。そしてそれによって、神の似姿に倣って造られた私たち人間を呪うのです。同じ口から祝福と呪いが生まれます。兄弟たち、これらのことはそうあるべきではありません。

ルカ 12:4 それから、私の友たち、あなたがたに言います。死体を殺す者たちを恐れないでください。そしてその後、彼らにできることは何もありません。

イエスは友人たちに、肉体を傷つけることしかできない人々を恐れないように勧めました。彼らにはそれ以上何もする力がないからです。

1. 恐れを知らない信仰の力: 人間への恐怖を克服する方法

2. 死の恐怖を手放す: イエスの言葉に力を見出す

1. 詩篇 56:3-4 「恐れるとき、私はあなたに信頼します。私がその言葉を賛美する神に、私は神に信頼します。私は恐れることはありません。肉が私に何ができるでしょうか。」

2. マタイ 10:28 「体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と体を地獄で滅ぼすことができる方を恐れてください。」

ルカ 12:5 しかし、あなたがたが恐れるであろうあなたに、あらかじめ警告しておきます。彼を恐れなさい。彼が殺した後、地獄に投げ込む力を持つ者です。そうです、私はあなたに言います、彼を恐れてください。

神を畏れなさい。神には地獄に投げ込む力があるからです。

1. 主への畏れは知恵の始まり

2. 主の警告に耳を傾け、主を恐れなさい

1. 箴言 9:10 - 主を畏れることは知恵の始まりであり、聖なるものの知識は理解力です。

2. ヘブライ 10:31 - 生ける神の手に落ちるのは恐ろしいことです。

ルカ 12:6 五羽の雀が二ファースで売られているのに、一羽も神の前に忘れ去られることはないでしょうか。

神はどんな小さな生き物であっても覚えていて気にかけてくださいます。

1: たとえ私たちが忘れられていると感じているときでも、神は私たちを気にかけてくださいます。

2: 問題の大きさに関係なく、私たちは神の摂理を信頼できます。

1: マタイ 10:29-31 - 「二羽のスズメが 1 ペニーで売られているのではありませんか。しかし、それらのうちの一つも、あなたがたの父の世話を離れて地に落ちることはありません。そして、あなたの頭の毛にもすべて番号が付けられています。ですから、恐れることはありません。あなたには多くのスズメよりも価値があるのです。」

2: 詩篇 147:3-4 - 「彼は心の傷ついた者を癒し、その傷を包んでくださいます。彼は星の数を決めて、それぞれを名前で呼びます。」

ルカ 12:7 しかし、あなたの頭の髪の毛さえも、すべて番号が付けられています。ですから恐れる必要はありません。あなたがたは多くのスズメよりも価値があるのです。

神はどんなに小さなことでも私たちを気遣ってくださいます。

1. 私たちは神にとって貴重な存在です - ルカ 12:7

2. 神はすべてを見て、配慮しておられる - ルカ 12:7

1. マタイ 10:30-31 - 神はスズメさえも無視しません。

2. イザヤ書 43:1-4 - 神は私たちを愛しており、私たちを決して忘れません。

ルカ 12:8 また、あなたがたに言います。人の前でわたしを告白する者は、人の子も神の天使の前で告白するでしょう。

人の子は、人々の前で自分を告白する者を告白します。

1. 公の場でキリストを告白する力

2. 真実の告白の報酬

1. マタイ 10:32-33 - 「ですから、人の前でわたしを告白する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で告白します。しかし、人の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で否認します。」」

2. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「口で主イエスを告白し、神が主を死人の中からよみがえらせたと心で信じるなら、あなたは救われるでしょう。なぜなら、人は心で義を信じ、そして心で信じるからです」口による告白が救いに至るのです。」

ルカ 12:9 しかし、人の前でわたしを否認する者は、神の御使いたちの前でも否認されるであろう。

この聖句は、人々の前でイエスを否定することは、神の天使たちの前で否定されることにつながることを強調しています。

1. 「イエスへの信仰を持つことの重要性」

2.「イエスを否定した結果」

1. マタイ 10:32-33 - 「ですから、人の前でわたしを告白する者は、わたしも天におられるわたしの父の前でも告白します。しかし、人の前でわたしを否認する者は、わたしもまた天におられるわたしの父の前で告白します。」天国。"

2. ヨハネ第一 4:15 - 「イエスが神の子であると告白する者はだれでも、神はその人の内に住まわれ、その人も神の内に宿ります。」

ルカ 12:10 そして、人の子に逆らって言葉を言う者は、誰でも赦されるでしょう。しかし、聖霊を冒涜する者には、赦されません。

この箇所には、人の子に敵対する言葉は許されるが、聖霊を冒涜することは許されないと書かれています。

1. 許しの力 - ルカ 12:10 の考察

2. 聖霊に対する冒涜 - それを見分けて避ける方法

1. マタイ 12:31-32 - 「だから、わたしはあなたがたに言います。すべての罪と冒涜は人に赦されます。しかし、聖霊に対する冒涜は人に赦されません。そして、人の子に対して言葉を話す者は誰でもです」しかし、聖霊に逆らって話す者は、この世でも来るべき世でも赦されない。」

2. マルコ 3:29 - 「しかし、聖霊を冒涜する者は決して赦されず、永遠の滅びの危険にさらされます。」

ルカ 12:11 そして、彼らがあなたたちを会堂や判事や権力者たちに連れて行ったとき、あなたがたは、どのように、何を答えるか、何を言うかなど考えてはいけません。

イエスは、判事やその他の当局の前に引き出されたときに何を言えばよいか心配する必要はない、と教えています。

1. 自分自身ではなく主を信頼する: 困難な状況に直面したときに信仰に頼る方法

2. 恐れることなく生きる: キリストの勇気ある生き方の模範に従うには

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください。わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを強めます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます」私の正義について。」

2. エペソ人への手紙 6:16 - 「何よりも、信仰の盾を取りなさい。そうすれば、あなたがたは悪人のすべての火の矢を消すことができるでしょう。」

ルカ 12:12 なぜなら、聖霊は、あなたが言うべきことをその時間のうちに教えてくださるからです。

この聖句は、私たちを正しい言葉で導いてくださる聖霊の重要性を強調しています。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 聖霊の力を通して語る

1. ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け主、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2. 使徒 2:4 - 「そして、彼らは皆、聖霊に満たされて、御霊が彼らに語らせたとおりに他の言語で話し始めました。」

ルカ 12:13 すると、仲間の一人が彼に言った、「先生、私の兄弟に話してください、私と相続財産を分けるようにお願いします。」

群衆の中にいた男性がイエスに、家族の相続をめぐる自分と弟との争いに仲裁してほしいと頼んだ。

1. 物質的な所有物について正しい見方を持つことの重要性。

2. 家族内の許しと和解の力。

1. マタイ 6:19-21 - イエスは私たちに、地上の所有物に関心を持たないようにと教えられます。

2. コロサイ 3:12-15 - 神が私たちを赦してくださったように、互いに赦しなさいというパウロの教え。

ルカ 12:14 するとイエスは言った、「おい、誰が私を裁判官にしたのか、それともあなたに対する仕切り役にしたのか」。

この聖句は、イエスが他人を裁くことを拒否したことを語っています。彼はその男性に、そのような決定を下すのは彼の立場ではないことを思い出させます。

1: イエスがルカ 12:14 で私たちに思い出させているように、私たちは他人をすぐに判断してはなりません。

2: イエスがルカ 12:14 で警告されたように、私たちは自分の判断に過信してはなりません。

1: ヤコブ 4:11-12 「兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟に悪口を言い、兄弟を裁く者は、律法に逆らって悪を語り、律法を裁くのです。しかし、もしあなたが法を裁くなら、あなたは法の実行者ではなく、裁判官なのです。」

2: マタイ 7:1-5 「裁かないでください。裁かれないようにするためです。なぜなら、あなたが宣言する裁きによって、あなたは裁かれ、あなたが用いる尺度によって、それはあなたに測られるからである。なぜあなたは兄弟の目にある斑点が見えるのに、自分の目にある丸太には気づかないのですか？あるいは、自分の目に丸太があるのに、どうやって兄弟に『あなたの目からゴミを取り除いてあげましょう』と言えますか？偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除き、それから兄弟の目からゴミを取り除くためにはっきりと見えるようになります。」

ルカ 12:15 そこでイエスは彼らに言われた、「気をつけて、むさぼりに気をつけなさい。人の命は、その人が持っている物の豊かさによって決まるのではないからである。」

この聖句は、真の命は多くの所有物を持つことからではなく、神を信頼することからもたらされることを教えています。

1. 所有物よりも神を愛する

2. 満足感の祝福を認識する

、盗人が押し入って盗む地上に宝を積んではなりません。むしろ、虫もさびも食わない天に宝を蓄えなさい。泥棒は侵入して盗みません。」

2. 伝道の書 5:10 - 「お金を愛する人はお金に満足せず、富を愛する人も自分の収入で満足しません。これも虚栄です。」

ルカ 12:16 そこで、イエスは彼らにたとえを話して言われた、「ある金持ちの土地が豊かに実を結んだ。

金持ちのたとえ話は、物質的な祝福を責任を持って利用する必要性を強調しています。

1: 私たちは物質的な祝福を責任を持って利用しなければならず、自分自身を過信してはなりません。

2: 私たちは自分の物質的な祝福を神の栄光を讃えるために用いるべきであり、自分自身の業績を誇るべきではありません。

1: 箴言 21:20、「賢者の家には貴重な宝と油があるが、愚かな人はそれを使い果たしてしまう。」

2: 伝道の書 5:10、「銀を愛する者は銀に満足しない。また、増えて豊かを愛する者も、これは虚しいことである。」

ルカ 12:17 そこで彼は心の中で考えて言った、「実を授ける場所がないので、どうしようか」。

ある男性は、たくさんの果物を保管する場所がなかったので、どうしたらよいか考えていました。

1. 豊かさの祝福: 祝福を最大限に活用する方法

2. あらゆる状況における満足感: 逆境の真っ只中に喜びを見つける

1. ピリピ 4:11-13 - 私は困っていることについて話しているのではありません。私はどんな状況でも満足できることを学んだからです。

12 わたしは、どのようにして低くされるかを知っており、どのようにして豊かになるかを知っています。いかなる状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。

2. 箴言 3:9-10 - あなたの富とすべての産物の初穂をもって主を敬え。10 そうすれば、あなたの納屋はたくさんのワインで満たされ、あなたの桶はぶどう酒でいっぱいになるでしょう。

ルカ 12:18 すると彼は言った、「わたしはこうします。納屋を取り壊して、もっと大きな建物を建てます。わたしはこうします」。そして私はそこですべての果物と財産を授けます。

ある男性は、すべての所有物を保管するために、既存の納屋を取り壊し、より大きな納屋を建てることにしました。

1. 寛大さの必要性: ルカ 12:18 のイエスの教えを利用して、自分の豊かさを他の人と分かち合う方法を探ります。

2. 満足感: ルカ 12:18 のイエスの言葉を調べて、私たちの物質的な所有物の限界を理解することの重要性について考えます。

1. コリント第二 9:6-7 - 積極的に与えることの重要性について考える。

2. 箴言 11:24 – 寛大さの祝福について考える。

ルカ 12:19 そして、私は私の魂に言います、「魂よ、あなたは長年にわたってたくさんの物を蓄えています。安心して、食べて、飲んで、楽しんでください。

イエスは物質的なものに集中しすぎる危険を警告し、代わりに霊的な栄養に焦点を当てるようアドバイスしました。

1. 物質主義の危険性: 霊的な必要に焦点を当てることの課題

2. 満足の価値: 精神的な豊かさへの満足

1. マタイ 6:19-21、「自分のために宝を、虫がいてさびが滅び、盗人が押し入って盗む地上に蓄えてはなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさない天に宝を蓄えなさい。泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

2. 伝道者の書 5:10-12、「銀を愛する者は銀に満足せず、富を愛する者は増えても満足しない。これもまた虚しい。物が増えると、それを食べる人も増える。それで、どれほどの利益があるだろうか」飼い主は目で見る以外に？」

ルカ 12:20 しかし神は彼に言われた、「愚か者よ、今夜あなたの魂はあなたに要求されるだろう。それでは、あなたが用意したものは誰のものになるのか」。

この箇所は、死んだら持っていけないからといって、財産をため込むことの愚かさを語っています。

1. 所有物を溜め込むことの虚しさ

2. 人生の無常

1. マタイ 6:19-21 - 「自分のために地上に宝を蓄えてはなりません...そこでは虫やさびが破壊し、盗人が押し入って盗みます。」

2. 伝道の書 5:13-14 - 「私が太陽の下で見たのは、悲惨な悪です。富はその所有者のために、傷つけられても保管されています。」

ルカ 12:21 自分のために宝を蓄え、神に対して富んでいない人も同様です。

この聖句は、地上の宝を蓄えることよりも、神に対して富むことの大切さを語っています。

1. 敬虔さは富よりも大きい - ルカ 12 章 21 節を見て、物質的な所有物よりも神との関係を優先すべきであることを思い出させます。

2. 天国におけるあなたの富 - 私たちの本当の富は地上の所有物ではなく、神との関係にあるという考えを探求します。

1. ヤコブ 4:13-15 - 「さあ、来なさい、『今日か明日、あんな町に行って一年過ごして貿易をして儲けよう』と言っているのに、明日はどうなるかわからないという人たち。もたらします。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。その代わりに、『主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやをするだろう』と言うべきです。」

2. 伝道の書 5:10 - 「お金を愛する者は、決して十分ではありません。富を愛する人は決して自分の収入に満足しません。これも無意味です。」

ルカ 12:22 そしてイエスは弟子たちに言った、「だから、あなたがたに言います、何を食べるか、自分の命のことなど考えないでください。」体のためでも、着るもののためでもありません。

神が備えてくださるので、自分の必要について心配する必要はありません。

1: 主を信頼してください。そうすれば主はあなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2: 神を信じれば、神はあなたのニーズを満たしてくださいます。

1: ピリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2: マタイ 6:25-34 - ですから、私はあなたたちに言います。自分の人生や、何を食べるか、何を飲むか、あるいは自分の体のこと、何を着るかについて心配しないでください。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？

ルカ 12:23 命は肉以上のものであり、からだは衣服以上のものです。

命は肉体的な糧や衣服よりも価値があります。

1: 神は私たちの肉体的な必要性よりも、私たちの命を大切にされます。

2: 私たちは物質的なニーズよりも精神的な成長を優先すべきです。

1: マタイ 6:25-34 - イエスは私たちに、肉体的な必要を心配せず、まず神の国を求めるように教えられます。

2: ピリピ 4:11-13 - パウロは、神が私たちの必要を満たしてくださるので、私たちがどんな状態にいても満足するように勧めています。

ルカ 12:24 カラスのことを考えてみましょう。彼らは種を蒔くことも刈り取ることもしないからです。倉庫も納屋もありません。そして神は彼らに餌を与えます。あなたがたは家禽よりもどれほど優れているのですか？

神は最も単純な生き物さえも顧みられるのですから、それ以上に私たちを大切にしてくださるでしょうか。

1: 神はあらゆる生き物を気遣い、私たちに備えてくださる

2: 最も小さな生き物でも神の注目に値する

1: マタイ 6:26 - 空の鳥を見てください。彼らは種を蒔いたり、刈り取ったり、納屋に保管したりはしませんが、あなたがたの天の父は彼らを養ってくださいます。

2: 詩篇 147:9 - 神は獣たちに食物を、そして鳴くカラスの若い子たちに与えられます。

ルカ 12:25 それで、あなたがたのうち、よく考えて身長を一キュビト増やすことができる人はいるだろうか。

この一節は人間の力と努力の限界について語っています。

1. 主にある満足：自分の力ではなく神の力に頼る

2. 主を信頼する：所有物ではなく神に喜びを見出す

1. マタイ 6:25-34、「だから、わたしはあなたたちに言います。自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、あるいは自分の体のこと、何を着るかなど心配しないでください。命は食べ物以上のものであり、体はもっと重要なものではないでしょうか」服よりも？」

2. イザヤ書 40:28-31、「知らないのですか。聞いていませんか。主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は疲れたり疲れたりすることがなく、その理解は誰にもできません。」わかるよ。」

ルカ 12:26 もしあなたがたに、その最も些細なことができないのなら、どうして他のことを考えているのですか。

この聖句は、私たちが重要なことに集中し、自分で制御できないことについて心配しないように勧めています。

1. 手放して神に任せる：主と神の摂理の力を信頼する

2. 小さなことにこだわらない：重要なことを優先する

1. マタイ 6:25-34 - 心配することについてイエスが教えた

2. ピリピ 4:6-7 - 何事にも思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いによって、自分の願いを神に知らせてください。

ルカ 12:27 ユリがどのように成長するかを考えてみましょう。彼らは苦労もせず、紡ぎもしません。それでも、私はあなたたちに言いますが、ソロモンは栄光の中で、このような服装をしていませんでした。

イエスは聴衆に、ユリがどのように成長するか、そして地上での栄光の中でソロモンがユリほど美しく着飾ることはできないだろうということに注目するよう勧めています。

1. 神の創造の美しさ：自然の雄大さを愛でる

2. 神の備えへの信頼：日常生活における満足感と感謝

1. 詩篇 104:24-25 - 主よ、あなたの御業はなんと多岐にわたることでしょう。あなたは知恵によってそれらをすべて作りました。地球はあなたの生き物でいっぱいです。

2. ローマ 11:33-36 - ああ、神の富と知恵と知識の深さ！彼の判断はなんと調べにくく、彼のやり方はなんと不可解なのでしょう。というのは、誰が主の御心を知っていたでしょうか、あるいは誰が主の相談役であったでしょうか。それとも、誰が彼にお返しをするために贈り物をしたのでしょうか？なぜなら、すべては彼から出て、彼を通して、そして彼に至るものだからです。彼に永遠の栄光がありますように。アーメン。

ルカ 12:28 もし神が、今日は野原にあり、明日にはかまどに投げ込まれる草にそのように衣を着せてくださるなら、信仰の薄い者よ、彼はどれだけあなたに服を着せてくれるだろうか？

神はどんなに小さなことでも気にかけてくださるのですから、神を信じる者にはなおさら気にかけてくださるでしょう。

1. 信者は愛を着ている：信じる者に対する神の無条件の配慮

2. 信仰が薄いことは言い訳にならない：すべての人に対する神の尽きることのない慈悲

1. マタイ 6:30-31 - 「ですから、もし神が、今日は野の草、明日はかまどに投げ込まれるのにそのように服を着せてくださるのなら、信仰の薄い者たちよ、それ以上にあなたがたに服を着せてくださるのではありませんか。

2. ローマ 8:31-32 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？ご自身の御子を惜しまず、私たち全員のために引き渡してくださった方は、どうして御子とともに私たちにすべてのものを惜しみなく与えて下さるはずがありませんか。

ルカ 12:29 また、何を食べようか、何を飲もうかと探し求めたり、疑ったりしてはならない。

人々は何を食べようか、何を飲もうかと心配すべきではなく、代わりに神が備えてくださると信頼すべきです。

1. 手放して神に任せる：私たちの必要を神に頼る

2. もうダウト・ノー・モア: 不確実な時代に神を信頼する

1. マタイ 6:25-34 - 自分の人生や何を食べるか、何を飲むかについて心配しないでください。または自分の体について、何を着るかについて。

2. 詩篇 37:3-5 - 主を信頼し、善を行いなさい。土地に住み、安全な牧草地を楽しむ。主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いを叶えてくださるでしょう。主に道を捧げなさい。神を信頼してください。そうすれば神はそうしてくださるでしょう。

ルカ 12:30 というのは、これらすべてのことは、世界の国々の人々が求めているからです。そして、あなたがたの父は、あなたがたがこれらのものを必要としていることをご存じです。

世界の国々は物質的な富を追い求めていますが、私たちの父は私たちがそれ以上のものを必要としていることをご存知です。

1. 世の富を追い求めてはいけない - ルカ 12:30

2. 神の備えを求めなさい - ルカ 12:30

1. 箴言 23:4-5 - 金持ちになるために疲れ果ててはなりません。自制心を示す知恵を持っています。富をひと目見るだけで、それらは消えてしまいます。なぜ

なら、それらは必ず翼を生やし、鷲のように空へ飛び立つからです。

2. マタイ 6:24-25 - 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかです。神とお金の両方に仕えることはできません。したがって、私はあなたに言います、自分の人生や何を食べるか、何を飲むかについて心配する必要はありません。または自分の体について、何を着るかについて。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？

ルカ 12:31 むしろ、あなたがたは神の国を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

まず神を求めなさい、そうすればあなたの必要はすべて満たされるでしょう。

1. 豊かな王国: 神が与えてくださると信頼する

2. 王国の追求: 満足への道

1. ピリピ 4:19 「そして、わたしの神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたのあらゆる必要を満たしてくださいます。」

2. マタイ 6:33 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられるでしょう。」

ルカ 12:32 小さな群れよ、恐れるな。あなたに王国を与えることがあなたの父の喜びだからです。

イエスは弟子たちに王国を与えることが神の喜びであるため、神への信仰を持つよう勧めます。

1. 「恐れるな：神のご満悦が私たちに王国を与えてくださる」

2. 「神を信頼してください。神は私たちに王国を与えたいと願っておられます」

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 118:6 - 「主は私の味方です。私は恐れません。人は私に何ができるでしょうか。」

ルカ 12:33 あなたがたの持っているものを売って、施しをしなさい。古くならない袋、壊れることのない天の宝、泥棒が近づかず、蛾も腐らない場所を用意してください。

自分の持ち物を売り、貧しい人たちに惜しみなく施しなさい。あなたの報酬は天に蓄えられ、減ったり盗まれたりすることはないからです。

1. 神の寛大なご褒美: 永遠の宝を得る機会を掴む

2. 慈善活動の重要性: 神の永遠の王国への投資

1. マタイ 6:19–21 - 「虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗むような地上に自分のために宝を蓄えてはなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさない天に宝を蓄えなさい。泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。」

2. 箴言 19:17 - 「貧しい人に寛大な者は主に貸します。そうすれば主はその行いに報いてくださいます。」

ルカ 12:34 あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるのです。

この聖句は、私たちが最も大切にしているものに心を注ぐよう勧めています。

1: 心を投資する - 私たちは、長続きし、私たちを神に近づけるものに心を投資するように注意しなければなりません。

2: 意図を持って生きる – 私たちは、自分の心は後からついてくるものだと知って、自分の時間と注意をどのように使うかについて目的を持たなければなりません。

1: マタイ 6:19-21 - 私たちは、心が真の満足を得られる天に宝を蓄えることに集中すべきです。

2: コロサイ 3:1-2 - 私たちはこの世のものではなく、上にあるものに思いと心を向けるべきです。

ルカ 12:35 腰に帯を締め、光を灯しなさい。

主の再臨に備えてください。

1: 私たちは常にキリストの再臨に備えて、それに応じて人生を生きなければなりません。

2: 私たちはキリストの再臨を待ち望みながら毎日を過ごし、キリストが来られるときにいつでも迎えられるように備えておかなければなりません。

1: マタイ 24:44 「ですから、あなたがたも備えていなければなりません。人の子はあなたがたが予期しない時に来るからです。」

2:1テサロニケ5:2-4 「主の日が夜中に盗人のように来ることは、あなたがた自身よく知っているからです。人々が「平和だ、安全だ」と言っている間に、突然滅びがやって来ます。」

ルカ 12:36 あなたがたは、主が結婚式から帰ってくるのを待つ人々のようなものです。それは、彼が来てノックすると、彼らがすぐに彼に心を開くことができるようにするためです。

信者は主を待つ召使のように、主が戻って来られるときに熱心に扉を開けてほしいと願うべきです。

1. 主の再臨を待ち望みながら生きる

2. 主の日に向けて心と思いを備える

1. マタイ 25:13、「だから、気をつけていなさい。あなたがたは、人の子が来る日も時刻も知らないからです。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:2-4、「主の日が夜の盗人のように来ることは、あなた方自身がよく知っています。彼らが「平和だ、安全だ」と言うときのために。そのとき、子連れの女性に苦難が降りかかるのと同じように、突然の破滅が彼らに降りかかります。そして彼らは逃げないであろう。しかし、兄弟たちよ、あなたがたは暗闇の中にいて、その日があなたがたを盗人として襲うようなことはありません。」

ルカ 12:37 しもべたちは幸いである、主が来られるとき、彼らを見守ってくださるであろう。よく言っておくが、主は帯を締め、彼らを座らせて肉を食べさせ、出てきて彼らに仕えるであろう。

イエスは追随者たちに、ご自分が戻ってきた時には準備をして従順であるように勧めています。ご褒美として盛大なごちそうを用意してくださるからです。

1. 備えをしなさい: イエスの再臨に備える

2. 神の祝福の約束: ごちそうで報われる

1. マタイ 24:42-44 - 「だから、目を覚ましていてください。あなたがたの主が何日に来られるか知らないからです。しかし、これだけは知っておいてください。家の主人が、夜のどの時間帯に泥棒が来ているかを知っていたら、ということです。」ですから、人の子はあなたが予期しない時間に来るのですから、あなたも備えをしておかなければなりません。

2. イザヤ書 25:6 - この山で、万軍の主はすべての民のために豊かな食べ物、よく熟成したぶどう酒、骨髄に満ちた豊かな食べ物、よく精製された熟成ぶどう酒の宴を設けられる。

ルカ 12:38 そして、もし彼が第二番か第三番に来て、彼らを見つけたなら、それらの僕たちは幸いである。

この一節は、主人がいつ到着しても、準備ができていると認められる人々の祝福について語っています。

1: いつでも準備万端 マスターの帰還に備える

2: 主人のために生きる: 主が私たちに期待していることをする

1: テサロニケ人への第一の手紙 5:2-4 - 主の日が夜の盗人のように来ることをあなたがたはよく知っているからです。「平和、安全」と言いながらも、妊婦の陣痛のように破滅が突然襲いかかり、逃れることはできません。

2: マタイ 24:36-44 - 「しかし、その日とその時刻については誰も知らない、天の天使も子も知らず、父だけが知っている。ノアの時代がそうであったように、人の子の到来もそうなるからです。というのは、洪水前のあの頃と同じように、ノアが箱舟に入るその日まで、彼らは食べたり飲んだり、結婚したり、結婚したりしていましたが、洪水が来て彼ら全員を押し流してしまうまで気づかなかったからです。人の子。

ルカ 12:39 もしこの家の主人が、何時に泥棒が来るかを知っていたら、見張っていて、家に侵入されることはなかったでしょう。

イエスは弟子たちに、いつ泥棒が家に来るかわからないので、用心深く備えておくように教えられます。

1. 準備をしましょう: 準備の重要性

2. 警戒の家: 警戒と安全を保つ

1. マタイ 24:42-43 「だから、気をつけなさい。あなたがたは、あなたの主が何時に来られるか知らないからだ。しかし、これだけは知っておいてほしい。家の主人が、盗人がどのような時間に来るかを知っていたら、見張っていただろうし、彼の家が取り壊されても苦にならなかったでしょう。」

2. ペテロ第一 5:8 「身を慎み、用心していなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくされる者を求めて歩き回っているからです。」

ルカ 12:40 ですから、あなたがたも備えをしなさい。人の子は、あなたがたが考えていない時に来るからです。

この聖句は、人の子の再臨は予期せぬときに起こるものであるため、それに備えておくことの重要性を強調しています。

1: 予期せぬ帰還: 人の子に対する備えをしなさい

2: 備えることの重要性: ルカ 12:40 の言葉に留意せよ

1: マタイ 24:44 「ですから、あなたがたも備えていなければなりません。人の子はあなたがたが予期しない時に来るからです。」

2:1テサロニケ5:2-4 「主の日が夜中に盗人のように来ることは、あなたがた自身よく知っているからです。人々が「平和だ、安全だ」と言っている間に、突然滅びがやって来ます。」

ルカ 12:41 そこでペテロは言った、「主よ、あなたはこのたとえを私たちに、あるいはすべての人に話してくださいますか。」

イエスはたとえ話を通して弟子たちに神の王国についての洞察力を得るように教えます。

1. たとえ話の中で私たちはイエスから何を学んでいますか?

2. イエスのたとえ話の教訓を日常生活にどのように応用できますか?

1. マタイ 13:1-52 - イエスは天の国のたとえを説明します。

2. マルコ 4:1-34 - イエスは種まき人とともしびのたとえを教えます。

ルカ 12:42 そこで主は言われた、「それでは、主が家族の統治者にして、適期に彼らに肉の取り分を与えるであろう、あの忠実で賢明な家令とは誰なのか。」

イエスは、適切な時期に食物を提供するために家族を管理する権限を与えられる忠実で賢明な管理人は誰であるかと尋ねます。

1. 忠実な管理の力

2. 賢明な意思決定がもたらす報酬

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

2. 箴言 16:3 - 何をするにも主に委ねなさい。そうすれば主はあなたの計画を立ててくださる。

ルカ 12:43 そのしもべは幸いである、彼の主が来てそのようにしているのを見つけるであろう。

この聖句は、準備を整えて忠実に奉仕することの重要性を強調しています。

1. 「準備を整えてください: 忠実に奉仕に生きる」

2.「準備ができていることの祝福」

1. マタイ 25:21 - 彼の主人は彼に言った、「よくやった、善良で忠実な僕よ」。あなたは少しの間は忠実でした。私はあなたに多くのことを課します。

'。

2. ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。

ルカ 12:44 真実についてあなたがたに言いますが、神は彼を自分の持っているすべてのものの支配者にしてくださるでしょう。

イエスは群衆に、忠実な僕はその報酬として主人が持つすべてのものに対する支配権を得るであろうと告げられます。

1. 神への忠実な奉仕は、大きな祝福によって報われます。

2. 私たちは、主の報いの約束を信頼して、自分のするすべてのことに最善の努力をすべきです。

1. コロサイ 3:23-24 - 「何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

2. ガラテヤ 6:9 - 「善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、しかるべき時に収穫を得ることができるからです。」

ルカ 12:45 しかし、もしそのしもべが心の中でこう言うなら、主よ、彼の到着を遅らせます。そして、下男や乙女を殴り、食べたり飲んだり、酔ったりし始める。

主人の権威と権力を認めない召使はその結果を背負うことになります。

1. 神は全能であり、不従順を許さないので、私たちは神の命令に忠実で従順でなければなりません。

2. たとえ遅れが生じても、私たちは信仰を堅持し、神の計画を信頼し続けなければなりません。

1. エペソ人への手紙 6:5-8 - 召し使いたちよ、キリストに対するのと同じように、恐れと震えをもって、あなたの主人である肉に従ってください。

2. 申命記 8:10-11 - あなたが食べて満腹になったら、あなたに与えられた良い土地のためにあなたの神、主を祝福しなければなりません。今日私があなたに命じる主の戒め、裁き、法令を守らないために、あなたの神、主を忘れないように気をつけなさい。

ルカ 12:46 そのしもべの主人は、自分のことを考えない日か、気づかないときに来て、彼を切り刻み、不信者たちとの分け前を彼に任命するであろう。

主は予期せず来られて、悪者を裁き、彼らを不信者に割り当てます。

1: 主の来臨に備えて、忠実な生活を送りましょう。

2: 主は悪人を裁き、忠実な者に報いを与えられます。

1: マタイ 25:31-46 - イエスは、義人が報われ、悪人が罰される最後の審判について語られます。

2: 黙示録 20:11-15 - 最後の審判が起こり、悪人は火の湖に投げ込まれます。

ルカ 12:47 そして、主の御心を知っていながら、自ら準備をせず、主の御心に従わなかったそのしもべは、多くの打ち打ちを受けるであろう。

主の御心を知りながらそれに従わない者は厳しく罰せられます。

1. 私たちは神の意志に従わなければ、結果に直面しなければなりません

2. 神の命令に従うことは祝福をもたらし、従わないことは罰をもたらす

1. 申命記 6:17 「あなたは、あなたの神、主の戒めと、主があなたに命じられたそのあかしと掟を、熱心に守らなければならない。」

2. ローマ 13:1-2 - 「すべての人を統治する権威に服従させなさい。神以外に権威はなく、存在する権威は神によって定められたものだからです。ですから、権威に抵抗する者は、神が定められたものに抵抗するのです。そして抵抗する者は裁きを受けるだろう。」

ルカ 12:48 しかし、それを知らずに、打ち打ちを受けるにふさわしいことをした者は、わずかな打ち打ちを受けるであろう。というのは、多くを与えられた人には、その人に多くが求められるからである。また、多くを捧げた人には、より多くを求めるだろう。

すべての行動には結果が伴い、より多くの特権と責任を持つ者にはより高い基準が課せられます。

1. 大きな特権には大きな責任が伴う

2. 誰もが自分の蒔いたものを刈り取る

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ

2. ヤコブ 3:1 - 私たちは皆、自分の言葉と行動に応じて裁かれます。

ルカ 12:49 わたしが来たのは、地に火を送るためです。そして、すでに燃え上がっている場合、私はどうしますか？

イエスは弟子たちに、自分を受け入れる者と拒絶する者との間に大きな分裂が生じつつあると警告しています。

1. 分裂の火: イエスはどのようにして私たちを分裂させ、私たちを団結させたのか

2. キリストの火: 神の呼びかけにどう応えるか

1. マタイ 10:34-35 - 「わたしが地上に平和をもたらすために来たと思ってはなりません。私は平和をもたらすために来たのではなく、剣をもたらすために来たのです。わたしが来たのは、男を父親に、娘を母親に、嫁を義母に敵対させるためである。」

2. 使徒 2:2-3 - 「すると突然、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家全体がその音で満たされました。すると、火のように分かれた舌が彼らの前に現れ、一人がそれぞれの上に座った。」

ルカ 12:50 しかし、私にはバプテスマを受けなければなりません。それが達成されるまで、私はどれほど窮屈なのだろう！

この箇所は、イエスが来るべきバプテスマと、それを実現することにどれほど熱心であるかを語っています。

1. 「期待を持って生きる：イエスと来るべき洗礼」

2. 「イエスが示した約束を貫くことの大切さ」

1. マタイ 3:13-17 - ヨルダン川でのイエスのバプテスマ

2. ピリピ 2:8 - 謙虚に御父の御心に従うというイエスの決意

ルカ 12:51 あなたがたは、わたしが地上に平和をもたらすために来たと思うか。いいえ、そうではありません。むしろ分割です:

イエスは、ご自身が地球に平和をもたらすために来たのではなく、むしろ分裂をもたらすために来たと教えています。

1. イエスに従う代償 - キリストの真の弟子であることの代償と、それがどのように分裂をもたらすかを考察します。

2. 分裂の必要性 - 正義を追求する上で分裂がどのように必要な部分となり得るかを探ります。

1. マタイ 10:34-36 - イエスに従うことから生じる家族間の分裂の可能性について論じています。

2. ローマ 16:17-18 - 教会内に分裂を生み出し、人々をつまずかせる人々に対する警告。

ルカ 12:52 これから、一つの家に五人が分かれ、三人対二人、二人対三人になるからである。

イエスは弟子たちに、自分の教えのせいで家族が分裂するだろうと警告しました。

1: 家族の団結の大切さ。

2: イエスの教えの力と、それがどのように分裂をもたらすのか。

1: ヨハネ 17:21-23 「それは、父よ、あなたがわたしのうちにおられ、わたしもあなたの中におられるように、彼らもまたわたしたちの中で一つとなるためです。それは、あなたがわたしをお遣わしになったことを世が信じるためです。そして、あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。私たちが一つであるように、彼らも一つになるためです。私は彼らの中にあり、あなたは私の中にあります。彼らが一つになって完全になるように、そして世界があなたのことを知ることができるようにするためです。あなたが私を愛してくださったように、私を遣わし、彼らを愛してくださいました。」

2: エペソ 4:3 「平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努めなさい。」

ルカ 12:53 父親は息子に対して対立し、子は父親に対して対立する。母親は娘に反対し、娘は母親に反対する。義母は嫁に対して、嫁は義母に対して。

家族は対立により互いに分裂します。

1. 対立を乗り越えて愛する方法 - 家族間の意見の相違の中で平和を見つける

2. 和解の美しさ - 分裂後の家族の再会

1. マタイ 5:21-26 - イエスは、互いに許し合い、愛し合うことで人間関係を調和させる方法を説明します

2. ガラテヤ 5:22-26 - 御霊の実とそれが人間関係の和解にどのように貢献するか

ルカ 12:54 またイエスは民にも言われた、「あなたがたは、西から雲が出てくるのを見ると、すぐに、にわか雨が降る、と言いなさい。あなたがたは、すぐに言います。」そしてその通りです。

イエスは人々に向かって、西から雲が来るのを見ると、雨が降ってくることが分かると言いました。

1. 神の備えのしるしを認識する - 私たちの生活における神の約束を識別する方法。

2. 神の臨在の雲 - 神の臨在がどのように常に私たちとともにあるのかを理解します。

1. 詩篇 65:9-13 - あなたは地を訪れ、水を注ぎ、地を大いに豊かにします。神の川は水で満ちています。あなたは人々に穀物を提供します。それはあなたがそれを準備したからです。

10 あなたはその溝に豊富に水をやり、その尾根を整え、にわか雨でそれを柔らかくし、その成長を祝福します。

11 あなたはその年を自分の恩恵で飾ります。あなたのワゴンの足跡は豊かさで溢れています。

12 荒野の牧草地は氾濫し、丘は喜びに包まれ、

13 牧草地は羊の群れで身を包み、谷は穀物で身を飾り、彼らは喜びのために叫び、歌います。

2. マタイ 6:25-34 - 「だから、私はあなたたちに言います。自分の命や何を食べるか、何を飲むかについて心配する必要はありません。または自分の体について、何を着るかについて。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？26 空の鳥を見よ。彼らは種を蒔いたり、刈り取ったり、納屋に保管したりはしませんが、あなたがたの天の父は彼らを養ってくださいます。あなたは彼らよりもずっと価値があるのではありませんか？27 あなた方の中で、心配することで自分の人生を 1 時間でも増やすことができる人がいますか [d]?

28 「では、なぜ服装のことを心配するのですか。野の花がどのように成長するかを見てください。彼らは労働も紡ぎもしない。 29 しかし、私はあなたに言いますが、ソロモンでさえ、その栄華を誇っていても、このような服装をしていませんでした。30 もし神が、今日ここにあって、明日は火の中に投げ込まれる野の草にそのような服を着せるのであれば、信仰の薄いあなたには、なおさら服を着せるのではないでしょうか。31 だから、『何を食べようか』と言って心配しないでください。または「何を飲もうか？」または「何を着ましょうか？」32 というのは、異教徒たちはこれらすべてのことを追い求めているからです。そして、あなたがたの天の父は、あなたがたがそれを必要としていることを知っておられます。33 しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。34 だから、明日のことは心配しないでください。明日のことは自分で思い悩むからです。毎日にはそれ自体で十分な問題があります。

ルカ 12:55 あなたがたは、南風が吹くのを見ると、「暑くなるだろう」と言う。そしてそれは過ぎ去ります。

この一節は、気象パターンの認識の正確さについて語っています。

1. 神の知恵は私たちの周りの自然界に現れています。

2. たとえ天気予報が不確かな場合でも、私たちは主の備えを信頼できます。

1. 詩篇 19:1 - 「天は神の栄光を告げ知らせ、大空は神の御手の業を告げ知らせる。」

2. 伝道の書 11:5 - 「あなたがたは風の通り道も、母の胎内で体がどのように形成されるのかも知らないのと同じように、万物の造り主である神の働きを理解することはできない。」

ルカ 12:56 あなたがた偽善者たちよ、あなたがたは天と地の様子を識別することができます。しかし、どうしてあなたがたは今回は識別できないのでしょうか？

この聖句は、私たちが生きている時代を見極めるための警告です。

1. 神は私たちに、現在に注意を払い、時代の兆しを見極めるよう呼びかけておられます。

2. 賢明になり、私たちが生きている兆候と時代を理解してください。

1. ローマ 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. エペソ人への手紙 5:15-17 - 「では、自分がどのように歩んでいるのかよく見てください。愚かな者としてではなく、賢い者として、時間を最大限に活用して歩きましょう。日々は悪いからです。したがって、愚かなことをしないで、主の御心が何であるかを理解してください。」

ルカ 12:57 そうです、なぜあなたたち自身でも、何が正しいかを判断しないのですか。

イエスは人々に、他人を批判するのではなく、何が正しいかを判断するために内省するようアドバイスしています。

1. 自分自身の内側を見つめて何が正しいかを識別し、他人に判断を下さないようにしましょう。

2. 私たちは内省と信仰を利用して、倫理的に正しい決定を下すことができます。

1. マタイ 7:1-5 - 「裁かないでください。裁かれないようにするためです。なぜなら、あなたが宣言する裁きによってあなたは裁かれ、あなたが用いる尺度によってそれはあなたに評価されるからである。」

2. 箴言 14:12 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死への道である。」

ルカ 12:58 あなたが敵対者と一緒に判事のところに行くときは、邪魔なので、彼から救われるように熱心に努めなさい。そうしないと、彼はあなたを裁判官に引き渡し、裁判官はあなたを役人に引き渡し、役人はあなたを刑務所に入れます。

イエスは私たちに、敵対者に対処するときは注意し、判事のところに着く前に敵対者から救われるよう最善を尽くすよう勧めておられます。

1. 勤勉さで逆境を乗り越える

2. 敵対者に対処するときは常に警戒を怠らない

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2. 箴言 22:3 - 賢明な人は危険を見て身を隠すが、単純な人は進み続け、そのために苦しみます。

ルカ 12:59 あなたに言います、最後の一銭を払い終えるまではそこから離れてはなりません。

この一節は、自分の財政に責任を持ち、借金を全額返済することの重要性を強調しています。

1: 神は私たちに、借金を全額支払う責任があることを思い出させます。

2: 神の資源の良き管理人となり、借金を返済するよう努めてください。

1: 箴言 22:7 「富む者は貧しい者を支配し、借りる者は貸す者の僕である。」

２：マタイ 6 ：24 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかです。神とお金の両方に仕えることはできません。」

ルカ 13 章には、悔い改め、神の国、安息日の癒しに関するイエスの教えと、エルサレムに対するイエスの嘆きが記されています。

第 1 段落: この章は、人々がピラトが犠牲に血を混ぜたガリラヤ人についてイエスに話すところから始まります。それに対してイエスは、そのような悲劇に見舞われた人々は他の人々よりも悪い罪人ではないと指摘されました。彼は、悔い改めなければ彼らも滅びることになると強調しました(ルカ13:1-5)。それから彼は実のないイチジクの木についてのたとえ話をしました。所有者は実がならないので伐採したいと考えましたが、庭師はその決定を下す前に、肥料と手入れをするためにもう 1年欲しいと言いました(ルカ13:6-9)。このたとえ話は、神の忍耐と悔い改めへの願望を強調しています。

第 2 段落: 安息日の会堂で、イエスは 18 年間霊によって障害を負っていた女性を癒しました。会堂長は、イエスが安息日に病気を治したことに憤慨したが、イ

エスは彼を叱責して、「偽善者たちよ！あなた方は皆、安息日には牛やロバを馬小屋から解き、水を与えるために外に連れ出すではないか。ならば、そうすべきではないのか」と言いました。サタンが 18年間も縛り付けていたアブラハムの娘である女性が、安息日に彼女を縛り付けていたものから解放されるのか？」彼の敵対者は皆屈辱を受けましたが、人々は彼が行っていた素晴らしいことすべてを喜びました（ルカ 13:10-17）。

第 3 段落: この出来事の後、イエスは王国について 2 つのたとえを語られました。神はまず、からし種に喩えられました。この種はまだ最も小さい種ですが、完全に成長すると十分な大きさの鳥が巣を作り、その枝に巣を作ります。生地全体が発酵するまで、大量の小麦粉に 2 番目の酵母が混ぜられます。これらのたとえは、ダイナミックな成長が広範囲に及ぶ影響を示しています。一見取るに足らない小さな始まりにもかかわらず、王国は始まりました（ルカ 13:18-21）。エルサレムに向かって旅を続けているとき、誰かが彼に尋ねました、「主よ、救われるのはほんのわずかな人だけですか？」彼は、狭いドアから入るように努力してください、何度も試してみると言いますが、マスターハウスが立ち上がると入れなくなります、スタンドの外のドアを閉めてドアをノックして「先生、開けてください」と答えました、「どこから来たのか知りません」と答えました。外に取り残された人々は、アブラハム・イサク・ヤコブの預言者である王国の神自身が放り出されるのを見るかもしれない。ただ宗教的遺産や協会だけに頼るのではなく、個人的な献身が緊急に必要であることを示している。最後の章はエルサレムを嘆き、子供たちを集めたい、翼の下にひよこを集めたい、しかし彼らはその気はなかった、家は荒れ果てたままになるだろうと宣言した。」あなたが『主の御名によって来られる方は幸いです』と言うまで、あなたは二度と私に会うことはないだろう」と深い悲しみを表現し、無反応であり、主の呼びかけは最終的には救世主であることを切望しています。

ルカ 13:1 その季節に、ピラトが彼らの犠牲にガリラヤ人の血を混ぜたというガリラヤ人のことを話す人たちがいた。

イエスは聴衆に、罪を悔い改めない場合の結果について警告します。 2 1. 悔い改めが神の怒りから救われる唯一の方法です。2. 私たちはあらゆる瞬間を自分の罪から離れ、神に立ち返る機会として捉えなければなりません。 2 1. イザヤ書 55:6-7 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼に電話してください。邪悪な者はその道を捨て、不義な者はその考えを捨てなさい。彼らを主に立ち返らせなさい。そうすれば主は彼らを、そして私たちの神を憐れんでくださいます。神は惜しみなく赦してくださるからです。2. 使徒 2:38 - ペテロは答えました、「悔い改めて、罪の赦しのために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。」

ルカ 13:2 するとイエスは答えて言われた、「あなたがたは、このガリラヤ人たちがあんな目に遭ったのだから、他のガリラヤ人たちよりも罪人であると思うのか。」

イエスは、ガリラヤ人が耐えた苦しみのゆえに、他の人々よりも罪人であるという思い込みに疑問を抱きます。

1: 苦しみが神の裁きや不快のしるしであると決して考えるべきではありません。

2: 神の愛と憐れみは苦しみの真っ只中でも持続します。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: イザヤ 53:4-5 - 確かに、彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに見ました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

ルカ 13:3 あなたがたに言います、そうではありません。しかし、あなたがたが悔い改めない限り、あなたがたはみな同じように滅びるでしょう。

イエスは私たちが悔い改めなければ滅びると警告しています。

1. 悔い改め: 永遠の命への道

2. 悔い改めないことの危険性

1. エゼキエル 18:30-32 「だから、イスラエルの家よ、わたしはあなたを裁く、人はみなその道に従って、と主なる神は言われる。」悔い改めて、すべての罪から立ち去りなさい。そうすれば、不法行為があなたの破滅となることはありません。あなたが犯したすべての罪をあなたから捨て去りなさい。「あなたがたを新しい心と新しい霊にしてください。イスラエルの家よ、なぜあなたがたは死ぬのですか？」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

ルカ 13:4 それとも、シロアムの塔が倒れて殺したあの十八人たち、あなたがたは、自分たちがエルサレムに住むすべての人よりも罪人であると思っているのか。

イエスはシロアムの塔が倒れて亡くなった18人の死について群衆に質問し、彼らはエルサレムに住む他の誰よりも罪人ではないかと尋ねました。

1. 人間の苦しみにもかかわらず神の愛と憐れみ

2. 信仰と忍耐の力

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. ペテロ第一 5:7 - 神はあなたのことを気にかけてくださっているので、あなたの不安をすべて神に投げかけてください。

ルカ 13:5 あなたがたに言います、そうではありません。しかし、あなたがたが悔い改めない限り、あなたがたはみな同じように滅びるでしょう。

イエスは、すべての人が悔い改めなければ同じ結果に直面するだろうと警告しています。

1: 悔い改めて永遠の懲罰から救われてください。

2: 神の愛は、神に立ち返る人々に対する神の憐れみと恵みによって明らかにされます。

1: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: イザヤ書 1:18 - 「さあ、さあ、問題を解決しましょう」と主は言われます。「たとえあなたの罪が緋のようであっても、それは雪のように白くなるでしょう。たとえそれらが深紅のように赤いとしても、それらは羊毛のようになるでしょう。

ルカ 13:6 彼は次のたとえも話しました。ある人はブドウ畑にイチジクの木を植えていました。そこで彼はやって来て、そこに実を求めましたが、何も見つかりませんでした。

このたとえ話は、実を結ばなかった場合の結果について教えています。 1: すべての人は、自分の人生で実を結ぶよう努力すべきです。そうしないと、私たちはその結果に苦しむことになるからです。2: 神は私たちが人生で実を結ぶことを望んでおり、実を結ばない場合には行動を起こすでしょう。 1: マタイ 3:10 - 「そして今、木の根元にも斧が置かれています。したがって、良い実を結ばない木はすべて切り倒され、火に投げ込まれます。」 2: ヤコブ 3:17-18 - 「しかし、上から来る知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、懇願しやすく、憐れみと良い実とに満ちていて、偏りや偽善がありません。」

ルカ 13:7 それから彼はぶどう畑の化粧人に言った、「見よ、この三年間、私はこのいちじくの木の実を探しに来ているのに、何も見つからない。切り倒しなさい。そして、このいちじくの木に実を求めて来たのだ。」なぜそれが地面にあるのですか？

イエスは、3年間実を結ばなかったイチジクの木のたとえを語り、なぜそれが地上でスペースを占め続ける必要があるのかと尋ねました。

1. 「忍耐の力: 人生で実りを待つ」

2.「信仰の果実：神の行動への呼びかけ」

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対しては律法はありません。」

2. ヤコブ 5:7-8 - 「それでは、兄弟姉妹の皆さん、主が来られるまで辛抱してください。農夫が、秋と春の雨を辛抱強く待って、土地が貴重な作物を実らせるのをどのように待っているかを見てください。あなたも、主の来臨は近づいているので、忍耐強く立ちなさい。」

ルカ 13:8 すると、イエスは答えて言った、「主よ、今年も放っておいてください。私が掘って糞をするまでは。

このたとえ話は、魂の霊的健康に気を配る必要性について語っています。

1: 「努力をしましょう: 精神的な健康に投資する必要性」

2: 「忍耐と忍耐：精神的な健康を維持するための勤勉の美徳」

1: 2 ペテロ 3:18 - しかし、恵みの中で成長し、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストについての知識を深めてください。

2: ヤコブ 1:4 - しかし、あなたがたが完全で完全で、何も望まない者となるために、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。

ルカ 13:9 それが実を結べば、それでいいのですが、そうでなければ、その後、あなたはそれを切り倒しなければなりません。

神は私たちが人生で実を結ぶことを望んでいます。そうでなければ、私たちは切り離されてしまいます。

1: 実り豊かな人生を築く - 神に喜ばれ、良い実を結ぶ人生を送ります

2: より大きな実りをもたらすために剪定される - 良い実をもたらさないものから喜んで切り離される

1: コロサイ 1:10 それは、あなたがたが主にふさわしい者となってすべての人に喜ばれるように歩み、あらゆる良い業で実を結ぶためです。

2: ヨハネ 15:2 わたしの中から実を結ばない枝はすべて神が取り除き、実を結ぶ枝はすべて神がそれを取り除いて、より多くの実を結ぶようにしてくださるのです。

ルカ 13:10 そして、彼は安息日に会堂の一つで教えていた。

イエスは安息日に会堂で教えていました。

1. 安息日の力: 安息日に関するイエスの教えは私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 神のために時間を取る: 安息日の時間を作ることが私たちの生活にどのような影響を与えるか

1. イザヤ書 58:13-14 - 「もしあなたが安息日から足をそらし、私の聖日に自分の楽しみをすることから離れ、安息日を喜び、主の聖日を尊いものと呼ぶなら、もしあなたがそれを重んじるなら、そうではありません」自分の道を行くか、自分の楽しみを求めるか、無駄話をするなら、あなたは主を喜びとし、私はあなたを地の高みに乗せてあげる。」

2. コロサイ 2:16-17 「ですから、食べ物や飲み物の問題、あるいは祭りや新月や安息日に関して、だれもあなたたちを批判してはなりません。これらは来るべきことの影ですが、その物質はキリストのものである。」

ルカ 13:11 すると、見よ、十八年間も病弱な霊を患い、頭をかがめて、どうにも立ち上がることができなかった女がいた。

女性は18年間にわたり霊的病に悩まされており、体を起こすことができなかった。

1.「癒し：受け取る信仰」

2.「イエスの癒しの力」

1. ヤコブ 5:14-15 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼び、彼らに彼のために祈り、主の名において油を注いでもらいましょう。

2. イザヤ書 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、主は私たちの罪のために傷を負い、私たちの咎のために傷を負われました。私たちの平和のための懲罰が主の上にあり、主の打ち傷によって私たちは癒されました。

ルカ 13:12 イエスは彼女を見て、呼び寄せて言われた、「婦人よ、あなたは病気から解放されました。」

イエスはある女性の病気を癒しました。

1: イエスは恵みと憐れみに満ちた、思いやりのある癒し手です。

2: 私たちはイエスを通して自由と癒しを得ることができます。

1: イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。」

2: マタイ 8:17 - 「これは、預言者イザヤを通して語られたこと、すなわち、「神はわたしたちの弱さを負い、わたしたちの病気を負われた」ということが成就するためでした。

ルカ 13:13 そしてイエスが彼女の上に手を置くと、たちまち彼女はまっすぐになり、神の栄光を現した。

イエスは体の不自由な女性を癒し、彼女はそれに応えて神の栄光を現しました。

1. イエスのタッチの力: イエスの癒しの奇跡がどのように彼の神性を明らかにするか

2. 主にあって喜ぶ: 主の奇跡に対する私たちの反応は私たちの信仰をどのように反映するか

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために打ち砕かれた。彼の上に懲らしめがあり、私たちに平和をもたらし、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. マタイ 8:2-3 - 「すると、見よ、らい病人が彼のところに来て、彼の前にひざまずいて、「主よ、御心ならば、私を清めてくださることがおできになります」と言いました。するとイエスは手を伸ばして彼に触れ、「そうします、清くなります」と言われた。するとすぐに彼のハンセン病は治りました。」

ルカ 13:14 すると、会堂の支配人は、イエスが安息日にいやされたからと憤慨して答え、人々に言った、「人間が働かなければならないのは六日間である。だから、その中に来ていやされなさい。安息日ではありません。

イエスは安息日にいやされましたが、憤慨されました。

1. 恵みの力: イエスは安息日に癒します。

2. 神の権威：神が定めた日に働く。

1. 出エジプト記 20:8-11 - 安息日を聖く保つために、安息日を覚えておいてください。

2. マタイ 12:8 - 人の子は安息日の主だからです。

ルカ 13:15 そこで主は答えて言われた、「偽善者よ、あなたがたはみな、安息日に自分の牛やろばを馬小屋から放して、水やりに連れて行ったりしないのか。」

イエスは、霊によって障害を負った女性が安息日に癒されることを許さなかった男性を叱責されました。

1. 安息日は思いやりを否定する言い訳ではない

2. イエスの愛と恵みの力

1. マタイ 12:7、「もしあなたが、『私は犠牲ではなく憐れみを望んでいます』という言葉が何を意味するかを知っていたなら、あなたは罪のない人たちを罪に定めなかったでしょう。」

2. ヤコブ 2:13、「憐れみを示さない者には裁きは容赦ないからです。憐れみは裁きに勝利します。」

ルカ 13:16 そして、この女はアブラハムの娘であり、この十八年間、サタンが縛り付けていたのであるが、安息日にはその縛りから解かれるべきではないだろうか。

この箇所は、アブラハムの娘であるこの女性がなぜ安息日にサタンの束縛から解放されてはならないのかをイエスが尋ねているという事実を強調しています。

1. 安息日は休息のためだけではなく、刷新のためのものである

2. 束縛されている人々に対する神の憐れみ

1. 出エジプト記 20:8-11 - 安息日を聖く保つために、安息日を覚えておいてください。

2. ローマ 6:6-7 - 私たちの古い自分は、罪の体を無に帰し、もはや罪の奴隷にならないように、神とともに十字架につけられました。

ルカ 13:17 そして、イエスがこれらのことを言うと、彼の敵対者たちはみな恥じ入り、民はみな、イエスの行ったすべての輝かしい行いを喜んだ。

イエスは敵対者たちに語りかけ、人々はイエスの輝かしい行いを喜びました。

1. 神の言葉の力 - イエスが神に栄光をもたらすために権威を持ってどのように語られたか。

2. 逆境の克服 - イエスはどのように勇気と信仰を持って敵に立ち向かったか。

1. 詩篇 19:7-9 - 主の律法は完全であり、魂を生き返らせます。主のあかしは確かであり、単純な人を賢くする。主の戒めは正しく、心を喜ばせます。主の戒めは純粋であり、目を啓発します。

2. エペソ 6:10-13 - 最後に、主とその力の強さにおいて強くありなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的な力に対して格闘しているからです。したがって、あなたが邪悪な日に耐えることができるように、そしてすべてを終えてしっかりと立つことができるように、神の武具をすべて身に着けてください。

ルカ 13:18 そこで彼は言った、「神の国とはどのようなものですか。」どこに似たらいいでしょうか？

神の国は未知の量にたとえられます。

1: 神の王国は神秘的で素晴らしいです。それは私たちの理解を超えていますが、それは私たちがそれを理解しようとすることができないという意味ではありません。

2: 神の国は、神秘であるという事実にもかかわらず、私たちは理解するよう努めるべきものです。

1: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2: 詩篇 145:3 「主は偉大であり、大いにほめたたえられます。そして彼の偉大さは探ることができない。」

ルカ 13:19 それは、人がそれを取って自分の庭に投げ入れた、からし種一粒のようなものです。そしてそれは成長し、大きな木にワックスがかかりました。そして空の鳥がその枝に留まりました。

イエスは、からし種を庭に植えると、それが大きな木に成長し、鳥の隠れ家となる人のたとえ話をされました。

1. 「からし種の力: 信仰と忍耐の教訓」

2.「からし種：神の愛を分かち合うための招待状」

1. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が少ないからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. マルコ 4:30-32 - 「そして彼は言いました。「神の国を何にたとえることができますか。あるいは、どんなたとえを用いましょうか。それはからし種一粒のようなものです。地面に蒔くと、は地球上のすべての種の中で最も小さいですが、蒔かれると成長してすべての園芸植物よりも大きくなり、大きな枝を伸ばすので、空の鳥がその日陰に巣を作ることができます。」

ルカ 13:20 そしてまた彼は言った、「神の国を何に例えようか。」

神の国はからし種にたとえられます。

1: 「からし種 - 神の国のたとえ」

2: 「神の王国: 信仰のからし種」

1: マタイ 17:20 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が薄いからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

2: マルコ 4:30-32 - 「そして彼は言った。「神の国を何にたとえることができますか。あるいは、どんなたとえを使って言えばよいでしょうか。それはからし種一粒のようなものです。地面に蒔くと、は地球上のすべての種の中で最も小さいですが、蒔かれると成長してすべての園芸植物よりも大きくなり、大きな枝を伸ばすので、空の鳥がその日陰に巣を作ることができます。」

ルカ 13:21 それはパン種のようなもので、女がそれを取り、三度の食事の中に隠し、全体がパン種になるまで混ぜたものです。

パン種のたとえ話は、神の王国は目に見えない小さな行動によって成長し、広がっていくことを教えています。

1. 小さな行動の力: 神の王国はどのように広がるのか

2. 小さいながらも強力なパン種：神の国の影響を理解する

1. マタイ 13:33 - 「イエスは別のたとえ話をしました。「天の王国は、女が約 60ポンドの小麦粉をとり、生地全体に行き渡るまで混ぜ合わせた酵母のようなものです。」

2. コリント人への第一の手紙 5:6-7 - 「あなたの誇ることは良くありません。少量のイーストが生地全体を発酵させることをご存知ですか？古い酵母を取り除き、あなたが本当の状態で、種なしの新しいバッチになることができるようにします。わたしたちの過ぎ越しの子羊であるキリストが犠牲になったからです。」

ルカ 13:22 それからイエスは教えながら町や村を巡り、エルサレムに向かって旅をした。

この箇所は、イエスが都市や村を旅し、教え、エルサレムに向かって旅をした様子を描写しています。

1. イエスに従う喜び: イエスに従いなさいというイエスの呼びかけを受け入れることを学ぶ

2. 教える力: イエスの知恵を他の人と分かち合うことを学ぶ

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。」

2. フィリピ 3:12-14 - 「私はすでにこれらすべてを手に入れたわけでも、すでに完全にされたわけでもありません。しかし、私はキリスト・イエスが私を捕らえてくださったものをしっかりと掴もうと努めています。兄弟姉妹の皆さん、私はまだそれを掴んでいるとは思っていません。しかし、私がしていることは一つです後ろのものを忘れ、前のものに向かって力を尽くし、神がキリスト・イエスにおいて私を天に召してくださった賞を勝ち取るという目標に向かって突き進んでいきます。」

ルカ 13:23 そこで、ある人が彼に言った、「主よ、救われる人はほとんどいないのですか。」そして彼は彼らに言った、

この聖句は、救いを達成するのは難しいが、それを目指して努力する者は報われる、とイエスが教えられたことを明らかにしています。

1.「救いの難しさ～賞を目指して～」

2.「義の細い道：永遠の報酬を求めて働く」

1. フィリピ 3:12-14 - 私はすでにこれを手に入れたわけでも、すでに完全であるわけでもありません。しかし、私はそれを自分のものにしようと努力しています。なぜなら、キリスト・イエスが私をご自分のものとしてくださったからです。兄弟たち、私はそれを自分のものにしたとは思っていません。しかし、私がしてい

ることは一つです。後ろにあるものを忘れ、前にあるものに向かって力を尽くし、キリスト・イエスにおける神の上向きの呼びかけという賞を得るために、目標に向かって突き進んでいきます。

2. ヤコブ 1:12 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

ルカ 13:24 狭い門から入るように努めなさい。あなたがたに言いますが、多くの人は入ろうとしますが、それはできません。

この一節は、多くの人が求めてもできないであろう狭い門に入ろうと努力することについて語っています。

1: イエスは、私たちが厳しい門に入ることができるように、たとえ困難なときでも義を求めて努力するよう勧めておられます。

2: たとえどんな障害に直面しても、私たちは狭い門を通って神の国に入ろうと決意しなければなりません。

1: マタイ 7:13-14 - 「狭い門から入りなさい。というのは、門は広く、滅びに至る道は容易であり、そこから入る者は多いからである。命に至る門は狭く、その道は険しく、それを見つける者は少ないからである。」

2: ヨシュア記 24:15 - 「そして、主に仕えることがあなたの目に悪いことであるなら、今日、誰に仕えるかを選びなさい。あなたたちの先祖が川の向こうの地域で仕えていた神々か、それともその地に住むアモリ人の神々か。あなたが住む土地。しかし、私と私の家に関しては、主に仕えるつもりです。」

ルカ 13:25 あるとき、家の主人が起き上がって戸を閉めると、あなたがたは外に立って戸をたたき、「主よ、主よ、開けてください。」と言い始めます。すると彼は答えてあなたに言うだろう、「私はあなたがどこから来たのか知りません。」

家の主人が立ち上がってドアを閉めると、外にいる人たちがノックして中に入れてくれるように頼みますが、主人は彼らを知らないと言います。

1. いざというときに備えておくことの大切さ

2. 神との個人的な関係の必要性

1. マタイ 25:1-13 - 十人の処女のたとえ

2. ヤコブ 4:8 - 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。

ルカ 13:26 そのとき、あなたがたは言い始めるだろう、「私たちはあなたの前で飲み食いし、あなたは私たちの街で教えました。」

人々はイエスが路上で教えてくれたこと、イエスの御前で飲み食いしたことを認めるでしょう。

1. 誘惑や罪の瞬間にも、イエスはいつも私たちとともにおられます。

2. イエスの教訓を探れば、イエスは私たちの日常生活の中で教えてくれます。

1. イザヤ書 55:1-3 - 「さあ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て、買って食べなさい。さあ、お金も費用もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。なぜお金を使うのですか」」

2. ヨハネ 14:15-18 - 「もしあなたが私を愛しているなら、私の命令を守ってください。そして私は父に願います。そうすれば、父はあなたを助け、永遠にあなたと一緒にいる別の弁護者、つまり真理の御霊をあなたに与えてくださいます。この世はそれができません」彼を受け入れなさい、それは彼を見ることも知らないからです。しかし、あなたは彼を知っています、彼はあなたとともに生き、あなたの中にいますから。私はあなたを孤児として放置しません、私はあなたのところに行きます。やがて、世界は見えなくなるでしょう私はもういませんが、あなたは私に会うでしょう。私が生きているから、あなたも生きるでしょう。」

ルカ 13:27 しかし彼は言うだろう、「言っておくが、私はあなたがどこから来たのか知らない」。不法行為に従事する者たちよ、私から離れなさい。

多くの人は、その罪深い道や悪行のせいで神に拒絶されています。

1. 神に受け入れられるためには、私たちは罪から背を向けなければなりません。

2. 神の御国に迎え入れられたいと願うなら、私たちは義になろうと努力しなければなりません。

1. ローマ人への手紙 3:23 - すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。

2. ピリピ人への手紙 2:12-13 - ですから、愛する人よ、あなたがいつも従ってきたように、今、わたしがいるときだけでなく、いないときはなおさら、恐れおののきながら自分の救いを達成しなさい。それは神だからです。あなたのうちに働いて、自分の喜びのために意志を持って働く人です。

ルカ 13:28 あなたがたが神の国でアブラハム、イサク、ヤコブ、そしてすべての預言者たちを見るとき、あなたがた自身は追い出されるとき、泣き、歯ぎしりするであろう。

イエスは、罪を悔い改めない者は神の国から排除され、アブラハム、イサク、ヤコブ、そして預言者たちを王国で目撃する一方で、彼ら自身は追放されるだろうと警告しています。

1. 悔い改めの重要性: 神の王国から取り残されないでください

2. 悔い改めないことの結果: 泣くことと歯ぎしり

1. マタイ 5:3、「心の貧しい人たちは幸いです。天の国は彼らのものです。」

2. コリント人への第二の手紙 7:10、「敬虔な悲しみは、救いに至る悔い改めを生み、後悔すべきものではありません。しかし、世界の悲しみは死を生み出します。」

ルカ 13:29 彼らは東から、西から、北から、南から来て、神の国に座るであろう。

この聖句は、あらゆる方向から人々が集まり、神の王国に加わることについて語っています。

1.「王国の包括性: すべての人への招待状」

2.「王国の団結力 誰一人取り残さない」

1. 詩篇 122:3-4 - 「私たちの神、主の家のために、私はあなたの繁栄を求めます。あなたの城壁の中に平和があり、あなたの塔の中に安全がありますように！」

2. イザヤ書 2:2-3 - 「末日には、主の家の山が山々の中で最も高いものとして確立され、丘の上にそびえ立つであろう。そして、すべての国々がそこに流れ込み、多くの民が来て言うだろう、「さあ、主の山に登ろう、ヤコブの神の家に行こう。主が私たちにその道とその道を教えてくださるためである」私たちは彼の道を歩むかもしれない。」

ルカ 13:30 そして、見よ、最初になる最後のものと、最後になる最初のものが存在します。

最後のものが最初になり、最初のものが最後になります。

1: 神の憐れみはすべての人にあり、世界の秩序は私たち自身が作ったものではありません。

2: 私たちは主に信頼を置き、自分の意志ではなく主の意志に従うよう努めなければなりません。

1: マタイ 20:16 - したがって、最後の者が最初になり、最初の者が最後になります。

2: ヤコブ 2:5 - 親愛なる兄弟姉妹の皆さん、聞いてください。神は、信仰が豊かになり、ご自分を愛する人々に約束された王国を受け継ぐために、世の目に貧しい人々を選ばれたのではありませんか。

ルカ 13:31 その日、パリサイ人たちが来て、「出て行って、そこから立ち去れ。ヘロデがあなたを殺すからです」と言った。

パリサイ人の中には、ヘロデがイエスを殺すつもりだったので、その地域から立ち去るようイエスに警告した人もいました。

1. 不当な権威の危険 - 不当な権威にどう対処するか。

2. 最悪の事態に備える - 困難な状況を乗り越える。

1. ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂はより高い力に服従しましょう。

2. マタイ 10:17-22 - 蛇のように賢く、鳩のように無害でありなさい。

ルカ 13:32 そこでイエスは彼らに言った、「行って、あのキツネに、『見よ、わたしは悪霊を追い出し、今日も明日も治療をしている。そうすれば三日目には完全になるだろう』と言いなさい。」

この聖句は、イエスが悪魔を追い出し、治療を行うことができるので、強力かつ完全であることを強調しています。

1: イエスの力と完全さ - ルカ 13:32

2: イエスの驚くべき奇跡 - ルカ 13:32

1: マタイ 8:16 - 夕方になると、悪霊に取り憑かれた多くの人々がイエスのもとに連れて来られ、イエスは言葉で霊を追い出し、病人をすべていやされました。

2: マルコ 5:1-20 - イエスが舟から上がると、汚れた霊に取り憑かれた男が墓から出てきてイエスを迎えました。この箇所では、イエスが汚れた霊に取り憑かれた男を癒し、町の人々がイエスの力に驚いている様子が描かれています。

ルカ 13:33 それにもかかわらず、私は今日も、明日も、そしてその次の日も歩まなければなりません。預言者がエルサレムから滅びるということはあり得ないからです。

イエスは、危険にもかかわらずエルサレムでの使命を完遂することの重要性を強調しました。

1. イエスは私たちに、リスクがあっても自分の使命に集中し続けるように教えてくれます。

2. イエスは私たちに自分の使命を完遂する勇気と献身を示してくださいます。

1. マタイ 10:16-19 - イエスは弟子たちに、外に出て良いたよりを広めるよう命じられました。

2. マタイ 16:25 - イエスは弟子たちに、自分を捨てて十字架を負うよう勧めます。

ルカ 13:34 おお、エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、あなたに遣わされた者たちを石で打ちつける者よ。鶏が羽の下に雛を集めるように、私は何度もあなたの子供たちを集めただろうが、あなたたちはそうしません。

イエスは、エルサレムが自分とそのメッセージを拒絶したことに対して悲しみを表します。

1.「拒絶の悲しみ」

2.「エルサレムへの神の招き」

1. エレミヤ 17:13 - 「主よ、イスラエルの希望よ、あなたを見捨てる者はみな恥を知り、わたしから離れる者は地に書き記されるでしょう。彼らは生ける水の泉である主を捨てたからです。」」

2. イザヤ書 53:3 - 「彼は軽蔑され、人々から拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っています。そして私たちはあたかも彼から顔を隠しました。彼は軽蔑され、私たちは彼を尊敬しませんでした。」

ルカ 13:35 見よ、あなたの家は荒れ果てたあなたたちに残されている。よく言っておくが、「主の御名によって来る者は幸いである」とあなたたちが言う時が来るまで、あなたたちは私を見ることはないでしょう。

イエスは人々のグループに、自分たちの家は荒れ果てたままになり、イエスをメシアとして認めるまで二度と会うことはないと告げられます。

1. イエスをメシアとして認めることの重要性。

2. イエスを主として受け入れることによる回復と赦しの約束。

1. イザヤ書 40:1-3 - あなたがたを慰めよ、あなたがた私の民を慰めよ、とあなたの神は言われる。

2. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、誰も父のもとに来ることはない。」

ルカ 14 章には、謙虚さ、弟子としての代償、大宴会と塔を建てる者のたとえ話についてのイエスの教えが含まれています。

第 1 段落: この章は、安息日にパリサイ人の家で水腫に罹った男性をイエスが治したところから始まり、安息日の遵守に関する彼らの律法主義的な解釈に異議を唱え

ています (ルカ 14:1-6)。ゲストが食事の際に名誉ある場所をどのように選ぶかを観察しながら、イエスは、より著名なゲストのために席を譲るように求められるよりも、より高い位置に招待されるように、宴会では低い位置を取るようアドバイスするたとえ話を披露されました。この教えは謙虚さを強調し、世俗的な価値観を逆転させます。「自分を高める者はみな低くされ、自分をへりくだる者は高められるからです」（ルカ 14:7-11）。

第 2 段落: この食事中に教えを続けて、イエスはホストに、返礼できる友人、兄弟、裕福な隣人を招くのではなく、返礼できない貧しい足の不自由な盲人を招待して、復活の義人への報いを確実にするようアドバイスされました。それから彼はたとえ話の大晩餐会で、そこでは招待された多くの人が出席しない言い訳をしていたので、主人の家は使用人たちに道路から出ていくように命じた、田舎の小道は人々に私の家に来るように強制した、神の包括的な招待王国、特に疎外された社会が自己満足的な自己満足によって拒否されたことを示していると語った(ルカ14章) :12-24)。

第 3 段落: 大勢の群衆がイエスを追ってきましたが、イエスは彼らに向かって、イエスに来る者は誰でも、父、母、妻、子供、兄弟、姉妹、そう、自分の命さえも憎むに違いありません、そうでなければ、十字架を背負わない者は弟子になれません、イエスに従わない者は弟子になれません、と言われました。この強い言葉は、他のいかなる家族関係上の忠誠心よりも、弟子として必要とされる全面的な献身的な姿勢を強調するために使用されます。彼はさらに、これを 2つのたとえを使って説明しました – 1つは塔を建てる者について、もう1つは戦争をする王について、両方ともそのような約束をする前にコストを計算することの重要性を強調する 能力を確保する タスクを完了することを保証する 対立に対処することを強調する 冷静な考慮を強調する 自己否定は主に従う必要があるということ（ルカ 14:25-3 3）。この章は、イエスの比喩で締めくくられています。「塩は品質を保つが、塩味が失われると、塩味は戻らない。したがって、土や肥料を捨てても良い。弟子たちは独特の品質を維持し、世界に影響を与える。そうでなければ、役に立たない無力なものになるだろう」という警告。

ルカ 14:1 そして、安息日にパンを食べようとパリサイ人幹部の一人の家に入ったとき、人々が彼を見ていた。

イエスは安息日にパンを食べるためにパリサイ派の指導者の一人の家に行きました、そしてパリサイ人たちはイエスを見ていました。

1. イエスの卓越性: イエスは当時の規範にどのように挑戦したか

2. 安息日：私たちの生活におけるイエスの臨在について考える機会

1. マタイ 5:17-20 - 「わたしが律法や預言者を滅ぼすために来たと思ってはなりません。滅ぼすために来たのではなく、成就するために来たのです。まことに、あなたがたに言います、天と地が過ぎ去るまで、一つです。すべてが満たされるまでは、ほんの少しの名誉も法律から逸脱することは賢明ではありません。」

2. コロサイ 2:16-17 「ですから、肉や酒、あるいは聖日や新月や安息日について、だれもあなたがたを裁いてはなりません。これらは来るべきものの影です。」; しかし、体はキリストのものです。」

ルカ 14:2 すると、見よ、彼の前に水腫を患ったある人がいた。

イエスは水腫の人を治しました。

1. 思いやりの行為を通して明らかにされたイエスの癒しの力。

2. 肉体的な苦しみの時における信仰の重要性。

1. マタイ 9:35 「そして、イエスはすべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気やあらゆる苦しみをいやされた。」

2. ルカ 18:42 「すると、イエスは彼に言われた、『あなたの視力を取り戻しなさい。あなたの信仰があなたを元気にしました。」

ルカ 14:3 イエスは律法学者やパリサイ人たちに答えて言われた、「安息日に病気を治すのは許されているのか」。

イエスは律法学者とパリサイ人に、安息日に病気を治すのは合法かどうか尋ねました。

1. 癒しの力：命を与えるイエスの奇跡の本質を探る

2. 安息日を守る: 休んで喜びなさいという戒めを調べる

1. マルコ 3:1-6 - イエスは手のなえた人を癒す

2. イザヤ書 58:13-14 - 礼拝行為として安息日を守る

ルカ 14:4 そして彼らは平和を保った。そして彼は彼を連れて癒し、手放した。

イエスは、手のなえた人を抱き、癒し、解放することによって、同情と憐れみを示しました。

1. 神の憐れみと憐れみ: イエスはどのようにして人の人生を変えたのか

2. イエスの癒しの力を通じて自由を見つける

1. ヤコブ 5:15 – 「信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、赦されるでしょう。」

2. イザヤ書 53:4-5 – 「確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

ルカ 14:5 そこで彼らは答えて言った、「あなたがたのうち、ロバか牛を穴に落としたら、安息日にすぐに引き上げないのはどちらですか。」

ルカ 14:5 のこの一節は、安息日の遵守よりも憐れみの大切さについてのイエスの教えを示しています。

1. 神の慈悲は規則よりも大きい：儀式よりも思いやり

2. イエスの愛と思いやりのメッセージ: 優先順位を正しく設定する

1. マタイ 12:1-14;愛と憐れみは法律に優先すべきであるというイエスの教え。

2. 詩篇 145:8-9;神の愛と憐れみは永遠に続きます。

ルカ 14:6 そして、彼らはこれらのことに再び答えることができなかった。

群衆の人々はイエスの言葉に答えることができませんでした。

1. 私たちは権威に挑戦し、質問することを恐れるべきではありません。

2. 私たちは謙虚であり、答えがないときはそれを認めることを恐れるべきではありません。

1. 箴言 29:20 – 「言葉を性急にする人がいますか。彼よりも愚か者のほうが希望がある。」

2. ヤコブ 1:19 – 「愛する兄弟たち、これを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。」

ルカ 14:7 そして彼は、入札された人々に、彼らがどのようにして主な部屋を選んだかを記したたとえを話した。彼らに言った、

宴会に出席している人々に対するイエスのたとえ話は、謙虚さと他の人への感謝の気持ちを奨励します。

1:「謙虚さの力」

2：「他者に感謝することの祝福」

1: ピリピ 2:3-5 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2: ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

ルカ 14:8 あなたが結婚式にだれかに招かれたときは、一番上の部屋に座ってはなりません。あなたよりも名誉ある人が彼に命じられないように。

結婚式やその他の集まりに招待された場合、自分よりも大切な人が出席している可能性があるため、最高の席に着くべきではありません。

1) プライドは罪です。プライドのせいで、自分に値するもの以上のものを受け取ってはいけません。

２）自分よりも他人を敬い、低い席に座る。

1) ピリピ 2:3-4: 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分より他人のことを大切にしなさい。各自自分の利益だけでなく他人の利益にも目を向けなさい。」

2) 箴言 25:27: 「蜂蜜をたくさん食べるのはよくない。自分の栄光を求めるのは栄光ではない。」

ルカ 14:9 そして、あなたと彼に命じた人が来て、あなたに言います、「この人に場所を与えてください。」そしてあなたは一番下の部屋を取ることを恥じることから始めます。

イエスは謙虚さ、集会では最下位に立つことの大切さを教えています。

1. 謙虚さの優先順位: 最下位に立つことを学ぶ

2. プライドのパラドックス: 謙虚さが最大の贈り物である理由

1. ピリピ 2:3-8 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に他の人のことを自分よりも優れていると考えてください。あなたがたは一人一人、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けるべきです。」

2. ヤコブ 4:6-10 「神は高ぶる者に敵対しますが、謙虚な者には好意を示します。ですから、神の力強い御手の下で謙虚になりなさい。そうすれば、神はしかるべき時にあなたがたを高めてくださるでしょう。」

ルカ 14:10 しかし、あなたが入札したら、行って一番下の部屋に座りなさい。それは、あなたに命じた人が来たら、あなたにこう言うためです。「友よ、もっと上に登ってください。そうすれば、あなたは、あなたと一緒に座っている人々の前で礼拝をするでしょう。」

イエスは招待された人たちに、謙虚になり、他の人がいる中で高い席への招待を喜んで受け入れるよう勧めています。

1. 「謙虚さへのキリストの呼びかけ: より高い席への招待」

2. 「謙虚さの祝福: 謙虚さの報いを得る」

1. ヤコブ 4:10 - 「主の御前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

2. ピリピ人への手紙 2:3-4 「争いや見栄によって何もしてはなりません。しかし、へりくだった心で、お互いが自分よりも他人を大切にしなさい。すべての人が自分のことだけに目を向けるのではなく、他人のことにも目を向けなさい。」。」

ルカ 14:11 自分を高める者は卑しめられるからです。そして自分をへりくだる者は高められるであろう。

イエスは、自分を低くする者は高められるが、自分を高める者は低くされる、と教えています。

1. 謙虚さの力: 優れた人生を送る方法

2. プライド：人間関係を破壊する微妙な存在

1. ヤコブ 4:6 - しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。それゆえ、神は高慢な者には抵抗するが、謙虚な者には恵みを与える、と彼は言います。

2. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれから何もせず、謙虚に他の人が自分よりも優れていると考えてください。誰もが自分自身の利益だけでなく、他人の利益にも気を配るべきです。

ルカ 14:12 それから、彼は、自分に命じた人にも言いました、「あなたが晩餐をするときは、あなたの友人、あなたの兄弟、あなたの親族、あなたの金持ちの隣人を呼ばないでください。」そうしないと、彼らもあなたに再び入札し、あなたに報いが与えられます。

イエスは、すでに恵まれている人ではなく、困っている人に寛大になるように教えています。

1: 「寛大さの贈り物」

2:「与える喜び」

1: ヨハネ第一 3:17-18 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見て、その人に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人のうちに宿るでしょうか。小さな子供たちよ、言葉や話ではなく、行いと真実で愛しましょう。」

2: ヤコブ 2:14-17 「兄弟たち、信仰はあるが行ないをする人がいるとしたら、それが何の役に立つでしょうか。その信仰が彼を救うことができるでしょうか？兄弟や姉妹が粗末な着衣を着ており、毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたのどちらかが彼らに、体に必要なものを与えずに、「安らかに行きなさい。体を温めてお腹を満たしなさい」と言ったら、それが何の役に立つでしょうか。同様に、信仰も、行いがなければ、それ自体では死んだものである。」

ルカ 14:13 しかし、あなたが祝宴を開くときは、貧しい人、障害のある人、足の不自由な人、目の見えない人を呼びなさい。

イエスは、貧しい人、障害のある人、足の不自由な人、目の見えない人を宴会に招待するように指示されました。

1. 恵まれない人々を招く: 交わりに対するイエスのビジョンを再考する

2. 恵まれない人々への配慮: もてなしを求めるイエスの呼びかけ

1. イザヤ書 58:7-10 - あなたのパンを飢えた人たちに分け与え、ホームレスの貧しい人たちをあなたの家に招き入れてください。

2. ヤコブ 1:27 - 父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩する孤児や未亡人を世話することです。

ルカ 14:14 そうすれば、あなたは祝福されるでしょう。彼らはあなたに報いをすることができないからです。あなたは義人の復活のときに報われるからです。

この聖句は、義人の復活の際に祝福されるという、信仰と義に生きる人々の報いについて語っています。

1. 義の報い: 信仰と従順の人生を送る

2. 復活の祝福：神との永遠の命

1. マタイ 6:19-21 「自分のために宝を地上に蓄えなさい。そこでは虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗むのです。しかし、あなたがたは天に宝を蓄えなさい。そこでは虫もさびも滅ぼされず、泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

2. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、神のご計画に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

ルカ 14:15 そこで、イエスと一緒に肉の席に座っていた者の一人がこれらのことを聞いて、イエスに言った、「神の国でパンを食べる人は幸いです。」

イエスは夕食の客の一人に神の国で食べる喜びについて語ります。

1. 神の王国で食べる喜び

2. 神の王国に入る祝福

1. ローマ 14:17 - 神の国は肉や飲み物ではありません。しかし義と平和と聖霊による喜びです。

2. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

ルカ 14:16 そこで彼は言った、「ある人が盛大な晩餐を用意して、多くの人にこう言いました。

ある男が大勢の人を盛大な晩餐に招待した。

1. 福音の招き：神の寛大な救いの申し出

2. 交わりの喜び: キリスト教共同体への呼びかけ

1. ローマ人への手紙 10:13-14 - 「主の御名を呼び求める者はみな救われるからです。しかし、彼らがイエスを信じない限り、どうやって救いを求めることができるでしょうか？そして、彼のことを一度も聞いたことがないのに、どうやって彼を信じることができるでしょうか？そして、誰かが教えてくれない限り、どうやって彼のことを知ることができるのでしょうか？」

2. ヘブライ 10:24-25 - 「愛の行為や良い行いに向けてお互いを動機付ける方法を考えてみましょう。そして、特に彼の帰還の日が近づいている今、一部の人々のように、一緒に会うことを無視せず、お互いを励まし合いましょう。」

ルカ 14:17 そして、夕食のときにしもべを遣わして、命じられた人々にこう言わせた。もうすべての準備が整っているからです。

主人は宴会の準備をしていて、ゲスト全員を招待していました。

1: イエスは私たちを救いの宴に招待します。

2: 恵みの饗宴への主の招き。

1: 黙示録 19:9 「そして彼は私に言った、『小羊の結婚の晩餐に召された人々は幸いである、と書きなさい。』」

2: イザヤ書 25:6 - 「そして、万軍の主は、この山ですべての人々に、脂肪のあるもの、粕の上にぶどう酒、骨髄に満ちた脂肪、よく精製された粕の上にぶどう酒の宴を催されるであろう。」

ルカ 14:18 すると彼らは皆、一致して言い訳を始めた。最初の人は彼に言った、「私は土地を買ったので、それを見に行かなければなりません：私が許してくれるように祈ります」。

宴に招待された人たちは皆、出席しない言い訳を持っていました。最初の人は、土地を買ったので見に行きたいと言いました。

1: 私たちは自分の人生において、自分自身の欲求や必要性よりも、神を第一に考えなければなりません。

2: たとえそれが不快で不都合なことであっても、私たちは喜んで十字架を背負ってイエスに従わなければなりません。

1: マタイ 16:24 - それから、イエスは弟子たちに言われた、「もし誰かが私の後に来るなら、その人は自分を捨て、十字架を背負って私に従いなさい。」

2: ピリピ 2:3-4 - 争いや見栄によって何事も[行わないように]。しかし、へりくだった心で、お互いが自分よりも他人を尊敬しなさい。すべての人が自分自身のことに目を向けるのではなく、すべての人が他人のことに目を向けてください。

ルカ 14:19 また、別の者が言った、「牛のくびきを五頭買ったので、それを証明しに行きます。どうか許してください。」

このたとえ話は、多くの約束をし、今、そこから抜け出す方法を探している人のことを話しています。

1: 私たちは、自分が処理できる以上のことにコミットしないように注意しなければなりません。

2: 私たちは自分の能力について、自分自身に対しても他人に対しても常に正直であるべきです。

1: 伝道の書 5:4-5 - あなたが神に誓いを立てたとき、それを返済するのを延期してはならない。彼は愚か者を喜ばないからです。あなたが誓ったものを払いなさい。誓約をしてお金を支払わないよりは、誓約をしないほうが良いのです。

2: ヤコブ 4:13-17 - 「今日か明日、私たちはそのような町に行き、一年そこに行き続け、売り買いして利益を得ようと言う者たちよ、さあ行きなさい。一方、あなたがたは何を知っているのか分からない」明日になります。あなたの人生は何のためにありますか？それは蒸気でさえ、少しの間現れて、そして消えていきます。そのためにあなたがたは、「主が御心であれば、私たちは生きて、あれやこれやをするだろう」と言うべきである。しかし今、あなたがたは自分の自慢を楽しんでいます。そのような喜びはすべて悪です。したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪である。

ルカ 14:20 また、別の人は、「妻と結婚したので、来ることができません」と言いました。

この箇所は、地上の責任よりも神の王国を優先することの難しさを浮き彫りにしています。

1: 神の王国への招待を受け入れる

2: 地上の責任よりも神の王国を優先する

1: マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。」

2: コロサイ 3:1-2 - 「それで、あなたがたはキリストとともによみがえったのですから、神の右に座しておられるキリストがおられる、上にあるものに心を向けなさい。地上の事柄ではなく、天上の事柄に心を向けなさい。」

ルカ 14:21 そこで、そのしもべがやって来て、主にこれらのことを見せた。そこで、家の主人は怒って召使に言った、「急いで街の通りや路地に出て、貧しい人、障害のある人、足の不自由な人、目の見えない人をここに連れて来なさい」。

家の主人は召使いに、出て行って、貧しい人、障害のある人、足が止まっている人、目の見えない人を連れてくるように命じます。

1. 私たちのコミュニティで疎外されている人々に奉仕することの重要性。

2. 部外者を受け入れる力。

1. ヤコブ 1:27 - 父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児や未亡人を訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。

2. イザヤ書 58:6-7 - 「これが私の選んだ断食ではないでしょうか。悪の束縛を解き、くびきの紐を解き、抑圧されている人々を解放し、すべてのくびきを打ち破ることです。飢えた人たちにパンを分け与えたり、ホームレスの貧しい人たちを家に招き入れたりすることではないでしょうか。裸の人を見るとき、自分の肉体から身を隠すのではなく、彼を覆うためですか？

ルカ 14:22 それでしもべは言った、「主よ、あなたの命じられたとおりになりましたが、まだ余地があります。」

しもべは主人の命令を遂行するために働きますが、まだそれ以上の余地があることに気づきます。

1. 従順の力: 神の命令を遂行する

2. 常にさらなる余地がある: 信仰の無限の可能性

1. エペソ 2:10: 「私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られました。神は、私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:16-18: 「いつも喜び、絶えず祈り、どんな状況でも感謝しなさい。これがキリスト・イエスにおける神の御心だからです。」

ルカ 14:23 そこで主はしもべに言った、「街道や生け垣に出て、わたしの家に人がいっぱいになるように、彼らを強制的に中に入れてください。」

主はご自分の家が満たされるように、出て行って人々を神の国に招くようにと召し使いたちを呼びます。

1. 大胆になって他の人を神の王国に招待しましょう

2. 福音を分かち合う機会を逃さないでください

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

2. イザヤ書 55:6 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼んでください。

ルカ 14:24 わたしはあなたがたに言いますが、命じられた人々はだれもわたしの夕食を味わってはならないと思います。

この一節は、夕食に招待された人々が誰もその夕食を味わわないことについて述べています。

1. コミットメントの価値: 神の招きを拒否した場合の結果を理解する。

2. 不信仰の代償: 主の招きを受け入れることを拒否した場合の結果を認識する。

1. マタイ 22:2-14 - 結婚披露宴のたとえ。

2. ローマ人への手紙 11:17-24 - 神の憐れみと怒り。

ルカ 14:25 そこで、大群衆がイエスと一緒に行ったので、イエスは振り向いて彼らに言った、

イエスは追随者たちに、地上の財産の快適さや安全よりもイエスとの関係を優先するよう勧めています。

1. イエスを第一に考える: 関係の優先順位

2. 豊かな人生: イエスにとっての生きる自由

1. マタイ 6:33 — 「しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。」

2. ピリピ人への手紙 3:8 ― 「そうです。わたしの主キリスト・イエスについての知識の卓越性のおかげで、わたしはすべてを失ったとしか思っていません。キリストのゆえに、わたしはすべてのものを失いましたが、それらを糞尿としか思っていません。キリストを勝ち取るかもしれない。」

ルカ 14:26 わたしのところに来て、自分の父、母、妻、子供たち、兄弟、姉妹、そう、自分の命をも憎まない人がいるなら、その人はわたしの弟子になることはできません。

ルカ 14:26 のこの一節は、弟子になるには、家族や自分自身に対する自然な愛よりも高いレベルの献身が必要であることを教えています。

1. 「究極のコミットメント: 家族を超えた弟子としての精神」

2. 「何よりも神を愛する: 弟子としての優先順位」

1. マタイ 16:24-26 - 「それから、イエスは弟子たちに言われた、「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと願う者は負けるからです」」

2. マルコ 8:34-37 「イエスは弟子たちとともに民を呼び寄せた時、こう言われた。『わたしについて来ようとする者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って従いなさい。』わたしです。自分の命を救いたいと願う者はそれを失いますが、わたしと福音のために命を失う者はそれを救います。人が全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるのでしょうか？それとも何ですか？この姦淫と罪深い時代にわたしとわたしの言葉を恥じる者は、人の子も、聖なる天使たちとともに父の栄光のうちに来るとき、その人のことを恥じることになるからである。」

ルカ 14:27 また、自分の十字架を背負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。

イエスは、弟子になるためには十字架を背負ってイエスに従わなければならないと教えています。

1. 十字架を背負ってイエスに従ってください - 弟子になることの重要性について。

2. 私たちの十字架を担う - キリストとともに歩む責任。

1. マルコ 8:34-37 - イエスは追随者たちに、十字架を背負ってイエスに従うように指示しました。

2. ガラテヤ 5:24 - 私たちは肉を十字架につけて御霊のうちに生きるように召されています。

ルカ 14:28 あなたがたのうち、塔を建てようとして、最初に座って、それを完成させるのに十分なお金があるかどうかを計算しない人がいるでしょうか。

この一節は、事前に準備をし、あらゆる努力のコストを計算することの重要性を強調しています。

1. 「構築のコスト: コミットメントの準備」

2.「計画を立てる：先のコストを計算する」

1. マタイ 6:19-21 - 「自分のために宝を地上に蓄えてはなりません。そこでは虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗みます。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫やさびが滅ぼさず、盗人が押し入って盗むこともありません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。」

2. 箴言 13:4 - 「怠け者の魂は渇望しても何も得られませんが、勤勉な者の魂は豊かに与えられます。」

ルカ 14:29 幸いなことに、彼が基礎を築いたのに、それを完成させることができないと、それを見ているすべての人が彼を嘲り始めます。

この一節は、見物人がその人を嘲笑する可能性があるため、それを完了する能力なしに何かを始めないよう警告しています。

1. 自分の能力を超えたものを引き受ける危険性

2. 始めたことをやり遂げることの大切さ

1. エペソ人への手紙 6:13 - 「ですから、神の武具を身に着けなさい。そうすれば、悪の日が来たときに、自分の立場を堅持し、すべてを終えた後に立ち上がることができます。」

2. 箴言 16:3 - 「何をするにも主に委ねなさい。そうすれば主はあなたの計画を立ててくださる。」

ルカ 14:30 こう言った、「この人は建て始めたが、やり終えることができなかった。」

イエスは、プロジェクトを始めたものの完了できない男性についてのたとえ話を教えています。

1. 始めたことをやり遂げることの大切さ

2. 困難に直面したときの忍耐力

1. フィリピ 3:14 - 「私はレースの最後まで走り続け、神がキリスト・イエスを通して私たちに召しておられる天の賞を受け取ります。」

2. コロサイ 3:23 - 「何をするにも、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。」

ルカ 14:31 あるいは、他の王と戦争しようとして、最初に座って、二万人で攻めてくる王を一万人で迎え撃つことができるかどうか相談する王がいるでしょうか。

王は、2 倍の資源を持つ別の王と戦争をする前に、自分の資源を考慮する必要があります。

1. 神は、あらゆる障害を克服するために必要なリソースを私たちに提供してくださいます。

2. 私たちは神を信頼し、賢明な決断を下すことを学ばなければなりません。

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人はすべての人に惜しみなく与え、非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

ルカ 14:32 さもなければ、相手はまだ遠く離れているのに、使者を送り、平和の条件を望んでいます。

行方不明の息子のたとえ話は、行方不明者を探し出して和解の申し出をする必要性を強調しています。

1. 許しの力: 失われた人々に恵みを差し伸べる方法

2. 和解：放蕩者を受け入れ、受け入れる

1. マタイ 18:12-14 - 迷っていた人が戻ってきたらどうしますか?

2. ローマ人への手紙 5:8 - 私たちを神と和解させる神の愛の力

ルカ 14:33 同じように、あなたがたのうちで、自分の持ち物をすべて捨てない人は、わたしの弟子になることはできません。

この聖句は、イエスの弟子になるためにすべての所有物を捨てることの重要性を強調しています。

1. 真の弟子であること: 代価を計算することの代償 - ルカ 14:33

2. すべてを捨ててイエスに従う - ルカ 14:33

1. マタイ 19:21 - イエスは彼に言われました。「もしあなたが完全になりたいなら、行って、持っているものを売って貧しい人たちに施しなさい。そうすれば

天に宝を持つでしょう。そして来て、私について来てください。」

2. マルコ 10:21 - イエスは彼を見て彼を愛し、言われた、「あなたには一つ欠けているものがある。行って、持っているものを全部売って貧しい人たちに施しなさい。そうすればあなたは天に宝を持つだろう。そして来て、私について来てください。」

ルカ 14:34 塩は良いものですが、もし塩の風味がなくなったら、何を使って味付けすればよいのでしょうか。

塩はイエスの教えにおける重要な比喩であり、キリストの弟子が世界に対する道徳的および霊的風味の源となる必要性を示しています。

1: 地の塩: キリストの弟子となり、世界に影響を与える

2: 塩を味わう: 神聖な味わいの人生を送る方法

1: マタイ 5:13-14 - 「あなたは地の塩ですが、塩の味が失われたら、どうやってその塩味を取り戻すことができますか。もう放り出されて人々の足の下に踏みつけられる以外何の役にも立ちません。」

2: コロサイ 4:6 - 「各人にどのように答えるべきかを知ることができるように、常に塩味を利かせた礼儀正しい話し方をしなさい。」

ルカ 14:35 それは土地にもふさわしくないし、まだ糞場にもふさわしくない。しかし、人々はそれを追い出しました。聞く耳のある者は、聞いてください。

この箇所は、神の言葉に注意を払い、その呼びかけに耳を傾けることの大切さを語っています。

1. 「聞くという呼びかけ：神の言葉に注意を払うことの重要性を理解する」

2. 「不適格者を追い出す: 神の言葉を無視する代償」

1. ヤコブ 1:19-20 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

ルカ 15 章には、罪人の悔い改めに対する神の喜びを示すイエスの 3 つのたとえ話、すなわち、失われた羊、失われたコイン、放蕩息子が登場します。

第 1 段落: この章は、徴税人や罪人たちがイエスの話を聞くために集まってくるところから始まります。これにより、パリサイ人や律法学者の間で「この人は罪人を歓迎して一緒に食事をするのだ」という不平不満が生じました。それに応じてイエスは、羊飼いが99匹の羊を野原に残し、迷子になった1匹の羊を探すというた

とえ話「迷える羊」を語られました。それを見つけると、彼は喜んで肩に乗せて家に帰ります。それから彼は近所の友達を呼んで「迷子の羊が見つかったので喜んでください」と言います。次にイエスは、悔い改める必要のない 99人の義人よりも、悔い改める一人の罪人の方が天では喜びがあると説明されました(ルカ15:1-7)。

第 2 段落: このたとえ話に続いて、イエスは銀貨 10 枚を持っていたが 1 枚を紛失した女性についての別のたとえ話をされました。彼女はランプを灯し、それが見つかるまで徹底的に家を掃除しました。それを見つけると、彼女は近所の友人たちに電話をかけ、「なくしたコインが見つかったので喜んでください」と言いました。イエスは再び、悔い改める一人の罪人に対して神の御使いたちが臨在して喜んでいることを強調されました(ルカ15:8-10)。

第 3 段落: 最後に、彼は放蕩息子のたとえ話を話しました。この物語では、幼い息子が父親から相続財産の分け前を求め、遠く離れた田舎ですべてを浪費してしまいます。深刻な飢餓が起こったとき、彼は必要になり始めたので、国から国民として雇われ、畑に餌を送り、豚が欲しがっていたお腹を満たすサヤを豚が食べていたが、誰も彼に何も与えてくれなかった。気づいたとき、こう言った。！彼は、父親が雇われた使用人のように扱うよう求める前に、家に帰って罪を告白することにしました。しかし、父はまだ遠くから彼を見て、思いやりに満ちて走って腕を回し、彼にキスをし、息子は「父は天に対して罪を犯しました、あなたはもう息子と呼ばれる資格はありません」と言った。しかし、父親は使用人たちに最高のローブを持ってくるように命じました 指に指輪をはめてサンダルの足に太った子牛を連れてきてください ごちそうを食べてこの息子のお祝いをしましょう わたしは死んでいたのですが生きていました、また迷子になったのが見つかったのでお祝いを始めました 兄は怒って中に入るのを拒否したので父親は外に出て懇願しました 答えた「ほら、私が何年も奴隷にしてきたのは、一度も命令に背かなかったのに、友達と祝うために子ヤギさえ私にくれなかったのに、あなたの財産をむさぼり食ったあなたの息子が戻ってくると、売春婦が彼のために肥えた子牛を殺すのよ！」父は「息子よ、あなたはいつも私と一緒にいます。私が持っているものはすべてあなたのものですが、あなたの弟が死んで生きて戻ってきたので、私たちは喜び祝わなければなりませんでした失われたものが見つかったのです。」（ルカ 15:11-32）と言いました。このたとえ話は、悔い改めた罪人に対する父の慈悲深い愛の性質を強調しており、また、道を誤った人々に対する慈悲の欠如に対する独善性にも異議を唱えています。

ルカ 15:1 それから、取税人や罪人たちがみな、彼の話を聞こうと、イエスに近寄った。

この箇所には、イエスが話を聞きに来た取税人や罪人たちに囲まれていたことが記されています。

1: イエスは、ご自分の前では誰でも歓迎され、誰も排除されるべきではないことを私たちに示してくださいました。

2: イエスの愛は無条件であり、イエスを求めるすべての人に愛が与えられます。

1: マタイ 11:28 - 「すべて苦労している人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。」

2: マルコ 2:17 「イエスはこれを聞いて言われた、『元気な人には医者はいらない、ただ病人には必要だ。わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためである。』

ルカ 15:2 すると、パリサイ人や律法学者たちはつぶやいて言った、「この人は罪人たちを受け入れて、一緒に食事をしているのです。」

この箇所は、罪人と交わったイエスに対するパリサイ人や律法学者の批判と不承認を明らかにしています。

1. イエスの無条件の愛と罪人の受け入れ

2. 他人を判断する危険性

1. ローマ 14:13 - 「ですから、私たちはもうお互いに裁きを下すのではなく、兄弟の道につまずきや障害を決して置かないことを決心しましょう。」

2. マタイ 7:1-2 - 「裁いてはなりません。裁かれないようにするためです。あなたが宣告する裁きによってあなたは裁かれ、あなたが用いる尺度によってそれはあなたに測られるからです。」

ルカ 15:3 そこでイエスは、次のたとえを彼らに話して言われた。

いなくなった羊のたとえ: イエスは、一匹の羊を失い、残りの99匹の羊を残して、いなくなった一匹を見つけるまで捜す羊飼いのたとえ話をします。

1. 羊飼いの心: イエスは失われた人々をどのように気遣うか

2. 失われた羊: 神の苦痛の追跡

1. エゼキエル 34:11-16 - 羊を救うという神の約束

2. 詩篇 23:1-4 - 主は私の羊飼い

ルカ 15:4 あなたがたのうち、百頭の羊を持っている人で、その一匹がいなくなったら、九十九匹を荒野に残して、いなくなった羊を見つけるまで追いかけない人がいるでしょうか。

この一節は、失われた人々に対する神の執拗な追跡について語り、罪人に対する神の憐れみを強調しています。

1.「神の変わらぬ愛 失われたものの追跡」

2.「羊飼いと迷える羊：慈悲の寓話」

1. エゼキエル 34:11-16 ??真の羊飼いとしての神の約束

2. エレミヤ 29:11-14 ??遺失者に対する神の計画

ルカ 15:5 そして、それを見つけたとき、彼はそれを肩の上に置き、喜びました。

□□□

1: 歴代誌下 7:14 - ?わたしの名で呼ばれるわたしの民が、へりくだって祈り、わたしの顔を求め、その邪悪な道から立ち返るなら、わたしは天からその声を聞き、彼らの罪を赦し、彼らの土地を癒すだろう。

2: ローマ人への手紙 2:4 - ?あなたは神のことを知らずに、彼の豊かな優しさ、忍耐、忍耐を軽蔑しているのですか？優しさはあなたを悔い改めに導くことを目的としていますか？

ルカ 15:8 銀貨を 10 枚持っている女性が、その 1 枚を失ったら、ろうそくに火をつけて家中を掃除し、見つかるまで熱心に捜さない人がいるでしょうか。

この一節は、失われた銀貨を熱心に探す女性について語っています。

1. 失われた者の勤勉さ: 失われた者の捜索がどのように新たな信仰につながるのか

2. 銀貨の寓話: 困難な時代にどうやって耐えるべきか

1. 箴言 24:10 逆境の日に気を失っても、あなたの力は小さい。

2. マタイ 6:33 しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

ルカ 15:9 そして、それを見つけたとき、彼女は友人や近所の人を集めて、「一緒に喜んでください。」と言いました。というのは、失くしていた欠片を見つけたからです。

大切なものを失くした女性は、それを再び見つけて喜び、友人や近所の人たちを招待して一緒に祝います。

1. 復元の喜び：失われたものが戻ってくることを祝う

2. 神様？小さなことに愛を: 平凡な中に喜びを見つける

1. 詩篇 126:3: ?主は私たちのために素晴らしいことをしてくださったので、私たちは喜びで満たされています。

2. ルカ 15:7: ?同じように、悔い改める必要のない99人の義人よりも、悔い改める一人の罪人のほうが天国ではもっと喜ぶだろうと教えてください。

ルカ 15:10 同じように、あなたがたに言いますが、悔い改める一人の罪人に対して、神の天使たちの前には喜びがあります。

罪人が悔い改めるとき、神の臨在は喜びをもたらします。

1. 悔い改めの喜び

2. 悔い改めを通して神の愛を再発見する

1. イザヤ書 1:18 - さぁ、さあ、一緒に論じましょう、と主は言われる、たとえあなたの罪が緋色であっても、それは雪のように白くなるであろう。たとえそれらが深紅のように赤くても、羊毛のように変わるだろう。

2. エレミヤ 31:34 - そして彼らは、もはやすべての人に隣人、すべての人にその兄弟を教えてはいけない、「主を知りなさい。彼らは最も小さい者から最も大きい者に至るまで、みなわたしを知るであろうからである」と、こう言われています。主：わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪をもう思い出さないからである。

ルカ 15:11 するとイエスは、「ある人に二人の息子がいました。

このイエスのたとえ話は、父親と二人の息子の物語であり、そのうちの一人は道に迷って家に帰る道を探しています。

1: イエスは私たちに、家に帰って神と再びつながるよう呼びかけます。

2: 私たちは神が必要であることを認識し、神との関係を探求しなければなりません。

1: ルカ 15:20 - そこで彼は起き上がって、父親のところに来た。しかし、彼がまだ遠く離れていたとき、父親は彼を見て同情し、走って行き、彼の首に抱きつき、キスをしました。

2: エゼキエル 16:63 - あなたがしてきたすべてのことについて、わたしがあなたに対して静められるとき、あなたは思い出し、当惑し、あなたの恥のゆえにもう口を開かないように、と主なる神は言われる。

ルカ 15:12 そこで、彼らのうちの弟が父に言った、「父よ、私に落ちた品物の分け前を私にください」。そして彼は自分の生計を彼らに分け与えた。

二人の息子の父親は自分の財産を二人に分け、次男が自分の取り分を求めました。

1. 神の子供たちへの愛: 父親の寛大さが天の御父の心をどのように反映しているか

2. お願いの力：大胆にお願いし、神の寛大な祝福を受け取ることを学ぶ

1. エペソ 3:20 - さて、私たちの内に働いている神の力に応じて、私たちが求めたり想像したりするすべてを計り知れないほど多くのことを成し遂げてくださる

方に。

2. ピリピ 4:6-7 - 何事についても心配しないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

ルカ 15:13 そして、次男が全員集まって遠い国へ旅に出てからそれほど日も経たず、そこで騒々しい生活をして体力を消耗した。

次男は遠い国で騒々しい生活をして肉体を浪費した。

1. 野生生物の危険性

2. 高い罪の代償

1. 箴言 13:15 - 「良識ある者は好意を得るが、不忠実な者の道は破滅である。」

2. ガラテヤ 6:7-8 - 「騙されないでください。神は嘲られることはありません。人が何を蒔くとしても、それを刈り取るのです。自分の肉に種を蒔く人は、その肉から腐敗を刈り取るからです。御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るでしょう。」

ルカ 15:14 そして、すべてを使い果たしたとき、その地にひどい飢きんが起きた。そして彼は困窮し始めた。

ある男が全財産を使い果たしてしまい、その土地で飢餓が発生して極貧に陥った。

1. お金を無駄にする危険性

2. あらゆる状況における満足の祝福

1. 箴言 21:20、「賢者の住まいには貴重な宝と油があるが、愚かな人はそれを浪費する。」

2. テモテ第一 6:6-10、「しかし、満足を伴う敬虔さは大きな利益です。なぜなら、私たちは世に何も持ち込まなかったし、世から何かを持ち出すこともできないからです。しかし、衣食住があれば、それがあれば私たちは大丈夫です。」コンテンツです。しかし、金持ちになりたいと願う人は、誘惑、罠、多くの無意味で有害な欲望に陥り、人々を破滅と破滅に陥らせます。なぜなら、お金への愛はあらゆる種類の悪の根源だからです。それはこの渇望によるものです。信仰から離れてさまよって、多くの苦しみで自分を刺し貫いた人もいるのです。」

ルカ 15:15 そこで彼は行って、その国の国民のところに行って合流した。そして彼を自分の畑に送り込んで豚に餌を与えた。

この一節は、家を出てお金を浪費した放蕩息子が、最終的には自暴自棄になり、豚に餌をやる仕事を引き受けるという物語です。

1. 不従順の危険: 放蕩息子から学ぶ

2. 絶望の時に神に立ち向かう：放蕩息子の物語

1. 箴言 13:13-15 「言葉を軽蔑する者は自らに滅びをもたらすが、戒めを敬う者は報われる。賢者の教えは命の泉であり、人を死の罠から遠ざけることができる。」良識は支持されるが、裏切り者の道は破滅である。」

2.マタイ 6:24 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に尽くして他方を軽蔑するかのどちらかです。神とお金の両方に仕えることはできません。」

ルカ 15:16 そして、豚が食べた皮で腹を満たしただろうが、誰も彼に与えなかった。

放蕩息子は食べ物に飢えていたので、豚が食べているものを喜んで食べました。誰も彼を助けようとしませんでした。

1. 絶望の危険: 放蕩息子から学ぶ

2. 神の憐れみ: 心の傷ついた人々をどのように気遣うか

1. イザヤ書 41:10 - ですから、恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。

2. マタイ 6:25 - ?ここで私はあなたに言います、自分の人生や何を食べるか、何を飲むかについて心配する必要はありません。または自分の体について、何を着るかについて。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？

ルカ 15:17 そして、我に返ったとき、彼はこう言いました、「父に雇われている召使のうち、何人が十分なパンを持っていて、余裕があるのに、私は飢えて死んでしまうのです。」

ある男性は、自分が切実に必要とされていることに気づき、利用できる資源が豊富にあることを思い返します。

1. 神の豊かな備え

2. 私たちの必要の深さを認識する

1. マタイ 6:31-33 「だから、『何を食べようか』と心配しないでください。」または「何を飲もうか？」または「何を着ましょうか？」「なぜなら、異邦人はこれらすべてのものを求めているからです。そして、あなたがたの天の父は、あなたがたがそれらすべてを必要としていることを知っています。しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2. ヨハネ第一 4:19 - 「主が最初に私たちを愛してくださったので、私たちは愛します。」

ルカ 15:18 私は立って父のところに行き、こう言います、「父よ、私は天に対して、そしてあなたの前で罪を犯しました。

この一節は、父親のもとに戻り、自分が犯した罪を告白する息子についての物語です。

1. 父の愛: 父は私たちをどのように許し、家に迎え入れてくれるのか

2. 罪の告白: 真の悔い改めに必要なステップ

1. ヨハネ第一 1:9 - 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」

2. マタイ 6:14-15 - 「もしあなたが他の人の罪過を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださいますが、もしあなたが他の人の罪過を許さなければ、あなたの父もあなたの罪過を赦してはくれません。

ルカ 15:19 私はもうあなたの息子と呼ばれる資格はありません。私をあなたの雇い僕の一人にしてください。

ルカ 15 章の放蕩息子は、自分の過去の行為に対する悔い改めを表明し、父親に雇われた召使いの一人になることを許可してくれるように頼みます。

1. 悔い改めの力: 邪悪な道から立ち返ることの本当の意味

2. 神の憐れみ: 父親は失われた息子をどのように歓迎するか

1. エゼキエル 18:21-23 - しかし、もし悪者が自分が犯したすべての罪から立ち直り、わたしのすべての掟を守り、合法的で正しいことを行うなら、彼は必ず生き、死ぬことはない。

2. ローマ人への手紙 5:20 - さらに、犯罪が多発するように律法が制定されました。しかし、罪があふれるところには、恵みがさらにあふれました。

ルカ 15:20 そこで彼は立ち上がって、父親のところに来た。しかし、彼がまだ遠く離れていたとき、父親は彼を見て同情し、走って行き、彼の首に抱きつき、キスをしました。

放蕩息子は父親のもとに戻り、愛と同情をもって迎えられます。

1. 神の無条件の愛 - 神の愛は、どのような状況であっても常に存在し、揺るぎないものです。

2. 悔い改めの力 - 悔い改めによって、最も壊れた関係も修復できる方法。

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヨハネ 8:1-11 - しかし、イエスはオリーブ山へ行かれました。夜が明けると、イエスは再び神殿の中庭に現れ、そこで人々全員が彼の周りに集まり、座って彼らに教えました。

ルカ 15:21 すると息子は言った、「父よ、私は天に対しても、あなたの目にも罪を犯しました。もうあなたの息子と呼ばれる資格はありません。」

息子は父親に自分の罪を告白し、自分がもはや息子と呼ばれる資格がないことを謙虚に認めます。

1. 告白の力：自分の失敗を認めることを学ぶ

2. 神の愛の深さ：すべての人に対する無条件の許し

1. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - しかし、憐れみに富んだ神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、キリストとともに私たちを生かしてくださいました（恵みによってあなたがたは救われました）。

ルカ 15:22 ところが、父親は家来たちに言った、「一番よい上着を持ってきて、それを着せなさい」。そして手に指輪をはめ、足には靴を履かせました。

この一節の父親は、過去の過ちにもかかわらず、息子に無条件の愛と受け入れを示しています。

1: 私たちがどんなに道を踏み外しても、神は常に私たちを愛し、両手を広げて受け入れてくださいます。

2: 過去がどのようなものであっても、私たちは皆、神の愛と恵みを受けるに値します。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、決して不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2: イザヤ書 43:1-3 - 主はこう言われます。耳を傾けないでください、私はあなたを救い出したからです。私はあなたの名前を呼んだ、あなたは私のものです。あなたが水域を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。わたしはあなたの神、主、イスラエルの聖者、あなたの救い主だからです。

ルカ 15:23 そして、肥えた子牛をここに連れて来て、殺しなさい。そして食べて、陽気になりましょう。

放蕩息子はごちそうを持って帰宅します。

1: おかえり: 許しと回復の喜び

2: 許しの代償: 肥えた子牛の犠牲

1: エペソ人への手紙 1:7 - ?彼において、私たちは彼の血による救い、彼の恵みの豊かさによる私たちの罪の赦しを持っています。

2: ローマ人への手紙 5:8 - ?私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことで、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

ルカ 15:24 このため、私の息子は死んでいたのに、再び生き返りました。彼は行方不明になっていたが、見つかった。そして彼らは陽気になり始めた。

この一節は、行方不明になっていた息子が見つかったときの喜びと安堵を語っています。

1: 私たちは道に迷ったとき、神の愛の中に喜びと平安を見出すことができます。

2: 神に立ち返るとき、私たちは救いの喜びを経験することができます。

1: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: 詩篇 107:13-14 - そこで彼らは苦難の中で主に叫び、主は彼らを苦しみから救ってくださいました。主は彼らを暗闇と最も深い暗闇から導き出し、彼らの鎖を打ち切りました。

ルカ 15:25 さて、長男が野原にいました。家に近づいてきたとき、音楽と踊りの音が聞こえました。

父親は音楽と踊りで放蕩息子を喜んで家に迎えました。

1. 神の無条件の愛 - 放蕩息子の帰還を祝って

2. 二度目のチャンスを受け入れる - 悔い改めの救いの力

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. イザヤ書 43:25 - 私、つまり私こそが、私自身のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない人です。

ルカ 15:26 そこで彼は、しもべの一人を呼んで、これらのことはどういう意味なのかと尋ねた。

放蕩息子が戻ってきて父親に歓迎される。

1: 神の恵みは私たちの罪よりも大きいです。

2: 私たちは神の愛から遠すぎることはありません。

1: 詩篇 103:12 - 東が西から遠い限り、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

2: エレミヤ 31:3 - 主は過去に私たちに現れてこう言われました、「わたしは永遠の愛であなたを愛し、変わらぬ優しさであなたを引き寄せました。

ルカ 15:27 するとイエスは彼に言った、「あなたの兄弟が来ました。そして、あなたの父親は、太った子牛を無事に迎え入れたので、その子牛を殺しました。

この一節は、久しぶりに息子を家に迎えた父親の喜びを語っています。彼の喜びは非常に大きく、息子の無事な帰還を祝うために肥えた子牛を犠牲にしました。

1: 私たちが神の元に帰ると、神は喜んでくださいます。

2: 主の喜びが私たちの力です。

1: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2: 詩篇 51:12 - あなたの救いの喜びを私に取り戻してください。そしてあなたの自由な精神で私を支えてください。

ルカ 15:28 すると彼は怒って中に入ろうとしなかったので、父親が出てきて彼を懇願した。

放蕩息子の父親は、家に帰ってくるよう懇願するために外に出ました。

1. 父の心の愛と忍耐

2. 和解の力

1. エペソ人への手紙 4:32?キリストにおいて神があなたを赦してくださったように、私たちは互いに親切で思いやりがあり、お互いを許します。

2. ローマ人への手紙 8:35-39?どうすれば私たちをキリストの愛から引き離すことができるでしょうか？トラブル、苦難、迫害、飢餓、裸、危険、剣などあるでしょうか？書かれているとおり：あなたのためでなければ、私たちは一日中死に直面しています。私たちは屠られる羊とみなされています。??いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神を通して、私たちは征服者以上の存在なのです。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物のいかなるものも、私たちを神の愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスのうちにあるのです。

ルカ 15:29 すると彼は父親に言った、「わたしはこれまで何年もあなたに仕えてきましたが、いつでもあなたの戒めに背くことはありませんでした。それなのに、あなたは私が友達と楽しく過ごすために、私に子供を与えてくれませんでした。

息子は父親に、自分は命令を一度も破ったことがないのに、友達と一緒に祝う子供を与えられたことがないと告白します。

1: 父親の愛と養分は決して当然のことと考えてはなりません。

2: 神の恵みと憐れみは私たちのパフォーマンスに基づくものではありません。

1: エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2: ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。

ルカ 15:30 ところが、売春婦たちとあなたの生活を食い荒らしたあなたの息子が来るとすぐに、あなたは彼のために肥えた子牛を殺されました。

父親には売春婦に富を浪費した息子がいましたが、それでも父親は息子を家に迎え、肥えた子牛を殺してお祝いしました。

1. 父の無条件の愛 - 放蕩息子の帰還を祝って

2. 悔い改めの本当の意味 - 許しと憐れみを受けることを学ぶ

1. マタイ 18:21-35 - 容赦のない僕のたとえ

2. ホセア書 14:1-3 - 悔い改めと回復への神の招き

ルカ 15:31 するとイエスは言った、「息子よ、あなたはいつも私と一緒にいます。私の持っているものはすべてあなたのものです。」

父と息子が和解し、父は息子に、自分はいつも一緒にいる、自分のものだけがすべてだと告げる。

1. 放蕩息子：許しを通じて和解を見つける

2. 父親の愛：無条件で終わりのない絆

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. エペソ人への手紙 3:14-17 - このようなわけで、私は天と地のすべての家族の名前の由来となっている父の前に膝をかがめます。キリストが信仰を通してあなたの心の中に住まわれるように、あなたの内なる存在の中に神の御霊を宿してください。愛に根ざし、愛に根ざしているあなたが、すべての聖徒たちとともに広さ長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、知識を超えたキリストの愛を知り、すべての愛で満たされることを願っています。神の満ち足りさ。

ルカ 15:32 私たちは喜んで喜ぶべきでした。あなたの兄弟は死んでいたのに、生き返ったのです。そして失われていたのに見つかった。

この一節は、亡くなった愛する人と再会する喜びを私たちに教えてくれます。

1：再会の喜びを喜ぶ

2: 私たちが持っているものの価値を知る

1: ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ者たちとともに喜び、泣く者たちとともに泣きなさい。

2: ヨハネ 14:27 - わたしはあなたたちに平安を残し、わたしの平安をあなたたちに与えます。世が与えるのではなく、私があなたたちに与えます。心を騒がせてはいけないし、恐れてはいけない。

ルカ 16 章には、管理人、富、死後の世界に関するイエスの教えが含まれており、抜け目のない管理人のたとえやラザロと金持ちのたとえが含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスが弟子たちに「抜け目ない管理人のたとえ」を語られるところから始まります。このたとえ話では、金持ちのマネージャーが財産を浪費したとして告発されました。自分が職を失いそうになったことを知ったとき、彼は主人の債務者一人一人に電話し、借金を減額して、主人が職を失ったときに家に迎え入れられるようにした。主人は彼の抜け目ない行動を褒めた。イエスはこのたとえ話を用いて、世の富を自分の友を得るために利用するように弟子たちに教えました。そうすれば、それがなくなったときに永遠の住まいに迎え入れられるようになります（ルカ 16:1-9）。彼はさらに、少ないもので信頼できる人は多くのことでも信頼できるが、少ないもので不誠実な者は多くのことでも不誠実になることを強調しました（ルカ16:10-12）。

第 2 段落: 富と管理についての教えを続けて、イエスはこう言われました。「召使いは二人の主人に仕えることはできません。一方を憎み、一方を愛するか、一方を献身的に軽蔑し、一方を軽蔑するかのどちらかで、両方の神にお金を仕えることはできません。」お金を愛するパリサイ人たちは、このすべてを聞いてイエスをあざ笑っていましたが、イエスは彼らに、神の目から見て忌むべき人々の中で何が高く評価されているかを語られました(ルカ16:13-15)。それからイエスは、律法預言者がヨハネまで公布され、それ以来良いたよりの王国が宣べ伝えられ、誰もがその道を無理に押し進められ、天の地は最小のストロークよりも簡単に消え、文字の法律が抜け落ち、永続する性質を示す神の言葉、道徳基準を指摘しました（ルカ16:16-18）。

第 3 段落: この章の最後に、イエスはラザロにたとえ話をされました。金持ちは、富に関係する結果の選択を示しています 死後の世界 慈悲深いラザロという名前の貧しい男が傷を覆い、門に横たわっています 金持ちは、金持ちのテーブルから落ちたものを食べることを望んでいます 犬さえも彼の傷を舐めに来ました ラザロが死ぬ時が来ました天使たちは彼を運びました アブラハムの傍らの金持ちも死にました 苦しみを見上げた場所で、アブラハムがラザロの遠くから傍らにいたのを見た埋もれた地獄は、「アブラハム神父よ、私がラザロに送るのを憐れんでください、私は苦しみの火なので、指の先端を水に浸し、私の舌を冷やしてください。」と呼ばれました。しかし、アブラハムはこう答えました。「生涯で良いものを受け取ったのに、ラザロは悪いものを受け取ったということを思い出してください。今はここで慰められています。私たちの間には大きな溝があり、ここから行きたい人は誰も私たちを越えることはできません。」そこで金持ちは父親に、5人の兄弟が苦しみの場に来ないようにラザロに警告させるよう頼んだが、アブラハムは「彼らはモーセの預言者に聞かせてもらっている」と言いました。「アブラハム父は違います。しかし、もし誰かが死者の中から去って行ったら、彼らは悔い改めるでしょう。」と彼は言いました。しかし、「モーセの預言者たちの言うことを聞かなければ、誰かが死からよみがえるとしても、彼らも納得しないでしょう」と答えました（ルカ 16:19-31）。この物語は、永遠の運命に基づいた地上の態度、特に物質的な所有物に対する行動、恵まれない扱いをはっきりと対比させており、また、素晴らしい兆候を求めるのではなく、奇跡を求めるよりも神の啓示の経典に応答することの重要性を強調しています。

ルカ 16:1 そしてイエスは弟子たちにも言われた、「ある金持ちがいて、そこに家令がいた。そして同じように、自分の財産を無駄にしたと非難された。

イエスは弟子たちに、ある金持ちと、その男の財産を浪費したとして告発された家令についてのたとえ話を話されました。

1. 無駄遣いの危険性

2. スチュワードの責任

1. 箴言 21:20 - 「賢者の住まいには、望むべき宝と油があるが、愚かな人はそれを使い果たしてしまう。」

2. コリント人への第二の手紙 8:7 「ですから、あなたがたは、信仰、言葉、知識、あらゆる勤勉さ、そして私たちへの愛において、すべてのことに豊かであるように、この恵みにも豊かであるように気をつけてください。」

ルカ 16:2 そこで、イエスは彼を呼んで言った、「どうしてあなたからこんなことを聞くのですか」。あなたの管理責任について説明してください。あなたはもう

執事ではないかもしれないからです。

管理人は主人から、主人の所有物の管理について責任を問われます。

1. スチュワードシップの説明責任

2. 主人の召使いに対する信頼

1. マタイ 25:14-30、タラントのたとえ

2. 箴言 3:4-5、心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。

ルカ 16:3 そこで家令は心の中でこう言いました。私の主が私から管理職を奪うからです。私は掘ることができません。懇願するのは恥ずかしいです。

スチュワードは、主人が彼をその地位から外した今、何をすべきかを考える必要がある。彼は肉体労働ができず、物乞いをするのが恥ずかしい。

1. 神は私たちの最も困難な状況から抜け出す方法を備えてくださいます。

2. 恥や屈辱に直面したときに神を信頼する。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください。わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを強めます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます」私の正義について。」

2. 詩篇 50:15 - 「そして苦難の日に私を呼んでください。私はあなたを救い出します、そしてあなたは私に栄光をもたらすでしょう。」

ルカ 16:4 私は、管理職から外されたときに、彼らの家に私を迎え入れるために、どうすればよいか決心しています。

ルカ 16 章 4 節の管理人は、その役割から外されることを予期して、友人たちが彼を家に迎え入れるために何をすべきかを決定します。

1. 事前に計画を立てることの重要性

2. 困難なときの人間関係の力

1. マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2. 箴言 6:6-8 - 「怠け者よ、アリのところに行け。彼女のやり方を考慮して、賢明になってください。首長も役人も統治者も持たずに、彼女は夏にパンを準備し、収穫の際に食物を集めます。」

ルカ 16:5 そこで彼は、主君の債務者を一人残らず呼び集めて、最初の者に、「あなたは主君にいくら借りがありますか」と言った。

不正な管理人のたとえ話は、資源を賢く使うことの重要性を強調しています。

1. 与えられたものを最大限に活かす

2. 資源の管理

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ

2. コリント第一 4:1-2 - 神の奥義を委ねられる

ルカ 16:6 そこでイエスは、「油百メジャー」と言った。そこで彼は彼に言った、「請求書を受け取って、急いで座って、50枚書きなさい」。

ある金持ちの男が家令に清算を依頼したところ、家令は債務者の借金額を半分に減額することを提案した。

1. 私たちは寛大であり、借りのある人たちに慈悲を示すべきです。

2. 私たちは、自分の経済的な備えではなく、神に頼るべきです。

1. 詩篇 37:25 – 私は若かったが、今は年をとった。しかし、私は義人が見捨てられたり、その子供たちがパンを乞うのを見たことがありません。

2. マタイ 6:33 – しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてのものはあなたに加えられるでしょう。

ルカ 16:7 それから彼は他の人に言った、「では、あなたにはいくら借りがありますか。」そして彼は言った、「小麦百俵」。そして彼は彼に言った、「あなたの請求書を受け取って、4スコアを書いてください」。

金持ちは二人目の召使にいくら借りがあるのかと尋ねると、召使は小麦百メジャーの借金があると答えた。金持ちは彼に借金を80小節まで減らすように言いました。

1. 神は憐れみと許しの神であり、私たちが他の人にも同じ恵みを与えることを期待しています。

2. 私たちは、与えられた資源を賢明に管理するよう努めるべきです。

1. ルカ16:7-8

2. エペソ人への手紙 4:7-8 「しかし、恵みは、キリストが割り当てられたとおり、私たち一人一人に与えられています。それが、「彼は高いところに昇られたとき、多くの捕虜を捕らえ、その民に贈り物を与えた」と書かれている理由です。

ルカ 16:8 そして主は、その不正な管理人が賢明な行いをしたからと褒めた。なぜなら、この世の子供たちは、彼らの世代では光の子供たちよりも賢明だからである。

主は不正な管理人が賢明な行動をとったと称賛されました。彼は、世俗的な人々は信仰を持つ人々よりも賢明である可能性があることを示しました。

1. 世俗の知恵の危険性: 洞察力を持って資源を活用する

2. 忠実な管理の価値: 私たちの時間と才能を最大限に活用する

相互参照:

1. エペソ 5:15-17 - それでは、自分の生き方に非常に注意してください。賢くないのではなく賢いように、あらゆる機会を最大限に活用してください。悪しき日々が続いているからです。

2. 箴言 11:30 - 正しい者の実は命の木、知恵のある者は命を救う。

ルカ 16:9 そこで、あなたがたに言います、不正の富の友を作りなさい。それは、あなたがたが失敗したとき、彼らはあなたを永遠の住まいに迎え入れるためである。

イエスは追随者たちに、自分の持っている資源を他の人との関係を築くために使うよう勧めています。そうすれば、たとえ自分の資源が使えなくなっても、永続的なつながりを築くことができます。

1. 「マモンと友達になる: 長く続くつながりを築く方法」

2. 「リソースを賢く使う: 持続的な関係を育む方法」

1. 伝道の書 4:9-12 - 「二人は一人よりも優れています。彼らはその働きに対して良い報酬を持っているからです。彼らが倒れても、一人が仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れるときに一人である人は不幸です。なぜなら、彼には助けてくれる人が他にいないからです。また、二人が一緒に横たわれば、彼らは熱を持つ

ことができます。しかし、どうやって一人だけで暖かくなることができますか？そして、一人が彼に勝つなら、二人は彼に抵抗するでしょう、そして三重の紐はすぐには切れません」。

2. マタイ 6:24 - 「人は二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、さもなければ一方に固執して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。あなたがたは神と富に仕えることはできません。」

ルカ 16:10 最も小さいことに忠実な者は、多くのことにも忠実であり、最も小さいことに不正を行う者は、多くのことにも不正を行います。

この箇所は、小さな事柄に忠実な人はより重要な事柄にも忠実であり、小さな事柄において不正義である者は、より重要な事柄においても不正義であることを強調しています。

1. 人生の小さなことに忠実であることの価値

2. 些細なことでも正しい選択をする

1. 箴言 21:3 - 正義と裁きを行うことは犠牲よりも主に受け入れられます。

2. 1 コリント 4:2 - さらに、管理人には忠実であることが求められます。

ルカ 16:11 ですから、もしあなたがたが不正な富に忠実でなかったとしたら、誰があなたに真の富を委ねるでしょうか。

イエスは、たとえ不義な事柄であっても忠実であることの重要性を強調しています。これは、私たちが真の富を与えられているという信頼性を示しているからです。

1.「不義の世界で忠実に生きる」

2.「不正な拝金主義に対して忠実であることの価値」

1. コリント人への第一の手紙 4:2 - 「今、信頼を与えられた人は忠実であることを証明することが求められています。」

2. テトス 2:7-8 - 「すべてのことにおいて、善いことを行って彼らに模範を示してください。あなたの教えでは、非難されることのない誠実さ、真剣さ、そして健全な言葉遣いを示してください。そうすれば、あなたに反対する人々が恥じ入るかもしれません。私たちについて悪いことは何も言えません。」

ルカ 16:12 もしあなたがたが他人のものに忠実でなかったとしたら、誰が自分のものをあなたに与えるでしょうか。

イエスは、神は私たちの忠実さに報いてくださるので、私たちに委ねられたことに忠実であることが重要であると教えています。

1. 忠実さの力 - 私たちの忠実さがどのように神の祝福につながるのか

2. 忠実であることの祝福 - 忠実であることが神からどのように報いをもたらすか

1. 箴言 3:9-10 - あなたの富とすべての産物の初穂をもって主を敬え。そうすれば、あなたの納屋はたくさんのワインで満たされ、あなたの桶はワインでいっぱいになるでしょう。

2. マタイ 25:23 - 彼の主人は彼に言った、「よくやった、善良で忠実な僕よ」。あなたは少しの間は忠実でした。私はあなたに多くのことを課します。主人の喜びの中に入ってください。

ルカ 16:13 僕は二人の主人に仕えることはできません。どちらかが一方を憎み、他方を愛するからです。さもなければ、彼は一方に固執し、他方を軽蔑するでしょう。あなたがたは神と富に仕えることはできない。

この一節は、利益相反や不誠実を招くため、二人の主人に仕えることはできないことを強調しています。

1: 私たちは世界の魅力に惑わされず、心、思い、魂を尽くして主に仕えることを選択しなければなりません。

2: 私たちは世の貪欲や物質主義に誘惑されず、神に仕えることに集中し続けるように注意しなければなりません。

1: マタイ 6:24 だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。

2: ヤコブ 4:4 姦淫する者たちよ。世との友情は神との敵対であることを知らないのか？したがって、世の友人でありたいと願う者は、自らを神の敵にしてしまうのです。

ルカ 16:14 また、貪欲なパリサイ人たちも、これらすべてのことを聞いて、彼をあざ笑った。

パリサイ人たちはイエスがお金や財産について教えていることを嘲笑しました。

1: 私たちの所有物が私たちを定義してはなりません。

2: 物質的な富の追求は、永続的な喜びや満足への道ではありません。

1: マタイ 6:19-21 「あなたがたは、蛾や害虫が滅ぼし、盗人が押し入って盗む地上に宝を蓄えてはいけません。むしろ、蛾や害虫が滅ぼさない天に宝を蓄えなさい。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

2: テモテ第一 6:6-10 「しかし、満足を伴う敬虔さは大きな利益です。私たちは世に何ももたらしませんでしたし、そこから何も取り出すことはできません。しかし、衣食住があれば、私たちはそれで満足します。」金持ちになりたい人は、誘惑と罠に陥り、多くの愚かで有害な欲望に陥り、人々を破滅と破滅に陥らせます。なぜなら、お金への愛は、あらゆる種類の悪の根源だからです。お金に熱心で、放浪している人もいます。信仰から離れ、多くの悲しみで自分自身を刺しました。」

ルカ 16:15 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたは人の前で自分を正当化する者たちです。しかし、神はあなたがたの心をご存じです。人々の間で高く評価されているものは、神の目には忌まわしいものだからです。

イエスは弟子たちに、人々は自分たちの行動を正当なものとみなすかもしれないが、神は心の状態を見ておられ、人々が高く評価するものは神にとって忌まわしいものであると警告されました。

1. 神ではなく人間からの承認を求めることの危険性。

2. 私たちは自分の義の基準を神に求めなければなりません。

1. 箴言 16:2 - 「人の道はすべてその人の目には清いが、主はその霊を量られる。」

2. サムエル第一 16:7 - 「しかし、主はサムエルに言われた、『わたしが彼を退けたから、彼の容姿や背の高さを気にするな』。主は人々が見ているものを見ません。人は外見を見ますが、主は心を見ます。」

ルカ 16:16 律法と預言者はヨハネの時代まで存在しました。その時以来、神の国が宣べ伝えられ、すべての人がそこに押し入っています。

律法と預言者はバプテスマのヨハネの時代まで有効でしたが、その後、神の国が宣べ伝えられ、多くの人に受け入れられました。

1.神の王国：約束の地を受け入れ、そこに入る

2. 洗礼者ヨハネの時代: 古い契約から新しい契約への移行

1. マタイ 3:2 - 「悔い改めなさい、天の御国は近づいた」

2. マタイ 4:17 - 「その時から、イエスは『悔い改めなさい、天の国は近づいた』と宣べ伝え始められた。」

ルカ 16:17 そして、律法の一部分が失敗するよりも、天と地が通過する方が簡単です。

イエスは、神の律法のほんの小さな部分でさえ無視してはいけないと強調されました。

1. 言葉の力: 神の法則を理解し、適用する

2. 律法の遵守: 祝福された人生への鍵

1. 詩篇 19:7-8 – 「主の律法は完全であり、魂を生き返らせます。主のあかしは確かであり、単純な人を賢くする。主の戒めは正しく、心を喜ばせます。主の戒めは清く、目を啓発します。」

2. ヤコブ 1:22-25 – 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞く者ではなく実行する者は、その行いにおいて祝福されるであろう。」

ルカ 16:18 妻を離別して他の人と結婚する者は姦淫を犯し、夫から離別された妻と結婚する者は姦淫を犯します。

イエスは離婚も再婚も姦淫行為であると教えています。

1. 不倫が人間関係に与える影響

2. 離婚の結果

1. マラキ書 2:13-16 - 離婚の危険についての神の警告

2. マタイ 19:4-9 - 結婚と離婚に関するイエスの教え

ルカ 16:19 ある金持ちがいて、紫と上質の亜麻布を着て、毎日贅沢に暮らしていました。

この一節は、豪華な衣服を着て、毎日豊かな食べ物を食べていた金持ちについて語っています。

1: 自分が与えられている祝福に留意し、自分の資源を責任を持って使用することが重要です。

2: 私たちは人生で与えられた祝福に感謝し、それを他の人に奉仕するために使うことを忘れてはならない。

1: ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。

2: テモテ第一 6:17-19 - この世で富んでいる人々に、高ぶることなく、不確実な富に頼るのではなく、私たちに享受できるすべてのものを豊かに与えてくださる生ける神に頼るように命じてください。彼らは善を行っており、善行に富んでおり、配布する準備ができており、積極的にコミュニケーションを図っていること。永遠の命を掴むことができるよう、来るべき時に備えて良い基盤を自分たちのために備えておきます。

ルカ 16:20 そこで、ラザロという名の物乞いがいたが、彼は傷だらけで門のところに横たわっていた。

物乞いのラザロは、ただれに苦しんで裕福な男の門の前に横たわっていました。

1. 思いやりの力: 困っている人にどう対応するか

2. 義にかなった生き方: 寛大さの重要性

1. マタイ 25:35-40 - 私がお腹を空かせていたのに、あなたは食べ物を与え、喉が渇いていたのに飲み物を与え、見知らぬ私を歓迎してくれました。

2. 申命記 15:7-11 - あなたの神、主があなたに与えようとしているあなたの土地内のあなたの町のいずれかで、あなたの兄弟の一人が貧乏になったとしても、あなたは心をかたくなにし、あなたの兄弟に対して手を閉ざしてはならない。可哀想な弟。

ルカ 16:21 そして、金持ちの食卓から落ちたパンくずを食べさせようとしたところ、犬たちがやって来て、彼の傷口をなめました。

貧乏人は金持ちのテーブルから落ちたパンくずを欲しがり、犬までが傷口を舐めに来た。

1. 絶望的な時代における信仰の力

2. 貧しい人々や苦しんでいる人々に対するイエスの憐れみ

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」

2. マタイ 15:22-28 - 「見よ、その地域から来たカナン人の女が出てきて、「主よ、ダビデの子よ、私を憐れんでください。私の娘が悪霊にひどく虐げられています。」と叫んでいました。しかし、イエスは彼女に一言も答えなかったので、弟子たちがやって来て、「彼女を追い払ってください。彼女は私たちを追いかけて叫んでいるからです。」と懇願しました。「私はただイスラエルの家の失われた羊のところに遣わされたのです」と彼は答えました。しかし彼女はやって来て、彼の前にひざまずいて、「主よ、助けてください」と言った。すると彼は、「子供たちのパンを取り上げて犬に投げるのは間違っている」と答えました。彼女は言いました「そうです、主よ、それでも犬ですら主人の食卓から落ちるパンくずを食べます。」するとイエスは彼女に答えられました、「おお婦人よ、あなたの信仰はすばらしいですね。あなたの望み通りに成りますように。」そして娘はすぐに治りました。」

ルカ 16:22 そこで、物乞いは死んで、天使たちによってアブラハムの懐に運ばれた。金持ちも死んで、埋葬された。

この箇所は、物乞いが死んでアブラハムの懐に運ばれ、金持ちが死んで埋葬された出来事を語っています。

1. 「寛大な人生を生きる: アブラハムの懐からの教訓」

2.「死の現実と天国への希望」

1. ローマ 8:18-25 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。

2. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟たち、信仰はあるが行ないをする人がいるとしたら、それが何の役に立つでしょうか。その信仰が彼を救うことができるでしょうか？

ルカ 16:23 そして、地獄で彼は苦しみながら目を上げ、遠くにアブラハムとその胸にラザロが見える。

地獄で、苦しみの中にいる男が、天国にいるアブラハムとラザロを見た。

1: 私たちは天国でアブラハムとラザロに加わることができるように、神のご意志に従って生きるよう努めるべきです。

2: 私たちの地上での人生は短く、私たちは皆死後に裁きを受けることになります。

1: マタイ 25:31-46 - 羊とヤギのたとえ。

2: 伝道の書 9:10 - 自分の手にやりたいことは何でも、全力を尽くしてやりなさい。

ルカ 16:24 そこで彼は叫んで言った、「アブラハム父よ、私を憐れんでください。ラザロを送ってください。指先を水に浸して私の舌を冷やしてください。」私はこの炎の中で苦しめられているからです。

地獄にいる金持ちは、アブラハム神父に、自分の苦しみを和らげるためにラザロを送ってほしいと懇願します。

1. 同情の重要性: ルカ 16:24 の研究

2. 貪欲の結果: ルカ 16:24 の研究

1. ヤコブ 2:13-17 - 行いのない信仰は死んだものです

2. マタイ 25:31-46 - 羊とヤギのたとえ

ルカ 16:25 しかし、アブラハムは言った、「子よ、あなたは生前に良いものを受け、ラザロからも同様に悪いものを受けたことを思い出してください。しかし今、彼は慰められ、あなたは苦しめられています。」

アブラハムはあの世で金持ちに語りかけ、自分には良いことがあったが、ラザロには悪いことがあったと告げますが、今ではラザロは慰められ、金持ちは苦しんでいます。

1. 神の正義は死後の世界でも見られる - ルカ 16:25

2. 自分より恵まれない人たちに対して寛大で思いやりのある心を忘れないでください - ルカ 16:25

1. ヘブライ人への手紙 9:27 - 人間には一度死ぬことが定められているが、その後には裁きが下される

2. ヤコブ 2:13-17 - 憐れみを示さない者には裁きは容赦ないからです。慈悲は裁きに打ち勝ちます。

ルカ 16:26 このようなことのほかに、私たちとあなたがたの間には、大きな隔てがあり、そこからあなたがたのところへ行くことはできません。そこから来るであろう彼らが私たちに渡ることもできません。

救われた者と救われていない者の間には大きな隔たりがあり、彼らが越えることはできなかった。

1: 一度死ぬと二度目の救いのチャンスはないので、私たちは地上での時間を自分の永遠の魂に投資するために使わなければなりません。

2: 一度大きな溝が固定されると、一方の側からもう一方の側に渡る可能性はなくなるので、人は死ぬ前に救われるよう努力しなければなりません。

1: ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2: 使徒 16:31 - 「そして彼らは言った。『主イエス・キリストを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家も救われるでしょう。』」

ルカ 16:27 それから彼は言った、「父よ、どうかお願いです。父の家に送ってください。」

金持ちは神に、父親の家に使者を送ってくれるように頼みました。

1. 状況がどんなに困難に見えても、神にとってはすべてのことが可能です。

2. 神は愛に満ちた父であり、私たちの祈りを聞いて答えてくださいます。

1. マタイ 7:7-8 - 「求めなさい、そうすれば与えられるでしょう。探しなさい、そうすれば見つかります。ノックすれば、開かれます。求める者はみな受けます。そして求める者は見つけます。そして、ノックする者には開かれるであろう。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも気をつけなさい。しかし、どんなことにおいても、感謝を込めて祈りと願いをささげることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、人知を超えた神の平安が、あなたがたの心と心を保ってくれるでしょう。」キリスト・イエスを通して思いを馳せるのです。」

ルカ 16:28 私には五人の兄弟がいます。それは、彼らがこの苦しみの場に来ることのないように、彼らに証言してもらうためである。

イエスは5人の兄弟について語り、苦しみの場を避けるよう警告しました。

1. 警告の力: イエスの言葉に耳を傾ける

2. 家族の価値: 愛と信仰を通じて団結する

1. 箴言 22:3 - 賢者の心は口を導き、唇は教えを促す。

2. ガラテヤ 6:1-2 - 兄弟姉妹の皆さん、もし誰かが罪に陥っているなら、御霊によって生きるあなたがたは、その人を優しく回復させるべきです。しかし、気を付けてください。そうしないと誘惑に遭うかもしれません。お互いの重荷を担いなさい、そうすることでキリストの律法を全うすることになるのです。

ルカ 16:29 アブラハムは彼に言った、「彼らにはモーセと預言者がいます。彼らに聞かせてください。

アブラハムはたとえ話の中で金持ちに、モーセと預言者に耳を傾けてほしいと告げます。

1. 聞くことを学ぶ：モーセと預言者の知恵

2. 他の人に手を差し伸べる: 神の言葉を聞く力

1. 詩篇 119:105: 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2. ヨシュア記 1:8: 「この律法の書はあなたの口から離れず、昼も夜もそれを黙想し、そこに書かれているすべてのことを注意深く行うようにしなければなりません。そうすれば、あなたは自分の道を豊かにし、良い成功を収めることができるからです。」

ルカ 16:30 そこで彼は言った、「いや、父アブラハム。しかし、死者の中から彼らのところに行く人なら、彼らは悔い改めるでしょう。」

金持ちは、もし死者の中から誰かが訪ねてきたら、故郷の人々が悔い改めることを望んでいます。

1. 復活の力: 神の愛がすべてを克服する方法

2. 悔い改めの緊急性: 手遅れになる前に許しを求める

1. エゼキエル 18:30-32 「だから、イスラエルの家よ、わたしはあなたを裁く、人はみなその道に従って、と主なる神は言われる。」悔い改めて、すべての罪から立ち去りなさい。そうすれば、不法行為があなたの破滅となることはありません。あなたが犯したすべての罪をあなたから捨て去りなさい。そして、あなたを新しい心と新しい霊にしてください。イスラエルの家よ、なぜあなたがたは死ぬのですか？「わたしは死ぬ者の死を喜ばないからである、と主なる神は言われる、だから立ち返って生きなさい。」

2. 使徒 2:36-38 - 「ですから、イスラエルの家全員に、あなたがたが十字架につけたのと同じイエスを、神は主でありキリストとしてくださったことを、確実に知らせてください。さて、これを聞いたとき、彼らは心を刺されて、ペテロと他の使徒たちに言った、「皆さん、兄弟たち、どうしましょうか。」そこでペテロは彼らに言った、「悔い改めて、罪の赦しのためにあなたがた一人一人、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすればあなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう。」

ルカ 16:31 そこでイエスは言った、「モーセと預言者の言うことを聞かなければ、たとえ死者の中からよみがえったとしても、彼らも説得されないだろう」。

イエスは、人々がモーセや預言者の教えに聞かない限り神に立ち返らないことを説明するために、たとえ話をされました。

1. 神の言葉への従順の必要性

2. 神の御心に従う説得力

1. イザヤ書 55:3 - 「耳を傾けて、わたしのもとに来なさい。聞いてください。そうすればあなたの魂は生きるでしょう。そしてわたしはあなたと永遠の契約を結びます。それはダビデの確かな憐れみです。」

2. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

ルカ 17 章には、赦し、信仰、奉仕、神の国の到来に関するイエスの教えが含まれています。そこにはイエスが 10人のらい病人を治したという記述も含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスが弟子たちに他人に罪を犯させることについて警告するところから始まります。彼は、幼い者をつまずかせるよりは、石臼を首に掛けられて海に投げ込まれた方が良いと彼らにアドバイスしました（ルカ17:1-2）。また、たとえそれが1日に7回であっても、罪を犯した兄弟や姉妹を叱責し、悔

い改めたときに許すことの重要性についても教えました(ルカ17:3-4)。弟子たちが信仰を強めるようイエスに求めたとき、からし種ほどの小さな信仰があれば、桑の木を根こそぎ引き抜いて海に植えるよう命じても、桑の木は従うだろうとイエスは言われました（ルカ17:5-6））。

第 2 段落: イエスは弟子たちへの教えを続けながら、一日中畑で働いたり、羊の世話をした使用人が、自分が休んで食事をする前に主人のために夕食の準備をすることを期待されているという例えを用いて義務について話されました。主人は、期待されたことをしてくれた召使たちに感謝しません。同様に、私たちが命じられたことをすべてやったときは、こう言うべきです。私たちは義務を果たしただけです」と、報酬の評価を期待することなく、謙虚な従順を強調しました（ルカ 17:7-1 0）。

第 3 段落: エルサレムに向かう途中、ガリラヤのサマリアとの国境を通ったとき、遠くに立っている 10 人のらい病患者に会い、「イエス様、私たちを憐れんでください!」と叫びました。彼らを見て、彼は「司祭たちに見せに行ってください」と言った。行ったとき、彼らは清められましたが、戻ってきたのは一人だけで、神に感謝しました。サマリア人はイエスの足もとに身を投げて感謝したため、イエスは「10人全員が清められたのではないか？」と尋ねました。他の9つはどこですか？この外国人以外に神を讃美して戻ってきた者はいないのか？』それから彼は、「立ち上がって、あなたの信仰があなたを元気にしました」と言い、民族的宗教的背景に関係なく、全体性の癒しに不可欠な部分である感謝の気持ちを示しました（ルカ 17:11-19）。神の王国はいつ来るのかというパリサイ人の質問に答えて、神の王国は観察されたものではなく、人々が「ここにある」「そこにある」と言うものでもありません。なぜなら、あなたがたの中にある王国の神は、物理的な地理的領域ではなく、精神的な性質の王国を示しているからです(ルカ17:20) -21)。ついに談話が来る 息子マンは、人々が食べて、飲んで、結婚して、結婚させられて、買い、売り、植えて、建物を建てていた日々を、突然の破壊が起こるまで、弟子たちに世俗の所有物への憧れを戒め、一度手で鋤を入れたら、命を守ろうとする者は負けると結論づけたノア・ロットの日々を比較した。負けた者はそれを保持する 逆説的な性質を指している 真の人生は自分自身を失うことを発見しました王国の子 人は再び来ます 空を横切って点滅する稲妻のように、まるで日々のように誰もが見ることができます ノア・ロト、突然予期せぬ挑戦、自己満足、準備の無さ ルカ 17:22-37）。

ルカ 17:1 それからイエスは弟子たちに言われた、「罪が起こることはあり得ないが、罪が来るのは彼にとって不幸なことである。」

犯罪が起こり、それを引き起こす者には災いが降りかかります。

1. 犯罪の危険性: トラブルの原因にならないようにするには

2. 謙虚さの重要性: エゴを抑制する

1. ヤコブ3:1-12 - 舌の力

2. 箴言 16:18 – 高慢は滅びに先立つ

ルカ 17:2 この小さな者たちの一人を傷つけるよりは、石臼を首に掛けられ、海に投げ込まれた方が彼にとっては良かった。

無実の人々に対する犯罪は軽視されるべきではありませんが、実行した場合は深刻な結果が予想されます。

1: 神は罪のない人々の保護を真剣に受け止めます。私たちも同じようにしなければなりません。

2: 罪のない人を決して軽々しく侮辱してはなりません。それは深刻な結果をもたらすからです。

1: マタイ 18:6-7 「しかし、わたしを信じるこれらの小さな者たちの一人を怒らせる者がいるなら、石臼を首に掛けられ、海の深みに沈められた方が、その人にとっては良いことである。」

2: 箴言 17:15 「悪人を義とする者、正しい者を非難する者、両者とも主は憎むべき者である。」

ルカ 17:3 あなたがたは気をつけなさい。もしあなたの兄弟があなたに対して不法行為をしたなら、彼を叱責しなさい。そして彼が悔い改めるなら、彼を許しなさい。

この聖句は、私たちに不当な扱いをした人たちを赦し、彼らが間違っている場合には叱責するよう教えています。

1. 許しの力 - 許し、癒す強さを見つける方法

2. 愛を持って叱責する - 立ち上がって親切に声を上げる方法

1. マタイ 18:21-22 - それからペテロがイエスのところに来て尋ねました。「主よ、私に対して罪を犯した人をどれくらい許すべきですか。7回？"イエスは答えられました。「いいえ、7回ではなく、77回です！」

2. ローマ 12:17-19 - 誰に対しても悪に悪を返してはなりません。誰の目にも正しいことを行うよう注意してください。できることなら、それはあなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。親愛なる皆さん、復讐をしないでください。しかし、神の怒りが来る余地を残しておきなさい。こう書かれているからですわたしが報います」と主は言われます。

ルカ 17:4 そして、もし彼が一日に七回あなたに対して罪を犯し、そして一日に七回再びあなたに立ち向かい、こう言いました。あなたは彼を許してください。

イエスは、たとえそれが一日に何度も起こったとしても、私たちに対して罪を犯した人を赦すようにと教えています。

1.「許しの力」

2. 「許しはいかにして私たちを自由にするか」

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「そして、キリストにあって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、赦し合いなさい。」

2. コロサイ 3:13 - 「互いに忍び合い、誰かが他の人に対して不平を言うなら、許し合いなさい。キリストがあなたがたを赦してくださったように、あなたもそうしなければなりません。」

ルカ 17:5 そこで使徒たちは主に言った、「わたしたちの信仰を増し加えてください。」

使徒たちはイエスに信仰を強めるように願いました。

1. 信仰は神からの贈り物であり、それによって私たちは神を信頼し、信じることができるようになります。

2. 私たちは謙虚に神に願い、信仰の導きを助けてくださるよう神に求めるべきです。

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ヤコブ 1:5-6 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。しかし、疑うことなく、信仰を持って尋ねましょう。疑う人は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからです。

ルカ 17:6 すると主は言われた、「もしあなたがからし種一粒のような信仰を持っているなら、このスズカミの木にこう言うかもしれない、『根を抜かれ、海に植えられなさい。あなたは根を抜かれなさい。あなたは海に植えられなさい。』」そしてそれはあなたに従うべきです。

イエスは信者たちに神の力への信仰を奨励し、からし種ほどの小さな信仰があれば、スズカミの木に話しかければ従うだろうと語られました。

1. からし種ほどの小さな信仰：山を動かす神の力

2. 信仰の力: 信じれば奇跡が起こる

1. マタイ 17:20 – 「彼は答えました。「あなたは信仰があまりにも薄いからです。真実に言いますが、からし種ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. ローマ 4:17 – 「『わたしはあなたを多くの国民の父とした』と書いてあるとおりです。」彼は、死者に命を与え、存在しないものを呼び起こす神を信じ、神の目から見ると私たちの父です。」

ルカ 17:7 しかし、あなたがたの中で、畑を耕したり、牛に餌を与えたりしている召使いがいるとして、その召使が畑から帰ってきたら、「行って、肉を食べるために座ってなさい」と時々言うだろうか。

イエスは追随者たちに，しもべに畑で働くよう要求する主人の例を考えて，しもべがすぐに家に入って座って食事をすることを期待しないようにと言いました。

1. 奉仕の生活を送る: イエスの模範から学べること

2. 自分の立場を思い出し、受けている祝福に感謝する

1. ガラテヤ 6:9-10 「善行に疲れないようにしましょう。失神しなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。ですから機会があるのですから、すべての人、特に彼らに善を行ないましょう」信仰の家の者たちです。」

2. コロサイ 3:23-24 - 「あなたがたは、何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心を込めて行いなさい。あなたがたは、主から受け継ぐ報いを受けられることを知っているからです。あなたがたは主キリストに仕えているからです。」」

ルカ 17:8 そして、むしろ彼に、「私が食べるものを用意して、私が食べたり飲んだりするまで、帯を締めて私に仕えてください」とは言わないでしょう。その後、食べたり飲んだりするのですか？

主人は召使に、彼らのために食事を用意し、彼らが食べたり飲み終わったりするまで給仕するように指示します。

1. 奉仕の力: 自分よりも他人を優先することを学びます。

2. 従順の利点: 忠実さの報酬を理解する。

1. マタイ 25:23、「彼の主は彼に言った、『よくやった、善良で忠実な僕よ。あなたはいくつかのことに忠実でしたが、私はあなたを多くのことの支配者にします。あなたは主の喜びの中に入れてください。」

2. マタイ 20:26-28、「しかし、あなたがたの間ではそうではありません。しかし、あなたがたの間で偉い人はだれでも、あなたの奉仕者になりなさい。「そして、あなたたちの中で誰がかしらであっても、その人をあなたのしもべにしなさい。人の子が、仕えられるためではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのと同じである。」

ルカ 17:9 彼は、命じられたことを実行したので、そのしもべに感謝しているでしょうか。私はそうではありません。

イエスは、主人の要求に応えても感謝もされない僕についてのたとえ話をされました。

1. 他人の努力に感謝する - ルカ 17:9

2. 謙虚に奉仕する - ルカ 17:9

1. ピリピ人への手紙 2:3-4 「争いや見栄によって何もしてはなりません。しかし、へりくだった心で、お互いが自分よりも他人を大切にしなさい。すべての人が自分のことだけに目を向けるのではなく、他人のことにも目を向けなさい。」。」

2. コロサイ 3:23-24 - 「あなたがたは、何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心を込めて行いなさい。あなたがたは、主から受け継

ぐ報いを受けられることを知っているからです。あなたがたは主キリストに仕えているからです。」」

ルカ 17:10 同じように、あなたがたも、命じられたことをすべて行い終えたら、こう言いなさい、「わたしたちは無益な召使です。わたしたちは、なすべき義務を果たしました。」

私たちは自分たちのやっていることはすべて義務であり、利益をもたらさない奉仕者であることを認識すべきです。

1: 私たちの行動すべてにおいて神に対する義務を認識する

2: 神に対して自分が不利益であることを認める

1: 伝道の書 12:13-14 - この問題全体の結論を聞きましょう。神を恐れ、神の戒めを守りなさい。これが人間の全義務だからです。なぜなら、神はあらゆる業、あらゆる秘密の事柄、それが善であるか悪であるかにかかわらず、裁きを受けるからである。

2: マタイ 25:14-30 - 天の王国は、遠い国へ旅行する人が自分の僕たちを呼んで、自分の物を彼らに届けるようなものだからです。そして、ある人には 5 タラント、別の者には2タラント、そしてまた別の者には1タラントを与えました。すべての人に、その能力に応じて。そしてすぐに旅に出た。

ルカ 17:11 そして、エルサレムに行く途中、サマリアとガリラヤの中を通った。

イエスはエルサレムに向かう途中でサマリアとガリラヤを旅されました。

1. イエスの信仰と従順の旅

2. スピリチュアルな旅で他者とつながる

1. マタイ 8:1-4 - イエスは中風の人を癒す

2. マルコ 6:30-34 - イエスは五千人に食事を与える

ルカ 17:12 そして、ある村に入ると、遠くに立っていた十人のらい病人に出会った。

イエスは村に入ると10人のハンセン病患者に遭遇しました。

1. イエスの力: イエスには私たちの肉体的、感情的、霊的なハンセン病を癒す力があることを知る。

2. コミュニティの力: 必要なときに私たちが団結して助け合う方法を理解する。

1. マタイ 14:14 - 「イエスは上陸して大群衆をご覧になると、彼らを憐れみ、彼らの病人をいやされました。」

2. ローマ人への手紙 12:15 - 「喜ぶ人たちとともに喜び、悲しむ人たちとともに悲しみなさい。」

ルカ 17:13 すると彼らは声を張り上げて、「先生、イエス様、私たちを憐れんでください」と言った。

ハンセン病患者のグループがイエスに憐れみを求めて叫びました。

1. 信仰の力: ルカ 17:13 のハンセン病患者から学ぶ

2. イエスに叫びなさい: ルカ 17:13 のハンセン病患者から学ぶ

1. マタイ 9:27-28 - イエスに憐れみを求めて叫ぶ二人の盲人

2. マタイ 15:22-28 - イエスに憐れみを求めて叫ぶカナン人の女性

ルカ 17:14 そして、イエスは彼らを見ると、「祭司のところに行って、姿を現しなさい」と言われた。そして、彼らが行くうちに、彼らは清められたのです。

ハンセン病患者たちはイエスの指示に従って祭司のところに行って姿を現したとき、癒されました。

1: イエスへの信仰は癒しにつながります。

2: イエスに従うと祝福がもたらされます。

1: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。」

2: ヤコブ 5:14-15 「あなたたちの中に病気の人はいますか。彼らに教会の長老たちを呼んで彼らのために祈ってもらい、主の名において油を注いでもらいましょう。そして、信仰をもってささげられた祈りは病人を良くします。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したなら、彼らは赦されるでしょう。」

ルカ 17:15 その中の一人は、自分がいやされたのを見て、引き返し、大声で神をあがめた。

その男は治癒の奇跡を神に讃美した。

1: 私たちも、神が私たちのためにしてくださったすべての奇跡について神を讃美すべきです。

2: 癒しを受けたとき、時間をかけて神に感謝し、賛美しなければなりません。

1: 詩篇 150:6 - 息あるものはすべて主を讃えましょう。

2: 詩篇 107:1 - 主に感謝しましょう。主は善い方だからです。彼の愛は永遠に続きます。

ルカ 17:16 そして、彼の足元にひれ伏して感謝をささげた。彼はサマリア人であった。

サマリア人の男がイエスの足もとにひれ伏して感謝の意を表しました。

1. 感謝の心: サマリア人の感謝の模範

2. 賛美の力: 礼拝でイエスを讃える

1. ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完全な賜物は上から来て、光の父から下って来ます。

2. エペソ人への手紙 5:20 - 私たちの主イエス・キリストの御名において、常に、またすべてのことについて父なる神に感謝をささげます。

ルカ 17:17 するとイエスは答えて言われた、「清められたのは十人ではなかったのか」。しかし、9人はどこにいるのでしょうか？

この箇所は、イエスが病気から清められた9人のハンセン病患者がどこにいるのか尋ねた様子を語っています。

1. 「感謝の力」- 9 人のハンセン病患者の感謝の欠如は、祝福に対して感謝を示すことの重要性を示しています。

2. 「信仰の力」- ハンセン病患者の治癒によって証明されるように、信仰が私たちの生活にどのように癒しをもたらすか。

1. 詩篇 103:2-3 - 私の魂よ、主を祝福してください。主の恩恵をすべて忘れないでください。主はあなたの咎をすべて赦してくださいます。あなたの病気をすべて治してくださる方です。

2. コロサイ 3:15 - そして、神の平和があなたがたの心の中に支配されるようにしてください。あなたがたもまた、一つの体としてその平和に召されています。そして感謝してください。

ルカ 17:18 この旅人のほかには、神に栄光を帰すために戻ってきた者はいない。

この箇所は、神に栄光を帰すことの重要性と、それがいかに稀なことであるかを強調しています。

1.「神に栄光を与える忘れられた技術」

2.「神への感謝の大切さ」

1. コロサイ 3:17 - 「そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。」

2. イザヤ書 12:4 - 「その日、あなたは言うだろう。『主に感謝し、主の名を呼び、主の業を民に知らせ、主の名が高められることを宣言しなさい。』」

ルカ 17:19 するとイエスは彼に言った、「起きて、あなたの道を行きなさい。あなたの信仰があなたを元気にしたのです。」

この聖句は、イエスがその人を癒し、信仰によって彼が完全になったことを告げていることを示しています。

1: 私たちを癒し、完全にしてくれるのはイエスに対する信仰であることを覚えておかなければなりません。

2: 私たちがイエスを信頼し、信仰を持つなら、イエスは私たちに癒しと健全さをもたらしてくださいます。

1: エレミヤ 17:14 - 主よ、私を癒してください。そうすれば私は癒されます。私を救ってください、そうすれば私は救われます：あなたは私の賛美です。

2: ヤコブ 5:15 - 信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

ルカ 17:20 そして、神の国はいつ来るのかとパリサイ人たちに尋ねられたとき、イエスは彼らに答えて、「神の国は観察によって来るものではありません。

イエスは、神の国はいつ来るのかというパリサイ人の質問に答えて、それは観察によって来るものではないと答えました。

1.「神の国は近づいた」

2.「神の国の目に見えないもの」

1. ローマ 14:17 - なぜなら、神の国は飲み食いの問題ではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです。

2. コロサイ 1:13 - 神は私たちを闇の領域から救い出し、愛する御子の王国に移してくださいました。

ルカ 17:21 彼らはまた、「見よ、ここにいる！」とは言わないであろう。または、ほら！見よ、神の国はあなたの中にあるからです。

神の国は物理的な場所ではなく、私たち全員の中にあります。

1.「神の王国はあなたの中にあります：希望と慰めのメッセージ」

2. 「神の王国にアクセスする方法: 信仰を高めるための実践的なステップ」

1. マタイ 18:20 「わたしの名によって二人や三人が集まるところには、その中にわたしもいるのです。」

、この奥義、つまりあなたがたの内にあるキリスト、つまり栄光の希望の栄光が異邦人の間にどれほど大きな富であるかを知らせるために選ばれました。」

ルカ 17:22 そしてイエスは弟子たちに言った、「あなたがたが人の子の日を見たいと願っても、それを見られない日が来るでしょう。」

イエスの日は、弟子たちが彼らに会うことを切望しますが、それができないときにやって来ます。

1. 憧れの力: 満たされない欲望の中で満足感を見つける方法

2.神の王国: 目に見えない驚異の王国

1. ローマ人への手紙 8:18-19 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えています。というのは、被造物は神の子たちの出現を熱望して待っているからである。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望んでいる事柄を保証し、目に見えない事柄を確信するものです。」

ルカ 17:23 すると彼らはあなたに言うだろう、「ここを見なさい。」または、そこを参照してください。彼らを追いかけたり、追いかけたりしないでください。

イエスは、人々を自分の教えから遠ざけようとする偽教師に従わないようにとアドバイスしています。

1. イエスに従うことの重要性: 偽教師を見分ける方法を学ぶ

2. 道を歩む: イエスの教えに忠実であり続ける

すべての準備を整えて御言葉を受け入れ、それらのことが本当にそうなのかどうかを毎日聖書を調べました。

2. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、誰も父のもとに来ることはない。」

ルカ 17:24 というのは、稲妻が天の下の一部から発せられ、天の下の他の部分に光を放つように、人の子もその時代にあるだろう。

この一節は、人の子の到来と、その臨在がいかに稲妻のようになるかを語っています。

1. 人の子の到来 - 再臨への備え

2. 主の光 - 陛下を喜ぶ

1. イザヤ書 60:1 - 立ち上がれ、輝きなさい。あなたの光が来て、主の栄光があなたに昇るからです。

2. コリント人への第二の手紙 4:6 - 暗闇から光が輝くように命じられた神は、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を知る知識の光を与えるために、私たちの心の中で輝いてくださったからです。

ルカ 17:25 しかし、まず彼は多くの苦しみを受け、この世代から排除されなければなりません。

この箇所は、イエスが究極の栄光の前に直面した苦しみと拒絶について語っています。

1. イエスの苦しみ: クリスチャンの生き方のモデル

2. 拒絶: 世界が「ノー」と言ったとき

1. イザヤ 53:3-5 - 彼は人類から軽蔑され、拒絶され、苦しみを経験し、痛みを知っていました。人々が顔を隠す人のように彼は軽蔑され、私たちは彼を低く評価しました。

2. ヘブライ 12:2 - 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を留めましょう。イエスは喜びのために十字架に耐え、その恥を軽蔑し、神の御座の右

に座されました。。

ルカ 17:26 ノエの時代にあったように、人の子の時代にも同様である。

ノアの時代はイエスの時代に似ています。

1. 洪水: 神の再臨に備えるための教訓

2. ノアの時代の神の救いの約束

1. イザヤ書 43:18-19 - あなたがたは昔のことを思い出してはならず、昔のことを考えてもなりません。見よ、私は新しいことをするだろう。今、それは湧き出てくるでしょう。あなたがたはそれを知らないだろうか？

2. ペテロ第二 3:3-4 - 終わりの日には、自分の欲望に従って歩き、「彼の到来の約束はどこにあるのか」と言うあざけり者が来るということを最初に知っています。なぜなら、父祖たちが眠りに就いて以来、万物は創造の初めからそのまま続いているからです。

ルカ 17:27 彼らは、ノエが箱舟に入るその日まで、食べ、飲み、妻をめとり、めとめられました。そして、洪水が来て、彼ら全員を滅ぼしました。

この箇所は、神の裁きの警告を無視した場合の結果を強調しています。 1: 私たちは神の警告に耳を傾け、手遅れになる前に罪から目を背けなければなりません。 2: 私たちは神の憐れみと恵みに感謝し、神に喜ばれる人生を送るべきです。 1: ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。」2: マタイ 7:13-14 「狭い門から入りなさい。門は広く、滅びに至る道は易しいからです。そこから入る人は多いからです。門は狭くて、道は難しいからです」それは命につながるが、それを見つけられる人は少ない。」

ルカ 17:28 ロトの時代にも同様でした。彼らは食べ、飲み、買い、売り、植え、建てました。

ロトの時代、人々はいつもと同じように日常生活や活動を行っていました。

1. 自己満足の危険性: ルカ 17:28 の研究

2. 今この瞬間に生きる: ルカ 17:28 のロトの例

1. 創世記 19:14-17 - ロトとその家族はソドムとゴモラから逃げます。

2. アモス 6:1-7 - 自己満足と貧しい人々の窮状を無視することに対する警告。

ルカ 17:29 しかし、ロトがソドムから出て行ったその日、天から火と硫黄の雨が降って、彼らを皆滅ぼした。

ロトは、火と硫黄が天から雨として降り注ぎ、町とその中のすべての人を破壊したのと同じ日にソドムを去りました。

1. 永遠の視点で生きる

2. 逃げる誘惑

1. ヘブライ 13:14 - ここには永続する都市はなく、来るべき都市を求めています。

2. テモテ第二 2:22 - ですから、清い心で主を呼び求める人々とともに、若い頃の情熱を逃れ、義、信仰、愛、平和を追い求めてください。

ルカ 17:30 人の子が現れる日も、このようになります。

イエスは弟子たちに、再臨の日はノアとロトの時代のようになるだろうと教えます。

1. 主の日: 主の再臨に向けて心を備える

2. 未信者の世界で正しく生きる

1. ローマ 13:11-14: 「それに加えて、あなたがたは時が来たこと、つまり眠りから目覚める時が来たことを知っています。なぜなら、私たちが最初に信じた時よりも今の方が救いは私たちに近づいているからです。夜はとうに過ぎ去った。その日が近づいています。それでは、闇の業を脱ぎ捨て、光の鎧を身に着けましょう。乱交や酩酊ではなく、性的不道徳や好色にならず、喧嘩や嫉妬をせず、昼間のように正しく歩きましょう。」

2. テサロニケ第一 5:1-5: 「兄弟たち，時と季節については，何も書いてもらう必要はありません。なぜなら、主の日が夜の泥棒のように来ることをあなたがた自身がよく知っているからです。「平和だ、安全だ」と言っている間に、妊婦に陣痛が襲いかかるように突然破滅が襲いかかり、逃げ出すことはできません。しかし、兄弟たち、あなたがたはその日、泥棒のように驚くために暗闇の中にいるわけではありません。なぜなら、皆さんは皆、光の子供たち、日の子供たちだからです。私たちは夜や闇の者ではありません。ですから、他の人のように眠らずに、目を覚まして素面でいようではありませんか。」

ルカ 17:31 その日、家の屋上にいる者も、家の中に持ち物を持っている者も、それを持ち去るために降りてはなりません。野原にいる者も、同様に戻ってはなりません。

その日、イエスは私たちに、どんな状況であっても、今いる場所に留まるようにと警告されました。

1. 信仰を堅く保ちなさい: ルカ 17:31 のイエスの言葉は、直面する試練にもかかわらず、信仰に根ざし、主に信頼し続けるよう私たちに思い出させます。

2. 不確実性の中でしっかりしていなさい: ルカ 17:31 のイエスの言葉は、たとえ人生が不確実であるように見えても、そこに留まり、忠実であり続けるように私たちに促します。

1. ヘブライ 10:35-36 - ですから、自信を捨てないでください。それは豊かな報いを受けるでしょう。神の御心を行ったときに、約束されたものを受け取ることができるように、あなたは忍耐する必要があります。

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、不可能であると私は確信しているからです。それは、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すためです。

ルカ 17:32 ロトの妻のことを思い出してください。

この箇所は、過去を振り返ることの危険性についてのイエスの警告です。彼は振り返って塩の柱に変えられたロトの妻の物語です。

1.「過去を振り返ることの危険性」

2.「従順の力：ロトの妻の物語」

1. ヘブライ 12:1-2 「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、前に定められた競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか」私たちは、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ています。イエスは、目の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。」

2. ローマ人への手紙 8:13-14 「肉に従って生きるなら死ぬが、御霊によって体の行いを殺すなら、生きる。神の御霊に導かれているすべての人のために」彼らは神の子たちです。」

ルカ 17:33 自分の命を救おうとする者は、それを失います。そして、自分の命を失う者は誰でもそれを保存するでしょう。

自己保存に専念する者は最終的に滅ぼされますが、自己を犠牲にする者は救われます。

1. 自己犠牲のパラドックス：手放すことで自分を愛することを学ぶ

2. 諦める力: 明け渡すことで真の人生を見つける方法

1. マルコ 8:34-38 - 自分を捨てて十字架を負うようにというイエスの呼びかけ。

2. マタイ 16:24-27 - イエスに従うことの意味についてのイエスの警告。

ルカ 17:34 あなたに言いますが、その夜、二人の男が一つのベッドにいます。一つは取られ、もう一つは残されるであろう。

2人はシングルベッドに分割され、1人は連れて行かれ、もう1人は残されます。

1. 裁きの二分法: 神は過去の現れをどのように見ているか

2. 忠実な人と不忠実な人のたとえ: 神に従って歩む

1. マタイ 24:40-41 - 「そのとき、二人の人が野原にいるでしょう。1つは取られ、1つは残ります。ですから、気をつけなさい、あなた方の主がいつ来るか分からないのですから。」

2. マタイ 25:31-34 - 「人の子がすべての聖なる天使たちとともに栄光のうちに来るとき、彼は栄光の王座に座るでしょう。すべての国々が神の前に集められ、神は羊飼いが自分の羊を山羊から分けるように、彼らを一つ一つ分けられます。そして彼は羊を右手に置き、ヤギを左手に置きます。その時、王は自分の右にいる者たちにこう言うだろう、『来なさい、わたしの父に祝福された者よ、世の初めからあなたたちのために用意された王国を受け継ぎなさい。』

ルカ 17:35 二人の女が互いにすり合うことになる。片方は取られ、もう片方は残される。

二人は裁かれ、一人は救われ、一人は取り残されることになる。

1: 私たちは常に裁きの日に備え、神の近くに留まるべきです。

2: 私たちの状況に関係なく、神はすべての人のための計画を持っており、それに応じて私たちを裁かれます。

1: マタイ 24:40-41 「そのとき、二人の人が野原にいるでしょう。1つは取られ、1つは残されます。二人の女性が工場で粉を挽いていることになる。一人は取られ、一人は残るだろう。」

2: 2コリント5:10「というのは、私たちは皆、善であれ悪であれ、体において行ったことにふさわしいものを受け取れるように、キリストの裁きの座の前に出なければならないからです。」

ルカ 17:36 二人の人が野原にいる。片方は取られ、もう片方は残される。

二人の男は対照的な経験をし、一人は連れ去られ、もう一人は置き去りにされることになる。

1. 予期せぬ事態に備えることの重要性。

2. 私たちの人生に現れる神の意志の力。

1. マタイ 25:1-13 - 10 人の処女のたとえ。

2. ヤコブ 4:13-15 - 知恵と謙虚さをもって将来の計画を立てる。

ルカ 17:37 すると彼らは答えて言った、「主よ、どこですか？」そして彼は彼らに言った、「死体がどこにでも、そこにワシが集まるでしょう。」

イエスは追随者たちに、死体があるところにはワシが来るだろうと語ります。

1. 神の呼びかけ: 私たちの主の招きに応える

2. 集まる力: なぜお互いが必要なのか

1. ヨハネ 15:5 - 「わたしはぶどうの木です。あなたは枝です。わたしのうちにとどまり、わたしもその人の中にとどまる者は、多くの実を結ぶ者である。なぜなら、わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。」

2. ヘブライ 10:25 - 「それでは、どうすればお互いに愛と善行を促すことができるか考えてみましょう。」

ルカ 18 章には、祈り、謙虚さ、そしてイエスに従う代償についてのイエスの教えが含まれています。そこには、しつこい未亡人、パリサイ人と徴税人のたとえ話、また、金持ちの支配者とのイエスの交流やイエスの死の予言などが含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスが弟子たちに、常に祈り、諦めないようにとたとえ話をするところから始まります。このたとえ話では、執拗な未亡人が不当な裁判官のところに来て、敵対者に対する正義を要求し続けます。最初は気が進まなかったものの、裁判官は最終的に彼女の正義を認め、彼女が粘り強く彼を疲弊させないようにする。イエスはこの物語を用いて、神の究極の正義に対する粘り強い祈りと信仰を奨励しました（ルカ 18:1-8）。次に彼は、祈るために神殿に上がった二人の男、つまりパリサイ人と徴税人についての別のたとえ話をします。パリサイ人は、自分は他の人たち、強盗、悪人、姦通者とは違う、さらにはこの徴税人のような者ではないと誇らしげに神に感謝しましたが、徴税人は遠くに立って天を仰ぐことさえせず、胸を打ちながら「神よ、罪人を憐れんでください」と言いました。イエスは徴税人がパリサイ人の独善よりも謙虚さをほめ、自分を高める者はみな低くされる、へりくだる者は高められると述べた(ルカ18:9-14)。

第 2 段落: 人々はまた、イエスに触れてもらうために赤ん坊を連れてイエスのところに来ていましたが、弟子たちはそれを見て彼らを叱責しましたが、イエスは子供たちを呼び寄せて言われました、「小さな子供たちを来させなさい、私は彼らを妨げないでください。王国は神がそのようなものです。真実、私はあなたたちに誰にでも言います」幼子のような神の国を受け入れない者は、決してそこに入ることはできない』と、神の国に入るには子供のような信仰と謙虚さの必要性を強調しています (ルカ18:15-17)。次に、ある支配者が永遠の命を受け継ぐために何をしなければならないかを尋ね、それが議論を導き、支配者が若い頃から守っていると主張した戒めが、すべてを売り払って貧しい人に宝物を与えなさい、天国に従えと言われると、彼は非常に悲しんだ、なぜなら彼は非常に裕福だったからであるという挑戦を示し、富が真の弟子としての誓約をもたらすことを示している 王国（ルカ 18:18-25）。弟子たちが、豊かな王国に入るのに困難を伴う反応を救えるのは誰かと尋ねたとき、神は、人間には不可能なことは可能であると答え、神は救いを示し、人間の努力の達成を超えた最終的な神の行為の恵みを示しました（ルカ 18:2 6-27）。

第 3 段落: 次に、ペテロは、彼らはイエスに従うためにすべてを残した、と指摘しました。これに対してイエスは、本当に、王国のために家や妻や兄弟や親や子供た

ちを捨てた人は一人もいない、失敗するであろう神はこの時代にその何倍もの永遠の命を受け取る、王国のために捧げられた犠牲の報いを再確認する、と答えた。現在の将来の人生（ルカ 18:28-30）。エルサレムに向かう旅の途中、イエスは十二人をわきに連れて行き、息子について書かれた預言はすべて成就する、引き渡されることも含めて成就する、異邦人は嘲笑され、鞭打ちで殺された、三日目に復活する、しかし明確な予測にもかかわらず、彼らはこれらのことの意味を理解できなかった、なぜなら隠されていたからだ。彼が何を話しているのかは分かりませんが、当時の救世主の使命についての彼らの理解が限られていることを示しています (ルカ18:31-34)。最後の章は、エリコの近くにいた盲目の物乞いが「息子よ、ダビデよ、私を憐れんでください！」と叫んだ癒しの場面で終わります。人々が彼を叱責したにもかかわらず、黙っていて、ますます「ダビデよ、私を憐れんでください！」と叫びました。イエスは立ち止まり、人間を連れて来て何が欲しいのか尋ねるよう命じました。彼は「主よ、お会いしたいのです」と言いました。イエスは彼に、「あなたの視力を取り戻しなさい。あなたの信仰があなたを癒したのです。」と言われました。彼はすぐに目が見えるようになり、神を賛美するイエスに続いて、それが肉体的な苦しみに対する神の救世主の権威を意味する神を賛美しているのをすべての人々が見ました（ルカ18:35-43）信仰が癒しをもたらす力。

ルカ 18:1 そこでイエスは、このためにたとえ話を彼らに語った。人は常に祈っていて、気を失ってはならない。

しつこい未亡人のたとえ話は、常に祈り、諦めないように私たちに勧めます。

1.「祈りを続ける力」

2.「諦めないで～失神せずに祈る祝福～」

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. ローマ 12:12 - 「希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。」

ルカ 18:2 こう言った、「ある町に、神をも恐れず、人をも顧みない裁判官がいた。

イエスは、神を信じず、人々のことも気にも留めなかった裁判官についてのたとえ話をされました。

1. 神は私たちに信仰を持ち、思いやりを示すよう呼びかけておられます。

2. 恐れや疑いを正しいことの妨げにしないでください

1. ヤコブ 2:14-18 - 兄弟姉妹の皆さん、信仰があると主張しても行為がなかったとしたら、それが何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか？

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

ルカ 18:3 その町にやもめがいた。そして彼女は彼のところに来て、「私の敵の復讐をしてください」と言った。

この箇所は、ある未亡人が敵対者への復讐をイエスに頼んだことを語っています。

1.「信仰の力: イエスに対する未亡人の嘆願」

2.「忍耐の強さ：主への未亡人の嘆願」

1. マタイ 5:5 - 「柔和な人々は幸いです。彼らは地を受け継ぐからです。」

2. 箴言 21:31 - 「馬は戦いの日に備えています。しかし安全は主からのものです。」

ルカ 18:4 そして、しばらくはそうしようとはしませんでしたが、その後、彼は心の中でこう言いました。

粘り強いやもめのたとえ話は、粘り強く祈り続けることの重要性を示しています。

1: 忍耐強い祈りの力は山を動かし、天国の扉を開くことができます。

2: 粘り強いやもめの例を使って、祈りにおいて堅固であることの重要性を示すことができます。

1: ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは大きな力を持って働きます。」

2: ルカ 11:5-8 「そして、イエスは彼らに言った。『あなたがたのうち、友人がいる者が、真夜中に彼のところに行って、『友人よ、私の友人が来たので、パンを三つ貸してください』と言いなさい。」旅中だし、私は彼の前に何も用意するものがない』？」

ルカ 18:5 しかし、このやもめが私を悩ませているので、彼女が何度も来ることで私を疲れさせないように、私は彼女に復讐します。

イエスは、不当な裁判官に正義を求めた粘り強いやもめについてのたとえ話を語られます。彼は、神は粘り強く神を求める人々の祈りに答えてくださると教えています。

1. 祈りの粘り強さ：未亡人の信仰はどのように私たちにインスピレーションを与えるのか

2. 粘り強さの力: 未亡人の粘り強さが私たちをどのように変えるか

1. ヤコブ 5:16-18 - 「ですから、癒されるために、互いに罪を告白し、お互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力を持って働いています。エ

リヤは、「私たちの自然と同じように、彼は雨が降らないようにと熱心に祈りました。そして、3年6か月間、地上には雨が降りませんでした。それから彼は再び祈った。すると、天は雨を降らせ、地は実を結びました。」

2. テサロニケ第一 5:17 - 「絶えず祈りなさい。」

ルカ 18:6 すると主は言われた、「不正な裁判官の言うことを聞きなさい。」

不当な裁判官は、神がどのように祈りに答えられるかを実証します。

1. 神は常に私たちの祈りに耳を傾け、ご自身のタイミングで答えてくださいます。

2. 私たちは、どんな状況であっても、神への希望や信仰を決して捨てるべきではありません。

1. ペテロ第一 5:7 - 「すべての思い煩いを神に託してください。神はあなたを気遣ってくださっているからです。」

2. ヤコブ 5:16 - 「ですから、癒されるために、互いに罪を告白し、互いに祈りなさい。」

ルカ 18:7 また、神は、長く耐え忍んだにもかかわらず、昼も夜も神に向かって叫び求めているご自身の選民に復讐することはないのですか。

この一節は、たとえ長い時間がかかったとしても、神の民の祈りに応えられる神の忠実さについて語っています。

1. 神のタイミング: 祈りに対する忍耐

2. 神の忠実さ: 不確実性に対する安心感

1. テサロニケ第一 5:17 - 絶えず祈りなさい。

2. ハバクク 2:3 - 幻はまだ定められた時まであるが、最後には語るであろう、嘘はつかない。たとえ遅れても、それを待ちなさい。それは必ず来るから、遅れることはない。

ルカ 18:8 言っておくが、彼は速やかに彼らに復讐するだろう。それにもかかわらず、人の子が来るとき、彼は地上に信仰を見出すでしょうか？

イエスは弟子たちに、神は義人たちにすぐに復讐するだろうと警告しましたが、イエスが戻ってきたときにまだ地上に信仰があるだろうかと疑問に思いました。

1. 信仰における忍耐の必要性

2. 神の復讐の確実性

1. ヘブライ 10:36-39 - 「あなたがたには忍耐が必要です。それは、神のご意志を行ったときに、約束されたものを受け取ることができるからです。なぜなら、「まだ少しの間、来るべき人は来て、遅れることはありません。しかし、私の義人は信仰によって生きるであろう、そしてもし彼が尻込みするならば、私の魂は彼を喜ばない。」しかし、私たちは尻込みして滅びる者ではなく、信仰を持ち魂を守り続ける者です。

2. ローマ人への手紙 12:19-21 - 「愛する人たち、決して自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せてください。「復讐はわたしのすること、わたしが報復する、と主は言われる。」と書いてあるからです。それどころか、「敵がお腹を空かせているなら、食べさせなさい。敵が飢えているなら、彼に食べさせなさい。」喉が渇いたら、何か飲み物を与えてください。そうすれば、彼の頭に燃える石炭を積むことになるからです。」悪に負けるのではなく、善をもって悪を克服してください。

ルカ 18:9 そして、自分は正しいと信じて他人を軽蔑しているある人たちに、イエスは次のたとえ話をされました。

このたとえ話は、他人を見下して自分を高く評価するのは間違いであると教えています。

1: プライドは謙虚さの敵です。

2: 謙虚さは真の義の基礎です。

1: ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、あなた方一人一人が他人の利益に目を向けてください。」

2: ヤコブ 4:6 - 「神は高ぶる者に敵対しますが、謙虚な者には好意を示します。」

ルカ 18:10 二人の男が祈るために宮に登った。一人はパリサイ人、もう一人は徴税人です。

パリサイ人と取税人のたとえ話は、神に近づくときの謙虚さの重要性を強調しています。

1. 謙虚さの力: パリサイ人と徴税人のたとえ話から学ぶ

2. プライドと謙虚さ: パリサイ人と徴税人から学べること

1. ヤコブ 4:6 「しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。したがって、「神は高ぶる者に反対するが、へりくだる者には恵みを与える」と書かれています。

2. 箴言 16:18-19 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。高慢な者たちに戦利品を分けるよりも、貧しい者たちに対して謙虚な精神で接するほうが良いのです。」

ルカ 18:11 パリサイ人は立って心の中でこう祈った、「神様、私が他の人のような強奪者、不正者、姦淫者、あるいはこの取税人のような者ではないことを感謝します。」

パリサイ人は自分が他の人よりも優れていることを神に感謝しました。

1: 私たちは神が私たちに与えてくださった祝福を認識すべきですが、謙虚であり、自分を他人と比べるべきではありません。

2: 私たちは義にかなった生活を送り、神の恵みに感謝するよう努めるべきです。

1: ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい、そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

2: コロサイ 3:12 - したがって、神に選ばれた聖なる民、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。

ルカ 18:12 私は週に二度断食し、自分の持ち物すべての十分の一をささげます。

ルカ 18:12 のこの一節は、定期的に断食をして、自分の持ち物すべてを教会に捧げることに専念している人のことを語っています。

1: 私たちは定期的に断食し、自分の持っているすべてのものを教会に寄付することに専念すべきです。

2: 神は私たちに自分の所有物を預けてくださったので、私たちはそれを忠実に使って神に仕えるべきです。

1: 1 コリント 4:2 - 「さらに、管理人には忠実であることが求められます。」

2: 箴言 3:9-10 - 「あなたの持ち物と、あなたの増えたすべての初穂をもって主を敬え。そうすれば、あなたの納屋はたくさんで満たされ、あなたの桶は新しいぶどう酒であふれることになる。」

ルカ 18:13 徴税人は、遠くに立って、目を天に向けようともせず、胸を打ちながら、「神よ、罪人の私を憐れんでください」と言った。

取税人は群衆から遠く離れたところに立って、天を見上げることができずに神に慈悲を祈りました。

1. 告白への呼びかけ - 神の前で自分の罪と欠点を認め、神の憐れみを求めること。

2. 心からの祈り - 謙虚さと悔い改めた心をもって神の憐れみを求めます。

1. 詩篇 51:17 - 神の犠牲は打ち砕かれた霊、打ち砕かれ悔い改めた心です、神よ、あなたは軽蔑されません。

2. ヤコブ 4:6-7 - しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。したがってイエスは，「神は高ぶる者には抵抗しますが，謙遜な者には恵みを与えます」と言われます。したがって、神に従いなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

ルカ 18:14 あなたがたに言いますが、この人は他の人よりも義とされて自分の家に帰りました。そして自分をへりくだる者は高められるであろう。

この聖句は謙虚さの重要性について語り、へりくだる者は高められることを強調しています。

1. 「謙遜の力: パリサイ人と徴税人のたとえ話から学ぶ」

2. 「謙虚さの高揚: 謙虚になることの祝福」

1. ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

2. 箴言 16:18 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

ルカ 18:15 そこで、彼らは、触らせようと、幼児たちも連れて来たが、弟子たちはそれを見て、彼らを叱責した。

改行: イエスの弟子たちは、祝福を求めて幼児を連れてきた人々を叱責しました。

1. イエスに近づくときの謙虚さと敬意の重要性。

2. イエスの子供たちへの愛と受け入れ。

1. マルコ 10:13-16、「そして、彼らは、触れてもらおうと子供たちを連れて来ていたので、弟子たちは彼らを叱責した。しかし、イエスはそれを見て憤慨し、彼らに言った、「子供たちを私の所に来させなさい。子供たちを私のところに来させてください。」彼らを妨げないでください。神の国はそのような者たちのものだからです。はっきり言っておきますが、子供のように神の国を受け入れない者は、そこに入ることはできません。」そして彼は彼らを腕に抱き、彼らの上に手を置いて祝福した。」

2. マタイ 19:13-15、「すると、手を置いて祈ってもらおうと、子供たちがイエスのところに連れて来られました。弟子たちは人々を叱責しましたが、イエスは言われました、「幼い子供たちをわたしのところに来させなさい。邪魔をしないでください。天国はそのような者のものだからです。」そして彼は彼らに手を置いて立ち去った。」

ルカ 18:16 しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「幼い子供たちがわたしのところに来るのを許しなさい。決して禁じないでください。神の国はそのようなものだからです」。

イエスは私たちが子供のようになって神の国を受け入れるよう励まされています。

1:神の国に入るためには、私たちは子供のようにならなければなりません。

2: 私たちは子供たちと同じように神の国を受け入れなければなりません。

1: マタイ 18:3 - そして言った、「はっきり言っておきますが、あなたがたが回心して幼子のようにならなければ、天国に入ることはできません。」

2: マルコ 10:14 - しかし、イエスはそれを見て非常に不快になり、彼らに言った、「幼い子供たちがわたしのところに来るのを我慢しなさい。決して禁じないでください。神の国はそのようなものだからです。」

ルカ 18:17 まことに、あなたがたに言います。幼い子供のように神の国を受け入れない者は、決してそこに入ることはできません。

神の王国は子供のような信仰をもって受け入れられるべきです。

1: 私たちは神の愛と備えを信頼し、子供のような信仰と純真さをもって神の国に入らなければなりません。

2: 神の王国に入りたいなら、私たちはプライドを捨て、単純な信仰をもってそれを受け入れなければなりません。

1: マタイ 18:3 – 「真実に言いますが、あなたが心を変えて子供のようにならなければ、決して天の御国に入ることはできません。」

2: ガラテヤ 5:22-23 – 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなことに対しては法律はありません。」

ルカ 18:18 そこで、ある支配者が彼に尋ねて言った、「ご主人様、永遠の命を受け継ぐにはどうしたらよいでしょうか。」

この箇所は、永遠の命をどのように受け継ぐかについての支配者のイエスへの質問を記述しています。

1. 永遠の命のかけがえのない価値と、イエス・キリストを通してそれを受け取る方法を理解します。

2. 正直な質問をし、イエスに従うという真の決意を持って進んでイエスのもとに来てください。

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. ローマ 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が主イエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。なぜなら、人は心で信じて義となり、口で告白すれば救いが得られるからです。

ルカ 18:19 するとイエスは彼に言われた、「なぜあなたはわたしを良い人だと言うのですか」。一人、つまり神を除いて、誰も良いものはありません。

この箇所は、イエスが善いのは神だけであり、誰も善人と呼ばれるべきではないことを強調していることを示しています。

1. 神の偉大さ - 神以外に善い者はいないので、私たちは常に神だけに栄光を帰すべきです。

2. イエスの謙虚さ - 神だけが真に善い方であることをイエスがどのように謙虚に認めているか。

1. 詩篇 116:5 - 主は恵み深く、義なる方です。そうです、私たちの神は慈悲深いお方です。

2. マタイ 19:17 - するとイエスは言った、「なぜあなたはわたしを良い人だと言うのですか。」唯一の神、すなわち神以外に善い者はいない。

ルカ 18:20 あなたは、「姦淫してはならない、殺してはならない、盗んではいけない、偽りの証言をしてはいけない、父と母を敬え」という戒めを知っています。

この聖句は、十戒に従うことの重要性を強調しており、特に姦淫をしてはいけない、殺してはいけない、盗んではいけない、偽りの証言をしてはいけない、そして父と母を敬うことに言及しています。

1.「従順な人生を送る: 十戒」

2. 「戒めの力: 父と母を敬う」

1. 出エジプト記 20:1-17

2. エペソ人への手紙 6:1-3

ルカ 18:21 そして彼は言った、「これらはすべて、私が若い頃から守ってきたものです。」

イエスは、この裕福な若い統治者が幼い頃から律法を守ることに熱心に取り組んでいたことに感銘を受けました。

1: 私たちは人生のできるだけ早い段階で神の御心を求めるよう努めるべきです。

2: 私たちは神への愛と従順において忠実で一貫していなければなりません。

1: 箴言 22:6 - 「子供をその進むべき道に沿って訓練しなさい。そうすれば彼は年老いても、その道から離れることはありません。」

2: ローマ 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えてください。そうすれば、何が神の御心であるか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるかを識別できるようになります。」

ルカ 18:22 イエスはこれらのことを聞いて言われた、「しかし、あなたには足りないものが一つあります。持っているものを全部売って、貧しい人たちに分け与えなさい。そうすればあなたは天に宝を持つでしょう。そして、わたしについてきなさい。」

この聖句は、すべての所有物を捨ててイエスに従うという、急進的な弟子へのイエスの呼びかけを明らかにしています。

1. 「弟子としての代償」

2. 「急進的な信仰：すべてを売り渡してイエスに従う」

1. マタイ 19:27-30 - 「すると、ペテロが答えて言いました。「ご覧ください、私たちはすべてを捨ててあなたに従ってきました。それでは、何が得られるでしょうか。」イエスは彼らに言われた、「真実に、あなたたちに言いますが、新しい世で、人の子がその栄光の王座に座るとき、私に従って来たあなたたちも十二の王座に座って、イスラエルの十二部族を裁くことになります。わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子供、土地を残した者は皆、その百倍を受け、永遠の命を受け継ぐであろう。」

2. マルコ 10:17-31 - 「そして、彼が旅に出ようとしていたとき、一人の人が駆け寄って彼の前にひざまずき、「善い先生、永遠の命を受け継ぐには何をしなければなりませんか?」と尋ねました。...そしてイエスは彼を見て彼を愛し、彼に言った、「あなたには一つ欠けているものがあります。行って、持っているものをすべて売って、貧しい人たちに施しなさい。そうすればあなたは天に宝を持つでしょう。そして来なさい、私について来なさい」」彼はその言葉に落胆し、悲しみながら立ち去った、なぜなら彼は大きな財産を持っていたからである。」

ルカ 18:23 彼はこれを聞いて非常に悲しんだ。彼はとても金持ちだったからである。

ある金持ちはイエスから、金持ちが天国に入るのは難しいと言われたとき、深く悲しみました。

1. 王国の考え方を採用する: 神の王国で奉仕し犠牲を払うことを学ぶ

2. 富の祝福と重荷：管理者としての挑戦を受け入れる

1. マタイ 19:21-24 - イエスは金持ちの若い支配者に、全財産を売ってイエスに従うように言いました。

2. ヤコブ 5:1-5 - 金持ちに、自分たちの不正を悔い改めて主に立ち返るよう警告。

ルカ 18:24 イエスは、自分がとても悲しんでいるのを見て、こう言われた、「富を持っている者は、神の国に入るのがいかに難しいことか。」

イエスは裕福な人が神の国に入るのは難しいことについて教えました。

1. 富と神の王国: 裕福な信者の挑戦

2. 幸運ではなく信仰を築く: 神の国への道

1. マタイ 6:19-21 「自分のために宝を地上に蓄えてはなりません。そこでは虫やさびが腐り、盗人が押し入って盗みます。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫もさびも滅びず、泥棒が押し入ったり盗んだりすることもありません。なぜなら、あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

2. ヤコブ 2:1-7 兄弟の皆さん、栄光の主である私たちの主イエス・キリストの信仰を偏屈に抱いてはいけません。というのは、もしあなたの集会に、金の指輪をして、立派な服装をした男が来たとしたら、また、汚れた服を着た貧しい男が来たとしたら、あなたは立派な服を着ている人に注目して、その人にこう言います。「あなたはそこに立っていなさい」、あるいは「私の足台に座ってください」と貧しい人に言うと、あなたたちは自分自身の間で偏りを示し、邪悪な考えを持って裁判官になったのではありませんか？

ルカ 18:25 金持ちが神の国に入るよりも、ラクダが針の穴を通るほうが簡単だからです。

裕福な人が神の国に入るのは難しい。

1:「金持ちと神の王国」- 聖書は、裕福な人が神の国に入るのは難しいと警告しています。

2: 「富の力」- 私たちは富の力と、私たちを神の王国から遠ざける能力に警戒すべきです。

1: ヤコブ 1:11 - 太陽は灼熱の熱をもって昇り、草を枯れさせます。その花は散り、その美しさは消え去ります。金持ちもまた、追求の途中で消え去ってしまうだろう。

2: 箴言 28:20 - 忠実な人は祝福に満ちますが、金持ちになろうと急ぐ者は罰を受けないわけではありません。

ルカ 18:26 それを聞いた人々は言った、「それでは誰が救われるのか」。

一節 人々はイエスの教えを聞いて、それでは誰が救われるのかと尋ねました。

1. 救いへの呼びかけ: イエスの永遠の命の申し出をどのように受け入れるか

2. 許されない罪を避ける：イエスの招きに応えることの重要性

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ローマ 10:9-10 - イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです。

ルカ 18:27 そして彼は、「人間には不可能なことでも、神には可能である」と言った。

イエスは祈りと信仰の力について教訓を教え、神がいればすべてのことが可能であることを強調しました。

1.「信仰の生活を送る：祈りの力」

2.「人間には不可能でも神には可能」

1. ローマ 4:17-21 - アブラハムの信仰は義であると認められました

2. ヤコブ 2:14-26 - 行いのない信仰は死んだものです

ルカ 18:28 そこでペテロは言った、「ああ、私たちは皆を捨てて、あなたに従ってきました。」

弟子たちはすべてを捨ててイエスに従いました。

1. 弟子の力: イエスに従うとはどういう意味か

2. イエスに従う代償: 私たちは何を残したいのでしょうか?

1. マルコ 10:28-31 - 金持ちの若者に対するイエスの呼びかけ、すべてを捨ててイエスに従うように

2. ヘブライ 11:8 - 祖国を離れ神の呼びかけに従うアブラハムの意志

ルカ 18:29 そこでイエスは彼らに言った、「はっきり言っておきますが、神の国のために家を離れ、親を捨て、兄弟を捨て、妻を捨てた人は一人もいません。

誰も神の王国のために喜んで家族を犠牲にしてはなりません。

1. 神は地上の関係よりも重要です。

2. 神に従うことの代償を考えてみましょう。

1. マタイ 10:37-38 - 「私よりも父や母を愛する者は私にふさわしくないし、私より息子や娘を愛する者も私にふさわしくない。そして、自分の十字架を背負って私に従わない者は、私にふさわしくないのです。」

2. 申命記 6:5 - 「あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛さなければなりません。」

ルカ 18:30 この世においても、また来るべき世においても、これ以上に永遠の命を受けられない人はいないでしょう。

この一節は、永遠の命と、現在と将来におけるさまざまな祝福の約束について語っています。

1. 永遠の命の約束: ルカ 18:30 を参照

2. さまざまな祝福を刈り取る: ルカ 18:30 の考察

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. マタイ 19:29 - そして、わたしのために家、兄弟、姉妹、父、母、子供、畑を去った者は皆、百倍の報いを受け、永遠の命を受け継ぐことになる。

ルカ 18:31 それから、イエスは十二人を連れて彼らに言った、「見よ、私たちはエルサレムに上ります。そうすれば、人の子に関して預言者が書いたことはすべて実現するでしょう。」

イエスは12人の弟子たちがエルサレムに行くときに起こるであろう出来事に備えさせていました。

1: 神の計画は完全かつ絶対的であり、神の御心は成就します。

2: イエスは神から与えられた使命に忠実でした。私たちも同じように努めるべきです。

1: フィリピ 2:8 - そして、人間の姿で発見された彼は、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死にまで従順になりました。

2: イザヤ 53:12 - それゆえ、わたしは彼に分け前を多くの者たちに分け、彼は戦利品を強者たちに分け与えるであろう。しかし、彼は多くの人の罪を負い、違反者のために執り成しを行っています。

ルカ 18:32 なぜなら、彼は異邦人に引き渡され、嘲笑され、意地悪に懇願され、唾を吐きかけられるからである。

イエスは異邦人に引き渡され、屈辱と拷問を受けることになります。

1. 十字架を負う: 自己犠牲の重要性

2. 許しの力: イエスの無条件の愛の模範

1. イザヤ書 53:3-5 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2. ペテロ第一 2:21-25 - あなたがたもここに召されたのです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残して、その足跡に従うようにされたからです。誰が罪を犯さなかったのか、彼の口には悪意が見出されませんでした。

ルカ 18:33 そして彼らは彼をむちで打ち殺し、三日目に彼はよみがえるであろう。

この箇所は、イエスが三日目に鞭打たれて死刑に処せられ、その後復活したことを語っています。

1.「死の克服：イエスの復活」

2.「イエスの犠牲による救いの力」

1. コリント人への第一の手紙 15:55-57 (「死よ、あなたの勝利はどこにありますか? 死よ、あなたのとげはどこにありますか?」)

2. イザヤ書 53:5 (「しかし、彼は私たちの罪のために刺し貫かれ、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」)

ルカ 18:34 そして、彼らはこれらのことを何も理解できませんでした。そして、この言葉は彼らに隠されており、話されたことも彼らには知りませんでした。

イエスの弟子たちは、イエスが彼らに言われたことを理解できませんでした。

1. 信仰の力：慣れない状況でも神を信頼することを学ぶ

2. 生涯学習者であることの利点

1. エペソ人への手紙 4:20-21 - それは、あなたがたがあらゆる知恵と霊的理解によって神の御心を知ることで満たされるためです。それは、あなたがたが主にふさわしく歩み、すべての良い行いで実を結び、すべての人に喜ばれるようにするためです。

2. 箴言 2:2-5 - そうすれば、あなたは知恵に耳を傾け、理解に心を注ぐことができます。そう、あなたが知識を求めて叫び、理解を求めて声を上げるなら。もしあなたが彼女を銀のように探し、隠した宝物のように彼女を探すなら。そうすれば、あなたは主への畏れを理解し、神についての知識を見出すであろう。

ルカ 18:35 さて、エリコに近づいたとき、ある盲人が道端に座って物乞いをしていた。

この一節は、エリコの近くで物乞いをしていた盲目の男のことを語っています。

1: イエスは盲人を癒す - ルカ 18:35

2: 信仰の力- ルカ18:35

1: イザヤ書 35:5-6 「そのとき、目の見えない人の目は開かれ、聾唖者の耳は止まらなくなる。そのとき、足の不自由な人は心臓のように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌う。荒野に水が湧き出て、砂漠に小川が流れるだろう。」

2: マタイ 9:27-28 「イエスがそこから去られると、二人の盲人が泣きながらついて来て、『ダビデの子よ、私たちを憐れんでください』と言った。そしてイエスが家に入られると、盲人たちがやって来た」するとイエスは彼らに言われた、「わたしにそれができると信じますか？」

ルカ 18:36 そして、群衆が通り過ぎるのを聞いて、それはどういう意味かと尋ねた。

この一節には、イエスが通り過ぎる群衆に何のことかと尋ねられたことが記されています。

1. 好奇心の力: 質問することでどのように私たちを神に導くことができるか

2. 聞く力：私たちの周りの世界に注意を払うことで、どのように私たちがイエスに近づくことができるか

1. エレミヤ 33:3 – 「私に呼びかけてください。そうすれば、私はあなたに答え、あなたが知らない偉大な隠されたことを話します。」

2. 申命記 4:29 – 「しかし、あなたはそこからあなたの神、主を求め、心を尽くし、精神を尽くして主を捜し求めるなら、主を見出すでしょう。」

ルカ 18:37 そこで彼らは、ナザレのイエスが通りかかると告げた。

人々はある人に、ナザレのイエスが通りかかったと告げました。

1. イエスの臨在は命をもたらす - ルカ 18:37

2. イエスを認識することの価値 - ルカ 18:37

1. ヨハネ 11:25 - 「イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。」

2. マルコ 10:45 - 「人の子ですら、仕えられるためではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのです。」

ルカ 18:38 すると彼は叫んで言った、「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください」。

この箇所には、イエスに憐れみを求めている男性が描かれています。

1. 私たちは、必要なときはいつでもイエスに頼るべきです。

2. 信仰を持ってイエスに呼びかける者は皆、答えられます。

1. マタイ 7:7-8 - 「求めなさい、そうすれば与えられるでしょう。探しなさい、そうすれば見つかります。ノックすれば、開かれます。求める者はみな受けます。そして求める者は見つけます。そして、ノックする者には開かれるであろう。」

2. イザヤ書 55:6 - 「見い出されるうちに主を求めなさい。近くにいらっしゃるうちに呼び求めなさい。」

ルカ 18:39 そこで、先に行った人々が、平和を保つよう彼を叱責したが、彼はますます叫んだ、「ダビデの子よ、私を憐れんでください」。

盲人は周囲の人々の叱責にもかかわらず、粘り強くイエスに癒しを求めました。

1. 粘り強さの力：神を決して諦めない

2. 信仰を持ち続ける: イエスの癒しに頼る

1. ヘブライ 11:6 - 信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る人は、神がご自身であり、熱心に神を求める人々に報いてくださる方であることを信じなければなりません。

2. ヤコブ 5:16-18 - 自分の罪を互いに告白し、癒されるように互いに祈りなさい。義人の効果的で熱心な祈りは大いに役立ちます。

ルカ 18:40 そこで、イエスは立って、彼を自分のところに連れてくるように命じ、近づいたとき、こう言われた。

イエスは盲人を癒し、信仰についての教訓を教えます。

1. 行動における信仰: イエスの模範から学ぶ

2. 神の力に頼る：肉体的および霊的な盲目を克服する

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ローマ 15:13 - 「希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたがたが希望に満ち溢れますように。」

ルカ 18:41 こう言う、「わたしはあなたに何をしたいのですか。」そして彼は、「主よ、視力を取り戻してくださいますように」と言いました。

目の見えない人を癒すイエス: イエスは目の見えない人に、何を望んでいるのかを尋ね、憐れみと同情心を示しました。

1. 思いやりの力: 他人の差し迫ったニーズを見過ごす

2. 信仰の強さ：高次の力の治癒能力を信じること

1. マタイ 9:27-30 - イエスは二人の盲人を癒す

2. ヤコブ 5:14-16 - 癒しの祈りと信仰の力

ルカ 18:42 するとイエスは彼に言われた、「あなたの視力を受けなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」

ルカの福音書のこの節は、イエスへの信仰が私たちを救うと宣言しています。

1.「信仰の力：盲目のバーティミアスの癒し」

2.「信仰の救い：イエスとバルティマイ」

1. マルコ 10:46-52 - エリコで盲人を癒すイエス

2. ローマ人への手紙 10:9 - 「もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

ルカ 18:43 すると、すぐに彼は目が見えるようになり、神を賛美しながら従った。民は皆、それを見て神を賛美した。

この箇所は、盲目を癒されてイエスに従い、神を賛美した男の物語です。

1. イエスの力: イエスはどのように私たちを霊的にも肉体的にも癒してくださるのか

2. 視力を得て信仰を見つける：どうすればイエスへの道を見つけることができるか

1. マタイ 9:27-30 - 「イエスがそこから去られると、二人の盲人が泣きながらついて来て、『ダビデの子よ、私たちを憐れんでください』と言った。そしてイエスが家に入られると、盲人たちがやって来た」「わたしにこんなことができると信じますか。」彼らはイエスに言った、「そうです、主よ。それからイエスは彼らの目に触れて、「あなたの信仰どおりに、そのようになりますように。」そして彼らの目は開かれました。するとイエスは彼らを厳しく責めて、「誰もそれを知らないようにしなさい」と言われた。

2. イザヤ書 35:5-6 - 「そのとき、目の見えない人の目は開かれ、聾唖者の耳は止まらなくなる。そのとき、足の不自由な人は心臓のように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌う。荒野に水が湧き出て、砂漠に小川が流れるだろう。」

ルカ 19 章には、ザアカイの物語、十ミナのたとえ、イエスのエルサレム入城、エルサレムに対するイエスの嘆きの物語が含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスがエリコに入城し、そこでイエスに会うためにプラタナスの木に登った裕福な徴税人ザアカイに出会ったところから始まります。イエスは彼を呼び出して、自分の家に泊まると告げました。これを見た人々はザアカイを罪人だと考え、不平不満を抱きました。しかし、ザアカイは財産の半分を貧しい人々に寄付し、騙された者には4倍の返済をすると約束しました。イエスは、自分もアブラハムの子であるため、自分の家に救いが来たと宣言し、「子である人が、失われた者を救い求めて来たからだ」（ルカ19:1-10）と自らの使命を強調しました。

第 2 段落: 彼らがこれを聞いている間、イエスはたとえ話を続けました。なぜなら、イエスはエルサレムの近くにいて、人々は王国の神がすぐに現れると思っていたからです。それで、たとえ話のテンミナスに、高貴な生まれの人が遠い国に行って、自分が王に任命され、そして戻ってくることについて話しました。出発する前に彼は10人の使用人を呼び、それぞれのミナに「私が戻ってくるまでこのお金を働いてください」と言いました。しかし臣民は彼を憎み、「この男に我々の王になってほしくない」と言って彼の後に代表団を送った。帰還すると王は、お金を渡された家来たちに自分と呼ぶように命じ、それで何を得たか調べろとミナを増やす者もいましたが、恐れを抱いた一人がミナの布を隠し、王が取り上げたので、10ミナを持っていた者に「意志ある者には言います」と言って与えました。もっと与えられるが、持っていない者は持っているものさえ取り上げられるだろう。」次に、彼を拒絶した市民たちに対処しました（ルカ 19:11-27）。このたとえ話は、キリストの主権を拒否した場合の結果だけでなく、神が私たちに託してくださった機会を資源とする忠実な管理者としての責任を強調しています。

第 3 段落: このたとえを語った後、イエスはエルサレムを進んでベスファージに近づき、ベサニー オリーブ山で二人の弟子を遣わして、まだ乗られていない子馬を連れて来させ、なぜそれをすることで「主がそれを必要としておられる」と言わなければならないのかと尋ねました。彼らは子ろばを連れてきて、主のためにその上にマントを着せ、群衆が座ってマントを道に広げ、他の人が枝を切り、木を道に広げ、群衆全体が喜び勇んで神を賛美し始め、大きな声ですべての奇跡が見られ、「王は祝福されます、主の御名が来ます！」と言いました。平和天栄光最高！パリサイ人の群衆の中には、イエスに「先生、弟子たちを叱責してください！」と言った人もいました。しかし、「彼らが静かにしていれば、石が叫びます」と答えましたが、これは彼の王権が創造にふさわしい賞賛を避けられない神性を示しています（ルカ 1 9：28-40）。近づくと、都市は、メシアが中にいるにもかかわらず、平和の訪問を認めず、盲目で不信仰を嘆き、来るべき滅びを予測して泣いた（ルカ 19:4 1-44）。この章は、主が寺院に入り、そこにある物を売っている人たちを追い出し、「私の家は家の礼拝になりますが、あなたは巣穴強盗をしました」と宣言して毎日寺院に戻り、寺院を教えている間、祭司長の教師の法を指導する人々が彼を殺す方法を見つけようとしているが、方法が見つからないことで終わります。そうするのは、すべての人々が、差し迫った受難の出来事が次の章で展開されることを期待して、主と宗教当局との間の緊張が高まっていることを示す言葉に執着しているからです（ルカ19:45-48）。

ルカ 19:1 それから、イエスはエリコに入り、エリコを通られた。

イエスはエリコを通過されました。

1. イエスの臨在の力

2. イエスの通過の影響

1. ルカ 5:17-26 – 中風の人を癒すイエス

2. マルコ 10:46-52 – イエスによる盲目のバルティマイの癒し

ルカ 19:2 見よ、ザアカイという人がいて、取税人の頭であり、金持ちであった。

ザアカイは裕福な徴税人であり、町でも大きな影響力を持っていました。

1. 神は、人生における立場に関係なく、すべての人のための計画を持っています。

2. 神の恵みと憐れみは、富や地位に関係なく、すべての人に与えられます。

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です。

2. マタイ 19:26 - しかし、イエスは彼らを見て、「人間にはそれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」と言われました。

ルカ 19:3 そして彼は、イエスがどんな人間であるかを見ようとした。彼は身長が低かったので、報道機関に取材することはできなかった。

小柄なザアカイは、大勢の群衆のせいでイエスを見ることができませんでした。

1. 神は、体の大きさや身長に関係なく、私たち全員を呼んでいます。

2. イエスは、神にとって誰もが貴重な存在であることを示しています。

1. イザヤ書 64:6 - 私たちは皆、汚れた者のようになり、私たちの義の行いはすべて不潔なぼろ切れのようになっています。私たちは皆、木の葉のようにしぼみ、風のように罪が私たちを吹き飛ばします。

2. 1 コリント 12:12-27 - 体は 1 つで、多くの部分があり、体のすべての部分はたとえ多くても 1 つの体であるのと同じように、キリストも同様です。

ルカ 19:4 そこで、彼は前に走って行き、プラタナスの木に登って彼に会いました。彼がその道を通ろうとしていたからです。

ザアカイは先を走って、通り過ぎるイエスの様子をよく見るためにプラタナスの木に登りました。

1. 謙虚さの重要性 – ザアカイは、イエスをよりよく理解するためだけに、並外れた努力を惜しまなかったことから、謙虚さの重要性を私たちに教えてくれます。

2. 慰めから離れてイエスに従う - ザアカイの行動は、私たちがイエスに従うためには、慰めから離れて進むべきであることを示しています。

1. マタイ 5:3-4 「心の貧しい人たちは幸いです。天の国は彼らのものです。悲しむ人は幸いです。彼らは慰められるからです。」

2. ピリピ人への手紙 2:3-4 「争いや見栄によって何もしてはなりません。しかし、へりくだった心で、お互いが自分よりも他人を大切にしなさい。すべての人が自分のことだけに目を向けるのではなく、他人のことにも目を向けなさい。」。」

ルカ 19:5 イエスはその場所に来ると、目を上げて彼を見て、彼に言った、「ザアカイ、急いで下って来なさい。ザアカイは急いで下って来なさい」。今日私はあなたの家に住まなければならないからです。

ザアカイは大金持ちで社会から軽蔑されていましたが、イエスは彼のありのままの姿を見て、恵みと受け入れを差し伸べました。

1. 神の愛は無条件ですべての人にあります

2. 愛されていない人や望まれていない人を受け入れる

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

2. マタイ 25:40 - そして、王は答えて彼らに言うだろう、「よく言っておくが、あなたがたは、この私の兄弟たちの中で最も小さい者の一人にしたのと同じように、私にしたのである。」

ルカ 19:6 そこで、彼は急いで降りてきて、喜び勇んで彼を迎えた。

この箇所には、イエスが喜んで人々に会いに降りてくる様子が描かれています。

1. イエスの喜び: 主から喜びを受け取ることを学ぶ

2. 速攻の力: 神の呼びかけに素早く応答する

1. 詩篇 100:2: 喜んで主に仕えなさい。歌いながら彼の前に来てください！

2. ピリピ 4:4: いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜んでください！

ルカ 19:7 それを見て、皆はつぶやいて言った、「あの人は、罪人である男と一緒に客になるために行ったのではないか」。

この箇所は、イエスが罪人である男と一緒に客として行こうとしているのを見たときの人々の反応を語っています。

1. イエスはすべての人を愛しています: ルカ 19:7 を見て神の無条件の愛を示す

2. 暗闇の中の光となる：イエスの行動が私たちをどのように導くかを考察する

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいま

す。

2. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。

ルカ 19:8 そこでザアカイは立って、主に言った。見よ、主よ、私の財産の半分を貧しい人々に施します。そして、もし私が冤罪によって誰かから何かを奪ったなら、私はその人を4倍にして返します。

ザアカイは、自分の財産の半分を差し出し、不当に受け取ったものの4倍を返すと申し出たとき、真の悔い改めを示しました。

1. 悔い改めの力

2. 赦しにおける神の恵み

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「そして、キリストにあって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、赦し合いなさい。」

2. ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにおける永遠の命です。」

ルカ 19:9 するとイエスは彼に言われた、「今日が救いの日だ、この家に来なさい。彼もアブラハムの子だからだ」。

イエスを信じ、アブラハムの子である人々に救いが訪れました。

1. 私たちは皆アブラハムの子であり、主は私たちに救いをもたらしてくださいます。

2. イエスを信じて主の救いを受けてください。

1. ローマ 4:11-12 - そして、彼は割礼のしるし、つまり割礼を受けていないときに信仰によって持っていた義の印を受けました。したがって、イエスは、信仰を持ちながらも、義が認められるために割礼を受けていないすべての人の父であるということになります。

2. ガラテヤ 3:6-7 - アブラハムが「神を信じたので、それが神の義であると認められた」のと同じように、信じる者はアブラハムの子供であることを理解してください。聖書は、神が異邦人を信仰によって義とされることを予見し、アブラハムに「すべての国民はあなたによって祝福される」という福音を事前に告げていました。

ルカ 19:10 人の子は、失われたものを探し求め、救うために来たのです。

イエスは失われた人々を探して救うために来られました。

1. 迷える羊：イエスの愛と思いやりの力

2. 新しい道: 救いへの導き手としてのイエス

1. ヨハネ 3:17 - 神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世を救うためでした。

2. マタイ 18:11 - 人の子は失われた人を救うために来たからです。

ルカ 19:11 彼らがこれらのことを聞いていると、イエスはさらにたとえを話された。彼はエルサレムに近づいており、神の国がすぐに現れるはずだと彼らが思っていたからである。

イエスはエルサレムの近くにいて、人々は神の王国が間もなく現れることを期待していたので、イエスは彼らにたとえ話をされました。

1.「神の国を待ち望みます」

2.「たとえ話の力」

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. マタイ 13:34 - 「イエスはこれらすべてのことをたとえ話で群衆に語られましたが、たとえ話なしには彼らに語られませんでした。」

ルカ 19:12 それでイエスは言われた、「ある貴族が、自分のために王国を手に入れて帰るために、遠い国へ行きました。」

イエスは、王国を受け取るために遠い国に行き、その後戻ってくる貴族のたとえ話をしました。

1: 神は私たちに重要な任務を託されており、神の祝福を受けるためには私たちは神に忠実でなければなりません。

2: イエスの生涯は、従順と忍耐を通じて神に忠実に仕える模範でした。

1: マタイ 25:14-30 - タラントのたとえ。

2: ヨシュア 1:8 - 強く勇敢でありなさい。どこへ行っても主はあなたとともにおられるからです。

ルカ 19:13 そこでイエスは、十人の召使を呼んで、十ポンドを渡して、「わたしが来るまでここを占領しなさい」と言った。

イエスは10人の僕に10ポンドを与え、戻ってくるまでそれを使うように言いました。

1. スチュワードの責任 - 私たちに与えられたものを管理することを学ぶ

2. キリストの再臨まで忠実 – 忍耐の生活を培う

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ

2. 1 コリント4:1-2 - 神の恵みの信頼できる管理人

ルカ 19:14 しかし、国民たちは彼を憎み、彼の後に使者を送り、「この人に我々を統治させるつもりはない」と言いました。

エルサレムの住民はイエスを自分たちの王として拒否しました。

1. イエスの正義の統治 - イエスがどのように私たちが従うべき正義の支配者であるか

2. イエスの拒否 - イエスの権威を拒否してはいけない方法

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ピリピ人への手紙 2:9-11 - したがって、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けたので、天においても地においても地の下においても、イエスの名のもとにすべての膝がかがむようになりました。父なる神の栄光のために、あらゆる舌がイエス・キリストが主であると告白します。

ルカ 19:15 そこで、イエスは王国を受け取って戻ってきたとき、各人がどれだけ得したかを知るために、お金を渡していたこれらの家来たちを呼び寄せるよう命じた。取引によって。

イエスは戻ってきて、家来たちに貿易でどれだけのお金を得たか報告するように命じました。

1. 勤勉な奉仕に対する報酬: イエスは忠実な僕たちの勤勉さに報酬を与えます。

2. 寛大さの喜び: イエスは、ご自分の僕たちの寛大さを祝います。

1. コリント人への第一の手紙 4:2 (「さらに、管理人には忠実であることが求められます。」)

2. コリント人への第二の手紙 9:6-7 (「しかし、私はこう言います。控えめに種を蒔く人は、刈り取りも少なく、そして豊かに蒔く人は、また豊かに刈り取ります。人はみな、心の中で思っているとおりに、与えなさい。しぶしぶではなく、必然的にではありません。神は陽気な与える人を愛しているからです。」）

ルカ 19:16 すると、最初の人が来て、「主よ、あなたの体重は十ポンド増えました」と言った。

イエスは弟子たちに、自分の才能を投資し、神から与えられた資源を賢明に管理するよう勧めています。

1. 忠実な執事: 目的を達成した人生を送る。

2. 自分の蒔いたものを刈り取る: 忠実な投資の祝福。

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ。

2. 箴言 13:11 - 急いで得た富は減りますが、少しずつ集める人はそれを増やします。

ルカ 19:17 そこでイエスは言った、「まあ、あなたは良い僕です。あなたはほんの少しのことに忠実だったから、十の都市に対する権威を持っているのです。」

忠実な僕は報酬として10の都市を支配する権限を与えられました。

1. 忠実な奉仕は大きな報酬につながります

2. 忠実さの祝福

1. マタイ 25:21 - 彼の主人は彼に言った、「よくやった、善良で忠実な僕よ」。あなたは少しの間は忠実でした。私はあなたに多くのことを課します。

2. 箴言 12:24 - 勤勉な者が支配し、怠け者は強制労働に処される。

ルカ 19:18 すると、二人目が来て、「主よ、あなたの体重は五ポンド増えました」と言った。

イエスはその人が与えられた才能を使って賢明な投資を行ったことを賞賛されました。

1: 神は私たちにさまざまな才能と能力を与えてくれました。私たちはこれらの賜物を賢明に用いて神に栄光を帰さなければなりません。

2: 私たちは、神が与えてくださった祝福を忠実に管理できるように努めなければなりません。

1: マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ。

2: 1ペテロ 4:10 - 私たち一人一人は、自分が受けた賜物を何でも使って他の人に仕え、神の恵みを忠実に執行すべきです。

ルカ 19:19 するとイエスも同じように彼に言った、「あなたも五つの都市を治めなさい」。

イエスは弟子の一人に5つの都市を担当するように指示されました。

1. イエスの言葉の力: イエスの指示がどのように素晴らしいことをもたらすのか。

2. 奉仕の素晴らしさ: 他人に奉仕することがいかに祝福をもたらすか。

1. マタイ 20:25-28 - イエスは、他の人に仕えることが偉大であることについて教えています。

2. ペテロ第一 5:6-7 - 主の前に謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

ルカ 19:20 すると、別の人が来て、「主よ、ご覧ください。これがあなたのポンドです。私がナプキンに盛っておいたのです。」

イエスは、神が私たちに与えてくださった資源を投資することの重要性について力強い教訓を教えられました。

1: 神が私たちに与えてくれるリソースへの投資

2: 持っているものに忠実であること

1: マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ

2: 箴言 3:9-10 - 持ち物で主を敬え

ルカ 19:21 あなたは厳格な人なので、私はあなたを恐れました。あなたは、自分が寝かせなかったものを取り上げ、自分が蒔かなかったものを刈り取るのです。

イエスは、責任を持たずに人生を生きることの結果について警告しています。

1: 私たちは自分の行動に責任を持ち、自分の決定にも責任を持たなければなりません。

2: 神は私たちが行うことに対して責任を負っておられるので、誠実かつ謙虚に生きるよう努めましょう。

1: 1 コリント 10:12 ーだから、立っていると思う人は、倒れないように気をつけなさい。

2: 伝道の書 11:9 - 若い人よ、若い時には喜びなさい。若い時には心を元気づけてください。自分の心と目の見える道を歩んでください。

ルカ 19:22 すると彼は言った、「あなたの口からあなたをさばきます、あなたの邪悪な僕よ」。あなたは、私が禁欲的な人間であり、寝ずに過ごし、種を蒔かなかったことを刈り取る者であることを知っていました。

イエスは私たちに、ご自身の賜物を忠実に管理するよう警告しておられます。

1. 神は私たちに、ご自分が祝福してくださったものを忠実に管理するよう求めておられます。

2. 私たちは神の栄光を讃え、神の王国を促進するために自分の資源を使わなければなりません。

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ。

2. コリント第一 4:2 - したがって、管理人には忠実であることが求められます。

ルカ 19:23 それなら、なぜあなたは私のお金を銀行に預けなかったのですか、私が来るときに高利貸しで自分のお金が必要になるからです。

この聖句は、しもべがなぜ利子を得るために自分に与えられたお金を使わなかったのかとイエスが質問する内容です。

1. 投資の力: 賢明な投資がより大きな報酬につながる方法

2. 才能のたとえ: 神に仕えるために自分の賜物と才能を活用すべき理由

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ

2. 箴言 22:7 – 金持ちは貧しい者を支配し、借りる者は貸す者の奴隷となる

ルカ 19:24 そこでイエスは、そばに立っている人々に言った、「その人から一ポンドを取り上げて、十ポンド持っている人に渡しなさい」。

この箇所では、イエスが傍観者たちに、1ポンド持っている人から取って、10ポンド持っている人に渡すように指示されたことが語られています。

1. 寛大さの力: 傍観している人々に対するイエスの教えの物語は、寛大さの力と、それが他の人を祝福するためにどのように利用できるかを語っています。

2. 神の豊かさ: そばに立っている人々に対するイエスの指示は、神の供給の豊富さと、それを他の人々の必要を満たすためにどのように使用できるかを語っています。

1. コリント人への第二の手紙 9:7-8 - 「あなたがたはそれぞれ、しぶしぶでなく、あるいは強いられてでもなく、自分の心に決めたことをささげるべきです。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。そして、神はあなたを豊かに祝福してくださることができるのです。いつでもすべてのことにおいて、必要なものをすべて持っていれば、あらゆる良い仕事がたくさんできるでしょう。」

2. ガラテヤ 6:9-10 「善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、しかるべき時に収穫が得られます。ですから、機会があれば、すべての人に善を行ないましょう」特に信者の家族に属する人たちに。」

ルカ 19:25 (すると彼らは彼に言った、「主よ、彼は 10 ポンド持っています。」

ルカ 19:25 のこの一節は、イエスの弟子たちの何人かが、体重 10 ポンドの人をどうすべきかイエスに尋ねた様子を語っています。

1. 所有する力: 神の祝福を使って世界に変化をもたらす方法

2. 寛大さの美徳: 犠牲と管理の人生を生きる方法

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ

2. コリント人への第二 8:1-15 - マケドニアの諸教会の寛大さ

ルカ 19:26 あなたがたに言いますが、持っている者はみな、与えられます。そして、持っていない者からは、持っているものさえも奪われます。

誰もが自分の行動に基づいて報酬や罰を受けます。

1: 私たちの行動には結果が伴うので、私たちは神に喜ばれる人生を送るように努めるべきです。

2: 私たちは自分の行動と、それが自分自身や他人にどのような影響を与えるかに留意しなければなりません。なぜなら、それらは私たちの将来に影響を与えるからです。

1: ヤコブ 4:17 - したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

2: 箴言 11:18 - 悪人は欺瞞的な報酬を得るが、義の種を蒔く者は確実な報いを得る。

ルカ 19:27 しかし、私が彼らを統治することを望まなかった私の敵たちは、ここに連れてきて、私の前で彼らを殺しました。

イエスは弟子たちに、敵を自分の前に連れてきて、彼らを殺すように命じました。

1. 無条件の愛の力: 敵を愛することを学ぶ

2. 迫害に直面した許し：もう一方の頬を向ける

1. マタイ 5:43-44 「『隣人を愛し、敵を憎みなさい』と言われていたのをあなたがたも聞いているでしょう。」 44 しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。」

2. ローマ人への手紙 12:17-21 「誰にも悪を悪で返してはなりません。すべての人の目に正しいことを行うように注意しなさい。 18 できることなら、自分次第で、みんなと平和に暮らしてください。」19 親愛なる友よ、復讐するのではなく、神の怒りを招く余地を残しておきなさい、「復讐するのはわたしの仕事である。わたしが報復する」と主は言われるからである。」21 悪に負けず、善をもって悪に勝ってください。」

ルカ 19:28 こうしてイエスは話してから、先に進んでエルサレムに上って行かれた。

イエスは人々に語りかけ、その後エルサレムへ旅に出ました。

1. イエスはエルサレムへの旅を通して信仰の力を実証しました。

2. イエスのエルサレムへの旅は、私たちが自分の人生の障害をどのように克服できるかを示す例です。

1. ヘブライ人への手紙 11:1-3 - 「さて、信仰とは、期待されている事柄の保証であり、目に見えない事柄の確信です。なぜなら、昔の人々はそれによって賞賛を得たからです。信仰によって、私たちは宇宙が言葉によって創造されたことを理解します。」目に見えるものは、目に見えるものから作られたのではありません。」

2. ピリピ人への手紙 3:13-14 「兄弟たち、私はそれを自分のものにしたとは思っていません。しかし、私がしていることはただ一つ、後ろにあるものを忘れて前にあるものに向かって力を尽くし、目標に向かって突き進むことです。」キリスト・イエスにおける神の上向きの呼びかけの賞です。」

ルカ 19:29 イエスは、オリーブ山と呼ばれるベテパゲとベタニヤに近づいたとき、二人の弟子を遣わした。

一節 イエスは二人の弟子をオリーブ山にあるベトファゲとベタニヤの村に遣わしました。

1. 二人の力: イエスが弟子たちに力を与える方法

2. オリーブ山の重要性: イエスの宣教におけるその役割

1. ルカ 10:1-2 - これらの事の後、主は他の 70 人も任命し、彼らを 2 人ずつ、ご自身が来るであろうあらゆる都市や場所に、面前から遣わされました。そこで彼は彼らに言った、「収穫は実に多いが、働き手は少ない。だから収穫の主よ、収穫のために働き手を送ってくださるように祈ってください。」

2. マタイ 28:18-20 - そして、イエスが来て彼らに語って言われた、「天においても地においても、すべての力がわたしに与えられている。」それゆえ、あなたがたは行って、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、すべての国民を教えなさい。わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、わたしはいつもあなたとともにいる。、たとえ世界の終わりまで。アーメン。

ルカ 19:30 こう言う、「あなたがたは敵対する村に入りなさい。あなたがそこに入ると、まだ人が座ったことがない子ろばがつながれているのを見つけるでしょう。彼を解き、ここに連れてきてください。

この節は、誰も乗っていない子ろばを見つけて連れて来なさいというイエスの弟子たちへの指示を説明しています。

1. イエスは私たちに、たとえそれがどんなに奇妙に見えても、その命令に従うよう呼びかけておられます。

2. 私たちはイエスがあらゆる必要を満たしてくださると信頼できます。

1. マタイ 17:27 - 「しかし、私たちは彼らを怒らせないように、海に行き、釣り針を投げ、最初に上がってくる魚を捕まえてください。そして、あなたが口を開けると、あなたは魚の一部を見つけるでしょう」お金：それは私とあなたのために受け取って、彼らに与えます。」

2. イザヤ書 40:11 - 「彼は羊飼いのように自分の群れを養う。腕で小羊を集めて胸に抱き、子連れの子たちを優しく導く。」

ルカ 19:31 もし誰かがあなたに尋ねたら、「なぜ彼を逃がすのですか」。このようにあなたがたは彼に言うであろう、「主は彼を必要としておられるからである」。

イエスは弟子たちに、なぜロバを解放するのかという質問には、主が自分を必要としておられると主張して答えるように指示されました。

1. 私たちの人生は神の目的に奉仕することに捧げられるべきです。

2. 私たちは神のニーズのために自分の必要を喜んで犠牲にしなければなりません。

1. ピリピ 2:3-5 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはいけません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。お互いの関係においては、キリスト・イエスと同じ考え方を持ちなさい。」

2. マルコ 10:45 「人の子ですら、仕えられるために来たのではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのです。」

ルカ 19:32 そこで、遣わされた者たちは、出発して、イエスに言われたとおりのことを見つけた。

この箇所では、イエスが探すように言われたものを弟子たちが見つけたことが語られています。

1: 神は常に約束に忠実です。

2: 神の言葉は信頼できます。

1: ヨシュア記 23:14 「そして、見よ、今日、わたしは全地の道を行く。そしてあなたがたは、心と魂のすべてで知っている、人々が成し遂げたすべての良いことのうち、何一つ失敗したものはなかった。」あなたの神、主はあなたについて語られた、すべてがあなたのところに来て、失敗したことは一つもない。」

2: イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

ルカ 19:33 そして、子ろばを放していたとき、その持ち主たちが彼らに言った、「なぜ子ろばを放すのか」。

子馬の所有者は、なぜ子馬がほどかれるのか尋ねました。

1: 神は私たちの生活の細部に宿ります。神は私たちの一挙手一投足に気づき、大小を問わず私たちの行動に気を配っています。

2: イエスは私たちの信頼と従順に値するお方です。イエスは弟子たちにろばの鎖を解くように頼みました、そして彼らは信仰をもってそうしました。

1: マタイ 10:28-31 - そして、体を殺しても魂を殺すことができない者たちを恐れてはなりません。むしろ、地獄で魂と体の両方を滅ぼすことができる方を恐れてください。

2: 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

ルカ 19:34 すると彼らは言った、「主が彼を必要としておられるのです」。

人々はイエスにはロバが必要だと宣言しました。

1: イエスは自分が神の子であることを証明するためにロバを必要としていました。

2: 私たちも、自分の持っているものを差し出すことによって、イエスへの信仰を示すことができます。

1: フィリピ 2:8 - そして、人間の姿で発見された彼は、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死にまで従順になりました。

2: マタイ 11:29 - わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく謙虚だから、そうすればあなたは自分の魂に安らぎを得るでしょう。

ルカ 19:35 そこで、彼らは子ろばをイエスのもとに連れて行き、自分たちの衣をろばの上に投げかけ、イエスをその上に置いた。

人々はイエスを若いロバを連れてきて、その上に置きました。彼らはそれを衣服で覆いました。

1.「信仰の力: イエスの忠実な追随者」

2. 「奉仕の力: 自分より他人を優先する」

1. マタイ 21:1-11 - イエスの凱旋入場

2. ピリピ 2:3-7 - イエスの謙虚さと奉仕の模範

ルカ 19:36 そしてイエスが行かれると、彼らは道に服を広げた。

イエスが旅をするとき、弟子たちは敬意のしるしとして道に服を広げました。

1. イエスに対する私たちの対応: 敬意と敬意

2. 私たちの行動を通じてイエスを讃える

1. ピリピ人への手紙 2:5-11 - キリスト・イエスのうちにあるこの心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を空しくしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2. マルコ 6:34-44 - 彼が陸に上がったとき、大群衆を見て、彼らを憐れみました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のようなものだったからです。そして彼は彼らに多くのことを教え始めました。

ルカ 19:37 そして、イエスが近づいてくると、今もオリーブ山の下り坂で、弟子たちは皆、自分たちが見たすべての力強い御業のために喜び、大声で神を賛美し始めた。

イエスの弟子たちは、イエスがオリーブ山の下りに近づいたときに見た力強い御業を喜び、大声で神を賛美しました。

1. 賛美の力：神の偉大な御業を喜び、感謝することを学ぶ

2. オリーブ山: ルカ 19:37 におけるイエスの降臨の意味

1. 詩篇 145:3-4 - 主は偉大であり、大いにほめたたえられます。そして彼の偉大さは探ることができない。ある世代はあなたの功績を他の世代に称賛し、あなたの偉大な行為を宣言するでしょう。

2. ヘブライ 13:15 - ですから、私たちはこの方によって、賛美の犠牲を絶えず神にささげましょう。つまり、御名に感謝する唇の実をささげましょう。

ルカ 19:38 こう言う、「主の御名によって来られる王に祝福あれ。天には平和、いと高きところには栄光がある。」

エルサレムの人々は喜びと祝福の叫び声をあげてイエスを歓迎しました。

1: 私たちはエルサレムの人々と同じように、喜びと祝福をもってイエスを歓迎すべきです。

2: 私たちはイエスを私たちの王として宣言し、彼にふさわしい栄光を彼に与えるべきです。

1: エペソ人への手紙 2:14 神は私たちの平和であり、両方を一つにされた方だからです。

2: コロサイ 3:17 そして、あなたがたが言葉であれ行いであれ、すべてを主イエスの名によって行い、主イエスを通して神と父に感謝しなさい。

ルカ 19:39 すると、群衆の中からパリサイ人の何人かがイエスに言った、「先生、あなたの弟子たちを叱責してください。」

パリサイ人たちはイエスに弟子たちを叱責するよう求めました。

1: イエスは、寛容であり、他の人の信念を尊重することが重要であると教えています。

2: イエスは、他の人の信仰を裁いたり批判したりするのは私たちの立場ではないと教えています。

1: ローマ人への手紙 12:9-10 – 「愛は本物であってください。悪を憎む。良いものをしっかり持ちなさい。兄弟愛をもって互いに愛し合いましょう。名誉を示すという点でお互いを上回りなさい。」

2: マルコ 12:31 – 「第二はこれです。『隣人を自分のように愛さなければなりません。』」これより偉大な戒めは他にありません。」

ルカ 19:40 そこでイエスは答えて言われた、「言っておきますが、もしこの人たちが平和を保つなら、すぐに石が叫び出すでしょう。」

人々はイエスの言葉に非常に感動したので、もし彼らが声を上げなければ、石が声を上げるでしょう。

1: イエスの言葉に触発されて、声を上げて福音を分かち合いましょう。

2: 私たちは石のようになるのではなく、イエスの言葉に動かされた人々のようになり、希望のメッセージを分かち合いましょう。

1: ピリピ 2:15-16 「それは、神の子であるあなたがたが、よこしまな曲がった国民のただ中で、とがめられることもなく、罪もなく、その中で世の光として輝くためです。命の言葉を掲げて。」

2: イザヤ書 43:10 「あなたがたはわたしの証人であり、わたしが選んだわたしのしもべである、と主は言われる。それは、あなたがたがわたしを知り、信じ、わたしがその者であることを理解するためである。わたしの前に神は造られなかったし、神も造られないだろう」私の後に来なさい。」

ルカ 19:41 そして、近づいたとき、彼はその町を見て、そのことで泣いた、

イエスはエルサレムの街に近づくと涙を流されました。

1: イエスの慈悲: 現在を超えて見る

2: 失われた人たちの悲しみ: イエスの愛の模範

1: マタイ 23:37-38 「おお、エルサレム、エルサレム、預言者を殺し、遣わされた者たちを石で打ち殺す都よ！」鶏が羽の下に雛を集めるように、私は何度あなたの子供たちを集めただろうか。それなのにあなたはその気がなかったのです！」

2: ヘブライ 4:15-16 「私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいません。あらゆる点で私たちと同じように誘惑を受けながらも、罪のない大祭司がいます。そうすれば、私たちが慈悲を受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

ルカ 19:42 こう言う、「もしあなたが、少なくともこの日に、あなたの平和に属する事柄を知っていたら！」しかし今、それらはあなたの目から隠されています。

イエスはエルサレムにおける理解の欠如を嘆きました。

1. 神を信頼し、真実に目を開いてください。

2. あなたに平和をもたらすかもしれないものを見逃さないでください。

1. マタイ 6:25-34 - 心配しないで、神を信頼してください。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。

ルカ 19:43 あなたの敵があなたの周囲に塹壕を築き、あなたを取り囲み、四方八方からあなたを閉じ込める日があなたに襲いかかるであろう。

敵が私たちを取り囲み、罠にかける日が近づいています。

1: 私たちが囲まれたとき、神は私たちの力となり、避け所となってくださいます。

2: たとえ敵の真っ只中にいても神が守ってくださると信頼できます。

1: イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。川の中を通るときも、水があなたを圧倒することはない。火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない。」

2: 詩篇 18:2 「主はわたしの岩、わたしの砦、わたしの救い主、わたしの神、わたしの岩、わたしの避け所、わたしの盾、わたしの救いの角、わたしの砦。」

ルカ 19:44 そして、あなたを地面と同じように横たわらせ、あなたの子供たちをあなたの中に置くでしょう。そして彼らはあなたの中に石を石の上に置いたままにしてはならない。あなたは自分の訪問の時間を知らなかったからです。

エルサレムの人々は、イエスがメシアであることを認識しなかったため、彼らとその子供たちも滅ぼされるでしょう。

1. 私たちの生活における神の訪問を認識する

2. 不信仰の結果

1. イザヤ書 48:17-19 - したがって、あなたの救い主、イスラエルの聖者である主はこう言われます。

2. ローマ人への手紙 1:18-20 - 神の怒りは、人間のあらゆる不敬虔と不義に対して天から啓示されるからです。彼らは、不義によって真理を抑圧するのです。なぜなら、神について知られている事柄は彼らのうちに明らかであり、神がそれを示されたからです。彼らへ。

ルカ 19:45 それからイエスは宮にはいって、そこで売っている者たちと買っている者たちを追い出し始めた。

イエスは神殿を清め、弱者を利用する腐敗した人々に対して怒りを表しました。

1:神の裁きは迅速かつ確実です。

2: 私たちは自分の信仰の管理人であることを常に忘れてはなりません。

1: 箴言 21:3 - 義と正義を行うことは、犠牲を払うことよりも主に受け入れられます。

2: ミカ 6:8 ーおお、主はあなたに、何が良いことであるかを教えてくださいました。そして主があなたに求めておられるのは、正義を行い、親切を愛し、謙虚に神と共に歩むこと以外に何があるでしょうか？

ルカ 19:46 彼らに言った、「『わたしの家は祈りの家』と書いてあるのに、あなたがたはそこを盗賊の巣窟にしている。」

イエスは、神の家は祈りの家であるべきであり、不名誉な行為が行われる場所ではないと教えています。

1. 私たちの礼拝所は神の神聖さを反映すべきです

2. 正義の力と罪の破壊力

1. 詩篇 24:3-4 - だれが主の山に登るでしょうか。それとも誰が彼の聖なる場所に立つでしょうか？きれいな手と純粋な心を持っている人。自分の魂を虚栄心まで高めず、偽りの誓いも立てなかった人。

2. イザヤ書 56:7 - わたしは彼らをわたしの聖なる山に連れて行き、わたしの祈りの家で彼らを喜ばせます。彼らの全焼のいけにえと彼らのいけにえはわたしの祭壇で受け入れられます。私の家はすべての人々のための祈りの家と呼ばれるからです。

ルカ 19:47 そして、彼は毎日神殿で教えました。しかし、祭司長たち、律法学者たち、民の長たちは彼を滅ぼそうとした。

イエスは迫害者たちに抵抗し、毎日神殿で説教を続けました。

1: わたしたちはイエスの模範に従い、反対に直面しても自分の信念を堅持すべきです。

2: 私たちは神の保護を信頼し、いかなる状況においても神の意志を勇敢に実行すべきです。

1: 使徒 5:29 - 「私たちは人間ではなく神に従わなければなりません！」

2: 詩篇 27:1 - 「主は私の光であり、私の救いです。私は誰を恐れるべきでしょうか。主は私の人生の砦です。私は誰を恐れるべきでしょうか。」

ルカ 19:48 そして、どうすればよいのか見当がつきませんでした。民は皆、熱心に彼の話を聞いていたからです。

イエスが人々に話しかけると、人々は細心の注意を払っていました。

1. 聞く力: イエスに近づく方法

2. 注意深く聞く技術: イエスから学ぶ

1. ヤコブ 1:19 −それでは、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

2. 箴言 10:19 - 多くの言葉の中で罪を望まない。しかし、口を控える者は賢い。

ルカ 20 章には、イエスとエルサレムの宗教指導者たちとの一連の出会いが描かれています。そこにはテナントに関する彼のたとえ話、カエサルへの納税に関する教え、復活についての議論、そして律法の教師に対する警告が含まれています。

第 1 段落: この章は、祭司長や律法学者長老たちがやって来て、イエスが神殿で教え、福音を宣べ伝えているところから始まり、イエスがこれらのことを行っている権威に疑問を抱きました。それに応えてイエスは、ヨハネのバプテスマ、それが天からのものか人間からのものかについて質問しました。どちらにしても人々の反応を恐れて彼らが答えることができなかったとき、イエスはまた、自分がどのような権威によってこれらのことを行ったのかを彼らに告げることを拒否しました (ルカ2 0:1-8)。それから彼は、ブドウ園を借りていたブドウ園の所有者に、ブドウ園のテナントがずっと前に行って、果物を集めるために使用人テナントを送り込んだが、彼らは彼を殴り、手ぶらで追い返したと語った。これはさらに 2回起こり、最終的には愛する息子を尊重してくれると考えて送りましたが、代わりに息子を殺した借家人が相続財産を受け取りました。イエスは、所有者がテナントにブドウ畑を与えているところを破壊しに来るだろうと示唆したが、これは宗教指導者らの怒りを引き起こした。彼らは、たとえ話が自分たちに不利であることは、神の使者が最終的には神の子であることを拒否していることを示していると悟ったからだ（ルカ 20:9
- 19）。

第 2 段落: その後、宗教指導者によってスパイが送り込まれ、カエサルが税金を支払うのが正しいかどうかを尋ねるために、権力を引き渡すために知事の言葉を罠にかけようとしました。彼らのずる賢さを認識したイエスは、デナリオン硬貨を要求し、それに誰の像が刻まれているかを尋ねました。彼らが「カエサルのもの」と答えると、イエスは「では、カエサルのものはカエサルに、神のものは神に返しなさい」と言い、それによって国民の義務と精神的責任の両方を矛盾なく確認する彼らの罠を回避しました（ルカ20:20-26）。それから、復活はないと主張するサドカイ派の人々が、モザイクのレビレート結婚法に従って7人の夫を持つ女性について、全員が彼女と結婚したのでその妻が復活するという質問をしました。それに応じてイエスは、天使が子供であるように、神は子供であるため、結婚しても結婚しても復活を遂げる価値のある人はもう死ぬことはできないと明言し、モーセさえも死んだ者がよみがえったことを示し、主を「神アブラハム・イサク・ヤコブ」と呼ぶ燃える藪の一節を参照して述べました。したがって、神は死んで生きているわけではなく、すべての人が神を生きていることを示しており、死後の現実の復活を肯定しています（ルカ20:27-38）。

第三段落：その後、質問の形勢を逆転させた指導者たちは、ダビデ自身が詩編の中で「主は、わたしの主、わたしがあなたの敵を足台にするまで、わたしの右に座っていなさい」と宣言しているのに、どうしてキリストがダビデの息子であることができるのかと尋ねた。したがって、ダビデは彼を「主」と呼びます。それではどうして彼が彼の息子になれるのでしょうか？誰もこの質問に答えることができず、単なる肉体的な血統を超えた神聖な御子メシアを確立する批判者たちを沈黙させる神の知恵の優位性を示すために、これ以上質問しようとする人もいませんでした(ルカ20:41-44)。最後に、すべての人々が聞いている間、弟子たちよ、教師に気をつけなさい、法則、長いローブを着て歩き回るのが好きな人、敬意を持った挨拶が大好き、市場、最高の席、シナゴーグの場所、栄誉ある宴会、見世物として未亡人の家をむさぼり食う、長い祈りをする、これらは偽善、これみよがしの宗教性との対比、真の信心深さ、謙虚さ、正義を例証する、より大きな非難を受けるだろう。（ルカ 20:45-47）。

ルカ 20:1 ある日、彼が神殿で人々に教え、福音を宣べ伝えていたとき、祭司長たちと律法学者たちが長老たちとともに彼のところにやって来て、

一節 イエスが神殿で人々を教え、福音を宣べ伝えたとき、祭司長、律法学者、長老たちがイエスのところにやって来た。

1. 説教の力: イエスが神殿でどのように福音を説いたか

2. 未信者に手を差し伸べる: 祭司長、律法学者、長老たちがイエスに挑戦する

1. 使徒 4:11-12 - 「このイエスは、あなたがた家を建てる者たちに捨てられ、隅の親石となった石です。そして、他の誰にも救いはありません。なぜなら、私たちが救われるために人間の間に与えられる天上の名前は他にないからです。」

2. ヨハネ 8:31-32 - 「もしあなたがわたしの言葉に従うなら、あなたはまさにわたしの弟子です。そうすればあなたは真実を知り、真実はあなたを自由にするでしょう。」

ルカ 20:2 そして彼に言った、「教えてください。あなたは何の権威によってこれらのことを行っているのですか。」それともあなたにこの権限を与えた彼は誰ですか？

人々はイエスに、どのような権限によって行動したのか、誰がそのような権限を与えたのかを尋ねました。

1. イエス：権威ある真実の声

2. 神の言葉から権威を引き出す

1. ヨハネ 8:31-32 - そこでイエスは、自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしあなたがわたしの言葉にとどまるなら、あなたがたはまことにわたしの弟子であり、真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」」

2. マタイ 7:29 - 「彼は律法学者としてではなく、権威を持つ者として彼らを教えたからです。」

ルカ 20:3 するとイエスは彼らに答えて言った、「わたしも一つ聞きたいことがあります。そして私に答えてください：

宗教指導者たちはイエスから質問されました。

1. 私たちは、イエスからの質問にいつでも答えられるように備えておかなければなりません。

2. イエスが質問されたら、私たちは謙虚になり、喜んで質問に答える必要があります。

1. マタイ 22:37-40 - 「イエスは答えて言われました。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の戒めであり、第二も同様です、「隣人を自分のように愛しなさい」。すべての律法と預言者はこの 2 つの戒めにかかっています。」

2. ヤコブ 1:19 - 親愛なる兄弟姉妹の皆さん、次のことに注意してください。誰もがすぐに聞き、ゆっくりと話し、ゆっくり怒るべきです。

ルカ 20:4 ヨハネのバプテスマは、天からのものでしょうか、それとも人間からのものでしょうか。

イエスは祭司長や長老たちから、洗礼者ヨハネの洗礼の由来について質問されました。

1. 信仰を問う力

2. 私たちの生活における神の御心をどのように見分けるか

1. マタイ 3:16-17 - そして、イエスがバプテスマを受けると、すぐに水から上がると、見よ、天が彼の前に開かれ、神の霊が鳩のように降りてきて彼の上に留まるのが見えた。;すると見よ、天からの声がこう言った、「これはわたしの愛する子であり、わたしはこの子に満足している。」

2. ヨハネ第一 4:1-3 - 愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出ているからです。これによって、あなたは神の霊を知ることができます。イエス・キリストが肉となって来られたことを告白するすべての霊は神から出たものであり、イエスを告白しないすべての霊は神から出たものではありません。これは反キリストの霊であり、あなた方は到来すると聞いていましたが、現在すでに世界に存在しています。

ルカ 20:5 そこで彼らは、自分たちで論じて言った、「もし言うなら、天から来たのでしょう。彼は言うだろう、「それでは、なぜあなたがたは彼のことを信じなかったのですか？」

祭司長たちと律法学者たちは、難しい質問でイエスを陥れようとしていた。

1: たとえ私たちが難しい質問に直面したときでも、イエスは私たちを助け、正しい答えに導いてくださいます。

2: たとえ困難な問題や状況に直面したときでも、私たちは神への信仰を持たなければなりません。

1: イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

2: ピリピ 4:6-7 - 何も思い煩うことはありません。すべてのことにおいて感謝を持って祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを守るでしょう。

ルカ 20:6 しかし、もし私たちが言うとしたら、人間の場合です。民は皆、私たちを石打ちにするでしょう。彼らはヨハネが預言者であると信じ込まされているからです。

人々はヨハネが預言者であり、そうでないことを言う者は誰でも石打ちにすると信じていました。

1: 私たちは、神が私たちを通して予期せぬ方法で働かれる可能性に対して常にオープンであるべきです。

2: たとえ反対に直面しても、誠実に信仰を貫くよう努めるべきです。

1: ガラテヤ 5:22-23 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

2: ヘブライ人への手紙 13:20-21 「さて、永遠の契約の血によって、羊の大羊飼いである私たちの主イエスを死人の中からよみがえらせた平和の神が、あなたがご自分の行いをするために、すべての良いものを備えてくださいますように。イエス・キリストを通して、御心に喜ばれることを私たちの内に働かせて下さるであろう、この方に永遠に栄光がありますように。アーメン。」

ルカ 20:7 すると彼らは、それがどこから来たのか分からないと答えた。

人々は祭司長や律法学者の権威がどこから来たのか分かりませんでした。

1: 私たちには、真実を探求し、自分の権威の源を知り、それを堅持する責任があります。

2: 私たちは常に自分の権威の起源を知るよう努め、異議が唱えられたときにそれを守る準備をしておかなければなりません。

1: マタイ 22:21 - 「したがって、カエサルのものはカエサルに返し、神のものは神に返しなさい。」

2: 箴言 2:2 - 「そうすれば、あなたは知恵に耳を傾け、理解に心を注いでください。」

ルカ 20:8 そこでイエスは彼らに言われた、「わたしがどんな権威をもってこれらのことをしているのか、どちらにも告げないでください。」

イエスは宗教指導者たちに、自分の行動の権威がどこから来たのかを話すことを拒否しました。

1. 神の権威: 神の権威を尊重し、従うことを学ぶ

2. 正しいことをする: 神の御心に忠実に生きる

1. ペテロ第一 2:13-15 - 統治当局への服従

2. エペソ人への手紙 6:5-7 - 私たちの主人に従い、敬意を払う

ルカ 20:9 それから、イエスは人々にこのたとえを話し始めた。ある男がブドウ畑を植え、それを農夫たちに分け与え、長い間遠い国へ行きました。

要約: ある男がブドウ畑を植え、それを借地人に貸してから長旅に出発します。

1. テナントのたとえ: 神の資源をどのように管理すべきか

2. 忠実な管理の責任

1. マタイ 21:33-44 - ぶどう園の小作人に関するイエスのたとえ

2. コリント人への第一の手紙 4:2 - 神の恵みの忠実な管理人

ルカ 20:10 季節になると、彼は、ぶどう畑の果実を与えるようにと、農場主たちに召使を遣わした。しかし、農場主たちは彼を殴り、空のまま追い返した。

地主は果物を集めるために召使いをブドウ畑に送りましたが、農夫たちはその召使いを殴り、何も持たずに追い返しました。

1. 私たちは無力な人々を利用すべきではありません。

2. 私たちは困っている人たちに優しさと寛大さを示すべきです。

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

2. ルカ 6:38 - 「与えなさい、そうすれば、与えられます。良い量りを、押しつけたり、一緒に振ったり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。なぜなら、あなたが使う量りで、それは測られるからです」あなた。"

ルカ 20:11 そこで、また別のしもべを遣わしたので、彼らもまた彼を殴り、恥ずべき懇願をして、空っぽのまま追い返した。

この一節は、主人による使用人への虐待を明らかにしています。

1.利己的な野心の危険性

2. 許しの力

1. ヤコブ4:1-10

2. ルカ23:32-34

ルカ 20:12 そこで、再び三人目を送ったので、彼らも彼を傷つけ、追い出した。

この一節は、神から遣わされた使者が拒絶され、その使者が負傷して追い出される様子を描いています。

1: どんなに頑張っても、拒絶されることはあります。たとえ世に拒絶されたとしても、私たちは神に忠実であり続けなければなりません。

2: 神の使者はしばしば拒否されますが、だからといって私たちが神の言葉を広め、神の働きを行うことを妨げるべきではありません。

1: イザヤ書 55:11 「わたしの口から出たわたしの言葉は、そのようになります。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送ったもので栄えるでしょう。」

2: ヨハネ 15:18-19 「もし世があなたがたを憎んでいるとしても、あなたがたを憎む前に、世がわたしを憎んだことをあなたがたは知っています。もしあなたがたが世のものなら、世も自分のことを愛するでしょう。しかし、あなたがたは世のものではありませんが、私はあなたを世から選んだので、世はあなたを憎んでいます。」

ルカ 20:13 そこで、ぶどう園の主人は言った、「どうしたらよいでしょうか。」私は私の最愛の息子を送ります。おそらく彼らは彼に会えば彼を尊敬するでしょう。

ぶどう園の主人は、民の尊敬を集めるにはどうすればよいかを尋ね、最愛の息子を送り出すことに決めました。

1. 神の愛の現実: 神の行動を通して神の愛を理解する

2. 神の恵みを最大限に活用する: 神の憐れみを認識し、感謝する

1. ローマ 5:8 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしてくださいます。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

ローマの信徒への手紙3章23節から24節に「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。」

ルカ 20:14 ところが、農場主たちは彼を見て、「これが相続人だ。さあ、彼を殺して、その相続地を私たちのものにしよう」と言い合った。

この一節は、ハズバンドマンのたとえ話についてのもので、ハズバンドマンが相続財産の管理を得るために相続人を殺すというものです。

1. 貪欲の危険と利己主義の結果

2. 真の権威を認識することの重要性

1. 箴言 28:25 高慢な心の者は争いを引き起こす。しかし、主に信頼する者は太る。

2. ヤコブ 4:1-3 あなたがたの間で戦争や争いが起こるのはどこからですか。それゆえ、彼らはあなたのメンバーの中で争いを起こすあなたの欲望さえも引き起こさないのですか？あなたがたは欲望するが、持たない。あなたがたは、殺し、手に入れたいと願うが、手に入れることができない。あなたがたは戦い、戦争するが、求めていないので、そうしていない。あなたがたが求めても、受け取らないのは、欲望に従ってそれを消費するためにあなたがたが間違っているからです。

ルカ 20:15 それで人々は彼をぶどう園から追い出し、殺しました。それでは、ぶどう園の主人は彼らに何をするでしょうか。

ぶどう園の主は、しもべを追い出し、殺してしまった者たちをどうすべきかと尋ねました。

1. 貪欲の結果: ルカ 20:15 の考察

2. 正義の必要性: ルカ 20:15 からの教訓

1. 伝道の書 8:11-12 - 犯罪の判決がすぐに執行されないとき、人々の心は悪を行おうとする計画でいっぱいになります。

2. ローマ 12:19 - 親愛なる友人たち、復讐をしないでください。神の怒りを招く余地を残しておいてください。次のように書いてあります。わたしが報います」と主は言われます。

ルカ 20:16 彼は来て、これらの農夫たちを滅ぼし、ぶどう園を他の人たちに与えるでしょう。そして彼らはそれを聞いて、「神は禁じます」と言った。

人々はイエスのぶどう園のたとえ話を聞き、ぶどう園の所有者が農夫たちを滅ぼし、ぶどう園を他の人に与えたという結末に衝撃を受けました。

1. ぶどう園の寓話: 見知らぬ場所で神の正義を見つける

2. ぶどう園のたとえ: 神の主権

1. マタイ 21:33-46 - ぶどう園の小作人のたとえ

2. イザヤ書 5:1-7 - 万軍の主のぶどう園のたとえ

ルカ 20:17 そこでイエスは彼らを見て言った、「では、『家を建てる人たちが捨てた石、それが隅の頭になっている』と書いてあるのは何ですか」。

イエスは律法学者たちに気づき、聖書の一節について質問しました。

1. 拒絶された石がどのようにして教会の礎石となったのか

2. 神の言葉による神の救いの力

1. 使徒 4:11-12 - これは、あなたがた家を建てる者のないところに置かれた、隅の頭となる石です。

12 また、他のものにも救いはありません。なぜなら、天の下で人間の間に与えられる名前は、それ以外に私たちが救われなければならないものがないからです。

2. イザヤ書 28:16 - それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに土台として石、試された石、貴重な隅の石、確かな土台を置いた。信じる者は急いではならない。」

ルカ 20:18 その石の上に落ちる者は砕かれるでしょう。しかし、それが誰の上に落ちても、それは彼を粉々に粉砕するでしょう。

石は、その上に落ちた者にも、それが落ちた者にも破壊をもたらす可能性があります。

1: 裁き、救うキリストの力

2: キリストを拒絶することの危険性

1: イザヤ書 8:14-15 - そして彼は聖所となるでしょう。しかし、イスラエル両家にとってはつまずきの石と侮辱の石となり、エルサレムの住民にとってはジンと罠となる。

2: ローマ人への手紙 9:30-32 - それでは、何と言いましょうか。それは、義を求めずに従った異邦人が義、さらには信仰による義に達したということです。しかし、義の律法に従っていたイスラエルは、義の律法に到達していません。なぜ？それは彼らが信仰によってではなく、いわば律法の行いによってそれを求めたからです。

ルカ 20:19 すると、祭司長たちと律法学者たちは、同じ時間にイエスに手を伸ばそうとした。そして彼らは人々を恐れた。彼らは、彼がこのたとえを彼らに対して話したことに気づいたからである。

祭司長と律法学者たちは、イエスが自分たちに不利なたとえを話したと気づき、イエスを逮捕しようとしました。

1: 私たちは自分の行動とその結果を認識するように注意しなければなりません。

2: 私たちは謙虚さを保ち、他の人が私たちに挑戦しても腹を立ててはなりません。

1: 箴言 16:18-19 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。高慢な者たちに戦利品を分けるよりも、貧しい者たちに対して謙虚な精神で接するほうが良いのです。」

2: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。」

ルカ 20:20 そこで彼らは彼を監視し、スパイを送り込んだ。彼らは正義の人を装って彼の言葉を捕らえ、彼を総督の権力と権威に引き渡すためである。

宗教指導者たちはイエスを告発し、ローマ総督に逮捕させる方法を見つけるためにスパイを送り込み、イエスに対する陰謀を企てました。

1. 欺瞞の危険性: イエスを陥れようとする宗教指導者の試みを検証する

2. 真実の力: イエスはどのようにして誠実さをもって欺瞞に立ち向かったのか

1. マタイ 22:15-22 - イエスはたとえ話でパリサイ人に対峙する

2. 詩篇 34:13 - 「あなたの舌を悪から遠ざけ、あなたの唇が偽りを語らないようにしなさい。」

ルカ 20:21 そこで彼らはイエスに尋ねて言った、「先生、私たちはあなたが正しいことを言い、教えておられることを知っています。あなたが誰かの人格を受け入れず、神の道を真に教えておられることを私たちは知っています。

イエスは、誰に対しても偏見や偏見を持たずに真実に教えました。

1. 私たちは説教したことを実践し、言葉と行動に一貫性を持たなければなりません。

2. イエスは私たちに、誠実で正直に生きる方法を示しました。

1. 箴言 12:17 - 真実を語る者は正義を語るが、偽りの証人は欺瞞を示す。

2. マタイ 22:37-40 - イエスは彼に言われた、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛せよ」。これは第一の、そして偉大な戒めです。そして二つ目はこれと同じで、「汝は汝自身のように汝の隣人を愛せよ」である。この二つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。

ルカ 20:22 私たちがカエサルに貢ぎ物をするのは合法ですか、それとも否ですか。

一節 宗教指導者たちはイエスに、カエサルに敬意を払うのは合法かどうか尋ねました。

1. 政府の法律の遵守に関するイエスの教え

2. 困難な状況におけるイエスの言葉の力

1. ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂はより高い力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

2. マタイ 22:15-22 - したがって、カエサルのものをカエサルに返しなさい。そして神のものは神のもとに。

ルカ 20:23 しかし、イエスは彼らの悪知恵に気づき、彼らに言った、「なぜわたしを誘惑するのか」。

この一節は、イエスが宗教当局の狡猾な意図に気づいていて、自分を騙そうとするのをやめるよう呼び掛けたことを示しています。

1. 「神は私たちの狡猾な意図を見抜いている」: イエスがどのように宗教当局の狡猾な意図を見抜き、騙そうとするのをやめるよう訴えたかについての教訓。

2. 「神は私たちの心を知っている」: 神がどのように私たちの考えや意図をすべて知っているか、そしてこの知識が私たちをどのように悔い改めに導くかについて。

1. マタイ 22:15-22: 婚宴のたとえ。イエスが宗教当局の狡猾な意図にどのように気づいていて、どのように彼らに異議を唱えたかを示しています。

2. ローマ 2:17-24: 私たちの考えに関する神の知識と、それがどのようにして私たちを悔い改めに導くべきかについてのパウロの教え。

ルカ 20:24 1 ペニーを見せてください。誰のイメージと上書きが付いていますか？彼らは答えて、「シーザーのものだ」と言いました。

人々は、ペニー硬貨には誰の像と碑文があるのかと尋ねられ、それはカエサルのものであると答えました。

1.「カエサルのものをカエサルに返しなさい」

2. 「政府当局の権力と権威」

1. マタイ 22:21 - 「したがって、カエサルのものはカエサルに返しなさい。そして神のものは神に捧げなさい。」

2. ローマ 13:1 - 「すべての魂は高次の力に服従しなさい。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。」

ルカ 20:25 そこでイエスは彼らに言った、「ですから、カエサルのものはカエサルに、神のものは神に返してください。」

神のものを神に捧げる：私たちの霊的義務を認識することの重要性。

1:

主に献身的になりなさい：主の御心に捧げた人生を送りましょう。

2:

神への恩返し: 信者としての私たちの責任を理解する。

1:

ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい礼拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。

2:

マタイ 22:37-40 - イエスはこう答えました。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これは第一で最大の戒めです。そして第二もこれと同じで、「隣人を自分のように愛しなさい」です。すべての律法と預言者はこの 2 つの戒めにかかっています。」

ルカ 20:26 彼らは民の前でイエスの言葉を理解することができなかったが、イエスの答えに驚嘆し、平和を保った。

人々はイエスの答えに驚き、反論することができませんでした。

1: すべてのことにおいて神を信頼し、頼ることを忘れないでください。神は私たちの知恵と力の源だからです。

2: 私たちは、主からの恵みと知恵をもって難しい質問に答える備えをしておかなければなりません。

1: ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人はすべての人に惜しみなく与え、非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2: 箴言 2:6-7 - 「主は知恵を与えられる。その口からは知識と理解力が出る。神は義人のために健全な知恵を蓄える。正しく歩む者を締める者である。」

ルカ 20:27 それから、サドカイ派の人々のうちの何人かが彼のところに来たが、彼らは復活などあることを否定している。そして彼らは彼に尋ねました、

サドカイ派はイエスに復活の可能性について質問しました。

1. 私たちは復活の力を信頼し、決して信仰を失わないようにしてください。

2. 私たちは神の約束、特に復活に対する信仰を持たなければなりません。

1. コリント第一 15:12-26 - 死者の復活に関するパウロの教え。

2. イザヤ 26:19 - 神の民に対する復活の約束。

ルカ 20:28 「先生、モーセは私たちにこう書きました。もし誰かの兄弟が妻がいながら亡くなり、子供も残さずに亡くなった場合、その兄弟は妻をめとって、兄弟の子を育てるようにと書きました。」

この一節は、男性が子供を持たずに亡くなった場合、兄弟は妻を娶って兄弟の名で子供を育てなければならないというモーセの書いた要求について語っています。

1. 家族の大切さ: なぜ愛する人の世話をしなければならないのか

2. レガシーの価値：将来の世代にプラスの影響を残す

1. 創世記 2:24、「それゆえ、人は父と母を離れて妻と結ばれ、二人は一体となる。」

2. ヨハネ第一 3:17、「しかし、世の財産を持っていながら、自分の兄弟が困っているのを見て彼に対して心を閉ざす者は、どうして神の愛がその人の内に宿るでしょうか。」

ルカ 20:29 それで、兄弟は 7 人いたが、最初の兄弟は妻を娶って、子供を残さずに亡くなった。

この一節は7人兄弟の物語を語っており、最初の兄は妻を娶って子供を残さずに亡くなった。

1. 人生において愛する人を大切にすることの大切さ。2. 人生のもろさについての教訓。

1. 伝道の書 3:2 - 「生まれる時と死ぬ時」。2. ペテロ第一 1:24-25 「すべての肉は草のようで、人の栄光はすべて草の花のようです。草は枯れ、その花は散ります。」

ルカ 20:30 そして、次男は彼女を妻に迎えたが、彼は子供を残さずに亡くなった。

この一節は、同じ女性と結婚した二人の男性について語っています。最初の男は子供を持たずに亡くなり、二番目の男は子供を持たなかった。

1: 神の計画は常に最善である - ローマ人への手紙 8:28

2: 信仰の重要性 - ヘブライ人への手紙 11:6

1: 伝道者の書 9:11 - 競争は足の速い者に、戦いは強い者に、パンは賢い者に、富は知識のある者に、知識のある者に恩恵があるのではなく、時と偶然がすべての人に起こるのです。

2: 箴言 16:9 - 人の心は自分の道を計画しますが、主は彼の歩みを確立します。

ルカ 20:31 そして、三人目が彼女を連れて行った。同様に、7人も子供を残さずに亡くなりました。

7人の兄弟が順番に未亡人と結婚したが、誰も子供を持たず、全員死亡した。

1: たとえそれが子供を産むことにつながらなかったとしても、神は私たち全員のために計画を持っています。

2: 神の御心は時々理解するのが難しいですが、それは常に私たちの利益になります。

1: ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2: 伝道の書 3:1-8 「何事にも時があり、天の下でのあらゆる活動には季節がある。生まれる時と死ぬ時、植える時と根を抜く時、殺す時と癒す時、壊す時と建てる時、泣く時と笑う時、嘆く時と踊る時、石を散らす時と集める時、抱きしめる時と抱きしめる時、探す時と諦める時、守る時と捨てる時、引き裂く時と直す時、沈黙する時そして話す時、愛する時と憎む時、戦争の時と平和の時。」

ルカ 20:32 最後に、女も死にました。

この一節には女性の死が描かれています。

1: 死すべき運命は私たちのもろさを思い出させるので、私たちは地上での時間を大切にすることを忘れないようにしなければなりません。

2: 私たちは、いつかは死に至ることを承知の上で、目的と意味を持って人生を生きなければなりません。

1: 伝道の書 7:2 - 「祝宴の家に行くよりも、弔いの家に行くほうが良いです。死はすべての人の運命だからです。生きている人はこのことを心に留めるべきです。」

2: ヘブライ人への手紙 9:27 - 「人は一度死ぬと、その後裁きを受けることが定められているのと同じです。」

ルカ 20:33 それで、復活のとき、彼女は誰の妻なのでしょうか。というのは、7人が彼女を妻に迎えたからである。

この箇所でイエスは、生涯に7人の夫を立て続けに持った女性について質問をしています。彼は、7 人の夫全員も復活するので、復活の際に彼女に何が起こるのか疑問に思っています。

1. 神の計り知れない知恵: 死後の世界の謎を探る

2. 結婚の永遠の絆：愛と忠実さへの私たちの決意を再確認する

1. コリント第一 15:35-45;死後の世界の謎を探る

2. エペソ人への手紙 5:21-33。結婚の永遠の絆とその霊的意義

ルカ 20:34 するとイエスは答えて言われた、「この世の子らは結婚し、結婚して与えられるのである。

イエスは、世界中の人々がどのように結婚し、結婚するかを説明します。

1. 結婚は簡単に決断できるものではありません。

2. 結婚の神聖さは尊重されるべきです。

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻はキリストを畏れ、夫に従うべきです。

2. ヘブライ 13:4 - 結婚はすべての人にとって名誉あるものとされます。

ルカ 20:35 しかし、あの世と死者の中からの復活を得るのにふさわしいとみなされる人々は、結婚もしないし、結婚もさせられない。

この一節は、結婚をしないという条件を伴う、世と死者の中からの復活を得るのにふさわしい者であることについて語っています。

#1: 世界と死者の中からの復活を得るために、クリスチャンは結婚を放棄し、神に集中しなければなりません。

#2: 結婚は神から与えられた贈り物ですが、人生で最も重要なことではありません。むしろ、永遠の命と復活を目指して努力すべきです。

#1: マタイ 19:12 - 「母の胎内からそのように生まれた宦官もいるし、人々から宦官にされた宦官もいるし、王国のために自分自身を宦官にした宦官もいる

からだ」天の恵みです。それを受け取ることができる人は、受け取ってください。」

#2: 1コリント7:32-34 - 「しかし、私は慎重にあなたを手に入れるつもりです。未婚の人は主に属するものを気にかけ、どのようにして主を喜ばせることができるかを考えます。しかし、結婚している人は物事に気を配ります」「この世のものは、どうすれば妻を喜ばせることができるか、ということです。妻と処女の間にも違いがあります。未婚の女性は、体も霊も聖なるように主の事柄に気を配ります。しかし、彼女はそうするのです」結婚している人は、世の中のこと、夫をいかに喜ばせるかということを気にしているのです。」

ルカ 20:36 彼らも、もう死ぬことはできません。彼らは天使と同等だからです。そして彼らは神の子であり、復活の子です。

神の子は天使と同等であり、復活の子であるため永遠に生きます。

1. 永遠の命: 神の不死の約束

2. 神の子たち: 神の愛によって救われた

1. マタイ 22:30 - 「復活のとき、彼らは結婚することも、結婚させられることもなく、天にいる神の天使のようになるからです。」

2. ローマ人への手紙 8:17 - 「そして、子どもであれば、相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。そうであれば、私たちがキリストとともに苦しみを受けるなら、私たちも一緒に栄光を受けることができるでしょう。」

ルカ 20:37 さて、死人がよみがえったとき、モーセでさえ、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、主を呼ぶとき、藪に向かって見せました。

死者はよみがえります。モーセは燃える藪の中でアブラハム、イサク、ヤコブの神、主を呼んだときにこのことを示しました。

1. 復活における神の力

2. 契約における神の忠実さ

1. ローマ人への手紙 4:16-17 - ですから、約束は信仰によって受け入れられるのです。無料でプレゼントされます。そして、私たちはモーセの律法に従って生きているかどうかに関係なく、必ずそれを受け取ることができます。なぜなら、その約束はイエス・キリストへの信仰を通して与えられるからです。

2. ヘブライ 11:17-19 - 信仰によって、アブラハムは試みられたとき、イサクをささげました。約束を受けた者は、自分の独り子をささげたのです。「あなたの子孫はイサクにおいて召されるであろう」と言われたのは彼でした。彼は、神は死者の中からも人をよみがえらせることができ、そこから自分を型として取り戻したと考えました。

ルカ 20:38 なぜなら、神は死んだ人の神ではなく、生きている者の神だからです。すべての人は彼に従って生きているからです。

この聖句は、神は死んだ人の神ではなく、生きている人の神であり、すべての人は神に従って生きていることを教えています。

1. 主のために生きる: ルカ 20:38 のメッセージ

2. キリストにおける永遠の命を受け入れる：ルカの祝福 20:38

1. ローマ人への手紙 14:8-9 - 私たちが生きているかどうかは、主のために生きているからです。したがって、私たちが死ぬにせよ、死ぬにせよ、私たちは主のものなのです。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

ルカ 20:39 すると、律法学者の中の何人かが答えて言った、「先生、よく言われました。」

イエスの賢明な言葉は律法学者たちから称賛されました。

1: 知恵は神の言葉の真理を知り、それを実践することに見出されます。

2: イエスは権威をもって語られました。私たちは彼の言葉を真実として心に留めるべきです。

1: 箴言 1:7 - 主を恐れることは知識の始まりですが、愚か者は知恵と教えを軽蔑します。

2: ヨハネ 8:32 - そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。

ルカ 20:40 それ以来、彼らは彼にまったく質問しなくなりました。

イエスが彼らの質問の一つに答えた後、人々はイエスにそれ以上質問しようとはしませんでした。

1. 私たちはイエスの模範から、自分の答えを確信し、正直に話すことを恐れないことを学ぶことができます。

2. たとえ難しい質問をされると気が遠くなるかもしれませんが、私たちは神の導きを信頼し、自分の答えを信じるべきです。

1. 詩篇 46:10: 「静まって、わたしが神であることを知りなさい。」

2. マタイ 11:28-29: 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、あなたがたを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。あなたは魂の休息を見つけるでしょう。」

ルカ 20:41 そこでイエスは彼らに言った、「どうして彼らはキリストがダビデの子だと言うのか」。

イエスは当時の宗教指導者たちに信仰の詳細について質問します。

1: キリストのアイデンティティは私たちの信仰の主要な側面であり、それを正しく理解していることを確認する必要があります。

2: イエスは私たちに、私たちの信念に疑問を投げかけ、私たちが信じていると言ったことを確実に実践しているかどうかを問いかけます。

1: ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、信じていない人をどのようにして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？そして、彼らは遣わされる以外に、どうやって説教するでしょうか？

2: マタイ 7:21-23 - 私に「主よ、主よ」と言う者すべてが天国に入るわけではありません。しかし、天におられるわたしの父の御心を行う者です。その日、多くの人が私にこう言うでしょう、主よ、主よ、私たちはあなたの名において預言したのではありませんか？そしてあなたの名において悪魔を追い出したのですか？そしてあなたの名において多くの素晴らしい業を成し遂げましたか？そして、私は彼らに、「私はあなたたちを知りませんでした。不法行為を働く者たちよ、私から離れてください。」と告白します。

ルカ 20:42 ダビデ自身も詩篇の中でこう言っています、「主はわたしの主に言われた、『あなたはわたしの右に座れ、

主はダビデの主に、主の右に座るよう命じられます。

1: 私たちは常に主の命令に喜んで従わなければなりません。

2: 主はご自分に従順な者を高められます。

1: イザヤ書 42:1 - 「見よ、わたしが支持するわたしのしもべ、わたしの魂が喜ぶわたしの選ばれた者、わたしは自分の霊を彼に置いた。彼は異邦人に裁きを下すであろう。」

2: ヨハネ 15:14 - 「あなたがたは、わたしの命じることを何でも行うなら、わたしの友です。」

ルカ 20:43 わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまでは。

この箇所は、イエスが戻ってくるまで敵を踏み台にするというイエスの約束について語っています。

1. 期待に満ちた希望の中で生きる: イエスの帰還を待ち望む

2. 信仰に堅く立つ: イエスは私たちのチャンピオンです

1. 詩篇 110:1 - 「主は私の主に言われます。『わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまで、わたしの右に座っていなさい。』

2. ヘブライ 10:12-13 - 「しかし、この祭司は、罪のためにいつも一つの犠牲をささげていたとき、神の右に座り、それ以来、敵が自分の足台になるのを待っています。」

ルカ 20:44 それでダビデは彼を「主」と呼びますが、それでは彼はどうして彼の息子なのでしょうか。

パリサイ人たちはイエスに、ダビデとメシアの関係について質問し、もしダビデが親子だったらどうしてメシアを「主」と呼ぶことができるのかと尋ねました。

1: イエスと神との関係は独特であり、私たちはイエスの神性の力を認識しなければなりません。

2: 私たちは謙虚になって、イエスを私たちの主であり救い主として受け入れなければなりません。

1: 詩篇 110:1 - 「主は私の主に言われた、『わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右に座っていなさい。』」

2: コロサイ 2:9 - 「彼の内には神の満ち満ちたものが肉体的に宿っているからです。」

ルカ 20:45 それから、イエスはすべての聴衆の中で弟子たちに言われた、

イエスは弟子たちに、お金の使い方に注意し、それを自分ではなく神に捧げるように指示しました。

1. 無私の力: 神に与えることがいかに祝福をもたらすか

2. 満足の欲求: すでに持っているものに喜びを見つける

1. コリント人への第二の手紙 9:7 - 「あなたがたは一人一人、しぶしぶでなく、あるいは強いられてでもなく、心に決めたものをささげるべきです。神は喜んで与える人を愛してくださっているからです。」

2. テモテ第一 6:6-8 - 「しかし、満足を伴う敬虔さは大きな利益です。私たちは世に何ももたらしませんでしたし、そこから何も取り出すことはできません。

しかし、衣食住があれば、私たちはそれで満足します。」。」

ルカ 20:46 律法学者たちに気をつけなさい。彼らは長い衣を着て歩きたがり、市場での挨拶や、会堂の一番上の席や、宴会の主席を好むのです。

権力や地位を求める人には気をつけてください。

1. プライドと権力の誘惑を拒否する。

2. 地位よりも謙虚さを求めて努力する。

1. ヨハネ 13:12-17 - 弟子たちの足を洗うイエス。

2. 箴言 16:18 - 高慢は滅びに先立ちます。

ルカ 20:47 やもめの家を食い荒らし、雌のために長い祈りをする者は、さらに大きな懲罰を受けるであろう。

この箇所は、自分の利益のために未亡人を搾取するために長い祈りをする人々に対して警告しています。

1. 弱者を利用する者には神の正義が下される。

2. 見せかけではなく、誠実に祈りましょう。

1. ヨハネ第一 3:17-18 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見ていても、その兄弟に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人の内に宿るでしょうか。子供たちよ、言葉や言葉で愛さないようにしましょう。」口では言いますが、行為と真実で。」

2. 箴言 22:22-23 - 「貧しいからといって貧しい人を強奪してはならない。また、苦しんでいる人を門前で押しつぶしてはならない。主は彼らの大義を弁護し、彼らから奪う者の命を奪われるからである。」

ルカ 21 章には、やもめの捧げ物、終末のしるし、エルサレムの滅びに関するイエスの教えが取り上げられています。

第 1 段落: この章は、金持ちが神殿の宝物庫に贈り物を入れ、貧しい未亡人も 2 枚の非常に小さな銅貨を入れているのをイエスが観察するところから始まります。彼は、「正直に言いますが、この哀れな未亡人は他の誰よりも多くの努力をしてきたのです」と言いました。これらの人々は皆、自分の富から贈り物をしました。しかし、彼女は貧しい中、生きていくために必要なすべてを注ぎ込み、真の寛大さの例として自分の犠牲的な寄付を強調しました（ルカ21:1-4）。

第 2 段落: 美しい石や神に捧げられた贈り物で飾られた神殿について話す人たちがいたとき、イエスは、投げ落とされない石は一つも残らない、と言って神殿の滅び

を予言し、弟子たちはこれらのことがいつ起こるのかどうなるのかと尋ねました。彼らが起こることを知らせる。それに応えて主は、多くの人がご自分の名を呼び、時が近づいていると主張しながら、彼らに従うべきではないが、彼らに騙されないようにと警告されました。また、戦争、革命、国家に対する国家に対する蜂起、王国に対する王国に対する地震、飢餓、疫病、恐ろしい出来事、これらのことが起こる前の天からの大きな兆候（ルカ 21:5-）についても語られました。11)。さらに、このすべての前に信者たちに迫害を予告しましたが、その結果、証言する機会が得られ、約束された知恵を語り、敵対者は矛盾に抵抗することができず、また裏切りを警告し、死さえもすべての国に憎悪をもたらすだろうと安心させました。）。

第 3 段落：預言の続きとして、神はエルサレムが軍隊に囲まれて荒廃することを予告し、ユダヤ人は山々から逃げろと警告し、その都市はその国から出て行け、この日は都市に入らないように、復讐は成就する、書かれたとおりの大苦難の土地の怒り、その民は剣に導かれた捕虜の国々によって倒れる、エルサレムは異邦人を踏みにじるまでと予告された。異邦人が満たされたとき（ルカ 21:20-24）。それから、宇宙の混乱の兆候が語られました、太陽、月の星、地球の苦悩、国々の困惑、轟音、投げ飛ばす海の人々、失神する恐怖、来るべき世界の恐怖、天体が揺れ、そのとき彼らは息子が見るでしょう、力を持って雲が来るでしょう、これらのことが起こり始めるとき、立ち上がって頭を上げてください、なぜなら救いの絵があるからです弟子たちを励ます近くに標識を読む いちじくの木が芽吹くような時 王国を知る神 神が彼らに警告する近くに注意する 重荷にならないよう注意する 酒に酔う不安 人生の日が近づく 思いがけず罠にかかる 祈る力 脱出する すべてのことが起こる 息子の前に立つ（ルカ21:25-36）。この章は、イエスがオリーブ山で夜を過ごしながら毎日神殿を教え、早朝に人々が彼の神殿にやって来てその声を聞くことで終わり、緊張が高まる中で影響力が増大していることを示し、次の章の最後の受難の出来事につながります（ルカ21:37-38）。

ルカ 21:1 そこで彼が見上げると、金持ちたちが宝物庫に贈り物を投げ入れているのが見えた。

イエスは、金持ちたちが神殿の宝物庫に惜しみなく寄付しているのを観察されました。

1: 寛大さは単なるお金以上のものです - ローマ 12:8

2: 私たちの寄付は犠牲的でなければなりません - 2コリント8:1-2

1: 箴言 3:9-10 - あなたの財産と、あなたのすべての増加の初穂をもって主を敬え。

2: マラキ書 3:10 - 私の家に食べ物があるように、十分の一をすべて倉に持ってきてください。

ルカ 21:2 また、ある貧しいやもめが、そこに二匹のダニを投げ入れているのを見ました。

この一節は、貧しいやもめが神殿に2つのダニを寄付しているのをイエスが観察したというものです。

1. 小さな犠牲の力: わずかな犠牲でどのように変化をもたらすことができるか

2. やもめの心: 神は私たちの奉仕を見て、評価してくださる

1. マルコ 12:41-44 - イエスはやもめの捧げ物を褒める

2. コリント人への第二 8:1-5 - パウロはコリント人たちに、資力に応じて惜しみなく与えるよう勧めています。

ルカ 21:3 そして彼は言った、「真実としてあなたに言いますが、この哀れなやもめは彼ら全員よりも多くのことを注ぎ込んだのです。

この貧しい未亡人は誰よりも寛大に寄付をしました。

1. 寛大さの力

2. 犠牲の重要性

1. マルコ 12:41-44 - イエスはやもめの寛大さを褒めました。

2. コリント人への第二 8:1-5 - パウロはコリント人に犠牲を払うよう勧めています。

ルカ 21:4 というのは、これらの人々はみな、その豊かさの中から神のいけにえを投げ込んだのです。しかし、彼女はその貧しさから、自分の持っているすべての生きているものを投げ込んだのです。

この一節は、神への捧げ物に自分の持てるすべてを捧げた未亡人の極端な犠牲と忠実さを強調しています。

1. 寛大さの力: 信仰をもって犠牲を払うことを学ぶ

2. 寡婦ダニ: 神の摂理を信頼する

1. マルコ 12:41-44 - イエスはやもめの信仰と犠牲をほめました。

2. 申命記 15:7-11 - 困っている人たちに寛大で寛大であるようにという神の命令。

ルカ 21:5 そして、神殿が立派な石や贈り物で飾られていたことについて、ある人々が語っていたように、彼はこう言いました。

神殿は立派な石や贈り物で飾られていました。

1: 神は私たちが良い賜物で身を飾り、それを神の栄光のために使うことを望んでおられます。

2: 神殿の美しさは神の栄光の反映です。

1: ペテロ第一 3:3-4 ?あなたの装飾品を外側に置いてはいけませんか？髪を編んだり、金の宝石を身に着けたり、着ている服を着たりすることは大切ですが、あなたの装飾は、神の目から見て非常に貴重な、穏やかで静かな精神の不朽の美しさで心の隠れた人になりましょう。??

2: 詩篇 45:13-14 ?王はあなたの美しさに魅了されています。彼を讃えよ、彼はあなたの主だから。部屋にいる王女は、金が織り込まれたローブを着て、とても輝かしいです。

ルカ 21:6 あなたがたが見ているこれらの事柄については、石がまた別の石の上に残ることもなく、投げ落とされることもない日が来るでしょう。

神殿が破壊され、石一つ残らない日が来るでしょう。

1. 今この瞬間を生き、主の計画を信頼することの大切さ。

2. 物理的構造のはかないものと神の言葉の永続性。

1. 詩篇 146:3-4 - 「君たちや人の子に信頼を寄せてはなりません。彼らには救いがありません。息が消えると、彼は地に戻ります。その日、彼の計画は滅びます。」

2. ヘブライ 13:8 - 「イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。」

ルカ 21:7 そこで彼らはイエスに尋ねて言った、「先生、しかし、そのようなことはいつになるのですか。」そして、これらのことが起こるとき、どんなしるしがあるでしょうか？

人々はイエスに、神殿の破壊とそれに伴う前兆がいつ起こるのかを尋ねました。

1: 時代の兆しを知る: 終末に関するイエスの教え

2: 終わりに備える方法: 来るべき滅びについてのイエスからの教訓

1: マタイ 24:3-14 ??イエス??終末のしるしについての教え

2: マタイ 24:36-44 ??イエス??終末への備えについての教え。

ルカ 21:8 すると彼は言った、「だまされないように気をつけなさい。多くの人がわたしの名によって来て、『わたしはキリストだ』と言うだろうから。」そしてその時が近づいている。だからあなたがたは彼らを追って行かないでください。

この箇所は、イエスの名において来て自分がメシアであると主張する偽預言者に警戒することの重要性を強調しています。

1. 主の再臨に備える: 偽預言者に常に警戒しておく

2. 騙されないでください: 今日の世界の偽預言者を見分ける

1. エレミヤ 29:8-9 「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。あなたの中にいるあなたの預言者や占い師たちがあなたを欺いてはならない。また、あなたがたが抱く夢に耳を傾けてはならない。」彼らはわたしの名においてあなたたちに偽りの預言をしているからである、「わたしは彼らを遣わしたのではない、と主は言われる。」

2. ペテロ第二 2:1,3 「しかし、あなたがたの中にも偽教師がいるのと同じように、民の中にも偽預言者がいました。彼らは、ひそかに忌まわしい異端を持ち込み、自分たちを買い取ってくださった主を否定さえして、自分たちに罪をもたらすでしょう」速やかな破壊…そして彼らは貪欲さによって、偽りの言葉であなたを商品にするでしょう。」

ルカ 21:9 しかし、戦争や騒動のことを聞いても、恐れる必要はありません。これらのことはまず起こらなければなりません。しかし、終わりはすぐに来るわけではありません。

イエスは、戦争や騒乱が起こるだろうが、終わりはまだ近づいていないので恐れる必要はない、と警告されました。

1. 恐怖と不安への対処に関するイエスからの教訓。

2. 困難な時に神を信頼することを学ぶ。

1. 詩篇 46:1-3 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。それゆえに、たとえ地が崩れ、山々が海の心に落ちても、たとえその水が轟音を立てても、私たちは恐れることはありません」そして泡が立ち上り、山々はその高波で震える。」

2. ローマ人への手紙 8:28-29 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。神は、そのような者たちに似るようにあらかじめ定められたのです。それは、彼が多くの兄弟姉妹の間で長子となるためです。」

ルカ 21:10 それから彼は彼らに言った、「国家は国家に対して、王国は王国に対して立ち上がるだろう。

この聖句は、国家が互いに衝突する将来の時代について語っています。

1. 来たるべき紛争: 今後の混乱にどのように備えるか

2. 混沌の真っただ中で平和を見つける：困難な時代に神に頼る方法

1. マタイ 24:6-7 - 「そして、あなた方は戦争や戦争の噂を聞くでしょう。心配しないように気をつけてください。これらすべてのことは必ず実現しなければなりませんが、終わりはまだありません。国家が国家に対して立ち上がるからです」、そして王国対王国。」

2. 詩篇 46:1-2 - 「神は私たちの避け所であり、力であり、困難の中に現存する助けです。ですから、たとえ地が取り除かれ、山々が海の真ん中に持ち込まれようとも、私たちは恐れることはありません。」

ルカ 21:11 そして、さまざまな場所で大地震が起こり、飢餓と疫病が起こる。そして恐ろしい光景と大きな兆候が天から来るでしょう。

聖書は自然災害、飢餓、疫病、恐ろしい光景や天からの大きなしるしを予告しています。

1: 私たちが自然災害を起こしたとしても、神はすべての自然災害を制御していますか?わかりますよ。

2: 自然災害に直面したときでも、私たちは神を信頼し、信仰を持たなければなりません。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

ルカ 21:12 しかし、これらすべての人々の前で、彼らはあなたに手をかけて迫害し、あなたを会堂や牢獄に引き渡し、わたしの名のために王や支配者の前に引き出されるでしょう。

クリスチャンはイエスへの信仰を理由に迫害され、逮捕され、さらには支配者の前に引き出されるでしょう。

1. たとえ犠牲を払っても、自分の信仰を強く貫くことを恐れないでください。

2. イエスご自身が福音のメッセージを宣べ伝えたために迫害されたことを忘れないようにしましょう。

1. 使徒 5:41 - 使徒たちは、自分たちが神の名のために恥をかかされるに値するとみなされたことを喜びました。

2. ペテロ第一 4:12-16 - 愛する人たち、あなたを試みる激しい試練については、何か奇妙なことがあなたに起こったかのように、不思議ではないと考えてください。

ルカ 21:13 そして、それはあなたに証言を求めるでしょう。

この聖句は、人生におけるすべての経験が私たちの人生における神の働きの証しになると述べています。

1. 「私たちの生活における神の働きの証し」

2. 「証しの人生を生きる」

1. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているので、さまざまな試練に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。しかし、あなたが完全で完全になるために、忍耐にはその完全な働きが必要です。何も欠けていない。」

ルカ 21:14 ですから、何を答えるかについて考えずに、心の中で決めてください。

イエスは私たちに、神の導きを信頼し、困難な状況にどう対応するか心配しないようにと教えておられます。

1：？神への信仰と神の導きを信じていますか？

2：？쏡 o あなたの反応について心配する必要はありません。神を信じてください??

1: マタイ 6:25-34 ??心配しないでください

2: 箴言 3:5-6 ?心を尽くして主を信頼しなさい

ルカ 21:15 わたしはあなたに口と知恵を与えよう。それはあなたのすべての敵対者が反論も抵抗もできないであろう。

イエスは弟子たちに、敵対者が抵抗したり反論したりできないような口と知恵を与えると約束されました。

1. イエスは私たちの代弁者：逆境の時に神の知恵に頼る

2. 反対に直面して勇気を出す：主の約束を信頼する

クロス-

1. ヨハネ 14:26 - ?父が私の名において遣わして下さる助け手、聖霊を用いて、あなたにすべてのことを教え、私があなたに話したすべてのことを思い出させてくださいます。

2. コリント第一 1:25-27 - ?つまり、神の愚かさは人間よりも賢く、神の弱さは人間よりも強いのです。兄弟たち、自分たちの召命を考えてみましょう。世俗の基準から見て賢明な人は多くありませんし、権力者も多くも、高貴な生まれの人も多くありません。しかし神は、知恵ある者に恥をかかせるために、この世の愚かなことを選びました。神は強者に恥をかかせるために、この世で弱者を選んだのです。

ルカ 21:16 そして、あなたがたは、親にも、兄弟にも、親戚にも、友人にも裏切られるでしょう。そして、あなたがたのうちの何人かは彼らによって死刑にされるだろう。

イエスは，弟子たちの中には家族や友人などの手によって裏切りや死を経験する人もいるだろうと警告しています。

1. 裏切りの時に強さを見つける

2. 逆境に直面した忍耐の力

1. ローマ人への手紙 8:35-39 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？

2. ヘブライ人への手紙 12:1-2 - 私たちは、目の前に定められた競争を忍耐して走り抜きましょう。

ルカ 21:17 そして、あなたがたは、わたしの名のゆえに、すべての人から憎まれるであろう。

イエスを信じる者は、信仰を共有しない人たちから迫害されるでしょう。

1. 弟子としての代償: 迫害にもかかわらず毅然とした態度を保つ

2. 迫害の祝福: 苦難を乗り越える方法

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。

2. ペテロ第一 4:12-13 - 愛する人たち、あなたを試みる激しい試練があなたに降りかかったとしても、何か奇妙なことが起こったかのように驚かないでください。

ルカ 21:18 しかし、あなたの頭の毛は一本も失われない。

この一節には、私たちの頭の髪の毛が一本もなくなることはない、と書かれています。

1: 神は私たちの人生を管理しておられるので、神の保護を信頼すれば、あなたが傷つけられることは決してありません。

2: 私たちがどんな困難に直面しても、神は常に私たちを守り、備えてくださいます。

1: 詩篇 91:4 - ?あなたは彼の羽で覆われ、その翼の下にあなたは避難所を見つけるでしょう。彼の忠実さがあなたの盾となり城壁となるでしょう。

2: イザヤ書 41:10 - ?耳を傾けないでください、私はあなたと一緒にいるからです。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。私はあなたを強くし、助け、私の義の右手であなたを支えます。

ルカ 21:19 忍耐をもって魂を持ちなさい。

この聖句は、神が私たちを支えてくださると信頼し、困難に直面しても忍耐と忍耐を奨励しています。

1. 逆境における神の力

2. 困難な時代でも希望を持ち続ける

1. イザヤ書 40:28-31 - 「あなたは知らなかったのですか。聞いたことはありませんか。主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失うことも、疲れることもありません。彼の理解力は探ることができません。主は、永遠の神、地の果ての創造者です。」気弱な者には力を与え、力のない者には力を増す。」

2. ローマ 5:3-5 - 「それだけではなく、苦しみが忍耐を生み、忍耐が品性を生み、品性が希望を生み、希望が私たちを恥じることがないことを知っているので、私たちは苦しみを喜んでいます。なぜなら、神の愛が私たちを恥じさせないからです。私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれています。」

ルカ 21:20 そして、エルサレムが軍隊に囲まれているのを見るとき、そのとき、その荒廃が近いことを知りなさい。

イエスはエルサレムの人々に、軍隊に包囲され、都市の破壊を告げるだろうと警告されました。

1. 神は困難な時期を利用して、究極の計画を実現させます。

2. 神の計画は常に私たちの計画よりも大きい。

1. エレミヤ 29:11 - ? 「それとも、私があなたのために用意した計画を知っていますか？」と主は宣言されます。쐏はあなたを傷つけるのではなく、あなたを繁栄させるつもりで、あなたに希望と未来を与えるつもりです。

つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

ルカ 21:21 それから、ユダヤにいる者たちは山に逃げなさい。そしてその真っ只中にいる者たちを去らせなさい。その国々にいる者はそこに入ってはならない。

イエスは、ユダヤに住んでいる人々は山に逃げて都市に入るべきではなく、都市に住んでいる人々はそこから出るべきだと警告しました。

1. 不確実な時代に備えることの重要性。

2. 聖書にある神の警告にどう応答するか。

1. マタイ 24:16-18 「それでは、ユダヤにいる者は山へ逃げなさい。屋上にいる者は家の中にあるものを取りに下ってはならず、野にいる者は放っておいなさい」マントを取りに引き返さないでください。そして見よ、私はあなたを狼の真っ只中に羊として送り出すのですから、蛇のように賢く、鳩のように無邪気でありなさい。

2. イザヤ書 26:20-21 - ?ああ、私の民よ、部屋に入り、後ろ手にドアを閉めてください。怒りが収まるまで、しばらく身を隠してください。見よ、主は地上の住民の咎を罰するためにその場所から出て来られ、地球はその上に流された血を明らかにし、もはや殺された者を覆い隠さないからだ。

ルカ 21:22 なぜなら、書かれていることすべてが成就するための、復讐の日々だからです。

書かれたすべてを成就するために、復讐の日々がやってくる。

1. 神の救いの計画: 復讐の日々が私たちにとって何を意味するか

2. 達成の力: ルカ 21:22 の重要性を理解する

1. ローマ人への手紙 12:19 - 「愛する人たちよ、決して自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せてください。「復讐は私のものです。私が報います、と主は言われます。」と書いてあるからです。

2. イザヤ書 35:4 - 「不安な心を持っている人たちに言いなさい。強い者よ、恐れるな！見よ、あなたの神は復讐と神の報いをもって来られる。来てあなたを救うだろう。??

ルカ 21:23 しかし、当時、子連れの者たちと乳を飲む者たちは災いである。この地には大きな苦しみがあり、この民には怒りが起こるからである。

将来、妊娠中または授乳中の人たちに大きな苦しみと怒りが訪れるでしょう。

1. 苦難の時に神に頼る

2. 困難な時に思いやりを示す

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、あなたがたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。あなたがたの信仰の試みが忍耐を生むということを知っているのです。しかし、あなたがたが完璧になり、まったく、何も望まない。」

ルカ 21:24 そして、彼らは剣の刃に倒れ、捕虜としてあらゆる国々に連れ去られ、異邦人の時代が終わるまで、エルサレムは異邦人によって踏みにじられるであろう。

異邦人の時代は神の御心が成就するときに終わります。

1: 神の計画は常に最良の計画です。

2: 神と将来に対する神のご意志を信頼してください。

1: エレミヤ 29:11-13 - 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っているからです、と主は言われる、あなたに将来と希望を与えるために、悪ではなく福祉の計画を立てている。その時、あなたはわたしを呼んで来て、「私に祈ってください、そうすればあなたの言うことを聞きます。あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2: 箴言 16:3 - 「あなたの仕事を主に委ねなさい。そうすればあなたの計画は確立される。」

ルカ 21:25 太陽にも月にも星にもしるしがある。そして地上では諸国民が困惑しながら苦悩している。海と波の轟音。

世界は苦難と混乱の中にあり、それは空の兆候や海の轟音によって証明されています。

1. 私たちの周りの世界が制御不能に感じられるときでも、神は制御しておられます。

2. 混乱の真っ只中でも神を信頼することで平安を見つけることができます。

1. イザヤ書 26:3-4 - 「あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保ちます。彼はあなたを信頼しているからです。永遠に主を信頼しなさい。主なる神は永遠の岩だからです。」

2. 詩篇 46:10-11 - 「静まりなさい。わたしが神であることを知りなさい。わたしは国々の間で高められ、地でも高められるでしょう。」

ルカ 21:26 人々の心は、恐れと地上に起こる事柄に気を配って失望します。天の力は揺るがされるからです。

世界は不安と恐怖に満ちていますが、最終的には神の力が勝利します。

1: 「恐れるな：神が支配している」

2:「神の力は恐怖を克服する」

1: イザヤ書 41:10 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。落胆しないで。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2: テモテ第二 1:7 「神が私たちに与えてくださったのは、恐れの霊ではなく、力と愛と健全な心の霊です。」

ルカ 21:27 そのとき、彼らは人の子が力と偉大な栄光を持って雲に乗って来るのを見るであろう。

イエス・キリストは雲に乗って偉大な力と栄光を持って来られます。

1. イエスの再臨: 私たちが期待できること

2. イエスの力と栄光??帰還

1. ダニエル 7:13-14 ? 쏧は夜の幻の中で見た、そして見よ、人の子のような者が天の雲に乗ってやって来て、昔の人の所に来て、彼らは彼を彼の前に近づけた。そして、すべての人々、国家、言語が彼に仕えるように、支配権、栄光、王国が彼に与えられた。彼の支配権は過ぎ去ることのない永遠の支配権であり、彼の王国は滅ぼされることのないものである。??

2. 黙示録 19:11-16 ?そして私は天国が開いて、白い馬を見た。そして彼の上に座った者は忠実で真実と呼ばれ、義によって裁き、戦争を行います。彼の目は炎のようで、頭にはたくさんの冠がありました。そして彼には名前が書かれていたが、彼自身以外は誰も知らなかった。そして彼は血に浸した衣を着ていた、そして彼の名前は神の言葉と呼ばれている。そして天にいた軍隊は、白くてきれいな亜麻布を着た白い馬に乗って彼を追った。そして彼の口からは鋭い剣が出て、それによって諸国民を打ち負かし、鉄の棒で彼らを支配するであろう。そして彼は全能の神の激しさと怒りのぶどう酒搾り場を踏む。そして、彼の服と太ももには、王の中の王、そして主の中の主という名前が書かれています。

ルカ 21:28 そして、これらのことが起こり始めたら、目を上げて頭を上げなさい。あなたの救いが近づいているからです。

イエスは追随者たちに、救いは近づいているので、上を向いて希望を抱くようにと言われます。

1. 主にある希望: 救いへの展望

2. 上を向く：救いが近いことを思い出す

1. イザヤ書 25:9 - その日にはこう言われるでしょう、見よ、これは私たちの神です。私たちは彼を待ちました、そして彼は私たちを救ってくださいます：これが主です。私たちは彼を待ち望んでいたので、彼の救いを喜び喜ぶでしょう。

2. ローマ人への手紙 13:11 - そして、時が来たということは、今が眠りから目覚める時であるということです。なぜなら、今は、私たちが信じたときよりも私たちの救いが近づいているからです。

ルカ 21:29 そしてイエスは彼らにたとえ話をした。イチジクの木とすべての木を見よ。

イエスは、神は私たちに必要なものをすべて備えてくださると教えています。

1: 私たちは人生のあらゆる面で神が備えてくださると信頼できます。

2: 私たちは神が私たちに備えてくださることを知って、神とその約束を信じなければなりません。

1: マタイ 6:25-34 - イエスは、山の上で私たちに備えてくださる神を信頼するように教えられます。

2: ピリピ 4:19 - 神は栄光の富に応じて私たちの必要をすべて満たしてくださいます。

ルカ 21:30 今、彼らが発砲するとき、あなたがたは自分のことを見て、夏が近づいていることを知ります。

夏が近づいています。

1: 私たちは来る夏の季節に備えて、それを当たり前のことと思わずに準備しなければなりません。

2: 夏の季節の喜びを受け入れ、時間をかけて楽しみましょう。

1: 伝道の書 3:1-8 - 天の下では、何事にも時があり、あらゆる活動に季節があります。

2: 詩篇 65:9-13 - あなたは土地を慈しみ、水を与えます。あなたはそれを豊かに豊かにします。あなたはその年の栄冠を自分の恩恵で飾り、荷車は豊かさで溢れます。

ルカ 21:31 同じように、あなたがたも、これらのことが起こるのを見るとき、神の国が近づいていることを知ります。

神の国は近づいています。

1: 神は近くにおられるので、手を差し伸べて、神をあなたの心に招き入れてください。

2: 神が近くにあるので、私たちは義と聖さを求めて努力すべきです。

1: マタイ 6:33 - まず神の国と神の義を求めなさい。

2: 詩篇 34:18 - 主はご自身を呼び求めるすべての人、真実に主を呼び求めるすべての人の近くにおられます。

ルカ 21:32 真実にあなたがたに言います、すべてが満たされるまで、この世代は過ぎ去ることはありません。

この聖句は、イエスによって予告された出来事が、今の世代が亡くなる前に実現することを明らかにしています。

1. 私たちは、主とその約束を信頼し、不確実な将来に直面しても忠実であり続けなければなりません。

2. イエスの預言は確実であり、必ず実現します。私たちは神の到来に備える必要があります。

1. マタイ 24:34 - 「真実に言いますが、これらすべてのことが起こるまで、この世代は決して滅びません。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての創造物には存在しないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

ルカ 21:33 天と地は滅びますが、わたしの言葉は滅びません。

この節は神の言葉の永続性を強調しています。

1: 神の言葉は永遠に存続する

2: 神の言葉の永続性

1:1 ペテロ 1:25 「しかし、主の言葉は、とこしえに変わることがありません。これが、福音によってあなたがたに宣べ伝えられた言葉です。」

2: イザヤ書 40:8 - 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉はとこしえに立つ。」

ルカ 21:34 そして、いつでも、暴飲暴食、この世の心配事で心がいっぱいになって、気づかぬうちにその日が来ることのないように、気をつけなさい。

要約: 来たるべき日に不意を突かれないように、過度に贅沢をしたり、人生に夢中になることの危険性を認識してください。

1. 過食の危険 - ルカ 21:34

2. 人生を大局的に見る - ルカ 21:34

1. 箴言 23:20-21 - 大酒飲みや肉の大食い者に混じってはなりません。なぜなら、大酒飲みと暴食者は貧困に陥り、眠気が人にボロ布をまとわせるからです。

2. ピリピ 4:11-13 - 私は、必要について話しているわけではありません。私は、自分がどのような状態であっても、満足することを学んだからです。私は、卑下する方法を知っており、豊かになる方法を知っています。どこでも、どんなことでも、私は満腹であることと空腹であること、豊かであることと欠乏に苦しむことの両方を学びました。私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできるのです。

ルカ 21:35 それは、全地の表面に住むすべての者たちに、わなのように襲いかかるからである。

地球全体が罠にかかるだろう。

1: 神はすべての人々に罠を仕掛け、神に忠実であり続けることを思い出させます。

2: 私たちは常に世の罠に気づいて、信仰を強く持つべきです。

1: ヘブライ 10:36 - 神のご意志を行ったときに約束を受けるためには、あなたには忍耐が必要だからです。

2: 1 コリント 10:13 - 人間にとって珍しい誘惑はあなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされるこ

とはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

ルカ 21:36 ですから、あなたがたは目を覚まして、これから起こるであろうこれらすべての事柄を逃れて、人の子の御前に立つのにふさわしい者とみなされるように、いつも祈っていなさい。

ルカのこの一節は、読者に、イエスの前に立つにふさわしい者と認められるよう、常に警戒し、常に祈るよう勧めています。

1. イエスの前に立つ準備：警戒と祈りの力

2. 価値ある者であり続けるための呼びかけ: キリストの臨在に留まることへの招待

1. マタイ 24:42-44; ?ですから、気を付けてください。あなた方の主がいつ来るか分からないからです。しかし、これを理解してください。家の所有者が、夜のどの時間帯に泥棒が来るかを知っていたら、起きていて家に侵入させなかったでしょう。ですから、あなたも準備ができていなければなりません。人の子はあなたが予期しない時間に来るからです。

2. テサロニケ第一 5:17。?止まらない光線。

ルカ 21:37 そして、昼間は神殿で教えていた。そして夜になると出かけて、オリーブ山と呼ばれる山に住みました。

イエスは日中は教え、夜はオリーブ山で過ごしました。

1. イエスの模範に従うことの重要性。

2. イエスを私たちの教師であり主であると信じる。

1. マタイ 5:16 - 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめることができます。」

2. ヨハネ 14:6 - 「イエスは彼に言われた、『わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、だれも父のもとに来ることはない。』」

ルカ 21:38 そこで民はみな、彼の話を聞くために、朝早く神殿にいるイエスのところに来た。

人々はイエスの話を聞くために朝早く神殿にやって来ました。

1. 神の言葉が私たちの優先事項であるべきです：ルカ 21:38 の人々の例から学びます。

2. イエスのために時間を作る：イエスから話を聞く時間を優先することの重要性。

1. 詩篇 119:105 - 「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2. コロサイ 3:16 - 「キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたがたのうちに豊かに宿るようにし、詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め、心の中で恵みをもって主に向かって歌いなさい。」

ルカ 22 章では、イエスに対する陰謀、最後の晩餐、オリーブ山でのイエスの祈りと逮捕、ペテロのイエス否認、サンヘドリンでのイエスの裁判などが取り上げられています。

第 1 段落: この章は、宗教指導者たちが世間の騒ぎを起こさずにイエスの殺害を計画しているところから始まります。彼の弟子の一人であるイスカリオテのユダは、金のために彼を裏切ることに同意しました（ルカ 22:1-6）。過越の祭りが近づくと、イエスはペテロとヨハネに過越の食事を食べるためにエルサレムに部屋を用意するように指示されました。弟子たちとの最後の晩餐の際、イエスはパンを裂き、弟子たちのために捧げられるご自身の体と血の象徴としてワインを分かち合いました。彼はまた、彼らの中の一人が彼を裏切るだろうとも予言しました(ルカ22:7-23)。

第 2 段落: 誰が最も偉大であると考えられるかについて弟子たちの間で論争が起こりましたが、イエスは、最も偉大な人とは、サーバント・リーダーシップを強調する奉仕者のように統治する最年少のような者であるべきであり、世俗的な概念と権力の権威を対照させるものであるべきだと教えられました (ルカ 22:24-27)。それから彼は、イスラエルの 12部族を裁く王座に座り、神の王国で主のテーブルで飲み物を食べるという契約を結び、彼らの継続的な交際裁判を認めましたが、また、一度死をも覚悟で刑務所に行くつもりであると主張したにもかかわらず、シモン・ペテロの否認を予告しました。倒れても立ち直るということは、兄弟たちを強めるはずです（ルカ 22:28-34）。さらに指示には、巾着袋サンダルを持ち歩くこと、剣を買うことも含まれており、これまでの任務とは異なり、敵対勢力に直面する今後の状況の変化を示しています（ルカ22:35-38）。

第 3 段落: これに続いて、彼らはオリーブ山に行き、そこでイエスはこれから起こる苦しみについて熱心に神に祈りましたが、神のご意志に服従し、その間に天使が天から現れて彼を強め、汗は地面に落ちた血のしずくのようになり、激しさを示しました彼の苦しみを予期する十字架 (ルカ 22 章) :39-44)。祈りの後、戻ってきた弟子たちが眠っているのを見つけたとき、悲しみが誘惑に陥らないように祈ると警告したのと同時に、群衆が到着したのと同時に、ユダが彼らを裏切ってイエスに口づけをし、しもべを殴った弟子の短い抵抗にもかかわらず逮捕され、大祭司は右耳を切り落とし、「これ以上はだめだ」と言って癒された。！暴力的な抵抗の拒否を示し、苦しみの道が選ばれ、神の計画が展開されます(ルカ22:45-53)。残りの章では、イエスが早期に成就するという予言を知っていたペテロの三重の否認、鶏の鳴き声が彼に言葉を思い出させ、苦い泣き悔い改めを導く嘲笑、身体的虐待に直面した看守、サンヘドリンの前で御子キリストが真理を肯定したかどうかの冒涜的な質問、「あなたは私がそうだと言う」とさらに宣言されたことを記録している。今、息子である人間は神の右手に座ることになります。」彼が御子であるかどうか直接尋ねられたとき、神は「あなたは私が御子であるとおっしゃいます」と答え、彼らは翌日正式な有罪判決を下す冒涜行為を聞いて以来、それ以上の証言は必要ないと結論付けた(ルカ22:54-71)。

ルカ 22:1 さて、過越の祭りと呼ばれる、種なしパンの祭りが近づいてきました。

過越の祭りとしても知られる種なしパンの祭りが近づいていました。

1. イエスの生涯における過越の意義

2. 聖書における種なしパンの意味

1. 出エジプト記 12:14-20。context: 過越祭を守るための指示

2. コリント第一 5:7-8;文脈：クリスチャン生活における種なしパンの重要性

ルカ 22:2 そこで、祭司長たちと律法学者たちは、どのようにして彼を殺せるかを模索した。彼らは民衆を恐れたからである。

この箇所は、祭司長や律法学者たちのイエスに対する恐怖と、イエスを殺したいという願望を描いています。

1. 主への恐れ: イエスが引き起こした恐れを理解する

2. 不当なリーダーシップの危険性: 祭司長と書記たちの恐怖を調べる

1. 箴言 1:7 - 「主を恐れることは知識の始まりである。愚か者は知恵や教えを軽蔑する。」

2. マタイ 7:24-27 - 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると、雨が降り、洪水が起こり、風が吹きました」その家に風を吹き、殴りました。そしてそれは岩の上にあったので落ちませんでした。しかし、わたしのこれらの言葉を聞いても実行しない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人のようになるでしょう。そして雨が降り、洪水が来て、風が吹いてその家を打ちつけました。そして落ちた。そしてその秋は素晴らしかった。」

ルカ 22:3 それから、十二人の内の一人、イスカリオテという名を持つユダにサタンが入りました。

サタンは、12 弟子の一人であるイスカリオテのユダに入りました。

1. 生活の中で罪を許すことの危険性

2. 私たちの人生における敵の力

1. ヤコブ 4:7 「ですから、神に従いなさい。悪魔に抵抗しなさい、そうすれば彼はあなたから逃げます。」

2. エペソ人への手紙 6:10-12 「最後に、主とその力の強さによって強くなりなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。なぜなら、私たちは血肉に対して戦うのではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的勢力に対して戦うのだから。」

ルカ 22:4 それから、彼は自分の道を進み、祭司長たちや隊長たちと、どうやって自分を裏切るだろうかと話し合った。

ユダによるイエスの裏切りは予告されています。

1: 裏切りに対処するのは決して簡単ではありません - イエスでさえ裏切られました。

2: イエスの究極の犠牲はユダの裏切りによるものでした。

1: ヨハネ 15:13-「人が友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2: 詩篇 55:12-14 - 「私を非難したのは敵ではなかったので、私はそれを耐えることができました。また、私を憎む者が私に対して自分を誇示したわけでもありませんでした。そうすれば私は彼から身を隠していたでしょう。「しかし、それはあなたでした。私と同等の人であり、私のガイドであり、私の知人です。私たちは一緒に優しいアドバイスを受けて、一緒に神の家まで歩きました。」

ルカ 22:5 すると彼らは喜び、彼に金を与えるという契約を結んだ。

弟子たちは喜んでイエスにお金をあげました。

1. 寛大さの力: 与えることがどのように喜びにつながるのか

2. 感謝の価値: 感謝がどのように関係を強化できるか

1. コリント第二 9:7 - あなたがた一人一人は、しぶしぶしたり、強制されたりせずに、自分の心の中で捧げようと決めたものを捧げるべきです。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。

2. ピリピ 4:6 - 何事についても思い煩わないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。

ルカ 22:6 そしてイエスは約束し、群衆のいないところで彼らに裏切る機会を求めた。

イエスは、裏切らないと約束したにもかかわらず、ユダに裏切られました。

1. イエスの裏切り: その目的と教訓を理解する

2. 裏切りに直面しても信念を貫く

1. イザヤ書53:3-5

2. ヨハネ13:18-30

ルカ 22:7 それから、種なしパンの日が来ました。その日は、過越の祭が殺されなければなりません。

種なしパンの日には、過越の小羊が犠牲として捧げられることになっていました。

1. 過越の小羊の犠牲: 贖いの意味を理解する

2. 象徴の力: 聖書における種なしパンの重要性を探る

1. 出エジプト記 12:1-14 (過越の祭りの子羊を犠牲にするようイスラエル人に与えられた神の指示)

2. ヨハネ 1:29 (世の罪を取り除く神の子羊としてのイエス)

ルカ 22:8 それからイエスはペテロとヨハネを遣わして言った、「行って、過越の食事を用意しなさい。私たちが食べることができるようにしなさい。」

イエスはペテロとヨハネを過越の食事の準備に遣わします。

1. 「奉仕の力: ペテロとヨハネはどのようにイエスの命令に従ったのか」

2. 「過越祭の意味：イエスの犠牲と私たちの救い」

1. マタイ 26:17-30 - イエスは主の晩餐を制定する

2. 出エジプト記 12:1-14 - 最初の過越祭の記述

ルカ 22:9 そこで彼らは彼に言った、「どこで準備をするのですか」。

イエスは弟子たちに過越の食事の準備をするように指示されました。

1: 人生においてイエスの指示に従うことの重要性。

2: 神への奉仕生活の準備。

1: マタイ 6:33 - まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてのものはあなたに加えられるでしょう。

2: ヤコブ 4:7 - ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

ルカ 22:10 そこでイエスは彼らに言われた、「見よ、あなたがたが町に入ると、水がめを持った人があなたがたを出迎えてくれるだろう。彼が入った家まで彼を追ってください。

イエスは弟子たちに、町に入ったら水差しを持った男について行き、その男が入ってくる家に行くようにと指示されました。

1. 従順の力 – イエスは、神の指示に従順で従うことが私たちの運命を解く鍵であると教えています。

2. 心を開くことの重要性 - イエスは、神の指示に対して心を開くことが予期せぬ祝福の場所に私たちを導く可能性があることを教えてくれました。

1. 申命記 28:2 - 「もしあなたがあなたの神、主の声を聞くなら、これらすべての祝福はあなたに臨み、あなたを襲うでしょう。」

2. マタイ 7:7 - 「求めなさい、そうすれば与えられるでしょう。探しなさい、そうすれば見つかります。たたきなさい、そうすれば開かれます。」

ルカ 22:11 そして、あなたがたは家の主人にこう言いなさい。「主人があなたに言いました。客間はどこですか。そこで私は弟子たちと過越の食事をするのですか。」

イエスは、どこで弟子たちと過越の食事を食べられるのかと尋ねます。

1. 招待の力: イエスはどのように弟子たちを過越の食事に招待したか

2. 過越の食事の意味: イエスと弟子たちにとってのその重要性を理解する

1. ヨハネ 13:1-2、「過ぎ越しの祭りの前に、イエスは、この世を離れて父のもとへ行く時が来たことを知り、世にいる自分の者たちを愛して、彼らを愛してくださいました。終わり。そして夕食の間に、悪魔はすでにシモンの息子イスカリオテのユダの心に、彼を裏切るよう仕向けていたのです。」

2. マタイ 26:17-20、「さて、種なしパンの最初の日に、弟子たちがイエスのところに来て言った、『過越の食事を食べるために、どこで準備させてくださいますか。』彼は言った、「町に入って、ある男のところに行き、こう言いなさい。『先生は、私の時が近づいています。』と言いました。」「わたしはあなたの家で

弟子たちと一緒に過越の食事をします。」そして弟子たちはイエスの指示どおりに行い、過越の食事を準備しました。」

ルカ 22:12 そして、彼は、家具を備えた大きな上の部屋をあなたに見せます。そこに準備を整えてください。

イエスは弟子たちに、過越の祭りのために大きな上の部屋を準備するように言いました。

1. 弟子たちに対するイエスの信仰: イエスがどのように私たちを信頼し、偉大なことを行うよう力を与えてくださったのか。

2. 過ぎ越しの準備: イエスが弟子たちに最後の晩餐をどのように準備させたかを見てみましょう。

1. マタイ 26:20-25 - イエスは弟子たちに過越の祭りの仕方を教えました。

2. ヨハネ 13:1-17 - イエスは過越の食事の際に弟子たちの足を洗いました。

ルカ 22:13 そこで彼らが行ってみると、イエスが彼らに言ったとおりで、過越の食事の準備ができていた。

イエスは弟子たちに、過ぎ越しの準備をしに行くようにと言われました。

1. イエスの言葉の力: イエスの指示がどのようにイエスの権威を示すか。

2. イエスに従うことの重要性: なぜイエスの命令に従う必要があるのか。

1. ヨハネ第一 5:3 - 「わたしたちが神の戒めを守ることこそが神の愛です。神の戒めは悲しいものではありません。」

2. ピリピ人への手紙 2:12-13 「ですから、愛する人よ、あなたがたがいつも従ってきたように、わたしがいるときだけではなく、わたしがいないときはなおさら、恐れおののきながら自分の救いを達成しなさい。それは神だからです」それは、あなた方の両方の中で、彼の喜びを望み、そうするように働くのです。」

ルカ 22:14 そして、時間が来ると、イエスは十二使徒たちも一緒に座られた。

イエスと12人の使徒は最後の晩餐を共にするために集まりました。

1. コミュニティの力: 最後の晩餐からの教訓

2. 従うことを学ぶ: イエスの従順の模範

1. ヘブライ 13:15-16 - イエスを通して、賛美の犠牲、つまり御名を公然と告白する唇の実を絶えず神にささげましょう。そして善を行い、他の人と分かち合うことを忘れないでください。そのような犠牲を払って神は喜ばれるからです。

2. 1 コリント 11:23-26 - あなたにも伝えたものを、私は主から受けました。主イエスは、裏切られた夜、パンを取り、感謝をささげてから、それを裂いて言われました。、「これは私の体であり、あなたのものです。私を偲んでこれをしなさい。」同じように、夕食の後、彼は杯を取り、こう言いました。飲むたびに、私を偲んでこれをしてください。」あなたがこのパンを食べ、この杯を飲むときはいつでも、あなたは主が来られるまで主の死を宣言していることになるからです。

ルカ 22:15 そしてイエスは彼らに言った、「苦しむ前に、この過越の食事をあなたたちと一緒に食べたいと願っていたのです。

イエスは死ぬ前に弟子たちと一緒に過越の食事をしたいという願望を表明しました。

1. イエスの最後の要求: 互いに仕えるための模範

2. イエスの犠牲: 私たちに対するイエスの愛

1. ヨハネ 15:13 - 人が友人のために自分の命を捨てること以上に大きな愛はありません。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

ルカ 22:16 あなたがたに言いますが、神の国でそれが成就するまでは、私はもうそれを食べるつもりはありません。

この箇所は、神の国で過越の食事が成就するまでは過越の食事をしないというイエスの宣言について語っています。

1.神の王国における過越の祭りの成就

2. イエスの犠牲の意義

1. マタイ 26:17–19 - イエスは主の晩餐を制定する

2. 黙示録 19:6-9 - イエスは王の中の王、主の中の主として明らかにされる

ルカ 22:17 そこでイエスは杯を取り、感謝をささげて言った、「これを取って、皆さんに分けてください。」

弟子たちは一杯のワインを与えられ、それを自分たちで分けるように指示されました。 1: 分かち合い、感謝を示すイエスの例に従うべきです。2: イエスの謙虚さと他者への奉仕の模範に従うべきです。1: ピリピ 2:3-4 - 競争心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。2: ヨハネ 1 3:12-17 - イエスは、私たちがどのように互いに仕えるべきかの模範として、へりくだって弟子たちの足を洗いました。

ルカ 22:18 あなたがたに言いますが、神の国が来るまでは、私はぶどうの実を飲みません。

神の王国は、イエスがぶどうの木の実から飲むときに到来します。

1.神の王国は来る - ルカ 22:18

2.神の王国を辛抱強く待ち望む - ルカ 22:18

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに幼子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父, 平和の王子。

2. 黙示録 22:20 - これらのことを証言する者は、「確かに、わたしはすぐに来る」と言います。アーメン。それでも来てください、主イエスよ。

ルカ 22:19 そこでイエスはパンを取り、感謝をささげ、それを裂いて彼らに与え、「これは、あなたがたのために与えられたわたしのからだです。わたしの記念としてこれをしなさい。」と言った。

イエスはパンを取り、感謝をささげ、それを裂いて弟子たちに渡し、イエスの記念としてこれを行うように言われました。

1. 聖体拝領の意味: ルカ 22:19 の探求

2. イエスの賜物: 聖体拝領の重要性についての考察

1. コリント第一 11:23-26 - あなたがたにも伝えたことを、私は主から受けました。主イエスが、裏切られたその夜にパンを取り、感謝をささげた後、パンを引き裂かれたということです。そして言った、「取って、食べなさい。これはあなたのために砕かれた私の体です。これは私を偲んで行います。」

2. ヨハネ 6:51-58 - わたしは天から降ってきた生きたパンです。だれでもこのパンを食べるなら、その人は永遠に生きるでしょう。そして、わたしが与えるパンは、わたしの肉です。世界の命。

ルカ 22:20 同様に、夕食後の杯もこう言っています。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新約です。」

この箇所は、イエスが流された血によって新しい契約を確立されたことについて語っています。

1: イエスの犠牲の永続性と新しい契約の力。

2: キリストの死の重要性と杯の重要性。

1: エレミヤ 31:31-33 - 新しい契約に関する神の約束。

2: 1 コリント 11:25 - イエスの死を記念して杯を取ることの重要性。

ルカ 22:21 しかし、見よ、私を裏切った者の手は私とともにテーブルの上にあります。

イエスは、弟子たちが最後の晩餐に集まっている間に、弟子の一人がイエスを裏切るだろうと予言されました。

1. 裏切りの危険: 裏切りを見つけて回避する方法

2. 心強い思い出：不利な状況は神がコントロールしておられる

1. マタイ 26:21-25: イエスが初めて自分の裏切りを予告したとき。

2. 詩篇 55:12-14: 裏切りの敵からの神の守り。

ルカ 22:22 そして、本当に、人の子は定められたとおりに行きます。しかし、裏切られた人は不幸です。

イエスは弟子たちに、あらかじめ決められていたように裏切られるだろうと言いながら、裏切る者に対しては警告します。

1. 究極の犠牲: イエスの裏切り

2. 許しの力: イエスの無条件の愛

1. ヘブル人への手紙 12:2 - 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ながら、イエスはご自身の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。」

2. ヨハネ第一 4:10 - 「ここに愛があるのは、私たちが神を愛したことではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のなだめの供え物として御子を遣わされたことです。」

ルカ 22:23 そこで彼らは、このことをするのは自分たちのうちの誰なのか、と話し合い始めた。

この箇所は、イエスが弟子たちの一人が自分を裏切るだろうと告げたときの弟子たちの混乱について述べています。

1. 「裏切りの力: イエスの弟子たちへの警告を理解する」

2. 「信仰の強さ: 弟子たちはイエスの裏切りにどう反応したか?」

1. 詩篇 40:10 - 「私はあなたの義を心の中に隠していません。あなたの忠実さと救いを宣言しました。私はあなたの堅実な愛と忠実さを大集会から隠しませんでした。」

2. マタイ 26:21-25 - 「そして、彼らが食事をしているときに、イエスは言われた、「はっきり言っておくが、あなたたちのうちの一人が私を裏切るだろう。」すると彼らはとても悲しんで、次々に「主よ、私ですか？」と言い始めました。「私と一緒に皿に手を浸した者は、私を裏切るでしょう。人の子は書かれているとおりに進みますが、人の子が裏切られた人は不幸です。その方が良かったのに」と彼は答えました。もしあの人が生まれていなかったら。」彼を裏切るユダは、「ラビ、私ですか？」と答えました。彼は彼に、「あなたはそう言いましたね」と言いました。

ルカ 22:24 また、彼らの間には、誰が一番偉いのかという争いもあった。

この箇所には、弟子たちが自分たちの中で誰が一番偉いかについて議論したことが書かれています。

1: 「私たちの中で最も偉大な人」- 私たちのプライドと野心は、イエスの教えに反する行動をすることがあります。私たちは代わりに、謙虚さと他者への奉仕に焦点を当てるべきです。

2: 「謙虚さの力」- 弟子たちはプライドと野心のために、偉大さを目指して努力するのではなく、他の人に仕えるというイエスが私たちのために示してくださった模範を無視するようになりました。

1: ピリピ 2:3、「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはいけません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。」

2: マタイ 20:26-28、「あなたがたの間で偉くなりたい人はあなたの僕にならなければなりません。そして、一番になりたい人はあなたの奴隷にならなければなりません。ちょうど人の子が仕えるために来たのではなく、仕えるために来たのと同じです。そして多くの人たちの身代金として自分の命を差し出すのだ。」

ルカ 22:25 そこでイエスは彼らに言った、「異邦人の王たちは彼らに対して主権を行使しています。そして彼らに権限を行使する人々は後援者と呼ばれます。

イエスは弟子たちに支配者や権威者の力について教えます。

1: 神は私たちに、権力者が私たちの利益にならない行動をとっている場合でも、謙虚で従順であるよう求めておられます。

2: 私たちは神が私たちの究極の支配者であり権威であることを覚えておき、何よりも神に服従しなければなりません。

1: エペソ人への手紙 5:22 - 妻たちよ、主に従うのと同じように、自分の夫にも服従しなさい。

2: ローマ人への手紙 13:1 - すべての魂は高次の力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

ルカ 22:26 しかし、あなたがたはそうではありません。しかし、あなたがたのうちで一番偉い人は、年下であるようにしなさい。そして、首長である者は、実際に奉仕する者と同じです。

この一節は権威ある者たちの謙虚さを奨励し、最も偉い人は謙虚であり、若い者と同じように奉仕すべきであることを強調しています。

1: 私たちの中で最も偉大な者が奉仕すべきである

2: 謙虚さの力

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やうぬぼれから何もしてはなりません。謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。各自、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

2: ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

ルカ 22:27 肉を食べる者と奉仕する者とでは、どちらが偉いのでしょうか。彼は肉を食べているのではないか？しかし、私は仕える者としてあなたがたの中にいます。

イエスは、人に仕えられようとするのではなく、人に仕えるべきだと教えました。

1: イエスの謙虚さと奉仕の模範から学ぶことができます。

2: 私たちは他の人のニーズを第一に考え、愛をもって彼らに仕えるべきです。

1: ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2: ガラテヤ 5:13 - 愛をもって謙虚に互いに仕えなさい。

ルカ 22:28 あなたがたは、わたしとともに誘惑を続けた者たちです。

この聖句は、イエスの追随者たちが必ずしも忠実ではなかったときでさえ、イエスの無条件の愛と忠実さを思い出させます。

1: たとえ困難な時であっても、私たちはイエスとともに歩み続けるよう招かれています。

2: 私たちがいつもイエスに忠実ではないときでも、イエスは私たちに忠実です。

1: ピリピ 1:6、「あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、イエス・キリストの日にそれを完成させてくださると私は確信しています。」

2: ヘブル人への手紙 13:8、「イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。」

ルカ 22:29 そして、父が私に任命したように、私もあなたがたに王国を任命します。

イエスは、父が自分のために王国を任命したのと同じように、追随者たちに王国を任命します。

1: 神は、イエスに対してなさったのと同じように、私たちにリーダーシップの役割を担うよう呼びかけています。

2: 私たちは神の国で果たすべき責任を与えられており、忠実にそれを遂行することを忘れてはならない。

1: マタイ 28:18-20 - イエスは私たちに、行ってすべての国の人々を弟子にするように命じられました。

2: ピリピ 2:3-4 - 私たちはキリストへの畏敬の念から互いに服従することを学ばなければなりません。

ルカ 22:30 それは、あなたがたが、わたしの王国でわたしの食卓で飲食し、玉座に座ってイスラエルの十二部族を裁くためである。

この節は、イエスに従う者たちに御国の食卓の席を与えるというイエスの約束について語っています。

1. イエスが食卓に着くという約束：イエスに従うよう呼びかけ

2. イエスの王国への招待: 祝宴に参加するための招待

1. マタイ 7:21-23 - 私に「主よ、主よ」と言う人全員が天国に入るわけではなく、天におられる私の父のご意志を行う人だけが天国に入ることができます。

2. 黙示録 19:9 - そのとき、天使は私に言った、「これを書きなさい。小羊の婚礼の晩餐に招待された人たちは幸いです。」そして、「これは神の真実の言葉です」と付け加えた。

ルカ 22:31 すると主は言われた、「シモン、シモン、見よ、サタンはあなたを麦のようにふるいにかけようと、あなたを手に入れようとしている。

イエスはシモン・ペテロに、これから直面する霊的戦いについて警告しました。

1: 誘惑に打ち勝つ戦略

2: イエスによるサタンに対する勝利

1:1 コリント 10:13、「人間にありがちな誘惑は、あなたがたを襲ったことはありません。神は真実ですので、能力を超えた誘惑には遭わせませんが、誘惑とともに、逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

2: エペソ6:10-11、「最後に、主にあって、その力の強さをもって強くなりなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。」

ルカ 22:32 しかし、わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。そして、あなたが回心したときには、あなたの兄弟たちを力づけてください。

イエスはペテロのために祈り、彼の信仰がなくならないように、そして回復したら兄弟たちを力づけてくれるようにと願いました。

1.「祈りの力: イエスはペテロのために祈る」

2. 「兄弟たちを強める: イエスの模範を実践する」

1. ヤコブ 5:16b - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. ヘブライ 10:24-25 - 「そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてあなたがたほど、お互いを愛と善行に励ます方法を考えましょう。その日が近づいているのを見てください。」

ルカ 22:33 すると彼は言った、「主よ、私は獄にでも死に至るまで、あなたと一緒に行く覚悟です」。

弟子たちはたとえ死んでも喜んでイエスとともに立ちました。

1. 大きな試練に直面してもしっかりと立つ

2. 十字架を背負ってイエスに従う

1. ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物において、神の愛から私たちを引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエス。

2. ヨハネ 15:13 - 友人のために命を捨てるという愛以上に大きな愛はありません。

ルカ 22:34 すると彼は言った、「ペテロ、あなたに言います。今日は鶏が鳴きません。その前に、あなたは私を知っていることを三度否定しなければなりません。」

イエスはペテロに、鶏が鳴くまでに三回自分のことを知らないと否定すると言いました。

1. 誘惑に打ち勝つ：ペテロのイエス否認から得た教訓

2. 悲劇が起こったとき: 信仰を持って対応し、解決する方法

1. ヤコブ 4:7 – したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2. ヘブライ 12:1-2 – ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、前に定められた競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか。私たちは、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けています。

ルカ 22:35 そこでイエスは彼らに言った、「わたしが財布も鞄も靴も持たずにあなたたちを送ったとき、あなたたちには何か欠けたものはありませんか。」そして彼らは、「何もありません」と言いました。

イエスは、財布も鞄も靴も持たずに弟子たちを送り出したとき、何か足りないものはないか尋ねました。弟子たちは、自分たちには何も欠けていないと答えました。

1. 豊かな人生を送る - イエスは私たちの必要をどのように満たしてくださるか

2. 主を信頼する - 備えを主だけに頼る

1. フィリピ 4:19 - 「そして私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたのあらゆる必要を満たしてくださいます。」

2. マタイ 6:26 - 「空の鳥を見なさい。彼らは種を蒔くことも、刈り取ることも、納屋に集めることもしない。しかし、あなたがたの天の父は彼らに餌を与えてくださる。あなたがたは彼らより価値があるのではないか。」

ルカ 22:36 それからイエスは彼らに言った、「しかし、さあ、財布を持っている者はそれを持って行きなさい。そして、剣を持っていない者は、自分の衣を売って、それを買いなさい。」

イエスは弟子たちに、剣を持っていない場合は剣を買うように勧めます。

1.「精霊の剣：準備をせよという呼びかけ」

2.「準備の代償：衣服を売って剣を手に入れる」

1. エペソ 6:17 - そして、救いのかぶとと、神の言葉である御霊の剣を取りなさい。

2. イザヤ書 54:17 - あなたに対して作られたいかなる武器も栄えず、裁きにおいてあなたに向かって立ち上がるすべての舌をあなたは罪に定めなければなりません。

ルカ 22:37 あなたがたに言いますが、ここに書かれていることは、わたしの中で必ず成就するはずです。そして、彼は違反者の一人に数えられました。わたしに関することには終わりがあるからです。

この箇所には、イエスに関する事柄は終わらなければならないこと、そしてイエスが違反者とみなされたことが述べられています。

1. イエスの苦しみと死: それは私たちにとって何を意味しますか?

2. イエスの犠牲の重要性を理解することの重要性。

1. イザヤ書 53:12 - それゆえ、わたしは彼にその分け前を偉い者たちに分け与え、彼は戦利品を強い者たちに分け与えるであろう。なぜなら、彼は死ぬまで自分の魂を注ぎ出したからです。そして、彼は違反者たちと数えられました。そして彼は多くの人の罪を負い、違反者のために執り成しをしました。

2. ピリピ人への手紙 2:7-8 - しかし、自分自身を何の評判も持たず、召使いのような姿をとり、人間に似せて造られました。死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順です。

ルカ 22:38 すると彼らは言った、「主よ、見よ、ここに二本の剣があります。」そして彼は彼らに言った、「もう十分です」。

弟子たちはイエスに二本の剣を差し出し、イエスはそれを受け入れられました。

1. 十分な力 – 神は私たちが与えられるものを超えて行動するように決して求めません。

2. 少ないほど豊かなとき - イエスが神の意志を実現するために必要としたのは 2 本の剣だけだったということを思い出させます。

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

2. 箴言 21:20 - 賢者の住まいには、望むべき宝と油がある。しかし愚かな人はそれを使い果たしてしまう。

ルカ 22:39 それから彼は出てきて、いつものようにオリーブ山へ行きました。そして弟子たちも彼に従った。

イエスはいつものようにオリーブ山に行き、弟子たちはイエスについてきました。

1. イエスは私たちが従うべき祈りと献身の模範を示しました。

2. イエスに従うことで、私たちは神に近づくことで得られる平安と強さを経験することができます。

1. 詩篇 23:5 - 「あなたは私の敵の前で私の前に食卓を用意してくださいました。あなたは私の頭に油を塗ります。私のカップは溢れてしまいます。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

ルカ 22:40 そして、その場にいたとき、イエスは彼らに言った、「誘惑に陥らないように祈りなさい」。

イエスは弟子たちに、罪を犯さないように祈るように言われました。

1. 本当の強さは誘惑から守ってくれるように神に祈ることから生まれる

2. 誘惑に抵抗するために祈りを通して信仰を強める

1. ヤコブ 1:12-15 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてく

ださい。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

ルカ 22:41 それから、イエスは石を投げるほどに彼らから離れ、ひざまずいて祈った。

イエスは大患難の時代に祈りによって信仰を示しました。

1: 危機の時には、神への信仰と祈りに頼ることが重要です。

2: イエスは困難な時の祈りの例を示してくださいました。

1: ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、どんな状況でも、感謝を込めて祈りと願いによって、自分の願いを神に伝えてください。

2: マタイ 6:9-13 - 天におられる私たちの父よ、御名があがめられますように、御国が来ますように、御心が天と同じように地上でも行われますように。今日、私たちに日々の糧を与えてください。そして、私たちが債務者を赦したのと同じように、私たちの負債も赦してください。そして私たちを誘惑に導かず、悪しき者から救い出してください。

ルカ 22:42 「父よ、もし御心であれば、この杯を私から取りのけてください。それでも、私の意志ではなく、あなたの意志が行われますように。」

イエスが耐えようとしていた苦しみを取り除いてくださるよう神に祈りましたが、最終的には神のご意志に身を委ねました。

1. 服従の強さ：困難な時に神に頼ることを学ぶ

2. 利己的な欲望を放棄する: 神の御心に平安を見出す

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事にも思い煩わないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って神に願いを捧げなさい。そうすれば、人知を超えた神の平和があなたがたの心を守ってくれるでしょう。」そしてあなたがたの心はキリスト・イエスのうちにあります。」

2. ヤコブ 4:7-8 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたに近づきます。罪人よ、手を清め、心を清めなさい。」、あなたは二重思考です。」

ルカ 22:43 すると、天から天使が彼に現れて、彼を強めた。

ゲツセマネの園でイエスが苦しんでいるとき、天から天使が現れてイエスを強めました。

1.「神の存在の強化」

2. 「苦難の時の主の慰め」

1. ヘブライ 13:5-6 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

2. 詩篇 46:1 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に今もいる助けです」

ルカ 22:44 そして、苦しみながら、さらに熱心に祈りました。そして、彼の汗は、地面に落ちた大粒の血のようでした。

イエスは祈りながら非常に苦しみ、その汗は地面に落ちた血の滴のようでした。

1. 祈りの力: ゲツセマネの園でのイエスの体験

2. イエスの苦しみの意味: 救いの代償

1. マタイ 26:39 - 「そして、彼は少し遠くに行って、ひれ伏して祈って言った、「おお、父よ、できることなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。それでも、私の意志どおりではなく、私のように。」あなたはそうするでしょう。」

2. ヘブライ 5:7 - 「肉の時代に、彼が強い叫びと涙を流しながら祈りと願いをささげていたとき、彼は彼を死から救うことができ、彼が恐れていたことで聞き入れられました。」

ルカ 22:45 イエスが祈りから立ち上がって弟子たちのところに来ると、彼らは悲しみのあまり眠っていた。

イエスが祈って弟子たちのところに戻ると、彼らは悲しみのあまり眠っていました。

1. 祈りの力: イエスの模範は、困難な状況に直面したときの祈りの力を教えてくれます。

2. 神を信頼する: イエスの模範は、悲しみや誘惑に直面しても神を信頼することを教えてくれます。

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. 詩篇 23:4 - 「たとえ死の影の谷を歩くとしても、私は悪を恐れません。あなたが私とともにおられるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めます。」

ルカ 22:46 そして彼らに言った、「なぜ眠っているのか」。誘惑に陥らないように、立ち上がって祈ってください。

イエスは弟子たちに、誘惑に負けないように目を覚まして祈るよう勧めました。

1. 誘惑に打ち勝つ祈りの力

2. 祈りを通して誘惑に備える

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちな誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、能力を超えた誘惑には遭わせませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

ルカ 22:47 そして、イエスがまだ話している間に、見よ、群衆がいて、十二人の一人であるユダと呼ばれる者が彼らの前に行き、イエスに近づき、口づけをした。

大勢の群衆が到着し、イエスの12人の弟子の一人であるユダがイエスにキスしようと近づきます。

1. 愛に直面した裏切り: ルカ 22:47 のユダの行動についての考察

2. 誘惑に直面しても忠実を保つ方法

1. マタイ 26:14-16 - 「そこで、十二人の中の一人、イスカリオテのユダという人が祭司長たちのところに行って、彼らに言った、「あなたたちは私に何をくれますか。私は彼をあなたたちに渡しましょう。そして彼らは彼と契約を結びました」銀貨30枚で。そしてその時から彼は裏切る機会を狙っていた。」

2. ローマ人への手紙 8:31 - 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

ルカ 22:48 しかし、イエスは彼に言われた、「ユダ、接吻で人の子を裏切るのか？」

この箇所では、ユダがキスでイエスを裏切ったことが語られています。

1. 教会の裏切り: ユダの物語

2. キスの力: イエスの裏切り

1. 詩篇 55:12-14: 「私をあざけるのは敵ではありません。そうすれば私は耐えることができます。私に横柄な態度をとる敵ではありません。そうすれば私は彼から隠れることができます。しかし、それはあなたです。「彼は、私と同等であり、私の仲間であり、私の親しい友人です。私たちは一緒に優しい助言を受け入れ、群衆とともに神の家を歩きました。」

2. ヨハネ 13:21-30: 「これらのことを言った後、イエスは心の中で動揺し、「まことに、本当に、あなたたちに言いますが、あなたたちのうちの一人が私を裏切るでしょう。」と証言されました。「弟子たちは、イエスが誰のことを話しているのかわからず、顔を見合わせました。イエスが愛しておられた弟子の一人が、イエスの側のテーブルに横たわっていました。そこで、シモン・ペテロは、イエスが誰のことを話しているのか尋ねるよう合図しました。そこで、その弟子は、イエスに寄りかかりながら、「主よ、それは誰ですか？」と言った。イエスは、「この一口のパンを浸してあげるのは、この人です」と答えられました。それで彼はその一口を浸した後、それをシモン・イスカリオテの息子ユダに与えた。」

ルカ 22:49 彼の周りにいた人々は、これから起こることを見て、彼に言った、「主よ、剣で斬りましょうか。」

弟子たちは、これから何が起こるかを見て、剣を使ってイエスを守るべきかどうかイエスに尋ねました。

1. どのような状況でもイエスに従う備えをするにはどうすればよいか

2. 困難な時代における信仰の力

1. マタイ 26:51-52 - すると、見よ、イエスと一緒にいた者の一人が手を伸ばして剣を抜き、大祭司の家来に斬りかかり、その耳を切り落とした。それからイエスは彼に言われた、「あなたの剣を彼の代わりにもう一度立てなさい。剣を取る者はすべて剣で滅びるでしょう。」

2. ローマ人への手紙 12:19 - 愛する人よ、自分で復讐するのではなく、むしろ怒りに身を任せてください。「復讐は私のものである」と書いてあるからです。わたしが報いる、と主は言われる。

ルカ 22:50 そしてそのうちの一人が大祭司の僕を打ち、その右耳を切り落とした。

イエスの弟子の一人が大祭司の僕を殴り、右耳を切り落としました。

1. 憐れみの力: ルカ 22:50 におけるイエスの愛と許しの模範

2. 許しの価値: ルカ 22:50 における恵みと思いやりの実証

1. マタイ 5:38-39 - 「『目には目を、歯には歯を』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、悪を行う者に抵抗してはなりません。ただし、誰かがあなたの右頬を平手打ちした場合は、もう片方の頬もその人のほうを向いてください。」

2. ルカ 6:27-31 - 「しかし、聞いているあなたたちに言います。敵を愛し、あなたたちを憎む者たちに善を行い、あなたたちを呪う者たちを祝福し、あなた

たちを虐待する者たちのために祈りなさい。あなたの頬を殴る者には、もう一方も差し出しなさい。あなたのマントを奪う者にも、上着を差し出さないでください。あなたに物乞いをする人にはすべて与えなさい、そしてあなたの品物を取り上げた人にはそれを返すよう要求しないでください。そして、他の人があなたにして欲しいと思うように、他の人にもそうしてください。」

ルカ 22:51 するとイエスは答えて言われた、「あなたがたはこれまで苦しみなさい。」そして彼の耳に触れて癒してくださいました。

イエスは剣で傷ついた人を癒しました。

1: イエスの力は無限です。神は私たちを肉体的にも霊的にも癒してくださいます。

2: 私たちは自分自身ではなくイエスを信頼することを学ばなければなりません。

1: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2: マタイ 8:17 「それは、預言者エザヤが、『御自身が私たちの弱さを取り、私たちの病気を担ってくださった』と言われたことが成就するためです。」

ルカ 22:52 そこで、イエスは、やって来た祭司長たち、神殿の長たち、長老たちに言われた、「あなたたちは、剣と杖を持って、盗人に対抗するように出てくるのか」。

イエスは、まるで泥棒であるかのように剣や杖を持ってイエスを逮捕しに来た祭司長、神殿長、長老たちを叱責します。

1. イエスの不当な扱い - キリストがどのように不当に告発され、逮捕されたか。

2. イエスの無条件の愛 - イエスが自分に危害を加えようとする人々に愛と恵みをもってどのように対応したか。

1. マタイ 5:38-39 - 「『目には目を、歯には歯を』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、悪人に逆らうな。しかし、誰かがあなたの右の頬を平手打ちするなら、もう片方の頬もその人に向きなさい。」

2. ガラテヤ 5:13-14 - 「兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ、自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体はこの一言で成就するからです。」あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません。」

ルカ 22:53 私が毎日神殿であなたたちと一緒にいたとき、あなたたちは私に手を差し伸べませんでした。しかし、今はあなたの時であり、暗闇の力です。

イエスが神殿で一緒におられる間、弟子たちはイエスに対して手を挙げませんでしたが、今は闇の力の時です。

1: 神との歩みにおいて、私たちは決して用心しすぎることはありません。なぜなら、闇の霊が常に潜んでおり、私たちを神の道から引き離そうとしているからです。

2: イエスは、暗闇の時間が近づいていることを知っていましたが、それでも私たちを愛し、私たちとともにいることを選択されました。私たちは神の模範に従い、周囲の人々を愛することによって神の愛に応えなければなりません。

1: 1 ペテロ 2:21-23 「なぜなら、あなたがたもここに召されたのです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残して、その足跡に従うようにされたからです。誰が罪を犯さなかったのか、彼の口には悪意が見出されませんでした。、ののしられたときは、再びののしられることはありませんでした。苦しんでいるときも、脅迫はしなかった。しかし、正しく裁く方に身を委ねたのです。」

2: ヨハネ 15:12-14 「これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。」人が友人のために自分の命を捨てること以上に偉大な愛はない。私が命令することを何でもするなら、あなたたちは私の友達です。」

ルカ 22:54 それから、彼らは彼を連れて行き、大祭司の家に連れて行った。そしてペテロは遠くからあとを追った。

イエスは大祭司の家に連れて行かれ、ペテロも遠くから後を追います。

1. 私たちが忠実を保つのに苦労しているとき、イエスはそれを理解してくださいます。

2. 困難な時であっても、イエスはいつも私たちと共におられます。

1. ヘブライ 13:5 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

2. マタイ 28:20 - 「見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたたちとともにいます。」

ルカ 22:55 そして、彼らが広間の真ん中で火を起こし、一緒に座ったとき、ペテロは彼らの間に座った。

ペテロは広間の真ん中で火を焚いている人々の中に座りました。

1. 交わりの力: ペテロの参加の例

2. 反対の真っ只中で勇気を出す: ペテロの勇気の模範

1. 使徒 4:13-20 - ペテロとヨハネは、イエスについて宣べ伝えたことで反対に遭ったとき、勇気を出して粘り強く頑張りました。

2. 詩篇 34:1-3 - 反対に直面したとき、私たちは主にあって強さと勇気を見出すことができます。

ルカ 22:56 ところが、ある女中が、火のそばに座っている彼をじっと見つめて、「この人も一緒にいました」と言った。

この一節は、主人が話していた男性の一人がイエスであると特定したあるメイドの物語です。

1. 謙虚かつ勇気をもってイエスを認めたメイドの模範を私たちは決して忘れてはなりません。

2. イエスに対する私たちの信仰は、私たちを見ているすべての人の目に明らかなほど強いものでなければなりません。

1. マタイ 10:32-33 – 「ですから、人々の前でわたしを告白する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で告白します。しかし、人々の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられる父の前で否認するであろう。」

2. 箴言 28:1 – 「悪者は誰も追わないと逃げる。しかし正しい者はライオンのように勇敢である。」

ルカ 22:57 すると彼はイエスを否定して言った、「婦人よ、私は彼のことを知りません。」

この箇所では、鶏が鳴く前にペテロがイエスを三度否定した様子が語られています。

1. 否認の力: ピーターの間違いから学ぶ

2. 忠実さについての考察: 困難にもかかわらずイエスとともに立つ

1. マタイ 26:69-75 - ペテロのイエスの否認

2. ヨハネ 21:15-17 - ペテロの否認後のイエスの回復

ルカ 22:58 すると、しばらくして、他の人が彼を見て、言った、「あなたも彼らの一員です。」するとペテロは、「いや、私はそうではありません」と言った。

イエスの弟子の一人であるペテロは、別の弟子に質問されたとき、自分が弟子であることを否定しました。

1.「信仰のために立ち上がる」

2.「否定の強さ」

1. ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. ローマ 8:37 - 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは勝利者以上の存在です。」

ルカ 22:59 そして、一時間ほどしてから、次から次へと自信を持って断言して言った、「実は、この人も彼と一緒にいたのです。彼はガリラヤ人だからです。」

この箇所は、裁判に出席した者の一人によるイエスに対する告発を詳述し、イエスがイエスと共にいたことを断言しています。

1. 偽りの証人の力: 悪意のある申し立ての結果を検証する

2. 逆境に直面しても毅然とした態度で立つ: 反対を克服し、真実を守る

1. マタイ 10:19-21 - 「しかし、彼らがあなたたちを引き渡すとき、あなたたちがどのように話すか、何を話すかなど考えてはいけません。あなたたちが何を話すかは、その同じ時間に与えられるからです。話すのはあなたたちではありません。「しかし、あなたの内に語るあなたの父の御霊が、あなたの中に語りかけます。そして、兄弟は兄弟を死に引き渡し、父親は子供を引き渡します。そして子供たちは両親に対して立ち上がって、彼らを死刑に追い込むでしょう。」

2. ヤコブ 1:12 - 「誘惑に耐えた人は幸いです。その人は試練を受けるとき、命の冠を受けるでしょう。それは主が自分を愛する者たちに約束されたものです。」

ルカ 22:60 するとペテロは言った、「あなたが何を言っているのか、私には分かりません。」そしてすぐに、彼がまだ話している間に、雄鶏の乗組員が言いました。

ペテロはイエスを三度否定し、イエスがまだ話している間、鶏たちは一群の者たちを否定しました。

1. 私たちの言葉の力: 私たちの発言が予期せぬ結果をもたらす可能性

2. 信仰を決して否定してはなりません: ペテロの例

1. マタイ 18:15-17 - 「もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って、あなたと彼だけの間で、彼の罪を言いなさい。もし彼があなたの言うことを聞いてくれたら、あなたは兄弟を得たことになります。しかし、彼が聞く耳を持たない場合は、他の一人か二人を連れて行き、あらゆる容疑が二人か三人の証人の証拠によって立証されるようにしてください。もし彼が彼らの言うことを聞かないなら、それを教会に伝えてください。もし彼が教会の言うことさえ聞かないなら、あなたに対して異邦人、徴税人として接してください。」

2. イザヤ書 1:18 - 「さあ、さあ、一緒に論じましょう、と主は言われる、たとえあなたの罪が緋のようでも、それは雪のように白くなるでしょう。」たとえそれらが深紅のように赤いとしても、それらは羊毛のようになるだろう。」

ルカ 22:61 すると主は振り向いてペテロをご覧になった。そしてペテロは、主が彼に言われた、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを否認するであろう」と言われたことを思い出した。

イエスは振り向いてペテロを見つめ、鶏が鳴く前にペテロが自分を三度否定したことについてイエスが言ったことをペテロに思い出させた。

1. まなざしの力：裏切りに直面したイエスの愛と恵み

2. 神の言葉を思い出す: どうすれば誘惑に打ち勝つことができるか

1. ルカ 22:31-34。イエスはペテロの否認を予言する

2. マタイ 26:75。ピーターの三度目の否定

ルカ 22:62 そこでペテロは出て行って激しく泣きました。

ペテロはイエスを三度否定したことをイエスに叱責されて外に出て激しく泣きました。

1. 失敗にもかかわらず、神の御心を受け入れることを学ぶ。

2. 悲しみと悔い改めのただ中で神の恵みを理解する。

1. ローマ人への手紙 8:28、「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. イザヤ書 61:3、「彼らに、灰の代わりに美の冠を、悲しみの代わりに喜びの油を、絶望の精神の代わりに賛美の衣を授けなさい。彼らは義の樫の木、植樹と呼ばれるでしょう。」主の素晴らしさを示すために。」

ルカ 22:63 すると、イエスを捕らえていた男たちはイエスをあざけり、殴った。

イエスを抱きかかえていた男たちはあざけり、イエスを殴りました。

1: たとえ敵が私たちを傷つけたとしても、私たちは敵を愛すべきです。マタイ 5:44

2: イエスがされたように、私たちも不当な扱いをした人たちを赦すべきです。ルカ 23:34

1: 箴言 25:21-22 - あなたの敵が飢えているなら、彼に食べるパンを与えなさい。喉が渇いたら、水を飲ませなさい。あなたは彼の頭に火の炭を積むでしょう。そうすれば、主はあなたに報われるでしょう。

2: エペソ人への手紙 4:31-32 - すべての恨み、怒り、怒り、大声、悪口を、すべての悪意をもってあなたがたから遠ざけましょう。そして、あなたがたは互いに親切にし、心優しく、互いに許し合い、神がキリストのためにあなたを赦してくださったのと同じように。

ルカ 22:64 そこで、彼らはイエスに目隠しをして、顔をたたき、「預言せよ、あなたを打ったのはだれですか」と尋ねた。

イエスは目隠しをされ、顔を殴られた後、誰がその行為を行ったのかを預言するよう求められました。

1: 私たちは自分の手で復讐をするのではなく、代わりに神の正義に頼るべきです。

2: たとえ虐待されても、私たちは神を信頼することができます。

1: ローマ人への手紙 12:19-21 - 「愛する人たち、決して自分で復讐してはなりません。神の怒りに任せてください。『復讐はわたしにある、わたしが報復する、と主は言われる』と書いてあるからです。」それどころか、「敵がお腹を空かせているなら食べさせなさい。喉が渇いているなら何か飲み物を与えなさい。そうすることによって、燃える石炭を彼の頭に山盛りにすることになるからです。」悪に負けるのではなく、善をもって悪を克服してください。

2: マタイ 5:38-42 - 「『目には目を、歯には歯を』と言われたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、悪を行う者に抵抗してはなりません。しかし、誰かがあなたの右頬を平手打ちした場合は、もう片方の頬もその人のほうを向いてください。そしてもし誰かがあなたを訴えてあなたのチュニックを奪うなら、その人にあなたのマントも持たせてください。そして、誰かがあなたに 1マイル行くように強制したなら、彼と一緒に2マイル行きなさい。あなたに物乞いをする人には与えなさい、あなたから借りる人には断ってはならない。

ルカ 22:65 他にも多くのことが、彼らを冒涜的に彼に対して言いました。

一節 人々はイエスに対して冒涜的なことを言いました。

1. 「冒涜の危険性: 神に敵対する発言の代償」

2.「神の言葉を尊重することを学ぶ：尊敬の力」

1. レビ記 24:16 - 「主の御名を冒涜する者は必ず死刑に処せられ、全会衆は必ず石打ちに処す。異邦人も、その地に生まれた者と同じように、主の御名を冒涜する者は死刑に処せられる。」

2. 행 50:21 - 그러므로 이제 두려워하지 말라 내가 너희와 너희 자녀를 기르리라 하고 그들을 위로하여 그 마음을 돌이켜 선하게 하였더라

행 22:66 날이 새매 백성의 장로들과 대제사장들과 서기관들이 모여 그를 그 공회로 끌어다가

그들이 이르되 네가 그리스도이거든 우리에게 말하라 대답하되 내가 말하여도 너희가 믿지 아니할 것이요

1. 그리스도: 그리스도는 구약에서 예언된 메시아를 가리킵니다.

2. 그리스도이거든: 그리스도이면 말하라는 뜻입니다.

1. 마태 6:7-10 - 또 기도할 때에 이방인들과 같이 중언부언하지 말라

2. 요한일서 4:1-3 - 사랑하는 자들아 영을 다 믿지 말고 오직 그 영들이 하나님께 속한 것인지 시험하라

행 22:67 그들이 이르되 네가 그리스도이거든 우리에게 말하라 대답하되 내가 말하여도 너희가 믿지 아니할 것이요

1.그리스도는 누구인가요?

2.그리스도는 무엇을 하셨나요?

1. 마태 11:25-27 - 그 때에 예수께서 말씀하여 이르시되 아버지여 천지의 주재시여 이 일을 지혜 있는 자와 명철한 자에게는 숨기시고 어린 아이에게는 나타내시니 이는 아버지의 뜻이 그러하시기 때문이니이다

2. 마태 8:14 - 예수께서 베드로의 집에 이르사 그 장모가 병들어 누웠음을 보시고

행 22:68 내가 물어도 너희가 대답하지 아니하리라

1: 그리스도는 하나님의 아들이시며 구원자이시다.

2: 困難な状況に直面したときでも、私たちはイエスの謙虚さと恵みの模範から学ぶことができます。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2: ヤコブ 4:6 - 「神は高ぶる者には抵抗しますが、へりくだる者には恵みを与えます。」

ルカ 22:69 今後、人の子は神の力の右に座します。

イエスは神の右に座すると預言しました。

1.「イエスの力：彼の王国における私たちの位置を知る」

2.「神の力：神の権威の立場を理解する」

1. マタイ 26:64 - イエスは大祭司に言われます、「あなたはそのように言いました。それでも、あなたに言います。これからあなたは、人の子が力の右に座し、雲に乗って来るのを見るでしょう。」天国。"

2. エペソ人への手紙 1:20-21 - 「神がキリストを死人の中からよみがえらせ、天の御自分の右に座させた時、キリストのうちに働いたのです。それは、あらゆる支配力、力、力、支配、そしてあらゆる名をはるかに超えて、キリストのうちに働いたのです。」この時代だけでなく、これからの時代にも名前が付けられています。」

ルカ 22:70 そこで皆は言った、「では、あなたは神の子ですか」。そして彼は彼らに言った、「あなたがたは私がそうだと言っています。」

祭司長と律法学者たちはイエスに、神の子なのかと尋ねましたが、イエスは神の子であると断言されました。

1. イエスの権威 - イエスが自らの神性を明確に肯定したことは、イエスの権威と力を示しています。

2. 信仰に堅く立つ - 祭司長や律法学者に対するイエスの大胆な反応は、反対にもかかわらず信仰に堅く立つ方法を示しています。

1. マタイ 16:13-20 - 祭司長と律法学者によるイエスの質問は、イエスが生ける神の子キリストであるというペテロの宣言に似ています。

2. ヨハネ 14:5-11 - イエスが神の子であることは、イエスが道であり、真理であり、命であるという弟子たちへの保証によってさらに確認されます。

ルカ 22:71 すると彼らは言った、「これ以上、何を証言する必要があるのか」。なぜなら、私たち自身も彼自身の口から聞いているからです。

イエスの言葉を聞いていた人々は、イエスが自ら話すのを聞いていたので、それ以上の証人や証拠を必要としませんでした。

1. イエスの真実の証人になることの重要性

2. 時間をかけてイエスの話を聞き、その教えから学ぶ

1. ヨハネ 8:14 「イエスは答えられた、「たとえ私が自分のために証言したとしても、私の証言は有効です。私は自分がどこから来て、どこへ行くのか知っているからです。」

2. ヨハネ 15:27 「そして、あなたがたも証言しなければなりません。あなたは初めからわたしとともにいたからです。」

ルカ 23 章では、ピラトとヘロデの前でのイエスの裁判、十字架刑、死、埋葬が取り上げられています。そこには、イエスと共に十字架につけられた二人の犯罪者の物語も含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスがピラトの前に導かれるところから始まり、そこで宗教指導者たちはイエスを、税金の支払いに反対して国家を転覆させたとして非難し、カエサルは自らをキリスト王であると主張した。ピラトはイエスを告発する根拠を見つけられませんでしたが、イエスがヘロデの管轄下にあったことを知り、当時同じくエルサレムにいたヘロデのもとに送りました。ヘロデは当初、イエスが奇跡を起こすのを期待してイエスを見て喜んでいたが、イエスが彼の質問に答えなかったとき宗教指導者たちはイエスを激しく非難した。彼を嘲笑した後、エレガントなローブを着せてピラトの元に送り返し、どちらも死刑に値する罪を犯していないことを示しました（ルカ23:1-12）。無実を宣言したにもかかわらず、両支配者は群衆にバラバ捕虜の釈放を圧力をかけ、反乱を起こし、代わりにイエスが十字架刑を要求することに同意した(ルカ23:13-25)。

第 2 段落: 十字架にかけられるために連れ去られたとき、キレネ出身のシモンという男が十字架を背負わされました。多くの女性たちが嘆き悲しんでいましたが、イエスは彼らに向きを変えて、「エルサレムの娘たちよ、私を泣かないで、あなたの子供たちよ、あなたたちも泣きなさい」とエルサレムに来る裁きを予告されました（ルカ23:26-31）。髑髏と呼ばれる場所で、彼は二人の犯罪者の間に磔刑に処せられ、右と左が祈りました、お父様お許しください、彼らが何をしているのか分かりません、預言を成就させます、服を分けてくじ引きをします、兵士たちも嘲笑しました、酸っぱいワインを差し出しました、人々は立って指導者たちを見て「彼は救った、他の人は彼を救わせろ」と嘲笑したもし彼が神の救世主に選ばれた者であるならば、彼自身である」(ルカ23:32-38)。

第 3 段落: そこに吊るされている犯罪者の一人が、「あなたはメシアではないのか?」と侮辱をイエスに投げつけました。私たちを救ってください！しかし、イエスが王国に来たときのことを覚えていてくださいと尋ねたのとは異なり、彼を叱責した他の人たちは、イエスが「真実に言いますが、今日あなたは私と一緒に楽園にいるでしょう」と確実に答え、救いの約束、人生の最後の瞬間まで悔い改めた信仰を示しました（ルカ 23: 39-43）。正午頃、陸地に暗闇が訪れ、午後三時太陽の光が止み、神殿のカーテンが二つ引き裂かれ、それから大声で「父よ、わたしの魂を御手に委ねます。」と叫びました。そう言ったとき、彼の最後の息をついた百人隊長は、何が起こったのかを見て、確かにこの男は義人であると神を賛美しました！ガリラヤから続いてきた女性たちを含め、すべての人々がこのことを知っていましたこれらの出来事が乳房を打ちのめし、イエスの死を見守る人々に衝撃を与えたのを見ました(ルカ23:44-49)。最後に、ジョセフ・アリマタヤのメンバー評議会の善良な正しい人が彼らの決定に同意しませんでした アクションを要求された体 ピラトからのイエスが亜麻布を包み、まだ誰も埋葬されていない墓に切り取った岩を置き、香辛料を準備し、休息し、安息日に従って、埋葬の開始を示す戒め、復活の物語次の章（ルカ23：50-56）。

ルカ 23:1 そこで、群衆はみな立ち上がり、イエスをピラトのところへ導いた。

人々はイエスを裁きのためにピラトのところに連れて行きました。

1: 私たちは常にイエスを受け入れ、その模範に従わなければなりません。

2: 私たちは常に正しいこと、正しいことのために立ち上がらなければなりません。

1: ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスのうちにあるこの心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にしてしまったのです。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2: マタイ 5:38-39 - 「目には目を、歯には歯を」と言われたのを聞いたことがあるでしょう。しかし、私はあなたに言います、悪を行う者に抵抗してはなりません。しかし、誰かがあなたの右頬を平手打ちした場合は、もう片方の頬もその人のほうを向いてください。

ルカ 23:2 そこで彼らは彼を非難し始めて、こう言った、「この男が国を倒錯させ、自分こそがキリストであると言ってカエサルに貢物を与えることを禁じているのが分かった」。

人々はイエスがユダヤ人の王であると主張し、政府を転覆させようとして税金の支払いを拒否したとしてイエスを非難しました。

1.「告発の力：不当な批判にどう応えるか」

2. 「イエスの権威: 私たちは誰に仕えるのでしょうか?」

1. マタイ 10:28 - 「体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と体の両方を地獄で滅ぼすことができる方を恐れてください。」

2. ローマ 13:1 - 「すべての人を統治する権威に服従させなさい。神以外に権威はなく、存在する権威は神によって定められたものだからです。」

ルカ 23:3 そこでピラトは彼に尋ねて言った、「あなたはユダヤ人の王ですか」。すると彼は答えて言った、「あなたがおっしゃるとおりです。」

ピラトはイエスに、自分がユダヤ人の王なのかと尋ねると、イエスは「あなたが言っているでしょう」と答えました。

1. キリストの正体に対する確信の力 - ルカ 23:3

2. キリストの主権 - ルカ 23:3

1. ピリピ 2:6-11 - イエスはへりくだって神に従順でした

2. ヨハネ 18:33-37 - イエスはピラトの質問に自信と真実を持って答えた

ルカ 23:4 それから、ピラトは祭司長たちと民に言った、「この人には何の罪もありません。」

ピラトはイエスを調べた結果、何の落ち度も見つけられませんでした。

1. 神は、たとえ不当な非難に直面しても、忠実で公正であられます。

2. イエスは迫害に直面しても恵みと憐れみを示します。

1. 詩篇 25:10 - 主の契約と証を守る者にとって、主の道はすべて揺るぎない愛と忠実です。

2. ローマ 8:31 - それでは、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

ルカ 23:5 すると彼らはさらに激しくなって、「彼は民を奮い立たせて、ガリラヤからこの場所までユダヤ人全体に教えておられるのです」と言いました。

ユダヤ人たちは、イエスが人々を扇動し、ガリラヤからエルサレムに至るユダヤ全土に教えを説いたことに激怒しました。

1: イエスは、反対に直面しても喜んで人々を教え、扇動しました。

2: 私たちはイエスの模範に従い、神の王国を推進するために反対に直面しても勇気を持たなければなりません。

1: マタイ 10:28 - 「肉体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と肉体の両方を地獄で滅ぼすことのできる方を恐れてください。」

2: 使徒 4:13 - 「さて、彼らはペテロとヨハネの大胆さを見て、自分たちが無学で無知な人間であることに気づき、驚き、彼らがイエスと共にいたことを認識した。」

ルカ 23:6 ピラトはガリラヤのことを聞いて、その人はガリラヤ人なのかと尋ねた。

ピラトは、イエスがガリラヤ地方のことを聞いたとき、その出身かどうか尋ねました。

1. イエス：私たちの謙虚な王

2. ガリラヤにおけるイエスの力

1. マタイ 5:5 - 「柔和な人々は幸いです。彼らは地を受け継ぐからです。」

2. ヨハネ 1:14 - 「そして、ことばは肉となって、わたしたちの間に住まわれました。そしてわたしたちは神の栄光、恵みと真理に満ちた、父からのひとり子のような栄光を見ました。」

ルカ 23:7 そして、自分がヘロデの管轄に属していると知るとすぐに、ヘロデのところに遣わした。ヘロデ自身もその時エルサレムにいた。

ピラトは、ヘロデがイエスに対して裁判権を持っていることを知っていたため、イエスをヘロデのもとに送りました。

1. 困難な時期を乗り越える神の力を受け入れてください。

2. 神の祝福を経験できるように、権威に従いなさい。

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. 詩篇46:1-3

ルカ 23:8 ヘロデはイエスを見たとき、非常に喜びました。イエスについてはいろいろ聞いていたので、長い間イエスに会いたかったのです。そして彼は自分が起こす奇跡を見たいと願っていた。

ヘロデはイエスについて多くのことを聞いていたので、イエスが奇跡を起こすのを見たいと思っていたので、イエスに会ったときとても喜びました。

1. 信仰の力: ヘロデの信仰がどのようにしてイエスに会うようになったのか

2. 発見の喜び: 予期せぬ方法で神の臨在を体験する

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. 詩篇 16:11 - 「あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ちています。あなたの右には永遠に喜びがあります。」

ルカ 23:9 それから彼は多くの言葉で彼に質問した。しかし彼は何も答えなかった。

この箇所には、ローマ総督ピラトがイエスの欠点を見つけようとしてイエスに質問したが、イエスは何も答えられなかったことが描かれている。

1. 抑圧に直面した沈黙の力

2. 私たちの言葉が私たちの信仰をどのように反映しているか

1. 箴言 17:28 - 愚か者であっても、平和を保っているときは賢いとみなされる。彼が唇を閉じると、彼は洞察力があると見なされます。

2. ヤコブ 1:19-20 - 愛する兄弟たち、このことを理解してください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしましょう。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

ルカ 23:10 すると、祭司長たちと律法学者たちが立ち上がって、激しく彼を非難した。

聖句 祭司長と律法学者たちは立ってイエスに対して激しく非難した。

1. 「告発の力: なぜ親切と愛を持って話すべきなのか」

2. 「正しいことのために立ち上がる美徳: イエスの模範」

1. ローマ人への手紙 12:14-21 - 「あなたたちを迫害する者たちを祝福しなさい。彼らを祝福し、呪わないでください。」

2. 箴言 16:28 - 「不正直な人は争いを広げ、ささやく人は親しい友人を引き離す。」

ルカ 23:11 そこで、ヘロデは兵たちとともに彼を無罪にし、あざけり、豪華な衣を着せ、再びピラトのもとに送った。

イエスはピラトのもとに送り返される前に、ヘロデとその軍隊によって嘲笑され、屈辱を受けました。

1. 屈辱の力 - イエスが私たちの救いのためにどのように謙虚になり、苦しみに耐えられたか。

2. 赦しの力 - ヘロデとその軍隊が虐待されていたにもかかわらず、イエスが進んで赦そうとしたこと。

1. ピリピ 2:5-8 - 恥と苦しみにもかかわらず、キリストの謙虚さと神のご意志への従順。

2. マタイ 6:14-15 - 神が私たちを赦してくださったのと同じように、私たちも他の人をどのように赦すべきかについてのイエスの教え。

ルカ 23:12 そして、同じ日に、ピラトとヘロデは友達になりました。それは、彼らが敵対する前だったからです。

聖書の一節では、ピラトとヘロデが以前敵対関係にあった同じ日にどのようにして友人になったのかについて説明されています。

1. 和解の力 - この記事では、ピラトとヘロデの間の和解と、それが許しと償いの力をどのように反映しているかを探ります。

2. 許しの力 - ここでは、ピラトとヘロデに見られたように、たった一度の許しの行為が二人の人生をどのように変えることができるかについて話し合います。

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、赦し合いなさい。」

2. コロサイ 3:13 - 「互いに忍び合い、もし一方が他方に不平を言うことがあれば、互いに許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。」

ルカ 23:13 ピラトは、祭司長たち、支配者たち、民を集めたとき、こう言った。

エルサレムの人々は彼の判決を聞くためにピラトの前に集まりました。

1. 私たちは、困難な時にはイエスの正義と憐れみを求めなければなりません。

2. 神は私たちに、違いに関係なく、一致と平和の中で生きるよう呼びかけています。

1. イザヤ書 30:18、「それゆえ、主はあなたがたに慈しみ深くあられることを待ち望んでおり、そのためにご自分を高めてあなたに憐れみを示されるのです。主は正義の神だからです。彼を待ち望むすべての人は幸いです。」

2. エペソ人への手紙 4:3、「平和のきずなを通して御霊の一致を保つためにあらゆる努力を払う。」

ルカ 23:14 彼らに言った、「あなたがたは、この男を、民を惑わす者として、わたしのところに連れてきたのです。そして、見よ、わたしは、あなたの前で彼を調べてみましたが、この男があなたがたが非難している事柄に触れたことに何の落ち度もありませんでした。

この箇所は、イエスが人々の前で調べられ、自分に対して起こされた告発について無罪であることが判明することについて書かれています。

1. イエス：無実の苦しみを受ける者

2. 無実であることが判明するとはどういう意味ですか?

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2. 箴言 17:15 - 悪人を正当化する者も、義人を非難する者も、どちらも同様に主にとって忌まわしい者である。

ルカ 23:15 いいえ、ヘロデもまだです。私はあなたを彼のところに遣わしたのです。そして見よ、彼に対しては死に値するようなことは何もされていない。

ローマ総督ピラトはイエスに何の罪も認めず、イエスを非難することを拒否した。

1: 神のイエスの保護は、私たちに対する神の愛を示しています。

2: イエスの無実は、彼の真実の力を明らかにしています。

1: イザヤ書 53:9 - 彼は暴力をふるったり、口に偽りがなかったにもかかわらず、その死には悪人たちと金持ちたちの墓が割り当てられました。

2: ピリピ 2:7-8 - しかし、自分自身を何者にもせず、召使の姿をとり、人間と同じように生まれました。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

ルカ 23:16 そこで、わたしは彼を懲らしめて釈放します。

この一節は、ご自分に不当な扱いをした人々を喜んで許したいというイエスの気持ちを表しています。

1.「許しの力」

2.「慈悲の必要性」

1. マタイ 6:14-15 - 「もしあなたが他の人の罪過を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださいますが、あなたが他の人の罪過を赦さないなら、あなたがたの父もあなたの罪過を赦してはなりません。」

2. エペソ人への手紙 4:32 - 「神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、赦し合いなさい。」

ルカ 23:17 (必然的に、彼は祭りのときに彼らに一人を解放しなければなりません。)

この箇所は、人々がピラトに捕虜の釈放を要求したとき、祭りの習慣に従ってイエスが彼らに与えられたと説明しています。

1. 他人のために犠牲を払う：私たちのためにイエスが犠牲になったことを理解する

2. ピラトの選択の力: 彼の決断から何が学べるか

1. ヨハネ 3:16: 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ピリピ人への手紙 2:8: そして、男性としての流行に見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

ルカ 23:18 すると彼らは一斉に叫んで言った、「この男を連れて去って、バラバを私たちに解放してください。

この一節は、バラバの釈放とイエスの十字架を求める群衆の呼びかけを説明しています。

1. 救いの代償: イエスの犠牲を理解する

2. 命の神聖さ: バラバではなくイエスを選ぶ

1. ヨハネ 8:34、「イエスは彼らに答えて言われた。「はっきりと、あなたがたに言いますが、罪を犯す者は皆、罪の奴隷です。」

2. ローマ人への手紙 6:23、「罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。」

ルカ 23:19 (市内で何らかの暴動を起こし、殺人を犯したために投獄された人。)

この箇所は、扇動と殺人の冤罪によりイエスが逮捕されたことを描写しています。

1: たとえ迫害に直面したとしても、神への忠実さを保つように努めなければなりません。

2: 私たちは他人に対して偽りの証言をしてはなりません。それは間違っており、神の律法に反するからです。

1: ヤコブ 5:12 - 「しかし、何よりも大切なのは、兄弟たちよ、天にかけても地にかけても、その他のいかなる誓いによっても誓わないで、あなたの「はい」を「はい」とし、「いいえ」を「いいえ」にしなさい。非難には当たらないかもしれない。」

2: マタイ 7:12 - 「ですから、何事においても、自分にしてもらいたいことを他の人にしなさい。これが律法と預言者の要約です。」

ルカ 23:20 そこで、ピラトは、イエスを釈放したいと思って、もう一度彼らに言いました。

ピラトはイエスを釈放したいと思って、二度目に人々に語りました。

1. いつくしみの力: イエスが赦されるに値する理由

2. 許しの力: イエスはどのように恵みを示したか

1. コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、赦しなさい。」

2. マタイ 18:21-25 - 「そこで、ペテロがイエスのところに来て尋ねた、「主よ、私に対して罪を犯した兄弟や姉妹を何回赦してあげましょうか。七回までですか?」イエスは、「あなたに言いますが、七回ではなく、七十七回です」と答えられました。

ルカ 23:21 ところが彼らは、「十字架につけろ、十字架につけろ」と叫んだ。

人々はイエスを十字架につけるよう求めました。

1: イエスは十字架の苦しみに耐えました、そして私たちは彼の犠牲を覚えておくべきです。

2: 私たちはイエスの十字架を求めた群衆のようにならず、むしろ憐れみと許しを求めてイエスに頼るべきです。

1: 1 ペテロ 2:21-24 「あなたがたはこのために召されたのです。キリストもあなたのために苦しみ、あなたがその足跡に従うように模範を残されたからです。キリストは罪を犯しておらず、偽りも見つかりませんでした。「イエスは、ののしられても、ののしり返さず、苦しんでも、脅かさず、正しく裁かれる御方に身を委ね続けました。主ご自身が、私たちが死ぬために、木の上で私たちの罪をその身に背負ってくださいました」「罪を犯し、義のために生きなさい。彼の傷によってあなたは癒されたのです。」

2: イザヤ書 53:4-6 「確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち砕かれました。彼は私たちの罪のために打ち砕かれました。」「彼は私たちに平和をもたらした懲らしめであり、彼の打ち傷によって私たちは癒された。羊のように私たちは皆、道を踏み外し、それぞれが自分の道に戻った。そして主は私たち全員の咎を彼の上に負わせられた。」」

ルカ 23:22 そこで、イエスは三度目に彼らに言った、「いったい、彼はどんな悪事をしたのか」。私は彼に死因を見つけられませんでした。したがって、私は彼を懲らしめて釈放します。

この箇所は、ピラトが群衆にイエスに何の落ち度もなかった後、釈放するよう説得しようとした三度目の試みを説明しています。

1. イエス、無実の人: イエスの無実の力と、それがどのように彼を救う力があったかについてのメッセージ。

2. 群衆の影響: 集団心理の危険性と、それをいかに信頼すべきではないかについてのメッセージ。

1. イザヤ書 53:9 - 「彼は、暴力を振るうことも、口に偽りもなかったにもかかわらず、その死には悪人たちと金持ちたちとの墓が割り当てられました。」

2. ヨハネ 8:46 - 「あなたがたのうち、私に罪を認めているのはだれですか。私が真実を話したとしても、なぜ信じないのですか。」

ルカ 23:23 すると彼らはすぐさま大声で、イエスを十字架につけろと要求した。そして彼らと祭司長たちの声が広まった。

人々と祭司長たちはイエスを十字架につけるよう要求しました。

1. 団結の力: 一つの声、一つの目的

2. 集団思考の危険性: 何を犠牲にして群衆に従うか?

1. 詩篇 118:8 - 人間を信頼するよりも、主を信頼する方が良いです。

2. 使徒 5:29 - そこでペテロと他の使徒たちは答えて言いました、「私たちは人間ではなく神に従うべきです。」

ルカ 23:24 そこでピラトは、彼らの要求どおりにすべきであるとの判決を下した。

この箇所は、ピラトが人々の要求に屈し、彼らの思いどおりにさせたことを明らかにしています。

1. たとえその気がない場合でも、神は常にコントロールしておられます。

2. 神の意志への服従が真の平和への唯一の道です。

1. イザヤ書 55:8-9 「わたしの考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではありません」と主は言われます。「天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いのです。

2. 箴言 16:9 人は心の中で自分の進路を計画しますが、主はその歩みを定めてくださいます。

ルカ 23:25 そこでイエスは、騒乱と殺人の罪で投獄されていた者を、彼らが望んでいた者に釈放した。しかし、彼は彼らの意志に従ってイエスを引き渡しました。

エルサレムの人々はバラバの釈放を望んでいましたが、代わりにイエスが彼らの意志に従って引き渡されました。

1. 慈悲の力: イエスはどのようにして死刑判決を命に変えたのか

2. 人々の力: 群衆の声の影響を調べる。

1. マタイ 27:15-26 - ピラトとエルサレムの人々との交流、そしてバラバを釈放してイエスを十字架につけるという最終的な決断。

2. ルカ 15:11-32 - 放蕩息子のたとえ話。イエスの同情心と憐れみを表しています。

ルカ 23:26 そして、彼らはイエスを連れ去るとき、田舎から出て来たキレネ人シモンを捕まえ、イエスの後に背負うように十字架を置いた。

兵士たちはシモンにイエスの十字架を負わせました。

1: 神はご自身の計画を実行するために予期せぬ人々を用いられます。

2: たとえ難しいことを強いられたとしても、私たちは神を信頼することができます。

1: 使徒 10:34-35 - 神は偏りを示されませんが、どの国でも神を恐れ、正しいことを行う者は誰でも神に受け入れられます。

2: マタイ 16:24-25 - それからイエスは弟子たちに言われた、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。

ルカ 23:27 すると、大勢の人々と婦人たちが彼の後に続いて、彼らもまた彼を嘆き、嘆いた。

多くの女性を含む大勢の群衆がイエスに従い、イエスに対する悲しみを表明しました。

1. イエス・キリスト：私たちの苦しみの救い主

2. イエスの愛と思いやりの力

1. ヘブライ 4:15-16 「私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司がいるのではなく、あらゆる点で私たちと同じように誘惑を受けながらも、罪を犯していない大祭司がいます。そうすれば、私たちが慈悲を受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

2. ヨハネ 11:35 「イエスは泣いた。」

あなたたち自身とあなたの子供たちのために泣きなさい。」

イエスはエルサレムの女性たちに、自分の苦しみではなく自分たちの苦しみのために泣くようにと勧告しました。

1: 自分の苦しみのために泣く - ルカ 23:28 のエルサレムの女性たちへのイエスの教え。

2: 他者への共感 - ルカ 23:28 でイエスがエルサレムの女性たちに教えた、自分たちと子供たちの苦しみのために涙を流すこと。

1: ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちと一緒に喜びなさい。泣く人たちと一緒に泣きましょう。

2: マタイ 5:4 - 悲しんでいる人々は幸いです、彼らは慰められるからです。

ルカ 23:29 見よ、彼らが言う日が来る、「不妊の人は幸いだ、決して裸にならない子宮、決して乳を飲まない子は幸いである」。

この聖句は、不妊の女性が祝福される時代について語っています。

1: 不妊の女性に対する神の恵み - 不妊で子供のいない人に対する神の恵みについて。

2: 不毛の女性への希望 - 女性が不妊の場合でも神から与えられる希望を探ります。

1: 詩篇 113:9 - 神は、不妊の女性に家を守り、子供たちの楽しい母親にさせます。主をたたえよ。

2: イザヤ書 54:1 - 歌え、不毛な者よ、産まなかった者よ。歌い始めて、大声で叫びなさい、子供を産まなかったあなた。結婚した妻の子供よりも荒廃した人の子供たちのほうが多いからです、と主は言われます。

ルカ 23:30 そのとき、彼らは山々に向かって言い始めるだろう。そして丘へ、私たちを守ってください。

苦しみの中にある人々は、山や丘が自分たちに落ちてきて、覆ってくれるようにと叫びます。

1. 絶望の深さ: 聖書の絶望の深さを探る

2. すべての希望が失われたとき: イエスの言葉に慰めを見つける

1. 哀歌3:48-51

2. 詩篇61:2-4

ルカ 23:31 もし彼らが緑の木でこれらのことをするなら、乾いた木ではどうするでしょうか。

この一節は、神の憐れみと裁き、そしてそれらが人の行動に応じてどのように満たされるかについて語っています。

1. 神の慈悲と裁き: 緑の木と乾いた木

2. 私たちの行動の結果: 私たちが受け取るべきものを受け取る

1. エレミヤ 17:7-8 - 「主を信頼する人は幸いです、その人が主を信頼します。彼は水のほとりに植えられ、流れのほとりに根を張り、葉が緑色を保つので暑さが来ても恐れず、実を結ぶのをやめないので干ばつの年にも心配しない木のようなものである。」

2. ローマ人への手紙 2:6-9 - 「神は、その行いに応じて、おのおのに恵みを与えてくださいます。善行を忍耐して栄光と名誉と不滅を求める者には、神は永遠の命を与えてくださいます。しかし、利己的で真理に従わず、不義に従う者には怒りと激怒が起こるでしょう。ユダヤ人を筆頭にギリシャ人も含め、悪を行うすべての人間には艱難と苦悩が訪れるだろう。」

ルカ 23:32 また、彼と一緒に死刑に処せられた犯罪者が他に二人いました。

二人の犯罪者がイエスと一緒に死刑に導かれました。

1: イエスは神の憐れみと愛の深さを私たちに示すために苦しみと死に耐えました。

2: イエスは、困難な状況に直面しても、真の勇気と神への従順を示しました。

1: フィリピ 2:8 - 「そして、人間の姿で見出された彼は、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」

2: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

ルカ 23:33 そして、彼らはカルバリと呼ばれる場所に来ると、そこでイエスと犯罪者たちを、一人は右に、もう一人は左に十字架につけた。

イエスはカルバリの場所で二人の犯罪者の間に十字架につけられました。

1. イエスの偉大な愛: キリストの磔刑についての考察

2. 許しの力: 十字架からの教訓

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺し貫かれました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に与えられた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. マタイ 27:46 - そして九時ごろ、イエスは大声で叫んで言われた、「エリ、エリ、レマ・サバクタニ？」それは、「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか？」ということです。

ルカ 23:34 そこでイエスは、「父よ、彼らをお赦しください」と言われた。彼らは自分たちが何をしているのか分かっていないからです。そして彼らは彼の着物を分けて、くじを引いた。

イエスは、自分たちが何をしているのか理解できない人々を赦してくださいと神に願いました。

1: 他人の悪行にもかかわらず、私たちは許すべきです

2: イエスは許しの模範を示される

1: コロサイ 3:13 - 互いに忍び合い、もし一方が他方に不満を持っている場合は、互いに許し合います。主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。

2: エペソ人への手紙 4:32 - 神がキリストにあってあなたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、許し合いなさい。

ルカ 23:35 すると人々は立って見ていた。そして支配者たちも一緒に彼をあざ笑い、「彼は他の人を救った。彼は他人を救った」と言いました。もし彼が神に選ばれたキリストであるなら、彼に自分を救ってもらいましょう。

民衆と支配者たちは、イエスが神に選ばれたのなら自分を救ってくれるはずだと言ってイエスを嘲笑します。

1. 困難な時代における信仰の重要性

2. 話された言葉の力

1. 1 コリント 1:27-29 – 神は知恵ある者に恥をかかせるために世の愚かなものを選び、強いものに恥をかかせるために世の弱いものを選びました。

2. ローマ 10:17 – したがって、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

ルカ 23:36 すると、兵士たちもイエスをあざけり、近寄ってきて酢を差し出した。

兵士たちは嘲笑してイエスに酢を差し出しました。

1. 謙遜の力: イエスの十字架からの教訓

2. 赦しの強さ：嘲笑に対するイエスの反応

1. ピリピ 2:3-8 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2. マタイ 5:38-48 - 敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りましょう。

ルカ 23:37 そして言った、「もしあなたがユダヤ人の王なら、自分を救ってください。」

この一節は、十字架から自分を救うことで王権を証明するようイエスに挑戦した、十字架にかけられた場に居合わせた人々によるイエスの嘲笑を浮き彫りにしています。

1: イエスは十字架につけられている間、嘲笑され、挑戦を受けましたが、神のご意志に従い、神に従順であり続けることを選びました。

2: イエスは神のご意志に従い、全人類に救いをもたらすために、嘲笑や挑戦に喜んで直面しました。

1: ピリピ人への手紙 2:5-8 「この心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿でありながら、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。「召使いの姿をとり、人間と同じように生まれました。そして人間の姿で発見され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。」

2: ヘブル人への手紙 12:2 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けてください。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。」

ルカ 23:38 また、彼の上には、ギリシャ語、ラテン語、ヘブライ語で、「これはユダヤ人の王だ」という上書きも書かれていました。

イエスの上にはギリシャ語、ラテン語、ヘブライ語で「これはユダヤ人の王である」という上書きが書かれていました。

1. イエスの王権: 十字架のしるしを調べる。

2. 十字架の上書き：当時と今、それが何を意味するのかを考察する。

1. マタイ 27:37-38 - ピラトは手紙を書き、それを十字架につけました。

2. ヨハネ 19:19-22 - ピラトは手紙を書き、それを十字架につけました。

ルカ 23:39 すると、絞首刑にされた犯罪者の一人が彼をののしって、「もしあなたがキリストなら、あなた自身と私たちを救ってください。」と言った。

十字架上の犯罪者はイエスを叱責し、自分と彼らを救ってくれるように求めました。

1: 私たちが罪を犯しているにもかかわらず、イエスは今でも私たちを愛し、私たちを救うためにそこにいてくださいます。

2: イエスが救いへの唯一の道であり、私たちが救われるのはイエスを通してです。

1: ヨハネ 3:16-17 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。

2: ローマ人への手紙 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからである。」

ルカ 23:40 しかし、もう一人の答えは彼を叱責して言った、「あなたが同じように非難されているのを見て、あなたは神を恐れないのですか。」

二人の犯罪者がイエスとともに十字架につけられ、一人がイエスを嘲笑したもう一人を叱責し、神を畏れるよう思い出させた。

1. たとえ試練や艱難に直面しているときでも、どんな状況でも神を畏れなさい。

2. 嘲笑を拒否し、苦難の時には悔い改めを求めてください。

1. 箴言 1:7 - 主を恐れることは知識の始まりです。愚か者は知恵と教えを軽蔑します。

2. イザヤ書 55:6-7 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼びなさい。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。彼を主に立ち返らせてください。そうすれば、彼は彼を憐れみ、私たちの神に憐れみを与えることができます。なぜなら、彼は豊かに赦してくださるからです。

ルカ 23:41 そして、私たちは実に正義です。なぜなら、私たちは自分の行為に対して当然の報いを受けているからです。しかし、この男は何も間違ったことはしていません。

この一節は、イエスと一緒に十字架につけられた二人の犯罪者について反映しています。彼らは自分たちの悪行に対して当然の罰を受けていましたが、イエスは何も悪いことをしていませんでした。

1.「許しの力：イエスの無実を調べる」

2.「神の恵み：磔刑についての考察」

1. マタイ 27:24-26 - 「ピラトは、自分では何も打ち負かすことができず、むしろ騒ぎが起こっているのを見て、水を汲み、群衆の前で手を洗い、こう言いました、「私はこの義人の血について無実です」「その人：それを見てください。それから民全員に答えて、「彼の血は私たちと私たちの子供たちの上にありますように」と言いました。」

2. ペテロ第一 2:21-24 - 「なぜなら、あなたがたもここに召されたからです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残して、その足跡に従うようにされたからです。誰が罪を犯さなかったのか、彼の口には悪意も見出されませんでした。ののしられても再びののしらず、苦しんでも脅さず、正しく裁く方に自らを捧げた方、木の上でご自身の体で私たちの罪を負ってくださった方、私たちが罪に対して死んでいることを。、義にかなって生きるべきです。その打ち傷によってあなたがたは癒されました。」

ルカ 23:42 そこで彼はイエスに言った、「主よ、あなたの御国に来られたら、私を思い出してください。」

この一節は、イエスの隣で十字架につけられた犯罪者の嘆願を明らかにしており、イエスが御国に来たときに覚えていてほしいと願っています。

1. イエスは謙虚で悔い改めた人に憐れみを示します - ルカ 23:42

2. キリストの恵みは信じる者に及ぶ - ルカ 23:42

1. イザヤ書 57:15 - 「高く高く高められた方、永遠に住まわれる方、その名は聖なる方はこう言われます。「わたしは高く聖なる場所に住み、また、悔い改めて卑しい者とともにいる」精神、身分の低い者の精神を復活させ、悔い改めた者の心を復活させる。」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してください

ました。」

ルカ 23:43 するとイエスは彼に言われた、「よくあなたに言いますが、あなたは今日私と一緒に楽園にいるでしょう。」

この一節は、十字架上で自分と一緒に十字架につけられた犯罪者に対するイエスの永遠の命の約束について述べています。

1: イエスは私たちに平安と、楽園でのご自分との永遠の命の保証を提供してくださいました。

2: イエスの十字架上の犠牲は、私たちの罪の償いだけではなく、イエスとの永遠の約束でもありました。

1: ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2: 1 テサロニケ 4:13-18 「しかし、兄弟たち、私たちは、希望のない人々のように悲しまないように、眠っている人たちのことをあなたがたに知らされないでほしいのです。なぜなら、私たちはイエスが死んだことを信じているからです。「それでも、よみがえります。それでも、神はイエスを通して、眠っている人々を連れて来てくださいます。このために、私たちは主の言葉によってあなたに宣言します。生きている私たち、主の来臨まで残されている者は、「眠っている人々に先んじてはなりません。なぜなら、主ご自身が、命令の叫びと、大天使の声と、神のラッパの音とともに天から降って来られます。そして、キリストにある死人が最初によみがえります。そのとき、私たちはよみがえります。」生きている人も、残された人も、彼らと一緒に雲に引き上げられ、空中で主にお会いすることになるので、私たちは常に主とともにいます。」

ルカ 23:44 そして、それは六時ごろであったが、九時まで全地が暗闇となった。

イエスが十字架につけられた日、6時間目から9時間目まで暗闇が全地を覆いました。

1: イエスの十字架上の犠牲が地上に暗闇をもたらし、私たちに対するイエスの計り知れない苦しみと愛を示しました。

2: 私たちを罪から救うためにイエスが十字架の暗闇にどのように耐えられたか、そして私たちはどのようにイエスの愛と恵みを受け入れるべきか。

1: マタイ 27:45-46 - さて、6 時間目から 9 時間目まで、全土が暗闇になりました。そして9時ごろ、イエスは大声で叫んで言われた、「エリ、エリ、レマ・サバクタニ？」それは、「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか？」ということです。

2: イザヤ 53:3-5 - 彼は人類から軽蔑され、拒絶され、苦しみを経験し、痛みを知っていました。人々が顔を隠す人のように彼は軽蔑され、私たちは彼を低く評価しました。確かに彼は私たちの痛みを引き受け、私たちの苦しみを引き受けてくれましたが、私たちは彼を神から罰せられ、打ちのめされ、苦しんでいると考えました。しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

ルカ 23:45 そして、太陽は暗くなり、神殿の幕が真ん中で裂けました。

イエスが死んだとき、太陽は暗くなり、神殿の幕は半分に引き裂かれました。

1. 十字架の力: 示される神の裁きと憐れみ

2. 悲しみや困難の時に神の臨在を見る

1. ローマ 5:8-9 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

ルカ 23:46 イエスは大声で叫んだとき、「父よ、わたしの霊をあなたの御手に委ねます。こう言って、霊を手放しました。」

イエスが亡くなる前の最後の言葉は、神への信頼の祈りでした。

#1: イエスが亡くなる前の最後の言葉は、困難な時に神を信頼することについて私たちに教えてくれること。

#2: 神への信頼を示すイエスの祈りは、どのようにして私たちに神への信仰を抱かせることができるのか。

#1: イザヤ書 12:2 - 「見よ、神は私の救いです。私は信頼し、恐れません。主なる神が私の力であり、私の歌だからです。彼は私の救いにもなりました。」

#2: ヘブライ 11:6 - 「しかし、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がご自身であり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる方であることを信じなければなりません。」

ルカ 23:47 さて、百人隊長は事の成り行きを見て、「確かにこの人は正しい人だった」と言って神を讃えた。

百人隊長はイエスの磔刑を見て神を賛美し、イエスは義人であると宣言しました。

1. 真の義はキリストの犠牲の死に見出されます。

2. 神は義人を報いなしに放っておくことはありません。

1. ローマ 5:8 - しかし、神は、私たちがまだ罪人であったときに、私たちのために死ぬためにキリストを遣わすことによって、私たちに対する大きな愛を示してくださいました。

2. 詩篇 34:19 - 義人の苦しみは多いが、主はそのすべてから彼を救い出してくださる。

ルカ 23:48 そして、その光景に集まった民はみな、この出来事を見て、胸を打ち、帰って行った。

イエスの十字架を見ていた人々は悲しみと悲しみでいっぱいでした。

1.「悲しみの力」

2.「イエスの犠牲」

1. イザヤ書 53:3-5 「彼は軽蔑され、人々から拒絶され、悲しみの人で、悲しみを知っています。そして私たちは、まるで彼から顔を隠しました。彼は軽蔑され、私たちは彼を尊敬していませんでした。確かに彼は彼を尊敬していませんでした。」「彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくれました。それでも私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しめられたと尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。彼の縞模様は私たちを癒します。」

2. ローマ 5:8 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を認めておられます。」

ルカ 23:49 すると、彼の知り合い全員と、ガリラヤから彼を追ってきた婦人たちも、遠くに立ってこれらのことを眺めていた。

ガリラヤからイエスを追った女性たちは十字架の目撃者でした。

1: 私たちは困難や苦しみの中でも神を信頼することを学ばなければなりません。

2: 私たちは、どんな犠牲を払ってでも喜んでイエスに従わなければなりません。

1: ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2: ヘブライ 12:2 - 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を留めましょう。イエスは喜びのために十字架に耐え、その恥を軽蔑し、神の御座の右に座されました。。

ルカ 23:50 すると、見よ、相談役のヨセフという人がいた。そして彼は善良な人であり、正義の人でした。

ジョセフは善良で正義の人でした。

1: 不公平な世界で正しく生きる

2: 善良な男の例

1: 箴言 21:3 - 義と正義を行うことは犠牲よりも主に受け入れられます。

2: マタイ 5:6 - 義に飢え渇く人々は幸いです、彼らは満たされるからです。

ルカ 23:51 (同じ人は、彼らの助言と行為に同意しませんでした。)彼はユダヤ人の都市アリマタヤの出身で、彼自身も神の国を待ち望んでいました。

この箇所は、ユダヤ人の都市アリマタヤのヨセフに焦点を当てています。ヨセフは他の人々の勧告や行動に同意せず、代わりに神の国を待ち望みました。

1. 逆境の時に神に従う

2. 他の人がそうでないときでも神に忠実であり続ける

1. 使徒 1:6-7 - そこで、彼らは集まった後、イエスに尋ねた、「主よ、この際にイスラエルに王国を回復していただけませんか。」イエスは彼らに言った、「父がご自身の権威によって定められた時間や季節をあなたが知ることはできません。

2. ローマ 8:18-19 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。というのは、被造物は神の子たちの出現を切望して待っているからです。

ルカ 23:52 この人はピラトのところに行き、イエスの遺体を懇願した。

アリマタヤのヨセフはピラトにイエスの遺体を求めました。

1. 信仰の力：アリマタヤのヨセフのイエスへの献身

2. 犠牲の美: アリマタヤのヨセフの無私の心

1. ヨハネ 19:38-42 – アリマタヤのヨセフによるイエスの埋葬

2. マタイ 27:57-60 – アリマタヤのヨセフがピラトにイエスの遺体を求めた

ルカ 23:53 それからイエスはそれを下ろして亜麻布に包み、これまで人が埋葬されたことのない石で彫られた墓に納めた。

イエスは、それまで使われたことのない石で彫られた墓に埋葬されました。

1. イエスの犠牲: イエスの死は世界をどう変えたか

2. イエスの墓: 空の墓と新たな希望

1. イザヤ書 53:7-9 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開けませんでした。彼は子羊として屠殺場に連れて行かれ、毛を刈る者の前に立つ羊のように口が利けないので、自分の口を開かないのです。口。彼は刑務所と裁判から解放されました。そして誰が彼の世代を宣言するでしょうか？なぜなら、彼は生ける者の地から切り離されたからである。わが民の罪により、彼は打ちのめされたからである。

2. ヨハネ 19:38-42 - この後、アリマタヤのヨセフはイエスの弟子でしたが、ユダヤ人を恐れて密かにピラトにイエスの遺体を持ち去ってくれるように懇願しました。そしてピラトは彼に許可を与えました。そこで彼はやって来て、イエスの体を引き取りました。ニコデモも来て、最初は夜にイエスのところに来て、重さ約 100ポンドのミルラとアロエの混合物を持ってきました。それから彼らはイエスの遺体を受け取り、ユダヤ人の埋葬の作法に従って、香料と一緒に亜麻布の服を巻きました。さて、彼が十字架につけられた場所には庭園がありました。そして庭には、まだ人が埋葬されたことのない新しい墓がありました。したがって、ユダヤ人の準備の日のために、彼らはイエスをそこに横たわりました。墓はもうすぐそこにあったからだ。

ルカ 23:54 その日は準備の日であり、安息日が近づいた。

安息日の準備の日に、イエスは十字架につけられました。

1. イエスの犠牲: なぜ聖金曜日が良いのか

2. 安息日の重要性: 神のうちに安息を見つける

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. 出エジプト記 20:8-11 - 「安息日を聖く守って、安息日を忘れないでください。あなたは六日間働き、すべての仕事をしなければなりません。しかし、七日目はあなたの神、主の安息日です。その日には、あなたは何もしてはならない」あなたも、あなたの息子や娘も、あなたの男女の召使いも、あなたの動物も、あなたの町に住む外国人も、働いてはいけません。主は六日間で天と地と海とすべてのものを造られたからです。「彼らの中にいたが、彼は七日目に休んだ。それゆえ、主は安息日を祝福し、聖なる日とした。」

ルカ 23:55 また、ガリラヤからイエスと一緒に来た婦人たちも後を追って、墓と遺体の安置の様子を見た。

ガリラヤの女性たちはイエスの後を追って墓まで行き、遺体がどのように葬られるのかを見ました。

1. イエスの死は無駄ではなく、人類の救いのための犠牲でした。

2. 私たちが大切にしている人たちへの愛と忠誠心は、最終的には報われます。

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. マタイ 28:6 - 彼はここにはいません。彼が言ったように、彼は復活したからです。さあ、主が横たわられた場所を見に来てください。

ルカ 23:56 そこで彼らは戻ってきて、香料と軟膏を用意した。そして戒めに従って安息日を休みました。

イエスの磔刑の日、弟子たちはイエスの体に油を塗るための香辛料と軟膏を用意し、ユダヤ教の律法に従って安息日に休んだ。

1. 従順の力: イエスの追随者から学ぶ

2. 安息日をどのように尊重するか: イエスの追随者からの教訓

1. 申命記 5:12-14 - 安息日を重んじ、それを聖く保つ

2. ルカ 22:19 - 取って食べなさい。これはあなたに与えられた私の体です

ルカ 24 章では、イエスの復活、追随者たちへの出現、そして昇天について取り上げています。

第 1 段落: この章は、ガリラヤからイエスに従っていた女性たちが、週の最初の日の早朝に、イエスの遺体のために用意した香料を持って墓に行くところから始まります。彼らは石が墓から転がされているのを見つけましたが、中に入ってみるとイエスの遺体は見つかりませんでした。突然、稲妻のように光る服を着た二人の男が彼らの隣に立って、「なぜ死者の中に生きている人を探すのですか？」と言いました。彼はここにいません;彼は起きたのだ！』彼らは、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならないというイエスの言葉を思い出させました。墓から戻った女性たちはこれらすべてをイレブンの休息者に話しました（ルカ24：1-10）。

第 2 段落: ペテロは立ち上がって墓に走って行き、のこぎりの上に身をかがめ、一人で横たわっている亜麻布を見て、何が起こったのか不思議に思いながら立ち去りました (ルカ 24:11-12)。その同じ日、二人の弟子がエルサレムから約11マイル離れたエマウスと呼ばれる村に行き、起こったすべてのことを話し合っていました。彼らがこれらのことについて話し合っていると、イエスご自身がやって来て一緒に歩いて行かれましたが、彼らの目は彼を認識し続けていました、何を話し合っているのか尋ねました、意気消沈したように見えました、死に関する最近の出来事を説明しました、復活を望んでいます、イスラエルを救い出したい、加えて、女性たちがどのように驚いたか、私たちは早朝に行きました、遺体は見つかりませんでした、見られたと言いました天使たちは生きているとビジョンを示し、その後何人かの仲間が墓に行き、女性たちが言っただけで、彼は見えなかったと言いました（ルカ 24:13-24）。それからイエスは、すべての聖書の中でご自身に関して書かれていることを彼らに説明されました。モーセの預言者たちが座って裂いたパンを食べていたとき、突然彼らの目が開いて、イエスが視界から消えたのがわかった（ルカ24:25-31）。彼らはすぐに戻ってきて、エルサレムは11人が集まっているのを見つけて、「それは本当だ！」と言いました。主はよみがえられた、シモンが現れた。』それから二人は、パンを裂いたときに彼がどのように認識したか、何が起こったのかを話しました(ルカ24:32-35)。

第三段落: まだこのことについて話している間、イエスご自身が彼らの間に立って、「あなたたちに平和があるように」と言われました。驚いた、怖がった、考えた、幽霊を見た、安心した、手、足を見せた、まだ疑っている、喜び、驚き、何かを尋ねた、食べる、与えた、焼き魚を食べる、存在する、心を開く、理解する、書かれた聖書の言葉が語られる、キリストは苦しみ、復活する、三日目に悔い改め、罪は赦される、彼の名を説く、始まりのすべての国、エルサレムはこれらのことを目撃する約束された贈り物を送る父は、服を着るまで街に留まるように言いました(ルカ24:36-49)。最後に近くに導かれたベタニヤは両手を上げて祝福し、祝福は天に取り込まれ礼拝が戻り、エルサレムは大喜びで神殿に留まり続け、神を賛美し、頂点を示しました。福音ルカの喜びの宣言、復活の昇天、キリストの肯定、弟子たちの使命は働きを続けます(ルカ24:50-53)。

ルカ 24:1 さて、週の初めの日、朝早く、彼らは準備しておいた香料とその他の香料を持って墓にやって来た。

週の最初の日に、女性たちは香辛料や他の人々とともに墓にやって来ました。

1: 暗闇から光へ: イエスはどのように死を克服したか

2: 光を受け取る準備: 女性の忠実な従順

1: ヨハネ 20:1-2 - 週の初めの日、マグダラのマリアはまだ暗いうちに早めに墓に来て、石が墓から取り去られているのを見ました。

2: マルコ 16:1-3 - 安息日が過ぎたとき、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは来てイエスに油を塗るために香料を買いました。週の初めの朝早く、太陽が昇るころに彼らは墓にやって来ました。

ルカ 24:2 すると彼らは、石が墓から転がり落ちているのを見つけた。

墓の入り口を塞いでいた石が転がされていました。

1. イエスの復活: 希望のしるし

2. 空っぽの墓: 人生のメッセージ

1. イザヤ書 26:19 - あなたの死人は生きます。彼らの体は立ち上がるだろう。塵の中に住む者よ、目覚めて喜びを歌え！

2. マタイ 28:6 - 彼が言ったように、彼はよみがえったので、ここにはいません。さあ、彼が横たわっている場所を見に来てください。

ルカ 24:3 そこで彼らは中に入ったが、主イエスのからだは見つからなかった。

イエスに従う女性たちは復活の朝墓に行きましたが、そこにイエスの遺体がないことに気づきました。

1. イエスは生きています！神は死からよみがえられ、私たちに希望と神のうちにある新しい命を与えてくださいました。

2. イエスの復活の力は空の墓に見られ、私たちに対するイエスの約束と愛を思い出させるはずです。

1. ローマ人への手紙 6:4-5 ?したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。なぜなら、私たちが彼の死と同じように神と一体になったなら、確かに私たちは彼の復活と同じになるでしょう。

2. エペソ人への手紙 2:4-5 ?わたしたちが罪を犯して死んでいたときでさえ、神は憐れみに富んで、わたしたちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、わたしたちをキリストとともに生かしてくださいました（恵みによってあなたは救われました）。

ルカ 24:4 そこで彼らが非常に当惑していたとき、見よ、光り輝く衣を着た二人の男が彼らの傍らに立っていた。

エマオへの道の当惑する弟子たちの前に、光り輝く衣を着た二人の男が現れました。

1. 混乱の時代に神があなたに使者を送っても恐れないでください。

2. 神の臨在は、苦難の時に慰めとなる。

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. 詩篇 46:1 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。

ルカ 24:5 そこで彼らは恐れて、顔を地にひれ伏して言った、「なぜ、あなたがたは生きている者を死者の中に捜すのか」。

エマオに向かって歩いていた二人の弟子に二人の男が現れ、なぜ死者の中に生きている人を探すのかと尋ねました。

1. 困難な時代における希望の力

2. 恐怖の時代における信仰の強さ

1. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待する

でしょうか？

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

ルカ 24:6 彼はここにはいませんが、復活しました。彼がまだガリラヤにいたとき、あなたがたにどのように話していたかを思い出してください。

彼は復活しました！イエスは復活の約束を果たされました。

1: イエス?復活は神を思い出させるもの?誠実さと約束。

2: イエス??の復活は希望と新しい命を思い出させます。

1: イザヤ書 53:5 ?彼は私たちの罪のために刺し貫かれ、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2: コリント第二 5:17 ?したがって、もし誰かがキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造された者です。古いものは去り、新しいものが来た!??

ルカ 24:7 こう言う、「人の子は罪深い人々の手に渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない。」

人の子は十字架につけられ、三日目によみがえらなければなりませんでした。

1. 復活の力: キリストにおける新しい命を経験する

2. 約束された救出: 神の計画を信頼する

1. ローマ人への手紙 6:4-11 - 私たちはキリストの死と復活においてキリストと結ばれています。

2. コリント人への第一の手紙 15:20-22 - キリストの復活は、これから起こる多くの復活のうちの最初のものです。

ルカ 24:8 そこで彼らは彼の言葉を思い出した。

イエスの弟子たちはイエスの教えの言葉を思い出しました。

1: イエスの言葉を思い出す力

2: イエスの言葉を思い出すことによる従順

1: ヨシュア記 1:8 - この律法の書はあなたの口から離れてはなりません。しかし、あなたはそこに書かれているすべてのことに従って行動するように、昼も夜もその中で瞑想しなければなりません。そうすれば、あなたの道は繁栄し、その後、あなたは良い成功を収めるでしょう。

2: 詩篇 119:11 - あなたに対して罪を犯さないように、私はあなたの言葉を心の中に隠しました。

ルカ 24:9 それから墓から戻り、これらのことをすべて十一人と残りの者全員に話した。

墓に行った女性たちは、11人の弟子たちと他の追随者たちにイエスの復活について話しました。

1. 信仰の力: 女性たちの勇気とイエスへの信仰が、どのように他の人たちに信じ続けるよう促したか。

2. 証言の力: イエスの復活についての女性たちの証言が弟子たちや他の人々の間でどのように広まったか。

1. マタイ 28:5-7 - 墓にいた女性たちは天使たちからイエスの復活を告げられました。

2. ヘブライ 11:1 - 信仰は、望んでいることを確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。

ルカ 24:10 これらのことを使徒たちに告げたのは、マグダラのマリア、ヨアンナ、ヤコブの母マリア、そして一緒にいた他の婦人たちでした。

マグダラのマリア、ヨアンナ、ヤコブの母マリア、その他の女性たちはイエスの復活を目撃し、その知らせを使徒たちに伝えました。

1. 喜びをもって祝う: イエスの復活の現実は、私たちの心を喜びで満たすはずです。

2. 良い知らせを分かち合う: イエスの復活の良い知らせを他の人に伝えるよう努めるべきです。

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。聞いたことのない方をどうやって信じるのでしょうか。また、説教者なしでどうやって聞くのでしょうか。説教者がいなければ、どうやって説教するでしょうか。」彼らは送られてきたのか？」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたがたに命じたことすべてに従うように教えなさい。いつでも、時代の終わりまで、一緒にいます。

ルカ 24:11 そして、彼らの言葉は空しい話のように思えたので、信じませんでした。

弟子たちはイエスの復活の報告に懐疑的で、その話は真実ではないと考えました。

1. 証言の力: どうすれば懐疑論を克服できるか

2. 見ざる信仰: 信じられないものを信じる

1. 使徒 2:24-32 - ペテロはイエスが死から復活されたことについて話しています。

2. ローマ 10:17 - 信仰はメッセージを聞くことから生まれ、そのメッセージはキリストについての言葉を通して聞かれます。

ルカ 24:12 それからペテロは起き上がり、墓に走って行きました。そして身をかがめて、亜麻布の服がそのまま置かれているのを見て、何が起こったのか心の中で不思議に思いながら立ち去った。

ペテロは墓に走って行き、そこに亜麻布の服が置いてあるのを見て、何が起こったのか驚きました。

1. 目に見えない状況にもかかわらず神の力を信じる

2. 疑いに直面したときの信仰の強さ

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

ルカ 24:13 そして、見よ、そのうちの二人は、その日のうちに、エルサレムから三ハロンほど離れたエマウスという村に行った。

イエスの二人の弟子は、エルサレムから約60スタディア（12.5マイル）離れたエマウスと呼ばれる村に行きました。

1. 信仰の旅: エマオへの道はイエスに従うことをどのように教えているか

2. 希望の力: イエスはエマオへの道で弟子たちの目をどのように開かれたか

1. イザヤ書 35:8-10 - そして、そこに街道があり、道があり、それは聖なる道と呼ばれるでしょう。汚れた者はそこを通り過ぎてはならない。しかし、それ

は彼らのためのものである。旅人は、たとえ愚か者であっても、そこで間違いを犯してはならない。

2. ヘブライ 11:1-3 - さて、信仰は、望まれている物事の本質であり、目に見えない物事の証拠です。

ルカ 24:14 そこで彼らは、これまでに起こったすべてのことについて話し合った。

二人の弟子は、起こった出来事について話し合いました。

1. 会話の力: 経験の共有がどのように成約につながるか

2. 諦めないこと：弟子たちの反省?困難に直面したときの忍耐力

1. 箴言 27:17、? 쏧ロンは鉄を研ぎ、ある人は別の人を研ぎます。

2. ピリピ 4:8、?結局のところ、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正義なこと、純粋なこと、美しいこと、賞賛に値すること、何か優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、これらのことについて考えてください。

ルカ 24:15 そこで、彼らが交わり、論じ合っていると、イエスご自身が近づいてきて、一緒に行かれた。

イエスは弟子たちに近づき、彼らと一緒に旅をされました。

1: イエスは、たとえ困難な時にも私たちの近くにいることを望んでいます。

2: イエスと共に歩むことで、私たちは慰めと友愛を得ることができます。

1: 申命記 31:8 - ?あなたより先に行かれるのは主です。彼はあなたと一緒にいるでしょう。彼はあなたを離れたり、見捨てたりしません。恐れたり落胆したりしないでください。

2: 詩篇 23:4 - ?たとえ私が死の影の谷を歩いても、私は悪を恐れません、あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

ルカ 24:16 しかし、彼らの目は、イエスを知らないはずだということに釘付けになっていた。

弟子たちは、イエスが最初に彼らの前に現れたとき、イエスであることに気づきませんでした。

1: 私たちは予期せぬ形でイエスを認識することにオープンであり続けなければなりません。

2: たとえイエスが通常の姿でなくても、イエスを認識できるほど私たちの信仰は強くなければなりません。

1: ヨハネ 20:24-29 - トマスは、イエスが復活した後、弟子たちに現れたとき、それを認識しました。

2: ルカ 5:4-6 - 弟子たちは、イエスが嵐を静めたとき、イエスを神の子であると認めました。

ルカ 24:17 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたが歩きながら、悲しみながら、互いに話し合うのは、どのようなやりとりをしているのですか」。

弟子たちは歩きながら、悲しいことについて話し合っていました。

1: 試練によって悲しい気持ちになってしまうことは決してあってはならない。

2: 困難な状況に直面したときでも、私たちは神を信頼し、神に支えを求めるべきです。

1: エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、それはあなたに将来と希望を与えるために、悪の計画ではなく幸福の計画である。」

2: 詩篇 34:17-18 - ?義人が助けを求めて叫ぶとき、主はそれを聞き、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださいます。主は心の傷ついた人の近くにいて、精神的に打ちひしがれた人を救ってくださいます。

ルカ 24:18 すると、そのうちの一人、クレオパという人が答えて言った、「あなたはエルサレムではただのよそ者で、最近そこで起こっていることを知らないのですか。」

クレオパと名前のない仲間はエマオへ向かう途中でイエスに遭遇し、クレオパはエルサレムで起こった出来事を知らないことについてイエスに質問します。

1. 苦難の時のキリストの慰め

2. 明らかになる神の計画の謎

1. イザヤ書 53:3-5 彼は人類から軽蔑され、拒絶され、苦しみを経験し、痛みを知っていた人でした。人々が顔を隠す人のように彼は軽蔑され、私たちは彼を低く評価しました。

4 しかし、彼が担ったのは私たちの弱さでした。彼を圧迫したのは私たちの悲しみだった。そして私たちは、彼の苦難は神からの罰であり、彼自身の罪に対する罰だ

と考えました。

2. ペテロ第一 4:12-13 親愛なる友人の皆さん、まるで何か奇妙なことが起こったかのように、あなたを試すためにあなたに降りかかる激しい試練に驚かないでください。13 しかし、キリストの苦しみにあずかる限り、喜びなさい。それは、キリストの栄光が現われるときに大いに喜ぶためである。

ルカ 24:19 そこでイエスは彼らに言った、「どういうことですか。」そこで彼らは彼に言った、「ナザレのイエスについて、彼は神とすべての民の前で行いも言葉も力強い預言者でした。」

エマオへの道中の二人の弟子は、神とすべての民の前で行いと言葉において力強い預言者であるナザレのイエスにこう告げました。

1. 成就したイエスの預言: イエスを強力な預言者として知る

2. 神の預言者として生きる: 善行と言葉を求めて努力する

1. イザヤ書 35:4-5 - 恐れる心を持っている人たちに言いなさい。強いよ、恐れるな。あなたの神は来られます、彼は復讐して来られます。神の報いを受けて、彼はあなたを救いに来るでしょう。

2. ペテロ第一 2:15 - それは神だからでしょうか？善を行うことで、愚かな人々の無知な発言を黙らせることができるでしょう。

ルカ 24:20 そして、祭司長たちと私たちの支配者たちは、どのようにして彼を死刑に宣告し、十字架につけたかということです。

ユダヤ人の祭司長や支配者たちはイエスを裏切り、十字架につけました。

1. イエスの裏切り: 試練の時に神に立ち帰る

2. イエスの磔刑: 苦しみの中に強さと希望を見出す

1. イザヤ書 53:7-8 - 彼は抑圧され、苦しんでいましたが、口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ルカ 24:21 しかし、私たちはイスラエルを救ってくださるのはこの方だと信じていました。それに加えて、今日はこれらのことが行われてから三日目です。

イエスの二人の弟子は、イエスの磔刑や救われなかった失望など、過去３日間に起こった出来事について話し合っていた。

1. 困難な時に信仰を貫く方法

2. 神の救いの愛の性質

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

ルカ 24:22 そうです、私たちの仲間の女性たちも、早くから墓にいた私たちを驚かせました。

墓に来た女性たちは弟子たちを驚かせました。

1: 私たちは周りの人々の信仰に驚かされることがあります。

2: たとえ物事が不可能に見えるときでも、私たちは常に神への信仰を保たなければなりません。

1: ルカ 18:27 - イエスはこう答えました。帽子は人間には不可能ですが、神には可能です。

2: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、私たちが望んでいることに対する確信であり、目に見えないものについての確信です。

ルカ 24:23 そして、イエスの遺体が見つからなかったので、彼らは来て、イエスが生きているという天使の幻も見た、と言いました。

十字架につけられたイエスの遺体を探していた女性たちは見つからず、代わりにイエスが生きていると宣言する天使の幻を見ました。

1. 私たちは決して希望を失ってはなりません - 最も暗い時代であっても、神は常に私たちと共におられます。

2. イエスを通して、私たちは復活し、生き返ることができます。

1. イザヤ書 40:31 - 「主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. コリント第一 15:20-22 - 「しかし今、キリストは死者の中からよみがえられ、眠っている者たちの初穂となられたのです。人によって死が来たのですか

ら、人によって死者の復活もまた来たからです。アダムの場合と同じように、すべての人は死にますが、それでもキリストにあってすべての人が生かされるのです。」

ルカ 24:24 それで、私たちと一緒にいた何人かの人たちが墓に行って、婦人たちが言ったように墓があったのを見つけました。しかし、彼らはイエスを見ませんでした。

イエスの追随者たちと一緒にいた人の中には、イエスの墓に行って墓が空であることに気づきましたが、イエスの姿は見えませんでした。

1. 信仰の力：空の墓を目撃した女性たちから学ぶ

2. 空になった墓の予期せぬ祝福: イエスの復活がすべてを変える

1. ヨハネ 20:1-18 - 空の墓を見たマグダラのマリアの話

2. マルコ 16:1-8 - 墓に行ったが空っぽだった他の女性たちの話

ルカ 24:25 それからイエスは彼らに言った、「ああ、愚か者たち、預言者たちの言ったことをすべて信じる心の鈍い者たちよ。

イエスは、預言者が言ったことをすべて信じなかった弟子たちを叱責されました。

1. 語られたことに対する私たちの信仰 - ルカ 24:25

2. 心の鈍さは疑いを招く - ルカ 24:25

1.ロム。10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2.ヘブ。11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

ルカ 24:26 キリストはこれらのことを経験し、その栄光に入るべきではなかったでしょうか。

イエスの弟子たちは、イエスが十字架につけられたとき混乱し、栄光に入る前になぜ苦しまなければならなかったのか理解しようとしました。

1. 信仰の力: イエスの苦しみと栄光を理解する

2. 十字架: 無条件の愛の一例

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヘブライ 12:2 - 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を留めましょう。イエスは喜びのために十字架に耐え、その恥を軽蔑し、神の御座の右に座されました。。

ルカ 24:27 そして、モーセとすべての預言者から始めて、すべての聖書の中で、ご自身に関する事柄を彼らに説明されました。

イエスはモーセと預言者から始めて聖書全体を通して、ご自身に関する事柄を弟子たちに説明されました。

1. 聖書の力: イエスは聖書をどのように用いてご自身を明らかにしたか

2. イエスの聖書研究方法から何を学べますか?

1. イザヤ書 53:3-4 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。確かに彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。それでも私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると尊敬しました。

2. ヨハネ 5:39 聖文を調べてください。なぜなら、あなたがたはそれらの中に永遠の命があると思っているからです。そしてそれらは私について証しするものなのです。

ルカ 24:28 そして、彼らは村に近づいて、そこへ行った。

弟子たちは村に近づくと、イエスはさらに先に進むふりをしました。

1. 「ふりの力: イエスは困難な状況でどのように行動するかを私たちに教えてくれた」

2. 「イエスの旅の意義: 彼の旅から学べること」

1. ヤコブ 1:19-20 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

2. ローマ 12:18 - 「できれば、あなた次第ですが、すべての人たちと平和に暮らしてください。」

ルカ 24:29 しかし、彼らは彼を引き留めて、「私たちと一緒にいてください。もう夕方に近づいており、日はまだ過ぎているからです」と言った。そして彼は彼

らと一緒に到着するために中に入った。

イエスの弟子たちは、一日が終わりに近づいていたので、夕方まで一緒にいてほしいとイエスに勧めました。

1. イエスのもてなしと恵みの模範

2. 親睦と交友関係の重要性

1. ヘブライ 13:2 見知らぬ人をもてなすことを怠ってはなりません。そのことによって、知らずに天使をもてなした人もいるからです。

2. 伝道の書 4:9-12 二人は一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労苦に対して良い報いがあるからです。なぜなら、彼らが倒れても、誰かが仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れても一人で、支えてくれる者がいない人は不幸です。繰り返しますが、二人が一緒に寝れば暖かさを保ちますが、どうやって一人で暖かく保つことができますか？そして、一人の男は一人では勝てるかもしれないが、二人は彼に耐えられるだろうか？三重のコードはすぐに切れません。

ルカ 24:30 そこで、イエスは彼らと一緒に肉を食べながら、パンを取って祝福し、裂いて彼らに与えた。

イエスはパンを取り、祝福し、裂いて弟子たちに与えました。

1. 祝福の力: 祝福が私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 命のパン：キリストのうちに喜びと充実感を見出す

クロス-

1. マタイ 14:14-21 ??イエスは五千人に食事を与える

2. ヨハネ 6:35 ??イエスは命のパン

ルカ 24:31 すると、彼らの目は開かれ、イエスであることが分かりました。そして彼は彼らの前から消えた。

イエスはエマオへの道中に二人の追随者に現れ、彼らはイエスに気づきましたが、その後姿を消しました。

1. 現れたり消えたりする主の力。

2. 主の臨在を認識することの大切さ。

1. ヘブライ 13:8 - イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に同じです。

2. ヨハネ 14:18 - 私はあなたたちを孤児として残しません。あなたのところに行きます。

ルカ 24:32 そこで彼らは互いに言った、「ところで彼が私たちと話し、聖書を開いてくださった間、私たちの心は燃えていませんでしたか。」

イエスが彼らに語りかけ、聖書を開いてくださったとき、弟子たちは胸が熱くなるのを感じました。

1. 神の言葉を知る：燃える心を助ける聖書の力

2. 神を体験する: 神の変容する臨在がどのように私たちの心に火をつけるのか

1. 詩篇 119:103-105 ?ああ、あなたの言葉は私の好みにぴったりです！そう、口の中は蜂蜜よりも甘い！あなたの戒めを通して、私は理解を得ます。したがって、私はあらゆる誤った道を嫌います。あなたの言葉は私の足元の灯であり、私の道の光です。

2. 詩篇 19:7-8 ?主の律法は完全であり、魂を改心させます。主の証しは確かであり、単純な人を賢くします。主の掟は正しく、心を喜ばせます。主の戒めは純粋で、目を啓発します。

ルカ 24:33 そして、彼らは同じ時間に起きてエルサレムに戻ると、十一人が集まっており、また一緒にいた者たちも集まっていた。

弟子たちはすぐに立ち上がってエルサレムに戻ると、11人が集まっていました。

1: 教会として団結することに決して落胆しないでください。

2: 神はいつも私たちに力と勇気を与えてくださいます。

1: 使徒 2:42-47 - 一致して集まる初代教会。

2: ローマ人への手紙 12:4-5 - キリストの体に統合されること。

ルカ 24:34 「主は確かによみがえられ、シモンに現れられた」と言われました。

主は復活してシモンに現れました。

1: 今日の私たちに対するイエスの復活の力。

2: イエスの復活の良い知らせを分かち合うことの重要性。

1: ローマ 6:4-5 - したがって、私たちが死へのバプテスマによってキリストとともに葬られたのは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

2: 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなたたちはエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。

ルカ 24:35 そこで彼らは、途中でどんなことがあったのか、またパンを裂いているときにイエスがどのように知られていたのかを話した。

イエスの弟子のうち二人は、エマオへ向かう途中でイエスに出会い、パンを裂くことによってイエスであることが分かりました。

1. 予期せぬ方法でイエスを認識する

2. 一緒にパンを割る力

1. マタイ 26:26-29 - イエスは主の晩餐を制定する

2. 使徒 2:42-47 - 信者たちは交わりの中でパンを裂くことに熱心でした

ルカ 24:36 そして、彼らがこのように話していると、イエスご自身が彼らの真ん中に立ち、彼らに言われた、「あなたたちに平和があるように」。

イエスは復活後、弟子たちに現れて平和に迎えました。

1. 平和の力: イエスの平和的な挨拶が世界をどう変えたか

2. イエスの復活: 困難な世界における驚くべき希望のしるし

1. 詩篇 29:11 - 主はご自分の民に力を与えられます。主はご自分の民に平和を祝福してくださいます。

2. ローマ 5:1 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。

ルカ 24:37 しかし、彼らは恐れおののき、霊を見たのだと思った。

弟子たちはイエスを見たとき、イエスが霊だと思って恐れました。

1: 恐れの時にも神は私たちと共におられます。

2: たとえ物事が不可能に見えるときでも、私たちは信仰を持つべきです。

1: ヘブル人への手紙 13:5 「会話にはむさぼりを持たずに、自分が持っているもので満足しなさい。主は、『わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない』と言われたからです。」

2: マタイ 28:20 - 「わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えます。そして、見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。アーメン。」

ルカ 24:38 そこでイエスは彼らに言った、「あなたたちはなぜ悩んでいるのか」。そしてなぜあなたの心に考えが生まれるのですか？

イエスは弟子たちに、なぜ彼らが悩んでいるのか、そしてなぜ彼らの心に考えが生じているのかを尋ねました。

1. 心を失うな：問題を抱えた世界で平和を見つける

2. 不安を克服する: 心と心を落ち着かせる方法

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを込めて、自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

2. 詩篇 46:10 - 「静まって、わたしが神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められる。」

ルカ 24:39 見よ、わたしの手と足、それはわたし自身である。わたしを扱って、見なさい。なぜなら、あなたがたが私に見ているように、霊には肉と骨がないからです。

この箇所では、イエスが手と足を示すことによって肉体の復活の具体的な証拠を示したことが語られています。

1. キリストの復活の物理的証拠: イエスは、ご自身が単なる霊ではなく、復活の具体的な証拠を持っていることを私たちに示しました。

2. 信仰の力: イエスの肉体的な復活は私たちに神の力への信仰を与え、神の忠実さを示します。

1. ヨハネ 20:27: それから彼はトマスに言った、「あなたの指をそこに伸ばして、私の手を見てください。」そしてあなたの手をこちらに伸ばし、私のわき腹に突き刺してください。そして不信仰ではなく、信じてください。

2. ヘブライ 11:1: さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。

ルカ 24:40 そして、こう話してから、手と足を彼らに見せた。

イエスの言葉の後、弟子たちはイエスの手と足を見せられました。

1: イエスは死後、本当に復活されました。それは、手と足の傷によって証明されました。

2: 復活後のイエスの姿は、苦しみに直面した私たちに希望を与えます。

1: ヨハネ 20:27-29 - それからイエスはトマスに言われました。ここに指を置いてください。私の手を見てください。手を伸ばして私の脇腹に差し込んでください。疑うのをやめて信じてください。

2: コロサイ 3:12-14 - したがって、神として？選ばれた人々、聖なる、そして心から愛されている人々は、思いやり、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。お互いに忍耐し、誰かに対して不満を抱いている人がいたら許し合いましょう。主があなたを赦してくださったように、赦してください。

ルカ 24:41 それで、彼らがまだ信じずに喜んで不思議に思っていると、イエスは彼らに言った、「ここに肉はありますか？」

弟子たちは喜びに満ちていましたが、何が起こっているのかまだわかりませんでした。そこでイエスは、食べ物はあるかと尋ねました。

1. 不確実性の真っただ中で神の言葉に頼る

2. 逆境の中で喜びを見つける

1. ローマ 15:13 - 「希望の神が、あなたが神を信頼する限り、あらゆる喜びと平和であなたを満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に溢れますように。」

2. 詩篇 30:5 - 「泣きは一晩続くかもしれないが、喜びは朝に来る。」

ルカ 24:42 そこで彼らは彼に、焼いた魚の一切れと蜂の巣を与えた。

この箇所は、イエスが弟子たちから焼き魚と蜂の巣を差し出された様子を描写しています。

1. もてなしの力: 親切な行為を受け入れ、それに応えるイエスの模範

2. 飢えた人に食べ物を与える: 困っている人に優しさと思いやりを示すことを思い出させる

1. 創世記 18:2-5 - 3 人の訪問者に対するアブラハムのもてなし

2. イザヤ書 58:7-11 - 飢えている人や貧しい人たちを世話するようにという神の呼びかけ。

ルカ 24:43 そしてイエスはそれを受け取って、彼らの前で食べた。

弟子たちは、イエスが復活したことを証明するために魚を一切れ食べるのを目撃しました。

1. イエスの復活: 奇跡の中の奇跡

2. キリストの復活を目撃する力

1. ヨハネ 20:25-29 - イエスはトマスに自分の傷を見せ、自分が生きていることを証明しました。

2. ルカ 24:36-43 - イエスは弟子たちにご自身を現し、魚を一切れ食べられます。

ルカ 24:44 そこでイエスは彼らに言われた、「これは、私がまだあなたがたのところにいたときに、あなたがたに話した、すべてのことは成就しなければならないという言葉です。これらのことは、モーセの律法と預言者と聖書の書に書いてあるのです」私に関する詩篇。

この聖句は、イエスが弟子たちに、ご自分の生涯と死の出来事が律法、預言者、詩篇の中で予告されていたことを思い出させたことについて語っています。

1. 預言の成就: イエスの生涯と死が聖書をどのように成就したか

2. 忠実な実現: イエスの生涯はどのように忠実を証明したか

1. イザヤ書53:4??

2. 詩篇22:1??8

ルカ 24:45 それからイエスは、彼らが聖書を理解できるように彼らの理解を広げ、

この箇所では、イエスが弟子たちの理解を広げ、聖書を理解できるようにしたことが語られています。

1) イエスの力: イエスの導きに頼ることを学ぶ

2) イエスを通して聖書の力を解き放つ

1) ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名によってお遣わしになる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2) 詩篇 119:18 - 「あなたの律法の中に素晴らしいものを見ることができるように、私の目を開いてください。」

ルカ 24:46 そして彼らに言った、「このように書いてあるので、キリストが苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえるのは当然のことである。

イエスは弟子たちに、苦しみながら三日目に起き上がらなければならないと教えました。

1. 復活の奇跡の力

2. 預言が成就することの重要性

1. 詩篇 16:10 - あなたは私の魂を地獄に置き去りにしないでしょう。また、あなたはあなたの聖なる者に腐敗を見ることを許したくありません。

2. イザヤ書 53:4-5 - 確かに彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに見ました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

ルカ 24:47 そして、その悔い改めと罪の赦しは、エルサレムから始めて、すべての国々に彼の名によって宣べ伝えられるべきです。

イエスは追随者たちに、エルサレムから始めてすべての国々に悔い改めと罪の赦しを説くよう指示されました。

1. 悔い改めと許しの力

2. イエスの悔い改めと許しのメッセージを伝える喜び

1. 使徒 3:19 - ですから、悔い改めて神に立ち返り、あなたの罪がぬぐい去られるようにしてください。

2. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

ルカ 24:48 そして、あなたがたはこれらのことの証人です。

この箇所は、キリストの福音の真理の証人となることの重要性を強調しています。

1: 真理の証人になる - 誠実な生活を送り、イエス・キリストの福音の真理を一貫して証しします。

2: 恵みの証しとなる - イエス・キリストにある愛、憐れみ、恵みのメッセージを他の人たちと分かち合う。

1: 使徒 1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまでわたしの証人となるでしょう。」

2: マタイ 28:18-20 - それから、イエスは彼らのところに来て言われました。天と地におけるすべての権威が私に与えられました。それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そしてきっと私は、いつでも、時代の終わりまで、あなたと一緒にいます。

ルカ 24:49 そして、見よ、わたしは父の約束をあなたがたに送ります。しかし、あなたがたは天からの力に耐えるまで、エルサレムの町に留まりなさい。

弟子たちは、天からの力が与えられるまでエルサレムに留まるように指示されました。

1. 神の約束を守る：主の力を待ち望む

2. 期待を持って生きる: 最高の事態はまだ来ていないことを知っている

1. イザヤ書 40:31: 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. 詩篇 27:14: 「主を待ち望みなさい。勇気を出してください。そうすれば主はあなたの心を強めてくださいます。主を待ち望みます。」

ルカ 24:50 それからイエスは彼らをベタニヤまで導き、手を上げて彼らを祝福した。

イエスは弟子たちをベタニヤに導き、手を上げて祝福されました。

1. 忠実な弟子としての祝福

2. イエスの祝福の力

1. 使徒 3:1-8、ペテロとヨハネがイエスの名において足の不自由な人を癒す

2. ヤコブ 5:13-15、祈りの力と義人の効果的で熱心な祈りは大いに役立ちます。

ルカ 24:51 そして、イエスは彼らを祝福しながら、彼らから別れ、天に上げられた。

イエスは弟子たちを祝福し、天に上げられました。

1. イエスの昇天: イエスの祝福の力

2. イエスよ、私たちの永遠の希望: 彼の昇天の祝福

1. 使徒 1:9-11 - そして、イエスがこれらのことを言い終わると、彼らが見守っているときにイエスは抱き上げられ、雲が彼を彼らの目から隠しました。そして、イエスが去っていく間、彼らが天国を見つめていたとき、見よ、白い衣を着た二人の男が彼らのそばに立って、こう言った。ガリラヤの人よ、なぜあなたは天を見つめて立っているのですか？あなたから天に上げられたこのイエスは、あなたが天国に入るのを見たのと同じように来られます。

2. ピリピ人への手紙 2:9-11 - したがって、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けたので、天においても地においても地の下においても、イエスの名のもとにすべての膝がかがむようになりました。父なる神の栄光のために、あらゆる舌がイエス・キリストが主であると告白します。

ルカ 24:52 そして彼らはイエスを礼拝し、大喜びしてエルサレムに帰った。

弟子たちはイエスを礼拝し、大喜びでエルサレムに帰りました。

1: いつも主にあって喜びなさい。繰り返し言いますが、喜びなさい。(フィリピ 4:4)

2: さあ、礼拝の中でひれ伏しましょう、私たちの造り主である主の前にひざまずきましょう(詩篇95:6)

1: イエスはこう言いました。心を騒がせないでください。あなたは神を信じています。私も信じてください(ヨハネ14:1)。

2: イエスはこう言いました。さあ、私はあなたと一緒に帰ります。私の平和をあなたに与えます。世界が与えるように私はあなたに与えません。心を騒がせたり、恐れたりしてはいけません(ヨハネ14:27)。

ルカ 24:53 そして、私たちは絶えず神殿にいて、神を賛美し、祝福していました。アーメン。

弟子たちは定期的に神殿に来て神を賛美し、礼拝していました。

1. 神は私たちの賛美に値するお方です

2. 神殿で神を礼拝する

1. 詩篇 34:1 - ?いつでも主を祝福します。彼の賛美は絶えず私の口に残るでしょう。

2. 詩篇 100:4 - ?感謝を持って彼の門に入り、賛美を持って彼の宮廷に入りなさい！彼に感謝してください。彼の名を祝福しますか？

ヨハネ 1 章では、みことば (ロゴス)、イエスについての洗礼者ヨハネの証言、およびイエスの最初の弟子たちが紹介されています。

第 1 段落: この章は、初めに神と共にあり、神であった言葉 (ロゴス) についての深遠な神学的記述から始まります。この言葉は創造に役立ちました。存在するものはすべて彼を通して生まれました。彼の中には全人類の光である命があり、まだ克服されていない暗闇の中で輝いていました。このロゴスは、恵みの真理に満ちたイエス・キリストとして受肉し、私たちの中に生き、栄光を現わす父の独り子となりました（ヨハネ1:1-14）。

第 2 段落: その後、物語は、すべての人がこの光を通して信じることができるように、この光を証しするために神から遣わされたバプテスマのヨハネに移ります。彼自身はこの光ではなく、この光について証言するために証人として来ました（ヨハネ 1:6-8）。エルサレムから派遣されたユダヤ人の指導者たちが祭司レビ人に彼が誰なのか尋ねたとき、彼は自分はキリストでもエリヤでも預言者でもなく、荒野に向かって「道をまっすぐにせよ、主よ」と呼びかける者の声であると公然と宣言し預言者イザヤの言葉を引用して、メシアの道を備える者としての役割を示した（ヨハネ 1:19）。-23)。次の日、イエスが自分の方に来るのを見て、「見よ、小羊神が罪の世界を取り除いてくれる！」と宣言した。神がイエスに油を注ぐこと、聖霊の御子を神が選んだことを証言し、神がその使命を果たし、他の人たちをキリストに向かわせていることを証言します（ヨハネ1:24-34）。

第 3 段落: 翌日、ヨハネは再び二人の弟子に立って、イエスが再び通り過ぎるのを見て、「見よ、子羊神!」と言った。これを聞いて、二人の弟子はイエスに従い、最初の対話を導き、何を求めているのか尋ね、見に来るよう誘ったので、彼らは初日イエスと一緒にいたこれらのアンドリュー・シモン ペテロの兄弟が最初に自分の兄弟を見つけた サイモンはメシアを見つけたと彼に言い、キリストは翻訳されたと彼をイエスのところに連れてきて見て言った「あなたはシモン、ヨハネの子、あなたはケファと呼ばれます」とペテロはキリストに従う個人の変化を紹介しました（ヨハネ 1:35-42）。この章は、他の初期の弟子、つまりフィリップ・ナタナエル、後者は最初はナザレから何か良いことがあるのかと懐疑的でしたが、会ったとき、イエスについての超自然的な知識に驚いて、彼は息子であると告白しましたイスラエル王は、より大きな啓示を約束しました天使が昇天し、息子である人の上に降りてくるのは、開いた天国の神を意味します神の奉仕を通して地球の活動を行います (ヨハネ1:43-51)。

ヨハネ 1:1 初めに言あり、言は神と共にあり、言は神であった。

初めに言葉がありました、それは神とともにあり、神でした。

1. 神の言葉の力

2. イエス・キリストの神性

1. 創世記 1:1-3 - 初めに神は天と地を創造されました

2. コロサイ 1:15-17 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。

ヨハネ 1:2 初めに神も同じでした。

この箇所には、イエスが初めに神とともにいたことが記されています。

1. イエスはいかに神への忠実さの模範であるか。

2. イエスを神の子として認めることの重要性。

1. ヨハネ 1:14 - 「そして、ことばは肉となって、わたしたちの間に住まわれました。そしてわたしたちは神の栄光、恵みと真理に満ちた、父からのひとり子のような栄光を見ました。」

2. コロサイ 1:15-17 - 「彼は目に見えない神の似姿であり、すべての被造物の初子です。天も地も、目に見えるものも見えないものも、王座も統治者も支配者も、すべてのものは彼によって創造されたからです」「権威者――万物は彼を通して、また彼のために創造された。そして彼は万物よりも先に存在し、彼の中ですべてのものは一つに保たれている。」

ヨハネ 1:3 すべてのものは彼によって造られました。そして彼なしでは、造られたものは何もありませんでした。

この箇所は、イエスが万物の創造主であることについて述べています。

1. イエスはすべての創造者です - すべての創造物の源としてのイエスの重要性を理解します。

2. すべてはイエスによって造られる - イエスの力と、すべてのものに命を吹き込むイエスの能力に感謝します。

1. 創世記 1:1 - 「初めに、神は天と地を創造されました。」

2. コロサイ 1:16 - 「というのは、天も地も、目に見えるものも見えないものも、王座も統治領も支配者も権威も、すべてはキリストによって創造されたからです。すべてのものは、キリストを通して、キリストのために創造されたのです。」

ヨハネ 1:4 彼の中にいのちがあった。そしてその命は人々の光であった。

この聖句は、イエスが全人類にとって命と光の源であることを明らかにしています。

1. 「命を与えるイエスの光」

2.「世の光：イエス」

1. ローマ 8:10-11 - そして、キリストがあなたの内におられるなら、体は罪のために死んでも、御霊は義のために命です。イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたの内に住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべき肉体にも命を与えてくださるでしょう。

2. 詩篇 36:9 - いのちの泉はあなたとともにあります。あなたの光の中で私たちは光を見ます。

ヨハネ 1:5 そして、光は暗闇の中で輝きます。そして闇はそれを理解できなかった。

この箇所は、神の光は暗闇の中で輝くが、暗闇はそれを理解することも受け入れることもできないことを説明しています。

1.「闇の中の神の光」

2.「計り知れない光の力」

1. イザヤ書 9:2 - 「暗闇の中を歩いていた民は大いなる光を見ました。死の影の国に住む者たちは、その上に光を照らしました。」

2. エペソ人への手紙 5:8-10 - 「あなたがたは、時には暗闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩みなさい。（御霊の実はすべての善と義と真実の中にあるからです。）主に受け入れられるのです。」

ヨハネ 1:6 神から遣わされた人がいて、その名はヨハネでした。

バプテスマのヨハネは、イエスのために道を備えるために神によって遣わされました。

1: イエスのために道を備えることの大切さ。

2: 洗礼者ヨハネの使命の重要性。

1: イザヤ書 40:3-5 - 呼びかける者の声、「荒野に主のために道を備え、荒野に真っ直ぐに、私たちの神のための大道を作りなさい。

2: マタイ 3:1-3 - その頃、バプテスマのヨハネがやって来て、ユダヤの荒野で説教し、「悔い改めなさい、天の国は近づいた」と言った。

ヨハネ 1:7 同じことが証人にも起こり、光について証しをし、彼を通してすべての人が信じるようになりました。

この箇所は、すべての人がイエスを信じることができるように、光の証しをする証人としてイエス・キリストがこの世に来られたことについて語っています。

1. 光を目撃することの重要性

2. イエス・キリストを通して信じる力

1. イザヤ書 9:2 - 暗闇の中を歩いていた人々は大きな光を見ました。死の影の国に住んでいた人々に光が輝いた。

2. マタイ 4:16 - 暗闇の中に座っていた人々は大いなる光を見た、そしてその地域と死の影に座っていた人々に光が明けた。

ヨハネ 1:8 彼はその光ではなく、その光を証しするために遣わされたのです。

バプテスマのヨハネは、真の光であるイエスを証するために神によって遣わされました。

1. 光の証しをする：神の計画における洗礼者ヨハネの役割

2. 世界の光: イエスと彼がもたらす希望

1. ヨハネ第一 1:5-7 「これが私たちが彼から聞いてあなたがたに宣言する音信です。神は光であり、彼の中には闇がまったくないということです。私たちが暗闇の中を歩いているときに神と交わっていると言うなら、私たちは嘘をついていることになり、真理を実践していません。しかし、イエスが光の中におられるように、

私たちも光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血は私たちをすべての罪から清めます。」

2. イザヤ書 9:2 - 「暗闇の中を歩いていた民は大きな光を見ました。深い闇の地に住んでいた者たちに光が輝いた。」

ヨハネ 1:9 それは、世に来るすべての人を照らす、まことの光でした。

この箇所は、イエスが世界中のすべての人に光を与える真の光であると語っています。

1. イエスの光の中で生きる

2. 私たちの光の源

1. ヨハネ 8:12 - イエスは言われました。「わたしは世の光です。わたしに従う者は暗闇の中を歩むことはなく、命の光を持つでしょう。」

2. イザヤ書 9:2 - 暗闇の中を歩いていた人々は大きな光を見ました。深い闇の地に生きる者たちに光が射した。

ヨハネ 1:10 彼は世におられましたが、世界は彼によって造られたのに、世は彼のことを知りませんでした。

この箇所は、イエスがこの世に来られたが、世には認められなかったということを語っています。

1: 私たちは人生におけるイエスの重要性を認識し、イエスを当然のことと考えるべきではありません。

2: 私たちはイエスの手本に倣い、イエスとその導きを信頼することを学ばなければなりません。

1: ヘブライ 13:8 - イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。

2: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ヨハネ 1:11 彼は自分の所に来ましたが、自分の者は彼を受け入れませんでした。

この箇所は、イエスがご自分の選んだ民のところに来られたが、彼らはイエスを受け入れなかった、ということを語っています。

1. 私たちの人生に対する神の意志を受け入れ、受け入れることの重要性。

2. イエスを私たちの主であり救い主として喜んで受け入れることの重要性。

1. イザヤ書 53:3 – 「彼は人々から軽蔑され、拒絶されました。悲しみの人であり、悲しみを知っている。そして人々が顔を隠す者として彼は軽蔑され、我々は彼を尊敬しなかった。」

2. ローマ 10:9-10 – 「口で主イエスを告白し、神が主を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。人は心で信じて義となり、口で告白すると救いが得られるからです。」

ヨハネ 1:12 しかし、イエスを受け入れた人々は、その名を信じる者たちにも、神の子となる力を与えた。

この箇所は、イエスを信じる力と、それがどのようにして人々に神の子となる能力を与えるのかについて語っています。

1. 信じる力: キリストに従うという呼びかけ

2. イエスを通して永遠の命の賜物を理解する

1. ガラテヤ 3:26 - あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰による神の子だからです。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

ヨハネ 1:13 彼らは、血によってではなく、肉の意志や人の意志によってでもなく、神によって生まれました。

神の神聖な力はすべての生命の源です。

1. 神の力: 主から命を受け取る方法

2. 神の御心: 恵みの重要性を理解する

1. ヨハネ 3:5-8 - 「イエスは答えて言われました。「本当に真実に言いますが、水と御霊によって生まれなければ、誰も神の国に入ることができません。肉は肉を生みますが、御霊は人を生みます」「あなたは生まれ変わらなければならない」という私の言葉に驚かないでください。」

2. ローマ人への手紙 8:28-29 - 「そして、私たちは、神を愛する人々、つまりご自身の目的に従って召された人々のために、神はすべてのことにおいて益として働いてくださることを知っています。神は、その像に似せられることをあらかじめ予知されていた人々のためにも、あらかじめ定めておられたのです」それは、彼が多くの兄弟姉妹の間で長子となるためである。」

ヨハネ 1:14 そして、言葉は肉となって、恵みと真理に満ちて、私たちの間に住まわれました（そして私たちは彼の栄光、父の独り子としての栄光を見た）。

言葉は肉となって私たちの間で生き、神の栄光と恵みを明らかにしました。

1. キリストにおける神の恵み - ヨハネ 1:14

2. キリストのうちに現された神の栄光 - ヨハネ 1:14

1. ローマ 8:3-4 - 「神は、肉によって弱められた律法ではできなかったことをしてくださったのです。ご自身の御子を罪深い肉に似せて罪のために遣わすことによって、肉において罪を罪に定め、それは、律法の義の要求が、肉に従ってではなく御霊に従って歩む私たちのうちに満たされるためです。」

2. ヘブライ 1:3 - 「彼は神の栄光の輝きであり、神の性質の正確な痕跡であり、その力の言葉によって宇宙を支えます。」

ヨハネ 1:15 ヨハネは彼のことを裸に目撃し、叫んで言った、「私が話したのはこの人です、私の後に来る人が私よりも優先されます。彼は私の前にいたからです。」

ヨハネは、イエスがイエスよりも好まれており、イエスよりも前にいたと言って、イエスの偉大さを証言しています。

1. イエスは私たち誰よりも優れており、私たちの崇拝に値するお方です。

2. イエスの偉大さはヨハネの証言を通して明らかにされました。

1. ピリピ 2:5-11 - 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスに対するあなたのものです。キリストは神の姿をとっておられましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。召使いの姿をとり、人間と同じように生まれることによって。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。それゆえ、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る御名を授けたので、イエスの名のもとに、天も地も地もすべての膝がかがみ、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白する。父なる神の栄光のために。」

2. ヘブライ 1:3-4 - 「彼は神の栄光の輝きであり、神の性質の正確な痕跡であり、その力の言葉によって宇宙を支えます。罪を清めた後、彼は天使たちよりも優れた名を受け継いだように、高台にある陛下の右に座った。」

ヨハネ 1:16 そして、私たちが受けたすべては彼の満ち足りたものであり、恵みに恵みが続きました。

この聖句は、神がご自身の恵みとその満ち足りたすべてによって私たちを祝福してくださったことを思い出させます。

1: 私たちは神の恵みの豊かさと、神が私たちに与えてくださったすべてのものに感謝すべきです。

2: 神は恵みによって私たちを祝福してくださったので、私たちはその賜物を認識し、尊重すべきです。

1：エペソ2：8-9「あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われたのです。これは、あなたが自分で行ったものではありません。それは、神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

2: ヤコブ 4:6、「しかし、神はさらに多くの恵みを与えてくださいます。だから、「神は高ぶる者に反対しますが、謙遜な者には恵みを与えられます。」と書かれています。

ヨハネ 1:17 律法はモーセによって与えられましたが、恵みと真理はイエス・キリストによってもたらされたからです。

この箇所では、律法はモーセによって与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストによってもたらされたと述べられています。

1. 恵みの力: イエス・キリストがどのように変革をもたらすか

2. 真実の重要性: 欺瞞を拒絶し、聖性を受け入れる

1. ローマ人への手紙 6:14、「あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にいるのですから、罪はもはやあなたの主人ではありません。」

2. ヨハネ 8:32、「そうすれば、あなたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

ヨハネ 1:18 これまで神を見た人は誰もいません。独り子は父の懐にある、と神は宣言されたのです。

誰も神を見たことがありませんが、イエスは神を明らかにしました。

1. イエス - 神の啓示者

2. 誰も神を見たことがありません - しかし、私たちはイエスを通して神を知ることができます

1. ヨハネ 14:9 - 「イエスは彼に言われた、『フィリポ、私はこんなに長い間あなたと一緒にいたのに、あなたは私のことを知らないのですか？』私を見た者は父を見たのです。それでどうして『父を見せてください』と言えるでしょうか？」

2. コロサイ 1:15 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。

ヨハネ 1:19 これは、ユダヤ人がエルサレムから祭司とレビ人を遣わして、ヨハネに「あなたはどなたですか」と尋ねたときのヨハネの記録です。

洗礼者ヨハネはユダヤ人の指導者たちから、彼は誰なのかと尋ねられました。

1. あなたは誰ですか? - 私たち自身の人生の例として洗礼者ヨハネのアイデンティティを考える

2. 神の呼びかけに応える - 反対にもかかわらず神聖な目的を達成することの重要性を探る

1. イザヤ書 40:3 - 呼びかける者の声、「荒野に主のために道を備えよ。荒野にまっすぐに、私たちの神のために街道を作りなさい。」

2. ルカ 3:4、7-8 - 預言者イザヤの言葉の本に次のように書かれています。 ……ヨハネは、自分からバプテスマを受けるために出てきた群衆に向かって、「マムシの仲間たちよ！」と言った。来たるべき怒りから逃げるように誰があなたに警告しましたか？悔い改めに従って実を結びなさい。」

ヨハネ 1:20 そして、彼は告白しましたが、否定しませんでした。しかし、私はキリストではないと告白しました。

洗礼者ヨハネは、自分がキリスト、メシアではないことを認めています。

1: 自分が誰であるかを知り、神から与えられた自分のアイデンティティを理解する。

2: 自分ではない何かになろうと努力しない - あなたの人生に対する神の計画に満足を見出す。

1: マタイ 3:11-17 - 洗礼者ヨハネが洗礼を授け、メシアへの道を備える奉仕。

2: ピリピ 4:11-13 - あなたの人生に対する神のご意志に満足を見つけましょう。

ヨハネ 1:21 そこで彼らは彼に尋ねた、「それではどうなるのですか」。あなたはエリアスですか？そして彼は、「私はそうではない」と言いました。あなたがその預言者ですか？すると彼は、「いいえ」と答えました。

ある者はバプテスマのヨハネに、彼は預言者エリヤなのか、それとも約束された預言者なのかと尋ねましたが、彼は「いいえ」と答えました。

1) 旧約聖書と新約聖書における神の救いの計画

2) イエスのために道を整える: 洗礼者ヨハネの宣教

1) イザヤ書 40:3-5 - 主の道を備え、荒野をまっすぐに、私たちの神のための道を作りなさい。

2) ルカ 7:24-27 - ヨハネの使者たちが去った後、イエスはヨハネについて群衆に語り始めました。風に揺れる葦？でも、何を見に出かけたんですか？柔らかい衣服を着た男？確かに、豪華な衣装を着て贅沢な暮らしをしている人は王の宮廷にいるのです。

ヨハネ 1:22 そこで彼らは彼に言った、「あなたは何者ですか」。それは、私たちを遣わした彼らに答えを与えるためです。あなたは自分について何と言っていますか？

ジョンは身元を明かし、自分の目的を説明するよう求められます。

1. 私たちは自分の信仰と人生の目的を説明する準備ができていなければなりません。

2. 私たちはキリストにおける自分のアイデンティティに自信を持たなければなりません。

1. イザヤ書 43:10-11 - 「あなたがたは私の証人です」と主は言われます、「そして私が選んだ私の僕は、あなたが私を知り、信じ、私が神であることを理解するためです。私の前に神は造られませんでした、私の後には誰もいないでしょう。

2. エペソ 2:10 - なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られたからであり、神は私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。

ヨハネ 1:23 彼は言った、「わたしは荒野で叫ぶ者の声である、預言者エザヤが言ったように、主の道をまっすぐにせよ」。

洗礼者ヨハネはイザヤの預言を宣言し、主の道をまっすぐにせよと荒野で叫ぶ者の声であると自分自身を宣言します。

1. 洗礼者ヨハネの預言の呼びかけ - イザヤの預言の成就を探ります。

2. 荒野における神の声 - 予期せぬ場所での神の啓示を調べる。

1. イザヤ書 40:3-5 - 洗礼者ヨハネが成就した預言の内容。

2. マタイ 3:1-3 - ヨハネの悔い改めとヨルダン川での洗礼の宣言。

ヨハネ 1:24 遣わされたのはパリサイ人の人々でした。

この箇所には、ファリサイ派の人たちに遣わされた人々が彼らに代わってそうしたと記されています。

1. 大胆に信仰を実践する: パリサイ人の模範から学ぶ

2. 目撃する力: 私たちが信じていることのために立ち上がる

1. マルコ 2:16-17 - 律法学者やパリサイ人たちは、イエスが取税人や罪人たちと一緒に食事をしているのを見て、弟子たちに言った、「どうして彼は取税人や罪人たちと一緒に飲食するのですか。」

2. マタイ 23:23 - 偽善者である律法学者とパリサイ人たち、あなたがたは災いです。あなたがたは、ミント、アニス、クミンの十分の一を納めており、律法、裁き、慈悲、信仰というより重要な事柄を省略しているからである。これらはあなたがすべきであり、他のことをやり残したままにしてはいけない。

ヨハネ 1:25 そこで彼らは彼に尋ねて言った、「では、あなたがあのキリストでも、エリアスでも、あの預言者でもないのに、なぜあなたはバプテスマを授けるのですか」。

バプテスマのヨハネは、メシアでもエリヤでも預言者でもないのに、なぜバプテスマを施すのかと尋ねられます。

1. 洗礼の力: 洗礼者ヨハネの使命の重要性を探る

2. 洗礼者ヨハネの正体と天国における彼の役割

1. マタイ 3:11-13 - 「わたしは確かに、悔い改めのためにあなたに水のバプテスマを授けます。しかし、わたしのあとから来られる方は、わたしよりも強い方です。わたしにはその靴を履くに値しません。彼はあなたに聖霊と、火：その扇子を手に持っていると、床を徹底的に掃除し、小麦を収穫庫に集めますが、消えることのない火でもみがらを焼き尽くします。」

2. ルカ 3:15-17 「そして、人々が期待し、すべての人がヨハネのことを心の中で思い巡らせていたとき、彼がキリストであるかどうかについて、ヨハネは答えて、彼ら全員にこう言いました。「わたしは確かにあなたたちにバプテスマを授けます。」水; しかし、私よりも強い人が来ます、その靴の掛け金を私が解く価値はありません：彼は聖霊と火であなたにバプテスマを授けるでしょう：その扇子は彼の手にあり、彼は彼の床を徹底的に浄化し、そして小麦は収穫庫に集めなさい、しかしもみがらは消えることのない火で燃やすでしょう。」

ヨハネ 1:26 ヨハネは彼らに答えて言った、「私は水でバプテスマを授けています。しかし、あなたがたの知らない一人があなたがたの間に立っています。その人をあなたがたは知りません。」

ヨハネはイエスを聖霊でバプテスマを授ける人として紹介しています。

1: イエスは私たちに救われる力を与えてくださる方です。

2: 私たちはイエスに信頼を置き、彼を救い主として受け入れなければなりません。

1: 使徒 2:38-39 – 「悔い改めて、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。」

2: ローマ 10:9-10 – 「口で主イエスを告白し、神が主を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。」

ヨハネ 1:27 私の後に来るのは私よりも優先される人であり、その靴の留め金を私が解くには値しないのです。

この一節は、洗礼者ヨハネがイエスのために最も卑劣な仕事さえも遂行するに値しないことを認めていることから、イエスの偉大さと謙虚さを描写しています。

1. 謙遜の深さ: イエスの模範を理解する

2. 偉大さの中の殿下: イエスの卓越性を認める

1. ピリピ 2:5-8 - イエスの謙虚さの模範

2. イザヤ書 9:6-7 - イエスの偉大さと卓越性

ヨハネ 1:28 これらのことは、ヨハネが洗礼を授けていたヨルダンの向こうのベタバラで行われました。

洗礼者ヨハネはヨルダン川の向こうのベタバラで洗礼を受けていました。

1. 洗礼の力: 洗礼者ヨハネの働きが今日でもどのように重要であるか

2. 神の呼びかけに従うことの重要性: 洗礼者ヨハネから学んだ教訓

1. マタイ 3:16-17、「イエスはバプテスマを受けるとすぐに水から上がった。その瞬間、天が開かれ、神の霊が鳩のように降りてきてイエスの上に降り注ぐのが見えた。天からの声がこう言った、『これはわたしの愛する子、わたしはこの子に満足している。』

2. イザヤ書 40:3、「呼ぶ者の声、『荒野に主のために道を備えよ。荒野に真っ直ぐ、私たちの神のために道を造れ。』」

ヨハネ 1:29 次の日、ヨハネはイエスが自分のところに来られるのを見て、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ」と言った。

洗礼者ヨハネはイエスを世の罪を取り除く神の子羊であると認めました。

1.「神の子羊：イエスによる救い」

2.「洗礼者ヨハネ：忠実な証人」

1. イザヤ書 53:6 - 私たち羊のような者は皆、迷いました。私たちはすべての人を自分の道に向けました。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせた。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ヨハネ 1:30 これは、私が「私の後に、私よりも優先される人が来る、と言ったのはこの人です。彼は私の前にいたからです。」

バプテスマのヨハネはイエスが自分よりも優れていることを証言しています。

1: イエスは私たち全員よりも偉大です

2: イエスは私たち全員の前に来られました

1: コロサイ 1:15-17 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。なぜなら、天も地も、目に見えるものも見えないものも、王座や統治領、支配者や権威など、すべてのものは神によって創造されたからであり、すべてのものは神を通して、神のために創造されたからです。そして彼はすべてのものの前にあり、彼の中ですべてのものはまとまっています。

2: ピリピ 2:5-7 あなたがたの間でこの心を持ちなさい。それはキリスト・イエスのうちにあるのです。キリスト・イエスは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を何ものにも代えず、自分自身を無にしました。召使の姿であり、人間と同じように生まれている。

ヨハネ 1:31 そして、私は彼のことを知りませんでしたが、彼がイスラエルに明らかにされるべきだと思って、水でバプテスマを授けに来たのです。

洗礼者ヨハネは、イエスがイスラエルに現されるために、水で洗礼を授けるために来ました。

1: イエスは神の愛と恵みの現れです。

2: 洗礼者ヨハネの使命は、キリストの再臨の使者として働くことでした。

1: イザヤ書 40:3-5 - 呼びかける者の声。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。

2: マラキ書 3:1 - 「見よ、わたしは使者を遣わす。わたしの前に道を備えさせる者だ。すると突然、あなたが探している主が神殿に来られます。あなたが望む契約の使者が来るだろう」と全能の主は言われる。

ヨハネ 1:32 そしてヨハネは、「御霊が鳩のように天から降りてくるのを見た、そしてそれが彼の上にとどまった」と記録を残しました。

洗礼者ヨハネは、聖霊が鳩のように天から降りてきてイエスの上にとどまるのを目撃しました。

1. 聖霊の賜物: 神はどのようにして私たちに奉仕の力を与えてくださるのか

2. イエスの洗礼の意義: 神の力の新時代

1. ルカ 3:22 - 「すると、聖霊が鳩のような姿でイエスの上に降り、天からこう言う声が聞こえた。「あなたはわたしの愛する子です。わたしはあなたを喜びます。」

2. 使徒 2:3-4 - 「すると、火のように分かれた舌が彼らに現れ、一人がそれぞれの上に座りました。すると、彼らはみな聖霊に満たされて、御霊のように他の言語で話し始めました。」彼らに発言を与えた。」

ヨハネ 1:33 そして、私は彼のことを知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けるために私を遣わした彼も、同じように私に言いました、「御霊がその人の上に降り、その上にとどまるのを見るでしょう。聖霊でバプテスマを授ける人も同じです」。

バプテスマのヨハネはイエスを認識しませんでしたが、神から、御霊が降って留まるのを見た人が聖霊でバプテスマを授ける人であると言われました。

1. 聖霊でバプテスマを授ける油そそがれたイエス

2. メシアを認識する力

1. イザヤ 11:2-3 - 主の霊が彼の上にとどまります - 知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊。

2. 使徒 2:1-4 - ペンテコステの日、聖霊が火の舌の形で弟子たちに降りました。

ヨハネ 1:34 そして、私はこれが神の子であることを見て、記録しました。

ヨハネはイエスを神の子として宣言します。

1. 神は御子を世に明らかにされました。

2. イエスは神の愛と恵みの現れです。

1. ローマ人への手紙 8:32 「ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに、私たちにすべてのものを慈しみ深く与えて下さらないのでしょうか。」

2. ガラテヤ 4:4-5 「しかし、時が満ちたとき、神は、律法のもとに生まれた人々を贖うために、女から生まれ、律法のもとに生まれたご自分の御子を遣わされました。それは、私たちが養子として迎えられるようにするためでした」。」

ヨハネ 1:35 ヨハネが立った翌日、また二人の弟子たち。

ヨハネはメシアの到来を告げ、悔い改めを呼び掛けました。

1. メシアの到来を認識し、その到来に備える

2. ヨハネの弟子としての模範に倣う

1. ルカ 3:3-6 - 洗礼者ヨハネの悔い改めへの呼びかけ

2. ヨハネ 4:1-3 - 弟子たちに対するイエスの呼びかけ

ヨハネ 1:36 そして、歩きながらイエスを見て、イエスは言われた、「見よ、神の小羊だ」。

バプテスマのヨハネはイエスが歩いているのを見て、イエスが神の子羊であると宣言しました。

1. 神の子羊: 完璧な犠牲

2. イエスを見る：信仰への呼びかけ

1. イザヤ書 53:7 - 「彼は抑圧され、苦しめられましたが、口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で黙っている羊のように、口を開かなかったのです。」」

2. ペテロ第一 1:18-19 「あなたがたは、先祖から受け継がれてきた空虚な生き方から救われたのは、銀や金などの朽ちる物によってではなく、神の尊い血によってなされたことを知っているからです。」キリストよ、傷も欠陥もない子羊よ。」

ヨハネ 1:37 二人の弟子はイエスの話を聞いて、イエスに従って行った。

ヨハネの二人の弟子はイエスの話を聞いて、イエスに従うことを選びました。

1: 神の呼びかけは強力であり、私たちを行動に移すことができます。

2: 私たちは神の呼びかけに応えるか無視するかを選択しなければなりません。

1: イザヤ書 6:8 - そのとき、私は主の声を聞いてこう言いました。そして誰が私たちに代わってくれるでしょうか？」そして私は言いました、「ここにいます。送ってください！」

2: ルカ 9:23 - それからイエスは皆に言った、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、日々自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。」

ヨハネ 1:38 それから、イエスは振り向いて、彼らがついて来るのを見て、彼らに言われた、「何を求めているのか」。彼らは彼に言った、「ラビ、マスター、あなたはどこにお住まいですか？」

イエスが弟子たちに何を求めているのかと尋ねると、弟子たちはイエスがどこに滞在しているのか尋ねました。

1: 私たちは常にイエスの呼びかけに応え、進んでイエスに従う用意ができていなければなりません。

2: 謙虚にイエスに質問し、イエスの導きを求めることを恐れるべきではありません。

1: ルカ 9:23 ーそしてイエスは皆に言った、「もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従ってきなさい。」

2: ヨハネ 15:4-5 - わたしのうちにとどまり、わたしもあなたの中にとどまってください。枝はブドウの木に留まらなければ、それ自体で実を結ぶことができないのと同じです。あなたがたがわたしのうちに留まっている以外には、それ以上はできない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。わたしのうちにとどまる者と、わたしもその人の中にとどまり、同じように多くの実を結びます。わたしなしでは、あなたがたは何もできないからです。

ヨハネ 1:39 彼は彼らに言った、「来て見なさい」。彼らは来て、彼がどこに住んでいるのかを見て、その日は彼と一緒に泊まった。それは約十時だったからである。

ヨハネは二人の弟子を招き、自分が住んでいた場所を見に来るように勧め、彼らはその日はずっと一緒に過ごしました。

1. イエスの招き: 来て見てください

2. キリストとともに住む: 主のうちにとどまる

クロス-

1. マタイ 11:28-29 - すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。

2. ヨハネ 15:4-5 - わたしのうちにとどまり、わたしもあなたの中にとどまってください。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、枝が単独で実を結ぶことができないように、あなたも、わたしのうちにとどまっていなければ、実を結ぶことができません。私はブドウの木です。あなたは枝です。わたしのうちにとどまり、わたしもその人の中にとどまる者は、多くの実を結ぶ者である。なぜなら、わたしを離れてはあなたがたは何もできないからである。

ヨハネ 1:40 ヨハネの話を聞いてついて来た二人のうちの一人は、シモン・ペテロの兄弟アンデレでした。

アンドリューは、ヨハネの教えを聞いて従うことを選んだ二人のうちの一人でした。

1: 私たちは神の言葉を素直に聞き、進んで神に従うべきです。

2: アンデレの勇気とイエスに従う意欲の模範に注目することができます。

1: マタイ 4:19 「そして彼は彼らに言った、『わたしについて来なさい。そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます。』」

2: ヨハネ 15:14 - 「あなたがたは、わたしの命じることを何でも行うなら、わたしの友です。」

ヨハネ 1:41 彼はまず自分の兄弟シモンを見つけて、彼に言った、「わたしたちはメシア、解釈するとキリストを見つけました。」

シモンはイエスがメシアであることを知りました。

1. 良いニュースを分かち合う喜び

2. メシアとは誰ですか?

1. 使徒 10:38 - 「神はどのようにしてナザレのイエスに聖霊と力を注いだのか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人を癒して回った。神は彼とともにおられたからである。」

2. イザヤ書 9:6-7 - 「私たちに子が生まれ、息子が与えられます。そして政府はその肩にあります。そしてその名は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠のもの父よ、平和の君よ、ダビデの王座とその王国に、その政府と平和の増大に終わりはなく、裁きと正義をもってそれを確立することを、これからも永遠に行うであろう。万軍の主の熱意がこれを成し遂げるであろう。」

ヨハネ 1:42 そして、彼は彼をイエスのところに連れて行った。イエスは彼を見て、「あなたはヨナの子シモンです。あなたはケファと呼ばれるでしょう。これは解釈によると石です。」

ヨハネがシモンをイエスに紹介すると、イエスは彼に「石」を意味する「ケファス」という名前を授けます。

1: イエスには私たちに新しいアイデンティティを与える力があり、そのアイデンティティは地上のどんな名前よりも強力です。

2: 私たちの過去がどうであろうと、イエスは私たちに安全な基盤を提供してくださいます。

1: イザヤ書 28:16 - それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに土台を置いた者である。石、試された石、貴重な礎石、確かな土台である。信じる者は誰であっても、そうはしない。」急いでください。

2: マタイ 7:24–25 - 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は皆、岩の上に家を建てた賢者のようになるでしょう。そして雨が降り、洪水が起こり、風が吹いてその家を打ちましたが、岩の上に建てられていたので倒れませんでした。

ヨハネ 1:43 次の日、イエスはガリラヤへ行き、ピリポを見つけて、「わたしに従ってきなさい」と言われた。

イエスはフィリポに自分について来るように呼びかけます。

1: イエスに従うとは、すべてのことにおいて第一にイエスを求めることを意味します。

2: イエスへの従順は私たちの信仰の成長に不可欠です。

1: マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。」

2: ローマ 12:2 - 「この世の型に従うのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。」

ヨハネ 1:44 さて、ピリポはアンデレとペテロの町ベツサイダの出身でした。

最初の弟子の一人であるピリポはベツサイダ出身でした。

1. コミュニティの重要性: フィリップの研究

2. 招きの力: イエスがフィリポをどのように呼んだか

1. マタイ 4:18-20 - イエスは、二人の兄弟、シモン（ペテロ）とアンデレが海辺で釣りをしているのを見て、彼らに従うように呼びました。

2. ルカ 5:1-11 - イエスはシモン（ペテロ）とその仲間たちを別の場所で釣りをするように勧め、そこで彼らはたくさんの魚を捕まえました。

ヨハネ 1:45 フィリポはナタナエルを見つけて、彼に言った、「私たちは彼を見つけました。律法のモーセと預言者がその人について書いた、ナザレのイエス、ヨセフの子です。」

ピリポはナタナエルに、モーセと預言者が律法の中に書いたヨセフの子、ナザレのイエスを見つけたと告げます。

1. イエスは旧約聖書の預言の成就です。

2. イエスはナザレから来た約束のメシアです。

1. イザヤ書 7:14 - したがって、主ご自身があなたにしるしを与えてくださいます。見よ、処女が身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶだろう。

2. ミカ 5:2 - しかし、ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの千人の中では小さい者であるが、イスラエルの支配者となる者があなたの中からわたしのところに出てくるであろう。彼らの出世は昔から、永遠から続いています。

ヨハネ 1:46 そこでナタナエルは言った、「ナザレから何か良いものが出てくるでしょうか。」ピリポは彼に言った、「来て見なさい」。

ナタナエルはイエスがナザレから来たことに疑問を抱きますが、ピリポは「来て自分の目で見てください」と言います。

1. 「来て見てください: イエスの善良さを証しする」

2. 「ナザレから何か良いものが出てくるでしょうか？：信仰の疑いを克服する」

1. ヤコブ 1:5-8 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく、とがめられることなく与えてくださいます。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、神のご計画に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

ヨハネ 1:47 イエスは、ナタナエルが自分のところに来るのを見て、彼について言われた、「見よ、まさにイスラエル人だ。彼には何の罪もないのだ！」

イエスはナタナエルの正直さと誠実さを褒めました。

1. 正直な心：誠実に生きる

2. 言葉を守る人になる: 約束を守る力

1. 箴言 10:9 - 「誠実に歩む者は確実に歩むが、道を曲がる者は暴かれるであろう。」

2. ルカ 6:45 - 「善人は心の善い宝から善を生み出し、悪人はその邪悪な宝から悪を生み出します。その口は心の豊かさから話すからです。」

ヨハネ 1:48 ナタナエルは彼に言った、「あなたはどこから私のことを知っているのですか？」イエスは答えて言われた、「フィリポがあなたに電話する前に、あなたがいちじくの木の下にいたとき、私はあなたを見ました。」

ナタナエルは、フィリポが呼びに来る前にイエスが自分のことを知っていたことに気づき、驚きました。イエスはイチジクの木の下にいる彼を見て、ナタナエルはイエスが約束のメシアであることに気づきました。

1. 神の知識は私たちの知識よりも優れています。

2. イエスは約束されたメシアです。

1. 詩篇 139:1-2 - 「主よ、あなたは私を捜し、私を知っておられます。あなたは私がいつ座るか、いつ立ち上がるかをご存知です。あなたは遠くからでも私の考えを見分けられます。」

2. ヨハネ 14:6 - 「イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに来ることはできない。」

ヨハネ 1:49 ナタナエルは答えて言った、「ラビ、あなたは神の子です。あなたは神の子です。」あなたはイスラエルの王です。

ナタナエルはイエスを神の子でありイスラエルの王であると宣言しました。

1: イエスは王の中の王、主の中の主である

2: イエスの権威を喜ぶ

1: コロサイ 2:9-10 - なぜなら、彼の内には神の満ち満ちたものが肉体的に宿っており、あなたはすべての支配と権威の頭である彼の中に満たされているからです。

2: ピリピ人への手紙 2:11 - そして父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白します。

ヨハネ 1:50 イエスは答えて言われた、「わたしはあなたに、いちじくの木の下にいるのを見たと言いましたが、信じますか。」あなたはこれらよりも素晴らしいものを見るでしょう。

イエスは、イチジクの木の下でナタナエルを見た、そしてもっと偉大なものを見るだろうと宣言されました。

1. イエスへの信仰は、私たちをより偉大な人生に導きます。

2. イエスを信じれば、想像以上の経験をするでしょう。

1. イザヤ書 11:6-9 – オオカミも子羊とともに住み、ヒョウも子羊とともに横たわります。そして子牛と若いライオンと太った子牛が一緒です。そして小さな子供が彼らを導くでしょう。

2. 詩篇 34:8 – おお、主が善良であることを味わってください。主を信頼する人は幸いです。

ヨハネ 1:51 そこで彼は言った、「まことに、まことに、あなたがたに言います。これから、あなたがたは天が開き、神の天使たちが人の子の上に上り下りするのを見るでしょう。」

ヨハネはナタナエルに向かって、天国が開かれ、神の天使たちが人の子の上に上り下りするのを見るだろうと話しています。

1.「天国は開いている：キリストの約束」

2.「神の天使たち:上昇と下降」

1. ヘブライ 1:14 - 「彼らはみな、救いを受け継ぐ人々のために仕えるために遣わされた奉仕の霊ではないでしょうか。」

2. ルカ 2:15 - 「天使たちが去って天に行ったとき、羊飼いたちは互いに言いました、「ベツレヘムに行って、主が私たちに告げてくださったこの出来事を見に行こう。」

ヨハネ 2 章には、カナの結婚式でのイエスの最初の奇跡とエルサレムの神殿の清めの物語が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、カナでの結婚式に出席するイエス、母マリア、弟子たちから始まります。ぶどう酒がなくなったとき、マリアはそのことをイエスに知らせました。最初は神の時はまだ来ていないと答えたにもかかわらず、イエスはしもべたちに 6つの石の瓶に水を入れるように指示されました。彼らがそれを取り出して宴会の主人のところに持っていくと、それが立派なワインになっていることが分かりました。これはイエスの栄光を明らかにし、弟子たちにイエスを信じさせたイエスの最初の記録された奇跡でした(ヨハネ2:1-11)。

第 2 段落: この後、イエスは母兄弟とともにカペナウムに下られ、弟子たちはそこに数日滞在しましたが、ユダヤ人の過越祭が近づくとエルサレムに上っていきました (ヨハネ 2:12-13)。エルサレムでは、牛を売る人々、羊の鳩、お金を両替するテーブルに座る人々を見つけた 神殿法廷は正義の怒りで満たされ、鞭紐で全員が神殿法廷から追い出された 羊と牛は両方ともコインをばらまき、両替商はテーブルをひっくり返し、鳩を売られている人たちに「これらをここに出して！」と言った。父の家を市場にするのはやめてください！』預言の成就、情熱、熱意、あなたの家は私を飲み込むでしょう（ヨハネ2:14-17）。

第 3 段落: そこでユダヤ人たちは、イエスのしたことを正当化するためのしるしを求めました。それに対してイエスは、「この神殿を打ち砕いても、三日以内にまた立ててやろう」と言われました。彼らは、イエスが 46年かけて建てられた物質的な神殿のことを指していると考えていましたが、イエスが語られた聖書の言葉を信じた弟子たちが彼の言ったことを思い出したとき、復活後に彼の体の意味が明らかになりました（ヨハネ 2:18-22）。この章は、過越の祭りの間に行われるしるしを多くの人が見ていたが、その名前は信じていたが、すべての人が知っていたため自分自身を委ねなかった、各人の中に何があるかを知っていたため、識別できる知識を示していた、人間の心は奇跡のみに基づいた表面的な信仰である、とこの章は結ばれています。（ヨハネ 2:23-25）。

ヨハネ 2:1 三日目にガリラヤのカナで結婚式があった。するとイエスの母親がそこにいました。

イエスはガリラヤのカナで行われた結婚式に出席し、母親も同席しました。

1. 家族の重要性: イエスは、宣教の最中であっても、時間を作って家族の重要な行事に出席されます。

2. 結婚の喜び: イエスはカナでの結婚の宴に出席し、結婚の結合に対する承認と祝福を示しました。

1. コロサイ 3:12-14 「それでは、神に選ばれた者として、聖で愛される者として、思いやりの心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身に着けて、互いに忍び合い、もし誰かが他の人に対して不満を持っているなら、赦しなさい」お互い;主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。そして何よりも、これらは愛を身に着けており、それがすべてを完璧な調和で結びつけます。」

2. エペソ人への手紙 5:25-33 - 「夫たちよ、妻を愛してください。キリストが教会を愛し、彼女のためにご自身をささげられたように、御言葉による水の洗いによって教会を清め、彼女を聖別するためです。教会をシミやしわなどのない素晴らしさで自分自身に見せ、それが聖なる、傷のないものとなるようにしてください同じように、夫も妻を自分の体のように愛すべきです。妻を愛する人は自分自身を愛します。というのは、誰も自分の肉体を憎んだことはなく、キリストが教会にそうしてくださっているように、自分の肉体を養い、大切にしているのです。なぜなら、私たちは神の体の一部だからです。「それゆえ、男は父と母を離れ、妻をしっかりと抱きなさい。そうすれば二人は一体となる。」この神秘は奥深く、私はそれがキリストと教会を指していると言っているのです。しかし、あなた方一人一人が自分のように妻を愛し、妻が夫を尊重していることを理解させてください。」

ヨハネ 2:2 そして、イエスと弟子たちは結婚に召されました。

イエスと弟子たちは結婚式に招待されました。

1. 人生の瞬間を祝うことの重要性。

2. 地域の集まりに参加することの重要性。

1. 伝道の書 3:4 - 「泣くのに時があり、笑うのに時があり、嘆くのに時があり、踊るのに時がある。」

2. ルカ 15:25 - 「さて、長男が野原にいましたが、家に近づいてきたとき、音楽と踊りの音が聞こえました。」

ヨハネ 2:3 それで、彼らがぶどう酒を欲しがったとき、イエスの母はイエスに言った、「ぶどう酒がありません。」

この箇所は、ガリラヤのカナの結婚式でイエスが水をぶどう酒に変えた物語を語っています。

1: イエスの奇跡: 人生を変えた力

2: 信仰の力: イエスとカナの結婚式

1: マタイ 9:29 「それからイエスは彼らの目に触れて言われた、『あなたの信仰どおりになさい』」

2: ローマ 15:13 - 「今、希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、あなたが聖霊の力によって希望に満ち溢れますように。」

ヨハネ 2:4 イエスは彼女に言われた、「女よ、私とあなたと何の関係があるのですか」。私の時間はまだ来ていません。

イエスは、まだその時が来ていないとして、女性に奇跡を求めることを叱責されました。

1. 忍耐の力: イエスから学ぶ、適切な時期を待つこと

2. 神のタイミングを信頼する: 神の計画が完璧であることを知る

1. 箴言 20:22 - 「『この過ちを返してやる』とは言ってはいけない！」主を待ちなさい、そうすれば主はあなたを救い出してくださいます。」

2. ペテロ第一 5:7 - 「あなたの心配ごとをすべて彼に投げかけてください。彼はあなたを気遣っているからです。」

ヨハネ 2:5 彼の母親はしもべたちに言った、「彼があなたたちに言うことは何でもしなさい。」

この箇所は、イエスの命令に従うことの重要性を強調しています。

1: たとえ困難なことがあっても、私たちは神の御心を信頼し、従わなければなりません。

2: イエスは私たちの従順と信仰に値するお方です。

1: 申命記 30:20 「あなたの神、主を愛しなさい。その声に従い、彼にしがみつきなさい。主はあなたの命であり、あなたの日の長さだからです。」

2: ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者はだれでも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

ヨハネ 2:6 そこには、ユダヤ人の清めのやり方に倣って、石の水がめが六つ置かれており、それぞれに二、三個のフィルキンが入っていた。

ヨハネ 2:6 では、イエスはガリラヤのカナの結婚式で、水をぶどう酒に変える奇跡を行いました。石の水がめが 6 つあり、それぞれに 2 ～ 3 つの水が入っていました。

1. 奇跡を行う者としてのイエス: ヨハネ 2:6 の考察

2. 必要なときの神の備え: ヨハネ 2:6 の研究

1. イザヤ書 55:1 - 「さあ、渇いている人はみな水のところに来なさい。お金のない人は来て、買って食べなさい。」

2. ヨハネ 7:37-38 - 祭りの最後の最高の日、イエスは立って大声で言われました。「渇いている人はだれでもわたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者はだれでも、聖書が言っているように、その人の内から生ける水の川が流れ出るでしょう。」

ヨハネ 2:7 イエスは彼らに言われた、「水かめに水を入れなさい」。そして彼らはそれらを縁まで満たしました。

イエスはしもべたちに、水かめがいっぱいになるまで水を入れるように指示されました。

1.「従順の力：水壺に水を入れる」

2.「神の豊かさ：水壺をいっぱいまで満たす」

1. マタイ 7:24-27 - 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は誰でも、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると雨が降り、洪水が起こり、風が吹いて、その家をたたきましたが、倒れませんでした。その家は岩の上に建てられていたからです。そして、私のこれらの言葉を聞いて実行しない人は皆、自分の家を建てた愚かな人にたとえられるでしょう砂の上に：そして雨が降り、洪水が来て、風が吹いてその家を打ち、そしてそれは倒れました：そしてその崩壊は大きかった。」

2. ヤコブ 1:22 - 「しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

ヨハネ 2:8 そこでイエスは彼らに言われた、「さあ、出て行って、祭りの総督に仕えなさい」。そして彼らはそれをむき出しにした。

ヨハネ 2:8 は、イエスが弟子たちに、ぶどう酒に変えた水を取り、祭りの総督に届けるように言ったと要約しています。

1. イエスはいつでも備えてくださいます: 状況に関係なく、イエスはいつでも私たちに備え、助けてくださいます。

2. イエスの力: イエスには奇跡を起こす力があり、私たちに必要なものを与えることができます。

1. イザヤ書 55:1 - 「さあ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て、買って食べなさい。さあ、お金も費用もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。」

2. マタイ 11:28 - 「すべて疲れた者、重荷を負っている者は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。」

ヨハネ 2:9 宴会の支配者が、ぶどう酒を作る水を味見したが、それがどこから来たのかわからなかったとき、（しかし、水を汲む召し使いたちは知っていた。）宴会の支配者は、花婿を呼んで、

祝宴の総督は水がワインに変化することに驚きましたが、その源については知りませんでした。

1. 私たちが神の意志に忠実であり続けるなら、神は私たちの人生に奇跡を起こすことができます。

2. たとえ周囲の世界が神の道を理解できないとしても、私たちは神の側に立つ備えをしておかなければなりません。

1. ヨハネ 10:30 - 私と父は一つです。

2. マタイ 17:20 - イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が小さいからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここからここへ行きなさい』と言うでしょう。」そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

ヨハネ 2:10 そして彼に言った、「人は皆、初めに良いぶどう酒を出します。そして、人々がよく酔っているとき、より悪いものを飲みます：しかし、あなたは今まで良いワインを保管していました。

一節 イエスは結婚式で水をぶどう酒に変えますが、それは結婚式で出された最高のぶどう酒です。

1. 私たちの生活におけるイエスの力 - イエスはどのようにして私たちの生活で不可能を可能にするのか

2. 神の不思議 - 神はどのように神秘的な方法で働くのか

1. ダニエル 3:17-18 - ネブカドネザルの偶像にひれ伏すことを拒否したシャデラク、メシャク、アベドネゴ

2. 出エジプト記 14:13-14 - イスラエル人が安全に通過できるように神が紅海を分けたとき

ヨハネ 2:11 この奇跡の始まりは、イエスがガリラヤのカナで行われ、その栄光を現されました。そして弟子たちは彼を信じた。

イエスはガリラヤのカナで最初の奇跡を通して栄光を現し始め、弟子たちはイエスを信じました。

1. イエスの奇跡の力と信仰の強さ

2. イエスのうちに現された神の栄光

1. ヘブライ 11:1 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヨハネ 14:11 「わたしが父のうちにおり、父がわたしのうちにおられることを信じなさい。さもなければ、行いそのもののゆえに信じなさい。」

ヨハネ 2:12 この後、彼は、自分と母親、兄弟たち、弟子たちとともにカペナウムに下って行き、そこに何日も留まりませんでした。

イエスと弟子たちはカナでの結婚式の後、カファルナウムに行き、数日間滞在しました。

1: イエスと弟子たちは、家族や共同体として一緒に時間を過ごすことの重要性を示しています。

2: イエスは、他の人の喜びを分かち合うという模範に従って、謙虚で寛大であることを私たちに教えてくれます。

1: エペソ人への手紙 4:2-3 - 「あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなにおいて御霊の一致を維持することに熱心です。」

2: コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたを赦してくださったように、赦してください。」

ヨハネ 2:13 さて、ユダヤ人の過越の祭が近づき、イエスはエルサレムに上られた。

この箇所では、ユダヤ人の過越祭のためにイエスがエルサレムに上る様子が描かれています。

1.「イエスの力 - 過ぎ越しの物語」

2. 「ユダヤ人の過越祭の意味とイエスの生涯におけるその意義」

1. ルカ 22:15 - 「そしてイエスは彼らに言った、『わたしは苦しむ前に、この過越の食事をあなたたちと一緒に食べたいと願っていたのです。』」

2. 出エジプト記 12:1-14 - 「今月は、あなたたちにとって月の初めとなるでしょう。あなたたちにとって、それは年の最初の月となるでしょう。」「あなたがたはイスラエルのすべての会衆に告げて言いなさい。『今月の十日には、先祖たちの家に従って、一軒につき一頭の小羊を、彼らは皆、自分たちのところに連れて来るであろう。」

ヨハネ 2:14 すると、神殿の中に、牛や羊や鳩を売る者たちと、両替商たちが座っているのが見つかった。

イエスは神殿での商業活動に激怒し、関係者全員を追い出します。

1. イエスは私たちに、神の家の管理者となり、神聖化から守るよう呼びかけておられます。

2. 神の家は市場ではなく、礼拝と尊敬の場所であるべきです。

1. マタイ 21:12-13 - イエスは神殿に入り、売り買いする人たちをすべて追い出します。

2. イザヤ書 56:7 - 神殿はすべての国民の祈りの場所です。

ヨハネ 2:15 そして、小さな紐で鞭を打って、それらをすべて神殿から追い出し、羊も牛も追い出した。そして両替商の金を注ぎ出し、テーブルをひっくり返した。

イエスは神殿の腐敗を清めました。

1: 真の信仰とは物質主義ではなく、義と正義の生活を送ることです。

2: イエスは、神の家は神聖さと純粋さの場所であり、そのように尊重されるべきであることを実証されました。

1: マタイ 21:12-13 - イエスは神殿に入り、そこで売買していた人々を追い出し、こう言われました。「『わたしの家は祈りの家』と書いてあるのに、あなたはそこを『人の巣窟』にしたのです」強盗よ。」

2: イザヤ書 56:7 - 「わたしはこれらをわたしの聖なる山に連れて行き、わたしの祈りの家で彼らに喜びを与えます。彼らの全焼のいけにえと犠牲は私の祭壇で受け入れられます。私の家はすべての国々の祈りの家と呼ばれるからです。」

ヨハネ 2:16 そして、鳩を売った人たちに言った、「これらのものは持って行きなさい。私の父の家を商品の家にしてはいけません。

この箇所には、神殿で鳩を売っていた商人に対するイエスの怒りと、商品を取り上げるように命じられたことが記されています。

1. イエスの主権への降伏: それはどのようなものですか?

2. 従順と敬意をもってイエスに応答する。

1. コリント人への第一の手紙 10:31 - ですから、食べるにしても、飲むにしても、あるいは何をするにしても、すべて神の栄光のために行いなさい。

2. マタイ 6:24 - 誰も二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神とお金に仕えることはできません。

ヨハネ 2:17 そして、弟子たちは、「あなたの家の熱意が私を食い尽くした」と書いてあったことを思い出した。

弟子たちは神の家に対するイエスの熱意を思い出しました。

1. 神の家に対する熱意と情熱の力

2. イエスの教えを覚えて実践する弟子たちの役割

1. 詩篇 69:9 - 「あなたの家に対する熱意が私を蝕み、あなたを侮辱する者たちの侮辱が私に降りかかったからです。」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」、私は世の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

ヨハネ 2:18 そこでユダヤ人たちは答えて言った、「あなたがこのようなことをしているのを見て、私たちにどんなしるしを見せたのですか」。

イエスの権威はユダヤ人たちによって挑戦されていました。

1: 私たちは何よりもイエスの権威に対する信仰を持たなければなりません。

2: 私たちはイエスの働きが真実で力があると信じなければなりません。

1: ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。

2: ヨハネ 15:7 - あなたがたがわたしのうちにとどまり、わたしの言葉があなたがたのうちにとどまるなら、あなたがたが望むことを尋ねなさい、そうすればそれがあなたに成されるでしょう。

ヨハネ 2:19 イエスは答えて彼らに言われた、「この神殿を取り壊しなさい。そうすれば、私は三日以内にそれを建て直します。」

イエスは神殿を3日で再建すると約束して神の力を実証しました。

1. 信仰の力: イエスはどのようにして自分の権威を実証したか

2. 復活の奇跡: イエスが死後の世界について私たちに示したこと

1. マタイ 28:6 - 「彼はここにはいません。彼が言ったように、復活したからです。来て、主が横たわっている場所を見なさい。」

2. ヘブライ 4:15 - 「私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司がいるのではなく、私たちと同じようにすべてのことにおいて誘惑に遭いながらも、罪を犯していない大祭司がいます。」

ヨハネ 2:20 そこでユダヤ人たちは言った、「この神殿は四十六年もかけて建てたのに、三日で建て直すつもりですか。」

ユダヤ人たちはイエスが3日で神殿を再建できるとは信じられませんでした。

1: イエスは私たちが想像するよりも強力であり、3 日で神殿を建てることができたことはイエスの力を示しています。

2: 私たちは神の力をすぐに疑うべきではありません。神は私たちの想像をはるかに超えることができるからです。

1: イザヤ書 40:28-31 - あなたは知らなかったのですか？聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失ったり、疲れたりすることはありません。彼の理解は探ることができない。彼は気弱な者に力を与え、力のない者に力を与えます。若者でさえ気を失い、疲れ果て、若者は疲れ果てて倒れるでしょう。しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。

2: マタイ 19:26 - イエスは彼らを見て言われました、「人間にはそれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」

ヨハネ 2:21 しかし、彼は自分の体の神殿について話しました。

イエスは人類に対する究極の犠牲を象徴する自分の体の神殿について語られました。

1. 最大の犠牲：神殿としてのイエスの体

2. イエスの言葉の意味: イエスの体の神殿

1. エペソ 2:19-22 - あなたたちはもはや見知らぬ人や外国人ではなく、聖徒たちと同じ国民であり、神の家族の一員です。

2. ヘブライ 10:19-20 - したがって、兄弟たち、私たちはイエスの血によって、つまりイエスが幕を通して私たちのために開いてくださった新しい生きた道によって、聖所に入る自信を持っています。

ヨハネ 2:22 それで、イエスが死人の中からよみがえられたとき、弟子たちは、イエスが自分たちにこう言われたことを思い出した。そして彼らは聖書とイエスの言われた言葉を信じた。

この箇所は、イエスが死からよみがえられた後、弟子たちが聖書とイエスの言葉をどのように信じたかを語っています。

1. イエスの復活: 忠実な信仰の力

2. イエスの復活: 悔い改めと信仰による人生

1. ローマ 10:9-10 - 「もしあなたが口で『イエスは主である』と告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるからです。」なぜなら、あなたが信じて義とされるのは心によってであり、告白して救われるのは口だからである。」

2. ローマ 6:4-5 - 「ですから、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命に生きるためです。なぜなら、私たちが彼のような死において彼と一つになったなら、私たちは間違いなく彼のような復活においても彼と一つになるからです。」

ヨハネ 2:23 さて、イエスが過ぎ越しの祭りの日にエルサレムにいたとき、多くの人がイエスの行った奇跡を見て、その名を信じた。

多くの人は、エルサレムの過越祭の際にイエスが行った奇跡を見て、イエスを信じました。

1. 心の変化がどのようにしてイエスへの信仰をもたらすのか

2. イエスの宣教における奇跡の力

1. ヨハネ 4:48-50 「そこで、イエスは彼に言われた、「あなたがたは、しるしや不思議な出来事を見なければ、信じないであろう。」貴族は彼に言った、「先生、私の子供が死ぬ前に降りてきてください。」イエスは彼に言った、「あなたの道を行きなさい。」あなたの息子は生きています。そしてその人は、イエスが語られた言葉を信じて、自分の道を歩き始めた。」

2. マタイ 14:22-27 「そこで、イエスはすぐに弟子たちに船に乗って、自分より先に向こう岸へ行くよう強いられ、その間に群衆を追い去られました。そして、群衆を送り出すと、祈るために離れて山に登りました。そして夕方になると、彼は一人でそこにいました。しかし、船は今や海の真ん中にあり、風が逆だったので波に揺れていました。そして、その夜の第四番のとき、イエスは海の上を歩きながら彼らのところに行かれた。弟子たちは、イエスが海の上を歩いているのを見て、「これは霊だ」と言って困惑した。そして彼らは恐怖のあまり叫びました。しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけて言われた、「元気でいてください。」私である; 恐れるな。するとペテロは彼に答えて言った、「主よ、もしあなたでしたら、水の上であなたのところに来るように私に命じてください。」

ヨハネ 2:24 しかし、イエスは彼らに身を委ねませんでした。

イエスは、すべての人が不正直になる可能性があることを理解しており、周囲の人々を信頼していませんでした。

1: すぐに他人を信頼しないでください。誤解される可能性があるからです。

２：周囲の人に騙される危険性を認識しましょう。

1: 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2: ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟姉妹の皆さん、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、称賛に値すること、優れていること、賞賛に値することがあれば、そのようなことについて考えてください。

ヨハネ 2:25 また、だれも人間について証言する必要はありません。人間は人間の中にあるものを知っていたからです。

ヨハネは、イエスは人々の心をご存じであり、人々の中にあるものを知るのに人の証言は必要ないことを強調しています。

1. 神は私たちの心を知っています - 神の知恵を知ることで私たちの生活はどのように変わるのか

2. イエスは私たちの葛藤を理解しています - 私たちの間違いと経験から学んでください

1. サムエル第一 16:7 - 「しかし、主はサムエルに言われた、「わたしが彼を退けたのだから、彼の外見や背の高さなどを見てはならない。なぜなら、主は人が見るようには見ていないからです。人は外見を見ますが、主は心を見ます。」

2. エレミヤ 17:10 - 「主であるわたしは、すべての人にその道に従って、その行いの結果に従って与えるために、心を探り、思いを試みます。」

ヨハネ 3 章では、生まれ変わることについてのイエスとニコデモの会話、イエスの至高性についての洗礼者ヨハネの証言、そして世界に対する神の愛についての談話が取り上げられています。

第 1 段落: この章は、パリサイ人でユダヤ人の統治評議会のメンバーであるニコデモが夜にイエスのところに来るところから始まります。彼は、神が共におられない限り誰もイエスのようなしるしを行うことができないため、イエスが神から来た教師であることを認めました。これに応えてイエスは、新しく生まれる、あるいは上から生まれるという概念を導入し、「本当に言っておくが、新しく生まれなければ、誰も神の王国を見ることはできない。」と述べた。この比喩的な表現に対するニコデモの混乱にもかかわらず、イエスは、それが肉体的な誕生と対照的な水と聖霊による霊的な誕生に言及していると詳しく説明されました。さらにイエスは、信じる者が永遠の命を得ることができるように、ご自身の下降・昇天を含む天的な事柄についても説明されました(ヨハネ3:1-15)。

第 2 段落: この章の最も有名な聖句は、イエスが宣言された箇所に続きます。「この世を愛した神は、その独り子を与え、彼を信じる者は誰でも滅びず、永遠の命を持つでしょう。」これは、罪に定められることではなく、神の独り子の御名を信じていないためにすでに罪に定められている、信じていない人たちへの神への信仰による救いを強調しています。光が世界に来たのです。人々は、自分たちの行いが悪かったので、光の代わりに闇を愛しました（ヨハネ3: 16-21）。

第 3 段落: この章は、すべての人が自分の代わりにイエスのもとに行くことについて弟子たちに質問されたときのバプテストヨハネの証言で終わります。彼は自分の役割が単に準備者であることを繰り返し、キリストが自分を友人の花婿に喩え、花婿の声を喜び、こうして「彼は偉大にならなければならない、私は小さくならなければならない」と宣言した。さらに彼は、地上からの起源、天上の性質、優位性が確認され、彼の言葉を受け入れる人は誰でも真実であることを認める、神の起源の使命怒りは神を拒否する人たちに残ると証言し、信仰を強調し、従順、中心が永遠の命を受け取ることを強調しました（ヨハネ3:22-36）。

ヨハネ 3:1 パリサイ人の中に、ユダヤ人の支配者でニコデモという名前の人がいました。

ニコデモはパリサイ人であり、ユダヤ人の支配者でした。

1: イエスは社会的地位に関係なく、あらゆる種類の人々に出会いました。

2: 誰もがイエスの足もとに歓迎され、イエスの恵みと憐れみを受けることができます。

1：ルカ 15：1-2「さて、徴税人や罪人たちは、皆、イエスの話を聞くために集まっていた。しかし、パリサイ人や律法学者たちはつぶやいた、『この人は罪人たちを歓迎して、一緒に食事をしているのだ。』」。

2: ローマ人への手紙 10:13 「『主の名を呼び求める者はみな救われる』からです。」

ヨハネ 3:2 夜、同じことがイエスのところに来て、こう言った、「ラビ、あなたが神から来た教師であることは、私たちは知っています。なぜなら、神が共におられる以外、だれもあなたのような奇跡を起こすことはできないからです。」

ヨハネは、イエスが奇跡を起こすことができたので、イエスを神から遣わされた教師であると認識した人でした。

1. 神の力はイエスの奇跡に明らかです。

2. 私たちはイエスを神から遣わされた教師として認識するよう努めるべきです。

1. ヨハネ 1:14 - そして、言葉は肉となって、恵みと真理に満ちて、私たちの間に住まわれました（そして私たちは彼の栄光、父の独り子としての栄光を見た）。

2. マルコ 16:20 - そして彼らは出て行って、あらゆる場所で宣べ伝え、主は彼らとともに働き、続くしるしによって御言葉を確証された。アーメン。

ヨハネ 3:3 イエスは答えて言われた、「まことに、まことに、あなたに言います。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

イエスはニコデモに、神の国に入るためには新しく生まれなければならないと教えています。

1:生まれ変わるとはどういう意味ですか?

2: イエス・キリストを通して信仰と悔い改めの生活を送る。

1: 使徒 2:37-38 - これを聞いた人々は胸が張り裂け、ペテロと他の使徒たちに言った、「兄弟たち、どうしましょうか。」ペテロは、「悔い改めて、皆さん、罪の赦しのために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。」

2: 1 ヨハネ 5:1-5 - イエスがキリストであると信じる人は皆、神から生まれました。そして、父を愛する人は皆、その子を同様に愛します。これは、神を愛し、神の命令を実行することによって、私たちが神の子たちを愛していることを知る方法です。実際、これは神への愛、つまり神の命令を守ることです。そして神の命令は重荷ではなく、神から生まれた者は皆、世に勝つのです。これは世界をも、私たちの信仰をも打ち破った勝利です。世界を征服するのは誰ですか？イエスが神の子であると信じる人だけです。

ヨハネ 3:4 ニコデモは彼に言った、「人は年をとってからどうして生まれることができますか」。彼は二度目に母親の子宮に入り、生まれることができるでしょうか？

ニコデモはイエスに、人は年をとってからどうやって生まれ変わることができるのかと尋ねました。

1.「生まれ変わる：キリストにおける新しい命」

2.「精神の刷新」

1. テトス 3:5 - 「神が私たちを救ってくださったのは、私たちが義に従って行った行いによるのではなく、ご自身の憐れみにしたがって、再生と聖霊の新たな洗いによって私たちを救ってくださったのです。」

2. エゼキエル 36:26 - 「そして、わたしはあなたに新しい心と、あなたの中に入れる新しい霊を与えます。そして、あなたの肉から石の心を取り除き、肉の心をあなたに与えます。」

ヨハネ 3:5 イエスは答えられた、「まことに、まことに、あなたに言います。人は水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」

救いには霊的な再生が必要です。

1. 「生まれ変わる: 御霊が私たちをどのように変えるか」

2.「神の王国：恵みの扉を通って入る」

1. テトス 3:4-5 - 「しかし、私たちの救い主なる神の慈しみと愛に満ちた親切が現れたとき、彼は私たちが義に従って行った行いのせいではなく、ご自身の憐れみに従って私たちを救ってくださいました。」

2. ガラテヤ人への手紙 2:20 - 「私はキリストとともに十字架につけられました。生きているのはもはや私ではなく、キリストが私の内に生きておられるのです。そして、私が今肉体で生きている人生は、私を愛し、私のために身を捧げた神の御子への信仰によって生きています。」

ヨハネ 3:6 肉から生まれたものは肉です。そして御霊から生まれるものは御霊です。

イエスは、人は神の国に入るためには御霊によって生まれなければならないと教えています。

1.「聖霊の誕生：神の国の一員となる」

2.「霊的再生の必要性」

1. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるのです。これは自分から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることができないのです。」

2. テトス 3:5 - 「神が私たちを救ってくださったのは、私たちが正しい行いをしたからではなく、ご自分の憐れみのゆえにです。聖霊による再生と再生の洗いを通して私たちを救ってくださいました。」

ヨハネ 3:7 私があなたに、「あなたは生まれ変わらなければならない」と言ったのは驚くべきことではありません。

この一節は霊的な再生の必要性について語っています。

1. 新しい誕生の力: 生まれ変わることですべてがどのように変わるか

2. 新しい誕生の必要性: 霊的な生まれ変わりを理解する

1. ローマ 6:4 - したがって、私たちが死へのバプテスマによってキリストとともに葬られたのは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたのと同じように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

2. テトス 3:5 - 私たちが行った義の行いによるのではなく、神の憐れみに従って、再生の洗いと聖霊の新たな働きを通して、神は私たちを救ってくださいました。

ヨハネ 3:8 風は聞こえるところに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くのかは分からない。御霊によって生まれた者はみな同様である。

御霊の風は予測不可能で神秘的ですが、そこから生まれた人たちに深い影響を与えます。

1. 予測不可能で強力な精霊の風

2. 精神の神秘と威厳を探る

1. ヨハネ 4:4-24 - イエスは聖霊の生ける水についてサマリア人の女性と会話します。

2. 使徒 2:1-13 - ペンテコステの聖霊降臨とその後の異言。

ヨハネ 3:9 ニコデモは答えて言った、「どうしてそんなことがありえますか」。

ニコデモはイエスに救いの道について質問します。

1. イエスを信じる信仰の力: イエスを信じることがどのように救いをもたらすか

2. イエスのユニークさ: なぜイエスの道が救いへの唯一の道なのか

1. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ人への手紙 10:13 - 「主の御名を呼び求める者は救われるからです。」

ヨハネ 3:10 イエスは答えて言われた、「あなたはイスラエルの主人なのに、これらのことを知らないのですか。」

ヨハネ 3:10 は、自分の教えを理解できなかったイスラエルの教師に対するイエスの答えを要約しています。「あなたはイスラエルの教師なのに、これらのことも知らないのですか？」

1. 知る力: 信仰の基本を理解することの重要性についてのイエスからの教訓。

2. 無知は至福ではない：信仰生活を送るには知識が不可欠であるというイエスの思い出。

1. マタイ 11:29 - 「わたしのくびきを負い、わたしから学びなさい。わたしは心優しく謙虚だから、そうすればあなた方は魂に安らぎを得るでしょう。」

2. 箴言 1:7 - 「主を恐れることは知識の始まりである。愚か者は知恵と教えを軽蔑する。」

ヨハネ 3:11 まことに、まことに、あなたに言います。私たちは知っていると言い、見たと証言します。そしてあなたがたは私たちの証しを受け取らない。

イエスはニコデモに向かって、イエスと御父の証しを信じることの重要性を強調しています。

1: イエスと父の証しを信じなさい。それを通してのみあなたは永遠の命を得ることができるからです。

2: イエスと父の言葉を受け入れてください。それは救いと永遠の命への道だからです。

1: ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2: ヨハネ 1:12 - しかし、イエスを受け入れた人々は、その名を信じる者たちにも、神の子となる力を与えました。

ヨハネ 3:12 わたしが地上のことをあなたがたに話したのに、あなたがたが信じないなら、わたしが天のことをあなたがたに話したとしても、どうしてあなたがたは信じるでしょうか。

イエスは聴衆に、イエスがすでに語った地上の事柄を信じないのに、どうやってイエスの語る天の事柄を信じることができるのかと尋ねます。

1. 神の言葉を信仰する

2. 主と主の約束を信じます

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

ヨハネ 3:13 そして、天から下ってきた者、すなわち天にいる人の子以外に、天に上った人はいません。

天から降りてきたイエス以外に天に昇った人は誰もいません。

1. イエスの独自性: イエスが天国への唯一の道であるという真実を理解する

2. イエスは天国へ行く唯一の道です: イエスの約束への信仰を奨励する

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. ヨハネ 10:30 - 私と父は一つです。

ヨハネ 3:14 そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。

この箇所は、モーセが荒野で蛇を持ち上げたように、人の子を持ち上げる必要性について語っています。

1. 謙虚に人の子を高めることの重要性。

2. 荒野で蛇を持ち上げる象徴。

1. 民数記 21:8-9 – 「そして主はモーセに言われた、『あなたを火の蛇にして、それを竿の上に置きなさい。そうすれば、かまれた者はみな、それを見つめるとき、こうなるであろう。生きてゆくだろう。そこでモーセは青銅の蛇を作り、それを竿の上に置いた。すると、もし蛇が人を噛んだとしても、その青銅の蛇を見るとその人は生きたということが起こった。」

2. イザヤ書 45:22 – 「地の果てまで、わたしを仰ぎなさい。そうすればあなたがたは救われます。わたしは神であり、他には誰もいないからです。」

ヨハネ 3:15 それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

この箇所は、イエス・キリストを信じる者に永遠の命の約束が与えられる救いについて語っています。

1. 永遠の命の賜物: ヨハネ 3:15 に関する研究

2. 信仰と救い: キリストへの信仰を通して救いを見つける

1. ヨハネ 5:24、「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持っており、罪に定められることはありません。しかし死から命へと移されるのです。」

2. ローマ人への手紙 6:23、「罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。」

ヨハネ 3:16 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためであるからです。

神はご自分の独り子イエス・キリストをお与えになったほどに世を愛しておられます。それは、神を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を得ることができるようにするためです。

1. 計り知れない神の愛

2. 永遠の命の賜物

1. ヨハネ第一 4:8-10 – 「神は愛であるため、愛しない人は神を知りません。このことによって、神がご自分の独り子を世に遣わし、私たちがその独り子を通して生きることができるようにするという神の愛が私たちの間で明らかにされました。この中には愛があり、私たちが神を愛したということではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のなだめの供え物として御子を送ってくださったということです。」

2. ローマ 5:8-10 – 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。したがって、私たちは今や彼の血によって義とされたのですから、ましてや私たちは彼によって神の怒りから救われることになるでしょう。なぜなら、私たちが敵であったとき、御子の死によって神と和解したのなら、ましてや和解した今、私たちは神の命によって救われることになるからです。」

ヨハネ 3:17 神は、世を罪に定めるために御子を世に遣わしたのではありません。しかし、彼を通して世界が救われるためです。

神は世界を非難するためではなく、救うために御子を遣わされました。

1: 喜びなさい: キリストは私たちを罪に定めるのではなく、救うために来られました。

2: 私たちに対する神の愛: 神は私たちを救うために御子を遣わされました

1: ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。

2: エペソ 2:4-5 - しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。

ヨハネ 3:18 イエスを信じる者は罪に定められていません。しかし、信じない人は神の独り子の名を信じていないので、すでに罪に定められています。

信者は罪に定められていませんが、信じない人はイエスの名を信じていないという理由ですでに罪に定められています。

1. イエスへの信仰は救いへの道です

2. イエスを拒否すると非難される

1. ローマ 10:9 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。」

2. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者はだれでも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

ヨハネ 3:19 そして、これは非難です、光が世に来て、人々は光よりも闇を愛した、なぜなら彼らの行いは悪だったからです。

人間は自らの邪悪な行いのゆえに、神の真理を拒否し、代わりに闇を選びます。

1. 罪は暗闇と神からの疎外につながります

2. 神の光は私たちの罪を明らかにし、救いをもたらします

1. ローマ人への手紙 1:18-20 というのは、不義の中で真理を抑圧する人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から明らかにされるからです。 19 なぜなら、神について知られている事柄は、彼らのうちに明らかだからです。それを彼らに。 20 なぜなら、世界の創造以来、神の目に見えない特質は明らかに見られ、造られたものによって理解され、神の永遠の力と神性さえも理解されるので、それらは弁解の余地がないからです。

2. エペソ人への手紙 5:8-14 - あなたがたはかつては闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩み、9 （御霊の実はすべての善、正義、真実の中にあるからです）、10 主に受け入れられるものを見つけてください。11 そして、実を結ばない闇の業と交わらず、むしろそれを暴きなさい。12 なぜなら、彼らが秘密裏に行っている事柄について話すことさえ恥ずべきことだからである。13 しかし、露出しているものはすべて光によって明らかにされます。明らかにするものはすべて光だからです。14 そこでイエスはこう言われる、「眠っている者よ、目覚めなさい。死人の中から起き上がりなさい。そうすれば、キリストはあなたに光を与えてくださるであろう。」

ヨハネ 3:20 というのは、悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが戒められることを恐れて、光のもとに来ないからです。

悪を行う者は皆、光を嫌い、悪行を隠すために光を避けます。

1: 罪によって光から遠ざけられるのではなく、光を受け入れて自分のやり方を変えましょう。

2: 私たちは自分の悪行を隠そうとするかもしれませんが、真実の光が必ずそれを明らかにします。

1: エペソ人への手紙 5:13-14 - 「しかし、何かが光にさらされると、それは見えるようになります。目に見えるものはすべて光だからです。」

2: ヤコブ 1:22-25 - 「ただ御言葉に耳を傾けるだけで、自分を欺いてはいけません。言われたことを実行してください。御言葉に耳を傾けながらもその言葉を実行しない人は、鏡で自分の顔を見つめ、自分を見た後立ち去り、すぐに自分の姿を忘れてしまう人のようなものです。しかし、自由を与える完全な律法を熱心に見つめ、それを継続し、聞いたことを忘れずに実行する人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。」

ヨハネ 3:21 しかし、真理を行う者は光のもとに来ます。それは、その行いが明らかにされ、それが神にあって為されたものであるためです。

ヨハネ 3:21 は、人々が真理を行い、その行いが神にあって行われたものとみなされるように光のもとに来るよう勧めています。

1: 私たちは皆、正しいことをするように召されており、それを行うとき、神は私たちに光を当て、私たちの良い行いを世界に示してくださいます。

2: 私たちは光を恐れるのではなく、神が私たちの良い行いを称賛してくださっていることを知って、光を受け入れるべきです。

1: マタイ 5:16 - 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父に栄光を帰すことができます。」

への手紙 5:8-10 - 「あなたがたは、時には暗闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩みなさい。(御霊の実はすべての善と正義と真実の中にあるからです。)それは主に受け入れられるものだ。」

ヨハネ 3:22 これらの事の後、イエスと弟子たちはユダヤの地に来られた。そこで彼は彼らと一緒に過ごし、バプテスマを授けました。

イエスの弟子たちはユダヤの地に旅行し、イエスは彼らと一緒に滞在してバプテスマを授けました。

1. イエスとその教えに従うことの重要性。

2. バプテスマを通して他の人に奉仕する。

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守るでしょう。」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授けなさい。」

ヨハネ 3:23 ヨハネもまた、サリムの近くのアイノンで洗礼を授けていた。そこには水が多かったので、彼らはやって来て、洗礼を受けた。

ヨハネは水が豊富だったため、サリム近くのアイノンでバプテスマを施しました。

1: 神は私たちが神の働きに必要な資源を提供してくださいます。

2: 私たちは神の御心を成就するために神が導いてくださるところへ進んで行くべきです。

1: イザヤ書 43:19-20 「見よ、わたしは新しいことをする。今、それは湧き出てくるでしょう。あなたがたはそれを知らないだろうか？荒野にも道を作り、砂漠にも川を作ります。」

2: マタイ 10:7-8 「そして、あなたがたは行きながら、『天の御国は近づいた』と宣べ伝えなさい。病人を癒し、らい病人を清め、死者をよみがえらせ、悪魔を追い出しなさい。あなたがたは無償で受け取り、無償で与えたのです。」

ヨハネ 3:24 ヨハネはまだ投獄されていなかったからです。

ヨハネは投獄される前、イエス・キリストの福音を宣べ伝えていました。

1: 主を信頼してください。そうすれば、たとえ逆境の真っ只中でも、主はあなたに安全な避難所を備えてくださいます。

2: 私たちに対する神の計画は人間の計画よりも偉大です。わたしたちは神の約束を信頼して、試練や艱難を乗り越え続けなければなりません。

1: イザヤ 26:3 - あなたは、あなたを信頼するすべての人、あなたに思いを寄せているすべての人を完全な平和の中に保ってくださいます。

2: ローマ 8:28 - そして、神を愛し、神の目的に従って召された人々のために、神はすべてを共に働かせてくださることを私たちは知っています。

ヨハネ 3:25 そのとき、ヨハネの弟子たちの何人かとユダヤ人たちの間に、清めについての質問が生じた。

ヨハネの弟子たちはユダヤ人たちに清めについて質問していました。

1: 異なる視点を持つ人々と敬意を持って対話することで、明確さを得ることができます。

2: すべての答えを持っているわけではないことを承知し、謙虚に会話に取り組む必要があります。

1: ヤコブ 1:5 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はとがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださるでしょう。そうすれば、それは与えられるでしょう。

2: コロサイ 2:8 - キリストに従ってではなく、人間の伝統に従って、世界の元素の霊に従って、誰もあなたを哲学や空虚な欺瞞の虜にしないように気をつけてください。

ヨハネ 3:26 そこで、彼らはヨハネのところに来て言った、「ラビ、ヨルダンの向こうであなたと一緒にいた人、あなたが証言したあの人が、見よ、同じ人がバプテスマを授けているのです。そしてすべての人が彼のところに来ます」。

ヨハネは、自分が証しし、多くの人々にバプテスマを授けていたイエスについて尋ねられました。

1. 証言の力: あなたの言葉がどのように変化をもたらすのか

2. イエスに従うという呼びかけ: 招きへの応答

1. 使徒 4:18-20 - そこで彼らは彼らを呼び、イエスの名において決して話したり教えたりしないよう命じた。

2. マタイ 28:18-20 - そして、イエスが来て彼らに語って言われた、「天においても地においても、すべての力がわたしに与えられている。」それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。

ヨハネ 3:27 ヨハネは答えて言った、「人は、天から与えられる以外、何も受け取ることはできません。」

ヨハネは、すべてのことにおいて神の恵みに頼ることの重要性を強調しています。

1: 私たちは神に依存していることを認識し、必要なものすべてを神の恵みに頼らなければなりません。

2: 神の祝福を受けるには、神への信頼を認め、神の恵みを受け入れなければなりません。

1: エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分で行ったものではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

2: ローマ人への手紙 11:36 「すべては彼から出て、彼を通して、そして彼にあるのです。栄光が永遠に彼にありますように。アーメン。」

ヨハネ 3:28 あなたがた自身が、私が「私はキリストではなく、キリストの前に遣わされたのだ」と言ったことを証ししてください。

この箇所は、洗礼者ヨハネがメシアであることを否定し、むしろメシアの前に遣わされたことを明らかにしています。

1: 私たちは自分自身の人生の目的を常に意識しなければならず、自分にとって意図されていない役割を果たそうとすべきではありません。

2: わたしたちは、メシアの到来に備えるという自らの役割を謙虚に受け入れた洗礼者ヨハネの例に倣わなければなりません。

1: ピリピ 2:3-5 「利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。互いにキリスト・イエスと同じ考え方を持ちなさい。」

2: イザヤ書 40:3 - 「呼びかける者の声、『荒野に主のために道を備えよ。荒野にまっすぐに、私たちの神のための大道を作りなさい。』」

ヨハネ 3:29 花嫁を持つ者が花婿です。しかし、花婿の友人は、立って彼の話を聞いていますが、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それゆえに、私の喜びは満たされます。

花婿の友人である喜びは、花婿の声を聞くと満たされます。

1. 友情の喜び: 花婿の友人であること

2. 喜びをもって祝う：花婿の声で喜ぶ

1. ヨハネ 15:14-15、「わたしが命令することを何でも行うなら、あなたがたはわたしの友です。これから、わたしはあなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主が何をしているのか知りません。しかし、わたしはあなたがたを友と呼びました。すべてのことのために」私は父のことを聞いたことをあなたたちに知らせました。」

2. 箴言 17:17、「友はいつでも愛し、兄弟は逆境のために生まれる。」

ヨハネ 3:30 彼は増えなければなりませんが、私は減らさなければなりません。

この聖句は謙虚さと自己犠牲の重要性を強調し、イエスが何よりも最優先されるべきであることを示しています。

1. 「クリスチャン生活における謙虚さの力」

2. 「私たちの生活におけるイエスの優先事項」

1. ピリピ 2:3-5 - 「利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。キリスト・イエスにあってあなたのものであるこの思いをあなた方の間で持ちなさい。」

2. ヤコブ 4:10 - 「主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」

ヨハネ 3:31 上から来る者はすべての上にあります。地から来る者は地上にあり、地のことを言います。天から来る者はすべての上にあります。

天から来られる方は他の誰よりも偉大です。 1: 神はすべての真の偉大さの源であり、私たちは神のご意志に従って生きるよう努めるべきです。2: 私たちの生活は地上の視点ではなく、天の視点を反映すべきです。1: マタイ 6:9-10 「天におられる私たちの父よ、あなたの御名があがめられますように。あなたの御国が来ますように。あなたの御心が天と同じように地でも行われます。」2: ヤコブ 4:7-8 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げるでしょう。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたに近づいて来るでしょう。」

ヨハネ 3:32 そして、彼が見聞きしたことを証言します。そして誰も彼の証言を受け入れない。

ヨハネは自分が見聞きしたことを証言していますが、誰も彼の証言を受け入れません。

1. 疑いに直面したときの揺るぎない信仰の力

2.神の王国を証しする必要性

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」

2. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。」

ヨハネ 3:33 自分のあかしを受けた人は、神が真実であるという印を押したのです。

この聖句は、神の証言を受け入れる人は神が真実であることも確認していることを強調しています。

1.「神の証しを信じる」

2.「神の真実: 私たちの人生の基盤」

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、あなたが信じて義とされるのは、あなたの心だからです」そして口で告白して救われるのです。」

2. テモテ第二 2:13 - 「たとえ私たちが不信仰であっても、彼は忠実であり続けます。なぜなら、彼は自分自身を否認することができないからです。」

ヨハネ 3:34 神が遣わした方は神の言葉を語ります。神はその人に量り売りで霊を与えないからです。

神は預言者イエスに無制限の御霊を与えられました。

1. 計り知れない神の賜物: イエスの豊かな愛が私たちをどのように変えるか

2. 計り知れない御霊の力: イエスの神聖な賜物がどのように私たちを強めるか

1. エレミヤ 31:3 - 「わたしは永遠の愛であなたを愛し、愛情をもってあなたを引き寄せました。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

ヨハネ 3:35 父は子を愛し、すべてのものをその手に与えられました。

この箇所は、神がイエスを愛し、すべての被造物に対する権威をイエスに与えられたことを明らかにしています。

1: イエスに対する神の愛は無条件です

2: イエスはすべての創造物の主である

1: エレミヤ 31:3 - 「主は昔、わたしに現れてこう言われた、『ああ、わたしは永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、わたしは慈しみをもってあなたを引き寄せた。』

2: コロサイ 1:15-17 - 「目に見えない神の似姿、すべての被造物の初子は誰ですか。天にあるもの、地にあるもの、目に見えるものと見えないものを問わず、すべてのものは神によって創造されたからです」王座、統治権、君主国、権力など、すべてのものは彼によって、そして彼のために創造されました。そして彼はすべてのものの前にあり、彼によってすべてが構成されています。」

ヨハネ 3:36 御子を信じる者は永遠の命を持ち、御子を信じない者は命を見ることができません。しかし神の怒りは彼にとどまる。

イエスを信じる人は永遠の命を持ちますが、イエスを信じない人は命を持たず、代わりに神の怒りに直面することになります。

1.「永遠の命の光の中で生きる」

2.「神の怒りの現実」

1. ローマ 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

2. ヨハネ 17:3 - そして、これは永遠の命であり、彼らが唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わしたイエス・キリストを知るためです。

ヨハネ 4 章では、井戸でのイエスとサマリア人の女性の出会い、霊的な収穫についてのイエスの教え、役人の息子の癒しについて語られています。

第 1 段落: この章は、イエスがユダヤを離れてガリラヤに向かい、サマリアを通過することを選択したところから始まります。そこでイエスは、ヤコブの井戸から水を汲んでいるサマリア人の女性に出会いました。文化的な障壁にもかかわらず、イエスは彼女に飲み物を求め、永遠の命につながる生きた水について話し始めました。彼女がこの水に興味を示したとき、イエスは彼女の私生活の詳細を明らかにし、最終的にはご自身がメシアであることを明らかにする超自然的な知識を示しました (ヨハネ4:1-26)。

第 2 段落: この出会いの後、弟子たちはイエスが女性と話しているのを見て驚いて戻ってきたが、誰もそれを疑問に思わなかった。代わりに、彼らはイエスに食べるように促しましたが、イエスは「私はあなたが知らない食べ物を食べさせます。」と答えました。これは彼らを当惑させましたが、イエスは、ご自分の食べ物はご自分の働きを終えてご自分を送られた神のご意志を行っていることを明らかにされ、人々が福音を受け入れる準備ができていることを示す、種まき、刈り取り、永遠の命という比喩的な言葉が導入されました（ヨハネ4:27-38）。

第 3 段落: 町に戻ると、多くのサマリア人は女性の証言のゆえにイエスを信じ、その後、イエスが実際に救い主の世界を宣言しているのを聞いたときの彼の言葉のゆえにイエスを信じました (ヨハネ 4:39-42)。その後、イエスはサマリアを去り、預言者が自分の国を受け入れなかったにもかかわらずガリラヤに戻り、そこで水をワインに変えたカナに向かいました。そこに、息子が病気のカファルナウムの王室役人がやって来て、その場を離れずに瀕死の息子を治しに来てほしいと頼んだのですが、イエスは「行きなさい、あなたの息子は生きるでしょう」と言われました。その男はイエスの言葉を聞いてイエスを受け入れましたが、まだ途中で使用人たちが彼に会いました、ニュースボーイは生きている信仰の癒しの力をキリストが再び示し、最後の章で（ヨハネ4:43-54）。

ヨハネ 4:1 それで、主は、イエスがヨハネよりも多くの弟子を作り、洗礼を授けたということをパリサイ人たちがどのように聞いていたかを知っておられ、

ヨハネよりも多くの弟子たちにバプテスマを授けたイエスの奉仕は、パリサイ人の伝統的な期待に挑戦しました。

1. イエスの宣教: 伝統への挑戦

2. イエスのバプテスマ: 従うべき呼びかけ

1. マルコ 1:14-15 - 「ヨハネが逮捕された後、イエスはガリラヤに来られ、神の福音を宣べ伝えてこう言われました。「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて、神の福音を信じなさい。」福音。"

2. 使徒 5:27-29 - 「彼らは彼らを連れて来て、議会の前に置いた。すると大祭司は彼らに問い詰めて、こう言った、「私たちはあなた方に、この名において教えないよう厳しく命じましたが、あなた方はここでエルサレムを自分の教えで満たし、この男の血を私たちにもたらすつもりですか。」しかしペテロと使徒たちは、「人間ではなく神に従わなければなりません」と答えました。

ヨハネ 4:2 (ただし、イエスご自身ではなく、弟子たちにバプテスマを授けました)

ヨハネの福音書 4 章 2 節は、イエスが自分自身にバプテスマを授けるのではなく、福音を教え、分かち合うという使命を強調しています。

1. イエスの使命: 福音を教え、分かち合う

2. 一致して働く教会共同体の力

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。また、聞いたこともない方をどうやって信じるのでしょうか。また、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができるのでしょうか。遣わされない限り、どうして彼らは説教できるでしょうか？」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

ヨハネ 4:3 彼はユダヤを去り、再びガリラヤに向かった。

イエスは福音を宣べ伝えるためにユダヤを去り、ガリラヤに戻りました。

1: イエスは神の福音を宣べ伝える使命を始めるためにユダヤを去りました。

2: イエスは救いの良いたよりを宣べ伝える使命を続けるためにユダヤを去りました。

1: 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなた方はエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらには地の最も辺鄙な地域に至るまでわたしの証人となるであろう。」

2: マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。」

ヨハネ 4:4 そして彼はサマリアを通過する必要があります。

この箇所は、イエスがサマリアを旅する必要があったことを明らかにしています。

1. イエスの従順: 神の計画に従う必要性

2. 神の導き: イエスのサマリアの旅は主の命令に従うことをどのように教えているか

1. マタイ 7:7-11、「求めなさい、そうすれば与えられます。探しなさい、そうすれば見つかります。門をたたきなさい、そうすれば開かれます。求める者はみな受けます。そして求める者は見つけます。そして、求めなさい。そうすれば開かれます。」「ノックする者には開かれるであろう。あるいは、あなたの中にどんな男がいるだろうか。息子がパンを求めたら、石を与えるだろうか。あるいは、魚を求めたら、蛇を与えるだろうか。もしそうなら、あなたがたは、悪人よ、子供たちに良い贈り物を与える方法を知っているのに、まして天におられるあなたの父は、求める者たちに良いものを与えてくださるでしょうか？」

2. ローマ人への手紙 8:28、「そして、神を愛する者たち、すなわち神のご計画に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

ヨハネ 4:5 それから彼は、ヤコブが息子ヨセフに与えた土地の近くにあるシカルと呼ばれるサマリアの町に来ます。

イエスはサマリアの町スカルを訪れます。

1. 寛大の力 - ヤコブが土地区画をジョセフに捧げたことを通じてイエスが与えた例。

2. 愛の力 - イエスは歴史的にユダヤ人に軽蔑されていたサマリア訪問を通じて愛を示しました。

1. 創世記 48:22 - 「さらに、わたしはあなたの兄弟たちよりも多くの分け前をあなたに与え、それを剣と弓でアモリ人の手から取り出した。」

2. ルカ 10:25-37 「すると、見よ、ある律法学者が立ち上がって、彼を誘惑して言った、『先生、永遠の命を受け継ぐためにはどうしたらよいでしょうか。律法には何と書いてありますか。どうやって言うのですか』と彼は言いました。」「あなたは読みましたか？」すると彼は答えて言った、「心を尽くし、精神を尽く

し、力を尽くし、精神を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。そしてあなたの隣人をあなた自身のように愛さなければなりません。」

ヨハネ 4:6 さて、ヤコブの井戸がそこにありました。そこで、イエスは旅に疲れて、井戸の上にこのように座っておられた。それはおよそ6時間目だった。

イエスは旅に疲れて、正午ごろヤコブの井戸に立ち寄り、そこに座りました。

1. 旅の疲れ - ヨハネ 4:6

2. 休息とリフレッシュを見つける - ヨハネ 4:6

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ヘブライ人への手紙 4:9-11 - したがって、神の民には休息が残されています。安息に入った者は、神が自分の業をやめたのと同じように、自分自身の業もやめたのである。したがって、誰も同じ不信仰の例に陥ることがないように、その安息に入るよう努力しましょう。

ヨハネ 4:7 サマリアの女が水を汲みに来た。イエスは彼女に言われた、「水を飲ませてください」。

この箇所は、イエスがサマリア人の女性に水を飲ませてほしいと頼む場面です。

1. イエスの愛と慈悲の力

2. 障壁を打ち破ることの重要性

1. ルカ 10:25-37 - 善きサマリア人のたとえ

2. ローマ人への手紙 5:8 - 神は私たちに対するご自身の愛を示してくださいます

ヨハネ 4:8 (弟子たちは肉を買うために町へ行っていたからです。)

この箇所には、イエスが井戸のところでサマリア人の女性に話しかけられた様子と、弟子たちが食べ物を買いに町へ出かけた様子が描かれています。

1. キリストとの出会いの力: イエスとサマリアの女の物語

2. 奉仕の美しさ: イエスの弟子たちの食べ物を買う旅

1. マタイ 10:8 - 「あなたがたは無償で受け、無償で与えます。」

2. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、互いに愛し合うことです。わたしがあなたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきです。これによって、すべての人はあなたがわたしの弟子であることを知るでしょう」お互いに愛があれば。」

ヨハネ 4:9 すると、サマリアの女が彼に言った、「ユダヤ人であるあなたが、サマリアの女である私にどうして水を飲もうとするのですか。」ユダヤ人はサマリア人とは何の関係もないからである。

サマリアの女性はイエスに、なぜユダヤ人であるイエスがサマリア人の彼女に飲み物を求めているのか尋ねます。

1. クリスチャンである私たちは、自分の違いを無視して、普段付き合わない人たちに手を差し伸べるにはどうすればよいでしょうか?

2. イエスの模範に頼って、溝を埋め、自分と異なる人々との関係を築くにはどうすればよいでしょうか?

1. エペソ 2:14-17 - なぜなら、神ご自身が私たちの平和であり、私たちを一つにし、その肉において敵意の隔ての壁を打ち破られたからです。

2. ローマ 12:18 - 可能であれば、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。

ヨハネ 4:10 イエスは答えて彼女に言われた、「あなたが神の賜物を知っていて、あなたに『水を飲ませてください』と言ったのが誰であるかを知っているなら、あなたは私に水を飲ませてください。」あなたが彼に求めれば、彼はあなたに生きた水を与えただろう。

イエスは井戸の女性に生きた水を差し出し、神の賜物である恵みと憐れみを彼女に示しました。

1: イエスは井戸の女性に生きた水を差し出しました。これは神が私たちに与えてくださる恵みと憐れみの賜物を表しています。

2: 井戸の女性はイエスによって生きた水を提供され、私たちの主の限りない恵みと憐れみを私たちに示しました。

1: ヨハネ 3:16、「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2: エペソ人への手紙 2:8-9、「あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われました。それは、自分自身からではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることがないように。」

ヨハネ 4:11 女は彼に言った。

井戸のところで女はイエスに、差し出している生きた水はどこで手に入れたのかと尋ねます。

1. 生きた水: 計り知れない贈り物

2. イエスは何を捧げますか?

1. 詩篇 36:9 - 命の泉はあなたとともにあるからです。あなたの光の中で、私たちは光を見るでしょう。

2. イザヤ書 12:3 - それゆえ、あなたがたは喜びをもって救いの井戸から水を汲むであろう。

ヨハネ 4:12 あなたは、私たちに井戸を与え、自分も子供たちも家畜もその井戸を飲んだ、私たちの父ヤコブより偉いのですか。

ヨハネ 4:12 のこの箇所には、ヤコブの力と比較したイエスの力についての質問が含まれています。

1. 信仰の力: イエスの権威を理解する

2. 父の遺産: ヤコブと井戸の贈り物

1. 創世記 26:18-22 - ヤコブが井戸を掘った経緯

2. マタイ 14:22-33 - イエスはご自分の力を誇示するために水の上を歩きます

ヨハネ 4:13 イエスは答えて彼女に言われた、「この水を飲む者はだれでも、また渇くでしょう。

イエスは、世的な満足はつかの間のものであり、霊的な満足だけが真の満足をもたらすことができると教えています。

1: イエスは、世俗的な物では永続的な満足をもたらすことはできず、私たちの最も深い望みを満たすことができるのは神だけであることを思い出させます。

2: 私たちは人生の空白を埋めてくれる神を求めなければなりません。真の永続的な満足を与えてくださるのは神だけだからです。

1: マタイ 6:19-21 - 蛾や害虫が滅ぼし、盗人が押し入って盗む場所である地上に、自分のために宝を蓄えてはなりません。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは蛾や害虫が破壊せず、泥棒が押し入って盗むこともありません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

2: 詩篇 16:11 - あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの臨在の中には喜びが満ち溢れています。あなたの右手には永遠の楽しみがあります。

ヨハネ 4:14 しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渇くことがありません。しかし、わたしが彼に与える水は、彼の内に永遠の命に至る水が湧き出る井戸となるであろう。

イエスが与えてくださる水は、飲む人を決して渇かせることがなく、永遠の命の源となります。

1. イエスの生ける水の力 - イエスの生ける水がどのようにして永遠の命をもたらすのかを探る

2. イエスの飲み物への招待 - イエスが生ける水を飲むよう勧める招待状の開梱

1. イザヤ書 55:1 - 「渇いている人はみな、水に来なさい。お金のないあなたは、来て、買って、食べてください！さあ、お金もコストもかからずにワインと牛乳を買ってください。」

2. 黙示録 22:17 - 「御霊と花嫁は言います、『来なさい！』」そして、聞く人は、「来てください！」と言わせてください。渇いている人は来てください。そして望む人には命の水の贈り物を無料で受け取らせてください。」

ヨハネ 4:15 女は彼に言った、「先生、渇かないように、またここに汲みに来ないように、この水をください」。

その女性は二度と喉が渇かないように、生きた水をイエスに求めました。

1: イエスは私たちの霊的な渇きを永遠に満たすことができる生きた水を私たちに提供してくださいます。

2: その女性は、生きた水を求めてイエスへの信仰を示しました。

1: イザヤ書 55:1 「ああ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て、買って食べなさい。そうです、来て、お金も代価もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。」

2: 黙示録 22:17 「すると、御霊と花嫁は『来なさい』と言います。そして、聞く者は『来なさい』と言わせてください。そして渇いている者は来なさい。そして望む者は、命の水を自由に飲ませてください。」

ヨハネ 4:16 イエスは彼女に言われた、「行って、あなたの夫を呼んで、そこへ来なさい」。

この箇所では、イエスがサマリア人の女性に夫に電話して戻るように指示されたことが明らかになります。

1: イエスは私たちにとって導きと慰めの究極の源です。

2: イエスはサマリア人の女性に夫に電話するよう指示し、同情心を示しました。

1: ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてのことにおいて、祈りと感謝の祈りによって、あなたの願いを神に知らせてください。」

2: ヨハネ 14:27 - 「わたしは平安をあなたたちに残します。わたしの平和をあなたたちに与えます。世が与えるのと同じようにあなたたちに与えません。あなたたちの心を騒がせてはなりませんし、恐れさせてはなりません。」

ヨハネ 4:17 女は答えて、「私には夫がいません」と言いました。イエスは彼女に言った、「あなたはよく言った、私には夫がいない。

女性は結婚していないことを認めた。

1. 正直の力: 井戸の女を調べる

2. 自分に正直であること: 井戸端の女の例

1. 箴言 10:19、「言葉が多ければ違反もつきものだが、口を制する者は思慮深い。」

2. ペテロ第一 3:3-4、「髪を編んだり、金の装飾品を身に着けたり、着ている衣服など、外面的な装飾をしないでください。むしろ、あなたの装飾は心の内に隠れた人であり、心の中にあるものでありなさい。」穏やかで静かな精神の不滅の美しさ、それは神の目から見て非常に貴重なものです。」

ヨハネ 4:18 あなたには五人の夫がいました。そして、あなたが今抱いている彼はあなたの夫ではありません。あなたはそう言いました。

井戸の女性は5回結婚しており、現在は夫ではない男性と暮らしていた。

1. 神の無条件の愛と救い

2. 有害な関係から抜け出す

1. イザヤ書 43:25 - 「わたしですら、わたし自身のためにあなたの罪を消し去る者であり、あなたの罪を思い出すことはありません。」

2. コリント第一 6:18 - 「性的不道徳から逃げなさい。人が犯すその他の罪はすべて体の外にありますが、性的に罪を犯す人は、自分の体に対して罪を犯しているのです。」

ヨハネ 4:19 女は彼に言った、「先生、私はあなたが預言者だと思います。」

その女性はイエスを預言者として認めました。

1: 私たちは識別力を持ち、人生における神の臨在を認識する必要があります。

2: たとえそれが自分自身の意志に反する場合でも、私たちは喜んで神の意志を受け入れる必要があります。

1: ヨハネ 7:40 - 「これらの言葉を聞いて、人々の中には、『この人は本当に預言者だ』と言った者もいた。」

2: イザヤ書 11:2-3 - 「そして、主の霊が彼の上にとどまるでしょう。それは知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊です。彼は喜んで主に従うでしょう。」

ヨハネ 4:20 私たちの先祖たちはこの山で礼拝をしました。そしてあなたがたは、人間が礼拝すべき場所はエルサレムだと言う。

この箇所では、私たちの先祖たちがどのように山で礼拝を行ったか、そしてイエスの時代の人々がエルサレムが礼拝の場所であるとどのように言ったかについて説明しています。

1. 適切な場所で神を礼拝することの重要性。

2. 父親たちの伝統を認識し、尊重する。

1. 申命記 12:5-7;あなたは、あなたの神、主があなたのすべての部族の中からその名を冠し、そこに住まわれる場所を選び求めなければならない。

2. 詩篇 122:1-5;彼らが「主の家に行きましょう！」と言ってくれたとき、私はうれしかったです。

ヨハネ 4:21 イエスは彼女に言われた、「女よ、私を信じてください。あなたがたがこの山でもまだエルサレムでも父を礼拝してはならないその時が来ます。」

ヨハネ 4:21 のこの一節は、御父への礼拝はもはや物理的な 1 つの場所に限定されないというイエスのメッセージを伝えています。

1. 神への礼拝は霊的な行為であり、肉体的な行為ではない

2. 信仰の力: どこにいても神を見つける

1. ヘブライ 11:6 - 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければなりません。」

2. 詩篇 95:6 - 「ああ、来て、礼拝してひれ伏しましょう。私たちの造り主である主の前にひざまずきましょう。」

ヨハネ 4:22 あなたがたは何を崇拝しているのかわかりません。私たちは自分が何を崇拝しているのか知っています。救いはユダヤ人から来るからです。

この一節は、ユダヤ人と非ユダヤ人の崇拝の違いを強調し、ユダヤ人は理解を持って崇拝するが、非ユダヤ人はそうでないことを指摘しています。

1.「真の崇拝：自分たちが何を崇拝しているのかを知る」

2. 「救いの源: ユダヤ人の遺産」

1. イザヤ書 43:7 - 「わたしの名で呼ばれるすべての人、わたしが栄光のために創造した者、わたしが形作り造った者たち。」

2. ローマ人への手紙 11:11-15 - 「それで尋ねますが、彼らは倒れるためにつまずいたのでしょうか？決してそうではありません。しかし、彼らの罪過によって救いが異邦人にもたらされたので、イスラエルが嫉妬するほどです。さて、彼らの罪過が富を意味するのであれば、彼らの失敗が異邦人の富を意味するのであれば、彼らを完全に受け入れることがどれほどの意味を持つことになるでしょうか! 今、私は異邦人の皆さんに話しています。ですから、私は異邦人への使徒である限り、何とかして私の同胞のユダヤ人を嫉妬させて、彼らの何人かを救ってください。」

ヨハネ 4:23 しかし、真の崇拝者たちが霊と真理をもって父を礼拝する時が来ます。そして今がその時です。父は、ご自分を崇拝する者を求めておられるからです。

御父は、崇拝者たちが霊と真理をもって御父に近づくことを望んでおられます。

1. 霊と真実において神を礼拝する

2. 礼拝体験を活かす

1. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。

2. ヤコブ 4:8 - 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。罪人よ、手を洗い、心を清めなさい、二心の人よ。

ヨハネ 4:24 神は霊です。そして神を崇拝する者は、霊と真理によって神を崇拝しなければなりません。

神は私たちに霊と真理をもって神を礼拝するよう求めておられます。

1: 私たちは心から神のもとに来て、礼拝において正直でなければなりません。

2: 私たちは謙虚さと畏敬の念を持って神に近づき、神が本当は誰であるかを理解しなければなりません。

1: 詩篇 95:6-7 - 「ああ、さあ、礼拝してひれ伏しましょう。私たちの造り主である主の前にひざまずきましょう！なぜなら、彼は私たちの神であり、私たちは彼の牧場の民であり、彼の手の羊だからです。」

2: ローマ 12:1-2 - 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたにお願いします。あなたがたの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたがたの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試してみることで識別できるようになる。」

ヨハネ 4:25 女は彼に言った、「キリストと呼ばれるメシアが来られることは知っています。来られたら、すべてのことを私たちに教えてくださるでしょう。」

ヨハネ 4 章 25 節の女性は、キリストと呼ばれるメシアが来て、彼らにすべてのことを明らかにしてくださることを認識していました。

1: イエスは旧約聖書で約束されたキリスト、メシアであり、私たちにすべてのことを明らかにするためにここに来られます。

2: 私たちはイエス・キリストを信頼できます。彼は私たちにすべてを明らかにするために来られた約束のメシアだからです。

1: イザヤ書 9:6 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父、平和の王子。

2: エレミヤ 33:14-16 - 見よ、主は言われる、イスラエルの家とユダの家に約束したその善いことをわたしが行う日が来る。その日、そしてその時に、私は義の枝をダビデまで成長させるでしょう。そして彼はその地で裁きと義を執行するであろう。その日には、ユダは救われ、エルサレムは安全に住むでしょう。そしてこれが彼女が呼ばれる名前です、主、私たちの義。

ヨハネ 4:26 イエスは彼女に言われた、「あなたに話しているのは私です。」

イエスは井戸のところで女性に姿を現し、自分が生きた水の源であると宣言します。

1: イエスは私たちに永遠の命をもたらす生ける水の源です。

2: イエスは私たちにご自身を現し、私たちにイエスと個人的な関係を築くよう呼びかけます。

1: イザヤ書 12:3 - あなたは喜びをもって救いの井戸から水を汲むでしょう。

2: エレミヤ 2:13 - わたしの民は二つの罪を犯しました。彼らは、生ける水の泉であるわたしを捨て、水をためることのできない壊れた水だめを自分たちで掘ったのです。

ヨハネ 4:27 すると、弟子たちがやって来て、彼がその女と話していることに驚いたが、「何を求めているのか」と言う者はいなかった。あるいは、なぜ彼女と話すのですか？

イエスの弟子たちはイエスが女性と話しているのを見て驚きましたが、なぜそんなことをするのかと尋ねる者は誰もいませんでした。

1. 「敬意を持った会話の価値: イエスとサマリアの女性との交流から得た教訓」

2.「他者との対話から知恵を得る」

1. 箴言 18:13 - 「問題を聞く前に答える者は、愚かであり、恥である。」

2. コロサイ 4:5-6 - 「時間を償いながら、外にいる人々に向かって知恵を持って歩みなさい。あなたの話し方は常に優雅で、塩味を付けて話しなさい。そうすれば、あなたはすべての人にどのように答えるべきかを知ることができます。」

ヨハネ 4:28 そこで、女は水がめを置いて町へ行き、男たちに言った、

井戸のところで女性はイエスに出会い、水がめを置いて街の人々にイエスのことを伝えに行きました。

1: イエスは私たちの最も深い渇きを満たしてくれる生ける水です。

2: 私たちはイエスの良い知らせを他の人に伝えなければなりません。

1: ヨハネ 7:37-38 - 祭りの最後の日、つまり大いなる日、イエスはそこに立っておられ、大声で言われました。」

2: ローマ 10:14-15 - それでは、どうやって信じていない人を呼び求めることができるのでしょうか。そして、彼らは聞いたこともない人のことをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かに説教されずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、遣わされない限り、どうやって説教できるでしょうか？

ヨハネ 4:29 来て、ある人を見なさい。その人は、私がこれまでしたことをすべて教えてくれた。この人はキリストではないのか。

サマリア人の女性は、自分が人生でしたことをすべて語ったイエスの能力に驚き、イエスがキリストなのかと尋ねました。

1. イエスを求めるすべての人に慰めと洞察を与えるイエスの超自然的な知識と能力。

2. 私たちの生活におけるキリストの神聖な臨在を認識する。

1. 詩篇 147:3 「主は心の打ち砕かれた者を癒し、その傷を包んでくださる。」

2. ルカ 8:48 「そしてイエスは彼女に言った。『娘よ、安心してください。あなたの信仰のおかげであなたは元気になりました。安心して行きなさい。』」

ヨハネ 4:30 それから、彼らは町を出て、イエスのところに来た。

スカルの人々は町を出てイエスのもとにやって来た。

1: イエスは、私たちがどこにいても、いつでも喜んで私たちに会ってくださいます。

2: イエスは、私たちがイエスを求めるとき、いつでも喜んで迎えてくださいます。

1: 詩篇 145:18 - 主はご自分を呼び求めるすべての人、真実に主を呼び求めるすべての人の近くにおられます。

2: 使徒 17:27 - 彼らは神に向かって手探りして見つけられることを望み、神を求めるべきです。

ヨハネ 4:31 その間、弟子たちがイエスに祈って言った、「先生、食べてください。」

イエスは弟子たちに食べるように勧められました。

1: 私たちは常に周囲の人々からの励ましを受け入れ、それに感謝する必要があります。

2: 私たちは自分自身の必要を脇に置いて、他人の必要に配慮する姿勢を持つべきです。

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはいけません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、あなた方一人一人が他人の利益に目を向けてください。」

2: ガラテヤ 6 章 2 節「互いに重荷を担いなさい。そうすればキリストの律法を全うすることになるのです。」

ヨハネ 4:32 しかしイエスは彼らに言った、「あなたがたが知らない肉があるので、食べてください。」

イエスは弟子たちに、自分には知られていない霊的な栄養源があることを明らかにしました。

1. 命のパン：霊的栄養の隠された源を発見する。

2. イエス：計り知れない豊かさの源。

1. イザヤ書 55:1-2 - 「渇いている人はみな、水に来なさい。お金のないあなたは、来て、買って、食べてください！さあ、お金もコストもかからずにワインと牛乳を買ってください。なぜパンではないものにお金を費やし、満足しないものに労力を費やすのですか？」

2. フィリピ 4:19 - 「私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。」

ヨハネ 4:33 そこで、弟子たちは互いに言った、「食べるべきものを持ってきた者がいるだろうか」。

イエスはサマリア人の女性に生きた水を与えることができると宣言したとき、ご自身の神性を表明されました。

1: イエスは私たちの魂にとって真の永続的な栄養の源です。

2: イエスの力は、私たちが直面する地上のどんな必要よりも大きいです。

1: イザヤ書 55:1 「ああ、渇いている人はみな、お金のない人は水のところに来なさい。来て、買って食べなさい。そうです、来て、お金も代価もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。」

2: ヨハネ 6:35 「イエスは彼らに言われた、『わたしはいのちのパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渇くことはない。』」

ヨハネ 4:34 イエスは彼らに言われた、「わたしの肉は、わたしを遣わした方のご意志を行い、その御業を成し遂げることです。」

イエスの動機は神のご意志を行い、神の働きを完了することです。

1. 神の御心を行うことの大切さ。

2. 神の働きを完了することの重要性。

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

2. コロサイ 3:23 - そして、あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように心から行いなさい。

ヨハネ 4:35 「まだ四か月もあるのに、収穫が来るのか」と言うな。見よ、私はあなたに言います、目を上げて野原を見てください。すでに収穫できる真っ白だからだ。

収穫の準備は整いました。上を向いて行動を起こすことが求められています。

1: 上を向いてください - 主のために収穫を刈り取る機会を捉えてください。

2: 遅らせないでください - 収穫は今です。それを見逃してはなりません。

1: 伝道者の書 9:10 - 自分の手にやりたいことは何でも、全力を尽くしてやりなさい。

2: マタイ 9:37-38 - それからイエスは弟子たちに言われた、「収穫は多いが、働き手が少ない。したがって、収穫の主に働き人を派遣してくださるように祈りなさい。」

ヨハネ 4:36 そして、刈り取る者は報酬を受け取り、永遠の命に至る実を集めます。それは、種を蒔く者も刈り取る者も共に喜ぶためです。

この聖句は、永遠の命を求めて蒔かれたものを刈り取る喜びを強調しています。

1. 永遠の命を求めて種をまき、刈り取る喜び

2. 信仰と従順の報いを得る

1. ガラテヤ 6:7-9 – 「騙されてはなりません。神は嘲られることはありません。人がまくものは、それを刈り取るからです。自分の肉に種を蒔く人は肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るからです。そして善を行うことに飽きないようにしましょう。なぜなら、私たちが諦めなければやがて刈り取ることができるからです。」

2. マタイ 6:19-21 – 「虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗むような地上に自分のために宝を積んではなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさない天に宝を蓄えなさい。泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。」

ヨハネ 4:37 そして、「一人は種をまき、また一人は刈り取る」という言葉は真実です。

一人が種を蒔き、他の者が刈り取るという格言は真実です。

1. 種まきと刈り取りの力: ヨハネ 4:37 からの教訓

2. 他者への投資: 祝福を得る方法

1. ガラテヤ 6:7-9 - だまされてはなりません。神は嘲られることはありません。人がまくものは、それを刈り取るからです。

2. コリント人への第二の手紙 9:6-10 - 控えめに種を蒔く人は、刈り取りも少なくなり、豊かに種を蒔く人は、豊かに刈り取ります。

ヨハネ 4:38 わたしがあなたがたを遣わしたのは、あなたがたが労を与えなかったその刈り取りをするためである。ほかの人たちが労苦し、あなたがたは彼らの労苦に加わっているのである。

この聖句は、私たちが受ける祝福の多くは他人の努力によって得られるものであり、私たちは自分自身の労働を生産的かつ寛大にすることで感謝の気持ちを示さなければならないことを思い出させてくれます。

1. 神は私たちに他人の労働の価値を認識するよう呼びかけています

2. 他人の働きから得られる祝福に感謝する

1. エペソ人への手紙 4:28 - 盗んだ者は、もう盗んではなりません。むしろ、必要とする者に与えるために、善いことを自分の手で働きながら働きなさい。

2. 箴言 6:6-11 - 怠け者よ、アリのところに行け。彼女のやり方を考慮し、賢明になってください。ガイドも監督も支配者もいない彼女は、夏には肉を与え、収穫には食べ物を集めます。

ヨハネ 4:39 そして、その都市の多くのサマリア人は、「イエスは私がこれまでしたことをすべて私に話してくれた」と証言した女の言葉を信じてイエスを信じた。

ある女性がイエスから語られたすべてのことを証言した後、市内の多くのサマリア人がイエスを信じました。

1. 証言の力: 私たちのストーリーが他の人を信じるのにどのように役立つか

2. イエスを信じる: イエスの愛を体験し、分かち合うことの重要性

1. ローマ人への手紙 10:14-17 - 「…そして、聞いたことのない方をどうして信じることができますか。また、誰かが説教することなく、どうして聞くことができますか？」

2. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。」

ヨハネ 4:40 それで、サマリア人たちがイエスのところに来たとき、一緒に留まってほしいと懇願したので、イエスはそこに二日間滞在した。

サマリア人たちはイエスに自分たちと一緒にいてほしいと願い、イエスは二日間滞在されました。

1. イエスは、助けを求めた人々とともに留まり続けようとされました。

2. 他の文化や信念に対してオープンであることの重要性。

1. マタイ 11:28-29 「すべて、重荷を負って働いている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。私のくびきを負って、私のことを学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった人間だから、あなたがたは魂に安らぎを得るでしょう。」

2. ローマ人への手紙 12:15 「喜ぶ者たちとともに喜び、泣く者たちとともに泣きなさい。」

ヨハネ 4:41 そして、さらに多くの人が彼自身の言葉のゆえに信じた。

サマリアの人々はイエスの言葉を信じました。

1. イエスの言葉の力: イエスの信頼性を探る

2. 信じて受け入れる：イエスの約束を受け入れる

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

ヨハネ 4:42 そして女に言った、「今、私たちは信じています。あなたの言葉のせいではありません。私たちは自分で彼の言葉を聞いており、この方が確かにキリスト、世の救い主であることを知っているからです。」

シカルの人々は、イエスの言葉を自分で聞いて、イエスをキリストであり、世界の救い主であると信じました。

1. 個人の証言の力: 私たちの経験がどのようにして他人を信じさせるのか

2. 主を信じなさい: 信仰はどのように山を動かすことができるか

1. ローマ 10:14-17 - 信仰はメッセージを聞くことからどのように生まれ、またそのメッセージがどのように宣べ伝えられるか

2. 使徒 2:22-24 - イエスについてのペテロの証言とエルサレムの人々がそれにどう反応したか

ヨハネ 4:43 二日後、彼はそこを出発してガリラヤへ行った。

この箇所には、イエスが二日後にその地域を去り、ガリラヤへ行かれたと記されています。

1. イエスの旅: 献身と忍耐の教訓。

2. イエスの宣教の例: 宣教に焦点を当てる。

1. マルコ 12:30 - 「あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛さなければなりません。」

2. マタイ 11:28-29 - 「すべて疲れた者、重荷を負っている者は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。私のくびきを負って、私から学んでください。私は心優しく謙虚だから、そうすればあなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。」

ヨハネ 4:44 というのは、預言者は自分の国では何の名誉もない、とイエスご自身が証言されたからです。

この箇所は、預言者であるにもかかわらず、イエスが祖国で認められていないことを浮き彫りにしています。

1: 私たちは自分の信仰に満足してはなりません。たとえ自分が同意しないとしても、他の人の良い点を認めるべきです。

2: 私たちは、彼らがどこから来たのかに関係なく、自分自身の先入観を超えて、他人の良いところを見る意欲を持つべきです。

1: マタイ 7:12 「だから、他人にしてほしいと願うことは、すべて他人にしなさい。これが律法と預言者だからです。」

2: ローマ人への手紙 12:17-18 - 「だれにも悪に悪を返してはなりません。しかし、すべての人の目に名誉あることをするように考えてください。できれば、あなた次第である限り、すべての人と平和に暮らしてください。」

ヨハネ 4:45 それから、イエスがガリラヤに来ると、ガリラヤ人たちはイエスを迎え、祭りのときにエルサレムでイエスが行ったことをすべて見ていた。彼らも祭りに行っていたからである。

ガリラヤへのヨハネの到着は、エルサレムの祝宴で彼の働きを聞いていたガリラヤ人たちに歓迎されました。

1. 神の力はどこにでも届きます - ヨハネ 4:45

2. 見知らぬ人をようこそ - ヨハネ 4:45

1. ローマ人への手紙 15:8-13 - 私に与えられた恵みを通して、あなたがたのうちにいるすべての人に言いますが、自分自身を必要以上に高く評価しないでください。しかし、神がすべての人に信仰の尺度を与えられたのと同じように、冷静に考えてください。

2. マタイ 25:35 - 私が飢えていたのに、あなたがたは私に肉を与えてくれました。

ヨハネ 4:46 そこで、イエスは再びガリラヤのカナに来られ、そこで水ぶどう酒を造られた。そして、ある貴族がいましたが、その息子はカファルナウムで病気でした。

イエスはガリラヤのカナに戻り、そこで水をぶどう酒に変えました。カペナウムの貴族がイエスに、病気の息子を癒してほしいと頼みました。

1. イエスの果てしない力: イエスはどのようにして貴族の息子を癒したか

2. イエスのガリラヤへの帰還: 奇跡的な癒し

1. マルコ 5:21-43 - イエスは 12 年間出血していた女性を癒す

2. ヨハネ 11:1-44 - イエスはラザロを死からよみがえらせる

ヨハネ 4:47 イエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞くと、イエスのところに行って、下って来て息子を治してくださるよう懇願した。イエスは瀕死の状態だったからである。

イエスは瀕死の人の息子を癒します。

1. イエスは命と癒しの源です。

2.神の力はすべての痛みと苦しみを克服します。

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち傷を負いました。私たちの平和のための懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2. マタイ 9:22 - 「しかし、イエスは彼を振り向かせ、彼女を見て言われた、『娘よ、元気になってください。あなたの信仰があなたを元気にしました。そして、その女はその時から元気になりました。』

ヨハネ 4:48 そこで、イエスは彼に言われた、「しるしや不思議な出来事を見ない限り、あなたがたは信じないであろう。」

イエスはある人に、信じるためにはしるしや不思議を目撃しなければならないと言いました。

1. 信仰の必要性: イエスと奇跡の力

2. イエスの証拠: 見ることは信じること

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が少ないからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう。」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

ヨハネ 4:49 その貴族は彼に言った、「先生、私の子供が死ぬ前に降りてきてください。」

その貴族はイエスに、死ぬ前に降りてきて息子を癒してくれるように頼みました。

1. 信仰の力: イエスを信じることでどのように奇跡が起こるのか

2. 父親の愛: 父親は子供のためにどこまで尽くすのか

1. マルコ 5:35-43 - イエスは悪霊に取り憑かれた男を癒す

2. マタイ 8:5-13 - イエスは百人隊長の僕を癒す

ヨハネ 4:50 イエスは彼に言われた、「あなたの道を行きなさい。」あなたの息子は生きています。そしてその人はイエスが語られた言葉を信じて、自分の道を進みました。

この聖句は、必死に助けを求めていた男性に癒しと信仰をもたらすイエスの言葉の力を示しています。

1.「主の御言葉の力」

2.「信仰がもたらす癒し」

1. マルコ 5:35-36 - そしてイエスは彼らに言った、「あなたたちに敵対する村に行ってください。そうすればすぐに、つながれたろばと子ろばを見つけるでしょう。それらを解き、私のところに連れてきてください。」そしてもし誰かがあなたにこうすべきだと言ったら、あなたがたはこう言うだろう、主は彼らを必要としておられる。そしてすぐに彼らを送ります。

2. ヤコブ 5:15 - 信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

ヨハネ 4:51 そして、彼が下って行ったとき、家来たちが彼に会いに来て、「あなたの息子は生きています」と告げた。

イエスの僕たちは、イエスが下る途中で会い、息子が生きていることを知らせました。

1: 奇跡を信じる - イエスが息子の回復の知らせを聞いたときにそうであったように、私たちは常に信仰を持ち、奇跡を信じるべきです。

2: 困難な時代の希望 - たとえ困難な時代であっても、イエスが息子の回復を知らされたときに抱いたように、私たちは希望を持つべきです。

1: ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。

2: ローマ人への手紙 5:5 - そして希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は私たちに与えられる聖霊によって私たちの心の中に注がれるからです。

ヨハネ 4:52 それから、彼は彼らに、いつ修正を始めたかを尋ねた。そして彼らは彼に言った、「昨日の7時間目に熱は下がりました。」

ある男性が人々のグループに、自分が治癒したのは何時かと尋ねたところ、前日の7時だったと答えた。

1. 神の癒しの力への信仰は、予期せぬ形で現れることがよくあります。

2. 神のタイミングを信じ、神の意志が成就するまで辛抱強く待つことが重要です。

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. ヤコブ 5:16 - ですから、癒されるように、互いに罪を告白し、お互いのために祈りなさい。義人の祈りは大きな力を持って働きます。

ヨハネ 4:53 それで、父親は、イエスが「あなたの息子は生きている」と言われたのと同じ時間であることを知り、父親も家全体も信じました。

ある父親は、イエスが息子が生きると言われたと同時に息子が癒されたとき、イエスを信じました。

1. 私たちが神を信じるとき、神は私たちの人生に奇跡を起こすことができます。

2. イエスには私たちを癒し、生き返らせる力があります。

1. ヨハネ 4:53 - 「それで、父親は、イエスが『あなたの息子は生きている』と言われたのと同じ時刻であることを知り、父親も家全員も信じました。」

2. マルコ 5:36 - 「恐れることはありません。ただ信じてください。」

ヨハネ 4:54 これもまた、イエスがユダヤからガリラヤに出てきたときに行った第二の奇跡です。

イエスはユダヤからガリラヤに旅行したときに二度目の奇跡を行いました。

1. 人生を変えるイエスの力: イエスの奇跡を振り返る

2. イエスとガリラヤへの旅: 信仰と従順の研究

1. ローマ 8:28: そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. マタイ 28:18-20: それから、イエスが彼らのところに来て言われた、「天と地のすべての権威がわたしに与えられました。それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに、私は時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

ヨハネ 5 章には、ベテスダの池での男性の癒し、その後の安息日の遵守に関する論争、そして父なる神との関係についてのイエスの談話が記されています。

第 1 段落: この章は、ユダヤ人の祭りの最中にエルサレムにいるイエスから始まります。彼はベセスダのプールで、38年間病人だった男性に出会った。イエスは、彼が長い間この状態にあることを知り、「良くなりたいかどうか」と尋ねました。その男性が、プールがかき回されると癒しの水に入ることができないと説明した後、イエスは男性に、マットを持ち上げて歩くように言われました。彼はすぐに癒され、指示どおりに行いました（ヨハネ5:1-9）。

第 2 段落: しかし、この奇跡は安息日に起こったため、論争を引き起こしました。ユダヤ人の指導者たちは、癒された人が敷物を運んでいたことだけでなく、イエスが安息日にそのような仕事をしていたことも批判した。彼らの批判に答えてイエスは、「わたしの父は今日に至るまで常に仕事をしていて、わたしも働いている」と言われました。この神との平等の主張に激怒したユダヤ人の指導者たちは、さらに安息日を破るだけでなく、神を自分の父と呼び、自分を神と同等にしようとさらに殺そうとした(ヨハネ5:10-18)。

第3段落: これらの告発を弁護するために、イエスは父なる神との関係について詳しく論じ、息子は自分では何もできない、父がやっているのを見て息子も同様に命を与えるのは、息子である人間が証言しているからであると説明した。4人の証人、すなわちバプテストのヨハネの作品 永遠の命を導く父ご自身の聖書 聞いた人々はまだ信じている 十分な証拠にもかかわらず、ユダヤ人の指導者たちがイエスの訪問を拒否した 人生を終わらせる談話で彼らの不信仰を厳しく叱責した（ヨハネ 5: 19-47）。

ヨハネ 5:1 この後、ユダヤ人の祭りがあった。そしてイエスはエルサレムに上って行かれた。

この箇所は、イエスがユダヤ人の祝宴に出席するためにエルサレムに行かれた例を説明しています。

1: イエスは私たちに、宗教的な祭りに参加し、他の信者たちとコミュニティを持つことの重要性を教えてくれました。

2: 神の指示に対するイエスの従順の模範から学ぶことができます。

1: ガラテヤ 5:13-14 - 「兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ、自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体はこの一言で成就するからです。」あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません。」

2: ローマ人への手紙 12:10 - 「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。名誉を示すことにおいては互いに勝ち越しなさい。」

ヨハネ 5:2 さて、エルサレムの羊市場のそばに、ヘブライ語でベテスダと呼ばれる池があり、そこには五つのポーチがあります。

この一節は、エルサレムの羊市場のそばにあるベテスダと呼ばれるプールについて説明しています。

1. 私たちが困っているとき、イエスはいつもそこにいてくださいます。

2. 神は神秘的な方法で働きます。

1. 詩篇 138:7 - たとえ私が困難の真っ只中を歩いていても、あなたは私を生き返らせてくださいます。あなたは私の敵の怒りに対してあなたの手を差し伸べてください、そしてあなたの右手は私を救ってくださいます。

2. ヤコブ 5:13-15 - あなたたちの中に苦しんでいる人はいますか。彼に祈らせてください。何か陽気ですか？彼に詩篇を歌わせてください。あなたの中に病気の人はいますか？彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。そして信仰の祈りは病人を救い主は彼をよみがえらせてくださるでしょう。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

ヨハネ 5:3 この中には、目の見えず、立ち止まり、枯れ果てた、無力な大勢の人々が横たわり、水が動くのを待っていました。

ヨハネ 5章3節のこの一節は，ベテスダのプールで水がかき混ぜられるのを待っている大勢の障害者たちの様子を描写しています。

1. 疎外された人々に対する神の憐れみ - ヨハネ 5:3 からの希望と慰めのメッセージを探ります。

2. 不可能を克服する - 逆境に直面したときの信仰の力を検証します。

1. マタイ 11:28 - すべて、働き、重荷を負っている者は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。

2. イザヤ書 35:3-6 - あなたがたは弱い手を強くし、弱い膝を支えなさい。恐れの心を持つ者たちに言いなさい、「強くあれ、恐れるな」。

ヨハネ 5:4 というのは、ある季節に天使が池に降りてきて、水をかき乱したからです。水が荒れてから最初に足を踏み入れた者は、その人が患っていたどんな病気でも治ったのです。

この一節は、天使が来て水をかき乱し、最初に足を踏み入れた者が病気を癒されるというベテスダの池での奇跡について語っています。

1. 神の奇跡を信頼する - 治癒する信仰の力

2. 見えざる手 - 私たちの生活における神の存在

1. ヤコブ 5:15 - 「信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、赦されるでしょう。」

2. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通されました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。」

ヨハネ 5:5 そして、そこに、三十八年間、病を患っている男がいた。

この一節は、38年間病気に苦しんでいた男性について語ります。

1: イエスは究極の癒し手です。神にとって難しすぎることは何もありません。

2: 神は病気や苦しみを利用してご自身の意志を実現することができます。

1: イザヤ 53:4-5 - 確かに、彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに見ました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2: マタイ 8:17 - それは、預言者エザヤが言った、「ご自身が私たちの弱さを負い、私たちの病気を負ってくださった」という言葉が成就するためです。

ヨハネ 5:6 イエスは、彼が嘘をついているのを見て、もう長いことそのような状態にあることを知って、彼に言われた、「あなたは元気になりませんか?」

イエスは、長い間病気で横たわっている人に会い、「いやされたいかどうか」と尋ねました。

1. 神の癒しの力 - イエスはどのようにして病人を奇跡的に癒したか

2. 信仰の力 - 奇跡を起こすために神を信じる方法

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ヤコブ 5:14-15 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださるでしょう。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

ヨハネ5:7 無力な男は答えた、「先生、私には、水が荒れたときに池に入れてくれる人がいません。しかし、私が来ている間に、別の踏み台が私の前に降りてきました。」

この一節は、困ったときに助けてくれる人がいないため、水たまりに入ることができない男性を描写しています。

1: イエスは、私たちが最も無力な瞬間にさえ、私たちを助けるためにそこにいることを示してくださいます。

2: 主は私たちを一人で苦闘させることはしないと知ると、私たちは安心することができます。

1: イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右手であなたを支えます。」

2: ヘブライ 13:5-6 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。ですから私たちは自信を持ってこう言うことができます。私は恐れません。人間は私に何ができるでしょうか？」

ヨハネ 5:8 イエスは彼に言われた、「起きて、床を担いで歩きなさい」。

イエスは歩くことができない人を癒し、床を担いで歩くように命じました。

1. イエスは究極の癒し手である - ヨハネ 5:8

2. 従順の力 - ヨハネ 5:8

1. マタイ 9:2-7 - イエスは中風の人を癒す

2. 使徒 3:1-8 - ペテロとヨハネは生まれつき足が不自由だった人を癒します

ヨハネ 5:9 すると、その人はすぐに元気になって、床を担いで歩き始めた。その日は安息日だった。

この箇所は、安息日におけるイエスによる男性の癒しについて詳しく述べています。

1. たとえ休みの日であっても、イエスが癒しと回復を与えてくださると信頼できます。

2. 神の愛と恵みは、安息日の律法に従う場合にも見られます。

1. イザヤ書 53:5、「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち傷を負いました。私たちの平和のための懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2. ヤコブ 5:14-15、「あなたたちの中に病気の人はいますか。教会の長老たちを呼んで、主の御名において油を注いで彼のために祈りましょう。そうすれば信仰の祈りが生まれます。」病人を救え、そうすれば主は彼をよみがえらせ、罪を犯したなら赦されるであろう。」

ヨハネ 5:10 そこでユダヤ人たちは、いやされた彼に言った、「今日は安息日です。あなたが床を担ぐのは禁じられています。」

病を癒されたある人が、安息日に床を担いでいたという理由で、ユダヤ人たちに挑戦されました。

1. イエスは宗教上の規則よりも人々のことを気にかけています。

2. イエスは私たちを肉体的、霊的な病から解放してくださいます。

1. マタイ 12:1-14 - イエスは、安息日に穀物を収穫した弟子たちを弁護しました。

2. ルカ 13:10-17 - イエスは安息日に女性を癒し、彼女の行動を擁護しました。

ヨハネ 5:11 彼は彼らに答えた、「わたしを元気にしてくださった方が、同じようにわたしに言われた、『床を担いで歩きなさい』。」

この箇所は、イエスと癒しに立ち会った人々との出会いを描いています。イエスは、その人を完全にし、床を担いで歩くように命じたのはご自分であると説明されました。

1. イエスの癒しの力：私たちの生活の中に奇跡を発見する

2. 神の慈しみ: 癒しの提供を祝う

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺し貫かれました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に与えられた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. 出エジプト記 15:26 - そして言った、「もしあなたが、あなたの神、主の声に熱心に耳を傾け、主の目に正しいことを行い、主の戒めに耳を傾け、主のすべての掟を守るならば、わたしはこう言います」あなたは、わたしがエジプト人にもたらしたような病気をあなたに負わせることはありません。わたしはあなたを癒す主だからです。

ヨハネ 5:12 そこで彼らは尋ねた、「『床を担いで歩きなさい』と言ったのは誰ですか」。

この一節は、中風になった男性をイエスが奇跡的に癒したことについて述べています。

1: イエスは私たちの人生における癒しと希望の源です。

2: イエスの言葉の力は、私たちに命と癒しをもたらします。

1: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために傷つけられ、私たちの咎のために打たれた。私たちの平和のための懲罰が彼にあり、彼の打ち傷によって私たちは癒された。」

2: イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強める、そう、あなたを助ける。わたしの義の右の手であなたを支える。」

ヨハネ 5:13 そして、いやされた人が誰だったのかはわかりません。イエスはご自身を運び去られ、そこには大勢の人がいたからです。

イエスがその場を立ち去ったので、癒された人は誰が自分を癒してくれたのか知りませんでした。混雑していました。

1: 神は神秘的な方法で働き、私たちは神の存在を常に認識できるわけではありませんが、神は常にそこにおられます。

2: 神の力と愛は私たちの理解を超えており、神は私たちの理解を超えた方法で働きます。

1: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道はわたしの道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの道はあなたの道よりも高いからである」自分の考えよりも考え。」

2: 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導かれるであろう。」

ヨハネ 5:14 その後、イエスは神殿で彼を見つけて、彼に言われた、「見よ、あなたは完全になった。もっと悪いことがあなたに起こらないように、もう罪を犯さないでください。」

イエスはその男を癒し、二度と罪を犯さないように、さもないともっと悪いことが起こるかもしれないと警告されました。

1. イエスの力: 悔い改めを思い出させる

2. イエスの安心感: イエスこそが命の源である

1. ローマ 6:12-14 - 「ですから、罪があなたの死ぬべき肉体を支配して、その邪悪な欲望に従わないようにしてください。自分の一部を悪の道具として罪に差し出すのではなく、むしろ、自分自身を神に差し出してください。」

2. エゼキエル 18:20-22 - 「罪を犯した魂は死ぬ。子は父の咎を負わず、父も子の咎を負わない。義人の義はその者にある」「そして、悪人の邪悪が彼に降りかかるでしょう。しかし、悪人が自分が犯したすべての罪から立ち直り、私のすべての掟を守り、合法的で正しいことを行うならば、彼は確実に生きるでしょう、彼は決して生きません。」死ぬ。」

ヨハネ 5:15 その人は立ち去り、ユダヤ人たちに、自分を元気にしてくださったのはイエスだと言いました。

ある人がイエスによって癒され、そのことをユダヤ人たちに話しました。

1. イエスは究極の癒し手であり、希望と健全さをもたらします。

2. 私たちはイエスを信じ、イエスの働きを証しする必要があります。

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通されました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。」

2. マタイ 9:2 - 「見よ、ある人々が、ベッドに横たわっている中風の人を彼のところに連れて来ました。そして、イエスは彼らの信仰を見て、中風の人にこう言われました。あなたの罪は赦されます。」

ヨハネ 5:16 そこで、ユダヤ人たちはイエスを迫害し、イエスを殺そうとした。イエスが安息日にそのようなことをしたからである。

ユダヤ人たちはイエスが安息日に奇跡を行ったという理由でイエスを迫害し、殺そうとしました。

1. 無条件の愛の力: 迫害にもかかわらず愛するイエスの能力から学ぶ

2. 信仰の強さ: イエスの使命における信仰の力を理解する

1. ローマ人への手紙 12:14-21 - あなたを迫害する人々を祝福してください。祝福し、呪わないでください。

2. マタイ 5:38-42 - 「目には目を、歯には歯を」と言われたのを聞いたことがあるでしょう。しかし、私はあなたに言います、悪を行う者に抵抗してはなりません。ただし、誰かがあなたの右頬を殴った場合は、もう一方の頬も向けてください。

ヨハネ 5:17 しかし、イエスは彼らに答えられた、「わたしの父はこれまで働いており、わたしも働いている。」

イエスは神が常に働いておられること、そしてご自身も働いておられることを人々に思い出させています。

1. 神の終わりのない働き - 私たちの生活の中で進行中の神の働きと、それにどのように参加できるかを探ります。

2. イエスは模範です - 神の働きに対するイエスの献身がどのように私たちに神に仕えるよう促すかを考えてみましょう。

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. コロサイ 3:23 - そして、あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように心から行いなさい。

ヨハネ 5:18 そこで、ユダヤ人たちはますます彼を殺そうとした。なぜなら、彼は安息日を破っただけでなく、神が自分の父であり、自分を神と同等だと主張したからである。

この箇所は、イエスが神を自分の父であると主張したことがユダヤ人を怒らせ、安息日を破り、ご自身を神と同等にしたとしてユダヤ人がイエスを殺そうとしたことを明らかにしています。

1. イエスの言葉の力: 神が父であるというイエスの主張が歴史の流れをどのように変えたか

2. 信仰の代償: 自らの立場に立ったイエスの犠牲

1. ヨハネ 8:58-59 - イエスは言われました。「真実に、真実に言いますが、アブラハムが生まれる前から、私はいるのです。」

2. マタイ 10:32-33 - イエスは言われました、「人々の前で私を認める者は、私も天の父の前でもその人を認めます。しかし、人々の前で私を否認する者は、天の父の前でその人を否認します。」

ヨハネ 5:19 そこでイエスは答えて言われた、「本当に、本当に、あなたがたに言いますが、子は自分では何もすることができません。ただ、父がなさるのを見ていること以外にありません。子が行うことはすべて、子も同じように行うのです」。

イエスは人々に、自分は父が行うのを見たことだけを行うことができ、父が行うのと同じことを行うと語ります。

1. 父親の模範に従うことを学ぶ

2. 父がなさることを行うことによって神の御心を行う

1. マタイ 11:29 - わたしのくびきを負い、わたしから学びなさい。わたしは心優しく謙虚だから、そうすればあなたは自分の魂に安らぎを得るでしょう。

2. 詩篇 40:8 - 私の神よ、私はあなたのご意志を喜んで行います。あなたの法則は私の心の中にあります。

ヨハネ 5:20 というのは、父は御子を愛しておられ、ご自身の行うことをすべて御子に見せてくださるからです。そして、あなたがたが驚嘆するために、御父はこれらよりも偉大な御業を御子に見せてくださるでしょう。

父は子を愛し、人類が驚嘆できるように御業を御子に明らかにします。

1: 父親の息子に対する愛とその愛の表現方法

2: 神の働きの驚異: 神の創造に驚嘆する

1: 申命記 4:32-40 - 神が地上に人間を創造された日以来、あなたがた以前の過去の日々について今尋ねてください。また、天の一方からもう一方に至るまで、そのようなことがあったかどうかを尋ねてください。これほど素晴らしいことがあっただろうか、あるいはそのように聞いたことがあるだろうか？

2: 詩篇 19:1-3 - 天は神の栄光を宣言します。そして大空には彼の手仕事が展示されています。日中はスピーチをし、毎晩知識を披露します。彼らの声が届かないところには、言葉も言語もありません。

ヨハネ 5:21 というのは、父が死人をよみがえらせ、彼らを生き返らせられるように、それでも御子は御望みの者を生かします。

父と子はどちらも、自分が選んだ人に命をもたらす力を持っています。

1: 加速する力

2: 豊かな人生

1: エゼキエル書 37:1-14 - 乾いた骨の谷

2: ローマ人への手紙 8:11 - キリスト・イエスにおける命の霊

ヨハネ 5:22 というのは、父は人を裁かず、すべての裁きを御子に委ねられたからです。

父は子にすべての裁きを与えました。

1. 御子の力: イエスの権威がどのように私たちに希望を与えるか

2. 神の主権: 神はどのようにしてすべての裁きを支配するのか

1. ヨハネ 5:22 - 父は人を裁かず、すべての裁きを子に委ねたからです。

2. ピリピ人への手紙 2:9-11 - したがって、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けたので、天においても地においても地の下においても、

イエスの名のもとにすべての膝がかがむようになりました。父なる神の栄光のために、あらゆる舌がイエス・キリストが主であると告白します。

ヨハネ 5:23 それは、すべての人が父を敬うのと同じように、子を敬うためです。子を敬わない者は、自分を遣わした父をも敬わない。

人々は父を敬うのと同じように、子を敬うべきであり、子を敬わないなら、子を遣わした父を敬わないことになります。

1. 父と子を敬うことの重要性

2. 父と子の切っても切れない絆

1. フィリピ 2:9-11 - したがって、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けたので、天においても地においても、地の下においても、イエスの名のもとにすべての膝がかがむようになりました。父なる神の栄光のために、あらゆる舌がイエス・キリストが主であると告白します。

2. コロサイ 1:15-17 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。なぜなら、天も地も、目に見えるものも見えないものも、王座や統治領、支配者や権威など、すべてのものは神によって創造されたからであり、すべてのものは神を通して、神のために創造されたからです。そして彼はすべてのものの前にあり、彼の中ですべてのものはまとまっています。

ヨハネ 5:24 まことに、まことに、あなたがたに言います、わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持っており、罪に定められることはありません。しかし死から生へと移されます。

信者は死から命に移り、永遠の命を持っています。

1: 私たちが何をしても、神の愛と恵みは私たちを救い、永遠の命を与えてくれます。

2: 私たちはイエスへの信仰を通して永遠の命という驚くべき賜物を持っています。

1: ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ヨハネ 5:25 まことに、まことに、あなたがたに言います。死者が神の子の声を聞く時が来ています。そして今です。そして、聞く者は生きるのです。

死者が神の子の声を聞いて生き返る時が近づいています。

1. 死者に命を吹き込む神の力

2. 復活と永遠の命の希望

1. エゼキエル書 37:1-14 (乾いた骨の幻視)

2. ヨハネ 11:25-26 (イエスの復活の宣言)

ヨハネ 5:26 というのは、父がご自身のうちにいのちを持っておられるのと同じです。同じように、神は御子に命を与えて自分自身のうちに命を与えたのです。

父は子に命を与えたので、彼自身にも命が宿っています。

1. 命の力: 神はどのようにして私たちに命を与えたのか

2. 命の贈り物：神の祝福を受ける

1. ローマ 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

ヨハネ 5:27 また、彼は人の子であるため、裁きを執行する権威も与えられました。

イエスは人の子であるため、神から裁きを執行する権威を与えられています。

1. イエス：すべての裁判官

2. 人の子の権威

1. マタイ 28:18 ーすると、イエスが来て彼らに言った、「天においても地においても、すべての力がわたしに与えられている。」

2. ヘブライ 10:30 - 私たちは、「復讐はわたしにある、わたしが報復する、と主は言われる」と言われた方を知っています。そして再び、主はご自分の民を裁かれるでしょう。

ヨハネ 5:28 これには驚かないでください。墓の中にいるすべての人が彼の声を聞く時が近づいているからです。

墓の中にいるすべての人が復活し、主の声を聞く時が近づいています。

1: 復活には希望がある - ヨハネ 5:28

2: 主の声は力強い - ヨハネ 5:28

1: 1 テサロニケ 4:16 - 主ご自身が、叫び声、大天使の声、そして神のラッパの音とともに天から降って来るからです。

2: イザヤ書 25:8 - 彼は永遠に死を飲み込み、主なる神はすべての顔から涙をぬぐい去ってくださいます。

ヨハネ 5:29 そして出てくるであろう。いのちの復活に至るまで善を行った者たち。そして悪を行った者たちは、天罰の復活に至る。

この箇所は、命の復活と天罰について、そして復活前の私たちの行動がどのような復活を経験するかにどのような影響を与えるかについて語っています。

1. 私たちの行動の結果: 私たちの選択が私たちの運命をどのように形作るか

2. 義の祝福: 命の復活を経験する

1. 箴言 11:19 - 義が命をもたらすように、悪を追い求める者は自らの死に至るまでそれを追い求める。

2. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟姉妹の皆さん、信仰があると主張しても行いがなかったとしたら、それが何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか？兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物も持たないと仮定してください。あなたがたのうちの誰かが彼らにこう言ったら、「安心して行きなさい暖かくして、十分な食事を与えてください」と言いましたが、彼らの身体的ニーズについては何もしませんでした、それが何の役に立つでしょうか？同様に、信仰は、行動が伴わなければ、それ自体では死んでいます。

ヨハネ 5:30 私は自分では何もできません。聞いたとおりに判断します。私の判断は正しいです。なぜなら、私は自分自身の意志ではなく、私を遣わしてくださった父の意志を求めているからです。

この聖句は、私たちが自分の意志ではなく神の意志を求めるべきであることを思い出させます。

1: 私たちは自分の意志ではなく神の意志を行うように努めなければなりません。

2: イエスの模範に倣い、自分の意志ではなく神の意志を求めるよう努めましょう。

1: ヤコブ 4:13-15 - さあ、「今日か明日、あんな町に行って一年過ごし、貿易をして儲けよう」と言う人たちよ、それでも明日はどうなるか分からないので

す。持ってくる。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。代わりに、「主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやをするつもりです。」と言うべきです。

2: ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるかを、試しながら識別できるようにするためです。

ヨハネ 5:31 もし私が自分自身について証言するとしたら、私の証言は真実ではありません。

ヨハネ 5 章 31 節のこの聖句は、私たちが自分自身について証しするなら、その証しは真実ではないことを思い出させます。

1.「傲慢の危険性：自分自身に信仰を置く」

2.「謙虚さを通して真の成功を達成する」

1. コリント人への第二の手紙 10:12 - 「私たちは、自分を褒めている人たちとあえて自分を分類したり比較したりするつもりはありません。しかし、彼らがお互いに自分を測り、互いに比較するとき、彼らには理解がありません。」

2. 箴言 16:18 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

ヨハネ 5:32 私のことを証しするもう一人の人がいます。そして私は彼が私について証言した証言が真実であることを知っています。

イエスは別の証人を引用して自分の言葉が真実であることを証言しました。

1: 神の言葉は真実であり、信頼できます。

2: 複数の情報源からの証言は真実のしるしです。

1: 申命記 17:6 - 2 人または 3 人の証人の証言に基づいて、死ぬべき人は死刑に処されます。一人の証人の証言だけで人を死刑にしてはいけない。

2: 1 テモテ 2:5 - なぜなら、神は一人であり、神と人類との間の仲介者は一人、つまり人であるキリスト・イエスだからです。

ヨハネ 5:33 あなたがたはヨハネを遣わしたところ、ヨハネは真理について証言しました。

ジョンは真実の証人です。

1: 私たちは真理の証人をヨハネに求め、彼の模範に従うことができます。

2: 私たちは真理を探求し、ヨハネの教えを指針として活用すべきです。

1: 箴言 12:17 - 真実を語る者は正義を語るが、偽りの証人は欺瞞を示す。

2: ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、正直なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、良い報告があること。もし何か美徳があるなら、そして何か賞賛があるなら、これらのことについて考えてください。

ヨハネ 5:34 しかし、私は人から証言を受けません。しかし、私がこれらのことを言うのは、あなたがたが救われるためです。

イエスは人間の証言を受け入れず、むしろ人々が救われるように語るのです。

1. イエスの言葉: 救いへの道

2. 人間の証言の拒否: イエスの教えを受け入れる

1. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるためにご自分の御子を世に遣わされたのではありません。」世界が、しかし彼を通して世界が救われるためです。」

2. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「もし、あなたの口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心で義を信じているからです」そして口による告白は救いに至るのです。」

ヨハネ 5:35 彼は燃え、輝く光でした。そして、あなたがたは、彼の光の中で一時期喜ぶことを喜んでいたのです。

ヨハネ 5:35 はイエスについて、追随者たちが一時喜んで喜んでいた光としてイエスについて語っています。

1. 暗闇に輝く光：イエスの愛の力

2. 光の中で喜ぶ：私たちの人生におけるイエスの臨在を祝う

1. ヨハネ 8:12 - 「そこで、イエスは再び彼らに言われた、『わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つであろう。』」

2. マタイ 5:14-16 - 「あなたがたは世の光です。丘の上にある町を隠すことはできません。また、人はろうそくに火をつけてブッシェルの下に置くのではなく、ろうそく立ての上に置きます。「それは、家にいるすべての人に光を与えます。あなたの光を人々の前で輝かせて、人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父を讃えましょう。」

ヨハネ 5:36 しかし、私にはヨハネよりも大きな証しがあります。父が私に完成させるために与えてくださった業、私が行っている同じ業が、父が私を遣わされたことを証しするからです。

ヨハネ 5:36 は、父がイエスに与えられた業を通して、イエスの神聖な使命を証明しています。

1. イエスは、この地上で神の業を行うために父によって遣わされました。

2. 私たち自身の作品は、イエスの神聖な使命の証しとなることができます。

1. ローマ人への手紙 8:14-17 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. エペソ 2:10 - なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られたからであり、神は私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。

ヨハネ 5:37 そして、私を遣わした父ご自身が私のことを証ししてくださいました。あなたがたは一度も彼の声を聞いたこともなければ、彼の姿を見たこともありません。

イエスは、ユダヤ人も他の誰も神の声や姿を見たり聞いたりしたことがないと述べています。

1. 見えない神を理解する - 神の見えない謎を探る

2. 神の声を聞く - 私たちの人生における神の導きを聞く方法

1. ヘブライ 11:27 - 信仰によって、モーセは王の怒りを恐れずにエジプトを去りました。なぜなら、彼は目に見えない神を見ているかのように耐えたからである。

2. イザヤ書 40:12 - 手のくぼみで水を測り、その幅で天を測り、地の塵を量りで把握し、山を秤で量り、丘を量りで量った人は、バランス？

ヨハネ 5:38 そして、あなたがたのうちには神の言葉が宿っていません。神が遣わされたのは、あなたがたのために信じていない人です。

人々はイエスのメッセージを受け入れていないにもかかわらず、イエスを信じることを拒否します。

1. イエスの言葉の力: 信じられないことを信じる方法

2. 不信仰の克服: なぜイエスを信じなければならないのか

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。

ヨハネ 5:39 聖文を調べてください。なぜなら、あなたがたはそれらの中に永遠の命があると思っているからです。そしてそれらは私について証しするものなのです。

この聖句は、聖書にはイエスについて証しし、永遠の命が含まれているので、聖書を読むよう勧めています。

1. 神の言葉にとどまる - 信仰にとって聖書の検索が不可欠な理由

2. イエスの証し - 聖書はイエスをどのように示しているか

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. ヨハネ 6:63 - 「活性化させるのは霊です。肉は何の益もありません。わたしがあなたがたに話す言葉、それは霊であり、命です。」

ヨハネ 5:40 また、あなたがたは、命を得るために、わたしのところに来ないでしょう。

イエスは人々に、命をかけてイエスのもとに来るよう呼びかけています。

1: 生涯イエスのもとに来なさい

2: イエスを通して命を受け取る

1: ヨハネ 10:10 - 盗人は盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためだけにやって来ます。私が来たのは、彼らが命を得て、それを最大限に享受できるようにするためです。

2: マタイ 11:28 - すべて疲れた者、重荷を負っている者は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。

ヨハネ 5:41 私は人々から名誉を受けていません。

この箇所では、イエスは人々から名誉や評価を受けていないことが述べられています。

1. 私たちは人々からではなく、神だけに認められ、名誉を求めるべきです。

2. 私たちは、人々から認められることを求めず、代わりに神に認められることを求めるイエスの例に倣う必要があります。

1. マタイ 6:1-4 - 他人に認められるために自分の義を人前で実践するのではなく、神の承認を求めてください。

2. ローマ 2:29 - というのは、人は外見的にはユダヤ人ではないし、外見的、肉体的に割礼を受けているわけでもないからです。

ヨハネ 5:42 しかし、私はあなたがたの中に神の愛がないことを知っています。

ヨハネ 5 章の一節には、イエスは自分が話している人々の中に神の愛が存在しないことを知っていると述べられています。

1: 神の愛がなければ、私たちは無に等しい。

2: 神を本当に知るためには、神を愛さなければなりません。

1: 1 ヨハネ 4:19 - 私たちが神を愛しているのは、神が最初に私たちを愛してくださったからです。

2: エペソ人への手紙 5:2 - そして、キリストも私たちを愛してくださったように、愛のうちに歩みましょう。

ヨハネ 5:43 わたしは父の名によって来たのに、あなたがたはわたしを受け入れません。もし他の人が自分の名によって来るなら、あなたがたはその人を受け入れるでしょう。

ヨハネは、偽りの教えや神から遣わされていない人々の教えを盲目的に受け入れないよう警告しています。

1. 私たちはすべての教えを神の言葉の真実に照らしてテストしなければなりません。

2. 神から遣わされた人々からの教えだけを受け入れてください。

1. 使徒 17:11 - 彼らはテサロニケの人々よりも高貴で、すべての準備を整えて御言葉を受け入れ、それらのことが本当にそうなのかどうかを毎日聖書を調べました。

2. ヨハネ第一 4:1 - 愛する人たち、すべての霊を信じるわけではありませんが、それらの霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。なぜなら、多くの偽預言者が世に出ているからです。

ヨハネ 5:44 神からのみ与えられる栄誉を求めずに、互いに栄誉を受けているのに、どうしてあなたがたは信じることができますか。

人々はお互いに栄光を求めるのではなく、神だけに栄光を求めるように警告されています。

1. 主からの名誉を求める - ヨハネ 5:44

2. 真の名誉の探求 - ヨハネ 5:44

1. ローマ 12:10 - 互いに敬意を表し、兄弟愛をもって互いに親切に愛情を注ぎ合いましょう。

2. 箴言 3:34 - 彼は高慢な嘲笑者を嘲笑しますが、謙虚な者には恵みを与えます。

ヨハネ 5:45 わたしがあなたたちを父に告発するとは思わないでください。あなたたちを告発する人がいます。モーセですら、あなたたちが信頼している人です。

イエスはユダヤ人たちに、彼らはモーセを信頼しているので、モーセが彼らを告発するのと同じように、自分が父に告発すると考えるべきではないと警告しました。

1. モーセとイエスの権威を認める

2. モーセとイエスを通して神の言葉を信頼する

1. ローマ 10:5-6 - 「モーセは、律法に基づく義について、戒めを守る者はそれに従って生きると書いています。しかし、信仰に基づく義は、「心の中で言ってはいけない」と言っています。、「誰が天に昇りますか？」（つまり、キリストを降ろすこと）」

2. ガラテヤ 3:24-25 - 「それで、私たちが信仰によって義とされるために、キリストが来られるまでは、律法が私たちの守護者でした。しかし、信仰が来た今、私たちはもはや守護者の下にありません。」

ヨハネ 5:46 もしあなたがたがモーセを信じていたら、わたしを信じたであろう。モーセはわたしのことを書いたからである。

この箇所は、モーセがイエスについて書いたように、モーセの教えを受け入れる人はイエスの教えも受け入れることができることを示唆しています。

1. モーセとイエスの関係を理解することの重要性

2. モーセの著作の中でイエスを認識する

1. 出エジプト記 3:13-15 - モーセが神に自分の正体を尋ねたとき、神は「私は私です」と答えられました。

2. マタイ 11:25-27 - イエスは、モーセの教えを受け入れ、彼の言葉に真理を求める人々を称賛します。

ヨハネ 5:47 しかし、もしあなたがたが彼の書いたものを信じないなら、どうして私の言葉を信じることができますか。

イエスは人々に、神の言葉を信じる証拠として神の著作を考慮するよう求めています。

1. 神の言葉を信頼する: イエスの証言を信じる

2. 聖書: 信仰の基礎

1. テモテ第二 3:16 - 聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に役立ちます。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

ヨハネ6章には、5,000人に食事を与えること、イエスが水の上を歩くこと、命のパンであることについてのイエスの説教、そして何人かの弟子たちが立ち去る決断をしたことが詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、病気の人たちに対するイエスの奇跡のしるしを見た大群衆がイエスに従うところから始まります。イエスは少年が提供した小さな大麦のパン 5個と小魚2匹を使って、5,000人に食事を与えるという別の奇跡を行いました。全員が十分に食べた後、残り物が入ったバスケット 12 個が集まりました。このしるしを見て、人々は彼がまさに世に来た預言者であると言い始めました(ヨハネ6:1-14)。

第 2 段落: この奇跡の後、イエスは再び一人で山に退かれました。夕方になると、弟子たちは湖を下り、そこでカペナウム湖を渡るボートに乗り込みました。あたりは暗く、イエスはまだ彼らに加わっていませんでした。強い風が吹いていました。彼らが 34マイルほど漕いでいるとき、水は荒れてきました。歩いている湖がボー トに近づいているのが見えました。怖がっていましたが、イエスは怖がっていました。「恐れることはありません」と言って、喜んで彼を船に迎え入れ、すぐに岸に到着し、自然に対する神の力を実証しようとしていました（ヨハネ6:15-21）。

第三段落: 翌日、群衆は、そこにはイエスも弟子たちも乗っていない舟が一隻しかないことに気づき、イエスが対岸の湖に行かれたことを知り、ティベリアからの舟がパンに感謝を捧げた場所の近くに上陸したとき、カペナウムは尋ねた。到着するとイエスは、イエスを求める彼らの動機を叱責したのは、しるしではなく腹を満たすためである、食べ物を求めなさい、息子があなたに与えるであろう永遠の命に耐えなさい、と勧められた、ご自身を紹介したパンの命の言説、肉を食べる、血を飲むというユダヤ人の信徒の間で論争を引き起こし、最終的には多くの弟子たちがイエスから離れる原因となった、まだペテロ残りの十二人に代わって告白した「主よ、私たち

は誰に行きましょうか？」あなたは永遠の命を信じて、あなたが聖なる唯一の神であることを知っているという言葉を持っています。重要な霊的真理の養いは、理解しがたい教えにもかかわらず、キリストのみを信仰することによってもたらされることを強調する(ヨハネ6:22-71)。

ヨハネ 6:1 これらの事の後、イエスはガリラヤの海、すなわちティベリアの海を渡られた。

イエスはガリラヤ湖を渡られました。

1: イエスのガリラヤ湖横断の旅は、困難な時代における忍耐と信仰の大切さを教えています。

2: ガリラヤ湖を渡るイエスの旅は、水が荒れても前進できることを私たちに思い出させます。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: 詩篇 107:23 - 船で海に下り、大海原で商売をする者たち。

ヨハネ 6:2 すると、大群衆がイエスを追った。イエスが病気の人たちに行った奇跡を見たからだ。

イエスが病気の人たちに行った奇跡を見て、大勢の人々がイエスに従いました。

1. イエスの癒しの奇跡: イエスに従うようにという呼びかけ

2. 信仰の力: イエスを通して奇跡を見る

1. マルコ 10:52-53 「すると、イエスは彼に言われた、『行きなさい。行きなさい。行きなさい。道を行きなさい。』」あなたの信仰があなたを元気にしました。」すると彼はすぐに目が見えるようになり、イエスに従って道を進みました。

2. ルカ 5:17-26 「ある日、イエスが教えておられると、ガリラヤ、ユダヤ、エルサレムの各町から来たパリサイ人や律法学者たちがそばに座っていた。そして主の力が彼らを癒すために臨んだのです。」

ヨハネ 6:3 それから、イエスは山に登り、そこで弟子たちと一緒にお座りになった。

この箇所は、イエスが弟子たちと山に登る様子を語っています。

1. イエスの登山への招待: 神の導きに従うことへの招待

2. 神の山：リフレッシュと再生の場所

1. マタイ 17:1-8 - 山の上で変貌したイエス

2. 出エジプト記 19:3-6 - シナイ半島でのイスラエルと神との出会い

ヨハネ 6:4 そして、ユダヤ人の祭りである過越の祭りが近づいていました。

この一節はユダヤ人の過越の祭りが近いことについて書かれています。

1. 過越の祭りにおける救いの賜物

2. 過ぎ越しの祭りに信仰生活を送る

1. 出エジプト記 12:1-14 - 過越祭に関する神の指示

2. ルカ 22:15-20 - イエスが過越祭における主の晩餐を制定したこと

ヨハネ 6:5 それから、イエスは目を上げて、大群が自分のところに来るのを見て、フィリポに言われた、「この人たちが食べるために、どこでパンを買えばいいのですか」。

イエスは大勢の人々が自分の周りに集まっているのを見て、フィリポに、彼らが食べるパンをどこで買えるか尋ねました。

1. 命のパン：魂に栄養を与えるイエスの提供

2. 人々に対するイエスの思いやり: 肉体的および霊的な必要を満たす

1. マタイ 14:14-21 - イエスは五千人に食事を与える

2. イザヤ書 55:1-2 - 義に飢え渇くすべての人への招待

ヨハネ 6:6 そして、彼は自分を証明するためにこう言ったのです。彼自身、自分が何をするか分かっていたからです。

イエスは、必要を満たすために自分が何をしようとしているかをよく知っていた上で、群衆に食べ物を提供するように求めて弟子たちを試しました。

1. 神が与えてくださると信頼する: 必要なときに主に頼ることを学ぶ

2. イエスの力: 彼の権威と奇跡的な能力を理解する

1. マルコ 6:30-44 – イエスは五千人に食事を与える

2. 出エジプト記 16:1-36 – イスラエル人は荒野でマナを与えられる

ヨハネ 6:7 ピリポは答えた、「二百ペニーのパンでは彼らには足りない。一人一人が少しずつでもいいから」。

フィリップは、200ペニー相当のパンでは群衆を養うのに十分ではないと懸念を示します。

1. 備えの力 - 神がご自分の民にどのように備えられるか

2. 豊かさの奇跡 - キリストはどのように資源を増やしたか

1. 創世記 22:14 - 「そこでアブラハムはその場所の名を、『主が備えてくださる』と呼んだ。今日でも言われているように、「主の山にそれは備えられるであろう」。

2. マタイ 6:25-34 - 「だから、わたしはあなたたちに言います。自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、自分の体のこと、何を着るかなどを心配してはなりません。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？空の鳥を見てください。彼らは種を蒔くことも、刈り取ることも、納屋に集めることもありませんが、あなたがたの天の父は彼らに餌を与えます。

ヨハネ 6:8 彼の弟子の一人、シモン・ペテロの兄弟アンデレは彼に言った。

イエスの弟子アンデレは、5つのパンと2匹の魚を持っていた少年のことをイエスに話しました。

1.「小さなことの力」

2.「信仰と寛大さの力」

1. コリント第二 9:6-8

2. ルカ12:31-34

ヨハネ 6:9 ここに、大麦のパン五つと小魚二匹を持っている若者がいます。しかし、これはたくさんいるうちの何でしょうか。

この箇所は、イエスが大麦のパン5つと小魚2匹を群衆に食べさせた場面です。

1. 私たちの資源がどれほど少ないとしても、神は私たちの生活に豊かさを与えてくださいます。

2. 信仰があれば、たとえ最も乏しい資源であっても、偉大なことを成し遂げるために使用することができます。

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2. マタイ 17:20 - 彼は答えました。「あなたは信仰があまりにも薄いからです。真実に言いますが、からし種ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。

ヨハネ 6:10 そこでイエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。今ではその場所には草がたくさん生えていました。そこで男たちは座ったが、その数は五千人ほどだった。

ヨハネの福音書には、イエスがたった5つのパンと2匹の魚で5000人に食事を与えたという奇跡が記録されています。

1: イエスは、5,000人に食事を与えることによって、ご自身の力と憐れみを表されました。

2: イエスは、最も絶望的な状況においても、私たちを支え、守ってくださる方です。

1: マタイ 14:13-21 – イエスは五千人に食事を与える

2: 詩篇 33:18-19 – 神は私たちの提供者であり保護者です。

ヨハネ 6:11 そこでイエスはパンを取り取られた。そして感謝をささげてから、弟子たちに配り、弟子たちも座っている者たちに配った。そして魚たちも同様に、彼らが望むのと同じくらい。

この箇所では、イエスがパンと魚を取り、弟子たちに配る前に感謝を捧げたことが語られています。

1. 感謝の力: イエスの感謝の気持ちが人生をどのように変えたか

2. 寛大さの教訓: イエスの分かち合いの例

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。

2. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

ヨハネ 6:12 それが満たされると、イエスは弟子たちに言われた、「何も失われないように、残っている破片を集めなさい」。

この箇所は、イエスが弟子たちに食事の残り物を集めるように指示したことを語っています。

1. 寛大さの力: イエスはどのように寛大な心を示したか

2. イエスの管理者としての模範: 私たちの資源に感謝し活用する

1. ルカ 12:13-21 - 金持ちの愚か者のたとえ

2. マタイ 6:19-21 - 天の宝のたとえ

ヨハネ 6:13 そこで彼らは彼らを集め、食べた彼らの上に残っていた五つの大麦のパンのかけらを十二の籠に満たした。

イエスは奇跡的に5つのパンと2匹の魚で大群衆に食事を与えました。残り物は12個のカゴを満たすのに十分でした。

1: 神の備えはいつでも十分です。

2: 必要が大きすぎるように見えるときでも、小さなことに喜びを見つけることができます。

1: ピリピ 4:19 - 「そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。」

2: ルカ 12:22-34 「自分の命や何を食べるか、自分の体のことで何を着るかを心配してはならない。命は食べ物以上のものであり、体は衣服以上のものだからである。」

ヨハネ 6:14 その人たちは、イエスがなさった奇跡を見て、「これは世に来るべき預言者の真理である」と言った。

イエスが奇跡を起こすのを見た人々は、イエスが神から約束された預言者であると宣言しました。

1. 預言者に対する神の約束はイエスにおいて成就される

2. 奇跡はイエスの神性の証拠である

1. 申命記 18:15-19 - あなたの神、主はあなたのために、あなたの中から、あなたの兄弟の中から、私のような預言者を立てられます。あなたは彼に耳を傾けなければなりません。

2. ヨハネ 10:37-38 - もし私が父の業を行っていないのなら、私を信じないでください。しかし、もしわたしがそれを行うなら、たとえあなたがわたしを信じなくても、その行いを信じなさい。そうすれば、父がわたしのうちにおられ、わたしも父のうちにいるということを知り、理解できるようになるからである。

ヨハネ 6:15 そこで、イエスは、彼らが来て、自分を王にするために力ずくで連れて行ってくれるのを察知すると、再び一人で山へ出発した。

イエスは力ずくで王にされるのではなく、謙虚であり続けることを選びました。

1: 私たちは謙虚さを保ち、私たちの人生に対する神の計画を信頼しなければなりません。

2: 神は私たちが神を信じ、この世の力の誘惑に抵抗することを望んでいます。

1: ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい、そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

2: ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスのうちにあるこの心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を空しくしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

ヨハネ 6:16 そして、夕方になったとき、弟子たちは海へ下って行った。

イエスの弟子たちは夕方、海へ行きました。

1: イエスの弟子たちは、昼も夜も関係なく、忠実にイエスに従いました。

2: 私たちは常にイエスに従い、その命令に従う用意ができていなければなりません。

1: マルコ 4:35-41 - イエスは海の嵐を静める

2: 使徒 27:13-26 - 海でのパウロの難破

ヨハネ 6:17 それから船に乗り、海を渡ってカファルナウムに向かった。そして、もう暗くなって、イエスは彼らのところに来ませんでした。

弟子たちは舟に乗り、ガリラヤ湖を渡ってカファルナウムに向かいました。夜だったが、イエスはまだ彼らに加わっていなかった。

1. 暗闇の中で神のご意志を行う - ヨハネ 6:17

2. 困難な時に信仰を成長させる - ヨハネ 6:17

1. イザヤ書 50:10 - 「あなたがたのうち、主を恐れる者、そのしもべの声に従う者、光のない闇の中を歩く者がいるでしょうか。その者は主の御名を信頼し、その神に留まりなさい。。」

2. コロサイ 1:13 - 「誰が私たちを闇の力から救い出し、私たちをその愛する御子の王国に移してくださったのでしょう。」

ヨハネ 6:18 すると、大風が吹いて海が生じた。

航路 大風により海面が上昇した。

1. 「風の力: ヨハネ 6:18 から何を学べるか?」

2. 「自然における神の主権: ヨハネ 6:18 を理解する」

1. 詩篇 148:8 - 「火と雹、雪と雲、嵐の風、御言葉は成就します。」

2. エゼキエル 37:9 - 「それから彼は私に言った、『人の子よ、息に預言しなさい、そして息に言いなさい、主なる神はこう言われる、息よ、息よ、四方の風から来て息せよ』殺された人々の上に、彼らが生きられるように。」

ヨハネ 6:19 そこで、彼らが五ハロン、二十ハロン、あるいは三十ハロンほど漕いだとき、イエスが海の上を歩いて船に近づいておられるのを見て、彼らは恐れた。

海の上を歩くイエスは、ご自身の力と権威を示しています。

1: イエスはすべての主であり、海を支配する力を持っています。

2: 不安な時にもイエスを信頼し、信仰を置くことができます。

1: 詩篇 107:23-29 - 船で海に下り、大海原で商売をする者たち。彼らは主の御業とその深みの驚異を見ます。

2: マタイ 14:22-33 - イエスはすぐに弟子たちを舟に乗らせ、自分より先に向こう岸へ行かせ、その間に群衆を解散させました。そして群衆を解散させた後、彼は祈るために一人で山に登りました。夕方になると、彼は一人でそこにいました。

ヨハネ 6:20 しかしイエスは彼らに言った、「それはわたしです。恐れるな。

イエスは恐れる弟子たちに現れて、恐れるなと言われます。

1. イエスへの信仰を通じて恐怖を克服する

2. 困難な時にイエスの力を見出す

1. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 27:1 - 「主は私の光であり、私の救いです。私は誰を恐れるべきでしょうか。主は私の人生の砦です。私は誰を恐れるべきでしょうか。」

ヨハネ 6:21 そこで彼らは喜んで彼を船に迎え入れた。するとすぐに船は彼らが向かう陸地に着いた。

あるグループの人々がイエスの船への乗船を喜んで許可し、船はすぐに目的地に到着しました。

1. 神の力は私たちの力よりも大きく、私たちの行動すべてに現れます。

2. イエスに助けてもらうなら、私たちは目的地に連れて行ってくれるということをイエスに信頼できます。

1. イザヤ書 55:8-9: 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道もわたしの道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、わたしの道はあなたの道やわたしの思いよりも高いからである」あなたの考えよりも。」

2. 箴言 3:5-6: 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

ヨハネ 6:22 その翌日、海の向こう側にいた人々が見たとき、弟子たちが乗り込んだ一隻のほかには、そこにはほかに舟がなく、イエスも弟子たちと一緒に舟に乗られなかった。しかし、彼の弟子たちは一人で去っていった。

海の向こう側にいた人々は、出発するときにイエスが弟子たちと一緒に舟に乗らないのを見て、舟が一隻しかないことに気づきました。

1: イエスの弟子たちは勇敢で、イエスが行かなかった場所に行く勇気がありました。

2: たとえ私たちの状況が理想的ではないとしても、私たちは神への信仰を持つべきです。

1: イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない。」

2: ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」

ヨハネ 6:23 (しかし、ティベリアから他の船がパンを食べた場所の近くにやって来ました。その後、主は感謝をささげました。)

イエスは 5,000 人に食事を与える: この一節は、イエスがたった 5 つのパンと 2 匹の魚で 5,000 人に食事を与えた様子を説明しています。イエスは感謝をささげた後、群衆に食べ物を配られました。

1. 感謝の力: イエスは感謝の変革力をどのように私たちに示されたか

2. 豊かさの奇跡: イエスはいかにして少ないものを使って多くを創造したか

1. マタイ 14:13-21 - イエスは 5,000 人に食事を与える

2. マタイ 15:32-38 - イエスは 4,000 人に食事を与える

ヨハネ 6:24 そこで人々は、イエスも弟子たちもそこにおられないのを見て、船に乗り、イエスを捜してカペナウムに来た。

人々はイエスがいないことに気づき、イエスを探してカファルナウムへ向かいました。

1. 困難に直面したとき、イエスを信頼してください。そうすれば、イエスが道を導いてくださいます。

2. イエスを探しなさい、そうすればイエスが見つかります。

1. マタイ 7:7-8 - 「求めなさい。そうすれば、与えられるでしょう。探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば、それはあなたに開かれます。そして探求する者は発見する。そしてノックする者にはそれが開かれるであろう。」

2. 詩篇 34:10 - 「若い獅子たちは欠乏し、飢えに苦しんでいます。しかし、主を求める者たちは、いかなる良いものも望まないでしょう。」

ヨハネ 6:25 そして、海の向こうでイエスを見つけたとき、彼らは彼に言った、「ラビ、あなたはいつここに来たのですか」。

イエスはガリラヤ湖を渡られ、人々は反対側でイエスを見つけました。

1. イエスは、文字通りにも比喩的にも、信仰は山をも動かすことができることを私たちに示しました。

2. イエスは私たちに、イエスを信頼して勇気の道を歩むよう勧めておられます。

1. マタイ 17:20 - そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたの不信仰のせいです。はっきり言いますが、もしあなたがからし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって『ここから向こうへ行け』と言うでしょう。」そしてそれは取り除かれるであろう。そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

ヨハネ 6:26 イエスは彼らに答えて言われた、「本当に、本当に、あなたがたに言いますが、あなたがたが私を捜しているのは、奇跡を見たからではなく、パンを食べてお腹が満たされたからです。」

イエスは、ご自分が行った奇跡のためではなく、利己的な理由でイエスを求めている人々を批判しています。

1: 私たちは利己的な理由ではなく、純粋で正直な心で神を求めるべきです。

2: イエスは私たちに高い基準を課し、私たちが正しい理由でイエスを求めることを期待しています。

1: マタイ 22:37-40、「イエスは彼に言われた。『あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これは第一の、そして偉大な戒めです。そして二番目も同様です、「隣人を自分のように愛さなければならない」。この二つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。」

2: ヤコブ 4:3、「あなたがたは、自分の楽しみのためにそれを使いたいと願っても、受けられないのです。あなたがたが間違っているからです。」

ヨハネ 6:27 朽ちる肉のためではなく、永遠の命に至るまで生き残る肉のために働きなさい。人の子はそれをあなたがたに与えるでしょう。彼には父なる神が印を押されているからです。

この世の所有物を得るために働くのではなく、父なる神によって封印された人の子からのみもたらされる永遠の命を求めてください。

1: 私たちは、イエス・キリストを通して与えられる永遠の命を得るために努力しなければならず、世俗的な所有物を追い求めて消耗してはならない。

2: 私たちは、父なる神が永遠の命を封印したので、イエス・キリストを通してのみもたらされる永遠の命を得るために努力しなければなりません。

1: ピリピ 3:7-14 - しかし、私にとって得だったものも、キリストにとっては損失だと考えました。

2: 1 ヨハネ 2:15-17 - 世を愛してはならず、世にあるものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。

ヨハネ 6:28 そこで彼らは彼に言った、「神の業を行うためには、何をしたらよいでしょうか」。

一節 人々はイエスに、神の業を行うために何をしなければならないかを尋ねました。

1.「神の業を行う」

2.「神の命令への服従」

1. 申命記 10:12-13 「さて、イスラエルよ、あなたの神、主があなたに求めておられるのは、あなたの神、主を畏れ、主の道をすべて歩み、主を愛し、あなたの神、主に仕えることである。」心を尽くし、精神を尽くして、13 そして、あなたの益のために今日私があなたに命じている主の戒めと掟を守ることをなさいませんか。」

2. エペソ人への手紙 2:10 「私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られました。神は、私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。」

ヨハネ 6:29 イエスは答えて彼らに言われた、「これは神の御業です。あなたがたは神が遣わされた方を信じなさい。」

この箇所は、神が遣わされたイエスを信じることの大切さを強調しています。

1. 神の働き: イエスを信頼する

2. 神の使者を信じる

1. ローマ人への手紙 10:9-10 – 「もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心で義を信じているからです」そして口による告白は救いに至るのです。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 – 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。それは自分自身によるものではありません。それは神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。」

ヨハネ 6:30 それで彼らは彼に言った、「それでは、あなたはどんなしるしを見せて、私たちがあなたを見て信じられるようになりますか？」あなたは何をしていますか？

イエスは自分の権威を証明するためにしるしを提供するよう求められました。

1. イエス：奇跡を超える

2. 信仰への呼びかけ

1. イザヤ書 53:1 - 誰が私たちの報告を信じましたか?主の御腕は誰に現されるのでしょうか？

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

ヨハネ 6:31 私たちの先祖たちは確かに砂漠でマナを食べました。書かれているように、神は彼らに天からパンを与えて食べさせました。

聖書のヨハネ6章31節には、神が荒野にいるイスラエル人に天からパンを与えたと記されています。

1. 神は私たちの供給者です - 神は、必要なときに常に私たちに備えてくださいます。

2. 天からのマナ - 困難な時に神を信頼することを学びます。

1. 申命記 8:2-3 - あなたの神、主がこの 40 年間ずっと荒野であなたを導かれ、あなたの心に何があるか、神の命令を守るかどうかを知るために謙虚になり、あなたを試みられたことを思い出してください。。主はあなたをへりくだらせ、あなたを飢えさせ、それからあなたもあなたの先祖も知らなかったマナを与えて、人はパンだけで生きるのではなく、主の口から出る一つ一つの言葉で生きることを教えました。

2. 詩篇 78:24 - 神は民に食べるためにマナを降らせ、天の穀物を彼らに与えました。

ヨハネ 6:32 そこでイエスは彼らに言われた、「まことに、まことに、あなたがたに言いますが、モーセはそのパンを天からあなたがたに与えたわけではありません。しかし、わたしの父はあなたに天からのまことのパンを与えてくださいます。

イエスは人々に、モーセが天からのパンを与えたのではなく、父が天からのまことのパンを与えてくださったと語られました。

1.「命のパン：天からの贈り物」

2.「天の真のパン：イエスの賜物」

1. イザヤ書 55:1-2 「渇いている人はみな、水に来なさい。お金のない人は来て、買って食べてください！さあ、お金も値段もなしにワインと牛乳を買ってください。なぜパンにならないものにお金を使い、満足しないものに労力を使うのでしょうか？私の言うことをよく聞いて、おいしいものを食べて、豊かな食事を楽しみなさい。」

2. ヨハネ 6:35 「イエスは彼らに言われた、『わたしはいのちのパンです。わたしのもとに来る者は飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渇くことがない。」

ヨハネ 6:33 神のパンは、天から下って来て、世にいのちを与える方だからです。

この聖句は、イエスが世界に命を与える神のパンであることを明らかにしています。

1. 命のパン：永遠の命の源としてのイエス

2. イエスの目的: 世界に命を与えること

1. ヨハネ 10:10 - 盗人は盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためだけにやって来ます。私が来たのは、彼らが命を得て、それを最大限に享受できるようにするためです。

2. 詩篇 36:9 - いのちの泉はあなたとともにあります。あなたの光の中で私たちは光を見ます。

ヨハネ 6:34 そこで彼らは、「主よ、このパンを私たちに永遠に与えてください」と言った。

イエスは私たちの魂を満たすために霊的なパンを提供してくださいます。

1: イエスは私たちの霊的な必要をすべて満たすことができる命のパンです。

2: 私たちは糧と霊的な栄養をイエスに頼ることができます。

1: イザヤ書 55:1-2 「さあ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て買って食べなさい。さあ、お金も費用もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。」

2: 詩篇 63:1-2 「神よ、あなたは私の神です。私はあなたを心から求めます。水のない乾いた疲れた地で、私の魂はあなたに渇き、私の体はあなたを求めています。」

ヨハネ 6:35 そこでイエスは彼らに言われた、「わたしはいのちのパンです。わたしのところに来る者は決して飢えません。そして、わたしを信じる者は決して渇くことはない。

この箇所は、イエスが命のパンであり、イエスのもとに来てイエスを信じる者は決して飢えたり渇いたりすることがない、と語っています。

1: イエスは命のパンです - イエスのもとに来ることは糧と充実した人生をもたらします。

2: イエスを信じましょう - イエスは私たちのすべての必要に対する答えであり、私たちに栄養を与えてくださいます。

1: イザヤ書 55:1-3 - 「さあ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て、買って食べなさい。さあ、お金も費用もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。なぜお金を使うのですか。」」

2: マタイ 5:6 - 「義に飢え渇く人々は、幸いである、その人たちは満たされるからである。」

ヨハネ 6:36 しかし、わたしはあなたがたに言いました、「あなたがたもわたしを見たが、信じていないのです。」

この箇所には、イエスが弟子たちに現れたが、彼らはまだイエスを信じなかったと書かれています。

1: たとえイエスの奇跡が理解できなくても、私たちはイエスへの信仰を持たなければなりません。

2: イエスが何をしているのか理解できなくても、イエスを信じるということは信仰の問題です。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: ヤコブ 1:2-3 「兄弟たち、さまざまな試練に遭うとき、それをすべて喜びと考えなさい。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなた方は知っているからで

す。」

ヨハネ 6:37 父がわたしに与えてくださるものはすべてわたしに来るでしょう。そして、私のもとに来る者を、私は決して追い出しません。

この箇所は、イエスのもとに来る人々を御自分のところに連れて行くという父の約束と、彼らを決して拒絶しないというイエスの約束について語っています。

1. 父の無条件の愛の約束

2. 無条件の受け入れというイエスの約束

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. ヨハネ第一 4:19 - 「主が最初に私たちを愛してくださったので、私たちは愛します。」

ヨハネ 6:38 なぜなら、私が天から降りてきたのは、自分の意志ではなく、私を遣わしてくださった方の意志を行うためです。

イエスは、自分の意志ではなく、神の意志を行うために地上に来たと説明しています。

1.「神の御心へのキリストの服従」

2.「意志を神に委ねる力」

1. ピリピ2:5-8

2. マタイ26:39-42

ヨハネ 6:39 そして、これが私を遣わされた父の御心です。父が私に与えてくださったすべてのものを、私が失うことなく、終わりの日に再びよみがえらせるということです。

御父の御心は、イエスが与えられたものを一人も失わず、終わりの日に彼らをよみがえらせることです。

1. 父の揺るぎない愛と忠実さ

2. 終わりの日の復活の約束

1. ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。イエスは、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になることを予見していました。さらに、神は誰を予定し、また彼らを召し、また、自分が召した者を義とし、義と認め、また栄光を与えた。

2. テサロニケ人への第一の手紙 4:16-17 - 主ご自身が、叫び声、大天使の声、そして神の切り札とともに天から降りてくるからです。すると、キリストにある死人が最初によみがえります。それから生きている私たちがよみがえります。そして残りは彼らと一緒に雲の中に引き上げられ、空中で主に会うでしょう。そして私たちは常に主とともにいることになります。

ヨハネ 6:40 そして、これが、御子を見て御子を信じる者がみな永遠の命を得るという、わたしを遣わされた方のご意志です。そして、わたしは終わりの日に彼をよみがえらせます。

イエスは、ご自分を信じる者は永遠の命を持ち、終わりの日に復活すると説明されています。

1. イエスを信じて永遠の命を得る

2. 終わりの日の復活の約束

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「もし、あなたの口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心で義を信じているからです」そして口による告白は救いに至るのです。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。それは自分自身によるものではありません。それは神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。」

ヨハネ 6:41 そこでユダヤ人たちは彼に向かってつぶやいた。彼が「わたしは天から降ってきたパンだ」と言ったからである。

イエスが自分は天から降ってきたパンであると主張したのに対し、ユダヤ人たちはつぶやきました。

1. 天国のパン、イエス：受肉の奇跡の再発見

2. 疑惑のささやきに答える：天のパンに対する信仰を再確認する

1. 詩篇 78:24-25 - 神は彼らにマナを降らせて食べさせ、天の穀物を与えました。人は天使のパンを食べました。彼は彼らに食糧を豊富に送りました。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ヨハネ 6:42 すると彼らは言った、「この人は、私たちが知っている父と母であるヨセフの子、イエスではないか」。では、どうして彼は「私は天から降りてきた」と言うのでしょうか？

イエスの故郷の町の人々は、地上の両親を知っていたにもかかわらず、イエスが天から降りてきたというイエスの主張に当惑しました。

1. イエス：天から来た男

2. イエスの正体の謎

1. ヨハネ 3:13 - 「天から来た方、つまり人の子のほかに、誰も天に行ったことはありません。」

2. イザヤ書 55:8-9 - 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道も私の道ではありません。」と主は言われます。自分の考えよりも考え。」

ヨハネ 6:43 そこでイエスは答えて彼らに言われた、「あなた方の間でつぶやいてはいけない」。

イエスは聞いている人たちに、互いに不平を言わないようにと教えられます。

1: 神は私たちが神を信頼し、不平を言ったり不平を言ったりしないことを望んでいます。

2: イエスは私たちに、イエスに信仰を置き、心配したり心配したりしないように教えておられます。

1: ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはならない。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝を込めて神に願いを捧げなさい。そうすれば、人知を超えた神の平和があなたがたの心を守るだろう」そしてあなたがたの心はキリスト・イエスのうちにあります。」

2: 詩篇 37:4-5 「主を喜びなさい。そうすれば、主はあなたの心の願いを叶えてくださいます。あなたの道を主に委ねなさい。主を信頼しなさい。そうすれば、主はそれを実現してくださいます。」

ヨハネ 6:44 私を遣わした父が彼を引き寄せない限り、誰も私のところに来ることはできません。そして私は終わりの日に彼をよみがえらせます。

神は人々をご自分に引き寄せるお方であり、最終的には彼らを立ち上がらせてくださいます。

1: 神はあなたを近づけたいと望んでいます

2: 神の永遠の命の約束

1: イザヤ書 43:1 - 「しかし、ヤコブよ、あなたを創造した主はこう言われます。イスラエルよ、あなたを形作った主は、恐れることはありません。わたしはあなたを救い出したのですから、あなたの名前を呼んだのです。あなたは私のものです」。」

2: ピリピ 2:13 - 「神は、あなたがた二人のうちに働いて、ご自分の御心に適うことを望み、それを行うようになさっているのです。」

ヨハネ 6:45 預言者にはこう書いてあります、そして彼らはみな神から教えられるでしょう。したがって、父のことを聞いて知った人は皆、わたしのところに来なさい。

この箇所には、神から聞いて学んだ人は皆イエスのところに来ると書かれています。

1: イエスのもとに来るようにという神の呼びかけ

2: 神の言葉を聞いて学ぶ

1: エレミヤ 31:34 – 「そして彼らは、もはやすべての人に隣人、すべての人に自分の兄弟を教えてはいけない、『主を知れ』と言うことは、彼らは小さい者から大きい者に至るまで皆、わたしを知るからである、こう言われる」主：わたしは彼らの咎を赦し、もう彼らの罪を思い出さないからである。」

2: ヤコブ 1:22-25 – 「しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし言葉を実行する者ではなく聞く者がいるとしたら、その人は、ガラスの中で自分の自然な顔を眺める人間に似ているからである。なぜなら、彼は自分自身を見つめ、自分の道を進み自分がどんな人間だったのかをすぐに忘れてしまうからである。しかし、完全な自由の法則を見つめ、それを継続し、忘れることを聞く者ではなく、働きを行う者は、その行為において祝福されるであろう。」

ヨハネ 6:46 神から出た者を除いて、だれも父を見たことがあるわけではありません。彼は父を見たことがあるのです。

この聖句は、神から出た者以外には誰も父を見たことがないことを教えています。

1. 神は目に見えず、計り知れない

2. 主への信仰の賜物

1. イザヤ書 40:28 - あなたは知らなかったのですか？聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失ったり、疲れたりすることはありません。彼の理解は探ることができない。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

ヨハネ 6:47 まことに、まことに、あなたがたに言います、わたしを信じる者は永遠の命を持っています。

イエスは、ご自分を信じる者には永遠の命が与えられると宣言されました。

1. イエスは永遠の命への鍵である

2. 信じて永遠の命を受け取りましょう

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

ヨハネ 6:48 わたしはその命のパンです。

この聖句は、イエスが命のパンであり、イエスに従う人々に霊的な支えと栄養を与える方であることを明らかにしています。

1. イエス: 命のパン - イエスがどのように私たちを霊的に養ってくださるかを探る

2. イエスの中に強さと養いを見つける - イエスに糧を頼ることを学ぶ

1. イザヤ書 55:1-2 - 「さあ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て、買って食べなさい。さあ、お金も費用もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。なぜお金を使うのですか」パンではないものに金を、満足しないものに労働をするのか？」

2. 詩篇 34:8 - 主が善良であることを味わってください。彼に避難する人は幸いです。

ヨハネ 6:49 あなたたちの先祖たちは荒野でマナを食べて死んだのです。

この聖句は、物質的な栄養だけでは永遠の命にはつながらないため、霊的な栄養の重要性を強調しています。

1: イエスは私たちの永遠の命のパンであり、イエスを通して私たちは永遠の命を得ることができます。

2: 物質的な栄養だけでは私たちは永遠に生きられないので、私たちは精神的な栄養を求めなければなりません。

1: マタイ 4:4 「しかし、イエスは答えた、『人はパンだけで生きるものではない、神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」

2: 詩篇 34:8 - 「ああ、味わって、主が善良であることを見てください。主に避難する人は幸いです!」

ヨハネ 6:50 これは、人がそれを食べても死なないように、天から降ってくるパンである。

この箇所は、永遠の命を与える、天から送られる命のパンについて語っています。

1. 命のパン：神の臨在の中で永遠に生きる

2. 永遠の命の賜物：神の賜物を受け入れる

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

ヨハネ 6:51 わたしは天から降ってきた生きたパンです。だれでもこのパンを食べるなら、その人は永遠に生きるでしょう。そしてわたしが与えるパンはわたしの肉であり、それを世の命のために与えるつもりです。。

この箇所は、イエスが天から降ってきた生きたパンであること、そしてこのパンを食べるなら私たちは永遠に生きるだろうと語っています。

1. 命のパン: イエスはどのようにして私たちに永遠の命を与えてくださるのか

2. イエスの肉を食べる: イエスを信じるとはどういう意味か

1. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ 10:9 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。」

ヨハネ 6:52 そこで、ユダヤ人たちは、「どうしてこの人は自分の肉を私たちに与えて食べさせることができるだろうか」と言いました。

イエスが自分の肉を彼らに食べさせると言われたとき、ユダヤ人たちは混乱し、口論になりました。

1. 命のパン：イエスの過激な招き

2. 聖体の神秘: イエスの賜物を理解する

1. イザヤ書 55:1-2 - 「ああ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のない人は、来て、買って食べなさい。さあ、お金も値段もなく、ぶどう酒と牛乳を買いなさい。

2. マタイ 26:26-28 - 「さて、彼らが食事をしていると、イエスはパンを取り、祝福してからそれを裂き、弟子たちに与えて、「取って食べなさい。これはわたしのからだだ」と言われた。そして、イエスは杯を取り、感謝をささげてから、彼らに与えて言った、「皆さん、これを飲みなさい。これは、罪の赦しのために多くの人のために注がれる、わたしの契約の血だからです。」」

ヨハネ 6:53 そこでイエスは彼らに言われた、「まことに、まことに、あなたがたに言います。もしあなたがたが人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたがたのうちには命がありません。」

イエスは追随者たちに、自分たちの中に命を宿すためには、イエスの肉を食べ、血を飲まなければならないと語られます。

1. 命のパン：ヨハネ 6:53 のイエスの言葉の意味を探る

2. 私たちの永遠の命: イエスの肉と血を通してイエスの賜物を受け取る

1. コリント第一 11:23-26 – イエスは主の晩餐を制定する

2. エゼキエル 16:6 – 神はイスラエルの命の源となると約束される

ヨハネ 6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を持っています。そしてわたしは終わりの日に彼をよみがえらせるだろう。

イエスは、ご自分を信じてその肉と血を消費する人々に永遠の命を提供しています。

1. 永遠の命をもたらすイエスの犠牲の力を信じます。

2. イエスが終わりの日に私たちをよみがえらせてくださるという知識を持って生きてください。

1. ヨハネ 3:16 - 「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ 10:9 - 「もしあなたが口で『イエスは主である』と宣言し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

ヨハネ 6:55 わたしの肉はまさに肉であり、わたしの血はまさに飲み物だからです。

ヨハネ 6:55 のこの一節は、イエスが信者にとって真の支えと栄養の源であることを強調しています。

1: イエスは命の源である - ヨハネ 6:55

2: 命のパン - ヨハネ 6:55

1: イザヤ書 55:1-3 - さあ、渇いている人はみな、水のところに来なさい。お金のないあなたは、来て、買って、食べてください！さあ、お金もコストもかからずにワインと牛乳を買ってください。

2: マタイ 4:4 イエスは、「『人はパンだけで生きるものではない、神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある」と答えられた。

ヨハネ 6:56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者はわたしのうちに住んでおり、わたしもその人の中に住んでいます。

この箇所は、イエスの肉を食べ、その血を飲む者はイエスの内に住み、イエスも彼らの中に住むだろうと説明しています。

1. イエスは私たちの命の源です - ヨハネ 6:56

2. キリストのうちにとどまる - ヨハネ 6:56

1. ヨハネ 15:4-5 - わたしのうちにとどまり、わたしもあなたの中にとどまってください。枝はブドウの木に留まらなければ、それ自体で実を結ぶことができないのと同じです。あなたがたがわたしのうちに留まっている以外には、それ以上はできない。

2. ガラテヤ 2:20 - 私はキリストとともに十字架につけられました。それでも私は生きています。しかし、私ではなく、キリストが私の内に住んでいます。そして私が今肉体で生きている命は、私を愛し、私のためにご自身を捧げた神の御子の信仰によって生きています。

ヨハネ 6:57 生ける父がわたしを遣わしてくださったように、わたしも父によって生きています。そのように、わたしを食べる者も、わたしとともに生きるでしょう。

この聖句は、イエスが御父によって生きておられるように、イエスによって生きることの大切さを強調しています。

1.「イエスを通して生きる：私たちのいのちの源」

2.「命のパンを食べる：イエスに従って生きる」

1. ローマ人への手紙 6:4-5 「ですから、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちもまた新たな命の中を歩むためです。もし私たちが彼の死に似せて一緒に植えられたのであれば、私たちは彼の復活にも似た者となるでしょう。」

2. コロサイ 3:1-4 - 「もし、あなたがたがキリストとともによみがえったのなら、キリストが神の右に座しておられる、上にあるものを探しなさい。地上のものではなく、上にあるものに愛情を向けなさい。「あなたがたは死んでおり、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されています。私たちの命であるキリストが現れるとき、あなたがたもキリストとともに栄光のうちに現れるでしょう。」

ヨハネ 6:58 これは、天から降ってきたパンです。あなたがたの先祖たちがマナを食べて死んだのとは違います。このパンを食べる者は、永遠に生きるのです。

この箇所は、イエスがご自分を信じる者たちに提供する、永遠の命をもたらす命のパンについて言及しています。

1 - 信仰生活を生きる: イエスはどのように永遠の命を与えられるか

2 - 命のパンを食べる: 永遠の命を得る方法

1 - ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2 - ローマ 10:9 - 「もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

ヨハネ 6:59 これらのことは、彼がカペナウムで教えていたとき、会堂で言ったものです。

イエスはカペナウムの会堂で教えました。

1. 会堂でのイエスの教えは、教師および指導者としてのイエスの権威を示しています。

2. 私たちはイエスから、聖書の言葉を自分の生活に正しく適用する方法を学ぶことができます。

1. マタイ 5:17-20 「わたしが来たのは、律法や預言者を廃止するためだと思うな。廃止するためではなく、成就するためである。本当に、あなたがたに言います、天と地が滅びるまで。」, すべてが達成されるまで、1 イオタも点も律法から外れることはありません。したがって、これらの最も小さな戒めの 1 つを緩め、他の人に同じようにするように教える者は誰でも、天国では最も小さい者と呼ばれますが、それを実行する者は誰でも言っておきますが、あなたの義が律法学者やパリサイ人の義を超えない限り、あなたは決して天国に入ることはできません。

2. コロサイ 3:16 キリストの言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いましょう。

ヨハネ 6:60 そこで、弟子たちの多くはこれを聞いて言った、「これは厳しい言葉だ。誰がそれを聞くことができますか？

イエスが自分の肉を食べ、血を飲む必要性について語った後、弟子たちの多くはこの言葉を理解することができず、信じられないという反応を示しました。

1. イエスの教えは、たとえ理解するのが難しくても、聞いて理解されるように意図されています。

2. イエスの言葉には、耳を傾ければ私たちの人生を変える力があります。

1. マタイ 11:28-29 - すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。

2. ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、考えてください。これらのことについて。

ヨハネ 6:61 イエスは、弟子たちがそのことにつぶやいているのを心の中で知って、彼らに言われた、「これはあなたがたを怒らせませんか。」

イエスは弟子たちに、自分の言葉で気分を害したのではないかと尋ねました。

1. 弟子たちに対するイエスの愛: ヨハネ 6:61 についての黙想

2. 不快な言葉にどう反応するか: ヨハネ 6:61 からの教訓

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

2. マタイ 11:28-30 - すべて働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、あなたがたを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。

ヨハネ 6:62 もし、人の子が前にいた場所に上っていくのを見たらどうなるでしょうか。

この箇所はイエスの昇天とその帰還の意味について語っています。

1: イエスの再臨 - 備えを求める呼びかけ

2: イエスの昇天 - それが私たちにとって何を意味するか

1: 使徒 1:11 - 「あなたから天に取られたこの同じイエスは、あなたが天に行くのを見たのと同じように戻って来られます。」

2: コロサイ 3:1–4 - 「それで、あなたはキリストとともによみがえったのですから、神の右に座しておられるキリストがいる場所、地上のことに心を留めなさい。地上のことではなく、天のことに心を留めなさい。」「あなたは死んで、あなたの命は今、神の中にキリストとともに隠されているからです。あなたの命であるキリストが現れるとき、あなたもキリストとともに栄光のうちに現れるでしょう。」

ヨハネ 6:63 生かされるのは霊です。肉には何の利益もありません。私があなたに話す言葉、それは霊であり、命です。

霊は命を与えるものであり、肉には何の利益もありません。イエスの言葉は霊であり、命をもたらします。

1. 神の言葉の力 - イエスの言葉がどのように命と変革をもたらすか。

2. 御霊の重要性 - 御霊がどのように私たちに命をもたらし、力を与えてくれるのか。

1. ローマ 8:11 - 「しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊を通して、あなたがたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。」

2. エゼキエル 37:3-5 - 「彼は私に尋ねました、「人の子よ、これらの骨は生きられるでしょうか？」私は言いました、「主なる主よ、あなただけが知っています。」それから彼は私に言った、「これらの骨に預言して、彼らに言いなさい、『枯れた骨よ、主の言葉を聞け！』」。主権者である主がこれらの骨にこう言われるのです。「わたしはあなたの中に息を吹き込みます。そうすればあなたは生き返ります。」

ヨハネ 6:64 しかし、あなたがたの中には信じない人もいます。なぜなら、イエスは、信じない者たちが誰であるか、そして誰が自分を裏切るべきかを最初から知っていたからです。

イエスは誰が自分を信じ、誰が裏切るかを最初から知っていました。

1. イエスの忠実さ - イエスは、誰が自分を信じ、裏切りの恐れにもかかわらず忠実であり続けるかを知っていました。

2. イエスの力 - イエスには未来を見通し、誰が自分の味方で誰が自分に敵対するかを知る力がありました。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の

右手であなたを支えます。」

2. ヘブライ 13:5 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

ヨハネ 6:65 すると彼は言った、「だからわたしはあなたがたに言った、わたしの父から与えられたものでなければ、だれもわたしのところに来ることはできない、と。」

父なる神の許しがなければ、誰もイエスのもとに来ることはできません。

1. 真の救いを達成する：神の導きに頼る

2. 父の恵み: 私たちの唯一の希望

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です。

2. ローマ 11:36 - すべては彼から出て、彼を通して、そして彼に至るからです。彼に永遠の栄光がありますように。アーメン。

ヨハネ 6:66 それ以来、弟子たちの多くは戻って行き、もはやイエスと一緒に歩まなくなった。

イエスが難しい教えを述べた後、イエスの弟子の多くは彼を見捨てました。

1. 「弟子としての困難な道」

2.「イエスに従うという挑戦」

1. マタイ 8:19-22 - 弟子に対するイエスの呼びかけ

2. ルカ 14:25-33 - 弟子としての代償についてのイエスの教え

ヨハネ 6:67 そこで、イエスは十二人に言われた、「あなたたちも去っていくのか」。

イエスは12人の弟子たちに、他の弟子たちと同じように自分から離れるつもりかどうか尋ねました。

1. イエスが難しい質問をしても諦めないでください。

2. 試練に遭ったら、イエスに対してしっかり立ちなさい。

1. ヘブライ 10:23 - 約束された方は真実な方ですから、揺るがずに希望の告白をしっかりと持ち続けましょう。

2. ヤコブ 1:12 - 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。その試練に耐えた人は、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

ヨハネ 6:68 するとシモン・ペテロが答えた、「主よ、誰のところへ行きましょうか。」あなたは永遠の命の言葉を持っています。

シモン・ペテロはイエスへの忠誠を宣言し、永遠の命を得るために他に誰に頼ることができるのかとイエスに尋ねます。

1. 「揺るぎない忠誠心: イエスに対するペテロの献身を見る」

2.「永遠の命の言葉：なぜ私たちはイエスに頼るのか」

1. ローマ 10:8-13 - 「主の名を呼び求める者は皆救われる」からです。

2. マタイ 16:13-20 - イエスは弟子たちに、人々が自分のことを誰だと言うのかと尋ねると、ペテロは、「あなたはキリスト、生ける神の子です」と答えます。

ヨハネ 6:69 そして、私たちはあなたが生ける神の御子キリストであると信じ、確信しています。

イエスは弟子たちによってメシア、つまり生ける神の子であると認められています。

1. イエスをメシアとして再確認する: イエスの働きと力を信じる

2. イエスを神の子として知る: 永遠の命への鍵

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. マタイ 16:13-17 - イエスはピリピ・カイザリヤの地域に来たとき、弟子たちにこう尋ねました。「人々は、人の子であるわたしを何者だと言うのですか。」そこで彼らは、「バプテスマのヨハネだと言う人もいるし、エリヤだと言う人もいるし、エレミヤか預言者の一人だと言う人もいる。」彼は彼らに言った、「しかし、あなたたちは私を誰だと言うのですか？」シモン・ペテロは答えて、「あなたは生ける神の子キリストです」と言いました。イエスは答えて言われた、「シモ

ン・バル・ヨナ、あなたは幸いです。肉と血がこのことをあなたに明らかにしたのではなく、天におられるわたしの父があなたに明らかにしたからです。」

ヨハネ 6:70 イエスは彼らに答えられた、「わたしがあなたたちを十二人に選んだのではありませんか。あなたたちの中の一人は悪魔ですか。」

イエスは12人の弟子たちに、自分が彼らを選んだのかと尋ね、彼らのうちの1人が悪魔であることを思い出させました。

1. イエスは私たちを慎重に選びますが、私たちは自分の生活における悪魔の影響を常に警戒しなければなりません。

2. イエスの私たちに対する愛は非常に大きいので、私たちのうちの一人が悪魔になるとわかっていても私たちを選んでくださいました。

1. ペテロ第一 5:8-9 – 「心を慎みなさい。気をつけてください。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのようにうろつき、食いつくべき者を求めています。信仰を固く持ち、彼に抵抗してください...」

2. エペソ 6:11-13 – 「悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。なぜなら、私たちは血肉に対して戦うのではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的勢力に対して戦うのだから。」

十二人の一人であり、彼を裏切るべきだったからです。

イエスは、12人の弟子のうちの一人、イスカリオテのユダが自分を裏切るだろうと明らかにしました。

1. 裏切りの時に神に忠実になる方法

2. 約束を守ることの重要性

1. 詩篇 119:63 - 私はあなたを恐れる者たち、そしてあなたの戒めを守る者たちすべての仲間です。

2. マタイ 26:45 - それから、彼は弟子たちのところに来て、彼らに言った、「今は寝て、休んでください。見よ、時が近づいており、人の子は罪人の手に渡されます。」

ヨハネ 7 章には、エルサレムの仮庵の祭りへのイエスの訪問、その後のイエスの教えに関する論争、そしてイエスのアイデンティティに関するさまざまな意見が記述されています。

第 1 段落: この章は、ユダヤ人の指導者たちがイエスを殺す機会を狙っていたため、ユダヤを避けてガリラヤ中を移動するイエスから始まります。しかし、ユダヤ人の仮庵の祭りが近づくと、イエスの兄弟たちは、イエスが行っていた業を弟子たちに見てもらうために、公然とユダヤに行くことをイエスに勧めました。イエスは、自分の時はまだ完全に到来していないが、彼らの時は常に正しく、彼らが去った後はひそかに上って行ったと答えました(ヨハネ7:1-10)。

第 2 段落: 祭りの間、ユダヤ人たちはイエスについての憶測をささやきながらイエスを探していましたが、指導者たちを恐れて誰もイエスについて公に話しませんでした。祭りの半ばに、イエスは神殿の中庭に上がって教え始められ、聖書を勉強もせずにどうやって聖書を知っているのかと不思議に思った多くの人々に驚きました。それに応じて、イエスは、教えは神から来たものであり、父なる神ご自身から来たものではなく、神のご意志を行うことを選択する者は、教えが神から来るのか、それとも自分の権威で話すのかを理解していると指摘し、パリサイ人や祭司長が神殿の警備員を送り込み、彼を逮捕したが、時間が過ぎていたため、誰も彼を引き渡さなかった。まだ来ていません（ヨハネ 7:11-30）。

第三段落：最後の大いなる祭りの日、イエスは立って大声で「渇いている人はだれでもわたしのところに来て水を飲みなさい」と言われた。わたしを聖書のように信じる者は、川には生きた水がその中から流れ出ると言った。』イエスを信じる人々が後に聖霊として受け取ることになるこの聖霊は、イエスがまだ栄光を受けていなかったために与えられていなかったため、群衆の間で分裂を引き起こし、ある者は「彼は預言者だ」と言う者もいれば、ある者は「彼はキリストだ」と言う一方で、ある者はキリストがガリラヤから来られるという可能性を疑問視し、終焉を迎えた。ニコデモは、法に従って弁護を聴取することなく、あからさまな非難からイエスを弁護し仲間たちからさらに嘲笑的に解雇され、それぞれが家に帰りました(ヨハネ7:31-53)。

ヨハネ 7:1 これらのことがあった後、イエスはガリラヤを歩かれました。ユダヤ人がイエスを殺そうとしたので、ユダヤ人の中を歩こうとはされませんでした。

イエスはガリラヤのユダヤ人たちが自分を殺そうとしたので、彼らを避けました。

1: 状況に関係なく、神の保護は常に私たちにあります。

2: たとえどんな反対に直面しても、私たちは決して希望を捨ててはいけません。

1: 詩篇 23:4 「たとえ最も暗い谷を歩くとしても、私は災いを恐れません。あなたが私とともにおられるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めます。」

2: 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

ヨハネ 7:2 さて、ユダヤ人の幕屋の祭りが近づいていた。

ユダヤ人の仮庵の祭りの期間中、イエスはエルサレムへ旅行していました。

1. イエスの民に対する愛: イエスは仮庵の祭りの期間中にエルサレムに行き、どのように愛を示したか

2. 神への従順: たとえ難しい場合でも神に従うことの重要性

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、あなたは私の戒めを守るでしょう。」

2. マタイ 28:20 - 「見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたたちとともにいます。」

ヨハネ 7:3 それで、彼の兄弟たちは彼に言った、「そこから出て、ユダヤに行きなさい。あなたの弟子たちもあなたの行っている業を見ることができるようにするためです。」

イエスの兄弟たちは、イエスが行った奇跡を弟子たちに見てもらうために、ガリラヤを離れてユダヤに行くようイエスに勧めました。

1. 信仰の力: 奇跡を信じることを学ぶ

2. 父の意志に従いました: イエスは兄弟たちの忠告にどのように従ったか

1. ヘブライ 13:5-6 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。ですから私たちは自信を持ってこう言うことができます。私は恐れません。人間は私に何ができるでしょうか？」

2. ヨハネ 14:12-14 - 「真実に、あなたがたに言いますが、わたしを信じる者はわたしと同じ業を行うでしょう。そして、私は父のもとに行くので、彼はこれらよりも大きな業を行うでしょう。あなたがわたしの名において何を求めるとしても、わたしはこれを行います。それは、御父が御子によって栄光を受けるためです私の名において何か質問があれば、それに応じます。」

ヨハネ 7:4 人には、ひそかに何かをする人はいないし、自分自身が公に知られることを望んでいるからです。もしあなたがこれらのことをするなら、世界にその姿を見せてください。

イエスは、他の人たちも同じように励まされるように、公の場で良い行いをするよう私たちに勧めておられます。

1. 公の場で善を行う: イエスに従うことで人生がどのように変わるかを世界に示す

2. 奉仕の力: 他人の生活に変化をもたらす

1. マタイ 5:16 - 「あなたの光を他の人たちの前で輝かせなさい。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天のあなたの父に栄光を帰すことができます。」

2. ガラテヤ 6:9 - 「善を行うことに飽きないようにしましょう。あきらめなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。」

ヨハネ 7:5 なぜなら、彼の兄弟たちも彼を信じなかったからです。

一節: イエスは故郷のナザレで多くの奇跡的なしるしを行ったにもかかわらず、兄弟たちはイエスを信じませんでした（ヨハネ 7:5）。

イエスは多くのしるしを行ったにもかかわらず、家族に受け入れられませんでした。

1. 困難な状況において神の意志を認識する: イエスの模範

2. 不信仰にもかかわらず信仰の力: イエスと彼の兄弟たちの物語

1. イザヤ書 53:1 - 「誰が私たちのメッセージを信じましたか、そして誰に主の御腕が現されましたか？」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

ヨハネ 7:6 そこでイエスは彼らに言われた、「わたしの時はまだ来ていません。しかし、あなたがたの時はいつでも用意されています。」

イエスは私たちに、私たちの時間は神への奉仕にあるべきであると教えています。

1: 私たちの時間は神からの贈り物であり、神に仕えるために使われるべきです。

2: 私たちは自分の時間と資源を神と神の王国に捧げるよう求められています。

1: コロサイ 3:17 - そして、あなたがたが言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主イエスによって神と父に感謝しなさい。

2: エペソ人への手紙 5:15-16 - それでは、あなたがたは愚か者としてではなく、賢人として慎重に歩み、時を償うように気をつけなさい。日々は悪いからである。

ヨハネ 7:7 世はあなたを憎むことはできません。しかし、私がそれを憎んでいるのは、私がそれを証言しているからであり、彼らの行いは悪であると。

世の悪事についてイエスが証言したため、世はイエスを憎んでいます。

1. 不利な状況で証しをする - ヨハネ 7:7

2. 信仰にしっかりと立つことの代償 - ヨハネ 7:7

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. ヨハネ第一 5:19 - 私たちは自分たちが神の子であること、そして全世界が悪の支配下にあることを知っています。

ヨハネ 7:8 あなたがたはこの祭りに行きなさい。私はまだこの祭りには行きません。私の時はまだ満ちていないからです。

ヨハネ 7:8 は、行動を起こすのにふさわしい時が来るまで忍耐強く待つように教えています。

1: 忍耐は美徳である - ヨハネ 7:8

2: 神のタイミングは完璧です - ヨハネ 7:8

1: ヤコブ 5:7-8 - ですから、兄弟たち、主の到来まで辛抱してください。見よ、農夫は大地の貴重な実りを待ち、早い雨と遅い雨が降るまで長い間忍耐している。

2: 伝道者の書 3:1-8 - 天の下では、あらゆるものには季節があり、あらゆる目的には時があります。生まれるのに時があり、死ぬのに時があります。植える時があり、植えられたものを引き抜く時がある。

ヨハネ 7:9 イエスがこの言葉を彼らに言ったとき、イエスはガリラヤにじっとおられた。

イエスはガリラヤで群衆に語り、その後もその地域に留まりました。

1. 神の計画に対するイエスの従順: イエスのガリラヤ滞在の例

2. 言葉の力: イエスの言葉がイエスの行動にどのように影響したか

1. マタイ 4:23-24 - そして、イエスはガリラヤ中を巡回し、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民のあらゆる病気やあらゆる病気をいやされました。

2. ヨハネ 9:4 - 私は日中、私を遣わしてくださった方の仕事をしなければなりません。誰も働くことができない夜が来ます。

ヨハネ 7:10 しかし、兄弟たちが上って行ったとき、彼もまた、公然とではなく、いわば秘密裏に宴会に上って行った。

ジョンは神に対する自分の義務を思い出し、宴会に行きますが、慎重な態度で行きます。

1. 神に対する私たちの義務: たとえ秘密であっても

2. 義務を果たすために目立たないように生活する

1. 箴言 16:2 人のすべての道は自分の目には清い。しかし主は霊を量られる。

2. マタイ 6:4-6 「だから、彼らのようにはなりません。なぜなら、あなたの父は、あなたが神に求める前から、あなたが必要とすることを知っているからです。したがって、このように祈ってください：天におられる私たちの父よ、あなたの御名が崇められますように。あなたの王国が来ますように。あなたの御心は天で行われるのと同じように、地でも行われます。

ヨハネ 7:11 そこでユダヤ人たちは、祭りのときにイエスを捜して、「どこにいるのか」と言った。

ユダヤ人たちは宴会でイエスを探していました。

1: イエスが見つからないときでも、イエスはいつも私たちの近くにいます。

2: 私たちは人生のあらゆる瞬間にイエスを求めなければなりません。

1: エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2: 1 歴代誌 16:11 - 「主とその力を求めなさい。絶えず主の御臨在を求めなさい。」

ヨハネ 7:12 そこで、人々の間で彼について多くのつぶやきがあった。ある者は、彼は善い人だ、と言い、またある者は、いや、そうではない、と言いました。しかし彼は人々を騙します。

人々はイエスについてつぶやき、ある者はイエスは善人だと言ったが、ある者はイエスが自分たちを騙していると言いました。

1. 神の愛: 信仰の目を通してイエスを見る

2. 言葉の力: 真実と欺瞞

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

17 なぜなら、神は世を罪に定めるために御子を世に遣わされたのではありません。しかし、彼を通して世界が救われるためです。

2. ヤコブ 3:5-6 - それでも、舌は小さな一員であり、大きなことを誇ります。見よ、小さな火が燃え上がるのはなんと素晴らしいことだろう！

6 そして、舌は火であり、不正の世界です。私たちの成員の間でも舌は同様であり、体全体を汚し、自然の流れを燃やします。そして地獄の火が放たれます。

ヨハネ 7:13 しかし、ユダヤ人を恐れて、誰も彼のことを公然と語らなかった。

この箇所は、ユダヤ人がイエスに対して否定的な意見を持っていたため、イエスについて公然と語ることの危険性を強調しています。

1: 神は、他人がどう思うかを恐れながらも、イエスについて率直かつ大胆に語る勇気を私たちに与えてくださいます。

2: たとえ不利な状況であっても、私たちはイエスへの信仰を堅持しなければなりません。

1: 使徒 4:19-20 「しかし、ペテロとヨハネは答えて言った、「神よりもあなたがたの言うことを聞くことが神の目に正しいかどうか、あなたがたは判断してください。」なぜなら、私たちは見聞きしたことを話さざるを得ないからです。」

2: マタイ 10:32-33 - 「ですから、人々の前でわたしを告白する者はだれでも、わたしも天におられるわたしの父の前で告白します。しかし、人々の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で否認するであろう。」

ヨハネ 7:14 さて、祭りの真っ最中に、イエスは宮に登って教えておられた。

イエスは祭りの最中に神殿に登って教えました。

1. イエスの教えの力

2. イエスの使命への取り組み

1. イザヤ書 55:11、「わたしの口から出たわたしの言葉はそのとおりである。それはむなしくわたしに返ることはなく、わたしの目的を達成し、わたしがそれを送った目的を達成するであろう。」

2. マタイ 9:35、「イエスはすべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気とあらゆる苦しみをいやされた。」

ヨハネ 7:15 そこでユダヤ人たちは驚いて言った、「この人は何も学ばずに、どうして手紙を知っているのか」。

ユダヤ人たちは、正式に教えられていないにもかかわらず、イエスが理解し教える能力に驚嘆しました。

1. 人生を変える神の言葉の力

2. 他者の可能性を認識することの重要性

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。

ヨハネ 7:16 イエスは彼らに答えて言われた、「私の教えは私のものではなく、私を遣わした者の教えです。」

イエスは教義について尋ねられ、それは父から来たものであると答えました。

1. イエスの教義の権威

2. イエスの教義の源

1. マタイ 28:18-20 - 「そして、イエスが来て彼らに言われた、「天と地のすべての権威がわたしに与えられている。だから行って、すべての国の人々を弟子とし、父の名によって彼らにバプテスマを授けなさい。」」

2. ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け主、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

ヨハネ 7:17 だれでも自分の意志を行おうとするなら、それが神から出たものであろうと、あるいは私自身について話したものであろうと、その人はその教義を知るはずです。

この聖句は、神の教えを理解するために神の御心を求めるよう私たちに勧めています。

1. 神の御心を求め、神の教えの真理を理解する

2. 神の意志を何よりも優先し、神の知恵を学ぶ

1. エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

ヨハネ 7:18 自分のことを語る人は自分の栄光を求めます。しかし、自分を遣わした方の栄光を求める人も同じであり、その人の中には不義がありません。

この箇所は、個人の栄光を求めるのではなく、神の栄光を求めることの重要性を強調しています。

1: 自分の栄光ではなく神の栄光を求めなさい

2: 神の栄光を求めることに不正はない

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2: ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

ヨハネ 7:19 モーセがあなたたちに律法を与えたのに、あなたたちの中に律法を守る人はいないのですか。なぜ私を殺そうとするのですか？

イエスは、モーセの律法があるにもかかわらず、なぜユダヤ人の指導者たちがイエスを殺そうとするのか疑問に思っています。

1. イエスを殺そうとする偽善 - モーセの律法に照らして私たちの行動を検討する。

2. イエスの独自性 - モーセの律法と比較してイエスの独自性を議論します。

1. マタイ 5:17 - 「わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだと思うな。わたしは律法や預言者を廃止するためではなく、成就するために来たのである。」

2. ヤコブ 2:10 - 「律法全体を守っていても、一点で失敗する者は、そのすべてに対して責任を負うことになるからです。」

ヨハネ 7:20 人々は答えて言った、「あなたには悪魔がいる。誰があなたを殺そうとするのか」。

イエスはその教えのせいで人々から尋問され、悪魔が憑いていると非難されました。

1: イエスの教えは非常に過激かつ革命的だったので、人々はそれを理解できず、したがって悪魔に取り憑かれていると非難しました。

2: たとえそれを受け入れるのが難しいとしても、私たちの信仰はそれに耐えられるほど強くなければならないので、私たちは常に真実に対してオープンであり続けなければなりません。

1: ヨハネ 8:32、「そうすれば、あなたがたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

2: ヨハネ 14:6、「イエスは彼に言われた、『わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、だれも父のもとに来ることはできない。』」

ヨハネ 7:21 イエスは答えて言われた、「わたしは一つの仕事をした。あなたがたはみな驚いている。」

イエスは自分が一つの働きを行ったと宣言し、人々は驚いた。

1. イエスの働き: 驚くべき奇跡

2. 私たちの生活における神の働きの不思議

1. ヘブル人への手紙 2:3-4 「これほど偉大な救いを無視したら、どうやって逃れることができますか。この救いは、初めに主によって語られ始め、それを聞いた人々によって私たちに確認されました。神もまた彼らに証しをしてくださいます。自分の意志に従って、しるしと不思議、さまざまな奇跡、そして聖霊の賜物の両方を？」

2. 使徒 2:22 「イスラエル人よ、この言葉を聞いてください。ナザレのイエス、あなたがたも知っているように、奇跡と不思議としるしによってあなたがたの間で神に認められた人です。それは神があなたがたの間で行われたことです。」。」

ヨハネ 7:22 そこで、モーセはあなたに割礼を与えました。（それはモーセからではなく、先祖からのものだからです。）そしてあなたがたは安息日に男性に割礼を施します。

この箇所では、モーセが自分の権威のためではなく、イスラエル人の先祖が実践していたことだったため、どのようにしてイスラエル人に割礼を与えたかについて説明しています。

1. 私たちの先祖とその伝統を尊重することの重要性。

2. 神の権威は人間のいかなる権威よりも偉大です。

1. 申命記 10:16 - 「ですから、あなたの心の包皮に割礼を施しなさい。そうすれば、もう固くなってはいけません。」

2. 詩篇 78:5-7 - 「というのは、神はヤコブにおいて証しを立て、イスラエルに律法を定め、それを私たちの先祖たちに命じて、彼らが彼らのことを子供たちに知らせるよう、次の世代が彼らを知ることができるように、と命じたからです。「それは、彼らが神に望みを置き、神の御業を忘れず、神の戒めを守るためである。」

ヨハネ 7:23 もし人が安息日に割礼を受けるなら、それはモーセの律法が破られないようにするためです。あなたがたは私に腹を立てているのですか、私が安息日に人を完全にしてしまったからです。

イエスは安息日の癒しの行為を擁護し、モーセの律法で許されていることをしているのになぜ怒るのか人々に尋ねました。

1. 「イエスと安息日: 神の戒めへの従順のモデル化」

2.「イエスと安息日：慈悲深い癒し手」

1. マタイ 12:1-14 - イエスは、安息日に弟子たちが穀物を摘んでいたことについて質問される

2. 申命記 5:12-15 - 安息日を守るという神の命令

ヨハネ 7:24 見た目で判断するのではなく、正しい判断をしなさい。

イエスは私たちに、見た目ではなく事実と義に基づいて決定を下すよう勧めています。

1. 義をもって判断する - ヨハネ 7:24

2. 表面を越えて見る - ヨハネ 7:24

1. 箴言 16:2 - 「人の道はすべてその人の目には清いが、主は霊を量られる。」

2. コロサイ 3:12 - 「それでは、神に選ばれた者として、聖なる、愛される心、憐れみの心、優しさ、謙虚さ、柔和、そして忍耐を身に着けなさい。」

ヨハネ 7:25 そこで、エルサレムの人々の何人かが言った、「これは、彼らが殺そうとしているあの人ではないか」。

エルサレムの人々の中には、殺そうとしている男がいるかどうか尋ねた人もいました。

1. 私たちが人間の意志ではなく神の意志に従っていることをどのようにして確信できますか?

2. 信仰に反すると思われる状況に陥ったとき、適切な反応は何ですか?

1. マタイ 22:36-40 - 「先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか。」「あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛し

なさい。これが最も重要な最も重要な戒めです。第二もこれと同じです。隣人を愛しなさい。」「あなた自身と同じように。この二つの戒めに律法全体と預言者がかかっています。」

2. 箴言 14:12 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死の道である。」

ヨハネ 7:26 しかし、見よ、彼は大胆に語るのに、人々は彼に何も言わない。支配者たちは、これこそがキリストであることを本当に知っているのだろうか？

要約 - イエスは公の場で大胆に語りましたが、支配者たちはイエスがメシアであることを知っていたにもかかわらず、沈黙を貫くことを選びました。

1. 反対に直面して真実を語ったイエスの勇気。

2. 真実に直面して沈黙を続けることを選択した場合の結果。

1. マタイ 10:32-33 - 「他の人の前で私を認める者は、私も天の父の前で認めます。しかし、他の人の前で私を否認する者は、天の父の前で否認します。」

2. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

ヨハネ 7:27 しかし、私たちはこの人がどこから来たのか知っていますが、キリストが来られるとき、彼がどこから来たのかは誰も知りません。

この箇所は、イエスがいつどこから来るのか誰も知らないことを示唆しています。

1. イエスの謎: 未知の探求

2. 信仰の力: 目に見えないものを信じる

1. イザヤ書 40:13 - 誰が主の霊を導いたのか、あるいは彼の相談相手であることが彼に教えたのか。

2. ルカ 17:20-21 - そして、神の国はいつ来るのかとパリサイ人たちに尋ねられたとき、イエスは彼らに答えて、「神の国は観察なしに来るものではありません。彼らも、「見よ、ここにいます！」とは言わないでしょう。または、ほら！見よ、神の国はあなたの中にあるからです。

ヨハネ 7:28 それから、イエスは宮で教えながら叫ばれて言われた、「あなたがたは二人ともわたしを知っており、わたしがどこから来たのかも知っている。そして、わたしは自分から来たのではなく、わたしを遣わした方は真実であるが、あなたがたは知らない。」

イエスは神殿で教え、自分は神から遣わされた者であり、人々は神の本当の正体を知らないと宣言しました。

1. イエスの使命と教えは神から出たものであり、イエス自身から出たものではありません。

2. 私たちは神の真理を認識し、それを理解するよう努めなければなりません。

1. ヨハネ 8:12、「イエスは再び彼らに言われた、「わたしは世の光です。わたしに従う者は暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

2. 詩篇 34:8、「ああ、味わって、主が善良であることを見てください。彼に避難する人は幸いです！」

ヨハネ 7:29 しかし、私は彼のことを知っています。私は彼の出身であり、彼が私を遣わしたからです。

イエスは、自分は神から遣わされたので神を知っていると宣言しました。

1. 私たちは皆、イエスを通して神とつながっています。

2. 神を知ることはイエスを通してもたらされる特権です。

1. ヨハネ 1:1-5 - 初めに言葉があり、言葉は神とともにあり、言葉は神でした。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。

ヨハネ 7:30 そこで彼らはイエスを連れて行こうとしたが、まだその時が来ていなかったので、誰も彼に手を出さなかった。

イエスは反対する者たちに連れて行こうとされましたが、まだその時が来ていなかったので、誰もイエスに手を伸ばすことができませんでした。

1. 神のタイミングを信頼することを学ぶ - たとえ私たちにとって意味が分からない場合でも、神のタイミングが完璧であることを信頼しなければなりません。

2. 待つ力 - 時には私たちにできる最も強力なことは、私たちの人生で神の計画が展開されるのを辛抱強く待つことです。

1. イザヤ書 55:8-9 - 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の道はあなたの道よりも高いからである」自分の考えよりも考え。」

2. ヤコブ 4:13-15 - 「今日か明日、私たちはそのような町に行き、そこに一年続けて売り買いし、利益を得ようと言う人たちよ、さあ行きなさい。一方、あなたがたは知らないのです」明日はどうなるのでしょう。あなたの人生は何ですか？それは蒸気でさえ、少しの間現れて、そして消えていきます。なぜなら、あなたは

言うべきです、主が御心であれば、私たちは生きてこれを行うでしょう、またはその。"

ヨハネ 7:31 民の多くは彼を信じて言った、「キリストが来られるとき、この人が行った以上の奇跡をなさるでしょうか」。

人々の多くはイエスの奇跡に驚き、再臨したらさらに多くのことをしてくれるのではないかと疑問に思いました。

1. イエスの奇跡: より大きな力の兆候

2. イエスを信じましょう: 奇跡からのメッセージ

1. マタイ 11:2-5 - 洗礼者ヨハネのイエスについての証言

2. イザヤ書 35:5-6 - 神の癒しと回復の約束

ヨハネ 7:32 パリサイ人たちは、人々がイエスに関してそのようなことをつぶやいているのを聞いた。そこでパリサイ人と祭司長たちは役人を送って彼を連れて行った。

パリサイ人と祭司長たちは、人々がイエスについてつぶやいているのを聞き、イエスを逮捕するために役人を送りました。

1. 噂の力 – 噂や伝聞が私たちの決定や行動にどのように影響するか。

2. 迫害の必然性 - 反対に直面したときのイエスの忍耐の例。

1. ヤコブ 3:5-6 - 「それでも、舌は小さな部分ですが、大きなことを誇ります。見よ、小さな火が燃え上がることは、なんと大きなことでしょう！そして舌は火であり、不法行為の世界です。それは体全体を汚し、自然の流れを燃やし、そして地獄の火を燃やすということを私たちの会員の間で口にしています。」

2. マタイ 5:10-12 - 「義のために迫害されている人々は幸いです。天国は彼らのものです。人々があなたをののしり、迫害し、あらゆる悪口を言うとき、あなたがたは幸いです。「私のために、あなたに対して偽りを言いました。喜んで、非常に喜んでください。天でのあなたの報いは大きいからです。あなたの前にいた預言者たちは非常に迫害されたからです。」

ヨハネ 7:33 それから、イエスは彼らに言われた、「しばらくの間、私はあなたがたと一緒にいるが、それから私をつかわしてくださった方のところに行きます。」

イエスは弟子たちに、間もなく彼らを離れて父のもとに戻ることを告げます。

1: イエスは私たちをとても愛してくださっているので、私たちのために喜んで命をささげてくださいます。

2: イエスは私たちの自己犠牲と従順の究極の模範です。

1: ヨハネ 10:17-18 「だから、あなたがたに言います。子は、父がなさるのを見ていること以外には、自分からは何もできません。子が行うすべてのことは、子も同様に行います。父のためです。」あなたがたを驚かせるために、御子は御子を愛し、御自分の行うすべてのことを御子に見せてくださるでしょう。」

2: ピリピ人への手紙 2:5-8 「この思いをあなたがたも持ちなさい。それはキリスト・イエスのうちにもあったのです。キリストは、神の姿をしていながら、神と同等であることは強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たなかったのです。そして召使の姿をとり、人間に似せて造られた。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。」

ヨハネ 7:34 あなたがたはわたしを捜しても、わたしを見つけられないでしょう。そして、わたしがいるところには、あなたがたは来ることができません。

イエスは弟子たちに、自分は見つからないだろうし、イエスのいるところには行けないと告げておられます。

1. イエスへの信仰の重要性: たとえ見えなくてもイエスを求める

2. イエスの昇天: 天国へのアクセス不可能性

1. ヘブライ 11:6 - しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければならないからです。

2. ルカ 24:50-51 - そしてイエスは彼らをベタニヤまで導き、手を上げて彼らを祝福した。そして、彼らを祝福している間に、彼は彼らから別れ、天に引き上げられたのです。

ヨハネ 7:35 そこでユダヤ人たちは、「あの人はどこへ行くのですか。私たちには見つからないのですか」と言った。彼は異邦人の間に散らされている人々のところへ行き、異邦人を教えるでしょうか。

ユダヤ人たちは、イエスが異邦人のところへ行って教えてくれるだろうかと疑問に思っていました。

1. イエス：すべての国の奉仕者

2. コンフォートゾーンを超えて

1. 使徒 10:34-35 「それからペテロはこう話し始めました。「神はえこひいきを示さず、ご自分を畏れ正しいことを行う者をどの国からも受け入れてくださるということが、今ではいかに真実であるか分かりました。」

2. ローマ人への手紙 10:12-13 「ユダヤ人と異邦人の違いはありません。同じ主がすべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人を豊かに祝福してくださいます。なぜなら、「主の名を呼び求める者はみな救われるからです」。」

ヨハネ 7:36 彼が言った、「あなたがたはわたしを捜すであろうが、わたしを見つけることはできないだろう。そして、わたしがいるところには、あなたがたはそこに来ることができない」というのは、どのような言い方でしょうか。

ヨハネ 7 章のこの箇所は、イエスを求める者には必ず見つかり、イエスを信じない者には手の届かない場所におられるというイエスの確信について語っています。

1. イエスを知ることの慰め：必ず見つかるというイエスの約束に頼る

2. 信じるという挑戦：イエスを求める責任を引き受ける

1. エレミヤ 29:13 - 「そして、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるとき、あなたがたはわたしを捜し求め、わたしを見つけるであろう。」

2. ヨハネ 4:23 - 「しかし、真の崇拝者たちが霊と真理をもって父を礼拝する時が来ます。そして今がその時です。父は、ご自分を崇拝する者を求めておられるからです。」

ヨハネ 7:37 最後の日、つまり祭りのあの大事な日、イエスは立って叫んで言われた、「渇いている人がいるなら、わたしのところに来て水を飲みなさい」。

イエスは、喉が渇いているすべての人に、ご自分のところに来て水を飲むよう勧められます。

1: イエスによってリフレッシュされましょう: 渇いている人のために。

2: イエスの井戸から水を飲む: 喉の渇きを癒す。

1: イザヤ書 55:1-2 - 「渇いている人はみな、水に来なさい。お金のないあなたは、来て、買って、食べてください！さあ、お金もコストもかからずにワインと牛乳を買ってください。」

2: 黙示録 22:17 - 「御霊と花嫁は言います、『来なさい！』」そして、聞く人は「来てください！」と言わせてください。喉が渇いている人は来てください、そして望む人は命の水の贈り物を無料で受け取りましょう。」

ヨハネ 7:38 わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水の川が流れ出るでしょう。

イエスは、ご自分を信じる者には豊かな霊的祝福が与えられると宣言されています。

1. イエスの生ける水: 豊かな霊的祝福

2. 生ける水の川: イエスを信じることの祝福

1. エゼキエル 47:1-12 - 生ける水の川の幻

2. イザヤ書 55:1 - 命の水を求めて主のもとに来るようにという招き。

ヨハネ 7:39 (しかし、これはイエスを信じる者が受けるべき御霊について語った。なぜなら、聖霊はまだ与えられていなかったからだ。なぜなら、イエスはまだ栄光を受けていなかったからだ。)

この箇所では、イエスが信者が受ける聖霊についてどのように語られたかについて説明されていますが、イエスは栄光を受けていなかったために聖霊はまだ与えられていませんでした。

1. イエスと聖霊の力を信じる

2. 信仰と聖霊の賜物

1. 使徒 2:38 (そこでペテロは彼らに言った、「悔い改めて、あなたがた一人一人、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすればあなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう。」)

2. エペソ人への手紙 4:30 (神の聖霊を悲しませてはいけません。それによってあなたがたは救いの日まで証印を押されます。)

ヨハネ 7:40 それゆえ、民の多くはこの言葉を聞いて、「これは真実の預言者だ」と言った。

多くの人がイエスの言葉を聞いて、彼が預言者であると信じました。

1. イエスの言葉に耳を傾けてください: イエスの教えはどのように私たちを神に近づけるのか

2. イエスを信じる：メシアの弟子になる

1. 申命記 18:15-19 - 主はモーセのような預言者について語られます。

2. ヨハネ 1:45 - フィリポはイエスを約束のメシアであると宣言しました。

ヨハネ 7:41 他の人たちは、「これはキリストだ」と言った。しかしある人たちは、「キリストはガリラヤから出て来られるだろうか？」と言いました。

イエスという男がキリストであるかどうかについて人々の間で議論があり、キリストはガリラヤから来るのではないかと尋ねる人もいました。

1. イエス：私たちが必要とするキリスト

2. キリストの起源の独自性

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. マタイ 2:23 - そして彼はナザレという町に行って住みました。それは、「彼はナザレ人と呼ばれるであろう」という預言者たちの言葉が成就するためでした。

ヨハネ 7:42 聖書には、「キリストはダビデの子孫から、ダビデのいたベツレヘムの町から出て来る」と書かれていたではありませんか。

この箇所は、イエスがダビデの家系からベツレヘムの町で生まれたという事実を強調しています。

1. 奇跡の受肉: キリストは聖書をどのように成就させたか

2. イエスの威厳: 彼の誕生はどのように予告されたか

1. イザヤ書 9:6-7: 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ミカ 5:2: しかし、ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族に入るには小さすぎますが、あなたの中からイスラエルの統治者となる人が私のために出てくるでしょう。その出てくるのは昔からです。古代から。

ヨハネ 7:43 それで、彼のせいで民の間に分裂が生じた。

人々はイエスのことで分裂しました。

1. イエスの分裂性: 対立を克服する方法

2. イエスの力: イエスの存在がどのように私たちを結びつけるのか

1. ローマ 14:13-14 - ですから、私たちはもうお互いに裁きを下すのではなく、兄弟の道につまずきや障害を決して置かないことを決心しましょう。

2. 第一コリント 1:10-13 - 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの御名によって、あなたがた全員が同意し、あなたがたの間に分裂がなく、同じ思いで団結するようにお願いします。そして同じ判断。

ヨハネ 7:44 そして、彼らのうちの何人かは彼を連れ去ったでしょう。しかし誰も彼に手を出さなかった。

ヨハネ 7 章 44 節は、イエスが逮捕を免れたことについての箇所です。

1. 正しいことのために立ち上がることを恐れないでください。

2. 神は忠実に仕える者を守ってくださいます。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 27:1 - 「主は私の光であり、私の救いです。私は誰を恐れるべきでしょうか。主は私の人生の砦です。私は誰を恐れるべきでしょうか。」

ヨハネ 7:45 それから役人たちが祭司長たちとパリサイ人たちのところに来た。そこで彼らは言った、「どうして彼を連れて来なかったのですか」。

役人たちは祭司長とパリサイ人に、なぜイエスを自分たちのところに連れて来なかったのかと尋ねました。

1. 真実を明らかにするために質問する力。

2. 約束したことをやり遂げることの大切さ。

1. ルカ 6:46-49、なぜあなたは私を「主よ、主よ」と呼びながら、私の言うことを実行しないのですか。

2. ルカ 11:9-10、探せば見つかるでしょう。ノックすればドアが開かれます。

ヨハネ 7:46 役人たちは答えた、「この人のような話し方をした人はいない」。

役人たちはイエスの言葉に驚きました。

1: イエスの言葉は驚きと畏怖の源です。

2: 私たちはイエスと同じ知恵と権威をもって話すように努めるべきです。

1: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道はわたしの道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの思いも高いからだ」あなたの考えよりも。」

2: ヤコブ 3:17 「しかし、上から来る知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、扱いやすく、憐れみと良い実とに満ちていて、偏りや偽善がありません。」

ヨハネ 7:47 そこでパリサイ人たちは答えた、「あなたたちもだまされているのか。」

パリサイ人は、イエスの話を聞いていた人々も騙されたのではないかと尋ねました。

1. 神から隠されたものは何もない - 伝道者の書 12:14

2. 知恵の言葉に注意を払う - 箴言 23:23

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. 詩篇 119:104 - あなたの戒めを通して、私は理解できます。したがって、私はあらゆる間違ったやり方を嫌います。

ヨハネ 7:48 支配者やパリサイ人の中に、イエスを信じた人がいるでしょうか。

この箇所は、ユダヤ人の支配者やパリサイ人の中にイエスを信じた人がいるかどうかを尋ねています。

1. 心の盲目: 私たちは人生における神の臨在をいかに見逃しているか

2. 信仰の力: 信仰が私たちをどのように変えるのか

1. ローマ 10:14-17 - 主の名を呼び求めるすべての人はどのように救われるのか。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神が御子を世に遣わされたのは、御子を信じる者が滅びずに永遠の命を得ることができるためでした。

ヨハネ 7:49 しかし、律法を知らないこの民は呪われています。

律法を知らない者は呪われる。

1: 神と法律に対する義務を忘れないでください。なぜなら、律法に従うことによってのみ救われるからです。

2: 法律を無視しないでください。私たちが法律に従うのは神の御心だからです。そしてそうしない者は呪われるでしょう。

1: ヤコブ 2:10-12 「律法全体を守っていても、一点で失敗する者は、そのすべてに対して責任を負うことになるからです。なぜなら、「姦淫をしてはならない」と言う者は、「人を殺してはならない」とも言ったのだからです。「もしあなたが姦淫を犯さずに殺人を犯したなら、あなたは法の違反者になったことになる。だから、自由の法によって裁かれる者として発言し、行動しなさい。」

2: マタイ 5:17-19 「わたしが来たのは、律法や預言者を廃止するためだと思うな。わたしが来たのは、それらを廃止するためではなく、成就するためである。真実に言っておくが、天と地が消滅するまでは、そうではない。」すべてが達成されるまでは、どんな小さな文字であっても、ペンの最小のストロークであっても、律法から消えることはありません。したがって、これらの最も小さな命令の 1 つを脇に置いて、それに応じて他の人に教える者は、天国で最も小さなものと呼ばれます。しかし、これらの戒めを実践し、教える者は天の王国で偉大と呼ばれるでしょう。」

ヨハネ 7:50 ニコデモは彼らに言った、（彼らのうちの一人で、夜にイエスのところに来た人）

ニコデモはイエスを救世主であると断言します。

1. イエスに従うとはどういう意味ですか?

2. どうすればイエスへの信仰を実践できるでしょうか?

1. ヨハネ 3:1-21 - ニコデモがイエスを訪問

2. ローマ 10:9-10 - 口で告白し、心で信じることが救いにつながる

ヨハネ 7:51 私たちの法律は、人の話を聞いて、その人の行いを知る前に、人を裁くのでしょうか。

この箇所は、人の話を聞いて理解する前に、法律が人を裁くべきかどうかを問うています。

1. 神の律法は裁きの道具ではなく、恵みと理解の源です。

2. 私たちは、判断を下す前に、他の人の意見を聞き、理解するよう努めるべきです。

1. ヤコブ 2:12-13 - 「自由を与える律法によって裁かれる者として話し、行動しなさい。憐れみのない裁きは、憐れみを持たなかった者に示されるからです。憐れみは裁きに勝利します。」

2. マタイ 7:1-5 - 「裁いてはなりません。そうしないと、あなたも裁かれることになります。なぜなら、あなたが他の人を裁くのと同じように、あなたも裁かれるからです。そして、あなたが使う尺度で、あなたも測られるからです。なぜですか。」あなたは、あなたの兄弟の目の中にあるおがくずの斑点を見て、自分の目の中にある板には注意を払わないのですか? いつも目の前にあるのに、どうやって兄弟に「あなたの目から斑点を取り除いてあげましょう」と言えますか?自分の目に板が入ったのか？偽善者よ、まず自分の目から板を取り除いてください。そうすれば、兄弟の目から斑点を取り除くためにはっきりと見えるようになります。」

ヨハネ 7:52 彼らは答えて彼に言った、「あなたもガリラヤ出身ですか」。探して、見てください。ガリラヤからは預言者は生まれないからです。

イエスの時代の宗教指導者たちは、ガリラヤ出身の預言者はいなかったため、ガリラヤ出身なのかとイエスに質問しました。

1. イエスは、もっとよく知っているはずの人々から軽蔑され、拒絶されました。

2. 出身地に基づいて、すぐに人を判断すべきではありません。

1. イザヤ書 53:3 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っていました。

2. マタイ 7:1 - 裁かないでください。裁かれないようにするためです。

ヨハネ 7:53 そして、人はみな自分の家に帰った。

この一節は、仮庵の祭りの後、ユダヤ人がどのようにして離散したかを説明しています。

1. 神の聖日を守ることの重要性

2. 一致と交わりの祝福

1. 使徒 2:1-4 - ペンテコステの聖霊の降臨

2. 詩篇 133:1 - 神の民が団結して一緒に住むのは、なんと素晴らしく楽しいことでしょう。

ヨハネ 8 章では、姦淫の現場で捕らえられた女性の事件、イエスの神性と起源に関するイエスの説教、そしてその後のユダヤ人の指導者たちとの論争が語られています。

第 1 段落: この章は、律法学者とパリサイ人が姦淫の現場で捕らえられた女性をイエスの前に連れて行ったとき、イエスが神殿の法廷で教えられたところから始まります。彼らはモーセの律法に従って彼女を石打ちにするべきかどうかを尋ね、イエスを陥れようとした。イエスは直接答える代わりに、地面に書いてから、「あなたがたの中で罪のない者が、まずその女に石を投げなさい。」と言いました。自らの良心に有罪を宣告された彼らは一人また一人と去り、最後にイエスだけが残され、そこに立っている女性を解放し、「私もあなたを非難しません。今、あなたの人生の罪から離れてください。」と言いました。（ヨハネ 8:1-11）。

第 2 段落: この事件の後、イエスはご自身を「世の光」と宣言し、ご自分に従う者は決して暗闇を歩むことはなく、明るい人生を歩むと約束されました。これによりパリサイ人はイエスの証言を自己肯定的で無効であるとして異議を唱えました。それに対してイエスは、たとえご自身について証言したとしても、その証言は有効であると主張されました。なぜなら、父なる神がご自分を遣わされたことを知らずに人間の基準で判断して、さらに彼らを責めることがどこから来たのか知っているからです（ヨハネ8:12-20）。

第3段落: 彼らがイエスの正体について不信仰と混乱を続けているにも関わらず、イエスは、差し迫った死が彼らの結果として生じる罪、不信仰であることを繰り返し述べた。なぜなら、「私は彼である」と信じない限り、宣言された場所に行くことはできないからである、死ぬだろう、罪はユダヤ人の間に分裂を引き起こしているある者は信じている者もいるが、彼を捕らえようとしていると信じている者もいるが、そうではないある人が彼に手を差し伸べたのは、彼の時間がまだアブラハムの喜びを肯定することで終わっていなかったからである。その日、アブラハムが生まれる前から物議を醸している主張が「アブラハムが生まれる前から私は存在する」と喜んでいたのを見た。彼らに石を拾わせて石を投げさせたが、逃げて身を隠した（ヨハネ 8:21-59）。

ヨハネ 8:1 イエスはオリーブ山に行かれた。

イエスは弟子たちに教えるためにオリーブ山に行きました。

1. 教えることの重要性: オリーブ山のイエス

2. イエスから学ぶ: オリーブ山への旅

1. マタイ 28:18-20 - そして、イエスが来て彼らに言われた、「天と地のすべての権威がわたしに与えられている。だから行って、すべての国の人々を弟子とし、父と神の名によって彼らにバプテスマを授けなさい」」

2. 使徒 1:1-8 - 最初の本で、テオピロスよ、私は、イエスが聖霊を通してイエスに命令を与えた後、取り上げられる日まで、イエスが行い始めたこと、教え始めたことすべてを扱いました。彼が選んだ使徒たち。イエスは多くの証拠によって苦しみの後に彼らに生きた姿を現し、40日間彼らに現れて神の国について語りました。そして彼らと一緒にいる間、彼は彼らにエルサレムから離れず、父の約束を待つように命じました。というのは、ヨハネは水でバプテスマを受けましたが、あなたがたは数日後に聖霊のバプテスマを受けることになるからです。」

ヨハネ 8:2 そして、朝早く、イエスが再び宮に入られると、民は皆、彼のところに来た。そして彼は座って彼らに教えました。

ヨハネは朝早く神殿で人々に教えました。

1. 早起きの力: ジョンの例から学ぶ

2. 霊的生活への投資: 神のために時間を作る

1. 詩篇 5:3 - 「朝、主よ、あなたはわたしの声を聞きます。朝、わたしはあなたの前に自分の願いを置き、待ち望んでいます。」

2. 箴言 8:17 - 「私を愛する人を愛し、私を求める人は私を見つける。」

ヨハネ 8:3 そこで、律法学者とパリサイ人たちは、姦淫の場で捕らえられた女をイエスのところに連れてきた。そして彼らが彼女を真ん中に置いたとき、

律法学者とパリサイ人は、姦淫の現場で捕らえられた女性をイエスのもとに連れて行きました。

1. 憐れみの力: イエスの模範から学ぶ

2. イエスと律法: 私たち自身の行動を吟味する

1. ヤコブ 2:13 - 「憐れみを示さなかった者には裁きは容赦ないからです。慈悲は裁きに勝利します。」

2. ルカ 6:36-37 - 「あなたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。裁かないでください。そうすれば、あなたも裁かれることはありません。非難しなければ、あなたも非難されることはありません。許しなさい、そうすればあなたも許されるでしょう。」

ヨハネ 8:4 彼らは彼に言った、「先生、この女は姦淫の現場で捕らえられたのです。」

この箇所は、姦淫の現場で捕らえられ、裁きのためにイエスのもとに連れて行かれた女性について書かれています。

1. 救いの力: 許しの中の神の恵みと愛

2. 私たち自身の罪の検討: 自分自身の欠点を認識し、立ち向かう

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. イザヤ書 1:18 - 「さあ、一緒に論じましょう」と主は言われます。「たとえあなたの罪が緋のようであっても、それは雪のように白くなるでしょう。たとえそれらが深紅のように赤いとしても、それらは羊毛のようになるでしょう。」

ヨハネ 8:5 さて、モーセは律法の中で、このような者は石で打ち殺されるようにと命じました。しかし、あなたは何と言いますか。

この箇所では、モーセが特定の罪に対して石打ちを命じたという事実と、イエスの対応について論じられています。

1. イエスの憐れみ: モーセの律法に照らして、イエスの憐れみと恵みの教えを理解します。

2. 律法と恵み: 旧約聖書の律法とイエスの恵みを比較対照します。

1. ローマ人への手紙 6:14 - あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるので、罪はあなたを支配することができません。

2. マタイ 5:17-18 - 「わたしが来たのは、律法や預言者を廃止するためだと思うな。わたしが来たのは、それらを廃止するためではなく、成就するためである。本当に、天と地が過ぎるまで、あなたがたに言います。」すべてが達成されるまで、一刻も一点も法から逃れることはないだろう。」

ヨハネ 8:6 彼らはこう言って、彼を告発させようと誘惑した。しかし、イエスはかがみ込み、まるでその声が聞こえていないかのように、指で地面に字を書きました。

ヨハネは周囲の人々から誘惑を受けていましたが、イエスはその誘惑を無視してかがみ込み、代わりに地面に文字を書きました。

1. 神は私たちに誘惑に抵抗する力を与えてくださいます。

2. 私たちは知恵を働かせて誘惑にどう対処すべきかを見極めなければなりません。

1. ヤコブ 1:13-15 - 「誘惑されているとき、『私は神に誘惑されている』と誰も言ってはなりません。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、ご自身も誰も誘惑されないからです。しかし、人は誰でも誘惑されるとき、誘惑されるのです。「人間は自分の欲望に誘惑され、誘惑されます。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は成長すると死を生み出します。」

2. ヘブル人への手紙 4:15-16 - 「私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいません。あらゆる点で私たちと同じように誘惑を受けながらも、罪を犯していない大祭司がいます。それでは、自信を持って絵を描きましょう。恵みの御座の近くにあり、私たちが慈悲を受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように。」

ヨハネ 8:7 それで、彼らがさらに尋ねると、イエスは立ち上がって、彼らに言った、「あなたがたの中で罪を犯していない人が、まず彼女に石を投げてください。」

この一節は、謙虚さと正義へのイエスの呼びかけを強調し、他の罪を非難する前に自分の罪を裁くよう人々に促しています。

1. 「謙虚さの力: 神の恵みは私たちを正しく裁くのにどのように役立つか」

2.「神の目に映る正義：愛することと許すことを学ぶ」

1. ヤコブ 4:12 - 「立法者と裁判官はただ一人、救うことも滅ぼすこともできる人です。しかし、隣人を裁くあなたは誰ですか。」

2. マタイ 7:5 - 「偽善者よ、まず自分の目から板を取り除きなさい。そうすれば、兄弟の目から汚れを取り除くために、はっきりと見えるようになります。」

ヨハネ 8:8 そしてまた、かがみ込んで、地面に字を書きました。

ジョンは謙虚さのしるしとして地面に文字を書いていました。

1: 謙虚さは私たちの日常生活の指針となる美徳です。

2: ヨハネ 8:8 のイエスの模範から力と知恵を引き出すことができます。

1: ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2: ヤコブ 4:10 - 主の前に謙虚になりなさい、そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

ヨハネ8:9 それを聞いた人々は、自分の良心に罪があると感じて、長男から最後まで、一人ずつ出て行った。すると、イエスだけが残され、女は真ん中に立っていました。

この箇所には、イエスの言葉を聞いた人々が良心の呵責を感じて一人ずつその場から立ち去り、最後にはイエスと女性だけが残るまでの反応が描かれています。

1. 誠実に生きる: 誘惑に直面して毅然と立ち向かう方法

2. 言葉の力: 私たちの言葉がどのように他人に命を吹き込むことができるか

1. ローマ 2:15 - 「彼らは、律法の働きが自分たちの心に刻まれていることを示していますが、その一方で、彼らの良心も証言しており、彼らの矛盾した考えが彼らを非難したり、さらには言い訳したりします。」

2. ヤコブ 3:2 - 「私たちは皆、さまざまな点でつまずきます。そして、自分の言うことにつまずかない人がいるなら、その人は完璧な人であり、全身を手綱で縛ることもできる。」

ヨハネ 8:10 イエスは体を起こして、女以外に誰もいないのを見て、彼女に言われた、「女よ、あなたを告発するあの人たちはどこにいるのですか」。誰もあなたを非難しなかったのですか？

その女性は非難する群衆に直面しましたが、イエスはそれを見抜き、誰かが彼女を非難したのかと尋ねました。

1: 神は世の非難を無視して、私たちを深く気遣ってくださいます。

2: 私たちに対するイエスの愛は無条件であり、最も忌まわしい状況さえも超えて広がります。

1: 1 ヨハネ 3:16-18 「このことによって、私たちは愛を知ります。彼は私たちのために命を捨て、私たちは兄弟のために命を捨てるべきです。しかし、誰かがこの世の財産を持っていて、自分の兄弟を目にしたとしたら、」

2: ルカ 6:27-28 「しかし、聞いているあなたたちに言います。敵を愛し、あなたを憎む者に善を行い、あなたを呪う者を祝福し、あなたを虐待する者のために祈りなさい。」

ヨハネ 8:11 彼女は言った、「主よ、そんな人はいません」。するとイエスは彼女に言われた、「わたしもあなたを罪に定めません。行きなさい、そしてもう罪を犯さないでください。」

この箇所は、姦淫の罪で捕らえられた女性に対するイエスの憐れみと恵みについて語っています。イエスは彼女を非難せず、むしろ行ってもう罪を犯さないようにと言い、憐れみを示しました。

1. イエスの無条件の愛 - 私たちに対するイエスの愛は非常に大きいので、私たちの罪を顧みず、憐れみと恵みを示してくださいます。

2. 神聖な生活を送る - イエスは私たちの罪を赦してくださるだけではなく、神聖で神に従順な生活を送るよう私たちに呼びかけられます。

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

2. ペテロ第一 1:15-16 - しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。「わたしが聖であるから、あなたも聖になるでしょう。」と書いてあるからです。

ヨハネ 8:12 それから、イエスは再び彼らに言われた、「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つであろう。」

イエスはご自身を世の光であると宣言し、イエスに従う者は暗闇の中を歩むのではなく、命の光を持つと約束されます。

1. イエスの光の中で生きる - 救いの希望

2. イエスの光の中を歩む - 真の命への道

1. ヨハネ 1:5 - そして光は暗闇の中で輝きます。そして闇はそれを理解できなかった。

2. イザヤ書 60:1 - 立ち上がれ、輝きなさい。あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に昇るからです。

ヨハネ 8:13 そこでパリサイ人たちは彼に言った、「あなたは自分のことを記録に残しています。あなたの記録は真実ではありません。

イエスの自己証言はパリサイ人によって異議を唱えられました。

1: 世が何と言おうと、イエスの証人は信頼できる。

2: 私たちはイエスの言葉が私たちを導いてくれると信頼できます。

1: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2: 2 コリント 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去りました。見よ、すべてが新しくなった。

ヨハネ 8:14 イエスは答えて言われた。しかし、あなたがたには、私がどこから来てどこへ行くのかがわかりません。

イエスは自分自身について証言しましたが、彼の記録は真実でした。

1. イエスの証言と真実

2. 私たちがどこから来てどこへ行くのかを知る

1. ヨハネ 1:14 - そして、言葉は受肉して私たちの間に住まわれ、私たちは神の栄光、恵みと真理に満ちた父からの独り子のような栄光を見ました。

2. ヨハネ第一 5:9-10 - 私たちが人間の証しを受け取るなら、神の証しはさらに偉大になります。これは神が御子に関して立てられた神の証しだからです。神

の御子を信じる者は誰でも自分自身の中に証しを持っています。

ヨハネ 8:15 あなたがたは肉に従って裁きます。私は誰も判断しません。

ヨハネ 8:15 は、謙虚になり、他人を裁かないように教えています。

1.「隣人を愛せよ：裁きを避ける」

2.「謙虚さの力：他人を批判しないこと」

1. ヤコブ 4:11-12 - 「兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟に悪口を言い、兄弟を裁く者は、律法に悪口を言い、律法を裁いているのです。しかし、あなたが法を裁くなら、あなたも同じです。」彼らは法の実行者ではなく裁判官です。

2. マタイ 7:1-5 - 「裁いてはなりません。裁かれないようにするためです。あなたが宣告する裁きによってあなたは裁かれるでしょうし、あなたが用いる尺度によってそれはあなたに測られるからです。なぜあなたはその斑点を見るのですか？」あなたの兄弟の目の中にはあるのに、あなた自身の目にある丸太に気づかないのですか? または、自分の目に丸太があるのに、どうやって兄弟に「あなたの目から斑点を取り除いてください」と言えますか?偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除き、それから兄弟の目からゴミを取り除くためにはっきりと見えるようになります。」

ヨハネ 8:16 しかし、私が裁くなら、私の裁きは真実です。なぜなら、私は一人ではなく、私と私を遣わした父だからです。

イエスと父は一つであるため、イエスだけが判断を下すわけではありません。

1. 団結の力: 協力することでどのように判断力が強化されるか

2. 父と子: イエスと神の関係に関する研究

1. ローマ 8:31-39 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. ヨハネ 17:1-26 - そして、あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。私たちが一つであるように、彼らも一つであってください。

ヨハネ 8:17 あなたの律法にも、二人の人の証言は真実であると書いてあります。

この一節は、法律に従って、法的場面における二人以上の証人の真実性について語っています。

1. 「証言の力: 二人の証人の法則が真実に到達するのにどのように役立つか」

2. 「証人の法則: 私たちの生活への実践」

1. 申命記 19:15 - 「一人の証人は、いかなる不法行為、あるいはいかなる罪、その人が犯した罪についても、人に対して立ち上がってはならない。二人の証人の口でも、あるいは三人の証人の口でも、問題は確立されます。」

2. ヘブライ 10:28 - 「モーセの律法を軽蔑した者は、二人か三人の証人のもとで容赦なく死んだ。」

ヨハネ 8:18 わたしは自分のことを証しする者であり、わたしを遣わした父もわたしのことを証ししてくださいます。

この箇所は、イエスがご自身の身分を証ししていること、そしてイエスを遣わした父もまたイエスの身分を証していることを表現しています。

1. イエスは神の子です: 信仰の証し

2. イエスの神の証人: ヨハネ 8:18 に関する研究

1. ローマ 8:16 - 御霊ご自身が、私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。

2. ヨハネ第一 5:9-10 - 私たちが人間の証しを受けるなら、神の証しはさらに偉大です。これは神が御子について証言された神の証人だからである。

ヨハネ 8:19 そこで彼らは言った、「あなたの父はどこにいるのか」。イエスは答えられた、「あなたがたはわたしもわたしの父も知りません。もしあなたがわたしを知っていたなら、わたしの父も知っていたはずです」。

パリサイ人たちはイエスに父について尋ねましたが、イエスはイエスも父も知りませんと答えました。

1. 神と私たちの関係 - 神が誰であるか、そして神との関係において私たちが何者であるかを知ることの重要性を理解する。

2. 神を知る - 神の本質と神の性質を理解することの重要性を認識する。

1. マタイ 11:27 - 「すべてのことは父から私に託されました。父以外には誰も息子を知りません。また、子と息子が彼を明らかにするために選んだ人々以外には誰も父を知りません。」

2. イザヤ書 55:8-9 - 「私の考えはあなたの考えではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道や私の考えよりも高いからです」あなたの考えよりも。」

ヨハネ 8:20 これらの言葉は、イエスが神殿で教えていたように、宝物庫でイエスに語られたものでした。彼の時はまだ来ていなかったからだ。

イエスはまだその時が来ていなかったので、逮捕されることなく神殿で話しました。

1. 神のタイミングは完璧です - ヨハネ 8:20

2. 従順の重要性 - ヨハネ 8:20

1. 使徒 2:23 - イエスの死に関する神のあらかじめ定められた計画と予告。

2. イザヤ書 53:10 - しかし、彼を打ち砕いて苦しませるのは主のご意志でした。主は彼の命を罪のいけにえとされますが、彼は子孫を見て寿命を延ばすでしょう、そして主の御心は彼の手の中で繁栄するだろう。

ヨハネ 8:21 それから、イエスは再び彼らに言われた、「わたしはわたしの道を行く。あなたがたはわたしを求めて、罪のうちに死ぬことになる。わたしが行く所に、あなたがたは来ることはできない」。

イエスは人々に、彼らはイエスを求めるが、罪の中で死ぬことになり、イエスに従うことはできないと言われます。

1. イエスを否定した結果

2. 神の愛と慈悲の力

1. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死です。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。」

ヨハネ 8:22 そこでユダヤ人たちは言った、「彼は自殺するのか」。なぜなら、彼は、「わたしが行くところ、あなたがたは来ることができない」と言っているからです。

ユダヤ人たちは、イエスが行こうとしているところまで従うことはできないというイエスの言葉に当惑しました。

1. イエスの使命の目的: イエスが導かれるところならどこへでも私たちが従うことができるようにすること

2. 信仰の力: イエスがどこへ行っても従う方法

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がご自身であり、神を求める者たちに報いてくださる方であることを信じなければなりません。」

2. ヨハネ 14:4 - 「そして、あなたは私の行く道を知っています。」

ヨハネ 8:23 そこでイエスは彼らに言った、「あなたがたは下から来た者である。私は上から来た者です。あなたがたはこの世の者です。私はこの世の者ではありません。

イエスは自分がこの世からではなく上から来たことを明らかにしています。

1: イエスは私たちを罪と暗闇の世界から救うために来られました。

2: イエスはこの堕落した世界から来たのではなく、天から来たのです。

1: ヨハネ 3:19-21 - そして、これは非難です、光が世に来て、人々は彼らの行いが悪だったため、光よりも闇を愛したということです。悪を行う者は皆、光を憎み、その行為が非難されることを恐れて光のもとに来ないからである。しかし、真理を行う者は光のもとに来て、その行為が明らかにされ、それが神にあって為されたものであることが明らかにされる。

2: コロサイ 1:13-14 - 私たちを闇の力から救い出し、愛する御子の王国に移してくださったのは、私たちに御子の血による救い、さらには罪の赦しを与えてくださった方です。

ヨハネ 8:24 そこで、私はあなたがたに言いました、「あなたがたは自分の罪の中で死ぬことになる。もしあなたがたが、わたしが彼であることを信じないなら、あなたがたは自分の罪の中で死ぬことになるからである」。

イエスをメシアとして信じなければ、あなたは罪の中で死ぬことになります。

1. 信じる力: イエスへの信仰が私たちをどのように救うか

2. イエスをメシアとして受け入れる: イエスに従うとはどういう意味か

1. ローマ 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が主を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、神を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ヨハネ 8:25 そこで彼らは彼に言った、「あなたは誰ですか」。そしてイエスは彼らに言われた、「わたしが最初からあなたたちに言ったのと同じです。」

イエスは、自分が最初から言ったとおりであると宣言しました。

1. イエスのアイデンティティを理解する - 彼は誰ですか?

2. 不動心 - 時代を超えたイエスの一貫性

1. イザヤ書 7:14 「それゆえ、主ご自身があなたにしるしを与えられます。処女はみごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶでしょう。」

2. ヨハネ 10:30、「わたしと父は一つです。」

ヨハネ 8:26 私には、あなたがたについて言いたいこと、裁きたいことがたくさんあります。しかし、私を遣わした方は真実です。そして私は彼について聞いたことを世界に話します。

ヨハネは神から聞いた真実を世界に語っています。

1. 真実の人生を生きる。

2. 神の真実を知り、受け入れる。

1. ヨハネ 8:32、「そうすれば、あなたがたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

2. コロサイ 3:17、「そして、あなたがたは言葉であれ行いであれ、すべて主イエスの名によって行い、主イエスによって神と父に感謝しなさい。」

ヨハネ 8:27 彼らは、イエスが父のことを彼らに語られたことを理解していませんでした。

人々はイエスが父について話していることを理解していませんでした。

1. イエスを通して啓示された父: イエスの言葉の重要性を理解する

2. 父を知る：イエスを通して神の愛を体験する

1. マタイ 11:27 - 「すべてのことは父から私に託されました。父以外には誰も御子を知りませんし、御子と御子が御子を明らかにすることを選んだ人々以外には誰も御父を知りません。」

2. ヨハネ第一 4:16 - 「神は愛であり、愛にとどまる者は神のうちにとどまり、神もその人の内にとどまります。」

ヨハネ 8:28 それから、イエスは彼らに言われた、「あなたがたが人の子を上げたとき、あなたがたは、わたしがその子であること、そしてわたしが自分から何もしていないことを知るだろう。しかし、父が私に教えてくれたように、私はこれらのことを話します。

人の子はイエスであり、彼は父が彼に教えたことを話します。

1. イエス、私たちの忠実さのモデル

2. 父の知恵と子の従順

1. ヨハネ 14:10-11 「あなたがたは、わたしが父のうちにおり、父がわたしのうちにおられることを信じないのですか。わたしがあなたがたに言う言葉は、自分の権威に基づいて言っているのではなく、内に住まわれている父に基づいて話しています。」「私は彼の働きを行います。私が父のうちにおり、父が私の中にいると信じてください。そうでなければ、働きそのもののゆえに信じてください。」

2. ガラテヤ人への手紙 2:20 - 「私はキリストとともに十字架につけられました。生きているのはもはや私ではなく、私の内に生きているキリストです。そして、私が今肉体で生きている命は、神の御子への信仰によって生きています。私を愛し、私のために身を捧げた。」

ヨハネ 8:29 そして、私を遣わした方は私とともにおられます。父は私を一人にしておかれませんでした。というのは、私はいつも彼が喜ぶようなことをしているからです。

神はいつも私たちと共にいて、私たちを決して一人にはさせません。

1. 神はいつもそこにおられる：私たちの生活における主の臨在に頼る

2. 神を喜ばせる: 私たちの行動がどのように神の愛を反映しているか

1. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. ヘブライ 13:5 - お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足してください。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。

ヨハネ 8:30 彼がこれらの言葉を語ったとき、多くの人が彼を信じました。

一節 イエスが語られた後、多くの人がイエスを信じました。

1. 信仰の力 - イエスの言葉がどのように弟子たちに信仰を与えたか。

2. 信じて受け取る - イエスを信じることの大切さと、そこから得られる祝福。

1. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分でしたことではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

ヨハネ 8:31 それからイエスは、自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしあなたがたがわたしの言葉を聞き続けるなら、あなたがたはまさにわたしの弟子だ。」

イエスはユダヤ人たちに、真の弟子になるために自分の言葉を守り続けるよう勧めています。

1: 真の弟子となるためにキリストのうちにとどまる

2: 弟子であることの代償

1: ヨハネ 15:1-10 - 真の弟子となるためにキリストのうちにとどまる

2: ルカ 14:25-33 - 弟子であることの代償

ヨハネ 8:32 そうすれば、あなたがたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。

この聖句は、人々が自由をもたらす知識と真実を求めるよう奨励しています。

1. 知識と真実が自由の基礎であることを認識します。

2. 自由な人生への道として知識と真実を受け入れます。

1. 箴言 3:13-14 - 「知恵を見つける人、理解力を得る人は幸いである。なぜなら、その商品は銀の商品よりも優れており、その利益は純金よりも優れているからです。」

2. ピリピ人への手紙 4:8 - 「最後に、兄弟たち、どんな真実でも、どんな正直でも、どんな正しいことでも、どんな清いことでも、どんな美しいことでも、どんな良い報告でもあります。もし何か美徳があるなら、そして何か賞賛があるなら、これらのことを考えてください。」

ヨハネ 8:33 彼らは答えた、「わたしたちはアブラハムの子孫であり、だれにも奴隷になったことは一度もありません。あなたがたは自由にされるとどうして言うのですか。」

ユダヤ人たちは、自分たちは誰にも奴隷になったことはないと主張しますが、イエスはこれに同意しません。

1.「キリストにおける自由の真実」

2.「真に自由とはどういう意味ですか?」

1. ガラテヤ 5:1、「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださったのです。だからしっかり立ちなさい。奴隷のくびきに再び屈しないでください。」

2. ヘブル人への手紙 2:14-15、「ですから、子らは血と肉を分かち合っているのですから、彼自身も同様に同じものにあずかりました。それは、死の力を持つ者、つまり悪魔を死によって滅ぼすためでした。そして死の恐怖によって生涯奴隷にされたすべての人々を救ってください。」

ヨハネ 8:34 イエスは彼らに答えられた、「まことに、まことに、あなたがたに言います。罪を犯す者はだれでも、罪の僕です。」

罪は私たちを奴隷にしていますが、私たちを解放できるのはイエスだけです。

1: イエスこそが自由への唯一の道である

2: 罪の奴隷になってはいけない

1: ヨハネ8:34

2: ガラテヤ 5:1 - 「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださったのです。だからしっかり立ちなさい。奴隷のくびきに再び屈しないでください。」

ヨハネ 8:35 また、しもべはいつまでも家にとどまるのではなく、子はいつまでもとどまります。

息子は常に家にいますが、使用人はそうではありません。

1. 父の愛: キリストのうちにとどまること

2. 神の揺るぎないコミットメント: 永遠の約束

1. ヨハネ 14:16-18 - そして、私は父にお願いします。そうすれば、父はあなたに永遠に共にいてくださるもう一人の助け手、つまり真理の御霊を与えてくださるでしょう。

2. イザヤ書 40:8 - 草は枯れ、花はしぼみますが、私たちの神の言葉は永遠に残ります。

ヨハネ 8:36 したがって、もし御子があなたを自由にしてくださるなら、あなたがたは確かに自由になるでしょう。

この一節はクリスチャンに、イエスからの自由という贈り物を受け入れ、その自由の中で生きるよう勧めています。

1. 「実に自由です - イエスが提供する自由の中で生きる」

2.「キリストの無条件の自由」

1. ローマ人への手紙 6:18 「そのとき、あなたがたは罪から解放されて、義の僕となった。」

2. ガラテヤ 5:1 「ですから、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ち、再び奴隷のくびきに絡めとられてはいけません。」

ヨハネ 8:37 私は、あなたがたがアブラハムの子孫であることを知っています。しかし、あなたがたは私を殺そうとしている、なぜなら私の言葉はあなたたちの中に存在しないからである。

アブラハムの血統に属する人々は、イエスの言葉を拒否したため、イエスを殺そうとしていました。

1: 私たちは、自分たちの血統にもかかわらず、謙虚になってイエスの言葉の真実を受け入れなければなりません。

2: 私たちはイエスの教えを拒否する言い訳として自分たちの血統を利用してはなりません。

1: ローマ 2:17-29 - ユダヤ人は、アブラハムからの肉体的な血統だけでは神の前に義とされるには十分ではないことを思い出させられました。

2: ガラテヤ 6:15-16 - パウロはガラテヤ人に、大切なのは彼らの受け継いだものではなく、むしろキリストにおける新しく創造されたものであることを思い出させます。

ヨハネ 8:38 わたしは父とともに見たことを話します。そして、あなたがたは父とともに見たことを行います。

イエスは父とともに見たことについて語り、イエスに従う者たちは父とともに見たことを行います。

1. 「私たちが信じていることを見る：ヨハネ 8:38 の考察」

2. 「ウォーキング・ザ・トーク: 私たちが信じていることを実践する」

1. エペソ人への手紙 4:1-2 「ですから、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、自分に召された使命にふさわしい生き方をし、次のことに忍耐を示してくださるようお願いします。」お互いに愛し合っています。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に適応するのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。そうすれば、神の御心が何であるか、何が善であり、受け入れられ、完全であるかを証明できるようになります。」

ヨハネ 8:39 彼らは答えて言った、「アブラハムは私たちの父です。」イエスは彼らに言った、「もしあなたがアブラハムの子供だったら、アブラハムの行いをするだろう。」

人々はイエスに、アブラハムが自分たちの父親であると言いましたが、イエスは、もし彼らが本当に自分の子供なら、自分の行いに従って行動するだろうと答えました。

1. 信仰生活を生きる: アブラハムの研究

2. 御言葉にとどまる：聖書に従って生きる

1. ローマ人への手紙 4:16-17、「ですから、この約束は信仰によってもたらされるので、それは恵みによって、アブラハムのすべての子孫、律法に従う者だけでなく、律法に従う者にも保証されるのです。」アブラハムの信仰です。彼は私たち全員の父です。」

2. ヤコブ 2:21-22、「私たちの先祖アブラハムは、息子イサクを祭壇にささげたときの行為によって義とみなされたのではありませんか。彼の信仰と行動が連動していて、彼の信仰が完全なものとなったのがわかりますか。」彼が何をしたのか。」

ヨハネ 8:40 しかし、あなたがたは今、私が神について聞いた真実をあなたがたに語った私を殺そうとしていますが、アブラハムはそうではありませんでした。

イエスは、アブラハムがしなかった神から聞いた真実を語ったために迫害されています。

1. 真実を話すことの危険性

2. 正しいことを行うことに対する迫害

1. ヨハネ 15:18-21 - 「もし世があなたがたを憎むなら、まず世がわたしを憎んだことを心に留めなさい。もしあなたが世界に属しているなら、世界はあなたを世界のものとして愛してくれるでしょう。そのままでは、あなたは世に属していませんが、わたしはあなたを世から選びました。だからこそ、世界はあなたを嫌っているのです。私があなたに言ったことを思い出してください。『召使いは主人より偉いわけではない』。彼らが私を迫害したなら、あなたも迫害するでしょう。彼らが私の教えに従ったなら、あなたの教えにも従うでしょう。彼らは私の名前のせいであなたをこのように扱うでしょう、なぜなら彼らは私を送った人を知らないからです。」

2. ルカ 6:22-23 - 「人の子のせいで、人々があなたを憎み、あなたを排除し、侮辱し、あなたの名前を悪者として拒絶するとき、あなたは幸いです。その日を喜び、喜びに飛び跳ねてください。天国でのあなたの報いは大きいからです。それが彼らの先祖が預言者たちを扱った方法だったからです。」

ヨハネ 8:41 あなたがたは父の業を行っています。そこで彼らは彼に言った、「私たちは不品行から生まれたのではない。私たちは不品行から生まれたのではありません。」私たちには一人の父、さらには神がいます。

イエスはユダヤ人たちに、ユダヤ人には唯一の父である神がいるのだから、不品行によって生まれる必要はない、と明らかにされました。

1. 私たちはみな同じ父親を持つ: ヨハネ 8:41 の意味を探る

2. 神の父性: 私たちのアイデンティティの真の源

1. イザヤ書 64:8 - しかし今、主よ、あなたは私たちの父です。私たちは粘土であり、あなたは私たちの陶芸家です。そして私たち全員はあなたの御手の作品です。

2. ヨハネ第一 3:1 - 見よ、私たちが神の子と呼ばれるように、父はどれほどの愛を私たちに与えてくださったのだろうか。したがって、世は私たちを知らない。なぜなら、世はイエスを知らなかったからである。

ヨハネ 8:42 イエスは彼らに言われた、「もし神があなたがたの父だったら、あなたがたは私を愛するだろう。私は出て行って神のもとから来たのだから。」私も自分から来たのではなく、彼が私を送ってくれました。

イエスは、ご自分の正体を疑っている人たちに、もし神が本当に自分たちの父であるなら、神を疑わないだろうと考えるよう求めています。

1: 私たちはイエスを愛し、信頼しなければなりません。なぜなら、彼は神から来て、神によって遣わされたからです。

2: イエスとその正体を疑ってはなりません。そうすることは私たちの父である神への信仰を欠くことになるからです。

1: マタイ 7:21-23 「私に『主よ、主よ』と言う者が皆、天国に入るわけではありません。ただ、天におられる私の父の御心を行う者だけが天国に入るのです。

多くの人が私にこう言います。」その日、「主よ、主よ、私たちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊を追い出し、あなたの名において多くの奇跡を行いませんでしたか？」それから私は彼らにはっきりと言います、「私はあなたのことを知りませんでした。私から離れなさい、悪人たちよ！」。

2:1ヨハネ4:7-8 「親愛なる友人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているからです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです」。」

ヨハネ 8:43 なぜあなたがたは私の話が理解できないのですか。たとえあなたがたに私の言葉が聞こえないとしても。

イエスは、聞き手が伝えているメッセージを理解できないのはなぜかと疑問を呈し、理解できないのはイエスの言葉が聞こえないからであると示唆しています。

1. 神の言葉を聞く: 理解の鍵

2. イエスのメッセージを受け入れる: 心の問題

1. ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

2. 箴言 4:20-22 - わが子よ、私の言葉に注意してください。私の言葉に耳を傾けてください。彼らがあなたの目から離れないようにしてください。それらをあなたの心の真ん中に留めておいてください。

ヨハネ 8:44 あなたがたの父は悪魔であり、あなたがたは父の欲望に従うのです。彼は最初から殺人者であり、彼の中に真実がないので、真実に住んでいません。彼が嘘をつくとき、彼は自分自身のことを話します。なぜなら、彼は嘘つきであり、嘘つきの父だからです。

この箇所は、嘘と欺瞞の根源は悪魔であるという真実を強調しています。

1. 悪魔の嘘: 欺瞞に対して警戒しなさい

2. 真実の力: 敵の欺瞞を拒否する

1. ヨハネ第一 4:1-6 - 霊を試す

2. エペソ人への手紙 6:10-18 - 神の武具を着る

ヨハネ 8:45 そして、私が真実を言うのに、あなたがたは私を信じません。

真実はそれを聞く人によって拒否されます。

1: たとえ受け入れがたい場合でも、私たちは真実を聞くことに心を開かなければなりません。

2: 私たちは自分の言葉が信頼されるよう、真実の人生を生きるよう努めなければなりません。

1: 箴言 12:17 - 真実を語る者は正しいことを語りますが、偽りの証人、欺きを語ります。

2: コロサイ 3: 9-10 - お互いに嘘をついてはなりません。自分たちが実践している古い自分を脱ぎ捨て、創造主の姿に倣って知識を新たにしている新しい自分を着ているのですから。

ヨハネ 8:46 あなたがたのうち、私に罪があると確信しているのはだれですか。そして、私が真実を言うなら、なぜあなたがたは私を信じないのですか？

ヨハネ 8:46 は、私たちに自分の心を吟味し、出典が何であれ、真理に対して心を開いているかどうかを考えるよう求めています。

1: あなたに真実をもたらす人たちをすぐに判断しないでください。何かを学ぶ機会を逃しているかもしれないからです。

2: 誰が話しても真実を信じましょう。

1: ヤコブ 1:19 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしましょう。

2: 箴言 18:13 - 聞く前に答えるなら、それはその人の愚かさであり、恥である。

ヨハネ 8:47 神から出た者は、神の言葉を聞きます。ですから、あなたがたは神の言葉を聞きません。なぜなら、あなたがたは神から出ていないからです。

神に属する人は神の言葉に耳を傾けますが、神に属さない人は神の言葉を聞きません。

1. 神の言葉を聞きたいなら、私たちは神のものになることを選択しなければなりません。

2. 神は私たちに神の言葉を受け入れ、神の家族の一員になるよう呼びかけています。

1. ローマ人への手紙 8:14-17 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. ヨハネ第一 5:1-5 イエスがキリストであると信じる者は誰でも、神から生まれます。

ヨハネ 8:48 そこでユダヤ人たちは答えて言った、「あなたがサマリア人で、悪魔に取り憑かれているとは、よくないと思いますか。」

ユダヤ人たちはイエスがサマリア人だったため、悪魔が憑いていると非難しました。

1. 隣人の不当な非難

2. 冤罪への反論

1. ローマ 8:31-32 - それでは、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに慈悲深く私たちにすべてのものを与えて下さらないのでしょうか？

2. マタイ 5:11-12 - 「他の人があなたをののしり、迫害し、私のせいで偽ってあなたに対してあらゆる種類の悪を言うとき、あなたは幸いです。喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したからです。

ヨハネ 8:49 イエスは答えられた、「わたしには悪魔がいません。しかし、私は父を敬っているのに、あなたがたは私を辱めているのです。

イエスは、自分は神を敬っているが、人々は神を不名誉にしていると断言しています。

1. イエスの栄誉：ヨハネの福音書における研究

2. 神への敬意を示すために名誉ある人生を送る

1. ローマ 12:10 - 愛をもって互いに献身的に尽くしなさい。自分よりもお互いを尊重しましょう。

2. ペテロ第一 2:17 - すべての人に適切な敬意を示します。信者の兄弟愛を愛し、神を畏れ、王を敬いましょう。

ヨハネ 8:50 私は自分の栄光を求めません。求めて裁く者がいます。

イエスはご自身の栄光を求めておられるのではなく、求めて裁かれるもう一人の方がいるのです。

1. 無私の中に栄光を見出す - ヨハネ 8:50

2. 神の裁き - ヨハネ 8:50

1. ピリピ 2:3-4 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。

4. ローマ人への手紙 14:10 - 私たちは皆、神の裁きの座の前に立つからです。

ヨハネ 8:51 まことに、まことに、あなたがたに言います、もし人が私の言葉を守るなら、その人は決して死を見ることはありません。

この箇所は、永遠の命を得るためにイエスの教えに従うことの重要性を強調しています。

1. イエスの教えの力: イエスの言葉を守ることで私たちに永遠の命が与えられる

2. イエスの命の約束: 信仰生活を送るためのガイド

1. イザヤ書 25:8 - 彼は死を永遠に飲み込みます。そうすれば主なる神はすべての顔から涙をぬぐってくださるでしょう。

2. 1 コリント 15:26 - 滅ぼされる最後の敵は死です。

ヨハネ 8:52 そこでユダヤ人たちは彼に言った、「あなたが悪魔に取り憑かれていることが分かりました。」アブラハムも預言者も死んだ。そしてあなたはこう言います、もし人が私の言葉を守るなら、決して死を味わうことはないでしょう。

ユダヤ人たちは、イエスが自分の言葉を守るなら決して死を味わうことはないと述べた後、悪魔が憑いていると非難した。

1. イエスの言葉の力: なぜ私たちはイエスに耳を傾け、従わなければならないのか

2. イエスに対するユダヤ人の誤解: 私たちは彼らの例に倣ってはいけない

1. ヘブライ人への手紙 9:27 - 「人間には一度死ぬことが定められているが、その後には裁きがある」

2. ヨハネ 11:25-26 - 「イエスは彼女に言われた、『わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。そして、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはない』。」

ヨハネ 8:53 あなたは、死んだ私たちの父アブラハムよりも偉いのですか。そして預言者たちは死んだ。あなたは誰になるのですか？

イエスはユダヤ人たちから自分の権威について質問されていました。

1: 私たちは、自分たちが従う権威の源を常に知るよう努めるべきです。

2: 私たちは、別の権威が私たちがすでに従っている権威よりも偉大である可能性に対して常にオープンであるべきです。

1: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2: エペソ 2:19-20 - ですから、あなたがたはもはやよそ者や外国人ではなく、聖徒たちと同じ国民であり、神の家族の一員であり、使徒と預言者であるイエス・キリストご自身の基礎の上に建てられたのです。主な礎石であること。

ヨハネ 8:54 イエスは答えられた、「もし私が自分を敬うなら、私の栄誉は何にもなりません。私を敬うのは私の父です。私を敬うのは私の父です。」あなたがたは、この人のことを、あなたがたの神だと言います。

イエスは謙虚さと神の力の大切さを教えています。

1. 謙遜の力: イエスの模範から学ぶ

2. 神を敬う: 真の崇拝の心

1. ピリピ人への手紙 2:5-11

2. マタイ6:1-4

ヨハネ 8:55 しかし、あなたがたは彼を知りません。しかし、私は彼のことを知っています。そしてもし私が彼を知りませんと言うとしたら、私はあなたと同じように嘘つきになるでしょう：しかし私は彼のことを知っています、そして彼の言葉を守ります。

ジョンは神とその教えを知っており、知らない人々に対して声を上げることを恐れませんでした。

1: 真実を知ったとき、私たちは声を上げることを恐れるべきではありません。

2: 神を知り、その教えに従うことが最も重要です。

1: 箴言 28:1 - 悪者は誰も追わないと逃げる。しかし正しい者はライオンのように勇敢である。

2: ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

ヨハネ 8:56 あなたの父アブラハムは、私の日を見て喜びました。彼もそれを見て、喜んでいました。

この箇所は、イエスとその日に会ったアブラハムの喜びについて語っています。

1. イエスに会った喜び: アブラハムの信仰を振り返る

2. イエスにあって喜ぶ：救いの約束を祝う

1. ヘブライ 11:13-16 - 救い主の約束に対するアブラハムの信仰

2. ローマ人への手紙 4:17-18 - 神の約束に対するアブラハムの信仰と希望

ヨハネ 8:57 そこでユダヤ人たちは彼に言った、「あなたはまだ五十歳になっていないのに、アブラハムを見たことがあるのか」。

イエスはアブラハムを用いて、自分が神から出た者であることを証明します。

1. 私たちは、イエスの言葉や教えを裏付けるために聖書を用いたイエスの例から学ぶことができます。

2. 神の約束を信じ、神のタイミングが完璧であると信じる。

1. ヘブライ 11:8-12 - 信仰によって、アブラハムは、相続物として受け取る場所に行くように召されたとき、従いました。彼はどこへ行くのかも知らずに出て行った。

2. 詩篇 33:4 - 主の言葉は正しく真実です。神は行うすべてのことに忠実です。

ヨハネ 8:58 イエスは彼らに言われた、「まことに、まことに、あなたがたに言います、アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです。」

イエスは、アブラハムよりも前から存在していたと述べているため、自分が神であると主張しており、これは永遠の宣言です。

1. イエスは神である: ヨハネの探求 8:58

2. イエスの永遠の性質を通してイエスの偉大さを理解する

1. ピリピ人への手紙 2:5-11

2. イザヤ書9:6-7

ヨハネ 8:59 それから、彼らはイエスに投げようと石を取り上げた。しかし、イエスは身を隠し、神殿から出て、彼らの中を通って通り過ぎられた。

イエスは争いを避け、静かに神殿を去りました。

1. 紛争に対する平和と謙虚の力。

2. 誘惑から離れることの重要性。

1. マタイ 26:52-54 - 大祭司の僕の耳を切り落としたペテロに対するイエスの反応。

2. 箴言 16:32 - 「戦士よりも忍耐強い人、都市を占領する人よりも自制心のある人が良い。」

ヨハネ 9 章はヨハネによる福音書の 9 章で、イエスによる生まれつき盲人の癒しと、その後宗教指導者の間で起こった論争について語られています。

第 1 段落: この章は、イエスが生まれつき目の見えない男に出会うところから始まります (ヨハネ 9:1-7)。弟子たちは彼の失明の原因を尋ね、それが彼自身の罪によるものなのか、それとも両親の罪によるものなのかを尋ねます。イエスは、どちらにも責任はなく、むしろ神の業が自分のうちに現われるために起こった、と答えた。それからイエスは地面に唾を吐き、唾液で泥を作り、それを男の目に塗りました。彼はシロアムの池で体を洗うように指示しました。男は従い、奇跡的に視力を取り戻しました。

第 2 段落: この癒しは、かつて盲目だった人を知る人々の間で動揺を引き起こします (ヨハネ 9:8-34)。彼の新たな視力に驚く人もいれば、彼が本当に同一人物なのか疑問に思う人もいる。パリサイ人、つまり宗教指導者たちは、治癒した男性とその両親を尋問のために呼び出します。彼らは、安息日の視力が彼らの厳格な解釈に違反していると考えて、彼が安息日に視力をどのように受け取ったのかを尋ねます。癒された男性はイエスを神から遣わされた預言者として擁護しますが、イエスについてはそれ以上は知らないと認めています。

第 3 段落: この章は、イエスが癒された人を探し求め、ご自身を明らかにされたことで終わります (ヨハネ 9:35-41)。宗教指導者たちがかつて盲目だった男を彼らの中から追い出したことを知ると、イエスは彼を見つけて、自分を「人の子」として信じるかどうか尋ねます。癒された人は肯定的に答えて神を崇拝します。それに応えてイエスは、ご自分がこの世に来たのは裁きのため、すなわち霊的に盲目の人々を明らかにするため、そして救いのため、彼らの目を霊的真理に開くためである、と宣言されます。パリサイ人の中には、このやりとりを聞いて、イエスの教えに抵抗するために自分たちも霊的に盲目ではないかと疑問に思う人もいます。

要約すれば、

ヨハネの福音書第9章では、イエスによる生まれつき盲人の癒し、その後の宗教指導者間の論争、そしてイエスが人の子であることを啓示されたことが詳しく語られています。

イエスは盲人を唾液で癒し、プールで体を洗うように指示し、視力を回復させました。このことが彼を知る人々の間で分裂を引き起こし、安息日違反についてパリサイ人たちに尋問されるようになりました。

癒されたその人はイエスを預言者として弁護し、その後再びイエスに出会います。彼はイエスを人の子として認め、崇拝します。イエスは一部のパリサイ人の霊的盲目に異議を唱えながら、裁きと救いの目的を説明します。この章では、イエスの奇跡的な力、宗教的律法主義との対立、裁判官であり救い主としてのイエスの役割に焦点を当てています。

ヨハネ 9:1 イエスが通りかかったとき、生まれながらに目の見えない人を見た。

この箇所は、生まれながらに目が見えない男性とイエスの出会いを描写しています。

1. 盲人の信仰：逆境にもかかわらずイエスを信頼することについての洞察

2. 弱い立場の人に対するイエスの同情: 他者との関わりのモデル

1. マタイ 11:5 - 「目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な人は歩き、らい病人は清められ、耳の聞こえない人は聞こえ、死者はよみがえらされ、貧しい人は福音を宣べ伝えられます。」

2. ヤコブ 1:27 - 「神と父の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦境にある孤児や未亡人を訪ね、世から目立たないようにすることです。」

ヨハネ 9:2 そこで、弟子たちがイエスに尋ねて言った、「先生、この人が生まれつき目が見えないのは、この人か両親でしょうか、誰が罪を犯したのですか。」

イエスの弟子たちは、生まれつき目が見えないこの男が何か悪いことをしたのか、それとも両親のせいなのかとイエスに尋ねました。

1. 神は苦しみを利用して、私たちの人生に良いことをもたらします。

2. 私たちの苦しみは、神が私たちに不快感を抱いていることを示しているのではありません。

1. ローマ 8:28 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. コリント人への第二 12:7-10 「それで、私はうぬぼれないように、サタンの使者として、私を苦しめるために、私の肉体にとげを与えられました。私は、それを取り除いてくださるようにと三度主に願いました。」しかし、彼は私に言った、「私の恵みはあなたには十分です、私の力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」それゆえ、私はキリストの力が私に宿るように、ますます喜んで自分の弱さを誇ります。だから、私はキリストのゆえに、弱さ、侮辱、困難、迫害、困難を喜びます。弱ければ、私は強いのです。」

ヨハネ 9:3 イエスは答えられた、「この人も両親も罪を犯していない。ただ、神の御業が彼の内に明らかにされるべきだということだ。」

この聖句は、イエスが盲目に生まれた男にもその両親にも罪を見なかったが、その男の癒しには神の奇跡の業が見られたことを明らかにしています。

1. 神の奇跡的な力 - 生まれつき盲目の人の癒しなどの奇跡を通して神の働きがどのように示されるか。

2. 罪に定められていない - イエスがどのようにしてその男性やその両親に罪を犯していないか、またどのようにして私たちも神によって罪に定められていないのか。

1. ローマ人への手紙 8:1-2 - したがって、キリスト・イエスにある人々は今、罪に定められることはありません。なぜなら、いのちの御霊の法則が、キリスト・イエスにおいてあなたを罪と死の法則から解放したからです。

2. イザヤ書 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために突き刺されました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に与えられた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。

ヨハネ 9:4 わたしは、昼のうちに、わたしを遣わしてくださった方の業を働かなければなりません。夜が来ると、誰も働くことができなくなります。

この聖句は、夜が来てチャンスはなくなってしまうので、懸命に働き、今ある時間を有効活用すべきであることを思い出させてくれます。

1. 限られた時間を最大限に活用する: ヨハネ 9:4 から学ぶ

2. 一生懸命働き、できることをする: ヨハネの知恵 9:4

1. 伝道の書 9:10 - 自分の手にやりたいことは何でも、全力を尽くしてやりなさい。

2. エペソ人への手紙 5:16 - 日々は悪いので、時間を最大限に活用すること。

ヨハネ 9:5 わたしが世にいる限り、わたしは世の光です。

イエスは、世にいる限り、ご自身は世の光であると宣言されます。

1. 世の光: イエスはどのように希望と救いをもたらしたか。

2. 世界で最も偉大な光: イエスとその愛と慈悲の永遠のメッセージ。

1. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちがあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができるようにあなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。」

2. ピリピ人への手紙 2:14-16 「すべてのことを不平や論争をせずに行いなさい。そうすれば、あなたがたはとがめられるところもなく、罪のない者となり、曲がりくねった世代のただ中で、傷のない神の子となり、その人々の間で世の光として輝きます。」「命の言葉をしっかり握りなさい。そうすれば、私はキリストの日に、自分が走ったことが無駄でなく、労苦も無駄ではなかったと誇ることができるでしょう。」

ヨハネ9:6 このように話し終わると、彼は地に唾を吐き、そのつばで粘土を作り、その粘土を盲人の目に塗った。

イエスは自分の唾液と地面の塵を使って目の見えない人を癒しました。

1: 最も困難な時であっても、イエスは私たちに必要な癒しを与えてくださいます。

2: 神は、最も基本的な日用品であっても、奇跡を起こすためにあらゆるものを使うことができます。

1: マルコ 8:22-25 - イエスはベツサイダの近くで盲人の目に触れて癒しました。

2: マタイ 9:29-30 - イエスは二人の目の見えない男性の目に触れて癒しました。

ヨハネ 9:7 そして彼に言った、「行って、シロアムの池で洗いなさい。」（これは解釈によると、遣わされたものです。）それで、彼は行き、洗い、そして見に来ました。

ヨハネは信仰と従順の大切さを教えています。1. 「信仰と従順: 奇跡の背後にある力」2. 「シロアムの池: 信仰と従順の強さ」1. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が少ないからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」2. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」

ヨハネ 9:8 そこで、近所の人たち、そして以前彼が目の見えないのを見た人たちも、「座って物乞いをしていた人ではないか」と言った。

以前に物乞いをしている盲目の男性を見た人々のグループは、イエスによって癒された後、その男性であることを認識しました。

1. 目の見えない人の奇跡的な癒し - ヨハネ 9:8

2. イエスの奇跡を新しい目で見る - ヨハネ 9:8

1. イザヤ書 35:5-6 - そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は妨げられなくなります。そのとき、足の不自由な人はハートのように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌うでしょう。荒野に水が湧き、砂漠に小川が流れるからです。

2. マタイ 15:30-31 - すると、大群衆が足の不自由な人、目の見えない人、口のきけない人、障害のある人、その他多くの人を連れてイエスのもとに来て、イエスの足もとにひれ伏した。そして、彼は彼らをいやした。群衆は、口のきけない人が話すこと、障害のある人が健常であること、足の不自由な人が歩くこと、目の見えない人が見えることを見て驚き、イスラエルの神を讃えた。

ヨハネ 9:9 ある人たちは、「これは彼だ」と言い、またある人たちは、「彼は彼に似ている」と言いました。しかし、彼は、「私が彼です」と言いました。

この箇所は、イエスがご自身のアイデンティティを肯定する際に、イエスのアイデンティティを明らかにします。

1. イエスはご自分が何者であるかを知っており、私たちにも知ってもらいたいと思っています

2. 私たちのアイデンティティはイエスの中にどのように見出されるのか

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. エペソ人への手紙 1:17-21 - 栄光の父である私たちの主イエス・キリストの神が、あなたがたに知恵と啓示の霊を与え、あなたがたの心の目を啓発し、神を知ることができますように。神があなたたちに呼びかけた希望が何であるか、聖徒たちに受け継がれた輝かしい遺産がどれほどの富であるか、そして、彼が働いた偉大な御力の働きに応じて、信じる私たちに対する神の計り知れない偉大な力がどのようなものであるかを知りなさい。キリストが彼を死者の中からよみがえらせ、天上の御自分の右に座させられたとき、それは、あらゆる支配、権威、力、支配をはるかに超え、また、この時代だけでなく、これからの時代においても、あらゆる名づけられた名前よりもはるかに上でした。来る。

ヨハネ 9:10 そこで彼らは彼に言った、「あなたの目はどうやって開かれたのですか」。

彼はイエス・キリストの真実に目を開きました。イエスは世の光です。

1: イエスは暗闇の中で輝き、私たちすべてを救いに導く光です。

2: 私たちはイエス・キリストの真実に目を開き、彼の光を受け入れなければなりません。

1: ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: マタイ 5:14-16 - あなたがたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。人間もろうそくに火をつけてブッシェルの下に置くのではなく、ろうそく立ての上に置きます。そしてそれは家の中にいるすべての人に光を与えます。人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父を讃えることができるように、あなたの光を人々の前で輝かせてください。

ヨハネ9:11 するとイエスは答えて言った、「イエスという人が粘土を作り、私の目に油を塗って、『シロアムの池に行って洗いなさい』と言った。それで行って洗い、目が見えるようになった。」

その男の盲目はイエスによって癒され、イエスは粘土を作り、彼の目に油を塗った。

1. イエスの奇跡: 信じることへの呼びかけ

2. イエスの癒しの力：視力を受け取り、真実を見る

1. イザヤ書 35:5-6 - 「そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は止まらなくなります。そうすれば、足の不自由な人は鹿のように飛び跳ね、口の利けない人の舌は喜びで歌うだろう。」

2. マタイ 11:5 - 「目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な人は歩き、らい病人は清められ、耳の聞こえない人は聞こえるようになり、死者はよみがえらされ、貧しい人は福音を宣べ伝えられます。」

ヨハネ 9:12 そこで彼らは彼に言った、「彼はどこにいるのか」。彼は、「分かりません」と言いました。

パリサイ人たちはイエスに、癒された盲人はどこにいるのかと尋ねましたが、イエスは知らないと言われました。

1: 神は常にあらゆる状況を制御している必要はない。時々、神は私たちが自分自身の決断や道を決めることを許してくださいます。

2: たとえ私たちが神の計画を理解できなくても、神は依然として支配し、私たちの究極の利益のために働いておられます。

1: ローマ人への手紙 8:28 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

2: 箴言 3:5 「心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。」

ヨハネ 9:13 彼らは、以前は目が見えなかった人をパリサイ人のところに連れて行きました。

パリサイ人たちは、過去に盲目だった男性を紹介されました。

1. 神の癒し: 信仰の証し

2. イエスのうちに私たちは回復を見出す

1. イザヤ書 61:1 - 「主なる神の御霊がわたしの上にあります。なぜなら、主は柔和な人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。彼は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚われの者たちに刑務所の開放を宣言するために私を遣わしたのです。

2. マルコ 10:46-52 - 「そして、彼らはエリコに来た。そして、彼が弟子たちや大勢の人々とともにエリコから出て行ったとき、ティマイオスの子、盲目のバルティマイが街道わきに座って物乞いをしていた。そして、それがナザレのイエスだと聞くと、彼は叫び始めて、「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください。」と言いました。するとイエスは彼に言った、「あなたの道を行きなさい。」あなたの信仰があなたを完全にしました。すると彼はすぐに目が見えるようになり、イエスに従って行きました。」

ヨハネ 9:14 イエスが粘土を作り、目を開けられたのは安息日であった。

この箇所では、イエスが安息日に生まれつき目の見えない人を癒したことが詳しく述べられています。

1. 神の憐れみは無条件です

2. 信仰による癒し

1. マタイ 12:9-14 - イエスは安息日に穀物を収穫した弟子たちを弁護

2. ルカ 6:6-11 - パリサイ人からの批判にもかかわらず、イエスは安息日に病人をいやした

ヨハネ 9:15 そこでまたパリサイ人たちも、どうやって目が見えるようになったのかと尋ねました。彼は彼らに言った、「彼は私の目に粘土を塗りました、そして私は洗った、そして確かに見えます。」

イエスは粘土と水の単純な行為によって盲人を癒しました。

1: 謙虚に神の計画に従うとき、私たちは肉体的および霊的な癒しを経験することができます。

2: イエスへの信仰は癒しと回復をもたらします。

1: ヤコブ 5:15 「信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせ、罪を犯したなら赦されるであろう。」

2: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

ヨハネ 9:16 そこで、パリサイ人たちの中には、「この人は安息日を守らないから、神から出た者ではない」と言った人たちがいた。ある人たちは、「罪人である人間がどうしてそのような奇跡を起こすことができるのでしょうか？」と言いました。そして彼らの間には分裂が生じた。

この箇所は、イエスが安息日に行われた奇跡を見て、パリサイ人たちがイエスに対する意見が分かれていたことを示しています。

1: 私たちは、どんな日であっても、神の力を祝うべきです。

2: 他人の行動をすぐに判断すべきではありません。

1: マタイ 7:1-5 「裁いてはなりません。裁かれないようにするためです。あなたが宣告する裁きによってあなたは裁かれ、あなたが用いる尺度によってそれはあなたに測られるからです。」

2: 1 コリント 13:4-7 - 「愛は忍耐強くて親切です。愛はねたんだり自慢したりしません。傲慢でも無礼でもありません。自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりしません。悪事を喜ぶが、真実を喜ぶ。」

ヨハネ 9:17 彼らはまた盲人に言う、「あの人があなたの目を開いたなんて、あなたはその人について何と言いますか？」彼は言いました、「彼は預言者です」。

この盲人はイエスが預言者であるという事実を証明しました。

1. イエスについてどんな証言ができますか?

2. どうすれば神の働きを認識できるでしょうか?

1. 申命記 18:15-22 (あなたの神、主はあなたの中から、あなたの兄弟の中から、私のような預言者をあなたのために立ててくださいます。あなたは彼に耳を傾けなければなりません。)

2. ヘブライ 1:1-2 (昔、神は何度も、そしてさまざまな方法で、預言者によって私たちの先祖たちに語りかけられましたが、この終わりの日には、御子によって私たちに語りかけられました...)

ヨハネ 9:18 しかし、ユダヤ人たちは、目が見えるようになった彼の両親を呼ぶまで、彼が盲目であったのに目が見えるようになったとは信じませんでした。

ヨハネ 9章18節は、盲目から癒された人に対するユダヤ人の不信仰について書かれています。

1. 神は私たちが目に見えなくても、私たちの人生に奇跡を起こすことができます。

2. 私たちの信仰は、目に見えるものに依存するのではなく、目に見えないものに根ざしているべきです。

1. ヨハネ 20:29 「イエスは彼に言われた。「わたしを見たので信じたのですか。見たこともないのに信じた人たちは幸いです。」

2. ローマ人への手紙 4:17-21 「『わたしはあなたを多くの国民の父とした』と書いてあるとおりです。それは、彼が信じた神の御前で、死者に命を与え、存在するものを呼び起こすお方です。存在しない。彼は、「あなたの子孫もそうなるだろう」と言われていたように、自分が多くの国々の父になれるはずだと希望に反して信じていた。彼は死んだも同然の自分の体（約 100歳だったので）を考えても、またサラの子宮が不妊であることを考えても、信仰が弱まりませんでした。不信仰によって神の約束に関して動揺することはありませんでしたが、神に栄光を帰すにつれて信仰が強くなり、神は約束したことを実行できると完全に確信しました。」

ヨハネ 9:19 そこで彼らは尋ねて言った、「生まれつき目が見えなかったと言っているこの人は、あなたの息子ですか」。では、彼は今どうやって見えているのでしょうか？

人々は盲目の男性の両親に、彼は今どうやって見えるようになったのかと尋ねました。

1. 信仰はどのようにして私たちの目を開くのか

2. 日常生活の中で神の奇跡を見る

1. マタイ 9:27-31 (二人の盲人の癒し)

2. ヨハネ 11:38-44 (ラザロの死からの復活)

ヨハネ 9:20 彼の両親は答えて言った、「これが私たちの息子で、生まれつき目が見えないことは知っています。

ジョンの両親は、明らかに目が見えないにもかかわらず、息子の奇跡的な治癒を信じていると宣言しました。

1: たとえ自分の目で見ることができなくても、神の奇跡を信じましょう。

2: たとえ目が見えなくても、私たちは信仰をもって神の御心を受け入れなければなりません。

1: エレミヤ 17:7-8 「主に信頼する人は幸いです。その信頼者は主です。その人は水のほとりに植えられ、根を流れのほとりに出す木のようで、暑くなっても恐れません。」その葉は緑色を保っており、実を結ぶのをやめないので、干ばつの年でも心配する必要はありません。」

2: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

ヨハネ 9:21 しかし、彼が今どのような手段で見ているのか、私たちは知りません。あるいは誰が目を開けたのか、私たちは知りません。彼は成人しています。彼に尋ねなさい：彼は自分自身について話すでしょう。

ヨハネ 9:21 は、自分の質問に答えがないときは神を信頼し、他の人の自主性を尊重することを教えています。

1. 神の奥義：理解できないときでも信頼する

2. 自主性の尊重: 他人の決定を尊重する

1. イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2. イザヤ書 40:28-29 「知らなかったのか。聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失ったり、疲れたりすることはありません。彼の理解は探ることができない。彼は気弱な人に力を与え、力のない人に力を与えます。」

ヨハネ 9:22 このような言葉を両親が言ったのは、両親がユダヤ人を恐れていたからです。ユダヤ人たちは、もし誰かが自分がキリストであると告白したなら、会堂から追い出されるということにすでに同意していたからです。

この箇所は、キリストを告白すると会堂から追い出されるというユダヤ人の恐怖を表しています。

1. 人間の恐怖は罠である

2. 自分の信念のために立ち上がる

1. 箴言 29:25 - 人間への恐れは罠をもたらしますが、主を信頼する者は安全です。

2. ローマ 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が主イエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。なぜなら、人は心で信じて義となり、口で告白すれば救いが得られるからです。

ヨハネ 9:23 そこで両親は言った、「彼はもう成人した。彼はもう成人した」。彼に尋ねる。

一節: ヨハネ 9 章で、イエスは生まれつき目の見えない人を癒します。彼の隣人、知人、さらには両親さえも、安息日にこの「違法な」癒し行為を行ったのは誰なのかについて尋問された。しかし、誰が癒しを行ったのかは分からず、答えることができませんでした。イエスの弟子たちが自分を癒してくれた人に尋ねると、その人はイエスだと言った。しかし、彼の両親はユダヤ人の指導者たちを恐れて沈黙を保った。最後に彼らは、「彼はもう成人しているので、彼に聞いてください」と言いました。

1. イエスの癒しの力: イエスはどのようにして生まれつき盲目の男性に奇跡的な癒しを行うことができたのか、そしてそれに必要な信仰

2. イエスに従う人々の勇気: 生まれつき目が見えない男性とその両親は、反対に直面してもイエスに従う勇気をどのように示したか

1. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が少ないからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. ヨハネ 10:27-28 - 「私の羊は私の声を聞き、私は彼らを知っており、彼らは私に従います。私は彼らに永遠の命を与えます、そして彼らは決して滅びず、誰も彼らを私の手から奪い取りません。」

ヨハネ 9:24 それから、また目の見えない人を呼んで、彼に言った、「神をほめたたえましょう。この人が罪人であることは、私たちは知っています。」

宗教当局は、イエスが罪人であると信じて、盲人に神を賛美するよう求めました。

1: たとえ周りの人がそうでなくても、私たちはイエスの働きにおける神の力を認識しなければなりません。

2: たとえ他の人がそれを認識できなかったとしても、私たちはイエスの奇跡を祝わなければなりません。

1: イザヤ書 29:18-19 - その日、耳の聞こえない人は本の言葉を聞き、目の見えない人の目はその暗闇と闇の中から見えるようになる。柔和な者は主において新たな喜びを得るでしょう、そして人類の中で貧しい者はイスラエルの聖者において歓喜するでしょう。

2: マタイ 11:5 - 目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な人は歩き、らい病人は清められ、耳の聞こえない人は聞こえるようになり、死者はよみがえらされ、貧しい人には良いたよりが宣べ伝えられます。

ヨハネ 9:25 彼は答えて言った、「彼が罪人であるか否か、私には分かりません。一つだけ知っていることは、私は目が見えなかったが、今は見えるということです。」

盲人はイエスによって癒され、その癒し手が罪人であるかどうかは分からないが、以前は目が見えなかったが、今は見えるようになったということは知っている、と説明します。

1. イエスの癒しと回復の力

2. 盲目の男の信仰の証し

1. マタイ 9:27-31 - イエスは二人の盲人を癒す

2. 詩篇 146:8 - 主は盲人の目を開かれる

ヨハネ 9:26 そこで彼らは再び彼に言った、「あの人はあなたに何をしたのですか」。彼はどのようにあなたの目を開いていますか？

盲人の癒し: イエスは奇跡的に盲人を癒すことによって神聖な力を示しました。

1. 神には不可能を可能にする力がある

2. 奇跡は神の力を思い出させます

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. 出エジプト記 15:11 - 主よ、神々の中であなたのような人は誰ですか？あなたと同じように、神聖さにおいて威厳があり、輝かしい行為において素晴らしく、奇跡を起こしている人は誰ですか？

ヨハネ 9:27 彼は彼らに答えた、「わたしはすでにあなたがたに言いましたが、あなたがたは聞きませんでした。どうしてもう一度聞くのですか。」あなたも彼の弟子になりませんか？

生まれつき目の見えない男性は、パリサイ人にイエスの弟子かどうか尋ねられ、すでに答えを聞いたのになぜもう一度聞く必要があるのかと尋ねて答えました。

1. イエスの力: この男は生まれつき目が見えず、パリサイ人から嘲笑されていたにもかかわらず、イエスへの信仰のために立ち上がることを選びました。

2. 逆境に直面したときの信仰: この人のイエスに対する信仰は、パリサイ人の反対にもかかわらず揺るぎませんでした。

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. マタイ 16:24 - 「それからイエスは弟子たちに言われた、「もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

ヨハネ 9:28 そこで彼らは彼をののしって言った、「あなたは彼の弟子です。あなたは彼の弟子です。」しかし、私たちはモーセの弟子です。

ヨハネ 9章28節には、イエスの弟子たちがモーセの弟子であると主張する他の人々からののしられる様子が要約されています。

1. 私たちは、反対者に対処するときのイエスの謙虚さと恵みの模範から学ぶことができます。

2. 私たちの信仰は批判されるべきではなく、賞賛されるべきです。

1. マタイ 5:11-12 「わたしのために、人々があなたたちをののしり、迫害し、あなたたちに対して偽ってあらゆる悪口を言うとき、あなたたちは幸いです。「喜んで、非常に喜んでください。天でのあなたの報いは大きいからです。あなたの前にいた預言者たちが非常に迫害されたからです。」

2. ヤコブ 1:2-4 「兄弟たちよ、あなたがたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。しかし、あなたがたが完璧で完全で、何も望まない者となるために、彼女の完璧な働きを忍耐させてください。」

ヨハネ 9:29 神がモーセに語られたことを私たちは知っています。この男については、どこから来たのかわかりません。

当時の人々は、神がモーセに語られたことは知っていましたが、イエスがどこから来たのかを知らなかったため、イエスとは誰なのか疑問に思いました。

1. イエスはモーセより偉大です: 神はモーセに語りましたが、イエスは神の力の特別な例でした。

2. 神の王国ではすべての人が歓迎されます。私たちがどこから来たとしても、神は両手を広げて私たちを歓迎してくださいます。

1. マタイ 11:11-12 「はっきり言っておくが、女から生まれた者の中で洗礼者ヨハネより偉大な者はいない。しかし、天の御国で最も小さい者が彼よりも偉大である。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には、決して不可能であると私は確信しています。」私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。」

ヨハネ 9:30 その人は答えて彼らに言った、「なぜここには驚くべきことがあるんですか。あなたがたは彼がどこから来たのか知らないのに、彼は私の目を開けたのです。」

この箇所は、生まれつき目が見えない人がイエスによっていやされた奇跡を強調しています。彼は、自分の身元を知らなかったにもかかわらず、イエスが自分を癒してくれたことに驚きました。

1: イエスは癒し手であり、彼の癒しは、身分に関係なく、すべての人に与えられます。

2: イエスは奇跡的な癒しの源であり、イエスの癒しを受け入れた人は変えられます。

1: マタイ 11:5 - 目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な人は歩き、らい病の人は清められ、耳の聞こえない人は聞こえ、死者はよみがえらされ、貧しい人たちに良いたよりが宣べ伝えられます。

2: イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

ヨハネ 9:31 さて、私たちは、神が罪人の声を聞かないことを知っています。しかし、だれかが神の崇拝者であり、そのご意志を行うなら、その人は聞きます。

神を真に崇拝し、神のご意志に従う人々の声に神は耳を傾けます。

1: 真の崇拝: 従順の心

2: 礼拝の力: 神の声を聞く方法

1: ヤコブ 4:7-10、ですから、神に従いなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2: コロサイ 3:17、そして、あなたがたが言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主イエスを通して神と父に感謝しなさい。

ヨハネ 9:32 世が始まって以来、生まれつき目の見えない人の目を開いたという話は聞いたことがありません。

この一節は、生まれつき目が見えず、目が開かれた男の物語です。

1. 神の奇跡と恵みの賜物

2. 信仰の力

1. マタイ 19:26、「しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人間にはそれは不可能ですが、神にはどんなことでも可能です。」

2. 詩篇 146:8、「主は目の見えない人の目を開かれます。主はひれ伏している者をよみがえらせます。主は義人を愛しておられます。」

ヨハネ 9:33 この人が神から出たものでなければ、何もできなかったでしょう。

この聖句は、イエスの神聖な権威と力について語り、イエスは神から出た者であるため、自分のすることしかできないと断言しています。

1. イエス：すべての権威と力の源

2. キリストの奇跡的な業: キリストの神性の証し

1. ヨハネ 14:10-11 「あなたがたは、わたしが父のうちにおり、父がわたしのうちにおられることを信じないのですか。わたしがあなたがたに言う言葉は、自分の権威に基づいて言っているのではなく、わたしのうちに住んでおられる父が語っているのです。」私が父のうちにおり、父が私の内におられることを信じてくだ

さい。そうでなければ、働きそのもののゆえに信じてください。

2. コロサイ 2:9-10 - なぜなら、彼の内には神の満ち満ちたものが肉体的に宿っており、あなたはすべての支配と権威の頭である彼の中に満たされているからです。

ヨハネ 9:34 彼らは答えて言った、「あなたは全く罪の中に生まれてきたのに、私たちに教えてくれますか。」そして彼らは彼を追い出した。

宗教指導者たちはプライドと偏見に満ちていたため、盲人が何かを教えたというだけでその人を追い出しました。

1: 神の国には高慢と偏見は存在しません。

2: 主は私たちに、謙虚で他人から学ぶことにオープンになるよう求めておられます。

1: ヤコブ 4:6: 「しかし、神はさらに多くの恵みを与えてくださいます。したがって、『神は高ぶる者には敵対するが、へりくだる者には恵みを与える』と書かれているのです。」

2: ルカ 18:14: 「言っておくが、この人は、他の人ではなく、義とされて自分の家に帰った。だれでも自分を高める者は低くされるが、自分を低くする者は高められるからである。」

ヨハネ 9:35 イエスは、彼らが自分を追い出したことを聞いた。そして彼を見つけたとき、彼に言った、「あなたは神の子を信じますか？」

イエスは、同胞に追放された男性に憐れみを示し、ご自分を信じる機会を提供されました。

1: イエスの憐れみは無条件です

2: 神の御子を信じます

1: ルカ 6:36 - 「あなたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。」

2: ヨハネ第一 5:10-12 「神の御子を信じる者は、自分自身のうちに証しを持っています。神を信じない者は、御子に関して神が与えられた証しを信じていないので、神を偽り者にしたのです。」。」

ヨハネ 9:36 彼は答えて言った、「主よ、その方はどなたですか。私が彼を信じてもよいでしょうか。」

ヨハネ 9:36 は、この箇所を、盲人が信じられるようにイエスとは誰なのかという質問として要約しています。

1. 信仰の問題: イエスを信じられるかどうかはどうやってわかりますか?

2. 真実を明らかにする: 救い主の約束を探す

1. ローマ人への手紙 10:17 - 信仰は聞くことによって生まれ、神の言葉によって聞くことによって生まれます。

2. ヨハネ第一 5:13 - わたしは神の子の御名を信じるあなたがたにこれらのことを書きました。それはあなたがたが永遠の命を持っていることを知るためです。

ヨハネ 9:37 するとイエスは彼に言われた、「あなたも彼を見ましたが、あなたと話しているのは彼です」。

この聖句は、イエスが生まれつき盲目の人であることを明らかにし、彼に話しかけているのが自分であることを確認したことを明らかにしています。

1. パーソナル アイデンティティの力: 自分が誰であるかを知ることが失明の克服にどのように役立つか

2. イエスは自分のアイデンティティを明らかにする：私たちの本当の自分を認識し、受け入れる

1. ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物のいかなるものも、私たちを神の愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスのうちにあるのです。

2. 出エジプト記 33:14 - 主は答えられました。「わたしの臨在があなたとともに行き、わたしはあなたに休息を与えます。」

ヨハネ 9:38 すると彼は言った、「主よ、私は信じます。」そして彼は彼を崇拝した。

ヨハネはこの節でイエスを崇拝することで信仰を示しています。

1. 信仰の力 - イエスを崇拝するヨハネの例を通して信仰の力を探ります。

2. 信仰において成長する - イエスを崇拝するヨハネの例を通して、信仰においてどのように成長できるかを学びます。

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞いたことはキリストについてのメッセージを通して起こります。」

ヨハネ 9:39 するとイエスは言われた、「わたしは裁きのためにこの世に来たのは、見えない者に見えるようにするためである。そして見える者は盲目にされるであろう。

イエスは、罪によって目が見えなくなった人々を裁き、「目の見えない」人々の目を開くためにこの世に来られました。

1: イエスは世の光です。

2: 神の裁きは正しい。

1: イザヤ書 9:2 - 暗闇の中を歩いていた民は大いなる光を見ました。死の影の国に住む民は、その上に光を照らしました。

2: ヨハネ 12:46 - わたしは世に光として来ました、それはわたしを信じる者が闇の中に留まらないようにするためです。

ヨハネ 9:40 すると、彼と一緒にいたパリサイ人の何人かが、この言葉を聞いて彼に言った、「わたしたちも目が見えないのですか。」

イエスはパリサイ人たちに霊的な盲目について教えておられましたが、彼らはそれに反応して、自分たちも盲目なのかと尋ねました。

1. 霊的な盲目になる危険性

2. 自省への呼びかけ

1. イザヤ 6:9-10 - 彼らを心で理解し、主が彼らを癒してくださることを主に立ち返りなさい。

2. マタイ 13:13-15 - 種まき人と目はあっても見えない人々に関するイエスのたとえ話。

ヨハネ 9:41 イエスは彼らに言われた、「もしあなたがたが盲目であったなら、あなたがたに罪はないはずである。しかし、今あなたがたは、『私たちは見える。あなたがたは見えている』と言った。」したがって、あなたの罪は残ります。

イエスは、目が見えていると主張するパリサイ人たちに、目が見えなければ罪はないと指摘して反論します。

1. 「高慢の盲目」- 高慢がどのようにして真実を見るのを妨げるのか、そして謙虚さがどのように信仰を成長させるのに役立つのかを探ります。

2.「霊の目で見る」- 単に物理的な目で見るのではなく、信仰の目で真理を見極めることの重要性を考察します。

1. ヤコブ 4:6 - 「神は高ぶる者に敵対しますが、謙遜な者には恵みを与えます。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。」

ヨハネ 10 章では、イエスの善き羊飼いの比喩、イエスの追随者たちとの関係についてのイエスの言説、そしてイエスのアイデンティティをめぐる継続的な分裂について詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、イエスがご自身を羊の門であり、良い羊飼いであると紹介するところから始まります。彼は、門以外の方法で羊小屋に入る者を泥棒や強盗として非難します。羊は主の声を認識するので主に従いますが、見知らぬ人には決して従いません。良い羊飼いとして、神は自分の羊を知っており、狼を見て羊を捨てる雇い人とは異なり、羊のために喜んで命を捨てます(ヨハネ10:1-18)。

第 2 段落: この教えはユダヤ人の間で分裂を引き起こし、ある者は彼は悪魔に取り憑かれていると言い、またある者は悪魔がどうして目を盲目にすることができるのか疑問に思いました。冬のエルサレムで祝祭の奉献式が行われたとき、イエスは神殿の中庭ソロモンの列柱を歩いていて、ユダヤ人が彼の周りに集まっていて、「いつまで私たちを不安にさせるつもりですか？」と尋ねました。あなたがメシアならはっきり言ってください。』それに応じてイエスは、イエスは彼らに告げたが、彼らは信じていない、御父の名がイエスについて証しする業は信じていない、それでも彼らは信じていない、なぜなら彼らは神の声を聞く神の羊ではないから、彼らが彼らに永遠の命を与えることを知っている、決して滅びることはなく、誰も彼らを奪うことはないと指摘した。父の手が出されました（ヨハネ 10:19-30）。

第 3 段落: この説教の後、イエスは父なる神との一体性を主張されました。「わたし父は一つである」。これにより、ユダヤ人は再び石を拾い、彼に石を投げ、神であると主張する冒涜を行いましたが、単なる人間の反応は、父の名を行っている行いを指摘しました、それでも、働きを信じないなら、少なくとも奇跡を信じないので理解するかもしれません 父は私の中にいます私は父の中にいて他の人を導いています逮捕は失敗したが、その後、ヨルダンを越えて再び撤退し、最初にヨハネが洗礼を授けていた地域に多くの人がやって来て、「ヨハネがこの男について言ったことはすべて真実だ」と信じてやって来た。（ヨハネ 10:31-42）。

ヨハネ 10:1 まことに、まことに、あなたがたに言います、羊小屋の戸から入らず、他の道からよじ登る者も、泥棒であり強盗です。

イエスは、人々を真の信仰から引き離そうとする偽教師に対して警告しています。 1: 私たちは偽教師を警戒し、神の言葉にしっかりと従わなければなりません。 2: 私たちは真実を探求し、ずるい言葉に騙されてはならない。1: エレミヤ 29:11、「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、計画は悪ではなく福祉であり、あなたがたに将来と希望を与えるためである。」 2: ペテロ第一 5:8、「心を冷静にし、気をつけていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくすべき者を求めて歩き回っています。」

ヨハネ 10:2 しかし、戸口から入る者は羊の牧者です。

この一節は、羊の世話をするためにドアから入ってくる羊飼いについて語っています。

1. 私たちは、羊飼いが自分の羊を守るのと同じ注意を払って群れを守る、忠実な羊飼いとなるよう招かれています。

2. キリストに従うということは、私たちが謙虚で優しい羊飼いになるよう努め、キリストと同じ思いやりと理解を持って道を導くことを意味します。

1. ペテロ第一 5:2-3 「あなたの世話の下にある神の羊の羊飼いとなり、彼らを見守りなさい。そうしなければならないからではなく、神があなたに望んでおられるように、喜んでそうするからです。」不正な利益を追求せず、熱心に奉仕します。あなたに託された者たちに対して威張り散らすのではなく、群れの模範となるのです。」

2. 詩篇 23:1 「主は私の羊飼い、私に欠けるものは何もありません。」

ヨハネ 10:3 門番が彼に開ける。すると羊たちは彼の声を聞きます。そして彼は自分の羊の名前を呼んで、彼らを連れ出します。

良い羊飼いは羊の名前を呼んで外へ導きます。

1. 名前で私たちを知っている羊飼い

2. 羊飼いの呼びかけに従って

1. イザヤ書 40:11 彼は羊飼いのように自分の群れを養い、腕で小羊を集めて胸に抱き、子連れの子たちを優しく導く。

2. マタイ 18:12-14 どう思いますか。ある人が百匹の羊を持っていて、その一匹が迷ったとしたら、その人は九十九匹を山に残して、迷った一匹を探しに行かないでしょうか。そして、もし彼がそれを見つけたら、本当に、あなたに言いますが、彼は一度も迷わなかった九十九よりもそれを喜ぶでしょう。ですから、これらの小さな者たちの一人が滅びることは、天におられるわたしの父のご意志ではありません。

ヨハネ 10:4 そして、彼が自分の羊を出すとき、彼は彼らの前に行きます、そして羊たちは彼に従います：彼らは彼の声を知っているからです。

この箇所は、イエスがどのように羊を導き、彼らがイエスの声を認識して従うかについて語っています。

1: イエスは羊を導き世話する良い羊飼い

2: イエスの声は認識可能であり、イエスの羊はそれに従う

1: 詩篇 23:1、「主は私の羊飼い、私は望まない。」

2: マタイ 11:28-30、「すべて、重荷を負って働いている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負い、わたしについて学びなさい。わたしは心は柔和でへりくだった者だからです。そうすれば、あなたがたは魂に安らぎを得るでしょう。私のくびきは軽く、私の重荷は軽いからです。」

ヨハネ 10:5 そして、よそ者には従わず、逃げるでしょう。彼らはよそ者の声を知らないからです。

人は自分の声に慣れていないため、知らない人をフォローすることはありません。

1. 精通の力 – 私たちは、知らない人よりも知っている人の話に耳を傾け、従う傾向があります。

2. 神を知ることの重要性 – 私たちは神の声にもっと忠実に従うことができるように、神をより深く知るように努めるべきです。

1. 使徒 2:42 - そして、彼らは使徒の教えと交わり、パンを裂くことと祈りに専念しました。

2. ヨハネ 8:32 - そして、あなたは真理を知り、真理はあなたを自由にします。

ヨハネ 10:6 イエスはこのたとえ話を彼らに話されました。しかし、彼らはイエスが彼らに話されたことが何なのか理解できませんでした。

イエスは人々にたとえ話をされましたが、人々はイエスが何を言っているのか理解できませんでした。

1. イエスのたとえ話: 神の言葉を明らかにする

2. たとえ話を解釈する方法: イエスの言葉の意味を理解する

1. 詩篇 119:105-106: 「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。私はあなたの正しい規則を守ることを誓い、それを確認しました。」

2. 箴言 2:1-5: 「わが子よ、もしあなたがわたしの言葉を受け入れ、わたしの戒めを大切にし、知恵に耳を傾け、心を理解しようとするなら、そうです、洞察力を呼び起こし、自分の心を高めるなら、理解のための声、もしあなたが銀のようにそれを探し、隠された宝を探すかのように探すなら、あなたは主への畏れを理解し、神の知識を見出すでしょう。」

ヨハネ 10:7 それから、イエスは再び彼らに言われた、「まことに、まことに、あなたがたに言いますが、わたしは羊の戸です」。

イエスは羊にとって救いへの扉です。

1. イエスは永遠の命への門番である

2. 救いへの扉としてのイエスの力

1. マタイ 7:13-14 「狭い門から入りなさい。というのは、門は広く、滅びに至る道は容易であり、そこから入る者は多いからである。命に至る門は狭く、そ

の道は険しく、それを見つける者は少ないからである。」

2. ペテロ第一 1:3-5 「私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神の偉大な憐れみにより、イエス・キリストの死者の中からの復活を通して、私たちが生ける希望へと生まれ変わらせてくださいました。その相続財産は、朽ちず、汚れも、色褪せることもなく、神の力によってあなたのために天に保たれています。終わりの時に明らかにされる救いのために、信仰によって守られているのです。」

ヨハネ 10:8 わたしの前に来たのは、すべて盗人や強盗です。しかし、羊たちは彼らの言うことを聞きませんでした。

この箇所は、イエスの羊がイエスの前にやって来た強盗や強盗の言うことを聞かなかったことについて述べています。

1: 私たちは神の声だけに耳を傾け、偽預言者をすべて拒否するように注意しなければなりません。

2: 私たちは誰の声を聞いているのかを認識し、神の唯一の真実の声だけを聞いていることを確認しなければなりません。

1: エレミヤ 23:1-4 - 「わたしの牧場の羊を滅ぼし、散らす羊飼いたちには災いあれ！」

2: マタイ 7:15-20 - 「偽預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたたちのところに来るが、内心は貪欲な狼です。」

ヨハネ 10:9 わたしは扉です。だれでも中に入るなら、わたしによって救われ、出入りして牧草地を見つけるでしょう。

ヨハネ 10 章 9 節の一節は、イエスが救いの扉であり、イエスを通して入る者は誰でも永遠の命と、必要な備えと栄養をすべて得ることができると説明しています。

1. イエスは救いの扉: 永遠の命への招待

2. イエスの配慮と備え: イエスの中に養いを見つける

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

ヨハネ 10:10 盗人は盗むために来るのではなく、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするために来たのです。私が来たのは、彼らがいのちを得るため、そしてそれをより豊かに得るためです。

イエスは命を豊かに与えるために来られました。

1: イエスは私たちに命と喜びを与えるために来られました。

2: イエスは私たちに平和、希望、豊かさをもたらすために来られました。

1: イザヤ書 61:1-2 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせをもたらすために私に油を注がれたからです。彼は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、縛られた人々に刑務所の開放を宣言するために私を遣わしたのです。主の恵みの年、そして私たちの神の復讐の日を宣言するためです。

2: ローマ 8:11 - イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

ヨハネ 10:11 わたしは良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捧げます。

良い羊飼いは羊のために命を捧げます。

1. 善き羊飼いとしてのイエス：犠牲的な愛

2. 羊飼いのような愛の力

1. イザヤ書 40:11 - 彼は羊飼いのように自分の群れの世話をします。彼は子羊を腕に集め、自分の心に近づけます。

2. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

ヨハネ 10:12 しかし、羊飼いではなく雇い人である者、羊が自分のものではない者は、狼が来るのを見て、羊を置いて立ち去り、狼は彼らを捕まえて、羊を散らします。

雇い人は真の羊飼いではないので、危険が来ると逃げてしまい、羊は危害を受けやすくなります。

1: 真の羊飼いは、たとえ危険があっても、そこに留まり、自分の群れを守ります。

2: 私たちは真の羊飼いと雇い人を区別する際に用心深くなければなりません。

1: マタイ 7:15-20 - 偽預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の皮を着てあなたのところに来るが、内心は貪欲な狼です。

2: エレミヤ 23:1-4 - 私の牧場の羊を滅ぼし、散らす羊飼いたちは災いです。主は宣言される。

ヨハネ 10:13 雇い人は、雇い人であり、羊のことなど気にしないので、逃げます。

雇われた羊飼いは羊の世話をせず、危険が迫れば逃げます。

1: 神は私たちに、ご自分の群れを世話するよう呼びかけておられる

2: 奉仕し保護する私たちの義務

1: ペテロ第一 5:2-3 - 「あなたの世話の下にある神の羊の羊飼いとなり、彼らを見守りなさい。そうしなければならないからではなく、神があなたに望まれるとおりに、あなたが喜んでそうするからです。不正な利益を追求するのではなく、しかし、奉仕することに熱心で、自分に任された人々に対して威張るのではなく、群れの模範となるのです。」

2: エゼキエル 34:11-12 - 「主権者なる主はこう仰せられる、『わたし自身が自分の羊を探して見つける。』私は散り散りになった羊の群れを探す羊飼いのようになります。私は羊を見つけて、あの暗く曇った日に散らばっていたすべての場所から救い出します。

ヨハネ 10:14 わたしは良い羊飼いであり、わたしの羊を知っており、わたしのことも知られています。

この箇所は、イエスが良い羊飼いであり、彼の羊を知っており、羊も彼を知っているという内容です。

1: イエスは良い羊飼いであり、私たちをよく知っています。

2: 私たちは、善き羊飼いであるイエスが私たちに必要なものを与え、導いてくださることを信頼できます。

1: エゼキエル 34:11-16 - 羊を養い、守るという神の約束。

2: 詩篇 23 - 主は私の羊飼い、私は望まない。

ヨハネ 10:15 父がわたしを知っているように、父であるわたしも知っています。そして、わたしは羊のために命を捨てます。

ヨハネ 10:15 は父なる神とイエス・キリストの関係について語っています。彼らは両方とも完璧な相互知識とお互いの理解を持っています。

1. 父と子の完全な愛の絆

2. 犠牲を通して羊に奉仕する

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

2. ヨハネ 15:13 - 人が友人のために自分の命を捨てること以上に大きな愛はありません。

ヨハネ 10:16 また、この囲いの者ではない、私が飼っている他の羊たちも、私が連れて行かなければなりません。そうすれば、彼らは私の声を聞くでしょう。そして、一つの群れと一人の羊飼いがいるであろう。

この箇所は、イエスが唯一の羊飼いとしての指導の下、非ユダヤ人信者を一つの群れに集めたことを語っています。

1. イエスの招きの力: 信者の団結を理解する

2. 善き羊飼い: イエスのリーダーシップの意味

1. エペソ 4:4-6 - あなたが召されたとき、あなたが 1 つの希望に召されたのと同じように、体も霊も 1 つです。一人の主、一つの信仰、一つの洗礼。唯一の神でありすべての父であり、すべてを支配し、すべてを貫き、すべてのうちにおられる方です。

2. 詩篇 23:1-3 - 主は私の羊飼いです、私は欲しがることはありません。彼は私を緑の牧草地に横たわらせます。彼は私を静かな水辺に導いてくれます。彼は私の魂を回復させてくれます。彼はその名のために私を正しい道に導いてくれます。

ヨハネ 10:17 ですから、父は私を愛してくださいます。私が命を捨てたのは、再び命を取り戻すためです。

この箇所は、イエスが御父への愛から自らの命を捨て、そしてそれを取り戻すつもりであることを明らかにしています。

1. 愛の力: イエスの犠牲的な愛の模範を探る

2. 犠牲の本当の意味: イエスの愛の深さを理解する

1. ピリピ 2:5-8 - イエスの謙虚さと従順の模範

2. ローマ人への手紙 5:8 - 私たちの罪深さにもかかわらず、私たちに対する神の愛

ヨハネ 10:18 だれも私からそれを取り上げませんが、私はそれを自分から捨てます。私にはそれを捨てる力があり、またそれを取り戻す力もあります。この戒めは私が父から受けたものです。

ヨハネ 10:18 は、イエスが父から与えられた、自分の人生に対する権威と力を強調しています。

1. イエス：止められない権威の力

2. イエスの自己犠牲が彼の権威をどのように明らかにするか

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. フィリピ 2:5-8 - あなたの態度はキリスト・イエスと同じであるべきです。キリストは、本質的には神でありながら、神との平等性を把握できるものとは考えず、神の性質そのものをとって、自分自身を無にしました。人間に似せて造られた奉仕者。そして、人間の姿で見出されたので、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。

ヨハネ 10:19 したがって、これらの言葉について、ユダヤ人の間には再び分裂が生じました。

ユダヤ人たちはイエスの教えのために意見が分かれました。

1. イエスの教えには、団結する力と分裂する力があります。

2. 平和と不和をもたらすイエスの言葉の力。

1. マタイ 10:34-36 「わたしが地上に平和をもたらすために来たと思ってはならない。わたしが来たのは平和をもたらすためではなく、剣をもたらすためである。わたしが来たのは、人をその父親に敵対させ、娘を敵に回すためである。」彼女の母親…"

2. ヘブライ 12:14-15 すべての人と平和に暮らし、聖なる者となるようあらゆる努力をしなさい。聖さがなければ、誰も主を見ることができません。神の恵みに欠ける人がいないように、そして苦い根が成長して問題を引き起こし、多くの人を汚さないように注意してください。

ヨハネ 10:20 すると彼らの多くは言った、「あの人は悪魔に取り憑かれていて、気が狂っているのです。なぜ彼の声が聞こえるのですか？

イエスの敵対者たちはイエスの教えに疑問を抱き、イエスは気が狂っていて悪魔に取り憑かれていると主張しました。

1: たとえ理解できなくても、新しいアイデアの可能性に対して寛容でなければなりません。

2: 証拠なしに他人を判断したり、その人の性格について推測したりするのは間違いです。

1: マタイ 7:1-5 「裁いてはなりません。裁かれないようにするためです。なぜなら、あなたが判断する判断によって、あなたがたも裁かれるからです。そして、あなたがどのような尺度で測るかによって、それは再びあなたに測られるからです。」

2: ヤコブ 1:19 - 「ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。」

ヨハネ 10:21 他の人たちは、「これは悪魔につかれた者の言葉ではありません」と言った。悪魔は盲人の目を開くことができるでしょうか？

イエスを批判する人たちはイエスの奇跡を起こす能力に疑問を抱きましたが、イエスに従う者たちはイエスが悪魔に取り憑かれていないことを知っていました。

1. 疑いを克服するイエスの力

2. イエスの奇跡: 彼の神性のしるし

1. イザヤ書 35:5-6 - そのとき、目の見えない人の目は開かれ、耳の聞こえない人の耳は妨げられなくなります。

6 そのとき、足のなえた人は心臓のように飛び跳ね、口のきけない人の舌は歌います。荒野に水が湧き、砂漠に小川が流れるからです。

2. マタイ 11:4-5 - イエスは答えて彼らに言った、「行って、あなたがたが見たり聞いたりしていることをもう一度ヨハネに見せてください。

5 目の見えない人は見えるようになり、足の不自由な人は歩き、らい病人は清められ、耳の聞こえない人は聞こえ、死者はよみがえらされ、貧しい人は福音を宣べ伝えられます。

ヨハネ 10:22 エルサレムでは奉献の祭りがあり、冬でした。

冬の間、ユダヤ人たちはエルサレムで献身祭を祝っていました。

1. 神の忠実さを祝うことの重要性

2. 冬に神の愛を祝う方法

1. ネヘミヤ8:13-18

2. 詩篇105:1-5

ヨハネ 10:23 それから、イエスはソロモンの玄関にある神殿の中を歩いておられた。

ヨハネ 10 章 23 節には、イエスがソロモンの玄関にある神殿の中を歩いたことが記されています。

1. ソロモンの玄関の神殿にイエスが臨在されたことの重要性。

2. 今日の私たちの生活における、ソロモンの玄関の神殿におけるイエスの臨在の重要性。

1. 列王上 6:3 - また、その家の神殿の前のポーチの長さは、家の幅に応じて二十キュビトであった。家の前の幅は十キュビトであった。

2. ヨハネ 4:23 - しかし、真の崇拝者たちが霊と真理をもって父を礼拝する時が来ます。そして今がその時です。父は、ご自分を崇拝する者を求めておられるからです。

ヨハネ 10:24 そのとき、ユダヤ人たちが彼の周りに来て、彼に言った、「いつまで私たちを疑わせるのか」。あなたがキリストなら、はっきり言ってください。

イエスはユダヤ人に対して自分がメシアであることを明確に示し、返答を求めました。

1: 誰もがイエスについて決断を下さなければなりません。イエスを信じるか拒否するかのどちらかです。

2: イエスは救いへの唯一の道であるため、私たちはイエスを主であり救い主として受け入れなければなりません。

1: 使徒 4:12 - そして、他の誰にも救いはありません。なぜなら、私たちが救われるために天の下で人間の間に与えられた名前は他にないからです。

2: ローマ 10:9 - もしあなたがイエスが主であることを口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。

ヨハネ 10:25 イエスは彼らに答えられた、「わたしがあなたがたに言ったのに、あなたがたは信じなかった。わたしが父の名において行う業は、彼らがわたしの証しである。」

イエスは父の名において行われた業を通して、自分がメシアであることを彼らに示しました。

1. イエスはメシアであり、父の名においてなされた御業を通して示されました。

2. イエスがあなたの主であり救い主であることを信じてください。それは、父の名においてなされたイエスの業を通して示されています。

1. ヨハネ 5:36、「しかし、私にはヨハネよりも偉大な証しがあります。それは、私の教えと私の奇跡です。」

2. イザヤ書 61:1、「主権者である主の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。主は、心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、解放するために私を遣わされました。」囚人たちのために暗闇から。」

ヨハネ 10:26 しかし、あなたがたは信じていません。私があなたがたに言ったように、あなたがたはわたしの羊の者ではないからです。

この箇所には、信じない者はイエスの羊ではない、と書かれています。

1. イエスを信じることの大切さ

2. イエスの羊の力

1. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2. マタイ 11:28 - すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。

ヨハネ 10:27 わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従ってきます。

この箇所は、イエスの声に耳を傾け、その命令に従うことの重要性を強調しています。

1. 聞く力: なぜイエスに従うべきなのか

2. 従順の祝福: イエスに従うことがどのように喜びにつながるか

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

ヨハネ 10:28 そしてわたしは彼らに永遠の命を与えます。そして彼らは決して滅びず、誰も彼らを私の手から引き離すことはありません。

神は私たちに永遠の命を与え、危害から守ってくださいます。

1: 神の変わらぬ愛と加護

2: 永遠の命の約束

者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、決して不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2: 詩篇 121:2-3 - 私の助けは天地を造られた主から来ます。神はあなたの足を動かすことを許しません。あなたを守る者は眠りません。

ヨハネ 10:29 彼らに私を与えてくださった私の父は、誰よりも偉大です。そして誰もそれらを父の手から引き離すことはできません。

神の守りは、私たちが直面するどんな危険よりも大きいのです。

1: たとえどんな危険に直面しても、神のご加護が私たちを乗り越えてくれるということを確信できます。

2: 神は私たちが直面するどんな危険よりも偉大であり、私たちが神を信頼するなら、どんな危害も私たちに来ることを許しません。

1: ローマ 8:31-39 - この世のどんな力も私たちを神の愛から引き離すことはできません。

2: イザヤ書 41:10 - 恐れないでください、わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。

ヨハネ 10:30 わたしと父は一つです。

イエス・キリストは、その神性を通して父なる神との一致を確立し、父なる神を一つにしました。

1: イエス・キリストは受肉した神であり、父なる神とご自身を結び付けています。

2: イエス・キリストは神と人類の間の架け橋であり、神において両者を結び付けます。

1: コロサイ 2:9 - なぜなら、彼の内には神の満ち満ちたものが肉体的に宿っているからです。

2: 2 コリント 5:19 - なぜなら、神はキリストのうちにおられ、世をご自分と和解させ、彼らに対する彼らの罪を数に入れなかったからです。

ヨハネ 10:31 そこでユダヤ人たちは再び石を取り上げて彼に石を投げつけようとした。

イエスはユダヤ人に語りかけ、彼らの行動の結果を脅かすことで、死に対するご自身の力を実証されました。

1: 生と死を支配する力を持っているのはイエスだけです。

2: 私たちはイエスを傷つけることにではなく、イエスに従うことに人生を捧げるべきです。

1: ローマ人への手紙 6:9-11 - 私たちは、死者の中からよみがえられたキリストが決して再び死ぬことはないことを知っているからです。死はもはや彼を支配することができません。

2: ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。」

ヨハネ 10:32 イエスは彼らに答えられた、「わたしは父から多くの良い行いをあなたがたに見せました。あなたがたは、それらの行いのどれのために私を石で投げるのですか？

イエスは父への証として行った善行のゆえに迫害されていました。

1: たとえ善行のために迫害されても、私たちは善行を続けるべきです。それがイエスが私たちに示した模範だからです。

2: 迫害によって、私たちが信仰を実践し、神に仕え、神に栄光を帰す活動をすることが妨げられることがあってはなりません。

1: マタイ 5:11-12 「わたしのために、人々があなたたちをののしり、迫害し、あなたたちに対して偽りのあらゆる悪口を言うとき、あなたたちは幸いです。喜び、大いに喜びなさい。あなたがたの報いは大きいからです」天では、あなたがたの以前の預言者たちは非常に迫害されたからです。」

2: 1 ペテロ 4:12-13 「愛する人たち、あなたがたを試みる激しい試練については、何か奇妙なことがあなたに起こったかのように、不思議ではないと考えてください。しかし、あなたがたはキリストの苦しみにあずかっているのですから、喜びなさい。あなたがたはキリストの苦しみにあずかっているからです。」それは彼の栄光が現されるとき、あなたがたもまた、この上ない喜びをもって喜ぶであろう。」

ヨハネ 10:33 ユダヤ人たちは彼に答えて言った、「良い行いをしたからには、私たちはあなたに石を投げません。ただし冒涜の場合。それはあなたが人間であるから、あなた自身が神であるからです。

ユダヤ人たちはイエスが神であると主張したことを冒涜であると非難しました。

1: 私たちはイエスの言葉の力と、それが周囲の人々に与えた影響を理解する必要があります。

2: イエスは、たとえ冤罪に直面しても、愛と赦しの力を模範として示されました。

1:1ヨハネ 4:8 - 「愛しない者は神を知りません。神は愛だからです。」

2: マタイ 5:44 - 「しかし、私はあなたに言います。あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。」

ヨハネ 10:34 イエスは彼らに答えられた、「あなた方の律法にはこう書いてあるではないか。『あなた方は神だ』と私は言いました。」

イエスは詩篇 82:6 を引用してご自身の神性を断言されました。

1: イエスは神であり、崇拝され従うべきです。

2: 私たちは皆、神の似姿に造られており、聖なる敬虔な生活を送るよう努めるべきです。

1: 詩篇 82:6 - 「私は言いました、『あなた方は“神”です。あなた方はみな至高者の子です。』」

2: ヨハネ 1:1 - 「初めにことばがあった、ことばは神とともにあった、ことばは神であった。」

ヨハネ 10:35 もし彼が彼らを神々と呼んだなら、彼らに神の言葉が臨んだのであり、聖書を破ることはできません。

この一節では、神の言葉がいかに破られることがないか、そして神が人間を神と呼んだかについて説明しています。

1. 神の言葉の力

2. 神の子の神聖さ

1. マタイ 5:48 - 「だから、あなたがたの天の父が完全であるように、完全になりなさい。」

2. 詩篇 19:7 - 「主の律法は完全であり、魂をさわやかにします。」

ヨハネ 10:36 父が神聖なものとして世に遣わされた方について、あなたがたは冒涜者であると言いなさい。私は神の子だと言ったからですか？

イエスは告発者たちに尋問し、自分が神の子であると主張しているのに、なぜ冒涜で告発するのかを尋ねています。

1. イエスの権威: ヨハネ 10:36 の考察

2. 神聖な神の子: イエスは自分の神性をどのように擁護するか

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれるでしょう、相談者、力強い神、永遠の父、平和の王子。

2. ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスと同じ心を持ちましょう。キリストは神の姿でありながら、神との平等を搾取されるべきものとは考えず、自分を無にして、自分自身を取り除きました。人間に似て生まれた奴隷の姿。そして、人間の姿で発見された彼は、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

ヨハネ 10:37 もし私が父の業を行っていないなら、私を信じないでください。

この箇所は、イエスが神の業を行った場合にのみイエスを信じることの重要性を強調しています。

1. イエスが私たちが神を信じるために神の業を示される必要性。

2. イエスと神の御業を信じる信仰の力。

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

ヨハネ 10:38 しかし、もしわたしがそうするなら、あなたがたがわたしを信じていなくても、その御業を信じなさい。そうすれば、父がわたしのうちにおられ、わたしも父のうちにおられることを知り、信じることができるからである。

この箇所はイエスの働きと父と子の一致について語っています。

1. イエスの業: 父と子の一致のしるし

2. イエスを信じる: 御父を知る道

1. ヨハネ 14:10-11 – 「私が父のうちにおり、父が私の内におられることを信じてください。そうでなければ、まさに行いのために私を信じてください。私が父のうちにおり、父が私の中にいると信じてください。そうでなければ、まさに行いのために私を信じてください。」

2. ヨハネ 17:21 - 「それは、すべての人が一つになるためです。父よ、あなたがわたしのうちにおられ、わたしもあなたの中におられるように、彼らもわたしたちの中で一つとなるためです。」

ヨハネ 10:39 そこで彼らは再びイエスを捕らえようとしたが、イエスは彼らの手から逃れた。

パリサイ人たちはイエスを逮捕しようとしましたが、イエスは彼らを避けて逃げられました。

1. イエスの愛の力: イエスは私たちへの愛によってどのようにしてパリサイ人から逃れたのか

2. 神の加護: 神の加護の象徴としてのイエスのパリサイ人からの脱出

1. ローマ 8:31-39 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. マタイ 16:18 - そして、私はあなたにも言います、あなたはペテロです、そして私はこの岩の上に私の教会を建てます。そして地獄の門もそれに打ち勝つことはできない。

ヨハネ 10:40 そして再びヨルダンを越えて、ヨハネが最初にバプテスマを授けた場所へ行きました。そしてそこに彼は住んでいました。

ヨハネは、洗礼者ヨハネが最初に洗礼を授けた場所に戻り、そこに滞在しました。

1: イエスは、私たちのルーツに戻ることの大切さを教えてくれました。

2: イエスは謙虚さの力を示し、謙虚な始まりの場所に戻りました。

1: 2 テモテ 2:1-2 - 「わが子よ、あなたはキリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。そして、あなたが多くの証人の面前で私が言うのを聞いたことは、同様にされるであろう信頼できる人々に委ねます。他の人に教える資格がある。」

2: 箴言 27:17 - 「鉄が鉄を研ぐように、ある人は他の人を研ぐ。」

ヨハネ 10:41 そこで、多くの人が彼に頼って、「ヨハネは奇跡を起こしませんでした。しかし、ヨハネがこの人について話したすべてのことは真実でした」と言った。

ヨハネはイエスの正体と宣教の真実を証言しました。

1: イエスは神の子であり、奇跡を起こす力を持っています。

2: 私たちは周りの人々からのイエスの証しに耳を傾けるべきです。

1: マタイ 11:2-6 - イエスの身分と宣教についてのヨハネの証言。

2: ルカ 7:18-23 - 罪を赦すイエスの力についてのヨハネの証言。

ヨハネ 10:42 そこで多くの人がイエスを信じた。

ヨハネ 10:42 は、多くの人がイエスを信じたガリラヤでのイエスの宣教を要約しています。

1: イエスを信じることは真の自由をもたらします。

2: イエスの宣教は真の喜びと平和をもたらします。

1: ガラテヤ 5:1 「キリストが私たちを自由にしてくださったのは、自由のためです。ですから、しっかり立ちなさい。奴隷のくびきを再び負わないでください。」

2: イザヤ書 9:6-7 「私たちに子供が生まれ、息子が与えられ、政府はその肩に乗るでしょう。そして彼は素晴らしい助言者、力ある神、永遠の父、王子と呼ばれるでしょう」平和。彼の政府と平和の拡大には終わりがない。」

ヨハネ 11 章では、ラザロの死と復活、復活と命についてのイエスの言説、そしてその後のイエス殺害計画について語られています。

第 1 段落: この章は、友人のラザロが病気であるというイエスへのメッセージから始まります。しかし、イエスはすぐに彼のところに行くのではなく、さらに二日間そこに留まりました。それからイエスは弟子たちに、ラザロが「眠ってしまった」（死んだ）が、起こしに行くつもりだったと告げました。彼らはユダヤにおけるユダヤ人の敵意に対する誤解と恐れにもかかわらず、主に従いました(ヨハネ11:1-16)。

第 2 段落: 彼らがベタニアに到着したとき、ラザロはすでに墓の中にいて 4 日経っていました。マルタはイエスに会い、イエスがそこにいてくれたら弟は死ななかったのにと嘆きましたが、神は求めるものは何でも与えてくださるという信仰を表明し、イエスは「私は復活の命である、私を信じる者は死んでも、生きている者は皆、私を決して死なないと信じる者は生きるであろう」という啓示で彼女を慰めました。 '彼女の信念を尋ねた後、この言葉は続きました。マリアは、慰めに来たユダ

ヤ人たちとともに主の足もとにひれ伏して泣きながら、彼女の心を揺さぶられた深く悩んだ心を泣きました。聖書の最も短い詩「イエスは泣いた」。イエスの共感を示すと、人間の悲しみは、遺体がそこに4日間安置されていたため、マルタが臭いを心配したにもかかわらず、石を取り除くよう墓に進みました(ヨハネ11:17-3 9)。

第 3 段落: 群衆は御利益を求めて大声で祈った後、父がイエスを遣わされたと信じられるように、大声で「ラザロ出て来い！」と呼びかけました。死人が出てきた手足に亜麻布の帯を顔に巻き付けて驚いた 多くのユダヤ人が彼を信仰した しかし一部のパリサイ人は行った 主要な祭司長が何をしたか報告した パリサイ人はサンヘドリンに集会を招集 恐怖を表明 この提案された解決策のように彼を放っておけばローマ人は両国を奪う カイアファス大祭司の年は、知らず知らずのうちに一人の人が死んだ方が良いと預言され、その日から国民全体が滅び、その命を奪う計画が立てられ、そのためもはや人々の間で公然と動き回ることはなくなり、ユダヤ人はエフライムと呼ばれる砂漠の村近くの地域から撤退し、弟子として宣教を続けた（ヨハネ11:40-54）。

ヨハネ 11:1 さて、マリアとその妹マルタの町ベタニアに住む、ラザロという名の、ある人が病気でした。

この箇所はベタニアの町で病気になったラザロの物語を紹介しています。

1. 信仰の力: ラザロとその奇跡的な回復の物語

2. 苦しみの中にある希望：ラザロの信仰から学ぶ

1. ヘブライ 11:1-3 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

2. ローマ 8:18 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。

ヨハネ 11:2 (主に香油を塗り、自分の髪で主の足を拭いたのは、あのマリアでした。その兄弟ラザロは病気でした。)

イエスに軟膏を塗り、自分の髪の毛でイエスの足を拭いたマリアには、病気のラザロという兄弟がいました。

1. イエスと慈悲

2. 癒しにおける信仰の力

1. マタイ 6:14-15、「もしあなたが他の人の罪過を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださいますが、もしあなたが他の人の罪過を赦さないなら、あなたの天の父もあなたの罪過を赦してはなりません。」

2. ヤコブ 5:15-16、「信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そして、もしその人が罪を犯したなら、赦されます。」

ヨハネ 11:3 そこで、彼の姉妹たちが彼のもとに人を遣わして言った、「主よ、ご覧ください、あなたの愛する方が病気なのです。」

イエスの姉妹たちはイエスに、愛する人が病気であることを知らせるメッセージを送りました。

1. 困難な時代に直面した私たちに対する神の愛 - ヨハネ 11:3

2. シンプルなメッセージの力 - ヨハネ 11:3

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. 1 コリント 13:7 - 愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐えます。

ヨハネ 11:4 イエスはそれを聞いて、「この病気は死に至るものではなく、神の栄光のためであり、神の子がそれによって栄光を受けるためである」と言われました。

イエスは、ラザロの病気は死に至るものではなく、神の栄光のためであり、神の御子が栄光を受けるためであると宣言されました。

1. 困難な状況における神の栄光

2. イエスの無限の慈悲と配慮

1. 詩篇 19:1 - 天は神の栄光を宣言します。そして大空には彼の手仕事が展示されています。

2. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

ヨハネ 11:5 さて、イエスはマルタとその妹、そしてラザロを愛されました。

ヨハネ 11:5 のこの一節は、イエスがマルタとその妹、そしてラザロに対して特別な愛を持っていたことを明らかにしています。

1. イエスの愛: イエスがマルタ、その妹、ラザロにどのように無条件の愛情を示したか

2. 愛の力: イエスの愛は私たちの人生をどのように変えることができるか

1. マタイ 5:43-48 - 敵を愛することを教えたイエス

2. コリント第一 13 章 - 愛の特徴を説明する愛の章

ヨハネ 11:6 そこで、病気だと聞いたとき、イエスは、そのまま二日間、同じ場所に留まりました。

イエスは友人のラザロが病気だと聞き、2日間その場に留まることにしました。

1. イエスは、時には最善の行動は、辛抱強く神の計画を信頼することであると教えています。

2. たとえ私たちが一人だと感じているときでも、神はいつも私たちとともにおられます。

1. ローマ人への手紙 8:28 - ?そして、私たちは、神を愛する人々、神の目的に従って召された人々にとって、すべてのことが良い方向に協力して働くことを知っています。

2. 詩篇 46:1 - ? 쏥 od は私たちの避難所であり強さであり、困難に直面したときの非常に身近な助けです。

ヨハネ 11:7 その後、イエスは弟子たちに言った、「もう一度ユダヤに行こう」。

イエスは弟子たちに再びユダヤに行くように言いました。

1: 信仰を行動に移す - イエスの信仰の模範。

2: 神の計画を信頼する - 困難な時代における信仰の重要性。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

ヨハネ 11:8 弟子たちは彼に言った、「先生、最近のユダヤ人たちはあなたを石打ちにしようとしました。そしてまたそこへ行ったのですか？

弟子たちは、最近ユダヤ人たちがイエスに石を投げようとした場所にイエスが戻ってくるのを心配していました。

1: 迫害に関係なく、イエスは自らの使命への献身的な姿勢を示し、神の保護を信頼しました。

2: 私たちは、反対にもかかわらず、自分の信じていることのために立ち上がることを恐れるべきではありません。

1: マタイ 5:10-12 「義のために迫害されている人たちは幸いです。天国は彼らのものだからです。他人があなたをののしり、迫害し、私の罪に偽ってあらゆる種類の悪をあなたに向けるとき、あなたは幸いです。」「喜びなさい。喜びなさい。天国ではあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したのですから。」

2: 1 ペテロ 2:21-23 「あなたがたはこのために召されたのです。キリストもあなたのために苦しみ、あなたがその足跡に従うように模範を残されたからです。キリストは罪を犯しておらず、偽りも見つかりませんでした。彼はののしられても、ののしり返さず、苦しんでも脅さず、正しく裁いて下さる方に身を委ね続けた。」

ヨハネ 11:9 イエスは答えられた、「一日は十二時間ではないのか」。人が昼間歩いていても、この世の光を見ているので、つまずくことはありません。

イエスは、1日は12時間なのかと尋ね、だれでも昼間に歩くなら、世の光が見えるのでつまずくことはないと述べました。

1. 光の力: 太陽の光がどのように私たちを導き、私たちを守るのか

2. 12 の力: 時間とリソースを最大限に活用する

1. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。

2. 伝道の書 3:1 - 天の下では、すべてのことには時があり、あらゆる活動には季節があります。

ヨハネ 11:10 しかし、人が夜に歩くと、つまずくのは、彼の中に光がないからです。

この一節は、人生を歩むために光を持つことの重要性を強調していますか？旅。

1. あなたの光を輝かせましょう: 神?希望の光となるよう呼びかけます。

2. 道を明るくする: 人生の方向性と目的を見つける。

1. 詩篇 119:105 ?私たちの言葉は私の足元の灯であり、私の道の光です。

2. マタイ 5:14-16 ?あなたは世界の光です。丘の上に築かれた街を隠すことはできません。ランプを灯してボウルの下に置く人もいません。代わりにスタン

ドに置くと、家にいる人全員に光が与えられます。同じように、あなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの善行を見て、天の御父を讃えることができます。

ヨハネ 11:11 彼はこれらのことを言いました。その後、彼は彼らに言った、「私たちの友人ラザロは眠っています。しかし、私は彼を眠りから目覚めさせるために行きます。

イエスは弟子たちに、友人のラザロが眠っているが、行って起こしてあげると言われます。

1. 復活の希望 - 死者の中からの復活に関するイエスの約束とそれがもたらす希望。

2. 行動における信仰 - イエスは、ラザロを起こしに行こうという意欲を通して、行動における信仰を実証しました。

1. コリント人への第一の手紙 15:51-57 - イエスが死から命を取り戻す力についてのパウロの説明。

2. イザヤ書 26:19 - すべての信者に対する復活の約束。

ヨハネ 11:12 そこで弟子たちは言った、「主よ、眠っていればよくなります。」

イエスの弟子たちは、ラザロを眠らせれば病気が治るのではないかと懸念を表明しました。

1. たとえその瞬間には理解できなくても、イエスは常に私たちの人生にとって最善の計画を持っています。

2. 神は主権者であり、最も困難な状況であっても善のために利用することができます。

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. エレミヤ 29:11 - 私はあなたに対して持っている計画を知っているからです、と主は宣言されます。 쐏はあなたを傷つけるのではなく繁栄させることを考えており、あなたに希望と未来を与えることを計画しています。

ヨハネ 11:13 ところで、イエスは自分の死について話しましたが、人々は、イエスが眠りの休息について話したのだと思いました。

弟子たちはイエスの言葉を理解できず、イエスが死ではなく眠って休むことについて話していると信じていました。

1. 神の計画：それを理解し、それに従うことを学ぶ

2. イエスと弟子たち: 服従の教訓

1. イザヤ書 55:8-9: 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の道はあなたの道よりも高いからである」自分の考えよりも考え。」

2. ピリピ人への手紙 2:5-8: 「キリスト・イエスにもあったこの思いを、あなたの中に持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながら、神と同等であることは強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たなかったのです。そして召使の姿をとり、人間に似せて造られた。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。」

ヨハネ 11:14 そこでイエスは、「ラザロは死んだ」とはっきりと彼らに言われた。

イエスは弟子たちにラザロが死んだことを告げます。

1: 死に直面しても、イエスは依然として私たちの希望と平安の源です。

2: 悲しみや絶望の時でも、私たちは主に信頼することができます。

1: ローマ人への手紙 8:18 ～?それとも、この現在の苦しみは、私たちの内に明らかにされるであろう栄光と比較するに値しないと思います。

2: 詩篇 46:1-2 - ? 쏥 od は私たちの避難所であり強さであり、困難に直面したときの非常に身近な助けです。したがって、たとえ土が取り除かれ、山々が海の真っ只中に持ち込まれたとしても、私たちは恐れることはありません。

ヨハネ 11:15 そして、あなたがたが信じているように、私がそこにいなかったことを、あなたがたのためにうれしく思います。それでも、私たちは彼のところに行きましょう。

イエスは、ラザロが死んだとき、その場にいなかったことを喜んでおり、その場にいた人々がイエスを信じるようになりました。

1. 逆境の中で信仰を見つける

2. 困難な時に主を信頼する

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. 詩篇 37:3-4 - 主を信頼し、善を行いなさい。この地に住み、忠実な者となります。主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いを叶えてくださるでしょう。

ヨハネ 11:16 それから、ディディモと呼ばれるトマスが仲間の弟子たちに言った、「私たちも行きましょう。彼と一緒に死ぬためです。」

トマスと仲間の弟子たちは、イエスの死に加わり、忠誠と支持を示したいと考えました。

1: 個人的な犠牲を払ってでも、キリストの大義に献身しなさい。

2: 自分の信念のために立ち上がることを恐れないでください。

1: マタイ 10:32-33 ?したがって、人々の前でわたしを告白する者は誰であれ、わたしも天におられるわたしの父の前で告白するであろう。 33 しかし、人々の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で否認するであろう。

2: ヨハネ 15:13 ? 쏥ハンターの愛には、これ以上のものはありません、それを置くよりも？友達のために人生を捧げる。

ヨハネ 11:17 それから、イエスが来られると、すでに四日経って墓に横たわっていたことが分かりました。

イエスが到着すると、ラザロが死んで4日間埋葬されていたことが分かりました。

1. 信仰の力: すべての希望が失われたように見えるときでも、私たちはイエスを信頼することができます。

2. 祈りの力: たとえ死が私たちの愛する人を奪ったとしても、イエスはまだ彼らを取り戻すことができます。

1. イザヤ書 43:2 ?あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そしてあなたが川を通過するとき、川はあなたを押し流すことはありません。

2. コリント第二 4:8-9 ?四方八方から強く押し付けられていますが、潰れてはいません。当惑しているが、絶望しているわけではない。迫害されているが、見捨てられてはいない。撃墜されましたが、破壊されませんでした。

ヨハネ 11:18 さてベタニアはエルサレムに近く、十五ハロンほど離れたところにあった。

イエスは兄弟ラザロの死後、マリアとマルタを慰めます。

1. イエスは困難なときの慰め者です

2. 友情の価値

1. イザヤ書 40:1 - 「慰めよ、そうです、わたしの民を慰めなさい」とあなたの神は言われます。

2. 箴言 17:17 - 友はいつでも愛し、兄弟は逆境の時にこそ生まれる。

ヨハネ 11:19 ユダヤ人の多くがマルタとマリアのところに来て、兄弟のことで慰めようとした。

多くのユダヤ人がマルタとマリアを訪れ、兄弟の死を慰めました。

1. 他者とともに悲しむ: 喪失の際に他者を慰める方法

2. 喪失を乗り越えるコミュニティの力

1. ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。

2. ヨブ記 2:11-13 - ヨブ記はいつ？三人の友人、テマン人エリパズ、シュヒ人ビルダド、ナアマ人ゾファルは、彼に降りかかったすべての困難について聞き、家を出て、行って彼に同情し、慰めようという約束で集まりました。

ヨハネ 11:20 そこで、マルタは、イエスが来られると聞くと、すぐに会いに行った。しかし、マリアは家の中にじっと座っていた。

イエスが訪ねてきたとき、マルタとマリアの反応は異なっていました。

1. マルタとマリアの例から、私たちは自分の生活の中で常にイエスを歓迎すべきであることを学ぶことができます。

2. 私たちはマルタのようになり、喜びと熱意を持ってイエスに応えるよう努めるべきです。

1. マタイ 11:28-29 ?働き、重荷を負っているすべての人たちよ、私はあなたたちに休息を与えます。私のくびきを負って、私から学んでください。私は心は優しくて謙虚だから、そうすればあなたは魂に安らぎを見つけるでしょう。

2. ルカ 10:38-42 さて、一行が旅を続けていると、イエスは村に入られた。そしてマーサという女性が彼を家に迎え入れました。彼女にはマリアという妹がいて、主の足もとに座ってその教えを聞いていました。しかし、マーサはたくさんのサーブに気を取られていました。そして彼女は彼のところに行って言いました。おい、妹が私を一人で仕えさせたことは気にしないのか？それなら私を助けてくださいと彼女に言いなさい。?しかし主は彼女に答えられた。쏮アルタ、マルタ、あなたは多くのことで不安で悩んでいますが、必要なことが 1 つあります。メアリーは自分から取られない良い部分を選びました。

ヨハネ 11:21 そこでマルタはイエスに言った、「主よ、もしあなたがここにおられたら、私の兄弟は死ななかったでしょう。」

マルタは、イエスが弟を癒してくれなかったことに深い悲しみと失望を表します。

1. イエスは困難なときの唯一の希望です

2. たとえ私たちが理解できなくても、神のタイミングは完璧です

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. 詩篇 46:1-3 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。それゆえ、たとえ大地が取り除かれ、山々が海の真っ只中に持ち込まれても、私たちは恐れることはない。たとえその水がとどろき、波紋を立てても、山々がそのうねりで震えても。

ヨハネ 11:22 しかし、私は、今でも、あなたが神に求めるものは何でも、神はそれを与えてくださることを知っています。

イエスはマルタに、神に祈ったものは何でも与えられると保証しました。

1. 信仰：神が約束を果たしてくれると信じること

2. 希望：困難な状況において主を信頼する

1. マタイ 21:22 - そして、あなたが信じて祈りで求めるものはすべて、あなたがたは受け取るでしょう。

2. エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている、と主は宣言される、それはあなたを傷つけることなく繁栄させる計画、あなたに希望と未来を与える計画である。

ヨハネ 11:23 イエスは彼女に言われた、「あなたの兄弟は復活するでしょう。」

イエスはマルタに、弟のラザロが復活するだろうと保証を与えます。

1: イエスは死が終わりではないという希望と確信の源です。

2: イエスは、ご自分を信頼する人々に命と希望をもたらします。

1: ローマ人への手紙 8:11 ～?そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたの中に住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせ

た方は、あなたの内に住んでおられる御霊のゆえに、あなたの死ぬべき肉体にも命を与えるでしょう。

2: 1 コリント 15:20-22 - ?キリストは確かに死者の中からよみがえられ、眠りについた人々の初穂となります。というのは、死が人間を通して来たのと同じように、死者の復活もまた人間を通して来るからです。アダムにおいてはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにおいてはすべての人が生かされるからです。

ヨハネ 11:24 マルタは彼に言った、「彼が終わりの日に復活することを私は知っています」。

マルタは終わりの日にイエスが復活するという信仰を告白します。

1: イエスの復活への希望、どんな状況であっても神の約束を信頼できるということ。

2: 主に信頼を置きましょう。主は忠実な方であり、私たちの人生に回復をもたらしてくださるからです。

1: 1 ペテロ 1:3-5 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神にほめたたえられますように。神の偉大な憐れみにより、神はイエス・キリストの死者の中からの復活を通して、私たちを生ける希望へと生まれ変わらせてくださいました。

2: ローマ 8:11 - イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

ヨハネ 11:25 イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。

イエスは命と復活の源です。

1. 命と復活を経験するには、イエスを信じなければなりません。

2. イエスを信頼することが、命と復活の鍵を握る鍵です。

1. ヨハネ 3:16 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ人への手紙 10:9 「もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

ヨハネ 11:26 そして、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。あなたはこれを信じますか？

この箇所は、イエスを信じる者は決して死ぬことはないというイエスの信念を明らかにしています。

1. イエスの力: イエスへの信仰はどのようにして死を克服できるのか

2. 永遠の命の賜物: イエスを信じて不死を体験する

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「もしあなたが口で『イエスは主です』と告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるのです。なぜなら、あなたが救われるのはあなたの心だからです。信じて義とされ、口で告白して救われるのです。」

2. コリント第一 15:54-57 - 「朽ちるものが朽ちないものを、死ぬものが不滅を着るとき、書かれている言葉が実現します。『死は勝利に飲み込まれた』。「死よ、あなたの勝利はどこにありますか？死よ、あなたのとげはどこにありますか？」「死のとげは罪であり、罪の力は律法です。しかし、神に感謝します。神は私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださいます。」

ヨハネ 11:27 彼女は彼に言った、「そうです、主よ。私はあなたが世に来られる神の御子キリストであると信じます。」

イエスは、兄の死後、悲しみに暮れるマルタに出会います。彼女は彼を神の子として信じていると告白します。

マルタはイエスを神の子として信じる信仰を表明します。

1. マルタの信仰: 主への揺るぎない信仰を培う方法

2. 悲しみの中の慰め：イエスの愛の中に強さを見つける

1. マタイ 11:28 - ?頑張って重荷を負っているすべての人に、私はあなたに休息を与えます。

2. ローマ人への手紙 10:9-10 - ?もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心から正義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。

ヨハネ 11:28 そう言って彼女は立ち去り、妹のマリアにこっそり電話して、「先生が来られて、あなたをお呼びです」と言った。

イエスはマリアとマルタの家に到着し、マリアを呼びました。

1. イエスは絶望の時に私たちを呼び、希望を与えてくださいます。

2. 私たちはイエスの呼びかけに応え、イエスの愛と憐れみを信頼しなければなりません。

1. イザヤ書 43:2-3 ?あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。わたしはあなたの神、主、イスラエルの聖者、あなたの救い主だからです。

2. マタイ 11:28 ?働き、重荷を負っているすべての人たちよ、私はあなたたちに休息を与えます。

ヨハネ 11:29 彼女はそれを聞くとすぐに立ち上がって、彼のところに来た。

マリアはイエスが来られると聞いて、すぐに立ち上がってイエスに会いに行きました。

1. 私たちが神を求めるとき、神はいつでも私たちに会う準備ができています。

2. 率先して神を求めることは、信じられないほどの祝福につながる可能性があります。

1. エレミヤ 29:13 - 「そして、あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2. イザヤ書 55:6 - 「見いだされるうちに主を求めなさい。近くにいらっしゃるうちに呼び求めなさい。」

ヨハネ 11:30 さて、イエスはまだ町には来ておられなかったが、マルタが出会ったその場所におられた。

マルタはイエスが町に入られる前に、町の外れの場所でイエスに会った。

1. 悲しみの克服: マルタとイエスの出会いから学ぶ

2. 予期せぬ場所でのイエスとの出会い

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われました。쏧 は復活であり、命です。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。これを信じますか？

ヨハネ 11:31 そのとき、家で彼女と一緒にいて、彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリアが急いで立ち上がって出て行くのを見ると、「彼女はそこで泣くために墓に行っているのです」と言って、彼女を追った。

マリアはラザロの死を聞いて泣きにラザロの墓に行きました。彼女と一緒に家にいたユダヤ人たちは、彼女を追って墓まで行きました。

1. 悲しみの時の神の慰め

2. 死の真っ只中に希望を見つける

1. 詩篇 56:8 - ?私の放浪を考慮に入れてくださいました。私の涙をあなたのボトルに入れてください。あなたの本には載っていないのですか？

2. イザヤ書 41:10 - ?恐れることはありません、私はあなたと一緒にいるからです。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしの正義の右手であなたを支えます。

ヨハネ 11:32 それから、マリアがイエスのいるところに来てイエスを見ると、その足元にひれ伏して言った、「主よ、もしあなたがここにおられたら、私の兄弟は死ななかったのに」。

マリアは弟の死についてイエスに悲しみを表しました。

1: 悲しみの時には、イエスに頼って慰めを求めてください。

2: イエスは慰めと平和の究極の源です。

1: イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください。わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを強めます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます」私の正義について。」

2: 詩篇 34:18 - 「主は打ち砕かれた心の者たちに近くにあり、悔い改めた精神を持つ者を救ってくださる。」

ヨハネ 11:33 そこで、イエスは、彼女が泣いており、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、霊の中でうめき、思い悩んで、

イエスはラザロの死を悲しんでいた人々とともに悲しみました。

1. 神は私たちの悲しみの中にいて、私たちの痛みを理解しています。

2. キリストにある慰め：悲しみの時に強さを見つける。

1. ローマ人への手紙 12:15 - 「喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。」

2. 詩篇 34:18 - 「主は心の打ち砕かれた者に近づき、霊の打ちひしがれた者を救ってくださいます。」

ヨハネ 11:34 そして言った、「彼をどこに置いたのですか」。彼らは彼に言った、「主よ、来て見てください」。

イエスはラザロの埋葬場所を尋ねることによって、ラザロの遺族に同情を示しました。

1: わたしたちは、喜んで彼らの話に耳を傾け、慰めることによって、喪に服している人々に対する思いやりを示すべきです。

2: イエスの模範から、悲しんでいる人々にどのように同情して慰めるかを学ぶことができます。

1: 1 ペテロ 5:7 - あなたの不安をすべて彼に投げかけてください。神はあなたのことを気にかけているからです。

2: ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちと一緒に喜びなさい。悲しむ人たちとともに悲しむ。

ヨハネ 11:35 イエスは泣いた。

イエスはラザロの死に涙を流し、友人に対する愛と同情の深さを示しました。

1. イエスの力?愛: ヨハネ 11:35 についての研究

2. 危機における同情：イエスについての考察?ヨハネ 11:35 の涙

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

ヨハネ 11:36 そこでユダヤ人たちは言った、「見よ、彼はどんなに彼を愛していたか。」

イエスは愛する友人ラザロのために涙を流されました。ラザロが病気になったとき、イエスは不在でしたが、ラザロが亡くなった後に到着されました。イエスは友人の死に深く感動し、周囲のユダヤ人たちはイエスの愛と悲しみに注目しました。

友人に対するイエスの愛は、イエスの同情心と憐れみの深さを示していました。

1: 神の愛は無条件です

2: 喪失のさなかの思いやり

1: 1 コリント 13:4-7 - 愛は忍耐強く、親切です。愛は妬んだり自慢したりしません。それは傲慢でも無礼でもありません。それは自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりすることはありません。それは悪事を喜ぶのではなく、真実を喜ぶのです。

2: ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。

ヨハネ 11:37 すると、ある人たちは言った、「目の見えない人の目を開いてくれたこの人なら、この人さえ死ななくて済んだのではないだろうか」。

ラザロの墓の周りの人々は混乱し、なぜイエスが彼を死なせることなく癒してくれなかったのかと尋ねました。

1. イエスは主権者である: ラザロの死についての考察

2. ラザロの復活における生、死、そして希望

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ヨハネ 11:25 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。」

ヨハネ 11:38 そこで、イエスは再び心の中でうめきながら墓に来られる。それは洞窟で、その上に石が置かれていました。

イエスはラザロの墓を訪れ、悲しみに打ちひしがれます。

1: 共感の力 - イエスは、愛する友人ラザロのために涙を流したとき、共感の力を実証しました。

2: 思いやりのある生活 – イエスはラザロへの愛を示すことによって、思いやりのある生活を送ることの力を私たちに示しました。

1: ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。

2: 1 ヨハネ 4:19-20 - 私たちが愛するのは、主が最初に私たちを愛してくださったからです。誰かが言うなら、？神を愛していますが、彼の兄弟を憎んでいます。彼は嘘つきです。なぜなら、見たことのある兄弟を愛さない人は、見たことのない神を愛することはできないからです。

ヨハネ 11:39 イエスは、「石を取り除きなさい」と言われた。死んだ彼の妹であるマルタが彼に言いました、「主よ、この時までに彼は悪臭を放ちます。彼は死んで四日経つからです。」

マルタは、死が確実に見えるときでも、命をもたらすイエスの力を思い出します。

1: 悲しみの時、イエスは私たちの希望の源です。

2: 状況が不可能に見える場合でも、私たちはイエスが忠実であると信頼できます。

1: ローマ人への手紙 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。川を通って、水があなたに溢れ出ることはありません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたに燃え上がることもありません。

ヨハネ 11:40 イエスは彼女に言った、「もしあなたが信じたいなら、神の栄光を見るはずだ、と私はあなたに言ったではありませんか？」

イエスはマルタに、信じれば神の栄光を見るだろうという以前の約束を思い出させます。

1: 信仰は私たちを神の栄光に近づけます。

2: 信じれば神の栄光が見えます。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して起こります。」

ヨハネ 11:41 それから彼らは、死者を葬った場所から石を取り除きました。するとイエスは目を上げて言われた、「父よ、私の話を聞いてくださって感謝します。」

ラザロの墓から石を取り除いた後、イエスは神に感謝します。

1. 感謝の力: 良い時も悪い時も感謝することを学ぶ。

2. 目を天に向ける：困難な時に主に目を向けることを学びます。

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても心配しないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。

2. 詩篇 118:1-2 - 主に感謝しましょう。主は善い方だからです。彼の愛は永遠に続きます。イスラエルにこう言わせましょう。愛は永遠に続くのですか??

ヨハネ 11:42 そして、あなたがいつも私の声を聞いてくださっていることを私は知っていました。しかし、そばにいる人々のために、あなたが私をお遣わしになったことを信じてもらうために、私はこのように言いました。

イエスは神に祈り、イエスが神から遣わされたことを人々に聞いて信じさせるために大声で言ったにもかかわらず、神は常に神の声を聞いておられることを認めました。

1. 神のタイミングを信頼することを学ぶ

2. 賛美と崇拝の力

1. ヘブライ人への手紙 13:5-6 - 「貪欲な会話をしないようにしなさい。そして、あなたがたが持っているもので満足しなさい。主はこう言われたからです。『わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない。』主は私の助け手です、そして私は人が私に何をするかを恐れません。」

2. 詩篇 66:19 - 「しかし、まことに神はわたしの声を聞いてくださいました。わたしの祈りの声に耳を傾けてくださいました。」

ヨハネ 11:43 そして、このように話したとき、彼は大声で、「ラザロ、出てきなさい」と叫びました。

この箇所には、イエスがラザロに墓から出てくるように呼びかけたことが記されています。

1. 死に対するイエスの力と苦しむ人々に対するイエスの憐れみ

2. イエスの力に対する信仰の重要性

1. ルカ 7:14-15 - イエスはやもめの息子を死からよみがえらせる

2. ローマ 6:23 - 罪と死の力はイエスの復活によって打ち砕かれました。

ヨハネ 11:44 すると、死んだ者が出てきて、手足を重装で縛られ、顔にナプキンを巻かれていた。イエスは彼らに言った、「彼を解き放って、放してください」。

死んだ男は墓から引き上げられ、縛られ、墓服を着せられました。イエスは人々に自分を釈放するように指示されました。

1. イエスは命を与える - ラザロの模範と、命を与えるイエスの力。

2. イエスの力 - イエスには死者をよみがえらせ、私たちを束縛から解放する力があります。

1. イザヤ書 26:19 - ?私たちの死者は生きます。彼らの体は立ち上がるだろう。塵の中に住む者よ、目覚めて喜びを歌え！あなたの露は光の露であり、地球は死者を生み出すでしょう。

2. ローマ人への手紙 6:4-5 - ?したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに埋葬されました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。なぜなら、私たちが彼のような死において彼と一つになったなら、私たちは間違いなく彼のような復活においても彼と一つになるからです。

ヨハネ 11:45 それから、マリアのところに来て、イエスのなさったことを見た多くのユダヤ人が、イエスを信じた。

多くのユダヤ人はイエスが行った奇跡を見てイエスを信じました。

1: イエスとその奇跡を信じます。

2: 信仰を通して、私たちはイエスの力を信頼することができます。

1: ローマ 10:9 - イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。

2: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ヨハネ 11:46 しかし、そのうちの何人かはパリサイ人のところへ行き、イエスがなさったことを彼らに話した。

イエスの奇跡を見た何人かの人々は、それをパリサイ人に報告しました。

1. キリストの奇跡: 否定できない証言

2. 目撃する力: 私たちのストーリーがどのように変化を生み出すことができるか

1. 使徒 4:20、?それとも、私たちは見聞きしたことを話さざるを得ません。

2. イザヤ書 43:10、? 「わたしはわたしの証人である、と主は言われる。わたしが選んだわたしのしもべである。」

ヨハネ 11:47 それから、祭司長たちとパリサイ人たちを集めて、こう言った。この人は多くの奇跡を起こすからです。

祭司長とパリサイ人は、多くの奇跡を行っていたイエスについて話し合うために集まりました。

1. 信仰の奇跡 - イエスと祭司長、パリサイ人の物語

2. 神の奇跡 - 神は私たちの人生を通してどのように奇跡を起こされるのか

1. 使徒 4:13-17 - 支配者、長老、律法学者たちは足の不自由な男のいやしに直面したとき、驚き、それがイエスの力によってなされたことに気づきました。

2. マタイ 16:21-23 - ペテロがイエスが神の子であると告白すると、イエスは神の敵がペテロを滅ぼそうとするだろうと警告して答えられました。

ヨハネ 11:48 私たちがこのように彼を放っておけば、すべての人が彼を信じるでしょう。そしてローマ人が来て、私たちの場所と国家の両方を奪うでしょう。

祭司長とパリサイ人は、人々がイエスを救世主として受け入れ、ローマ人が彼らの国を奪いに来るのではないかと恐れています。

1. メシアとしてのイエス - 彼は誰であり、私たちにとって彼は何を意味しますか?

2. 人間の恐怖と神への恐怖 - 私たちの動機はどうあるべきか?

1. ヨハネ 11:48 - ?もし私たちが彼を放っておいたら、すべての人が彼を信じるでしょう：そしてローマ人が来て、私たちの場所と国家の両方を奪うでしょう。

2. ローマ人への手紙 10:17 - ?信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことによって生まれます。

ヨハネ 11:49 すると、その年に大祭司になったカイアパという名の一人が、彼らに言った、「あなた方は何も知らない。

カヤファは人々に、自分たちの理解を超えた事柄に干渉しないよう警告しました。

1: 私たちは謙虚になり、私たちの理解を超えているものがあることを認識する必要があります。

2: 私たちは、自分と異なる信念や視点を持つ人々を批判したり批判したりする誘惑に抵抗する必要があります。

1: ヤコブ 4:11-12 「兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟を悪く言い、兄弟を裁く者は、律法に対して悪口を言い、律法を裁いているのです。しかし、あなたが律法を裁くなら、あなたもそうなのです。」法の実行者ではなく裁判官です。

2: コロサイ 2:8 「キリストに従うのではなく、人間の伝統や世界の元素の霊に従って、誰もあなたがたを哲学や空虚な欺瞞の虜にしないように気をつけてください。」

ヨハネ 11:50 また、一人の人が民のために死ぬことで、国全体が滅びないことが、私たちにとって得策であるとも考えないでください。

国を救うためには一人の人が国民のために死ぬべきだ。

1. 犠牲の力: ヨハネ 11:50 を通して学ぶ

2. 愛の代償: キリストの犠牲の偉大さを理解する

1. ローマ 5:8 - しかし、神は、私たちがまだ罪人であったときに、私たちのために死ぬためにキリストを遣わすことによって、私たちに対する大きな愛を示してくださいました。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

ヨハネ 11:51 そして、これは彼自身のことを言ったのではなく、その年大祭司であった彼は、イエスがその国民のために死ぬべきだと預言しました。

イエスの死は大祭司によって予告されました。

1. イエスは国民の罪のために死ぬために送られました。

2. イエスの死は私たちを罪から救うために必要でした。

1. イザヤ書 53:5-6 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

□□□ 11:52 □□□□

1. 使徒 5:29 - ?ペテロと使徒たちはこう答えました。人は人間ではなく神に従わなければなりません。ユーロ?

2. ヘブライ人への手紙 11:8 - ?信仰 アブラハムは、相続物として受け取ることになっている場所へ出かけるように召されたとき、従いました。そして彼はどこへ行くのかも知らずに出て行った。

ヨハネ 11:55 ユダヤ人の過越の祭が近づいていたので、多くの人が過越の祭の前に身を清めるために国からエルサレムに上った。

多くのユダヤ人は過越祭の前に身を清めるためにエルサレムを訪れました。

1. 重要なスピリチュアルな出来事の前に、スピリチュアルな浄化と浄化の重要性。

2. ユダヤ人にとっての過越の祭りとエルサレムへの旅の重要性。

1. ローマ 6:19-22 - なぜなら、あなたが自分の食口を不純の奴隷として、またさらなる不法を招く不法の奴隷として提示したのと同じように、今度は自分の食口を聖化につながる義の奴隷として提示してください。

2. イザヤ書 1:16-17 - 身を洗いなさい。自分を清めなさい。あなたの行いの悪を私の目の前から取り除いてください。悪を行うのをやめ、善を行うことを学びなさい。正義を求め、抑圧を正す。父親のいない人々に正義をもたらし、未亡人の大義を訴えます。

ヨハネ 11:56 そこで、彼らはイエスを捜し求め、神殿に立ったとき、「イエスが祭りに来ないなんて、あなたがたはどう思うか」と話し合った。

ユダヤ人たちは神殿でイエスについて話し合い、祭りに出席するかどうかを尋ねていました。

1: イエスを求めて、難しい質問をしてください。

2: 理解できないことと向き合うことを恐れないでください。

1: マタイ 7:7-8 - 求めなさい、そうすれば与えられるでしょう。探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば、それはあなたに開かれます。そして探求する者は発見する。そしてノックする者には開かれるであろう。

2: 詩篇 27:4 - 私が主に望んだことが一つあり、それを求めます。それは、私が生涯ずっと主の家に住み、主の美しさを見て、主の神殿で尋ねるためです。

ヨハネ 11:57 さて、祭司長もパリサイ人も、自分がどこにいるのか知っている人がいたら、それを見せて連れて行こうという命令を出していた。

祭司長とパリサイ人は、イエスの居場所を知っている人は誰でもイエスを逮捕できるように知らせるよう命じていました。

1. 神の計画は私たちの理解を超えています - ローマ 11:33-36

2. 神の守りは絶えることがない - 詩篇 91:1-2

1. ヨハネ 7:30 - 「それで、彼らは彼を捕らえようとした。しかし、彼の時がまだ来ていなかったので、誰も彼に手を出さなかった。」

2. マタイ 26:53-54 - 「私が今、父に祈ることができないと思いますか。父は今私に十二軍団以上の天使を与えてくださるでしょう。では、こうでなければならないという聖書の言葉はどうやって成就するのでしょうか。」

ヨハネ 12 章では、ベタニヤでのイエスの油注ぎ、エルサレムへの勝利の入場、イエスの死の予言、そしてイエスの奇跡にもかかわらず多くの人が信じ続けたことについて詳しく述べています。

第 1 段落: この章は、過越の祭りの 6 日前にラザロがイエスと一緒にいたベタニアでの夕食から始まります。食事中、マリアはイエスの足に高価な香油を塗り、髪の毛で拭きました。イスカリオテのユダは、貧しい人々を助けるために売られたはずのこの香水の無駄遣いに反対しましたが、イエスはマリアの行動を埋葬の準備として擁護しました（ヨハネ12:1-8）。

第 2 段落: ラザロを死から蘇らせたというニュースを聞いて、多くのユダヤ人がイエスに会いに出かけました。ラザロが祭司長たちを率い、ラザロの殺害を企てました。なぜなら、彼のせいで多くのユダヤ人がイエスを信じてイエスのもとに行こうとしていたからです。翌日、大勢の群衆が宴会に来ていたとき、イエスがエルサレムに来られると聞いて、ヤシの木の枝を持って出て行き、「ホサナ！」と叫びながらイエスに会いに行きました。イスラエル王さえも主と名づけられる者は幸いである！』預言は成就しましたが、ゼカリヤは若いロバに乗りましたが、弟子たちは、これらのことが彼について書かれていることを覚えて栄光を覚えた後に初めてこれらのことを理解しませんでした（ヨハネ12:9-16）。

第 3 段落: 彼らは、自分たちの前でこれほど多くのしるしを行ったにもかかわらず、イザヤの預言が成就したことを依然として信じず、心をかたくなにしました。しかし同時に、有力なユダヤ人の中には多くの人がイエスを信じていましたが、パリサイ人は会堂から追い出されるのを恐れて自分たちの信仰を公には認めなかったため神を讃美するよりも人間を讃美することが大好きでした。それからイエスは大声で叫んで、私を信じる者は私ではなく、私を送った人を信じている、私は光の世界に来たので、私を信じる者は誰でも暗闇のままではないかもしれません、もし誰かが私の言葉を聞いても、それを守らないなら、私は来なかったので彼を裁くことはありません世界を裁くが世界を救う終章では、父ご自身からの目的の使命メッセージが語られています（ヨハネ12:37-50）。

ヨハネ 12:1 それから、イエスは過越の祭の六日前にベタニアに来られました。そこには、死んでいたラザロがいて、死人の中からよみがえらせられました。

イエスは過ぎ越しの6日前にベタニヤを訪れ、ラザロを死からよみがえらせました。

1. 愛の力: ラザロに対するイエスの愛はどのようにして死を超えたのか

2. 奇跡を行う者としてのイエス: 彼の奇跡の力に関する研究

1. ローマ人への手紙 8:38-39: 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. ヨハネ 11:25-26: イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。これを信じますか？

ヨハネ 12:2 そこで彼らは彼に夕食を用意した。マルタが給仕しましたが、ラザロも一緒に食卓に着いたうちの一人でした。

ラザロもイエスと食事を共にした人々の一人でした。

1: イエスは、私たちが苦しみの中でも喜びと交わりを見つけることができることを示してくださいました。

2: 最も困難な時であっても、私たちはイエスのうちに希望と力を見出すことができます。

1: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2: ヘブライ 13:5 - お金への執着から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足してください。神はこう言われたからです。私は決してあなたを見捨てません。」

ヨハネ 12:3 それからマリアは、非常に高価なスパイクナルドの軟膏一ポンドを持って行き、イエスの足に油を注ぎ、彼女の髪の毛で足を拭きました。すると、家中に軟膏の匂いが充満しました。

マリアはイエスの足にスパイクナードの軟膏を塗るという高価な贈り物を通して、イエスへの愛と献身を示しました。

1. 献身の力: マリアのイエスへの贈り物の探求

2. 寛大さと愛: マリアの例

1. イザヤ書 1:17 「善を行うことを学びなさい。正義を求め、抑圧を正す。父親のいない人々に正義をもたらし、未亡人の大義を訴えてください。」

2. ローマ 12:1-2 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたにお願いします。あなたがたの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたがたの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試してみることで識別できるようになる。」

ヨハネ 12:4 そこで、彼の弟子の一人、シモンの息子イスカリオテのユダは、彼を裏切るはずだと言いました。

イエスの弟子の一人であるイスカリオテのユダが、イエスを裏切る人物であることが明らかになりました。

1. ユダの裏切り - イエスの十字架に至るまでの不幸な出来事の分析

2. 裏切りの力 - たった 1 つの行為が歴史の流れをどのように変えることができるか

1. マタイ 26:14-16 - イエスを裏切る陰謀

2. ルカ 22:47-48 - イスカリオテのユダによるイエスの裏切り

ヨハネ 12:5 なぜこの軟膏を 300 ペンスで売って、貧しい人々に配らなかったのでしょうか。

この箇所は、マリアがイエスの足に高価な軟膏を塗り、イエスがそのお金を貧しい人々に与えた方が良かったと答える状況を描写しています。

1. イエスの目には貧しい人々の世話をすることの重要性。

2.寛大な心を持つことの大切さ。

1. マタイ 25:40 - 「そして王は彼らに答えるでしょう、『はっきり言いますが、あなたが私の兄弟たちの中で最も小さい者の一人にしたように、あなたも私にしたのです。』」

2. 箴言 14:31 - 「貧しい人を抑圧する者はその造り主を侮辱するが、貧しい人に寛大な者はその人を敬う。」

ヨハネ 12:6 彼が言ったのは、貧しい人々の世話をしたということではありません。しかし、彼は泥棒で、その袋を持っていて、その中に入れられていたものをむき出しにしたからです。

ジョンは、バッグを持っていた泥棒が自分のものを手に入れることにしか興味がなかったと明らかにしたとき、慈善の重要性について教えていました。

1. 私たちは貪欲からではなく、愛から与えなければなりません。

2. 利己主義の誘惑に注意してください。

1. マタイ 6:19-21、「自分のために宝を、虫がいてさびが滅び、盗人が押し入って盗む地上に蓄えてはなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさない天に宝を蓄

えなさい。泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

2. ヨハネ第一 3:17 「しかし、世の財産を持っていながら、自分の兄弟が困っているのを見て彼に対して心を閉ざす者は、どうして神の愛がその人の内に宿るでしょうか。」

ヨハネ 12:7 それからイエスは言われた、「彼女を放っておいてください。私の埋葬の日まで、彼女はこれを守っていたのですか。」

この一節には、イエスが人々に、自分の埋葬の準備をしているマリアを放っておくように言ったことが書かれています。

1. イエスの慈悲と愛: マリアの犠牲

2. 準備の力: メアリーからの教訓

1. ルカ 10:38-42 - マリアの献身の模範

2. ヨハネ 11:1-44 - イエスによるラザロの復活

ヨハネ 12:8 貧しい人たちを、あなたがたはいつもそばにいるからです。しかし、あなたがたはいつもそうしているわけではありません。

この聖句は、貧しい人たちはいつも私たちとともにいますが、イエスはいつも私たちと一緒にいるわけではないことを強調しています。

1. イエスを当然のことと思わないでください：毎日イエスのために生きる

2. 寛大さの力：イエスの名において貧しい人々に奉仕する

1. マタイ 25:31-46 - 羊とヤギのたとえ

2. ヤコブ 2:14-17 - 行いのない信仰は死んだ

ヨハネ 12:9 したがって、ユダヤ人の多くはイエスがそこにいるのを知っていました。そして、彼らはイエスのためだけではなく、イエスが死者の中からよみがえらせたラザロにも会うためでした。

ユダヤ人の多くは、イエスがベタニヤに来てラザロを死からよみがえらせたことを知っていました。彼らはイエスとラザロに会いに来ました。

1. 信仰の力: イエスはどのようにしてラザロを死からよみがえらせたのか

2. 神の驚異: イエスの奇跡

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. 使徒 3:1-10 - さて、ペテロとヨハネは、祈りの時間、つまり九時に神殿に登っていました。

ヨハネ 12:10 しかし祭司長たちは、ラザロも死刑にしようと相談した。

祭司長たちはラザロを殺そうとしました。

1: 怒りや妬みで自分の行動をコントロールしてはなりません。

2: 私たちに対する神の愛は、私たちの復讐の願望よりも大きいです。

1: マタイ 5:44 - しかし、私はあなたに言いますが、敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。

2: ローマ 12:19 - 親愛なる友人たち、復讐をしないでください。むしろ、神の怒りが来る余地を残しておきなさい。「復讐するのはわたしの仕事だ。わたしが報復する」と主は言われるからです。

ヨハネ 12:11 それは、彼のせいで多くのユダヤ人が立ち去り、イエスを信じたからです。

この箇所は、多くのユダヤ人がイエスの奇跡を見てイエスを信じたことを明らかにしています。

1. イエスの奇跡の力: イエスはどのように人生を変えたか

2. 信仰の影響: イエスへの信仰が人生をどのように変えるか

1. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

2. ヨハネ 16:8-9 - 「そして、彼が来るとき、彼は罪と義と裁きに関して世を有罪とします。罪に関しては、彼らはわたしを信じないからです。」

ヨハネ 12:12 その翌日、イエスがエルサレムに来られると聞いて、祭りに来ていた多くの人々が、

エルサレムの人々はイエスの到着を心待ちにしていました。

1: イエスは栄光の王であり、私たちはイエスを心に迎える準備ができている必要があります。

2: イエスは救いへの唯一の道であり、私たちはイエスを受け入れるために心を開かなければなりません。

1: 詩篇 24:7-10、門よ、頭を上げてください。そして永遠の扉よ、立ち上がってください。そして栄光の王が入ってくるでしょう。

2: ヨハネ 3:16-17、神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

ヨハネ 12:13 やしの木の枝を手に取り、出て行って彼に会いに出て、叫んだ、「ホサナ：主の御名によって来られるイスラエルの王に祝福あれ。」

この一節は、イエスのエルサレム入城の際、弟子たちがヤシの木の枝でイエスを出迎え、「ホサナ！主の御名によって来られるイスラエルの王に祝福あれ！」と叫んだことを物語っています。

1. 喜びへの呼びかけ：イエスのエルサレム入城を祝う

2.ホサナ！イスラエルの王は主の御名によって来られる

1. イザヤ書 40:9-10 「シオンよ、良い知らせをもたらす者よ、高い山に登れ。エルサレムよ、良い知らせをもたらす者よ、力強く声を上げよ。恐れることはない。ユダの町々に、「見よ、あなたの神よ」と言いなさい。

2. 詩篇 118:26 - 主の御名によって来る者は幸いです。私たちは主の家からあなたを祝福します。

ヨハネ 12:14 イエスは、若いろばを見つけて、その上に座られた。書かれているように、

イエスは謙虚にロバに乗ってエルサレムに入りました。1: イエスの謙虚さは私たちが従うべき模範です。2: イエスのエルサレム入城は預言の成就でした。1: ピリピ人への手紙 2:5-11。イエスの謙虚さについて語られています。2: イザヤ書 62:11、イエスのエルサレム入城を予告したもの。

ヨハネ 12:15 シオンの娘よ、恐れるな。見よ、あなたの王がろばの子に乗って来られる。

イエスは子ロバに乗ってエルサレムに来られます。

1.「王イエス：私たちの生活に乗り込む」

2.「我らの王の到来：凱旋入場」

1. ゼカリヤ書 9:9 - 「シオンの娘よ、大いに喜びなさい。大声で叫べ、エルサレムの娘よ！見よ、あなたの王があなたのところに来ます。彼は義であり、救いを持っており、謙虚で、ロバ、ロバの子である子ろばに乗っています。」

2. イザヤ書 62:11 - 「見よ、主は地の果てまで告げられた、『シオンの娘に言いなさい、見よ、あなたの救いが来る。見よ、彼の報いは彼とともにあり、彼の報いは彼の前にある。」

ヨハネ 12:16 これらのことは、最初は弟子たちに理解できませんでしたが、イエスが栄光を受けると、これらのことがイエスについて書かれていること、そして彼らがイエスに対してこれらのことをしたことを思い出されました。

イエスの弟子たちは最初はイエスの死の重要性を理解していませんでしたが、イエスが栄光を受けると、これらの出来事は預言されたものであり、彼らがイエスにしたことであることに気づきました。

1. イエスの栄光: イエスの目的の実現

2. イエスに従う: イエスの計画を理解する

1. イザヤ書 53:4-6 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。

2. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

ヨハネ 12:17 したがって、イエスがラザロを墓から呼び出し、死者の中からよみがえらせたときに一緒にいた人々のことは、記録に残されていません。

イエスがラザロを死人の中から奇跡的によみがえらせた瞬間に立ち会った人々は、神の力を証ししました。

1. 命の奇跡: 新しい命をもたらすイエスの力の再発見

2. 証しをする: イエスの奇跡が私たちの生活をどのように変えることができるか

1. ローマ 8:11 - 「しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住む御霊を通して、あなたがたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。」

2. ヨハネ 11:25-26 - 「イエスは彼女に言われた、『わたしは復活であり、命である。』わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きるだろう。そして生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはありません。これを信じますか？』

ヨハネ 12:18 このため、人々も彼に会った。彼がこの奇跡を行ったと聞いたからである。

人々はイエスが行った奇跡について聞いてイエスの周りに集まりました。

1: 神の力は神の奇跡の中に見られます。

2: イエスは親切な行為と奉仕を通してご自分の力を示しました。

1: マタイ 5:16 - 「あなたの光を他の人たちの前で輝かせなさい。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天のあなたの父に栄光を帰すことができます。」

2: 使徒 9:36 - 「ヨッパにタビタ（訳すとドルカス）という名の弟子がいました。彼は常に善いことをし、貧しい人々を助けていました。」

ヨハネ 12:19 そこで、パリサイ人たちは互いに言いました。見よ、世界は彼を追って消え去った。

パリサイ人たちは最善を尽くしたにもかかわらず、イエスが追随者を獲得するのを阻止できませんでした。

1. たとえ反対に直面しても、神のご意志に従うことは成功をもたらします。

2. 私たちは、反対にもかかわらず、自分たちの信念を貫く姿勢を持つべきです。

1. ピリピ 4:13-「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. ヨシュア記 1:9 - 「強く、勇敢でありなさい。恐れたり落胆したりしないでください。あなたの神、主はどこへ行ってもあなたとともにおられます。」

ヨハネ 12:20 そして、彼らの中には、祭りのときに礼拝のためにやって来たギリシャ人もいました。

これらのギリシャ人は過越の祭りに神を礼拝するために来た異邦人でした。

1. 私たちはギリシャ人の例から学ぶことができます。ギリシャ人の例は、神の選ばれた民ではないにもかかわらず、それでも神を探し求め、崇拝することを選びまし

た。

2. 共に礼拝することの力は、共同体の集会で神を求めることを選んだギリシャ人の例に明らかです。

1. ローマ 10:12 - ユダヤ人と異邦人の間に違いはありません。同じ主がすべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人を豊かに祝福してくださいます。

2. ヘブライ 13:15 - したがって、私たちはイエスを通して、賛美の犠牲、つまり御名を公然と告白する唇の実を絶えず神にささげましょう。

ヨハネ 12:21 そこで、ガリラヤのベツサイダ出身のピリポにも同じことが来て、「先生、イエスにお会いしましょう」と願ったのです。

ガリラヤのベツサイダに住むフィリポのところに、ある人々がやって来て、イエスに会いたいと願いました。

1. イエスは捜し求める価値がある

2. 他者を通してイエスに出会う

1. マタイ 18:20 「わたしの名によって二人や三人が集まるところには、その中にわたしもいるのです。」

2. ヨハネ 14:9 「イエスは彼に言われた、「フィリポ、わたしは長い間あなたと一緒にいたのに、あなたはわたしのことを知らないのですか。わたしを見た人は父を見たのです。それで、どうして『見せてください』と言えるでしょうか」お父さん'？"

ヨハネ 12:22 フィリポが来てアンデレに告げる、そして再びアンデレとフィリポがイエスに告げる。

フィリポはアンデレにあることを知らせ、アンデレとフィリポはイエスに告げます。

1. コミュニケーションの力: 福音を他の人に伝える

2. 証の力: 他の人と信仰を分かち合う

1. ピリピ人への手紙 2:12-13 「ですから、愛する人よ、あなたがいつも従ってくださったように、今、わたしがいるときだけでなく、いないときはなおさら恐れおののきながら自分の救いを達成しなさい。それは神だからです。」あなたの中で働いて、ご自分の喜びのために意志を持って働いてくださる方です。」

2. 箴言 27:17 「鉄は鉄を研ぎ、ある者は別の者を研ぐ。」

ヨハネ 12:23 するとイエスは彼らに答えて言われた、「人の子が栄光を受ける時が来た」。

人の子イエスが栄光を受ける時が来ました。

1: イエスはその死と復活によって栄光を受けたので、私たちもキリストによって栄光を受けることができます。

2: イエスは人の子であり、私たちは生活の中でイエスに栄光を帰すよう努めるべきです。

1: ローマ 6:4-5 - したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られています。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちもまた新たな命の中を歩むためです。

2: ピリピ 2:5-11 - キリスト・イエスにもあったこの思いをあなたの中に持ちましょう。キリストは神の姿をしていて、神と同等であることが強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、そして、彼は召使の姿をとり、人間と同じように造られました。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

ヨハネ 12:24 まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一人で残ります。しかし、もし死ねば、多くの実を結びます。

イエスは、何かが多くの実を結ぶには、まず地に落ちて死ななければならないと教えています。

1. いつ手放すべきかを知る：犠牲の力

2. 未来への投資: 自己犠牲の利点

1. ローマ 6:4-11: 私たちの古い自分は死んでキリストとともに葬られました。それは、私たちが死からよみがえられたキリストのために生きることができるためです。

2. ガラテヤ 2:20: 私はキリストとともに十字架につけられ、もう生きていませんが、キリストが私の内に生きておられます。

ヨハネ 12:25 自分の命を愛する者はそれを失います。そして、この世で自分の命を憎む者は、それを永遠の命に至るまで保つであろう。

自分の命を愛する人は、神が約束された永遠の命を逃すことになります。しかし、この世での自分の命を憎む者は永遠の命を得るでしょう。

1. 世界を愛することは自分自身を愛することではない

2. 世界を憎むことを選ぶことは、自分自身を愛することを選ぶことと同じ

1. マタイ 16:24-26 - 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救おうとする者は、それを失うであろう。「私のために自分の命を失う者は誰でもそれを見つけるだろう。もし全世界を手に入れても自分の魂を失ったら、人に何の得があるだろうか？あるいは、人は自分の魂と引き換えに何を与えるだろうか？」

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 「世を愛してはなりません。世にあるものを愛してはいけません。世を愛する人がいるとしても、その人の中には父の愛がありません。世にあるすべてのものに対して、肉の欲望、目の欲望、そして人生の誇りは、父からのものではなく、世からのものです。そして、世界は過ぎ去り、その欲望：しかし、神の意志を行う者は過ぎます永遠に存続します。」

ヨハネ 12:26 わたしに仕える人がいるなら、わたしに従いなさい。そして、わたしがいるところには、わたしのしもべもいるでしょう。だれかがわたしに仕えるなら、わたしの父はその人を尊敬してくださるでしょう。

神に仕えることは、自分自身に名誉をもたらす方法です。

1: イエスの模範に従うことは神の名誉につながります。

2: 神に仕えることは、与えられる最大の奉仕です。

1: マタイ 28:19-20 それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまで。アーメン。

2: ピリピ 2:5-8 キリスト・イエスにもあったこの思いを、あなたの中に持ちましょう。キリスト・イエスは、神の姿をしていて、神と同等であることが強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、自分の地位を奪ったのです。そして彼は召使の姿を身に着け、人間に似せて造られた。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。

ヨハネ 12:27 今、私の魂は悩んでいます。そして何と言えばいいでしょうか？父よ、この時から私を救ってください。しかし、私はこの目的のためにこの時まで来たのです。

一節の要約: イエスは、差し迫った死を前にして内なる動揺を表します。

1. 困難な時に神を信頼することを学ぶ

2. 自らの困難に立ち向かう強さ

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。

2. ヘブライ 12:2 - 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けます。イエスは、目の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。

ヨハネ 12:28 父よ、あなたの御名を讃えてください。すると、天からの声が聞こえてきて、こう言いました。

イエスは神がご自分の名を讃えるように祈ります。それに神は、これまでそうしてきたし、またそうするだろうと答えられます。

1. 祈りの力: 神の栄光を求めるイエスの願いは祈りの力をどのように私たちに示しているか

2. 神の栄光: イエスの祈りは神の偉大さをどのように証明するか

1. イザヤ書 6:1-3、ウジヤ王が亡くなった年、私はまた、主が高く高く上げられた王座に座っており、その列が神殿を満たしているのを見ました。

2. ローマ人への手紙 11:33-36、ああ、神の知恵と知識の富の深さよ！神の裁きと、それを見つけ出すことを超えた神の道は、なんと探求しがたいものなのでしょう。

ヨハネ 12:29 そこで、そばに立ってそれを聞いていた人々は、雷が鳴ったと言い、またある者は、「天使が彼に話しかけた」と言った。

人々は大きな音を聞きましたが、それが雷なのか、イエスに話しかけている天使なのかわかりませんでした。

1. 神は私たちが予期しない方法で語られます

2. 神の声を聞く力

1. ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名において遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2. ルカ 1:13-14 - 「しかし、天使は彼に言った、『ゼカリヤ、恐れることはありません。あなたの祈りは聞き届けられました。あなたの妻エリザベスはあなたに息子を産むでしょう、そしてあなたはその子をジョンと呼ぶことになります。』

ヨハネ 12:30 イエスは答えて言われた、「この声はわたしのためではなく、あなたがたのためです。」

イエスは、ご自分の声が自分のためではなく、他の人たちのために発せられたものであることを受け入れ、謙虚さを示しました。

1. 謙遜の力: イエスはどのように自分自身を犠牲として捧げたのか

2. 他者に奉仕することを学ぶ: イエスの謙虚さの模範に倣う

1. フィリピ 2:5-7 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスに対するあなたのものです。キリストは神の姿をとっておられましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にして、召使の姿をとり、人間と同じように生まれることによって。」

2. マタイ 20:24-28 - 「そして、十人はそれを聞いて、二人の兄弟に対して憤慨した。しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「あなたが知っているように、異邦人の支配者たちは彼らを支配し、彼らの偉い人たちは彼らに対して権威を行使しています。」あなたがたの間ではそうではありません。しかし、人の子が仕えられるためではなく奉仕するために、そして多くの人の身代金として自分の命を捧げるために来たのと同じように、あなたがたの中で偉いと思う人はあなたの僕でなければならず、あなたがたの間で一番になりたい人はあなたの奴隷でなければなりません。「」

ヨハネ 12:31 今、この世の裁きが来ています。今、この世の君主は追放されます。

イエスは、世の審判が下され、この世の君主が追放される時が来たと宣言します。

1. 裁きによる救い: 神の愛と正義はどのように共存するのか

2. サタンの現実とイエスによるサタンの敗北

1. ローマ人への手紙 16:20 - 「平和の神は間もなくサタンをあなたの足の下で打ち砕かれます。」

2. エペソ人への手紙 4:27 - 「どちらも悪魔に場所を譲ってはなりません。」

ヨハネ 12:32 そして、もし私が地から引き上げられるなら、すべての人を私のもとに引き寄せるでしょう。

この箇所は、イエスの十字架の死が人々をご自身に引き寄せる力について語っています。

1. 十字架の力: イエスの死がすべての人をどのようにご自身に引き寄せるか

2. 「持ち上げられる」とはどういう意味ですか?イエスの死の重要性を理解する

1. フィリピ 2:8-11 - イエスは十字架上でへりくだって死にましたが、神はその見返りにイエスを高めました。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、イエスは私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。私たちの平和のための懲罰が主の上にあり、主の打ち傷によって私たちは癒されました。

ヨハネ 12:33 これは、彼がどのような死を遂げるべきかを示して言ったものです。

イエスは、どのような死を迎えるべきかについて語られたとき、ご自身の死について言及されていました。

1. 自己に死ぬこと：イエスの例

2. イエスと十字架：犠牲への呼びかけ

1. ピリピ人への手紙 2:5-11

2. ローマ人への手紙 5:6-9

ヨハネ 12:34 人々は彼に答えた、「キリストが永遠にとどまっておられると律法から聞いています。それなのに、あなたはどうして『人の子は上げられなければならない』と言うのですか」。この人の子は誰ですか？

人々は、人の子は上げられなければならないというイエスの言葉に当惑し、人の子とは誰なのかと尋ねました。

1. イエス：永遠に住む人の子

2. 人の子はどのように高められなければならないか

1. 詩篇 90:2 - 「山々が生み出される前、あるいは永遠から永遠に至るまで、あなたが地と世界を造られる前から、あなたは神です。」

2. ヨハネ 14:6 - 「イエスは彼に言われた、『わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、だれも父のもとに来ることはない。』」

ヨハネ 12:35 そこで、イエスは彼らに言われた、「しかし、しばらくの間、光はあなた方のもとにあります。」暗闇があなたを襲わないように、光があるうちに歩きなさい。暗闇の中を歩く者は、どこへ行くのか分からないからである。

イエスは弟子たちに、光があるうちにそれを活用し、闇の中を歩まないようにと指示されました。闇の中を歩むと、どこへ行くのか分からなくなります。

1. 光の力: チャンスを活かす

2. 光の中を歩く: 暗闇を避ける

1. マタイ 6:22-23 – 「目は体のともし火です。目が健康であれば、体全体が光で満たされます。しかし、目が不健康だと、全身が真っ暗になってしまいます。もしあなたの内にある光が闇であるなら、その闇はどれほど大きいことでしょう！」

2. 詩篇 119:105 – 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

ヨハネ 12:36 あなたがたに光があるうちに、光の子となれるよう、その光を信じなさい。イエスはこれらのことを話して立ち去り、実際にそれらから身を隠しました。

イエスは人々に、まだチャンスがあるうちに自分を信じるように言い、その後、人々の前から姿を消しました。

1. できる限りイエスを信じてください - ヨハネ 12:36

2. 光の子となる - ヨハネ 12:36

1. イザヤ書 49:6 - 「そして彼は言った、「あなたが私のしもべとなって、ヤコブの部族を立ち上げ、イスラエルの保護された人々を回復するのは軽いことです。私もあなたに異邦人の光として与えます」あなたが地の果てまで私の救いとなりますように。」

2. エペソ人への手紙 5:8 - 「あなたがたは、時には暗闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩みなさい。」

ヨハネ 12:37 しかし、イエスは彼らの前で非常に多くの奇跡を行ったのに、彼らはイエスを信じませんでした。

イエスの時代の人々はイエスが多くの奇跡を起こすのを見ていましたが、まだイエスを信じていませんでした。

1. 信仰とはただ見るだけではないことを忘れないでください。それは目に見えるものを信じることです。

2. たとえ奇跡が起こったとしても、真の信仰のためには信仰が存在していなければなりません。

1. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

2. マタイ 21:21-22 - イエスは彼らに答えて言われた、「よく言いますが、もしあなたがたが信仰を持っていて、疑わないなら、いちじくの木にしたことをするだけでなく、もしあなたがたがそうするなら、また同じことをしなければなりません」この山に向かって言いなさい、「あなたは取り除かれ、海に投げ込まれます。」それは行われるであろう。

ヨハネ 12:38 それは、預言者エザヤの言った言葉が成就するためです。主よ、だれが私たちの報告を信じましたか。主の御腕は誰に現されたのか。

この箇所は、イザヤの預言がどのように成就したか、そして誰が主の報告を信じたのか、そして主は誰にその力を明らかにされたのかについて語っています。

1. 主への信仰: ヨハネ 12:38 の研究

2. 信じる力: ヨハネ 12:38 の謎を明らかにする

1. イザヤ書 53:1 - 誰が私たちの報告を信じましたか?主の御腕は誰に現されるのでしょうか？

2. ローマ 10:16 - しかし、彼ら全員が福音に従ったわけではありません。エサイアスはこう言っている、「主よ、誰が私たちの報告を信じたのですか？」

ヨハネ 12:39 したがって、彼らは信じることができませんでした。エサイアスが再びこう言ったからです。

イエスの時代の人々はイザヤ書の預言を読んでいなかったため、イエスを信じることができませんでした。

1: 経典を読み、その教えを理解することの重要性。

2: 世間が何と言おうと、イエスを信じます。

1: 使徒 17:11 - さて、これらのユダヤ人はテサロニケの人々よりも高貴でした。彼らはその御言葉を熱心に受け入れ、そのとおりかどうかを毎日聖書を調べました。

2: イザヤ書 53:1 - 私たちから聞いたことを誰が信じたでしょうか。主の御腕は誰に現されたのか。

ヨハネ 12:40 神は彼らの目を盲目にし、彼らの心をかたくなにされた。それは、彼らが目で見たり、心で理解したりして回心してはならず、私が彼らを癒さなければならないということです。

イスラエル人が悔い改めてイエスをメシアとして受け入れることを拒否したことに対する神の裁きは、彼らの霊的な盲目を引き起こしました。

1: 神の裁きは現実のものであり、私たちが真実を見失わせる可能性があります。

2: 神の裁きは厳しいものですが、慈悲深く、愛の行為でもあります。

1: イザヤ書 6:9-10 - そして彼は言った、「行って、この民に告げなさい。あなたがたは確かに聞いていますが、理解することはできません。」そしてあなた

がたは確かに見ているが、認識していない。この民の心を太らせ、耳を重くし、目を閉じてください。そうしないと、目で見て、耳で聞いて、心で理解し、回心して癒されないからです。

2: 詩篇 119:70 - 彼らの心は油のように太っています。しかし私はあなたの律法を喜んでいます。

ヨハネ 12:41 エザヤは、彼の栄光を見て、彼についてこう言った。

この箇所は、イザヤがイエスの栄光を見たとき、イエスについて語ったことが明らかにしています。

1.「イエスの計り知れない栄光」

2.「イエスの栄光を見る」

1. ヘブライ人への手紙 1:1-3

2. イザヤ書6:1-7

ヨハネ 12:42 それにもかかわらず、指導者たちの中にも多くの人が彼を信じました。しかし、パリサイ人のせいで、会堂から追い出されるのを恐れて、彼らはイエスを告白しませんでした。

指導者の多くはイエスを信じていましたが、パリサイ人に拒絶されるのではないかと恐れていました。

1: イエスの立場を取る: 拒絶の恐怖に直面する

2: イエスを信じる: 反対に直面しても毅然とした態度で立つ

1: ローマ人への手紙 10:9-10 「もしあなたが口で『イエスは主である』と宣言し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。なぜなら、あなたは心から信じるからです」そして義と認められ、あなたの口で信仰を告白して救われるのです。」

2: マタイ 10:32-33 - 「他の人の前で私を認める者は、私も天の父の前で認めます。しかし、他の人の前で私を否認する者は、天の父の前で否認します。」

ヨハネ 12:43 彼らは神の賛美よりも人間の賞賛を愛したからです。

多くの場合、人は神に認められることよりも、他人から認められることを重視します。

1. 人間の承認を求めることの危険性

2. 何よりも神の承認を求める

1. ピリピ 3:7-8 - しかし、私が得たものは何であれ、キリストのために損失とみなしました。 8 確かに、私の主キリスト・イエスを知ることの計り知れない価値のゆえに、私はすべてを損失とみなします。

2. 詩篇 19:14 - 主よ、私の岩、私の救い主よ、私の口の言葉と私の心の瞑想があなたの目に受け入れられますように。

ヨハネ 12:44 イエスは叫んで言われた、「わたしを信じる者は、わたしではなく、わたしを遣わした方を信じているのです。」

イエスは、ご自分を信じる者は、ご自分を信じるだけでなく、ご自分を遣わした神をも信じるのだと説明されます。

1. イエス・キリストを信じる信仰の力

2. イエスを信じる本当の意味

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。」

2. ピリピ人への手紙 2:5-11 - 「キリスト・イエスは、神の姿をとっておられましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、召使いの姿をとって生まれ、ご自身を無にされました。男性と同じように。」

ヨハネ 12:45 そして、わたしを見る者は、わたしを遣わした方を見るのです。

ヨハネは、私たちがイエスの中に見るものはすべて神の反映であることを思い出させます。

1: イエスは神の完全な反映です - ヨハネ 12:45。

2: イエスは神の似姿です - ヨハネ 12:45。

1: コロサイ 1:15 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。

2: ヘブライ 1:3 - 彼は神の栄光の輝きであり、神の性質の正確な痕跡です。

ヨハネ 12:46 わたしは世に光として来ました、それはわたしを信じる者が闇の中に留まらないためです。

この箇所は、イエスを信じる者が暗闇の中に留まらないようにするために、イエスが光の源として世に来られることについて語っています。

1. キリストの光 - イエスが光の源として来られる意味を探る

2. 信仰の力 - イエスを信じることが新しい生き方にどのようにつながるか

1. イザヤ書 9:2 - 「暗闇の中を歩いている人々は大いなる光を見た。深い闇の地に住む人々の上に光が明けた。」

2. ヨハネ 8:12 - 「イエスはもう一度人々に話しかけて言われました。「わたしは世の光です。わたしに従ってきれば、暗闇の中を歩む必要はありません。あなたは導く光を持っているからです」命に。"

ヨハネ 12:47 わたしの言葉を聞いて信じない人がいるとしても、わたしはその人を裁きません。わたしは世を裁くためではなく、世を救うために来たからです。

この聖句は、イエスが世を裁くために来たのではなく、世を救うために来たことを教えています。

1. 「グレースに救われた：ヨハネ 12:47 についての考察」

2. 「無条件の愛の力：ヨハネ 12:47 からイエスの愛を探る」

1. ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して、賜物としての神の恵みによって義とされるからです。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。

ヨハネ 12:48 わたしを拒み、わたしの言葉を受け入れない者には、彼を裁く者がいます。わたしが話した言葉、それが終わりの日に彼を裁くでしょう。

この箇所は、終わりの日に私たちを裁くためにイエスの教えが用いられるため、それを受け入れることの重要性を強調しています。

1. 神の裁き: イエスの教えをガイドとして受け入れる

2. イエスの言葉の力: 聞いて従いましょう

1. ヘブライ人への手紙 4:12-13 「神の言葉は生きていて、活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を突き刺し、人の考えや意図を識別します。心臓。そして、どんな生き物も神の目から隠されておらず、すべてが裸で神の目にさらされており、私たちはそのことに責任を負わなければなりません。」

2. ローマ人への手紙 2:15-16 「彼らは、律法の働きが自分たちの心に刻まれていることを示していますが、同時に彼らの良心も証言しており、その日、私の福音によると神は、彼らの矛盾した考えが彼らを非難したり、許したりさえします。」キリスト・イエスによって人間の秘密を裁くのです。」

ヨハネ 12:49 私は自分自身のことを話していないからです。しかし、私を遣わした父は、私に何を言うべきか、何を話すべきかという戒めを与えました。

父はイエスに、言われたことを話すように命じました。

1: 神は御言葉を通して私たちに語りかけ、人生をどのように生きるべきかを指示します。

2: 私たちは常に父に従順であり、父が命じられたとおりに行わなければなりません。

1: ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2: 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あらゆる方法で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道を真っ直ぐにしてくれるでしょう。

ヨハネ 12:50 そして、私は神の戒めが永遠の命であることを知っています。ですから、私が話すことはすべて、父が私に言われたとおり、私は話します。

イエスは御父が語るように命じられた言葉を語り、それが永遠の命につながります。

1: 神の言葉に従って生きることは永遠の命をもたらします。

2: イエスとその言葉に従い、真の永続する人生を経験してください。

1: 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2: ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、私の命令を守ってください。」

ヨハネ 13 章には、イエスが弟子たちの足を洗ったこと、ユダの裏切りを予告したこと、そして互いに愛しなさいという戒めが記されています。

第 1 段落: この章は最後の晩餐から始まります。そこでイエスは、この世を去って御父のもとに行く時が来たことを悟りました。夕食のとき、イエスはテーブルから立ち上がり、上着を脱いで腰にタオルを巻き、弟子たちの足を洗い始めました。イエスがペテロのところに来たとき、ペテロは最初は拒否しましたが、イエスが自分を洗わない限り、イエスとは何の関係もないと言われたとき、折れました。彼らの足を洗った後、彼は衣服を返却するテーブルに置き、主教師が彼らの足を洗うときに、彼らのために模範を示すためにお互いに足を洗いなさいと指摘し、自分が何をしたか理解したかどうか彼らに尋ねました（ヨハネ13：1-17）。

第 2 段落: この奉仕行為の後、イエスは霊的に動揺し、「はっきり言っておきますが、あなた方のうちの一人が私を裏切るつもりです。」と証言されました。弟子たちは誰のことを言っているのかわからず顔を見合わせ、ペテロのしぐさに倣い、隣に横たわっていたヨハネが誰を導いているのかと尋ねると、イエスは「このパンを浸したときに与えるのはその人です」と答えた。それで、パンを受け取った後、浸した部分をイスカリオテのユダに与えたとき、サタンが彼の中に侵入し、それからイエスは彼に、「あなたがしようとしていることをすぐに行いなさい」と言われました。ユダはお金の袋を持っていたので、祭りに必要なものを買って貧しいものを与えるように言っていたのかもしれないので、リクライニングテーブルの人々はなぜこの考えを言ったのか理解できませんでした（ヨハネ13:18-30）。

第3段落：ユダが去った後、イエスは栄光について語り始め、神の子、人は弟子たちに新しい戒めを与えた、「わたしがあなたたちを愛したように、互いに愛し合いなさい。だから、あなたたちもこれによって愛し合わなければなりません。あなたたちが互いに愛し合うなら、誰もがあなたたちが私の弟子であることを知るでしょう。」'ペテロがどこへ行くのか尋ねたとき、今は従うことはできないが、後で従うと主張したペテロは、イエスのために命を捨てるつもりであると主張しましたが、鶏が三回鳴く前に否定を予告しました（ヨハネ13:31-38）。

ヨハネ 13:1 さて、過越の祭りの前に、イエスは、この世を出て父のもとに行かなければならない時が来たことを知り、世にいる自分の者たちを愛し、最後まで彼らを愛されました。

イエスは最後までご自分のものを愛し、御父のもとへ行くためにこの世を去る準備をしていました。

1. 無条件に愛する - イエスが自分自身を愛した例。

2. 犠牲の人生を生きる - イエスは地上の人生を喜んで放棄しました。

1. エペソ人への手紙 5:1-2 「ですから、愛する子供たちとして、神に倣う者となりなさい。そして、キリストが私たちを愛し、私たちのためにご自身を神への香りの良い捧げ物、犠牲として捧げられたように、愛のうちに歩みなさい。」

2. ローマ 12:1 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたにお願いします。あなたがたの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたがたの霊的な礼拝です。」

ヨハネ 13:2 そして夕食が終わると、悪魔はシモンの息子イスカリオテのユダの心に、彼を裏切るよう仕向けた。

イエスは亡くなる前に弟子たちと最後の食事を共にされました。イスカリオテのユダは悪魔に促されてイエスを裏切りました。

1. イエスの弟子たちとの最後の食事の力

2. イスカリオテのユダの誘惑

1. マルコ 14:17-21 - イエスは主の晩餐を制定する

2. マタイ 6:13 - イエスは「私たちを誘惑に導かないでください」と祈るように教えられます。

ヨハネ 13:3 イエスは、父がすべてを自分の手に与えたこと、そして自分が神のもとから来て神のもとへ行ったことを知っていた。

イエスは、奉仕と謙遜の模範として、へりくだって弟子たちの足を洗いました。

1: 「何よりも謙虚さ: ヨハネ 13:3 からの奉仕者としての研究」

2: 「自分の場所を知る力: ヨハネ 13:3 におけるイエスの模範の研究」

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2: ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

ヨハネ 13:4 彼は夕食から起きて、衣服を脇に置きました。そしてタオルを取り、身を締めた。

この一節には、イエスが夕食から起き上がり、衣服を脇に置いてタオルを取り、帯を締めた様子が描かれています。

1. 弟子たちの足を洗うイエス：謙虚さの模範

2. 夕食から召使いまで: イエスの奉仕の模範

1. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれから何もせず、謙虚に他の人が自分より優れていると考えてください。

2. マタイ 25:40 - 王はこう答えます、「はっきり言いますが、あなたが私の兄弟姉妹の中で最も小さい者の一人にしてくれたことは、私にしてくれたことなのです。」

ヨハネ 13:5 それから、イエスは水を桶に注ぎ、弟子たちの足を洗い、帯を締めていたタオルで拭き始めた。

イエスは弟子たちの足を洗い、謙虚になりました。

1. 謙虚になる力

2. キリストの奉仕の模範に従う

1. ピリピ2:3-8

2. マタイ20:25-28

ヨハネ 13:6 それから、彼はシモン・ペテロのところに来ると、ペテロは彼に言った、「主よ、あなたは私の足を洗ってくださいますか」。

イエスが謙虚に愛情を込めて弟子たちの足を洗われたことは、私たちが謙虚になって他の人に仕える必要があることを思い出させてくれます。

1: 弟子たちの足を洗ったイエスの謙虚さと愛の行為は、私たちが他の人に従い、謙虚に仕えるための模範となります。

2: 私たちは、自分自身の生活の中で謙虚に他の人に仕えることによって、イエスの謙虚さと愛の行為に倣うよう努めるべきです。

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2: 1 ペテロ 5:5-6 「あなたがたは皆、互いに謙虚な態度を身に着けなさい。『神は高ぶる者に敵対し、謙遜な者には恵みを与えられる』からです。」ですから、神の力強い御手の下で謙虚になり、しかるべき時に神があなたを高めてくださるようにしてください。」

ヨハネ 13:7 イエスは答えて言われた、「わたしが何をしているのか、あなたは今は知らない。しかし、あなたはこれから知ることになるでしょう。

イエスは、すぐには知ることができない、学び理解すべきことがたくさんあると教えています。

1.「イエスの謎：今知って、後で知る」

2. 「イエスの知恵: 私たちの理解を超えている」

1. 箴言 3:19–20 - 「主は知恵によって地を造られた。彼は理解することによって天を確立しました。彼の知識によって深層は砕かれ、雲が露を落とします。」

2. イザヤ書 55:8–9 - 「私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

ヨハネ 13:8 ペテロは彼に言った、「決して私の足を洗ってはいけない」。イエスは彼に答えた、「もし私があなたを洗わないなら、あなたは私と何の関係もないでしょう。」

ペテロは足を洗ってほしいというイエスの願いに疑問を抱きましたが、イエスは、もしペテロが足を洗わせてくれなかったら、ペテロはイエスとは何の関係もない、と答えました。

1. イエスの愛と慈悲：無条件かつ計り知れない

2. 弟子としての代償: 主の御心に従うこと

1. ヨハネ第一 1:7 しかし、イエスが光の中におられるように、私たちも光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血は私たちをすべての罪から清めます。

2. マタイ 10:38-39 そして、自分の十字架を負わず、わたしに従って来る者は、わたしにふさわしくない。自分の命を見つける者はそれを失うだろう、そして私のために自分の命を失う者はそれを見つけるだろう。

ヨハネ 13:9 シモン・ペテロは彼に言った、「主よ、足だけではなく、手も頭もください」。

ヨハネはペテロに謙虚さと愛をもって仕えるよう教えています。

1. 謙虚さと愛をもって奉仕する

2. 思いやりをもって他者に手を差し伸べる

1. ピリピ 2:3-4、「利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、あなた方一人一人が他人の利益に目を向けてください。」

2. ルカ 10:27、「あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛し、あなたの隣人をあなた自身のように愛さなければなりません。」

ヨハネ 13:10 イエスは彼に言われた、「洗われた者は足を洗う以外に必要はなく、どこまでも清いのです。あなたがたは清いですが、すべてが清いわけではありません。」

イエスは、たとえ私たちが清くても、足を清く保つよう努めるべきだと教えています。

1: 足を清潔に保つ

2: 汚れた世界で清潔を保つ

1: ヤコブ 4:8 - 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。

2: 1 ヨハネ 1:5-9 - これが私たちが彼から聞いてあなたがたに宣言する音信です、神は光であり、彼の中には闇がまったくないということです。

ヨハネ 13:11 なぜなら、彼は誰が自分を裏切るべきかを知っていたからです。そこで彼は、「あなたがたはみな清いわけではない」と言った。

ヨハネ 13:11 のこの箇所は、イエスが誰が自分を裏切るか知っていたので、弟子全員が清いわけではないと警告したことを説明しています。

1. イエスは自分の裏切り者を知っていました。どうすれば私たちは神の知識を信頼し、神に忠実になることができますか?

2. すべての人が清いわけではありません。神の目から見て清いとはどういう意味ですか?

1. マタイ 7:5、「偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除きなさい。そうすれば、兄弟の目からゴミを取り除くために、はっきりと見えるようになります。」

2. ヘブライ 10:22、「信仰を完全に確信し、心を悪い良心から清め、体を清い水で洗い、真の心をもって近づきましょう。」

ヨハネ 13:12 それで、イエスは彼らの足を洗い、衣服を脱いで、再び座られた後、彼らに言われた、「わたしがあなたたちにしたことを知っていますか。」

イエスは弟子たちの足を洗い、互いに仕える方法を教えました。

1. 他の人に仕える - ヨハネ 13:12

2. 自分より他人を優先する - ヨハネ 13:12

1. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれから何もせず、謙虚に他の人が自分より優れていると考えてください。

2. マタイ 22:39 - 自分のように隣人を愛しなさい。

ヨハネ 13:13 あなたがたは私を「先生」「主」と呼んでいます。私もそうだから。

イエスは「主人」「主」と呼ばれており、それが実際に真実であることを認めています。

1. イエスの権威：主人と主を認識する

2. イエスの確認: イエスの身分を宣言する

1. マタイ 28:18-20 – それからイエスが彼らのところに来て言われました。「天と地のすべての権威がわたしに与えられました。それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに、私は時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

2. フィリピ 2:5-11 – あなたの態度はキリスト・イエスと同じであるべきです。キリストは、本質的には神でありながら、神との平等性を把握できるものとは考えず、神の性質そのものをとって、自分自身を無にしました。人間に似せて造られた奉仕者。そして、人間の姿で見出されたので、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。それゆえ、神は彼を最高の場所に高め、あらゆる名前に勝る名前を与えた。それは、イエスの名のもとに、天も地も地もすべての膝がかがみ、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白するためである。父なる神の栄光のために。

ヨハネ 13:14 もしあなたの主であり主人であるわたしがあなたの足を洗ったとしたら、あなたがたも互いに足を洗いなさい。

イエスは弟子たちに、足を洗い合って互いに仕えるように命じられました。

1. 「奉仕の賜物: イエスの模範に従う」

2. 「謙虚さの力: イエスから学ぶ」

1. ピリピ2:3-8

2. ヤコブ4:10-12

ヨハネ 13:15 わたしがあなたがたにしたように、あなたがたも同じようにしなさいという例をあげたのです。

イエスは弟子たちの足を洗うことによって弟子たちへの愛を示し、互いに同じようにするように命じられました。

1. 互いに愛し合う：弟子の足を洗うイエスについての考察。

2. イエスの例: イエスの戒めに従うことを学ぶ。

1. ガラテヤ 5:13-14 - 「兄弟たち、あなたがたは自由に生きるように召されています。しかし、自分の自由を自分の罪深い本性を満たすために利用しないでください。その代わりに、愛をもって互いに仕えるために自由を利用しなさい。」なぜなら、律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」というこの一つの命令に要約できるからです。

2. ヨハネ第一 4:7-8 「親愛なる友人たち、これからも互いに愛し合いましょう。愛は神から来るからです。愛する人は誰でも神の子であり、神を知っています。しかし、愛さない人は神を知りません」、神は愛だからです。」

ヨハネ 13:16 まことに、まことに、あなたがたに言います、しもべは主人より偉いわけではありません。遣わされた者が自分を遣わした者より偉大であるということもありません。

イエスは、召使いの主人に対する忠誠の重要性を強調しています。

1. 真の忠実さ: 召使としてのイエスの模範

2. 奉仕の力: イエスの模範を実践する。

1. ピリピ人への手紙 2:5-7 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。召使いの姿をとり、人間と同じように生まれることによって。」

2. ペテロ第一 2:21-22 - 「あなたがこのために召されたのは、キリストもあなたのために苦しみ、あなたがその足跡に従うように模範を残されたからです。キリストは罪を犯しておらず、偽りも見つかりませんでした。彼の口。"

ヨハネ 13:17 あなたがたがこれらのことを知っているなら、それを実行するなら、あなたがたは幸福である。

この一節は読者に、真実だとわかっていることを実践するよう奨励し、そうすれば幸せになれると約束しています。

1. 従順の喜び: 神の道に従うことを学ぶ

2. 知ることと実行すること: 違いを生む違い

1. 申命記 28:1-2: 「もしあなたがあなたの神、主に完全に従い、今日私があなたに与えるすべての命令に注意深く従うなら、あなたの神、主はあなたを地上の

すべての国々の上に高く上げてくださるでしょう。」

2. ヤコブ 1:22: 「ただ御言葉に耳を傾けるだけではなく、自分を欺いてはいけません。御言葉に書かれていることを行いなさい。」

ヨハネ 13:18 私はあなたたち全員について話しているのではありません。私が誰を選んだのかは知っています。しかし、聖書の言葉が成就するために、「私と一緒にパンを食べる者は、私に対してかかとを上げられました。」

イエスは誰が自分を裏切るか知っていますが、聖書の言葉を実現するためにそれが起こるのを許します。

1: イエスは、たとえそれが裏切りにつながるとしても、私たちが自分で選択することを許してくれますが、それでも私たちを無条件に愛してくださいます。

2: たとえそれが裏切りを意味するとしても、私たちはイエスに頼りながら、自分の選択の結果を受け入れなければなりません。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には、決して不可能であると私は確信しています。」私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。」

2: イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

ヨハネ 13:19 さて、それが起こる前に、あなたがたに言いますが、それが起こったとき、あなたがたは私がその人であると信じてください。

イエスは弟子たちに、これから起こる出来事を予知しているので、それが起こったときに彼らがイエスをメシアとして認識できるようにしていると語っておられます。

1. イエスは神です：彼は何が起こるか事前に知っています

2. イエスを信じる：何が最善であるかをイエスが知っていると信頼する

1. イザヤ書 40:21-31 - 主はすべてを知っておられる

2. イザヤ書 55:8-11 - 神の道は私たちの道よりも高い

ヨハネ 13:20 まことに、まことに、あなたがたに言います、わたしが遣わした者を受け入れる者は、わたしを受け入れてくださるのです。そして、私を受け入れる者は、私を遣わした者を受け入れるのです。

この箇所は、イエスが遣わした人々を迎え入れ歓迎することの重要性を強調しています。

1. 歓迎の力: イエスが送った人たちを受け取る

2. コミュニティへの呼びかけ: イエスがしたように共に奉仕する

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

2. ヘブライ 10:24-25 - 「そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてあなたがたほど、お互いを愛と善行に励ます方法を考えましょう。その日が近づいているのを見てください。」

ヨハネ 13:21 イエスがこのように言われたとき、心は動揺し、証言して言われた、「まことに、まことに、あなたがたに言いますが、あなたがたのうちの一人が私を裏切るでしょう。」

イエスは霊的に悩み、弟子たちのうちの一人がイエスを裏切るだろうと警告しました。

1: 「神の御心は成就する: イエスの服従の模範」

2: 「裏切りの危険: ユダの例を避ける」

1: ルカ 22:31-32 – 「すると主は言われた、『シモン、シモン！』確かに、サタンはあなたを小麦のようにふるいにかけることを求めています。しかし、私はあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈ってきました。そしてわたしのもとに戻ったら、兄弟たちを力づけてください。」

2: 詩篇 55:12-14 – 「私を非難するのは敵ではありません。それなら耐えられるようになりました。また、私を憎む者が私に対して高揚したわけでもありません。そうすれば私は彼から隠れることができました。しかし、それはあなたであり、私と同等の男であり、私の仲間であり、私の知人でした。私たちは一緒に優しい助言を受けて、群衆の中を神の家まで歩きました。」

ヨハネ 13:22 そこで弟子たちは、イエスが誰のことを話しているのかを疑いながら、互いに顔を見合わせた。

弟子たちは、イエスが誰のことを言っているのか混乱し、疑問を抱きました。

1: たとえ混乱や疑いの中にあっても、私たちは自分の信仰に自信を持っていなければなりません。

2: 行動を起こす前に、時間をかけて自分の疑問を熟考し、なぜ特定の感情を抱くのかを理解する必要があります。

1: ヤコブ 1:5-6 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そう

すれば、与えられるでしょう。しかし、その人は、何の疑いもなく、信仰を持って求めなさい。疑う人は、風に煽られ、揺らされる海の波のようなものです。」

2: マタイ 14:22-33 - 水の上を歩くイエスと、水の上を歩きながらも疑いを抱いて沈み始めたペテロ。

ヨハネ 13:23 さて、イエスの愛した弟子の一人がイエスの胸に寄りかかっていた。

この箇所は、イエスの弟子の一人が胸に寄りかかっており、イエスが彼に対して特別な愛を抱いていたことを物語っています。

1. 互いに愛し合いなさい: イエスと私たちの関係、そしてお互いの関係

2. 弟子たちに対するイエスの愛の強さ

1. ヨハネ第一 4:7-12 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する人は神から生まれ、神を知っています。

2. ヨハネ 15:12-14 - これはわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うことです。誰かが友人のために自分の命を捨てること以上に偉大な愛はありません。

ヨハネ 13:24 そこでシモン・ペテロは、誰のことを話しているのか尋ねるように手招きした。

ペテロはイエスに合図して、イエスが弟子たちの中で誰のことを指しているのかを示しました。

1.「従順な人生を送る」

2.「非言語コミュニケーションの力」

1. マタイ 16:23 - 「しかし、彼は振り向いて、ペテロに言った、『サタンよ、あなたを後ろに引きなさい。あなたは私を侮辱する者です。あなたは神から出たものではなく、人間から出たものを味わっているのです。」

2. ヨハネ 21:15-17 - 「それで、彼らが食事を終えたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた、ヨナスの子シモン、あなたはこれらの人たち以上に私を愛していますか？イエスは彼に言った、「そうです、主よ。あなたは私があなたを愛していることを知っています」彼は彼に言った、「私の子羊を養いなさい。彼は二度目に彼に言った、ヨナスの息子シモン、あなたは私を愛していますか？彼は彼に言った、そうです、主よ。私があなたを愛していることをあなたは知っています。彼は彼に言った、私の羊を養ってください。」

ヨハネ 13:25 すると、イエスの胸の上に横たわって彼に言った、「主よ、それはどなたですか。」

イエスは弟子たちに裏切り者の正体を明らかにします。

1: 私たちに対する誰かの忠誠を確信することはできませんが、イエスは常に忠実であり、私たちの最善の利益を念頭に置いていると信頼できます。

2: イエスはいつも私たちのそばにいて、決して私たちから離れないので、不安な時期に私たちはイエスに慰めを得ることができます。

1: マタイ 28:20b - 「…そして、見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたたちとともにいます。」

2: イザヤ書 26:3 - 「あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保たれます。なぜなら、彼はあなたを信頼しているからです。」

ヨハネ 13:26 イエスは答えられた、「わたしがすくい汁を浸したときに、その人にそれを与えようと思うのは、この人です」。そして、その液を浸した後、それをシモンの息子イスカリオテのユダに与えました。

イエスはユダを裏切り者として明らかにしました。

1: ユダに石鹸を与えたイエスの行為は、許しと恵みの力を思い出させるものとして機能します。

2: イエスの例から、たとえ周囲の人が不当な扱いをしたとしても、謙虚で親切であることが大切であることを学ぶことができます。

1: マタイ 5:44 - しかし、私はあなたに言いますが、敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。

2: ルカ 6:36 - あなたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。

ヨハネ 13:27 そして、すだれの後、サタンが彼の中に入りました。それからイエスは彼に言った、「あなたがすることは、すぐに行いなさい。」

イエスはイスカリオテのユダに、サタンが彼の中に侵入した後、自分がしなければならないことは何でもすぐに行うようにと言われました。

1.「サタンの力」

2. 「イエスに従うことの緊急性」

1. ペテロ第一 5:8 - 「身を慎み、用心していなさい。あなた方の敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくされる者を求めて歩き回っているからです。」

2. エペソ人への手紙 6:12 - 「私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にある霊的な邪悪に対して戦っているのです。」

ヨハネ 13:28 さて、テーブルにいた誰も、彼がどのような意図でこれを言ったのか知りませんでした。

ヨハネ 13:28 のこの箇所は、イエスがなぜユダに特定の言葉を話されたのかについての弟子たちの混乱を説明しています。

1. ユダに対するイエスの不可解な言葉は、たとえ理解できなくても神の計画を信頼することを教えてくれます。

2. ユダに対するイエスの言葉は、イエスの犠牲的な愛と恵みが、最も可能性の低い人々にさえ適用されたことを示しています。

1. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - 「しかし、憐れみ豊かな神は、私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、キリストとともに私たちを生かしてくださいました。（恵みによって、あなたがたは救われました。））」

ヨハネ 13:29 彼らの中には、ユダがかばんを持っていたので、イエスがユダに、「祭りのために必要なものを買いなさい」と言われたのではないかと思った者もいたからである。あるいは、貧しい人々に何かを与えるべきだと。

イエスの弟子たちの中には、ユダがイエスから次の祭りのために食べ物を買って貧しい人々に与えるように指示されたのではないかと考えた人もいました。

1. 寛大さの力 – イエスは、寛大に与え、寛大に生きることの大切さをどのように私たちに教えてくださいました。

2. 弟子としての代償 - イエスに従うには、どのように犠牲を払い、これまでと異なる生き方をすることが求められるか。

1. マタイ 6:19-21 「自分のために宝を地上に蓄えなさい。そこでは虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗むのです。しかし、あなたがたは天に宝を蓄えなさい。そこでは虫もさびも滅ぼされず、泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

2. フィリピ 4:19 - 「そして私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたがたのあらゆる必要を満たしてくださいます。」

ヨハネ 13:30 それから、イエスは石鹸を受け取ると、すぐに出て行った。そして、夜になっていた。

ヨハネ 13:30 は、弟子たちの足を洗うというイエスの究極の謙虚な行為を説明する一節です。

1. イエスの謙虚さ: 私たち全員の模範

2. 私たちを真の謙虚さに導くイエスの模範を信頼する

1. ピリピ2:5-8

2. ローマ人への手紙 12:3-8

ヨハネ 13:31 そこで、イエスが出て行ったとき、「今、人の子は栄光を受けており、神もその人において栄光を受けている」と言われた。

イエスは栄光を受けており、神もイエスによって栄光を受けています。

1: 私たちは神のご意志に従って生き、神の愛と恵みを反映することによって神の栄光を現すことができます。

2: イエスは私たちの名誉と賞賛に値するお方です。彼は私たちが見習うべき模範です。

1: ローマ人への手紙 8:28-30 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるように働くことを私たちは知っています。また、彼が予見した人々のために、彼が多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になることをあらかじめ定めておられました。そして、自分があらかじめ定めた者たちをまた呼び、自分が呼んだ者たちを義とし、義とした者たちに栄光も与えた。」

2: ガラテヤ 5:22-23 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなことに対しては法律はありません。」

ヨハネ 13:32 もし神がその人において栄光を受けるなら、神もまたご自身において彼の栄光を現わされ、すぐに彼の栄光を現わされるでしょう。

イエスは弟子たちに、もし彼らが神の栄光を讃えれば、神はお返しに彼らに栄光を与えるだろうと言いました。

1. 神を讃える力: 神に栄光を与えることでどのように私たちに大きな報いがもたらされるのか

2. 無私と奉仕: 生活の中で神を第一にすることがどのようにして私たちに無条件の愛をもたらすのか

1. イザヤ書 43:7 - わたしの名で呼ばれるすべての人、わたしが栄光のために創造し、形作り、造った者たち。

2. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

ヨハネ 13:33 幼い子供たちよ、まだ少しの間、私はあなたがたと一緒にいる。あなたがたはわたしを捜し求めるであろう。そしてわたしがユダヤ人たちに言ったように、わたしが行くところへはあなたがたは来ることはできない。だから今、あなたに言います。

イエスは弟子たちに、間もなく彼らを離れるが、彼らはイエスに従うことはできないと語られます。

1. イエスの旅立ちの現実: イエスの不在とともに生きることを学ぶ

2. イエスにおける確かな希望：去ったにもかかわらずイエスの約束を信頼する

1. ヘブライ 13:5 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

2. ヨハネ 14:2-3 - 「父の家にはたくさんの部屋があります。そうでなかったら、私があなたのために場所を用意しに行くと言ったでしょうか？そして、もし私が行って、あなたのために場所を用意したら、また来て、あなたを自分のところに連れて行きます。そうすれば、私がいる場所にあなたもそうすることができます。」

ヨハネ 13:34 わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、「あなたがたは互いに愛しなさい」ということです。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

この聖句は、イエスが私たちを愛してくださったように、互いに愛し合うことの大切さを強調しています。

1: イエスが私たちを愛してくださったように、私たちは互いに愛し合うよう招かれています。

2: 行動を通してお互いへの愛を示しましょう。

1: ヨハネ第一 4:20-21 – 「私は神を愛しています」と言いながら自分の兄弟を憎む人がいるなら、その人は嘘つきです。なぜなら、見たことのある兄弟を愛さない人は、見たことのない神を愛することはできないからです。

2: ガラテヤ 5:13-14 - 兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体は「あなたは隣人を自分のように愛さなければならない」という一言で成就されるからです。

ヨハネ 13:35 あなたたちが互いに愛しているなら、これによってすべての人は、あなたたちがわたしの弟子であることを知るでしょう。

この聖句は、仲間のクリスチャン間の愛が弟子であることの重要な指標であるため、その重要性を強調しています。

1. 「団結する愛: 優しさと思いやりを通して弟子としての生き方を貫く」

2. 「弟子としての試練：愛を通して信仰を証明する」

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対しては律法はありません。」

2. ヨハネ第一 4:7-8 「親愛なる友人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から来るからです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない人は神を知りません。なぜなら神は神だからです。」愛。"

ヨハネ 13:36 シモン・ペテロは彼に言った、「主よ、どこへ行かれるのですか」。イエスは彼に答えた、「わたしがどこへ行くとしても、あなたは今はわたしに従うことはできない。しかし、その後は私に従ってください。

イエスはペテロに、今はイエスに従うことはできないが、後で従うと言っておられます。

1: 私たちは今の生活において主の計画を理解できないかもしれませんが、主はまだ私たちのために計画を持っており、将来私たちを導いてくださいます。

2: たとえ主がなさっておられることが理解できないとしても、私たちは主を信頼しなければなりません。

1: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2: 箴言 3:5-6 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。」

ヨハネ 13:37 ペテロは彼に言った、「主よ、なぜ私は今あなたについて行けないのですか」。私はあなたのために命を捧げます。

ペテロは死に至るまでイエスに従う意志を表明しています。

1. ペテロの勇気ある決意: どうすれば無条件にイエスに従うことができるか

2. 私たちはどのようにして自己に死に、無条件にイエスに従うよう求められているのか

1. マルコ 8:34-35 - 「そして、イエスは弟子たちとともに群衆を自分のところに呼び寄せて言われた、「もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。自分の命を救おうとする者はそれを失うが、わたしと福音のために自分の命を失う者はそれを救うだろう。」

2. ヨハネ第一 2:6 - 「自分のうちにとどまっていると言う人は、自分が歩んだのと同じ道を歩むべきです。」

ヨハネ 13:38 イエスは答えられた、「わたしのために命を捨てる気はありませんか」。まことに、まことに、私はあなたに言います、あなたが三度私を否定するまでは、鶏は鳴きません。

イエスはペテロに、自分のために命を捨てるつもりかと尋ね、鶏が鳴くまでに三度否定するだろうと予言しました。

1.「イエスのために命を捨てる：決意への呼びかけ」

2.「否定の力：信仰を通じて恐怖を克服する」

1. マタイ 10:32-33 - 「他の人の前で私を認める者は、私も天の父の前で認めます。しかし、他の人の前で私を否認する者は、天の父の前で否認します。」

2. ピリピ 1:21 - 「私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益だからです。」

ヨハネ 14 章には、御父のもとへ向かうイエスの話、聖霊の約束、そして弟子たちに残された平和が取り上げられています。

第 1 段落: この章は、イエスが差し迫った出発について弟子たちを慰めるところから始まります。イエスは彼らのために父の家に場所を用意し、彼らを連れて戻ってくると約束しました。トマスがイエスがどこへ行こうとしているかについて混乱を表明すると、イエスは「わたしが道であり、真理であり、命である」と宣言されました。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。』さらに、イエスに会ったことのある人は誰でも、父に会いたかったフィリポに「私がこんなに長い間あなたたちの中にいたのに、フィリポという私のことを知らないのですか？」と尋ねる父を見たことがあると説明しました。（ヨハネ 14:1-9）。

第 2 段落: この宣言の後、イエスは、ご自分を信じる者は誰でも業を行うと約束され、ご自身はさらに偉大なことを行っています。なぜなら、御父が栄光を受けるために、御名が求めることは何でもすると約束して御父のもとに行くからです。別の弁護者ヘルパーを送ることを約束する命令 霊の真理は世界が受け入れることができません。なぜなら、神を見たり知ったりもしないのに、彼らは自分たちの中に生きているので神を知っているからです（ヨハネ14:10-17）。

第三段落: それから彼は、孤児たちはしばらくすると戻ってくるから、離れないでと言って彼らを安心させます、世界はもう見えませんが、命もまた日を生きているのですから、気づいてください、あなたは私の父の中にいます、あなたは私の中にいます、私はあなたの中にいます、私の命令を守る者は誰でも私を愛しています私の父にも愛されています、愛してください、私自身を見せてください、彼が導くのはイスカリオテではなくユダです、なぜ世界ではなく私たちだけを見せるつもりですか尋ねてください、「誰でも私を愛しています、教えに従います、そして私の父は私たちを愛しています、彼と一緒に私たちの家を作ります誰も私を愛していません、教えに従いませんこれらを覚えておいてください」まだあなたと一緒にいる間に話された言葉ですが、父が名前を送ってすべてを教えてくださる聖霊を擁護してください、すべてを思い出させてください、世界が与えるようにではなく、平和を与えてください、心を悩ませているのを恐れて聞いてください、また戻ってくると繰り返します来るべき出発を繰り返します王子、この世界はまだ来ていません彼は終わりの章（ヨハネ 14:18-31）。

ヨハネ 14:1 心を騒がせてはなりません。あなたがたは神を信じています、わたしも信じなさい。

この聖句は、イエスと神に信頼と信仰を置くよう私たちに勧めています。

1: 困ったときは神に頼る

2: イエスへの信仰の力

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、決して不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2: ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。

ヨハネ 14:2 わたしの父の家にはたくさんの大邸宅があります。もしそうでなかったら、私はあなたに話したでしょう。あなたの為に場所を用意しに行きます。

この箇所は、父の家に子供たちのために場所を用意するという神の約束について語っています。

1. 神の子供たちのための場所の約束：天国に家を準備する

2. 神の優しさ: 父の家における私たちの居場所

1. イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいます。そして、あなたが川を通過するとき、川はあなたを押し流すことはありません。火の中を歩いても火傷することはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。」

2. ローマ人への手紙 8:32 「ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに、私たちにすべてのものを慈しみ深く与えて下さらないのでしょうか。」

ヨハネ 14:3 もし私が行って、あなたがたのために場所を用意したら、また来て、あなたを自分のもとに迎えます。私がいる場所に、あなたがたもそこにいるかもしれないということです。

イエスは弟子たちのために場所を用意し、再び来て彼らをご自分のもとに連れてくると約束されました。

1: イエスは弟子たちに希望と保証を与え、ご自分がいつも彼らとともにおられることを示しました。

2: イエスは、ご自分に従うよう私たちを招き、ご自分と一緒に家に連れ帰ると約束してくださいます。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2: 詩篇 23:4 - 「たとえ最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。」あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。」

ヨハネ 14:4 そして、わたしの行くところをあなたがたは知っており、その道もあなたがたが知っているのです。

ヨハネ 14:4 のこの一節は、イエス・キリストが神へ至る唯一の道であると語っています。1. イエスが神に至る唯一の道である - ヨハネ 14:4; 2. イエスを通して救いを見つける - ヨハネ 14:4。1. 使徒 4:12 - 他の名前にも救いはありません。天の下で人間の間に与えられる名前は、それ以外に私たちが救われなければならない名前はないからです。2. ヨハネ 10:9 - わたしが扉です。だれでも中に入るなら、わたしによって救われます。

ヨハネ 14:5 トマスは彼に言った、「主よ、あなたがどこへ行かれたのか、私たちは知りません。そしてどうやってその道を知ることができるのでしょうか？

イエスはトマスに、自分を信頼して人生の旅路に従うよう求めています。

1: 「信仰の旅：人生の不確実性を通してイエスを信頼する」

2: 「イエスに従う: 人生の旅路でイエスを信頼し従う方法」

1: イザヤ書 30:21 – 「あなた自身の耳が彼の声を聞くでしょう。あなたのすぐ後ろから、右に行っても左に行っても、『こっちに行くべきだ』という声が聞こえます。」

2: ヘブライ 11:6 – 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る人は誰でも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

ヨハネ 14:6 イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、誰も父のもとに来ることはない。」

イエスこそが御父に至る唯一の道です。

1. イエスは道です: 人生の方向性を見つける

2. イエスは真実です: 誠実に生きる

1. マタイ 7:13-14 「狭い門から入りなさい。というのは、門は広く、滅びに至る道は容易であり、そこから入る者は多いからである。命に至る門は狭く、その道は険しく、それを見つける者は少ないからである。」

2. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためである。」

ヨハネ 14:7 あなたがたがわたしを知っていたなら、わたしの父も知っていたはずです。そしてそれ以来、あなたがたは父を知り、父を見たのです。

ヨハネ 14:7 は神と人類の関係を要約しており、イエスを知ることによって私たちも神を知り、神を見たことがあることを示しています。

1. イエスを知ることは神を知ることです: ヨハネ 14:7 の含意

2. イエスを通して神を見る：人間を通して神性を体験する

1. コロサイ 2:9-10 - なぜなら、彼の内には神なる神のすべてが肉体をもって宿っているからです。

2. ローマ人への手紙 8:14-17 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

ヨハネ 14:8 フィリポは彼に言った、「主よ、私たちに父を示してください。それで私たちは十分です。」

ピリポは父なる神に会いたいという願いを表明し、それで十分であることを示しました。

1. 神はすでに十分です - 私たちが持っているもので満足する方法

2. イエスは父への道である - 神とのより緊密な関係を得る方法

1. 申命記 8:3 - 「そして、神はあなたを謙虚にし、飢えさせ、あなたにも、あなたの先祖たちも知らなかったマナを与えて食べさせました。それは、人はパンだけで生きるものではないことをあなたに知らせるためでした。人は主の口から出る一つ一つの言葉によって生きるのです。」

2. マタイ 6:25-34 - 「だから、わたしはあなたたちに言います。自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、自分の体のこと、何を着るかなどを心配してはなりません。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？空の鳥を見てください。彼らは種を蒔くことも、刈り取ることも、納屋に集めることもありませんが、あなたがたの天の父は彼らに餌を与えます。あなたには彼らよりも価値があるのではありませんか？そして、心配することで寿命を一時間でも延ばせるのは誰ですか?では、なぜ服装にこだわるのでしょうか？野のユリを考えてみてください。どのように成長するのかを考えてください。彼らは苦労もせず、紡ぎもしませんが、あなたに言いますが、栄華を極めたソロモンでさえ、これらのユリのように整列していませんでした。しかし、もし神が、今日は生きていても、明日にはかまどに投げ込まれる野の草にそのように服を着せてくれるのなら、信仰の薄いあなたたちよ、神はそれ以上にあなたに服を着せるのではないでしょうか？ですから、「何を食べようか」と心配しないでください。または「何を飲もうか？」または「何を着ましょうか？」というのは、異邦人はこれらすべてのものを求めておりあなたがたの天の父は、あなたがたがそれらすべてを必要としていることをご存じだからです。」

ヨハネ 14:9 イエスは彼に言われた、「私はあなたと長い間一緒にいたのに、あなたは私のことを知らないのですか、ピリポ」。私を見た人は父を見たのです。それであなたは、「私たちに父を見せてください」とどうして言いますか？

イエスはフィリポに、イエスを見ることは父に会うことと同じであるのに、なぜ父を見せてもらうよう頼むのかと尋ねています。

1: イエスは神です - 父を見ることがイエスを見ることと同じように、イエスを見ることは父を見ることです

2: イエスは父の啓示者であるため、私たちはイエスの導きに頼るべきです

1: ヨハネ 10:30、「わたしと父は一つです。」

2: コロサイ 1:15、「彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。」

ヨハネ 14:10 あなたは、わたしが父のうちにおり、父がわたしのうちにおられることを信じないのですか。私があなたたちに話す言葉は、私自身について話すのではなく、私の内に住んでおられる父が御業を行ってくださいます。

父と子は完全に結合しており、イエスの言葉は父から来ています。

1. 父と子の関係の力

2. イエス・キリストにおける神の完全な結合

1. ヨハネ 17:21-22 - すべての人が一つになるためです。父よ、あなたがわたしのうちにおられ、わたしもあなたの中におられるように、彼らもまたわたしたちの中で一つとなるためです。それは、あなたがわたしを遣わされたことを世界が信じるためです。

2. コロサイ 2:9-10 - なぜなら、彼の内には神なる神のすべてが肉体をもって宿っているからです。そして、あなたがたは、すべての君主と権力のかしらである彼の中で完全である。

ヨハネ 14:11 わたしが父のうちにおり、父がわたしのうちにおられることを信じてください。そうでなければ、まさに行いのためにわたしを信じてください。

この箇所は、イエスの行った業を信じることの重要性を強調しています。

1: イエスは私たちのために偉大な働きをしてくださったので、私たちはそのためにイエスを信じる必要があります。

2: 私たちはイエスを信じ、イエスが成し遂げた素晴らしい業のゆえに、私たちの主であり救い主として受け入れる必要があります。

1: エペソ人への手紙 2:8-10 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

ヨハネ 14:12 まことに、まことに、あなたがたに言います、わたしを信じる者は、わたしが行う業を彼も行うであろう。そして彼はこれらよりも大きな業を行うであろう。わたしは父のもとに行くからです。

イエスは、ご自分を信じる者はご自身よりもさらに偉大な業を行うと約束しておられます。

1: イエスご自身よりも偉大な業を行うイエスの力とその愛の強さを信じてください。

2: イエスを信じる者はイエスよりも偉大な業を行うことができるというイエスの約束を信じてください。

1: エペソ 3:20 - さて、私たちの内に働いている神の力に応じて、私たちが求めたり想像したりするすべてを計り知れないほど多くのことを行うことができる方に。

2: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。

ヨハネ 14:13 そして、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、わたしはそうします。そうすれば、父は子によって栄光を受けることができます。

イエスは、私たちが御名によって祈るとき、御父が栄光を受けるために、私たちの祈りに答えてくださると約束してくださいました。

1. イエスの名において祈る: 私たちの人生をイエスの意志に服従させる

2. イエスの約束に頼る: イエスの言葉を信頼する

1. エペソ 2:18 - なぜなら、私たちはこの方を通して、一つの御霊によって御父に近づくことができるからです。

2. ローマ 8:26 - 同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきかわからないからです。しかし、御霊ご自身が、言葉にならないうめきをもって私たちのためにとりなしてくださいます。

ヨハネ 14:14 もしあなたがたがわたしの名において何か尋ねるなら、わたしはそれに応じます。

ヨハネ 14:14 のこの一節は、イエスの名によって祈りが捧げられたらそれに応えるというイエスの約束を強調しています。

1. イエスはいつも私たちの祈りに答えてくださる

2. イエスの名において祈る：それは何を意味しますか？

1. マタイ 7:7-11 - 尋ね、求め、たたきなさい

2. ヤコブ 1:5-8 - 信仰をもって祈り、知恵を受け取りましょう

ヨハネ 14:15 もしあなたがたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守りなさい。

ヨハネ 14 章 15 節で、私たちは神を愛するとき、神の戒めを守らなければならないことを思い出させられます。

1: 神の愛と戒めの遵守

2: 忠実な愛と神の言葉に従う

1: 1 ヨハネ 5:3 - 私たちが神の戒めを守ることこそが神の愛です。そして神の戒めは悲しいものではありません。

2: 申命記 6:4-5 - 聞け、イスラエルよ。私たちの神、主は唯一の主である。そして、あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。

ヨハネ 14:16 そして、私は父に祈ります。そうすれば、父はあなたに別の慰め手を与えて、永遠にあなたと一緒にいてくださるようにしてくださいます。

イエスは弟子たちに慰め者として聖霊を送ると約束されました。

1: 聖霊の慰め - ヨハネ 14:16

2: 聖霊の賜物 - ヨハネ 14:16

1: イザヤ書 66:13 - 母親が子供を慰めるように、私もあなたを慰めます。

2: ローマ 15:13 - あなたが神を信頼する限り、希望の神があらゆる喜びと平和であなたを満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によってあなたが希望であふれることができますように。

ヨハネ 14:17 真理の御霊も。世界は彼を受け入れることができません。なぜなら、世界は彼を見ず、彼を知りません。しかし、あなたがたは彼を知っています。

なぜなら、彼はあなたとともに住んでおり、あなたの中にいるからです。

真理の御霊は世には受け入れられませんが、信仰者は御霊を知っています。

1. 私たちの生活における神の臨在: 真理の霊を体験する

2. 真理の精神に対する世界の拒絶

1. ローマ人への手紙 8:9-11 - 「しかし、本当に神の御霊があなたがたのうちに住んでいるのであれば、あなたがたは肉の中にあるのではなく、御霊の中にいます。さて、キリストの御霊を持っていない人がいるなら、その人は神のものではありません。キリストはあなたの内におられます、体は罪のために死んでいますが、御霊は義のために命を持っています。しかし、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたの内に住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方はまた、人に命を与えてくださいます。あなたのうちに住んでいる神の御霊を通して、あなたの死ぬべき体を。」

2. 1 コリント 2:14 - 「しかし、生来の人は神の御霊の事柄を受け入れません。それは彼にとって愚かなことだからです。また、それらは霊的に識別されているので、彼はそれを知ることができません。」

ヨハネ 14:18 私はあなたを慰めないままにしません。私はあなたのところに行きます。

イエスは弟子たちを決して一人にしない、そして彼らのところに来ると約束されました。

1: たとえ最も暗い瞬間であっても、神は常に私たちとともにおられます。

2: 私たちは希望を持ち続け、イエスの慰めの約束を信じなければなりません。

1: イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2: ヘブライ 13:5 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

ヨハネ 14:19 まだしばらくすると、世界はもう私を見なくなります。しかし、あなたがたは私を見ています。私が生きているので、あなたがたも生きるでしょう。

イエスは弟子たちに、たとえ世にはイエスが見えなくても、彼らにはイエスが見え、そのために彼らは生きるだろうと安心させています。

1. 「命の贈り物：イエスの弟子たちへの約束」

2.「目に見えない現実: 明らかにされるイエスの臨在」

1. ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死です。しかし、神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。」

2. ヨハネ第一 5:11-12 「そして、これが証しです。神は私たちに永遠の命を与えてくださいました。そして、この命は御子の中にあります。御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者は命を持っています。」命がない。」

ヨハネ 14:20 その日、あなたがたは、わたしが父のうちにおり、あなたがたがわたしのうちにおり、わたしもあなたがたのうちにいることを知るであろう。

イエスは、追随者たちは自分たちがイエスと結ばれており、ご自身も御父と結ばれていることを知ると約束されました。

1. 神とその民の結合：ヨハネ 14:20 の研究

2. 神との一致した交わりの現実を体験する

1. ピリピ 2:5-11 - イエス・キリストと同じ思いと態度を持ちなさい。

2. ローマ人への手紙 8:9-17 - 私たちの内に住んでいる神の御霊。

ヨハネ 14:21 わたしの戒めを持ち、それを守る者は、わたしを愛する者です。そして、わたしを愛する者はわたしの父から愛され、わたしも彼を愛し、父に自分を現します。

イエスは、ご自分を愛し、戒めを守る人たちに御自身を現すことを約束されました。

1. 神を愛し、神の戒めを守る

2. 忠実な者に御自身を現すという神の約束

1. 申命記 6:5-7 - 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2. ヨハネ第一 3:16-17 - 私たちは言葉だけでなく行動によって愛を示さなければなりません

ヨハネ 14:22 ユダは、イスカリオテではなく彼に言った、主よ、どうしてあなたは、世ではなく、私たちに御自身を現されるのですか。

イスカリオテではなくユダがイエスに、世ではなく弟子たちにはどのようにしてご自身を明らかにするのかと尋ねました。

1. イエスはイエスを求める人々に御自身を現される

2. 私たちの生活における神の存在を認識する方法

1. ヤコブ 4:8 - 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。

2. イザヤ書 55:6 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。主が近くにいる間に主を呼び求めてください。

ヨハネ 14:23 イエスは答えて言われた、「人がわたしを愛するなら、わたしの言葉を守ります。そうすればわたしの父もその人を愛してくれます。そしてわたしたちは彼のところに来て、彼とともに住まいを設けます。」

イエスは、誰かがイエスを愛するなら、彼らはイエスの言葉と父に従い、イエスは彼らのところに来て彼らと一緒に住むだろうと教えています。

1. 心と魂と力を尽くして主を愛しなさい

2. イエスの言葉に従うことは私たちを神に近づけます

1. 申命記 6:4-5 「イスラエルよ、聞け、私たちの神、主は唯一である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。

2. ヨハネ 15:10 「もしあなたがわたしの戒めを守るなら、わたしが父の戒めを守り、父の愛のうちにとどまっているのと同じように、あなたもわたしの愛のうちにとどまることになります。」

ヨハネ 14:24 わたしを愛さない者は、わたしの言葉を守らない。あなたがたが聞いている言葉は、わたしのものではなく、わたしを遣わした父の言葉である。

私たちに対する神の愛は、私たちが神の命令に従った結果です。

1: 神の命令に従って神を愛する

2: 命令を通して示された父の愛と憐れみ

1: 申命記 6:5 - 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2: ヤコブ 2:17 - 信仰は、行動が伴っていなければ、それ自体では死んでいます。

ヨハネ 14:25 これらのことは、私がまだあなたがたのところにいるときに、あなたがたに話したものです。

この箇所では、イエスがまだ弟子たちと一緒にいるときに弟子たちに語られたことが語られています。

1. 臨在の力: イエスの臨在に身を寄せることを学ぶ。

2. 姿を現す: 私たちの信仰の歩みに存在することの重要性。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. マタイ 28:20 - 「わたしがあなたたちに命じたすべてのことを守るように教えます。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

ヨハネ 14:26 しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる慰め主、すなわち聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに言ったことをすべてあなたがたに思い出させるでしょう。

聖霊は、私たちがイエスが言われたことすべてを思い出し、学ぶのを助けてくださいます。

1: 聖霊: 私たちの助け手であり教師

2: 聖霊の導きを信頼する

1: イザヤ書 11:2 - 「主の霊が彼の上にとどまる。それは知恵と理解の霊、助言と力の霊、主の知識と恐れの霊である。」

2: ヨハネ 16:7-14 「しかし、本当に真実に言いますが、私が去っていくのは、あなたたちの益のためです。私が去らない限り、弁護者はあなたのところに来ません。しかし、私が行くなら、私は彼を送ります」彼が来られるとき、彼は罪と義と裁きについて、世が間違っていることを証明するだろう：罪については、人々が私を信じないからであり、義については、私は父のもとへ行くから、あなたが見ることができるところだ「私はあなたたちに言いたいことがたくさんあります。あなたたちが今耐えられないほどです。しかし、真理の御霊が来られるとき、彼はあなたたちを導いてくれるでしょう。」「すべての真実を明らかにしてください。彼は自分から話すことはありません。彼は聞いたことだけを話し、これから起こることをあなたに告げます。彼は私から栄光を受けるでしょう、なぜなら彼が知らせようとしているものを受け取るのは私からであるからです」」

ヨハネ 14:27 わたしはあなたがたに平安を残し、わたしの平安をあなたがたに与えます。世が与えるのではなく、わたしがあなたがたに与えます。心を騒がせてはいけないし、恐れてはいけない。

平和は世から与えられるものではなく、神から与えられるものです。

1: 平和のために神に頼る

2: 神の平和を通じて恐怖と不安を克服する

1: ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはならない。どんな状況においても、祈りと願いによって、感謝を込めて自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平安が、あなたの願いを守ってくれるだろう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

2: イザヤ書 26:3 - 「心が堅い人たちを、あなたは完全な平安のうちに保ってくださいます。彼らはあなたを信頼しているからです。」

ヨハネ 14:28 あなたがたは、私があなたがたに「行って、またあなたのところに来る」と言ったのを聞いたでしょう。もしあなたがたが私を愛していたなら、あなたがたは喜ぶでしょう。なぜなら、私は「父のもとに行きます。私の父は私よりも偉大だからです」と私が言ったからです。

ヨハネ 14:28 は、イエスがイエスよりも偉大であるにもかかわらず、私たちに対するイエスの愛が非常に大きいため、御父のもとに行くために進んで去ろうとされることを思い出させます。

1. 最大の愛: イエスの犠牲の深さを理解する

2. 父の愛: 神の至高性を認識する

1. ヨハネ 15:13、「人が友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. ローマ人への手紙 8:31-39、「では、これらのことに対して何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

ヨハネ 14:29 さて、私はそれが起こる前に、それが起こるときにあなたがたが信じるように、あなたがたに告げました。

イエスは弟子たちに、将来起こることについて彼らに話したのは、彼らがそのことが起こったときに信じられるようにするためであると告げられます。

1. イエスの預言の力 - イエスの預言がどのように成就したか、そしてそれが私たちの信仰をどのように強めるかを探ります。

2. 信じて受け入れる - イエスの言葉を信じることが、私たちをどのようにイエスに近づけるかを例示します。

1. イザヤ書 46:10 - 初めから終わりを宣言し、古代からまだ行われていないことを宣言して、こう言います。

2. 申命記 18:22 - 預言者が主の御名によって語るとき、もしそのことが実現しなかったり、現実になったりするなら、それは主が語られたことではなく、預言者が傲慢にもそれを語ったということです。彼を恐れないでください。

ヨハネ 14:30 今後、私はあなたたちと多くを話しません。この世の君主が来ますが、私のうちには何も持っていないからです。

イエスは弟子たちに、この世の君が来ること、そして彼には彼を支配する力がないことを警告しました。

1. この世の王子の力とそれに対するイエスの勝利

2. サタンの誘惑に打ち勝つイエスの強さ

1. ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物において、神の愛から私たちを引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエス。

2. ヨハネ第一 4:4 - 小さな子供たちよ、あなたは神から出た者であり、彼らに打ち勝ったのです。なぜなら、あなたのうちにおられる方は、世にいる方よりも偉大だからです。

ヨハネ 14:31 しかし、それは、私が父を愛していることを世が知るためです。そして父が私に戒めを与えたように、私もそうします。起きて、それでは行きましょう。

イエスは弟子たちに、立ち上がって立ち去るように言い、ご自分への愛の表れとして御父の戒めに従っていることを強調しました。

1. イエスの従順: 私たちの人生のモデル

2. 父への愛: 最大の戒め

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. ヨハネ第一 5:3 - 私たちが神の戒めを守ることこそが神の愛だからです。

ヨハネ 15 章には、ぶどうの木と枝に関するイエスの教え、互いに愛しなさいという戒め、そして世の憎しみについての警告が含まれています。

第 1 段落: この章は、イエスがご自身を真のぶどうの木、父が庭師であると説明するところから始まります。実を結ばない神の枝はすべて切り落とされ、実を結ぶすべての枝はさらに実を結ぶように剪定される、と彼は説明しています。イエスは弟子たちに、枝だけでは実を結ぶことができず、ぶどうの木に留まらなければならないように、イエスのうちに留まらなければ実を結ぶことができないのと同じように、イエスのうちに留まるよう弟子たちに勧めます。神を離れては、捨てられた枝のように誰かが神の内に留まらなければ何もできません。拾い上げた枝を火に投げ込んで燃やしても、御言葉が心に残るなら、どんな願いでも尋ねることができ、多くの実を結び弟子たちを示して御父を讃えることができます（ヨハネ15:1-8）。

第 2 段落: この比喩の後、イエスは、父の命令を愛の中に守り続けたのと同じように、彼らに愛の中に留まり続けるように命じられます。神がこれらのことを彼らに告げるのは、神の喜びが彼らの中で完全になり、彼らの喜びが完全になるためです。そして、彼は彼らに新しい戒めを与えます。「私があなたたちを愛したように、互いに愛し合いなさい。友人のために命を捨てることほど大きな愛はありません。」彼は彼らを召使いではなく友人と呼んでいます。召使は主人の仕事を知らないからですが、彼はこの世から選ばれた父から聞いたことはすべて知らせました。それが長続きする実を結びなさい。だから何でも父の名を求めなさい。もう一度命令してください。「これが私の命令です、互いに愛し合いなさい」。」（ヨハネ 15:9-17）。

第三段落: それから彼は世界の憎しみについて彼らに警告します、もし世界が憎んでいるなら、以前に憎まれていたことを覚えています、もし世界に属していれば、世界は自分自身を愛するでしょう、しかし、属していないのは世界の理由から選ばれたのですから、それを憎むのです、もし迫害されれば、また迫害され続けても、主人よりも優れた従者はいません。言葉は私のものとして守られた、名前のせいで彼らはこのように扱うだろう、彼らは私を送った人を知りません、もし話されていなければ、今は罪を犯さないでしょう、罪の言い訳はありません、私を憎む者は誰でも私の父をよく憎んでいます、他の行いをしなかったら、罪を犯すことはなかったでしょう「彼らは理由もなく私を憎んだ」という法律に書かれた言葉を実行する私と父の両方を憎んでいたことが今見られます。父なる霊から遣わされる弁護者が来るとき、真実が父から出て来るとき、終わりの章の初めにあったので、よく証言してください（ヨハネ15：18-27）。

ヨハネ 15:1 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫です。

この箇所は、イエスが真のぶどうの木であり、神が農夫であることについて述べています。

1. 神は私たちを世話してくださる庭師です - ヨハネ 15:1

2. イエスのぶどうの木: 私たちの命の源 - ヨハネ 15:1

1. イザヤ書 5:1-7 - 神はぶどう園の世話をするぶどう作り人です

2. 詩篇 80:8-19 - 羊の群れを世話する羊飼いとしての神

ヨハネ 15:2 神は、実を結ばない私の枝をすべて取り除き、実を結ぶすべての枝を、より多くの実を結ぶために、取り除いてくださるのです。

神は私たちがより多くの実を結ぶように剪定してくださいます。

1: イエスはぶどうの木、私たちは枝です - ヨハネ 15:2

2: 不実の断ち切り - ヨハネ 15:2

1: ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制です。これらを禁じる律法はありません。

2: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

ヨハネ 15:3 今、あなたがたは、わたしがあなたがたに話した言葉によって清くなっています。

この箇所は神の言葉の清めの力について語っています。

1. 神の言葉の浄化の力

2. 神からの清めを受ける方法

1. エペソ人への手紙 5:26 - 「それは、言葉による水の洗いによってそれを神聖化し、清めるためであった」

2. 詩篇 119:9 - 「若者はどこで自分の道を清めるでしょうか。あなたの言葉に従ってそこに注意を払うことによってです。」

ヨハネ 15:4 わたしのうちにとどまり、わたしもあなたの中にとどまってください。枝はブドウの木に留まらなければ、それ自体で実を結ぶことができないのと同じです。あなたがたがわたしのうちに留まっている以外には、それ以上はできない。

実を結ぶためには、イエスのうちにとどまることが不可欠です。

1. 豊かな実りを得るためにキリストにとどまりなさい

2. 満たされるためにイエスに頼る

1. コロサイ 2:6-7 「ですから、あなたはキリスト・イエスを主として受け入れたのと同じように、キリストのうちに根を張って築き上げられ、教えられたとおりに信仰を強め、感謝にあふれて人生を歩み続けてください。」。」

2. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対しては、律法はありません。」

ヨハネ 15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。わたしにつながっている人、そしてわたしもその人につながっていて、同じように多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからです。

この聖句は、神なしでは私たちの人生は無益であり、神なしでは何もできないことを思い出させます。

1. 「キリストのうちにとどまりなさい：キリストのうちにとどまることの恩恵を享受する」

2.「永続する力：実り豊かな人生を育む」

1. ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。イエスは、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になることを予見していました。さらに、神は誰を予定し、また彼らを召し、また、自分が召した者を義とし、義と認め、また栄光を与えた。

2. コロサイ 1:27-29 - 神は、異邦人の間のこの神秘の栄光の富が何であるかを誰に知らせようとされますか。それはあなたの内にあるキリストであり、栄光の希望です。私たちはこのキリストを宣べ伝え、すべての人に警告し、すべての人にあらゆる知恵を教えます。それは、私たちがすべての人をキリスト・イエスにおいて完全な者とするためです。そのために私も働き、私の中で力強く働く彼の働きに従って努力します。

ヨハネ 15:6 人がわたしのうちに留まらないなら、その人は枝のように投げ捨てられ、枯れてしまいます。そして人々はそれを集めて火の中に投げ込み、焼いてしまいます。

ヨハネ 15:6 は、イエスのうちに留まらない者は捨てられ、滅ぼされると教えています。

1: 救われるためにイエスのうちにとどまりなさい。

2: 守られるためにキリストのうちに留まりなさい。

1: 1 ヨハネ 4:16 - そして、私たちは神の私たちに対する愛を知り、信じてきました。神は愛である;そして愛の中に住む者は神の中に住み、神も彼の中に住んでいるのです。

2: マタイ 11:28-30 - すべて、働き、重荷を負っている者は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。私のくびきを負って、私のことを学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった者だから、あなたがたは魂に安らぎを得るだろう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。

ヨハネ 15:7 もしあなたがたがわたしのうちにとどまり、わたしの言葉があなたがたのうちにとどまるなら、あなたがたが望むことを尋ねなさい、そうすればそれがあなたがたに行われるでしょう。

キリストのうちに留まり、キリストの言葉が私たちの内にとどまることを許すなら、私たちの祈りは答えられます。

1: キリストにとどまることが祈りが答えられる鍵です

2: 神の言葉に祈りを導きましょう

1: ヤコブ 4:2-3 「あなたが求めていないので、あなたが持っていないのです。求めても受け取らないのは、自分の情熱に費やしてほしいと間違って求めているからです。」

2: マタイ 6:7-8 「また、祈るとき、異邦人のように空虚な言葉を積み上げてはいけません。彼らは、たくさんの言葉を聞いてもらえると思っているからです。」彼らのようにならないでください。あなたがたの父は、あなたが求める前に、あなたが何を必要としているかを知っているからです。」

ヨハネ 15:8 あなたがたが多くの実を結ぶことで、ここにわたしの父が栄光を受けています。そうすれば、あなたがたも私の弟子になりましょう。

イエスは、多くの実を結ぶことが、キリストの弟子たちが御父を讃える方法であると教えています。

1. 「実り豊かな人生を送る：キリストの弟子として多くの実を結ぶ」

2.「実を結ぶ力：弟子としての務めを通して父の栄光を現す」

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

2. マタイ 7:16-17 - 「あなたがたは、その実を見ればそれがわかるでしょう。ブドウはいばらの茂みから集めたものですか、それともアザミからいちじくを集めたのですか。ですから、健康な木はみな良い実を結びますが、病気の木は悪い実を結びます。」

ヨハネ 15:9 父がわたしを愛してくださったように、わたしもあなたがたを愛しました。あなたがたもわたしの愛を保ち続けてください。

この聖句は、私たちがイエスに対する神の愛の模範に倣い、イエスの愛の中に留まるように勧めています。

1: 私たちは、イエスに対する神の愛に倣って人生を模範とするよう求められています。

2: 神がイエスを愛されたように、私たちもイエスの愛の中に留まり続けるよう招かれています。

1: 1 ヨハネ 4:19 - 私たちが神を愛しているのは、神が最初に私たちを愛してくださったからです。

2: ローマ人への手紙 5:5 - そして希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は私たちに与えられる聖霊によって私たちの心の中に注がれるからです。

ヨハネ 15:10 もしあなたがたがわたしの戒めを守るなら、あなたがたはわたしの愛のうちにとどまるであろう。わたしが父の戒めを守り、父の愛の中に留まりながらも。

ヨハネ 15:10 は、神の愛のうちに留まるように神の戒めを守るよう私たちに勧めています。

1. 従順の力: 神の戒めを守ること

2. 従順を通じて神の愛の中に留まる

1. マタイ 7:24-27 - 私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は皆、岩の上に家を建てた賢者のようなものです。

2. ローマ 6:16-17 - 従順な奴隷として自分を誰かに差し出すとき、あなたは、死に至る罪の奴隷であろうと、従順の奴隷であろうと、従う人の奴隷になることを知らないのですか。どちらが正義につながるでしょうか？

ヨハネ 15:11 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにとどまり、あなたがたの喜びが満たされるためです。

イエスは弟子たちが喜びを経験し、それが満たされるようにと語られました。

1. イエスのうちにとどまることの喜び

2. イエスを通して喜びを実現する

1. ピリピ 4:4-7 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい！

2. ヤコブ 1:2-4 - 信仰の試練が忍耐を生み出すことを知っているので、さまざまな試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。

ヨハネ 15:12 これがわたしの戒めです、「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい」。

この聖句は、イエスが私たちを愛してくださったように、他の人を愛することの大切さを強調しています。

1: 私たちは皆、他者に対する無条件の犠牲的な愛のイエスの模範から学ぶことができます。

2: 私たちのお互いへの愛は、神への愛に根ざしている必要があります。

1: 1 ヨハネ 4:7-12 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。

2: ローマ人への手紙 13:8-10 - 互いに愛し合うこと以外には、だれにも何の借りもありません。人を愛する者は律法を全うしているからです。

ヨハネ 15:13 人が友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。

この聖句は、友人のために命を捨てるという最大の愛の行為について語っています。

1. 愛の力: 自己犠牲的な愛を他人に示す方法

2. 究極の友情行為: 他人のために命を捨てるとはどういう意味か

1. ローマ 5:8 – しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

2. 1 ヨハネ 3:16 – このことによって、私たちは愛を知ります。神は私たちのために命を捨て、私たちも兄弟たちのために命を捨てるべきであるということです。

ヨハネ 15:14 もしあなたがたがわたしの命じることを何でも行うなら、あなたがたはわたしの友です。

この箇所は、神の友人になるために神の命令に従うことの重要性について語っています。

1: 従順は友情をもたらす - ヨハネ 15:14

2: 神の友- ヨハネ15:14

1: ヤコブ 2:17-18 「それでも、もし信仰が働かなければ、孤独では死んだものです。そうです、人はこう言うかもしれません。『あなたには信仰があり、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください。そして、わたしの行いによってわたしの信仰をあなたに示しましょう。」

2: 1 ヨハネ 2:3-4 「そして、私たちが彼の戒めを守るなら、私たちが彼を知っていることがここでわかります。「私は彼を知っているが、彼の戒めを守らない」と言う人は嘘つきであり、真実はそうではありません彼の中で。"

ヨハネ 15:15 今後、私はあなたがたを召使とは呼びません。しもべは主が何をするか知らないからです。しかし、私はあなたたちを友人と呼びました。というのは、私が父について聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからです。

イエスは、御父がご自分に語られたことをすべて明らかにしたので、追随者たちはもはや召使ではなく友人とみなされていると宣言されました。

1. 友情の恵み: イエスの追随者たちとの関係における根本的な変化

2. イエス：父からすべてのことを明らかにする友人

1. ヤコブ 2:23 - 「そして、『アブラハムは神を信じた。そしてそれが彼の義であると認められた』という聖書の言葉が成就し、彼は神の友と呼ばれた。」

2. 箴言 18:24 - 「多くの友を持つ人は滅びるかもしれない。しかし、兄弟よりも寄り添う友がいる。」

ヨハネ 15:16 あなたがたが私を選んだのではありませんが、私はあなたがたを選び、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようにと命じたのです。あげてください。

ヨハネ 15:16 は、神に選ばれることの重要性と、永続する実を結ぶ責任を反映しています。

1: 神は私たちを選んだので、私たちは実を結ばなければなりません

2：神に選ばれた力

1: マタイ 7:15-20 - 偽預言者たちに気をつけてください。彼らは羊の皮を着てあなたのところに来ますが、内心は貪欲な狼です。

2: ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。

ヨハネ 15:17 わたしがあなたがたに命じるこれらのことは、あなたがたが互いに愛し合うことです。

この聖句は、イエスが私たちを愛してくださったように、互いに愛し合うよう私たちに勧めています。

1: イエスが私たちを愛してくださったように、互いに愛し合いましょう

2: キリストが愛するように愛するという私たちの呼びかけ

1: ヨハネ第一 4:7-12 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。

2: ローマ人への手紙 13:8-10 - 互いに愛し合うこと以外には、誰にも何の義務もありません。人を愛する人は律法を全うしているからです。

ヨハネ 15:18 もし世があなたがたを憎んでいるなら、あなたがたを憎む前に世がわたしを憎んでいたことをあなたがたは知っています。

この聖句は、イエスご自身が私たちの前に迫害されたのと同じように、私たちが信仰のために迫害されたとき、それを個人的に受け止めるべきではないことを強調しています。

1: 神は私たちの苦しみを利用して、私たちを神に近づけます。

2: 私たちの前にイエスを憎んだように、世が私たちを憎んでも驚くべきではありません。

1: ローマ人への手紙 8:17-18 - そして子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

2: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。しかし、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完璧で完全なものになることができます。

ヨハネ 15:19 もしあなたがたが世のものであれば、世も自分の者を愛するでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、わたしがあなたがたを世から選んだのですから、世はあなたがたを憎んでいます。

イエスは追随者たちに、彼らは世のものではないので、世は彼らを憎むだろうと言います。

1: 神は私たちに、他の人とは異なり、世界から離れて立つよう呼びかけています。

2: キリストにおける私たちのアイデンティティは、私たちを世の憎しみの標的にします。

1: ローマ人への手紙 12:2 「この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えなさい。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2: 1ヨハネ2:15-17 「世や世にあるものを愛してはなりません。もし誰かが世を愛するとしても、その人の中には父の愛がありません。なぜなら、世にあるものはすべて、世の欲望だからです。」」

ヨハネ 15:20 わたしがあなたがたに言った言葉を思い出してください。「しもべは主より偉いわけではない」。彼らが私を迫害したのなら、あなたも迫害するでしょう。もし彼らが私の言葉を守ったのなら、あなたの言葉も守るでしょう。

イエスは弟子たちに、もし自分が迫害されたら、自分たちも迫害されるだろうと思い出させます。彼は彼らに自分の信念に忠実であり続けるよう勧めています。

1. 迫害に直面しても落胆しないでください

2. 逆境に直面しても毅然として忠実であり続ける

1. マタイ 5:11-12 - 「私のせいで、他の人があなたをののしり、迫害し、あなたに対してあらゆる種類の悪を誤って言うとき、あなたは幸いです。喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したからです。」

2. テモテ第二 3:12 - 「確かに、キリスト・イエスにあって敬虔な生活を送りたいと願う者はみな迫害されるでしょう。」

ヨハネ 15:21 しかし、彼らはわたしの名のために、これらすべてのことをあなたがたに行うのです。彼らは、わたしを遣わした方を知らないからです。

人々は、たとえイエスを遣わした父を知らなくても、イエスに同名のためにイエスに従う人々に対して何かをするでしょう。

1. イエスの御名の力: イエスに従うことの影響を理解する

2. 父を知る: 神を知ることの重要性

1. フィリピ 2:9-10 - 「それゆえ、神は彼を高く上げ、あらゆる名に勝る名を彼に授けたので、天においても地においても地の下においても、イエスの名においてすべての膝がかがむようになりました。」」

2. エペソ人への手紙 1:3-6 - 「私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。彼は、世の基が置かれる前にキリストにあって私たちを選んだのと同じように、天上のあらゆる霊的祝福をもってキリストにあって私たちを祝福してくださいました。、私たちが神の御前で聖であり、罪のない者であるべきであるということです。神は愛のうちに、ご自身の御意志の目的に従い、愛する者のうちに私たちを祝福してくださったその輝かしい恵みを称賛するために、イエス・キリストを通して私たちを養子として予定しておられました。」

ヨハネ 15:22 もしわたしが来て彼らに話しかけていなければ、彼らには罪がなかったのに、今では彼らには罪を覆う外套がありません。

罪は避けられませんが、イエスは赦しの機会を与えてくれます。

1: イエスは私たちの罪の赦しの外套です。

2: 私たちには自分の罪に対して言い訳の余地はありませんが、イエスは私たちに逃れる道を提供してくださいました。

1: ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して神の恵みによって無償で義とされるからです。

2: 1 ヨハネ 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

ヨハネ 15:23 わたしを憎む者は、わたしの父も憎んでいます。

この箇所は、イエスを憎む者は父なる神も憎んでいることを明らかにしています。

1: 神の愛は無条件です - 私たちが神を憎んでいるにもかかわらず、神は私たちを愛し続けます。

2: イエスへの憎しみは神への憎しみである - 私たちはイエスに対する態度に注意しなければなりません。なぜなら、イエスに対する私たちの態度は神に対する私たちの態度を反映するからです。

1: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: ヨハネ第一 4:20 - 神を愛していると言いながら兄弟や姉妹を憎む者は嘘つきです。なぜなら、目に見える兄弟姉妹を愛さない人は、目に見えない神を愛することはできないからです。

ヨハネ 15:24 もしわたしが他の人がしなかった業を彼らの間でしなければ、彼らは罪を犯さなかったのに、今では彼らはわたしとわたしの父の両方を見て憎んでいるのです。

この箇所は、人々がイエスとその御父を見たにも関わらず拒否することを選んだほど、イエスの働きについて語っています。

1: イエスはユニークで、他の人が行ったことのない業を行いました。人々はこれらの働きを見たにもかかわらず、神とその父を拒絶することを選びました。

2: イエスは並外れた功績を残した人でした。これらの業を見ていたにもかかわらず、人々はイエスとその御父を憎むことを選びました。

1: イザヤ書 53:3 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2: マタイ 13:54-58 そして、イエスが自分の国に帰ったとき、彼らの会堂で彼らに教えたので、彼らは非常に驚いて、こう言った、「この人は、この知恵と、このような偉大な業をどこから持ってきたのでしょうか。」この人は大工の息子ではないでしょうか？彼の母親はメアリーという名前ではないですか？彼の兄弟たち、ヤコブ、ホセ、シモン、ユダは？そして彼の姉妹たち、彼らは皆私たちと一緒ではないでしょうか？それでは、この男はこれらすべてのものをどこから持ってきたのでしょうか？そして彼らは彼の中で腹を立てた。しかしイエスは彼らに言われた、「預言者に名誉がないわけではない、自分の国と自分の家以外では。」

ヨハネ 15:25 しかし、彼らの律法に書かれている言葉が成就するために、彼らは理由もなく私を憎んだのです。

この箇所は、イエスが何も悪いことをしておらず、律法に書かれた預言を成就しているにもかかわらず、イエスの敵たちがイエスを憎んでいたことを明らかにしています。

1. 神の計画は完璧であり、それを止めることはできません

2. 憎しみの不公平さ

1. イザヤ書 53:3 - 彼は人類から軽蔑され、拒絶され、苦しみを経験し、痛みを知っていました。

2. ペテロ第一 2:23 - 彼らが彼に侮辱を投げかけたとき、彼は報復しませんでした。苦しんでいるときも、彼は脅しをしませんでした。むしろ、正しく裁く方に自分を委ねたのです。

ヨハネ 15:26 しかし、わたしが父からあなたがたに送る慰め主、すなわち父から出る真理の御霊が来られるとき、彼はわたしについて証ししてくださるでしょう。

父から遣わされた慰め主がイエスについて証しします。

1. 聖霊の力: イエスの証しの手引き

2. 聖霊の約束: 慰め主を受け入れる

1. ローマ 8:15-17 - あなたは、再び恐怖の奴隷となるような霊を受けたのではなく、子としての御霊を受けたからです。そして私たちは彼のそばで「アバ、父よ」と叫びます。御霊ご自身が私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。

2. 使徒 2:1-4 - ペンテコステの日が来ると、彼らは皆同じ場所に集まりました。突然、激しい風が吹くような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家全体が満たされました。彼らは、火の舌のようなものが分離してそれぞれの上に留まるのを見た。彼らは皆聖霊に満たされ、御霊の御力に従って他の言語で話し始めました。

ヨハネ 15:27 また、あなたがたも、初めからわたしとともにいたのですから、証しをすることになります。

この箇所は、イエスが弟子たちに、最初からイエスとともにいたように、イエスの教えと行動の証人になるよう命じられたことを説明しています。

1. 証しをする: 証しをする人生を送る

2. 弟子としての呼びかけ: イエスの呼びかけに応える

1. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。」

2. ペテロ第一 3:15 「しかし、あなたがたは心の中で主であるキリストを聖なる者として讃え、あなたの中にある希望の理由を尋ねてくる人に対しては、いつでも弁護できるよう備えていてください。それでも、優しさと敬意を持ってそれをしなさい。」。」

ヨハネ 16 章では、聖霊の働き、イエスの死と復活の予言、そして世に勝つというイエスの約束についてのイエスのさらなる教えについて論じられています。

第 1 段落: この章は、イエスが迫害が来ることについて弟子たちに警告するところから始まります。神がこれらのことを彼らに告げるのは、時が来ても彼らが立ち去らないようにするためであり、彼らはシナゴーグから追い出されるであろう。確かに、誰かがあなたを殺すとき、彼らは神への奉仕をしていると思うであろう時が来ている。彼は、彼らにこのことを告げたのは、彼らがその時が来たときに、彼が警告したことを思い出すためであると説明しました。彼は彼らと一緒にいたので最初からこのことを彼らに言いませんでしたが、今は彼を送った彼のもとへ行きますが、どこへ行くのかと尋ねる者は誰もいません。なぜなら、これらのことを言われて悲しみが満たされ、その後、弁護人が行かない限り、彼がいなくなるのは良いことだと言って安心させます（ヨハネ16:1-7）。

第 2 段落: 御霊の真実が到来するとき、すべての真実に導きます。自分の権威で話すのではなく、何を聞いても語ります。私のものから得て栄光を与えてください。なぜなら、父が持っているすべてのものは父のものであるため、私のすべてのものは父の言うことによって知られるからです。この後、イエスは比喩的な言葉を使って「しばらくすると、あなたは私を見なくなり、しばらくすると私を見るようになる。」と言いました。一部の弟子たちは、この指導的なイエスの説明を理解できませんでした。女性が出産するように、子供が生まれると苦しみを忘れるように、悲しみが喜びに変わるのは、この世に生まれた喜びの子は苦しみを忘れるので、弟子たちも悲しみますが、誰も喜びを奪うことがないのを見て再び喜ぶことです（ヨハネ16:8-22）。

第三段落: それから彼は、その日はもう彼に何も尋ねないと言い、「本当に真実に言いますが、父がどんな名前でも付けてください」と保証します。今まで何も尋ねなかった 名前を尋ねなさい 喜びを受け取るのは完了しました 比喩的な言葉を使っていましたが、時が来ます 父の日についてはっきりと言います 名前を尋ねます 愛を個人的に示していますか 保証します 世界は愛されています 父は愛されています 世界は建国前から愛しています 世界はまた弟子たちに問題を伝えます 平和を取る心を克服する 世界の終わりこの章は、差し迫った試練に直面する際に安心感を与えるものです（ヨハネ 16:23-33）。

ヨハネ 16:1 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたが怒らないようにするためです。

この聖句は、どんな状況であっても落胆しないようにと信者に勧めています。

1: 「罪を克服する - 逆境に直面しても信仰を強く保つ方法」

2: 「腹を立てないでください - 精神的な回復力を維持する」

1: ローマ人への手紙 12:19 - 親愛なる友人たち、復讐をしないでください。むしろ、神の怒りを受ける余地を残しておいてください。こう書いてあるからです。わたしが報います」と主は言われます。

2: 1 ペテロ 5:7 - 神はあなたのことを気にかけてくださっているので、あなたの不安をすべて神に投げかけてください。

ヨハネ 16:2 彼らはあなたたちを会堂から追放するでしょう。そうです、あなたたちを殺した者が神に仕えていると思う時が来ます。

この一節は、イエスの追随者たちが直面する危険と迫害を強調し、彼らを殺す者は自分たちが神への奉仕をしていると考えるだろうと警告しています。

1: 私たちが直面している迫害: 信仰と勇気をもってどのように対応するか

2: 反対に立ち向かう: イエスの模範から学ぶ

1: ダニエル 3:17-18 - 「そうであれば、私たちが仕えている私たちの神は、燃え盛る炉から私たちを救い出すことができ、王よ、あなたの手から私たちを救い出してくださいます。しかし、そうでない場合は、王よ、私たちがあなたの神々に仕えたり、あなたの立てられた黄金の像を崇拝したりしないことをあなたに知っておいてください。」

2: 使徒 5:29 - 「そこでペテロと他の使徒たちは答えて言った。『わたしたちは人間ではなく神に従うべきです。』」

ヨハネ 16:3 彼らは父もわたしも知らないので、あなたがたにこれらのことをするでしょう。

新行 イエスは弟子たちに、ご自分と御父への信仰のゆえに迫害されるだろうと警告されました。

1. 信者の迫害: 逆境に直面しても毅然とした態度で立つ

2. 反対に直面したときの回復力: 苦しみにおける神の強さ

1. ローマ 8:37-39 - 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物のいかなるものも、私たちを神の愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスのうちにあるのです。」

2. ピリピ 4:13 - 「私に力を与えてくださる方によって、私はこのすべてを行うことができます。」

ヨハネ 16:4 しかし、わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、その時が来たら、あなたがたが、わたしがこれらのことを話したということを思い出せるようにするためです。そしてこれらのことは、私が最初にあなたに言ったわけではありません。私はあなたと一緒にいたからです。

イエスは、来るべき死と復活について弟子たちに告げましたが、宣教の初めにはまだ弟子たちと共におられたので、告げられませんでした。

1. イエスの言葉を思い出す: ヨハネ 16:4 に力と導きを求めます。

2. 復活の力: イエスの約束に希望を見出す。

1. ルカ 24:6-8: 彼はここにはいませんが、復活しました。彼がまだガリラヤにいたときにどのようにあなたたちに話したかを思い出してください。

2. 1 コリント 15:20-22: しかし今、キリストは死者の中からよみがえられ、眠っている者たちの初穂となられました。

ヨハネ 16:5 しかし、今、私は私を遣わしてくださった方のところへ行きます。そして、あなたがたは誰も私に尋ねません、「あなたはどこへ行ったのですか？」

弟子たちはイエスの出発について質問しませんでした。

1. 物事を当然のことと思わない - 私たちは生活の中で人々や物事をすぐに当然のことと考えてしまいがちですが、これは常に意識するよう努めるべきことです。

2. 正しい質問をする - 私たちは自分が尋ねる質問に留意し、意味のある効果的な質問をするよう努めるべきです。

1. コロサイ 4:6 - 「各人にどのように答えるべきかを知ることができるように、常に塩味を利かせた礼儀正しい話し方をしなさい。」

2. 箴言 15:23 - 「適切に答えることは人にとって喜びであり、時節柄の言葉です。それはなんと素晴らしいことでしょう。」

ヨハネ 16:6 しかし、わたしがこれらのことをあなたがたに話したので、あなたがたの心は悲しみで満たされました。

ヨハネ 16:6 は、イエスが弟子たちに、彼らの心が悲しみで満たされたことを告げる内容です。

1: 悲しいときでも、私たちはイエスから力と慰めを得ることができます。

2: イエスは私たちの悲しみを理解し、最も暗い瞬間にも私たちとともにおられます。

1: 詩篇 34:18 - 主は心の打ち砕かれた者に寄り添い、霊的に打ちひしがれた者を救ってくださいます。

2: イザヤ書 41:10 - だから恐れないでください。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。

ヨハネ 16:7 しかし、私はあなたがたに真実を言います。私が去っていくのは、あなたにとって好都合です。もし私が去らなければ、慰め主はあなたのもとに来られないからです。しかし、もし私が出発するなら、私は彼をあなたのところに送ります。

慰め主はイエスが去ったときに来られます。

1: イエスの犠牲を通して、イエスはいつも私たちと共にいてくださる慰め者である聖霊を私たちにもたらしてくださいます。

2: イエスが去られることは悪いことではなく、祝福です。なぜなら、それを通して私たちは慰め主である聖霊を受けるからです。

1: イザヤ書 9:6 - 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2: ローマ 8:26-27 - 同様に、御霊は私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきなのかわからないからです。しかし、御霊ご自身が言葉にならないほど深いうめきをもって私たちのために執り成してくださいます。そして、心を探る者は、御霊の思いが何であるかを知っています。なぜなら、御霊は神の御心に従って聖徒のためにとりなしてくれるからです。

ヨハネ 16:8 そして、彼が来られるとき、彼は罪と義と裁きの世界を戒めます。

この箇所には、聖霊が来るとき、罪と義と裁きの世界を戒めると書かれています。

1: 私たちの生活における聖霊の力

2: 神の揺るぎない義と裁き

1: イザヤ書 30:21 「右に曲がっても左に曲がっても、あなたの耳には後ろから、『これが道だ、そこを歩きなさい』という声が聞こえる。」

2: 詩篇 139:7-10 - 「あなたの御霊のもとから、私はどこへ行くことができますか。あなたの存在からどこへ逃げればよいでしょうか？私が天に上がれば、あなたはそこにいる。私が深いところでベッドを作れば、あなたはそこにいる。たとえ私が夜明けの翼に乗って立ち上がっても、海の彼方に定住しても、そこでさえあなたの御手が私を導き、あなたの右手が私をしっかりと掴んでくださるでしょう。」

ヨハネ 16:9 罪については、彼らがわたしを信じないからです。

ヨハネ 16:9 はイエス・キリストを信じる信仰の重要性を要約しています。

1: 信仰を持ち、イエス・キリストを信じてください。

2: イエス・キリストを信じて救われます。

1: ローマ人への手紙 10:9-10 「それは、もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心で義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。」

2: エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは、恵みによって信仰によって救われました。それは自分からではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることがないように。」

ヨハネ 16:10 義については、わたしが父のもとに行くと、あなたがたはもうわたしを見ないからです。

この一節は、イエスが御父のもとに行かれ、弟子たちがもうイエスに会わないことについて語っています。

1. イエスの御父への帰還: 忠実な追随者の視点

2. イエスの出発: 義への呼びかけ

1. ヨハネ 14:1-3 - 「心を騒がせてはいけません。神を信じなさい。わたしも信じなさい。わたしの父の家にはたくさんの部屋があります。もしそうでなかったら、準備をしに行くと言ったでしょう。」「もし私が行って、あなたのために場所を用意したら、私はまた来て、あなたを自分のところに連れて行きます。そうすれば、私がいる場所にあなたもいるかもしれません。」

2. マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

ヨハネ 16:11 裁きについては、この世の君主が裁かれるからです。

ヨハネ 16:11 の一節は、この世の君主の裁きについて述べています。

1. この世の王子に対する神の裁きの力

2. 神の裁きへの信仰を通して、どのようにしてこの世界の君主に立ち向かうことができるか

1. コリント人への第二の手紙 4:4 - 彼らの場合、この世の神は不信者たちの心を盲目にし、神の似姿であるキリストの栄光の福音の光が見えないようにしたのです。

2. エペソ 6:12 - なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的な力に対して戦うからです。

ヨハネ 16:12 私はあなたがたに言いたいことがまだたくさんありますが、あなたがたは今はそれに耐えることができません。

イエスは弟子たちに、まだ言いたいことがありますが、彼らはまだそれを聞く準備ができていないと言います。

1. 時間をかけて成長する: 神の言葉を受け入れるために心を準備する

2. 信仰を堅持する: 神の約束を受け取るまで耐えることを学ぶ

1. エペソ人への手紙 3:14-19 - 教会のためのパウロの祈り

2. ヤコブ 1:2-4 - 試練や艱難の中に喜びを見出す

ヨハネ 16:13 しかし、真理の御霊が来られるとき、彼はあなたをすべての真理に導きます。彼は自分自身について語らないからです。しかし、彼が聞くことは何でも、彼は話します。そして彼はあなたに将来のことを示すでしょう。

真理の御霊は私たちをすべての真実へと導き、これから起こることを示してくれるでしょう。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 御霊の導きに従う

1. ローマ 8:14 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. マタイ 16:17 - するとイエスは答えて言われた、「あなたは幸いです、シモン・バルヨナ。それは肉と血があなたに明らかにしたのではなく、天におられるわたしの父があなたに明らかにしたからです。」

ヨハネ 16:14 彼はわたしを讃えてくださるでしょう。彼はわたしのものを受けて、それをあなたがたに示すからです。

この箇所は、イエスの弟子たちがイエスから栄光をもたらす知識を得るであろうことを明らかにしています。

1: 私たちはイエスから知識を受け取り、それを他の人と分かち合うことによってイエスに栄光を帰すことができます。

2: イエスを通して、私たちはイエスに栄光をもたらす知識を得ることができます。

1: イザヤ書 11:2 - 「そして、主の霊が彼の上にとどまる。それは、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊である。」

2: 箴言 2:6 - 「主は知恵を与えてくださるからです。彼の口からは知識と理解がもたらされます。」

ヨハネ 16:15 父が持っておられるものはすべて私のものです。だから私は、父が私のものを取って、あなたがたに見せてくださるだろうと言いました。

神はご自分の追随者たちに、神の教えを理解するという賜物を与えられました。

1: キリストの教えを知ることの祝福

2: キリストの教えを分かち合う喜び

1: コロサイ 2:3 この人の中には、知恵と知識のすべての宝が隠されています。

2: ヤコブ 1:5 あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

ヨハネ 16:16 しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなります。また、しばらくすると、あなたがたはわたしを見るでしょう。わたしは父のもとに行くからです。

イエスは弟子たちに、しばらくの間離れるが、すぐにまた会えると告げました。

1: 神は私たちを決して一人にしない。イエスは弟子たちのもとを去りましたが、戻ってきて再び彼らと一緒になると約束されました。

2: 困難な時には忍耐強くならなければなりません。イエスは弟子たちに、苦しみはあっても、それは永遠ではなく、すぐにまた会えると約束されました。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、決して不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2: ヘブライ 13:5-6 - お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足してください。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。ですから私たちは自信を持ってこう言うことができます。私は恐れません。人間は私に何ができるでしょうか？」

ヨハネ 16:17 それから、彼の弟子たちの何人かが彼らの間で言った。父のところに行きますか？

イエスの弟子たちの中には、しばらく会わないが、また会えるだろうというイエスの言葉に当惑した人もいました。

1. イエスの不在：待ち続ける中で強さを見つける

2. イエスの約束: イエスの再臨を信頼する

1. ローマ 8:25 - 「しかし、目に見えないものを望むなら、私たちは忍耐強くそれを待ちます。」

2. ヘブライ 10:35-36 - 「ですから、大きな報いがある自信を捨ててはいけません。神のご意志を行った後に約束を受けるためには、あなたには忍耐が必要だからです。」

ヨハネ 16:18 そこで彼らは言った、「彼が『少しの間』と言っているのは、どういうことですか」。私たちは彼が何を言ったかを知ることができません。

イエスは自分の死と復活について弟子たちに話していますが、弟子たちはイエスの言葉を理解していません。

1. 十字架の謎: 復活に関するイエスの教えを理解する

2. 信仰の力: イエスの永遠の命の約束を信じること

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. フィリピ 3:10-11 - 私はキリストを知りたいです。そうです、キリストの復活の力と苦しみに参加し、死に際しキリストのようになり、そして何とかして死者の中からの復活に到達する力を知りたいのです。

ヨハネ 16:19 さて、イエスは、彼らがイエスに尋ねたがっているのを知って、彼らに言われた、「わたしが『しばらくの間、あなたがたはわたしに会わないだろう』と言ったことについて、自分たちで調べてみませんか。また、しばらくの間、あなたがたはわたしを見なくなるでしょう」私に会いましょうか？

イエスは、自分がもうすぐ離れるという言葉に弟子たちが混乱していることを知っていたので、自分の言葉に疑問を持っているかどうか尋ねました。

1. イエスは、弟子たちが自分の旅立ちに苦労することを知っていましたが、それでも聖霊を送るために弟子たちと離れることを選びました。

2. イエスは、弟子たちが自分の言葉に混乱することを知っていましたが、それでも弟子たちを真実として信頼することを選びました。

1. ヨハネ 14:16-17 - 「そして、私は父に祈ります。そうすれば、父はあなたに別の慰め手を与えてくださいます。そうすれば、彼は永遠にあなたと一緒に住むことができます。」真理の御霊さえも。世界は彼を受け入れることができません。なぜなら、世界は彼を見ず、彼を知りません。しかし、あなたがたは彼を知っています。なぜなら、彼はあなたとともに住んでおり、あなたの中にいるからです。」

2. イザヤ書 11:2-3 - 「そして、主の霊、すなわち知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊が彼の上にとどまるであろう。そして主を恐れて彼

を素早く理解させ、目で見て判断せず、耳で聞いて叱責しないであろう。」

ヨハネ 16:20 まことに、まことに、あなたがたに言います、あなたがたは泣いて嘆くであろうが、世は喜ぶでしょう。そして、あなたがたは悲しみますが、あなたの悲しみは喜びに変わるでしょう。

この聖句は、私たちが人生で困難や悲しみを経験するかもしれないが、神はそれを喜びに変えることができるということを思い出させます。

1. 悲しみを通して喜びを見つける - たとえ苦しみの真っ只中でも、神への信仰を通して真の喜びを見つける方法。

2. 主にあって喜ぶ - 神を信頼し、神に信仰を置くことからもたらされる喜びを理解します。

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. イザヤ書 61:3 - シオンで悲しむ者たちを任命し、灰には美を、悲しみには喜びの油を、重苦しさには賛美の衣を与えるように。それは、それらが義の木、主が栄光を受けるために植えられた木と呼ばれるためです。

ヨハネ 16:21 女は、産みの苦しみの時には、自分の時が来たので悲しみます。しかし、子供が産まれるやいなや、女は、男が世に生まれた喜びのあまり、もう苦しみを思い出しません。

女性は出産時には痛みや悲しみを経験しますが、子供が生まれると喜びを感じます。

1. 親になる喜び

2. 出産の痛みと新しい命の報酬

1. 詩篇 127:3: 「見よ、子供たちは主からの相続物であり、子宮の実は報酬である。」

2. ローマ人への手紙 8:18-25: 「今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと私は考えています。」

ヨハネ 16:22 それで、あなたがたは今悲しみを感じています。しかし、私はまたあなたがたに会います、そうすればあなたの心は喜び、あなたの喜びは誰もあなたから奪うことはありません。

神は私たちに、誰にも奪うことのできない喜びを約束してくださいます。

1: 悲しみによって喜びが奪われないようにし、代わりに喜びと確信を求めて神に目を向けましょう。

2: 神の喜びは、誰にも奪うことのできない永遠の喜びです。私たちは神を信頼し、神に喜びを見つけましょう。

1: 詩篇 16:11 - あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの臨在の中には喜びが満ち溢れています。あなたの右手には永遠の楽しみがあります。

2: ローマ 15:13 - 希望の神があなたがたを信仰の喜びと平安で満たし、聖霊の力によってあなたが希望に満ち溢れますように。

ヨハネ 16:23 その日には、あなたがたはわたしに何も尋ねないであろう。まことに、本当に、あなたがたに言います。あなたがたが私の名において父に求めるものは何でも、父はそれを与えてくださいます。

イエスは、私たちが御名によって御父に願い求めるなら、私たちが求めるものは何でも叶えてくださると約束されました。

1. イエスの名によって尋ねる力

2. イエスの約束への信仰

1. マタイ 7:7-11 - 「求めなさい、そうすれば与えられます。捜しなさい、そうすれば見つかります。門をたたきなさい、そうすれば開かれます。」

2. エペソ人への手紙 3:20-21 - 「さて、私たちの内に働いている力に応じて、私たちが求めたり思ったりするすべてよりもはるかに豊かなことをしてくださる方に、教会とキリスト・イエスにおいて栄光がありますように。あらゆる世代、永遠に、アーメン。」

ヨハネ 16:24 あなたがたは、これまで、わたしの名によって何も求めなかった。求めなさい。そうすれば、あなたがたの喜びが満たされるでしょう。

この一節は、信者たちがイエスの御名によって必要なものを神に求め、必ずそれを受け取り、喜びに満たされることを知っているよう勧めています。

1: 神はいつでも私たちの声を聞き、私たちの願いを叶えてくださいます。

2: イエスの御名によって願うとき、私たちは喜びが完全なものになると確信することができます。

1: ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、どんな状況でも、感謝を込めて祈りと願いによって、自分の願いを神に伝えてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2: ヤコブ 4:2-3 - あなたが持っていないのは、あなたが神に求めていないからです。あなたが求めても、得られないものは得られません。なぜなら、あなたは間違った動機で求めているからです。得たものを自分の楽しみに使ってもよいというものです。

ヨハネ 16:25 これらのことを、わたしは箴言であなたがたに話しました。しかし、その時が来ます。その時は、もう箴言であなたがたに話すことはなく、父についてはっきりとあなたがたに示すでしょう。

イエスは御父の計画を弟子たちにさらに明らかにすると約束されました。

1: 神は私たちの人生の計画を明らかにするほど私たちを愛してくださっています。

2: 私たちは神が約束を果たしてくださると信頼できます。

1: 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2: エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです」と主は宣言されます。

ヨハネ 16:26 その日、あなたがたはわたしの名によって尋ねなければなりません。そして、わたしはあなたがたのために父に祈りますとは言いません。

ヨハネ 16:26 でイエスは、弟子たちが自分の名によって求めることができ、彼らのために父に祈る必要がなくなると約束しています。

1. イエスはとりなし者である: イエスの御名の力を理解する

2. 祈りを通して神の備えに頼る

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても心配しないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。

2. ヘブライ 7:25 - したがって、彼は常に生きていて彼らのために執り成しているので、彼を通して神のもとに来る人々を完全に救うことができます。

ヨハネ 16:27 あなたがたがわたしを愛し、わたしが神のもとから出てきたことを信じたので、父ご自身があなたがたを愛してくださっています。

神が私たちを愛してくださるのは、私たちが神を愛し信じてきたからです。

1. 神の愛を信じる - ヨハネ 16:27

2. 神の愛を喜ぶ - ヨハネ 16:27

1. ヨハネ第一 4:10 - 「この中に愛があります。私たちが神を愛したということではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のなだめの供え物として御子を遣わされました。」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、神は、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、私たちに対する愛を示してくださいました。」

ヨハネ 16:28 わたしは父のもとから出て、世に来ました。そして、再び世を離れ、父のもとに行きます。

この箇所は、イエスが御父のもとからこの世に来て、すぐに世を去って御父のもとに戻るであろうということをイエスが理解していたことを明らかにしています。

1.「イエスを知る喜び」

2.「父への献身的な人生を送る」

1. ピリピ人への手紙 2:5-10

2. ヘブライ人への手紙 12:2-3

ヨハネ 16:29 弟子たちは彼に言った、「見よ、あなたは今、はっきりと話し、ことわざを話さないでください。」

弟子たちは、イエスがたとえ話ではなく、率直に教えていることに気づきました。

1. イエスは真理への私たちの導き手です: キリストの明確な教えを理解する

2. イエスのたとえ話: イエスのたとえ話に隠された意味を明らかにする

1. 箴言 8:6-9 - 聞いてください、私には洞察力に富んだことがあるからです。私は正しいことを話すために唇を開きます。私の口は真実を語ります、私の唇は邪悪を嫌うからです。私の口から出る言葉はすべて正しい。それらのどれも曲がったものでも、ひねくれたものでもありません。

2. ヨハネ 1:1-5 - 初めに言葉があり、言葉は神とともにあり、言葉は神でした。彼は初めに神と共にいました。彼を通してすべてのものは造られました。彼なしでは、これまでに作られたものは何も生まれませんでした。彼の中に命があり、その命は全人類の光でした。光は闇の中で輝いていますが、闇はまだ光を克服していません。

ヨハネ 16:30 さて、私たちは、あなたがすべてのことを知っていると確信しています。そして、だれもあなたに尋ねる必要はありません。このことによって、私たちはあなたが神のもとから出てきたことを信じます。

イエスの弟子たちは、イエスの全知性を認識することによって、イエスが神から来たという信念を確認しました。

1. イエスの全知: 神への私たちの信仰が確認される

2. 救い主を信頼する: イエスへの信仰の力

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. ローマ 10:9-10 - イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです。

ヨハネ 16:31 イエスは彼らに答えられた、「あなたがたは今信じますか。」

ヨハネ 16:31 は、イエスが弟子たちに今信じるかどうか尋ねた箇所を要約しています。

1. 私たちはイエスの教えを信じますか?

2. 困難な時にも信仰を持つ

1. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が少ないからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

ヨハネ 16:32 見よ、その時が来た、そう、今が来た、あなたがたは散り散りになり、それぞれの人が自分のものになり、私を一人にするでしょう。しかし、父が私と一緒にいるので、私は一人ではありません。

イエスの苦しみの時が来ましたが、イエスは御父の臨在によって慰められました。

1: 困難なとき、神がいつも私たちとともにおられるという事実に慰めを得ることができます。

2: 決して神の臨在を当然のことと考えないでください。私たちが最も神を必要とするとき、神はいつもそこにいてくださいます。

1: 詩篇 46:1 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今まさに助けてくださるのです。

2: ヘブライ 13:5-6 - お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足してください。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。

ヨハネ 16:33 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしのうちに平安を得るためである。世では、あなたがたは患難に遭うでしょう。しかし、元気でいてください。私は世界を克服しました。

イエス・キリストにおける平和: 世では私たちに患難がありますが、イエスは世に打ち勝ってくださったので、イエスとともに私たちは平和を得ることができます。

1. 主にあって喜ぶ - 困難の時に喜びを見つける

2. 世を克服する - イエス・キリストの勝利に慰めを受ける

1. ローマ 15:13 - 今、希望の神が、あなたがたが聖霊の力によって希望に満ち溢れますように、信仰におけるあらゆる喜びと平安であなたを満たしてくださいますように。

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 - 何も思い煩うことはありません。すべてのことにおいて感謝を持って祈りと願いによって、自分の願いを神に知らせてください。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを守るでしょう。

ヨハネ 17 章には、イエスが自分自身、弟子たち、そしてすべての信者のために祈った大祭司の祈りが記録されています。

第 1 段落: この章は、弟子たちとの最後の晩餐の後、イエスが父に祈っているところから始まります。イエスは、御父に栄光をもたらすために、ご自身が栄光を受ける時が来たことを認めています。彼は永遠の命を、唯一の真の神と神が遣わされたイエス・キリストを知ることと定義しています。イエスは、今するように与えられた仕事をやり遂げることによって、地上の父に栄光をもたらしたと宣言され、世界が始まる前に持っていた栄光をもって御前で父に栄光を帰してくださいと父に求められます（ヨハネ17:1-5）。

第 2 段落: この後、イエスは特に弟子たちのために祈ります。彼は、彼らが神のものであるが神に与えられたものであり、神の言葉に従っていることを認めます。彼らは、すべてが神が受け入れた言葉から来ていることを知っており、与えられた言葉は本当に世界に送られたものであることを知っている、世界のためではなく、神に与えられたものに祈るのである、なぜならそれらは彼のものだから、彼が持っているのは彼らのものであり、彼らのものであるのは、彼らが彼らを通して示した神の栄光であり、彼らがもはやこの世にいないからです。彼らはまだこの世に来ており、聖典が成就した一つの運命の滅びを除いて、彼らが失われたものを守り続けたように彼らが一つになるように、御名の力によって父に守ってほしいと願います。

第三段落: それから彼は祈り続けます 世界から取り除くことを求めず、悪を保ちなさい 世界に遣わされたのと同じように、真理の言葉を神聖化してください 世界に遣わされても自分自身を聖化するので、自分も真に聖化されるかもしれません 最後に、祈りを身近な周囲を超えて広げます 弟子たちは信じる人たちも祈っています彼らのメッセージを通して、父が彼の中におられるように、私たちもまた私たちの中にいて、あなたが私を送ってくれたと世界が信じられるように、彼らに栄光を与えてください。完全な一致をもたらしました あなたが愛を送ってくれたことを世界に知らせてください 愛を、現在の将来の信者の両方のために執り成す大祭司の祈りの終わりの章に入れてください（ヨハネ17：13-26）。

ヨハネ 17:1 イエスはこれらの言葉を語り、目を天に上げて言われた、「父よ、その時が来ました。父よ、その時が来ました」。あなたの御子を讃えなさい。そうすれば、あなたの御子もあなたの栄光を讃えることができます。

イエスは御父に栄光を帰すために御父に栄光を求めます。

1. イエスの生涯における祈りの力

2. 生活の中で神の栄光を讃えることの重要性

1. ピリピ 2:5-11 - イエスはへりくだり、神によって高められる

2. マタイ 5:16 - 人々があなたの良い行いを見て、天の御父を讃えるように、あなたの光を人々の前で輝かせてください。

ヨハネ 17:2 あなたがすべての肉なる者を支配する力を彼に与えられたように、彼もあなたが彼に与えられたのと同じくらい多くの人に永遠の命を与えるべきです。

イエスは神が与えてくださった人々の永遠の命を祈りました。

1: 私たちはイエス・キリストを通して永遠の命を与えられています。

2: 神の恵みはイエスを通して私たちに永遠の命を与えてくれます。

1: ヨハネ 10:27-28、「わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従ってきます。そしてわたしは彼らに永遠の命を与えます。彼らは決して滅びず、また、だれも彼らをわたしの手から抜き取ることはありません」。」

2: ローマ人への手紙 6:23、「罪の代償は死です。しかし、神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。」

ヨハネ 17:3 そして、これは永遠の命であり、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知るためです。

この聖句は、唯一の真の神とイエス・キリストを知ることの重要性、そしてその知識が永遠の命を与えることについて語っています。

1. 神とイエスを知ることが永遠の命への鍵です

2. 最も重要なことを見失わないでください

1. マタイ 22:37-39 「あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛さなければなりません。これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。」

2. ヨハネ第一 5:11-12 「これは、神が私たちに永遠の命を与えてくださった、そしてこの命が御子の中にあるということのあかしです。御子を持つ者には命があります。神の御子を持たない者には命がありません。」

ヨハネ 17:4 わたしは地上であなたの栄光を讃えました。わたしはあなたから与えられた仕事を終えました。

イエスは神が地上で行うように与えられた仕事を完了しました。

1. イエス：従順の完璧なモデル

2. イエスを通しての神の働きの力

1. エペソ 2:10 - 私たちは神の作品であり、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって創造され、神は私たちが行うように前もって備えておられます。

2. フィリピ 2:5-8 - お互いの関係において、キリスト・イエスと同じ考え方を持ちましょう。キリストは、本質的に神であるにもかかわらず、神との平等を自分の利益のために利用されるものとは考えませんでした。むしろ、彼は召使いの性質そのものをとり、人間に似せて造られることによって、自分自身を無のものにしました。そして、人間の姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死にまで従順になりました。

ヨハネ 17:5 そして今、父よ、この世が存在する前に私があなたとともに持っていた栄光をもって、あなた自身をもって私に栄光を与えてください。

ヨハネは、世が生まれる前と同じ栄光が与えられるように神に祈っています。

1: 私たちは皆、イエスと同じように神の目に栄光を受けるよう招かれています。

2: イエスは世がなる前から栄光を受けており、私たちも同じ栄光を目指して努力する義務があります。

1: ローマ人への手紙 8:30 - そして、神があらかじめ定めた者たちをまた召し、召された者たちに栄光を与えた。

2: コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

ヨハネ 17:6 わたしは、あなたが世からわたしに与えてくださった人々にあなたの御名を現しました。彼らはあなたのものであり、あなたは彼らにわたしを与えてくださいました。そして彼らはあなたの言葉を守りました。

イエスは、神がこの世から与えた人々、つまり神のものであり、神がイエスに与えた人々に父の名を明らかにしました。彼らは彼の約束を守りました。

1. 神の名を明らかにするイエスの力

2. ご自分の民に対する神の揺るぎない信仰

1. ローマ 8:31-39 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 世を愛してはならず、世にあるものを愛してはいけません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。

ヨハネ 17:7 今、彼らは、あなたが私に与えてくださったものはすべて、あなたのものであることを知りました。

イエスは、神が自分に与えたものはすべて神からのものであることを認めています。

1. 神を知る力: 神の計画における私たちの位置を理解する

2. 失われた世界に手を差し伸べる: 神が私たちに命じたこと

1. 詩篇 8:3-4 - あなたが定められたあなたの天、あなたの指の働き、月と星のことを考えるとき。 4 人間とは何ですか、あなたは人間のことを考えていますか。そして人の子よ、あなたが彼を訪ねるとは？

2. エペソ 1:11-12 わたしたちもまた、御心にかなった相続財産を手に入れました。すべてのことをご自分の計画に従って行われる方の目的に従ってあらかじめ定められているのです。彼の栄光を称賛する。

ヨハネ 17:8 あなたが私に与えてくださった言葉を、私は彼らに伝えました。そして彼らは彼らを受け入れ、私があなたから出てきたことを確信しており、あなたが私を遣わしたと信じています。

この箇所は、神が追随者たちに与えたイエスの言葉の重要性を強調しています。

1: イエスの言葉は、私たちを神に近づける神からの強力な贈り物です。

2: 私たちはイエスの言葉を真剣に受け止め、それを信仰を築くために活用しなければなりません。

1: テモテ第二 3:16-17 - 聖書はすべて神の霊感によるもので、何が真実かを教え、人生の何が間違っているのかを気づかせるのに役立ちます。私たちが間

違っているときは正し、正しいことをするように教えてくれます。

2: 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。

ヨハネ 17:9 私は彼らのために祈ります。私は世のためではなく、あなたが私に与えてくださった彼らのために祈ります。彼らはあなたのものだからです。

この箇所は、イエスの追随者に対する愛と彼らに対する特別な祈りを明らかにしています。

1: イエスの追随者に対する愛 - ヨハネ 17:9

2: 祈りの力 - ヨハネ 17:9

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、決して不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2: 1 ヨハネ 4:19 - 私たちが愛するのは、主が最初に私たちを愛してくださったからです。

ヨハネ 17:10 そして、私のものはすべてあなたのものであり、あなたのものは私のものです。そして私は彼らによって栄光を受けています。

イエスは、追随者たちはイエスにあって栄光を受けており、イエスの所有物はすべてイエスの追随者のものであり、またその逆であると宣言されました。

1. 私たちの所有物を通してイエスの栄光を現す

2. イエスは私たちのうちに栄光を受けられます

1. マタイ 6:19-21 - 虫やさびが腐り、盗人が押し入って盗むような地上に、自分のために宝を蓄えてはなりません。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫やさびが滅ぼさず、盗人が押し入って盗むこともありません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

2. テモテ第一 6:17-19 - この世で裕福な人たちに、傲慢にならず、あまりにも不確実な富に希望を置くのではなく、私たちにすべてを豊かに与えてくださる神に希望を置くように命じてください。私たちの楽しみのために。良いことを行い、善行で豊かになり、寛大で喜んで分かち合うように彼らに命じてください。このようにして、彼らは来るべき時代の確固たる基盤として自分自身の宝を積み上げ、真の命を掴むことができるのです。

ヨハネ 17:11 そして今、わたしはもうこの世にはいませんが、これらの人たちは世にいるので、わたしはあなたのところに行きます。教皇よ、私たちと同じように、あなたが私に与えてくださった人々を、ご自身の御名を通して守ってください。

新しい行 イエスは、弟子たちの保護と、自分と神が一つであったのと同じように、弟子たちが団結を保つように神に祈りました。

1. 一致の力 - 信者間の一致を求めるイエスの祈りが、どのように教会に大きな力と力をもたらすことができるか。

2. 神の守り - 私たちに対する神の守りと、どのように神の備えを信頼できるかを理解します。

1. エペソ 4:3-6 - 平和のきずなを通して御霊の一致を保つようあらゆる努力をしてください。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

ヨハネ 17:12 わたしがこの世で彼らと一緒にいた間、あなたの御名において彼らを守りました。あなたがわたしに与えてくださったものは、わたしが守りました。滅びの子以外には、失われるものはありません。聖書の言葉が成就するように。

イエスは、滅びの子を除いて、この世で弟子たちと共にいる間、聖書の言葉を成就し、神の名において弟子たちの安全を守りました。

1. 保護の約束: 私たちを守る神の力

2. 預言の成就: 神の言葉はどのように実現されるか

1. ヘブル人への手紙 13:5-6 「お金への執着から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

2. ローマ人への手紙 8:28-39 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

ヨハネ 17:13 さて、私はあなたのところに行きます。そして私がこれらのことをこの世で話すのは、それ自体が私の喜びを満たすためです。

イエスは世界中の追随者たちに喜びをもたらすために語りかけます。

1. イエスの喜び: 世界におけるイエスの臨在を体験する

2. イエス：真の喜びの源

1. ピリピ 4:4-7 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、「喜びなさい」。あなたの優しさがみんなに伝わりますように。主はすぐそばにおられま

す。何事も心配しないでください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. ヨハネ 15:11 - 私がこれらのことをあなたがたに話したのは、私の喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるためです。

ヨハネ 17:14 わたしは彼らにあなたの言葉を与えました。そして、私が世のものではないのと同じように、彼らも世のものではないので、世は彼らを憎んでいます。

イエスが世のものではないように、世は世のものではない人々を憎みます。

1. 世は私たちを憎むかもしれませんが、イエスへの信仰が私たちを守ってくれます。

2. 私たちは世界の中に存在しなければなりませんが、世界から離れてはなりません。

1. ヨハネ第一 4:4–5 - あなたのうちにいる者は、世にいる者よりも偉大です。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して変えてください。

ヨハネ 17:15 私は、あなたが彼らを世から取り除いてくださるようにではなく、彼らを悪から守ってくださるように祈ります。

ヨハネ 17:15 のこの聖句は、神の民を悪から守ることについて語っています。

1.「主の加護：悪の世界で神の力に頼る」

2. 「守りの約束：困難な時代に神の言葉に力を見出す」

1. 詩篇 91:9-10 - 「あなたは、私の避け所である主をいと高き方に定められたので、あなたの住まいに災いが降りかかることはなく、あなたの住まいの近くに疫病が来ることもありません。」

2. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

ヨハネ 17:16 私が世のものではないのと同じように、彼らも世のものではありません。

イエスは、ご自身が世の一員ではないのと同じように、弟子たちが世の一員にならないようにと祈りました。

1. イエスの祈りはどのようにして私たちを世の誘惑から遠ざけることができるか

2. 十字架を負い、イエスに従って聖なる人生を歩む

1. マタイ 16:24-26 - イエスは弟子たちに、自分を捨てて十字架を背負ってイエスに従えと言いました。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して変えてください。

ヨハネ 17:17 あなたの真理によって彼らを聖めてください。あなたの言葉は真理です。

この聖句は、真理と神の言葉の重要性と力を強調しています。

1: 神の言葉の力

2: 真理の神聖な性質

1: 詩篇 119:160 「あなたの御言葉は初めから真実です。あなたの正しい裁きは一つ一つ、とこしえに続きます。」

2: 箴言 12:17 「真実を語る者は義を告げるが、偽りの証人は欺く。」

ヨハネ 17:18 あなたがわたしを世に遣わしたように、わたしも彼らを世に遣わしました。

イエスは、自分が遣わされたのと同じ使命を果たせるように弟子たちを世に送り出します。

1. 世界が待っている: イエスの使命が私たちにどのように影響を与えるか

2. 奉仕のために遣わされた: イエスの行動への呼びかけの力

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」、私は世の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

2. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。」

ヨハネ 17:19 そして、彼らのために、私は自分自身を神聖なものとします。そうすれば、彼らも真理によって神聖なものとされるでしょう。

イエスは他の人も真理によって聖化されるように、ご自身を聖化されます。

1. 「真実による聖化」

2.「自己犠牲の力」

1. エペソ人への手紙 5:26-27 それは、御言葉による水の洗いによって彼女を清め、彼女を聖別するためでした。

2. ペテロ第一 3:15 しかし、あなたがたは心の中で主であるキリストを聖なる者として讃え、あなたの中にある希望の理由を尋ねてくる人に対して、いつでも弁護できるよう備えておいてください。

ヨハネ 17:20 私は彼らだけのために祈るのではなく、彼らの言葉によって私を信じるであろう彼らのためにも祈ります。

この箇所では、イエスが弟子たちの証言を通して自分を信じる人々のために祈ったことが語られています。

1: 証しの力 - イエスは弟子たちの証を通して、自分を信じるようになる人々のために祈りました。

2: 神の約束を信じなさい - イエスは弟子たちの言葉を通して、神の約束に対する神の忠実さを示しながら、自分のもとに来る信者たちのために祈りました。

1: ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

ヨハネ 17:21 それは、彼らがみな一つになるためです。父よ、あなたがわたしのうちにおられ、わたしもあなたの中におられるように、彼らもまたわたしたちの中で一つとなるためです。それは、あなたがわたしを遣わされたことを世界が信じるためです。

この一節は一致と、それによって世界がどのようにイエスを信じることができるかについて語っています。

1. 団結の力: 私たちの団結がどのように世界に神の愛を示すことができるか

2. 団結の中に見出される強さ: コミュニティを通じて私たちの信仰をどのように実証できるか

1. ヨハネ第一 4:19 - 神が最初に私たちを愛してくださったので、私たちは愛します。

2. エペソ 4:3-6 - 平和のきずなを通して御霊の一致を保つためにあらゆる努力をする。

ヨハネ 17:22 あなたがわたしに与えてくださった栄光を、わたしも彼らに与えました。私たちが一つであるように、彼らも一つであってください。

イエスは、追随者たちが自分と神と同じように一つになるように神に祈りました。

1. キリストにおける一致の重要性

2. イエスの祈りの力

1. エペソ 4:3 - 平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努める。

2. ローマ 15:5-6 - さて、忍耐と慰めの神が、キリスト・イエスに従って互いに同じ思いを持つことをお許しください。それは、あなたがたが心を一つにし、口を一つにして、神、すなわち私たちの主イエス・キリストの父を讃えることができるようにするためです。

ヨハネ 17:23 わたしは彼らの中におり、あなたもわたしの中にいます。それは、彼らが一つとなって完全となるためです。そして、あなたが私を遣わし、あなたが私を愛してくださったように、彼らを愛してくださったことを世界が知ることができるように。

私たちに対する神の愛は完全かつ完全であり、神は私たちを完全な一致で結びつけることを望んでいます。

1. 愛は結びつく：神の民に対する神の完全な愛を探求する。

2. 完全な一体性：人間関係を通して神の愛を体験する。

1. ヨハネ第一4:7-12

2. ガラテヤ3:26-28

ヨハネ 17:24 父よ、あなたが私に与えてくださった彼らも、私のいるところに一緒にいてほしいと願います。それは、あなたが私に与えてくださった私の栄光を彼らが見ることができるようにするためです。

イエスは、自分に与えられた人々が天国でイエスと共にいて、父がイエスに与えてくださった栄光を目撃できるようにと父に祈ります。

1. 神の愛は時を超えて変わらない

2. 天の御国に属することの価値

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - しかし、憐れみに富んだ神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、キリストとともに私たちを生かしてくださいました（恵みによってあなたがたは救われました）。

ヨハネ 17:25 義なる父よ、世はあなたのことを知りませんでしたが、わたしはあなたを知っており、彼らもあなたがわたしを遣わされたことを知っています。

この箇所は、イエスが御父について熟知していたことと、イエスに従う人々がイエスの使命を理解していたことを物語っています。

1. 計り知れない父の愛

2. イエスを通して父を知る

1. ピリピ 3:8-11 - キリストとその復活の力、彼の苦しみの交わり、そして彼の死に順応することを知る

2. ヨハネ第一 4:7-12 - 神の愛が私たちの内に完全になり、御子イエス・キリストの御名を信じること

ヨハネ 17:26 そして、わたしはあなたの御名を彼らに宣言しました、そしてこれからも宣言します。あなたがわたしを愛してくださった愛が彼らの中にあり、わたしも彼らの中にあるように。

神の愛は信者の間で分かち合い、彼らを神に近づけるべきです。

1. 愛の力: 神の愛を他の人と分かち合う方法

2. 神の愛の中に留まる：神の愛の充足を体験する

1. ヨハネ第一4:7-21

2. ローマ人への手紙 5:1-11

ヨハネ 18 章では、ゲツセマネの園でのイエスの逮捕、大祭司とピラトの前でのイエスの裁判、そしてペテロの否認について詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、イエスと弟子たちがキデロンの谷を渡って園に向かうところから始まります。イエスはそこでよく弟子たちと会っていたので、ユダはそこにいることを知っていました。ユダは兵士の分遣隊と祭司長パリサイ人の何人かの役人を率いて、たいまつ、ランタン、武器を携えて庭園にやって来ました。彼らが到着すると、イエスはこれから起こることをすべて知っていて出て行かれ、誰を探しているのかと尋ねられ、「ナザレのイエスです」と答えられました。イエスが「わたしです」と答えると、彼らは後ずさりして、誰を探しているのかともう一度尋ねると、同じ答えを返し、「わたしを探しているなら、この人たちを去らせてください」と付け加えて、誰も迷った者はいないと自らの言葉を成就させた（ヨハネ18:1-9））。

第 2 段落: この後、シモン・ペテロが剣を抜いて大祭司の僕に当たり、右耳を切り落としましたが、イエスは彼に、「父が与えてくださった杯を飲んではいけないでしょうか」と言って剣を納めるよう命じられました。その後、兵士たちはイエスを逮捕し、その年、最初にアンナスの義父であるカイアファの大祭司がユダヤ人の指導者たちに、弟子たちの教えについてアンナスに質問されながら、一人で人を死んだほうがいいとアドバイスしたイエスを率い、世界は常にユダヤ人が集まるシナゴーグ寺院を教えていることをオープンに答えた、何も言わなかった秘密なぜ私に質問するのですか、聞いた人たちに何を言ったか知ってください、ある役人が彼を平手打ちし、この方法で大祭司が答えられるか尋ねましたが、イエスは、間違って話された場合は間違っていると証言しましたが、正しいとなぜ私を打つのですか？それからアンナスは縛られた大祭司カヤファを彼に送りました(ヨハネ18:10-24)。

第 3 段落: 一方、このことが起こっている間、ペテロは外の中庭で待っていましたが、そこで召使いの女の子が彼をイエスの弟子であることに気づきました。しかし、ピーターはそうではないと言って否定しました。この否認は、マルクスの親戚によって認識された後でも、さらに 2回行われた 3度目の否認の後、ペテロが耳を切り落とした その間、ユダヤ人たちはカイアファ総督の本部からイエスを連れて来た その間、ユダヤ人たちはイエスをカイアファ総督の本部から連れてきた ピラトは早朝に本部に入らなかった 儀式的な穢れを避けて過越祭を食べることができたそこでピラトが出てきて、死刑に値する有罪判決を受け引き渡された男に対する告発を求めたが、ピラトが囚人の釈放を申し出たとき、過越祭は終章ではなくバラバを選んだ（ヨハネ18:25-40）。

ヨハネ 18:1 イエスはこれらの言葉を語り終えると、弟子たちとともにセドロン川を渡って出て行かれ、そこには園があり、そこにはいって行かれた。

イエスと弟子たちはセドロン川を渡って庭園に行きました。

1: イエスの足跡に従い、イエスとともに歩むことの大切さと仲間の力。

2: イエスの謙虚さ、そしてそれが私たちにとっていかに模範となり得るか。

1: マタイ 11:28-30 - すべて働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。

2: ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスのうちにあるこの心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を空しくしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

ヨハネ 18:2 また、イエスを裏切ったユダもその場所を知っていました。イエスは弟子たちとよくそこへ行かれたからです。

イエスが弟子たちと何度もそこにいたため、ユダはイエスの最後の晩餐の場所をよく知っていました。

1. 私たちを神に近づけるのと同じ場所や習慣に忠実であり続けることが重要です。

2. ユダのイエスに対する裏切りは、イエスの習慣をよく知っていたために可能になりました。

1. ヨハネ18:2

2. マタイ 26:47-50;ユダは警備員にイエスの正体を告げた後、キスでイエスを裏切った。

パリサイ人から一団と役人たちを迎えて、ランタンと松明と武器を持ってそこにやって来た。

祭司長とパリサイ人から遣わされたユダは、一群の人々、たいまつ、武器を持ってイエスを逮捕するために到着しました。

1. 私たちは試練や艱難にもかかわらず、自分の召しに忠実であり続けなければなりません - ヨハネ 18:3

2. イエスは、迫害に直面したときの私たちの強さと勇気の究極の模範です - ヨハネ 18:3

1. ヨハネ 16:33 - ?あなたが私のうちに平安を得るために、쏧はあなたにこれらのことを言いました。世では患難があるでしょう。しかし、気を取り直してください。私は世界を克服しました。

2. ローマ人への手紙 8:31 - ?帽子 それでは、これらのことについて話しましょうか？もし神が私たちの味方なら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

ヨハネ 18:4 そこで、イエスは自分に降りかかるすべてのことを知って出て行って、彼らに言われた、「あなたがたは誰を捜しているのですか」。

イエスは勇敢に逮捕に立ち向かい、群衆に「あなたがたは誰を捜しているのか」と尋ねました。

1. イエスは逆境に直面しても大きな勇気を示しました。

2. 私たちはイエスの勇気と神への信頼の模範から学ぶことができます。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の

右の手であなたを支える。」

2. ヘブライ人への手紙 13:5-6 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。なぜなら、神は決してあなたを離れたり、あなたを見捨てたりしない、と彼は言ったからです。??だから、私たちは自信を持って言えます。? 쏷主は私の助け手です; 私は恐れません; 人間は私に何ができますか?

ヨハネ 18:5 彼らは、「ナザレの人イエス」と答えた。イエスは彼らに言った、「わたしが彼です」。そして彼を裏切ったユダも彼らに味方した。

ヨハネ 18:5 のこの箇所は、当局が捕らえに来たのはナザレのイエスであり、ユダも彼らと一緒にいたことを明らかにしています。

1: 救いのために私たちが頼れるのはイエスだけであり、ユダは私たち自身の個人的な裏切りを思い出させてくれました。

2: イエスは、親しい人たちの裏切りにもかかわらず、自分の使命に忠実であり続けました。

1: イザヤ書 53:5-6 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒された。私たちは皆、羊のように去ってしまった」私たちはそれぞれ道に迷って、それぞれの道を歩み始め、主は私たち全員の咎を彼に負わせました。」

2: マタイ 26:47-50 「イエスがまだ話している間に、十二人の一人であるユダが到着した。彼と一緒に、祭司長や民の長老たちから遣わされた、剣やこん棒を持った大勢の群衆もいた。裏切り者は彼らと合図を手配していた: ?私がキスしているのはその男だ、逮捕せよ??すぐにイエスのところに行き、ユダは言った、「また言って、ラビ??」そして彼にキスをした。イエスは答えた、? 쏡 o何しに来たの、友よ？？それから男たちは前に出てイエスを捕まえて逮捕した。」

ヨハネ 18:6 そのとき、イエスが彼らに、「わたしがその者です」と言われるとすぐに、彼らは後ずさりして、地に倒れた。

イエスは、自分を連れて行こうとした群衆に自分の名を告げましたが、彼らは恐怖のあまりに地面に倒れてしまいました。

1. イエスの権威と力は私たちの理解を超えており、私たちはイエスに畏敬の念を抱くはずです。

2. イエスに対する私たちの反応は、敬意と服従でなければなりません。

1. イザヤ 6:1-5 - 主の栄光と力についてのイザヤのビジョン。

2. 黙示録 1:17-18 - 栄光を受けたイエスと使徒ヨハネの反応。

ヨハネ 18:7 そこで、もう一度彼らに尋ねた、「あなたがたは誰を捜しているのですか」。すると彼らは、「ナザレの人イエス」と言いました。

□□□

2. □□ 91:14-16 ???□□□

1. 服従の力: 逮捕に対するイエスの反応から学ぶ

2. 権威の役割: いつ従うべきであり、いつ抵抗すべきか?

1. マタイ 26:47-56 ??イエスの逮捕とペテロの否認

2. ピリピ 2:5-11 ??神のご意志に対するイエスの謙虚な従順

ヨハネ 18:13 そして、まず彼をアンナスのところへ連れて行った。なぜなら、彼は同年大祭司だったカイアパの義父だったからである。

イエスは、その年に大祭司を務めたカイアファの義父であるアンナスのもとに連れて行かれました。

1. イエス: 謙虚さと従順の模範

2. 権威に直面したときの信仰の力

1. フィリピ 2:8 - 「そして、人間の姿で見出されて、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

ヨハネ 18:14 さて、ユダヤ人たちに、一人の人が民のために死ぬのが得策であると助言したのはカヤファであった。

カヤファはユダヤ人たちに、一人の人が民のために死ぬ必要があると助言しました。

1: イエスは、私たちが罪から救われるために、自らの命を喜んで捨ててくださいました。

2: イエスが私たちにしてくださったように、私たちは他の人の利益のために喜んで犠牲を払わなければなりません。

1: ピリピ 2:5-8 - 「キリスト・イエスにもあったこの思いを、あなたがたも心に持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながら、神と同等であることは強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たなかったのです。そして召使の姿をとり、人間に似せて造られた。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。」

2: ローマ人への手紙 5:8 - 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛

を認めておられます。」

ヨハネ 18:15 シモン・ペテロはイエスに従い、もう一人の弟子もイエスに従った。その弟子は大祭司の知り合いで、イエスと一緒に大祭司の宮殿に入った。

ヨハネ 18 章には、イエスが逮捕され、大祭司による尋問が記されています。ペテロともう一人の弟子はイエスを追って大祭司の宮殿に入りました。

1. 困難な状況でもイエスに従います。

2. 危険に直面してもイエスに従ったペテロの勇気。

1. マタイ 10:28 - 「体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と体の両方を地獄で滅ぼすことができる方を恐れてください。」

2. ヘブライ人への手紙 13:5-6 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。なぜなら、神は決してあなたを離れたり、あなたを見捨てたりしない、と彼は言ったからです。??だから、私たちは自信を持って言えます。? 쏷主は私の助け手です; 私は恐れません; 人間は私に何ができますか?

ヨハネ 18:16 しかし、ペテロは外の戸口に立っていました。それから、大祭司の知っているもう一人の弟子が出てきて、戸口を守っていた彼女に話しかけ、ペテロを連れてきました。

逆境に直面したペテロの忠実さと勇気。

1: 私たちは、逆境に直面したときのペテロの忠実さと勇気の模範から学ぶことができます。

2: 神がペテロに対してそうであったように、たとえ試練の時にも神が私たちと共にいてくださると知ると、私たちは慰めを受けることができます。

ローマ人への手紙 8:35-39 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？艱難か、苦難か、迫害か、飢餓か、裸か、危険か、それとも剣か？

詩篇 27:1 - 主は私の光であり、私の救いです。誰を恐れるべきでしょうか？主は私の人生の砦です。誰を恐れるべきでしょうか？

ヨハネ 18:17 そこで、ペテロの戸口を守っていた乙女が言いました、「あなたもこの人の弟子の一人ではないのですか。」彼は言いました、私はそうではありません。

乙女がペテロにイエスの弟子なのかと尋ねましたが、ペテロはそれを否定しました。

1. 困難な状況に直面しても信仰を堅持することの大切さ。

2. キリストとの歩みにおける告白の力。

1. マタイ 10:32-33 - 「他の人の前で私を認める者は、私も天の父の前で認めます。しかし、他の人の前で私を否認する者は、天の父の前で否認します。」

2. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「もしあなたが口で『イエスは主です』と宣言し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。それはあなたの心によるものだからです」あなたは信じて義とされ、口で信仰を告白し救われるのです。」

ヨハネ 18:18 すると、召使や役人たちがそこに立って、石炭に火を起こした。寒かったので、彼らは体を温めました。ペテロは彼らと一緒に立って、体を温めました。

この箇所は、ペテロと大祭司の僕や役人たちが、寒い夜に暖をとるために石炭の火の周りに立った様子を描写しています。

1. 私たちの行動がイエスの愛の温かさをどのように反映できるか。

2. 身体的ニーズを満たすことの重要性。

1. マタイ 25:35-36 - 「私がお腹を空かせていたのに、あなたは何か食べるものを与え、私が渇いていたのに、あなたは私に飲み物を与え、私は見知らぬ人でしたが、あなたは私を家に招き入れました。」

2. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟姉妹たち、信仰があると言いながら行いを持たない人がいたら、何の役に立つのでしょう。そのような信仰が彼らを救えるでしょうか。ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物もないとしましょう。あなたの誰かが彼らに、「安らかに、暖かくして、十分な栄養を与えてください」と言うのに、彼らの身体的必要については何もしてくれなかったら、それが何の役に立つでしょうか？」

ヨハネ 18:19 そこで大祭司はイエスに、弟子たちとその教義について尋ねました。

イエスは大祭司から弟子たちと教えについて質問されました。

1. イエスの権威への従順の例

2. イエスの教えとそれが私たちの生活に与える影響

1. マタイ 22:16 - 「そして彼らは、ヘロデ派の人々とともに弟子たちをイエスのもとに遣わして言った、「先生、私たちは、あなたが真実であり、真実に神の道を教えておられることを知っています。あなたは誰のことも気にしていません。あなたは大切に思っているからです」男性の人ではありません。」

2. ピリピ人への手紙 2:1-11 - 「ですから、もしキリストによる慰めがあれば、愛の慰めがあれば、御霊の交わりがあれば、そして慈悲があれば、あなたがた

も同じ思いを持ち、同じ思いを持つことができるように、わたしの喜びを満たしてください。」同じ愛を持ち、心を一つにし、心を一つにしなさい。争いや見栄によって何事も行わないようにしましょう。しかし、へりくだった心で、お互いが自分よりも他人を尊重しましょう。すべての人が自分自身の事柄に目を向けるのではなく、すべての人が自分の事柄にも目を向けなさいキリスト・イエスにもあったこの思いを、あなたの中に持ちましょう。キリスト・イエスは、神の姿をしていながら、神と同等であることは強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、キリスト・イエスの姿をとりました。しもべであり、人間に似せて造られた。そして、人間のように格好よく見られたので、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。」

ヨハネ 18:20 イエスは彼に答えられた、「私は世に公然と話しました。私はユダヤ人がいつも立ち寄るシナゴーグや神殿で教えたこともありました。そして密かに私は何も言いませんでした。

イエスは会堂や神殿でご自分の教えについて公に公然と語られましたが、秘密には何も語られませんでした。

1. オープンになる力: イエスの模範

2. イエスの教えの影響: イエスの言葉を私たちの生活にどのように適用できるか

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. マタイ 5:13-14 - あなたがたは地の塩です。しかし、その塩が風味を失ったとしたら、どうやって塩漬けにするのでしょうか。以後、それは何の役にも立たず、追放され、人々の足の下に踏みつけられるだけである。

ヨハネ 18:21 なぜ私に尋ねるのですか。私の話を聞いた人たちに、私が彼らに何を言ったか尋ねてください。見よ、彼らは私の言ったことを知っています。

イエスは当局に自分の身元について質問し、自分の話を聞いた人たちのところへ案内します。

1: 私たちは権威にどのように対応するかに留意し、常に神の導きを活用する必要があります。

2: 私たちは神の言葉を喜んで代弁させるべきであり、人間への恐れに屈してはならない。

1: エペソ人への手紙 6:5-7 「召し使いたちよ、キリストに対するように、恐れと震えをもって、心一心に、肉による自分の主人である彼らに従順でありなさい。人を喜ばせる者のように、目の前の奉仕ではなく、主人として従順でありなさい。」キリストの僕たちは心から神の御心を行い、善意をもって人間ではなく主に仕えるのです。」

2: 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださる。」

ヨハネ 18:22 イエスがこのように話したとき、そばにいた役人の一人が手のひらでイエスを殴って言った、「大祭司、あなたはそう答えますか？」

その役人は、大祭司に対して気に入らない答えをしたイエスを殴りました。

1: たとえ挑発された場合でも決して暴力に訴えるべきではなく、その代わりに常に優雅さ、謙虚さ、優しさをもって難しい会話に対処してください。

2: イエスは、私たちが間違っているときでも、恵みと謙虚さをもって対応することで、難しい会話に対処する方法の例を示しました。

1: エペソ人への手紙 4:29 - 「あなたがたの口からは、堕落した情報を出してはなりません。ただ、聞く者に恵みを与えるために、啓発に役立つことを口から出してはいけません。」

2: マタイ 5:38-42 「『目には目を、歯には歯を』と言われているのをあなたがたは聞いています。しかし、私はあなたがたに言います、あなたがたは悪に抵抗してはならない。ただ、あなたを打ち負かす者には誰であろうとも抵抗してはならない。」右の頬を向け、もう片方の頬も彼に向けなさい...あなたが天におられるあなたの父の子供になれるように...敵を愛し、あなたを呪う者を祝福し、あなたを憎む者に善を行い、そして祈りなさい。にもかかわらずあなたを利用し、迫害する彼らです。」

ヨハネ 18:23 イエスは彼に答えられた、「もし私が悪を言ったのなら、その悪を証言してください。しかし、もし良かったのなら、なぜ私を打ったのですか。」

この箇所は、不当に告発されたにもかかわらず、暴力に対するイエスの平和的な対応を強調しています。

1: 不正義の時代に、私たちは平和を保ち、神が私たちを守ってくださると信頼しなければなりません。

2: たとえそれが簡単な選択肢のように見えても、暴力に頼らず、代わりに神の力に頼りましょう。

1: マタイ 5:38-39 「『目には目を、歯には歯を』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、悪人に逆らうな。しかし、誰かがあなたの右の頬を平手打ちするなら、もう片方の頬もその人に向きなさい。」

2: ヤコブ 1:19-20 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。人はみな、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

ヨハネ 18:24 さて、アンナスは彼を縛って大祭司カヤファのもとに送った。

アンナスはイエスを大祭司カヤファのもとに送りました。

1. 不幸な状況で権威の力がどのように使われるか

2. 逆境に直面したイエスの忍耐

1. 使徒 4:23-28 - サンヘドリンの前のペテロとヨハネ

2. マルコ 15:1-5 - ピラトの前にあるイエス

ヨハネ 18:25 そこでシモン・ペテロは立って体を温めた。それで彼らは彼に言った、「あなたも彼の弟子の一人ではないのですか？」彼はそれを否定し、「そうではない」と言いました。

シモン・ペテロは人々に問い詰められたとき、自分がイエスの弟子の一人であることを否定しました。

1. 信仰の強さ: ペテロは迫害に直面してもどのようにしっかりと立ち上がったか

2. 試練に遭ったら、イエスを否定しますか?

1. マタイ 26:69-75 (ペテロはイエスを知らないことを三度否定します)

2. ルカ 22:31-34 (イエスはペテロに自分を否むと言った)

ヨハネ 18:26 大祭司の僕の一人は、ペテロが耳を切り落とした彼の親戚で、こう言いました、「あなたが彼と一緒に園にいるのを見ませんでしたか？」

たまたまペテロと親戚関係にあった大祭司の僕が、イエスと一緒に園にいるペテロに気づきました。

1. 証しの力: ヨハネ 18:26 におけるペテロの役割を考察する

2. ペテロの間違いから学ぶ: ヨハネ 18:26 の研究

1. ルカ 22:54-62 ??ゲツセマネの園でのイエスの逮捕

2. マタイ 26:57-68 ??カイアファと公会議の前に現れたイエス

ヨハネ 18:27 そこでペテロは再び否定し、すぐに鶏の乗組員たちは否定した。

イエスはユダヤ人の指導者たちから無実の罪を着せられ、ピラトの前に引き出されました。イエスの弟子の一人であるペテロはイエスに従い、イエスを弁護しようとしましたが、鶏が鳴く前に三度イエスを否定しました。

1: 私たちは、自分自身の恐れや弱さにもかかわらず、常にキリストに忠実であり続けなければなりません。

2: キリストに対する私たちの忠実さは試されますが、私たちは不動であり続けなければなりません。

1: 1 コリント 10:13 - 人間によくある誘惑以外の誘惑はあなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

2: マタイ 26:33-35 - ペテロは彼にこう答えました。たとえあなたのせいで彼らはすべて離れてしまっても、私は決して離れません。??イエスは彼に言った。規則正しく、あなたに言いますが、今晩、鶏が鳴く前に、あなたは三度私を否認するでしょう。??ピーターは彼に言った。たとえ私があなたと一緒に死ななければならないとしても、私はあなたを否定しません!??そして弟子たちは皆同じことを言いました。

ヨハネ 18:28 それから、イエスをカイアファから裁きの場に連れて行った。そして彼ら自身も、汚されることを恐れて裁きの場には行かなかった。しかし、彼らが過越の食事を食べるためでした。

イエスは早朝にカイアファから裁きの場に連れて行かれましたが、ユダヤ人たちは過越の食事をするために儀式的に清さを保てるため、その場には入りませんでした。

1. イエスの犠牲: ヨハネ 18:28 の研究

2. 神の神聖さ: 儀式の清潔さの重要性

1. 出エジプト記 12:15-20 - 過ぎ越しの祭りを祝うための指示

2. レビ記 11:44-45 - 儀式の清潔さに関する律法

ヨハネ 18:29 そこで、ピラトは彼らのところに出て行って、「あなたたちはこの男に対してどんな罪を訴えるのか」と言った。

ピラトはイエスを告発した人々に質問します。

1. イエスは私たちの崇拝に値するお方です - ヨハネ 18:29

2. 価値のある質問 - ヨハネ 18:29

1. ペテロ第一 2:22 - 「彼は罪を犯さなかったし、その口に偽りも見られなかった。」

2. 詩篇 34:15 - 「主の目は義人たちに注がれ、その耳は彼らの叫びに耳を傾ける。」

□□□ 18:30 □□□□

2. イエスの死の意味: イエスの十字架刑は彼自身の預言をどのように成就させたか

1. イザヤ書 53:5-6 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。私たち羊のような者は皆、道に迷ってしまったのです。私たちはすべての人を自分の道に向けました。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせた。

2. マタイ 26:39 - そして、彼は少し遠くに行って、ひれ伏して、こう言いました、「父よ、できることなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。それでも、私が望むようにではなく、あなたのようにしてください」しおれる。

ヨハネ 18:33 それから、ピラトは再び裁きの場に入り、イエスを呼んで言った、「あなたはユダヤ人の王ですか」。

ピラトはイエスに、ユダヤ人の王なのかと尋ねます。

1: 私たちの王であるイエスは、私たちの真実と正義の究極の源です。

2: イエスの謙虚さの模範に従い、正義を回復してくださる神を信頼してください。

1: ヨハネ 8:32 - ?そうすればあなたは真実を知るでしょう、そして真実はあなたを自由にしてくれるでしょう。

2: イザヤ書 9:6-7 - ?あるいは、私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。彼の政府と平和の拡大には終わりがない。

ヨハネ 18:34 イエスは彼に答えられた、「このことはあなた自身が言っているのですか、それとも他の人が私のことをあなたに語ったのでしょうか。」

イエスはピラトの主張に疑問を呈し、ピラトの権威に異議を唱えます。

1: 私たちは、真実が確実に支持されるよう、権力者の権威を検証し、異議を唱えるべきです。

2: 私たちは、権威ある立場にある人の言動に隠された動機があることに常に注意を払う必要があります。

1: 箴言 14:15-16 - ?彼は単純にすべてを信じますが、慎重な人は自分の行動についてよく考えます。賢い人は用心深く悪から遠ざかりますが、愚か者は無謀で不注意です。

2: コロサイ 1:9-10 - ?あるいはこのような理由から、あなたのことを聞いた日以来、私たちはあなたのために祈りを止めていません。私たちは、あなたが主にふさわしい人生を送り、あらゆる面で主を喜ばせることができるように、御霊が与えるあらゆる知恵と理解を通して、神のご意志の知識をあなたに満たしてくださる

ように絶えず神に願います。あらゆる良い働きで実を結び、成長することです。神の知識の中で。

ヨハネ 18:35 ピラトは答えた、「私はユダヤ人ですか？」あなた自身の国民と祭司長たちがあなたを私に引き渡しました。あなたは何をしたのですか？

ピラトはユダヤ人の指導者たちからイエスに起こされた告発についてイエスに質問しました。

1: イエスは冤罪と不当な迫害に直面しましたが、神の計画を信頼し続けました。

2: 迫害に直面しても信仰を堅持したイエスの例から、私たちは学ぶことができます。

1: イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2: 詩篇 27:14 - 主を待ち望みなさい。強くなり、勇気を出して主を待ち望みましょう。

ヨハネ 18:36 イエスは答えられた、「わたしの国はこの世のものではありません。もしわたしの国がこの世のものなら、わたしのしもべたちは、わたしをユダヤ人に渡さないように争うでしょう。しかし、今、わたしの国はこの世のものではありません。」

イエスは、ご自分の王国はこの世のものではなく、ご自分の引き渡しを阻止するために家臣たちはユダヤ人と戦うつもりはないと説明されます。

1. イエスの王国: 私たちの主の神聖な権威を理解する

2. イエスの王国に生きる: イエスに従うとはどういう意味ですか?

1. コロサイ 1:13-14 - なぜなら、神は私たちを暗闇の支配から救い出し、愛する御子の王国に私たちを導き入れてくださったからです。

14. ヘブライ 12:28 - ですから、私たちは揺るがされることのない王国を与えられているのですから、感謝し、敬意と畏敬の念を持って神を受け入れて礼拝しましょう。

ヨハネ 18:37 そこでピラトは彼に言った、「では、あなたは王なのですか。」イエスは、「あなたは私が王だと言っています」と答えました。この目的のために私は生まれ、真理を証しするという目的のためにこの世に生まれました。真実のものは皆、私の声を聞きます。

この箇所は、イエスが自分は王であり、真理を証しするために生まれてきたという宣言を明らかにしています。

1: イエスは真理の王である

2: 真実を証言する

1: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われました。私は道であり、真実であり、人生です。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2: エペソ人への手紙 4:15 - しかし、愛をもって真実を語れば、すべてのことにおいて頭である神へと成長することができるでしょうか。봀リスト。

ヨハネ 18:38 ピラトは彼に言った、「真理とは何ですか。」そして、これを言うと、彼は再びユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った、「私は彼に何の落ち度も見当たりません。」

ピラトはイエスに何の罪もありませんが、それでも彼の主張の真実性に疑問を抱いています。

1: 私たちはイエスのうちに真理と救いを見いだします。

2: 神の真実は、他人の疑いにもかかわらず常に勝ちます。

1: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われました。쏧は道であり、真実であり、人生です。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2: 詩篇 119:142 - あなたの義は永遠の義であり、あなたの律法は真理です。

ヨハネ 18:39 しかし、あなたがたには、過越の祭りのときに、わたしがあなたがたにひとりを釈放する習慣がある。それで、あなたがたは、わたしがユダヤ人の王をあなたがたに釈放したいのか。

ピラトは群衆に、過ぎ越しの祭りに捕虜を釈放するユダヤ人の習慣に従って、ユダヤ人の王であるイエスを釈放してほしいかどうか尋ねました。

1. 過越の祭りにおけるイエスの釈放は、ユダヤ人の王としてのイエスの権力をどのように示しているか

2. ユダヤ人の習慣に従うことの重要性: 過ぎ越しの祭りにおけるイエスの釈放の物語を考察する

1. イザヤ書 53:7、「彼は抑圧され、苦しめられましたが、口を開かなかったのです。子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で黙っている羊のように、口を開かなかったのです。」」

2. ヨハネ 19:1、「そこでピラトはイエスを捕らえ、鞭で打たせた。」

ヨハネ 18:40 そこで、彼らは再び叫んで、「この人ではなく、バラバだ」と言った。さて、バラバは強盗でした。

一節 たとえバラバが強盗であったとしても、人々はイエスの代わりにバラバを釈放するよう要求した。

1. 非難の代わりに恵みを受け入れる: バラバとイエスの選択を理解する

2. イエスの慈悲と恵み: イエスの代わりにバラバを釈放する

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. イザヤ書 53:5-6 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。私たちは皆、羊のように迷い、それぞれが自分の道を歩み始めました。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせました。

ヨハネ 19 章では、ピラトの前でのイエスの裁判、十字架刑、死、埋葬について詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、ピラトがイエスを連れて行き、鞭打たせるところから始まります。兵士たちはいばらの冠をねじって彼の頭にかぶせました。彼らは彼に紫色のローブを着せ、何度も何度も彼のところに近づき、「ユダヤ人の王、万歳！」と言いました。そして彼らは彼の顔を平手打ちした。この虐待にもかかわらず、ピラトが群衆にイエスを差し出し、「この人です！」と宣言したとき。彼らは磔刑を要求する ピラトは何の根拠も見つからないと主張するが、ユダヤ人は法律で死ななければならないと宣言し、このピラトを聞いて御子神であると主張し、釈放されることをさらに恐れるが、ユダヤ人の指導者たちは、王に立つ者は誰でもカエサルに反対すると主張した（ヨハネ19:1-12）。

第 2 段落: ユダヤ人の指導者らによるこの宣言の後、ピラトはイエスを連れ出し、石畳 (アラム語のガバタ) として知られる裁判の席に座らせました。それは準備の日でした 過越の祭りの6時間目に、ユダヤ人たちは「ここにあなたの王がいます」と言いましたが、彼らは「彼を連れて行け！」と叫びました。彼を十字架につけろ！』それに対してピラトは、「あなたの王を十字架につけましょうか?」と尋ねました。祭司長たちは「カエサルのほかに王はいない」と答えた。最後に彼らに引き渡された十字架は、頭蓋骨（ゴルゴタ）と呼ばれる十字架で、他の 2つの両側に沿って釘付けされました イエスの頭の上の真ん中に「ユダヤ人の王イエス・ナザレ」と書かれたヘブライ語、ラテン語、ギリシャ語の祭司長たちが文言に抗議したが、ピラトは書かれた内容に答えた（ヨハネ）19:13-22）。

第3段落: イエスが十字架に掛けられたとき、兵士たちは、十字架のそばに立っている間、服を分けてくじを引き、聖書の言葉を成就した。母、母の妹、マリアの妻、クロパス、マグダラのマリア、母を見て、弟子は愛していると言い、女性はここにいる、息子は弟子である、母はここにある、弟子は今すべてが終わったことを知った後、家に引き取った時から経典には、ワインビネガーに浸したスポンジに喉が渇いたと書かれ、ヒソップが口を上げ、飲み物を受け取った、終わったと書かれ、頭を下げ、その日から元気を与えた、準備ができている、遺体は十字架を残した、安息日が近づいている、足を尋ねた、壊れた遺体は兵士が降ろした、泥棒はどちらかの側ですでに死んでいるのが見つかった、足を折らず、代わりに横槍を突き刺した突然流れ出る血の水を持ってくる これらの事が起こったのは、聖書の言葉が成就するためで、片方の骨は折れない、もう片方は後で刺したものを見るだろうと言う ジョセフ・アリマタヤは体を取る許可を求め、それが許可された ニコデモはミルラアロの混合物を持ってきた 重さ約百ポンド 体を包んだ亜麻布のスパイスを剥がすのは、ユダヤ人の埋葬の習慣で、十字架につけられた庭園の場所に新しい墓がまだ置かれていました。ユダヤ人の日の準備の墓が近くに置かれていたため、章の終わり（ヨハネ19:23-42）。

ヨハネ 19:1 そこで、ピラトはイエスを捕らえ、むちで打った。

ピラトはイエスを鞭打ちました。

1: イエスは私たちの救いのために想像を絶する苦しみを耐えられました。

2: イエスの愛の力は、苦しみを自ら引き受けるというイエスの意志によって示されました。

1: イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

2:1 ペテロ 2:24 「イエスご自身が、十字架上で私たちの罪をその身に負ってくださいました。それは、私たちが罪に対して死に、義のために生きるためです。彼の傷によって、あなたがたはいやされたのです。」

ヨハネ19:2 そこで兵士たちは、いばらの冠をかぶせて彼の頭にかぶせ、紫の上着を着せた、

この箇所には、兵士たちがイエスに茨の冠と紫のローブをかぶせている様子が描かれています。

1. いばらの冠：謙虚さと苦しみの象徴

2. 正義のローブを着る: 見習うべき模範

1. ピリピ 2:5-8 - 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスに対するあなたのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にして、召使いの姿をとり、人間と同じように生まれることによって。そして人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。」

ヨハネ 19:3 そして、「ユダヤ人の王、万歳」と言った。そして彼らは手で彼を打ちました。

ピラトが群衆にイエスを釈放するかどうか尋ねると、群衆はイエスを十字架につけるよう叫びました。そこでピラトは「万歳、ユダヤ人の王！」と言ってイエスを嘲笑しました。すると群衆は手で彼を殴った。

1. イエスの苦しみと犠牲

2. 群衆の力

1. イザヤ書 53:7-8 彼は抑圧され、苦しんでいましたが、口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2. マタイ 26:67-68 それから彼らは彼の顔につばを吐き、こぶしで彼を殴りました。他の人たちは彼を平手打ちし、「私たちに預言してください、メシア。誰があなたを殴ったのですか？

ヨハネ 19:4 そこで、ピラトは再び出て行って、彼らに言った、「見よ、私は彼をあなたがたのところに連れ出します。私が彼に何の落ち度もないことをあなたがたに知ってもらうためです。」

ピラトはイエスに何の落ち度もないことを発見した後、イエスを群衆の前に連れ出し、群衆にもイエスの無実を知らせます。

1. イエスの無実: ピラトの行動は言葉よりも雄弁である

2. 識別力：無実を認識するピラトの能力

1. イザヤ書 53:9 - 彼は暴力をふるったり、口に偽りがなかったにもかかわらず、その死で悪人たちと金持ちたちの墓が割り当てられました。

2. マタイ 27:11-14 - イエスが総督の前に立たれると、総督は彼に尋ねた、「あなたはユダヤ人の王ですか?」イエスは、「あなたはそう言いました。」と言われました。しかし、祭司長や長老たちから非難されたとき、彼は何も答えなかった。そこでピラトは彼に言った、「彼らがあなたに不利なことをどれほど証言しているか、あなたは知らないのですか」。しかし彼は、たった一つの告発に対してさえ何も答えなかったので、知事は非常に驚いた。

ヨハネ 19:5 それから、いばらの冠をかぶり、紫の上着を着たイエスが出て来られた。そこでピラトは彼らに言った、「見よ、あの男だ！」

この箇所には、いばらの冠と紫のローブを着たイエスがピラトの前に提示されたことが記されています。

1. 「キリストの屈辱: イエスの苦しみを受け入れる」

2.「キリストの威厳：人間の中の王」

1. イザヤ書 53:3-5 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っています。そして私たちは、いわば、顔を神から隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

4. ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスのうちにあったこの思いを、あなたの中に持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をとっておられながら、それを神と同等のものであるとは考えず、自分自身を何の評判も持たず、罪を犯したのです。奴隷の姿であり、人間と同じ姿で来ます。そして、人間の姿で見出され、へりくだって死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

ヨハネ 19:6 そこで、祭司長たちや役人たちはイエスを見ると、「十字架につけろ、十字架につけろ」と叫んだ。ピラトは彼らに言った、「あなたがたは彼を引き取って、十字架につけなさい。私は彼に何の落ち度も見当たりません。」

祭司長や役人たちはイエスの磔刑を要求したが、ピラトはイエスに何の落ち度もなかった。

1. 無実のイエス：無実の人の苦しみについての考察

2. イエスのあら探し：祭司長の磔刑要求の検討

1. イザヤ書 53:4-5 - 確かに彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに見ました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

ヨハネ 19:7 ユダヤ人たちは彼に答えた、「私たちには律法がある。彼は自分を神の子としたのだから、私たちの律法に従って死ぬべきである」。

ユダヤ人たちは、イエスが自分を神の子であると宣言したのと同じように、彼らの律法に従って死ぬべきであると宣言しました。

1. イエスの神性の拒否: 不信仰の結果

2. 信仰の力：イエスを神の子として信じること

1. イザヤ書 53:3-6 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っていました。そして人々が顔を隠す者として彼は軽蔑され、私たちは彼を尊敬しませんでした。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。

ヨハネ 19:8 それで、ピラトはその言葉を聞いて、ますます恐れた。

ピラトはイエスの言葉に深く悩みました。

1. 未知への恐怖: ピラトへのイエスの言葉の探求

2. 信仰の力: イエスに対するピラトの反応を理解する

クロス-

1. マタイ 27:22-26 - 十字架につけられる前のピラトとイエスの出会い

2. ヘブライ人への手紙 11:1-3 - 私たちの前に去った人々の信仰

ヨハネ 19:9 それから、再び裁きの場に入り、イエスに言った、「あなたは、どこから来たのですか」。しかしイエスは彼に何も答えませんでした。

ピラトはイエスにどこから来たのか尋ねましたが、イエスは答えられませんでした。

1. 沈黙の力 - ピラトの質問に直面したイエスの沈黙の意味を探ります。

2. 逆境に直面したときの信仰 - ピラトからの質問に直面したときのイエスの信仰の強さを調べる。

1. 箴言 17:28 - 沈黙を守る愚か者でも賢いとみなされる。彼が唇を閉じると、彼は知的であるとみなされる。

2. マタイ 27:12-14 - 祭司長や長老たちから非難されたとき、彼は何も答えなかった。そこでピラトは、「彼らがあなたに対して提出している証言を聞いていないのですか」と尋ねました。しかしイエスは、たった一つの非難に対してさえ何も答えなかったので、総督は大いに驚いた。

ヨハネ 19:10 そこでピラトは彼に言った、「あなたはわたしに話さないのですか。」私にはあなたを十字架につける力もあり、あなたを解放する力もあるということを知らないのですか？

ピラトはイエスに質問し、ピラトが自分を十字架につけるか釈放するかのどちらかの権限を持っていることを知っているかどうか尋ねます。

1. 選択の力: イエスがピラトの質問にどのように答えたかに関する研究

2. 真の強さ：大きな逆境に直面したときのピラトに対するイエスの反応を考察する

1. マタイ 27:11-26 - ピラトと祭司長および群衆とのやりとり、およびイエスを十字架につけるという彼の決断。

2. ピリピ 2:5-8 - 苦しみに直面したときのイエスの謙虚さと従順の態度。

ヨハネ 19:11 イエスは答えられた、「上から与えられたのでなければ、あなたは私に対して何の力も持たないはずです。ですから、私をあなたに引き渡した者はより大きな罪を持っています。」

イエスは神の主権が地上の力よりも大きいことを実証しました。

1. 神は常にコントロールしている

2. 裏切りの罪深さ

1. ローマ人への手紙 13:1、「すべての魂は、より高い力に服従しなさい。神のほかに力はないからです。ある力は神によって定められています。」

2. 箴言 17:15、「悪人を義とする者、義人を非難する者、両者とも主は憎むべき者である。」

ヨハネ 19:12 それ以来、ピラトは彼を釈放しようとした。しかし、ユダヤ人たちは叫んで言った、「もしこの男を手放すなら、あなたはカエサルの友人ではない。自分を王にする者は誰でもカエサルに敵対することになる。」

ユダヤ人たちは、イエスを釈放すればカエサルの友人ではなくなると主張して、ピラトに圧力をかけてイエスに死刑を宣告させようとしていた。

1. 私たちは、たとえ犠牲を払っても、権力者に対して常に忠実であるよう努めるべきです。

2. 私たちは、仲間からの圧力の力と、それが私たちの決定にどのような影響を与えるかを認識する必要があります。

1. ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂はより高い力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

2. 箴言 29:25 - 人間への恐れは罠をもたらす。しかし、主に信頼する者は安全である。

ヨハネ 19:13 そこで、ピラトはその言葉を聞くと、イエスを連れ出し、舗道と呼ばれる場所（ヘブライ語で「ガバタ」）の裁判の席に座った。

イエスはピラトの前に連れて行かれ、ガバタの裁判の席に座ります。

1: イエスが正義の裁判官である理由

2: ピラトの権威の力

1: エペソ人への手紙 2:2-3 あなたはかつてこの世の流れに従って、空中の力の君、不従順の子らの中で今働いている霊に従って歩いた。

2: イザヤ書 53:5 しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれた。私たちの平和に対する懲罰が彼に臨んだ。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

ヨハネ 19:14 それは過越の祭の準備の六時ごろであった。そして彼はユダヤ人たちに言った、「見よ、あなたの王よ。」

過越の祭りの準備の日に、イエスはユダヤ人たちに自分が彼らの王であると宣言されました。

1. 王の中の王: 救世主イエス

2. 彼は復活しました: イエスの復活と彼の王権

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます: そして政府は彼の肩にあります: そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠の父, 平和の王子。

2. 黙示録 19:16 - そして、彼の服と太ももには、「王の中の王、主の中の主」と書かれた名前があります。

ヨハネ 19:15 しかし、彼らは叫んだ、「彼を連れて行け、彼を連れて行け、十字架につけろ」。ピラトは彼らに言った、「あなたの王を十字架につけましょうか?」祭司長たちは答えた、「カエサルのほかに王はいない」。

祭司長たちはイエスを王として受け入れることを拒否し、代わりに自分たちの統治者はカエサルだけであると宣言しました。

1. 「イエスを王として拒否することの危険性」

2.「イエスの権威を拒否する代償」

1. マタイ 27:22-23 - 「そして彼らには、バラバと呼ばれる著名な囚人がいました。そこで、彼らが集まったとき、ピラトは彼らに言った、「あなたがたは誰をあなたに解放しますか？バラバ、またはキリストと呼ばれるイエスです」？」

2. ヨハネ 18:33-38 - 「それから、ピラトは再び裁判の場に入り、イエスを呼んで言った、「あなたはユダヤ人の王ですか？」イエスは彼に答えられた、「あなたがこのことを自分で言うのか、それとも他の人が言ったのか」「私のことを教えてください。ピラトは答えました、「私はユダヤ人ですか？あなたの国民と祭司長たちがあなたを私に引き渡しました。あなたは何をしたのですか？」

ヨハネ 19:16 それから、イエスを彼らに引き渡して、十字架につけさせた。そして彼らはイエスを連れて連れ去った。

ローマ兵士たちは、ピラトがイエスを引き渡した後、十字架にかけるためにイエスを連れ去った。

1. 明け渡す力: 手放してイエスに従うことを学ぶ

2. 救いの代償: イエスに従う代償

1. マタイ 16:24-25 - それからイエスは弟子たちにこう言われました。「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者はそれを失うが、私のために命を失う者はそれを見つけるからである。

2. フィリピ 2:8 - そして、人間の姿で発見された彼は、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死にまで従順になりました。

ヨハネ 19:17 そして、イエスは十字架を背負って、ヘブライ語で「ゴルゴタの地」と呼ばれる、頭蓋骨の場所と呼ばれる場所に出て行った。

この一節は、イエスが十字架を背負ってゴルゴタと呼ばれる場所に向かう様子を描いています。

1. 十字架：強さと勝利の象徴

2. 神に命を委ねる力

1. イザヤ書 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。

2. フィリピ 2:8 - そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

ヨハネ 19:18 そこで人々はイエスを十字架につけ、他の二人をイエスと一緒に、一人は両側に、イエスを真ん中に十字架につけました。

イエスはゴルゴダの丘で二人の犯罪者の間に十字架につけられました。

1. イエスの犠牲: 無私無欲のモデル

2. イエスの磔刑：神の愛の表現

1. エペソ人への手紙 5:2: 「そして、キリストも私たちを愛し、私たちのためにご自身を甘い香りのために神への捧げ物といけにえとしてささげてくださったように、愛のうちに歩みなさい。」

2. イザヤ書 53:4-5: 「確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しめられたと確かに尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。」：我々の平和に対する懲罰が彼に課せられ、彼の打ち傷によって我々は癒された。」

ヨハネ 19:19 そこでピラトは題名を書き、それを十字架につけました。そして、その文字は、「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」でした。

ピラトは「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」というタイトルを書き、十字架の上に置きました。

1: ピラトの言葉の力は、イエスの身分の真実が宣言されるべきであることを示しています。

2: イエスは単なる人間ではなく、王でした。それを認識し、尊重することが重要です。

1: イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2: フィリピ 2:9-11 - したがって、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けたので、天においても地においても、地の下においても、イエスの名のもとにすべての膝がかがむようになりました。父なる神の栄光のために、あらゆる舌がイエス・キリストが主であると告白します。

ヨハネ 19:20 このタイトルは、その後、多くのユダヤ人に読まれました。イエスが十字架につけられた場所は街の近くにあったからです。そして、それはヘブライ語、ギリシャ語、ラテン語で書かれていました。

この一節は、ヘブライ語、ギリシャ語、ラテン語で書かれ、多くのユダヤ人が読んだ、イエスの十字架の上に書かれたタイトルについて語っています。

1. イエスの十字架：神の愛のしるし

2. イエスの十字架: すべての人々の救いのしるし

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ガラテヤ 3:13 - キリストは、私たちのために呪いとなることによって、律法の呪いから私たちを救い出してくださいました。「柱に吊るされる者は皆、呪われます。」と書いてあるからです。

ヨハネ 19:21 そこで、ユダヤ人の祭司長たちはピラトに言った、「ユダヤ人の王とは書かないでください。ユダヤ人の王とは書かないでください。」しかし彼は、「私はユダヤ人の王だ」と言いました。

ユダヤ人の祭司長たちはピラトに、イエスの看板に「ユダヤ人の王」とは書かず、イエスが「私はユダヤ人の王である」と言うようにと頼みました。

1. イエスの王権: 究極の権威

2. イエスの王権に対する私たちの反応: 服従と従順

1. 詩篇 2:10-12 - 「それで、王たちよ、賢明であれ。地球の支配者たちよ、警告せよ。恐れをもって主に仕え、震えながら喜びましょう。息子が怒らないように、息子にキスをしなさい。そうすれば、彼の怒りはすぐに燃え上がるので、あなたは途中で滅びます。彼に避難するすべての人は幸いです。」

2. ダニエル 4:34-35 - 「日々の終わりに、私ネブカドネザルは目を天に上げ、理性が戻り、いと高き方を祝福し、永遠に生きておられる方を賛美し、讃えました。彼の支配は永遠の支配であり、彼の王国は世代から世代へと存続します。地上のすべての住民は無であるとみなされ、神は天の軍勢と地上の住民の間でご自分の意志に従って行動します。そして誰も彼の手から離れず、『何をしたの？』と言う者もいない。」

ヨハネ 19:22 ピラトは答えた、「わたしが書いたことは、わたしも書きました。」

この箇所は、民の要求に振り回されず、自分の著作に毅然とした姿勢を貫こうというピラトの決意を明らかにしています。

1.「信念を貫く力」

2.「自分の信念を堅持する方法」

1. ローマ 5:3-5 - 「それだけではなく、私たちは自分の苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐、忍耐、品性、そして品性、希望を生み出すことを私たちは知っているからです。そして、希望は私たちを恥じることはありません。なぜなら、神は神のものだからです。」私たちに与えられた聖霊を通して、愛が私たちの心に注がれています。」

2. テモテ第二 1:7 - 「神が私たちに与えてくださったのは、恐れの霊ではなく、力と愛と健全な心の霊です。」

ヨハネ 19:23 それから、兵士たちはイエスを十字架につけたとき、その衣を脱いで四つの部分を作り、各兵士がそれぞれの部分になった。そして彼のコートも、今やコートには縫い目がなく、上から全体に編まれていました。

兵士たちはイエスを十字架につけた後、イエスの衣服を分け合いました。彼のコートは縫い目がなく、上から下に編まれていました。

1. 謙遜の力: イエスが十字架上で謙虚に死に服従したことは、私たちに対する彼の偉大な力と愛を示しました。

2. 犠牲の富: イエスが兵士たちに衣服を犠牲にしたことは、他人のために犠牲を払うことの力を示しています。

1. フィリピ 2:8 - 「そして、人間の姿で見出された彼は、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」

2. マタイ 5:40 - 「もし誰かがあなたを訴えてあなたの上着を取り上げようとするなら、その人にあなたの上着も持たせてください。」

ヨハネ 19:24 それで彼らは彼らの間で言った、「それを引き裂くのではなく、誰が当たるかくじを引いてみましょう。それは、『彼らは私の着物を彼らに分け与え、私の着物のために彼らはそうした』と書かれている聖書が成就するためです」くじを引く。したがって、兵士たちはこれらのことをしたのです。

イエスの磔刑に立ち会った兵士たちは、聖書の言葉が成就するように、イエスの衣服をくじ引きすることにした。

1. 神の完全な計画: 神の主権を信頼することを学ぶ

2. 神の物語における自分の役割を果たす

1. イザヤ書 53:12 それゆえ、わたしは彼にその分け前を偉い者たちに分け与え、彼は戦利品を強い者たちに分け与えるであろう。なぜなら、彼は死ぬまで自分の魂を注ぎ出したからです。そして、彼は違反者たちと数えられました。そして彼は多くの人の罪を負い、違反者のために執り成しをしました。

2. 詩篇 22:18 彼らは私の衣を彼らの間で分け、私の着物をくじ引きに掛けました。

ヨハネ 19:25 さて、そこには母イエスと母の妹、クレオファスの妻マリア、マグダラのマリアが十字架のそばに立っていました。

イエスの十字架の傍らには、母マリア、母の妹でクレオファスの妻マリア、そしてマグダラのマリアがイエスの傍らに立っていました。

1. マリアの忠実さと十字架上の女性たち

2. 困難なときの家族の強さ

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. 詩篇 34:19 - 「義人には多くの困難があるかもしれないが、主は彼をそれらすべてから救い出してくださる。」

ヨハネ 19:26 そこで、イエスは、自分の母親と、そばに立っている自分の愛した弟子を見て、母親に言った、「婦人よ、あなたの息子を見てください。」

イエスは十字架上で母親と愛する弟子を見つめて母親に言った、「婦人よ、あなたの息子を見てください！」

1. キリストの愛: イエスが母と弟子にどのように愛を示したか

2. イエスの言葉の力: イエスの最後の言葉がどのように多くを語ったのか

1. マタイ 10:37、「わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない。そして、私よりも息子や娘を愛する者は、私にふさわしくありません。」

2. ヨハネ 15:13、「友人のために自分の命を捨てること、これより大きな愛はありません。」

ヨハネ 19:27 それから彼は弟子に言った、「見なさい、あなたのお母さんです。」そしてその時から、その弟子は彼女を自分の家に連れて帰りました。

イエスは母親を弟子の一人に預け、弟子は彼女を家に連れ帰ります。

1. 委ねる力: イエスを信頼することを学ぶ

2. 愛の最大の贈り物: 愛する人たちへの思いやり

1. ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

ヨハネ 19:28 この後、イエスは、聖書の言葉が成就するためにすべてのことが成就したことを知って、「わたしは渇く」と言われました。

イエスは自分の渇きを認め、聖書の言葉が成就する可能性があると述べました。

1. 神の計画を実現する力: ヨハネ 19:28 におけるイエスの研究

2. キリストの犠牲: ヨハネ 19:28 におけるイエスの渇きの考察

1. 詩篇 22:15 - 「私の力は陶器の破片のように枯れ、私の舌は私の顎に張り付きます。あなたは私を死の塵の中に置きました。」

2. イザヤ書 53:7 - 「彼は抑圧され、苦しめられましたが、口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。」

ヨハネ 19:29 さて、酢の入った器が置かれていた。そして、スポンジに酢を満たし、それをヒソプの上に置き、ヒソップの口につけた。

イエスは十字架上でスポンジに酢を付けられました。

1. イエスの犠牲と人類に対する彼の慈悲

2. イエスの死と私たちの救い

1. イザヤ書 53:4-5 - 「確かに彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2. フィリピ 2:8 - 「そして、人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。」

ヨハネ 19:30 イエスは酢を受け取ると、「もう終わりました」と言われ、頭を下げて幽霊をあきらめた。

それは完了しました。イエスは命を捨てる前に、遣わされた働きを完了しました。

1. イエスの言葉の力: イエスの最後の言葉がすべてを変えた

2. イエスの死の意味: イエスの犠牲の深さを理解する

1. イザヤ書53:5-12

2. コロサイ1:15-20

ヨハネ 19:31 そこでユダヤ人たちは、安息日（その安息日は祭日だったため）には十字架の上に遺体を残さないようにするための準備だったので、足が折れてもよいようにとピラトに懇願した。彼らは連れ去られるかもしれない。

ユダヤ人たちはピラトに、安息日に十字架の上に遺体が残らないように、十字架につけられた人の足を折るように頼みました。

1. イエスの十字架での死は、イエスの多大な犠牲のしるしであるだけでなく、神の命令を守ることの重要性を思い出させるものでもありました。

2. 苦しみと死の真っ只中でも、イエスの追随者たちは依然として神の律法を尊重しようと努めました。

1. ヘブライ 4:14-16 - ですから、私たちには天を通った偉大な大祭司、神の子イエスがいるのですから、私たちが告白する信仰をしっかりと持ち続けましょう。15 なぜなら、私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいません。むしろ、私たちと同じように、あらゆる面で誘惑に遭いながらも、罪を犯さなかった大祭司がいるからです。16 それでは、私たちが憐れみを受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って神の恵みの御座に近づこうではありませんか。

2. マタイ 5:17-19 - 「わたしが律法や預言者を廃止するために来たと考えてはなりません。私はそれらを廃止するために来たのではなく、それらを成就するために来たのです。18 本当にあなたに言いますが、天と地が消滅するまでは、どんな小さな文字も、どんな小さなペンのストロークも、すべてが成就するまでは、決して律法から消えることはありません。19 したがって、これらの最も小さな戒めの一つを脇に置いて、それに応じて他の人に教える者は、天の御国では最も小さい者と呼ばれますが、これらの戒めを実践し、教える者は、天の御国では偉いと呼ばれます。

ヨハネ 19:32 それから兵士たちが来て、最初の者と、一緒に十字架につけられたもう一人の足を折った。

ヨハネ19章は、イエスの磔刑と、イエスと一緒に磔刑にされた二人の男の足を兵士たちが折ったことについて語っています。

1. 犠牲の力: イエスの模範から学ぶ

2. 愛の強さ: イエスはどのようにして無条件の献身を示されたか

1. ピリピ 2:5-11 - イエスの謙虚さと従順という無私の態度。

2. ローマ 5:6-8 - 他の人のために自らの命を捨てるイエスの意欲。

ヨハネ 19:33 しかし、彼らはイエスのところに来て、イエスがすでに死んでいるのを見たとき、イエスの足を制動しなかった。

イエスがすでに死んでいることを知ったとき、兵士たちはイエスの足を折りませんでした。

1. イエスの犠牲の力: イエスの死がすべてを変えた

2. 神の憐れみ: イエスの死は神の恵みをどのように示したか

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために打ち砕かれた。彼の上に懲らしめがあり、私たちに平和をもたらし、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. ヘブライ人への手紙 9:22 - 「実際、律法の下ではほとんどすべてが血によって清められており、血を流すことなしには罪の赦しはありません。」

ヨハネ 19:34 しかし、兵士の一人が槍を持って彼のわき腹を刺し、すぐに血と水が出てきました。

ヨハネ 19:34 のこの箇所には、兵士の一人が槍でイエスの脇腹を刺し、血と水が出てきた様子が描かれています。

1. イエスの犠牲: 彼の死とその意味

2. イエスの特異性: 彼の磔刑とその力

1. イザヤ書 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。

2. エペソ人への手紙 2:13-16 - しかし今、かつては遠く離れていたあなたがたも、キリスト・イエスにあって、キリストの血によって近づけられました。なぜなら、主ご自身が私たちの平和であり、私たち二人を一つにし、儀式で表現された戒めの律法を廃止することによって、ご自分の肉体において敵意の隔壁を打ち破り二人の代わりに一人の新しい人をご自分の中に創造してくださるからです。そうすれば平和が生まれ、十字架を通して私たち二人を一つの体として神と和解させ、それによって敵意を殺すことができるかもしれません。

ヨハネ 19:35 そして、それを見た者は、記録がそのままであり、その記録は真実である。そして、彼は、あなたがたが信じるように、自分が真実であることを言っていると知っている。

この聖句は、イエス・キリストの証への信仰の重要性を強調しています。

1: イエスの証しの詳述 - イエス・キリストの言葉と使命に対する信仰の重要性。

2: イエスの証しの証人 - イエス・キリストの真実を信じる力。

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して起こります。」

ヨハネ 19:36 これらのことが行われたのは、「彼の骨は折られない」という聖書の言葉が成就するためである。

この箇所は、聖書の成就のためにイエスの骨が砕かれたのではないことを説明しています。

1. イエスの聖書の成就は、イエスが神のご意志に従順であることを証明します。

2. イエスの完全な犠牲は、私たちに対するイエスの愛を示しています。

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために打ち砕かれた。彼の上に懲らしめがあり、私たちに平和をもたらし、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. 詩篇 34:20 - 「彼は自分の骨をすべて保っていて、その骨は一つも折れていません。」

ヨハネ 19:37 また別の聖書には、「彼らは自分たちが刺した者を見つめるであろう」と書かれています。

ヨハネ 19:37 は、イエスを刺した者たちはイエスに目を向けるだろうと述べています。

1.「イエスの突き刺し - 悔い改めへの呼びかけ」

2.「イエス - 究極の犠牲」

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打ち傷を負いました。私たちの平和のための懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されました。」

2. エゼキエル 39:25 - 「それゆえ、主なる神はこう言われる。今、わたしはヤコブの捕虜を再び連れて行き、イスラエルの家全体を憐れみ、わたしの聖なる名をねたむであろう。」

ヨハネ 19:38 この後、アリマタヤのヨセフはイエスの弟子であったが、ユダヤ人を恐れてひそかにピラトにイエスの遺体を引き取ってくれるよう懇願したので、ピラトは彼に許可を与えた。そこで彼はやって来て、イエスの体を引き取りました。

イエスの弟子であるアリマタエアのヨセフは、イエスの死後、イエスの遺体を持ち去る許可をピラトに求めました。ピラトはその願いを聞き入れ、ヨセフはイエスの遺体を運び去った。

1. 弟子の真の献身: アリマタヤのヨセフの物語

2. 恐怖を克服し正しいことを行う：アリマタエアのヨセフ

1. マタイ 16:24-26 - 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。』自分の命を救う者はそれを失うであろうし、私のために自分の命を失う者はそれを見つけるであろう。全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、人に何の得があるでしょうか？」

2. ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

ヨハネ 19:39 また、ニコデモも来て、最初は夜にイエスのもとに来て、重さ約百ポンドの没薬と沈香を混ぜたものを持ってきました。

ニコデモはイエスを訪ね、百ポンドの没薬とアロエを持ってきました。

1. ニコデモの贈り物: 寛大さの教訓

2. 立場を取る：ニコデモとイエスの支持

1. ヨハネ 12:42-43 - 「それにもかかわらず、指導者たちの中にもイエスを信じた人がたくさんいました。しかし、パリサイ人たちのために、会堂から追い出されるのを恐れてイエスを告白しませんでした。なぜなら、彼らは人々からの賞賛をもっと愛したからです」神の賛美よりも。」

2. マタイ 6:19-21 - 「自分のために宝を地上に積んではなりません。そこでは虫やさびが腐敗し、盗人が侵入して盗みます。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫もさびも腐敗しません。そして、泥棒が侵入したり盗んだりしない場所に、あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

ヨハネ 19:40 それから彼らはイエスの遺体を引き取り、ユダヤ人の埋葬の作法に従って、香料を添えた亜麻布の服を巻きました。

ユダヤ人たちは埋葬の習慣として、イエスの遺体に香料を塗った亜麻布の服を着せました。

1. 私たちは、民の習慣に従って死と埋葬を謙虚に受け入れたイエスの模範から学ぶことができます。

2. 私たちの先祖の習慣や伝統を尊重することの重要性。

1. マタイ 27:59-60 - ヨセフは遺体を引き取ると、それをきれいな亜麻布で包み、岩を掘って作った自分の新しい墓に安置しました。そして彼は大きな石を墓の入り口に転がして立ち去りました。

2. 歴代誌第二 16:14 - 彼らは彼をダビデの町で掘った自分の墓に葬った。彼らは彼を布で覆われた棺の上に寝かせ、彼の名誉のために巨大な火を焚きました。

ヨハネ 19:41 さて、イエスが十字架につけられた場所には園があった。そして庭には、まだ人が埋葬されたことのない新しい墓がありました。

ヨハネ 19:41 のこの一節は、イエスが磔刑に処せられた場所、つまりこれまで使われたことのない新しい墓のある庭園について説明しています。

1. 死の園: イエスの磔刑の象徴

2. 新しい人生への上昇：新しい墓の意義

1. イザヤ書 53:9 - そして彼は、自分の死において、悪人たちと金持ちたちとともに墓を作りました。なぜなら、彼は暴力をふるったことがなく、口に偽りもなかったからだ。

2. ルカ 23:50-53 - さて、アリマタヤというユダヤ人の町出身のヨセフという名前の人がいました。彼は評議会のメンバーで善良で正義の人だったが、評議会の決定と行動に同意しなかった。そして彼は神の国を探していました。この男はピラトのところに行き、イエスの遺体を求めました。それから彼はそれを降ろし、亜麻布の覆いに包み、まだ誰も埋葬されていない石で切った墓に彼を置きました。

ヨハネ 19:42 そこで、ユダヤ人の準備の日のために、彼らはイエスをそこに横たわった。墓はもうすぐそこにあったからだ。

イエスはユダヤ人の過越祭の準備の日にエルサレム近くの墓に埋葬されました。

1. イエスの埋葬の重要性

2. ユダヤ人の準備日の意義

1. マタイ 27:57-60 (イエスはアリマタヤのヨセフの墓に葬られる)

2. ルカ 23:50-56 (準備の日とイエスの埋葬の出来事)

ヨハネ 20 章では、イエスの空の墓の発見、マグダラのマリアと弟子たちへのイエスの出現、そしてトマスの疑念とその後の信仰について詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、週の最初の日の早朝、まだ暗いうちにマグダラのマリアが墓を訪れるところから始まります。彼女は墓の入り口から石が取り除かれているのを見ました。彼女はシモン・ペトロとヨハネのところに走って行き、どこに置いたのかわからない墓から主を取り出したと言いました。それで、ピーター・ジョンが墓に走ったところ、そこに亜麻布が横たわっていましたが、遺体が続いてジョンも中に入り、聖書からは理解できませんでしたが、イエスが生き返ったということを信じ、死んだ弟子たちは家に帰りましたが、マリアは外に立って泣きながら身をかがめて中を覗いてみると、中に二人の天使がいたのが見えました。イエスの遺体があった場所は真っ白でした（ヨハネ20:1-12）。

第 2 段落: 彼女が振り返ると、そこに立っているイエスが見えましたが、最初は庭師だと思い、イエスの体をどこに置いたか知っているかと尋ねました。主が彼女に「マリア」という名前を呼ばれたとき、彼女は主であることを認識し、主にすがろうとしましたが、主は彼女に、まだ昇天していないから我慢しないでください、父よ昇天する兄弟たちに告げてください、あなたの父なる神、あなたの神である父よ、それでマグダラのマリアは弟子たちに行きましたニュース同じ日の夕方遅くに、ドアが施錠されるのではないかと恐れたとき、主がこれらのメッセージを与えられたのが見えました ユダヤ人たちが彼らの間に立って、「平安あれ」と言い、手側を示しました 弟子たちは大喜びで、主が再び言われました、「父が私を送ってくださったように、あなたたちに平安あれ」と私はあなたを送ります、彼らに息を吹き込んでいます 聖を受け取りなさい霊は誰でも罪を赦し、赦された罪は保持されます（ヨハネ20:13-23）。

第三段落: しかし、イエスが来たとき、トマス一十二は彼らと一緒にいなかったので、他の弟子たちはイエスに「私たちは主に会った」と言いました。しかし彼は、爪

の跡を見ない限り、爪の跡に手が指を置かれると、脇腹に手を入れられると信じます、一週間後には弟子たちが再び家に戻ってきたと宣言しました、ドアは施錠されていましたが、トマスは彼らと一緒にいました、イエスが来て彼らの間に立って言われました、「あなたたちに平和がありますように！」それからトーマスは、ここに指を置きました、手を伸ばします、手を横に置きます、疑うのをやめて信じます、と言いました。トーマスは彼に「わが主よ、わが神よ！」と答えました。そこでイエスは彼に、「あなたが私を信じたのを見たので、まだ見ていない人たちを祝福しました」と言われました。ヨハネは、弟子たちの前で行われた他の多くのしるしがこの本に書かれていると述べて章を締めくくっていますが、これらのしるしは、自分の名前が生きているかもしれないと信じることによって、イエスがメシアの子神であると信じることができるように書かれています（ヨハネ20:24-31）。

ヨハネ 20:1 週の初めの日、マグダラのマリアはまだ暗いうちに墓に来て、墓から石が取り除かれるのを見ます。

墓の石は週の初日に持ち去られました。

1. 墓の石とイエスの復活: 週の最初の日の意味

2. マグダラのマリアの墓への忠実な旅

1. マタイ 28:1-10 - 週の初めのイエスの復活の記述

2. ルカ 24:1-12 - 女性たちが墓を訪れ、空の墓を発見したことについての記述。

ヨハネ 20:2 それから彼女は走って、シモン・ペテロとイエスが愛されたもう一人の弟子のところに来て、彼らに言った、「彼らが主を墓から取り去ってしまったので、どこに置いたのか私たちには分かりません。」

マグダラのマリアはシモン・ペテロともう一人の弟子ヨハネのところに駆け寄り、イエスが墓から取り出され、遺体の所在が不明であることを告げました。

1. イエスの死と復活は、死に対する神の力を思い出させるものとなる

2. 私たちの人生に対する神の計画を信じることの重要性

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

ヨハネ 20:3 そこで、ペテロは、もう一人の弟子とともに出て行って、墓に来た。

二人の弟子、ペテロともう一人の弟子は墓へ行きました。

1: 私たちはイエスが導かれるところならどこへでも従う信仰を持たなければなりません。

2: たとえ困難な時であっても、私たちは勇気を持ってイエスに従うべきです。

1: ヘブル人への手紙 11:1、「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: マタイ 28:20、「わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えています。見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

ヨハネ 20:4 それで、二人は一緒に走った。すると、もう一人の弟子がペテロを追い越し、先に墓に着いた。

もう一人の弟子はペテロの前に墓に走っていきました。

1. 忍耐の力: 恐怖を克服する方法

2. 急ぐことの重要性: 緊急に目標を達成する

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ピリピ人への手紙 3:13-14 - 「兄弟たち、私は自分自身を理解したとは思っていません。しかし、私がしていることは、後ろのものを忘れて、前にあるものに向かって手を差し伸べることです。私はマークに向かって押します。」キリスト・イエスにおける神の高い召しの賞です。」

ヨハネ 20:5 そこで、身をかがめて中をのぞくと、亜麻布の服が置いてあるのが見えた。それでも彼は入って行かなかった。

マグダラのマリアはイエスの墓が空であることに気づき、中を覗いてみましたが、中には入りませんでした。

1. イエスの復活の力を決して忘れないでください - ヨハネ 20:5

2. マグダラのマリアの勇気 - ヨハネ 20:5

1. ルカ 24:12 - しかし、ペテロは立ち上がって、墓に走っていきました。そして身をかがめて、亜麻布の服がそのまま置かれているのを見て、何が起こったの

か心の中で不思議に思いながら立ち去った。

2. ヨハネ 11:25 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。」

ヨハネ 20:6 そのとき、シモン・ペテロが彼を追ってやって来て、墓に入って行き、亜麻布の服が横たわっているのを見た、

シモン・ペテロはイエスの後を追って墓まで行き、そこに亜麻布の服が置いてあるのを見つけました。

1. イエスの復活と信仰の力

2. イエスに従うことと従順の強さ

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ヨハネ 21:18 - それからイエスは、「わたしの小羊を養いなさい」と言われました。

ヨハネ 20:7 そして、彼の頭の周りにあったナプキンは、亜麻布の服と一緒に置かれず、それ自体で一つの場所に包まれていました。

マグダラのマリアは、イエスの遺体がもう墓の中にないことを発見し、別の場所に彼の埋葬布がきれいに折りたたまれているのを見つけました。

1. イエスの復活: イエスの神性の紛れもないしるし

2. イエスの復活: 神の変わらぬ愛のしるし

1. マタイ 28:5-6 - 天使は墓の前で女性たちにイエスの復活を宣言します。

2. イザヤ書 25:8 - 神は勝利のうちに死を飲み込まれます。

ヨハネ 20:8 それから、先に墓に来たもう一人の弟子も入って、見て信じた。

先に墓に到着したもう一人の弟子は中に入り、見たものを信じました。

1. イエス・キリストを信じる信仰の力

2. 奇跡を目撃することの大切さ

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。」

ヨハネ 20:9 なぜなら、彼らは、イエスが死人の中からよみがえらなければならないという聖書の言葉をまだ知らなかったからです。

弟子たちは、イエスが死からよみがえるという聖書の言葉をまだ理解していませんでした。

1.「復活の希望」

2.「神の言葉の力」

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. 1 コリント 15:20-22 - しかし実際には、キリストは死者の中からよみがえられ、眠りについた人々の初穂とされました。なぜなら、人によって死が来たように、人によって死者の復活も来たからです。なぜなら、アダムにあってはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからである。

ヨハネ 20:10 それから、弟子たちは再び自分たちの家に帰っていった。

弟子たちは復活されたイエスを見た後、それぞれの家に帰りました。

1. たとえ物事が最も暗いように見えるときでも、神の忠実さは決して私たちを裏切ることはありません。

2. イエスの復活の力は、私たちがそれに応えて忠実に生きるよう促すはずです。

1. 詩篇 91:2 - 「主について言います。彼は私の避け所であり、私の砦です。私の神です。私は彼に信頼します。」

2. ローマ 6:4-5 - 「ですから、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちもまた新たな命の中を歩むためです。」

ヨハネ 20:11 ところが、マリアは外の墓の前に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓をのぞき込んだ。

イエスの復活に対するマリアの反応は、悲しみと嘆きのようなものでした。

1: 嘆く時もあれば喜ぶ時もあるということを覚えておく必要があります。

2: マルタとマリアは二人ともイエスのためにさまざまな方法で悲しみました。私たちは彼らから悲しみを表現する方法を学ぶことができます。

1: ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ者たちとともに喜び、泣く者たちとともに泣きなさい。

2: ヨハネ 11:35 - イエスは涙を流されました。

ヨハネ 20:12 すると、白い服を着た二人の天使が座っているのが見えます。一人は頭のところに、もう一人はイエスのからだが横たわっていた足元にいます。

イエスの遺体には、白い服を着た二人の天使が、一人は頭ともう一人は足に付き添っていました。

1. 天使の慰め: 神の使者がどのように保護と平和を提供するか

2. 永遠の命の約束: イエスの死と復活がどのように希望と慰めを与えたか

1. マタイ 28:2-6 - イエスの墓から石を転がした天使

2. ヘブライ 1:14 - 救いを受け継ぐ人々に仕えるために遣わされた奉仕の霊としての天使たち。

ヨハネ 20:13 すると彼らは彼女に言う、「婦人よ、なぜ泣いているのですか。」彼女は彼らに言った、「彼らが私の主を奪い去ったので、私は彼らが主をどこに置いたのか知りません。」

マグダラのマリアがイエスの墓の外で泣いているのが発見される。弟子たちはなぜ泣いているのかと尋ねると、彼女はイエスが連れ去られ、どこに横たわったのか分からないと言いました。

1. 困難な時代に信仰に生きる - 悲劇に直面したマグダラのマリアの勇気についての研究。

2. 絶望の時代における希望の力 - マグダラのマリアは、大きな喪失に直面したとき、キリストへの信仰によってどのように支えられたか。

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ペテロ第一 5:7 - すべての気遣いを彼に注ぎなさい。彼はあなたのことを気にかけているからです。

ヨハネ 20:14 そう言って彼女は振り返って、イエスが立っているのを見たが、それがイエスであるとは気づかなかった。

マグダラのマリアは復活祭の日曜日にイエスの墓に行きますが、そこが空であることに気づきました。彼女は悲しみのあまり顔を背けましたが、振り返るとイエスがそこに立っているのが見えましたが、彼女はイエスに気づきませんでした。

1. たとえそれが明確でなくても、神の計画を信頼してください。

2. 最も暗い時代であっても、希望の光を探してください。

1. ローマ 8:18: 「今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと私は考えています。」

2. 詩篇 34:18: 「主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救ってくださいます。」

ヨハネ 20:15 イエスは彼女に言われた、「女よ、なぜ泣くのですか」。あなたは誰を求めていますか？彼女は彼を庭師だと思って、「先生、もしあなたがこの子を産んだのなら、どこに寝かせたのか教えてください。私が連れて行きますよ」と言った。

マグダラのマリアはイエスを庭師と間違え、イエスを見つけることを期待して悲しみを表します。

1. イエスは私たちの悲しみや悲しみを理解し、困難な時に私たちを慰めてくださいます。

2. 私たちはあらゆる出会いにおいてイエスを認め、その導きを信頼しなければなりません。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. イザヤ書 40:11 - 「彼は羊飼いのように羊の群れを飼い、小羊を腕に集め、胸に抱き、子連れの子たちを優しく導く。」

ヨハネ 20:16 イエスは彼女に、「マリア」と言われた。彼女は向きを変えて彼に言った、「ラボニ」。つまりマスターです。

マリアとイエスとの喜びの再会: マリアは復活したイエスを認識し、彼を「先生」と呼びます。

1. キリストの復活の喜び: 救い主を認めて喜ぶ

2. マスターを体験する: 私たちの生活の中でイエスの愛を知る

1. ローマ 6:4-5 - 「ですから、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。」

2. 詩篇 54:4 - 「見よ、神は私の助け手です。主は私の命を支える人々とともにおられます。」

ヨハネ 20:17 イエスは彼女に言った、「私に触れないでください。」なぜなら、私はまだ父のもとに昇っていないからです。しかし、兄弟たちのところに行って、彼らに言いなさい、「私は私の父、そしてあなたがたの父のもとに昇ります。そして私の神、そしてあなたの神に。

イエスはマリアに、イエスを手放し、天の御父のもとに昇られたことを弟子たちに告げるように指示されました。

1: 私たちはイエスとその約束を信頼すべきです。なぜなら、イエスは必ず天の御父のもとに昇ってくださるからです。

2: イエスは、マリアに命じられたように、ご自分の良い知らせを他の人に伝えるという使命を私たちに与えられました。

1: ピリピ 3:20-21 - 私たちの会話は天にあります。私たちはまた、そこから救い主、主イエス・キリストを求めます。主は、すべてのものを自分自身に服従させることさえできる働きに応じて、私たちの卑劣な体を変えて、その栄光の体に似たものに変えてくださいます。

2: マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。

ヨハネ 20:18 マグダラのマリアが来て、主を見たこと、そして主が彼女にこれらのことを語られたことを弟子たちに告げた。

マグダラのマリアは、復活したイエスを見たと弟子たちに告げます。

1: イエスの復活 - ヨハネ 20:18

2: イエスの臨在の力 - ヨハネ 20:18

1: ローマ 6:9 - 私たちは、死者の中からよみがえられたキリストが二度と死ぬことはないことを知っているからです。死はもはや彼を支配することができません。

2: 使徒 2:24 - しかし、神は彼を死からよみがえらせ、死の苦しみから解放してくださいました。死が彼を捕らえるのは不可能だったからです。

ヨハネ 20:19 その日、つまり週の初めの夕方、ユダヤ人を恐れて弟子たちが集まっていた戸が閉められたとき、イエスが来て真ん中に立って、彼らに言われた、「平和がありますように」あなたに。

週の初めの日、弟子たちがユダヤ人を恐れて集まっていると、イエスが現れて「あなたたちに平和があるように」と言われました。

1. 恐怖のただ中にあるキリストの平和

2. イエスの臨在の確信

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名前は素晴らしいと呼ばれるでしょう、相談者、力強い神、永遠の父、平和の王子。

2. ヘブライ 13:5 - 貪欲な会話をしないようにしましょう。そして、あなたがたが持っているようなもので満足しなさい。なぜなら、彼は言ったからです、私は決してあなたを離れず、あなたを見捨てません。

ヨハネ 20:20 そう言って、イエスは手とわき腹を彼らに見せた。そのとき、弟子たちは主を見て喜びました。

イエスは弟子たちに手とわき腹を見せ、弟子たちはイエスを見て大喜びしました。

1. イエスは生きている - 私たちの救い主の奇跡的な復活

2. 主にあって喜ぶ - イエスを知ることで喜びを見つける

1. ルカ 24:39 – 「私の手と足を見てください。それは私自身です。私に触れて見てください。なぜなら、私が持っているように、霊には肉と骨がないからです。」

2. ペテロ第一 1:8 – 「あなたは彼を見たことはありませんが、彼を愛しています。あなたは今は彼に会っていませんが、彼を信じて、言葉では言い表せないほどの栄光に満ちた喜びで喜んでいます。」

ヨハネ 20:21 それから、イエスは再び彼らに言われた、「あなたがたに平安あれ。わたしの父がわたしを遣わしてくださったように、わたしもあなたがたを遣わします。」

イエスは弟子たちに、宣教を続けて平和を広めるよう命じました。

1: イエスは私たちに平和と希望の遺産を残されました。そして私たちはそれを前進させるよう求められています。

2: 私たちはイエスの宣教を継続し、世界に平和をもたらす使命を負っています。

1: ヨハネ 14:27 - 「わたしはあなたたちに平安を残します。わたしの平安をあなたたちに与えます。世が与えるのではなく、私があなたたちに与えます。」心を騒がせてはいけないし、恐れてはいけない。」

2: マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい」：そして、見よ、私はいつもあなたと一緒にいます、たとえ世界の終わりまで。アーメン。"

ヨハネ 20:22 そして、イエスはこう言い終えると、彼らに息を吹きかけて言われた、「聖霊を受けなさい。

イエスは弟子たちに息を吹きかけ、聖霊を与えられます。

1. 神の息吹の力

2. 聖霊を受け、信じ、喜ぶ

1. 使徒 2:1-4 - 聖霊の降臨

2. エゼキエル書 37:1-14 - 乾いた骨の谷と神の息吹

ヨハネ 20:23 あなたが誰の罪を赦しても、その罪は赦されます。そして、あなたがその重大な罪を保持しているなら、それらは保持されています。

イエスは弟子たちに罪を赦すか、罪を留めておくかを決める権威を与えられます。

1. 赦しの力: イエスはどのようにして私たちに赦しを与えてくださるのか

2. 教会の権威: 私たちは罪を留めておくようどのように召されているか

1. ルカ 6:37: 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたは裁かれません。罪に定めてはなりません。そうすれば、罪に定められません。赦してください。そうすれば、あなたは赦されます。」

2. マタイ 18:18: 「真実に言いますが、あなたが地上でつなぐものはすべて天でもつながれ、あなたが地上で解くものは天でも解かれるのです。」

ヨハネ 20:24 しかし、十二人の一人、ディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。

トマスを除いた弟子たちは復活したイエスを目撃しました。

1. 信仰の力: 見ずに信じる方法

2. 忍耐の報酬: そこにいる喜び

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. テサロニケ第一 5:18 - どのような状況でも感謝をしなさい。なぜなら、これがあなたに対するキリスト・イエスにおける神の御心だからです。

ヨハネ 20:25 そこで、ほかの弟子たちは彼に言った、「わたしたちは主を見ました。」しかし彼は彼らに言った、「彼の手の中にある爪の跡を見て、私の指を爪の跡に入れて、彼のわき腹に手を突っ込んでみない限り、私は信じない」。

他の弟子たちはトマスに主を見たと告げますが、トマスはイエスの傷の物的証拠を見るまでは信じないと主張します。

1. 信じることは見ることです: 疑いを通じて信仰を強める

2. 疑いと信仰: トーマスから学べること

1. 詩篇 37:5 - 主に道を捧げなさい。彼も信頼してください。そして彼はそれを実現させるだろう。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

ヨハネ 20:26 そして八日後、再び弟子たちが中にいて、トマスも一緒でした。すると、イエスが来て、戸を閉めて真ん中に立って、「あなたがたに平和がありますように」と言われました。

イエスは復活から8日後、扉が閉まったときに弟子たちに現れました。彼は彼らを平和に迎えました。

1. 信仰の力：弟子たちへのイエスの姿

2. 復活した主の平和: 弟子たちへのイエスの挨拶

1. ローマ 5:1-2 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、主イエス・キリストを通して神との平和を持っています。このキリストを通して、私たちは信仰によってこの恵みに入ることができ、今その恵みの中にいます。

2. ヘブライ 13:20 - さて、永遠の契約の血によって、あの偉大な羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた平和の神が、ご意志を行うために良いものをすべてあなたがたに備えてくださいますように。

ヨハネ 20:27 それから彼はトマスに言った、「あなたの指をそこに伸ばして、私の手を見てください。」そしてあなたの手をこちらに伸ばし、私のわき腹に突き刺してください。そして不信仰ではなく、信じてください。

イエスはトマスに、傷に触れて復活を証明する機会を与えました。彼はトーマスに信仰を持つように勧めました。

1.「信仰の証拠」

2.「疑いの力」

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞いたことはキリストについてのメッセージを通して起こります。」

ヨハネ 20:28 するとトマスは答えて言った、「わたしの主、わたしの神」。

この一節は、トマスがイエスを自分の主であり神であると認識していることを明らかにしています。

1. イエスを私たちの主であり神であると認める

2. トマスのイエスへの信仰から学ぶ

1. ピリピ 2:5-11 - イエス・キリストと同じ考え方を持ちなさい

2. ローマ 10:9-10 - イエスが主であり神であることを口で告白し、心の中で信じます。

ヨハネ 20:29 イエスは彼に言われた、「トマス、あなたはわたしを見て信じたからです。見ていないのに信じている人たちは幸いです。」

イエスに会ったことのない信者は依然として祝福されています。

1: 私たちは視覚ではなく信仰の神に仕えます。

2: 見ることはイエスを信じる信仰の前提条件ではありません。

1: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2: マタイ 17:20 - イエスは彼らに言った、「あなたたちの信仰が小さかったためです。本当に言っておくが、からし種一粒のような信仰を持っているなら、この山に向かって『ここからあそこに移動しなさい』と言えば山は動き、あなたにとって不可能なことは何もないからだ。」

ヨハネ 20:30 この本には書かれていない他の多くのしるしが、イエスが弟子たちの前で実際に行われたのです。

ヨハネの福音書には、イエスの力と権威を示す多くの奇跡的な兆候が記録されています。

1. イエスの力と権威：天国のしるし

2. イエスの奇跡を信じるように呼びかける

1. マタイ 11:2-5 - イエスは奇跡を行うために弟子たちを送り出す

2. 詩篇 103:1-5 - 主の奇跡と力への賛美

ヨハネ 20:31 しかし、これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスが神の子キリストであると信じるためです。そして、あなたがたが彼の名を通して命を得るかもしれないと信じること。

この箇所は、イエス・キリストを神の御子として信仰し、その名によって命を得ることが重要であることを強調しています。

1. 信仰の力: イエスへの信頼がどのように永遠の命をもたらすか

2. 救いの恵み: キリストを信じることがいかに豊かな命をもたらすか

1. ローマ 10:9-10: 「もしあなたが口で『イエスは主である』と宣言し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。なぜなら、あなたが信じるのはあなたの心だからです。」そして義と認められ、あなたの口で信仰を告白して救われるのです。」

2. エペソ人への手紙 2:8: 「あなたがたが救われたのは、恵みによるものであり、信仰によるものです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。」

ヨハネ 21 章には、復活後のイエスの弟子たちへの 3 回目の出現、魚の奇跡的な漁獲、そしてペテロとの会話が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、イエスがガリラヤ湖畔で弟子たちに再び現れるところから始まります。シモン・ペテロ、トマス（ディディモとしても知られる）、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの息子たち、そして他の二人の弟子たちが一緒にいました。ピーターは釣りに行くことにしましたが、その夜は何も釣れませんでした早朝、イエスは岸に立っておられましたが、弟子たちはそれがイエスであることに気づきませんでした。彼は彼らに魚はいるかと尋ねると、彼らは「いいえ」と答えたので、右側のボートに網を投げるように言いました。ピーター卿だと気づいた多くの魚が水に飛び込み、他の人は網をいっぱい引きずりながらボートに続きました。魚（ヨハネ 21:1-8）。

第 2 段落: 彼らが上陸すると、そこには魚とパンがのった石炭の火が燃えているのが見えました。イエスが彼らに、今捕まえた魚を持ってくるように言われたので、シモン・ペテロは船に戻り、多くの網は破れていなかったにもかかわらず、大きな魚がいっぱい詰まった網を引きずって岸に上げました。この三度目にも、死者がよみがえった弟子たちが現れました(ヨハネ21:9-14)。

第3段落: 朝食後、イエスはシモン・ペテロに、他の人たちよりもイエスを愛しているかと三度尋ね、そのたびに「はい、愛していることを知っています」と答え、そのたびに「私の小羊を飼いなさい」「私の羊の世話をしなさい」「私の羊を飼いなさい」と指示されました。それから、若い服を着た人が欲しがるとき、年上の誰かが服を着てどこに行きたくないのに、これは親切な死が神を讃えるだろうと彼は言った、「私に従ってください」と言うと、振り向くと、傾いた人に従う愛した弟子が見えました彼に背を向けて夕食をとりました主は裏切ろうと彼に尋ねました彼はどうですかとイエスは答えました、もし戻るまで生きていたいなら、あなたは私について来なければなりません、なぜなら兄弟の間で広まったこの噂は弟子が死なないからです、しかしイエスは死なないとは言いませんでした。彼はただ「もし私が戻るまで生きていてほしいのなら、あなたは何ですか？」とだけ言った。ヨハネは、弟子がこれらのことを証言し、自分の証言が真実であることを彼らに書いたと述べ、またイエスが書かれた他の多くのこともすべて、全世界が部屋の本を書くことを想定して書いたと述べて章を閉じています（ヨハネ21:15-25）。

ヨハネ 21:1 これらの事の後、イエスはティベリアの海で再び弟子たちにご自身を現されました。そしてこれについて彼自身が賢明に示した。

イエスはティベリア海で弟子たちにご自身を現されました。

1. イエスは私たちの生活の中でご自身の臨在を明らかにされる

2. イエスの模範に従うことの重要性

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

2. マタイ 5:14-16 - あなたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。

ヨハネ 21:2 そこには、シモン・ペテロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナのナタナエル、ゼベダイの息子たち、および彼の弟子のうち他の二人がいた。

ヨハネは聴衆に、シモン・ペテロ、トマス、ナタナエル、ゼベダイの息子たち、そして他の二人の弟子たちの存在について話しています。

1. イエスの弟子たちはイエスに献身し、不安や疑いに直面したときでもイエスに従いました。

2. イエスの弟子たちは喜んでイエスの仲間に加えられ、イエスの宣教に参加しました。

1. ルカ 5:11 - 「そして、彼らは舟を陸に上げると、すべてを捨ててイエスに従いました。」

2. マタイ 10:37-39 - 「私よりも父や母を愛する者は、私にふさわしくない。また、私よりも息子や娘を愛する者も、私にふさわしくない。そして、自分の十字架を負わない者は、「わたしに従う者はわたしにふさわしくない。自分の命を見つけた者はそれを失い、わたしのために命を失った者はそれを見つけるだろう。」

ヨハネ 21:3 シモン・ペテロは彼らに言った、「釣りに行きます」。彼らは彼に言った、「私たちもあなたと一緒に行きます。」彼らは出て行って、すぐに船に乗り込みました。そしてその夜は何も捕れませんでした。

ヨハネと弟子たちは釣りに行きましたが、何も取れませんでした。

1: 神は時々私たちを試みることがありますが、それでも私たちに豊かな祝福を与えてくださいます。

2: たとえ失敗の瞬間であっても、神は私たちとともにいて、備えてくださいます。

1: マタイ 6:26 - 空の鳥を見てください。彼らは種を蒔くことも、刈り取ることも、納屋に集めることもありませんが、あなたがたの天の父は彼らを養ってくださいます。

2: 詩篇 121:1-2 - 私は丘に目を上げます。私の助けはどこから来るのでしょうか？私の助けは天地を造られた主から来ます。

ヨハネ 21:4 しかし、朝が来ると、イエスは岸に立っておられた。しかし、弟子たちは、それがイエスであることを知らなかった。

朝、弟子たちが魚釣りをしていたとき、イエスが岸に来られましたが、イエスだと分かりませんでした。

1. イエスはいつも私たちのためにそこにいます - 私たちがイエスに気づかないときでも

2. 私たちは一人ではありません - イエスは常に私たちの生活の中に存在します

1. ルカ 24:13-35 - エマオへの道

2. ヨハネ 20:19-29 - イエスは復活後に弟子たちに現れる

ヨハネ 21:5 そこでイエスは彼らに言われた、「子供たちよ、肉はありますか。」彼らは彼に「いいえ」と答えた。

イエスは弟子たちに、何か食べるものはないか尋ねました。

1. イエスの愛の力: イエスは、飢えているときでさえ、弟子たちに対する愛を示しました。

2. 必要なときの備え: イエスは、弟子たちが何も持っていなかったときに備えました。

1. マタイ 14:19-20 - そして、イエスは群衆に草の上に座るよう命じ、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて祝福し、裂き、パンを自分の者に与えた。弟子たち、そして弟子たちから群衆へ。

2. フィリピ 4:19 - しかし、私の神は、キリスト・イエスによって、栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

ヨハネ 21:6 そこでイエスは彼らに言われた、「船の右側に網を投げなさい。そうすれば見つかるでしょう。」したがって、彼らはキャストしましたが、今度は多くの魚のためにそれを引くことができませんでした。

イエスは弟子たちに船の右側に網を張るように言いました、そして彼らはたくさんの魚を捕まえました。

1. 従順の力 - 神の命令に従うことは豊かさをもたらします

2. 神の備え - 神はご自分に従う者たちに豊かに備えてくださいます

1. イザヤ書 55:10-11 - ?あるいは、雨や雪が天から降って、そこには戻らず、地に水を与え、芽を出し、種を蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与えるように、11 わたしの言葉は、天から発せられます。私の口;それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。23 というのは、みことばを聞く者で、実行する者ではない人がいるなら、その人は、自分の生まれながらの顔を鏡でじっと見つめている人のようなものだからです。24 なぜなら、彼は自分自身を見つめて立ち去り、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。25 しかし、完全な律法、自由の律法を見つめ、粘り強く努力する人は、聞く者を忘れるの

ではなく、実行する者となり、その行いにおいて祝福されるであろう。

ヨハネ 21:7 そこで、イエスが愛したあの弟子はペテロに言った、「それは主です」。さて、シモン・ペテロは、それが主であると聞くと、漁師の上着を着て（裸だったので）海に身を投げました。

愛する弟子はそれがイエスであることに気づき、ペテロはこれを聞くと上着を着て海に飛び込み、イエスに会いました。

1. イエスに会うために海に飛び込むペテロの勇気ある行動によって示された信仰の力。

2. イエスの愛は、愛する弟子がイエスを認識したことによって示されました。

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. ヨハネ第一 4:19 - 「主が最初に私たちを愛してくださったので、私たちは愛します。」

ヨハネ 21:8 すると、ほかの弟子たちが小さな船に乗ってやって来た。（彼らは陸からそう遠くはなかったが、二百キュビトあったので）魚の入った網を引きずっていた。

他の弟子たちは小さな舟で到着し、網で大量の魚を捕まえることができました。

1. 神は与えてくださる: 困難な課題の真っ只中にあっても、神は成功を達成するために必要なリソースと導きを与えてくださいます。

2. 他者に投資する: 私たちに自分で課題を達成する能力がない場合でも、神は私たちを用いて、私たちが目標を達成できるように力を与え、他者に投資することができます。

1. マタイ 14:22-33 - 水の上を歩き、嵐を静めるイエス。

2. マタイ 19:26 - 神にとってはすべてのことが可能であるというイエスの教え。

ヨハネ 21:9 そこで彼らが陸に上がると、そこには炭火が燃えていて、その上に魚が置かれ、パンが置かれているのが見えた。

イエスは弟子たちに現れ、魚と炭火で焼いたパンの食事を提供しました。

1. イエスは私たちが必要なときにいつもそこにいてくださいます。

2. 私たちが何も持っていないと感じているときでも、神は私たちに備えてくださいます。

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2. 詩篇 34:10 - 若いライオンは不足しており、飢えに苦しんでいます。しかし、主を求める者には、何一つ良いものが欠けることはない。

ヨハネ 21:10 イエスは彼らに言われた、「今捕まえた魚を持って来なさい」。

イエスは弟子たちに、釣った魚を持ってくるように言いました。

1: イエスは私たちに感謝の気持ちを持ち、自分の恵みを他の人に分け与えるよう思い出させます。

2: たとえ困難な任務の真っ只中にいても、イエスは私たちに祝福を与えてくださいます。

1: 使徒 4:32-35 - 信者たちは皆、心も魂も一つであり、財産の私的所有権を主張する者は誰もいなかったが、彼らの所有物はすべて共有されていました。

2: テモテ第一 6:17-19 - この世で裕福な人たちに、傲慢にならず、不確かな富に希望を置くのではなく、私たちにすべてを豊かに与えてくださる神に希望を置くように命じてください。私たちの楽しみのために。

ヨハネ 21:11 シモン・ペテロが上って行って、網を陸に引き上げると、百五十三匹の大魚がいっぱいいました。こんなにたくさんいたのに、網は破れませんでした。

イエスは弟子たちに豊富な魚を与え、自然界に対するご自分の力を実証されました。

1: イエスは豊かさを与えてくださる方であり、その力はどんな自然の力よりも偉大です。

2: 私たちは自分の必要を満たしてくれる主を信頼し、主の力を信じることを学ばなければなりません。

1: マタイ 6:25-34 - イエスは私たちに、心配せず、自分の必要を満たしてくれる神を信頼するよう勧めています。

2: 詩篇 23:1 - 主は私の羊飼い、私は望まない。

ヨハネ 21:12 イエスは彼らに言われた、「来て食事をしなさい」。そして弟子たちは誰も彼に「あなたは誰ですか？」と尋ねようとはしませんでした。それが主

であることを知っていました。

イエスは弟子たちを一緒に食事に招待しましたが、彼らは尋ねることなくイエスだと分かりました。

1. イエスの食事への招待は、イエスの存在と愛を思い出させます。

2. イエスは、たとえ不確実な時期であっても、追随者にとって常に近づきやすい存在です。

1. ヨハネ第一 4:16 - そして、私たちは神の私たちに対する愛を知り、信じてきました。神は愛である;そして愛の中に住む者は神の中に住み、神も彼の中に住んでいるのです。

2. ルカ 24:30-31 - それで、イエスは彼らと一緒に肉を食べながら、パンを取り、祝福し、裂いて彼らに与えた。すると彼らの目は開かれ、イエスであることが分かりました。そして彼は彼らの前から消えた。

ヨハネ 21:13 それから、イエスが来て、パンを取り、それを与え、同様に魚を捕らえる。

イエスは弟子たちの肉体的、霊的な必要を満たしてくださいます。

1: イエスは私たちの必要をすべて満たしてくださる方です

2: イエスは弟子たちを気遣う

1: マタイ 6:25-34 - イエスは私たちに、心配せず神が必要を満たしてくださると信頼するように教えています。

2: ピリピ 4:19 - 神はその富に応じて私たちの必要をすべて満たしてくださいます。

ヨハネ 21:14 イエスが死からよみがえられてから、弟子たちにご自身を現されたのはこれで三度目である。

イエスは死から復活した後、弟子たちに三度現れました。

1. イエスは生きている: 復活の現実を体験する

2. イエスは道です: 愛の道をたどる

1. コリント第一 15:3-8;私が受け取ったものとして、私は最も重要なこととしてあなたに伝えました。キリストが聖書に従って私たちの罪のために死んだこと、埋葬されたこと、聖書に従って三日目によみがえられたこと、そしてケファに現れたこと、そして十二神へ。その後、彼は同時に 500人以上の兄弟姉妹の前に現れましたが、眠っている人もいますが、そのほとんどはまだ生きています。それからイエスはヤコブに現れ、次にすべての使徒に現れました。

2. マタイ 28:5-7;天使は女性たちにこう言いました。恐れることはありません。あなたが十字架につけられたイエスを探していることは知っています。彼はここにいません;彼が言ったとおり、彼は立ち上がった。彼が横たわっている場所を見に来てください。それから急いで行って、弟子たちにこう言いなさい。イエスは死からよみがえって、あなたより先にガリラヤへ向かっています。そこにあなたは彼に会います。??今、私はあなたに言いました。

ヨハネ 21:15 それで、彼らが食事を終えたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた、ヨナスの子シモン、あなたはこれら以上に私を愛していますか？彼は彼に言った、「そうです、主よ。私があなたを愛していることをあなたは知っています。彼は彼に言った、「私の子羊を養ってください」。

イエスは私たちに、ご自身を愛し、他の人を思いやる大切さを教えてくださいました。

1: 私たちは何よりも主を愛さなければなりません。そして、主への愛は私たちを他の人を愛し、気遣うことにつながります。

2: 謙虚に周囲の人々を気遣うことによって、イエスへの愛を示すことができます。

1: ヨハネ第一 4:19-21 - 私たちが愛するのは、主が最初に私たちを愛してくださったからです。誰かが言うなら、？神を愛していますが、彼の兄弟を憎んでいます。彼は嘘つきです。なぜなら、見たことのある兄弟を愛さない人は、見たことのない神を愛することはできないからです。そして、私たちが彼から与えられたこの戒めは、神を愛する者は自分の兄弟も愛さなければなりません。

2: マタイ 22:39 - あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません。

ヨハネ 21:16 彼は二度目に彼に言った、「ヨナスの子シモン、あなたは私を愛していますか？」彼は彼に言った、「そうです、主よ。私があなたを愛していることをあなたは知っています。彼は彼に言った、「私の羊を養いなさい」。

イエスはペテロに自分への愛を思い出させ、羊の群れの世話をするように命じました。

1: 神は私たちに、神を愛し、神の民に仕えるよう呼びかけています。

2: 私たちは外に出て、困っている人たちに奉仕するように召されています。

1: ヨハネ第一 4:19??1 - 神が最初に私たちを愛してくださったので、私たちは愛します。

2: マタイ 28:16-20 - 行って、すべての国の人々を弟子にしなさい。

ヨハネ 21:17 彼は三度目に彼に言った、「ヨナスの子シモン、あなたは私を愛していますか？」ペテロは三度目に「私を愛していますか？」と言ったので悲しんでいました。そして彼は彼に言った、「主よ、あなたはすべてのことをご存じです。あなたはすべてのことをご存じです。」私があなたを愛していることをあなたは知っています。イエスは彼に言った、「私の羊を飼いなさい」。

この箇所は、羊の世話をするようにというイエスのペテロへの呼びかけと、イエスがペテロのご自分への愛を知っていることを伝えています。

1. 「心を尽くして主を愛しなさい」- 主を愛することの重要性と、ペテロの模範がどのように私たちを導くことができるかについて。

2. 「従順と愛」- 困難なときであっても、イエスの呼びかけにペテロがどのように従ったかについてのAは、私たちが従うべき模範となっています。

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ヨハネ第一 4:7-8 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです。

ヨハネ 21:18 まことに、まことに、あなたに言います、あなたは若いときは、帯を締めて、行きたいところへ歩いていましたが、年をとると、手を差し伸べ、他の人が帯を締めて運ぶでしょう。あなたは望んでいないところへ行きなさい。

イエスはペテロが他人の手によって死ぬことを預言しました。

1. 困難な状況で神の意志を受け入れる方法

2. 謙虚さと従順の報酬

1. マタイ 10:39 - 自分の命を見つける者はそれを失います。そして、私のために自分の命を失う者はそれを見つけるでしょう。

2. ピリピ人への手紙 2:7-8 - しかし、自分自身を何の評判も持たず、召使いのような姿をとり、人間に似せて造られました。死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順です。

ヨハネ 21:19 彼はこう言い、どんな死によって神の栄光を現わすべきかを示しました。そして彼がこれを話したとき、彼は彼に言った、「私に従ってきなさい」。

イエスは神の栄光を現すために自分の命を捧げる覚悟を示しました。それから彼はピーターに自分について来るように言いました。

1. イエスの犠牲 - 無私無欲の究極の例

2. イエスに従う - 真の成就への道

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. フィリピ 2:5-8 - お互いの関係において、キリスト・イエスと同じ考え方を持ちましょう。キリストは、本質的に神であるにもかかわらず、神との平等を自分の利益のために利用されるものとは考えませんでした。むしろ、彼は召使いの性質そのものをとり、人間に似せて造られることによって、自分自身を無のものにしました。そして、外見が人間であることが判明したので、彼はへりくだって、死に至るまで従順になりました??十字架の死にさえ従順になりました。

ヨハネ 21:20 そこで、ペテロが振り向くと、イエスが愛しておられた弟子が後を追っているのが見えた。その人も夕食のときに胸に寄りかかって言いました、「主よ、あなたを裏切るのは誰ですか？」

ペテロはイエスが愛した弟子であることを知っています。

1: イエスの追随者を認識することの重要性。

2: イエスが愛した弟子がイエスに対して抱いていたような関係をイエスとの間で育む。

1: マタイ 17:1-9 ?ペテロ、ヤコブ、ヨハネの変容の山でのイエスとの体験。

2: ヨハネ 13:21-30 ??最後の晩餐でのイエスと弟子たちの会話。

ヨハネ 21:21 ペテロは彼を見て、イエスに言った、「主よ、この人は何をなさるでしょうか」。

ヨハネ 21:21 におけるイエスとペテロの会話は、弟子たちに対するイエスの愛、配慮、気遣いを明らかにしています。

1: 弟子たちに対する神の愛 - ヨハネ 21:21

2: 神の子供たちに対する配慮と配慮 - ヨハネ 21:21

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、決して不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2: 1 コリント 13:4-7 - 愛は忍耐強く、親切です。愛は妬んだり自慢したりしません。それは傲慢でも無礼でもありません。それは自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりすることはありません。それは悪事を喜ぶのではなく、真実を喜ぶのです。愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐えます。

ヨハネ 21:22 イエスは彼に言われた、「わたしが来るまで待っていてほしいのですが、それがあなたにとって何のことですか」。私に従ってください。

イエスはペテロに、他人のことを心配するのではなく、自分の使命に集中するよう勧めました。

1. 個人に焦点を当てたイエスのメッセージ: 主と私たち自身のために生きる

2. 神の意志に従う: 神の戒めに耳を傾けて従う

1. マタイ 6:31-34 「だから、『何を食べようか』と心配しないでください。」または「何を飲もうか？」または「何を着ましょうか？」異邦人はこれらすべてのものを求めており、あなたがたの天の父はあなたがそれらすべてを必要としているのを知っていますが、まず神の国と神の義を求めなさい、そうすればこれらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。

2. ピリピ人への手紙 4:6 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。

ヨハネ 21:23 それから、「あの弟子は死ぬべきではない」ということが兄弟たちの間で広まったが、イエスは彼に、「死ぬことはない」とは言わなかった。しかし、もし私が来るまで彼が遅らせてくれるなら、それはあなたにとって何ですか？

この箇所では、イエスと弟子が弟子の将来について話し合っている様子が示されており、イエスは自分の意志だけが重要であると強調しています。

1. 私たちの生活における神の主権 - 神の御心だけが重要であること、そして何よりもどのように神を信頼すべきか。

2. 祈りの力 - 神に祈ることで、どのように私たちが神の御心を理解し、神を信頼できるようになるのか。

1. イザヤ書 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

2. ピリピ 4:6-7 - 無駄に気をつけなさい。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、人知を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを保つでしょう。

ヨハネ 21:24 これは、これらのことを証言し、これらのことを書いた弟子です。そして、私たちは彼の証言が真実であることを知っています。

この一節は著者の証言の真実性を裏付けています。

1. 本物の証言の力

2. 文書化された真実の権威

1. コリント人への手紙第二 1:12-14 「私たちの誇りは、この世で素朴さと敬虔な誠実さをもって、世の知恵によってではなく神の恵みによって、そして何よりも神の恵みによって行動したということ、つまり私たちの良心の証しなのです」なぜなら、私たちはあなたが読んだり認めたりすること以上のことをあなたに書きませんし、あなたが最後まで認めてくれると私は信じています。あなたが私たちを部分的に認めてくれたように、あなたが私たちのものであるように、私たちもあなたを喜んでいます。主イエスの日に。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

ヨハネ 21:25 また、イエスがなさったことは他にもたくさんありますが、それらをすべて書き記すとしたら、世界そのものですら書かれるべき本を収めることはできないと思います。アーメン。

イエスの宣教は非常に広範で奇跡的なものであったため、その全体を記録することは決してできませんでした。

1. イエス・キリストの奇跡的な宣教

2. イエスの宣教の範囲

1. ルカ 5:17-26 - イエスによる中風の男の癒し

2. マタイ 14:1-14 - イエスが 5,000 人に食事を与えた

使徒行伝 1 章では、イエスの弟子たちへの最後の指示、昇天、そしてイスカリオテのユダの後任としてマティアが選ばれたことが詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、ルカがテオフィロスに語りかけ、昇天に至るまでのイエス・キリストの生涯と教えを要約することから始まります。苦しみと死の後、イエスは 40日間にわたって生きたご自身を使徒たちに示し、神の国について語られました。ある時、彼らと一緒に食事をしていたとき、彼はエルサレムを離れず、父の約束を待つように彼らに指示しました。父は私から聞いた約束でした。ヨハネは水で洗礼を授けましたが、数日後に洗礼を受けました。聖霊は時間が王国を回復するかどうか尋ねましたイスラエルは時間ではなく答えました父は自分の権威を定めましたが、力を受けました聖霊が来るとき、エルサレム、ユダヤ、サマリアが地の終わりを目撃してください（使徒1:1-8）。

第 2 段落: これを言った後、彼らが見ていると、イエスは持ち上げられ、雲がイエスを彼らの目から隠しました。イエスが去って行かれるとき、彼らが天を見つめていると、突然、白い服を着た二人の男が彼らのそばに立って、「ガリラヤの人たち、どうして天を見つめて立っているのですか」と言いました。あなたから天に上げられたこのイエスは、あなたが彼が天に上がるのを見たのと同じように来られます。』それからエルサレムに戻り、市の近くのオリベットと呼ばれる山、安息日の旅で到着して二階の部屋に滞在し、ピーター、ジョン、ジェームス、アンドリュー、フィリップ、トーマス、バーソロミュー、マシュー、ジェームスの息子、アルファイウスシモン、熱心党、ユダ、息子のジェームスは全員、女性、母、マリア、イエスの兄弟たちとともに常に祈りに集まっていました（使徒行伝1: 9-14）。

第三段落：当時、ペテロは百二十人ほどの信者のグループの中に立っており、主を裏切ったイスカリオテのユダの後任の必要性について話し合った。詩篇に引用されて

いる住居は荒廃するが、誰も住めないように、別の者が彼の代わりを務めるようにと、指導者はジョセフがバルサバと呼んだ二人の男を提案した。ユストゥス・マティアスとしても知られていますが、主よ、心のままに皆さんが誰を選んだかを示してくださいと祈り、その後くじを引いてマティアスが落ちたので、11人の使徒を追加しました（使徒行伝1:15-26）。

使徒 1:1 テオピロスよ、イエスが行い、教え始められたすべてのことについて、私は前者の論文を作成しました。

著者はイエスの教えと働きについてテオフィラスに宛てて論文を書いている。

1.「イエスの教えと働き」

2.「イエスの模範の力」

1. マタイ 5:16 - 「あなたの光を他の人たちの前で輝かせなさい。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天のあなたの父に栄光を帰すことができます。」

2. ヨハネ 13:17 - 「あなたはこれらのことを知っているので、それを行うなら祝福されるでしょう。」

使徒 1:2 彼は引き上げられる日まで、その後、聖霊によって、自分が選んだ使徒たちに次のような戒めを与えました。

イエス・キリストは天に昇られる前に、聖霊を通して選ばれた使徒たちに戒めを与えられました。

1. イエスの戒めに従う: 従順の力

2. 聖霊の力: 私たちの生活における神の臨在

1. ヨハネ 14:15-17 「もしあなたがわたしを愛するなら、わたしの戒めを守るでしょう。そして私は父に願います、そして彼はあなたに永遠にあなたと一緒にいる別の助け主を与えてください、それは真理の御霊でさえもです、世界は彼を見ることも知らないので、彼を受け入れることもできません。あなたは彼を知っています、なぜなら彼はあなたとともに住み、あなたの中にいるからです。

2. マタイ 28:18-20 「すると、イエスが来て彼らに言われた、『天と地のすべての権威がわたしに与えられた。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

使徒 1:3 彼はまた、多くの間違いのない証拠によって、受難の後に生きている自分を彼らに示し、四十日間彼らを見守り、神の国に関する事柄について語った。

イエスは受難の後、多くの間違いのない証拠によってご自身が生きていることを示し、40日間追随者たちに現れて神の国について語られました。

1. イエスの復活: 私たちの信仰の証人

2.神の王国:人類に対するイエスのビジョン

1. コリント人への手紙第一 15:3-4 - なぜなら、私も受け取ったこと、すなわち、聖書に従ってキリストが私たちの罪のためにどのように死なれたかを、まずあなたがたに伝えたからです。そして、聖書に従って彼は埋葬され、三日目によみがえったとされています。

2. マルコ 16:15-16 - そしてイエスは彼らに言った、「あなたがたは全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」信じてバプテスマを受ける者は救われるでしょう。しかし信じない者は罰せられるであろう。

使徒 1:4 そして、彼らと一緒に集まって、エルサレムから離れず、父の約束を待ちなさい、と命じた。「あなたがたはわたしのことを聞いている」と父は言われる。

イエスは弟子たちに、父の約束をエルサレムで待つように命じました。

1. 父の約束を待つ：辺獄の時間を最大限に活用する

2. 待つことの強さ：私たちの人生に対する神のタイミングを信頼する

1. ローマ 8:25 - 「しかし、まだ持っていないものを望むなら、私たちはそれを辛抱強く待ちます。」

2. ヘブライ 10:36 - 「あなたがたには忍耐が必要です。それは、神のご意志を行ったときに、約束されたものを受け取ることができるからです。」

使徒 1:5 ヨハネは真に水のバプテスマを受けたからです。しかし、あなたがたはそう遠くないうちに聖霊のバプテスマを受けることになります。

イエスは弟子たちに、もうすぐ聖霊のバプテスマを受けると告げられます。

1. 聖霊の力: 神の力にアクセスする方法。

2. 洗礼の力: 水と御霊の重要性についての考察。

1. ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け主、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2. マタイ 3:11 - 「わたしは悔い改めのために水でバプテスマを授けますが、わたしの後から来られる方はわたしよりも強い方で、わたしにはそのサンダルを履くに値しません。彼は聖霊と火であなたにバプテスマを授けてくださいます。」

使徒 1:6 そこで、彼らは集まったとき、イエスに尋ねて言った、「主よ、あなたはこの際、再びイスラエルに王国を回復していただけませんか。」

イエスの弟子たちは、当時イスラエルに王国を回復してくれるかどうか尋ねました。

1. 神のタイミングは完璧です - 主の計画に対する忍耐と信仰の重要性を探ります。

2. 神の王国 - 神の国の希望とそれが今日の私たちにとって何を意味するかを明らかにします。

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

使徒 1:7 そこでイエスは彼らに言った、「時や季節を知るのはあなたたちではありません。父がご自身の力でそれを定められたのです。」

神はご自身だけに権威と、時と季節に関する知識を与えられました。

1.神の力：未知のものに対して神を信頼する

2. コントロールを手放す: 神の主権を理解する

1. イザヤ書 55:8-9 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の思いは地よりも高いからです」あなたの考え。"

2. ローマ人への手紙 11:33-36 「ああ、神の富と知恵と知識の深さよ。神の裁きはなんと探り難く、神の道はなんと不可解なのでしょう。誰が主の御心を知っていたのか、あるいは誰が主の助言者だったのか。「それとも、誰が彼に報いを受けるために彼に贈り物をしたのですか？彼から、彼を通して、そして彼にすべてのものがあるからです。彼に永遠に栄光がありますように。アーメン。」

使徒 1:8 しかし、聖霊があなたがたに臨んだ後、あなたがたは力を受けるでしょう。そしてあなたがたは、エルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして地の果てに至るまで、わたしの証人となるでしょう。

弟子たちは聖霊から世界中でイエスの証人となる力を約束されました。

1: 私たちの生活における聖霊の力

2: イエスの証人になる

1: ヨハネ 15:26-27 「しかし、わたしが父からあなたがたに遣わす助け主、すなわち父から出る真理の御霊が来るとき、彼はわたしについて証しをしてくださるでしょう。そしてあなたも証言してくれるでしょう、あなたは最初から私と一緒にいたのですから。」

2: エペソ人への手紙 3:16-17 「それは、キリストが信仰によってあなたがたの心の中に住まわれるように、キリストがあなたの内なる御霊によって力をもって強められるように、その栄光の豊かさに応じてあなたがたを授けてくださるためです。」

使徒 1:9 そして、イエスがこれらのことを話し終えると、人々が見ている中、抱き上げられた。そして雲が彼を彼らの視界から遠ざけました。

イエスは弟子たちに話した後、雲に乗って天に上げられました。

1. たとえ道が不明瞭であっても、イエスの信仰と従順の模範に従ってください。

2. イエスが私たちに与えた召しにふさわしい人生を送りましょう。

1. ルカ 9:51-62 – イエスのエルサレムへの旅と御父への従順。

2. エペソ人への手紙 4:1-3 – 受けた召しにふさわしい生き方をする。

Acts 1:10 そして、イエスが上って行かれるとき、彼らがしっかりと天を見つめていると、見よ、白い服を着た二人の男が彼らのそばに立っていました。

イエスの弟子たちはイエスが天に昇るのを見守り、白い服を着た二人の男が現れました。

1: 神は私たちが必要なときにいつも助けを送ってくれます。

2: 悲しみの瞬間であっても、神は私たちに希望と慰めを与えてくださいます。

1: ローマ人への手紙 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たちにとってはすべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。

2: イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、

私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

使徒 1:11 また、「ガリラヤの人たちよ、なぜ立って天を見つめているのか」とも言われました。あなたがたから天に上げられたこの同じイエスも、あなたがたが天国に入るのを見たのと同じように来られるでしょう。

弟子たちは、天に上げられたイエスが、去ったのと同じように戻ってくると告げられました。

1. キリストの約束に頼る - イエスが去ったときと同じように戻ってくることをどのように信頼できるか。

2. 予期せぬ場所で希望を見つける - イエスの再臨という神の約束が、困難な時にどのように私たちに慰めをもたらすのか。

1. ヨハネ 14:3 - そして、もし私が行って、あなたがたのために場所を用意するなら、私は再び来て、あなたを自分のもとに迎えます。私がいる場所に、あなたがたもそこにいるかもしれないということです。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

Acts 1:12 それから彼らは、エルサレムから安息日の旅程にあるオリベトという山からエルサレムに戻りました。

イエスの弟子たちは、安息日の旅程離れたオリベ山からエルサレムに戻りました。

1. イエスの模範に従い、時間をかけて交わりの中で共に旅をすることの大切さ。

2. 安息日の旅の距離を理解し、その中で生きることの重要性。

1. フィリピ 2:5 - 「キリスト・イエスにもあったこの思いを、あなたの中に持ちなさい。」

2. 出エジプト記 16:29 - 「七日目には、だれもその場所から出てはならない」。

使徒 1:13 そして、彼らが入ってくると、上の部屋に上がったが、そこにはペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレ、ピリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、そしてヤコブが住んでいた。シモン・ゼロテス、そしてヤコブの弟ユダ。

弟子たちは上の部屋に上がり、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレ、フィリポ、トマス、バーソロミュー、マタイ、アルファイの子ヤコブ、シモン・ゼロテス、ヤコブの兄弟ユダが集まっていました。

1. コミュニティの力: 弟子たちの団結が世界をどのように変えたか

2. 団結することの重要性: 弟子たちの集まりの様子

1. ヨハネ 13:34-35: 「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきです。これによって、すべての人はあなたがわたしの弟子であることを知るでしょう」お互いに愛があれば。」

2. ガラテヤ 6:2: 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

使徒 1:14 これらは皆、婦人たち、イエスの母マリア、兄弟たちと一致して祈りと願いを続けました。

母マリアや兄弟たちを含むイエスの追随者たちは、心を一つにして祈りました。

1. 団結した祈りの力: 力を合わせることで私たちは神とどのように結びつくのか

2. 家族の重要性: イエスの使命に対する家族の影響

1. エペソ人への手紙 4:1-6 - キリストの体の一致

2. 申命記 6:4-9 - 心と魂と力を尽くして主を愛しなさい

使徒 1:15 そのとき、ペテロは弟子たちの真ん中に立って言った（名前の数は合わせて百二十人ほどだった）

ペテロは弟子たちを集めて、イスカリオテのユダの後任を選びました。

1. 団結の力 - 力を合わせてどのようにして素晴らしいことを達成できるか

2. コミュニティの重要性 – 健全な精神生活に交わりと仲間意識が不可欠である理由

1. ヨハネ 13:35 - 「もしあなたたちが互いに愛し合っているなら、これによって、あなたたちが私の弟子であることを誰もが知るでしょう。」

2. 1 コリント 12:12-27 - 「体は一つであり、多くの部分からなり、体のすべての部分はたとえ多くても一つの体であるのと同じように、キリストも同様です。」

使徒 1:16 皆さん、兄弟の皆さん、聖霊が以前ダビデの口を通してユダに関して語られたこの聖書の言葉は、イエスを連れて行った彼らの導きとなったものであり、成就する必要があります。

聖書のこの節は、ユダのイエスに対する裏切りと預言の成就について言及しています。

1. 裏切りの結果

2. 神の預言の成就

1. ヨハネ 17:12 - 「彼らと一緒にいた間、私はあなたの御名において彼らを守りました。あなたが私に与えてくださったものは私が守りました。彼らの中で失われるものはありません。ただ、滅びの子だけです。聖書が成就するためです。」」

2. イザヤ書 53:12 - 「それゆえ、わたしは彼に偉い者たちと分け与え、彼は戦利品を強い者たちと分け与えるであろう。彼は死に至るまで魂を注ぎ出したからだ。そして彼は罪を犯した者たちと数えられ、そして彼は裸になった」多くの人の罪を赦し、違反者のためにとりなしを行った。」

使徒 1:17 なぜなら、彼は私たちと同じ数えられており、この奉仕の一部を得ていたからです。

この箇所は、使徒マティアスが使徒職におけるユダの代わりに選ばれたことを明らかにしています。

1: 神は私たち一人ひとりに計画を持っています。

2: 神は私たちにその使命の一部となるよう呼びかけています。

1: ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2: エペソ人への手紙 4:11-13 - そこで、キリストご自身が使徒、預言者、伝道者、牧師、教師たちに、キリストの体が建てられるように、ご自分の民に奉仕の業を備えさせるよう与えられたのです。

Acts 1:18 さて、この人は咎の報いで畑を買いました。そして真っ逆さまに倒れ、真ん中でバラバラに破裂し、腸がすべて噴き出しました。

この一節は、イエスを裏切ったことで受け取ったお金で畑を買った後に亡くなったイスカリオテのユダの死を描いています。

1. 裏切りの結果: イスカリオテのユダから学ぶ

2. 許しの力：ユダの裏切りにもかかわらずイエスの恵み

1. マタイ 26:14-16 - ユダの裏切りに関するイエスの知識

2. ヘブライ 9:27 - 罪の避けられない結果としての死

使徒 1:19 このことはエルサレムのすべての住民に知られた。その場は彼らの正しい言葉で「アセルダマ」、つまり血の場と呼ばれています。

エルサレム近くのアセルダマと呼ばれる野原はエルサレムの住民全員に知られており、これは血の野原と訳されます。

1. 名前の力: アセルダマとその重要性

2. 血の象徴性: キリスト教におけるその意味

1. マタイ 27:3-10 - ユダの物語と、彼が銀貨 30 枚と引き換えにイエスを裏切った経緯

2. ヘブライ人への手紙 9:18-22 - イエスの十字架上の死の意味とそれが私たちの人生に与えた影響

使徒 1:20 詩篇にはこう書いてある、「彼の住居は荒れ果て、そこには誰も住んではならない。そして彼の司教は他の者に占領させてはならない。」

この一節は使徒行伝の詩篇からのもので、詩篇で言及されている人物の住居は荒廃すべきであり、他の誰かがその司教職を引き継ぐべきであると述べています。

1. 神の意志の力: 神の計画はどのようにして常に実行されるのか

2. 聖書の意味の探求: 聖書の象徴的な言語を探求する

1. 詩篇 69:25 - 「彼らの住居は荒廃し、誰も彼らの天幕に住んではなりません。」

2. 使徒 2:25 - 「ダビデが彼について語っているので、私はいつも私の顔の前に主がいることを予感しました。主は私の右におられるので、私は動かされることはありません。」

使徒 1:21 ですから、主イエスが私たちの間を出入りしている間、ずっと私たちと一緒にいたこれらの人たちは、

この一節は、イエスが昇天する前に持っていた仲間について説明しています。

1. 人生において仲間を持つことの重要性。

2. イエスの信仰の旅と、イエスが私たちに示した模範。

1. 伝道の書 4:9-12 - 二人は一人よりも優れています。彼らはその労働に対して良い報酬を得ているからです。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。

使徒 1:22 ヨハネのバプテスマから始まり、ヨハネが私たちのもとから取り上げられたその日まで、人はヨハネの復活を私たちとともに証人となるように任命されなければなりません。

この箇所は、イエスの復活を証言する証人を任命することの重要性を強調しています。

1. 証しする力: イエスの効果的な証人になるには

2. 証言への呼びかけ: イエスの復活の良い知らせを広める私たちの責任

1. イザヤ書 43:10-12 - 「あなたがたは私の証人です」と主は言われます。私より前に神は誕生しなかったし、私の後にも神は存在しないだろう。

2. マタイ 28:16-20 - それから、11 人の弟子たちはガリラヤ、イエスが行くように言われた山に行きました。彼らは彼を見ると彼を崇拝しました。しかし、疑う人もいた。それからイエスが彼らのところに来て言われました、「天と地のすべての権威がわたしに与えられました。それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに、私は時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

Acts 1:23 そこで彼らは二人を任命した。すなわち、ユストという名でバルサバと呼ばれるヨセフとマテヤである。

イエスの弟子たちは、イスカリオテのユダに代わって、ヨセフ・バルサバス（ユストゥスとしても知られる）とマティアスの2人を12使徒の一人に任命しました。

1. 「新たな始まり：宣教活動の前進」

2.「主に仕えるための備えの大切さ」

1. マタイ 19:28 - 「イエスは彼らに言われた、「真実に言いますが、万物が一新されるとき、人の子がその栄光の王座に座るとき、私に従って来たあなたがたも十二の王座に座り、裁きを行うでしょう」イスラエルの十二部族です。」

2. ローマ 12:4-8 - 「私たち一人一人が一つの体を持ち、多くの部分があり、それらの部分がすべて同じ働きをしているわけではないのと同じように、私たちはキリストにあって、多くても一つの体を形成しており、各部分はそれぞれに属しています。「わたしたちは、それぞれに与えられた恵みに応じて、さまざまな賜物を持っています。もしあなたの賜物が預言であるなら、信仰に従って預言しなさい。それが奉仕であるなら、奉仕しなさい。それが教えることであるなら、教えなさいそして、それが預言であるなら、あなたの信仰に従って預言しなさい。それが教えることであるなら、教えなさい。」励ますことであれば励まし、与えることであれば惜しみなく与え、導くことであれば熱心に行い、慈悲を示すことであれば明るく行いなさい。」

使徒 1:24 そこで彼らは祈って言った、「すべての人の心を知っておられる主よ、この二人のうちからあなたが選んだかどうか、お示しください。

イエスの弟子たちは、二人の候補者のうちどちらがユダの後任となるべきかを神に祈りました。

1: 常に神に祈りを捧げ、私たちの人生に対する神の御心を信頼しましょう。

2: 私たちは重要な決断を下す際に神の導きを求めなければなりません。

1: 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2: ヤコブ 1:5-6 - もしあなたがたの中に知恵が欠けている人がいるなら、神に頼んでください。神はすべての人に、あら探しをすることなく惜しみなく与えてくださいます。そうすれば、知恵は与えられるでしょう。

使徒 1:25 それは、ユダが罪を犯して堕落したこの奉仕と使徒職に加わるためであり、自分の場所に帰るためである。

ユダのイエスに対する裏切りと、彼を新しい弟子と置き換える必要性については、使徒 1:25 で議論されています。

1: イエス・キリスト、罪人の救い主

2: 使徒の働きとそれがイエスの教えに与えた影響

1: ルカ 22:47-48 - そして、イエスがまだ話している間に、見よ、群衆がいて、十二人の一人であるユダと呼ばれる者が彼らの前に行き、イエスに近づき、キスをした。しかしイエスは彼に言った、「ユダ、キスで人の子を裏切るのか？」

2: ヨハネ 17:12 - わたしがこの世で彼らと一緒にいた間、あなたの御名において彼らを守りました。あなたがわたしに与えてくださったものは、わたしが守り続けました。滅びの子以外には失われるものはありません。聖書の言葉が成就するように。

使徒 1:26 そこで彼らは自分のくじを出しました。そして運命はマティアスに降りかかった。そして彼は11人の使徒と数えられました。

11人の使徒は無作為にマティアスを12番目の使徒に選びました。

1. 私たちの人生に対する神の計画を信頼し、頼ることの重要性。

2. オープンであり、必要な能力であれば何でも喜んで奉仕する必要性。

1. 箴言 16:33 – 「くじはひざに投げられますが、そのすべての決定は主からのものです。」

2. ピリピ 2:3-4 – 「利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。」

使徒行伝 2 章では、ペンテコステの聖霊降臨、エルサレムの群衆に対するペテロの説教、キリスト教共同体の初期のことが語られています。

第 1 段落: この章は、ペンテコステの日にすべての信者が 1 か所に集まるところから始まります。突然、激しい風が吹くような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家全体が満たされました。舌が分かれているように見えるものが見えました。火が分かれて休息し、彼ら全員が満たされ、聖霊は御霊が彼らにできるように他の言語を話し始めました。当時、エルサレムには天上のあらゆる国から来た敬虔なユダヤ人が住んでいました。この音を聞くと、群衆は戸惑いながら集まりました。弟子たちが自分の言葉で話しているのをそれぞれが聞いたからです（使徒2:1-6）。

第2段落: それからピーターは立ち上がり、11人が声を上げて群衆に向かって、一部の人が思っていたように酔っていないことを説明したが、これはジョエルの預言が成就した、「終わりの日、神はわたしの霊を注ぎ出すと言う、すべての人々の息子、娘が預言する、若者は幻を見る、古い夢、夢さえ見る」男も女も、彼らが預言する日には私の霊を注ぎ出すしもべたちよ。」それから彼はイエスについて証言した ナザレの人は神に認定された 奇跡 奇跡は神が彼を通して彼を通して行われたしるし 無法者を十字架につけて殺した しかし神は彼を苦しみの死から解放して蘇らせた 死が彼を拘束し続けることは不可能だから ダビデは「私はいつも私の前に主を見ました」と述べた彼は私の右にいます、私は動揺しません。」したがって、全イスラエルにこれを確信させてください。神は、あなたが十字架につけられたこのイエスを主メシアとされました（使徒2:14-36）。

第 3 段落: これを聞いた人々は心を痛め、ペテロに他の使徒たちに「兄弟たち、どうしましょうか?」と尋ねました。ペテロは、「あなたがイエス・キリストと呼ぶ者は皆、悔い改めてバプテスマを受けなさい。あなたの罪を赦してください。聖霊の賜物を受け取りなさい。遠く離れたすべての人々のために、つまり私たちの神である主が召されるすべての人のために、あなたの子供たちに約束してください。」と答えました。他にも多くの言葉で彼は彼らに警告した、堕落した世代を救ってくれと懇願した 彼らはそのメッセージを受け入れ、約3,000日を加えて洗礼を受けた 彼らは使徒たちの教育に専念した 交わり パンを裂く祈り 誰もが畏敬の念を抱いた 多くの奇跡が行われた 奇跡のしるしが使徒たち 信者全員が一緒にいて、共有の売却された財産すべてを持っていた財産は、必要に応じて誰にでも与えられました毎日、神殿の法廷に集まり、パンを割り、家は一緒に食事をし、喜び、心から神を賛美し、恵みを享受し、主は救われる人の数を毎日加えられました（使徒行伝 2:3 7-47）。

使徒 2:1 そして、ペンテコステの日がすっかり近づいたとき、彼らは皆、一致して一か所に集まりました。

ペンテコステの日、弟子たちは皆一か所に集まりました。

1. 団結の力: 団結することで信仰がどのように向上するか

2. ペンテコステの約束: 神の賜物はどのようにして私たちに与えられるのか

1. 詩篇 133:1 - 見よ、兄弟たちが団結して一緒に住むことは、なんと良いことであり、なんと楽しいことでしょう。

2. エペソ 4:3 - 平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努める。

使徒 2:2 すると、突然、激しい風が吹き荒れるような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響き渡った。

聖霊が天から強い風のような音で家を満たしました。

1. 聖霊の力

2. 天国の音

1. エゼキエル書 37:1-14 - 乾いた骨の谷

2. イザヤ書 11:1-2 - 七重の神の霊

Acts 2:3 すると、火のような裂けた舌が彼らに現われ、それが彼らのおのおのの上に止まった。

ペンテコステの日、聖霊が使徒たちに降り、火の舌の形で彼らに現れました。

1. 聖霊の力- 使徒2:3

2. 御霊の賜物 - 使徒 2:3

1. ヨハネ 14:26 - しかし、父がわたしの名によって遣わされる助け手、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくれるでしょう。

2. イザヤ 11:2 - そして、主の霊、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊が彼の上にとどまる。

使徒 2:4 そして、彼らはみな聖霊に満たされ、御霊が彼らに発語を与えたとおりに、他の言語で話し始めた。

□□□

1: 1 コリント 13:1 - 「たとえわたしが人間や天使の舌で話し、慈愛を持っていなくても、わたしは響き渡る真鍮、あるいはチリンチリンと音を立てるシンバルのようになっています。」

2: 使徒 10:34-35 - 「それからペテロは口を開いて言った、「真実ですが、神は人を軽視しないと私は思います。しかし、どの国でも、神を畏れ、義を行う者は神と共に受け入れられます。」」

Acts 2:7 すると、彼らは皆、驚き、驚嘆して、互いに言い合った、「見よ、この人たちはみなガリラヤ人ではないか」。

この箇所は、ペンテコステの日にイエスの弟子たちがさまざまな言語で話したときの群衆の驚きを描写しています。

1. 神の力を見よ: ペンテコステの贈り物を祝う

2. イエスの奇跡的な臨在: 聖霊はどのようにして私たちに大胆さを与えてくださるのか

1. ヨハネ 14:26 - しかし、父が私の名によって遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、私があなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。

2. イザヤ書 28:11-13 - なぜなら、彼はどもる唇と別の舌でこの民に話すからだ。彼は彼に言った、「これがあなたが疲れた人を休ませるための休息です。」そしてこれはさわやかなことですが、それでも彼らは聞きませんでした。

使徒 2:8 そして、私たち一人ひとりが、自分の生まれた国の言葉でどうして聞こえるのでしょうか。

ペンテコステの日に人々は、弟子たちが母国語で話すのを聞いて驚きました。

1. 聖霊の力: 言語の壁をいかに超えるか

2. ペンテコステの奇跡: 神への信仰の再生

1. 使徒 10:44-48 ?ペテロ?きれいな動物と不浄な動物のビジョン

2. ヨエル 2:28-32 すべての人に対する聖霊の約束

使徒 2:9 パルティア人、メディア人、エラム人、メソポタミア、ユダヤ、カッパドキア、ポントス、アジアの住民、

この一節は、ペンテコステの日に集まった群衆の中にいたさまざまな人々のグループについて説明しています。

1. 神の教会の多様性: 異なる国や文化がどのようにして団結と愛を持って一つになれるのか。

2. 聖霊の力: 聖霊はどのようにしてあらゆる背景を持つ人々を結びつけることができるか。

1. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」

2. 黙示録 7:9 - 「この後、わたしは見た、見よ、あらゆる国民、血縁、民、異国語から、誰も数えることのできないほどの大群衆が、御座と小羊の前に立っているのを見た。」

使徒 2:10 エジプトのフリギアとパンフリア、およびリビアのキレネ周辺の地域、およびローマの余所者、ユダヤ人および改宗者、

この一節は、フリギア、パンフリア、エジプト、リビア、ローマを含む世界のさまざまな地域に福音が広まったことを指しています。

1. 福音の力を理解する - イエス・キリストの良い知らせがどのようにして世界中に伝わるのか

2. 手の届かない人々に手を差し伸べる - どうすれば世界の隅々まで福音を届けられるか

1. マタイ28:16-20 - 大使命

2. ローマ人への手紙 10:14-17 - 信仰は神の言葉を聞くことによってどのように生まれるか

使徒 2:11 クレタ島とアラビア人、私たちは彼らが私たちの舌で神の素晴らしい御業を語るのを聞いています。

クレタ島とアラビアの人々は、イエスの弟子たちが神の素晴らしい御業について母国語で語るのを聞きました。

1. すべての人に届く福音の力

2. 言語の奇跡: 神の統一ツール

1. 使徒 10:34-35 ?ペテロはこう話し始めました。神はえこひいきを示さず、神を畏れ正しいことを行う者をあらゆる国から受け入れる、というのがいかに真実であるかを今理解してください。ユーロ?

2. イザヤ書 66:18-19 ?あるいは、私は彼らの働きと彼らの考えを知っています、そして私はすべての国々と言語を集めるために来ています。そして彼らは来て私の栄光を見るでしょう、そして私は彼らの間にしるしを置きます。

Acts 2:12 すると、彼らは皆、驚いて疑問を抱き、互いに言い合った、「これはどういう意味ですか」。

この箇所は、弟子たちが他の言語で話しているのを聞いたエルサレムの人々の反応を描写しています。

1) 聖霊の力: 聖霊はどのように私たちを変えることができるか

2) 神に対する率直さと受容の重要性

1) 使徒 2:1-4 - ペンテコステの日が来ると、彼らは皆同じ場所に集まりました。すると突然、強風が吹き荒れるような音が天から聞こえ、それが彼らが座っていた家中に響き渡りました。そして、彼らには火のような舌が現れ、彼らの一人一人の上に分布して止まりました。そして、彼らは皆、聖霊に満たされて、御霊が彼らに発語を与えたように、他の言語で話し始めました。

2) ヨハネ 14:16-17 - そして、私は父に祈ります。そうすれば、彼はあなたに別の相談者を与えてください、永遠にあなたと一緒にいるように、真理の御霊さえも与えてください。世は彼を見ることも知らないので、彼を受け入れることもできません。;あなたは彼を知っています、なぜなら彼はあなたとともに住んでおり、あなたの中にいるからです。

Acts 2:13 ある人たちはあざけりながら、「この人たちは新しいぶどう酒でいっぱいだ」と言った。

人々は使徒たちを嘲笑し、彼らは酔っていると主張した。

1: 反対や嘲笑の時代にあっても、信仰を堅持し続けなさい。

2: 他人の意見に振り回されず、神への信仰に導かれてください。

1: ガラテヤ 6:9 - 良い行いをすることに疲れないようにしましょう。私たちが失神しなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。

2: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできるのです。

使徒 2:14 しかし、ペテロは十一人とともに立ち上がって、声を張り上げて彼らに言った、「ユダヤの人たち、そしてエルサレムに住むすべての人たちよ、このことをあなたがたに知らせて、わたしの言葉に耳を傾けてください。

ペテロは他の11人の弟子たちとともに立ってエルサレムの人々に語りかけ、自分の言葉に耳を傾けるよう呼びかけます。

1. ピーターの言葉の力: 一つの声が歴史の流れをどのように変えることができるか

2. 聞くことの重要性：聖書のメッセージに耳を傾けること

1. マタイ 28:18-20 - すると、イエスが来て彼らに言われた。天と地におけるすべての権威が私に与えられました。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。

2. 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。

Acts 2:15 なぜなら、あなたがたが思っているように、この人たちは酔っているわけではありません。まだ一日の三時間目にすぎないからです。

まだその日の3時間目だったため、群衆の人々は一部の人が予想していたように酔っていなかった。

1. 自制の重要性

2. 知覚の力

1. 箴言 23:20-21 - ワインの飲み仲間に加わってはなりません。大酒飲みと暴食者は貧困に陥り、眠気でボロ布を着るだろう。

2. ペテロ第一 4:3-4 - 私たちの生涯のうち、好色、情欲、過剰なぶどう酒、酒宴、宴会、そして忌まわしい偶像崇拝の中を歩んでいたとき、異邦人の意志をかなえただけで十分かもしれません。彼らは、あなたがあなたがたの悪口を言いながら、同じ行き過ぎの暴動に一緒に走らないのは奇妙だと考えています。

使徒 2:16 しかし、これは預言者ヨエルによって語られたことです。

この箇所は預言者ヨエルの預言の成就について説明しています。

1. 神の言葉は常に真実です: ヨエルの預言の成就に関する考察

2. 預言の力と正確さ: 神の言葉はどのように成就するか

1. ヨエル2:28-32

2. イザヤ書55:10-11

使徒 2:17 そして、それは終わりの日に起こる、と神は言われる、「わたしはすべての肉なる者にわたしの霊を注ぐ。そしてあなたの息子や娘たちは預言し、あなたの若者たちは幻を見るだろう、そしてあなたの老人たちは幻を見るだろう」夢を見るだろう：

神は終わりの日にすべての人々に御霊を注ぎ、あらゆる年齢の人々が幻や夢を経験できるようにすると約束しています。

1: 御霊を注ぐという神の約束

2: ビジョンや夢を通して神を体験する

1: ヨエル 2:28-29 - そしてその後、わたしはすべての肉なる者に自分の霊を注ぎます。そしてあなたの息子や娘たちは預言し、あなたの老人は夢を見、あなたの若者は幻を見るでしょう。

2: ヨハネ 10:10 - 盗人は盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためだけにやって来ます。私が来たのは、彼らが命を得て、それを最大限に享受できるようにするためです。

使徒 2:18 そして、わたしは、その日々にわたしの御霊をわたしのしもべとはしためたちに注ぎます。そして彼らはこう預言するだろう。

聖霊はすべての信者に注がれ、彼らが預言できるようになります。

1: 聖霊はどのようにして私たちに神に仕える力を与えるのか

2: 預言を通して聖霊の力を体験する

1: ルカ 11:13 - 「では、悪人であるあなたが子供たちに良い贈り物を与える方法を知っているなら、天の父はなおさら、求める者たちに聖霊を与えてくださるでしょう。」

2: ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け主、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

Acts 2:19 そして、わたしは上に天に奇跡を、下に地にしるしを示します。血と火と煙の蒸気:

この一節は、血、火、煙を通して天と地に奇跡を起こす神の力について語っています。

1: 神は驚くべきことを行うことができる

2: 神の奇跡を信じる

1: イザヤ書 40:31 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2: ヘブライ 11:6 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神が真実であり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる方であることを信じなければなりません。」

使徒 2:20 主の偉大で注目に値する日が来る前に、太陽は闇に変わり、月は血に変わります。

太陽と月は主の日の前に暗くなります。

1. 神の力 - 主の日に関する預言者ヨエルの警告を考察する

2. 主の再臨 - 終末における太陽と月の重要性を理解する

1. ヨエル 2:31 - 「主の大いなる恐るべき日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。」

2. 黙示録 6:12-14 - 「そして、彼が第六の封印を開いたとき、私は見ました。そして、見よ、大地震が起こりました。そして、太陽は荒布の毛のように黒くなり、月は血のようになりました。そして、強風に揺さぶられるイチジクの木が時機を逸したイチジクを投げるように、天の星が地に落ちた。」

Acts 2:21 そして、主の御名を呼び求める者は救われるであろう。

主の御名を呼び求める者は皆救われます。

1. 賛美の力：主の御名を呼び求める

2. 救いの約束：主の御名に頼ること

1. ローマ人への手紙 10:13 - 「主の御名を呼び求める者は皆救われます。」

2. 詩篇 116:13 - 「私は救いの杯を取り、主の御名を呼びます。」

使徒 2:22 イスラエル人よ、この言葉を聞いてください。ナザレのイエス、奇跡と不思議としるしによってあなたがたの間で神に認められた人であり、あなたがた

も知っているように、神はあなたがたの間でそれを行った。

ナザレのイエスは神に認められた人であり、イスラエルの民の間に奇跡、不思議、しるしを行いました。彼らはそれを知っており、それを目撃しました。

1. イエスの奇跡: 彼の神性の証し

2. 聖書におけるしるしと不思議の意義

1. マタイ 11:2-6 - 洗礼者ヨハネの証言

2. マタイ 12:38-42 - 預言者ヨナのイエスのしるし

使徒 2:23 神の決定的な助言と予告によって救われた彼を、あなたがたは捕らえ、邪悪な手によって十字架につけて殺した。

イエスの十字架は神が定めた行為でした。

1. イエスの十字架における神の主権

2. イエスの究極の犠牲

1. イザヤ書 53:10 - 「しかし、主は彼に打ち傷を負わせることを喜ばれた。彼を悲しませた。そのとき、あなたは彼の魂を罪のいけにえとしてささげられる。」

2. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

使徒 2:24 神は、死の苦しみを取り除いて、この人をよみがえらせました。

神はイエスを復活させ、イエスを捕らえることのできなかった死の支配から解放してくださいました。

1: 神は究極の力であり、死んだ人を生き返らせる権限を持っているのは神だけです。

2: イエスの復活は、私たちに対する神の計り知れない愛のしるしであり、私たちがどんな状況でも神を信じることができることを思い出させてくれます。

1: ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われました。쏧 は復活であり、命です。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2: ローマ 8:11 - イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

Acts 2:25 ダビデが彼について語っているので、私はいつも私の顔の前に主がいることを予感していました。主は私の右におられるからであり、私が動かされることはありません。

ダビデは、主が常に自分の目の前にいて、自分が動かされることはないと予見していました。

1. 神が私たちと共におられることを知る：困難な時に強さと勇気を見つける方法

2. 神の揺るぎない臨在：神の力に頼って課題を克服する

1. 詩篇 16:8 - ?私はいつも私の前に主を置きました。彼が私の右にいるから、私は動揺しません。

2. イザヤ書 41:10 - ?耳を傾けないでください、私はあなたと一緒にいるからです。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。私はあなたを強くし、助け、私の義の右手であなたを支えます。

Acts 2:26 ですから、わたしの心は喜び、舌は喜びました。さらに、私の肉体も希望をもって休むでしょう。

救いの喜びは、信者の心に希望と喜びをもたらします。

1: 救いの希望を喜ぶ

2: 救われた心の喜び

1: ローマ 5:1-5 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。この方によって、私たちも信仰によってこの恵みにアクセスすることができ、その恵みの中に立っており、神の栄光を望んで喜んでいます。

2: コロサイ 1:27 - 神は彼らに、この奥義、つまりあなたがたのうちにあるキリスト、つまり栄光の希望の栄光が異邦人の間でどれほど大きな富であるかを知らせることにされました。

使徒 2:27 あなたは私の魂を地獄に置き去りにしないので、あなたの聖者に腐敗を見ることを許したくありません。

神はご自分の民を地獄に放置せず、代わりに彼らに救いをもたらします。

1: 神は慈悲、愛、そして許しです。

2: 神はご自分の民を見捨てません。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: 1 ペテロ 1:3-5 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。主はその豊かな憐れみによって、イエス・キリストの死者の中からの復活によって、私たちを生き生きとした希望へと、朽ちない相続物へと再び生み出してくださいました。汚れがなく、消えることのない、あなたがたのために天国に予約されており、信仰を通して神の力によって保たれ、終わりの時に明らかにされる救いに至るまでの準備ができています。

使徒 2:28 あなたは私に生き方を知らせてくださいました。あなたはあなたの顔で私を喜びで満たしてくださいます。

生き方は神の臨在を通して私たちに知らされます。

1: 主の御顔を通しての喜び

2: 神の臨在を通じて方向性を見つける

1: 詩篇 27:4 ?私が主に望んだものは何もありません、それを私は求めます。それは、私が生涯ずっと主の家に住み、主の美しさを見て、主の神殿で尋ねることができるためです。

2: イザヤ書 58:11 ?そして、主は絶えずあなたを導き、干ばつの中でもあなたの魂を満たし、あなたの骨を太らせてくださいます。そうすれば、あなたは水の満ちた庭園のように、そして水が絶えることのない水の泉のようになるでしょう。

使徒 2:29 皆さん、兄弟の皆さん、族長ダビデについて自由に話させてください。彼は死んで埋葬されており、彼の墓は今日まで私たちとともにあります。

使徒ペテロはエルサレムの群衆に向かって、族長ダビデが死んで埋葬されており、その墓は彼らの時代にまだ存在していることを分かち合います。

1. 死の力: ダビデの例

2. 信仰の遺産: 族長を思い出す

1. サムエル記下 7:12-13 - あなたの日々が満ち、あなたが先祖たちと一緒に寝るとき、わたしはあなたの子孫をあなたの後に起こし、あなたの体から出てく

る子孫を起こし、彼の王国を確立します。

2. 詩篇 16:8-11 - 私は常に主を私の前に置きました。彼が私の右にいるので、私は動揺しません。したがって、私の心は喜び、私の全身が喜びます。私の肉体も安全に住んでいます。あなたは私の魂をシェオルに放棄したり、あなたの聖なる者に腐敗を見させたりしないからです。

使徒 2:30 それゆえ、彼は預言者であり、神が自分の腰の実から、肉に従って彼に誓いを立てたことを知っていたので、キリストを立てて王座に着かせるだろう。

ダビデは預言を通して、神が肉に従って子孫の中からキリストをよみがえらせて玉座に座らせると約束されたことを知っていました。

1. キリストの玉座の約束: 神の変わらぬ救いの計画

2. 預言の力: ダビデはどのようにしてキリストの到来を知っていたのか

1. 詩篇 132:11 「主はダビデに真実に誓った。彼はそれを離れられない。わたしはあなたのからだの実をあなたの王座に据える。」

2. ヘブライ 7:14 「私たちの主がユダ族から出たことは明らかです。その部族についてモーセは祭司職について何も語らなかったのです。」

使徒 2:31 彼はこれを見て、キリストの復活について、自分の魂が地獄に取り残されておらず、肉体も腐敗していないことを以前に話しました。

キリストの復活は聖書によって預言されており、彼の魂は地獄に取り残されることも、肉体が腐敗することもありませんでした。

1. イエスは復活される: 死に対する生の勝利

2. イエスの復活: 罪と死に対する神の力

1. 詩篇 16:10 ?そうでなければ、あなたは私の魂を地獄に残さないでしょう。また、あなたはあなたの聖なる者に腐敗を見ることを許したくありません。

2. イザヤ書 25:8 ?勝利で死を飲み込むだろう。そうすれば主なる神はすべての顔から涙をぬぐってくださるでしょう。

使徒 2:32 このイエスは神によってよみがえらせられ、私たち皆がその証人です。

イエス・キリストの復活はすべての人が目撃する現実です。

1. イエスの復活の紛れもない事実

2. イエスの復活の希望と喜び

1. コリント人への第一の手紙 15:14-17 - もしキリストがよみがえらなかったら、私たちの説教は無駄になり、あなたがたの信仰も無駄になります。

2. ローマ人への手紙 4:25 - 私たちの罪のために救出され、私たちが義とされるためによみがえられた方です。

使徒 2:33 したがって、神の右によって高められ、父から聖霊の約束を受けて、神はこれを明らかにし、あなたがたが今見聞きしているのです。

イエス・キリストは神によって高められ、御父から聖霊の約束を受け、当時の人々が見聞きできる御霊の賜物を注ぎ出されました。

1. 神の約束は真実であり、信頼できるものです

2. 聖霊の力

1. ローマ人への手紙 8:14-16 - 「神の御霊に導かれる者は皆、神の子です。あなたがたは、再び恐怖に陥る奴隷の霊を受けたのではなく、子として養子縁組の霊を受けたからです。、誰によって私たちは叫びます、? 쏛ババ! お父さん!??御霊ご自身が私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。」

2. エペソ人への手紙 1:13-14 - 「あなたがたも、真理の言葉、救いの福音を聞いて、この方を信じたとき、約束の聖霊によって証印を押されました。聖霊は、私たちの相続財産の保証です。彼の栄光を称賛するために、私たちはそれを所有するのです。」

使徒 2:34 ダビデは天に昇ったわけではありません。しかし彼は自分で言いました、「主はわたしの主に言われた、『あなたはわたしの右に座れ、

使徒 2章34節でペテロは詩篇110篇1節を引用してイエス・キリストの復活を証明しています。

1. キリストの権威: 聖書を通して証明される

2. 復活の力: 私たち全員にとっての希望

1. 詩篇 110:1 - 主は私の主に言われた、「あなたは私の右に座ってください」

2. ピリピ 2:9-11 - したがって、神は彼を高く評価し、あらゆる名前に勝る名前を彼に与えました。

使徒 2:35 わたしがあなたの敵をあなたの足台にするまでは。

使徒行伝 2 章 35 節のこの一節は、詩篇 110 篇 1 篇からの引用であり、敵を神の民の足下に置く神の力について語っています。

1. 敵を踏み台にする神の力

2. 神の約束に立つ

1. 詩篇 110:1 - 主は私の主に言われた、「わたしがあなたの敵を足台にするまでは、わたしの右に座っていなさい。」

2. ローマ 16:20 - 平和の神は間もなくサタンをあなたの足の下で打ち砕かれます。私たちの主イエスの恵みがあなたとともにありますように。

使徒 2:36 ですから、イスラエルの全家に、あなたがたが十字架につけたのと同じイエスを、神は主でありキリストとしてくださったことを、はっきりと知らせてください。

神はイエスを主でありキリストであると宣言されており、イスラエルの家はそれを知るべきである。

1: イエス: 主でありキリスト - 彼は誰ですか?

2: イエス: 十字架につけられた人 - なぜ彼は主でありキリストなのでしょうか?

1: ピリピ 2:9-11 そこで、神は彼をいと高き所に高め、あらゆる名に勝る名を与えた。 10 それは、天においても地においても、地の下においても、イエスの御名によってすべての膝がかがむためである。11 そしてすべての舌は、父なる神の栄光のために、イエス・キリストが主であることを認めます。

2: コロサイ 1:15-20 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。16 天も地も、目に見えるものも見えないものも、王座も支配地も支配者も権威も、すべて彼によって創造されたからです。すべてのものは彼を通して、そして彼のために創造されました。17 そして、神は万物に先立って存在し、神の内に万物は一つにまとまっている。18 そして彼は教会という組織のかしらです。彼は始まりであり、死の中から最初に生まれた者であり、すべてにおいて優れているためです。19 なぜなら、神の満ち足りたすべてが彼の内に宿ることを喜んでいたからであり、20 そして彼を通して、地にせよ天にせよ、すべてのものをご自分と和解させ、十字架の血によって平和を実現しようとしたからである。

Acts 2:37 さて、これを聞いた人々は胸が痛くなり、ペテロと他の使徒たちに言った、「皆さん、兄弟たち、どうしましょうか。」

人々は深く感動し、何をすべきかを使徒たちに尋ねました。

1. 言葉の力: 福音が私たちをどのように動かすか

2. 信仰の呼びかけに応える: 良いたよりを聞いたら何をすべきか

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. ヤコブ 1:22-24 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし言葉を実行する者ではなく聞く者がいるとしたら、その人は、ガラスの中で自分の自然な顔を眺める人間に似ているからである。なぜなら、彼は自分自身を見つめ、自分の道を進み、自分がどんな人間だったのかをすぐに忘れてしまうからである。

使徒 2:38 そこでペテロは彼らに言った、「悔い改めて、罪の赦しのために、あなたがた一人一人、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう」。

ペテロは人々に、悔い改めて罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けるように命じます。そうすれば彼らは聖霊の賜物を受けるでしょう。

1: 悔い改めとバプテスマの力

2: 聖霊の賜物を受け取ることの重要性

1: マタイ 3:13-17 - イエスは洗礼者ヨハネから洗礼を受ける

2: 2 コリント 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは去り、新しいものがやって来ました。

Acts 2:39 この約束は、あなたとあなたの子供たち、そして遠く離れたすべての人たち、さらには私たちの神、主が召されるすべての人たちに与えられているからです。

主の約束は近くにいる人も遠くにいる人も含めて、主が召されたすべての人たちに与えられます。

1：？いいですか？救いの約束??

2：？いいですか？コールオブ グレース??

1: ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、彼らは信じていない方をどのようにして呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？

2: イザヤ書 55:6-7 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼びなさい。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。

彼を主に立ち返らせてください。そうすれば、彼は彼を憐れみ、私たちの神に憐れみを与えることができます。なぜなら、彼は豊かに赦してくださるからです。

使徒 2:40 また、彼は他にも多くの言葉で証言し、こう言いました、「この不遇の世代から身を守ってください。」

ペテロは人々に邪悪な世代から身を守るよう勧めます。

1. 不義の世界で生きる: 群衆に従わない方法

2. 神の悔い改めへの呼びかけ: 悪から救われる方法

1. 詩篇 1:1-2 - 悪者の計らいに従って歩まず、罪人たちの道を妨げず、あざける者の座に座らない人は幸いです。

2. テトス 2:11-14 - 神の恵みが現れて、すべての人々に救いをもたらし、不敬虔と世俗の情念を捨て、現代において自制的で正しく敬虔な生活を送れるように私たちを訓練してくださったからです。

Acts 2:41 それから、イエスの言葉を喜んで受け入れた人々はバプテスマを受けました。そして、同じ日に、彼らに約三千人の魂が加えられました。

初代教会は新しい改宗者を歓迎し、彼らに洗礼を授け、その結果約 3,000 人の魂の数が増加しました。

1. 新しい信者を歓迎することの重要性

2. 洗礼の力

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。

20 わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように彼らに教えなさい。見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいる。アーメン。

2. ローマ人への手紙 10:8-10 - しかし、何と言っているでしょうか？言葉はあなたの近くにあり、あなたの口の中にも、あなたの心の中にもあります。つまり、私たちが宣べ伝える信仰の言葉です。

9 もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるであろう。

10 人は心から義を信じます。そして口による告白は救いに至るのです。

Acts 2:42 そして彼らは、使徒たちの教義と交わりを堅固に守り、パンを裂き、祈りを続けた。

初代教会は使徒の教えを学び、交わり、パンを裂き、祈りを捧げることに専念しました。

1. 教会の基礎: 使徒の教えへの献身

2. 交わりの力: 所属することの祝福を経験する

1. コロサイ 3:16 キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿るようにしましょう。詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で主に向かって優雅に歌いましょう。

2. ヘブライ 10:24-25 そして、愛と善行を促すためにお互いを考慮しましょう。ある人々のやり方のように、一緒に集まることを放棄しないでください。しかし、互いに励まし合っているのです。その日が近づいているのが分かると、なおさらです。

Acts 2:43 そして、すべての魂に恐怖が臨み、使徒たちによって多くの不思議としるしが行われた。

使徒たちが多くの奇跡的なしるしや不思議を行ったので、人々の間に恐怖が広がりました。

1. 奇跡の力：神の権威の実証

2. 恐怖と向き合う: 困難な時の不安や心配を克服する

1. ヘブライ 2:3-4 - これほど偉大な救いを無視したら、どうやって逃れることができるでしょうか。それは最初に主によって語られ始め、それを聞いた人々によって私たちに確認されました。

4. 2コリント12:9 - そして彼は私に言った、「私の恵みはあなたに十分です。私の強さは弱さの中で完全になるからです。」したがって、キリストの力が私の上に宿るように、私はむしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います。

Acts 2:44 そして、信じた者たちはみな一緒に集まり、すべてのことを共有していました。

信者たちはすべての財産を自分たちで分け合った。

1. 寛大さの力

2. コミュニティの美しさ

1. 使徒 4:32 - ?信じた大勢の人々が心も魂も一つであり、自分のもののどれもが自分のものだとは誰も言わなかったが、それらにはすべて共通点があった。

2. コリント第一 13:4-7 - ?オヴェは忍耐強くて親切です。愛は妬んだり自慢したりしません。それは傲慢でも無礼でもありません。それは自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりすることはありません。それは悪事を喜ぶのではなく、真実を喜ぶのです。愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐えます。

Acts 2:45 そして、彼らの持ち物や品物を売り、必要に応じてすべての人に分け与えた。

初期キリスト教会の人々は、教会共同体の人々のニーズを満たすために、お互いに持ち物を共有しました。

1. キリスト教共同体における寛大さの力

2. 教会内でお互いを思いやる

1. ガラテヤ 6:2 - 互いに重荷を担い、そうしてキリストの律法を全うしましょう。

2. ヨハネ第一 3:17 - しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見て、その人に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人のうちに宿るでしょうか。

使徒 2:46 そして、彼らは毎日一致して神殿で働き、家から家へとパンを裂き、喜んで一心不乱に肉を食べた。

初代教会は引き続き神殿に集まり、喜びと団結をもって互いに食事を共にしました。

1: 私たちは初代教会のように、一致して生活するよう努めるべきです。

2: お互いの信仰を祝うことは、私たちに喜びをもたらし、信仰を強めます。

1: エペソ人への手紙 4:3、?平和の絆を通じて御霊の統一を保つためにあらゆる努力をします。

2: 詩篇 133:1、?そうですか、兄弟が団結して一緒に住むのは、なんと素晴らしいことであり、どれほど楽しいことでしょう!??

使徒 2:47 神を賛美し、すべての民に好意を持ちます。そして主は救われるべき者を毎日教会に加えられました。

主は人々から賞賛され、好意を持たれました。その結果、主は救われた人々を毎日教会に加えられました。

1: 私たちは常に主を賛美し、主から好意を寄せられるべきです。

2: 私たちは救われ、教会に加えられるよう日々努力しなければなりません。

1: 詩篇 103:1-2 「私の魂よ、私の内にあるすべてのものよ、主を祝福してください。主の聖なる御名を祝福してください。私の魂よ、主を祝福してください。そして主の恩恵をすべて忘れないでください。」

2: 使徒 3:19 「だから、悔い改めて回心しなさい。そうすれば、あなたの罪はぬぐい去られ、主の御前からさわやかな時が来るでしょう。」

使徒3章には、ペテロが足の不自由な物乞いを癒したことと、その後のソロモンの柱廊玄関での説教について詳しく書かれています。

第 1 段落: この章は、ペテロとヨハネが祈りの時に神殿に行くところから始まります。彼らは、生まれながらに足が不自由な男性に遭遇します。彼は、毎日寺院の庭に入る人々に物乞いをするために、「ビューティフル」と呼ばれる寺院の門まで運ばれていました。彼はペテロとヨハネが入ろうとしているのを見ると、彼らにお金を要求しました。しかし、ペテロはヨハネと同じように彼をまっすぐに見つめました。するとペテロは、「私には金や金は持っていませんが、持っているものをあげましょう。ナザレの人イエス・キリストの名によって歩きなさい。」と言いました。彼を右手で掴むと、彼はすぐに足を上げ、足首が強くなり、歩き始め、それから一緒に神殿の中庭に入り、神を賛美しながら飛び跳ねながら歩きました（使徒行伝3:1-8）。

第2段落: 人々は彼が歩いて神を賛美しているのを見た、同じ男が座って物乞いをしていた彼を認識した 美しい門は満たされた、驚きの出来事が起こった 機会を見てペテロは群衆に向かって、この男を歩ませたのは自分たちの力や敬虔さではなく、信仰によると説明した神が栄光を与えて引き渡したイエスの名において、ピラトはピラトの前で勘当されたが、ピラトは彼を釈放することを決めたが、勘当された。聖義なる方は殺人者に釈放を求め、作者の命を殺し、しかし神は証人である死者をよみがえらせた（使徒行伝3:9-15）。

第 3 段落: 誰もがはっきりとわかるように、この人を完全に癒したのは、イエスの御名とイエスを通して出てくる信仰です。さて兄弟たちは、あなた方の指導者たちが無知であったことを知っていますが、神はこの方法で、すべての預言者を通して、メシアが苦しむであろう、だから悔い改めなさい、罪がぬぐい去られ、さわやかな時が来るかもしれないと預言されたことを成就されました、主はすでにあなたのために任命されたメシアを送ってくださるかもしれません、イエスは時が来るまで天国に留まらなければなりません神は、聖なる預言者を通して昔に約束されたとおり、すべてを回復してくださるからです（使徒 3:16-21）。彼は説教を続け、モー セ・サムエルの他の預言者がこの頃、「あなた方は、アブラハムが『あなたの子孫によって全民の地は祝福されるだろう』と言ったときに神があなたの先祖たちと結んだ契約の預言者の相続人である」と結論付けたことを引用しながら説教を続けます。神が最初に遣わした僕をよみがえらせたとき、あなたは、一人一人を邪悪な道から立ち返らせることを祝福してくださいます』(使徒3:22-26)。

使徒 3:1 さて、ペテロとヨハネは、祈りの時間、すなわち九時、一緒に神殿に上りました。

ペテロとヨハネは９時に祈るために神殿に行きました。

1. 神への祈りと献身の大切さ。

2. 信仰の力とそれがいかにして山をも動かすか。

1. テサロニケ第一 5:17 - 絶えず祈りなさい。

2. マタイ 17:20 - イエスは彼らに言った、「あなたたちの信仰が小さかったためです。本当に言っておくが、からし種一粒のような信仰を持っているなら、この山に向かって『ここからあそこに移動しなさい』と言えば山は動き、あなたにとって不可能なことは何もないからだ。」

使徒 3:2 また、母親の胎内から足が不自由だったある男が運ばれ、人々は毎日、美しいと呼ばれる神殿の門のところにその男を横たえ、神殿に入る者たちに施しを求めた。

生まれた時から足が不自由だった男性は、ビューティフルと呼ばれる寺院の門まで運ばれ、そこで寺院に入る人々に施しを求めました。

1. 信仰の力: 神はどのようにして信者を癒すのか

2. 思いやりの力: どうすれば変化をもたらすことができるか

1. ルカ 4:18-19 - 「主の御霊が私の上にあります。貧しい人たちに福音を宣べ伝えるために主が私に油を注いでくださったからです。彼は心の傷ついた人を癒し、捕虜に救出を説き、目の見えない人に視力の回復を説き、打ち傷を負った人たちを解放するために私を遣わしたのです。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

使徒 3:3 神殿に入ろうとしているペテロとヨハネを見た人は、施しを求めました。

神殿の男はペテロとヨハネに施しを求めました。

1. 寛大さの力: 与えることの祝福を理解する

2. 必要なときに神を信頼することを学ぶ

1. マタイ 6:19-21 「虫とさびが滅び、盗人が押し入って盗む地上に自分のために宝を積んではなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさず、盗人がいない天に宝を蓄えなさい。」侵入したり盗んだりしないでください。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

2. ルカ 6:38 「与えなさい。そうすれば与えられるでしょう。上手に押さえつけたり、一緒に振ったり、轢いたりすると、膝の上に乗せられます。なぜなら、あなたが使った物差しは、あなたに戻ってくるからです。」

使徒 3:4 そこでペテロはヨハネとともに自分を見つめながら、「見てください。」と言った。

この一節には、ペテロとヨハネが一人の男をじっと見つめている様子が描かれています。

1.「私たちを見てください：意図的な視線の力」

2.「一目でつながる団結力」

1. 「目をまっすぐ前に向けてください。視線をまっすぐ前に向けてください。」 ― 箴言 4:25

2. 「右にも左にも周りを見回してはいけない。悪から足を遠ざけなさい。」 ― 箴言 4:27

使徒 3:5 そこでイエスは、彼らから何かを受け取ることを期待して、彼らに注意を払った。

ある男がペテロとヨハネのところにやって来て、彼らから何かを受け取ろうと期待していました。

1. 寛大さの力: 見返りを期待せずに与えることを学びます。

2. 信仰の力: すべての必要を満たしてくれる神を信頼します。

1. ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完全な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。

2. コリント人への第二の手紙 9:10-11 - さて、種まき人に種を仕える人は、あなたがたの食糧となるパンを仕え、あなたの蒔いた種を増やし、あなたの義の実を増やします。すべてのことが豊かになり、すべてが豊かになり、それが私たちを通して神への感謝をもたらします。

使徒 3:6 そこでペテロは言った、「私には銀も金もありません。しかし、私があなたに与えるものは、ナザレのイエス・キリストの名において立ち上がり、歩きなさい。

ペテロはナザレのイエス・キリストの名を宣言して足の不自由な人を癒します。

1. イエスの御名の力: キリストを通して神の奇跡を体験する

2. イエス：命と癒しの源

1. ヨハネ 14:12 - 「真実に、あなたがたに言いますが、わたしを信じる者は、わたしと同じ業を行い、また、これらよりも大きな業を行うでしょう。わたしは父のもとへ行くからです。」

2. マタイ 8:3 - 「すると、イエスは手を伸ばして彼に触れて言われた、『そうします。清くなりなさい。」そしてすぐに彼のハンセン病は清められました。

Acts 3:7 そして、イエスが右手を掴んで持ち上げると、すぐに彼の足とくるぶしの骨に力が入った。

その人はイエスの力によって癒され、立ち上がることができました。

1: イエスの力が癒します

2: 信仰の予期せぬ強さ

1: マタイ 9:2 - 見よ、彼らは、中風で床に横たわっている男を彼のところに連れてきた。すると、イエスは彼らの信仰を見て、中風の病人に言われた。息子よ、元気でいてください。あなたの罪は赦されますように。

2: 使徒 10:38 - 神はどのようにナザレのイエスに聖霊と力を注いだか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されていたすべての人々を癒して回った。神が彼とともにおられたからである。

使徒 3:8 そこで、彼は飛び起きて立ち上がり、歩き、彼らと一緒に神殿にはいり、歩き、飛び跳ねながら、神を賛美した。

生まれつき足が不自由だったその人は癒され、立って歩くことができるようになり、喜びと賛美をもって神殿に入りました。

1. 賛美の力 - 神を賛美することがいかに癒しと喜びをもたらすか。

2. 逆境の克服 - 信仰と勇気がどのようにして驚くべき結果をもたらすのか。

1. ヨハネ 14:12-14 - イエスを信頼すると、平安と超自然的な喜びがもたらされます。

2. 詩篇 34:1-4 - 神を賛美することは癒しと平安をもたらします。

使徒 3:9 すると民はみな、彼が神を賛美しながら歩いているのを見た。

足の不自由だった人が癒され、神を賛美しながら歩いているのが見られました。

1. 賛美の力: あらゆる状況で他人に感謝するよう促す

2. 神の奇跡: 神の癒しと回復を体験する

1. 詩篇 34:1-3 - 私はいつも主を祝福します。彼の賛美は絶えず私の口に残るでしょう。

2. ヘブライ 13:15 - ですから、私たちは、この方を通して、賛美のいけにえ、すなわち、御名を認める唇の実を絶えず神にささげましょう。

Acts 3:10 そして彼らは、神殿の美しい門に施しのために座っていたのが彼であることを知り、彼の身に起こった出来事に驚きと驚きでいっぱいだった。

神殿の門の外に座って施しを求めていた男性は、ペテロとヨハネによって奇跡的にいやされ、周囲の人々は驚きと驚きでいっぱいになりました。

1. 奇跡の力: イエスの奇跡的な癒し

2. 日常の中に神の驚異をみる

1. マタイ 9:35 - 「イエスはすべての町や村を巡回し、会堂で教え、神の国の福音を宣べ伝え、人々のあらゆる病気や病気をいやされた。」

2. ルカ 7:22 - 「すると、イエスは答えて言われた、『行って、あなたがたが見聞きしたこと、目の見えない人がどのように見え、足なえが歩き、らい病人が清められ、耳の聞こえない人がどのように聞こえるのか、ヨハネに話してください。』死人はよみがえり、貧しい人たちには福音が宣べ伝えられます。」

使徒 3:11 そして、癒された足の悪い人がペテロとヨハネを抱きかかえていると、民はみな、ソロモンの家と呼ばれる玄関で、大いに不思議に思いながら、一緒に彼らのところに走って行きました。

足の不自由な人は癒され、人々は驚いてペテロとヨハネの周りに集まりました。

1. 今日の治癒の奇跡

2. 私たちの生活における神の力と存在

1. ヨハネ 14:12 - 「まことに真実に言いますが、わたしを信じる者は、わたしが行ってきた業を行い、さらにそれよりも大きな業を行うでしょう。わたしは父のもとに行くからです。」

2. 使徒 2:22 - 「イスラエルの人たち、これを聞いてください。ナザレのイエスは、あなた方も知っているように、奇跡、不思議、しるしによって、神によってあなたたちに認められた人でした。それは神が彼を通してあなたたちの間になさったことです。」

使徒 3:12 ペテロはそれを見て、民に答えた、「イスラエル人よ、なぜこれに驚くのか」。それとも、なぜあなたがたは、あたかも私たちが自分の力や神聖さによってこの人を歩ませたかのように、私たちをそれほど熱心に見つめているのですか？

ペテロはイスラエルの人々に、人がイエスによって癒された奇跡になぜ驚いたのかと尋ねました。

1. イエスの力: 私たちの生活におけるイエスの奇跡を認識する

2. 神の奇跡を受け入れる：神の備えと恵みを受け入れる

1. ルカ 5:17-26 – イエスは中風の人を癒す

2. ヨハネ 10:10 – イエスは命と命をより豊かに与えるために来られました。

使徒 3:13 アブラハム、イサク、ヤコブの神、すなわち私たちの先祖の神は、御子イエスに栄光を与えてくださいました。あなたがたは彼を手放し、ピラトが彼を釈放しようと決意していたとき、彼の面前で彼を拒否した。

神は人類に拒絶され裏切られたにもかかわらず、御子イエスに栄光を帰されました。

1. 神の愛の力 - 人類に対する神の愛は、私たち自身の罪や欠陥よりもいかに強いか。

2. イエスの栄光 - 神の意志に対するイエスの従順がどのように栄光をもたらしたか。

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

2. ピリピ 2:5-8 - 「お互いの関係において、キリスト・イエスと同じ考え方を持ちなさい。キリストは、本質的に神であるにもかかわらず、神との平等を自分の利益のために利用されるものとは考えなかった。むしろ、「彼は召使いの性質そのものを取り、人間に似せて造られたことによって、自分を無のものにしたのです。そして、人間の姿で見出されて、死に至るまで、さらには十字架の死に従順になることで、自分を低くしました！」

Acts 3:14 しかし、あなたがたは聖なる方と正しい方を否定し、殺人者が自分に与えられることを望んだ。

一節 人々は神聖で唯一のものを否定し、その代わりに殺人者を望んだ。

1. 神を拒否することの危険性

2. 間違った選択をする力

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

使徒 3:15 そして、神が死人の中からよみがえらせた命の君を殺しました。私たちはその証人です。

十二使徒の一人であるペテロは、命の君であるイエスは殺されたが、神がイエスを死者の中からよみがえらせたとエルサレムの人々に説教しました。

1. 復活の力 - イエスの復活の意味と、それが私たちに与える力を探ります。

2. イエスの生涯 - イエスの生涯が彼の追随者と今日の私たちの生活に与えた影響を考察します。

1. ローマ人への手紙 6:4-10 - キリストの死と復活との結びつきを通して、キリストにおける私たちの新しい命を探求します。

2. 1 コリント 15:21-26 - 私たちに新しい命をもたらすイエスの復活の重要性を考察します。

使徒 3:16 そして、その御名に対する信仰によって、あなたがたが見知っているこの人を、その名が強くしたのです。そうです、彼による信仰が、あなたがた全員の前で彼にこの完全な健全さを与えたのです。

ある人はイエスの名を信じる信仰によって癒され、この奇跡的な癒しはその場にいた全員が目撃しました。

1. 山を動かす信仰: 奇跡の可能性のある人生を生きる方法

2. 信仰の力: 神聖な癒しにアクセスする方法

1. マルコ 11:22-24 - するとイエスは彼らに答えられた、「神を信じなさい。真実に、あなたに言います。この山に向かって、『引き上げられて海に投げ込まれなさい』と言い、心の中で疑うことをせず、自分の言ったことは必ず実現すると信じる者は、そのとおりになります。

2. ヤコブ 1:5-7 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。しかし、疑うことなく、信仰を持って尋ねましょう。疑う人は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからです。

Acts 3:17 さて、兄弟たち、あなたがたの支配者たちと同じように、あなたがたも無知によってそうしたのだと私は思いました。

ペテロはイエスを殺したユダヤ人の群衆を叱責し、それは無知によって行われたと説明しました。

1. 無知の力: 自らの盲目を克服する方法

2. 意図しない罪: 自分の不正行為を認識して悔い改めることを学ぶ

1. マタイ 26:67-68 - それから彼らは彼の顔につばを吐き、こぶしで彼を殴りました。他の者たちは彼を平手打ちし、「キリストよ、私たちに預言してください！」と言いました。あなたを殴ったのは誰ですか？」

2. ヤコブ 4:17 - したがって、行うべき正しいことを知っていながらそれを行わない人にとって、それは罪です。

使徒 3:18 しかし、神は以前、すべての預言者の口によって、キリストが苦しむべきであると示されたことを、そのように成就されました。

神は、キリストが私たちの罪のために苦しむという約束を果たされました。

1. 十字架の約束: イエスの苦しみを理解する

2. イエスの死: 私たちの罪に対する究極の犠牲

1. イザヤ書 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。

2. ピリピ 2:6-8 - 誰が、本質的に神であるのに、神との平等を自分の利益のために利用されるものとは考えませんでした。むしろ、彼は召使いの性質そのものをとり、人間に似せて造られることによって、自分自身を無のものにしました。そして、外見上は人間であることが判明したため、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死にまで従順になりました。

使徒 3:19 それゆえ、あなたがたは悔い改めて回心しなさい。そうすれば、主の御前からさわやかな時が来るときに、自分の罪が消え去ります。

罪が赦されるために、悔い改めて神に立ち返りましょう。

1: 悔い改めは許しにつながります。

2: 回心によって救いを求めます。

1: イザヤ書 1:18 - 「さあ、一緒に論じましょう、と主は言われる、たとえあなたの罪が緋のようであっても、それは雪のように白くなるでしょう。たとえ深紅のように赤くても、それらは羊毛のようになるでしょう。」

2: 1 ヨハネ 1:9 - 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」

使徒 3:20 そして彼は、以前あなたがたに宣べ伝えられたイエス・キリストを遣わすでしょう。

この箇所は、以前に人々に宣べ伝えられたイエス・キリストについて語っています。

1. イエス：世界の希望

2. イエス・キリストの良いたよりを宣べ伝える

1. コリント人への手紙第一 15:3-4 - なぜなら、私も受け取ったこと、すなわち、聖書に従ってキリストが私たちの罪のためにどのように死なれたかを、まずあなたがたに伝えたからです。そして、聖書に従って彼は埋葬され、三日目によみがえったとされています。

2. ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、信じていない方をどうして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？そして、彼らは遣わされる以外に、どうやって説教するでしょうか？「平和の福音を宣べ伝え、良いことを知らせる人々の足は何と美しいことでしょう。」と書かれているとおりです。

使徒 3:21 神が世界の始まり以来、すべての聖なる預言者の口によって語られた万物の回復の時まで、天はこの人を受け入れなければなりません。

使徒言行録 3 章 21 節には、神が世の初めから預言者を通して語ってきた万物の回復の時まで、天はイエスを受け入れると述べられています。

1. イエスは、太古の昔からの神の約束と計画の実現者です。

2. 神の約束は預言者を通して明らかにされ、イエスを通して実現します。

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はそのとおりである。それはむなしくわたしに返ることはなく、わたしの目的を達成し、わたしがそれを送った目的を達成するであろう。」

2. ヘブライ 2:14 - 「ですから、子供たちは血と肉を分かち合っているのですから、彼自身も同様に同じものにあずかりました。それは、死の力を持つ者、つま

り悪魔を死によって滅ぼすためです。」

Acts 3:22 というのは、モーセは真実に先祖たちに言った、「あなたの神、主は、わたしと同じように、あなたの兄弟たちのうちからあなたがたに預言者を立てられるであろう。」彼があなたに言うことはすべてあなたがたに聞くであろう。

モーセは、新しい救いの契約をもたらすメシアの到来を預言しました。

1. メシアの約束: 預言者が予告したこと

2. メシアの到来に応える

1. イザヤ書53:4-6

2. ルカ4:18-21

使徒 3:23 そして、その預言者の言葉を聞かない者は皆、民の中から滅ぼされるであろう。

使徒行伝 3:23 のこの一節は、預言者の言葉に従わない者は民の中から滅ぼされると警告しています。

1. 「従順への神の呼びかけ: 預言者の言葉に耳を傾ける」

2. 「不服従の結果: 人々からの破壊」

1. 申命記 18:15-19、「あなたの神、主は、あなたがたがホレブであなたの神、主に望んだとおり、あなたがたの中から、あなたの兄弟の中から、わたしのような預言者をあなたのために立てられる。あなたはこの方に聞くべきである。」集会の日に、あなたはこう言った、「死ぬといけないので、もう二度と私の神、主の声を聞かせないでください。またこの大火を見ないでください。」「彼らの言ったことは正しい。わたしは彼らのために、彼らの兄弟たちの中からあなたのような預言者を立てる。そして、わたしの言葉を彼の口に伝え、彼はすべてのことを彼らに語るであろう」と主はわたしに言われた。わたしは彼に命じる。そして、わたしの名において語るわたしの言葉に耳を貸さない者には、わたし自身がそれを要求するだろう。」

2. エレミヤ 7:23-24、「しかし、わたしが彼らに命じたこの命令は、『わたしの声に従いなさい。そうすれば、わたしはあなたの神となり、あなたたちはわたしの民となる。そして、わたしが命じる道をすべて歩きなさい。そうすれば、元気でね。』しかし、彼らは従わず、耳を傾けず、自分たちの勧告と邪悪な心の頑固に従って歩み、前進することなく後退した。」

使徒 3:24 そうです、サムエル以来のすべての預言者と、その後に続いて語った多くの預言者も同様に、最近のことを予告しています。

神は人類を救うために御子を世界に送ると約束されました。

1. 人類の救いのために御子を遣わすという神の約束を果たされる神の忠実さ。

2. キリストの到来を指し示す預言の力とその重要性。

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ルカ 1:68-69 - イスラエルの神、主がほめたたえられますように。主はご自分の民を訪れて救い出し、そのしもべダビデの家で私たちのために救いの角を立ててくださいました。

使徒 3:25 あなたがたは預言者の子であり、神がアブラハムに言った、「あなたの子孫によって、地上のすべての種族は祝福されるであろう」と言って私たちの先祖と結んだ契約の子です。

神はアブラハムと契約を結び、地上のすべての国々が彼の子孫によって祝福されることを約束しました。

1. 神の契約の約束の力

2. アブラハムの子孫の祝福

1. ガラテヤ 3:14 - 「それは、アブラハムの祝福がイエス・キリストを通して異邦人に及ぶためです。それは私たちが信仰を通して御霊の約束を受けるためです。」

2. 創世記 12:1-3 - 「さて、主はアブラムに言われた、『あなたをあなたの国から、あなたの親族から、あなたの父の家から出て、わたしがあなたに示す土地に行きなさい。そしてわたしはそれで作る』あなたは偉大な国民です、そして私はあなたを祝福し、あなたの名を偉大なものにします。そうすればあなたは祝福となるでしょう：そして私はあなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者を呪います：そしてあなたによって地球のすべての家族が祝福されるでしょう。」

使徒 3:26 まず、神は御子イエスをよみがえらせて、あなたがた一人一人をその咎から遠ざけて祝福するために、あなたがたに遣わされました。

神の救いの計画は、私たちを祝福し、罪から遠ざけるために御子イエスを送ってくださることです。

1: イエス、私たちの救い主であり救い主

2: 不法行為から離れる

1: 1 ヨハネ 2:1-2 - 「私の小さな子供たちよ、これらのことは、あなたがたが罪を犯さないようにとあなたに書きます。そして、もし誰かが罪を犯したとし

ても、私たちには父なる御父の代弁者、義なるイエス・キリストがいます。そして彼は私たちの罪のためのなだめの者であり、私たちだけの罪ではなく、全世界の罪のためでもあります。」

2: ローマ人への手紙 10:9-10 - 「もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」人は心から正義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。」

使徒行伝 4 章では、サンヘドリンによるペテロとヨハネの逮捕、イエス・キリストへの信仰の大胆な宣言、初期の信者たちの団結と寛大さが詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、使徒たちが人々にイエスの復活について死者を宣言していることを教えていたため、祭司と神殿の衛兵長サドカイ人たちが動揺してやって来たとき、ペテロとヨハネがイエスの復活について人々に話すところから始まります。夕方だったので彼らはピーターとヨハネを捕らえ、翌日まで刑務所に入れました。しかし、メッセージを聞いた多くの人は、人間の数が約5,000人になったと信じていました(使徒4:1-4)。

第 2 段落: 翌日、支配者たち、長老たち、教師たちは、アンナの大祭司カイアファス、ジョン・アレクサンダーとともにエルサレムに会い、他の家族の大祭司がピー ター・ジョンを連れて来た、これは何の権力の名前によって行われたのかと尋ねた。聖霊に満たされたペテロはこう言いました。「支配者たち、長老たちよ、もし私たちが今日責任を問われているとしたら、足の不自由な人がどのように癒されたのかと尋ねられて親切に示した行動をとっているのなら、イスラエルの皆さん、あなた方が十字架につけたが、神が死人の中からよみがえらせたこの人が立っていることを、イスラエルの皆さん、ナザレと名付けてください。」治る前に。』そして、救いは他の誰にも見出されない、と宣言しました。なぜなら、私たちが救われるために天の下に人類に与えられた名前は他にないからです（使徒4:5-12）。

第 3 段落: 勇気を見たピーター・ヨハネは、自分たちが学校も受けていない普通の人間であることに気づき、驚いて、この人たちがイエスと一緒にいたことに注目しましたが、癒された人がそこに立っているのが見えたので、イエスの名前を一切話すなと命令するものは何もありませんでしたが、ピーター・ヨハネは答えました。私たちは見聞きしたことについて話さずにはいられません。」さらなる脅迫の後、何が起こったのか人々が神を賛美していたため、彼らを罰する方法が見つからずに放っておかれました。釈放されると、自分の人々が戻ってきたと祭司長たちが長老たちに報告し、神が召し使いたちに言葉を大きく大胆に語らせ、手を伸ばして癒し、聖僕イエスの名を通して奇跡を行い、祈りが震え、満たされた聖霊が神の言葉を大胆に語られた場所であると報告しました（使徒言行録 4:13-31）。この章は、使徒たちが復活を証言し続けていれば、自分のものをすべて共有していると主張する信者間の団結について述べて終わります。主イエスは、必要に応じて、分散しているすべての人々の中で、困っているすべての人に多くの恵みを与えられました（使徒言行録4:32-37）。

使徒 4:1 彼らが民、祭司、神殿長、サドカイ人たちに向かって言ったとき、彼らに襲い掛かった。

初期キリスト教会は、祭司、神殿長、サドカイ派によって迫害されました。

1. 信仰のために迫害されても落胆しないでください。

2. 反対にもかかわらず、自分の信仰を堅持してください。

1. 使徒 5:41 - 「そして彼らは、自分たちが彼の名のために恥をかかされるに値するとみなされたことを喜びながら、議会の前から立ち去った。」

2. ローマ人への手紙 8:35-39 - 「誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？艱難、苦難、迫害、飢餓、裸、危険、剣でしょうか？…高さも深さも、他のいかなる被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。」

使徒 4:2 彼らが人々に教え、イエスを通して死者の中からの復活を宣べ伝えたことを悲しんでいます。

宗教指導者たちは、使徒たちがイエスと死者の中からの復活について教え、説教していることに不満を抱いていました。

1. 復活した命の力

2. 教えることと説教することの力

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。

使徒 4:3 そこで彼らは彼らに手を置いて、翌日まで留めておいた。もう夕方だったからである。

使徒たちは逮捕され、翌日まで拘留された。

1. 信仰の強さ：逆境にもかかわらず使徒たちはどのように耐え忍んだのか

2. 迫害に直面しても毅然とした態度で立つ

1. ローマ 8:31–39 – 困難な時における神の無条件の愛と保護

2. エペソ人への手紙 6:10–20 – 信仰にしっかり立つために神の武具を身につける

使徒 4:4 しかし、その言葉を聞いた人々の多くは信じた。男の数は約五千人であった。

神の言葉が宣べ伝えられ、約5,000人が信じました。

1) 説教の力: 神の言葉はどのようにして救いにつながるのか

2) 信じることの価値: 信仰がどのように変化をもたらすか

1) イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉は、そのようになります。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送ったもので栄えるでしょう。」」

2) ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

使徒 4:5 そして翌日、彼らの支配者たち、長老たち、律法学者たちはこう言った。

翌日、支配者、長老、律法学者たちが集まりました。

1. 団結する力: コミュニティとして協力することの重要性。

2. 困難な時代の団結: 困難な時代に団結を保つ方法。

1. ヘブライ 10:24-25 - 「そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてあなたがたほど、お互いを愛と善行に励ます方法を考えましょう。その日が近づいているのを見てください。」

2. 伝道者の書 4:9-10 - 「二人は一人よりも優れています。その労苦に対して良い報いがあるからです。もし彼らが倒れても、一人がその仲間を立ち上がらせるでしょう。しかし、倒れて倒れるとき、一人でいる人は不幸です。彼を持ち上げるのは他の人ではありません！」

使徒 4:6 そして、大祭司アンナス、カヤパ、ヨハネ、アレクサンダー、そして大祭司の血族の人々がエルサレムに集まった。

大祭司とその家族はエルサレムに集まりました。

1. 家族の団結の重要性。

2. 一致を達成するための信仰の力。

1. 詩篇 133:1 「見よ、兄弟たちが一致団結して住むことは、なんとすばらしいことであり、なんと楽しいことでしょう。」

2. エペソ人への手紙 4:1-3 「ですから、主の囚人であるわたしは、あなたがたが召された召命にふさわしく歩むように、すべてのへりくだりと柔和さ、忍耐をもって、愛のうちに互いに寛容に歩みなさいとお願いします。平和の絆の中で御霊の一致を保つよう努めています。」

Acts 4:7 そして、彼らを真ん中に立たせたとき、彼らは尋ねた、「あなたがたは、何の力によって、あるいはどんな名前によって、このようなことをしたのですか」。

エルサレムの宗教指導者たちは、ペテロとヨハネが行った奇跡について質問していました。

1. イエスの御名の力: ペテロとヨハネはその権威をどのように実証したか

2. 信者の権威：イエスの名においてどのように奇跡を起こすことができるか

1. フィリピ 2:9-11 - したがって、神はイエスを高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けたので、天においても地においても、地の下においても、イエスの名のもとにすべての膝がかがむようになりました。父なる神の栄光のために、あらゆる舌がイエス・キリストが主であると告白します。

2. マルコ 16:17-18 - そして、これらのしるしは信じる者たちに付きまといます。彼らはわたしの名において悪霊を追い出します。彼らは新しい言語で話すでしょう。彼らは蛇を手で拾います。そして、たとえ致命的な毒を飲んだとしても、それは彼らに害を及ぼすことはありません。彼らは病人に手を置くでしょう、そうすれば彼らは回復します。

使徒 4:8 そのとき、ペテロは聖霊に満たされて彼らに言った、「民の支配者たち、イスラエルの長老たちよ、あなたたち。」

ペテロはイエスが救いへの唯一の道であると大胆に宣言しました。

1: イエスは道であり、真理であり、命である

2: イエスの聖性と私たちの救い

1: ヨハネ 14:6 「イエスは彼に言われた、『わたしが道であり、真理であり、命である。』私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。」

2: ヘブライ 7:26 「聖で、罪がなく、汚れがなく、罪人から分けられ、天の上に高められたこのような大祭司を迎えるのは、まさにふさわしいことでした。」

使徒 4:9 もし私たちが今日、無力な人に対してなされた善行について調べられるとすれば、その人はどのような方法で正されるのでしょうか。

この箇所は、足の不自由な男性の治癒に関して、ユダヤ当局による使徒たちの検査について説明しています。

1. 信仰の力 - 足の不自由な男性がイエス・キリストへの信仰を通してどのように癒されたか。

2. 神の慈悲と愛 - 神は私たちを通して、恵まれない人々に慈悲と愛をどのように示されるか。

1. マタイ 8:5-13 - 百人隊長の僕を癒すイエス。

2. ルカ 7:11-17 - やもめの息子を死からよみがえらせるイエス。

使徒 4:10 あなたがた全員とイスラエルのすべての人々に知っておいていただきたいのは、あなたがたが十字架につけ、神が死人の中からよみがえらせたナザレのイエス・キリストの名によって、この人がここにあなたがたの目の前に立っているということです。全体。

この箇所は、イスラエルの民によって十字架につけられましたが、神によって死からよみがえられたイエス・キリストの力を強調しています。

1. イエス・キリストの御名の力

2. 神の復活の力

1. 使徒 10:38 - 神はどのようにナザレのイエスに聖霊と力を注いだか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されていたすべての人々を癒して回りました。神が彼とともにおられたからである。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはない。」

使徒 4:11 これは、あなたがた家を建てる者のないところに置かれた、隅の頭となる石です。

建設業者に無視された石が礎石になりました。

1. 拒絶の残念な美しさ

2. 救いの力

1. 詩篇 118:22 - 「家を建てる者たちが捨てた石が隅の親石となった。」

2. マタイ 21:42 - 「あなたは聖書で次のように書かれているのを読んだことがありませんか。『家を建てる者たちが捨てた石が隅の親石となった。その石は礎石となった。』主はこれをなさったのですが、それは私たちの目には驚くべきことです。」

使徒 4:12 また、他の名前にも救いはありません。天の下で人間の間に与えられた名前は、それ以外に私たちが救われなければならない名前はないからです。

救いはイエス・キリストのうちにのみ見出されます。

1: 私たちの救いのためには、イエス・キリストのみを信頼しなければなりません。

2: 私たちが救われるのはイエス・キリストを通してのみです。

1: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2: エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって救われたのですが、それは自分自身によるものではなく、信仰によって救われたからです。それは神の賜物であり、行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。

Acts 4:13 さて、彼らはペテロとヨハネの大胆さを見て、自分たちが無学で無知な人間であることを知って驚いた。そして彼らは、自分たちがイエスと一緒にいたことを知りました。

エルサレムの人々はペテロとヨハネの大胆さに驚き、たとえ教育も訓練も受けていなかったにもかかわらず、自分たちがイエスと共にいたことに気づきました。

1: イエスを通して、私たちはどんな反対にも立ち向かう勇気を得ることができます。

2: イエスとともに偉大なことを行う力を得るために、私たちは教育や訓練を受ける必要はありません。

1: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2: イザヤ書 41:10 - 恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

使徒 4:14 そして、いやされた人が彼らとともに立っているのを見て、彼らは何も言えなかった。

癒された人が使徒たちとともに立っているのを目撃した人々は、それに反論することができませんでした。

1.神の力は止められない

2. 奇跡は神の愛と恵みの証拠です

1. ローマ人への手紙 8:31 - それでは、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. 詩篇 37:5 - 主に道を捧げなさい。彼を信頼してください、そうすれば彼は行動するでしょう。

使徒 4:15 しかし、彼らが会議から退くように命じたとき、彼らは話し合い、こう言った。

評議会議員らは使徒たちに評議会から退席するよう求め、評議会メンバー同士で状況について話し合った。

1. 私たちは常に神と神を代弁する人々からの知恵に耳を傾けることを忘れてはなりません。

2. 難しい決断に直面したとき、私たちは常に神の導きを求めるべきです。

1. 箴言 1:7 - 主を恐れることは知識の始まり。愚か者は知恵と教えを軽蔑します。

2. エレミヤ 33:3 - 私を呼んでください。そうすれば、私はあなたに答え、あなたが知らない偉大な隠されたことをあなたに話します。

使徒 4:16 「この人たちをどうしたらよいでしょうか」と言う。実に注目に値する奇跡が彼らによって行われたことは、エルサレムに住むすべての人々に明らかだからです。そしてそれを否定することはできません。

エルサレムの人々はペテロとヨハネが行った奇跡に驚き、彼らをどうしたらよいのか尋ねました。

1. 奇跡は神の臨在のしるし

2. 神への従順は祝福をもたらす

1. 使徒 5:32 - 「そして、私たちはこれらのことについての神の証人です。また、神がご自分に従う者たちに与えられた聖霊も同様です。」

2. ヨハネ 14:11-12 - 「わたしが父のうちにおられ、父がわたしのうちにおられることを信じてください。そうでなければ、まさに行いのためにわたしを信じてください。まことに、まことに、あなたがたに言います、わたしを信じてくださる方です。」「わたしが行う業を彼も行うであろう。そしてこれらよりも偉大な業を彼も行うであろう。わたしは父のもとに行くからである。」

Acts 4:17 しかし、それがこれ以上民の間に広がらないように、今後はこの名で誰にも話さないようにと、きびしく脅しましょう。

宗教指導者たちは弟子たちに、もうイエス・キリストについて話すなと脅しました。

1: イエス・キリストの力は否定できません。あなたの信仰を分かち合い、主の御名を宣言することを恐れないでください。

2: イエス・キリストのために立ち上がり、イエス・キリストの愛と真実をすべての人に分かち合いましょう。

1: ヨハネ 15:13 - 友人のために命を捨てるという愛以上に大きな愛はありません。

2: ヘブライ 13:15 - ですから、私たちはイエスを通して、賛美の犠牲、つまり御名を公然と告白する唇の実を絶えず神にささげましょう。

Act 4:18 そこで彼らは彼らを呼び、イエスの名によって決して話したり教えたりしないよう命じた。

当局はペテロとヨハネに、イエスの名において話したり教えたりしないよう命じた。

1. 反対に立ち向かう

2. 真実を語り、勇敢に生きる

1. マタイ 5:11-12 「わたしのせいで、人々があなたを侮辱し、迫害し、あなたに対してあらゆる種類の悪口を言いふらすとき、あなたは幸いです。喜びなさい。喜びなさい。天国でのあなたの報いは大きいからです。同じように。彼らはあなたの前にいた預言者たちを迫害しました。

2. エペソ人への手紙 6:13-17 ですから、神の武具を身に着けなさい。そうすれば、悪の日が来たときに、自分の立場をしっかりと立て、すべてを終えた後に立ち上がることができるようになります。それなら、真理のベルトを腰に締め、義の胸当てをはめ、足には平和の福音から来る備えを整えて、しっかりと立ちなさい。これらすべてに加えて、信仰の盾を手に取り、それによって邪悪な者の燃える矢をすべて消すことができます。救いのかぶと、御霊の剣、つまり神の言葉を取りなさい。

使徒 4:19 しかしペテロとヨハネは答えて言った、「神に言うよりもあなたがたに聞くことが神の目に正しいかどうか、あなたがたは判断してください。」

ペテロとヨハネはサンヘドリンの指導者たちに従うことを拒否し、代わりに神に従うことを選びました。

1. 人間よりも神に従うことの重要性。

2. 正しいことのために立ち上がる力。

1. コロサイ 3:23-24 - 何をするにも、人のためではなく、主のために、心を込めて働きなさい。

2. ヤコブ 4:7-8 - ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださるでしょう。

使徒 4:20 なぜなら、私たちは見聞きしたことを語らずにはいられないからです。

弟子たちはイエスとその教えについての経験を分かち合わざるを得ません。

1. 見聞きしたことを話す：証言への呼びかけ

2. イエスの良いたよりを宣べ伝える: 必要な義務

1. ヨハネ 15:27 - 「そして、あなたがたも、初めからわたしとともにいたのですから、証しをするでしょう。」

2. ローマ 10:14-15 - 「では、彼らは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。また、聞いたこともない方をどうやって信じるのでしょうか。また、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができるのでしょうか。」

使徒 4:21 それで、彼らはさらに彼らを脅したのですが、民のせいで彼らを罰する方法が何も見つからず、彼らを釈放しました。

人々は起こった奇跡的な出来事を神に賛美したので、当局は彼らを釈放する以外に選択肢はありませんでした。

1. 神は神秘的な方法で働き、最も可能性の低い人々さえも利用して目的を達成することができます。

2. 神はご自身を栄光化するためにどんな状況をも利用することができ、すべての希望が失われたように見えるときでも、奇跡的な勝利をもたらすことができます。

1. イザヤ書 55:8-9 - 「わたしの考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではありません」と主は言われます。「天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いのです。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

使徒 4:22 この癒しの奇跡が示されたのは、その人が四十歳を超えていたからだ。

この一節は、40歳を超えた男性に行われた治癒の奇跡について説明しています。

1. 神の奇跡を受け入れる：神の愛の力は、年齢に関係なく、すべての人に与えられます。

2. 信仰の力: 奇跡は主の力を信頼することによって起こります。

1. マルコ 16:17-18 - そして、信じる者にはこれらのしるしが続くでしょう。私の名において、彼らは悪魔を追い出すだろう。彼らは新しい言語で話すでしょう。彼らは蛇を捕らえます。そして、もし彼らが致命的なものを飲んだとしても、それは彼らを傷つけることはありません。彼らは病人に手を置くでしょう、そして彼らは回復するでしょう。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

Act 4:23 そして、釈放されたので、彼らは自分たちのところに行き、祭司長や長老たちに言われたことをすべて報告した。

使徒たちは祭司長や長老たちと対峙し、言われたことをすべて報告した後に解放された。

1: 私たちは反対に直面しても常に正しいことを主張し、主が私たちを守ってくださると信頼すべきです。

2: 使徒たちの例から、私たちは試練や艱難に見舞われるでしょうが、主は依然として私たちとともにおられるということを学ぶことができます。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2: イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

使徒 4:24 それを聞くと、彼らは一斉に神に向かって声を上げて言った、「主よ、あなたは天と地と海とその中にあるすべてのものを造られた神です。」

教会の人々は、天、地、海、そしてその中にあるすべてのものを創造された神を賞賛しました。

1. 神は万物の創造主である

2. 神の創造に対する感謝

1. 詩篇 148:5 - 彼らに主の御名を讃えさせましょう。主が命じられて彼らは創造されたからです。

2. コロサイ 1:16 - 天にあるもの、地にあるもの、目に見えるものも見えないものも、王座であれ、統治権であれ、君主国であれ、権力であれ、すべてのものはキリストによって創造されたからです。、そして彼にとっても。

Acts 4:25 あなたのしもべダビデの口で、「なぜ異教徒は怒り、民はむなしいことを想像するのか」と言った人は誰でしょう。

異教徒は激怒し、人々は神の意志にもかかわらず、空しいことを想像しました。

1. 神の意志は、たとえそれに対して激怒しているように見えるとしても、最終的には勝利します。

2. 私たちは神の意志と無駄に想像されたものとを区別しなければなりません。

1. マタイ 16:18 (そして私はあなたに言います、あなたはペテロです、そして私はこの岩の上に私の教会を建てます。そして地獄の門はそれに打ち勝つことはできません。)

2. 詩篇 2:1-2 (なぜ異教徒は激怒し、民は空しいことを思い描くのか。地の王たちは自らを立て、支配者たちは主とその油そそがれた者たちに向かって共に相談する...)

使徒 4:26 地の王たちは立ち上がり、支配者たちは集まって主とそのキリストに敵対した。

地上の王や支配者たちは主とそのキリストに反対するために集まった。

1. 神に対抗する団結の力

2. 反対に立ち向かう

1. エペソ人への手紙 6:10-20 – 悪魔の計略に対して断固として立ち向かおう

2. ダニエル 3:16-18 – シャデラク、メシャク、アベドネゴはネブカドネザルと火の炉に対してしっかりと立ち向かいました

使徒 4:27 あなたが油そそがれたあなたの聖子イエスに対する真実のため、ヘロデとポンテオ・ピラト、異邦人、イスラエルの人々が集まった。

ヘロデ、ピラト、異邦人、イスラエル人は皆、神の油そそがれたイエスに対して団結しました。

1. 対立の団結: 神の計画に対して敵がどのように団結するか

2. イエスの油注ぎ: 神の祝福が歴史の流れをどのように変えるか

1. イザヤ書 53:3-5 彼は人々から軽蔑され、拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っています。そして私たちは、いわば、顔を神から隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2. 詩篇 2:2 地の王たちは立ち上がり、支配者たちは主とその油そそがれた者に敵対して共に協議する。

使徒 4:28 なぜなら、あなたの手とあなたの助言が前から行うと決めたことをすべて行うためです。

この一節は、神の手と助言が将来何が起こるかをどのように決定するかについて述べています。

1.「神の主権: 私たちは神の計画を信頼できます」

2.「従順：神の御心のままに行動する」

1. イザヤ書 46:10-11 - 「わたしは、初めから、昔から、これから起こることを、終わりを知らせます。わたしは言います、『わたしの目的は存続し、わたしは思いのままにすべてを行います』。」

2. 箴言 16:9 - 「人は心の中で自分の進路を計画するが、主はその歩みを確立される。」

Acts 4:29 さて、主よ、彼らの脅迫をご覧ください。そして、あなたのしもべたちに、大胆にあなたの言葉を語らせてください。

この一節は、神の保護と神の言葉を広め続けるための大胆さを求める祈りについて語っています。

1: 私たちは反対に落胆してはならず、神の守りと力に頼って大胆に御言葉を宣べ伝えなければなりません。

2: たとえ反対があっても、私たちは主の働きを続けるために必要な大胆さと強さを主が与えてくださると信頼することができます。

1: イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2: ローマ人への手紙 8:31-32 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに慈悲深く私たちにすべてのものを与えて下さらないのでしょうか？」

使徒 4:30 あなたの手を差し伸べて癒してください。そしてあなたの聖なる子イエスの御名によってしるしと不思議が行われますように。

初代教会は癒しと、しるしや奇跡がイエスの名において行われるように祈りました。

1. イエスは癒し手です: 神がどのように奇跡を用いてご自身の存在を知らせるかを探る

2. しるしと不思議: 初代教会で奇跡が果たした役割を考察する

1. マタイ 8:16-17 - 夕方になると、人々は悪霊に取り憑かれた多くの人々をイエスのもとに連れてきました。そして、イエスは言葉によって霊を追い出し、病気のすべての人を癒されました。それは、預言者イザヤが語った、「神ご自身が私たちの弱さを取り、私たちの病気を負われた」という言葉が成就するためでした。

2. マルコ 16:17-18 - そして、これらのしるしは信じる者たちに続きます。彼らはわたしの名によって悪霊を追い出します。彼らは新しい言語で話すでしょう。彼らは蛇を捕らえます。そして、もし彼らが何か致命的なものを飲んだとしても、それは決して彼らに害を及ぼすことはありません。彼らは病人に手を置くでしょう、そして彼らは回復します。

使徒 4:31 彼らが祈ったとき、彼らが集まっていた場所が揺れた。そして彼らはみな聖霊に満たされ、神の言葉を大胆に語った。

信者たちが祈ると、その場が揺れ、全員が聖霊に満たされて、神の言葉を大胆に語った。

1. 聖霊に言葉を導いてもらいましょう

2. 祈りの力

1. エペソ人への手紙 6:19-20 – 「そして、あらゆる種類の祈りや願いごとに、あらゆる機会に御霊によって祈りなさい。これを念頭に置いて、常に警戒し、主の民全員のために祈り続けてください。」

2. ルカ 11:1 – 「ある日、イエスはある場所で祈っていました。それが終わると、弟子の一人が彼に言った、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。」

Acts 4:32 そして、信じた大勢の人々は、心も魂も一つであった。誰も、自分の持っているものは自分のものであるなどとは言わなかった。しかし、それらにはすべて共通点がありました。

初代教会には強い共同体意識があり、誰よりも重要な人物はおらず、すべての所有物は共有されていました。

1. 教会の一致：愛と分かち合いへの呼びかけ。

2. 寛大さを実践する: できることは与え、必要なものは受け取る。

1. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

2. ヘブライ 13:16 - 善を行い、自分の持っているものを分かち合うことを怠ってはなりません。そのような犠牲は神に喜ばれるからです。

Acts 4:33 そして、使徒たちに大きな力で主イエスの復活を証しした。そして彼ら全員に大きな恵みがあった。

使徒たちはイエスの復活を大きな力と恵みをもって証ししました。

1. イエスを証する力

2. 証言において神の恵みを体験する

1. ヨハネ 15:27 ―「そして、あなたがたも、初めからわたしとともにいたのですから、証しをするでしょう。」

2. コリント人への第一の手紙 15:15 ―「もしキリストがよみがえらなかったら、私たちの説教は無意味であり、あなたがたの信仰も同様です。」

使徒 4:34 彼らのうち、欠けている者は一人もいなかった。土地や家を所有する者はみな、それを売り、売られた物の代金を持ってきたからである。

初期のキリスト教徒はお互いを分かち合い、思いやり、誰もそれなしでは去ることを許しませんでした。

1: 必要なときには、神の民は団結して、持っている資源を分かち合うべきです。

2: 私たちは、すべての人に配慮してもらうために、自分の持ち物を犠牲にすることを厭わない必要があります。

1: 使徒 2:44、45 - そして、信じた人たちは皆一緒にいて、すべてのことを共通にしていました。そして彼らの所有物や品物を売り、すべての人が必要に応じてすべての人に分け与えました。

2: ヤコブ 2:15-17 - 兄弟や姉妹が裸で、日々の食べ物に困っていて、あなたがたの誰かが彼らに、「安らかに旅立ちなさい。あなたがたは体を温め、満たされなさい。それにもかかわらず、あなたは体に必要なものを彼らに与えません。それは何の利益があるのですか？

使徒 4:35 それを使徒たちの足元に置き、必要に応じて各人に配った。

使徒たちは、個々のニーズに応じてリソースを全員に配布しました。

1. 他者に対する寛大さと慈善の重要性。

2. 全員が協力してお互いを養うときのコミュニティの力。

1. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟姉妹の皆さん、信仰があると主張していても行いをしていない人がいたら、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか？15 ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物も持っていないとしましょう。 16 あなたがたのうちのだれかが彼らに、「安心して行きなさい。暖かくして、十分な食事を与えてください」と言いましたが、彼らの身体的ニーズについては何もしませんでした、それが何の役に立つでしょうか？ 17 同様に、信仰は、行動が伴わなければ、それ自体では死んだものになります。

2. コリント人への第二 8:9-11 - あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っているからです。彼は富んでいましたが、あなたがたのために貧しくなり、その貧しさによってあなたが富むようになられたのです。10 そして、これがこの問題に関してあなたにとって何が最善であるかについての私のアドバイスです。昨年、あなたは初めて与えるだけでなく、そうしたいという願望も持ちました。11 さあ、その仕事を終えなさい。そうすれば、それをやりたいというあなたの熱心な意欲が、自分の手段に応じて、それをやり遂げることと一致するでしょう。

使徒 4:36 また、使徒たちによってバルナバと名付けられたヨセス（これは、慰めの子と解釈されている）で、キプロス国のレビ人で、

バルナバはキプロスの国出身のレビ人で、使徒たちから「慰めの子」というあだ名が与えられました。

1. 信仰の力 - バルナバの物語が私たちに神への信仰をどのように促すか

2. 良い名前の祝福 - 私たちの善行で知られることの重要性

1. ヘブライ 13:2 - 「見知らぬ人にもてなしを示すことを忘れないでください。そうすることによって、知らず知らずのうちに天使にもてなしを示している人もいるからです。」

2. 箴言 22:1 - 「名声は大きな富よりも望まれ、尊敬されることは銀や金よりも優れています。」

使徒 4:37 土地を手に入れたので、それを売り、そのお金を持ってきて、使徒たちの足元に置きました。

あるグループの人々が自分たちの土地を売り、その収益を使徒たちに与えました。

1. 寛大さの力: 初代教会の例

2. 寛大な人生を送る: 聖書からの一例

1. コリント第二 8:12-15

2. ルカ6:38 & マタイ6:19-21

使徒 5 章では、アナニヤとサフィラの物語、使徒たちが行った奇跡的なしるし、彼らの逮捕と奇跡的な脱出、そしてサンヘドリンでの彼らの証言が語られています。

第 1 段落: この章は、アナニアとその妻サフィラが不動産を売却し、その収益をすべて使徒に寄付するふりをしながら、お金の一部を自分のために保持するところから始まります。アナニアがお金の一部を持ってきたとき、ペテロはなぜサタンが心を満たし、聖霊が高価な土地を差し控えるのかと尋ねました。ペテロの言葉を聞いてアナニアは倒れて死んでしまいました。何が起こったのかを聞いた人全員が恐怖に襲われました。その後、何が起こったのか知らずにサフィラがやって来たとき、ピー ターは彼女に土地の値段について尋ね、彼女は偽りの金額を確認し、埋葬された夫がドアから運び出された男たちに足元に告げられ、彼女は倒れて死んだ、若い男たちが彼女の死を発見した瞬間、彼女は運び出され、次の夫が埋葬された、大きな恐怖が全身を襲ったこれらの出来事を聞いた人はすべて教会に集まりました（使徒 5:1
- 11）。

第 2 段落: 使徒たちは多くのしるしを行いました 信者たちが集まっていた人々の間で不思議なことが起こりました ソロモンの列柱 人々から高く評価されていたにもかかわらず、他の誰も彼らに加わる勇気がありませんでした 主は救われる人の数を毎日追加されました。その結果、街路に病人を運び込んだ人々は、エルサレム周辺の町からも集まって病人を連れてきた群衆の前を通り過ぎるとき、少なくともペテロの影が何人かに落ちるように、彼らをベッドマットの上に置き、苦しめられている汚れた霊たちをすべていやした（使徒行伝5:12-16）。。

第三段落：当時、党員だった大祭司の仲間たち サドカイ派は嫉妬に満ち、使徒たちを逮捕し、夜間に公衆刑務所に入れられた 天使、主が扉を開け、刑務所を連行した「立ちなさい、神殿法廷は人々に完全なメッセージを伝えなさい、新しい人生を」と。夜明けに彼らは寺院の裁判所に入り、教え始めた 大祭司の仲間たちが到着し、サンヘドリンの長老たちに召集された イスラエルが刑務官を派遣し、使徒たちを連れてきた 刑務所には厳重に施錠された警備員が立っているのが発見された ドアが開いても中には誰もいなかった この報告を聞いて寺院の警備隊長ら神官長たちはこれが来るのかと困惑した そして誰かが来て、「ほら、あなたが刑務所に入れた人たちが寺院の法廷に立って人々に教えているよ」と言いました。彼らは再び逮捕しましたが、人々に石で打たれるのを恐れて武力行使はしませんでした (使徒行伝5:1 7-26)。他の使徒たちはサンヘドリン・ペテロの前に連れて来られ、「我々は人間ではなく神に従わなければならない！」と宣言した。「私たちの先祖である神は、あなたが殺したイエスを十字架に掛けて復活させ、イスラエルの罪を赦す救い主として右手で高く上げました。私たちはこれらのことを目撃します。神が従う者たちに与えた聖霊です。」（使徒行伝 5:27-32）。尊敬されるパリサイ人ガマリエルは評議会に勧告した、人間の起源の努力が失敗するなら、神が止められないのなら、神と戦うことさえもあり得る、彼の忠告は受け入れられ、鞭打たれ、名前を話すなと命じられたイエスは手放し、喜び、価値ある苦しみを数えられ、名前を手放してください、毎日毎日、寺院は家から離れませんでした良いたよりイエス・キリストを宣べ伝える教えをやめてください（使徒 5:33-42）。

使徒 5:1 ところが、アナニアという人が、妻のサフィラとともに財産を売りました。

アナニアとサフィラは、所有物を売った対価として受け取った金額について嘘をつきます。

1. 正直さと誠実さ - アナニアとサフィラの不誠実さと誠実さの欠如の例。

2. 欺瞞の力 - アナニアとサフィラの嘘がどのようにして彼らの終焉を招いたのか。

1. 箴言 12:22 - 「嘘をつく唇は主にとって忌まわしいものであるが、忠実に行動する者は主の喜びである。」

2. コロサイ 3:9-10 - 「互いに嘘をついてはなりません。自分たちが慣行とともに古い自分を脱ぎ捨て、創造者の似姿に倣い知識において新たにされつつある新しい自分を着ているのですから。」

使徒 5:2 そして、妻もその代金を知っていたので、代金の一部を保留し、その一部を持ってきて、使徒たちの足元に置いた。

アナニヤとサフィラの夫婦は、土地を売って得た金の全額を渡さず、使徒たちを欺こうとしました。

1: 欺きの罪- 使徒5:2

2: 正直の力- 使徒5:2

1: 箴言 12:22 - 嘘をつく唇は主にとって忌まわしいものであるが、忠実に行動する者は主の喜びである。

2: エペソ人への手紙 4:25 - ですから、偽りを捨てて、あなたがた一人一人が隣人に対して真実を語りましょう。なぜなら、私たちはお互いの一員だからです。

使徒 5:3 しかしペテロは言った、「アナニア、なぜサタンはあなたの心を満たして聖霊に嘘をつき、土地の値段の一部を差し控えたのか」。

ペテロは、聖霊に嘘をつき、土地の値段を全額渡さなかったアナニアを叱責しました。

1: 私たちは神に対して正直でなければならず、神を欺こうとしてはいけません。

2: 私たちは寛大になって神にすべてをささげなければなりません。

1: ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

2: 箴言 3:9 - 「あなたの富とすべての産物の初穂をもって主を敬え。」

使徒 5:4 それは残っていたが、それはあなたのものではなかったのか。そしてそれが売られた後、それはあなた自身の力ではなかったのですか？なぜあなたは心の中でこんなことを思いついたのですか？あなたは人間に対してではなく、神に対して嘘をついたのです。

アナニアとサフィラは、所有物を売って受け取ったお金の全額を捧げず、神に嘘をつきました。

1. 嘘の力と神に対して正直にならないことの結果

2. 神との関係における正直さと誠実さの重要性

1. 箴言 12:22 - 嘘をつく唇は主にとって忌まわしいものですが、忠実に行動する人は主の喜びです。

2. エペソ 5:11 - 実を結ばない闇の業に加担せず、むしろそれを暴露しなさい。

使徒 5:5 アナニヤはこれらの言葉を聞いてひれ伏し、幽霊をあきらめた。そして、これらのことを聞いたすべての者に大きな恐怖が生じた。

アナニアは神に嘘をつき、打ち殺されました。

1: 神の真実は尊重されなければならないこと、そして神に嘘をつくことは結果を招くことを思い出させます。

2: 神の真理に対して心をかたくなにせず、それを受け入れ、それに従って生きるようにという警告。

1: 箴言 12:22 - 嘘をつく唇は主にとって忌まわしいものであるが、忠実に行動する者は主の喜びである。

2: ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。

Act 5:6 そこで、若者たちは立ち上がって、彼を巻き、運び出して、埋葬した。

二人の若者が男性を巻き上げて運び出し、埋葬した。

1. 同情の力: 使徒 5:6 の若い男性からどのように学べるか

2. 兄弟姉妹を気遣うことの重要性: 使徒 5:6 からの行動への呼びかけ

1. ルカ 10:25-37 - 善きサマリア人のたとえ

2. ヤコブ 2:14-17 - 行いのない信仰は死んだものです

使徒 5:7 それから三時間ほど経ったころ、何が起こったのか知らなかった彼の妻が入ってきた。

アナニアとサフィラは、教会に寄付した金額について使徒たちに嘘をつきました。3時間後、サッフィラさんは何が起こったのか気づかずに到着した。

1. 嘘の結果: アナニアとサフィラの物語から学ぶ

2. 神を想う心: 惜しみなく与える力

1. エペソ人への手紙 4:25 – 「ですから、偽りを捨てて、あなたがたは一人一人、隣人に対して真実を語りましょう。私たちはお互いの一員だからです。」

2. ルカ 6:38 – 「与えなさい。そうすれば、与えられるでしょう。彼らはあなたの膝にかなりの量を注ぎ込みます - 押し付けられ、一緒に揺さぶられ、そして轢かれます。あなたの尺度によって、それはあなたにも評価されるからです。」

使徒 5:8 そこでペテロは彼女に答えた、「あなたはその土地をそんなに高く売ったのか教えてください。」そして彼女は言いました、「ええ、とてもたくさんです。」

ピーターはその女性に、自分の土地を一定の金額で売ったかと尋ねると、彼女は売ったということを確認した。

1. 正直さの利点

2. 質問の力

1. 詩篇 15:2 正しく歩み、義を行い、心の中で真実を語る者。

2. ヤコブ 3:17 しかし、上からの知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、懇願しやすく、憐れみと良い実とに満ちており、偏りや偽善がありません。

使徒 5:9 そこでペテロは彼女に言った、「どうしてあなたがたは主の御霊を試みようと決心したのですか」。見よ、あなたの夫を埋葬した者たちの足が戸口にあり、あなたを運び出すでしょう。

ペテロはアナニヤとサフィラが聖霊を欺こうと共謀したのではないかと尋問する。

1. 欺瞞の危険 - 神は知っており、私たちの虚偽に騙されることはありません。

2. 神の力 - 私たちの最大の欺瞞に直面しても、神は依然として支配しておられます。

1. 詩篇 34:15 - 主の目は義人に注がれ、その耳は彼らの叫びに耳を傾ける。

2. 箴言 12:22 - 主は嘘をつく唇を嫌いますが、信頼できる人を喜ばれます。

使徒 5:10 それから彼女はすぐに彼の足元にひれ伏し、幽霊を降ろした。すると若者たちが入ってきて、彼女が死んでいるのを発見し、彼女を運び出して夫によって埋葬した。

ある女性は使徒たちを見た後、彼らへの信仰のゆえに即死しました。その後、若者たちは彼女を夫とともに埋葬した。

1. キリストの使徒に対する信仰が強すぎると、奇跡的な死に至る場合があります。

2. 私たちはこの女性の信仰から、使徒たちを信頼することを学ぶことができます。

1. マタイ 9:20-22 – すると、見よ、12 年間血の病気を患っていた女性が彼の後ろに来て、彼の衣の裾に触れた。彼の衣服なら、私は完全になります。しかし、イエスは彼を振り向かせ、彼女を見ると、こう言われた、「娘よ、安心してください。」あなたの信仰があなたを完全にしました。

2. ヨハネ 11:25-26 – イエスは彼女に言った、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはない。」あなたはこれを信じますか？

使徒 5:11 そして、教会全体と、これらのことを聞いた多くの人々に大きな恐怖が襲いかかりました。

使徒たちの奇跡の知らせを聞いて、教会中に恐怖が広がりました。

1. 奇跡の力: 神は私たちの中で、そして私たちを通してどのように働くのか

2. 私たちの信仰の強さ：神が私たちとともにおられることを知る

1. マタイ 17:20 - イエスは彼らに言った、「あなたたちの信仰が小さかったためです。本当に、私はあなたに言います、からし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何一つありません。

2. ローマ人への手紙 8:31b - それでは、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

使徒 5:12 また、使徒たちの手によって、多くのしるしと不思議な業が民の間にもたらされた。（そして彼らは全員一致してソロモンの玄関に集まりました。

使徒たちは人々の間で多くの不思議と奇跡を行い、全員が同意してソロモンのポーチに集まりました。

1. 使徒を通しての神の働き: 神の奇跡を認識し従う方法

2. 使徒を通しての一致：信仰をもって共に働く力

1. マルコ 16:17-18 - そして、これらのしるしは、信じる者たちに伴います。私の名において、彼らは悪霊を追い出します。彼らは新しい言語で話すでしょう。18 彼らは蛇を手でつかみます。彼らが猛毒を飲んでも、それはまったく害を及ぼさないでしょう。彼らは病人に手を置くと彼らは回復するでしょう。

2. ヨハネ 6:7-8 - フィリポは彼に答えました。「一人一人が一口食べるのに十分なパンを買うには、半年以上の給料が必要です。」 8 もう一人の弟子、シモン・ペテロの兄弟アンデレが声を上げて言った。

Acts 5:13 そして、残りの人々は誰も彼らに加わろうとしませんでした。しかし、人々は彼らを讃えました。

エルサレムの人々は使徒とその教えに畏敬の念を抱いていたため、誰も彼らに加わることができませんでした。

1. 影響力: 他人に影響を与える人生を生きることを学ぶ

2. 自分の影響に対して責任を負う: 自分の影響力を利用して変化を起こす方法

1. 箴言 11:30 - 正しい者の実は命の木である。そして魂を勝ち取る者は賢い。

2. ペテロ第一 2:12 - 異邦人の間で正直に会話してください。それは、異邦人があなたを悪者として非難する一方で、彼らが訪問の日に見るであろうあなたの善行によって神の栄光を現すためです。

使徒 5:14 そして、男性も女性も信者が多いほど、主に加えられました。）

多くの男性と女性がキリスト教の信仰に加わりました。

1. 「信念の力: 信仰が私たちを前進させる方法」

2.「信仰の成長：主との関係を強化する」

1. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

2. エペソ人への手紙 2:8–9 - 「あなたがたは、信仰によって恵みによって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。」

使徒 5:15 彼らは病人を街路に連れ出し、ベッドや長椅子に寝かせたので、少なくとも、通り過ぎるペテロの影がそのうちの何人かを覆うことができた。

人々は病気の友人や家族を連れて通りに行き、ピーターの影に癒されました。

1. 信仰の癒しの力: ペテロの影でさえ奇跡を起こすことができる方法

2. ペテロの宣教: 一人の人の信仰がどのように奇跡を起こすか

1. マタイ 9:20-22 - すると、見よ、12 年間血の病気を患っていた女性が彼の後ろに来て、彼の衣の裾に触れた。彼の衣服なら、私は完全になります。しかし、イエスは彼を振り向かせ、彼女を見ると、こう言われた、「娘よ、安心してください。」あなたの信仰があなたを完全にしました。そして女性はその時から完全になった。

2. マルコ 2:3-5 - そして彼らは、四人に生まれた中風の病人一人を連れてイエスのところにやって来ます。そして、報道陣が彼に近づくことができなかったので、彼らは彼のいた場所の屋根を外し、それを壊した後、中風患者が横たわっていたベッドを降ろしました。イエスは彼らの信仰を見て、中風の病人に、「子よ、あなたの罪は赦されますように」と言われました。

使徒 5:16 また、周囲の町々から大勢の者がエルサレムにやって来て、病人や汚れた霊に悩まされている人たちを連れて来た。そして、彼らはみないやされた。

近くの都市から来た群衆は、病人や憑依した人たちをエルサレムに連れて行き、癒されました。

1. 神の癒しの力は、信仰を持って神のもとに来るすべての人に与えられます。

2. イエス・キリストの力は今日も生きており、病人を癒し、捕虜を解放します。

1. マタイ 8:16-17 - 夕方になると、悪霊に取り憑かれた多くの人々が彼のところに連れて来られ、彼は言葉で悪霊を追い出し、すべての病人を癒しました。

17 これは、預言者イザヤを通して語られた、「神はわたしたちの弱さを負い、わたしたちの病気を負われた」という言葉が成就するためでした。

2. ヤコブ 5:14-15 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼らに教会の長老たちを呼んで彼らのために祈ってもらい、主の名において油を注いでもらいましょう。15 そして、信仰によってささげられた祈りは、病人をいやします。主は彼らをよみがえらせてくださいます。もし彼らが罪を犯したなら、彼らは赦されるでしょう。

使徒 5:17 そこで、大祭司と彼と一緒にいた人々（サドカイ派）はみな立ち上がり、憤慨して言った。

大祭司とサドカイ派は憤りに満ちた。

1. 抑制されない感情の危険性

2. 怒りを超える愛の力

1. ヤコブ 1:19-20 - すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

2. 箴言 15:1 - 優しい答えは怒りを遠ざけますが、厳しい言葉は怒りを引き起こします。

使徒 5:18 そして使徒たちに手を置いて、共同の牢獄に入れました。

当局は使徒たちを逮捕し、投獄しました。

1. 反対に直面しても神に従う

2. 迫害における忠実さ

1. ヘブライ人への手紙 11:32-40

2. 使徒4:13-22

使徒 5:19 ところが、主の御使いが夜になると牢屋の戸を開けて彼らを連れ出し、こう言った。

主の天使はペテロと他の使徒たちを牢獄から連れ出しました。

1: 神の力は無限であり、神は私たちをあらゆる束縛から解放することができます。

2: 私たちが神に従順であれば、神はあらゆる逆境から私たちを救い出してくださいます。

1: イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

使徒 5:20 行って、神殿に立って、人々にこの世の言葉をすべて話してください。

使徒ペテロは人々に神殿に行って永遠の命の言葉を話すよう勧めています。

1. 言葉の力: 人生に命を吹き込む方法

2. 福音を分かち合う喜び: 永遠の命の言葉を常に語るべき理由

1. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があらゆる知恵のうちに豊かにあなたの内に宿り、詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で恵みをもって主に向かって歌いましょう。

2. ヤコブ 1:19 - ですから、愛する兄弟たちよ、人は皆、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

Act 5:21 それを聞いた人々は、朝早く宮に入って教えた。しかし、大祭司と彼と一緒にいた人々が来て、評議会とイスラエルの子らの元老院全員を召集し、彼らを連れてくるよう牢獄に送りました。

大祭司とイスラエルの子らの元老院は評議会を招集し、イエスの弟子たちが神殿で教えていると聞いて彼らを連れてくるよう刑務所に送りました。

1. 神の律法に従うことの重要性。

2. 迫害に直面しても毅然とした態度で立ち向かう。

1. ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂はより高い力に服従しましょう。

2. ヘブライ 11:32-40 - 昔の人たちは信仰によって耐え忍びました。

使徒 5:22 ところが役人たちが来て、彼らが牢獄の中にいないのを見つけると、戻ってきてこう言った。

警官らは使徒たちが刑務所にいないことを発見した。

1 - 神は使徒たちを牢獄から救い出しました。

2 - 私たちは困難な時に神が私たちを救い出してくださると信頼すべきです。

1 - 詩篇 34:7 - 主の御使いは、彼を恐れる者たちの周りに陣を張り、彼らを救い出す。

2 - 詩篇 91:14 - 「彼は愛をもって私をしっかりと抱きしめているので、私は彼を救い出します。彼は私の名前を知っているので、私は彼を守ります。

Acts 5:23 言った、「牢獄は確かに私たちが安全に閉ざされており、番人たちが扉の外に立っていました。しかし、私たちが開けてみると、中には誰もいませんでした。」

刑務所は厳重に閉鎖されていたが、中には誰も発見されなかった。

1. 神は力があり、不可能を可能にします。

2. 神が保護と安全を与えてくださると信頼してください。

1. イザヤ書 40:31 – 「しかし、主に望みを持つ者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. イザヤ書 46:4 – 「あなたの老いと白髪に至るまで、わたしは彼であり、あなたを支える者である。私はあなたを作りました、そして私はあなたを運びます。私はあなたを支え、あなたを救い出します。」

使徒 5:24 さて、大祭司、神殿長、祭司長たちはこれらのことを聞いて、これがどうしてここまで大きくなるのかと疑った。

大祭司、神殿長、祭司長たちは使徒たちの知らせを聞いて懐疑的でした。

1. 信仰の力 - 神への信頼がいかに不可能を可能にするか

2. 正しいことのために立ち上がる - 疑う人々に立ち向かう勇気を持つ

1. マタイ 17:20 - 「彼は答えた、『あなたは信仰があまりにも薄いからです。真実に言いますが、からし種ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、私たちが望んでいることに対する確信であり、目に見えないものについての確信です。」

Act 5:25 そのとき、ある人が来て、彼らに告げて言った、「見よ、あなたがたが投獄した者たちが神殿に立って、民を教えている。」

刑務所に入れられた囚人たちが神殿で人々に教えているところを発見された。

1. 神の主権: いかなる障害も神の計画を阻止することはできない

2. 神の忠実さ: 神は決して目的を達成しないことはない

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. エレミヤ 29:11 - わたしは、あなたがたに対して思っている思いを知っている、と主は言われる、それは、あなたがたに期待される結末を与えるためであり、悪の思いではなく、平和の思いである、と。

Act 5:26 それから、船長は役人たちを連れて行き、暴力を振るわずに彼らを連れて行った。彼らは石で打たれるのではないかと民を恐れていたからである。

船長と士官たちは使徒たちに石打ちをするのを恐れたので、暴力を振るうことなく彼らを連行した。

1: 主を恐れることは知恵であり、私たちを危害から守ることができます。

2: たとえ恐れがあるとしても、私たちは常に紛争の平和的解決を追求すべきです。

1: 箴言 1:7 「主を畏れることは知識の始まり。愚か者は知恵と教えを軽蔑する。」

2: ローマ人への手紙 12:18 - 「できれば、あなた次第ですが、すべての人たちと平和に暮らしてください。」

Act 5:27 そして、彼らがそれらを連れて来て議会の前に置いたので、大祭司は彼らに尋ねた。

使徒たちは評議会の前に連行され、大祭司によって尋問されました。

1. 迫害に直面しても毅然とした態度で立つ

2. 不当な告発への対応方法

1. ペテロ第一 2:20-23 - 罪を犯し、そのために打たれたときに耐えたとしても、それが何の功績になるでしょうか。しかし、善を行い、そのために苦しみを耐え忍ぶなら、それは神の目にはありがたいことです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残してくださったので、あなたがそのために召されたのは、「罪を犯さなかったし、彼の口に欺瞞も見出されなかった」という彼の足跡に従うよう求められたからです。

2. マタイ 5:10-12 - 義のために迫害されている人々は幸いです。天国は彼らのものだからです。「彼らがあなたをののしり、迫害し、私のために誤ってあなたに対してあらゆる種類の悪口を言うとき、あなたは幸いです。喜んで、非常に喜んでください。天でのあなたの報いは大きいのです。彼らがあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したからです。

Acts 5:28 こう言う、「あなたがたはこの名によって教えてはならないと、私たちは厳しく命じたではありませんか。」そして見よ、あなたがたはエルサレム

を自分の教義で満たし、この男の血を私たちにもたらすつもりだ。

使徒 5 章 28 節のこの聖句は、使徒たちがイエスの名によって教えないよう命じられていたにもかかわらず、それを実行し、エルサレム中に自分たちの教義を広めたことについて語っています。

1. 従順の力: 困難にもかかわらず神の命令に従う

2. 信仰の影響: 私たちの行動は言葉よりも雄弁である

1. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。」

2. イザヤ書 6:8 「そして、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか、だれがわたしたちのために行くだろうか。』」それから私は言いました、「ここにいます！」私に送ってください。'"

Acts 5:29 すると、ペテロと他の使徒たちは答えて言った、「人間ではなく神に従わなければなりません。」

使徒たちはユダヤ人の支配者たちに応えて、人間ではなく神に従わなければならないと言いました。

1. 神への従順 vs. 人間への従順

2. すべての選択において神を第一にする

1. マタイ 22:21 (「したがって、カエサルのものはカエサルに、神のものは神に返しなさい。」)

2. ピリピ 3:20 (「私たちの会話は天にあります。私たちはそこからまた救い主、主イエス・キリストを求めます。」)

使徒 5:30 私たちの先祖の神はイエスをよみがえらせましたが、あなたがたはイエスを殺し、木に掛けました。

イスラエルの民の神は、イスラエルの民によって殺され、木に掛けられたイエスをよみがえらせました。

1. 神の復活の力: イエスはどのようにして死を克服したか

2. イエスの犠牲: 愛と許しの例

1. ローマ 6:4-5 - したがって、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

5. コリント人への手紙第一 15:3-4 - なぜなら、私も受け取ったことを、何よりもまずあなたがたに伝えたからです。それは、聖書に従ってキリストが私たちの罪のために死なれ、葬られ、そして三日目によみがえられたということです。聖書に。

使徒 5:31 神は、イスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えるために、その右手で彼を君主また救い主として高められたのです。

神はイスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えるために、イエスを君、救い主として高めました。

1. 高貴な君と救い主 - ルカ 2:11

2. 悔い改めと許しの賜物 - 使徒 17:30

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を非難するためではなく、御子を通して世を救うためだったからです。

使徒 5:32 そして、私たちはこれらのことについての神の証人です。そして、神がご自分に従う者たちに与えられた聖霊も同様です。

使徒たちはイエス・キリストの働きの証人であり、神の命令に従う人々には聖霊が与えられました。

1. 神への私たちの従順は聖霊への扉を開きます

2. 神の働きを目撃する力

1. ヨハネ 14:15-17 - もしあなたが私を愛しているなら、私の戒めを守るでしょう。そして私は御父にお願いします。そうすれば、御父はあなたに永遠に共にいてくださるもう一人の助け手、つまり真理の御霊を与えてくださるでしょう。

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようになります。

使徒 5:33 それを聞いた人々は胸が張り裂け、彼らを殺そうと相談した。

ユダヤ人の指導者たちは使徒たちの教えを聞いて怒りに満ち、彼らを殺害することを決意しました。

1. 言葉の力: 福音は最も不信仰な心をも変える

2. 教会の迫害: 苦しみにどう対処するか

1. エペソ人への手紙 4:15 – 「愛をもって真実を語るとき、私たちはあらゆる点で頭である方、キリストへと成長しなければなりません。」

2. ピリピ 1:29 – 「あなたがたには、キリストのために、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことが与えられているのです。」

Acts 5:34 そこで、評議会の一人、ガマリエルという名のパリサイ人、律法学者で、国民の間で評判の良い人が立って、使徒たちを少しスペースを空けるように命じた。

パリサイ人で尊敬されている律法の教師であるガマリエルは議会に立ち、使徒たちを立ち退かせるよう求めました。

1. ガマリエルの知恵: 紛争の時代に理性の声に耳を傾ける

2. 評判の力: 良い名前の影響

1. 箴言 18:13 - 「問題を聞く前に答える者は、愚かであり、恥である。」

2. 伝道の書 10:2 - 「賢者の心は右にあり、愚か者の心は左にあります。」

使徒 5:35 そして彼らに言った、「イスラエルの人々よ、この人たちに触って何をしようとしているのか、よく心に留めなさい。」

イスラエルの人々は、目の前の人々に関する彼らの意図について警告を受けました。

1. 私たちの決定において神の御心を考慮することの重要性。

2. 難しい決断に直面したとき、賢明で洞察力がある必要性。

1. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。」

Acts 5:36 というのは、この数日前にテウダスが立ち上がり、自分が何者かであることを誇ったからです。約四百人もの多くの人が彼らに加わった。誰が殺されたか。そして彼に従った者はみな散り散りになり、無に帰した。

テウダスは自分が重要人物であると主張し、約 400 人の男性を集めて彼に加わる男でした。しかし、彼は殺され、彼の信奉者たちは皆散り散りになって無に帰した。

1. 神の主権ある計画は常に実現する - ローマ 8:28

2. 偽預言者とその空虚な約束に気をつけなさい - マタイ 7:15-17

1. ダニエル 4:35 - 地球上のすべての住民は無に等しいとみなされる

2. 箴言 16:2 - 人のすべての道はその人の目には清い、しかし主はその霊を量られる。

Acts 5:37 その後、この人は重役の時代にガリラヤのユダを起こし、多くの人々を引き連れて彼の後に続きましたが、彼も死にました。そして彼に従った者も含めて全員が散り散りになった。

この箇所はガリラヤのユダについて語っています。ユダは重役の時代に立ち上がり、多くの支持者を集めましたが、最終的には滅び、支持者たちは散り散りになりました。

1. 世の名声は儚いものである

2. 人間ではなく神に従うことの重要性

1. 詩篇 146:3-4 - 君主や人の子に信頼を置いてはなりません。彼らには救いがありません。息が消えると、彼は土に戻ります。まさにその日、彼の計画は消滅した。

2. 箴言 14:12 - 人にとっては正しいと思える道がありますが、その終わりは死への道です。

Acts 5:38 そこで、わたしはあなたがたに言います。「これらの人たちから離れて、放っておいてください。もしこの勧告やこの働きが人間によるものであれば、それは無駄になってしまいます。

使徒ペテロは人々に、偽りの福音を宣べ伝えている人々には近づかないように勧告しました。それは何の役にも立たないからです。

1. 偽りの福音に注意し、騙されないでください。

2. 偽教師に振り回されないでください。彼らの仕事には何の意味もありません。

1. エレミヤ 17:5-8 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して変えてください。

使徒 5:39 しかし、それが神から出たものであるなら、あなたがたはそれを打ち倒すことはできません。幸いなことに、あなたがたは神と戦うことさえ発見されないように。

神は最後には必ず勝利するので、私たちが神に逆らおうとするのは危険です。

1: 神と神の意志に反抗しようとすることは無駄であり、私たちにとって有害になる可能性があるため、決して試みるべきではありません。

2: 神は最高に君臨する主権者であり、神に従うのは賢明です。

1: エペソ人への手紙 4:6 - すべてのものの上に、すべてのものを貫き、あなたがたすべてのうちにおられる唯一の神であり父です。

2: 詩篇 103:19 - 主は天に御座を備えられました。そして彼の王国はすべてを支配します。

使徒 5:40 そこで彼らはイエスの意見に同意し、使徒たちを呼んで殴りつけた後、イエスの名によって話してはいけない、そして彼らを釈放せよと命じた。

使徒たちは呼び出されて殴られましたが、イエスの名において話さないように命じられた後、釈放されました。

1. 忍耐の力: 使徒から学ぶ

2. 犠牲を払ってでもイエスに従う

1. マタイ 10:32-33 - 「他の人の前で私を認める人は、私も天の父の前で認めます。しかし、他の人の前で私を否認する者は誰でも、私は天の父の前で否認します。」

2. ペテロ第一 4:13 - 「しかし、キリストの苦しみを分かち合う限り、喜びなさい。それは、キリストの栄光が現されたときにも喜び、喜ぶためです。」

Act 5:41 そして彼らは、自分たちが神の名のために恥をかかされるに値するとみなされたことを喜びながら、議会の前から立ち去った。

使徒たちはイエスの名のために苦しむことを喜びました。

1. 「その名を恥じる価値があるとみなされる」

2.「喜びをもって恥に立ち向かう」

1. ピリピ 3:8-11 「確かに、私の主キリスト・イエスを知ることの価値は計り知れないので、私はすべてを損失だと考えています。彼のために、私はすべてのものを失い、それらをゴミとみなしました。それは、私がキリストを得て、キリストのうちに見出されるためであり、律法から来る自分自身の義ではなく、信仰を通して得られる義を持つためです。信仰に依存する神からの義であるキリスト、それは私が彼と彼の復活の力を知り、彼の苦しみを分かち合い、彼の死に似て、可能な限りの手段で死者の中からの復活を達成するためです。」

2. コリント人への手紙第二 12:9-10 「しかし、彼は私に言った。『わたしの恵みはあなたに十分です。わたしの力は弱さの中でこそ完全に発揮されるからです。』」ですから、キリストの力が私の上に宿るように、私はますます喜んで自分の弱さを誇りましょう。ですから、私はキリストのために、弱さ、侮辱、困難、迫害災難に甘んじます。なぜなら、私が弱いとき、私は強いからです。」

使徒 5:42 そして、彼らは毎日、神殿やすべての家で、イエス・キリストを教え、宣べ伝えることをやめなかった。

イエスの弟子たちは毎日、神殿や家庭でイエスについて教え、説教しました。

1. 福音の力 – イエスの弟子たちはどのようにして言葉を広めたのか

2. 教会の使命 – 福音を宣べ伝え、教える

1. マタイ 28:19-20 – ですから、行って、すべての国の弟子を作り、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えてください。

2. ローマ 10:14-15 – それでは、彼らは信じていない神をどのようにして呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？

使徒 6 章では、成長するキリスト教共同体に奉仕する 7 人の男性の任命、その 7 人のうちの 1 人であるステパノの逮捕、および彼に対してなされた冤罪について詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、ギリシャ語を話すユダヤ人が毎日の配給食料で未亡人が無視されていると不満を訴えたときに、初期の教会で生じた問題から始まります。それで、十二使徒が弟子たち全員を集めて言いました、「奉仕の言葉、神の命令、待機テーブルを無視するのは正しくありません。」兄弟姉妹たちは、あなたたちの中から霊の知恵が満ち溢れていることが知られている 7人を選び、責任を彼らに向けてくださるでしょう。私たちの注意を祈り、奉仕の言葉を与えてください。」この提案は、選ばれたグループ全員を喜ばせました スティーブン 完全な信仰 聖霊 フィリップ・プロコルス ニカノール ティモン・パルメナス ニコラ・アンティオキア 改宗者 ユダヤ教はこれらの人々に提示し、使徒は彼らに手を置いて祈りました（使徒行伝6:1-6）。

第 2 段落: この取り決めが整備されたことにより、神の言葉は広まり、エルサレムの弟子の数は急速に増加し、多くの祭司が従順な信仰を持つようになりました。一方、ステファノの完全な恵みの力は、人々の間で大きな奇跡のしるしを行いました。反対派の会員がシナゴーグ、解放奴隷ユダヤ人、キレネ、アレクサンドリア、キリキア州、アジアの州でステパノと議論を始めましたが、スピリットが話しながら彼に与えた知恵に逆らうことができませんでした（使徒6:7-10）。

第三段落: それから彼らは何人かの人々に「ステパノがモーセ神に対して冒涜的な言葉を言っているのを聞いた」と言うように密かに説得し、人々を煽り、長老の教師たちが法律で彼を押収し、サンヘドリンの前に彼を連れて行き、偽の証人を立ててこう言った、「この男は私たちがこの聖なる場所の法律に反対する発言を決してやめない」イエス・ナザレはモーセが伝えた場所変更の習慣を破壊するだろうと彼が言ったのを聞いたことがあります。」サンヘドリンに座っていた人たちは皆、ステパノをじっと見つめ、その顔が天使のような顔であることに気づきました（使徒行伝 6:11-15）。

使徒 6:1 そのころ、弟子の数が増えたとき、ヘブライ人に対するギリシア人たちのつぶやきが生じた。それは、彼らのやもめが毎日の奉仕で無視されたからである。

初代教会の成長に伴い、ギリシャ語を話すユダヤ人の信者から、毎日の援助の配布において未亡人が無視されているという苦情が生じた。

1. 「思いやりと奉仕への呼びかけ：教会における自己満足を克服する」

2. 「団結の力: 他者に奉仕するために協力する」

1. マタイ 5:43-45、「『隣人を愛し、敵を憎め』と言われていたことをあなたは聞いているでしょう。」しかし、私はあなたたちに言います、あなたたちが天におられるあなたの父の子となるように、敵を愛し、あなたたちを迫害する人々のために祈りなさい。

2. ガラテヤ 6 章 2 節「互いに重荷を担いなさい。そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。」

使徒 6:2 そこで十二人は、群衆の弟子たちを呼び集めて言った、「私たちが神の言葉を離れて食卓を囲むのは道理ではない」。

12使徒は弟子たちを集めて、食卓の配膳だけに集中して神の言葉を無視してはならないと教えました。

1. 神の言葉を優先する: それがなぜ重要なのか

2. 目的を持って奉仕する: 使徒の模範に関する研究

1. コロサイ 3:23 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。

2. エペソ 6:7 - 人々ではなく主に仕えるかのように、心をこめて仕えなさい。

使徒 6:3 ですから、兄弟たち、あなたがたの中から、聖霊と知恵に満ちた正直な報告をする七人の人に注目してください。私たちはこの仕事を監督するために彼らを任命します。

使徒たちは教会に対し、教会の業務を監督するために、聖霊と知恵に満ちた誠実な性格の7人を選ぶよう求めています。

1. 敬虔なリーダーシップの特質: 使徒 6:3 から優れたリーダーの特徴を探る

2. 教会における聖霊の力: 信者の体内の霊的な賜物をどのように認識し、育むか

1. 箴言 11:3 - 「正しい者の誠実は彼らを導く。しかし、不遜な者のひねくれた者は彼らを滅ぼすであろう。」

2. 1 コリント 12:7 - 「しかし、御霊の現れは、すべての人に与えられ、利益を得るのです。」

使徒 6:4 しかし、私たちは祈りと御言葉の奉仕に絶えず身を捧げます。

初代教会は祈りと御言葉の奉仕に時間を捧げました。

1. 祈りの力

2. 宣教奉仕への呼びかけ

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. コリント第一 12:4-11 - 「さて、賜物にはさまざまなものがありますが、同じ御霊です。奉仕にもさまざまなものがありますが、主は同じです。活動にもさまざまなものがありますが、力を与えるのは同じ神です。それらはすべてみんなの中にあるのです。」

使徒 6:5 この言葉は群衆全体を喜ばせた。そして彼らは、信仰と聖霊に満ちた人ステパノ、ピリポ、プロコロス、ニカノル、ティモン、パルメナス、そしてアンティオキアの改宗者ニコラを選んだ。

群衆全体は、ステパノ、フィリポ、プロコーラス、ニカノール、ティモン、パルメナス、ニコラスを教会で奉仕する人として選びました。

1. 神に仕える信仰の力

2. 聖霊に満たされることの必要性

1. ローマ 12:11 - 「決して熱意を欠いてはなりません。霊的な熱意を保ち、主に仕えなさい。」

2. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、忠実、柔和、自制です。」

使徒 6:6 彼らはこの人を使徒たちの前に立たせ、祈った後、彼らの上に手を置いた。

使徒たちは、選ばれた人々を彼らの前に立たせるために祈り、彼らに手を置きました。

1. 祈りの力 – 祈りが私たちが恐怖を克服し、未知の世界に足を踏み入れるのにどのように役立つか。

2. 奉仕の賜物 - 奉仕への呼びかけと、個人に手を置くことが神の祝福のしるしとなり得ること。

1. ヤコブ 5:13-16 - あなたたちの中に、困っている人はいますか。彼らに祈ってもらいましょう。幸せな人はいますか？彼らに賛美の歌を歌わせてください。

2. テモテ第一 4:14 - 長老たちの一団があなたに手を置いたとき、預言を通してあなたに与えられた賜物を無視してはなりません。

使徒 6:7 そして神の言葉は増大した。そしてエルサレムでは弟子の数が大幅に増えた。そして祭司たちの大群は信仰に従順でした。

エルサレムでは弟子の数が大幅に増加し、多くの祭司が信仰に従いました。

1. 信仰の成長: 従順がどのようにして素晴らしいことをもたらすのか

2. 神の力: 神の言葉は従順を通してどのように広まるのか

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

2. ローマ 1:5 - 彼を通して、そして彼の名のために？幸いなことに、私たちはすべての異邦人の中から人々を信仰から来る従順に招く恵みと使徒職を受けました。

使徒 6:8 そして、ステパノは信仰と力に満ちて、人々の間に大きな不思議と奇跡を行いました。

ステファノは偉大な信仰と力の人で、人々に多くの驚くべき奇跡を行いました。

1. 信仰と力に満ちた人生を送る

2. 神の奇跡を信頼する

1. ヘブライ人への手紙 11:1 - ?信仰とは、期待されている事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. マタイ 14:22-33 - 水の上を歩き、嵐を静めるイエス。

使徒 6:9 そこで、リベルタ人、キレネ人、アレキサンドリア人の会堂と呼ばれる会堂、およびキリキア人やアジア人の中の何人かが立ち上がり、ステパノと議論した。

スティーブンとシナゴーグの会員たちとの議論は強い反発を引き起こした。

1. 議論の力: 神の王国を促進するために議論をどのように活用できるか

2. 理解するために聞くことの価値: 対話を通じて他者から学ぶ方法

1. ローマ人への手紙 15:5-7 「さて、忍耐と慰めの神が、キリスト・イエスに従って互いに同じ思いを持つことをあなたがたにお許しください。それは、あなたがたが心を一つにし、口を一つにして、私たちの主イエス・キリストの父である神の栄光を現すためです。」ですから、キリストが私たちを神の栄光に迎え入れてくださったように、あなたがたもお互いを受け入れてください。」

2. ヤコブ 1:19-20 「ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。人の怒りは神の義を働かせないからです。」

Act 6:10 そして彼らは、彼の語る知恵と霊に抵抗することができなかった。

ステファノは知恵と御霊に満ちていたので、敵対者は彼に抵抗することができませんでした。

1. 聖霊の力: 私たちの言葉がどのように他人を変えることができるか

2. 御霊による知恵: 権威と話す方法

1. イザヤ書 11:2-3: ?そして、主の霊、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊が彼の上にとどまるでしょう。

2. 箴言 15:23: ?人は自分の口の答えによって喜びを感じます。そして、適切な時期に発せられる言葉、それはなんと素晴らしいことでしょう??

Acts 6:11 そこで彼らは人々を従わせて言った、「彼がモーセと神に対して冒涜的な言葉を言っているのを聞いた。」

スティーブンがモーセと神を冒涜したと主張して、スティーブンに不利な証言をするために偽の証人が雇われた。

1. 偽りの証言をしてはいけない: 欺瞞の結果

2. 愛を持って真実を語ろう: 真実の力

1. 出エジプト記 20:16 ?汝は隣人に対して虚偽の証言をしてはならない。

2. エペソ人への手紙 4:15 ?また、愛をもって真実を語れば、私たちはあらゆる面で頭である彼、キリストへと成長しなければなりません。

使徒 6:12 そこで彼らは、民、長老たち、律法学者たちを扇動して、イエスに襲いかかり、捕まえて議会に連れて行き、

人々、長老たち、律法学者たちは人々を扇動し、イエスを逮捕しました。

1. 集団行動の力: イエスの逮捕を検証する

2. 困難な時代におけるリーダーシップの役割: イエスの逮捕を考察する

1. 詩篇 46:10-11 - ?私はまだ、そして私が神であることを知っています。わたしは諸国民の間で高められるだろうし、地でも高められるだろう!??

2. マタイ 26:53-54 - イエスは彼らに言われました。ああ、私が父に訴えることはできず、父はすぐに私に12軍団以上の天使を送ってくると思うのですか？しかし、それでは、聖書の言葉はどうやって成就されるべきでしょうか？

Acts 6:13 そして、「この男は、この聖なる場所と律法に対して冒涜的な言葉を絶えず言っている。

サンヘドリンは聖地と法律に対して冒涜的な言葉を吐いたとしてスティーブンを非難していた。

1. 神に喜ばれる聖なる生活を送る方法

2. 生活の中で神の律法を守ることの重要性

1. ヘブライ 12:14 - 「すべての人々との平和と、それなしでは誰も主を見ることのできない聖さのために努力しなさい。」

2. ローマ 13:1-7 - 「すべての魂を統治する権威に服従させなさい。神以外に権威はなく、存在する権威は神によって任命されたものだからです。」

Acts 6:14 というのは、ナザレのこのイエスがこの場所を滅ぼし、モーセが私たちに与えた習慣を変えるであろう、と彼が言うのを私たちは聞いたからです。

この箇所は、ナザレのイエスがこの場所を破壊し、モーセが伝えた習慣を変えることについて話すのを人々がどのように聞いたかを語っています。

1. 変化：神の意志に適応することを学ぶ

2. 破壊と再生: 悔い改めへの呼びかけ

1. イザヤ書 43:18-19 - ?昔のことを覚えていない、また昔のことを考えていない。見よ、私は新しいことをするだろう。今、それは湧き出てくるでしょう。知らないだろうか？荒野に道を作り、砂漠に川も作ります。

2. ローマ人への手紙 12:2 - ?そして、この世に適応するのではなく、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明するために、心を一新することによって変えられなさい。

使徒 6:15 そして、会議に座っていた者たちはみな、イエスをじっと見つめて、その顔が天使の顔のように見えた。

初代教会の最初の執事の一人であるステファノはサンヘドリンの評議会の前に引き出されましたが、出席者全員が天使の顔のように見える彼の顔の表情に驚きました。

1. 天上の顔を保つ方法

2. 神聖な人物の力

1. マタイ 5:16 - 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめることができます。」

2. コロサイ 3:12-17 - 「ですから、神として、選ばれた民、聖なる、そして心から愛されている者たちよ、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けなさい。もしあなたがたのうちの誰かがそうであれば、互いに忍耐し、許し合いなさい。」」

使徒行伝 7 章には、サンヘドリンの前でのステパノの弁護、神の右に立っているイエスの幻視、そして彼の殉教が詳しく語られています。

第 1 段落: スティーブンは自身に対する告発に応じて、イスラエルの歴史を語る長い演説を行う。彼はアブラハムに対する神の呼びかけと、彼の子孫が異国の地で異邦人となり、そこで400年間奴隷にされるという約束から始まります（使徒7:1-8）。彼はエジプトに売られたが、後にエジプトで家族を飢餓から救った統治者となったヨセフの物語を続けます（使徒7:9-16）。

第 2 段落: ステファノは、燃え盛る藪の中で神がモーセに現われ、イスラエルをエジプトの奴隷状態から導くよう命じられた経緯を語ります。イスラエル人を奇跡によってエジプトから救い出したにもかかわらず、彼らはモーセに背を向けて偶像を崇拝しました（使徒 7:17-43）。彼はまた、神の設計に従ってモーセによって建てられた幕屋とその後のソロモンの神殿についても話しますが、預言者が言ったように、至高者は人間の手で建てられた家には住んでいないことを思い出させます、「天は私の王座です、地は私の足台です、あなたは私にどんな種類の家を建てますか？」主は言われる、それとも私の安息の地はどこになるのでしょうか？これらすべてのものは私の手で作られたものではないでしょうか？』（使徒 7:44-50）。

第 3 段落: ステファノは、指導者たちは、自分たちの祖先がそうしたのと同じように、割礼を受けていない心も耳も常に聖霊に抵抗している、首の固い人々を非難しています。彼らは、義なる方の到来を予告した預言者を迫害し、今では裏切って殺害し、律法を与えられ、天使たちに定められましたが、それを守らなかったのです（使徒7:51-53）。これを聞いてサンヘドリンのメンバーは激怒して彼に向かって歯ぎしりしましたが、彼は聖霊に満ちて天を仰ぎ、天は栄光を見た、神イエスは右手に立っている、神はこう言われました、「見よ、天が開いているのが見える。子よ、右手に立っている神よ。」彼らは耳を塞ぎ、叫ぶ大声が彼に殺到した 街は彼に石を投げ始めた 石を投げている間、サウルという名の若者の足にコートを着せた スティーブンは祈った、「主イエスよ、霊を受けてください」そしてひざまずいて大声で叫んだ「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」そう言って彼は眠りについたが、サウルは殺人を承認した（使徒7:54-60）。

使徒 7:1 そこで大祭司は言った、「そういうことですか」。

この箇所は大祭司がステファノに関する告発が真実かどうか尋ねる内容です。

1. 質問の力: 使徒行伝 7 章におけるステパノの告発者に関する研究

2. 対立状況における謙虚さの役割: 使徒行伝 7 章におけるステファノの反応を考察する

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれました。

2. マタイ 11:29 - 私のくびきを負い、私から学びなさい。私は心優しく謙虚な人間だからです。

使徒 7:2 そして彼は言った、「兄弟たち、父親たちよ、聞いてください。栄光の神は、私たちの父アブラハムがカランに住む前、メソポタミアにいたとき、彼に現れました。

ステファノは人々に語り、チャランに移る前にメソポタミアでアブラハムに神がどのように現れたかを詳しく語りました。

1. 神の計画に従って生きる: アブラハムの信仰と従順の物語

2. 信仰に踏み出す: アブラハムの模範から学ぶ

1. 創世記 12:1-3 – 神はアブラハムに、神が示す土地に行くよう呼びかけます。

2. ヘブライ 11:8 – アブラハムは従って行きましたが、どこへ行くのかも分かりませんでした。

使徒 7:3 そして彼に言った、「あなたをあなたの国とあなたの親族から追い出し、私があなたに示す土地に来なさい」。

神はアブラハムに、神が彼に示すであろう新しい土地に移るために、国と家族を離れるように呼びかけました。

1. 神の召しへの従順がどのように祝福をもたらすか

2. 移行期における神のリーダーシップに従う

1. 創世記 12:1-4 - 主はアブラムに言われた、「あなたをあなたの国から、あなたの親族から、あなたの父の家から出て、わたしがあなたに示す土地に行きなさい。

2. ヨシュア記 1:1-9 - 主のしもべモーセの死後、主はモーセの大臣ヌンの子ヨシュアにこう言われました。それゆえ、今、立ち上がって、あなたとこの民全員よ、このヨルダンを越えて、わたしが彼らに、さらにはイスラエルの子らに与える土地に行きなさい。

Acts 7:4 それから、彼はカルデア人の地から出てきて、カランに住みました。そして、彼の父親が死んだとき、彼をそこからこの地に移し、あなたがたが今そこに住んでいます。

ステファノは、カルデア人の地からカランへ、そしてユダヤ人が現在住んでいる地へのアブラハムの旅を詳しく語ります。

1. 前進：カルデア人からカランへのアブラハムの旅

2. 根を張る：約束の地でのアブラハムの長期居住

1. 創世記 11:31 - 12:4 - アブラハムに故郷を離れ、約束の地への旅をするよう求める神の呼びかけ。

2. ヘブライ 11:8-10 - 新しい家という神の約束に対するアブラハムの信仰と、神の呼びかけに対する彼の従順。

使徒 7:5 そして彼は、そこに何の相続財産も与えなかった、いや、足を踏み入れるほどではなかったが、それを所有物として彼に与えると、そして彼の後の子孫に与えると約束した。子供がいなかった。

アブラハムに相続人がいなかったときでも、神はアブラハムに土地を約束しました。

1. 状況に関係なく、神の約束に対する神の忠実さ

2. 神と神の約束を信頼することの大切さ

1. ローマ人への手紙 4:13-18 - 神に対するアブラハムの信仰と、彼に対する神の土地の約束

2. ヘブライ 11:8-10 - アブラハムには相続人がいなかったときでさえ神への信仰

使徒 7:6 そして神はこの賢人について語られた、「彼の子孫が見知らぬ地に滞在するように」。そして彼らは彼らを束縛し、四百年間の悪事を懇願するであろう。

神は、ご自分の民が異国の地に連れて行かれ、400年間虐待に苦しむことになると語られました。

1. 「忍耐の力: 神の民は困難な時代をどのように耐え抜いたか」

2. 「神の約束: 忠実な忍耐について」

1. ローマ人への手紙 5:3-5 「それだけではなく、私たちは自分の苦しみを誇りに思っています。なぜなら、苦しみが忍耐、忍耐、品性、そして品性、希望を生み出すことを私たちは知っているからです。そして、希望は私たちを恥じることはありません。なぜなら、神の愛だからです。」私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれています。」

2. ローマ人への手紙 8:18 「私たちの今の苦しみは、私たちの内に現される栄光に比べれば価値がないと思います。」

Acts 7:7 そして、彼らが奴隷にされる国民をわたしは裁く、と神は言われた、そしてその後、彼らは出てきて、この場所でわたしに仕えるであろう。

神はイスラエル人に、外国に奴隷にされた後は神に仕えると約束されました。

1. イスラエル人の希望：救出と神への忠実さの約束

2. 神の力: 諸国民に対する神の主権と神の民に対する忠実さ

1. イザヤ書 43:1-3 - 恐れるな、わたしはあなたを救ったからである。私はあなたの名前を呼んだ、あなたは私のものです。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

Acts 7:8 そして、彼は彼に割礼の契約を与えた。こうしてアブラハムはイサクを生み、八日目に彼に割礼を施した。そしてイサクはヤコブを生んだ。そしてヤコブは12人の族長を生んだ。

アブラハムは割礼の契約を与えられ、それを息子イサクに伝え、イサクはそれを息子ヤコブに伝えました。ヤコブは12人の族長の父親でした。

1. 伝統を世代から世代へと受け継ぐことの大切さ。

2. 割礼という神の契約の力と、それが何世紀にもわたってどのように受け継がれてきたか。

1. 創世記 17:10-14 - アブラハムとの割礼に関する神の契約。

2. 申命記 6:4-9 - 神の契約を後世に伝えるようにという命令。

使徒 7:9 そこで族長たちはねたみに駆られて、ヨセフをエジプトに売り飛ばした。しかし、神は彼とともにおられた。

族長たちはねたみからヨセフをエジプトに売りましたが、神は彼とともにおられました。

1: 私たちが遭遇する困難にもかかわらず、神はいつも私たちとともにおられます。

2: ねたみは破壊的な行為につながる可能性がありますが、神はそこから良いものを引き出すことができます。

1: ローマ人への手紙 8:28- そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。しかし、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完璧で完全なものになることができます。

使徒 7:10 そして彼をあらゆる苦しみから救い出し、エジプトの王ファラオの前で恵みと知恵を与えた。そして彼をエジプトとその家全体の総督に任命した。

神はヨセフを苦難から救い出し、ファラオの宮廷で彼に知恵と好意を与え、エジプトとその家族の総督に任命されました。

1. 困難な時代における神の計画 - 神はどのように私たちの苦しみをご自身の目的のために利用できるか

2. 神の知恵 - 必要なときに主がどのように洞察力と恵みを与えてくださるのか

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

2. ヤコブ 1:5 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。

Acts 7:11 さて、エジプトとカナンの全土に欠乏と大きな苦しみが生じ、私たちの先祖たちは食べるものを見つけられませんでした。

エジプトとチャナンの地は大飢饉に見舞われ、人々は食べ物を得ることができず、非常に苦しみました。

1. 必要なときの神の備え

2. 困難な状況で神の力に頼る

1. マタイ 6:25-34 - 心配しないで、神の備えを信頼してください。

2. 詩篇 16:8 - 私はいつも主を私の前に置いています、そして彼は困難な時に私の助けです

使徒 7:12 しかし、ヤコブは、エジプトにトウモロコシがあると聞いて、まず私たちの先祖たちを送り出しました。

ヤコブは、エジプトにトウモロコシがあると聞いて、食料を求めてイスラエル人の先祖をエジプトに送り出しました。

1. 神は困難な時にも私たちを養ってくださいます。

2. 神のために危険を冒すことを恐れないでください。

1. マタイ 6:25-34 - 明日のことは心配しないでください。明日は自分自身のことを心配するからです。

2. ヘブライ 11:8 - アブラハムは、相続物として受け取る場所に行くように召されたとき、信仰によって従いました。

使徒 7:13 そして二度目に、ヨセフのことが兄弟たちに知らされました。そしてヨセフの血族がファラオに知られた。

ヨセフの家族は二度目の出会いの際にファラオに明らかにされました。

1. 神は私たちに家族と再会する機会を与えてくださいます。

2. 神は私たちの過去の経験を利用して、私たちの未来を形作ることができます。

1. マタイ 10:29-31 (2 羽のスズメは 1 ファージングで売られているではありませんか。そして、そのうちの 1 羽は、あなたの父なしでは地に落ちることはありません。しかし、あなたの頭の毛はすべて数えられています。だから、あなたがたは恐れることはありません、あなたがたはそうなのです)多くのスズメよりも価値のあるものです。)

2. ローマ人への手紙 8:28 (そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。)

Acts 7:14 それから、ヨセフを遣わし、彼の父ヤコブと彼の血族の三人、十五人全員を彼のところに呼びました。

ヨセフは父ヤコブと75人の大家族をエジプトに呼びます。

1. 家族の力: 困難な時期に団結してお互いをサポートすることの重要性。

2. 私たちの人生に対する神の計画を信頼する：予期せぬことを受け入れ、受け入れることを学びます。

1. イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいます。そして、あなたが川を通過するとき、川はあなたを押し流すことはありません。火の中を歩いても火傷することはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。」

2. 詩篇 34:8 「主が善い方であることを味わいなさい。彼に避難する人は幸いです。」

使徒 7:15 こうしてヤコブはエジプトに下って行き、彼も私たちの先祖たちも死にました。

ヤコブのエジプトへの旅と死は使徒行伝第7章15節に描かれています。

1. 困難な状況の中でも、神の民に対する神の忠実さ。

2. 私たちを導き、支える神の約束の力。

1. 詩篇 105:17-19 - 神は彼らの前に人を遣わしました。ヨセフですら、召使として売られました。彼らはその足を足かせで傷つけました。彼は鉄の中に置かれました。彼の言葉が来る時まで：神の言葉主は彼を試みられた。

2. 創世記 50:24-25 - そして、ヨセフは兄弟たちに言った、「私は死にます。そうすれば、神は必ずあなたたちを訪れ、この地からあなたたちをアブラハム、イサク、ヤコブに誓った地に導き出してくださいます。」そしてヨセフはイスラエルの子らに誓いを立ててこう言った、「神は必ずあなたたちを訪れるだろう、そしてあなたたちはそこから私の骨を運び出すであろう。」

使徒 7:16 そして、彼らはシケムに運ばれ、アブラハムがシケムの父エモルの息子たちの大金で買った墓に葬られた。

エモールの息子たちはシケムにあった墓をアブラハムに売りました。

1.「アブラハムへの神の約束」- 神がアブラハムと結んだ契約と、その約束を果たす際の墓の役割を探ります。

2. 「墳墓の重要性」- 聖書の物語と今日の世界における墳墓の重要性を考察します。

1. 創世記 15:17-21 - 神がアブラハムと結んだ契約。

2. ヨハネ 11:17-44 - イエスはラザロを死者の中からよみがえらせ、墓の復活の力を実証しました。

使徒 7:17 しかし、神がアブラハムに誓った約束の時が近づくと、民はエジプトで成長し、増えた。

アブラハムに対する神の約束の時が近づくと、イスラエルの民はエジプトで増えました。

1. 神の約束は信頼でき、必ず実現します。

2. 神は常にご自分の民に対して忠実であられます。

1. ローマ 4:20-21 - 彼は神の約束に関して不信仰によって動揺することはなく、神には約束したことを実行する力があると完全に確信して、信仰が強められ、神に栄光を帰しました。

2. ヘブライ 10:23 - 約束してくださった方は忠実ですから、私たちが告白する希望を揺るがずに持ち続けましょう。

使徒 7:18 ヨセフを知らなかった別の王が立ち上がるまでは。

エジプトのファラオはヨセフとその功績を認めませんでした。

1: 神の計画は、誰もが認識していなくても、最終的にはあらゆる状況で機能します。

2: たとえ困難な状況にあっても、私たちは神が計画を持っていると信頼できます。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: イザヤ書 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

使徒 7:19 同じことが私たちの親族にも巧妙に行われ、私たちの父親たちにも邪悪な仕打ちがあり、彼らは幼い子供たちを追い出し、最後まで生きられないようにしました。

ファラオはイスラエル人を欺き、先祖を虐待し、生き残れないように幼い子供たちを捨てるよう強制しました。

1. 欺瞞の結果: ファラオによるイスラエル人への虐待から学ぶ

2. 不当な扱いに直面しても神の救いの約束を受け入れる

1. マタイ 10:28-29 - 「体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂も肉体も地獄で滅ぼすことができる方を恐れなさい。 2羽のスズメが1ペニーで売られているんじゃないの？しかし、あなたの父の世話がなければ、彼らのうちの一人も地に落ちることはありません。」

2. 申命記 30:19-20 - 「今日、わたしはあなたに、生か死か、祝福か呪いかの選択を与えました。今、私は天と地に、あなたが行う選択を目撃するよう呼びかけます。ああ、あなたとあなたの子孫が生きるために、あなたが命を選んでくれたらよかったのに！あなたの神である主を愛し、主に従い、しっかりと主に身を委ねることによって、この選択をすることができます。」

使徒 7:20 そのころモーセは生まれ、とても健康で、父親の家で三か月間養われました。

モーセはイスラエル人に対する大迫害の時代に生まれ、非常に美しく、3か月間父親の家で育ちました。

1. 迫害の中で生きる: 神はどのように困難を善のために利用されるか

2. モーセの美しさ: 神の完全性についての考察

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. 詩篇 139:14 - 私は恐ろしいほどに素晴らしく造られているので、あなたをほめます。あなたの作品は素晴らしいです、私はそれをよく知っています。

Acts 7:21 そして、彼が追放されたとき、ファラオの娘が彼を拾い上げ、自分の息子のために養った。

ファラオの娘がナイル川でモーセを見つけ、自分の息子として育てました。

1. 神は最も困難な状況であってもコントロールしておられます。

2. 私たちは神と、私たちの人生に対する神の計画を信頼しなければなりません。

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. エレミヤ 29:11 - 「『わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている』と主は言われる、『あなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけない計画であり、あなたに希望と未来を与える計画である』。」

使徒 7:22 モーセはエジプト人のあらゆる知恵を学び、言葉にも行いにも力強かった。

モーセはエジプトの知恵のあらゆる面で教育を受けており、強力な雄弁家であり実行者でもありました。

1. 教育の力: モーセがエジプトの知恵を習得したことが彼の人生をどのように変えたか

2. 行動の力: モーセの言葉と行動が歴史をどう変えたか

1. 箴言 4:7 - 知恵は最も重要なものです。したがって、知恵を得てください。そして、全力を尽くして理解を得るのです。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞き手ではなく、行動する実行者となる人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。

使徒 7:23 そして、彼が満四十歳になったとき、兄弟であるイスラエルの子らを訪ねたいと心に思い立った。

ステファノは40歳のとき、同胞のイスラエル人を訪問したいという強い願望を持っていました。

1. コミュニティの力: スティーブンの物語を考察する

2. 夢を実現することの大切さ: スティーブンからの教訓

1. ローマ 12:10 - 互いに敬意を表し、兄弟愛をもって互いに親切に愛情を注ぎ合いましょう。

2. 箴言 13:20 - 賢者とともに歩む者は賢くなるが、愚か者の友は滅ぼされる。

使徒 7:24 そして、彼らのうちの一人がひどい目に遭っているのを見て、彼は彼を擁護し、抑圧され、エジプト人を打ち負かした彼に復讐した。

モーセはイスラエル人を守り、エジプト人を攻撃します。

1. 他者のために立ち上がる強さ: モーセからどのように学べるか

2. 正義の力: どうすれば間違いを正せるか

1. 箴言 31:8-9 - 「自分のことを言えない人たちのために声を上げ、押しつぶされている人たちのために正義を確保してください。そうです、貧しい人や無力な人たちのために声を上げて、彼らが正義を受けるようにしてください。」

2. ヤコブ 5:4 - 「見よ。畑を刈る労働者たちに支払わなかった賃金が、あなたに対して叫んでいる。刈り取り人たちの叫びは全能の主の耳に届いている。」

使徒 7:25 なぜなら、神が自分の手によってどのように自分たちを救ってくださるのか、兄弟たちは理解しているだろうと彼は思っていたのに、彼らは理解できなかったのです。

神の民は神と彼らに対する神の計画を信頼する必要があります。

1:「信頼の力：神の計画に頼る」

2: 「信仰を強める: 神の救いを理解する」

1: イザヤ書 40:31 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2: 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださる。」

Acts 7:26 そして翌日、彼は彼らが争っているときに彼らに姿を現し、彼らを再び激怒させてこう言ったであろう。なぜあなたがたは互いに間違っているのですか？

スティーブンは人々の悪行を叱責し、互いに和解するよう促しました。

1. 和解：平和への道

2. 団結の力

1. マタイ 5:9 - 「平和を実現する人々は幸いです。彼らは神の子と呼ばれるからです。」

2. エペソ人への手紙 4:3 - 「平和のきずなを通して御霊の一致を保つためにあらゆる努力をする。」

Acts 7:27 ところが、隣人に悪事を働いた者は、「誰があなたを我々の支配者や裁判官にしたのか」と言って、隣人を突き飛ばした。

スティーブンは、自分を人民に対する統治者、裁判官になろうとしたとして不当に告発されました。

1. 冤罪の危険性

2. 謙虚さの重要性

1. 詩篇 15:3 - 舌で陰口を言ったり、隣人に悪を行ったり、隣人を非難したりしない人。

2. 箴言 17:9 - 罪を隠す者は愛を求める。しかし、同じことを繰り返す人はとても友達です。

使徒 7:28 昨日エジプト人を殺したように、私を殺すつもりですか。

スティーブンは、前日にエジプト人を殺害したのと同じように、ユダヤ人の指導者たちが自分を殺そうとしていると非難した。

1. 私たちの行動がどのような結果をもたらすか: スティーブンの大胆さを考察する

2. 迫害にどう対応するか?: ステパノの信仰から学ぶ

1. 出エジプト記 2:14 - 「そして彼は言った、「誰があなたを私たちの君主や裁判官にしたのですか？エジプト人を殺したように、私を殺すつもりですか？」

2. マタイ 5:44 - 「しかし、わたしはあなたたちに言います。あなたの敵を愛し、あなたたちを呪う者たちを祝福し、あなたたちを憎む者たちに善を行い、あなたたちを不当に利用しあなたたちを迫害する者たちのために祈りなさい。」

Acts 7:29 そこで、モーセはこの言葉を聞いて逃げ、旅人としてマディアンの地に行き、そこで二人の息子をもうけた。

モーセは神がエジプトに戻るよう命じると逃亡し、マディアンに留まり、そこで二人の息子をもうけました。

1: たとえそれが困難であっても、神の命令に従うことを覚えておくべきです。

2: 私たちが家を離れているときでも、神は私たちに備えてくださいます。

1: 詩篇 37:23-24 - 「人の歩みは、その道を喜ぶときに主によって確立される。たとえ倒れても、主が彼の手を支えてくださるから、真っ逆さまに投げ出されることはない。」

2: ヘブライ 11:24-26 - 「信仰によって、モーセは成人したとき、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒否し、罪のつかの間の楽しみを楽しむよりもむしろ神の民とともに虐待されることを選びました。彼はキリストの非難をエジプトの宝よりも大きな富とみなした、というのは彼はその報いを期待していたからである。」

使徒 7:30 そして四十年が過ぎたとき、シーナ山の荒野で、藪の中の火の炎の中で主の御使いが彼の前に現れた。

40年間荒野をさまよった後、モーセは燃えている藪の中で主の天使に出会いました。

1. 神はどのように予期せぬ方法でご自身の臨在を明らかにされるか

2. 神のタイミングは常に正しい

1. 出エジプト記 3:2-4 - そして、主の御使いが藪の中から火の炎の中で彼に現れた。そして彼が見ると、見よ、藪は火で燃えたが、藪は消えなかった。消費された。

2. ヘブライ 12:25-29 - 語る者を拒まないように気をつけなさい。なぜなら、地上で語られた方を拒否した者たちが逃げなかったとしても、ましてや、天から語られた方に背を向けるなら、わたしたちは逃れることはできないからです。

使徒 7:31 モーセはそれを見て驚き、それを見ようと近づいたとき、主の声が彼に聞こえた。

モーセは神の力と威厳に畏怖の念を抱きました。

1: 私たちは常に神の力と威厳に畏敬の念を抱くべきです。

2: 私たちは神の臨在の前に畏敬の念と敬意を持って立つべきです。

1: イザヤ書 6:3 - そして、ある者は別の者に叫んで言った、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主。全地は彼の栄光に満ちている。」

2: 詩篇 33:8 - 全地は主を畏れなさい。全世界の住民はみな主に畏敬の念を抱きましょう。

使徒 7:32 「わたしはあなたの先祖たちの神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神です」と言います。そのときモーセは震えたので、絶対に見ないでください。

モーセは、神がご自身を先祖であるアブラハム、イサク、ヤコブの神であると宣言されたのを聞いて震えました。

1. 神はあらゆる世代の神です。

2. 神を知ることは畏敬の念と畏敬の念をもたらします。

1. 創世記 17:1-8 - アブラハムとの神の契約。

2. マタイ 3:13-17 - イエスはヨルダン川でバプテスマをお受けになりました。

Acts 7:33 そこで主は彼に言われた、「あなたの足から靴を脱ぎなさい。あなたの立っている場所は聖地だからです。」

神はモーセに、聖地への敬意を示すために足から靴を脱ぐように指示しました。

1: 聖なるものへの敬意: 神への服従と敬意の行為として靴を脱ぐこと。

2: 地球の神聖さ: 私たちは神が創造した場所を敬い、尊重するよう求められています。

1: 出エジプト記 3:5 - 「近づいてはいけない！あなたの足元からサンダルを脱いでください。あなたが立っている場所は聖地だからです。」

2: イザヤ書 6:1-2 - 「ウジヤ王が亡くなった年、私は主が高く上げられた玉座に座っておられるのを見た。そして彼のローブの列が寺院を満たしました。彼の上にはセラフィムが立っていた。それぞれに6枚の翼があり、2枚で顔を覆い、2枚で足を覆い、2枚で空を飛んだ。」

Acts 7:34 わたしはエジプトにいるわたしの民の苦しみを見て、彼らのうめき声を聞いて、彼らを救うために下って来たのです。そして今、私はあなたをエジプトに送ります。

神はエジプトにいるご自分の民の苦しみを見て、彼らのうめき声を聞いて、彼らを救うために下って来ました。それから彼は彼らを連れ出すためにモーセをエジプトに送りました。

1. 神の介入による私たちの救出

2. 困難な時に主に頼る

1. ヘブライ 13:5-6 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

2. 詩篇 34:17-18 - 「義人が助けを求めて叫ぶとき、主は聞き入れて、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださいます。主は心の打ち砕かれた人の近くにいて、心の打ちひしがれた人を救ってくださいます。」

使徒 7:35 このモーセは、彼らが「誰があなたを支配者や裁判官にしたのですか」と言って拒否したのです。同じように、神は茂みの中で彼に現れた天使の手によって支配者および救出者として遣わされました。

使徒行伝 7 章 35 節には、イスラエル人が統治者および裁判官として拒否したモーセについて書かれていますが、神は茂みの中でモーセに現れた天使を通して、モーセを統治者および救出者として遣わされました。

1.神はどのようにして拒絶された人をリーダーに変えることができるか

2. 神の民の反逆にもかかわらず、神の忠実さ

1. イザヤ書 6:8 - 「また、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか、だれがわれわれのために行くだろうか。そのときわたしは言った。わたしはここにいる。わたしを遣わしてください。』

2. 出エジプト記 3:2 - 「すると、主の使いが藪の中から火の炎の中で彼に現れた。そして彼が見ると、見よ、藪は火で燃えていたが、藪は燃え尽きなかった。。」

使徒 7:36 イエスは彼らを連れ出し、その後四十年間、エジプトの地、紅海、荒野で奇跡としるしを示した。

神はエジプトと紅海でイスラエル人にしるしと不思議を示した後、荒野で40年間忠実にイスラエル人を導きました。

1: 神は忠実な導き手であり、決して私たちを離れたり、見捨てたりすることはありません。

2: 神はしるしと不思議の神であり、私たちが神を信頼するときに備えてくださいます。

1: 申命記 31:6 - 「強く勇敢でありなさい。彼らのせいで恐れたり恐れたりしてはなりません。あなたの神、主はあなたとともに行かれます。彼は決してあなたを離れず、あなたを見捨てられません。」

2: 詩篇 105:27 - 「神[神]は彼ら[イスラエル人]を地の高みに乗らせ、野の実を彼らに与えた。」

使徒 7:37 これは、モーセがイスラエルの子らに言った言葉です。あなたがたは彼に聞くであろう。

モーセはイスラエル人に語るために神によって選ばれた預言者でした。

1: 神は私たちを導く指導者を選びます。

2: 預言の力と従順の重要性。

1: エレミヤ 1:5 - 私はあなたを胎内に形成する前から知っており、あなたが生まれる前に私はあなたを分けました。私はあなたを諸国の預言者に任命しました。

2: ヘブライ人への手紙 11:23-29 - 信仰によって、モーセは生まれたとき、両親に三か月間隠されました。そして彼らは王の布告を恐れなかった。

使徒 7:38 この人は、シナ山で彼に話しかけた天使とともに、また私たちの先祖たちとともに荒野の教会にいた人で、私たちに与えるという生き生きとした託宣を受け取った人です。

ステファノは、荒野でイスラエルの民に神の生ける言葉を伝えるモーセの役割について語ります。

1. 私たちの生活における神の生ける言葉の重要性

2. 神の言葉に従う力

1. 申命記 4:2-4 - 神の言葉を付け加えたり、取り除いたりしてはなりません

2. ローマ人への手紙 10:17 - 信仰は神の言葉を聞くことから生まれます。

使徒 7:39 私たちの先祖たちは、この人に従おうとせず、彼を彼らから追い出し、心の中で再びエジプトに戻りました。

旧約聖書のイスラエル人は神に従わず、背を向けてエジプトに帰りました。

1. 神に従うのは難しいが、それだけの価値はある

2. 神の愛は無条件です

1. 申命記 28:1–2 - 「そして、もしあなたがあなたの神、主の声に忠実に従い、今日私があなたに命じるすべての戒めを注意深く守るなら、あなたの神、主はあなたをすべての国々の上に高く上げてくださるでしょう。」地球。

2. エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、あなたに将来と希望を与えるために、悪ではなく福祉の計画を立てている。

使徒 7:40 アロンに言った、「わたしたちを神々にして、わたしたちの前に行ってください。わたしたちをエジプトの地から導き出したこのモーセについては、わたしたちは彼がどうなるか知りません。」

イスラエル人は、自分たちをエジプトから導き出したモーセに何が起こったのか知らなかったので、アロンに自分たちを導く神にしてほしいと頼みました。

1. 神の計画は人間の計画よりも偉大です: 神の意志を認識し、それに従う方法

2. 神の備え: 不確実な時代に神を信頼する方法

1. イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2. 出エジプト記 14:31 「そしてイスラエルは、主がエジプト人に対してなさったあの大いなる御業を見た。そして民は主を畏れ、主とその僕モーセを信じた。」

Acts 7:41 当時彼らは子牛を作り、偶像にいけにえをささげ、自分たちの手の業を喜びました。

イスラエル人の時代、彼らは金の子牛を作り、偶像に犠牲を捧げ、自分たちの手の職人技を讃えていました。

1. 偶像崇拝の危険 - どうすれば回避できるか

2. 私たちの贈り物を祝うことの力

1. 出エジプト記 32:1-6

2. 詩篇115:4-8

使徒 7:42 そこで神は振り向いて、天の軍勢を礼拝するために彼らを引き渡された。預言者の書に書かれているように、イスラエルの家よ、あなたたちは荒野で4 0年の間に屠られた獣や犠牲を私に捧げましたか？

預言者の書によれば、イスラエル人は荒野で40年間天の軍勢を崇拝することを放棄されました。

1. 偶像崇拝の危険性

2. 神だけを崇拝することの重要性

1. 申命記 6:4-5 - 「イスラエルよ、聞け、私たちの神、主は唯一である。あなたは心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。」

2. エレミヤ 10:2-3 - 「主はこう言われる。『諸国民の道に学んではいけない。諸国民がそれに当惑しているからといって、天のしるしに当惑してはならない。諸国民の習慣はむなしいものだからである。」

使徒 7:43 そうだ、あなたがたはモロクの幕屋とあなたの神レンファンの星、それらを崇拝するために作った像を取り上げた。そして私はあなたをバビロンの向こうまで連れ去ってやる。

イスラエルの人々はモロクの幕屋と彼らの神レンファンの星、つまり彼らを崇拝するために作った偶像を取り上げました。神は罰として彼らをバビロンから連れ去ると約束しました。

1. 偶像崇拝は神にとって不快であり、結果をもたらします。

2. 私たちは神への忠実さを保ち、あらゆる形の偶像崇拝を拒否しなければなりません。

1. 出エジプト記 20:3-5 「あなたにはわたしのほかに神があってはならない。あなたは自分のために、上の天にあるもの、下の地にあるもの、あるいは地下の水の中にあるものの彫刻や類似物を作ってはならない。あなたは彼らにひれ伏したり、彼らに仕えたりしてはならない。あなたの神、主であるわたしは嫉妬深い神だからである。」

2. ローマ人への手紙 1:23-25 「そして、不滅の神の栄光を、死すべき人間、鳥、動物、這うものに似た像と交換しました。それゆえ、神は彼らを、彼らの心の欲望によって不純物に、彼らの間で彼らの肉体を不名誉にするために引き渡したのです。なぜなら、彼らは神についての真実を嘘と交換し、永遠に祝福されている創造主ではなく被造物を崇拝し仕えたからです。アーメン。"

使徒 7:44 私たちの先祖たちは、モーセに告げて、自分が見たとおりに建てるように命じたとおり、荒野に証しの幕屋を設けました。

証しの幕屋は、神が荒野でモーセに示した様式に従って作られました。

1. 約束を果たされる神の忠実さ

2. あなたの人生に対する神の計画に従う

1. ヘブライ 11:8-10 – 「アブラハムは、相続物として受け取る場所に行くように召されたとき、信仰によって従いました。そして彼はどこへ行くのかも知らずに出て行きました。信仰によって、彼は外国にいるかのように約束の地に住み、同じ約束の相続人であるイサクとヤコブと一緒に天幕に住みました。なぜなら彼は、神が建設者であり造り手である、基礎のある都市を待っていたからである。」

2. 出エジプト記 25:40 – 「見よ、山であなたに示された型に倣って、それらを作っているのです。」

使徒 7:45 後に来た私たちの先祖たちも、イエスとともに異邦人の所有物にしましたが、神は私たちの先祖たちの面前で異邦人をダビデの時代まで追い出しました。

ユダヤ人の先祖は、ダビデ王の時代まで、神によって異邦人の土地を所有することを許可されていました。

1. 世代を超えて神の民に対する神の忠実さ。

2. 私たちの先祖の神への忠実さを思い出すことの重要性。

1. 詩篇 77:11 - 「私は主の御業を思い出します。確かに、昔のあなたの驚異を思い出します。」

2. 申命記 6:20-22 - 「そして、あなたの息子が、やがてあなたに尋ねて、「私たちの神、主があなたに命じられた証言、法令、判決には何の意味があるので

すか？」と尋ねたら、あなたはこう言うべきです。あなたの息子よ、私たちはエジプトでファラオの奴隷でした、そして主は力強い御手で私たちをエジプトから連れ出しました、そして主は私たちの目の前で、エジプト、ファラオ、そして彼の家族全員に、大きくて痛ましいしるしと不思議を示されました。。」

使徒 7:46 この人は神の御前に好意を見出し、ヤコブの神のために幕屋を見つけたいと願いました。

ステファノはイスラエル人の歴史を語り、神がどのようにイスラエル人に好意を見出し、ヤコブの神に住まいを与えたいと望んだかに注目します。

1. 神の忠実さ: 私たちの間違いにもかかわらず、神の好意はどのように持続するのか

2. イスラエル人の足跡をたどり、神の好意を受けるにはどうすればよいか

1. 申命記 4:7-8 - 私たちが神を呼び求めるたびに、私たちの神である主ほど近くに神がいる偉大な国が他にあるでしょうか。

2. 詩篇 33:18 - 見よ、主の目は主を恐れる者たち、そして主の変わらぬ愛を望む者たちに注がれている。

使徒 7:47 しかしソロモンは彼に家を建てた。

この箇所は、ソロモンが神のために家を建てる様子を描いています。

1. 犠牲の力: ソロモンが神のために家を建てたことは、どのように信仰を示したのか

2. 礼拝の心：神の家を建てることの重要性を理解する

1. 歴代誌下 2:1-10 - ソロモンによる主のための神殿の建設

2. マタイ 6:33 - 何よりもまず神の王国を求める

使徒 7:48 しかし、いと高き方は手で造った神殿には住まれません。預言者が言ったように、

預言者が言ったように、至高者は手で造られた神殿には住まれません。

1. 神は私たちの構造よりも偉大です: 至高の超越性の探求

2. スピリチュアルなつながりの必要性：神との関係を求める

1. イザヤ書 66:1 - 「主はこう言われる、『天はわたしの王座、地はわたしの足台である。あなたがわたしのために建てる家は何でしょうか、わたしの安息の地は何でしょうか。』

2. 詩篇 24:1-2 - 「地とその満ち満ちたもの、世界とそこに住む人々は主のものである。神はそれを海の上に築き、川の上に築いたからである。」

使徒 7:49 天はわたしの王座、地はわたしの足台、あなたがたはわたしにどんな家を建てるつもりですか。主は言われる、「それとも私の安息の地はどこだろうか？」

神の偉大さと主権は何よりも地上の力と権威です。

1: 神は私たちが想像できるものよりも偉大であり、神の力と権威はすべてに優先します。

2: 私たちは皆、決断を下す際に神の偉大さと主権を認識する責任があります。

1: 詩篇 147:5 - 「私たちの主は偉大であり、力は強力です。その理解力には限界がありません。」

2: イザヤ書 40:22 - 「神は地の輪の上に王座に座し、その民はバッタのようである。神は天蓋のように天を広げ、住む天幕のように広げられる。」

使徒 7:50 これらのものはすべてわたしの手で造られたのではありませんか。

この一節は、万物の創造における神の全能について語っています。

1. 畏怖と驚き: 創造における神の主権を理解する

2. 揺るぎない強さ 神の全能の手

1. 詩篇 19:1 - 「天は神の栄光を告げ知らせ、大空は神の御手の業を告げ知らせる。」

2. イザヤ書 40:26 - 「目を上げて、天を仰いでください。これらのものすべてを創造したのは誰ですか。星のような軍勢を一つ一つ取り出し、それらのそれぞれの名前を呼ぶ方です。」

使徒 7:51 あなたがたは、かたくなで、心も耳にも割礼を受けていないのに、いつも聖霊に抵抗しています。あなたがたの先祖たちがしたように、あなたがたも同じなのです。

ステパノは人々に、彼らの先祖は聖霊に抵抗し、彼らも同じことをしていると語ります。

1. 聖霊の声を聞くことの重要性を理解する

2. 先祖の失敗から学ぶ

1. ヨハネ 16:13 - 「しかし、真理の御霊が来るとき、彼はあなたをすべての真理に導いてくださいます。彼は自分から話すことはありません。彼は聞いたことだけを話し、あなたがたに告げます。」まだ来ないよ。」

2. 箴言 2:1-3 - 「わが子よ、もしあなたが私の言葉を受け入れ、私の命令を自分の中に蓄え、知恵に耳を傾け、理解に心を注ぐなら、そして洞察力を求めて叫び、理解のために大声で叫ぶなら」銀を探すかのように探し、隠された宝を探すかのように探してください。」

使徒 7:52 預言者の中で、あなたの先祖が迫害しなかったのは誰ですか。そして彼らは、正義なる者の到来を前に示した者たちを殺した。あなたがたは今やその人たちを裏切り、殺人者となったのです。

ユダヤ人はイエスの到来を預言した多くの預言者を迫害し、殺害しましたが、今ではイエスを裏切り、殺害しました。

1. 神の預言者への迫害: 神を拒否した結果

2. たった一人の裏切り: 不信の危険

1. 詩篇 105:15 「油そそがれたわたしに触れないでください。わたしの預言者たちに危害を加えないでください」

2. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。なぜなら、神は世を罪に定めるために御子をこの世に遣わしたのではありません。しかし、彼を通して世界が救われるためです。」

使徒 7:53 天使の性質によって律法を受け入れたのに、それを守らなかった人たちです。

ステファノはユダヤ人が天使から与えられたモーセの律法に従わないとして非難しました。

1. 神の律法の擁護: ステパノの例

2. 従順の力: モーセの律法に従う

1. 出エジプト記 20:1-17 - 十戒

2. ローマ人への手紙 7:12 - 律法は神聖であり、公正です

使徒 7:54 これらのことを聞いた人々は胸が張り裂け、歯ぎしりした。

ステパノは人々に説教していましたが、その言葉に人々は激怒し、人々は彼を攻撃しようとしました。

1. 説教の力: 私たちが話す言葉がどのように変化をもたらすか

2. 困難な時に強さを見つける：スティーブンの物語

1. 箴言 15:1、「優しい答えは怒りを遠ざけるが、厳しい言葉は怒りをかき立てる。」

2. 詩篇 27:14、「主を待ち望みなさい。心を強く持ち、勇気を出しなさい。主を待ち望みなさい。」

使徒 7:55 しかし、彼は聖霊に満たされて、しっかりと天を見上げると、神の栄光と、神の右に立っておられるイエスを見た。

ステパノは聖霊に満たされて天を見上げると、神の栄光と神の右に立っておられるイエスを目にしました。

1. イエスを私たちの義の代弁者として知る

2. 私たちの生活における聖霊の力

1. ヘブライ 7:25 - 「したがって、彼は自分を通して神のもとに来る人々を完全に救うことができます。なぜなら、彼はいつも生きていて彼らのために執り成しているからです。」

2. ローマ 8:26 - 「同じように、御霊は私たちの弱さを助けてくださいます。私たちは何を祈ればよいのか分かりませんが、御霊ご自身が言葉にならないうめきによって私たちのために執り成してくださいます。」

Acts 7:56 そして言った、「見よ、天が開けて、人の子が神の右に立っているのが見える。」

ステファノは、開かれた天で神の右に立っておられるイエスの幻を見ました。

1.「天の力 – スティーブンのビジョンを理解する」

2.「神の右手 – 名誉と権力の場所」

1. ローマ 8:34 - 「死んだキリスト・イエスは、それ以上に復活させられ、神の右にいて、私たちのために執り成しをしています。」

2. エペソ人への手紙 1:20 - 「キリストが死人の中からよみがえらせ、天の領域でその右の座に着かせたとき、キリストのうちにこの力を働かせたのです。」

Act 7:57 そこで、彼らは大声で叫び、耳をふさぎ、一斉にイエスに駆け寄った。

エルサレムの人々はステパノのメッセージを拒否し、彼を殺害しました。

1: たとえそれが困難な場合でも、私たちは常に真実を喜んで受け入れなければなりません。

2: 私たちは誰かをすぐに判断せず、代わりにその人を理解するよう努めるべきです。

1: マタイ 7:1-5 「裁かないでください。裁かれないようにするためです。なぜなら、あなたが宣言する裁きによってあなたは裁かれ、あなたが用いる尺度によってそれはあなたに評価されるからである。」

2: ヤコブ 1:19-20 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。」

Acts 7:58 そして彼を町から追い出し、石で打ちつけた。すると、証人たちはサウルという名の若者の足もとに服を置いた。

ステファノはエルサレムの人々によって石打ちで殺害され、目撃者たちは若者サウルの足元に衣服を置きました。

1. 証人の力: ステパノとサウルの例

2. 迫害に直面したときの忠実さ: ステパノの勇気

1. ローマ人への手紙 12:21 - 「悪に負けず、善をもって悪に勝ってください。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たち、あなたがさまざまな種類の試練に直面するときはいつでも、それを純粋な喜びと考えてください。なぜなら、自分の信仰が試されることで忍耐が養われることをあなたは知っているからです。あなたが成熟して、完全で、何も欠けていない。」

Acts 7:59 そして彼らはステファノに石を投げ、神を呼び、「主イエスよ、私の霊を受けてください」と言った。

ステパノは神に祈り、イエスに霊を受けてくださるよう呼びかけているときに石で打たれました。

1.「信仰をもって祈る力」

2. 「迫害に直面したステファノの忠実さ」

1. ヤコブ 5:13-20 - 信仰による祈りの力。

2. ヘブライ 11:32-40 - 迫害に直面したときの忠実さの例。

Act 7:60 そして彼はひざまずいて、大声で叫んだ、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください。」そして彼はこう言い終えると眠りに落ちた。

イエス・キリストの忠実な弟子ステパノは、死ぬ前に迫害者たちの許しを祈りました。

1. 許しの力 - 迫害者に対するステパノの祈りが歴史をどう変えたか

2. 信仰の強さ - イエス・キリストに対するステパノの揺るぎない献身

1. マタイ 5:44 - しかし、私はあなたたちに言います、あなたの敵を愛し、あなたたちを迫害する人々のために祈りなさい。

2. ルカ 23:34 - イエスは、「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分たちが何をしているのか分かっていません。」と言われました。

使徒 8 章では、ステファノの死後の福音の広がり、サマリアでのフィリポの伝道活動、およびエチオピアの役人とともに語られています。

第 1 段落: この章はサウルがステパノの処刑を承認するところから始まります。その日、エルサレム教会に対して大迫害が起こり、使徒を除いてユダヤ・サマリア全土に散り散りになりました。敬虔な人々が埋葬され、ステファノは彼の死を深く悼みましたが、サウルは家から家を訪ねて教会を破壊し始め、サウルは二人の男性を引きずり出し、女性たちは彼らを刑務所に入れました（使徒 8:1-3）。散らばっていた人々はどこへ行っても宣べ伝えました フィリポはサマリアの町に行きましたそこで群衆はフィリポが行ったしるしを見たとき、皆が彼の言ったことに細心の注意を払いました 汚れた霊が出てきた多くの人が取り憑かれ、多くの麻痺した足が不自由になり、癒されました。その街で大きな喜びを感じました（使徒 8:4-8）。

第 2 段落: 以前、街で魔法を練習していたシモンという男がいて、サマリアは人々を驚かせました。自分は偉大な人物であると主張し、人々は皆、彼の魔法の技術を長い間人々を驚かせてきたため、彼に従いました。しかし、フィリポが良いたよりの国の神の名前イエス・キリストを宣べ伝えたとき、彼らが信じたとき、男性も女性もバプテスマを受けました。シモン自身もバプテスマを受けたと信じて、彼が見た大きなしるしの奇跡に驚かされ、どこにでもフィリポに従いました（使徒 8:9-1 3）。使徒エルサレムは、サマリアが神がピーター・ヨハネを送った言葉を受け入れたと聞いたとき、彼らは新しい信者が聖霊を受けるように祈りました。なぜなら聖

霊はまだ彼らの上に来ていないからです。彼らは単に主イエスと名乗って洗礼を受けただけです。それからペテロ・ヨハネは彼らに手を置き、シモンがお金を差し出すのを見て聖霊を受けました。「私が手を差し伸べる者が誰でも聖霊を受けられるように、私にもこの能力を与えてください。」ペテロは、彼の心は神の前に正しくないので、自分の悪を悔い改め、できれば心が赦されることを願って主に祈る必要があると彼を叱責しました。シモンは「主よ、あなたの言われたことが私に起こらないように祈ってください」と答えました（使徒8:14-24）。

第３段落：宣べ伝えた言葉を証言した後、主ピーター・ヨハネはエルサレムに戻り、多くのサマリア人の村で福音を宣べ伝えました さて、天使主はフィリポに「エルサレム・ガザから南に下る道を行きなさい」と言われました。それで、途中でエチオピアの宦官に会い、重要な公務の財務省のキャンディス女王に会いました。エチオピア人はイザヤ書の本を読んでいます 預言者 スピリットはフィリップに戦車の近くに行きなさいと言いました、近くに留まりなさい、それが何を読んでいるのか理解しましたと尋ねました 誰かがガイドしてイエスについての良い知らせを説明しなければ、聖書の朗読を始めました—「彼は」「羊を屠殺するように導かれた。毛を刈る者が口を開かない前に沈黙した。屈辱。正義は否定された。誰が話すことができるだろうか。何世代にもわたって大地を奪われた」――道を進んでいると、ある水の宦官が言った。「ほら、ここに水がある。何が私が洗礼を受けるのを妨げるのだ？」戦車を止めるように命令した フィリポ宦官は二人とも水の中に降りた ピリポは水から上がってきたときにバプテスマを授けた 精霊の主は突然宦官を連れ去ったが、彼が再び喜んでいるのを見たが、アゾトスはカイサリアに着くまで福音の町を説教しながら旅をしたようだった（使徒8:25-40））。

使徒 8:1 そしてサウルは自分の死に同意していました。そして当時、エルサレムにあった教会に対して大規模な迫害がありました。そして使徒たちを除いて、彼らは皆海外のユダヤとサマリアの地方に散らばった。

ステファノの死後、サウルは彼の死に同意し、エルサレムの教会に対する大迫害により、使徒を除く多くの信者がユダヤとサマリアに散り散りになりました。

1. 迫害に直面した恐怖を克服する

2. 逆境に負けずに強く立つ

1. 詩篇 27:1-3 「主は私の光であり、私の救いです。私は誰を恐れるべきでしょうか。主は私の命の砦です。私は誰を恐れるべきでしょうか。悪を行う者たちが私の肉を食べようと私を攻撃するとき、私の」

2. ヘブライ人への手紙 11:32-34 「これ以上何を言うべきでしょうか。ギデオン、バラク、サムソン、エフタ、ダビデ、サムエル、そして信仰によって王国を征服し、正義を執行し、正義を獲得した預言者たちについては、時間が経てば語り尽くせないでしょう。約束し、ライオンの口を止め、火の力を消し、剣の刃から逃れ、弱さの中から強くなり、戦争では強大になり、外国の軍隊を敗走させた。」

使徒 8:2 そこで、敬虔な人々がステファノを埋葬地まで運び、彼のことで大いに嘆き悲しみました。

ステパノは敬虔な人でしたが、大きな嘆きの声を上げながら埋葬地まで運ばれました。

1. 献身の力: スティーブンを偲んで

2. 嘆きの影響を理解する

1. 伝道の書 3:4 - 「泣くのに時があり、笑うのに時があり、嘆くのに時があり、踊るのに時がある」

2. ヨブ 30:25 - 「私は、その日が大変だった彼のために泣いたではありませんか? 私の魂は、貧しい人々のために悲しんでいたのではありませんか?」

使徒 8:3 サウロは教会を荒らし、家々に侵入し、男女を捕らえて牢に入れました。

サウロは教会を迫害し、家々に侵入したり、人々を投獄したりしました。

1. 神の恵みと憐れみは、神の教会に与えられたどんな悪よりも大きい。

2. 迫害にもかかわらず、忠実であり神に献身し続ける必要性。

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. ヘブライ 10:32-39 - しかし、あなたが啓発された後、時には公の場で非難や苦痛にさらされ、時にはそのように扱われた人々のパートナーとなったりして、苦しみとの厳しい闘いに耐えた昔のことを思い出してください。なぜなら、あなたは刑務所にいる人たちに同情心を抱いており、自分自身がより良い所有物と永続的な所有物を持っていることを知っていたので、自分の財産の略奪を喜んで受け入れたからです。したがって、大きな報いをもたらす自信を捨てないでください。というのは、神の御心を行ったときに約束されたものを受け取るためには、あなたには忍耐が必要だからです。

使徒 8:4 そこで、海外に散り散りになった人々は、どこへでも行って御言葉を宣べ伝えました。

イエスの死と復活の後、彼の追随者たちは世界中に散らばり、あらゆる場所で福音を宣べ伝えました。

1. あらゆる場所で神の言葉を宣べ伝える

2. 人生を変える福音の力

1. ローマ 10:14-17 - それでは、信じていない方をどうやって呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？

2. 使徒 1:8 - しかし、あなたがたは力を受けるであろう。その後、聖霊があなたがたに臨んだ後、あなたがたはエルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして世界の最果てに至るまで、わたしの証人となるであろう。地球。

使徒 8:5 それから、ピリポはサマリアの町に下りて、彼らにキリストを宣べ伝えた。

フィリポはサマリアの町に行き、イエス・キリストについて宣べ伝えました。

1. 説教の力: 福音を効果的に伝える方法

2. 恐怖を克服し、大胆に福音を宣べ伝える

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。また、聞いたこともない方をどうやって信じるのでしょうか。また、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができるのでしょうか。遣わされない限り、どうして彼らは説教できるでしょうか？」

2. イザヤ書 6:8 - 「そして、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか、だれがわたしたちのために行くだろうか』。」それから私は「ここにいます！送ってください」と言いました。

使徒 8:6 民は一致してピリポの言ったことに耳を傾け、彼の行った奇跡を聞いたり見たりした。

人々はピリポの話に注意深く耳を傾け、彼が行った奇跡を見つめました。

1:神の力を信じれば奇跡が起こるでしょう。

2: 神の言葉に注意深く耳を傾けてください。そうすればあなたは祝福されるでしょう。

1: マタイ 11:28-30 - すべて働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。

2: 1 コリント 2:4-5 - そして、私のスピーチと説教は、人間の知恵の魅力的な言葉によるものではなく、御霊と力の実証でした。

使徒 8:7 というのは、汚れた霊に取り憑かれていた多くの人の中から、大声で叫びながら、汚れた霊が出てきて、中風や足の不自由な人の多くが癒されたからである。

聖霊は多くの人々の体の病気を癒しました。

1: 信仰と聖霊の力によって、すべてのことが可能になります。

2: 癒しは主に助けを求める者に与えられます。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2: ヤコブ 5:15 - 「信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせます。そして、もしその人が罪を犯したなら、赦されます。」

使徒 8:8 その町には大きな喜びがあった。

町の人々は福音のメッセージを聞いて大きな喜びに満たされました。

1. 喜びの力：私たちの生活の中で神の喜びを体験する

2. 福音の喜び: 良いたよりを分かち合う方法

1. 詩篇 126:3 - 主は私たちのために素晴らしいことをしてくださったので、私たちは喜びで満たされています。

2. ピリピ 4:4 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい！

使徒 8:9 しかし、シモンという人がいたが、以前同じ町で魔術を使い、サマリアの人々を惑わし、自分が偉い人であるかのように吹聴していた。

サマリア出身の魔術師シモンは、自分が重要人物であると主張して人々を欺きました。

1. 虚偽の請求の危険性

2. 欺瞞の力

1. 箴言 14:5 - 「忠実な証人は嘘をつきませんが、偽りの証人は嘘を吐きます。」

2. ヨハネ第一 4:1 - 「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出て行ったからです。」

使徒 8:10 皆、小さい者から大きい者に至るまで、この人に注目して、「この人は神の偉大な力だ」と言った。

この箇所は、使徒フィリポがサマリアの人々に神の力を宣べ伝えたとき、サマリアの人々が彼に対して抱いた畏敬の念と尊敬の念を物語っています。

1) 神の力: 神の権威を認識し認めることを学ぶ

2) 証言の力: 私たちの言葉が他の人にどのような影響を与えるか

1) 詩篇 24:8 - この栄光の王とは誰ですか?主は強くて力強く、主は戦いにおいても力強い。

2) Ⅱコリント 4:6 - 「闇から光が輝き出せよ」と言われた神は、私たちの心に輝き、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を知る知識の光を与えてくださったからです。

Act 8:11 そして、彼が長い間魔術で彼らを魔法にかけていたので、彼らは彼を注目した。

サマリアの人々は、魔術師シモンを非常に尊敬していました。なぜなら、彼は長い間魔術で人々を欺いていたからです。

1. 偽預言者とその教えに注意してください。

2. 私たちを本当に救えるのはイエスだけです。

1. マタイ 7:15-16 「偽預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の皮を着てあなたたちのところにやって来ますが、内心は貪欲な狼です。あなたはその実を見れば彼らを知ることができるだろう。」

2. ヨハネ 14:6 「イエスは彼に言われた、『わたしが道であり、真理であり、命である。』私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。」

使徒 8:12 しかし彼らは、ピリポが神の国とイエス・キリストの名について宣べ伝えていることを信じて、男も女もバプテスマを受けました。

イエス・キリストと神の王国を信じることはバプテスマにつながります。

1. 信仰と成就: 福音の力

2. 洗礼: 新しい命の象徴

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

2. ローマ 10:9-10 - なぜなら、イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるからです。なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです。

使徒 8:13 それからシモン自身も信じました。そしてバプテスマを受けたとき、フィリポに続き、行われた奇跡としるしを見て不思議に思いました。

シモンはフィリポの奇跡を見て福音の真実を確信し、バプテスマを受けました。

1. 目撃する力: フィリポの奇跡がどのようにサイモンに信仰を与えたか

2. 信仰と洗礼: 信仰を貫くことがなぜ重要なのか

1. マタイ 28:19-20 「それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。"

2. ヨハネ 3:16 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

使徒 8:14 さて、エルサレムにいた使徒たちは、サマリアが神の言葉を受け取ったと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところに遣わした。

エルサレムの使徒たちは、そこの人々が神の言葉を受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネをサマリアに送りました。

1. 福音の力: イエスの福音が人生をどのように変えるか

2. 証しの力: 神の言葉をどのように分かち合うことができるか

1. ローマ人への手紙 1:16-17 - 私は福音を恥とは思っていません。なぜなら、福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人を含め、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

使徒 8:15 彼らが下って来たとき、彼らは聖霊を受けられるようにと彼らのために祈りました。

サマリアの男たちはバプテスマを受け、聖霊を求めて祈りました。

1: 私たちは常に聖霊を求め、聖霊が私たちの人生をその恵みで満たしてくださるようにしなければなりません。

2: 喜んでバプテスマを受け、聖霊を受けます。

1: ローマ 8:9 - しかし、実際に神の御霊があなたがたのうちに住んでいるのであれば、あなたは肉の中にではなく、霊の中にいます。

2: マタイ 3:11 - 私は確かに、悔い改めのためにあなたに水のバプテスマを授けますが、私の後に来られる方は、私よりも強い方であり、私はそのサンダルを履くに値しません。彼は聖霊と火によってあなたにバプテスマを授けます。

使徒 8:16 (というのは、彼はまだ彼らの誰にも落ちていないからです。彼らだけが主イエスの名によってバプテスマを受けました。)

この箇所は、サマリア人が主イエスの名によってバプテスマを受けたとき、まだ聖霊を受けていなかったことが説明されています。

1. 主イエスの名による洗礼の力

2. 聖霊の重要性を理解する

1. ヨハネ 3:5-8 (悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが非難されることを恐れて光に来ません。しかし、真実を行う者は、その行いが明らかにされるために、光に来ます。それらは神によって造られたものであるということ。）

2. エペソ人への手紙 5:8-10 (あなたがたは、時には暗闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩みなさい。(御霊の実はすべての善と義と真実の中にあるからです。) あるものを証明する主に受け入れられる。）

使徒 8:17 それから彼らに手を置くと、彼らは聖霊を受けた。

使徒たちが信者の上に手を置くと、彼らは聖霊に満たされました。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 聖霊の油注ぎの変容

1. ルカ 24:49 - 「見よ、わたしは父の約束をあなたがたに送ります。しかし、あなたがたは天からの力に耐えるまで、エルサレムの町に留まりなさい。」

2. ローマ 8:11 - 「しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださるでしょう。」

使徒 8:18 シモンは、使徒たちが手を置くことによって聖霊が与えられるのを見て、彼らにお金を差し出し、

シモンはお金を使って聖霊の賜物を購入しようとしました。

1: 神の賜物は決して売買できないことを覚えておく必要があります。

2: 私たちは財布ではなく心で神に仕えるように努めなければなりません。

1: マタイ 6:19-21 「自分のために宝を地上に蓄えてはなりません。そこでは虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗みます。しかし、あなたがたは天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびが滅ぼさないのです。」「そして、泥棒が押し入って盗まない場所です。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

2: 1 コリント 13:3 - 「たとえ、自分の全財産を貧しい人々に施し、誇るために自分の体を苦難に引き渡しても、愛がなければ、私には何も得られません。」

使徒 8:19 こう言う、「わたしがだれにでも手を置くと、その人は聖霊を受けることができるように、この力をわたしにも与えてください。」

サマリア人は聖霊を与えるために他の人に手を置く力を求めました。

1: 聖霊の力は賜物であり、軽視できるものではありません。

2: 神に霊的な賜物を求めるとき、私たちは謙虚でなければなりません。

1: エペソ人への手紙 4:7 「しかし、キリストが割り当ててくださったように、私たち一人一人に恵みが与えられています。」

2: ヤコブ 4:6 「しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。したがって、「神は高ぶる者に反対するが、へりくだる者には恵みを与える」と書かれています。

使徒 8:20 しかし、ペテロは彼に言った、「あなたのお金はあなたとともに消えてしまいます。あなたは神の賜物がお金で買えると考えているからです。」

ペテロは、神の賜物をお金で買おうとしたシモンを叱責します。

1: 神の賜物をお金で買うことはできません。

2: 主の賜物は売り物ではありません。

1: マタイ 10:8 - あなたがたは無償で受け取り、無償で与えました。

2: ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完全な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。

使徒 8:21 あなたには、この問題に関して何の役割も与えられてもいません。あなたの心は神の目に正しくないからです。

神の目に正しい心をもつことの重要性が強調されています。

1. 神の前での正しい心の価値

2. 心の誠実さの必要性

1. 箴言 4:23 - 全力を尽くして心を保ちなさい。なぜなら、そこには人生の問題があるからです。

2. 1 歴代誌 28:9 - そして、わが子ソロモンよ、あなたはあなたの父の神を知り、完全な心と意欲をもって神に仕えなさい。主はすべての心を探り、人々のすべての想像を理解されるからである。考え。

使徒 8:22 それゆえ、あなたのこの悪を悔い改め、あなたの心の思いが赦されるかもしれないことを神に祈ってください。

神からの許しを受けるためには、悔い改めが不可欠です。

1. 罪から立ち直る: 許しへの道

2. 神の憐れみを受けるためには悔い改めの必要性

1. エレミヤ 3:13 - 「ただ、あなたの咎を認めなさい。あなたはあなたの神、主に対して罪を犯し、あらゆる緑の木の下でよそ者たちに自分の道を散らし、そしてあなたが私の声に従わなかった、と主は言われる。」

2. ルカ 13:3 - 「あなたたちに言いますが、そうではありません。しかし、あなたたちが悔い改めない限り、あなたがたはみな同じように滅びるでしょう。」

Acts 8:23 あなたが苦い胆汁と咎の絆の中にいることを私は知っています。

主の天使がシモンという名の男性に語りかけ、彼の霊的な状態が苦々しい不法行為であることを警告しました。

1.「咎の絆」

2.「苦味の危険性」

1. エペソ人への手紙 4:31-32 - 「すべての恨み、怒り、怒り、大声、悪口を、すべての悪意をもってあなたがたから遠ざけましょう。そして、あなたがたは互いに親切にし、心優しく、互いに許し合いなさい」神がキリストのためにあなたを赦してくださったのと同じように。」

2. コロサイ 3:8 - 「しかし今、あなたがたもこれらすべてをやめました。あなたの口から出る怒り、怒り、悪意、冒涜、不潔なコミュニケーション。」

Act 8:24 そこでシモンは答えて言った、「あなたがたが言ったこれらのことがわたしに降りかからないように、わたしのために主に祈ってください。」

シモンは神の保護の必要性を表明し、弟子たちに祈りを求めます。

1. 神への信仰を置く: 使徒 8:24 のシモンの願いからの教訓

2. 主への信頼: 困難な時に神の守りに頼る

1. イザヤ書 26:3-4 - あなたは、心の堅固な人々を完全な平和の中に保ってくださいます。彼らはあなたを信頼しているからです。

2. 詩篇 4:8 - 安らかに私は横になって眠ります、主よ、あなただけのため、私を安全に住まわせてください。

Act 8:25 彼らは、主の言葉を証し、宣べ伝えた後、エルサレムに戻り、サマリア人の多くの村で福音を宣べ伝えた。

弟子たちは主の言葉を証し、宣べ伝えた後、エルサレムに戻り、サマリア人の多くの村で福音を宣べ伝えました。

1. 主の御言葉を証し、宣べ伝える力

2. 最もありそうもない場所で福音を広める

1. ピリピ 1:18 – 「それではどうでしょうか。ただ、見せかけであろうと真実であろうと、あらゆる方法でキリストが宣べ伝えられているということ、そしてそれを私は喜んでいます。」

2. マタイ 28:19-20 – 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

使徒 8:26 主の御使いはフィリポに言った、「立って、南に向かってエルサレムから荒れ野のガザに下る道に行きなさい。」

主の天使はフィリポに、エルサレムから南の砂漠であるガザまで行くように指示しました。

1. 神の指示に耳を傾けることの重要性

2. 神の呼びかけに従う：人があまり行かない道をたどる

1. イザヤ書 40:3 - 呼びかける者の声、「荒野に主のために道を備え、荒野に真っ直ぐに、私たちの神のための大道を作りなさい。

2. マタイ 7:13-14 - 「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は広く、その道は広く、そこから入る人が多いからです。しかし、命に至る門は小さく、道は狭いからです」、そしてそれを見つける人はわずかです。

使徒 8:27 そこで彼は立ち上がって出て行った。見よ、エチオピア人の男がいた。エチオピアの王妃キャンディスのもとで大きな権威を持った宦官であり、彼女の財宝すべてを管理しており、礼拝のためにエルサレムに来ていた。

エチオピア出身の男性は、エチオピア女王キャンディスの下で大きな権威を持った宦官であり、礼拝のためにエルサレムにやって来ました。

1. 崇拝の力: エチオピアの宦官の物語

2. 予期せぬ崇拝者: エチオピアの宦官の物語

1. イザヤ書 56:3-5 - 「主に加わった異邦人の息子も、『主は私をご自分の民から完全に引き離された』と言ってはなりません。また、宦官も、『見よ、私はそうだ』と言ってはならない」枯れた木 わたしの安息日を守り、わたしに喜ばれることを選び、わたしの契約を守る宦官たちに主はこう言われる、彼らにもわたしはわたしの家と壁の中に場所と名前を与えるだろう息子や娘よりも優れた、私は彼らに、途切れることのない永遠の名前を与えます。」

2. マタイ 8:14-15 - 「イエスがペテロの家に入られると、妻の母親が熱を出して横たわっているのを見ました。そして彼女の手に触れると、熱は下がりました。そして彼女は起き上がって奉仕しました。」彼らに。」

Acts 8:28 戻ってきて、戦車に座って預言者エザヤを読んだ。

天使はフィリポに砂漠の道に行くように指示し、彼は戦車に乗って預言者イザヤ書を読んでいる男に出会いました。

1. 神の言葉に同調し、神の教えに耳を傾けることの重要性。

2. 私たちの生活に変革をもたらす神の言葉の力。

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、あなたがたは、ただ聞くだけで自分を欺くのではなく、御言葉を行う者になりなさい。もし、行う者ではなく御言葉を聞く者がいるとしたら、その人は見ている人のようなものだからです」ガラスの中の彼の自然な顔: なぜなら、彼は自分自身を見て、自分の道を進み、自分がどんな人間だったのかすぐに忘れてしまうからです。しかし、完全な自由の法則を見つめ、そこに留まり続けている人は、忘れっぽい聞き手ではなく、聞き手であるのです。その仕事を行う者、この人はその行為において祝福されるであろう。」

Act 8:29 すると、御霊がピリポに言った、「近くに行って、この戦車に乗りなさい」。

神の御霊はフィリポに、近づいて戦車に乗るように言いました。

1. 聖霊の力: 神は私たちの人生にどのように導かれるか

2. 神の声に従う：神の呼びかけに従う

1. ヨハネ 14:26 - しかし、父が私の名によって遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、私があなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。

2. イザヤ書 30:21 - 右に曲がっても左に曲がっても、あなたの耳には後ろからこう言う声が聞こえます。その中を歩いてください。」

使徒 8:30 そこで、ピリポはそこに走って行き、彼が預言者エサイアスを読んでいるのを聞いて、「何を読んでいるかわかるか」と言った。

フィリポは、ある人がイザヤ書の一節を読んでいるのを聞いて、読んでいる内容が理解できたかどうか尋ねました。

1. 真実を求めて止まらない

2. 神の言葉を聞く力

1. ヨハネ 8:31-32 - 「それからイエスは、自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしあなたがたがわたしの言葉を信じ続けるなら、あなたがたはまさにわたしの弟子だ。そうすればあなたは真理を知り、真理はあなたを自由にするだろう。」」

2. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

Acts 8:31 そして彼は言った、「誰かが私を導いてくれるほかに、どうやって私ができるでしょうか」。そして彼はフィリポに、近づいてきて一緒に座ってほしいと願った。

エチオピアの宦官がイザヤ書を読んでいて、聖書を理解するためにフィリポに助けを求めました。

1. 神の言葉は分かち合い、理解されるように意図されています。

2. 人々を神のもとへ導く聖書の力。

1. ルカ 24:27 - そして、モーセとすべての預言者から始めて、彼はすべての聖書の中で自分に関する事柄を彼らに説明しました。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足元の灯火であり、私の道の光です。

使徒 8:32 彼が読んだ聖書の場所はここでした、彼は羊のように屠殺場に導かれました。そして毛刈り者の前では口もきけない子羊のように、口を開かなかった。

フィリポはイザヤ書 53 章の一節を宦官に読み上げます。そこには、イエスが羊のように屠殺場に導かれたと書かれています。

1. 十字架を負う: イエスに従う代償

2. 服従の力：困難な状況にもかかわらず神の意志に従う

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開けませんでした。彼は子羊として屠殺場に連れて行かれ、毛を刈る者の前に立つ羊のように口が利けないので、口を開かなかったのです。

2. マタイ 10:38 - そして、自分の十字架を負わず、わたしに従って来る者は、わたしにふさわしくない。

使徒 8:33 彼の屈辱によって、彼の裁きは剥奪された。では、誰が彼の世代を宣言するだろうか。彼の命は地球から奪われるからです。

イエスの屈辱は正義の欠如につながり、イエスの命は地上から奪われました。

1. 不正義の中に正義を見出す方法

2. イエスの生涯と死

1. イザヤ書 53:8 - 「圧制と裁きによって、彼は連れ去られました。そして彼の世代に関して言えば、彼が生ける国から切り離され、私の民の罪のために打ちのめされたと誰が考えたでしょうか。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

Act 8:34 宦官はピリポに答えて言った、「お願いします。預言者は誰のことを言っているのですか。」彼自身のことですか、それとも他の人のことですか？

フィリポはエチオピアの宦官から、イザヤの預言の主題が誰であるかを説明するよう求められます。

1. 忠実な従順：神の呼びかけに応える

2. 神の御心を知る：聖書を通して理解を求める

1. イザヤ書 53:7-8 彼は抑圧され、苦しんでいましたが、口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。

2. マタイ 16:15 イエスは彼らに言われた、「しかし、あなたがたは、わたしを何者だと言うのか。」

Act 8:35 そこで、フィリポは口を開いて、同じ聖書の言葉から始めて、イエスについて宣べ伝えた。

フィリポは聖書を開き、その男にイエスについて説教し始めました。

1. 神の言葉の力 - 神の言葉には、私たちの心を主に対して開く力があるのです。

2. 福音を宣べ伝える特権 - イエスの福音を伝える特権と責任が私たちにどのように与えられているか。

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. マタイ 4:17 - 「その時から、イエスは宣べ伝え始め、『悔い改めなさい、天の御国は近づいた』と言い始めた。」

使徒 8:36 彼らは進んでいくと、ある水のところに来た。すると宦官は言った。「見よ、ここに水がある。水があるよ。」私がバプテスマを受けるのを妨げるものは何ですか?

宦官は、何がバプテスマを受けるのを妨げているのか尋ねました。

1. 洗礼の力: 洗礼が私たちの生活をどのように変えるか

2. 洗礼における水の重要性

1. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

2. ローマ人への手紙 6:3-4 「キリスト・イエスへのバプテスマを受けた私たち全員が、その死へのバプテスマを受けたことを知らないのですか。したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。」

使徒 8:37 そこでピリポは言った、「もしあなたが心から信じるなら、そうしてよいでしょう。」すると彼は、「私はイエス・キリストが神の子であると信じます」と答えました。

フィリポはある男性にイエス・キリストを信じるように勧め、その男性はイエス・キリストを神の子だと信じていると答えました。

1. 心から信じる

2. 神の子

1. ローマ 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が主を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。

2. ヨハネ 1:14-15 - そして、言葉は肉となって私たちの間に宿り、私たちは神の栄光、恵みと真理に満ちた、父からのひとり子のような栄光を見ました。

使徒 8:38 そこで、イエスは戦車を止めるように命じたので、ピリポも宦官も二人とも水の中に落ちた。そして彼は彼に洗礼を授けた。

宦官はフィリポから洗礼を受けました。

1. 洗礼の力: 洗礼がどのように人生を変えることができるか

2. 失われた人のための心: フィリップの宣教の模範に倣う

1. 使徒8:26-39

2. マタイ28:19-20

使徒 8:39 彼らが水から上がってくると、主の御霊がピリポを捕らえたので、宦官はもう彼を見なくなり、彼は喜びながら立ち去った。

主の御霊が宦官の後にフィリポを連れ去り、彼はバプテスマを受け、宦官は喜びながら旅を続けました。

1. 聖霊の力 - 神の霊が私たちの生活の中でどのように働くことができるか。

2. 主にある喜び - 私たちの信仰と人生における神の働きに喜びを見出します。

1. エペソ人への手紙 5:18-20 - また、ワインに酔ってはいけません。しかし、御霊に満たされ、詩篇、賛美歌、霊的な歌で互いに語り合い、心の中で主に向かって歌い、メロディーを奏で、私たちの主イエス・キリストの御名において、あらゆることについて常に父なる神に感謝しなさい。

2. ローマ 15:13 - 今、希望の神が、あなたがたが聖霊の力によって希望に満ち溢れますように、信仰におけるあらゆる喜びと平安であなたを満たしてくださいますように。

使徒 8:40 しかし、フィリポはアゾトスで発見され、そこを通過してカイサリアに来るまで、すべての町で宣教した。

フィリポはアゾトスからカイサリアまでのすべての都市で説教しました。

1: 粘り強く説教する

2: 説教の力

1: ルカ 4:18-19、「主の御霊がわたしの上にあります。貧しい人たちに福音を宣べ伝えるために主がわたしに油を注がれたからです。心の傷ついた人を癒し、捕虜に解放と回復を宣べ伝えるために主はわたしを遣わされました。」目の見えない人に視覚を与え、打ち傷を負った人たちを解放するためだ。」

2: ローマ人への手紙 10:15、「では、遣わされなければ、どうやって宣べ伝えることができるでしょうか。『平和の福音を宣べ伝え、良い知らせをもたらす者たちの足はなんと美しいことでしょう』と書いてあるとおりです。」

使徒 9 章では、サウロの劇的な回心とその後の説教、そしてペテロの奇跡が語られています。

第 1 段落: この章は、サウルが依然として主の弟子たちに対して殺人の脅しを吐いているところから始まります。彼は大祭司のところに行き、ダマスカスのシナゴー グに手紙を書き、そこに所属する者が見つかったら、男性と女性がエルサレムの捕虜として連れて行くことができるかどうか尋ねました。彼が旅の途中でダマスカスに近づいたとき、突然天からの光が彼の周囲を照らし、地面に倒れ、「サウル、サウル、なぜあなたは私を迫害するのですか？」という声が聞こえました。「主よ、あなたは誰ですか？」サウルは「私はあなたが迫害しているイエスです」と尋ねると、サウルは「さあ、起きて町に行きなさい。何をしなければならないか告げられるでしょう」と答えた。サウルと一緒に旅していた人々は、物音を聞いて言葉もなくそこに立っていましたが、誰も見えませんでした。サウルは地面から起き上がりましたが、目を開けても何も見えず、手でダマスコに連れて行かれ、3日間目が見えず、何も食べず、何も飲まなかった（使徒行伝9:1-9）。

第 2 段落: ダマスコにアナニアという名の弟子がいました。主は幻の中で彼に「アナニア！」と呼びかけました。「はい、主よ」と彼は答えた。主は彼に、「まっ

すぐな通りにあるユダの家に行って、タルソス出身のサウルという人を呼んでください。彼は幻でアナニヤという人を見たので祈っています。彼に手を当てて視力を回復してください。」と言いました。しかし、アナニヤは、サウロがエルサレムの聖徒たちに行った危害と、祭司長からの彼の権威がイエスの名を呼ぶ者全員を逮捕するという話を聞いたため、この命令について懸念を表明しました。しかし神は、異邦人の王やイスラエルの民の前で自分の名を宣べ伝える手段としてサウルを選び、自分の名のためにどれだけ苦しまなければならないかを示すだろうと言ってアナニアを安心させました。それでアナニアは家に入り、サウルに手を置き、「サウル兄弟、主よ、イエス様が来られたようです、私を遣わしてくださいました。満たされた聖霊が再びお目にかかることができますように。」と言いました。すぐに目から鱗のようなものが落ち、再び起き上がるのが見えました。食事をとってからバプテスマを受け、力を取り戻しました。ダマスカスの弟子たちは数日を過ごし、かつてイエスが御子神であるとシナゴーグで説教を始めました（使徒行伝9:10-22）。

第3段落: 何日も経った後、ユダヤ人が陰謀を企てて彼を殺害するのを昼夜監視していたが、彼の追随者たちは夜になって彼を壁の隙間から籠を下ろして逃走したエルサレムは弟子たちに加わろうとした、彼らは本当に信じているのではないかと恐れていた 弟子バルナバが連れてきた使徒たちについて説明した 道を見た 説教の様子を見た恐れることなくイエスの名前を名指ししてください（使徒行伝 9:23-28）。それからペテロは国中を旅し、生きている聖徒たちもやって来ました。リダは、8年間麻痺していたアイネアスという男を見つけました。アイネアスは、「イエス・キリストが治してくださいます。ロールマットを起き上がりなさい。」と言いました。アイネアスはすぐに起き上がりました。リダ・シャロンが見た生きている人たちは皆、信者になりました（使徒行伝 9:32-35）。ヨッパでは、タバサという名前のギリシャ人のドルカスがよくやっていて、貧乏人が病気になったときによくやっていて、死んだ、洗浄されて二階の部屋に置かれた、近くにいたピー ターの声が聞こえた、二人の男が送った、遅滞なく来るように促された、到着すると全力で動き、ひざまずいて祈り、体を回転させながら「タバサ、起きなさい」と言い、彼女は目を開けた。ペテロは起き上がり、手を差し伸べて彼女の立場を助け、信者と呼ばれた未亡人が生きた知らせを伝え、ヨッパ中に広がり、多くの人が主ペテロが何日もヨッパに滞在したと信じた、シモンという名の皮なめし職人でした（使徒行伝9:36-43）。

使徒 9:1 サウロは、主の弟子たちに対して脅迫と虐殺の言葉を吐き出しながら、大祭司のところに行って言った。

サウルは主の弟子たちを脅して大祭司のところへ行きました。

1. 信じる力：サウルの回心

2. 許しと救い: サウルの旅

1. マタイ 18:21-22 - 「そこでペテロがイエスのところに来て尋ねた、「主よ、私に対して罪を犯した人を何回赦すべきでしょうか。七回ですか?」「いいえ、7倍ではありません。しかし、70倍です！」とイエスは答えました。

2. ローマ 5:8 - 「しかし、神は、私たちがまだ罪人であったときに、私たちのために死ぬためにキリストを遣わすことによって、私たちに対する大きな愛を示してくださいました。」

Act 9:2 また、ダマスコに宛てて諸会堂に手紙を送り、もしこの道にある者を見つけたら、それが男であろうと女であろうと、縛ってエルサレムに連れて行くようにとの願いであった。

サウルは、見つけたキリスト教徒を鎖に繋いでエルサレムに連れ戻すよう、ダマスカスのシナゴーグに手紙を書くよう求めた。

1. 迫害の危険: 私たちに反対する人々によって私たちの信仰がどのように試されるか

2. 勇気の価値: 困難にもかかわらず信念を貫く

1. ローマ人への手紙 8:31-37 (では、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか?)

2. マタイ 5:10-12 (義のために迫害されている人々は幸いです。天の国は彼らのものです。)

使徒 9:3 そして、旅をしているうちに、ダマスコの近くに来たとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。

ダマスカスへの旅の途中、サウルは天からの明るい光に包まれました。

1.「神の力と慈悲の光」

2. 「サウルの足跡をたどる呼びかけ」

1. イザヤ書6:1-8;

2. ルカ9:23-25。

Act 9:4 そして、彼は地に倒れ、「サウル、サウル、なぜあなたは私を迫害するのか」と言う声を聞いた。

サウルは地面に倒れ、なぜ発言者を迫害するのかと尋ねる声を聞く。

1. 回心の力：サウルと主との出会い

2. 正しく生きることの重要性：サウルの変容

1. コリント第一 15:9-10 - 私は使徒の中で最も小さい者であり、神の教会を迫害したので使徒と呼ばれるにはふさわしくないからです。しかし、神の恵みによって、私は今の私です。私に与えられた神の恵みは無駄ではありませんでした。しかし、私は彼ら全員よりも豊かに働きました。しかし、それは私ではなく、私とともにあった神の恵みでした。

2. ローマ 12:2 - そして、この世に合わせてはいけません。しかし、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして自分を変えてください。

使徒 9:5 すると彼は言った、「主よ、あなたはどなたですか。」そして主は言われた、「私はあなたが迫害するイエスです。あなたが刺し傷を蹴るのは難しいで

す。」

キリスト教徒を迫害していたサウロは、ダマスコへの道中でイエスに出会い、神と戦うのは無駄だと告げられる。

1. 神の意志に反して戦うことの無益さ。

2. 最もかたくなな罪人さえも変える神の力。

1. ローマ 8:31 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. 詩篇 33:11 - 主の助言は永遠に続き、その心の思いはすべての世代に伝わります。

Act 9:6 すると彼は震えて驚いて言った、「主よ、私に何をしてほしいというのでしょうか？」そして主は彼に言われた、「起きて、町に行きなさい。そうすれば、あなたが何をしなければならないかがあなたに告げられるでしょう」。

ある人が何をすべきかを主に尋ねると、主は彼に、何をしなければならないかを見つけるために町に行くように言われました。

1. 神の御心を知る - 箴言 3:5-6

2. 神の指示に従う - ローマ人への手紙 12:2

1. 詩篇 32:8 - 「わたしはあなたを導き、あなたの行くべき道を教えます。わたしの目であなたを導きます。」

2. イザヤ書 30:21 - 「あなたが右に曲がるたび、または左に曲がるたびに、あなたの耳には、『これが道だ、そこを歩きなさい』という言葉が後ろから聞こえます。」

Act 9:7 そして、彼と一緒に旅していた人々は、声は聞こえたが、人の姿は見えず、言葉を失い立ち尽くした。

サウルと一緒に旅していた男たちは声を聞いたが、誰の姿も見えなかった。

1. 神の声の力: 予期せぬ方法で神の臨在を体験する

2. 目に見えないものを尊重する: 信仰の力を理解する

1. イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道はわたしの道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの思いも高いからだ」あなたの考えよりも。」

2. エペソ人への手紙 3:20-21 「さて、私たちの内に働いている力に応じて、私たちが願い求めたり思い描いたりするすべてを計り知れないほど多くのことを成し遂げてくださる方に、教会とキリスト・イエスにおいて栄光がありますように。何世代にもわたって、永遠に！アーメン。」

使徒 9:8 そしてサウルは地から起き上がった。そして、目が開かれたとき、彼には人が見えませんでした。しかし、彼らは彼の手を引いて、ダマスカスに連れて行きました。

サウルは主との劇的な出会いを経験し、彼の人生は永遠に変わりました。

1. 神の力は私たちの生活に驚くべき変化をもたらすことができます。

2. 私たちは喜んで主に心を開き、主の導きを受け入れなければなりません。

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に合わせてはいけません。むしろ、心を新たにして自分を変えてください。それは、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するためです。」

2. ピリピ人への手紙 3:13-14 - 「兄弟たち、私は自分自身を理解したとは思っていません。しかし、私が行うこの一つのことは、後ろのものを忘れ、前のものに手を伸ばし、目標に向かって突き進んでいます」キリスト・イエスにおける神の高い召しの賞です。」

Act 9:9 そして、彼は三日間目が見えず、飲食もしなかった。

サウルは一時的に目が見えなくなり、3日間飲食することもできませんでした。

1. 信仰の力：サウロのダマスカスへの旅と信仰の変革力

2. 諦めないこと: 試練の時に忍耐することの重要性

1. ヨハネ 9:1-3 - イエスは生まれつき目の見えない人を癒す

2. ローマ人への手紙 5:1-5 - 苦しみと忍耐によってもたらされる希望

使徒 9:10 ダマスコにアナニヤという名の弟子がいました。そして彼に、幻の中で主は言われました、アナニア。そして彼は言いました、「ご覧ください、私はここにいます、主よ。」

アナニアはダマスカスの弟子であり、幻の中で主の訪問を受けます。

1. 主は私たちに従うよう呼びかけておられます: アナニアの物語

2. 神は常に働いておられる：アナニアの信仰

1. ヨハネ 10:27 - 「私の羊は私の声を聞き、私は彼らを知っており、彼らは私に従ってきます。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちな誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、能力を超えた誘惑には遭わせませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

Act 9:11 そこで主は彼に言われた、「立って、まっすぐと呼ばれる通りに出て、ユダの家でタルソスのサウロという人を尋ねなさい。見よ、彼はこう祈っているからです。」

主はアナニヤに、サウルのところに行き、祈っている彼を見つけるように指示されました。

1. 主に従いなさいという主の呼びかけ: アナニヤとサウロ

2. 大胆かつ信仰を持って祈る

1. マタイ 4:19 - 「そして彼は彼らに言った、『わたしに従ってきなさい、そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます』」

2. ヘブライ人への手紙 11:1 - 「さて、信仰は望んでいる事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠である。」

Act 9:12 そして、幻の中で、アナニアという人が入ってきて、目が見えるようにしようと手をその上に置いているのを見ました。

サウルは神の幻によって目が見えなくなり、視力を取り戻すためにダマスカスでアナニアを探すように言われます。

1. 信仰の力：神はアナニアを用いてサウルの視力を回復させた方法

2. 神がビジョンを与えたとき: 私たちはどう対応すべきか

1. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

2. ヨハネ 3:16-17 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためである。」

Act 9:13 そこでアナニヤは答えた、「主よ、私はこの男がエルサレムであなたの聖徒たちにどれほどの悪事を行ったかを多くの人が聞いています。

主はエルサレムで聖徒たちに行われた悪をご存じです。

1. 神は私たちの苦しみをご存じであり、苦しみの中で私たちとともにおられます。

2. 私たちがどんな悪に直面しても、神は常に私たちの守護者であることを忘れないでください。

1. 詩篇 34:17-19 「義人が助けを求めて叫ぶとき、主は聞き入れて、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださる。主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救う。義人の苦しみは多い。しかし主は彼を彼ら全員の中から救い出してくださるのです。」

2. イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

使徒 9:14 そして、ここで彼は、あなたの名を呼び求めるすべての人を束縛する権限を祭司長たちから受けています。

以前キリスト教徒を迫害していたサウロは改心し、祭司長たちはイエスの名を呼ぶ者を逮捕する権限を彼に与えた。

1. 神の驚くべき愛: サウルの回心は神の無条件の愛をどのように反映しているか

2. 救いの力: サウルの心の変化がどのように神の救いの恵みを明らかにするか

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

2. 1 コリント 15:10 - 「しかし、神の恵みによって、私は今あります。私に与えられた神の恵みは無駄ではありませんでした。しかし、私は彼ら全員よりも豊かに働きました。しかし、それは私ではなく、私とともにあった神の恵みでした。」

Act 9:15 しかし、主は彼に言われた、「行きなさい。彼は、異邦人、王たち、イスラエルの人々の前で私の名を名乗るために、私にとって選ばれた器だからです。」

神はサウルを、異邦人、王、イスラエルの子らに御名を伝える器として選ばれました。

1. 神はありそうもないことを選ぶ - 使徒 9:15

2. 私たちの人生に対する神の呼びかけ - 使徒 9:15

1. エレミヤ 1:5 - 「私はあなたを胎内に形成する前から知っており、あなたが生まれる前に私はあなたを聖別しました。私はあなたを諸国の預言者に任命しました。」

2. コリント人への第一の手紙 1:27 - 「しかし、神は賢い人たちに恥をかかせるために、この世の愚かなことを選びました。神は強い者に恥をかかせるために、この世で弱い者を選んだのです。」

Act 9:16 わたしの名のために、彼がどれほど大きな苦しみを受けなければならないかを、わたしは彼に教えてやるからです。

サウロのキリスト教への改宗は簡単なものではありませんでした。神はサウロに、神の名のために大いに苦しむ必要があると告げられたからです。

1. キリストのために苦しむことは大きな名誉です。

2. 神の恵みの力は、どんな試練でも私たちを導くことができます。

1. ローマ 8:18 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。

2. ヨハネ 15:13 - 友人のために命を捨てるという愛以上に大きな愛はありません。

使徒 9:17 そこでアナニアは道を進み、家の中に入った。そして彼の上に手を置いて言いました、「サウル兄弟、主、つまりイエスが、あなたが来る途中にあなたに現れた方は、あなたが視力を得て聖霊に満たされるように、私をお遣わしになったのです。」

アナニアは、サウロの視力を回復し、聖霊で満たすために、イエスによってサウロに遣わされました。

1: 私たちは聖霊の力によって神の使命を遂行するように召されています。

2: 神はご自身の意志を実現するために、私たちの人生の中で絶えず働いておられます。

1: 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなた方はエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまでわたしの証人となるであろう。」

2: ルカ 24:49 - 「見よ、わたしは父の約束をあなたたちに送ります。しかし、上からの力が与えられるまではエルサレムの町に留まりなさい。」

Act 9:18 すると、たちまち彼の目から鱗が落ち、彼はすぐに目が見えるようになり、立ち上がってバプテスマを受けた。

パウロは癒され、キリスト教に改宗しました。

1: 私たちがどんなに遠く離れていても、神はいつも私たちを連れ戻してくれます。

2: 神は最も予期せぬ状況でも対処できる。

1: ヨハネ 8:12 - 「わたしは世の光です。わたしに従う者は決して暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

2: ローマ人への手紙 10:9 - 「もしあなたが口で『イエスは主である』と宣言し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

Act 9:19 そして肉を食べると、彼は強くなった。それから、サウロはダマスコにいる弟子たちと数日一緒にいました。

サウルはダマスカスの弟子たちによって強められました。

1. コミュニティの力: 交わりが私たちをどのように強化できるか

2. 信仰の強さ: 神への信仰が私たちをどのように元気づけるか

1. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

2. ローマ 12:10 - 兄弟のような愛情をもって互いに愛し合います。名誉を示すという点でお互いに勝りましょう。

使徒 9:20 そしてすぐに、彼は会堂でキリストを、神の子であると宣べ伝えました。

タルソスのサウロはすぐに会堂でイエス・キリストについて説教を始め、イエスが神の子であると宣言しました。

1. 変化した人生の力: 使徒 9:20 のサウロの回心を考察する

2. イエス: 神の子: 使徒 9:20 より自らの身分を宣言する

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、人は心で信じて義とされ、そして心で信じて義とされるからです」人が告白して救われる口。」

2. マタイ 16:13-17 - 「さて、イエスはピリピ・カイサリア地方に来られたとき、弟子たちに尋ねられた。「人々は、人の子とは誰のことを言っているのですか。」そして彼らは、「バプテスマのヨハネだと言う人もいるし、エリヤだと言う人もいるし、エレミヤか預言者の一人だと言う人もいる。」彼は彼らに言った、「しかし、あなたたちは私を誰だと言うのですか？」シモン・ペテロは、「あなたはキリスト、生ける神の子です」と答えました。「シモン・バル・ヨナ、あなたは幸いです。肉と血がこれをあなたに明らかにしたのではなく、天におられる私の父があなたに明らかにしたからです。」とイエスは彼に答えました。

使徒 9:21 しかし、彼の話を聞いた人はみな驚いて言った。この名を呼んだ者たちをエルサレムで滅ぼし、彼らを祭司長たちに縛り付けるためにその目的でここに来たのはこの方ではないのか。

サウルは以前エルサレムでイエスに従った人々を迫害していたので、イエスに有利に語るのを聞いて人々は驚きました。

1. 私たちは、義と愛の道から外れた人たちを決して見捨ててはなりません。

2. 神は、過去にどんな人であったかに関係なく、どんな人にも働きかけることができます。

1. ルカ 15:11-32、放蕩息子のたとえ

2. ローマ 5:8、しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

使徒 9:22 しかし、サウルはますます力を増し、ダマスコに住んでいたユダヤ人たちを当惑させ、これがまさにキリストであることを証明した。

パウロとしても知られるサウロはダマスカスに行き、そこでユダヤ人たちにイエスがメシアであることを証明することができました。

1. 主を宣べ伝える: パウロはどのようにして良いたよりを宣べ伝えたか

2. 信仰の強さ：パウロのイエスに対する大胆な証人

1. コリント第一 15:1-8 - キリストの復活

2. ローマ人への手紙 1:16-17 - 救いをもたらす福音の力

使徒 9:23 そして、長い日が終わった後、ユダヤ人たちは彼を殺すよう相談した。

ユダヤ人たちは何日も経ってからパウロの殺害を計画しました。

1. 忍耐の力 - 逆境に直面しても、パウロは信仰に忠実であり、忍耐しました。

2. 神の計画の力 - ユダヤ人がパウロの殺害を計画したにもかかわらず、彼に対する神の計画は成就しました。

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

使徒 9:24 しかし、彼らが待ち構えていることはサウルに知られていた。そして彼らは彼を殺そうと昼も夜も門を監視した。

サウルの信者殺害計画は知られており、信者たちは彼を守るために常に門を守っていた。

1. 迫害時の神の加護

2. 恐れるな：神の主権を知る

1. 詩篇 23:4 たとえ私が最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

2. ローマ 8:31-32 それでは、これらのことに答えて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださったお方は、どうして御子とともに、私たちにすべてのものを慈しみ深く与えて下さらないのでしょうか？

Act 9:25 それから、弟子たちは夜のうちにイエスを連れて、かごに入れて壁際に降ろした。

イエスの弟子たちは密かにサウロをダマスコから連れ出し、かごに入れて城壁から下ろしました。

1. 予期せぬ状況における神の忠実さ

2. 一見不可能に見える状況における信仰の力

1. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助

けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ピリピ 4:13 - 「私に力を与えてくださる方によって、私はこのすべてを行うことができます。」

Act 9:26 サウルはエルサレムに来たとき、弟子たちに加わるように言いました。しかし、彼らはみな彼を恐れ、彼が弟子であることを信じませんでした。

サウロのキリスト教への改宗は懐疑と恐れに見舞われました。

1.「神の愛は無条件です」

2.「許しの力」

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. エペソ人への手紙 4:32 - キリストにおいて神があなたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。

使徒 9:27 ところがバルナバは、彼を連れて使徒たちのところに連れて行き、彼が道を行く主を見て、主に話しかけられたこと、ダマスコでダマスコで神の名において大胆に宣教したことを彼らに告げた。イエス。

バルナバはサウロを使徒たちのところに連れて行き、サウロが主との経験や、ダマスカスでイエスの名によって大胆に宣教していた様子を話しました。

1. 大胆な信仰: キリストとともに歩む勇気ある一歩を踏み出す

2. 証言の力: 自分の経験を他の人と共有する

1. マタイ 10:27-28 - 私が暗闇であなたがたに言うことは、昼間に話してください。あなたの耳元でささやかれていることを、屋根から宣言してください。

2. ヘブライ 11:1-3 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

Act 9:28 そして、イエスは彼らと一緒にエルサレムに出入りしていた。

サウルはエルサレムに弟子たちと一緒にいて、彼らと一緒に行ったり来たりしました。

1. 迫害の時には神の恵みで十分です。

2. 信者は反対にもかかわらず、信仰を堅持し続けるべきです。

1. コリント人への第二 12:9-10 - しかし、彼は私にこう言いました、「私の恵みはあなたに十分です。私の力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」ですから、キリストの力が私の上に宿るように、私はますます喜んで自分の弱さを誇りましょう。

2. ローマ人への手紙 8:35 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？トラブル、苦難、迫害、飢餓、裸、危険、剣などあるでしょうか？

Act 9:29 そして、彼は主イエスの名によって大胆に語り、ギリシャ人たちと争ったが、彼らは彼を殺そうとした。

サウロは主イエスの名において大胆に語り、彼を殺そうとしたギリシャ人たちと議論しました。

1. 信仰の力：逆境に直面してもしっかりと立つ

2. 勇気ある人生を送る: 自分の信じるもののために立ち上がる

1. テモテ第二 1:7 「神が私たちに与えてくださったのは、恐れの霊ではなく、力と愛と健全な心の霊です。」

2. イザヤ書 41:10 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください。わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを力づけます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます。」私の正義。」

使徒 9:30 それを知った兄弟たちは、彼をカイサリアに連れて行き、タルソスに送り出した。

弟子たちはサウロをカイサリアに連れて行き、タルソスに送りました。

1. 従順の力：サウルのタルソスへの旅。

2. 他者に奉仕することの重要性：サウルに対する弟子たちの援助。

1. ローマ 8:28: 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益として働いてくださることを知っています。」

2. ピリピ 2:3-4: 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他の人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他の人の利益に目を向けなさい。」

使徒 9:31 それから、ユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全土で諸教会が休んで、教化された。そして、主への畏れと聖霊の慰めのうちに歩むことは倍加した。

ユダヤ、ガリラヤ、サマリアの教会は、主と聖霊の導きにより、休息と成長の時期を経験しました。

1. 主を恐れて歩む - 箴言 3:5-6

2. 聖霊の慰め - ヨハネ 14:15-18

1. イザヤ 11:2 - 主の御霊が彼の上に留まり、知識、知恵、理解力、助言、力、そして主への畏れの御霊を彼に注ぎます。

2. ローマ 15:13- 希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に満ちあふれますように。

Act 9:32 ペテロが四方八方を歩き回ったとき、リダに住む聖徒たちのところにも下ってきた。

ペテロはそこの聖徒たちを訪ねるためにリダへ行きました。

1. 優しさの力: ピーターのリダ訪問は人生をどう変えたのか

2. 真の団結: リダの聖徒たちは信仰で団結する

1. ヨハネ 13:34-35、「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うことです。これによって、あなたがたがわたしの弟子であることをすべての人が知るでしょう。お互いに愛を持っています。」

2. ローマ人への手紙 12:10、「互いに敬意を表して、兄弟愛をもって互いに親切に愛し合いなさい。」

使徒 9:33 そこで彼は、八年間床を離れず、中風で病気になっていたアエネアスという名の男性を見つけた。

アエネアスは8年間麻痺を患っていた男でした。

1. 信仰の力: 神への信頼に関するアイネアスの物語

2. 逆境の克服: アエネアスの忍耐の例

1. マタイ 9:2-7 - 中風の人を癒すイエス

2. マタイ 11:28-30 - 休息と軽食を求めてイエスの所に来なさいというイエスの招き

使徒 9:34 そこでペテロは彼に言った、「アイネアス、イエス・キリストがあなたを元気にしてくださいます。起きて、あなたの寝床を整えてください。」そして彼はすぐに立ち上がった。

ペテロはアエネアスにイエス・キリストを通して癒されるよう勧めます。

1. 神の癒しの力: イエス・キリストはどのように私たちを癒してくださるのか

2. イエス・キリストを信頼する: イエスの力と憐れみに頼る

1. イザヤ書 53:4-5 – 「確かに、彼は私たちの悲しみを負い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに見ました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。」

2. ヤコブ 5:14-15 – 「あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださるでしょう。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。」

Act 9:35 そこでリダとサロンに住んでいた者はみな彼を見て、主に立ち返った。

リダとサロンに住んでいた人々は皆、ある男を見て主に改宗しました。

1: 人生でどんな困難に直面しても、神はいつも私たちの側にいて、私たちを乗り越えさせてくださいます。

2: 私たちは皆、周囲の人にとって光になることができ、私たちの行動は他の人に大きな影響を与える可能性があります。

1: イザヤ書 40:31 しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を広げて登り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

2: 2 コリント 5:17 したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、新しく創造された者が来ました。古いものは去り、新しいものはここにあります。

Acts 9:36 さて、ヨッパにタビタという名の弟子がいました。解釈によりドルカスと呼ばれています。この女性は善行と施しに満ちていました。

ドルカスとしても知られるタバサは、ヨッパに住む模範的なクリスチャンの弟子であり、善行と寛大な寄付を通して信仰を示しました。

1. タバサの良い行いと寛大さの模範に倣うよう呼びかけます。

2. 忠実な弟子としてのタバサの功績を思い出す。

1. ルカ 6:38 「与えなさい。そうすれば、与えられます。良い量りを、押しつけたり、振り混ぜたり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。あなたの使う量りで、それはあなたに量られるからです」。」

2. ヤコブ 2:17-18 「同様に、信仰は、行動が伴わなければ、それ自体では死んだものです。しかし、ある人は、「あなたには信仰がある。私には行いがある。」と言うでしょう。行いなしであなたの信仰を示してください、そうすれば私も行いによってあなたの信仰を示します。」

Act 9:37 そのころ、彼女は病気で亡くなり、洗った後、上の部屋に寝かせた。

使徒パウロの時代に、ある女性が病気になって亡くなりました。人々は彼女の体を洗い、追悼するために上の部屋に安置した。

1. 愛する人の人生を振り返る: 使徒 9:37 から学べること

2. 愛する人たちが神の配慮のもとに安らかに眠っていることを知る慰め

1. ヨハネ 11:25-26 「イエスは彼女に言われた、『わたしは復活であり、命である。』わたしを信じる者は、たとえ死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 4:13-14 「しかし、兄弟たち、私たちは、希望のない他の人たちのように悲しむことがないように、眠っている人たちのことについて何も知らされないでほしいのです。私たちはイエスが死んで復活したと信じているので、それでも神はイエスを通して眠っている人たちを連れて来てくださるからです。」

Act 9:38 そして、リダがヨッパの近くにいたので、弟子たちはペテロがそこにいると聞いて、二人の人を彼のところに遣わして、遅滞なく自分たちのところに来てほしいと願った。

ヨッパの近くにいたリダの弟子たちは、ペテロがそこにいると聞き、二人の人を遣わして、すぐに戻ってくるように頼みました。

1. 神はご自身の意志を達成するために摂理的に人々を用いられます。

2. 仲間の信者との強い関係を維持することの重要性。

1. ヨハネ 15:12-17 - 他の信者たちと一致して生きる方法についてのイエスの教え。

2. ローマ 12:10 - 兄弟のような愛情をもって互いに愛し合うことの大切さ。

使徒 9:39 そこでペテロは立ち上がって彼らと一緒に行った。彼が来ると、彼らは彼を上の部屋に連れて行きました。そして、未亡人たちは皆、彼のそばに立って泣きながら、ドルカスが彼らと一緒にいる間、ドルカスが作ったコートや衣服を見せていました。

ペテロは他の使徒たちとともにやもめたちを訪ね、ドルカスが作った衣服を見ました。

1. 私たちは自分の時間と才能を惜しみなく使い、ドーカスのように他の人に奉仕すべきです。

2. 悲しみの中でも、先人たちの模範によって私たちはインスピレーションを受け、慰められることがあります。

1. マルコ 10:43-44 「しかし、あなたがたの間ではそうではありません。あなたがたの間で偉い人は、あなたの大臣になり、あなたがたのうちで長になる人は、すべての人に仕えることになります。」

2. コリント人への第二の手紙 9:8 「そして神は、あらゆる恵みをあなたに豊かに与えることができます。それは、あなたがいつもすべてのことに十分に満ちていて、あらゆる良い行いを豊かにできるようにするためです。」

使徒 9:40 しかし、ペテロはすべてを投げ出して、ひざまずいて祈った。そして彼を体の方に向けて、「タバサ、起きなさい」と言った。そして彼女は目を開け、ペテロを見ると起き上がった。

ピーターがタバサのために祈ると、彼女は彼を見ると目を開けて起き上がりました。

1. 祈りの力：神が祈りに答えてくださると信頼する

2. イエスの奇跡的な力: 私たちの生活の中でイエスの奉仕を実践する

1. ヤコブ 5:16 - あなたがたが癒されるように、互いに自分の過ちを告白し、お互いのために祈りなさい。

2. マルコ 11:24 - そこで、私はあなたがたに言います、あなたが望むものは何でも、あなたが祈るとき、それが与えられると信じなさい、そうすればあなたはそれを手に入れることができます。

Act 9:41 そして、イエスは彼女に手を差し伸べて抱き上げ、聖徒ややもめたちを呼んで、生きたまま彼女を差し出した。

ペテロは聖人や未亡人たちに助けを求めて、死んだ女性を生き返らせました。

1. 死に対する神の力 - キリストへの命と信仰を受け入れる

2. 奇跡を望む - 主の愛と備えを信頼する

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

使徒 9:42 そして、それはヤッパ全体に知られていました。そして多くの人が主を信じました。

この箇所は、イエスの力と善良さの知らせがヨッパの町中にどのように広がり、多くの人々が主を信じたかを語っています。

1. 証言の力: イエスの物語はどのように広まるのか

2. 信じて救われてください: ヨッパの奇跡

1. イザヤ 43:10-11: 「あなたがたはわたしの証人です」と主は言われます。私より前に神は誕生しなかったし、私の後にも神は存在しないだろう。

2. マタイ 28:18-20: それから、イエスが彼らのところに来て言われた、「天と地のすべての権威がわたしに与えられました。それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに、私は時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

Act 9:43 それで、彼は皮なめし職人のシモンと一緒にヤッファに何日も滞在した。

ピーターはサイモンという皮なめし職人とともにジョッパに長い間滞在しました。

1. あらゆる状況における神の目的を理解する

2. 困難な状況で従順を選択する

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ペテロ第一 5:6-7 - ですから、神の力強い御手の下で謙虚になりなさい。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを高め、思い煩いをすべて神に委ねてくださるのです。神はあなたを気遣っておられるからです。

使徒行伝 10 章では、ペテロの幻視とローマの百人隊長コルネリウスの回心について詳しく述べられており、福音のメッセージが非ユダヤ人に広がるという初期キリスト教会の重要な転換点を示しています。

第 1 段落: この章は、カイサリアに住んでいた敬虔で神を恐れるローマの百人隊長コルネリオから始まります。ある日の午後、彼は神の天使が彼の名前を呼ぶ幻を見ました。天使は貧しい人々への彼の祈りと贈り物が神に記憶されていると告げ、ペテロとして知られるシモンを連れ戻すためにヨッパに人を遣わすように指示しました（使徒10:1-6）。コルネリオはこれに従い、神に対して敬虔な二人の召使と一人の兵士を送りました。

第2段落: 途中、ピーターは屋上に上がって祈った、お腹が空いた、何か食べたいと思った、トランス状態に陥った、天国が大きなシートのようなものを開いて地面の四隅に降ろされているのを見た、そこにはあらゆる種類の 4本足の動物、爬虫類、地球の鳥、空が含まれていた声は「立ち上がってピーター、殺して食べなさい」と言いましたが、「主よ、そうではありません！」と答えました。私は不浄なものを食べたことは一度もありません。』声は二度目に言った、「神が作った不浄なものを清いと呼んではいけない」。これが3回起こり、その後再び天に引き上げられました（使徒 10:9-16）。ピーターがビジョンの意味について疑問に思っていると、コルネリアスから派遣された男たちがサイモンの家の停留所を見つけ、門から電話があり、サイモンはピーターとしてそこに滞在しているかどうか尋ねられました。霊は彼に言った、「シモン、三人の人があなたを探しているから、起きて階下に行きなさい。ためらわないで彼らを行きなさい。私が彼らを遣わしたからです。」（使徒10:17-20）。

第 3 段落: それで、ピーターは翌日、男たちに挨拶をして下って行き、ヨッパから来た他の人たちも同行して、親戚の親しい友人が集まって待っていたコルネリアスに会いに行きました。家に入るとコルネリアスは足を落として礼拝しましたが、ペテロは立ち上がって「私はただの人間です」と話していましたが、中に入ると大勢の人々が集まっていて、ユダヤ人男性の仲間が他の国を訪問するのがどれほど不法であるかを話していましたが、神はどんな人も不浄と呼ぶべきではないと示されました（使徒行伝 10章）:23-28)。それからコルネリアスは、自分を呼びに来た理由を説明し、ヨッパにペテロとして知られるシモンを連れて来て、家族全員が救われるというメッセージを与えると告げる天使の幻視を語った（使徒行伝 10:30-33）。それからペテロは悟りの真実を話し始めました 神はえこひいきを示されません 正しいことをするすべての国を受け入れます 主はイエス・キリストを通して良い知らせを宣べ伝えました 主よ 話している間ずっと 聖霊が来られました すべてのメッセージを聞きました ペテロと一緒に来た割礼を受けた信者たちは驚きました 贈り物 聖霊はさえも注がれました異邦人たちは、彼らが神を賛美する異言を話すのを聞いて、洗礼を受けているこの人たちが水を控えてくれる人は誰でもよいと頼み、ただ私たちが洗礼を受けた名前をイエス・キリストに命じただけで聖霊を受け、それから数日滞在するよう求めました（使徒行伝10:34-48）。

使徒 10:1 カイサリアにコルネリウスという人がいて、イタリア楽隊という楽隊の百人隊長でした。

カイサリアに駐屯していたローマの百人隊長コルネリウスは信仰の人でした。

1. 神の忠実さは文化や宗教の違いを超えます。

2. 人生を変える信仰の力。

1. 使徒 11:19 - 「さて、ステファノに関連して起こった迫害のために散り散りになった人々は、ユダヤ人以外の誰にもその言葉を語らずに、フェニキア、キプロス、アンティオキアへ向かいました。」

2. ローマ人への手紙 10:12 - 「ユダヤ人とギリシャ人の間には区別がないのです。なぜなら、同じ主がすべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人にその富を与えてくださるからです。」

使徒 10:2 敬虔な人で、家族全員で神を畏れ、民に多くの施しをし、いつも神に祈っていた。

この一節は、神に献身し、他の人に惜しみなく与え、定期的に祈ることによって実際的な方法で信仰を示した男性について説明しています。

1. 献身的な生活を送る: 信仰を実際に実践する方法

2. 与えることと祈ることの利点: 人生における真の祝福を経験する

1. ヤコブ 2:17-18、「それでも、もし信仰が働かなければ、孤独では死んでいるのです。そうです、人はこう言うかもしれません。『あなたには信仰があり、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください。そして、わたしの行いによってわたしの信仰をあなたに示しましょう。」

2. ヨハネ第一 3:17-18、「しかし、この世に良いものを持っていながら、自分の兄弟が困っているのを見て、自分の憐れみの心を彼から閉ざしている者が、どうして彼の中に神の愛が宿るでしょうか。私の小さな子供たちよ、私たちにしましょう。」言葉や舌での愛ではなく、行いと真実での愛だ。」

使徒 10:3 彼は、明らかにその日の九時ごろ、神の御使いが彼のところに来て、「コルネリウス」と言うのを幻で見ました。

コルネリアスは、天使から直接語りかけられる神からのビジョンを持っています。

1. 私たちは皆、予期せぬ方法で神から直接のコミュニケーションを受け取ることがあります。

2. 私たちは皆、神によって偉大なことをするように召される可能性があります。

1. ヨハネ 10:27 - 「私の羊は私の声を聞き、私は彼らを知っており、彼らは私に従ってきます。」

2. ヨシュア記 1:9 - 「強く勇敢であれ。恐れるな。落胆するな。あなたの神、主はどこへ行ってもあなたとともにおられるからである。」

使徒 10:4 そこでイエスを見て、彼は恐れて言った、「主よ、それは何ですか」。そして彼は彼に言った、「あなたの祈りと施しは神の前に記念として捧げられます。」

コルネリアスは神から幻視を受け、彼の祈りと慈善行為が神に記憶されていると告げられます。

1. 祈りの力: 信仰の行為がどのように神の恵みにつながるか

2. 寛大さは精神的な充足につながります。

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の効果的で熱心な祈りは大いに役立ちます。」

2. コリント人への第二の手紙 9:7 - 「だから、しぶしぶ、あるいは必然的にではなく、それぞれが自分の心の目的どおりに与えなさい。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。」

使徒 10:5 それで、今、ヨッパに人を遣わして、ペテロという名を持つシモンを一人呼んでください。

神はシモン・ペテロという男を探すためにヨッパの町に使者を送ります。

1. 神は常に私たちを導いておられます - 私たちが気づいていないときでも、神は私たちの人生をどのように導いておられるか。

2. 祈りの力 - 祈りが私たちの質問に対する答えを見つけるのにどのように役立つか。

1. ヨハネ 16:13 - 「真理の御霊が来るとき、彼はあなたをすべての真理に導きます。彼は自分の権威に基づいて話すのではなく、聞いたことは何でも話し、あなたに物事を宣言するからです」それはこれから来ることだ。」

2. 箴言 3:6 - 「あなたのすべての道において神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくださるでしょう。」

使徒 10:6 彼は、海辺に家がある皮なめしのシモンのところに下宿しています。彼は、あなたが何をすべきかをあなたに告げるでしょう。

この一節には、皮なめし職人であるサイモンという男性が別の男と下宿しており、彼に何をする必要があるかを伝えることができると書かれています。

1. 私たちの行動は他者からの知恵によってどのように導かれるのか。

2. 助言を求めることの重要性。

1. 箴言 11:14 - 「相談者のいないところには民は倒れる。しかし、相談者が大勢いると安全がある。」

2. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人はすべての人に惜しみなく与え、非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

使徒 10:7 コルネリオに話しかけた天使が立ち去ったとき、コルネリオは二人の家の召使いと、彼らのうちの熱心な兵士を呼び、常にコルネリオの番をしていた。

天使はコルネリアスに話しかけると、コルネリアスに二人の従者と一人の兵士を残して立ち去りました。

1. 主の命令に従うことの重要性。

2. 神の献身的な僕の力。

1. ルカ 6:46-49 - 「なぜあなたは私を『主よ、主よ』と呼びながら、私の言うことを実行しないのですか。」

2. イザヤ書 1:19 - 「もしあなたが喜んで従順であれば、その地の良いものを食べるでしょう。」

Act 10:8 そして、イエスはこれらすべてのことを彼らに告げてから、彼らをヤッパのもとに遣わした。

コルネリオは天使から、福音を分かち合うためにペテロを遣わすように指示されました。彼はペテロを見つけるために家来たちをヨッパに送りました。

1. 神の導き: 神の計画を認識し、それに従う

2. 証しする力: 福音を他の人に伝える

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。また、聞いたこともない方をどうやって信じるのでしょうか。また、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができるのでしょうか。遣わされない限り、どうして彼らは説教できるでしょうか？」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」, 世の終わりまで、私はいつもあなたと一緒です。」

使徒 10:9 明日、彼らが旅を続けて町に近づいたとき、ペテロは六時ごろ、家の屋上に上がって祈った。

翌日の正午、ペテロは仲間とともに近くの町へ向かう途中、屋根に上がって祈りました。

1. 祈りの実践: ペテロの例

2. 神のために時間を作る：祈りを優先する

1. コロサイ 4:2 ― 「感謝を込めて注意深く祈りながら、熱心に祈り続けなさい。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:16–18 — 「常に喜び、絶えず祈り、すべてのことに感謝しなさい。これがキリスト・イエスにおける神の御心だからです。」

使徒 10:10 それで、彼はとてもお腹がすいたので、食事をしようとしたのですが、準備をしている間、彼は意識が朦朧としてしまいました。

コルネリアスはお腹が空いていたのですが、食べる前にトランス状態になってしまいました。

1. 神のタイミングは完璧です。必要なときの忍耐の力を理解しています。

2. 飢えの時に主を求める：神の備えに頼ることを学びます。

1. イザヤ書 55:8-9 - 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの道はあなたの道よりも高いからである」自分の考えよりも考え。」

2. 詩篇 37:25 - 「わたしは若かったが、今は年をとったが、義人が見捨てられるのも、その子孫がパンを乞うのも見たことがない。」

は、四隅に編まれた大きな一枚の布であり、地に降ろされていたものだった。

使徒 10:11 で、ペテロは天が開き、大きなシーツに似た器が彼のところに降りてくる幻を見ました。

1. ビジョンの力: 神はビジョンを用いて民に語る方法

2. 天から地へ: 人生における神の臨在を体験する

1. イザヤ書 6:1-8 - 神殿におけるイザヤの主の幻視

2. 黙示録 11:19 - 天の神殿の開き

使徒 10:12 そこには、地のあらゆる種類の四つ足の獣、野獣、はうもの、空の鳥がいました。

神の創造物には、陸の動物から野獣、爬虫類から空の鳥に至るまで、あらゆる種類の動物が豊富にいます。

1. 神の創造の驚異

2. 自然の美しさ

1. 詩篇 104:24 「主よ、あなたの御業は実に多岐にわたります。あなたは知恵によってそれらをすべて作りました。地球はあなたの生き物でいっぱいです。」

2. 創世記 1:20-25 「そして神は言われた、『水には生き物の群れが集まり、鳥は地の上を飛び、天の広がりを横切ってください。』そこで神は、その種類に応じて、偉大な海の生き物と、水に群がる動くすべての生き物、そして翼のあるあらゆる鳥をその種類に応じて創造されました。そして神はそれが良いことであることをご覧になりました。そして神は彼らを祝福して言われた、「産めよ、増えよ、海の水を満たせ、地に鳥が増えよ」。そして夕方があり、5日目の朝がありました。そして神は、「地はその種類に応じて生き物を、つまり家畜、はうもの、そして種類に応じて地の獣を生み出しなさい」と言われました。そしてそれはそうでした。」

Acts 10:13 すると、声が聞こえた、「ペテロ、起きなさい。立ちなさい」。殺して、食べる。

この一節は神の声とペテロとの会話を語っています。神はペテロに、殺して食べるように命じます。

1. 神の御心に従うためには、どんなに困難で不快なことがあっても、私たちは喜んで神の命令に従わなければなりません。

2. 私たちは、神の御心を確実に遂行するために、生活の中で神の霊の導きに対してオープンであり続けなければなりません。

1. マタイ 4:4 「しかし、彼は答えて言った、『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に合わせてはいけません。むしろ、心を新たにして自分を変えてください。それは、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するためです。」

使徒 10:14 しかしペテロは、「主よ、そうではありません。」と言った。なぜなら、私は一般的なものや汚れたものを一度も食べたことがないからです。

ペテロは、神が清めたものを不純なものと呼んではいけないという神のビジョンを受け入れることを拒否しました。

1. 神の恵み: 神が清めたものを裁かないようにと思い出させるもの

2. 神の意志を認識する: 神の命令を識別する方法と、それにいつ従うべきか

1. ローマ人への手紙 14:14 - 「私は、それ自体が汚れたものではないということを知っており、主イエスにそう説得されています。しかし、何かを汚れているとみなす者にとって、それは汚れているのです。」

2. エペソ人への手紙 2:8 - 「あなたがたは信仰によって恵みによって救われましたが、それは自分自身によるものではなく、神の賜物です。」

使徒 10:15 すると、二度目に声が彼に告げた、「神が清めてくださったのは、あなたを普通のものとは呼びません。」

神は私たちに自分自身を清め、清める力を与えてくださいました。私たちはこの賜物を拒否したり軽蔑したりしてはなりません。

1. 神の浄化の力: 純粋さの祝福を主張する

2. 純粋さの心：神の浄化の賜物を受け入れる

1. イザヤ書 1:18 - 「さあ、さあ、一緒に論じましょう」と主は言われます。「たとえあなたの罪が緋のようであっても、それは雪のように白くなるでしょう。たとえそれらが深紅のように赤いとしても、それらは羊毛のようになるでしょう。」

2. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

使徒 10:16 これが三度行われ、器は再び天に上げられた。

使徒 10:16 のこの一節は、器が天に三度引き上げられるというペテロの幻を描写しています。

1: 神は常にコントロールしておられます。彼は力と強さの唯一の真の源です。

2: 神の力は無限です - 私たちは常に神と神の意志に従うように努めなければなりません。

1: 詩篇 18:2 - 主は私の岩であり、私の砦であり、私の救出者、私の神、私の岩、私が避け所、私の盾、私の救いの角、私の砦です。

2: イザヤ書 40:28 - 知らなかったのですか？聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失ったり、疲れたりすることはありません。彼の理解は探ることができない。

使徒 10:17 さて、ペテロが自分が見たこの幻が何を意味するのかを自分の中で疑っていたとき、見よ、コルネリオから遣わされた人々がシモンの家を尋ね、門の前に立った。

ペテロは神から、背景に基づいて人を判断しないよう指示する幻を受けました。

1. 神の指示を信頼し、背景に関係なく神の子供たち全員を受け入れます。

2. 先入観によって神の御心に従うことが妨げられないでください。

1. 使徒10:17

2. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男性も女性もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

使徒 10:18 そこで電話して、ペテロという名を持つシモンがそこに泊まっているかどうか尋ねた。

ローマの百人隊長コルネリウスは、皮なめし職人シモンの家に滞在していた使徒ペテロを見つけるために二人の召使を送りました。

1. 神の導きに従う: 私たちは、神が私たちの道を導いてくださると信頼できます。

2. 主に仕える: たとえ困難なときでも、私たちは神の命令に喜んで従わなければなりません。

1. イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2. ヨハネ 14:15 「もしあなたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守るでしょう。」

使徒 10:19 ペテロがその幻について考えていると、御霊が彼に言った、「見よ、三人の男があなたを捜している」。

主はペテロに幻を送り、聖霊は三人の男がペテロを探していると告げました。

1. 主は常に導いておられます: 主の声を聞く方法

2. 神の導きに従う: 神の導きに応答する方法を学ぶ

後ろからこう言う声が聞こえます。その中を歩いてください。」

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

Acts 10:20 それゆえ、立ち上がって、あなたを降ろし、何も疑わずに彼らと一緒に行きなさい。私が彼らを遣わしたからです。

ペテロは神から、コルネリオが遣わした人々と一緒に行き、疑ってはいけないと命じられました。

1. 神は私たちに、信頼して従うよう呼びかけています。

2. 神の計画を信じる力。

1. ヘブライ 11:1-3 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。

Act 10:21 それから、ペテロはコルネリオから遣わされた人々のところに下って行きました。そして言った、「見よ、わたしがあなたがたが捜している者だ。あなたがたが来た理由は何なのか？」

ペテロはコルネリアスから派遣された一団と会い、彼らがなぜ来たのか尋ねます。

1. 神の働きを率先して行うことの重要性

2. 見知らぬ人をもてなし、歓迎する

1. ヨハネ 4:35-36 「あなたがたは、まだ四か月もあるのに、収穫が来るとは言わないでください。見よ、あなたがたに言います。目を上げて畑を見なさい。畑はすでに収穫期に真っ白になっているからです」「そして、刈り取る者は報酬を受け取り、永遠の命に至る実を集めます。それは、種を蒔く者も刈り取る者も共に喜ぶためです。」

2. ルカ 10:2-3 「そこでイエスは彼らに言われた、『収穫は実に多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主よ、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。さあ、行きなさい。』：見よ、私はあなたを狼の中の子羊として送り出す。」

使徒 10:22 すると彼らは言った、「百人隊長コルネリオは正義の人で神を畏れる人で、ユダヤ全国民の間で評判が良かったのですが、あなたを家に送り込むようにと聖なる天使から神からの警告を受けました。そしてあなたの言葉を聞くこと。

正義で神を畏れる人でユダヤ人の間で評判の良いコルネリオは、神の言葉を聞くためにペテロを家に招くよう神からの天使から警告を受けました。

1. 神の愛と正義は神を求めるすべての人に与えられます。

2. 神はご自身の意志を達成するために誰でも用いられます。

1. ルカ 1:5-25 - 天使ガブリエルが洗礼者ヨハネの誕生を告げるためにゼカリヤを訪れました。

2. 使徒 17:26-27 - すべての国々に対する神の主権と、それらを救うという神の意図。

Act 10:23 それからイエスを中に呼んで、泊めてもらった。そして翌日、ペテロは彼らと一緒に出発し、ヨッパから来た何人かの兄弟たちも彼に同行した。

使徒ペテロは何人かの異邦人と一緒に宿泊するよう招待され、翌朝、ヨッパから来たある兄弟たちと一緒に出発しました。

1. 私たちは、背景に関係なく、自分と異なる人々を受け入れ、受け入れるよう求められています。

2. 信仰を持つのは私たちだけではありません。周りの人たちの力に頼ってください。

1. ガラテヤ 2:11-14 - 「しかし、ペテロがアンティオキアに来たとき、私は彼に面と向かって反対しました。彼が明らかに間違っていたからです。ヤコブからある人たちが来る前は、彼は異邦人と一緒に食事をしていました。しかし、彼らが来たとき、彼は明らかに間違っていました。到着すると、彼は割礼のグループに属する人々を恐れて、異邦人から身を引いて離れ始めました。他のユダヤ人も彼の偽善に加わったので、彼らの偽善によってバルナバさえも惑わされました。彼らは福音の真理に沿って行動していなかったので、私は全員の前でペテロにこう言いました、「あなたはユダヤ人ですが、ユダヤ人らしくなく異邦人のように生きています。それでは、どうしてあなたは強制するのでしょうか」異邦人はユダヤ人の習慣に従うべきですか？』

2. 使徒 11:1-3 「ユダヤ中の使徒たちと信者たちは、異邦人も神の言葉を受け入れたと聞いた。それでペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を受けた信者たちはペテロを非難して言った、『あなたたちはエルサレムに行った』割礼を受けていない人々の家に行き、彼らと一緒に食事をしました。』ピーターは話し始めて、起こったことをそのまま彼らに説明しました。」

使徒 10:24 そして彼らがカイサリアに入った翌日。そしてコルネリアスは彼らを待って、彼の親族や親しい友人たちを集めていました。

コルネリオはカイサリアに入った翌日、家族や親しい友人を招待して彼らを待ちました。

1. 神は忠実であり、神が結びつけた人々を一つにまとめます。

2. 私たちは、自分の人生にやって来る人たちをいつでも歓迎する準備ができていなければなりません。

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

Act 10:25 ペテロが入って来ようとしたとき、コルネリオは彼を出迎え、足もとにひれ伏して彼を拝んだ。

コルネリアスはペテロに会い、到着するとひれ伏して彼を拝みました。

1. 謙虚さの力: コルネリアスの例

2. 崇拝の生活を送る: コルネリアスがどのように私たちに道を示したか

1. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。各自、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

2. ローマ 12:1-2 - 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な崇拝です。この世界では、しかし、あなたの心を一新することによって変えられ、それによって、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試すことによって識別できるようになるのです。」

使徒 10:26 しかし、ペテロは彼を抱き上げて言った、「立ちなさい。」私自身も男性です。

ペテロはコルネリアスに立ち上がるよう励まし、自分も男であると安心させた。

1. すべての人の尊厳: コルネリアスに対するペテロの励ましに関する研究

2. 内省と励ましの力

1. ヨハネ 13:34-35、「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきです。これによって、すべての人はあなたがわたしの弟子であることを知るでしょう」お互いに愛があれば。」

2. ガラテヤ 3:28、「ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

Act 10:27 それで、イエスと話しながら中に入ると、大勢の人が集まっているのを見つけた。

ピーターが家に到着したとき、コルネリアスにはたくさんの訪問者が来ていました。

1. 友情の力: 他の人を訪ねることの価値を理解する

2. 共同体の重要性: 使徒行伝の研究 10:27

1. ローマ人への手紙 12:10-13: 兄弟のような愛情をもって互いに愛し合います。名誉を示すという点でお互いに勝る。怠惰な熱意を持たず、熱意を持って主に仕えなさい。希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。

2. 伝道の書 4:9-12: 二人のほうが一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労苦に対して良い報いがあるからです。なぜなら、彼らが倒れても、誰かが仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れても一人で、支えてくれる者がいない人は不幸です。繰り返しますが、二人が一緒に寝れば暖かさを保ちますが、どうやって一人で暖かく保つことができますか？そして、一人の男が孤独な一人に勝つかもしれないが、二人は彼に抵抗するだろう、三重の紐はすぐに切れるものではない。

Acts 10:28 そこでイエスは彼らに言った、「ユダヤ人が他の国の人と付き合ったり、他の国に来ることがいかに違法なことであるかは、あなた方も知っているとおりです。」しかし、神は私に、いかなる人も俗人だの汚れた者だのと呼んではいけないと教えてくださいました。

ペテロは神から、どんな人も不純な者や汚れた者と考えてはならないと言われました。

1. 神の愛は差別をしない

2. 神の無条件の愛

1. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

Acts 10:29 そこで、私は、召されてすぐ、何も言わずにあなたのところに行きました。では、あなたがたは、どのような意図で私を遣わしたのか尋ねます。

コルネリアスはペテロに自分のところに来てほしいと頼み、ペテロはコルネリアスになぜ自分が呼ばれたのか尋ねました。

1. 他人から話しかけられたときの対応方法

2. 混乱したときに質問する方法を学ぶ

1. マタイ 5:41 「そして、あなたに 1 マイル行くように強制する者は、二人で行きなさい。」

2. 使徒 17:11 「彼らはテサロニケの人々よりも高貴でした。彼らは、すべての準備を整えて御言葉を受け入れ、それが本当にそうなのかどうかを毎日聖書を調べたという点です。」

使徒 10:30 コルネリウスは言った、「四日前、私はこの時間まで断食していました。そして九時に私が家で祈っていると、見よ、一人の男が明るい服を着て私の前に立っていました。

コルネリアスの祈りは、天使が彼に現れたときに聞き届けられました。

1. 神はすべての祈りを聞き、答えてくださいます。

2. 絶えず祈り、神のタイミングを信頼してください。

1. テサロニケ第一 5:17 - 「絶えず祈りなさい。」

2. エレミヤ 29:11-13 - 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、あなたがたに将来と希望を与えるために、悪の計画ではなく福祉の計画を立てている。」

Acts 10:31 そして言った、「コルネリオよ、あなたの祈りは聞き入れられ、あなたの施しは神の御前に記念として与えられます。」

コルネリオは祈りました、そして彼の施しは神に記憶されました。

1. 祈りの力：私たちの祈りはどのように神に聞き入れられ、記憶されるのか

2. 施しの価値: 他者への施しが神にどのように記憶されるか

1. テサロニケ第一 5:17 - 絶えず祈りなさい。

2. ヤコブ 1:27 - 神と父の前に汚れのない純粋な宗教とは、苦しみの中にある父のいない人ややもめを訪ね、世から汚れないようにすることです。

使徒 10:32 そこで、ヨッパのところに人を送り、ペテロという名を持つシモンを呼んでください。彼は海辺の皮なめし職人シモンの家に泊まっています。彼が来たらあなたに話すでしょう。

コルネリアスは、ヨッパの海沿いの皮なめし業者の家に滞在しているサイモン・ピーターを呼びに行くように指示されました。

1. 従順の力: 神の指示に従うことがどのように素晴らしいことをもたらすのか

2. 神の絶え間ない備え: 神はどのようにして常にご自分の民に備えられるのか

1. ヤコブ 4:17 - 「ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを行わない者は、その人にとって、それは罪です。」

2. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出るわたしの言葉はそのとおりである。それはむなしくわたしに返ることはなく、わたしの目的を達成し、わたしがそれを送った目的を達成するであろう。」

使徒 10:33 そこで、私はすぐにあなたに遣わしました。そして、あなたはよく来ました。したがって、私たちは皆、神から命じられたすべてのことを聞くために、今ここに神の前にいます。

ローマの百人隊長コルネリウスは、ペテロから神の言葉を聞くために家族や友人の集会を呼びかけました。

1. 神は私たち一人一人に御言葉に耳を傾けるよう呼びかけておられます

2. 神の言葉に従う行動を起こす

1. エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2. ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

使徒 10:34 それからペテロは口を開いて言った、「真実ですが、神は人を軽視しないと私は思います。

ペテロは、神はいかなる人もその背景に基づいて差別することはないと宣言します。

1. 神は偉大な平等化者である: 神は偏りを示さない

2. 神はすべてを愛しています: 人種や背景に関係なく

1. ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

使徒 10:35 しかし、神を畏れ、義を行う者は、どの国でも神とともに受け入れられます。

この箇所は、神を恐れ、正しいことを行う者を神は国籍に関係なく受け入れられることを強調しています。

1. 忠実さの力: 正しく生きることがどのように神に受け入れられるか

2. あなたが誰であろうと、神はご自身を恐れ、正しいことを行う人を受け入れます

1. イザヤ書 66:2 - 「これが私が尊敬する人です。謙虚で霊的に悔い改め、私の言葉におののく人です。」

2. マタイ 7:21 - 「わたしに『主よ、主よ』と言う者が皆、天国に入るわけではありません。ただ、天におられるわたしの父の御心を行う者だけが天国に入るのです。」

使徒 10:36 神がイスラエルの子らに遣わし、イエス・キリストによって平和を宣べ伝えた言葉: (彼はすべての主です:)

神はすべての主であるイエス・キリストを通してイスラエル人に平和のメッセージを送りました。

1. 神の平和のメッセージ 2. すべての主イエス・キリスト

1. エペソ 2:14-17 - なぜなら、神ご自身が私たちの平和であり、私たちを一つにし、その肉において敵意の隔ての壁を打ち破られたからです。 2. ローマ 10:9-13 - イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。

使徒 10:37 この言葉は、あなたがたが知っているといいますが、この言葉はユダヤ全土に出版され、ヨハネが宣べ伝えた洗礼の後、ガリラヤから始まりました。

洗礼者ヨハネが悔い改めの洗礼を説いた後、福音の知らせはガリラヤから始まりユダヤ全土に広がりました。

1. 悔い改めの福音: 希望のメッセージの広がり

2. 証言の力: 1 つのメッセージが世界をどのように変えることができるか

1. イザヤ書 40:3-5 - 呼びかける者の声。砂漠をまっすぐに、私たちの神のための道路としてください。4 すべての谷は高くされ、すべての山と丘は低くされる。荒れた地面は平らになり、険しい場所は平地になります。5 そして主の栄光が現され、すべての人が共にそれを見るであろう。

2. マルコ 1:14-15 - ヨハネが投獄された後、イエスはガリラヤに行き、神の良いたよりを宣べ伝えました。 15 「その時が来ました」と彼は言いました。「神の国は近づいた。悔い改めて良いたよりを信じなさい！」

使徒 10:38 神はどのようにナザレのイエスに聖霊と力を注いだか。イエスは善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人を癒して回った。神が彼とともにおられ

たからである。

神はイエスに聖霊と善を行い、悪魔に抑圧されている人々を癒す力を注がれました。

1: 神の油注ぎを認識し信頼する

2：悪魔の抑圧から解放される

1: イザヤ書 61:1 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は柔和な人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。彼は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚われの者たちに刑務所の開放を宣言するために私を遣わしたのです。

2: ヤコブ 5:14 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。

使徒 10:39 私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムで行われたすべてのことの証人です。彼らは彼を殺し、木に吊るしました。

この一節は、十字架での死を含むイエスの生涯の出来事に対する使徒たちの証言を語っています。

1. 証しの力: 私たちの霊的な証を認識し、適用する

2. 恥じることなく：逆境に直面しても勇敢に生きる

1. ローマ人への手紙 1:16 - 私は福音を恥とはしません。福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。

2. ヘブライ 12:1-2 - ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、前に定められた競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか。私たちは、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けています。

使徒 10:40 神は三日目に彼をよみがえらせ、公然と彼を見せた。

神はイエスを死からよみがえらせ、すべての人に示しました。

1. 復活の力: 神はどのようにして死を克服できるか

2. イエス: 復活した命の模範

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. ローマ 6:4-5 - したがって、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

使徒 10:41 すべての民ではなく、神の前に選ばれた証人たち、そして死人の中からよみがえられた後、神とともに飲食した私たちにさえです。

神は、イエス・キリストを通して神の力と栄光を目撃するために特定の人々を選びました。

1. イエスの力: 主の復活と選ばれた証人に対するその影響を探る

2. 神の選択: 神の奇跡を目撃するための特別な人々の選択を認識する

1. ヨハネ 20:19-31 – イエスは復活の夜に弟子たちに現われる

2. マルコ 16:14-18 – イエスは復活後に弟子たちに現れ、福音を広めるよう命じます。

使徒 10:42 そしてイエスは、人々に宣べ伝えて、生死を裁く者として神から任命されたのがこの方であることを証しするように、と命じられた。

彼は私たちに福音を宣べ伝え、イエスが生死の審判者であることを証するように命じました。

1. イエス：すべての裁判官

2. 福音を宣べ伝える: 神から与えられた私たちの戒め

1. ヨハネ 3:17-18、「神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、世が御子を通して救われるためでした。イエスを信じる者は誰でも罪に定められていませんが、信じない人はすでに罪に定められています。神の独り子の名を信じていないからです。」

2. ローマ人への手紙 14:10-12、「なぜあなたは自分の兄弟を裁くのですか。それともあなたは、なぜあなたの兄弟を軽蔑するのですか？なぜなら、私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになるからです。「わたしが生きるとき、すべての膝はわたしにかがみ、すべての舌は神に告白する、と主は言われる。」と書いてあるからである。それで、私たち一人一人が神に自分自身の説明をすることになります。」

使徒 10:43 すべての預言者に彼に証言してください。彼を信じる者はだれでも彼の名によって罪の赦しを受けるでしょう。

イエスを信じる人は皆、罪の赦しを受けます。

1: イエスの赦しの恵み

2: 神の救いの贈り物

1: コロサイ 1:13-14 - 神は私たちを暗闇の領域から救い出し、愛する御子の王国に移してくださいました。その御子によって私たちは救い、罪の赦しを得ます。

2: ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して、賜物としての神の恵みによって義とされるからです。

使徒 10:44 ペテロがまだこれらの言葉を話している間に、その言葉を聞いたすべての人に聖霊が降った。

ペテロが話していると、御言葉を聞いたすべての人に聖霊が降りました。

1.「神の恵みは神の言葉を聞く者に降り注ぐ」

2.「神の言葉を聞く力」

1. イザヤ書 55:10-11 - 「雨と雪が天から降って、そこには戻らず、地に水を与え、芽を出し、種を蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与えるように、わたしの言葉はわたしの口から出たものであって、それは空しくわたしに戻ってくることはなく、わたしの目的を達成し、わたしがそれを送った目的を達成するであろう。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

使徒 10:45 ペテロと一緒に来た人々と同じように、信じた割礼の人々も驚いた。なぜなら、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたからである。

ユダヤ人の信者たちは、異邦人にも聖霊が与えられたのを見て驚きました。

1. 神の愛は、家柄や背景に関係なく、すべての人にあります。

2. 神の恵みは私たちの期待を超えています。

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

Act 10:46 彼らは、彼らが異言を語り、神をあがめるのを聞いたからである。するとペテロはこう答えました。

ペテロが異邦人に語った言葉は、神の救いの計画が彼らにも利用可能であることを示しました。

1. 神の愛は広大であり、背景や信念に関係なく、すべての人に開かれています。

2. 救いはイエス・キリストを通してすべての人に与えられます。

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 10:9-10 - イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです。

使徒 10:47 私たちと同じように聖霊を受けた人々がバプテスマを受けないよう、水を禁じる人がいるでしょうか。

コルネリオの人々は、聖霊を受けた後にバプテスマを受けるべきかどうか尋ねましたが、ペテロは、誰も彼らがバプテスマを受けることを禁じることはできないと答えました。

1. 聖霊の力: 救いの賜物を理解する

2. バプテスマの重要性: 従順における信仰の一歩を踏み出す

1. ローマ人への手紙 6:3-5 - 「キリスト・イエスにバプテスマを受けた私たち全員が、死のバプテスマを受けたことを知らないのですか。したがって、私たちは、キリストがそうであったように、死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。御父の栄光によって死者の中からよみがえらされたなら、私たちもまた新たな命の中を歩むことができるでしょう。」

2. 使徒 16:33 - 「そして、イエスは夜の同じ時間に彼らを連れて行き、彼らの傷を洗いました。そして彼と家族全員がすぐにバプテスマを受けました。」

使徒 10:48 そしてイエスは、主の名によってバプテスマを受けるように彼らに命じられた。それから彼らは、特定の日を遅らせるように彼に祈りました。

使徒たちはコルネリオとその家族に主の名においてバプテスマを受けるよう命じ、それからしばらく留まるように頼みました。

1. 主の名によるバプテスマの重要性

2. なぜ私たちは主にあって留まるべきなのか

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい」「そして、見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。アーメン。」

2. 使徒 1:4 「そして、彼らと一緒に集まって、エルサレムから離れず、父の約束を待ちなさいと命じた。父は、「あなたがたはわたしのことを聞いている」と言う。」

使徒行伝 11 章には、福音は異邦人にも向けられるものであるというペテロの説明と、アンティオキアでの教会の設立について詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、異邦人も神という言葉を受け入れたことをユダヤ全土の使徒信者が聞くところから始まります。ペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を受けた信者たちは、「あなたが家に入った割礼のない人たちがペテロを食べた」とペテロを非難しました。それに応じて、ペテロは何が起こったのかを詳しく説明しました
- 汚れた動物の幻視と、神が清めたものを不浄とは呼ばないようにと言う声、幻視が終わったと同時にカイサリアから到着した三人の男、御霊がペテロに、何もせずに彼らと一緒に行くよう告げました。ためらい。彼はまた、6人の兄弟がコルネリアスの家に同行し、そこで天使がコーネリアスにジョッパを送り、ペテロとして知られるシモンを連れて来させ、家族全員が救われるメッセージを伝えるだろうと告げたと語った。彼が話し始めると、ちょうど私たちが最初に主が言われた言葉を思い出したのと同じように、聖霊が彼らの上に来ました。それで、もし神が私たちに与えたのと同じ贈り物を彼らに与えたとしたら、主イエス・キリストを信じて、誰が神に立ち向かうことができると思いますか？」これを聞いた彼らは、それ以上の異論はなく、「では、神が悔い改めを与えられた異邦人にも命が与えられるのですね」（使徒行伝11:1-18）と神を賛美しました。

第2段落: 一方、ステファノをめぐって迫害が起きて散り散りになった人々は遠く旅をし、フェニキア・キプロス・アンティオキアはユダヤ人の間だけで噂を広め、一部の人々はキプロス・キレネだったが、アンティオキアに行ってギリシャ人も話し始め、ギリシャ人にも主イエスの良い知らせを伝え、主は彼らとともにおられた、多くの人々に手渡された。信じて主になった（使徒 11:19-21）。このニュースが教会エルサレムに届き、彼らはバルナバス・アンティオキアを送りましたが、到着すると証拠を見て、神は喜び、すべての人が真実であり続けるように励ましました主の心は善良な人であり、完全な聖霊信仰であり、多くの人々が主をもたらしました（使徒行伝11:22-24）。

第 3 段落: それからバルナバはタルソスに行き、サウルが見つかったときにアンティオキアを連れて行きました。その年、教会は大勢の人々に教えられ、弟子たちは最初にクリスチャンと呼ばれたアンティオキアに集まりました (使徒行伝 11:25-26)。この間、何人かの預言者がエルサレムからアンティオキアに下り、アガバスという名前の預言者が立ち上がった。聖霊を通して、深刻な飢餓がローマ世界全体に広がると予言した。クラウディウスの治世中に弟子たちはそれぞれの能力に応じて、生きている兄弟姉妹に援助を提供することを決定した。ユダヤは長老たちの世話をするために贈り物を送った。（使徒 11:27-30）。

使徒 11:1 ユダヤにいた使徒や兄弟たちは、異邦人も神の言葉を受け入れたと聞いた。

異邦人が神のメッセージを受け入れたという知らせが広まりました。

1. 救いの良い知らせは誰にでもあります

2. 福音による一致

1. エペソ 2:14-18 - なぜなら、神ご自身が私たちの平和であり、両方を実現し、私たちの間の隔たりの真ん中の壁を打ち破られたからです。

2. ローマ人への手紙 10:12-13 - ユダヤ人とギリシャ人の間に区別はありません。すべての同じ主が、ご自分を呼び求めるすべての人に豊かになられるからです。

使徒 11:2 ペテロがエルサレムに上ってきたとき、割礼を受けていた者たちはペテロと争った。

エルサレムのユダヤ人の信者たちは、異邦人に対するペテロの使命に異議を唱えました。

1: 神の愛は、背景に関係なく、すべての人にあります。

2: 自分と異なる人々と関わるときは、謙虚さをもつ必要があります。

1: ガラテヤ 3:26-28 - なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって、信仰によって神の子だからです。なぜなら、キリストに結ばれるバプテスマを受けたあなた方の多くは、キリストを着ているからです。ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2: コロサイ 3:11 - キリストにあっては、ユダヤ人とギリシャ人、割礼の有無、野蛮人、スキタイ人、奴隷と自由人の区別はありませんが、キリストはすべてであり、すべてのうちにおられます。

使徒 11:3 「あなたは割礼を受けずに人々のところに行って、一緒に食事をしませんでした」と言った。

ペテロはエルサレムの使徒たちに、割礼のない男性と一緒に食事をするという自分の決断を擁護します。

1.「すべての人に対する神の愛」

2. 「受け入れられる人生を生きる」

1. ローマ人への手紙 2:11-16

2. ガラテヤ3:26-29

□□ 11:4 □□□□

2. 自然の驚異: 私たちの周りに神の手が見える

1. 詩篇8:3-9

2. イザヤ書40:25-26

使徒 11:7 すると、私に言う声が聞こえました。「ペテロ、起きなさい。起きなさい。」殺して食べる。

ペテロは天の声によって、それまでユダヤ教の法律で禁じられていた食べ物を食べるように指示されました。

1. 神の恵みは私たちの規則よりも大きい - ローマ人への手紙 6:14

2. 神の指示に従うことは祝福につながります - 使徒 11:18

1. ローマ人への手紙 6:14 なぜなら、あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるからです。

2. 使徒 11:18 これらのことを聞くと、彼らは平安を保ち、神を讃えて言った、「それでは、神は異邦人たちにも命への悔い改めを与えてくださったのです。」

Acts 11:8 しかし、私は言いました、「主よ、そうではありません。私の口には、ありふれたものや汚れたものは決して入っていないからです。」

神は私たちに、たとえ奇妙で馴染みのない状況であっても、神のメッセージを広めるためにリスクを冒すことを恐れないようにと命じておられます。

1.「恐れるな：大胆に福音を宣べ伝える」

2.「神への信頼：信仰を持って踏み出す」

1. ヨシュア記 1:9 - 「わたしがあなたに命じたではありませんか。強く勇敢であれ。恐れるな。落胆するな。あなたの神、主はどこへ行ってもあなたとともにおられるからである。」

2. イザヤ書 43:1 - 「しかし今、主はこう言われます。ヤコブよ、あなたを創造したのは誰ですか、あなたを形づくったのはイスラエルです：?恐れることはありません、私はあなたを贖ったのです。私はあなたを召喚しました。名前、あなたは私のものです。」

使徒 11:9 しかし、天からまた声が私に答えた、「神が清めてくださったもの、あなたを普通とは呼びません。」

神の聖さは人間の理解の対象ではありません。

1: 神は私たちの理解を超えており、神の決定は疑問なく受け入れられるべきです。

2: 私たちは人生における神の権威を認識し、受け入れる必要があります。

1: ヨシュア記 24:15 - 「今日、誰に仕えるかを選んでください...」

2: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの道も自分の考えよりも考え。」

使徒 11:10 このようなことが三度行われ、全員が再び天に引き上げられました。

天から来た天使は幻を三度見ましたが、そのたびに天使は天に引き戻されました。

1. ビジョンにおける神の慈悲と恵み

2. 神の御心を明らかにする祈りの力

1. ヨハネ 14:18 ? 쏧はあなたたちを孤児として残しません。あなたのところに行きます。？？

2. 創世記 28:12-13 ?そして彼は夢を見た、そして見よ、地にはしごが立てられ、その頂上は天に達し、そして神の天使たちがその上を上り下りしているのを見よう。そして見よ、主はその上に立っておられた。

Acts 11:11 すると、見よ、すぐに、カイサリアから私に遣わされた三人の男が、すでに私のいる家に来ていた。

使徒ペテロは、カイサリアから派遣された三人の男によって訪問されました。

1. 神は予期せぬ訪問者を用いて私たちにご自身の意志を示すことができます。

2. 神は必要に応じて私たちに助けと導きを与えてくださいます。

1. マタイ 2:1-12 - 博士たちのイエス訪問。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

Acts 11:12 すると、御霊が私に、何も疑わずに彼らと一緒に行きなさいと命じました。さらに、この六人の兄弟たちが私に同行し、私たちはその男の家に入りました。

神の御霊は使徒ペテロに、自分のところに来た人々と一緒に行くように言いました。そして、彼は他の6人の兄弟たちとともに彼らと一緒に行きました。

1. 神の御心はしばしば予期せぬものであるため、ためらうことなく従うべきです。

2. 神が私たちに何かをするよう呼びかけるとき、神は私たちが必要とする力と仲間を与えてくださいます。

1. ヘブライ 11:8 - アブラハムは、相続地として受け取る場所に行くように召されたとき、信仰によって従いました。そして彼はどこへ行くのかも知らずに出て行きました。

2. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

Acts 11:13 そして彼は、自分の家に天使が立って彼に言った、「ヨッパに人を遣わして、名字がペテロであるシモンを呼んでください」と言った様子を私たちに見せました。

天使の幻を見て、コルネリアスはペテロを呼びに行きます。

1: 神の導きは強力かつ明確であり、常に私たちを正しい方向に導いてくださいます。

2: 人生の旅路において神の導きを信頼することの大切さ。

1: 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解に頼ってはならない。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

2: 詩篇 32:8 - 「わたしはあなたを導き、あなたの行くべき道を教えます。わたしは愛の目であなたに助言します。」

使徒 11:14 だれがあなたに言葉を告げて、あなたとあなたの家族全員が救われるでしょう。

ペテロは人々に、神は自分とその家族が救われるように福音を告げ知らせるために遣わされたのだと説明します。

1. 神の言葉が持つ救いの力

2. 家族の救いの重要性

1. ローマ人への手紙 10:13-14 「主の御名を呼び求める者は救われるからです。それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めることができますか。また、信じていない方をどうして信じることができますか。」聞いたのか？そして説教者なしにどうやって聞くことができるだろうか？」

2. コリント人への第二の手紙 5:17-18 - 「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去ったのです。見よ、すべてのものは新しくなりました。そしてすべてのものは、私たちを和解させてくださった神から出たものです」イエス・キリストによってご自分に和解の奉仕を与えてくださったのです。」

使徒 11:15 そして、私が話し始めたとき、最初に私たちに降ったのと同じように、聖霊が彼らの上に降りかかりました。

宣教の初めに使徒たちに聖霊が降ったのと同じように、異邦人にも聖霊が降りかかりました。

1.「神の霊はすべての人のためのものである」

2.「父の約束」

、あなたがたは上からの力に耐えるまで、エルサレムの町に留まりなさい。

2. 使徒 2:38-39 - それからペテロは彼らに言った、「悔い改めて、あなたがた一人一人、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすればあなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう。」その約束は、あなたとあなたの子供たち、そして遠く離れたすべての人たち、さらには私たちの神、主が召されるすべての人たちに与えられているからです。

Acts 11:16 そこで私は、主がこう言われた、「ヨハネは確かに水でバプテスマを授けた」という主の言葉を思い出しました。しかし、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるであろう。

主は信者たちが聖霊のバプテスマを受けることを預言されました。

1: 聖霊の重要性と、私たちの生活を変える聖霊の力。

2: 神の言葉に従って生きることの大切さ。

1: エペソ人への手紙 5:18、?過剰なワインを飲んではなりません。しかし御霊に満たされてください。

2: ローマ人への手紙 8:9、?あなたがたは肉体ではなく、霊の中にいます。そうであれば、神の霊があなたの内に住んでいるのです。さて、もしキリストの御霊を持たない人がいるなら、その人はキリストのものではありません。

使徒 11:17 ですから、神は、主イエス・キリストを信じた私たちに与えられたのと同じ賜物を彼らにも与えてくださいました。神に対抗できるなんて、私は一体何だったのか？

神の恵みはイエス・キリストを信じるすべての人に与えられます。

1. 神の恵みの力

2. 神の恵みの包括性

1. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分でしたことではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

2. テトス 3:5-7 「神が私たちを救ってくださったのは、私たちが義によって行った行いによるのではなく、ご自身の憐れみによるものであり、私たちに豊かに注いでくださった聖霊の再生と再生の洗いによってでした。」それは、私たちの救い主イエス・キリストを通して、私たちが彼の恵みによって義とされ、永遠の命の希望に従って相続人となるためです。」

使徒 11:18 これらのことを聞くと、彼らは平安を保ち、神を賛美して言った、「それでは、神は異邦人たちにも命への悔い改めを与えてくださったのです。」

神は異邦人もユダヤ人も含めて、すべての人に悔い改めを与えてくださいました。

1: 神はすべての人が悔い改めて救われることを望んでいます。

2: 神の恵みはユダヤ人だけでなく、すべての人にあります。

1: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2: 2ペテロ 3:9 - ある人々が怠けていると考えるように、主は約束に関して怠けているわけではありません。しかし、私たちに対しては辛抱強く、誰も滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに来ることを望んでいます。

Acts 11:19 さて、ステパノについて起こった迫害のために国外に散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで旅し、ユダヤ人以外には誰にもみ言葉を宣べ伝えました。

ステファノの弟子たちは迫害のために国外に散らされ、フェニキア、キプロス、アンティオキアを訪れ、ユダヤ人だけに御言葉を宣べ伝えました。

1. 迫害を通しての神の保護

2. 適切な聴衆に説教することの重要性

1. 使徒 8:4 - 「それで、海外に散り散りになった人々は、どこへでも行って御言葉を宣べ伝えた。」

2. マタイ 28:19 - 「それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授けなさい。」

Act 11:20 その中には、キプロスやキレネの人もいて、アンティオキアに来たとき、ギリシャ人に語りかけ、主イエスを宣べ伝えた。

キプロスとキレネの人たちはアンティオキアでギリシャ人に主イエスを宣べ伝えました。

1. 福音を宣べ伝える力

2. すべての国でイエスを宣べ伝える

1. 使徒 1:8 - 「しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまでわたしの証人となるでしょう。」

彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたがたに命じたことすべてに従うように教えなさい。いつでも、時代の終わりまで、一緒にいます。

Act 11:21 すると、主の御手が彼らとともにあったので、大勢の者が信じて主に立ち返った。

主の御手は信者たちと共にあり、多くの人が主に立ち返るようになりました。

1. 神様？셲手はいつも私たちとともにあります

2. 神に応える？電話をかける

1. ローマ人への手紙 8:31 - ?帽子 それでは、これらのことについて話しましょうか？もし神が私たちの味方なら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. 詩篇 23:4 - ?たとえ私が死の影の谷を歩いても、私は悪を恐れません、あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

Act 11:22 このような知らせはエルサレムの教会の耳にも入り、彼らはバルナバを送り、アンティオキアまで行くように命じた。

エルサレムの教会は、このニュースを広めるためにバルナバをアンティオキアに送りました。

1. 良い知らせを広める力

2. キリスト教宣教師の重要性

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」, 世の終わりまで、私はいつもあなたと一緒です。」

2. イザヤ書 6:8 - 「その時、私はこう言う主の声を聞いた。『誰を遣わそうか？誰が我々のために行くだろうか？』そして私は言った。『ここにいるよ。私を遣わしてください！？』

Act 11:23 イエスは来て神の恵みを見て喜び、心を決めて主に固く結ばれるようにと皆に勧めた。

バルナバは神の恵みを見て、主に献身し続けるよう皆に勧めました。

1. 神の恵みは決して当然のものと考えるべきではない賜物です。

2. 主への私たちの献身は、計画的かつ揺るぎない献身的でなければなりません。

1. ローマ 12:1-2 - ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の観点から、皆さんに勧めます。慈悲、神に喜ばれる神聖な生きたいけにえとして自分の体を捧げるということですか？それがあなたの真の適切な崇拝です。

2. 申命記 6:5 - 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

Act 11:24 彼は善良な人で、聖霊と信仰に満ちていたので、多くの人が主に加えられた。

この善良な人は聖霊と信仰に満たされ、多くの人々を主のもとに導きました。

1. 信仰と聖霊の力

2. 善良な人々が神の王国に与える影響

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. マタイ 5:14-16 - ?あなたは世界の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。

使徒 11:25 それからバルナバはサウロを捜すためタルソスへ出発した。

バルナバはサウロを捜してタルソスへ行きました。

1. 神の摂理が働いて、バルナバがタルソスでサウロを見つけたということ。

2. 忠実な交わりの大切さ - バルナバはサウロを捜し求めます。

1. 箴言 16:9 - 人の心は自分の道を計画しますが、主は彼の歩みを確立します。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

Act 11:26 そして彼を見つけたので、アンティオキアに連れて行った。そして、丸一年、彼らは教会に集まり、多くの人々に教えました。そして弟子たちはアンティオキアで初めてクリスチャンと呼ばれました。

バルナバはサウロを見つけてアンティオキアの教会に連れて行きました。二人は一年間人々を教えましたが、そこにいた人々が初めて弟子たちをクリスチャンと呼びました。

1. アンティオキア教会: 宣教活動のモデル

2. キリストの弟子になるとはどういう意味ですか?

1. 使徒11:26

2. マタイ 28:18-20 - ?次にイエスが来て彼らに言われた。天と地のすべての権威が私に与えられました。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。ユーロ?

使徒 11:27 この頃、預言者たちがエルサレムからアンティオキアにやって来た。

この頃、エルサレムから預言者たちがアンティオキアに来ていました。

1. 預言の力: 神の言葉はどのように人生を変えることができるか

2. 神の呼びかけに従うことの重要性: 使徒 11:27 の考察

1. 使徒 11:27 - 「この頃、預言者たちがエルサレムからアンティオキアに来た。」

2. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉は、そのようになります。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送ったもので栄えるでしょう。」」

Acts 11:28 すると、そのうちの一人アガボが立ち上がり、全世界に大きな欠乏が起こることを御霊によって示されました。それはクラウディウス・シーザー の時代に起こりました。

アガブスはクラウディウス・シーザーの時代に大飢饉を予言した預言者で、最終的にはそれが現実になりました。

1. 預言の力: アガバスのメッセージを理解する

2. 神の主権: 神はご自身の計画を達成するためにどのように飢餓を利用されたか

1. ハバクク 2:3 - 幻は依然として定められた時を待っているからです。それは終わりに急いでいますか？嘘はつきません。遅いと思われる場合は、待ってください。それは必ず来るだろう。遅れることはありません。

2. アモス 3:7 - 主なる神は、そのしもべである預言者たちにその秘密を明らかにせずには何もなさらないからです。

使徒 11:29 そこで弟子たちは、各自の能力に応じて、ユダヤに住んでいる同胞たちに救援を送ることを決意した。

弟子たちは自分たちの資源をユダヤの信者たちに分け与えました。

1. 分かち合うことは思いやりです: 弟子たちの例

2. 寛大さの祝福: 弟子たちの模範

1. ガラテヤ 6:10 ですから、機会があれば、すべての人々、特に信者の家族に属する人々に善を行ないましょう。

2. ローマ人への手紙 12:13 神と分かち合いますか?困っている人たち。ホスピタリティを実践しましょう。

使徒 11:30 彼らも同じようにして、バルナバとサウロの手でそれを長老たちに送りました。

この箇所は、バルナバとサウルが異邦人からエルサレムの長老たちに金銭の捧げ物を送った様子を説明しています。

1. 寛大さの力: バルナバとサウロからどのように学べるか

2. コミュニティの優先事項: どうすればお互いをサポートできるか

1. 箴言 11:25、「寛大な人は栄え、他の人を元気づける者は自分も元気づけられる。」

2. コリント人への第二の手紙 9:7、「あなたがたはそれぞれ、しぶしぶしたり、強制されたりせずに、自分の心の中で捧げようと決めたものを捧げるべきです。神は喜んで与える人を愛してくださっているからです。」

使徒行伝 12 章には、ヘロデ王による初代教会の迫害、ペテロの奇跡的な脱獄、そしてヘロデの死が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、ヘロデ・アグリッパ 1 世が教会の一部の信者を迫害するところから始まります。彼は、ユダヤ人たちが種なしパン祭りの最中にもペテロを捕まえて刑務所に入れ、四分隊で護衛させ、四人の兵士に引き渡し、過越の祭りの後に公の裁判にかけることを意図してユダヤ人が喜んでいたのを見て、弟のジョンを剣で殺させた（使徒言行録）12:1-4）。それでペテロは刑務所に入れられましたが、教会はペテロのために神に熱心な祈りをささげました。

第 2 段落: ヘロデが裁判にかけられる前夜、ペテロは鎖に縛られた二人の兵士の間に寝ていて、番兵が入り口を守っていた 突然、天使主が現れ、光が光る独房を襲った ペテロの側を起こして、「早く起きなさい！」手首から鎖が落ちた 天使は「服をサンダルに履きなさい」と言いました マントを巻きつけて従った 天使は実際に何が起こっているのか知っていました ビジョンが通過したのが見えたと思いました 2番目に警備員が来て、街に続く鉄の門が来て、それ自体が開きました 彼らは 1つの通りを歩いて通り抜けました 突然天使彼のもとを去りました（使徒 12:6-10）。何が起こったのかを知ってメアリーの母ジョンも家に行き、マークに電話した。そこには多くの人が集まり、ローダがドアに答えてきたと祈りながらピーターの声を認識して興奮し、ドアも開かずに「ピーターがドアにいるよ！」と叫びながら走って戻った。彼らは、彼女が本当だと主張し続け、「それは彼の天使に違いない」と言い、気が狂ったと言いました。しかし、ペテロは彼らがドアを開けるとノックし続けましたが、彼らが驚いているのを見て、黙るよう手で合図しましたが、主が牢獄から出てきて、これらのことを報告するように言われた様子を説明し、他の兄弟ヤコブはその後、去って別の場所に行きました（使徒行伝12:11-17）。

第 3 段落: 朝になると、兵士たちの間ではピーターのような小さな騒ぎはありませんでした。ヘロデが徹底した捜索を行った結果、処刑された命じられた衛兵は見つからなかった。それからヘロデはユダヤからカイサリアに行き、しばらくそこに滞在しました。彼は人々と口論していた ティルス・シドンは今度は団結して聴衆の確保された支援を求めた ブラストゥスは個人の僕として王を信頼し、自分たちの国が王の国の食糧供給に依存しているため平和を求めた 約束の日に王服を着たヘロデが王座に座って街頭演説を行った 人々は「この声は人間ではなく神の声だ」と叫んだ。」神を賛美しなかったためにすぐに、主は食べられた虫を打った天使が死んだという言葉を神は広め続け、バルナバ、サウルは任務を完了し、彼らを連れてエルサレムに戻りました、ヨハネはマルコとも呼ばれました（使徒行伝12:18-25）。

使徒 12:1 さてその頃、王ヘロデは教会の一部の人たちを悩ませるために手を差し伸べました。

ヘロデ王は教会の特定の信者を迫害しました。

1. 迫害の時にも落胆せず、信仰を強く持ち続けましょう。

2. 逆境に直面しても、自分たちの目的と使命に集中し続けましょう。

1. マタイ 5:10-12 「義のために迫害されている人々は、幸いである、天の国は彼らのものである。他の人があなたを罵り、迫害し、私のせいであなたに対して偽りのあらゆる種類の悪を言うとき、あなたは幸いです。喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したからです。」

2. ヘブライ 10:32-34 「しかし、あなたが啓発された後、時には公の場で非難や苦痛にさらされ、時にはそのように扱われた人々のパートナーとなったりして、苦しみとの厳しい闘いに耐えた昔のことを思い出してください。あなたは刑務所にいる人たちに同情心を抱いており、自分自身がより良い財産と永続的な財産を持っていることを知っていたので、自分の財産の略奪を喜んで受け入れたからです。」

使徒 12:2 そして彼はヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。

ヘロデ・アグリッパ1世はヨハネの弟ヤコブを剣で殺させました。

1. 謙虚さを保ち、人生における神の力を認識することを決して忘れてはいけないことを思い出させます。

2. たとえ死に直面しても、愛と許しの力についてのレッスン。

1. ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

2. マタイ 5:43-45 - 「『隣人を愛し、敵を憎め』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。」

Acts 12:3 そして、ユダヤ人たちが喜んでいるのを見たので、さらにペテロも連れて行くことにした。（その後は種なしパンの時代でした。）

ヘロデ・アグリッパ1世は、種なしパンの時代に、ユダヤ人が喜んでいたのでペテロを逮捕しました。

1: 困難な時には、私たちは信仰を堅持し、困難を乗り越えて導いてくださる主を信頼しなければなりません。

2: 私たちは、人々の欲望によって神への信仰が損なわれないように注意しなければなりません。

1: ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2: 詩篇 46:10 - 「静まって、わたしが神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められる。」

Act 12:4 イエスは彼を捕らえると、牢に入れ、四等分の兵隊に引き渡して拘留させた。復活祭の後に彼を人々の前に連れ出すつもりだ。

ペテロを逮捕した後、ヘロデは彼を刑務所に入れ、4つのグループの兵士をペテロの警備に割り当てました。彼は復活祭の後にペテロを人々の前に連れ出す計画を立てていました。

1. 困難な時に神の力に頼る

2. 人生が困難になったとき、信仰にしっかりと立つ

1. ローマ人への手紙 8:31 - それでは、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. コリント人への第二の手紙 12:9 - しかし、彼は私にこう言いました、「私の恵みはあなたに十分です。私の力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」

使徒 12:5 したがって、ペテロは牢獄に入れられましたが、教会は彼のために神に祈りをささげていました。

教会はペテロが刑務所から釈放されるよう絶え間なく祈りました。

1. 祈りの力 - 必要なときに私たちの祈りがどのように役立つか。

2. 信仰の力 - 神への信仰がどのように困難を克服するのに役立つか。

1. ヤコブ 5:16b - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. マタイ 21:22 - 「信仰があるなら、祈りで求めるものは何でも受け入れられます。」

Acts 12:6 そして、ヘロデがペテロを連れ出したその夜、ペテロは二本の鎖で縛られた二人の兵士の間に挟まれて眠っていた。そして、戸口の前の番人たちが

牢獄の番をしていた。

ピーターは逮捕され、刑務所に入れられ、そこで眠っている間、2人の兵士と2本の鎖に守られました。

1. 神の加護は、しばしば最も予期せぬ場所で見られます。

2. たとえ困難な状況の中でも、私たちは神に忠実であり続けなければなりません。

1. 詩篇 91:11 - 神は天使たちにあなたを監視させ、あなたのすべての道を守ってくださるからです。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

Acts 12:7 すると、見よ、主の御使いが彼に臨み、光が牢獄に輝いた。するとペテロの脇腹を打ち、起き上がらせて、「早く起きなさい」と言った。そして鎖が彼の手から落ちた。

牢獄にいたペテロに主の天使が現れ、彼を打ち、立ち上がるように言いました。すると鎖が手から落ちた。

1. 神の力: 神はどのようにして私たちを鎖から解放できるのか

2. 予期せぬ奇跡: 困難な時代に希望を見つける

1. イザヤ書 61:1 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は苦しんでいる人たちに良い知らせをもたらすために私に油を注がれたからです。神は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を、囚人に自由を宣言するために私を遣わしました。

2. 詩篇 146:7 - 神は身分の低い者を支え、悪しき者を地に突き落とされます。

Act 12:8 すると天使は彼に言った、「帯を締めて、くつを履きなさい」。そして彼はそうしました。そして彼は彼に言った、「あなたの衣服をあなたの周りに投げて、私に従ってください」。

天使はペテロに、サンダルと服を着て従うように指示しました。

1. 従順: ペテロの例

2. 備え：神に従う準備をしなさい

1. イザヤ書 52:7 - 「良い知らせをもたらし、平和を伝え、良い知らせを伝え、救いを伝え、シオンに向かって、あなたの神が統治すると言う者の足は、山の上で何と美しいことでしょう。」

2. マタイ 4:20 - 「そして、彼らはすぐに網を離れて、イエスを追った。」

Act 12:9 そこでイエスは出て行って、従った。そして、天使によって行われたことが真実であるとは限りません。しかし彼は幻を見たと思った。

天使の導きは、彼に従う人にはわかりませんでした。彼は幻を見ているのだと思いました。

1. 神の導き: 私たちの生活における主の御手を認識する

2. 信仰の力: 主を信頼することを学ぶ

1. マタイ 28:20 - 「わたしがあなたたちに命じたすべてのことを守るように教えます。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望んでいる事柄を保証し、目に見えない事柄を確信するものです。」

使徒 12:10 彼らは第一区と第二区を通り過ぎて、町に通じる鉄の門まで来た。それは彼自身の意志で彼らに開いた：そして彼らは出て、一つの通りを通り過ぎた。するとすぐに天使は彼から去った。

天使は町に通じる鉄の門を開け、ペテロを一つの通りに案内してから出発しました。

1. 神の天使たちの忠実さ

2. 予期せぬ方法で神の導きを経験する

1. 詩篇 91:11-12 - 神はあなたの天使たちに、あらゆる道であなたを守るよう命じるからです。彼らはあなたを手で持ち上げて、足を石にぶつけないようにします。

2. イザヤ書 30:21 - 右に曲がっても左に曲がっても、あなたの耳には後ろからこう言う声が聞こえます。その中を歩いてください。」

使徒 12:11 ペテロは我に返って言った、「今、私には保証人がいます。主が御使いを遣わして、私をヘロデの手から、また人々のあらゆる期待から救い出してくださったということです。」ユダヤ人たち。

ペテロは、主が自分をヘロデとユダヤ人の手から救うために天使を送ってくださったと確信していました。

1. たとえ困難な状況の真っ只中でも、神は常にコントロールしておられます。

2. 私たちが信仰をもってそれを求めるとき、神の保護は常に得られます。

1. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 34:7 - 「主の使いは、彼を恐れる者たちの周りに陣を張り、彼らを救い出す。」

ヨハネの母マリアの家に来ました。その名はマルコでした。多くの人が集まって祈っていた場所。

初代教会は祈りのために集まりました。

1. 祈りの共同体: 祈りの中で団結する力

2. 祈りの力: なぜ祈るのか、そして祈ることで何が達成されるのか

1. エペソ人への手紙 6:18 - 「すべての聖徒のために、常に御霊によって祈りと願いを込めて祈り、忍耐と祈りを込めてそれを見守っています。」

2. ヤコブ 5:16 - 「互いに自分の過ちを告白し、癒されるように互いに祈りなさい。義人の熱心な祈りは効果的です。」

使徒 12:13 ペテロが門の戸をたたいていると、ロダという名の娘が聞きに来た。

ピーターが門のドアをノックすると、ローダという名の若い女性が出迎えました。

1. ノックを聞く：私たちの生活の中で神の呼びかけを聞く

2. 信仰の扉を開く：神の招きに応える

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者はだれでも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

2. 행전 11:9 - 그러나 하늘로부터 두 번째 내 음성이 대답하시되 하나님이 깨끗하게 하신 것을 네가 속되다 하지 말라 하기로

Acts 12:14 그 음성을 알고 기뻐하여 대문을 열지 아니하고 안으로 달려 들어가 베드로가 대문 앞에 섰다고 알리니

그들이 이르되 네가 미쳤다 하되 그가 참말이라 우기니 이르되 그의 천사라 하더라

1. 그들은 베드로가 감옥에 갇혀 있다고 생각했다.

2. 그들은 미쳤다.

1. 행전 30:11 - 그 때에 여호와께서 내 입에 말씀을 주시고 내 손으로 그 입을 만지시며 내 귀에 말씀하시기를 보라 내가 내 말을 네 입에 두었노라

2. 고후 10:3-5 - 우리가 육신으로 행하나 육신을 따라 싸우지 아니하노니 우리 싸움의 무기는 육신에 속한 것이 아니요 오직 견고한 진을 무너뜨리는 하나님께 속한 것이니 곧 모든 이론과 하나님을 아는 것을 대적하여 높아진 것을 무너뜨리고 모든 생각을 사로잡아 그리스도에게 복종하게 하며

Act 12:15 그들이 이르되 네가 미쳤다 하되 그가 참말이라 우기니 이르되 그의 천사라 하더라

그러나 베드로는 계속 문을 두드리고 있었고 그들이 문을 열고 그를 보고 놀랐다.

1. 베드로는 계속 문을 두드리고 있었다.

2. 그들은 베드로를 보고 놀랐다.

1. 행전 1:45 - 그 때에 여호와께서 내 입에 말씀을 주시고 내 손으로 그 입을 만지시며 내 귀에 말씀하시기를 보라 내가 내 말을 네 입에 두었노라

2. 고전 11:1 - 너희는 나를 본받는 자가 되라 나도 그리스도를 본받는 자니라

Acts 12:16 베드로는 계속 문을 두드리고 있었고 그들이 문을 열고 그를 보고 놀랐다.

그러나 베드로는 계속 문을 두드리고 있었고 그들이 문을 열고 그를 보고 놀랐다.

1. 베드로의 믿음 - 베드로는 계속 문을 두드리고 있었고 그들이 문을 열고 그를 보고 놀랐다.

2. 奇跡は起こる - 信仰によって不可能がどのように可能になるかを考察します。

1. マタイ 17:20 - 「イエスは答えました、「あなたがたは信仰があまりにも薄いからです。はっきり言いますが、からし種ほどの小さな信仰があれば、この山に向かって『ここからあそこへ移れ』と言えるでしょう。」「そうすれば動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。」

2. ルカ 5:5 - 「シモンは答えた。「先生、私たちは一晩中働いたのに、何も捕れませんでした。でも、あなたがそうおっしゃるので、網を下ろします。」

Act 12:17 しかし、彼は手で彼らに平和を保ちながら、主がどのようにして自分を牢獄から連れ出してくれたかを彼らに告げた。そして彼は言った、「行ってこれらのことをヤコブと兄弟たちに見せてください。」そして彼は立ち去り、別の場所へ行きました。

ペテロは主の助けで刑務所を脱獄し、人々にヤコブと他の信者に自分の救出を知らせるよう指示しました。

1. 信仰の力: 一見不可能に見える困難をピーターはどのように克服したか

2. 主の備え：困難な時に神の加護を体験する

1. ペテロ第一 5:7 - 心配事をすべて神に投げかけてください。神はあなたを気遣ってくださっているからです。

2. 詩篇 34:7 - 主の天使は、彼を恐れる者の周りに陣を張り、彼らを救い出します。

Acts 12:18 さて、日が暮れるとすぐに、ペテロがどうなったかということで、兵士たちの間で少なからぬ騒ぎが起きた。

兵士たちは、ピーターが保管場所から行方不明になったことに気づき、非常に混乱しました。

1. 私たちが神を信頼すれば、神は不可能を可能にします

2. 最も暗い時代であっても、私たちの信仰は克服するのに役立ちます

1. マタイ 19:26 - しかし、イエスは彼らを見て言われました、「人間にはそれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

Act 12:19 ヘロデは彼を捜したが見つからなかったので、番人たちを調べて、死刑に処すよう命じた。そして彼はユダヤからカイサリアに下り、そこに住んだ。

ヘロデはペテロを探しましたが、見つかりませんでした。その結果、彼は番人たちを殺害し、その後ユダヤからカイサリアに移動しました。

1. 神の恵みは十分である: ペテロとヘロデの物語は、私たちが危険にさらされているときでも、神の恵みがいかに私たちを守るのに十分であるかを強調しています。

2. 信仰の力: ペテロとヘロデの物語は、信仰の力と、それがどのようにしてあらゆる障害を克服できるかを教えてくれます。

1. コリント人への第一の手紙 10:13 - 「人間によくある誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり，あなたが自分の能力を超えた誘惑に遭うことはお許しになりませんが，誘惑に耐えられるように，誘惑の際には逃げ道も備えてくださるのです。」

2. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

使徒 12:20 ヘロデはツロとシドンの彼らに非常に不満を抱いていたが、彼らは一致してヘロデにやって来て、王の侍従ブラストスを友人にして和平を望んだ。彼らの国は王の国によって養われたからです。

ティルスとシドンの人々は、自分たちの国が王の国に依存していたため、王の侍従であるブラストスの友好を確保してヘロデとの和平を築くために外交努力をしました。

1. 外交の力: 神は紛争を解決するためにどのように平和的解決策を用いられるか

2. 依存の課題: 不安定な世界で安全と安定を見つける

1. イザヤ 2:4 - 神は国々の間を裁き、多くの民の争いを解決します。彼らは剣を打ち砕いて鋤にし、槍を打ち砕いて剪定鉤にするだろう。国家は国家に対して剣を取ることも、戦争のために訓練することももうありません。

2. 箴言 3:29-30 - あなたの近くに信頼して住んでいる隣人に対して危害を加えようとしてはなりません。あなたに何の害も与えていないのに、理由もなくその人と争ってはいけません。

Act 12:21 そして、定められた日に、ヘロデは王室の衣装を着て玉座に座り、彼らに演説を行った。

ヘロデ王が王室の衣装を着て演説しているのが見られる。

1: 権力と権威を伝える上での服装の重要性。

２：言葉の力と人前で話すことの意義。

1: 箴言 17:27-28 「知識のある人は言葉を惜しみ、理解のある人は穏やかな精神を持っている。愚か者でも、平静を保っているときは賢いとみなされ、口を閉ざしているときは賢いとみなされる」知覚的です。」

2: コロサイ 3:12-14 「ですから、神に選ばれた民、聖く、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けなさい。もしあなたがたの中に不満があるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。」」

Act 12:22 すると民は叫び、「これは神の声であり、人の声ではない」と言った。

エルサレムの人々は、自分たちが聞いた声が人間ではなく神のものであることを認識しました。

1. 生活の中で神の声を認識する

2. 神の声に従うことを学ぶ

1. ヨハネ 10:27 - 「私の羊は私の声を聞き、私は彼らを知っており、彼らは私に従ってきます。」

2. エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し求め、私を見つけるでしょう。」

Act 12:23 すると、すぐに主の使いが彼を打った。彼は神に栄光を帰さなかったので、彼は虫に食われ、幽霊が出た。

ヘロデ王は神に栄光を帰さなかったので、死の罰を受けました。

1: 私たちは、私たちの生活の中で神がなさることに対して常に神に栄光を帰すように注意しなければなりません。

2: 私たちは、高慢になったり、神のなさることすべてに対して神に栄光を帰すことを忘れたりしないように注意しなければなりません。

1: ヤコブ 4:6 しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。それゆえ、神は高慢な者には抵抗するが、謙虚な者には恵みを与える、と彼は言います。

2: 1 コリント 10:31 ですから、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、あるいは何をするにも、すべて神の栄光のために行いなさい。

使徒 12:24 しかし、神の言葉はますます大きくなりました。

神の言葉は広がり、その数が増えました。

1. 言葉の力: キリストの福音はどのように広がり、増えるのか

2. 神の言葉の無限の可能性: 神の言葉はどのように拡大し、強化されるか

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

2. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出るわたしの言葉はこうなる。それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。」

使徒 12:25 バルナバとサウルは任務を終えてエルサレムから戻り、名字がマルコであるヨハネを連れて帰った。

使徒バルナバとサウロはエルサレムでの使命を終え、ヨハネ・マルコとともに戻ってきました。

1: 神が私たちの霊的な旅に同行者を与えてくださることから、神の忠実さは聖書全体に見られます。

2: 私たちは、私たちの信仰の歩みを導いてくれる人々が私たちの生活の中にいることの重要性を思い出さなければなりません。

1: 伝道者の書 4:9-10 - 二人は一人よりも優れています。なぜなら、彼らは労働の見返りが大きいからです。どちらかが倒れても、一方がもう一方を助けることができます。

2: 箴言 27:17 - 鉄は鉄を研ぎ、ある人は別の人を研ぐ。

使徒 13 章には、パウロの伝道旅行の始まり、ピシディアのアンティオキアでの説教、そしてパウロが直面した反対について詳しく書かれています。

第 1 段落: この章は、アンティオキアの教会に預言者と教師がいることから始まります。彼らが断食中の主を礼拝している間、聖霊は「バルナバ・サウル、わたしが彼らに命じた仕事をわたしのために取り分けてください」と言われました。そこで、断食の後、彼らに手を置いて祈って送り出しました（使徒 13:1-3）。彼らは聖霊によって途中で遣わされてセレウキアに下り、そこからキプロスに向かった。彼らがサラミスに到着したとき、彼らはユダヤ人の会堂にヨハネが助け手として同行していたことを神と宣言しました（使徒 13:4-5）。彼らはパフォスに来るまで島全体を旅し、そこでバル・イエスという名のユダヤ人の魔術師偽預言者に会いました。彼は付添の総督セルギウス・パウルスであったバルナバス・サウルと呼ばれる知的な男総督でした。なぜなら神の言葉を聞きたかったからです。しかしエリマスの魔術師は彼らに反対し、総督の信仰に転じようとしたのです（使徒行伝13:6-）8)。

第 2 段落: それから、聖霊に満たされたパウロとしても知られるサウルは、エリマスをまっすぐに見て言いました、「あなたは子供悪魔の敵です、すべてが正しく、あらゆる種類の欺瞞が正しい道を曲げることを決してやめません、主よ？」さあ、主よ、あなたに手を当ててください。あなたはしばらく盲目になり、明るい太陽さえ見ることができなくなります。」すぐに霧のような暗闇が彼を襲い、彼は誰かに手を引かれて手探りして探しましたが、その様子を見た総督は主についての驚くべき教えを信じました（使徒行伝 13:9-12）。パフォスからパウロとその仲間たちはパンフィリアのペルガへ船で行き、そこでヨハネは彼らを残してペルガからエルサ

レムに戻り、アンティオキア・ピシディアに向かいました。安息日には会堂に入り、座って律法を読み、預言者たち指導者たちは会堂から「兄弟たち、勧めの言葉があるなら話してください」という言葉を送りました（使徒13章）:13-15)。

第3段落: 立ち上がり、沈黙の合図で話し始め、簡単な歴史を説明する イスラエルがエジプトの奴隷から救出された、荒野をさまようこと、ダビデ王を立ち上げること、そして救い主イエスが来られること、約束された子孫であるダビデの子孫であること、彼はまた、ヨハネの奉仕活動、バプテスマの悔い改め、そして良いたよりを説教したこと、イエスの磔刑、復活、赦し、罪の正当化ユダヤ人異邦人の区別なく信じる者はみな信仰しなさい。人々は次の安息日に彼らを招待し、ほぼ全市が集まり、ユダヤ人たちが嫉妬に満ちた群衆を見て、パウロが冒涜していると言っていることに矛盾し始めたとき、パウロ・バルナバは大胆に答えた、「私たちは拒絶して以来、最初に神の言葉を話しました。自分たちに価値があるとは考えていない永遠の命、私たちは今向きます」異邦人』（使徒 13:16-46）。この名誉ある言葉を聞いて異邦人たちは喜び、主は永遠の命を定められたすべてのユダヤ人がその言葉を信じ、その言葉が地域全体に広まったが、神を畏れる女性たち、高い地位にある指導的男性たちを扇動し、市はパウロに対する迫害を煽動し、バルナバスは地域から追放され、足から塵を振り払って抗議活動を行った。彼らはイコニウムに行き、弟子たちは聖霊に満たされて喜びに満たされました（使徒13:48-52）。

使徒 13:1 さて、アンティオキアの教会には、預言者や教師たちがいました。バルナバ、ニジェールと呼ばれたシメオン、キレネのルキウス、四君主ヘロデのもとで育てられたマナエン、そしてサウルである。

アンティオキアの教会には、バルナバ、シメオン、ルシウス、マナエン、サウロなどの預言者や教師がいました。

1. 神は私たちを、教会に奉仕する預言者および教師となるよう招いておられます。

2. 神の呼びかけに忠実であることの重要性

1. イザヤ書 6:8 - 「そのとき、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか。そして誰が私たちに代わってくれるでしょうか？」そして私は言いました、「ここにいます。送ってください！」

2. 1 コリント 12:28 - そして神は教会の中で、第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、そして癒しの賜物、援助、管理、そしてさまざまな異言を任命されました。

使徒 13:2 彼らが主に仕え、断食していると、聖霊が言われた、「バルナバとサウロを、わたしが彼らに命じた仕事のために引き離してください」。

聖霊はバルナバとサウロを特別な働きに呼びました。

1. 人々を呼び、遣わす聖霊の力

2. 聖霊の呼びかけに応える

1. イザヤ書 6:8 - 「そのとき、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか。そして誰が私たちに代わってくれるでしょうか？」そして私は言いました、「ここにいます。送ってください！」

2. ローマ人への手紙 10:13-15 - 「主の名を呼び求める者は皆救われるからです。」では、どうやって自分たちが信じていない人を呼び求めることができるのでしょうか？そして、彼らは聞いたこともない人のことをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かに説教されずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、遣わされない限り、どうやって説教できるでしょうか？「良いたよりをもたらす者の足は何と美しいのでしょう！」と書かれているとおりです。

使徒 13:3 彼らは断食して祈り、彼らの上に手を置くと、彼らを追い返した。

アンティオキアの弟子たちは一緒に断食して祈り、その後二人の信者に手を置いて送り返しました。

1. 企業の祈りの力

2. 手を置くことの重要性

1. ヤコブ 5:14-15 – あなたの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼び、彼らに彼のために祈り、主の名において油を注いでもらいましょう。

2. テモテ第一 4:14 – あなたが持っている賜物を無視しないでください。それは長老会があなたに手を差し伸べたとき、預言によってあなたに与えられました。

使徒 13:4 そこで彼らは、聖霊によって遣わされてセレウキアへ出発した。そしてそこから彼らはキプロスに向かった。

弟子たちは聖霊によってセレウキアへ、そしてキプロスへと派遣されました。

1. 聖霊の力: 神の使命を果たすために私たちに力を与える

2. 聖霊を信頼する：神の働きを完了するために聖霊の力に頼る

1. イザヤ書 6:8 – 「そのとき、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか』。それで、誰が私たちのために行くのですか？』それで私は言いました、『ここにいます。送ってください！』

2. ヨハネ 16:13 – 「真理の御霊が来ると、彼はあなたをすべての真理に導きます。彼は自分の権威で話すのではなく、聞いたことは何でも話し、あなたに物事を宣言するからです」それはこれから来ることだ。」

使徒 13:5 彼らはサラミスにいたとき、ユダヤ人の会堂で神の言葉を宣べ伝えた。そしてヨハネを牧師に任命した。

使徒パウロとバルナバはサラミスのユダヤ人の会堂でヨハネを助手として神の言葉を宣べ伝えました。

1. 福音を宣べ伝える呼びかけ

2. 神の言葉を宣べ伝える力

1. ローマ 10:14-15 - 平和の福音を宣べ伝え、良いことを知らせる人々の足は何と美しいのでしょう。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。

使徒 13:6 そして、島を通ってパフォスまで行ったとき、バルジェソという名の魔術師、偽預言者、ユダヤ人を見つけた。

使徒パウロとバルナバは、パフォス島でバルジェソという偽預言者を見つけます。

1. 偽預言者の危険性

2. 福音の力

1. エレミヤ 23:16-17 - 「万軍の主はこう言われる。あなたに預言する預言者の言葉に耳を傾けるな。彼らはあなたをむなしくする。彼らは口からではなく、自分の心の幻を語る。」主の。」

2. 使徒 17:10-11 - 「そこで兄弟たちは、すぐにパウロとシラスを夜のうちにベレアへ送り出した。そこに来た二人はユダヤ人の会堂に入った。彼らは、言葉を受け入れたという点で、テサロニケの人々よりも高貴であった」私は万全の準備を整えて、本当にそうなのかどうか、毎日聖文を調べました。」

使徒 13:7 それは賢明な人である国の代議士セルギウス・パウルスと一緒でした。彼らはバルナバとサウロを呼び、神の言葉を聞きたいと願いました。

国の代議士セルギウス・パウルスはバルナバとサウロに神の言葉を聞くよう呼びかけた。

1. 粘り強さの力: バルナバとサウロの忠実な追求

2. 傾聴の価値: セルギウス・パウルスの例

1. ヤコブ 1:19-20 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

2. エレミヤ 33:3 - 「わたしを呼びなさい。そうすればわたしはあなたに答えて、あなたが知らない偉大な隠された事柄をあなたに話しましょう。」

使徒 13:8 しかし魔術師エリマス（解釈によれば彼の名前はそう呼ばれている）は彼らに抵抗し、代理人を信仰から遠ざけようとした。

魔術師エリマスは副官がキリスト教の信仰を抱くのを阻止しようとした。

1. 障害を乗り越える信仰の力

2. 逆境に強く立ち向かう

1. イザヤ書 55:10-11 - 「雨と雪が天から降って、そこには戻らず、地に水を与え、芽を出し、種を蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与えるように、私の口から出る私の言葉はこうであろう。それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望んでいる事柄を保証し、目に見えない事柄を確信するものです。」

使徒 13:9 そのとき、聖霊に満たされたサウロ（パウロとも呼ばれる）は彼に目を向けた、

サウロは聖霊に満たされて、ある人に目を向けました。

1. 聖霊に満たされることの大切さ

2. たったひとつの視線の力

1. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いましょう。

2. ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、考えてください。これらのことについて。

使徒 13:10 そして言った、「おお、あらゆる巧妙さと悪戯に満ちた者よ、悪魔の子、あらゆる義の敵であるあなたは、主の正しい道を曲げることをやめないのですか。」

パウロは総督を信仰から遠ざけようとした魔術師エリマスと対峙した。

1. 義を守るための対決の力

2. 敵の欺瞞を認識し、拒否する

1. 箴言 28:4-5 「彼らは、自分たちの中にある無知と心のかたくなさのせいで、神のいのちから遠ざかっています。彼らは冷淡になり、官能に身を委ね、あらゆる種類の行為に貪欲になっています」不純物の。」

2. エペソ 6:11-13 「悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的な力に対して格闘しているからです。したがって、あなたが邪悪な日に耐えることができるように、そしてすべてを尽くしてしっかりと立つことができるように、神の武具をすべて身に着けてください。」

Acts 13:11 さて、見よ、主の御手があなたの上にあり、あなたは盲目となり、一時期太陽が見えないことになる。するとすぐに、霧と暗闇が彼の上に降りかかりました。そして彼は手を引いてくれる者を探して歩き回った。

パウロは奇跡的に主の手によって一時的に失明しました。

1. 主の手の力: 主の臨在と権威を力強く思い出させる

2. 依存への呼びかけ: 目が見えないとき、主の御手は私たちを導いてくださいます

1. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足の灯であり、私の道の光です。

使徒 13:12 その代官は、事の成り行きを見て、主の教義に驚いて信じた。

副官は奇跡的な癒しを目撃した後、驚き、主の教義を信じました。

1. 信仰の力: 主の教義を信じることがどのように奇跡をもたらすのか

2. 主の不思議: 主の教えはどのように奇跡を引き起こすのか

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヤコブ 2:19 - 「あなたは神が唯一であることを信じています。あなたはよくやっています。悪霊さえも信じています。そして震えています。」

Acts 13:13 さて、パウロとその一行はパフォスから解放され、パンフリアのペルガに来た。ヨハネは彼らから出発してエルサレムに戻った。

パウロと仲間たちはパフォスを出発し、パンフィリアのペルガに到着しました。しかし、ヨハネは彼らを捨ててエルサレムに戻りました。

1. 誘惑に負けず自分の使命に忠実であり続けることの大切さ

2. 私たちの人生の旅における神の導き

1. ピリピ 3:14 - 私は、神がキリスト・イエスにあって私を天に召してくださった賞を勝ち取るという目標に向かって突き進んでいきます。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あらゆる面で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくださるでしょう。

Act 13:14 ところが、彼らはペルガを出発して、ピシディアのアンティオキアに来て、安息日に会堂に入って座った。

パウロとバルナバはペルガからピシディアのアンティオキアに行き、安息日に会堂に出席しました。

1. 教会との交わりの中で時間を過ごすことの大切さ。

2. 安息日を聖く保つことの重要性。

1. ヘブライ 10:25 - ある人々のやり方のように、自分自身が集まることを放棄しません。しかし、互いに励まし合っているのです。その日が近づいているのが分かると、なおさらです。

2. イザヤ書 58:13 - もしあなたが安息日から足をそらし、私の聖なる日にあなたの喜びを行うことから離れるなら。そして安息日を喜び、主の聖なる日、尊い日と呼びなさい。そして、自分のやり方をしたり、自分の楽しみを見つけたり、自分の言葉を話したりせず、彼を敬うべきである。

使徒 13:15 律法と預言者を朗読した後、会堂の支配者たちは人を彼らのところに遣わして、こう言わせた、「皆さん、兄弟たち、もし何か人々に勧める言葉があるなら、続けて言ってください。」

会堂の支配者たちは使徒たちに、律法と預言者を読んだ後、人々に話し、励ましの言葉を与えるよう求めました。

1. 励ましの力

2. 人々のために話す勇気

1. 詩篇 138:2、「私はあなたの聖なる宮に向かって礼拝し、あなたの慈しみと真実のためにあなたの御名をたたえます。あなたはあなたの御名すべてにまさって御言葉を尊ばれたからです。」

2. ヤコブ 1:19、「ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。」

使徒 13:16 そこでパウロは立ち上がって、手で手招きしながら言った、「イスラエルの人々、そして神を畏れるあなたがたは、聴衆に来てください。」

パウロはイスラエルの人々に呼びかけて、自分の言うことを聞くように頼みました。

1. 神を畏れ、従い、恩恵を受けましょう。

2. 神への従順は常に祝福をもたらします。

1. 箴言 16:20 - 物事を賢く扱う者は良いことを得る。主を信頼する者は幸いである。

2. 申命記 10:12-13 - さて、イスラエルよ、あなたの神、主があなたに求めておられることは、あなたの神、主を畏れ、そのすべての道を歩み、主を愛し、あなたの主に仕えること以外にない。神よ、心を尽くし、魂を込めて。

使徒 13:17 このイスラエルの民の神は、わたしたちの先祖を選び、エジプトの地に異邦人として住んでいた民を高め、腕を上げてそこから導き出されました。

神はイスラエル人をご自身の選民として選び、その力強い御腕によってエジプトの奴隷状態から救い出しました。

1. 神の愛と救いの力

2. 神の民に対する神の忠実さ

1. 出エジプト記 3:7-10 - 神は燃える藪の中からモーセに語りかけ、イスラエル人をエジプトの奴隷状態から救い出すために彼を送ります。

2. 詩篇 136:10-12 - 神の民を奴隷の束縛から救い出す神の忠実さと愛を讃える歌。

Act 13:18 そしておよそ四十年間、彼は荒野で彼らの行儀に苦しみました。

神はイスラエル人の不従順を荒野で40年間耐えられました。

1. 困難な時期を乗り越えてくれる神を信頼してください。

2. 信仰を持って誘惑や試練に耐えてください。

1. ヘブライ人への手紙 11:17-19 「信仰によって、アブラハムは裁判にかけられたとき、イサクを差し出しました。そして、約束を受けた者は自分の独り子を差し出しました。その子については、『あなたの子孫はイサクと呼ばれるであろう』と言われました」: 神は死者の中からでも彼をよみがえらせることができたと考えられており、そこから彼を姿に迎え入れられたのである。」

2. ヤコブ 1:2-4 「兄弟たちよ、あなたがたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。あなたがたの信仰の試みには忍耐が必要であることを知っているのです。しかし、あなたがたが完全で完全なものとなるために、忍耐にはその完璧な働きが与えられますように。」、何も望まない。」

Act 13:19 彼はカナンの地で七つの国々を滅ぼしたとき、その土地をくじで彼らに分けた。

神はカナンの地の7つの国を滅ぼし、その土地をイスラエル人に割り当てて与えました。

1.「神の摂理の力」

2.「神の約束の忠実さ」

1. 申命記 32:8-9 「いと高き方は、諸国民に相続地を与えたとき、全人類を分割したとき、イスラエルの子の数に応じて、諸国民の境界を定められた。主の分はその民だからである。ヤコブは彼に割り当てられた相続財産です。」

2. ヨシュア記 21:43-45 「主は先祖たちに与えると誓った土地をすべてイスラエルに与えられたので、彼らはそれを手に入れてそこに定住した。主は誓ったとおり、彼らに四方八方の休息を与えられた」」

使徒 13:20 それから、預言者サムエルの時代まで、およそ四百五十年の期間を彼らに裁き人に与えた。

神はイスラエルの民に、預言者サムエルが現れるまでの450年間統治する裁き人を与えました。

1. 神の摂理: 神の民に対する神の計画を理解する

2. 従順の重要性: イスラエルの例から学ぶ

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ヨシュア記 24:15 - そして、主に仕えることがあなたにとって悪いことであると思われるなら、今日あなたが仕える人を選んでください。あなたがたの先祖が洪水の向こう側に仕えていた神々であれ、あるいはあなたがたが住んでいる土地であるアモリ人の神々であれ、しかし私と私の家に関しては、私たちは主に仕えます。

四十年のうちにベニヤミン族のシスの子サウルを彼らに与えた。

神はイスラエルの民にベニヤミン族の王サウルを40年間与えました。

1. 神の主権: 王を任命する神の力

2. 神の民への備えにおける神の善意

1. ダニエル 4:35 - 「そして、地上の住民はみな無であると評判になっています。そして彼は天の軍隊の中で、そして地上の住民の間でご自分の意志に従って行動します。そして誰も彼の手にとどまることはできず、言うこともできません」彼に、「あなたは何をしますか？」

2. 詩篇 25:8-10 - 「主は善良で正しい方です。それゆえ、主は罪人に道を教えられます。柔和な者は裁きを導きます。柔和な者はその道を教えられます。主の道はすべてそうです。彼の契約と証言を守る者たちに慈悲と真実を与えてください。」

Act 13:22 そして、彼を排除すると、彼はダビデを彼らの王として立てた。彼はまた彼に証言して、「私はエッサイの子ダビデを見つけた。私の心に忠実な人で、私の意志をすべてかなえてくれるだろう」と言いました。

神はダビデを彼らの王に選び、彼の忠実さと従順を証しました。

1: 神に対する私たちの忠実さと従順は報われるでしょう。

2: 神は目的のために私たちを選んでおり、私たちはそれを達成するために努力しなければなりません。

1: エペソ 2:10 なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたからであり、神はその良い行いの中を歩むように前から定めておられます。

2: ピリピ 2:13 なぜなら、神は、あなたがた二人のうちに働いて、ご自分の御心にかなった意志を持って行われるからです。

使徒 13:23 神は、約束に従って、この人の子孫からイスラエルの救い主イエスをよみがえらせました。

神は約束に従ってイスラエルに救い主イエスを与えてくださいました。

1.「約束された救い主：イエスという神の贈り物」

2.「朽ちることのない神の契約：イエスにおける約束の成就」

1. ガラテヤ人への手紙 3:16 - 「さて、アブラハムとその子孫に対して約束がなされました。彼は、「多くの子孫と同じように子孫に、ではなく、一人の子孫として、そしてあなたの子孫、つまりキリストに、と言いました。」

2. イザヤ書 9:6-7 - 「私たちに子が生まれ、息子が与えられます。そして政府はその肩にあります。そしてその名は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠のもの父よ、平和の君よ、ダビデの王座とその王国に、その政府と平和の増大に終わりはなく、裁きと正義をもってそれを確立することを、これからも永遠に行うであろう。. 万軍の主の熱意がこれを成すであろう。」

使徒 13:24 ヨハネが来臨する前に、イスラエルのすべての人々に初めて悔い改めのバプテスマを宣べ伝えたときのことです。

ヨハネはイエスが到着する前にイスラエルの人々に悔い改めのメッセージを説きました。

1. 悔い改めの力: 変化への呼びかけ

2. 悔い改めのメッセージ: 行動への呼びかけ

1. エレミヤ 31:18-20 - エフライムがこのように嘆いているのを私は確かに聞いた。あなたは私を懲らしめ、私もくびきに慣れていない雄牛のように懲らしめられました。あなたは私の神、主だからです。

2. ルカ 5:31-32 - するとイエスは彼らに答えて言われた、「健康な人には医者は必要ない。健康な人には医者は必要ない。」しかし、彼らは病気です。わたしが来たのは義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。

使徒 13:25 そして、ヨハネは自分の歩みを終えたとき、こう言った、「あなたがたは、わたしを誰だと思いますか。」私は彼ではありません。しかし、見よ、私の後に来るのは、彼の足の靴を私が脱ぐ価値のない人です。

バプテスマのヨハネはイエスをメシアであり、その謙虚な僕であると認めました。

1. バプテスマのヨハネのように、どうすればイエスをメシアとして認識し、謙虚に仕えることができるでしょうか。

2. イエスの足の靴を解くのにふさわしいとはどういう意味ですか?

1. マタイ 3:11-12 - 「わたしは悔い改めのために水でバプテスマを授けますが、わたしの後から来られる方はわたしよりも強い方で、わたしにはそのサンダ

ルを履くに値しません。彼は聖霊と火であなたにバプテスマを授けてくださいます。」

2. ピリピ人への手紙 2:5-8 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身をむなしくしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

使徒 13:26 人々と兄弟たち、アブラハムの子孫、そしてあなたがたの中で神を畏れる者は誰でも、この救いの言葉があなたがたに送られます。

この箇所は、神を恐れる人々、特にアブラハムの子孫に救いの言葉を送った神について書かれています。

1.「変わらぬ救いの言葉」

2.「アブラハムの子供たちの呼びかけ」

1. ローマ人への手紙 10:13 - 「主の御名を呼び求める者は救われるからです。」

2. 詩篇 33:18 - 「見よ、主の目は主を恐れる者、主の憐れみを望む者の上にある。」

Act 13:27 エルサレムに住む者たちとその支配者たちは、イエスを知らず、また、安息日ごとに読まれる預言者の声も知らなかったため、イエスを罪に定めてそのとおりにしたのである。

支配者を含むエルサレムの人々は、安息日の礼拝中に読まれた預言者の言葉を理解せずにイエスを非難しました。

1: 神の言葉は今日でも有効であり、正しい決定を下すためには聖書の預言とメッセージを理解することが不可欠です。

2: エルサレムの人々が聖書の預言を理解できず、イエスを有罪と定めたのと同じように、今日私たちが決断する際に同じような間違いを犯していないかを確認することが重要です。

1: イザヤ書 53:1-5 - 誰が私たちの報告を信じたでしょうか?主の御腕は誰に現されるのでしょうか？

2: ローマ人への手紙 10:14-17 - それでは、信じていない人をどのようにして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？

Act 13:28 そして、彼らはイエスに死因を見つけられなかったが、それでも彼が殺されることをピラトに望んだ。

ユダヤ人たちはイエスが犯罪を犯したと非難しましたが、ピラトはイエスに何の罪もありませんでした。それにもかかわらず、ユダヤ人たちはピラトに十字架につけるよう求めました。

1.「冤罪の危険性」

2.「不信仰の力」

1. マタイ 27:17-26 - ピラトによるイエスの釈放の試み

2. ヨハネ 19:1-16 - イエスを十字架にかけるというピラトの決断

Act 13:29 そして、イエスについて書かれていることをすべて成就させた後、彼らは彼を木から降ろし、墓に葬った。

人々はイエスについて書かれたことをすべて実行し、イエスを墓に葬りました。

1. イエスの死と復活による父の御心への忠実さ。

2. 救いをもたらすイエスの犠牲の死と埋葬の力。

1. コリント人への手紙第一 15:3-4 - 「私も受け取ったこと、すなわちキリストが聖書に従って私たちの罪のために死なれ、葬られ、三日目によみがえられたことを、まずあなたがたに伝えたからです。」聖書によると。」

2. ローマ人への手紙 4:25 - 「私たちの罪のために引き渡され、私たちが義とされるためによみがえらされたのは誰ですか。」

使徒 13:30 しかし、神は彼を死者の中からよみがえらせました。

パウロは使徒行伝13章でイエスの復活について語っています。

1. イエスの復活の力：危機における私たちの希望

2. イエスの復活: 歴史の転換点

1. ローマ 6:4-11 - 新しい命の道としてのキリストの死と復活。

2. コロサイ 2:12-15 - 死に勝利したイエスの復活の力。

Acts 13:31 また、イエスは、ガリラヤからエルサレムまで一緒に上ってきた人々、つまり民に対するイエスの証人たちと何日も会った。

パウロの教えは、ガリラヤからエルサレムまでパウロと一緒に旅した人々によって目撃されました。

1. 神の言葉は証人によって証明される

2. キリストを証しする人生を生きる

1. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行ってすべての国の人々を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」そして確かに、私は時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

2. ヘブライ 12:1 「ですから、私たちはこれほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、妨げとなるすべてのものと、いとも簡単に絡まる罪を捨て去ろうではありませんか。そして、私たちにとって特徴的なレースを粘り強く走りましょう。」

Acts 13:32 そして、私たちはあなたがたに嬉しい知らせを宣言します。先祖たちに交わされた約束がいかに実現したかを、

神はイエス・キリストを通して先祖たちとの約束を果たされました。

1: イエス・キリストによる神の救いの約束

2: イエス・キリストにおける恵みと救いの賜物

1: ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して、賜物としての神の恵みによって義とされるからです。

2: ガラテヤ 3:13 - キリストは、私たちにとって呪いとなることによって、律法の呪いから私たちを救い出してくださいました。「木に吊るされている者は皆、呪われている」と書いてあるからです。

使徒 13:33 神は、イエスをよみがえらせて、私たち彼らの子供たちにも同じことを成就してくださいました。詩篇第二篇にも書かれているように、「あなたは私の子、この日、私はあなたを生み出しました。」

詩篇 2 篇に書かれているように、神はイエスを死者の中からよみがえらせることによって、私たちと私たちの先祖に対する約束を果たされました。

1: イエスは死からよみがえることによって神の約束を果たしました。これは神の愛と恵みの力を思い出させます。

2: イエスの復活は希望のしるしであり、永遠の命の約束です。

1: 詩篇 2:7 「私は主の命令を宣言します。主は私に言われた、『あなたはわたしの子。今日、わたしはあなたの父になった』。」

2: ローマ人への手紙 4:25 - 「彼は私たちの罪のために死に引き渡され、私たちの義のためによみがえらされました。」

Acts 13:34 そして、彼を死人の中からよみがえらせ、今はもう堕落に戻ることはない、ということに関して、彼はこの賢明なことに、「私はダビデの確かな憐れみをあなたに与えます」と言いました。

神はイエスを死からよみがえらせ、ダビデの確かな憐れみを私たちに与えると約束されました。

1. 神の約束の祝福された保証

2. 復活の希望

1. イザヤ書 55:3: 「耳を傾けて、わたしのもとに来なさい。聞いてください。そうすればあなたの魂は生きるでしょう。そしてわたしはあなたと永遠の契約を結びます。ダビデの確かな憐れみです。」

2. エペソ人への手紙 1:18-20: 「あなたがたの理解力の目は啓発されています。それは、神の召しの希望が何であるか、聖徒たちに受け継がれている栄光の富がどのようなものであるか、そしてその計り知れない偉大さが何であるかを知るためです。キリストを死人の中からよみがえらせ、天上でご自分の右に据えられたときキリストにおいて成し遂げられたその強大な力の働きに従って、信じる私たち病棟にその力を与えてください。」

使徒 13:35 したがって、彼は別の詩編でも、「あなたはあなたの聖なる者に腐敗を見ることを許してはなりません」と言っています。

使徒行伝の中でパウロは詩篇 16:10 を引用しており、そこには神はご自分の聖なる方が朽ちることを許されないと述べられています。

1. 神の加護の力

2. 果たせない神の約束

1. 詩篇 16:10 - 「あなたは私の魂をシェオルに捨てられません。また、あなたの聖なる者が腐敗するのを許さないからです。」

2. イザヤ書 53:9 - 「そして、彼はその死において、悪人たちと金持ちたちとともに墓を設けられた。彼は暴力をふるわず、口に偽りがなかったからである。」

使徒 13:36 ダビデは神の御心に従って自分の世代に仕えた後、眠りにつき、先祖たちに預けられ、堕落を見た。

ダビデは生涯神のご意志に仕え、その後死んで埋葬されました。

1. 神の意志に仕える: 充実感と満足感のある人生を送る方法

2. ダビデの遺産: 将来の世代に模範を示す

1. ローマ 11:36 - すべては彼から出て、彼を通して、そして彼に至るからです。

2. 伝道の書 12:13-14 - 問題の終わり。すべてが聞かれました。神を畏れ、その戒めを守りなさい。これが人間の全義務だからです。

使徒 13:37 しかし、神がよみがえらせた彼には、腐敗は見られませんでした。

パウロはアンティオキアで、イエスは死から復活し、堕落を経験しなかったと説教しました。

1. 復活の力: 神の奇跡的な介入の影響を探る

2. 永遠の命の希望：イエスの復活の約束を受け入れる

1. ローマ 6:4-5 – 「ですから、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。」

2. コリント人への第一の手紙 15:20-22 – 「しかし実際、キリストは死人の中からよみがえられ、眠りについた人々の初穂とされました。なぜなら、人によって死が来たように、人によって死者の復活も来たからです。アダムにあってはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからである。」

使徒 13:38 ですから、皆さん、兄弟たち、この人を通して罪の赦しが宣べ伝えられていることを知っておいてください。

使徒 13:38 のこの一節は、人々がイエスを通して罪の赦しを受けることができることを説明しています。

1.「許しの贈り物」

2.「恵みの力」

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. エペソ 1:7 - 私たちはこのキリストにおいて、神の豊かな恵みに応じて、その血による贖い、つまり罪の赦しを得ています。

使徒 13:39 そして、信じる者はみな、モーセの律法では義とされなかったすべてのことから義とされるのです。

すべての信者はモーセの律法ではなく、イエス・キリストによって義と認められます。

1. 信仰に生きる：律法ではなくイエスによって義とされる

2. 救い: イエスを通して義とされる

1. ローマ人への手紙 3:20-22 - したがって、律法の行ないによっては、肉なる者はその目に義とされないでしょう。律法によって罪が認識されるからです。

2. ガラテヤ 3:11 - しかし、神の前に律法によって義とされる人は誰もいないことは明らかです。義人は信仰によって生きるからです。

使徒 13:40 ですから、預言者たちの中で語られているようなことがあなた方に降りかからないように気をつけなさい。

不従順に対する神の警告: 預言者の警告に耳を傾けなければ、結果に直面しなければなりません。

1.「預言者の声 - 結果についての神の警告に耳を傾ける」

2. 「従順に歩む - 不従順の結果を避ける」

1. エレミヤ 17:9-10 - 「心は何よりも欺瞞的であり、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。主であるわたしは心を探り、手綱を試み、すべての人にその道に従って与えることさえします。彼の行いの結果によると。」

2. 詩篇 37:27 - 「悪から離れ、善を行い、永遠に住みなさい。」

Acts 13:41 見よ、あなたがた軽蔑し、不思議に思い、そして滅びます。私はあなたの日に仕事をしているからです。たとえ人があなたがたに宣言したとしても、あなたがたは決して賢明に信じない仕事です。

神は神秘的な方法で働き、否定されません。

1: 神の計画を妨げることはできません。神を信頼するかどうかは私たち次第です。

2: たとえ不可能に見えるとしても、私たちは信仰を持ち、疑ってはなりません。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2: イザヤ書 40:31 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

Acts 13:42 そして、ユダヤ人たちが会堂から出て行ったとき、異邦人たちは、次の安息日にこの言葉を彼らに宣べ伝えてほしいと願った。

異邦人はユダヤ人に次の安息日の説教を求めました。

1.「すべての国への神の呼びかけ」

2.「すべての人に対する神の愛」

1. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

2. ローマ人への手紙 10:12 「ユダヤ人とギリシャ人の間には区別がないのです。同じ主がすべての主であり、ご自分を呼び求めるすべての人にその富を与えてくださいます。」

使徒 13:43 さて、会衆が解散したとき、多くのユダヤ人や改宗者がパウロとバルナバに従いました。パウロとバルナバは彼らに話しかけて、神の恵みの中に留まり続けるよう説得しました。

パウロとバルナバは会衆に演説し、神の恵みの中にとどまるように励まし、多くのユダヤ人や改宗者が彼らに従いました。

1. 神の恵みを理解する - 堅実さを保つ方法

2. 神の恵みの中で生きる – 報酬を得る

1. ローマ人への手紙 5:20-21 - さらに、犯罪が多発するように律法が制定されました。しかし、罪があふれるところには、恵みがさらにあふれました。

2. エペソ 2:8-10 - あなたがたは恵みによって救われたのですが、それは自分自身によるものではなく、信仰によって救われたからです。それは神の賜物であり、行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。

使徒 13:44 そして次の安息日には、神の言葉を聞くために町全体がほとんど集まった。

次の安息日には、市内のほとんどの人が神の言葉を聞くために集まりました。

1. 「神の言葉: 希望と慰めの源」

2. 「神の言葉を伝えるコミュニティの力」

1. ヘブライ人への手紙 4:12 - 神の言葉は生きていて活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄の分裂を刺し通し、心の思いや意図を見分けるからです。。

2. 詩篇 1:2 - しかし、彼の喜びは主の律法であり、昼も夜もその律法を黙想しています。

使徒 13:45 しかし、ユダヤ人たちは群衆を見て、ねたみに満ち、パウロの言ったことに反対し、反対し、冒涜した。

ユダヤ人たちは、大勢の人々がパウロに従っているのを見て嫉妬し、パウロに反対し、彼の教えに反対し、冒涜していると言いました。

1. 私たちは、神が他の人の人生においてなさっていることに嫉妬すべきではありません。

2. 妬みやねたみによって神の御言葉を聞くことができなくなるのは許せません。

1. ヤコブ 3:14-16 - しかし、もしあなたが心の中に激しいねたみや争いを抱いているなら、誇ってはいけませんし、真理に反して嘘をついてはいけません。

2. 箴言 14:30 - 健全な心は肉の命である、しかし骨の腐りを羨む。

使徒 13:46 それから、パウロとバルナバは大胆になって言った、「まず神の言葉があなたがたに語られることが必要でした。しかし、あなたがたがそれを自分から遠ざけ、永遠の命にふさわしくないと自分自身を判断しているのを見て、見よ、私たちは向きを変えます」異邦人へ。

パウロとバルナバは大胆にユダヤ人に神の言葉を宣言しましたが、ユダヤ人がそれを拒否したため、代わりに異邦人に向き直りました。

1. 神の言葉を拒否すると結果が生じる

2. 神の言葉に従う、さもなければ拒絶の危険を冒す

1. ヘブライ 3:7-11 - したがって、聖霊が言うように、「今日、神の声を聞くなら、反逆のときのように、荒野での試練の日のように心をかたくなにしてはいけません。

2. マタイ 7:21-23 - 「わたしに『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天の父の御心を行う者が天の御国に入ることができるのです。

Acts 13:47 主は私たちにこう命じられた、「わたしはあなたを異邦人の光とし、地の果てまで救いとなるようにと命じられたのです。」

神は使徒たちに、地の果てまで異邦人に救いの光をもたらすように命じられました。

1. すべての国に救いをもたらす神の力

2. すべての人に福音を宣べ伝えるという神の命令

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。

2. イザヤ書 49:6 - そして彼は言った、「あなたが私のしもべとなってヤコブの部族を立ち上げ、イスラエルの保護された人々を回復するのは軽いことです。私もあなたに異邦人の光として与えます。あなたが地の果てまで私の救いとなりますように。

使徒 13:48 異邦人たちはこれを聞いて喜び、主の言葉を賛美し、永遠の命に定められた者はみな信じた。

異邦人は主の御言葉を聞いて喜び、永遠の命に任命された者の多くは信じました。

1. 主への信仰を通して人生を最大限に生きる

2. 神の言葉を信じることで豊かさを経験する

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰はメッセージを聞くことから生まれ、そのメッセージはキリストについての言葉を通して聞かれます。

使徒 13:49 そして、主の言葉はその地域全体に伝えられた。

主の言葉はその地域全体に広がりました。

1. 神の言葉にはすべての人に届く力がある

2. 福音はすべての人のためのものです

1. ローマ 10:18 - 「しかし、尋ねます。彼らは聞いていませんか。もちろん聞いています。「彼らの声は全地に響き、彼らの言葉は世界の果てにまで響きました。」

2. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はそのとおりである。それはわたしにむなしく返ることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において栄えるであろう。」

使徒 13:50 ところがユダヤ人たちは、敬虔で名誉ある婦人たちや町の有力者たちを扇動し、パウロとバルナバに対する迫害を起こし、海岸から追い出した。

ユダヤ人たちはパウロとバルナバに対して市の人々を扇動し、彼らを迫害し、市から追放させました。

1. 迫害: 反対派の中でも強く立つ

2. 影響力の力: 正義の目的のために私たちの声を使う

1. イザヤ書 54:17 - 「あなたに対して作られたいかなる武器も栄えず、裁きであなたに向かって立ち上がるすべての舌はあなたが罪に定めなければなりません。これは主の僕たちの遺産であり、彼らの義はわたしからのものです。」と彼は言います。主。

2. ヤコブ 5:16 - お互いに自分の罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りなさい。義人の効果的で熱心な祈りは大いに役立ちます。

Act 13:51 しかし、彼らは足のちりを払い落として、イコニオンに着いた。

パウロとバルナバはアンティオキアを離れ、多くの都市で福音を宣べ伝えました。ピシディアン・アンティオキアのユダヤ人たちが彼らのメッセージを拒否したとき、彼らは抗議として足の埃を払い落とし、イコニウムに向かいました。

1. 拒絶されても落ち込まず、振り切って前に進みましょう。

2. 自分の信念に忠実であり続けると反対を受けることもありますが、主はあなたの道を導いてくださいます。

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

使徒 13:52 弟子たちは聖霊と喜びに満たされた。

イエスの弟子たちは喜びと聖霊に満たされました。

1. 主の喜びは私たちの力です - ネヘミヤ 8:10

2. いつも主にあって喜びなさい - ピリピ 4:4

1. 詩篇 16:11 - あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの臨在の中には喜びが満ち溢れています。あなたの右手には永遠の楽しみがあります。

2. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

使徒 14 章では、パウロとバルナバの伝道旅行の続き、彼らが行った奇跡、そして彼らが直面した反対について詳しく語られています。

第 1 段落: イコニウムで、パウロとバルナバはいつものようにユダヤ人の会堂に入りました。そこで彼らは非常に効果的に話したので、多くのユダヤ人やギリシャ人が信じました。しかし、信じることを拒否したユダヤ人が異邦人を煽動し、兄弟たちに対して心を毒したので、パウロ・バルナバはそこでかなりの時間を費やして、主が奇跡的なしるしを行うことができるようにする主の恵みの確認されたメッセージを大胆に語りました（使徒行伝 14:1-3）。市の人々は、ある者はユダヤ人側に付き、他の者は異邦人の間で使徒の陰謀が起こり、ユダヤ人の指導者が彼らを石で虐待したことを知って分裂し、リュカオニアの都市リストラ・デルベ周辺の国から逃亡し、そこで福音を宣べ伝え続けた（使徒行伝14:4-7）。

第 2 段落: ルステラには、生まれた時から足が不自由で、一度も歩いたことのない男が座っていました。パウロが彼をまっすぐに見つめながら話しているのを見て、彼が信仰を癒されたのを見て、「足を立てなさい!」と大声で呼びかけられました。その男に向かって飛び起きて歩き始めた パウロのしたことを見た群衆はリカオン語で「神々が私たち人間の姿で降りてきた！」と叫びました。彼らはバルナバス・ゼウスをパウロ・ヘルメスと呼んだ。なぜなら彼が首席司祭だったからである。街のすぐ外にあるゼウス神殿は雄牛の花輪を持ってきて、正門に生贄を捧げようとしていた使徒たちと一緒に群衆がこれを聞いたとき、使徒バルナバス・パウロは衣服が引き裂かれ、「友よ、なぜこんなことをするのか」と叫びながら群衆の中に飛び出した。私たちもあなたと同じ人間に過ぎません！私たちは、天と地と海とその中のすべてを造られた神が生きている、これらの価値のないものから立ち直ることを告げる良いニュースをお届けします。」この言葉さえ、群衆が犠牲をささげるのをかろうじて止めませんでした（使徒 14:8-18）。

第三段落: それからユダヤ人たちがアンティオキア・イコニウムからやって来た 石打ちの群衆に勝った パウロは死んだと思って市の外に引きずり出した 弟子たちが

彼の周りに集まっていた 立ち上がって市に戻った 次の日デルベに向けて出発した その市で福音を説いた後、多くの弟子を作りリストラ・イコニウムが戻ってきたアンティオキアは弟子たちを強め、「私たちは神の国に入るためには多くの困難を乗り越えなければなりません」と言って真の信仰を保つよう励まします。彼らは各教会に長老を任命し、断食を捧げて祈った 彼らが信頼していた主よ ピシディアを通過した後 パンフィリアに来て 言葉を説教した ペルガ それからアタリアに下った そこから船でアンティオキアに戻り そこに託された 神の御業は今や完了し 到着 教会に集まって 神がなさったすべてを報告した異邦人がいかに開かれた信仰の扉を開き、長い間弟子として留まったかを通して（使徒14:19-28）。

Acts 14:1 そして、イコニオンで、彼らはユダヤ人の会堂に一緒に行き、そのように話したので、ユダヤ人もギリシャ人も大勢の群衆が信じた。

パウロとバルナバはイコニオンに行き、二人とも会堂で説教し、その結果、大勢のユダヤ人やギリシャ人が福音を信じるようになりました。

1. 説教の力: パウロとバルナバはどのようにして人生を変えることができたのか

2. 団結力の強さ: 協力することで前例のない成果がもたらされる

1. 使徒 1:8 「しかし、聖霊があなたに降るとき、あなたは力を受けるでしょう。そうすればあなた方はエルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。」

2. マタイ 28:19 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授けなさい。」

使徒 14:2 しかし、不信者のユダヤ人たちは異邦人を扇動し、彼らの心を同胞たちに対して悪く思わせた。

ユダヤ人は異邦人を扇動し、キリスト教徒に対して敵対的な態度をとるように影響を与えました。

1. 誘惑に抵抗する - 迫害の中でも忠実を保つ方法

2. 敵意への対応 - 憎しみに直面して愛と恵みを示す方法

1. ヨハネ第一 4:7-21 - 神の愛とそれが悪に打ち勝つ方法

2. マタイ 5:43-48 - 敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈ります

使徒 14:3 それゆえ、彼らは長い間住んで、主にあって大胆に語り、主の恵みの言葉をあかしし、しるしや不思議なことが彼らの手によってなされるようにした。

使徒たちは主にあって大胆に語り、神の恵みを証しし、しるしと不思議を行いました。

1) 神の言葉を大胆に語る力

2) 神の恵みの奇跡

1) ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。聞いたこともない方をどうやって信じるのでしょうか。また、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができるのでしょうか。遣わされない限り、どうして彼らは説教できるでしょうか？」

2) マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、「あなたがたの信仰が薄いからです。本当に言っておくが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うだろう」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

使徒 14:4 しかし、町の群衆は分裂し、一部はユダヤ人側に、一部は使徒側についた。

市はユダヤ人と支持する者と使徒と支持する者とに分かれた。

1. 分裂に直面したときの忍耐力

2. 反対にもかかわらず信仰を貫く必要性

1. エペソ人への手紙 6:10-20 - 悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、あなたがさまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。

使徒 14:5 また、異邦人に対しても、またユダヤ人に対してもその支配者たちに対して暴行が加えられ、不当に彼らを利用し、石で打ち殺すという暴行があったとき、

異邦人とユダヤ人は、支配者たちとともに、使徒パウロとバルナバを虐待し、石を投げつけようとしました。

1. 迫害に直面しても毅然とした態度で立つ

2. 困難な時代における信仰の力

1. ヘブライ 11:24-27 - 信仰によって、モーセは年を重ねたとき、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒否しました。一時的に罪の喜びを楽しむよりも、むしろ神の民とともに苦難に苦しむことを選択する。

2. ローマ 8:31-39 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

使徒 14:6 彼らはこれを知り、リュカオニアの町ルステラとデルベ、およびその周囲の地域に逃げた。

使徒たちはリストラとデルベの都市とその周辺地域に福音を広めました。

1. 信仰の力: 使徒たちはどのように福音を広めたか

2. 他の人と信仰を分かち合うことの重要性

1. ローマ人への手紙 10:14-15 「では、彼らは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。また、聞いたこともない方をどうやって信じるのでしょうか。また、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができるのでしょうか。彼らは遣わされない限り説教することになるのだろうか？」

2. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

使徒 14:7 そこで彼らは福音を宣べ伝えた。

パウロとバルナバはリストラで福音を宣べ伝えました。

1. 恐れるな、神は私たちと共におられるから - イザヤ書 41:10

2. 主イエスを信じれば救われます - 使徒 16:30-31

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 使徒 16:30-31 - 「それからイエスは彼らを連れ出して言われた、「先生たち、救われるためには何をしなければなりませんか。」すると彼らは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」と言いました。

使徒 14:8 すると、母親の胎内から足が不自由で、一度も歩いたことのない、足が不自由な男がリストラに座っていた。

ルステラの男性は、生まれたときから足が不自由で、一度も歩いたことがありませんでした。

1. 信仰の力: 神は私たちの生活をどのように変えられるか

2. 逆境の克服: 人生が困難なときでも、前進し続ける

1. エレミヤ 29:11 – 「わたしは、あなたがたに対して持っている計画を知っています」と主は宣言されます、「あなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2. ピリピ 4:13 – 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

使徒 14:9 同じように、パウロが話すのを聞いた。パウロはじっと彼を見つめ、彼が癒される信仰を持っていることに気づき、

その人はパウロの話を聞いて、自分が癒される信仰を持っていることに気づきました。

1. 信仰は治癒の基礎です。

2.神の力を信じて癒されましょう。

1. ヘブライ 11:1 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヤコブ 5:14-15 「あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼び、彼らに彼のために祈り、主の名において油を注いでもらいましょうそして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださいます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、赦されるでしょう。」

使徒 14:10 大声で言った、「あなたの足でまっすぐに立ちなさい」。そして彼は飛び跳ねて歩きました。

使徒パウロは足の不自由な男性を癒し、立ち上がって歩けるようになりました。

1. 神は力があり、私たちの体の病気を治すことができます。

2. 一見乗り越えられない困難に直面したときでも、神は私たちに力と希望を与えることができます。

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. マタイ 11:28-30 - 「すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負い、わたしについて学びなさい。わたしは心は柔和でへりくだった者だからです。そうすれば、あなたがたは魂に安らぎを得るでしょう。私のくびきは軽く私の重荷は軽いからです。」

Act 14:11 人々はパウロのしたことを見て、声を上げて、リュカオニアの演説で、「神々が人間と同じ姿で私たちのところに降りてきたのです」と言った。

リュカオニアの人々はパウロが多くの奇跡を行ったのを見て、神が人間の姿で自分たちのところに来たと信じました。

1. 神は並外れた物事を達成するために普通の人々を使います。

2. 私たちは神の力と私たちを通して動かされる神の能力を決して忘れてはなりません。

1. イザヤ書 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

2. ルカ 10:19 - 見よ、わたしはあなたに、蛇やさそりを踏み、敵のあらゆる力を制する権威を与えた。あなたを傷つけるものは何もない。

使徒 14:12 そこで彼らはバルナバを「ユピテル」と呼んだ。そしてポール、メルクリウスは彼が主な講演者だったからです。

バルナバとパウロは、リストルで説教していたときに、それぞれジュピターとメルクリウスという名前を与えられました。

1. 神の言葉の力: バルナバとパウロの生涯を探る

2. 神の呼びかけに従う：バルナバとパウロの信仰の模範

1. イザヤ書 55:11 「わたしの口から出るわたしの言葉はこうなる。それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。」

2. コリント人への第二の手紙 4:7 「しかし、私たちはこの宝を粘土の壺の中に入れています。これは、この圧倒的な力が私たちのものではなく神のものであることを示すためです。」

Act 14:13 そこで、彼らの町の前にいたユピテルの祭司が、牛と花輪を門のところに持ってきて、民と一緒にいけにえをささげようとした。

ジュピターの司祭は、市の門にいる人々に犠牲を捧げようとしました。

1. 神は私たちの崇拝と献身に値する唯一のお方です。

2. 偶像崇拝の誤った約束に振り回されるべきではありません。

1. 出エジプト記 20:3-5 - 「あなたはわたしのほかにいかなる神も持ってはならない。あなたは自分のために、上の天、下の地、あるいは下の水の中に、いかなるものの形をした像を作ってはならない。頭を下げてはならない。」彼らに屈服するか、彼らを崇拝するか、あなたの神、主である私は嫉妬深い神だからです。」

2. ローマ人への手紙 1:18-25 「というのは、人間のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から明らかにされるからです。人間は、その不義によって真理を抑圧しているのです。なぜなら、神について知り得ることは、彼らにとって明白だからです。なぜなら、神の目に見えない属性、つまり神の永遠の力と神性は、世界の創造以来、作られたものの中にはっきりと認識されてきたからです。ですから、彼らには弁解の余地はありません。神よ、彼らは彼を神として崇めず、感謝もしませんでしたが、考えることが無駄になり、愚かな心は暗くなりました。自分たちは賢いと主張して愚か者となり、不滅の神の栄光を似たようなイメージと交換しました。死すべき人間、鳥、動物、そして這うもの。」

使徒 14:14 使徒のバルナバとパウロはこのことを聞くと、衣服を裂いて群衆の中へ駆け込み、叫びました。

使徒のバルナバとパウロは、彼らを石打ちにする計画を聞き、非常に悩みました。

1. 逆境に直面したとき、逃げるのではなく、信仰にしっかりと立ち、神を信頼してください。

2. 神は苦しみの真っ只中に私たちと共にいて、それを乗り越えるための力を与えてくださいます。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

使徒 14:15 そしてこう言った、「先生、なぜこのようなことをするのですか」。私たちもあなたたちと同じ情熱を持った人間であり、あなたたちがこれらの虚栄心から、天と地と海とそこにあるすべてのものを造られた生ける神に立ち返るべきだとあなたたちに説教します。

使徒パウロとバルナバはルステラの人々に、自分たちは他の誰とも変わらないと説明し、偽りの神々から離れ、天と地を創造した生ける神を崇拝するよう勧めます。

1. 神は万物の創造者であり、私たちの崇拝に値します

2. 私たちはみな同じような情熱を持っているので、偽りの神からは離れなければなりません

1. イザヤ書 40:25-26 - それでは、あなたがたは私を誰に例えますか、それとも私が同等であるでしょうか。と聖者は言います。あなたの目を高く上げて、見よ、これらのものを創造したのは誰か、彼らの軍勢を数によって呼び出す。彼は力の偉大さによってそれらすべてを名前で呼んでいます。彼は力が強いからです。失敗は一つもありません。

2. 詩篇 19:1 - 天は神の栄光を宣言します。そして大空には彼の手仕事が展示されています。

使徒 14:16 彼はかつて、すべての国々を自分の道に歩ませるのに耐えられました。

この一節で、パウロとバルナバはリストラの人々に説教し、神はすべての国民にそれぞれのやり方に従う自由を与えられたことを思い出させます。

1. 私たちの生活における神の主権を理解する

2. すべての国に対する神の愛

1. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ 9:15 - 「彼はモーセに言われた、『わたしは憐れむ者を憐れみ、憐れむ者を憐れむ。』」

Acts 14:17 それにもかかわらず、イエスは証人を放っておかれず、善を行い、天からの雨と実りの季節を私たちに与えて、私たちの心を食物と喜びで満たしてくださいました。

神の善意と備えはすべての被造物に明らかです。

1. 神の豊かな備え

2. 神の慈しみを体験する

1. 詩篇 145:9 - 主はすべての人に慈しみ深く、彼の憐れみは彼の造られたすべてのものの上にあります。

2. ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完全な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。

Act 14:18 民は、このような言葉を言っても、自分たちに犠牲を払っていないのではないかとほとんど制止しなかった。

二人の使徒であるパウロとバルナバは、彼らは神ではなかったので、人々が彼らに犠牲を捧げることを制止しなければなりませんでした。

1. 人間と神の違いを認識する

2. 偶像崇拝を拒否し、真の神に従う

1. 詩篇 115:1-8 「主よ、私たちにではなく、あなたのいつくしみとあなたの真実のために、あなたの御名に栄光を帰してください。

2. イザヤ書 45:5-6 「わたしは主であり、他には誰もいない、わたしの傍らに神もいない。あなたはわたしを知らなかったが、わたしはあなたに帯をつけた。それは彼らが日の昇る時から知ることができるようにするためである。「西から、わたしの隣には誰もいない。わたしが主であり、他には誰もいない。」

Act 14:19 そこへ、アンティオキアとイコニウムから来たユダヤ人たちがやって来て、人々を説得し、パウロに石を投げて、死んだものとして町の外に引きずり出した。

アンティオキアとイコニウムのユダヤ人たちはパウロを石で打ち、死んだものと信じて市の外に引きずり出しました。

1. 説得の力- 使徒14:19

2. 信仰にしっかりと立つ - 使徒 14:19

1. ヤコブ 1:12 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2. ヘブライ 10:25 - 集会を習慣にしている人もいるように、集会を諦めずに、お互いに励まし合いましょう。その日が近づいているのを見るとなおさらです。

使徒 14:20 ところが、弟子たちがイエスの周りに立っていたとき、イエスは立ち上がって町に入り、翌日バルナバとともにデルベへ出発した。

パウロは奇跡的に怪我が治り市内に戻り、翌日バルナバとともにデルベに向かった。

1. 神の癒しの力 - 神が私たちの人生にもたらす奇跡を探る

2. 神の導き - 神が私たちをどのように導き、私たちの人生を導いてくださるかを理解します。

1. 詩篇 147:3 - 「彼は心の傷ついた者を癒し、その傷を包んでくださる。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

使徒 14:21 彼らはその町に福音を宣べ伝え、多くの人を教えた後、再びリストラ、イコニオン、アンティオキアに戻った。

パウロとバルナバは福音を宣べ伝え、市内で多くの人々を教えた後、リストラ、イコニウム、アンティオキアに戻りました。

1. 私たちの使命を再燃させる: 福音を伝える

2. 信仰を新たにする: 福音の力を再発見する

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、彼らはどうして信じなかった方を呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教することができますか？」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

使徒 14:22 弟子たちの魂を確認し、信仰を続けるように勧め、私たちは多くの艱難を経て神の国に入らなければならないと勧めました。

弟子たちは、これから直面する艱難にもかかわらず、信仰に専念し続けなければなりません。

1: いかなる艱難の中でも信仰を堅持しなさい。

2: 人生の試練や艱難にひるむことなく、信仰を強く持ち続けてください。

1: ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するときはいつも、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟して完全になるように、忍耐がその仕事を終えてください。」

2: ローマ人への手紙 5:3-4 - 「それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。」

Act 14:23 そして彼らは、彼らを各教会の長老に任命し、断食して祈ったとき、彼らが信じた主に彼らを推薦した。

使徒パウロとバルナバは、祈りと断食によって各教会の長老たちを任命し、彼らが信じた主に彼らを推薦しました。

1. 導くことを学ぶ: 祈りと断食の力

2. 服従の賜物：主に信頼し、主に献身すること

1. マタイ 6:16-18 - 「また、断食するときは、偽善者のように暗い顔をしてはなりません。彼らは断食していることが他人に見られるように顔を汚すからです。はっきりと言いますが、彼らは報いを受けています。しかし，あなたが断食するときは，頭に油を注ぎ，顔を洗いなさい。それは，あなたの断食が他の人に見られるのではなく，ひそかにおられるあなたの父に見られるためである。そうすれば，ひそかにご覧になっておられるあなたの父は，あなたに報いてくださるであろう。

2. ペテロ第一 5:5-7 - 同様に、年下の者たちも年長者に従いなさい。「神は高ぶる者には敵対するが、謙虚な者には恵みを与える」ため、皆さん、互いに謙虚な姿勢を身に着けてください。ですから、神の力強い御手の下で謙虚になってください。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを高め、あなたのすべての思い煩いを神に託してくださるでしょう。神はあなたを気遣っておられるからです。

使徒 14:24 彼らはピシディア中を回った後、パンフリアに来た。

パウロとバルナバはピシディアを旅し、パンフィリアに到着しました。

1. 信仰の旅: 神の計画への信頼がどのように成就につながるか

2. 神の道をたどる: パウロとバルナバの模範から学ぶ

1. イザヤ書 40:31: 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ピリピ 3:13-14: 「兄弟たち、私はそれを自分のものにしたとは思っていません。しかし、私がしていることはただ一つ、後ろにあるものを忘れて前にあるものに向かって力を尽くし、目標に向かって突き進むことです。」キリスト・イエスにおける神の上向きの呼びかけの賞です。」

使徒 14:25 彼らはペルガで御言葉を宣べ伝えた後、アタリアに下った。

パウロとバルナバはペルガで御言葉を宣べ伝えた後、アタリアに向かいました。

1. 伝道における粘り強さ: パウロとバルナバの考察

2. 揺るぎない信仰: パウロとバルナバの模範に倣う

1. ヘブライ 10:35-36 - 「だから、自信を捨ててはいけません。それは豊かな報いを受けるでしょう。神の御心を行ったときに、約束されたものを受け取ることができるように、あなたは忍耐する必要があります。」

2. テモテ第二 4:2 - 「御言葉を宣べ伝えなさい。季節中も季節外れでも準備を整えてください。非常に忍耐強く、注意深く指導しながら、正し、叱責し、励ましなさい。」

使徒 14:26 それから彼らはアンティオキアへ出航し、そこから彼らはその働きを果たしたために神の恵みに推薦された。

パウロとバルナバはリストラからアンティオキアに船で向かい、そこで彼らの働きが神から賞賛されました。

1.「褒める力」

2.「良い仕事の価値」

1. コロサイ 3:23-24 - 「何をするにも、人のためではなく主のために熱心に働きなさい。報酬として主から相続財産を受けられることを知ってください。あなたは主キリストに仕えているのです。」

2. 箴言 27:21 - 「るつぼは銀、炉は金、主は心を試される。」

Act 14:27 そして、彼らが来て教会を集めたとき、彼らは、神が彼らに対してなさったすべてのことと、どのようにして異邦人に信仰の扉を開いてくださったかを繰り返し話し合った。

パウロとバルナバは、神が自分たちのためにしてくださったことすべてと、異邦人に信仰の扉をどのように開いてくださったかを教会に報告しました。

1. 開かれた信仰の扉: 神はどのようにして救いへの道を開くのか

2. 証しの力: 神は良いたよりを広めるためにどのようにご自分の民を用いられるか

1. エペソ人への手紙 2:8-9 あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物であり、

2. ローマ 10:14-15 それでは、彼らは信じたことのない方をどのようにして呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？

使徒 14:28 そこで彼らは、弟子たちとともに長い間そこに住んでいた。

パウロとバルナバはルステラの弟子たちと長期間滞在しました。

1.「長期にわたる存在を通じて失われた人たちを愛する」

2. 「弟子としての精神を日常生活に組み込む」

1. ローマ 12:13: 「聖徒たちの必要に貢献し、もてなしの心を示すように努めなさい。」

2. ヨハネ第一 4:7-21: 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。」

使徒行伝 15 章には、モーセの律法に対する異邦人クリスチャンの義務に関するエルサレム評議会の決定と、パウロとバルナバの意見の相違が詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、パリサイ派の信者たちがユダヤからアンティオキアに下って来て、異邦人が救われるためにはモーセが教えた習慣に従って割礼を受けなければならないと教えるところから始まります。これは大きな論争を引き起こし、パウロ・バルナバ教会は、質問についてパウロ・バルナバの他の使徒たちをエルサレムの使徒長老たちに送ることを決定しました（使徒行伝 15:1-2）。教会に送られてフェニキア・サマリアを通過し、回心について説明した異邦人は、エルサレムに到着すると兄弟全員に大きな喜びをもたらし、教会の使徒長老たちに歓迎され、そこで神が自分たちを通して行われたすべてのことを報告しました（使徒15:3-4）。

第 2 段落: しかし、パリサイ党に属する一部の信者たちは立ち上がって、「異邦人はモーセの律法に従うために割礼を受けなければならない」と言いました。使徒たちの長老たちは集まり、多くの議論の末に質問を検討しました。ペテロは立ち上がって彼らに向かって、異邦人が福音を信じるメッセージを聞くことができる者として神がどのように選ばれたかを語り、神は心で彼らを受け入れ、私たちと同じように聖霊を与えてくださったことを強調し、彼らが彼らを清めてくださった私たちの間に何の区別もありませんでした。心は信仰に挑戦し、なぜ神は弟子たちに首を課し、先祖をも、また確信を持って信じることができなかった人も、恵みによって主イエスをそのまま救われました（使徒行伝 15:5-11）。それから全会衆は沈黙し、バルナバ・パウロが神が異邦人たちを通して異邦人の間に行われたしるしの不思議について語るのを聞きました（使徒15:12）。

第3段落: 彼らが終わった後、ヤコブはこう言いました。「兄弟たち、聞いてください。シモンは、神が最初にどのように介入して異邦人の言葉から自分の名前のために人々を選んだかを私たちに説明しました。預言者もこれに同意しています。」彼はアモスの言葉を引用して、これは預言と一致していると断言しました。彼は、異邦人が神に向かうことを難しくするのではなく、食べ物を控えること、汚染された偶像、性的不道徳、肉の首を絞められる動物、血を不快にするもの、ユダヤ人の信者が安息日ごとにシナゴーグで律法を朗読する都市に散在することを書き記すことを提案した（使徒行伝 15:13-21）。評議会は、選ばれた人々であるユダ・バルサバ・シラスとポール・バルナバスが異邦人の信者に大きな喜びをもたらした決定を表明する手紙を送ったヤコブの提案に同意した。しかししばらくして、パウロとバルナバの間で意見の相違が生じ、ヨハネもマルコを別の旅に連れて行くかどうかで意見の相違が生じました。パンフィリアを見捨てたため、仕事は続けられませんでした。その結果、このような激しい意見の相違が生じ、バルナバはマルコを連れてキプロスへ航海し、パウロは兄弟の恵みを称えるシラスを選んだのです。主はシリア・ キリキアに行かれて教会を強化されました（使徒15:22-41）。

使徒 15:1 ユダヤから下って来たある人々は、兄弟たちに教えて言った、「モーセのやり方に従って割礼を受けなければ、あなたがたは救われない」。

ユダヤ出身のある男性は、モーセの律法に従って割礼を受けなければ救われないと信者たちに教えました。

1. 神の憐れみと救い - 欠点にもかかわらず、神の愛と恵みがどのように私たちを救ってくれるのか

2. 法と信仰 - 法と信仰がどのように絡み合っているのか、そしてどのようにしてその両方において忠実に生きることができるのかを探ります。

1. ローマ人への手紙 3:21-24 - しかし今、律法に頼らない神の義が、律法と預言者によって証しされて明らかにされています。

2. ガラテヤ 3:23-25 - しかし、信仰が現れる前、私たちは律法の下に置かれ、後に啓示されるはずの信仰に対して閉ざされていました。

使徒 15:2 それで、パウロとバルナバの間に少なからぬ意見の相違と論争があったので、彼らは、パウロとバルナバ、そしてそのうちの他の何人かが、この問題について使徒と長老たちにエルサレムに上って行くべきであると決心しました。

パウロとバルナバは他の人々と意見の相違があったため、この問題について使徒や長老たちと話すためにエルサレムに行くことにしました。

1.「対立を乗り越える力」

2. 「賢明な助言を持つことの重要性」

1. ヤコブ 1:19-20、「愛する兄弟たち、これを知ってください。すべての人は、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

2. 箴言 11:14、「導きのないところには民は倒れるが、助言者が豊富にあれば安全である。」

使徒 15:3 そして、彼らは教会に連れられてフェニキアとサマリアを通り、異邦人の改宗を宣言し、兄弟たち全員に大きな喜びをもたらした。

この箇所は、使徒たちが異邦人の改宗を宣言したときの兄弟たちの喜びを描写しています。

1. 良いたよりを分かち合うと喜びが訪れる - 使徒 15:3

2. 他人の救いを喜ぶ - 使徒 15:3

1. ヨハネ 15:11 - ?私の喜びがあなたの中に残り、あなたの喜びが満たされるように、私はこれらのことをあなたに話しました。

2. ローマ人への手紙 15:13 - ?希望の神が、聖霊の力によって、あなたが希望に満ち溢れますように、信じることの喜びと平安であなたを満たしてくださいますように。

使徒 15:4 彼らはエルサレムに来ると、教会や使徒や長老たちに迎えられ、神が彼らに対してなさったすべてのことを告げ知らせた。

エルサレムの使徒や長老たちは新しい信者を歓迎し、神が彼らのためにしてくださった偉大なことについて聞きました。

1. 忠実な信者: 教会における従順の力

2. 巨人の肩に立つ: 先人の影響を認識する

1. ヘブライ 13:7 - あなたを支配している人々、神の言葉をあなたに語った人々を思い出してください。彼らの会話の終わりを考慮すると、彼らの信仰は続きます。

2. テサロニケ第一 5:12-13 - 兄弟たち、私たちはあなたがたの間で働き、主にあってあなたを支配している人々を知り、あなたがたを戒めるようにお願いします。そして、彼らの仕事に対する愛を非常に高く評価します。そして、あなた方の間で平和になってください。

Acts 15:5 ところが、ファリサイ派の一部の信者たちが立ち上がり、「自分たちに割礼を施し、モーセの律法を守るよう命じるのが必要だ」と主張した。

信者となったパリサイ人の中には、異邦人は割礼を受けてモーセの律法に従う必要があると主張した人もいました。

1. 神の律法に従うことの重要性

2. イエス・キリストを信じる信仰の力

1. ガラテヤ 3:10 - 律法の働きに頼る者は皆、次のように書かれているように呪いの下にあるからです。律法の書に書かれていることをすべて実行し続けない人は皆、非難されます。

2. ローマ 3:28 - 私たちは、人は律法の行いとは別に信仰によって義とされると主張します。

使徒 15:6 そこで使徒たちと長老たちは、この問題を検討するために集まった。

使徒と長老たちはある問題について話し合うために集まりました。

1. 教会における一致の重要性

2. 神に従って決定を下しますか? 셲ウィル

1. エペソ人への手紙 4:3-6 ?平和の絆を通じて御霊の一致を保つためにあらゆる努力をします。あなたが召されたときに一つの希望に召されたのと同じように、体も霊も一つです。一人の主、一つの信仰、一つの洗礼。唯一の神でありすべての父、誰がすべてを支配し、すべてを貫き、すべての中にいます。

2. ヤコブ 1:5 ?もしあなたたちの中に知恵が欠けている人がいるなら、罪を見つけずにすべての人に惜しみなく与えてくださる神に尋ねるべきです。そうすれば、

それはあなたに与えられるでしょう。

使徒 15:7 多くの議論があったとき、ペテロは立ち上がって彼らに言った、「皆さん、兄弟たち、あなた方は知っていますように、ずっと前に神が私たちの間で選択をし、異邦人が私の口によってこの言葉を聞くようにされました。」福音を信じてください。

ペテロは集まった群衆に語りかけ、異邦人に福音を宣べ伝えるために神がどのようにペテロを選ばれたかを思い出させました。

1. 神は、その働きを行う可能性が最も低い人々を選びます。

2. たとえそれが理にかなっていないとしても、私たちに対する神の計画をどのように信頼できるか。

1. エレミヤ 29:11 - 私はあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は宣言されます、あなたに将来と希望を与えるために、悪ではなく福祉の計画を立てています。

2. ローマ 10:14-15 - それでは、彼らは信じていない神をどのようにして呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？書いてある通り、？良いたよりを宣べ伝える人々の足はなんて美しいのでしょう! ??

使徒 15:8 そして、人の心を知っている神は、私たちにしたのと同じように、彼らに証しをし、聖霊を与えてくださいます。

神の愛は聖霊の賜物に明らかです。

1: 聖霊の賜物、使徒 15:8

2: 神の無条件の愛、使徒 15:8

1: ローマ人への手紙 5:5 - ?わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているので、希望は失望に終わりません。

2: 1 コリント 2:10 - ?神は御霊を通してそれらを私たちに明らかにしてくださいました。というのは、御霊はあらゆること、そうです、神の奥深いことを探究するからです。

使徒 15:9 そして、信仰によって彼らの心を清めている私たちと彼らとの間に何の違いも置かないでください。

初期の教会はユダヤ人と異邦人の区別を示さず、代わりにキリストへの信仰を通してすべての人の心を清めることに重点を置きました。

1.「信仰の力：心を清める」

2.「区別なし：愛による統一」

1. ヨハネ 14:6 ? 쏧は道であり、真実であり、人生です。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. ガラテヤ 3:26-28 ?あるいは、あなたたちは皆、キリスト・イエスへの信仰を通して神の子です。キリストに結ばれるバプテスマを受けたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。ユダヤ人もギリシャ人もいない、奴隷も自由人もいない、男も女もいない？それとも、あなた方全員がキリスト・イエスにおいて一つなのですか??

使徒 15:10 それなのに、なぜあなたがたは神を誘惑して、私たちの父たちも私たちも負うことができなかった弟子たちの首にくびきを負わせようとするのでしょうか。

初代教会は異邦人の信者に対する割礼の必要性について議論しましたが、最終的には割礼は必要ないと決定しました。

１：自分自身が負えない重荷を他人に負わせようとしてはなりません。

2: 私たちは神を求めるべきですか? 셲は自分の判断を信じます。

1: マタイ 11:28-30 - すべて働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。

2: ガラテヤ 5:1 - 自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださいました。したがって、毅然とした態度をとり、再び奴隷制のくびきに屈しないでください。

使徒 15:11 しかし、私たちは、主イエス・キリストの恵みによって、彼らと同じように救われると信じます。

使徒行伝の使徒たちは、救いはイエス・キリストの恵みによってもたらされると信じています。

1: 神の恵みは十分です - 2コリント12:9

2: 信仰によって義とされる - ローマ 5:1-2

1: エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたが救われたのは恵みによる、信仰によるのでしょうか。そして、これはあなたたち自身からのものではなく、神からの贈り物です??

2: テトス 3:5 - 神が私たちを救ってくださったのは、私たちが正しい行いをしたからではなく、彼の憐れみのゆえにでした。彼は聖霊による再生と再生の洗いを通して私たちを救ってくださいました。

使徒 15:12 そこで群衆はみな沈黙を保って、バルナバとパウロに謁見し、神が彼らによって異邦人の間にどんな奇跡と奇跡を起こされたかを宣言した。

この箇所は、バルナバとパウロの聴衆が、神がそれらを通して行われた奇跡と驚異にどのように畏敬の念を抱いたかを説明しています。

1. 驚異と奇跡を起こす神の力

2. 神の奇跡が神の民に与える影響

1. エペソ人への手紙 3:20 - 「さて、私たちの内に働いている御力に応じて、私たちが願い、想像するすべてを計り知れないほど多くのことを成し遂げてくださる方に、ささげます。」

2. ヨハネ 10:37-38 - 「私が父の業を行わない限り、私を信じないでください。しかし、もし私がそれを行うなら、たとえあなたが私を信じていなくても、その業を信じてください。それは私の中にあり、私は父の中にいます。」

使徒 15:13 彼らが平和を保った後、ヤコブは答えて言った、「皆さん、兄弟たちよ、私の言うことを聞いてください。

使徒と長老たちは初代教会における割礼の問題について話し合うために集まりました。ジェームズはこの問題に対処するために声を上げた。

1. 教会における言説の力: ヤコブの演説が歴史をどう変えたか

2. 初代教会における割礼の重要性: ヤコブの言葉の研究

1. エペソ 4:15-16 - 愛をもって真理を語るとき、私たちはあらゆる点で頭である方、つまりキリストの成熟した体に成長します。彼から、体全体は、あらゆる支持靭帯によって結合され、保持され、それぞれの部分がその働きをするにつれて、愛の中で成長し、構築されます。

2. コリント人への第一の手紙 12:25-26 - それは、体の中に分裂がなく、各肢体が互いに同じように気遣うためです。一人のメンバーが苦しむと、全員が一緒に苦しみます。メンバーの一人が表彰されたら、全員が一緒に喜びます。

使徒 15:14 シメオンは、神が最初にどのように異邦人を訪問し、彼らの中からご自分の名のために民を取り出すかを宣言しました。

神はあらゆる背景から人々を神の名前の一部として選びました。

1: 違いに関係なく、私たちは皆神の家族の一員であり、神は私たちを互いに愛を分かち合うよう招いておられます。

2: 私たちは皆、神の計画の一部であり、神は私たちを神の名の一部として選ばれました。

1: ガラテヤ人への手紙 3:26-28 「あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰によって神の子だからです。そして、洗礼によってキリストと結ばれた人は皆、新しい服を着るようにキリストを着たのです。もはやユダヤ人もユダヤ人も存在しません。異邦人も、奴隷も自由人も、男も女も、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

2: エペソ人への手紙 2:14-18 - 「キリストご自身が私たちに平和をもたらしてくださいました。キリストは、十字架上でご自身の体で、私たちを隔てていた敵意の壁を打ち破り、ユダヤ人と異邦人を一つの民に結び付けました。キリストはそうしてくださいました。」これは、異邦人を排除するユダヤ人の律法制度を終わらせることによって行われました。キリストは、ご自分の中に二つのグループから一人の新しい人々を創造することによって、ユダヤ人と異邦人の間に平和をもたらしました。キリストは、一つの体として、イエスの死によって両方のグループを神と和解させました。十字架が与えられ、私たちの互いに対する敵意は消え去った。」

使徒 15:15 これには預言者の言葉も当てはまります。書かれているように、

この箇所は、使徒 15:15 の預言者の言葉が使徒の言葉とどのように一致するかについて書かれています。

1. 合意の力: Unity がどのように私たちを団結させるか

2. 預言者の団結力: 神の言葉に耳を傾ける

1. 詩篇 133:1 - 「見よ、兄弟たちが団結して暮らすのは、なんと素晴らしく、楽しいことだろう。」

2. エペソ人への手紙 4:3 - 「平和のきずなにおいて御霊の一致を維持することに熱心です。」

使徒 15:16 この後、わたしは戻って、倒れたダビデの幕屋を再び建てる。そしてわたしはその廃墟を再び築き、それを設置する。

神は倒れたダビデの幕屋を再建すると約束されています。

1. 神の回復の約束

2. 新しい日の希望

1. イザヤ書 61:4 - 彼らは古い荒地を築き、かつての荒廃を復活させ、何世代にもわたって荒れ果てた荒廃した都市を修復するでしょう。

2. ハガイ 2:9 - この後者の家の栄光は前者の栄光よりも大きい、と万軍の主は言われる、そしてわたしはこの場所に平和を与える、と万軍の主は言われる。

使徒 15:17 それは、残りの人々が主を求め、わたしの名が呼ばれているすべての異邦人が主を求めるためであると、これらすべてのことをなさる主は言われる。

使徒 15:17 のこの聖句は、神がユダヤ人も異邦人も含め、すべての人が神を求めることを望んでいることを強調しています。

1. 「神の無条件の愛: あなたが誰であっても主を求める」

2. 「主の力: すべての国にわたる主の御業」

1. イザヤ書 45:22 「地の果てまで、わたしを仰ぎなさい。そうすればあなたがたは救われます。わたしは神であり、他には誰もいないからです。」

2. ローマ人への手紙 10:13 「主の御名を呼び求める者は救われるからです。」

使徒 15:18 世の初めからの神の業はすべて神に知られています。

使徒 15:18 のこの一節は、神は世の初めからご自身の働きのすべてをご存じであると述べています。

1. 神の全知: すべてを知っている

2. 神の業の力と知恵

1. ヨブ 37:16 - 「あなたは雲のバランス、知識において完全な方の驚くべき御業を知っていますか?」

2. 詩篇 139:4 - 「言葉が私の舌に現れる前から、見よ、主よ、あなたはそれを完全にご存じです。」

使徒 15:19 ですから、異邦人の中で神に立ち返った人々に迷惑をかけないように、というのが私の言い分です。

エルサレム教会の使徒と長老たちは、改宗した異邦人クリスチャンにさらなる負担をかけないことに同意しています。

1. 神の恵みを信頼する: 教会への異邦人の参加を受け入れる

2. 異邦人を歓迎する私たちの責任：思いやりと理解を示す

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、信じていない人をどのようにして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？

2. エペソ人への手紙 2:11-13 - したがって、あなたがた肉の異邦人は、かつては「？」と呼ばれていたことを思い出してください。彼は割礼を受けていないのですか??手によって肉体に施される、いわゆる割礼によってですか?あの時、あなたはキリストから引き離され、イスラエル共和国や約束の契約を知らない人々から疎外され、何の希望も持たなかったことを思い出してください。そして世界には神がいません。

Acts 15:20 しかし、私たちは彼らに、偶像の汚染、不品行、絞められたもの、血を避けるように書き送ります。

エルサレム教会の使徒と長老たちは、異邦人の改宗者に、偶像の汚染、淫行、絞められたもの、血を避けるように指示しました。

1. 教会の力: 一致の中に強さを見つける

2. 禁欲の力: 罪よりも聖さを選ぶ

1. エペソ人への手紙 5:3-7 - ?あなたがたの間には、性的不道徳、いかなる不純さ、貪欲さの片鱗さえあってはならない、なぜならそれらは神にとって不適切なことだからだろうか？聖なる人々よ。また、場違いな卑猥な言葉や愚かな話、下品な冗談があってはならず、むしろ感謝の気持ちが大切です。このことから、あなたは確信することができます。不道徳で、不純で、貪欲な人はいないでしょうか？ああ、この人は偶像崇拝者ですか？キリストと神の王国におけるあらゆる相続財産と同じです。誰も空虚な言葉であなたを騙してはならない、なぜならそのようなことのために神は？不従順な者には怒りが降りかかります。したがって、彼らとパートナー になってはなりません。

2. コリント第一 8:1-13 - ?偶像に捧げられた食べ物についての話: 私たちはそれを知っていますか?誰もが知識を持っています。??しかし、愛が積み重なるにつれて知識は膨れ上がります。何かを知っていると思っている人は、知るべきことをまだ知らないのです。しかし、神を愛する者は神に知られています。したがって、偶像に提供された食べ物を食べることについて、私たちは次のことを知っていますか？アイドルには実体がないのに?? 쐔ここには神はいません、ただ一人です。??なぜなら、いわゆる神は天にも地にもいるかもしれませんが?本当にたくさんありますか？쐅 ods??そして多くの?命令？しかし、私たちにとっては、万物が存在し、そのために私たちが存在する唯一の神である父と、万物が存在し、その人を通して私たちが存在する唯一の主イエス・キリストがおられます。ただし、全員がこの知識を持っているわけではありません。しかし、ある人々は、かつて偶像と関わっていたために、実際に偶像に提供されたものと同じように食事をし、その良心は弱いので汚されてしまいます。食べ物は私たちを神に推薦するものではありません。食べなくても私たちの状態が悪化するわけではありませんし、食べても状態が良くなることもありません。ただし、あなたのこの権利が弱者の障害にならないように注意してください。というのは、誰かがあなたがアイドルを食べているのを見たとしたら？寺よ、良心が弱っているなら、偶像に捧げられた食べ物を食べるように勧められないでしょうか？したがって、キリストがそのために死んでくださったこの弱い兄弟は、あなたの知識によって滅ぼされます。このように兄弟に対して罪を犯し、彼らの弱い良心を傷つけるなら、あなたはキリストに対して罪を犯していることになります。だから、食べ物で弟がつまずくなら、弟がつまずかないように、私は絶対に肉は食べません。

Acts 15:21 というのは、昔のモーセには、あらゆる都市で自分を宣べ伝える人々がいて、安息日ごとに会堂で朗読されていたからです。

モーセの教えは世界中の都市で説教され、安息日の礼拝中に読まれています。

1. 説教の力: モーセの教えをどのように活用して地域社会に影響を与えることができるか

2. 安息日を理解する: 安息日を最大限に活用する方法

1. ルカ 4:16-21 - イエスは会堂でイザヤ書を読む

2. 出エジプト記 20:8-11 - 十戒

使徒 15:22 そこで、使徒たちと長老たちは、教会全体と協力して、パウロとバルナバとともに、自分たちから選ばれた人々をアンティオキアに送ることを喜んだ。すなわち、ユダの姓はバルサバであり、シラスは兄弟たちの中の主要な人々である。

使徒と長老たちは教会全体とともに、パウロとバルナバに同行してアンティオキアに行く人としてユダ・バルサバとシラスを選びました。

1. 教会の一致の力

2. 共に奉仕することの重要性

1. ピリピ人への手紙 2:2-4 - ?同じ心、同じ愛を持ち、完全に一致し、心を一つにすることで、私の喜びを完全なものにしてください。利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。

2. エペソ人への手紙 4:1-3 - ?したがって、主の囚人であるあなたに、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐強く、愛をもって互いに忍び合い、世界の一致を維持することに熱意を持って、自分に召された使命にふさわしい態度で歩むよう強く勧めます。平和の絆にあるスピリット。

使徒 15:23 彼らはこのようにして手紙を書いた。使徒、長老、兄弟たちは、アンティオキア、シリア、キリキアの異邦人の兄弟たちに挨拶を送ります。

使徒と長老たちはアンティオキア、シリア、キリキアの異邦人の兄弟たちに挨拶を送りました。

1: 宗教に関係なく隣人を愛しなさい。

２：他人を差別しない。

1: ミカ 6:8 おお、神はあなたに、何が善であるかを教えてくださいました。そして主があなたに求めておられるのは、正義を行い、慈悲を愛し、謙虚にあなたの神と共に歩むこと以外に何でしょうか？

2: ローマ人への手紙 12:18 できることなら、あなたがたのうちにある限り、すべての人たちと平和に暮らしてください。

Act 15:24 私たちが聞いた限りでは、私たちから出て行ったある者たちが、あなたがたは割礼を受けなければならない、律法を守らなければならない、と言ってあなたがたを悩ませ、あなたがたの魂を揺さぶったそうです。私たちは彼らにそのような命令を与えませんでした。

教会のある男性たちは、教会がそのような戒めを与えていないにもかかわらず、割礼を受けなければならない、律法を守らなければならないなどと異邦人を言葉で困らせました。

1. 偽りの教えの危険 - 使徒 15:24

2. なぜ識別力を働かせる必要があるのか - 使徒 15:24

1. コロサイ 2:8 - キリストにではなく、人間の伝統に倣い、世の初歩に倣って、哲学や無駄な欺瞞によってあなたを台無しにする人がいないように気をつけてください。

2. ヨハネ第一 4:1 - 愛する人たち、すべての霊を信じるわけではありませんが、それらの霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。なぜなら、多くの偽預言者が世に出ているからです。

使徒 15:25 私たちは一致団結して、愛するバルナバとパウロとともに選ばれた人たちをあなたがたのところに送るのが良いように思えました。

初代教会は福音を伝えるためにバルナバとパウロを派遣するために集まりました。

1. 一致の力 - ローマ人への手紙 12:5

2. 証しすることの重要性 - マタイ 28:19-20

1. エペソ 4:3 - 平和のきずなを通して御霊の一致を保つためにあらゆる努力をする。

2. ペテロ第一 2:9 - しかし、神よ、あなたがたは選ばれた民、王の祭司職、聖なる国民なのですか？特別な所有物、あなたを暗闇から素晴らしい光の中に呼び出してくださった方への賛美を宣言できるように。

使徒 15:26 私たちの主イエス・キリストの御名のために命を危険にさらした人たちです。

この箇所では、イエス・キリストの名のために命を危険にさらした人々について論じられています。

1.？彼は信仰の勇気??

2.? 名前の力??

1. ヘブライ人への手紙 11:32-34 ??これ以上何を言えばいいでしょうか? ギデオン、バラク、サムソン、エフタ、ダビデ、サムエル、そして預言者たちのことを、時間が経てば語れないでしょう??33 信仰によって王国を征服し、正義を執行し、約束を獲得し、ライオンの口を止め、34 火の力を消したのは、剣の刃から逃れ、弱さから強くなり、戦争で強大になり、外国の軍隊を敗走させました。

2. マタイ 10:39 ???彼らの命を見つけた者はそれを失い、私の為に命を失った者はそれを見つけるだろう。

Acts 15:27 そこで、わたしたちはユダとシラスを遣わしました。彼らも口で同じことをあなたがたに告げるでしょう。

使徒たちはユダとシラスを遣わして、使徒たちから聞いたのと同じメッセージを異邦人の信者たちに伝えました。

1. 言葉の力: すべての信者に同じメッセージを伝えることの重要性。

2. 神の使命に従う: 神の意志に従うことがいかに一致と理解をもたらすことができるか。

1. マタイ 28:18-20 - すると、イエスが来て彼らに言われた。天と地におけるすべての権威が私に与えられました。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。

2. ローマ 15:5-6 - 忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って互いに調和して生きることを許し、声を一つにして私たちの主イエス・キリストの父なる神を讃えることができますように。。

使徒 15:28 というのは、聖霊にとっても、また私たちにとっても、これら必要なこと以上の重荷をあなたがたに負わせないことは良いことのように思われたからです。

初代教会の指導者たちは、信者には必要なことだけが求められるべきであることを認識しており、聖霊もこれに同意してくれました。

1. 神の導きは自由をもたらす

2. 神の御心に従う必要性

1. マタイ 11:28-30 - 休息のために御自分のところに来なさいというイエスの招き

2. ガラテヤ 5:1-15 - キリストにおける自由と御霊の導きに従って生きる

Acts 15:29 あなたがたは、偶像にささげられた肉、血、絞められたもの、および淫行を避けなさい。それを守っていれば、あなたがたはよくなるでしょう。さようなら。

エルサレムの教会は、異邦人の信者に、偶像に捧げられた食べ物を食べること、血を食べること、絞め殺された動物を食べること、そして淫行の 4つを避けるよう指示しました。

1. 偶像崇拝を避ける: 使徒 15:29 を詳しく見る

2. 禁欲の力: 自制心の重要性

1. コリント人への第一の手紙 10:14-22 - コリントの教会に対するパウロの、偶像崇拝を避けることについての指示。

2. ローマ 13:11-14 - 神に喜ばれる生き方についてローマの教会にパウロが教えたもの。

使徒 15:30 そこで、彼らは解散されてアンティオキアに行き、群衆を集めて次のような手紙を伝えた。

使徒たちはアンティオキアの群衆に手紙を届けました。

1. 書面によるコミュニケーションの力

2. 従順の重要性

1. ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

2. コリント人への第二の手紙 3:4-6 - 「これが、私たちがキリストを通して神に対して抱いている確信です。私たちが自分から何かを得るのに十分であるというわけではありませんが、私たちが十分であるということは、私たちを有能にしてくれた神からのものです。「新しい契約の奉仕者になりなさい。文字ではなく御霊によって。文字は人を殺しますが、御霊は命を与えるからです。」

使徒 15:31 彼らはそれを読んで、慰められたことを喜びました。

人々は使徒15章31節の慰めの言葉を読んで喜びました。

1. 主の慰めのメッセージを喜ぶ

2. 神の言葉による慰めを受け入れる

1. イザヤ書 40:1-2 - 慰めよ、わたしの民を慰めよ、とあなたの神は言われます。

2. 詩篇 147:3 - 神は心の傷ついた人々を癒し、その傷を包んでくださいます。

使徒 15:32 また、ユダとシラスも預言者であり、多くの言葉で兄弟たちに勧め、また彼らを確証させた。

使徒のユダとシラスは兄弟たちを言葉で励まし、確認しました。

1. 励ましの言葉を語る - テサロニケ第一 5:11 ですから、あなたがしているように、互いに励まし合い、高め合いましょう。

2. 兄弟たちに確認します - ローマ 15:14 兄弟たち、あなたたちが善意に満ち、あらゆる知識に満たされ、互いに教え合うことができることに、私自身も満足しています。

1. テサロニケ人への第一の手紙 5:11 ですから、あなたがたのように、互いに励まし合い、高め合いなさい。

2. ローマ人への手紙 15:14 兄弟たち、あなたたちが善意に満ち、あらゆる知識に満たされ、互いに教え合うことができることに、私自身も満足しています。

Acts 15:33 そして、彼らはそこに一定の場所に留まった後、兄弟たちから使徒たちのところへ平和に解放された。

使徒たちと兄弟たちは、平和のうちに出発するまで、しばらく交わりを続けました。

1: 交わりを通して、私たちは平和を経験することができます。

2: 神の平和を体験するために交わりの時間を過ごしましょう。

1: フィリピ 4:7 - そして、あらゆる人知を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたがたの心と思いを守るでしょう。

2: コロサイ 3:15 - そして、キリストの平和があなたがたの心を支配しなさい。あなたがたはまさに、一つの体としてその平和に召されたのです。そして感謝しましょう。

使徒 15:34 それにもかかわらず、シラスはそこにとどまることを喜んでいた。

シラスはアンティオキアに残ることを選択しました。

1. 人生の選択: 神の意志を見極める方法

2. 柔軟性と謙虚さを心がけて生きます。

1. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださいます。」

2. ヤコブ 4:7-8 - 「それでは、神に従いなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。神に近づきなさい。そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。罪人よ、手を洗い、清めなさい。」あなたの心、あなたは二心のあるのよ。」

使徒 15:35 パウロとバルナバもまた、他の多くの人たちとともにアンティオキアで主の言葉を教え、宣べ伝え続けました。

パウロとバルナバは、他の多くの人たちとともにアンティオキアで主の言葉を宣べ伝えました。

1. 共に福音を宣べ伝える力

2. 神の言葉を広めるコミュニティの強さ

1. ピリピ 1:27 - 「ただ、あなたの生き方がキリストの福音にふさわしいものになるようにしてください。そうすれば、私があなたに会いに来ても、不在でも、あなたが一つの精神でしっかりと立っていることを聞くことができます。福音の信仰のために力を合わせて努力することを心掛けてください。」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」、私はいつもあなたと一緒です、時代の終わりまで。

Acts 15:36 そして数日後、パウロはバルナバに言った。

パウロはバルナバに、神の言葉を宣べ伝えた場所を再訪し、人々の様子を観察するよう提案しました。

1. あなたが祝福された場所に戻る: 神があなたを祝福した場所を思い出し、そこに神の愛を示すために戻ってください。

2. 再訪することの重要性: 神の言葉を宣べ伝えた場所を再訪することは、継続的なサポートを示し、神の愛を思い出させるために重要です。

1. テサロニケ人への第一の手紙 3:10 - それは、あなたがたも私も、互いの信仰によって慰められるためです。

2. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

Act 15:37 そこでバルナバは、名字がマルコであるヨハネを連れて行くことにした。

この箇所は、バルナバがマークという姓のヨハネを連れて行くことにしたことを説明しています。

1. 神は、御言葉を広めるために、一見ありそうもない人々を宣教旅行に派遣することがよくあります。

2. たとえそれが私たちにとって意味が分からないとしても、私たちは常に神の御心を信頼し、神の計画に従うべきです。

1. イザヤ書 55:8-9 - ? 「あるいは私の考えはあなたの考えではありません。あなたのやり方も私のやり方ではありません。」と主は宣言されます。?天は地よりも高く、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いのです。

2. 箴言 16:9 - 人間は心の中で自分の進路を計画しますが、主はその歩みを確立されます。

Act 15:38 しかしパウロは、パンフィリアから離れて働きに行かなかった彼を連れて行くのは良くないと考えた。

パウロは、ある人物を連れて行きたくなかった。彼らはパンフィリアで別れ、その働きには同行しなかったからだ。

1. 団結を維持し最後までやり遂げることの重要性

2. 難しい決断を下す力

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

2. 箴言 16:9 - 人の心は自分の道を計画するが、主はその歩みを確立される。

使徒 15:39 そこで、二人の間の口論が激しくなったので、二人はばらばらに出発した。それでバルナバはマルコを連れてキプロス島へ出航した。

バルナバとパウロの間に激しい口論があったため二人は別れ、バルナバはマルコをキプロスに連れて行きました。

1) キリストにおける真の一致とは、単に同意することではなく、たとえ意見が相違しても互いに愛し合い、尊重し合うことです。

2) 神は私たちの違いを乗り越えて、ご自身の意志を実現することができます。

1) ローマ人への手紙 12:18 - 「できることなら、あなたがたのうちにある限り、すべての人たちと平和に暮らしてください。」

2) エペソ 4:3 - 「平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努めなさい。」

使徒 15:40 そしてパウロはシラスを選び、兄弟たちから神の恵みに勧められて出発した。

パウロとシラスは兄弟たちから神の恵みに推薦されました。

1. 団結の力: 協力することで神の恵みがどのように得られるか

2. 推薦の価値: 良い言葉がどのように私たちを神に近づけるか

1. エペソ 4:3 - 平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努める。

2. 箴言 21:1 - 王の心は水の川のように主の御手の中にあり、彼はそれを御心のままに動かします。

使徒 15:41 それから彼はシリアとキリキアを巡って諸教会を確認した。

パウロは教会を励まし強めるためにシリアとキリキアを旅しました。

1. 励ましの中に見出す強さ - 使徒 15:41

2. 信仰を一つにする力 - 使徒 15:41

1. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

2. ローマ 1:11-12 - 私はあなたにお会いすることを切望しています。それは、あなたを強めるために、何か霊的な賜物をあなたに授けるためです。つまり、私たちがお互いの信仰、あなたと私の信仰によって互いに励まし合うことができるようにするためです。

使徒 16 章には、パウロの宣教チームにテモテが加わったこと、リディアとその家族の改心、そしてパウロとシラスがフィリピで投獄されたことが詳しく語られてい

ます。

第 1 段落: この章は、パウロがデルベに来てから、テモテという名の弟子が住んでいたリストラに来るところから始まります。彼の母親はユダヤ人の信者でしたが、父親はギリシャ人でした。ユダヤ人は父親がギリシャ人であることを知っていましたが、母親がユダヤ人だったため、兄弟リストラ・イコニウムがよく話したので、旅行に連れて行ってほしかったので、ユダヤ人が住んでいた地域で父親がギリシャ人であることを知っていたため、割礼を受けました（使徒 16:1-3)。彼らが町から旅するにつれて、エルサレムの長老たち使徒たちに決定が届き、人々は従うようになり、教会は信仰を強められ、日に日にその数が増えていきました（使徒 16:4
- 5）。

第 2 段落: 彼らは聖霊によってアジア州の言葉を説教することから守られながらフリギア・ガラテヤ地方を巡ったが、国境に来たミシアはビテュニアに入ろうとした。霊イエスはミシアを通過することを許さなかった、夜の間にトロアスを下った パウロは幻視した、マケドニア人が立って物乞いをしていた。マケドニアに来て、私たちを助けてください。』パウロが幻を見た後、私たちはマケドニアに向けて出発する準備を整え、神が私たちに福音を宣べ伝えるように召されたのだと結論付けました（使徒16:6-10）。トロアスからサモトラケ島を真っ直ぐ航海しました 翌日ネアポリス 翌日フィリピ ローマ植民地をリードする都市地区 マケドニアに数日間滞在しました 安息日 私たちは城門の外に出ました 期待していた場所を見つける川 祈りに会いました リディアのディーラー 紫色の布の街 ティアティラ崇拝者 神、主は心を開いて 与えられたメッセージに応えてくださいパウロは、彼女の家族がバプテスマを受けたとき、主が忠実であるとみなされるなら、彼女の家に泊まるよう勧めました（使徒16:11-15）。

第 3 段落: 彼らが祈りの場に行っていると、霊の予言を持った奴隷の少女が出会い、占いで所有者のために大金を稼ぎ、続いてパウロが休んで「この人たちは、いと高き神が救われる方法を告げている召使いです」と叫びました。彼女はこれを何日も続け、ついにポールはイライラして振り向き、霊が「イエス・キリストの名において、彼女から出て行けと命じる！」と言った。その瞬間、魂は彼女から去った。所有者が利益が没収されることを望んでいることに気づいたとき、ポール・サイラスは彼らを市場の面前に引きずり出し、当局は彼らを治安判事の前に連行し、「このユダヤ人たちが違法な慣習を主張して我々の街を大騒ぎに陥れているのは、我々ローマ人が慣行を受け入れている」と述べた。暴徒も彼らへの攻撃に加わった 刑務所に放り込まれた厳しい鞭打ちの後、判事らは服を剥ぐよう命じられた 看守はそのような命令を受けて彼らを注意深く監視するよう命じた 真夜中頃に彼らを房内に足を固定した 賛美歌を歌いながら祈っていた 他の囚人たちはそれを聞いていた 突然激しい地震が起こり、刑務所の土台がすべて揺れた 刑務所の扉がすべて揺れた飛んで開いた 皆の鎖が緩んだ 看守は目が覚めた 刑務所の扉が開くのを見た 自殺しようと剣を抜いた 囚人たちは逃げたと思ったが、「自分を傷つけるな！」と叫んだ。私たちは皆ここにいます！ライトと呼ばれた看守は、ポール・サイラスが出てくる前に震えながら倒れ、「先生、何を救わなければなりませんか？」と尋ねた。彼らは、「主イエスを信じてください。あなたは救われます。あなたはあなたの家族です。」と答えました。それから彼に「主よ」と言葉をかけ、他の人全員が家時間の夜に傷を洗い、すぐに彼は家族全員がバプテスマを受けて、神を信じて来たので喜びました。明るいうちに治安判事らは看守に釈放を伝え、看守はこのニュースを伝えた、ポールは治安判事が釈放を命じた、今すぐ立ち去れと告げ、別の方法を見つけたと警官が報告した、治安判事らはローマ市民が送られてきたことを知って警戒した、謝罪を個人的に付き添って出て行ったと報告、リディアと面会した後市からの退去を要求残された女性（使徒 16:16-40）。

Acts 16:1 それから、彼はデルベとリストラに来ました。すると見よ、そこにティモテウスという名の弟子がいた。しかし彼の父親はギリシャ人でした。

パウロはデルベとリストラを訪れ、そこでテモテという名の弟子に出会いました。テモテの母親はユダヤ人でイエスを信じていましたが、父親はギリシャ人でした。

1. 信じる力: テモテの信仰は彼の人生をどのように変えたか

2. 多様性の受け入れ: テモテのユニークな背景が神の愛をどのように実証したか

1. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからであ

る。」

使徒 16:2 このことはリストラとイコニウムにいた兄弟たちによってよく報告されました。

パウロとシラスの宣教はリストラとイコニウムで好評を博しました。

1. 良い報告の力 - 良い証言がどのように前向きな結果につながるか

2. 良い報告を喜ぶ - パウロとシラスの良い知らせを祝う

1. ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。

2. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。

使徒 16:3 彼はパウロも一緒に出かけなければなりませんでした。そして、その地区にいたユダヤ人たちのために、彼を連れて行き、割礼を施しました。彼らは、彼の父親がギリシャ人であることをよく知っていたからです。

パウロとシラスはギリシャ人テモテを受け入れ、その地域のユダヤ人に受け入れられるように割礼を施しました。

1: 神は、背景や文化の違いに関係なく、すべての人々を気にかけています。

2: パウロとシラスがしたように、私たちは自分たちのコミュニティの中で、異なる文化や背景を持つ人々を受け入れる必要があります。

1: ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人も、絆も自由もなく、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2: ローマ人への手紙 10:12 - ユダヤ人とギリシャ人の間に違いはありません。すべての人の上に同じ主が、ご自分を呼び求めるすべての人を富ませてくださるからです。

Act 16:4 そして、彼らは町々を巡回しながら、エルサレムにいる使徒や長老たちに定められた、守るべき法令を彼らに伝えた。

エルサレムの使徒と長老たちは、都市が守るべき法令を定めました。

1: 主の律法に従います

2: 使徒の命令を遵守する

1: ローマ人への手紙 13:1-2 「すべての魂は、より高い力に服従しなさい。神のほかに力はないからです。その力は神によって定められたものです。ですから、その力に抵抗する者は、神の定めに抵抗するのです。」

2: ペテロ第一 2:13-14 「主のために、人間のあらゆる定めに従いなさい。それが最高位の者である王に対してであっても、悪を行う者を罰するために王から遣わされた総督に対してであっても、そして良いことをした人たちへの賞賛のために。」

使徒 16:5 このようにして、教会も信仰によって設立され、その数は日に日に増加していきました。

信仰を持った教会が設立され、その数は日に日に増えていきました。

1. 神の忠実さは、初期の教会の成長を見れば明らかです。

2. 教会における交わりと共同体の力。

1. ローマ人への手紙 1:16-17、「私は福音を恥とは思っていません。福音は、最初にユダヤ人に、次に異邦人に、信じるすべての人に救いをもたらすのは神の力だからです。なぜなら、福音の中で神の義が明らかにされているからです。それは、「義人は信仰によって生きる」と書かれているとおり、最初から最後まで信仰による義です。

2. ガラテヤ 6:10、「ですから、機会があれば、すべての人、特に信者の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

使徒 16:6 さて、彼らがフリギアとガラテヤ地方を巡って、アジアで御言葉を宣べ伝えることが聖霊によって禁じられたとき、

パウロとその仲間たちは、聖霊によってアジアで御言葉を宣べ伝えることを禁じられていました。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 神の意志に従う

1. ヨハネ 14:26 - 「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け主、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2. イザヤ書 30:21 - 「そして、右に曲がるときも、左に曲がるときにも、あなたの耳は後ろから『これが道だ、そこを歩きなさい』という言葉を聞くでしょう。」

使徒 16:7 彼らはミシアに来た後、ビテュニアに行こうと主張したが、御霊は彼らを忍ばなかった。

御霊はパウロとシラスがビテニアに行くことを許しませんでした。

1: たとえ予期せぬ場所に連れて行かれたとしても、神の御心を喜んで受け入れる必要があります。

2: 私たちは神の促しに従順であり、神が私たちを正しい方向に導いてくださると信頼すべきです。

1: 箴言 3:5-6 「心から主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださる。」

2: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道はわたしの道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの思いも高いからだ」あなたの考えよりも。」

使徒 16:8 彼らはミシアを通り過ぎてトロアスに下った。

パウロとその仲間たちはミシアを通り、トロアスに来ました。

1. 神の計画の力と備え: パウロとその仲間たちはどのように神の導きに従ったか

2. 障害と課題の克服: パウロとその仲間たちはどのようにして旅を続けたか

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

2. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎はあなたを焼き尽くすことはない」。」

使徒 16:9 夜、パウロに幻が現れた。そこにマケドニア人の男が立って、「マケドニアに来て、私たちを助けてください」と祈った。

パウロはある夜、マケドニア人から助けを求める幻を受け取りました。

1. 助けを必要とする人々に手を差し伸べる：マケドニアの呼びかけ

2. 神の声を聞く：ビジョンの力

1. イザヤ書 6:8 - 「そのとき、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか。そして誰が私たちに代わってくれるでしょうか？」そして私は言いました、「ここにいます。送ってください！」

2. ヨハネ 10:27 - 「私の羊は私の声を聞き、私は彼らを知っており、彼らは私に従ってきます。」

Act 16:10 そして彼がその幻を見た後、私たちはすぐにマケドニヤに行こうと努め、彼らに福音を宣べ伝えるために主が私たちを召されたことを確信して集まりました。

パウロと仲間たちは主の幻に導かれ、福音を宣べ伝えるためにマケドニアに行きました。

1. 主の呼びかけ: 人生における神の導きに応答する

2. ビジョンの力: 明らかにされた神の意志を理解する

1. イザヤ書 6:8 - そのとき、私は主の声を聞いてこう言いました。「誰を遣わそうか。そして誰が私たちに代わってくれるでしょうか？」

2. ヨハネ 6:44 - 私を遣わした父が彼らを引き寄せない限り、誰も私のところに来ることはできません、そして私は終わりの日に彼らをよみがえらせます。

使徒 16:11 そこで、私たちはトロアスから離れて、まっすぐにサモトラキアに向かい、翌日にはネアポリスに着きました。

パウロと彼の一行はトロアスからサモトラキアに向かい、翌日ネアポリスに向かいました。

1. 方向性の力: 人生における神の進路に従う

2. 忠実な従順: 困難にもかかわらず、道を歩み続ける

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたがあらゆる方法で神を認めなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ヘブライ 11:8 - アブラハムは、相続地として受け取ることになっている場所に行くように召されたとき、信仰によって従いました。そして彼はどこへ行くのかも知らずに出て行きました。

Act 16:12 そこから、マケドニアのその地域の主要都市であり植民地でもあるフィリピへ行き、私たちはその町に数日滞在しました。

使徒パウロとその仲間たちは、トロアスからマケドニア地方の主要都市でありローマの植民地であったフィリピへ旅行しました。

1. 忍耐の力：トロアスからフィリピまでのパウロの旅

2. 信仰の旅：困難な時に神の導きを体験する

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ピリピ 4:13 - 私は、私を強めてくださるキリストを通して、どんなことでもできます。

使徒 16:13 それから、安息日に私たちは町の外に出て、いつも祈りがささげられていた川辺へ行きました。そして私たちは座って、そこに頼ってきた女性たちと話しました。

安息日、パウロと仲間たちは人々が祈りを捧げる町の外の川に行き、そこに集まった女性たちに語りかけました。

1. 祈りの力: 神は祈りをどのように用いて人生を変えるのか

2. 親睦の力: どうすれば一緒に学び、成長できるか

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事にも思い煩わないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って神に願いを捧げなさい。そうすれば、人知を超えた神の平和があなたがたの心を守ってくれるでしょう。」そしてあなたがたの心はキリスト・イエスのうちにあります。」

2. ヘブライ 10:23-25 「私たちが告白する希望を揺るがずに持ち続けましょう。約束してくださった方は真実だからです。また、会うことを諦めずに、どのようにしてお互いに愛と善行に励み合うことができるかを考えましょう。習慣的にそうしている人もいますが、お互いに励まし合っており、その日が近づいているのを見るとなおさらです。」

使徒 16:14 すると、神を崇拝していたテアティラの町に住む、紫の花売りをしていたリディアという女が、私たちの話を聞いた。主はその心を開いて、彼女はパウロについて語られたことに耳を傾けた。

リディアは神を畏れる女性で、パウロの言葉に耳を傾け、その言葉に感動しました。

1: 神の愛と憐れみは私たちの心を動かし、変えることができます。

2: 私たちは常に神の言葉に耳を傾け、神に心を開く準備ができていなければなりません。

1: エレミヤ 29:13 - 「そして、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるとき、あなたがたはわたしを捜し求め、わたしを見つけるであろう。」

2: ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

使徒 16:15 そして、彼女がバプテスマを受けたとき、彼女と家族は私たちに懇願して、「もしあなたがたが、私を主に忠実だと判断したのなら、私の家に来て、そこに住んでください」と言った。そして彼女は私たちを拘束した。

ある女性とその家族がバプテスマを受け、彼女は使徒たちに一緒にいてくれるように頼みました。

1. 神はもてなしによって信仰に報いる

2. キリストに忠実に従うと祝福がもたらされる

1. ルカ 14:12-14: それから彼は、自分に命じた人にも言いました、「夕食または晩餐をするときは、友人、兄弟、親族、裕福な隣人を呼ばないでください。」そうしないと、彼らもあなたに再び入札し、あなたに報いが与えられます。しかし、あなたが祝宴を開くときは、貧しい人、障害のある人、足の不自由な人、目の見えない人を呼びなさい。そうすればあなたは祝福されるでしょう。彼らはあなたに報いをすることができないからです。あなたは義人の復活のときに報われるからです。

2. ローマ人への手紙 12:13: 聖徒たちの必要に応じて分配する。おもてなしに与えられました。

使徒 16:16 私たちが祈りに行っていると、占いの霊に取り憑かれたある乙女が私たちに会いに来ました。

占いの霊に取り憑かれた乙女が、祈りに向かうパウロとその仲間たちに出会いました。乙女の主人たちは彼女のなだめ言葉から多くの利益を得ていました。

1. 占いと偽りの預言に気をつけなさい - 使徒 16:16

2. 不従順の代償 - 使徒 16:16

1. エレミヤ 14:14 - 「そして主は私に言われた、「預言者たちは私の名において偽りを預言している。私は彼らを遣わしたわけでも、彼らに命令したわけでも、彼らに話したわけでもない。彼らはあなたたちに偽りの幻を預言している。価値のない占いと、彼ら自身の心の欺瞞です。」

2. 申命記 18:10 - 「あなたたちの中には、自分の息子や娘をいけにえとして燃やす者、占いをする者、占いをする者、前兆を解釈する者、あるいは魔術師が出てはなりません。」

Acts 16:17 同じ者がパウロと私たちを追って、叫びながら言った、「この人たちはいと高き神の僕であり、私たちに救いの道を示してくださっているので

す。」

パウロとその仲間たちは福音の先駆者であり、耳を傾けるすべての人に救いの道を宣べ伝えました。

1. 宣言の力: 救いの良いたよりを分かち合う

2. 神の僕: 宣言の人生を生きる

1. ローマ 10:14-17 - 説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか。

2. コリント人への第二 5:18-20 - 神は、彼らに対する彼らの罪を考慮せず、キリストにおいて世界をご自分と和解させようとしておられました。

使徒 16:18 彼女はこれを何日も繰り返した。しかし、パウロは悲しみ、振り返って霊に向かって、「イエス・キリストの御名によって、この女から出て来るように命じます」と言いました。そして彼は同じ時間に出てきました。

パウロはイエス・キリストの力を使って女性から霊を追い出しました。

1: 私たちを強めてくださるキリストを通して、私たちはあらゆることを行うことができます。

2: 信仰によって、私たちは山を動かし、霊を追い出すことができます。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

2: マタイ 17:20-21 - 「イエスは彼らに言った、『あなたたちの信仰が少ないからだ。本当に言っておくが、からし種一粒のような信仰を持っているなら、この山に向かって『ここからあそこに移動しなさい』と言うと山は動き、あなたにとって不可能なことは何もない。」

Act 16:19 彼女の主人たちは、自分たちに利益の望みがなくなったと見て、パウロとシラスを捕まえて、支配者たちのいる市場に引きずり込み、

パウロとシラスは、もう利益を得るチャンスがなくなったと見て、主人たちに不当に捕らえられました。

1: 試練の時に、神は私たちを利用しようとする者たちに踏みにじられることを許しません。

2: 私たちが不当な扱いを受けたとき、主は常に私たちのために戦い、守ってくださいます。

1: イザヤ書 54:17、「あなたに対して作られたどんな武器も栄えず、裁きであなたに向かって立ち上がるすべての舌はあなたが罪に定めなければなりません。これは主の僕たちの遺産であり、彼らの義はわたしから出たものです。」とあります。主。

2: イザヤ書 41:10、「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強める。そう、わたしはあなたを助ける。わたしの義の右の手であなたを支える。」

Act 16:20 そして、彼らを判事のところに連れてきて、こう言った、「この人たちはユダヤ人で、私たちの町を非常に迷惑させています。

パウロとシラスは平和を乱した罪で告発され、フィリピの地元住民によって治安判事の前に連行されました。

1. あなたと神の御心との間にトラブルが起こらないようにしましょう

2. 反対されても信仰を貫くことの大切さ

1. ローマ人への手紙 8:28 – そして私たちは、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。

2. ヘブライ 11:1 – さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

使徒 16:21 また、ローマ人である私たちが受け入れてはならない、守ってはならない習慣を教えてください。

パウロとシラスは、ローマ市民が守るべきではない習慣を教えたとしてフィリピで逮捕されました。

1. たとえそれが自分の信念と一致しない場合でも、その土地の法律や習慣に留意してください。

2. 常に自分の信念をしっかりと持ち、外圧に振り回されないでください。

1. ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂はより高い力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

Act 16:22 そこで、群衆が一斉に彼らに向かって立ち上がったので、判事たちは彼らの衣服を引き裂き、彼らを殴るよう命じた。

群衆はパウロとシラスに対して蜂起し、判事たちは彼らを殴るよう命じた。

1: 私たちが迫害されているときでも、神は私たちとともにおられます。

2: 私たちは苦しみのただ中にいてもキリストのうちに強さを見つけることができます。

1: イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない。」

2: ヘブライ 12:2 「私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けてください。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。」

Act 16:23 彼らは彼らに多くの打ち傷を負わせたので、彼らを牢に入れ、看守に彼らを安全に保つよう命じた。

パウロとシラスはひどく殴られて刑務所に入れられ、看守は二人を安全に保つよう指示されました。

1. 忍耐の力: パウロとシラスの物語

2. 苦しみの中で神の計画を理解する：パウロとシラスの経験

1. ヘブライ 12:1-3 - 「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、定められたレースを忍耐強く走り抜こうではありませんか」私たちの目の前で、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ています。イエスは、目の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。あなたが疲れたり気力が失せたりしないように、罪人たちからの自分に対するそのような敵意に耐えられた方のことを考えてください。」

2. ローマ 8:28 - 「そして私たちは、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。」

Acts 16:24 人々は、そのような非難を受けたので、彼らを奥の牢獄に押し込み、足をつないでしっかりとさせました。

看守はパウロとシラスを奥の牢獄に放り込み、足に足かせを入れます。

1: 状況に自分の信仰を左右させないでください。

2: 逆境に直面しても忠実であれ。

1: ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださ

ることを知っています。

2: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。

使徒 16:25 真夜中、パウロとシラスは神に祈り、賛美の歌を歌った。囚人たちはそれを聞いた。

真夜中、パウロとシラスは神に祈り、賛美の歌を歌いました。囚人たちにもそれが聞こえました。

1. 賛美の力 - 神を賛美することは、最も暗い時代であっても喜びと希望をもたらすことができます。

2. 楽しい音を立てる - 状況に関係なく、神に賛美を歌うことの大切さ。

1. 詩篇 105:1-2 - 「ああ、主に感謝しなさい。御名を呼びなさい。その御業を民の中に知らせなさい。主に向かって歌い、賛美しなさい。主のすべての驚くべき御業を語りなさい。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

使徒 16:26 すると、突然大きな地震が起こり、牢獄の基礎が揺れ、すぐにすべての扉が開き、全員の帯が解かれた。

突然地震が発生し、刑務所の基礎が揺れ、すべての扉が開き、すべての囚人の足かせが外されました。

1. 力強い救出 – 地震を通して示された神の力

2. 困難な時でも信仰を失わないでください – すべてが失われたように見えるときでも、神は介入してくださいます

1. ヘブライ 11:1 – 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2. イザヤ書 41:10 – 「恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

Act 16:27 牢屋の番人は眠りから目覚め、牢獄の扉が開いているのを見て、剣を抜いて、もし囚人たちが逃げていたら自殺していただろう。

刑務所の看守は目が覚めると刑務所の扉が開いており、囚人たちが逃げ出したと信じて剣を抜いて自殺した。

1. 恐怖の力: 刑務所のドアが開いたときの看守の反応を調査します。

2. 絶望の中の希望：不確実な状況に直面したときに勇気を見つける。

1. ヨハネ 16:33 - 「わたしがこれらのことを言ったのは、あなたがたがわたしのうちに平安を得るためです。世ではあなたがたに艱難があるでしょう。しかし、元気を出してください。わたしは世に勝ったのです。」

2. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

Act 16:28 しかし、パウロは大声で叫んで言った、「危害を加えないでください。私たちは皆ここにいるのですから。」

ポールは大声で叫び、看守に全員がそこにいたので自傷行為をしないように言いました。

1: 危険が生じたときに、すぐに最悪の事態を考えず、代わりに神と神の保護を信頼してください。

2: たとえそう感じたとしても、私たちは決して孤独ではありません。神は、私たちが必要なときにいつも私たちを守ってくださるからです。

1: イザヤ書 41:10 - ですから、恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。

2: 詩篇 23:4 - たとえ私が最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

Act 16:29 それからイエスは明かりを求めて飛び込み、震えながらやって来て、パウロとシラスの前にひれ伏した。

看守はパウロとシラスを非常に恐れたので、明かりを求めて飛び込み、彼らの前で震えながら倒れました。

1: 私たちは神の力と人生を変える神の能力を常に心に留めておくべきです。

2: わたしたちは敬虔な人たちの模範であったパウロとシラスのようになるよう常に努力すべきです。

1: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

2: 1 ペテロ 5:6-7 「ですから、神の力強い御手の下で謙虚になりなさい。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを高め、思い煩いをすべて神に投げかけてくださいます。神はあなたを顧みておられるからです。」

Act 16:30 そして、彼らを外に出して言った、「先生、救われるためには何をしなければなりませんか」。

フィリピの看守は、救われるためには何をしなければならないかを尋ねました。

1: 私たちが救われるためには、信仰と悔い改めをもってイエス・キリストに立ち返らなければなりません。

2: 救われるためには、イエス・キリストの福音を受け入れて従わなければなりません。

1: ローマ人への手紙 10:8-10 – 「しかし、そこには何と書いてあるでしょうか。「言葉はあなたの近くにあり、あなたの口と心の中にあります」（つまり、私たちが宣言する信仰の言葉）。なぜなら、イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるからです。人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからである。」

2: ヨハネ 3:16-17 – 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためである。」

Act 16:31 そこで彼らは言った、「主イエス・キリストを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家も救われます。」

パウロとシラスは看守に、救われるためにイエス・キリストを信じるように勧めます。

1. 信仰の力: イエス・キリストを信じることでどのように救われるか

2. 救いの影響: イエス・キリストを救い主として受け入れると人生はどのように変わるか

1. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ人への手紙 10:9 - 「もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

Act 16:32 そして彼らは彼と彼の家にいたすべての人たちに主の言葉を語った。

パウロとシラスは主の言葉を看守とその家族全員に伝えました。

1. 神の言葉の力 - 神のメッセージがどのように人生を変えることができるか。

2. 神の言葉を分かち合う特権 - 福音を広めることの重要性。

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、彼らはどうして信じなかった方を呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？「良いたよりを宣べ伝える人々の足は何と美しいのでしょう。」と書かれているとおりです。

2. マタイ 28:18-20 - 「すると、イエスが来て彼らに言われた、『天と地におけるすべての権威がわたしに与えられた。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

Act 16:33 そして、イエスは、その夜の同じ時間に彼らを連れて行き、彼らの縞模様を洗いました。そして彼も彼のすべても、すぐにバプテスマを受けました。

パウロとシラスがフィリピの刑務所にいたとき、看守が彼らのところに来て、助けてほしいと願いました。パウロとシラスは彼の傷を洗い、彼と彼の家族全員にバプテスマを施すことで応じました。

1. 救いの力: パウロとシラスは看守の人生をどのように変えたか

2. 従順の力: 隣人を愛するという呼びかけに従う

1. ローマ人への手紙 10:13、「主の御名を呼び求める者は救われるからです。」

2. ガラテヤ 6:1-2、「兄弟たち、霊的な者であるあなたがたは、もし人が過ちに陥ったなら、柔和の精神でそのような人を回復させてください。あなたも誘惑に遭わないように、自分自身のことを考えてください。互いに重荷を担い、そうしてキリストの律法を全うしましょう。」

Act 16:34 そして、彼らを自分の家に連れて行くと、彼は彼らの前に肉を並べて喜び、家族全員で神を信じた。

パウロとシラスはある男性の家に歓迎され、もてなしを受け、男性は神への信仰を喜びました。

1. もてなしの力と神への喜びに満ちた信仰

2. 神の臨在の中で慰めと強さを見つける

1. ローマ 15:7 - ですから、神の栄光のために、キリストがあなたがたを歓迎してくださったように、互いに歓迎しなさい。

2. ヘブライ 13:2 - 見知らぬ人にもてなしを示すことを怠ってはなりません。そうすることで、知らずに天使をもてなしている人もいるからです。

Act 16:35 日が暮れると、判事たちは軍曹たちを遣わして、「あの人たちを行かせなさい」と言わせた。

判事らは午前中にパウロとシラスの釈放を許可した。

1. 許しの力

2. 信仰による自由

1. ルカ 6:37: 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたは裁かれません。罪に定めてはなりません。そうすれば、罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたは赦されます。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9: 「あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるのです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。ですから、誰も誇ることができないのです。」

Act 16:36 牢屋の番人はパウロにこう言った、「判事たちがあなたを釈放するよう遣わしたのです。だから、今は立ち去り、安らかに行きなさい。」

看守はポールに、治安判事が彼を釈放するよう命令を出したので、ポールは平和に釈放されることを許されたと告げた。

1. 許しの力: 神の憐れみはどのようにして救いをもたらすのか

2. 逆境の克服：困難な時に神を信頼する

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. 詩篇 34:17-19 - 「義人の叫び、主は聞き届けて、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださる。主は打ち砕かれた心の者に近くにおられ、悔い改めた霊の者を救われる」義人の苦しみは多いが、主は彼をそれらすべてから救ってくださる。」

Act 16:37 しかし、パウロは彼らに言った、「彼らはローマ人である私たちを、罪に定められていないのに公然と殴り、投獄したのです。」そして今、彼らは私たちをひそかに突き出すのでしょうか？いや本当に;しかし、彼ら自身が来て私たちを連れ出しましょう。

パウロとシラスは不当に殴られ、投獄されましたが、それでも彼らは神を信頼し、頼り続けました。

1. たとえ苦しみの真っ只中にいても、神は常に私たちとともにおられます。

2. いかなる状況であっても主を信頼してください。

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

2. 詩篇 56:3 - 恐れるとき、私はあなたに信頼を置きます。

Acts 16:38 そこで軍曹たちはこの言葉を判事たちに告げた。彼らは自分たちがローマ人だと聞いて恐れた。

軍曹たちはパウロとシラスがローマ市民であることを判事たちに知らせたため、判事たちは恐れを抱いた。

1. 権威に対する恐怖

2. 神の主権と保護を信頼する

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. イザヤ書41:10-13

Act 16:39 そこで彼らはやって来て、彼らを求め、連れ出し、町から出て行くことを望んだ。

パウロとシラスは地震の後、刑務所から釈放され、市を離れるように求められました。

1. 神は常に制御しており、神秘的な方法で働いています。

2. 忠実さには大きな報いがあります。

1. ヘブライ 11:6 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神が真実であり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる方であることを信じなければなりません。」

2. コリント人への第二の手紙 12:9 「そして彼は私に言った。『わたしの恵みはあなたに十分です。わたしの力は弱さの中でこそ完全にされるからです。』ですから、キリストの力が私の上に宿るように、私はむしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います。」

使徒 16:40 それから、彼らは牢獄から出て、リディアの家に入り、兄弟たちを見ると、彼らを慰めて立ち去った。

パウロとシラスは刑務所から解放され、リディアの家に行き、そこで兄弟たちを安心させてから出発しました。

1. 神は私たちの試練から逃れる方法を備えてくださいます。

2. 励ましと慰めの力。

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:11 - ですから、あなたが実際にそうしているように、互いに励まし合い、高め合いましょう。

使徒 17 章には、テサロニケ、ベレア、アテネを巡るパウロの宣教旅行、ユダヤ人やギリシャ人への説教、アレオパゴスでの説教が詳しく語られています。

第 1 段落: この章はパウロとシラスがテサロニケに到着するところから始まります。パウロが行ったユダヤ人の会堂は、キリストが苦しみを受けて復活し、「私があなたに宣言しているこのイエスがキリストである」と宣言したことを聖書から説明する彼の習慣どおりに行ったものでした。一部のユダヤ人は、神を畏れる多数のギリシャ人の著名な女性たちを説得しました(使徒17:1-4)。しかし、他のユダヤ人が嫉妬し、悪人たちを一斉検挙し、市場で暴徒が結成され、暴動が始まった 市はジェイソンの家宅捜索を急いだ ポール・サイラスが群衆を連行したが見つからなかったので、市職員が「この男たちは世界中で問題を引き起こしている」と叫ぶ前にジェイソンを何人かの兄弟が引きずり込んだ今ここに来ました ヤソンは彼らを家に迎え入れました 全員がカエサルの命令に反抗しており、そこにはイエスと呼ばれる別の王がいるという（使徒17:5-7）。ジェイソンから保証金を受け取った後、他の人は彼らを手放しました。

第 2 段落: 夜になるとすぐに、兄弟たちはパウロとシラスをベレアに送りました。そこに到着すると、彼らはユダヤ人のシナゴーグに行きました さて、ベレアのユダヤ人はテサロニケのユダヤ人よりも高貴でした、なぜなら彼らはメッセージを受け取ったからです、非常に熱心に聖書を毎日調べました、パウロの言ったことは真実かどうかを確認しました、多くの著名なギリシャ人女性、多くの男性を含む多くの人が信じました（使徒 17:10-12）。しかし、テサロニケのユダヤ人がパウロ・ベレアによって宣告された神という言葉を知ると、彼らは群衆を煽り立てて騒ぎ立ててそこに来ましたが、すぐに兄弟たちはパウロを海岸に送り、シラス・テモテを置き去りにし、護衛の者たちが彼をアテネに連れて行き、それからシラス・テモテができるだけ早く合流するように指示を返しました（使徒17: 13-15）。

第 3 段落: アテネで彼らを待っている間、彼は街が偶像で満ちているのを見て非常に心を痛めました。ユダヤ人と神を畏れるギリシャ人との合理的なシナゴーグは、毎日そのような出来事が起こったことでよく市場で取引され、エピクロス派のストア派哲学者たちは彼と議論を始め、「この口うるさい人は何を言おうとしているのか？」と言う人もいました。「彼は外国の神を擁護しているようだ」と言う人もいた。彼らは、イエスの復活に関する良いたよりが宣べ伝えられたため、彼はアレオパゴスに会い、そこで「あなたが提示するこの新しい教えを知ってもらえますか?」と尋ねたと言いました。あなたは奇妙な考えをもたらしますが、それが何を意味するのか、私たちの耳で知りたいのです」（使徒 17:16-20）。それから彼はアレオパゴスの集会で立ち上がって、アテネ人が崇拝する未知の神という概念を説明する演説を行い、宇宙の創造主は生きていない、神殿は人間の手で作られたものであり、それ以外のすべては命に息を与えている、我々は子孫であるから神の存在を人間がデザインした金銀石像のようなものだと考えるべきではないと宣言した。スキルタイム無知は見落とされていますが、今はどこでも人々に悔い改めなさいと命じています彼が任命した人によって世界の正義を判断する日が決まりましたこれを証明した誰もが彼を蘇らせ、死者の復活を聞いて嘲笑した人もいましたこの議題をもう一度聞きたいと言いましたそれが去った後、評議会に参加した人はほとんどいませんでした信じていますディオニシウス・アレオパタイトの女性はダマリスという名前で他の人たちも一緒にいました（使徒17:22-34）。

使徒 17:1 さて、彼らはアンフィポリスとアポロニアを通過して、テサロニケに着いた。そこにはユダヤ人の会堂があった。

パウロとシラスはアンフィポリスとアポロニアを通ってテサロニケに到着し、そこでユダヤ人の会堂を見つけました。

1. 信仰の力: パウロとシラスの信仰の旅

2. シナゴーグの重要性: ユダヤ人コミュニティとのつながり

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

使徒 17:2 そこで、パウロはいつものように彼らのところへ行き、安息日の三日間、聖書から論じて話し合った。

パウロは3日間、会堂で人々に聖書について語りました。

1. 聖書を学び理解する方法

2. 聖書による説得の力

1. テモテ第二 3:16 - 聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に役立ちます。

2. 箴言 18:13 - 問題を聞く前に答える者は愚かであり、恥ずべきことである。

使徒 17:3 冒頭で、キリストは苦しみを受けて死人の中からよみがえられたに違いないと主張しています。そして、私があなたがたに宣べ伝えるこのイエスがキリストであることを。

パウロはベレヤの人々に、イエス・キリストは苦しみを受けて死からよみがえったに違いない、そして彼こそがキリストであると説教しました。

1: イエス・キリストは苦しみながらも復活した、彼こそがキリストである

2: イエス・キリストを信じてください、彼は私たちの救い主です

1: ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2: 1 ペテロ 3:18 - なぜなら、キリストもかつては義なる者が不正な者のために罪のために苦しみ、それは私たちを神のもとに導くためであり、肉においては死に処せられましたが、御霊によって生かされたからです。

使徒 17:4 彼らのうちのある人は信じて、パウロやシラスと交わった。敬虔なギリシャ人も大勢、主要な女性も少なからずいた。

パウロとシラスはベレアの人々に福音を伝え、大勢の敬虔なギリシャ人や有力な女性たちを含む多くの人が信じました。

1. 神にすべての栄光を与える: パウロとシラスはどのように大胆かつ謙虚に福音を伝えたか

2. 証しの力: ベレア人が信仰と献身をもって福音にどのように反応したか

1. コリント人への第一の手紙 1:27-29 - 神は賢い人たちを混乱させるために、世の愚かなことを選びました。そして神は、強大なるものを混乱させるために、世の弱いものを選びました。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

使徒 17:5 ところが、信じなかったユダヤ人たちはねたみに駆られ、卑劣な卑劣な者たちを引き連れて一団を集め、町中を騒がせ、ヤソンの家を襲い、次のことをしようとした。それらを人々の前に持ち出します。

信じなかったユダヤ人たちは、民の見せしめにするために、品性の低い人々を協力させて騒ぎを起こし、イアソンの家を襲撃して問題を引き起こしました。

1. 不信仰の危険性: 不信仰が混乱と分裂をどのように引き起こすか

2. 信仰の力: 信仰がどのように平和と団結をもたらすか

1. ヤコブ 3:16 - ねたみと争いがあるところには、混乱とあらゆる悪の業があるからです。

2. フィリピ 4:7 - そして、人知を超えた神の平安が、キリスト・イエスを通してあなたがたの心と思いを保つでしょう。

使徒 17:6 彼らが見つからなかったので、彼らはヤソンと何人かの兄弟たちを町の支配者のもとに引き寄せて、「世界をひっくり返した者たちがここにも来ている。

市の支配者たちはパウロとシラスを見つけようとしましたが、見つからなかったため、代わりにイアソンとその仲間数名を逮捕しました。

1. イエスに従うことで逆さまの人生を体験できる

2. イエスに従うことで私たちが直面する可能性のある結果

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. マタイ 5:10-12 - 義のゆえに迫害されている人々は幸いです。天の王国は彼らのものだからです。

使徒 17:7 ヤソンはその人を受け入れました。そしてこれらはすべて、カエサルの法令に反して、別の王、一人のイエスがいると言っています。

テサロニケの人々は、イエスが彼らの真の王であると主張して、カエサルの法令に従うことを拒否しました。

1. 何よりもイエスのために生きる

2. 世俗的な権威にもかかわらず神の律法に従う

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてのものはあなたに加えられるでしょう。

2. ローマ 13:1 - すべての魂は統治当局に服従しましょう。なぜなら、神以外に権威はなく、存在する権威は神によって任命されたものだからです。

Act 17:8 彼らはこれらのことを聞いて、町の人々や支配者たちを悩ませた。

パウロとシラスがもたらした知らせを聞いて、町の人々と支配者たちは動揺しました。

1. 福音を聞くことを恐れないでください - 使徒 17:8

2. 福音に反対する人々を恐れるな - 使徒 17:8

1. ヨハネ 16:33 - 「世ではあなたがたには患難があるでしょう。しかし、元気を出してください。わたしは世に勝ったのです。」

2. テモテ第二 1:7 - 「神は私たちに恐れの霊ではなく、力と愛と自制の霊を与えてくださったからです。」

Act 17:9 そして彼らはヤソンともう一人の安全を確保した後、彼らを釈放した。

当局はジェイソンともう一人の人物を釈放する前に彼らから安全を確保した。

1. 神は困難な時に必ず逃げ道を用意してくださいます。

2. 困難な状況における信仰の力。

1. コリント人への手紙第 10 章 13 節、「人類に共通する誘惑以外に、あなたがたを襲った誘惑はありません。神は真実ですので、あなたが耐えられないほどの誘惑を受けることはありません。しかし、あなたが誘惑されたとき、神はまた、誘惑を与えてくださいます。」あなたが耐えられるように逃げてください。」

2. マタイ 17:20、「イエスは彼らに言われた、「あなたがたの信仰が少ないからです。はっきり言っておきますが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山に向かって『ここから立ち去れ』と言うでしょう。」そこへ』そうすればそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。」

使徒 17:10 そこで兄弟たちは、すぐにパウロとシラスを夜のうちにベレアへ送り出した。ベレアはそこへ来て、ユダヤ人の会堂に入った。

パウロとシラスは夜、兄弟たちにベレアに送られ、そこでユダヤ人の会堂に入りました。

1. 神はどんなに暗い夜でも私たちを養ってくださいます。

2. 私たちがまったく期待していないときでも、主は私たちを目的に導いてくださいます。

1. イザヤ書 55:7-8 「悪者は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。そして彼は主に立ち帰りなさい。そうすれば主は彼を憐れんでくださるでしょう。そして私たちの神に立ち返りなさい。主は豊かに赦してくださるからです。」私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われる。」

2. イザヤ書 40:29-31 「神は気弱な者に力を与え、力のない者に力を増し加えられる。若者たちも気を失い、疲れ果て、若者たちは完全に倒れる。しかし、彼らを待ち望む者たちは、主は彼らの力を新たにし、彼らは鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

使徒 17:11 彼らはテサロニケの人々よりも高貴で、すべての覚悟を持って御言葉を受け入れ、そのとおりかどうかを毎日聖書を調べていました。

ベレアの人々は心が広く、学ぶことに熱心で、自分たちが教えられていることが真実かどうかを確かめるために熱心に聖典を研究していました。

1. オープンマインドを持つ: 新しいアイデアに積極的に耳を傾け、成長と変化を受け入れましょう。

2. 真実を求める: 真実を発見するためのガイドとして聖書を使用します。

1. コロサイ 3:10 そして、心の霊を新たにしなさい。

2. 箴言 2:3-5 そうだ、もしあなたが洞察力を求めて叫び、理解を求めて声を上げるなら、あなたが銀のように彼女を求め、隠された宝を探すかのように彼女を探すなら。そうすればあなたは主への畏れを理解し、神についての知識を見出すでしょう。

使徒 17:12 そこで、彼らの多くは信じた。ギリシャ人である名誉ある女性や男性も少なからずいた。

社会的地位の高い人々を含め、多くのギリシャ人がキリスト教のメッセージを確信し、改宗しました。

1. 回心の力: 福音のメッセージがどのように人生を変えるか

2. 福音の包括性: 神がすべての人々を通してどのように働かれるか

1. 使徒 2:38-39 - それからペテロは彼らに言った、「悔い改めて、あなたがた一人一人、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう。」その約束は、あなたとあなたの子供たち、そして遠く離れたすべての人たち、さらには私たちの神主が召されるすべての人たちに与えられているからです。

2. ローマ 5:8-9 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにおいて、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されています。ましてや、今は彼の血によって義とされているので、私たちは彼を通して怒りから救われるでしょう。

使徒 17:13 しかし、テサロニケのユダヤ人たちは、神の言葉がベレアでパウロから宣べ伝えられたことを知ると、そこにもやって来て、民を扇動した。

テサロニケのユダヤ人たちは、パウロがベレアで神の言葉を宣べ伝えていると聞き、人々を扇動するためにそこへ行きました。

1. 神の言葉の力: パウロの説教に対するユダヤ人の反応

2. 問題を引き起こす危険性: パウロの説教に対するユダヤ人の反応

1. ローマ 10:17 – 「ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。」

2. ヤコブ 3:16 – 「嫉妬と利己的な野心が存在するところには、無秩序とあらゆる卑劣な習慣が存在するからです。」

Acts 17:14 そこで兄弟たちは、直ちにパウロをいわば海へ行かせるように送り出したが、シラスとテモテはまだそこに住んでいた。

兄弟たちはパウロを送り出し、シラスとテモテウスは残った。

1. 従順の力: 神はどのようにして私たちに神の意志に従うよう呼びかけたのか

2. 仲間意識の強さ: チームワークが目標達成にどのように役立つか

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたがたがわたしを愛するなら、わたしの戒めを守りなさい。」

Act 17:15 そこで、パウロを案内した者たちは、パウロをアテネに連れて行き、シラスとテモテに、全速力でパウロのところに来るようにとの命令を受けて出発した。

パウロを護衛していた人々は彼をアテネまで連れて行きました。彼らは、シラスとテモテを急いでパウロのところに連れてくるように指示されました。

1. 私たちに対する神の計画は、多くの場合、私たちが新しい予期せぬ状況に適応して調整することを要求します。

2. 神の命令に従って行動する準備ができていることの重要性を決して過小評価しないでください。

1. ヨハネ 14:15、「もしあなたがわたしを愛するなら、わたしの戒めを守るでしょう。」

2. ローマ人への手紙 12:2、「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えなさい。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

使徒 17:16 さて、パウロはアテネで彼らを待っている間、この街が完全に偶像崇拝に明け暮れているのを見て、彼の霊が激しく動かされた。

パウロはアテネで見た偶像崇拝に深く動揺しました。

1: 罪は滅びにつながりますが、神は救いを提供してくださいます。

2: 偶像崇拝は唯一の真の神に対する侮辱です。

1: エレミヤ 17:9 「心は何よりも欺瞞的で、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。」

2: 1 コリント 10:14 「ですから、私の愛する人よ、偶像崇拝から逃げてください。」

Act 17:17 そこで、彼は会堂でユダヤ人たちや敬虔な人々と論争し、また市場では毎日会う人たちと論争した。

パウロは福音を伝えるために会堂や市場で説教しました。

1. 伝道の力: どこにいても福音を伝える

2. 信仰を実践する: すべての国の弟子を作る

1. ローマ 10:14-15 - それでは、彼らは信じていない神をどのようにして呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

Act 17:18 そのとき、エピクロス派やストア派の哲学者たちが彼に出会った。そして、ある者はこう言った、「このせせらぎは何と言うだろうか？」他の人たちには、彼は奇妙な神々を送り出す者であるように見えます。なぜなら、彼は彼らにイエスと復活を宣べ伝えたからです。

エピクロス派やストア派の中にはパウロに出会い、彼が何を言っているのか疑問に思って議論した人もいました。彼がイエスと復活について説教していたために、奇妙な神々を説いたと非難する人もいた。

1. 反対にもかかわらず信仰に堅く立つことの大切さ

2. 迷った瞬間にイエスの中に強さを見つける

1. 使徒17:18

2. ヘブライ 11:1-3、「さて、信仰は、期待されている事柄の本質であり、目に見えないものの証拠です。なぜなら、信仰によって長老たちは良い報告を得たからです。信仰を通して、わたしたちは世界が神の言葉によって組み立てられていることを理解します。」神よ、見えるものは実際に現れるものでできていませんように。」

Act 17:19 そこで彼らは彼を連れてアレオパゴスに連れて行って言った、「あなたの話しているこの新しい教義が何であるか知りましょうか」。

アテネの人々はパウロをアレオパゴスに連れて行き、彼の新しい教えを説明するよう求めました。

1. 新しい教えにどう対応するか

2. 新しい視点の力

1. ピリピ 4:8-9 - 「最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、それにふさわしいことがあれば、褒めてください、これらのことを考えてください。」

2. ヘブライ 13:8 - 「イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。」

Acts 17:20 あなたはある奇妙なことを私たちの耳に伝えますから、私たちはそれが何を意味するのかを知るでしょう。

使徒行伝 17 章 20 節にあるベレアの人々はパウロの言葉に驚き、パウロが何を言っているのかもっと知りたいと思いました。

1. 神の言葉は生きている - 古代の文書がどのように人生を変えることができるか

2. 信仰の力 - 信仰が私たちの生活をどのように変えることができるか

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

使徒 17:21 (そこにいたアテネ人もよそ者も皆、何か新しいことを話すか聞くこと以外のことに時間を費やしていました。)

アテネの人々は常に新しいことを聞くことに興味を持っていました。

1: 私たちは常に新しいものに対してオープンであり、環境から継続的に学ぶべきです。

2: 知っていることに満足せず、常に学び、成長するよう努めます。

1: 箴言 9:9 - 「賢い人に教えなさい。そうすれば、彼はさらに賢くなります。正しい人に教えなさい。そうすれば、彼はさらに学ぶでしょう。」

2: テモテ第二 3:16-17 - 「聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に有益です。それは、神の人が完全であり、すべての人に完全に備えられるためです。」よくやった。"

Acts 17:22 それから、パウロはマルスの丘の真ん中に立って言った、「アテネの人たちよ、あなたたちは何事においてもあまりにも迷信的であると私は思います。」

パウロは市場でアテネの人々に語りかけ、彼らが過度に迷信的であると批判しました。

1. 真実の宗教と偽の宗教を見分ける方法を学ぶ

2. 迷信に盲目的に従うことの危険性

1. テサロニケ第一 5:21-22 - すべてのことを試してください。良いものをしっかりと持ち続けてください。

2. イザヤ書 8:20 - 律法と証しに対して：もし彼らがこの言葉に従って語らないとしたら、それは彼らのうちに光がないからである。

Acts 17:23 というのは、私が通りかかり、あなたがたの献身的な姿を見たとき、「知られざる神へ」と刻まれた祭壇を見つけたからです。したがって、あなたがたが無知に崇拝している者は、私があなたがたに宣言します。

パウロは未知の神に捧げられた祭壇に気づき、それを人々に福音を伝える機会として利用しました。

1. 知られざる神の力

2. 私たちの生活における神の臨在を認識し、それに応答する

1. ローマ 1:19-20 - 神について知り得ることは、神が彼らに示してくださったので、彼らには明らかだからです。世界の創造以来、神の目に見えない性質、つまり神の永遠の力と神性は、作られたものの中にはっきりと認識されてきました。

2. ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。

使徒 17:24 世界とその中の万物を造られた神は、ご自身が天地の主であることを見て、手で造った神殿には住まれません。

神は人が作った神殿には住んでいません。彼は天と地の主です。

1. 神はすべての創造物を統治する主権者である

2. 全能の神の臨在の中で生きる

1. イザヤ書 66:1 「主はこう言われる。『天はわたしの王座、地はわたしの足台である。あなたが私に建てる家はどこですか？そして私の休息の場所はどこですか？」

2. 詩篇 139:7-10 「あなたの御霊のもとから、どこへ行くことができますか。あるいはあなたの御前からどこへ逃げればよいのでしょうか？私が天国に昇れば、あなたはそこにいます。私が地獄でベッドを整えるなら、見よ、あなたはそこにいる。たとえ私が朝の翼を手に取り、海の最果てに住んでいても、そこにさえあなたの手が私を導き、あなたの右手が私を掴むでしょう。」

使徒 17:25 どちらも、あたかも何かが必要であるかのように、人の手で崇拝されることはありません。彼がすべての命と息とすべてのものに与えているのを見ると、

この一節は、神は私たちに命、息、その他すべてのものを与えてくださるので、私たちから何も必要とされていないことを強調しています。

1.「神の豊かな備え」

2.「私たちの命の究極の源」

1. ヤコブ 1:17、「すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来て、光の父から下ります。父には変化がなく、変わる影もありません。」

2. ヨハネ 4:24、「神は霊です。神を崇拝する者は、霊と真理によって神を崇拝しなければなりません。」

使徒 17:26 また、すべての国民を一つの血で造り、地の全面に住まわせ、あらかじめ定められた時と、その居住の範囲を定めた。

神はすべての人類を一つの血から創造し、彼らが住むべき場所の境界は神によって決定されました。

1. 神の主権: 地球上の私たちの場所

2. 多様性を通した団結: 一つの血の力

1. 創世記 1:27 - そこで、神は人間をご自分の姿に似せて創造し、神の似姿に人間を創造されました。彼は男性と女性を創造しました。

2. コロサイ 3:11 - ここには、異邦人もユダヤ人も、割礼の有無も、野蛮人もスキタイ人も、奴隷も自由人も存在せず、キリストがすべてであり、すべての中にいます。

使徒 17:27 それは、彼らが主を捜し求めるためです。できれば、主を捜し求めて、たとえ主が私たち一人一人から遠く離れていなくても、見つけられるかもしれません。

神は私たち全員の近くにおられます。私たちは彼を求めるべきです。

1: 神は私たちが思っているよりも近いです - 使徒 17:27

2: 主を求めることを忘れないでください - 使徒 17:27

1. エレミヤ 29:13 - あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を探し、私を見つけるでしょう。

2. 詩篇 145:18 - 主はご自分を呼び求めるすべての人、真実に主を呼び求めるすべての人の近くにおられます。

使徒 17:28 なぜなら、私たちはキリストのうちに生き、動き、存在しているからです。あなた自身の詩人の何人かも言ったように、「私たちも彼の子孫だからです。」

神は生命とすべての生き物の源です。

1: 私たちの人生は神からの贈り物であり、神を讃えるために用いられるべきです。

2: 私たちは皆、神の家族の一員であり、互いに調和して生きなければなりません。

1: コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

2: ヤコブ 2:14-17 - 兄弟たち、信仰はあるが行ないをする人がいるとしたら、それが何の役に立つでしょうか。その信仰が彼を救うことができるでしょうか？兄弟や姉妹が粗末な着衣を着ており、毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたのどちらかが彼らに、体に必要なものを与えずに、「安らかに行きなさい。体を温めてお腹を満たしなさい」と言ったら、それが何の役に立つでしょうか。同様に、信仰自体も、行いがなければ死んだものである。

使徒 17:29 ですから、私たちは神の子孫である以上、神が芸術や人間の工夫によって彫られた金、銀、石のようなものであると考えるべきではありません。

神の子である私たちは、神を人間が創造し操作できるものとして考えるべきではありません。

1. 私たちは神の似姿に創造されています

2. 人間の偶像崇拝

1. 創世記 1:27 - そこで、神は自分に似せて人間を創造し、神の似姿に人間を創造した。男性と女性が彼を創造しました。

2. イザヤ書 40:18-20 - それでは、あなたは神を誰に例えますか。あるいは、あなたは彼にどのような似ているだろうか？職人は彫像を溶かし、金細工師はその上に金を広げ、銀の鎖を鋳造します。とても貧しいので奉納物を持たない人は、腐らない木を選びます。彼は、動かされることのない彫刻像を準備してくれる狡猾な職人を求めています。

使徒 17:30 そして、この無知の時代に、神は目配せをされました。しかし今、どこにいてもすべての人に悔い改めるよう命じています。

神は、これまで見逃していた無知の時代にもかかわらず、すべての人々に悔い改めるよう命じられました。

1. 悔い改めにおける神の憐れみと恵み

2. 人生における悔い改めの重要性

1. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるためにご自分の御子を世に遣わされたのではありません。」世界だけでなく、彼を通して世界を救うためです。」

2. ペテロ第二 3:9 「主は、遅いことを理解している人たちがいるように、約束を守るのが遅いわけではありません。むしろ、あなたがたに対して辛抱強く、だれも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに来ることを望んでおられます。」

Act 17:31 それは、神が定めたその人によって義をもって世を裁く日を定めたからである。神はすべての人に、彼を死者の中からよみがえらせたという保証を与えました。

神は、死者の中からよみがえられたイエスを通して、義をもって世を裁く日を定められました。

1: 私たちは来るべき裁きの日に備え、主に臨む準備ができていることを確認しなければなりません。

2: イエスを信じ、彼を私たちの主であり救い主として受け入れることによって、私たちは裁きの日に主の前に正しく立つという確信を得ることができます。

1: ローマ人への手紙 14:10-12 - 私たちは皆、キリストの裁きの座の前に立つからです。

2: マタイ 24:36-44 - 目を覚ましていてください。あなたの主がいつ来るかわからないからです。

Acts 17:32 死者の復活のことを聞くと、ある者はあざけり、またある者は、「このことについてはまた聞かせてください」と言った。

パウロが死者の復活について説教しているのを聞いて嘲笑する人もいたが、この件についてはまた聞くだろうと言う人もいた。

1. 復活の力: 永遠の命の希望を探る

2. 復活の希望: 永遠の命の約束を理解する

1. ローマ 6:4-5 - したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られています。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

2. 1 コリント 15:20-22 - しかし今、キリストは死者の中からよみがえられ、眠っている者たちの初穂となられました。なぜなら、人によって死が来たのと同じように、死者の復活も人によって来たからです。なぜなら、アダムにあってはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからである。

使徒 17:33 そこでパウロは彼らの中から去った。

パウロは人々を離れて旅を続けました。

1: 神は私たちに、パウロのように信仰と勇気をもって生き、自分の快適な領域を離れて神に従うことを恐れないようにと呼びかけておられます。

2: パウロの例から、たとえそれが慣れ親しんだものを離れることを意味する場合でも、私たちに対する神の御心に常に心を開いておくことを学ぶことができます。

1: イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

2: ヘブライ 13:5-6 - お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足してください。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。ですから私たちは自信を持ってこう言うことができます。私は恐れません。人間は私に何ができるでしょうか？」

Acts 17:34 ところが、ある人々は彼に執着し、信じた。その中には、アレオパギトのディオニュソスとダマリスという名の女、そして他の者たちもいた。

特定の人々、特にアレオパタイトのディオニュソス、ダマリス、その他の人々はパウロにしがみつき、彼のメッセージを信じました。

1. 主にしがみつく：信者としての私たちの責任

2. 少数の忠実な者: 恐れと疑いを克服してイエスに従う

1. ヨシュア記 1:9 - 「わたしはあなたたちに命じたではありませんか。強くて勇気を持ってください。恐れないでください、落胆しないでください、あなたの神、主はどこへ行ってもあなたとともにおられます。」

2. マタイ 10:31-33 - 「だから、恐れるな。あなたは多くのスズメより価値があります。ですから、人々の前で私を認める人は皆、私も天におられる私の父の前で認めるつもりです。しかし、人々の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられる父の前で否認するであろう。」

使徒言行録 18 章には、コリントとエフェソスでのパウロの宣教活動、アクイラとプリスキラとの出会い、そしてアポロの物語が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、パウロがアテネを離れてコリントに行き、そこでクラウディウスがすべてのユダヤ人にローマを去るよう命じたため、最近イタリアから来たアクイラとプリスキラというユダヤ人夫婦に出会ったところから始まります。パウロが彼らに会いに行ったのは、自分がテント張りで、彼らが安息日ごとにシナゴーグでユダヤ人ギリシャ人を説得しようとして滞在して働いていたからです（使徒 18:1-4）。シラス・テモテがマケドニアに来たとき、パウロはユダヤ人を証言することだけに専念し、イエスはキリストであることを説教した。私は自分の責任を明確にしています。これから私は異邦人に行きます」(使徒18:5-6)。

第2段落: それから彼はそこを去りました ティティウス・ユトゥスという名前の男が家に行きました 神を崇拝しており、その家の次のシナゴーグであるクリスポスシナゴーグの指導者 彼の家族全員が主を信じました 彼の信じているのを聞いた多くのコリント人はある夜洗礼を受けました 主は語られました パウロのビジョン「恐れるな、話し続けるな、黙らないで」私はあなたと一緒にいるので、この街にはたくさんの人がいるから、誰もあなたを攻撃して危害を加えるつもりはありません。」そこで一年の半分を滞在して彼らに神の言葉を教えました（使徒 18:7-11）。しかし、ガリオがアカイア総領事だったとき、ユダヤ人が団結して攻撃し、パウロは彼を法廷に連れて行き、法に反して人々に神への崇拝を説いていると非難したが、まさに弁護しようとしているとガリオはユダヤ人に「問題なら重大な犯罪なら告訴を受け入れる理由があるだろうが、それには疑問が伴うから」と述べた。言葉の名前については、あなた自身の法律で問題を解決してください。私はそのようなことを裁くつもりはないので、法廷で彼らを追い払い、その後ソステネの会堂指導者となった群衆が法廷で彼を殴りましたが、ガリオは何の関心も示しませんでした（使徒行伝18:12-17）。

第 3 段落:そこでかなりの時間を過ごした後、パウロはプリシラとアクイラを伴ってシリアに戻ることにしました。チェンクレアイから出航する前に、彼は誓った誓いを果たし、髪を切り、エフェソスに到着し、そこでプリシラ・アクイラはシナゴーグに入った。彼らはユダヤ人たちにもっと時間をかけてほしいと理由をつけ、断ったが、「神のご意志なら戻ってくる」と約束した。それからエフェソスから出航し、カイサリアに上陸し、教会に挨拶し、そこでしばらく過ごした後、アンティオキアに向かいました。ガラテヤ・フリギア地方各地を旅し、すべての弟子を強めました。一方、アポロという出身のアレクサンドリアというユダヤ人がエフェソスにやって来ました。雄弁な男がエフェソスに来ました。聖書は、主の熱烈な精神が正確に語った方法で教えられましたイエスに関することは洗礼しか知らなかったが、ヨハネはシナゴーグでプリシラ・アクイラが彼の話を聞いたとき、大胆に話し始めた 十字架を求められたときに神の方法をより適切に説明することを脇に置いた アカイアの兄弟たちは弟子たちに手紙を書くよう奨励し、イエスの到着を歓迎した 恵みによって信じていたユダヤ人が力強く反論した人々を大いに助けた イエスがイエスであるという聖書の言葉を公に示したユダヤ人それはキリストでした（使徒 18:18-28）。

使徒 18:1 これらの事の後、パウロはアテネを出発し、コリントに来た。

パウロはアテネを出発し、コリントに到着しました。

1. 神の計画は失敗しない - 私たちがどのような障害や困難に直面しても、神の計画は必ず実現します。

2. 神の導きを信頼する - 神がなぜ私たちを特定の方向に導かれるのか理解できなくても、神は私たちにとって何が最善であるかを知っていると信じることができます。

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、あなたに将来と希望を与えるために、悪ではなく福祉の計画を立てている。

使徒 18:2 そして、アクイラという名のユダヤ人がポントス生まれで、最近妻のプリスキラとともにイタリアから来たのを見つけた。（なぜなら、クラウディウスはすべてのユダヤ人にローマから出発するように命じたからです：）そして彼らのところに来ました。

アクイラとプリシラはポントス出身のユダヤ人で、クラウディウスからローマを離れるよう命じられて最近この地域に到着したばかりでした。

1. 神の命令に従ったアクイラとプリシラの忠実さ

2. 権威を尊重し、神の律法に従うことの重要性

1. ローマ人への手紙 13:1-2 - すべての魂は高次の力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

2. 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

使徒 18:3 彼は同じ職業に就いていたので、彼らと一緒に住み、働いた。彼らの職業は天幕職人だったからである。

ポールとアクイラはテント職人で、同じ仕事をしていたので、一緒に暮らし、一緒に働きました。

1. 私たちの生活における相互の交わりの力

2. 共に暮らし、共に働くことの重要性

1. 伝道の書 4:9-10 - 二人のほうが一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその働きに対して良い報酬を得るからです。たとえ彼らが倒れても、その人が仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れたときに一人でいる人は不幸です。彼を助けてくれる人が誰もいないからです。

2. ガラテヤ 6:2 - 互いに重荷を担い、そのようにしてキリストの律法を全うしましょう。

使徒 18:4 そして彼は、安息日ごとに会堂で論じて、ユダヤ人やギリシア人を説得した。

パウロは安息日ごとに会堂で福音を宣べ伝えました。

1. 福音を宣べ伝える力

2. 伝道における説得の重要性

1. ローマ人への手紙 10:14-15 「では、彼らは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。また、聞いたこともない方をどうやって信じるのでしょうか。また、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができるのでしょうか。「良いたよりを宣べ伝える人々の足は何と美しいのでしょう。」と書いてあるとおりです。

2. 1 コリント 9:19-22 私はすべてのものから自由ですが、より多くの人を勝ち取るために、自分をすべての人に仕える者としました。ユダヤ人に対して、私はユダヤ人を獲得するためにユダヤ人になった。律法のもとにある人々に対して、私は律法のもとにある者として（律法のもとに自分自身ではないが）律法のもとにある人々を勝ち取るためになった。律法の外にいる人々に対して、私は律法の外にいる者（神の律法の外ではなく、キリストの律法の下にある）として、律法の外にいる人々を勝ち取ることができるようになりました。弱い者に対して、私は弱い者に勝つために弱くなった。私はすべての人にとってすべてのものになりました、それはぜひ誰かを救うためです。

使徒 18:5 シラスとテモテがマケドニヤから来たとき、パウロは霊に突き動かされて、ユダヤ人たちにイエスがキリストであると証言した。

パウロはユダヤ人たちにイエスがキリストであると証言しました。

1. イエスがキリストとして真実であることを証することの重要性。

2. 反対にもかかわらずイエスについて証言したパウロの勇気。

1. マタイ 28:16-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。

2. 使徒 1:8 - しかし、聖霊があなたがたに降るとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまで私の証人となるでしょう。

使徒 18:6 彼らが反抗し、ののしったので、イエスは着物を振り、彼らに言った、「あなたの血はあなたたちの頭にかかりなさい。私は清いので、これから異邦人のところへ行きます。

パウロは、ユダヤ人たちが反対して冒涜したとき、彼らに伝道を続けることを拒否し、代わりに異邦人に伝道しに行くと宣言しました。

1. 私たちがどんなに孤独を感じているときでも、神は決して私たちを見捨てません。

2. 神から与えられた使命を果たすことを決して諦めないでください。

1. ローマ 8:31-39 – 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？」

2. ヘブライ 12:1-3 – 「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、定められたレースを忍耐強く走り抜けましょう。」私たちの前に。"

Acts 18:7 そこでイエスはそこを立ち去り、ユストという名の人の家に入った。この人は神を崇拝しており、その家は会堂にしっかりとつながっていた。

パウロはユストゥスの家を訪れます。ユストゥスは神を崇拝しており、彼の家は会堂の近くにあります。

1. 教会と神を崇拝する人々との距離を保つことの重要性。

2. クリスチャンの交わりの力と、それがどのように私たちを神に近づけるか。

1. ヘブライ 10:25 - ある人々のやり方のように、自分自身が集まることを放棄しません。しかし、互いに励まし合っているのです。その日が近づいているのが分かると、なおさらです。

2. 1ヨハネ 2:6 - 自分のうちにとどまっていると言う人は、自分が歩いたように、自分もそのように歩むべきです。

使徒 18:8 会堂の支配者クリスポは、家中全員で主を信じた。そしてコリントの聴衆の多くは信じてバプテスマを受けました。

会堂の主宰者クリスポスと多くのコリント人は主を信じてバプテスマを受けました。

1. 主を信じてバプテスマを受けます

2. 主の救いを受ける

1. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2. ヨハネ 3:5 - イエスは答えられた、「まことに、まことに、あなたに言います。人は水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」

使徒 18:9 それから、夜、幻によって主がパウロに語られた、「恐れるな、語りなさい。心を静めてはならない。

パウロは神から、大胆に自信を持って話すよう励まされました。

1. 大胆さへの神の呼びかけ

2. 勇気を持って声を上げてください

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. エペソ人への手紙 6:19-20 - 「また、私にとっても、福音の神秘を宣べ伝えるために大胆に口を開いてその言葉が与えられるかもしれません。私は鎖につながれた福音の使者です。それを大胆に宣べ伝えるためです。」、私が言うべきです。」

Acts 18:10 わたしはあなたとともにいます。誰もあなたを傷つけようとしてあなたを攻撃することはありません。この町にはたくさんの人がいます。

パウロはコリントに多くの人々がいたので、コリントに留まって宣教するよう神から勧められました。

1. 神はいつも私たちと共におられる - イザヤ書 41:10

2. 神の忠実さ - 哀歌 3:22-23

1. ローマ 8:31 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. 詩篇 37:25 - 私は若かったが、今は年をとった。しかし、私は義人が見捨てられるのを見たことがないし、その種がパンを乞うのも見たことがない。

Acts 18:11 そして彼は一年六か月そこに留まり、彼らの間で神の言葉を教えた。

パウロはコリントに18か月間滞在し、そこの人々に神の言葉を教えました。

1. 神の言葉を教えることの重要性

2. 長期間にわたる弟子としての力

1. 申命記 11:18-19 - 「それゆえ、あなたは私のこの言葉を心と魂の中に蓄え、しるしとして手に結び、目の間の前飾りのようにしなさい。 19あなたは家に座っているときも、道を歩いているときも、横になっているときも、起きているときも、彼らのことを話しながら、子供たちに教えなさい。」

2. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

使徒 18:12 ガリオがアカイアの代官であったとき、ユダヤ人たちは一致してパウロに対して反乱を起こし、パウロを裁判の場に引きずり込んだ。

パウロは、彼に対して反乱を起こしたユダヤ人たちによって裁判の座に連行されました。

1. 困難な状況における神の主権

2. 反対に立ち向かう

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、あなたがたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。あなたがたの信仰の試みが忍耐を生むということを知っているのです。しかし、あなたがたが完璧になり、まったく、何も望まない。」

Acts 18:13 こう言う、「この男は、律法に反して神を礼拝するよう人々を説得する。」

パウロは、人々に法律に反して神を崇拝するよう説得したとして告発されました。

1. 反対に直面したパウロの勇気

2. 説得の力

1. 使徒 17:22-31 - アレオパゴスでのパウロの演説

2. ローマ人への手紙 1:16 - 信じる者を救う福音の力

Acts 18:14 さて、パウロが口を開こうとしたとき、ガリオはユダヤ人たちに言った、「ユダヤ人よ、もしそれが間違った、あるいは邪悪な猥褻の問題であるなら、私が我慢すべきだろう。

パウロはローマ総督ガリオから、ユダヤ人を敵視する教育を行ったとして告発され、無罪となった。

1. 福音を生きて守るパウロの模範

2. 告発と迫害にどう対応するか

1. ペテロ第一 3:15 - 「しかし、あなたがたは心の中でキリストを主として崇めなさい。あなたが抱いている希望の理由を尋ねるすべての人に、いつでも答える用意をしておいてください。しかし、これは優しさと敬意を持って行いなさい。」

2. マタイ 5:10-12 - 「義のゆえに迫害されている人々は、幸いである、天国は彼らのものだからである。人々があなたを侮辱し、迫害し、私のせいであなたに対してあらゆる種類の悪口を誤って言うとき、あなたは幸いである」「喜びなさい。喜びなさい。天でのあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちを同じように迫害したからです。」

使徒 18:15 しかし、それが言葉と名前、そしてあなたの律法の問題であるなら、あなたがたはそれに目を向けなさい。私はそのような問題について裁判官ではないからです。

パウロは、言葉と名前の問題については神の律法を求めるようアドバイスしています。

1. 人生において神の律法を求めることの重要性

2. 人間の律法と神の律法の違いを理解する

1. マタイ 22:36-40 - 「先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか。」「あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛さなければなりません。これが最も重要な第一の戒めです。第二の戒めも同様です。「隣人を同じように愛さなければならない」「すべての律法と預言者は、この二つの戒めに依存しています。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和があなたがたの心を守るでしょう。」そしてあなたがたの心はキリスト・イエスのうちにあります。」

Act 18:16 そしてイエスは彼らを裁判の座から追い出した。

パウロの揺るぎない勇気と信仰は、コリントの人々に、パウロの信用を傷つけようとした偽教師たちを拒絶するよう促しました。

1: パウロの勇気と神への信仰は、私たちが常に自分の信念にしっかりと立ち、偽りの教えを拒否しなければならないことを示しています。

2: パウロの勇気と神への信仰の模範は、私たちが常に神の真実を求め、偽りを拒絶すべきであることを思い出させます。

1: エペソ 6:10-20 - 悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2: ヤコブ 1:5-6 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。

Act 18:17 そこでギリシャ人は皆、会堂の支配人ソステネスを捕らえ、裁判の席で彼を殴った。そして、ガリオはそれらのことをまったく気にしませんでした。

ギリシャ側は裁判の席でシナゴーグの支配者ソステネスを破ったが、ガリオは介入しなかった。

1. リーダーシップにおける思いやりの必要性

2. 選択する力

1. マタイ 25:35-40 – 私がお腹を空かせていたのに、あなたは食べ物を与え、喉が渇いていたのに飲み物を与え、見知らぬ私を歓迎してくれました。

2. 箴言 20:28 - 慈悲と真実が王を守り、慈悲によって王は王座を守ります。

使徒 18:18 パウロはこの後、しばらくそこに留まり、それから兄弟たちと別れ、プリスキラとアクラを連れてそこからシリアへ出航した。チェンクレアで頭を剃ったのは、彼には誓いがあったからだ。

ポールは休暇を取り、プリシラとアクイラとともに出航するまで、チェンクレアにしばらく滞在した。彼はまた、頭を剃ることで誓いを果たしました。

1. 誓いを守ることの大切さ。

2. 別れを告げる時間を取ることの大切さ。

1. 伝道者の書 5:4-5 (神に誓いを立てたら、それを果たすのを遅らせてはなりません。神は愚か者を喜ばれません。あなたの誓いを果たしなさい。)

2. ローマ 12:1 (ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる神聖な生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい礼拝です。)

Act 18:19 それから、イエスはエフェソスに来て、彼らをそこに残した。しかし、自分は会堂に入って、ユダヤ人たちと論じた。

パウロはエフェソスを訪れ、ユダヤ人たちと論じるために会堂に入りました。

1. 推論の力: 対話を使って人々に伝える方法

2. パウロの伝道の実例: 従うべきモデル

1. コロサイ 4:5-6 「時間を償いながら、外にいる人たちに向かって知恵を持って歩みなさい。すべての人にどのように答えるべきかをあなたが知ることができるように、あなたの話し方はいつも優雅で、塩味を付けてください。」

2. ローマ人への手紙 10:14-15 「それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めることができますか。また、聞いたことのない方をどうして信じることができますか。説教者なしにどうして聞くことができますか。「遣わされない限り、説教せよ？」と書いてあるとおり、「平和の福音を宣べ伝え、良い知らせをもたらす彼らの足は何と美しいことでしょう！」

使徒 18:20 彼らが彼にもっと長く一緒にいることを望んだとき、彼は同意しなかった。

パウロは、コリントの人々が彼にそうするよう求めたにもかかわらず、それ以上滞在することを拒否しました。

1. 私たちに対する神の計画は、私たちにとって快適または都合のよいものと常に一致するとは限りません。

2. たとえそれが困難であったり、不評であったりしても、私たちは喜んで神の御心に従わなければなりません。

1. ヤコブ 4:15 - 「代わりに、『主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやを行います。』と言うべきです。」

2. イザヤ書 55:8-9 - 「私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではありません」と主は言われます。「天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いのです。」

Acts 18:21 しかし、彼らに別れを告げて、「私はエルサレムで行われるこの祭りを必ず守らなければなりません。しかし、神が御心であれば、私はまたあなたがたのところに戻ります」と言いました。そして彼はエフェソスから出航した。

パウロは、神が御心であればエフェソスに戻ると約束して、祝宴のためにエルサレムに戻りました。

1. 神の意志は常に最良の計画である - 使徒 18:21

2. 神の計画に信仰を置きましょう - 使徒 18:21

1. イザヤ書 55:9 - 「天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの思いはあなたの思いよりも高いのです。」

2. ピリピ人への手紙 4:6 - 「どんなことでも心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に言いなさい。」

使徒 18:22 彼はカイサリアに上陸し、上って教会に敬礼してから、アンティオキアに下った。

パウロはカイサリア教会を訪れ、その後アンティオキアへ向かいます。

1. 信仰の旅路：パウロの模範から学ぶ

2. クリスチャンの交わりとコミュニティの重要性

1. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

2. 使徒 2:42-47 - そして、彼らは使徒の教えと交わり、パンを裂くことと祈りに専念しました。そして、すべての魂に畏怖の念が臨み、多くの不思議としるしが使徒たちを通して行われていました。そして、信じた人たちは皆一緒で、すべての共通点がありました。そして彼らは必要に応じて自分たちの所有物や持ち物を売り、その収益を全員に分配していました。そして毎日、一緒に神殿に参列し、家でパンを裂き、喜んで寛大な心で食べ物を受け取り、神を賛美し、すべての民に好意を持っていました。そして主は救われる人々の数を日に日に増やしてくださいました。

Act 18:23 そして、そこでしばらく過ごした後、彼は出発し、ガラテヤとフリギアの全土を順番に巡回し、すべての弟子たちを強めた。

パウロはガラテヤとフリギアの地域で時間を過ごし、キリスト教の信者たちを励ましました。

1. 励ましの力: パウロが弟子たちをどのように強めたか

2. 信仰の回復力：ガラテヤとフリギアにおけるパウロの旅

1. ローマ 15:5 - 忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って互いに調和して生きることを許してくださいますように。

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:11 - ですから、あなたがしているように、互いに励まし合い、高め合いましょう。

使徒 18:24 そして、アレクサンドリアで生まれ、雄弁で聖書の中で力強いアポロというユダヤ人がエフェソスに来た。

アポロはアレクサンドリアで生まれたユダヤ人で、エフェソスに来て、その雄弁さと経典の知識で知られていました。

1. 雄弁の力: 使徒言行録 18:24 におけるアポロの研究

2. 聖書の価値: 使徒行伝 18:24 のアポロに関する研究

1. 使徒18:24

2. 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です」

使徒 18:25 この人は主の道を教えられました。彼は霊に熱心で、ヨハネのバプテスマだけを知っていながら、主のことを熱心に語り、教えました。

この箇所では、主の道を教えられ、主について教えることに熱心に取り組んでいたアポロについて説明していますが、彼はヨハネのバプテスマしか知りませんでした。

1. 福音を宣べ伝える情熱の力

2. ヨハネの洗礼について知り理解する

1. 使徒 2:38 - 「そこでペテロは彼らに言った、『悔い改めて、罪の赦しのために、あなたがた一人一人、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。』」

2. ヨハネ 3:7-8 「わたしがあなたに言ったのを不思議に思わないでください。あなたは新しく生まれなければなりません。風は聞こえるところに吹き、あなたはその音を聞きますが、それがどこから来てどこへ行くのかはわかりません。御霊によって生まれたすべての人も同様です。」

Acts 18:26 そして、彼は会堂で大胆に話し始めた。アクイラとプリスキラがそれを聞いたので、彼らは彼を彼らのところに連れて行き、神の道をもっと完全に説明した。

パウロはアクイラとプリシラに会い、神の道についてさらに教えを受けました。

1. 神についてもっと学ぶことの重要性。

2. スピリチュアルな指導者から指導と指導を受ける。

1. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださいます。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:12 - 「兄弟姉妹の皆さん、私たちは、あなた方の間で熱心に働き、主にあってあなた方を気遣い、あなた方を戒めている人たちを認めてください。」

Act 18:27 そして、彼がアカイアに渡ろうとしたとき、兄弟たちは手紙を書いて、弟子たちに彼を迎えるよう勧めた。

パウロはアカイアの弟子たちが恵みを信じられるように助けました。

1. 私たちはグレース・アローンによって救われました

2. サポートを与えることと受け取ることの力

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ガラテヤ 6:2 - 互いに重荷を担い、そのようにしてキリストの律法を全うしましょう。

Acts 18:28 なぜなら、彼は聖書によってイエスがキリストであることを公に示して、ユダヤ人たちを力強く説得したからです。

パウロは聖書を用いてイエスがメシアであることをユダヤ人に力強く証明しました。

1. 聖書の力: 神の言葉を使って他の人に証しする方法

2. 福音を宣べ伝える: 自信を持ってイエスの良い知らせを伝える方法

1. ローマ人への手紙 1:16 - 福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力であるため、私は福音を恥とは思っていません。

2. イザヤ書 61:1-2 - 主権者である主の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良いたよりを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。神は、心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚人を暗闇から解放するために私を遣わしました。

使徒 19 章では、パウロのエフェソス滞在、彼が行った並外れた奇跡、そしてデメトリオスや他の銀細工師によって引き起こされた暴動について詳しく述べています。

第 1 段落: この章は、パウロがエフェソスに到着し、そこでヨハネの洗礼しか受けていない弟子たちを発見するところから始まります。パウロが彼らに、信じたときに聖霊を受けたのかと尋ねると、彼らは聖霊が存在することさえ聞いていないと答えました。そこでパウロは、ヨハネの洗礼は悔い改めの洗礼であると説明し、それを聞いて彼らはイエス・キリストの名による洗礼を受けたのです。パウロが彼らの上に手を置いたとき、聖霊が彼らの上に臨み、彼らは異言を語り、合計 12人について預言しました（使徒19:1-7）。彼はシナゴーグに入り、そこで大胆に語り、3ヶ月間、王国の神について説得力を持って議論したが、ある者は頑なになり、公に中傷された道を信じることを拒否したので、彼らを弟子とし、彼は毎日議論を講堂で続けた ティラヌスは 2年間続けたので、すべてのユダヤ人ギリシア人はアジ

ア地域に住んでいた、主の言葉を聞いた（使徒言行録）19:8-10）。

第 2 段落: 神はパウロを通して驚くべき奇跡を行われたので、彼に触れたハンカチやエプロンさえも病気を治し、悪霊は彼らから去りました (使徒 19:11-1 2)。悪霊を追い出して回ったユダヤ人の中には、悪霊に取り憑かれた人々に対して主イエスの名を呼んで「パウロが宣べ伝えているイエスの名によって、出て行けと命じる」と言った者もいた。ユダヤ人の祭司長スケバ 7人の息子がこのようなことをしていましたが、ある日、悪霊が「イエスのことは知っています。パウロのことは知っていますが、あなたは誰ですか？」と答えました。それから男は取り憑かれて彼らに飛びかかり、全員がそのような殴打を加え、家から裸で血を流した これが知られると、エフェソスに住んでいたユダヤ人ギリシャ人は恐れを抱き、主イエスを高く評価した 今、信じている多くの人々が自分たちのやったことを公に告白し、魔術を行っていた多くの人々が自分たちの罪を持ち帰った一緒に焼かれた巻物は公に計算され、5万ドラクマ相当の価値があることが判明しました。このようにして、主の言葉は広く広まり、力が増大しました（使徒19:13-20）。

第 3 段落: これらのことが起こった後、デメトリアスという銀細工師が、アルテミスの銀の神殿を作り、キリスト教の普及により経営が危機に陥ったために暴動を起こしました。彼は他の職人たちをあおってこう言った、「エフェソスだけでなく、アジアのほぼ全域でこの人がパウロを説得して、神が人間の手に神を造らなかったなどと言って大勢の人々を惑わしたのを聞いているのはわかるだろう、われわれの商売だけでなく、大寺院の名誉も失う危険がある」女神アルテミスは信用を失い、アジア全土で崇拝されていた女神自身もその神聖な威厳を奪われるだろう」(使徒19:26-27)。その結果、人々は「エペソ人のアルテミスは偉大だ！」と叫び、大騒ぎになりました。最終的に町の書記は、群衆を落ち着かせて、デメトリアスの他の苦情を取り上げるべきかどうかを訴え、法廷は群衆に、いかなる理由も議会を解散させることを正当化できないため、彼らの行動は暴動を引き起こす可能性があると群衆に警告しました（使徒行伝19:28-41）。

使徒 19:1 アポロがコリントにいる間に、パウロは上海岸を通ってエフェソスに来て、ある弟子たちを見つけた。

パウロはエフェソスで弟子たちに出会い、神の道についてより完全に教えました。

1. 神の民に対する神の完璧な計画

2. パウロの教えの力

1. エペソ人への手紙 3:20-21 「さて、私たちの内に働いている力に応じて、私たちが願い求めたり思い描いたりするすべてを計り知れないほど多くのことを成し遂げてくださる方に、教会とキリスト・イエスにおいて栄光がありますように。「何世代にもわたって、永遠に！アーメン。」

2. テトス 2:11-12 「すべての人に救いを与える神の恵みが現れたからです。それは私たちに、不敬虔や世俗の情熱に「ノー」と言い、この現代において自制的で正しく敬虔な生活を送ることを教えています。」

使徒 19:2 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは信じてから聖霊を受けたことがありますか。」そこで彼らは彼に言った、「聖霊がいるかどうかということさえ私たちは聞いていません。」

パウロはエフェソスの弟子たちに、信じてから聖霊を受けたかどうか尋ねました。彼らは聖霊の存在について聞いたことはないと答えました。

1. 聖霊を受けることの必要性

2. 聖霊を知ることの重要性

1. ヨハネ 14:26 – 「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け主、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2. エペソ人への手紙 1:13-14 – 「あなたがたも、真理の言葉、救いの福音を聞いて、この方を信じたとき、約束の聖霊によって証印を押されたのです。聖霊は、私たちの相続財産の保証です。彼の栄光を称賛するために、私たちはそれを所有することになります。」

使徒 19:3 そこでイエスは彼らに言った、「では、あなたがたは何のためにバプテスマを受けたのですか。」そして彼らは、「ヨハネの洗礼まで」と言った。

パウロは12人にバプテスマを受けたのかと尋ねると、彼らはヨハネのバプテスマに従ってバプテスマを受けたと答えました。

1. 自分のバプテスマを知ることの重要性: 自分のバプテスマのステータスを知ることでどのように信仰が強化されるか

2. パウロの力: パウロの質問がどのように霊的成長につながるか

1. マタイ 3:11-12 – 「わたしは確かに、悔い改めのためにあなたに水のバプテスマを授けます。しかし、わたしの後に来る方はわたしよりも強い方です。わたしにはその靴を履くに値しません。彼はあなたに聖霊と、火。"

2. マルコ 1:4-5 – 「ヨハネは実際に荒野でバプテスマを授け、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えました。そしてユダヤ全土とエルサレムの人々が彼のところに出て行って、ヨルダン川で自分たちの罪を告白して彼からバプテスマを受けた。」

使徒 19:4 それからパウロは言った、「ヨハネはまことに悔い改めのバプテスマを授け、自分の後に来られる方、すなわちキリスト・イエスを信じるようにと人々に言いました。」

パウロは、バプテスマのヨハネが悔い改めのバプテスマを説いて人々にイエス・キリストを信じるように告げたと説明しています。

1. 悔い改めへの呼びかけ: イエスのために道を備える

2. 信じる力: イエスへの信仰が人生をどのように変えるか

1. ルカ 3:3 - 「そして彼はヨルダンの周りの全地域に行き、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えました。」

2. ヨハネ 14:6 - 「イエスは彼に言われた、『わたしが道であり、真理であり、命である。わたしによらなければ、だれも父のもとに来ることはできない。』」

使徒 19:5 彼らはこれを聞いて、主イエスの名によってバプテスマを受けた。

人々はパウロの説教を聞いて、主イエスの名によって洗礼を受けました。

1. 信仰の力: 洗礼の影響を理解する

2. 主に身を委ねる: 洗礼の意義

1. ローマ人への手紙 6:3-5 - 「それとも、キリスト・イエスに入るバプテスマを受けた私たち全員が、死のバプテスマを受けたことをご存知ないのですか。ですから、私たちは、キリストがそうであったように、死のバプテスマを通してキリストとともに葬られたのです。」」

2. コロサイ 2:12 - 「バプテスマを受けてイエスとともに葬られましたが、そのバプテスマの中で、あなたもまた、死者の中からよみがえらせた神の働きに対する信仰によって、イエスとともによみがえらされました。」

使徒 19:6 パウロが彼らの上に手を置くと、聖霊が彼らの上に臨んだ。そして彼らは異言を言い、預言した。

パウロの手で信者に聖霊を与えた結果、彼らは異言を話し、預言するようになりました。

1: 聖霊の賜物を開く

2: 教会で異言を話す

1: ガラテヤ 5:22-23 しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制であり、これらを禁じる律法はありません。

2: 使徒 2:4 そして、彼らはみな聖霊に満たされ、御霊が彼らに発語を与えたとおりに、他の言語で話し始めた。

使徒 19:7 男たちはみな十二歳くらいであった。

この文章では、そのときその場にいた男性の数は12人であると書かれています。

1. 人の数がどんなに少なくても、神は彼らを用いて偉大なことを行うことができます。

2. 神の力は集団の大きさによって決まるのではなく、その集団における神の存在によって決まります。

1. マタイ 19:26 - 「イエスは彼らを見て言われた、「人間にはそれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」

2. エレミヤ 33:3 - 「私に呼びかけてください。そうすれば、私はあなたに答えて、あなたが知らない偉大で検索不可能なことをあなたに話します。」

使徒 19:8 それから、彼は会堂に入り、三か月の間大胆に語り、神の国に関する事柄について議論し、説得した。

パウロは3か月間会堂で大胆に語り、神の国について人々を説得しました。

1. 言葉の力：神の王国を宣言する

2. 神の言葉を大胆に語る: パウロの例

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。

使徒 19:9 しかし、海女たちがかたくなになって信じず、群衆の前でそのような悪口を言ったとき、イエスは彼らから離れ、弟子たちを引き離し、一人のティラノの学校で毎日議論した。

パウロは福音を拒否する人々に遭遇し、自分と弟子たちを彼らから引き離し、ティラノの学校で毎日彼らを教えました。

1. 分離の力

2. パウロの信仰

1. ローマ 16:17-18 - 兄弟たち、私はあなたたちにお願いします。あなたたちが教えられてきた教義に反して分裂を引き起こし、障害を生み出す人々に注意してください。それらを避けてください。そのような人たちは、私たちの主キリストに仕えるのではなく、自分の食欲に仕えており、口先だけの話やお世辞によって、純朴な人々の心を欺いているからです。

2. コリント第一 5:11-13 - しかし今、私はあなたたちに手紙を書きますが、もしその人が性的不道徳や貪欲の罪を犯している場合、あるいは偶像崇拝者、中傷者、大酒飲み、詐欺師である場合には、兄弟の名を持つ人とは交わらないようにしてください。そのようなものと一緒に食事をすることさえできません。部外者を裁くことと何の関係があるのでしょうか？あなたが裁かなければならないのは教会内の人々ではないのか。神は外にいる者たちを裁きます。「あなた方の中から悪人を追い出しなさい。」

使徒 19:10 そして、これは二年間続きました。そのため、ユダヤ人もギリシャ人も、アジアに住むすべての人が主イエスの言葉を聞いた。

パウロのエフェソでの福音の宣べ伝えは二年間続き、ユダヤ人もギリシャ人も、多くの人々が主イエスの言葉を聞きました。

1. 福音を分かち合うことの重要性 - エフェソスでのパウロの宣教は、他の人たちに伝えるよう私たちにどのようなインスピレーションを与えることができるか

2. 言葉の力 - 主イエスの言葉がエフェソスの人々の心をどのように変えたか

1. ローマ 10:14-15 - 聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるでしょうか。そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

使徒 19:11 そして神はパウロの手によって特別な奇跡を起こされました。

神はパウロの宣教を通して奇跡を起こしました。

1. 「信仰の力: 献身を通じて神の奇跡を体験する」

2.「奇跡を起こす人：パウロの宣教を通して神とつながる」

1. ヘブル人への手紙 11:1-2 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。昔の人々はそれによって賞賛を得たからです。」

2. コリント人への第二の手紙 12:9 「しかし、彼は私に言った、「私の恵みはあなたに十分です。私の力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」ですから、キリストの力が私の上に宿るように、私はますます喜んで自分の弱さを誇りましょう。」

Act 19:12 こうして、彼の体から、病気のハンカチや前掛けが取り出されたので、それらから病気が去り、悪霊がそれらから出て行った。

パウロの体は人々を癒すために使われました。ハンカチとエプロンは彼から取り上げられ、病人を癒したり、悪霊を追い出したりするために使用されました。

1.「信仰の力：パウロと奇跡の癒し」

2. 「イエスの権威：パウロを通しての癒し」

1. マルコ 16:17-18 - 「そして、これらのしるしは、信じる者たちに付きまといます。わたしの名において、彼らは悪霊を追い出し、彼らは新しい言語で話し、彼らは手で蛇を拾い、そして彼らが猛毒を飲むとき、、それは彼らをまったく傷つけません、彼らは病気の人に手を置くでしょう、そして彼らは良くなります。」

2. マタイ 10:1 - 「イエスは 12 人の弟子たちを呼び寄せ、彼らに汚れた霊を追い出し、あらゆる病気を癒す権威を与えました。」

Acts 19:13 そこで、放浪のユダヤ人の中から悪魔祓いをする人たちが、悪霊に取り憑かれている彼らを呼び寄せて、主イエスの名を呼んで言った、「パウロが宣べ伝えているイエスによって、あなたたちに祈ります」と言った。

ユダヤ人の中には、イエスの名前を使って悪霊を追い出そうとする人もいました。

1. イエスの御名の力

2. 福音の権威

1. ピリピ 2:9-11 そこで、神はイエスを高く評価し、あらゆる名にまさる名を授けた。 10 それは、天においても地においても、地の下においても、イエスの御名によってすべての膝がかがむためである。11 そしてすべての舌は、父なる神の栄光のために、イエス・キリストが主であると告白します。

2. マタイ 28:18-20 - そして、イエスが来て彼らに言われた、「天と地におけるすべての権威がわたしに与えられました。 19 そこで、行って、すべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、20 わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

Acts 19:14 また、ユダヤ人で祭司長であるシェバという人の息子が七人いた。

ユダヤ人の祭司の息子たちは悪霊を追い出そうとしました。

1. 信仰の力: パウロの救いのメッセージが人生をどのように変えたか

2. 従順の重要性: 神の命令に従うこと

1. ヤコブ 2:17-18 「それでも、もし信仰が働かなければ、孤独では死んだものです。そうです、人はこう言うかもしれません。『あなたには信仰があるが、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください。私は自分の行いによって私の信仰をあなたに示します。」

2. 使徒 5:29 「そこでペテロと他の使徒たちは答えて言った、『人間ではなく神に従うべきだ。』」

Act 19:15 すると悪霊が答えて言った、「私はイエスを知っています。パウロも知っています。私はイエスを知っています。」しかし、あなたは誰ですか？

悪霊が、イエスとパウロの名を使って自分を追い出している人々は誰なのかと尋ねました。

1. 名前の力: イエスの名前の力とパウロの宣教の影響を探る

2. イエスを知る: イエスを知ることがどのようにして霊的権威につながるのか

1. フィリピ 2:9-10: 「ですから、神は彼を高く上げ、あらゆる名に勝る名を彼に授けました。それは、天においても、地においても、地の下においても、イエスの名のもとにすべての膝がかがむようにするためです。」」

2. エペソ人への手紙 6:12: 「私たちは血肉に対して戦うのではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的な力に対して戦うのです。」

Act 19:16 その男が悪霊に乗って彼らに飛びかかり、彼らに打ち勝ち、打ち負かしたので、彼らは裸で傷つきながらその家から逃げ出した。

悪霊に取り憑かれた男が同じ家にいた人々を襲い負傷させ、裸の状態で逃走した。

1. 不浄な霊の力: 不浄な影響を認識し、回避する。

2. 善をもって悪を克服する: 信仰は誘惑と罪を克服するのにどのように役立つか。

1. エペソ 6:12 - 「私たちの闘いは血肉に対するものではなく、支配者に対するもの、権威に対するもの、この闇の世界の権力に対するもの、そして天の領域の悪の霊的勢力に対するものだからです。」

2. ヨハネ第一 4:4 - 「親愛なる子供たちよ、あなたがたは神から出た者であり、彼らに打ち勝ったのです。なぜなら、あなたがたのうちにおられる方は、世におられる方よりも偉大だからです。」

使徒 19:17 このことは、エフェソスに住むすべてのユダヤ人やギリシャ人にも知られていた。そして恐怖が彼ら全員に降りかかり、主イエスの御名はあがめられた。

エフェソスに住むユダヤ人やギリシャ人は、主イエスの力について聞いて恐怖に陥りました。

1. イエスの御名の力

2. 神への恐れと信仰

1. ピリピ人への手紙 2:9-11 「そこで、神は彼をいと高き所に高め、あらゆる名にまさる名を与え、天においても地においても、地の下においても、イエスの名のもとにすべての膝がかがむようにと与えられた。そして父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であることを認めます。」

2. イザヤ書 12:2 - 「確かに神は私の救いです。私は信頼し、恐れません。主、主ご自身が私の力であり、私の守りです。彼は私の救いとなりました。」

Act 19:18 すると、多くの信仰者がやって来て、告白し、自分たちの行いを示した。

多くの信者がイエス・キリストへの信仰を公に告白しました。

1: 告白の力 - イエス・キリストへの信仰を公に告白することが、私たちの人生をどのように変えることができるか。

2: 信仰の自由 - イエス・キリストを信頼することで真の自由がどのようにもたらされるのか。

1: ローマ人への手紙 10:9-10 「もしあなたが口で主イエスを告白し、神が主イエスを死人の中からよみがえらせてくださったと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」人は心から正義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。」

2: マタイ 16:16 「すると、シモン・ペテロは答えて言った、「あなたは生ける神の子キリストです。」

使徒 19:19 また、奇術を用いた者たちの多くは、自分の本を持ち寄り、みんなの前で焼き、その値段を数えてみると、銀貨五万枚であった。

エフェソスの人々は、銀貨5万枚相当の魔術と魔法の本を破壊しました。

1. 悔い改めの力: 世の誘惑に打ち勝つ

2. 罪の代償: 神から離れることの代償

1. ローマ 12:2 - 「そして、この世に適応するのではなく、心を新たにして変えられなさい。それは、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明するためです。」

2. 箴言 1:10-19 - 「わが子よ、もし罪人たちがあなたをそそのかしたとしても、同意してはならない。もし彼らが『私たちと一緒に来て、血を流すために横たわって待ちましょう。理由もなく罪のない人のためにひっそりと潜伏しましょう。罪のない人々のために、私たちと一緒に来てください。シェオールのように、そして穴に下る人々のように、それらを生きたまま飲み込みましょう、あらゆる種類の貴重な財産を見つけて、戦利品で家を満たしましょう、私たちの中であなたの運命に投じてください、私たち全員が 1つの財布を持ちましょう「――わが子よ、彼らと一緒に道を歩まないでください。彼らの道から足を遠ざけてください。彼らの足は悪に走り、血を流そうと急いでいるからです。」

使徒 19:20 神の言葉は非常に力強く成長し、広まりました。

神の言葉は力強く成長し、成功を収めました。

1. 神の言葉には人生を変える力がある

2. 力強い説教の力

1. ローマ人への手紙 1:16 - 私は福音を恥とはしません。福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。

2. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉もそのようになるでしょう。それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。

使徒 19:21 これらのことが終わった後、パウロはマケドニア州とアカイア州を通ったとき、エルサレムに行くことを霊の中で計画し、「そこに行ったらローマも見なければならない」と言った。

パウロは霊的にエルサレムに行き、それからローマに行くことを決心しました。

1. 精神的な目標を設定し、目的を持ってそれを追求することの重要性。

2. 私たちの人生を導き、導く聖霊の力。

1. フィリピ 3:14 - 「私はキリスト・イエスにおける神の上への呼びかけを賞として、目標に向かって突き進みます。」

2. ローマ人への手紙 8:14 - 「神の御霊に導かれている者は皆、神の子です。」

Act 19:22 それで、彼は自分に仕えていた二人、ティモテウスとエラストスをマケドニアに遣わした。しかし彼自身は一シーズンアジアに滞在した。

パウロはアジアにしばらく滞在している間、二人の仲間、テモテとエラストスをマケドニアに送りました。

1. 神の計画への委任と信頼の重要性

2. 仲間と協力する力

1. 箴言 15:22 - 助言がなければ計画は狂いますが、多くの助言者がいれば計画は立てられます。

2. コリント第一 3:5-7 - では、アポロとは何でしょうか？そしてポールとは何ですか？主が一人一人に機会を与えてくださったように、あなたが信じた僕たち。私は植え、アポロは水を与えましたが、成長させたのは神でした。したがって、植える人も水を注ぐ人も何もなく、成長をもたらすのは神です。

使徒 19:23 そして同時に、その道について少なからず騒ぎが起きた。

街では道の教えをめぐって大騒動が起きた。

1. 良いメッセージの力 - たった 1 つのメッセージがどのようにして都市に大きな波紋を呼び起こすことができるのか

2. 正しいことを主張する - 自分が信じていることのために声を上げることの重要性

1. 使徒 4:14-17 - ペテロとヨハネはイエスについて大胆に証言します

2. イザヤ書 40:31 - 主を待ち望む者は力を新たにする

使徒 19:24 ディメトリオスという名の銀細工師が、ダイアナのために銀の神殿を作ったが、職人たちに少なからぬ利益をもたらした。

ディメトリアスがダイアナのために銀の神殿を作るという技術で成功したことは、勤勉と献身がいかに大きな報酬につながるかを示す例となります。

1. 勤勉と献身は大きな報酬につながります。

2. 私たちの手による仕事には大きな価値があります。

1. 伝道の書 9:10 - 自分の手にやりたいことは何でも、全力を尽くしてやりなさい。

2. コロサイ 3:23 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。

使徒 19:25 彼は同じ職業の労働者たちを呼んでこう言った、「先生、私たちがこの仕事によって富を得ていることは、あなたがたもご存じです。」

エフェソスの労働者たちは、自分たちの工芸が富の源であることを思い出させられます。

1: 神は私たちに、繁栄をもたらすために活用できる賜物と才能を祝福してくださいました。

2: 私たちは自分が持っている物質的な富に感謝し、それを神の栄光のために使うべきです。

1: 伝道の書 9:10: 自分の手にできることは何でも、全力を尽くして行いなさい。

2: マタイ 6:24: 誰も二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかです。

使徒 19:26 さらに、あなたがたが見聞きしているのは、このパウロが、エフェソスだけでなく、アジアのほぼ全土で、自分たちは手で造られた神ではない、と言って、多くの人々を説得し、追い返してきたということです。

パウロはアジアの多くの人々に、手で作った偶像は神ではない、と教えて説得し、背を向けさせました。

1. 偶像崇拝: 創造者を創造物に置き換える

2. 神の言葉の力: 人生を変える

1. 申命記 5:7-9 - あなたにはわたしの他に神があってはならない

2. イザヤ書 44:15-20 - あなたが偶像を作り、自分の手で造ったものを崇拝するのは無駄です。

使徒 19:27 つまり、私たちの船が航行不能になる危険にさらされているだけではありません。しかし同時に、全アジアと全世界が崇拝する偉大な女神ダイアナの神殿は軽蔑され、その素晴らしさは破壊されるべきである、ということでもある。

偉大な女神ダイアナは多くの人から尊敬されていましたが、彼女の神殿は破壊の危機にさらされていました。

1: 神を超える者はいない - 使徒 19:27

2: 誰もが霊的に偉大になることができる - ヤコブ 4:10

1: 神は他のどんな力よりも偉大です - ヨハネ第一 4:4

2: 私たちの神は素晴らしい神です - 詩篇 47:2

Act 19:28 彼らはこの言葉を聞いて怒りに満ち、叫んで言った、「エペソ人のディアナは偉大だ」。

エペソ人の一群はパウロの言葉に激怒し、ダイアナへの献身を宣言しました。

1. その瞬間の情熱に惑わされて真実から迷わないようにしてください。

2. 私たちは文化的な圧力に直面して、賢明かつ洞察力を持たなければなりません。

1. ヤコブ 1:5-8 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

使徒 19:29 すると、町全体が混乱に満ちた。そこで、パウロの旅仲間であるマケドニア人のガイオとアリスタルコを捕まえて、一斉に劇場になだれ込んだ。

パウロの仲間たちが逮捕された後、エフェソス市全体が混乱に陥りました。

1: 神の計画は私たちの状況よりも偉大です

2: 混乱と混乱にもかかわらず信仰を堅持する

1: ローマ人への手紙 8:38-39 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には、決して不可能であると私は確信しています。」それは私たちを私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から引き離すためです。」

2: イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

使徒 19:30 そして、パウロが人々の前に入ろうとしたとき、弟子たちは彼を黙らせませんでした。

弟子たちはパウロが群衆の中に入るのを妨げました。

1. 団結の力: 協力することで私たちの信仰がどのように強化されるか

2. 識別力の強さ：いつ従うべきか、いつ導くべきか

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

2. 箴言 14:15 - 素朴な人はすべてを信じますが、思慮深い人は自分の歩みをよく考えます。

Act 19:31 そこで、彼の友人であるアジアの首長の何人かが彼のもとに人を遣わして、劇場に冒険に出ないようにと願った。

アジアにいるポールの友人の何人かは、劇場に行かないよう彼にメッセージを送った。

1. 友人を信頼する: 最も偉大なリーダーであってもサポートが必要です

2. いつリスクを取るべきかを知る: 信念と注意のバランス

1. 箴言 19:20、「助言を聞き、教えを受けなさい。そうすれば、あなたは最後の最後に賢くなることができます。」

2. ピリピ 4:13、「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

使徒 19:32 そこで、ある者はあれこれ叫び、また別のことを叫んだ。集会は混乱したからである。そして、ほとんどの人は彼らがなぜ集まったのか知りませんでした。

集会は混乱し、なぜ集まっているのか分かりませんでした。

1. 団結の力: 協力して素晴らしい成果を達成する方法

2. 質問することを恐れないでください: 明確さと理解を求める

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに忍耐をもって、召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛において、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

Act 19:33 そこで彼らはアレクサンダーを群衆の中から引き抜き、ユダヤ人たちは彼を前に出させた。そしてアレクサンドロスは手で合図し、民に弁護をしただろう。

アレクサンダーはユダヤ人たちによって群衆の中から連れ出され、人々に話させるよう身振りで示した。

1. 証人の力: 私たちの影響力が人生をどのように変えることができるか

2. 正しいことのために立ち上がる: 私たちの信念のために立ち上がる

1. イザヤ書 43:1-3 - しかし、ヤコブよ、あなたを創造した主は今こう言われます、イスラエルよ、あなたを形づくった主は、恐れることはありません。私はあなたを救い出し、あなたの名前であなたを呼んだのです。あなたは私のものです。あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。川を通って、水があなたに溢れ出ることはありません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたに燃え上がることもありません。

2. マタイ 10:32-33 - したがって、人々の前で私を告白する者は誰でも、私も天におられる私の父の前でも告白します。しかし、人々の前で私を否認する者は誰であれ、私も天におられる私の父の前でその者を否認します。

Acts 19:34 しかし、彼がユダヤ人であると知ると、皆が二時間ほど声を揃えて、「エペソ人のディアナは偉大だ」と叫びました。

エフェソスの集会で、人々はパウロがユダヤ人であることを認め、ダイアナを称賛する声を2時間にわたって叫び続けました。

1: 私たちは自分と異なる人に対する反応に注意すべきです。

2: 私たちは自分の言葉の力と、それが周囲の人々に与える影響に留意しなければなりません。

1: ヤコブ 3:1-12 は、舌の力と、それが善にも悪にもどのように用いられるかを強調しています。

2: コロサイ 4:6 は、言葉を賢明かつ優雅に使うよう励ましています。

使徒 19:35 町の役人は人々をなだめると、こう言った、「エペソの人たちよ、エペソの町が偉大な女神ディアナと倒れた像の崇拝者であることを知らない者がいるだろうか」木星から下に？

エフェソスの町職員は、偉大な女神ディアナと木星から落ちてきた像に対するこの都市の崇拝を思い出させて人々をなだめました。

1. 偶像崇拝の危険性

2. 都市の遺産の力

1. 出エジプト記 20:3-5 - 「あなたにはわたしのほかに神があってはならない。あなたは自分のために、上の天にあるもの、下の地にあるもの、あるいは地下

の水の中にあるものの彫刻や類似物を作ってはならない。あなたは彼らにひれ伏したり、彼らに仕えたりしてはならない。あなたの神、主であるわたしは嫉妬深い神だからである。

2. 使徒 17:16-17 - さて、パウロがアテネで彼らを待っている間、その都市が偶像に明け渡されているのを見たとき、彼の霊は彼の内に刺激を受けました。そこで彼は、会堂ではユダヤ人や異邦人の崇拝者たちと論じ、市場では毎日たまたまそこにいた人たちと論じました。

使徒 19:36 ですから、これらのことに反対することはできないのですから、あなたがたは静かにして、軽率な行動をとるべきではありません。

使徒 19:36 におけるパウロの軽率な決定に対する警告。

1: 結果を考慮する - 性急な決定を避けるようにというパウロの警告を振り返る

2: 時間をかけて考える - 意思決定において慎重であることの重要性を理解する

1: 箴言 14:15 - 単純な人はすべての言葉を信じますが、思慮深い人は自分の行く末をよく見ます。

2: ヤコブ 1:19 - ですから、愛する兄弟たちよ、人は皆、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

Acts 19:37 あなたがたは、教会の強盗でもなければ、あなたの女神を冒涜する者でもない、この人たちをここに連れてきました。

パウロとその仲間たちは、エフェソスの女神を盗み、冒涜したとして告発されています。ポールは、彼らがこれらの容疑について無実であると宣言します。

1. 言葉の力: 私たちの言葉が私たちの生活に与える影響

2. 信仰における誠実さ: パウロとシラスの研究

1. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。

2. ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、考えてください。これらのことについて。

Acts 19:38 ですから、もしデメトリオスと彼と一緒にいる職人たちが誰かに対して問題を抱えているなら、法律は開かれており、議員がいます。彼らは互いに主張し合いましょう。

ディメトリアスとその仲間たちは、お互いに生じた紛争を暴力に訴えるのではなく、法制度を利用して解決すべきである。

1. 紛争を平和的に解決する - 暴力に頼らずに法律を使って紛争を解決する方法。

2. 法の知恵 - 法の価値とそれが尊重されるべき理由を理解します。

1. ローマ 12:17-19 - 誰に対しても悪で報いるのではなく、すべての人の目に何が尊いのかを考えてください。

2. 箴言 15:1 - 優しい答えは怒りを遠ざけますが、厳しい言葉は怒りを引き起こします。

Acts 19:39 ただし、その他の事項に関してあなたがたが質問する場合は、合法的な集会で決定しなければなりません。

パウロはエペソの弟子たちに、他の問題は合法的な集会で解決するように指示します。

1. キリスト教の集会における識別の重要性

2. 教会における一致の必要性

1. ローマ人への手紙 15:5-6 「忍耐と励ましの神が、あなたがたがキリスト・イエスに従って互いに調和して生き、声を一つにして私たちの主イエス・キリストの父なる神を讃えることを許してくださいますように」」

2. コリント第一 14:40 「しかし、すべてのことはきちんと、秩序正しく行われるべきです。」

使徒 19:40 なぜなら、私たちは今日の騒動について尋問される危険にさらされており、このコンコースについて説明できる大義はないからです。

ポールとその仲間たちは、騒動の説明がなかったため、騒動に関与した疑いで問われる危険にさらされていた。

1. 評判の力: 私たちの行動が私たちの性格にどのように反映されるか

2. 騒動を引き起こす危険性：私たちの行動の結果を振り返る

1. 箴言 22:1 - 良い名は大きな富よりも望ましい。尊敬されることは銀や金よりも優れています。

2. ヤコブ 2:14 - 兄弟姉妹の皆さん、信仰があると主張しても行いがなかったとしたら、それが何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか？

Act 19:41 そして彼はこう話すと、集会を解散させた。

パウロは集会での演説を終えて、集会を解散させた。

1. 私たちの言葉の力: 権威を持って話す方法

2. 聞くことの重要性: 洞察力を持って聞く方法

1. 箴言 18:21 – 死も命も舌の力にある

2. ヤコブ 1:19 - 聞くのは早く、話すのは遅く、怒るのは遅い

使徒行伝 20 章には、パウロのマケドニアとギリシャの旅、トロアスでのエウティコの出来事、そしてエフェソスの長老たちへのパウロの別れの言葉が語られています。

第一段落: この章は、パウロが暴動の後エフェソスを去り、マケドニア中を旅して弟子たちを励ますところから始まります。彼はギリシャに 3ヶ月滞在しましたが、船でシリアに戻ろうとしたとき、ユダヤ人が彼に対して陰謀を企てていることを知り、ソパテル・ピュロス・ベレア・アリスタルコス・セクンドゥス・テサロニケ人ガイウス・デルベ・ティモシー・ティキクス・トロフィムス・アジアを伴ってマケドニアを通って戻ることにしました（使徒 20:1）-4)。これらの人々は先に進み、種なしパンの日々の後、フィリピから出航したトロアスで私たちを待っていましたが、5日後にトロアスで合流し、そこで7日間滞在しました（使徒20:5-6）。

第 2 段落: 週の最初の日、休憩パンに会ったとき、パウロは話しました。人々は翌日出発するつもりで真夜中まで話し続けました。そこにはたくさんのランプが集まっていた上の部屋で、窓枠に座っていたエウティコスという名の若者は深い眠りに落ちました。パウロがさらに長く話していると、眠りに落ちてしまいました。3 階で死んで引き上げられたが、ポールは彼の上にかがんで降り、腕を掴んで「彼は生きているので心配しないでください！」と言いました。それから二階に行き、パンを食べ、夜明けまで長い間話し、その間に少年は大いに慰められ、生きて家に連れて帰りました（使徒行伝20:7-12）。

第 3 段落: そこから彼らはミレトスへ出航しました。パウロはペンテコステの日までにできればエルサレムに着きたいと考えていたため、アジア州で時間を費やすことは避け、エフェソスを迂回することに決めたからです。ミレトスからエフェソス長老教会にメッセージが送られ、彼に会いに来てください。彼らが到着すると、お別れのスピーチをして、自分たちがどのように主に仕えてきたかを思い起こさせました。計画された厳しい試練の中で、大いなる謙虚さで涙を流しました。ユダヤ人はためらうことなく説教しました。有益なことは何でも公に教えました。両ユダヤ人を証言しました。ギリシャ人は神に対して悔い改めました。信仰を持っています。私たちの主イエス・キリストは今、聖霊よ去らなければなりません。エルサレムは私に何が起こるか分からず、そこではすべての都市を知っているだけです 聖霊は私に直面している刑務所の苦難を私に警告しますが、私の人生には何の価値もないと考えてください、主イエスが私に与えられたレースの課題を終えることだけが神の恵みの福音を証言します（使徒行伝20:13-24）。彼は、野蛮なオオカミが自分たちの中にやって来て、真実を歪め、弟子たちを遠ざけると警告しました。自分たちが見守るように促した後、覚えておいてください、3年間、毎晩涙を流しながら警告をやめなかった。これらのことを話した後、全員でひざまずいて祈ってから、もう二度と顔を見ることはないだろうという彼の言葉に最も悲しんで、涙を流しながら抱き合ってキスをして帰途につきました(使徒20:25-38)。

使徒 20:1 騒動が静まった後、パウロは弟子たちを呼び寄せ、抱き合い、マケドニアへ向けて出発した。

騒動が終わった後、パウロは弟子たちに別れを告げてマケドニアへ向かいました。

1. さよならの力：手放すことを学ぶ

2. 変化とこれからの旅を受け入れる

1. イザヤ書 43:18-19 (「昔のことを思い出してはなりません。また、昔のことを考えてはいけません。見よ、わたしは新しいことをしています。今それが湧き出ています。あなたがたはそれに気づかないのですか。わたしは世界に道を作ります。」荒野と砂漠の川。」）

2. ヨシュア記 1:9 (「わたしがあなたに命じたではありませんか。強く勇敢であれ。恐れることなく、落胆することはありません。あなたの神、主はどこへ行ってもあなたとともにおられます。」)

使徒 20:2 そして、彼はそれらの部分を調べて、多くの勧めを与えてから、ギリシャに来て、

パウロはギリシャに来る前に訪れた地域の信者たちを励ましました。

1. 「励ましによって信仰を強める」

2.「言葉の力」

1. エペソ人への手紙 4:29 - 「あなたがたの口からは、堕落させるような話を出してはなりません。ただ、聞く者に恵みを与えるために、時宜に応じて築き上げるのに役立つような話だけを出してください。」

2. ローマ 15:4-5 - 「昔に書かれたものはすべて、忍耐と聖書の励ましによって私たちが希望を持つことができるように、私たちの指示のために書かれたものだからです。忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って、互いにそのように調和して生きることを許してくださいますように。」

使徒 20:3 そしてそこには三か月間住んだ。そして、彼がシリアへ出航しようとしていたとき、ユダヤ人たちが彼を待ち構えていたとき、彼はマケドニアを通って戻るつもりでした。

パウロはギリシャに3か月間滞在しましたが、ユダヤ人が彼に対して陰謀を企てたとき、シリアではなくマケドニアを通って旅行することに決めました。

1. 課題の克服: 困難な時期にどうやって耐えるか

2. 神の主権: 神の計画と導きを信頼する

1. エペソ人への手紙 6:13 「ですから、神の武具をすべて身に着けなさい。そうすれば、あなたは災いの日に耐えることができ、すべてをやり遂げて、しっかりと立つことができます。」

2. ローマ 8:28 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

Acts 20:4 そして、ベレヤのソパテルも彼に同行してアジアに入った。そしてテサロニケ人のアリスタルコスとセクンドゥス。デルベのガイウスとティモテウス。そしてアジアのティキクスとトロフィムス。

パウロは、ソパテル、アリスタルコス、セクンドゥス、ガイウス、ティモテウス、ティキコス、トロフィモを伴い、アジアへ旅行しました。

1. 団結の力: パウロとその仲間たちの旅

2. 友情の強さ: ポールとその仲間たちの冒険

1. 伝道の書 4:9-12 - 二人のほうが一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労苦に対して良い報いがあるからです。なぜなら、彼らが倒れても、誰かが仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れても一人で、支えてくれる者がいない人は不幸です。繰り返しになりますが、二人で寝れば暖かいのですが、どうして一人で暖かくなれるのでしょうか？そして、一人の男が孤独な一人に勝つかもしれないが、二人は彼に抵抗するだろう、三重の紐はすぐに切れるものではない。

2. 箴言 13:20 - 賢い者とともに歩む者は賢くなるが、愚か者の仲間は害を受けるであろう。

使徒 20:5 この前に行く人たちは、トロアスで私たちのために待っていてくれました。

この一節は、先にトロアスに向かい、残りのグループが到着するのを待った人々について語っています。

1. 他者を第一に考える: 無私の奉仕の力

2. 信仰を貫く: 困難な時代を耐え抜く

1. ピリピ 2:3-4 - 「競争心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。」

2. ヘブライ 10:23-25 - 「約束された方は忠実だから、揺るがずに希望の告白をしっかりと持ち続けましょう。そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてその日が近づいているのを見るとなおさら、愛と良い行いにお互いを鼓舞する方法を考えましょう。」

使徒 20:6 私たちは種なしパンの日々が終わった後、フィリピを出航し、五日かけてトロアスに到着しました。私たちが7日間滞在した場所。

パウロとその仲間たちは、種なしパンの祭りを祝った後にフィリピを出発し、5日後にトロアスに到着し、そこで7日間滞在しました。

1. 交わりの力：パウロの交友とトロアスへの旅。

2. リフレッシュされ、新たにされた: トロアスでのパウロの滞在は、パウロに福音を広め続けるようどのように励まされたか。

1. ローマ人への手紙 8:38-39 なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、どんなこともできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離してください。

2. コリント第一 15:58 ですから、親愛なる兄弟姉妹の皆さん、しっかりしてください。何も動かさないでください。主における自分の働きが無駄ではないことを知っているので、常に主の働きに全力を尽くしてください。

使徒 20:7 週の初めの日、弟子たちがパンを裂くために集まったとき、パウロは明日の出発の準備をしながら彼らに宣べ伝えた。そして真夜中まで演説を続けた。

週の初めの日に、パウロは集会で弟子たちに説教し、真夜中まで語りました。

1. 説教の力: パウロがどのように言葉を使って霊感を与え、教えたか。

2. コミュニティの重要性: 仲間意識の強さを見つける。

1. ローマ 10:14-17 - 信仰はメッセージを聞くことによってどのように生まれ、信仰はキリストの言葉を通して聞くことによってどのように生まれるのか。

2. ヘブライ 10:23-25 - 互いに励まし合い、集まって愛と善行に向けて励まし合うにはどうすればよいでしょうか。

使徒 20:8 上の部屋にはたくさんの明かりがあり、そこに集まっていた。

たくさんの明かりが灯る上部の部屋に人々が集まりました。

1. キリストの光 - ヨハネ 8:12

2. コミュニティの力 - 使徒 2:1-4

1. ヨハネ 8:12 - イエスは再び人々に語られたとき、こう言われました。私に従う者は決して暗闇の中を歩むことはなく、命の光を持つでしょう。」

2. 使徒 2:1-4 - ペンテコステの日が来ると、彼らは皆同じ場所に集まりました。突然、激しい風が吹くような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家全体が満たされました。彼らは、火の舌のようなものが分離してそれぞれの上に留まるのを見た。彼らは皆聖霊に満たされ、御霊の御力に従って他の言語で話し始めました。

使徒 20:9 すると、エウティコという名の若者が窓に座っていて、深い眠りに落ちていた。パウロが長い間説教していたとき、彼は眠りに沈み、三階の屋根裏部屋から落ちて、死んで引き上げられた。。

青年エウティコスはパウロが長い間眠ってしまい、３階の窓から落ちたが、引き上げられて死んでいた。

1. 私たちの行動は私たちの霊的生活にどのような影響を与えるのか

2. 苦難の時の祈りの力

1. ルカ 8:22-25 - イエスは嵐を静める

2. ヤコブ 5:13-15 - 病人のための祈り

使徒 20:10 そこでパウロは下って行き、彼の上にひれ伏し、彼を抱きしめながら言った、「心配しないでください。彼の命は彼の中にあるからです。

パウロは若者の友人たちを慰め、彼はまだ生きていると安心させた。

1. 困難な時代における慰めの力

2. 悲劇に直面したときの安心感

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスはマルタに言われました。「わたしは復活であり、命です。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きます。」

2. テサロニケ第一 4:13-14 - 兄弟姉妹の皆さん、希望のない残りの人類のように悲しむことがないように、死の眠りに就いている人々について無知になってほしくないのです。なぜなら、私たちはイエスが死んで復活したことを信じているので、神がイエスの内に眠っている人々をイエスとともに連れて来られると信じているからです。

Act 20:11 それで、イエスは再び上がってきて、パンを裂き、食事をし、長い間、夜が明けるまで話していたので、立ち去った。

パウロは夜遅くまで長時間説教しました。

1: 継続の力

2: 持久力の重要性

1: ヤコブ 1:2-4 「兄弟たち、さまざまな試練に遭ったとき、それをすべて喜びと考えなさい。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなた方は知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮しなさい。」

2: ガラテヤ 6:9 「善を行うことに飽きないようにしましょう。あきらめなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。」

Acts 20:12 こうして彼らは若者を生き返らせたので、少なからず慰められた。

パウロの弟子たちは、祈っていた青年が生き返ったとき、大いに安堵しました。

1. 神はご自分の時にいつでも喜んで私たちの祈りに答えてくださいます。

2. 希望が失われたように見えるときでも、神の救いは常に可能です。

1. マルコ 11:24 - 「だから、私はあなたたちに言います。あなたが祈りで求めるものは何であれ、あなたがそれを受け取ったと信じなさい。そうすれば、それはあなたのものになります。」

2. 詩篇 37:5 - 「主に道を捧げなさい。彼を信頼すれば、彼はそうしてくれるだろう。」

Acts 20:13 それから、私たちは船に乗り、アソスに向かい、そこでパウロを受け入れるつもりでした。

パウロはアソスに向けて出発することを自分に決めました。

1. 自分の行動に責任を持つ

2. 神の御心に従って歩む

1. マタイ 11:28-30 - すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたい

けにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようになります。

Acts 20:14 そして、彼がアソスで私たちと会ったとき、私たちは彼を受け入れて、ミティレネに来ました。

パウロはアソスで仲間たちと会い、ミティレネへ向かいました。

1. 神の導き: それをどのように認識し、従うか

2. 協力する力

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分だけの理解に頼らないでください。あなたのあらゆる道において神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくださるでしょう。

2. ローマ 12:10 - 兄弟のような愛情をもって互いに愛し合います。名誉を示すという点でお互いに勝りましょう。

Act 20:15 そこで私たちはそこから出航し、翌日キオス島に向かいました。そして翌日、私たちはサモス島に到着し、トロギリウムに到着しました。そして翌日、私たちはミレトスにやって来ました。

パウロのエフェソスからミレトスへの旅には、キオス、サモス、トロギリウムにも立ち寄りました。

1. 信仰の旅: 使徒言行録 20:15 の研究

2. 使徒パウロの宣教の旅を探る

1. ヘブライ 11:8-10 - アブラハムは、相続地として受け取ることになっている場所に行くように召されたとき、信仰によって従いました。そして彼はどこへ行くのかも知らずに出て行きました。

2. 詩篇 37:23 - 人の歩みは、その道を喜ぶときに主によって確立される。

Acts 20:16 というのは、パウロはアジアで時間を過ごすつもりはなかったので、エフェソスを経由して航海することに決めていたからです。それは、もし可能であれば、ペンテコステの日にエルサレムに着くように急いでいたからです。

パウロはペンテコステに間に合うようにエルサレムに急いでいたので、エフェソスを通過することに決めました。

1. 神の計画と人間の性急さ - 使徒 20:16

2. 時間を最大限に活用する - 使徒 20:16

1. 箴言 19:2 - 「知識のない欲望はよくない。ましてや急いで足を踏み出すと道に迷うことになるだろう。」

2. 伝道の書 3:1 - 「天の下では、すべての事柄には季節があり、時がある。」

使徒 20:17 それから彼はミレトスからエフェソスに人を遣わして、教会の長老たちを呼んだ。

パウロはエフェソスの教会の長老たちにメッセージを送り、彼らをミレトスに呼びました。

1. 神の呼びかけに耳を傾けることの重要性 - 使徒 20:17

2. 教会に対する神の忠実さ - 使徒 20:17

1. ローマ人への手紙 8:28、「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. ヘブライ 10:23-25、「私たちが告白する希望を揺るがずに持ちましょう。約束してくださった方は真実だからです。そして、どのようにしてお互いに愛と善行に励み合うことができるかを考えましょう。出会いを諦めないようにしましょう」一緒に行動するのが習慣になっている人もいますが、お互いに励まし合いましょう――そしてその日が近づいているのを見るとなおさらです。」

Acts 20:18 そして、彼らが彼のところに来ると、イエスは彼らに言った、「あなたがたも知っていますように、私はアジアに来た最初の日から、私は四季折々あなたたちと一緒に過ごしてきました。

パウロはエフェソスの長老たちに、アジアでの自分の宣教とアジアへの取り組みについて話しました。

1. 宣教における献身: パウロの模範から学ぶ

2. 献身の力: パウロの例

1. コロサイ 1:21-23 - 福音を宣べ伝えるパウロの決意

2. ローマ人への手紙 12:11-13 - 忠誠心と熱意を持って主に仕える

使徒 20:19 あらゆる謙虚な心をもって、多くの涙と、待ち構えていたユダヤ人たちのために私に降りかかった誘惑を伴いながら、主に仕えました。

使徒としてのパウロの宣教は、謙虚さ、涙、そして迫害によって特徴づけられました。

1. 謙虚さの精神性: 謙虚な心で主に仕える方法

2. 誘惑と迫害に打ち勝つ: パウロの模範

1. ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちな誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

使徒 20:20 また、私はあなたがたにとって有益なことは何も隠して、あなたがたに見せ、公に、また家から家に教えて、

パウロはエフェソスの人々を公に、そして私的に家庭で教えました。

1. 小グループで教えることの重要性

2. 教えることの力とそれが人生をどのように変えることができるか

1. 箴言 11:30 - 正しい者の実は命の木である。そして魂を勝ち取る者は賢い。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。

使徒 20:21 ユダヤ人にもギリシャ人にも、神に対する悔い改めと私たちの主イエス・キリストに対する信仰を証しします。

パウロはユダヤ人やギリシャ人に悔い改めとイエス・キリストへの信仰を説きました。

1. 悔い改めの力: 聖性への道

2. イエスへの信仰: 人生を変える決断

1. イザヤ書 55:7 - 悪者は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。そして彼を主に立ち返らせなさい。そうすれば主は彼を憐れんでくださるでしょう。そして私たちの神に、彼は豊かに赦してくださいます。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

使徒 20:22 さて、見よ、私は霊に縛られてエルサレムに行きますが、そこで私に降りかかるであろうことを知りません。

パウロはエルサレムに旅行していますが、到着後に何が起こるかはわかりません。

1.「神の計画を信じる強さ」

2. 「未知の状況にもかかわらず、信仰を持って踏み出す」

1. ローマ 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを、私たちは知っています。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。」

使徒 20:23 ただし、聖霊があらゆる都市で証しして、絆と苦しみが私にとどまっていると言われることを除いては。

この箇所には、聖霊があらゆる都市でパウロを待ち受ける苦難と苦しみを証しして下さる、と記されています。

1. 聖霊: 私たちの悩みの証人

2. 苦しみと束縛に勇気をもって立ち向かう

1. ローマ人への手紙 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。」

2. ヘブライ 12:1 - 「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、目の前に定められたレー スを忍耐強く走り抜こうではありませんか」。」

使徒 20:24 しかし、これらのことは私を動かすものではなく、自分の人生を自分にとって大切とも思っていないので、私は喜んで自分の歩みを終え、主イエスから受けた神の福音を証しする奉仕を終えることができます。神の恵み。

使徒パウロは、神の恵みの福音を証しするという使命において、いかなる障害にもひるむことはありませんでした。

1. 困難を耐え忍ぶ: 使徒パウロの模範

2. 神の恵みの良い知らせ

1. ピリピ人への手紙 1:21 - 「私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは利益なのです。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。それは自分自身によるものではありません。それは神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。」

Acts 20:25 さて、見よ、わたしが神の国を宣べ伝えて出かけたあなたがた全員が、もうわたしの顔を見ることはないことを、わたしは知っている。

パウロは、エフェソスの長老たちに会うのはこれが最後になると覚悟しながら、彼らに別れを告げます。

1. 神の王国は永遠である: パウロの別れからの励まし

2. 人生における神の計画を知る: パウロの別れが私たちをどのように励ますか

1. ヘブライ 11:8-10 - アブラハムは、相続地として受け取ることになっている場所に行くように召されたとき、信仰によって従いました。そして彼はどこへ行くのかも知らずに出て行きました。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

使徒 20:26 そこで私は、今日、私がすべての人の血から清くなったことを記録させていただきます。

パウロはエフェソスのクリスチャンたちに、自分はすべての人の血について無実であることを思い出させます。

1. 神の前で純粋に生きることの重要性

2. パウロの神聖さと純粋さの模範

1. ペテロ第一 1:14-15 - 従順な子供たちとして、以前の無知な情熱に従わないでください。しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなた

もすべての行いにおいて聖であってください。

2. ヘブライ 12:14 - 聖さを求めて努力しなさい。それがなければ、誰も主を見ることができなくなります。

使徒 20:27 わたしは神のご計画をすべてあなたがたに告げることをためらわなかったのです。

この聖句は、神の勧告を他の人たちと分かち合うよう私たちに勧めています。

1. 神の勧告を宣言することの重要性

2. 神の言葉を宣べ伝える

1. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿るようにしましょう。詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で主に向かって優雅に歌いましょう。

2. ヤコブ 1:22 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

使徒 20:28 ですから、あなたがた自身とすべての群れに気を付けなさい。聖霊があなたがたを監督として任命し、神がご自分の血で買い取られた神の教会を養うのです。

聖霊は、イエスの血によって買い取られた神の教会を世話する教会指導者を任命しました。

1: 神の意図的な投資: 教会の世話

2: 聖霊の任命: 群れを牧する

1: ヨハネ 10:14-15 - 私は良い羊飼いです。父が私を知っており、私が父を知っているように、私は自分の羊を知っており、彼らも私のことを知っています。だから私は羊のために自分の命を犠牲にします。

2: 1 ペテロ 5:2-3 - あなたの世話の下にある神の羊の羊飼いとなり、彼らを見守りなさい。そうしなければならないからではなく、神があなたに望んでおられるように、あなたが喜んでそうするからです。不正な利益を追求せず、熱心に奉仕します。あなたに託された者たちに対して威張り散らすのではなく、群れの模範となるのです。

Acts 20:29 なぜなら、私が去った後、恐ろしいオオカミが群れを容赦せずにあなたがたの中に侵入するであろうことを、私は知っているからです。

パウロはエフェソスの長老たちに、教会に危険が迫っていることを警告します。

1. 準備を整えてください: 教会での最悪の事態に備える

2. 逆境に直面してもしっかりと立つ

1. ペテロ第一 5:8-9 「警戒し、冷静な心を持ちなさい。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのように、食いつくす者を探して歩き回っています。同じ種類の苦しみがあることを知って、信仰を固くして悪魔に抵抗してください。」世界中の信者仲間が経験していることだ。」

2. ヤコブ 1:2-3 - 「兄弟姉妹の皆さん、さまざまな試練に直面するときはいつでも、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。」

使徒 20:30 また、あなたがた自身からも人々が立ち上がって、ひねくれたことを言って、弟子たちを引き離すでしょう。

パウロはエペソの長老たちに、自分たちの階級の中から偽教師が現れるだろうと警告しました。

1. 教会における識別力と思慮深さの重要性

2. 誤った教えを超えて進む

1. エペソ人への手紙 4:14-15 - 私たちは今後、人間の策略や狡猾な悪知恵によって、あちこちに振り回され、あらゆる教義の風に振り回され、騙そうと待ち伏せする子供ではなくなること。しかし、愛のうちに真実を語ることは、あらゆるものにおいて、頭であるキリストへと成長するかもしれません。

、戒め、矯正、義の指導に有益です。それは、神の人が完全であり、すべての善に完全に備えられるためです。動作します。

Acts 20:31 ですから、覚えていてください、私は三年の間、毎晩涙を流しながら警告することをやめませんでした。

使徒パウロは3年間、昼も夜も涙を流しながらすべての人に警告しました。

1. 警戒の呼びかけ: トラブルに直面しても警戒を怠らないようにする

2. 涙の力: 揺るぎない決意の教訓

1. ペテロ第二 3:17 - 「ですから、愛する人よ、あなたがたはこれらのことを前から知っているのですから、悪人の過ちに導かれて、自分自身の堅固さから落ちないように気をつけてください。」

2. ヘブライ人への手紙 10:23-25 - 「私たちは、揺るがずに自分の信仰告白を堅持しようではありませんか。（神は約束された忠実な方だからです。）そして、愛と善行を促すようお互いを考慮しましょう。集会を放棄しないでください」一部の人たちのやり方のように、私たちも一緒にいますが、お互いに励まし合っています。そして、その日が近づいているのを見ると、なおさらです。」

Acts 20:32 さて、兄弟たち、私はあなたがたを神と、あなたがたを築き上げ、聖なる者すべての中で相続財産を与えることのできる神の恵みの言葉にあなたを勧めます。

パウロは兄弟たちに、神と神の言葉に頼るよう勧めています。神は彼らを築き上げ、彼らに相続財産を与えてくれるのです。

1. 神の恵みの力 - 神と神の御言葉に信頼することがどのように私たちに力と祝福をもたらすのか。

2. 約束された相続 - 神聖化によってもたらされる祝福の探求。

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

使徒 20:33 私は人の銀、金、衣服を欲しがりませんでした。

この箇所は、パウロが宣教活動において物質的な利益を動機としていたわけではないことをエペソ人に思い出させるものです。

1. 「奉仕の代償: 福音のために利己心を否定する」

2. 「物質主義の魅力を超えて生きる: キリストにおける充足感を見つける」

1. ピリピ人への手紙 4:11-13 - 「私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。私は、どのように卑屈になるかを知っていますし、どのように豊かになるかを知っています。「どこにいても、どんなことでも、私は満腹することも飢えることも、豊かになることも必要に耐えることも教えられています。私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできるのです。」

2. テモテ第一 6:6-10 - 「しかし、満足を伴う敬虔さは大きな利益です。私たちはこの世に何ももたらしませんでしたし、何も実行できないことは確かです。そして、食べ物と衣服があれば、それで満足することができます。しかし彼らは、お金への愛はすべての悪の根源であるため、お金への愛は誘惑と罠に陥り、多くの愚かで有害な欲望に陥ります。信仰を持ち、多くの悲しみで自分自身を貫いたのです。」

Acts 20:34 そうです、あなたがたも知っているように、この手が私の必需品と私と一緒にいた人たちに役立ってくれました。

パウロはエフェソスの長老たちに、自分と自分と一緒にいる人たちを養うために働いてきたことを思い出させました。

1: 仕事への呼びかけ: パウロの他者への奉仕の模範

2: 他者に奉仕する力: パウロの例

1: ピリピ 4:12-13 - 私は、貧しいとはどういうことかを知っていますし、豊かであるとはどういうことかを知っています。私は、十分な食事があるか空腹であるか、豊かな生活でも貧しい生活でも、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。

2: 1 テサロニケ 2:9 - 兄弟姉妹の皆さん、私たちの労苦を覚えておいてください。私たちは神の福音をあなたがたに宣べ伝えている間、誰にも負担にならないように昼も夜も働きました。

使徒 20:35 私はあなたがたに、どのようにして弱い人たちを労わるべきか、そして主イエスの言葉、「受けるより与えるほうが幸いである」という言葉を思い起こすよう、すべてのことを示しました。

この聖句は、受け取るよりも与えるほうが幸いであることを強調しています。

1:「与える喜び」

2:「寛大さの祝福」

1: ルカ 6:38 「与えなさい。そうすれば、与えられるでしょう。良い量りを、押しつけたり、一緒に振ったり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。なぜなら、あなたが使う量りで、それは測られるからです」あなた。"

2: 箴言 3:27 - 「あなたの力の中にあるときは、受けるべき人に善を差し控えてはなりません。」

使徒 20:36 こうして話し終わると、イエスはひざまずいて、皆と一緒に祈った。

パウロは教会に集まった人々とともにひざまずいて祈りました。

1. 祈りの力: 他の人たちと一緒に祈ることを学ぶ

2.神の御前でひざまずく：謙虚さのしるし

1. ヤコブ 5:16 - 「ですから、互いに罪を告白し、いやされるようにお互いのために祈りなさい。義人の祈りは力強く、効果的です。」

2. ピリピ人への手紙 2:5-11 - 「あなたの態度はキリスト・イエスと同じであるべきです。キリストは、本質的には神でありながら、神との平等性を把握できるものとは考えず、その本質をとって自分自身を無にしました」「人間に似せて召使として造られたのです。そして、人間の姿で見出されたので、彼はへりくだって、死に至るまで、それも十字架の死にさえ従順になりました！」

使徒 20:37 そこで、皆は激しく泣き、パウロの首にひれ伏して口づけした。

使徒 20章37節におけるパウロの弟子たちとの別れは悲しみと感動に満ちていました。

1. 真の友情の価値

2. 感情的なつながりの力

1. 箴言 17:17 - 「友はいつでも愛し、兄弟は逆境の時にこそ生まれる」

2. ローマ人への手紙 12:15 - 「喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。」

使徒 20:38 何よりも悲しいのは、彼が「もう顔を見ないでください」と言った言葉です。そして彼らは船まで彼に同行した。

パウロとエフェソスの人々は、旅を続ける船に乗りながら、悲しみながら別れを告げました。

1. 別れを言う力: 思い出を大切にしながら手放すことを学ぶ

2. 別居の重要性: いつ次に進むべきかを知る

1. ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。

2. ヘブライ 13:1-2 - 兄弟姉妹として互いに愛し合い続けてください。見知らぬ人にもてなしを示すことを忘れないでください。そうすることで、知らず知らずのうちに天使にもてなしを示している人もいるからです。

使徒行伝 21 章には、パウロのエルサレムへの旅、投獄に関する預言、神殿での逮捕について詳しく書かれています。

第 1 段落: この章は、パウロとその仲間たちがミレトスから船出してティルスに到着し、そこで弟子たちが 7 日間滞在しているのを発見するところから始まります。彼らは御霊を通してパウロにエルサレムに行かないように勧めましたが、時間が来たので妻子を伴って旅を続け、町の外の浜辺でひざまずいて祈り、別れを告げて

船に乗って家に帰りました（使徒行伝 21:1-6）。彼らはティルスからプトレマイオスへ出航し、兄弟たちに挨拶して翌日滞在させました。到着したカイサリアは家に滞在しました。フィリポ福音伝道者17人には預言した4人の未婚の娘がいました（使徒行伝21:7-9）。

第 2 段落: 彼らがそこに滞在している間、アガボという預言者がユダヤから降りてきました。彼はパウロが自分の手足に巻いた帯を取り、「聖霊はこう言われる、『こうすればユダヤ人エルサレムはこの帯の所有者を縛り、異邦人に引き渡すだろう』と言われます」（使徒言行録 21:10-11）と言いました。これを聞いて私たちはエルサレムに行かないように彼に懇願しましたが、パウロは「なぜ私の心を痛めて泣いているのですか」と答えました。私は縛られるだけでなく、主イエスの名においてエルサレムで死ぬ覚悟もあります。」彼が思いとどまらないとき、私たちはあきらめて、「主の御心は成就します」と言いました（使徒21:12-14）。

第 3 段落: この日々の準備が整った後、エルサレムに上がった 何人かの弟子 カイザリアが私たちと一緒に行った ムナソン・キプロスの初期の弟子を連れてきたエルサレムに着いたら一緒にいるべきだった 兄弟たちは翌日私たちを暖かく迎えてくれた ポールは休んでヤコブに会いに行った 長老たちは全員出席しており、彼らに挨拶をした 詳細を報告した神が宣教を通して異邦人の間でなされたことを聞いて、彼らは主を称賛し、こう言った、「兄弟よ、何千人のユダヤ人がすべての熱心な律法を信じている。彼らはあなたがすべてのユダヤ人が異邦人の中で暮らすように教えていると知らされている。モーセは子供たちに割礼を受けさせないようにと言って立ち退かせた」私たちの習慣 どうしましょうか？彼らはあなたが来たことを必ず聞くでしょう。だから勧められたとおりにしてください」（使徒 21:15-2 2）。彼らは、彼に対する告発が虚偽であることを皆に示すために、誓いを立てた 4人の男たちとともに身を清め、費用を支払うよう彼に求めた。彼も従順法を実践していた。異邦人の信者については、すでに食物を控えるべきとの文書が書かれている ヤコブの助言に従い、偶像を性的不品行で絞め殺した血の肉をいけにえに捧げた パウロは翌日人々に加わり、彼らに沿って神殿に入った 完了日を通知し、清めのいけにえが各自に捧げられる（使徒行伝 21:23）-26)。しかし、7日が終わりそうになったとき、アジアの一部のユダヤ人が神殿で彼を見て動揺したとき、群衆全体が彼を捕まえて、「同胞イスラエル人たち、私たちを助けてください！」と叫びました。「この男は、どこにいても、我々の民に我々の法に反して、この場所で皆に教えている。そのうえ、彼はギリシャ人を神殿の汚れた聖地に連れ込んだ」前に見たトロフィムス・エフェソス市は、パウロが神殿に連れてきたと思い込み、市全体を興奮させ、人々は四方八方に走ってやって来て、ただちに神殿を制圧した。門は閉まり、殺害しようとしていた 知らせは司令官に届いた ローマ軍は市中を大騒ぎさせた すぐに何人かの将校を連行した 兵士たちが群衆を走らせた 司令官を見て兵士が暴動司令官を殴るのをやめた 逮捕を命じられた 2本の鎖を縛る命令が下された 誰が何をしたのかと尋ねた群衆の一部が何かを叫び、他の群衆が事実を把握できなかったので後続の暴徒群衆が「奴を追い出せ！」と叫び続けたため、兵士が足を運んだところで兵舎への連行を命じられた騒ぎがあった。（使徒 21: 27-36）。パウロは兵舎に連行されようとしていたとき、司令官に人々に話してもよいか尋ねました。許可を得て、彼は階段に立って群衆に合図し、全員が沈黙したとき、アラム語で話し始めました（使徒21:37-40）。

Acts 21:1 そして、彼らから救出されて出発した後、私たちはまっすぐにクーズに向かい、翌日にはロードス島に行き、そこからパタラに向かいました。

一緒にいた人々と別れた後、一行は真っ先にクース、次にロードス島、そして最後にパタラへ向かいました。

1. たとえ私たちの計画が期待通りにいかない場合でも、神は常に私たちの人生を支配しておられます。

2. 私たちは神の計画に従い、たとえ理解できなくても神を信頼しなければなりません。

1. 詩篇 119:105、「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2. イザヤ書 55:8-9、「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、私の道はあなたの道や私の思いよりも高いからである」あなたの考えよりも。」

使徒 21:2 そして、フェニキアに向かう船を見つけたので、私たちはそれに乗って出発した。

使徒パウロとその仲間たちはフェニキア行きの船を見つけてそれに乗りました。

1. 神が私たちの生活に与えてくださるものに満足することを学ぶ。

2. 私たちの人生に対する神の計画を信頼することの重要性。

1. ピリピ 4:12-13 - 私は、貧しいとはどういうことかを知っていますし、豊かであるとはどういうことかを知っています。私は、十分な食事があるか空腹であるか、豊かな生活でも貧しい生活でも、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。

13 私に力を与えてくださる方のおかげで、私はこのすべてを行うことができます。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

使徒 21:3 さて、キプロス島を発見した私たちは、そこを左手に残してシリアに入り、ティルスに上陸した。そこで船は荷物を降ろすことになっていたからである。

パウロの旅はキプロスからシリアまで続き、そこでティルスに到着して荷物を降ろしました。

1. 信仰に対する粘り強さと献身のパウロの模範に倣いましょう。

2. パウロの旅から私たちは、たとえ人生で困難な障害に直面しても、自分の目的に集中し続けなければならないことを学ぶことができます。

1. コロサイ 3:23-24 - 「何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

2. ヘブライ 10:36 - 「あなたがたには忍耐が必要です。それは、神のご意志を行ったときに、約束されたものを受け取ることができるからです。」

使徒 21:4 弟子たちを見つけて、私たちはそこに七日間滞在しました。弟子は御霊によってパウロに、エルサレムに上ってはいけないと言いました。

パウロとその仲間たちは、ティルスで、エルサレムに上ってはいけないという御霊を通してのメッセージを伝えている弟子たちを見つけました。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 聖霊の導きに耳を傾ける

1. ヨハネ 14:26 「しかし、父がわたしの名によって遣わしてくださる助け主、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、わたしがあなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。」

2. ルカ 12:12 「聖霊はその時、あなたが言うべきことを教えてくださるからです。」

使徒 21:5 そして、その日々を終えた後、私たちは出発して、自分の道を歩きました。そして、彼らは皆、私たちを妻と子供たちと一緒に、街の外に出るまで連れて行きました。そして私たちは海岸にひざまずいて祈りました。

使徒 21:5 の人々は家族に同行して旅に出て、出発する前に一緒に祈りました。

1. 祈りの力: 私たちの信仰はどのように私たちを旅に導くことができるか

2. コミュニティの強さ: 人生の課題を乗り越えてどうやってお互いをサポートできるか

1. マタイ 18:20-「二人や三人がわたしの名のもとに集まるところには、わたしも彼らとともにいます。」

2. エペソ人への手紙 6:18-「いつも祈りと願いをもって、御霊によって祈りなさい。」

Acts 21:6 私たちは互いに休暇をとり、船に乗りました。そして彼らは再び家に帰りました。

パウロと仲間たちはお互いに別れを告げて別れ、パウロと仲間たちは船に乗って家に帰りました。

1. 信仰の旅: 神の計画を信頼することを学ぶ

2. お互いに休暇をとる: 別れの中で強さを見つける

1. エレミヤ 29:11 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている」と主は言われます、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2. ローマ人への手紙 12:15 喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい。

Acts 21:7 そして、ティルスからの旅路を終えたとき、私たちはプトレマイスに来て、兄弟たちに挨拶し、いつか彼らと一緒に住みました。

パウロとその仲間たちはティルスからプトレマイス島への旅を終え、そこで一日滞在して地元の信者たちに挨拶しました。

1. 挨拶の力: 私たちの言葉が他の人にどのような影響を与えるか

2. 旅に耐える: 逆境に直面したときの回復力を養う

1. ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちと一緒に喜びましょう。悲しむ人たちとともに悲しむ。

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:11 - ですから、あなたがしているように、互いに励まし合い、高め合いましょう。

使徒 21:8 次の日、パウロの仲間だった私たちは出発してカイサリアに行き、七人のうちの一人である伝道者フィリポの家に入りました。そして彼と一緒に住んでください。

パウロとその仲間たちは翌日カイサリアに行き、7人のうちの1人である伝道者フィリポの家に滞在しました。

1. コミュニティの力: ポールとその仲間たちの旅

2. 交わりの強さ：福音伝道者フィリポの例

1. 詩篇 133:1 - 見よ、兄弟たちが団結して一緒に住むことは、なんと良いことであり、なんと楽しいことでしょう。

2. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

使徒 21:9 また、同じ男には処女の四人の娘がいたが、彼女たちは預言した。

フィリポという名前の男には、預言をした処女の娘が 4 人いました。

1. 父親の遺産: 敬虔な子供たちを育てる力

2. 宣言の力: 女性預言者の役割

1. 箴言 22:6 子供をその進むべき道に向かって訓練しなさい。そうすれば彼は年老いても、その道から離れることはありません。

2. ルカ 2:36-38 そして、アセル族のファヌエルの娘で女預言者であるアンナという人がいました。彼女はかなりの年齢で、処女から 7 年間夫と暮らしていました。そして、彼女は約44歳と4歳の未亡人であり、神殿から離れず、昼も夜も断食と祈りを捧げて神に仕えました。そしてその瞬間にやって来た彼女は、同様に主に感謝をささげ、エルサレムで救いを求めていたすべての人々に主のことを語った。

Acts 21:10 そして、私たちが何日もそこに滞在していると、アガボという名の預言者がユダヤから降りてきました。

この一節は、ユダヤの預言者アガブスが旅の途中で使徒たちを訪ねてきた経緯を説明しています。

1. 預言者の導きの重要性: アガブスの例から学ぶ

2. 神の声を信頼する: 賢明な助言を見分ける方法

1. 使徒 2:17-18 - 「そして終わりの日にはそれが起こる、と神は言われる、わたしはすべての肉なる者にわたしの霊を注ぐ。そしてあなたの息子や娘たちは預言し、あなたの若者たちは見るだろう」幻を見れば、あなた方の老人たちは夢を見るだろう。そして、わたしのしもべたちと侍女たちに、わたしはその日にわたしの霊を注ぎ、彼らは預言するであろう。」

2. エレミヤ 29:11-13 - 「わたしは、あなたがたに対して思っている思いを知っている、と主は言われる。それは、あなたがたに期待される結末を与えるための、悪の思いではなく、平和の思いである。そのとき、あなたがたはわたしを呼び求めるであろう、そしてあなたがたも「行って私に祈ってください。そうすれば私はあなたの言うことを聞きます。そしてあなたがたは私を探し、私を見つけるでしょう。そのとき、あなたは心を尽くして私を探します。」

使徒 21:11 そして、私たちのところに来ると、彼はパウロの帯を取り、自分の手足を縛って言った、「聖霊はこう言われる、エルサレムのユダヤ人たちはこの帯を持っている人を縛り、こうするだろう」彼を異邦人の手に引き渡してください。

パウロは聖霊によって、エルサレムでユダヤ人たちに縛られ、異邦人の手に渡されるようにと告げられました。

1. 信仰において大胆になる: 聖霊に対するパウロの従順の例

2. 忠実な従順: たとえ困難なことがあっても神の指示に従う

1. イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。 9 天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの思いはあなたの思いよりも高いからです。」

2. ルカ 16:10-11 「最も小さいことに忠実な者は、多くのことにも忠実であり、最も小さいことに不正を行う者は、多くのことにも不正を行います。 11 それゆえ、あなたがたが不正な富に忠実でなかったなら、誰があなたに真の富を委ねるでしょうか。」

Act 21:12 私たちはこれらのことを聞いて、私たちも、その場所の人々も、エルサレムに上らないように彼に頼みました。

町の人々はパウロにエルサレムに行かないように懇願しました。

1: 神の御心に従うとき、私たちは目の前にあるものを決して恐れるべきではありません。

2: 神を喜ばせるための私たちの決断を人々が理解できなくても、決して落胆すべきではありません。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には、決して不可能であると私は確信しています。」私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。」

2: テモテ第二 1:7 「神は私たちに恐れの霊ではなく、力と愛と自制の霊を与えてくださったからです。」

Acts 21:13 そこでパウロは答えた、「あなたがたは、どうして泣いて私の心を傷つけるのですか。」なぜなら、わたしは束縛されるだけでなく、主イエスの御名のためにエルサレムで死ぬ用意もできているからです。

パウロは主イエスのためにエルサレムで死ぬ覚悟ができていました。

1: 他人のために自分の命を捨てる以上の愛はない

2: 主のためにすべてを捧げる

1: ヨハネ 15:13 - 人が友人のために自分の命を捨てること以上に大きな愛はありません。

2: 1 ヨハネ 3:16 - ここに、神が私たちのために命を捨ててくださった神の愛がわかります。

Acts 21:14 彼が説得されなかったので、私たちはやめて、「主の御心が行われますように」と言いました。

パウロは自分の意志に反して何かをするように説得されることを拒否し、彼の周囲の人々は主の御心が行われることを受け入れました。

1. 主を信頼する：主の御心を受け入れることを学びます。

2. 神がコントロールしていることを受け入れる：手放し、神に任せる。

1. ローマ 12:1-2、「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたにお願いします。あなたがたの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたがたの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試してみることで識別できるようになる。」

2. 詩篇 46:10、「静まって、わたしが神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるだろう！」

Acts 21:15 その日々の後、私たちは馬車に乗ってエルサレムに上りました。

パウロと仲間たちは使命を終えた後、エルサレムへ旅立ちました。

1. イエスのために大胆に生きる - パウロの勇気と忠実さの模範。

2. コミュニティの力 - 共有された使命と目的の強さ。

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

2. 使徒 4:32-35 - さて、信じた人々の全数は心も魂も一つであり、自分のもののどれかが自分のものであるとは誰も言いませんでしたが、彼らはすべてを共通していました。そして使徒たちは力強く主イエスの復活について証言しており、彼ら全員に大きな恵みが降り注いでいました。

Acts 21:16 カイサリアの弟子たちも同行し、キプロスの古い弟子であるムナソンを連れて行き、私たちが宿泊することになりました。

パウロとカイサリアの数人の弟子たちはエルサレムに行き、古い弟子であるキプロスのムナソンを連れて滞在しました。

1. 私たちの信仰の旅における交わりと共同体の重要性。

2. 見知らぬ人や困っている人たちへのおもてなしを実践する。

1. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、お互いを励まし合い、愛と良い行いを促す方法を考えましょう。

2. ローマ 12:13 - 聖徒たちの必要に応え、もてなしの精神を示すよう努めてください。

使徒 21:17 私たちがエルサレムに着くと、兄弟たちは喜んで迎えてくれました。

エルサレムの兄弟たちはパウロとその仲間たちを温かく歓迎しました。

1: 両手を広げて他人を歓迎することの重要性

2: 兄弟たちの無条件の愛

1: ローマ人への手紙 12:10 - 「愛をもって互いに献身しなさい。自分よりもお互いを敬いなさい。」

2: ガラテヤ 6:10 - 「ですから、機会があれば、すべての人、特に信者の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

Acts 21:18 そして翌日、パウロは私たちと一緒にヤコブのところへ行きました。そして長老たちも皆出席していた。

パウロはヤコブと教会の長老たち全員に会いに行きました。

1. 教会における交わりの重要性

2. キリストの体の一致の力

1. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

2. 1 コリント 12:12-27 - 体は 1 つで、多くの部分があり、体のすべての部分はたとえ多くても 1 つの体であるのと同じように、キリストも同様です。

Act 21:19 そして、イエスは彼らに挨拶をしてから、神がその奉仕によって異邦人の間でどのようなことを成し遂げられたかを特に宣言した。

パウロは異邦人への宣教の中で見た神の偉大な業を分かち合いました。

1. 神の恵み: パウロの宣教においてどのように見られるか

2. 信仰に生きる: パウロの模範

1. エペソ人への手紙 3:7-8 - 「この福音によって、私は神の恵みの賜物に従って奉仕者とされました。神の恵みは神の力の働きによって私に与えられました。 8 私はすべての聖徒の中で最も小さい者ですが、キリストの計り知れない富を異邦人に宣べ伝えるために、この恵みが与えられました。」

2. 1 コリント 15:10 - 「しかし、神の恵みによって私は今の私になっており、私に対する神の恵みは無駄ではありませんでした。それどころか、私は彼らの誰よりも一生懸命働きましたが、それは私ではなく、私とともにある神の恵みでした。」

使徒 21:20 それを聞いた人々は、主を讃えて言った、「兄弟よ、ご覧のとおり、ユダヤ人の中で信仰を持っている人が何千人いるか。そして彼らはみな律法に熱心です。

パウロはエルサレムを訪問し、主を信じ律法に熱心に従う多くのユダヤ人たちに歓迎されます。

1. 情熱的な信仰の力: パウロの熱心さがどのように他の人を励ましたか。

2. 律法に従うことの重要性: パウロの模範が私たちにどのようなインスピレーションを与えるか。

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようになります。

慣習に従って歩むべきではないと言って、モーセを捨てるように教えていることを知らされました。

パウロは、異邦人の中のユダヤ人たちに、モーセとその習慣を捨てるように教えたという非難に直面しました。

1: 非難されても信仰を通して強さを見つける

2: 反対されても自分の信念を貫く

1: ローマ人への手紙 15:4-5 - 「昔に書かれたものはすべて、忍耐と聖書の励ましを通して私たちが希望を持つことができるように、私たちの指示のために書かれたものだからです。忍耐と励ましの神があなたに生きることを与えてくださいますように」キリスト・イエスに従って、互いにこのように調和するのです。」

2: マタイ 5:11-12 「わたしのせいで、人々があなたを侮辱し、迫害し、あなたに対してあらゆる種類の悪事を虚偽で言うとき、あなたは幸いです。喜びなさい。天国でのあなたの報いは大きいからです。彼らはあなたの前にいた預言者たちを迫害したのと同じように。」

使徒 21:22 それでは、どういうことなのでしょうか。群衆は団結する必要がある。なぜなら、彼らはあなたが来たことを聞くからである。

エルサレムにパウロがいると、彼の話を聞こうと多くの群衆が集まりました。

1. 永遠に続くものを求めて

2. ポジティブな存在の力

1. マタイ 6:19-21 「虫とさびが滅び、盗人が押し入って盗む地上に自分のために宝を積んではなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさず、盗人がいない天に宝を蓄えなさい。」侵入したり盗んだりしないでください。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

2. ローマ人への手紙 12:17-18 「だれにも悪に悪を返さず、すべての人の目に名誉あることをするよう考えなさい。できれば、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。」

Acts 21:23 ですから、私たちがあなたに言うのは、次のとおりにしてください。私たちには誓いのある四人がいます。

この一節は、誓いを立てた4人の男性について語っています。

1. 誓いの力: 神との約束が人生をどのように変えるのか

2. 献身的な人生を送る: 主への献身の力

1. 伝道者の書 5:4-5 - 神に誓いを立てるときは、それを返済するのを延期してはならない。彼は愚か者を喜ばないからです。あなたが誓ったものを払いなさい。

2. イザヤ書 38:14-15 - 私は朝まで、ライオンのように、彼は私の骨をすべて折るだろうと考えました。昼から夜まで、あなたは私を終わらせるつもりです。鶴やツバメのように、私はおしゃべりしました：私は鳩のように嘆きました：私の目は上を向いていません：主よ、私は抑圧されています。私のために引き受けてください。

Acts 21:24 彼らは、あなたを連れて行って、一緒に身を清め、彼らに罪を着せて、頭を剃るようにします。そうすれば、あなたに関して知らされたことが何のことはないことが、すべての人に分かるでしょう。しかし、あなた自身も最も秩序正しく歩き、最も律法を守ってください。

この一節は読者に自らを清め、主の律法を守るよう勧めています。

1. 従順の力: 律法を守ることの美徳

2. 行動における聖さ：神の呼びかけに忠実に生きる

1. ローマ 6:19-20 – 「あなたがご自分の食口を不純物の奴隷として、また更なる不法を招く不法の奴隷として差し出したのと同じように、今度は自分の食口を聖化につながる義の奴隷として差し出しなさい。なぜなら、あなた方が罪の奴隷であったとき、義に関しては自由だったからです。」

2. ヨハネ第一 5:2-3 – 「このことから、私たちは神を愛し、神の戒めを守るとき、神の子たちを愛していることがわかります。なぜなら、私たちが神の戒めを守ることこそが神の愛だからです。そして神の戒めは重荷ではありません。」

使徒 21:25 信じる異邦人たちに触れて、私たちは、彼らが偶像に捧げられたもの、血、首を絞められること、淫行から身を守ること以外には、そのようなことは守っていない、と書いて結論付けました。

異邦人のクリスチャンは、偶像崇拝、血を食べること、絞め殺された動物を食べること、性的不道徳を避けるように指示されました。

1. 罪を避ける必要性

2. クリスチャン生活の神聖さ

1. ローマ人への手紙 6:1-2 - それでは、何と言いましょうか。恵みが豊かになるために、私たちは罪を犯し続けなければならないのでしょうか？決してそうではありません！罪に対して死んだ私たちがどうして罪の中で生き続けることができるのでしょうか？

2. ペテロ第一 1:13-16 - ですから、行動に向けて心を整え、冷静な気持ちで、イエス・キリストの啓示によってもたらされる恵みに希望をしっかりと置きましょう。従順な子供たちとして、以前の無知の情念に従属してはなりません。しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖でありなさい。「わたしが聖であるから、あなたも聖なるであろう。」と書いてあるからです。」

Act 21:26 それから、パウロは人々を連れて、翌日、彼らと一緒に身を清めて神殿に入った。これは、彼ら全員のために捧げ物がささげられるまでの清めの日々が終わったことを意味するためである。

パウロは自分自身と他の人たちを清めて神殿に入り、捧げ物をしました。

1. 清められ、主の目に聖さを求めなさい

2. 悔い改めの行為を通じて主への献身を新たにする

1. ヨハネ第一 1:9、「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちをきよめてくださいます。」

2. テトス 2:14、「この方が、私たちのためにご自身をささげてくださったのは、私たちをすべての咎から救い出し、善行に熱心な特異な民をご自分で清めてくださるためです。」

Act 21:27 そして、七日間が終わりに近づいたとき、アジアのユダヤ人たちは、神殿でイエスを見て、民全員を興奮させ、イエスに手を置いて言った。

パウロがエルサレムに滞在して七日目、アジアから来たユダヤ人たちが神殿でパウロを見かけ、彼に手を置くよう人々に扇動しました。

1. 団結した国民の力

2. 私たちの行動が他者にどのような影響を与えるか

1. 箴言 20:3 - 争いをやめるのは人にとって光栄ですが、愚か者は皆干渉するものです。

2. ローマ 12:18 - できることなら、あなたがたのうちにある限り、すべての人と平和に暮らしてください。

使徒 21:28 叫んでください、イスラエルの人たちよ、助けてください。この男は、あらゆる場所ですべての人に、民と律法とこの場所に反することを教えています。さらにギリシャ人も神殿に連れてきて、この聖なる場所を汚しました。場所。

人々はパウロが自分たちの法律や習慣に反して教え、ギリシャ人を神殿に連れてきて神殿を汚したとして非難していました。

1: たとえ困難なことがあっても、私たちは神とその律法に忠実であり続けなければなりません。

2: 私たちは自分の信仰が外部の影響によって汚染されないようにしなければなりません。

1: ガラテヤ 6:9 - 良い行いをすることに疲れないようにしましょう。私たちが失神しなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。

2: ヨシュア記 24:15 - そして、主に仕えることがあなたにとって悪いことであると思われるなら、今日あなたが仕える人を選んでください。あなたがたの先祖が洪水の向こう側に仕えていた神々であれ、あるいはあなたがたが住んでいる土地であるアモリ人の神々であれ、しかし私と私の家に関しては、私たちは主に仕えます。

使徒 21:29 (というのは、彼らは以前、エペソ人トロフィモという町でパウロと一緒にいたのを見たことがあり、パウロが神殿に連れてきたのではないかと考えていたからである。)

パウロは異邦人であるトロフィモを神殿に連れ込んだとして告発されました。

1: 神殿の神聖さを守るために、私たちは忠実であり続けなければなりません。

2: 私たちの同胞への愛は、私たち自身の人々を超えて広がるべきです。

1: マタイ 5:43-44 - 「『隣人を愛し、敵を憎め』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、あなたの敵を愛し、あなたを呪う人々を祝福し、あなたを憎む人々に善を行いなさい。」

2: ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

使徒 21:30 すると、町中が動き、民は一斉に走って、パウロを連れて神殿から引きずり出すと、すぐに戸が閉められた。

エルサレムの町の人々は一斉に走ってパウロを逮捕し、神殿の扉を閉めました。

1. 団結の力: 協力して素晴らしいことを達成する方法

2. 従順の力: 困難なときでも正しいことを行う

1. エペソ 4:3-4: 「平和のきずなにおいて御霊の一致を保つようあらゆる努力をしなさい。あなたが召されたとき、一つの希望に召されたのと同じように、からだも御霊も一つです。」

2. ダニエル 3:17-18: 「たとえ私たちが燃え盛る炉に投げ込まれたとしても、私たちが仕えている神は私たちをそこから救うことができ、王よ、あなたの手から私たちを救い出してくださいます。しかし、たとえそうでなかったとしても、王よ、私たちはあなたの神々に仕えたり、あなたが立てられた黄金の像を崇拝したりしないことを知っておいてほしいのです。」

エルサレム全土が大騒ぎになったという知らせが隊の長に届いた。

エルサレムの暴徒はポールを殺そうとしたが、楽団の首席隊長が騒動のことを知らされて計画は阻止された。

1. 危険なときの神の加護

2. 反対に立ち向かう

1. 詩篇 91:11-12 - 神はあなたの天使たちに、あらゆる道であなたを守るよう命じるからです。彼らはあなたを手で持ち上げて、足を石にぶつけないようにします。

2. ローマ 8:31 - それでは、これらのことに答えて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

使徒 21:32 彼らはすぐに兵士たちと百人隊長を連れて彼らのところに駆け寄った。そして彼らは大尉と兵士たちを見ると、パウロを殴り続けた。

パウロはローマ兵と大尉によって逮捕されました。

1. 困難な時にも落胆しないでください - パウロは逮捕にも耐え、神への信仰を保ちました

2. 自分の信念に忠実であり続ける - ポールは逆境に直面したときでも、自分の信念のために喜んで立ち上がった

1. テモテ第二 4:7-8 - 私は善戦し、完走し、信仰を守り続けました。

2. 詩篇 56:3 - 恐れるとき、私はあなたに信頼を置きます。

Act 21:33 そこで、船長が近づいてきて、彼を捕まえ、二本の鎖で縛るように命じた。そして彼が誰なのか、何をしたのかを尋ねた。

船長はポールを逮捕し、尋問した。

1. 神への信仰と従順を常に警戒し続けることの重要性。

2. 迫害に直面しても勇気の価値。

1. マタイ 10:28-31 - 「体を殺しても魂を殺せない者を恐れてはなりません。むしろ、魂と体の両方を地獄で滅ぼすことができる方を恐れなさい。」

2. ピリピ 1:20-21 - 「私は、決して恥じることなく、十分な勇気を持って、今もいつものように、生であろうが死であろうが、私の体の中でキリストが高められることを心から期待し、望んでいます。」

Acts 21:34 群衆の中で、ある者があれこれ叫び、騒ぎが確実に起こるか分からなかったので、城に連行するように命じた。

群衆が騒ぎ立てており、ポールは何を言っているのか理解できなかったので、安全のために城に連れて行かれました。

1. 神は危機の際に私たちの守護者です。

2. たとえ物事が混沌としているように見えても、私たちは神の計画を信頼できます。

1. 詩篇 46:1-3 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に現存する助けです。ですから、たとえ地が崩れても、山々が海の真ん中に移されても、水がとどろきても、私たちは恐れることはありません」泡が立ち上るが、山々はその膨らみに震える。セラ」

2. 詩篇 34:19 「義人の苦しみは多いが、主はそのすべてから彼を救い出してくださる。」

Act 21:35 そして、彼が階段に来ると、まさに、彼は民の暴力の罪で兵士たちから負わされたのです。

パウロは群衆の暴力により兵士たちに連れ去られてしまいました。

1. 群衆の力 - コミュニティ内の強い感情に対処する方法。

2. 主の呼びかけに従う - 反対にもかかわらず神の使命に忠実であること。

1. マタイ 10:28 - 「体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂も肉体も地獄で滅ぼす者を恐れなさい。」

2. ヘブライ 11:24-26 - 「信仰によって、モーセは成長したとき、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒否し、罪のつかの間の楽しみを楽しむよりもむしろ神の民とともに虐待されることを選びました。彼はキリストの非難をエジプトの宝よりも大きな富とみなした、というのは彼はその報いを期待していたからである。」

Acts 21:36 大勢の民が、「彼とともに去れ」と叫びながら後を追ってきたからである。

人々はパウロを排除するよう叫びました。

1. 性急に判断しないでください: イエスとパウロについての考察。

2. 迫害の克服: パウロの経験からの教訓。

1. マタイ 7:1-2 「裁いてはなりません。裁かれないようにするためです。あなたが宣告する裁きによってあなたは裁かれ、あなたの用いる尺度によってそれはあなたに測られるからです。」

2. ローマ人への手紙 8:35-39 「誰が私たちをキリストの愛から引き離すことができるでしょうか？艱難、苦難、迫害、飢餓、裸、危険、剣でしょうか？… 私は、どちらの死もないと確信しています。」命も、天使も、支配者も、今あるものも、これから来るものも、力も、高さも、深さも、その他すべての創造物のうちの何ものも、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことはできません。」

Act 21:37 そして、パウロが城に案内されるとき、船長に言った、「お話ししてもよろしいでしょうか。」誰が言いました、「あなたはギリシャ語を話せますか？」

ポールは大胆にも船長と話す許可を求めます。

1. 神への信仰は、私たちに使命を果敢に追求する勇気を与えます。

2. 困難な状況に直面したときは、大胆かつ謙虚に話します。

1. イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてのことにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。」そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたたちの心と思いを守るでしょう。」

使徒 21:38 あなたは、この前大騒動を起こし、人殺し四千人を荒野に率いていたあのエジプト人ではないでしょうか。

ローマの司令官はパウロに、騒ぎを起こして殺人を犯した四千人を連行したエジプト人ではないかと尋ねた。

1. 影響力の力: 人々を罪から遠ざける方法を学ぶ

2. すべての道が良い道というわけではない: 誘惑を認識し、回避する

1. ローマ 6:13 - 「そして、あなたの肢体を罪に対する不義の道具として差し出してはなりません。むしろ、あなた自身を死の中から生き返ったものとして神に差し出し、あなたの肢体を神に対する義の道具として差し出しなさい。」

2. ガラテヤ 5:19-21 - 「今、肉の業が明らかになりました。性的不道徳、不純、好色、偶像崇拝、魔術、敵意、争い、ねたみ、発作的な怒り、競争、意見の相違、分裂、ねたみ、酩酊、乱交パーティーなど。以前に警告したように、そのようなことをする者は神の国を受け継がないと警告します。」

Acts 21:39 しかし、パウロは言った、「私はキリキアの町タルソスのユダヤ人で、決して平凡な町の住民です。お願いですので、人々に話すことを許してください。」

パウロはエルサレムの人々と話す許可を求めます。

1. 真実を話すのをやめない

2. 決断力

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

Acts 21:40 そして、パウロは許可を与えると、階段の上に立って、手で人々を手招きした。そして、大きな沈黙が生じると、イエスはヘブライ語で彼らにこう言いました。

パウロが階段に立って人々に手招きすると、大きな沈黙が生じた。それから彼はヘブライ語で彼らに話しかけました。

1. 騒がしい世界における沈黙の力

2. 命を与える言葉を話すことの大切さ

1. 詩篇 46:10 「静まって、わたしが神であることを知りなさい」

2. 箴言 18:21 「死も生も舌の力に左右される」

使徒行伝 22 章には、エルサレムの群衆の前でのパウロの弁護、ローマ市民権のおかげで鞭打ちから救われたこと、そしてパウロの殺害計画が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、パウロがアラム語で群衆に語りかけ、ガマリエルの下で学んでいた敬虔なユダヤ人としての幼少期の人生と、「道」の信奉者に対する彼の迫害について詳しく語ることから始まります。それから彼は、ダマスカスへの道中での回心、つまり天からの明るい光で目が見えなくなり、なぜイエスを迫害するのかと尋ねるイエスの声を聞いた経緯を語ります。そこに住むすべてのユダヤ人から高く評価されている敬虔な律法観察者であるアナニアという男が彼のところに来て、神はご自身の御心を知るために彼を選ばれたのだと告げました。義なる者よ、御自身の口から言葉を聞いて、御自分が何をするかをすべての人々に証人にしてください、と告げました。(使徒 22:1-15)

第2段落：彼はさらに、神殿で祈っているとき、幻視の中で、人々が主に関する証言を受け入れないため、主からすぐにエルサレムを離れるように指示されたが、エルサレム教会がどれほど迫害されているか知っていると抗議したとき、スティーブンの殺害を承認したと主に言われたことを説明しました。遠く離れた異邦人よ』（使徒22:17-21）。群衆はこの時点までは耳を傾けていましたが、パウロが異邦人への使命について言及すると、声を上げて「この男を地球から追い出せ！」と叫びました。彼はライブに適していないんだよ！彼らが外套を脱ぎ捨てて叫びながら空中に粉塵を飛ばしていたとき、司令官はパウロを兵舎に連行し、鞭打ちの尋問をするよう命令し、なぜ人々がパウロに向かってこのように叫んでいるのか解明するよう命じた（使徒行伝22:22-24）。

第 3 段落: 彼らが鞭で打とうとして彼を引き伸ばしながら、パウロはそこに立っている百人隊長に、「有罪とされてもいないローマ市民を鞭で打つのは合法ですか?」と尋ねました。百人隊長がこれを聞いて、司令官が「何をするつもりですか？」と尋ねたと報告しました。この男はローマ市民です。』指揮官はパウロに「あなたがローマ市民か教えてください」と尋ねました。指揮官はそれを確認すると、大きな代償になったと言いましたが、ポールは「私は生まれつきの代償だ」と答えました。尋問しようとしていた人々は、彼がローマ市民であると分かると、近くに立っていた人々は恐れを抱き、すぐに引き下がった。翌日、拘束されていないユダヤ人たちを告発する本当の理由を知りたかったため、サンヘドリン全体の祭司長が召集され、彼らの前に呼び出すよう命じられた（使徒行伝22:30）。

使徒 22:1 兄弟たち、父親たち、わたしが今あなたたちに弁明することを聞いてください。

パウロはユダヤ人の前で自らを弁護します。

1: 私たちは皆、自分の信念と信仰を守る準備ができていなければなりません。

2: 私たちは神が私たちの擁護者であることを信頼し、信仰を持たなければなりません。

1: ローマ人への手紙 10:9-10 「それは、もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心で義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。」

2: 詩篇 27:1 「主は私の光であり、私の救いです。私は誰を恐れるべきでしょうか。主は私の命の力です。私は誰を恐れるべきでしょうか。」

使徒 22:2 (そして、彼がヘブライ語で彼らに話したのを聞くと、彼らはますます沈黙を保った。そして彼は言った。)

サンヘドリンでのパウロの演説: パウロは自分の回心について語り、サンヘドリンにヘブライ語で語りかけます。

1. 私たちが神の意志に心を開くなら、神は私たちを変えることができます。

2. 神は私たち一人一人を、ご自身の特別な方法でご自身の目的のために用いることができます。

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. エペソ 2:10 - なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られたからであり、神は私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。

使徒 22:3 私はまさにユダヤ人で、キリキアの都市タルソスで生まれましたが、ガマリエルの足元にあるこの都市で育ち、先祖の律法の完全な方法に従って教えられました。今日の皆さんと同じように、彼も神に対して熱心でした。

パウロはキリキアのタルソスで生まれたユダヤ人で、エルサレムで育ち、ガマリエルからユダヤ教の律法に従って教えられました。彼は信仰に熱心で、彼の話を聞いたユダヤ人たちも同様でした。

1. 見知らぬ場所で神への熱意を見つける

2. 献身と従順を通して信仰を成長させる

1. ローマ 10:2 - 彼らが神への熱意を持っているが、知識によるものではないことを、私は彼らに記録しておきます。

2. ヤコブ 1:22 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

使徒 22:4 そして、私はこのようにして死ぬまで迫害し、男も女も縛り上げて牢獄に送り込みました。

パウロはキリスト教徒を死ぬまで迫害し、男性も女性も投獄しました。

1. 迫害の力: 私たちの行動がどのようにして意図しない結果をもたらすか

2. 信念を持って生きる: 神の呼びかけに忠実であり続ける

1. マタイ 5:10-11: 「義のために迫害されている人たちは幸いです。天国は彼らのものだからです。他人があなたをののしり、迫害し、私の罪に偽ってあらゆる種類の悪をあなたに向けるとき、あなたは幸いです。」アカウント。"

2. ローマ人への手紙 12:14: 「あなたたちを迫害する人たちを祝福しなさい。彼らを祝福し、呪わないでください。」

使徒 22:5 また、大祭司も私と長老たちのすべての財産を証言します。私も彼らから兄弟たちへの手紙を受け取り、そこに拘束されている人々をエルサレムに連れて行くためにダマスコに行きました。罰せられた。

パウロはエルサレムの大祭司と長老から、ダマスコのクリスチャンを罰するためにエルサレムに連れ戻すという手紙を受け取りました。

1. 神の罰に対する恐怖を理解する

2. リーダーシップへの服従の重要性

1. 箴言 16:6 - 主を畏れて人は悪から離れる。

2. ローマ人への手紙 13:1-7 - すべての魂はより高い力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

Acts 22:6 そして、私が旅を続け、正午ごろダマスコに近づいたとき、突然、天から大きな光が私の周りを照らしました。

パウロがダマスカスへ旅行しているとき、突然大きな光が彼の周りを天から照らしました。

1. 神の臨在の力 - 神の臨在との出会いがどのように人生を変える瞬間につながるかを探ります。

2. 信仰を持って旅をする - 私たちの旅において神を信頼すること、そして神が私たちのためにどのように計画を持っているかを学びます。

1. イザヤ書 40:31 - ?主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼

らは失神せずに歩けるでしょう。

2. ヘブライ人への手紙 11:1 - ?信仰は、期待されるものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

Acts 22:7 そして、私は地に倒れ、「サウル、サウル、なぜあなたは私を迫害するのですか」と言う声を聞きました。

サウルは地面に打ち付けられ、なぜ彼を迫害するのかと尋ねる声を聞きます。

1. 神の前では服従の必要性?パワー_

2. 神を迫害する危険?人_

1. ヘブライ人への手紙 12:25-29

2. ローマ人への手紙 10:13-15

使徒 22:8 そこで私は答えました、「主よ、あなたはどなたですか。」そして彼は私に言った、「私はあなたが迫害しているナザレのイエスです。」

パウロはイエスと出会い、イエスからなぜ自分を迫害するのかと尋ねられます。

1. 私たちは、今日の生活の中でなぜイエスを迫害しているのか自問しなければなりません。

2. イエスが私たちに呼びかけたら、私たちはそれに応え、イエスの指示に従う準備ができていなければなりません。

1. マタイ 28:19-20: 「それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」、私はいつもあなたと一緒です、時代の終わりまで。

2. コリント第一 15:3-8: ?あるいは、私も受け取ったことを最重要事項としてあなたに伝えました。それは、キリストが聖書に従って私たちの罪のために死なれたこと、埋葬されたこと、聖書に従って三日目によみがえられたこと、そしてキリストが現れたことです。ケファスに、そして十二人に。それから彼は一度に 50 0人以上の兄弟たちに現れましたが、眠っている人もいますが、そのほとんどはまだ生きています。それからイエスはヤコブに現れ、次にすべての使徒に現れました。最後に、不遇の生まれながらに、私にも現れました。

Acts 22:9 そして、私と一緒にいた人々は、本当に光を見て恐れた。しかし、私に話しかけた彼の声は聞こえませんでした。

パウロとその仲間たちは明るい光を見ましたが、パウロだけが彼に語りかける声を聞きました。

1.「信仰の力：逆境に直面してもしっかりと立つ」

2.「聞いてもわからない：神の呼びかけ」

1. イザヤ書 50:4-5 - 「主なる神は、疲れた人を言葉で支える方法を知るために、教えられる者の舌を私に与えてくださいました。朝ごとに彼は目覚め、私の耳を目覚めさせて、「教えられる者のように聞きなさい。主なる神が私の耳を開いてくださったので、私は反抗せず、後ろ向きになりませんでした。」

2. イザヤ書 30:21 - 「そして、あなたの耳はあなたの後ろから、『右に曲がるときも、左に曲がるときも、その道だ、その道を歩きなさい』という言葉を聞くでしょう。」

使徒 22:10 そこで私は言いました、「主よ、どうしたらよいでしょうか」。すると主は私に言われた、「立ってダマスコに行きなさい。」そしてそこで、あなたが行うように定められているすべてのことがあなたに告げられるでしょう。

パウロは主からダマスコに行くように言われ、そこで自分に任命された任務について知らされるでしょう。

1. 神の呼びかけに従う：目標を達成するための主の指示に従う

2. 指示に従って行動する: 主が私たちに求めておられることを行う

1. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、あなたに将来と希望を与えるために、悪ではなく福祉の計画を立てている。」

2. マタイ 7:24-27 - 「私のこれらの言葉を聞いて実行する人は皆、岩の上に家を建てた賢者のようになるでしょう。すると、雨が降り、洪水が起こり、風が吹いて、その家をたたきましたが、岩の上に建てられていたので倒れませんでした。」

Acts 22:11 そして、その光の栄光のために目が見えなくなったとき、私は一緒にいた人たちの手に導かれて、ダマスコに入りました。

パウロはダマスカスへの道中に明るい光と奇跡的に出会い、キリスト教への改宗につながりました。

1: 神は、たとえ最も予期せぬ状況であっても、私たちを神に近づけるために利用することができます。

2: パウロの経験は、私たちが目に見えないときでも、神は常に私たちとともにおられるということを思い出させます。

1. マタイ 5:14-16 ?あなたは世界の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、

天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。

2. ローマ人への手紙 8:14-17 ?あるいは、神の御霊に導かれる者は皆、神の子です。なぜなら、あなたがたは、再び恐怖に陥る奴隷の精神を受けなかったのではなく、養子として養子となる御霊を受け、それによって私たちは叫びますか？쏛ババァ！父よ!??御霊ご自身が、私たちが神の子であること、そして子であるなら相続人であることを、私たちの霊とともに証ししてくださいますか？神の御子であり、キリストとの相続人である私たちも、キリストと共に栄光を受けるために、キリストと共に苦しみなさい。

使徒 22:12 アナニヤという人は、律法に従う敬虔な人で、そこに住んでいたすべてのユダヤ人についての詳しい報告を持っていました。

アナニアは敬虔なユダヤ人で、地元のユダヤ人コミュニティの間で評判が良かった。

1. 良い評判の力

2. 敬虔な生活を送ることの利点

1. ローマ人への手紙 12:17-19 - 「だれにも悪に悪を返してはなりません。しかし、すべての人の目に名誉あることをすることを考えてください。できれば、あなた次第ですが、すべての人と平和に暮らしてください。愛する人、決してしないでください。」自分で復讐しなさい、しかしそれは神の怒りに任せなさい、と書いてあるからです?復讐は私のものです、私が報います、と主は言われます。

2. 箴言 11:23 - 「正しい者の願いは良いことでしか終わりません。悪者の期待は怒りで終わります。」

Acts 22:13 わたしのところに来て、立って、「サウル兄弟、視力を回復してください」と言った。そして同じ時間に、私は彼を見上げました。

パウロはアナニアによって視力を取り戻され、アナニアは彼を「サウル兄弟」と呼びます。

1. 許しの力: アナニアの無条件の愛がパウロの視力を回復させた方法

2. 受け入れへの呼びかけ: すべての人を神の王国に歓迎する

1. ルカ 15:11-32 - 放蕩息子のたとえ

2. エペソ人への手紙 2:11-22 - 神の和解と信者の一致

Acts 22:14 そして彼は言った、「私たちの先祖の神があなたを選んだのは、あなたが神の旨を知り、その正しい方を知り、その口の声を聞くためである。」

私たちの先祖の神は、ご自身の御心を知り、正義が行われるのを目撃するためにパウロを選ばれました。

1: 神に道を導いてもらう - 神は、神の御心を知り、正義が行われるのを目撃するために私たちを選ばれました。

2: 神の正義は正義です - 神の正義は常に正義であり、正しいことを私たちは覚えておく必要があります。

1: イザヤ書 55:9 - 天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

2: ローマ人への手紙 12:19 - 親愛なる皆さん、自分自身に復讐するのではなく、むしろ怒りに身を任せてください。「復讐は私のものである」と書いてあるからです。わたしが報いる、と主は言われる。

Acts 22:15 あなたは、あなたが見聞きしたことについて、すべての人に対する彼の証人となるのです。

パウロはアナニヤから、自分が見聞きしたことの証をすべての人々に宣言するように指示されました。

1. 証言の力: あなたのストーリーを他の人と共有する

2. 私たちの人生の証人: 信仰を生きる

1. ローマ人への手紙 10:14-15 ?さて、それでは彼らは信じていない彼を呼び求めるでしょうか？そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？

2. マタイ 5:14-16 ?あなたは世界の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。

使徒 22:16 それなのに、なぜあなたは遅刻するのですか。起きてバプテスマを受け、主の御名を呼びながら罪を洗い流してください。

現在パウロとして知られているサウルは、アナニアからバプテスマを受け、主の御名を呼んで罪を洗い流すように指示されました。

1. 洗礼の力: 洗礼がどのように救いをもたらすか

2. 悔い改めの必要性: 悔い改めがどのように義につながるのか

1. ローマ人への手紙 6:3-4 - 「キリスト・イエスにバプテスマを受けた私たち全員が、死のバプテスマを受けたことを知らないのですか。したがって、私たちは、キリストがそうであったように、死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。御父の栄光によって死からよみがえらされた私たちも、新たな命の中を歩むことができるかもしれません。

2. ガラテヤ 3:27 - ?あるいは、キリストに組み込まれる洗礼を受けた多くの人がキリストを着ています。

Acts 22:17 そして、私が再びエルサレムに来たとき、神殿で祈っている間でさえ、私は意識が朦朧としていました。

パウロはエルサレムの神殿で祈っているときにトランス状態に陥ります。

1. 祈りの力: 神殿でのパウロの経験

2. 神の御心に身を委ねる: 神殿でのパウロの経験

1. マタイ 6:5-13 - イエスは祈りの大切さと祈り方について教えます。

2. コリント人への第二 12:2-4 - パウロは天の幻と楽園に引き上げられたことについて語ります。

Acts 22:18 そして、彼が私に、「急いで、エルサレムから早く連れて行ってください。私に関するあなたの証言は彼らには受け入れられないでしょう」と言っているのを見た。

パウロはエルサレムにいたのですが、人々がイエスについての証言を受け入れないので、すぐに立ち去るよう幻で告げられました。

1. 主の声に従うことの重要性

2. 福音を分かち合う必要性

1. ルカ 6:46 ?どうして私に電話するの? お願いです、主よ、私の言うことを聞かないでください???

2. マタイ 28:19-20 ?したがって、あなたは行って、すべての国の弟子を作り、父と子と聖霊の名において彼らに洗礼を授けます。

Acts 22:19 そこで私は言いました、「主よ、彼らは私があなたを信じた人々をすべての会堂に投獄し、鞭打ったことを知っています。

パウロは改宗前のクリスチャン迫害の歴史を語ります。

1. 神の恵みは私たちの敵を味方に変えることができます。

2. 信仰による回心の力。

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

2. エペソ人への手紙 2:1-10 - 「あなたが救われたのは、信仰による恵みによるのですか。これは自分から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることができないからです。」」

Acts 22:20 そして、あなたの殉教者ステパノの血が流されたとき、私も傍らにいて彼の死に同意し、彼を殺した者たちの衣服を保管していました。

サウルは最初の殉教者であるステパノの死に立ち会って同意し、彼を殺した人々の衣服も保管していました。

1. 悔い改めの力：サウルの迫害者から説教者への変化。

2. キリストに従う代償: ステパノの犠牲と弟子としての結果。

1. 使徒 9:1-19 - サウロの回心と使徒としての召し。

2. ルカ 9:23-25 - 十字架を背負ってイエスに従うことについてのイエスの教え。

Acts 22:21 そして彼は私に言った、「出発してください。私はあなたを遠く離れた異邦人のところに送りますから」。

パウロは異邦人のところに行って福音を伝えるように命じられています。

1. 福音の力: 良い知らせを他の人に伝える方法

2. ゴーへの呼びかけ: 神の命令にどう応えるか

1. マタイ 28:19-20 ?それゆえ、あなたは行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そしてきっと私は、いつでも、時代の終わりまで、あなたと一緒にいます。

2. ローマ人への手紙 10:13-15 ? 쐄それとも？主の御名を呼び求める者は救われるのです。では、どうやって信じていない人を呼び求めることができるのでしょうか？そして、彼らは聞いたこともない人のことをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かに説教されずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、遣わされない限り、どうやって説教できるでしょうか？書かれているとおり：ああ、良い知らせをもたらす人の足は美しいですか??

Acts 22:22 そこで彼らは、イエスにこの言葉を聞かせて、声を上げて言った、「あんな奴を地上から追放せよ。彼が生きているのはふさわしくないからだ。」

ユダヤ人たちはパウロが証言を共有し、彼を地上から排除するよう求めた後、彼を拒否しました。

1. 「証しの力: イエス・キリストの良い知らせを宣べ伝える」

2. 「毅然とした態度で立つ勇気：反対に直面しても信仰を守る」

1. ピリピ人への手紙 1:20-21 - 「何事においても恥じることはなく、いつものように大胆に、という私の切なる期待と希望によれば、今もキリストが私の体の中で、生であろうが死であろうが、大いなるものとされます。」. なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは利益だからです。」

2. ローマ人への手紙 8:31-39 - 「それでは、これらのことに対して何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために引き渡してくださった神が、どうしたらよいでしょうか。」神はご自分と共におられず、私たちにすべてのものを無償で与えてくださるのではありませんか? 誰が神に対して告発をするのでしょうか?選ばれますか? 義とされるのは神です。罪に定めるのは誰ですか? 死んだキリストであり、さらによみがえったのです。神の右の手、また私たちのためにとりなしをしてくださる方です。誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか?艱難、苦難、迫害、飢餓、裸、危険、剣でしょうか?次のように書かれています。「それともあなたのために、私たちは一日中殺されています。私たちは屠殺される羊としてみなされています。それでも、これらすべてのことにおいて、私たちは私たちを愛してくださった神を通して征服者以上の存在です。死も生も天使もいないと私は確信しているからです」支配も権力も、現在のものも将来のものも、高さも深さも、その他のいかなる被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。」

使徒 22:23 そして、彼らは叫び、衣服を脱ぎ捨て、塵を空中にまき散らしながら、

パウロはローマの衛兵隊長によって逮捕され、連行されました。

1: 困難な時の私たちの反応は、世界の混乱ではなく、キリストの平和を反映すべきです。

2: 反対に直面したとき、私たちは神が私たちを守り、必要を満たしてくださると信頼すべきです。

1: ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはならない。どんな状況においても、祈りと願いによって、感謝を込めて自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平安が、あなたの願いを守ってくれるだろう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

2: 詩篇 23:4 - 「たとえ最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めます。」

Acts 22:24 船長は彼を城に連れて行くように命じ、むち打って調べるように命じた。それは、なぜ彼らが彼に対してあれほど叫んだのかを知るためであった。

船長長はパウロを城に連れて行き、なぜ人々がパウロに対して叫び声を上げているのかを知るために、鞭で打たれるように命じました。

1. パウロの忠実さ: パウロの信仰に対する揺るぎない献身がいかにして迫害につながったか

2. 無条件の愛の力: 敵に対するパウロの愛がいかにして彼の救いにつながったか

1. マタイ 5:44 - ?言っておきますが、敵を愛し、あなたを迫害する人たちのために祈ってください。

2. ローマ人への手紙 8:37-39 - ?ああ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神を通して、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物において、神の愛から私たちを引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエス。

Act 22:25 そこで、パウロはひもで縛りながら、そばにいた百人隊長に言った、「ローマ人で罪に定められていない人を鞭で打つのは合法ですか。」

パウロは、有罪判決を受けていないローマ人を鞭打つのは合法なのかと尋ねた。

1. 質問の力: パウロの大胆さは権威に挑戦することをどのように教えてくれますか

2. 自分の権利を知る力: パウロの大胆さは私たちに自分自身のために立ち上がることをどのように教えるべきか

1. ガラテヤ 6:7-9 - だまされてはなりません。神をあざけることはできません。人は自分が蒔いたものを刈り取ります。自分の肉を喜ばせるために種を蒔く者は、その肉から滅びを刈り取るでしょう。御霊を喜ばせるために種を蒔く人は、御霊から永遠の命を刈り取ります。

2. イザヤ書 1:17 - 正しいことをすることを学びなさい。正義を求めます。抑圧されている人々を守ります。父親のいない問題を取り上げてください。未亡人の訴訟を起こす。

Act 22:26 百人隊長はそれを聞いて、行って船長に告げて言った、「何をするか気をつけなさい。この人はローマ人だからです。」

百人隊長はパウロがローマ人であることを認め、隊長に警告した。

1. たとえ自分と異なる人であっても、私たちは常に他人のことに気を配らなければなりません。

2. 他の人の人生に影響を与える決定を下すときは、注意と知恵を働かせる必要があります。

1. □□□□ 3:12-14 - □□□□

Acts 22:29 それから、彼らは彼を調べるべきだった彼からすぐに離れていった。そして、船長も、彼がローマ人であることを知って、彼が彼を拘束したので恐れた。

船長長は、パウロがローマ人であり、パウロを束縛したことを知って恐れた。

1: 難しい決断に直面しても恐れないでください。

２：誰かに脅されたりしませんか？地位または権限。

1: ピリピ人への手紙 4:6-7 ?何事も心配しないでください。しかし、どんな状況においても、祈りと嘆願によって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に捧げてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2: イザヤ書 41:10 ?ああ、恐れることはありません、私はあなたと一緒にいるからです。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしの正義の右手であなたを支えます。

使徒 22:30 翌日、彼は自分がユダヤ人に告発されるのは確実だということを知っていたので、彼を拘束から解き放ち、祭司長たちとその議員全員に出頭するように命じ、パウロを引きずり下ろして処刑した。彼らの前で。

翌日、ローマの司令官は、パウロがユダヤ人たちに告発されている理由をよりよく理解するために、パウロを拘束から解放しました。それから彼は祭司長たちとその評議会を呼び、パウロを降ろして彼らの前に立たせた。

1. 試練の時の神の忠実さ：神への信仰を通して強さを見つける。

2. 社会における正義の重要性：法を遵守し、真実を追求すること。

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. 箴言 21:15 - 正義が行われるとき、義人には喜びがもたらされますが、悪を行う人には恐怖がもたらされます。

使徒行伝 23 章には、サンヘドリンでのパウロの弁護、パリサイ派とサドカイ派の間の対立、そして彼の命に対する陰謀が詳しく語られています。

第 1 段落: この章は、パウロがサンヘドリンをまっすぐに見つめ、良心に従って神に対する義務を果たしたと述べるところから始まります。大祭司アナニヤは近くに立っていた人々に彼の口を叩くよう命じたが、これに対してパウロは「神はあなたの白塗りの壁を叩くだろう！」と反論した。あなたはそこに座って法に従って私を裁いているのに、あなた自身が私を打てと命令して法を犯しているのです！」出席者たちは、どうやって神の大祭司を侮辱することができるのかと尋ねましたが、パウロは、「民の支配者について悪口を言ってはなりません」(使徒23:1-5)と書かれているように、アナニアが大祭司であるとは知らなかったと答えました。

第 2 段落: 評議会の議員の中にはサドカイ派（復活はないと主張する）もおり、他のメンバーはパリサイ派であることに気づいたパウロは、サンヘドリンで「兄弟たち、私はパリサイ派です。パリサイ派です。」と呼びかけました。復活の希望が死んでしまったので、私は裁判を受けています。」この論争がパリサイ人の間で勃発したと言われると、サドカイ派の集会は分裂した（サドカイ派は復活も天使も霊も存在しないと言うが、パリサイ派はこれらすべてを信じている）。パリサイ人だった何人かの律法教師たちが立ち上がって、「この男には何の問題も見当たりません。もし霊の天使が彼に話しかけたらどうなるでしょうか？」と激しく主張して大騒ぎになりました。紛争が激しくなり、指揮官はパウロを引き裂くことを恐れ、軍隊に降下を命じ、彼を力ずくで兵舎に連れて行った（使徒行伝23:6-10）。

第 3 段落: 次の夜、主はパウロの近くに立って、「勇気を出しなさい!」と言われました。あなたがエルサレムでわたしについて証言したように、ローマでも証言しなければなりません』（使徒23:11）。翌朝、ユダヤ人たちは、パウロを殺すまでは飲食をしないという誓いを立てる陰謀を立てた。この陰謀には 40人以上の男たちが関与しており、祭司長らの長老らは厳粛な誓いを立てたとのこと、われわれがパウロを殺すまで食べ物を味わったら、サンヘドリン請願司令官が口実にする前に彼を連れてきて、事件についてのより正確な情報が欲しいという口実で、ここに着く前に彼を殺す準備ができている（使徒 23:12-15)。しかし、妹の息子は、兵舎に入った計画を聞いて、司令官が若者の叔父百人隊長に「危害が及ぶから気をつけろ」と警告したと話した。それから若い男は告訴を解任され、秘密を漏らした者に告げ、それから百人隊長二名を呼んで、分遣隊の準備を命じた、兵士二百名、騎兵七十名、騎兵二百名、槍兵二百名、今夜九時にカイザリヤに行く、フェリクス総督が安全に連れて行けるように、パウロに乗り物を提供する。彼は次のような手紙を書きました...（使徒行伝 23 章の残りの部分では、クラウディウス・リシアス総督フェリクスが、自分の命に対する脅迫に伴うパウロ市カイサリアへの安全な輸送の取り決めについて詳しく述べています。）

使徒 23:1 パウロは会議を熱心に見ながら言った、「皆さん、兄弟の皆さん、私は今日まで神の御前で良心に従って生きてきました。」

パウロは評議会で、自分は神の前で良心のある人生を送ってきたと確信して演説した。

1. 神の前で良心を持って生きることは、私たち全員が努力すべき模範です。

2. 神の前で良心に従って生きるパウロの模範は、私たちにとって力と励ましの源となります。

1. ローマ人への手紙 14:12 - それで、私たち一人一人は神に対して自分自身の説明をしなければなりません。

2. ペテロ第一 3:16 - 正しい良心を持っていること。それは、彼らが悪を行う者のように、あなたの悪口を言う一方で、あなたがキリストにある善良な会話を誤って非難することを恥じるためである。

Acts 23:2 そこで、大祭司アナニアは、そばにいた人々に、彼の口を打つように命じた。

大祭司アナニアは従者たちにパウロに暴力を振るうよう命じました。

1.「不正な権威の危険性」

2.「苦しみに直面したときの神の力」

1. イザヤ書 30:20-21 - 「そして、主があなたに逆境のパンと苦難の水を与えられるとしても、あなたの教師はこれ以上隅に追いやられることなく、あなた

の目はあなたの教師を見るでしょう。耳はあなたの後ろから、「これが道です、右に曲がるときも、左に曲がるときも、そこを歩きなさい」という言葉を聞くでしょう。」

2. マタイ 5:39 - 「しかし、私はあなたたちに言います。あなたたちは悪に抵抗しないでください。しかし、あなたの右の頬を打つ者は、もう一方の頬も彼に向きなさい。」

Acts 23:3 そこでパウロは言った、「神はあなたを打たれるでしょう、壁を白くしたのです。あなたは律法に従って私を裁き、律法に反して打たれるよう命じるのですか？」

パウロは、律法に反して打たれるよう命じた大祭司を叱責しました。

1. 法に従って正義のために立ち上がることの重要性。

2. 反対に直面しても、私たちは自分の信念を堅持しなければなりません。

1. ルカ 18:1-8 - しつこい未亡人のたとえ。

2. エペソ人への手紙 6:10-18 - 神の武具。

使徒 23:4 すると、そばに立っていた人々が言った、「神の大祭司よ、あなたはののしるのか」。

パウロが自分自身のために立ち上がった大胆さは、冒涜の罪で告発される結果となりました。

1 - 「自分自身のために大胆に立ち向かう」

2 - 「言葉の力」

1 - 1 ペテロ 3:15 - 「しかし、あなたがたは心の中でキリストを主として崇めなさい。あなたが抱いている希望の理由を尋ねるすべての人に、いつでも答える用意をしておいてください。しかし、それは優しさと敬意を持って行いなさい。」

2 - ヤコブ 1:19 - 「親愛なる兄弟姉妹の皆さん、次のことに注意してください。誰もがすぐに聞き、ゆっくりと話し、そしてゆっくり怒るべきです。」

使徒 23:5 そこでパウロは、「兄弟たち、私は彼が大祭司だなんて言いたくない。『民の支配者を悪く言ってはいけない』と書いてあるからです」と言った。

冒涜の告発に対するパウロの弁護は、権威に対する敬意と聖文に従うという彼の決意を示しています。

１：権威ある者を尊敬し、経典の教えに従います。

2: 大祭司の職を尊重し、大祭司の悪口を言ってはなりません。

1: ローマ人への手紙 13:1-7

2: ペテロ第一2:13-17

使徒 23:6 しかし、パウロは、その一部がサドカイ派で、他のパリサイ人であることに気づいたとき、議会で叫んだ、「皆さん、兄弟たち、私はパリサイ人であり、パリサイ人の息子です。死者の希望と復活についてです」私は尋問を受けています。

パウロは、会議に二つの立場が存在していることを認識していて、自分はパリサイ人であると宣言し、死者の希望と復活について質問されていると述べました。

1. 死者の希望と復活 - 使徒 23:6

2. 信仰にしっかりと立つ - 使徒 23:6

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2. ペテロ第一 1:3-4 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。主イエス・キリストは、その豊かな憐れみによって、イエス・キリストの死者の中からの復活によって、私たちを生き生きとした希望へと再び生み出してくださいました。

Acts 23:7 イエスがそう言うと、パリサイ派とサドカイ派との間に不和が生じ、群衆は分裂した。

パリサイ派とサドカイ派は互いに議論し、その結果群衆は分裂しました。

1. 分裂の危険性: 私たちを対立させる議論を避ける方法

2. ギャップを埋める: 違いを尊重し、感謝することを学ぶ

1. 箴言 18:19 - 「腹を立てた兄弟は要塞都市よりも不屈であり、争いは城塞の鉄格子のようなものだ。」

2. エペソ人への手紙 4:2-3 - 「あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛において互いに寛容を示し、平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう熱心に努めなさい。」

Acts 23:8 サドカイ派は復活も天使も霊もないと言っていますが、パリサイ派は両方とも告白しています。

パリサイ派とサドカイ派は、復活、天使、霊について異なる意見を持っていました。

1: 私たちは復活と天使や霊の存在に対する信仰を決して失ってはなりません。

2: サドカイ派は復活と霊を信じなかったのは間違いでしたが、パリサイ派の信仰は正しかったです。

1: 1 テサロニケ 4:13-14 - しかし、兄弟たち、眠っている人々については、希望を持たない他の人々と同じように悲しまないように、あなたがたに無知であってほしくないのです。なぜなら、もし私たちがイエスが死んで復活したと信じるなら、イエスのうちに眠っている人々も神はイエスとともに連れて来てくださるからです。

2: ヘブライ人への手紙 12:22-23 - しかし、あなたがたはシオンの山、生ける神の都、天のエルサレム、そして無数の天使の一団、総会と長子の教会に来ています。それは天に、そしてすべての審判者である神に、そして完全にされた正しい人の霊に向けて書かれています。

Acts 23:9 すると、大きな叫び声が起こった。そこで、パリサイ派の律法学者たちが立ち上がって、「この人には何の悪も見いだせない。しかし、霊か天使が彼に話しかけたのなら、私たちはそうしましょう」と言いました。神と戦わないこと。

パリサイ派の律法学者たちは、パウロの弁護を聞いた後、パウロには何の落ち度も見つからず、パウロのコミュニケーションは霊的なものから来ているに違いないと結論付けました。

1. 私たちの生活における神への忠実さの必要性

2. 神の声を聞く力

1. 箴言 3:5-6: 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. マタイ 6:10: あなたの御国が来ますように、あなたの御心が天と同じように地上でも行われます。

使徒 23:10 そこで、大きな争いが起こったとき、隊長は、パウロが彼らに巻き込まれることを恐れて、兵士たちに下って、力ずくで彼を彼らの中から連れて行き、中に連れて行くように命じた。城。

人々の間に大きな不和が生じ、大尉はパウロの身の安全を恐れて、兵士たちに彼を力ずくで連れて行き、城に連れて行くよう命じた。

1. 困難な時にあなたを守ってくれる主に信頼を置きましょう

2. 他者を守るために他者を第一に考えることの重要性

1. 詩篇 46:1 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。」

2. マタイ 22:39 「第二もこれと同じです。『隣人を自分のように愛しなさい。』」

Acts 23:11 その次の夜、主は彼のそばに立って言われた、「パウロ、元気でいてください。あなたはエルサレムで私のことを証言したように、ローマでも証言しなければなりません。」

主は夜中にパウロに現われ、エルサレムでしたのと同じように、ローマでも主について証しを続けるよう励まされました。

1. 粘り強く主を証しなさい - 使徒 23:11

2. 困難な時代を乗り越える勇気 - 使徒 23:11

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ローマ 8:37-39 - いや、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も、生も、天使も、支配者も、権力も、今あるものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のどんな生き物も、私たちを愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。それは私たちの主キリスト・イエスのうちにある神のものです。

Acts 23:12 そして、日が暮れると、ユダヤ人たちの何人かが団結して、パウロを殺すまでは飲食をしないと呪いをかけた。

ユダヤ人のグループは、任務を達成するまで飲食をしないという誓いを立ててパウロを殺害しようと計画しました。

1. 神の忠実さは、邪悪な計画や計略に直面しても明らかです。

2. 危険に直面しても、私たちは神の守りを信頼することを学ぶことができます。

1. 詩篇 56:3-4 - 「恐れるとき、私はあなたに信頼を置きます。私は神の御言葉を賛美し、神を信頼します。私は恐れることはありません。肉が私に何をして

くれるの？」

2. ローマ人への手紙 8:28-29 - そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。彼はまた、自分が予告していた人々のために、自分の息子が多くの兄弟たちの中で長子となるように、自分の息子の姿に似せられることをあらかじめ定めていた。」

Act 23:13 この陰謀を企てたのは四十人以上であった。

この箇所は、40人がパウロに対して共謀したことを明らかにしています。

1. どんなに不利な状況であっても、神は常にご自分の忠実な僕たちを守ってくださいます。

2. たとえ圧倒的な反対に直面しても、私たちは常に信仰を堅持すべきです。

1. イザヤ書 54:17 「あなたに対して作られた武器は成功しません」

2. ローマ人への手紙 8:31 「では、これらのことについて私たちは何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

Act 23:14 そこで、彼らは祭司長や長老たちのところに来て、「私たちは、パウロを殺すまでは何も食べないという大きな呪いをかけられています」と言った。

ユダヤ人の指導者たちはパウロに非常に腹を立てたので、彼を殺すまでは食事をしないという誓約を立てました。

1. 抑制されない感情の危険性: 使徒 23:14 の研究

2. 神の守りの力: 使徒 23:14 の研究

1. 箴言 29:11 - 愚か者は自分の霊を完全に発散させるが、賢者はそれを静かに抑える。

2. 詩篇 91:11 - 神はあなたの天使たちに、あらゆる道であなたを守るよう命じるからです。

Acts 23:15 そこで、あなたがたは評議会とともに、船長に対し、あたかも彼についてもっと完全に尋ねるかのように、彼を明日あなたのもとに引き下ろすよう告げる。そして、私たち、あるいは彼が近づくたびに、いつでも彼を殺す用意がある。。

ユダヤ人評議会はローマの隊長に対し、翌日パウロを自分たちの前に連れてくるよう促し、そうすればパウロをさらに尋問できるようになり、パウロを殺す用意もでき

ている。

1. 神のメッセージを拒否することの危険性: パウロの生涯における研究

2. 困難な時代における忍耐の価値

1. ローマ 8:31-39 - 苦しみのただ中にある神の愛の確信と力。

2. ヘブライ 12:1-3 - 困難な時代でも忍耐して忠実であり続ける必要性。

使徒 23:16 パウロの妹の息子は、彼らが待ち伏せしていることを聞くと、行って城に入り、パウロに告げた。

ポールの妹の息子はポールに対する陰謀について警告を受けており、すぐに彼に警告した。

1. 神は最も暗い時であっても保護を与えてくださいます。

2. 神は私たちの周りの人々を通して私たちへの愛を示してくださいます。

1. 詩篇 27:5 「苦難の日には、神は私をご自分の住まいに守り、聖なる天幕の中に私を隠し、岩の上に高く立たせてくださるからです。」

2. ローマ 8:28 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

Act 23:17 そこで、パウロは百人隊長の一人を呼んで、「この若者を船長のところに連れてきてください。彼に話したいことがあります。」と言った。

パウロは百人隊長に、若者に大事な話があるので、その若者を船長のところに連れてくるよう呼び掛けました。

1. 神は権力者に対して真実を語る勇気を私たちに与えてくださいます。

2. 困難な状況においてはいつでも主の導きに頼ることができます。

1. 箴言 28:1 - 「悪者は誰も追わないと逃げるが、正しい者はライオンのように勇敢である。」

2. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の

右の手であなたを支える。」

Acts 23:18 それで、彼は彼を連れて船長のところに連れて行き、こう言いました、「囚人パウロが私を呼んで、あなたに言いたいことがあるので、この若者をあなたのところに連れてきてくれるよう祈っています」。

パウロは弟子に、ある若者を船長のところに連れてきて、何かを話してほしいと頼みました。

1. 大胆になって声を上げてください - 使徒 23:18

2. 自分の信じていることのために立ち上がれ - 使徒 23:18

1. 箴言 31:8-9 「自分のことを言えない人のために、貧しいすべての人の権利のために声を上げなさい。率直に発言し、公正に判断してください。貧しい人々や困窮している人々の権利を守りましょう。」

2. ヤコブ 1:19-20 「親愛なる兄弟姉妹の皆さん、このことを理解してください。あなたがたは皆、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いのです。人間の怒りは神の望む義を生み出しません。」

Act 23:19 それから、船長は彼の手を取って、ひそかに彼と一緒に脇に行って、「あなたは私に何を話さなければならないのですか」と尋ねた。

ポールは船長に呼び寄せられ、自分の話を聞かせてほしいと頼まれた。

1: 神は私たちの物語を分かち合い、神の名に栄光をもたらす機会を私たちに提供してくださいます。

2: 私たちは、神が困難な状況に必要な力と勇気を与えてくださると信じて、進んで信仰を持って踏み出さなければなりません。

1: ローマ人への手紙 8:31 - 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？」

2: ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

Acts 23:20 そして彼は言った、「ユダヤ人たちは、あたかもパウロについてもっと完全に調査するかのように、あなたが明日の議会でパウロを引きずり下ろすことをあなたに望むことに同意しました。」

ユダヤ人たちは司令官に対し、翌日パウロを評議会に連れて行き、さらなる質問をするよう求めた。

1. 他人からの圧力にもかかわらず神の導きに耳を傾けることの重要性

2. いかなる状況においても神の御心に従う備えをする

1. ヤコブ 1:5-6 - 「もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、与えられるでしょう。しかし、その人は、何の疑いもなく、信仰を持って求めなさい。疑う人は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものです。

2. イザヤ書 55:8-9 - 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

使徒 23:21 しかし、あなたは彼らに屈しないでください。彼らの中には四十人以上の人たちが彼を待ち構えており、彼らは彼を殺すまでは飲食をしないと誓いを立てています。彼らは準備ができており、あなたからの約束を求めています。

ポールは、彼が殺されるまで飲食をしないと誓った40人以上の男たちから、自分に対する暗殺計画があると警告される。

1. 悪を行おうとする人々からの圧力に屈しないでください。

2. 反対や誘惑にもかかわらず、自分の信仰にしっかりと立ちなさい。

1. エペソ 6:11-13 - 悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2. マタイ 10:22 - そして、あなたは私の名のせいで皆から憎まれるでしょう。しかし最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

Acts 23:22 それで、船長は若者を出発させ、「あなたがこれらのことを私に見せたことを誰にも言わないでください」と言いました。

船長長は若者を解放し、何が起こったのか誰にも話さないように言いました。

1. 秘密を守る力

2. 私たちの約束を実践する

1. 箴言 11:13 - 噂話は信頼を裏切る。しかし、信頼できる男は秘密を守ります。

2. コロサイ 3:23 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。

Act 23:23 そこで、彼は百人隊長二人を呼んで言った。

パウロは二人の百人隊長に、兵士200人、騎手70人、槍兵200人を集めて、夜にカイサリアに行くように命じました。

1. 神の御心に従ったパウロの忠実さ

2. 神の命令に従う力

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者は誰でも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。

Acts 23:24 また、彼らに獣を与えて、パウロを乗せて総督フェリクスのもとに安全に連れて行くことができるようにする。

クラウディウス・リシアスは、パウロを総督フェリクスのもとに安全に連れて行くために獣を提供するよう兵士に命じた。

1. 神の神の摂理は、イエス・キリストの福音を伝えるという使命におけるパウロの保護に見られます。

2. 祈りの力は山を動かし、危険なときに私たちを守ってくれます。

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に言いなさい。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたたちの心と思いを守るでしょう。」

2. 詩篇 18:2 「主はわたしの岩、わたしの砦、わたしの救い主。私の神は私の岩であり、私の避難所であり、私の盾であり、救いの角であり、私の砦です。」

使徒 23:25 そして彼は次のような手紙を書きました。

評議会への忠誠心と信仰への忠誠心の間で板挟みになっているパウロのジレンマは、フェリックスが評議会に送った手紙を通じて解決された。

1. 神への忠誠は常に私たちの優先事項であるべきです。

2. たとえ困難なことがあっても、私たちは信仰のために喜んで立ち上がるべきです。

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

2. ダニエル 3:17 - たとえ私たちが燃え盛る炉に投げ込まれたとしても、私たちが仕えている神は私たちをそこから救うことができ、王よ、あなたの手から私たちを救い出してくださいます。

使徒 23:26 クラウディウス・リシアスが最も優れた総督フェリクスに挨拶を送る。

クラウディウス・リシアスが尊敬する総督フェリックスに挨拶を送ります。

1. 私たちの関係における敬意の価値。

2. リーダーシップにおける謙虚さの重要性。

1. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。」

2. 箴言 18:12 - 「滅びの前では人の心は高慢ですが、謙虚さは名誉よりも優先されます。」

Acts 23:27 この男はユダヤ人たちから捕らえられ、ユダヤ人たちから殺されるべきでした。そこで私は軍隊を率いてやって来て、彼がローマ人であることを知って彼を救い出しました。

パウロはユダヤ人の捕虜となったところをローマ軍に救出される。

1: 逆境の時には、神は予期せぬ力を使って私たちを救ってくださることがあります。

2: 私たちは、神が他の人を救うために私たちを用いて下さる備えをしておかなければなりません。

1: イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

2: 詩篇 91:14-15 - 彼は私に愛を注いだので、私は彼を救い出します。彼は私の名前を知っているので、私は彼を高く上げます。彼は私を呼びます、そして私は彼に答えます：私は困っているときに彼と一緒にいます。私は彼を救い出し、彼に敬意を表します。

Acts 23:28 そして、彼らが彼を告発した理由を私が知っていたとき、私は彼を彼らの会議に持ち出しました。

パウロは、自分が何で告発されているかを調べるために、知らない男を議会に連れて行きました。

1. 不確実な時代に賢明な決断を下す

2. 正義の裁きの力

1. 箴言 15:22 - 助言がなければ目的は失望するが、助言者が多ければ目的は確立される。

2. ヤコブ 1:19 - ですから、愛する兄弟たちよ、人は皆、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

使徒 23:29 この人は彼らの法律の問題で告発されているように見えましたが、死刑や拘束に値する罪には何も課されていませんでした。

パウロはユダヤ教の法律に違反したとして告発されましたが、彼のやったことは処罰に値するほど深刻なものではありませんでした。

1. 迫害にどのように対応するか - 不当な扱いを受けても神に忠実であり続けるようクリスチャンを奨励します。

2. 冤罪を克服する - 神の真実に確信を持ち続けるよう信者に思い出させます。

1. ローマ人への手紙 8:35-39 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？

2. ヨハネ 16:32-33 - 世では患難があるでしょう。でも元気を出してください、私は世界を克服しました。

Acts 23:30 それで、ユダヤ人たちがどのようにしてその男を待ち構えているかを聞かされたので、私はすぐにあなたのところに使いを送り、彼を告発している者たちにも、あなたの前で彼に対して何を言っているかを言うようにと命じました。別れ。

パウロはローマの司令官に、自分たちの前で男を待ち伏せしようとしているユダヤ人たちを連れてきて、彼らの主張に答えるように指示しました。

1. 社会における正義と公正の重要性。

2. 敵からの神の保護。

1. 詩篇 37:40 - 「主は彼らを助け、救い出してくださいます。主は彼らを悪者から救い出し、救ってくださいます。彼らは主に信頼しているからです。」

2. 사도 21:15 - 그 후에 우리가 행장을 준비하고 예루살렘으로 올라가니라

Act 23:31 그러므로 군사들이 명한 대로 바울을 받아 밤에 안디바드리로 데리고 가니라

그러므로군사들이명한대로바울을받아밤에안디바드리로데리고가니라

1. 그러므로: 사도 23:31 그러므로

2. 그러므로: 사도 23:31 그러므로군사들이명한대로바울을받아

1. 마태복음 1:7-9 - 그러므로 너희는 이 모든 악한 생각을 버리고 너희 입에서 더러운 말을 버리라 너희 중에 누구든지 부끄러운 말을 하지 말라

2. 골로새 13:1-5 - 그러므로 너희 지체 중 음행과 더러운 것과 정욕과 악한 욕심과 탐심을 버리라 탐심은 우상숭배니라

사도 23:32 그러므로군사들이명한대로바울을받아

그러므로군사들이명한대로바울을받아밤에안디바드리로데리고가니라

1. 그러므로군사들이명한대로바울을받아밤에안디바드리로데리고가니라

2. 그러므로 - 그러므로군사들이명한대로바울을받아

1. 마태복음 11:1 - 그러므로 너희는 이 모든 악한 생각을 버리고 너희 입에서 더러운 말을 버리라

2. 사도 27:17 - 그러므로군사들이명한대로바울을받아

사도 23:33 그러므로군사들이명한대로바울을받아밤에안디바드리로데리고가니라

그러므로군사들이명한대로바울을받아

1: 그러므로군사들이명한대로바울을받아밤에안디바드리로데리고가니라

2: 私たちは神が私たちのために用意してくださった計画に常に忠実であり、信仰にしっかりと立つべきです。

1: ヘブライ人への手紙 11:1-3 「信仰は、私たちが望んでいることを確信し、私たちが見ていないことを確信することです。これが古代人が賞賛されたことです。信仰によって、私たちは宇宙が神の命令によって形成されたことを理解します。それは、目に見えるものが、目に見えるものから作られたのではないのです。」

2: ローマ人への手紙 8:28 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

Act 23:34 総督はその手紙を読み終えると、どこの州にいるのか尋ねた。そして彼がキリキア出身であることを理解したとき、

パウロはキリキア出身であることが判明しました。

1. 私たちの行動や行為によって識別される。

2. キリストにあって私たちが何者であるかを知る。

1. エペソ人への手紙 4:1-3 「ですから、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに忍耐をもって、召された召しにふさわしい態度で歩むことをお勧めします」愛において、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。」

2. コロサイ 3:12-17 「それでは、神に選ばれた者として、聖で愛される者として、思いやりの心、優しさ、謙虚さ、柔和、そして忍耐を身に着けて、互いに忍び合い、もし誰かが他の人に対して不満を持っているなら、赦しなさい」「お互いに、主があなたを赦してくださったのと同じように、あなたも赦さなければなりません。そして何よりも、これらの人々は愛を身に着け、それがすべてを完全な調和で結びつけます。そして、キリストの平和があなたの心の中に支配されるようにしましょう。あなたはまさにそのために招かれたのです」「体は一つです。そして感謝しなさい。キリストの言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め合い、心の中で神に感謝しながら詩篇と賛美歌と霊的な歌を歌いましょう。」

Acts 23:35 彼は、「あなたを告発する者たちも来たら、私はあなたの言うことを聞きます」と言いました。そして彼はヘロデの裁きの場に留め置かれるように命じた。

パウロはローマの司令官に謁見し、告発者が到着したら話を聞くと約束した。

1. 神は、困難なときに私たちの声を聞く方法を常に提供してくださいます。

2. 困難な状況にあるときでも、神が私たちとともにいてくださると信頼できます。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。」

2. 詩篇 55:22 - 「あなたの思い煩いを主に委ねなさい。そうすれば主はあなたを支えてくださるでしょう。主はあなたを支えてくださいます。」神は義人を決して堕落させません。」

使徒行伝 24 章には、カイサリアのフェリクス総督の前でのパウロの裁判、大祭司とユダヤ長老たちの代理人弁護士テルトゥルスの告発、そしてパウロの弁護が詳しく記されています。

第 1 段落: この章は、アナニア、長老たち、そしてテルトゥルスという弁護士が、パウロに対する訴訟をフェリクス総督に提出するためにカイサリアに到着するところから始まります。テルトゥルスはフェリクスへのお世辞から告発を始め、次にパウロは世界中でユダヤ人の間で暴動を引き起こし、首謀者であるナザレ派が神殿を冒涜して逮捕した問題児であると非難した（使徒行伝24:1-7）。彼らはフェリクスに、自分たちの言ったことに基づいてパウロ自身を調べるように頼んだ。

第 2 段落: テルトゥルスが自分の訴訟を提起した後、フェリックスはポールに弁護の機会を与えた。パウロは、知事に対し丁寧に、自分は 12日前にエルサレム礼拝に行っていたと述べ、誰とも議論せず、騒ぎも起こさなかったと告訴を反駁した、どちらの寺院のシナゴーグ市も告発を証明することができた、代わりに、自分は宗派と呼ばれる「道」に従っていたと告白した 律法に書かれていることはすべて信じている 預言者は神に希望を持っている彼ら自身、義人も悪人も復活することを信じています（使徒24:10-15）。彼は常に神の前に良心を保つように努めることを強調した、数年後に人がやって来て贈り物を持ってきた、人々が犠牲を捧げた、群衆の騒ぎもなく儀式的に清くなっているのが見つかった、ユダヤ人の地方の一部である、もし彼らが私に対して何かを告発する前に、あるいは彼ら自身に言わせる前に、アジアはここに来るべきだ彼らがサンヘドリンの前に立ったときにどんな罪を見つけたのか、それが裁判中に叫ばれた「死者の復活に関することであり、私は今日あなたの前で裁判を受けています」（使徒行伝24:16-21）というものでなければ。

第 3 段落: しかし、フェリクスは道について正確な知識を持っていたため、「リシアスの司令官が降りてきたら、私があなたの件を決定する」と言って訴訟を中止した。彼は百卒長に、パウロを監視し続けるが、友人たちが彼の必要を世話できるよう、ある程度の自由を与えなさいと命じました（使徒行伝 24:22-23）。数日後、フェリクスはパウロのために遣わされたユダヤ人の妻ドルシラとともにやって来て、パウロが信仰について話すのを聞きました、キリスト・イエスについて義について話していると、自制の裁きが来るのですが、フェリクスは怖くなって、「今はもう十分です！」と言いました。出発しても構いません。ご都合がつきましたら、お送りいたします。』同時に、パウロがお金をくれることを望んでいたので、彼を呼びに送り、頻繁に彼と話し合いましたが、2年後、ポルキウス・フェストゥスが後を継ぎ、フェリクスは助成金の恩恵を望んでおり、ユダヤ人はパウロを投獄したままにしました（使徒行伝24:24-27）。

使徒 24:1 五日後、大祭司アナニヤは長老たちとテルトゥルスという雄弁家とともに下って来て、総督にパウロに反対する通告をした。

パウロは総督の前で大祭司アナニヤと雄弁家テルトゥルスから不正行為の罪で告発されました。

1. ゴシップの危険性: ポールの告発に関する研究

2. 反対に対して毅然とした態度で立つ: 使徒 24 章におけるパウロの弁護

1. 箴言 18:8 - 「噂話の言葉は、選び抜かれた一口のようなもので、人の心の奥底にまで届きます。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間によくある誘惑以外に、あなたがたを襲った誘惑はありません。しかし、神は真実です。あなたが自分の能力を超えた誘惑に遭うことはお許しになりませんが、誘惑によっても道は開かれます。」逃げるのは、あなたがそれに耐えられるようにするためです。」

Acts 24:2 そして、彼が呼び出されると、テルトゥルスは彼を非難し始めて、こう言いました、「私たちはあなたのおかげで大きな静けさを享受しており、あなたの摂理によってこの国に非常に価値のある行為が行われているのを見て、

テルトゥルスはフェリクスの偉大な静けさと国民にもたらした価値ある行為を称賛した。

1. 人間の指導者を通して神の働きを認識する

2. 神の民に仕える人間の指導者の役割を理解する

1. ピリピ人への手紙 2:12-13 「ですから、愛する人よ、あなたはいつも従ってくださったように、今、わたしがいるときだけでなく、いないときはなおさら恐れおののきながら自分の救いを達成しなさい。それは神だからです。」あなたの中で働いて、ご自分の喜びのために意志を持って働いてくださる方です。」

2. コロサイ 3:23-24 「何をするにも、人のためではなく、主のために熱心に働きなさい。報酬として主から相続財産を受けられることを知ってください。あなたは主キリストに仕えているのです。」

使徒 24:3 最も高貴なフェリクスよ、私たちは常に、そしてあらゆる場所で、感謝の気持ちを込めてそれを受け入れます。

ポールは、いつも自分と彼の教えを受け入れてくれたフェリックスに感謝しました。

1. 感謝する力: 感謝の気持ちは私たちの人生をどのように変えることができるか

2. 謙虚さの芸術: 感謝の気持ちを代弁する

1. コロサイ 3:15-17 - そして、神の平和があなたがたの心の中に支配されるようにしてください。あなたもまた、その平和に一つの体として召されています。そして感謝しましょう。キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿り、詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え合い、戒め合い、心の中で恵みをもって主に向かって歌いましょう。そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

2. エペソ人への手紙 5:20 - 私たちの主イエス・キリストの御名において、すべてのことについて常に父なる神に感謝しなさい。

Acts 24:4 それにもかかわらず、私はあなたにこれ以上面倒なことをさせないために、私たちにあなたの寛大な言葉を少しでも聞いてくださるよう祈ります。

パウロはローマ総督フェリクスの前で弁護します。

1. 試練と艱難: 困難な状況に品格と尊厳を持って対処する方法

2. 説得の力: 丁寧な態度で自分の声を届ける

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. ローマ 12:18 - 可能であれば、あなた次第ですが、すべての人たちと平和に暮らしてください。

Acts 24:5 なぜなら、この男が疫病の仲間であり、全世界のユダヤ人の間で反乱を起こした者であり、ナザレ派の首謀者であることがわかったからです。

パウロはトラブルメーカーであり、新しい宗派の信者の指導者であると非難されている。

1. 影響力: どうすれば世界に変化をもたらすことができるか

2. 反対に立ち向かう: パウロの例

1. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上に建てられた町を隠すことはできません。また、人々はともしびに火をつけたり、それを鉢の下に置いたりしません。代わりに、それを台の上に置き、同じように、あなたの光を他の人たちの前で輝かせて、彼らがあなたの良い行いを見て、天の御父に栄光を帰してください。

2. エペソ 6:10-12 - 最後に、主とその偉大な力において強くなりましょう。神の武具を身に着けて、悪魔に立ち向かうことができますか?計画。なぜなら、私たちの闘いは血肉に対するものではなく、支配者に対するもの、権威に対するもの、この闇の世界の権力に対するもの、そして天上の領域における悪の霊的勢力に対するものだからです。したがって、神の武具を身に着けなさい。そうすれば、悪の日が来たときに、自分の立場をしっかりと確立し、すべてを終えた後に立ち上がることができるでしょう。

使徒 24:6 神殿を汚そうとした者もいます。わたしたちが捕まえて、わたしたちの律法に従って裁くはずでした。

パウロはエルサレムの神殿を冒涜したとして告発されました。

1: 反対に直面したときの勇気と信仰についてパウロの模範から学ぶことができます。

2: 神殿の重要性とその神聖さを忘れてはなりません。

1: ガラテヤ 6:9 「善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、しかるべき時に収穫を得ることができるからです。」

2: ルカ 21:19 - 「しっかりしていれば命が得られます。」

使徒 24:7 ところが、船長リシアスが私たちに襲いかかり、激しい暴力で彼を私たちの手から奪い去った。

リシアスはパウロを追随者から暴力的に連れ去ります。

1. 逆境に直面したときの思いやり

2. 反対に直面しても信仰を守る

1. マタイ 5:10-12 - ?義のために迫害される人々は、より弱い者です。なぜなら、天国は彼らのものだからです。他の人があなたを罵り、迫害し、私のせいであなたに対して偽りのあらゆる種類の悪を言うとき、あなたは幸いです。喜んで、喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいのです。なぜなら、彼らはあなたの前にいた預言者たちを迫害したからです。

2. ローマ人への手紙 8:31-39 - ?帽子 それでは、これらのことについて話しましょうか？もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに慈悲深く私たちにすべてのものを与えて下さらないのでしょうか？誰が神に対して告発をするのでしょうか？選挙しますか？義とされるのは神です。誰が非難されるのでしょうか？死んだのはキリスト・イエスですか？それよりも原石、誰が育てたの？봶ホは神の右にいて、まさに私たちのために執り成してくれています。誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？艱難か、苦難か、迫害か、飢餓か、裸か、危険か、それとも剣か？書いてある通り、？それとも、私たちは一日中殺されているのです。私たちは屠られる羊とみなされています。??いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神を通して、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物において、神の愛から私たちを引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエス。

Acts 24:8 告発者たちに、あなたのところに来るように命じてください。これらすべてのことを誰が知っているかをあなた自身が調べて、私たちが彼を告発するようにしてください。

フェリクスの前でパウロが自分自身を弁護したことは、神の正義への信頼を示しました。

1. 神は私たちの最終的な裁判官ですので、神を信頼してください。

2. たとえ困難な時であっても、私たちは主の正義を信頼しなければなりません。

1. ローマ 8:28 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解に頼ってはならない。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

Act 24:9 ユダヤ人たちも、そのとおりだと言って同意した。

ユダヤ人たちはパウロの言葉が真実であると同意しました。

1. 忠実さは報われる - 神はパウロの言葉を聞き、ユダヤ人たちの承認という報いを与えられました。

2. 真実は変わらない - パウロは真実を語り、ユダヤ人たちはそれを認めました。

1. ヨハネ 8:32 - 「そして、あなたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

2. 箴言 12:19 - 「真理の唇は永遠に確立される。」

使徒 24:10 そこでパウロは、総督が彼に話すよう手招きした後、答えた、「あなたが長年にわたってこの国の裁判官を務めてきたことを知っているので、私は自分自身としてもっと元気よく答えます。

ポールは長年にわたる国民との経験を踏まえ、知事の質問に元気よく答えた。

1: 神を信頼し、どんな質問にも明るく答えてください。

２：自分の知識と経験に自信を持ち、それを活かしてください。

1: 箴言 3:5-6 「心から主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださる。」

2: ピリピ 4:4-5 「いつも主にあって喜びなさい。そしてもう一度言います。喜びなさい。あなたの節度がすべての人に知られるようにしましょう。主はすぐそばにおられます。」

Acts 24:11 なぜなら、あなたが理解できるように、私が礼拝のためエルサレムに上ってからまだ十二日しか経っていないからです。

パウロは、つい最近エルサレムに礼拝に行ったばかりであると述べて、フェリクスの前で自分の信仰を弁護します。

1. 信仰に忠実であり続ける: 礼拝に献身的に取り組み続ける

2. 礼拝とはどういう意味ですか: 信心の深さを探る

1. ヘブライ 10:22 - 心に悪い良心を振り払い、清い水で体を洗い、信仰を完全に確信して真の心をもって近づきましょう。

2. ヨハネ 4:23-24 - しかし、真の崇拝者たちが霊と真理をもって父を礼拝する時が来ています、そして今です。御父はご自分を崇拝する者を求めておられるからです。神は霊であり、神を崇拝する者は霊と真理をもって崇拝しなければなりません。

Acts 24:12 また、彼らは、私が神殿で誰かと争っているところも、会堂でも、町でも、人々を起こしているところも見つけませんでした。

パウロは、神殿、会堂、都市で人々を立ち上げたり、誰かと争ったりしているところは見られなかったため、いかなる不正行為も無実であることが判明した。

1. 無邪気の力: 使徒 24 章におけるパウロの経験の考察

2. 冤罪から身を守る: パウロの人格擁護からの教訓

1. マタイ 5:11-12 - わたしのために、人々があなたをののしり、迫害し、あなたに対して偽りのあらゆる悪口を言うとき、あなたがたは幸いです。喜んで、非常に喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいからです。なぜなら、あなた以前の預言者たちは非常に迫害されたからです。

2. ペテロ第一 2:20-21 - もしあなたが自分の落ち度で打ちのめされたとき、それを忍耐強く耐えるなら、それはどれほどの栄光でしょうか。しかし、もしあなたが良いことをして、そのために苦しむとき、それを辛抱強く受け入れるなら、それは神に受け入れられるでしょう。なぜなら、あなたがたはここまで召されたのである。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、あなたがたが彼の足跡に従うようにと、私たちに模範を残されたからである。

Acts 24:13 彼らも、今私を非難していることを証明することができません。

ポールはフェリックスに対する冤罪から身を守るためにフェリックスの前に立ちはだかる。

1. 私たちは、他人から何も非難されないように、正直で誠実な生活を送るよう努めるべきです。

2. たとえ私たちに対して虚偽の告発がなされたとしても、私たちは神の保護と備えを信頼すべきです。

1. 箴言 10:9 - 誠実に歩む者はしっかりと歩むが、道を曲げる者は必ず暴かれる。

2. ペテロ第一 2:19-21 - 人が不当な苦しみを受けながらも、神を心に留めて悲しみに耐えるというのは、ありがたいことなのです。罪を犯し、そのために打たれたとき、耐え忍んだとしたら、それが何の功績になるでしょうか。しかし、善を行い、そのために苦しみを耐え忍ぶなら、それは神の目にはありがたいことです。なぜなら、キリストもあなたのために苦しみ、あなたが彼の足跡に従うことができるように、模範を残されたからです。

Acts 24:14 しかし、私はあなたに告白しますが、彼らが異端と呼ぶやり方に従って、私は律法と預言者に書かれていることをすべて信じて、私の先祖の神を崇拝します。

パウロは自分が先祖たちの神の崇拝者であり、律法と預言者に書かれていることはすべて信じていると告白します。

1: 私たちは人間ではなく神に従うように召されています。

2: 神の言葉に根ざしていることが重要です。

1: ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2: 申命記 6:4-6 - イスラエルよ、聞いてください。私たちの神、主は唯一です。心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。今日私があなたに与えるこれらの戒めは、あなたがたの心に留めておくべきです。

使徒 24:15 そして、神に対して希望を持ちなさい。それは彼ら自身も認めています。それは、正しい者も正しくない者も、死者の復活があるということです。

パウロは人々に、正義の人も不正な人も復活することを信頼し、神に希望を持つよう勧めました。

1. 復活の希望：神の約束を信頼する

2. 神の正義: 正義と不正義の復活

1. イザヤ書 25:8-9 彼は死を永遠に飲み込みます。そうすれば主なる神はすべての顔から涙をぬぐってくださるでしょう。彼は民の叱責を全地から取り除きます。主が語られたからである。

2. ローマ人への手紙 6:23 罪の報いは死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

使徒 24:16 そして、私はここで、神に対しても人々に対しても罪を犯さない良心を常に持つように自分を鍛えています。

パウロは神と人の前で明確な良心を保つことに専念しました。

1: イエスは私たちに、神と人の前に明確な良心を持たせるよう呼びかけています。

2: 私たちは神と人の前で誠実な生活を送るよう招かれています。

1: ヨハネ第一 3:20-21 ?あるいは、私たちの心が私たちを非難するときはいつでも、神は私たちの心よりも偉大であり、すべてをご存じです。愛する皆さん、心が私たちを非難しなければ、私たちは神の前に自信を持つことができます。

2: ローマ人への手紙 12:17 ?誰にも悪には悪をせず、みんなの前で名誉あることをすることを考えてください。

Acts 24:17 さて、長い年月を経て、私は国民に施しと供え物をもたらすためにやって来ました。

パウロは民に捧げ物をもたらすためにエルサレムに戻ります。

1. 故郷に帰り、お世話になった人たちに恩返しすることの大切さ。

2. 私たちのルーツを思い出し、感謝の気持ちを表します。

1. ルカ 17:11??9 - イエスは 10 人のらい病人を癒しましたが、戻って感謝したのは 1 人だけでした。

2. マタイ 25:35??6 ??イエスは、困っている人たちを助けるように私たちに指示されました。

使徒 24:18 すると、アジアから来たあるユダヤ人たちが、私が神殿で清められているのを見つけましたが、群衆も騒ぎもありませんでした。

アジアから来たユダヤ人の中には、大勢の群衆や騒ぎもなく神殿でパウロが清められているのを見つけた人もいた。

1. 従順の力: 私たちの人生における神の目的を発見する

2. 平和に生きる: 不安定な時代に調和を見つける

1. 詩篇 130:5-6 - 「私は主を待ち望みます。私の魂は待ちます。そして主の御言葉によって私は望みます。私の魂は朝を待つ人たちよりも主を待ちます。私は言います、彼らよりもです」それは朝を見守ることだ。」

2. マタイ 5:9 - 「平和を実現する人々は幸いです。彼らは神の子と呼ばれるからです。」

Acts 24:19 もし彼らが私に敵対するとしたら、誰があなたより先にここにいて、反対すべきだったでしょう。

ポールはフェリクスに対して、もし誰かが彼に対して何かを持っているなら、彼らは抗議するためにその場にいたはずだと述べて自分自身を弁護します。

1. 正義のために立ち上がる: 自分自身のために立ち上がり、正義を要求するパウロの例。

2. □□□□

Acts 24:22 フェリクスはこれらのことを聞くと、その道についてはもっと完全に知っていたので、それを延期して、「船長リシアスが下って来るとき、私はあなたの事のすべてを知ります。」と言いました。

フェリクスはパウロとユダヤ人たちが議論しているのを聞き、この問題についてさらに知識を得るために、船長リシアスが到着するまで待つことにした。

1. 意思決定における忍耐: 使徒 24 章のフェリクスから学ぶ

2. 知恵を求めることの価値: 使徒行伝 24 章のフェリクスの例

1. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく、とがめられることなく与えてくださいます。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. 箴言 11:14 - 「相談者のいないところには民は倒れる。しかし、相談者が多ければ安全である。」

Act 24:23 そして百人隊長に、パウロを引き留め、自由を与えるように、また、知人に奉仕したり、パウロのところに来ることを決して禁じてはならないと命じた。

パウロには訪問者を受け入れたり、知人から援助を受ける自由が認められています。

1: 神の恵みは、私たちを愛する人々のサポートに囲まれる自由を私たちに与えます。

2: 神の愛と憐れみにより、私たちは周囲の人々から慰められ、気遣われることができます。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、決して不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2: ヘブライ 13:5 - お金への執着から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい、と彼は言いました。쏧は決してあなたを離れたり、見捨てたりしません。

Acts 24:24 数日後、フェリクスがユダヤ人の妻ドルシラを連れて来たとき、パウロを呼びにやり、キリストへの信仰について聞きました。

パウロはフェリクスとドルシラにキリストへの信仰について話しました。

1. 福音を他の人と分かち合うことの重要性

2. イエス・キリストを信じる信仰の力

1. マタイ 28:18-20 - すると、イエスが来て彼らに言われた。天と地におけるすべての権威が私に与えられました。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。

2. ローマ 10:14-17 - それでは、彼らは信じていない方をどのようにして呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？書いてある通り、？良いたよりを宣べ伝える人々の足はなんて美しいのでしょう!??ですから、信仰は聞くことから生まれ、キリストの言葉を通して聞くことになります。

Acts 24:25 そして、正義、節制、そして来るべき裁きについて考えたとき、フェリクスは震えて答えた、「今回はあなたの道を行きなさい。」都合の良い季節が来たら、あなたを呼びます。

フェリックスはパウロの後、自らの罪深さで有罪判決を受けたのですか？正義、節制、そして来たるべき裁きについて説教します。

1. 人間の罪深さと悔い改めない行動の結果

2. 説教の力と心に影響を与えるその力

1. ローマ人への手紙 3:10-12 - 書かれているように、義人は一人もいない、いや、一人もいない。理解する者もいないし、神を求める者もいない。それらはすべて邪魔にならなくなり、一緒になって利益がなくなってしまいます。良いことをする人は誰もいません、いいえ、一人もいません。

2. 1 コリント 2:4-5 - そして、私のスピーチと説教は、人間の知恵の魅力的な言葉によるものではなく、御霊と力の実証でした。神の力。

Acts 24:26 また、彼は、パウロから金をもらって、彼を釈放してもらえればよかったのにと思っていたので、頻繁に彼を呼びに送り、彼と交わった。

ポールの拘束はフェリクスにとって大きな関心事であり、自由と引き換えに彼から賄賂を受け取ることを望んでいた。

1: この節では、パウロの拘留がフェリクスにとって非常に興味深いものであり、賄賂によってパウロが解放されることを望んでいたことが分かります。報酬への期待によって正しいことをすることから気をそらされないように注意しなければなりません。

2: パウロとフェリクスの物語は、最も邪悪な人々でも貪欲に駆り立てられる可能性があることを示しています。たとえ誘惑に直面したとしても、私たちは正しく正しいことに焦点を合わせ続けるよう努めなければなりません。

1: エペソ人への手紙 5:15-17 「では、自分がどのように歩むかをよく見てください。愚かな者としてではなく、賢明な者として、時を最大限に活用して、悪しき日々なのですから。ですから、愚かではなく、神の御心がどのようなものかを理解しなさい。」主はね。」

2: マタイ 6:24 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神とお金に仕えることはできません。」

Acts 24:27 しかし、二年後、ポルキウス・フェストゥスがフェリクスの部屋にやって来た。すると、フェリクスはユダヤ人たちに喜びを与えようとして、パウロを縛り付けたままにした。

パウロはユダヤ人を喜ばせるためにフェリクスに束縛されたままになりました。

1: イエスは私たちに、敵を愛し、自分がしてほしいように他の人に接するように教えました。私たちは他人を赦し、恨みを抱かないことを学ばなければなりません。

2: 私たちは他人の意見に影響されず、許すことを学ばなければなりません。私たちは自分の信念に忠実であり続け、神の御心を信頼しなければなりません。

1: マタイ 5:44-45 ?あなたに言いますが、敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。そうすれば、あなたは天の御父の子供になれるでしょう。

2: ピリピ人への手紙 4:4-5 ?常に主にあって喜びなさい。もう一度言います：喜んでください！あなたの優しさがすべての人に明らかになるようにしましょう。主は近くにおられます。

使徒行伝 25 章では、フェストゥス総督の前で行われているパウロの裁判の続き、ユダヤ人指導者らによるパウロ殺害の陰謀、そしてアグリッパ王の事件への関与について詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、フェストが就任し、3 日後にカイサリアからエルサレムに上ることから始まります。祭司長たちとユダヤ人の指導者たちが彼の前に現れ、パウロに対する告発を行った。彼らは、途中でパウロを殺すための待ち伏せを計画していたため、お願いとしてパウロをエルサレムに移送してほしいと緊急に要求しました。しかしフェストは、パウロはカイサリアで捕らえられており、自分もすぐそこへ行くつもりだと答えた。彼は、もしパウロが何か悪いことをしたなら、彼らのうちの能力のある人々が彼と一緒に下って行き、パウロに対して告発するよう提案しました（使徒25:1-5）。

第 2 段落: 約 8 ～ 10 日後、フェストはカイサリアに戻りました。翌日、彼は法廷を招集し、パウロが到着すると、エルサレムから下ってきたユダヤ人たちがパウロを取り囲んで、証明できなかった多くの重大な罪状を訴えてパウロを連れてくるよう命じました（使徒行伝 25:6-7）。パウロは弁護の際、「私はユダヤ教の法律に対しても、神殿に対しても、カエサルに対しても何も悪いことをしていない」と述べた。しかし、ユダヤ人に好意を持ちたいフェストスは、「エルサレムに行って、私の前でこれらの容疑で裁判を受ける気はありますか？」と言いました。しかしパウロは、「私はカエサルの法廷に立っているのですが、そこで私は裁かれるべきです。あなたもよくご存知のように、私が有罪であるなら、死刑に値することをしたのです。私は死ぬことを拒否しませんが、告訴が虚偽であるなら、誰も正義を持っていません」と答えました。彼らを引き渡してください、シーザーに訴えます！』評議会と協議した後、フェストゥスは「カエサルに上訴したのか？」と宣言したカエサルのところへ行くのよ！』（使徒 25:8-12）。

第3段落: 数日後、アグリッパ王とベルニケがカイサリアに到着し、何日も滞在していたフェストゥスに敬意を表した フェストゥスは王の前で訴訟を起こし、フェリクスによって捕虜になった男がいると言い、ユダヤ人コミュニティ全体がここエルサレムで両方とも私に請願し、彼はそうすべきだと叫んだと述べた。もう生きていませんが、死に値するものは何も見つかりませんでしたが、上訴した皇帝は彼を送ることに決めましたが、彼について何を書いたか知りません。したがって、主は何よりもまず特に、調査で何かを書くことができるように、彼に対する罪状を特定せずに捕虜を送るのは不合理であるように思われるため、連れてきました（使徒 25: 13-27)。

使徒 25:1 さて、フェストがこの地方に来たとき、三日後にカイサリアからエルサレムに上った。

フェストゥスは属州に到着し、3日後にカイサリアからエルサレムへ向かいました。

1. 天国への旅 - 使徒行伝 25:1 のフェストの例を振り返る

2. 正しい道を歩む - 旅行中に賢明な決断を下すことの重要性を考える

1. 詩篇 139:7-9 - あなたの御霊のもとから、私はどこへ行けばよいでしょうか？それともあなたの前からどこへ逃げればよいでしょうか？私が天国に昇れば、あなたはそこにいるのです！シェオルでベッドを整えたら、あなたがそこにいるよ！たとえ私が朝の翼を手に取り、海の最果てに住んでいても、そこにさえあなたの手は私を導き、あなたの右手は私を握るでしょう。

2. 箴言 16:9 - 人の心は自分の道を計画しますが、主は彼の歩みを確立します。

使徒 25:2 そこで、大祭司とユダヤ人の長たちは、パウロに反対するよう知らせて、こう懇願した。

パウロを告発した者たちは、パウロに対して虚偽の告発をローマの役人に持ちかけました。

1. 冤罪にもかかわらず福音を宣べ伝える

2. 迫害を克服するために神の力に頼る

1. ローマ人への手紙 8:31-32 - 「では、これらのことについて私たちは何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために御子を捨てられた神は、どのようにしてくださるでしょうか。」彼と一緒に、私たちにすべてのものを親切に与えてくださいませんか？」

2. マタイ 10:22 - 「あなたがたは、わたしの名のゆえに皆に憎まれるであろうが、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。」

Acts 25:3 そして、彼をエルサレムに送り、彼を殺すために待ち構えさせてほしいという好意を望んだ。

ポールは悪事を行ったとして敵たちに告発され、彼を殺そうとします。

1. 私たちは、情熱に導かれて悪行に走らないように注意しなければなりません。

2. 私たちは敵を警戒し、彼らの陰謀から身を守る必要があります。

1. 箴言 14:16 「賢い者は用心深く悪から遠ざかるが、愚か者は無謀で不注意である。」

2. エペソ人への手紙 4:31-32 「すべての恨み、怒り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともに、あなたがたから遠ざけましょう。互いに親切にし、心を優しくし、キリストにあって神があなたがたを赦してくださったように、互いに許し合いなさい。」」

Acts 25:4 しかしフェストは、パウロはカイサリアに留めておくべきで、自分もすぐにそこへ出発すると答えた。

フェストはパウロをカイサリアに留めておくことに決め、すぐに出発します。

1. 神の計画は常に最善である：使徒行伝におけるパウロの旅の考察

2. 神のタイミングを信頼する: 逆境の中で強さを見つける

つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. 詩篇 46:10 - 彼はこう言います。私は静止しており、私が神であることを知っています。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるだろう。

Acts 25:5 そこで彼らは、「あなたがたのうちでできる人は、私と一緒に行って、もしこの人に悪意があるなら、この人を告発してください」と言った。

パウロはフェストの前に連行され、エルサレムで裁判を受けるよう求めます。

1: 神は私たちを謙虚にし、難しい決断を下すよう呼びかけています。

2: 神の御心はしばしば私たちに隠されていますが、私たちは神を信頼しなければなりません。

1: イザヤ書 55:8-9 ? 「あるいは私の考えはあなたの考えではないし、あなたのやり方も私のやり方ではない、と主は言われる。」天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

2: ガラテヤ 6:9 ?そして、良い行いをすることに疲れないようにしましょう。私たちが失神しなければ、やがて季節が来て刈り取ることができるからです。

Act 25:6 そして、十日以上彼らの間で過ごした後、カイサリヤに下った。そして翌日、裁判の席に座っていたパウロは、連れてくるように命じた。

パウロはカイサリアのローマ総督フェストの前に連行されました。

1. 神の主権: 不当な状況でも神はどのように権威を行使されるか

2. パウロの忠実さ: 逆境に直面してもしっかりと立つ

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. イザヤ書 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

使徒 25:7 パウロがやって来ると、エルサレムから下って来たユダヤ人たちが周りに立ち、パウロに対して多くの痛ましい訴えを立てたが、それを証明することはできなかった。

ユダヤ人たちはパウロに対して多くの非難をしましたが、それは証明できませんでした。

1. 冤罪に屈しないでください。

2. たとえ厳しい批判に直面しても、真実を語ります。

1. 箴言 19:5 - 「偽りの証人は罰せられず、偽りを吐く者は逃れられない。」

2. コロサイ 4:6 - 「各人にどのように答えるべきかを知ることができるように、常に塩味を加えた上品な話し方をしなさい。」

Acts 25:8 彼は自分で答えました、「ユダヤ人の律法に対しても、神殿に対しても、カエサルに対しても、私は何一つ罪を犯したことはありません。」

パウロはフェストに対して自らを弁護し、ユダヤ人、神殿、カエサルに対するいかなる悪行も否定します。

1. 優れた防御の力: 自分たちのために立ち上がることがなぜ重要なのか

2. パウロから学ぶ: どうすれば勇気をもって正しく生きることができるか

1. 箴言 22:1、?大きな富よりも良い名声が選ばれるべきであり、銀や金よりも好意が優れています。

2. ピリピ 4:13、?私を強くしてくれる彼を通して、쏧は何でもできるのです。

使徒 25:9 しかし、フェストはユダヤ人たちを喜ばせたいと思って、パウロに答えて言った、「エルサレムに上って、そこで私の前でこれらのことについて裁かれませんか。」

フェストはパウロにエルサレムに行き、その告発について裁判を受ける機会を提供した。

1. 妥協の力: 他人の信念を尊重することを学ぶ

2. 共通善のために協力する: 理解を通じて調和を見つける

1. ローマ人への手紙 12:18 ?あなた次第で、みんなと平和に暮らすことは可能です。

2. ピリピ 2:3-4 ?決して利己的な野心や無駄なうぬぼれからではありません。むしろ、謙虚に自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

Acts 25:10 そこでパウロは言った、「私はカエサルの裁きの座に立っており、そこで裁かれるべきです。あなたもよくご存じのように、私はユダヤ人たちに対して何も悪いことをしていません。」

パウロはカエサルの裁判の席でユダヤ人たちに自分の無実を宣言した。

1: 裁きに直面したパウロの大胆な態度。

2: 不正義に直面しても、神の忠実さ。

1: イザヤ書 40:31 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2: 詩篇 37:3 - 「主を信頼し、善を行いなさい。そうすればあなたはその地に住み、まことに養われるでしょう。」

Acts 25:11 なぜなら、私が犯罪者である場合、あるいは死刑に値することを犯した場合、私は死にたくありません。しかし、これらのことが私を告発するものでなければ、誰も私を彼らに引き渡すことはできません。私はカエサルに訴えます。

パウロは無実を主張し、カエサルに公正な裁判を求める。

1.「正義のために立ち上がる力」

2.「正しいことを貫く強さ」

1. イザヤ 1:17 - 正しいことを行うことを学びなさい。正義を求めます。抑圧されている人々を守ります。父親のいない問題を取り上げてください。未亡人の訴訟を起こす。

2. 箴言 31:8-9 - 自分のことを言えない人たちのために、貧しいすべての人の権利のために声を上げてください。率直に発言し、公正に判断してください。貧しい人々や困窮している人々の権利を守ります。

Acts 25:12 そこで、フェストは議会と協議して答えた、「あなたはカエサルに上訴したのか。」カエサルのところに行くべきだ。

フェストスはパウロをカエサルに送って裁きを求めることにした。

1. 「神の主権的計画」- 一見不当に見える場合でも、神が私たちの決定を通してどのように働かれるかを考察します。

2. 「逆境に直面してもしっかりと立つ」- 一見不利な結果に直面したときでも、パウロがどのようにして決意と信仰を維持したかを探ります。

1. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、あなたがたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。あなたがたの信仰の試みが忍耐を生むということを知っているのです。しかし、あなたがたが完璧になり、まったく、何も望まない。」

Acts 25:13 数日後、アグリッパ王とベルニケはフェストに挨拶するためにカイサリアに来た。

アグリッパ王とベルニケはカイサリアのフェストゥスを訪問しました。

1. 関係の力: アグリッパとバーニスのフェストゥスとの関係を考察する

2. もてなしの精神: アグリッパ王とベルニスのフェストゥス訪問

1. ローマ 12:13 - 「主に分け与えてください。困っている人たちに。もてなしの精神を実践してください。」

2. 箴言 22:1 - 「名声は大きな富よりも望まれ、尊敬されることは銀や金よりも優れています。」

Acts 25:14 彼らが何日もそこにいたとき、フェストはパウロの言い分を王に告げて言った、「フェリクスによって拘束されたままにされたある男がいる。

パウロの大義はフェストによってアグリッパ王に宣言されました。

1: パウロの大義がアグリッパ王に宣言されたように、私たちも神の言葉を宣言しなければなりません。

2: 困難な時には、パウロがアグリッパ王の前での裁判でそうしたように、私たちは神に力と勇気を求めなければなりません。

1: エペソ人への手紙 6:19-20 - ?そして私にとっても、私が鎖につながれた大使である福音の神秘を宣言するために大胆に口を開いて、私が語るべきとおりに大胆にそれを宣言できるように、言葉が与えられますように。

2: イザヤ書 40:31 - ?主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは失神せずに歩けるでしょう。

使徒 25:15 私がエルサレムにいたとき、祭司長やユダヤ人の長老たちは、彼に対して裁きを受けたいと望んで、この人のことを私に知らせました。

パウロは祭司長やユダヤ人の長老たちから何か悪いことをしたとして告発されており、彼らは彼がそのことで裁かれることを望んでいます。

1. パウロの信仰と立ち直りの物語は、逆境に直面しても強くあり続けるよう私たちにインスピレーションを与えてくれます。

2. 私たちは他人の非難によって自分の価値やアイデンティティを定義してはなりません。

1. 詩篇 37:3-4 - 「主を信頼し、善を行いなさい。この地に住み、忠実を友としなさい。主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いをかなえてくださるでしょう。」

2. ローマ人への手紙 8:31 - 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

使徒 25:16 私は答えた、「人を死に追いやるのはローマ人の作法ではない。その前に、告発された者は告発者と面と向かって話し、自分に課された罪について自分で答える許可を持っている」。

この一節は、被告人がその場にいる被告人に対して自分に対する犯罪について答える機会が与えられていたローマの法制度について論じています。

1. 社会における真実と正義の価値。

2. 人々に自分自身を守る機会を与えることの重要性。

1. 箴言 16:11: 「正しい天秤と天秤は主のもの、袋の中の重りはすべて主の仕業である。」

2. ルカ 18:2-8: 「そしてイエスは、この目的のために、人々は常に祈っていて気を失うことがないように、たとえを彼らに語った。こう言われた。『ある町に、神をも恐れず、神をも見なかった裁判官がいた』男: その町にやもめがいたのですが、彼女が彼のところに来て言いました、「私の敵の仇を討ってください。でも彼はしばらくはやりませんでした。しかしその後彼は心の中で言いました、「私は神をも恐れませんし、人間のことも考えていませんが、私は神を恐れません。」しかし、この未亡人が私を悩ませているので、私は彼女に復讐します、彼女が頻繁に来ることで私を疲れさせないように。そして主は言われました、「不当な裁判官の言うことを聞きなさい。そして神は昼も夜も神に向かって叫んでいるご自身の選民に復讐することはできません。」」

Act 25:17 そこで、彼らがここに来たとき、私は翌日、遅滞なく裁判の席に座り、その男を引き出すように命じました。

パウロはカイサリアのフェストゥス総督の前に連行され、フェストゥスは翌日すぐに公聴会を開いた。

1. 神は予期せぬ方法で働くことができ、不確実な時代であっても依然として制御しておられます。

2. 今この瞬間の重要性 – 与えられた機会を最大限に活用しましょう。

1. イザヤ書 55:8-9 - ? 「あるいは私の考えはあなたの考えではありません。あなたのやり方も私のやり方ではありません。」と主は宣言されます。?天は地よりも高く、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いのです。

2. エペソ人への手紙 5:16 - 日々は悪いので、時間を最大限に活用しましょう。

使徒 25:18 告発者たちが立ち上がったとき、彼らは私が予想していたようなことについては何も告発しませんでした。

パウロを告発した人たちは、パウロが予想していたような告発をしませんでした。

1. 信仰の驚くべき力: パウロの神への信頼はどのようにして予期せぬ結果をもたらしたのか

2. 自分の信じていることのために立ち上がる：逆境に直面したパウロの勇気

1. ローマ 8:31 - それでは、これらのことに答えて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. 詩篇 27:1 - 主は私の光であり、私の救いですか? 봶恐れるべきでしょうか？主は私の人生の砦ですか？誰を恐れるべきでしょうか？

使徒 25:19 しかし、彼ら自身の迷信と、パウロが生きていると断言した死んだ一人のイエスについて、彼に対していくつかの疑問を抱いた。

パウロは、イエスを尋問する人々の迷信にもかかわらず、イエスが生きていると弁護しました。

1: イエスを通して、私たちは霊において生かされることができます。

2: イエスは希望と命の源です。

1: ローマ人への手紙 8:11 ～?もし、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたの内に住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住んでおられる御霊を通して、あなたの死ぬべき肉体にも命を与えてくださるでしょう。

2: ヨハネ 3:16-17 - ?あるいは、神は世をとても愛したので、ご自分の独り子をお与えになり、彼を信じる者が滅びずに永遠の命を持つようになりました。なぜなら、神が御子をこの世に遣わしたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世界が救われるためであるからです。

Acts 25:20 そして、私はそのような質問に疑問を抱いたので、エルサレムに行ってそこでこれらの事柄について裁かれるかどうか尋ねました。

パウロはフェストに、自分に対する告発の裁判を受けるためにエルサレムに行く計画について質問する。

1. 疑いの力: 信仰がどのように疑問を引き起こすのか

2. 正しいことのために立ち上がる: ポールの勇気の物語

1. ヨハネ 20:24-29 - トマスの疑いと信仰

2. ヘブライ 11:1 - 信仰は望んでいることの本質です

Acts 25:21 しかし、パウロがアウグストゥスの聴聞のために留めておくよう訴えたとき、私は彼をカエサルに送るまで留めておくように命じた。

パウロは皇帝に話を聞いてもらうよう訴え、カエサルに送られるまで留めておくよう命じられる。

1. 困難な状況にあっても神に忠実であり続ける

2. 神は私たちの試練さえも統治しておられる

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

2. ピリピ 4:11-13 - 私は困っていることについて話しているのではありません。私はどんな状況でも満足できることを学んだからです。私は落ち込む方法と豊かになる方法を知っています。いかなる状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。

Acts 25:22 そこでアグリッパはフェストに言った、「私もその人の話を聞きます」。明日、あなたは彼の言うことを聞くでしょう、と彼は言いました。

アグリッパ王はフェストゥスに、翌日パウロ本人の話を聞きたいと伝えた。

1. 私たちに対する神の計画は、しばしば予期せぬ形で起こります。

2. 私たちの生活の中で神のメッセージを聞くことにオープンであり続けることが重要です。

1. イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道はわたしの道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの思いも高いからだ」あなたの考えよりも。」

2. ヤコブ 1:19-20 「ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。人の怒りは神の義を働かせないからです。」

Acts 25:23 そしてその翌日、アグリッパとベルニケが来て、偉そうな態度で、大尉や町の主要な人々とともに審理の場に入ったとき、フェストの命令でパウロが連れ出された。。

フェストはパウロに、アグリッパ、ベルニケ、そして都市の主任たちと主要な人々が盛大に到着した聴聞場所に連れ出すように命じた。

1. 神の主権的な計画は、人生における立場に関係なく、私たち全員の進むべき道を定めています。

2. 私たちが神のご意志に従順であれば、私たちの人生は神の目的を推進するために使用できます。

1. エペソ 2:10 - 私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られ、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ用意してくださったのです。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう共に働くことを知っています。

使徒 25:24 そこでフェストは言った、「アグリッパ王、そしてここに私たちと一緒にいるすべての人たち、あなたがたはこの男を見ているでしょう。大勢のユダヤ人がエルサレムでもここでも、この男について私を扱って、こう叫んでいます。」もう生きるべきではない。

フェストゥスはパウロをアグリッパ王と他の出席者たちの前に差し出します。ユダヤ人たちはパウロがもう生きるべきではないと主張しています。

1. 私たちは反対に直面しても信仰と勇気をもって生きなければなりません。

2. 神の意志は人々の意見よりも重要です。

1. ピリピ 1:21-24 - 私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは利益だからです。

2. ローマ 8:31-32 - それでは、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

Acts 25:25 しかし、彼が死に値するようなことを何一つ犯していないこと、そして彼自身がアウグストゥスに上訴したことを知ったとき、私は彼を送り出すことに決めました。

パウロは死刑に値するいかなる罪についても無罪であることが判明し、カエサルに上訴したため、フェストは彼をローマに送ることに決めた。

1. 保護を提供する神の主権 - ローマ 8:28

2. 困難な時代に信仰と希望を持って生きる - ヘブライ 11:1-3

1. 詩篇 46:1-2 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。

2. ピリピ 4:6-7 - 何事についても心配しないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。

使徒 25:26 私はこの人について、主君に書き記すべき確かなことが何もありません。そこで私は彼をあなたの前に、そして特にあなたの前に連れ出したのです、おおアグリッパ王よ、調べた結果、少し書くことがあったかもしれません。

パウロはアグリッパ王の前に連れて行かれ、検査を受けるため、皇帝シーザーに手紙を書きたいとのこと。

1. 検査の重要性: 私たちの生活を検査して、私たち自身と私たちの信仰についてもっと学ぶこと。

2. 信仰に堅く立つ: 私たちの信念が挑戦されたときでも、信仰に忠実であり続けます。

1. ピリピ 4:8-9 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、、これらのことを考えてください。あなたは私から何を学び、受け取り、聞いて、見てきましたか？これらのことを実践してください。そうすれば、平和の神があなたとともにおられます。

2. マタイ 5:37-38 - あなたの考えを聞かせてください。え? ? ありますか? 喘 es ‘??そしてあなたの ?ああ、??? 喟 o.??これらを超えるものはすべて、邪悪な者からのものだからです。

Acts 25:27 というのは、私には、捕虜を送り込むのは不合理であり、また彼に課された罪を示すのは不合理であると思われるからです。

パウロは不正行為で告発されており、その罪状を明らかにせずにローマに送るのは不合理である。

1. 神は私たちに、互いの関係において正義と公平性を求めるよう呼びかけておられます。

2. 有罪が証明されるまでは誰もが無実であることを決して忘れてはなりません

1. 申命記 16:20 - あなたの神、主があなたに与えられる土地を生き、所有するために、あなたは正義、そしてただ正義を追求しなければなりません。

2. 詩篇 82:3 - 弱い者と父親のいない者に正義を与えてください。苦しんでいる人々と貧しい人々の権利を維持します。

使徒 26 章では、アグリッパ王の前でのパウロの弁護、彼の改心と召命についての証言、そしてパウロのメッセージに対するアグリッパの反応について詳しく述べられています。

第 1 段落: この章は、アグリッパがパウロに「自分のことを話すのは許可されています」と言うところから始まります。それからパウロは手を伸ばして弁護を始め、特に自分はユダヤ民族のあらゆる習慣論争に精通しているため、ユダヤ人に対するアグリッパ王の答弁に立ち向かうことができて幸運だと考えていると述べた。彼はパリサイ人としての幼少期の物語と、どのようにしてイエスの追随者たちを死に至るまで迫害したかについて語ります（使徒行伝 26:1-11）。

第 2 段落: 次に、彼はダマスカスへの道でのイエスとの出会いについて語ります。太陽よりも明るい天からの光が彼の周りを照らし、一緒に旅をしていた人々は全員地面に倒れ、その後アラム語で「サウル サウル なぜ私を迫害するのですか?」の声が聞こえました。ゴールに対してキックするのは難しいよ。』誰が話しているのかと尋ねると、声は「私はあなたが迫害しているイエスです」と答えた。さあ、立ち上がって、立ち上がってください、私はあなたが見たものを私があなたに見せるであろう召使いを証人に任命したようです。』その瞬間から、彼は自分が見たことだけでなく、神が彼に明らかにされることの僕および証人となるように任命されました(使徒 26:12-18)。

第 3 段落: この出会いの後、パウロは、自分は不従順なビジョンではなく、ユダヤ全土のダマスカス、次にエルサレムであったと述べ、ユダヤ全土の異邦人が悔い改めるべきだと説教し、神が彼らの悔い改めを彼らの行いによって示したのは、なぜユダヤ人が神殿を占拠して彼を殺そうとしたが、神はその両方を目撃し続けるのを助けたのかということである。小さな偉大な言葉 モーセが言った預言を超えるものは何も起こらない キリストが最初に苦しむこと 死者が復活する 光のメッセージ 救いを宣言する 異邦人双方（使徒 26:19-23）。パウロがこの弁護をしたとき、フェストゥスは大声で「パウロ、正気を失っている! 」と叫びました。あなたの素晴らしい学びがあなたを狂わせています!』しかしパウロは、「私は気違いではありません、最も優れたフェストゥスです。私が言っているのは真の理性的な王であり、これらのことは預言者が知っていることを彼らが信じていることを証明することができます。」（使徒行伝 26:24-27）と答えました。アグリッパはパウロに「短期間で説得してクリスチャンになれると思いますか? 」と言いました。そして、短くても長くても、神だけでなく、今日聞いているすべての人が、これらの鎖を除いて私のようになるように祈ってくださいと答えました。そこで国王は総督ベルニケを立ち上げ、彼らが部屋を出た後、彼らに座っていた人々は、何もしていない男は死刑に値する、と話し始めた。アグリッパは、カエサルが控訴すればフェストゥスの男は釈放されるだろうと述べた（使徒行伝 26:28-32）。

使徒 26:1 そこでアグリッパはパウロに言った、「あなたは自分のことを話すことを許されています。」そこでパウロは手を伸ばして、自分で答えました。

パウロはアグリッパの前で弁護する機会を与えられる。

1. 逆境の時は勇気を出して勇気を出してください。

2. 必要なときに主が備えてくださると信頼してください。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

使徒 26:2 アグリッパ王、私は幸せだと思います。なぜなら、私がユダヤ人について非難されているすべてのことにあなたが触れられる前に、今日私は自分で答えるからです。

パウロは、ユダヤ人によるすべての告発に関してアグリッパ王の前で弁護できることを喜んでいます。

1. 困難な状況でもポジティブさを保つ方法

2. 自己認識の力

1. ピリピ 4:4-6 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい。あなたの合理性を皆に知らせてください。主はすぐそばにおられます。何事も心配しないでください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。

2. ローマ 8:31-32 - それでは、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに慈悲深く私たちにすべてのものを与えて下さらないのでしょうか？

Acts 26:3 特に、私はあなたがユダヤ人のあらゆる習慣や疑問に精通していることを知っているので、辛抱強く私の話を聞いてくださるようお願いします。

パウロはアグリッパ王に対し、ユダヤ人の習慣や疑問についての知識があるため、辛抱強く話を聞いてほしいと訴えました。

1. 福音を分かち合おうとするときに、神が私たちに機会の扉を開いてくださると信頼すること。

2. いかなる状況においても神の知恵に頼る。

1. ヨハネ 10:7、「そこで、イエスはもう一度言われた。本当に言っておくが、わたしは羊の門である。」

2. 第一コリント 2:5、「それは、あなたの信仰が人間の知恵ではなく、神の力に基づいているためです。」

使徒 26:4 エルサレムで私の国民の中で一番最初に過ごした若い頃からの私の生き方は、ユダヤ人全員が知っています。

パウロはアグリッパ王に自分の過去の人生を語り、神への信仰と献身を示します。

1: 私たちは皆、過去に関係なく、信仰と献身的な人生を送ることができます。

2: 私たちがどんなに道を外れたとしても、神は常に私たちに忠実であり続けます。

1: ローマ人への手紙 8:37-39 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは勝利者以上の存在なのです。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、どんなものでもない、と私は確信しているからです」高さや深さ、あるいはあらゆる被造物のいかなる力も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。」

2: 1 ペテロ 5:6-7 「ですから、神のもとに謙虚になりなさい。神がしかるべき時にあなたを引き上げてくださるように、力強い御手を与えてください。神はあなたを顧みておられるので、あなたの思い煩いをすべて神に投げかけてください。」

Acts 26:5 彼らは、私たちの宗教の最も厳格な宗派の後、パリサイ人として生きていたことを証言してもらえれば、最初から私のことを知っていました。

パウロはアグリッパ王の前で自分がファリサイ派の出身であることを公言して弁護しました。

1. 神は私たちの過去を超えて、私たちを正しい方向に導いてくださいます。

2. 私たちはキリストのうちに救いを見出し、過去にもかかわらず変えられることができます。

1. ローマ 3:23-24 - すべての人は罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して神の恵みによって無償で義とされるのです。

2. ピリピ 3:7-8 - しかし、私にとって得だったものも、キリストにとっては損失だと考えています。しかし実際、私はまた、私の主キリスト・イエスについての知識の卓越性のゆえに、すべてのものを失ったとみなし、私はキリストを獲得するために、キリスト・イエスのためにすべてのものを失い、それらをゴミのようにみなしているのです。

使徒 26:6 そして今、私は立って、私たちの先祖たちに与えられた神からの約束の希望のために裁かれています。

パウロは先祖たちに与えられた神の約束に対する信仰を裁かれるために法廷に立ちます。

1. 信仰の力: 神の約束に忠実であり続ける

2. 逆境に直面してもしっかりと立つ: パウロの模範

1. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

2. ヘブライ 10:23 - 揺るがずに信仰告白を堅持しましょう。（彼は約束したことに忠実だからです）。

使徒 26:7 私たちの十二部族は、昼も夜もただちに神に仕えることを約束し、それが来ることを望んでいます。アグリッパ王、私はユダヤ人の罪で告発されています。

パウロは、イスラエルの十二部族が望んでいる救いの約束を宣べ伝えたとして、アグリッパ王の前で裁判にかけられています。

1. パウロの希望: 使徒 26:7 についての考察

2. 昼も夜も神に仕える: 忠実な献身に関する研究

1. ローマ人への手紙 8:24-25 - 「この希望によって、わたしたちは救われたのです。しかし、目に見える希望はまったく希望ではありません。すでに持っているものを誰が望むでしょうか。しかし、まだ持っていないものを望むなら、私たちは辛抱強く待ってください。」

2. エペソ人への手紙 2:12 - 「あの時、あなたがたはキリストから離れ、イスラエルの市民権や約束の契約の外国人から排除され、世に希望も神もなかったということを思い出してください。」

使徒 26:8 神が死者をよみがえらせるなどということが、なぜあなたにとって信じられないことのように考えられるのでしょうか。

パウロは、なぜ人々は神が死者をよみがえらせる力を持っていることを信じないのかと尋ねています。

1.「神の力と死者を蘇らせる神の能力」

2.「神の愛とその変わらぬ忠実さ」

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われました。쏧 は復活であり、命です。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. ローマ 8:11 - イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

使徒 26:9 私は、ナザレのイエスの名に反して、多くのことをしなければならないと心から思いました。

パウロは、回心する前にイエスとその追随者に反対していた過去を語ります。

1: 神の憐れみと恵みは、私たちがどれほど道に迷っていたとしても、すべての人に与えられます。

2: イエスの愛と力は、私たちの最も暗い瞬間にも変化をもたらします。

1: ローマ人への手紙 5:8 - 神は、私たちに対するご自身の愛を次のように表しています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: 1 コリント 6:9-11 - それとも、悪を行う者は神の国を受け継がれないことを知らないのですか。騙されないでください。性的に不道徳な者、偶像を崇拝する者、姦淫する者、男と性行為をする者、泥棒、貪欲な者、大酒飲み、中傷する者、詐欺師は神の国を受け継ぎません。

使徒 26:10 私もエルサレムで同じことをしました。そして多くの聖徒たちも、私は祭司長たちから権威を受けて牢獄に閉じ込められました。そして彼らが死刑にされたとき、私は彼らに対して声を上げました。

この箇所は、パウロがエルサレムでクリスチャンを投獄し、処刑に投票することでどのように迫害したかを説明しています。

1: 私たちは自分の罪を認識して悔い改め、神の憐れみと許しを求めなければなりません。

2: 私たちは、たとえ私たちに不当な扱いをした人であっても、他の人たちに恵みと許しを与えなければなりません。

1: エペソ人への手紙 4:32 - キリストによって神があなたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。

2: ルカ 6:37 - 裁いてはなりません。そうすれば、あなたが裁かれることはありません。非難しないでください。そうすればあなたも非難されることはありません。許しなさい、そうすればあなたも許されるでしょう。

Acts 26:11 そして、私はあらゆる会堂で彼らを頻繁に罰し、冒涜を強要しました。そして私は彼らに対して非常に腹を立て、見知らぬ都市まで彼らを迫害しました。

パウロはクリスチャンを迫害し、冒涜を強要しました。

1: 神についてどのように話すかに注意してください

2: 愛の力はすべてを征服する

1: コロサイ 3:12-15 「ですから、神に選ばれた者、聖なる愛される者として、いつくしみの心、優しさ、謙虚な心、柔和、忍耐を身に着けなさい。もし人がいるなら、互いに寛容し、許し合いなさい」「キリストがあなたを赦してくださったように、あなたがたもそうするのです。そして何よりも、完璧さの絆である慈善を身につけてください。そして、神の平和があなたの心の中に支配されるようにしましょう。あなたもそれに対してです。」一つの体に召されたのですから、感謝しなさい。」

2: ローマ人への手紙 12:17-21 - 「悪には悪に報いてはならない。すべての人の目に正直に物事を行いなさい。できることなら、自分の心にある限り、すべての人と平和に暮らしてください。愛する人よ、復讐してください。」「あなたがた自身ではなく、むしろ怒りに身を委ねなさい。「復讐はわたしのすることである。わたしが報復する」と主は言われる、だから、あなたの敵が飢えているなら食べさせなさい、渇いているなら水を飲ませなさい、そうすることであなたはそうするであろうから。彼の頭には火の炭を積み上げなさい。悪に打ち勝つのではなく、善をもって悪に打ち勝ちなさい。」

使徒 26:12 そこで私は、祭司長たちからの権威と任務を受けてダマスコに行きました。

パウロは祭司長たちからの権威と使命を持ってダマスコに派遣されました。

1: 私たちは神の使命を果たすための力と勇気を他の人から得ることができます。

2: 神は、ご自身の意志を達成するために、権威を持つ人々を用いることができます。

1: エペソ人への手紙 3:20-21 - さて、私たちの内に働いている神の力に応じて、私たちが求めたり想像したりするすべてを計り知れないほど多く成して下さる方に、教会とキリスト・イエスにおいて栄光がありますように。何世代にもわたって、永遠に！アーメン。

2: 1 コリント 15:10 - しかし、私は神の恵みによって今の私になっており、私に対する神の恵みは効果がないわけではありません。いいえ、私は彼ら全員よりも一生懸命働きました?それは私ではなく、私とともにあった神の恵みです。

Acts 26:13 真昼、王よ、私は道の途中で、太陽の明るさよりも天からの光が、私と私と一緒に旅をしていた彼らの周りを照らしているのを見た。

ポールは、旅行中に自分と仲間たちの周りを天からの明るい光が照らした経験を語ります。

1. 神の光が私たちの道を導く - 使徒 26:13

2. 神の臨在を体験する力 - 使徒 26:13

1. 詩篇 119:105 - ?私たちの言葉は私の足元の灯であり、私の道の光です。

2. マタイ 5:16 - ?あなたの光を他の人たちの前で輝かせて、彼らがあなたの善行を見て、天の御父に栄光を帰してください。

Acts 26:14 そして、私たちがみな地に倒れたとき、ヘブライ語で「サウル、サウル、なぜあなたは私を迫害するのですか」と私に話しかける声が聞こえました。あなたが刺し傷を蹴るのは難しい。

サウルは地面に叩きつけられ、なぜサウルを迫害するのかとヘブライ語で尋ねる声を聞きました。

1. 神の意志に逆らってはいけない

2. 神の声の力

1. イザヤ書 55:8-9: 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の道はあなたの道よりも高いからです」自分の考えよりも考え。」

2. ローマ人への手紙 8:28: 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

Acts 26:15 そこで私は言いました、「主よ、あなたはどなたですか。」そして彼は言った、「私はあなたが迫害するイエスです。」

パウロはダマスコへの道でイエスに出会い、イエスはパウロが迫害している者であることを明らかにしました。

1. 神の力と摂理

2. イエスは自分の主権を明らかにする

1. ローマ 8:28 そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働いていることを私たちは知っています。

2. イザヤ書 55:8-9 私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

Acts 26:16 □□□□

2. 暗闇から光へ変わる力を理解する

1. エペソ人への手紙 5:8-11 - 「あなたがたは、かつては闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩みなさい（光の実は、すべての良いこと、正しいこと、真実なことの中に見出されます）そして何が主に喜ばれるかを見極めるように努めなさい。」

2. コロサイ 1:13-14 - 「神は私たちを闇の領域から救い出し、愛する御子の王国に移してくださいました。その御子によって私たちは救い、罪の赦しを得ます。」

使徒 26:19 そこで、アグリッパ王よ、私は天の幻に背きませんでした。

パウロは自分が受けた天の幻に対する従順を大胆に宣言しました。

1. 従順の力: ビジョンに対するパウロの反応が世界をどのように変えたか

2. 神への従順：パウロの模範に従うよう呼びかけ

1. マタイ 7:21 - 「わたしに『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父の御心を行う者が天国に入るのです。」

2. ルカ 6:46 - 「なぜあなたは私を『主よ、主よ』と呼びながら、私の言うことを実行しないのですか。」

使徒 26:20 しかし、まずダマスコ、エルサレム、ユダヤ全土の人々に、次に異邦人に、悔い改めて神に立ち返り、悔い改めのための業を行うよう教えた。

説教されたメッセージは、悔い改めと神に立ち返ること、そして悔い改めにふさわしい業を行うことについてのものでした。

1. 悔い改めて神に立ち返る - 使徒 26:20

2. 悔い改めにふさわしい業を行う - 使徒 26:20

1. 歴代誌第二 7:14 - わたしの名で呼ばれるわたしの民がへりくだり、祈り、わたしの顔を求め、その邪悪な道から立ち返るなら、わたしは天からその声を聞き、彼らの罪を赦し、彼らの地を癒すだろう。

2. ルカ 13:3 - いいえ、言います。しかし、悔い改めない限り、あなたがたは皆同様に滅びるでしょう。

Acts 26:21 このような理由で、ユダヤ人たちは私を神殿で捕まえ、殺そうとしました。

パウロはイエス・キリストの福音を宣べ伝えたとして神殿でユダヤ人たちに逮捕されました。

1. 福音を宣べ伝える力: 使徒 26:21 におけるパウロの犠牲の研究

2. 逆境に直面した勇気: 使徒 26:21 のパウロとユダヤ人

1. イザヤ書 6:8 - 「また、わたしは主の声を聞いた。『だれを遣わそうか、だれがわれわれのために行くだろうか。そのときわたしは言った。わたしはここにいる。わたしを遣わしてください。』

2. テモテ第二 4:2 - 「御言葉を宣べ伝えなさい。季節を問わず、季節外れであっても即座に行いなさい。忍耐と教義を尽くして叱責し、叱責し、勧めなさい。」

使徒 26:22 このようにして、私は神の助けを得て、今日に至るまで小さな人から大きな人まで証言し続け、預言者とモーセが来るべきだと言った以外のことは言いません。

パウロは神の助けを得て、預言者とモーセのメッセージを宣べ伝え続けました。

1: 私たちは皆、信仰を持ち続け、神の助けを信頼するよう努めるべきです。

2: 私たちは皆、預言者とモーセのメッセージを宣べ伝えるべきです。

1: 2 コリント 12:9-10 - そして彼は私に言った、「私の恵みはあなたに十分です。私の強さは弱さの中で完全になるからです。」したがって、キリストの力が私の上に宿るように、私はむしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います。

2: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

Acts 26:23 それは、キリストが苦しみを受けること、そしてキリストが死人の中から最初によみがえって、民と異邦人に光を示すことである。

この箇所は、イエスが苦しみを受け、死の中から最初によみがえって、人々と異邦人の両方に光をもたらす運命にあったことを説明しています。

1. 復活の力: イエスの復活はどのように私たちに希望を与えるのか

2. イエスの犠牲の意義: 彼の苦しみが私たちの未来をどのように形作ったか

1. ローマ人への手紙 6:4-5。したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたのと同じように、私たちもまた新たな命の中を歩むためです。

2. イザヤ書 53:11。彼は自分の魂の労苦を見て満足するだろう。わたしの義なる僕は、彼の知識によって多くの者を義とし、彼らの咎を負うであろう。

Acts 26:24 そして、フェストゥスは自分自身でこのように話しながら、大声で言った、「パウロ、あなたは放心状態です。多くのことを学ぶとあなたは怒る。

フェストゥスはパウロの自己弁護を遮り、パウロが学問のせいで気が狂ったと非難する。

1. 知識の誇りの危険性

2. 逆境に直面したときの神の恵み

1. 箴言 16:18 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

2. ローマ 5:3-5 - 「それだけではなく、苦しみが忍耐を生み、忍耐が品性を生み、品性が希望を生み、希望が私たちを恥じることがないことを知っているので、私たちは苦しみを喜んでいます。なぜなら、神の愛が私たちを恥じさせないからです。私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれています。」

Acts 26:25 しかし彼は、「最も高貴なフェストゥスよ、私は気が狂っていません。しかし、真実と冷静さの言葉を話してください。

パウロはフェストゥスに対して、自分は気が狂っていない、真実の言葉を冷静に話していると宣言して自分を弁護します。

1: 結果がどうなろうとも、私たちは常に真実を語らなければなりません。

2: たとえ全世界があなたに敵対しているように見えるときでも、真実を冷静に話しましょう。

1: 箴言 12:17 - 真実を語る者は正しいことを宣言しますが、それは偽りの証人、欺瞞です。

2: コロサイ 4:6 - 会話は常に恵みに満ち、塩で味付けしてください。そうすれば、誰にでも答えられるようになります。

Acts 26:26 王はこれらのことを知っており、私も王の前で自由に話します。これらのことはどれも王に隠されていないと私は確信しているからです。このことは片隅で行われたものではないからである。

パウロはアグリッパ王の前で自分の信仰を弁護します。

1: 神は常に見守り、私たちの人生を細部まで知っているので、私たちは神に喜ばれる生き方をするよう努めるべきです。

2: 私たちは信仰を分かち合うことを恐れるべきではありません。主が私たちとともにおられ、私たちに勇気と力を与えてくださるからです。

1: イザヤ書 41:10: 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2: 詩篇 139:7-8: 「あなたの御霊からどこへ行こうか？それともあなたの御前からどこへ逃げようか？もし私が天に昇れば、あなたはそこにいる！私がシェオルで寝床を作るなら、あなたはそこにいる！」

使徒 26:27 アグリッパ王、あなたは預言者を信じますか。あなたが信じていることは知っています。

パウロはアグリッパ王に預言者を信じるかどうか尋ねています。彼はアグリッパが信じていることを知っています。

1. 信念の力: 信仰が私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 預言者を信じることの重要性

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

Acts 26:28 そこでアグリッパはパウロに言った、「あなたが私にクリスチャンになるよう説得するところです。」

アグリッパ王はパウロの証言を聞いて、クリスチャンになることをほぼ確信していました。

1: 私たちは皆、神の言葉に説得されてイエスを主であり救い主として受け入れる機会を持っています。

2: アグリッパ王に対するパウロの情熱的な証言は、すべての人が良いたよりを聞くまで神の働きは決して完了しないことを思い出させます。

1: ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるために御子を世に遣わされたのではありません。」世界だけでなく、彼を通して世界を救うためです。」

2: ローマ人への手紙 10:14-15 「それでは、どうして信じていない人を呼び求めることができますか。また、聞いたことのない人をどうして信じることができますか。また、誰かが説教することなく、どうして聞くことができますか」? そして、彼らが遣わされない限り、どうやって説教することができますか? 書かれているように、?良い知らせをもたらす人の足はなんて美しいのでしょう??

使徒 26:29 そこでパウロは、「あなただけでなく、今日私の話を聞いているすべての人も、これらの絆を除けば、ほとんど、そしてまったく私と同じであることを神に祈ります」と言った。

パウロは、たとえそれが自分と同じように束縛されることを意味するとしても、彼の話を聞いているすべての人が彼の信仰と神への献身を分かち合ってほしいと願っています。

1. 困難な時代でも信仰を持つ

2. 献身の力

1. コリント人への第二の手紙 4:8-9 - 「私たちは四方八方から迫害されていますが、打ちひしがれることはありません。当惑していますが、絶望していません。迫害されていますが、見捨てられることはありません。打たれますが、滅ぼされることはありません。」

2. ローマ人への手紙 8:37-39 - 「しかし、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった方によって、私たちは勝利者以上の存在です。なぜなら、死も命も、天使も支配も権力も、現在のものも将来のものも、私は確信しているからです」高さも深さも、その他のいかなる被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。」

Act 26:30 そして、彼がこう話すと、王、総督、ベルニケ、そして彼らと一緒に座っていた人々も立ち上がった。

パウロがアグリッパ王の前で行った結果、王とその側近たちは敬意を表するために立った。

1. パウロがアグリッパ王の前でしたように、私たちは自分の言葉に敬意と敬意を払うよう努めなければなりません。

2. 言葉の力は、人々を尊敬と賞賛の気持ちで立ち上がらせるほどの力です。

1. ローマ 12:10 - 兄弟愛をもって互いに親切に愛情を注ぎなさい。お互いを優先することに敬意を表して。

2. 箴言 15:1 - 穏やかな答えは怒りを遠ざけますが、ひどい言葉は怒りを引き起こします。

Act 26:31 そして、彼らはわきに行って、「この人は、死に値することも、束縛に値することも何もしていない」と言い合った。

パウロの公聴会に出席していた人々は、パウロは死刑や投獄に値するようなことは何もしていないと結論づけました。

1. 神の恵みと正義 - 困難な状況に直面しても、神の恵みがどのように正義をもたらすか。

2. 慈悲の力 - 慈悲がどのようにして許しと和解をもたらすのか。

1. エペソ 2:4-5 - しかし、神は憐れみに富んでおり、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。

2. イザヤ書 43:25 - 私は、私自身のためにあなたの罪を消し去る者です。私はあなたの罪を思い出しません。

Acts 26:32 そこでアグリッパはフェストに言った、「もしカエサルに訴えていなければ、この男は釈放されていたかもしれない。」

アグリッパとフェストゥスはパウロの無罪と釈放の可能性を認めている。

1: 神は私たちに、私たちの行動の結果から解放される機会を与えてくださいます。

2: 神は私たちの罪を赦される機会を与えてくださると確信できます。

1: イザヤ書 43:25 - ? 쏧、たとえ私であっても、私自身のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さないのは彼です。

2: ルカ 23:34 - イエスはこう言われました。ああ、彼らを許してください、彼らは自分たちが何をしているのか分かっていないのですから。

使徒行伝 27 章には、ローマに向かうパウロと他の囚人の危険な旅、海上で遭遇する嵐、そしてこの危機におけるパウロのリーダーシップが語られています。

第 1 段落: この章は、パウロと他の囚人がユリウスという名前の百人隊長の保護下でイタリアへ出航することが決定されるところから始まります。彼らはアドラミティウムからアジア地方の海岸に沿って航行しようとしていた船に乗り込みました。ユリウスはパウロに親切に扱い、友人が彼の必要を世話してくれる自由を与えました。彼らがキリキア沖の外海を航海し、パンフィリアがミラ・リキアに上陸したとき、百人隊長がイタリアを航行するアレキサンドリアの船を見つけ、私たちを乗せてくれました（使徒27:1-6）。旅は遅くて困難で、不利な風のためクレタ島の避難所の下での航行を余儀なくされました。

第 2 段落: 彼らの航海は多大な損失を伴う悲惨なものになるだろうというポールの警告にもかかわらず、貨物船だけでなく百人隊長も生きており、代わりにパイロットの所有者船のアドバイスに従いました。穏やかな南風が吹き始めたので、彼らは望んでいたものを手に入れたと思い、重錨をクレタ島の海岸に沿って航行させましたが、やがて「ノースイースター」と呼ばれる猛烈な風が島から吹き下ろしました。船は嵐に見舞われ、風に向かって進むことができなかったので、道を譲って進みました（使徒行伝 27:9-15）。嵐のような天気が何日も続いた後、救われるという希望は徐々に捨て去られました。

第三段落: 絶望の真っ只中に、パウロは彼らの間で立ち上がり、「クレタ島から出航しなければ私の忠告を受け入れるべきだった人たちよ、損害を免れなかったのだか

ら、今は勇気を持ち続けてください。船だけなら人命の損失はありませんから。」と言いました。彼は、自分が崇拝していた天使神が、カエサルの前で裁判を受けなければならないから恐れるなと言った、神は慈悲深く彼とともに航海した者全員の命を与えてくれた、と語った（使徒行伝 27:21-24）。嵐のアドリア海で 14 夜以上が過ぎた 真夜中頃、船員たちは陸地が近づいているのを感じ、4本の錨を船尾に投錨し、日が当たることを祈り、その後、座礁するのではないかと恐れ、岩石を切断し、錨を左に落とした 舵ロープを引き上げた 前帆が浜に向かったが、砂州に衝突して座礁し、船首が固着した船尾の壊れた波は動かないでしょう（使徒 2 7:27-41）。夜が明けると、パウロのアドバイスに従い、全員が食べ物を食べました。乗員乗客は 276名でした。その後、食べた後に穀物を海に投げ込むことで船をさらに軽くし、全員が船から飛び降り、無事に泳いだり、残骸の上に浮かんで陸地に到達したりしました。

使徒 27:1 そして、私たちがイタリアに船で入ることが決まったとき、彼らはパウロと他の囚人たちを、アウグストゥス隊の百人隊長ユリウスという名の者に引き渡しました。

パウロと他の捕虜はアウグストゥス隊の百人隊長ジュリアスに引き渡され、イタリアへ航海した。

1. 私たちに対する神の計画: 私たちの生活における神の主権を認識する

2. 忍耐の力: 困難な時に強さを見つける

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. ヘブライ 12:1-2 - 「ですから、私たちはこれほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、邪魔するものや、簡単に絡まる罪をすべて捨て去ろうではありませんか。そして、このレースを粘り強く走ろうではありませんか」私たちは、信仰の先駆者であり完成者であるイエスに目を向けています。」

使徒 27:2 そこで私たちは、アジアの海岸を航行するつもりで、アドラミティウムの船に乗り込みました。テサロニケのマケドニア人であるアリスタルコが私たちと一緒にいます。

使徒パウロと何人かの仲間は、テサロニケのアリスタルコを乗せてアドラミティオンから船に乗り、アジアの海岸に沿って航海しました。

1. 仲間とともに航海することを学ぶ - 使徒パウロの旅

2. 友情の力 - パウロとアリスタルコスの例

1. エペソ人への手紙 4:2-3 「あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなにおいて御霊の一致を維持することに熱心に努めなさい。」

2. 箴言 27:17 「鉄は鉄を研ぎ、ある者は別の者を研ぐ。」

使徒 27:3 そして翌日、私たちはシドンに到着しました。そしてユリウスはパウロに丁重に懇願し、気分転換するために友人たちのところへ行く自由を与えた。

ユリウスはパウロにシドンの友人たちを短期間訪問する自由を与えた。

1. 優しさの力: ほんの小さなジェスチャーでも変化をもたらすことができる

2. 友情: なぜお互いを必要とするのか、そしてどうすれば絆を強化できるのか

1. ヤコブ 2:14-17 – 「兄弟たちよ、もし誰かが信仰があると主張しても、行いがなければ、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか？兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物も持たないと仮定してください。あなたがたのうちの誰かが彼らにこう言ったら、「安心して行きなさい。暖かくして、十分な食事を与えてください」と言いましたが、彼らの身体的ニーズについては何もしませんでした、それが何の役に立つでしょうか？同様に、信仰は、行動が伴わなければ、それ自体では死んでいます。」

2. 箴言 18:24 - 「多くの友を持つ人は滅びるかもしれない。しかし、兄弟よりも寄り添う友がいる。」

Acts 27:4 そして、そこから出発したとき、風が逆だったので、キプロス島の下を航行しました。

この一節は、風が逆だったために旅行者たちがキプロスの下を航海した旅の様子を描いています。

1. 逆境の風: 人生の課題を克服する方法

2. 忍耐の力: 人生の障害を克服する方法

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

使徒 27:5 私たちはキリキアとパンフィリアの海を航海して、リキアの町ミラに着きました。

この一節は、パウロとその仲間たちがキリキアとパンフリアからリュキアのミラまでたどった旅を描いています。

1. 神は私たちの旅路に共にいてくださる - 詩篇 16:8

2. 人生の未知のことに備える - ヤコブ 4:13-15

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。そして、あなたが川を通過するとき、川はあなたを押し流すことはありません。火の中を歩いても火傷することはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。」

使徒 27:6 そこで百人隊長は、イタリアに向けて航行中のアレクサンドリアの船を見つけた。そして彼は私たちをその中に入れました。

百人隊長はイタリアに向かうアレクサンドリアの船を見つけ、人々を乗せた。

1. 必要なときの神の備え

2. 神の計画を信頼する

1. 詩篇 23:4 - 「たとえ最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。」あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。」

2. イザヤ書 40:29-31 - 「神は気弱な者に力を与え、力のない者に力を増し加えられる。若者でさえ気を失い、疲れ果て、若者は疲れ果てて倒れるでしょう。しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。」

Acts 27:7 そして、私たちが何日もゆっくり航海して、ほとんどクニドス島に向かって来られなかったとき、風も気にならなかったので、クレタ島の下を航行し、サルモーネ島に向かいました。

船はクニドゥスに到着するまで何日もゆっくりと航行しましたが、風が彼らに有利ではなかったので、サルモーネ近くのクレタ島の下を航行しました。

1. 神の完璧なタイミング: 私たちの計画が崩れかけているように見えるときでも、神はまだ計画を持っています。

2. 忍耐の重要性: たとえ逆風が吹いているときでも、私たちは主の計画を信じて前進しなければなりません。

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. 詩篇 46:10 - 「静まって、わたしが神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるだろう！」

Acts 27:8 そして、ほとんど通り過ぎずに、「美の安息所」と呼ばれる場所に着きました。その近くにラセアの街がありました。

ポールと彼の仲間たちは、ラセア市近くのフェア・ヘイブンズと呼ばれる場所に向かって航海しました。

1. 神の導き: 神はどのようにして私たちをセーフハーバーに導かれるのか

2. 海の危険: 嵐の中で神を信頼することを学ぶ

1. 詩篇107:23-30

2. イザヤ書43:2-3

使徒 27:9 さて、多くの時間を費やし、断食も過ぎて航海が危険になったとき、パウロは彼らにこう忠告した。

パウロは一行に、断食明けの航海は危険であることに注意するよう忠告した。

1. 遅延の危険性: 先延ばしを避ける方法

2. 緊急性の必要性: 今日できることを先延ばしにしないでください

1. 箴言 19:15 - 「怠惰は人を深い眠りに陥らせ、怠けた人は飢えに苦しむことになる。」

2. コリント人への第二の手紙 6:2 - 「主はこう言われたからです。『受け入れられる時に、わたしはあなたの声を聞き、救いの日に、わたしはあなたを助けた。』」見よ、今が受け入れられる時だ。見よ、今が救いの日だ。」

Acts 27:10 そして彼らに言った、「先生、この航海は傷つき、荷や船だけでなく、私たちの命にも大きな損害を与えることになると思います。」

ポールは船の乗組員に対し、この航海は危険であり、貨物や乗組員の生命に損害を与える可能性があると警告した。

1. 逆境にもかかわらず神を信頼することを学ぶ

2. 困難な時代における信仰と忍耐の役割

1. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてが益となるよう共に働くということを私たちは

知っています。」

2. ヤコブ 5:11 - 「見よ、私たちは、堅固を保った人々を祝福していると考えます。あなたはヨブの堅固さについて聞いており、主の目的、主がどれほど憐れみ深く慈悲深いかを見たことがあります。」

使徒 27:11 それにも関わらず、百人隊長はパウロの話以上に、船長と船主の言葉を信じました。

百人隊長はパウロの意見よりも船長と船主の意見を信頼しました。

1. 洞察力と知恵を信頼することの重要性

2. アドバイスと意見を比較検討することを学ぶ

1. 箴言 3:5-6 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

2. ヤコブ 1:5 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

使徒 27:12 そして、避難所は冬を過ごすのに適した場所ではなかったので、どうしてもフェニキアに着いてそこで冬を過ごすことができれば、そこから出発するよう勧めた人も多かった。ここはクレタ島の安息の地であり、南西と北西に位置しています。

多くの人々は、避難所を離れ、南西と北西にあるクレタ島の避難所であるフェニキアに行くべきだとアドバイスしました。

1. 神は困難な状況を利用して、私たちをより良い場所に導くことができます。

2. 主を信頼すると、私たちは予期せぬ場所に導かれることがあります。

1. エレミヤ 29:11、「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っています」と主は宣言されます。「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2. 箴言 3:5-6、「心を尽くして主に信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

Acts 27:13 そして、南風が弱く吹いたとき、彼らは目的を達成したと思ったが、そこから迷って、クレタ島の近くまで航行した。

柔らかな南風が吹いた後、船員たちはクレタ島近くを航行した。

1. 周囲に注意し、風に注意してください。

2. 神の導きは風と波に現れます。

1. マタイ 8:27 - それで人々は驚いて言った、「風も海も彼に従うとは、この人は何という人だろう」。

2. 詩篇 107:29 - 神は嵐を静め、海の波を静められました。

使徒 27:14 しかし、それから間もなく、ユーロクライドンと呼ばれる激しい風がそれに向かって起こった。

パウロたちの航海は、強くて危険な風に遭遇しました。

1: 人生で変化球が起こっても恐れる必要はありません。どんなに強くても、神は私たちとともにいて守ってくださいます。

2: 苦難の時は、神の導きと力を求めてください。

1: 詩篇 46:1-3 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださるのです。だから、たとえ地が崩れても、山が海の中心に移されても、水がとどろきても、私たちは恐れることはありません」泡が立ち上るが、山々はその膨らみに震える。」

2: イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。川の中を通るときも、水があなたを圧倒することはない。火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない。」

Act 27:15 船が巻き込まれて風に耐えられなくなったので、私たちは船を走らせました。

船が嵐に巻き込まれ、風に逆らって航行できなくなったため、乗組員は船を航行させなければなりませんでした。

1. 予期せぬことを受け入れることを学ぶ: 使徒 27:15 を例として使用する

2. 逆境を克服する: 使徒 27:15 から強さを見つける

1. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。そして川を通過しても、水はあなたを圧倒しません。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

使徒 27:16 そして、クラウダという島の下を走っていたとき、私たちは船で来るためにたくさんの仕事をしていました。

船に乗っていた人々はクラウダ島を通過するのに非常に苦労しました。

1. 困難な時の神の力

2. 信仰を通じて逆境を克服する

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。」

使徒 27:17 彼らはそれを引き上げるとき、助けを借りて船の下支えをした。そして、流砂に落ちるのではないかと恐れて、帆を張って、追い出されたのです。

乗組員たちは船が流砂に引きずり込まれるのを恐れ、錨を取り、ロープを使って船を支えた。それから帆を下ろし、風に乗って進みました。

1. 神を信頼してください。そうすれば、恐れや不安の時に神はサポートを与えてくださいます。

2. 変化する環境に適応する準備を整えてください。

1. イザヤ書 41:10 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. ヤコブ 1:2-4 「兄弟たち、さまざまな試練に遭ったとき、それをすべて喜びと考えなさい。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなた方は知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮しなさい。」

Acts 27:18 そして、私たちは暴風雨にひどく翻弄されていたが、翌日彼らは船を軽くしてくれた。

船の乗組員は激しい嵐に巻き込まれ、翌日船を軽く照らしました。

1.「イン・ザ・テンペスト：困難な時に強さを見つける」

2.「荒波を乗り越える：神に頼ることを学ぶ」

1. 詩篇 107:23-29 - 船で海に下り、大海原で商売をする人たち。

2. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。

Acts 27:19 そして三日目、私たちは自分たちの手で船のタックルを追い出しました。

3日目、船上の人々は自らの手で船のタックルを投げ捨てた。

1. 最も暗い瞬間であっても、私たちは主にあって勇気と希望を抱くことができます。

2. たとえ私たちが無力だと感じたとしても、神の救いの約束は常に私たちとともにあります。

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。川を通って、水があなたに溢れ出ることはありません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたに燃え上がることもありません。

2. 詩篇 46:1-3 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。それゆえ、たとえ大地が取り除かれ、山々が海の真っ只中に持ち込まれても、私たちは恐れることはない。たとえその水がとどろき、波紋を立てても、山々がそのうねりで震えても。

使徒 27:20 そして、何日も太陽も星も現れず、小さな嵐が私たちを襲ったとき、私たちが救われるというすべての希望はそのとき打ち砕かれました。

激しい嵐のため何日も太陽や星が現れず、助かる望みはすべて失われた。

1. 試練の時に神に希望を抱く

2. 恐怖を克服する信仰の力

1. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。そして、私たちに与えられた聖霊を通して神の愛が私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

2. イザヤ書 40:28-31 - 知らないのですか？聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は疲れたり疲れたりすることはなく、彼の理解力は誰も理解できません。神は疲れた者に力を与え、弱い者に力を与えます。若者でさえ疲れて疲れ果て、若者はつまずいて転んでしまいます。しかし、主に望

みを持つ者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

Acts 27:21 しかし、長い禁欲の後、パウロは彼らの真ん中に立って言った、「先生、あなたがたは私の言うことを聞き入れるべきでした。クレタ島から離れず、このような害と損失を被るはずはありませんでした。」

パウロは、クレタ島に留まるようにという彼の忠告を聞かず、彼らに損害と損失を与えた船員たちを戒めます。

1. 従順の重要性

2. 不服従の代償

1. 箴言 1:30-31 – 「彼らは私の勧告を受け入れず、私の叱責を拒否しました。したがって、彼らは独自の方法で果物を食べ、独自の手段で満足するでしょう。」

2. ヘブライ 5:8-9 – 「イエスは御子でしたが、苦しみから従順を学び、完全にされた後は、ご自分に従うすべての人にとって永遠の救いの源となりました。」

Acts 27:22 さて、私はあなたがたに、元気よく行動するよう勧めます。あなたがたの間では、船以外に人の命が失われることはありません。

ポールは、船の乗客たちに、命が失われることはなく、船だけが失われることになるので、前向きでいることを勧めています。

1. 嵐の中でも希望を持ちなさい - ローマ人への手紙 5:3-5

2. 耐え忍ぶよう励まされなさい - ヘブライ人への手紙 10:23-25

1. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、苦しみが忍耐を生み、忍耐が人格を生み、人格が希望を生むことを知っているので、私たちは苦しみを喜びます。

2. ヘブライ 10:23-25 - 約束してくださった方は忠実ですから、揺るがずに希望の告白を堅持しましょう。そして、愛と善行に向けて互いに励まし合う方法を考えてみましょう。

Acts 27:23 というのは、今夜、神の御使いが私のそばに立っていました。私はその天使であり、私が仕えているのです。

神の天使は夜パウロのそばに立って、パウロは神のものであり、神に仕えていると宣言しました。

1. 最も暗い時における神の臨在の慰め

2. 神への奉仕の力

1. マタイ 28:20 - 「わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えています。そして確かにわたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

2. エレミヤ 33:3 - 「私に呼びかけてください。そうすれば、私はあなたに答えて、あなたが知らない偉大で検索不可能なことをあなたに話します。」

使徒 27:24 こう言う、「パウロ、恐れるな。あなたはカエサルの前に連れて行かれなければなりません。そして見よ、神はあなたと一緒に航海するすべてのものをあなたに与えました。

パウロは恐れるな、なぜなら神は彼と一緒に航海するすべての人を彼に与えたからである、そして彼はカエサルと対峙しなければならないと言われる。

1. 神は常に私たちと共におられます: 使徒 27 章のパウロの物語についての研究。

2. 恐れるな：神への信仰を通じて不安を克服する。

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。すべてのことにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。」そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたたちの心と思いを守るでしょう。」

2. ヘブル人への手紙 13:5-6 「お金への執着から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。『わたしは決してあなたを離れず、見捨てない』と主は言われたからです。」ですから、私たちは自信を持って「主は私の助け手です」と言うことができます。私は恐れません。人間は私に何ができるでしょうか？』

Acts 27:25 ですから、皆さん、元気を出してください。私は神を信じています、言われたとおりになると信じています。

使徒パウロは船上の人々に、信仰に希望を持ち続けるよう励ましています。

1: たとえ克服不可能に見える困難に直面しても、主への信仰と勇気を持ちなさい。

2: たとえ試練や艱難の真っ只中でも、神の約束を望みとして喜びに満たされなさい。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。川を通って、水があなたに溢れ出ることはありません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたに燃え上がることもありません。

使徒 27:26 しかし、私たちはある島に放り込まれなければなりません。

パウロと彼が乗っていた船の乗組員は、ある島に流されるだろうと天使から警告を受けました。

1. たとえ嵐の真っ只中でも、神はいつも私たちとともにおられます。

2. 私たちが神の警告に耳を傾けるとき、神は私たちを安全な場所へ導いてくださいます。

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ヨシュア記 1:9 - わたしはあなたたちに命じたではありませんか。強くて勇気を持ってください。恐れることはありません;落胆しないでください。あなたの神、主はどこへ行ってもあなたとともにおられます。

Acts 27:27 ところが、十四日目の夜が来て、私たちがアドリアを行ったり来たりしていると、真夜中ごろ、船頭たちは、どこかの国に近づいていると思った。

船は海上で長い航海を経験し、最終的に船員たちは自分たちが陸地に近づいていると信じました。

1. 神の加護: 長く困難な旅の途中でも、神は守りと希望を与えてくださいます。

2. 困難な時にも希望を失わないでください。どんなに長く困難な旅であっても、決して希望を捨てないでください。

1. 詩篇 91:4 - 彼はあなたを羽で覆い、その翼の下にあなたは避難所を見つけるでしょう。彼の忠実さがあなたの盾となり城壁となるでしょう。

2. ローマ 12:12 - 希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。

Acts 27:28 それで音を鳴らしてみると、水深は二十尋であった。少し進んでから、もう一度音を鳴らすと、水深は十五尋であることがわかった。

ポールの船の船員たちは、海の深さが二十尋から十五尋に減少していることに気づきました。

1: 試練や不確実性の時代に、神は嵐を乗り切るために必要な導きを私たちに与えてくださいます。

2: 神の摂理は困難なときの確かな拠り所であり、私たちが神のうちに安全な港を見つけることを可能にします。

1: イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない。」

2: 詩篇 46:1-2 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。それゆえ、たとえ大地が崩れても、山々が海の中心に移されても、私たちは恐れることはない。」

Act 27:29 それから、彼らは私たちが岩に落ちてしまわないように心配して、船尾から四本の錨を投げ、その日が来ることを願った。

使徒 27章29節にある船に乗っていた船員たちは、岩に衝突するのではないかと心配したので、4本の錨を外して日が暮れるのを待ちました。

1. 試練の中での神の力

2. 困難な時に主を待ち望む

1. 詩篇 46:1-3 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。それゆえ、たとえ大地が崩れ、山々が海の中心に落ちようとも、たとえその水が轟音を立てて泡立ち、山々がその高波で震えようとも、私たちは恐れることはない。」

2. イザヤ書 40:31 「しかし、主に望みを持つ者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

Act 27:30 そして、船頭たちが船から逃げようとしていたとき、船を海に降ろしたとき、まるで前船から錨を投じるような色合いで、

船員たちは船を放棄しようとしていて、ボートを海に降ろし、船の前方から錨を投じるふりをしていた。

1. 苦難の時の神の加護

2. 逆境に直面したときの忍耐力

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

使徒 27:31 パウロは百人隊長と兵士たちに言った、「この人たちが船に留まらなければ、あなたがたは救われない。」

パウロは百人隊長と兵士たちに、救われるためには船に留まらなければならないことを思い出させました。

1: たとえそれが困難な道に見えるとしても、私たちは自分の人生に対する神の計画を信じなければなりません。

2: 神に従うことが、真の救いを得る唯一の方法です。

1: 箴言 3:5-6、「心を尽くして主に信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。すべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

2: ローマ人への手紙 10:9、「『イエスは主である』と口で宣言し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

Act 27:32 そこで兵士たちは舟の綱を切って、彼女を落とした。

ボートに乗っていた兵士らがボートを固定していたロープを切断したため、ボートは漂流してしまった。

1. 混乱の真っただ中での神の守り: 使徒 27:32-33

2. 信仰と信頼の力: ヘブライ 11:1

1. 使徒27:33-44

2. ヤコブ1:2-4

Acts 27:33 そして、日が近づいてきたので、パウロは皆に肉を食べるように頼み、「今日は、あなたたちが何も食べずに断食を続けてから十四日目です。」と言いました。

使徒パウロは、一緒に船に乗っている人々に、14日目に断食を解くよう勧めました。

1. 励ましの力

2. 自分の時間を持つ強み

1. ヘブライ人への手紙 3:13 - しかし、「今日」と呼ばれている間は、毎日互いに勧め合いなさい。あなたがたのうちの誰かが、罪の欺瞞によってかたくなになることがないように。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

Acts 27:34 そこで、私はあなたがたに肉を食べるように祈ります。これはあなたの健康のためです。あなたがたは誰の頭からも髪の毛が落ちないからです。

ポールは船の乗客たちに健康のために食べ物を食べるよう勧め、頭髪一本も傷つけないことを保証しました。

1. 困難と闘争の時の神の忠実さ

2. あらゆる状況において神を信頼することの大切さ

1. 詩篇 37:25 - 「私は若く、今は年をとりましたが、見捨てられた義人やその子供たちがパンを乞うのを見たことはありません。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

Act 27:35 こうして彼はパンを取り、皆の前で神に感謝をささげ、それを裂いて食べ始めた。

パウロは人々の前でパンを裂いて食べる前に神に感謝しました。

1. 感謝: 豊かさへの道 - たとえ小さなことに対しても感謝の気持ちを示すことを学ぶことで、私たちの人生に豊かな祝福をもたらすことができます。

2. 命のパン - 命のパンであるイエスを思い出させるために、パウロがパンを裂いた物語を振り返ります。

1. ルカ 17:11-19 - イエスは 10 人のらい病人を治しましたが、戻って感謝したのは 1 人だけでした。

2. コロサイ 3:15-17 - キリストの平和があなたの心を支配し、感謝しましょう。

Act 27:36 すると、彼らはみな元気になって、肉も食べた。

船の乗客たちは食べ物を見つけると勇気づけられました。

1. 困難な状況でも希望を失わないでください

2. 小さな勝利を喜ぶ

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. 詩篇 34:8 - ああ、味わって、主が善良であることを見てください。彼に避難する人は幸いです！

Acts 27:37 そして、船には私たち全員で二百三十十六人の魂がいた。

船には合計216人の魂がいた。

1. 神は私たちが試練や艱難の時に常に共にいてくださいます。

2. 私たちは、どんな困難な状況でも乗り越えさせてくださる神を信頼できます。

1. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 91:4 - 「主はその羽であなたを覆い、その翼の下にあなたは避け所を見出すでしょう。その忠実さがあなたの盾となり城壁となります。」

Act 27:38 そして、十分に食べたので、船に火をつけ、小麦を海に投げ捨てた。

船に乗っていた人たちは小麦を海に捨てて荷物を軽くした。

1. 人生を軽く生きる（マタイ 11:28-30）

2. 互いに重荷を負い合う(ガラテヤ6:2)

1. マタイ 11:28-30 - 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。「あなたはあなたの魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の重荷は軽いからです。」

2. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

使徒 27:39 日が暮れると、彼らは陸地のことを知らなかったが、岸のある小川を見つけたので、できればそこに船を突っ込みたいと考えていた。

使徒行伝 27 章にある船の乗客たちは、船を停泊させたい岸辺のある小川に気づくまで、自分たちが到着した陸地を特定することができませんでした。

1. 神は困難な状況の中でも備えてくださる

2. 私たちが道に迷ったとき、神は私たちの導き手となってくれるでしょう

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足の灯であり、私の道の光です。

使徒 27:40 そして、錨を持ち上げると、海に出て舵を緩め、主帆を風に上げて岸に向かって進んだ。

船の水夫たちは岸に向かって航行するために錨を取り上げ、舵バンドを放し、メインセールを風に向かって上げました。

1. 神と神の計画への信頼: 神と神の計画に対する船員の信頼は、岸に着くと信じて海に向かう姿勢に表れています。

2. 逆境に直面したときの信仰: 困難な状況の真っ只中でも、船員たちは成功に導く信仰を示します。

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいます。あなたが川を通るとき、川はあなたを押し流さないでしょう。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。」

使徒 27:41 そして、二つの海が交わる場所に落ち、船は座礁した。前部はしっかりとくっついて動かなかったが、後部は波の激しさで壊れた。

ポールと仲間たちを乗せた船は座礁し、前部は固着し、後部は海の激しさで壊れた。

1. 手放すタイミングを知る: 予期せぬ状況に適応する方法

2. 困難な時代にしっかりと立つ: 信仰と回復力の重要性

1. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない」。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちな誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、能力を超えた誘惑には遭わせませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

Act 27:42 そこで兵士たちは、捕虜が泳いで逃げないように、捕虜を殺すようにと助言した。

船内の兵士たちは、捕虜が一人も船から泳いで逃げないように、捕虜を殺すようアドバイスした。

1. 恐怖の力: 恐怖がどのようにして破壊的な選択につながるのか

2. 人の命の価値: なぜどの命も救う価値があるのか

1. 箴言 11:17 - 「親切な人は自分に利益をもたらしますが、残酷な人は自分に災いをもたらします。」

2. マタイ 5:44 - 「しかし、私はあなたに言います。あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。」

使徒 27:43 しかし、百人隊長はパウロを救おうとして、彼らの目的から遠ざけました。そして泳げる者はまず海に身を投げ、陸に上がるように命じた。

百人隊長はパウロを救おうと、泳ぐ者たちに海に身を投げて陸に到達するよう命じました。

1. 百人隊長の慈悲: 神は困っている人を助けるためにどのように人々を用いられるか

2. 思いやりの力: たとえ結果が生じても他人に慈悲を示す

1. ルカ 10:25-37 - 善きサマリア人のたとえ

2. ヤコブ 2:14-17 - 信仰と働きの一致

使徒 27:44 残りは、ある者は船の上に、ある者は船の壊れた破片の上にあった。そして、彼らは全員無事に陸に逃れることができた。

船の乗客は奇跡的に無事に陸に逃れた。

1. 苦難の時の神の守りと導き。

2. 混乱の時代における信仰の重要性。

1. マタイ 14:22-33 - 水の上を歩き、嵐を静めるイエス。

2. ヨシュア記 3:14-17 - ヨルダン川の別れ。

使徒 28 章には、マルタ島での滞在、そこでの癒しの奇跡、ローマへの到着と宣教など、パウロの旅の最後の出来事が語られています。

第 1 段落: この章は、難破したパウロと仲間たちが無事に岸に到着し、その島がマルタと呼ばれていることを発見するところから始まります。雨が降っていたので島民たちは彼らを歓迎し、いつになく親切な態度を示した。ポールが束の棒を集めてそれらに火を付けると、熱で追い出されたマムシが彼の手に固定され、手にぶら下がっている生き物を見た島民はお互いに「海から逃げてきたが、正義が彼を生かしておくことを許可したこの男は殺人者に違いない」と言いました。しかし、パウロはヘビを火の中に振り落としたが、人々が予想していた何の悪影響も受けず、長い間待っても何も異常が起こらなかったのに突然腫れ上がり、死んでしまったので、パウロは神だと人々の考えが変わった（使徒行伝28:1-6）。

第2段落: 近くにプブリウスの高官が所有する領地があった 島の人たちは私たちを歓迎してくれた 3日間丁重に接待してくれた 父は熱赤熱で病床にあった ポー ルは祈りのあと見舞いに行った 手を置いて彼を癒してくれた この事が起こった後休んでくれ 病気の島も来た 病気の島も治った私たちが出航する準備ができたとき、彼らは私たちに必要な物資を提供してくれました（使徒 28:7-10）。3か月後、彼らはアレクサンドリアの船で出航しました。この船は、船長が到着した双子の神カストル・ポルックスを乗せた島で冬を過ごしていました。シラキュースはそこに 3日間滞在し、その後航海してレギウムに到着しました。翌日には南風が吹き出し、2日後にプテオリに到着しました。そこで数人の兄弟が招待されていました。彼らと一緒に7日間滞在し、ローマに到着しました。

第 3 段落: そこから兄弟たちが私たちのことを聞き、フォーラム・アッピウスまで旅をした 3 つの酒場が私たちに会ったのを見て、パウロはローマに警備兵 1 人での生活を許可されたときに勇気を与えてくれたことを神に感謝しました。 3日後、地元のユダヤ人指導者らを集めて集まったとき、「私は祖先や民族の習慣に対して何もしていないのに、私は逮捕された。エルサレムを引き渡した。ローマ人は私を調べた。私は死刑に値する罪を犯していないので釈放を求めたが、ユダヤ人は異議を申し立てた」と述べた。カエサルは、私が自分の民に対していかなる罪も負わせたわけではありません」(使徒28:17-19)。彼は丸二年間を自費で暮らし、彼に会いに来るすべての人を何の妨げもなく大胆に歓迎し、主イエス・キリストについて神が教えられた王国を宣べ伝えました。

使徒 28:1 彼らは逃げ出したとき、その島がメリタと呼ばれていることを知った。

難破船から脱出した後、人々は自分たちがいた島がメリタと呼ばれていることに気づきました。

1. 神は常にコントロールしておられる - 使徒 28:1

2. 神は私たちの最悪の瞬間さえも良いものとして利用してくださる - 使徒 28:1

1. 詩篇 46:1 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

Acts 28:2 野蛮な人々は、私たちに少なからぬ親切を示してくれました。彼らは、雨が降っていて、寒かったので、火を焚いて、私たち一人一人を受け入れてくれたのです。

野蛮人たちは、雨と寒さにもかかわらず、暖かい火を提供して旅行者に素晴らしいもてなしを示しました。

1. ホスピタリティの力 - 私たちのホスピタリティがどのように周りの人々にキリストの愛を示すことができるか。

2. 他者への奉仕 - どのようにして周りの人々に奉仕し、キリストの愛を示すことができるか。

1. ローマ 12:13 - 「聖徒たちの必要に応え、もてなしの心を示すように努めなさい。」

2. ヘブライ 13:2 - 「見知らぬ人をもてなすことを怠ってはなりません。それによって、知らず知らずのうちに天使をもてなしている人もいるからです。」

Acts 28:3 パウロが棒の束を集めて火の上に置いたとき、熱の中から一匹のまむしが出てきて、彼の手につかまりました。

パウロが毒蛇から奇跡的に逃げ出したことは、神の守りを信頼することを思い出させてくれます。

1.「神の摂理：神の加護を信頼する」

2.「神の奇跡: パウロの毒蛇からの脱出」

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. マタイ 10:28-29 - 「体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と体を地獄で滅ぼすことができる方を恐れてください。二羽の雀が一ペニーで売られているのではありませんか？そして一羽の雀ではありません。」彼らのうちはあなたの父から離れて地に落ちるでしょう。

Acts 28:4 野蛮人たちは、その毒獣が彼の手にぶら下がっているのを見て、「この男は間違いなく人殺しだ。海からは逃げ出したが、復讐のために生きていな

いのは間違いない。」と言いました。

野蛮人たちはパウロが蛇を連れているのを見て、彼が殺人者だと思いました。

1. 神の慈悲と正義は、最もありそうにない状況においても協力して働きます。

2. 見た目に基づいて思い込みをしないことの重要性。

1. ローマ人への手紙 12:19-「愛する人たちよ、決して自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのものだ、わたしが報復する、と主は言われる。』と書いてあるからです。」

2. 箴言 14:12 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死への道である。」

Acts 28:5 そして、彼はその獣を火の中に振り落としたが、何の害も感じなかった。

ポールはマルタ島で毒蛇に遭遇しましたが、火の中に振り落としても無傷でした。

1. 神の守り：危険の真っただ中にあっても、神は私たちとともにいて守ってくださいます。

2. 信仰：私たちは神の約束を信頼し、神の強さと力に頼ることができます。

1. 詩篇 91:11-12 - 「神は、あなたのすべての道であなたを守るように、あなたの天使たちに命じるからです。彼らはあなたを手で持ち上げて、足を石に打ち付けることがないようにします。」

2. ローマ人への手紙 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。」

Acts 28:6 ところが、彼らは、彼が腫れるか、突然倒れて死んでいるはずのときに見えました。しかし、しばらく見つめて、彼に害が及んでいないのを見ると、考えを変え、彼は神だと言いました。

パウロが難破したマルタ島の人々は、パウロが毒蛇に噛まれても無傷だったことを知って驚いた。彼らはパウロが神であると信じて、パウロに対する考えを変えました。

1. 苦難の時の神の加護

2. 疑いを克服する神の力

1. 詩篇 46:1-3 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。それゆえに、たとえ地が崩れ、山が海の中心に落ちても、その水がたとえ流れても、私たちは恐れることはありません」轟音と泡が立ち上り、山々はその高波で震える。」

2. ヨハネ 14:27 - 「わたしは平安をあなたたちに残します。わたしの平安をあなたたちに与えます。わたしは世が与えるようにあなたたちに与えません。あなたたちの心を騒がせてはならず、恐れてはいけません。」

使徒 28:7 同じ区画には、プブリウスという島の首長の所有物もあった。彼は私たちを歓迎し、礼儀正しく3日間滞在してくれました。

島の首長であるプブリウスはパウロとその仲間たちをもてなしました。

1. ホスピタリティの力: 思いやりと寛大さがどのように神の祝福をもたらすか

2. 優れた管理のモデル: パブリウスの寛大さの例に倣う

1. ローマ 12:13 - お互いに惜しみなくもてなしなさい。

2. テモテ第一 6:17-19 - この世で富んでいる人々に、高慢にならず、不確実な富に信頼せず、私たちに楽しむすべてのものを豊かに与えてくださる生ける神に信頼するように命じてください。彼らに良いことをさせて、良い行いで豊かになり、喜んで与え、喜んで分かち合いましょう。

Acts 28:8 ところで、プブリウスの父親が熱と血流で倒れていたので、パウロは彼のところに入り、祈り、手を置いて治した。

パウロは祈りと按手によってプブリウスの父親を癒しました。

1. 祈りの力: パウロはプブリウスの父をどのように癒したか

2. イエスの働き：マルタでのパウロの奇跡の研究

1. ヤコブ 5:15-16 - ?そして、信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださいます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、赦されるでしょう。ですから、お互いに罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りましょう。正しい人の祈りは、大きな力を持って働きます。

2. マルコ 16:18 - ?ねえ、ヘビを手で拾います。彼らが猛毒を飲んでも、それはまったく害を及ぼさないでしょう。彼らは病気の人に手を置くと、彼らは元気になります。

使徒 28:9 それで、このことが行われると、島で病気を患っていた他の人たちもやって来て、いやされた。

マルタ島で病気を患っている人々は、パウロが彼らのために祈った後、癒されました。

1. 祈りの力：神の癒しの触れ合い

2. イエスの癒しの奉仕: 回復の奇跡

1. ヤコブ 5:16 - 「互いに自分の過ちを告白し、癒されるように互いに祈りなさい。義人の熱心な祈りは効果的であり、大いに役立ちます。」

2. イザヤ書 53:4-5 - ?確かに彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを背負ってくれました。それでも私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しんでいると確かに尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの不法行為のために打ち傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の縞模様で私たちは癒されるのです。

使徒 28:10 また、彼は私たちに多くの栄誉を与えてくれました。そして私たちが出発するとき、彼らは必要なものを私たちに積んでくれました。

マルタの人々はパウロとその仲間たちに多くの栄誉を与え、彼らの旅に必要な物資を提供しました。

1. たとえ困難な状況にあるとしても、私たちは見知らぬ人に対してもてなしと親切さを示すべきです。

2. 私たちは困っている人たちに惜しみなく犠牲を払い、神の愛を示すべきです。

1. ローマ 12:13 - 「聖徒たちの必要に応え、もてなしの心を示すように努めなさい。」

2. 使徒 20:35 - 「すべてのことにおいて、私たちはこのように一生懸命働くことによって弱い人たちを助け、主イエスご自身がこう言われたという言葉を思い出さなければならないことをあなたに示しました。? 쇺 €?

Acts 28:11 そして三か月後、私たちは島で冬を過ごしていたアレクサンドリアの船で出発しました。その船の船名はカストルとポルックスでした。

パウロとその仲間たちはマルタで3ヶ月を過ごし、その後カストルとポルックスのサインを持った船でアレクサンドリアから出発しました。

1. 希望のしるし: マルタのパウロとその仲間たち

2. 加護：カストルとポルックスの印

1. ローマ 8:28 ??そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. イザヤ書 43:2 ??あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。そして、あなたが川を通過するとき、川はあなたを押し流すことはありません。火の中を歩いても火傷することはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。

使徒 28:12 そして私たちはシラクサに着陸し、そこで三日間滞在しました。

パウロと仲間たちはシラキュースに上陸し、そこに3日間滞在しました。

1. 休息の時間を取る: ポールの旅から休息の大切さを学ぶ

2. つながるために時間を取る: ポールのように旅行中に他の人とつながる

1. 出エジプト記 31:17 - 「これは、わたしとイスラエルの民との間の永遠のしるしです。主は六日間で天と地を造り、七日目に休んで元気づけられたからです。」

2. ローマ 12:13 - 「聖徒たちの必要に応え、もてなしの心を示すように努めなさい。」

Acts 28:13 そこから、私たちは方位磁針を持ってきて、レギウムに来ました。そして、一日後に南風が吹いて、翌日プテオリに来ました。

パウロと仲間たちはマルタから旅に出て、海岸沿いにレギウムまで航行しました。一日後、南風が吹いてプテオリに到着した。

1: 神の主権は、風の中であっても、すべてのことにおいて働いています。

2: 私たちは、神が私たちの旅に完璧な条件を備えてくださると信頼しなければなりません。

1: 箴言 21:1 - 「王の心は主の手の中の水の流れである、彼はそれを思いのままに変える。」

2: 詩篇 107:29 - 「神は嵐を静め、海の波は静まりました。」

Acts 28:14 そこで私たちは兄弟たちを見つけ、彼らと一緒に七日間滞在することを望まれ、それでローマへ向かいました。

パウロとその仲間たちは兄弟たちに歓迎され、ローマに向かう途中で7日間一緒に滞在するように頼まれました。

1. ホスピタリティの力：見知らぬ人を両手を広げて歓迎する

2. 優しさと寛大さで他人を迎えることの祝福

1. ローマ 12:13 - 「主に分け与えてください。困っている人たちに。もてなしの精神を実践してください。」

2. ペテロ第一 4:9 「不平を言わずに互いにもてなしなさい。」

Acts 28:15 そこから、兄弟たちは私たちのことを聞くと、アッピイのフォーラムや三つの酒場まで私たちを迎えに来ました。パウロはそれを見て、神に感謝し、勇気を出しました。

パウロはアッピイのフォーラムと三つの酒場でキリストにある兄弟たちと会い、受けた励ましについて神に感謝しました。

1. 神は困難なときにいつも私たちとともにいて、必要なときに励ましを与えてくださいます。

2. たとえ困難に直面しても、主を信頼することで勇気を得ることができます。

1. ローマ人への手紙 8:28 - 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてが益となるよう共に働くということを私たちは知っています。」

2. 詩篇 46:1 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に今もいる助けです。」

Act 28:16 私たちがローマに着いたとき、百人隊長は捕虜を看守長に引き渡しました。しかし、パウロは、自分を守ってくれた兵士と一緒に一人で暮らすことになりました。

パウロはローマで投獄され、百人隊長は彼を衛兵長に引き渡しましたが、パウロは衛兵が見守る中、自分の宿舎に留まることが許されました。

1. 苦難の最中における神の加護 - 最も困難な時であっても神の恵みと加護がどのように感じられるか。

2. 謙虚さの強さ - 謙虚さと信仰が逆境に直面したときにどのように真の強さにつながるか。

1. 詩篇 91:9-10 - 「あなたは主をあなたの住まいとしたからですか？いと高き方、私の避け所は誰ですか？どんな災いがあなたに降りかかることも許されず、あなたの天幕に疫病が近づくこともありません。」

2. 箴言 16:7 - 「人の道が主に喜ばれるとき、神は敵さえも自分と平和にさせてくださる。」

使徒 28:17 三日後、パウロはユダヤ人の長たちを呼び集め、彼らが集まるとこう言った、「皆さん、兄弟たち、わたしは民や慣習に対して何も罪を犯していませんが」私たちの先祖の子孫であるにもかかわらず、私はエルサレムからローマ人の手に捕虜として引き渡されました。

パウロはローマ人に捕らわれている間、自分の無実を宣言しました。

1: 患難の時には、私たちは自分の信仰と神に信頼しなければなりません。

2: 苦しみの時、私たちは自分の信念を堅持し、神の計画を信頼しなければなりません。

1: 詩篇 56:3-4 ?恐れ入りますが、私はあなたを信頼しています。私は神の御言葉を賛美し、神を信頼します。私は恐れることはありません。肉が私に何をしてくれるの？？？

2: イザヤ書 41:10 ?耳を傾けないでください、私はあなたと一緒にいるからです。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。私はあなたを強くし、助け、私の義の右手であなたを支えます。

Act 28:18 彼らが私を調べたとき、誰が私を釈放したでしょう。私には死因がなかったからです。

ポールはいかなる悪事も無罪となり、刑務所から釈放されました。

1: 神の憐れみと守りの御手は、どんな状況においても私たちと共にあります。

2: たとえ不可能な可能性があるとしても、神は忠実であられると確信できます。

1: ローマ人への手紙 8:31 - それでは、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2: 詩篇 46:1 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。

Acts 28:19 しかし、ユダヤ人たちが反対の声を上げたので、私は仕方なくカエサルに訴えました。私が祖国を非難すべきだったわけではない。

パウロはカエサルに対し、ユダヤ人からの不当な非難を避けるよう訴えました。

1. 神は迫害の際に私たちを守ってくださいます。

2. たとえ反対に直面しても、自分の信仰にしっかりと立ちなさい。

1. イザヤ書 41:10 - ?耳を傾けないでください、私はあなたと一緒にいるからです。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。私はあなたを強くし、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. ローマ人への手紙 8:31 - ?帽子 それでは、これらのことについて話しましょうか？もし神が私たちの味方なら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

Acts 28:20 このような理由から、私はあなたにお会いし、あなたと話すために、あなたを呼びました。それは、イスラエルの希望のために、私がこの鎖につながれているからです。

パウロは逮捕されており、ローマにいる友人たちに会いに来るよう呼びかけています。

1. 苦しみの中にある希望

2. 困難な状況における神の備え

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。川を通って、水があなたに溢れ出ることはありません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたに燃え上がることもありません。

Acts 28:21 彼らは彼に言った、「私たちはユダヤからあなたに関する手紙を受け取りませんでした。また、来た兄弟たちの誰も、あなたについて何かを見せたり、悪口を言ったりしませんでした。」

ローマの人々は、ユダヤ人や他のキリスト教徒からパウロについて否定的なことを何も聞いていませんでした。

1. 神の真実は常に聞かれ、信じられます。

2. 私たちは常に神の真理を他の人に伝えるよう努めるべきです。

1. ヨハネ 8:32、「そうすれば、あなたがたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

2. コロサイ 4:5-6、「時間を償いながら、外にいる人たちに向かって知恵を持って歩みなさい。あなたの話し方は常に恵み深く、塩で味付けしてください。そうすれば、あなたはすべての人にどのように答えるべきかを知ることができます。」

Acts 28:22 しかし、私たちはあなたについてあなたがどう考えているか聞きたいと思っています。この宗派に関して言えば、どこでもこの宗派が非難されているのを私たちは知っています。

パウロの宣教はユダヤ人たちによって大きく妨げられていましたが、ローマの地元の人々は、彼の教えに対する否定的な評判にもかかわらず、それでも彼の話を聞きたがりました。

1. 他人の否定的な意見に惑わされないでください。自分自身で真実を求めてください。

2. 神の言葉はしばしば反対されますが、それはそれが真実ではないという意味ではありません。

1. ヨハネ 8:32、?そうすればあなたは真実を知るでしょう、そして真実はあなたを自由にします。

2. ローマ人への手紙 10:17、?では、信仰は聞くことによって生まれ、聞くことは神の言葉によって起こります。

Acts 28:23 そして、人々が彼に一日を指定すると、多くの人が彼の宿舎にやって来た。彼はモーセの律法と預言者の両方に基づいて、朝から晩まで神の国について説明し、証しし、イエスについて彼らを説得しました。

パウロは朝から晩まで、訪れた人々に神の国とモーセの律法や預言者によるイエスの教えを説教しました。

1. 説得の力: パウロの言葉は人生をどう変えたか

2. 神の王国: キリストにおける私たちの召命を理解する

1. ヘブライ人への手紙 4:12-13 - 神の言葉は生きていて活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄の分裂を突き刺し、人の考えや意図を識別するからです。心臓。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

Acts 28:24 そして、語られたことを信じた者もいれば、信じなかった者もいた。

パウロの言葉を信じた人もいれば、信じなかった人もいます。

1. 神の言葉を信じる: 信仰の力

2. 神の言葉を拒否する: 不信仰の結果

1. ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

Act 28:25 そして、彼らの間で合意が得られなかったので、彼らは立ち去った。その後、パウロは一言、「預言者エザヤによって私たちの先祖たちに聖霊が告げられた。

パウロは、聖霊が彼らの先祖たちに語られたという預言者エザヤの言葉を語った。

1: 私たちは預言者の言葉と聖霊によって慰めを得ることができます。

2: 人生の指針となる預言者の言葉に頼ることができます。

1: イザヤ書 55:11 ?おお、私の口から出る私の言葉であろう。それは私に無効に戻ることはなく、私の望むことを達成し、私がそれを送った場所で繁栄するでしょう。

2: マタイ 7:24-27 ?したがって、私のこれらの言葉を聞いて実行する人は誰でも、私は彼を岩の上に家を建てた賢者にたとえます：そして、雨が降り、洪水が来て、風が吹いて、その家を打ちつけました;そしてそれは落ちませんでした。それは岩の上に基礎があったからです。

Acts 28:26 『この民のところに行って、こう言いなさい、あなたがたは聞いても、理解できないであろう。そして、あなたがたは見るであろうが、知覚することはないであろう。

ユダヤ人に対するパウロのメッセージは、聞くことも見ることもできないものでした。

1. 視点の力：心で見て、聞く

2. 神の声を聞く: 神の言葉を聞いて理解する方法

1. イザヤ書 6:9-10 - 「そして彼は言った。『行って、この民に告げなさい。あなたがたは確かに聞いているが、理解してはいけない。また、あなたがたは確かに見ているが、認識してはならない。』

2. マルコ 4:12 - 「それは、彼らが見ることはできても、認識することはできず、聞くことは聞いても理解できないことがあるからです。いつでも彼らが回心し、彼らの罪が赦されることがないようにするためです。」

Acts 28:27 この民の心はひどく青白く、耳は聞こえなくなり、目は閉じている。そうしないと、彼らは目で見て、耳で聞いて、心で理解し、回心し、私が彼らを癒さなければなりません。

人々は心がかたく、耳が聞こえず、目を閉じており、理解することも改心することもできません。

1. 聞くことを拒否する人々に対する神の愛

2. 神の真実に目を閉じる

1. エレミヤ 32:33-35 - 「そして彼らは、顔ではなく背中を私に向けました。私が彼らに教え、朝早く起きて教えたのにもかかわらず、彼らは教えを受けることに耳を傾けませんでした。しかし、彼らは忌まわしいことを行いました」そして彼らはヒンノムの子の谷にあるバアルの高台を築き、自分たちの息子と娘たちを火の中を通ってモレクまで送り届けた。わたしは彼らに命じたわけではありませんし、ユダに罪を犯させるためにこの忌まわしい行為をすべきだということも頭に浮かびませんでした。」

2. 申命記 30:15-20 - 「見よ、わたしは今日、あなたの前に命と善、そして死と悪を置いた。それによって、わたしは今日あなたに、あなたの神、主を愛し、主の道を歩み、神の戒めと定めと判決を守りなさい、そうすればあなたは生きて増えます。そうすればあなたの神、主はあなたがそれを手に入れようとする地であなたを祝福してくださいます。しかし、もしあなたの心がそむいて、あなたが聞かなくなるなら、しかしあなたたちは引き離され、他の神々を崇拝し、それらに仕えなければなりません。私は今日、あなたたちに非難します、あなたたちは必ず滅び、ヨルダンを渡ってそれを手に入れようとするその地で延命してはならない。私は天と地にあなたに対してこの日を記録するよう呼びかけます。私はあなたの前に生と死、祝福と呪いを設定しました。それゆえ、あなたとあなたの子孫の両方が生きるために、命を選択してください。」

Acts 28:28 ですから、神の救いが異邦人に送られ、彼らがそれを聞くことを、あなたがたは知っておいてください。

神の救いはすべての人に向けられたものであり、特に異邦人はそれを受け入れるでしょう。

1. 神の救いはすべての人にあります - ルカ 4:18-19

2. 異邦人は神の言葉を聞く - 使徒 13:46-48

1. ローマ人への手紙 10:12-15

2. エペソ人への手紙 2:11-22

Acts 28:29 イエスがこれらの言葉を語ると、ユダヤ人たちは立ち去り、彼らの間で大いに議論した。

パウロが話した後、ユダヤ人たちは彼らの間で大いに議論しました。

、たとえ他人の意見に同意しない場合でも、他人と対話することが重要であることがわかります。

2: 使徒 28 章には、ユダヤ人たちがどのように彼らの間で熱心に議論したのかが示されています。私たちは自分の意見に反対する人と健全な会話をするよう努めるべきです。

1: 箴言 18:13 聞く前に答える者は、愚かであり、恥ずべきことである。

2: ヤコブ 1:19 ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

使徒 28:30 パウロは丸二年間、自分の借りた家に住み、やって来たすべてのものを受け入れた。

ポールは自分の借家に2年間住み、訪ねてくる人すべてを歓迎しました。

1. 他人に対して心と家を開きます。

2. おもてなしの心と品格を持って人々を歓迎します。

1. ローマ 12:13 - 主と分かち合いますか?困っている人たち。ホスピタリティを実践しましょう。

2. マタイ 25:35 - 私がお腹が空いていたのに、あなたは何か食べるものを与え、のどが渇いていたのに、あなたは私に飲み物を与え、私が見知らぬ人だったのに、あなたは私を家に招き入れたからです。

使徒 28:31 神の王国を宣べ伝え、主イエス・キリストに関する事柄を教えることを、自信を持って行うことを禁じる人はいません。

パウロは反対に遭いながらも自信を持って福音を宣べ伝え続けました。

1. 止められない神の福音の力

2. 信じて従おう：キリストの呼びかけ

1. ピリピ 1:12-14 - 「兄弟姉妹の皆さん、私に起こったことは実際に良いたよりを広めるのに役立ったということを知っていただきたいのです。その結果、それは宮殿の衛兵と兵士全員に明らかになりました。そしてほとんどの兄弟姉妹は、私の投獄を通して主への信頼を得て、恐れることなく神の言葉をもっと大胆に語るようになりました。

2. ローマ人への手紙 1:16-17 - ?あるいは、私は福音を恥じてはいません。福音は、最初にユダヤ人に、次に異邦人に、信じるすべての人に救いをもたらす

のは神の力だからです。福音の中で神の義が明らかにされるからでしょうか？봞正義は、最初から最後まで信仰によるもので、次のように書かれています。「義人は信仰によって生きる。」ユーロ?

ローマ人への手紙 1 章では、使徒パウロがローマのクリスチャンたちに宛てた手紙、彼らを訪問したいという彼の願望、そして福音の力と人類の普遍的な罪深さに関する彼の神学的な言説が紹介されています。

第 1 段落: この章は、パウロが自分自身をキリスト・イエスの僕であり、使徒として召され、神の福音のために召された者であると紹介するところから始まります。彼は、自分が宣べ伝えるこの福音が、聖書の中で神の預言者を通して事前に約束されたものであることを認めています。それは神の御子、私たちの主イエス・キリストについてです。彼は肉においてはダビデの子孫でしたが、死からの復活によって力をもって神の子であると宣言されました（ローマ人への手紙 1:1-4）。パウロは、私たちがキリストを通してすべての国民の間で従順信仰のゆえに恵みと使徒職を受けたこと、神に愛され聖徒と呼ばれるローマ人も含めてキリストの名が与えられたことを強調しています（ローマ人への手紙1:5-7）。

第 2 段落: 8 節から 15 節で、パウロはローマの信者たちの信仰が世界中に伝えられているので、彼らに対する感謝の気持ちを表しています。彼は、彼らに霊的な賜物を与えて彼らを強くするため、あるいはむしろ彼らが互いの信仰によって互いに励まし合うため、彼らを訪問することを切望しています（ローマ人への手紙 1: 8-12）。多くの障害にもかかわらず、異邦人がギリシャ人以外の賢明な愚か者たちに安息の時と同じように、彼らの間で収穫をもたらすために、彼らが来ることを何度も計画してきたと彼は言います、なぜあなたたちローマも熱心に福音を宣べ伝えるのですか（ローマ人への手紙1:13-15）。

第 3 段落: 16 節から 32 節で、パウロは、福音を恥じることはないと宣言します。なぜなら、神は救いをもたらす力だからです。最初にユダヤ人、次に異邦人、すべての人が信じるのです。最初に最後に信仰から義を明らかにします。「義人は信仰によって生きる」（ローマ人への手紙 1 章）:16-17)。しかし、彼は次に、人間の不敬虔さ、不正さ、真理を抑圧する人々の邪悪さについて論じ始めます。なぜなら、神について知られていることが彼らに明らかにしているのは、それが創造世界を明らかにしたからです、神の目に見えない特質、永遠の力、神性は、そうでない人々がそうするように作られたものから明らかに理解されてきたからです。言い訳は価値があると思わなかった、知識を保持し続ける、あらゆる種類の邪悪、邪悪な貪欲、堕落が満ち溢れた 法令を知っていたにもかかわらず、そのようなことをする者は死に値し、これらのことを続ける者はまた、それらを実行する者を承認します（ローマ人への手紙1:18-32）。

ローマ人への手紙 1:1 パウロはイエス・キリストのしもべで、使徒として召され、神の福音に別れました。

パウロは神の福音を伝える使徒として召されました。

1. 使徒の呼びかけ: あなたの人生に対する神の目的を理解する

2. 神の福音: 良い知らせを他の人に伝える

1. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

2. 使徒 1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたがたは力を受け、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、そして地の果てに至るまでわたしの証人となるでしょう。」

ローマ人への手紙 1:2 (彼は聖書の中で預言者たちによって以前に約束していました)

ローマ人へのパウロの手紙は、神が聖書の預言者を通して民に与えられた約束を思い出させるものでした。

1. 神の約束: 神の約束への信仰

2. 神の約束に立ち向かう: 神の契約への信仰を保つ

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. 歴代誌第二 20:20 - あなたの神、主を信じなさい。そうすればあなたがたは堅く立つことができる。彼の預言者を信じなさい、そうすればあなたがたは繁栄するでしょう。

ローマ人への手紙 1:3 御子イエス・キリストについて、私たちの主、このキリストは肉に従ってダビデの子孫から造られました。

ローマ人へのパウロの手紙は、イエス・キリストがダビデの家系から生まれた神の子であることを強調しています。

1: イエス・キリストは神の子であり、彼を通して私たちは救われます。

2: 私たちはダビデの子イエス・キリストによる救いの約束を与えられています。

1: イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2: 2 テモテ 2:8 - 私の福音で宣べ伝えられている、ダビデの子孫、死者の中からよみがえられたイエス・キリストを思い出してください。

ローマ人への手紙 1:4 そして、聖なる霊に従って、死者の中からの復活によって、力を持つ神の子であると宣言されました。

パウロはイエスが神の子であると断言し、それはイエスの死者の中からの復活によって証明されたと説明しています。

1. 復活の力: イエスはどのようにして自分の神性を証明したか

2. イエスの聖性: イエスの復活の重要性を理解する

1. ヨハネ 10:30-31 - 「わたしと父は一つです」

2. 使徒 13:33 - 「神は、イエスをよみがえらせることによって、私たち、彼らの子供たちのために成就してくださいました。」

ローマ人への手紙 1:5 私たちは、すべての国民の信仰への従順のゆえに、その御名のために、この方によって恵みと使徒の地位を与えられました。

パウロは、人々を信仰に従わせるために、すべての国に福音を広めるように神から任命されました。

1. 神の恵みの現実: 福音はどのように私たちを結びつけるのか

2. 従順への呼びかけ: 信仰を実践する

1. エペソ人への手紙 2:8-9 あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です

2. ヤコブ 1:22 しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

ローマ人への手紙 1:6 あなたがたもイエス・キリストに召された者です。

パウロはローマの教会に手紙を書き、強い信仰を持ち続けて神に献身するよう励ましました。

1. 神は私たちに、神に献身し、信仰を強く保つよう呼びかけておられます。

2. 私たちは、どんな状況であっても、神に忠実であるように求められています。

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. テサロニケ人への手紙第二 1:11 - このことを念頭に置いて、私たちは常にあなたのために祈っています。私たちの神があなたをその召しにふさわしい者とし、その力によって善を求めるあなたのすべての願いと、促されたすべての行為を実現させてくださいますように。信仰によって。

ローマ人への手紙 1:7 ローマにいるすべての人、神に愛され、聖徒として召された人たちへ、私たちの父なる神と主イエス・キリストからの恵みと平安があなたたちにありますように。

パウロはローマの信者たちに神とイエス・キリストからの恵みと平和を迎えています。

1. 恵みと平和の中で生きる: 主にあって満足感を得る方法

2. 困難な時に力を引き出す：神の恵みと平和に頼る

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対しては律法はありません。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを込めて、自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

ローマ 1:8 まず、あなたがた全員の信仰が全世界に語られていることを、イエス・キリストを通して私の神に感謝します。

パウロは、世界中に知られているローマ人の信仰について神を賛美します。

1. ローマ人の信仰がそうであったように、私たちの信仰は世界に対する証しでなければなりません。

2. 私たちは、ローマ人がそうであったように、他の人にとって信仰の模範となるよう努めるべきです。

1. マタイ 5:13-16 - 「あなたは地の塩です。しかし、塩がその塩味を失ったら、どうやって再び塩味にできるでしょうか。それはもはや何の役にも立ちません。投げ捨てられて踏みにじられる以外にありません。」。

2. ペテロ第一 2:12 - 異教徒たちの間で善良な生活を送りなさい。そうすれば、たとえ異教徒があなたがたを間違ったことをしていると非難しても、彼らはあなたの善行を見て、神が私たちを訪問する日には神の栄光をたたえるかもしれません。

ローマ人への手紙 1:9 神はわたしの証人であり、わたしは御子の福音において霊をもって神に仕えており、祈りの中でいつもあなたのことを絶えず言及しています。

パウロは、イエス・キリストの福音の働きを通してローマの信者に仕えていることに感謝しています。

1. イエス・キリストの福音を通して神に仕える

2. 祈りの力

1. ピリピ1:3-5

2. コロサイ1:3-5

ローマ人への手紙 1:10 願わくば、いよいよあなたがたのところへ行くために、神の御心によって豊かな旅ができますように。

パウロはローマ人を訪問したいという願望を表明し、彼の旅が成功するように神のご意志がなされるように求めます。

1. 私たちの人生において神の御心が行われるように祈ることの大切さ。

2. 繁栄するために私たちに対する神の意志を認める。

1. エペソ 3:20 - さて、私たちの内に働いている神の力に応じて、私たちが求めたり想像したりするすべてを計り知れないほど多くのことを成し遂げてくださる方に。

2. ヤコブ 4:15 - その代わりに、「主のご意志であれば、私たちは生きてこれやこれを行います。」と言うべきです。

ローマ人への手紙 1:11 私はあなたがたに会いたいと願っています。それは、あなたがたが最後まで確立されるように、あなたがたに霊的な賜物を与えるためです。

パウロはローマのクリスチャンを訪問し、彼らの信仰の成長を助ける霊的な賜物を分かち合いたいと述べています。

1: 「スピリチュアルな贈り物の力」

2:「信仰を確立する」

1: ガラテヤ 6:10 - それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

2: ピリピ 1:9-11 - そして、知識とあらゆる識別力をもって、あなたがたの愛がますます豊かになり、優れたものを認め、キリストの日まで清く、罪のない者となれるように祈ります。イエス・キリストを通してもたらされる義の実で満たされ、神の栄光と賛美がもたらされます。

ローマ人への手紙 1:12 それは、あなたがたと私との相互の信仰によって、私もあなたがたとともに慰められるためです。

この箇所は、パウロが自分とローマの教会の相互の信仰によって慰められることをどのように望んでいたかを説明しています。

1.「相互信仰の慰め」

2. 「信仰によってお互いを築き上げる」

1. ピリピ人への手紙 2:1-2 「ですから、キリストによる励まし、愛による慰め、御霊への参加、愛情と同情があるなら、同じ思いを持ち、同じ愛を持ち、同じように行動することによって私の喜びを満たしてください。」完全に同意し、心を一つにして。」

2. ヘブライ 10:24-25 「そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合うことで、愛と善行に互いに励まし合う方法を考えましょう。そして、ご覧のとおり、なおさらです」その日が近づいている。」

ローマ人への手紙 1:13 さて、兄弟たち、私はあなたがたに無知なままにしてほしくありません。私は、他の異邦人の間でも同じように、あなたがたの間でも実を結ぶために、しばしばあなたがたのところに行こうと思っていましたが（しかし、これまでは許されてきました）。

パウロは、他の異邦人に対するのと同じように、ローマ共同体を訪れて彼らに霊的な実をもたらすつもりです。

1. パウロの宣教の実り: パウロの訪問は私たちの生活にどのように霊的な実を結ぶことができるか

2. 止められない目的の力: 使命を果たすための機会を最大限に活用する

1. コロサイ 1:3-6 - 私たちは、キリスト・イエスに対するあなたの信仰とすべての聖徒たちに対するあなたの愛を聞いて以来、私たちの主イエス・キリストの父である神に感謝し、いつもあなたのために祈っています。それは、あなたがたのために天に据えられた希望のゆえに、あなたが以前に福音の真理の言葉の中で聞いたものであり、その希望は全世界と同じようにあなたがたにも来て、実を結んでいます。それは、あなたが神の恵みを真実に聞いて知った日以来、あなたがたの間にも存在します。

2. 使徒 11:19-21 - さて、ステパノに対して起こった迫害の後に散り散りになった人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで旅をし、ユダヤ人以外には誰にも御言葉を宣べ伝えました。しかし、彼らの中にはキプロスやキレネ出身の人もいて、アンティオキアに来たとき、ヘレニストたちに語りかけ、主イエスを宣べ伝えました。そして主の御手が彼らと共にあり、多くの人々が信じて主に立ち返った。

ローマ人への手紙 1:14 私はギリシャ人に対しても、野蛮人に対しても借りがあります。賢い人にも、賢くない人にも。

パウロは、クリスチャンとして、文化的背景に関係なく、すべての人々に福音を広める責任があることを理解していました。

1: 私たちは、背景や知識に関係なく、すべての人々に福音を伝えるよう招かれています。

2: 福音のメッセージは、文化的アイデンティティや知恵のレベルに関係なく、すべての人に向けられています。

1: 使徒 17:26-27 「そして、神は一人の人から人類のすべての国民を地球上の全面に住まわせ、割り当てられた期間と彼らの住む場所の境界を定め、彼らが全世界に神を求めるようにした。彼らが彼に向かって手探りして見つけられることを願っています。」

2: 1 コリント 12:13 - 「というのは、ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由民も、私たちは皆、一つの御霊によって一つの体となるバプテスマを受け、皆一つの御霊を飲まされたのです。」

ローマ人への手紙 1:15 ですから、私もローマにいるあなたがたに福音を宣べ伝える用意ができています。

パウロはローマの人々に福音を宣べ伝える準備ができています。

1. 私たちは神の言葉をすべての国に宣言しなければなりません

2. 人生を変える福音の力

1. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

2. コリント人への第二の手紙 5:17 「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去った。見よ、新しいものがやって来た。」

ローマ人への手紙 1:16 私はキリストの福音を恥とは思っていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。まずユダヤ人に、そしてギリシャ人にも。

キリストの福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。

1. 福音の力：神の救いを信じること

2. 恥じることなく福音を宣べ伝える: 神の救いの良い知らせを広める

1. ローマ人への手紙 10:13-14 「主の御名を呼び求める者は救われるからです。それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めることができますか。また、信じていない方をどうして信じることができますか。」聞いたのか？そして説教者なしにどうやって聞くことができるだろうか？」

2. イザヤ書 61:1 - 「主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は柔和な人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。主は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言するために私を遣わされました。縛られた者たちに牢獄が開かれることだ。」

「義人は信仰によって生きる」と書かれているとおりです。

神の義は信仰によって明らかにされ、正しい人は信仰によって生きます。

1. 信仰によって生きる: 義への道

2. 信仰を理解する: 正しく生きるための鍵

1. ハバクク 2:4 - 「見よ、高められた彼の魂は彼の内に正しくありません。しかし正しい人はその信仰によって生きるでしょう。」

2. ガラテヤ 3:11 - 「しかし、神の前に律法によって義と認められる人は誰もいないことは明らかです。義人は信仰によって生きるからです。」

ローマ人への手紙 1:18 というのは、神の怒りは、不義の中に真理を堅持する人間のあらゆる不敬虔と不義に対して天から明らかにされるからです。

神の怒りはあらゆる不敬虔と不正に対して明らかにされます。

1. 不義の結果

2. 神の怒りの必然性

1. 箴言 11:31 - 見よ、義人は地上で報いを受けるであろう、まして悪人や罪人はなおさらである。

2. 詩篇 5:5 - 愚かな者はあなたの目に留まりません。あなたは不法行為を行うすべての者を憎みます。

ローマ人への手紙 1:19 なぜなら、神について知られている事柄は彼らのうちに明らかだからです。神がそれを彼らに示されたからである。

神の真理はすべての被造物の中に明らかです。

1. 神の真実: 私たちの信仰の基礎

2. 創造における神の愛の証拠

1. 詩篇 19:1-4 - 天は神の栄光を宣言します。そして大空には彼の手仕事が展示されています。

2. ヨハネ 1:1-5 - 初めに言葉があり、言葉は神とともにあり、言葉は神でした。

ローマ人への手紙 1:20 というのは、世界の創造以来、神の目に見えなかったものは、造られたものによって明らかに見え、神の永遠の力と神性さえも理解されるからです。彼らには言い訳の余地がないように：

神の力と神聖な性質は被造物の中に見ることができ、人類には神を信じない言い訳の余地がありません。

1. 創造において明らかにされた神の栄光

2. 言い訳は不要：神の偉大さはどこにでもある

1. 詩篇19:1-4

2. 使徒14:15-17

ローマ人への手紙 1:21 それは、彼らが神を知ったとき、神として神を讃えず、感謝もしなかったからです。しかし彼らの想像力はむなしく、彼らの愚かな心は暗くなった。

人々は神を讃美したり、神を知ったときに感謝したりすることを選択せず、代わりに空想的になり、暗い心を持つようになりました。

1. 神の神聖さと私たちの責任 - 神を知り、神の神聖さを理解するとき、私たちはどのように反応すべきかを探ります。

2. 感謝の力 - 神の多くの祝福に対して感謝することの重要性を考察します。

1. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿るようにしましょう。詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で主に向かって優雅に歌いましょう。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

ローマ人への手紙 1:22 彼らは自分たちを賢いと言いながら、愚か者になりました。

人々は自分が賢いと思っているかもしれませんが、神の真理を拒否することによって愚か者になってしまいます。

1.「誇り高き者の堕落」

2.「神を知る知恵」

1. 箴言 16:18 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

2. ヤコブ 3:17 - 「しかし、天から来る知恵は、まず第一に純粋であり、次に平和を愛し、思慮深く、従順で、憐れみと良い実とに満ち、公平で誠実です。」

ローマ人への手紙 1:23 そして、朽ちない神の栄光を、朽ちる人間、鳥、四つ足の獣、はうもののような像に変えられました。

パウロはローマ人への手紙 1 章 23 節で、人間は神の栄光を奪い、それを地上の生き物の像に変えてしまったと書いています。

1. 偶像崇拝の危険性: 神の完全性よりも人間の創造物を優先することの危険性

2. 唯一の真の神を思い出す：偽りの偶像を拒否し、神の栄光を讃える

1. 申命記 4:15-19 - 偶像崇拝に対する神の警告

2. イザヤ書 40:18-26 - 地上の偶像と比較した神の比類のない偉大さ

ローマ人への手紙 1:24 そこで、神はまた、彼らを自分の心の欲望によって汚れにさらし、彼らの間で自分の体を汚したのです。

神は人々が自分の欲望に取り憑かれ、自分の体を汚すことを許されました。

1. 抑えられない欲望の危険性

2. 誘惑に神聖さをもって応答する

1. ガラテヤ 5:16-17 - 「しかし、私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、あなたは肉の欲望を満足させることはできません。肉の欲望は御霊に反し、御霊の欲望は肉に反するからです。」肉よ、これらは互いに対立しており、あなたがやりたいことをするのを妨げているからです。」

2. コリント人への手紙第一 6:19-20 - 「それとも、自分の体が、自分のうちに神から与えられた聖霊の神殿であることを知らないのですか。あなたは自分のものではありません。あなたは代価を払って買われたのですから。あなたの体で神の栄光を讃えなさい。」

ローマ人への手紙 1:25 神の真実を偽りに変え、永遠に祝福される創造主よりも被造物を崇拝し、仕えた者です。アーメン。

人間は創造主よりも被造物を崇拝することを好むことがよくありますが、これは神にとって喜ばしいことではありません。

1: 私たちの礼拝は神のみに向けられるべきであり、被造物に向けられるべきではありません。

2: 私たちは何をするにも神を第一にすべきであり、世のものを偶像にしてはいけません。

1: コロサイ 3:5 したがって、あなたの地上の性質に属するものはすべて、性的不品行、汚れ、情欲、邪悪な欲望、偶像礼拝である貪欲を死に至らせてください。

2: ヤコブ 4:4 姦淫する人たちよ、世との友情は神に対する敵意を意味することを知らないのですか。したがって、世の友人になることを選択した人は誰でも神の敵になります。

ローマ人への手紙 1:26 このような理由で、神は彼らを卑劣な情愛に引き渡されました。彼らの女性でさえ、自然の利用を自然に反するものに変えたからです。

神は、性の自然な使用を自然に反するものに変えた女性を含め、世界の人々を不道徳な欲望に屈服させました。

1. 不道徳な欲望の危険性

2. 性罪の不自然で容認できない性質

1. コリント人への第一の手紙 6:18-20 - 性的不道徳から逃げてください。人が犯すその他の罪はすべて体の外にありますが、性的に不道徳な人は自分の体に対して罪を犯します。

2. ガラテヤ 5:19-21 - 肉の行為は明らかです。性的不道徳、不純、放蕩。偶像崇拝と魔術。憎しみ、不和、嫉妬、激怒、利己的な野心、不和、派閥、羨望。泥酔、乱交など。

ローマ人への手紙 1:27 同様に、男たちも、女を自然に利用することから離れて、互いに情欲を燃やした。男たちと男たちは、見苦しいことを働き、自分たちの過ちの報いを自分自身で受けて、それが満たされたのです。

男性は女性に対する自然な欲望を放棄し、代わりに他の男性に対する欲望に夢中になり、恥ずべき行為に従事し、罪の結果に苦しんでいます。

1. 神の結婚計画 - ローマ人への手紙 1:27

2. 神の設計を離れることの結果 - ローマ人への手紙 1:27

1. レビ記 18:22 - 「あなたは、女と同じように男と寝てはならない。それは忌まわしいことだ。」

2. コリント人への第一の手紙 6:9-10 - 「それとも、不義な者は神の国を受け継がないと知らないのですか。騙されないでください。性的に不道徳な者も、偶像崇拝者も、姦淫する者も、同性愛を行う者も、泥棒も、貪欲な者も、大酒飲みも、ののしりも、詐欺師も、神の王国を受け継ぐことはできません。」

ローマ人への手紙 1:28 そして、彼らが神のことを自分たちの知識の中に留めておくことを好まなかったにもかかわらず、神は彼らを不遜な思いに任せ、不都合なことをさせました。

人々が神を認めることを拒否したため、神は彼らが堕落した心を持ち、不適切な行為をすることを許しました。

1. 神の意志に身を委ねることは、誠実な人生を送るための最良の方法です。

2. 私たちは神を認め、正しくないことをする誘惑に抵抗することを選択しなければなりません。

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. 詩篇 119:11 - 私はあなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心の中に蓄えました。

ローマ人への手紙 1:29 あらゆる不義、不品行、邪悪、貪欲、悪意に満ちている。嫉妬、殺人、議論、欺瞞、悪意に満ちています。ささやき声をあげる人、

この一節は、邪悪な心を持ち、妬み、殺人、議論、欺瞞、悪意に満ちた人々について描写しています。

1. 邪悪の危険 - ローマ人への手紙 1:29

2. ねたみと悪意を克服する - ローマ人への手紙 1:29

1. ヤコブ 4:7 - 「悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. 箴言 16:32 - 「怒るのが遅い者は力ある者よりも優れており、自分の精神を制御する者は都市を占領する者よりも優れている。」

ローマ人への手紙 1:30 陰口を言う人、神を憎む人、意地悪な人、高慢な人、自慢する人、悪いことを発明する人、親に従わない人、

パウロは、陰口を言う人、神を憎む人、高慢な人、自慢する人、悪いことを発明する人、親に従わない人たちを非難します。

1. 真実の信仰と義にかなった生活: ローマ人への手紙 1:30 におけるパウロの道徳の教え

2. 不従順の危険性: 神に従い、親を敬う方法。

1. マタイ 7:12 - 「ですから、何事においても、自分にしてもらいたいことを他の人にもしなさい。これが律法と預言者の要約です。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 4:8 - 「ですから、この教えを拒む者は人間を拒むのではなく、神を、あなたに聖霊を与えてくださる神を拒むのです。」

ローマ人への手紙 1:31 契約を破る者たちには、理解力がなく、自然な愛情がなく、容赦なく、無慈悲です。

パウロは、無理解、契約違反、同情心の欠如など、罪がもたらす結果を強調しています。

1. 罪とその結果を認識する

2. 慈悲と慈悲の力

1. エペソ人への手紙 4:31-32 - 「すべての恨み、怒り、怒り、大声、悪口を、すべての悪意をもってあなたがたから遠ざけましょう。そして、あなたがたは互いに親切にし、心優しく、互いに許し合いなさい。」たとえ神がキリストのためにあなたを赦してくださったのと同じように。」

2. ヤコブ 2:13 - 「憐れみを示さなかった者は、憐れみのない裁きを受けるからです。そして、憐れみは裁きを喜ぶからです。」

ローマ人への手紙 1:32 このようなことをする者は死に値するという神の裁きを知っている人は、同じことをするだけでなく、それをすることを喜びます。

神の裁きは明らかです。重大な罪を犯した者は死に値します。彼らは自ら罪を犯すだけでなく、同じことをする人たちを励まし、喜びます。

1: 神の裁きは確実であり、公正です。私たちは重大な罪に関与したり助長したりしてはなりません。

2: この問題に関する神の裁きは明らかなので、私たちは他人の罪を喜んではいけません。

1: 詩篇 119:128 - したがって、私は万事に関するあなたの戒めはすべて正しいと信じます。そして私はあらゆる間違ったやり方を嫌います。

2: エペソ人への手紙 5:11 - そして、実を結ばない暗闇の業とは交わらず、むしろ彼らを叱責しなさい。

ローマ人への手紙 2 章では、人類の罪深い本性についてのパウロの説教が続き、神の公平な裁き、遺産よりも行為の重要性、そして割礼の真の意味が強調されています。

第 1 段落: この章は、他人を裁く人には言い訳の余地がない、とパウロが指摘するところから始まります。なぜなら、彼らはまさに同じことを実践しているのですから、そうすることで自分自身を罪に定めることになるからです。彼は、神の裁きは真理に基づいており、そのようなことをする者に対するものであると強調しています彼は神の優しさ、忍耐、忍耐を過大評価しないよう警告し、神の優しさこそが悔い改めに導くものであることを読者に思い出させます（ローマ人への手紙 2:1-4）。

第 2 段落: 5 節から 16 節で、パウロはさらに、神が自分の行いに従って各人にどのように報われるかを論じています。善を行うことによって栄光を求める者には永遠の命を与えられるが、利己的に不従順を求める者には真理に従え、不義に従え、怒りが起こるだろう、激しい患難、苦難が起こるだろう、人類は皆悪を行う、ユダヤ人はまずギリシャ人も栄光を讃える、平和を守る、誰もが善を行う、ユダヤ人も最初にギリシャ語 (ローマ 2:6-10)。彼は、神に偏りはなく、法を離れて罪を犯した者は皆、法によって滅びる、法の下で罪を犯した者は皆、法によって裁かれる、法を聞く者ではなく法を正しく見る神ではなく、法を実行する者が義とされる法を持たない異邦人は本能的に必要なことを行う、と強調している。たとえ成文化されていないとしても、それ自体が法律です（ローマ人への手紙 2:11-16）。

第 3 段落: 17 節以降、パウロはユダヤ人の読者に対し、自分たちの遺産である救いのための律法割礼への依存に直接異議を唱え、次のように述べています。暗闇にいる人たちを照らす インストラクター 愚かな教師 体現した知識を持つ幼児 真実の法則 では、あなたは自分で教えるのではなく他の人に教えるのですか？（ロー マ人への手紙 2:17-21）。彼はユダヤ人の偽善を批判し、本当の割礼は文字ではなく心、霊が重要であると述べています。彼の賛美は人ではなく神から来るものです（ローマ人への手紙 2:28-29）。

ローマ人への手紙 2:1 したがって、おお、あなたが裁く者は誰であろうと、あなたは許しがたいのです。なぜなら、あなたが他人を裁くとき、あなたは自分自身を罪に定めるのです。裁くあなたも同じことをするからです。

パウロは読者に、誰も裁きを免れないと告げ、他の人が同じことをするときに裁く人たちを非難します。

1. 他人を判断する前に自分自身を吟味する - ルカ 6:37-38

2. 聞くのは早く、話すのは遅い - ヤコブ 1:19

1. マタイ7:1-5

2. ガラテヤ6:1-5

ローマ人への手紙 2:2 しかし、私たちは、そのようなことを犯す者に対する神の裁きは真理に従って下されると確信しています。

神の裁きは真理に基づいており、悪を行う者はそれに応じて裁かれます。

1. 罪の結果: 神の裁きを理解する

2. 義に生きる: 神の裁きを避ける方法

1. イザヤ書 5:20 – 「悪を善と呼び、善を悪と呼び、闇を光に、光を闇に、苦を甘いに、甘いを苦に変える人々は災いです。」

2. ヤコブ 4:17 – 「ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを怠る者は、その人にとって、それが罪なのです。」

ローマ人への手紙 2:3 それから、おお、そのようなことをする者たちを裁き、同じことをするあなたは、神の裁きから逃れられると思っているのですか。

パウロは、他人の罪を裁きながら自分も同じ罪を犯している人の偽善に疑問を抱き、神の裁きを逃れられると思うのかと尋ねます。

1. 偽善的な人生を送る: 神からの裁きを避けるには

2. 偽善の連鎖を断ち切る: 神の基準に従う方法

1. マタイ 7:3-5 - 「では、なぜあなたは、自分の兄弟の目にある破片を見ながら、自分の目の中にある梁のことを考えないのですか。あるいは、あなたはどうしてあなたの兄弟に、「その破片を抜かせてください」と言うでしょうか？」

2. ヤコブ 4:17 - 「ですから、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪なのです。」

ローマ人への手紙 2:4 さもなければ、イエスの善良さと寛容と辛抱強さの富を軽蔑します。神の慈しみがあなたを悔い改めに導くことを知らないのですか？

神の善意は悔い改めにつながります。

1: 「神の善意は悔い改めへの道である」

2: 「悔い改めには神の忍耐と寛容が不可欠である」

1: 詩篇 51:17 - 神の犠牲は打ち砕かれた精神です。打ち砕かれて悔いた心です、神よ、あなたは軽蔑されません。

2: ルカ 5:32 - わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。

ローマ人への手紙 2:5 しかし、あなたのかたくなで悔い改めない心は、怒りの日と神の正しい裁きの啓示に対する怒りを自分自身に蓄えています。

神は悔い改めない心のかたくなな者たちに対して怒りを蓄えます。

1. 悔い改めて神の憐れみを受け入れる必要性

2. 悔い改めない罪の結果を認識する

1. イザヤ書 55:6-7 「見いだされるうちに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼びなさい。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。彼を主に立ち返らせなさい。そうすれば、彼は彼を憐れんでくださるでしょう。そして私たちの神は豊かに赦してくださるからです。

2. エレミヤ 31:18-20 「エフライムが悲しんでいるのを聞きました。『あなたは私を懲らしめ、私も訓練されていない子牛のように懲らしめられました。私を回復させてください。あなたは私の神、主だからです。というのは、私は背を向けた後、折れて、教えられた後、太ももを打ちました。私は恥ずかしくて当惑しました、なぜなら私は若い頃の不名誉を負ったからです。」エフライムは私の大切な息子ですか？彼は私の最愛の子供ですか？というのは、私が彼に反対する言葉を何度も言うのと同じくらい、私は今でも彼のことを覚えているからです。したがって、私の心は彼を切望しています。わたしは必ず彼を憐れむ、と主は言われる。」

ローマ人への手紙 2:6 誰がすべての人にその行いに応じて報いを与えます。

神は各人の行動に応じて報いを与えます。

1: 私たちは、神が常に私たちの行動に応じて報いてくださると信頼できます。

2: 神は正義であり、私たちが行ったことに応じて常に報いを与えてくださいます。

1: ガラテヤ人への手紙 6:7-8 「だまされないでください。神はあざけられることはありません。人が何を蒔くとしても、それを刈り取るのです。自分の肉に種を蒔く人は、その肉から腐敗を刈り取りますが、自分の肉に種を蒔く人は、その肉から腐敗を刈り取ります。御霊に種を蒔けば、御霊から永遠の命を刈り取るでしょう。」

2: マタイ 16:27 「人の子は、父の栄光のうちに天使たちとともに来て、その時、各人にその行いに応じて報いるからです。」

ローマ人への手紙 2:7 忍耐強く善行を続けることによって栄光と名誉と不滅、永遠の命を求める人々に、

この聖句は、信者が永遠の命を得るために忍耐強く耐えるために、神に忠実で従順であり続けるよう勧めています。

1. 「永遠の命を求める忍耐の価値」

2.「耐え忍ぶ者への神の約束」

1. ヤコブ 1:12 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2. ヘブライ 10:36 - あなたには忍耐が必要です。それは、神のご意志を行ったときに、約束されたものを受け取ることができるからです。

ローマ人への手紙 2:8 しかし、争いを起こし、真理に従わず、不義と憤りと怒りに従う者たちには、

論争を起こして真理に従わない人は憤りと怒りに直面するでしょう。

1. 不服従の危険

2. 真実を拒否した結果

1. エペソ 5:6 「だれもむなしい言葉であなたがたを欺いてはなりません。これらのことのゆえに、神の怒りが不従順の子らに臨むからです。」

2. ヤコブ 1:21-22 「だから、すべての汚れと余分ないたずらを捨て去り、あなたがたの魂を救うことができる接ぎ木された御言葉を柔和に受け入れなさい。しかし、あなたがたは自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

ローマ人への手紙 2:9 艱難と苦悩は、悪を行うすべての人の心に、まずユダヤ人、そして異邦人にも降りかかります。

神は、悪を行うユダヤ人にも異邦人にも艱難と苦しみをもたらすでしょう。

1. 悪を行った結果: ローマ人への手紙 2:9 の研究

2. 神の憐れみと正義: ローマ人への手紙 2:9 の文脈を理解する

1. ヨハネ 3:16-17 – 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。なぜなら、神は世を罪に定めるために御子をこの世に遣わしたのではありません。しかし、彼を通して世界が救われるためです。」

2. ヤコブ 1:13-15 – 「だれも、誘惑されているときに、「私は神から誘惑されている」とは言わないでください。神が悪によって誘惑されることはあり得ませんし、人を誘惑することもありません。しかし、人は誰でも誘惑されるとき、誘惑されるのです。彼自身の欲望から、そして誘惑されました。そして、情欲が孕むと罪が生じ、罪が終わると、死が生じます。」

ローマ人への手紙 2:10 しかし、善い働きをするすべての人、まずユダヤ人、そして異邦人にも栄光と名誉と平和がありますように。

ユダヤ人であるか異邦人であるかに関係なく、善を行う者は皆、栄光、名誉、平和という報いを与えられます。

1. 誰であろうと、誰もがその良い行いに対して報われる権利があります。

2. 神の目には私たちは皆平等であり、神はそれに応じて私たち全員に報いてくださいます。

1. ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2. エペソ 2:14 - なぜなら、神は私たちの平和であり、その両方を実現し、私たちの間の隔壁の真ん中の壁を打ち破られたからです。

ローマ人への手紙 2:11 神の前では人を尊重することがないからです。

神はえこひいきを示さず、偏りに基づいて裁くこともありません。

1: 神の愛は無条件です - 私たちの違いに関係なく、神の愛はすべての人に平等にあります。

2: 判断されないよう判断する - 私たちは他人に対して偏見を持たず、すべての人を同じように扱うべきです。

1: ヤコブ 2:1-13 - ある人を他の人よりもえこひいきしてはなりません。

2: ヨハネ 3:16 - 神は私たちのために御子を死ぬために遣わすことによって、すべての人に愛を示しました。

ローマ人への手紙 2:12 というのは、律法なしに罪を犯した者は、律法なしにも滅びます。また、律法のもとに罪を犯した者は、律法によって裁かれるからです。

律法があるかどうかに関係なく、すべての人は罪のために裁かれます。

1. 主は公正かつ公正に裁きを下されます

2. 蒔いたものを刈り取る

1. 伝道者の書 12:14 - 神は、すべての行い、すべての秘密の事柄、それが善であるか悪であるかにかかわらず、裁きを受けるからです。

2. コロサイ 3:25 - 悪いことをした者は、自分が犯した罪の報いを受けるからです。そして、人間に対する敬意はありません。

ローマ人への手紙 2:13 (律法を聞く者が神の前に正しいのではなく、律法を行う者が義とされるのです。

神の前での義認は、単に律法を聞くだけではなく、律法を行うことにも基づいています。

1. 私たちは言葉ではなく行動によって正当化される

2. 学んだことを実行することの重要性

1. ヤコブ 1:22-25 (しかし、あなたがたは、ただ聞くだけで自分を欺くのではなく、みことばを行う者になりなさい。もし誰かが、みことばを行う者ではなく、みことばを聞く者であるとしたら、その人は、み言葉を見ている人のようなものだからです。ガラスの中の自然な顔: なぜなら、彼は自分自身を見て、自分の道を進み、自分がどんな人間だったのかすぐに忘れてしまうからです。しかし、完全な自由の法則を見つめ、そこに進み続ける人は、忘れることを聞く人ではなく、実行する人です。この働きのおかげで、この人はその行為において祝福されるだろう。）

2. マタイ 7:24-27 (ですから、私のこれらの言葉を聞いて実行する者は誰でも、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると、雨が降り、洪水が来て、風が吹いて、その家をたたきましたが、倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。そして、私のこれらの言葉を聞いて実行しない人は皆、その上に家を建てた愚かな人にたとえられるでしょう砂：そして雨が降り、洪水が来て、風が吹いてその家を打ち、そしてそれは倒れました：そしてその崩壊は大きかった。）

ローマ人への手紙 2:14 というのは、律法を持たない異邦人が律法に含まれていることを自然に行うとき、律法を持たないこれらの人々は、それ自体が律法となるのです。

異邦人は、たとえ律法を持っていなくても、律法に含まれていることを行うことができ、それが彼ら自身の律法なのです。

1. 自然法の力: ローマ人への手紙 2:14 の意味を理解する

2. 新しい法則: 見知らぬ土地で自然とともに生きる

1. ガラテヤ 5:14-15 - 「律法全体は、『隣人を自分のように愛さなければならない』という一言で成就されるからです。」しかし、もしあなたたちがお互いに噛みつき、むさぼり食うなら、お互いに飲み込まれないように気をつけなさい。」

2. エペソ人への手紙 2:15 - 「ご自分の肉体において敵意、すなわち儀式に含まれる戒めの律法を廃止し、ご自身のうちに二人の中から一人の新しい人を造り出し、こうして平和を実現されました。」

ローマ人への手紙 2:15 それは、彼らの心に書かれた律法の働きを示しており、彼らの良心も証言しており、お互いを非難したり言い訳したりしながら、彼らの考えは卑劣なものです。）

パウロは、神の律法はすべての人の心の中に書かれており、彼らの良心がそれを証していると説明しています。

1. 私たちの心に刻まれた神の律法の力

2. 私たちの行動を導く良心の力

1. ローマ 13:5: 「ですから、神の怒りを避けるためだけでなく、良心のためにも、あなたがたは従わなければなりません。」

2. 箴言 20:27: 「人の霊は主の灯であり、人の最も奥深い部分をすべて探求する。」

ローマ人への手紙 2:16 その日、神はわたしの福音に従って、イエス・キリストによって人の秘密を裁かれるでしょう。

全人類に対する神の裁きは公平かつ公正なものとなるでしょう。

1: 神の裁きは公平かつ公正であるため、私たちは自分のすべての行動について神の前で責任を負わなければなりません。

2: 誰でも裁きを受けることがありますので、神の前に正しく生きるよう努めましょう。

1: マタイ 12:36 - 「言っておくが、人々は裁きの日に、自分の発するあらゆる不用意な言葉の責任を問うだろう。」

2: 伝道の書 12:14 - 「神は、善であれ悪であれ、あらゆる秘密の事柄について、あらゆる行為を裁かれるからです。」

ローマ人への手紙 2:17 見よ、あなたはユダヤ人と呼ばれ、律法を守り、神を誇っています。

この箇所は、律法を守り神を誇るユダヤ人について語っています。

1. 私たちは神を信頼したユダヤ人から謙虚さと忠実さについて学ぶことができます。

2. 私たちは神に選ばれた民の一員であることが何を意味するのかを思い出し、自分たちの祝福を当然のことと考えてはなりません。

1. イザヤ書 41:10、「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. マタイ 5:16、「あなたの光を他の人たちの前で輝かせなさい。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父に栄光を帰すことができます。」

ローマ人への手紙 2:18 そして、神の意志を知っていて、律法の外で教えられて、より優れていることを承認します。

一節 律法の教えを通して神の御心を知る。

1. 神の御心は御言葉を通して明らかにされる

2. 聖書の教えによる従順

1. コロサイ 3:16、「キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたがたのうちに豊かに宿るようにし、詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で恵みをもって主に向かって歌いなさい。」

2. 申命記 29:29、「秘密なことは、私たちの神、主のものです。しかし、明らかにされたことは、永遠に私たちと私たちの子供たちのものです。それは、私たちがこの律法のすべての言葉を実行するためです。」

ローマ人への手紙 2:19 そして、あなた自身が盲人の導き手であり、暗闇にいる彼らの光であると確信しています。

パウロは、人は真理を知らず、より知識のある人の導きに頼っている可能性があるので、人を裁くべきではないと説明しています。

1. 他人を判断する: 本当の盲目

2. ガイドの役割: 光を見ること

1. マタイ 7:1-2 「あなたがたも裁かれないよう、裁いてはなりません。あなたが判断する判断によって、あなたがたも裁かれるであろうし、あなたがどのような尺度で判断するかによって、それは再びあなたに評価されるであろう。」

2. ヤコブ 4:12 「立法者は一人ですが、その人を救うことも滅ぼすこともできます。他の人を裁くあなたは誰ですか。」

ローマ人への手紙 2:20 愚かな人々の指導者、赤ん坊の教師であり、知識と律法の真理の形を持っています。

この箇所は、人々に神の律法を教え、教育することの重要性について語っています。

1. 教える力: 神の律法はどのように人生を変えることができるか

2. 教師の使命: 神の真理を伝える責任を受け入れる

1. 箴言 22:6 - 子供をその進むべき道に訓練しなさい。たとえ年老いても、彼はそこから離れることはありません。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

ローマ人への手紙 2:21 それで、あなたは他人を教えるのに、自分自身を教えないのですか。人に盗んではいけないと説いているあなたは、盗みますか？

私たちは自分たちが説いていることを実践しなければなりません。

1: 私たちは他人に説教したことを実践するように注意しなければなりません。

2: 私たちは、他人に設定した基準に照らして自分自身の行動を評価する必要があります。

1: ルカ 6:41-42 「なぜあなたは、兄弟の目の中にあるおがくずの粒だけを見ながら、自分の目の中にある板には注意を払わないのですか。どうして兄弟に『兄弟、その板を取らせてください』と言えるでしょうか。」あなたの目から斑点が出る』とあなた自身が自分の目で板を見ることができなかったのですか？」

2: ヤコブ 1:22-25 - 「ただ御言葉に耳を傾けるだけではなく、自分を欺いてください。御言葉の言うことを行いなさい。御言葉を聞いてもその言葉を実行しない人は、自分の顔をじっと見つめている人のようなものです。」しかし、自由を与える完璧な法則を熱心に見つめ、その中に留まり続ける者、聞いたことを忘れるのではなく、それを実行する者は、そうなるでしょう。彼らのやっていることは恵まれているよ。」

ローマ人への手紙 2:22 男は姦淫をしてはならないと言っているあなたは、姦淫をするのですか。偶像を忌み嫌う汝は、冒涜を犯すのか？

この一節は、あることを言う人が自分自身では反対のことをしているのではないかと疑問を投げかけています。

1. 「世界で見たい模範になりなさい」

2.「自分が説いていることを実践する」

1. マタイ 7:3-5 - 「なぜあなたは、兄弟の目の中にあるちりは見えるのに、自分の目の中にある丸太には気づかないのですか。あるいは、どうして兄弟に『その石を取らせてください』と言えるでしょうか。」「あなたの目から斑点を取り除きなさい。自分の目に丸太があるのに？偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除いてください。そうすれば、兄弟の目から斑点を取り除くためにはっきりと見えるようになります。」

2. ヤコブ 2:10 - 「律法全体を守っていても、一点で失敗する者は、そのすべてに対して責任を負うことになるからです。」

ローマ人への手紙 2:23 律法を破って律法を誇る者は、神に恥をかかせるのですか。

神の律法に従順であることを誇りに思っているのにそれを破る者は、神の名誉を汚していることになります。

1. 神の律法は単純に無視できるものではないことを覚えておく必要があります。私たちはそれを真剣に受け止め、それを守るよう努めなければなりません。

2. 私たちは神の律法の基準に従うように努めなければならず、それを軽視してそれを嘲笑してはなりません。

1. ヤコブ 2:10-12 - 律法全体を守りながら、一点だけ違反する者は、すべての罪を犯しているからです。

2. ガラテヤ 5:14 - すべての律法は、この一言でさえも成就されます。あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。

ローマ人への手紙 2:24 書いてあるとおり、神の名はあなたがたを通して異邦人の間で冒涜されているからです。

異邦人はユダヤ人の行いのせいで神の御名を冒涜しています。

1. 私たちの行動の力と、私たちが世界に対してどのように神を代表するか。

2. 謙虚さと自分の不完全性を認識することの重要性。

1. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟姉妹の皆さん、信仰があると主張していても行いをしていない人がいたら、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか？15 ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物も持っていないとしましょう。 16 あなたがたのうちのだれかが彼らに、「安心して行きなさい。暖かくして、十分な食事を与えてください」と言いましたが、彼らの身体的ニーズについては何もしませんでした、それが何の役に立つでしょうか？ 17 同様に、信仰は、行動が伴わなければ、それ自体では死んだものになります。

2. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さによって自分よりも他人を大切にし、4自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けてください。

ローマ人への手紙 2:25 なぜなら、もしあなたが律法を守っているなら、割礼は本当に有益ですが、もしあなたが律法を破るなら、あなたの割礼は無割礼となります。

パウロは、たとえ割礼を受けていても神の律法に従って生きることの重要性を強調しています。

1. 神の律法を生きる: 神の命令に従うことの重要性

2. 割礼の意味: 儀式を超えた従順

1. 申命記 10:12-13 - さて、イスラエルよ、あなたの神、主があなたに求めておられることは、あなたの神、主を畏れ、そのすべての道を歩み、主を愛し、あなたの神、主に仕えることである。心を込めて、魂を込めて。

2. エレミヤ 7:22-23 - わたしは、あなたがたの先祖たちをエジプトの地から連れ出した日に、全焼のいけにえやいけにえについて話したり、彼らに命じたりしなかったからです。しかし、これが私が彼らに命じて言ったことです、「私の声に従いなさい、そうすれば私はあなたの神となり、あなたたちは私の民になります。」

ローマ人への手紙 2:26 したがって、もし割礼を受けていない人が律法の義を守っているのであれば、その人の割礼を受けていないことも割礼とみなされるのではないか。

パウロは、律法に従っている割礼を受けていない人が割礼を受けているかのように扱われるのかどうか疑問に思っています。

1. 無割礼の状態で敬虔な生活を送るには

2. 割礼の象徴的な意味

1. ローマ人への手紙 3:19-31

2. ガラテヤ5:1-6

ローマ人への手紙 2:27 また、割礼を受けていないことが本質的に律法を満たしているのであれば、手紙と割礼によって律法に違反しているのは誰か、あなたを裁いてはなりませんか。

パウロは、律法を全うしている割礼を受けていない人が、割礼を受けていて律法に違反している人を裁くことができるのか、と質問しています。

1. 法の力: ローマ人への手紙 2:27 の探求

2. 神の律法を守ることの重要性: ローマ人への手紙 2:27 の研究

1. ヤコブ 2:10-11 - 律法全体を守りながら、一点だけ違反する者は、すべての罪を犯しているからです。なぜなら、「姦淫してはならない」と言ったのは、「殺してはならない」とも言ったからである。さて、もしあなたが姦淫を犯さなかったとしても、もしあなたが人を殺したら、あなたは法の違反者になります。

2. ガラテヤ 5:1-3 - したがって、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ち、再び奴隷のくびきに絡めとられてはいけません。見よ、わたしパウロはあなたたちに言います、もしあなたたちが割礼を受けても、キリストはあなたたちに何も利益をもたらさないでしょう。わたしは割礼を受けているすべての人に、律法全体を行う義務があると改めて証します。

ローマ人への手紙 2:28 なぜなら、彼は外見上はユダヤ人ではないからです。肉体の外側にある割礼も同様です。

パウロは、人の本当のアイデンティティは外見によって決まるのではなく、むしろ内面の信仰によって決まることを強調しています。

1: 外見がどのようなものであっても、神の目には誰もが平等であり、そのように扱われるべきです。

2: 私たちは皆、神の似姿に造られており、信仰と愛に満ちた心で生きるよう努めるべきです。

1: ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」

2: コロサイ 3:11 - 「ギリシャ人もユダヤ人も、割礼も無割礼も、野蛮人もスキタイ人も、奴隷も自由もないところには、キリストがすべてであり、すべてのうちにおられます。」

ローマ人への手紙 2:29 しかし、彼はユダヤ人であり、内面的にはユダヤ人です。そして割礼は、文字によるものではなく、心の、霊によるものです。その賛美は人からではなく神からのものです。

パウロは、真のユダヤ人は肉体ではなく心に割礼を受けている人々であり、彼らの賛美は人々からではなく神から来るものであると説明しています。

1. 私たちの信仰は人間からではなく神から来る

2. 内部割礼の必要性

1. エレミヤ 9:26 - 「これらすべてのものはわたしの手で造られ、これらのものはすべて存在する」と主は言われる。「しかし、わたしはこの人に目を向けます。謙虚で魂を悔い改め、わたしの言葉におののく人に。

2. ピリピ 3:3 - 私たちは割礼を受けており、神の御霊とキリスト・イエスの栄光によって礼拝し、肉には信頼を置いていないからです。

ローマ人への手紙 3 章では、ユダヤ人も異邦人も含めた人類の普遍的な罪深さ、イエス・キリストへの信仰による神の義、そして信仰に関する律法の役割についてのパウロの神学的な議論が続けられています。

第 1 段落: この章は、パウロがユダヤ人であることの利点と割礼の価値についての質問に言及することから始まります。彼は、ユダヤ人は神の言葉そのものを託されていると主張します。たとえ不忠実な人がいたとしても、その不忠実が神の忠実さを無効にするわけではありません(ローマ3:1-4)。次に、人間の罪深さを神の義との関連で論じ、私たちの不義は神の義をより明確に示すのに役立つと主張します(ローマ3:5-8)。

第 2 段落: 9 ～ 20 節で、パウロはユダヤ人も異邦人もすべての人が罪の下にあると結論付けています。彼は旧約聖書のいくつかの箇所を引用して、人類の普遍

的な罪深さについて次のように主張しています。理解できる人は誰もいない。神を求める者は誰もいない』（ローマ人への手紙 3:10-11）。彼は、「すべての人は罪を犯しているが、神に栄光を帰すことはできない」と主張しています。律法は私たちに自分の罪を意識させますが、私たちを神の目に正しくさせることはできません（ローマ人への手紙 3:19-20）。

第 3 段落: 21 節以降、パウロは新しいテーマ、つまり法律の行いとは別に、信仰による義認を導入します。彼が言う義は信仰を通してもたらされる イエス・キリストは皆、ユダヤ人と異邦人の間に違いはないと信じている 皆が罪を犯しているのだから栄光には欠けている 神はその恵みによって無償で義とされる 贖い 信仰を通して受けた血を流すことによって贖いの犠牲として捧げられたキリスト・イエスが来られた（ローマ人への手紙第 3章）:21-25)。この信仰による義認は、律法を無効にするのではなく、律法を支持するものです。それは、私たちが律法を完全に守る自分の能力ではなく、恵みの救いに完全に頼る必要があることを示しているからです（ローマ人への手紙 3:26-31）。

ローマ 3:1 それでは、ユダヤ人にはどんなメリットがあるのでしょうか。あるいは割礼には何の益があるのでしょうか？

この一節は、ユダヤ人の利点と割礼の利点について疑問を呈しています。

1.「ユダヤ人であることの利点」

2.「割礼の意味」

1. 申命記 10:16 - したがって、あなたの心の包皮に割礼を施しなさい。そうすれば、もう固くなってはいけません。

2. エペソ人への手紙 2:8 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身のものではありません。それは神の贈り物です。

ローマ人への手紙 3:2 あらゆる意味で、主に、彼らに神の託宣が託されたからです。

神の神託はユダヤ人に委ねられ、ユダヤ人にさまざまな特権を与えました。

1. 神の祝福: ユダヤ人はどのように祝福されてきたか

2. 神の言葉の力: 神の神託が歴史をどのように変えたか

1. ローマ人への手紙 9:4-5 - 「彼らはイスラエル人であり、養子縁組、栄光、契約、律法の授与、礼拝、約束は彼らのものです。族長たちと彼らの種族は彼らのものです」肉によれば、キリストはすべての上の神であり、永遠に祝福されています。アーメン。」

2. 申命記 4:5-8 - 「見よ、わたしの神、主がわたしに命じられたとおり、わたしはあなたたちに掟と規則を教えた。あなたたちがそれを手に入れるために入る地でそれを行うべきである。それらを守り、実行しなさい。」というのは、それが民の目に映るあなたの知恵であり理解であり、民はこれらすべての法令を聞いて、「確かにこの偉大な国民は賢明で理解のある民だ」と言うだろうからである。なぜなら、私たちがいつでも神を呼び求めるとき、私たちの神である主ほど身近な神がい

る偉大な国が他にあるでしょうか?そして、私が定めたこのすべての法律ほど義にかなった法律と規則を持っている偉大な国が他にあるでしょうか?今日はあなたの前に？」

ローマ 3:3 もし信じない人がいたらどうなるでしょうか。彼らの不信仰が神の信仰を無効にするでしょうか？

パウロは不信仰が神の忠実さに及ぼす影響について疑問を呈しています。

1. 揺るぎない神の信仰: ローマ人への手紙 3:3

2. 不信仰の力: それは私たちにとって何を意味しますか?

1. イザヤ書 40:8 - 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に立つ。」

2. ヘブライ 11:6 - 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければなりません。」

ローマ人への手紙 3:4 神は禁じています。そうです、神は真実であってください。しかし、人は皆嘘つきです。それは、「あなたの言葉が正当化され、裁かれるときに最も打ち勝つためである」と書かれているとおりです。

たとえすべての人が嘘つきであっても、神は常に真実です。

1: たとえそれが難しい場合でも、嘘よりも真実を選びましょう。

2: 神の真理は不変であり、私たちを自由にします。

1: 詩篇 119:142 - あなたの義は永遠の義であり、あなたの律法は真理です。

2: ヨハネ 8:31-32 - それからイエスは、自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしあなたがたがわたしの言葉を信じ続けるなら、あなたがたはまさにわたしの弟子だ。あなたがたはわたしの弟子だ。」そうすればあなたは真実を知り、真実はあなたを自由にするでしょう。

ローマ人への手紙 3:5 しかし、私たちの不義が神の義を称賛するとしたら、私たちは何と言うでしょうか。復讐する神は不義なのでしょうか？ (私は男性として話します)

神の義は不義に直面して証明されますが、だからといって復讐する神が不義なのだろうか？

1. 不義の世界における神の義

2. 神の正義の復讐

1. 詩篇 145:17 - 主はそのすべての道において義であり、そのすべての業において聖なる方です。

2. イザヤ書 61:8 - 主であるわたしは裁きを愛し、燔祭のための強盗を憎みます。そしてわたしは彼らの働きを真実に導き、彼らと永遠の契約を結ぶ。

ローマ人への手紙 3:6 神は禁じています。では、神はどうやって世界を裁くのでしょうか。

この一節は、神が世界を裁かないことの結果について論じています。

1. 神の正義は完全です - ローマ 3:6

2. なぜ神の裁きが必要なのか - ローマ人への手紙 3:6

1. 伝道の書 12:14 - 「神は、善であれ悪であれ、あらゆる秘密の事柄について、あらゆる行為を裁かれるからです。」

2. イザヤ書 33:22 - 「主は私たちの裁判官だからです。主は私たちの立法者です。主は私たちの王です。彼は私たちを救ってくれるでしょう。」

ローマ人への手紙 3:7 というのは、神の真理が私の偽りを通してさらに豊かになり、神の栄光が得られたのなら。なぜ私も罪人として裁かれるのでしょうか？

パウロは、自分の嘘が神の真理を増し、神に栄光をもたらしたにもかかわらず、なぜ自分が依然として罪人として裁かれるのか疑問を抱いています。

1. 「罪のパラドックス：私たちの不正行為によって神の真理が増大した場合に何をすべきか」

2. 「罪のジレンマ: 間違ったことをすることで神の義が増すとき」

1. ローマ人への手紙 4:7-8 - 「不法行為が赦され、罪が覆われた人は幸いです。主が自分の罪を数えられない人は幸いです。」

2. ヨハネ第一 1:8-10 - 「もし私たちが自分に罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いていることになり、真理は私たちの中にありません。もし私たちが罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、清めてくださいます」私たちをあらゆる不義から救い出します。」

ローマ人への手紙 3:8 むしろ、（私たちが中傷的に報道されているように、またある人々が私たちが肯定しているように）善が来るように悪を行おうではありませ

んか。その天罰は正義である。

キリスト教徒は善が起こるために悪を行うことを主張していると誤って告発し、報告する人もいますが、これは真実ではなく、これを信じる人はまさに天罰を受けます。

1. 言葉の力: うわさ話や中傷がどのように私たちの信仰に対する誤った理解をもたらすのか

2. 偽りの教えの危険性: 私たちの信仰に関する嘘を見分け、拒否する方法

1. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。

2. ガラテヤ 1:6-9 - 私は、あなたがたをキリストの恵みに招いてくださった方から、すぐに離れて別の福音に導かれたことに驚きます。しかし、あなたを悩ませ、キリストの福音を歪曲しようとする人たちがいます。しかし、たとえ私たちが、あるいは天から来た天使が、私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音以外の福音をあなたがたに宣べ伝えたとしても、彼は呪われてください。前にも言ったように、今もう一度言います。もし誰かが、あなたがたが受け取った福音以外の福音をあなたがたに宣べ伝えるなら、その人は呪われてください。

ローマ人への手紙 3:9 それではどうなるでしょうか。私たちは彼らよりも優れていますか？いいえ、それは賢明ではありません。なぜなら、私たちはユダヤ人も異邦人も皆罪の下にあることを以前に証明したからです。

ユダヤ人も異邦人も罪の下にあり、どちらが他方より優れているということはありません。

1. 罪を超えた者は誰もいない - ローマ人への手紙 3:9

2. 神の前ではすべての人は平等です - ローマ 3:9

1. ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2. ヤコブ 2:1 - 兄弟たちよ、人に対する敬意に関して、栄光の主である私たちの主イエス・キリストへの信仰を持っていません。

ローマ人への手紙 3:10 こう書かれているとおり、義人は一人もいない、いや、一人もいない。

聖書によれば、義人は誰もいません。

1. 「神の言葉の力: 私たちの不義を認識する」

2.「神の憐れみ：私たちの不義を克服する」

1. 詩篇 14:3 - 「彼らはみな脇に去り、みな一緒に汚れた。善を行う者は一人もいない。いや、一人もいない。」

2. ローマ人への手紙 5:20 - 「さらに、罪が増えるために、律法が制定されました。しかし、罪が増えるところには、恵みがさらに豊かになりました。」

ローマ人への手紙 3:11 理解できる人は誰もおらず、神を追い求める人もいません。

誰も自分の力で神を理解したり神を求めたりすることはできません。

1.「神の探求：理解への道」

2.「神を求める: 知恵への道」

1. エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2. 箴言 8:17 - 「私を愛する人を私は愛し、私を捜し求める人は熱心に私を見つけます。」

ローマ人への手紙 3:12 彼らはみな道を外れ、一緒になって無益になりました。良いことをする人は誰もいません、いいえ、一人もいません。

すべての人は利益を得ることができず、善を行うことができる人はいないため、神から道を外れた者です。

1. 罪の力: 堕落の堕落の影響を理解する

2. 恵みと真実: 真の神聖さのために両方を受け入れることを学ぶ

1. ローマ人への手紙 5:12-14、「ですから、ちょうど一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込み、すべての人が罪を犯したために死が全人類に広がったのと同じように、罪は律法ができる前から世に確かに存在していたからです。しかし、法律のないところでは罪は数えられません。しかし、死はアダムからモーセに至るまで支配し、来るべき者の型であったアダムの罪とは異なる罪を犯した人々の上にさえも支配した。」

2. 詩篇 14:1-3、「愚か者は心の中で『神などいない』と言う。」彼らは腐敗しており、忌まわしい行為を行っています。良いことをする人は誰もいません。主は天から人の子らを見下ろし、理解する者、神を求める者がいるかどうかを見極めます。彼らはみなそっぽを向いてしまった。彼らはともに腐敗してしまった。善を行う者は一人もいない。」

ローマ人への手紙 3:13 彼らの喉は開いた墓です。彼らは舌で欺きを用いました。アスプの毒は彼らの唇の下にあります。

この一節は、毒にたとえられる欺瞞的な言葉や裏切り行為について語っています。

1: 私たちは自分の言葉や行動に常に注意しなければなりません。それらは他人にとって毒のようなものになる可能性があるからです。

2: 私たちの言葉や行動は呪いではなく祝福であるべきなので、何をするにも正直で誠実であるように努めましょう。

1: ヤコブ 3:5-9 – 私たちの口から出る言葉には、大きな害を及ぼす力があるので、注意しなければなりません。

2: 箴言 12:18 – 無謀な者の言葉は剣のように刺しますが、賢者の舌は癒しをもたらします。

ローマ人への手紙 3:14 その口はのろいと苦いものでいっぱいです。

この一節は、口が呪いと恨みで満たされている人々について語っています。

1. 人生を語ることを学ぶ: ポジティブな言葉の力

2. 言葉は少なくしましょう: スピーチでの自制心を実践する

1. ヤコブ3:5-10

2. コロサイ4:6

ローマ人への手紙 3:15 彼らの足は血を流すほど速いです。

この一節は、人々が血を流す速さを物語っています。

1. 暴力の考えや行動から私たちの心と思いを守ることの重要性について。

2. 償いの力と、暴力の人生ではなく平和の人生を選択する能力について。

1. 箴言 4:23 - 何よりも自分の心を守りなさい。それはあなたの人生の進路を決めるからです。

2. イザヤ書 43:25 - わたしは、わたし自身のために、あなたの罪をぬぐい去り、あなたの罪をもう思い出さない人です。

ローマ人への手紙 3:16 破壊と悲惨が立ちはだかります。

この一節は、神に従わない人々の道には破壊と悲惨が存在することについて語っています。

1: 平和と喜びを得るために神とその方法に従ってください

2: 神から背を向けた者には破壊と悲惨が遠くない

1: エレミヤ 17:5-8 - この箇所は、神から離れた者に起こる滅びについて語っています。

2: 詩篇 1:1-3 - この箇所は、神の律法を喜ぶ人々にもたらされる祝福について語っています。

ローマ人への手紙 3:17 彼らは平和の道を知りませんでした。

平和への道を知らなかった場合の結果は悲惨です。

1. 平和の道を知ることの大切さ。

2. 平和への道を知らないことの代償。

1. イザヤ書 59:8 - 彼らは平和の道を知りません。彼らの行く先には裁きがありません。彼らはそれを曲がりくねった道にしました。そこを行く者は誰でも平和を知ることはできません。

2. 詩篇 119:165 - あなたの律法を愛する者たちに大いなる平安がありますように。そして何も彼らを傷つけることはありません。

ローマ人への手紙 3:18 彼らの目の前には神への恐れはありません。

人々は神や神の判断を恐れることなく行動します。

1. 主への畏れ: 実り豊かな人生の基礎

2. 神は見ている：全能者の御前でどう生きるか

1. 箴言 9:10 - 主を恐れることは知恵の始まりであり、聖なる方についての知識は洞察力です。

2. 詩篇 111:10 - 主を恐れることは知恵の始まりです。それを実践する人は皆、よく理解しています。彼の称賛は永遠に残ります！

ローマ人への手紙 3:19 さて、私たちは、律法に書かれていることは何でも、律法の下にある者たちに告げているのです。それは、すべての口が塞がれ、全世界が神の前に罪になるかもしれないということです。

律法はすべての人に適用され、すべての人は神の前に罪を犯します。

1. 法律の力とそれが私たち全員にどのように適用されるか。

2. 神の前で罪を犯していると、どのようにして私たちが神に近づくのか。

1. 詩篇 51:3 - わたしは自分の罪を認めています。そして、わたしの罪は常にわたしの前にあります。

2. ヤコブ 2:10 - 律法全体を守りながら、一点だけ違反する者は、すべての罪を犯しているからです。

ローマ人への手紙 3:20 したがって、律法の行ないによっては、肉なる者はその人の前で義とされることはありません。律法によって罪が認識されるからです。

律法に従うことによって神の前に義人であると宣言される人は誰もいません。むしろ、それは罪の知識をもたらすだけです。

1. 律法は救い主の必要性を明らかにしている

2. 恵みの自由

1. ガラテヤ 2:16 - 人は律法の行ないによって義とされるのではなく、イエス・キリストの信仰によって義とされると知っているので、私たちもイエス・キリストを信じました。律法の行ないによって：律法の行ないによっては、いかなる肉体も義とされないからである。

2. 詩篇 51:4 - あなたに対して、私はただあなたに対して罪を犯し、あなたの目に悪を行いました。それは、あなたが話すときに義とされ、裁くときに明確になるためです。

ローマ人への手紙 3:21 しかし今、律法に頼らない神の義が、律法と預言者によって証され、明らかにされています。

神の義は律法とは別に明らかにされ、律法と預言者によって予告されました。

1. 神の義は律法よりも偉大です

2. 私たちは信仰を通して恵みによって救われます

1. ガラテヤ 2:16 - 人は律法の行ないによって義とされるのではなく、イエス・キリストの信仰によって義とされると知っているので、私たちもイエス・キリストを信じました。律法の行ないによって：律法の行ないによっては、いかなる肉体も義とされないからである。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

ローマ人への手紙 3:22 イエス・キリストの信仰による神の義も、すべての者とすべての信じる者に与えられます。違いはありません。

この聖句は、イエス・キリストを信じる者は皆、違いに関係なく神の義を受けるということを強調しています。

1. 神は偏りを示さない - ローマ 3:22

2. イエス・キリストは義への道である - ローマ人への手紙 3:22

1. ガラテヤ 2:16 - 「人は律法の行ないによって義とされるのではなく、イエス・キリストの信仰によって義とされると知っているので、私たちも、キリストの信仰によって義とされるためにイエス・キリストを信じました。律法の行ないによってではない。律法の行ないによっては、肉は義とされないからである。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。それは自分自身によるものではありません。それは神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。」

ローマ人への手紙 3:23 すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。

誰もが罪を犯し、神の栄光を受けられなくなっています。

1. 罪の現実とその結果

2. 変化の緊急性と許しの希望

1. イザヤ書 59:2 - 「しかし、あなたの咎があなたとあなたの神との間に隔てを生じさせ、あなたの罪が神の顔をあなたから隠して、神が聞かないようにしまし

た。」

2. ヘブライ人への手紙 4:16 - 「それでは、私たちが憐れみを受け、困ったときに助ける恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

ローマ人への手紙 3:24 キリスト・イエスによる救いを通して、神の恵みによって無償で義とされるのです。

この箇所は、信者はキリスト・イエスによる救いを通して神の恵みによって義とされると説明しています。

1. 恵みの力: 神の恵みがどのように私たちを義とするか

2. イエスによる救い: イエスはどのようにして私たちを罪から救ってくださるのか

1. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは、恵みによって信仰によって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。」

2. テトス 3:5-7 「神が私たちを救ってくださったのは、私たちが義によって行った行いによるのではなく、ご自身の憐れみによるものであり、聖霊の再生と再生の洗いによって、私たちに豊かに注がれたのです。」イエス・キリストは私たちの救い主であり、それは私たちが彼の恵みによって義とされ、永遠の命の希望に従って相続人となるためです。」

ローマ人への手紙 3:25 神は、その血に対する信仰によってなだめの者として、また神の寛容によって過去の罪の赦しのために自分の義を宣言するために、この人を立てられたのです。

神は私たちのためにイエスを犠牲として送ってくださることによって、私たちが罪を赦されることを可能にしてくださいました。私たちはイエスとその血を信じる信仰を通してこの赦しを受けることができます。

1. 十字架の力: イエスの犠牲を受け入れることがどのように赦しをもたらすか

2. 信仰の強さを見つける：イエスの犠牲を信じることで罪を克服できるようになる

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. ヘブライ 9:22 - 実際、律法では、ほとんどすべてのものを血で清めることが求められており、血を流すことなしには赦しはありません。

ローマ人への手紙 3:26 このとき、私は彼の義を宣言するために言います。それは、彼が義であり、イエスを信じる者を義とする者となるためです。

神の義はイエスを通して宣言され、イエスは神を信じる者を義とします。

1. イエスの義認の力: 義の賜物を受け取る方法

2. イエスを信じる：信仰の報いを得る

1. イザヤ書 45:25 - 「主にあってイスラエルの子孫はすべて義とされ、栄光を受けるであろう。」

2. ガラテヤ 2:16 - 「私たちがキリスト・イエスを信じたのは、律法の行ないではなく、キリストへの信仰によって義とされるためです。律法の行ないでは誰も義とされないからです。」

ローマ人への手紙 3:27 それでは、誇ることはどこにあるのでしょうか。対象外となります。どのような法律によってですか？作品の？いいえ、しかし信仰の法則によるのです。

自分の行いによって救いを達成したと誇る人は誰もいません。救いは信仰によってのみ達成されます。

1. 救いにおける信仰の力

2. 誇りと救い

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ガラテヤ 2:16 - しかし、私たちは、人は律法の行いによってではなく、イエス・キリストへの信仰によって義とされることを知っています。ですから、行いではなくキリストへの信仰によって義とされるために、私たちもキリスト・イエスを信じてきました。なぜなら、律法の行いによっては誰も義とされないからです。

ローマ人への手紙 3:28 したがって、人は律法の行いをしなくても信仰によって義とされると結論づけられます。

人類は、旧約聖書の律法に従うことではなく、神への信仰によって罪から義と認められます。

1. 神への信仰による義認の賜物

2. 義認の賜物を受け取る方法

1. ガラテヤ 2:16 - 「人は律法の行ないによって義とされるのではなく、イエス・キリストの信仰によって義とされると知っているので、私たちも、キリストの信仰によって義とされるためにイエス・キリストを信じました。律法の行ないによってではない。律法の行ないによっては、肉は義とされないからである。」

2. ヤコブ 2:17-18 - 「それでも、もし信仰が働かなければ、孤独では死んでいるのです。そうです、人はこう言うかもしれません、あなたには信仰があり、私には行いがあります。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください、そして、わたしの行いによってわたしの信仰をあなたに示しましょう。」

ローマ人への手紙 3:29 神はユダヤ人だけの神なのでしょうか。彼も異邦人ではないでしょうか？そうです、異邦人もそうです。

パウロは、神はユダヤ人の神だけなのか、それとも異邦人の神でもあるのか、と問います。彼は、神は確かに異邦人の神でもあると断言します。

1. 神はすべての神です: ローマ人への手紙 3:29 の A と神の愛の普遍性。

2. 誰も排除されない: ローマ人への手紙 3:29 の A と神の国の包括性。

1. 使徒 10:34-35 - ペテロが見た動物の光景は、神が一人の人々に独占的な存在ではないことを示しています。

2. エペソ 2:14-18 - 神はユダヤ人と異邦人の両方を一つの体にされたというパウロの教え。

ローマ人への手紙 3:30 それを見ると、信仰による割礼と信仰による無割礼を正当化されるのは唯一の神です。

唯一の神は、割礼のある人も受けない人も信仰によって義と認められます。

1: 神を信頼することが義とされる唯一の方法です。

2: 物理的な状況に関係なく、信仰が救いの鍵です。

1: ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人も、絆も自由もなく、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2: エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

ローマ 3:31 それでは、私たちは信仰によって律法を無効にするのでしょうか。神は禁じます。そうです、私たちは法律を制定します。

パウロは、イエスへの信仰は律法を廃止するものではなく、むしろ律法を守るものであると宣言しています。

1. 「法と愛: 神の言葉をどのように守るか」

2. 「信仰によって生きる: 律法をどのように遂行するか」

1. ガラテヤ 5:14-15、「律法全体は、「隣人を自分のように愛さなければならない」という一言で成就されます。しかし、もしあなたたちがお互いに噛みつき、むさぼり食うなら、お互いに飲み込まれないように気をつけてください。

2. マタイ 5:17-20、「わたしが律法や預言者を廃止するために来たと考えてはなりません。私はそれらを廃止するために来たのではなく、それらを成就するために来たのです。本当に、あなたに言いますが、天と地が滅びるまで、すべてが達成されるまでは、一条も点も律法から外れることはありません。したがって、これらの最も小さな戒めの一つを緩め、他の人にも同じように教える人は天国で最も小さい者と呼ばれますが、それを実行し、教える人は天国で偉人と呼ばれます。言っておくが、あなたの義が律法学者やパリサイ人の義を超えない限り、決して天国に入ることはできないからだ。」

ローマ人への手紙 4 章では、信仰による義認についてのパウロの議論が続き、アブラハムとダビデを例として挙げて、義は行いや律法の遵守ではなく、信仰によって認められることを説明しています。

第 1 段落: この章は、肉による私たちの先祖であるアブラハムについて私たちが何が言えるかをパウロが尋ねることから始まります。もしアブラハムが行いによって義とされたのであれば、彼には誇るべきことがあるが、神の前ではそうではない、と彼は主張する。なぜなら、聖書には「アブラハムは神を信じたが、それは彼が義であると信じられた」（ローマ人への手紙 4:1-3）と書かれているからです。パウロは、労働者の賃金は贈り物ではなく義務として支払われるのに対し、働かずに神を信頼する人は不敬虔に自分の信仰を義と認められると説明しています(ローマ人への手紙4:4-5)。

第 2 段落: 6 節から 15 節で、パウロは旧約聖書のもう 1 つの例、ダビデ王を持ち出します。彼はまた、行いとは別に神が義と認める人々を祝福すると語っています。罪を主は決して彼に不利にはされません」（ローマ人への手紙 4:6-8）。次に彼は割礼について議論し、それはアブラハムがまだ割礼を受けていない間に信仰によって持っていた義のしるしであると主張しました。したがって、彼は、割礼を受けていないにもかかわらず、すべての人が信じる父となり、その義が彼らに認められるように、割礼を受けただけでなく、私たちの父アブラハムが割礼を受ける前に持っていた信仰の足跡をたどった割礼の父でもあると信じられるようにしました（ローマ人への手紙 4:9-12）。アブラハムとその子孫に対する約束は、律法の遵守ではなく、信仰の義によってもたらされました。

第 3 段落: 16 節以降、パウロは、この約束がどのように信仰によってもたらされるのか、アブラハムのすべての子孫、律法の下にある者だけでなく、アブラハムのような信仰を持つ者たちにも保証されるように、詳しく説明しています。死者の呼びかけ 物事は存在する 希望に反するものではなかった 希望が信じられた 希望は「あなたの子孫はこうなるだろう」という約束に従って多くの国々の父となった。彼の信仰を弱めることなく、彼の体は百歳くらいから死んでいたという事実に直面した、サラの子宮も死んだ、という約束に対する不信仰によって揺れ動いた、神は彼の信仰を強め、栄光を与えた、神は完全に説得され、神の力はなぜ「彼が義であると信じられたのか」約束したことを実行した。' 「これはただ彼のために書かれた」というこれらの言葉は、私たちのためにも書かれたものであると私たちは信じます、主が私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせ、死を超えて救われ、私たちの罪がいのちをよみがえらせ、私たちが義とされたと私たちは信じます（ローマ人への手紙4:16-25）。

ローマ人への手紙 4:1 それでは、私たちの父アブラハムが肉に関するものとして見つけたものとして、私たちは何と言うでしょうか。

アブラハムは神の前での信仰の模範でした。

1. アブラハムの信仰: 私たち全員の模範

2. 信仰を通して神の約束を受け取る

1. 創世記 15:6 - そして彼は主を信じました。そして彼はそれを義とみなした。

2. ヘブライ 11:8-10 - 信仰によって、アブラハムは、後に相続財産として受け取るべき場所に出て行くように召されたとき、従った。そして彼はどこへ行ったのか分からずに出て行きました。信仰によって、彼は見知らぬ国にいるかのように約束の地に滞在し、同じ約束の相続人であるイサクとヤコブと一緒に幕屋に住みました。なぜなら、彼は基礎を持ち、その建設者であり作り手は神である都市を探していたからです。

ローマ人への手紙 4:2 もしアブラハムが行いによって義とされたのなら、彼はそれによって栄光を受けるでしょう。しかし神の前ではそうではありません。

アブラハムは自分の行いによって義とされたのではなく、神への信仰によって義とされました。

1. 神への信仰は義認につながる

2. 正当化は作品から得られるものではない

1. ヘブライ 11:6 - 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければなりません。」

2. ヤコブ 2:24 - 「それでは、人は信仰だけによってではなく、行いによってどのように義とされるかがわかります。」

ローマ人への手紙 4:3 聖書には何と書いてあるでしょうか。アブラハムは神を信じました、そしてそれは神にとって義であるとみなされました。

アブラハムは、その信仰と信仰のゆえに、神によって義人としてみなされました。

1. 信仰の力 - 神への信仰がどのように信じられないほどの祝福をもたらすのか。

2. 神の義 - 神によって義とみなされるとはどういう意味かを理解する。

1. ローマ人への手紙 4:3 - 聖書には何と書いてありますか?アブラハムは神を信じました、そしてそれは神にとって義であるとみなされました。

2. ヘブライ人への手紙 11:8 - 信仰によって、アブラハムは、後に相続財産として受け取るべき場所に出て行くように召されたとき、従った。そして彼はどこへ行ったのか分からずに出て行きました。

ローマ人への手紙 4:4 さて、働く者には、恵みではなく、負い目からの報酬が与えられます。

パウロは、働く人は恵みとしてではなく、負い目として報われると説明しています。

1. 仕事の価値: 神は一生懸命働く人に報われる

2. 神の恵み: 感謝の気持ちを持って生きることを学ぶ

1. コロサイ 3:23-24 - 「何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

2. 伝道の書 9:10 - 「あなたの手にやりたいことは何でも、全力を尽くしてやりなさい。あなたが行こうとしている死の世界には、働くことも、計画も、知識も知恵もないからです。」

ローマ人への手紙 4:5 しかし、働かずに不敬虔な者を義とする方を信じる者には、その信仰は義とみなされるのです。

神は、神を信じ、自分の行いに頼らない人々に義があると認められます。

1. 信仰：神からの贈り物

2. 不敬虔な者たちを正当化するとはどういう意味か

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ローマ 5:1 - したがって、信仰によって義とされた私たちは、主イエス・キリストを通して神との平和を持っています。

ローマ人への手紙 4:6 ダビデもまた、神が行いなしに義を押しつけられる人の祝福について述べているように、

パウロは信仰の重要性を強調し、神の前での義に関しては行いではありません。

1: 行いよりも信仰 - ローマ人への手紙 4:6

2: 行いのない義の祝福 - ローマ人への手紙 4:6

1: エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2: ガラテヤ 2:16 - 人は律法の行ないによって義とされるのではなく、イエス・キリストの信仰によって義とされると知っているので、私たちもイエス・キリストを信じました。律法の行ないによって：律法の行ないによっては、いかなる肉体も義とされないからである。

ローマ人への手紙 4:7 こう言います、「不法行為が赦され、罪が覆われた人々は幸いです。」

パウロは信者たちに、神による罪の赦しに感謝するよう勧めています。

1.「許しに感謝する：神の恵みに包まれる祝福を体験する」

2. 「許しの自由の中で生きる：罪の清めを喜ぶ」

1. 詩篇 103:12 - 東が西から遠い限り、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

2. イザヤ書 43:25 - 私ですら、私自身のためにあなたの罪を消し去る者であり、あなたの罪を思い出すことはありません。

ローマ人への手紙 4:8 主が罪を押しつけない人は幸いです。

一節 神はご自身を信頼する者の罪を数えません。

1. 信仰の力: 神への信頼はどのようにして私たちを罪から解放するのか

2. 神の憐れみを喜ぶ：神の許しに慰めを見出す

1. 詩篇 32:1-2 「罪を赦され、罪が覆われた人は幸いです。主がその罪をカウントされない人は幸いです。」

2. イザヤ書 43:25 「わたしこそ、わたし自身のために、あなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者です。」

ローマ人への手紙 4:9 それでは、この祝福は割礼の場合にのみ与えられるのでしょうか、それとも無割礼の場合にも与えられるのでしょうか？アブラハムにとって信仰は義とみなされたと私たちは言うからです。

パウロは、義の祝福が割礼を受けた人だけに与えられるのか、それとも割礼のある信者と受けない信者の両方に与えられるのかを疑問に思っています。

1. イエスへの信仰によってすべての人が平等に祝福される

2. 割礼を超える信仰の力

1. ガラテヤ人への手紙 3:6-9 - 「アブラハムが神を信じ、それが神に義とされたのと同じように。ですから、信仰を持つ者たちもアブラハムの子らであることを知ってください。そして聖書は、神がそのことを予見していました。異教徒を信仰によって義とし、アブラハムに福音の前に説教して、こう言った、「あなたによってすべての国民は祝福されるでしょう。ですから、信仰を持つ者は忠実なアブラハムによって祝福されます。」

2. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟たち、人が自分には信仰があるのに行いをしていないと言ったら、それが何の益になるのでしょうか。信仰がその人を救うことができますか。もし兄弟や姉妹が裸で、日々の食べ物に困っていたら、そして、あなたがたのうちの一人が彼らに言います、「安らかに出発し、あなたがたは暖かくなり満たされます。にもかかわらず、あなたは体に必要なものを彼らに与えません。それが何の益になりますか？それでも、信仰は、もしそれが機能しないなら、死んだものです、一人でいる。"

ローマ 4:10 それでは、それはどのように計算されたのでしょうか。彼が割礼を受けていたとき、それとも無割礼のときでしょうか？割礼の場合ではなく、割礼のない場合です。

ローマ人へのパウロの手紙は、義とされるのは割礼ではなく、キリストへの信仰に基づいていると説明しています。

1. 信仰は義認の基礎である

2. 無割礼の力

1. ガラテヤ 2:15-16 – 「『異邦人の罪人』ではなく、生まれながらにユダヤ人である私たちは、人は律法の行いによって義とされるのではなく、イエス・キリストへの信仰によって義とされることを知っています。それで私たちも、律法の行ないではなく、キリストへの信仰によって義とされるために、キリスト・イエスに信仰を置きました。なぜなら、律法の行ないでは誰も義とされないからです。」

2. エペソ 2:8-9 – 「あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。そうすれば、誰も誇ることができなくなります。」

ローマ人への手紙 4:11 そして、彼は割礼のしるし、つまり割礼を受けていないのに持っていた信仰の義の印を受けました。それは、割礼を受けていなくても、信じるすべての人の父となるためでした。彼らにも正義が帰せられるように。

アブラハムには、割礼を受けていなかったにもかかわらず、義のしるしとして割礼のしるしが与えられました。それは、割礼の有無に関係なく、彼を信じるすべての人が義を受けるためです。

1.「信じる力：アブラハムと義」

2. 「アブラハムの信仰における割礼の重要性」

1. ガラテヤ 3:6-7 - 「アブラハムが『神を信じ、それが神の義であると認められた』のと同じように、信じる者はアブラハムの子孫です。

7 ですから、信仰を持つ人はアブラハムの子であることを理解してください。」

2. ヤコブ 2:23 - 「そして、『アブラハムは神を信じた。そしてそれが彼の義であると認められた』という聖書の言葉が成就し、彼は神の友と呼ばれた。」

ローマ人への手紙 4:12 そして、割礼だけではなく、まだ割礼を受けていない私たちの父アブラハムの信仰の足跡を歩む人々への割礼の父です。

アブラハムは割礼を受ける前から信仰を持っていたため、割礼を受けていない人々にとって信仰の模範でした。

1. 信仰の力: アブラハムの信仰の模範が、現在の状況を超えて進むよう私たちにどのようにインスピレーションを与えることができるか。

2. 割礼の重要性: 割礼の霊的な意味とそれが私たちの信仰にどのように関係しているかを見てみましょう。

1. ヘブライ 11:8-9 - 信仰によって、アブラハムは、相続物として受け取る場所に行くように召されたとき、従いました。彼はどこへ行くのかも知らずに出て行った。

2. ヤコブ 2:21-23 - 私たちの父アブラハムは、息子イサクを祭壇にささげたとき、行いによって義と認められたのではありませんか。信仰が彼の行いとともに働き、行いによって信仰が完全になったことがわかりますか。

ローマ人への手紙 4:13 なぜなら、彼が世の相続人となるという約束は、アブラハムやその子孫に対して、律法によってではなく、信仰の義によってなされたからです。

アブラハムとその子孫が世の相続人になるという約束は、律法によってではなく信仰によって与えられました。

1. 信仰は神の約束を受け取るための鍵です。

2. 神の約束を受けるために、私たちは信仰によって正しく生きなければなりません。

1. ヘブライ 11:6 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」

2. ガラテヤ 3:29 「そして、あなたがキリストのものであるなら、あなたはアブラハムの子孫であり、約束どおりの相続人です。」

ローマ人への手紙 4:14 なぜなら、もし律法に従っている者たちが相続人になったら、信仰は無効となり、交わされた約束は何の効力もなくなるからです。

法律は誰かを相続人にすることはできません。神の約束が果たされるためには信仰が必要です。

1. 信仰とは何ですか?それは私たちの生活にどのような影響を与えますか?

2. どうすれば神の約束に頼ることができますか?

1. ヘブライ 11:1-3 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

2. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟たち、人が信仰があるのに行いをしていないと言って、それが何の益になるのでしょうか。行いのない信仰は死んだものです。

ローマ人への手紙 4:15 律法は怒りを生むからです。律法のないところには違反はありません。

法律がなければいかなる違反も存在し得ないため、法律は怒りをもたらします。

1. 法の目的: 従順と識別力を養うこと

2. 法律に従わなかった場合の結果: 怒り

1. 出エジプト記 20:1-17、モーセに対する神の律法

2. エゼキエル 18:20、神は悪人の死を喜ばない

ローマ人への手紙 4:16 したがって、それは恵みによるものであり、信仰によるものです。最後までその約束はすべての種に確かなものとなるかもしれない。律法に基づくものだけではなく、アブラハムの信仰に基づくものにもです。私たち全員の父親は誰ですか、

パウロはローマ人への手紙 4 章 16 節で、恵みを受けるには信仰が必要であり、アブラハムはすべての信者の父であると説明しています。

1.「アブラハム：信仰の父」

2.「信仰と恵みによる救いの確かな約束」

1. 創世記 15:6 – 「そして彼は主を信じた。そしてそれを義とみなした。」

2. ガラテヤ 3:7 – 「ですから、信仰を持つ者たちもアブラハムの子らであることを、あなたがたは知りなさい。」

ローマ人への手紙 4:17 (書いてあるとおり、わたしはあなたを多くの国民の父としました) 彼が信じた神の前で、死者を生き返らせ、そうでないものをあたかもあるかのように呼ぶ神を。

アブラハムは、非常に高齢で妻が不妊であるにもかかわらず、死者に命を吹き込み、不可能を可能にする神への信仰と信仰のゆえに、神から多くの国民の父とみなされました。

1. 逆境に直面したときの信仰: 不可能な可能性にもかかわらず神を信頼したアブラハムの例。

2. 神の力: 神はいかにして不可能を可能にすることができるか。

1. ヘブライ人への手紙 11:11-12 - 「信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき場所に出て行くように召されたとき、それに従いました。そして、どこへ行くのかも知らずに出て行きました。信仰によって彼は滞在しました。」見知らぬ国のように、約束の地で、同じ約束の相続人であるイサクとヤコブと一緒に幕屋に住んでいます。」

2. ガラテヤ 3:7-9 - 「ですから、信仰を持つ者たちも、アブラハムの子らであることを、あなたがたは知りなさい。そして、聖書は、神が信仰によって異教徒を義とされることを予見し、福音の前にアブラハムに次のように宣べ伝えました。「あなたによってすべての国民は祝福されるでしょう。ですから、信仰を持つ者は忠実なアブラハムによって祝福されます。」

ローマ人への手紙 4:18 希望に反して希望を信じた者は、「あなたの子孫はこうなるであろう」と言われたとおり、多くの国民の父となることを望みました。

ローマ人へのパウロの手紙は、不可能に見えても、イエスへの信仰が希望と再生をもたらす可能性があることを思い出させます。

1: 決してあきらめない - 不可能な可能性の真っ只中でも、私たちは神とイエスを信頼できます。

2: 信仰の力 - 信仰があれば、私たちは神から命じられたことは何でも行うことができます。

1: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

ローマ人への手紙 4:19 また、彼は信仰が弱くなかったので、約百歳のときに自分の体が死んでいるとは考えておらず、サラの胎内が死んでいることもまだ考えていませんでした。

アブラハムは、100歳にも関わらず、また妻サラに子供を産む能力がないにもかかわらず、強い信仰を持っており、自分の肉体やサラの子宮の限界を考慮しませんでした。

1.「信仰とは何ですか？アブラハムの例」

2.「困難な状況における希望の力」

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

ローマ人への手紙 4:20 彼は不信仰による神の約束によろめきませんでした。しかし信仰は強く、神に栄光を帰していました。

パウロは、神への信仰が疑いを克服する力と勇気を与えると教えています。

1.「信仰にしっかりと立つ：神の約束に力を見出す」

2.「不信仰の克服：信仰の勝利を祝う」

1. ヘブライ 11:1 – 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2. ヤコブ 1:6-7 – 「しかし、何の揺るぎもなく、信仰をもって尋ねなさい。なぜなら、揺れ動く者は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからである。その人は、主から何かを受け取るだろうと考えてはなりません。」

ローマ人への手紙 4:21 そして、約束したことを実行することもできると完全に確信していました。

アブラハムは、神が自分に対する約束を果たしてくださると完全に確信していました。

1. 神の忠実さ: 神の約束を信頼する

2. 行動における信仰: アブラハムの物語

1. ヘブライ 11:8-10 - 信仰によって、アブラハムは、後に相続地として受け取ることになる場所に行くように召されたとき、行き先がわからなかったにもかかわらず、従って行きました。

2. ヤコブ 2:20-24 - アブラハムは神を信じ、それが彼の義であると認められ、神の友と呼ばれました。

ローマ人への手紙 4:22 それで、それが彼の義とみなされました。

この箇所は、神によってアブラハムに与えられた義であることを強調しています。

1. アブラハムの変わらぬ信仰: 私たちはどのようにして彼の模範に倣えるか

2. 義の力: 神聖な生活を送る

1. 創世記 15:6 - 「そして彼は主を信じ、それを義と認めた。」

2. ヤコブ 2:23 - 「そして、アブラハムは神を信じた、そしてそれが彼の義とみなされた、という聖書の言葉は成就した。そして彼は神の友と呼ばれた。」

ローマ人への手紙 4:23 さて、これは彼のためだけに書かれたものではなく、彼に帰属されたものではありません。

この一節は、アブラハムに対する神の祝福と、それがどのようにすべての信者に当てはまるかについて語っています。

1: アブラハムに対する神の祝福は、すべての信者に対する神の忠実さと愛を思い出させます。

2: アブラハムの信仰の模範を通して、私たちは神の約束に信仰と希望を持つことができます。

1: 創世記 15:6 - 「そして彼は主を信じた。そして彼はそれを義と認めた。」

2: ヘブライ人への手紙 11:8-10 「信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき場所に出て行くように召されたとき、それに従い、どこへ行くのかも知らずに出て行った。信仰によって彼は滞在した」約束の地で、見知らぬ国のように、同じ約束の相続人であるイサクとヤコブと一緒に幕屋に住んでいる：彼は基礎を持ち、その建設者であり作り手は神である都市を探していたからである。」

ローマ人への手紙 4:24 しかし、私たちの主イエスを死人の中からよみがえらせた方を信じるなら、それは私たちにとっても同じことです。

パウロは、イエスの復活を信じるなら、同じ義が私たちにも課せられると教えています。

1. イエスの復活に対する信仰の力

2. 復活したキリストへの信仰を通じて義を達成する

1. コリント人への第一の手紙 15:12-14 - 「さて、もしキリストが死者の中からよみがえられたと宣言されているのなら、死者の復活などないとどうしてあなたたちの中に言えるのでしょうか。しかし、死者の復活がないのであれば、キリストですら復活していないことになります。もしキリストがよみがえらなかったら、私たちの説教は無駄になり、あなたがたの信仰も無駄になります。」

2. ヨハネ 20:27-28 - 「それから彼はトマスに言った、「あなたの指をここに当てて、私の手を見てください。」そして手を出して私の脇に置いてください。信じないのではなく、信じてください。」トマスは彼に答えました、「わが主よ、わが神よ！」

ローマ人への手紙 4:25 この方は、私たちの罪のために救出され、私たちが義とされるためによみがえられました。

この箇所は、イエス・キリストが私たちの罪のために死んで復活し、神の前に私たちを義とされたことについて語っています。

1. イエスの死と復活による神の義認

2. 私たちに対するイエスの死と復活の力

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために打ち砕かれた。彼の上に懲らしめがあり、私たちに平和をもたらし、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - 「しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。恵みによって、あなたは今まで生きてきました。」救われた。」

ローマ人への手紙 5 章では、信仰による義認に関するパウロの説教が続き、信仰によって義とされることの利点、罪の普遍性、そしてイエス・キリストを通して与えられた神の恵み深い賜物について論じられています。

第 1 段落: この章はパウロが、信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストによって神との間に平和があると主張するところから始まります。彼を通して、私たちは信仰によって、私たちが今立っているこの恵みにアクセスすることができました。そして私たちは神の栄光を期待して誇ります。それだけではなく、苦しみは忍耐を生み出すので、私たちは苦しみを誇りに思います。忍耐力のある性格。そして人格的な希望（ローマ人への手紙 5:1-4）。そして、神の愛は私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれているので、この希望は私たちを恥じさせるものではない、と強調しています(ローマ5:5)。

第 2 段落: 6 節から 11 節で、パウロは、私たちがまだ無力だったとき、適切なタイミングでキリストが不敬虔な罪で死なれた、義人のために死ぬ人はめったに

いないが、善良な人のためにあえて死ぬ人もいるかもしれないが、神はご自身の愛を示されたことを説明しています。私たちがまだ罪人であったこの時代に、キリストは私たちのために死んでくださいました。私たちは今、彼の血によって義とされたのですから、その生涯を通して救われて和解された彼を通して、神の怒りからどれほど救われるか、和解を受けた主イエス・キリストを通して神にあって喜びなさい（ローマ人への手紙5:6-11）と彼は保証します。

第 3 段落: 12 節以降、パウロは、どのようにして罪が世界に入り、その結果として死が全人類に広がったかについて議論します。なぜなら、律法が与えられる前からすべての罪を犯したアダム・モーセが、アダムのように命令を破った罪を犯さなかった人々の上にさえも支配していたからです。:12-14)。しかし、彼は、不法行為は一人の男が導き、裁きを導き、多くの人がもたらした賜物に続いて多くの罪過がもたらした義認を治め、命をもたらした一人の男、イエス・キリストの結果として義とされた命、結果として一人の罪過が有罪判決されたのと同じようにすべての人々、したがって結果行為も義であり、義は不従順一人の男と同じように人間に命をもたらす、と対比している。多くの罪人を従順にさせ、一人の人を多くの義人にしました 律法が導入され、罪が増えると罪が増え、恵みがさらに増えたので、死が支配するように、恵みも支配し、義が私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命をもたらします（ローマ人への手紙5:15-21）。

ローマ人への手紙 5:1 したがって、私たちは信仰によって義とされたので、主イエス・キリストを通して神との平和を持っています。

私たちは、信仰によって私たちを義としてくださるイエス・キリストを通して神との平和を保っています。

1. キリストの平和: イエスへの信仰がどのように私たちを神に近づけるか

2. 正当化とは何ですか?キリストへの信仰の意味を探る

1. ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して、賜物としての神の恵みによって義とされるからです。

2. ガラテヤ 2:16 - しかし、私たちは、人は律法の行いによってではなく、イエス・キリストへの信仰によって義とされることを知っています。ですから、行いではなくキリストへの信仰によって義とされるために、私たちもキリスト・イエスを信じたのです。なぜなら、律法の行いによっては誰も義とされないからです。

ローマ人への手紙 5:2 この方によって、私たちも信仰によってこの恵みにアクセスし、神の栄光を望みながら立って喜ぶことができます。

私たちは信仰を通して神の恵みにアクセスすることができ、神の栄光の希望を喜ぶことができます。

1. 神の恵みを喜ぶ - ローマ人への手紙 5:2

2. 神の栄光の希望の中に立つ - ローマ人への手紙 5:2

1. 「しかし、神はさらに多くの恵みを与えてくださいます。だから彼はこう言います、神は高ぶる者には抵抗しますが、謙虚な者には恵みを与えます。」 - ヤコブ 4:6

2. 「主はわたしの力であり、わたしの盾です。わたしの心は主に信頼し、わたしは助けられています。それゆえ、わたしの心は大いに喜びます。わたしは歌をもって主を賛美します。」- 詩篇 28:7

ローマ人への手紙 5:3 それだけではなく、私たちは艱難の中でも栄光を誇ります。艱難には忍耐が必要であることを知っています。

苦難は忍耐と忍耐を養うのに役立つので、私たちは苦難の中に栄光を見出すことができます。

1. 試練を喜ぶ - ピリピ 4:4

2. 艱難を乗り越えて勝利する - ローマ人への手紙 8:37-39

1. ヤコブ1:2-4

2. ペテロ第一5:7-10

ローマ人への手紙 5:4 そして忍耐、経験を積んでください。そして経験、希望：

ローマ人への手紙 5 章 4 節は、忍耐が経験につながり、経験が希望につながることについて語っています。

1. 忍耐は美徳です: 忍耐はどのようにして希望につながるのか

2. 神の忠実さを体験する: 経験がどのように希望につながるか

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. 詩篇 62:5-6 - 神だけを、おおわが魂よ、静かに待ってください、私の希望は神からのものだからです。彼だけが私の岩であり、私の救いであり、私の要塞です。私は動揺しません。

ローマ人への手紙 5:5 そして希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は私たちに与えられる聖霊によって私たちの心の中に注がれるからです。

神の愛にある希望は、それを受け入れる人に喜びと平安をもたらします。

1.「神の愛にある希望」

2.「聖霊の慰め」

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、今あるものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のいかなる被造物も存在しないと確信しているからです」私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるでしょう。」

ローマ人への手紙 5:6 なぜなら、私たちがまだ力を失っていたとき、やがてキリストは不敬虔な人々のために死んでくださったからです。

私たちが自分自身を助けることができないときでさえ、イエスは私たちのために死んでくださいました。

1. キリストを通してすべてのことが可能になる

2. 愛の力: イエスは私たちのためにどのように命を犠牲にしたのか

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ヨハネ第一 4:9-10 - これが神が私たちに対する愛を示した方法です。神はご自分の独り子を世に遣わし、私たちが彼を通して生きることができるようにしました。これは愛です。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪の償いの犠牲として御子を送ってくださいました。

ローマ人への手紙 5:7 というのは、義人にとっては滅多に死ぬことはないのですが、善人にとっては思いがけず、あえて死を選ぶ人もいるのです。

正義の人が他人のために喜んで死ぬことはめったにありませんが、善人のために喜んで死ぬ人はいるかもしれません。

1. 善の力: 善人はどのように世界を変えることができるか

2. 義の価値: 義がどのように人生を変えることができるか

1. ルカ 9:23 - そしてイエスは皆に言った、「もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従ってきなさい。」

2. マタイ 25:34-36 - そのとき、王は右手で彼らにこう言います、「来なさい、わたしの父に祝福されたあなた方よ、天地の初めからあなた方のために用意された王国を受け継ぎなさい。わたしは飢えていたのに、あなた方は飢えていたからである」肉をくれました: のどが渇いていたのに、あなたがたは私に飲み物をくれました: 私は見知らぬ人でしたが、あなたがたは私を受け入れました: 裸で、あなたがたは私に服を着せました: 私は病気だったのに、あなたがたは私を訪ねてきま

した: 私は刑務所にいたのに、あなたがたはここに来ました自分。

ローマ人への手紙 5:8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

神の愛は、私たちがまだ罪人であったときでさえ、人類の救いのためのイエス・キリストの犠牲によって示されています。

1. 最高のラブストーリー: 私たちに対する神の無条件の愛

2. 許しの力: イエス・キリストによる神の救い

1. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるためにご自分の御子を世に遣わされたのではありません。」世界が、しかし彼を通して世界が救われるためです。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、現在のものも、これから来るものも、高さも、深さも、その他のいかなる被造物も存在しないと確信しているからです」私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるでしょう。」

ローマ人への手紙 5:9 まして、私たちは彼の血によって義とされたので、彼を通して怒りから救われるでしょう。

私たちはイエスの血によって義とされ、神の怒りから救われました。

1. イエスの血の力: 私たちはどのようにして義とされ、救われるのか

2. 神の怒り: 私たちはそれからどのように救いを受けるか

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。

2. エゼキエル 18:20 - 罪を犯した魂は死ぬ。息子は父親の咎のために苦しまない、また父親も息子の咎のために苦しまない。正しい者の正義は自分自身にかかり、悪人の悪は自分自身にかかります。

ローマ人への手紙 5:10 なぜなら、私たちが敵であったとき、御子の死によって神と和解したのなら、ましてや和解すれば、私たちは御子の命によって救われるからです。

イエス・キリストの死を通して、私たちは神と和解し、彼の命を通して救われることができます。

1. 和解の力: イエス・キリストは私たちの生活をどのように変えたか

2. 神の無条件の愛: イエス・キリストはどのように私たちを救ってくださったのか

1. ヨハネ第一 4:10 - この中に愛があります。私たちが神を愛したということではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のなだめの供え物として御子を遣わされたということです。

2. エペソ 2:4-5 - しかし、神は憐れみに富んでおり、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。恵みによってあなたは救われました。。

ローマ人への手紙 5:11 それだけではなく、私たちは主イエス・キリストを通して神にあって喜びを感じています。このキリストによって今私たちは贖いを受けています。

私たちはイエス・キリストを通して神を喜ぶことができます。イエス・キリストは私たちを神に受け入れてくださるのです。

1. 神に受け入れられた喜び

2. イエスの忠実さ: すべての人への贖罪

1. エペソ 1:7 - 私たちはこの方にあって、その血による救い、彼の豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

2. 詩篇 51:1-2 - 神よ、あなたの変わらぬ愛に従って、私を憐れんでください。あなたの豊かな憐れみにより、私の罪を消してくださいます。私の咎から私を徹底的に洗い、私の罪から私を清めてください！

ローマ人への手紙 5:12 したがって、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入ったのと同じです。そして死はすべての人に及んだ、それはすべての人が罪を犯したからである。

罪はアダムを通して世界に入り、すべての人が罪を犯したために死が全人類に移りました。

1. 罪の結果: アダムの罪の影響を理解する

2. 神の恵み: イエスはアダムの罪の呪いをどのように克服したか

ローマの信徒への手紙3章23節から24節に「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。」とあります。

2. コリント第一 15:22、「アダムにあってすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるのです。」

ローマ人への手紙 5:13 (というのは、律法ができるまで、罪は世にありました。しかし、律法がなくなっても、罪は非難されません。

アダムの不従順によって罪が世界に入り、死が続きました。

1: 私たちは皆、神に従うように努めるべきです。そうしないと、世界に死と悲しみがもたらされるからです。

2: 私たちはイエス・キリストに希望を持つことができます。イエス・キリストは、ご自分の死を通して私たちにいのちと救いをもたらしてくださいます。

1: ローマ人への手紙 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

2: 1 コリント 15:21-22 - なぜなら、人によって死が来たのですから、死者の復活もまた人によって来たからです。なぜなら、アダムにあってはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからである。

ローマ人への手紙 5:14 それにもかかわらず、アダムからモーセまで死が支配しました。アダムの罪の模倣の後、罪を犯さなかった者たち、つまり来るべき彼の姿にさえ死が支配しました。

アダムからモーセに至るまで、キリストの象徴であるアダムのように罪を犯さなかった人々の上にも死が支配しました。

1. 死の統治と救いの希望

2. 罪の結果と新しい命の約束

1. 創世記 3:19-20 - 顔に汗をかきながら、地に帰るまでパンを食べてはならない。あなたはそこから取られたのだから、あなたは塵のため、そして塵に戻るであろう。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

ローマ 5:15 しかし、無償の贈り物も犯罪ではありません。というのは、もし一人の罪によって多くの人が死んだのであれば、なおさら神の恵みと、一人の人イエス・キリストによる恵みによる賜物が多くの人に満ち溢れているからです。

イエス・キリストを通して神から無償で与えられた恵みの賜物は、一人の罪によって多くの人が死んだ以上に、多くの人に溢れています。

1. イエス・キリストを通して与えられた神の恵みの賜物は、罪の結果よりも偉大です。

2. イエス・キリストは私たちに豊かな恵みと憐れみをもたらしてくださるお方です。

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. テトス 3:4-7 - しかし、私たちの救い主である神の優しさと愛が現れたとき、私たちが行った正しい行いのせいではなく、神の憐れみのゆえに私たちを救ってくださいました。神は、救い主イエス・キリストを通して聖霊を惜しみなく私たちに注いでくださった聖霊による再生と再生の洗いによって私たちを救ってくださいました。それは、私たちが神の恵みによって義とされ、永遠の命の希望を持つ相続人となるためでした。

ローマ人への手紙 5:16 そして、罪を犯した人によるものではなく、賜物も同様です。裁きは人によって有罪とされるからですが、無償の賜物は多くの罪から正当化されるからです。

正当化という無償の贈り物は、1 つの犯罪だけではなく、多くの犯罪からもたらされます。

1: 神の恵みと許しの賜物

2: 救いと新しい命の力

1: エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって救われたのですが、それは自分自身によるものではなく、信仰によって救われたのです。それは神の賜物であり、行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。

2: ルカ 24:46-47 - それからイエスは彼らに言われた、「このように書いてあるので、キリストが苦しみを受けて三日目に死人の中からよみがえることが必要であり、悔い改めと罪の赦しはこうあるべきだった」エルサレムから始めてすべての国々に神の名によって宣べ伝えられました。

ローマ人への手紙 5:17 というのは、もし一人の人の罪によって死が一人によって支配されたとしても、まして、豊かな恵みと義の賜物を受け取る者は、ただ一人、イエス・キリストによって人生を統治するでしょう。）

神の恵みと義の賜物により、私たちはイエス・キリストにおける平和と喜びの生活に入ることを可能にします。

1. 豊かな恵みと正義の賜物

2. イエス・キリストを通して人生を統治する

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。

ローマ人への手紙 5:18 したがって、一つの判決の違反によってすべての人が有罪判決を受けるのと同じです。それでも、一人の義によって、命の正当化をもたらす無償の賜物がすべての人に与えられました。

命の義という無償の賜物は、キリストの義を通してすべての人に与えられます。

1. 永遠の命の賜物 - キリストを通して義とされる無償の賜物を探る

2. ローマ 5:18 - 罪の非難を克服する義の力

1. ガラテヤ 3:13 - キリストは、私たちのために呪いとなって、律法の呪いから私たちを救い出してくださいました。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

ローマ人への手紙 5:19 というのは、一人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同じように、一人の従順によって多くの人が義とされるからです。

一人の人の従順によって多くの人が義とされるでしょう。

1. イエス・キリストを通して神が義を与えられる

2. 従順の力とそれが達成するもの

1. イザヤ書 53:11 - 彼は自分の魂の苦しみを見て、満足するでしょう。彼の知識によって、私の義なる僕は多くの人を義とするでしょう。彼は彼らの咎を負うからである。

2. テトス 3:5-7 - 私たちが行った義の行いによるのではなく、神の憐れみに従って、再生の洗いと聖霊の新たな働きによって私たちを救ってくださいました。彼はそれを私たちの救い主イエス・キリストを通して私たちに豊かに注ぎました。わたしたちは神の恵みによって義と認められ、永遠の命の希望に従って相続人とされるべきなのです。

ローマ人への手紙 5:20 さらに、犯罪が多発するように律法が制定されました。しかし、罪があふれたところには、恵みがさらにあふれました。

律法は、罪がどれほど支配的であるかを示すために与えられましたが、恵みはそれ以上に支配的です。

1.「神の恵みは私たちの罪よりも大きい」

2.「神の無条件の愛の力」

1. エペソ人への手紙 2:4-5 「しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪を犯して死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。」

2. ヨハネ第一 4:19 「神が最初に私たちを愛してくださったので、私たちは愛します。」

ローマ人への手紙 5:21 それは、罪が死に至るまで支配したように、恵みが義によって支配し、私たちの主イエス・キリストによって永遠の命に至るためです。

罪は死を引き起こしましたが、恵みはイエス・キリストを通して永遠の命をもたらすことができます。

1. 神の恵みによって罪を克服する

2. 私たちを救うイエス・キリストの力

1. ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して神の恵みによって無償で義とされるからです。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ローマ人への手紙 6 章では、恵みの意味を掘り下げ、信者と罪の関係、キリストの死と復活におけるキリストとの結合の象徴としてのバプテスマ、罪の奴隷と義の奴隷の対比について論じています。

第 1 段落: この章は、パウロが恵みについての潜在的な誤解に言及することから始まります。彼は、恵みが増すために私たちが罪を犯し続けるべきかどうか尋ねます。これには「そんなはずはない！」とキッパリ反論する。私たちは罪に対して死にました。どうすればこれ以上そこに住むことができますか？彼は、キリスト・イエスへのバプテスマを受けた人々は、その死へのバプテスマを受けており、キリストが栄光によって死者の中から復活されたのと同じように、父も新しい命に生きることができると説明しています（ローマ人への手紙6:1-4）。

第 2 段落: 5 節から 14 節で、パウロはキリストの死と復活におけるキリストとの結びつきについて詳しく説明しています。もし私たちが彼の死においてこのように彼と一つになったなら、私たちは間違いなく彼の復活においても彼と一つになるでしょう。私たちの古い自分がイエスとともに十字架につけられたのは、罪に支配された体が取り除かれ、もはや罪の奴隷ではなくなるためです。なぜなら、死んだ人は罪から解放されるからです（ローマ人への手紙 6:5-7）。したがって、彼は、死すべき肉体を罪に支配させてその邪悪な欲望に従わせるのではなく、むしろ死から生きた者を義として神に捧げるよう勧めています(ローマ人への手紙6:12-1 4)。

第 3 段落: 15 節以降、パウロは罪の奴隷から自由になり、代わりに義の奴隷になることについて論じています。彼は、奴隷制が罪をもたらす死につながること、または従順が義を導き最終的には永遠の命をもたらすことを強調しています（ローマ人への手紙 6:15-16）。彼は、彼らが罪から解放され、義の奴隷となり、託

された形の教えに心から従ったことを賞賛し、その後、悪の道具としてすべての部分を自分自身で捧げ、むしろ生きている人を神が聖化して永遠の命を導くように勧めます（ローマ人への手紙6:17-19）。この章は、罪の対価は死であるが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにおける永遠の命であり、人が神に仕えるか罪に仕えるかによって結果が対照的に決まると述べて締めくくられています（ローマ人への手紙6:20-23）。

ローマ人への手紙 6:1 それでは、何と言いましょうか。恵みが豊かになるために、私たちは罪を犯し続けるべきでしょうか？

パウロは、神の恵みをさらに大きくするためにクリスチャンが罪を犯し続けるべきかどうかを問いかけます。

1. 恵みに満ちて: 罪にもかかわらず神聖な人生を送る方法

2. 神の恵みの力: 神を信頼して罪を克服する方法

1. エペソ 2:8-9 - あなたが救われたのは恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。そのため、誰も誇ることができません。

2. ローマ人への手紙 5:20-21 - 法律は不法侵入を増やすために導入されました。しかし、罪が増えると恵みもさらに増し、罪が死を支配したのと同じように、恵みも義を通して支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命をもたらすのです。

ローマ人への手紙 6:2 神は禁じています。罪に対して死んだ私たちは、どうやってその中で生き続けるのでしょうか？

この聖句は、私たちが罪に対して死んだのであり、もはや罪の中で生きるべきではないことを思い出させます。

1. 「もはや罪の中に生きない：キリストにおける私たちの自由」

2.「自由に生きる：神が私たちに意図された人生」

1. ガラテヤ 5:1 - 「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださったのです。だからしっかり立ちなさい。奴隷のくびきに再び屈しないでください。」

2. コロサイ 3:5-6 - 「ですから、あなたの内にある世俗的なもの、すなわち性的不品行、不潔、情熱、邪悪な欲望、そして偶像崇拝である貪欲を殺しなさい。これらのゆえに神の怒りが来ます。」

ローマ人への手紙 6:3 あなたがたは、イエス・キリストへのバプテスマを受けた私たちの多くが、その死へのバプテスマを受けたことを知らないのですか。

イエス・キリストを信じる者は、イエス・キリストの死のバプテスマを受けています。これは、彼らが古い自分に死んで、今はイエスの中に生きていることを意味します。

1. 「キリストのうちに新しい人生を生きる: 洗礼を理解する」

2.「イエスのために死ぬ力」

1. コロサイ 2:12-13 - 私たちはバプテスマによって神とともに葬られました。そのバプテスマの中で、あなたもまた、神を死者の中からよみがえらせた神の働きへの信仰を通して、神とともによみがえらされました。

13 そして、あなたがたは、罪と肉の割礼を受けて死んでいたのに、神はあなたのすべての罪を赦して、御自分とともに生かしてくださったのです。

2. ガラテヤ 2:20 - 私はキリストとともに十字架につけられました。生きているのはもはや私ではなく、キリストが私の内に生きておられるのです。そして私が今肉体で生きている人生は、私を愛し、私のためにご自身を差し出してくださった神の御子への信仰によって生きています。

ローマ 6:4 したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

私たちは洗礼によってキリストと結ばれており、キリストが死者の中から復活されたように、私たちも新しい人生を歩まなければなりません。

1. 復活した人生を生きる

2. キリストにあって新しい人生を生きる

1. コロサイ 2:12-13 - バプテスマによってキリストとともに葬られましたが、そこであなたがたも、キリストを死者の中からよみがえらせた神の働きに対する信仰によってキリストとともによみがえりました。

2. ローマ人への手紙 8:1-2 - したがって、キリスト・イエスにある者たち、つまり肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は何の非難もありません。なぜなら、キリスト・イエスにおける命の御霊の法則が、私を罪と死の法則から自由にしてくださったからです。

ローマ人への手紙 6:5 なぜなら、私たちが彼の死に似せて植え付けられたのであれば、私たちもまた彼の復活に似た者となるからです。

私たちはキリストの死と復活においてキリストと結ばれています。

1. キリストとともに生きる: 十字架につけられ復活した主との交わりの力

2. 復活にあずかる者: 命を与える御霊の祝福を経験する

1. エペソ人への手紙 2:4-5: 「しかし、神は憐れみに富んでおられ、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。あなたがたは恵みによって、救われました。」

2. コロサイ 3:1-3: 「では、あなたがキリストとともによみがえったのなら、上にあるもの、つまり神の右に座しておられるキリストがおられる場所を探しなさい。地上のものではなく、上にあるものに心を向けなさい。あなたは死んでしまい、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されているからです。」

ローマ人への手紙 6:6 このことを知っているのは、私たちの老人が彼とともに十字架につけられ、罪の体が滅ぼされるためであり、今後私たちは罪に仕えることがないためです。

私たちはキリストとともに死んでよみがえったので、もはや罪の奴隷ではありません。

1. 罪から解放された人生を送る

2. キリストの十字架の力

1. ガラテヤ 2:20 - 「私はキリストとともに十字架につけられています。にもかかわらず、私は生きています。しかし、私ではなく、キリストが私の内に生きておられます。そして、私が今肉において生きている命は、神の御子の信仰によって生きています。私を愛し、私のために身を捧げました。」

2. コロサイ 3:3 - 「あなたがたは死んでおり、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されているからです。」

ローマ人への手紙 6:7 死んだ者は罪から解放されているからです。

この一節は、死んだ人は罪から解放されると述べています。

1. 私たちはイエス・キリストの力によって罪から解放されます。

2. 死は罪からの究極の解放です。

1. コロサイ 2:13-14 - 「そして、罪と肉の無割礼で死んでいたあなたを、神は私たちに不利な負債の記録を取り消すことによって、私たちのすべての罪を赦して、ご自分とともに生かしてくださいました。」法的要求とともに。彼はこれを脇に置き、十字架に釘付けにした。」

2. ローマ人への手紙 8:1-2 - 「ですから、今では、キリスト・イエスにある者たちには罪に定められることはありません。なぜなら、いのちの御霊の法則が、キリスト・イエスにあってあなたを罪と死の法則から解放したからです。」

ローマ人への手紙 6:8 さて、私たちはキリストとともに死んでいるとしても、またキリストとともに生きると信じます。

キリストを信じる者は、キリストへの信仰のゆえに、罪に対しては死んでおり、義に対しては生きています。

1. キリストにある人生: 罪に対して死んで生き、義に対して生きている

2. キリストにある豊かな命: 罪と死を超えた命

1. ローマ人への手紙 6:8-11

2. エペソ人への手紙 4:17-24

ローマ人への手紙 6:9 死者の中からよみがえられたキリストは、もはや死ぬことはないことを知っています。死はもはや彼を支配することができません。

死はもはやイエスに対して力を持っていません。

1: 復活の力 - イエスの死に対する勝利は、神への信仰の力を私たちに示しています。

2: イエスは生きています - 死は物語の終わりではありません。私たちはイエスを通して永遠の命を受け取ります。

1: コロサイ 2:13-15 - 「あなたが罪と肉の割礼を受けて死んでいたとき、神はあなたをキリストとともに生かしてくださいました。神は私たちのすべての罪を赦し、私たちに敵対し、私たちを有罪に定めた法的負債の責任を取り消してくださいました。彼はそれを取り上げ、十字架に釘付けにした。そして権力と権威を武装解除して、十字架によって彼らに勝利を収めて、彼らを公衆の面前で見せつけたのです。」

2: 1 ペテロ 1:3-5 - 「私たちの主イエス・キリストの父なる神に賛美あれ。イエス・キリストの深い憐れみによって、イエス・キリストの死者の中からの復活を通して、私たちに生ける希望と、決して滅びたり、腐ったり、色あせたりすることのない相続財産へと新たに誕生させてくださいました。この相続財産は、終わりの時に明らかにされる救いの到来まで、信仰を通して神の力によって守られるあなた方のために天に保管されます。」

ローマ人への手紙 6:10 なぜなら、彼は死んだということで、一度は罪に対して死んだのです。しかし、生きているということは、神に対して生きているのです。

イエスは私たちの罪を償うために亡くなりましたが、今は神に仕えるために生きています。

1. 神のために生きる: イエスの犠牲がどのように私たちに希望を与えるか

2. イエスの力: 彼の人生は私たちの人生をどのように変えたか

1. ペテロ第一 2:24 - イエスご自身が十字架の上で私たちの罪をその身に負ってくださいました。それは、私たちが罪に対して死に、義のために生きるためです。彼の傷によってあなたは癒されました。

2. エペソ 2:4-5 - しかし、憐れみに富む神は、私たちに対する大きな愛のゆえに、私たちが罪で死んでいたときでさえ、キリストとともに生かしてくださいました。あなたが救われたのは恵みによるのです。

ローマ人への手紙 6:11 同じように、あなたがたも、罪に対しては確かに死んでいるが、私たちの主イエス・キリストによって神に対しては生きていると考えなさい。

私たちは聖なる生活を送り、罪に対して死んだ者となり、イエス・キリストを通して神のうちに生きるように招かれています。

1: 神聖な人生を生きる: 罪に対して死んで神のうちに生きる

2: 罪に対して死んで神のうちに生きている: 聖性への呼びかけ

1: 1 ペテロ 2:24 - 「神ご自身が、木の上で私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪に対して死に、義に対して生きるためでした。彼の傷によって、あなたは癒されました。」

2: マタイ 5:48 - 「だから、あなたがたの天の父が完全であるように、完全になりなさい。」

ローマ人への手紙 6:12 ですから、あなたがたが死ぬべきからだの中で罪を支配してはならず、その欲望に従って罪に従うようにしてください。

私たちは死ぬべき肉体を罪に支配させてはなりませんし、その欲望に従ってはいけません。

1. 私たちは罪深い欲望を否定し、神のご意志に従うべきです。

2. 私たちの死ぬべき肉体は、私たちの罪深い欲望によってではなく、聖霊によって導かれるべきです。

1. コリント人への第一の手紙 10:13 - 「人間によくある誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり，あなたが自分の能力を超えた誘惑に遭うことはお許しになりませんが，誘惑に耐えられるように，誘惑の際には逃げ道も備えてくださるのです。」

2. ガラテヤ 5:16 - 「しかし、私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満足させることはできません。」

ローマ人への手紙 6:13 あなたがたは、自分の肢体を不正の道具として罪に明け渡すのではなく、死者の中から生き返った者として、また自分の肢体を神に対する義の道具として神に委ねなさい。

この聖句は、私たちが罪から離れ、代わりに忠実に神に仕えるよう勧めています。

1. 神に服従する力

2. 従順によって罪を克服する

1. ヨハネ 15:5 - 「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。わたしにつながっている者、わたしもその人につながっている者は、多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからです。」

2. コリント人への手紙第一 6:19-20 - 「それとも、自分の体が、自分のうちに神から与えられた聖霊の神殿であることを知らないのですか。あなたは自分のものではありません。あなたは代価を払って買われたのですから。あなたの体で神の栄光を讃えなさい。」

ローマ人への手紙 6:14 なぜなら、あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるからです。

私たちは律法ではなく神の恵みの下にあるので、罪は私たちを支配することができません。

1. 恵みの自由：神の無条件の愛を体験する

2. 罪の支配から逃れる：神の憐れみによって自由になる

1. コロサイ 2:13-14 - そして、罪と肉の無割礼で死んでいたあなたを、神は私たちに不利な負債の記録を帳消しにして、すべての罪を赦し、ご自分とともに生かしてくださいました。その法的要求。彼はこれを脇に置き、十字架に釘付けにしました。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

ローマ人への手紙 6:15 それではどうなるでしょうか。私たちは律法の下ではなく恵みの下にあるのに、罪を犯してしまうのでしょうか？神は禁じます。

パウロは修辞的な質問をします。私たちはもはや律法に縛られておらず、恵みによって生きているからといって、罪を犯すべきでしょうか？彼の答えはきっぱり「ノー」だ。

1. 恵みの下で生きる: 正義の中に自由を見つける

2. 恵みを理解する: 敬虔な生活を送る方法

1. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われたのです。それは、自分自身からではなく、神の賜物であり、行いの結果としてではなく、誰も誇ることがないためです。」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、神は、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、私たちに対するご自身の愛を明らかにしてくださいました。」

ローマ人への手紙 6:16 あなたがたは、自分を服従させる神の僕であることを知らないのです。死に至る罪なのか、義に対する従順なのか？

パウロは、罪に屈するか従順に屈するかの選択の結果について警告しています。

1: 永遠の喜びを得るために、従順と正義を選択してください。

2: 神に従い、罪を拒絶し、永遠の死からの自由を獲得します。

1: 1 ヨハネ 1:9 - 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」

2: ヨハネ 14:15 - 「もしわたしを愛するなら、わたしの戒めを守りなさい。」

ローマ人への手紙 6:17 しかし、神に感謝すべきは、あなたがたが罪の僕であったにも関わらず、自分に伝えられたこの形の教義に心から従ったことです。

パウロは、ローマ人が与えられた教義に心から従ったことに対して神に感謝の意を表します。

1. 従順の価値: 神の言葉に心から従う方法

2. 違いを知る: 罪の僕であることと神の僕であるとはどういう意味ですか?

1. 申命記 6:4-5 - 「イスラエルよ、聞け、私たちの神、主は唯一である。あなたは心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければならない。」

2. コロサイ 3:23 - 「何をするにも、人のためではなく、主のためのように、心を込めて働きなさい。」

ローマ人への手紙 6:18 こうして、あなたがたは罪から解放されて、義の僕となったのです。

この箇所は、罪から解放されて義の僕となることについて語っています。

1. 自由の力: 罪の鎖を克服する

2. 義の喜び: 罪を手放し、新しい道を受け入れる

1. コリント人への第一の手紙 15:34 - 「義に目覚め、罪を犯してはなりません。神についての知識を持たない人もいるからです。私はあなた方の恥のためにこれを話します。」

2. ヨハネ 8:36 - 「したがって、御子があなたたちを自由にしてくれるなら、あなたたちは確かに自由になるでしょう。」

ローマ人への手紙 6:19 私は、あなたがたの肉の弱さゆえに、人間のやり方に倣って話します。あなたがたが、自分の成員である僕を汚れに、不法に不法に屈服させたのと同じことです。たとえそうであっても、今はあなたの会員の僕たちを義に導き、聖性へと導きます。

パウロはローマ人に、自分たちの成員を汚れと不法にではなく義と聖さに委ねるよう勧めています。

1. 罪から離れて神の言葉に従う

2. 義に屈する力

1. コロサイ 3:5-10 – したがって、あなたの内にあるこの世的なもの、つまり性的不道徳、不純さ、情熱、邪悪な欲望、そして偶像崇拝である貪欲を殺しなさい。

2. エゼキエル 18:30-32 – 不法行為があなたの破滅にならないように、悔い改め、すべての罪から立ち去りなさい。あなたが犯したすべての罪をあなたから捨て、新しい心と新しい霊を作りなさい。イスラエルの家よ、なぜあなたは死ぬのですか？

ローマ人への手紙 6:20 なぜなら、あなたがたが罪の僕であったとき、義から自由であったからです。

ローマ人への手紙のこの聖句は、私たちが罪の奴隷にされているとき、義から自由であることを思い出させます。

1. 罪の自由: 正義の束縛からの解放

2. 義の束縛: 罪を解放する力への逃避

1. ガラテヤ 5:1 - 「キリストが私たちを自由にしてくださったのは、自由のためです。ですから、しっかりしなさい。奴隷のくびきを再び負わないでください。」

2. ヨハネ 8:32 - 「そうすれば、あなたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

ローマ人への手紙 6:21 あなたがたは、今では恥じている事柄において、当時どんな成果を上げたでしょうか。それらの終わりは死だからです。

罪深い行為の結果は死です。

1. 私たちは罪深い行為から目を背けなければなりません、さもなければ死に直面することになります。

2. 神は死から逃れる方法を備えており、それは悔い改めと信仰によるものです。

1. 箴言 14:12—「人にとって正しいと思われる道があるが、その行き着く先は死への道である。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9—「あなたがたは、信仰を通して恵みによって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。」

ローマ人への手紙 6:22 しかし、今、あなたがたは罪から解放され、神に仕える者となり、聖性への実を結び、永遠の命を終わらせることができます。

クリスチャンは罪から解放された後、神の僕となり、聖なる生活を送ることの究極の報酬として永遠の命を受け取ります。

1. 許しの力: 罪からの解放がどのようにして聖性につながるか

2. 正しい選択をする: 聖なる生活の恩恵を受ける

1. ルカ 1:74-75 - 「それは、敵の手から救い出された私たちが、生涯を通じて、恐れることなく神の御前で聖さと義をもって神に仕えるためです。」

2. コロサイ 3:5-7 - 「したがって、地上にいるあなたの肢体を悔しがらせなさい。」

ローマ人への手紙 6:23 罪の報いは死です。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

罪の結果は死ですが、神はイエス・キリストを通して永遠の命という賜物を与えてくださいました。

1. 罪の代価と永遠の命の賜物

2. 神の最大の賜物を豊かに体験する

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. エペソ 2:8-9 - あなたが救われたのは恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。そのため、誰も誇ることができません。

ローマ人への手紙 7 章では、クリスチャンと律法との関係についてのパウロの話が続き、キリストによる信者の律法からの解放、罪深い欲望を呼び起こす律法の機能、そして罪との個人的な闘いについて論じられています。

第 1 段落: この章は、パウロが結婚を比喩として用いて、信者がどのようにキリストを通して律法から解放されるかを説明するところから始まります。ちょうど女性が夫が生きている間は法律で縛られているが、夫が死ねば夫に関する法律から解放されるのと同じように、信者もキリストの体を通してかつて私たちを結びつけていたものに死んだので、私たちは別のものに属し、キリストは死んだ者からよみがえられ、実を結ぶ秩序が生まれました（ローマ人への手紙） 7:1-4）。彼は、私たちが領域にいた間、律法によって呼び起こされた肉の罪深い情熱が働いて実を結びましたが、今は死を実らせましたが、法から解放されたことで私たちを捕らえていたものが死んだので、古い方法で書かれたコードではなく、新しい方法で霊に仕えなさい（ローマ人への手紙7:5-6）と主張しています。。

第 2 段落: 7 節から 13 節で、パウロは律法によってどのように罪を認識したかについて説明します。彼は、律法がなければ罪が何であるかを知らなかったであろうし、例えば律法が「あなたは欲しがってはならない」と言っていなければ、むさぼりが実際何であるかを知ることもできなかったであろうと説明しています。しかし、機会をとらえた罪は戒めを与え、律法とは別に彼を欲しがるあらゆる種類の罪を生み出し、律法を離れて一度生きた罪は死んだ、戒めが来たとき、罪は命を芽生え死をもたらした、まさに命をもたらすと思われていた戒めが実際には死をもたらしたことが判明した（ローマ人への手紙 7:7-10）。したがって、戒めによって機会を捉えた罪が死を生み出し、それを計り知れないほどの罪深いものにしたと彼は結論付けています（ローマ人への手紙 7:11-13）。

第 3 段落: 14 節以降、パウロは、自分の願望にもかかわらず、すぐに善悪を行い、内なる存在が神の律法を喜んでいるにもかかわらず、自分自身の罪との個人的な闘いを説明しますが、別の働きのメンバーが精神に対して戦いを繰り広げ、メンバーの中で罪の律法の囚人を作っているのを見ます。彼は叫びます、誰がこの体を死から救ってくれるのでしょうか？神が私たちの主イエス・キリストを通して私を救ってくださったことに感謝します！したがって、私の罪深い性質は罪の法則に仕えていますが、私自身も神の律法に仕えています（ローマ人への手紙 7:14-25）。これは、信者の内部の霊肉間の継続的な闘争を浮き彫りにし、聖霊が克服される恵みの力に頼る必要があることを示しています。

ローマ人への手紙 7:1 兄弟たち、あなたがたは知らないのですか、（私は律法を知っている人たちに言いますが）、律法がどのようにして人間を生きている限り支配するのかを知りませんか。

パウロは信者たちに、彼らが生きている限り、律法は彼らに対して権威を持っていることを思い出させています。

1. 法の力: その権威の下でどのように生きるか

2. 法律に従うことの重要性: 敬虔な国民としてどのように生きるか

1. ヤコブ 2:10-12 - 「律法全体を守っていても、一点で失敗する者は、そのすべてに対して責任を負うことになります。なぜなら、「姦淫をしてはならな

い」と言う者は、「人を殺してはならない」とも言ったのだからです。「もしあなたが姦淫を犯さずに殺人を犯したなら、あなたは法の違反者になったことになる。だから、自由の法によって裁かれる者として発言し、行動しなさい。」

2. マタイ 22:36-40 - 「先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか。」そして彼は彼に言った、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。」これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。すべての律法と預言者は、この二つの戒めに依存しています。」

ローマ人への手紙 7:2 というのは、夫を持つ女は、夫が生きている限り、律法によって夫に拘束されるからです。しかし、夫が死んでいれば、彼女は夫の法律から解放されます。

この一節は、結婚している女性は夫が生きている間は法律的に拘束されているが、夫の死後にはその法律から解放されることを説明しています。

1. 結婚の祝福: 神の律法に従って生きる

2. 神の命令に従う自由を見つける

1. エペソ人への手紙 5:22-24 - 「妻たちよ、主に従うように自分の夫に従いなさい。なぜなら、キリストが教会の頭であり、その体であり、ご自身が教会の救い主であるのと同じように、夫は妻の頭だからです。さて、教会がキリストに従うように、妻もすべてにおいて夫に従うべきです。」

2. コリント第一 7:39 - 「妻は、夫が生きている限り、夫に縛られます。しかし、夫が亡くなった場合、彼女は主にあってのみ、望む相手と自由に結婚することができます。」

ローマ人への手紙 7:3 それで、もし彼女の夫が生きている間に他の男と結婚した場合、彼女は姦淫者と呼ばれるでしょう。しかし、夫が死んでいれば、彼女はその律法から解放されます。そのため、彼女は別の男性と結婚していても、不倫ではありません。

女性は夫の生存中に別の男性と結婚した場合は姦淫とみなされますが、夫が死亡した場合はその法律から解放されます。

1. 結婚の重要性とその神聖さを尊重する

2. 私たちの状況に対する神の憐れみと理解を通して分かる、私たちに対する神の愛

1. マタイ19:3-9

2. ローマ人への手紙 8:1-4

ローマ人への手紙 7:4 したがって、兄弟たちよ、あなたがたもキリストのからだによって律法に対して死んだ者となったのです。それは、あなたがたが他の人と結

婚し、死者の中からよみがえらせた人とさえ結婚し、神に実を結ぶためである。

この節は、信者がキリストの死によって律法からどのように解放され、キリストと団結し、神の栄光のために良い行いを生み出すことができるかを説明しています。

1. 「律法からの自由: キリストの死はいかにして私たちを自由にするか」

2.「信者の結婚：キリストと結ばれて実を結ぶ」

1. コリント人への第二の手紙 5:21 - なぜなら、神は、罪を知らなかった私たちのために、彼を罪とされたからです。それは、私たちが彼にあって神の義とされるためです。

2. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制です。これらを禁じる律法はありません。

ローマ人への手紙 7:5 なぜなら、私たちが肉体を持っていたとき、律法による罪の動きが私たちの体に働いて、死に至る実をもたらしたからです。

神の律法は、死に至る人間の罪深い本性を明らかにしています。

1: 私たちは自分の罪深い本性を神の御心に委ね、神に信頼を置かなければなりません。

2: 神の律法は私たちの罪深い本性を明らかにしており、私たちが救われるのは神の恵みと憐れみによってのみです。

1: ローマ 5:8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されました。

2: エペソ人への手紙 2:8-9 あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

ローマ人への手紙 7:6 しかし今、私たちは律法から解放されています。それは、文字の古さではなく、精神の新しさで奉仕すべきであるということです。

、律法の文言に従うことよりも、霊によって奉仕することの重要性を強調しています。

1. 霊において奉仕する力

2. 法から解放される自由

1. ガラテヤ 5:13-15 - 兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ自分の自由を肉の機会に変えず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体は、「あなたは隣人を自分のように愛さなければならない」という一言で成就されるからです。

2. マタイ 22:34-39 ーしかし、ファリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を黙らせたと聞いて、一緒に集まった。するとそのうちの一人、律法の専門家が、イエスを試して質問し、「先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか？」と言いました。イエスは彼に言われた、「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい』。」これは第一の、そして偉大な戒めです。そして二番目も同様です、「隣人を自分のように愛さなければならない」。この二つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。」

ローマ人への手紙 7:7 それでは、何と言いましょうか。法律は罪ですか？神は禁じます。いや、私は律法によってではなく、罪を知りませんでした。なぜなら、律法が「貪ってはならない」と言う以外、私は情欲を知らなかったからです。

パウロは、律法は罪深いものではなく、むしろ罪とは何か、つまり貪欲であることを明らかにしていると説明しています。

1. 法の力: 法はどのようにして罪を明らかにするか

2. 法の美しさ: 法はどのようにして私たちを罪から守ってくれるのか

1. 出エジプト記 20:17 - むさぼってはならない

2. ヤコブ 1:14-15 - 人は誰でも、自分の欲望に惹かれて誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望が妊娠すると、罪が生まれます。そして罪が大きくなると死をもたらします。

ローマ人への手紙 7:8 しかし、罪は、戒めを機会として、あらゆる種類の情欲を私の中に引き起こしました。律法がなければ罪は死んだものだからです。

罪が世界に入り込み、律法を通して人の心を堕落させました。

1: 人間の罪深い本性 - ローマ人への手紙 7:8

2: 罪を明らかにする律法の力 - ローマ 7:8

1: 創世記 3:1-7 (人間の堕落)

2: ヤコブ 1:13-15 (罪の誘惑)

ローマ人への手紙 7:9 なぜなら、私はかつて律法なしで生きていたのですが、戒めが与えられると罪が復活し、私は死にました。

罪は死をもたらします。

1: 人生は短いですが、神の言葉は永遠であり、平和な人生を送る方法を私たちに明らかにします。

2: 私たちは皆、罪から離れて主の教えを受け入れなければなりません。なぜなら、私たちは主の言葉に従うことによってのみ真の命を見出すことができるからです。

1: ヤコブ 1:14-15 「しかし、人は誰でも、自分の邪悪な欲望に引きずられ、誘惑されるとき、誘惑に遭います。そして、欲望は妊娠した後、罪を生み出します。そして罪が大きくなると、死が生まれます。」

2: 箴言 23:27-28 「売春婦は一斤のパンで買えるが、他人の妻はあなたの命を食い物にしている。人は服を焦がさずに膝に火をすくうことができるだろうか？」

ローマ人への手紙 7:10 そして、命に向けて定められた戒めが、死に至るものであることが分かりました。

命をもたらすはずだった神の戒めは、代わりに死であることが判明しました。

1. 神の戒めの逆説 - 神の戒めがどのようにして生と死の両方をもたらすのか。

2. 罪の欺瞞性 - 罪は一見良く見えても、最終的には死に至ること。

1. 箴言 14:12 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死の道である。」

2. ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死です。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。」

ローマ人への手紙 7:11 というのは、罪が戒めを利用して私を欺き、それによって私を殺したからです。

罪は人を欺き、破滅に導く可能性があります。

1. 罪の欺瞞に気づき、罪に支配されないように注意してください。

2. 罪の危険な結果を認識し、それを必ず拒否してください。

1. 箴言 14:12 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死への道である。」

2. ペテロ第一 5:8 - 「心を冷静にし、気をつけなさい。あなたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくすべき者を求めて歩き回っています。」

ローマ 7:12 したがって、律法は聖であり、戒めも聖であり、正しく、そして良いものです。

法律は神聖で、公正で、善いものです。

1: 神の律法は善であり、心を高めるものです

2: 神の律法は神聖かつ公正です

1: 詩篇 19:7-8 「主の律法は完全であり、魂を生き返らせる。主のあかしは確かで、単純な者を賢くする。主の戒めは正しく、心を喜ばせる。神の戒めは正しい」主は純粋であり、目を啓発されます。」

2: ヤコブ 1:25 「しかし、完全な律法、つまり自由の律法を見つめ、粘り強く努力する人は、忘れる聞く者ではなく、行う者となるので、その行いにおいて祝福されるでしょう。」

ローマ人への手紙 7:13 それでは、善いものが私に死をもたらしたのでしょうか？神は禁じます。しかし、罪は、善いことによって私の内に死をもたらしているように見えるかもしれません。それは、戒めによる罪がさらに罪深いものとなるためです。

罪の死は善によってもたらされ、罪は戒めによってさらに罪深いものとなります。

1. 善の力: 最も優れた人でも罪につながる可能性がある

2. 罪の強さ: 戒めがどのように誘惑を強めるか

1. ヤコブ 1:13-14 - 「だれも、誘惑されているとき、『私は神に誘惑されている』と言ってはなりません。神が悪による誘惑を受けることはあり得ず、ご自身も誰も誘惑されないからです。しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され、誘惑されるときは誘惑されます。」

2. ヨハネ第一 1:8-10 - 「もし私たちが自分に罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いていることになり、真理は私たちの中にありません。私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。もし私たちが罪を犯していないと言うなら、私たちは彼を嘘つきにしてしまい、彼の言葉は私たちの中にありません。」

ローマ人への手紙 7:14 私たちは律法が霊的なものであることを知っていますが、私は肉的な人間であり、罪の下に売られています。

パウロは律法が霊的なものであることを認めていますが、彼自身は肉的なものであり、罪の影響下にあります。

1. 律法の力: 従順によって肉欲をどのように克服できるか

2. 罪との闘い：霊的な知恵の強さをどのように見つけることができるか

1. ヤコブ 1:22-25 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

2. ローマ 6:12-14 - したがって、あなたがたが死ぬべき肉体の中で罪を支配してはならず、その欲望に従って罪に従わなければなりません。

ローマ人への手紙 7:15 わたしが行うことは、わたしが許しません。わたしが望むことは、わたしがしません。でも、私が嫌いなことは、それが私です。

私は正しいとわかっていることをすること、そして自分がやりたいことをすることに苦労しています。

1. 私たちの欲望と神の意志の間の緊張の中で生きる

2. 間違ったことをしたいという誘惑に打ち勝つ

1. ヤコブ 1:13-15、「誘惑されているとき、『神に誘惑されている』とだれも言ってはなりません。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、ご自身も誰も誘惑されないからです。」しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され誘惑されることがあります。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は成長すると死を生み出します。」

2. ガラテヤ 5:16-17、「しかし、私は言います。御霊によって歩みなさい。肉の欲望を満足させてはなりません。」なぜなら、肉の欲望は御霊に反し、御霊の欲望は肉に反するからである。なぜなら、これらは互いに対立しており、あなたが望むことを妨げているからです。」

ローマ人への手紙 7:16 もし、自分がしたくないことをするなら、私はそれが良いことであると律法に同意することになります。

パウロは、自分がしたくないことをすることは律法の善良さのしるしであると説明しています。

1. 法律の力: その良さをどのように受け入れるか。

2. 法の遵守を通じて真の自由を達成する。

1. ガラテヤ 5:13-14 - 兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体は「あなたは隣人を自分のように愛さなければならない」という一言で成就されるからです。

2. ヤコブ 2:8-12 - 聖書にある「隣人を自分のように愛さなければならない」という王法を本当に実践しているなら、あなたはうまくやっているということです。しかし、もし偏愛を示すなら、あなたは罪を犯していることになり、法律によって違反者として有罪判決を受けます。というのは、律法全体を守っていても、ある点で失敗した者は、そのすべてに対して責任を負うことになるからです。「姦淫してはならない」と言う者は、「人を殺してはならない」とも言っているのだから。姦淫を犯さずに殺人を犯した場合、あなたは法律違反者になります。自由の法則のもとで裁かれる者として語り、行動しなさい。

ローマ人への手紙 7:17 さて、それをしているのはもはや私ではなく、私の中に住んでいる罪です。

パウロは、もはや自分が主導権を握っているのではなく、自分の中に住んでいるのは罪であることを認めています。

1.「自分の罪を認め、責任を持ちましょう」

2. 「罪の力と私たちの生活への影響」

1. ヤコブ 1:14-15 「しかし、人はそれぞれ、自分の邪悪な欲望に引きずり込まれ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望は孕んだ後、罪を生み出し罪が成長すると罪が生まれます。」、死を生みます。」

2. ガラテヤ 5:19-21 - 「肉の行為は明白です。性的不道徳、不潔、放蕩、偶像崇拝と魔術、憎しみ、不和、嫉妬、発作、利己的な野心、意見の相違、派閥と妬み、酩酊、以前と同じように、このような生き方をする者は神の国を受け継がないと警告します。」

ローマ人への手紙 7:18 なぜなら、私のうちには（つまり私の肉体には）何の良いものも宿っていないことを私は知っているからです。しかし、それを実行する方法は良いことではありません。

パウロは、自分の肉体には善が何もないことを認めていますが、善を行ないたいと思っていますが、そうするのは難しいと感じています。

1. 善を行うための闘い: パウロの模範から学ぶ

2. 肉の弱さを克服する：神の助けによって善を達成する

1. 詩篇 51:17 - 「神よ、私の犠牲は打ち砕かれた霊です。打ち砕かれて悔い改めた心、神よ、あなたは軽蔑されません。」

2. ピリピ 4:13 - 「私に力を与えてくださる方によって、私はこのすべてを行うことができます。」

ローマ人への手紙 7:19 わたしが望む善のためではなく、わたしが望まない悪のため、わたしは行います。

善と悪の戦いは現実です。

1. 私たちの心は善への欲求と悪の誘惑とに分かれています - ローマ 7:19

2. 私たちは正しいことを選び、間違ったことを避けるために日々戦わなければなりません - ローマ 7:19

1. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2. ガラテヤ 5:17 - 肉の欲望は御霊に反し、御霊の欲望は肉に敵対するからです。これらは互いに対立しており、あなたがやりたいことをするのを妨げているからです。

ローマ人への手紙 7:20 もし私がそんなことをするとしても、私はそんなことはしません。それはもはや私がそれをしているのではなく、私の中に住んでいる罪なのです。

パウロは、自分がしたくないことをするなら、それは自分ではなく、自分の中に住んでいる罪であると述べています。

1. 罪の性質を理解する: 罪の力をどのように克服できるか

2. 罪との闘い: キリストの自由の中で生きることを学ぶ

1. ローマ人への手紙 6:14 - あなたは律法の下ではなく恵みの下にいるので、罪はもはやあなたの主人ではありません。

2. 1 コリント 10:13 - 人類に共通する誘惑以外に、あなたを襲った誘惑はありません。そして神は忠実です。神はあなたが耐えられないほど誘惑されることを許しません。しかし、あなたが誘惑に遭ったとき、神はあなたがそれに耐えられるように、抜け出す道も備えてくださいます。

ローマ人への手紙 7:21 そこで、私が善を行おうとすると、悪が私についてくるという法則を見つけました。

パウロは、善を行うことと悪の誘惑との間で心の葛藤があることに気づきました。

1) 善と悪の間の闘争: 誘惑に打ち勝つ方法を学ぶ

2) 神の律法の力: 徳のある人生を送るための導き

1) ヤコブ 1:13-15 - 誘惑されたとき、誰も「神が私を誘惑している」などと言ってはならない。なぜなら、神は悪に誘惑されることはなく、また人を誘惑することもありません。しかし、人はそれぞれ、自分の邪悪な欲望に引きずられ、誘惑されるときに誘惑されます。

2) ガラテヤ 5:16-18 - そこで私は言います、御霊によって歩みなさい、そうすれば肉の欲望を満足させることはできません。なぜなら、肉は御霊に反するも

のを望み、御霊は肉に反するものを望むからである。それらは互いに対立しているので、あなたが望むことを何でもすることはできません。しかし、もしあなたが御霊に導かれているなら、あなたは律法の下にいません。

ローマ人への手紙 7:22 私は内なる人として神の律法を喜んでいます。

ローマ 7:22 の一節は、神の律法を喜ぶ喜びを強調しています。

1. 神の律法を喜ぶ喜び

2. 神の御心を喜ぶ

1. 詩篇 19:7-11 - 主の律法は完全であり、魂を生き返らせます。主のあかしは確かであり、単純な人を賢くする。

2. イザヤ書 58:13-14 - 「もしあなたが安息日から、私の聖日に自分の楽しみをすることから足を戻し、安息日を喜び、主の聖日を尊いものと呼ぶなら、それを尊重し、自分の道を行かず、自分の楽しみを求めず、無駄なおしゃべりをしないのであれば。

ローマ人への手紙 7:23 しかし、私は私の体の中に別の法則があり、私の心の法則と戦い、私の体にある罪の法則の虜にしているのを見ます。

罪の法則は心の法則と戦い、罪の捕虜へと導きます。

1. 内なる葛藤：罪と正義の間の葛藤を理解する

2. 思考を捕らえる：罪の力を克服する

1. ヤコブ 1:13-15 - だれも誘惑されたとき、「私は神に誘惑されている」などと言ってはなりません。なぜなら、神は悪に誘惑されることはなく、また神ご自身が人を誘惑することもないからです。しかし、人はそれぞれ、自分の欲望に惹かれて誘惑されることがあります。そして、欲望が妊娠すると、罪が生まれます。そして罪が大きくなると死をもたらします。

2. コロサイ 3:5-7 - したがって、地上にいるあなたがたの成員である不品行、汚れ、情欲、邪悪な欲望、そして偶像崇拝である貪欲を殺しなさい。これらのことのせいで、神の怒りが不従順の子らに臨んでいます。あなたたち自身もかつて彼らの中で生きていたとき、その中を歩んだのです。

ローマ人への手紙 7:24 ああ、私は惨めな男です。誰が私をこの死の体から救い出してくれるでしょうか？

パウロは自分の罪深い性質に対する不満を表明し、誰が自分を死すべき運命から救ってくれるのかと尋ねます。

1. 解放の力: 福音はどのようにして私たちを罪から解放するのか

2. 自分の弱さを認識する: 人間の罪深い本性を理解する

1. 詩篇 40:2 「神は私をぬるぬるした穴、泥とぬかるみの中から引き上げてくださいました。彼は私の足を岩の上に置き、しっかりと立つ場所を与えてくれました。」

2. ガラテヤ 5:16 「だから私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば肉の欲望を満足させることはできません。」

ローマ 7:25 私たちの主イエス・キリストを通して神に感謝します。ですから、私自身も心を込めて神の律法に仕えます。しかし、肉には罪の法則があります。

パウロは、イエス・キリストによる救いに対する神への感謝の意を表し、肉は罪の法則を追い求める一方で、心の中では神の律法に仕える努力をしていることを認めています。

1. 従順の闘い: 神の律法にどのように仕えるか

2. 恵みと感謝: 神の救いに対する私たちの反応

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. ガラテヤ 5:16-17 - 「しかし、私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、あなたは肉の欲望を満足させることはできません。なぜなら、肉の欲望は御霊に反し、御霊の欲望は欲望に反するからです。」肉よ、これらは互いに対立しており、あなたがやりたいことをするのを妨げているからです。」

ローマ人への手紙第 8 章はパウロの手紙の中でも力強い章で、御霊による命、神の子としての私たちの立場、将来の栄光の希望、そして神の愛の確信について論じています。

第 1 段落: この章は、パウロが、キリスト・イエスを通して、命を与える御霊の法則が私たちを律法・罪・死から解放してくださったので、キリスト・イエスにある者には今は罪に定められることはない、と主張するところから始まります(ローマ人への手紙 8:1-2) 。彼は、律法が肉によって弱められたために無力だったことを、神はご自身の御子に似た罪深い肉を罪のいけにえとして送ることによってなさったので、罪を非難した肉の秩序の義の要求を、肉に従って生きていない私たちに律法が完全に満たされるかもしれないと説明しています。ただし、御霊によると（ローマ人への手紙 8:3-4）。

第 2 段落: 5 ～ 17 節で、パウロは肉に従って生きることと霊に従って生きることを対比しています。肉に従って生きる人は、肉が望むものに心を定めます。しかし、御霊に従って生きる人は、御霊が望むことを心に留めています(ローマ8:5)。御霊によって私たちが悪行に死を与えれば、肉体は生き続ける、神の子供たちに導かれてすべてが生きる、霊の奴隷状態は受けなかった、恐怖に逆戻りし、「アバ、父よ」と叫ぶ霊の子としての身分を受け取った、聖霊ご自身が私たちの霊によって私たちが神の子であることを証ししてくださる、そのとき子供なら相続人――神の相続人はキリストと共同相続人であり、実際にキリストの苦しみを分かち合うならば、秩序もまたキリストの栄光を分かち合うことになるでしょう（ローマ人への手紙 8:13-17）。

第 3 段落: 18 節以降、パウロは希望について語ります。未来の栄光 創造は待ち望んでいます 啓示の子たち 神は自らの選択ではなく挫折にさらされています

希望はその束縛から解放されるでしょう 衰退は自由をもたらしました 栄光の子供たち 神自身が心の中でうめき声をあげて熱心に待ちます 養子の子としての贖いの体はこれです救われた希望。さらに、彼は、私たちが何を祈っているのかわからないとき、聖霊の弱さのとりなしを主張します、言葉のないうめき声、すべてが一緒に働きます、目的と呼ばれる善良な愛、分離したものは何もありません、キリスト、苦難、苦難、迫害、飢餓、危険、剣による圧倒的な勝利、彼が私たちを愛していることによる私たちの圧倒的な勝利、死も生も天使を確信させませんでした現在存在する悪霊も、将来の力も、高さ、深さ、その他何もかも、すべての被造物は、愛を切り離すことはできません。神は私たちの主キリスト・イエスのうちにおられます（ローマ人への手紙 8:18-39）。これは、神の愛におけるクリスチャンの永遠の安全についての強力な確信のメッセージを提供します。

ローマ人への手紙 8:1 したがって、キリスト・イエスにある者たち、つまり肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は罪に定められることはありません。

キリスト・イエスにあっては、肉ではなく御霊に従うことで罪に定められる人は誰もいません。

1. キリストにある命の祝福 - キリストへの信仰を通して義の自由を受け入れる

2. 非難を避ける - 肉ではなく御霊に従って歩む

1. ローマ 8:1-4 - したがって、キリスト・イエスにある者たち、つまり肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は何の非難もありません。なぜなら、キリスト・イエスにおける命の御霊の法則が、私を罪と死の法則から自由にしてくださったからです。律法が肉を通して弱かったという点で律法ではできなかったことを、神は罪深い肉に似せてご自身の御子を遣わし、罪のために肉において罪を非難されました。それは、律法の義が私たちのうちに成就されるためでした。彼らは肉に従ってではなく、御霊に従って歩むのです。

2. ガラテヤ 5:16 - そこで私は言います、「霊によって歩みなさい。そうすればあなたがたは肉の欲望を満たすことができません。」

ローマ人への手紙 8:2 なぜなら、キリスト・イエスにある命の御霊の法則が、私を罪と死の法則から自由にしてくださったからです。

この箇所は、私たちを罪と死の束縛から解放する、キリスト・イエスにある命の霊の力について語っています。

1. キリストにおける命の自由 - 私たちを罪と死の法則から解放する、キリスト・イエスの中に見出される命の御霊の力を探ります。

2. 十字架の力 - 私たちの生活に自由をもたらす十字架の変革の力を検証します。

1. ガラテヤ 5:1 - 「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださったのです。だからしっかり立ちなさい。奴隷のくびきに再び屈しないでください。」

2. ヨハネ 8:36 - 「だから、御子があなたを自由にしてくれるなら、あなたは確かに自由になるでしょう。」

ローマ人への手紙 8:3 というのは、律法が肉を通して弱いという点で律法ではできなかったことであるが、神はご自身の御子を罪深い肉に似せて遣わし、罪のため

に肉において罪を宣告されたのである。

神は罪を非難し、律法を可能にするためにご自身の御子を遣わされました。

1: 神の最大の贈り物

2: 十字架の力

ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ローマ人への手紙 8:4 それは、肉に従ってではなく御霊に従って歩む私たちのうちに、律法の義が実現するためです。

律法の義は、私たちが自分の欲望ではなく御霊に従うときに、私たちのうちに成就することができます。

1. 自己を手放し、スピリットを受け入れる

2. 成就をもたらす精神の力

1. コロサイ3:5-10

2. ガラテヤ5:16-26

ローマ人への手紙 8:5 というのは、肉に従う者たちは肉のことを気にするからです。しかし、御霊に従っている者たちは、御霊のものです。

罪深い性質に支配されている人は世俗的な欲望に焦点を当てていますが、御霊に導かれている人は霊的なことに焦点を当てています。

1. 心を新たにする: ローマ人への手紙 8:5 の研究

2. 最も重要なこと: 霊と肉体についての考察

1. コロサイ 3:2 - 「地上のものではなく、上にあるものに心を留めなさい。」

2. マタイ 16:26 - 「人が全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか。」

ローマ人への手紙 8:6 肉の思いを持つことは死です。しかし、霊的な考えを持つことは人生であり、平和です。

この一節は、人生と平和を経験するには、肉的な考え方ではなく、霊的な考え方を持つことの重要性を強調しています。

1. スピリチュアルな考え方を通して人生と平和を発見する

2. 肉欲と霊性の違いを理解する

1. コロサイ 3:2 - 地上のことではなく、天のことに心を留めてください。

2. ローマ 12:2 - この世に適応するのではなく、心を一新して変えてください。

ローマ人への手紙 8:7 なぜなら、肉の心は神に対する敵意だからです。なぜなら、それは神の律法に従わないからです。

肉の心は神と対立しており、決して神の律法に従うことはできません。

1: 神に近づくために、私たちは自分の意志を神に服従させ、神の律法に従うよう努めなければなりません。

2: 私たちは肉の欲望に誘惑されてはならず、自分の思いと心を神と神の道に集中し続けるよう努めなければなりません。

1: ピリピ 4:8 「最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉なこと、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、これらのことについて考えてください。」

コロサイ人への手紙 3:2、「地上のものではなく、上にあるものに心を留めなさい。」

ローマ人への手紙 8:8 したがって、肉にある者は神を喜ばせることはできません。

肉の欲望に従って生きる人は神を喜ばせることができません。

1. 肉と霊: 神に喜ばれる人生を送る方法

2. 神の恵みの力: 肉を克服する方法

1. ガラテヤ 5:16-17 - 「だから、私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、あなたがたは肉の欲望を満たすことができません。なぜなら、肉は御霊に対して欲情し、御霊は肉に対して欲情するからです。そしてこれらは反対です。」お互いに、そうすれば、あなたがたがやりたいことができなくなります。」

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 「世を愛してはなりません。世にあるものを愛してはいけません。世を愛する人がいるとしても、その人の中には父の愛がありません。世にあるすべてのものに対して、肉の欲望、目の欲望、そして人生の誇りは、父からのものではなく、世からのものです。そして、世界は過ぎ去り、その欲望：しかし、神の意志を行う者は過ぎます永遠に存続します。」

ローマ人への手紙 8:9 しかし、あなたがたは肉の中にいるのではなく、霊の中にいます。そうであれば、神の御霊があなたがたのうちに住んでいるのです。さて、もしキリストの御霊を持たない人がいるなら、その人はキリストのものではありません。

神の御霊は信じる者の中に宿っており、キリストの御霊を持たない人はキリストのものではありません。

1. 神の霊 - 神とのより近い歩み

2. キリストの御霊の必要性 - 神との契約の履行

1. コリント人への第一の手紙 6:19-20 - 「あなたは、自分の体が、神からいただいた聖霊の神殿であることを知らないのですか。あなたはお金を払って買われたものなので、自分のものではありません。だからあなたの体で神の栄光を讃えなさい。」

2. ヨハネ 14:16-17 - 「そして、私は父に願います。そうすれば、父はあなたに、永遠にあなたと共にいるもう一人の助け手を与えてくださいます。真理の御霊ですら、世は彼を見ることも知らないので、受け入れることもできません。」彼。あなたは彼を知っています、なぜなら彼はあなたとともに住み、あなたの中にいるからです。」

ローマ人への手紙 8:10 もしキリストがあなたの内におられるなら、その体は罪のために死んでいます。しかし、聖霊は義のゆえに命です。

私たちの内にキリストが臨在することによって、体は罪のために死んでいるにもかかわらず、義のゆえに霊においては生きているのです。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 義によって罪を克服する

1. ローマ人への手紙 8:10

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神

が御子を世に遣わされたのは、世を非難するためではなく、御子を通して世を救うためだったからです。

ローマ 8:11 しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでいる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださるでしょう。

イエスを死者の中からよみがえらせた神の御霊は私たちの内に住んでおり、私たちの死ぬべき体にいのちを与えてくださいます。

1. 私たちの中にある神の力：神の御霊がどのようにしてイエスを死者の中からよみがえらせ、私たちを復活させることができるのか

2. 復活の体験：神の霊とつながり、命を受け取る

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. エペソ 3:16-17 - それは、主の栄光の豊かさに応じて、キリストがあなたの内なる御霊によって力によって強められることをお与えになり、信仰を通してキリストがあなたの心の中に住まわれるようにするためです。

ローマ 8:12 したがって、兄弟たち、私たちは肉に対してではなく、肉に従って生きる義務があります。

私たちは肉の欲望に従わない生き方をするよう求められています。

1.「肉に逆らって生きる：神の道に従う」

2. 「私たちが負っている負債: 生涯を通じて神に仕える」

1. ガラテヤ 5:16-26 - 肉の欲望と御霊の欲望の間の闘争を思い出させます。

2. コロサイ 3:1-17 - 肉の欲望を滅ぼし、聖なる生活を送るよう呼びかけています。

ローマ人への手紙 8:13 なぜなら、もしあなたがたが肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬでしょう。しかし、もしあなたが御霊によって肉体の行いを悔い改めるなら、あなたがたは生きるでしょう。

この聖句は、私たちが行う選択には結果が伴うこと、神の御霊に従って生きると命がもたらされ、肉の欲望に従って生きると死が訪れるということを思い出させます。

1. 私たちが行う選択: 肉に従って生きることの結果

2. 霊の力: 死よりも生を選択する

1. ガラテヤ 5:19-21 - 今、肉の業が明らかになりました: 性的不道徳、不純さ、官能、偶像崇拝、魔術、敵意、争い、ねたみ、激怒、競争、意見の相違、分裂、ねたみ、酩酊、乱交など、などなど。以前に警告したように、そのようなことをする者は神の国を受け継ぐことはできないと警告します。

2. マタイ 6:24 - 誰も二人の主人に仕えることはできません。なぜなら、人は一方を憎んで他方を愛するか、あるいは一方に忠実で他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神と富に仕えることはできません。

ローマ人への手紙 8:14 神の御霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。

神の御霊は信者を神の子へと導きます。

1: 神の御霊があなたを神の子となるよう導いてください。

2: 神の御霊に従い、神の息子または娘になりましょう。

1: ガラテヤ 4:6-7 「そして、あなたがたは息子であるため、神は御子の御霊を私たちの心に送って、「アバ、父よ」と叫びました。ですから、あなたはもはや奴隷ではなく息子であり、息子であれば神を通しての相続人なのです。」

2: ヨハネ 1:12-13 「しかし、イエスを受け入れたすべての人、その名を信じた人には、血や肉の意志や人の意志によってではなく、神の子どもとなる権利をお与えになったのです。人間の意志ではなく神の意志だ。」

ローマ人への手紙 8:15 あなたがたは、恐れるほどの束縛の霊を再び受けていないからです。しかし、あなたがたは養子縁組の御霊を受けました。それによって私たちは叫びます、アバ、父よ。

クリスチャンは養子縁組の御霊を受けており、そのおかげで神を「アバ、父よ」と呼ぶことができます。

1. 養子縁組の慰め: 養子縁組の精神が私たちと神との関係をどのように変えるか

2. 恐れるな：束縛の精神を拒否し、養子縁組の精神を受け入れる

1. ガラテヤ 4:4-7 - しかし、時が満ちたとき、神は律法のもとに生まれた女から生まれた御子を遣わされました。息子たち。 6 そして、あなたがたは子であるため、神は御子の御霊を私たちの心に送って、「アバ、アバ！」と叫びました。父親！" 7 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、息子であり、息子であれば、神を通しての相続人なのです。

2. エペソ 1:5 - 神は、ご意志の目的に従って、イエス・キリストを通して私たちを養子として予定しておられました。

ローマ人への手紙 8:16 御霊ご自身が、私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。

神の御霊は、信者が神の子であることを証します。

1. 神の子としてのアイデンティティを証する

2. 御霊の力と神の家族における私たちの立場

1. ガラテヤ 4:6-7 - 「そして、あなたがたは息子であるため、神は御子の御霊を私たちの心に送って、「アバ、父よ！」と叫びました。ですから、あなたはもはや奴隷ではなく息子であり、息子であれば神を通しての相続人なのです。」

2. ヨハネ 1:12-13 「しかし、イエスを受け入れたすべての人、その名を信じた人には、血や肉の意志や人の力によってではなく、神の子どもとなる権利をお与えになったのです。人間の意志ではなく神の意志だ。」

ローマ人への手紙 8:17 もし子供であれば、相続人になります。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

キリストを信じる者は神の相続人であり、キリストとの共同相続人であり、もしキリストと共に苦しむ意欲があるなら、共に栄光を受けることになります。

1. 栄光の約束：キリストと一致して神の素晴らしさを体験する

2. キリストとともに苦しむ: キリストの共同相続人となる道

1. ガラテヤ 3:26-29 - あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰による神の子だからです。なぜなら、キリストに結ばれるバプテスマを受けたあなた方の多くは、キリストを着ているからです。ユダヤ人もギリシャ人も、絆も自由も、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。そして、もしあなたがキリストのものであるなら、あなたはアブラハムの子孫であり、約束によると相続人です。

2. エペソ人への手紙 1:3-5 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。彼はキリストにあって天上のすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。それは、私たちが聖なる者となり、愛において神の御前に罪のない者となるためです。イエス・キリストがご自身の御意志に従って、子供たちを養子に迎えるように私たちを予定しておられたのです。

ローマ人への手紙 8:18 なぜなら、今の苦しみは、私たちの内に現される栄光に比べれば値しないと私は思うからです。

現在の苦しみは、やがて現れる栄光とは比べものになりません。

1: 私たちは、現在直面している困難にもかかわらず、私たちを待っている将来の栄光に目を向けなければなりません。

2: 私たちはこの世で試練や艱難に直面しますが、将来私たちを待っている栄光という賞に目を留めていなければなりません。

ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。

ヘブライ人への手紙 11:1 - さて、信仰とは、私たちが望んでいることに対する確信であり、目に見えないものについての確信です。

ローマ人への手紙 8:19 なぜなら、被造物の切なる期待は、神の子たちの現れを待っているからです。

この被造物は神の子の出現を待っています。

1. 待つ者の希望

2. 神の子供たちに対する忠実な期待

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ハバクク 2:3 - 幻はまだ定められた時まであるが、最後には語るであろう、嘘はつかない。たとえ遅れても、それを待ちなさい。それは必ず来るから、遅れることはない。

ローマ人への手紙 8:20 なぜなら、この被造物が虚栄心にさらされたのは、自ら望んでではなく、希望をもって同じように虚栄心を抱いた方のゆえに、であるからです。

その被造物は希望のために神によって虚栄心を与えられた。

1. 人生の困難にもかかわらず神に希望を持つ

2. 困難な時であっても神の主権を認識する

1. 哀歌 3:22-23 - 「私たちが滅ぼされないのは、主の憐れみによるものです。主の憐れみは絶えないからです。彼らは朝ごとに新しくなります。あなたの忠実さは偉大です。」

2. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいます。そして川を通って、川はあなたに氾濫しません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれません。炎も燃え上がりません。」あなたの上に。」

ローマ人への手紙 8:21 なぜなら、被造物そのものも、堕落の束縛から解放されて、神の子らの輝かしい自由の中に入るからです。

被造物は堕落の束縛から解放され、神の子の輝かしい自由が与えられます。

1. 神の子供たちの輝かしい自由

2. 腐敗の束縛から解放される

1. ガラテヤ 5:1 - したがって、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ちなさい。

2. コリント人への第二の手紙 3:17 - さて、主はその御霊です。そして主の御霊のあるところには自由があります。

ローマ人への手紙 8:22 なぜなら、被造物全体が今に至るまで共にうめき、苦しみながら苦しんでいることを私たちは知っているからです。

創造物は太古の昔から苦しみと痛みの状態にあります。

1. 「創造のうめき声: 痛みが私たちの視点をどのように形作るか」

2.「苦しみの中の希望：忍耐の力」

1. イザヤ書 55:8: 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。」

2. コリント第二 4:16-18: 「そうすれば、私たちは意気消沈しません。私たちの外側の自己は衰えつつありますが、私たちの内側の自己は日々新たにされています。なぜなら、私たちが目に見えるものではなく、目に見えないものに目を向けるとき、この軽い一時的な苦しみは、どんな比較をも超えた永遠の栄光の重みを私たちに備えているからです。なぜなら、目に見えるものは儚いものですが、目に見えないものは永遠だからです。」

ローマ 8:23 そして、彼らだけでなく、御霊の初穂を持つ私たち自身も、心の中でうめきながら、養子縁組、機知に富んだ体の救いを待っています。

クリスチャンは、神の養子縁組計画の一部である自分の体の救いを期待してうめきます。

1. 聖徒たちのうめき: 主を待ち望むことを学ぶ

2. 私たちの体の救い：私たちの希望と永遠の命の保証

1. ローマ人への手紙 8:18-25

2. イザヤ書40:31

ローマ人への手紙 8:24 なぜなら、私たちは希望によって救われているからです。しかし、目に見える希望は希望ではありません。人は目に見えるものを、なぜまだ望むのでしょうか。

私たちは目に見えない希望によって救われているのに、なぜ私たちは目に見えないものを望んでしまうのでしょうか。

1. 希望の力: 目に見えないものを信じるとはどういう意味か

2. 結果が見えなくても信仰を貫く方法

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っています」と主は言われます、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

ローマ 8:25 しかし、目に見えないことを望むなら、忍耐してそれを待ちましょう。

私たちには、目に見えないものに対して忍耐と希望を持つことが求められています。

1. 忍耐は美徳です: 希望を持って待つ

2. 目に見えないものを予期する: 信仰と希望

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

2. ヤコブ 5:7-8 - ですから、愛する人たち、主が来られるまで辛抱してください。農夫は、早い雨と遅い雨が降るまで辛抱強く、大地から貴重な作物が収穫されるのを待ちます。

ローマ 8:26 同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきか分からないからです。しかし、御霊ご自身が、声にならないうめきをもって私たちのためにとりなしてくださいます。

私たちが何を祈ればよいかわからないとき、御霊は私たちのためにとりなしてくださいます。

1. 御霊が執り成してくださいます: 祈りにおいて神の愛がどのように私たちを支えているか

2. 聖霊の計り知れない賜物

1. ヨハネ第一 3:20、「もし私たちの心が私たちを罪に定めるとしても、神は私たちの心よりも偉大で、すべてをご存じだからです。」

2. 詩篇 139:23-24、「神よ、私を調べて、私の心を知ってください。私を試し、私の考えを知ってください。そして私の中に邪悪な道があるかどうかを見て、私を永遠の道に導いてください。」

ローマ人への手紙 8:27 そして、心を探る者は、御霊の思いが何であるかを知っています。なぜなら、御霊は神の御心に従って聖徒のために執り成しをしてくださるからです。

神は私たちの心を知っておられ、ご意志に従って私たちのために執り成してくださいます。

1. 神の変わらぬ愛：父の心を理解する

2. とりなしの力：私たちの人生に対する神の御心を知る

1. 詩篇 139: 23-24 - 神よ、私を捜し求めて、私の心を知ってください。私を試して私の考えを知ってください！そして、私の中に何か悲惨な道があるかどうかを見て、永遠の道に私を導いてください！

2. ヘブライ 4:12-13 - 神の言葉は生きていて活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄の分裂を突き刺し、人の思いや意図を識別するからです。心臓。そして、どんな生き物も彼の目から隠されておらず、すべてが裸であり、私たちが説明しなければならない彼の目にさらされています。

ローマ人への手紙 8:28 そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちにとっては、すべてのことが益となるように共に働いていることを私たちは知っています。

神を愛し、神の目的に従って召された人々のために、神はすべてを共に働かせます。

1. 困難な時に神を信頼することを学ぶ

2. 私たちの人生における神の目的と働き

1. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っています」と主は言われます、「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

2. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。

ローマ 8:29 イエスは、そのことをあらかじめ知っていて、多くの兄弟たちの中で長子となるように、御子の似姿になれるよう予定しておられたのです。

神は、あらかじめ知っていた人々が御子イエス・キリストに似るようにあらかじめ定められ、多くの兄弟姉妹の長子となるようにされました。

1. 神の愛: イエスと一致するように定められている

2. 予定説: キリストのようになるための私たちの道

1. ヨハネ第一 3:1 - 私たちが神の子と呼ばれるために、父が私たちにどのような愛を与えてくださったか見てください。そして私たちもそうです。

2. エペソ 1:4-5 - 神は、私たちが神の御前で聖く、罪のない者となるために、世界の基が置かれる前に私たちをご自分のうちに選んでくださったのと同じです。神は愛によって、ご意志の目的に従って、イエス・キリストを通して私たちを養子として迎えるようあらかじめ定めてくださいました。

ローマ人への手紙 8:30 さらに、神は誰を予定し、彼らを召し、また、召された人々を義とし、義と認め、栄光も与えられたのです。

神はご自身が選んだ人々を予定し、召し、義とし、栄光を与えられました。

1. 神に選ばれた者の栄光

2. 予定説: 神の愛の贈り物

1. エペソ人への手紙 1:4-5 - 「神は、愛のうちに神の御前で聖く傷のない者となるために、世の基が置かれる前に私たちをご自分において選んでくださったのと同じように、イエス・キリストが私たちを養子縁組するよう予定しておられたのです。彼のご意志に従って、」

2. イザヤ書 43:7 - 「わたしの名で呼ばれる者はみな、わたしは自分の栄光のために彼を創造し、彼を形作ったのである。はい、私が彼を作りました。」

ローマ人への手紙 8:31 では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

神は常に私たちの味方であり、あらゆる反対から私たちを守ってくださいます。

1. 神はいつも私たちと共におられる - ローマ人への手紙 8:31

2. 神の変わらぬ愛 - ローマ人への手紙 8:31

1. 詩篇 118:6 - 主は私の味方です。私は恐れません。人間は私に何ができるでしょうか？

2. イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

ローマ人への手紙 8:32 ご自分の御子を惜しまず、わたしたちすべてのために引き渡してくださった方は、どうして御子とともに、すべてのものを惜しみなくわたしたちに与えて下さるはずがありませんか。

神は御子イエス・キリストを遣わして私たちに究極の賜物を与えて下さり、今後も私たちにあらゆるものを惜しみなく与えてくださるでしょう。

1. イエス・キリストの計り知れない賜物

2. 神の比類のない寛大さ

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. コリント人への第二 9:15 - 言葉では言い表せない賜物を与えてくださった神に感謝します。

ローマ人への手紙 8:33 誰が神の選民に何かを課すことができるでしょうか。義とされるのは神です。

神は忠実で公正な方であり、選ばれた者たちを決して悪事で責めることはありません。

1. 神の揺るぎない忠実さ

2. 神の義の正当化

1. ローマ人への手紙 3:21-26 - しかし今、律法とは別の神の義が、イエス・キリストへの信仰を通して、律法と預言者によって証しされて、すべての信じる者に明らかにされています。。違いがないからです。なぜなら、すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。

2. 詩篇 103:12 - 東が西から遠い限り、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

ローマ人への手紙 8:34 罪に定めているのは誰ですか。死んだキリストこそ、いやむしろ復活したキリストであり、神の右におられ、私たちのためにも執り成してくださっているのです。

キリストは私たちのために死んで復活し、今は神の右で私たちのために執り成しをしています。

1. イエス・キリストの愛ととりなし

2. キリストの救いと恵み

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. ヨハネ第一 2:1-2 - 私の幼い子供たちよ、これらのことから、あなたがたは罪を犯さないようにと私はあなたに書きます。そして、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちには父なる御父の代弁者、義人イエス・キリストがいます。そして彼は私たちの罪のためのなだめの者です。そして私たちだけの罪のためではなく、全世界の罪のためでもあります。

ローマ人への手紙 8:35 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか。艱難か苦悩か迫害か飢餓か裸か危険か剣か？

パウロは、誰が私たちをキリストの愛から引き離すことができるのかと尋ね、私たちが耐えるかもしれないさまざまな苦難を挙げています。

1.「キリストの揺るぎない愛」

2. 「困難な時代における信仰の強さ」

1. ヘブライ 13:5 - 「お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

2. コリント人への第二の手紙 12:9 - しかし、彼は私にこう言いました、「私の恵みはあなたに十分です。私の力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」

ローマ人への手紙 8:36 「あなたのために、私たちは一日中殺されます。」と書いてあるとおりです。私たちは屠殺される羊とみなされます。

神の民は神のために喜んで苦しみます。

1: 私たちはキリストのために喜んで苦しみ、毎日十字架を背負わなければなりません。

2: 神は栄光のために私たちの苦しみを乗り越えてくださいます。

1: 1 ペテロ 5:6-7 「ですから、神の力強い御手の下で謙虚になりなさい。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを高め、思い煩いをすべて神に委ねてくださるでしょう。神はあなたを顧みておられるからです。」

2: イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

ローマ人への手紙 8:37 いや、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは勝利者以上の者なのです。

キリストにあって、私たちはどんな障害や困難に直面しても克服することができます。

1. キリストを通して困難を克服する

2. 信仰を通じて恐怖を克服する

1. ヨハネ第一 4:18。完璧な愛は恐怖を追い出す

2. イザヤ書 41:10。恐れることはありません、私はあなたと一緒にいるからです。がっかりしないでください、私はあなたの神だからです

ローマ人への手紙 8:38 なぜなら、私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、現在のものも、将来のものも、

この一節は、何ものも私たちを神の愛から引き離すことはできないと述べています。

1: 神の終わりのない愛 - この人生で何に直面しても、私たちは常に神の愛を確信できます。

2: 神の変わらぬ性質 – 私たちに対する神の愛は、私たちの状況によって変動することはなく、常に一定で確かなものです。

1: エレミヤ 31:3 - 主は昔、私に現れてこう言われました。したがって、私は愛情を込めてあなたを描きました。

2: イザヤ書 40:8 - 草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に立つ。

ローマ人への手紙 8:39 高さも、深さも、その他のいかなる被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。

イエス・キリストにある神の愛から私たちを引き離すものは何もありません。

1: 神の終わりのない愛

2: 罪の分離を克服する

1: エレミヤ 31:3 - 主は過去に私たちに現れてこう言われました。変わらぬ優しさで描きました。

2: ヨハネ第一 4:18 - 愛には恐れがありません。しかし、恐怖には罰が伴うため、完全な愛は恐怖を追い出します。恐れる人は愛において完全にされていません。

ローマ人への手紙 9 章は複雑な章で、パウロはイスラエルを選ぶ神の主権、選挙における神の義、そして神の救いの計画に異邦人が含まれることについて論じています。

第 1 段落: この章は、パウロが自分の民であるイスラエル人に対する深い悲しみと絶え間ない苦しみを表明することから始まります。彼は、自分自身が彼らのために呪われてキリストから切り離されることさえ望んでいます(ローマ9:1-3)。彼は、養子縁組、神の栄光の契約、律法を受けること、神殿礼拝を族長に約束すること、人類の祖先であるすべての上の神であるキリストを永遠に讃美することとして彼らに与えられた特権を認めています（ローマ 9:4-5）。しかし、彼は、イスラエルの子孫がすべてイスラエルであるわけではなく、アブラハムの子孫であるからといって全員が彼の子供であるわけではなく、「あなたの子孫はイサクに数えられる」 (ローマ人への手紙9:6-7)と明言しています。

第 2 段落: 8 節から 18 節で、パウロは、イシュマエルよりもイサク、エサウよりもヤコブの例を用いて、彼らが生まれる前、あるいは善いことも悪いこともする前から、選挙における神の主権的な選択を説明しています。これは、それが人間の欲望や努力によるのではなく、神の憐れみによることを示しています(ローマ9: 8-16)。彼はさらに、神が神の力を示し、その名を全地に宣べ伝えるために、それによって欲する者を欲する者をかたくなにする憐れみを示すために神が立てられたファラオに言及することによってこのことを説明しています（ローマ人への手紙9:17-18）。

第３段落：19 節以降、パウロは神の主権の公平性についての反対を予想しています。彼は、陶芸家が粘土で作った正しい物体を「なぜ私をこのように作ったのですか？」と例えています。陶芸家が同じ塊状粘土の権利を持っている場合、ある陶器を高貴な目的に、別の一般的な用途にします（ローマ人への手紙 9:19-21）。次に彼は、神が激しい忍耐をもって、怒りが備えられた滅びを備えた対象を忍耐して耐えられたとしたら、富を栄光にし、慈悲が備えられたあらかじめ栄光を与えてくださったとしたら、ユダヤ人だけでなく異邦人も含めて私たちを栄光と呼んだのではないかと論じます。書かれているように、「私は彼らを私の民ではない私の民と呼びます、私は彼女の最愛の人は最愛ではなかったと呼びます」「あなたが「あなたは私の民ではない」と言われた場所で起こります、そこで彼らは「神を生きる子供たち」と呼ばれます」イスラエルに関しては、救われたすべての異邦人が全員来るまで、硬化部分が起こりました。これは次の章への準備を整え、完全な異邦人がイスラエル全土を究極の救いに導くまでイスラエルを部分的に硬化させる謎を説明します。

ローマ人への手紙 9:1 私はキリストにあって真実を言い、偽りはありません。私の良心も聖霊によって証ししてくれます。

パウロは、ユダヤ人と神との親族関係についての自分の発言が真実であると心から信じていることを表明しています。

1. 神との関係、そしてお互いの関係における真実と誠実さの重要性。

2. ユダヤ人に対する神の約束に対する神の忠実さ。

1. コリント人への第二の手紙 1:12 - 私たちの誇りはこれです。それは、私たちがこの世で、肉の知恵ではなく神の恵みによって、素朴かつ敬虔な誠実さをもって行動したという良心の証しです。

2. 申命記 7:9 - したがって、あなたの神、主が神であることを知りなさい。イエスは忠実な神であり、ご自分を愛し、戒めを守る千世代の人々に愛の契約を守られます。

ローマ人への手紙 9:2 私の心には大きな重さと絶え間ない悲しみがあります。

パウロはイスラエルの民に対する心の深い悲しみと苦しみを表現しています。

1: 「私たちの失敗にもかかわらず、神の愛は変わらない」

2: 「霊的不従順の悲しみ」

1: 哀歌 3:22-23 - 「主の変わらぬ愛は決して絶えることがありません。その憐れみは決して終わることがありません。それらは朝ごとに新しくなります。あなたの忠実さは偉大です。」

2: ヘブル人への手紙 4:15-16 「私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司はいません。あらゆる点で私たちと同じように誘惑に遭いながらも、罪を犯していない大祭司がいます。それでは、自信を持って絵を描きましょう。恵みの御座の近くにあり、私たちが慈悲を受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように。」

ローマ人への手紙 9:3 なぜなら、私は、肉による私の兄弟たち、つまり私の親族のために、自分自身がキリストから呪われればいいのにと願うからです。

イエスを拒絶した同胞のユダヤ人たちのために自分の救いを放棄したいという願望を表明しています。

1. 愛の力: 他者のために犠牲を払う

2. 弟子としての代償: 痛む心

1. ヨハネ 15:13 - 「友人のために命を捨てること、これより大きな愛はありません。」

2. マタイ 19:29 - 「そして、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子供、土地を残した者は皆、百倍を受け、永遠の命を受け継ぐであろう。」

ローマ人への手紙 9:4 イスラエル人とは誰ですか。養子縁組、栄光、契約、律法の授与、神への奉仕、約束は誰に関係するのか。

パウロは、養子縁組、栄光、契約、律法、神への奉仕、約束など、イスラエル人に与えられている多くの特権を思い出させます。

1. 選ばれた民に対する神の心: ローマ人への手紙 9:4 の研究

2. イスラエル人の特権: 神の祝福を祝う

1. 申命記 7:6-8 - あなたはあなたの神、主にとって聖なる民だからです。あなたの神、主はあなたを、地上のすべての民の中でも特別な民として選ばれました。

2. エペソ 3:6 - 異邦人は、同じ相続人であり、同じからだであり、福音によってキリストにある約束にあずかる者となるためです。

ローマ人への手紙 9:5 誰の先祖であり、肉に関してはキリストが来られたので、神は永遠に祝福されました。アーメン。

神はイエス・キリストの父親を選び、彼らを永遠に祝福しました。

1: 私たちには神に選ばれること以上の名誉はありません。

2: イエス・キリストを受け入れるとき、私たちは神の祝福を確信することができます。

1: エペソ人への手紙 1:3-6 - 神の祝福と恵みを讃美します。

2: イザヤ書 45:25 - 神の祝福と救いを讃美します。

ローマ人への手紙 9:6 神の言葉が何の効力も持たなかったわけではありません。なぜなら、彼ら全員がイスラエルの者であるわけではないからです。

神の言葉は一部の人に適用され、他の人には適用されないため、イスラエル人全員が真のイスラエルであるわけではありません。

1. 神の言葉はすべての人に当てはまるわけではない

2. 真のイスラエルの意味

1. ガラテヤ 6:16 - 「そして、この規則に従って歩む者には、平和が彼らの上にあり、憐れみと神のイスラエルの上にありますように。」

2. 使徒 13:46 - 「そこで、パウロとバルナバは大胆になって言った、「まず神の言葉があなたたちに語られることが必要でした。しかし、あなたたちがそれを自分から遠ざけ、永遠の命にふさわしくないと自分たちを判断しているのを見て、ああ、私たちは異邦人に目を向けます。」

ローマ人への手紙 9:7 また、彼らはアブラハムの子孫であるため、全員が子供であるわけではありません。しかし、あなたの子孫はイサクと呼ばれるでしょう。

この聖句は、アブラハムの子孫だからといって、自動的に神の子になるわけではないことを強調しています。アブラハムに対する神の約束はイサクを通して実現します。

1. アブラハムに対する神の約束はイサクを通して果たされる

2. アブラハムの子孫だからといって、自動的に神の子になるわけではありません

1. ガラテヤ人への手紙 3:16、「さて、アブラハムとその子孫には約束がありました。彼は、「多くの種子と同様に、種子にも」とは言いません。しかし、一人として、そしてあなたの子孫、つまりキリストに。」

2. ヘブライ人への手紙 11:17-19、「信仰によって、アブラハムは裁判にかけられたとき、イサクを差し出しました。そして、約束を受けた者は自分の独り子を差し出しました。その子については、『あなたの子孫はイサクになるであろう』と言われました。」神は死者の中からでも彼をよみがえらせることができたと考えている。そこから彼は彼を姿で受け取ったのです。」

ローマ人への手紙 9:8 つまり、肉の子である彼らは神の子ではありません。しかし、約束の子たちは子孫として数えられます。

神に選ばれた民は、肉体的な血統によって決まるのではなく、神の約束によって選ばれた民によって決まります。

1. 約束の子供たち: なぜ私たちは神に選ばれたのか

2. 私たちのアイデンティティを知る: キリストにおいて私たちは誰であるか

1. ガラテヤ 3:26-29 - あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰による神の子だからです。

2. エペソ人への手紙 1:3-6 - 神は愛のうちに、ご自身の望みとご意志に従って、イエス・キリストを通して私たちを養子として子として迎えるようあらかじめ定めてくださいました。

ローマ人への手紙 9:9 これが約束の言葉です。「今ごろ、わたしは来ます。サラには男の子が生まれます。」

神はアブラハムとサラに適切な時期に息子を授けると約束し、その約束は実現しました。

1. 神の忠実さ - 神の約束はどのように常に果たされるのか

2. 祈りの力 - 祈りはどのように神の約束をもたらすのか

1. エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている、と主は言われる、あなたを傷つけず繁栄させる計画、あなたに希望と未来を与える計画。

2. 詩篇 37:4 - 主を喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いをかなえてくださいます。

ローマ人への手紙 9:10 これだけではありません。しかし、レベッカもまた、私たちの父イサクによってさえも妊娠したとき。

神はレベッカとイサクを二つの偉大な国の親として選びました。

1. 神の計画は理解するのが難しいことがよくありますが、それは常に良いものであると信頼できます。

2. たとえ意味が分からないとしても、神は私たち一人一人のために計画を持っているという信仰を持つことができます。

1. 創世記 25:21-26 - レベッカは二人の息子を身ごもります。

2. ローマ人への手紙 8:28 - すべては神の益のために協力します。

ローマ人への手紙 9:11 (子供たちはまだ生まれておらず、善も悪も行っていません。それは、選びによる神の目的が、行いではなく、呼びかける方によって実現するためです。)

神の選びは、行いではなく、神の目的に基づいています。

1. 神の無条件の愛 - すべての人に対する神の主権的な恵みと慈悲を認識します。

2. 神の選出 – 神が特定の人々を選ぶ理由を理解する。

1. エペソ 2:8-9 - あなたがたは恵みによって救われたのですが、それは自分自身によるものではなく、信仰によって救われたのです。それは神の賜物であり、行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ローマ 11:33 - ああ、神の知恵と知識の富の深さ！神の裁きと、それを見つけ出すことを超えた神の道は、なんと探求しがたいものなのでしょう。

ローマ人への手紙 9:12 彼女に言われた、「年上の人は年下の人に仕えなさい」。

ローマ人への手紙 9 章 12 節の一節には、年長者は年下者に仕えなければならないと書かれています。

1. 神は年齢に関係なく、すべての人のための計画を持っています。若い世代にも高齢者と同じくらいの可能性があることを覚えておくことが重要です。

2. 年齢は人生の重要性や目的の尺度ではなく、誰もがより大きな善に貢献できることを思い出させるものです。

1. 箴言 16:31 - 白髪は栄光の冠。それは義にかなった生活の中で得られます。

2. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

ローマ人への手紙 9:13 書いてあるとおり、私はヤコブを愛しましたが、エサウを憎みました。

神はヤコブを愛し、エサウを憎むことを、どちらかが生まれる前から選んだのです。

1. たとえ理解されなくても、神の愛は強力で完全です

2. 神の計画は私たちの理解を超えており、神の愛は私たちが理解できるものよりも大きいことを覚えておく必要があります。

1. 申命記 7:6-8 - あなたはあなたの神、主にとって聖なる民だからです。あなたの神、主は、地上のすべての民族の中から、ご自身の宝の民としてあなたを選ばれました。主があなたに愛を注ぎ、あなたを選んだのは、あなたが他のどの民よりも数が多かったからではありません。あなたはすべての民の中で最も少数だったからです。

2. エレミヤ 31:3 - 主は遠くから彼に現れました。私は永遠の愛であなたを愛しました。したがって、私はあなたに対して忠実を続けてきました。

ローマ人への手紙 9:14 それでは、何と言いましょうか。神に不義はあるのでしょうか？神は禁じます。

パウロは神が不義ではないかと尋ねますが、その考えはすぐに却下されます。

1. 神は善い方です: 困難な世界で信仰を再確認する方法

2. 神の正義: ローマ人への手紙 9:14 についての研究

1. 詩篇 145:17 - 主はあらゆる道において義であり、ご自分の造られたすべてのものに対して愛を持っておられます。

2. ヤコブ 2:13 - 憐れみを示さない者には裁きが容赦ないからです。慈悲は裁きに勝ちます。

ローマ人への手紙 9:15 彼はモーセに言った、「わたしは憐れむ者を憐れみ、憐れむ者を憐れむ」。

神は主権者であり、ご自身が選んだ人に対して慈悲と同情心を持っておられます。

1. 神の主権と神の憐れみ

2. 神の慈悲を理解する

1. 出エジプト記 33:19 - 「そして彼は言った、『わたしは自分の善いことをすべてあなたの前に伝え、あなたの前でわたしの名を『主』と宣言します。』そして、私が慈悲を示す人には慈しみを示し、憐れみを示す人には慈悲を示します。」

2. ヤコブ 2:13 - 「憐れみを示さなかった者には裁きは容赦ないからです。慈悲は裁きに勝利します。」

ローマ人への手紙 9:16 ですから、意志する者や実行する者ではなく、憐れみを与えてくださる神によるのです。

私たちの人生を最終的に決定するのは神の憐れみであり、人間の意志や行動ではありません。

1. 神の憐れみの力

2. 神の主権

1. ヤコブ 1:17 - すべての良い完全な賜物は上から来て、天の光の父から降りてくるものであり、移り変わる影のように変わることはありません。

2. 詩篇 136:1-2 - 主は善い方であるので、主に感謝しましょう。彼の愛は永遠に続きます。神々の中の神に感謝を捧げましょう。彼の愛は永遠に続きます。

ローマ人への手紙 9:17 聖書はファラオにこう言っています。「わたしがあなたをよみがえらせたのは、これと同じ目的のためです。それは、わたしがあなたの力を示し、わたしの名が全地に宣べ伝えられるためです。」

聖書はファラオに、神が自分の力を示し、世界中に宣言されるように彼を育てたと述べています。

1. 神は全能である: ローマ人への手紙 9:17 の A

2. あらゆる場所で神の名を宣言する: ローマ人への手紙 9:17 の A

1. 出エジプト記 9:16 - この目的のために、わたしはあなたをよみがえらせました。あなたの力を示し、わたしの名が全地に宣べ伝えられるようにするためです。

2. 詩篇 66:3 - 神に言ってください、あなたの行いはなんとひどいことでしょう。あなたの力の偉大さによって、あなたの敵はあなたに服従するでしょう。

ローマ人への手紙 9:18 それゆえ、彼は誰を憐れみ、誰を厳しくするのでしょうか。

神の憐れみと力は人間の制御の対象ではありません。

1. 神の主権: 憐れみを抱き、頑なになる

2. 神の憐れみを理解する: 神は誰を選ぶのか?

1. イザヤ書 55:8-9 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、私の道はあなたの道や私の思いよりも高いからである」あなたの考えよりも。」

2. マタイ 19:26 - 「しかし、イエスは彼らを見て言われた、「人間にはそれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」

ローマ人への手紙 9:19 そのとき、あなたは私にこう言います、「なぜ彼はまだあら探しをするのですか」。誰が彼の意志に抵抗したのでしょうか？

神の主権と力は無限であり、神の知恵は人間の理解を超えています。

1: たとえ神が特定のことを許可する理由が理解できない場合でも、私たちは神の究極の善意を信頼して神の旨を受け入れるべきです。

2: 私たちは神の力と知恵を決して疑ってはならず、その代わりに謙虚さと敬意をもって神の神聖な意志を理解するよう努めるべきです。

1: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2: ヨブ 42:2 - 「あなたにはどんなことでもできるし、あなたのどんな目的も妨げられないことを私は知っています。」

ローマ人への手紙 9:20 いや、しかし、おお、神に反抗するあなたは何者ですか。形成されたものは、それを形成した彼に、「なぜあなたは私をそのようにしたのですか？」と言うでしょうか？

パウロは、なぜ人間が神の決定や権威に異議を唱えるのか疑問を抱いています。

1. 神の主権: 神が私たちの生活の中でどのように働くかを理解する

2. 神の完璧な計画を信頼する

1. イザヤ書 45:9-10 - 「造り主とともに奮闘する者は災いである。陶器の破片が地の陶器の破片とともに奮闘するように。粘土はそれを作る者に言うだろうか、あなたは何を作るのか、あるいはあなたの仕事は彼が持っている」手が無いの？」

2. ヨブ 40:1-2 - 「さらに主はヨブに答えて言われた、『全能者と争う者が彼に教えを与えようではないか。神を戒める者はそれに答えさせなさい。』」

ローマ人への手紙 9:21 陶器師には、同じ塊の粘土を支配して、ある器を名誉に、また別の器を不名誉にする力があったのではないか。

神は陶芸家であり、同じ粘土の塊から名誉と不名誉のための器を作り出す力を持っています。

1.神の力: 神はどのように主権を行使するか

2. 陶芸家と粘土：神の主権と人間の責任

1. イザヤ書 64:8 - 「しかし、主よ、あなたは私たちの父です。私たちは粘土であり、あなたは私たちの陶芸家です。そして私たち全員はあなたの御手の作品です。」

2. エレミヤ 18:1-6 - 「主からエレミヤに臨んだ言葉、こう言われた。「立って陶器師の家に行きなさい。そこでわたしの言葉を聞かせよう。」

ローマ 9:22 もし神が、自らの怒りを示し、その力を知らせようとして、滅びにふさわしい怒りの器を辛抱強く耐えられたとしたらどうなるでしょうか。

神の力と怒りは、滅びにふさわしい怒りの器を用いた神の忍耐によって実証されます。

1. 辛抱強く耐える神の力と怒り

2. 神の怒りと忍耐を理解する

1. エペソ 2:4-5 - しかし、神は憐れみに富んでおり、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。

2. ペテロ第一 3:18-19 - なぜなら、キリストも、義人として不義の者のために一度は罪のために苦しみ、私たちを神のもとに導くために、肉においては死に処せられましたが、霊においては生かしてくださったからです。

ローマ人への手紙 9:23 それは、彼が栄光のためにあらかじめ用意しておいた憐れみの器に乗って、その栄光の富を知らせるためであり、

主は憐れみの器として選んだ人々に栄光を現されます。

1. 神の憐れみ: 神の栄光を受ける者を選ぶ

2. 主の栄光を受ける準備: 慈悲の器とは誰ですか?

1. エペソ人への手紙 2:4-9 (しかし、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、憐れみ豊かな神よ。)

2. 詩篇 103:8-14 (主は憐れみ深く慈しみ深く、怒るのが遅く、憐れみに富みます。)

ローマ人への手紙 9:24 彼が召されたのは、ユダヤ人だけでなく、異邦人でもある私たちでしょうか。

パウロはローマ人に手紙を書き、神がユダヤ人にも異邦人にもご自分への信仰を招いておられることを思い出させています。

1. 神の愛はすべてのものです: 神の呼びかけの包括的な性質を探る

2. 神の偉大さ: ユダヤ人と異邦人の両方に対する神の憐れみと恵みを祝う

1. エペソ人への手紙 2:11-22 - 異邦人を神の国に含めることを探る

2. アモス 9:7-12 - すべての国に対する回復と救いという神の約束

ローマ人への手紙 9:25 彼がオゼーでも言っているように、私は彼らを私の民と呼びますが、彼らは私の民ではありませんでした。そして愛されていない彼女の最愛の人。

パウロはローマ人への手紙 9章25節で預言者ホセアの言葉を引用し、神がご自分の民ではない人々をどのように呼び、これまで愛されていなかった人々をどのように愛されるかを説明しています。

1. 神の無条件の愛: 神は自分の者ではない人々さえもどのように愛されるのか

2. 愛の力: 神の愛はどのように人生を変えることができるか

1. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです」。」

2. ガラテヤ 5:22-23 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

ローマ人への手紙 9:26 そして、彼らに言われた場所で、「あなたがたはわたしの民ではない。あなたがたはわたしの民ではない。」と言われたことがわかるでしょう。そこで彼らは生ける神の子供たちと呼ばれるであろう。

神は神の民ではない人々に救いをもたらし、彼らを神の子と呼びます。

1. 神の無条件の愛: 神はどのようにしてすべての人に救いをもたらすのか

2. 生ける神の子供になる方法: 救いを受けるためのステップ

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ヨハネ第一 5:11-12 - そしてこれが証しです。神は私たちに永遠の命を与え、この命は御子の中にあります。御子を持つ者には命があります。神の御子を持たない者には命がありません。

ローマ人への手紙 9:27 エサイアスもイスラエルについて叫びます、「たとえイスラエルの子らの数が海の砂のようであっても、残りの者は救われるでしょう。」

神の約束は真実であり、必ず実現します。イスラエルの残りの者は救われるでしょう。

1.「神の約束が持つ救いの力」

2.「神の民の残りの者」

1. イザヤ書 10:22 - 「たとえあなたの民イスラエルが海の砂のようであっても、彼らの残りの者は戻ってくるでしょう。」

2. イザヤ書 11:11 - 「その日、主は御民の残りを取り戻すために二度目に御手を置かれるであろう。」

ローマ人への手紙 9:28 なぜなら、主はその働きを終え、義によってそれを短くするからである。なぜなら、主は地上で短い働きをするからである。

神は自分が始めたことを最後までやり遂げ、正しい方法でそれを行います。

1. 神の約束 - 神は、たとえ困難であっても、忠実に約束を果たされます。

2. 義 - 私たちは神が常に正しいことを行うと信頼できます。

1. イザヤ書 46:10-11 - 初めから終わりを宣言し、古代からまだ行われていないことを宣言し、こう言います。

11 東から貪欲な鳥を呼び、遠い国から私の助言を実行する人です。そうです、私はそれを話しました、私もそれを実現します。私はそれを目的としたので、私もそれを行います。

2. ペテロ第二 3:9 - ある人々が怠けていると考えるように、主は約束に関して怠けているわけではありません。しかし、私たちに対しては辛抱強く、誰も滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに来ることを望んでいます。

ローマ人への手紙 9:29 そして、エサイアスが前に言ったように、サバオトの主が私たちに種を残してくださらなかったら、私たちはソドマのようであり、ゴモラのようにされたのです。

神がイスラエルの残りの者を守ってくださったのと同じように、神の憐れみが私たちを滅びから守ってくださいました。

1. 神の慈悲: 破壊と保存の違い

2. 神の愛の力：ソドムとゴモラから救いまで

1. イザヤ書 1:9 - 「全能の主が私たちに何人かの生き残りを残していなかったら、私たちはソドムのようになっていたでしょう。私たちはゴモラのようになっていたでしょう。」

2. ヨエル 2:32 - 「そして、主の御名を呼び求める者は皆救われます。主が言われたように、シオンの山とエルサレムでは、主が呼ばれる生き残った人々の中にも救出があるからです。」

ローマ人への手紙 9:30 それでは、何と言いましょうか。それは、義を求めずに従った異邦人が義、さらには信仰による義に達したということです。

神の義は行いではなく信仰によって得られます。

1: 信仰は神の義を獲得する鍵です。

2: 異邦人は行いではなく信仰によって義を得ることができました。

1: エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは、信仰によって恵みによって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。」

2: ガラテヤ 3:11 「さて、律法によって神の前に義とされる人は誰もいないことは明らかです。なぜなら、「義人は信仰によって生きる」からです。

ローマ人への手紙 9:31 しかし、義の律法に従っていたイスラエルは、義の律法に達しませんでした。

イスラエルは律法への従順によって義を獲得したのではありません。

1: 神の律法に従うのは正しいことですが、それだけでは十分ではありません。私たちが救われるためには、イエス・キリストへの信仰も持たなければなりません。

2: 神の律法に従ったからといって義が得られるわけではありません。イエスを信じる信仰によってのみ、私たちは救われることができます。

1: ガラテヤ 3:11 - 「さて、律法によって神の前に義とされる者はいないことが明らかです。『義人は信仰によって生きる』からです。」

2: エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたがたは、信仰によって恵みによって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。」

ローマ人への手紙 9:32 なぜでしょうか？それは彼らが信仰によってではなく、いわば律法の行いによってそれを求めたからです。彼らはそのつまずき石につまずいたからです。

人々は信仰によって義を獲得できず、代わりに律法の行いによって義を獲得しようとしました。その結果、彼らはつまずきの石であるイエスにつまずいてしまいました。

1. 神の恵みは無償の賜物であり、良い行いによって獲得できるものではありません。

2. イエスは私たちの信仰の基礎であり、私たちはイエスとの関係を何事も妨げるべきではありません。

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ペテロ第一 2:6-7 - したがって、聖書にも次のことが含まれています。見よ、わたしはシオンに、選ばれた貴重な隅の親石を置いた。そして彼を信じる者は混乱しないであろう。

ローマ人への手紙 9:33 こう書いてあるとおりです。「見よ、わたしはシオンにつまずきの石、罪の岩を置いた。彼を信じる者はだれでも恥じることはない。」

パウロはイザヤ書 28章16節を引用して、イエス・キリストを、イエスを拒絶する者にとってはつまずきの石、罪の岩であるが、イエスを信じる者にとっては恥じることはない、と描写しています。

1. イエスを信じることの利点: 救いと恥じらいのないこと

2. 拒絶の結果: つまずきと攻撃性

1. イザヤ書 28:16 「それゆえ、主なる神はこう言われる、『見よ、わたしはシオンに土台として石、試された石、貴重な隅の石、確かな土台を置いた。信じる者は急いではならない。』」

2. ペテロ第一 2:6-8 「それゆえ、聖書にはこう書かれています。見よ、わたしはシオンに、選ばれた貴重な隅の親石を置きます。そして、彼を信じる者は混乱することはありません。ですから、信じるあなたたちに」彼は貴重である：しかし、不従順な者にとっては、建築者が許可しなかった石は、同じように隅の頭とされ、そして、つまずきの石、そして、言葉につまずく者にとってさえ、攻撃の岩となります。不従順：彼らもそのために任命されたのです。」

ローマ人への手紙 10 章では、神から来る義についてのパウロの議論が続き、イスラエルがこの義を達成できなかったことと、キリストへの信仰を通して救いが普遍的に得られることに焦点を当てています。

第 1 段落: この章は、パウロがイスラエル人が救われるようにと神に心からの願いと祈りを表明するところから始まります。彼は彼らの神に対する熱意を認めていますが、彼らは神から来る義について無知で、自分自身の義を確立しようとしているため、それが知識に基づいていないことを指摘しています(ローマ10:1-3)。彼は、キリストが最高の律法であるため、信じる者すべてに義が与えられると述べています（ローマ人への手紙 10:4）。

第２段落：５節から１３節でパウロは、「こうすれば生きる」という律法に基づく義と、人間の努力によらず、告白して信じる心、イエス・主が死人をよみがえらせた義とされる救いに基づく信仰に基づく義とを対比させています。彼は、ユダヤ人、異邦人、金持ちの主との間に違いはないことを強調し、「主の名を呼ぶ者は皆救われる」(ローマ人への手紙10:5-13)と述べています。

第 3 段落: 14 節以降、パウロはキリストについてのメッセージを聞くことから信仰が生まれ、したがって福音を宣べ伝える必要性について論じています。しかし、

彼は、イザヤが「主よ、私たちのメッセージを信じられたのは誰ですか？」と言っているように、福音が広く伝えられているにもかかわらず、すべてのイスラエル人が良い知らせを受け入れたわけではないと嘆いています。しかし、彼は私たちの近くに言葉を主張し、私たちの口でも、心でも、信仰に関するメッセージでも、口で「主イエス」と告白し、心を信じて神が彼を死からよみがえらせたなら救われると宣言します（ローマ人への手紙 10:14-17）。この章はパウロがモーセ・イザヤ書の引用で終わり、異邦人は義を達成したが、イスラエルは律法を追求したにもかかわらず、信仰に背く頑固な人々ではなく行いのように追求したために義に達しなかった（ローマ人への手紙10:18-21）。これは、神の前に正しい立場を達成する行為よりも信仰の重要性についての彼の議論をさらに強調しています。

ローマ人への手紙 10:1 兄弟の皆さん、イスラエルのために神に祈っているのは、彼らが救われることです。

パウロは、イスラエルの人々が救われるようにという心からの願いと祈りを表明しています。

1. 絶え間ない祈りの力：イスラエルに対するパウロの心からの願い

2. 救われるとはどういう意味ですか?

1. マタイ 7:7-8 - 「求めなさい、そうすれば与えられるでしょう。探しなさい、そうすれば見つかります。ノックすれば、開かれます。求める者はみな受けます。そして求める者は見つけます。そして、ノックする者には開かれるであろう。」

2. ヤコブ 5:16 - 「義人の効果的な熱心な祈りは、大いに役立ちます。」

ローマ人への手紙 10:2 というのは、私は彼らが神への熱意を持っていることを記録しておきますが、それは知識によるものではありません。

パウロは、ユダヤ人は神に対して熱心な態度をとっているが、それを裏付ける知識を持っていない、と表現しています。

1. 主の熱心: 知識をもって神に仕えるよう努める

2. 主を追い求める: 聖書の知識の必要性を理解する

1. 箴言 9:10 - 主を恐れることは知恵の始まりであり、聖なる方についての知識は理解力です。

2. コロサイ 2:3 - 知恵と知識のすべての宝はこの人の中に隠されています。

ローマ人への手紙 10:3 彼らは神の義を知らず、自分の義を立てようとしていて、神の義に服従していないからです。

神の義を無知にすると、神の義に従うのではなく、自分の義を確立しようとする誤った試みにつながります。

1: 私たちは自分自身の義に頼るのではなく、神の義に服従しなければなりません。

2: 私たちは神の義にもっと完全に従うことができるように、神の義を理解するよう努めなければなりません。

1: ピリピ 3:9 - そして、律法による私自身の義ではなく、キリストの信仰による義、信仰による神からの義をキリストのうちに見出してください。

2: イザヤ書 64:6 - しかし、私たちはみな汚れたもののようであり、私たちの義はすべて不潔なぼろ布のようなものです。そして私たちは皆、葉のように消えていきます。そして私たちの咎が風のように私たちを連れ去ってしまいました。

ローマ人への手紙 10:4 なぜなら、キリストは、信じるすべての人に義を与える律法の終わりだからです。

パウロは、キリストが律法の成就であり、義を受ける唯一の方法であると述べています。

1. 「律法の成就: キリストの義への道」

2. 「イエスへの信仰を通して義を達成する」

1. ガラテヤ 3:24-25 - 「ですから、私たちが信仰によって義とされるために、キリストが来られるまでは、律法が私たちの守護者でした。しかし、信仰が現れた今、私たちはもはや守護者の下にありません。」

2. ヨハネ 14:6 - 「イエスは彼に言われた、『わたしこそが道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに来ることはできない。』」

ローマ人への手紙 10:5 というのは、モーセは律法による義について、「これらのことを行う人はそれに従って生きる」と説明しているからです。

モーセは律法の義について説明し、律法に従う者は律法に従って生きることになると説明しています。

1. 律法の正しさ: なぜ私たちは律法に従うのか

2. 神の律法に従うことの祝福

1. マタイ5:17-20

2. 詩篇119:1-2

ローマ人への手紙 10:6 しかし、信仰による義は、この賢明な言葉について語ります、「誰が天に昇るだろうか、と心の中では言わないでください。」 (つまり、キリストを上から降ろすということです:)

信仰から来る義は、物理的な意味でキリストを探すことの無益さを物語っています。

1: 私たち自身の能力ではなく、キリストとその力を信じなさい。

2: キリストを信じるために天国に昇る必要はありません。

1: ヘブライ 11:6 - しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければならないからです。

2: ヤコブ 2:17-18 - それでも、もし信仰が機能しなかったとしても、信仰は孤独で死んだものです。そうです、ある人はこう言うかもしれません、「あなたには信仰があり、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください、そして私は私の行いによってあなたの信仰を示します。」

ローマ人への手紙 10:7 あるいは、誰が深みに降りるでしょうか。（つまり、キリストを死者の中からよみがえらせることです。）

ローマ人への手紙 10 章 7 節のこの一節は、キリストを死者の中から蘇らせる神の力について語っています。

1: 死者を蘇らせる神の力

2: 復活の力

1: 1 コリント 15:20-22 - しかし今、キリストは死者の中からよみがえられ、眠っている者たちの初穂となられました。

2: ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。」

ローマ人への手紙 10:8 しかし、何と言っているでしょうか。言葉はあなたの近くにあり、あなたの口の中にも、あなたの心の中にもあります。つまり、私たちが宣べ伝える信仰の言葉です。

信仰の言葉は私たちの近くにあり、私たちの口や心の中にあり、クリスチャンによって宣べ伝えられています。

1. 私たちの生活における信仰の言葉の力

2. 信仰の言葉を宣べ伝えることの重要性

1. 申命記 30:14 - 「しかし、言葉はあなたの口に、あなたの心の中に、あなたに非常に近づいており、あなたはそれを行うことができます。」

2. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

ローマ人への手紙 10:9 もしあなたが口で主イエスを告白し、神が主イエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

キリストを信じることが救いへの唯一の道です。

1: イエスを信じて救われます。

2: 主イエス・キリスト以外に永遠の救いに至る道はありません。

1: ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2: 使徒 16:31 - 「主イエス・キリストを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家も救われます。」

ローマ人への手紙 10:10 人は心から義を信じます。そして口による告白は救いに至るのです。

キリストを信じることは義と救いにつながります。

1. 信仰の力: イエスを信じることがどのように義と救いにつながるのか

2. 主を告白する: 義と救いを達成する上での告白の必要性

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ヨハネ第一 5:13 - わたしは神の子の御名を信じるあなたがたにこれらのことを書きました。それは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知り、神の御子の御名を信じるためです。

ローマ人への手紙 10:11 聖書にはこう書いてあります、「彼を信じる者は、だれでも恥じることはない」。

聖書には、イエスを信じる者は恥じることはない、と書かれています。

1.ドン?自分の信仰を恥じなさい - ローマ10:11

2. 恥じることはないと知る慰め - ローマ 10:11

1. イザヤ書 45:17 - しかし、主はあなたを救ってくださいます。彼は歌ってあなたのことを喜ぶでしょう。

2. 詩篇 25:3 - 確かに、あなたを待ち望む者は誰も恥をかかされることはありません。不当な裏切り者は恥じられるであろう。

ローマ人への手紙 10:12 ユダヤ人とギリシャ人の間に違いはありません。同じ主がすべての人の上にいて、ご自分を呼び求めるすべての人を富ませてくださるからです。

同じ主は豊かであり、人種や背景に関係なく、主を呼び求めるすべての人に与えられます。

1: 主と一致し、つながることには力があります。

2:神様？愛は豊かで、誰でも手に入れることができます。

1: ガラテヤ 3:28 ?ここにはユダヤ人もギリシャ人もいません、絆も自由もありません、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2: エペソ人への手紙 2:14-17 ?あるいは、彼は私たちの平和であり、両方を作り、私たちの間の隔壁の真ん中の壁を打ち破った人です。彼の肉体において敵意、さらには儀式に含まれる戒めの律法さえも廃止した。なぜなら、自分の中に一人の新しい人間を作り、そうして平和を作るからである。そして彼は、十字架によって両者を一つの体として神と和解させ、それによって敵意を滅ぼすことができた。そしてやって来て、遠くにいるあなたたちと近くにいる人たちに平和を宣べ伝えた。

ローマ人への手紙 10:13 主の御名を呼び求める者は救われるからです。

主を呼び求める者は皆救われます。

1. 祈りの力: 主を呼び求めることでどのように救いがもたらされるか

2. 救いの約束：主の御名を通して永遠の命を経験する

1. 使徒 2:21 - そして、主の名を呼び求める者はだれでも救われるでしょう。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ローマ人への手紙 10:14 それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？

この箇所は、神の言葉を広めるために説教することの重要性を強調しています。

1. 説教の力 - 説教の力がどのように人々を神に近づけるかを探る

2. 説教の必要性 - 良いたよりを広めるために説教がいかに必要な手段であるかを議論する

1. イザヤ書 53:1 - 誰が私たちの報告を信じましたか?主の御腕は誰に現されるのでしょうか？

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。

ローマ人への手紙 10:15 彼らは遣わされなければ、どうやって宣べ伝えることができるでしょうか。「平和の福音を宣べ伝え、良いことを知らせる人々の足は何と美しいことでしょう。」と書かれているとおりです。

平和の福音を宣べ伝えることは、神から遣わされた者たちに果たされるべき神聖な使命です。

1. 宣言の力: 平和の福音をどのように広めるか

2. 説教の喜び: 平和のメッセージを喜ぶ

1. イザヤ書 52:7 - 良い知らせをもたらし、平和を知らせる者の足は、山々の上でなんと美しいことでしょう。それは良い知らせをもたらし、救いを知らせます。それはシオンに言った、「あなたの神が統治します！」

2. エペソ人への手紙 6:15 - そして、あなたがたの足には平和の福音の備えが備わっています。

ローマ 10:16 しかし、彼ら全員が福音に従ったわけではありません。エサイアスはこう言っている、「主よ、誰が私たちの報告を信じたのですか？」

イザヤが誰が信じるだろうかと尋ねたように、誰もが福音に従ったわけではありません。

1. 信仰を福音に置く

2. 福音を信じる必要性

1. エペソ 1:13-14 - あなたもまた、真理の言葉、救いの福音を聞いて彼を信じたとき、キリストのうちに約束の聖霊によって証印を押されました。聖霊は、私たちが相続するまでの保証です。彼の栄光を称賛するために、それを手に入れてください。

2. マルコ 16:15-16 - そしてイエスは彼らに言った。全世界に向けて、全被造物に福音を宣べ伝えてください。信じてバプテスマを受ける者は救われますが、信じない者は罪に定められます。

ローマ人への手紙 10:17 したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

信仰は神の言葉を聞くことによって生まれます。

1: 私たちの信仰は、神の言葉を聞いて学ぶことによって強められます。

2: 神の言葉の力は私たちを信仰に導きます。

1: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2: ローマ人への手紙 4:17-21 - 書かれているとおり、?あなたはあなたを多くの国の父にしましたか？それは、死者に命を与え、存在しないものを呼び起こしてくださる、彼が信じた神の臨在です。彼は、言われていたように、自分が多くの国々の父になれるはずだと希望に反して信じていた。あなたの子孫はどうなるでしょうか。??彼は、死んだも同然の自分の体（約100歳だったので）を考えたとき、あるいはサラの不妊のことを考えたとき、信仰が弱まりませんでしたか？子宮。神の約束に関して彼は不信感を抱いても動揺しませんでしたが、神に栄光を帰すにつれて信仰が強くなり、神は約束したことを実行できると完全に確信しました。

ローマ人への手紙 10:18 しかし、私は言います、「彼らは聞いていませんか？」そうです、彼らの響きは全地に伝わり、彼らの言葉は世界の果てまで届きました。

パウロは福音が世界中に聞かれ、広まったことに言及しています。

1. 福音の力: 神の言葉はどのように遠くまで伝わるのか

2. 良いたよりを広める: 福音の信じられないほどの広がり

1. マタイ 28:19-20 それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまで。

2. 使徒 1:8 しかし、聖霊があなたがたに臨んだ後、あなたがたは力を受けるでしょう。そしてあなたがたは、エルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして地の果てに至るまで、わたしの証人となるでしょう。。

ローマ人への手紙 10:19 しかし、私は言います、イスラエルは知らなかったのですか。まずモーセは言いました、「わたしは民ではない者たちによってあなたをねたみさせ、愚かな国民によってあなたを怒らせます。」

パウロはモーセの言葉を引用しながら、ユダヤ人が愚かな国民によってどのようにしてねたみを引き起こされたのかを論じます。

1:「嫉妬の危険性」

2:「愚かな国家の神の選択」

1: ヤコブ 3:14-16 (しかし、もしあなたが心の中に激しいねたみや争いを抱いているなら、誇ってはいけませんし、真理に反して嘘をついてはいけません。)

2: 1 コリント 1:27-29 (しかし、神は知恵ある者たちを混乱させるために世の愚かな者たちを選び、また、力ある者たちを混乱させるために世の弱い者たちを選んだのです。)

ローマ人への手紙 10:20 しかし、エサイアスは非常に大胆で、こう言いました。私を求めなかった彼らの前に、私は明らかにされました。

神を求める人は、たとえ自分が探していることに気づかなかったとしても、神を見つけることができます。

1. 神の見えざる手 - 見ていることに気づかないときでも神を見つける方法

2. イザヤの大胆さ - 不確実性にもかかわらず神に近づく

1. エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2. ルカ 11:9-10 - 「それで、わたしはあなたたちに言います。求めなさい、そうすれば与えられます。捜しなさい、そうすれば見つかります。たたきなさい、そうすればドアは開かれます。」

ローマ人への手紙 10:21 しかし、イスラエルに対しては、「私は一日中、不従順で反対意見を言う民に手を差し伸べてきました」と言われています。

イスラエルの民がしばしば神に背き、敵対するにもかかわらず、神は繰り返しイスラエルの民に手を差し伸べます。

1. 神の終わりのない愛 - 私たちに対する神の愛は、たとえ不従順や反対に直面したとしても、いかに無条件で終わりがないのか。

2. 神の忠実さ - 私たちが何に直面しても、神の忠実さと忠実さに頼ることの重要性。

1. エレミヤ 29:11-14 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている、と主は言われる、あなたを傷つけず繁栄させる計画、あなたに希望と未来を与える計画。

2. 哀歌 3:22-23 - 主の変わらぬ愛は決して終わることがなく、主の憐れみは決して終わることがありません。彼らは毎朝新しくなります、あなたの忠実さは素晴らしいです。

ローマ人への手紙 11 章では、イスラエルの部分的な硬化の謎、異邦人の救い、そしてイスラエル全体の将来の希望について論じられています。これは、イスラエルに対する神の扱いと彼らの救いのための神の計画に関するパウロの話の結論として機能します。

第 1 段落: この章は、パウロが自分自身がイスラエル人であることを指摘して、神が神の民を拒絶したという考えに反論するところから始まります。彼は、イスラエルの不貞に対するエリヤの絶望について言及するだけでなく、神がバアルに膝を屈しなかった七千人をご自分のために確保しておかれたことについても言及しています同様に、現在、恵みによって選ばれた残りの者がいます(ローマ11:1-5)。彼は、それは恵みによるものであり、そうでなければ恵みはもはや恵みではなくなる、ということを強調しています（ローマ人への手紙11:6）。

第２段落：７節から２４節でパウロは、「神は彼らに霊を与え、呆然とし、目も見えず、耳も聞こえず」と書かれているように、イスラエルが熱心に求めても得られなかったもの、しかし選ばれた者たちは安らかになった、と説明しています。しかし、彼らの違反は、世界の富を意味し、彼らの損失は異邦人の富を意味し、彼らが完全に包摂されることはどれほど大きなことでしょう。（ローマ人への手紙 11:7-12）。彼は異邦人の信者たちに傲慢さを警告し、自分たちは栽培されたオリーブの木の信仰に接ぎ木されているが、不信仰のために折られた自然の枝も神の優しさを持ち続けなければ切り落とされる可能性があることを思い出させます（ローマ人への手紙11:13-24）。

第 3 段落: 25 節以降、パウロは、このようにして全数の異邦人が来るまで、イスラエルに謎の部分的硬化が起こったことを明らかにします。「救出者はシオンから来て、彼はヤコブから不敬虔を遠ざけるだろう」と書かれているように、全イスラエルは救われるでしょう。わたしが彼らの罪を取り除くとき、彼らと契約を結ぶのだ。」彼は、深さを認識することは知恵と知識を豊かにし、理解を超えて彼の道をたどることを超えて神の判断を「神から神を通って神に至るまで、すべてのものであるからである」と叫んで結論づけています。彼に永遠の栄光あれ！アーメン」（ローマ人への手紙 11:25-36）。これは、神の主権、計画を展開する人間の責任、救いを強調すること、神の栄光を現す究極の目的を強調することの両方を強調しています。

ローマ人への手紙 11:1 そこで私は言います、神はご自分の民を捨て去ったのでしょうか。神は禁じます。なぜなら、私もイスラエル人であり、アブラハムの子孫であり、ベニヤミン族の出身だからです。

神はご自分の選んだ民であるイスラエル人を見捨てておられません。

1. 選ばれた民に対する神の忠実さと慈悲。

2. 契約の約束による神のイスラエル人の保護。

1. ローマ人への手紙 11:1 - そこで私は言います、神はご自分の民を捨てたのでしょうか？神は禁じます。なぜなら、私もイスラエル人であり、アブラハムの子孫であり、ベニヤミン族の出身だからです。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

ローマ人への手紙 11:2 神は、ご自身が予告しておられたご自分の民を捨てたりはしませんでした。聖書にエリアスについて何と書いてあるか分からないのか？彼はどのようにしてイスラエルに対して神に執り成しをし、こう言ったのか。

神はご自分の選んだ民を見捨てておられません。

1. 神の備えと忠実さへの希望

2. 神の民としてのアイデンティティを取り戻す

1. イザヤ書 54:17 - あなたに対して作られたいかなる武器も成功しない

2. 詩篇 145:18-19 - 主はご自分を呼び求めるすべての人、真実に主を呼び求めるすべての人の近くにおられます。彼は彼を恐れる人々の欲望を満たします。彼はまた彼らの叫びを聞き、彼らを救うでしょう。

ローマ人への手紙 11:3 主よ、彼らはあなたの預言者を殺し、あなたの祭壇を掘り崩しました。そして私は一人残され、彼らは私の命を狙っています。

迫害に直面したときの神の忠実さと神の民の保護。

1: たとえ世界が彼らに何を投げようとも、神はご自分の民に対して忠実です。

2: 私たちは神の保護を信頼することができ、私たちに危害を加えようとする者たちを決して恐れる必要はありません。

1: 詩篇 34:7 - 主の天使は、主を恐れる人々の周りに陣を張り、彼らを救い出します。

2: イザヤ書 41:10 - 恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

ローマ人への手紙 11:4 しかし、彼に対する神の答えは何と言っているでしょうか？私はバアルの像に膝を屈しなかった七千人を自分だけのものにしておきました。

神は、バアルの像に屈しない特別な人々のグループをご自分のために予約しておきました。

1. 神の留保の力: 神はどのようにして民を自分のために留保するのか

2. バアルの像に決してひざまずいてはいけない：神に対して決意を持ち続けることの祝福

1. コリント第一 1:18-31 - 十字架の愚かさに関するパウロのメッセージ

2. コリント人への第二 4:7-12 - 粘土の壺に入った宝についてのパウロのメッセージ

ローマ人への手紙 11:5 それでも、この現時点でも、恵みの選びに従って残りの者がいます。

恵みによって選ばれた人々の名残が現在にも残っています。

1.「神の恵みの選挙」

2.「選ばれし民の残党」

1. エペソ人への手紙 2:8-9。なぜなら、あなたが救われたのは恵みによる、信仰によるからです。そしてこれはあなた自身からではなく、神の賜物だからです。

2. イザヤ書 49:6。「あなたがわたしのしもべとなって、ヤコブの部族を回復し、わたしが守ってきたイスラエルの人々を連れ戻すことは、あまりにも小さなことです。また、わたしはあなたを異邦人の光にして、わたしの救いをもたらしてくださいます。」地球の果て。

ローマ人への手紙 11:6 もし恵みによるのであれば、それはもはや行いではありません。そうでなければ、恵みはもはや恵みではありません。しかし、それが行いによるものであれば、それはもはや恵みではありません。そうでなければ、労働はもはや労働ではありません。

パウロは、救いが恵みによるものであれば、それは行いによるものではあり得ず、その逆もまた同様であると説明しています。

1. 恵みと行いのパラドックス: 私たちはどのようにして救いを得るのか?

2. 信仰と行いの融合: 真の救いのためのバランスとは何ですか?

1. エペソ人への手紙 2:8-9 (なぜなら、あなたがたは信仰によって恵みによって救われているからです。それは自分自身によるものではありません。それは神の

賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。)

2. ヤコブ 2:17-18 (それでも、もし信仰が機能しなければ、孤独では死んだものです。そうです、人はこう言うかもしれません。「あなたには信仰があり、私には行いがある。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください。そして、あなたの信仰を私に見せてください。」私は自分の行いによって私の信仰をあなたに示します。）

ローマ人への手紙 11:7 それではどうなるでしょうか？イスラエルは求めているものを手に入れていません。しかし選挙でそれが得られ、残りは盲目になった。

イスラエルは望んだものを手に入れることができませんでしたが、神に選ばれた者たちは手に入れましたが、他の者たちは見ることができませんでした。

1. 神はすべての人のために計画を持っており、私たちは神の知恵を信頼しなければなりません。

2. 私たちは、神の御心を求め、神の栄光を現すことが最終的な目標であるべきであることを決して忘れてはなりません。

1. エレミヤ 29:11-13 - 「わたしはあなたがたに対して持っている計画を知っている」と主は言われる、「あなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけない計画であり、あなたに希望と未来を与える計画である。その時、あなたは呼びかけるだろう」「私に来て祈ってください。そうすればあなたの言うことを聞きます。あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2. 詩篇 37:4 - 主を喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いをかなえてくださいます。

ローマ人への手紙 11:8 (書かれているとおり、神は彼らに眠りの霊、見てはいけない目、聞いてはいけない耳を与えて今日に至っています。

この聖句は、神が特定の人々を霊的に眠らせ、霊的真理を理解できないようにしたことを説明しています。

1. 「目を覚まして見てください: ローマ人への手紙 11:8 の A」

2.「神の神秘的な方法: ローマ人への手紙 11:8 を理解する」

1. イザヤ書 6:9-10 - 「そして彼は言った。『行って、この民に告げなさい。あなたがたは確かに聞いているが、理解してはいけない。また、あなたがたは確かに見ているが、認識してはならない。』

2. マタイ 13:14-15 - 「そして、彼らの中で、『あなたがたは聞いても聞くが、理解することはできず、見ることはできるが、認識することはできない』というエザヤの預言が成就する。」

ローマ人への手紙 11:9 ダビデは言った、「彼らの食卓をわな、わな、つまずき、そして彼らへの報いにしましょう。

パウロはローマ人への手紙 11章9節でダビデの一節を引用し、神の救いの計画を拒否した場合の結果について説明しています。

1.「神の計画を拒否することの危険性」

2.「神の食卓：祝福か災難か?」

1. 箴言 1:32、「単純な者の背きは彼らを殺し、愚か者の繁栄は彼らを滅ぼすでしょう。」

2. ヤコブ 4:17、「ですから、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪なのです。」

ローマ人への手紙 11:10 彼らの目を暗くして、見えないようにし、常に背中をかがめなさい。

神の裁きは、罪を犯した者は目を暗くし、腰をかがめるという罰を受けるというものです。

1. 神は正義です: 罪の結果を理解する

2. 裁きの最中における神の憐れみと恵み

1. ダニエル 9:9-10 - たとえ私たちが神に反逆したとしても、私たちの神、主に憐れみと赦しがあります。

2. イザヤ書 60:2 - 見よ、闇が地を覆い、民はひどい暗闇になる。しかし、主はあなたの上に立ち上がり、その栄光があなたの上に見られるであろう。

ローマ人への手紙 11:11 そこで私は言います、彼らはつまずいて倒れたのでしょうか。神は禁じます。むしろ、彼らの堕落によって救いが異邦人に与えられるのは、異邦人を嫉妬させるためです。

この箇所は、ユダヤ人の堕落を通じて、異邦人に救いがいかにしてもたらされたかを語っています。

1. 神の憐れみの力: ユダヤ人の堕落が異邦人にどのように救いをもたらすか

2. 神の計画: ユダヤ人の堕落を通して神の挑発的な嫉妬を理解する

1. イザヤ書 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

2. エペソ 2:11-13 - したがって、あなたがたは、肉体の異邦人を過ぎて、手でなされた肉体の割礼と呼ばれるものによって無割礼と呼ばれていることを覚えておいてください。その時、あなたがたはキリストもなく、イスラエル連邦からの異邦人であり、約束の契約からもよそ者であり、何の希望も持たず、この世に神もいなかった。しかし、今では、キリスト・イエスにあって、時には遠く離れていたあなたがたも近くに来られるのである。キリストの血によって。

ローマ人への手紙 11:12 もし彼らの没落が世の富となり、彼らの減少が異邦人の富となるとすれば、どれほど充実しているでしょうか？

パウロは、もしユダヤ人が福音を受け入れて救いを見いだしたら、神の祝福はどれほど豊かになるだろうかと尋ねます。

1. 神の富: ローマ人への手紙 11:12 におけるパウロの質問の検討

2. 豊かな神の祝福: 救いの恩恵を享受する

1. エペソ人への手紙 1:18-19 - 「あなたがたの心の目を啓発して、神があなたがたに招いてくださった希望が何であるか、聖徒たちに受け継がれた輝かしい神の財産が何であるかを知ることができるようにしなさい。」

2. イザヤ書 55:8-9 - 「私の考えはあなたの考えではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われます。天が地より高いように、私の道はあなたの道や私の考えよりも高いからです」あなたの考えよりも。」

ローマ人への手紙 11:13 異邦人の皆さんにお話しますが、私は異邦人の使徒であるため、自分の務めを重んじています。

パウロは自分が異邦人の使徒であると宣言し、その職を拡大します。

1. 恐れることなく神に仕える: ローマ人への手紙 11:13 の研究

2. 神の召しに従って生きる: ローマ人への手紙 11:13

1. ローマ人への手紙 1:5 - 私たちはこの方を通して恵みと使徒職を受け、すべての国民の間に御名のための信仰の従順をもたらしました。

2. 使徒 26:17 - あなたを民と異邦人から救い出し、私は今あなたを送ります。

ローマ人への手紙 11:14 もし私が何らかの手段で、私の肉体である彼らを見倣うよう促し、彼らの何人かを救えるかもしれません。

パウロは、人々が彼の模範に倣って救われるよう促したいという願望を表明しています。

1: パウロの民に対する愛 - ローマ人への手紙 11:14

2: パウロの模範に倣う - ローマ人への手紙 11:14

1: ガラテヤ 6:9-10 - 「そして、善行に疲れないようにしましょう。私たちが失神しなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。」したがって、私たちには機会があるので、すべての人、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

2: ピリピ 3:17 - 「兄弟たち、共にわたしに従う者となり、わたしたちを模範とするように、歩む者たちに印を付けてください。」

ローマ人への手紙 11:15 もし彼らを追い出すことが世の和解であるなら、彼らを受け入れることは死者の中からの命以外に何があるでしょうか。

パウロは、ユダヤ人が再び信仰に受け入れられるとはどのようなことだろうかと考え、それは死から命が生まれるようなものであると示唆しています。

1. 「和解の力: ユダヤ人はどのようにして死から命を取り戻すことができるか」

2. 「受け入れることの美しさ: どうすれば他人を自分の信仰に受け入れることができるか」

1. コロサイ 1:20-21 - 「そして、彼の十字架の血によって平和を実現し、彼によってすべてのものをご自分と和解させました。私は、それが地上のものであれ、天上のものであれ、彼によって言います。あなた方よ、邪悪な行いによって一時疎外され、心の中で敵対されていたのに、今では彼は和解したのでしょう。」

2. コリント人への第二の手紙 5:18-19 - 「そして、すべてのものは神から出ています。神はイエス・キリストによって私たちをご自分と和解させ、和解の務めを私たちに与えてくださいました。つまり、神はキリストのうちにおられ、世界を和解させたということです」彼らの罪を彼らのせいにせず、私たちに和解の言葉を託してくださいました。」

ローマ 11:16 初穂が聖であれば、塊も聖です。根が聖であれば、枝も聖です。

この聖句は、私たちの神聖さが私たちの信仰の根源、つまり神に由来していることを思い出させます。

1. 私たちの信仰のルーツ：神の聖性の発見

2. 教会の神聖さ: 私たちの忠実な起源とのつながり

1. ヘブライ 12:14-15 - 神聖さを追い求めなさい。それがなければ、誰も主を見ることができなくなります。

2. マタイ 5:48 - あなたの天の父が完全であるように、完全でありなさい

ローマ人への手紙 11:17 もし、枝の一部が折られ、野生のオリーブの木であるあなたが、その枝に接ぎ木され、一緒にオリーブの木の根と太りにあずかったとしても、

神は他文化の人々をご自分の家族に接ぎ木し、ご自分の民と同じ霊的な祝福を彼らに与えることができます。

1. 神の愛はすべての人々を結びつける

2. 新たな始まり: 神の家族に属することを見つける

1. ガラテヤ 3:26-28 - あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰による神の子だからです。

2. エペソ人への手紙 2:11-22 - それは、来るべき世において、彼がキリスト・イエスを通して私たちに対する親切において、計り知れない豊かな恵みを示すためでした。

ローマ人への手紙 11:18 枝に向かって誇るな。しかし、もしあなたが誇るなら、あなたは根を生むのではなく、根を生むのです。

この聖句は、私たちがお互いに誇るべきではない、それは私たちの信仰の基盤に何の影響も及ぼさないと教えています。

1. 自慢は無駄です: 高慢はクリスチャンにふさわしくない

2. 私たちの信仰の根源: 私たちの基盤は私たちの強さです

1. 箴言 27:2 - 「自分の口ではなく、他の人にあなたをほめなさい。自分の口ではなく、他の人にあなたをほめなさい。」

2. ヤコブ 1:17 - 「すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来て、変化による変化や影のない光の父から下ります。」

ローマ人への手紙 11:19 その時、あなたは言うだろう、「枝が折られたのは、私が切りつけられるためだった。」

この一節は、神がどのようにして信者を神の計画に接ぎ木されることを許可されるかについて語っています。

1. 神の計画は失敗しない - ローマ 11:19

2. 信仰の力 - ローマ人への手紙 11:19

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2. イザヤ書 40:28-29 - あなたは知らなかったのですか？永遠の神、地の果ての創造主である主は気を失うことも、疲れることもないことを、あなたは聞かなかったのか。彼の理解を探る必要はありません。彼は気弱な者に力を与えます。そして力のない者たちには力を増し加えられる。

ローマ人への手紙 11:20 さて。不信仰のゆえに彼らは打ち砕かれましたが、あなたは信仰によって立っています。高慢になるのではなく、恐れてください。

彼らの不信仰のせいで、イスラエルは神の契約から引き離されました。クリスチャンは信仰を堅持し、高慢ではなく主を畏れるよう求められています。

1. 不信仰の力: 信仰を守りプライドを避ける方法

2. プライドの危険性: イスラエルの不信仰から学ぶ

1. 箴言 16:18: 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

2. ヤコブ 4:6: 「しかし、神はさらに多くの恵みを与えてくださいます。したがって、『神は高ぶる者には敵対するが、へりくだる者には恵みを与える』と書かれているのです。」

ローマ人への手紙 11:21 もし神が自然の枝を容赦しなかったのなら、あなたも容赦しないように気をつけなさい。

神はご自分に従わない者を容赦されませんので、注意してください。

1. 神に従わないことの危険: ローマ人への手紙 11:21

2. 神の憐れみと私たちの義務: ローマ人への手紙 11:21

1. エレミヤ 13:15-17 - あなたがたは聞いて、耳を傾けてください。高ぶるな。主が語られたからである。

2. 詩篇 33:12 - 主を神とする国民は幸いである。そして彼が自分の相続財産として選んだ人々。

ローマ人への手紙 11:22 それゆえ、神の慈しみと厳しさを見よ。倒れた者たちには厳しさがあった。しかし、あなたに対しては、善良な方、もしあなたが彼の善良さを保ち続けるなら、そうでなければあなたも断ち切られるでしょう。

神の善良さと厳しさの両方が示されています。神の善良さから逸脱した人は神の厳しさの影響を受けるでしょうが、神の善良さを保ち続けるなら、神の善良さを経験す

るでしょう。

1. 神の善良さと厳しさを知る: 神の道に従う方法

2. 神の善意を持ち続ける: 神の親切の報いを得る

1. ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完全な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。

2. 詩篇 54:6 - 私はあなたに惜しみなく犠牲を捧げます。主よ、私はあなたの御名を讃美します。それは良いことだからです。

ローマ人への手紙 11:23 また、もし彼らが不信仰の中に留まっていなければ、彼らも落書きされるでしょう。なぜなら、神は再び彼らを落書きすることができるからです。

神は不信仰に留まらない人を回復することができます。

1. 新たなチャンス: 神の回復の約束

2. あきらめないでください: 神の救いの希望

1. イザヤ書 43:18-19 - 「昔のことを思い出してはなりません。また、昔のことを考えてはいけません。見よ、私は新しいことをしている。今それが湧き出ています、あなたはそれを認識しませんか？私は荒野に道を作り、砂漠に川を作ります。」

それはあなたに将来と希望を与えるために、悪の計画ではなく幸福の計画である。」

ローマ人への手紙 11:24 もしあなたが、本来野生のオリーブの木から切り取られ、自然に反して良いオリーブの木に接ぎ木されたとしたら、ましてや、自然の枝であるこれらの木が、そのままのオリーブに接ぎ木されることになるでしょうか。木？

パウロは、本来野生的な人が自然に反して良いオリーブの木に接ぎ木されるのであれば、すでに自然の枝になっている人がどれほど自分のオリーブの木に接ぎ木されるだろうかと疑問を抱いています。

1. 接ぎ木の力: 神は私たちの人生をどのように変えられるか

2. 信仰が私たちをどのように結びつけるか: 神との一致の中で生きる

1. イザヤ書 11:1-2 - そして、エッサイの幹から棒が出て、根から枝が生えるでしょう。そして、主の霊、知恵と理解の霊が彼の上にとどまるでしょう。、

助言と力の霊、知識と主への畏れの霊

2. エペソ 2:11-22 - したがって、かつて、肉体の異邦人であるあなたがたは、手によって肉に施されるいわゆる割礼によって「無割礼の者」と呼ばれていたことを思い出してください。キリストから遠ざけられ、イスラエル共和国や約束の契約を交わした見知らぬ人たちから疎外され、希望もなく、この世に神もいないのです。しかし今、キリスト・イエスにあって、かつて遠く離れていたあなたがたは、キリストの血によって近づけられました。

ローマ 11:25 兄弟たち、私は、あなたがたが自分のうぬぼれに賢くならないように、この奥義を知らないでいてはなりません。異邦人が完全に到来するまで、部分的にはイスラエルに失明が起こるということです。

パウロはクリスチャンたちに高慢にならないように警告し、異邦人が恵みの契約に加わるまでイスラエル人は部分的に盲目であったことを思い出させます。

1. 高慢はあなたを盲目にします: ローマ人への手紙 11:25 のパウロの警告を調べる

2. 心を高ぶらせてはいけない: ローマ人への手紙 11:25 にある高慢の結果を理解する

1. 箴言 16:18-19 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立ちます。卑しい者に対して謙虚な精神を持つほうが、高慢な者と戦利品を分けるより良いのです。」

2. ヤコブ 4:6-7 - 「しかし、神はさらに多くの恵みを与えます。だから、「神は高ぶる者に反対しますが、謙虚な者には恵みを与えます。」と書かれています。ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい、そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

ローマ人への手紙 11:26 こうして全イスラエルは救われるでしょう。「救出者がシオンから出て、ヤコブから不敬虔を遠ざけるであろう」と書いてあるとおりです。

パウロはイザヤ書 59:20-21 を引用し、イスラエルはすべて救われ、イスラエルを不敬虔から遠ざけるためにシオンから救出者が来ると述べています。

1. 神聖な生活を送る - ローマ人への手紙 11:26

2. 全イスラエルの救い - イザヤ書 59:20-21 のメッセージを理解する

1. イザヤ書 59:20-21 - 「そして、救い主はシオンに来る、そしてヤコブの罪から立ち返る者たちに、主は言われる。」

2. マタイ 3:2 - 「悔い改めなさい。天の御国は近づいているからです。」

ローマ人への手紙 11:27 これは、わたしが彼らの罪を取り除く、彼らに対するわたしの契約である。

神は契約を通してご自分の民の罪を取り除くと約束されました。

1. 神の許しの契約の力

2. 私たちの罪を取り除く神の恵み

1.イザヤ書 43:25-26 - 「わたし、つまりわたしこそが、自分のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者です。」

2.詩篇 103:12 - 東が西から遠く離れている限り、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

ローマ人への手紙 11:28 福音に関して言えば、彼らはあなたがたのために敵ですが、選挙に関して言えば、彼らは先祖たちのために愛されています。

パウロは、未信者は福音に反対しますが、神が彼らの先祖に与えた約束のおかげで、彼らは依然として神に愛されていると説明しています。

1. 神の無条件の愛 - 福音に反対する人々に対する神の愛を探ります。

2. 選挙の約束 - 神が私たちの先祖にした約束を検討します。

1. 詩篇 103:17 - しかし、とこしえからとこしえまで、主の愛は主を畏れる者たちとともにあり、主の義はその子らの子らとともにある。

2. イザヤ書 43:25 - 「わたし、つまりわたしこそが、自分のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者です。

ローマ人への手紙 11:29 神の賜物と召命には悔い改めがないからです。

私たちへの神の贈り物は取り消すことができず、神がそれを取り上げることは決してありません。

1. 神の変わらぬ愛: 神の賜物と使命は今も残る

2. 神の不変の性質: 神の賜物と使命は永続する

1. 申命記 7:9 - したがって、あなたの神、主は神であり、ご自分を愛し、戒めを守る者たちとの契約と確固たる愛を千世代に渡って守られる忠実な神であることを知りなさい。

2. ヘブライ 13:8 - イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。

ローマ人への手紙 11:30 なぜなら、あなたがたはかつて神を信じなかったのと同じように、今もその不信仰によって憐れみを得ているからです。

神はこれまでご自分を信じなかった人々に憐れみを示してくださいました。

1. 信じないときでも忠実：不信仰に対する神の憐れみ

2. 不信仰は言い訳ではない: ローマ人への手紙 11:30 を通して憐れみを理解する

1. ヘブライ 11:6 - 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければなりません。」

2. ヤコブ 2:13 - 「憐れみを示さなかった者は、憐れみのない裁きを受けるからです。そして、憐れみは裁きを喜ぶからです。」

ローマ人への手紙 11:31 それでも、彼らも今は信じていません。それは、あなたの憐れみによって彼らも憐れみを受けるためです。

多くの人は神の憐れみを信じていませんが、それでも信者たちの憐れみによって神の憐れみを受け取ることができます。

1. 「慈悲についての考察: 神の慈悲はどのようにすべての人に及んでいるのか」

2. 「信者の慈悲: 慈悲を広めることに私たちはどのように参加できるか」

1. イザヤ書 55:7 悪者は自分の道を捨て、不正な者は自分の考えを捨てなさい。そして彼を主に立ち返らせなさい。そうすれば主は彼を憐れんでくださるでしょう。そして私たちの神に、彼は豊かに赦してくださいます。

2. ルカ 6:36 あなたがたの父も憐れみ深いように、あなたがたも憐れみ深くありなさい。

ローマ人への手紙 11:32 神はすべての人を憐れむために、彼らすべてを不信仰に結びつけたからです。

神はすべての人を憐れむために、すべての人を不信仰に陥れました。

1. すべての人に対する神の憐れみ

2. 不信仰のすべての人：慈悲の機会

1. マタイ 9:13 - 「しかし、行って、それが何を意味するのか学んでください。『私は犠牲ではなく憐れみを望んでいます。』わたしが来たのは義人を招くためではなく、罪人を招くためである。」

2. ヤコブ 2:13 - 「憐れみを示さなかった者には裁きは容赦ないからです。憐れみは裁きに勝利します。」

ローマ人への手紙 11:33 おお、神の知恵と知識の富の深さよ！彼の判断と、それを見つけ出すまでの彼の道は、なんと調べにくいことでしょう。

神の知恵と知識は非常に深く豊かであるため、神の判断と方法を完全に理解することは不可能です。

1. 神の知恵と知識の驚異

2. どうして私たちは神の道を完全に理解できないのか

1. ヨブ 42:2 「私は、あなたがすべてのことを行うことができ、あなたの目的をあなたに差し控えることができないことを知っています。」

2. 詩篇 19:1-2 「天は神の栄光を告げ知らせ、大空は神の御業を示す。昼は語り、夜は知識を明らかにする。」

ローマ人への手紙 11:34 だれが主の御心を知ったでしょうか。あるいは彼のカウンセラーは誰だったのか？

パウロは、神の計画と勧告を完全に理解できる人がいるかどうかを疑問視しています。

1. 神の計り知れない知恵 - 神の知恵の謎と、それがいかに私たちの理解を超えているかを探ります。

2. 神の主権 - 神の絶対的な権威と、それがどのようにあらゆる理解を超えているかについて。

1. イザヤ書 40:13 - 「誰が主の御霊を導いたのか、あるいは主の顧問が彼に命じたように。」

2. ヨブ 42:2 - 「私は、あなたがすべてのことを行うことができ、あなたの目的を妨げることができないことを知っています。」

ローマ人への手紙 11:35 それとも、誰が最初に彼に与えたのでしょうか、そしてそれは再び彼に報われるでしょう？

神の知恵と力は計り知れません。

1: 私たちは神の道を完全に理解することは決してできないことを認識する必要がありますが、神の憐れみと恵みを信頼しなければなりません。

2: 私たちは神の計り知れない偉大さに畏敬の念を抱き、謙虚に私たちに対する神の御心を理解するよう努めるべきです。

1: エレミヤ 32:17 - 「ああ、主なる神よ、見よ、あなたはあなたの偉大な力と伸ばした腕によって天と地を造られました。あなたにとって難しすぎるものは何もありません。」

2: イザヤ書 40:28 - 「あなたは知らなかったのですか。地の果ての創造者である永遠の神、主が気を失うことも、疲れることもないことを、あなたは聞かなかったのですか。神の理解を探ることはありません。」。

ローマ人への手紙 11:36 万事は彼から、彼を通して、そして彼にとってすべてです。誰に栄光が永遠にありますように。アーメン。

神は万物の源であり、私たちの賞賛と栄光を受けるに値するお方です。

1: 私たちは神が備えてくださったすべてのものに対して神に栄光を帰すべきです。

2: 私たちは神がなさったすべてのことに対して神に感謝と賛美を捧げるべきです。

1: コロサイ 1:16-17 - なぜなら、天も地も、目に見えるものも見えないものも、王座や支配権、支配者や権威など、すべてのものはキリストによって創造されたからです。すべてのものは、キリストを通して、キリストのために創造されたからです。

2: 詩篇 136:1-3 - 主に感謝しましょう。主は善い方であり、その変わらぬ愛は永遠に続くからです。神の中の神に感謝しましょう、その変わらぬ愛は永遠に続くからです。主の主に感謝しましょう。主の変わらぬ愛は永遠に続くからです。

ローマ人への手紙 12 章は、パウロの手紙が神学的教えからキリスト教徒の生活のための実践的な指示へと移行したことを示しています。この章では、犠牲的な生活、霊的な賜物、他者を愛するという呼びかけについて取り上げます。

第 1 段落: この章は、パウロが信者たちに、自分の体を聖なる、神に喜ばれる生きたいけにえとして捧げるよう勧めるところから始まります。これが彼らの真の正しい礼拝です。彼は彼らに、パターンの世界に従うのではなく、心を新たにして変容し、神の意志が何であるかをテストして承認できるようになるように勧めています (ローマ人への手紙12:1-2)。これは、クリスチャンがどのように信仰を実践すべきかについての実践的な指針の準備を整えます。

第 2 段落: 3 節から 8 節で、パウロは霊的な賜物について説明しています。彼は信者たちに、必要以上に自分自身を高く評価するのではなく、神が彼らに分け与えた信仰に従って、それぞれの冷静な判断を考えるようにとアドバイスしています（ローマ人への手紙 12:3）。彼は体を例えとして用い、預言に従うか、信仰に奉仕するか、仕えるか、教えを教えるか、奨励するか、勇気を与えるか、寛大さを与えるか、勤勉に導くか、慈悲を与えるか、慈悲を与えるか、陽気かなど、私たちに与えられた恵みに応じて異なる賜物があることを強調しています（ローマ人への手紙 12:4-8）。これは、キリストの独自の贈り物を使用することの重要性を強調しています。

第 3 段落: 9 節以降、パウロは愛と倫理的行動について勧告しています。彼は信者たちに、「愛は、悪が執着するものを誠実に憎みなさい。善が互いに献身しなさ

い。自分を超えて互いに敬いなさい。決して熱意を欠かさないようにしなさい。霊的な熱意を持ち続けなさい。主に仕えなさい。忍耐強く苦しみなさい。忠実に祈りなさい。困っている主の民と分かち合いなさい。もてなしの精神を実践しなさい。迫害している人たちを祝福しなさい。あなた方はその人たちと一緒に喜びなさい。」と勧めています。喜びなさい、悲しむ人たちと一緒に悲しんでください、お互いに生きて調和してください、誰にも悪には悪を報いません、注意して正しい目をなさい、誰もができる限り、あなたが平和に暮らすことにかかっています（ローマ人への手紙 12:9-18）。彼はこの章を「悪に負けず、善をもって悪に打ち勝ちなさい」 (ローマ12:21)と述べて、反対に直面しても主題に愛を持って応答することを強調しています。

ローマ 12:1 ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたにお願いします。自分の体を、神に受け入れられる、聖なる生きたいけにえとして捧げてください。それが、あなたがたの当然の奉仕です。

パウロはクリスチャンに、礼拝の行為として自分の人生を神に捧げるよう勧めています。

1. 「犠牲を生きる：自分の人生を神に捧げる」

2. 「神聖で受け入れられるもの: 神を崇拝するとはどういうことか」

1. マタイ 22:37-40 - イエスは心、魂、思いを尽くして神を愛するように教えました。

2. 詩篇 51:17 - 神に受け入れられる、打ち砕かれた悔い改めた心のための祈り。

ローマ人への手紙 12:2 そして、この世に合わせてはいけません。むしろ、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして自分を変えてください。

私たちは世の基準に合わせるのではなく、神の御心を識別して実行できるように心を新たにすることによって変えられるべきです。

1. 羊にならないでください - 目立つことを選択してください。

2. 群衆に従うな - 神に従いなさい。

1. エペソ人への手紙 4:23-24 - そして、心の霊を新たにしなさい。そして、あなたがたは、神に従って義と真の聖さのうちに創造された新しい人を着なさい。

2. ペテロ第一 1:13-16 - ですから、心に帯を締め、冷静になって、イエス・キリストの啓示によってもたらされる恵みを最後まで待ち望みなさい。従順な子供たちとして、無知なまま以前の欲望に従って自分を形作らないでください。しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたがたもあらゆる会話において聖でありなさい。なぜなら、「あなたがたは聖くなりなさい。」と書かれているからです。私は聖なる者だからです。

ローマ人への手紙 12:3 私は、あなたがたのうちにいるすべての人に、私に与えられた恵みを通して言いますが、自分自身を必要以上に高く評価しないでください。しかし、神がすべての人に信仰の尺度を与えられたのと同じように、冷静に考えてください。

クリスチャンは自分自身について正直かつ謙虚な見方をすべきであり、神が自分たちに与えてくださった信仰を認識すべきです。

1. 謙虚さの恵み

2. 忠実に節制した生活を送る

1. ヤコブ 4:10 - 主の御前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。

2. コリント人への第一の手紙 4:7 - あなたを他の人と区別するのは誰ですか？あなたが受けなかったものは何ですか？さて、もしあなたがそれを受け取ったなら、なぜあなたはそれを受け取らなかったかのように誇るのですか？

ローマ 12:4 なぜなら、私たちは一つの組織の中に多くの会員がいますが、すべての会員が同じ職に就いていないからです。

この箇所は、キリストの体の中にはさまざまな役割と責任があることを理解することの重要性について語っています。

1: 異なるメンバー、異なる役割: キリストの体がどのように連携するかを見てみる

2: 多様性の中の一致を祝う: 教会内の違いの美しさを認識する

1: 1 コリント 12:14-26 - 教会内のさまざまな霊的賜物を見てみる

2: エペソ人への手紙 4:1-16 - リーダーシップのさまざまな役割と、それらが教会を築き上げるためにどのように役立つかを見てみましょう。

ローマ 12:5 ですから、私たちは多くの者であっても、キリストにあって一つの体であり、一人一人が互いに互いの部分なのです。

信者はキリストによって一つにされ、一つの体の部分として互いにつながっています。

1.「キリストの体：私たちのつながりによる一致」

2. 「キリストにある兄弟姉妹との絆を強めなさい」

1. コロサイ 3:14-15 - 「そして、これらの人々は何よりも愛を身に着け、それがすべてを完璧な調和で結びつけます。そして、キリストの平和があなた方の心を支配しなさい。確かに、あなた方はそのために一つの体として召されたのです。そして感謝しなさい。」。」

2. エペソ人への手紙 4:1-3 「ですから、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに忍耐をもって、召された召しにふさわしい態度で歩むよう、あなたたちに勧めます。」愛において、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。」

ローマ人への手紙 12:6 それでは、預言であろうと、私たちに与えられる恵みに応じて異なる賜物があるので、信仰の割合に応じて預言しましょう。

私たちは神が私たちに与えてくださった恵みに従って自分の賜物を用いるべきです。

1. 賜物を使って神に仕える

2. 神があなたに与えた賜物を最大限に活用する

1. エペソ 4:7-8 - しかし、私たち一人一人には、キリストの賜物に応じて恵みが与えられています。したがって、「彼は高いところに昇られたとき、捕虜を導き、人々に贈り物を与えました。」と書かれています。

2. コリント人への第一の手紙 12:4-7 - さて、さまざまな賜物がありますが、同じ御霊です。そして、さまざまな奉仕があり、同じ主がいます。さまざまな影響がありますが、同じ神がすべての人にすべてのことを働かせます。しかし、各人には共通の利益のための御霊の現れが与えられています。なぜなら、ある人には御霊によって知恵の言葉が与えられ、また別の人には同じ御霊によって知識の言葉が与えられるからです。

ローマ人への手紙 12:7 あるいは奉仕、私たちの奉仕を待ちましょう。あるいは教える人は教えることを待ちましょう。

この聖句は、自分の任務に専念し、どのような役割を求められても忠実に奉仕するよう私たちを励ましています。

1.「忠実に奉仕するという呼びかけ」

2. 「任務に対する真の誠意」

1. コロサイ 3:23-24 - 「何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

2. 1 コリント 15:58 - 「ですから、親愛なる兄弟姉妹の皆さん、しっかりしていてください。何事にも心を動かされてはなりません。常に主の働きに全力を尽くしてください。主における自分の労苦が無駄ではないことを知っているからです。」」

ローマ人への手紙 12:8 あるいは、勧める人は、勧めます。与える人は、単純に行いなさい。勤勉に統治する者。朗らかに慈悲を示す者。

この聖句は、卓越性、勤勉さ、明るさ、そして素朴さをもって奉仕するよう私たちに勧めています。

1: 卓越したサービスを提供する

2: 明るく奉仕する

1: コロサイ 3:23-24 - 「何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

2: 1 コリント 10:31 「だから、食べるにしても、飲むにしても、何をするにしても、すべて神の栄光のためにしなさい。」

ローマ人への手紙 12:9 愛を偽りのないようにしましょう。邪悪なものを憎みます。良いことに固執してください。

誠実かつ一貫して愛し、悪を避け、善を追求します。

1. 愛の追求: 一貫性の力

2.善と悪の違い

1. ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

2. コリント第一 13:4-7 - 「愛は忍耐強く、親切です。愛はねたんだり自慢したりしません。傲慢でも無礼でもありません。自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりしません。「悪事を喜ぶが、真実を喜ぶ。愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。」

ローマ人への手紙 12:10 兄弟愛をもって互いに親切に愛し合いなさい。名誉のためにお互いを優先します。

クリスチャンは互いに愛と敬意を示すべきです。

1. 「兄弟を愛してください: ローマ人への手紙 12:10 の考察」

2. 「互いに敬いなさい: ローマ人への手紙 12:10 の力」

1. ヨハネ 13:34-35 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがた

も互いに愛し合うことです。これによって、あなたがたがわたしの弟子であることをすべての人が知るでしょう。お互いへの愛。」

2. ペテロ第一 4:8 「そして何よりも、万物は互いに熱烈な愛を持っています。愛は多くの罪を覆うからです。」

ローマ人への手紙 12:11 仕事において怠け者ではありません。精神的に熱心。主に仕えること。

この聖句は、主への奉仕において積極的かつ熱心であることの重要性を強調しています。

1. 「積極的な信仰を生きる：霊的に熱烈であることの力」

2. 「主に仕える: 忠実な奉仕の人生を送る喜び」

1. エレミヤ 29:11-13 – 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は宣言されます、あなたに将来と希望を与えるために、悪の計画ではなく福祉の計画を立てています。そうすれば、あなたは私を呼び、来て祈ってください、そうすれば私はあなたの言うことを聞きます。あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、そして私を見つけるでしょう。」

2. 詩篇 37:4-5 – 「主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いをかなえてくださいます。主に道を捧げなさい。彼を信頼してください、そうすれば彼は行動してくれるでしょう。」

ローマ人への手紙 12:12 希望に満ちて喜びます。苦難の患者。祈りを瞬時に続けます。

この聖句は、患難の時にも希望と忍耐を持ち続け、祈り続けるよう私たちに勧めています。

1. 希望を持って喜ぶ：困難の時の祈りの力

2. 艱難時代の忍耐: 困難な時にどうすれば強くなれるか

1. ピリピ 4:4-7 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜んでください！あなたの優しさがすべての男性に伝わりますように。主はすぐそばにおられます。何も思い煩うことはありませんが、何事においても、感謝を込めて祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを守るでしょう。

2. ヤコブ 1:2-5 - 兄弟の皆さん、信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているので、さまざまな試練に陥るとき、それをすべて喜びと考えてください。しかし、忍耐を完璧に働かせてください。そうすれば、あなたは何一つ欠けることのない、完全で完全な者となります。もしあなたがたの中に知恵の足りない人がいるならその人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく、とがめられることなく与えてくださるでしょう。そうすれば、それは与えられるでしょう。しかし、疑うことなく、信仰を持って尋ねましょう。疑う者は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからです。

ローマ人への手紙 12:13 聖徒たちの必要に応じて分配する。おもてなしに与えられました。

この聖句は、困っている人たちに対して寛大で親切な態度を取るよう私たちに勧めています。

1:「寛大さの喜び」

2:「聖徒たちのもてなし」

1: ルカ 6:38 「与えなさい。そうすれば、与えられるでしょう。良い量りを、押しつけたり、一緒に振ったり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。なぜなら、あなたが使う量りで、それは測られるからです」あなた。"

2: ヤコブ 2:15-17 - 「兄弟または姉妹が着るものも毎日の食べ物もないとしましょう。あなたがたのどちらかが彼らに、「安らかに行きなさい。暖かくして十分な食事をしなさい」と言いながら、彼らの身体的な必要について何もしなかったとします。、それが何の役に立つのですか? 同様に、信仰は、行動が伴わなければ、それ自体では死んだものになります。」

ローマ人への手紙 12:14 あなたを迫害する者たちを祝福してください。祝福し、呪わないでください。

この聖句は、私たちを迫害する人たちに対してさえ愛と優しさを示すよう勧めています。

1. 許しの力: 敵を愛する方法

2. 復讐の連鎖を断ち切る: 呪いよりも祝福を選ぶ

1. マタイ 5:44 - 「しかし、私はあなたに言います。あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。」

2. エペソ人への手紙 4:31-32 - 「すべての恨み、怒り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともに、あなたがたから遠ざけましょう。神がキリストにあってあなたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、許し合いなさい。」

ローマ人への手紙 12:15 喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。

クリスチャンは他の人の喜びや悲しみを分かち合うべきです。

1.「愛を超えて生きる：他者とともに喜びと悲しみを経験する」

2. 「思いやりの力：喜びと涙への呼びかけ」

1. ヨブ 16:20-21 – 「私の目から神に涙が溢れ出すとき、私の執り成しは私の友人です。人が友人のために嘆願するように、彼は人に代わって神に嘆願します。」

2. ヤコブ 5:11 – 「見よ、私たちは耐え忍んだ祝福された人々を考慮します。あなたはヨブの忍耐について聞いており、主の処置の結果を見て、主が憐れみに満ち、憐れみ深い方であることを知っています。」

ローマ人への手紙 12:16 お互いがお互いに対して同じ思いを持ちなさい。高いことは気にせず、身分の低い男性には見下してください。自分自身のうぬぼれを賢明に考えないでください。

クリスチャンは互いに謙虚な態度を持ち、自分を高く評価しすぎたり、他人を見下したりしないようにすべきです。

1. クリスチャンの交わりにおける謙虚さの力

2. 高慢と謙虚さ: ローマ人への手紙 12:16 の研究

1. ピリピ 2:3–4 - 「利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。4 自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2. ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

ローマ人への手紙 12:17 悪には悪を報いてはならない。すべての人の目に正直に物事を提供してください。

悪には悪で対応するのではなく、誰の目にも正直で名誉ある行動をとりましょう。

1. ポジティブな反応の力 - 悪に反応するのではなく、悪に対してポジティブな反応を起こす方法を探ります。

2. 誠実な生活を送る - あらゆる状況において、誠実かつ名誉ある方法で行動することの重要性を理解します。

1. 箴言 20:22 - 「悪に報いてやる」とは言わないでください。主を待ちなさい、そうすれば主はあなたを救い出してくださいます。

2. マタイ 5:38-39 - 「目には目を、歯には歯を」と言われたのを聞いたことがあるでしょう。しかし、私はあなたに言います、悪人に抵抗してはいけません。誰かがあなたの右の頬を平手打ちした場合は、もう一方の頬も彼らに向けてください。

ローマ人への手紙 12:18 できることなら、あなたがたのうちにある限り、すべての人たちと平和に暮らしてください。

この聖句は、すべての人々との平和的な関係を築くよう私たちを励ましています。

1.「平和に暮らすための呼びかけ」

2.「隣人と共生する」

1. マタイ 5:9 - 「平和を実現する人々は幸いです。彼らは神の子と呼ばれるからです。」

2. 箴言 15:1 - 「優しい答えは怒りを遠ざけますが、厳しい言葉は怒りを引き起こします。」

ローマ人への手紙 12:19 愛する人よ、自分で復讐するのではなく、むしろ怒りに身を任せてください。「復讐はわたしのすることである」と書いてあるからです。わたしが報いる、と主は言われる。

信者は復讐の問題を自分の手で引き受けるべきではなく、代わりに神に正義を委ねるべきです。

1.「主は復讐される：神の正義を信頼する」2.「怒りを耐える：不当な行為に直面して許しを実践する」

1. 箴言 20:22 - 「『この過ちを返してやる』とは言わないでください！」主を待ちなさい、そうすれば主はあなたに復讐してくださいます。」 2. ヘブライ 10:30 - 「私たちは、『復讐はわたしのなす、わたしが報復する』、そしてまた『主はその民を裁かれる』と言われた方を知っています。

ローマ人への手紙 12:20 したがって、あなたの敵が飢えているなら、彼に食事を与えてください。もし喉が渇いたら、水を飲ませなさい。そうすれば、彼の頭に火の炭を積むことになるからです。

クリスチャンは、たとえそれを受けるに値しない場合でも、敵を愛し、優しさを示すべきです。

1. 憎しみを超える愛の力

2. 私たちを不当に扱った人々に善いことをする

1. マタイ 5:44 - 「しかし、私はあなたに言います。あなたの敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りなさい。」

2. 箴言 25:21-22 - 「あなたの敵が飢えているなら、食べるものを与えなさい。渇いているなら、水を与えなさい。そうすることで、あなたは彼の頭に燃え盛る炭を積みます。そうすれば主はそうしてくださいます。」ご褒美をあげてね。」

ローマ人への手紙 12:21 悪に勝つのではなく、善をもって悪に勝ちなさい。

信者は悪に打ち負かされるのではなく、善を行うことによって悪に打ち勝つべきです。

1.「悪に対する善の力」

2.「神の力で悪を克服する」

1. マタイ 5:44 – 「しかし、私はあなたたちに言います。あなたの敵を愛し、あなたたちを迫害する人々のために祈りなさい。」

2. エペソ人への手紙 4:31–32 – 「すべての恨み、怒り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともに、あなたがたから遠ざけましょう。互いに親切にし、心を優しくし、キリストにあって神があなたがたを赦してくださったように、互いに許し合いなさい。」。」

ローマ人への手紙 13 章は、パウロがクリスチャンと行政当局との関係、また愛と道徳的行為の義務について取り上げた章です。

第 1 段落: この章は、神が定めた権威以外に権威はないので、統治する権威に従うようにとパウロが信者に助言するところから始まります。権威に反逆する者は神の定めたことに反逆しており、自らに裁きを下すことになると彼は警告しています。というのは、支配者は正しいことをする者を恐れるのではなく、悪を行う者を恐れるからです(ローマ13:1-3)。さらに彼は、権威者は私たちの利益のための神の召使いであり、悪行者に対する神の怒りを実行するために復讐者として剣を帯びており、したがって怒りだけでなく良心のために服従する必要があると説明しています（ローマ13:4-5）。

第 2 段落: 6 ～ 7 節で、パウロは信者たちに、税金とその義務がある人に敬意を表するように指示しています。なぜなら当局は神の僕だからです。税金を払うなら税収、収入があるなら尊重する、名誉なら敬意を払う（ローマ人への手紙 13:6-7））。これは、市民の義務を忠実に遂行することを含む、社会に対するキリスト教徒の責任を示しています。

第 3 段落: 8 節以降、パウロは律法の成就としての愛について論じています。彼は信者たちに、借金が続くこと以外は借金を残さないようにしなさい、互いに愛し合いなさい、他人を愛する者は律法の戒め「姦淫してはならない」「殺人してはならない」「盗んではいけない」「むさぼりをしてはならない」その他の命令をすべて履行しているのだと勧めています。それは、「あなたの隣人を自分のように愛しなさい」というこの一つの命令に要約されるかもしれません。愛は隣人を傷つけないので、愛成就の法則（ローマ人への手紙 13:8-10）。この章は、現在の時間に照らして神聖な生活への呼びかけで終わります 瞬間を理解してください すでに時間があります 目覚めてください 睡眠 救いは最初に信じられたときよりも近づいています 夜はほぼ一日中ここにあります だから行為を脇に置いてみましょう 暗闇を装う 鎧の光は昼間と同じようにきちんと行動してください（ローマ人への手紙 13:11-14）。このセクションは、真の愛、倫理的な行動、キリストの再臨を予期することを通してキリスト教の信仰を生きるというテーマを強化します。

ローマ人への手紙 13:1 すべての魂は高次の力に服従しなさい。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

神が彼らを権力の地位に置いたのだから、すべての魂は統治当局に従うべきです。

1. 服従の力: 権威への服従

2. 神の主権を理解する

1. ダニエル 2:21: 「彼[神]は時代と季節を変え、王を排除し、王を立てます。」

2. テトス 3:1: 「支配者や権威に服従し、服従し、あらゆる良い仕事に備えていることを思い出させてください。」

ローマ人への手紙 13:2 したがって、力に抵抗する者は神の定めに抵抗するのです。抵抗する者は自らに天罰を受けるでしょう。

この聖句は、権力に抵抗することは神の定めに抵抗するものとみなされ、罰を受けることになるため、権威を尊重することの重要性を強調しています。

1. 権威の力：神の秩序を尊重する

2. 権威に従う: 神の意志に服従する

1. ペテロ第一 2:13-14: 「主のために、人間のあらゆる制度に服従しなさい。それが最高位の皇帝であろうと、悪を行う者を罰し、行う者を賞賛するために皇帝から遣わされた総督であろうと、右。"

2. 詩篇 33:12: 「主を神とする国、主が相続地として選ばれた民は幸いです。」

ローマ人への手紙 13:3 支配者は善行に対してではなく、悪に対して恐怖となるからです。それでは、あなたはその力を恐れないでしょうか？良いことを行えば、あなたはそのことを称賛されるでしょう。

支配者は善行を行うことで恐れるべきではなく、悪を行うことだけを恐れるべきです。良いことをすれば権力者から賞賛される。

1. 善行は権威者から報われる

2. 権力を恐れず、善の道を歩め

1. 箴言 21:3 - 正義と裁きを行うことは犠牲よりも主に受け入れられます。

2. 詩篇 37:3 - 主を信頼し、善を行いなさい。そうすれば、あなたはその地に住み、確かに養われるであろう。

ローマ人への手紙 13:4 なぜなら、彼はあなたに永遠に仕える神の奉仕者だからです。しかし、もしあなたが悪いことをするなら、恐れてください。なぜなら、彼

は無駄に剣を担ぐことはないからです。彼は神の奉仕者であり、悪を行う者に怒りを執行する復讐者だからです。

この一節は、神が悪を行う者を罰し、善を行う者に報いるために統治者を任命されたことを示唆しています。

1. 神の権威の力: 壊れた世界で正しく生きる

2. 権威への服従：神の王国における政府の役割を理解する

1. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2. エペソ 6:12 - なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にある霊的な邪悪に対して格闘しているからです。

ローマ 13:5 ですから、あなたがたは、怒りのためだけでなく、良心のためにも服従する必要があります。

私たちは、恐れからだけでなく、神のご意志への従順からも、神が私たちの上に置かれた権威に従うように求められています。

1: 神の意志への従順

2: 当局への提出

1: エペソ 6:1-3 - 子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。あなたの父と母を敬え。そうすれば、あなたの神、主が与えられる土地であなたの日々が長く続くであろう。

2: ペテロ第一 2:13-15 - 主のために、人間のあらゆる制度に服従しなさい。それが最高位の皇帝であろうと、悪を行う者を罰し善を行う者を称賛するために皇帝から遣わされた総督であろうと、。

ローマ人への手紙 13:6 この目的のために、あなたがたも敬意を払いなさい。彼らは神の奉仕者であり、まさにこのことに常に気を配っているからです。

私たちは政府とその指導者たちを神のしもべであるため、敬意と支援をする義務があります。

1: 私たちは、政府とその指導者が神のしもべであるため、彼らを尊重し、尊敬するよう求められています。

2: 私たちは神によって任命された政府とその指導者に従順であるべきです。

1: マタイ 22:21 - 「だから、カエサルのものはカエサルに、神のものは神に返しなさい。」

2: 1 ペテロ 2:13-14 - 「主のために、人間のあらゆる定めに従いなさい。それが最高位の王に対してであっても、それが至高者であっても、すべての定めに従いなさい。」あるいは総督たちに、あるいは悪行者を罰し、善行を行った者を称賛するために神から遣わされた者たちに。」

ローマ人への手紙 13:7 したがって、彼らのすべての義務を返しなさい。貢物を納めるべき人には貢物を返しなさい。誰の習慣。誰を恐れるのか。誰に名誉を。

権威ある者に対しては相応の敬意と敬意を払いましょう。

1: 私たちの社会は法と秩序に基づいており、クリスチャンとして権力者を尊重しなければなりません。

2: 私たちの行動は権力者に対する敬意と名誉を反映しなければならず、それに値する人々に敬意を表しなければなりません。

1: 1 ペテロ 2:17 - すべての人々を敬い、兄弟愛を愛し、神を畏れ、王を敬え。

2: テトス 3:1 - 支配者や権威に従うこと、服従すること、あらゆる良い業に備えていることを思い出させてください。

ローマ人への手紙 13:8 だれにも、互いに愛し合う以外には、何の義務もありません。他人を愛する者は、律法を全うしたのですから。

互いに愛し合うこと以外、誰に対しても義務はありません。愛によって律法を全うするのです。

1. 愛の力: 律法を全うする方法

2. 愛の戒め: 借金の克服

1. ガラテヤ 5:14 - 「律法全体は、「隣人を自分のように愛さなければならない」という一言で成就されるからです。

2. マタイ 22:36-40 - 「先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか?」そして彼は彼に言った、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。すべての律法と預言者はこの二つの戒めに依存しています。」

ローマ人への手紙 13:9 このため、姦淫してはならない、殺してはならない、盗んではならず、偽りの証言をしてはならない、貪ってはならない。そして、もし他に何か戒めがあるとすれば、それはこの格言の中で簡単に理解できます。すなわち、「汝は汝自身のように汝の隣人を愛せよ」である。

は、隣人を自分のように愛することによって神の戒め、特に十戒を履行することについて述べています。

1. 隣人を愛しなさい: 神の戒めを守る

2. 隣人を愛する力: ローマ人への手紙 13:9 の言葉を実践する

1. マタイ 22:37-40: 「イエスは彼に言われた、『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。』」これは第一の、そして偉大な戒めです。そして二番目も同様です、「隣人を自分のように愛さなければならない」。この二つの戒めにすべての律法と預言者がかかっています。」

2. ガラテヤ 5:14: 「律法はすべて、この一言で成就されます。『隣人を自分のように愛しなさい』という言葉でもです。」

ローマ人への手紙 13:10 愛は隣人に悪影響を及ぼしません。したがって、愛は律法を全うするものです。

愛は律法を全うするための基礎です。

1. 愛は神の律法を成就するための道である

2. 愛を基盤として生きる

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛しなさいということです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきです。」これによって、あなた方が互いに愛を持っているなら、すべての人々はあなた方が私の弟子であることを知るでしょう。」

2. マタイ 22:36-40 - 「先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか。」そして彼は彼に言った、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。」これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。すべての律法と預言者は、この二つの戒めに依存しています。」

ローマ人への手紙 13:11 そして、時が来たということは、今が眠りから目覚める時であるということです。なぜなら、今は、私たちが信じたときよりも私たちの救いが近づいているからです。

この一節は、信者が目覚め、救いがこれまで以上に近づいていることを認識するよう促しています。

1: 起きろ!救いが近づいていることを認識する

2: 寝ないでください: 救いは近づいています

1: 1 テサロニケ 5:6-8 ですから、他の人のように眠らないようにしましょう。しかし、冷静になって見守りましょう。眠っている者は夜も眠っているのだから。そして酔う者は夜も酔う。しかし、現代人である私たちは、信仰と愛の胸当てを着けて、冷静になりましょう。そしてヘルメットには救いの希望が込められています。

2: ヘブライ 6:11-12 そして私たちは、あなたがた一人一人が最後まで希望を完全に保証するために同じ熱心さを示して、怠け者ではなく、信仰と忍耐によって約束を受け継ぐ彼らに従う者となることを望みます。

ローマ人への手紙 13:12 夜は過ぎ、昼が近づいています。ですから、闇の業を脱ぎ捨て、光の武具を身につけましょう。

私たちはこの新しい日に罪深い行動を捨て、代わりに義を受け入れる必要があります。

1. 償還の日: もう一瞬を無駄にするな

2. 闇に囚われないように：光の鎧を身に着けよう

1. エペソ 6:11-17 - 悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2. コロサイ 3:5-11 - したがって、あなたの内にあるこの世的なもの、つまり性的不道徳、不純さ、情熱、邪悪な欲望、そして偶像崇拝である貪欲を殺しなさい。

ローマ人への手紙 13:13 昼のように正直に歩きましょう。暴動や酩酊ではなく、おしゃべりや放浪ではなく、争いや妬みではありません。

酩酊や乱交などの不道徳な行為を避け、神聖な生活を送りましょう。

1. 純粋さと神聖さの生活を送る

2. 正しく生きる力

1. テサロニケ人への第一の手紙 4:3-8 - これは、あなたがたが淫行を避けるべきであるという、あなたの聖化さえも神のご意志だからです。たとえ神を知らない異邦人のように、利己的な欲望からではありません。いかなる事柄においても、誰もそれを超えて兄弟をだましてはなりません。なぜなら、私たちもあなたに予告し証言したように、主はそのようなすべてに対する復讐者だからです。神が私たちを招いてくださったのは、汚れではなく、聖さだからです。したがって、軽蔑する者は人間を軽蔑しているのではなく、私たちに聖霊を与えてくださった神を軽蔑しているのです。

2. テトス 2:12 - 不敬虔と世俗的な欲望を否定し、この世で慎み深く、正しく、敬虔に生きるべきであることを教えています。

ローマ人への手紙 13:14 しかし、あなたがたは主イエス・キリストの上に置き、肉の欲望を満たすために肉の備えをしてはならない。

イエス・キリストの教えに従って生き、肉の誘惑に抵抗してください。

1. 誘惑に抵抗するキリストの力

2. 日常生活でイエスの教えに従う方法

1. コリント人への手紙第 10 章 13 節、「人類に共通する誘惑以外に、あなたがたを襲った誘惑はありません。神は真実ですので、あなたが耐えられないほどの誘惑を受けることはありません。しかし、あなたが誘惑されたとき、神はまた、誘惑を与えてくださいます。」あなたが耐えられるように逃げてください。」

2. ガラテヤ 5:16-17、「だから、わたしは言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満足させることはできません。肉は御霊に反することを望み、御霊は肉に反することを望むからです」. 彼らは互いに対立しているので、あなたが望むことを何でもすることはできません。」

ローマ人への手紙 14 章では、キリスト教徒の自由、疑わしい事柄に関する論争の扱い、仲間の信者をつまずかせてはいけないという原則について論じられています。

第 1 段落: この章は、パウロが信者たちに、争いごとで争うことなく、信仰の弱い人たちを受け入れるよう助言するところから始まります。彼は例として、食物を守る日を例に挙げ、信者間の信念の違いを浮き彫りにし、生きて死ぬのは主に属するかどうかにかかわらず、私たちは生きているので、主よ、主は死に、信者たちはそれぞれ自分の心を完全に確信する必要があります（ローマ人への手紙 14:1-8）。これは、キリスト教徒コミュニティ内の寛容の多様性に関する議論の調子を整えます。

第 2 段落: 9 節から 12 節で、パウロは、キリストが死んで復活したのは、死んだ者と生きている者の両方の主となるためであると強調しています。したがって、私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになり、それぞれが自分自身を神であると認めます（ローマ人への手紙 14:9-12）。これは、本質的でない問題について信者仲間を裁くのではなく、神に対する個人的な責任の重要性を強調しています。

第 3 段落: 13 節以降、パウロは信者たちに、これ以上お互いに裁きを下すのではなく、兄弟姉妹につまずきとなる障害を決して置かないことを決めなさいと教えています (ローマ人への手紙 14:13)。彼は、ある信者にとってはすべてがきれいであっても、それが他の信者をつまずかせるなら、それは間違っていると説明しています（ローマ人への手紙 14:20）、したがって、王国である神は食べること、飲むことは問題ではなく、正義、平和、喜び、聖霊が重要であり、このようにキリストに仕える人は誰でも神を喜ばせ、人間の承認を受けるのです（ローマ人への手紙） 14:17-18）。この章は、平和を追い求めなさい、相互啓発をしなさい、仕事を破壊してはならない、神のために食べ物を持ちなさい、自分の信じていることをお互いの間で保ちなさい、神は幸いです、人は自分が認めることで自分を非難しない人です（ローマ人への手紙 14:19-22）という勧めで終わります。これは、個人の自由の中でも、愛を持って他者を配慮するという原則を強調しています。

ローマ人への手紙 14:1 信仰の弱い人はあなたがたを受け入れますが、疑わしい論争には応じません。

信者は個人的な信仰の問題について議論することなくお互いを受け入れるべきです。

1. 他人の信仰を判断すべきではない

2. 愛をもってお互いを受け入れる

1. コリント第一 13:4-7 - 愛は忍耐強く、愛は親切です。妬まない、自慢しない、誇りに思わない。他人の名誉を傷つけず、利己的でもなく、簡単に怒らず、不正行為の記録も残さない。

2. ヤコブ 4:11-12 - 兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟に悪口を言い、兄弟を裁く者は、律法に逆らって悪を語り、律法を裁くのです。しかし、もしあなたが法を裁くなら、あなたは法の実行者ではなく裁判官です。

ローマ人への手紙 14:2 ある人は、自分はすべてのものを食べてもよいと信じており、またある人は、弱い人で、薬草を食べています。

二人は何を食べられるかについて異なる見解を持っています。一人は何でも食べられると信じていますが、もう一人は体が弱く、ハーブしか食べません。

1. 自分の限界を知ることの強さ

2. 違いを受け入れる力

1. マタイ 6:25-34 - 野のユリについて考えてみましょう

2. ピリピ 4:4-7 - いつも主にあって喜びなさい

ローマ人への手紙 14:3 食べる人は食べない人を軽蔑してはならない。食べる者は食べる者を裁いてはなりません。神が彼を受け入れてくださったからです。

クリスチャンは、自分たちの食習慣に基づいてお互いを判断すべきではありません。なぜなら、神はその両方を受け入れられたからです。

1. 赦しの力: ローマ人への手紙 14:3 の研究

2. 無条件の愛: ローマ人への手紙 14:3 を生きる

1. ルカ 6:37 - 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたがたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、あなたがたは罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。」

2. エペソ人への手紙 4:32 - 「そして、神がキリストのためにあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも互いに親切にし、心優しく、互いに赦し合いなさい。」

ローマ人への手紙 14:4 他人の僕を裁くあなたは何者ですか。自分の主人に対して、彼は立つか倒れるかです。そうです、彼は支えられるでしょう。神は彼を立た

せることができるからです。

クリスチャンは、誰にでも最終的に答える自分の主人である神がいるのですから、お互いを裁くべきではありません。

1. 「私たちはそれぞれ神に対して責任を負っています」

2. 「神の力と私たちを立たせる神の能力」

1. ローマ人への手紙 3:23 「すべての人は罪を犯し、神の栄光を受けられないからです。」

2. イザヤ書 40:28-31 「あなたは知らなかったのですか。聞いたことはありませんか。永遠の神、主、地の果ての創造者は、気を失うことも、疲れることもありません。彼の理解力は探ることができません。神は力を与えます。」弱い者には力が増し、力のない者には力が増し、若者も気を失い疲れ果て、完全に倒れるが、主を待ち望む者は再び力を増し、彼らは翼を持って立ち上がる。鷲よ、走っても疲れず、歩いても気絶しない。」

ローマ人への手紙 14:5 ある人は、ある日を他の日よりも大切にしますが、別の人は毎日同じように大切にします。すべての人は自分自身の心の中で完全に説得されましょう。

誰もが神に最も敬意を払う方法について自分の意見を形成すべきです。

1:自分の意見を持ち、それを貫くことの大切さ。

２：他人の意見を尊重することの大切さ。

1: 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださいます。」

2: ピリピ 4:8 「最後に、兄弟たち、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、称賛に値すること、優れていること、賞賛に値することがあれば、そのようなことについて考えてください。」

ローマ人への手紙 14:6 その日を重視する者は、それを主に考慮します。そして、その日を重視しない者は、主にとってはその日を重視しないのである。食べる者は主のために食べる、なぜなら彼は神に感謝するからである。食べない者は主に食べず、神に感謝する。

パウロは信者たちに、一日を守ること、食べるか食べないかに関わらず、自分の行うすべてのことは神の栄光のために行われるべきであることを認識するよう勧めています。

1.「すべてのものにおいて神のために生きる」

2.「日常生活における神の存在」

1. コロサイ 3:23 - 「何をするにも、人に対してではなく主に対して行うように、心から行いなさい。」

2. コリント人への第一の手紙 10:31 - 「ですから、食べるにしても、飲むにしても、あるいは何をするにしても、すべて神の栄光のためにしなさい。」

ローマ人への手紙 14:7 私たちには、自分のために生きている人はいないし、自分のために死ぬ人もいないからです。

人は皆、自分よりも大きな何かのために生き、死ぬのです。

1. より大きなもののために生き、死ぬ - ローマ人への手紙 14:7

2. 全体像に焦点を当てる - ローマ 14:7

1. ガラテヤ 6:7 だまされてはいけません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは何でも、彼も刈り取るからです。

2. ヘブライ 12:1-2 ですから、私たちも大勢の証人たちに取り囲まれているのですから、あらゆる重荷や、いとも簡単に私たちを襲う罪を脇に置き、忍耐強くこのレースを走り抜こうではありませんか。私たちの前に置かれ、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ています。この人は、自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。

ローマ人への手紙 14:8 なぜなら、私たちは生きているかどうかに関わらず、主のために生きているからです。したがって、私たちが死ぬにせよ、死ぬにせよ、私たちは主のものなのです。

信者は、生きるときも死ぬときも、人生のあらゆる段階において主に属します。

1. 主のために生き、主のために死ぬ - ローマ 14:8

2. どの季節も主に属する - ローマ 14:8

1. 詩篇 116:15 - 主の目に尊いのは、聖徒たちの死です。

2. 申命記 10:12 - あなたの神、主があなたに求めておられるのは、あなたの神、主を畏れ、主の道をすべて歩むこと、主を愛し、心を尽くして、あなたの神、主に仕えること以外にありません。魂。

ローマ人への手紙 14:9 この目的のために、キリストは死んで、復活し、復活したのは、死者と生きている者の両方の主となるためです。

神の究極の目標は、生者と死者の両方の主となることです。

1: 永遠に生きる: キリストを知る賜物

2: 復活の力: 救いの希望

1: ヨハネ 11:25-26 - イエスは言われました。「わたしは復活であり、命です。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きます。」

2: ローマ人への手紙 8:11 - イエスを死者の中からよみがえらせた神の御霊があなたの内に住んでいます。そして、神がキリスト・イエスを死者の中からよみがえらせたように、あなたの内に住むこの同じ御霊によって、あなたの死ぬべき体に命を与えてくださるのです。

ローマ人への手紙 14:10 しかし、なぜあなたは自分の兄弟を裁くのですか。あるいはなぜあなたは自分の兄弟を無視するのですか？なぜなら、私たちは皆、キリストの裁きの座の前に立つからです。

私たちは皆、キリストの裁きの前に立つのですから、お互いを裁いたり、軽視したりしてはならないのです。

1. ローマ人への手紙 14:10 を振り返る - 他の人に敬意を持って接するには

2. キリストの裁きの座 - なぜ私たちはお互いを裁いてはいけないのか

1. マタイ 7:1-5 - 他人を裁かないでください

2. ヤコブ 4:11-12 - お互いの悪口を言ってはいけない

ローマ人への手紙 14:11 「わたしが生きるとき、主は言われる、すべての膝はわたしにかがみ、すべての舌は神に告白するであろう」と書いてあるからです。

誰もがいつかそれを認め、神の前にひれ伏すでしょう。

1: 私たちは神の前にひれ伏す日に備えて人生を生きなければなりません。

2: 私たちの言葉と行動は今、神を讃え、神に栄光を帰すべきです。そうすれば、神の前にひれ伏すときに後悔することはありません。

1: フィリピ 2:10-11 - イエスの御名によって、天においても地においても地の下においても、すべての膝がかがみ、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であることを告白しなければなりません。

2: イザヤ書 45:23 - 「わたしは自ら誓った。言葉は義をもってわたしの口から出た、そして戻ることはない、すべての膝がわたしにかがみ、すべての舌が誓いを立てるということ。

ローマ人への手紙 14:12 ですから、私たちは皆、神に対して自分のことを言い表すべきです。

誰もが自分の行動について神に対して責任を負うことになります。

1. 清算の日: 神に対する私たちの責任を理解する

2. 信仰を実践する: 神に対する責任を果たす

自分の言ったすべての空虚な言葉について、裁きの日に責任を負わなければなりません。あなたの言葉によってあなたは無罪となり、あなたの言葉によって有罪になるからです。」

2. ヘブライ 4:13 - 「すべての創造物のうち、神の目から隠されているものは何もありません。すべては明らかにされ、私たちが説明しなければならない神の目の前にさらけ出されるのです。」

ローマ人への手紙 14:13 ですから、私たちはもうお互いを裁かないようにしましょう。むしろ、だれも兄弟の道につまずきや躓くきっかけを与えないようにしましょう。

この聖句は、お互いを裁かず、兄弟姉妹を助けるよう私たちに勧めています。

1. 調和の中で生きる: 批判を避け、団結を促す

2. 障害: 隣人を混乱させるのではなくサポートする方法

1. ガラテヤ 5:22-23 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。これらを妨げる律法はありません。」

2. マタイ 7:12 「だから、あなたが人にして欲しいことは、すべて人にしなさい。これが律法と預言者だからです。」

ローマ人への手紙 14:14 私は知っていますし、主イエスにそう説得されています。それ自体が汚れているわけではありません。しかし、何かを汚れているとみなす者にとって、それは汚れているのです。

パウロはイエスから、本質的に汚れているものは何もなく、誰かが汚れていると感じるものはすべて、その人にとって汚れているということを確信しました。

1. 他人の信念を尊重し、違いを理由に判断しないことの重要性。

2. 私たち自身の信念の力と、それが私たちの考えや行動をどのように形作るか。

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分だけの理解に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ガラテヤ 5:1 - 自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださいました。したがって、毅然とした態度をとり、再び奴隷制のくびきに屈しないでください。

ローマ人への手紙 14:15 しかし、あなたの兄弟があなたの肉のことで悲しんでいるなら、今は慈善的に歩むべきではありません。キリストがそのために死んでくださったので、あなたの肉で彼を滅ぼしてはなりません。

たとえそれが彼らを悲しませるとしても、私たちはキリストがそのために死んでくださった人を自分の行いで滅ぼしてはなりません。

1) 意見の違いにもかかわらず隣人を愛せよ

2) 慈善と慈悲の大切さ

1) エペソ人への手紙 4:32 - 「そして、神がキリストのためにあなたがたを赦してくださったように、あなたがたは互いに親切にし、心優しく、互いに赦し合いなさい。」

2) ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

ローマ人への手紙 14:16 ですから、あなたの善いことを悪く言わないでください。

人を喜ばせることよりも、神の御心に従って生きることが大切です。

1. 何よりも神の御心を行う

2. 他者の価値を認識する

1. ピリピ 2:3-4 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

ローマ人への手紙 14:17 なぜなら、神の国は肉や飲み物ではないからです。しかし義と平和と聖霊による喜びです。

神の王国は物質的なものに基づいているのではなく、聖霊によって見出される義、平和、喜びに基づいています。

1.「神の国に生きる：聖霊の中に義、平和、喜びを見出す」

2.「神の王国：物質的所有を超えて」

1. マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2. コロサイ 3:15 - 「そして、神の平和があなたがたの心に支配され、あなたがたもその平和に一つの体として召されているのです。そして感謝しなさい。」

ローマ人への手紙 14:18 これらのことにおいてキリストに仕える者は、神に受け入れられ、人々に認められるからです。

キリストに仕えることは神にとっても人々にとっても喜ばしいことです。

1. 奉仕の力: 他人のために善を行うことでどのように私たちが神に近づくのか

2. 奉仕の受容: 他者のために善を行うことがどのようにして他者からの受容をもたらすのか

1. コロサイ 3:23-24 「何をするにも、人のためではなく主のために、心を込めて働きなさい。相続財産の報いを主から受けられることを知ってください。あなたが仕えているのは主キリストです。」。」

2. マタイ 25:31-40 - 「人の子が栄光のうちに来るとき、すべての天使たちとともに彼はその栄光の王座に座ります。すべての国々が彼の前に集まり、彼は民を分けます。」羊飼いが羊とヤギを分けるように、一匹ずつ羊を分け、羊を自分の右側に置き、ヤギを左側に置きます。すると王は右側にいる者たちに言います、「来なさい、わたしの父に祝福された者たちよ。あなたの相続物、世界の創造以来、あなたのために用意された王国を受け取りなさい。私がお腹が空いていたのに、あなたは私に何か食べるものをくれた、私が喉が渇いていたのに、あなたは私に飲み物をくれた、私は見知らぬ人だったのに、あなたは私を招き入れた、私は服が必要だったのにあなたが着せてくれた、私が病気だったのにあなたが世話をしてくれた、私が刑務所にいたのにあなたが見舞いに来てくれた。』「主よ、私たちはあなたがお腹を空かせて食べさせたり、喉が渇いて飲み物を与えたりするのをいつ見たのですか。私たちはあなたがよそ者であるのを見て家に招き入れたり、服が必要であなたに着せたりしたのはいつですか。いつですか。」あなたが病気か刑務所にいるのを見て、私たちはお見舞いに行きますか？』王様はこう答えるでしょう、「真実に言いますが、あなたが私の兄弟姉妹の中で最も小さい者の一人にしたことは、私のためにもしてくれたのです。」

ローマ人への手紙 14:19 ですから、平和をもたらす事柄、またそれによってお互いが他の人の徳を高めることができる事柄に従いましょう。

私たちは平和を目指して努力し、言葉と行動でお互いを高め合うべきです。

1. 平和の力: 団結のためにどのように協力できるか

2. お互いを高め合う: どうすれば違いを生むことができるか

1. ピリピ 4:8-9 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、、これらのことを考えてください。あなたが私から学び、受け取り、聞いて見たこと、これらのことを実践してください。そうすれば平和の神があなたとともにおられます。

2. コロサイ 3:12-14 - ですから、神に選ばれた者として、聖く愛される同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身につけて、互いに忍び合い、もし誰かが互いに不満を持っているなら、お互いを許しましょう。他の;主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。そして何よりも、これらは愛を身に着けており、それがすべてを完璧な調和で結びつけます。

ローマ人への手紙 14:20 肉が神の働きを台無しにしてはなりません。確かにすべてのものは純粋です。しかし、罪を犯して食べる人にとっては悪である。

食べ物の選択によって神の働きが破壊されることのないようにしてください。すべては純粋ですが、不快感を引き起こすような食べ方は間違っています。

1. 謙虚さと敬意を持って食べる

2. 食べ物の選択の力

1. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。各自、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

2. コリント人への第一の手紙 8:9 - 「しかし、あなたのこの権利が弱い人のつまずきにならないように気をつけてください。」

ローマ人への手紙 14:21 肉を食べたり、ぶどう酒を飲んだり、あるいはそれによって兄弟がつまずいたり、気分を害したり、弱ったりするようなことをしてはいけない。

私たちは、他の人を弱らせたり、つまずかせたり、気分を害したりするようなことをしてはなりません。

1. 他者に善を行う: 無私の行為がもたらす精神的な影響

2. 他者を愛する: 自分の行動によって危害を与えない

1. マタイ 7:12 「ですから、あなたがたは、人にしてほしいと願うことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからです。」

2. エペソ人への手紙 4:32 - 「神がキリストのためにあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心を優しくし、互いに赦し合いなさい。」

ローマ人への手紙 14:22 あなたは信じていますか。それを神の前で独り占めしなさい。自分が許容する事柄において自分自身を非難しない人は幸いである。

信者は自分に何をさせているかに基づいて自分自身を判断すべきではありません。

1. 「バランスの中で生きる：何を許可し、何を非難するか」

2. 「内省の力: 神の計画に満足感を見出す」

1. ピリピ人への手紙 4:11-13 「私は、困っていることについて話しているのではありません。私は、どんな状況でも満足することを学んだのです。私は、どのように落ち込むかを知っており、どのようにして豊かになるかを知っています。「どんな状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。私を強めてくださる方を通して、私はすべてのことを行うことができます。」

2. ガラテヤ 5:13-14 - 「兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ、自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体はこの一言で成就するからです。」あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません。」

ローマ人への手紙 14:23 また、疑う者が食べるなら、罰せられます。なぜなら、その人は信仰から食べないからです。信仰から出ないものはすべて罪だからです。

何をすべきかわからない人は、信仰なしに行ったことはすべて罪とみなされますので、疑いから行動すべきではありません。

1. 信仰を行動の指針にしましょう。

2. 疑いは信仰の敵です。

1. ヘブライ 11:6 - 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。」

2. ヤコブ 1:5-8 - 「もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、与えられるでしょう。しかし、その人は、何の疑いもなく、信仰をもって求めなさい。」

ローマ人への手紙 15 章では、クリスチャンの生活に関する前章からの議論が続き、相互の啓発、受け入れのモデルとしてのキリスト、そして異邦人に対するパウロの宣教に焦点が当てられています。

第 1 段落: この章は、パウロが信者たちに、強い者は弱い失敗を耐えるべきであり、自分自身を喜ばせるのではなく、隣人を喜ばせ、彼らを良く築くべきであると忠告することから始まります。彼は、キリストが自分を喜ばせたのではなく、「あなたが侮辱した者たちの侮辱が、わたしを堕落させた」（ローマ人への手紙 15:1-3）と書かれているとおりだと指摘しました。彼は、過去に書かれたことはすべて、忍耐の励ましを通して聖書が希望を持つことができるように私たちに教えて書かれたものであると述べています（ローマ15:4）。

第 2 段落: 5 節から 13 節で、パウロは信者たちが心を一つにし、声を一つにして神の栄光を現すことができるよう、信者たちの一致を祈ります。彼は、キリストが神に賛美をもたらすために彼らを受け入れたように、お互いを受け入れるよう彼らに勧めます。次に彼は、イエスがいかにして奉仕者となったかを概説する ユダヤ人は族長との約束を確認する 異邦人は神の慈悲を讃えるかもしれない 旧約聖書のいくつかの箇所を引用して包括的な性質を示す 神の救いの計画は彼の希望を最高潮に達する「神が希望であなたたち全員を満たしてくださいますように、喜びを平和に信じて、聖霊の力が希望に溢れますように」（ローマ人への手紙 15:5-1 3）。

第 3 段落: 14 節以降、パウロは異邦人の間での自分の宣教について語り、キリストが知られていない場所で福音を宣べ伝えるという野望を表明しています。そうすることで、他人の基礎を築くことはありません(ローマ人への手紙 15:20)。彼は、この伝道活動のためにローマ訪問を妨げられてきた理由を説明しましたが、スペインに行くときに長年訪れたいと思っていたので、これらの地域にはもう場所がありません。最初に楽しんでいただければ、そこを通過するときにローマに行くことができれば幸いですいつか彼らと一緒に過ごしましょう（ローマ人への手紙 15:22-24）。この章は、パウロの計画で終わります。エルサレムの礼拝を訪問します。そこにいる主の民は、祈りを求めていますが、不信者は安全に保たれます。ユダヤの礼拝のささげ物は受け入れられる聖徒かもしれません。目的は、神の御心に従って彼らに安全に会いに来ます。一緒に喜びを満たし、軽食を与えます。ローマ人への手紙 15:30-32）。これは、使徒の宣教者の心の情熱が福音の届かない領域に広がっていることを垣間見ることができます。

ローマ 15:1 ですから、私たち強い者は、弱い者の弱さを担うべきであり、自分を喜ばせるべきではありません。

私たちは常に自分の利益だけを考えるのではなく、困っている人たちを喜んで助ける必要があります。

1: 良きサマリア人になりなさい - 他者を愛し、奉仕する

2: 自分を喜ばせない - 自分より他人を優先する

1: マタイ 22:36-40 - 神を愛し、隣人を愛しなさい

2: ピリピ人への手紙 2:3-4 - 利己的な野心からは何もしないでください

ローマ人への手紙 15:2 私たち一人一人が、啓発に役立つ隣人を喜ばせましょう。

私たちはお互いを高め合うために、隣人を喜ばせるよう努めるべきです。

1. 「隣人を愛せよ: 啓発への鍵」

2.「愛を通じた団結の力」

1. エペソ人への手紙 4:29 「あなたがたの口からは、堕落した言葉を発してはなりません。ただ、聞く人に恵みを与えるために、啓発に役立つ言葉を発しなさい。」

2. コロサイ 3:12-14 「ですから、神に選ばれた者、聖なる愛される者として、いつくしみの心、親切心、謙虚な心、柔和さ、辛抱強さを身に着けなさい。もし持っている人がいるなら、互いに寛容し、許し合いなさい。」」

ローマ人への手紙 15:3 キリストでさえご自身を喜ばせなかったのです。しかし、書かれているように、あなたを非難した彼らの非難が私に降りかかりました。

キリストの自己犠牲は、他人を優先する方法の模範です。

1: 私たちはキリストの無私無欲の模範に従い、人生において他人を第一にすべきです。

2: イエスがされたように、私たちも他人の利益のために他人の侮辱に耐えるべきです。

1: ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2: マタイ 5:39 - 「しかし、言っておくが、悪人に逆らってはいけない。誰かがあなたの右の頬を平手打ちするなら、もう片方の頬も彼らに向けなさい。」

ローマ 15:4 なぜなら、これまでに書かれたものはすべて、私たちが学ぶために書かれたものであり、忍耐と聖文の慰めによって私たちが希望を持つことができるようにするためです。

神の言葉は私たちにとって慰めと希望の源です。

1: 「聖書にある忍耐と慰め」

2: 「神の言葉から私たちが受け取る希望」

1: 詩篇 119:105 「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2: ヘブライ人への手紙 4:12 「神の言葉は生きていて、活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を突き刺し、心の思いや意図を見分けるからです」。」

ローマ人への手紙 15:5 さて、忍耐と慰めの神が、キリスト・イエスに従って互いに同じ思いを抱くよう、あなたがたに与えてくださいます。

パウロはローマの教会に対し、イエス・キリストのように信仰において団結し、互いに忍耐強くなるように勧めています。

1.「一致における忍耐：私たちの生活におけるキリストの力」

2. 「イエスに従って生きる：忍耐を通じて一致を達成する」

1. エペソ人への手紙 4:3 - 「平和のきずなにおける御霊の一致を維持するためにあらゆる努力をしなさい。」

2. コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、赦しなさい。」

ローマ人への手紙 15:6 それは、あなたがたが心を一つにし、口を一つにして神、すなわち私たちの主イエス・キリストの父を讃えるためです。

私たちは統一された賛美の表現を通して神を讃え、栄光を現すことができます。

1:「賛美における団結」

2: 「共に神の栄光を讃える」

1: ピリピ 2:5-11 - キリスト・イエスのうちにあるこの心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にしてしまったのです。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2: 詩篇 34:3 - ああ、私とともに主をあがめ、一緒に御名を讃えましょう。

ローマ人への手紙 15:7 ですから、キリストが私たちを神の栄光のために受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れてください。

クリスチャンは、神に栄光をもたらすために、キリストが私たちを受け入れてくださったように、お互いを受け入れるべきです。

1. 受け入れる力: 他者を愛することによってどのように神の栄光を現すことができるか

2. すべてを愛する: 私たちは行動を通してどのようにキリストを反映できるか

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うことです。これによって、あなたがたがわたしの弟子であることをすべての人が知るでしょう。お互いに愛を持ってください。」

2. エペソ人への手紙 4:2-3 – 「あらゆるへりくだりと優しさをもって、忍耐をもって、愛のうちに互いに忍び合い、平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努めなさい。」

ローマ人への手紙 15:8 さて、イエス・キリストは、父祖たちに対する約束を確認するために、神の真理のために割礼の奉仕者であったと言います。

イエス・キリストは先祖たちに対する約束を果たす神の奉仕者でした。

1. 神の約束の実現

2. イエス・キリスト：神の大臣

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. ヘブライ人への手紙 11:17-19 – 「信仰によって、アブラハムは試みられたとき、イサクを差し出しました。そして、約束を受けた者は自分の独り子を差し出しました。その独り子について、『あなたの子孫はイサクに生まれる』と言われました。」神は彼を死者の中からでもよみがえらせることができ、そこから比喩的な意味でも彼を受け入れられたと結論づけた。」

ローマ人への手紙 15:9 それは、異邦人が神の憐れみを讃えるためです。「このために、私は異邦人の中であなたに告白し、あなたの御名を歌います」と書かれているとおりです。

異邦人はローマ人への手紙第15章9節に記されているように、神の憐れみを讃えることができました。

1. 神の憐れみ: 祝福と栄光の源

2. 神の憐れみを祝う: 感謝の表現

1. 詩篇 18:49 - ですから、主よ、異邦人の中でわたしはあなたに感謝し、あなたの御名を賛美します。

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - しかし、憐れみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、私たちが罪で死んでいたときでさえ、キリストとともに私たちを生かしてくださいました（恵みによってあなたがたは救われました）。

ローマ人への手紙 15:10 そしてまた彼は言いました、「異邦人よ、民とともに喜びなさい。」

パウロは異邦人に神の民とともに喜び祝うよう呼びかけています。

1. 一致の力: 神の民とともに喜ぶ

2. 所属する喜び: 神の家族と一緒に祝う

1. 詩篇 133:1 - 「見よ、兄弟たちが団結して一緒に住むのは、なんと素晴らしいことであり、なんと楽しいことでしょう。」

2. ガラテヤ 6:10 - 「ですから、機会があれば、すべての人、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

ローマ人への手紙 15:11 そしてまた、異邦人よ、すべて主をほめたたえなさい。そして、あなたがた全員よ、彼を讃えなさい。

パウロは異邦人にも人々にも、主を賛美し讃美するよう勧めています。

1. 賛美の力: 神に敬意を払うことで神の祝福がどのように解き放たれるか

2. 主にあって喜ぶ：賛美を通して救いを祝う

1. 詩篇 28:6-7 - 「主にほめたたえられますように。主は私の憐れみを求める声を聞いてくださったからです。主は私の力であり、私の盾です。私の心は主に信頼し、私は助けられます。私の心は喜びます。」そして私の歌で彼に感謝を捧げます。」

2. 黙示録 5:11-13 - 「それから私が見ると、王座と生き物と長老たちの周りで、無数、数千の数の天使たちの声が聞こえました。大声でこう言いました。それは、力と富と知恵と力と名誉と栄光と祝福を受けるために屠られた小羊です！」そして私は、天と地と地の下と海のすべての生き物、そしてその中にいるすべてのものがこう言うのを聞きました。これまで！"

ローマ人への手紙 15:12 そしてまた、エサイアスは言いました、「エッサイの根があり、彼は異邦人を治めるために立ち上がるでしょう。異邦人は彼を信頼するでしょう。

ローマ人への手紙のこの節は、異邦人を支配し、異邦人が信頼するエッサイの根の到来について語っています。

1. 信頼できる支配者の約束: イエスはイザヤ書の預言をどのように成就するか

2. 王の希望: 困難な世界でイエスに頼る

1. イザヤ書 11:10 - 「その日、民の旗となるエッサイの根があり、異邦人はそれを求めるであろう。」

2. イザヤ書 11:1-2 - 「エッサイの幹から棒が出て、根から枝が生える。そして、主の霊、知恵と霊が彼の上にとどまる。」理解力、助言と力の精神、知識と主への畏れの精神。」

ローマ 15:13 今、希望の神が、あなたがたが聖霊の力によって希望に満ち溢れるように、信じることによるあらゆる喜びと平安であなたを満たしてくださいます。

神は神を信じることによって私たちに喜びと平安を与え、私たちが神に希望を持つことができるようにしてくださいます。

1. 聖霊による希望の力

2. 信仰を通じて喜びと平和を実現する

1. イザヤ書 40:31 主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. 詩篇 31:24 主に望みを持つすべての人よ、勇気を出してください。そうすれば主はあなたの心を強めてくださいます。

ローマ人への手紙 15:14 そして、兄弟たち、私自身も、あなたがたは善意に満ちており、すべての知識に満ちており、互いに戒めることもできると確信しています。

ローマ人への手紙 15:14 の兄弟たちは善意と知識に満ちており、互いに戒めることができます。

1. 協力する力: 信者のコミュニティにおける一致の利点を認識する

2. サポートの強さ: 教会としてお互いを励まし、高め合う方法

1. エペソ人への手紙 4:2-3 - 「あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなにおいて御霊の一致を維持することに熱心に努めなさい。」

2. コリント第一 12:12-13 - 「体が一つで多くの部分があり、体のすべての部分がたとえ多くても一つの体であるのと同じように、キリストも同様です。なぜなら、私たちは一つの霊の中であったからです。ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由民も、全員が一つの体となるようにバプテスマを受け、全員が一つの御霊を飲まされました。」

ローマ人への手紙 15:15 それにもかかわらず、兄弟たち、私は、神の恵みが私に与えられたので、あなたがたを念頭に置いて、ある意味、より大胆にあなたがた

に書きました。

パウロはローマの教会に神が与えてくださった恵みを思い出させています。

1. 揺るぎない神の恵み

2. リマインダーの力

1. エペソ 2:8–9 なぜなら、あなたがたは恵みによって救われたのですが、それは自分自身によるものではなく、信仰によって救われたからです。それは神の賜物であり、行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。

2. 箴言 3:5-6 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あらゆる方法で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道を導いてくださるでしょう。

ローマ人への手紙 15:16 それは、私が異邦人にイエス・キリストの奉仕者となって神の福音を伝えるためであり、異邦人のささげ物が受け入れられ、聖霊によって聖化されるためです。

パウロは異邦人にイエス・キリストを奉仕する者として任命され、異邦人が聖霊によって聖化されるように神の福音を宣べ伝えました。

1. 呼びかけに応じる：異邦人に対するパウロの宣教

2. 聖霊の聖化する力

1. イザヤ書 61:1-2 - 「主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は柔和な人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。主は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言するために私を遣わされました。」、そして縛られている者たちに牢獄が開かれ、主の受け入れられる年を宣言するためである。」

2. コリント人への第二の手紙 5:17-21 - 「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去ったのです。見よ、すべてのものは新しくなりました。そして、すべてのものは神から出たものであり、神は私たちを和解させてくださったのです」イエス・キリストによってご自分に和解の務めを与えてくださったのであり、また、私たちに和解の務めを与えてくださったのです；つまり、神はキリストのうちにおられ、世界をご自分と和解させ彼らの罪を彼らに押しつけるのではなく、和解の言葉を私たちに託してくださったのです。私たちはキリストの大使です、あたかも神があなたたちに私たちに懇願したかのように、キリストの代わりに祈ります、あなたたちが神と和解してください。なぜなら神は、罪を知らなかった私たちのために彼を罪とされたのです。彼の中にある神の義。」

ローマ人への手紙 15:17 ですから、私は神に関係する事柄において、イエス・キリストを通して栄光を得ることができるのです。

パウロは神に関してイエス・キリストを通して自分の栄光を語ります。

1. 信仰の力: 神のために生きる私たちをイエスはどのように助けてくださるのか

2. 栄光に手を伸ばす：イエス・キリストを通して意義を見出す方法

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにしても、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

2. ヨハネ 15:5 - わたしはぶどうの木です。あなたは枝です。あなたがわたしの中に留まり、わたしもあなたの中に留まるなら、あなたは多くの実を結ぶでしょう。私を離れては何もできません。

ローマ人への手紙 15:18 なぜなら、異邦人を言葉と行いによって従順にするためにキリストが私によって成し遂げてくださったもの以外のことについては、私はあえて語るつもりはありません。

パウロは、キリストが異邦人を言葉と行いの両面で従順にするためにご自分を通して働いてくださったこと以外のことは何も語らない、と述べています。

1. 従順の力: キリストに仕えるパウロの模範

2. 神の王国のために協力する: 従順による一致

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

2. ピリピ人への手紙 2:12-13 - ですから、愛する人よ、あなたがいつも従ってきたように、今、わたしがいるときだけでなく、いないときはなおさら、恐れおののきながら自分の救いを達成しなさい。それは神だからです。あなたのうちに働いて、自分の喜びのために意志を持って働く人です。

ローマ人への手紙 15:19 神の御霊の力による、強力なしるしと不思議によって。こうして私はエルサレムからイリリクムに至るまで、キリストの福音を徹底的に宣べ伝えました。

パウロは神の御霊の力によってエルサレムとイリリクの全土にキリストの福音を宣べ伝えました。

1: 福音を宣べ伝える力

2: 聖霊の力

1: 使徒 1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に降るとき、あなたがたは力を受けるでしょう。そしてあなたがたは私の証人となり、エルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして地の果てに至るまで、至る所で人々に私のことを語るでしょう」」

2: 1 コリント 2:4 - 「私のメッセージと私の説教は、賢明で説得力のある言葉によるものではなく、御霊の力の実証によるものでした。」

ローマ人への手紙 15:20 そうです、私も、他の人の土台の上に築かれないように、キリストの名が記された場所ではなく、福音を宣べ伝えるよう努めてきました。

パウロは、他の人の土台の上に築く必要がないように、キリストの知られていない場所で福音を宣べ伝えるよう努めました。

1. 福音の先駆者となることの重要性

2. 福音の証人としての責任

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、信じていない人をどのようにして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？そして、彼らは遣わされる以外に、どうやって説教するでしょうか？

2. 使徒 16:6-10 - さて、彼らがフリギアとガラテヤ地方を旅し、アジアで御言葉を宣べ伝えることを聖霊に禁じられたとき、ミシアに来た後、彼らはビテュニアに行こうと主張した。しかし御霊は彼らを苦しめませんでした。そして彼らはミシアを通り過ぎてトロアスに降り立った。そして、夜に幻がパウロに現れました。そこにマケドニア人の男が立って、「マケドニアに来て、私たちを助けてください」と祈った。そして彼がその幻を見た後、私たちはすぐにマケドニアに行こうと努め彼らに福音を宣べ伝えるために主が私たちを召されたことを確信して集まりました。

ローマ人への手紙 15:21 しかし、書いてあるとおり、「イエスのことを言われなかった人は、彼らは見るでしょう。そして、聞いたことのない人は理解するでしょう。」

神の救いのメッセージは、すでにそれを知っていた人だけでなく、すべての人に向けられています。

1: 救いの良い知らせはすべての人にあります

2: 信仰を通じて未知のものを理解する

1: イザヤ書 52:15、「こうして彼は多くの国々に散らばるであろう。王たちは彼に対して口を閉ざすであろう。彼らは知らされていなかったことが分かるだろう。そして彼らは聞いていないことを考慮するであろう。」

2: ルカ 24:47、「そして、その悔い改めと罪の赦しは、エルサレムから始めて、すべての国々に彼の名によって宣べ伝えられるべきである。」

ローマ人への手紙 15:22 このような理由で、私はあなたがたのところに行くことが非常に妨げられてきました。

パウロは何らかの理由でローマ人を訪問することを妨げられました。

1. 人生における障害を克服することの重要性

2. 忍耐の力

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. コリント人への第二の手紙 12:9-10 - 私の力は弱さの中で完全に発揮されるので、私の恵みはあなたに十分です。

ローマ人への手紙 15:23 しかし、今では、これらの地域にはもう居場所がありません。そして、あなたがたの所に来ることを何年も切望しています。

パウロはローマの信者を訪問したいという願望を表明します。

1. 欲望の力：決意を持って夢を追い求めることを学ぶ

2. 人間関係の価値: 交わりの中で霊的に成長する

1. ピリピ 3:10-14 - キリストとその義を追い求める

2. ヘブライ 10:24-25 - 互いに励まし合い、愛と善行をかき立てる

ローマ人への手紙 15:24 スペインに旅するときは、必ずあなたのところに行きます。旅の途中であなたにお会いでき、あなたと一緒に少しでも満たされれば、そこへ向かう途中で連れて行ってもらえると信じているからです。

パウロはスペインにいるローマ人を訪問し、彼らの旅に同行したいという願望を表明しています。

1. 人生の旅における仲間の重要性。

2. 仲間が私たちのスピリチュアルな旅にどのように役立つか。

1. 伝道の書 4:9-12 - 二人は一人よりも優れています。彼らはその労働に対して良い報酬を得ているからです。

2. 箴言 27:17 - 鉄は鉄を研ぎます。そこで男は友人の顔を険しくする。

ローマ人への手紙 15:25 しかし今、私は聖徒たちに奉仕するためにエルサレムに行きます。

パウロは聖徒たちに奉仕するためにエルサレムに旅行しています。

1. 神の忠実な僕たち: パウロと献身の力

2. 聖徒への奉仕：キリスト教の行動への呼びかけ

1. ピリピ 2:3-4 – 「利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。」

2. ペテロ第一 4:10 – 「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良き管理人として、それを用いて互いに仕えなさい。」

ローマ人への手紙 15:26 マケドニアとアカイアの人々は、エルサレムにいる貧しい聖徒たちにある程度の寄付をすることを喜んでいたからです。

マケドニアとアカイアの人々はエルサレムの貧しい聖徒たちに喜んで金銭的な寄付をしました。

1. 寛大さ: 与える喜び

2. 神の恵み: 与える人を豊かに祝福してください

1. コリント第二 9:7 - あなたがた一人一人は、しぶしぶしたり、強制されたりせずに、自分の心の中で捧げようと決めたものを捧げるべきです。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。

2. 箴言 11:24-25 - ある人は惜しみなく与えても、さらに多くのものを得ます。ある者は不当に差し控えたが、貧困に陥る。寛大な人は成功します。他人をリフレッシュする人は自分もリフレッシュされます。

ローマ人への手紙 15:27 それは彼らを本当に喜ばせました。そして彼らは彼らの債務者なのです。なぜなら、異邦人が彼らの霊的なものにあずかる者とされたのであれば、異邦人には肉的なものにおいて彼らに仕える義務があるからです。

ユダヤ人は霊的な賜物を異邦人と分かち合ってきたので、異邦人はこの世の事柄においてユダヤ人に奉仕する義務があります。

1. 蒔いたものを刈り取る: ユダヤ人に対する異邦人の義務。

2. 祝福を分かち合う: 恩返しの大切さ。

1. ガラテヤ 6:7-8 - だまされてはなりません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは、神も刈り取るからです。自分の肉に種を蒔く人は肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るからです。

2. 箴言 19:17 - 貧しい人に寛大な者は主に貸します、そして主はその行いに対して報いてくださいます。

ローマ人への手紙 15:28 それで、わたしがこれを実行し、この実を彼らに封印したとき、わたしはあなたがたのところを通ってスペインに行きます。

パウロはスペインに旅行して、自分の宣教の成果を携える計画を立てていました。

1. 私たちの信仰の果実: 私たちが旅にもたらすもの

2. 私たちの人生に対する神の計画: 神が私たちのために定めた道をたどる

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

2. ピリピ 4:13 - 私に力を与えてくださる方を通して、私はこのすべてを行うことができます。

ローマ人への手紙 15:29 そして、あなたがたのところに行くとき、私はキリストの福音の祝福に満たされて来ると確信しています。

パウロは、ローマ人に到着したら、キリストの完全な福音をもたらすだろうと確信しています。

1. 福音の祝福 - ローマ人への手紙 15:29

2. 福音の成就 - ローマ人への手紙 15:29

1. ローマ 10:14-15 - 誰かが説教せずに、どうして彼らは聞くことができるのでしょうか。

2. ガラテヤ 6:9 - 善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、しかるべき時に収穫を得ることができるからです。

ローマ人への手紙 15:30 兄弟たち、主イエス・キリストのため、また御霊の愛のために、私のために神に祈って私と一緒に努力してください。

パウロは兄弟たちに、イエス・キリストの名によって、また聖霊の愛のために祈るよう求めています。

1. 共に祈る力

2. 支え合うことの大切さ

1. 使徒 12:5 - ペテロは刑務所にいたが、教会が彼のために祈ったので、彼は奇跡的に釈放された。

2. エペソ 6:18 - あらゆる機会に、あらゆる種類の祈りや願いを込めて御霊によって祈りなさい。

ローマ人への手紙 15:31 それは、ユダヤを信じない者たちから私が救われるためです。そして、私がエルサレムのために行っている奉仕が聖徒たちに受け入れられるように。

パウロはユダヤを信じない人々から救われることを望み、エルサレムへの奉仕が聖徒たちに受け入れられることを望んでいます。

1. 不信仰の中で生きる: 信じることを拒否することの危険性

2. 主に仕える: 献身と献身の力

1. ヨハネ 3:16-18 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。イエスを信じる者は誰でも罪に定められていませんが信じない人はすでに罪に定められています。神の独り子の名を信じていないからです。」

2. ヤコブ 1:22-25 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞く者ではなく実行する者は、その行いにおいて祝福されるであろう。」

ローマ人への手紙 15:32 それは、私が神の御心によって喜びを持ってあなたがたのところに行き、あなたがたと一緒に元気を取り戻すためです。

パウロは、喜んでローマの信者たちのところに来て、彼らの前で元気をもらいたいという願いを表明しています。

1. 神の意志に頼る: 喜びとさわやかさを見つける方法

2. 交わりの力: 私たちがお互いから喜びとさわやかさを受け取る方法

1. ピリピ 4:4-7 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい。あなたの合理性を皆に知らせてください。主はすぐそばにおられます。何事も心配しないでください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

ローマ人への手紙 15:33 今、平和の神があなたがた一同とともにおられます。アーメン。

パウロはローマの人々に祝福を送り、神の平和を祈ります。

1. 私たちの生活における神の平和：神の保護の快適さの中でどのように生きるか

2. 平和の祝福: 悩みを神に解放する

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. ルカ 12:22-26 - そしてイエスは弟子たちに言った、「だから言っておくが、自分の命や何を食べるか、自分の体のことや何を着るかなど思い煩ってはいけない。なぜなら、命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものだからです。カラスのことを考えてみましょう。彼らは種を蒔くことも刈り取ることもせず、倉庫や納屋を持たないにもかかわらず、神は彼らを養ってくださいます。あなたには鳥よりもどれほど価値があるのでしょう。そして、心配することで寿命を一時間でも延ばせるのは誰ですか?では、そんな小さなこともできないのなら、どうして残りのことを心配するのでしょうか？

ローマ人への手紙 16 章は、ローマ人へのパウロの手紙の締めくくりの章です。この文書には、ローマ教会のさまざまな人々への個人的な挨拶、分裂を招く人々に対する警告、そして最後の文書が含まれています。

第 1 段落: この章は、パウロがケンクレア教会の執事であるフィーベを褒め、ローマの信者たちに、聖人にふさわしい方法で彼女を受け入れ、彼女が必要とするあらゆることを援助するよう求めているところから始まります。彼は、彼のために命を危険にさらしてキリスト・イエスにおいて働いた仲間であるプリシラとアクラに挨拶を送ります(ローマ16:1-4)。彼は続けて、エペネトス、マリア、アンドロニカ、ユニアなどの他の多くの人々に挨拶をし、彼らの忠実な貢献を強調しました（ローマ16:5-15）。

第 2 段落: 17 ～ 20 節で、パウロは、分裂を引き起こし、学んだ教義に反する障害物を置く人々に対して警告を発し、信者たちに近づかないように忠告しています (ローマ 16:17)。彼は、そのような人々はキリストに仕えているのではなく、自分の欲望のために口先だけのお世辞を使い、素朴な心を欺いているのだと警告しています（ローマ16:18）。この警告にもかかわらず、彼はローマ人の従順を賞賛し、すべての人に報告されているので、彼らが賢明であることを望んでいることを喜んでいます、どれほど善であり、どんな悪であり、神は平和がすぐに足の下でサタンを打ち砕きます、恵み、主イエスがあなたとともにおられます（ローマ 16:19-20）。

第3段落：21節以降、パウロはテモテ・ルキウス・ヤソン・ソシパテル・テルティウス・ガイウス・エラストス・クアルトゥスのような仲間たちを代表して挨拶を送ります（ローマ人への手紙 16:21-23）。この手紙は、精緻な説明で締めくくられています。「今、彼は私の福音の宣言に従ってあなたを確立することができます。イエス・キリストの啓示の謎は、長い間秘密にされてきたが、預言の書を通して今明らかになりました。永遠の神がすべての国に知らせた命令です。すべての国に従順をもたらします。信仰の栄光は、イエス・キリストを通して唯一の賢明な神に永遠に栄光をもたらします。」！アーメン」（ローマ 16:25-27）。これは、信仰による福音の救い、神の栄光のために時代を超えて展開するイエス・キリストの神の知恵の計画というテーマを強化します。

ローマ人への手紙 16:1 私はケンクレアにある教会の奉仕者である私たちの妹フェベに次のことを勧めます。

パウロは、ケンクレアの教会の召使いであるフェベを手紙の読者に褒めています。

1. 教会に奉仕することの重要性

2. 教会における女性の貢献を祝う

1. ヘブライ人への手紙 13:17 - あなたを支配している者たちに従い、服従しなさい。なぜなら、彼らは、罪を償わなければならない者たちと同じように、あなたがたの魂が悲しみではなく喜びをもってそれを行えるように、見守っているからである。あなたにとって不利益です。

2. ペテロ第一 4:10 - すべての人が賜物を受けているのと同じように、神のさまざまな恵みの良き管理者として、同じ人を他の人に仕えなさい。

ローマ人への手紙 16:2 あなたがたが、聖徒として彼女を主にあって受け入れ、彼女が必要とするあらゆる用事で彼女を助けてください。彼女は多くの人を助け、そして私も助けてくれたからです。

この一節は、私たちや他の人のために同じことをしてくれている人たちを助け、支援することの重要性について語っています。

1. 「支援者になろう：困っている人をサポートする」

2.「励ましの力：優しさで他人を元気づける」

1. ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2. 箴言 3:27-28 - 「自分にできることがあるときは、受けるべき人に善を差し控えてはなりません。隣人に、『明日また来なさい。そうすればあげますよ』と言ってはいけません。」「――あなたがすでにそれを持っているとき。」

ローマ人への手紙 16:3 キリスト・イエスにおける私の助け手であるプリシラとアクイラによろしく。

パウロは、イエス・キリストの福音を広めるのに協力してくれたプリシラとアクイラに挨拶します。

1. 宣教におけるパートナーシップの力

2. 奉仕してくれる人々に感謝の気持ちを示す

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:12-13 - 兄弟たち、私たちはあなた方の間で働き、主にあってあなた方を監督し、戒めている人たちを尊敬し、彼らの働きのゆえに愛をもって彼らを非常に高く評価してください。あなた方の間で平和になってください。

ローマ人への手紙 16:4 私の命のために自分の首を捨ててくれた人たちには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。

パウロは、自分の教会と異邦人の教会のために命を危険にさらした人々に感謝の意を表します。

1: 感謝の力: 上を行く人たちに感謝の気持ちを示す方法

2: 信仰のリスク: 不確実性に直面したときにどうやって耐えるか

1: ヘブライ 11:1 – 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: ヤコブ 2:26 – 「霊のない肉体が死んだのと同じように、行いのない信仰も死んだのです。」

ローマ人への手紙 16:5 同じように、彼らの家にある教会にも挨拶してください。アカイアのキリストへの初穂である私の愛するエパエネトスに敬意を表します。

この一節は、エパエネトスの家の教会に挨拶し、アカイアで最初にキリスト教に改宗したエパエネトスにも挨拶するようにというパウロの指示について書かれています。

1: 誰もが福音の初穂となる可能性を持っています。エパネトスはアカイアで最初の改宗者であり、福音を最初に分かち合う者であることを思い出させてくれます。

2: パウロがエパエネトスの家の教会にそうするように指示したように、私たちは常に時間をかけて挨拶し、お互いを認めるべきです。

1: マタイ 28:19-20 「だから、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」, 世の終わりまで、私はいつもあなたと一緒です。」

2: 使徒 8:4 「さて、散り散りになった人々は御言葉を宣べ伝えて歩き回った。」

ローマ人への手紙 16:6 マリアよ、私たちに多大な労力を与えてくださいました。

マリアは勤勉で忠実な教会の僕でした。

1. 勤勉の価値 - ローマ 16:6

2. 忠実な奉仕を認める - ローマ 16:6

1. 箴言 10:4 - 「手を緩める者は貧しくなる。しかし、勤勉な者の手は富む。」

2. 箴言 12:24 - 「勤勉な者の手は統治を担うが、怠け者の手は貢物の下に置かれる。」

ローマ人への手紙 16:7 私の親族であり、同じく囚人であったアンドロニカとユニア、使徒たちの中でも注目に値する人々であり、私よりも前からキリストにあった人たちに挨拶します。

アンドロニカとユニアはパウロよりも前にキリストのうちにいたため、使徒の中で注目に値しました。

1. アンドロニカとユニアの使徒としての意義

2. 他の人よりも先にキリストのうちにある力

1. 使徒 17:11-12、パウロのキリストによる救いのメッセージ

2. マタイ 22:37-40、神と隣人を愛するというキリストの戒め

ローマ人への手紙 16:8 主にあって愛するアンプリアスによろしく。

パウロはアンプリアスに挨拶を送り、主にある彼への愛を表明します。

1. 主にあって互いに愛し合う：パウロとアンプリアスの例

2. 主に愛されていること：アンプリアスの祝福

1. ヨハネ第一 4:7-11、「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。なぜなら神は神だからです。」「愛。このことによって、神の愛が私たちの間で明らかにされました。神がご自分の独り子を世に送ってくださったの

は、私たちが彼を通して生きることができるためです。この中に愛があるのです。私たちが神を愛したということではなく、神が私たちを愛し、遣わしてくださったということです」「神の御子が私たちの罪のなだめの身となってくださるのです。愛する人よ、神が私たちをこれほど愛してくださったのなら、私たちも互いに愛し合うべきです。」

2. コリント人への第一の手紙 13:1-8、「もし私が人間や天使の言葉で話しても、愛がなければ、私は騒がしい銅鑼か、鳴り響くシンバルです。そして、もし私に預言の力があり、すべての奥義を理解していても、もし私がすべての知識を持ち、山を取り除くほどのすべての信仰を持っていても、愛がなければ、私は無に等しいもし私が持っているすべてを与え、自分の体を焼かれようと引き渡しても、愛がなければ、私は無に等しい。愛は何も得ません。愛は忍耐強く、親切です。愛は妬みや自慢をしません。傲慢でも無礼でもありません。自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりしません。悪行を喜ばず、自分の行いを喜びます。真実。愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。」

ローマ人への手紙 16:9 キリストにあって私たちの助け手であるウルバネと、私の愛するスタキスに敬意を表します。

この一節は、福音を広めるというパウロの働きを助けてくれた二人の友人、アーベインとスタキスに対するパウロからの挨拶です。

1. 励ましの力: アーベインとスタキスはパウロの伝道をどのように助けたか

2. クリスチャン生活における友情の重要性

1. ヘブライ 10:24-25 – 「そして、ある人たちが習慣的にしているように、集まることを諦めずに、お互いを励まし合い、愛と善行に向かってどのように励まし合うかを考えてみましょう。その日が近づいているのを見るほど、さらに強くなります。」

2. エペソ人への手紙 4:29 – 「あなたがたの口からは、堕落させるような話を出してはなりません。ただ、聞く者に恵みを与えるために、時宜に応じて、人を築き上げるのに役立つような話だけをしてください。」

ローマ人への手紙 16:10 キリストにあって認められたアペレスに敬意を表します。アリストブロスの一族である彼らに敬礼する。

パウロは読者に、アペレスと、キリストに認められたアリストブロスの家の人々に挨拶するように指示しています。

1. キリストへの信仰において他の人を励ますことの重要性

2. キリストの目に承認される人生を送る方法

1. エペソ人への手紙 4:1-3 「ですから、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに忍耐をもって、召された召しにふさわしい態度で歩むことをお勧めします」愛において、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:11 - 「ですから、あなたがたのように、互いに励まし合い、高め合いなさい。」

ローマ人への手紙 16:11 私の親戚であるヘロデオンに敬意を表します。主にあるナルキッソスの家の者たちによろしく。

この聖句は、たとえ背景が異なっていても、信者たちが挨拶し、主にあってお互いを認め合うよう勧めています。

1. キリストにおける兄弟姉妹を認識する: 一致の力

2. すべての人に愛を示す：主にあって私たちの多様性を祝う

1. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」

2. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は神だからです。」愛。"

ローマ人への手紙 16:12 主にあって働くトリフェナとトリフォサに敬意を表します。主にあって多くの働きをした最愛のペルシスに敬意を表します。

パウロは、主にあって熱心に働いたトリフェナ、トリフォサ、ペルシスという三人の女性に敬意を表します。

1. 主に仕える者として働く: トリフェナ、トリフォサ、ペルシスの献身を祝う

2. 奉仕の例: トリフェナ、トリフォサ、ペルシスの忠実な働きから学ぶ

1. 箴言 31:17 - 彼女は力を身につけ、腕を強くする。

2. コロサイ 3:23 - 何をするにも、主のために働くものとして、心を尽くして取り組みなさい。

ローマ人への手紙 16:13 主にあって選ばれたルファスと彼の母、そして私のものに敬意を表します。

パウロは、主を信じる仲間のルーファスと、パウロの母親でもある彼の母親に挨拶します。

1. 神の家族は私たちの家族を超えています。

2. 私たちに対する神の愛は、あらゆる違いを超えます。

1. コリント人への手紙第一 12:12-14 - というのは、体が一つで多くの部分があり、体のすべての部分はたとえ多くても一つの体であるのと同じように、キリストも同様です。

2. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、自分に召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛。

ローマ人への手紙 16:14 アシンクリトス、フレゴン、ヘルマス、パトロバス、ヘルメス、そして彼らと一緒にいる兄弟たちに敬礼します。

この箇所には、6人の人物と彼らに関係する人々のグループに対するパウロの挨拶が記されています。

1. 他者とつながることの重要性: ローマ人への手紙 16:14 の研究

2. 私たちのコミュニティの人々に敬意と愛を示す方法: ローマ人への手紙 16:14 を見てみましょう

1. ヨハネ第一 4:7-12 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する人は神から生まれ、神を知っています。

2. コロサイ 3:12-14 - それでは、神に選ばれた者として、聖なる愛される同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、そして忍耐を身に着けてください。

ローマ人への手紙 16:15 フィロログス、ユリア、ネレウスとその妹、オリュンパ、そして彼らと一緒にいるすべての聖徒たちに敬礼します。

パウロは指名された人々と彼らと一緒に信者全員に挨拶をします。

1. 親睦の力: コミュニティの強さ

2. 神に知られることの祝福

1. 使徒 2:44-47 - 初代教会は使徒の教えと交わり、パンを裂くことと祈りに専念しました。

2. 詩篇 139:1-4 - 主よ、あなたは私を調べ、私をご存じです。

ローマ人への手紙 16:16 聖なる口づけをもって互いに敬礼しなさい。キリストの諸教会があなたに敬意を表します。

クリスチャンは団結と愛のしるしとして聖なるキスでお互いに挨拶すべきです。

1: 私たちは神聖なキスで挨拶し合うことで、お互いへの愛を示すべきです。

2: 私たちは聖なるキスのような愛と優しさの行為を通して、キリストの体における私たちの一致を表現すべきです。

1: 1 ペテロ 5:14 - 愛の口づけをしてお互いに挨拶しましょう。

2: ヨハネ 13:34-35 - 私があなたに与える新しい戒めは、あなたがたは互いに愛し合うことです。私があなたを愛したように、あなたもお互いを愛しなさい。これによって、もしあなたたちがお互いに愛を持っているなら、あなたたちが私の弟子であることをすべての人が知るでしょう。

ローマ人への手紙 16:17 兄弟たち、私はあなたがたにお願いします。あなたが学んだ教義に反して分裂や違反を引き起こす者たちに注意してください。そしてそれらを避けてください。

パウロは教会に対し、偽りの教えを広める人々を特定し、避けるよう勧めています。

1. 偽教師の危険性

2. 真実に忠実であり続ける

1. テトス 3:9-11 - しかし、律法に関する愚かな論争、系図、意見の相違、口論は避けてください。それらは無益で価値がありません。分裂をかき立てる人については、一度、二度警告した後は、そのような人が歪んで罪深いことを知っているので、それ以上関わりを持たないでください。彼は自責の念に駆られている。

2. テモテ第二 4:2-4 - 御言葉を宣べ伝えます。季節中も季節外も準備を整えてください。完全な忍耐と教えをもって、叱責し、叱責し、勧めてください。なぜなら、人々が健全な教えに耐えられず、耳がかゆいから自分の情熱に合わせて自分のために教師を集め、真実に耳を傾けることから目を背け、神話の中にさまようようになる時代が近づいているからです。

ローマ人への手紙 16:18 そのような人たちは、私たちの主イエス・キリストではなく、自分の腹に仕えているからです。そして、良い言葉と公正なスピーチによって、素朴な人々の心を欺きます。

イエスの代わりに自分の利己的な欲望に仕え、心地よい言葉で人々を欺く人もいます。

1. お世辞や空虚な約束を使って人々をイエスから引き離す人たちに注意してください。 2. 私たちは自分の欲望を脇に置き、イエスの教えに集中しなければなりません。

1. 箴言 26:24-25 - 憎む者は口先でそれを隠し、心に偽りを抱く。彼が親切に話すとき、彼を信じてはなりません、なぜなら彼の心の中には七つの忌まわしいものがあるからです。2. エペソ人への手紙 5:15-17 - それでは、あなたがたは愚か者としてではなく、賢人として慎重に歩み、時を償うように気をつけなさい。したがって、愚かなことをせず、主の御心が何であるかを理解してください。

ローマ人への手紙 16:19 あなたがたの従順はすべての人に伝わります。したがって、私はあなたの代わりに喜んでいます。しかし、私はあなたに善については賢明であり、悪については単純であることを望んでいます。

パウロはローマの信者たちの従順に満足していますが、善については賢く、悪については純真であるよう彼らに勧めています。

1. 従順の知恵

2. 無邪気に歩く

1. 箴言 3:13-15 (13) 知恵を見つける人、そして理解を得る人は幸いである。(14) なぜなら、その商品は銀の商品よりも優れており、その利益は純金よりも優れているからです。(15) 彼女はルビーよりも貴重です。そして、あなたが望むすべてのものは彼女と比較されるべきではありません。

2. ピリピ 4:4-7 (4) いつも主にあって喜びなさい。繰り返し言いますが、喜びなさい。 (5) あなたの節度をすべての人に知らせてください。主はすぐそばにおられます。(6) 無駄に注意してください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。
(7) そして、人知を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたがたの心と思いを保つでしょう。

ローマ人への手紙 16:20 そして、平和の神は間もなくあなたの足の下でサタンを打ち砕かれるでしょう。私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたとともにありますように。アーメン。

平和の神はサタンを打ち破り、信者に平和をもたらします。イエス・キリストの恵みが彼らとともにあるでしょう。

1: 神が信者たちに平和をもたらし、イエスの恵みが彼らとともにあることを知って喜びなさい。

2: 平和の神が私たちの味方であり、イエスの恵みが私たちとともにあることを励みにしてください。

1: イザヤ書 11:6-9 - オオカミは子羊とともに住み、ヒョウは子ヤギとともに横たわり、子牛とライオンと肥えた子牛は一緒に寝ます。そして小さな子供が彼らを導くでしょう。

2: フィリピ 4:7 - そして、あらゆる人知を超えた神の平安が、キリスト・イエスにあってあなたがたの心と思いを守るでしょう。

ローマ人への手紙 16:21 私の同僚のティモテウス、私の親戚であるルキウス、イアソン、ソシパテル、あなたに挨拶します。

ティモテウス、ルシウス、ジェイソン、ソシパテルが聴衆に挨拶します。

1. 神は私たちに、愛をもって互いに仕えるよう呼びかけています。

2. 私たちは皆、キリストにある一つの家族の一員です。

1. ガラテヤ 6:10 - それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

2. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、自分に召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

ローマ人への手紙 16:22 この手紙を書いた私テルティウスが、主にあってあなたに挨拶します。

この一節はローマ人への手紙を書いた書記官テルティウスの挨拶です。

1. 挨拶の重要性: ローマ人への手紙 16:22 の研究

2. コミュニティの力: ローマ人への手紙 16:22 の考察

1. コロサイ 4:18 - 「私、パウロは、この挨拶を自分の手で書きます。私の鎖を思い出してください。」

2. フィレモン 1:19 - 「私、パウロは、あなたがまさに私に借りがあることを思い出させるために、この手紙を自分の手で書きます。私はそれをお返しします。」

ローマ人への手紙 16:23 私の主人であるガイウス、そして全教会の皆さんが、あなたに挨拶します。市の侍従であるエラストゥスがあなたに挨拶し、クアルトゥスは兄弟です。

教会の主催者であるパサージュ・ガイウスと市の侍従であるエラストゥスは、兄弟のクアルトゥスとともに教会に挨拶を送ります。

1. クリスチャンの交わりの力：他者とのつながりによって私たちはどのように強められるのか

2. もてなしの重要性: 教会におけるガイウスの役割

1. ヘブライ 13:1-2 - 「兄弟愛を続けましょう。見知らぬ人にもてなしを示すことを怠ってはなりません。それによって、知らず知らずのうちに天使をもてなしている人もいるからです。」

2. ガラテヤ 6:10 - 「それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

ローマ人への手紙 16:24 私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがた一同にありますように。アーメン。

パウロは手紙の読者全員に恵みの祝福を与えています。

1. 神の恵みは永遠です

2. 主の恵みの祝福の中で生きる

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - なぜなら、あなたがたは恵みによって信仰によって救われたのですから、それはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です—

2. ヨハネ 1:17 - 律法はモーセを通して与えられたからです。恵みと真理はイエス・キリストを通してもたらされました。

ローマ人への手紙 16:25 さて、わたしの福音に従って、また、世が始まって以来秘密にされてきた奥義の啓示に従って、イエス・キリストの宣教によってあなたがたを安定させる力のある方に、

神には、福音、イエスの説教、そして世界が始まって以来秘密にされてきた奥義に従って、私たちを確立する力があります。

1. 神によって定められたもの: 神の力と加護を求める方法

2. 謎を明らかにする: イエスはどのようにして私たちの人生の本当の意味を解き明かすのか

1. エペソ人への手紙 3:6-7 - 異邦人は同じ相続人であり、同じからだであり、福音によってキリストにある約束にあずかる者となるためです。

2. エペソ人への手紙 1:9-10 - 彼が自分の中で意図した喜びに従って、彼の意志の奥義を私たちに知らせます。それは、世の満ちる神権時代に、彼がキリストにおいてすべてのものを一つに集めるためです。。

ローマ 16:26 しかし今、永遠の神の戒めに従って、預言者の経典によって、信仰の従順がすべての国民に明らかにされています。

永遠の神は、信仰の従順を奨励するために、ご自分の戒めをすべての国に知らせました。

1: 神の言葉に従う - 信仰への道

2: 信仰において成長する - 神の戒めに応える

1: ヨシュア記 1:8 - 「この律法の書はあなたの口から離れてはなりません。しかし、あなたは昼も夜もその書を黙想し、そこに書かれているすべてのことを守るようにしなければなりません。そうすれば、あなたはあなたのものを作るからです」そうすればあなたは良い成功を収めるでしょう。」

2: 詩篇 119:11 - 「私があなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心の中に隠しました。」

ローマ人への手紙 16:27 知恵ある神に、イエス・キリストを通して永遠に栄光がありますように。アーメン。

この一節は、知恵の唯一の源である神への敬意と感謝の表現です。

1. 礼拝の力: 神の知恵に感謝する

2. 知恵の成長：唯一の賢明な神からの導きを求める

1. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. 箴言 2:6 - 「主は知恵を与えてくださるからです。その口からは知識と理解力が生まれます。」

コリント人への第一の手紙 1 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の最初の章です。この章では、パウロはコリント教会内の分裂と対立について言及し、キリストのメッセージの中心性を強調しています。

第１段落：パウロは、イエス・キリストを通してコリントの信徒たちに与えられた神の恵みに感謝することから始めます。イエスは、彼らが霊的な賜物を含め、あらゆる点で豊かになっており、霊的な祝福に欠けてはいないことを認めています(1コリント1:4-7)。しかし、彼はすぐに彼らの分裂や派閥について言及し、パウロ、アポロ、またはケファ（ペテロ）などの異なる指導者に従うことに基づいて彼らの間に争いがあることに注意しました（1コリント1：10-12）。パウロは彼らに心と判断力において一致するよう促し、焦点を当てるべきはキリストであることを思い出させます。

第 2 段落: パウロは神の知恵と比較した人間の知恵の愚かさを強調しています。彼は、神は自分たちが賢いと思っている人たちを辱めるために、世の基準から見て愚かとみなされるものを選んだと指摘しています(1コリント1:18-20)。十字架につけられたキリストのメッセージは、ある人にとってはつまずきや愚かなことのように思えるかもしれませんが、実際には救いのための神の力と知恵です(1コリント1:23-24)。パウロは、信者が救いを受けるのは人間の知性や雄弁によるのではなく、キリストの犠牲への信仰によることを強調します。

第 3 段落: この章は、神によって召された賢明な人々や影響力のある人々はそれほど多くないことを思い出させて終わります。その代わりに、神は強い者たちを混乱させるために、社会から弱くて身分が低いと考えられている人々を選びました(1コリント26-29)。これは、義、聖化、救いを与えてくださるのは主であるため、誇ることは主にあってのみ行われるべきであることを思い出させるものです（1コリント30-31）。結局のところ、すべての栄光は神のみに属します。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 1 章は、コリント教会内の分裂と派閥について述べています。パウロはキリストにおける一致の重要性を強調し、人間の知恵を拒否して神の知恵を支持します。彼は、十字架につけられたキリストのメッセージを、救いのための神の力と知恵として強調しています。パウロは信者たちに、神は強い者を混乱させるために弱いと思われる者を選ぶので、すべての誇りは主だけに向けられるべきであることを思い出させます。この章では、一致、謙虚さ、世俗的な標準ではなく神の知恵への信頼というテーマを強調しています。

1 コリント 1:1 神の御心によってイエス・キリストの使徒に召されたパウロと、私たちの兄弟ソステネ、

一節 パウロはイエス・キリストの使徒であり、神のご意志によって仕えるよう召されており、ソステネは信仰の兄弟です。

1. 神の意志に従う力

2. 信仰を持つ兄弟姉妹とともに奉仕する喜び

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

1 コリント 1:2 コリントにある神の教会、キリスト・イエスにあって聖とされ、聖人として召されている人々、そして彼らと私たちの両方のあらゆる場所で私たちの主イエス・キリストの名を呼んでいるすべての人々に。

パウロはコリントの教会に宛てて手紙を書いています。この教会は、イエス・キリストによって聖められ、聖者として召されている人々、そしてあらゆる場所でイエス・キリストの名を呼んでいる人々で構成されています。

1. 聖化の力: 神によって区別される方法

2. イエス・キリストの御名を呼ぶことを学ぶ

1. ローマ人への手紙 8:29-30 - 「神は、多くの兄弟姉妹の間で長子となるように、御子の似姿になるようにあらかじめ定めておられた人々のためにも、あらかじめ定めておられた人々、また、神が召された人々です。彼は呼び出された者を義とし、義とした者たちを栄光も与えた。」

2. ヨハネ 10:30 - 「わたしと父は一つです。」

1 コリント 1:3 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、あなたがたに恵みと平安がありますように。

パウロはコリントの人々に神とイエスからの恵みと平和の挨拶を送ります。

1. 神の恵み: 平和の贈り物

2. イエスを通して神に近づく

1. エペソ 2:8-9 - あなたがたは恵みによって救われたのですが、それは自分自身によるものではなく、信仰によって救われたのです。それは神の賜物であり、行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ヨハネ 14:27 - 私はあなたたちに平和を残し、私の平和をあなたたちに与えます。世界が与えるように私があなたに与えるのではありません。心を騒がせてはいけないし、恐れてはいけない。

1 コリント 1:4 私は、イエス・キリストによってあなたに与えられた神の恵みについて、あなたに代わっていつも私の神に感謝しています。

イエス・キリストを通してコリントの人々に与えられた神の恵みに感謝します。

1. 神の恵み: 神の贈り物を受け取り、分かち合う方法。

2. イエス・キリスト: 命と喜びの源。

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ローマ人への手紙 5:1-2 - したがって、信仰によって義とされた私たちは、主イエス・キリストを通して神との平和を持っています。このキリストによって、私たちも信仰によってこの恵みに入ることができ、私たちは立っています。

1 コリント 1:5 あなたがたは、すべてのことばにおいて、すべての知識において、神によって豊かにされています。

キリストにあって、信者は知識と効果的にコミュニケーションする能力に恵まれています。

1. 言葉の力: キリストは知識と発言によってどのように私たちを豊かにしてくださるか

2. 交わりの祝福: キリストは一致を通してどのように私たちを豊かにしてくださるか

知恵を尽くして互いに教え、戒め合いなさい。」

2. エペソ人への手紙 4:15-16 「むしろ、愛のうちに真実を言えば、私たちはあらゆる点で頭である方、キリストに成長し、そこから体全体が結合され、あらゆる節々によって支えられなければなりません。」それぞれの部分が適切に機能することで、体は成長し、愛を育みます。」

1 コリント 1:6 キリストの証があなたのうちに確認されたのと同じように、

キリストの証しはコリント人への手紙で確認されました。

1. 堅信の力: キリストに関する神の証しがどのように私たちの信仰を強めるか

2. 信仰において成長する方法: コリント人への手紙におけるキリストの証の確認

1. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるために御子を世に遣わされたのではありません。」しかし、彼を通して世界が救われるためです。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。」

1 コリント 1:7 そうすれば、あなたがたは賜物において遅れが生じません。私たちの主イエス・キリストの到来を待ち望みます。

パウロはコリントの人々に、イエス・キリストの到来を待ち望むにあたって、霊的な賜物が欠けないよう励ましています。

1. 「期待して待つ：私たちの主イエス・キリストの到来に備えて」

2. 「目的のために賜物を与えられる：主の到来を待つために私たちの霊的賜物を活用する」

1. ローマ人への手紙 8:19 というのは、被造物の切なる期待は神の子の現れを待っているからです。

2. コロサイ 3:1-4 もしあなたがキリストとともによみがえったなら、上にあるもの、つまりキリストが神の右に座しておられる場所を探してください。地上のものではなく、上にあるものに愛情を向けてください。あなたがたは死んでおり、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されているからです。私たちのいのちであるキリストが現れるとき、あなたがたもキリストとともに栄光のうちに現れるでしょう。

1 コリント 1:8 また、私たちの主イエス・キリストの日にあなたがたが無罪となるように、あなたがたを最後まで確証してくださる方です。

この一節は、主イエス・キリストの日に罪のない者であることについて語っています。

1: 主イエス・キリストの日に罪のない者となるためには、私たちは忠実であり続け、主に献身しなければなりません。

2: 私たちは、主イエス・キリストの日に、罪のない者にふさわしい人生を送るよう努めなければなりません。

1: マタイ 5:48 - 「天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたがたも完全になりなさい。」

2: エペソ人への手紙 5:27 - 「それは、シミやしわ、その他そのようなものがない、栄光に満ちた教会をご自分に差し出すためであり、それは聖であり、傷のないものであるためです。」

1 コリント 1:9 神は真実な方であり、あなたがたはその御子によって私たちの主イエス・キリストの交わりに召されたのです。

パウロはコリントの人々に神の忠実さを認識し、イエス・キリストとの交わりを保つよう勧めています。

1.「神の忠実さ: 神の無条件の愛を理解し、感謝する」

2. 「イエスとの交わりの中に生きる：イエスにもっと似ていく」

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. ヨハネ 13:34-35 - 私があなたに与える新しい戒めは、あなたがたは互いに愛し合うことです。私があなたを愛したように、あなたも互いに愛し合うべきです。これによって、あなた方が互いに愛を持っているなら、すべての人々はあなた方が私の弟子であることを知るでしょう。

1 コリント 1:10 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの御名によってお願いします。あなたがたが皆同じことを話し、あなたがたの間に分裂がないようにしてください。しかし、あなたがたが同じ心と同じ判断のもとに完全に一つに結ばれることです。

パウロはコリントの人々に、信仰において一致し、同じことを話し、分裂を起こさないように勧めています。

1. 教会の一致: 交わりの力

2. パウロのアドバイスに従う: 教会の一致を保つ

1. エペソ人への手紙 4:1-6 - 教会の一致

2. ピリピ 2:2-4 - 教会内の謙虚さと一致

1 コリント 1:11 というのは、兄弟たち、あなたがたの間で争いがあることが、クロエの家の者たちから私に告げられたからです。

パウロはコリント教会間の争いについて警告しています。

1. 不一致の危険性: 紛争が教会にどのような害を与えるか

2. 一致の力: 教会が一致することでどのような恩恵を受けるか

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、あなたがたが召された召命にふさわしく、謙虚さと柔和さの限りを尽くし、忍耐強く、愛のうちに互いに寛容になって歩むようにお願いします。平和の絆の中で御霊の一致を保つよう努めます。

2. ローマ 12:5 - ですから、私たちは多くの人であっても、キリストにあって一つの体であり、一人一人が互いの部分なのです。

1 コリント 1:12 さて、私はこう言いますが、あなたがたは皆、「私はパウロに属する者です」と言っています。そしてアポロの私。そしてケファスの私。そしてキリストの私。

パウロはコリントの教会に、教会が分裂してはならず、皆がキリストから成っていることを認めるべきであることを思い出させます。

1. 教会の一致：私たちは皆キリストであることを思い出す

2. 分裂の克服: キリストに結ばれること

1. ヨハネ 17:20-23 - すべての信者が一つになるようにと父に祈るイエス

2. ピリピ 2:1-11 - キリストの体の一致と謙虚さに対するパウロの勧め

1 コリント 1:13 キリストは分裂していますか?パウロはあなたのために十字架につけられたのですか？それとも、あなたがたはパウロの名によって洗礼を受けましたか？

パウロはコリント人たちに、キリストが分裂していないのと同じように、彼らも自分によって分裂したのかと尋ねます。彼はまた、自分が彼らのために十字架につけられたのか、それとも彼らが彼の名によってバプテスマを受けたのかを尋ねます。

1. キリストにおける一致：分裂の危険

2. 洗礼の力: キリストに対する私たちの決意のしるし

1. ヨハネ 17:20-21 - イエスは、ご自分と父が一つであるように、すべての信者が一つになるように祈ります。

2. コロサイ 2:12 - バプテスマは、私たちがキリストと結びつき、十字架で死んだことのしるしです。

1 コリント 1:14 私は、クリスポスとガイオ以外には、あなたがたの誰にもバプテスマを授けなかったことを神に感謝します。

この箇所には、パウロがクリスポスとガイオだけに洗礼を授けたことに感謝していると書かれています。

1. 感謝の力：神のなさることに対する感謝の気持ちを表現する

2. 洗礼の意義: クリスチャン生活におけるその役割

1. コロサイ 2:12、「バプテスマによってキリストとともに葬られました。そのバプテスマの中で、あなたもまた、キリストを死者の中からよみがえらせた神の働きへの信仰によって、キリストとともによみがえらされました。」

2. マタイ 28:19、「それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授けなさい。」

1 コリント 1:15 私が自分の名でバプテスマを受けたなどと、だれも言わないようにしましょう。

パウロは、他人が自分の名で洗礼を受けたと主張するのを防ぐために、自分の洗礼の実践を擁護します。

1. 信仰を守る力: コリント第一 1:15 の研究

2. キリスト教における自己防衛の重要性: 第一コリント 1:15 のパウロの行動を理解する

1. マタイ 16:18 - 「言っておくが、あなたはペテロだ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。地獄の門もそれに打ち勝つことはできない。」

2. テモテ第二 1:7 - 「神は私たちに恐れの霊ではなく、力と愛と自制の霊を与えてくださったからです。」

1 コリント 1:16 そして、私はステファナスの家族にもバプテスマを授けました。それに、他の人にバプテスマを授けたかどうかは知りません。

パウロはステファナスの家族にバプテスマを施しましたが、他の家族にバプテスマを施したかどうかはわかりませんでした。

1. キリスト教の洗礼の重要性と、福音を広める上でのその位置。

2. バプテスマによる新しい生活とそれがもたらす変化を分かち合う喜び。

1. ローマ 6:3-4 - キリスト・イエスへのバプテスマを受けた私たち全員が、その死へのバプテスマを受けていることをご存知ですか。したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。

1 コリント 1:17 というのは、キリストが私を遣わされたのは、バプテスマを授けるためではなく、福音を宣べ伝えるためであり、言葉の知恵によってではなく、キリストの十字架が無にならないようにするためです。

使徒パウロには、キリストの十字架の力が弱まらないように、洗礼を授けるのではなく、福音を宣べ伝える使命が与えられました。

1. 十字架の力: 今日の私たちにとってそれが意味するもの

2. 福音を宣べ伝える使命: なぜそれを行う必要があるのか

1. ローマ人への手紙 1:16 - 私はキリストの福音を恥じていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。まずユダヤ人に、そしてギリシャ人にも。

2. マタイ 28:19 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。

1コリント1:18 十字架の宣教は、滅びる者たちにとって愚かなことである。しかし、救われた私たちにとって、それは神の力です。

十字架の説教は、信じる者には救いを、それを拒む者には愚かさをもたらす神の力です。

1. 十字架の力: なぜ私たちは信じるのか

2. 愚かさか信仰か: 十字架を受ける選択

1. ヘブライ人への手紙 12:2、「わたしたちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ます。イエスは、御前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座っておられます。」。」

2. ヨハネ 3:16、「神はご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

1 コリント 1:19 「わたしは賢い者の知恵を滅ぼし、賢明な者の理解を無にさせる」と書いてあるからです。

パウロは第一コリント 1:19 で、賢い人の知恵と理解力は滅ぼされるが、神の力は残ると述べています。

1. 「神の言葉の力」- 神がどのように言葉を用いて賢者の知恵を打ち破り、神の力を実証するかを探ります。

2.「神の主権と私たちの謙虚さ」- 神の主権がどのように人間の知恵と理解を圧倒するのか、そして私たちは謙虚にどのように対応すべきかを考察します。

1. ヨブ 12:13 - 「彼には知恵と力があり、彼は助言と理解力を持っています。」

2. 箴言 16:25 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死の道である。」

1 コリント 1:20 賢い人はどこにいるのでしょうか。筆記者はどこですか？この世界の論争者はどこにいるのか？神はこの世の知恵を愚かなものにしたのではないか？

世の知恵は神にとっては愚かなものです。

1: 私たちは世の知恵に頼るのではなく、神の知恵に信頼すべきです。

2: 私たちは自分の知恵を誇るべきではなく、神の前で謙虚になるべきです。

1: 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

2: ヤコブ 1:5 - あなたがたのうちに知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

1 コリント 1:21 それ以降、世界は神の知恵によって神を知りませんでしたが、信じる者たちを救うために宣教する愚かさによって神を喜ばせたのです。

世界は自らの知恵によって神を認識できなかったため、神は説教という愚かさによって信じる人々を救うことを選択されました。

1. 救うための説教の力

2. 人間理解の愚かさ

1. エペソ人への手紙 3:9-10 - そして、イエス・キリストによって万物を創造された神のうちに世界の初めから隠されていた神秘の交わりが何であるかをすべての人に理解させるためです。

2. ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、信じていない方をどうして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？そして、彼らは遣わされる以外に、どうやって説教するでしょうか？「平和の福音を宣べ伝え、良いことを知らせる人々の足は何と美しいことでしょう。」と書かれているとおりです。

1 コリント 1:22 というのは、ユダヤ人はしるしを必要とし、ギリシャ人は知恵を求めるからです。

一節 ユダヤ人は神の力の証拠としるしを期待しますが、ギリシャ人は神の力を理解する知恵を求めます。

1. 神の力のしるし: しるしに対するユダヤ人の期待を調べる。

2. 神の知恵: ギリシャ人の洞察力の探求を理解する。

1. イザヤ 11:2-3 - 主の霊、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊が彼の上にとどまる。

2. 詩篇 19:7-9 - 主の律法は完全であり、魂を回心させます。主の証しは確かであり、単純な人を賢くします。

1 コリント 1:23 しかし、私たちは、ユダヤ人にとってはつまずきであり、ギリシャ人にとっては愚かである、十字架につけられたキリストを宣べ伝えています。

パウロは、イエスの十字架の死はユダヤ人にとってはつまずきであり、ギリシャ人にとっては愚かであると説きました。

1. 十字架の力: イエスの十字架が私たちをどのように救ってくれるか

2. 十字架のパラドックス: イエスの磔刑がいかに私たちを当惑させ、そして解放するか

1. ガラテヤ 6:14 - しかし神は、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇ることを禁じられています。この十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架につけられました。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、イエスは私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。私たちの平和のための懲罰が主の上にあり、主の打ち傷によって私たちは癒されました。

1 コリント 1:24 しかし、ユダヤ人もギリシア人も、召された者たちには、神の力、神の知恵であるキリストが与えられます。

キリストは召されたすべての人にとって神の力であり知恵です。

1: キリストの力を信頼する

2: キリストの知恵を受け入れる

1: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできる

2: 箴言 3:19 - 主は知恵によって地を築かれた。彼は理解することによって天を確立しました。

1 コリント 1:25 なぜなら、神の愚かさは人間よりも賢いからです。そして神の弱さは人間よりも強いのです。

神の知恵は人間の知恵よりも大きく、神の強さは人間のあらゆる力を上回ります。

1. 神の愚かさの力

2. 神の弱さの強さ

1. イザヤ書 55:8-9 - 「私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われます。」天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2. ヨブ 42:2 - 「私は、あなたがすべてのことを行うことができ、あなたの目的を妨げることができないことを知っています。」

1 コリント 1:26 兄弟たち、あなたがたは、自分たちの召しが、肉体を持った賢者、力ある者、高貴な者があまり多くないことを知っています。

使徒パウロはコリント人に、神は賢い人、力のある人、高貴な人を呼ばれるのではない、と教えています。

1. 神は世俗的な人を選ばない - なぜ神は賢い人、力ある人、高貴な人を呼ばれないのかを探ります。

2. 弱者の力 - 世界が弱いと見なしている人々の強さを探ります。

1. ヤコブ 2:5 - 「聞いてください、愛する兄弟たち、神は信仰の富む者、またご自分を愛する者たちに約束された神の国の相続人となるために、世の貧しい人々

を選ばれたのではありませんか。」

2. イザヤ書 55:8-9 - 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

1 コリント 1:27 しかし、神は賢い人たちを混乱させるために、世の愚かな者たちを選ばれました。そして神は、強力なものを混乱させるために、世の弱いものを選びました。

神は権力者を倒す可能性が最も低い者を選びます。

1. 神は弱い者と愚かな者のための計画を持っています。

2. 神は予期せぬ人々を通して働かれます。

1. イザヤ書 41:8-10 - 「しかし、イスラエルよ、あなたは、わたしのしもべ、わたしが選んだヤコブ、わたしの友アブラハムの子孫です。私が地の果てから連れてきて、その最果てから呼んでこう言ったあなた、「あなたは私のしもべです、私はあなたを選んだのであって、見捨てたわけではありません」。恐れるな、わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください、わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

2. ルカ 1:46-49 - 「するとマリアは言いました、『わたしの魂は主をあがめ、わたしの魂は救い主である神を喜びます。神はそのしもべの質素な財産を顧みられたからです。』見よ、これからはあらゆる世代が私を祝福者と呼ぶだろう。力ある方が私に偉大なことをしてくださったのであり、その御名は聖なるものである。」

1 コリント 1:28 また、世の卑しいもの、そして軽蔑されているもの、そうです、そうでないものを神は、次のようなものを無にするために選ばれたのです。

神は、権力を持ち尊敬されている人々を打ち倒すために、謙虚で取るに足らない人々を選びました。

1. 神は強者を倒すために弱者を選ぶ

2. プライドを超える謙虚さの力

1. ヤコブ 4:6-10 - 神は高ぶる者には敵対しますが、謙虚な者には恵みを与えます。

2. ゼカリヤ 4:6 - 力や権力によってではなく、わたしの霊によって、と万軍の主は言われる。

1 コリント 1:29 それは、いかなる肉なる者も神の御前で誇ってはなりません。

通路：

パウロは第一コリント 1 章 29 節で、誰も神の御前で誇るべきではないと書いています。彼は、私たちが信仰を通して恵みによって義とされること、そしてそれが神の賜物であることを思い出させます。

パウロは、恵みと信仰によって義とされるのは神からの賜物であるため、誰も神の前で自分の功績を誇るべきではないと教えています。

1.「恵みの賜物：信仰による義認」

2.「神の御前における誇りと謙虚さ」

1. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分でしたことではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

2. ヤコブ 4:6 - 「しかし、神はさらに多くの恵みを与えます。だから、「神は高ぶる者に反対しますが、謙虚な者には恵みを与えます。」と書かれています。

1 コリント 1:30 しかし、あなたがたはキリスト・イエスのうちにあり、神は私たちに知恵と義と聖と救いを与えてくださいました。

私たちは、神によって私たちの知恵、義、聖化、救いとなるように造られたキリスト・イエスのうちにいます。

1. キリストの救いの力を理解する

2. 生活の中で神の知恵を知る

1. エペソ人への手紙 1:7 - わたしたちはこの方において、その血による救い、神の豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

2. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵が欠けている人がいるなら、その人は神に尋ねるべきです。神はすべての人に、あら探しをすることなく惜しみなく与えてくださいます。そうすれば、知恵は与えられるでしょう。

1 コリント 1:31 「栄光ある者は、主にあって栄光あれ。」と書いてあるとおりです。

私たちは自分自身ではなく神に栄光を帰すべきです。

1. プライドは罪です。謙虚さが主の道です。

2. 私たち自身ではなく、主が私たちの栄光と名誉の源です。

1. 箴言 16:18: 高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。

2. ローマ人への手紙 12:3: 私に与えられた恵みによって、あなたがた全員に言いますが、自分自身を必要以上に高く評価せず、神が持っておられる信仰の尺度に応じて、冷静な判断力を持って考えてください。割り当てられました。

コリント第一 2 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の第 2 章です。この章でもパウロは引き続きコリント教会に語りかけ、人間の知恵や理解力よりも神の知恵に頼ることの大切さを強調しています。

第 1 段落: パウロは、最初にコリントに来たとき、説教において説得力のある言葉や人間の知恵に頼らなかったことを認めることから始めます。その代わりに、彼は御霊の力を実証しながら十字架につけられたキリストを宣べ伝えることに焦点を当てました(1コリント2:1-5)。彼は、神の知恵は神の霊を通して明らかにされ、人間の理解を超えていると説明しています(1コリント2:6-10)。聖霊は、信者が神からの御霊を受けているので、霊的真理を理解し、識別できるようにします (1コリント2:12)。

第 2 段落: パウロは霊的な識別力と世の知恵を対比させています。彼は、霊的に成熟した人はキリストの心を持っているので、すべてのことを理解して判断することができると説明しています(1コリント2:15-16)。しかし、人間の知恵だけに頼っている人は、霊的に識別されているため、霊的真理を把握したり受け入れることができません(1コリント2:14)。パウロは、真の知識と理解は神の御霊を通しての神の啓示から来ると強調しています。

第 3 段落: この章は、パウロがコリント人たちに宣べ伝えたとき、高尚な言葉や説得力のある修辞を使用せず、彼らの信仰が神だけに留まるように神の力を実証することに頼ったことを思い出させて終わります (1 コリント 2:4-5)。彼は、自分たちの信仰が人間の知恵に基づいているのではなく、神の力に基づいていることを認識するよう彼らに勧めています。そうすることによって、彼らの希望は単なる人間の雄弁や推論ではなく、神に根ざしたものとなるでしょう。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 2 章は、世俗の知恵と霊的な識別力の違いを強調しています。パウロは、説得力のある言葉や人間の知恵を使うのではなく、神の力を実証することによって十字架につけられたキリストを宣べ伝えることに自分が依存していることを強調しています。彼は、真の理解と識別力は聖霊から来るものであり、聖霊は信者に神の知恵を明らかにすると説明しています。パウロはコリントの人々に、霊的な真理は霊的に見分けられることを認識し、人間の知恵ではなく神の力に信仰を置くよう勧めています。この章は、人間の知性や説得力のあるレトリックだけに頼るのではなく、神の啓示と神の御霊の働きに頼ることの重要性を強調しています。

1 コリント 2:1 兄弟たち、わたしは、あなたがたのところに来たとき、優れた話術や知恵をもって来たわけではなく、あなたがたに神のあかしを宣べ伝えました。

パウロは、福音を宣べ伝える際に、印象的なレトリックに頼らないことの重要性を強調しています。

1. フィリピ 2:3-4 の A - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。

2. ペテロ第一 3:15 への回答 - しかし、あなたがたの心の中で、主であるキリストを聖なる者として讃え、あなたの中にある希望の理由を尋ねる人に対して、いつでも弁護できる備えをしなさい。ただし、優しさと敬意を持ってそれを行います。

1. マタイ 10:19-20 - 彼らがあなたを引き渡したら、どう話そうか、何を言おうかなどと心配しないでください。何を言うべきかはその時間に与えられるからです。語るのはあなたではなく、あなたの父の御霊があなたを通して語られるからです。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

1 コリント 2:2 というのは、私はあなたがたの間では、イエス・キリストと十字架につけられたイエス・キリスト以外のことは何も知らないと決めていたからです。

パウロは、イエス・キリストとその十字架のメッセージをコリント人に宣べ伝えることを決意しました。

1. 十字架の力: イエスの死の意味を理解する

2. イエスに従うとはどういう意味ですか?

1. ガラテヤ 2:20 - 私はキリストとともに十字架につけられました。それでも、私は生きています。しかし、私ではなく、キリストが私の内に住んでいます。そして私が今肉体で生きている命は、私を愛し、私のためにご自身を捧げた神の御子の信仰によって生きています。

2. マルコ 8:34-35 - そして、イエスは弟子たちとともに人々を自分に呼び寄せたとき、彼らに言った、「わたしの後に来る者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」。自分の命を救おうとする者は、それを失うことになるからである。しかし、わたしと福音のために命を落とす者は誰でも、同じように救われるのです。

1 コリント 2:3 私も、弱り、恐れ、大いに震えながら、あなたとともにいました。

パウロはコリント人への自分の奉仕について語り、謙虚さと神の力への信頼を表明しています。

1. 宣教における謙虚さ: パウロの例

2. 弱いときに神の力に頼る

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。

2. ペテロ第一 5:5-7 - あなたがた全員、互いに謙虚な姿勢を身に着けなさい。神は高ぶる者には敵対するが、謙虚な者には恵みを与えられるからである。

1 コリント 2:4 そして、私のスピーチと説教は、人間の知恵による魅力的な言葉によるものではなく、御霊と力の実証でした。

パウロは人間の説得力に頼らず、聖霊の力によって説教しました。

1. 御霊の力: なぜ人間ではなく神に頼るべきなのか

2. 福音の宣言: 神の言葉をどのように広めることができるか

1. エペソ人への手紙 5:18-20 - 「また、過剰なぶどう酒に酔ってはならない。むしろ御霊に満たされなさい。詩篇や賛美歌や霊的な歌で自分に言い聞かせ、心の中で主に向かって歌い、メロディーを奏でなさい。私たちの主イエス・キリストの御名において、あらゆることについて常に神と父に感謝をささげます。」

2. 使徒 2:4 - 「そして、彼らはみな聖霊に満たされ、御霊が彼らに発語を与えたように、他の言語で話し始めた。」

1コリント2:5 それは、あなたがたの信仰が人の知恵によってではなく、神の力によって立つためです。

使徒パウロはクリスチャンに、人間の知恵ではなく神の力に頼るよう勧めています。

1. 信仰の強さ：神の力に頼ることを学ぶ

2. 人間の知恵: 満足できない理由

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、不可能であると私は確信しているからです。それは、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すためです。

2. マタイ 6:25-34 - したがって、私はあなたに言います。自分の人生や何を食べるか、何を飲むかについて心配する必要はありません。または自分の体について、何を着るかについて。命は食べ物以上のものであり、身体は衣服以上のものではないでしょうか？空の鳥を見てください。彼らは種を蒔いたり、刈り取ったり、納屋に保管したりはしませんが、あなたがたの天の父は彼らを養ってくださいます。あなたは彼らよりもずっと価値があるのではありませんか？心配することで、あなたの人生を一時間でも増やすことができる人はいますか?

1コリント2:6 しかし、私たちは彼らの間で完全な知恵を語っていますが、この世の知恵やこの世の君主たちの無に帰する知恵ではありません。

パウロはコリント人に、神の知恵は世やその支配者の知恵と同じではない、と教えています。

1. 神の知恵は世の知恵よりも偉大です

2. 人間の知恵を拒否し、神の知恵を受け入れる

1. ヤコブ 3:17-18 しかし、上から与えられる知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、扱いやすく、憐れみと良い実とに満ちており、偏りや偽善がありません。

2. 箴言 21:30 主に反する知恵も理解も助言もありません。

1 コリント 2:7 しかし、私たちは、神秘のうちにある神の知恵、さらには神が私たちの栄光のために世の前で定められた隠された知恵について語ります。

パウロは、神が人類の栄光のために世の前に定められた隠された知恵について語ります。

1. 隠された神の知恵を解き放つ

2. 神の知恵の奥義を理解する

1. エペソ人への手紙 3:8-10 - すべての聖徒の中で最も小さい者である私に、キリストの測り知れない富を異邦人の間で宣べ伝えるという恵みが与えられています。

2. 箴言 2:1-6 - もしあなたが知識を求めて叫び、理解するために声を上げるなら。

1 コリント 2:8 この世界の君主たちは誰もそれを知りませんでした。彼らがそれを知っていたら、栄光の主を十字架につけることはなかっただろうからです。

この箇所は、イエスの磔刑は世界の指導者たちが知っていたことではなく、もし知っていればそれが起こることを許さなかったであろうことを説明しています。

1. 神の計画は私たちの理解を超えています - ローマ 11:33-36

2. イエスの愛の力 - ヨハネ 3:16-17

1. イザヤ書53:1-5

2. ペテロ第一2:21-25

1 コリント 2:9 しかし、書いてあるとおり、神を愛する者のために神が備えてくださったものは、目も耳も聞こえず、人の心にも入っていないのです。

神はご自分を愛する人々のために、想像すらできない驚くべきものを用意してくださいました。

1. 神の計り知れない愛: 神を愛する人々への神の贈り物の深さを探る

2. 想像を超えて：神に従う人々に対する神の目に見えない祝福

1. ローマ 8:28-29: そして私たちは、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。イエスは、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になることを予見していました。

2. 詩篇 84:11: 主なる神は太陽であり盾であるからです。主は恵みと栄光を与えられます。正しく歩む者たちに良いものを差し控えられることはありません。

1 コリント 2:10 しかし、神は御霊によってそれらを私たちに明らかにしてくださいました。御霊はすべてのこと、いや、神の奥深いことを調べられるからです。

神は聖霊を通して私たちに霊的真理を明らかにしてくださいました。聖霊は神の知識の最も深い部分まで探ることができます。

1. 聖霊: 霊的真理へのガイド

2. 神の知識の深さ: 御霊から学べること

1. ヨハネ 16:13 - 「しかし、真理の御霊が来るとき、彼はあなたをすべての真理に導いてくださいます。」

2. エペソ人への手紙 3:14-19 「このため、私は天と地の家族全員の名前の由来となっている私たちの主イエス・キリストの父にひざまずいて、御父の富に応じてあなたがたに与えてくださるよう願います」栄光よ、内なる人の内にある御霊によって力強く強められ、信仰を通してキリストがあなたがたの心の中に住まわれますように、あなたが愛に根ざし、愛に根ざして、すべての聖徒たちとともにその幅と長さを理解できるように。深さと高さは?知識を超えたキリストの愛を知ってください。それは、あなたが神の満ち足りたすべてで満たされるためです。」

1 コリント 2:11 なぜなら、人の中にある人の霊以外に、人のことを知っている人がいるでしょうか。それでも、神の事柄は神の霊以外には誰も知りません。

この一節は、神の霊だけが神の事柄を知っており、誰も神の事柄を知ることはできないと述べています。

1. 私たちは神の知識の深さを決して理解することはできませんが、神の御霊が私たちを導いてくれると信頼することはできます。

2. 神の御霊だけが神のことを真に理解できるので、私たちは神に信頼を置くべきです。

クロス-

1. エレミヤ 17:9-10 - 心は何よりも欺瞞的で、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。わたしは主であり、心を探り、手綱を試み、すべての人にその道に従って、その行いの結果に従って与えることさえする。

2. 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

1コリント2:12 さて、私たちは世の霊ではなく、神からの霊を受けました。それは、神から無償で与えられたものを知るためです。

キリストを信じる人は神の御霊を受けており、神から与えられた真理を理解できるようになります。

1. 理解する力: 聖霊の賜物に感謝する

2. 神の愛を受け入れる：神の御霊の恩恵を経験する

1. ヨハネ 14:26 - しかし、父が私の名によって遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、私があなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。

2. ローマ人への手紙 8:14 - 神の御霊に導かれる者は神の子だからです。

1 コリント 2:13 私たちもこのようなことを、人間の知恵が教える言葉ではなく、聖霊が教える言葉で話します。霊的なものと霊的なものを比較すること。

聖霊の言葉は人間の知恵よりも強力です。

1. 聖霊の力

2. 霊的なものと霊的なものを比較する

1. ヨハネ 14:26 しかし、父がわたしの名によって遣わされる慰め主、すなわち聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに言ったすべてのことをすべてあなたがたに思い出させてくれるであろう。

2. 使徒 1:8 しかし、聖霊があなたがたに臨んだ後、あなたがたは力を受けるでしょう。そしてあなたがたは、エルサレム、ユダヤ全土、サマリア、そして地の果てに至るまで、わたしの証人となるでしょう。。

1 コリント 2:14 しかし、生来の人は神の御霊の事柄を受け入れません。それは彼にとって愚かなことだからです。また、それらは霊的に識別されているので、彼はそれらを知ることもできません。

生まれながらの人間は、神の御霊の事柄を理解することができません。なぜなら、それらは彼にとって愚かに見え、霊的にしか理解できないからです。

1.「御霊のうちに生きる：神の事柄を理解する」

2.「自然な人間と霊的なもの」

1. ローマ 8:14 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. ヨハネ第一 4:1 - 愛する人たち、すべての霊を信じるわけではありませんが、それらの霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。なぜなら、多くの偽預言者が世に出ているからです。

1 コリント 2:15 しかし、霊的な者はすべてのことを裁きますが、彼自身は誰からも裁かれません。

霊的な人は誰にも判断されないので、誰もが霊的な人によって判断されるべきです。

1. 私たちは皆、霊的な人によって判断される必要があります。そうすることで初めて、私たちは自分自身についての真の洞察を得ることができるからです。

2. 私たちは、自分自身が判断されるのではなく、他人を判断できるように、霊的であるよう努めるべきです。

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはいけません。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ローマ 8:1 - したがって、キリスト・イエスにある人々には今、罪に定められることはありません。

1 コリント 2:16 主が教えられるように、主の御心をだれが知ったでしょうか。しかし、私たちはキリストの心を持っています。

私たちはキリストの心を持っていますが、主の心を知ることは誰にもできません。

1. キリストの心: 私たちの生活の中で神の御心を見つけてそれに従う

2. 主の心を知る：神の計画に服従する

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は言われる、あなたに将来と希望を与えるために、悪ではなく福祉の計画を立てている。

第一コリント 3 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 3 章です。この章では、パウロはコリント教会内の分裂と未熟さの問題を取り上げ、霊的な成長と一致の重要性を強調しています。

第 1 段落: パウロは、コリントの人々がキリストにあって幼児であり、固形の食べ物を食べることができず、依然としてミルクを必要としていると語ることから始めます。彼は、彼らが分裂し、単なる世俗的な人々のように行動していることに失望を表明しています(1コリント3:1-4)。彼は、彼らがすべての指導者が神の王国のために働く奉仕者であることを認識せず、パウロやアポロなどのさまざまな指導者と自分たちを同一視しているため、彼らの分裂は彼らの未熟さの証拠であると指摘しています( 1コリント3:5-9)。

第 2 段落: パウロは自分の主張を説明するために建物のたとえを使用しています。彼は、賢明な建築主としての基礎を築いたのがイエス・キリストであると説明しています。他の人は、金、銀、宝石、木、干し草、わらなど、さまざまな材料を使ってこの土台の上に建てるかもしれませんが、各人の仕事は火によって試されることになります(1コリント3:10-13)。自分の仕事が試練に耐えれば、報酬を受け取ることができます。もしそれが焼き尽くされれば、彼らは損失を被りますが、それでも救われます(1コリント3:14-15)。

第 3 段落: パウロはコリント人たちに、特定の指導者に従うことを誇ることを避けるよう促して締めくくっています。なぜなら、パウロであれ、アポロであれ、ケファであれ、すべてのものは彼らのものであり、彼らはキリストのものだからです (1 コリント 3:21-23)。イエスは神の神殿が聖なるものであり、神の御霊を通して神の神殿が集合的に神の住まいであることを思い出させます(1コリント3:16-17)。したがって、彼らは人間の知恵を誇るべきではなく、すべてが神から来ていることを認識すべきです。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 3 章は、コリント教会内の分裂と未熟さの問題を扱っています。パウロは彼らの分裂を叱責し、その原因が彼らの未熟さであると指摘します。彼は、すべての指導者は神の王国のために働く奉仕者であり、特定の指導者に従うことを誇るべきではないと強調します。パウロは、霊的な成長と成熟を象徴する、質の高い材料を使ってイエス・キリストの基礎の上に建物を建てることの重要性を建物の例えで説明しています。最後に、彼らは神の御霊を通して集合的に神の神殿を形成しており、すべては神から来ていることを思い出させ、人間の知恵を誇ることを避けるよう促しました。この章では、一致、霊的成長、そして信仰の基盤としてキリストに焦点を当てる必要性を強調しています。

1 コリント 3:1 兄弟たち、私はあなたがたに対して、霊的なこととして話すことはできず、肉的なこととして、さらにはキリストにある赤ん坊に対して話すことはできませんでした。

パウロはコリントの教会の会衆に対して、霊的なものとしてではなく、キリストにある肉的な幼子として語っています。

1. 信仰における霊的成長の重要性

2. キリストとともに歩む中でどのように成熟するか

1. コロサイ 2:6-7 - それでは、あなたがキリスト・イエスを主として受け入れたように、キリストのうちに根を張って築き上げられ、教えられたとおりに信仰を強め、感謝にあふれて人生を送り続けてください。

2. ピリピ 3:13-14 - 兄弟姉妹の皆さん、私はまだそれを理解していないと思います。しかし、私がしていることは一つです。後ろのものを忘れ、前のものに向かって力を尽くし、神がキリスト・イエスにおいて私を天に召してくださった賞を勝ち取るという目標に向かって突き進んでいきます。

1 コリント 3:2 わたしはあなたがたに肉ではなく乳を与えました。あなたがたはこれまで耐えられなかったのに、今も耐えられないからです。

パウロはコリント人たちに、まだ肉を食べる準備ができていなくても、彼が提供する霊的食物を受け入れるよう勧めています。

1. 霊的な成長：乳から肉への移行

2. 信仰において成長する: より深い理解への準備をする

1. ヘブライ 5:12-14 - あなたがたは、いつか教師にならなければならないときに、神の神託の第一原則であることをもう一度人から教えてもらう必要があるからです。そして強い肉ではなく牛乳を必要とするようになる。

14 乳を使う者は皆、義の言葉に不器用である。その人は赤ん坊だからである。

2. ペテロ第一 2:2 - 生まれたばかりの赤子として、み言葉の誠実な乳を望み、それによって成長することができます。

1 コリント 3:3 あなたがたはまだ肉的なのです。あなたがたの間にはねたみや争いや分裂があるのに、あなたがたは肉的なのではなく、人間として歩んでいるのでしょうか。

パウロはコリントの人たちがねたみ、争い、分裂を生み出していることを叱責します。

1. 団結しましょう: 羨望、争い、分断を克服する方法。

2. 謙虚さの力: 教会の一致を目指して努力する。

1. ヤコブ 3:14-16 - しかし、心の中に激しいねたみや利己的な野心を抱いているなら、傲慢になって真実に反する嘘をつかないでください。

2. ピリピ 2:3-4 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。

1 コリント 3:4 ある人は、「私はパウロの仲間だ」と言いました。そしてもう一つ、私はアポロの出身です。あなたがたは肉欲的ではないのか？

パウロは、コリント人たちがイエスの教えに焦点を当てるのではなく、自分とアポロのどちらに従うかについて議論していることを懸念しています。

1. キリストにおける一致：イエスの教えに焦点を当てる

2. 霊のうちに生きる: 意見の対立を克服する

1. ピリピ人への手紙 2:2-4 - 「同じ思い、同じ愛を持ち、完全に一致して心を一つにして、私の喜びを満たしてください。競争心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。」。」

2. ガラテヤ 5:13-14 - 「兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ、自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体はこの一言で成就するからです。」あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません。」

1 コリント 3:5 それでは、主がすべての人に与えられたのと同じように、あなたがたが信じた奉仕者以外に、パウロ、アポロとは何者でしょうか。

パウロとアポロは、コリント人が主を信じる牧師にすぎませんでした。

1.「信仰のパートナー：パウロとアポロの奉仕」

2. 「宣教の力: 主を信じること」

1. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

2. エペソ人への手紙 4:11-13 - 「そして彼は、ある者には使徒を、またある者には預言者を、またある者には伝道者を、またある者には牧師や教師を与えた。聖徒を完成させるため、奉仕の働きのため、人々のために」キリストの体を啓発すること：私たち全員が信仰と神の御子についての知識を一致させて、完全な人となりキリストの完全さの身長に達するまで。」

1コリント3:6 わたしは植え、アポロは水を注ぎました。しかし神は増加を与えました。

パウロとアポロは福音の種を植え、水を与えましたが、それを育てたのは神でした。

1.「神の主権: 福音を植え、水を注ぐ」

2.「神の力：福音を成長させる」

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉もそのようになるでしょう。それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った

目的を達成するでしょう。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。

1 コリント 3:7 したがって、何かを植える者も、水をやる者もありません。しかし、増加を与えてくださる神。

この一節は、成長を与えるのは植える者でも水を与える者でもなく、神であることを強調しています。

1.「神の力 成長と充実」

2.「困難なときの神の忠実さ」

1. コロサイ 1:6-7 「それは、全世界にあるように、あなたがたにも来て、あなたがたがそのことを聞き、神の恵みを知った日から、あなたがたにも起こるように、実を結びます。」真実"

2. イザヤ書 55:10-11 「雨が降り、雪が天から降って、そこに戻るのではなく、地に水を与え、芽を出し、種を蒔く人に種を与えるように、食べる人にパンを。私の口から出た私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。」

1 コリント 3:8 さて、植える者と水を注ぐ者は一つです。そして、人はみな、自分の働きに応じて、自分の報酬を受けます。

パウロはコリントの人々に、主のための働きにおいて団結するよう勧めています。各自が自分の働きに応じてそれぞれの報酬を受け取ることになるからです。

1. 共に働く喜び：主への奉仕を通じた一致

2. 勤勉の祝福: 正当な報酬を受け取る

1. ガラテヤ 6:7-9 - だまされてはなりません。神は嘲られることはありません。人がまくものは、それを刈り取るからです。 8 自分の肉に種を蒔く人は、肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は、御霊から永遠の命を刈り取るからです。9 そして、善を行うことに飽きないようにしましょう。あきらめなければ、やがて刈り取ることができるからです。

2. ヘブライ 6:10 - あなたが今もそうしているように、神はあなたの働きや、聖徒たちに仕えて神の名のために示した愛を無視するほど不公平ではないからです。

1 コリント 3:9 なぜなら、私たちは神とともに働く労働者であるからです。あなたがたは神の牧場であり、神の建物なのです。

パウロはクリスチャンたちに、教会を築き上げるために神と協力するよう勧めています。

1. 神と協力する: 一致の力

2. 教会: 神の収穫の場

1. エペソ人への手紙 4:3-6、「平和のきずなを通して御霊の一致を保つようあらゆる努力をしなさい。あなたが召されたときに一つの希望に召されたのと同じように、からだも御霊も一つです。主は一つ、一つの信仰、一つの洗礼、すべてを支配し、すべてを貫き、すべてのうちにおられるすべての神であり父である唯一の神です。」

2. マタイ 16:18、「言っておくが、あなたはペテロだ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。地獄の門もそれに打ち勝つことはできない。」

1 コリント 3:10 私に与えられた神の恵みに従って、賢明な棟梁として、私は基礎を築き、その上に別の人が建てます。しかし、すべての人は、その上にどのように構築するかに注意を払いましょう。

パウロは神の恵みによって教会の基礎を築き、今では他の人たちがその上に建物を建てています。誰もがこの基盤の上にどのように構築しているかに留意する必要があります。

1. 信仰の基礎を築く: 神の基礎をどのように築くかを意識することの重要性。

2. 教会を強化する: 神にある強い基盤を持つ永続する教会を建設する。

1. マタイ 7:24-27: 私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は皆、岩の上に家を建てた賢者のようなものです。

2. エペソ 2:19-22: あなたたちはもはや外国人やよそ者ではなく、神の民と同じ国民であり、神の家族の一員でもあり、キリスト・イエスご自身を主要な礎石として使徒と預言者という土台の上に建てられています。

1 コリント 3:11 なぜなら、人は、イエス・キリストという土台以外に、他の土台を置くことはできません。

パウロは、イエス・キリストという土台以外に他の土台を置くことはできないことを強調しています。

1. 堅固な岩: イエス・キリストの上に強固な基盤を築く

2. 信仰の基礎: イエスの強さと安定を信頼する

1. マタイ 7:24-25 - したがって、私のこれらの言葉を聞いて実行する人は誰でも、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると、雨が降り、洪水が来て、風が吹いて、その家を叩きました。しかし、それは落ちませんでした。それは岩の上に基礎があったからです。

2. 詩篇 18:2 - 主は私の岩、私の要塞、そして私の救出者です。私の神、私の強さ、私は誰を信頼します。私のバックラー、私の救いの角、そして私の高い塔。

1 コリント 3:12 さて、もしだれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、干し草、刈り株などを建てるなら、

すべての人はイエス・キリストの基礎の上に築く必要があります。彼らの働きは、主によって永続的であるか一時的なものであるか判断されます。

1.「イエス・キリストの基礎：その上に築く呼びかけ」

2.「金・銀・宝石の作品 永遠を築く」

1. イザヤ書 28:16、「それゆえ、主なる神はこう言われる、『見よ、わたしはシオンに土台を置いた者である。石、試された石、確かな土台の貴重な礎石である。信じる者はだれでもそうしないであろう。急いでください。」

2. ペテロ第一 2:4-5、「あなたがたは、人々に拒絶された生ける石であっても、神の御前では、選ばれ、尊いものとして神の御許に来るとき、生きた石のように、霊的な家として建てられています。聖なる神権、イエス・キリストを通して神に受け入れられる霊的な犠牲をささげること。」

1 コリント 3:13 すべての人の働きは明らかになります。それは火によって明らかにされるので、その日がそれを宣言するからです。そして火はあらゆる人の仕事を試すだろう。

通過 全員の働きが試され、審判の日に明らかになります。

1. 裁きの火: 正しいことを粘り強く行う方法。

2. The Refiner's Fire: 試練の時に強さを見つける方法。

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

1 コリント 3:14 だれでも、その上に築き上げた仕事が長続きするなら、その人は報いを受けるでしょう。

パウロはクリスチャンたちに、報酬を得るためにキリストを基礎にして自分たちの働きを築くよう勧めています。

1. 信仰の基礎: イエス・キリストの岩の上に築く

2. 主に仕えることの甘い報酬

1. マタイ 7:24-27 - したがって、私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は誰でも、私は彼を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。

2. ペテロ第一 5:4 - そして、羊飼いのかしらが現れるとき、あなたがたは消えることのない栄光の冠を受けるでしょう。

1 コリント 3:15 もし人の仕事が焼かれれば、その人は損失を被るでしょう。しかし、その人自身は救われます。それでも火のそばにいるかのように。

この一節は、作品が焼かれても、最後には火によって救われる男の運命について語ります。

1.「精製者の火：人生の試練から学ぶ」

2. 「私たちの作品の焼却：私たち全員への警告」

1. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. ペテロ第一 1:7 「これらの人々が来たのは、あなたがたの信仰――火によって精錬されても消えてしまう金よりも価値のある――が本物であることが証明され、イエス・キリストが現されたときに賞賛と栄光と栄誉をもたらすためです。」

1 コリント 3:16 あなたがたは神の神殿であり、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのですか。

一節 信者は神の神殿であり、神の霊が彼らの中に住んでいます。

1. 神の神殿である特権

2. 神の御霊の臨在を体験する

1. エペソ人への手紙 2:19-22 - あなたは聖徒たちと同胞であり、神の家族の一員です。

2. ペテロ第一 2:4-5 - わたしたちは生きた石として、聖なる祭司職となるために霊的な家に建てられ、神に受け入れられる霊的な犠牲をささげています。

1 コリント 3:17 もし誰かが神の神殿を汚すなら、神はその者を滅ぼすであろう。神の神殿は聖なるからであり、あなたがたもその神殿なのです。

神の神殿は聖なる場所であり、それを汚す者は神によって滅ぼされます。

1. 私たちは神の神殿を尊重し、敬意と神聖さをもって扱わなければなりません。

2. 私たちは神の神殿を汚さないように注意しなければなりません。そうしないと、神が私たちに対して行動を起こすでしょう。

1. コリント人への第一の手紙 6:19-20 - 「あなたがたは、自分の体が聖霊の宮であることを知らないのですか。聖霊はあなたの内におられ、神から受けた聖霊です。あなたはあなた自身のものではありません。あなたは代償を払って買われたのです。したがって、体をもって神を敬いなさい。」

2. ヘブライ 10:22 - 「誠実な心と信仰がもたらす完全な確信をもって神に近づきましょう。罪の意識から清めるために心に振りかけられ、清い水で体を洗いましょう。」

1 コリント 3:18 だれも自分を欺いてはなりません。もしあなたたちの中にこの世で賢いと思われる人がいるなら、彼が賢くなるために愚か者になってください。

通路：

コリント人への第一の手紙 3:18 でパウロは、世の知恵が私たちを賢くしてくれると考えて自分自身を欺かないようにと警告しています。彼は私たちに、真に賢くなるために愚か者になるようアドバイスしています。

1. 真の知恵は世からではなく神から来る

2. 本当の知恵を得るために愚か者になる

1. 箴言 1:7、「主を恐れることは知識の始まり、愚か者は知恵と教えを軽蔑する」

2. ヤコブ 1:5、「もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

1コリント3:19 この世の知恵は、神にとっては愚かなものだからです。なぜなら、神は賢い者たちの狡猾さを受け入れる、と書かれているからである。

この世の知恵は神の目には愚かです。

1: 人間の知恵だけでは十分ではありません。神の知恵を求めてください

2: 人間の愚かさは賢者をも欺くことができる。神の知恵に頼る

1: 箴言 3:5-7 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではないからです」と主は言われる。「天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いのです。

1 コリント 3:20 また、主は知恵ある者の考えが空しいことをご存じです。

一節 主は賢者の考えが虚しいことを知っておられる。

1.「知恵の幻想：自分自身の理解に頼る」

2.「空想の愚かさ 神に導かれた道を拓く」

1. 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

2. 詩篇 94:11 - 主は人間の考えを、それが空しいものであることをご存じです。

1コリント3:21 ですから、人を誇ってはなりません。すべてのものはあなたのものだからです。

すべてのものは神から与えられたものであるため、私たちは他人の業績を誇るべきではありません。

1. 私たちは皆、神から平等に祝福されています

2. 他人の業績を自慢しない

1. ローマ人への手紙 12:3、「わたしは、あなたがたのうちにいるすべての人に、わたしに与えられた恵みを通して言います。必要以上に自分のことを高く評価せず、神が与えてくださったとおりに、冷静に考えなさい。」すべての人にとって信仰の尺度である。」

2. ヤコブ 4:6、「しかし、神はさらに恵みを与えてくださるのです。だから彼はこう言われます、神は高ぶる者には抵抗しますが、へりくだる者には恵みを与えられます。」

1 コリント 3:22 パウロであれ、アポロであれ、ケファであれ、この世であれ、人生であれ、死であれ、今あるものであれ、これから起こるものであれ。すべてはあなたのものです。

パウロはコリントの人々に、パウロ、アポロ、ケファ、世界、生、死、現在のもの、そして将来のものを含むすべてのものにアクセスできることを思い出させます。

1. 視点の力: すべてのものを自分のものとして見ることを学ぶ

2. 神の備え: 必要なものすべてへのアクセス

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。

2. 詩篇 34:10 - 若いライオンは欠乏と飢えに苦しんでいます。しかし、主を求める人には良いものがないわけではありません。

1 コリント 3:23 そして、あなたがたはキリストのものです。そしてキリストは神のものです。

信者はキリストの家族の一員であり、最終的には神の家族の一員です。

1.「神の家族: 王国における私たちの立場を受け入れる」

2. 「信者の継承：キリストにおける私たちのアイデンティティ」

1. ローマ人への手紙 8:14-17 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. エペソ 2:19-22 - ですから、あなたがたはもはや見知らぬ人や外国人ではなく、聖徒たちと同じ国民であり、神の家族の一員なのです。

第一コリント 4 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の第 4 章です。この章では、パウロはコリント教会内のプライドと批判的な態度の問題について取り上げ、謙虚さと真の霊的権威を強調しています。

第 1 段落: パウロは、自分自身とアポロを、神の奥義を託されたキリストの僕であると説明することから始めます。彼は、そのような責任を与えられた者には忠実さが求められると強調しています(1コリント4:1-2)。パウロは、動機や意図を正確に判断できるのは神だけであるため、自分自身を判断することさえしないことを認めています(1コリント4:3-5)。彼は他の人に時期尚早に裁きを下さないように警告し、すべてが明らかにされる神の最終的な裁きを待つよう勧めています。

第 2 段落: パウロは皮肉を使って彼らの高慢な態度に対処します。彼は、コリントの一部の人たちは傲慢になり、自分たちはすでに王であり、彼のような使徒など必要なく統治していると考えていると指摘しています(1コリント4:6-8)。しかし、彼は彼らの自己認識を、キリストのために迫害と困難に苦しんでいる自分自身の状況と対比させています(1コリント4:9-13)。自慢したり他人を見下したりするのではなく、彼の謙虚さの模範に倣うよう勧めています。

第 3 段落: パウロは、近いうちにコリントを訪れるつもりであることを彼らに思い出させて締めくくります。彼が来られるとき、彼は言葉だけでなく力も識別し、神の霊によって力を与えられた使徒としての権威を示します(1コリント4:18-21)。イエスは、高慢に思い上がっている人たちに、自分の到来に懲らしめの鞭が伴うのか、それとも愛と優しさの精神が伴うのかを考えるよう問いかけます(1コリント4:21)。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 4 章は、コリント教会内の誇り、批判的な態度、真の霊的権威に関連する問題を扱っています。パウロは、指導者は神の奥義を託された奉仕者にすぎず、その責任を忠実に果たさなければならないと強調しています。彼は時期尚早な判断を戒め、神の最終的な裁きを待つよう勧めています。パウロは彼らの高慢な態度に言及し、それをキリストのために苦しんだ自分の謙虚な模範と対比させます。最後に、来るべき訪問と使徒としての権威の識別力を思い出させ、それが規律をもって迎えられるか、愛と優しさをもって迎えられるか、自分たちの対応を考えるよう促しています。この章では、謙虚さ、早まった判断を控え、真の霊的権威を認識することの重要性を強調しています。

1 コリント 4:1 人は私たちを、キリストの奉仕者、また神の奥義の管理人であるかのように考えてみましょう。

この聖句は、神の神秘の奉仕者および管理者として奉仕するクリスチャンの責任を強調しています。

1. 神の奥義の管理者としての役割を果たすクリスチャンの責任

2. キリストに対して責任ある奉仕者であることの重要性

1. ローマ人への手紙 12:6-7 - 私たちに与えられた恵みに応じて異なる賜物があるので、それを使いましょう。預言するなら、私たちの信仰に応じて預言しましょう。または奉仕活動、私たちの奉仕活動にそれを使いましょう。教える人、教えること。

2. マタイ 25:14-30 - 天の王国は、遠い国へ旅行する人が自分の僕たちを呼んで、自分の物を彼らに届けるようなものだからです。そして、ある人には 5 タラント、別の者には2タラント、そしてまた別の者には1タラントを与えました。すべての人に、その能力に応じて。そしてすぐに旅に出た。

1 コリント 4:2 さらに、管理人には忠実であることが求められます。

管理職には大きな責任があり、忠実さが求められます。

1.「管理者として忠実に生きる」

2.「忠実な管理への呼びかけ」

1. マタイ 25:14-30 (才能のたとえ)

2. ルカ 16:10-12 (不正な執事のたとえ)

1 コリント 4:3 しかし、私にとって、あなたがたについて裁かれたり、人間から裁かれたりすることは、とても小さなことです。そうです、私は自分自身を裁いているわけではありません。

パウロは人々が自分をどう思うか気にしませんし、自分自身を批判しません。

1. 判断を恐れずに生きる - 他人の意見ではなく、私たちに対する神の意見を信頼することを学びます。

2. 判断しない - 人々からの判断を恐れずに信仰を実践する勇気を見つける。

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. マタイ 7:1 - 裁かないでください。裁かれないようにするためです。

1コリント4:4 私は自分では何も知りません。しかし、私はこれによって義と認められません。しかし、私を裁くのは主です。

主はすべての人々とその行動に対する最終的な審判者です。

1. 主が私たちの最終的な審判者であるため、私たちは自分の行動に注意しなければなりません。

2. 私たちは主の裁きを受け入れるべきです。主は最終的な審判者だからです。

1. ローマ人への手紙 14:12 ですから、私たち一人一人は、神に対して自分自身の説明をしなければなりません。

2. 箴言 16:2 人のすべての道は自分の目には清い。しかし主は霊を量られる。

1 コリント 4:5 したがって、主が来られるまでは、何も裁いてはなりません。主は闇の隠された事柄を明らかにし、心の計らいを明らかにしてくださいます。そのとき、すべての人は神を賛美するでしょう。

使徒パウロは、忍耐強く自分の行動に対する主の裁きを待つよう勧めています。その時こそ、私たち一人一人が神から賞賛を受けることになるからです。

1. 忍耐は美徳です。主の裁きを待つことを学びます。

2. 主の力：裁きと賛美を神に信頼する。

1. ヤコブ 5:7-8 ですから、兄弟たち、主の到来まで辛抱してください。見よ、農夫は大地の貴重な実りを待ち、早い雨と遅い雨が降るまで長い間忍耐している。あなたがたも忍耐強くありなさい。心を安定させなさい。主の来臨が近づいているからである。

2. 詩篇 62:8 いつでも神を信頼してください。あなたがたは、神の前に心を注ぎ出してください。神は私たちにとって避け所です。セラ。

1 コリント 4:6 兄弟たち、これらのことは、あなたがたのために私自身とアポロに形として移しました。それは、あなたがたが私たちのうちに、書かれている以上に人間のことを考えないように、また、あなたがたのうちのだれもが互いに敵対して思い上がることがないように、ということを学ぶためである。

一節 パウロは自分とアポロを例として、コリントの人々に、ある人を他の人より高く評価してはいけない、うぬぼれてはいけないと教えています。

1. 高慢は私たちを滅ぼす: パウロとアポロの例から学ぶ

2. 自分を高く評価しすぎることの危険: パウロとアポロの例に倣う

1. 箴言 16:18 - 高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立ちます。

2. ヤコブ 4:6 - しかし、神はさらに多くの恵みを与えてくださいます。したがって、「神は高ぶる者に反対するが、へりくだる者には恵みを与える」と書かれています。

1コリント4:7 あなたを他の人と区別するのは誰ですか？あなたが受けなかったものは何ですか？さて、もしあなたがそれを受け取ったなら、なぜあなたはそれを受け取らなかったかのように誇るのですか？

パウロは、人が得たものはすべて獲得したものではなく、神から与えられたものであるのに、なぜ人は自分の功績を誇るのかと疑問を呈します。

1. 高慢は堕落する前にある：自慢することの危険性を考察する

2. 神の贈り物に感謝する: 神の祝福を認識することを学ぶ

1. ヤコブ 4:13-17 - 高慢さに対する謙虚さ

2. ローマ人への手紙 12:3-8 - 信仰と謙虚さをもって生きる

1 コリント 4:8 あなたがたは満ち足り、今では富み、私たち抜きで王として統治しました。そして、私たちもあなたがたとともに統治できるように、あなたがたが統治したことを神に願っています。

使徒パウロは、コリント人が霊的生活において統治し、自分や他の人たちも彼らとともに統治する機会を得られるようにとの願いを表明しています。

1. 神とともに統治する: 神との親密さへの障害を克服する

2. 王の呼びかけ: 神とともに統治するために信者を備える

1. ローマ 5:17 – 「というのは、もし、一人の人の罪過のために、その一人によって死が支配したとしたら、豊かな恵みと無償の義の賜物を受けた人々は、なおさら、一人の人イエス・キリストを通して命を支配することになるでしょう。」

2. エペソ人への手紙 2:6 – 「そして、私たちを彼とともによみがえらせ、キリスト・イエスにあって天の所に彼とともに座らせてくださいました。」

1 コリント 4:9 というのは、神は私たち使徒を、死に定められた者として最後に定められたのだと思います。なぜなら、私たちは世に対して、天使に対して、そして人間に対して見世物とされているからです。

神は使徒たちを死に任命されたかのように最後に任命し、彼らが世、天使、そして人々の証人となることができるようにしました。

1. 私たちは自分の苦しみを神の栄光のために利用することができます

2. 困難な時に耐え忍ぶことは信仰のしるし

1. ローマ 8:18 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。

2. ペテロ第一 4:12-14 - 愛する人たち、あなたを試みる激しい試練があなたに降りかかったとき、何か奇妙なことがあなたに起こったかのように驚かないでください。しかし、キリストの苦しみを分かち合う限り、喜びなさい。それは、キリストの栄光が現されたときにも喜び、喜ぶためです。もしあなたがキリストの名のために侮辱されたとしても、栄光と神の御霊があなたの上に留まるので、あなたは祝福されます。

1コリント4:10 私たちはキリストのゆえに愚か者ですが、あなたがたはキリストにあって賢いのです。私たちは弱いですが、あなたがたは強いです。あなたがたは尊敬に値しますが、私たちは軽蔑されています。

私たちは、自分が弱く軽蔑されている一方で、他の人たちはキリストにあって強くて尊い存在であることを認識しながら、謙虚になりキリストに焦点を当てるように求められています。

1. 謙虚さの中の強さ: なぜキリストに焦点を当てなければならないのか

2. 弱さのパラドックス：私たちはキリストのために愚か者であるとどのように呼ばれるのか

1. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

2. マタイ 11:29 - わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく謙虚だから、そうすればあなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。

1 コリント 4:11 今に至るまで、私たちは飢え渇き、裸で殴られ、確かな居場所がありません。

パウロと彼の仲間たちは苦しみに耐えており、基本的な必需品や安全を持っていませんでした。

1. 苦しみの祝福: 人生の困難に耐えることを学ぶ

2. 苦しみの中に慰めを見出す：困難な時に神に頼る

1. ヘブライ 12:7-11 - 神からの懲らしめとして苦しみに耐える

2. ヤコブ 1:2-4 - 試練と艱難の中での忍耐によって喜びを見つける

1 コリント 4:12 そして、私たちは自分の手で働き、非難されながらも祝福します。迫害されて、私たちはそれに苦しみます。

非難され迫害されているにもかかわらず、パウロはクリスチャンに自分の手で働き、働くよう勧めています。

1. 忍耐の力: 信仰をもって逆境を克服する方法

2. 私たちの手で働く: 勤勉と勤勉の祝福

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。

2. コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から

相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。

1 コリント 4:13 私たちは中傷されたので嘆願します。私たちは世の汚れとして造られ、今日に至るまですべてのものを洗い落とすものです。

中傷や虐待に直面しながらも、パウロと仲間たちは福音を宣べ伝え続けます。

1. 諦めないでください：逆境を乗り越えて福音を伝える

2. 世界が自分に敵対するときにどうやって耐えるか

1. イザヤ書 54:17 - 「あなたに対して作られた武器は役に立たない。そして、裁きにおいてあなたに対して立ち上がるすべての舌を、あなたは非難するであろう。これは主の僕たちの遺産であり、彼らの義はわたしのものである、と主は言われる。」

2. ローマ 8:37-39 - 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは征服者以上の者です。なぜなら、死も、生も、天使も、支配者も、権力も、今あるものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のどんな生き物も、私たちを愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。それは私たちの主キリスト・イエスのうちにある神のものです。」

1 コリント 4:14 私がこのようなことを書いているのは、あなたがたを辱めるためにではなく、愛する息子たちとして警告します。

パウロがコリント人に手紙を書いているのは、彼らを恥じさせるためではなく、愛する子として警告するためです。

1.「愛に生きる：父親の愛の行為としての警告」

2. 「御霊のうちに生きる: 福音による警告と識別」

1. エペソ人への手紙 4:15-16 「むしろ、愛のうちに真実を言えば、私たちはあらゆる点で頭である方、キリストに成長し、そこから体全体が結合され、あらゆる節々によって支えられなければなりません。」それぞれの部分が適切に機能することで、体は成長し、愛を育みます。」

2. 箴言 27:5-6 「隠された愛よりも、公然と叱責する方が良い。友人の傷は忠実だ。敵のキスが多すぎる。」

1 コリント 4:15 あなたがたにはキリストにあって一万人の指導者がいますが、父親はそれほど多くありません。なぜなら、わたしはキリスト・イエスにあって福音によってあなたがたを産んだからです。

パウロはコリントの人々に、自分が福音を通して彼らを生み出した彼らの霊的な父であることを思い出させます。

1. 人生を変える福音の力

2. 私たちの霊的父たちを讃える呼びかけ

1. エペソ 5:1-2 - ですから、キリストが私たちを愛し、神への香りのよい供え物や犠牲として私たちのためにご自身をささげられたように、愛する子供たちとして神に見倣う者となり、愛の人生を送りましょう。

2. ローマ人への手紙 8:14-17 - 神の御霊に導かれる者は神の子だからです。あなたが受け取った御霊は、あなたを奴隷にして、再び恐怖の中で生きるようにするものではありません。むしろ、あなたが受け取った御霊が、あなたの養子縁組をもたらしたのです。そして私たちは彼のそばで「アバ、父よ」と叫びます。

1 コリント 4:16 そこで、あなたがたにお願いします。あなたがたは、わたしに従う者になってください。

パウロはコリント人に自分に従うよう勧めています。

1. 「指導者に従いなさい: コリント人へのパウロの励ましからの教訓」

2. 「パウロの忠実さの模範に従うにはどうすればよいか」

1. マタイ 4:19 - 「そしてイエスは彼らに言われた、『わたしについて来なさい。そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます』。」

2. ヘブライ 13:7 - 「あなた方の指導者たち、あなた方に神の言葉を語った人たちを思い出してください。彼らの生き方の結果を考え、彼らの信仰に倣いましょう。」

1 コリント 4:17 このために、私は、私の最愛の息子であり、主に忠実なテモテをあなたがたに遣わしました。彼は、私があらゆる教会のあらゆる場所で教えているように、キリストにある私の道をあなたがたに思い出させてくれるでしょう。

パウロはテモテをコリント人に送り、パウロがすべての教会で教えたようにキリストの道に従うよう思い出させました。

1. イエスの教えに従うという私たちの決意を思い出す

2. キリストのやり方で人生を生きる

1. エペソ人への手紙 4:1-2 - したがって、主に仕えた囚人である私は、あなたが神に召されたのですから、その召しにふさわしい人生を送るようにお願いします。謙虚で優しくありましょう。愛があるからこそ、お互いの欠点を許容し、忍耐強くなりましょう。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

1 コリント 4:18 今、ある人たちは、私があなたがたのところには来ないかのように、思い上がっています。

使徒パウロが自分たちのところに来てくれないかのように自慢している人もいます。

1. 自分が持っているものを誇ったり自慢したりしないでください。神はそれをすべて瞬時に取り去ってしまうからです。

2. 神は高ぶる者をへりくだり、へりくだる者を高められるのですから、私たちも高ぶらず、謙虚になりましょう。

1. ローマ 12:16 - 互いに同じ思いを持ちなさい。高いことは気にせず、身分の低い男性には見下してください。

2. ヤコブ 4:6 - しかし、彼はさらに恵みを与えてくださいます。それゆえ、神は高慢な者には抵抗するが、謙虚な者には恵みを与える、と彼は言います。

1コリント4:19 しかし、もし主が御心で、高ぶった彼らの言葉ではなく、その力を知っておられるなら、私はすぐにあなたのところに行きます。

パウロは、主がお許しになるなら、すぐにコリント人たちを訪問して、彼らの尊大な言葉ではなく、神の力を見極めたいと述べています。

1.「神の力：私たちの言葉と行動の中心を調べる」

2.「主への依存：私たちの人生に対する主の御心を求めて」

1. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。

2. コロサイ 3:12-17 - したがって、神に選ばれた聖なる民として、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。お互いに忍耐し、誰かに対して不満を抱いている人がいたら許し合いましょう。主があなたを赦してくださったように、赦してください。そして、これらすべての美徳の上に愛がかぶせられ、それがそれらすべてを完全な統一に結びつけます。

1コリント4:20 なぜなら、神の国は言葉にあるのではなく、力にあるからです。

神の国は言葉ではなく力に基づいています。

1.神の国の真の力

2.神の国における言葉と力の違い

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてのものはあなたに加えられるでしょう。

2. ローマ 14:17 - なぜなら、神の国は飲み食いの問題ではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです。

1 コリント 4:21 あなたはどうするつもりですか。私は杖を持ってあなたのところに行きましょうか、それとも愛と柔和の精神で行きましょうか？

パウロはコリントの人々に、鞭を持って、あるいは愛と柔和を持って彼らのところに来るだろうと警告しています。

1. しつけにおける愛と柔和の重要性

2. 信仰における鍛錬の必要性

1. ガラテヤ 6:1 「兄弟たち、霊的な者であるあなたがたは、もし人が落ち度に陥ったら、柔和な精神でそのような人を回復させてください。自分のことを考えて、あなたも誘惑に遭わないようにしてください。」

2. コロサイ 3:12-14 「ですから、神に選ばれた者、聖なる愛される者として、いつくしみの心、親切心、謙虚な心、柔和さ、辛抱強さを身に着けなさい。もし持っている人がいるなら、互いに寛容し、許し合いなさい。」」

第一コリント 5 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の第 5 章です。この章では、パウロはコリント教会内の性的不道徳の具体的な事例を取り上げ、そのような状況にどのように対処するかを教会に指示しています。

第 1 段落: パウロは、コリント人の間での性的不道徳事件について受け取った報告について述べることから始めます。彼はショックを表し、そのような行為を放置する彼らの寛容さと傲慢さを叱責します(1コリント5:1-2)。彼は、信者であると主張しながら悔い改めない罪を犯し続ける人と交わるべきではないことを強調し、関係者を自分たちの中から排除するよう彼らに指示しています(1コリント5:3-5)。パウロは、ほんの少しのパン種でも生地全体に影響を与える可能性があるため、自慢するのは適切ではないと彼らに注意させます。これは、罪が共同体全体をいかに堕落させるかを象徴しています（1コリント5:6-8）。

第 2 段落: パウロは、自分の指示が、不道徳な行為をするすべての不信者との関わりを避けるべきであるという意味ではないことを明確にしています。彼は、世俗的な罪に浸っている教会の外の人々から完全に離れることは不可能であると説明しています(1コリント5:9-10)。しかし、彼らは自分たちのコミュニティ内の人々に対して権威を持っており、義にかなった生活についてお互いに責任を負うべきであると彼は強調しています（1コリント5：11-13）。

第 3 段落: この章は、信者間の訴訟に関する追加の勧告で終わります。パウロは、不信者の前で法的な争いを起こさず、必要に応じて賢明な人々を仲裁者として自分たちの共同体内で問題を解決するよう勧めています（1コリント6:1-8）。彼は彼らに、信者として、キリストによって洗われ、聖められ、義とされたことを思い出させます。したがって、彼らは争いを解決するために世俗的な手段に頼るのではなく、神の基準に従って生きるべきです。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 5 章は、コリント教会内の性的不道徳の具体的な事例を取り上げています。パウロは彼らの寛容さを叱責し、悔い改めない人を彼らの中から排除するように指示します。彼は、腐敗した影響から解放された共同体を維持することの重要性を強調し、自慢したり、罪を野放しにしたりしないよう警告しています。パウロは、彼らは不信者から完全に切り離すのではなく、むしろ自分たちのコミュニティ内の人々に対して権威を行使するべきであると明確にしています。この章は訴訟に関する戒めで終わり、世俗的な手段に頼るのではなく内部で紛争を解決するよう信者に勧めています。この章は、説明責任、教会内の純粋さ、そしてキリストのような方法で紛争を解決するという取り組みの必要性を強調しています。

1 コリント 5:1 あなたがたの間に不品行があり、異邦人の間ではそのような不品行と呼ばれるほどではないが、父親の妻をめとるべきであるということが一般に報告されている。

コリントの教会員の間での淫行の報告があり、これには非キリスト教徒にとってさえ不道徳とみなされる行為も含まれている。

1. なぜ聖なる生活を送らなければならないのか: 日常生活の中で信仰を実践する

2. コミュニティの力: 私たちの行動が他の人にどのような影響を与えるか

1. エペソ人への手紙 5:3 - 「しかし、あなたがたの間には、性的不道徳、あるいはいかなる不純さ、あるいは貪欲の片鱗さえあってはならない。これらは神の聖なる民にとってふさわしくないからである。」

2. ローマ 12:2 - 「この世の型に従うのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。そうすれば、神のご意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。それは、神の善で喜ばしい完全なご意志です。」

1 コリント 5:2 そして、あなたがたは思い上がっていて、この行為をした者があなたがたの中から取り去られるのではないかとむしろ悲しんでいません。

この箇所は高慢の罪に焦点を当てており、コリントの人々に高ぶるのではなく、自分たちの中に罪が存在することを嘆くよう促しています。

1. プライドは破壊の前に失われる: 私たちの人生におけるプライドと戦う方法。

2. 謙虚になる：謙虚な心と考え方を持つ方法。

1. ヤコブ 4:6-10: 主の御前で謙虚になりなさい。

2. 箴言 16:18: 高慢は滅びの前にあり、高慢な精神は堕落の前にあります。

1コリント5:3 確かに、私は、体にはいないが、霊においては存在しているので、この行為をした人について、あたかもそこにいるかのように、すでに判断しているからです。

パウロはコリントの人々に、不道徳な兄弟に対して行動を起こし、教会の規律を守るよう勧告しています。

1. 愛の選択: 教会の規律の責任

2. 罪への対処: 教会でどのように行動を起こすか

1. ガラテヤ 6:1-2 - 「兄弟たち、誰かが罪に陥っているなら、霊的なあなたがたは、その人を優しさの精神で回復させるべきです。あなたも誘惑に負けないように、自分自身に気をつけてください。」

2. テサロニケ人への手紙第二 3:14-15 - 「この手紙に書いてあることに従わない人がいるなら、その人が恥をかかないように、その人のことを思い出し、その人とは一切関わらないようにしなさい。」彼を敵とみなさず、兄弟として警告してください。」

1コリント5:4 私たちの主イエス・キリストの御名において、あなたがたが集まり、私の霊も、私たちの主イエス・キリストの力によって、

聖句 この聖句は、教会が主イエス・キリストの名のもとに、その霊と力をもって集まることを求めています。

1. 団結の力: 教会は団結によってどのように強化されるのか

2. 主の力に服従する: 降伏を通して信仰が成長する

1. 使徒 2:1-4 - ペンテコステに聖霊が降臨

2. エペソ人への手紙 3:14-21 - 教会が愛において強められるためのパウロの祈り

1 コリント 5:5 そのような者をサタンに渡して肉を滅ぼし、主イエスの日に霊が救われるようにするためです。

この箇所は、主イエスの日に霊が救われるために、人は肉を滅ぼすためにサタンに引き渡されるべきであると説明しています。

1. 私たちは救いの必要性を認識し、イエスが私たちを救ってくださることを許可しなければなりません。

2. 私たちは神の御心に服従し、神が私たちの人生に働いてくださるようにすべきです。

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心で信じるなら、あなたは救われます。なぜ

なら、人は心で信じて義とされ、そして心で信じて義とされるからです」人が告白して救われる口。」

2. エペソ人への手紙 2:8-10 - 「あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。それは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られ、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ用意してくださったのです。」

1コリント5:6 あなたがたが誇っていることは良くありません。少量のパン種が塊全体を発酵させることを知らないのですか？

ほんの少しの悪いことがグループ全体に影響を与える可能性があるため、人々は誇りに思うべきではありません。

1.「プライドに気をつけろ」

2. 「少しのパン種が塊全体を発酵させる」

1. 箴言 16:18 「高ぶりは滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

2. ガラテヤ 5:9 「少しのパン種が塊全体を発酵させます。」

1 コリント 5:7 したがって、あなたがたはパン種を入れていないのと同じように、新しい塊となるために、古いパン種を取り除きなさい。なぜなら、私たちの過越の祭りであるキリストさえも私たちのために犠牲になったからです。

コリントの人々は、キリストが彼らのために犠牲になったように、古い罪のパン種を生活から取り除き、新しい、パン種のない民になるよう促されています。

1. 刷新の力: キリストにあって種のない者となる

2. 古いパン種を取り除く: 神聖さの散歩

1. ローマ人への手紙 6:1-14 - 罪に対して死んで、キリストにあって生きている

2. ガラテヤ 5:16-26 - 御霊の力によって生きる

1 コリント 5:8 ですから、古いパン種や悪意や邪悪なパン種を使わずに、祭りを守ろうではありませんか。ただし、誠実さと真実の種なしパンとともに。

使徒パウロはコリントの人々に、罪深さや邪悪さではなく、誠実さと真実をもって祝祭を祝うよう勧めています。

1. 「正直で誠実な人生を送る」

2.「罪と邪悪からの解放」

1. エペソ人への手紙 4:25 - 「ですから、偽りを捨てて、あなたがたは一人一人、隣人に対して真実を語りましょう。私たちはお互いの一員だからです。」

2. コロサイ 3:9-10 - 「互いに嘘をついてはなりません。自分たちが慣行とともに古い自分を脱ぎ捨て、創造者の似姿に倣い知識において新たにされつつある新しい自分を着ているのですから。」

1 コリント 5:9 私は、不品行な者たちと交わらないようにという手紙の中でこう書きました。

パウロはコリント人に手紙を書き、性的不道徳を行う人々と交わらないように警告しました。

1. 隣人を愛しなさい: なぜ罪と関わってはいけないのか

2. 聖性への呼びかけ: 神に従って歩む

1. ガラテヤ 5:19-21 - 肉の働きは御霊の実と対照的です。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して変えてください。

1 コリント 5:10 しかし、この世の不品行な者たち、貪欲な者たち、強奪者、偶像崇拝者たちと全く一緒というわけではありません。というのは、そのときは、あなたがたはこの世から出て行かなければならないからです。

一節 クリスチャンは不道徳な活動に従事する人々と交わるべきではありませんが、それでもこの世に生きなければなりません。

1. 罪深い世界の真っ只中で聖なる生活を送ることの重要性。

2. 道徳的な行為と不道徳な行為を区別することの重要性。

1. マタイ 6:24 - 誰も二人の主人に仕えることはできません。なぜなら、人は一方を憎んで他方を愛するか、あるいは一方に忠実で他方を軽蔑するかのどちらかだからです。

2. ペテロ第一 2:11 - 愛する皆さん、寄留者や巡礼者として、魂と戦う肉の欲望を避けてください。

1 コリント 5:11 しかし、私は今、あなたがたに手紙を書きました。兄弟と呼ばれる者が、不品行な者、貪欲な者、偶像崇拝者、暴言を吐く者、大酒飲み、強奪者である場合には、付き合わないようにと書きました。そのようなものでは食べないでください。

この箇所は、罪を悔い改めない人々と親密な交わりを持たないよう警告しています。

1. 「神聖な生活を送る」

2.「バッドカンパニーの危険性」

1. エペソ人への手紙 5:11 - 「実を結ばない闇の業とは交わらず、むしろ彼らを戒めなさい。」

2. コリント人への第二の手紙 6:14-17 - 「あなたがたは、不信者たちと不平等にくびきを負っていませんか。義と不正との間にどんな交わりがあり、光と闇との間にどんな交わりがあるのでしょうか。」

1 コリント 5:12 外にいる者たちも裁くには、何をしたらよいでしょうか。あなたがたは内にいる者たちを裁かないのか？

一節 使徒パウロはコリントの人々に、教会内の罪に対処すべきなのに、なぜ教会の外で人々を裁くのかと尋ねています。

1. 他人を裁かないでください: 1 コリント 5:12 からの教訓

2. 愛と許しの人生を生きる: コリント第一 5:12 のメッセージ

1. ルカ 6:37 - 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたがたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、あなたがたは罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。」

2. ローマ人への手紙 14:13 - 「ですから、平和をもたらす事柄、またそれによって互いに他の人を啓発する事柄に従いましょう。」

1コリント5:13 しかし、神の外にいる者たちが裁くのです。ですから、その邪悪な者をあなたがたの中から遠ざけなさい。

神が邪悪な人々を裁くので、私たちは邪悪な人々を私たちの生活から遠ざけるべきです。

1. 神は私たちに、邪悪な人々を裁かれるので、彼らから距離を置くよう求めています。

2. 悪人を裁くことができるのは神だけであるため、私たちは悪人を私たちの生活から排除しなければなりません。

1. コリント人への第一の手紙 5:13 - 「しかし、神の外にいる者たちが裁くのです。ですから、その邪悪な者をあなたがたの中から遠ざけなさい。」

2. 詩篇 101:3-4 - 「私は価値のないものを目の前に置きません。私は倒れる人たちの仕事が大嫌いです。それは私にしがみつくことはありません。ひねくれた心は私から離れるでしょう。私は悪を知りません。」

第一コリント6章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の第6章です。この章では、パウロは訴訟、性的不道徳、信者の体の神聖さに関連するさまざまな問題を取り上げています。

第 1 段落: パウロは、争いや不満を教会共同体内で解決するのではなく、世俗の法廷に持ち込むコリント人たちを戒めることから始めます (1 コリント 6:1-6)。彼は、信者は天使さえも裁くように召されており、信者同士の間で小さな問題を処理できる必要があると強調しています（1コリント6：2-3）。パウロは、彼らが自分たちのコミュニティ内で賢明な個人を探すのではなく、世の制度に裁きを求めるのは失敗の兆候であると強調しています。

第 2 段落: パウロはコリント教会内の性的不道徳に焦点を移します。彼は、売春を含むあらゆる形態の性的不道徳を、信者とキリストとの結びつきと相いれないものとして非難します(1コリント6:9-11)。彼は彼らに、彼らの体は聖霊の神殿であり、不道徳な行為によって汚されるべきではないことを思い出させます(1コリント6:15-20)。パウロは彼らに、性的不道徳から逃げ、体を張って神を敬うよう勧めています。

第 3 段落: この章は、信者はイエス・キリストの犠牲という代償を払って買われたものであり、したがって自分のものではなく神のものであることを強調して終わります (1 コリント 6:19-20)。パウロは、性的不道徳は自分の体に対する罪であるため、行わないよう警告しています。彼は彼らに、霊と体の両方で神の栄光を現すよう勧めています。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 6 章は、訴訟、性的不道徳、信者の体の神聖さに関連する問題を扱っています。パウロはコリント教会の信者たちが内部の紛争を解決せずに世俗の法廷に頼ったことを叱責します。彼はあらゆる形態の性的不道徳をキリストとの結合と相いれないものとして非難し、自分の体で神を敬うよう勧めています。パウロは、信者は聖霊の神殿であり、代償を払って買われたものであるため、不道徳から逃れ、霊と体の両方で神の栄光を現わすべきであると強調しています。この章は、教会共同体内の対立を解決し、性的不道徳を避け、神の御霊の住まいとして自分の体の神聖さを認識することの重要性を強調しています。

1 コリント 6:1 あなたがたの中に、他人と争っているとき、聖徒たちの前ではなく、不正な者の前で法廷に立つ勇気のある人がいるでしょうか。

この箇所は、コリント人への第一の手紙 6 章 1 節でパウロからの質問で、コリント人の中に、他人と問題を抱えたときに聖徒たちに助けを求めずに法廷に行く人はいるかというものです。

1. 「キリスト教の許しの美しさ: 法廷に行かずに紛争を解決する」

2. 「イエスに裁判官になってもらう：争いを解決する正しい方法」

1. マタイ 18:15-17 (「もしあなたの兄弟や姉妹が罪を犯したなら、行って、二人の間だけで、彼らの非を指摘しなさい。彼らがあなたの言うことを聞くなら、あなたは彼らを説得したことになります。しかし、もし彼らが聞かないなら、他の 1人か2人を連れて行き、そうすることで「すべての事柄は 2人か3人の証人の証言によって立証されるだろう。それでも彼らが聞くことを拒否するなら、それを教会に伝えなさい。もし彼らが教会の言うことさえも聞くことを拒否するなら彼らを治療しなさい」異教徒や徴税人のように。」）

2. ローマ 12:18 (「できることなら、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。」)

1 コリント 6:2 あなたがたは、聖徒たちが世を裁くことを知らないのですか。そして、もし世界があなたによって裁かれるとしたら、あなたには些細な事柄を裁く資格がないのか。

聖徒たちが世界を裁くのですから、クリスチャンはどんな小さなことでも裁くことができるはずです。

1. クリスチャン生活における識別の重要性

2. 正義の裁きの力

1. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

2. 箴言 16:2 - 人のすべての道は自分の目には清い。しかし主は霊を量られる。

1 コリント 6:3 あなたがたは、私たちが天使を裁くことを知らないのですか。この人生に関係することがどれだけあるだろうか？

この箇所は、信者はこの世の問題、さらには霊的領域に関する問題を判断できるという事実を強調しています。

1. 信者には、この世の問題、さらには霊的領域の問題を識別する力が与えられています。

2. 私たちは善と悪を識別し、正しい決定を下す力を持っています。

1. 箴言 14:12: 人にとっては正しいと思われる道がありますが、その終わりは死への道です。

2. イザヤ 11:2: そして、主の御霊が彼の上にとどまるであろう。それは、知恵と理解の御霊、助言と力の御霊、知識と主への畏れの御霊である。

1 コリント 6:4 もしあなたがたが、この世の事柄について判断力があるなら、教会の中で誰が最も尊敬されていないかを判断させなさい。

教会は、法的紛争などの世俗的な問題を、最も尊敬されていない会員に委ねることが奨励されています。

1. 神は、偉大なことを達成するために、最も小さな私たちを利用することができます。

2. すべての事柄において神の知恵を信頼する。

1. ヤコブ 1:5-6 - 「もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は、すべての人に惜しみなく与え、非難することのない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。しかし、その人は信仰をもって求めなさい。何の揺るぎもないものです。」。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださるだろう。」

1コリント6:5 私はあなたの恥について話します。あなたがたの中には賢い人が一人もいないということでしょうか。いいえ、兄弟の間で判断できる人はいないでしょうか？

コリント人への第一の手紙 6 章 5 節で、パウロはコリント人たちに、自分たちの共同体内で決断を下すための賢い人が彼らの中にいないことについて質問しています。

1. 私たちは、たとえ自分たちのコミュニティにおいても、賢明であるよう努め、知恵を探求しなければなりません。

2. 私たちには、キリストにある兄弟姉妹のために賢明な決定を下す責任があります。

1. 箴言 1:5、「知恵ある者は聞いて学びを深め、理解する者は導きを得よ。」

2. 箴言 3:13、「知恵を見出す者、理解力を得る者は幸いである。」

1コリント6:6 しかし、兄弟は兄弟と一緒に、そして不信者の前で律法を守ります。

クリスチャンは、他のクリスチャンとの争いを法廷に持ち込むべきではありません。それは自分たちの信仰に反するからです。

1. クリスチャンは、仲間の信者との争いを法廷に持ち込んではならず、調停と和解を求めなければなりません。

2. 私たちは、キリストにある兄弟姉妹との意見の相違を法廷で解決しようとするのではなく、敬意と謙虚さを持って対処するように注意しなければなりません。

1. マタイ 5:25-26、「告発者と一緒に法廷に行く間は、告発者とすぐに和解しなさい。告発者があなたを裁判官に引き渡し、裁判官が看守に引き渡して、あな

たが刑務所に入れられることのないように。本当に言っておきますが、最後の一銭を払い終えるまでは決して出てはいけません。」

2. ヤコブ 4:6、「しかし、神はさらに多くの恵みを与えてくださいます。したがって、「神は高ぶる者に反対するが、へりくだる者には恵みを与える」と書かれています。

1 コリント 6:7 ですから、あなたがたの間には全く落ち度があるのです。なぜなら、あなたがたは互いに律法を定めているからです。なぜあなたがたはむしろ間違いを犯さないのですか？なぜあなたがたは、だまされることにむしろ苦しまないのか。

コリントのクリスチャンたちは、紛争を自分たちの間で解決するのではなく、法廷で解決しようとしています。

1. 「間違った苦しみ：コリント第一 6:7 からの教訓」

2. 「訴訟の愚かさ: コリント第一 6:7 からの教え」

1. コロサイ 3:13 - 「もし誰かが誰かと争うなら、互いに忍び合い、許し合いなさい。キリストがあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも赦しなさい。」

2. エペソ人への手紙 4:2-3 - 「あらゆるへりくだりと柔和さをもって、忍耐をもって、愛をもって互いに寛容し、 3 平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努めなさい。」

1 コリント 6:8 いや、あなたがたは不正を行い、詐欺を行っています。そして、あなたがたの兄弟たちも同様です。

一節 人々は兄弟たちに不当な扱いをし、詐欺を働いています。

1. 他人に対する不当な扱いや詐欺行為の危険性

2. 正直さと誠実さの重要性

1. ヤコブ 4:17 - したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

2. マタイ 7:12 - それゆえ、あなたがたは、人にしてほしいと望むことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからである。

1 コリント 6:9 あなたがたは、不義な者は神の国を受け継がれないことを知らないのですか。だまされないでください。淫行をする者、偶像を崇拝する者、姦淫する者、女々しい者、人類に対して自分自身を虐待する者、

不義な者は神の国に入ることが許されません。淫行、偶像崇拝、姦淫、女々しい行為、同性愛を行う者は認められません。

1. 神の王国に入りたいなら、私たちは義になれるよう努力しなければなりません。

2. 神に受け入れられたければ、私たちは罪から逃れ、聖さを実践しなければなりません。

1. コリント第一 6:9

2. コリント第一 6:18-20 - 性的不道徳から逃げてください。人が犯すその他の罪はすべて体の外にありますが、性的に罪を犯す人は、自分の体に対して罪を犯していることになります。あなたがたの体は、あなたのうちに内在し、神から受け取った聖霊の神殿であることを知らないのですか。あなたはあなた自身のものではありません。あなたは代償を払って買われたのです。したがって、体をもって神を敬いなさい。

1コリント6:10 盗人も、貪欲な者も、大酒飲みも、ののしる者も、強奪する者も、神の国を受け継いではなりません。

この箇所は、5つの具体的な罪深い行為に対して警告し、それらを実践する者は神の国を受け継がないと述べています。

1: 永遠の命の約束を受けるために、私たちは神聖で神に従順な生活を送らなければなりません。

2: 神の王国を受け継ぎたいのであれば、私たちは窃盗、貪欲、酩酊、ののしり、強奪などの罪深い行為を放棄し、背を向けなければなりません。

1: ガラテヤ 5:19-21 - 今、肉の業が明らかになりました: 性的不道徳、不純さ、官能、偶像崇拝、魔術、敵意、争い、ねたみ、激怒、競争、意見の相違、分裂、ねたみ、酩酊、乱交など、などなど。以前に警告したように、そのようなことをする者は神の国を受け継ぐことはできないと警告します。

2: エペソ人への手紙 5:3-5 - しかし、聖徒の間で当然のことであるように、性的不道徳やあらゆる不純なこと、あるいは貪欲は、あなたがたの間でも名指しされてはなりません。場違いな、不潔な話、愚かな話、下品な冗談を言わず、代わりに感謝を捧げましょう。というのは、性的に不道徳な者、不純な者、あるいは貪欲な者（つまり偶像崇拝者）は皆、キリストと神の王国において相続財産を持たないということをあなたも確信しているかもしれません。

1 コリント 6:11 そして、あなたがたの中にもそのような人たちがいました。しかし、あなたがたは洗われ、聖められていますが、主イエスの名によって、また私たちの神の御霊によって義とされるのです。

かつては罪の中に生きていた人もいましたが、今では主イエスと聖霊の力によって清められ、清められ、義と認められました。

1. 人生を変えるキリストの力

2. 聖霊の働きによる聖化

1. ローマ 5:1-5 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、主イエス・キリストを通して神との平和を持っています。このキリストを通して、私たちは信仰によってこの恵みに入ることができ、今その恵みの中にいます。そして私たちは神の栄光を期待して誇ります。

3. テトス 3:4-7 - しかし、私たちの救い主なる神の優しさと愛が現れたとき、私たちが行った正しい行いのせいではなく、神の憐れみのゆえに私たちを救ってくださいました。彼は聖霊による再生と再生の洗いを通して私たちを救ってくださいました。

1 コリント 6:12 私にとってすべてのことは合法ですが、すべてが方便ではありません。すべてのことは私にとって合法ですが、私は何の支配下にも置かれません。

パウロはコリントの人々に、すべてが許されるかもしれないが、それが必ずしも有益であるとは限らないと警告しています。

1. 世の誘惑に振り回されるのではなく、キリストの力に振り回されないでください。

2. 自分の選択が自分の信仰にとって有益なものであり、有害なものではないことを確認してください。

1. ヨハネ第一 2:15-17 - 世や世のものを愛してはなりません。

2. ローマ 12:1-2 - この世に順応するのではなく、心を新たにして変えられなさい。

1コリント6:13 腹には肉、腹には肉。しかし、神はそれも彼らも滅ぼすであろう。今、体は淫行のためではなく、主のためのものです。そして体のために主。

肉体は淫行を目的とするものではなく、神を敬うためにあるのです。神は最終的には肉体とその欲望の両方を排除します。

1. 体をもって神を敬うとはどういう意味ですか?

2. 神への愛と敬意を表現するために、どのように体を使うことができますか?

1. ローマ 12:1-2 - 「ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる神聖な生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい礼拝です。「この世の型に従うのではなく、心を一新することによって変えられるのです。そうすれば、神の御心が何であるかを試し、承認することができるでしょう。神の善で喜ばしい完全な御心です。」

2. マタイ 5:27-28 - 「『姦淫してはならない』と言われていたのをあなたは聞いているでしょう。」しかし、私はあなたに言いますが、情欲を抱いて女性を見る者は、心の中ですでにその女性と姦淫を犯したのです。」

1コリント6:14 そして神は主をよみがえらせてくださったと同時に、私たちもご自身の力でよみがえらせてくださるのです。

一節: この一節で、パウロは私たちを死者の中から復活させる神の力を思い出させます。神は私たちに、罪深い行為のためではなく、神の栄光のために体を使うよう勧めておられます。

1. 死を克服する神の力

2. 神の栄光のために自分の体を使う

1. ローマ 6:12-14 - したがって、罪があなたの死ぬべきからだを支配し、その欲望に従わないようにしてください。そして、あなたの肢体を罪に対する不義の道具として差し出すのではなく、あなた自身を死者の中から生き返ったものとして神に差し出し、あなたの肢体を神への義の道具として差し出してください。

14. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

1 コリント 6:15 あなたがたは、自分の体がキリストの部分であることを知らないのですか。それでは、私はキリストの肢体を取り上げて、彼らを娼婦の肢体にしようか。神は禁じます。

パウロはクリスチャンに対し、自分の体はキリストの一部であるため、売春婦に加わってはならないと警告しています。

1. 私たちの体はキリストの部分であり、罪深い目的に使用されるべきではないことを思い出しましょう。

2. 私たちはキリストの会員を取り上げて、彼らを不道徳な生活の一員にしてはいけません。

1. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。

2. コリント人への第一の手紙 10:31 - ですから、食べるにしても、飲むにしても、何をするにしても、すべて神の栄光のために行いなさい。

1 コリント 6:16 何ですか？遊女と結びついている者は一つの体であることをあなたがたは知らないのか。というのは、二人は一体となるからだ、と彼は言う。

一節: 使徒パウロはコリント人への手紙の中で、性的不道徳に対して強い警告を与えています。彼は、信者は淫行を行っている人々に加わるべきではないと述べています。彼は続けて、この結合する行為によって二人が一体となり、精神的な結合が生まれると説明しました。

1. 性的不道徳の結果 2. 結婚における団結の力

1. エペソ人への手紙 5:31-32 - 「それゆえ、人は父と母を離れて妻をしっかりしなさい。そうすれば二人は一体となるでしょう。」 2. ヘブライ 13:4
- 「結婚はすべての人の間で名誉をもって行われ、結婚の床は汚されないようにしなさい。神は性的に不道徳で姦淫する者を裁かれるからです。」

1コリント6:17 しかし、主に結ばれる者は一つの霊です。

この箇所は、霊において主と一つになることの重要性を強調しています。

1.「主と一体となって生きる」

2.「主との一致の力」

1. コロサイ 3:15 - 「そして、神の平和があなたがたの心に支配され、あなたがたも一つの体として招かれているのです。そして感謝しなさい。」

2. エペソ人への手紙 4:3 - 「平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努めなさい。」

1コリント6:18 淫行から逃げなさい。人が行うあらゆる罪は肉体を持たずに行われます。しかし、淫行を犯す者は自分の体に対して罪を犯します。

この聖句は、淫行は自分の体に対する罪であるため、それを避けることの重要性を強調しています。

1. 「淫行の罪: なぜ私たちは逃げなければならないのか」

2.「自分の体を大切に：淫行から逃げてください」

1. テサロニケ人への第一の手紙 4:3-5 - これは、あなたがたが淫行を避けるべきであるという、あなたの聖化さえも神のご意志だからです。神を知らない異邦人のように、欲情のためではありません。

2. マタイ 5:27-28 - あなたたちは昔、「姦淫してはならない」と言われたことを聞いたことがあるでしょう。しかし、私はあなたたちに言います、女を見て情欲を抱く者は、すでにその女と姦淫を犯しているのです。彼の心の中で。

1 コリント 6:19 何ですか？自分の体は自分の内にある聖霊の神殿であり、それは神からのものであり、自分のものではないということを知らないのか。

私たちの体は神のものですが、私たちのものではありません。

1. 私たちの体は主の神殿です - 1コリント6:19

2. 神は私たちの体の所有者です - 1コリント6:19

1. コリント人への第一の手紙 3:16 - あなたがたは神の神殿であり、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのですか。

2. ペテロ第一 2:5 - あなたがたもまた、生きた石のように、イエス・キリストによって神に受け入れられる霊的な犠牲をささげるために、霊的な家、聖なる祭司職を建てられています。

1 コリント 6:20 あなたがたは代価を払って買われたのですから、神のものであるあなたの体と霊において神の栄光を現わしなさい。

この聖句は、私たちは代償を払って買われたものであるため、体と霊において神の栄光を讃えなければならないことを思い出させます。

1: 私たちは神のものです: 主の栄光を讃える呼びかけ

2: どうすれば自分の体と霊で神の栄光を現すことができるでしょうか?

1: ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。

2: コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。

第一コリント 7 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 7 章です。この章では、パウロは結婚、独身、キリスト教共同体における人間関係のさまざまな側面について述べています。

第 1 段落: パウロは結婚生活における性的純粋さの重要性について議論することから始めます。彼は、夫と妻はお互いに結婚の義務を果たし、お互いに合意した祈りと断食の時間を除いて、お互いを奪ってはならないと断言しています（1コリント7:1-5）。パウロは、信者の中には独身という賜物を持っている人もおり、それによって気を散らすことなく神に仕えることに全力を尽くすことができることを認めています(1コリント7:6-9)。彼は、未婚または夫を亡くした人たちに対して、自制できるのであれば独身でいることを検討するようアドバイスしていますが、結婚を望む人にとっては結婚が正当な選択肢であることも認めています(1コリント7:8-9)。

第 2 段落: パウロは、夫婦の一方が信者であり、もう一方が信者ではない夫婦について言及しています。彼は信者たちに、離婚を求めず、むしろ自分たちの信仰が未信者の配偶者に影響を与えることを期待して結婚生活を維持するよう努めるようアドバイスしています（1コリント7:10-16）。しかし、もし未信者の配偶者が別れる選択をしたとしても、信者はそのような状況に拘束されることはなく、平和でいられるとパウロは述べています(1コリント7:15)。

第 3 段落: この章は、現在の状況に忠実であり続けるための実践的なアドバイスで終わります。パウロは、変更せざるを得ない理由がない限り、信仰に呼び出されたとき、その場にとどまるよう信者たちに勧めています(1コリント7:17-24)。彼は、既婚か独身か、割礼の有無にかかわらず、最も重要なことは神の戒めを守り、神の召しに従って生きることであると強調しています(1コリント7:19-24)。最後に、彼は婚約に関する懸念に言及し、不確実な時期には注意するようアドバイスしていますが、最終的には状況に基づいて個人の裁量に任せています（1コリント7:25-40）。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 7 章は、結婚、独身、キリスト教共同体内の人間関係のさまざまな側面を扱っています。パウロは結婚生活における性的純粋さの重要性を強調し、神に完全に献身できる人には独身という賜物があることを認めています。彼は異宗教間の結婚をしている信者たちに和解に努めるようアドバイ

スするが、不信者の配偶者が離婚を選択すれば平和が見つかることも認めている。パウロは信者に対し、やむを得ない変更理由がない限り、現在の状況に忠実であり続けるよう勧め、婚姻状況や背景に関係なく神の戒めを守ることの重要性を強調しています。この章では、人間関係をうまく切り抜け、さまざまな状況で信仰を実践するための実践的なガイダンスを提供します。

1 コリント 7:1 さて、あなたがたが私に書いてくださったことについてですが、「男が女に触れないのは良いことです。」

パウロはコリント人への結婚に関する質問に答え、できれば独身を続けるよう勧めています。

1. 「独身の力：神のために禁欲を選択する」

2. 「信仰と禁欲に生きる: コリント第一 7:1 を理解する」

1. テサロニケ人への第一の手紙 4:3-5 - 「これは、あなたがたが淫行を避けること、つまりあなたの聖化も含めて神のご意志だからです。それは、あなたがた一人一人が、聖化と名誉をもって自分の器を所有する方法を知ることです。神を知らない異邦人のように、欲情のためではありません。」

2. テモテ第一 5:1-2 - 「年長者を叱責しないで、父親として懇願しなさい。そして若い人たちを兄弟として。母親としての年配の女性。妹は姉妹のように、純粋に。」

1 コリント 7:2 それにもかかわらず、淫行を避けるためには、すべての男に自分の妻を持ち、すべての女に自分の夫を持たせなさい。

パウロは性的不道徳を避けるためには誰もが異性と結婚すべきだとアドバイスしています。

1. 結婚の神聖さ: 親密さのための神の計画を受け入れる

2. 純粋さの力：人間関係において神の最善を選択する

1. 創世記 2:24 それゆえ、人は父と母を離れて妻をしっかりと抱き、二人は一体となる。

2. ヘブライ 13:4 結婚はすべての人の間で名誉を重んじられ、結婚の床は汚されないようにしてください。神は性的に不道徳で姦淫した者を裁かれるからです。

1 コリント 7:3 夫は妻に当然の善意を示し、同様に妻も夫に尽くしましょう。

夫と妻はお互いに優しさと敬意を示すべきです。

1. 愛、敬意、優しさ: 結婚について聖書が教えていること

2. 神の結婚計画: コリント第一 7:3 の研究

1. エペソ人への手紙 5:33 - 「しかし、あなたがたもそれぞれ、自分を愛するように自分の妻を愛さなければなりません。また妻は夫を尊重しなければなりません。」

2. コロサイ 3:19 - 「夫たちよ、妻を愛してください。妻に厳しく接しないでください。」

1 コリント 7:4 妻は自分の体の力ではなく、夫の権威を持っています。同様に、夫も自分の体の力ではなく、妻の権威を持っています。

この一節は、夫と妻が自分の体に関して相互に尊重することの重要性を強調しています。

1. 結婚の神聖さ: 寝室での敬意

2. 相互尊重の力: 幸せな結婚のための聖書の基礎

1. エペソ人への手紙 5:21-33 - 結婚生活における服従

2. ペテロ第一 3:7 - 夫の皆さん、妻とともに理解のある生活を送りましょう

1 コリント 7:5 あなたがたは、断食と祈りに専念するために一時的に同意する場合を除いて、互いに騙してはならない。そして再び団結して、失禁のためにサタンがあなたを誘惑しないようにしましょう。

クリスチャンは、祈りと断食に専念するために一定の期間、お互いの合意がない限り、配偶者との接触を差し控えるべきではありません。

1) 結婚における相互同意の力

2) 結婚における祈りと断食の利点

1) エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻よ、主に従うように夫に従いなさい。

2) ガラテヤ 5:16-25 - 御霊によって歩み、愛の律法を全うしてください。

1 コリント 7:6 しかし、私がこれを話すのは、戒めではなく、許可に基づいています。

パウロはクリスチャンに結婚の許可を与えていますが、これは戒めではありません。

1. 結婚：戒めではなく神の祝福

2. 結婚に関するパウロの教えを理解する

1. 創世記 2:24 - それゆえ、人は父と母を離れ、妻に固く結ばれ、二人は一体となる。

2. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻たちよ、主に対するのと同じように、自分の夫にも服従しなさい。夫の皆さん、キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、妻を愛してください。

1 コリント 7:7 私は、すべての人が私自身と同じであることを望んでいます。しかし、人は誰でも、このように、またその後に、神からの適切な賜物を持っています。

パウロは、すべての人がありのままであってほしいという願望を表明していますが、人にはそれぞれ異なる賜物が神から与えられていることを認めています。

1. 神からの贈り物: 私たちのユニークな才能を認めて受け入れる

2. 個性の力: 違いを尊重する

1. マタイ 25:14-30 – 才能のたとえ

2. エペソ人への手紙 4:7-8 – キリストの体における各クリスチャンの役割

1 コリント 7:8 そこで、未婚の人たちや寡婦たちに言います。

一節 パウロは、未婚の人や夫を亡くした人たちに、自分と同じように独身でいることを勧めています。

1. 主のうちに留まり、満ち足りる: 1 コリント 7:8 を理解する

2. 独身の力: 独身に対する神の良い計画を受け入れる

1. ピリピ 4:11-13 – 「私は困っていることについて話しているのではありません。私はどんな状況でも満足できることを学んだからです。私は落ち込む方法と豊かになる方法を知っています。いかなる状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。」

2. ペテロ第一 5:6-7 – 「ですから、神の力強い御手の下で謙虚になりなさい。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを高め、思い煩いをすべて神に託してくださるでしょう。神はあなたを顧みておられるからです。」

1コリント7:9 しかし、もし彼らを抑えることができないなら、結婚させてください。焼かれるよりは結婚したほうが良いからです。

パウロは、欲望を抑えることができない人たちに、欲望に燃え上がるよりは良いので、結婚することを勧めています。

1. 自制の力: 誘惑に抵抗する方法。

2. 結婚：私たちの喜びと満足のための神からの贈り物。

1. ガラテヤ 5:16-17 - 「御霊によって歩みなさい。そうすれば、あなたがたは肉の欲望を満たすことができません。なぜなら、肉は御霊に対して欲情し、御霊は肉に対して欲情するからです。そしてこれらは互いに反対です。」：それは、あなたがたがやりたいことができないようにするためです。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 4:3-5 - 「これは、あなたがたが淫行を避けるべきであるという、あなたの聖化でさえも神のご意志です。それは、あなたがた一人一人が、聖化と名誉において自分の器を所有する方法を知っているべきです。神を知らない異邦人のように貪欲です。」

1コリント7:10そして結婚している人たちに、私ではなく主に命じます、妻が夫から離れないようにしてください。

パウロは夫婦が一緒にいることを命じ、その命令の源として主を挙げています。

1.「結婚の力: 団結の強さを見つける」

2.「結婚における聖性を求める主の呼びかけ」

1. 箴言 18:22 - 「妻を見つける者は良いものを見つけ、主の恵みを得る。」

2. エペソ人への手紙 5:22-33 - 「妻たちよ、主に従うのと同じように、自分の夫に従いなさい。キリストが教会の頭であり、その体の体であり、ご自身がその救い主であるのと同じように、夫も妻の頭なのです」夫の皆さん、キリストが教会を愛し、彼女のためにご自身を捨てられたように、妻を愛してください...」

1コリント7:11 しかし、もし彼女が別れるなら、彼女は未婚のままにしておくか、夫と和解させてください。そして夫が妻を引き離してはいけません。

この一節は、結婚の重要性と、不和がある場合でも結婚をどのように維持すべきかについて論じています。

1. 結婚の強さ: なぜ困難を乗り越える必要があるのか

2. 結婚の神聖さ：献身を通じて神を敬う

1. エペソ人への手紙 5:21-33 - 主を恐れて互いに服従する

2. ローマ 12:9-21 - 互いに調和して暮らし、互いに愛し合う

1 コリント 7:12 しかし、他の人たちには、主ではなく私が言います。もし兄弟に信じていない妻がいて、彼女が彼と一緒に住むことを喜んでいるなら、彼は彼女を離してはなりません。

パウロは、配偶者の一方が福音を信じていない夫婦に対して、双方が同意するのであれば一緒に留まるべきだとアドバイスしています。

1) たとえ困難に直面したとしても、結婚生活において献身的に取り組むことの重要性。

2) 二人がより大きな利益のために団結するときの結婚の強さ。

1) ローマ人への手紙 12:18 - 「できるなら、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。」

2) エペソ人への手紙 5:21 - 「キリストへの畏敬の念から互いに服従しなさい。」

1 コリント 7:13 また、信じない夫を持つ女は、もし夫が喜んで一緒に住むなら、夫から離れないでください。

信者である妻は、未信者の夫が一緒に住もうとするのであれば、離れるべきではありません。

1. 未信者を愛することを学ぶ - 未信者のパートナーとの結婚生活で神を敬う方法。

2. 困難な結婚生活の中で希望を持って生きる - 信仰を共有しないパートナーとの結婚生活に直面したとき、強さと立ち直りを見つける。

1. エペソ人への手紙 5:21-33 - キリストへの畏敬の念と、夫が妻をどのように愛すべきかということから、互いに服従しましょう。

2. ローマ 12:9-13 - 愛は誠実であり、実際的な方法で互いに愛し合わなければなりません。

1 コリント 7:14 なぜなら、不信者の夫は妻によって聖別され、不信者の妻も夫によって聖別されるからです。そうでなければ、あなたの子供たちは汚れていたでしょう。しかし今ではそれらは神聖なものです。

信じる者も信じない者も結婚することができ、その子供たちは聖なる者となります。

1. 聖化の力: 信者と未信者がどのようにして祝福を受けられるか

2. 子どもの神聖さ: あなたの子どもが神の祝福を受けるにはどうすればよいか

1. マタイ 19:3-9;パリサイ人はイエスに離婚について尋ねます

2. エペソ人への手紙 6:1-4。神の家の親と子たち

1コリント7:15 しかし、不信者が立ち去るなら、立ち去らせてください。このような場合、兄弟や姉妹は束縛されることはありません。しかし、神は私たちを平和に招いてくださいます。

結婚相手の一方が未信者で、離婚を決意した場合、信者はそれに拘束されるべきではなく、平安でいるべきです。

1.「不信仰の中の平和」

2.「平和への神の呼びかけ」

1. ローマ人への手紙 12:18 - 「できることなら、あなたがたのうちにある限り、すべての人たちと平和に暮らしてください。」

2. エペソ人への手紙 4:3 - 「平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努めなさい。」

1 コリント 7:16 妻よ、あなたが夫を救えるかどうか、あなたには何が分かりますか。あるいは、おお男よ、自分の妻を救えるかどうか、どうやって知っているのですか？

パウロは夫婦が互いに救い合う能力に疑問を抱いています。

1. 「愛の力: どうすればお互いを救えるでしょうか?」

2. 「結婚と救い: 救いへの挑戦」。

1. エペソ人への手紙 5:33 - 「それでも、特にあなたがたは、自分の妻を自分と同じように愛しなさい。そして妻は夫を尊敬していることがわかります。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、今あるものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のいかなる被造物も存在しないと確信しているからです」私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるでしょう。」

1コリント7:17 しかし、神がすべての人に与えられたように、主がすべての人に召されたように、彼は歩むことができます。そして私はすべての教会でそのように叙階されます。

この聖句はクリスチャンに、神が定めた人生における自分の立場を受け入れ、神が彼らに定められた召しに従って生きるよう勧めています。

1. 「人生における自分の立場を受け入れる：神の御心に満足を見つける」

2.「神の使命に従って生きる：すべての信者への挑戦」

1. マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2. ピリピ人への手紙 4:11-13 - 「私は貧しいことについて話しているのではありません。私は、どんな状況でも満足することを学んだからです。私は、どのように落ち込むかを知っており、どのようにして豊かになるかを知っています。「どんな状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。私を強めてくださる方を通して、私はすべてのことを行うことができます。」

1コリント7:18 割礼を受けて召された人がいるでしょうか。無割礼にならないようにしなさい。割礼を受けずに召されている人はいますか？彼に割礼を受けさせないでください。

パウロは、割礼を受けるように召された人々が割礼を受けないよう求められたり、割礼を受けないように召された人々が割礼を受けたりしてはならないと教えています。

1. 選択の力: コリント人へのパウロの教えを探る

2. 受け入れることの美しさ: 割礼に対するパウロの見方を理解する

1. ガラテヤ 5:6 - 「キリスト・イエスにあっては、割礼も無割礼も何の役にも立ちません。ただ、愛によって働く信仰が役に立ちます。」

2. ローマ人への手紙 2:25-29 - 「もしあなたが律法を守っているなら、割礼は本当に有益です。しかし、もしあなたが律法を破るなら、あなたの割礼は無割礼となります。したがって、もし無割礼が律法の義を守るなら、割礼はありません。」彼の無割礼は割礼とみなされるのですか? そして、本質的に無割礼であるのは、それが律法を満たしているのであれば、あなたを裁いてください、文字と割礼によって誰が律法に違反しているのですか? 彼はユダヤ人ではないので、外見的にはユ

ダヤ人ではありません。その割礼は、外面的な肉の割礼であるが、彼はユダヤ人であり、内面的にはユダヤ人であり、割礼は文字ではなく心の、霊の割礼であり、その賞賛は人からではなく神からのものである。」

1 コリント 7:19 割礼は何でもありませんし、割礼を受けていなくても神の戒めを守ることにほかなりません。

パウロはコリントの人々に、割礼は重要ではなく、神の戒めに従うことが重要であることを思い出させます。

1.「従順な人生を送る: 神の戒めを守る力」

2. 「割礼と非割礼の深い意味」

1. マタイ 22:35-40 - イエスは最も重要な戒めについて教える

2. 申命記 6:1-5 - シェマ: ユダヤ人の信仰の核心

1 コリント 7:20 すべての人は、自分が召されたときと同じ召しにとどまりなさい。

すべての人は、最初に任命されたときと同じ役割や仕事に留まるべきです。

1. 使命を守りなさい: 与えられた仕事に満足感を見出す

2. 自分の使命に忠実であり続けることの重要性

あなたが行こうとしているシェオルには、仕事も思考も知識も知恵もないからです。

2. ピリピ人への手紙 3:14 - 私はキリスト・イエスにおける神の上への呼びかけという賞を得るために、目標に向かって突き進んでいきます。

1 コリント 7:21 あなたは自分を召使と呼んだのですか。気にしないでください。しかし、もしあなたが自由になれるのなら、むしろそれを利用してください。

クリスチャンは奴隷状態から解放されるあらゆる機会を利用すべきです。

1. キリストの自由: 神の永遠の計画における私たちの立場を理解する

2. 選択の力: 自由への道を自分で見つける

1. ガラテヤ 5:1 - 「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださったのです。だからしっかり立ちなさい。奴隷のくびきに再び屈しないでください。」

2. イザヤ書 61:1 - 「主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせをもたらすために私に油を注がれたからです。主は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言するために私を遣わされました。縛られた者たちに刑務所を開放することだ。」

1 コリント 7:22 なぜなら、僕として主にあって召された者は、主の自由者であるからです。同様に、自由な者として召された者も、キリストの僕です。

この箇所は、主への奉仕に召された人々は、召使であるか自由であるかにかかわらず、最終的にはキリストに奉仕することになると説明しています。

1. キリストの僕である自由。

2. 主への奉仕に召されることの重要性。

1. ガラテヤ 5:1 - 「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださいました。したがって、毅然とした態度をとり、再び奴隷制のくびきに屈しないでください。」

2. ローマ 12:1 - 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたにお願いします。あなたがたの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたがたの霊的な礼拝です。」

1 コリント 7:23 あなたがたは代価を払って買われたのです。あなたがたは人間の僕ではないでください。

一節クリスチャンは、イエスの死の代価によって買われたのですから、人間の主人の奴隷になってはなりません。

1. 私たちは奴隷ではなく、キリストにあって解放された男女です

2. 私たちの贖いの高額な代償: イエスが私たちのために支払ってくださった金額

1. コロサイ 3:24-25 - そして、あなたがたが何をするとしても、人に対してではなく、主に対して行うように心から行いなさい。あなたがたは主からの相続財産の報いを受けることを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているからです。

2. マタイ 20:28 - 人の子が来たのは、奉仕されるためではなく、奉仕するためであり、多くの人のための身代金として自分の命を与えるためです。

1 コリント 7:24 兄弟たち、すべての人は、召された場所で、神とともに住みなさい。

信者は召された状態や使命に留まり、その中で神に仕えるべきです。

1. 自分の召しに忠実であり、神に仕える。

2. 神があなたを神に仕えるために置かれた場所を最大限に活用してください。

1. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。

2. ピリピ 4:13 - 私に力を与えてくださる方を通して、私はこのすべてを行うことができます。

1 コリント 7:25 さて、処女については、私には主の命令はありませんが、主の憐れみを受けて忠実になった者として、私の判断を述べます。

パウロはクリスチャンに対し、結婚の準備ができるまで独身でいることを勧めていますが、それは個人的な決断であることを認めています。

1. 「独身の賜物: 独身生活を送ることの祝福を理解する」

2. 「愛と結婚: あなたの人生に対する主の御心を見極める」

1. マタイ 19:12 「宦官の中には、母親の胎内からそのように生まれた者もいるからです。」

2. エペソ人への手紙 5:21-33 「神を恐れて互いに服従しなさい」。

人間にとって、そうあることが良いことだと私は言います。

使徒パウロは、現在の苦難に直面しているクリスチャンに、未婚でいることを勧めています。

1.「独身生活の祝福」

2.「神と共に生きることで得られる強さ」

1. マタイ 19:10-12 - 独身の祝福に関するイエスの教え

2. イザヤ書 41:10 - 神のうちに住む者に対する神の力の約束

1 コリント 7:27 あなたは妻と結ばれているのですか。緩められないように努めます。あなたは妻と別れたのですか？妻を求めないでください。

パウロはクリスチャンに、既婚者であれば結婚を続けるように、独身であれば独身のままでいるようアドバイスしています。

1. 結婚という賜物: 充実した人生のための神の計画

2. 独身：神だけの中に喜びと充実感を見出す

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - キリストと教会の反映としての結婚

2. マタイ 19:3-12 - 結婚と離婚に関するイエスの教え

1コリント7:28しかし、もしあなたが結婚したとしても、あなたは罪を犯したわけではありません。そして、処女が結婚しても、彼女は罪を犯していません。それにもかかわらず、そのような者は肉体的に困難を被るであろう。しかし、私はあなたを赦します。

結婚することは罪ではありませんが、問題を引き起こす可能性があります。

1. 潜在的な問題にもかかわらず、結婚は祝福である

2. 結婚を考えるときは神の知恵を求めましょう

1. 詩篇 127:3 - 見よ、子供たちは主からの相続物であり、子宮の実は報酬です。

2. 伝道の書 4:9 - 二人は一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労苦に対して良い報いがあるからです。

1 コリント 7:29 しかし、兄弟たち、私はこれを言います。時間は短いのです。妻がいる者は両方とも、妻がいないのと同じであることが残ります。

時間が短いので、妻がいる人は妻がいないふりをしてください。

1. 「今この瞬間を生きる：時間を最大限に活用する」

2. 「目的を持って人生を生きる: 最も重要なことを優先する」

1. ローマ人への手紙 13:11-14 - 悪い日が続いているので、時間を最大限に活用しましょう。

2. 伝道の書 3:1-8 - 天の下では、何事にも時があり、あらゆる活動に季節があります。

1コリント7:30 そして、まるで泣いていないかのように泣く人たち。そして、まるで喜んでいないかのように喜ぶ人たち。そして、まるで所有していないかのように買う人たち。

この一節は、世のものではなくこの世に生きることについて語っています。

1. 世界に属さずに世界に生きる

2. 主における満足と喜びを求めて努力する

1. コリント第二 6:14-18

2. ピリピ人への手紙 4:11-13

1 コリント 7:31 また、この世を悪用しないように利用する者たちです。この世の流行は過ぎ去ってしまうからです。

世界は一時的なものであり、悪用すべきではありません。

1. 現在を受け入れ、永遠に生きる

2. 人生のはかなさと備えの必要性

1. ヤコブ 4:14、「しかし、あなたがたは、明日何が起こるか知りません。あなたの人生は何のためにありますか？それは蒸気でさえ、少しの間現れて、そして消えていきます。」

2. マタイ 6:19-20、「自分のために宝を地上に積んではいけません。そこでは虫やさびが腐敗し、盗人が侵入して盗みます。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫もさびも腐敗しません。」そして泥棒が侵入したり盗んだりしない場所です。」

1 コリント 7:32 しかし、私は慎重にあなたを迎えたいと思います。未婚の人は主のものに気を配り、どうすれば主を喜ばせることができるかに気を配ります。

パウロは未婚の人たちに、世の心配ごとに押しつぶされずに主を喜ばせることに集中するよう勧めています。

1.「主のために生きる：未婚の信者への呼びかけ」

2. 「独身の祝福：主の御心に焦点を当てて」

1. ペテロ第一 1:13 - 「ですから、心に帯を締め、冷静になって、イエス・キリストの啓示によってもたらされる恵みを最後まで待ち望みなさい。」

2. マタイ 6:33 - 「しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。」

1 コリント 7:33 しかし、結婚している人は、どうすれば妻を喜ばせることができるか、世の事柄に気を配ります。

ポールは既婚者に対し、意思決定において配偶者のニーズを考慮するよう勧めています。

1. 意思決定においてパートナーを考慮することの重要性。

2. 配偶者のニーズを考慮して調和のとれた生活をする。

1. エペソ人への手紙 5:21-33: キリストへの畏敬の念から互いに服従しなさい。

2. コロサイ 3:18-19: 妻たちよ、主にふさわしいとおり、夫に従いなさい。

1コリント7:34 妻と処女の間にも違いがあります。未婚の女性は、体も霊も聖なるために主の事柄に気を配りますが、既婚の女性は世の事柄に気を配り、いかに夫を喜ばせるかに気を配ります。

この一節では、主への献身に関する既婚女性と未婚女性の違いが論じられています。

1.「主のために生きる 独身女の心」

2.「バランスを見つける：既婚女性の心」

1. 箴言31:10-31

2. マタイ6:33-34

1 コリント 7:35 私がこれを話すのは、あなたがた自身の利益のためです。それは、あなたがたに罠をかけるためではなく、あなたがたが気を散らすことなく主に侍ることができるようにするためである。

パウロは信者たちに、中断や気を散らすことなく主に仕えるよう勧めています。

1. 集中した礼拝の力: 気が散ることなく神に仕える方法

2. 気を散らすことなく神に仕える喜び

1. コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。

2. 詩篇 46:10 - 静かに、私が神であることを知りなさい。わたしは諸国民の間で高められ、地でも高められるだろう。

1 コリント 7:36 しかし、もし誰かが、自分の処女に対して失礼なことをしていると思うなら、彼女が年頃の花を過ぎて、その必要があるなら、自分の好きなようにさせてください、と思うなら、その人は罪を犯しません。彼らを結婚させてください。

ポールは、男性が未婚のパートナーに対して不適切な行為をしていると思う場合、彼女が結婚適齢期に達しているのであれば結婚すべきであり、それは罪とはみなされないとアドバイスしています。

1. 結婚の意味 - コリント人へのパウロのアドバイスを理解する

2. 正しい選択をする - 結婚に関するパウロの教えに従う

1. ヘブライ 13:4 - 結婚はすべてにおいて尊いものであり、床は汚れていません。しかし、売春婦と姦通者は神によって裁かれます。

2. エペソ人への手紙 5:21-33 - キリストへの畏敬の念から互いに服従する。

1 コリント 7:37 それにもかかわらず、心の中で堅く立ち、何の必要もなく、自分の意志を制御する力を持ち、処女を守ると心に決めた人は、うまく行っています。

は自分の意志で決めることなので、その決断を堅持するよう勧めています。

1. 自制の力: 独身でいることを選択することはいかに強さの行為であるか。

2. 独身の美しさ: 独身を受け入れ、その価値を認識する。

1. コリント人への手紙第 6 章 12-13 節「すべてのことは私にとって合法ですが、すべてのことが方便ではありません。私にとってすべてのことは合法ですが、私は何の支配下にも置かれません。」

2. ペテロ第一 5:8 - 「身を慎み、用心していなさい。あなた方の敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくされる者を求めて歩き回っているからです。」

1コリント7:38 ですから、彼女を結婚させる人は良いことをしているのです。しかし、結婚せずに彼女を与える人のほうがうまくいきます。

パウロは信者たちに、結婚を始める前に結婚の利点と欠点を考慮するよう勧め、結婚しない方がより有益である可能性があると示唆しています。

1. 「結婚しないことの利点」

2. 「正しい選択をする: 結婚が答えになるとき」

1. マタイ 19:12 - 「というのは、母の胎からそのように生まれた宦官もいるし、人の宦官にされた宦官もいるし、王国のために自分自身を宦官にした宦官もいるからだ。天の恵みです。それを受け取ることができる人は、それを受け取りましょう。」

2. テモテ第一 5:14 - 「ですから、私は若い女性たちが結婚し、子供を産み、家を指導し、敵対者に非難の言葉を言う機会を与えないようにします。」

1コリント7:39 妻は、夫が生きている限り律法に拘束されます。しかし、夫が亡くなった場合、彼女は誰と結婚するか自由です。主にあってのみ。

女性は、夫が生きている限り夫に束縛されますが、夫が亡くなった場合でも、主のうちにある限り、望む人と自由に結婚することができます。

1. 結婚における神への献身の重要性

2. 神への信頼によってもたらされる自由

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. マタイ 19:4-6 - 彼は答えました、「人間を最初から創造した方は、男と女に造って、『だから、人は父と母を離れて自分の命を堅く守るべきだ』と言ったということを読んだことがありませんか」妻、そして二人は一体となるだろうか？』したがって、彼らはもはや二人ではなく一体です。したがって、神が結合したものを人間が分離してはならない。」

1 コリント 7:40 しかし、私の裁きの後も彼女が生き残るなら、彼女はもっと幸せです。そして私はまた、私には神の御霊が宿っていると思います。

パウロは独身のクリスチャン女性にありのままでいることを勧めており、自分には神の御霊が宿っていると信じています。

1. 独身のクリスチャン女性の強さ

2. 神の励ましの霊

1. ローマ 8:26-27 - 同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきか分からないからですが、御霊ご自身が、言葉にならないうめきをもって私たちのために執り成しをしてくださるからです。

2. ペテロ第一 3:3-4 - 髪を整えたり、金を身に着けたり、立派な衣服を着たりするなど、装飾を単に表面的なものにしてはなりません。むしろ、穏やかな心の朽ちない美しさを持つ隠れた心の人となりなさい。そして静かな精神、それは神の目に非常に貴重なものです。

第一コリント 8 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の第 8 章です。この章では、パウロは偶像に捧げられた食べ物を食べるという問題について取り上げ、信者がこの問題にどのように取り組むべきかについての指針を示しています。

第 1 段落: パウロは、信者たちは偶像は本物の神ではなく、真の神はただ 1 人しかいないという知識を持っていることを認めることから始めます (1 コリント 8:4-6)。しかし、知識だけで傲慢になることは人を高慢にさせる可能性があるため、彼は警告しています(1コリント8:1-2)。偶像は何でもありませんが、かつて偶像崇拝者だった人の中には、今でも過去の関わりの影響を受けて、偶像に捧げられた食べ物を食べることを偶像崇拝への参加と考える人もいるかもしれない、と彼は説明しています（1コリント8:7-10）。パウロは、知識のある人たちに、弱い信仰者たちがつまずくのであれば、そのような食べ物を控えることによって、彼らに愛と思いやりを示すよう勧めています(1コリント8:9-13)。

第 2 段落: パウロは、知識だけでは人は神に近づくことも、神に受け入れられる者にもならないことを強調しています。彼は、真の知識には愛が伴い、それが他の人を霊的に築き上げると説明しています(1コリント8:1-3)。彼は、自分の自由や知識を他の人、特に信仰の弱い人たちのつまずきとして利用しないように警告しています(1コリント8:9-12)。むしろ、信者は個人の権利や好みよりも愛を優先すべきです。

第 3 段落: この章は、キリストの自己犠牲的な愛の模範に倣うよう信者に呼びかけて終わります。パウロは、自分自身の欲望や自由だけに焦点を当てるのではなく、自分の行動が他の人の霊的幸福にどのような影響を与えるかを考えるよう勧めています(1コリント8:13)。彼は、キリストの体の中の一致を保つために、進んで自由を制限するよう彼らに勧めています。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 8 章では、偶像に犠牲として捧げられた食べ物を食べるという問題が取り上げられています。パウロは偶像が本物の神ではないことを認めていますが、傲慢さを戒め、弱い信者に対する愛と配慮の重要性を強調しています。彼は知識のある人々に対し、他の人をつまずかせるような食べ物を食べるのを控えるよう勧めています。パウロは、真の知識には愛が伴うことを強調し、個人の自由を他人のつまずきとして利用しないように警告しています。彼は信者に対し、自己犠牲的な愛を優先し、自分の行動が信者仲間の霊的幸福に及ぼす影響を考慮するよう勧めています。この章では、愛、団結、個人の自由と実践に関連する事柄における他者のニーズを考慮することの重要性を強調します。

1 コリント 8:1 さて、偶像に捧げられたものに触れると、私たちは皆、知識を持っていることが分かります。知識は膨れ上がりますが、慈善活動は啓発されます。

知識は素晴らしいものですが、それには慈善心が伴わなければ、誇りになってしまう可能性があります。

1. 知識と慈善の力

2. プライドを超える愛の力

1. ローマ 12:9-10 愛は本物でありましょう。悪を憎む。良いものをしっかり持ちなさい。兄弟愛をもって互いに愛し合いましょう。名誉を示すという点でお互いに勝りましょう。

2. コロサイ 3:12-14 ですから、神に選ばれた者として、聖く愛される同情心、親切心、謙虚さ、柔和さ、忍耐力を身につけて、互いに忍び合い、もしお互いに不満があるなら許し合いましょう。;主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。そして何よりも、これらは愛を身に着けており、それがすべてを完璧な調和で結びつけます。

1 コリント 8:2 また、自分は何かを知っていると思っている人は、知るべきことをまだ何も知らないのです。

パウロはコリントの人々に謙虚になるよう警告しています。彼らは自分は何かを知っていると思っているかもしれませんが、実際には必要以上に知らないからです。

1. 謙虚さ: 真の知識への鍵

2. プライドが理解を妨げる

1. 箴言 11:2 - 高慢が生まれると恥も生まれるが、謙虚さがあれば知恵も生まれる。

2. ヤコブ 4:6 - しかし、神はさらに多くの恵みを与えてくださいます。したがって、「神は高ぶる者に反対するが、へりくだる者には恵みを与える」と書かれています。

1 コリント 8:3 しかし、神を愛する人は、その人についても同じことが知られています。

神を愛する信者は神に知られています。

1. 神を愛する大切さに焦点を当てた「神への心」。

2. 「神に知られている」。神がご自分を愛する人々をどのように知っているかに焦点を当てています。

1. ローマ人への手紙 8:27-29。聖霊がどのように私たちのために執り成してくださるか、そして神がどのように私たちの心を知っておられるかについて語られています。

2. 詩篇 139:1-4。これは、神が私たちをどのように親密にご存じであり、どこへ行っても私たちとともにおられることについて語っています。

1 コリント 8:4 したがって、偶像にいけにえとしてささげられたものを食べることに関して言えば、私たちは、偶像などこの世には何もなく、唯一の神以外に神は存在しないことを知っています。

パウロは、偶像など何もなく、神はただ一人であると教えています。

1: 私たちは、神は唯一であり、偶像など何もないことを認識しなければなりません。

2: 私たちは偽りの神や偶像に希望や信頼を置くのではなく、ただ唯一の真の神に焦点を合わせるべきです。

1: 申命記 32:39 - 「さあ、見なさい、私が、私自身が彼であり、私の隣に神はいないのです。私は殺し、生かします。私は傷を負い、私は癒します。そして私の手から救える者は誰もいない。」

2: イザヤ書 44:6-8 - 「イスラエルの王でありその救い主、万軍の主である主はこう言われます。『わたしは最初であり、わたしは最後である。私のほかに神はいない。私と同じ人は誰ですか？彼にそれを宣言させてください。わたしが古代の民を任命したのだから、彼にそれを宣言させ、わたしの前に立たせよう。これから何が起こるのか、何が起こるのかを彼らに宣言させましょう。恐れる必要はありません。私は昔からあなたに話し、宣言したことがありませんか？そしてあなたたちは私の証人です！私の他に神はいますか？ロックなど存在しない。私は何も知りません。」

1 コリント 8:5 天にも地にも、神と呼ばれる人たちがいます（神が多く、主も多いのと同じように）。

一節 パウロは、天にも地にも多くの神や主が存在することを認めています。

1. 主は何よりも優れています: 唯一の真の神のために生きる方法

2. 神の多様性を理解する: 聖書は他の神について何と言っているか

1. 詩篇 97:9 – 「主よ、あなたは全地の上に高くおられます。あなたはすべての神々よりはるかに高くおられます。」

2. 使徒 14:11-15 – 「そして、人々はパウロのしたことを見て、声を上げて、リュカオニアの演説でこう言いました。『神々は人間と同じ姿で私たちのところに降りてきたのです。そして彼らはバルナバをジュピターと呼んだ。そしてポール、メルクリウスは彼が主な講演者だったからです。それから、彼らの都市の前にいたユピテルの祭司が、牛と花輪を門のところに持ってきて、民と一緒に犠牲をささげたでしょう。使徒のバルナバとパウロはそのことを聞くと、衣服を裂いて人々の中に駆け込み、叫びながら言った、「先生、あなたたちはなぜこんなことをするのですか」。私たちもあなたたちと同じ情熱を持った者であり、あなたたちがこれらの虚

栄心から、天と地と海とそこにあるすべてのものを造られた生ける神に立ち返るべきだとあなたたちに説教します。」

1コリント8:6 しかし、私たちにとって神はただ一人、父であり、万物は父であり、私たちは神の中にいます。そして唯一の主イエス・キリスト、万物はこの方によって存在し、私たちは彼によって存在します。

万物の創造主である父なる神はただ一人であり、万物の救い主である主イエス・キリストもただ一人おられます。

1.「神とイエス・キリストの独自性」

2.「神とイエス・キリストの統一力」

1. エペソ人への手紙 4:4-6 - あなたが召されたのと同じように、からだも霊も一つです。それは、あなたが自分の召しに属する一つの希望、一つの主、一つの信仰、一つのバプテスマ、一つの神でありすべての父である方に召されたのと同じです。すべてにわたって、すべてを通じて、そしてすべてにおいて。

2. イザヤ書 45:22 - 「地の果てまで、わたしに立ち返って救われなさい。なぜなら、私は神であり、他に神は存在しないからです。

1 コリント 8:7 しかし、すべての人がそのような知識を持っているわけではありません。ある人々は、今でも偶像について良心を持っており、偶像に捧げられたものとしてそれを食べています。そして彼らの良心は弱く、汚れています。

パウロは、偶像に捧げられた食べ物を食べることの意味を誰もが知っているわけではなく、理解していない人は良心を汚している可能性があると警告しています。

1. 「良心が弱いとはどういう意味ですか?」

2. 「知識の力: 偶像に捧げられた食べ物を食べることの意味を知ることが、どのように良心を守るのに役立つのか」

1. ローマ人への手紙 14:21-23

2. テトス1:15-16

1 コリント 8:8 しかし、肉は私たちを神に導くものではありません。また、食べなくても、私たちはさらに悪いわけではありません。

この一節は、私たちが何を食べるかによって神の目から見て私たちが良くなったり悪くなったりするわけではない、と強調しています。

1. 私たちは何を食べるかによって判断されるのではなく、神の御心に従ってどのように人生を生きるかによって判断されます。

2. 神の目には、私たちの肉体的な行動は霊的な行動よりも重要ではありません。

物質的な支えよりもはるかに重要であることについてのイエスの言葉。

2. ガラテヤ 5:16-17 - 自分の欲望ではなく御霊に従うことの重要性についてのパウロの言葉。

1 コリント 8:9 しかし、あなたのこの自由が、弱い者たちのつまずきに決してならないように気をつけてください。

パウロはクリスチャンに対し、特定の問題における自由が弱い信者にとってつまずきとなる可能性があることを認識するよう警告しています。

1. 理解できない世界で自分の信仰を生きる

2. 私たちの証人の力: 他人に良い影響を与えるにはどうすればよいか

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛のうちに互いに忍び合い、聖霊の一致を維持することに熱心に、召された召しにふさわしく歩むこと。平和の絆。

2. マタイ 5:14-16 - あなたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。また、人々はランプに火をつけてかごの下に置くのではなく、スタンドの上に置き、家にいるすべての人に光を与えます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。

1 コリント 8:10 というのは、知識のあるあなたが偶像の神殿で食事をしているのを誰かが見たら、弱い人の良心は勇気づけられて、偶像に捧げられたものを食べるのではないだろうか。

偶像の神殿についての知識がある人は、その行為が良心の弱い人にどのような影響を及ぼす可能性があるかを知っておくべきです。

1. 他者への影響を考慮した愛の生活を送る。

2. 環境にかかわらずポジティブな影響を与える。

1. エペソ人への手紙 4:32 - キリストによって神があなたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。

2. ガラテヤ 5:13-14 - 私の兄弟姉妹たち、あなたがたは自由になるために召されました。しかし、肉を楽しむために自分の自由を利用しないでください。むしろ、愛をもって謙虚に互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」というこの一つの命令を守ることによって成就されるからです。

1 コリント 8:11 そして、あなたの知識によって、弱い兄弟は滅びるでしょう、キリストは誰のために死んだのですか？

一節パウロは、たとえキリストが彼らのために死んだとしても、知識が弱い兄弟の霊的破滅につながるのではないかと疑問を呈しています。

1. 知識の力: 知りすぎはどのようにして精神的な破壊につながるのか

2. 贖いの代償：私たちを霊的滅びから救うためにイエスが支払った代償

1. ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物において、神の愛から私たちを引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエス。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためであるからです。

1 コリント 8:12 しかし、あなたがたが兄弟たちに対してそのように罪を犯し、彼らの弱い良心を傷つけるなら、あなたがたはキリストに対して罪を犯していることになります。

パウロはコリント人に、仲間の信者に対して罪を犯すとき、キリストに対しても罪を犯していることになると警告しています。

1. 私たちの行動は重要です: 他者に対して罪を犯した場合の結果

2. 弱い良心: 私たちの行動が弱い立場にある人々にどのような影響を与えるか

1. ヤコブ 4:17 - したがって、正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとってそれが罪です。

2. マタイ 18:6-7 - 「もし誰かが、これらの小さな者たち、つまりわたしを信じる者たちをつまずかせるなら、大きな石臼を首に掛けられて深みに沈んだほうがマシです」海の。

1 コリント 8:13 ですから、肉を食べて兄弟を怒らせるなら、兄弟を怒らせないように、世界が続く間は私は肉を食べません。

パウロはクリスチャンたちに、自分の行動と、それがキリストにある兄弟姉妹たちにどのような影響を与えるかに留意し、つまずきの原因となる可能性のあることは控えるよう勧めています。

1. 思いやりのある人生を送る：自己犠牲を通して愛を実践する

2. 自己否定の力: 他人の利益のために自分を抑制する

1. エペソ人への手紙 4:2-3 – 「あらゆるへりくだりと柔和さをもって、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合いなさい。平和の絆の中で御霊の一致を保つよう努めています。」

2. コロサイ 3:14-15 – 「そして、これらのことは何よりも、完全さの絆である慈善を身につけます。そして、神の平安があなたがたの心の中に支配されるようにしなさい。あなたがたもまた、その平和に一つの体として招かれているのである。そして感謝しなさい。」

第一コリント9章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の第9章です。この章では、パウロは自分の使徒職を擁護し、使徒としての権利について議論し、福音のために個人的な特権を放棄する意欲を強調しています。

第 1 段落: パウロは、使徒としての権威を主張し、コリント人からの支援を受ける権利を擁護することから始めます (1 コリント 9:1-3)。彼は、兵士、農民、神殿で奉仕する人々など、仕事の対価を受け取る権利のある例を挙げながら、この主張を裏付ける論拠を示しています(1コリント9:4-14)。しかし、彼は、彼らに経済的な義務を課したり、妨げたりしないようにするために、彼らの間でこの権利を利用しなかったと説明しています（1コリント9：12）。代わりに、彼は個人的な利益を追求することなく、自発的な奉仕として福音を宣べ伝えることに頼ることを選択しました。

第 2 段落: 次にパウロは、福音のメッセージをさまざまなグループに伝えるために、さまざまな文化的背景に自分自身をどのように適応させているかについて説明します。神はすべての人々にとって「すべてのもの」となられるので、可能な限り何人かが救われるようになります(1コリント9:19-23)。彼は、自分は自由であり、使徒としての権利を持っているが、他人の救いのためにそれらの権利を喜んで放棄することを強調します。彼の最終的な目標は、人々をキリストに導き、霊的な祝福を分かち合うことです。

第 3 段落: この章は、信仰のレースを走る上での自己規律と忍耐の呼びかけで終わります。パウロはスポーツのイメージを使って、信者がどのように霊的に自分自身を訓練し、朽ちない賞を目指して努力すべきかを説明しています（1コリント9:24-27）。彼は彼らに、目的もなく走ったり、空を叩く人のように戦ったりするのではなく、むしろ神の目的を効果的に果たせるように自分の体を鍛錬し、コントロール下に置くよう勧めています。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 9 章は、パウロが自分の使徒であることを擁護し、福音のために個人的な特権を放棄することに焦点を当てています。彼は支援を受ける権利を主張しているが、コリント人たちに負担をかけないようにするために、この権利を行使しないことを選択したと説明している。パウロは、さまざまなグループに福音のメッセージを伝えるために、さまざまな文化的背景に自分自身を適応させ、人々をキリストに導くという目標を強調しています。彼は、精神的なトレーニングと自分の体をコントロールする必要性をスポーツのイメージを使って説明し、自己規律と忍耐力を呼び掛けています。この章では、パウロの犠牲的な考え方福音を広めるための献身、そして神の目的に奉仕する際の自己規律の重要性を強調しています。

1コリント9:1 私は使徒ではないでしょうか？私は自由ではないのですか？私たちの主イエス・キリストを見たことがありませんか？あなたがたは主にあってわたしの働きではないのか。

使徒パウロはコリント人に、自分は使徒なのか、自由なのか、イエス・キリストを見たことがあるのか、そしてコリント人への奉仕は主における彼の働きなのかと尋ねています。

1. 神の子である自由

2. 主に仕える祝福

1. ヨハネ 8:36 - ですから、御子があなたを自由にしてくれるなら、あなたは確かに自由になるでしょう。

2. ガラテヤ 5:13 - 私の兄弟姉妹たち、あなたがたは自由になるために召されました。しかし、肉を楽しむために自分の自由を利用しないでください。むしろ、愛をもって謙虚に互いに仕えなさい。

1 コリント 9:2 たとえ私が他の人にとっては使徒ではないとしても、あなたがたにとっては疑いもなく使徒です。なぜなら、あなたがたは主にあって私の使徒であるからです。

パウロは、自分がコリント人への使徒であり、コリント人が使徒であることの証拠であると述べています。

1. 神は私たちにさまざまな方法で奉仕するよう呼びかけています。コリント人への手紙はパウロが使徒であることの証拠でした。

2. 私たちは皆、福音の奉仕者であり、神の恵みの証人となる責任があります。

1. ローマ人への手紙 1:16 - 私は福音を恥とはしません。福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。

2. ペテロ第一 2:9 - しかし、あなたがたは選ばれた民族であり、王の祭司職であり、聖なる国民であり、ご自身の所有物である民であり、あなたを暗闇からその驚くべき光の中に召してくださった神の優秀さを宣べ伝えるためのものです。

1コリント9:3 私を調べようとする者たちに対する私の答えはこうです。

この箇所は、教会から支援を受ける権利についてパウロに質問した人々に対するパウロの答えを語っています。

1. 説教者をサポートすることの重要性

2. ポールの答えから学べること

1. ローマ人への手紙 15:27 - ?やあ、喜んでやりました、そして確かに彼らにはそれをする義務があります。なぜなら、異邦人が霊的な祝福にあずかるために来たのなら、物質的な祝福においても彼らに奉仕すべきだからです。

2. コリント人への第二の手紙 11:7-9 - ?私は神を宣べ伝えたからといって、あなたが高められるように自分を低くしたという罪を犯したでしょうか？無料であなたに福音を伝えますか？私はあなたに仕えるために他の教会から支援を受け入れて略奪しました。そして、私があなたたちと一緒にいて、困っていたとき、私は誰にも負担をかけませんでした。マケドニアから来た兄弟たちが私の必要を満たしてくれたからです。だから、私はあなたにいかなる形でも負担をかけることを控えまし

た、そしてこれからも控えます。

1 コリント 9:4 私たちには食べたり飲んだりする力がないのでしょうか。

この一節は、使徒パウロが教会から経済的援助を受ける権利を行使したことについて論じています。

1. 私たちの権利の力 - 他者に奉仕するために私たちの権利をどのように活用できるかを探ります。

2. 愛から奉仕する - サポートを受ける権利があるにもかかわらず、なぜ私たちが他者に奉仕するのかを理解します。

1. ピリピ人への手紙 2:3-4 - ?決して利己的な野心や無駄なうぬぼれからではありません。むしろ、謙虚に自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、お互いの利益に目を向けてください。

2. マタイ 6:2-4 - ?貧しい人たちに寄付をするときは、偽善者たちが他の人たちに栄誉を与えようとしてシナゴーグや街頭で行うように、ラッパで知らせてはいけません。真実に言いますが、彼らは報酬を全額受け取りました。しかし、困っている人に寄付をするときは、あなたの寄付が秘密になるように、右手がしていることを左手に知らせないでください。そうすれば、秘密裏に行われたことを見たあなたの父があなたに報酬を与えるでしょう。

1 コリント 9:5 私たちには、他の使徒たちと同様に、姉妹や妻、また主やケファの兄弟たちとして、導く力がないのでしょうか。

パウロは、自分や他の使徒たちが、イエスやペテロの兄弟のように、旅行に妻や姉妹を連れて行くことが許されるかどうか疑問に思っています。

1.？私たちの旅を導くodの力??

2.？忠実な仲間のサポート??

1. 創世記 2:18-24、神は男性の伴侶として女性を創造されました。

2. 箴言 18:24、多くの友を持つ人は滅びるかもしれない、しかし兄弟よりも寄り添う友がいる。

1 コリント 9:6 それとも、私とバルナバだけが、仕事を我慢する力を持っているのではないでしょうか。

この箇所は、パウロとバルナバには働かずに教会の支援を受ける権利があったことを示しています。

#1: 私たちは皆、必要なときに教会の家族からサポートを受ける権利を持っています。

#2: 神は私たちに、必要なときに生き残るための資源を提供してくださいます。

#1: ガラテヤ 6:2 - 互いに重荷を負い、キリストの律法を全うしましょう。

#2: ピリピ 4:19 - しかし、私の神は、栄光の富に応じて、キリスト・イエスによってあなたの必要をすべて満たしてくださいます。

1 コリント 9:7 いつでも自分の責任で戦争をする人がいるでしょうか。ブドウ畑を植えながら、その果実を食べない人がいるだろうか？あるいは、群れに餌を与えながら、群れの乳を食べない人がいるだろうか？

パウロは、主に仕えるときに経済的に備えられることの重要性を強調するために、修辞的な質問をしています。

1. 奉仕活動に対する財政的支援の重要性

2. 誠実に神に仕える: それはどのようなものですか?

1. 申命記 25:4 - ?穀物を踏み出す牛に口輪を付けてはいけません。

2. ルカ 10:7 - ?労働者は賃金を受け取る権利があるので、その家にいて、彼らが提供するものを食べたり飲んだりしてください。

1 コリント 9:8 私が人間としてこれらのことを言うでしょうか。それとも法律も同じではないでしょうか？

パウロは、他のすべての人に適用されるのと同じ法則が自分にも適用されると主張します。

1. 私たちはパウロの模範から学び、すべての人に適用される同じ法律に従うことを忘れないでください。

2. たとえ権威ある立場にあるときでも、他の人たちと同じ法律を遵守することを忘れないようにしてください。

1. マタイ 22:16-21 - イエスは聞き手に、神の律法はすべての人に従うべきであることを思い出させます。

2. ヤコブ 2:10-11 - ヤコブは、すべての人を平等に扱い、差別しないことの重要性を信者に思い出させます。

1コリント9:9 モーセの律法には、「トウモロコシを踏み出す牛の口に口輪をくわえてはならない」と書いてあるからです。神様は牛の世話をしてくれるでしょうか？

パウロは旧約聖書からの引用を用いて、神は被造物を含め動物さえも気にかけておられるので、福音を宣べ伝える人々が経済的に支援されるのは適切である、と主張しています。

1. 神は気にかけておられる: コリント人への手紙第一 9:9 の探求

2. モーセの律法: 1 コリント 9:9 の文脈の検討

1. 詩篇 147:9 - 「彼は獣に食べ物を、そして鳴く若いカラスに与えます。」

2. マタイ 10:9-10 - 「財布の中に金も銀も真鍮も用意してはならない。旅の必需品も用意してはならない。上着も靴も杖も二枚も用意してはいけない。職人にはその肉に値するからだ。」

1 コリント 9:10 それとも、それはすべて私たちのためだと彼は言ったのでしょうか。私たちのために、疑いなく、こう書かれています。耕す者は希望を持って耕すべきである、と。そして希望に脱穀する者はその希望にあずかるべきである。

パウロは、神が私たちのために聖書にいろいろなことを書いてくださったのは、私たちが希望を持ち、その希望にあずかることができるようにするためであると説明しています。

1. 主の希望: 神の約束に頼る方法

2. 希望の心を育む：困難な時代に信仰を育てる

1. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待するでしょうか？しかし、目に見えないものを望むなら、私たちはそれを忍耐強く待ちます。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

1コリント9:11 もし私たちがあなたがたに霊的なものを蒔いたのなら、肉的なものを刈り取ることができたら、それは素晴らしいことでしょうか。

パウロは、教会の指導者が教会のために行っている活動に対して経済的援助を受けるのは間違っているのかと尋ねています。

1. 教会で与えることと受け取ることの祝福

2. キリストの体における管理の重要性

1. コリント人への第二の手紙 9:7 - 「人はみな、心の中で思っているとおりに、与えなさい。しぶしぶとか、必然的にではなく、神は喜んで与える人を愛してくださるからです。」

2. マタイ 10:8-10 - 「病人を癒し、らい病人を清め、死者をよみがえらせ、悪霊を追い出しなさい。あなたがたは無償で受け取ったのですから、無償で与えなさい。財布の中に金も銀も真鍮も入れてはいけません。旅の必需品、二枚の上着も靴も杖も持たないでください。職人にはその肉に値するものがあるからです。」

1 コリント 9:12 もし他の人があなたに対するこの力にあずかるなら、私たちもむしろそうではないでしょうか。それにもかかわらず、私たちはこの力を使っていません。しかし、キリストの福音を妨げないように、すべてのことを耐えなさい。

パウロはコリントの人々に、自分の権威を彼らに対して行使しようとしたのではなく、キリストの福音が妨げられないようにするために苦しむことを選んだのだと思い出させています。

1. 自己犠牲の力: パウロの例

2. 自己を与える人生の報酬

1. ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2. ローマ人への手紙 12:10 - 「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。敬意を示すことにおいては互いにしのぎなさい。」

1 コリント 9:13 あなたがたは、聖なる事柄について奉仕する者たちが神殿の事柄で生きていることを知らないのですか。祭壇で待っている人たちは祭壇にあずかる者なのでしょうか？

教会で奉仕する人には神殿から食料が与えられます。

1. 神が教会で奉仕する人々にどのように報われるかを理解する

2. 神の王国で奉仕することの祝福

1. マラキ書 3:10 - ?私の家に食べ物があるように、十分の一の全額を倉庫に鐘を鳴らしてください。そして万軍の主はこう言われます、もし私があなたのために天国の窓を開け、必要がなくなるまであなたに祝福を注ぎ込まないのなら。

2. ヘブライ人への手紙 13:17 - ?彼らは責任を負う者として、あなたの魂を見守っているのですから、指導者たちを信じて服従してください。彼らにこれをうめき声ではなく、喜んでやらせてください。それはあなたにとって何のメリットもありません。

1 コリント 9:14 また、主は、福音を宣べ伝える者たちが福音に従って生きるようにと定められました。

主は福音を宣べ伝える者が福音によって支えられるようにと定められました。

1. 福音宣教者に対する主の祝福

2. 福音伝道者の責任

1. マタイ 10:7-8 - そして、次のメッセージを宣言してください。天国は近づいた。??8 病人を癒し、死者を蘇らせ、らい病の人を清め、悪霊を追い出しなさい。あなたは無償で受け取りました。自由に与えます。

2. コリント人への第二の手紙 9:8 - そして、神はあなたを豊かに祝福してくださいます。その結果、あなたは、いつでも、あらゆることにおいて、必要なものをすべて備え、あらゆる良い行いを豊かに行うことができるようになります。

1 コリント 9:15 しかし、私はこれらのことを何も使っていません。また、私がそうされるようにと書いたこともありません。なぜなら、誰かが私の栄光を無効にするよりは、死んだほうが私にとって良いからです。

パウロは、使徒としての権利を経済的利益を得るために利用しなかった、それは神に対する彼の誇りを無効にすることになるからである、と主張しています。

1. 自慢を無駄にしないでください: コリント人への手紙第一 9:15

2. 自己犠牲の価値: コリント第一 9:15 の A

1. ピリピ人への手紙 2:5-8 - 「キリスト・イエスにもあったこの思いを、あなたの中に持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿をしていながら、神と同等であることは強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たなかったのです。そして召使の姿をとり、人間に似せて造られた。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になった。」

2. コリント人への第二の手紙 12:9 - 「そして彼は私に言った、『わたしの恵みはあなたには十分です。わたしの力は弱さの中でこそ完全にされるからです。ですから、わたしはキリストの力が拠り所となるように、むしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います』自分。"

1 コリント 9:16 わたしは福音を宣べ伝えていますが、誇るべきものは何もありません。そうです、私が福音を宣べ伝えないとしたら、私にとっては災いです。

パウロは福音を宣べ伝える必要性について語り、もし福音を宣べ伝えなかった場合の悲惨さを表明しています。

1. 「必要に応じて生きる：福音を宣べ伝える」

2.「神への従順：福音を宣べ伝える」

1. ローマ人への手紙 1:14-16 - 「私はキリストの福音を恥とは思っていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力であり、まずユダヤ人、そしてギリシャ人にも救いをもたらすからです。そこには次のようなことが書かれているからです」「神の義は、信仰から信仰へと啓示される。書かれているとおり、義人は信仰によって生きる。なぜなら、神の怒りは、不義の中に真理を保つ人間のあらゆる不敬虔と不義に対して天から啓示されるからである。」

2. ヨハネ第一 4:19 - 「私たちが彼を愛しているのは、彼が最初に私たちを愛してくださったからです。」

1 コリント 9:17 なぜなら、私がこのことを喜んで行うなら、私には報いがあるからです。しかし、私の意志に反して、福音の摂理が私に託されるからです。

この箇所は、たとえそれが選択ではなく義務であっても、福音を宣べ伝えるパウロの意欲を語っています。

1. 意欲の力: 義務を最大限に活用する方法

2. 義務に関する新たな視点: 自分の使命を受け入れる

1. マタイ 28:19-20 「だから、行って、すべての国々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」」

2. ローマ人への手紙 1:14-16 「私はギリシア人に対しても野蛮人に対しても、賢い人にも賢くない人にも負い目があります。ですから、私は自分の中にある限り、ローマにいるあなたがたに福音を宣べ伝えるつもりです。」なぜなら、キリストの福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。」

1コリント9:18 それでは、私の報酬は何でしょうか？それは、私が福音を宣べ伝えるとき、無償でキリストの福音を伝えるためであり、福音において自分の権力を乱用しないためです。

パウロは、福音を宣べ伝えるとき、料金や見返りを求めていないと説明しています。

1. 福音の力: 愛がもたらすもの

2. 福音を宣べ伝える: すべての人への無料の贈り物

1. コリント第一 13:4-7 - 愛は忍耐強く、愛は親切です。妬まない、自慢しない、誇りに思わない。他人の名誉を傷つけず、利己的でもなく、簡単に怒らず、不正行為の記録も残さない。愛は悪を喜ばず、真実を喜びます。それは常に守り、常に信頼し、常に希望し、常に耐えます。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神

が御子を世に遣わされたのは、世を非難するためではなく、御子を通して世を救うためだったからです。

1 コリント 9:19 というのは、私はすべての人から自由であるにもかかわらず、より多くのものを得るために、すべての人に仕えてきたからです。

パウロは、自分はすべての人から自由であるにもかかわらず、より多くのものを得るため、自分をすべての人に仕える者となったと宣言しました。

1. 他者に仕える力: コリント第一 9:19 のパウロの模範を理解する

2. 奉仕を通じて自由を見出す: コリント人への手紙第一 9:19 のパウロの言葉が教えてくれること

1. ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2. マタイ 20:25-28 - 「イエスは彼らを呼び集めて言われた、『あなたが知っているように、異邦人の支配者たちは彼らを支配し、その高官たちは彼らに対して権威を行使しています。あなた方はそうではありません。代わりに、望む者は誰でもそうすることができます。あなたがたの間で偉くなる者はあなたの僕でなければならず、一番になりたい人は誰でもあなたの奴隷でなければなりませんか？人の子が仕えられるために来たのではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を捧げるために来たのと同じです。」」

1 コリント 9:20 そして、ユダヤ人に対して、私はユダヤ人としてユダヤ人になったのです。律法の下にある者たちに、律法の下にあるように、私が律法の下にある者たちを得るために。

ポールはより多くのフォロワーを獲得するために、聴衆に合わせてメッセージを調整しました。

1. メッセージを視聴者に合わせて調整する

2. 福音をさまざまな人々に伝える

1. ローマ人への手紙 12:2 ?この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられ、テストによって何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるかを識別できるようになります。

2. マタイ 9:36-38 ?群衆を見て、彼は彼らに同情しました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のように、嫌がらせを受け、無力だったからです。それから彼は弟子たちに言った、収穫は豊富だが、働き手は少ない。したがって、収穫の主に労働者を派遣してくださるよう熱心に祈ってください。ユーロ?

1 コリント 9:21 律法を持たない人々に対して、律法を持たない者と同じように（神に対して律法がないのではなく、キリストに対して律法の下にあるのです）、律法を持たない人たちを得るためにです。

パウロは、律法を持たない人々に手を差し伸べるためには、律法のない人として行動するつもりだが、それでもキリストの律法の下にあると説明しています。

1. 手を差し伸べることを学ぶ: コリント第一 9:21 のパウロの例

2. 他の人に手を差し伸べるための備えを整える: コリント人への手紙第一 9:21 のキリストの律法の下で生きる

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、信じていない神をどうして呼び求めることができるでしょうか。そして、彼らは聞いたこともない神をどうやって信じることができるでしょうか？そして、説教者なしではどうやって彼らは聞くことができるでしょうか？

15 また、遣わされなければ、どうやって宣べ伝えることができるでしょうか。書かれているとおり：平和の福音を説く人々の足はなんと美しい、誰が良い知らせをもたらすのか! ??

2. コロサイ 4:5-6 - 外にいる人たちに向かって知恵をもって歩み、時間を救います。6 それぞれの質問にどのように答えるべきかを知るために、あなたのスピーチは常に優雅で、塩味を加えてください。

1 コリント 9:22 わたしは、弱い者を得るために、弱い者に対して、弱い者となった。わたしがすべての人に対して、万物を与えられたのは、どうしても一部の人を救うためである。

パウロは信者たちに、一部の人を救うためにすべての人にとってすべてとなるよう勧めています。

1. 適応力: あらゆる階層の人々にアプローチする方法

2. 知恵と慈悲：すべての人を愛せよというパウロの呼びかけ

1. マタイ 5:44-45 - 「しかし、わたしはあなたたちに言います。敵を愛し、あなたたちを迫害する者たちのために祈りなさい。そうすればあなたたちは天におられるあなたたちの父の子となります。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

1 コリント 9:23 私がこれを行うのは、福音のためであり、あなたがたとともに福音にあずかるためにです。

パウロは、コリントの人々とともに福音に参加できるように福音のために働くことについて話しています。

1. 共通の目的の力: 福音のために協力する

2. 福音のために働く: パウロの献身の模範

1. ピリピ人への手紙 2:5-7 「この心を持ちなさい。キリスト・イエスは、神の姿でありながら、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分を無にしました。召使いの姿をとり、人間と同じように生まれてきたのだ。」

2. コロサイ 1:28-29 「私たちはキリストを宣べ伝え、すべての人に警告し、知恵を尽くしてすべての人に教えます。それは、すべての人がキリストにあって成熟するようにするためです。このために私は労苦し、神が私の内に力強く働いてくださっているすべてのエネルギーを費やして苦労しています。」

1 コリント 9:24 あなたがたは、競走に参加する人は全員走っても、賞を受け取るのは一人であることを知らないのですか。それで、あなたがたが手に入れることができるように、走ってください。

聖書は、賞を獲得できるのは 1 人だけなので、あらゆることにおいて卓越性を目指して努力するよう私たちに勧めています。

1.「卓越性の追求：賞を目指して」

2.「クリスチャンレース: 勝つために走れ」

1. ピリピ 3:14 - 私は、神がキリスト・イエスにあって私を天に召してくださった賞を勝ち取るという目標に向かって突き進んでいきます。

2. ヘブライ 12:1 - ですから、私たちはこれほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、妨げとなるすべてのものと、いとも簡単に絡まる罪を捨て去ろうではありませんか。そして、私たちにとって特徴的なレースを粘り強く走りましょう。

1 コリント 9:25 そして、自分を極めようと努力する人は皆、何事においても節度を持っています。今、彼らは腐敗しやすい王冠を得るためにそれを行っています。しかし、私たちは朽ちない者です。

パウロはクリスチャンに、この世からの朽ちない冠ではなく、神からの朽ちない冠を求めて努力しているので、自分を極めようと努力し、何事においても節制するよう勧めています。

1.「レースに勝つ: 節制してマスターを目指す」

2.「純潔の賞：不朽の王冠」

1. コリント人への第一の手紙 10:31 - 「ですから、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、あるいは何をするにも、すべて神の栄光のためにしなさい。」

2. マタイ 5:8 - 「心の清い人たちは幸いです。彼らは神を見るでしょう。」

1 コリント 9:26 ですから、私はそれほど不安なく走ります。だから私は、空気を打ち負かす者としてではなく、戦います。

パウロは、無意味な行動にエネルギーを浪費せず、目的のある目標に向かって努力することの重要性を強調しています。

1. 神は私たちを卓越性への呼びかけ - 意図的に生きる力

2.ドン？リスクを取ることを恐れる- 自分の使命を遂行する勇気

1. マタイ 5:14-16 - あなたは世の光です。

2. 伝道者の書 9:10 - あなたの手にやりたいことがあるなら、力を尽くしてそれを行いなさい。

1コリント9:27 しかし、私は自分の体をしっかりと守り、服従させます。他の人に宣べ伝えたときに、私自身が漂流者になることがないようにするためです。

パウロは、他の人に福音を宣べ伝えた後に漂流者にならないように、自分の体を制御し、服従させ続けるようにと自分に言い聞かせています。

1. 服従の規律

2. 自制の力

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制です。これらを禁じる律法はありません。

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたは自分の体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとして捧げてください、それがあなたがたの当然の奉仕です。そして、この世に順応するのではなく、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして変えられなさい。

第一コリント 10 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 10 章です。この章では、パウロは荒野でのイスラエル人の経験について言及し、彼らの歴史から教訓を引き出してコリントの信者に指針を与えます。

第 1 段落: パウロは、コリントの人々に、彼らの霊的遺産と、彼らの先祖たちが神の臨在に導かれ、奇跡を経験したにもかかわらず、どのようにして偶像崇拝と不道徳に陥ったかを思い出させることから始めます (1 コリント 10:1-7)。イエスは彼らに自信過剰にならないように警告し、これらの例から学び、同様の罪に陥らないように勧めています(1コリント10:11-12)。パウロは、信仰者が誘惑に耐えられるように、神は誘惑に直面したときに逃げ道を備えてくださっていることを強調しています(1コリント10:13)。

第 2 段落: パウロは偶像に捧げられた食べ物を食べる問題について議論しています。彼は、偶像には現実の存在がないことを認めていますが、偶像崇拝の行為に参加することは他人を迷わせたり、自分の良心を傷つけたりする可能性があるため、警告しています(1コリント10:14-22)。彼は信者たちに、異教の儀式に従事

するのではなく、偶像崇拝から逃げ、キリストとの交わりの手段として聖体拝領に参加するようアドバイスしています（1コリント10:16-17）。

第 3 段落: この章は、非信者と交流するための実践的な指示で終わります。パウロは、誰かが偶像崇拝との関連を特に指摘しない限り、市場で売られているものは何でも、その起源を問うことなく自由に食べるよう信者に勧めています（1コリント10:25-26）。しかし、誰かが偶像に食べ物が捧げられたことを彼らに知らせた場合、彼らは良心のために、そして自分の利益のためではなく他人の霊的福祉のためにそれを食べるのを控えるべきです(1コリント10:27-30)。彼は信者に対し、不必要に攻撃を加えたり、他人の信仰を妨害したりせず、むしろすべての人々に対する愛の姿勢を維持しながら伝道の機会を求めるようアドバイスしています。

要約すると、コリント人への手紙第一の 10 章は、イスラエル人の荒野での経験から教訓を引き出し、コリントの信者に指針を与えています。パウロは自信過剰を戒め、先祖の失敗から学ぶよう勧めています。彼は誘惑から逃れる道を備えてくださった神の忠実さを強調し、信者たちに偶像崇拝から逃げるよう勧めています。パウロは偶像に犠牲として捧げられた食べ物を食べることの問題に言及し、良心のために注意し、他の人の霊的福祉を考慮するよう勧めています。彼は信者たちに、自由に日常生活に参加するが、自分や他人の信仰を傷つけたり、傷つけたりすることに注意するよう教えています。この章は、歴史から学び、偶像崇拝を避け、信者と非信者の両方との交流において愛と配慮を働かせることの重要性を強調します。

1 コリント 10:1 さらに、兄弟たち、私たちの先祖がみな雲の下にいて、みな海を通ったということを、あなたがたが知らないであってほしくありません。

パウロはコリントの人々に、彼らの先祖たちが神の保護と導きをどのように経験したかを思い出させます。

1. 神の民に対する忠実さ - イスラエル人は神の保護と導きをどのように経験したか

2. リマインダーの力 - 他人を励ますパウロの例から学ぶ

1. 出エジプト記 13:21-22 - 主は、昼は雲の柱となって道を導き、夜は火の柱となって彼らに先を行き、彼らに光を与え、昼も夜も行かれた。

2. 申命記 1:30-31 - あなたに先に行かれるあなたの神、主ご自身が、あなたの目の前のエジプトで、また荒野であなたのためにされたように、あなたのために戦ってくださいます。あなたがこの場所に来るまでずっと、人が息子を運ぶように、神はあなたを運んでくれました。

1コリント10:2 そして皆、雲と海の中でモーセにバプテスマを受けました。

この一節は、イスラエル人が雲と海を通過したときにどのようにしてモーセへのバプテスマを受けたかを説明しています。

第1回：信仰生活を生きる～神とともにどうやって踏み出すか～

2 : 従順の力 - 神の計画を信頼することを学ぶ

第一：ヘブライ人への手紙 11:1-2 - さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。

2 : マタイ 14:22-23 - すぐにイエスは弟子たちを舟に乗らせ、ご自分より先に向こう岸へ行かせ、その間に群衆を追い去らせました。そして群衆を送り出すと、イエスは祈るために一人で山に登られた。

1 コリント 10:3 そして、すべての人が同じ霊的な肉を食べたのでしょうか。

この箇所は、皆がどのようにして同じ霊的な肉を食べたかについて語っています。

1. 私たちの生活における精神的な栄養の重要性。

2. 私たちは皆、同じ霊的な糧を得ることができます。

1. ヘブライ 5:14 しかし、固形食品は成人した人、つまり、使用目的によって善悪を識別できる感覚を働かせている人のものです。

2. 詩篇 34:8 ああ、主が善良であることを味わいなさい。彼に避難する人は幸いです！

1 コリント 10:4 そして、皆は同じ霊的な飲み物を飲みました。彼らは、自分たちについてきたあの霊的な岩を飲んだからです。そして、その岩はキリストでした。

この箇所は、イスラエル人が彼らについてきた霊的な岩から水を飲んだこと、そしてその岩がキリストであったことを説明しています。

1. 神はご自分の民に糧と導きを与えてくださいます。

2. イエスは私たちの霊的な岩であり、私たちに力と安定を与えてくれます。

1. 詩篇 18:2 - 主は私の岩であり、砦であり、私の救出者です。私の神、私の強さ、私は誰を信頼します。私の盾と私の救いの角、私の砦。

2. イザヤ書 26:4 - 永遠に主を信頼しなさい。主であるヤアには永遠の力があるからです。

1 コリント 10:5 しかし、彼らの多くは神に喜ばれませんでした。彼らは荒野で倒されたからです。

第一コリント 10 章 5 節には、イスラエル人の多くが神を不快にし、荒野で成功しなかったことが明らかにされています。

1. 失望の克服: イスラエル人から学ぶ??荒野での失敗

2. 信仰の成長: 神に従わない場合の結果を理解する

1. 出エジプト記 16:2-3 ?すると、イスラエルの子らの全会衆が荒野でモーセとアロンに対してつぶやきました。するとイスラエルの子らは彼らに言った、「私たちがそばに座っていたとき、エジプトの地で主の手によって死んでいればよかったのに」肉鍋、そしてパンをお腹いっぱい食べたとき。というのは、あなたがたは、この集会全体を飢えで殺すために、私たちをこの荒野に連れ出したからです。

2. 申命記 8:2-3 ?そして、あなたの神、主がこの四十年間荒野であなたを導いて、あなたを謙虚にし、あなたを証明し、あなたの心に何があるか、あなたが神の戒めを守るか守らないかを知るために導かれた道をすべて思い出しなさい。そして彼はあなたを謙虚にし、あなたを飢えさせ、あなたが知らなかった、あなたの先祖も知らなかったマナをあなたに与えました。それは、人はパンだけで生きるのではなく、主の口から出る一つ一つの言葉によって生きるということをあなたに知らせるためでした。

1 コリント 10:6 さて、これらのことは私たちの模範であり、彼らが欲したように、私たちも悪に欲情してはならないという意図からでした。

一節 旧約聖書の出来事は、イスラエル人がかつてそうしたように、悪に欲情してはならないことを私たちに教える例として役立つはずです。

1. イスラエル人の間違いから学びましょう。悪の誘惑に負けないでください。

2. 旧約聖書には、人生で避けるべきものの例が示されています。

1. テモテ第二 3:16??7 - 聖書はすべて神の霊感によって与えられたもので、教義、戒め、矯正、義の指導に有益です。

2. ローマ 15:4 - 以前に書かれたものは何であれ、私たちが学ぶために書かれたものであり、聖書の忍耐と慰めによって私たちが希望を持つことができるようにするためです。

1 コリント 10:7 あなたがたは、彼らのうちの何人かがそうであったように、偶像崇拝者ではありません。書かれているとおり、人々は座って食べたり飲んだりし、立ち上がって遊んだ。

パウロは出エジプト記の聖書の例を引用して、コリントの人々にイスラエルの偶像崇拝を真似しないよう警告しています。

1.「信仰生活を送る：偶像崇拝を避ける」

2. 「模範の力: 私たちの行動が他者に与える影響」

1. 出エジプト記 32:6 - そして、彼らは明日早く起きて、燔祭をささげ、和解のいけにえを持ってきた。人々は座って食べたり飲んだりし、立ち上がって遊んだ。

2. ローマ 12:2 - そして、この世に合わせてはいけません。しかし、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして自分を変えてください。

1コリント10:8 私たちも、彼らのうちのある者たちが犯したように、一日で三万二千人が倒れたように、淫行を犯してはなりません。

パウロは、罪のために一日で堕落したイスラエル人の例を挙げて、コリント人に淫行を警告します。

1. 「誘惑を避けてください: 性的不道徳についての考察」

2. 「不従順の結果: イスラエル人の物語」。

1. ガラテヤ 5:19-21 - 「今、肉の業が明らかになりました。性的不道徳、不純さ、好色、偶像崇拝、魔術、敵意、争い、ねたみ、発作的な怒り、競争、意見の相違、分裂、ねたみ、酩酊、「私は以前警告したように、そのようなことをする者は神の国を受け継がないと警告します。」

2. ヘブライ 13:4 - 「結婚はすべての人の間で名誉をもって行われ、結婚の床は汚されないようにしなさい。神は性的に不道徳で姦淫した者を裁かれるからです。」

1 コリント 10:9 私たちも、キリストを誘惑してはなりません。彼らの中には、誘惑されて蛇に滅ぼされた人もいました。

コリント人への手紙第一 10章9節のこの一節は、過去にイスラエル人の一部が行ったように、神を誘惑して蛇に滅ぼされてしまうことで神の忍耐を試さないようにと警告しています。

1. 神を誘惑する: 結果を理解する

2. 神の忍耐が試されているときを認識する

1. ヤコブ 1:13-14 - だれも、誘惑に遭ったときに、「？」と言ってはなりません。私は神に誘惑されています。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、神自身も誰も誘惑しないからです。しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され誘惑されることがあります。

2. ヘブライ 3:7-8 - したがって、聖霊が言うように、?今日、もし彼の声を聞いたら、荒野での試練の日のように、反乱のときのように心をかたくなにしてはいけません。

1 コリント 10:10 彼らのうちの何人かがまたつぶやき、破壊者によって滅ぼされたのと同じように、あなたがたもつぶやいてはなりません。

この一節は、過去につぶやいた人の中には駆逐艦によって破壊された人もいるとして、つぶやくことに対して警告している。

1. 「神は私たちの守護者です。不平不満を言わず、神の力に頼ってください」

2. 「つぶやくことの危険性：自分自身ではなく神を信頼する」

1. ローマ人への手紙 8:31 - 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

2. 詩篇 46:1 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に今もいる助けです。」

1 コリント 10:11 さて、これらのことはすべて、例として彼らに起こりました。そして、それらは、世の終わりが来る私たちへの戒めのために書かれたのです。

過去に起こった出来事は、私たちが自分の人生で学ぶべき例として書き留められています。

1. 過去から学び、現在を生きる。

2. 神の言葉を私たち自身の生活に当てはめる。

1. ローマ 15:4 ??これまでに書かれたものはすべて、私たちが学ぶために書かれたものであり、忍耐と聖文の慰めを通して私たちが希望を持つことができるようにするためです。

2. ヤコブ 1:22 ??しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

1 コリント 10:12 ですから、立っていると思う人は、倒れないように気をつけなさい。

私たちは自分自身に対する判断に注意し、罪に陥らないように注意しなければなりません。

1. 誇りは破壊の前に消えます。

2. 霊的な自己満足に気をつけてください。

1. ローマ人への手紙 12:3 私は、あなたがたのうちにいるすべての人に、私に与えられた恵みを通して言いますが、自分自身を必要以上に高く評価しないでください。しかし、神がすべての人に信仰の尺度を与えられたのと同じように、冷静に考えてください。

2. ルカ 21:34-36 そして、いつでも、暴飲暴食、この世の心配事で心がいっぱいになって、気づかぬうちにその日が来ることのないように気をつけなさい。それは全地の表面に住むすべての者たちに罠として来るからである。したがって、あなたがたは、これから起こるであろうこれらすべての事柄を逃れて、人の子の御前

に立つのにふさわしい者とみなされるように、常に気をつけて祈ってください。

1 コリント 10:13 人間によくある誘惑以外に、あなたがたを襲ったことはありません。しかし、神は真実な方ですから、あなたが自分の能力を超えた誘惑を受けることを許しません。しかし、あなたがたが誘惑に耐えられるように、誘惑に対しても逃げ道を作ってくれるでしょう。

神は私たちに誘惑から逃れる方法を与え、必ずそれに耐えられるようにすると約束してくださっているので、どんな誘惑も私たちにとって大きすぎることはありません。

1. 神の忠実さは常に私たちに逃げ道を与えてくれます。

2. 神の助けがあれば、どんな誘惑も私たちにとって大きすぎることはありません。

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. ヨハネ第一 4:4 - 幼い子供たちよ、あなたたちは神から出た者であり、彼らに打ち勝ったのです。なぜなら、あなたたちの中にいる神は、世にいる神よりも偉大だからです。

1 コリント 10:14 ですから、愛する人よ、偶像崇拝から逃げてください。

この一節は偶像崇拝を避けるよう警告しています。

1. 偶像崇拝の力とそれを克服する方法

2. 偶像崇拝の危険性と従順の報酬

1. 出エジプト記 20:3-5 - 「あなたはわたしのほかにいかなる神も持ってはならない。あなたは自分のために、上の天、下の地、あるいは下の水の中に、いかなるものの形をした像を作ってはならない。頭を下げてはならない。」彼らに屈服するか、彼らを崇拝するか、あなたの神、主である私は嫉妬深い神だからです。」

2. コロサイ 3:5 - 「ですから、あなたの地上の性質に属するものはすべて、性的不品行、汚れ、情欲、邪悪な欲望、偶像崇拝である貪欲を死に至らせてください。」

1 コリント 10:15 私は賢者について話します。私の言うことを判断してください。

一節: パウロはコリント人に、自分の言葉と教えを評価する際に知恵と識別力を働かせるよう勧めています。

1. 知恵を使って神の言葉を評価する

2. 生活の中で識別することを学ぶ

1. 箴言 2:6-9 - 主は知恵を与えてくださるからです。彼の口からは知識と理解が生まれます。

2. ヤコブ 1:5 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。

1コリント10:16 私たちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血の聖体拝領ではないでしょうか。私たちが裂くパン、それはキリストの体の交わりではないでしょうか？

クリスチャンはキリストの体と血を象徴する聖体拝領に参加します。

1. 聖体拝領の意味: キリストの体と血の重要性を理解する

2. 聖体拝領の恵みを体験する: 神の救いの賜物を受け取る方法

1. コリント人への手紙第一 11:23-26 - あなたにもお伝えしたことを、私は主から受けました。つまり、主イエスは裏切られたその夜にパンを取り、その日の夜にパンをとられたということです。

24 そして感謝をささげてから、それを割って言われた。쏷食べる、食べる。これはあなたのために砕かれた私の体です。私を偲んでこれをしてください。

25 同じように、イエスは夕食後に杯を取り、こう言われた。彼の杯は私の血における新しい契約です。これは、飲むたびに私を偲んで飲むものです。

26 あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主を宣べ伝えているのですか。主が来られるまで死ね。

2. ルカ 22:19 - そこでイエスはパンを取り、感謝をささげて裂き、彼らに与えて言われた。彼はあなたのために与えられた私の体です。私を偲んでこれをしてください。

1 コリント 10:17 わたしたちは多くても一つのパンであり、一つのからだです。なぜなら、私たちは皆、その一つのパンにあずかっているからです。

クリスチャンは皆同じ体の一部であり、一致を象徴する同じパンを食べます。

1.「キリストに結ばれて」、キリストの体における統一の概念を探求します。

2.「命のパンにあずかる者たち」、糧と命の源としてのイエスの重要性に焦点を当てる。

1. ヨハネ 17:20-21 - 信者たちの一致を祈るイエス。

2. ローマ 12:5 - キリストの体の各部分には、それぞれの役割があります。

1 コリント 10:18 見よ、肉の後のイスラエル。いけにえを食べる者は祭壇にあずかる者ではないのか。

パウロはコリントの人々に、犠牲を食べることによって、彼らは依然として祭壇にあずかっているということを思い出させています。

1. 「祭壇にあずかる: なぜ私たちは犠牲の祝日を祝うべきなのか」

2. 「犠牲を食べることの精神的な意味」

1. ヘブライ 13:10-16 - 犠牲の祝日を守ることの重要性

2. 申命記 12:5-7 - いけにえをささげ、そのいけにえを食べるための指示

1 コリント 10:19 それでは、私は何と言うでしょうか？偶像とは何か、それとも偶像に犠牲として捧げられるものは何かなのでしょうか？

パウロは、偶像や彼らへの捧げ物に価値があるのかどうか疑問に思っています。

1. 私たちの生活における偶像崇拝の力

2. 何よりも神の力

1. イザヤ書 44:9-20 - 偶像に対する主の主権

2. 詩篇 115:3-8 - 神の栄光と比較した偶像崇拝の愚かさ

1 コリント 10:20 しかし、私は言いますが、異邦人が犠牲として捧げるものは、神ではなく悪魔に捧げられています。そして、私はあなたがたに悪魔と交わるべきではありません。

異邦人は神ではなく悪魔に犠牲を払っているので、パウロはコリント人に彼らと交わらないように警告しています。

1. 神は私たちに、悪から離れ、神の道を歩むよう呼びかけています。

2. 私たちは悪魔の欺瞞に騙されてはならず、神の真理に忠実であり続けなければなりません。

1. エペソ 5:11 - そして、実を結ばない暗闇の業とは交わらず、むしろ彼らを叱責しなさい。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

1 コリント 10:21 あなたがたは主の杯と悪魔の杯を飲むことはできません。あなたがたは主の食卓にも悪魔の食卓にも加わることはできません。

この箇所は、信者は主に関連する活動や悪魔に関連する活動に参加できないことを強調しています。

1. 私たちは信仰を堅固に保ち、世俗的な楽しみのために自分の信念を曲げてはなりません。

2. 私たちは常に主を敬い、主の教えに反する活動を避けるよう努めなければなりません。

1. ヨハネ第一 2:15-17 - 世を愛してはならず、世にあるものを愛してはいけません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。

2. ローマ 12:2 - この世に合わせてはいけません。しかし、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして自分を変えてください。

1 コリント 10:22 私たちは主のねたみを引き起こしているでしょうか。私たちは彼より強いですか？

パウロはコリントの人々に、神は彼らよりも無限に偉大であるため、彼らには神に挑戦する力がないことを思い出させます。

1. 神に挑戦することの無益さ – 私たちは全能者との戦いに決して勝つことはできません。

2. 神の優位性を認識する - 私たちは誰が主導権を握っているのかを常に覚えておく必要があります。

1. イザヤ書 40:12-17 - 誰が手のくぼみの水を測ったり、天を囲む手の幅を測ったりしたでしょうか。誰が土の塵をかごに入れたり、天秤で山や丘の重さを量ったりしたでしょうか。

2. 詩篇 115:3 - 私たちの神は天におられます。彼は自分が喜ぶことは何でもします。

1 コリント 10:23 私にとってすべてのことは合法ですが、すべてのことが方便ではありません。すべてのことが私にとって合法ですが、すべてのことが徳を高めるわけではありません。

パウロはクリスチャンに、決断を下す際に正しい判断を下し、他の人のことを考慮するよう勧めています。

1: 自分の決定が他人にどのような影響を与えるかを考慮することが重要です。

2: 私たちは自分自身の欲望に導かれるのではなく、自分の選択が他の人をどのように啓発するかを考慮すべきです。

1: ピリピ人への手紙 2:3-4 「争いや見栄によって何事も行ってはなりません。しかし、へりくだった心で、自分よりも他人を大切にしなさい。すべての人が自分のことだけに目を向けるのではなく、他人のことにも目を向けなさい。」。」

2: ローマ人への手紙 14:19 「ですから、私たちは、平和をもたらす事柄、またそれによって互いに他の人を啓発する事柄に従いましょう。」

1 コリント 10:24 人は自分の富を求めるのではなく、皆、他人の富を求めなさい。

クリスチャンは自分の富を求めるのではなく、他人を助けることに集中すべきです。

1. 寛大の心: 他人のために生きる

2. 無私の力: 他者に与える

1. ピリピ 2:4 - あなたがた一人一人が、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。

2. ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすれば与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。なぜなら、あなたが使う尺度によって、それはあなたに合わせて測られるからです。

1 コリント 10:25 修羅場で売られているものはすべて、良心に何の疑問も持たずに食べるものです。

クリスチャンは市場で食べ物を買うときに質問すべきではありません。

1. 神を第一にする: 信仰と従順の人生を送る

2. 自制の力: 賢明な選択をする

1. ローマ 14:14-23 - 信仰の問題における個人の良心の重要性についてのパウロの議論。

2. エペソ人への手紙 5:15-17 - 賢明になって時間を償うようにというパウロの勧告。

1 コリント 10:26 地とそれに満ちるものは主のものだからです。

主は地球全体とその中にあるすべてのものの所有者です。

1. 神は全地とその中のすべてのものを統治する主権者です。

2. 私たちは主が所有権を持っていることに留意し、主に依存していることを認識する必要があります。

1. 詩篇 24:1 - 地とその満ち満ちたものは主のものです。世界と、そこに住む彼ら。

2. 詩篇 115:16 - 天も天も主のものです。しかし地は主が人の子らに与えられたものです。

1 コリント 10:27 もし信じない人たちの中に、あなたがたに宴会に招待する人がいれば、あなたがたは行きたいと思うでしょう。あなたの前に置かれたものは何であれ、良心に何の疑問も抱かずに食べてください。

信者は、非信者の祝宴で出される食べ物について質問すべきではなく、代わりに、良心のために、与えられたものは何でも受け入れるべきです。

1. クリスチャンは、いかなる状況であっても、もてなしの精神を実践し、祝宴への招待に応じるべきです。

2. 非信者と食事をするときは注意することが重要ですが、最終的には彼らのもてなしを尊重して、出されたものは何でも受け入れます。

1. ローマ人への手紙 14:2 - ?ある人は何を食べてもよいと信じていますが、弱い人は野菜だけを食べます。

2. マタイ 22:39 - ?あなたは自分のように隣人を愛さなければなりません。

1 コリント 10:28 しかし、もし誰かがあなたがたに、「これは偶像へのいけにえとしてささげられたものです。それを見せた人のために、また良心のために食べてはなりません。地とその満ち満ちたものは主のものだからです。」と言うなら、

一節 キリスト教徒は、偶像への犠牲として捧げられた食べ物を知っているのであれば、食べるべきではありません。なぜなら、主は地球とそこに含まれるすべてのものを所有しているからです。

1. キリストの良心をどのように持つか：神を愛し、他者に仕える

2. 神の善意を中心に置く: 神の支配を尊重する必要性

1. エペソ 5:1-2 - ですから、愛する子供たちとして神に見倣う者となり、キリストが私たちを愛し、私たちのために香りのよい供え物として、また神へのいけにえとしてご自身をささげられたように、愛に満ちた人生を送りましょう。

2. ローマ 12:1 - ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の観点から、皆さんに勧めます。慈悲、神に喜ばれる神聖な生きたいけにえとして自分の体を捧げるということですか？それがあなたの真の適切な崇拝です。

1 コリント 10:29 良心は、自分のものではなく、他人のものだと言います。なぜ、私の自由が他人の良心によって裁かれるのでしょうか。

パウロは、自分の自由だと思っていることが他の人によって判断される可能性があるため、決断を下す際には他人の良心を考慮すべきであると書いています。

1.「自由と良心：他人の意見の尊重」

2.「多様性の中の統一：私たちの違いを祝う」

1. ガラテヤ 5:13-14、「兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ、自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体はこの一言で成就するからです。あなたは自分のように隣人を愛さなければなりません。

2. ローマ人への手紙 14:13-15、「ですから、もうお互いに裁きを下すのではなく、兄弟の道につまずきや障害を決して置かないことを決心しましょう。私は主イエスによって次のことを知っており、確信しています。」それ自体は汚れたものではありませんが、それを汚れていると考える人にとっては汚れています。なぜなら、あなたの食べるものによってあなたの兄弟が悲しんでいるなら、あなたはもはや愛のうちに歩いていないからです。あなたが食べるものによって、キリストがそのために死んでくださった人を滅ぼしてはなりません。。」

1 コリント 10:30 もし私が恵みによってあずかっているのなら、なぜ私が感謝していることで悪口を言われるのでしょうか。

パウロは、自分が受けた恵みに感謝するのになぜ批判されるのか疑問を抱きます。

1. 神の恵みを受け入れる: 受け取り方と感謝の仕方

2. 感謝の力: 私たちが持っているものに感謝することを学ぶ

クロス-

1. ヤコブ 1:17 - 「すべての良い完全な賜物は上から来て、天の光の父から下って来ます。彼は移り変わる影のように変わらないのです。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

1 コリント 10:31 ですから、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、あるいは何をするにも、すべて神の栄光のために行いなさい。

信者は、自分の行うすべてのことにおいて神の栄光をもたらすことを目標にすべきです。

1. あなたの行動は神の反映となりますか?栄光_

2. 日常生活を通して神の栄光を讃えます。

1. コロサイ 3:17 - 「そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。」

2. ローマ 12:1-2 - 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な崇拝です。この世界では、しかし、あなたの心を一新することによって変えられ、それによって、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試すことによって識別できるようになるのです。」

1 コリント 10:32 ユダヤ人にも異邦人にも神の教会にも、決して罪を犯してはなりません。

パウロはコリントの人々に、ユダヤ人、異邦人、神の教会を含む誰も傷つけないように行動するよう勧めています。

1.「汝の隣人を愛せよ：すべての人に敬意と配慮を示す」

2. 「敬意を持って生きる：コリント人へのパウロの模範」

1. ローマ人への手紙 12:14-16 - 「あなたたちを迫害する者たちを祝福しなさい。祝福して呪わないように。喜ぶ者たちとともに喜び、悲しむ者たちとともに悲しみなさい。互いに調和して生きなさい。高ぶるのではなく、進んでそうしなさい。」地位の低い人々とつき合いなさい。うぬぼれてはいけません。」

2. エペソ人への手紙 4:25-32 - 「ですから、あなたがたはそれぞれ、偽りを脱ぎ捨て、隣人に真実を語らなければなりません。私たちは皆、一つの体の部分

だからです。怒って罪を犯してはなりません。あなたがいる間に太陽が沈まないようにしてください」盗みをしていた人は、もう盗んではいけませんが、困っている人たちに何かを分け与えるために、自分の手で役に立つことをして働かなければなりません。あなたの口から出るどんな不健全な話でも構いませんが、それは、聞く人々の益となるように、彼らの必要に応じて他の人を築き上げるのに役立つものだけです。そして、あなたがその日のために結び固められた神の聖霊を悲しませてはなりません。「救いを。あらゆる恨み、激怒、怒り、喧嘩や中傷、そしてあらゆる悪意を取り除きなさい。キリストにおいて神があなたを赦してくださったように、互いに親切にし、思いやりを持ち、互いに赦し合いなさい。」

1 コリント 10:33 私は、自分の利益を求めるのではなく、多くの人々が救われるように、あらゆることにおいてすべての人を喜ばせるのと同じように。

パウロは、多くの人が救われるように、自分だけでなく他人の利益を求めるようすべての人に勧めています。

1. 「多くの人の利益」- 寛大で無私であることが、どのように多くの人に利益をもたらすことができるか。

2. 「救いを求める」- 他者を救うためには他者を第一に考えることの重要性を理解する。

1. マタイ 22:37-39 - 自分のように隣人を愛しなさい。

2. ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれから何もせず、謙虚に他の人が自分よりも優れていると考えてください。

第一コリント 11 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 11 章です。この章では、パウロは礼拝の慣行、特にかぶりものと主の晩餐に関するさまざまな問題を取り上げています。

第 1 段落: パウロは、礼拝中の男女の役割と頭の覆いについて議論することから始めます。人間は神の似姿に造られ、神の栄光を反映しているので、人は頭を覆わずに祈ったり預言したりすべきであると彼は主張します(1コリント11:3-7)。一方、女性は権威への服従のしるしとして頭を覆うべきです(1コリント11:5-6)。パウロは、自然と伝統に訴えて、礼拝における男女の区別に関する彼の議論を支持しています。

第 2 段落: 次にパウロは、主の晩餐中の不適切な行為の問題に言及します。彼は、コリントの信者たちが、ある者は食べ過ぎ、ある者はお腹を空かせるという自己満足の宴会に変えていると批判しています（1コリント 11:17-22）。彼はイエスが十字架につけられる前夜にこの秘跡を制定されたことを彼らに思い出させ、イエスの犠牲の記念としてのその重要性を強調しました(1コリント11:23-26)。パウロは、キリストのからだを識別せずに、ふさわしくない仕方で参加しないよう警告しています。そうすれば神の裁きを受ける可能性があります(1コリント11:27-32)。

第 3 段落: この章は、主の晩餐を適切に観察する方法についての指示で終わります。パウロは信者たちに、参加する前に自分自身を吟味し、罪を告白し、他の人々と和解して、ふさわしくそれに取り組むように勧めています（1コリント 11:28-29）。イエスは、この食事に集まるときは、他の人を排除したり恥をかかせるような利己的な行動をするのではなく、お互いに待つよう勧めています（1コリント 11:33-34）。パウロは、これらの指示は非難をもたらすことを意図したものではなく、むしろ彼らの礼拝が秩序正しく敬虔なやり方で行われるように矯正することを意図していることを強調しています。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 11 章では、礼拝の実践に関連した問題が取り上げられています。パウロは男女の役割と礼拝中の頭かぶり物の重要性について論じ、服従と神の計画を尊重することの重要性を強調しています。それから彼は主の晩餐に注意を向け、コリント人たちの不適切な行為を叱責し、キリストの犠牲の記念としてのその神聖な性質を思い出させます。パウロはふさわしくない方法で参加しないように警告し、参加する前に自分自身を吟味するよう信者に勧めています彼は一致、他者への配慮、そしてこの秘跡に対する敬虔なアプローチの必要性を強調しています。この章では、キリスト教共同体における神への敬意とお互いへの愛を反映する適切な礼拝の実践に関するガイダンスを提供します。

1 コリント 11:1 わたしがキリストに従う者であるように、あなたがたもわたしに従う者となりなさい。

パウロはコリントの人々に、キリストに従う彼の模範に倣うよう勧めています。

1. 「キリストに倣う：パウロの模範に倣う」

2. 「パウロの模範：キリストに従う」

1. コリント人への第一の手紙 11:1 - 私もキリストに従う者であるように、あなたがたも私に従う者となりなさい。

2. マタイ 16:24 - それからイエスは弟子たちに言われた、「もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

1 コリント 11:2 兄弟たち、あなたがたがすべてのことにおいてわたしを覚えていて、わたしがあなたがたに伝えたとおりの儀式を守っていることをほめます。

パウロはコリントの信者たちが自分の与えた教えをしっかりと守り続けていることを称賛します。

1. 神の言葉を覚えて従うことの重要性。

2. 私たちに与えられた教えに忠実に従うことの価値。

1. ヨシュア記 1:8 - 「この律法の書はあなたの口から離れず、昼も夜もそれを黙想し、そこに書かれているすべてのことを注意深く行うようにしなければなりません。」

2. コロサイ 2:6-7 「ですから、あなたがたは主であるキリスト・イエスを受け入れたのと同じように、教えられたとおりに、感謝に満ちて、キリストのうちに根を張り、建てられ、信仰を確立して歩きなさい。」

1 コリント 11:3 しかし、皆さんに知っておいていただきたいのは、すべての人の頭はキリストであるということです。そして女性の頭は男性です。そしてキリストの頭は神です。

コリント第一 11章3節のこの聖句は，男性，女性，そして神の間の階層関係を強調しています。

1. キリストとの関係が他者との関わりにどのような影響を与えるか

2. クリスチャン生活における服従の重要性

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻たちよ、主に対するのと同じように、自分の夫に従いなさい。

2. コロサイ 3:18-19 - 妻たちよ、主にふさわしいとおり、夫に従いなさい。

1 コリント 11:4 頭を覆って祈ったり預言したりする人は皆、頭を汚していることになります。

男性は、祈りや預言をするときに頭を覆ってはなりません。それは軽蔑のしるしとみなされるからです。

1. 何をするにも神に敬意を払うことを学ぶ

2. 礼拝において主を尊重する

1. ペテロ第一 2:17 - すべての人に適切な敬意を示し、信者の家族を愛し、神を畏れ、皇帝を敬います。

2. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにしても、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

1 コリント 11:5 しかし、女が頭をかぶらずに祈ったり預言したりする人は皆、頭を汚しているのです。

女性は名誉を保つために、祈ったり預言したりするときは頭を覆うべきです。

1. 自分自身を敬うことによって神を敬う: 第一コリント 11:5 の研究

2. 謙虚さの力: 女性がどのようにして尊厳を持って神を代表できるか

1. ペテロ第一 3:3-4 - 「あなたの美しさは、手の込んだ髪型や、金の装飾品や高級服の着用など、外側の装飾から来るものであってはなりません。むしろ、それはあなたの内面の美しさ、色褪せない美しさであるべきです。」穏やかで静かな精神、それは神の目から見て非常に価値のあるものです。」

2. テモテ第一 2:9-10 「また、私は女性たちに、品位と礼儀を持って控えめな服装をし、手の込んだ髪型や金や真珠や高価な衣服でなく、公言する女性にふさわしい善行で身を飾ることを望んでいます。神を崇拝するためです。」

1 コリント 11:6 女性がかぶっていないのなら、髪も剃りましょう。しかし、女性の髪を剃ったり剃ったりするのが恥ずかしいのであれば、かぶってください。

この一節は、女性が公共の場で頭を覆うことを奨励し、覆いをしないのは恥ずかしいことであることを示唆しています。

1. 「謙虚さの美しさ: 女性の服装の聖書的定義の探求」

2.「ベールの重要性：頭を覆うことの聖書的意義を理解する」

1. テモテ第一 2:9-10 - 「同様に、女性も、編んだ髪や金、真珠、高価な装飾品などではなく、恥じらいと節度を持ってつつましい服装で身を飾りますが、（それが女性の告白になります）神性）良い行いをしてください。」

2. 箴言 11:22 - 「分別のない美しい女性は、豚の鼻にある金の宝石のように。」

1 コリント 11:7 というのは、男性は神の似姿であり栄光であるのですから、頭を覆うべきではありません。しかし、女性は男性の栄光なのです。

男性は神の似姿に造られたので頭を覆ってはなりませんが、女性は男性の栄光です。

1. 神の創造: 男性と女性における神の似姿 2. 男性と女性の栄光

1. 創世記 1:26-27 (そして神は言われた、「私たちに似せて、私たちに似せて人を造ろう。そして彼らに海の魚、空の鳥、牛を支配させよう。 2. エペソ人への手紙 5:21-33 (神を恐れて互いに服従しなさい。妻たちよ、夫に対するのと同じように、自分の夫にも服従しなさい。) 「主よ。キリストが教会のかしらであるのと同じように、夫は妻のかしらです。キリストはからだの救い主なのです。ですから、教会がキリストに従うのと同じように、妻も自分の夫に従いなさい。」すべて。）

1コリント11:8 男は女の血を引いたものではありません。しかし男の女。

女性は男性から創造されたので、男性の権威の下にあります。

1. 人間は家族単位における神の最高の権威です。

2. 女性は男性の権威を尊重しなければなりません。

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 夫と妻の関係。

2. 創世記 2:18-25 - 神は男性から女性を創造されました。

1 コリント 11:9 男も女のために造られたのではありません。しかし、男性にとっての女性。

男性と女性は異なる目的のために創造され、女性は男性のために創造されました。

1. 神は私たち一人一人のために計画を持っています - 1コリント11:9

2. 女性は特別な目的のために創造されました - 第一コリント 11:9

1. 創世記 2:18-25 - 神は目的のために男と女を創造しました。

2. エペソ人への手紙 5:21-33 - 結婚生活における相互尊重。

1 コリント 11:10 このため、女性は天使たちのおかげで頭に力を与えられるはずです。

女性は天使のおかげで自分の頭の上に権威を持つべきです。

1. 権威の力: コリント第一 11:10 についての研究

2. コリント第一 11:10 の隠された意味

1. エペソ人への手紙 5:22-24 - 妻たちよ、主に対するのと同じように、自分の夫に従いなさい。なぜなら、キリストが教会の頭であり、その体であり、ご自身が教会の救い主であるのと同じように、夫は妻の頭だからです。さて、教会がキリストに従うように、妻もすべてにおいて夫に従うべきです。

2. 創世記 3:16 - イエスはその女性にこう言いました。あなたは苦しみながら子供を産むことになる。あなたの望みはあなたの夫に向けられ、夫はあなたを支配するでしょう。」

1 コリント 11:11 しかし、主にあっては、女性がなければ男性も、男性がなければ女性も存在しません。

主の目には男性も女性もどちらも重要です。

1. 主の目に映る男女の平等

2. 主における男性と女性の価値

1. 創世記 1:27 - そこで、神は自分に似せて人間を創造し、神の似姿に人間を創造した。男性と女性が彼を創造しました。

2. ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

1 コリント 11:12 なぜなら、女性が男性から生まれたものであるように、男性もまた女性から生まれたものだからです。しかし、すべては神のものです。

聖書は、神の目には男性と女性は平等であると教えています。

1. 男性と女性の平等 - コリント人への手紙第一 11:12 を探る

2. 男性と女性のための神の計画を発見する - コリント人への手紙第一 11:12 の詳細な考察

1. ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2. エペソ人への手紙 5:21 - 神を恐れて互いに服従しなさい。

1 コリント 11:13 自分で判断してください。女性が裸で神に祈るのは、美しいことなのでしょうか。

パウロは、女性が頭を覆わずに祈るのが適切かどうかを尋ねています。

1. 神の言葉に従って生きる - コリント人への第一の手紙 11:13 が現代の生活に与える影響を探ります。

2. 敬意を持った装飾 - 礼拝や祈りの際に神を敬う方法。

1. テモテ第一 2:9-10 「同じように、女性も、恥じらいと節度を持って、つつましい服装で身を飾ります。編み込みの髪や金、真珠、高価な飾りなどではありません。しかし、（それが女性の告白になります）神性）良い行いをしてください。」

2. ペテロ第一 3:3-4 「誰が飾るのは、髪を編んだり、金を着たり、衣服を着たりするような外面的な飾りではなく、内なる隠れた心の人でありなさい。」朽ちないもの、それは柔和で静かな精神の装飾品であっても、神の目には非常に貴重なものである。」

1 コリント 11:14 自然そのものですら、もし人間が長い髪を持っているなら、それはその人にとって恥ずべきことであると教えていないでしょうか。

パウロはコリントの人々に、人間が長い髪を持つことは恥ずべきことであると自然そのものが教えていることを思い出させます。

1. 自然の力: 自然はどのように私たちに聖書の真実を教えてくれるのか

2. 神の設計: 性別役割に関する神の設計に私たちはどのように従うべきか

1. コリント第一 11:14

2. 創世記 1:27 - そこで、神は人間をご自分の姿に似せて創造されました。神の似姿に似せて人を創造されました。彼は男性と女性を創造しました。

1 コリント 11:15 しかし、女性が長い髪を持っているなら、それは彼女にとっての栄光です。彼女の髪は覆うために与えられているからです。

パウロは、女性の長い髪は栄光であり、それを覆うものとして彼女に与えられていると教えています。

1.「女性の髪の美しさと目的」

2.「神が与えた被り物：敬意の表れとして髪の毛を利用する」

1. ペテロ第一 3:3-4 「あなたは、髪を編んだり、金で飾ったり、ローブを着たりして、外面を飾るのではなく、穏やかで不朽の美しさを持つ心の隠れた人になりなさい。」静かな精神、それは神の目から見て非常に貴重なものです。」

2. イザヤ書 61:10 - 「わたしは主にあって大いに喜びます。わたしの魂はわたしの神にあって喜ぶでしょう。主はわたしに救いの衣を着せてくださったからです。神は花婿が身を飾るように、義の衣をわたしに着せてくださいました」美しい頭飾りをかぶった司祭のように、宝石で身を飾る花嫁のように。」

1 コリント 11:16 しかし、もし誰かが論争をしているように見えるなら、私たちにも神の教会にもそのような習慣はありません。

神の教会の習慣は論争を起こさないことです。

1.「教会の一致」

2.「合意の力」

1. コロサイ 3:14-15 - そして何よりもこれらのことは、完全さの絆である慈善を身に着けます。そして、神の平安があなたがたの心の中に支配されるようにしなさい。あなたがたもまた、その平和に一つの体として招かれているのである。そして感謝してください。

2. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、あなたがたが召された召命にふさわしく歩むよう、あなたがたに懇願します。平和の絆の中で御霊の一致を保つよう努めます。

1 コリント 11:17 さて、私があなたがたに宣言するのは、あなたがたが良い方向にではなく、悪い方向に集まっていることを称賛することではありません。

使徒パウロはコリントの人々に、良い方向に集まるのではなく、悪い方向に集まることを戒めています。

1. コミュニティの力: 団結して団結することの影響を理解する。

2. 団結力の欠如: 親睦活動に集まらないことのマイナス面。

1. ヘブライ 10:25 – 「ある人々のように、自分たちで集まることを放棄しません。しかし、互いに励まし合っているのです。そして、その日が近づいているのを見ると、なおさらです。」

2. 使徒 2:42-47 – 「そして彼らは、使徒たちの教義と交わり、パンを裂くこと、祈りを毅然として続けた。…そして主は救われるべき人々を毎日教会に加えられた。」

1コリント11:18 まず第一に、あなたがたが教会に集まるとき、あなたがたの間に分裂があると聞いています。そして私はそれを部分的に信じています。

教会では会員の間に分裂があり、パウロはそれが真実であると信じています。

1. 教会の一致: 団結することの重要性

2. 分裂の克服：団結の強さを見つける

1. エペソ 4:3 - 平和のきずなを通して御霊の一致を保つためにあらゆる努力をする。

2. ローマ人への手紙 12:16 - 互いに調和して生きましょう。高慢にならず、立場の低い人々と積極的に付き合いましょう。うぬぼれないでください。

1 コリント 11:19 なぜなら、あなたがたの間にも異端が存在するはずであり、それが認められたものがあなたがたの間で明らかにされるからです。

信者の信仰を試すために、パウロはコリント人の間に異端が存在することを奨励しています。

1. 異端を通して信仰を試すことの重要性。

2. 異端に直面しても強さを保つ方法。

1. ヤコブ 1:12 - 「試練を受けても毅然とした人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。」

2. ペテロ第一 1:7 - 「それは、あなたがたの信仰の試された真正さが、火で試されても朽ちる金よりも貴重であることが、イエス・キリストの啓示の時に賞賛と栄光と栄誉をもたらすことが分かるためです。」

1コリント11:20 したがって、あなたがたが一つの場所に集まるとき、それは主の晩餐を食べるためではありません。

クリスチャンが集まるとき、主の晩餐に参加すべきではありません。

1. 「主の晩餐を生き抜く: 集まりで自制心を実践する」

2.「主の晩餐の重要性：キリストの犠牲を思い出す」

1. マタイ 26:26-29 - イエスは主の晩餐を制定する

2. ペテロ第一 1:18-19 - 主の晩餐による私たちの救いの代価を認識する

1 コリント 11:21 というのは、食べるとき、人は皆、自分の夕食を他の人より先に食べるからです。そして、ある人はお腹を空かせ、ある人は酔っているのです。

食事では、誰もが他の人より先に自分の夕食を取り、ある人は空腹のままにし、他の人は満腹のままにします。

1: 私たちは食事を他の人と分かち合うことを忘れずに、十分に食べられない人たちに配慮しなければなりません。

2: 十分に食べ物を持っていない人たちがいるので、私たちは食べ物に感謝し、無駄遣いをしないようにすべきです。

1: ガラテヤ 6:10 - それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

2: 箴言 22:9 - 豊かな目を持っている人は祝福されるでしょう、その人は自分のパンを貧しい人たちに分け与えるからです。

1 コリント 11:22 えっ？あなたたちは食べたり飲んだりする家がないのですか？それとも、あなたがたは神の教会を軽蔑し、そうでない人々を恥じるのか？何

と言いましょうか？これで褒めてあげましょうか？私はあなたを褒めません。

パウロはコリント人たちが神の教会を無視し、財産のない人々を辱めていると叱責します。

1. 神の教会は神聖であり、尊重されなければなりません

2. ほとんど持っていない人を恥じないでください

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

2. ガラテヤ 6:10 - それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

1 コリント 11:23 なぜなら、私もあなたがたに伝えたとおり、主イエスが裏切られたその夜にパンをとられたということを、私は主から受け入れたからです。

一節 主イエスは裏切られた夜、パンをとられました。

1. 裏切りのパン：イエスの最後の晩餐についての考察

2. 裏切りを貫く: イエスの最後の晩餐からの教訓

1. ヨハネ 13:21-30 - イエスは足を洗い、裏切りを予告する

2. 詩篇 41:9 - 親しい友人の裏切り

1 コリント 11:24 そして、感謝をささげてから、それを壊して、「取りなさい、食べなさい。これは、あなたがたのために砕かれた私の体です。これは私の記念として行いなさい。」と言いました。

イエスはパンを裂き、ご自分と彼の犠牲を記念してそれを食べるように弟子たちに指示しました。

1: 私たちはイエスと、私たちのために捧げられた彼の犠牲を覚えておかなければなりません。

2: イエスは私たちに自分を思い出す方法を与えてくださいました。それは、イエスを記念してパンを食べることです。

1: ルカ 22:19 ーそしてイエスはパンを取り、感謝をささげ、それを裂いて彼らに与えて言った、「これは、あなたがたのために与えられたわたしの体です。これはわたしの記念として行いなさい。」

2: 1 ペテロ 2:24 - 御自身が木の上でご自分の体で私たちの罪を負ってくださったのは、罪に対して死んでいる私たちが義に向かって生きるためであり、その打ち傷によってあなたがたは癒されました。

1 コリント 11:25 また、同じようにして、夕食を終えたときに杯を取り、こう言われました、「この杯は、わたしの血による新しい証である。あなたがたは、それを飲むたびに、わたしを思い出してこれをしなさい。」

この一節には、イエスが最後の晩餐の際に杯を取り、それが自分の血で結ばれた新しい契約の象徴であると宣言したことが描かれています。

1. カップの意味: イエスの血の中にある新しい契約を探る

2. イエスを思い出す: 最後の晩餐とその意義を考える

1. ルカ 22:19-20 - そして、イエスはパンを取り、感謝をささげ、それを裂いて、彼らに与えて言われた、「これは、あなたがたのために与えられたわたしの体です。これはわたしの記念として行いなさい。」同様に、夕食後の杯も、「この杯は、あなたのために流された私の血の新しい証である」と言いました。

2. コリント人への第二の手紙 3:6 - また、私たちを新約の有能な奉仕者にしてくれたのは誰ですか。文字ではなく、精神です。なぜなら、文字は殺しますが、精神は命を与えるからです。

1コリント11:26 あなたがたがこのパンを食べ、この杯を飲むたびに、あなたがたは主が来られるまで、主の死を見ていることになるからです。

クリスチャンは主の晩餐を守ることによって主の死を記念します。

1. 主の晩餐の意味: それは何を表しているのでしょうか?

2. 主の晩餐に参加する: 反省と記憶の時。

1. ルカ 22:19-20 - そして、イエスはパンを取り、感謝をささげ、それを裂いて、彼らに与えて言われた、「これは、あなたがたのために与えられたわたしの体です。これはわたしの記念として行いなさい。」

2. ペテロ第一 1:18-19 - あなたが先祖からの言い伝えとして受け継がれた目的のない行為から、銀や金のような腐敗しやすいものによってではなく、傷のない子羊のように、キリストの尊い血によって救われたことを知っています。そして斑点なし。

1 コリント 11:27 したがって、ふさわしくないのにこのパンを食べ、主のこの杯を飲む者は、主の体と血に対して罪を犯します。

ふさわしくないまま主のパンと杯を食べたり飲んだりすることは、主の体と血に対して罪を犯したことになります。

1. 聖体: ふさわしくあずかる力

2. 主の食卓の祝福と呪い

1. マタイ 26:26-28: そして、彼らが食事をしていると、イエスはパンを取り、祝福して裂き、弟子たちに与えて言われた。これは私の体です。」

2. ヘブライ 10:28-29: モーセの律法を拒否した者は、二人か三人の証人の証言によって容赦なく死ぬ。神の御子を踏みにじり、自分たちを神聖化した契約の血を不浄なものとして扱った者は、どれほど厳しく罰せられるべきだと思いますか。

1 コリント 11:28 しかし、人は自分自身を吟味し、そのパンを食べ、その杯を飲みなさい。

クリスチャンは聖体拝領に参加する前に自分自身を吟味する必要があります。

1. 神聖に生きる: 聖体拝領に参加する前に自分自身を吟味する

2. 聖体拝領の心: 時間をかけて内省する

1. コリント人への第二 13:5 - 自分が信仰を持っているかどうか自分自身を吟味してください。自分自身をテストしてください。あなたはキリスト・イエスがあなたの内におられることに気づいていませんか？もちろん、テストに失敗しない限り？

2. 詩篇 51:10 - 神よ、私の中に清い心を創造し、私の中に不動の霊を新たにしてください。

1 コリント 11:29 ふさわしくないまま食べたり飲んだりする者は、主の体を識別せずに、自分自身に天罰を与えているのです。

主の晩餐は、自滅を避けるために、洞察力のある心をもって、ふさわしく受けるべきです。

1. 主の晩餐における識別力

2. 主の晩餐へのふさわしくない参加の結果

1. コリント第一 11:29

2. ヘブライ 5:14 - しかし、固形食品は成人した人、つまり、使用目的により善悪を識別できる感覚を働かせている人のものです。

1 コリント 11:30 このような理由で、あなたがたの中には体が弱く、病人であり、眠っている人も多いのです。

コリント教会の多くは弱くて病弱で、中には主の晩餐を無視したために亡くなった人もいました。

1. 主の晩餐: 配慮の秘跡

2. 主の晩餐を敬う: 契約上の約束

1. マタイ 26:26-29 - イエスによる主の晩餐の制定

2. ヘブライ人への手紙 10:24-25 - 愛と善行に励み合う

1 コリント 11:31 なぜなら、私たちが自分自身を裁くとしても、裁かれるべきではないからです。

私たちは他人からの評価を避けるために、自分自身を判断する必要があります。

1. 内省: 判断を避ける鍵

2. 私たちの行動に対する責任

1. 箴言 28:13 - 「自分の罪を隠す者は繁栄しないが、告白してそれを捨てる者は憐れみを得るであろう。」

2. ローマ人への手紙 2:1-3 「ですから、裁く人たちよ、あなたたちには弁解の余地はありません。なぜなら、他人に裁きを下すとき、あなたは自分自身を有罪としているのです。なぜなら、裁判官であるあなたも、まったく同じことを実践しているからです。私たちは知っています。」

1 コリント 11:32 しかし、私たちが裁かれるとき、私たちは世とともに罪に定められないように、主から懲らしめられます。

私たちは世の他の人々とともに罪に定められないように、神によって裁かれています。

1. 神は憐れみをもって私たちを救うために裁かれる

2. 世界から切り離されるという呼びかけ

1. ガラテヤ 6:1-2 - 兄弟たち、もし誰かが罪に捕らえられたら、霊的なあなたがたは、その人を優しさの精神で回復させるべきです。あなたも誘惑に負けないように、自分自身に気をつけてください。

2. ヤコブ 4:7-8 - ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださるでしょう。罪人よ、手を清めよ、二心の君よ、心を清めよ。

1 コリント 11:33 ですから、兄弟たち、食事をするために集まったときは、お互いに遅らせてください。

クリスチャンは食事のために集まるときはお互いに待つべきです。

1. 「食卓での忍耐：キリストの体における一致の実践」

2. 「一緒にパンを裂く：仲間の兄弟姉妹への思いやり」

1. ローマ人への手紙 15:5-7 - 「忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って互いに調和して生き、声を一つにして私たちの主イエスの父なる神を讃えることを許してくださいますように。キリスト。"

2. エペソ人への手紙 4:2-3 - 「あらゆる謙虚さと優しさを持ち、忍耐強く、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなにおいて御霊の一致を維持することに熱心に努めています。」

1コリント11:34 また、飢えている人がいるなら、家で食事をしなさい。あなたがたが罪に定められるために団結しないように。残りは私が来たときに整理します。

パウロはコリント人たちに、お腹が空いている人がいる場合は食事に集まってはいけない、到着したら残りの準備をするようにと指示しました。

1. 教会における交わりの重要性

2. 共同体における自己犠牲の祝福

1. 使徒 2:42-47 - 初代教会は、交わり、パンを裂くこと、祈りに専念しました。

2. フィリピ 2:1-4 - パウロはフィリピの人々が謙虚さと自己犠牲で一致するよう勧めています。

第一コリント 12 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 12 章です。この章では、パウロは霊的な賜物と、キリストの体の中でのその役割について論じています。

第 1 段落: パウロは、聖霊によって与えられる霊的な賜物の多様性について述べることから始めます。彼は、これらの賜物は神の霊の現れであり、共通の利益のために与えられるものであると強調しています(1コリント12:4-7)。彼は知恵、知識、信仰、癒し、奇跡、預言、識別力、異言、異言の解釈などのさまざまな賜物を挙げています(1コリント12:8-10)。パウロは、キリストの体の中にはさまざまな賜物と奉仕がありますが、それらはすべて同じ御霊から来ており、信者を築き上げ、一致させるのに役立つことを強調しています（1コリント12:11-13）。

第 2 段落: 次に、パウロはこれらの多様な霊的賜物が体の中でどのように機能するかを説明します。彼は、信者を、異なる機能を持つが相互に関連している肉体のさまざまな部分に例えて例えています（1コリント 12:14-20）。彼は、すべての部分が体全体の健康と機能に貢献する上で果たすべき独自の役割を持っていることを強調しています(1コリント12:21-26)。各メンバーは相互サポートと成長に不可欠であるため、才能や個人が優れている、劣っていると考えるべきではありません。

第 3 段落: この章は、あらゆる霊的な賜物を超える愛を強調して終わります。パウロは 13 章の冒頭で、たとえ人が並外れた霊的能力を持っていても、愛が欠けていても、それは何の役にも立たないと述べています (1 コリント 13:1-3)。彼は、忍耐、優しさ、謙虚さといった愛の特徴と、預言や異言などの一時的な現れと比較して、その永続する性質について説明しています(1コリント13:4-8)。愛は、私利私欲を促進するのではなく、他者を啓発する方法で精神的な賜物を使用するための基礎として提示されます。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 12 章は、霊的な賜物とキリストの体の中でのその役割に焦点を当てています。パウロは、共通の利益のために聖霊によって与えられる賜物の多様性を強調しています。彼は、統合と成長のために連携するさまざまな部分のアナロジーを使用して、これらの贈り物が体内でどのように機能するかを説明します。パウロは、すべての信者には果たすべき独自の役割があり、賜物や個人に優劣はないことを強調します。この章は、すべての霊的な賜物を超えるものとしての愛を深く強調し、これらの賜物を他者の利益のために使用する際の愛の重要な役割を強調して終わります。この章では、キリスト教共同体の中で多様性を受け入れ、自分の独自の貢献を認識し、愛における霊的な賜物を行使することについてのガイダンスを提供します。

1 コリント 12:1 兄弟たち、霊的な賜物については、あなたがたに無知でいてほしくありません。

パウロはコリント人に、霊的な賜物について無知にならないよう警告しています。

1. 自分の霊的な賜物を認める：主の祝福を受け入れましょう

2. 神からの霊的な贈り物: 御霊の力の中で歩みましょう

1. ローマ人への手紙 12:6-8 - 私たちに与えられた恵みに応じて異なる賜物があるので、それを使いましょう。預言するなら、私たちの信仰に応じて預言しましょう。または奉仕活動、私たちの奉仕活動にそれを使いましょう。教える人、教えること。勧める人、勧める人。寛大に与える人。熱心に導く人。朗らかに慈悲を示す人。

2. エペソ 4:7-8 - しかし、私たち一人一人には、キリストの賜物に応じて恵みが与えられています。それでイエスはこう言われます。「神は高いところに昇られたとき、捕らわれの者たちを導き、人々に贈り物を与えられた。」

1 コリント 12:2 あなたがたは、自分たちが導かれながらも、この愚かな偶像のもとに連れ去られた異邦人であったことを知っています。

異邦人は以前の信仰から奪われ、偽りの偶像に仕えるように誤って導かれました。

1. 道に迷ったときの見分け方

2. 偶像崇拝の危険性

1. エペソ 4:17-19 - そこで私はあなたたちにこのことを言い、主にあって強く主張します。あなた方はもはや異邦人たちのように、彼らの考えを空しくして生きてはならないのです。彼らは心がかたくなになっているために自分たちの中にある無知のせいで、理解力が暗くなり、神の命から引き離されています。感性を失いあらゆる穢れを貪るように官能に身を委ね、貪欲に満ちている。

2. ヨハネ第一 5:21 - 親愛なる子供たちよ、偶像から身を守ってください。

1 コリント 12:3 したがって、神の御霊によって語る人はだれもイエスを呪っているとは言えず、聖霊によらなければ誰もイエスが主であるとは言えないということを理解していただきたいと思います。

一節: パウロはコリントの人々に、聖霊の導きなしには誰もイエスを主と呼んだり、彼が呪われていると宣言したりすることはできないことを思い出させます。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. イエス・キリストへの信仰を実践する

1. 使徒 2:4 - そして、彼らは皆、聖霊に満たされ、御霊が彼らに発語を与えたように、他の言語で話し始めました。

2. ヨハネ 16:8-11 - そして、彼が来られるとき、彼は世界を罪と義と裁きで叱責します。罪については、彼らが私を信じないからです。義については、私が父のもとに行くと、あなたがたはもう私を見ないからです。裁きの、この世界の君主が裁かれるからです。

1 コリント 12:4 さて、賜物にはさまざまなものがありますが、御霊は同じです。

神の御霊は、神の民すべてにさまざまな賜物を分配します。

1. 神が与える贈り物の多様性を祝う

2. あなたの生活の中で聖霊の力を解き放つ

1. エペソ 4:7-8 - しかし、恵みは、キリストの賜物の尺度に応じて、私たち一人一人に与えられました。したがって、「彼は高い所に昇られたとき、大勢の捕虜を率い、人々に贈り物を与えた」と書かれています。

2. ローマ人への手紙 12:6-8 - 私たちに与えられた恵みに応じて異なる賜物を持っているので、それを使いましょう。預言であれば、私たちの信仰に応じて。サービスの場合、私たちのサービスにおいて。教える人、その教えにおいて。勧める人、その勧めの中で。寛大に貢献する人。熱心に導く人。朗らかに慈悲の行為を行う人。

1コリント12:5 統治の違いはありますが、主は同じです。

コリント人への第一の手紙 12 章 5 節の一節は、たとえ統治が異なっていたとしても、主の一致を強調しています。

1. 違いが何であっても、私たちは皆主とつながっています。

2. 違いにもかかわらず、私たちは皆、主への信仰において一致しています。

1. コロサイ 3:11 - 「ここには、ギリシャ人もユダヤ人も、割礼のある人も受けていない人も、野蛮人も、スキタイ人も、奴隷も、自由な人もいません。しかし、キリストがすべてであり、すべてのうちにおられます。」

2. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男性も女性もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

1 コリント 12:6 働きにはさまざまなものがありますが、すべてにおいて働いておられるのは同じ神です。

聖書は、多くの異なる役割と責任があるが、それらのそれぞれを通して、そしてその中で働いてくださるのは神であると教えています。

1. 多様性の中の統一：私たちの違いを通して神がどのように働かれるか

2. 同じ神が働いている: 私たちの生活における神の役割を理解する

1. エペソ人への手紙 4:1-6 - キリストの体の一致

2. コロサイ 1:17 - すべてはキリストにおいて一つに保たれています

1 コリント 12:7 しかし、御霊の現れはすべての人に与えられており、それによって利益を得ます。

御霊の現れはすべての人々の利益のために与えられています。

1. 聖霊の力: それが私たちにどのような恩恵をもたらすか

2. 聖霊の賜物を受け入れる

1. 使徒 2:4 - そして、彼らは皆、聖霊に満たされ、御霊が彼らに発語を与えたように、他の言語で話し始めました。

2. ローマ人への手紙 12:6-8 - 預言であろうと、私たちに与えられる恵みに応じて異なる賜物があるので、信仰の割合に応じて預言しましょう。あるいはミニストリー、私たちのミニストリーを待ちましょう。あるいは教える人は教えることを待ちましょう。あるいは、勧める人は、勧めます。与える人は、単純にそれを行いましょう。勤勉に統治する者。朗らかに慈悲を示す者。

1コリント12:8 人には御霊によって知恵の言葉が与えられるからです。同じ御霊による知識の言葉を他の人に伝える。

一節: 第一コリント 12 章で、パウロは御霊の賜物について教えています。彼は、御霊は知恵の言葉や知識の言葉など、さまざまな人々にさまざまな賜物を与えると説明しています。

パウロは、御霊は知恵や知識の言葉など、人それぞれに異なる賜物を与えてくださると教えています。

1. 御霊の賜物: 神が祝福を与えるさまざまな方法を理解する

2. 御霊の賜物を活用する: 神が私たちに与えてくださったものを最大限に活用する

1. エペソ人への手紙 4:7-16 - キリストの体の統一

2. ローマ 12:3-8 - 御霊の賜物とキリストのからだにおけるそれぞれの賜物の使い方

1 コリント 12:9 同じ御霊による別の信仰へ。同じ御霊による癒しの賜物を別の人に。

聖霊は信者にさまざまな霊的な賜物を与えます。

1. 霊的な賜物の独自性

2. 霊的な賜物: 聖霊からの祝福

1. ローマ人への手紙 12:4-8

2. エペソ人への手紙 4:7-12

1 コリント 12:10 ある人には奇跡が起こります。別の預言へ。霊の目の肥えた別の人へ。別の多様な種類の言語に。別の人にとっては異言の解釈です。

この箇所は、聖霊によって教会に与えられた霊的な賜物について語っており、これには奇跡の働き、預言、霊の識別、さまざまな種類の異言で話すこと、異言の通訳などが含まれます。

1. 教会における霊的な賜物の重要性

2. 教会における聖霊の働きを体験する

1. ローマ人への手紙 12:6-8 - 預言であろうと、私たちに与えられる恵みに応じて異なる賜物があるので、信仰の割合に応じて預言しましょう。

2. エペソ人への手紙 4:7-13 - しかし、私たち一人一人には、キリストの賜物に応じて恵みが与えられています。

1 コリント 12:11 しかし、これらすべては、同じ同一の御霊によって働き、各人を思いのままに分け与えます。

聖霊は、ご自身の意志に従って、信者に神の賜物を与えるために働きます。

1. 私たちの生活における聖霊の力を祝う

2. 聖霊の御心を理解する

1. ローマ人への手紙 12:3-8

2. エペソ人への手紙 4:7-13

1 コリント 12:12 というのは、体は一つであり、多くの部分があり、その一つの体のすべての部分は、多くても一つの体であるのと同じように、キリストも同様です。

キリストの体は統一されており、その各部分はつながっていて重要です。

1: 神は私たちを神の体の一部となるように召しておられます。私たちは神の体の一部として、キリストの愛を世界に示すために協力しなければなりません。

2: 私たちは皆、キリストの同じ体の部分であり、それぞれが異なる賜物と能力を持っています。私たちは教会を築き上げ、互いに仕えるために自分の賜物を活用しなければなりません。

1: エペソ人への手紙 4:16 - このキリストによって、体全体がぴったりと結合し、各部分の効果的な働きに応じて、すべての関節が供給するものによって圧縮され、愛において自らを啓発するまで体を増大させます。

2: コロサイ 3:14-15 - そして、これらのことは何よりも、完全さの絆である慈善を身に着けます。そして、神の平安があなたがたの心の中に支配されるようにしなさい。あなたがたもまた、その平和に一つの体として招かれているのである。そして感謝してください。

1 コリント 12:13 なぜなら、ユダヤ人であろうと異邦人であろうと、奴隷であろうと自由であろうと、私たちは皆、一つの御霊によって一つの体となるバプテスマを受けているからです。そして皆が一つの御霊に飲み込まれているのです。

一節 すべての信者は、人種、社会的地位、背景に関係なく、聖霊の力によってキリストにおいて統一されます。

1. 聖霊の力: 教会を一つにする

2. キリストのうちに一つ：私たちの多様性を受け入れる

1. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」

2. エペソ人への手紙 2:14-15 「主は私たちの平和であり、その両方を実現し、私たちの間の隔壁の真ん中の壁を打ち破ってくださった方です。その肉体において敵意を、儀式に含まれる戒めの律法さえも廃止してくださったのです。」というのは、自分の中に一人の新しい人間を作り、そうして平和を作るからである。」

1コリント12:14 からだは一つの部分ではなく、多くの部分からなっているからです。

キリストの体は多くの部分で構成されており、それぞれが独自の賜物と機能を持っています。

1. キリストの体の一致の重要性

2. 教会における私たちの個性を受け入れる

1. ローマ 12:4-5 - 一つの体に多くの部分があり、その部分がすべて同じ機能を持っているわけではないのと同じように、私たちは多くてもキリストにあって

一つの体であり、個々の部分はお互いにあります。

2. エペソ人への手紙 4:11-16 - そして、イエスは使徒、預言者、伝道者、羊飼い、教師たちに、聖徒たちに宣教の働き、キリストのからだを築き上げる備えを与え、私たち全員がその境地に達するまで、信仰と神の御子に関する知識の一致、成人としての成熟、キリストの満ち足りた身長に合わせて、私たちがもはや子供ではなく、波に揺られたり、波に運ばれたりすることがないようにするためです。あらゆる教義の風、人間の狡猾さ、欺瞞的な計画の狡猾さによって。

1 コリント 12:15 もし足が、「私は手ではないので、体から出たものではありません。したがって、それは肉体のものではないのでしょうか？

足は手よりも劣っていると感じるべきではありません。たとえ違いがあっても、両方とも同じ体の一部だからです。

1. 誰もが重要であり、貢献できる独自の何かを持っています。

2. 私たちは皆つながっており、同じ大きな体の一部です。

1. エペソ人への手紙 4:16 - 「この方から、体全体は、各部分がその分を担う効果的な働きに従って、あらゆる関節が供給するものによって結合され、編み合わされて、愛において自らを啓発するために体の成長を引き起こします。」

2. ローマ 12:5 - 「ですから、私たちは、多くの人であっても、キリストにあって一つの体であり、個々は互いの部分なのです。」

1 コリント 12:16 もし耳が、「私は目ではないので、私は体から出たものではありません。したがって、それは肉体のものではないのでしょうか？

コリント人への手紙第一 12章16節でパウロは、体の他の部分と同じ物理的属性を持たないものが体の一部であるかどうかを疑問視しています。

1. 見た目がどんなに異なっていても、私たちは皆同じ体の一部です。

2. 私たちは、身体的な違いに基づいて誰かを判断すべきではなく、その代わりに、その人をありのままに受け入れる必要があります。

1. ローマ 12:4-5 - なぜなら、私たちは一つの体の中に多くの部分を持っており、すべての部分が同じ役割を持っているわけではありません。ですから、私たちは多くても、キリストにあって一つの体であり、各人はそれぞれの部分です。

2. ガラテヤ 3:26-28 - あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰による神の子だからです。なぜなら、キリストに結ばれるバプテスマを受けたあなた方の多くは、キリストを着ているからです。ユダヤ人もギリシャ人も、絆も自由も、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

1 コリント 12:17 もし全身が目だとしたら、聴覚はどこにあるのでしょうか。もし全体が聴覚を持っているとしたら、どこで匂いを嗅いでいるのでしょうか？

この一節は、体の各部分の重要性と、それらがどのように相互に依存しているかを強調しています。

1. 私たちは皆、キリストにあって一つの体としてつながっています。

2. 私たちは皆、神に仕えるために活用できるさまざまな賜物や才能を持っています。

1. ローマ 12:4-5 - 一つの体に多くの部分があり、その部分がすべて同じ機能を持っているわけではないのと同じように、私たちは多くてもキリストにあって一つの体であり、個々の部分はお互いにあります。

2. エペソ人への手紙 4:16 - 体全体は、各部分が適切に機能するとき、体を備えているあらゆる関節によって結合され、保持され、愛のうちに自らを築き上げるように成長させます。

1 コリント 12:18 しかし今、神はご自分の御心のままに、体の各部分を体の中に置かれました。

神はご自身の意志に従って、教会の各成員に体の中の場所を任命されました。

1. 教会に対する神の御心: 体の中での私たちの位置を理解する

2. 一致して奉仕する: 教会は各会員の貢献からどのように恩恵を受けるか

1. エペソ人への手紙 4:11-16 - 体を築き上げ、その成員を宣教のために備えるための恵みの賜物

2. ローマ 12:3-8 - 各会員は教会体に貢献するためのさまざまな賜物を持っています

1 コリント 12:19 もし彼ら全員が 1 人のメンバーだったとしたら、遺体はどこにあるのでしょうか。

通路：

パウロは、第一コリント 12 章 19 節で、もしメンバー全員が同じであれば、教会が一つの体であることは不可能であると主張しています。彼は、教会が異なる賜物や能力を持つさまざまな会員で構成されているときに、教会の体がどのように強化されるかを指摘しています。

パウロは、教会の体は、異なる賜物と能力を持ったさまざまな会員で構成されているときに強化されると主張しています。

1. 多様性の強さ: 教会のさまざまな会員がどのように体を強化するか

2. 一致の力: 教会で団結することがどのように力をもたらすか

1. エペソ人への手紙 4:11-16 - そして、イエスは使徒、預言者、伝道者、羊飼い、教師たちに、聖徒たちに奉仕の働き、キリストの体を築き上げるための備えを与えました。

2. ローマ 12:4-8 - 一つの体に多くの部分があり、その部分がすべて同じ役割を果たしているわけではないのと同じように、私たちは多くてもキリストにあって一つの体であり、個々の部分は互いに異なっています。

1 コリント 12:20 しかし、今では彼らは多くの成員ですが、まだ一つの体に過ぎません。

この一節は、多くの部分があっても、それらはすべて 1 つの体を構成していると説明しています。

1. 多様性の中の統一: 私たちの違いがどのように私たちを団結させるか

2. コミュニティの力: 協力して成功をもたらす方法

1. エペソ 4:3-6 - 平和のきずなを通して御霊の一致を保つようあらゆる努力をしてください。

2. 使徒 2:42-47 - そして、彼らは使徒の教えと交わり、パンを裂くことと祈りに専念しました。

1 コリント 12:21 また、目は手に向かって、「私にはあなたは必要ありません」とは言えません。また、頭から足に向かって、「私にはあなたは必要ありません」とは言えません。

キリストの体は相互につながっており、体が適切に機能するためにはそれぞれの部分が必要です。

1. キリストの体における私たちの相互のつながりを受け入れる

2. 教会におけるすべての会員の重要性

1. エペソ人への手紙 4:16 - 「この方から、体全体は、すべての部分の効果的な働きに応じて、すべての関節が供給するものによってぴったりと結合され、圧縮され、愛において自らを啓発するまで体を増大させます。」

2. ローマ人への手紙 12:3-5 - 「私に与えられた恵みを通して、あなたがたのうちにいるすべての人に言いますが、自分自身を必要以上に高く評価しないでください。しかし、神がすべての人に信仰の尺度を与えられたのと同じように、冷静に考えてください。なぜなら、私たちは一つの体の中に多くの肢体を持っており、すべての肢体が同じ役割を持っているわけではないのと同じように、私たちは多くてもキリストにあって一つの体であり、各人はそれぞれの肢体なのです。」

1 コリント 12:22 いや、それよりも、もっと弱っているように見える体の部分が必要です。

体の中で弱く見える部分も、より強力に見える部分と同じくらい重要です。

1. 弱者の重要性: 神は栄光のために私たち全員をどのように用いられるか

2. 多様性の中の一致: 教会に対する神の計画

1. イザヤ書 40:28-31 - 神は弱い者の力です

2. エペソ人への手紙 4:11-13 - キリストの体を築くために神が与えられる賜物

1 コリント 12:23 また、私たちがそれほど名誉ではないと考えている体の部分に対して、私たちはより豊かな名誉を与えます。そして私たちの醜い部分はより豊かな美しさを持っています。

私たちは、しばしば見落とされたり、それほど重要ではないと考えられたりする体の部分に敬意を払い、敬意を示す必要があります。

1. 「醜い部分」- コリント人への第一の手紙 12:23 を振り返り、体の見落とされている部分にも敬意を払うことの重要性について論じています。

2. 「美しい体」- 体のあらゆる部分がどのように重要であり、名誉と敬意を払われるべきかを探ります。

1. エペソ人への手紙 4:16 - この方から、体全体は、各部分の効果的な働きに従って、各関節が供給するものによってぴったりと結合され、圧縮され、愛において自らを啓発するまで体を増大させます。

2. ローマ 12:4-5 - なぜなら、私たちは一つの体の中に多くの部分を持っており、すべての部分が同じ役割を持っているわけではありません。ですから、私たちは多くても、キリストにあって一つの体であり、各人はそれぞれの部分です。

1 コリント 12:24 私たちの美しい部分には必要がありません。しかし、神はその体を鍛え、欠けている部分にさらに豊かな栄誉を与えてくださいました。

神は体のすべての部分を目的を持って創造され、欠けている部分にさらなる栄誉を与えられました。

1. 統一のための神の計画 - 神が栄光のために私たちの違いをどのように統合するか

2.多様性の尊重 - 神は私たちのユニークさをどのように称賛されるか

1.エペソ人への手紙 4:1-7 - キリストの体の一致

2.ローマ 12:3-8 - キリストの体における謙虚さと奉仕の重要性

1 コリント 12:25 体に分裂がないように。しかし、メンバーはお互いに対して同じ気遣いを持つべきです。

キリストの体の成員は互いに思いやり、分裂することなく協力しなければなりません。

1: キリストの体の一致

2: 調和して協力する

1: ピリピ 2:2-4 - あなたがたが同じ思いを持ち、同じ愛を持ち、心を一つにし、心を一つにすることを私の喜びとして満たしてください。争いや見栄によって何も成し遂げられないようにしましょう。しかし、へりくだった心で、お互いが自分よりも他人を尊敬しなさい。

2: ローマ人への手紙 12:10 - 兄弟愛をもって互いに親切に愛し合いなさい。お互いを優先することに敬意を表して。

1 コリント 12:26 そして、一人の成員が苦しむとしても、すべての成員が共に苦しみます。あるいは、1 人のメンバーが表彰されれば、メンバー全員がそれを喜びます。

コリント人への手紙第一 12章26節でパウロは教会の団結を強調し、教会員がどのように共に苦しみ、あるいは共に喜ぶかを強調しています。

1. 「苦しみの中での連帯：困難な時期に教会がどのように支え合うことができるか」

2. 「喜びに団結：仲間の信者たちの成功を祝う」

1. ローマ人への手紙 12:15 - 「喜ぶ者たちとともに喜び、泣く者たちとともに泣きなさい。」

2. 使徒 2:44-45 - 「そして、信じる者はみな集まって、すべてのものを共有し、持ち物や品物を売り、各人が必要に応じてすべての人に分け与えました。」

1 コリント 12:27 今、あなたがたはキリストの体、特にその部分です。

すべての信者はキリストの体の一部であり、果たすべき個々の役割があります。

1. 私たちは皆、キリストの体の一部です：キリストにおける一致と目的への呼びかけ。

2. 特定の団体の会員: 教会における私たち個人の賜物を発見し、受け入れること。

1. エペソ人への手紙 4:1-6 - キリストの体の一致と目的。

2. ローマ 12:3-8 - 神が私たちに与えてくださった賜物を発見し、活用すること。

1 コリント 12:28 そして、神は教会の中に、第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、その後に奇跡、次に癒しの賜物、援助、政府、多様な言語を任命されました。

神は、使徒、預言者、教師、奇跡、癒し、援助、政府、異言など、教会内でさまざまな役割を任命しました。

1. 教会における奉仕のさまざまな賜物

2. 教会における多様性による一致

1. エペソ人への手紙 4:11-12 - そして彼は何人かの使徒たちを与えました。そしてある者は預言者。伝道者もいます。牧師や教師もいる。聖徒を完成させるため、奉仕の働きのため、キリストの体の徳を高めるためです。

2. ローマ 12:4-5 - なぜなら、私たちは一つの体の中に多くの部分を持っており、すべての部分が同じ役割を持っているわけではありません。ですから、私たちは多くても、キリストにあって一つの体であり、各人はそれぞれの部分です。

1 コリント 12:29 すべての人が使徒なのでしょうか。みんな預言者なの？みんな先生なの？みんな奇跡を起こす人なのか？

一節 パウロはコリントの人々に、教会の誰もが同じ賜物と能力を持っているかどうかを尋ねて挑戦しています。

1. さまざまな賜物の力 - 教会におけるさまざまな賜物と能力の重要性を探ります。

2. 多様性の中の統一 - 異なる才能や能力を持つ人々の間での統一の必要性を探ります。

1. エペソ人への手紙 4:11-13 - 教会がその目的と賜物において一致する必要性を探ります。

2. ローマ 12:3-8 - 教会の各人に与えられたさまざまな賜物や能力を探ります。

1 コリント 12:30 癒しの賜物をすべて持っていますか。みんな異言を話しますか？みんな解釈してるの？

この一節は、教会における霊的な賜物の多様性を探求しています。

1. 教会として私たちの霊的な賜物を受け入れる

2. キリストの体の中に自分の居場所を見つける

1. ローマ人への手紙 12:4-8

2. ペテロ第一4:10-11

1 コリント 12:31 しかし、最高の賜物を熱心に切望しなさい。しかし、私はもっと優れた方法をあなたたちに示します。

この一節は、最高の贈り物を望むことの重要性を強調していますが、より優れた方法に焦点を当てるよう読者に勧めています。

1. より優れた方法: 贈り物よりも神聖さを追求する

2. 最高の贈り物を欲しがる：私たちの人生に対する神の意志を求める

1. ヨハネ第一 2:15-17 - 世や世のものを愛してはなりません。

2. ローマ 12:1-2 - この世に順応するのではなく、心を新たにして変えられなさい。

第一コリント 13 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 13 章であり、しばしば「愛の章」と呼ばれます。この章では、パウロは愛の至高性と本質について雄弁に述べています。

第 1 段落: パウロは、愛が他のすべての霊的な賜物や行為に勝るということを強調することから始めます。彼は、異言、預言、信仰、慈善行為などのさまざまな素晴らしい能力について説明していますが、愛がなければそれらは無意味であると述べています(1コリント13:1-3)。愛はキリスト教のすべての行動にとって不可欠な基盤として提示されます。

第 2 段落: 次にパウロは、真の愛の特徴と特質について説明します。彼は、実際の愛がどのようなものかを生き生きと描写しています。愛は忍耐強くて親切です。それは羨望したり自慢したりしません。それは傲慢でも無礼でもありませんが、代わりに他の人を尊重しようとします（1コリント13：4-5）。愛は無私無欲であり、他人に対する悪意や恨みを持ちません。それは真理を喜び、守り、信頼し、希望し、困難を乗り越えます(1コリント13:6-7)。

第 3 段落: この章は、他の一時的な贈り物と比較した愛の永遠の性質についての考察で終わります。パウロは、預言は終わり、異言は静まり、知識は過ぎ去るだろうと強調しています(1コリント13:8)。これらの一時的な現れは、愛の完全な性質と比較すると不完全で不完全です。彼は信仰、希望、愛が残っていると断言しますが、それらすべての中で愛が最高であると宣言しています(1コリント13:13)。愛はこの地上の人生を超えて永遠に続きます。

要約すると、コリント人への手紙第一 13 章は、真の愛の本質と重要性を美しく捉えています。パウロは、他の霊的な賜物や行為に勝るその価値を強調しています。彼はその特徴、忍耐、優しさについて説明し、それらを羨望や傲慢などの否定的な特徴と対比させます。愛は無私で永続的で、真実を喜び、困難を乗り越えるものとして表現されます。パウロは、一時的な賜物と比較して愛の永遠の性質を強調し、信仰、希望、愛の中で愛が最も重要であることを確認して締めくくっています。この章は、信者の人生における愛の変容の力と中心的な役割を深く思い出させるものとして役立ちます。

1 コリント 13:1 わたしは人間や天使の舌で話し、慈善活動をしていませんが、響き渡る真鍮、またはチリンチリンと音を立てるシンバルのようになっています。

この一節は、たとえ他の能力を持っていたとしても、何よりも慈善の重要性を強調しています。

1.「愛の力: 慈善の重要性を理解する」

2. 「愛の至上性: 第一コリント 13:1 をガイドとして使用する」

1. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです」。」

2. ローマ人への手紙 12:9-10 「本物の愛を持ちなさい。悪を憎み、善を堅持しなさい。兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。敬意を示すことにおいては互いに負けません。」

1 コリント 13:2 私には預言の賜物があり、すべての奥義とすべての知識を理解しています。そして、私は山を取り除くことができるほどの信仰を持っていますが、慈善活動はありませんが、私は何もありません。

愛がなければ、他のすべての能力は役に立ちません。

1. 愛の力：何が私たちを真の人間たらしめているのかを理解する

2. 愛の必要性: 生活の中で思いやりを育む方法

1. ヨハネ第一4:7-12

2. ガラテヤ5:22-26

1 コリント 13:3 わたしは貧しい人たちを養うために全財産を与え、自分の体を焼かれるために差し出し、慈善をしませんが、それはわたしに何の益もありません。

人がどれだけ他人のために与えたり、尽くしたりしても、愛がなければ意味がありません。

1. 愛の力: 愛を示す方法とそれが重要な理由

2. 報われない善行はない: 優しさと寛大さの重要性

1. ヨハネ第一 4:7-12 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する人は神から生まれ、神を知っています。

2. マタイ 22:35-40 - そしてそのうちの一人、弁護士が彼を試すために質問しました。「先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか?」そして彼は彼に言った、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

1 コリント 13:4 慈善は長く耐えられ、親切です。慈善活動は羨ましくない。慈善活動はそれ自体を自慢するものではなく、高ぶることもなく、

愛は忍耐強くて親切です。それはねたまない、自慢しない、誇りに思わない。

1. 愛は忍耐強く、愛は優しい - 第一コリント 13:4

2. 愛の力 - 1コリント13:4

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

2. ヨハネ第一 4:7-11 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。なぜなら神は神だからです。」「愛。このことによって、神の愛が私たちの間で明らかにされました。神がご自分の独り子を世に送ってくださったのは、私たちが彼を通して生きることができるためです。この中に愛があるのです。私たちが神を愛したということではなく、神が私たちを愛し、遣わしてくださったということです」「神の御子が私たちの罪のなだめの身となってくださるのです。愛する人よ、神が私たちをこれほど愛してくださったのなら、私たちも互いに愛し合うべきです。」

1 コリント 13:5 みっともない振る舞いをせず、自分のものを求めず、簡単に刺激されず、悪いことを考えません。

この一節は、無私であること、簡単に怒らないことなど、愛の特質について語っています。

1.「愛は無私です: 1コリント13:5からの教訓」

2. 「忍耐の力: 1 コリント 13:5 を理解する」

1. ローマ人への手紙 12:9-10 - 「愛は誠実でなければなりません。悪を憎み、善にしがみつきます。愛をもって互いに献身的に尽くしなさい。自分よりも互いを敬いなさい。」

2. コロサイ 3:12-13 - 「ですから、神に選ばれた聖なる愛された民として、思いやり、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けなさい。もしあなたたちの中に不満がある人がいたら、互いに忍耐し、許し合いましょう。」主があなたを赦してくださったように、赦してください。」

1 コリント 13:6 不正を喜ぶのではなく、真理を喜びます。

愛は悪事を喜ぶのではなく、真実を喜びます。

1. 愛と喜び: 真実の中に幸せを見つける

2. 義の選択: 誠実な生活の中に喜びを見つける

1. 箴言 12:20、「悪を想像する者の心には欺瞞がある。しかし、平和を助言する者には喜びがある。」

2. 詩篇 1:1-3、「不敬虔な者の計らいに従って歩まず、罪人たちの道を妨げず、軽蔑する者の座に座っていない人は幸いです。しかし、その人の喜びは神の律法です。」主よ、その律法に従って彼は昼も夜も瞑想します。そして彼は水の川のほとりに植えられた木のようになり、季節に応じて実を結びます。葉も枯れることはありません。そして彼の行うことはすべて繁栄します。」

1 コリント 13:7 すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍耐します。

パッセージ 愛は忍耐強く耐え、すべてのことを信じて希望します。

1. 愛はすべてを支える：私たちの関係における忍耐と忍耐を理解する

2. 信じ、希望し、耐える: 信仰と愛を長続きさせる方法

1. ローマ 5:3-5 - 「それだけではなく、苦しみが忍耐を生み、忍耐が品性を生み、品性が希望を生むことを知っているので、私たちは苦しみを喜びます。そし

て、希望は私たちを恥じることはありません。」

2. コロサイ 3:12-14 「それでは、神に選ばれた者として、聖で愛される者として、思いやりの心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身に着けて、互いに忍び合い、もし誰かが他の人に対して不満を持っているなら、赦しなさい」」

1 コリント 13:8 慈善は決して絶えることがありません。しかし、預言があっても、それは必ず失敗します。異言があったとしても、それは止まるだろう。知識があろうとなかろうと、それは消え去ってしまうだろう。

愛は永遠ですが、預言、異言、知識などの一時的な賜物は過ぎ去ります。

1: 愛はどんな一時的な贈り物よりも偉大です。

2: 愛は決して私たちを裏切らない。

1:1 ヨハネ 4:8 - 愛さない者は神を知りません。神は愛だからです。

2: 1 ヨハネ 4:16 - そして、私たちは神の私たちに対する愛を知り、信じてきました。神は愛である;そして愛の中に住む者は神の中に住み、神も彼の中に住んでいるのです。

1 コリント 13:9 というのは、私たちは部分的には知っており、部分的には預言しているからです。

私たちは物事を部分的にしか知り理解していませんし、預言も部分的にしか当てはまりません。

1. 愛は忍耐強く親切です: コリント人への手紙第一 13 章からの忍耐と親切さの研究

2. ガラスを通して暗く見る：崩壊した世界における私たちの限界を理解する

1. ヤコブ 1:2-4 - 2 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。 3 なぜなら、信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているからです。4 忍耐力を働かせて、何一つ欠けることのない成熟した完全な者となるようにしましょう。

2. ローマ人への手紙 12:3 - 私に与えられた恵みによって、あなたがた全員に言いますが、自分自身を必要以上に高く評価せず、神が持っておられる信仰の尺度に応じて、冷静な判断力を持って考えてください。割り当てられました。

1コリント13:10 しかし、完全なものが来るとき、部分的なものは取り除かれるでしょう。

コリント人への手紙第一のこの聖句は、完全なものが到来すると、部分的なものは取り除かれるという事実について言及しています。

1.「より良い方法: 完璧」

2.「完璧への呼びかけ」

1. ローマ 8:28、「そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2. イザヤ書 64:8、「しかし今、主よ、あなたは私たちの父です。私たちは粘土であり、あなたは私たちの陶芸家です。私たちはすべてあなたの手の働きです。」

1 コリント 13:11 私は子供の頃、子供のように話し、子供のように理解し、子供のように考えました。しかし、大人になると、子供っぽいことは捨てました。

大人になったら、子供っぽいことは捨てて、大人として考えなければなりません。

1. 成長する: 子供っぽい考えを超えて進む

2. 信仰において成熟する: 子供の頃の習慣を捨てる

1. 箴言 22:6 「子をその進むべき道に沿って育てなさい。そうすれば彼は年老いても、その道から離れることはありません。」

2. ガラテヤ 4:1-2 「さて、私は言います。相続人は、たとえすべての人の主人であっても、子どもである限り、召使と何ら変わりはありません。しかし、父親が任命した時までは家庭教師と総督の下に置かれます。」

1 コリント 13:12 今、私たちは暗いガラス越しに見ています。しかし、その後は面と向かって、今では部分的には分かりました。しかしそのとき、私が知られているのと同じように、私も知ることになるでしょう。

私たちは神の真理と私たちに対する愛について限られた理解しかできませんが、いつかはっきりと見えて神について完全に知るようになるでしょう。

1. 私たちの限られた理解の中で神の愛を知る

2. 神と直接会ったときに神の完全性を体験する

1. 詩篇 119:18 - あなたの目を開いてください。あなたの律法から出てくる驚くべきものを私が見ることができるように。

2. ヨハネ 17:3 - そして、これは永遠の命であり、彼らが唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わしたイエス・キリストを知るためです。

1 コリント 13:13 そして今、信仰、希望、慈善、この三つが保たれています。しかし、その中で最大のものは慈善活動です。

パウロは、信仰、希望、慈愛が人生の三つの最も重要な要素であり、慈愛が最も偉大であると述べています。

1. 「その中で最も重要なこと: 慈善活動の意味と重要性を理解すること」

2. 「信仰、希望、慈善の力: 有意義な人生の 3 つの柱」

1. ローマ人への手紙 12:9-13 - 「愛を異化せずに持ちなさい。悪を憎み、善を固守しなさい。兄弟愛をもって互いに優しく愛し合い、敬意を持って互いに愛し合いなさい。仕事に怠け者ではなく、仕事に怠けてはなりません。」精神的に熱心であり、主に仕えており、希望を持って喜んでおり、苦難の中でも忍耐強く、絶えず祈り続けています。」

2. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟たち、人が自分には信仰があるのに行いをしていないと言ったら、それが何の益になるのでしょうか。信仰がその人を救うことができますか。もし兄弟や姉妹が裸で、日々の食べ物に困っていたら、そして、あなたがたのうちの一人が彼らに言います、「安らかに出発し、あなたがたは暖かくなり満たされます。にもかかわらず、あなたは体に必要なものを彼らに与えません。それが何の益になりますか？それでも、信仰は、もしそれが機能しないなら、死んだものです、一人でいる。"

第一コリント 14 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 14 章です。この章では、パウロは霊的な賜物の適切な使用と順序について、特に企業崇拝の文脈における異言の賜物と預言に焦点を当てています。

第 1 段落: パウロは、教会を啓発するためには異言よりも預言の方が優れていることを強調しています。彼は信者たちに、霊的な賜物、特に預言はすべての人に利益をもたらすので、熱心に望むよう勧めています(1コリント14:1-5)。異言は個人と神との間の個人的な表現であるかもしれないが、預言は会衆全体を築き、励ますのに役立つと彼は説明します。パウロは信者たちに、他の人が啓発されるように、自分のスピーチに理解と明確さを求めるよう勧めています。

第 2 段落: パウロは、複数の人が分かち合う霊的な賜物を持っている場合の、秩序ある礼拝のためのガイドラインを示しています。彼は、集会中に誰かが異言を話す場合は、通訳を同席させるべきだとアドバイスしています。そうでない場合は、彼らは沈黙していなければなりません（1コリント 14:27-28）。彼は、礼拝中に混乱や混乱を避けるために、すべてがきちんと行われるべきであると強調しています（1コリント14:33）。

第 3 段落: この章は、女性が公共の礼拝集会にどのように参加すべきかについての指示で終わります。パウロは、女性は教えたり預言している間は沈黙すべきであるが、服従のしるしとして頭を覆って祈ったり預言したりしてもよいと述べています(1コリント14:34-35)。これらの指示は、歴史を通じてさまざまな解釈や文化的背景の影響を受けてきたことに注意することが重要です。

要約すると、コリント人への手紙第一の第 14 章は、企業の礼拝の場で霊的な賜物を使用するためのガイドラインに焦点を当てています。パウロは、教会共同体を築き上げるためには、異言よりも預言などの賜物を優先することの重要性を強調しています。彼は効果的な啓蒙のためにコミュニケーションにおける明瞭さと理解を重視しています。さらに、異言が存在する場合の通訳を強調することによって、複数の個人が霊的貢献をする集まりの中で秩序を維持するための指導も行っています。最後に、パウロは公の礼拝における女性の役割について言及し、服従の姿勢を維持し、文化的背景に応じて適切な方法で参加するよう女性たちにアドバイスしています。こ

の章では、コリント教会の礼拝集会の秩序、教化、一致を維持するための実践的な指示を提供します。

1 コリント 14:1 慈善活動に従い、霊的な賜物を望みますが、むしろ預言するためです。

パウロはコリントの人々に、愛と霊的な賜物、特に預言の賜物を優先するよう勧めています。

1. 愛の力: 教会で慈愛の精神を育てる

2. 預言の偉大さ: 教会における預言の賜物を理解する

1. ヨハネ第一 4:7-12 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。

2. 使徒 2:17-21 - そして終わりの日にはそれが起こる、と神は言われる、わたしはすべての肉なる者にわたしの霊を注ぐ、そしてあなたの息子や娘たちは預言し、あなたの若者たちは幻を見るだろう。そして、あなたの老人たちは夢を見るでしょう。

1 コリント 14:2 未知の言語で話す者は、人にではなく神に向かって話すのです。しかし、彼は霊の中で奥義を語ります。

一節 異言は、他の人には理解できない奥義を語り、神と直接対話する祈りの一形態です。

1. 神の奥義: 異言の力

2. 祈りの力: 異言を通して神とコミュニケーションする

1. 使徒 2:4 - そして、彼らは皆、聖霊に満たされ、御霊が彼らに発語を与えたように、他の言語で話し始めました。

2. ヨハネ第一 4:7 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。

1 コリント 14:3 しかし、預言する者は人々に啓蒙と勧めと慰めを語ります。

この箇所は、預言が啓発し、勧め、慰める力について語っています。

1. 希望と慰めを与える預言の言葉の力

2. 預言の言葉が命を与える影響

1. イザヤ書 61:1-2 - 主の御霊が私の上にあります。彼は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚われの者たちに牢獄の開放を宣言するために私を遣わしたのです。

2. ヤコブ 3:2-4 - 多くのことで、私たちはすべての人を傷つけるからです。言葉以外で気分を害する人がいるとしても、その人は完璧な人であり、全身を拘束することもできます。見よ、私たちは馬が私たちに従うように、馬の口にビットを入れます。そして私たちは彼らの体全体を振り返ります。また、見よ、船は非常に大きく、激しい風で動かされているにもかかわらず、知事が聞くところならどこでも、非常に小さな舵で向きを変えます。

1 コリント 14:4 未知の言語で話す者は自らを啓発します。しかし、預言する者は教会を教化します。

異言は話す人にとって有益ですが、預言は教会にとってより有益です。

1. 命を語る: 教会における預言の力

2. 自己啓発のために異言の賜物を活用する

1. 使徒 2:1-4 - ペンテコステの日がすっかり来たとき、彼らは皆、一つの場所に集まりました。すると突然、激しい風が吹き荒れるような音が天から聞こえてきて、彼らが座っていた家全体がその音で満たされました。それから、火のように分かれた舌が彼らの前に現れ、一人がそれぞれの上に座りました。そして、彼らはみな聖霊に満たされ、御霊が彼らに発語を与えたように、他の言語で話し始めました。

2. ローマ 8:26-27 - 同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきか分からないからですが、御霊ご自身が、言葉にならないうめきをもって私たちのために執り成しをしてくださるからです。さて、心を探る者は、御霊の心が何であるかを知っています。なぜなら、神は神の御心に従って聖徒のためにとりなしを行っているからです。

1 コリント 14:5 私は、あなたがたがみな異言を話すのではなく、むしろ預言することを望みます。なぜなら、異言を話す人より預言する人のほうが偉いからです。ただし、教会が啓発されるように解釈するのは別です。

パウロは教会に対し、異言よりも預言に重点を置くよう勧めています。異言の方が教会の啓発に有益だからです。

1. 預言の力: 教会における預言の役割を理解することで信仰がどのように強められるか

2. 異言を話すこと: 教会における利点と限界

1. 使徒 2:2-4 - 聖霊の降臨と異言

2. テサロニケ第一 5:19-21 - 教会で語り、預言するよう勧める

1 コリント 14:6 兄弟たち、もし私があなたがたのところに来て異言を話したら、啓示か知識か預言か教義によって話す以外に、何の益があるでしょうか。

パウロはコリント人たちに、もし彼が啓示、知識、預言、教義を通して彼らに語らない限り、もし彼が彼らのところに来て異言を話すことで彼らがどんな益を受けるだろうかと尋ねています。

1. 神の言葉を語る力: スピーチを最大限に活用する方法

2. 異言と預言の利点

1. イザヤ書 55:11 - 「わたしの口から出たわたしの言葉はこうなるであろう。それはわたしにむなしく返されることはなく、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが送った事柄において繁栄するであろう。」」

2. ヤコブ 3:2-12 - 「多くのことで、私たちはすべての人を傷つけているからです。言葉で傷つけない人がいるとしても、その人は完全な人であり、全身を縛ることもできます。」

1 コリント 14:7 また、パイプであれ、ハープであれ、音を発する命のないものであっても、音に違いを与えるのでなければ、何がパイプで鳴っているのか、それともハープで鳴っているのか、どうやって知ることができるのでしょうか。

ポールは、パイプやハープの音に区別がない場合、人はどのようにして音を区別できるのかと疑問を抱いています。

1. 識別力: 正しいことと間違っていることの違いを認識する方法

2. 音楽の賜物: 音を通して神に感謝し、つながる方法

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. 詩篇 19:1 - 天は神の栄光を宣言します。空が彼の手の働きを告げる。

1 コリント 14:8 もしラッパが不確かな音を奏でるなら、誰が戦いに備えるべきでしょうか。

パウロはコリントの人々に、教会にとって効果的で役立つ方法で霊的な賜物を活用するよう勧めています。

1. 統一された声の力: 教会の可能性を解き放つ

2. トランペットの音: 霊的な賜物を使って教会を導く

1. エペソ人への手紙 4:11-16 - キリストにおける教会の一致の重要性。

2. ローマ 12:4-8 - 教会の中で霊的な賜物を他の人の利益のために使うことの重要性。

1 コリント 14:9 同じように、あなたがたも、理解されやすい言葉を舌で話さない限り、話されていることがどうして分かるでしょうか。あなたがたは空中に向かって話すからである。

パウロはコリント教会の信者たちに、他の人が理解できるようにはっきりと話すよう勧めています。

1. 教会におけるコミュニケーションの力

2. 教会における理解と理解されること

1. エペソ 4:29 - 堕落させるような話をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く人たちに恵みを与えるために、その場に応じて築き上げるのに良いような話だけをしてください。

2. テモテ第二 2:15 - 認められた者、つまり真理の言葉を正しく扱う、恥じる必要のない働き人として、自分を神に差し出すために最善を尽くしてください。

1 コリント 14:10 おそらく世界には非常に多くの種類の声があり、意味のないものは一つもありません。

世の中にはさまざまな声があり、それぞれに意味があります。

1. 誰もが重要な声を持っています - 1コリント14:10

2. 声を上げる力 - 1コリント14:10

1. ローマ 10:8-15 - 口で告白し、心で信じる力

2. 詩篇 19:1-4 - 神の言葉の力と神の創造物の美しさ

1 コリント 14:11 したがって、もし私がその声の意味を知らなければ、話す者にとって私は野蛮人であり、話す者は私にとって野蛮人となるでしょう。

他の人が話している言語を理解できない人は、その言葉を理解することができませんし、その逆も同様です。

1. 言語の力: 違いを理解し、認識する

2. 思いやりをもって相互理解の架け橋を築く

1. ヤコブ 1:19 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしましょう。

2. コロサイ 3:12-15 - 神に選ばれた者として、聖く愛される同情の心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身につけて、互いに忍び合い、もし誰かが互いに不満を持っているなら、お互いを許しましょう。他の;主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。そして何よりも、これらは愛を身に着けており、それがすべてを完璧な調和で結びつけます。

1 コリント 14:12 それでも、あなたがたは、霊的な賜物に熱心である限り、教会の徳を高めるために優れた能力を発揮できるように努めなければなりません。

パウロはコリントの人々に、教会を啓発するための霊的な賜物を求めるよう勧めています。

1. 「霊的な賜物が教会の利益のために行使されるとき」

2.「霊的賜物の熱意」

1. ローマ人への手紙 12:6-8; 「私たちに与えられた恵みに応じて異なる賜物を持っているので、それを用いようではありませんか。預言なら信仰に応じて、奉仕なら奉仕の中で、教える人は教えの中で、勧める人は彼の教えに応じて用いましょう。」奨励する人、寛大に貢献する人、熱心に指導する人、快活に慈悲の行為を行う人。」

2. エペソ人への手紙 4:11-12。「そして彼は、使徒、預言者、伝道者、羊飼い、教師たちに、聖徒たちに奉仕の働き、キリストの体を築き上げるための備えを与えた。」

1 コリント 14:13 ですから、未知の言語で話す人は、通訳できるように祈りなさい。

パウロは信者たちに、未知の言語を通訳できるように祈るよう指示しています。

1. 神の御心を理解できるように祈ります。

2. 未知の言語を通訳できるように神に願いましょう。

1. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

2. エペソ 3:16-19 - それは、ご自分の栄光の富に応じて、内なる人の内にある御霊によって力強く強められることを神があなたに与えてくださるためです。キリストが信仰によってあなたがたの心の中に住まわれますように。愛に根ざし、愛に根ざしているあなたが、すべての聖徒たちとともに、広さ、長さ、深さ、高さがどのようなものかを理解できるように。そして、あなたが神の満ち足りたすべてで満たされるために、人知を超えたキリストの愛を知ることです。

1 コリント 14:14 なぜなら、私が未知の言語で祈るなら、私の霊は祈りますが、私の理解は実りません。

パウロは、未知の言語で祈ることは霊にとって有益ですが、目に見える結果は何ももたらさないと述べています。

1. 御霊に頼る：未知の中での祈りの力

2. 無形のものに焦点を当てる: 霊的な祈りの恩恵を得る

1. ローマ人への手紙 8:26-27 ??御霊が私たちに代わって執り成してくださいます。

2. テサロニケ第一 5:16-18 絶えず祈り、常に感謝しなさい

1 コリント 14:15 それでは、それは何でしょうか。私は霊とともに祈ります、そして私は理解とともに祈ります：私は霊とともに歌います、そして私はまた理解とともに歌います。

パウロはクリスチャンたちに、霊性と理解を持って祈り、歌うよう勧めています。

1. 祈りと歌の力を理解する

2. 霊的な識別力を持って祈り、歌う

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 - ?私は何も心配しませんが、何事においても、感謝を込めて祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを守ってくれるでしょう。

2. コロサイ 3:16 - ?キリストの言葉が、あらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿り、詩篇、賛美歌、霊的な歌で互いに教え合い、戒め合い、心の中で恵みをもって主に向かって歌います。

1 コリント 14:16 そうでなければ、あなたが霊で祝福するとき、無学な者の部屋に座っている人は、あなたの感謝の言葉を聞いて、あなたの言うことが理解で

きないのを見て、どうしてアーメンと言うでしょうか。

クリスチャンは、異言を理解できない人は適切に反応できないため、異言を話すときは注意が必要です。

1. 祈りの力: 異言で話すことの利点を理解する

2. 精神的なコミュニティの育成: 包摂と理解の重要性

1. ローマ人への手紙 8:26-27、?同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきかわからないからです。しかし、御霊ご自身が、言葉にならないうめきをもって私たちのためにとりなしてくださいます。そして、心を探求する者は、御霊の思いが何であるかを知っています。なぜなら、御霊は神の御心に従って聖徒のために執り成しをしてくださるからです。

2. コリント第一 12:7-11、?聖霊の発現は、それによって利益を得るためにすべての人に与えられています。人には御霊によって知恵の言葉が与えられるからです。同じ御霊による知識の言葉を他の人に伝える。同じ御霊によって別の信仰に。同じ御霊による癒しの賜物を別の人に。ある人にとっては奇跡の働き。別の預言へ霊の目の肥えた別の人へ。別の多様な種類の言語に。別の人への異言の解釈: しかし、これらすべては、その一人であり、同一の霊によって働き、各人を望みどおりに分けます。

1 コリント 14:17 あなたはよく感謝しますが、他の人は啓発されません。

パウロはクリスチャンに、神に感謝をささげるだけでなく、他の人が啓発されるよう努めるよう勧めています。

1. 感謝し、他の人を啓発することの大切さ

2. 感謝の表現が他の人を確実に勇気づける方法

1. エペソ人への手紙 4:29 - 「腐敗した情報をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く者に恵みを与えるために、啓発に役立つことを口から出してはいけません。」

2. コロサイ 3:16 - 「キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたがたのうちに豊かに宿るようにし、詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め、心の中で恵みをもって主に向かって歌いなさい。」

1 コリント 14:18 私は神に感謝しています。私はあなたがた全員よりも異言を話します。

一節 話し手は他の誰よりも異言を話すことができることを神に感謝しています。

1. 感謝の力: 私たちが持っているものに感謝することを学ぶ

2. 聖霊の賜物：神の神聖な言葉を受け入れる

1. エペソ人への手紙 4:29-30 - 「あなたがたの口からは、堕落させるような話を出してはなりません。ただ、聞く者に恵みを与えるために、時と場合に応じて、人を築き上げるのに役立つような話だけをしてください。また、人を悲しませてはなりません」神の聖霊よ、あなたが救いの日のために証印を押されたのです。」

2. 使徒 2:4 - 「そして、彼らは皆、聖霊に満たされて、御霊が発語するままに他の言語で話し始めました。」

1 コリント 14:19 しかし、私は教会で、未知の言語で一万語を話すよりも、自分の声で他の人にも教えるために、自分の理解力を持って五語を話したほうがよかったです。

パウロは、教会で他の人に教えるために、見知らぬ言葉で多くの言葉を話すよりも、理解のある少ない言葉で話すことを好みます。

1. 理解する力: 教会で理解という賜物を活用する

2. 教えることの価値: 教会で他の人に教える責任を受け入れる

1. ヤコブ 3:17 - しかし、上から来る知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、懇願しやすく、憐れみと良い実とに満ちており、偏りや偽善がありません。

2. 箴言 16:24 - 心地よい言葉は蜂の巣のように、魂に甘く、骨に健康を与えます。

1 コリント 14:20 兄弟たち、理解力のある子供になってはなりません。たとえ悪意があるとしても、あなたがたは子供ですが、理解力のある人間です。

信者は信仰について成熟した理解を持ちながらも、子供のような純粋な心を保たなければなりません。

1. 知恵と純粋さのバランス

2. 信仰と謙虚さにおいて成長する

1. マタイ 18:3-4 - 「そして言った、「はっきり言っておきます。あなたがたが回心して幼子のようにならなければ、天の御国に入ることはできません。ですから、誰でもこの幼子のように謙虚になりなさい。天の王国でも同じことが最も偉大です。」

2. エペソ人への手紙 4:13-14 - 「わたしたちが皆、信仰と神の子についての知識との一致を持って、完全な人となり、キリストの完全さの身長に達するまで、これからは、あらゆる教義の風や人間の策略、狡猾な狡猾さによって、あちこちに投げ回され、連れ回され、騙そうと待ち伏せする子供ではなくなるのです。」

1 コリント 14:21 律法には次のように書いてあります。それなのに、彼らはわたしの言うことを聞かない、と主は言われる。

パウロは、神がさまざまな言語で人々に語られるが、それでも人々は神の言うことを聞かない、という律法の聖句を引用しています。

1. 不信仰の力：神の呼びかけに耳を傾けないことが何を意味するかを理解する。

2. 言語の重要性: 人々の間のコミュニケーションと溝を埋めることの重要性を考察します。

1. ヤコブ 1:22-25 - みことばをただ聞くだけでなく実行者となることの重要性を検討します。

2. マタイ 7:24-27 - 信仰と神の言葉を聞くための強固な基盤を築くことの重要性を探ります。

1 コリント 14:22 したがって、異言は、信じる者にとってではなく、信じない者にとってのしるしです。しかし、預言は、信じない者ではなく、信じる者のために役立ちます。

異言を話す賜物は未信者のためのしるしですが、預言は信者のためのものです。

1. 不信仰の力: 異言の重要性を理解する

2. 預言の目的: 信者の信仰を奨励する

1. マルコ 16:17、そしてこれらのしるしは、信じる者たちに続くでしょう。私の名において、彼らは悪魔を追い出すだろう。彼らは新しい言語で話すでしょう。

2. ローマ人への手紙 10:14-15、それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？そして、彼らは遣わされる以外に、どうやって説教するでしょうか？「平和の福音を宣べ伝え、良いことを知らせる人々の足は何と美しいことでしょう。」と書かれているとおりです。

1 コリント 14:23 それで、もし教会全体が一つの場所に集まって、全員が異言を話し、その中に無学な人や不信者が入ってきたとしたら、彼らはあなたがたが気が狂っていると言わないでしょうか。

教会は異言を話すとき部外者に注意すべきです。そうしないと、教会が狂っていると思われるかもしれません。

1. 愛と理解を持って異言を話しましょう。

2. 愛と受容は異言を話す基礎です。

1. コロサイ 3:12-14 - したがって、神としてですか？選ばれた人々、聖なる、そして心から愛されている人々は、思いやり、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。

2. ペテロ第一 4:8-10 - 何よりも、互いに深く愛し合いましょう。愛は多くの罪を覆うからです。

1 コリント 14:24 しかし、もし全員が預言しているときに、信じない者、あるいは学んでいない者がいるなら、その者は全員を確信しており、その人は全員から裁かれます。

教会の全員が預言すると、未信者や教育を受けていない人さえも理解し、真理を確信します。

1. 預言の力: 未信者や訓練を受けていない人でも理解できる方法

2. 御霊の確信: 忠実な預言がどのようにして確信につながるのか

1. ローマ人への手紙 10:17 ??ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

2. マタイ 7:24 したがって、私のこれらの言葉を聞いて実行する者は誰でも、私はその人を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。

1 コリント 14:25 このようにして、彼の心の秘密が明らかになります。それで彼はひれ伏して神を礼拝し、神があなたの中に真実であると報告するでしょう。

この聖句は、人がひれ伏して神を礼拝し、神が本当に存在することを認めるとき、心の秘密がどのように明らかにされるかを説明しています。

1. 礼拝の力：神の前に倒れると心の秘密がどのように明らかにされるか

2. 神の存在: 私たちの内に神の存在を認識する

1. 詩篇 95:6 - 「ああ、さあ、礼拝してひれ伏しましょう。私たちの造り主である主の前にひざまずきましょう。」

2. マタイ 28:20 - 「見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたたちとともにいます。

1 コリント 14:26 兄弟たち、どうですか。あなたがたが集まるとき、あなたがた一人一人は詩篇を持ち、教義を持ち、異言を持ち、啓示を持ち、解釈を持っています。すべてのことを啓発するために行いましょう。

信者が集まるときは、お互いを強めるために、それぞれが詩篇、教え、外国語のメッセージ、啓示、解釈を持ち寄るべきです。

1. 教会の一致の力

2. 礼拝に参加する

1. 使徒 2:42-47 - 初代教会の交わり、パンを裂く、祈りに対する献身。

2. エペソ人への手紙 4:15-16 - イエス・キリストに対する信仰と知識の一致の中で成長します。

1 コリント 14:27 誰かが未知の言語で話す場合は、それを 2 回、または多くても 3 回までにし、それは当然のことです。そして解釈してみましょう。

パウロはクリスチャンに、異言は二人一組、多くても三組でのみ話し、通訳を同席させるように指示しています。

1. 異言の力: その賜物を適切に活用する方法

2. 通訳の必要性：通訳者の重要性を理解する

1. コリント第一 14:5-6、27 - ?あなたがた全員が異言を話すのではなく、むしろ預言することを望みます。なぜなら、教会が啓発されるように解釈することを除いて、異言を話す人よりも預言する人の方が偉大だからです。もし未知の言語で話す人がいるなら、それは 2人まで、多くても3人まで、そしてそれは当然のことです。そして解釈してみましょう。

2. ローマ人への手紙 8:26-27 - ?同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきかわからないからです。しかし、御霊ご自身が、言葉にならないうめきをもって私たちのためにとりなしてくださいます。そして、心を探求する者は、御霊の思いが何であるかを知っています。なぜなら御霊は神の御心に従って聖徒のために執り成しをしてくださるからです。

1 コリント 14:28 ただし、通訳がいない場合は、教会内で通訳に黙らせてください。そして彼に自分自身と神に語らせてください。

教会では全員が沈黙することが重要であり、通訳がいない場合は、自分自身と神に向かって話す必要があります。

1. 沈黙の力 - 教会で神や他の人の声に耳を傾けることの重要性を探ります。

2. 教会の通訳 - 教会の礼拝における通訳の必要性を理解する。

1. ローマ 8:26-27 - 同様に、御霊は私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきなのかわからないからです。しかし、御霊ご自身

が言葉にならないほど深いうめきをもって私たちのために執り成してくださいます。

2. ヤコブ 1:19-20 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

1 コリント 14:29 預言者に二つか三つ話させ、もう一人に判断させましょう。

使徒パウロは、預言者たちに一度に2人か3人の預言者を語り、他の預言者たちに裁きを与えるよう求めています。

1. 識別力: 何を信じるかを決める方法

2. 預言の賜物: 愛と謙虚さをもって真実を語る

1. ヘブライ人への手紙 4:12 - 神の言葉は生きていて活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄の分裂を刺し通し、心の思いや意図を見分けるからです。。

2. ヨハネ第一 4:1 - 愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出ているからです。

1 コリント 14:30 そばに座っている他の人に何かが暴露された場合は、最初の人は黙っていてください。

パウロはコリント人に、預言している間は礼儀正しく、他の人の邪魔をしないようにと指示しています。

1. 聞く技術を学ぶ: コリント第一 14:30 の研究

2. 沈黙の力: 沈黙を保つことで敬意を示す方法

1. ヤコブ 1:19 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしましょう。

2. 箴言 17:28 - 沈黙を守る愚か者でも賢いとみなされる。彼が唇を閉じると、彼は知的であるとみなされる。

1 コリント 14:31 なぜなら、あなたがたはみな、すべての人が学び、すべての人が慰められるように、一人ずつ預言することができるからです。

すべての信者は、グループ全体が学び、慰められるように、一人ずつ預言することができます。

1. 共に預言する力 - 預言を利用して信仰を強化し、コミュニティを構築する方法。

2. 預言を通して慰めと学びを得る - 預言を使って慰めを見つけ、お互いから学ぶ方法。

1. 使徒 2:17 「そして、終わりの日にそれが実現すると、神は言われる、わたしはすべての肉なる者にわたしの霊を注ぎ、あなたの息子や娘たちは預言するであろう。」

2. エペソ人への手紙 4:11 「そして、ある者には使徒を、またある者には預言者を、またある者には伝道者を、またある者には牧師や教師を与えられた。」

1 コリント 14:32 そして、預言者の霊は預言者に服従します。

預言者の霊は預言者の支配下にあります。

1. 預言の力: 預言の賜物を理解し、活用する

2. 主の言葉を聞きましょう: 預言を聞く責任

1. エレミヤ 23:21-22 - 「わたしはこれらの預言者たちを遣わしませんでしたが、彼らはそのメッセージを伝えました。わたしは彼らに話しませんでしたが、彼らは預言しました。しかし、もし彼らがわたしの会議に立っていれば、彼らはこう宣言したでしょう」私の言葉を私の民に伝えれば、彼らは邪悪な道や邪悪な行為から遠ざかっただろう。

2. ヤコブ 1:5-6 - もしあなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、あら探しをせずにすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めるべきです。そうすれば、知恵は与えられるでしょう。しかし、尋ねるときは、信じて疑わないようにしなければなりません。疑う人は、風に吹かれて翻弄される海の波のようなものだからです。

1 コリント 14:33 なぜなら、すべての聖徒たちの教会と同様、神は混乱をもたらすのではなく、平和をもたらすからです。

神は混乱や無秩序の原因ではなく、むしろご自分の民の間の平和と団結を望んでおられます。

1.？쏥 od は私たちに団結と平和を呼びかけます??

2.？教会に対するオッドの意志??

1. 詩篇 133:1 - ?そうですか、兄弟が団結して暮らすのは、なんと心地よくて楽しいことでしょう。

2. ローマ人への手紙 12:16 - ?お互いに調和して生きています。高慢になってはならず、立場の低い人々と交わりなさい。自分自身の目から見て決して賢明ではありません。

1 コリント 14:34 教会では女性たちに沈黙を保ちましょう。彼女たちが話すことは許されないからです。しかし、法律にも書かれているように、彼らは服従するように命じられています。

教会の女性は法律で命じられているように、沈黙するよう指示されています。

1. 教会における女性の地位: 神の言葉への従順

2. 沈黙の力: 信仰において耳を傾け、学び、成長する

1. 箴言 31:10-31 - 敬虔な女性の一例

2. ペテロ第一 3:1-6 - 静かで優しい精神の価値

1 コリント 14:35 もし何か知りたいことがあれば、家で夫に尋ねてください。女性が教会で話すのは恥ずべきことだからです。

女性は教会で話すべきではなく、教会について質問がある場合は夫に尋ねるべきです。

1. 精神的指導者としての夫の重要性

2. 教会における女性の役割

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 夫に対する妻の服従

2. テモテ第一 2:11-14 - 教会における女性の役割

1 コリント 14:36 何ですか？神の言葉はあなたから出ましたか？それともあなただけに来たのですか？

一節 パウロはコリント人に質問し、神の言葉は彼らからではなく彼らにだけ来たのかどうかを尋ねています。

1. 神は私たちに、福音の良いたよりを周囲の人々に分かち合い、世界の光となるよう求めておられます。

2. 私たちは神の言葉を聞くだけでなく、それを実際に生活の中で実践するように注意しなければなりません。

1. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上に建てられた町を隠すことはできません。また、人々はともしびに火をつけたり、それを鉢の下に置いたりしません。代わりに、それを台の上に置き、「それは家の中の皆に光を与えます。同じように、あなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天の父に栄光を帰すことができます。」

2. ヤコブ 1:22 - 「ただ御言葉に耳を傾けるだけではなく、自分を欺いてはいけません。御言葉に書かれていることを行いなさい。」

1 コリント 14:37 もし自分を預言者または霊的だと思っている人がいるなら、私があなたがたに書いていることは主の戒めであることを認めてください。

パウロは、自分は霊的であると考える人たちに、手紙の中で与えた教えを主の戒めとして受け入れるよう勧めています。

1.「パウロの手紙の力：主の戒めを理解する」

2. 「霊的な生活を生きる：パウロの教えを神の御心として受け入れる」

1. 詩篇 119:11 - 「私があなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心の中に隠しました。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導かれるであろう。」

1 コリント 14:38 しかし、無知な人がいるなら、無知でいてください。

パウロはコリントの人々に、御霊の賜物を受け入れるよう勧めていますが、もし誰かがそれを受け入れたくない場合は、強制すべきではありません。

1. 御霊の賜物を歓迎する: コリント人へのパウロの励まし

2. 無知と率直さ: 第一コリント 14:38 のパウロのメッセージを理解する

1. ローマ人への手紙 12:6-8 - 私たちに与えられた恵みに応じて、さまざまな賜物を持っています。

2. ペテロ第一 4:10 - あなたがたはそれぞれ、さまざまな形での神の恵みの忠実な管理者として、自分が受け取った賜物をすべて使って他の人に仕えるべきです。

1 コリント 14:39 したがって、兄弟たちよ、預言することを切望し、異言を禁じてください。

パウロはクリスチャンに、異言を禁じずに預言するよう勧めています。

1. 信仰をもって声を上げましょう: 私たちの霊的な賜物を受け入れることが、どれほど私たちを神に近づけることができるのか。

2. 預言の力：私たちの霊的な賜物を発見し、神の王国を促進するために活用する。

1. ローマ人への手紙 12:6-8 - 私たちに与えられた恵みに応じて異なる賜物を持っているので、それを活用しましょう。

2. 使徒 2:1-4 - 聖霊の降臨と異言を語る弟子たち。

1 コリント 14:40 すべてのことをきちんと、秩序正しく行いましょう。

パウロはコリントの人々に、秩序正しく敬意を持って行動するよう勧めています。

1. 生活における秩序と敬意の確立

2. パウロの指示に従ってまともな生活を送る

1. エペソ人への手紙 5:15-17 - それでは、あなたはどのように生きているか、十分に注意してください。賢くないのと同じくらい賢明で、あらゆる機会を最大限に活用してください、なぜなら悪しき時代だからです。したがって、愚かではなく、主の御心が何であるかを理解してください。

2. テトス 2:11-12 - すべての人々に救いを与える神の恵みが現れたからです。それは私たちにこう言うことを教えてくれますか？この現代において、不敬虔と煩悩を捨て、自制して正しく敬虔に生きることを意味します。

第一コリント 15 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 15 章です。この章では、パウロは復活の話題を取り上げ、キリスト教信仰における復活の重要性を強調し、コリントの信者の間で生じたいくつかの誤解を正しています。

第 1 段落: パウロは、聖書に従ってキリストが私たちの罪のために死んで葬られ、三日目によみがえられたという、最も重要な福音のメッセージを再確認することから始めます (1 コリント 15:3-4)。彼は、ペテロ、ヤコブ、その他 500人以上を含む、復活後にイエスを見た目撃者のリストを提供しています(1コリント15:5-8)。パウロは、もしキリストが死人の中からよみがえらなかったなら、彼らの信仰は無駄であり、彼らは依然として罪の中にあると強調します(1コリント15:17)。彼はイエスを眠りについた人々の初穂として示し、キリストが復活されたのと同じように、彼らも永遠の命によみがえらされることを信者に保証しています。

第 2 段落: パウロは、コリントの信者の間で復活に関するいくつかの誤解について言及しています。彼は、肉体の復活を否定したり疑問を抱いたりする人々に対して、

人間や動物などさまざまな種類の肉があるのと同じように、地上の体と天の体などさまざまな種類の体があると説明しています(1コリント15:35-40)。彼は自然からの例えを使って、新しい命を生み出す前に種子がどのように死ななければならないかを説明しています。同様に、私たちの朽ちる体は、復活の時に朽ちない体に変えられます(1コリント15:42-44)。

第 3 段落: この章は、イエス・キリストによる死に対する勝利についての勝利の宣言で終わります。パウロは、イザヤ書（1コリント15:54-55）を引用して、死は勝利にのみ込まれたと宣言し、その力を嘲笑しています。神に仕える努力は無駄ではないので、信仰にしっかりと立つよう信者に勧めています (1コリント 15:58)。パウロのメッセージは希望と確信のメッセージであり、復活の現実と、死に対するキリストの勝利の永遠の重要性を確認しています。

要約すると、コリント人への手紙第一の 15 章は復活のテーマを中心にしています。パウロはキリスト教の信仰の基礎としてキリストの復活の重要性を強調しています。彼は肉体の復活についての誤解を正し、キリストが死者の中からよみがえられたのと同じように、信者たちも永遠の命への復活を経験するだろうと保証します。パウロは、復活の際に朽ちる体から朽ちない体への変化を例えで説明しています。彼はイエス・キリストによる死に対する勝利についての勝利の宣言で締めくくられ、信者たちに信仰にしっかりと立つよう励まし、神に仕える努力は無駄ではないことを保証した。この章は、キリスト教神学における復活の中心的な役割を強調し、信者に将来の栄光に関する希望を与えます。

1 コリント 15:1 兄弟たち、わたしは、わたしがあなたがたに宣べ伝えた福音をあなたがたに宣言します。あなたがたもその福音を受け入れ、そこに立っているのです。

パウロはコリントの人々に、自分が宣べ伝えた福音を思い出させ、彼らはそれを受け入れて拠り所としました。

1. 福音の力: なぜ私たちはその真実に立つのか

2. キリストの福音: 私たちの人生の基盤

1. コリント人への手紙第一 15:3-4 - なぜなら、私も受け取ったこと、すなわち、聖書に従ってキリストが私たちの罪のためにどのように死なれたかを、まずあなたがたに伝えたからです。そして、聖書に従って彼は埋葬され、三日目によみがえったとされています。

2. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

1 コリント 15:2 あなたがたも、無駄に信じていない限り、わたしがあなたがたに宣べ伝えたことを記憶に留めているなら、それによって救われます。

パウロはコリントの人々に、自分の教えが救われる方法であるため、その教えを思い出すように勧めています。

1. 思い出す力: 信仰を生かし続ける方法

2. 救いの祝福: 神の賜物を受け取り、それを思い出す

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

1 コリント 15:3 というのは、私も受け取ったこと、すなわち、聖書に従ってキリストが私たちの罪のためにどのように死なれたかを、まずあなたがたに伝えたからです。

使徒パウロは、聖書に従ってイエスが私たちの罪のために死んだことを教えました。

1. イエスの死の意味: 十字架の力を理解する

2. 福音の力: イエスの死がすべてを変えた

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. イザヤ書 53:5-6 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

1 コリント 15:4 そして、聖書に従って彼は葬られ、三日目によみがえったとあります。

使徒パウロは、聖書が預言していたとおり、イエスが埋葬され、三日目に死からよみがえられたことをコリント教会に思い出させました。

1. 「復活の人生を生きる：イエスの模範」

2. 「聖書の力: イエスの復活の意義」

1. ローマ 6:4-5 - したがって、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

5 なぜなら、私たちが神の死に似て一つに結ばれているなら、確かに私たちもまた彼の復活に似ているはずだからです。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きるだろう。そして生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはありません。これを信じますか？

1 コリント 15:5 そして、彼はケパ、そして十二人の中にも見られたという。

一節: パウロは、イエスが復活した後、ケファと十二人たちに見られたと述べています。

1. 復活の現実: ケファスと十二人はそれを目撃した

2. キリストの力: 信者たちが宣言したキリストの復活

1. 使徒 1:3 イエスは多くの証拠によって苦しみの後に生きたご自身を彼らに示し、四十日間彼らに現れて神の国について語られました。

2. ヨハネ 20:26 八日後、弟子たちは再び屋内に入り、トマスも一緒にいました。ドアは施錠されていましたが、イエスが来て彼らの間に立って、「あなたたちに平和があるように」と言われました。

1 コリント 15:6 その後、イエスは一度に五百人以上の兄弟たちの中に現れました。その大部分は現在まで残っていますが、眠っている人もいます。

パウロは復活したイエスとの出会いと、その後の500人以上の人々と復活の主との出会いについて詳しく語ります。

1: キリストの復活における私たちの希望

2: 復活の主を証しするコミュニティの力

1: ローマ人への手紙 6:4-5、「ですから、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちもまた新たな命の中を歩むためです。」

2: 使徒 1:3、「彼はまた、多くの間違いのない証拠によって受難の後に生きている自分を示し、四十日間彼らを見られ、神の国に関する事柄について語った。」

1 コリント 15:7 その後、ヤコブの姿が見られました。それから使徒全員のこと。

一節 イエスはヤコブに現れ、次にすべての使徒に現れました。

1. 信じられないものを信じる: イエスの復活

2. イエスの臨在：私たちの生活の中でイエスを体験する

1. ローマ 10:9-10 - 「もしあなたが口で『イエスは主である』と宣言し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、あなたが信じて義とされるのは心によってであり、信仰を告白して救われるのは口だからである。」

2. ヨハネ 20:19-21 - 週の最初の日の夕方、弟子たちがユダヤ人の指導者たちを恐れて戸に鍵をかけて集まっていたとき、イエスが来て彼らの間に立って言われた、「平和があるように」あなた！"そう言ってから、彼は彼らに手とわき腹を見せた。弟子たちは主を見て大喜びしました。イエスは再び言われました。「あなたたちに平和がありますように。父が私を遣わされたように、私もあなたを遣わします。」

1 コリント 15:8 そして最後に、彼は私に対しても、時が来て生まれた者のように見えました。

使徒パウロは、予期せぬ時に生まれたにもかかわらず、イエス・キリストが死者の中から復活したのを見た経験を語ります。

1: たとえ予期せぬことや普通ではないと思われることがあっても、私たちはイエス・キリストへの信仰に忠実であり続けなければなりません。

2: イエス・キリストの復活は、神が常に私たちとともにいて、私たちの人生に力強い働きをしてくださるということを力強く思い出させてくれます。

1: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2: ローマ 10:9 - イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。

1コリント15:9 私は使徒の中で最も小さい者であり、神の教会を迫害したので使徒と呼ばれるにはふさわしくありません。

使徒パウロは、神の教会を迫害した過去があるため、自分は使徒の中で最も小さい者であると謙虚に宣言しています。

1. 謙虚さを大切にする: 私たちは自分の人生とこれまでの道のりを振り返るときに、パウロの自己認識と謙虚さの例から学ぶことができます。

2. 許しの力：私たちがどれほど遠くに逸れてしまったとしても、神の恵みと許しはいつでも私たちを神のもとに連れ戻すことができます。

1. ルカ 1:37 - 「神にとって不可能なことは何もないからです。」

2. ヨハネ第一 2:1-2 - 「私の小さな子供たちよ、私はあなたが罪を犯さないようにするためにこれらのことをあなたに書いています。しかし、誰かが罪を犯した場合、私たちには父の弁護人、義人イエス・キリストがいます。彼は神です。私たちの罪のためのなだめの品であり、私たちだけの罪ではなく、全世界の罪のためでもあります。」

1 コリント 15:10 しかし、私は神の恵みによって今の私になっています。私に与えられた神の恵みは無駄ではありませんでした。しかし、私は彼ら全員よりも豊かに働きました。しかし、それは私ではなく、私とともにあった神の恵みでした。

パウロは、誰よりも豊かに働けるように与えられた神の恵みに感謝しています。

1. 神の恵みに頼って仕事をする

2. 神の恵みの豊かさ

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできる

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

1 コリント 15:11 ですから、私であれ彼らであれ、私たちは宣べ伝えており、あなたがたも信じたのです。

パウロと他の使徒たちは同じメッセージを宣べ伝え、コリント人たちはそれを信じました。

1. 同じメッセージの力: 同じメッセージを説くことで私たちはどのように団結するのか

2. 信じることの強さ: 信仰は団結によってどのように強化されるか

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. ピリピ 1:27-28 - ただ、あなたの生き方がキリストの福音にふさわしいものにしてください。そうすれば、私があなたに会いに来ても、不在でも、あなたが一つの精神でしっかりと立っていることを聞くことができます。心を一つにして福音の信仰のために力を合わせて努力します。

1 コリント 15:12 さて、もしキリストが死者の中から復活したと宣べ伝えられているとしたら、あなたがたの中に死者の復活など存在しないと言う人たちがどうしているでしょうか。

コリント人たちの中には死者の復活を否定する人もおり、パウロはキリストが死者の中からよみがえられたと宣教されてきたことを考慮して、その理由を疑問視していました。

1. キリストご自身が死者の中からよみがえられたとき、死者の復活を否定するのは愚かです。

2. 私たちは、イエスが死者の中からよみがえられ、復活する人々の初穂となったことを覚え、決して忘れてはなりません。

1. ローマ 8:11 - 「イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、

あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。」

2. ヨハネ 11:25-26 - 「イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことがない。」

1 コリント 15:13 しかし、死者の復活がないのであれば、キリストは復活していないということになります。

パウロはキリストの復活を肯定し、それがなければキリスト教の信仰は存在しないと警告しています。

1. 揺るぎない復活の希望

2. 復活したキリストの力

1. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2. マタイ 28:6 - 彼はここにはいません。彼が言ったように、彼は復活したからです。さあ、主が横たわられた場所を見に来てください。

1コリント15:14 もしキリストがよみがえらなかったら、私たちの宣教は無駄になり、あなたがたの信仰も無駄になります。

使徒パウロは、キリストが復活しなかったなら、説教は無意味であり、信仰にも価値がないと述べています。

1. 復活の力: キリストの復活が私たちの人生にどのように意味と価値をもたらすか

2. 説教と信仰: 復活したキリストの力を受け入れましょう

1. ローマ 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、自分が神に対して正しいとされるのは心の中で信じることによってであり、自分が救われるのは口で告白することによってなのだから。」

2. ペテロ第一 1:3-5 - 「私たちの主イエス・キリストの父である神にすべての賛美を捧げます。神がイエス・キリストを死者の中からよみがえらせたので、私たちが新しく生まれ変わったのは神の深い憐れみによるものです。今、私たちは大きな期待を抱いて生きています。そして、私たちはかけがえのない財産を持っています。この財産は、変化や衰退が及ばない、純粋で汚れのない、あなたのために天に保管されています。そして、あなたがこの救いを受け取るまで、神はあなたの信仰を通して、その力によってあなたを守っており、その救いは終わりの日にすべての人に明らかにされる準備が整っています。」

1 コリント 15:15 そうです、私たちは神の偽りの証人であることがわかります。なぜなら、私たちは神がキリストをよみがえらせたと証言したからです。死人がよみがえることがないとすれば、神はキリストをよみがえらせなかったのです。

この箇所は、神がイエスを死者の中からよみがえらせたという偽りの証言をする人々について語っていますが、実際には死者がよみがえらないのであれば、これは真実ではありません。

1. 偽証の力とそれを信じることの結果

2. 識別力と証拠調べの重要性

1. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

2. マタイ 7:15-20 - 「偽預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたたちのところに来るが、内心は貪欲な狼です。あなたはその果実によってそれらを認識するでしょう。ブドウはイバラの茂みから集められますか、それともイチジクはアザミから集められますか？したがって、健康な木はすべて良い実を結びますが、病気の木は悪い実を結びます。健康な木が悪い実を結ぶことはできませんし、病気の木が良い実を結ぶこともできません。良い実を結ばない木はすべて切り倒され、火の中に投げ込まれます。したがって、あなたはその実によって彼らを認識するでしょう。」

1 コリント 15:16 死者がよみがえらないなら、キリストもよみがえらないのです。

パウロは、死者がよみがえらなければ、キリストもよみがえらないはずだと主張します。

1. 復活の力: キリストの復活が意味するものを理解する

2. 復活の証拠: キリストの復活の信憑性を証明する

1. イザヤ書 53:10-12 - しかし、彼を打ち砕いて苦しませるのは主のご意志でした。主は彼の命を罪のいけにえとされますが、彼の子孫を見て、彼の寿命を延ばします。主は御手の中で栄えます。

11 彼は苦しみの後に命の光を見て満足するでしょう。私の義なる僕は彼の知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を負うでしょう。

2. ローマ 8:11 - そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたの中に住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住んでおられる御霊のゆえに、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

1 コリント 15:17 もしキリストがよみがえらなければ、あなたの信仰は無駄になります。あなたがたはまだ罪の中にいます。

イエス・キリストが死者の中からよみがえらなかったなら、私たちの信仰は無意味であり、私たちは依然として罪の中にいます。

1.「復活の力」

2.「救いの約束」

1. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2. 詩篇 103:12 - 東が西から遠い限り、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

1コリント15:18 そのとき、キリストにあって眠りについた者たちも滅びます。

一節 キリストにあって死んだ者たちは滅びました。

1. 私たちは、キリストにおいて私たちより先に去って行った人々と、彼らが私たちの人生に与えた影響を忘れてはなりません。

2. 永遠の命に対する私たちの希望はイエスにあり、私たちは慰めと喜びの源としてイエスにしがみつかなければなりません。

1. ピリピ 3:20 - しかし、私たちの国籍は天にあり、私たちはそこから救い主、主イエス・キリストを待っています。

2. ローマ 14:8 - 私たちは、生きるなら主に対して生き、死ぬなら主に対して死ぬからです。ですから、私たちが生きていても、死んでも、私たちは主のものなのです。

1 コリント 15:19 もし、この世で私たちがキリストにある希望しか持っていないとしたら、私たちはすべての人間の中で最も悲惨です。

パウロは、キリストにある希望がなければ人生は悲惨に満ちていると強調します。

1. 「キリストに希望を持ち続ける：悲惨な人生を拒否する」

2. 「キリストにおける希望の約束：悲惨な人生を拒否する」

1. ローマ 8:25 - 「しかし、目に見えないものを望むなら、私たちは忍耐強くそれを待ちます。」

2. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

1コリント15:20 しかし今、キリストは死人の中からよみがえられ、眠っている者たちの初穂となられたのです。

キリストの復活: キリストは死者の中から復活し、亡くなった人々の初穂となりました。

1. 復活の希望: 神はキリストの復活を通して私たちに永遠の命の希望を与えてくださいました。

2. キリストの力: イエスは死に打ち勝ち、あらゆる障害を克服する力を私たちに与えてくださいました。

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. ローマ 6:9-10 - 私たちは、死者の中からよみがえられたキリストが二度と死ぬことはないことを知っています。死はもはや彼を支配することができません。死に関しては、彼は一度限り、罪に対して死んだのですが、その人生は神に対して生きています。

1 コリント 15:21 なぜなら、死が人によって来たのと同じように、死者の復活も人によって来たからです。

死は人間によって引き起こされましたが、死者の復活も同様です。

1. 復活をもたらす人類の力。

2. 死の救いの美しさ。

1. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことはない。

2. ローマ 5:18 - したがって、一度の罪過がすべての人に有罪判決をもたらしたように、一度の義の行為はすべての人に義と命をもたらすのです。

1 コリント 15:22 なぜなら、アダムにあってはすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからです。

すべての人は死にますが、キリストにあって生かされるのです。

1.「キリストにあるいのち：永遠のいのちの希望」

2.「救いの力：キリストを通して死を克服する」

1. ローマ人への手紙 6:23、「罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。」

2. ヨハネ 11:25-26、「イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生き、生きていてわたしを信じる者は決して死ぬことがない。これを信じますか？」

1 コリント 15:23 しかし、人はそれぞれ自分の順序に従っています。初穂であるキリスト。その後、キリストの来臨の際にキリストのものとなる者たち。

パウロは復活の順序について語ります。その順序では、キリストが初穂であり、キリストに属する者たちがキリストの再臨に従うことになります。

1. 復活の秩序: キリストの勝利がどのように私たちの勝利を保証するか

2. 復活の希望: キリストの再臨はどのように私たちに力を与えるのか

1. ローマ 8:23-25 - そして、彼らだけでなく、御霊の初穂を持つ私たち自身も、心の中でうめきながら、養子縁組、機知に富んだ体の救いを待っています。

2. ピリピ 3:20-21 - 私たちの会話は天にあります。私たちはまた、そこから救い主、主イエス・キリストを求めます。主は、すべてのものを自分自身に服従させることさえできる働きに応じて、私たちの卑劣な体を変えて、その栄光の体に似たものに変えてくださいます。

1 コリント 15:24 そして終わりが来ます。その時、彼は王国を神、つまり父に引き渡します。彼がすべての支配とすべての権威と権力を打ち倒すとき。

世の終わりは、イエスが王国を父なる神に引き渡し、すべての支配、権威、権力を破壊するときに起こります。

1. 終わりが近づいている: 準備はできていますか?

2. 最終的な権威：神の主権

1. ローマ人への手紙 14:11-12 (こう書いてあります。「わたしは生きている、と主は言われる、すべての膝はわたしにかがみ、すべての舌は神に告白するであろう。そのとき、わたしたちは皆、神に自分のことを言い表すであろう」。）

2. エペソ人への手紙 1:20-21 (キリストが死人の中からよみがえらせ、天上でご自分の右の座に据えたとき、彼はキリストにあってそれを成し遂げました。あらゆる支配力、権力、力強さ、支配力をはるかに上回りました。そして名付けられたすべての名前は、この世界だけでなく、来るべき世界でも同様です。）

1 コリント 15:25 なぜなら、彼はすべての敵をその足の下に置くまで統治しなければならないからです。

パウロは、イエスは敵をすべて倒すまで統治しなければならないと述べています。

1. イエスの統治: 彼の勝利の力

2. キリストの統治: キリストの権威への信頼

1. ピリピ人への手紙 2:9-11 - そこで、神はイエスをいと高き所に高め、あらゆる名に勝る名を与え、天においても地においても地においても、イエスの名においてはすべての膝がかがむべきである、そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であることを認めます。

2. エペソ人への手紙 1:20-22 - 彼がキリストを死人の中からよみがえらせ、天の領域でその右の座に着かせたとき、彼は、あらゆる支配と権威、力と支配、そしてあらゆる称号をはるかに超えて、キリストにおいて発揮した力である。それは現代だけでなく、来るべき時代においても同様です。そして神はすべてのものを彼の足の下に置き、彼を教会のすべての上に置く頭として任命した。

1 コリント 15:26 滅ぼされる最後の敵は死です。

死は打ち負かされる最後の敵です。

1. 恐れることなく - 死に対する勝利の探求

2. 復活の力 ～死の最終掌握を超える～

1. コリント第一 15:54-57 「死は勝利にのみ込まれた。死よ、あなたの勝利はどこにあるのか。死よ、あなたのとげはどこにあるのか。」

2. ヨハネ 11:25-26 - 「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きる。」

1コリント15:27 神はすべてのものを自分の足の下に置いたからです。しかし、彼がすべてのものを自分の支配下に置くと言うとき、それは明らかに、すべてのものを彼の支配下に置いた彼が例外であることを示しています。

イエスには万物に対する権威が与えられていますが、イエスご自身が神に服従しているため、イエスの権威は絶対的なものではありません。

1. 神の主権: 誰が責任者であるかを理解する

2. イエス：神への服従の最大の模範

1. ローマ人への手紙 14:7-8 - 私たちは、自分のために生きている人はいないし、自分のために死ぬ人もいないからです。なぜなら、私たちが生きているかどうかは、主のために生きているからです。したがって、私たちが死ぬにせよ、死ぬにせよ、私たちは主のものなのです。

2. フィリピ 2:5-11 - キリスト・イエスにもあったこの思いをあなたの中に持ちましょう。キリストは神の姿をしていて、神と同等であることが強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、そして、彼は召使の姿をとり、人間と同じように造られました。そして、人間としての姿で見出され、へりく

だって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

1 コリント 15:28 そして、万物が御子に服従するとき、御子ご自身もまた、万物をご自分の下に置かれた方に服従するであろう。それは、神がすべてにおいてすべてであられるためである。

この箇所は、すべてのものが神に服従し、子が神に服従するとき、神は最終的にはすべてであると説明しています。

1. 神はすべての至高の支配者である

2. 神の主権の力

1. ヘブライ 13:20-21 - 永遠の契約の血によって、羊の大羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた平和の神が、あなたがご自分の行いをするために、すべての良いものを備えてくださいますように。イエス・キリストを通して、彼の目に喜ばれることをあなたの内で働かせ、栄光が永遠にありますように。アーメン。

2. ローマ 11:33-36 - ああ、神の富と知恵と知識の深さ！彼の判断はなんと調べにくく、彼のやり方はなんと不可解なのでしょう。「というのは、誰が主の心を知っていただろうか、あるいは誰が主の相談相手だったのでしょう？」「それとも、誰が彼にお返しをするために贈り物をしたのですか？」なぜなら、すべては彼から出て、彼を通して、そして彼に至るものだからです。彼に永遠の栄光がありますように。アーメン。

1 コリント 15:29 死者のためにバプテスマを受けた者は、もし死者がまったくよみがえらなかったら、それではどうするのでしょうか。なぜ彼らは死者のために洗礼を受けるのでしょうか？

パウロの一節は、復活がないのになぜ人々はバプテスマを受けるのかという疑問を提起します。

1. 信仰の力: バプテスマの目的は何ですか?

2. イエスの復活: 私たちの希望を宣言します。

1. ローマ 6:3-4 - 「キリスト・イエスへのバプテスマを受けた私たち全員が、その死へのバプテスマを受けたことを知らないのですか。したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。」

2. コロサイ 2:12 - 「バプテスマを受けてイエスとともに葬られたので、あなたもそのバプテスマの中で、イエスを死者の中からよみがえらせた神の力強い働きへの信仰によって、イエスとともによみがえらされました。」

1 コリント 15:30 それでは、なぜ私たちは毎時間危険にさらされるのでしょうか。

パウロは、なぜクリスチャンが絶えず迫害や苦しみの危険にさらされているのか疑問を抱いています。

1. 「迫害の危険: リスクにもかかわらず強く立ち続ける」

2.「危険に直面したときの神の恵み」

1. ヘブライ 11:32-40 – 危険に直面した旧約聖書の聖徒たちの信仰。

2. ローマ 8:31-39 – 危険のただ中での神の愛の確信。

1 コリント 15:31 私たちは、私たちの主キリスト・イエスにあって抱いているあなたの喜びによって抗議します、私は毎日死んでいます。

使徒パウロは、キリストの大義のために毎日死ぬ覚悟を表明しています。

1. イエスに従う代償：毎日死んでも構わないと思う

2. 犠牲の人生を生きる: パウロの例

1. ピリピ 3:10 - 「それは、私が彼と彼の復活の力を知り、彼の苦しみを分かち合い、彼の死に似るようになるためです。」

2. ヘブライ 13:13 - 「宿営の外に行って、彼が受けた非難に耐えましょう。」

1 コリント 15:32 もし私がエフェソスで人間のやり方に従って獣と戦ったとしても、もし死人がよみがえらなかったら、それが何の得になるでしょうか。食べたり飲んだりしましょう。明日には私たちは死ぬからです。

一節パウロは、死人がよみがえらないのであれば、もがき、戦う意味を問いかけています。彼は、人々は人生がある間は楽しむべきだと提案しています。

1. 人生の意味: 永遠に生きる

2. 瞬間を受け入れる: できる限り人生を楽しみましょう

1. 伝道の書 9:7-9 - 行って、喜んでパンを食べ、楽しい心でぶどう酒を飲みなさい。神はすでにあなたの行いを受け入れてくださっているからです。衣服は常に白く、頭に油が不足しないようにしなさい。愛する妻と一生幸せに暮らしてください。

2. ヤコブ 4:13-14 - さあ、「今日か明日、あんな町に行って一年過ごし、貿易をして儲けよう」と言う人たちよ、それでも明日はどうなるか分からないのです。持ってくる。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。

1 コリント 15:33 だまされてはいけません。邪悪なコミュニケーションは良いマナーを台無しにします。

この一節は、腐敗した行為につながる可能性のある悪い影響にだまされることを警告しています。

1.「悪影響の危険性」

2.「良い選択をする力」

1. 箴言 13:20 - 賢者とともに歩む者は賢くなり、愚か者の仲間は滅ぼされる。

2. ヤコブ 1:16 - 愛する兄弟たち、騙されないでください。

1 コリント 15:34 義に目覚め、罪を犯してはなりません。神についての知識を持っていない人もいるからです。私はあなたがたの恥のためにこれを話します。

パウロはコリント人たちに、神についての知識が欠けている人たちがいるので、罪を犯さないように義に目覚めるよう勧めています。

1.「神の恵みを理解する：正しく生きる方法」

2. 「知識の必要性: 恥に支配されないでください」

1. ローマ人への手紙 6: 14-17 - 罪はあなたを支配することができません。あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるからです。

2. 箴言 2:6-8 - 主は知恵を与えてくださるからです。その口からは知識と理解力が生まれます。

1 コリント 15:35 しかし、ある人はこう言うだろう、「死者はどうやってよみがえるのか」。彼らはどんな体でやって来るのでしょうか？

パウロは死者の復活と、彼らがどのように復活するかについて質問を投げかけます。

1.「復活：永遠の命の希望」

2. 「復活した者の体: それはどのようなものになるでしょうか?」

1. ヨブ 19:25-27 - わたしは、わたしを救い主が生きておられ、最後には地の上に立つことを知っているからです。そして、私の皮膚がこのように破壊された後でも、私の肉体の中で私は神を見るでしょう、私は自分自身で神を見るでしょう、そして私の目は他のものではなく見るでしょう。私の心は私の中で失神します！

2. ペテロ第一 1:3-5 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神に祝福あれ！神の偉大な憐れみにより、イエス・キリストの死者の中からの復活を通して、私たちが生ける希望へと生まれ変わらせてくださいました。その相続財産は、朽ちず、汚れも、色褪せることもなく、神の力によってあなたのために天に保たれています。終わりの時に明らかにされる救いのために、信仰によって守られているのです。

1 コリント 15:36 愚か者よ、あなたが蒔いたものは、死ななければ生かされません。

パッセージ 何かが生き返るには死が必要です。

1. 死の力: 死がいかにして生命をもたらすか

2. 犠牲の必要性: 得るために何を放棄しなければならないか

1. ヨハネ 12:24 - まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一人で残ります。しかし、死ねば、多くの実を結びます。

2. ローマ 6:4-5 - したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られています。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。なぜなら、私たちが彼の死に似て一緒に植えられたのであれば、私たちは彼の復活にも似ているからです。

1 コリント 15:37 そして、あなたが蒔くものは、将来そうなるその体ではなく、裸の穀物であり、小麦か他の穀物である可能性があります。

種を植えてもすぐに収穫できるわけではありませんが、最終的には植えたとおりに成長します。

1. 成長の奇跡: 神の創造がどのように機能するかを理解する

2. 信仰の種を蒔く: 神の愛の恩恵を刈り取る

1. ガラテヤ 6:7-8 - だまされてはなりません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは、神も刈り取るからです。 8 自分の肉に種を蒔く人は、肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は、御霊から永遠の命を刈り取るからです。

2. ヤコブ 1:17-18 - すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来ており、変化による変化や影のない光の父から降りてきます。 18 神はご自身の意志で、真理の言葉によって私たちを生み出し、私たちが神の被造物の一種の初穂となるようにとなさいました。

1コリント15:38 しかし、神はご自分の御心に適うように、それに体を与え、また、すべての種に、ご自身の体を与えられます。

神は、命じられたとおり、その目的を達成するために、それぞれの種に固有の体を与えます。

1. 神の計画の力: 神の創造を通して私たちの目的を理解する

2. 神の創造の美しさ: 神の創造の多様性を鑑賞する

1. 詩篇 139:14 - 私はあなたをほめます。なぜなら、私は恐ろしいほどに素晴らしく造られているからです。あなたの作品は素晴らしいのです。そして私の魂は正しく知っているのです。

2. 創世記 1:11-13 - それから神は言われました、「地に植物が芽生え、種を生む植物が、地に果樹が種のある種類に倣って実を結びますように。」そしてそうでした。大地は植物を生み出し、植物はその種類に応じて種子を生み、木々はその種類に応じて種子を含んだ実を結びました。そして神はそれが良いことであることをご覧になりました。夕方があり、朝があった、三日目。

1 コリント 15:39 すべての肉は同じではありません。人間の肉、獣の肉、魚の肉、鳥の肉があります。

パウロは、人間、獣、魚、鳥の中にさまざまな肉があることに注目して、創造物の多様性を強調しています。

1. 神の驚くべき多様性: 創造の多様性を理解する

2. それぞれの生命の独自性: 人間、獣、魚、鳥の個性を讃える

1. 創世記 1:21-25 - 神は鳥、魚、動物を創造される

2. 詩篇 104:24-30 - 神が造られた動物のために神を賛美する

1 コリント 15:40 天体と地上の天体もありますが、天の栄光と地上の栄光は別のものです。

パウロは、天体と地上の天体の栄光には違いがあると説明しています。

1. 天国の栄光: その意味とそれを求める方法

2. この世の違いに意味を見出す

1. マタイ 6:19-21 – 「自分のために宝を地上に蓄えてはなりません。そこでは蛾や害虫が滅ぼし、盗人が押し入って盗みます。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは蛾や害虫が破壊せず、泥棒が押し入って盗むこともありません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。」

2. ヤコブ 4:13-15 – 「さあ、聞いてください。『今日か明日、あちこちの町に行って、そこで一年過ごして、商売をしてお金を稼ごう』と言っている人たち。」だって、明日何が起こるかさえわかりません。あなたの人生は何ですか？あなたは一瞬現れて消える霧です。そうではなく、『主の御心であれば、私たちは生きてあれこれするだろう』と言うべきです。」

1 コリント 15:41 太陽の栄光もあれば、月の栄光もあり、星の栄光もある。なぜなら、ある星の栄光は他の星の栄光とは異なるからである。

太陽、月、星の輝きは独特で多様です。

1. 創造物の美しさを鑑賞する

2. 私たちの違いを祝う

1. 詩篇 19:1-2 - 天は神の栄光を宣言します。空が彼の手の働きを告げる。来る日も来る日も彼らはスピーチを注ぎ込む。彼らは夜な夜な知識を明らかにします。

2. ヤコブ 1:17 - すべての良い完全な賜物は上から来て、天の光の父から降りてくるものであり、移り変わる影のように変わることはありません。

1コリント15:42 死者の復活も同様です。それは腐敗の種を蒔かれています。それは腐敗せずに育てられます。

一節 死者の復活は、腐敗した状態で蒔かれ、その後腐敗しない状態で育てられる種のようなものです。

1. 私たちの復活: 不滅の希望

2. 復活の力: 死からの生

1. ペテロ第一 1:3-5 - 復活の希望について神を賛美する

2. ヨハネ 11:25-26 - 死に対する復活の力を宣言するイエス

1コリント15:43 それは不名誉の中に蒔かれています。それは栄光の中で育てられ、弱さの中に蒔かれます。それはパワーアップされます:

この一節は、不名誉と弱さの中に蒔かれたものは栄光と力に育てられると説明しています。

1. 救いの力: 神はどのようにして私たちの弱さを強さに変えられるのか

2. 神の変わらぬ愛: 神の憐れみが私たちの生活をどのように変えるか

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主に望みを持つ者は力を新たにする。彼らは鷲のように翼を広げ、走っても疲れず、歩いても弱らない。」

1 コリント 15:44 それは自然の体に蒔かれるものです。それは霊的な体を高められます。自然の体と霊的な体があります。

この一節は、人間の身体が自然なものから霊的なものへと変化することについて語っています。

1. 私たちの体は御霊の神殿であり、キリストへの信仰によって変えられます。

2. 復活の力は信者に新しい命をもたらします。

1. ローマ 8:11 - そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

2. コリント人への第二 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去りました。見よ、すべてが新しくなった。

1 コリント 15:45 そして、こう書かれています、「最初の人アダムは生きた魂とされた。最後のアダムは生気を与える霊とされました。

聖書には、最初の人アダムは生ける魂として創造され、最後のアダムは生ける霊として創造されたと記載されています。

1. アダムとイエスの違い: 最初と最後のアダムは罪と救いをどのように表現するか

2. 御霊によって生かされる：命を与えるイエスの力を体験する

1. ローマ 5:12-19 - アダムの罪の結果とイエスによる義認の賜物

2. エペソ人への手紙 2:1-10 - 死んだ罪人をキリストにおいて生き返らせる神の恵みの力

1 コリント 15:46 しかし、最初にあったのは霊的なものではなく、自然なものでした。そしてその後は霊的なもの。

自然なものが最初に来て、次に精神的なものが続きます。

1. 自然の優先順位: 創造における私たちの立場を理解する

2. 自然と霊的なものの相互作用: 聖性への道を発見する

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

2. 詩篇 19:1-2 - 天は神の栄光を宣言します。空が彼の手の働きを告げる。来る日も来る日も彼らはスピーチを注ぎ込む。彼らは夜な夜な知識を明らかにします。

1 コリント 15:47 最初の人は地から来た、土的な人です。第二の人は天から来た主です。

この聖句は二人の男について語っています。最初の人は地から来た人で、二番目の人は天から来た主です。

1. 地上の考え方と天の考え方の違い

2. 天国の住人として生きる

1. フィリピ 3:20-21 - 「しかし、私たちの国籍は天にあり、私たちはそこから救い主、主イエス・キリストを待っています。主は、私たちの卑しい体を、神の栄光の体のように変えてくださる力によって、すべてを自分自身に服従させること。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

1 コリント 15:48 地的なものと同じように、地的なものも同様です。また、天的なものと同様、天的なものもあります。

地上と天上のものは異なり、それぞれの特質がそこに住む人々に反映されます。

1: 私たちは地上の価値観を拒否し、天上の価値観を体現するよう努めなければなりません。

2: 神に似たものになるためには、私たちは世俗的な欲望を乗り越えなければなりません。

1: マタイ 6:33 - しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

2: ローマ 12:2 - そして、この世に適応するのではなく、心を新たにして自分を変えてください。それは、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明できるようにするためです。

1 コリント 15:49 そして、私たちが地上の像を負ったように、私たちは天の像も負うことになります。

一節 私たちは地上の像を負ったのと同じように、天上の像を負うことになります。

1.「天国のイメージ：よりキリストに似ていく」

2.「天の像の光の中で生きる」

1. エペソ人への手紙 4:17-24 - 古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着なさい

2. ローマ 8:28-29 - 神を愛し、神の目的に従って召された人々の利益のために、神はすべてを協力して働かれます。

1 コリント 15:50 兄弟たち、ここで私は言いますが、肉と血は神の国を受け継ぐことができません。腐敗が腐敗を引き継ぐこともありません。

神の国は肉と血によって受け継がれることはできませんし、腐敗が不朽を引き継ぐこともできません。

1. 私たちは神の国を受け継ぐために、物質的なものではなく信仰に頼らなければなりません

2. 堕落した者は神の国に入ることが許されない

1. ローマ人への手紙 8:17 - そして、子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

2. ルカ 18:29-30 - そしてイエスは彼らに言った、「はっきり言っておきますが、神の国のために家、両親、兄弟、妻、子供を捨てた人は一人もいません。この世においても、また来るべき世においても、永遠の命をこれ以上受け取ることはできないでしょう。

1 コリント 15:51 見よ、私はあなたに奥義を示します。私たちは皆眠っているわけではありませんが、私たちは皆変わります。

一節 すべての人が死ぬわけではありませんが、誰もが変容を経験します。

1. 変容の謎を理解する

2. 変化の約束を受け入れる

1. ローマ 8:28-29 そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. イザヤ書 43:18-19 「前のことは忘れなさい。過去にこだわってはいけません。見なさい、わたしは新しいことをしているのです。今、それが湧き出ています。あなたがたはそれに気づかないのですか。わたしは荒野に道を作っています。荒野の小川。」

1 コリント 15:52 瞬時に、瞬く間に、最後のラッパが鳴り響きます。ラッパが鳴り響き、死人は朽ちない者としてよみがえらされ、私たちは変えられるからです。

最後のラッパが鳴ると、死者は朽ちない者としてよみがえらされ、私たちはすぐに変えられます。

1. 復活の力 2. 時の終わり

1. ローマ 8:11 - そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住んでいる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生き返らせるでしょう。 2. テサロニケ人への第一の手紙 4:16-17 - 主ご自身が、叫び声、大天使の声、そして神の切り札とともに天から降りてくるからです。すると、キリストにある死人が最初によみがえります。それから生きている私たちがよみがえります。そして残りは彼らと一緒に雲の中に引き上げられ、空中で主に会うでしょう。そして私たちは常に主とともにいることになります。

1 コリント 15:53 なぜなら、この堕落する者は朽ちないものを着なければならず、この死ぬべき者は不死を着なければならないからです。

腐敗しやすいものは腐敗しなくなり、死ぬべきものは不滅にならなければなりません。

1. 永遠の命の希望: 死をどう乗り越えるか

2. 復活の力: 私たちの死ぬべき肉体を変える

1. ローマ 6:5-11 - イエスの復活によって変えられた人生の力。

2. ペテロ第一 1:3-9 - イエスの復活による永遠の命の希望。

1 コリント 15:54 ですから、この堕落する者が朽ちないものを着、この死ぬべき者が不滅の者を着るとき、「死は勝利に呑み込まれる」と書かれている言葉が実現するでしょう。

腐敗し、死すべき者は、腐敗と不死とに取って代わられ、死は打ち負かされるでしょう。

1: キリストにおける勝利 - 私たちが人生で何に直面しても、キリストはすでに死に対して最終的な勝利を収めています。

2: 信仰の力 - 神への信仰を通して、たとえ死が訪れても、復活と永遠の命の約束があるという確信を私たちは得ることができます。

1: イザヤ書 25:8 彼は勝利のうちに死を飲み込むでしょう。そうすれば主なる神はすべての顔から涙をぬぐってくださるでしょう。主はその民の叱責を全地から取り除くであろう。主がそれを語られたからである。

2: 1 コリント 15:26 滅ぼされる最後の敵は死です。

1コリント15:55 死よ、おまえのとげはどこにあるのか。おお墓よ、あなたの勝利はどこにあるのですか？

パウロは死の力と墓の勝利について疑問を呈しています。

1:「人生の勝利 死を乗り越える」

2:「希望の強さは墓の中ではない」

1: イザヤ書 25:8 - 彼は死を永遠に飲み込むでしょう。そうすれば主なる神はすべての顔から涙をぬぐってくださるでしょう。

2: 黙示録 1:18 - 私は生きている者であり、死んだ者です。そして見よ、私は永遠に生きている、アーメン。そして地獄と死の鍵を持っています。

1 コリント 15:56 死のとげは罪です。そして罪の強さは律法です。

死は罪によって引き起こされ、律法は罪に力を与えるものです。

1. 罪の結果は死である

2. 法律の力

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. ヤコブ 2:8-13 - 聖書にある「隣人を自分のように愛さなければならない」という王法を実践するなら、あなたはうまくやっているのです。しかし、もし偏愛を示すなら、あなたは罪を犯していることになり、法律によって違反者として有罪判決を受けます。というのは、律法全体を守っていても、ある点で失敗した者は、そのすべてに対して責任を負うことになるからです。「姦淫してはならない」と言う者は、「人を殺してはならない」とも言っているのだから。姦淫を犯さずに殺人を犯した場合、あなたは法律違反者になります。自由の法則のもとで裁かれる者として語り、行動しなさい。なぜなら、慈悲を示さなかった者には裁きは容赦ないからである。慈悲は裁きに打ち勝ちます。

1 コリント 15:57 しかし、私たちの主イエス・キリストによって私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。

コリント人への第一の手紙 15 章 57 節で、パウロはイエス・キリストを通して勝利を与えてくださった神に感謝しています。

1.「イエス・キリストによる勝利」

2.「神に感謝する」

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. 詩篇 118:14 - 主は私の力であり、私の歌です。彼は私の救いとなりました。

1 コリント 15:58 ですから、愛する兄弟たちよ、あなたがたは、自分の労苦が主にあって無駄ではないことを知っているので、しっかりして、動かず、常に主の働きに精を出しなさい。

信者は、その努力は無駄ではないので、確固たる姿勢を保ち、主に仕えることに専念すべきです。

1. 豊かな信仰：確固たる決意への道

2. 揺るぎない奉仕：忠実な労働の成果

1. ヘブライ 10:23-24 - 揺るがずに自分の信仰告白を堅持しましょう。（彼は約束したとおり忠実だからです;）そして、愛と良い行いを促すためにお互いを考慮しましょう。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし言葉を実行する者ではなく聞く者がいるとしたら、その人は、ガラスの中で自分の自然な顔を眺める人間に似ているからである。なぜなら、彼は自分自身を見つめ、自分の道を進み、

自分がどんな人間だったのかをすぐに忘れてしまうからである。しかし、完全な自由の法則を見つめ、それを継続し、忘れることを聞く人ではなく、働きを行う人は、その行為において祝福されるであろう。

第一コリント 16 章は、コリント人へのパウロの第一の手紙の 16 番目で最後の章です。この章でパウロはコリントの信徒たちにさまざまな指示や挨拶をしています。

第 1 段落: パウロはコリントの信者たちに、エルサレムの聖徒のために特別な捧げ物を集める方法を指示します。彼は、到着時に直前に取り立てをする必要がないように、自分たちの繁栄に応じて毎週収入の一部を蓄えておくようにアドバイスしています（1コリント16:1-3）。パウロは、マケドニアを通過した後にコリントを訪問する予定なので、この寛大な贈り物を届けるコリントの代表者たちに同行したいと述べています(1コリント16:4-6)。

第 2 段落: パウロは旅行の計画について話し合い、効果的な宣教の機会がエフェソスに開かれているため、ペンテコステまでエフェソスに滞在する意向を表明しています (1 コリント 16:8-9)。彼はコリントの信者たちに、用心深く、信仰にしっかりと立ち、人間らしく行動し、強くあれと勧めています(1コリント16: 13)。彼は彼らに、何事も愛を持って行うよう勧めています。

第 3 段落: この章は個人的な挨拶と指示で終わります。パウロはステファナス、フォルトゥナトゥス、アカイコの忠実な奉仕を称賛し、コリントの教会がそのような指導者たちに進んで服従するよう励ましています(1コリント16:15-18)。彼はアクイラとプリシラとともにアジアの教会から挨拶を送ります。最後に、彼は自分の愛がキリスト・イエスにあるすべての人たちにあることを強調して締めくくっています(1コリント16:19-24)。

要約すると、コリント人への手紙第一の 16 章には、パウロからのさまざまな実際的な指示と挨拶が含まれています。彼はエルサレムの聖人への捧げ物を集めるようにアドバイスし、その集め方のガイドラインを示しています。彼はコリントの信者たちに信仰を堅持するよう勧めながら、旅行の計画を語ります。この章は個人的な賞賛、他の教会からの挨拶、そしてキリスト・イエスにあるすべての人々に対するパウロの愛の最後の表現で終わります。この章は結びの勧告として機能し、現実的な事柄、信者の団結の重要性を強調し、コリント教会に対するパウロの愛情を表現しています。

1 コリント 16:1 さて、聖徒のための献金についてですが、私がガラテヤの諸教会に命じたように、あなたがたもそうするようにします。

パウロは、ガラテヤの教会に与えた指示と同じように、コリント教会にも聖徒たちのために寄付金を寄付するよう指示しました。

1. 与える力: 他者に与えることがどのように変化をもたらすのか

2. 聖徒とは誰ですか?聖人であることが何を意味するのかを調べる

1. 使徒 20:35 - 「私はすべてのことにおいて、このように一生懸命働くことによって弱い人たちを助けなければならないことをあなたに示しました。また、主イエスご自身がこう言われた、『与えることよりも与えることのほうが幸いである』という主イエスの言葉を思い出してください。受け取る。'"

2. ガラテヤ 6:10 - 「それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

1 コリント 16:2 週の初めの日は、神が彼を繁栄させてくださったように、あなたがたも皆、彼のそばにいて、わたしが来るときに集会がないようにしておきな

さい。

この聖句は、パウロが到着するときに資金を集める必要がないように、クリスチャンに日曜日に稼いだお金の一部を教会のために取っておくよう勧めています。

1: 神は私たちに働く能力を与えてくださったので、それを使って神の教会に貢献しましょう。

2: 惜しみなく与えることは、真の弟子であることの表れです。

1: ルカ 6:38 「与えなさい。そうすれば、それはあなたに与えられます。十分な量を、押しつけられ、一緒に揺さぶられ、駆け寄ります。人々はあなたの胸に与えます。なぜなら、あなたがたはそれを満たしているのと同じ量ででしょう」もう一度あなたを測ってください。」

2: 2 コリント 9:7 - 「人はみな、心の中で思っているとおりに、与えなさい。しぶしぶではなく、必然的にではなく、神は喜んで与える人を愛しておられるからです。」

1 コリント 16:3 そして、私が来るとき、あなたがたの手紙によって誰を承認するかというと、あなたがたの寛大さをエルサレムにもたらすために彼らを送ります。

パウロはコリントの人々に、エルサレムに資金を提供する代表者を派遣するよう勧めています。

1. 神の働きに経済的に寄付することの重要性。

2. 他者のニーズに配慮する教会の責任。

1. コリント人への第二の手紙 9:7 - 「人はみな、心の中で思っているとおりに、与えなさい。しぶしぶとか、必然的にではなく、神は喜んで与える人を愛してくださるからです。」

2. 使徒 2:44-45 - 「そして、信じる者はみな集まって、すべてのものを共有し、持ち物や品物を売り、各人が必要に応じてすべての人に分け与えました。」

1コリント16:4 もし私も行くことになったら、彼らも私と一緒に行くでしょう。

一節 パウロはコリント人たちに、もしどこかに行くのが適切なら、一緒に行くべきだと告げています。

1. 神は私たちに、ご自身の働きにおいて神とともにあるよう呼びかけておられる

2.神の王国のために共に奉仕する

1. イザヤ書 58:12 - そして、あなたに属する者たちは、古い荒廃した場所を建てるでしょう。あなたは、多くの世代の基礎を築き上げるでしょう。そしてあなたは、裂け目を修復する者、住むべき道を修復する者と呼ばれるであろう。

2. マタイ 25:34-36 - そのとき、王は右手で彼らにこう言います、「来なさい、わたしの父に祝福されたあなた方よ、天地の初めからあなた方のために用意された王国を受け継ぎなさい。わたしは飢えていたのに、あなた方は飢えていたからである」私に肉をくれました: のどが渇いていたのに、あなたがたは私に飲み物をくれました: 私は見知らぬ人でしたが、あなたがたは私を受け入れてくれました:

1コリント16:5 さて、私はマケドニアを通過するときに、あなたがたのところに行きます。私は実際にマケドニアを通過するからです。

パウロはコリント人を訪問する途中でマケドニアを通過する予定です。

1. 逆境に直面しても耐え忍ぶ: パウロのコリント人への旅

2. 目標と計画の価値: パウロのコリント人への旅行

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. ローマ 8:37 - 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは勝利者以上の存在です。」

1 コリント 16:6 そして、私は、そうです、あなたがたと一緒に冬を過ごし、どこへでも旅に連れて行ってくれるかもしれません。

パウロは冬の間コリント人たちに滞在することを考えており、彼らは彼に次の目的地までの交通手段を提供しなければなりません。

1. 神は私たちに、たとえ知らない人に対しても、もてなしと寛大さを求めるよう呼びかけています。

2. 私たちは、たとえそれが自分の犠牲を必要とするとしても、進んで他者に奉仕しなければなりません。

1. ヘブライ 13:2 - 「見知らぬ人をもてなすことを怠ってはなりません。それによって、知らず知らずのうちに天使をもてなしている人もいるからです。」

2. マタイ 10:42 - 「弟子だからと言って、これらの小さな者たちの一人に冷たい水を一杯でも与える人は、はっきり言っておきますが、その人は決して報いを失うことはありません。」

1コリント16:7ところで、私は今あなたに会うことはありません。しかし、主が許してくださるなら、私はあなたとしばらく一緒にいることを信じています。

パウロはコリント人への訪問を希望していることを表明していますが、最終的には神次第であることを認めています。

1. 神が支配しておられる: 1 コリント 16:7 のパウロの主への服従を振り返る。

2. 神の意志と私たちの計画: 私たちの夢を神の摂理と適切に統合する方法。

1. ヤコブ 4:15 - 代わりに、「主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやを行います。」と言うべきです。

2. 箴言 16:9 - 人の心は自分の道を計画しますが、主は彼の歩みを確立します。

1コリント16:8しかし、私はペンテコステまでエフェソスに留まります。

パウロはペンテコステまでエフェソスに滞在する予定です: 2

1. たとえ犠牲を払っても、神の御心に留まる大切さ。

2. 神への奉仕における忍耐と忍耐の重要性。

2

1. ローマ 8:25 - 「しかし、まだ持っていないものを望むなら、私たちはそれを辛抱強く待ちます。」

2. ヤコブ 1:2-3 - 「兄弟姉妹の皆さん、さまざまな試練に直面するときはいつでも、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。」

1 コリント 16:9 というのは、大きな有効な扉が私に開かれており、多くの敵がいるからです。

パウロは宣教の中で多くの障害に直面していますが、大きなチャンスが彼に開かれています。

1.「逆境にも負けず突き進む」

2.「前向きな姿勢の力」

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください。わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを強めます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます」私の正義について。」

1 コリント 16:10 もしテモテが来たら、恐れることなくあなたがたと一緒にいられるように気をつけてください。彼は私と同じように主の働きをしているからです。

パウロはコリントの人々に、パウロと同じように主のために働いているテモテを歓迎するよう勧めています。

1. 受け入れる力: 主に奉仕する他の人を歓迎する

2. 主のために働く力を解き放つ

1. ヘブライ 13:2 見知らぬ人をもてなすことを怠ってはなりません。そうすることで、知らずに天使をもてなしている人もいるからです。

2. コロサイ 3:23 何をするにも、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くして取り組みなさい。

1 コリント 16:11 ですから、だれも彼を軽蔑してはならない。ただ、彼がわたしのもとに来るように、平和のうちに彼を導きなさい。わたしは兄弟たちとともに彼を探しているからである。

パウロは教会に対し、テモテの到着を歓迎し、敬意を持って接するよう勧めています。

1 - 敬意を持った交流が強力なコミュニティを構築する方法

2 - 他者を歓迎することの重要性

1 - ガラテヤ 6:10、「それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

2 - エペソ人への手紙 4:32、「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

1 コリント 16:12 私たちの兄弟アポロに触れながら、私は彼が兄弟たちと一緒にあなたがたのところに来てほしいと強く願いました。しかし、彼の意志はこの時点ではまったく来ていませんでした。しかし、彼は都合の良いときに来るでしょう。

パウロはアポロに他の兄弟たちと一緒に教会に来ることを望みましたが、アポロは後で来ることを選びました。

1. 私たちに対する神の計画は必ずしも私たちの計画と一致するとは限りません

2. 神のタイミングは完璧です

1. 箴言 16:9 - 私たちは計画を立てることができますが、私たちの歩みを決めるのは主です。

2. エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている、と主は言われる、あなたを傷つけず繁栄させる計画、あなたに希望と未来を与える計画である。

1 コリント 16:13 あなたがたは、信仰にしっかりと立ち、人間のようにやめて、強くなりなさい。

パウロはコリントの人々に、常に警戒して信仰を堅固にし、勇敢で強くあれと勧めています。

1. 勇気を出してください: 信仰にしっかりと立ちなさい

2. 主にある力によって恐れと疑いを克服する

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. エペソ 6:10-18 - 最後に、主とその偉大な力において強くなりましょう。悪魔の陰謀に立ち向かうことができるように、神の完全な武具を身に着けてください。

1 コリント 16:14 すべてのことを慈しみをもって行いましょう。

パウロはコリントの人々に、すべての行動において愛と慈しみをもって行動するよう戒めています。

1. 愛は最大の戒めです - 1コリント16:14

2. すべてのことを愛を持って行う - 1コリント16:14

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を得るためです。

2. ガラテヤ 5:13-14 -兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体は「あなたは隣人を自分のように愛さなければならない」という一言で成就されるからです。

1 コリント 16:15 兄弟たち、お願いです。（あなたがたはステファナスの家を知っています。それがアカイアの初穂であり、彼らが聖徒たちの奉仕に熱中していることを。）

パウロはコリントの人々に、ステファナスの家の奉仕を認め、尊重するよう勧めています。

1. 奉仕に専念した人々を称えることの重要性

2. 生活の中で奉仕を認識し、感謝する

1. コロサイ 3:23-24 - そして、あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように心から行いなさい。あなたがたは主からの相続財産の報いを受けることを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているからです。

2. ヘブライ 13:7 - あなたを支配している人々、神の言葉をあなたに語った人々を思い出してください。彼らの会話の終わりを考慮すると、彼らの信仰は続きます。

1 コリント 16:16 このような人たちと、私たちに協力して働いてくれる人たちすべてに服従しなさい。

パウロはコリントの人々に、自分たちを助け、一緒に働いてくれている人たちに従うよう勧めています。

1. 私たちと一緒に働く人々への服従の重要性。

2. 労働と勤勉の重要性を認識する。

1. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。」

2. エペソ人への手紙 6:5-8 - 「奴隷たちよ、キリストに従うように、恐れと震えをもって、誠実な心で地上の主人に従いなさい。目先の奉仕という方法ではなく、人々を喜ばせる者としてではなく、キリストの僕として。「心から神の御心を行い、人間ではなく主に対して善意を持って奉仕をし、奴隷であろうと自由人であろうと、どんな善いことをしても主からそれが返ってくることを知っているのです。」

1 コリント 16:17 私はステファナス、フォルトゥナトゥス、アカイコが来てくれたことを嬉しく思います。あなたがたの側に欠けていたものを彼らが補ってくれたからです。

パウロはステファナス、フォルトゥナトゥス、アカイコスのコリント教会への貴重な貢献を称賛しています。

1. 団結の力: ステファナス、フォルトゥナトゥス、アカイクスの貢献

2. コミュニティの重要性: 協力して王国を築く

1. ピリピ 2:3-4 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。

2. 箴言 18:24 - 多くの友を持つ人は滅びるかもしれないが、兄弟よりも寄り添う友がいる。

1 コリント 16:18 彼らは私の霊とあなたがたの霊を元気づけてくれました。ですから、あなたがたもそのような者であることを認めてください。

パウロはコリント人に、霊的に仕えてくれた人たちを認め、彼らの努力を認めるように勧めています。

1. 私たちの生活におけるスピリチュアルなリーダーたちを認識する

2. 感謝と感謝の大切さ

1. ヘブライ 13:17 - 指導者たちに従順でありなさい。彼らは責任を負う者として、あなたたちの魂を見守っているからです。

2. 使徒 20:28-32 - 自分自身とすべての群れに細心の注意を払ってください。聖霊は、ご自身の血によって得られた神の教会を世話するために、あなたがたを監督として任命されました。

1 コリント 16:19 アジアの諸教会があなたに敬意を表します。アクイラとプリシラは、家の中にある教会とともに、主にあってあなたに敬意を表しています。

パウロはアジアの教会だけでなく、自宅に教会を持つアクイラとプリシラからも挨拶を送ります。

1. 共同体の重要性: アジアの教会からのパウロの挨拶を考察する

2. アクイラとプリシラ: おもてなしと忠実さのモデル

1. ローマ 16:3-5 - キリスト・イエスにおける私の同労者、プリスキラとアクラによろしく。彼らは私の命のために首を危険にさらし、私だけでなく異邦人のすべての教会にも感謝を捧げる。

2. 使徒 2:42-47 - そして、彼らは使徒の教えと交わり、パンを裂くことと祈りに専念しました。そして、すべての魂に畏怖の念が臨み、多くの不思議としるしが使徒たちを通して行われていました。そして、信じた人たちは皆一緒で、すべての共通点がありました。

1コリント16:20 兄弟たち全員があなたに挨拶しています。聖なるキスでお互いに挨拶しましょう。

パウロはコリント人たちに聖なる口づけをもって互いに挨拶するよう勧め、また彼らにも挨拶を送ります。

1. キスの力: 聖なるキスでお互いに挨拶することの重要性を探る

2. 愛、団結、そして聖なる口づけ: 第一コリント 16:20 の交わりの原則を調べる

1. ローマ 15:5-6 - 忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って互いに調和して生きることを許し、声を一つにして私たちの主イエス・キリストの父なる神を讃えることができますように。。

2. ヘブライ 13:1-2 - 兄弟姉妹として互いに愛し合い続けてください。見知らぬ人にもてなしを示すことを忘れないでください。そうすることで、知らず知らずのうちに天使にもてなしを示している人もいるからです。

1 コリント 16:21 パウロ自身の手で私に挨拶します。

パウロはコリント人に対する気遣いと気遣いのしるしとして個人的な挨拶を送っています。

1) つながりの力: コリント人へのパウロの挨拶が今日私たちの絆を強めるのにどのように役立つか

2) ケアの意味: コリント人へのパウロの挨拶が献身について私たちに教えてくれること

1) ローマ 16:16 - 聖なる口づけをして互いに挨拶しましょう。

2) ヨハネ第一 4:7 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。

1 コリント 16:22 もし主イエス・キリストを愛さない人がいるなら、その人はアナテマ・マラナタであってください。

パウロはクリスチャンに主イエス・キリストを愛するよう勧め、主を愛さないように警告しています。

1. イエスの愛: なぜそれが重要なのか。

2. アナテマ・マラナタ：不服従に対する警告。

1. ヨハネ 3:16 - 「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての創造物には存在しないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

1 コリント 16:23 私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがたにありますように。

通路：

パウロはコリント教会に挨拶を送り、主イエス・キリストの恵みによって彼らを励ましています。

パウロはコリント教会にイエス・キリストの恵みを祈りつつ挨拶を送ります。

1. 恵みの力: イエス・キリストの愛を探る

2. 神の無条件の恵み: イエスの祝福を受ける

1. ローマ 5:20-21 - 「しかし、罪が増えると、恵みもさらに増し、罪が死を支配したように、恵みも義によって支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命をもたらすのです。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるのです。これは自分から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることができないからです。」

1 コリント 16:24 私の愛はキリスト・イエスにあってあなたたち全員とともにあります。アーメン。

パウロはコリントの教会の人々に愛を送り、イエス・キリストへの信仰を表明します。

1. 愛の力: キリストの体において他者を愛することが何を意味するのかを見つめる

2. 愛と一致: 教会の一致における愛の役割

1. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。なぜなら神は神だからです。」愛。"

2. エペソ人への手紙 4:2-3 - 「あらゆる謙虚さと優しさを持ち、忍耐強く、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなにおいて御霊の一致を維持することに熱心に努めています。」

2コリント1章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の最初の章です。この章では、パウロはコリントの信者たちに語りかけ、苦難と慰めに関する自身の経験を語り、苦難の時の神の忠実さを強調しています。

第 1 段落: パウロはまず、苦難の時に与えられた神の慰めと励ましに対して感謝の意を表します。彼は、自分と仲間たちがアジアで耐えられない困難に直面したことを認めています(2コリント 1:8)。しかし、彼は、彼らが試練に耐えて克服できるように、神が彼らに聖なる慰めを与えてくださったと証言しています(2コリント1:9)。パウロは、これらの経験によって苦しみと、そのような状況において神の慰めがどれほど豊かであるかをより深く理解できるようになった、と強調しています。

第 2 段落: パウロはコリントの信者たちに、自分の苦しみの中で神の慰めを経験したのと同じように、彼らも神の中に慰めを見出すことができると安心させます。彼は、彼らの苦しみは無駄ではなく、むしろ目的を果たすものであると述べて彼らを励まします。彼は、自分たちの試練を通して、同じような困難を経験している他の人たちに真の慰めを与えることができるだろうと説明しています(2コリント1:4)。パウロは、キリストが人類のために苦しんだのと同じように、信者たちもまたキリストの慰めにあずかることを知っていれば、キリストの苦しみを共にすることができる、と断言します(2コリント1:5)。

第 3 段落: この章は、コリント訪問に関するパウロの旅行計画の変更の説明で終わります。彼は、軽い気持ちや気まぐれからこの決定を下したのではなく、むしろ彼らの利益を考慮して決定したことを彼らに保証します。イエスは、訪問中に起こり得る悲しみや重荷を彼らに与えないよう望んでおられました (2コリント1:23-24)。代わりに、彼は個人的に来る前に教会内の問題に対処する手段としてこの手紙を書いています。

要約すると、コリント人への手紙第二の第一章は、苦しみと神の慰めに関するパウロの個人的な経験を紹介しています。彼は苦難の時に慰めを与えてくださった神の忠実さに感謝の意を表します。パウロはコリントの信者たちに、神の慰めに慰めを見つけるよう勧め、自分たちの苦しみには目的があり、他の人に真の慰めを与えることができると保証しています。彼は旅行計画の変更を説明し、コリント人たちに潜在的な負担を与えないようにして、この手紙を通じて教会の問題に取り組みたいという願望を強調してこの章を締めくくっています。この章では、試練の中で神の力と励ましを見出すというテーマに焦点を当て、同時に困難に直面している仲間の信者に支援と共感を提供することの重要性も強調します。

2 コリント 1:1 神の御心によるイエス・キリストの使徒パウロと私たちの兄弟テモテは、アカヤ全土にいるすべての聖徒たちとともに、コリントにある神の教会に来ました。

イエス・キリストの使徒パウロとテモテは、コリントの神の教会とアカイアのすべての聖徒たちに手紙を書きます。

1. 神の力が働く

2. 教会の強さ

1. エペソ人への手紙 5:19 - 「詩篇、賛美歌、霊的な歌で互いに語り合い、心の中で主に向かって歌い、メロディーを奏でなさい。」

2. ローマ 12:12 - 「希望をもって喜び、艱難において忍耐し、堅く祈り続けなさい。」

2 コリント 1:2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平和があなたにありますように。

パウロはコリントの人々に父なる神と主イエス・キリストからの恵みと平和の挨拶を送ります。

1. 私たちの生活における恵みと平和の力

2. 恵みと平和の神聖な源

1. エペソ人への手紙 1:2 - 「私たちの父なる神と主イエス・キリストから、あなたがたに恵みと平安がありますように。」

2. ピリピ 1:2 - 「私たちの父なる神と主イエス・キリストから、あなたがたに恵みと平安がありますように。」

2コリント1:3 私たちの主イエス・キリストの父、憐れみの父、あらゆる慰めの神である神がほめたたえられますように。

神は私たちの主イエス・キリストの父、憐れみの父、あらゆる慰めの神として讃美されています。

1. 「神は困難な時代における私たちの慰めです」

2. 「神はすべての慈悲の源である」

1. イザヤ書 40:1 - 「あなたがたを慰めよ、あなたがた私の民を慰めよ、とあなたの神は言われる。」

2. 詩篇 86:5 - 「主よ、あなたは善良で、すぐに赦してくださいます。そして、あなたを呼び求めるすべての人に、豊かな憐れみを与えてくださいます。」

2 コリント 1:4 神は、あらゆる艱難の中で私たちを慰めてくださいます。それは、私たち自身が神から慰められる慰めによって、どんな困難の中にいる人たちも慰めることができるようにするためです。

神は私たちが苦境にあるときはいつでも私たちを慰めてくださるので、私たちも他の人が苦境にあるときに慰めることができます。

1. 苦難の時の主の慰め

2. 愛を持って手を差し伸べる: 困難な時に他の人を慰める

1. 詩篇 34:18 - 主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、霊的に打ちひしがれた人々を救ってくださいます。

2. イザヤ書 41:10 - ですから、恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。

2 コリント 1:5 キリストの苦しみが私たちの中に満ち溢れているように、私たちの慰めもキリストによって満ち溢れているからです。

キリストにおける苦しみは私たちの中に溢れていますが、キリストのうちに見出される慰めも同様です。

1.「キリストの苦しみと慰め」

2.「困難な時代における豊かな恵み」

1. ローマ人への手紙 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。」

2. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎はあなたを焼き尽くすことはない」。」

2 コリント 1:6 そして、私たちが苦しめられようと、それはあなたの慰めと救いのためであり、それは私たちも苦しんでいるのと同じ苦しみに耐えるのに効果的です。あるいは、私たちが慰められようと、それはあなたの慰めと救いのためです。

人生の苦しみと安らぎは、信者に救いと慰めをもたらします。

1. 救いのために苦しみに耐える

2. 救いのために提供される慰め

1. イザヤ書 61:1-2 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は柔和な人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。彼は心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚われの者たちに刑務所の開放を宣言するために私を遣わしたのです。

2. ローマ 8:28-29 - そして私たちは、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。イエスは、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になることを予見していました。

2 コリント 1:7 そして、あなたがたは苦しみにあずかっているのと同じように、慰めを受けるであろうことを知っているので、あなたがたに対する私たちの希望は揺るぎません。

パウロは、コリントの人々がキリストの苦しみを分かち合ったのと同じように、キリストの慰めにもあずかってほしいという希望を表明しています。

1. 苦しみの中の希望の力 - 苦しみの中で信仰を持つ方法

2. 苦しみの中の慰め - 困難な時に希望と平安を見つける方法

1. 詩篇 34:18-19 - 主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救ってくださいます。

2. ローマ 8:18 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。

2 コリント 1:8 兄弟たち、アジアで私たちに降りかかった困難、つまり私たちが計り知れないほど圧迫され、体力を失い、命さえも絶望的になったということを、あなたがたが知らないはずはありません。

パウロと彼の仲間たちは、アジアにいる間に大きな試練を経験しました。それはあまりにも過酷で、自分たちは生き残れないと感じたほどでした。

1. 苦難の時の神の力

2. 困難な状況での絶望を乗り越える

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 34:17-19 - 「義人が助けを求めて叫ぶとき、主は聞き入れて、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださいます。主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救います。義人の苦しみは多いものです」しかし、主は彼を彼ら全員の中から救い出してくださるのです。」

2コリント1:9 しかし、私たちは自分自身のうちに死の宣告を受けていたので、自分自身を信頼するのではなく、死者をよみがえらせてくださる神を信頼しなければなりません。

パウロはコリントの人々に、自分自身を信頼するのではなく、死者を復活させることができる神を信頼すべきであることを思い出させます。

1. 神は死者を蘇らせる：困難な時代に希望を見つける

2. 自分自身ではなく神を信頼する：神の力に頼ることを学ぶ

1. ローマ人への手紙 8:11。「しかし、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえ

らせた方は、あなたの内に住んでいる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださるでしょう。」

2. イザヤ書 40:28-31。「あなたは知らなかったのですか。地の果ての創造者である永遠の神、主が気を失うことも、疲れることもないことを、あなたは知らなかったのですか。神の理解を探る必要はありません。神は気を失った者に力を与えます。力のない者たちには、主は力を増し加えられる。若者たちも気を失い、疲れ果て、若者たちは完全に倒れる。しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて立ち上がる。走っても疲れることはなく、歩いても気を失うことはない。」

Ⅱコリント 1:10 わたしたちをこのような大きな死から救ってくださったのは、今も救ってくださる方です。わたしたちは、この方を信頼して、これからも救ってくださると信じています。

神は私たちを死から救い出し、今もそうし続けています。そして私たちは、神が将来も私たちを救い続けてくれると信じています。

1. 神からの解放の力

2. 困難な時に希望を持ち続ける方法

1. ローマ 8:37-39 - 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物のいかなるものも、私たちを神の愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスのうちにあるのです。」

2. イザヤ書 43:1-3 - 「しかし今、主はこう言われます。ヤコブよ、あなたを創造した方、イスラエルよ、あなたを形作った方です。「恐れるな、わたしはあなたを贖ったからである。」私はあなたを名前で呼びました。あなたは私のものです。あなたが水域を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして、あなたが川を通過するとき、川はあなたを押し流すことはありません。火の中を歩いても火傷することはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。わたしはあなたの神、主、イスラエルの聖者、あなたの救い主だからです。」

2 コリント 1:11 あなたがたも、多くの人たちの手段によって私たちに与えられた賜物に対して、多くの人が私たちに代わって感謝をささげてくれるように、私たちのために祈って協力してください。

クリスチャンは団結して互いのために祈り、神から他の人々を通して与えられた賜物に感謝すべきです。

1. 共に祈る力: 協力がどのように私たちの信仰を強めるか

2. 感謝の気持ちを示す: 神と仲間の兄弟姉妹に感謝を捧げる方法

1. ヤコブ 5:16 - あなたがたが癒されるように、互いに自分の過ちを告白し、お互いのために祈りなさい。

2. 使徒 12:5 - したがって、ペテロは刑務所に入れられましたが、教会は彼のために神に祈りを捧げました。

2 コリント 1:12 なぜなら、私たちが喜んでいるのは、素朴さと敬虔な誠実さによって、肉の知恵によってではなく、神の恵みによって、この世で、そしてあなたがたに対してもっと豊かに会話ができたこと、つまり私たちの良心の証しだからです。-区。

パウロは、神の恵みに導かれて、世において素朴かつ誠実に行動してきたので、喜んでいます。

1. シンプルさの力: 神に忠実に行動する方法

2. 誠実さの強さ：神の恵みの導きに従う

1. マタイ 6:25-34 - 空の鳥と野のユリについて考えてみましょう

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。

2 コリント 1:13 なぜなら、私たちがあなたがたに書いていることは、あなたが読んだり認めたりしたこと以外には何もないからです。そして私はあなたが最後まで認めてくれると信じています。

パウロはコリントの人々に手紙を書き、彼らがすでに知っていて信頼している真理を思い出させます。

1. 承認の力 - 真実の認識がどのようにしてより深い理解につながるのか

2. 私たちの生活における神の忠実さ - 神は困難な時期にどのように私たちを導いてくださるのか

1. フィリピ 1:6 - 「あなたがたのうちに良い働きを始めた方が、キリスト・イエスの日までそれを完成させてくださるということを確信してください。」

2. ローマ 8:28 - 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。」

2 コリント 1:14 あなたがたも、主イエスの日に私たちのものであるように、私たちがあなたがたの喜びであることを部分的には認めています。

コリントの人々は、主イエスの日をパウロとともに喜ぶことによって、パウロとその宣教に対する感謝の意を表しています。

1. 主にあって喜ぶ：主の救いと備えを祝う

2. 神の忠実さを認める：どのように感謝を示すか

1. ピリピ 4:4 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜んでください！

2. テサロニケ第一 5:18 - どのような状況でも感謝をしなさい。なぜなら、これがあなたに対するキリスト・イエスにおける神の御心だからです。

2 コリント 1:15 この自信を持って、私はあなたがたに第二の恩恵をもたらすために、以前からあなたがたのところに行こうと思っていました。

パウロはコリント人たちを再び訪問して、彼らが第二の祝福を受けることができるようにしたいと考えました。

1. 「私たちの祝福のための神の計画: 二度はいいことだ」

2.「神の慈悲と慈悲：与え続ける贈り物」

1. ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完全な賜物は上から来て、父から下って来ます。

2. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2コリント1:16 そして、あなたがたのそばを通ってマケドニアに入り、再びマケドニアからあなたがたのところに来て、あなたがたを連れてユダヤに向かう途中に連れて行ってもらいます。

パウロはコリントからマケドニアに旅行し、その後コリントに戻ってユダヤへの旅を続けます。

1. 人生の課題の克服 - パウロのユダヤへの旅

2. 困難な時代を耐え忍ぶ - コリントからマケドニアへのパウロの旅

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ピリピ 4:13 - 私に力を与えてくださる方を通して、私はこのすべてを行うことができます。

2 コリント 1:17 ですから、私がそのように思ったとき、軽さを使ったでしょうか。それとも、私が意図していることは、私と一緒に、はい、いや、いや、あるべきであるという肉に従って目的を立てているのでしょうか？

パウロは、自分の意思決定が性急すぎたり軽薄すぎたりしなかったのか、あるいは肉に基づいて意思決定をしてきたのではないかと疑問を抱いています。

1. 識別力をもって生きることを学ぶ：賢明な決定を下す

2. 誠実な人生を送る: 信じたことを実践する

1. ヤコブ 1:5 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は、とがめられることなくすべての人に惜しみなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。

2. 箴言 14:12 - 人にとっては正しいと思える道がありますが、その終わりは死への道です。

2 コリント 1:18 しかし、神は真実ですから、あなたがたに対する私たちの言葉は、「賛成」でも「否定」でもありませんでした。

私たちに対する神の言葉は常に真実であり、決して揺らぎません。

1. 神の真実さは、常に不変の力の源です。

2. 私たちは人生の基盤として神の言葉を信頼できます。

1. イザヤ書 40:8 - 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に立つ。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2 コリント 1:19 というのは、神の御子イエス・キリストは、私たちによって、また私とシルワノとテモテによっても、あなたがたの間で宣べ伝えられたのですが、イエス・キリストは、「イエス」でも「ノー」でもなく、彼の内に「イエス」でした。

パウロ、シルワヌス、ティモテウスはコリント人にイエス・キリストの福音を宣べ伝え、イエスのうちには真理だけがあると宣言しました。

1. イエス・キリストの揺るぎない基礎

2. イエス・キリストの福音の不変の性質

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. マタイ 7:24-27 - 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると、雨が降り、洪水が起こり、風が吹きました」その家に風を吹き、殴りました。そしてそれは岩の上にあったので落ちませんでした。

2 コリント 1:20 なぜなら、神の約束はすべて、イエスのうちにあるからです。アーメン、わたしたちによって神の栄光が現われますように。

この箇所は、神の約束はすべてキリストにおいて確認され、神に栄光をもたらすと主張しています。

1. 神の約束の保証

2. アーメンの力

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. マタイ 6:13 - そして、私たちを誘惑に導かず、悪から救い出してください。

2 コリント 1:21 さて、私たちをあなたがたと共にキリストにおいて堅固にし、私たちに油を注いでくださった方は神です。

神はキリストを信じる者を確立し、油を注がれました。

1. 神によって油そそがれる: 区別されるとはどういう意味ですか?

2. キリストにおける神の揺るぎない愛を体験する。

1. ローマ人への手紙 8:38-39: 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。」私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. 詩篇 89:20-22: 「私は私のしもべダビデを見つけた。私の聖なる油を彼に塗った。そうすれば私の手は彼とともに確立される。私の腕も彼を強める。敵は彼を出し抜くことはない。」

2 コリント 1:22 また、私たちに証印を押して、私たちの心に聖霊の熱意を与えてくださったのです。

神は聖霊によって信者に証印を押し、救いの保証を与えられました。

1. 聖霊の力を体験する

2. 御霊による救いの確信を理解する

1. ローマ 8:16-17 - 御霊ご自身が、私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。

2. ヘブライ 6:13-20 - 神は私たちに、変わらぬ約束の誓いを与えてくださいました。

2 コリント 1:23 さらに私は、あなたがたを救うために、私がまだコリントに来ていないことを自分の魂に記録してほしいと神に呼びかけます。

パウロは、彼らを救うために、望んでいたにもかかわらず、まだコリントを訪問しませんでした。

1. パウロの無条件の愛: パウロの例から無条件に愛することを学びます。

2. 神の忠実さ：神が約束を守る忠実な方であることを知る。

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

2. ヨハネ 13:35 - 「もしあなたたちが互いに愛し合っているなら、これによって、あなたたちがわたしの弟子であることを誰もが知るでしょう。」

2 コリント 1:24 それは、私たちがあなたがたの信仰を支配しているからではなく、あなたがたの喜びを助ける者であるからです。なぜなら、あなたがたは信仰によって立っているからです。

パウロは、コリント人は教会の権威ではなく、自分たちの信仰に頼るべきであると強調しています。

1. 信仰の強さ: 信念がどのように私たちに力と喜びを与えるか

2. コミュニティの力: 他者のサポートがどのように私たちを高めてくれるのか

1. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. エペソ人への手紙 2:19-22 - 「ですから、あなたがたはもはや見知らぬ人や異邦人ではなく、聖徒たちと同じ国民であり、神の家族の一員であり、使徒と

預言者の土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその存在なのです」「その礎石は、その中で全体の構造が結合されて、主にある聖なる神殿へと成長します。あなたがたもまた、御霊によって神の住まいとして共に建てられていくのです。」

2コリント2章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の第 2章です。この章では、パウロはコリントの信者たちとの手紙のやり取りを続け、許し、和解、奉仕に関連した事柄について言及しています。

第 1 段落: パウロは、コリントへの以前の苦痛な訪問について話し始めます。彼は、大きな苦しみと苦悩から手紙を書いたが、これ以上悲しみを引き起こすつもりはなく、むしろ彼らの理解と和解を望んでいたと説明している(2コリント2:4-5)。彼は、地域社会に悲しみを引き起こした悔い改めた人への愛を再確認し、過度の悲しみでその人を圧倒するのではなく、その人を許し慰めてあげるよう勧めています(2コリント2:6-8)。

第 2 段落: パウロはトロアス訪問中の自分の感情状態を説明します。そこで宣教への扉は開かれていたにもかかわらず、コリントから知らせを伝えるはずだったテトスが見つからなかったため、彼は平安を見つけることができませんでした(2コリント2:12-13)。それにも関わらず、パウロは、常にキリストを通して勝利の行列を導き、行く先々でキリストについての知識の香りを広めてくださった神に感謝しています(2コリント2:14-15)。

第 3 段落: この章は奉仕活動における誠実さについての考察で終わります。パウロは、自分は利益のために神の言葉を広めたり、他人を操作したりせず、神からの使命に従って誠実に語っていると主張します。彼は、それらの信憑性は神から来るものであり、彼らは単なる文字や律法主義ではなく、御霊に基づく新しい契約の奉仕者であることを強調しています(2コリント3:1-6)。彼はこの新しい契約を、死をもたらしたモーセを通して与えられた古い契約と対比させながら、新しい契約の下での義の務めがどれほど輝かしく、命を与えるものであるかを強調しています。

要約すると、コリント人への手紙第二の第 2 章は、許し、和解、宣教旅行中の感情の混乱、そして神の言葉に奉仕する際の誠実さについて述べています。パウロはコリントへの痛みを伴う訪問について理解と和解を求め、悔い改めた人に許しと慰めを求めています。彼はトロアス滞在中の自身の精神的苦痛と、コリントからのニュー スを通じて平和を見つけることの大切さを表現しています。パウロは彼らの宣教の誠実さを強調し、御霊に基づく新しい契約の奉仕者としての彼らの信頼性を強調しています。彼はこれを古い契約とその律法主義的なアプローチと対比させ、新しい契約の下での奉仕の優位性と命を与える性質を確認しています。この章では、許し、宣教における誠実さ、そして人間関係と奉仕における神の恵みの変容の力を強調します。

2 コリント 2:1 しかし、私は、もう二度と、つらい思いをしてあなたがたのところには来ない、と自分で決めました。

パウロは、重い心をもってコリント人へは行かないと決心していました。

1. 「負担を軽くする: 不安と心配を手放す方法」

2.「喜びの心：感謝と感謝の気持ちを持って生きる方法」

1. ローマ人への手紙 12:12 - 希望を抱いて喜ぶ。苦難の患者。祈りを瞬時に続けます。

2. ピリピ 4:4-7 - いつも主にあって喜びなさい。繰り返し言いますが、喜びなさい。あなたの節度をすべての人に知らせてください。主はすぐそばにおられます。無駄に注意してください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、人知を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを保つでしょう。

2 コリント 2:2 というのは、もし私があなたがたを残念に思うなら、私があなたがたを残念に思うのと同じように、私を喜ぶのは誰でしょうか。

パウロが指摘しようとしているのは、もし自分が他の人を不幸にしてしまったとしたら、自分が気分を悪くさせた同じ人以外に誰がその人の気分を良くしてくれるだろうか、ということです。

1. 和解の力: 有害な行為を克服する方法

2. 許しの美しさ: 謝罪して平和を見つける方法

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心優しく、赦し合いなさい。」

2. マタイ 6:14-15 - 「もしあなたが他の人の罪過を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださいますが、もしあなたが他の人の罪過を赦さないなら、あなたがたの父もあなたの罪過を赦してはくれません。」

2コリント2:3 それで、私が来たときに、喜ぶべき人たちから悲しまれないように、あなたがたにも同じことを書きました。私の喜びが皆さんの喜びであることを皆さんを信じて。

パウロはコリント人たちに手紙を書き、自分が彼らを信頼していること、そして自分の喜びが彼らの喜びであることを知らせました。

1. 一致における神の喜びを祝う

2. 他者を信頼する力

1. ピリピ 2:2-4 - 同じ思い、同じ愛を持ち、完全に一致し、心を一つにすることによって、私の喜びを完成させてください。

2. ローマ 15:13 - 希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に満ち溢れますように。

2 コリント 2:4 というのは、私は多くの苦しみと心の苦しみから、涙を流しながらあなたがたに手紙を書いたからです。それは、あなたがたが悲しむためではなく、わたしがあなたに対してもっと豊かに抱いている愛を知るためである。

パウロはコリントの人々に涙を流しながら手紙を書き、彼らへの深い愛を表しました。

1. 神の愛の深さ - コリント人へのパウロの愛情の涙

2. 苦難の中の慰め：神の豊かな愛を知る

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2 コリント 2:5 しかし、もし誰かが悲しみを引き起こしたとしたら、彼は私を悲しませたのではなく、部分的にではあります。それは、あなたがた全員に過剰な請求をしないためです。

パウロはコリントの人々に、自分はまだ部分的にしか悲しんでいないので、誰かによって引き起こされた悲しみで過度の負担を負わないようにアドバイスしています。

1. 悲しみ：次に進む方法 - 悲しみの痛みを受け入れ、人生を前に進むことを学びます。

2. 許し: 癒しへの道 - なぜ感情の癒しに許しが不可欠なのか。

1. ヤコブ 5:16 - 「ですから、癒されるために、互いに罪を告白し、互いに祈りなさい。義人の祈りは大きな力を持って働いています。」

2. ローマ人への手紙 12:19 - 「愛する人たちよ、決して復讐してはいけません。神の怒りにまかせなさい。『復讐は私のものです。私が報います、と主は言われます。』と書いてあるからです。」

2コリント2:6 このような人には、多くの人が受けたこの懲罰で十分です。

パウロは、人に与えられる刑罰は十分であるべきであり、多くの人々が同意するべきであると述べています。

1. 神の正義は常に公平かつ公正です。

2. 私たちは人々を罰する際には常に集団的合意を求めるべきです。

1. ローマ人への手紙 12:19 - 「愛する人たちよ、決して自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せてください。「復讐は私のものです。私が報います、と主は言われます。」と書いてあるからです。

2. 箴言 19:11 - 「良識があると人は怒るのが遅くなり、違反を見逃すのはその人の栄光である。」

2 コリント 2:7 ですから、逆に、そのような人が過度の悲しみに飲み込まれないように、あなたがたはむしろ彼を許し、慰めるべきです。

過度の悲しみは有害となる可能性があるため、クリスチャンは罪を犯した人を許し、慰めるべきです。

1. 許しの力 - 私たちの人生において慈悲と恵みを示すことの重要性。

2. 試練の時の慰め - 困難な時に慰めを与える方法。

1. ルカ 6:37 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたがたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、あなたがたは罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。」

2. ローマ人への手紙 12:15 「喜ぶ者たちとともに喜び、泣く者たちとともに泣きなさい。」

2 コリント 2:8 ですから、あなたがたが神に対する愛を確かめてくださるようお願いします。

パウロはコリント人たちに自分への愛を示すよう懇願します。

1. 愛は感情ではなく、行動です - 2コリント2:8

2. 愛を示す力 - 2コリント2:8

1. ヨハネ第一 3:18 - 「子たちよ、言葉や舌で愛さず、行いと真実によって愛しましょう。」

2. ローマ人への手紙 12:9-10 - 「愛を異化せずに持ちなさい。悪を憎み、善を固守しなさい。兄弟愛をもって互いに優しく愛し合い、敬意を持ってお互いを好みなさい。」

2 コリント 2:9 この目的のために、あなたがたがすべてのことにおいて従順であるかどうかの証拠を知るためにも書いたのです。

パウロはコリント人たちに手紙を書き、彼らの従順を試し、それを証明しました。

1. 従順の証明 - 信仰をどのように証明するか

2. 弟子としての試練 - 神の基準に従う

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞き手ではなく、行動する実行者となる人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。

2 コリント 2:10 あなたがたが何かを赦したなら、私も赦します。なぜなら、私が何かを赦したのであれば、私が何かを赦したのであれば、私はあなたがたのために、キリストとしてそれを赦したのです。

パウロはコリント人に、イエスが赦してくださったように、他の人も赦すべきであると教えています。

1. 許しの力: 恵みを受け取り、与えることを学ぶ

2. イエスはどのように許しをモデル化したか: 彼の模範に倣う

1. コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、赦しなさい。」

2. マタイ 6:14-15 - 「他の人があなたに対して罪を犯したときに、あなたが赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださいます。しかし、あなたが他の人の罪を赦さないなら、あなたがたの父もあなたの罪を赦してはくれません。」

2 コリント 2:11 サタンが私たちを利用しないように、私たちはサタンの計略を知らないわけではありません。

パウロはサタンの策略について警告し、信者たちにサタンの策略を知らないわけではないことを思い出させます。

1. 「認識が鍵: サタンの陰謀を理解する」

2.「Be Diligent：敵の一歩先を行く」

1. エペソ 6:11 - 「悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。」

2. ペテロ第一 5:8 - 「身を慎み、用心していなさい。あなた方の敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくされる者を求めて歩き回っているからです。」

2コリント2:12 さらに、私がキリストの福音を宣べ伝えるためにトロアスに来たとき、主の扉が私に開かれました。

パウロはトロアスでキリストの福音を宣べ伝える機会を主から与えられました。

1. 神の開かれた扉: 宣教の機会を認識し、つかむ

2. 福音を宣べ伝える：神からの行動への呼びかけ

1. イザヤ書 45:2 「わたしはあなたの前に行って、曲がったところをまっすぐにします。わたしは青銅の門を打ち砕き、鉄の棒を切り刻みます。」

2. ヘブル人への手紙 13:20-21 「さて、永遠の契約の血によって、あの偉大な羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた平和の神が、ご意志を行うのに良いものをすべてあなたがたに備えてくださいますように。そしてイエス・キリストを通して、ご自分に喜ばれることを私たちの内に働かせてくださいますように、この方に永遠に栄光がありますように。アーメン。」

2 コリント 2:13 兄弟テトスが見つからなかったので、私は心に休むことができませんでしたが、彼らと別れて、そこからマケドニアへ向かいました。

パウロはテトスが一緒にいなかったときに心の不安を感じたので、コリントからマケドニアへ旅行しました。

1. 仲間の力: 友人を持つことがいかに平和と慰めをもたらすか

2. 落胆を克服する: 困難な時に強さと希望を見つける方法を学ぶ

1. ローマ 15:5-6 - 忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って互いに調和して生きることを許し、声を一つにして私たちの主イエス・キリストの父なる神を讃えることができますように。。

2. 箴言 17:17 - 友はいつでも愛し、兄弟は逆境の時にこそ生まれる。

2 コリント 2:14 さて、神に感謝します。神は常に私たちをキリストにあって勝利させ、あらゆる場所で私たちによって神の知識の味を明らかにしてくださいます。

神は私たちをキリストにおいて勝利させ、私たちを通してあらゆる場所で神の知識を知らせてくださいます。

1. 神の力: 神はどのようにして私たちが勝利を収め、神の知識を宣言できるようにしてくださるのか

2. 神の勝利を体験してください: 神はどのようにして私たちを神の知識の証人にしてくださるのか

1. ローマ人への手紙 8:37 - 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは勝利者以上の存在です。」

2. エペソ人への手紙 6:10-13 - 「最後に、兄弟たち、主にあって、その力によって強くあれ。悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。」「私たちは血肉に対して戦っているのではなく、公国に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にいる霊的な邪悪に対して戦っているのです。ですから、神の武具をすべて身に着けてください。悪の日に耐え、すべてをやり遂げて、立ち上がれ。」

2 コリント 2:15 なぜなら、私たちは神にとって、救われる者の中にも、滅びる者の中にも、キリストの甘い香りがあるからです。

クリスチャンは、結果に関係なく、神と周囲の人々にとって心地よい香りとなるよう努めるべきです。

1. キリストの香り: 神や他の人々にとって甘い香りになる方法

2. 滅びる可能性: あらゆる機会を最大限に活用する

1. イザヤ書 6:8 ?その時、私は主の声が聞こえました。誰かホンを送りましょうか? それで、誰が私たちのために行くのですか???そして私は言いました、? 私はここにいます。送ってください!??

2. コロサイ 4:5-6 ?時間を最大限に活用して、部外者に対して賢明に行動してください。それぞれの人にどのように答えるべきかを知ることができるように、あなたのスピーチは常に礼儀正しく、塩味を加えてください。

2 コリント 2:16 この方にとって、私たちは死に至るまでの味わいです。そしてもう一方には生命の味わいを。そして、誰がこれらのことを行うのに十分なのでしょうか?

パウロは、自分の教えが人によって異なる影響を及ぼし、自分にはこの挑戦にはふさわしくないと感じさせるのではないかという懸念を表明しています。

1. 私たちの人生や言葉は他の人の人生に大きな影響を与える可能性があり、私たちはこの責任を認識しなければなりません。

2. 神は私たちに生と死をもたらす大きな力を託されており、私たちはそれを賢明に活用しなければなりません。

1. 箴言 10:19 - 言葉が多いとき、罪がないわけではありませんが、口を閉ざす者は賢いです。

2. コリント第一 4:2 - さて、信頼を与えられた人は忠実であることを証明することが求められています。

2 コリント 2:17 私たちは、神の言葉を汚すような多くの者ではなく、誠実に、しかし神のように、神の御前ではキリストにあって語ります。

パウロはコリントの人々に、神の言葉を汚さないように、そしてキリストにおける神の御前にあるかのように誠実に語るよう警告しています。

1. 朽ちない言葉 - コリント人への手紙第二 2:17 の研究

2. 神の視点 - キリストの臨在に生きる

1. 詩篇 119:140 あなたの言葉は非常に純粋です。それゆえ、あなたの僕はそれを愛します。

2. マタイ 5:8 心の清い人たちは幸いです。彼らは神を見るでしょう。

2コリント3章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の第 3章です。この章でパウロは、モーセを通して与えられた古い契約と比較して、キリストにおける新しい契約の優位性について議論します。彼は御霊の変革の力を強調し、それを律法主義や文字に基づく奉仕活動と対比させています。

第 1 段落: パウロは、信者は生きた手紙であり、すべての人に知られ、読まれており、キリストにおける信者の変容の証拠であると主張することから始めます (2 コリント 3:2-3)。彼は、彼らの能力がいかに神から来るのかを強調し、神は彼らを新しい契約、つまり成文の法典に基づくものではなく、聖霊に基づいて奉仕者とされたのです(2コリント3:4-6)。パウロはこれを、石板に刻まれたために罪に定められ死をもたらした古い契約と対比させています。

第 2 段落: パウロは、モーセの宣教には栄光が伴い、神と出会った後に彼の顔は輝いたが、それは一時的で消え去ったものであったと説明しています (2 コリント 3:7-11)。有罪判決をもたらす奉仕活動に栄光があるとすれば、新しい契約の下での義の奉仕活動はどれほど栄光に満ちているでしょうか、と彼は強調しています。この新しい契約の栄光は、モーセが経験した栄光を上回ります。それはキリストを通して自由、変容、そして永続する栄光をもたらします。

第 3 段落: この章はモーセのベールを使用したイラストで終わります。パウロは、モーセがその栄光が消え去ったとき、イスラエルの人々から輝く顔を隠すためにどのようにベールをかぶっていたかを説明しています(2コリント3:13)。しかし、今ではキリストにあって、信者はベールや妨げられることなく神に近づくことができます。彼らが顔を覆いながら神に向かうとき、彼らは神の御霊によって栄光から栄光へと神の似姿へと変えられていくのです(2コリント3:18)。

要約すると、コリント人への手紙第二の第 3 章は、古い契約と新しい契約の対比に焦点を当てています。パウロは、信者たちが新しい契約の下でどのように変えられた個人として生きた証をしているかを強調しています。彼は、彼らの能力と奉仕は、成文法への法律主義的な遵守によってではなく、聖霊を通して神から与えられるものであることを強調しています。パウロは、モーセの宣教の一時的な栄光と、義と自由と永続する変革をもたらすキリストにある新しい契約の卓越した栄光とを対比させています。彼は、信者たちがどのようにしてベールや障害なしに神に近づき、神の御霊によって神の似姿に変えられるかを説明して締めくくっています。この章では新しい契約の優位性と、御霊によるその変革の力を強調します。

2 コリント 3:1 私たちは再び自分自身を褒めることを始めるでしょうか。それとも、他の人たちと同じように、私たちもあなたへの賞賛の手紙、あるいはあなたからの賞賛の手紙が必要でしょうか？

パウロはコリントの教会に対し、自分を信じるために自分や他の人からの賞賛の手紙が必要かどうかを尋ねています。

1.「神の言葉だけに頼る」

2.「褒める力」

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分だけの理解に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

Ⅱコリント 3:2 あなたがたは、私たちの心に書かれた私たちの手紙であり、すべての人に知られ、読まれています。

コリント人への手紙は、すべての人の心に書かれ、すべての人に知られ、読まれている手紙のようなものです。

1. 敬虔な模範の力: 言葉よりも雄弁に語る人生を生きる

2. ストーリーを書く: あなたの人生を力強い証言に変える方法

1. 箴言 12:28 - 義の道には命があり、その道には死はありません。

2. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2 コリント 3:3 なぜなら、あなたがたは、私たちが奉仕するキリストの手紙であり、インクではなく、生ける神の御霊によって書かれたものであると明らかに宣言されているからです。石の板ではなく、心の肉の板で。

コリント人への手紙は、インクではなく生ける神の御霊によって、石の板ではなく心の肉の板に書かれたキリストの手紙であると宣言されています。

1. キリストの生きた手紙: 御霊の力

2. Written on Our Hearts: 愛の力

1. ローマ人への手紙 2:15-16 - というのは、律法を持たない異邦人が律法に含まれていることを自然に行うとき、律法を持たないこれらのこと自体が律法であり、律法の働きを示すものだからです。彼らの心にはそう書かれており、良心も証言しており、彼らの考えは互いに非難したり言い訳したりしながら意地悪をする。

2. 詩篇 119:11 - あなたに対して罪を犯さないように、私はあなたの言葉を心の中に隠しました。

2 コリント 3:4 そして、私たちはキリストを通して神に対してこのような信頼を抱いています。

パウロは神に近づくためのキリストへの信頼を表明しています。

1. キリストへの信仰の力: 神の臨在に近づく方法

2. 信頼の祝福: 神との関係を強化する方法

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. エレミヤ 29:13 - あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を探し、私を見つけるでしょう。

2 コリント 3:5 私たちは、何かを自分自身のように考えるのに十分なわけではありません。しかし、私たちの充足は神からのものです。

信者は自分の力と能力を神が十分に満たしてくださることに頼らなければなりません。

1. 神の力に頼る - 2コリント3:5

2. 神の備えを信頼する - ピリピ 4:19

1. コリント人への第二 3:5 - 私たちは、何かを自分自身のように考えるのに十分なわけではありません。しかし、私たちの充足は神からのものです。

2. ピリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスによって、栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2 コリント 3:6 また、私たちを新しい約聖書の有能な奉仕者としてくださったのです。文字ではなく、精神です。なぜなら、文字は殺しますが、精神は命を与えるからです。

パウロは信者たちに、律法の文字ではなく御霊によって新しい契約の奉仕者となるよう勧めています。文字は致命的になる可能性がありますが、御霊は命を与えるからです。

1. 聖霊の力: 聖霊がどのように新しい契約に命を吹き込むか

2. 手紙と御霊: 新しい契約の真の道を見分けて従う方法

1. ローマ 8:2-4 – キリスト・イエスにある命の御霊の法則が、私を罪と死の法則から解放してくれたからです。

2. ガラテヤ 5:16-18 – そこで私は言います、「霊によって歩みなさい。そうすればあなたがたは肉の欲望を満たすことができません。」

2コリント3:7 しかし、石に書かれ、刻まれた死の務めが輝かしいものであったとしても、イスラエルの子らはその顔の栄光を求めてモーセの顔をじっと見つめることができなかった。その栄光は取り去られることになっていた。

モーセの顔はイスラエルの民が直視できないほど輝かしかったが、その栄光は一時的なものであった。

1: モーセの栄光は消えましたが、神の栄光は永遠に続きます。

2: 私たちは一時的な世の栄光を超えて神の栄光に目を向けるべきです。

1: 詩篇 27:4 - 私が主に望んだことが一つあり、それを求めます。それは、私が生涯ずっと主の家に住み、主の美しさを見て、主の神殿で尋ねるためです。

2: イザヤ書 43:7 - わたしの名で呼ばれるすべての人でさえ、わたしは自分の栄光のために彼を創造し、彼を形作ったのである。はい、私が彼を作りました。

2 コリント 3:8 霊の働きは、むしろ輝かしいものではないでしょうか。

パウロは、御霊の働きは手紙の働きよりも輝かしいものであると強調しています。

1. 聖霊の力: 聖霊の輝かしい務めを探る

2. 計り知れない聖霊の威厳: 福音の素晴らしさを明らかにする

1. ローマ 8:26-27 – 「同様に、御霊は私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきなのかわからないからです。しかし、御霊ご自身が言葉にならないほど深いうめきをもって私たちのために執り成してくださいます。そして、心を探る者は、御霊の心が何であるかを知っています。なぜなら、御霊は神の御心に従って聖徒のためにとりなしてくれるからです。」

2. ヨハネ 3:8 – 「風は望むところに吹き、あなたはその音を聞きますが、それがどこから来てどこへ行くのかはわかりません。御霊によって生まれたすべての人も同様です。」

2 コリント 3:9 というのは、罪に定める務めが栄光であるとすれば、義の務めはなおさら栄光に勝るものだからです。

義の奉仕は、罪を宣告する奉仕よりもはるかに輝かしいものです。

1) 義の力: 神とともに歩むとどのように真の栄光がもたらされるか

2) 非難の影: 世界の成功観はいかに儚いものであり、誤った方向に導かれているか

1) ローマ人への手紙 5:17 - というのは、もし一人の人の罪によって死が一人に支配されたとしたら。ましてや、恵みと義の賜物を豊かに受ける者は、ただ一人、イエス・キリストによって人生を統治することになる。

2) マタイ 6:33 - しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

Ⅱコリント 3:10 なぜなら、栄光とされたものでさえ、この点では、優れた栄光のゆえに、何の栄光もなかったのです。

神の栄光は人間が提供できるどんな栄光よりもはるかに大きく、人間が与えるどんな栄光にも勝ります。

1. 神の栄光の素晴らしさ

2. 神の威厳の圧倒的な美しさ

1. イザヤ書 6:3 - 「そして、ある人は別の人に叫んで言った、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主です。全地は主の栄光に満ちています。」

2. 詩篇 19:1 - 「天は神の栄光を告げ知らせる。そして大空は神の御業を示しています。」

Ⅱコリント 3:11 というのは、なくなるものは栄光あるものであるなら、残るものはなおさら輝かしいものだからです。

なくなったものの栄光は、残る栄光に比べれば取るに足らないものです。

1. 神の超えられない栄光

2. 信仰の超越的な性質

1. ローマ人への手紙 8:18、「私は、今の苦しみは、これから私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えています。」

2. ヘブライ 11:1、「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2 コリント 3:12 私たちはそのような希望を持っているので、非常に平易な言い方をします。

クリスチャンには希望があり、それがスピーチに表れています。

1. 希望を語ろう: 前向きな姿勢の力を探る

2. スピーチにおける大胆さ: 信仰に満ちた言葉で困難に立ち向かう

1. ローマ 15:13 - 希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に満ち溢れますように。

2. 詩篇 34:18 - 主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救ってくださいます。

2 コリント 3:13 また、顔に覆いをかぶせたモーセのように、イスラエルの子らは廃止されるものの最後を毅然として見つめることができませんでした。

パウロはモーセが顔を覆うベールの使用を、イエスによって持ち上げられた古い契約のベールと比較しています。

1. 古い契約のベール: その重要性とそれが今日の私たちにとって何を意味するかを理解する

2. 古い契約の廃止: イエスはどのようにしてすべての人に自由をもたらしたか

1. ヘブライ 10:19-22 - したがって、兄弟たち、私たちはイエスの血によって、つまりイエスが幕を通して私たちのために開いてくださった新しく生きた道によって、つまりイエスの肉を通して聖所に入る自信を持っているので、そして、私たちには神の家を統べる偉大な祭司がいるのですから、信仰を完全に確信して、真の心をもって近づきましょう。

2. 黙示録 21:1-4 - それから私は新しい天と新しい地を見ました。最初の天と最初の地は過ぎ去り、海はもうありませんでした。そして私は、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように準備されて、神のもとから天から下りてくるのを見た。すると私は玉座からこう言う大きな声を聞いた、「見よ、神の住まいは人間とともにある。神は彼らとともに住み、彼らは神の民となり、神ご自身が彼らの神として彼らとともにおられるでしょう。神は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださるでしょう。そうすれば、死はもはやなくなり、悲しみも叫びも痛みもなくなります。以前のものは過ぎ去ったからです。」

2 コリント 3:14 しかし、彼らの心は盲目になっていました。というのは、今日に至るまで、旧約聖書を読む際に、同じ宝物が取り除かれずに残っているからです。そのベールはキリストにおいて取り除かれます。

旧約聖書の人々の心は、キリストが彼らを真理から隔てていたベールを取り去るまで、理解することができませんでした。

1.「真実を明らかにするキリストの力」

2.「キリストの光を見る」

1. イザヤ書 25:7 - 彼は死を永遠に飲み込みます。そうすれば主なる神はすべての顔から涙をぬぐってくださるでしょう。

2. ルカ 24:45 - それからイエスは、彼らが聖書を理解できるように彼らの心を開いた。

2 コリント 3:15 しかし、今日に至るまで、モーセの聖書が朗読されるとき、彼らの心には重荷がかかっています。

イスラエル人は心にベールがかかっていたため、モーセの教えを理解することができませんでした。

1. 不信仰のベール: 神の言葉を拒否する

2. 信仰の力: 真実を理解する

1. イザヤ書 6:9-10 - 「そして彼は言った、「行って、この民に言いなさい、あなたがたは確かに聞いているが、理解していない。また、あなたがたは確かに見ているが、認識してはいけない。この民の心を太らせ、彼らの耳を豊かにしなさい」重いので、目を閉じてください。そうしないと、目で見、耳で聞き、心で理解し改心して癒されません。」

2. ヨハネ 8:32 - 「そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

2コリント3:16 それにもかかわらず、人が主に立ち返るとき、その覆いは取り去られるであろう。

不信仰の覆いは、人が主に立ち返るときに取り除くことができます。

1. 不信仰の幕：それを克服して主に立ち返る方法

2. 克服する力: 神のうちにある真の自由を発見する

1. コリント人への第二 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去った。見よ、新しいものが来た。

2. イザヤ書 25:7 - そして彼は、すべての民の上に投げかけられた聖骸布、すべての国々に敷かれた布をこの山で滅ぼします。

2 コリント 3:17 さて、主はその御霊です。主の御霊のあるところには自由があります。

主の御霊は、主に従う者たちに自由をもたらします。

1. 聖霊の力: 神はどのようにして私たちの生活に自由をもたらすのか

2. 聖霊による自由: 主の臨在の祝福を経験する

1. ローマ 8:2 - キリスト・イエスにある命の御霊の法則が、私を罪と死の法則から解放してくれたからです。

2. ガラテヤ 5:1 - したがって、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ち、再び奴隷のくびきに絡めとられてはいけません。

2コリント3:18 しかし、私たちは皆、主の御霊によって、鏡の中のように主の栄光を顔を開けて見ながら、栄光から栄光へと、同じ姿に変えられていきます。

私たちは主の栄光を反映し、主の御霊に満たされるにつれて、より主に似た者へと変えられていくのです。

1. 変容する主の栄光

2. 御霊によってキリストのようになること

1. ローマ 8:29 - イエスは、そのことをあらかじめ知っていましたが、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿に似るようになることも予定していました。

2. コリント人への第一の手紙 13:12 - 今のところ、私たちは暗いガラス越しに見ています。しかし、その後は面と向かって、今では部分的には分かりました。しかしそのとき、私が知られているのと同じように、私も知ることになるでしょう。

Ⅱコリント4章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の第4章です。この章では、パウロは福音の宣教について論じ、その課題に焦点を当て、キリストにある希望と栄光を強調しています。

第一段落：パウロは、自分とその仲間たちが神の憐れみを受けて奉仕の任を任されていることを認めることから始めます。彼は、彼らが様々な試練、苦難、迫害に直面しても、決してくじけないと宣言しています(2コリント4:1-9)。パウロは、彼らの宣教は自分自身に関することではなく、イエス・キリストを主として宣言することであると強調しています。彼は、彼らの力が神から来ていることが明らかであるように、彼らが壊れやすい土の壺に福音の宝を入れて持ち歩いている様子を強調しています(2コリント4:5-7)。

第 2 段落: パウロはキリストのための彼らの苦しみを説明し、たとえ苦難に直面しても打ちひしがれることはないと断言します。たとえ迫害されても見捨てられるこ

とはない。たとえ打ち倒されても、それらは破壊されません(2コリント4:8-9)。彼は、彼らの苦しみは、彼らの死ぬべき肉体におけるイエスの命を明らかにし、彼らを通して他の人たちにもイエスの命を明らかにするのに役立つと説明しています(2コリント4:10-12)。迫害や試練によって外見的には衰えても、内面では日々新たにされています。

第 3 段落: この章は永遠の視点に焦点を当てて終わります。パウロは彼らの現在の一時的な苦しみを、比類のない永遠の重みのある栄光と対比させています(2コリント4:17)。彼は信者たちに、見えるものではなく見えないものに目を向けるよう勧めています。なぜなら、見えるものは一時的であり、見えないものは永遠だからです（2コリント4:18）。パウロは、彼らが信仰を実践しようと努力する際に、この希望が困難を乗り越えてどのように支えられるかを強調しています。

要約すると、コリント人への手紙第二の第 4 章は、キリストにある希望と栄光を強調しながら、宣教において直面する課題に焦点を当てています。パウロは、彼らの宣教は自分自身に関することではなく、イエス・キリストを主として宣言することであると強調しています。彼は彼らが耐える試練と苦しみを描写し、彼らの力は神から来ていると断言します。苦難に直面しているにもかかわらず、彼らは押しつぶされたり見捨てられたりすることはありません。その代わりに、彼らは福音の宝を自分の中に持っています。パウロは、彼らの苦しみが彼らの内にあるイエスの命を明らかにするのにどのように役立つかを説明し、一時的な苦しみではなく永遠の栄光に目を注ぐよう信者を励ましています。この章では、奉仕活動の課題、信者の中にあるキリストの命の変革力、そして永遠の観点から見出される希望に焦点を当てています。

2 コリント 4:1 したがって、私たちが憐れみを受けたのと同じように、この務めを果たしているのを見ると、私たちは気を失うことはありません。

著者は読者に、慈悲が与えられているのだから、宣教活動を諦めないようにと勧めます。

1.「神の憐れみの中で、私たちは耐え忍ぶ」

2.「私たちを高める慈悲の強さ」

1. ローマ人への手紙 5:20-21 - 「さらに、罪が増えるために律法が制定されました。しかし、罪があふれるところには、恵みがさらに豊かになりました。罪が死に至るまで支配したように、恵みは義を通して支配し、私たちの主イエス・キリストによって永遠の命に至るのです。」

2. 詩篇 103:17-18 - 「しかし、主の憐れみはとこしえからとこしえまで、主を畏れる者の上にあり、その義は子の子らにある。神の契約を守る者たちと，それを行うよう神の戒めを覚えている者たちに。」

2 コリント 4:2 しかし、不正直という隠された事柄を放棄し、悪賢い生き方をしたり、神の言葉を欺いて扱ったりしません。しかし、真理を明らかにすることによって、神の前ですべての人の良心に自分自身を推薦するのです。

パウロは、神の言葉を欺いて扱わず、真理のうちを歩むことによって、すべての人の良心に自分と同僚を褒めています。

1. 透明な生命の力

2. 神の言葉を扱う際の正直さの義務

1. 箴言 12:22 - 嘘をつく唇は主にとって忌まわしいものであるが、誠実に行動する者は主の喜びである。

2. エペソ 4:15 - むしろ、愛をもって真実を語るのではなく、私たちはあらゆる点で頭である方、キリストへと成長しなければなりません。

2コリント4:3しかし、もし私たちの福音が隠されるなら、それは失われた者たちにも隠されるのです。

イエス・キリストの福音は、道に迷って救いを必要としている人だけが見ることができます。

1. 福音を求める必要性: なぜ誰もが救いを求めるべきなのか

2. 福音の力: イエスはどのように人生を変えられるか

1. ルカ 19:10 - 「人の子は、失われた人たちを捜し、救うために来たからです。」

2. ローマ人への手紙 10:14-17 - 「それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのない神をどうやって信じることができるのでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？「良いたよりを宣べ伝える人々の足はなんと美しいのでしょう！」と書いてあるとおりです。

2コリント4:4 この世の神は、神の似姿であるキリストの輝かしい福音の光が彼らに輝かないように、信じない人々の心を盲目にされました。

この世の神は、信じない人の心を盲目にし、神の似姿であるイエス・キリストの福音の光を認識することができません。

1. 神の光は常に輝いています: 福音の輝きを見つける方法。

2. この世の神：敵を認識し、光を追う。

1. マタイ 5:14-16 - あなたは世の光です。

2. ローマ 1:16-17 - 福音は救いのための神の力です。

2コリント4:5 なぜなら、私たちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、主であるキリスト・イエスを宣べ伝えるからです。そして私たち自身もイエスのためにあなたのしもべです。

使徒パウロは、宣教するときは自分自身ではなくキリストのメッセージを宣べ伝えるべきであり、謙虚な僕としてそうすべきであることを思い出させます。

1. キリストを宣べ伝える力

2. 伝道という謙虚な奉仕

1. マタイ 28:18-20 – 「すると、イエスが来て彼らに言われた、『天と地のすべての権威がわたしに与えられた。』それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

2. ローマ人への手紙 10:14-17 – 「では、彼らはどうして信じなかった方を呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？「良いたよりを宣べ伝える人々の足は何と美しいのでしょう。」と書かれているとおりです。しかし、彼ら全員が福音に従ったわけではありません。イザヤはこう言っている、「主よ、だれが私たちから聞いたことを信じたでしょうか。」したがって、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。」

2コリント4:6 というのは、暗闇から光が輝くように命じられた神が、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を知る知識の光を与えるために、私たちの心の中で輝いてくださったからです。

神はイエス・キリストを通して私たちの心に光と知識をもたらし、私たちが神の栄光を認識できるようにしてくださいました。

1. 神の光: イエス・キリストがどのように神の栄光を明らかにするか 2. 照らされた心: イエス・キリストを通して知識と光を見出す

1. イザヤ書 9:2 – 暗闇の中を歩いていた人々は大きな光を見ました。深い闇の地に住む者たちに光が射した。2. ヨハネ 1:14 – そして、言葉は肉となって私たちの間に宿り、私たちは神の栄光、恵みと真理に満ちた、父からの独り子のような栄光を見ました。

2コリント4:7 しかし、私たちはこの宝を土の器の中に入れています。それは、その優れた力が私たちから出たものではなく、神から出たものであるためです。

使徒パウロは、信者は弱くても、神の力は彼らを通して完全になると教えています。

1. 神の強さは私たちの弱さを通して明るく輝きます

2. 私たちの弱さを受け入れ、神の力を輝かせる方法

1. コリント人への第二の手紙 12:9-10 - そして彼は私に言った、「私の恵みはあなたに十分です。私の強さは弱さの中で完全にされるからです。」したがって、キリストの力が私の上に宿るように、私はむしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います。

2. ローマ 8:26-27 - 同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきかわからないからです。しかし、御霊ご自身が、

言葉にならないうめきをもって私たちのためにとりなしをしてくれます。そして、心を探求する者は、御霊の思いが何であるかを知っています。なぜなら、御霊は神の御心に従って聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。

Ⅱコリント 4:8 私たちはあらゆる面で悩みを抱えていますが、悩んでいません。私たちは当惑していますが、絶望しているわけではありません。

パウロとその仲間たちは、あらゆる面で問題を抱えているにもかかわらず、悩んだり絶望したりしていません。

1. 苦難の時の神の慰め

2. 人生の課題を乗り越える

1. 詩篇 34:17-19 「義人が助けを求めて叫ぶとき、主は聞き入れて、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださる。主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救う。義人の苦しみは多い。しかし、主は彼を彼ら全員の中から救い出してくださいます。

2. イザヤ書 41:10-13 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。見よ、あなたに対して激怒する者はみな恥をかかされ、困惑するであろう、あなたに敵対する者は無に帰し、滅びるであろう。あなたは、あなたと争う者を捜すが、見つからないであろう。あなたと戦う者は、滅びるであろう。あなたの神、主であるわたしがあなたの右手を握って、あなたにこう言うのです、「恐れるな、あなたを助けるのはわたしだ。」

Ⅱコリント 4:9 迫害されましたが、見捨てられたわけではありません。打ち倒されるが、破壊されない。

クリスチャンはしばしば迫害されますが、神は決して彼らを見捨てず、滅ぼされることもありません。

1. 困難な時に強さと希望を見つける：落ち込んでいるときでも神はどのように私たちを支えてくださるか

2. 迫害の克服：困難に直面したときの神の忠実さ

1. イザヤ書 43:2 - 「あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。川を通って、あなたがたに溢れ出ることはありません。火の中を歩いても、火傷することはなく、炎があなたを焦がすこともありません。」

2. 詩篇 34:17 - 「正しい者たちは叫びます。主はそれを聞いて、彼らをすべての苦難から救い出してくださいます。」

Ⅱコリント 4:10 イエスの命が私たちの体の中で明らかにされるように、主イエスの死を常に体の中で担っています。

使徒パウロは信者たちに、イエスの命が自分たちの人生に現れるように、主イエスの死を常に自分の体の中に宿すよう勧めています。

1. 私たちの生活におけるイエスの現われ

2. イエスの死を私たちの内に受け入れる力

1. ローマ 6:11 - 同じように、あなた自身も罪に対しては死んでいるが、キリスト・イエスにおいて神に対しては生きていると考えてください。

2. ヨハネ 12:24 - まことに真実に言いますが、小麦の一粒が地に落ちて死ななければ、一粒の種だけが残ります。しかし、枯れるとたくさんの種ができます。

2 コリント 4:11 というのは、生きている私たちは常にイエスのために死に渡されており、それは、イエスの命が私たちの死ぬべき肉体においても明らかにされるためである。

私たち信仰者は常に死に直面していますが、この死を通してイエスの命が私たちの死ぬべき肉体に明らかにされます。

1. わたしたちの現世において明らかにされるイエスの生涯

2. イエスの生涯を示す死の力

1. ローマ 8:11 - 「しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださるでしょう。」

2. ピリピ 1:21 - 「私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは利益なのです。」

Ⅱコリント 4:12 ですから、死は私たちの内に働いていますが、命はあなたたちの内に働いています。

パウロはコリントの信徒たちに、彼らのうちには死が働いているが、コリントの信徒には命が働いていることを思い出させます。

1. 命を与える信仰の力: Ⅱコリント 4:12 を見てください

2. 死を克服する: Ⅱコリント 4:12 に強さを見つける

1. ローマ 8:11 - そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたの中に住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住んでおられる御霊のゆえに、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

2. テモテ第二 1:10 - しかし今、神は御霊によってそれを私たちに明らかにしてくださいました。なぜなら、御霊はすべてを、神の深みさえも調べられるからです。

2 コリント 4:13 私たちは同じ信仰の精神を持っていると書いてあるとおり、私は信じたので話しました。私たちも信じているので、話します。

コリント第二 4章13節に書かれているように、私たちは信じて語ることができる信仰の霊を持っています。

1.「信仰の力：心から語る」

2.「信仰生活を生きる：信じて話すこと」

1. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

Ⅱコリント 4:14 主イエスをよみがえらせた方が、イエスによってわたしたちもよみがえらせ、あなたがたとともにわたしたちを示してくださることを知っています。

通路：

この箇所でパウロはコリントの人々に、イエスが死者の中からよみがえられたように、自分たちも主の御前で永遠の命によみがえらされることを思い出させています。イエスをよみがえらせたのと同じ力が彼らをもよみがえらせるのだと彼は言います。

パウロはコリントの人々に、主の御前で永遠の命に復活するという信仰を持つよう勧めています。

1.「神の力: 私たちの未来が安全であることを知る」

2.「復活の希望：信仰の変革力」

1. ローマ 8:11 - 「そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊のゆえに、あなたがたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。」

2. ヨハネ 11:25 - 「イエスは彼女に言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。」

2コリント4:15 すべてのことはあなたがたのためであり、それは、豊かな恵みが、多くの人の感謝を通して神の栄光に倍加するためである。

パウロはコリントの人々に、人生のすべてのものは神の目的と栄光のために与えられているので、神に感謝するよう勧めています。

1. 感謝の力: 神の祝福に感謝することを学ぶ

2. 感謝を捧げる：神の豊かな恵みの喜びを解放する

1. コロサイ 3:15-17 - あなたがたは一つの体の一員として平和を求められているのですから、キリストの平和があなたの心を支配しなさい。そして感謝しましょう。知恵を尽くして互いに教え合い、戒め合い、神への感謝を胸に詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いながら、キリストの言葉があなたの内に豊かに宿るようにしましょう。

2. 詩篇 103:1-5 - 私の魂よ、主を讃美します。私の内なるすべての存在よ、彼の聖なる御名を賛美しなさい。わたしの魂よ、主をほめたたえ、その恩恵をすべて忘れないでください。主はあなたのすべての罪を赦し、あなたのすべての病気を癒し、あなたの人生を穴から救い出し、あなたに愛と憐れみの冠を与え、良いものであなたの欲望を満たしてくださいます。若さはワシのように新しくなります。

2 コリント 4:16 ですから、私たちは気を失うことはありません。しかし、たとえ私たちの外面的な人は滅びても、内なる人は日々新たにされます。

人生の困難にもかかわらず、信者が強くでいられるのは、内なる人が日々新たにされているからです。

1.「再生の希望：内なる人間の力」

2.「困難な時代を乗り越える、再生の力」

1. 詩篇 51:10 「神よ、私の中に清い心を造り、私の内に正しい霊を新たにしてください。」

2. ローマ 12:2 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2 コリント 4:17 なぜなら、ほんの一瞬の軽い苦しみは、はるかに大きな永遠の栄光を私たちにもたらすからです。

私たちはこの世で苦難を経験しますが、来世では永遠の栄光の重みとして働くことができます。

1. 苦悩の光: 痛みと苦しみがどのようにして永遠の栄光につながるのか

2. 一時的な試練を永続的な王国への影響に変える

1. ローマ 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えています。」

2. ヘブライ 12:1-2 - 「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、定められたレースを忍耐強く走り抜こうではありませんか」私たちの前で、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ています。イエスは、目の前に置かれた喜びのために恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。」

2コリント4:18 私たちは、見えるものではなく、見えないものに目を向けます。なぜなら、見えるものは一時的なものだからです。しかし、目に見えないものは永遠です。

私たちは一時的な物質的なものではなく、永遠の目に見えないものに焦点を当てるべきです。

1. 見えない王国: 永遠の視点で生きる方法

2. 目に見えるものに騙されるな 永遠のものを求めて

1. マタイ 6:19-21 - 虫とさびが滅び、盗人が押し入って盗む地上に自分のために宝を積んではなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさず、盗人がいない天に宝を積んでください。侵入したり盗んだりしないでください。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

2. コロサイ 3:1-3 - もしあなたがキリストとともによみがえったのなら、神の右に座しておられるキリストがおられる、上にあるものを探してください。地上のものではなく、上にあるものに心を向けてください。あなたは死んで、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されているからです。

Ⅱコリント5章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の第5章です。この章では、パウロは私たちの地上の体、永遠の住まい、キリストを通した神との和解などのテーマについて議論します。

第 1 段落: パウロは、信者が天上の住まいを得ることへの切望を表明することから始め、私たちの地上の体は一時的なものであり、朽ちる可能性があることを強調しています (2 コリント 5:1-4)。彼は、私たちがこの地上の体にいる間、うめき声を上げ、天上の住まいを切望し、死すべき運命がいのちに飲み込まれるように天上の体を着ることを望んでいる、と説明しています(2コリント5:4-5)。パウロは、神がまさにこの目的のために私たちを備え、来るべきことの保証として御霊を与えてくださったことを信者たちに安心させています。

第 2 段落: パウロは続けて、信者とキリストとの関係について論じます。彼は、私たちがこの地上の体に住んでいても、主の臨在の中で離れていても、私たちは主を喜ばせることを目標にしていると断言しています(2コリント5:9)。彼は、善であれ悪であれ、すべての信者がキリストの裁きの座の前に立ち、その体でなされた行為に対して当然の報いを受けることを強調しています(2コリント5:10)。パウロは、キリストの愛こそが彼を駆り立てるものであることを強調し、信者たちに新しい視点、つまりもはや世俗の基準ではなく、キリストにある新しいアイデンティティに従って他者を見るよう勧めています(2コリント5:14-17)。

第 3 段落: この章は和解のメッセージで終わります。パウロは、神はキリストを通して私たちをご自身と和解させ、和解の務めを私たちに与えてくださったと宣言します。彼は、神がどのようにキリストにあって世をご自分と和解させ、人々の罪を数えるのではなく、イエスを通して赦しと救いを与えられたかを説明しています (2 コリント5:18-19)。パウロはキリストの大使として、キリストご自身に代わって信者たちに、神と和解し、キリストにあって神の義となるよう勧めています(2 コリント5:20-21)。

永遠の住まい、そしてキリストを通した神との和解のテーマが探求されています。パウロは私たちの地上の肉体の一時的な性質を強調し、天上の住居への切望を表明しています。彼は、信者は主に喜ばれる生き方をするよう求められていると強調しています。パウロはキリストの裁きの座の前に立つことについて論じ、キリストにおけるアイデンティティに基づいた新しい視点で他者を見るよう信者に勧めています。この章は和解のメッセージで終わり、神はイエスを通して私たちをご自身と和解させ和解の奉仕を私たちに託されたと断言します。パウロは信者たちに、神と和解し、キリストの大使としてのアイデンティティを受け入れるよう勧めています。この章は私たちが永遠の住まい、キリストのために生き、イエスを通して神の和解の働きに参加するという希望を強調しています。

2 コリント 5:1 なぜなら、たとえこの幕屋という地上の家が取り壊されたとしても、私たちは神の建物、つまり手で造ったものではない永遠の家を天に持つことを私たちは知っているからです。

私たちは、地上の体が死ぬと、人間の手で造られたものではない永遠の天上の住居を手に入れることを知っています。

1. 私たちの永遠の家：天国の希望と慰め

2. 目に見えない領域: 天国にある私たちの真の家

1. ヨハネ 14:2-3 - 「父の家にはたくさんの部屋があります。もしそうでなかったら、私が行って、あなたのために場所を用意します、と言ったでしょうか。もし私が行って、あなたのために場所を用意したら、私はまた来ます、そしてあなたを私自身のところへ連れて行きます、それは私がいる場所にあなたもいることができるようにするためです。

2. ヘブライ 11:10 - なぜなら、彼は、神が設計者また建設者である、基礎のある都市を心待ちにしていたからです。

2 コリント 5:2 このことによって私たちはうめき声を上げ、天から来た家を着ることを切に望んでいます。

信者たちは、最終的な救いを期待してうめきながら、天国の住居を着ることを望んでいます。

1.「人生の変遷：救い主を待ちながら」

2.「天国の住居：信者たちの希望」

1. ローマ 8:23 - そして、彼らだけでなく、御霊の初穂を持つ私たち自身も、心の中でうめきながら、養子縁組、機知に富んだ体の救いを待っています。

2. ヨハネ 14:2-3 - 私の父の家にはたくさんの大邸宅があります。そうでなければ、私はあなたに話したでしょう。あなたの為に場所を用意しに行きます。そして、私が行ってあなたのために場所を準備するなら、私は再び来て、あなたを私自身に迎えます。私がいる場所に、あなたがたもそこにいるかもしれないということです。

Ⅱコリント 5:3 もしそうなら、私たちは服を着ていれば裸であることはありません。

信者は、地上の生涯の終わりにキリストの義を身につけることを期待して生きるよう奨励されています。

1. 最後の布を期待して生きる: Ⅱコリント 5:3 の探求

2. 聖性を求める努力: 義の布と第二コリント 5:3

1. ローマ人への手紙 3:21-26 - 「しかし今、神の義は律法とは別に明らかにされていますが、律法と預言者はそれを証ししています。それは、信じるすべての人に対するイエス・キリストへの信仰を通しての神の義です。」

2. イザヤ書 61:10 - 「わたしは主にあって大いに喜びます。わたしの魂はわたしの神にあって喜ぶでしょう。主はわたしに救いの衣を着せてくださったからです。神は花婿が身を飾るように、義の衣をわたしに着せてくださいました」美しい頭飾りをかぶった司祭のように、宝石で身を飾る花嫁のように。」

2 コリント 5:4 この幕屋にいる私たちは、重荷を負ってうめいているのです。それは、私たちが服を脱ぐためではなく、着るためであり、死すべき運命がいのちに飲み込まれるためです。

信者たちは死すべき運命の重荷にうめき声を上げ、新たに不死の服を着ることを切望しています。

1. 死すべき運命の重荷：生の衣への憧れ

2. 幕屋のうめき声: 死すべき運命の重さ

1. ローマ 8:23 - そして、彼らだけでなく、御霊の初穂を持つ私たち自身も、心の中でうめきながら、養子縁組、機知に富んだ体の救いを待っています。

2. ピリピ 3:20-21 - 私たちの会話は天にあります。私たちはまた、そこから救い主、主イエス・キリストを求めます。主は、すべてのものを自分自身に服従させることさえできる働きに応じて、私たちの卑劣な体を変えて、その栄光の体に似たものに変えてくださいます。

2 コリント 5:5 さて、同じことのために私たちを働かせてくださったのは神であり、また私たちに熱心な御霊を与えてくださった神です。

神は私たちをご自身の目的に導くために働き、その保証として聖霊を与えてくださいました。

1: 神における私たちの希望 - コリント人への第二の手紙 5:5

2: 聖霊の賜物 - 2コリント5:5

1: ローマ 8:16-17 - 御霊ご自身が、私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。

2: ガラテヤ 4:6 - そして、あなたがたは息子であるため、神は御子の御霊を私たちの心に送り、叫びました。쏛ババァ！父親！？？

2 コリント 5:6 したがって、私たちは、肉体の中にいる間、主から離れていることを知っているので、常に自信を持っています。

信者は、肉体的にはこの世に存在していますが、いつか天国で主と再会するという確信を持っています。

1.「輝かしい希望：天国の保証」

2.「崩壊した世界で自信を持って生きる」

1. ローマ人への手紙 8:18-25

2. テサロニケ第一 4:13-18

2 コリント 5:7 (私たちは目に見えるものではなく、信仰によって歩むからです:)

この一節は信者たちに、視覚ではなく信仰によって生きるよう勧めています。

1: たとえ最終結果が見えなくても、私たちは神の計画を信じなければなりません。

2: 私たちは世俗的な欲望や誘惑に振り回されるのではなく、神の約束を信頼しなければなりません。

1: ヘブライ 11:1 (さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。)

2: ヤコブ 1:2-4 (兄弟たちよ、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、完全になるために、堅固さが最大限に効果を発揮するようにしましょう。そして完全で、何も欠けていません。）

2 コリント 5:8 私たちは自信を持っており、むしろ体から離れて主とともにいることを望んでいます、と私は言います。

パウロは、信者は死んでも主とともにあるという知識に対する確信を表明しています。

1. キリストを信じて生きる - 死によって私たちは主とともにいることを知ります。

2. 天国を信じることの慰め - 主との生活が私たちを待っているという確信を経験します。

1. ピリピ 1:21-23 - 私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは利益だからです。

2. ローマ人への手紙 8:18 - 私は、この時の苦しみは、私たちの内に現されるであろう栄光と比較するに値しないと考えているからです。

2 コリント 5:9 ですから、私たちは、そこにいてもいなくても、神に受け入れられるように努力します。

パウロは、その場にいてもいなくても、神に受け入れられるよう努力することの重要性を強調しています。

1.「神の愛を信じる：神に受け入れられるよう努力する」

2. 「忠実さへの呼びかけ: 神を喜ばせるためにあらゆる努力をする」

1. ローマ 12:11-12 「決して熱心さを欠いてはならず、霊的な熱意を保って主に仕えなさい。希望をもって喜び、苦難において忍耐し、忠実に祈りなさい。」

2. ヘブライ 11:6 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者はだれでも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

2コリント5:10 なぜなら、私たちは皆、キリストの裁きの座の前に出なければならないからです。それは、良いことであろうと悪いことであろうと、自分が行ったことに応じて、すべての人が自分の体で行われたことを受け取ることができるようにするためです。

すべての人は、善であれ悪であれ、自分の体で行ったことを受け取るために、キリストの裁きの座の前に出なければなりません。

1. 審判の日を踏まえて生きる - 審判の日の確実性を踏まえて、私たちはどのように生きるべきか。

2. 義の報酬 - 義にかなった生活からどのように報酬を受け取ることができるか。

1. 伝道の書 12:13-14 - この問題全体の結論を聞きましょう。神を恐れ、神の戒めを守りなさい。これが人間の全義務だからです。なぜなら、神は善であれ悪であれ、あらゆる秘密の事柄を含め、あらゆる業を裁くからである。

2. ローマ 14:10-12 - なぜあなたは自分の兄弟を裁くのですか。それともあなたは、なぜあなたの兄弟を軽蔑するのですか？なぜなら、私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになるからです。と書かれているからですか？「わたしは生きている、と主は言われる、すべての膝はわたしにかがみ、すべての舌は神に告白するであろう。」それで、私たち一人一人は神に自分自身についての説明をすることになる。

2コリント5:11 したがって、私たちは主の恐ろしさを知っているので、人々を説得します。しかし、私たちは神の前に明らかにされます。そして私は、それが皆さんの良心にも明らかになるものと信じています。

パウロは、神が彼らの努力を知っていることを知っているので、自分と同僚の牧師が福音を受け入れるよう人々を説得する責任を担っていると説明しています。

1. 牧師の責任: 主の恐怖を知る

2. 神の臨在の中で信仰を実践する

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - それでは、信じていない神をどうして呼び求めることができるでしょうか。そして、彼らは聞いたこともない神をどうやって信じることができるでしょうか？そして、説教者なしではどうやって彼らは聞くことができるでしょうか？

2. コロサイ 4:5-6 - 外にいる人々に向かって知恵をもって歩み、時間を救います。すべての人にどのように答えるべきかをあなたが知ることができるように、あなたのスピーチは常に優雅で、塩で味付けしてください。

2 コリント 5:12 私たちは、自分自身を再びあなたがたに勧めるのではなく、私たちのために栄光を得る機会をあなたがたに与えます。それは、心ではなく外見で栄光をもたらしている人々に、あなたがたが少し答えることができるようにするためです。

パウロはコリントの人々に、自分の功績を誇るのではなく、外見ではなく心に焦点を当てて神の栄光を現すよう勧めています。

1: 「問題の核心: 本当に重要なことに焦点を当てる」

2: 「神の栄光: 私たちの行動すべてにおいて神に敬意を表することを求める」

1: ペテロ第一 5:5-7 - ?同様に、年下のあなたたちも年長者に従いなさい。皆さん、お互いに謙虚さを身につけてください。쏥 odは高慢な者には反対しますが、謙虚な者には恵みを与えます。??ですから、神の力強い御手の下で謙虚になってください。そうすれば、神は適切な時にあなたを高め、すべての不安を神に投げかけてくださいます。神はあなたのことを気遣ってくださっているからです。?

2: 箴言 21:2 - ?男のやり方はその人の目には正しいが、主はその心を重んじられる。

2 コリント 5:13 なぜなら、私たちが我を忘れていても、それは神に対するものであり、私たちがしらふであっても、それはあなたの大義のためだからです。

パウロはクリスチャンに、興奮状態であっても、しらふの状態であっても、神に集中するよう勧めています。

1.「神の喜びに生きる：興奮の世界で素面を保つ」

2. 「献身の力：神と他者への奉仕」

1. 詩篇 100:2 - 喜んで主に仕えなさい。歌いながら主の御前に出なさい。

2. ガラテヤ 5:13 - 兄弟たち、あなたがたは自由を得るために召されています。自由を肉体のためだけに利用するのではなく、愛によって互いに仕えなさい。

2コリント5:14 キリストの愛が私たちを束縛するからです。なぜなら、もし一人が全員のために死んだなら、全員が死んだことになる、と私たちは判断するからです。

キリストの愛は、キリストがすべての人のために死んだのなら、すべての人が死んだことになると私たちに判断させる動機を与えます。

1. 愛の力: キリストの愛がどのように私たちを束縛するか

2. 愛の代償: キリストの犠牲の意味を理解する

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

2. ヨハネ 15:13 - 人が友人のために自分の命を捨てること以上に大きな愛はありません。

2コリント5:15 そして、イエスがすべての人のために死んだこと、そして生きている者たちが今後、自分のために生きるのではなく、自分のために死んでよみがえられた方のために生きるためである。

イエスがすべての人のために死なれたのは、生きている人々が自分自身の代わりにイエスのために生きることができるためです。

1: 真の自由 - 自分自身ではなくキリストのために生きる

2: 十字架の力 – イエスは私たちのために死んで復活

1: ヨハネ 15:13 - これより大きな愛はありません。人を捨てることですか？一人の人生?友達。

2: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2 コリント 5:16 したがって、今後、私たちは肉の後の人間を知りません。そうです、私たちは肉の後のキリストを知っていましたが、今後はもうキリストを知りません。

かつて私たちはキリストの肉体的な姿を知っていましたが、今では霊的な認識に頼っています。

1. 「肉体を超えた人生を生きる」

2.「霊的認識の力」

1. ローマ 8:5-8 「肉に従う人は肉のことを気にしますが、御霊に従う人は御霊のことを気にします。肉の思いを持つことは死です。しかし、霊の思いを持つことは死です。」」

2. ガラテヤ人への手紙 6:14-15 「しかし、神は、私たちの主イエス・キリストの十字架を除いて、私が栄光を受けることを禁じられています。その十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世に対して十字架につけられました。なぜなら、キリスト・イエスにおいては、割礼も何の役にも立たないからです」それは、割礼を受けていないものではなく、新しい生き物なのです。」

2 コリント 5:17 したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去りました。見よ、すべてが新しくなる。

キリストを信じる者は新しくされ、すべてが新しくなりました。

1. 「新しい生き物：キリストにおける再生と変容の探求」

2.「福音の新たな力：新たな創造物となる」

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. エペソ人への手紙 4:22-24 - 以前の生き方に属し、欺瞞的な欲望によって堕落した古い自分を脱ぎ捨て、思いを新たにして、新しい自分を着るために、真の義と聖さにおいて神の似姿に倣って創造されました。

2コリント5:18 そして、すべては神から出たものであり、神はイエス・キリストによって私たちをご自分と和解させ、和解の務めを私たちに与えてくださいました。

神はイエス・キリストを通して私たちをご自分と和解させ、和解の奉仕を私たちに与えてくださいました。

1.「和解省」

2. 「イエス・キリストによる和解という神の賜物」

1. ローマ 5:10-11 - なぜなら、私たちが敵であったとき、御子の死によって神と和解したのなら、ましてや和解すれば、私たちは御子の命によって救われるからです。そしてそれだけではなく、私たちは主イエス・キリストを通して神にあって喜びを感じています。このキリストによって今私たちは贖いを受けています。

2. コロサイ 1:19-20 - 御父は、御父のうちにすべての満ち足りたものが宿ることを喜ばれたからです。そして、彼の十字架の血によって平和を実現し、彼によってすべてをご自分と和解させました。それが地上のものであれ、天上のものであれ、私は彼によって言います。

2 コリント 5:19 機知に富んだことには、神はキリストのうちにおられ、世をご自分と和解させ、彼らの罪を彼らのせいにするのではありませんでした。そして私たちに和解の言葉を約束してくださいました。

神はキリストにあって、世界をご自分と和解させるためであって、彼らの罪を罰するためではなく、私たちに和解のメッセージを与えてくださいました。

1. 「神の和解の恵み: イエスはどのようにして私たちを神と和解させたのか」

2. 「和解の人生を生きる: キリストに従うとはどのような感じですか?」

1. コロサイ 1:20-22 - そして、彼の十字架の血によって平和を作り、彼によってすべてをご自分と和解させました。それが地上のものであれ、天上のものであれ、私は彼によって言います。

2. ローマ 5:10-11 - なぜなら、私たちが敵であったとき、御子の死によって神と和解したのなら、ましてや和解すれば、私たちは御子の命によって救われるからです。

2 コリント 5:20 さて、私たちはキリストの大使です。あたかも神が私たちにあなたがたに懇願したかのように、キリストの代わりに祈ります。あなたがたが神と和解してください。

信者はキリストの大使となり、人々が神と和解できるよう祈るよう求められています。

1. キリストの大使として召される

2. 信仰を通じて神と和解する

1. マタイ 28:18-20 - すると、イエスが来て彼らに言われた。天と地におけるすべての権威が私に与えられました。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。

2. □□□ 10:14-17 - □□□□

を強調します。

2コリント6:1 そこで私たちは、神とともに働く者として、神の恵みを無駄に受けないよう、あなたがたにもお願いします。

パウロは信者たちに、神の恵みを当然のことと思わず、最大限に活用するよう勧めています。

1.「恵みの力：神の賜物を受け取り、それを最大限に活用する」

2. 「神の過分のご好意の祝福: 当然のことだと思わないでください」

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ローマ 5:17 - というのは、もし、一人の人の罪過のせいで、その一人によって死が支配したとしたら、豊かな恵みと無償の義の賜物を受けた人々は、なおさら、一人の人イエス・キリストを通して命を支配することになるからです。

Ⅱコリント6:2（彼はこう言っている、「わたしは受け入れられた時にあなたの声を聞き、救いの日にわたしはあなたを救いました。見よ、今が受け入れられた時です。見よ、今が救いの日です。」

神は救いを提供しており、受け入れられる時に私たちの声を聞いてくださいました。今こそ彼の救いの申し出を受け入れる時です。

1.「受け入れられた時：神の救いの申し出を最大限に活用する」

2.「今日は救いの日です。神の祝福を逃すな」

1. イザヤ書 49:8 (主はこう言われる、「ふさわしい時にわたしはあなたの声を聞き、救いの日にわたしはあなたを助けた。そしてわたしはあなたを守り、確立する民の契約のためにあなたを与える」地球、荒廃した遺産を継承させるために;)

2. エペソ人への手紙 2:8-9 (なぜなら、あなたがたは信仰によって恵みによって救われているからです。それは自分自身によるものではありません。それは神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。)

2コリント6:3 奉仕活動が非難されないように、何事においても罪を犯してはなりません。

信者は奉仕活動が非難されないように、不快にならない生き方をすべきです。

1. 罪を犯さずに生きる: 聖性への呼びかけ

2. 知恵のうちに歩む: 宣教のためのガイド

1. エペソ人への手紙 5:15-17 - したがって、あなたがたは、愛する子供たちとして神に従う者となりなさい。そして、キリストも私たちを愛し、甘い香りのために神への捧げ物といけにえを私たちのために捧げてくださったように、愛のうちに歩みなさい。しかし、不品行とすべての汚れ、または貪欲は、聖徒となる者として、あなたがたの間で一度も名前を付けてはならない。

2. ヤコブ 3:13-18 - あなたたちの中で、知恵があり、知識に恵まれている人は誰ですか。楽しい会話の中から、柔和な知恵で自分の作品を見せてもらいましょう。しかし、もしあなたが心の中に激しいねたみや争いを抱いているなら、栄光を誇ったり、真理に反して嘘をついたりしてはなりません。この知恵は上から降ってくるものではなく、地上的で、官能的で、悪魔的なものです。なぜなら、ねたみと争いがあるところには、混乱とあらゆる悪の働きがあるからです。しかし、上から与えられる知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、扱いやすく、慈悲と良い実とに満ち、偏りや偽善がありません。そして正義の実は、平和を実現する人々の平和の中に蒔かれます。

2 コリント 6:4 しかし、どんなことにおいても、忍耐、苦しみ、必要なこと、苦難の中で、自分を神の奉仕者であると認め、

パウロはクリスチャンに、辛抱して困難に耐えることによって信仰を堅固に保つよう勧めています。

1. 人生の試練における忍耐

2. 敬虔な態度で困難に耐える

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな試練に遭遇するとき、それはすべて喜びであると考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているからです。そして、忍耐がその完璧な結果をもたらし、あなたが何一つ欠けることのない完璧で完全な者となるようにしましょう。

2. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは艱難が忍耐をもたらすことを知って、艱難を喜びます。そして忍耐力、証明された性格。そして証明された性格、希望。そして希望は失望に終わることはありません。なぜなら、神の愛は私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心の中に注がれているからです。

Ⅱコリント6:5 縞模様、投獄、騒動、労働、見張り、断食。

パウロはコリント人への宣教で経験した困難を詳しく語ります。

1. 困難な時に神の約束を信頼する

2. 忍耐の力

1. 詩篇 23:4 - たとえ私が最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

2. ローマ 8:18 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。

Ⅱコリント6:6 純粋さ、知識、忍耐、優しさ、聖霊、偽りのない愛によって、

この聖句はクリスチャンに、純粋で、知識があり、忍耐強く、親切で、聖霊に導かれ、真の愛を示すことによって聖なる生活を送るよう勧めています。

1. 真の愛の力: コリント第二 6:6 の研究

2. 聖霊の力: 聖なる生活を送る方法 (コリント人への手紙第二 6:6 による)

1. エペソ人への手紙 5:1-2 「ですから、愛する子として神に倣う者となりなさい。そして、キリストが私たちを愛し、私たちのためにご自身をささげ、神への香りのよい供え物、いけにえとして、愛のうちに歩みなさい。」

2. ヨハネ第一 4:7-11 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。なぜなら神は神だからです。」「愛。このことによって、神の愛が私たちの間で明らかにされました。神がご自分の独り子を世に送ってくださったのは、私たちが彼を通して生きることができるためです。この中に愛があるのです。私たちが神を愛したということではなく、神が私たちを愛し、遣わしてくださったということです」「神の御子が私たちの罪のなだめの身となってくださるのです。愛する人よ、神が私たちをこれほど愛してくださったのなら、私たちも互いに愛し合うべきです。」

2コリント6:7 真理の言葉と神の力と、右手と左手の義の武具によって、

パウロはコリントの人々に、神の力に信頼し、神の武具を身に着けることによって神の真理に従って生きるよう勧めています。

1.「真実の力：神の力に頼って正しく生きる」

2.「神の武具を着る：義にかなった生き方への呼びかけ」

1. エペソ人への手紙 6:10-18 - 神の武具全体

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼する

Ⅱコリント6:8 名誉と不名誉によって、悪い報告と良い報告によって、欺瞞者として、しかし真実です。

パウロはコリントの人々に、批判や誤解に直面しても信仰に忠実であるよう勧めています。

1. 否定的な意見を克服する: 批判に直面しても自分の信仰に忠実であること

2. 困難な時に神の真理に頼る: 自分の信念に忠実であり続ける

1. ローマ 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇するとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなた方は知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮しなさい。」

2 コリント 6:9 知られていないようでいて、よく知られています。死ぬのと同じように、見よ、私たちは生きています。懲らしめられたように、そして殺されなかった。

パウロは、無名であるのによく知られている、死んでいるのに生きている、懲らしめられているのに殺されないという矛盾について語ります。

1. 神のパラドックス: 未知の世界に生きる

2. 弱さの中に強さを見つける方法

1. ローマ 8:31-39 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2. 詩篇 34:17-19 - 正しい者たちは叫びます、そして主はそれを聞いて、彼らをあらゆる苦難から救い出してくださいます。

2コリント6:10 悲しみながらも、いつも喜んでいます。貧しいながらも多くの人を裕福にしている。何も持っていないのに、すべてのものを所有しているようなものです。

パウロはコリントの人々に、現在の悲しみ、貧困、物質的な所有物の不足にもかかわらず、人生のあらゆる状況において忠実であり続けるよう勧めています。

1. いつも主にあって喜びなさい - ピリピ 4:4

2. 信仰によって貧困に打ち勝つ - マタイ 6:25-33

1. ガラテヤ 6:9 - そして、善行に疲れないようにしましょう。私たちが失神しなければ、しかるべき季節が来れば刈り取ることができるからです。

2. ローマ人への手紙 8:18 - なぜなら、今の苦しみは、私たちの内に明らかにされるであろう栄光と比較するに値しないと私は思うからです。

2 コリント 6:11 おお、コリントの人々よ、私たちはあなたがたに対して口を開き、心は大きくなっています。

パウロはコリント人への寛大さと愛を第二コリント 6:11 で表現しています。

1. ポールの寛容さと愛

2. 心を広げて神に近づく

1. ローマ人への手紙 5:5 - 「希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は、私たちに与えられる聖霊によって、私たちの心の中に注がれるからです。」

2. ヨハネ第一 4:11 - 「愛する人たち、神が私たちをこれほど愛してくださったのなら、私たちも互いに愛し合うべきです。」

2コリント6:12 あなたがたは、私たちの中で窮屈ではありませんが、自分自身の腹の中で窮屈になっています。

パウロはコリントの人々に、彼らの制限は自分から来るものではなく、自分で課したものであることを思い出させます。

1.「自らに課した制限から自由に生きる」

2.「神の中に強さと自由を見出す」

1. 詩篇 34:4 - 私が主を求めたところ、主は私の言うことを聞いて、すべての恐れから私を救い出してくださいました。

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2 コリント 6:13 さて、同じことについての反省のために、（私は子供たちに言うように）あなたがたも心を大きくしなさい。

パウロはコリント人に、自分たちの資源を惜しみなく使い、自分の子供たちと同じように他の人たちに接するよう勧めています。

1. 「教会における寛大さ: 他者をどのように扱うべきかについてのガイド」

2. 「拡大の中で生きる: 他人に寛大さを示すにはどうすればよいか」

1. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟姉妹の皆さん、信仰があると主張していても行いをしていない人がいたら、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼らを救うことができるでしょうか？

2. マタイ 25:31-46 - 「人の子がすべての天使たちとともに栄光のうちに来るとき、彼はその栄光の王座に座ります。すべての国々が彼の前に集められ、彼は羊飼いが羊を山羊から分けるように、民を一人一人に分けるだろう。

2 コリント 6:14 あなたがたは、不信者たちと不平等にくびきを負っていませんか。義と不正との間にどんな交わりがあるのでしょうか。そして、どんな交わりが闇と光を持っているのでしょうか？

クリスチャンは、正義と不義とは相容れないものであるため、不信者と協力関係を築くべきではありません。

1. 光と闇: 世俗的な世界で信仰をどう生きるか

2. 不平等にくびきを負う: すべての人間関係において神の御心を求める方法

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2 コリント 6:15 それでは、キリストはベリアルとどのような一致を持っているのでしょうか。あるいは、異教徒を信じる者にはどのような部分があるでしょうか？

この一節は、キリスト教と非信者の互換性を疑問視しています。

1. キリスト教の信じられないほどの互換性

2. キリストを信じる団結力

1. コリント第二 6:15-17

2. ガラテヤ3:23-29

2 コリント 6:16 それでは、神の神殿と偶像にはどのような一致があるのでしょうか。あなたがたは生ける神の神殿だからです。神が言われたように、私は彼らの中に住み、彼らの中を歩きます。そして私は彼らの神となり、彼らは私の民となるでしょう。

使徒パウロはコリント教会に、生ける神の神殿としての教会のアイデンティティと、神が神の民として教会に住み、共に歩むと約束されたことを思い出させています。

1. 生ける神の神殿とはどういう意味か

2. 神の民として生きることで神の臨在を体験する

1. コリント人への手紙第一 3:16-17 - あなた方自身が神の神殿であり、神の霊があなた方の中に住んでいることを知らないのですか。

2. ローマ人への手紙 8:14-16 - 神の御霊に導かれる者は神の子だからです。あなたが受け取った御霊は、あなたを奴隷にして、再び恐怖の中で生きるようにするものではありません。むしろ、あなたが受け取った御霊が、あなたの養子縁組をもたらしたのです。そして私たちは彼のそばで「アバ、父よ」と叫びます。

2 コリント 6:17 「だから、彼らの中から出て、あなたがたは離れなさい。そして汚れたものに触れてはならない。」と主は言われる。そして私はあなたを迎えます、

主はクリスチャンたちに、世から出て、分離を保ち、汚れたものと交わらないようにと呼びかけておられ、その結果、主はクリスチャンを受け入れてくださいます。

1. 「分離の力: 群衆から目立つ方法」

2.「聖性の中を歩む：不純な世界で純粋さを追求する」

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはいけません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. エペソ人への手紙 5:11 - 「実を結ばない闇の業に加担せず、むしろそれを暴露しなさい。」

2コリント6:18 そして、あなたがたは父となり、あなたがたは私の息子、娘となる、と全能の主は言われる。

全能の主は私たちにとって父となることを約束されており、その結果、私たちは神の息子、娘となるのです。

1: 神をあなたの父と呼ぶことを恐れないでください。

2: 主を信頼してください。そうすれば、主はあなたの父となります。

1: イザヤ書 64:8 - しかし今、主よ、あなたは私たちの父です。私たちは粘土であり、あなたは私たちの陶芸家です。そして私たち全員はあなたの御手の作品です。

2: 詩篇 103:13 - 父親が子供たちを憐れむように、主はご自分を恐れる者たちを憐れまれます。

第二コリント 7 章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の 7 章です。この章では、パウロは前の手紙に対するコリントの信者たちの反応を取り上げ、悔い改めにつながる敬虔な悲しみについて論じています。

第 1 段落: パウロは、自分の以前の手紙がコリントの信徒たちに与えた良い影響について聞いて、喜びと慰めを表明することから始めます。彼は自分の手紙が彼らに悲しみを引き起こしたことを認めていますが、それは彼らを悔い改めに導く敬虔な悲しみでした(2コリント7:8-10)。彼は、彼らの悲しみが彼らの中に変化への願望を生み出し、それが真の悔い改めと救いにつながったと説明しています。パウロは彼らが自分の矯正に真剣に応じたことを称賛し、彼らの敬虔な悲しみがいかに回復と和解をもたらしたかを表現しています。

第 2 段落: パウロは、彼らの反応が、あらゆる悪行から身を清めようとする熱意を示していたことを回想しています。彼は、彼らがいかに正しいことに対して熱心であり、罪に対して行動を起こし、義に対する強い願望を示したかを強調しています(2コリント7:11)。この敬虔な悲しみが彼らを世の悲しみや良心の呵責から遠ざけ、真の変化を起こさなかったと彼は強調します。彼らが示した悔い改めは、新たな決意、罪に対する憤り、神の裁きへの恐れ、義への切望、正義への熱意、不正への復讐という点で実を結びました。

第 3 段落: この章はパウロからのさらなる励ましで終わります。彼は彼らへの愛を保証し、彼らの関係が回復したことを喜びます (2コリント7:13-16)。パウロはテトスを、コリントの信者たちの反応について喜びを分かち合った信頼できる仲間として褒めています。テトスの到着によって慰めてくださった神に感謝の意を表し、テトスが彼らの中にいることによってどれほど励まされたかを見て大きな喜びを感じています。

要約すると、コリント人への手紙第二の第 7 章は、パウロの以前の手紙に対するコリントの信者の反応に焦点を当て、悔い改めに導く敬虔な悲しみの変容の力を強調しています。パウロは彼らの前向きな反応を聞いて喜びと慰めを表し、彼らの真の悔い改めを称賛します。彼は、彼らの悲しみがどのように変化と回復への願望を生み出し、義に対する新たな決意と熱意につながったかを回想しています。パウロは、真の変化につながる敬虔な悲しみと、真の悔い改めのない世的な悲しみとの違いを強調しています。最後に、回復した関係に感謝し、タイタスを信頼できる仲間として称賛し、彼を通して彼らが受けた励ましに対する喜びを表明しました。この章では、信者の人生における真の悔い改め、回復、そして敬虔な悲しみが変容をもたらす力の重要性を強調します。

2 コリント 7:1 したがって、愛する皆さん、これらの約束を持って、肉と霊のすべての汚れから自分自身を清め、神への畏れの中で聖さを完成させましょう。

信者は神から素晴らしいことを約束されているので、聖なる生活を送るよう努めるべきです。

1. 聖さの重要性: 日常生活において神にかなった選択をする

2. 不潔から身を清める: 神への畏れの中で生きる

1. テサロニケ人への第一の手紙 4:7 - 神が私たちを招いてくださったのは、不純さのためではなく、聖さのためだからです。

2. ペテロ第一 1:15-16 - しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。「わたしは聖であるから、聖でありなさい」と書いてあるからです。

2コリント7:2 私たちを迎えてください。私たちは誰も不当な扱いをしておらず、誰も堕落させず、誰も騙していません。

パウロと彼の仲間たちは、不正を行っておらず、誰も堕落させず、詐欺を働いていません。

1. 私たちの生活における誠実さの重要性。

2. 神の目に正しいことを行う。

1. 箴言 11:3 - 正しい者の誠実は彼らを導きますが、不実な者の曲がったことは彼らを滅ぼします。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとって罪です。

2 コリント 7:3 私がこれを話すのは、あなたがたを非難するためではありません。前にも言いましたが、あなたがたは死んでもあなたとともに生きることを私たちの心の中に抱いているからです。

パウロはコリント人に対する深い愛を表明し、彼らを非難するために話しているのではないと彼らを安心させます。

1. 困難の時のイエスの愛

2. 肯定の力

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. 詩篇 27:14 - 主を待ち望みます。強くなり、勇気を出して主を待ち望みましょう。

2 コリント 7:4 あなたに対するわたしの大胆な発言は偉大であり、あなたに対するわたしの栄光も偉大です。わたしは慰めで満たされており、あらゆる患難の中でこの上ない喜びを感じています。

パウロは苦難の真っ只中に喜びと慰めを表現し、コリント人に対して大胆に語ることを誇りに思います。

1. 苦しみと喜び：試練の中で慰めと喜びを経験する

2. スピーチの大胆さ: 声を使って真実を大胆に語る

1. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。 4 忍耐力、性格。そして性格、希望。5 また、神の愛は、私たちに与えられた聖霊を通して、私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。 3 なぜなら、信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているからです。4 忍耐力を働かせて、何一つ欠けることのない成熟した完全な者となるようにしましょう。

2コリント7:5というのは、私たちがマケドニアに来たとき、私たちの肉体には休むところがなく、あらゆる面で悩みを抱えていたからです。外側には戦いがあり、内側には恐怖がありました。

パウロと仲間たちはマケドニア旅行中に困難や恐怖を経験しました。

1. 人生における困難や恐れを克服する - コリント第二 7:5

2. 困難な時代を乗り越える強さ - 2コリント7:5

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。川を通って、水があなたに溢れ出ることはありません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたに燃え上がることもありません。

2. ピリピ 4:6-7 - 無駄に気をつけなさい。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、人知を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたの心と思いを保つでしょう。

2コリント7:6 それにもかかわらず、投げ落とされる人々を慰めてくださる神は、テトスの到来によって私たちを慰めてくださいました。

神はテトスを彼らのところに遣わしてコリント人を慰めました。

1. 神の慰めの臨在 - 私たちの生活における神の慰めと臨在は、どのように私たちに希望と平安をもたらしてくれるのか。

2. 友情の祝福 - 有意義で協力的な関係がいかに喜びと励ましをもたらすか。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助ける。わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうすれば、キリストの律法を全うすることになるのです。」

2 コリント 7:7 そして、彼が来られたことだけではなく、あなたがたの切なる願い、悲しみ、私に対するあなたの熱烈な思いを私たちに語ってくださったとき、彼があなたのうちに慰められたことによる慰めによってでした。それで私はますます喜びました。

パウロは、コリント人たちの自分に対する切実な願い、悲しみ、そして熱烈な思いに慰められ、喜びました。

1. 熱烈な祈りの力

2. 愛と思いやりを持って他人を励ます

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. ローマ人への手紙 12:15 - 「喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。」

2 コリント 7:8 というのは、私は手紙であなたがたに申し訳なく思ったことはありますが、悔い改めはしましたが、悔い改めません。というのは、ほんの一時的なことではありますが、同じ手紙であなたがたに後悔をさせたと私は認識しているからです。

パウロはコリント人たちに手紙を書き、その手紙を書いて彼らを悲しませましたが、それが結果的に彼らの気分を良くすることにつながったので、彼はそれを後悔しませんでした。

1. 愛の手紙: 神はどのように痛みを善のために利用されるのか

2. 神の言葉の力: 聖書は私たちをどのように変えることができるか

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2 コリント 7:9 今、私が喜んでいるのは、あなたがたが悔やまれたということではなく、悔い改めて悔い改めたということです。なぜなら、あなたがたが敬虔な態度をとった上で、悔い改められたのは、あなたがたが私たちから何の損害も受けないためだったからです。

パウロは、コリントの人々が悔い改めて悲しみ、彼らが敬虔な態度で行動したことを示したことを喜びました。

1. 悔い改めの力: 敬虔な生活を送る方法

2. 何もないところでダメージを受けること: 悔い改めの利点

1. 詩篇 51:10-12 - 神よ、私の中に清い心を創造してください。そして私の中に正しい精神を新たにします。

2. ルカ 15:7 - あなたがたに言いますが、悔い改める一人の罪人や、悔い改める必要のない九十九人以上の義人たちにも同様に喜びが天にあります。

2 コリント 7:10 なぜなら、敬虔な悲しみは、悔い改めない救いへの悔い改めをもたらすからです。しかし、世の悲しみは死をもたらすからです。

神のみこころに添った悲しみは悔い改めと、悔い改めることのできない救いにつながりますが、世の悲しみは死につながります。

1. 悔い改めの力 - 罪から離れ、神の救いに頼る

2. 神の悲しみと世の悲しみのコントラスト - 二つの悲しみの物語

1. 詩篇 51:17 - 「神の犠牲は打ち砕かれた霊です。打ち砕かれて悔い改めた心です、神よ、あなたは軽蔑されません。」

2. ヘブライ人への手紙 12:11 - 「さて、今の懲らしめは喜ばしいものではなく、悲しいものであるように思われます。にもかかわらず、その後、それによって行使される者たちに、平和な義の実をもたらします。」

2 コリント 7:11 見よ、これと同じこと、あなたがたが敬虔な仕打ちの後に悲しんだこと、それがあなたがたのうちにどれほどの用心深さをもたらしたことか、何という憤りを感じたことか、何という恐れ、何という熱烈な願望であったことか。、何という熱意、そう、何という復讐だろう！あなたがたは、すべてのことにおいて、この問題について明確であることを認めました。

コリントの人々は、悔い改めて行動を起こすよう促す神の御心にかなった悲しみを抱いていました。彼らは自分たちの行動に明確な良心を示しました。

1. 神聖な悲しみの力 - 私たちの人生を変える方法

2. 良心の清算 - 罪悪感を克服する方法

1. 箴言 28:13 - 自分の罪を隠す者は繁栄しない。しかし、告白して罪を捨てる者は憐れみを受けるであろう。

2. 詩篇 32:5 - 私はあなたに対する自分の罪を認めました、そして私の咎を隠しませんでした。私は、自分の罪を主に告白します、と言いました。そしてあなたは私の罪の不法行為を赦してくださいました。

2 コリント 7:12 ですから、私があなたがたに手紙を書いたのは、悪を行った彼の大義のためでも、不当な被害を受けた彼の大義のためでもなく、神の御前であなたがたに対する私たちの配慮があなたがたに現れるようにするためでした。

パウロはコリント人たちに対する神の配慮と配慮を示すために手紙を書きました。

1. 私たちに対する神の配慮: パウロの模範から学ぶ

2. 他者への配慮を示す: ポールの先導に従う

1. ペテロ第一 5:7 - 神はあなたのことを気にかけてくださっているので、すべての思い煩いを神に投げかけてください。

2. ローマ人への手紙 12:15-16 - 喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。お互いに調和して生きてください。高慢になってはならず、立場の低い人々と交わりなさい。

2 コリント 7:13 ですから、私たちはあなたがたの慰めによって慰められました。そうです、そしてテトスの喜びが私たちにとってますますうれしかったのです。テトスの霊があなたがた全員によって元気づけられたからです。

使徒パウロとその仲間たちは、コリント人たちの慰めによって慰められ、彼らのおかげで魂が元気になったテトスの喜びに大喜びしました。

1. 慰めの力: 神は私たちの精神をリフレッシュするためにどのように共同体を用いられるか

2. コミュニティの喜び: 手を差し伸べることで私たちはどのように神に近づくことができるのか

1. ローマ 15:13 - あなたが神を信頼する限り、希望の神があらゆる喜びと平和であなたを満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によってあなたが希望に溢れますように。

2. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々が習慣的にしているように、集まることを諦めるのではなく、さらに励まし合うことで、愛と善行に向けてどうすればお互いに刺激し合えるかを考えてみましょう。その日が近づいているのがわかります。

2コリント7:14 というのは、もし私があなたがたのことで彼に何かを誇ったとしても、私は恥じることはありません。しかし、私たちがすべてのことを真実にあなたがたに話したとき、それでも私がテトスの前で行った私たちの自慢は真実であることがわかりました。

パウロは、コリント人についてテトスに自慢したことを恥じませんでした。それは真理に基づいていたからです。

1. 真実の力: 真実性がどのように信仰を強化するか

2. 虚栄心ではなく真実を誇る

1. ローマ人への手紙 12:3 - 私に与えられた恵みによって、あなたがた全員に言いますが、自分自身を必要以上に高く評価せず、神が持っておられる信仰の尺度に応じて、冷静な判断力を持って考えてください。割り当てられました。

2. 箴言 27:1 - 明日のことを誇るな。一日に何が起こるかわからないからである。

2 コリント 7:15 そして、イエスの内なる愛情は、あなたがたに対してますます豊かになり、あなたがたがどのように恐れおののいて彼を受け入れたか、あなたがた全員の従順を覚えておられます。

パウロはコリント人たちが自分に従順だったことを称賛し、彼らに対する深い愛情を表しています。

1. 従順の力: 神の言葉に従うことがどのように信仰を強めるか。

2. 愛と従順：私たちの行動が私たちの関係に与える影響。

1. コロサイ 3:20 - 子供たちよ、何事においても両親に従いなさい。それが主に喜ばれるからです。

2. ルカ 6:46 - なぜあなたは私を「主よ、主よ」と呼びながら、私の言うことを実行しないのですか。

2 コリント 7:16 ですから、私はすべてのことにおいてあなたを信頼できることを嬉しく思います。

パウロはコリント人たちの忠実さに対して喜びを表し、それがすべてのことにおいて彼らに信頼を与えています。

1. 主にある喜び: 忠実な弟子としての成長

2. 自信の力: 人間関係を強化する

1. エペソ人への手紙 4:2-3 - あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなにおける御霊の一致を維持することに熱心です。

2. ピリピ 2:3-4 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。

第二コリント 8 章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の第 8 章です。この章では、パウロはマケドニアの教会の例を用いて、他者の利益のために惜しみなく犠牲を払うことについて論じています。

第 1 段落: パウロはマケドニアの諸教会の寛大な寄付を称賛することから始めます。彼は、自分たちの貧しさと苦しみにもかかわらず、彼らがいかに豊かな喜びと、他の人々の必要に貢献したいという深い願望を持っていたかを強調しています(2コリント8:1-4)。パウロは、彼らの寄付は自発的なものであり、誠実な心からのものであり、彼の期待を上回っていたと説明します。彼は、彼らが最初に神に自分自身を捧げ、次に自分たちの献身的な表現として神に自分自身を捧げたことを強調します。

第 2 段落: 次にパウロは、コリントの信者たちにもこの恵みの行為において優れるよう勧めます。彼はイエス・キリストを例として挙げています。イエス・キリストは、金持ちであったにもかかわらず、私たちのために貧しくなったのです。惜しみなく与えたいという願いから始めたことを完遂するよう彼らに勧めます。パウロは、それは彼らに重荷を負わせることではなく、平等、つまり、より多くの分かち合いを持つ者と、より少ない分を分け合う者たちとの平等であり、それによって信者間に公平が生まれることを強調している。

第 3 段落: この章は、エルサレムのニーズに合わせた収集に関する実践的な指示で終わります。パウロは、効率的かつ誠実にこのコレクションを組織する方法について彼らにアドバイスしています(2コリント8:16-24)。彼はこの任務を監督するために、タイタスと他の2人の兄弟を含む信頼できる人物を任命しました。同氏は、これらの人物は両教会から尊敬されており、皆の安心のために問題を透明性をもって処理することを保証した。

要約すると、コリント人への手紙第二の第 8 章は、他人の利益のために惜しみなく与えるというテーマに焦点を当てています。パウロはマケドニアの諸教会が、自らの貧困にもかかわらず、犠牲的な寛大さを示していることを称賛しています。彼はコリントの信者たちに彼らの模範に倣い、この恵みの行為に優れるよう勧めていますパウロは寄付の自発的かつ誠実な性質を強調し、自分たちが始めたことをやり遂げるよう勧めています。彼はイエス・キリストの犠牲の寄付の例を強調し、信者間で資源を分かち合う平等の原則を強調しています。この章は、エルサレムのニーズに応える収集に関する実践的な指示で終わり、この任務を監督する信頼できる人物を任命します。この章は、すべての信者の幸福のための犠牲の寄付、誠実な寛大さ、公平な分配の重要性を強調します。

2 コリント 8:1 さらに、兄弟たち、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みについて、私たちはよく知っています。

パウロはコリントの人々に、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みについて語ります。

1. 神の恵みを理解し、感謝する

2. 神の恵みの恩恵を体験する

1. エペソ人への手紙 2:8-9 (あなたがたは恵みによって信仰によって救われたのですが、それは自分自身によるものではありません。それは行いによるものではなく、神の賜物です。誰も誇ることがないように。)

2. ローマ人への手紙 5:17 (というのは、もし一人の人の罪によってその人を通して死が支配したのであれば、まして恵みと義の賜物を豊かに受ける人々は、そ

の人であるイエス・キリストを通して命を支配することになるからです。)

2 コリント 8:2 苦難という大きな試練の中で、彼らの豊かな喜びと深い貧しさが、なんと彼らの寛大さの豊かさにまでつながったのでしょう。

コリントの人々は大きな苦しみと貧困に直面していましたが、惜しみなく寄付をしました。

1. 逆境に直面したときの寛大さの力

2. 苦しみの中の喜び

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. マタイ 5:3-4 - 心の貧しい人たちは幸いです、天国は彼らのものだからです。悲しんでいる人々は幸いです、彼らは慰められるからです。

2 コリント 8:3 彼らの力では、そうです、私は記録しますが、彼らは彼らの力を超えて自ら望んでいたのです。

コリントの人々は、自分たちの能力を超えて、エルサレム教会への献金を惜しみなく与えました。

1. 犠牲を与える力

2. 寛大な行動

1. ローマ 12:1-2 - 自分の体を神聖で神に喜ばれる生きたいけにえとしてささげなさい。これがあなたの真の正しい崇拝です。

2. ヤコブ 2:15-17 - 兄弟や姉妹が薄着で毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたがたのどちらかが、「安心して行きなさい。体を温め、お腹を満たしてください」と言い、生活に必要なものを与えなかったとしたら、体、それが何の役に立つの？

2 コリント 8:4 私たちがその賜物を受け取り、聖徒たちへの奉仕の交わりを引き受けてくださるよう、熱心に祈ってください。

パウロはコリント人たちに、エルサレムの貧しい教会に経済的援助を提供する取り組みに参加するよう頼んだ。

1. 行動における思いやり：聖徒たちへの奉仕の交わり

2. 無私の奉仕: 兄弟姉妹を助けるという呼びかけ

1. ヨハネ第一 3:17-18 - 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見て、その人に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人のうちに宿るでしょうか。小さな子供たちよ、言葉や話ではなく、行いと真実で愛しましょう。」

2. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

2 Corinthians 8:5 そして彼らは、私たちの期待通りにではなく、神の御心に従って、まず自分自身を主に、そして私たちにささげたのです。

コリント人は神の御心に従い、自分自身を主と使徒たちに捧げました。

1. 自己犠牲の力 - 主に自分自身を捧げるコリントの人々の例から私たちはどのように学ぶことができますか。

2. 従順の優先順位 - 神の意志に従うことの重要性を理解する。

1. マタイ 16:24-26 - 弟子としての務めと自己否定に関するイエスの教え。

2. ピリピ 2:3-8 - 謙虚さと自分より他人を優先することについてのパウロの教え。

Ⅱコリント 8:6 私たちがテトスに望んだのは、彼が始めたように、あなたにも同じ恵みをあなたがたにも終わらせてほしいということでした。

パウロはテトスに、コリント人への手紙で始めた恵みを完了するように頼みました。

1. 完成の恵み: ティトゥスから学ぶ

2. 始めたことを終える：パウロとテトスからの教訓

1. コリント第二 8:6

2. ピリピ 1:6 - 「あなたがたのうちに良い働きを始めた方が、キリスト・イエスの日までそれを完成させてくださると確信しています。」

2 コリント 8:7 ですから、あなたがたは、信仰、発言、知識、あらゆる勤勉さ、そして私たちへの愛において、すべてのことに豊かであるように、この恵みにも豊かであるように気をつけてください。

クリスチャンは、信仰、知識、勤勉、愛、恵みを豊かにすることが奨励されています。

1. 豊かな恵み: 私たちが神から受け取る賜物

2. 信仰に富む: 充実した人生への道

1. ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る人は、神がご自身であり、熱心に神を求める人々に報いてくださる方であることを信じなければなりません。

2. ペテロ第一 4:8 - そして何よりも、万物は互いに熱烈な愛を持っています。「愛は多くの罪を覆うからです」。

2 コリント 8:8 私は戒めによってではなく、他の人の前向きな機会に応じて、そしてあなたの愛の誠実さを証明するために話します。

教会に惜しみなく寄付する意欲を示した人たちもおり、パウロはコリント人たちにも、愛の誠実さを証明するために同じことをするよう勧めています。

1. 寛大さによって愛を証明する

2. 与える力

1. マタイ 6:21 – 「あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのです。」

2. ルカ 6:38 – 「与えなさい。そうすれば、与えられるでしょう。上手に押さえつけたり、一緒に振ったり、轢いたりすると、膝の上に乗せられます。なぜなら、あなたが使った物差しは、あなたに戻ってくるからです。」

2コリント8:9 なぜなら、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っているからです。彼は富んでいましたが、あなたがたのために貧しくなり、その貧しさによってあなたがたが豊かになるためでした。

イエス・キリストは、他の人たちが豊かになるために、自分の富と地位を捨てて貧しくなりました。

1. 自己犠牲の力: イエスの模範から学ぶ

2. 貧困を通して金持ちになった: イエスはどのようにすべてを変えたか

1. ピリピ 2:5-8 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にすることによって、召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架

の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。

2. マタイ 19:24 - もう一度言いますが、金持ちが神の国に入るよりも、ラクダが針の穴を通る方が簡単です。

2 コリント 8:10 ここで私はアドバイスをします。これは、1 年前から実行するだけでなく、前進することを始めたあなた方にとっては好都合だからです。

パウロはコリントの人々に、すでに1年前から始めている寛大な寄付を続けるようアドバイスしています。

1.「寛大な寄付の力」

2.「前向きであることの報酬」

1. 申命記 15:10 - 「『あなたは、惜しみなく彼に与えなさい。そして、あなたが彼に与えるとき、あなたの心は恨みを抱いてはならない。そのために、あなたの神、主は、あなたのすべての仕事と、あなたが引き受けるすべてのことにおいて、あなたを祝福してくださるからである。』「」

2. 箴言 11:24-25 - 「ある人は惜しみなく与えても、ますます豊かになります。またある人は、与えるべきものを差し控えて、困窮するだけです。祝福をもたらす者は富み、水を注ぐ者は自分も潤されます。」

2 コリント 8:11 ですから、今、それを実行してください。意志の準備ができていたように、あなたが持っているものからもパフォーマンスが得られるかもしれません。

パウロはコリントの人々に、貧しい人たちに施しをしたいという願いを行動によって示すよう勧めています。

1. み言葉を聞くだけではなく、実行者になりましょう

2. 行動を通じて信仰を示す

1. ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞き手ではなく、行動する実行者となる人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。

2. マタイ 5:16 - 同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。

2 コリント 8:12 というのは、もし最初に意欲的な心があれば、それはその人が持っていることに応じて受け入れられるのであって、持っていないことに応じて

受け入れられるのではありません。

パウロはコリントの人々に、欠けているものではなく、自分の能力に応じて惜しみなく与えるよう勧めています。

1. 「私たちの祝福を数える：惜しみなく、喜んで、喜んで与える」

2. 「寛大さの力: 私たちの寄付が私たちの信仰をどのように反映するか」

1. マタイ 10:8 「……あなたがたは、惜しみなく受け取ったのですから、惜しみなく与えなさい。」

2. 申命記 15:10 「……あなたはその手を彼に大きく広げ、彼の必要に応じて、彼が望むものを、必ず十分に貸してくださるでしょう。」

2 コリント 8:13 というのは、私が言っているのは、他の人々が楽になり、あなたがたは重荷を負うということではないからです。

パウロはコリント人たちに、困っている他の教会を助けるよう勧め、彼らがこの任務に重荷を負うべきではないと示唆しています。

1. 神は、たとえ不都合なことがあっても、他の人を助けるよう私たちに呼びかけています。

2. たとえ犠牲が必要な場合でも、困っている人に進んで奉仕すべきです。

1. ガラテヤ 6:9-10 「善を行うことに飽きないようにしましょう。あきらめなければ、時が来て刈り取ることができるからです。ですから、機会があれば、すべての人に善を行ないましょう。特に信仰の家系の人たちに。」

2. マタイ 25:35-36 「私がお腹を空かせていたのに、あなたは食べ物を与え、喉が渇いていたのに水を与え、見知らぬ私を歓迎してくれました。」

2コリント8:14 しかし、平等によって、今このとき、あなたがたの豊かさが彼らの欠乏を補うため、彼らの豊かさがあなたの欠乏を補うためでもあります。そうすれば、平等が生まれるでしょう。

豊かな一部を困っている人を助けるために使うことができ、両者の間に均等なバランスが生まれます。

1.「豊かな平等：困っている人たちと分かち合う」

2.「豊かさを最大限に活用して、他の人に祝福を与える」

1. ヤコブ 2:15-17 「もし兄弟や姉妹が裸で、日々の食べ物に困っていて、あなたがたのうちの一人が彼らに、『安らかに旅立ちなさい。体を温め、お腹を満たしなさい。』と言っているにもかかわらず、あなたがたは彼らに必要なものを与えないでください。」」

2. マタイ 25:35-40 「私が飢えていたのに、あなたがたは私に肉を与えてくれました。私は渇いていたのに、あなたがたは飲み物を与えてくれました。私は見知らぬ人でしたが、あなたがたは私を受け入れました：裸で、あなたがたは私に服を着せました：私は「あなたがたは病気でした、そしてあなたがたは私を訪ねてきました。私が刑務所にいたのに、あなたがたは私のところに来ました…あなたがたは、これらの私の兄弟たちの中で最も小さい者の一人にしたのと同じように、私にしたのです。」

Ⅱコリント 8:15 と書いてあるとおり、多く集めた者には余るものがなかった。そして少ししか集めなかった者にも不足はなかった。

使徒パウロは、神が寛大であり、私たちにも寛大であることを望んでいることを示す旧約聖書の引用を引用しながら、クリスチャンに惜しみなく与えるよう勧めています。

1. 「寛大であれ：神の模範と私たちの責任」

2.「私たちが持っているものを分かち合う：寛大さの祝福」

1. 詩篇 112:5 「寛大で惜しみなく貸し、自分のことを正義をもって行う人には、幸いが来るでしょう。」

2. ルカ 6:38 「与えなさい。そうすれば与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。なぜなら、あなたが使う尺度によって、それはあなた自身に測られるからです。」

2 コリント 8:16 しかし、あなたがたのためにテトスの心に同じ熱心な配慮を注いでくださった神に感謝してください。

神はコリント人に対するテトスの心に真剣な配慮を払われました。

1. 神の愛の力: 他者に対する神の配慮が私たちの生活にどのような影響を与えるか

2. 召使の心: 神はどのようにして他人を思いやるように私たちに呼びかけておられるのか

1. ローマ人への手紙 5:5 - 「希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は、私たちに与えられる聖霊によって、私たちの心の中に注がれるからです。」

2. ヤコブ 1:17 - 「すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。」

2 コリント 8:17 確かに、彼はその勧めを受け入れました。しかし、彼はもっと前向きになって、自分の意思であなたのところへ行きました。

テトスは、自らの意思でコリントに行くよう勧めを受け入れました。

1. 自発性の力

2. 主の働きに率先して取り組む

1. ローマ 12:11 - ビジネスにおいて怠け者ではありません。精神的に熱心。主に仕えること。

2. 箴言 16:3 - 自分の行いを主に捧げなさい、そうすればあなたの考えは確立される。

2 コリント 8:18 また、私たちは彼と一緒に兄弟を送りました。彼の賛美はすべての教会の福音の中にあります。

パウロは福音を伝えるために兄弟を教会に送りました。

1.「賛美の力」

2.「福音を分かち合う」

1. 詩篇 150:6 - 息あるものはすべて主を讃えましょう。

2. 使徒 10:36 - 神がイスラエルの子らに遣わし、イエス・キリストによって平和を宣べ伝えた言葉：彼はすべての主です。

2 コリント 8:19 それだけではなく、同じ主の栄光のために私たちによって与えられるこの恵みを持って私たちと一緒に旅するために諸教会の中から選ばれたのは誰でしょうか。

パウロと他の教会の指導者たちは、主の栄光を讃え、教会がそれを喜んで受け入れる姿勢を示すために、教会に恵みをもたらすために選ばれました。

1. 私たちの生活における神の恵みの力

2. 感謝と寛大さの生活を送る

1. ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物のいかなるものも、私たちを神の愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスのうちにあるのです。

2. エペソ 2:4-7 - しかし、憐れみに富む神は、私たちに対する大きな愛のゆえに、私たちが罪で死んでいたときでさえ、キリストとともに生かしてくださいました。あなたが救われたのは恵みによるのです。そして神は私たちをキリストとともによみがえらせ、キリスト・イエスにあって天の領域に共に座させてくださった。それは、来るべき時代に、キリスト・イエスにおける私たちへの優しさによって表される、比類のない恵みの豊かさを示すためである。

2 コリント 8:20 私たちが管理しているこの豊かさについて、だれも私たちを責めないように、次のことを避けてください。

パウロはコリントの人々に、エルサレムの貧しい人々のための募金に惜しみなく寄付するよう勧めています。そうすれば、豊かに提供された彼らの奉仕活動を誰も批判することができなくなります。

1. 惜しみなく与えること: コリント人へのパウロの模範

2. 与える豊かさ: 寛大な生活を実践する

1. コリント人への手紙第一 16:2 - 「毎週の初日には、あなたがたはそれぞれ、自分が繁栄するように、何かを脇に置いて、それを蓄えなければなりません。そうすれば、わたしが来るときに取り立てがなくなるでしょう。」

2. コリント人への第二の手紙 9:7 - 「人は、しぶしぶでなく、あるいは強いられてでもなく、自分の心に決めたとおりに与えなければなりません。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。」

2コリント8:21 主の目にも、人々の目にも、正直なものを備えなさい。

パウロは信者たちに、主の前でも人々の前でも、非難されることなく正直に行動するよう勧めています。

1. 「誠実に生きる：パウロの例」

2. 「正直さの力: 聖書の視点」

1. 箴言 11:3 - 「正しい者の誠実は彼らを導くが、不実な者の曲がったことは彼らを滅ぼす。」

2. エペソ人への手紙 4:25 - 「ですから、偽りを捨てて、あなたがたは一人一人、隣人に対して真実を語りましょう。私たちはお互いの一員だからです。」

2 コリント 8:22 また、私たちは彼らと一緒に兄弟を送りました。彼は多くのことに勤勉であることをしばしば証明してきましたが、私があなたに対して抱いている大きな信頼のおかげで、今ではさらに勤勉です。

パウロはコリントの信者に対する信頼を示すために、信頼できる兄弟を代表団とともにコリントに派遣しています。

1. 自信の力: 他者への信仰が神との関係をどのように強化できるか

2. 自分が信頼に値することを証明することの重要性: 生活の中で勤勉さを養う

1. 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。しかし、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完璧で完全なものになることができます。

2 コリント 8:23 テトスに尋ねる人がいるとしても、彼はあなたがたに関して私のパートナーであり協力者です。あるいは私たちの兄弟たちに尋ねてみても、彼らは諸教会の使者であり、キリストの栄光です。

この箇所は、テトスと兄弟たちが、キリストに栄光をもたらす、教会のパートナーであり、協力者である彼らの重要性を強調しています。

1. 教会におけるパートナーシップの重要性を認識する

2. キリストの栄光を喜ぶ

1. ローマ人への手紙 15:20 - 「ですから、私は、他の人の土台の上に築くことのないように、キリストの名が与えられた場所ではなく、福音を宣べ伝えることを私の目標としました。」

2. ペテロ第一 4:11 - 「人が話すなら、神の託宣として語らせなさい。奉仕する人がいるなら、神が与えてくださった能力としてそれをしなさい。それは、神がイエスを通してすべてのことにおいて栄光を受けるためである」キリストよ、永遠に賛美と支配がありますように。アーメン。」

2 コリント 8:24 ですから、あなたがたは、あなたがたの愛の証拠と、あなたがたに代わって私たちが誇っていることの証拠を、彼らと教会の前に見せてください。

コリント教会は、他の教会に愛と誇りの証拠を示すよう奨励されています。

1. あなたの愛の証明: 教会における優しさの力

2. 主にあって誇る：イエス・キリストの福音を宣べ伝える

1. 箴言 17:17 - 友はいつでも愛し、兄弟は逆境の時にこそ生まれる。

2. ローマ 12:10 - 愛をもって互いに献身的に尽くしなさい。自分よりもお互いを尊重しましょう。

Ⅱコリント9章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の第9章です。この章では、パウロは惜しみなく与えることについての議論を続け、積極的に与える原則と神の豊かな備えを強調しています。

第 1 段落: パウロは、コリントの信者たちに、以前に約束したとおり、惜しみない寄付をする用意ができているように勧めることから始めます。彼は、種を蒔く人は刈り取る量も少なく、豊かに種を蒔く人は豊かに刈り取ることになると強調しています(2コリント9:6)。パウロは、各人は強制や不本意からではなく、自分の決定に従って与えるべきであると強調しています。彼は、神は陽気な与える人、つまり感謝の心から喜んで喜んで与える人を愛しておられることを強調しています。

第 2 段落: パウロは信者たちに、神は彼らを豊かに祝福して、彼らがあらゆる良い行いに十分以上のものを与えられるようにしてくださると保証しています (2 コリント 9:8)。彼らの寛大さは、彼らの贈り物を受け取る人々から神への感謝をもたらすだろうと彼は断言します。パウロは、彼らの寄付が他の人の必要を満たすだけでなく、神への感謝の表現に溢れていることを彼らに思い出させます。

第 3 段落: この章は、彼らの寄付の精神的な重要性について思い出させて終わります。パウロは、彼らの寛大さがどのようにキリストの福音への従順を示し、彼らの信仰告白を肯定するかを説明しています(2コリント9:13-14)。彼は、彼らの祈りが多くの信者に祝福と感謝をもたらすのにどれほど役立ったかを認め、自分と彼の仲間たちのために祈るよう勧めています。

要約すると、コリント人への手紙第二の第 9 章では、寛大な寄付についての議論が続けられています。パウロはコリントの信者たちに、各自の決断に従って積極的に与えることによって以前の約束を果たすよう勧めています。彼は、彼らがあらゆる良い働きに惜しみなく取り組むことができるように、彼らを豊かに祝福する神の能力を強調しています。この章は、陽気な寄付が実際の必要を満たすだけでなく、与える側と受け取る側の両方から神への感謝を促すことにもつながることを強調しています。パウロは最後に、寄付が福音への従順を示し、信者間の絆を強めるという、寄付の霊的重要性を強調しています。この章では、積極的な寄付の原則、神の豊かな備え、そしてキリスト教共同体における寛大さが霊的に与える影響を強調します。

2 コリント 9:1 聖徒たちへの奉仕について触れているので、私があなたがたにこう書くのは不必要だからです。

使徒パウロは、聖徒たちへの奉仕についてコリント人たちに手紙を書く必要はありませんでした。彼らはすでにそうしていたからです。

1. 与える喜び: 寛大な心で聖徒に仕える方法

2. 寄付の力: 寛大な寄付の影響を理解する

1. 箴言 11:25 - 他の人を元気づける者は、自分も元気づけられるでしょう。

2. ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすれば、あなたに与えられます。十分な量が、押しつけられ、一緒に振り、駆け寄ってあなたの胸に入れられます。あなたが使用したのと同じメジャーで、それはあなたに戻って測定されるからです。

2 コリント 9:2 わたしはあなたがたの心の前向きさを知っているので、マケドニアの人々に自慢したいのですが、アカイアは一年前に準備ができていたのです。そしてあなたの熱意は非常に多くの人を引き起こしました。

コリント人はマケドニアのクリスチャンを助けることに多大な熱意と熱意を示しており、これが他の多くの人々も同様に助けるよう促しました。

1. 熱意の力: 私たちの熱意がどのように他の人にインスピレーションを与えることができるか

2. 寛大さの祝福: 寄付が他の人にどのような影響を与えるか

1. コリント第二 8:1-5

2. ピリピ人への手紙 2:4-8

2コリント9:3 しかし、私たちが兄弟たちを遣わしたのは、あなたがたに対する私たちの誇ることが無駄にならないようにするためです。先ほど言ったように、あなたがたは準備ができています。

パウロはコリントの人々が自分の到着に備えられるよう、仲間の信者をコリントの人々に送っています。

1. 共に奉仕する力

2. 準備の重要性

1. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。各自、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

2. ヤコブ 1:22 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

2 コリント 9:4 もしマケドニアの人々が私と一緒に来て、あなたがたに準備ができていないのを見つけたら、私たち（あなたがたはそうではないと言いますが）が同じように自信満々に誇ることで恥をかかなければなりません。

パウロは、もしマケドニアの人々が彼と一緒に来て、コリント人が準備ができていないのを見つけたら、それは彼の自信を損なうだろうと心配しています。

1. 備えることの重要性 - マタイ 25:1-13

2. 謙遜の力 - ピリピ 2:3-11

1. コリント人への第一の手紙 10:12 - ですから、立っていると思う人は、倒れないように気をつけなさい。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2 コリント 9:5 そこで私は、兄弟たちに、あなたがたより先に行って、あなたがたが以前に知らせていた報奨金を、報奨金の問題として準備ができているように、前もって補うように勧める必要があると思いました。貪欲のようなものではありません。

パウロはコリントの人々に、貪欲ではなく寛大な精神で与えるための贈り物を事前に準備するよう勧めました。

1. 貪欲よりも寛大に: 与える精神を実践する

2. 神の寛大な祝福: 豊かな人生

1. ルカ 6:38 ???そうすれば、それはあなたに与えられます。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。あなたが使う尺度で、それはあなたに合わせて測られるからです。

2. 箴言 11:25 ???寛大な人は成功するでしょう。リフレッシュする人は、他の人もリフレッシュされます。

2 コリント 9:6 しかし、私はこれを言います、控えめに種を蒔く人は、控えめに刈り取ることになるでしょう。そして、豊かに種を蒔く者は、豊かに刈り取ることになるでしょう。

私たちは自分で蒔いたものを刈り取ります。控えめに種を蒔く人は控えめに刈り取りますが、惜しみなく種を蒔く人はたっぷりと刈り取ります。

1. 寛大さは豊かさをもたらす - 2 コリント 9:6

2. 種まきと刈り取りの力 - 2 コリント 9:6

1. 箴言 11:24-25 - ある人は惜しみなく与えても、さらに多くのものを得る。ある者は不当に差し控えたが、貧困に陥る。寛大な人は成功します。他人をリフレッシュする人は自分もリフレッシュされます。

2. ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすれば与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。なぜなら、あなたが使う尺度によって、それはあなたに合わせて測られるからです。

2 コリント 9:7 人はみな、心の中で思っているとおりに、与えなさい。しぶしぶではなく、必然的にではありません。神は陽気な与える人を愛しているからです。

私たちは恨みを抱いたり義務を感じたりすることなく、明るい心で神に捧げるべきです。

1. 惜しみなく与える喜び

2. 明るい心の力

1. 箴言 11:24-25 - 散らしてもさらに増やす者がいる。そして、正しい以上のものを差し控える人がいますが、それは貧困につながります。寛大な魂は豊かになり、水を注ぐ者は自分自身も注がれるでしょう。

2. ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすれば、あなたに与えられます。十分な量が、押しつけられ、一緒に振り、駆け寄ってあなたの胸に入れられます。あなたが使用したのと同じメジャーで、それはあなたに戻って測定されるからです。

2 コリント 9:8 そして神は、あらゆる恵みをあなたに豊かに与えることがおできになります。それは、あなたがいつもすべてのことに十分に満ちていて、あらゆる良い行いを豊かにできるようにするためです。

神は私たちに恵みと豊かさを与えて、私たちが必要なものをすべて手に入れ、良い行いをできるようにしてくださいます。

1. 恵みによる豊かさ：神の備えに頼る

2. 寛大さの力: 神の備えを活用する

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

2. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2 コリント 9:9 (書いてあるとおり、神は海外に散らされ、貧しい人々に施しをされました。神の義は永遠に残ります。

Ⅱコリント9:9には、神は貧しい人々に与えられ、神の義は永遠に残ると書かれています。

1. 与えることの祝福: 貧しい人々への寄付がいかに神の栄光をもたらすか

2. 義の約束: 神の永遠の義がどのように喜びをもたらすか

1. 箴言 19:17 - 貧しい人に親切な人は主に貸します、そして主はその行いに報いてくださいます。

2. 詩篇 112:9 - 神は貧しい人々に贈り物を海外に散らし、その義は永遠に続きます。彼の角は栄誉を讃え高く掲げられるであろう。

2 コリント 9:10 さて、種を蒔く人に種を仕える者は、あなたの食物としてパンを与え、あなたの蒔いた種を増やし、あなたの義の実を増やすのです。）

神は、食料となるパンを与え、義の実を増やすために蒔かれた種を増やすことによって、種を蒔く人に備えを与えます。

1. 豊かな備え: 神はどのようにして私たちの必要をすべて満たしてくださるのか

2. 義の実: 正しいことを行うことの祝福

1. 詩篇 23:1 - 「主は私の羊飼いです。私は欲しがることはありません。」

2. マタイ 6:33 - 「しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

2 コリント 9:11 すべてのことにおいて豊かになり、あらゆる恵みがもたらされ、それは私たちを通して神に感謝することになります。

パウロはコリントの人々に、神への感謝をもたらすので、自分たちの資源を惜しみなく使うよう勧めています。

1.「寛大さの祝福」

2. 「管理責任: 忠実な者の責任」

1. 箴言 11:25、「寛大な人は栄え、他の人を元気づける者は自分も元気づけられる。」

2. ルカ 6:38、「与えなさい、そうすれば、与えられます。良い物差しは、押しつけられ、一緒に振り、走り寄って、あなたの膝の上に置かれます。なぜなら、あなたが使った物差しは、あなたに戻ってくるからです」。」

2 コリント 9:12 この奉仕の運営は、聖徒たちの不足を補うだけでなく、神への多くの感謝によって豊かになるからです。

コリント人は聖徒たちへの寛大な奉仕を称賛され、それは神の祝福を受けました。

1. 寛大さ: 真の弟子としての証し

2. 他者に奉仕することの祝福

1. ルカ 6:38 - 「与えなさい、そうすれば、与えられるでしょう。良い量りを、押しつけたり、一緒に振ったり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。なぜなら、あなたが使う量りで、それは測られるからです」あなた。"

2. マタイ 25:40 - 「王はこう答えるでしょう、『はっきり言いますが、あなたが私の兄弟姉妹の中で最も小さい者の一人にしてくれたことは、私にしてくれたことなのです。』」

2 コリント 9:13 この奉仕の試みによって、彼らは、あなたがキリストの福音に服従していると公言し、彼らとすべての人々に惜しみなく分配したことを神に栄光を帰しています。

パウロはコリント人が宣教とすべての人々を惜しみなく支援したことを称賛しています。

1. 寛大さの力: 寄付を通じてどのように神に栄光をもたらすことができるか

2. 他者の価値を認識する: 無私の寄付の重要性を理解する

1. ルカ 6:38 - 「与えなさい。そうすれば、与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、良い尺度があなたの膝の上に置かれます。なぜなら、あなたが使った尺度で、それはあなたに返されるからです」.??

2. 使徒 20:35 - ?すべてのことにおいて、私たちはこのように一生懸命働くことによって弱い人たちを助け、主イエスご自身がこう言った言葉を思い出さなければならないことを示してきました。? 受け取るよりも与えるほうが幸せです。ユーロ?

2 コリント 9:14 また、あなたのうちにある神の計り知れない恵みを待ち望んでいる彼らのあなたのための祈りによるものです。

クリスチャンは祈りを通して神の恵みを求めることが奨励されています。

1. 祈りの力：神の恵みを求めて

2. 感謝：祈りの中で神に手を差し伸べる

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 - 「何事についても心配してはなりません。すべてのことにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。」

2 コリント 9:15 言葉では言い表せない賜物を神に感謝します。

この一節は、言葉では言い表せないほどの賜物に対する神への感謝の気持ちを表しています。

1. 感謝の力 - 感謝の気持ちを持つことで、人生に新しい可能性がどのように開かれるか。

2. 言葉では言い表せない賜物 - 神の祝福を認識し、感謝することの重要性。

1. エペソ 1:3 - キリストにおける霊的な祝福について神を賛美します。

2. 詩篇 107:1 - 主に感謝します。主は善い方ですから、その憐れみはとこしえに続きます。

Ⅱコリント10章はコリント人へのパウロの第二の手紙の 10章です。この章では、パウロは使徒としての権威を擁護し、コリント教会の一部の人たちによって彼に対してなされた虚偽の告発について述べています。

第 1 段落: パウロは、実際は柔和で謙虚に見えるかもしれないが、自分の正統性を疑う人々に立ち向かうキリストからの権威を持っていることを認めることから始めます (2 コリント 10:1-2)。彼はコリント人たちに、自分は肉において歩いているが、彼の武器は世俗的なものではなく、要塞や神の知識に対する議論を破壊するために神を通して強力なものであると保証しています(2コリント10:3-5)。パウロは、彼らが完全に従順になったら、どんな不従順に対しても行動を起こす用意があると強調しています。

第 2 段落: パウロは自分の権威を誇っているとして彼を批判する人々に話しかけます。彼は、自分の誇りは人間の基準に基づいているのではなく、神が彼に割り当てたものに基づいていると説明しています(2コリント10:7)。各人には神によって定められた独自の影響範囲があるため、他人の基準で自分を比較したり測ったりするのは賢明ではないと彼は主張します。パウロは自分の宣教を擁護し、自分がどのように教会を開拓し、その中で熱心に働いたかを強調しています(2コリント1 0:12-18)。

第 3 段落: この章は、彼に反対する人々への警告で終わります。パウロは、コリントに到着したら、自分に対して虚偽の告発を広めている人々と対決するだろうと警告しています。それは外見や空虚な言葉ではなく、自分の内にキリストが臨在することによって真の力を実証することであると彼は主張します (2コリント10:8-11)。彼は、他人について判断する前に自分自身を吟味するよう勧め、真の称賛は主から来るものであると強調しています。

要約すると、コリント人への手紙第二 10 章は、パウロの使徒としての権威を擁護し、彼に対してなされた冤罪に対処することに焦点を当てています。彼はキリストから与えられた自分の霊的権威を主張し、自分の武器が神の知識に反する議論を打ち砕くのにいかに強力であるかを説明します。パウロは自分の高ぶりを擁護し、自分の権威は神からのものであり、人間の基準に基づいたものではないことを強調します。彼は自分に反対する者たちに警告し、コリントに到着したら彼らの冤罪に立ち向かうと約束した。パウロはキリストを通して真の力の重要性を強調し、他人について判断する前に自分自身を吟味するよう勧めています。この章では、パウロの霊的権威、冤罪に対する弁護、そして自己吟味と人間の基準ではなく神の力に頼る必要性を強調しています。

2 コリント 10:1 さて、わたしパウロ自身が、キリストの柔和さと優しさによってあなたたちに懇願します。キリストは、臨在時にはあなたがたの間では卑劣ですが、不在ではあなたがたに対して大胆です。

パウロはコリントの人々に、キリスト自身がその場にいるときは謙虚で、いないときは大胆であるにもかかわらず、キリストの柔和さと優しさで団結するよう勧めています。

1. クリスチャンの謙虚さの力

2. 団結における優しさの重要性

1. マタイ 11:29 - 「わたしのくびきを負い、わたしのことを学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった者だからです。そうすればあなたたちは魂に安らぎを得るでしょう。」

2. エペソ人への手紙 4:2 - 「あらゆるへりくだりと柔和さをもって、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合いなさい。」

2 コリント 10:2 しかし、私たちが肉に従って歩むかのように考える人々に対して、私がその自信を持って出席しているときに大胆にならないようにお願いします。

パウロはコリントの人々に、パウロが世の道に従っていると誤って信じている人もいるから、あまり厳しく裁かないでほしいと懇願します。

1. 神のやり方 vs. この世のやり方

2. 思いやりを持って他人を判断する

1. マタイ 7:1-5 - 「裁かれないようにするため、裁いてはなりません。」

2. ローマ人への手紙 14:10 - 「なぜ、あなたは自分の兄弟をさばくのですか。それともあなたは、なぜ自分の兄弟を軽蔑するのですか。私たちは皆、神の裁きの座の前に立つからです。」

2 コリント 10:3 というのは、私たちは肉として歩んでいても、肉のために戦うことはありません。

信者は肉体的な戦いではなく、霊的な戦いを戦うよう求められています。

1. 勇敢であれ：霊的な戦いと戦う

2. 霊的戦いにおける祈りの力

1. エペソ 6:10-18 - 悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2 コリント 10:4 (なぜなら、私たちの戦争の武器は肉的なものではなく、神を通して強固な砦を打ち破るほど強力なものだからです。)

この箇所は、霊的な拠点と戦うためには霊的な武器を持つ必要性について語っています。

1.？スピリチュアルアーマーを身に着けていますか??

2.？쏥 od の強さで拠点を打ち破る??

1. エペソ人への手紙 6:10-18 (最後に、兄弟たち、主にあって、その力によって強くあれ。)

2. ヨハネ第一 4:4 (幼子よ、あなたがたは神から出た者であり、彼らに打ち勝ったのです。なぜなら、あなたがたの内にいらっしゃる方は、世にいる方よりも偉大だからです。)

2 コリント 10:5 想像力や、神の知識に対して高揚するあらゆる高尚なものを打ち捨て、キリストへの従順に対するあらゆる考えを捕らえる。

この聖句は、あらゆる考えをキリストに従わせ、神の知識に対して高揚する考えを拒否するよう私たちに勧めています。

1. 「従順の力: あらゆる思考を虜にする」

2.「真実に生きる：想像力やあらゆる崇高なものを拒否する」

1. フィリピ 4:8 - 「最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、これらのことについて考えてください。」

2. 詩篇 19:14 - ?私の口の言葉と私の心の瞑想があなたの目に受け入れられますように、おお主よ、私の岩、そして私の救い主よ。

2 コリント 10:6 そして、従順が果たされたときには、あらゆる不従順に報復する用意をしておいてください。

パウロはコリントの人々に神の命令に完全に従うよう勧め、不従順の結果について警告しています。

1. 神の命令に従うように注意してください

2. 不服従の結果

1. 申命記 28:1-2 「もしあなたがあなたの神、主に完全に従い、今日わたしが与えるすべての命令に注意深く従うなら、あなたの神、主はあなたを地上のすべての国々の上に高く上げてくださるでしょう。これらすべての祝福があなたに与えられるでしょう。」あなたの神、主に従うなら、あなたに同行してください。」

2. ヘブライ 2:2-3 「天使を通して語られたメッセージには拘束力があり、あらゆる違反と不従順は正当な罰を受けたのですから、これほど偉大な救いを無視したら、どうやって逃れることができるでしょうか。」

2 コリント 10:7 あなたがたは、物事を外見の後に見ていませんか。自分はキリストのものであると信じている人がいるなら、自分自身についてもう一度考えてみましょう。彼がキリストのものであるように、私たちもキリストのものであるのです。

パウロはコリントの人々に、自分たちと同じようにキリストのものであり、外見で判断すべきではないことを思い出すように勧めています。

1. 見た目で判断せず、キリストを信頼しましょう。

2. 違いに関係なく、私たちは皆、キリストにおいて団結しています。

1. イザヤ書 11:3 「そして彼は国々の間で裁き、多くの民を叱責するだろう。そして彼らは剣を打ち砕いて鋤に、槍を打ち砕いて剪定鉤にする。国民は国民に向かって剣を上げてはならない、彼らも学ばない」もう戦争だ。」

2. ヤコブ 2:1 - 「兄弟たちよ、人に対する敬意に関して、栄光の主である私たちの主イエス・キリストへの信仰を持っていません。」

2 コリント 10:8 わたしは、主がわたしたちを滅ぼすためではなく、啓発のために与えてくださったわたしたちの権威をもう少し誇るべきではありますが、恥じるべきではありません。

パウロは、破壊するのではなく啓発するために主から与えられた権威について語ります。

1. 愛の力 - 愛を通じた神の権威がどのように人生を変えることができるか

2. 許しの権威 - 神の恵みと慈悲の賜物を理解する

1. ローマ人への手紙 12:20-21 「だから、敵が飢えているなら食べさせなさい。渇いているなら水を飲ませなさい。そうすれば、彼の頭に火の炭を積むことになるからです。悪はあるが、善をもって悪を克服せよ。」

2. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うことです。これによって、あなたがわたしの弟子であることをすべての人が知るでしょう。お互いに愛を持っています。」

2 コリント 10:9 手紙であなたがたを怖がらせるようなことをしないようにするためです。

パウロは、自分の手紙はコリント人たちを怖がらせるためのものではなく、彼らを励ますためのものであることを明確にしています。

1. 励ましの力: どうすればお互いを高められるか

2. 愛の手紙：優しさをもって他者に手を差し伸べる

、兄弟姉妹の皆さん、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、賞賛に値することは何ですか? 優れていること、賞賛に値することは何ですか? " _ _

てどうすればお互いに刺激し合えるかを考えてみましょう。その日が近づくのを見るほどに。」

2 コリント 10:10 なぜなら、彼の手紙は重みがあり力強いからである、と彼らは言います。しかし、彼の肉体的な存在感は弱く、彼の言葉は卑劣だ。

パウロは書かれた言葉の強さで批判されていますが、彼の物理的な存在とスピーチは弱いと見なされています。

1. 言葉の力: 私たちの言葉が世界にどのような変化をもたらすことができるか

2. 弱さを通して強さを見つける：自分の力ではなく神に頼る

1. 箴言 16:24 楽しい言葉は蜂の巣のように、魂に甘く、骨に健康を与えます。

2. イザヤ書 40:29 神は気弱な者に力を与えます。そして力のない者たちには力を増し加えられる。

2 コリント 10:11 そのような人は、私たちが不在のときに手紙で言葉を伝えるのと同じように、出席しているときにも行いをすることになると考えてください。

パウロはコリントの人々に、自分が手紙の中で何を言っているかを考えるよう勧め、自分の言葉は彼らと一緒にいるときの自分の行動を反映するものであることを思い出させます。

1. 心を開いて神の言葉を受け入れる

2. 私たちの言葉と行動は神の愛を反映すべきです

1. ヤコブ 3:1-12 - 私たちはより厳しい裁きを受けることになると知っているので、多くの人が教師にならないようにしてください。

2. 詩篇 19:14 - 主よ、私の力、私の救い主よ、私の口の言葉と私の心の瞑想があなたの目に受け入れられますように。

2 コリント 10:12 なぜなら、私たちは自分を数字で決めたり、自分を褒める人たちと自分を比較したりするつもりはありません。しかし、自分で自分を測ったり、自分自身を比較したりする彼らは賢明ではありません。

パウロは、自分を他人と比較するのは賢明ではないので、自分を他人と比較しないように警告しています。

1. 比較の危険性: パウロが比較しないよう警告する理由

2. 満足感を得る: なぜ自分を他人と比較してはいけないのか

1. マタイ 23:11-12 - ?あなたたちの中で最も偉大な者があなたのしもべとなるでしょう。そして、自分を高める者は誰でも卑下されるでしょう。そして自分を低くする者は高められるでしょう。

2. ローマ人への手紙 12:3 - ?あるいは、私に与えられた恵みを通して、あなたがたの中にいるすべての人に、自分自身を必要以上に高く評価しないでください。しかし、神がすべての人に信仰の尺度を与えられたのと同じように、冷静に考えてください。

2コリント10:13 しかし、私たちは自分の尺度なしに物事を誇ることはありません。むしろ、神が私たちに与えてくださった規則の尺度、つまりあなたがたにも届く尺度に従って誇ります。

パウロはコリントの人々に、自分の能力を超えた事柄を誇るべきではないことを思い出させています。代わりに、神が与えた目標に向かって努力する必要があります。

1. 神の目的を認識し、達成する - 2コリント10:13

2. 自分の限界を知り、自分の可能性に到達する - 2コリント10:13

1. エペソ 2:10 - 私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られ、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ用意してくださったのです。

2. 詩篇 19:14 - 主よ、私の岩、私の救い主よ、私の口の言葉と私の心の瞑想があなたの目に受け入れられますように。

2 コリント 10:14 というのは、私たちは、あたかもあなたがたに手が届かないかのように、自分の限界を超えて自分自身を伸ばしたりはしません。なぜなら、私たちはキリストの福音を宣べ伝えることにおいても、あなたがたのところまで来たからです。

パウロとその仲間たちは、コリント人たちにキリストの福音を宣べ伝えましたが、彼らの尺度を超えることはありませんでした。

1. 限界を超えて：信仰を伸ばして成長する方法

2. 福音を宣べ伝える: 他の人に良い知らせを伝える

1. ローマ 10:14 - それでは、どうして信じていない人を呼び求めることができるのでしょうか。そして、彼らは聞いたこともない人のことをどうやって信じることができるでしょうか？

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに私は、時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。

2コリント10:15 自分の計り知れないこと、つまり他人の働きを誇ることはありません。しかし、あなたの信仰が増し加えられるとき、私たちはあなたによって私たちの規則に従って豊かに拡大されるという希望を持っています。

使徒パウロはコリント人たちに、自分とそのチームがさらに彼らを助けることができるよう、信仰を強めるよう勧めています。

1. 信仰を高め、祝福を増やしましょう

2. 信仰による希望の力

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. エペソ 3:20 - さて、私たちの内に働いている力に応じて、私たちが求めたり思ったりすることよりもはるかに豊かなことをしてくださる方に。

2 コリント 10:16 あなたがたの向こうの地域で福音を宣べ伝えるためであり、私たちの手に備えられた他人の一連の事柄を誇るためではありません。

パウロはクリスチャンに対し、自分たちの手の届かない人々に福音を広め、他人の功績を自分のものとしないように勧めています。

1. 福音を分かち合う力

2. 他人の仕事を自分の手柄にする

1. マタイ 28:19-20 (だから行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らに洗礼を授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい)

2. 箴言 16:18 (高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ)

2コリント10:17 しかし、栄光を持つ者は、主にあって栄光あれ。

私たちは自分自身ではなく主を誇るべきです。

1. 主は私たちの賛美に値するお方です

2. 主は私たちの誇りの源です

1. 詩篇 34:3 - 「私とともに主を讃えましょう。一緒に主の御名を讃えましょう。」

2. ヤコブ 4:10 - 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

2 コリント 10:18 なぜなら、自分自身を推薦する人が認められるのではなく、主が推薦する人が認められるからです。

自分自身を承認するかどうかは私たち次第ではありません。私たちを褒めてくださるかどうかは主次第です。

1. 私たちの価値は主にある

2. 私たちの承認は神の目に見出されます

1. エレミヤ 17:7-8 - 主を信頼し、主に確信を持つ人は幸いです。その人は、水のほとりに植えられ、根を流れのほとりに出す木のようになるでしょう。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

第二コリント 11 章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の 11 章です。この章では、パウロは自分の使徒職を擁護し、コリント教会に潜入している偽教師を暴露します。

第 1 段落: パウロは、コリントの信者たちが、異なる福音を宣べ伝え、自分たちが超使徒であると主張する偽教師たちに簡単に振り回されてしまうことへの懸念を表明しています (2 コリント 11:4)。イエスは、義の奉仕者を装っているが、実際には欺瞞的な働き人であるこれらの人々に騙されることについて警告しています (2コリント11:13-15)。パウロは使徒としての自分の資格を強調し、誇りからではなく、自分の権威を守る必要から誇っています。彼は、真の福音を広めるために耐えた苦しみ、労働、投獄、殴打、そして臨死体験について詳しく語ります。

第 2 段落: パウロは財政問題に関して彼に対してなされた告発について述べています。彼は、コリントの信徒たちと過ごしていた間、彼らに経済的な負担をかけなかったと宣言し、今後もそのようなことは控えると主張しています(2コリント11:8-9)。彼は、コリントで奉仕している間、教会から直接経済的支援を受けなかったにもかかわらず、他の教会が彼に援助を提供してくれたと指摘しました。パウロは、コリントの信者たちが偽りの教えに敏感であるにもかかわらず、彼らに対して深い愛と懸念を表明しています。

第 3 段落: この章は、自分たちを利用し、騙そうとする者たちに対する警告で終わります。パウロは、もし誰かが、自分たちが受けたものとは異なるイエス、異なる霊、あるいは異なる福音を宣べ伝えに来たとしても、それを容認すべきではないと述べています(2コリント 11:4)。彼は彼らに、信仰を堅固にし、判断において洞察力を持ち続けるよう勧めています。反対や中傷に直面しているにもかかわらず、パウロはキリストの働きへの献身を肯定し、真理を宣べ伝え続けることを誓います。

要約すると、コリント人への手紙第二の第 11 章は、パウロの使徒職を偽教師から守り、彼らの欺瞞的な戦術を暴露することに焦点を当てています。パウロはコリントの信者たちに、異なる福音を宣べ伝え、自分たちが超使徒であると主張する人々に簡単に騙されることについて警告しています。彼は自身の苦しみと使徒としての資格を強調し、真の福音を広めるという自身の決意を強調しました。パウロは経済的な問題に関する告発に言及し、経済的な負担をかけていないことを保証します。彼は偽りの教えに対する警告で締めくくられ、信仰を堅固にし、判断において洞察力を持ち続けるよう信者に勧めています。この章では、識別力、真の福音を擁護すること偽教師の反対の中でも忠実であり続けることの重要性を強調しています。

2 コリント 11:1 神に願えば、あなたがたは私の愚かさを少しだけ我慢してくださいます。そして実際に我慢してください。

パウロはコリントの人々に、たとえ愚かに見えても我慢するよう求めています。

1. 許す力 - たとえ他人が間違いを犯したとしても、それを我慢する方法。

2. 謙虚さを受け入れる - 自分自身の愚かさと他人の愚かさを受け入れることを学びます。

1. ルカ 6:37 - 「裁いてはなりません。そうすればあなたは裁かれることはありません。罪に定めないでください。そうすればあなたは罪に定められません。赦してください。そうすればあなたは赦されます。」

2. ローマ人への手紙 12:14-16 - 「あなたたちを迫害する者たちを祝福しなさい。彼らを祝福し、呪わないでください。喜ぶ者たちとともに喜び、泣く者たちとともに泣きなさい。互いに調和して生きなさい。高慢ではなく、他の人々と交わりなさい。」身分の低い者よ。自分自身の目から見て決して賢明ではない。」

2 コリント 11:2 というのは、私は敬虔な嫉妬をもってあなたがたに対してねたみを抱いているからです。私はあなたを貞淑な処女としてキリストに差し出すため、あなたを一人の夫と結婚させたのです。

パウロはコリントの信者たちに対する嫉妬を表明し、彼らがキリストだけに忠実であり続けることを望んでいます。

1. 「不変の忠実さ: キリストのために純潔を保つよう求める呼びかけ」

2. 「神の嫉妬とキリストへの忠誠に対する私たちの反応」

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に合わせてはいけません。むしろ、心を新たにして自分を変えてください。それは、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するためです。」

2. エペソ人への手紙 5:25-27 - 「夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、妻を愛してください。それは彼が御言葉によって水で洗うことによってそれを神聖化し、清めるためであり、シミやシワなどのない輝かしい教会を自分自身に提示するためであった。しかし、それは聖であり、傷のないものでなければなりません。」

2 コリント 11:3 しかし、私は、蛇がその巧みさによってエバを惑わしたように、あなたがたもキリストにある単純さから堕落してしまうのではないかと心配しています。

パウロは、エデンの園で蛇がイブを欺いたように、コリントの人々の心がキリストへの単純な信仰から離れて堕落してしまうのではないかという懸念を表明しています。

1. だまされないでください: 微妙な罪から身を守る

2. キリストへの信仰の単純さ: 妥協のない信念にしっかりと立つ

1. 創世記 3:1-7 - エデンの園で蛇がイブを欺く

2. ヤコブ 1:14-15 - 誘惑に騙されないでください

2 コリント 11:4 というのは、もし来られる方が、私たちが宣べ伝えていない別のイエスを宣べ伝えられるとしても、あるいは、あなたがたが受け取っていない別の霊を受けるとしても、あるいは、あなたが受け入れていない別の福音を受けるとしても、あなたがたはよく耐えるであろう。

パウロはコリントの人々に、説教者からの偽りの教えを受け入れないよう警告しています。彼らは、説教されたものとは異なるイエス、異なる聖霊、または異なる福音を紹介する可能性があるからです。

1. 偽りの教えの危険 - コリント第二 11:4

2. 聖書の権威 - 2コリント11:4

1. ガラテヤ 1:6-9 - パウロは別の福音を聞くことに対して警告する

2. ヨハネ第一 4:1 - 偽預言者が神から出たかどうかを試す

2 コリント 11:5 というのは、私は最も指導的な使徒たちに比べれば少しも劣っていたと思うからです。

パウロは他の使徒たちよりも何ら劣っていませんでした。

1. 自分の価値を過小評価しないでください - 2コリント11:5

2. 自分自身を信じなさい - 2コリント11:5

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. ローマ 12:3 - 私に与えられた恵みによって、あなたがた全員に言いますが、必要以上に自分のことを高く評価せず、冷静な判断力を持って考えてください。

2 コリント 11:6 しかし、私は言葉では失礼ですが、知識ではありません。しかし、私たちはあらゆることにおいて、あなたがたの間で徹底的に明らかにされました。

パウロは、自分のスピーチは洗練されていないかもしれないが、知識が欠けているわけではないと述べています。彼はコリントの人々に自分の知識と理解を示しました。

1. 知識の力: 神の言葉を知ることで私たちの生活はどのように変わるか

2. スピーチは重要です: 私たちの言葉は私たちの性格をどのように反映するか

1. 箴言 16:21 - 心の賢い人は洞察力があると呼ばれ、楽しい言葉は教えを促進します。

2. ヤコブ 3:2-12 - 私たちは皆、さまざまな点でつまずきます。そして、自分の言うことにつまずかない人がいるなら、その人は完璧な人であり、全身を手綱で縛ることもできる。

2 コリント 11:7 私は、あなたがたに神の福音を無償で宣べ伝えたからといって、あなたがたを高めてもらうために自分を卑下したという罪を犯したでしょうか。

パウロは、へりくだってコリントの人々に神の福音を惜しみなく宣べ伝えることで罪を犯したのではないかと問いかけています。

1. 無私の力：へりくだって神の福音を自由に宣べ伝えることの意味

2. 他人を高めるために自分を卑下する: パウロの例

1. ルカ 6:38 - 「与えなさい、そうすれば、与えられるでしょう。良い量りを、押しつけたり、一緒に振ったり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。なぜなら、あなたが使う量りで、それは測られるからです」あなた。"

2. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2コリント11:8 私はあなたがたに奉仕するために、他の教会から給料を奪いました。

パウロは、コリント人に奉仕するために他の教会から賃金を得たことを認めています。

1. 愛をもって他者に仕える: パウロの例

2. 無私と犠牲を持って奉仕する方法

1. マタイ 20:28 - 「人の子が来たのは、奉仕されるためではなく、奉仕するためであり、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのと同じです。」

2. ピリピ人への手紙 2:7 - 「しかし、自分自身を評判にせず、召使の姿をとり、人間と同じように造られました。」

2 コリント 11:9 そして、私があなたがたと一緒にいて、望んでいたとき、私は誰にも責められませんでした。私に欠けていたものは、マケドニヤから来た兄弟たちが補ってくれました。そして、私はすべてのことにおいて、人に負担をかけないようにしてきました。あなた、そして私もそうします。

パウロはコリント人たちにとって重荷にならないようにし、困ったときにはマケドニア人たちに支えられました。

1. 寛大さの力: 神はどのように寛大な心を用いて民を養うのか

2. 謙虚な奉仕の強み: 負担にならずに奉仕できる方法

1. フィリピ 4:19 - そして、私の神は、キリスト・イエスによって、栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。

2. ルカ 14:12-14 - それから彼は、自分に命じた人にも言いました、「夕食または晩餐をするときは、あなたの友人、あなたの兄弟、あなたの親族、または

あなたの裕福な隣人を呼ばないでください。」そうしないと、彼らもあなたに再び入札し、あなたに報いが与えられます。しかし、あなたが祝宴を開くときは、貧しい人、障害のある人、足の不自由な人、目の見えない人を呼びなさい。そうすればあなたは祝福されるでしょう。彼らはあなたに報いをすることができないからです。あなたは義人の復活のときに報われるからです。

2 コリント 11:10 キリストの真理がわたしのうちにあるので、アカイア地方でこの誇ることを誰も止めることはできません。

パウロは、アカイア地方でキリストの真理を宣べ伝えることを誰にも止めることはできないと豪語しています。

1. キリストの真実を語ることを恐れないでください

2. 反対に立ち向かう

1. ローマ人への手紙 8:31 - 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

2. 詩篇 27:14 - 「主を待ち望みなさい。強くあれ、心を勇気づけなさい。主を待ち望みなさい。」

2 コリント 11:11 なぜでしょうか。私はあなたを愛しているからではないですか？神は知っています。

パウロはコリント人への愛と彼らの霊的幸福への配慮を表明し、コリント人への信仰の欠如が愛の欠如によるものではないかと疑問を呈しています。

1. 愛の力: 神の愛を信頼することを学ぶ

2. 切れない愛の絆: 共に信仰を育む

1. ヨハネ第一 4:19 - 私たちが愛するのは、主が最初に私たちを愛してくださったからです。

2. ローマ人への手紙 5:5 - そして希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は私たちに与えられる聖霊によって私たちの心の中に注がれるからです。

2 コリント 11:12 しかし、私がしていること、私が行うことは、機会を求める人々から機会を遮断するためです。彼らが栄光を誇る場所で、彼らも私たちと同じように見つけられますように。

著者は、たとえ自分たちを批判する機会を求める人たちからその機会を奪うことになっても、自分たちがやろうとしたことをやり遂げる決意をしている。

1. 「自分の約束をしっかりと守りなさい - コリント人への第二の手紙 11:12」

2. 「反対を克服する - コリント人への第二の手紙 11:12」

1. ヨハネ 15:18-19 - 「もし世があなたを憎むなら、まず世がわたしを憎んだことを心に留めておいてください。もしあなたが世に属していれば、世はあなたを自分のものとして愛するでしょう。現状では、あなたは世に属していません。」「しかし、私はあなたを世界から選びました。それが、世界があなたを憎む理由です。」

2. マタイ 5:11-12 - 「わたしのせいで、人々があなたを侮辱し、迫害し、あなたに対してあらゆる種類の悪事を虚偽で言うとき、あなたは幸いです。喜びなさい。天国でのあなたの報いは大きいからです。彼らはあなたの前にいた預言者たちを迫害したのと同じように。」

2 コリント 11:13 というのは、そのような者たちは偽使徒であり、人を欺く働き人であり、自らをキリストの使徒に変えているからです。

偽使徒や欺瞞的な働き手はキリストの使徒のふりをします。

1: キリストの使徒であると主張する人々を評価するとき、私たちは用心深く、識別力を持たなければなりません。

2: 私たちを騙してキリストの使徒であると信じ込ませようとする人々に警戒すべきです。

1: 使徒 20:29-30 - 私はこれを知っています。私が出発した後、群れを容赦せずに、恐ろしいオオカミがあなたたちの中に入るでしょう。また、あなたがた自身からも人々が立ち上がり、ひねくれたことを語り、弟子たちを引き離すであろう。

2: 1 ヨハネ 4:1 - 愛する人たち、すべての霊を信じるわけではありませんが、それらの霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。なぜなら、多くの偽預言者が世に出ているからです。

2 コリント 11:14 それは驚くべきことではありません。サタン自身が光の天使に変えられるからである。

サタンは人々を欺くために光の天使に変装します。

1. サタンの欺瞞的な本性 - サタンがいかに私たちを欺き、神の真実を疑わせるか。

2. 神の完全な武具を身に着けなさい - 敵の嘘と戦う唯一の方法は、神の力を身につけることです。

1. エペソ人への手紙 6:11。悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2. コリント人への第二の手紙 10:3-5。なぜなら、私たちは肉のうちに歩いているとしても、肉の後で戦争をするわけではないからです。それ自体が神の知識に反し、キリストへの従順に対するあらゆる考えを捕らえるのです。

義の奉仕者として変えられたとしても、それは大したことではありません。その結末は彼らの行いによる。

パウロはコリントの人々に、もしサタンが光の天使に変装できるのであれば、サタンの僕たちが義の僕として現れるのは驚くべきことではない、と思い出させていますしかし、彼らの最終的な結末は彼らの行いによって決まります。

1. 偽りの教えの危険性: 偽預言者を見分け、真実を識別する方法

2. すべての行為の終わり: 自分の蒔いたものを刈り取ることと神の裁き

1. ヨハネ 8:44 「あなたは父である悪魔に属しており、父の望みをかなえようとしているのです。彼は最初から殺人者であり、彼の中に真実がないので、真実を保持していませんでした。彼は嘘つきで嘘の父だから、嘘をつくときは母国語を話す。」

2. ヨハネ第一 4:1 「親愛なる皆さん、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出ているからです。」

2 コリント 11:16 もう一度言います。誰も私を愚か者だと思わないでください。そうでないとしても、愚か者として私を受け入れてください、それは私が少し自慢するためです。

パウロはコリント人たちに、自分を愚か者だと思わないように頼み、もしそうなら、少しは誇ることができるよう、それを受け入れます、と述べています。

1. リーダーシップにおける謙虚さの必要性

2. 聖書における高慢と誇りについて理解する

1. 箴言 11:2 - 高慢が生まれると恥も生まれるが、謙虚さがあれば知恵も生まれる。

2. ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

2 コリント 11:17 私が話していることは、主に従ってではなく、愚かなことのように、この誇りの確信の中で話しています。

パウロは、自分が語る言葉は主から出たものではなく、むしろ自慢の場から出たものだと主張します。

1. 誇ることの危険 - 箴言 27:1-2

2. 謙遜の力 - ヤコブ 4:6-7

1. 箴言 27:1-2 - 「明日のことを誇るな。その日何が起こるかわからないからである。自分の口ではなく、他人に褒めてもらいなさい。自分の口ではなく、他人に褒めてもらいなさい。」

2. ヤコブ 4:6-7 - 「しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。ですから、『神は高ぶる者には抵抗しますが、謙虚な者には恵みを与えられます。』と書かれています。ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」。」

2 コリント 11:18 多くの人々が肉の後に栄光を誇っているのを見て、私も栄光を得るでしょう。

たとえ多くの人が肉体的な成果を誇るとしても、パウロは自分の苦しみや弱さを誇ります、と言いました。

1. 弱さの力：苦しみを誇ることを学ぶ

2. 十字架を受け入れることを学ぶ：弱さを誇る

1. ピリピ人への手紙 3:7-8、「しかし、私が得たものは何であれ、キリストのためには損失とみなしました。確かに、私の主キリスト・イエスを知ることの計り知れない価値のゆえに、私はすべてを損失だと考えています。」

2. イザヤ書 45:3、「わたしはあなたに隠された宝、秘密の場所に蓄えられた富を与えます。それは、わたしが主であり、あなたを名指しで呼び出すイスラエルの神であることをあなたが知るためです。」

2 コリント 11:19 あなたがたは、自分が賢いと思っているので、喜んで愚か者に耐えます。

パウロはコリントの人々に、賢いふりをする偽教師たちに気をつけよと警告しています。彼らはすぐに受け入れてしまうからです。

1. 「偽りの賜物を背負った愚か者: 偽教師の警告サインを無視する」

2.「欺瞞を見抜く：偽教師の兆候を知る」

1. 箴言 14:15 - 「素朴な人はすべてを信じるが、思慮深い人は自分の歩みをよく考える。」

2. ペテロ第二 2:1-2 - 「しかし、あなたがたの中にも偽教師が現れるのと同じように、偽預言者も民の間に生じ、彼らは破壊的な異端を密かに持ち込んで、自分たちを買った主人さえ否定し、自分たちに迅速な異端をもたらします。そして多くの人が彼らの官能に従うことになり、彼らのせいで真理の道は冒涜されるだろう。」

2コリント11:20 もし、人があなたを奴隷にすると、人があなたがたをむさぼり食えば、人があなたがたを奪い、人が自分を高め、人があなたの顔を打ったら、あなたがたは苦しむからである。

使徒パウロはコリント人に、利用されたり虐待されたりすることを許すなら苦しむことになると警告しています。

1. 操作や虐待から身を守る

2. 不正義と抑圧に立ち向かう

1. ヤコブ 1:19-20 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

2. 箴言 18:14 - 人の霊は病気に耐えるが、打ちひしがれた霊は誰が耐えられるだろうか。

2 コリント 11:21 私はあたかも私たちが弱かったかのように、非難について話します。しかし、誰かが大胆であるなら、（愚かなことを言いますが）私もまた大胆です。

パウロは、弱そうに見えるときでも大胆に語ると主張します。

1. 神は私たちの弱さの中の強さです

2. 弱さに直面した大胆さ

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. コリント第一 1:25 - 神の愚かさは人間よりも賢いからです。そして神の弱さは人間よりも強いのです。

2 コリント 11:22 彼らはヘブライ人ですか。私もそうです。彼らはイスラエル人ですか？私もそうです。彼らはアブラハムの子孫ですか？私もです。

パウロは自分のユダヤ人の血統と家系を誇らしげに宣言しました。

1: 私たちは自分たちの伝統に誇りを持ち、自分たちが誰であるかを誇りに思うべきです。

2: 私たちは自分たちの伝統を利用して、橋を架け、他者との関係を育むべきです。

1: ガラテヤ 3:28-29 - ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2: 使徒 17:26-27 - そして神は、一人の人から人類のあらゆる国民を地球上の全面に住まわせ、割り当てられた期間と彼らの住む場所の境界を定められた。

2 コリント 11:23 彼らはキリストの奉仕者なのでしょうか。（私は愚か者として話します）私はもっとです。より多くの労働が行われ、計り知れないほどの縞模様があり、より頻繁に刑務所に入れられ、頻繁に死亡している。

パウロは、偽教師たちをはるかに上回る、福音のための自分の苦労と苦しみを誇っています。

1. 愛の労働: イエスに仕える代償

2. 喜びと忍耐をもってキリストに仕える

1. ピリピ 4:13 - 私は、私を強めてくださるキリストを通して、何でもできるのです。

2. ローマ人への手紙 8:35-37 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？艱難か苦難か迫害か飢餓か裸か危険か剣か？

2コリント11:24 ユダヤ人のうち、私は1回を除いて5回、40回の縞模様を受けました。

パウロは、ユダヤ人に5回鞭打たれ、1回を除いて毎回40回の鞭打ちを受けた経験を語ります。

1. 苦しみを通した忍耐: パウロの例を調べる

2. 弱さの中に強さを見つける：パウロの鞭打ちの経験からの教訓

1. ローマ人への手紙 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。」

2. ペテロ第一 4:12-13 - 「愛する人たち、あなたを試すために火のような試練がやって来ても、何か奇妙なことが起こったかのように驚かないでください。しかし、キリストの苦しみを分かち合う限り、喜びなさい。彼の栄光が明らかになったとき、あなたもまた喜び、喜ぶかもしれません。」

2 コリント 11:25 むちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難破したことも三度、一昼夜も深みに沈みました。

パウロは福音のためにどれほど苦労したかを語ります。

1. 弟子としての代償: パウロとともに十字架を負うこと

2. 逆境での忍耐: パウロはどのように困難に耐えたか

1. マタイ 16:24-26;ピリピ 3:10 - 犠牲を計算し、十字架で慰めを得る

2. ヘブライ人への手紙 11:36-38。ヤコブ 1:2-4 - 試練や艱難に直面したときの忍耐の信仰

Ⅱコリント11:26 旅の中で、水の危険、強盗の危険、同胞の危険、異教徒の危険、都市の危険、荒野の危険、海の危険、偽りの兄弟たちの間では危険にさらされています。

パウロは福音を伝えるための伝道旅行で多くの危険と困難に耐えました。

1. 困難な状況における神の忠実さ

2. 逆境に直面した忍耐の力

1. ローマ人への手紙 8:35-39 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？

2. ヘブライ 11:32-38 - 大きな困難に直面したときの信仰の例。

2コリント11:27 倦怠感と苦痛の中で、頻繁に見張りをしながら、飢えと渇きの中で、頻繁に断食をし、寒さと裸の中で。

パウロは宣教中に疲労、苦痛、見張り、飢え、渇き、断食、寒さ、裸などの大きな苦しみに耐えました。

1. 苦しむ僕: パウロの献身と勇気の模範

2. 犠牲の意義: パウロの無私な宣教

1. ピリピ 3:8-11 - 犠牲を払ってでもキリストを知り、キリストのうちに見出されるというパウロの献身

2. ヘブライ 12:1-3 - イエスに目を向けて困難を耐え忍ぶ必要性

2コリント11:28 外にあるもの、毎日私に降りかかるもののほかに、すべての教会の配慮があります。

パウロはすべての教会を世話する責任に圧倒されました。

1. 責任の偉大さ: すべての教会に対して責任を負うパウロの例

2. 忠実な奉仕: すべての教会に対するパウロの献身から学べること

1. 1 コリント 4:2 - さらに、管理人には忠実であることが求められます。

2. マタイ 25:21 - 彼の主は彼に言った、「よくやった、善良で忠実な僕よ。あなたはいくつかのことに対して忠実でしたが、私はあなたを多くのことに対して支配者にしてあげます。あなたは主の喜びの中に入れてください。」

2 コリント 11:29 誰が弱いのですか。私は弱くないでしょうか。誰が気分を害しても、私は燃えませんか？

パウロはコリント人たちと同じように苦しむ意志を強調することで、コリント人たちへの献身を示しています。

1. 苦しみを受け入れなさい: コリント人へのパウロの献身的な考察

2. パウロの例: 他者のために犠牲を払うという呼びかけ

1. ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちと一緒に喜びましょう。悲しむ人たちとともに悲しむ。

2. ガラテヤ 6:2 - 互いに重荷を担い、そうしてキリストの律法を全うしましょう。

2 コリント 11:30 もし栄光が必要なら、私は自分の弱さに関係する事柄について栄光をあげたいと思います。

使徒パウロは神の強さを示すために喜んで自分の弱さを誇ります。

1.「弱さの中の強さ」

2.「私たちの弱さの中に現れる神の力」

1. イザヤ書 40:29-31 - 神は気弱な者に力を与え、力のない者に力を与えます。

2. 1 コリント 1:25 - 神の愚かさは人間よりも賢く、神の弱さは人間よりも強いからです。

2 コリント 11:31 永遠に祝福される私たちの主イエス・キリストの父なる神は、私が嘘をついていないことをご存知です。

パウロは読者に、神は自分の言葉の真実を知っており、神は永遠に祝福されていることを思い出させました。

1. 神の真理は常に正義です - 2コリント11:31

2. 永遠に祝福されますように - 2 コリント 11:31

1. ローマ人への手紙 3:4 - 「たとえ誰もが嘘つきであったとしても、神が真実であってください。」

2. ヨハネ第一 5:20 - 「そして、私たちは、神の子が来て、真実な方を知ることができるように、私たちに理解を与えてくださったことを知っています。そして私たちは真実なる方、御子イエス・キリストのうちにいます。彼こそが真の神であり、永遠の命なのです。」

2 コリント 11:32 ダマスコではアレタスの総督が、王はダマスコの町に守備隊を置いていて、私を捕まえたいと思っていました。

パウロはダマスカスにいて、アレタス王配下にある市の総督が彼を捕まえようとしていた。

1. 直面する困難にもかかわらず忠実であり続ける

2. 忠実な忍耐の力

1. ヘブライ 11:24-27 - 信仰によって、モーセは年を重ねたとき、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒否しました。一時的に罪の喜びを楽しむよりも、むしろ神の民とともに苦難に苦しむことを選択する。キリストの非難をエジプトの宝よりも大きな富とみなした。それは、キリストが報いの報いを尊重していたからである。

2. ローマ 8:31 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2 コリント 11:33 そして、私はかごの窓から壁に降ろされ、彼の手から逃れました。

パウロは、かごに入れられて窓から壁から降ろされ、敵の手から逃れた様子を語ります。

1. 神の守り: 主はどのように私たちを敵から守ってくださるのか

2. 信仰の力: 神を信頼して困難を克服する

1. コリント第二 11:33

2. 詩篇 18:2-3、「主はわたしの岩、わたしの砦、わたしの救出者、わたしの神、わたしの岩、わたしが避け所とする者、わたしの盾、わたしの救いの角、わたしの砦であり、わたしの避け所、私の救い主、あなたは私を暴力から救ってくださいます。」

第二コリント 12 章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の 12 章です。この章では、パウロは楽園の幻視を含む彼の並外れた霊的経験について語り、肉体のとげについて話し合います。

第 1 段落: パウロは、第三の天に引き上げられ、人間が口にしてはいけない言葉では言い表せない言葉を聞いたという驚くべき経験を語ることから始めます (2 コリント 12:2-4)。彼はそのような啓示について誇ることが利益にならないことを謙虚に認めていますが、使徒としての権威を確認するものとしてこの記述を共有し続けています。パウロは、これらの並外れた経験のためにうぬぼれを防ぐために神が彼の肉体に与えた棘について言及しています。

第 2 段落: パウロは、このとげを取り除いてくださるよう三度主に懇願した様子を説明しています (2 コリント 12:8)。しかし、神はそれを取り除くのではなく、神の恵みは十分であり、神の力は弱さの中で完全に発揮されると彼に安心させます(2コリント12:9)。パウロは、自分の弱さを通してキリストの力が輝くことを認識しています。彼は、キリストの力が自分の上に宿るように、ますます喜んで自分の弱さを誇りましょう、と宣言します。

第 3 段落: この章は、パウロがキリストのために苦難に耐える決意を表明して終わります。彼は、宣教期間中にいかに侮辱され、迫害され、さまざまな試練に直面したかについて語ります(2コリント12:10)。しかし、これらの課題にもかかわらず、彼はキリストに忠実に仕え続けています。彼は自分を通して働く神の力への確信を表明し、自分が弱いときこそ強いと断言します。

要約すると、コリント人への手紙第二 12 章は、パウロの並外れた霊的経験に焦点を当て、彼の肉体のとげについて論じています。パウロは楽園に行き、神の啓示を聞いたことについて語りますが、過度に誇ることは控えています。彼は、謙虚な思い出として神から与えられたとげと、そのとげの除去をどのように懇願したかについて語ります。むしろ神は、神の恵みは十分であり、神の力は弱さの中で完全に発揮されると彼に安心させます。パウロは自分の弱さを受け入れ、それを喜んで誇り、キリストの力を誇示します。彼は、キリストのために苦難に耐える意欲を確認し、彼を通して働く神の力への確信を表明して締めくくりました。この章では、弱さの中に強さを見つけるという矛盾に焦点を当て、信者が直面する課題の中で神の恵みが十分であることを強調します。

2 コリント 12:1 栄光を受けることは私にとって得策ではないことは疑いありません。私は主の幻と啓示に行きます。

パウロは、神からの幻や啓示を受けた自分の経験を分かち合うつもりだと説明しています。

1. 主の力: 幻視と啓示を通して奇跡を体験する

2. 弱さの中に強さを見つける：主の力に頼る方法

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰は、望まれている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。」

2 コリント 12:2 私は十四年前、キリストのうちにある人を知りました。（肉体にいるかどうかはわかりません。あるいは、肉体から出ているかどうかはわかりません。神は知っています。）そのような人は第三の天に捕らえられました。。

パウロは、14年前に第三の天に上げられたキリストにある男性について語ります。

1.神の臨在の力：第三の天国を体験する

2.神は私たちができないことを知っています：神の知恵を信頼してください

1. 詩篇 139:7-10 「あなたの御霊からどこへ行けばよいでしょうか。それともあなたの御前からどこへ逃げればよいでしょうか。もし私が天に昇るなら、あなたはそこにおられます。もし私が地獄で寝床を作るなら、見よ、あなたはそこにおられます。」もし私が朝の翼を手に取り、海の最果てに住んでいれば、そこにもあなたの手が私を導き、あなたの右手が私を掴むでしょう。」

2. イザヤ書 55:8-9 「わたしの考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではありません」と主は言われます。「天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2 コリント 12:3 そして、私はそのような男を知っていました（体の中にいるのか、体外にいるのか、私にはわかりません。神は知っています;）

パウロは、肉体の中にも体外にも出た男性の経験を語りますが、神は真実をご存知です。

1.？オッドの知識??神の全知の力と、それが私たちの力よりもいかに偉大であるかを探ります。

2.？彼は未知の道??信仰の旅を吟味し、未知のものを信頼する。

1. ローマ 11:33-36 - 神の知識と知恵の深みを探ります。

2. ヘブライ 4:13 - 神の言葉の力と、それがどのように神の真理を明らかにするかを考察します。

2 コリント 12:4 なんと、彼は楽園に引き上げられ、人が口にすることは禁じられている、言葉では言い表せない言葉を聞いたことでしょう。

ポールは、言葉では言い表せないほど素晴らしい言葉を聞いて楽園に引き込まれた経験を語ります。

1. 天国の栄光: 言葉では言い表せない神の言葉を体験する

2. 人生の課題の克服：パウロの楽園体験

1. ローマ人への手紙 8:18-25 - 苦しみと栄光

2. 黙示録 21:1-4 - 新しいエルサレム

2 コリント 12:5 わたしはそのような人を誇りに思いますが、自分自身を誇るのではなく、自分の弱さを誇りにします。

パウロは自分自身ではなく、自分の弱さを誇ろうと決意します。

1. 弱さを受け入れることを学ぶ - 私たちの弱さの中に強さを見つけ、それを使って神の栄光を現す方法。

2. 謙虚さの力 - 私たちの弱さに関係なく、謙虚になり神を信頼する方法。

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. イザヤ書 40:28-31 - 「あなたは知らなかったのですか。地の果ての創造者である永遠の神、主が気を失うことも、疲れることもないことを、あなたは知らなかったのですか。彼の探求はありません。」「理解する。主は気弱な者に力を与え、力のない者に力を増し加えられる。若者も気を失い疲れ果て、完全に倒れる。しかし、主を待ち望む者は再び力を得る。彼らは力を新たにする。」鷲のように翼を広げて登り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2 コリント 12:6 わたしは栄光を望みますが、愚か者にはなりません。なぜなら、私は真実を言います。しかし、今は我慢します。誰もが私を自分の考え以上に考えたり、私の話を聞いたりしないようにするためです。

パウロは栄光への願望を表明していますが、自分の立場の上で見られないように謙虚さを保つことを選択しました。

1. 謙虚さの利点

2. 謙虚であり続けることの重要性

1. ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはなりません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2. ヤコブ 4:10 「主の前にへりくだりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。」

2 コリント 12:7 そして、豊富な啓示によって私が計り知れないほど高められることのないように、私には肉体のとげが与えられました。それは、私が計り知れないほど高められないように、サタンの使者として私を打ちのめすためでした。

パウロは、自分が受けた啓示を誇りに思わないよう、サタンから「肉体のとげ」を与えられました。

1. 高慢は堕落する前に生まれる：パウロの肉のとげからの教訓。

2. 誘惑の克服：肉のとげとのパウロの闘いについての考察。

1. 箴言 16:18 - 高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立ちます。

2. ヤコブ 4:7-8 - ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださるでしょう。

2 コリント 12:8 このことのために、私はそれが私から去ってくださるようにと三度主に願いました。

パウロは、直面している困難から救ってくださるよう三度主に懇願しました。

1. 私たちの弱さの中にある神の強さ - 2コリント12:8

2. 絶え間ない祈りの力 - 2コリント12:8

1. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。

2. ヤコブ 5:13 - あなたたちの中に、困っている人はいますか。彼は祈るべきだ。幸せな人はいますか？彼に賛美の歌を歌わせてください。

2 コリント 12:9 すると彼は私に言った、「わたしの恵みはあなたにとって十分です。わたしの力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」したがって、キリストの力が私の上に宿るように、私はむしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います。

パウロは神の恵みが自分の必要に十分であると確信し、キリストの力が自分の上に宿るように自分の弱さを誇ることを選びました。

1. 弱さの中に強さを見つける - 必要なときに神の恵みがどのように十分であるか

2. 苦難を通して神の栄光を現す - キリストの力を経験するために弱さを喜ぶ

1. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできる

2. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2 コリント 12:10 したがって、私は、キリストのために、弱さ、非難、困窮、迫害、苦難を喜んで受け入れます。なぜなら、私が弱いとき、私は強いからです。

パウロは、キリストへの愛のゆえに、人生で困難に直面しても信仰を強く保つことができ、それを喜びとしていたのです。

1. 逆境における信仰者の強さ

2. キリストのために苦しみを喜ぶ

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. マタイ 5:11-12 - ?他の人があなたを罵り、迫害し、私のせいであなたに対してあらゆる種類の悪を誤って発するとき、あなたは軽蔑されます。喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいのです。彼らはあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したからです。

2 コリント 12:11 私は誇りを持って愚か者になりました。あなたがたは私に強要しました。私はあなたから褒められるべきだったからです。私は何者でもないのに、最も指導的な使徒たちに何の劣りもしないからです。

パウロは、たとえ自分が何者でもないとしても、偉大な使徒たちに劣らないと主張します。

1. 謙遜の力: パウロの模範は、謙虚であることの強さをどのように示しているか

2. 無の強さ: パウロの模範は、信仰と謙虚さが何よりも価値があることを示しています

1. ピリピ 2:3-8 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。

2. 1 コリント 4:7-13 - あなたが持っているのに受け取らなかったものは何ですか?では、もしあなたがそれを受け取ったのなら、なぜあなたはそれを受け取っていないかのように自慢するのですか？

2 コリント 12:12 確かに、使徒のしるしは、忍耐を尽くして、しるしと不思議と力強い行いによって、あなたがたの間でなされました。

パウロはコリント教会で忍耐、しるし、不思議、そして力強い行いを通して使徒としてのしるしを示しています。

1. 忍耐は使徒のしるし

2. 教会におけるしるし、不思議、そして偉大な行為

1. ヘブライ 13:7 - あなた方の指導者たち、あなた方に神の言葉を語った人たちを思い出してください。彼らの生き方がもたらす結果を考え、彼らの信仰に倣いましょう。

2. コリント人への第一の手紙 2:4-5 - 私のスピーチとメッセージは、もっともらしい知恵の言葉ではなく、御霊と力を示すものでした。それは、あなたがたの信仰が人の知恵ではなく神の力にあるようにするためです。。

2 コリント 12:13 あなたがたが他の教会に比べて劣っているのは、私自身があなたがたにとって重荷ではなかったということ以外に何があるでしょうか。この間違いを許してください。

パウロはコリント人たちに、他の教会と比べて自分が重荷になっていないことを赦してほしいと謙虚に願いました。

1. 許すことを学ぶ：人生における許しの力を理解する

2. 謙虚であることの重要性: 謙虚さがなぜ重要なのか

1. マタイ 6:14-15 - ?あるいは、あなたが他人の罪過を赦すなら、あなたの天の父もあなたを赦してくださいますが、もしあなたが他人の罪過を許さなければ、あなたの天の父もあなたの罪過を赦してはくれません。

2. ピリピ人への手紙 2:3 - ?利己的な野心やうぬぼれからではなく、謙虚に自分よりも他の人を大切にしてください。

2 コリント 12:14 見よ、私は三度目にあなたがたのところに行く用意ができています。そして、私はあなたに負担をかけません。私が求めているのはあなたのものではなく、あなたです。なぜなら、子供たちは親のために産むべきではなく、親が子供のために産むべきだからです。

この一節は、親はその逆ではなく、子供を養うべきであることを強調しています。

1. 「子供たちの責任は誰にありますか?」

2. 「子供たちに物を与えることの祝福」

1. エペソ人への手紙 6:4 - 「そして、父親たちよ、子供たちを怒らせないでください。むしろ、主の養育と戒めのもとに彼らを育ててください。」

2. 箴言 17:6 - 「子供たち?子供たちは老人の冠であり、子供の栄光は彼らの父親である。」

2コリント12:15 そして、私はあなたがたのために喜んで費やし、費やされます。けれども、私があなたを愛せば愛するほど、私は愛されなくなります。

パウロは、コリントの人々が彼に対する相互の愛に欠けているにもかかわらず、彼らのために自分を犠牲にする意欲を表明しています。

1. 無条件の愛の力: コリント人への手紙第二 12:15 におけるパウロの大胆な犠牲を探る

2. 無条件に愛することを学ぶ: Ⅱコリント 12:15 のパウロのメッセージの挑戦

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヨハネ 15:13 - これより大きな愛はありません。人を捨てることですか？一人の人生?友達。

2 コリント 12:16 しかし、そうは言っても、私はあなたがたに重荷を負わせたわけではありません。それにもかかわらず、私はずる賢いので、あなたがたを陰謀で捕まえました。

パウロはコリント人たちに負担をかけずに、巧みに彼らを味方に引き入れました。

1. 説得の力: プレッシャーを感じさせずに人々を説得する方法

2. パウロとコリントの信徒のずる賢さ: 良い結果を達成するための策略の使い方

1. 箴言 16:21 - 心の賢い人は洞察力があると呼ばれ、楽しい言葉は教えを促進します。

2. マタイ 10:16 - 見よ、わたしはあなたたちを狼の真っただ中に羊として送り出すのだから、蛇のように賢く、鳩のように純真であれ。

2コリント12:17 私があなたがたに遣わした彼らのうちの誰かによって、あなたがたに利益をもたらしたでしょうか。

パウロはコリント人に、自分が送った人々の中で何か利益を得たかどうか尋ねます。

1. 無私の力：利益を期待せずに他者に奉仕することを選択する

2. 私たちの動機を再評価する: 私たちの行動の背後にある心を調べる

1. マタイ 6:2 - ?したがって、あなたが慈善行為を行うときは、偽善者たちが人々から栄光を得るためにシナゴーグや街頭で行うように、あなたの前でラッパを吹いてはなりません。必ず言っておきますが、彼らには報酬があるのです。

2. ピリピ人への手紙 2:3-4 - ?利己的な野心やうぬぼれによって何をすることもできませんが、謙虚な気持ちで、お互いが自分よりも他人を尊重しましょう。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも気を配りましょう。

2 コリント 12:18 私はテトスを望み、彼と一緒に兄弟を送りました。タイタスはあなたに利益をもたらしましたか？私たちは同じ精神で歩いていませんか？私たちは同じ歩調で歩いていませんか？

パウロは、コリントの人たちが同じ道を歩むようにするために、テトスと兄弟をコリントに送りました。

1. 同じ精神で歩む - 神に従うことが何を意味するかを調べる

2. 共同体で生きる - キリストにおける一致の恩恵

1. ガラテヤ 5:25 - 御霊によって生きるなら、私たちも御霊と歩調を合わせましょう。

2. ローマ人への手紙 12:3-5 - 私に与えられた恵みによって、あなたがた全員に言いますが、自分自身を必要以上に高く評価せず、冷静な判断力を持って、それぞれが信仰の尺度に従って考えてください。神が割り当てました。というのは、一つの体には多くの部分があり、その部分がすべて同じ機能を持っているわけではないのと同じように、私たちは多くても、キリストにあって一つの体であり、個々に他の部分であるからです。

2 コリント 12:19 もう一度言いますが、あなたがたは、私たちがあなたがたに言い訳をしていると思いますか。私たちはキリストにおいて神の前で話しますが、親愛なる皆さん、私たちはあなたの徳を高めるためにあらゆることを行っています。

パウロはコリントの人々に、自分の言葉が神の前で語られ、彼らの啓発のために働いていることを忘れないよう懇願しています。

1. 私たちの言葉の力: 神の前で話すこと

2. キリストの体を啓発する: 奉仕の生活を送る

1. ヤコブ 3:3-12 - 私たちの言葉の力

2. ピリピ 2:3-11 - キリストの体を教化する

2 コリント 12:20 わたしが心配しているのは、わたしが来るとき、わたしが望むようにあなたがたに見つからないこと、また、あなたがたが思わないようにあなたがたに見つかることになるのではないかということです。議論、ねたみ、怒り、争い、陰口、ささやき、腫れ物、騒動：

パウロは、コリント人たちを訪問すると、彼らが彼を期待通りに歓迎してくれず、彼らの間に争いが起こるのではないかと心配しています。

1. 争いの危険 - ローマ人への手紙 12:18

2. 一致の祝福 - 詩篇 133:1

1. ローマ 15:5 - 忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って、互いにそのように調和して生きることを許してくださいますように。

2. ヤコブ 3:16 - 嫉妬と利己的な野心が存在するところには、無秩序とあらゆる卑劣な習慣が存在するからです。

2コリント12:21 また、わたしが再び来たときに、わたしの神があなたがたの間でわたしをへりくだらせ、すでに罪を犯し、自らの犯した汚れと淫行と好色を悔い改めない多くの人々を嘆くことのないように。

パウロは、再び訪問するときに、不道徳な行為を悔い改めない教会員の罪のせいで神が自分を謙虚にするかもしれないという懸念を表明しています。

1. 悔い改めの力 - 罪から離れて神の恵みと憐れみを受けること。

2. 謙虚さの必要性 - 神の前で自分の小ささを認識し、神の意志に従うこと。

1. ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して神の恵みによって無償で義とされるからです。

2. ヤコブ 4:6-7 - しかし、神は私たちにさらに恵みを与えてくださいます。だからこそ聖書はこう言っているのです。쏥 od は高慢な者には反対しますが、謙虚な者には好意を示します。??それでは、神に服従してください。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

第二コリント 13 章は、コリント人へのパウロの第二の手紙の 13 番目で最後の章です。この章でパウロはコリントの信者たちに最後の勧告をし、差し迫った訪問について警告し、自分自身を吟味するよう勧めています。

第 1 段落: パウロは使徒としての権威を主張し、到着したら懲らしめを躊躇しないことをコリント人に思い出させることから始めます (2 コリント 13:1-2)。彼は彼らに自分自身を吟味し、本当に信仰を持っているかどうかを試すよう求めます。彼は、テストに失敗しない限り、イエス・キリストが自分たちの内におられることを認識するように勧めています。パウロは彼らがこの試練に合格するようにという希望を表明し、義において成長するよう励ましています。

第 2 段落: パウロは、彼らの目には自分が弱いように見えるかもしれないことを認めていますが、必要に応じて懲らしめを行使できるように、来られるときに神が彼に力を与えてくださるように祈っています(2コリント13:3-4)。彼は自分の願望が破壊ではなく彼らの啓発であることを強調します。たとえそれが世俗的に弱く見えることを意味するとしても、正しいことを行うよう勧めています。

第 3 段落: この章は一連の勧告で終わります。パウロは信者たちの団結を奨励し、回復を目指し、互いに慰め合い、心を一つにし、平和に暮らし、神の愛と平和を体験するよう勧めています（Ⅱコリント 13:11）。彼は彼らに、愛情深い交わりのしるしとして神聖なキスでお互いに挨拶するようアドバイスしています。最後に、彼は彼ら全員に神の恵みを呼び起こす祝祷を宣言します。

要約すると、コリント人への手紙第二 13 章には、コリント訪問前のパウロの最後の勧告と警告が含まれています。彼は使徒としての権威を主張し、必要に応じて規律を行使することについて警告しています。パウロは信者たちに、自分自身を吟味し、信仰を試すよう呼びかけながら、義における成長を奨励しています。彼は信者間の団結を強調し、愛と平和のうちに信者同士がどのように関わるべきかについてアドバイスしています。この章は、彼らに対する神の恵みを呼び起こす祝祷で終わります。この章は、信者がパウロの訪問を待つ中で、自己吟味、一致、そして神の原則に従って生きることの重要性を強調しています。

2 コリント 13:1 私があなたがたのところに来るのはこれで 3 回目です。二人か三人の証人の口によって、あらゆる言葉が確定するであろう。

パウロは、二人か三人の証人の証言を通して自分の言葉を強めるために、三度目にコリント人を訪問します。

1. 神の呼びかけ: 証を強める

2. 神の言葉を確立する力

1. マタイ 18:16 - 「しかし、もし彼があなたの言うことを聞かないなら、あと一人か二人連れて行ってください。そうすれば、二人か三人の証人の口であらゆる言葉が立証されるでしょう。」

2. ヘブライ人への手紙 10:24-25 - 「そして、愛と善行に励むよう、お互いを考慮しましょう。ある人々のように、集まることを放棄するのではなく、互いに励まし合いましょう。そして、なおさらです」ご覧のとおり、その日が近づいています。」

2 コリント 13:2 わたしは以前にもあなたがたに話しましたが、二度目も、あたかも私がその場にいるかのように、あなたがたに予告しました。そして、今は不在なので、これまで罪を犯した人たちと他のすべての人たちに、もし再び来るなら、私は容赦しないと書きます。

パウロはコリントの人々に、もし自分が戻ってきたとしても、以前に自分に対して罪を犯した人々には慈悲を示さないだろうと警告します。

1. 神の憐れみ: 悔い改めへの呼びかけ

2. 悔い改めない罪の結果

1. ヘブライ 4:16 - ですから、私たちは、憐れみを受け、必要なときに助けてくれる恵みを得るために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

2. ヤコブ 5:20 - 罪人をその道の誤りから改心させる者は、魂を死から救い、多くの罪を隠すであろうことを彼に知らせてください。

2 コリント 13:3 あなたがたは、キリストがわたしのうちに語っておられるという証拠を求めているからです。それは、あなたがたにとって、それは弱いものではなく、あなたがたのうちにある力強いものなのです。

パウロはコリントの人々に、自分の内にキリストが臨在するという証拠を求めるよう奨励し、彼らの生活におけるこの証拠の力を強調しています。

1. あなたの人生にキリストが臨在されたという証拠を探す

2. あなたの内にあるキリストの力に励まされましょう

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えないものを確信するものです。

2. ペテロ第二 1:17 - 荘厳な栄光の中からこう言われたとき、彼は父なる神から栄誉と栄光を受けたからです。彼は私の最愛の息子であり、私は彼に満足しています。

2 コリント 13:4 なぜなら、彼は弱さのゆえに十字架につけられましたが、それでも神の力によって生きているからです。なぜなら、私たちも彼の内に弱いからです。しかし、あなたに対する神の力によって、私たちは彼とともに生きます。

イエスは弱さから十字架につけられましたが、神の力によってよみがえりました。私たちも弱いですが、神様の力で神様を通して生きていきます。

1. 神の力は私たちの弱さよりも大きい

2. 復活と生命の力

1. ローマ 8:11、「しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださるでしょう。」

2. コリント第一 15:57、「しかし、私たちの主イエス・キリストによって私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。」

2コリント13:5 あなたがたは信仰を持っているかどうか、自分を吟味しなさい。自分自身を証明してください。あなたがたは自分自身のことを知らないのか、あなたが非難される者でない限り、イエス・キリストがどのようにあなたの内におられるのかを知らないのか。

この一節は、読者が非難されることのないよう、自己吟味し、イエス・キリストが自分のうちにおられることを証明するよう勧めています。

1.「信仰の自己吟味」

2. 「イエス・キリストを知ることの確信」

1. ローマ人への手紙 8:9-11 - 「しかし、あなたがたは肉の中にあるのではなく、霊の中にいます。神の霊があなたがたのうちに宿っているとすれば、もしキリストの霊を持っていない人がいるなら、その人は誰にも属しません。もしキリストがあなたの内におられるなら、体は罪のために死んでいますが、御霊は義のために生きています。しかし、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたの内に住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方です。死者もまた、あなたの内に住む御霊によって、あなたの死ぬべき肉体を生き返らせるでしょう。」

2. ルカ 9:23-24 - 「そしてイエスは皆に言った、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、毎日自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救おうとする者は、それを失うことになるからである』：だが、わたしのために命を落とす者は、同じように救われるだろう。」

2 コリント 13:6 しかし、あなたがたは、私たちが落ちこぼれではないことを知っていると私は信じています。

パウロはコリントの人々に、自分とその仲間たちが神に拒絶されているわけではないことを認識するよう勧めています。

1.「神への信頼の力」

2. 「不遜な者ではない：神の好意の中で生きる」

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - 「しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。あなたが持っている恵みは何ですか？」救われました。」

2 コリント 13:7 今、私は神に祈ります。あなたがたが悪いことをしないように。それは、私たちが認められているように見えるべきということではなく、たとえ私たちが劣等生であっても、あなたがたは正直なことをすべきだということです。

パウロは、たとえ自分とその仲間たちが承認されていないように見えても、コリントの人たちが正しいことを行ってくれるように神に祈ります。

1. たとえ人気がなかったとしても、正しいことをする

2. 不完全さにもかかわらず誠実さの重要性

1. ペテロ第一 2:12 ?異邦人の間であなたの行いを名誉あるものとして広めることは、異邦人があなたを悪者として非難するときに、彼らがあなたの善行を見て、訪問の日に神の栄光を讃えるためです。

2. ヤコブ 4:17 ?正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとってそれが罪です。

2 コリント 13:8 というのは、私たちは真理に反することはできませんが、真理のためには何もできません。

パウロはコリントの人々に、真理はいかなる反対にも耐えることができる唯一のものであるため、真理に忠実であるように勧めています。

1.？真実をしっかりと信じていますか？

2.？変わらぬ真実の力??

1. イザヤ書 40:8 - ?草は枯れ、花はしぼむが、私たちの神の言葉は永遠に残る。

2. 箴言 12:19 - ?冷酷な唇は永遠に続きますが、嘘をつく舌はほんの一瞬です。

2 コリント 13:9 なぜなら、私たちが弱くても、あなたがたが強いとき、私たちは喜んでいます。そして、私たちはそれを、あなたが完全になることさえも望んでいます。

使徒パウロはコリント人が信仰において完全であることを望んでいます。

1. 弱さを通して信仰を完成させる

2. 弱さを喜び、完璧を追求する

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. マタイ 5:48 - 天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたがたも完全でありなさい。

2 コリント 13:10 したがって、私がこれらのことを不在のまま書いているのは、主が私に与えてくださった滅びではなく啓発の力に応じて、存在しているときに鋭さを働かせないためです。

パウロはコリント人たちに手紙を書いていますが、これは主から与えられた力を使ってコリント人たちを啓発するためであり、また直接彼らに対して辛辣な態度をとらなくて済むようにするためでもあります。

1. 教化の力: パウロは自分の力をどのように使って教会を築き上げたか

2. 愛の強さ: パウロは教会を破壊するために自分の権力を行使することをどのように避けたか

1. ガラテヤ 6:1-2 - 「兄弟たち、誰かが罪に捕らえられたら、霊的なあなたがたは、その人を優しさの精神で回復させるべきです。あなたも誘惑に遭わないように、自分自身に気を付けていてください。互いに重荷を負い合いなさいか？そしてキリストの律法を全うします。

2. ローマ人への手紙 15:14 - 「兄弟たち、私自身、あなたたちが善意に満ち、あらゆる知識に満たされ、互いに教え合うことができることに満足しています。」

2 コリント 13:11 最後に、兄弟の皆さん、さようなら。完璧であり、快適であり、心を一つにし、平和に暮らしてください。そうすれば愛と平和の神があなたとともにおられるでしょう。

1. 神の完全さと慰め: コリント人への手紙第二 13:11 の探究

2. 平和に暮らす方法: コリント第二 13:11 を見てみる

1. フィリピ 4:7-9 - そして、あらゆる理解を超えた神の平安が、キリスト・イエスにあってあなたがたの心と思いを守るでしょう。

2. ローマ 15:5-6 - 今、忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って互いに調和して生きることを許し、声を合わせて私たちの主イエスの父なる神を讃えることができますように。キリスト。

2 コリント 13:12 聖なる口づけをもって互いに挨拶しなさい。

パウロは信者たちに聖なる口づけをしてお互いに挨拶するよう呼びかけています。

1. 一致のキス: パウロの挨拶の意味を探る

2. 聖なるキスの力: 教会で愛と敬意を示す

1. エペソ人への手紙 5:21 - キリストへの畏敬の念から互いに服従しなさい。

2. ペテロ第一 5:14 - 愛の口づけをしてお互いに挨拶しましょう。

2 コリント 13:13 すべての聖徒があなたに敬意を表します。

パウロはすべての聖徒たちからコリントの人々に挨拶を送ります。

1. 平和と一致の挨拶: 教会の強さ。

2. 所属の力: 交わりによる励まし。

1. コロサイ 3:15 - あなたがたは一つの体の一員として平和を求められているのですから、キリストの平和があなたの心を支配しなさい。

2. エペソ人への手紙 4:2-3 - 徹底的に謙虚で優しくありなさい。忍耐強く、愛をもって互いに忍耐しなさい。平和の絆を通じて御霊の一致を保つためにあらゆる努力をしてください。

2 コリント 13:14 主イエス・キリストの恵みと神の愛と聖霊の交わりが、あなたがた一同とともにありますように。アーメン。

パウロは、コリントの人々に恵みと愛と聖霊との交わりが与えられることを願っています。

1. 三位一体の力: 聖霊の恵み、愛、聖体拝領をどのように受け取るか

2. パウロの祝祷の祝福: 恵み、愛、聖体拝領の祝福を受ける方法

1. ローマ人への手紙 5:5 - 「希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は、私たちに与えられる聖霊によって、私たちの心の中に注がれるからです。」

2. ヨハネ 15:26 - ?わたしが父からあなたに送る助け主、父から出る真理の御霊が来るとき、彼はわたしについて証しをしてくれるだろう。

ガラテヤ人への手紙 1 章は、ガラテヤ人へのパウロの手紙の最初の章です。この章では、パウロは使徒としての権威を確立し、ガラテヤの教会に浸透している偽りの教えの問題を取り上げます。

第 1 段落: パウロは、人間によって任命されたのではなく、イエス・キリストと父なる神を通して使徒として神から召されたことを強調することから始めます (ガラテヤ 1:1)。彼は、ガラテヤの信者たちが真の福音から急速に離れ、偽教師によって説かれた歪んだ福音に目を向けてしまったことに驚きを表しています。パウロは、福音は一つしかなく、異なる福音を宣べ伝える者は呪われるべきである、と主張しています（ガラテヤ 1:6-9）。彼は、啓示を通じてキリストから直接メッセージを受け取ったと強調しています。

、クリスチャンの熱心な迫害者としての前世を語ることによって、自分の回心と宣教を擁護しています。彼は、神がどのように恵みによって彼を召し、異邦人の間で説教できるように御子を啓示されたかを強調しています（ガラテヤ 1:13-16）。パウロは、いかなる人間の権威にも相談せず、すぐにアラビアに行ってからダマスカスに戻ったことを強調しています。その後、ペテロとヤコブに会うために短期間エルサレムを訪れましたが、彼らから追加の指示や教えは何も受けませんでした。

第 3 段落: この章は、パウロが人間の承認や検証から独立していることを確認することで終わります。彼は、自分が人々を喜ばせようとしているのではなく、むしろ神が特定の目的のために彼を召されたのだと主張します(ガラテヤ1:10)。パウロは、自分はキリストから直接福音を受けており、他人から影響を受けたり教えられたりしたわけではないと繰り返しています。彼は、自分のメッセージがすべての地域で一貫しており、その神聖な起源を示していると強調しました。

要約すると、ガラテヤ人への手紙第 1 章は、パウロの使徒としての権威を確立し、ガラテヤの教会における偽りの教えに対処することに焦点を当てています。パウロは、人間の権威を通してではなく、イエス・キリストから直接自分の召しと福音を受け取ることを強調しています。彼は、信者たちが真の福音からすぐに離れ、偽教師によって説かれた歪んだ福音に移ったことに驚きを表している。パウロは自分の回心と宣教を擁護し、人間による検証から独立していることを強調し、彼のメッセージはすべての地域で一貫していると主張しています。この章では、真の福音を固守し、使徒としてのパウロの神からの召しを認識することの重要性を強調しています。

ガラテヤ 1:1 使徒パウロ（人間によるものでも、人間によるものでもなく、イエス・キリストと、彼を死者の中からよみがえらせた父なる神によって）

パウロは自分を、誰からも召されたのではなく、イエス・キリストと父なる神から召された使徒であると紹介しています。

1: 私たちは皆、神の目的に奉仕するよう神に召されています。

2: パウロの生涯は、私たち自身が神から召されていることを思い出させてくれます。

1: マタイ 4:19 - そしてイエスは彼らに言った、「わたしに従ってきなさい。そうすればあなたたちを人間をとる漁師にしてあげます」。

2: 1 コリント 1:9 - 神は真実な方であり、あなたがたはその御子イエス・キリストの交わりに召されたのです。

ガラテヤ人への手紙 1:2 また、ガラテヤの諸教会の、私と一緒にいるすべての兄弟たち。

パウロはガラテヤの諸教会に自分と仲間たちから挨拶を送ります。

1: ガラテヤの教会に対するパウロの愛と一致の挨拶

2: 教会におけるコミュニティと交わりの力

1: ローマ人への手紙 12:10 - 兄弟愛をもって互いに愛し合いなさい。名誉を示すという点でお互いに勝る。

2: 1 テサロニケ 5:11 ーですから、あなたがしているように、互いに励まし合い、高め合いましょう。

ガラテヤ人への手紙 1:3 父なる神と私たちの主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたにあるように。

ガラテヤ人へのパウロの挨拶には、父なる神とイエス・キリストからの恵みと平和が含まれています。

1. 困難な時代における神の平和

2. 日常生活における神の恵み

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても心配しないで、どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを持って、自分の願いを神に伝えてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. エペソ 2:8-9 - あなたが救われたのは恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。そのため、誰も誇ることができません。

ガラテヤ人への手紙 1:4 神と私たちの父のご意志に従って、この悪しき世界から私たちを救ってくださるために、私たちの罪のためにご自身をささげられた方です。

イエスは神のご意志に従って、私たちを世とその邪悪な道から救うためにご自身をささげられました。

1: イエスは私たちを罪と悪から救うためにご自身を犠牲にされました。

2: 私たちはイエスの犠牲によって世の罪深い道から救われることができます。

1: エペソ人への手紙 2:8-9: 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分で行ったものではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

2: マタイ 11:28-30: 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。そうすれば、あなたがたを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。「あなたはあなたの魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の重荷は軽いからです。」

ガラテヤ人への手紙 1:5 誰に栄光が世々限りなくありますように。アーメン。

この一節は、神の輝かしい救いの御業に対する神への賛美の叙事詩です。

1. 神の救いの恵み: 神に栄光を与える理由

2. 神の無条件の愛: 感謝祭の基礎

1. エペソ 2:8-9 - あなたが救われたのは恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。そのため、誰も誇ることができません。

2. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

ガラテヤ人への手紙 1:6 私は、あなたがたをキリストの恵みに招いてくださった方から、すぐに離れて別の福音に導かれることに、私は驚きます。

パウロは、ガラテヤ人がキリストの福音をすぐに捨てて別の福音を求めたことに驚きを表しています。

1.「偽福音書の危険性」

2.「キリストの恵みを受け入れる喜び」

1. コリント人への第一の手紙 15:1-4 - パウロによるイエス・キリストの福音の宣教

2. ローマ 11:5-6 - 救いにおける神の優しさと厳しさ

ガラテヤ 1:7 それは別のものではありません。しかし、あなたを悩ませ、キリストの福音を歪曲しようとする人たちがいます。

パウロはガラテヤの人々に、キリストの福音を曲げようとする偽教師たちに対して警告しています。

1. 誰の話を聞くか注意してください

2. 誤った教えに惑わされないでください

1. ローマ 16:17-18 - 兄弟たち、今私はあなたたちにお願いします。あなたたちが学んだ教義に反して分裂や違反を引き起こす者たちに注意してください。そしてそれらを避けてください。そのような者たちは、私たちの主イエス・キリストではなく、自分の腹に仕えているからです。そして、良い言葉と公正なスピーチによって、素朴な人々の心を欺きます。

2. テモテ第二 4:3-4 - 彼らが健全な教義に耐えられなくなる時が来るからです。しかし、彼らは自分の欲望の後で、耳がかゆいながらも教師を山盛りにするでしょう。そして彼らは真実から耳をそらし、寓話に傾くであろう。

ガラテヤ人への手紙 1:8 しかし、たとえ私たち、あるいは天から来た天使が、私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音以外の福音をあなたがたに宣べ伝えたとしても、彼は呪われてください。

パウロはガラテヤの教会に対し、自分が宣べ伝えた福音以外の福音を聞かないよう警告しています。

1. 福音の力: 神の言葉に忠実であり続ける

2. 誤った教えと異端の危険性

1. コリント第一 15:1-4 - キリストの死と復活によるパウロの救いの福音。

2. テモテ第二 2:15 - 聖書を学び、誤った教えを避けます。

ガラテヤ人への手紙 1:9 前にも言ったように、今もう一度言います。もし誰かが、あなたがたが受けた福音以外の福音をあなたがたに宣べ伝えるなら、その人は呪われてください。

パウロはガラテヤの人々に、自分たちが受け取った福音以外の福音を拒否するよう勧めています。

1. 偽りの教えを拒否する - ガラテヤ 1:9

2. 真の福音を受け入れなさい - ガラテヤ 1:9

1. 申命記 13:1-5 - 偽預言者に対する警告。

2. ローマ 16:17-18 - 偽教師に注意するよう勧めます。

ガラテヤ人への手紙 1:10 というのは、私は今、人間を説得しているのでしょうか、それとも神を説得しているのでしょうか。それとも男性を喜ばせようとしているのでしょうか？なぜなら、もし私がまだ人々を喜ばせているなら、私はキリストの僕であるべきではないからです。

パウロは、自分が人間を喜ばせようとしているのか、それとも神を喜ばせようとしているのかを尋ねます。

1. 人ではなく、必ず神を喜ばせてください。

2. 人ではなく神に従順な人生を送りなさい。

1. コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人のためではなく主のために熱心に働きなさい。報酬として主から相続財産を受け取れることを知ってください。あなたは主キリストに仕えています。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

ガラテヤ人への手紙 1:11 しかし、兄弟たち、私は、私について宣べ伝えられた福音は人間に求められたものではないことを、あなたがたに証明します。

パウロが宣べ伝えた福音は人間から出たものではありません。

1: 人間の言葉ではなく神の言葉に頼る

2: 私たちは皆、福音を宣べ伝えるよう招かれています

1: テモテ第二 3:16-17 - 「聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に有益です。それは、神の人が完全であり、すべての人に完全に備えられるためです。」よくやった。"

2: コロサイ 1:23 - 「もし、あなたがたが、地に足をつけて定着した信仰を続け、あなたがたが聞いており、天の下にあるすべての被造物に宣べ伝えられた福音の希望から離れないなら、そのおかげで私パウロは牧師に任命されました。」

ガラテヤ人への手紙 1:12 というのは、私は人からそれを受け取ったわけでも、教えられたわけでもなく、イエス・キリストの啓示によるのです。

パウロは人間の教えや指導によってではなく、神の啓示によってイエス・キリストの福音を与えられました。

1: イエス・キリストの福音の独自性

2: 神の啓示は真の知識の源である

1: エペソ 3:3-5 - 他の世代では人々に知らされていなかったキリストの奥義が、今では御霊によって聖なる使徒や預言者たちにどのように啓示されたか。

2: ヨハネ 14:26 - しかし、父が私の名によって遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、私があなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。

ガラテヤの信徒への手紙 1:13 というのは、あなたがたは、かつてユダヤ人の宗教に関して、私がいかに計り知れないほど神の教会を迫害し、無駄にしていたかについて、次のように話したことを聞いたことがあるでしょう。

パウロはキリスト教に改宗するまでの人生を語り、その中で神の教会を迫害しました。

1. 回心の力: 迫害者から説教者へのパウロの変化

2. 神の憐れみ: すべての人への許しと救い

1. ルカ 15:11-32、放蕩息子のたとえ

2. ローマ 5:8、しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

ガラテヤ人への手紙 1:14 また、祖国の伝統に非常に熱心で、祖国の多くの同胞たちよりもユダヤ教の宗教に熱心でした。

パウロはユダヤ人の習慣と法律を遵守することで大きな成功を収め、特に先祖たちの伝統に熱心でした。

1. 家族の伝統を尊重することの重要性

2. 信仰の旅に献身的に取り組み続ける

1. 申命記6:4-9

2. コロサイ3:17-21

ガラテヤ人への手紙 1:15 しかし、それが神に喜ばれたとき、神は私を母の胎内から引き離し、恵みによって私を呼んでくださいました。

神の恵みは私たちの召命の源です。

1. 神はご自分の恵みによって私たちを呼んでいます - ガラテヤ人への手紙 1:15 の研究

2. 神からの私たちの別れと恵みがどのように私たちを結びつけるか - ガラテヤ人への手紙 1:15 の考察

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. エペソ 2:4-5 - しかし、憐れみに富む神は、私たちに対する大きな愛のゆえに、私たちが罪で死んでいたときでさえ、キリストとともに生かしてくださいました。あなたが救われたのは恵みによるのです。

ガラテヤ人への手紙 1:16 わたしのうちに御子を明らかにし、異教徒の中に御子を宣べ伝えるためです。私はすぐに、生身の人間ではなく、次のように話し合った。

パウロは異邦人の間でイエス・キリストの福音を宣べ伝えるよう神から召されました。

1. 神の呼びかけ: 神の意志に応える

2. 福音の力: イエス・キリストの良い知らせを伝える

1. エレミヤ 1:5 「わたしはあなたを胎内に形づくる前から知っており、生まれる前にあなたを聖別し、諸国民への預言者に任命しました。」

2. 使徒 10:34-35 「そこでペテロは口を開いてこう言った。「神が偏りを示さないことはよくわかりますが、どの国でも神を畏れ正しいことを行う者は誰でも神に受け入れられます。」

ガラテヤ人への手紙 1:17 私はエルサレムに行って、以前に使徒だった彼らのところにも行きませんでした。しかし私はアラビアに行き、再びダマスカスに戻りました。

パウロは、使徒たちに会うためにエルサレムには行かず、アラビアに行ってダマスカスに戻ったことを明らかにしています。

1. たとえそれが人気がなかったり都合がよかったとしても、私たちはパウロの模範から学ばなければなりません。

2. たとえ計画が阻止されたとしても、神が導きと指示を与えてくださると信頼できます。

1. エレミヤ 29:11 - 私はあなたがたのために持っている計画を知っているからです、と主は宣言されます、あなたに将来と希望を与えるために、悪ではなく福祉の計画を立てています。

2. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてのものはあなたに加えられるでしょう。

ガラテヤ人への手紙 1:18 それから三年後、私はペテロに会うためにエルサレムに上って、十五日間彼と一緒に過ごしました。

パウロはペテロを訪ねるためにエルサレムを訪れ、ペテロと15日間過ごしました。

1. 他の信者たちと時間を過ごしたパウロの例から学ぶことができます。

2. 神は私たちと他の信者との関係を利用して、神の王国の働きを促進することができます。

1. 使徒 9:26-27 - そして、サウルはエルサレムに来たとき、弟子たちに加わろうとしました。しかし、彼らはみな彼を恐れ、彼が弟子であることを信じませんでした。しかしバルナバは彼を連れて使徒たちのところへ連れて行きました。

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:11 - ですから、あなたがしているように、互いに励まし合い、高め合いましょう。

ガラテヤ人への手紙 1:19 しかし、他の使徒たちは、主の兄弟ヤコブ以外には誰も私を見ませんでした。

パウロは福音の経験を語り、主の兄弟ヤコブ以外には使徒を見なかったと述べています。

1. 福音の考察: パウロの経験を考察する

2. 主の兄弟ヤコブ: 初代教会における独特の役割

1. ローマ人への手紙 1:16-17 - 私は福音を恥とは思っていません。なぜなら、福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人を含め、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。なぜなら、その中で「義人は信仰によって生きる」と書かれているように、神の義は信仰による信仰から明らかにされるからです。

2. 第一コリント 15:7-8 - それからイエスはヤコブに現れ、次にすべての使徒に現れました。最後に、不遇の生まれの人ですが、彼は私にも現れました。

ガラテヤ人への手紙 1:20 さて、私があなたがたに書いていることは、神の御前で、私は偽りはありません。

パウロは自分の正直さと誠実さを文章の中で表現し、ガラテヤ人への神の前で嘘をつかないと宣言しています。

1: 誠実であることの重要性

2: 誠実さの力

1: 箴言 12:22 - 嘘をつく唇は主にとって忌まわしいものであるが、忠実に行動する者は主の喜びである。

2: エペソ人への手紙 4:25 - ですから、偽りを捨てて、あなたがた一人一人が隣人に対して真実を語りましょう。なぜなら、私たちはお互いの一員だからです。

ガラテヤ人への手紙 1:21 その後、私はシリアとキリキア地方に入りました。

パウロは改宗後、シリアとキリキアを旅行しました。

1. 神の計画に従う：回心後のパウロの旅

2. 信仰を磨く：困難な時期を通じて学び、成長する

1. 使徒 9:19-21 - パウロのダマスコからエルサレムへの旅

2. コリント人への第二 11:25-27 - 福音のためのパウロの苦しみと忍耐

ガラテヤ人への手紙 1:22 そして、キリストにあるユダヤの諸教会には顔も知られていませんでした。

使徒パウロは、キリストにあるユダヤの教会にとっては顔も知られていませんでした。

1. 福音を広める際の大胆さの重要性

2. 私たちの生活における聖霊の力

1. 使徒 9:15-16 - 「しかし、主は彼に言われた、『あなたの道を行きなさい。彼は、異邦人、王たち、そしてイスラエルの子らの前で私の名を名乗るために、私にとって選ばれた器だからです。私はそうします』私の名のために彼がどれほど大きな苦しみを味わわなければならないかを教えてください。」

2. ピリピ人への手紙 1:27-28 - 「ただ、キリストの福音となるような会話にしなさい。それは、私があなたに会いに来ても、そうでなくても、あなたがたの事情を聞くことができるようにするためであり、あなたがたが一つの精神でしっかりと立つためである」心を一つにして、福音の信仰のために力を合わせて努力してください。」

ガラテヤ人への手紙 1:23 しかし、彼らが聞いたのは、「昔、私たちを迫害したあの人が、かつて滅ぼした信仰を今宣べ伝えている」ということだけでした。

ガラテヤの人々は、過去に自分たちを迫害したサウロの回心と、かつて破壊した信仰を今は宣べ伝えていることを聞きました。

1. 神の驚くべき恵み: サウルの回心

2. 信仰による救い: サウルの物語を思い出す

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

2. イザヤ書 55:7 - 悪者は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。そして彼を主に立ち返らせなさい。そうすれば主は彼を憐れんでくださるでしょう。そして私たちの神に、彼は豊かに赦してくださいます。

ガラテヤ人への手紙 1:24 そして、彼らは私の内にある神の栄光を現しました。

人々はパウロの奉仕のゆえに神の栄光を讃えました。

1. 神を讃える模範としてのパウロの生涯

2. 日常生活で神の栄光を讃える方法

1. コロサイ 3:17 「そして、言葉においても行いにおいても、すべてを主イエスの名によって行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。」

2. ペテロ第一 4:11、「語る者は、神の言葉を語る者として行うべきである。仕える者は、神が与えて下さる力によって仕える者として行うべきである。したがって、神はすべてのことにおいて、イエス・キリストによって栄光が与えられますように、栄光と支配は永遠にキリストに属します。アーメン。」

ガラテヤ人への手紙第 2 章は、ガラテヤ人へのパウロの手紙の第 2 章です。この章では、パウロはエルサレムでの使徒たちとの交流を詳しく語り、自分の権威とメッセージを擁護しています。

第 1 段落: パウロは、改宗から 14 年後にエルサレムを訪問し、そこでペテロ、ヤコブ、ヨハネなどの影響力のある指導者たちと個人的に会ったことについて説明します。彼は、異邦人たちの肯定と一致を求めて異邦人に宣べ伝えていた福音を彼らに伝えたと語ります（ガラテヤ人への手紙 2:1-2）。使徒たちは、パウロがユダヤ人への奉仕に専念している一方で、異邦人に宣教するという使命を神からパウロに託されたことを認めました（ガラテヤ 2:7-9）。この集会は、キリストから直接受け取った福音を宣べ伝えるパウロの独立性を確認しました。

第 2 段落: 次に、パウロはアンティオキアでのペテロとの対立について詳しく話します。ユダヤ人のキリスト教徒たちがヤコブのもとにやって来たとき、ペテロはユ

ダヤ教徒たちからの批判を恐れて異邦人の信者たちとの食事から身を引いた(ガラテヤ2:11-12)。この行動は、バルナバを含む他のユダヤ人キリスト教徒も追随するようになりました。これに応じて、パウロはペテロの偽善と福音の真理に従って生きる一貫性のなさを公に叱責しました（ガラテヤ２：１４）。

第 3 段落: この章はパウロが、義とされるのはユダヤ人の法律や習慣を守ることによってではなく、キリストへの信仰だけによってもたらされることを強調して終わります。彼は、イエス・キリストへの信仰によってのみ、律法の行いによってのみ義とされることはできないと断言しています（ガラテヤ 2:16）。彼は、信者たちがいかに律法主義的な慣行に死に、今では彼らを愛し、彼らのためにご自身をささげたキリストへの信仰によって生きているかを強調しています (ガラテヤ2:19
- 20)。パウロは、律法や儀式を守ることによって義が得られるのであれば、キリストの死は不必要だっただろう、と主張して結論づけています。

要約すると、ガラテヤ人への手紙第 2 章は、パウロとエルサレムの使徒たちとの交流と、パウロの権威とメッセージの擁護に焦点を当てています。パウロはエルサレムを訪問し、異邦人に宣べ伝えていた福音を伝え、使徒たちから肯定を得たときのことを語ります。彼は、異邦人がユダヤ人への奉仕に専念している間に、神が彼に異邦人に説教する使命を託されたことを強調した。次にパウロは、アンティオキアでペテロと対立し、そこでペテロがユダヤ人の習慣に関する偽善を公に叱責したときのことを語ります。この章は、パウロが義とされるのはユダヤ教の法律や慣習を守ることによってではなく、キリストへの信仰だけによってもたらされると断言し、信者は自分たちのためにご自身をささげたイエス・キリストへの信仰によって義とされることを強調して終わります。この章では、一致、信仰による義認、律法主義的な実践ではなく福音の真理に従って生きることの重要性を強調しています。

ガラテヤ 2:1 それから十四年後、私はバルナバと一緒に再びエルサレムに上り、テトスも連れて行きました。

パウロはエルサレムを訪れ、使徒たちと福音について話し合います。

1: たとえ犠牲を払っても、喜んで他の人に福音を分かち合うべきです。

2: 私たちは常に信仰を学び成長することにオープンであるべきです。

1: 使徒 18:23-21 - パウロは福音を宣べ伝えるために会堂を訪れますが、ユダヤ人たちの反対に直面します。

2: マタイ 28:18-20 - イエスは私たちに、行ってすべての国の人々を弟子にするように命じられました。

ガラテヤ人への手紙 2:2 それから、私は啓示によって上って、異邦人に宣べ伝えているその福音を彼らに伝えましたが、いかなる手段を使っても無駄に逃げたり、逃げたりしたことが無駄にならないように、評判の高い人たちには内密に伝えました。

パウロは神の啓示によってエルサレムに行き、異邦人に宣べ伝えた福音を評判の高い人々に密かに伝えました。

1. たとえそれが個人的なものであっても、恐れずに自分の信仰を分かち合ってください。

2. 神はご自身の意志を実現するための勇気と資源を与えてくださいます。

を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。アーメン。

2. イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

ガラテヤ 2:3 しかし、私と一緒にいたテトスもギリシャ人でしたので、割礼を受けることを強制されませんでした。

パウロは、異邦人とユダヤ人の間の理解を強めるために、ギリシャ人のクリスチャンであるテトスとともにエルサレムに旅行しました。

1: 私たちは、違いによって分断されるのではなく、団結して協力するよう努めるべきです。

2: 私たちは他人を違いによって判断すべきではなく、むしろお互いから学ぶことにオープンであるべきです。

1: ローマ人への手紙 12:18 - ?あなた次第で、みんなと平和に暮らすことは可能です。

2: コロサイ 3:14 - ?何よりも愛を身に着けて、私たち全員を完璧な調和で結び付けてください。

ガラテヤ人への手紙 2:4 また、偽の兄弟たちが、私たちを奴隷にしようとして、キリスト・イエスにあって私たちが持っている自由を偵察するためにひそかにやって来て、気づかずに連れてこられたためです。

パウロは、信者がキリストにある自由を享受できるようにするのではなく、信者を奴隷にしようとしている偽の兄弟たちに対して警告しています。

1: イエスは束縛から救われる: ガラテヤ人へのパウロの警告

2: キリストの自由にしっかりと立ちなさい

1: ローマ人への手紙 8:1-2 ?したがって、ここでは、キリスト・イエスにある人々に対する非難はありません。なぜなら、いのちの御霊の法則が、キリスト・ イエスにおいてあなたを罪と死の法則から解放したからです。

2: ヨハネ 8:36 ? 쏶 o 御子があなたを自由にしてくれるなら、あなたは本当に自由になるでしょう。

ガラテヤ 2:5 私たちは、一時間も服従することなく、この人に場所を譲りました。それは、福音の真理があなたに伝わり続けるためです。

異なる意見や信念に屈するよう圧力がかかっても、福音の真理は保たれるべきです。

1. 信仰によって生きる: 福音の真理にしっかりと立つ

2. 福音を受け入れる: 妥協を許さない

1. ローマ人への手紙 1:16-17 - 私は福音を恥とは思っていません。なぜなら、福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人を含め、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。

2. ヨハネ 8:31-32 - そこで、イエスは自分を信じたユダヤ人たちにこう言いました。あなたが私の言葉に従うなら、あなたは真の私の弟子であり、真実を知り、真実はあなたを自由にするでしょう。

ガラテヤ人への手紙 2:6 しかし、会議に参加しているように見えた人たちのうち、（彼らが何であれ、それは私には問題ではありません。神は人の人間を受け入れません:)

パウロは人々の目に重要と思われる人々の地位を認めていますが、神は人生における地位に基づいて誰も受け入れません。

1. 神の目には私たちは皆平等です

2. 神はえこひいきを示さない

1. ローマ人への手紙 2:11 - 神には偏りがないからです。

2. コロサイ 3:25 - しかし、悪を行う者には、その行いに対して報いが与えられ、不平等はありません。

ガラテヤ人への手紙 2:7 しかし、それとは反対に、割礼の福音がペテロに与えられたのと同じように、無割礼の福音が私にも与えられたのを見たとき、彼らはこう言いました。

パウロは使徒たちの前で、信仰による義認の福音を弁護しようとしました。

1: 私たちは律法の行いによってではなく、信仰によって義とされるのです。

2: 私たちは、状況や背景に関係なく、キリストにあって平等です。

1: エペソ人への手紙 2:8-9 (なぜなら、あなたがたは信仰によって恵みによって救われているからです。それは自分自身によるものではありません。それは神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。)

2: ローマ人への手紙 10:11-13 (聖書にはこう書いてあります。「彼を信じる者は、だれでも恥じることはありません。ユダヤ人とギリシャ人の間に違いはありません。すべての同じ主が、ご自分を呼び求めるすべての人を富ませてくださるからです。」主の御名を呼び求める者は救われるからである。）

ガラテヤ 2:8 (ペテロにおいて割礼の使徒職に効果的に尽力した人は、異邦人に対しても同じことが私の中で力強かったです。)

パウロは、背景の違いにもかかわらず、信者間の一致を強調しています。

1: 神の愛は、背景に関係なく、私たち全員を結び付けます。

2: 神の恵みは、誰であろうと、すべての信者に十分です。

1: コロサイ 3:11 - 「ギリシャ人もユダヤ人も、割礼も無割礼も、野蛮人もスキタイ人も、奴隷も自由もないところには、キリストがすべてであり、すべてのうちにおられます。」

2: エペソ人への手紙 2:14??6 - 「神は私たちの平和であり、その両方を実現し、私たちの間の隔壁の真ん中の壁を打ち破り、その肉体において敵意を、そして平和に含まれている戒めの律法さえも取り除いてくださったのです。それは、自分の中に一人の新しい人を造り、平和を作るためであり、十字架によって二人を一つの体として神に和解させ、それによって敵意を滅ぼすためである。」

ガラテヤ 2:9 そして、柱のようなヤコブ、ケファ、ヨハネが、私に与えられた恵みを見て、私とバルナバに交わりの右手を与えてくれました。それは、私たちが異教徒のところに行き、彼らが割礼を受けるべきであるということです。

教会内で尊敬されている三人の会員であるヤコブ、ケファ、ヨハネは、パウロとバルナバに与えられた恵みを認識し、異邦人のところへ、そして彼らがユダヤ人のところへ行くための交わりの右手を彼らに与えました。

1. 教会における一致の重要性

2. 神の恵みを認識し、それを他の人々と分かち合う

1. エペソ人への手紙 4:1-6

2. ピリピ人への手紙 2:1-4

ガラテヤ 2:10 私たちが貧しい人々のことを忘れないよう望んでいるのは彼らだけです。私もそれを楽しみにしていました。

パウロはガラテヤの人々に貧しい人々のことを忘れないよう思い出させます。

1: 私たちは貧しい人々のことを忘れず、彼らに対して寛大であるべきです。

2: 私たちは困っている人たちに思いやりと寛大さを示すべきです。

1: ヤコブ 2:14-17 - 行いのない信仰は死んだものです。

2: マタイ 25:31-46 - イエスは諸国民の裁きについて語られます。

ガラテヤ人への手紙 2:11 しかし、ペテロがアンティオキアに来たとき、私は彼に非難されるべきだったので、彼に面と向かって反論しました。

パウロはペテロの偽善的な行動を非難しました。

1. 誠実な生活のための基盤を築く

2. 私たちの行動に対する説明責任を受け入れる

1. 箴言 10:9 - 誠実に歩む者は確実に歩む、だが道を曲げる者は知られるようになる。

2. マタイ 5:37 - あなたの「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」にしてください。なぜなら、これらを超えるものはすべて悪からのものだからです。

ガラテヤ人への手紙 2:12 というのは、ヤコブからその人たちが来る前に、彼は異邦人たちと一緒に食事をしていましたが、彼らが来ると、割礼の者たちを恐れて、身を引いて離れていったからです。

ペテロは異邦人と一緒に食事をしていましたが、ヤコブが到着すると、割礼の人々を恐れて身を引いて離れていました。

1. 恐怖が私たちを分離に導いてはなりません - ガラテヤ 2:12

2. 団結の強さ - ガラテヤ 2:12

1. エペソ人への手紙 2:14-16 - なぜなら、神は私たちの平和であり、その両方を実現し、私たちの間の隔壁の真ん中の壁を打ち破られたからです。彼の肉体において敵意、さらには儀式に含まれる戒めの律法さえも廃止した。なぜなら、自分の中に一人の新しい人間を作り、そうして平和を作るからである。そして、彼が十字架によって敵意を殺し、両者を一つの体として神と和解させるためであった。

2. 詩篇 133:1 - 見よ、兄弟たちが団結して一緒に住むことは、なんと素晴らしいことであり、なんと楽しいことでしょう。

ガラテヤ 2:13 他のユダヤ人たちも同様に彼に対して反対した。バルナバもまた、彼らの真似に夢中になったほどでした。

パウロはペテロの異邦人に対する行動が偽善的であると叱責しました。

1. 偽善の危険性: 真実の信仰のための私たちの行動を検討する

2. バルナバ: 偽りの教義に従う例

1. マタイ 23:27-28 - ?偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたたちに感謝します！というのは、あなたは白塗りの墓のようなもので、表面的には美しく見えますが、中は死人でいっぱいですか？骨とあらゆる不浄。つまり、あなたも他人には表面的には正義に見えますが、心の中では偽善と不法に満ちています。

2. 箴言 26:24-26 - ?憎む者は口先で身を隠し、心の中に欺瞞を抱く。彼が親切に話すとき、彼を信じてはいけません。彼の心の中には七つの忌まわしいものがあるからです。憎しみを欺瞞で覆い隠すも、その悪事は議会で暴かれることになる!?

ガラテヤ人への手紙 2:14 しかし、彼らが福音の真理に従って正しく歩いていないのを見たとき、私は彼ら全員の前でペテロにこう言いました。なぜあなたは異邦人にユダヤ人と同じように生きることを強要するのですか？

パウロは、ペテロ自身がユダヤ人の習慣を守らなかったにもかかわらず、異邦人にユダヤ人の習慣に従うことを強要したとしてペテロを叱責しました。

1. イエス・キリストの福音に従って正しく生きる

2. 他者に文化を押し付ける危険性

1. ローマ人への手紙 2:1-3 - したがって、おお、あなたが誰を裁くとしても、あなたは許しがたいのです。裁くあなたも同じことをするからです。

2. 1 コリント 9:19-23 - 私はすべての人から自由であるにもかかわらず、より多くのものを得るために、自分をすべての人に仕えてきたからです。

ガラテヤ 2:15 私たちは生まれながらのユダヤ人であり、異邦人の罪人ではありません。

パウロはガラテヤ人への手紙の中で律法主義に対して戒めています。

1. 私たちの生活における恵みの力

2. 信仰によって律法主義を克服する

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です。

2. ローマ人への手紙 3:20 - 律法を通して罪の知識が得られるため、律法の行ないによって人間は義とされることはありません。

ガラテヤ 2:16 人間は律法の行いによってではなく、イエス・キリストの信仰によって義とされると知っているので、私たちも、行いによってではなく、キリストの信仰によって義とされるために、イエス・キリストを信じてきました。律法について：律法の行ないによっては、いかなる肉体も義とされないからである。

パウロは、救いは律法に従うことによってではなく、イエス・キリストへの信仰だけによってもたらされると教えています。

1. 信仰によって義とされる: ガラテヤ 2:16 の背後にある真実

2. イエスによる救い: 信仰はどのようにして義認に至るのか

1. ローマ人への手紙 3:20-24 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物であり、

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

ガラテヤ 2:17 しかし、もし私たちがキリストによって義とされるよう努めながら、私たち自身も罪人であることが判明したとしたら、それゆえにキリストは罪の奉仕者なのでしょうか。神は禁じます。

パウロは、キリストに従うということは罪人であることを意味するのかと尋ね、そうではないと答えます。

1. 十字架の強さ: イエスはどのようにして私たちの罪を克服されたか

2. キリストにおける新しい命: 福音に従ってどのように生きるか

1. ローマ人への手紙 8:1-2 - 「ですから、今ではキリスト・イエスにある者には罪に定められることはありません。命の御霊の法則が、キリスト・イエスにあってあなたを罪と死の法則から解放したからです。」

2. ヨハネ第一 1:9 - 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」

ガラテヤ人への手紙 2:18 なぜなら、もし私が破壊したものを再び建てるなら、私は自分自身を違反者にしてしまうからです。

パウロは、違反者になってしまうため、破壊された習慣に戻ることを警告しています。

1. 神が破壊したものを再建してはなりません - ガラテヤ 2:18

2. 神に従い、罪を避けてください - ローマ人への手紙 6:12-13

1. ローマ 6:12-13: 「ですから、罪があなたの死ぬべきからだを支配し、その欲望に従うようにしてはなりません。また、自分の肢体を罪の不義の道具として差し出さず、自分自身をありのままの姿で神に差し出しなさい。」死者の中から生き返り、あなたの会員は神への義の道具となるのです。」

2. マタイ 5:17-18: 「わたしが律法や預言者を滅ぼすために来たと思ってはなりません。滅ぼすために来たのではなく、成就するために来たのです。はっきり言っておきますが、天地が滅びるまでは、一つです。すべてが満たされるまでは、ほんの少しの名誉も法律から除外されることはありません。」

ガラテヤ人への手紙 2:19 私は律法によって律法に対して死んでいますが、それは神に対して生きるためです。

パウロは、神のために生きるために律法に対して死んだのだと説明します。

1. 生きるために死ぬことの必要性

2. 信仰によって律法を克服する

1. ローマ 6:4-11 - したがって、私たちが死のバプテスマによってキリストとともに葬られたのは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命に生きるためです。

2. ガラテヤ 5:1-6 - キリストが私たちを自由にしてくださったのは、自由のためです。ですから、しっかりと立ち、奴隷のくびきを再び負わないようにしてください。

ガラテヤ人への手紙 2:20 私はキリストとともに十字架につけられていますが、それでも生きています。しかし、私ではなく、キリストが私の内に住んでいます。そして私が今肉体で生きている命は、私を愛し、私のためにご自身を捧げた神の御子の信仰によって生きています。

この箇所は、イエス・キリストへの信仰の力によるパウロの変化について語っています。

1.「十字架につけられた人生を生きる：イエスを信じる信仰の力」

2. 「犠牲の人生を生きる：神の子の愛」

1. ローマ 6:4-5 「ですから、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。」

2. エペソ人への手紙 4:22-24 - 「以前の生き方に属し、欺瞞的な欲望によって堕落した古い自分を脱ぎ捨て、思いを新たにし、新しい自分を着なさい。真の義と聖さにおいて神に似せて創造されたのです。」

ガラテヤ人への手紙 2:21 私は神の恵みを妨げません。もし義が律法によってもたらされるなら、キリストは無駄に死んだことになるからです。

神の恵みが挫折してはならない。もし義が律法を守ることから生まれるのであれば、イエスの死は無駄だったということになります。

1) 神の恵みの力と律法主義の無益さ。

２）イエスの死の意味と恵みを信頼することの大切さ。

1) エペソ 2:5-9 - 神の恵みは行いではなく信仰を通して与えられます。

2) ローマ人への手紙 5:1-5 - イエスへの信仰を通して恵みによって義とされました。

ガラテヤ人への手紙 3 章は、ガラテヤ人へのパウロの手紙の 3 番目の章です。この章でパウロは律法主義の問題を取り上げ、キリストへの信仰による救いを強調します。

第 1 段落: パウロはガラテヤの信者たちに挑戦することから始め、彼らが信仰の旅を始めた後に真理を放棄するなんて愚かなことがあり得るのではないかと問いかけます (ガラテヤ 3:1-5)。イエスは彼らに、彼らが律法の行いを守ることによってではなく、信仰の音信を聞いて信じることによって聖霊を受けたことを思い出させます。パウロはアブラハムを例に挙げ、彼が行いによってではなく信仰によって義とされたことを強調しています。彼は、律法のすべての側面を完璧に守ることは誰にもできないため、行いに依存する人は呪いの下にあると強調します。

第 2 段落: パウロは、キリストが信者の呪いとなることによって、律法の呪いから信者を救い出したことを説明して議論を続けます (ガラテヤ 3:13-14)。彼は、異邦人がアブラハムに対する神の約束に含まれ、祝福を受けるのは、キリストへの信仰を通してであると強調します。アブラハムに対する約束は、信じるすべての人に義と救いをもたらすイエス・キリストにおいて成就されました。パウロはさらに、救いはユダヤ教の律法を守ることによってではなく、信仰によってのみもたらされると主張します。

第 3 段落: この章は、神が律法を与えた理由をパウロが説明することで終わります。彼は、キリストが来られるまで、律法は違反のために追加されたと述べています（ガラテヤ 3:19）。しかし、信仰が広まった今では、信者はそれらの律法を厳格に遵守する必要がなくなりました。彼らは皆、キリスト・イエスへの信仰によって神の子とみなされ、キリストに入るバプテスマを受けています。ユダヤ人か異邦人か、奴隷か自由人か、男性か女性かの区別はなく、誰もがキリストにあって一つに結ばれています。

要約すると、ガラテヤ人への手紙第 3 章は律法主義を扱い、ユダヤ人の法律の遵守よりも信仰による救いを強調しています。パウロはガラテヤの信者たちに、彼らが律法の行いによってではなく信仰によって聖霊を受けたことを思い出すように求めます。彼は信仰によって義とされたアブラハムの例を強調しています。パウロは、キリストの十字架の犠牲によって信者たちは律法の呪いから救われ、ユダヤ人も異邦人も祝福を受けるのはキリストへの信仰によってであると説明しています。彼は、律法はキリストが来られるまでの一時的なものであり、罪のために追加されたものであったが、今では信者は義とされ、信仰によってキリストにおいて団結している、と述べて締めくくっています。この章では、救いと律法主義的な慣行からの自由のためにキリストを信じる信仰の重要性を強調します。

ガラテヤ人への手紙 3:1 おお愚かなガラテヤ人たちよ、誰があなたがたを真理に従わせないように魔法をかけたのか、イエス・キリストがあなたがたの間で十字架につけられたのは明らかにその目の前に示されているのですか。

パウロは、十字架につけられたのを見たイエス・キリストの真理に従わなかったガラテヤ人たちを叱責します。

1. 真実に従う: 十字架につけられたキリスト

2. ガラテヤの信徒への手紙: あなたを魔法にかけたのは誰ですか?

1. ローマ人への手紙 3:21-25 - しかし今、律法に頼らない神の義が、律法と預言者によって証しされて明らかにされています。

2. コリント人への第一の手紙 2:2-5 - 私はあなたがたの間では、イエス・キリストと十字架につけられたイエス・キリスト以外のことは何も知らないと決めていたからです。

ガラテヤ人への手紙 3:2 私があなたについて知りたいのは、これだけです。あなたがたは律法の行いによって御霊を受けたのですか、それとも信仰を聞いて受けたのですか。

ガラテヤの人々は、自分たちの信仰が律法の行いによってもたらされたのか、それとも信仰を聞くことによってもたらされたのかを考えるように求められました。

1) 信仰を聞く力

2) 恵みの福音: 律法の行いと信仰

1) ローマ 10:17 - 信仰は聞くことによって生まれ、聞くことは神の言葉によって始まります。

2) エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたからです。そしてそれはあなた自身によるものではなく、神の賜物であるということ。行いの結果としてではなく、誰も誇ることがないように。

ガラテヤ 3:3 あなたがたはそんなに愚かですか。あなたがたは、御霊によって始まったが、今は肉によって完全にされたのか。

パウロはガラテヤの人々に、聖霊の力ではなく自分の努力に頼ることで霊的に完全になれると考えるほど愚かなのかと尋ねています。

1. 「聖霊の力: イエスの力を通して信仰が成長する」

2.「御霊のうちに生きる：神の力を信頼する」

1. ピリピ 2:13 - 「神は、ご自分の善い目的を達成するために、あなたの内に働いて意志を持ち、行動させてくださるのです。」

2. エペソ人への手紙 2:8 - 「あなたがたが救われたのは、恵みによるものであり、信仰によるものです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。」

ガラテヤ 3:4 あなたがたは、これほど多くのことを無駄に苦しみましたか。それがまだ無駄なら。

ガラテヤ人への手紙 3 章 4 節のこの箇所は、もし信者たちの苦しみが無駄だったのであれば、信者たちの信仰は無駄だったのではないかと尋ねています。

1. 試練における信仰の力

2. 困難な時にも気を失わない

1. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。 4 忍耐力、性格。そして性格、希望。5 また、神の愛は、私たちに与えられた聖霊を通して、私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。 3 なぜなら、信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているからです。4 忍耐力を働かせて、何一つ欠けることのない成熟した完全な者となるようにしましょう。

ガラテヤ人への手紙 3:5 それで、あなたがたに御霊を与え、あなたがたの間で奇跡を行われる方は、律法の行いによって行うのでしょうか、それとも信仰を聞くことによって行うのでしょうか。

パウロは、御霊と奇跡が律法から来るのか、それとも信仰を聞くことから来るのかを問います。

1. 信仰の力: 信仰は私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 今日の私たちの生活における法の役割

1. ヘブライ 11:1、「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ローマ人への手紙 3:20-21、「律法の行ないによっては、人間は誰も自分の目に義とされないからです。律法を通して罪が分かるからです。」

ガラテヤ 3:6 アブラハムが神を信じ、それが神にとって義であるとされたのと同じです。

アブラハムは神への信仰のゆえに義と認められました。

1.信仰の力：アブラハムの模範から学ぶ。

2.神への信仰を持つこと：義への道。

1.ローマ人への手紙 4:3-4 聖書には何と書かれているでしょうか。「アブラハムは神を信じたので、それが神にとって義とみなされました。」

2.ヤコブ 2:23 そして、「アブラハムは神を信じた。そしてそれが彼にとって義とみなされていた」という聖書の言葉が成就し、彼は神の友と呼ばれました。

ガラテヤ 3:7 したがって、信仰を持つ者たちもまたアブラハムの子らであることを、あなたがたは知りなさい。

アブラハムの信仰は私たちに救いをもたらし、私たちを彼の子供とします。

1. アブラハムを通しての神の忠実さは私たちに救いをもたらします。

2. アブラハムへの信仰を通して、私たちは神の子となります。

1. ローマ人への手紙 4:16-17 したがって、それは恵みによるものであり、信仰によるものです。最後までその約束はすべての種に確かなものとなるかもしれない。律法に基づくものだけではなく、アブラハムの信仰に基づくものにもです。私たち全員の父親は誰ですか。

2. ヤコブ 2:23-24 そして、「アブラハムは神を信じたので、それが彼の義とみなされた。そして彼は神の友と呼ばれた」という聖書の言葉が成就しました。このとき、人は信仰だけによってではなく、行いによってどのように義とされるかがわかります。

ガラテヤ人への手紙 3:8 そして聖書は、神が信仰によって異教徒を義とされることを予見して、福音の前にアブラハムに宣べ伝えて、こう言いました、「あなたによってすべての国民は祝福されるでしょう。」

聖書は、神が信仰によって異教徒を義とされることを予見し、アブラハムに福音を宣べ伝え、神によってすべての国民が祝福されると宣言しました。

1. 神の救いの計画に対する信仰の力

2. アブラハムにおけるすべての国民への祝福の約束

1. 創世記 12:2-3、そして、わたしはあなたを偉大な国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を偉大なものとします。そうすればあなたは祝福となるでしょう：そして私はあなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者を呪います：そしてあなたによって地球のすべての家族が祝福されるでしょう。

2. エペソ人への手紙 2:11-13、したがって、あなたがたは、肉体の異邦人を過ぎて、手でなされた肉体の割礼と呼ばれるものによって無割礼と呼ばれていることを覚えておいてください。その時、あなたがたはキリストもなく、イスラエル連邦からの異邦人であり、約束の契約からもよそ者であり、何の希望も持たず、この世に神もいなかった。しかし、今では、キリスト・イエスにあって、時には遠く離れていたあなたがたも近くに来られるのである。キリストの血によって。

ガラテヤ人への手紙 3:9 ですから、信仰を持つ者は忠実なアブラハムによって祝福されます。

神はアブラハムを祝福したように、神を信じる者を祝福します。

1: 信仰は祝福をもたらします。

2: アブラハムの信仰は祝福によって報われました。

1: ヘブライ 11:8-10 - 「アブラハムは、相続地として受け取る場所に行くように召されたとき、信仰によって従った。そして彼はどこへ行くのかも知らずに出て行きました。信仰によって、彼は外国にいるかのように約束の地に住み、同じ約束の相続人であるイサクとヤコブと一緒に天幕に住みました。なぜなら彼は、神が建設者であり造り手である、基礎のある都市を待っていたからである。」

2: ローマ 4:20-21 - 「彼は不信仰によって神の約束に動揺しませんでしたが、信仰が強められ、神に栄光を帰し、神が約束されたことは実行することもできると完全に確信していました。」

ガラテヤ人への手紙 3:10 というのは、律法の行ないはすべて呪いの下にあるからです。「律法の書に書かれていることすべてを実行し続けない者は皆呪われている」と書いてあるからです。

この一節は、律法の行いに頼る者は呪いの下にあると述べています。

1. 自分の行いではなく主を信頼する

2.作品依存の呪い

1. ローマ人への手紙 4:13-17

2. ヤコブ2:14-26

ガラテヤ 3:11 しかし、神の前に律法によって義と認められる人は誰もいないことは明らかです。義人は信仰によって生きるからです。

義とされるのは、律法ではなく、神への信仰によってのみ得られます。

1: 信仰による義認 - ガラテヤ 3:11

2: 信仰によって生きる - ガラテヤ 3:11

1: ローマ 1:17 - 「福音の中で神の義が明らかにされています。それは、「義人は信仰によって生きる」と書かれているとおり、最初から最後まで信仰による義です。

2: ヘブライ人への手紙 10:38 - 「しかし、わたしの義人は信仰によって生きる。わたしは尻込みする人を喜ばない。」

ガラテヤ人への手紙 3:12 律法は信仰によるものではありません。しかし、律法を行う人は律法のうちに生きるのです。

律法は信仰によって救いをもたらすのではなく、律法に従う者は命を得るのです。

1. 従順の力: 律法を守ることが命を与える効果を理解する

2. 不服従の結果: 法律を尊重し、従うことを学ぶ

1. ローマ 10:5-8 - モーセは律法に基づく義について、戒めを守る人はそれに従って生きると書いているからです。

2. ヤコブ 2:10-13 - 律法全体を守っていても、一点で失敗する者は、そのすべてに対して責任を負うことになるからです。

ガラテヤ人への手紙 3:13 キリストは、私たちのために呪いとされて、律法の呪いから私たちを救い出してくださいました。「木にぶら下がっている者は皆呪われている」と書いてあるからです。

キリストは私たちのために呪いとなることによって、私たちを律法の呪いから救い出してくださいました。

1.「キリストの救い：すべての人への祝福」

2.「イエスの犠牲：私たちの呪いを背負って」

1. エペソ 1:7 - 私たちはこの方にあって、その血による救い、彼の豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

2. イザヤ書 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために突き刺されました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に与えられた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。

ガラテヤ 3:14 それは、アブラハムの祝福がイエス・キリストを通して異邦人に及ぶためです。それは、私たちが信仰を通して御霊の約束を受けるためです。

アブラハムの祝福はイエス・キリストを通して異邦人に与えられ、御霊の約束は信仰を通して受けられます。

1. イエス・キリストを通してアブラハムの祝福を受ける方法

2. 信仰による御霊の約束

1. ローマ 4:13-16 - アブラハムとその子孫に対する、彼が世の相続人になるという約束は、律法によってではなく、信仰の義によってなされたからです。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

ガラテヤ 3:15 兄弟たち、私は人間の作法に従って話します。それは人間の契約にすぎませんが、それが確認されたとしても、誰もそれを破棄したり、それに追加したりすることはありません。

この一節は契約の有効性について述べており、契約には拘束力があり、無効にしたり変更したりすることができないことを示しています。

1. 揺るぎない神の契約 - 神と人類との契約の永遠かつ取り消し不能な性質を探ります。

2. 合意の強さ - なぜ人間の合意が神からの合意と同じくらい拘束力があるのかを考察します。

1. エレミヤ 32:40 - 「そして、わたしは彼らと永遠の契約を結び、彼らに良いことをするために彼らから離れない。しかし、わたしは彼らの心に恐れを置き、彼らがわたしから離れないようにする。」」

2. ヘブライ 13:20 - 「さて、平和の神は、永遠の契約の血によって、あの偉大な羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせてくださいました。」

ガラテヤ人への手紙 3:16 さて、アブラハムとその子孫には約束がありました。彼は、「多くの種子と同様に、種子にも」とは言いません。しかし、一人として、そしてあなたの種、つまりキリストに対して。

その約束はアブラハムとその子孫であるキリストに対してなされました。

1. 神の約束はイエス・キリストを通して果たされる

2. アブラハムと神との契約の重要性

1. ローマ人への手紙 4:13-17

2. 創世記15:1-6

ガラテヤ人への手紙 3:17 そして、私はこう言います。キリストにおいて神の前で確認された契約、つまり四百三十年後に制定された律法は、無効にすることはできず、その約束は何の効力も持たないということです。

神がキリストにおいて結ばれた契約は、律法が四百三十年後に制定されたとしても、取り消すことはできません。

1. 神の契約の力と不変性

2. 神の契約は取り消すことができない

1. ヘブライ 13:20-21 - 永遠の契約の血によって、羊の大羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた平和の神が、あなたがご自分の行いをするために、すべての良いものを備えてくださいますように。イエス・キリストを通して、神の目に喜ばれることを私たちの内に働かせて、永遠に栄光がありますように。アーメン。

2. イザヤ書 55:3 - 耳を傾けて、わたしのところに来なさい。聞いてください、あなたの魂が生きられるように。そして私はあなたと永遠の契約を結び、ダビデに対する私の揺るぎない確かな愛を結びます。

ガラテヤ人への手紙 3:18 なぜなら、相続財産が律法によるものであれば、それはもはや約束ではありません。しかし、神はそれを約束によってアブラハムに与えたのです。

この箇所は、相続財産が律法によって与えられたのであれば、それは神からの約束ではないことを説明しています。代わりに、神は約束を通してアブラハムにそれを与えました。

1. 神の約束は信頼できるものです。

2. 法律は神の約束の力に代わるものではありません。

1. 創世記 22:15-18 - アブラハムに対する神の約束。偉大な国を築くというもの。

2. ローマ人への手紙 4:13-17 - 律法の行ないではなく、信仰による義とされるという約束。

ガラテヤ 3:19 それでは、なぜ律法に仕えるのでしょうか。それは、約束がなされた種が来るまで、違反のために追加されました。そしてそれは仲介者の手によって天使によって定められたものでした。

この律法は、約束の胤が到来するまで違反を抑制するために追加されました。それは仲介者を通して天使によって与えられました。

1. 律法の賜物: 罪に対する神の備え

2. 果たされた約束: イエス、私たちの仲介者

1. ローマ 8:3-4 - 律法が肉によって弱められたために無力だったことを、神は罪のいけにえとして罪深い肉に似せたご自身の御子を遣わすことによって成し遂げられました。そして、彼は肉における罪を非難しました。

2. ヘブライ 10:1 - というのは、律法には来るべき良いことの影があるだけで、これらの現実の真の姿はないので、毎年絶えず捧げられる同じ犠牲によって、それらを完全なものにすることは決してできないからです。近づいてくる人たち。

ガラテヤ 3:20 さて、仲介者は一人の仲介者ではありませんが、神は一人です。

ガラテヤ人への手紙のこの節は、神が人々の間の唯一の仲介者であることを説明しています。

1.「団結の力：神は唯一の仲介者である」

2.「神の独特の役割：唯一の仲介者」

1. ローマ人への手紙 5:6-11

2. テモテ第一2:5-6

ガラテヤ 3:21 それでは、律法は神の約束に反しているのでしょうか。神は禁じています。もし命を与えることができる律法が与えられていたなら、まさに義は律法によって定められたはずだからです。

律法は神の約束に反しているわけではありません。もしそうなら、それは命と義をもたらしただろう。

1. 律法と約束: ガラテヤ人への手紙 3:21 の研究

2. 神の約束を通して義と命を理解する

1. ローマ人への手紙 10:4、キリストは、信じるすべての人に義を与える律法の終わりだからです。

2. ガラテヤ 2:16、人は律法の行ないによって義とされるのではなく、イエス・キリストの信仰によって義とされると知っているので、私たちもイエス・キリストを信じました。律法の行ないによって：律法の行ないによっては、いかなる肉体も義とされないからである。

ガラテヤ人への手紙 3:22 しかし聖書は、イエス・キリストの信仰による約束が信じる者たちに与えられると、すべては罪の下にあると結論付けています。

聖書は、すべての人が罪の力の下にあると宣言しているため、信じる者にはイエス・キリストへの信仰による救いの約束が与えられます。

1. 信じる力: イエス・キリストの約束を探る

2. 罪の克服: イエス・キリストへの信仰を通して自由を見つける

1. ローマ人への手紙 3:23、「すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。」

2.エペソ2:8-9、「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分で行ったものではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

ガラテヤ人への手紙 3:23 しかし、信仰が現れるまで、私たちは律法の下に置かれ、後に啓示されるはずの信仰に対して閉ざされていました。

信仰が生まれる前、人々は律法に束縛されていましたが、信仰は救いへの道として明らかにされました。

1. 信仰の追求：法の束縛から自分を解放する

2. 信仰を受け入れる: 救いの鍵

1. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

ガラテヤ 3:24 ですから、律法は私たちをキリストのもとに導き、信仰によって義とされるようにするための教師でした。

律法は、人々が信仰によって義とされるように、人々をキリストへと導くために与えられました。

1: 律法は信仰による義認をもたらす

2: 律法の目的: キリストを指す

1: ローマ 10:4 - 「キリストは、信じるすべての人に義を与える律法の終わりだからです。」

2: イザヤ書 53:11 - 「彼は自分の魂の苦しみを見て満足するだろう。彼の知識によって、私の義なる僕は多くの人を義とするであろう。彼は彼らの咎を負うからである。」

ガラテヤ 3:25 しかし、その信仰が生じた後は、私たちはもはや学校の先生の下にいません。

イエス・キリストを信じる信仰は、モーセに与えられた律法からの自由につながります。

1. イエスに対する信仰の自由

2. 神の約束を信じる力

1. ヨハネ 8:32 - 「そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

2. ローマ 8:2 - 「キリスト・イエスにある命の御霊の法則が、私を罪と死の法則から解放してくださったからです。」

ガラテヤ人への手紙 3:26 あなたがたは皆、キリスト・イエスを信じる信仰によって神の子であるからです。

すべての人は、イエス・キリストへの信仰を通して神の子です。

1. 父の愛: キリストにおける私たちのアイデンティティを理解する

2. 所属することの美しさ: 神の家族における私たちの団結

1. ヨハネ 1:12-13 - しかし、イエスを受け入れたすべての人、その名を信じた人には、イエスは神の子どもとなる権利を与えられました。

2. エペソ人への手紙 2:19-20 - ですから、あなたがた異邦人は、もはやよそ者でも外国人でもありません。あなた方は神の聖なる民全員と同じ国民です。あなたたちは神の家族の一員です。

ガラテヤ 3:27 なぜなら、キリストに結ばれるバプテスマを受けたあなたがたの多くは、キリストを着ているからです。

キリストを信じる者は、キリストに結ばれるバプテスマを受け、キリストを着た者として認識されます。

1. キリストを着る: イエスに従うとはどういう意味かを理解する

2. 洗礼: キリストと一つになることの象徴

1. ローマ人への手紙 6:3-4 - 「キリスト・イエスにバプテスマを受けた私たち全員が、死のバプテスマを受けたことを知らないのですか。したがって、私たちは、キリストがそうであったように、死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。御父の栄光によって死者の中からよみがえらされたなら、私たちもまた新たな命の中を歩むことができるでしょう。」

2. コロサイ 2:11-12 - 「あなたがたもキリストにあって、肉の体を脱ぎ捨てることによって、手を使わずに割礼を受け、キリストの割礼によって洗礼を受けてキリストとともに葬られ、その中に埋葬されました。彼らもまた、彼を死者の中からよみがえらせた神の力強い働きへの信仰によって、彼とともによみがえったのです。」

ガラテヤ人への手紙 3:28 そこにはユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

キリスト・イエスにおいては、人種、社会的地位、性別による人々の区別はありません。

1.「キリストにおける一致：社会の分裂を拒絶する」

2.「キリストにおけるすべての者の平等」

1. ローマ人への手紙 10:12-13 - 「ユダヤ人とギリシャ人の間には区別がないのです。なぜなら、同じ主がすべての主であり、ご自分を呼び求めるすべての人にその富を与えてくださるからです。『主の御名を呼び求める者は皆救われる』からである。」

2. コロサイ人への手紙 3:11 - 「ここには、ギリシャ人もユダヤ人も、割礼の有無も、野蛮人も、スキタイ人も、奴隷も、自由人もいません。しかし、キリストはすべてであり、すべての中にいます。」

ガラテヤ 3:29 そして、あなたがたがキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束によると相続人です。

キリストを信じる者はアブラハムの子孫であり、神が彼にした約束の相続人です。

1. 神の約束: 私たちはどのようにつながっているのか

2. キリストへの信仰を通じて私たちの伝統を受け入れる

1. ローマ 4:13-17 アブラハムとその子孫に対する、彼が世の相続人になるという約束は、律法によってではなく、信仰の義によってなされたからです。

2. 使徒 3:25-26 あなたがたは預言者の子であり、神がアブラハムにこう言ってあなたがたの先祖たちと結んだ契約の子です。「あなたの子孫によって、地上のすべての家族は祝福されるであろう。」

ガラテヤ人への手紙 4 章は、ガラテヤ人へのパウロの手紙の第 4 章です。この章では、パウロは相続人と奴隷のたとえを使ってキリストにある信者の自由を説明し、律法主義的な慣行に戻ることに対して警告しています。

第 1 段落: パウロは、キリストが来られる前、信者は律法に束縛され、保護者や管理者の下に置かれた子供のようなものであったことを説明することから始めます (ガラテヤ 4:1-3)。彼はこの時期を、世界の基本原則の下で奴隷にされていたことに例えています。しかし、時が満ちると、神は律法の下にある人々を贖うために、女性から生まれ、律法のもとに生まれた御子を遣わされました。この贖いを通して、信者は神の息子、娘として養子縁組を受けます。

第 2 段落: パウロは続けて、彼らのかつての異教の慣習について言及します。彼は、彼らがかつては偶像の奴隷であったが、今ではキリストを通して神を知るようになったということを思い出させます（ガラテヤ 4:8-9 ）。彼は、特定の日、月、季節、年を観察することによって、それらが弱く価値のない原則に戻りつつあるという懸念を表明しています。彼は、彼らの間での自分の努力が無駄になったのではないかと心配している。

第 3 段落: この章は、旧約聖書のハガルとサラを比較する寓話で終わります。ハガルはモーセが律法を受けたシナイ山を表し、サラは自由の象徴として上にあるエルサレムを表します(ガラテヤ4:21-26)。パウロは、律法の行いに頼る人々は、ハガルを通して肉に従って生まれた子供のようなもの、つまりイサクとともに相続しない子供たちであると説明しています。しかし、信者はイサクのような約束の子であり、キリストへの信仰によって生まれ、束縛から自由です。

要約すると、ガラテヤ人への手紙第 4 章は、キリストにある信者の自由を強調し、律法主義的な実践に戻ることに対して警告するために、たとえや寓意を用いています。パウロは、信者たちがかつては保護者の元で子どもとして法律に拘束されていたが、今ではキリストの救いによって神の息子、娘として養子縁組を受けたことを説明します。彼は、彼らが異教の習慣や特定の日、月、季節、年の遵守に戻る傾向について懸念を表明しています。パウロはハガルとサラの寓意を用いて、律法の行いに

頼る者（ハガル）と、キリストへの信仰によって約束の子となる者（サラ）との違いを説明しています。この章では、信者が律法主義から解放され、キリスト・イエスへの信仰を通して約束の子としてのアイデンティティを強調します。

ガラテヤ 4:1 さて、私は言います、相続人は、たとえすべての人の主人であっても、子供である限りは召使と何ら変わりません。

相続人と使用人は、相続人が成人に達するまで同じ地位を保ちます。

1: ガラテヤ人への手紙の相続人と僕の例から、神が私たちの人生について計画を持っており、私たち全員が信仰と成熟において成長し、変化していることを学ぶことができます。

霊的に成熟するまでは召使と同じ立場にあることを思い出させています。

1: ルカ 2:52 - 「イエスは知恵も身長も増し、神と人に好意を持たれた。」

2: 2 コリント 3:18 - 「しかし、わたしたちは皆、主の栄光を、鏡の中のように顔を開けて見ながら、主の御霊によって、栄光から栄光へと、同じ姿に変えられていきます。」

ガラテヤ 4:2 しかし、父の定めの時までは、家庭教師や総督の下に置かれます。

人々は神の定められた時まで権威ある人物に服従します。

1. 神のタイミングへの道として権威に従う

2. 自分の人生に対する神のタイミングを信頼する

1. エペソ人への手紙 6:1-3 - 「子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。『あなたの父と母を敬え』――これは約束を伴う第一の戒めである――『そうすればあなた方はうまくいき、地上で長生きを楽しめるようになる。』

2. ローマ 12:1-2 - 「ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい礼拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。」

ガラテヤ 4:3 とはいえ、私たちも子どもの頃、世のさまざまな要素の下で奴隷にされていました。

パウロはガラテヤの人々に、自分たちの霊的幼少期と、どのようにして世俗的な欲望の奴隷になっていたかを思い出すよう勧めています。

1: 自分の霊的幼少期を思い出し、世俗的な欲望から目を背けましょう。

2: あなたを世の束縛から解放してくださる主に信頼してください。

1: ローマ 6:16-17 - 死ぬべきからだの中で罪が支配し、その邪悪な欲望に従わないようにしてください。自分の一部を悪の道具として罪に捧げるのではなく、死から命に戻された者として自分自身を神に捧げてください。そして自分のすべての部分を義の道具として神に捧げなさい。

2: 箴言 29:18 - 先見のないところに民は滅びます。しかし、律法を守る者は幸いです。

ガラテヤ人への手紙 4:4 しかし、時が満ちたとき、神は律法のもとに女で造られた御子を遣わされました。

神は完璧なタイミングで御子イエス・キリストを遣わされました。

1: 神の完璧なタイミング - 私たちの人生における神のタイミングを理解する

2: イエスが女性から作られたとはどういう意味ですか?

1: エペソ人への手紙 1:11 - わたしたちもキリストにあって選ばれ、すべてをご意志の目的にかなって実現される方の計画に従ってあらかじめ定められていたのです。

2: ローマ 8:28 - そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

ガラテヤ人への手紙 4:5 律法の下にあった人々を贖って、私たちが養子縁組を受けることができるようにするためです。

神は人類を救い、神の養子になれるよう御子を遣わされました。

1. 神の家族に養子として迎えられる: 救われる喜び

2. 新しいアイデンティティ：律法から解放され、神の子となる

1. ローマ人への手紙 8:14-17 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. ヨハネ 1:12 - しかし、イエスを受け入れたすべての人、その名を信じた人には、イエスは神の子となる権利を与えられました。

ガラテヤ 4:6 そして、あなたがたは息子であるため、神は御子の御霊をあなたがたの心に送り出し、「アバ、父よ」と叫びました。

神は、子供たちが神を「アバ父」と叫び叫ぶことができるように、聖霊を神の子供たちの心の中に住まわせるために遣わされました。

1.「神に向かって叫びます：神を『アバ・ファーザー』と呼ぶことを学ぶ」

2.「聖霊の慰め：神をアバ父として知る」

1. ローマ 8:15-17 - あなたがたは、再び恐怖に陥る奴隷の霊を受けたのではなく、養子として養子となる霊を受けたのです。その霊によって、私たちは「アバ！」と叫びます。父親！"

2. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

ガラテヤ人への手紙 4:7 したがって、あなたはもはや僕ではなく、息子なのです。そして息子であれば、キリストを通して神の相続人となる。

神は私たちを奴隷状態から解放し、キリストを通して私たちを神の国の息子、相続人としてくださったのです。

1.「子としての自由：キリストを通しての神の賜物」

2.「神の国の相続者たち：恵みの継承」

1. ヨハネ 1:12 - しかし、イエスを受け入れたすべての人、その名を信じた人には、イエスは神の子どもとなる権利をお与えになりました。

2. ローマ 8:17 - もし子供であれば、相続人、つまり神の相続人であり、キリストとの仲間の相続人です。ただし、私たちもキリストと共に栄光を受けるために、キリストと共に苦しみます。

ガラテヤ人への手紙 4:8 ところが、あなたがたが神を知らなかったとき、本来神ではない人々に奉仕したのです。

パウロはガラテヤの人々に、かつての偶像崇拝の生活に逆戻りしないよう警告しています。

1. 偶像崇拝の危険性 - ガラテヤ 4:8

2. 無知の結果 - ガラテヤ 4:8

1. ローマ 1:18-23 - 人間のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から明らかにされます。

2. エレミヤ 10:3-5 - 人々の習慣は空しいのです。人は森から木を切り出し、職人の手で斧を使います。

ガラテヤ 4:9 しかし、あなたがたは神を知った、あるいはむしろ神のことを知った後、どうやって再び弱者や物乞いの要素に向かい、再び束縛されることを望むのでしょうか。

パウロはガラテヤの人々に、なぜ彼らが神の知識と自由から背を向け、かつての奴隷制と束縛の道に戻るのかと質問しています。

1. 選択の力: 神に従う自由

2. 束縛の鎖からの解放

1. ローマ 6:17-18 - しかし、神に感謝すべきは、あなたがたが罪の僕であったにもかかわらず、あなたに伝えられたこの形式の教義に心から従ったことです。その後、罪から解放されて、あなたがたは義の僕となりました。

2. マタイ 11:28-30 - すべて働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。私のくびきを負って、私のことを学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった者だから、あなたがたは魂に安らぎを得るだろう。私のくびきは軽く、私の荷は軽いからです。

ガラテヤ 4:10 あなたがたは、日、月、時、年を守っています。

パウロはガラテヤの人々に、神の好意を得る方法として特別な日や祝日を守ることに頼らないように注意するよう勧めています。

1. 救いのために業に依存するのは逆効果

2. 信仰だけの力

1. ローマ人への手紙 10:9-11 (もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心で義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るものである。聖書にはこう書いてある、「彼を信じる者はだれでも恥じることはない。」）

2. エペソ人への手紙 2:8-9 (なぜなら、あなたがたは信仰によって恵みによって救われているからです。それは自分自身によるものではありません。それは神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。)

ガラテヤ人への手紙 4:11 私はあなたがたを恐れています。あなたがたに与えた労苦が無駄になるのではないかと思います。

パウロは、ガラテヤの人々に福音を宣べ伝える努力が無駄になったのではないかと心配しています。

1. 忍耐の価値 - 神への奉仕において忠実であり続けることの重要性を理解する。

2. 福音の力 - 福音の力がどのように人々の生活に影響を与えるかを探ります。

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. 詩篇 127:1 - 「主が家を建てない限り、家を建てる者の労苦は無駄である。」

ガラテヤ 4:12 兄弟たち、お願いです。ありのままでいてください。なぜなら、私はあなたがたと同じだからです。あなたがたは私を少しも傷つけていません。

パウロはガラテヤの人々に自分に倣うよう勧め、自分は何も悪いことをしていないと彼らを安心させます。

1. 模倣の力: 信仰の模範としてパウロに倣う

2. 許しの重要性: 過去の傷を手放すこと

1. ローマ 12:2 - 「この世の型に従うのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。」

2. コロサイ 3:13 - 「あなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、赦しなさい。」

ガラテヤ人への手紙 4:13 あなたがたは、私が最初に、どのようにして肉体の弱さを通してあなたがたに福音を宣べ伝えたかを知っています。

パウロは、最初は体が弱かったにもかかわらず、ガラテヤの人々に福音を宣べ伝えたときのことを語ります。

1. 神の業を行うために身体的な弱点を克服する

2. 逆境にもかかわらずイエスに従う勇気

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. コリント人への第二の手紙 12:9-10 - 「そして彼は私に言った、『わたしの恵みはあなたには十分です。わたしの力は弱さの中でこそ完全にされるからです。ですから、私はむしろ喜んで自分の弱さを誇ります。キリストの力が発揮されるように。私の上に休んでください。」

ガラテヤ人への手紙 4:14 そして、あなたがたは、私の肉体の中にあった私の誘惑を、軽蔑したり、拒否したりしませんでした。しかし私を神の天使として、さらにはキリスト・イエスとして受け入れてくれました。

パウロは、困難や誘惑にもかかわらず、自分を受け入れてくれたガラテヤの人々を称賛します。

1: ガラテヤの人々がパウロに対して持っていたのと同じように、私たちも他人を寛大に受け入れるべきです。

2: 弱さや誘惑があるにもかかわらず、すぐに誰かを判断したり拒否したりすべきではありません。

1: ローマ人への手紙 15:7 ーですから、神の栄光のために、キリストがあなたがたを歓迎してくださったように、互いに歓迎しなさい。

2: ヤコブ 2:1 - 兄弟姉妹の皆さん、私たちの栄光の主イエス・キリストへの信仰を持ち続けるときに、えこひいきをしないでください。

ガラテヤ 4:15 それでは、あなたがたの言っている祝福はどこにあるのでしょうか。というのは、もしそれが可能であったなら、あなたがたは自分の目をくり抜いて、それを私に与えただろうということを記録しておきます。

ガラテヤ人へのパウロの勧めは、パウロに対する愛と忠誠を示すことです。

1. キリスト教の愛における忠誠心: 他人の利益のために犠牲的な決断を下す。

2. 自己犠牲への呼びかけ: 言葉を超えて行動へ。

1. ピリピ人への手紙 2:7-8 - しかし、自分自身を何の評判も持たず、召使いのような姿をとり、人間に似せて造られました。死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順です。

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたは自分の体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとして捧げてください、それがあなたがたの当然の奉仕です。そして、この世に順応するのではなく、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして変えられなさい。

ガラテヤ人への手紙 4:16 ですから、私はあなたがたに真実を告げたからといって、あなたの敵になるのでしょうか。

パウロはガラテヤの人々に、自分が正直に話したために彼らの敵になったのではないかと尋ねます。

1. たとえ人々が聞きたくない内容であっても、正直に話しましょう。

2. たとえそれが敵のように見えるとしても、真実を話すことを恐れてはなりません。

1. 箴言 12:17-19 - 真実を語る者は正しいことを語りますが、偽りの証人は欺きます。

2. コロサイ 3:9-10 - 互いに嘘をついてはなりません。なぜなら、あなたがたは慣習とともに古い自分を脱ぎ捨て、創造者の似姿に倣い知識において新たにされつつある新しい自分を着ているからです。

ガラテヤ 4:17 彼らはあなたに熱心な影響を与えますが、良い影響は与えません。そう、あなたが彼らに影響を与えるために、彼らはあなたを排除するでしょう。

パウロはガラテヤ人たちに、自分たちの利益のためにガラテヤ人たちを操作していた偽教師たちに対して警告しています。

1: あなたを操作しようとする偽教師から心を守ってください。

2: パウロの模範に従い、神の言葉の真理にしっかりと立ちなさい。

1: エペソ人への手紙 4:14、「私たちは今後、あらゆる教義の風や人間の策略、そして騙そうと待ち伏せする狡猾な悪知恵によって、あちこちに翻弄され、振り回される子供ではなくなるのです。」

2: エレミヤ 17:9、「心は何よりも欺瞞的で、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。」

ガラテヤ 4:18 しかし、私があなたがたと一緒にいるときだけでなく、常に良いことに熱心に影響を受けるのは良いことです。

パウロはガラテヤの教会に、常に信仰に熱心であるよう勧めています。

1. 熱心な信仰に生きる

2. 良い行いに忠実であり続ける

1. マタイ 24:12-13 - 忠実さは報われるというイエスの警告。

2. ヘブライ 10:22-25 - 神の約束に忠実であり続けることの大切さ。

ガラテヤ人への手紙 4:19 私の幼い子供たちよ、あなたがたのうちにキリストが形づくられるまで、私は彼らを再び産むために苦労します。

パウロは、ガラテヤの人々が心の中にキリストを形成してほしいという願いを表明しています。

1: 私たちは皆、心の中にキリストを形づくるように努めるべきです。

2: パウロがガラテヤの人々に対して抱いていた愛を決して忘れてはなりません。

1: エペソ人への手紙 4:20-24 - 私たちはもはや子供でなく、人々の策略や欺瞞的な陰謀の中で、あらゆる教義の風に振り回され、振り回されるのではなく、真実を語ることです。愛は、すべてのことにおいて、頭であるキリスト、つまりキリストに成長することができます。キリストから体全体が、あらゆる関節が供給するものによって結合され、編み合わされ、すべての部分がその役割を果たす効果的な働きに従って、体の成長を引き起こします。愛において自らを啓発するための身体。

2: ローマ 12:2 - そして、この世に順応するのではなく、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして変えられなさい。

ガラテヤ 4:20 私は今、あなたがたと一緒にいて、声を変えたいと思っています。私はあなたを疑っているからです。

パウロは、ガラテヤ人たちの忠実さについて確信が持てないため、ガラテヤ人たちと一緒にいて直接話したいという願望を表明しています。

1. パウロの疑い: キリストにある兄弟姉妹をどのように安心させるか

2. 対面コミュニケーションの必要性: パウロからガラテヤの信徒への教訓

1. ヘブライ 10:22-25 - 心に邪悪な良心を振り払い、清い水で体を洗い、信仰を完全に確信して真の心をもって近づきましょう。

2. テサロニケ第一 2:7-8 - しかし、私たちはあなたがたの間で、ちょうど乳飲み子の母親が自分の子供たちを大切にするように、優しく接しました。ですから、私たちは愛情を込めてあなたを待ち望んでおり、あなたが私たちにとって大切な人になったので、神の福音だけでなく私たち自身の人生もあなたに伝えることができてとてもうれしく思いました。

ガラテヤ人への手紙 4:21 教えてください、律法のもとにいることを望む者たちよ、律法を聞かないのですか。

この一節は、神の律法に耳を傾け、それに従うことの大切さを語っています。

1. 「律法を聞いてそれに従う：ガラテヤ人への手紙 4:21 の研究」

2.「神の命令に従って人生を生きる」

1. 申命記 30:11-14 - 今日私があなたに命じるこの戒めは、あなたにとってそれほど難しいことではありませんし、遠くないことでもありません。

2. 詩篇 119:4-5 - あなたは自分の戒めを熱心に守るように命じました。ああ、私のやり方があなたの掟をしっかりと守ることができますように！

ガラテヤ人への手紙 4:22 アブラハムには二人の息子があり、一人はメイドと、もう一人は自由の女との間に生まれたと書いてあるからです。

ガラテヤ人への手紙 4 章 22 節の一節は、アブラハムに二人の息子があり、一人はメイドともう一人は自由の女から生まれました。

1. 私たちの人生に対する神の計画: アブラハムの物語

2. 契約と祝福: アブラハムの息子たちのメッセージ

1. 創世記16:1-16

2. ヘブライ人への手紙 11:8-12

ガラテヤ人への手紙 4:23 しかし、奴隷の女から出た者は肉に従って生まれました。しかし、自由人の女性である彼は約束どおりでした。

たとえそれが私たちの期待通りにならなかったとしても、神の約束は必ず実現します。

1. 神の約束: 予期せぬことを信頼する

2. 神の言葉の力: 肉を超えた信仰

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

ガラテヤ人への手紙 4:24 これはたとえ話です。これらは 2 つの契約だからです。シナイ山から来たもので、ボンデージに性行為をするもの、それが寒天です。

この一節にある 2 つの契約は、イシュマエルの母であるアガルと、束縛をもたらすシナイ山からの契約として寓話的に表現されています。

1. ガラテヤ人への手紙 4:24 の 2 つの契約の寓話的意味

2. シナイ山から契約の束縛を理解する

1. ヘブライ人への手紙 8:6-7 「しかし今、彼はさらに優れた奉仕を獲得しました。そのことによって、彼はさらに、より良い約束に基づいて確立されたより良い契約の仲介者でもあります。なぜなら、その最初の契約が無傷であったなら、そのはずです」2番目の場所は探しられていません。」

2. ガラテヤ 5:1 「ですから、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ち、再び奴隷のくびきに絡めとられてはいけません。」

ガラテヤ人への手紙 4:25 この寒天はアラビアのシナイ山であり、今エルサレムにあり、その子供たちに奴隷にされているエルサレムに答えています。

寒天はエルサレムとその子供たちの束縛の一例です。

1: 寒天の例から、人生における罪の束縛から解放されることを学ぶことができます。

2: 私たちは神がアブラハムとサラに彼らの息子イサクを通して与えた約束を通して自由を得ることができます。

1: 創世記 17:19 – 神はアブラハムとサラに、彼らに息子が生まれ、その息子を通して神が約束を果たせると約束されました。

2: ガラテヤ 5:1 – 自由のために、キリストは私たちを自由にしてくれました。したがって、毅然とした態度をとり、再び奴隷制のくびきに屈しないでください。

ガラテヤ人への手紙 4:26 しかし、上にあるエルサレムは自由であり、私たちすべての母です。

パウロはガラテヤの人々に、自由である天のエルサレムがすべての信者の母であることを思い出すように勧めています。

1. 天のエルサレムで自由を受け入れる

2. 霊的な母としての天のエルサレムの愛

1. イザヤ書 54:1 - 「歌え、不毛の者よ、産んだことのない者よ。子を産んだことのない者よ、歌い始め、大声で叫びなさい。既婚者の子供よりも荒廃した者の子供たちのほうが多いからである」女よ」と主は言われる。

2. ローマ 8:15 - あなたがたは、再び恐れるために束縛の霊を受けたのではなく、養子縁組の霊を受けたのです。その霊によって、私たちは「アバ、父よ」と叫びます。

ガラテヤ人への手紙 4:27 「産めない子よ、喜びなさい。」と書いてあるからです。泣き出して泣きなさい、苦労しない人よ。なぜなら、寂しい人には夫がいる女性よりもずっと多くの子供がいるからである。

パウロは、不妊の人たちに、夫のいる人たちよりも多くの子供を産むことになるので喜ぶよう勧めています。

1. 「神の豊かな祝福: 神の備えを喜ぶ。」

2. 「子育ての喜び: すべての人への祝福」

1. イザヤ書 54:1 - 「歌え、不毛の者よ、産まなかった者よ。歌い始め、子を産まなかった者よ、大声で叫びなさい。結婚している者の子供よりも、荒れ果てた者の子供たちのほうが多いのだから」妻よ、と主は言われる。」

2. 詩篇 127:3 - 「見よ、子供たちは主の財産です。子宮の実は主の報酬です。」

ガラテヤ人への手紙 4:28 兄弟たち、わたしたちも、イサクと同じように、約束の子です。

イエス・キリストを信じる者は、イサクと同じように約束の子です。

1. 「キリストへの信仰によってすべてのことが可能になる」

2.「神の約束の力」

1. ヘブライ 11:11-12 - 信仰によって、サラは出産適齢期を過ぎていたにもかかわらず、子供を妊娠することができました。

2. ローマ 8:16-17 - 神の御霊は、私たちの霊とともに、私たちが神の子供であることを証ししてくださいます。私たちが子供であるなら、私たちは相続人、つまり神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。

ガラテヤ 4:29 しかし、当時、肉に従って生まれた者が御霊に従って生まれた者を迫害したように、今でもそうです。

ガラテヤ書の中でパウロは、御霊によって生まれた人々が肉の後に生まれた人々によってどのように迫害されたかについて語っており、これは今日でも当てはまります。

1. 義人の迫害: 聖書に基づいてどのように対応するか

2. 福音の力: 迫害に直面してもしっかりと立つ

1. マタイ 5:10-12 - 義のために迫害される人々は幸いです

2. ペテロ第一 4:12-14 - キリストのために苦しみを喜びなさい

ガラテヤ 4:30 それにもかかわらず、聖書には何と書かれているでしょうか。奴隷女とその息子を追い出してください。奴隷女の息子は自由人の息子の相続人ではないからです。

聖書は、奴隷女の息子は自由人の息子と共同相続人になることができないため、奴隷女とその息子を追放するように指示しています。

1. 良い行いの重要性: 蒔いたものを刈り取る

2. 私たちの人生に対する神の計画: 私たちにとって意味のないものを手放す

1. ローマ人への手紙 8:17 (もし子供たちなら相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。そうであれば、私たちもキリストとともに苦しみます。)

2. ヨハネ 8:36 (したがって、御子があなたたちを自由にしてくれるなら、あなたたちは確かに自由になるでしょう。)

ガラテヤ 4:31 ですから、兄弟たち、私たちは奴隷の子ではなく、自由の民の子なのです。

ガラテヤ 4 章 31 節の一節は、信者は奴隷女の子供ではなく、自由の者の子供であると説明しています。

1. 束縛からの自由: 自由の意味を再定義する

2. 救いの力: 足かせを手放す

1. ローマ 8:21 - それは、被造物そのものが、朽ち果てる束縛から解放され、神の子の輝かしい自由の中に入れられるためです。

2. イザヤ書 61:1 - 主権者である主の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良いたよりを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。神は、心の傷ついた人々を縛り、捕虜に自由を宣言し、囚人を暗闇から解放するために私を遣わしました。

ガラテヤ人への手紙 5 章は、ガラテヤ人へのパウロの手紙の 5 章です。この章でパウロは、キリストにおいて信者が持つ自由について論じ、それを律法主義の束縛と対比させています。

第 1 段落: パウロは、信者はキリストにおける自由に招かれており、再び奴隷のくびきに服従すべきではないことを強調することから始めます (ガラテヤ 5:1)。彼は義認の手段としての割礼に対して警告し、律法による義認を求める者はキリストから切り離され、恵みから落ちたと述べている。むしろ、愛を通して働く信仰こそが重要であると彼は強調する。

第 2 段落: パウロは、彼らは自由を求められているにもかかわらず、その自由を罪深い欲望にふける機会として利用してはならないと説明しています (ガラテヤ 5:13)。その代わりに、愛を通して互いに仕えるよう彼らに勧めています。彼は愛が律法全体を満たしていることを強調し、憎しみ、争い、嫉妬、怒りの発作、利己的な野心、意見の相違、妬みなどの行為に対して警告しています。

第 3 段落: この章はパウロが肉の働きと御霊の実を対比させて終わります。彼は、性的不道徳、汚れ、偶像崇拝、魔術、酩酊など、肉の欲望に支配された生活に関連したさまざまな行為を列挙しています(ガラテヤ5:19-21)。これらの闇の業とは対照的に、愛、喜び、平和、忍耐、優しさ、善良さ、誠実さ、優しさ、自制心など、御霊とともに歩むことによって生み出される果実があります。

要約すれば、

ガラテヤ人への手紙第 5 章は、律法主義的な慣行に逆戻りしないように警告しながら、キリストにある信者の自由を強調しています。パウロは、割礼や律法の遵守によって義を得ようとすることは、キリストの恵みから切り離されることになるので、戒めています。その代わりに、愛を通して信仰によって生きることを勧めています。

パウロはまた、罪深い欲望に溺れるのではなく、愛をもって互いに仕えることによって、責任を持って自由を活用することを強調しています。彼は律法全体を全うする上での愛の重要性を強調し、憎しみ、嫉妬、利己的な野心などの肉の業に従事しないように警告しています。

この章はパウロが肉の働きと御霊の実を対比させて締めくくられています。彼は、キリストに属する者たちが自らの罪深い本性を十字架につけたことを強調しながら、肉の欲望に支配された生活に関連したさまざまな行為を列挙しています。むしろ、御霊とともに歩み、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善良、忠実、優しさ、自制などの特質を示すことによって実を結ぶべきです。この章は、律法主義的な慣行に束縛されたり、罪深い欲望に耽溺するのではなく、キリストへの信仰によって生き、キリストの御霊の変容の力に導かれなさいという信者の呼びかけを強調しています。

ガラテヤ 5:1 ですから、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ち、再び奴隷のくびきに絡めとられてはいけません。

クリスチャンは、キリストにあって自由を保ち、法の制約に束縛されないよう強く求められています。

1. 「自由を取り戻す: キリストの自由の力」

2.「人生を豊かに生きる～束縛から解放される喜び～」

1. ヨハネ 8:36 - 「だから、御子があなたを自由にしてくれるなら、あなたは確かに自由になるでしょう。」

2. イザヤ書 61:1 - 「主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は、苦しんでいる人たちに良い知らせをもたらすために私に油を注がれたからです。主は、心の傷ついた人たちを縛り、捕らわれた人たちに自由を宣言するために私を遣わされました。囚人たちに自由を。」

ガラテヤ人への手紙 5:2 見よ、パウロはあなたがたに言いますが、もしあなたが割礼を受けても、キリストはあなたに何も利益をもたらさないでしょう。

パウロは、救いを得る手段として割礼に頼ることに対して警告しています。

1. 救いのためにキリストだけを信頼する

2. 割礼の誤った安全保障

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です。

2. ローマ 3:21-24 - しかし今、神の義は律法とは別に明らかにされていますが、律法と預言者はそれを証しています。それは、信じるすべての人に対するイエス・キリストへの信仰による神の義です。なぜなら、区別はないからです。誰もが罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。

ガラテヤ 5:3 わたしは、割礼を受けているすべての人に、律法全体を守る義務があると改めて証します。

パウロはガラテヤの人々に、割礼を受けているなら律法全体を守る義務があることを思い出させます。

1: 私たちは法律を完全に遵守し、二者択一のアプローチを取る必要はありません。

2: 私たちは自分を救うためにたった一つの行動に頼ることはできず、むしろ神に完全に従って生きる必要があります。

1: ヤコブ 2:10-11 - 律法全体を守っていても、一点で失敗する者は、そのすべてに対して責任を負うことになるからです。

2: ローマ人への手紙 3:20 - 律法を通して罪の知識が得られるため、律法の行ないによって人間は義とされることはありません。

ガラテヤ 5:4 あなたがたのうち律法によって義とされる者には、キリストは何の効力も持たない。あなたがたは恵みから堕落したのです。

クリスチャンは律法によって義とされるのではなく、恵みによって義とされるのです。

1. 恵みの力: 律法主義と信仰の違いを理解する

2. 信仰を回復する: 律法主義の誘惑に打ち勝つ

1. ローマ人への手紙 3:20-24 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です。

2. エペソ人への手紙 2:8-10 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

ガラテヤ 5:5 私たちは御霊によって、信仰による義の希望を待っています。

御霊は私たちが信仰による義を待ち続けるのを助けてくれます。

1. 耐え忍ぶ聖霊の力

2. 信仰による義の希望

1. ローマ 15:13 - 希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に満ち溢れますように。

2. ガラテヤ 3:11 - さて、「義人は信仰によって生きる」ため、律法によって神の前に義とされる人は誰もいないことは明らかです。

ガラテヤ 5:6 というのは、イエス・キリストにおいては、割礼は何の役にも立たないし、割礼を受けていなくても何の役にも立たないからです。しかし、愛によって働く信仰です。

パウロは、神の目に重要なのは割礼のような外面的な行為ではなく、信仰であると強調しています。

1. 信仰に生きる: 信仰に生きるとはどういう意味ですか?

2. 愛の力: 愛に生きるとはどういう意味ですか?

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. コリント人への第一の手紙 13:13 - そして今、信仰、希望、慈善、この三つが生き続けています。しかし、その中で最大のものは慈善活動です。

ガラテヤ 5:7 あなたがたはよく走りました。あなたが真理に従わないように邪魔したのは誰ですか。

パウロはガラテヤの人々が、最初は順調に進んでいたにもかかわらず、真理に従わなかったのではないかと問いかけています。

1. 真実を諦めないでください。レースを走り続ける。2. 他人の意見に邪魔されないでください。真実に従ってください。

1. ヘブライ 12:1 - 「ですから、私たちはこれほど多くの証人の雲に囲まれているのですから、妨げとなるすべてのものと、いとも簡単に絡まる罪を捨て去ろうではありませんか。」2. フィリピ 3:14 - 「私は、神が私をキリスト・イエスによって天に召してくださった賞を勝ち取るという目標に向かって突き進んでいきます。」

ガラテヤ人への手紙 5:8 この説得は、あなたがたを呼び寄せた者から出たものではありません。

この聖句は、私たちの信仰が他人の意見に依存するのではなく、むしろ神との関係に依存することを強調しています。

1: 神に対する私たちの信仰は、外側からではなく内側から来るものでなければなりません。

2: 私たちは他人の意見ではなく、神の愛と導きを信頼しなければなりません。

1: エレミヤ 17:7-8 「しかし、主を信頼し、主を信頼する人は幸いです。彼らは、水のほとりに植えられ、根を流れのほとりに出す木のようになるでしょう。それはいつになっても恐れません。」"

2: ローマ人への手紙 10:17 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

ガラテヤ 5:9 少量のパン種が塊全体を発酵させます。

この聖句は、小さな影響が大きな影響を与える可能性があることを思い出させます。

1: 人生の小さなことに気を配る必要があります。それらは私たちの生活や周囲の人々に大きな影響を与える可能性があるからです。

2: 罪はすぐに広がり、私たちの生活を堕落させる可能性があるため、たとえ小さな罪行為であっても影響を受けないよう注意する必要があります。

1: マタイ 16:6 - 「パリサイ人とサドカイ人のパン種に気をつけなさい。」

2: 1 コリント 5:6 - 「あなたの栄光は良くありません。少量のパン種が塊全体を発酵させることを知らないのですか？」

ガラテヤ人への手紙 5:10 わたしは、主を通してあなたがたを信頼します。あなたがたが何も気にしないことです。しかし、あなたがたを悩ませる者は、それが誰であれ、その裁きを受けるでしょう。

パウロはガラテヤ人への信頼を表明し、彼らを誤った方向に導く者たちに対して警告しています。

1. 主への信頼の力

2. 偽教師の裁き

1. マタイ 7:15-20 - 「偽預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたたちのところにやって来ますが、内心は貪欲な狼です。」

2. ヘブル人への手紙 13:17 - 「あなたたちを支配している者たちに従い、服従しなさい。彼らは、罪を償わなければならない者たちと同じように、あなたたちの魂が悲しみではなく喜びをもってそれを行えるように、見守っているからです。それはあなたにとって不利益です。」

ガラテヤ 5:11 兄弟たち、もし私がまだ割礼を宣べ伝えているのなら、なぜまだ迫害を受けているのでしょうか。そうすれば、十字架の攻撃は止まります。

パウロは、割礼を説いているのになぜ今も迫害を受けているのかと疑問を呈し、十字架の罪が終わったことを暗示しています。

1. 十字架の罪: イエスはどのようにすべてを変えたか

2. パウロの迫害: 犠牲を払ってでもイエスに従った

1. ローマ人への手紙 10:14-15 それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めることができるでしょうか。聞いたこともないイエスをどうやって信じることができるだろうか。そして、説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか？

2. エペソ人への手紙 2:14-16 なぜなら、神は私たちの平和であり、その両方を実現し、私たちの間の隔壁の真ん中の壁を打ち破られたからです。彼の肉体において敵意、さらには儀式に含まれる戒めの律法さえも廃止した。なぜなら、自分の中に一人の新しい人間を作り、そうして平和を作るからである。

ガラテヤ人への手紙 5:12 たとえ彼らが切り取られてもよかったのにと思いますが、それはあなたを悩ませます。

パウロは、ガラテヤ人を悩ませている人々が断ち切られるよう願いを表明しています。

1. トラブルメーカーに私たちの信仰を破壊させてはなりません

2.不信者が私たちの信仰を弱めることを許さないでください

1. ローマ 16:17-18 - 「兄弟姉妹の皆さん、あなたが学んだ教えに反して分裂を引き起こし、あなたの行く手に障害を置く人々に気をつけてください。それらから遠ざかってください。そのような人々は私たちの主キリストに仕えているのではなく、自分の欲望に仕えているからです。彼らは滑らかな話やお世辞によって、素朴な人々の心を欺きます。」

2. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

ガラテヤ人への手紙 5:13 兄弟たち、あなたがたは自由へと召されています。自由を肉体のためだけに利用するのではなく、愛によって互いに仕えなさい。

私たちは自由を愛を持って互いに仕える機会として活用すべきです。

1. 愛の力: 自由にお互いに奉仕する

2. 自由を活かして他者を愛する

1. コリント人への第一の手紙 13:4-8 - 愛は忍耐強く、親切です。愛は妬んだり自慢したりしません。それは傲慢でも無礼でもありません。それは自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりすることはありません。それは悪事を喜ぶのではなく、真実を喜ぶのです。愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐えます。

2. ローマ 12:10 - 兄弟のような愛情をもって互いに愛し合います。名誉を示すという点でお互いに勝りましょう。

ガラテヤ 5:14 なぜなら、すべての律法は、この一言でさえも成就するからです。あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。

神の律法は隣人を愛することによって成就されます。

1. 愛の力: 神の律法を実現する方法

2. 愛の戒め: 隣人を愛することについての聖書の見方

1. ヨハネ 13:34-35 - 私があなたがたに与える新しい戒めは、「あなたがたは互いに愛しなさい」ということです。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

2. ローマ人への手紙 13:8-10 - 互いに愛し合う以外には、だれにも借りはありません。他人を愛する者は律法を全うしたのですから。

ガラテヤ人への手紙 5:15 しかし、もしあなたがたが互いに噛み合って貪り合うなら、互いに食い荒らされないように気をつけなさい。

この一節は、不親切な言葉や行動の破壊的な力について警告し、紛争を防ぐために自分の言葉や行動に注意するよう読者に促しています。

1.「優しい答え：優しさの力」

2.「噛みつき、むさぼり食う：争いの破壊」

1. マタイ 5:44 - 「しかし、わたしはあなたたちに言います。あなたの敵を愛し、あなたたちを呪う者たちを祝福し、あなたたちを憎む者たちに善を行い、あなたたちを不当に利用しあなたたちを迫害する者たちのために祈りなさい。」

2. 箴言 15:1 - 「穏やかな答えは怒りを遠ざけますが、ひどい言葉は怒りを引き起こします。」

ガラテヤ 5:16 そこで私は言います、「霊によって歩みなさい。そうすればあなたがたは肉の欲望を満たすことができません。」

肉の欲望ではなく、御霊に従って生きてください。

1. 聖霊の力: 神のために生きる方法

2. 誘惑に打ち勝つ：どのように霊的に生きるか

1. ローマ 8:5-8 - 御霊に従って生きる者には、御霊がいのちを与えます。

2. エペソ 5:18 - 詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いながら、御霊に満たされてください。

ガラテヤ人への手紙 5:17 というのは、肉は御霊に対して欲情し、御霊は肉に対して欲情するからです。これらは互いに矛盾しているので、あなたがたはやりたいことができなくなります。

パウロはガラテヤの人々に、肉と霊は互いに対立しており、自分たちの欲望によって誤ってはいけないと警告しています。

1. 霊と調和して生きる方法

2. 肉の力とその結果

1. ローマ 8:1-4 - したがって、キリスト・イエスにある人々は今、罪に定められることはありません。なぜなら、命を与える御霊の法則が、キリスト・イエス

を通して、あなたを罪と死の法則から解放したからです。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

ガラテヤ 5:18 しかし、もしあなたがたが御霊に導かれているなら、あなたがたは律法の下にいません。

信者は律法に拘束されるのではなく、御霊によって導かれるべきです。

1. 聖霊の自由の中で生きる

2. 御霊を通して神から指示を受ける

1. ローマ人への手紙 8:2-4 「命の御霊の法則が、キリスト・イエスにあってあなたを罪と死の法則から解放したからです。というのは、神は、肉によって弱められた律法ではできなかったことをしてくださったからです。罪深い肉に似た御子を罪のために遣わすことによって、イエスは肉において罪を非難されました。それは肉に従ってではなく御霊に従って歩む私たちの中で律法の義の要求が満たされるためです。」

2. ヨハネ 16:13 「真理の御霊が来ると、彼はあなたをすべての真理に導きます。彼は自分の権威に基づいて話すのではなく、聞いたことを何でも話し、次のことをあなたがたに宣言するからです。」来ることになるだろう。」

ガラテヤ 5:19 さて、肉の働きが明らかになりました。それは次のとおりです。姦淫、淫行、不潔、みだら、

肉の業は、姦淫、不品行、不潔、好色などの例によって明らかです。

1.「規律の力：誘惑に打ち勝つ」

2. 「私たちの行動は重要です: 罪の結果」

1. ローマ人への手紙 6:12-14 「ですから、あなたがたが死ぬべきからだの中で罪を支配してはなりません。あなたがたは、その欲望に従ってそれに従わなければなりません。あなたがたは、自分の肢体を不正の道具として罪に明け渡すのではなく、死者の中から生き返った者として、また自分の肢体を神に対する義の道具として神に委ねなさい。あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるのですから、罪はあなたたちを支配することができません。」

2. ヤコブ 1:14-15 「しかし、人は誰でも、自分の欲望から遠ざかり、誘惑されるとき、誘惑に遭います。そして、情欲が孕むと、罪が生じ、罪が終わると、死が生じます。」

ガラテヤ 5:20 偶像崇拝、魔術、憎しみ、不和、真似、怒り、争い、扇動、異端、

この一節は、偶像崇拝、魔術、憎しみ、不和、模倣、怒り、争い、扇動、異端などの悪に対して語っています。

1.「偶像礼拝とその他の悪徳の危険性」

2.「愛の力：憎しみと争いを避ける」

1. エペソ人への手紙 4:31-32 - 「すべての恨み、怒り、怒り、大声、悪口を、すべての悪意をもってあなたがたから遠ざけましょう。そして、あなたがたは互いに親切にし、心優しく、互いに許し合いなさい。」たとえ神がキリストのためにあなたを赦してくださったのと同じように。」

2. ローマ人への手紙 12:17-19 - 「悪には悪に報いてはならない。すべての人の目に正直に物事を行いなさい。できることなら、自分の心にある限り、すべての人と平和に暮らしてください。愛する人よ、復讐してください。」「あなたがた自身ではなく、むしろ怒りに身を委ねなさい。『復讐はわたしのすることである。わたしが報復する』と書いてあるからである、と主は言われる。」

ガラテヤ 5:21 ねたみ、殺人、酩酊、大騒ぎなど。そのようなことをする者は神の国を受け継ぐことができない、と私は前にも言いました。

ねたみ、殺人、酩酊、お祭り騒ぎなどの罪深い行為は、神の王国では許されません。

1. 罪の危険性とその結果

2. 正義と聖性への道

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. コリント人への第一の手紙 6:9-10 - 不義な者は神の国を受け継がれないことを知らないのですか。だまされないでください。性的に不道徳な者、偶像崇拝者、姦通者、同性愛者、泥棒、貪欲な者、大酒飲み、ののしる者、詐欺師は神の国を受け継ぎません。

ガラテヤ 5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、優しさ、善意、信仰、

御霊の実はクリスチャンとしての生活を送る上で欠かせないものです。

1: 精霊の実の重要性

2: 御霊の実の中で成長する

1: ローマ 12:9-10 - 愛は誠実でなければなりません。悪を憎む。良いものにしがみつく。愛においてお互いに献身的になってください。自分よりもお互いを

尊重しましょう。

2: ヤコブ 3:17-18 - しかし、天から来る知恵はまず第一に純粋です。そして平和を愛し、思いやりがあり、従順で、慈悲と良い実りに満ち、公平で誠実です。

ガラテヤ人への手紙 5:23 柔和、節制、これを禁じる律法はありません。

パウロはクリスチャンに、柔和と節制を実践するよう勧めています。そうすれば、神の律法に調和した生活が送れます。

1.「柔和と節制の力」

2.「神の律法と調和して生きる」

1. マタイ 5:5 - 「柔和な人々は幸いです、彼らは地を受け継ぐからです。」

2. ペテロ第一 4:7 - 「すべての終わりが近づいています。ですから、祈りのために自制し、冷静な心を持ちなさい。」

ガラテヤ人への手紙 5:24 そして、キリストのものである者たちは、愛情と情欲をもって肉を十字架につけました。

キリストを信じる者は罪深い欲望を捨てました。

1. 肉を十字架につける力

2. 自分自身を否定する必要性

1. ローマ 6:11-12 - 同じように、自分も罪に対しては死んでいるが、キリスト・イエスにあって神に対しては生きていると考えてください。したがって、罪があなたの死ぬべき肉体を支配し、その邪悪な欲望に従うようにしてはいけません。

2. マタイ 16:24-26 - それからイエスは弟子たちに言われた、「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと願う者はそれを失うが、わたしのために命を失う者はそれを見つけるからである。人が全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか？あるいは、人は自分の魂と引き換えに何を与えるでしょうか？

ガラテヤ 5:25 私たちが御霊のうちに生きているなら、私たちも御霊のうちを歩みましょう。

ガラテヤ 5 章 25 節で、パウロはクリスチャンに御霊のうちに生き、御霊によって歩むよう勧めています。

1. 聖霊に生きる: 聖霊に導かれることの重要性

2. 御霊のうちを歩む: 神への忠実な従順を実践する

1. ローマ人への手紙 8:14 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. ガラテヤ 5:16 - しかし、私は言います、御霊によって歩みなさい、そうすれば肉の欲望を満足させることはできません。

ガラテヤ 5:26 私たちは、むなしい栄光を望んだり、互いに挑発したり、ねたんだりしないようにしましょう。

私たちは承認欲求に駆られて、お互いに争いや嫉妬を起こしてはいけません。

1. 無駄な栄光の危険

2. コミュニティ内の羨望を克服する

1. ヤコブ 3:14-16 - しかし、心の中に激しいねたみや利己的な野心を抱いているなら、誇ったり、真実を偽ったりしないでください。

2. マタイ 6:1-4 - 「人々に認められるために、他の人たちの前で自分の義を実践することに気をつけなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父から何の報いも受けられなくなるからです。」

ガラテヤ人への手紙 6 章は、ガラテヤ人へのパウロの手紙の 6 番目で最後の章です。この章では、パウロは信者として生きるための実際的な指示を示し、互いに重荷を負い合うよう励ましています。

第 1 段落: パウロは、罪に陥った仲間の信者を回復するよう信者たちに勧め、自分自身の弱さを考慮し、優しさをもってそうするようにと勧めています (ガラテヤ 6:1)。彼は、互いに重荷を負い、それによってキリストの律法を全うすることの重要性を強調しています。パウロは、各人が自分の重荷を負いながらも、困っている人を進んで助けるよう勧めています。

第 2 段落: パウロは個人の誇りの問題を取り上げ、自己欺瞞に対して警告しています。彼は信者たちに、自分自身をあまり高く評価しないで、自分自身の行動と動機を吟味するようアドバイスしています（ガラテヤ 6:3-4）。一人ひとりが他人と比較することなく、自分の仕事に責任を持ちましょう。神の言葉で教えを受ける人は、教える人たちとすべての良いものを分かち合うべきです。

第 3 段落: この章は、信者は自分の蒔いたものを刈り取ることになるというパウロの強調で終わります。彼は、肉を喜ばせるために種を蒔くと堕落につながりますが、御霊を喜ばせるために種を蒔くと永遠の命が得られると説明しています(ガラテヤ6:7-8)。したがって，善を行うことに疲れず，むしろ正しいことを粘り強く行うよう勧めています。最後に、彼は、誇りはキリストの十字架にのみ限定されるべきであることを強調しています。キリストの十字架によって、信者は世界に対して、そして世界に対して十字架につけられました。

要約すれば、

ガラテヤ人への手紙第 6 章では、共同体の中で信者として生きるための実践的な指示が示されています。パウロは信者たちに、罪に陥った人々を優しく回復させ、互いに重荷を負い合うよう勧めています。彼は高慢な比較を戒め、他人に正当性を求めるのではなく、自分自身の行動を吟味するよう各人にアドバイスしています。

パウロは個人の責任を強調すると同時に、神の言葉を教える人々に対する寛大さを奨励しています。彼は種を蒔いて刈り取るという原則を強調し、肉の欲望に耽るのではなく、御霊を喜ばせるために種を蒔くよう信者に勧めています。パウロは最後に、善を行う忍耐と、世の執着からの自由をもたらしたキリストの十字架だけを誇るよう奨励しています。

この章は、キリストの犠牲の変革の力に頼りながら信仰を実践する際の共同体、個人の責任、謙虚さ、忍耐の重要性を強調します。

ガラテヤ 6:1 兄弟たち、霊的な者であるあなたがたは、もし人が過ちに陥ったなら、柔和の精神でそのような人を立ち直らせてください。あなたも誘惑に遭わないように、自分自身のことを考えてください。

この聖句はクリスチャンに対し、自分自身の弱さに留意しながら、優しさと理解をもって間違いを犯した人たちを立ち直らせるよう勧めています。

1. すべての人への恵みと思いやり: 兄弟姉妹を回復する力

2. 自分自身の弱さを知る: 許しと謙虚さを実践する

1. ヤコブ 5:19-20 - 兄弟たちよ、もしあなたがたのうちの誰かが真理から逸脱し、誰かが彼を改宗させたら、罪人を自らの誤りから改心させる者は、魂を死から救い、多くの罪を隠すであろうことを、彼に知らせてください。

2. ルカ 6:37 - 裁くな、そうすればあなたがたは裁かれることはない、罪に定めない、そうすればあなたがたは罪に定められることはない：赦しなさい、そうすればあなたがたは赦されるであろう。

ガラテヤ 6:2 互いに重荷を担い、そのようにしてキリストの律法を全うしましょう。

クリスチャンは互いの重荷を支え合い、イエス・キリストの律法を全うするよう努めるべきです。

1. 「お互いの重荷を負い合う：クリスチャンであるために不可欠な部分」

2. 「キリストの律法の実現: コミュニティへの呼びかけ」

1. マタイ 11:28-30 - 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。「あなたはあなたの魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の重荷は軽いからです。」

2. コリント人への手紙第一 12:26 - 「一人の成員が苦しむなら、全員が共に苦しみ、一人の成員が誉められると、全員が共に喜ぶ。」

ガラテヤ 6:3 なぜなら、自分が何者でもないのに、自分を何かだと思っている人は、自分を欺いていることになるからです。

この聖句は私たちに、謙虚になり、自分自身を過大評価しないように呼びかけています。それは自己欺瞞につながるからです。

1: 私たちは謙虚でなければならず、自分自身の重要性を過大評価してはなりません。

2: 私たちは自己欺瞞の危険性を認識し、自分の信仰にしっかりと根ざしていなければなりません。

1: 箴言 16:18 – 高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立ちます。

2: ピリピ 2:3-4 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にしましょう。

ガラテヤ人への手紙 6:4 しかし、人はみな、自分の働きを証明しなさい。そうすれば、他人ではなく、自分だけを喜ぶことができるでしょう。

必ず自分自身の仕事を評価し、自分の成功を祝いましょう。

1. 私たち自身と私たちの功績を称える

2. 自分自身と自分の仕事に責任を持つ

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. エペソ人への手紙 5:15-16 - 「それでは、あなたがたは愚か者としてではなく、賢人として慎重に歩み、時を償うように気をつけなさい。日が悪いからである。」

ガラテヤ 6:5 人は皆、自分自身の重荷を負わなければなりません。

この聖句は、自分の行動に責任を持ち、他人に重荷を負ってもらうことに頼らないことの大切さを教えています。

1.？私たち自身の負担を負いますか??

2.？責任を持って生きていますか??

1. マタイ 11:28-30 - ?働き、重荷を負っているすべての人たちよ、私はあなたたちに休息を与えます。わたしのくびきを負って、わたしから学んでください。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。そうすれば、あなたは自分の魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽くて、私の荷は軽いからです。

2. ピリピ人への手紙 4:13 - ?私を強くしてくれる彼を通して、쏧は何でもできるのです。

ガラテヤ 6:6 言葉によって教えられた人は、あらゆる良いことについて教える人に伝えてください。

信者は神の言葉を教えてくれる人に対して寛大であるべきです。

1. 教会における寛大さの力

2. 神の言葉を教えてくれる人々を認め、感謝する

1. 箴言 11:25 - 寛大な人は祝福されるでしょう、自分の食べ物の一部を貧しい人たちに与えるからです。

2. 使徒 20:35 - 私は、主イエスご自身が言われた次の言葉を思い出しながら、私たちが行うすべてのことにおいて、このような勤勉によって弱い人たちを助けなければならないことを示しました。受け取るより与えるほうが幸せです。

ガラテヤ 6:7 だまされてはなりません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは何でも、彼も刈り取るからです。

神は嘲笑されることはなく、私たちは自分の蒔いたものを刈り取ります。

1: 私たちは自分の行動に責任を持ち、神が嘲笑されることはないことを理解しなければなりません。

2: 私たちは何をするにも知恵を持って行動し、神がそれに応じて報いてくださることを覚えていなければなりません。

1: 箴言 22:8 - 「不正を蒔く者は災いを刈り取り、その怒りの杖は衰える。」

2: 伝道の書 11:4 - 「風を見る者は植えることはできません。雲を見る者は刈り取ることはできません。」

ガラテヤ人への手紙 6:8 なぜなら、自分の肉に種をまく者は、その肉から腐敗を刈り取ることになるからです。しかし、御霊に種を蒔く者は御霊によって永遠の命を刈り取るであろう。

私たちは自分の選択の結果を刈り取ることになります。御霊に種を蒔けば永遠の命、肉に種を蒔けば堕落が得られます。

1. 選択の力: 私たちの選択が私たちの永遠の運命に与える影響

2. 私たちが蒔いたものを刈り取る: 私たちの行動の結果

1. ローマ 8:1-17 - 霊における命の力

2. ヤコブ 1:14-15 - 情熱に導かれる危険性

ガラテヤ人への手紙 6:9 また、善行に疲れないようにしましょう。気を失わなければ、しかるべき季節が来れば刈り取ることができるからです。

私たちは正しいことを粘り強く行うべきです。落胆しなければ、やがて報いが与えられるからです。

1: あきらめないでください - ガラテヤ 6:9

2: 忍耐強くあれ - ガラテヤ 6:9

1: ヘブライ 10:35-36 - ですから、大きな報いをもたらす自信を捨てないでください。というのは、神のご意志を行った後に約束を受けるためには、あなたには忍耐が必要だからです。

2: ヤコブ 1:12 - 誘惑に耐える者は幸いです。なぜなら、彼が承認されたとき、彼は主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

ガラテヤ 6:10 ですから、機会があるので、すべての人、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

私たちはあらゆる機会を利用して、すべての人々、特にイエスを信じる人々のために良いことをすべきです。

1. 「善を行う機会」- 他人に善を行うために自分の時間、エネルギー、リソースをどのように活用できるかを探ります。

2. 「信仰の家」- キリストにある兄弟姉妹を助け、励ますことの重要性に焦点を当てます。

1. マタイ 25:35-40 - イエスの羊とヤギのたとえ。貧しい人々を助けることの重要性を強調。

2. ペテロ第一 4:8-11 - ペテロは、霊的な賜物を使って他の人に仕えるようにと勧めています。

ガラテヤ人への手紙 6:11 あなたがたは、私が自分の手であなたがたに書いた手紙がどれほど大きなものであるかを知っています。

パウロはガラテヤの教会に長い手紙を書き、信仰にしっかりと立つよう励ましました。

1. 信仰を堅く保ちなさい: ガラテヤ人へのパウロのメッセージ

2. 励ましの力: ガラテヤ人へのパウロの手紙

1. テサロニケ人への第一の手紙 5:11 - ですから、あなたが実際にそうしているように、互いに励まし合い、高め合いましょう。

2. ヘブライ 10:23-25 - 約束してくださった方は忠実な方ですから、私たちが告白する希望を揺るがずに持ち続けましょう。そして、どうすればお互いに愛と善行に向けて刺激し合えるかを考えてみましょう。

ガラテヤ 6:12 肉体的に美しい姿を見せたいと願う人は、割礼を受けるよう強制します。ただ彼らがキリストの十字架のために迫害を受けないように。

この箇所は、キリストの十字架による迫害を避けるために、信者に割礼を受けるよう圧力をかけようとする人々について語っています。

1: たとえそれがキリストの十字架のために迫害に苦しむことを意味するとしても、私たちは信仰において強く毅然とした態度を保たなければなりません。

2: 私たちは毅然とした態度をとらなければならず、私たちの信念を変えるよう圧力をかけようとする人たちに振り回されてはなりません。

1: ローマ人への手紙 8:31-39 - 神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2: コロサイ 2:8-15 - あなたが何を食べたり飲んだりするか、あるいは宗教的な祭り、新月のお祝いや安息日に関して、誰にもあなたを判断させてはなりません。

ガラテヤ 6:13 というのは、割礼を受けている彼ら自身も律法を守っていないからです。しかし、彼らがあなたの肉体において栄光を得るために、あなたがたに割礼を受けたいと望んでいます。

律法に従っているからではなく、他人の行動を自分の手柄にしたいために、他の人に割礼を受けるよう説得したい人もいます。

1. 自分だけの栄光を求める人たちに騙されないでください。

2. 自分は正義であると主張しながらも、神の律法に従わない人たちに注意してください。

1. ピリピ 2:3 利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。

2. ヤコブ 1:22-25 しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

ガラテヤ人への手紙 6:14 しかし、神は、私たちの主イエス・キリストの十字架を除いて、私が栄光を受けることを禁じられています。この十字架によって、世界は私のために十字架につけられ、私も世のために十字架につけられました。

パウロはイエス・キリストの十字架の重要性を強調し、それが真の栄光への唯一の道であることを強調しています。

1.「十字架の力: 私たちの生活を変える」

2.「十字架：私たちの命と希望の源」

1. エペソ 2:13-16 - なぜなら、神ご自身が私たちの平和であり、私たちを一つにし、その肉において敵意の隔ての壁を打ち破られたからです。神は、律法とその戒めと儀式を廃止し、二人の人間の代わりに一人の新しい人類をご自分の中に創造して平和を実現し、十字架を通して私たち二人を一つの体として神と和解させるためでした。

2. コロサイ 2:13-15 - そして、罪と肉の無割礼で死んでいたあなたを、神は私たちに不利な負債の記録を取り消すことによって、すべての罪を赦し、ご自分とともに生かしてくださいました。その法的要求。彼はこれを脇に置き、十字架に釘付けしました。彼は支配者や権威者たちに勝利を収めることで、彼らの武装を解除し、彼らに公の恥をさらしたのです。

ガラテヤ 6:15 なぜなら、キリスト・イエスにあっては、割礼は何の役にも立たないし、割礼を受けていなくても、新しい生き物が生まれるからです。

キリスト・イエスにおいては、割礼も無割礼も何の価値もありませんが、新しく創造されたものには価値があります。

1. 新しい創造の力: イエスによって変えられた人生を生きる方法

2. 割礼の重要性のなさ: キリストにおける救いの真の意味を探る

1. コリント人への第二 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは去り、新しいものがやって来ました！

2. ローマ 8:1-2 - したがって、キリスト・イエスにある人々は今、罪に定められることはありません。なぜなら、命を与える御霊の法則が、キリスト・イエス

を通して、あなたを罪と死の法則から解放したからです。

ガラテヤ人への手紙 6:16 この規則に従って歩む者すべてに、彼らの上に平和があり、神のイスラエルの上に憐れみがありますように。

この聖句は、神の支配に従う人々には平和と憐れみが与えられることを思い出させます。

1.「神の平和と憐れみの中で生きる」

2.「神の定めに従って歩む」

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはいけません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

ガラテヤ人への手紙 6:17 これからは、誰にも私を悩ませないでください。私の体には主イエスの跡が刻まれているからです。

パウロは主イエスの痕跡を負うことを誇りに思っており、そのことで誰も彼を困らせないようにと願いました。

1. イエスの刻印: 信仰にしっかりと立つよう求める呼びかけ

2. イエスの刻印を負う力: 聖なる生活への招待

1. ピリピ 1:27-30 - 何が起こっても、キリストの福音にふさわしい態度で行動しなさい。

2. ローマ人への手紙 8:17 - そして子供なら相続人になるのでしょうか？神の御子であり、キリストとの仲間の相続人であるなら、私たちもキリストと共に栄光を受けるために、キリストと共に苦しみなさい。

ガラテヤ 6:18 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたたちの霊とともにありますように。アーメン。

パウロはガラテヤの兄弟たちに恵みと祝福のメッセージを送ります。

1. 神の豊かな恵みに感謝する

2. 祝福の力

1. エペソ 1:7 - 私たちはキリストにあって、その血による救い、神の豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

2. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いましょう。

エペソ人への手紙 1 章は、エペソ人へのパウロの手紙の最初の章です。この章でパウロは、キリストを通して信者に与えられた神の祝福と霊的な富について神を賛美します。

第 1 段落: パウロは、天地の基が置かれる前にキリストを信じる者を選んでくださった神への感謝と賛美を表明することから始めます (エペソ 1:3-4)。彼は、神がイエス・キリストの救いの働きを通じて彼らを神の子として養子となるようあらかじめ定めておられたことを強調した。パウロは、神の計画に従って信者たちがどのように恵み、赦し、知恵を惜しみなく与えられてきたかを強調し、神の輝かしい目的を明らかにしています。

第 2 段落: パウロは続けて、キリストにあって信者は相続財産を得ていることを強調します。彼らは将来の救いの保証として聖霊によって封印されています(エペソ 1:11-14)。彼は、彼らが自分たちの召しの希望を知り、彼らの中に働いている神の計り知れない偉大な力を理解できるようにと祈っています。パウロはキリストがあらゆる権力と権威の上に座し、すべてが彼の足の下に置かれていると称賛します。

第 3 段落: この章は、信者がいかにキリストの体の一部である教会であるかをパウロが強調して終わります (エペソ 1:22-23)。彼は、キリストがその体である教会の利益のために万物の頭であることを強調しています。キリストにおけるこの一致は、キリストによって養われる信者の間に霊的な成長と成熟をもたらします。

要約すれば、

エペソ人への手紙 1 章では、イエス・キリストを通して信者に与えられた神の祝福を讃えています。この物語は、信者たちがどのようにして時が始まる前に選ばれ、イエスの救いの働きを通じて神の子として養子縁組されるようあらかじめ定められていたかを強調しています。彼らは神の計画に従って、豊かな恵み、許し、知恵を受けます。

パウロはさらに、キリストにあって信者は相続財産を獲得し、その保証として聖霊の印を押されることを強調しています。彼は、彼らが自分たちの召しの希望を掴み、彼らの中で働いている神の計り知れない力を理解できるように祈っています。キリストは万物の頭として高められ、信者はキリストの体である教会として団結します。

この章は、神の恵みの豊かさ、キリストによる神の救いの計画、そしてキリストの体の一部として信者が経験する一致と霊的成長を明らかにします。

エペソ人への手紙 1:1 神の御心によってイエス・キリストの使徒となったパウロは、エフェソスにいる聖徒たちとキリスト・イエスにある忠実な人々にこう言います。

パウロはエフェソスの聖徒たちとキリスト・イエスにある忠実な人々に手紙を書きます。

1. 聖人として、またキリストの忠実な追随者としてどのように生きるか。

2. イエス・キリストを通して神との関係にある喜び。

1. ヘブライ 10:22 - 私たちは、悪い良心を振り払って心を清め、体を清い水で洗い、信仰を完全に確信して真の心をもって近づきましょう。

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

エペソ人への手紙 1:2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、あなたがたに恵みと平安がありますように。

神の恵みと平安は、神を信じるすべての人に与えられます。

1: 神の豊かな恵みと平安

2: 神の驚くべき恵みと平安を体験する

1: ローマ 5:1-2 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、主イエス・キリストを通して神との平和を持っています。イエス・キリストを通して、私たちは信仰によってこの恵みに入ることができ、今その恵みの中にいます。

2: ローマ 16:20 - 平和の神は間もなくサタンをあなたの足の下で打ち砕かれます。私たちの主イエスの恵みがあなたとともにありますように。

エペソ人への手紙 1:3 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあって天上のすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。

父なる神は、キリストにあってあらゆる霊的な祝福を私たちに与えてくださいました。

1. イエスを信じる祝福

2. 神の子である喜び

1. ヨハネ 3:16 – 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ 8:15-17 – 「あなたがたは恐れるほどの束縛の霊を再び受けていないからです。しかし、あなたがたは養子縁組の御霊を受けました。それによって私たちは叫びます、アバ、父よ。御霊そのものが、私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。」

エペソ 1:4 神が私たちを世界の基が置かれる前に、ご自分にあって選んでくださったように、私たちは神の御前で愛のうちに聖く、とがめられることのない者となるために、こう言われています。

神は私たちを、世界の創始前から愛をもって神の御前で聖く、罪のない者として選んでくださいました。

1. 私たちに対する神の愛は無条件かつ永遠です

2. 神の御前で聖潔さと罪のない生活を送ることの重要性

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。」私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. ペテロ第一 1:15-16 「しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。『わたしが聖であるから、あなたも聖になる。』と書いてあるからです。」

エペソ人への手紙 1:5 私たちは、イエス・キリストのご意志に従って、ご自身の養子となるようあらかじめ定められており、

神は、ご自身の善意に従って、信者たちがイエス・キリストの養子縁組を受けるようあらかじめ定められました。

1. 神の予定の力

2. 神の意志の善さ

1. ローマ人への手紙 8:29-30 - ご自分が予見した人々のためにも、ご自分が多くの兄弟たちの中で長子となるために、ご自分の御子の似姿になるようにとあらかじめ定めておられました。そして、自分があらかじめ定めた者たちをまた呼び、自分が呼んだ者たちを義とし、義とした者たちに栄光も与えた。

2. ヤコブ 1:17-18 - すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来ており、変化による変化や影のない光の父から降りてきます。神はご自身の意志で、真理の言葉によって私たちを生み出し、私たちが神の被造物の一種の初穂となるべきであるということを定められました。

エペソ 1:6 神は私たちを愛する者のうちに受け入れてくださった神の恵みの栄光を讃えます。

神の恵みと愛は私たちを受け入れ、賞賛に値するものにしてくれました。

1.「神の愛: 受け入れという贈り物」

2.「グレース：私たちの価値の基礎」

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

エペソ 1:7 私たちはこのキリストによって、その血による救い、すなわち豊かな恵みに応じた罪の赦しを得ます。

この箇所は、イエスの血とその豊かな恵みによる救いと罪の赦しについて語っています。

1. 恵みの豊かさ: 神の救いの愛を理解する

2. イエスの血の力: 罪の赦し

1. ローマ 3:23-25 - すべての人は罪を犯して神の栄光を受けられませんが、キリスト・イエスによる贖いを通して神の恵みによって無償で義と認められます。

2. コロサイ 1:14 - キリストにあって、私たちはその血による救い、つまり罪の赦しを持っています。

エペソ人への手紙 1:8 そこで彼は、あらゆる知恵と思慮深さで私たちに満ちあふれてくださいました。

神の恵みは知恵と洞察力に満ちて私たちに注がれています。

1. 神の豊かな恵みを探る

2. 神から知恵と洞察を受け取る

1. 詩篇 119:98-105 - あなたは、あなたの戒めを通して、私を敵よりも賢くしてくださいます。彼らはいつも私と一緒にいるからです。

2. ヤコブ 1:5 - あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神は惜しみなく、そしてとがめられることなくすべての人に与えてくださいます。そうすれば、それは与えられるでしょう。

エペソ人への手紙 1:9 彼はご自身のうちに意図されたご自分の喜びに従って、ご意志の奥義を私たちに知らせてくださいました。

神の意志の奥義は、それが神のご満悦によるということです。

1. 神の御心を知る喜び

2. 神の御心を喜びをもって受け入れる

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. ヤコブ 4:15 - 代わりに、「主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやを行います。」と言うべきです。

エペソ1:10 それは、世の満ち足りた神権時代に、天にあるものと地にあるものすべてをキリストにあって一つに集めるためであった。彼の中でも：

すべてが完成するとき、神はキリストにおいてすべてのものを集めます。

1. 主のタイミングを理解する: エペソ 1:10

2. すべてのものはキリストのうちに集まった: エペソ 1:10

1. コロサイ 1:20: そして、彼の十字架の血によって平和を実現し、彼によってすべてをご自分と和解させました。それが地上のものであれ、天上のものであれ、私は彼によって言います。

2. 黙示録 21:5: そして、玉座に座っていた者は、「見よ、わたしはすべてのものを新しくする」と言った。

エペソ 1:11 私たちもまた、ご自身の計画に従ってすべてのことを行われる方の目的に従って予定されており、この方にあって相続財産を獲得しました。

信者は、すべてをご自身の意志に従って働かれる神から相続財産を獲得しました。

1. 神の主権的な恩寵: 予定説を理解する

2. 神の意志の力: キリストにおける私たちの受け継ぎ

1. ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. ローマ人への手紙 9:14-16 - それでは、何と言いましょうか。神は不公平ですか?全くない！なぜなら、彼はモーセにこう言っている、「私が憐れむ者を憐れみ、私が憐れむ者を私も憐れみます。」

エペソ人への手紙 1:12 それは、私たちが最初にキリストを信頼した彼の栄光を讃美するためです。

この箇所には、キリストを信頼する者はその栄光によって称賛されるだろうと書かれています。

1.「キリストを信頼することは神に栄光をもたらす」

2.「神の栄光を讃える人生を送る」

1. イザヤ書 43:7 - 「わたしの名で呼ばれるすべての人、わたしが栄光のために創造した者、わたしが形作り造った者たち。」

2. ペテロ第一 4:11 - 「語る者は、神の言葉を語る者として、そうしなければなりません。奉仕する人は誰でも、神が与えてくださる力によって奉仕している者として奉仕しなければなりません。それは、すべてのことにおいて神がイエス・キリストを通して栄光を受けるためであり、その栄光と支配は永遠にその方に属するのです。アーメン。"

エペソ 1:13 あなたがたもこの人を信頼し、その後、真理の言葉、救いの福音を聞いた。その後も、あなたがたはこの人を信じ、その約束の聖霊で証印を押された。

福音の真理を聞いた後、イエス・キリストを信じる者は約束の聖霊の証印を押されました。

1.「聖霊の約束：神の承認の印」

2.「福音の力：聖霊を受ける」

1. ローマ 8:15-17 - あなたがたは、再び恐怖に陥る奴隷の霊を受けたのではなく、養子として養子となる霊を受けたのです。その霊によって、私たちは「アバ、父よ」と叫びます。

2. 使徒 19:1-6 - アポロがコリントにいる間に、パウロは内陸部を通ってエフェソスに来たことがあった。そこで彼は何人かの弟子を見つけました。そしてイエスは彼らに言った、「あなたがたは信じたときに聖霊を受けましたか。」すると彼らは、「いいえ、聖霊がいらっしゃるなんて聞いたこともありません」と言いました。

エペソ人への手紙 1:14 これは、購入した所有物が償還されて神の栄光が讃美されるまで、私たちが相続するものです。

この箇所は、神の栄光が購入した所有物の贖いを通して与えられることを明らかにしています。

1. 神の栄光は計り知れない - エペソ 1:14

2. 救いの力 – エペソ人への手紙 1:14

1. ローマ 8:23 - そして、彼らだけでなく、御霊の初穂を持つ私たち自身も、心の中でうめきながら、養子縁組、機知に富んだ体の救いを待っています。

2. 詩篇 145:10 - 主よ、あなたのすべての行いはあなたを讃えます。そうすればあなたの聖徒たちはあなたを祝福するでしょう。

エペソ 1:15 ですから、私も、主イエスに対するあなたの信仰とすべての聖徒たちへの愛を聞いて、こう思います。

パウロはエペソの人々の主イエスへの信仰と聖徒たちへの愛を称賛します。

1. 信仰と愛の力 - 主イエスへの信仰と聖人たちへの愛が私たちの人生に及ぼす影響を探ります。

2. キリストの道を生きる - 日常生活の中でイエス・キリストが示した信仰と愛の模範を実践します。

1. ヨハネ 15:12-13 - イエスは、私たちを愛してくださったように、互いに愛し合うようにと命じられました。

2. コリント人への第一の手紙 13:1-13 - パウロは私たちの人生における愛の重要性について語ります。

エペソ人への手紙 1:16 祈りの中であなたのことを言いながら、あなたに感謝をささげ続けてください。

パウロはエフェソスの信者たちのために神に感謝し、彼らのために祈ります。

1. 人生における神の働きを喜ぶ - エペソ 1:16

2. 神への感謝の気持ちを表す - エペソ 1:16

1. コロサイ 1:3-12 - コロサイ人へのパウロの感謝の祈り。

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:18 - パウロは、どんな状況でも感謝するよう勧めています。

エペソ 1:17 それは、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、彼を知る知恵と啓示の霊をあなたがたに与えてくださるようにです。

栄光の父は私たちに御自身の知恵と啓示を与えたいと願っておられます。

1. 栄光の父は私たちに知恵を与えたいと望んでいる

2. 神を知ることによって啓示を受ける

1. ヤコブ 1:5-6 – あなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく、とがめられることなく与えてくださるでしょう。そうすれば、それは与えられるでしょう。

2. 詩篇 111:10 – 主を恐れることは知恵の始まりです。神の戒めを実践する人は皆、十分な理解を持っています。

エペソ人への手紙 1:18 あなたがたの理解力の目は啓発されています。それは、イエスの召しの希望が何であるか、そして聖徒たちに受け継がれる栄光の富がどのようなものであるかをあなたがたが知るためである。

パウロはエペソ人に、神に選ばれた民としての召しの中に見出される希望と栄光を理解できるように霊の目を開くよう勧めています。

1. 「心を開く力: 私たちの使命の希望と栄光を見る」

2. 「神の受け継いだ豊かな暮らし：私たちの輝かしい使命についての考察」

1. コロサイ 3:1-4 - 「もしあなたがキリストとともによみがえったのなら、神の右に座しておられるキリストがいる場所、上にあるものを探しなさい。物ではなく上にあるものに思いを向けなさい。」」

2. イザヤ書 55:6-8 - 「見い出されるうちに主を求めなさい。近くにいるうちに呼び求めなさい。悪者は道を捨て、不義の人は思いを捨てなさい。彼は主のもとに立ち帰りなさい。「彼と私たちの神を憐れんでください。彼は豊かに赦してくださるからです。私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではないからです、と主は言われる。」

エペソ人への手紙 1:19 そして、彼の偉大な力の働きによって、

神の力は、その強大な力に応じて、神を信じる者に示されます。

1. 信仰の力: 神を信じることで人生はどのように変わるのか

2. 神の強大な力の可能性を解き放つ

1. ローマ 8:11 - そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住んでいる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生き返らせるでしょう。

2. ヨハネ 14:12 - まことに、まことに、あなたがたに言います、わたしを信じる者は、わたしが行う業を彼も行うであろう。そして彼はこれらよりも大きな業を行うであろう。わたしは父のもとに行くからです。

エペソ人への手紙 1:20 彼は、キリストを死人の中からよみがえらせ、天の御自分の右の座に据えたとき、このことをキリストにあって成し遂げられました。

神はイエスを死者の中からよみがえらせ、天の世界で権力と権威の地位を与えました。

1: イエスは生きており、神の右の最高の権威の座に座っておられます。

2: クリスチャンとして、私たちはイエスの復活の力と天の領域におけるイエスの地位の権威を確信することができます。

1: ピリピ人への手紙 2:9-11 - そこで、神は彼をいと高き所に高め、あらゆる名に勝る名を与え、天においても地においても地においても、イエスの名のもとにすべての膝がかがむようにと与えました。父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であることを認めます。

2: コロサイ 3:1-2 - それで、あなたがたはキリストとともによみがえったのですから、神の右に座しておられるキリストがおられる、上にある事柄に心を向けてください。地上の事柄ではなく、天上の事柄に心を向けてください。

エペソ人への手紙 1:21 この世だけでなく、来るべき世においても、あらゆる支配力、権力、力強さ、支配権、そして名前が挙がるあらゆる名前よりもはるかに優れています。

神の力は、世界の他のどの力よりもはるかに偉大です。

1. 神の主権と至高性

2. 計り知れない神の力

1. イザヤ書40:28-31

2. 黙示録19:11-16

エペソ人への手紙 1:22 そして、彼はすべてのものを彼の足の下に置き、教会のすべてのものの上に立つ頭として彼を与えました、

教会はイエス・キリストの権威の下にあります。

1. イエスは私たちの頭です：イエスの権威を知り、受け入れる

2. 教会: 共通の責任を受け入れる

1. コロサイ 1:18 - 「そして、彼は体、教会の頭です。彼は初めであり、死者の中から最初に生まれた方です。それは、彼がすべてのことにおいて優れているためです。」

2. ペテロ第一 5:2-3 - 「あなたがたのうちにいる神の群れを養いなさい。束縛によってではなく喜んで、その監督を引き受けなさい。不潔な利益のためではなく、準備万端な精神をもってしなさい。神の群れを支配する者としてではないのです。」遺産ではありますが、群れのサンプルです。」

エペソ 1:23 それは神の体であり、すべてをすべて満たす神の満ち満ちたものです。

この箇所は、教会がキリストの満ち足りたキリストの体であると語っています。

1. 教会はキリストの体です: 教会を愛し、教会に仕えるようにという呼びかけ

2. 教会: キリストの成就に満たされる

1. ローマ 12:5 「ですから、私たちは、多くの人であっても、キリストにあって一つの体であり、個々は互いの部分なのです。」

2. コロサイ 1:19 「神の満ち足りたすべてが彼の中に宿ることを喜んでいたからです。」

エペソ人への手紙第 2 章は、エペソ人へのパウロの手紙の第 2 章です。この章では、パウロはキリストへの信仰を通して神の恵みと救いがもたらす変革の力について説明します。

第 1 段落: パウロは、救いを受ける前の信者の霊的状態について説明することから始めます。彼は、彼らがこの世のやり方に従い、サタンの影響を受けて、罪過と罪の中で死んでいたと強調しています(エペソ2:1-3)。しかし、憐れみと愛に富む神は、罪の中で死んでいた彼らをキリストと共に生かしてくださいました。信者が信仰によって救われたのは恵みによるものです。

第 2 段落: パウロは続けて、救いは神からの賜物であり、行いによって獲得されるものではないことを強調します (エペソ 2:8-9)。彼は、信者は自分自身の努力によって救われるのではなく、むしろ神の慈悲深い行為の結果として救われることを明確にしています。そうすることで、自慢や独善的な考えが排除されます。その代わりに、信者たちはキリスト・イエスにあって新たに創造され、その善行のために神が彼らが歩むようにあらかじめ備えてくださったのです。

第 3 段落: この章は、かつてイスラエルと神との契約関係から排除されていた異邦人信者の問題についてパウロが言及することで終わります (エペソ 2:11-2 2)。彼は、キリストがどのようにしてユダヤ人と異邦人の間の隔壁を打ち破り、両方のグループを一つの新しい人類に和解させたかについて説明します。イエスは十字架上の犠牲を通して、すべての信者の間に平和と一致をもたらしました。彼らは今や聖徒たちと同胞の国民であり、キリストを礎石として使徒や預言者の上に築かれた神の家族の一員となっています。

要約すれば、

エペソ人への手紙第 2 章では、神の恵みがキリスト・イエスへの信仰を通して信者を霊的な死から命にどのように変えられるかを強調しています。彼らは救いの前には罪の奴隷でしたが、キリストの憐れみと愛によってキリストと共に生かされたのです。

パウロは、救いは神の恵みの賜物であり、行いによって得られるものではないことを強調しています。信者は、神が彼らのために備えてくださった良い行いのために、キリストにあって新たに創造されます。さらにパウロは、キリストの犠牲を通してユダヤ人と異邦人の間の和解を取り上げ、障壁を打ち破り、すべての信者の間に平和と一致を確立しました。

この章は、救いにおける神の恵みの力、行いよりも信仰の重要性、そして多様な信者をキリストにおいて一つの体として結びつけるキリストの統一の働きを強調します。

エペソ人への手紙 2:1 そして、あなたがたは、罪と罪の中で死んでいた彼を生き返らせました。

神の恵みは、間違いを犯した人も含め、それを受け入れるすべての人に与えられます。

1. 神の恵み: すべての人への贈り物

2. 救いの道: 神の恵みを受け入れる

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. テトス 3:5-7 - 神が私たちを救ってくださったのは、私たちが義に従って行った行いによるのではなく、ご自身の憐れみによるものであり、聖霊の再生と再生の洗いによって私たちに豊かに注がれたことによるのです。私たちの救い主イエス・キリストは、私たちが彼の恵みによって義とされ、永遠の命の希望に従って相続人となるためです。

エペソ人への手紙 2:2 その昔、あなたがたは、この世の流れに従って、空中の力の君主、つまり不従順の子らの中に今働いている霊に従って、歩んできました。

この一節は、かつて人々が空の力の君主の指示に従い、どのようにしてこの世のやり方に従っていたかを教えてくれます。

1.「空気の力：世界の常識を超えて生きる」

2.「空の力の王子からの脱却」

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に合わせてはいけません。むしろ、心を新たにして自分を変えてください。それは、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するためです。」

2. ガラテヤ 5:16-17 - 「だから、わたしは言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、あなたがたは肉の欲望を満たすことができません。なぜなら、肉は御霊に対して欲情し、御霊は肉に対して欲情するからです。そしてこれらは反対です。」お互いに、そうすれば、あなたがたがやりたいことができなくなります。」

エペソ 2:3 私たちも昔、彼らの間で肉の欲望について語り合い、肉と心の欲望を満たしました。そして他の人たちと同じように、生まれながらに怒りの子でした。

私たちは皆、かつては罪深い欲望の中に生き、自分の欲望を満たし、神の怒りに直面していました。

1. 私たちの罪深い性質に対する神の憐れみと恵み

2. 悔い改めとイエスへの信仰の重要性

1. ローマ 3:23-24 - すべての人は罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して神の恵みによって無償で義とされるのです。

2. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

エペソ 2:4 しかし、憐れみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、

神の偉大な愛と憐れみは私たちに救いをもたらします。

1.「神の憐れみと愛：私たちの救い」

2.「主の愛は偉大です」

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

2. ヨハネ第一 4:19 - 神が最初に私たちを愛してくださったので、私たちは愛します。

エペソ人への手紙 2:5 私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、キリストとともに私たちを生かしてくださいました（恵みによって、あなたがたは救われました）。

□□□

1. ローマ人への手紙 5:8 ?では、神は私たちに対するご自身の愛を次のように表しています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. テトス 3:5-7 ?私たちが私たちを救ってくださったのは、私たちが正しいことをしたからではなく、彼の憐れみのおかげでした。イエスは私たちの罪を洗い流し、聖霊を通して私たちに新しい誕生と新しい命を与えてくださいました。神は私たちの救い主イエス・キリストを通して私たちに御霊を惜しみなく注いでくださいました。

エペソ人への手紙 2:8 あなたがたは恵みによって、信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身のものではありません：それは神の贈り物です：

救いは、恵みと信仰を通して信者に与えられる神の贈り物です。

1. 恵みの力: 神への信仰がどのように救いをもたらすか

2. 人間の無価値さ: 神の救いの賜物を受け取ること

1. テトス 3:5 - 私たちが行った義の行いによるのではなく、神の憐れみに従って、再生の洗いと聖霊の新たな働きによって私たちを救ってくださいました。

2. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

エペソ人への手紙 2:9 だれも誇ることがないように、行いによるものではありません。

神の救いは私たちの行いに依存していないので、誰もそれを誇ることはできません。

1: 神の恵みだけが救いを提供できるので、私たちの行いは決して私たちを救うことはできません。

2: 私たちは救われるために主の慈しみを信頼しなければならないので、高慢は私たちを救いません。

1: ローマ人への手紙 3:20-24 - 律法を守ったからといって神の目に義と認められる人は誰もいません。むしろ、律法を通して私たちは自分の罪を意識するようになります。

2: テトス 3:5-7 - 神が私たちを救ってくださったのは、私たちが正しい行いをしたからではなく、彼の憐れみのゆえにでした。彼は聖霊による再生と再生の洗いを通して私たちを救ってくださいました。

エペソ人への手紙 2:10 なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたからであり、神はその良い行いの中を歩むように前から定めておられました。

私たちは神の作品であり、神が私たちのために備えてくださった良い行いをするために創造されました。

1. わたしたちのために備えられた良い行いの中を歩む

2. 私たちの召命を神の作品として理解する

1. ヨハネ 15:16 - 「あなたが私を選んだのではありません。しかし、私があなたを選んで任命したのは、あなたが行って実を結ぶためですか？それはいつまでも続くのですか？そして、私の名においてあなたが求めるものは何でも、父が与えてくださるでしょう」あなた。"

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

エペソ人への手紙 2:11 したがって、あなたがたは、肉体の異邦人を過ぎて、手でなされた肉体の割礼と呼ばれるものによって無割礼と呼ばれていることを覚えておいてください。

パウロはエペソ人たちに、彼らはかつて異邦人であったこと、そして肉に割礼を受けた人々によって割礼を受けていない者と呼ばれていたことを思い出させます。

1. 記憶の力

2. 割礼の重要性

1. 申命記 30:19 - 「私は天と地に、あなたに対してこの日を記録するよう呼びかけます。私はあなたの前に生と死、祝福と呪いを定めました。それゆえ、あなたとあなたの子孫が生きるために、命を選びなさい。」

2. ローマ人への手紙 3:1-2 - 「それでは、ユダヤ人に割礼のどんな利益があるでしょうか。あるいは、割礼によってどんな利益があるのでしょうか。それは、主に、彼らに神の託宣が託されたからです。」

エペソ人への手紙 2:12 つまり、その当時、あなたがたはキリストもなく、イスラエル連邦からも離れた者であり、約束の契約からも離れた者であり、何の希望も持たず、世には神もいなかったのです。

私たちはかつて希望も神もなくしていましたが、神は私たちを神の家族の一員としてくださったのです。

1: 神の尽きることのない愛と救い

2: キリストにおける希望の力

1: ローマ人への手紙 5:8 ?では、神は私たちに対するご自身の愛を次のように表しています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: イザヤ書 40:31 ?主に望みを持つ人は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはありません。

エペソ 2:13 しかし、今では、キリスト・イエスにあって、時には遠く離れていたあなたがたも、キリストの血によって近くなりました。

神はイエスの犠牲を通して私たちを神に近づけてくださいました。

1: 和解にかかる費用はいくらですか?

2: 十字架の力: イエスはどのようにして私たちを神に結び付けたのか

1: ローマ 5:8-9 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: コロサイ 1:20-22 - そして、地上でも天でも、キリストを通してすべてのものをご自分と和解させ、十字架の血によって平和を実現します。

エペソ 2:14 なぜなら、神は私たちの平和であり、その両方を実現し、私たちの間の隔壁の真ん中の壁を打ち破られたからです。

この箇所は、イエスが私たちの平和であり、私たちの間の分断の壁を打ち破ってくださったことを強調しています。

1. イエスによる一致

2. 分裂を克服するイエスの力

1. ローマ 5:1-2 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。私たちも、この方を通して、信仰によってこの恵みにアクセスすることができ、その恵みの中に立っており、神の栄光を望んで喜んでいます。

2. コロサイ 3:14-15 - そして何よりも、これらの人々は愛を身に着けており、それがすべてを完璧な調和で結びつけています。そして、キリストの平和があなた方の心の中に支配されるようにしてください。あなた方は確かに、一つの体としてその平和に召されているのです。そして感謝しましょう。

エペソ 2:15 肉体において敵意を、儀式に含まれる戒めの律法さえも廃止したのです。なぜなら、自分の中に一人の新しい人間を作り、そうして平和を作るからである。

イエスは戒めの律法を廃止し、一人の新しい人を創造することによってユダヤ人と異邦人との間に平和をもたらしました。

1: イエスは、一人の新しい人を創造することによって、人種的および民族的グループ間の敵意と分裂の壁を打ち破りました。

2: イエスは戒めの律法を廃止し、新しい契約の下ですべての人々を団結させることによって平和をもたらしました。

1: ガラテヤ 3:26-28 - あなたがたは皆、キリスト・イエスへの信仰による神の子だからです。なぜなら、キリストに結ばれるバプテスマを受けたあなた方の多くは、キリストを着ているからです。ユダヤ人もギリシャ人も、絆も自由も、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2: コロサイ 3:11 - ギリシャ人もユダヤ人も、割礼も無割礼も、野蛮人もスキタイ人も、奴隷も自由人も存在しないところには、キリストがすべてであり、すべてのうちにおられます。

エペソ 2:16 そして、彼が十字架によって敵意を殺し、両者を一つの体として神と和解させるためです。

キリストは十字架の死を通してユダヤ人と異邦人の両方を一つの体として神と和解させ、ユダヤ人と異邦人の間の敵対を終わらせました。

1. 和解の力: キリストの十字架の死は文化的および宗教的分裂をどのように乗り越えたか

2. 多様性の中の統一: キリストの愛がすべての人々をどのように結びつけるか

1. コロサイ 1:20-22 - 神はキリストを通して、天と地にあるすべてのものをご自分と和解させました。

2. ローマ 5:8-11 - 私たちがまだ罪人であったとき、神はキリストの十字架の死を通して私たちに対する愛を示してくださいました。

エペソ人への手紙 2:17 そして、来て、遠くにいるあなたがたにも、近くにいる人たちにも、平和を宣べ伝えました。

キリストは遠くにいる人たちにも、近くにいる人たちにも平和を宣べ伝えるために来られました。

1. 失われた人々に届くキリストの呼びかけ

2. 隣人に愛を持って手を差し伸べる

1. マタイ 28:18-20 - 「そのとき、イエスは彼らのところに来て言われた、『天と地におけるすべての権威がわたしに与えられた。だから行って、すべての国の人々を弟子とし、父の名によって彼らに洗礼を授けなさい』そして御子と聖霊について、そしてわたしがあなたに命じたすべてに従うように彼らに教えています。

そして確かに、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。

2. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、どうやって信じていない人を呼び求めることができますか。また、聞いたことのない人をどうして信じることができますか。そして、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができますか？彼らは? そして、遣わされない限り、どうやって説教することができますか? こう書かれています: ?良い知らせをもたらす人の足は、なんて美しいのでしょう??

エペソ 2:18 なぜなら、私たちはこの方を通して、一つの御霊によって御父に近づくことができるからです。

この箇所は、イエスを通して私たちがどのように父なる神に近づくことができるかを語っています。

1. イエスの力: イエスの死と復活を通して神に近づく

2. 天国への門: 扉の鍵を開ける人としてのイエス

1. ローマ 5:1-2 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。私たちも、この方を通して、信仰によってこの恵みにアクセスすることができ、その恵みの中に立っており、神の栄光を望んで喜んでいます。

2. ヘブライ 10:19-20 - したがって、兄弟たち、私たちはイエスの血によって、つまりイエスが幕を通して私たちのために開いてくださった新しい生きた道によって、つまりイエスの肉を通して聖所に入ることができると確信しています。

エペソ 2:19 ですから、あなたがたはもはやよそ者でも外国人でもありません。聖徒たちと同じ国民であり、神の家族の一員なのです。

キリストを信じる者は神の家族の一員であり、聖徒たちと同じ国民です。

1. 所属することの祝福: エペソ人への手紙 2:19 の研究

2. 神の家族における私たちのアイデンティティ: エペソ人への手紙 2:19 の研究

1. ガラテヤ 6:10 - それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。

2. ペテロ第一 2:9-10 - しかし、あなたがたは選ばれた民族であり、王の祭司職であり、聖なる国民であり、自分の所有物である民であり、あなたがたを暗闇からその驚くべき光の中に呼び出してくださった神の卓越性を宣言するためのものです。。

エペソ人への手紙 2:20 また、使徒と預言者はその土台の上に建てられており、イエス・キリストご自身がその隅の親石となっています。

キリスト教の信仰の基礎は、イエス・キリストを主要な礎石として、使徒と預言者の上に築かれます。

1: 私たちはイエス・キリストを礎石として、使徒と預言者を基礎として自分の人生を築かなければなりません。

2: イエス・キリストは私たちの信仰の基礎であり、私たちは使徒と預言者を基礎として自分の人生を築かなければなりません。

1: マタイ 7:24-25 - したがって、私のこれらの言葉を聞いて実行する者は誰でも、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると、雨が降り、洪水が来て、風が吹いて、その家を叩きました。しかし、それは落ちませんでした。それは岩の上に基礎があったからです。

2: 1 コリント 3:11 - なぜなら、人は置かれた土台、すなわちイエス・キリスト以外に他の土台を置くことはできないからです。

エペソ人への手紙 2:21 この人の中で、適切に組み立てられたすべての建物が、主にある聖なる神殿へと成長します。

教会の建物は一つに結合され、主にある聖なる神殿へと成長していきます。

1. 教会の一致の力

2. 主の宮を建てる

1. ヨハネ 17:21-23、信者たちの一致を祈るイエス

2. ペテロ第一 2:5、生きた石で建物を建てて霊的な家にする

エペソ 2:22 あなたがたもこのキリストによって共に建てられ、御霊によって神の住まいとなるのです。

信者は御霊によって神の住まいとして共に建てられます。

1. 神の家を建てる: 御霊はどのようにして信者を結びつけるのか

2. 私たちの生活における聖霊の力

1. コリント人への第一の手紙 3:16-17 - あなたがたは神の神殿であり、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのですか。

2. ローマ 8:9-11 - しかし、あなたがたは肉の中にではなく、霊の中にいます。そうであれば、神の霊があなたがたのうちに住んでいるのです。さて、もしキ

リストの御霊を持たない人がいるなら、その人はキリストのものではありません。

エペソ人への手紙 3 章は、エペソ人へのパウロの手紙の 3 番目の章です。この章でパウロは、異邦人がキリストの体に加えられるという神の計画の奥義を明らかにし、信者の霊的な成長と理解のために祈ります。

第 1 段落: パウロは、異邦人に対する神の計画に関する神の啓示を自分に託されたことを説明することから始めます (エペソ 3:2-6)。前の世代では完全に知られていなかったこの神秘が、今では御霊を通して聖なる使徒や預言者たちに明らかにされたことを彼は強調しています。その神秘は、異邦人は仲間の相続人であり、同じ体の一員であり、福音を通してキリスト・イエスにおける神の約束にあずかる者であるということです。

第 2 段落: パウロは、信者の中に働く神の計り知れない偉大な力に対する畏怖の念を表します (エペソ 3:20-21)。神は、神の力に従って人々が求めたり考えたりできるすべてよりもはるかに豊かに行うことができることを彼は認めています。パウロは神をあらゆる世代を通じて賛美に値する方として讃えています。

第 3 段落: この章は、パウロが信者たちの間の霊的な力と理解のために祈ったところで終わります (エペソ 3:14-19)。彼は、彼らが内なる神の御霊によって強められ、信仰を通してキリストが彼らの心に宿るようにと願っています。パウロは彼らにキリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さを理解してほしいと願っています。それは知識を超えた計り知れない愛です。彼は彼らが神の満ち足りたもので満たされるように祈っています。

要約すれば、

エペソ人への手紙第 3 章は、異邦人がイエス・キリストを通して神の計画にどのように含まれるかを明らかにしています。これは神の啓示によって明らかにされた神秘です。パウロは神の力の偉大さに驚嘆し、あらゆる期待を超えることができる神を賞賛します。

彼はまた、信者の霊的な成長と理解のための祈りを捧げています。パウロは彼らの内なる強さ、心の中にキリストが宿ること、そしてキリストの無限の愛を深く理解することを求めています。彼は彼らが神の満ち足りたもので満たされることを望んでいます。

この章では、異邦人に対する神の計画の包括性、神の卓越した力、そして信者の霊的な成長と理解を求めるパウロの祈りに焦点を当てています。それは、信者が信仰を通してキリスト・イエスの約束に参加するときにキリスト・イエスに見出される一致と愛を強調します。

エペソ人への手紙 3:1 このようなわけで、あなたがた異邦人のためにイエス・キリストの囚人であるわたしパウロは、

パウロは、自分は異邦人のためにイエス・キリストの囚人であると書いています。

1. 他人のために私たちが払う犠牲: パウロの例を考察する

2. イエスにはすべての価値がある: パウロのキリストへの従順

1. ピリピ人への手紙 2:5-11

2. コロサイ1:24-29

エペソ人への手紙 3:2 あなたがたが私に与えられた神の恵みの分配について聞いたことがあるなら、

パウロは神がエペソ人に与えられた恵みの分配について説明しています。

1. 神の恵み: すべての人への贈り物

2. 恵みの分配を理解する

1. ローマ人への手紙 5:17 - というのは、もし一人の人の罪によって死が一人によって支配されたとしても。ましてや、恵みと義の賜物を豊かに受ける者は、ただ一人、イエス・キリストによって人生を統治することになる。

2. テトス 2:11-12 - 救いをもたらす神の恵みがすべての人に現れ、不敬虔と世俗の欲望を否定し、このこの世で慎み深く、正しく、敬虔に生きるべきであることを教えてくださったからです。

エペソ人への手紙 3:3 なんと、彼は啓示によってその奥義を私に知らせてくださったのです。（先ほども少しだけ書きましたが、

神はパウロに奥義を明らかにされました。

1. パウロに啓示された神の奥義

2. 神の神秘を受け入れる

1. エペソ人への手紙 1:9 - ご自分の中で意図されたご自身の喜びに従って、ご意志の奥義を私たちに知らせてください。

2. ローマ 11:25 - 兄弟たち、私は、あなたがたが自分のうぬぼれに賢くならないように、この奥義を知らないでいてはなりません。異邦人が完全に到来するまで、部分的にはイスラエルに失明が起こるということです。

エペソ人への手紙 3:4 そうすれば、あなたがたが読むとき、キリストの奥義についての私の知識が理解できるでしょう）

この聖句は、イエス・キリストによる世界の救いに関する神の神秘的な計画を明らかにしています。

1:「神の神秘的な救いの計画」

2:「キリストの神秘を理解する」

1: ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を罪に定めるためではなく、御子を通して世が救われるためである。」

2: ローマ人への手紙 10:9-10 「なぜなら、イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるからです。人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからである。」

エペソ 3:5 このことは、他の時代には人の子らには知らされませんでしたが、今では御霊によって聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されています。

かつて、神の救いの計画は人類に明らかにされませんでしたが、聖霊によって使徒と預言者に明らかにされました。

1. 聖霊の力: 神の救いの計画を理解する

2. 未知の克服: 明らかにされた神の救いの計画

1. ヨハネ 16:13 - 「真理の御霊が来るとき、彼はあなたをすべての真理に導きます。」

2. ローマ人への手紙 8:14-16 - 「神の御霊に導かれる者は皆、神の子です。あなたがたは、再び恐怖に陥る奴隷の霊を受けたのではなく、子として養子縁組の霊を受けたからです。私たちはその人によって「アバ！お父さん！」と叫びます。御霊ご自身が、私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。」

エペソ 3:6 それは、異邦人が同じ相続人であり、同じからだであり、福音によってキリストにある約束にあずかる者となるためです。

この箇所は、ユダヤ人も異邦人も含め、キリストを信じるすべての者が一致して神の約束の共同相続人となることについて語っています。

1:「キリストにおける一致の約束」

2:「福音の継承」

1: ヨハネ 17:20-21 「私はこれらのことだけを求めているのではなく、彼らの言葉を通して私を信じる人々にも、父よ、あなたが私の中にいてくださるように、そして私がみな一つになるようにお願いします。」それは、彼らが私たちの中にもいて、あなたが私を遣わしたことを世界が信じるようにするためです。」

2: ガラテヤ人への手紙 3:26-28 「というのは、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって、信仰によって神の子だからです。なぜなら、キリストに結ばれるバプテスマを受けた多くの人がキリストを着ているからです。ユダヤ人もギリシャ人もいませんし、奴隷もいません」自由でもないし、男も女もない、なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」

エペソ人への手紙 3:7 そこで私は、神の力の効果的な働きによって私に与えられた神の恵みの賜物に従って、奉仕者とされました。

パウロは神の恵みの力によって福音の奉仕者に任命されました。

1. 神の恵みは私たちに奉仕する力を与えます

2. 宣教の賜物: 神の呼びかけに応える

1. ローマ 12:1-8 - 自分の体を、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとしてささげなさい。

2. 使徒 20:17-38 - エペソの長老たちに対するパウロの別れの言葉。

エペソ 3:8 すべての聖徒の中で最も小さい者である私に、キリストの測り知れない富を異邦人に宣べ伝えるという恵みが与えられました。

キリストの計り知れない富を異邦人に宣べ伝えるという恵みが、聖徒の中でも最も小さい者であるパウロに与えられました。

1. キリストの探求不可能な富: キリストの恵みの宝を発見する

2. 最も小さな者に与えられる恵み: 神は最も可能性の低い人々をどのように用いられるか

1. ローマ人への手紙 11:33-36 - 「ああ、神の富と知恵と知識の深さよ! 神の裁きはなんと探り難く、神の道はなんと不可解なのでしょう! だれが主の御心を知っていたのか、あるいはだれが主の思いをしてきたのか。」

2. コリント人への手紙第一 1:27-29 - 「しかし、神は賢い者に恥をかかせるために世の愚かなものを選びました。神は強い者に恥をかかせるために世の弱いものを選びました。神は世で卑しく軽蔑されているものを選びました。ないものを、あるものを無にして、誰も神の御前で誇ることがないようにするためである。」

、イエス・キリストによって万物を創造された神のうちに世界の初めから隠されていた神秘の交わりが何であるかをすべての人に理解させるためです。

被造物の中に隠された神の交わりの神秘が、イエス・キリストを通して明らかにされました。

1: イエス・キリスト: 神の神秘の啓示者

2: 神秘の交わり: それは私たちにとって何を意味しますか?

1: コロサイ 1:15-17 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。 16 というのは、天も地も、目に見えるものも見えないものも、王座も支配地も支配者も権威も、すべてが彼によって創造されたからであり、すべてのものは彼を通して、そして彼のために創造されたからです。17 そして、神は万物に先立って存在し、神の内に万物は一つにまとまっている。

2: ローマ人への手紙 11:33-36 ああ、神の富と知恵と知識の深さよ！彼の判断はなんと調べにくく、彼のやり方はなんと不可解なのでしょう。 34 「だれが主の御心を知っていたでしょうか、あるいはだれが主の助言者であったでしょうか。」35 「それとも、だれが彼にお返しをするために贈り物をしたのですか。」 36 すべては彼から出て、彼を通して、そして彼に至るからである。彼に永遠の栄光がありますように。アーメン。

エペソ人への手紙 3:10 それは、教会が神のさまざまな知恵を天上の諸侯と権力に知らせるためであり、

この箇所は、神の知恵が教会を通じて天上の諸侯や権力に明らかにされることを説明しています。

1. 教会を通じて神の知恵をどのように実証するか

2. 神の知恵を示す教会の力

1. 箴言 8:12-13 - 「わたしの知恵は思慮深く住み、機知に富んだ発明の知識を見出します。主を畏れるのは悪を憎むことです。高慢と傲慢と邪悪な道とひねくれた口が行います。」嫌いだよ。」

2. ローマ人への手紙 11:33-36 - 「ああ、神の知恵と知識の富の深さよ! 神の裁きと、それを知ることの先の道は、なんと探り知れないことだろう! 誰が主の心を知っていたのか?あるいは誰が? 」

エペソ人への手紙 3:11 彼が私たちの主キリスト・イエスにあって意図した永遠の目的によれば、次のようになります。

神は私たちに対して、キリスト・イエスにおいて定められた目的を持っています。

1. 目的の力: 私たちの人生に対する神の計画

2. キリスト・イエスに見出される神の永遠の目的

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

2. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

エペソ 3:12 私たちはこの方にあっては大胆であり、この方への信仰によって自信を持って近づくことができます。

私たちは神への信仰を持って自信を持って神に近づくことができます。

1. 信仰は神に近づく勇気を与える

2. 信仰を通じて神に近づく

1. ヘブライ 4:16 - それでは、私たちが憐れみを受け、必要なときに助ける恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。

2. ローマ 5:1-2 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。私たちも、この方を通して、信仰によってこの恵みにアクセスすることができ、その恵みの中に立っており、神の栄光を望んで喜んでいます。

エペソ人への手紙 3:13 ですから、私はあなたがたが、あなたがたに対するわたしの艱難に気絶しないことを望みます、それがあなたの栄光なのです。

パウロはエフェソス人に、苦しみにもかかわらず信仰を強く持つよう勧めています。

1: あきらめないでください - エペソ人へのパウロの励まし

2: 困難な時にしっかりと立つ

1: ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。

2: ヘブライ 10:35-36 - ですから、自信を捨てないでください。それは豊かな報いを受けるでしょう。

エペソ人への手紙 3:14 このような理由から、私は主イエス・キリストの御父にひざまずきます。

パウロはイエスの父への献身を表明し、エペソの教会に恵みと力を求めます。

1.「父への献身:クリスチャン生活の基礎」

2.「祈りの力：困難な時に恵みと強さを見つける」

1. マタイ 6:9-13 - 主の祈り

2. ピリピ 4:6-7 - 心配しないでください

エペソ人への手紙 3:15 天と地の家族全員の名前は次のとおりです。

天でも地でも神の家族全員が神の名で呼ばれています。

1. 神の家族: 多様性の中の統一

2. 主の御名：祝福と命令

1. 申命記 28:10 - そして地上のすべての人々は、あなたが主の名で呼ばれていることを知るでしょう。そして彼らはあなたを恐れるでしょう。

2. 使徒 4:12 - 他の名前にも救いはありません。なぜなら、天の下で人間の間に与えられた名前は他にないからであり、それによって私たちは救われなければなりません。

エペソ 3:16 それは、ご自分の栄光の富に応じて、内なる人の内にある御霊によって力強く強められることを神があなたがたに与えてくださるためです。

神の御霊の力は私たちの内なる人を強めます。

1. 私たちの中にある霊の強さ

2. 神の力にアクセスする方法

1. ローマ 8:11 - 「そして、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方も、あなたがたのうちに住んでいる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだを生かしてくださるでしょう。」

2. ガラテヤ 5:16 - 「それで、私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、あなたがたは肉の欲望を満たすことができません。」

エペソ人への手紙 3:17 それは、キリストが信仰によってあなたがたの心に住まわれるためです。あなたが愛に根ざし、愛に根ざしていること、

この一節は、私たちの心の中に信仰と愛の環境を作り出すことについて語っています。

1: 愛に根ざし、愛に根ざした - 私たちの人生における信仰と愛の重要性について。

2: キリストに住む - キリストを人生の基盤とすることについて。

1: ローマ人への手紙 5:5 - 「希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は、私たちに与えられる聖霊によって、私たちの心の中に注がれるからです。」

2: 1 ヨハネ 4:8 - 「愛さない者は神を知りません。神は愛だからです。」

エペソ人への手紙 3:18 すべての聖徒たちなら、幅、長さ、深さ、高さがどれくらいであるかを理解できるかもしれません。

この一節は、信者が神の愛の巨大さを理解する必要性について語っています。

1: 神の愛は計り知れない

2: 神の愛を理解する必要性

1: ヨハネ 3:16 - 「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2: ローマ人への手紙 8:38-39 「というのは、私は、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物には存在しないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

エペソ人への手紙 3:19 そして、あなたがたが神の満ち足りるすべてで満たされるように、人知を超えたキリストの愛を知りなさい。

この箇所は、信者が神の満ち足りたもので満たされるように、あらゆる知識を超えたキリストの愛を知ることについて語っています。

1. キリストの信じられないほどの愛: キリストの恵みの豊かさを体験する

2. 満ち溢れる人生を生きる：神の豊かさを体験する

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

2. エペソ 1:7-8 - 神があらゆる知恵と思慮深さをもって私たちに満ち溢れさせてくださった神の恵みの富に応じて、私たちは神の血による救い、罪の赦しを持っています。

エペソ 3:20 さて、私たちの内に働く力に応じて、私たちが願い、考えていることをはるかに超えて豊かに行うことができる方に、

神は私たちの内に働く力のおかげで、私たちが望んだり想像したりすることをはるかに超えることができます。

1. 神の力: 期待を超えて到達する私たちの能力

2. 神の豊かさ: 私たちの想像を超える

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。」

2. イザヤ書 40:29 - 「神は気弱な者に力を与え、力のない者に力を増し加えられる。」

エペソ人への手紙 3:21 世々、終わりのない世界を通して、キリスト・イエスによって教会に栄光がありますように。アーメン。

神の栄光は教会でイエスによって永遠に祝われなければなりません。

1: 私たちを統治する神の永遠の栄光を讃美しましょう。

2: 常に主にあって喜びなさい。主の栄光は無限であり、主の愛は永遠に続くからです。

1: 詩篇 145:1-3 - 「わたしの神、王よ、わたしはあなたを讃え、あなたの御名をとこしえにほめたたえます。毎日、わたしはあなたを祝福し、あなたの御名をとこしえにほめたたえます。主は大いなる方です。称賛されるべきだが、彼の偉大さは探り当てることができない。」

2: イザヤ書 6:3 - 「すると、ある人は他の人に呼びかけて言った、『聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主。全地が彼の栄光に満ちているのです！」

エペソ人への手紙 4 章は、エペソ人へのパウロの手紙の第 4 章です。この章でパウロはキリストを信じる者の一致と成熟を強調し、召命にふさわしい生き方をするよう勧めています。

第 1 段落: パウロは信者たちに、謙虚さ、優しさ、忍耐、そして愛を持って、その召しにふさわしい生き方をするよう勧めています (エペソ 4:1-3)。彼は、御霊における一致とお互いの平和を維持することの重要性を強調しています。パウロは、一つの体、一つの霊、一つの希望、一つの主、一つの信仰、一つのバプテスマ、そしてすべての上に一つの神であり父があることを強調しています。

第 2 段落: パウロは、キリストが奉仕の業とキリストの体を築き上げるために信者を備えるために、さまざまな賜物を与えられたと説明しています (エペソ 4:1 1-13)。これらの賜物には、使徒、預言者、伝道者、牧師、教師が含まれます。その目的は、成熟して成長しながら、キリストに関する信仰と知識の一致を達成することです。愛をもって真理を語り、キリストの頭の権の下で統一体として機能することによって、信者は共に成長するよう促されます。

第 3 段落: この章はクリスチャンとしての生活のための実践的な指示で終わります (エペソ 4:17-32)。パウロは信者たちに、キリストを知る前と同じように生きるのではなく、欺瞞的な欲望に特徴付けられた古い自分を捨てるよう勧めています。代わりに、彼らは心を新たにし、義と聖さによって特徴づけられた、神の似姿に倣って創造された新しい自己を身に着けるべきです。

パウロは不健全な話や恨みを避ける一方で、信者間の正直なコミュニケーションを奨励しています。彼は、イエスの犠牲を通じた神の許しをモデルとした優しさ、許しを強調しています。信者は、罪深い行為に従事するのではなく、犠牲的な行為を通して示される神の愛に倣うよう促されています。

要約すれば、

エペソ人への手紙第4章は、キリストに従う者としての召しにふさわしい人生を送ることの重要性を強調しています。パウロは聖霊における一致と信者間の平和を強調し、奉仕と成長のために備えさせるためにキリストから与えられた多様な賜物を認めています。

彼は信者たちに、信仰と知識の一致を達成しながらキリストの体を築き上げるという自分たちの役割を受け入れるよう勧めています。パウロはクリスチャンが生きるための実践的な指示を与え、古い自分を脱ぎ捨て、心を新たにし、神に似せて創造された新しい自分を着るように勧めています。

この章は、一致、成熟、そして義、優しさ、許し、愛を特徴とする変容した人生を送ることの重要性を強調しています。それは信者に対し、成長を追求し、他者との関わりの中でキリストのような性格を示しながら、キリストの体の中での自分の独特の役割を受け入れるよう呼びかけています。

エペソ人への手紙 4:1 そこで、主の囚人である私は、あなたがたが召された召命にふさわしい歩みをするようにお願いします。

自分の使命にふさわしい人生を送りましょう。

1: 目的と意味のある人生を送りましょう。神は私たち全員をより大きな目的に招いてくださったからです。

2: 私たちはそうするように召されているので、神に喜ばれる生き方をするように努めましょう。

1: ピリピ人への手紙 2:12-13 「ですから、愛する人よ、あなたがいつも従ってくださったように、今、わたしがいるときだけでなく、いないときはなおさら、恐れおののきながら自分の救いを達成しなさい。神はあなたの内に働いて、ご自分の喜びのために意志を持って働いてくださるのです。」

2: コロサイ 1:10 - 「それは、主にふさわしい生き方をし、主に十分に喜ばれ、あらゆる良い行いで実を結び、神についての知識を増すためです。」

エペソ 4:2 あらゆるへりくだりと柔和さをもって、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合いなさい。

私たちは謙虚で忍耐強く、お互いに愛を持っていなければなりません。

1. 人間関係における優しさと忍耐の力

2. 愛と謙虚な心を育む

1. コリント第一 13:1-7

2. コロサイ3:12-14

エペソ 4:3 平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努める。

信者間の一致は平和に暮らすために不可欠です。

1: 教会の一致: 愛の力

2: 壊れた世界における団結の重要性

1: ヨハネ 17:21-23 「それは、父よ、あなたがわたしのうちにおられ、わたしもあなたの中におられるように、彼らもみな一つとなるためです。それは、彼らもわたしたちの中で一つとなるためです。それは、あなたがわたしをお遣わしになったことを世が信じるためです。そして、あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。私たちが一つであるように、彼らも一つになりますように。私は彼らの中にあり、あなたは私の中にいます、彼らが一つになって完全になるように。そして、あなたが私を遣わし、あなたが私を愛してくださったように、彼らを愛してくださったことを世界が知ることができるように。」

2: ガラテヤ 3:28 「ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」

エペソ人への手紙 4:4 あなたがたは、召命という一つの希望をもって召されていますが、からだも霊も一つです。

1 : 私たちは皆、同じ信者の集団の一員となり、同じ希望を共有するよう招かれています。

第二に、一つの体として調和して生きるには、私たちが御霊において統一されることが必要です。

第一: コリント人への手紙第一 12:12-13 - 「体が一つで多くの部分があり、体のすべての部分はたとえ多くても一つの体であるのと同じように、キリストも同様です。なぜなら、私たちは一つの霊においてであったからです。」ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由民も、全員が一つの体となるようにバプテスマを受け、全員が一つの御霊を飲まされました。」

第二: コロサイ 3:14-15 - 「そして、これらの人々は何よりも愛を身に着け、それがすべてを完璧な調和で結びつけます。そして、キリストの平和があなた方の心を支配しなさい。確かに、あなた方はそのために一つの体として召されたのです。そして感謝しなさい。」。」

エペソ人への手紙 4:5 一つの主、一つの信仰、一つのバプテスマ、

この箇所は、主における一致、信仰、バプテスマの重要性を強調しています。

1: 主の一致: 私たちの一体性を祝う方法

2: 洗礼の信仰: 統一された未来のための基盤

1: ヨハネ 17:20-23 - 信者間の一致を求めるイエスの祈り

2: ピリピ 2:1-4 - キリストの謙遜さゆえに一致を求めるパウロの呼びかけ

エペソ人への手紙 4:6 すべてのものの上に、すべてのものを通して、そしてあなたがたすべてのうちにおられる、すべてのものの父であり唯一の神です。

神は唯一であり、神はすべてのものの父であり、何よりも、すべてを貫き、すべてのうちにあります。

1. 唯一の神の統一力

2. 神の遍在

1. エペソ人への手紙 4:1-5

2. ローマ人への手紙 11:36

エペソ4:7 しかし、私たち一人一人には、キリストの賜物に応じて恵みが与えられています。

神はキリストの賜物に応じて、さまざまな量の恵みをすべての人に与えてくださいました。

1. キリストの限りない恵み：苦難の時の私たちの希望。

2. キリストの賜物：私たちの人生に恵みの力を解き放ちます。

1. 1 コリント 12:7-10 - 御霊の恵みはさまざまな形で現れます。

2. ローマ人への手紙 5:15-17 - キリストの賜物によって恵みが私たちに満ち溢れています。

エペソ人への手紙 4:8 それゆえ、彼はこう言われた、「高いところに昇られたとき、彼は捕らわれの者を導き、人々に贈り物を与えた。」

エペソ人への手紙 4章8節でパウロは、イエスが天に昇り人類に贈り物を与えられたことについて語っています。

1. 捕らわれの者: イエスの勝利の昇天と贈り物

2. 命の贈り物: 神が私たちに与えてくださった贈り物に感謝する

1. フィリピ 2:8-11 - イエスはへりくだり、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。したがって、神は彼を高く評価し、あらゆる名前に勝る名前を彼に与えました。

2. ローマ 5:15-17 - しかし、無償の贈り物は不法行為とは異なります。なぜなら、もし一人の人の罪によって多くの人が死んだのなら、なおさら神の恵みがあり、その一人の人イエス・キリストの恵みによる無償の賜物が多くの人に豊かに与えられるからです。

エペソ人への手紙 4:9 (イエスが昇天したのに、まず最初に地の低いところに下られたということ以外に何があるでしょうか。

エペソ人への手紙 4章9節のこの一節は、イエスが地の下層に降臨したことについて語っています。

1. イエス・キリストの降臨と勝利: 私たちの人生にとって意味のある例

2. 追随者にとってのイエスの降臨の意義

1. ローマ人への手紙 10:9 - 「もしあなたが口で『イエスは主である』と告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」

2. ピリピ人への手紙 2:8-10 - 「そして、人間の姿で見出された彼は、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になり、自分をへりくだらせました。そこで、神は彼を最高の場所に高め、その上にある名前を彼に与えました。」すべての名前。」

エペソ人への手紙 4:10 降臨された方は、すべてのものを満たすために、すべての天の遥か上に昇られた方でもあります。）

この一節は、キリストがどのようにして降臨し、昇天して万物を満たすかについて語っています。

1. キリストの昇天と彼に従う必要性

2. キリストの偉大さと私たちの対応

1. ヨハネ 14:1-3 「あなたがたの心を騒がせてはなりません。神を信じる;私も信じてください。父の家にはたくさんの部屋があります。そうでなかったら、私があなたのために場所を用意しに行くと言ったでしょうか？そして、もし私が行って、あなたのために場所を用意したら、また来て、あなたを自分のところに連れて行きます。そうすれば、私がいる場所にあなたもそうすることができます。」

2. ピリピ人への手紙 2:5-8 「この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿をとっておられましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身をむなしくしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして人間の姿で発見されたとき、彼はへりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。」

エペソ人への手紙 4:11 そして、彼は何人かの使徒たちに与えた。そしてある者は預言者。伝道者もいます。牧師や教師もいる。

この箇所では、イエスが一部の人々に使徒、預言者、伝道者、牧師、教師という贈り物を与えられたことが説明されています。

1. イエスの賜物の力

2. 神への奉仕の人生を送る

1. ローマ人への手紙 12:6-8 - 預言であろうと、私たちに与えられる恵みに応じて異なる賜物があるので、信仰の割合に応じて預言しましょう。あるいはミニストリー、私たちのミニストリーを待ちましょう。あるいは教える人は教えることを待ちましょう。あるいは、勧める人は、勧めます。与える人は、単純にそれを行いましょう。勤勉に統治する者。朗らかに慈悲を示す者。

2. 1 コリント 12:4-11 - さて、賜物には多様性がありますが、御霊は同じです。そして、政権の違いはありますが、主は同じです。そして、働きには多様性がありますが、全体として働くのは同じ神です。しかし、御霊の現れは、それによって利益を得るためにすべての人に与えられています。人には御霊によって知恵の言葉が与えられるからです。同じ御霊による知識の言葉を他の人に伝える。同じ御霊によって別の信仰に。同じ御霊による癒しの賜物を別の人に。ある人にとっては奇跡の働き。別の預言へ。霊の目の肥えた別の人へ。別の多様な種類の言語に。しかし、これらすべては、その同じ同一の御霊によって働き、各人の望み通りに分けられます。

エペソ 4:12 聖徒を完全にするため、奉仕の働きのため、キリストの体を徳化するためです。

エペソ人への手紙 4章12節のこの一節は、神が私たちに、聖徒たちを完全にし、奉仕の働きをし、キリストの体を高めるようどのように呼びかけておられるかを語っています。

1. 「奉仕への呼びかけ: 聖徒を完全にし、キリストの体を教化する」

2. 「神の奉仕の働きとキリストの体」

1. ローマ人への手紙 12:3-8 - 私に与えられた恵みによって、あなたがた全員に言いますが、自分自身を必要以上に高く評価せず、冷静な判断力を持って、それぞれが信仰の尺度に従って考えてください。神が割り当てました。というのは、一つの体には多くの部分があり、その部分がすべて同じ機能を持っているわけではな

いのと同じように、私たちは多くても、キリストにあって一つの体であり、個々に他の部分であるからです。私たちに与えられた恵みに応じて異なる賜物を持っているので、それを使いましょう。預言であれば、私たちの信仰に応じて。サービスの場合、私たちのサービスにおいて。教える人、その教えにおいて。勧める人、その勧めの中で。寛大に貢献する人。熱心に導く人。朗らかに慈悲の行為を行う人。

2. ヤコブ 1:27 - 父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児や未亡人を訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。

エペソ人への手紙 4:13 私たち皆が信仰と神の御子についての知識とを一致させて、完全な人となり、キリストの完全さの身長に達するまで、

この一節は、イエス・キリストの信仰と知識における信者間の一致の重要性を強調しています。

1. 「キリストにおける信仰と知識が団結する力」

2. 「キリストにおける一致を通じて完全を達成する」

1. コロサイ 2:2-3 - それは、彼らの心が愛で結ばれて慰められ、理解の完全な保証と、神と父とキリストの神秘を認識することが豊かになるためです。;その中には知恵と知識の宝がすべて隠されています。

2. エペソ 4:3 - 平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努める。

エペソ人への手紙 4:14 私たちは、今後、人間の策略や、騙そうと待ち伏せする狡猾な悪知恵によって、あらゆる教義の風に振り回されたり、振り回されたりする子供ではなくなります。

私たちはもはや、人々の巧妙で操作的な嘘に簡単に惑わされるべきではありません。

1. 巧妙で操作的な嘘に騙されないでください。

2. 信仰をしっかりと持ち、神の教えに忠実であり続けます。

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. コリント人への第一の手紙 16:13 - 用心してください。信仰にしっかりと立ちなさい。勇気を出してください。強くなってください。

エペソ人への手紙 4:15 しかし、愛をもって真理を語ることは、すべてのことにおいて、頭であるキリスト、さらにはキリストへと成長するかもしれません。

クリスチャンは、教会の頭であるキリストにさらに近づくことができるように、愛をもって真理を語るべきです。

1. 愛において真実を語る力

2. 真実と愛を通してキリストに近づく

1. 箴言 12:17 - 真実を語る者は正義を語るが、偽りの証人は欺瞞を示す。

2. ヨハネ 15:17 - これらのことを私はあなたたちに命じます。あなたがたは互いに愛しなさい。

エペソ人への手紙 4:16 このキリストによって、体全体は、各部分の効果的な働きに応じて、各関節が供給するものによってぴったりと結合し、圧縮され、体を増大させ、愛において自らを啓発することになります。

信者たちは皆、協力して愛を高め合います。

1. 一致：教会の強さ

2. 愛を持って協力する

1. コリント第一 12:12-27

2. コロサイ3:12-17

エペソ人への手紙 4:17 ですから、私はこう言いますし、主にあって証します。これからは、あなたがたは、他の異邦人のように空虚な思いで歩むのではなく、

パウロはクリスチャンたちに、自分の欲望やむなしい考えに突き動かされる異邦人のような生き方をしないよう勧めています。

1. 主の光の中で生きる: 義の道をどのように歩むか

2. 私たちの考えの虚しさ: 罪の誘惑を避ける

1. ピリピ 4:8-9 - 「最後に、兄弟姉妹の皆さん、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れていること、賞賛に値することがあれば、そのようなことについて考えてください。」

2. コロサイ 3:2 - 「地上のことではなく、天のことに心を留めなさい。」

エペソ人への手紙 4:18 彼らは心の盲目さゆえに理解力が暗くなり、彼らの中にある無知によって神のいのちから疎外されています。

知識の不足やかたくなな心のために神を理解できないと、人は神から切り離されてしまうことがあります。

1. 無知とかたくなな心の危険

2. 理解と思いやりを通じて神と再びつながる

1. エレミヤ 17:9-10 - 「心は何よりも欺瞞的であり、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。主であるわたしは心を探り、手綱を試み、すべての人にその道に従って与えることさえします。彼の行いの結果によると。」

2. ローマ人への手紙 10:13-15 - 「主の御名を呼び求める者は救われるからです。それでは、信じたことのない方をどうして呼び求めることができますか。また、信じていない方をどうして信じることができますか。」「聞こえますか？そして、説教者なしではどうやって聞くことができますか？そして、遣わされない限り、どうやって説教するでしょうか？「平和の福音を宣べ伝え、良い知らせをもたらす人々の足はなんと美しいでしょう！」と書いてあるとおりです。

エペソ人への手紙 4:19 感情を忘れた人々は、好色な行為に身を委ね、貪欲にあらゆる汚れを働きました。

心をかたくなにして感情を感じなくなった人は、貪欲に突き動かされて不道徳で卑劣な行為に身を委ねています。

1. 心をかたくなにする危険 - エペソ 4:19

2. 貪欲: 道徳的誠実さを破壊する者 - エペソ 4:19

1. 箴言 28:14 - 「常に主を恐れる者は幸いである、しかし心をかたくなにする者は災難に陥る。」

2. テモテ第一 6:10 - 「金銭への愛はあらゆる種類の悪の根源だからです。お金欲しさに信仰から迷い、多くの悲しみで自分を傷つけた人もいます。」

エペソ 4:20 しかし、あなたがたはキリストをそれほど学んでいません。

聖書は私たちに、世と同じになるのではなく、イエス・キリストを学び従うよう教えています。

1: イエスの道を学ぶ: 神に喜ばれる生き方

2: キリストの力: 私たちの生活を内側から外側へと変える

1: マタイ 11:29 – 疲れた者、重荷を負っている者は皆、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。

2: 2 コリント 5:17 – したがって、誰かがキリストのうちにあるなら、新しい創造物が来ました。古いものは去り、新しいものはここにあります。

エペソ 4:21 真理がイエスにあるように、あなたがたがイエスの言葉を聞き、イエスから教えられたのであれば、次のようになります。

この聖句は、真理であるイエスから聞いて教えられたことを信者に勧めています。

1. 生涯イエスの弟子であることの重要性

2. イエスの真理に従って生きる

1. ヨハネ 14:6 - 「イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに来ることはできない。」

2. テモテ第二 3:16 - 「聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に有益です。」

エペソ人への手紙 4:22 あなたがたは、欺きの欲望に従って堕落した老人との以前の会話について延期したのです。

クリスチャンは以前の罪深い生き方を捨て、神のご意志に従って生きるべきです。

1.「古い自分を捨てて、新しい自分を受け入れる」

2.「神の似姿に生きる」

1. コロサイ 3:9-10 - 「互いに嘘をついてはなりません。自分たちが慣行とともに古い自分を脱ぎ捨て、創造者の似姿に倣い知識において新たにされつつある新しい自分を着ているのですから。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

エペソ人への手紙 4:23 そして、あなたの心の霊を新たにしなさい。

もっとキリストのようになるために心を新たにしてください。

1. 心を新たにする: キリストを通して人生を変える

2. 困難を乗り越えるための心を新たにする

1. ローマ 12:2 - 「この世の型に従うのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。」

2. ピリピ 4:8 - 「最後に、兄弟姉妹の皆さん、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、賞賛に値すること、優れていること、賞賛に値することがあれば、そのようなことについて考えてください。」

エペソ 4:24 そして、あなたがたは、神に従って義と真の聖さのうちに創造された新しい人を着なさい。

信者は神の義と聖さの基準に従って創造された新しい人を着なければなりません。

1.「神の召命: 新しい人間を着る」

2. 「義と聖さの人生を生きる」

1. コロサイ 3:10 - 「そして、自分を創造した方に似せて知識を新たにされた新しい人を着なさい。」

2. ペテロ第一 1:15-16 「しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもどんな会話においても聖でありなさい。『あなたがたは聖でありなさい。わたしは聖であるから』と書いてあるからです。」

エペソ人への手紙 4:25 ですから、すべての人は、嘘を捨てて、隣人に真実を語りなさい。なぜなら、私たちはお互いの一員だからです。

私たちは皆、同じ体の一部なのですから、嘘を捨てて、お互いに真実を語りましょう。

1. 真実の力: 正直さと誠実さがどのように私たちの関係を強化するか

2. 正直さの必要性: オープンかつ正直にコミュニケーションする

1. コロサイ 3:9-10 「互いに嘘をついてはなりません。自分たちが慣行とともに古い自分を脱ぎ捨て、創造者の似姿に倣い知識において新たにされつつある新しい自分を着ているのですから。」

2. 詩篇 34:13 「あなたの舌を悪から遠ざけ、あなたの唇が偽りを語らないようにしなさい。」

エペソ人への手紙 4:26 あなたがたは怒ってはいけません。罪を犯してはなりません。あなたの怒りに太陽が沈んではなりません。

私たちは時には怒るべきですが、それが罪を犯してはなりません。私たちは怒りをあまり長く残すべきではありません。

1.「正義の怒りの力」

2.「神に沿った方法で感情を管理する」

1. 箴言 15:18 - 怒る人は争いをかき立てるが、怒るのが遅い人は争いを静める。

2. ヤコブ 1:19-20 - ですから、愛する兄弟たちよ、すべての人は、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。人の怒りは神の義を働かせないからです。

エペソ人への手紙 4:27 どちらも悪魔に道を譲ってはなりません。

この聖句は、私たちの生活に悪魔の影響を受ける余地を与えない必要性を強調しています。

1. 私たちは、神の目に正しいことを行うよう積極的に努力することによって、悪魔の影響に抵抗しなければなりません。

2. 悪魔は私たちを神の御心から引き離そうとしていることを私たちは覚えておく必要があり、悪魔がそうしようとする試みに留意しなければなりません。

1. ヤコブ 4:7 - 「悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. ヨハネ第一 4:4 - 「親愛なる子供たちよ、あなたがたは神から出た者であり、彼らに打ち勝ったのです。なぜなら、あなたがたのうちにおられる方は、世におられる方よりも偉大だからです。」

エペソ人への手紙 4:28 盗んだ者は、これ以上盗んではなりません。むしろ、必要とする人に与えるために、良いものを自分の手で働きながら働きなさい。

この一節は、人々が一生懸命働き、その労力を困っている人たちを助けるために使うよう奨励しています。

1. 勤勉の重要性: 私たちの努力がどのように他の人を助けることができるか

2. 寛大さに関する神の計画: 他の人を祝福するために自分の資源を使う

1. 箴言 13:11 - 急いで得た富は減りますが、少しずつ集める人はそれを増やします。

2. ヨハネ第一 3:17-18 - しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見て、その人に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人のうちに宿るでしょうか。小さな子供たちよ、言葉や話ではなく、行いと真実で愛しましょう。

エペソ人への手紙 4:29 あなたの口からは、堕落した言葉を発してはなりません。ただ、聞く人に恵みを与えるために、啓発に役立つ言葉を発しなさい。

私たちの言葉を聞く人たちに恵みを示すために、私たちは他の人を打ち倒すのではなく、彼らを築き上げるために言葉を使うべきです。

1. 言葉の力: スピーチを使って他者を築く

2. スピーチの優美さ: 周囲の人たちに優美さを示す

1. ヤコブ 3:5-6 - 「それでも、舌は小さな部分ですが、大きなことを誇ります。見よ、小さな火が燃え上がることは、なんと大きなことでしょう！そして舌は火であり、不法行為の世界です。それは体全体を汚し、自然の流れを燃やし、そして地獄の火を燃やすということを私たちの会員の間で口にしています。」

2. コロサイ 4:6 - 「すべての人にどのように答えるべきかをあなたが知ることができるように、あなたのスピーチは常に優雅で、塩で味付けされていなさい。」

エペソ 4:30 神の聖霊を悲しませてはいけません。それによって、あなたがたは救いの日まで証印を押されます。

救いの日まで私たちを封印してくださる神の聖霊を悲しませないでください。

1: 私たちは聖霊を軽視すべきではないことを覚えておく必要があります。聖霊は救いの日まで私たちに印を押してくださる方だからです。

2: 聖霊は私たちの保護者であり導き手であり、救いの日まで私たちを安全に守ってくださいます。

1: ローマ 8:16 御霊ご自身が、私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。

2: ヨハネ 14:26 しかし、父がわたしの名によって遣わして下さる助け主、聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに言ったすべてのこ

とを思い出させてくださるでしょう。

エペソ 4:31 すべての恨み、怒り、怒り、叫び声、悪口を、すべての悪意とともにあなたから遠ざけましょう。

私たちは苦い思い、怒り、怒り、喧騒、悪口、悪意を生活から遠ざけるべきです。

1: もっとキリストに似るように努力し、キリストに似ていくことを妨げるものをすべて取り除きましょう。

2: 私たちは、私たちの間で分裂や争いを引き起こすものをすべて排除し、その代わりに愛と理解によって一つになるように努めなければなりません。

1: コロサイ 3:8-10 「しかし、今はそれらをすべて捨て去らなければなりません。怒り、憤り、悪意、中傷、口から出る卑猥な言葉です。古い自分を捨て去ったと考えて、互いに嘘をついてはなりません」その実践によって新しい自己を身に着け、その創造主の姿に倣って知識が新たにされていくのです。」

2: ヤコブ 1:19-20 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのを早くし、話すのを遅く、怒るのを遅くしなさい。人の怒りは神の義を生み出さないからです。」

エペソ 4:32 そして、神がキリストのためにあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも互いに親切にし、心優しく、許し合いなさい。

キリストが私たちを赦してくださったように、互いに親切にし、赦し合いましょう。

1: 許しの力

2: 親切で寛容であること

1: コロサイ 3:13 - 互いに忍び合い、もし一方が他方に不満を持っている場合は、互いに許し合います。主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。

2: ルカ 6:36-37 - あなたがたの父が憐れみ深いように、憐れみ深くありなさい。裁かないでください。そうすれば、あなたも裁かれることはありません。非難しなければ、あなたも非難されることはありません。許しなさい、そうすればあなたも許されるでしょう。

エペソ人への手紙 5 章は、エペソ人へのパウロの手紙の第 5 章です。この章では、パウロはクリスチャンの行動のさまざまな側面について言及し、神の愛に倣い、光の中で生きることの重要性を強調しています。

第 1 段落: パウロは信者たちに、キリストが彼らを愛し、彼らのためにご自身をささげたように、神に倣い、愛のうちを歩むようにと勧めています（エペソ人への手紙 5:1-2）。彼は、信者は性的不道徳、不純さ、貪欲を避け、むしろ感謝を特徴とする生活を送るべきであると強調しています。パウロは、実を結ばない闇の業に参加するのではなく、義にかなった生活を通して闇の業を暴露するよう警告しています。

第 2 段落: パウロは知恵のうちに歩み、あらゆる機会を最大限に活用することの重要性を強調しています (エペソ 5:15-17)。彼は信者たちに、何が主に喜ばれるかを理解し、愚かではなく賢明になるよう勧めています。彼らは聖霊に満たされて、詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いながら、常にすべてのことに感謝するよう促されています。

第 3 段落: この章は、クリスチャンの家庭内のさまざまな関係についての指示で終わります (エペソ 5:22-33)。パウロは妻たちに向かって、主に従うのと同じように夫に従うようにと教えています。夫は、キリストが教会を愛したように、妻を犠牲的に愛するよう求められています。子どもたちは親に従うよう奨励される一方、父親は子どもを刺激せず、規律と指導のもとに育てるよう促されます。

パウロはまた、奴隷と主人との関係についても語り、公正な扱いとキリストに対するように心から自分の仕事を行うことを強調しています。

要約すれば、

エペソ人への手紙第 5 章は、神の愛に倣い、義に特徴づけられた人生を送ることを強調しています。信者は、義にかなった生活を通じて実を結ばない闇の業を暴露しながら、不道徳な行為を避け、愛のうちを歩むよう求められています。

パウロは、知恵のうちに歩み、御霊に満たされ、感謝をささげ、あらゆる機会を最大限に活用することを強調しています。彼は、妻、夫、子供、父親、奴隷、主人の役割に言及しながら、クリスチャンの家庭内のさまざまな関係について指示を与えています。

この章は、神の愛に倣い、義と知恵に生きることの重要性を強調しています。これは、クリスチャンの家庭内で健全な関係を維持し、さまざまな社会的状況において誠実に行動することの重要性を強調しています。

エペソ人への手紙 5:1 ですから、あなたがたは、愛する子供たちとして神に従う者となりなさい。

愛する子供たちとして神の模範に従ってください。

1: 私たちは神の従順な子供となるように召されています。

2: 私たちは自分の行動すべてに神の愛と憐れみを反映するよう努めなければなりません。

1: マタイ 5:44-45 - 「しかし、わたしはあなたたちに言います。あなたの敵を愛し、あなたたちを呪う者たちを祝福し、あなたたちを憎む者たちに善を行い、あなたたちを不当に利用しあなたたちを迫害する者たちのために祈りなさい。」

2: 1 ヨハネ 4:12 - 「誰も神を見たことはありません。しかし、もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちの内に住んでおり、神の愛は私たちの中で完全になります。」

エペソ人への手紙 5:2 そして、キリストも私たちを愛し、甘い香りのために私たちのために神への捧げ物といけにえをささげてくださったように、愛のうちに歩みなさい。

クリスチャンは、私たちを犠牲的に愛し、喜ばれる捧げ物としてご自身を神にささげたイエス・キリストの模範に従うよう求められています。

1. 愛の人生を生きる：イエスの模範に従うよう呼びかける

2. 犠牲と奉仕: イエスが私たちをどのように愛されたか、そして私たちがイエスから学べること

1. ヨハネ 15:12-13 - 「これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。これより大きな愛はありません。人は友のために命を捨てることです。」

2. ローマ人への手紙 12:1 - 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたにお願いします。自分のからだを、神に受け入れられる、聖なる生きたいけにえとして捧げてください。それが、あなたがたの当然の奉仕です。」

エペソ人への手紙 5:3 しかし、不品行とあらゆる汚れ、あるいは貪欲は、聖なる者として、あなたがたの間で一度も名前を付けてはならない。

クリスチャンは、不純な考え、言葉、行動から解放され、聖なる生活を送るよう求められています。

1. 「神聖な生活を送る」

2.「言葉の力」

1. ヤコブ 1:22-25 – 聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりましょう。

2. コリント第一 6:18-20 – 性的不道徳から逃げてください。

エペソ人への手紙 5:4 不潔なこと、愚かな話、冗談など、不都合なことをするのではなく、むしろ感謝をささげることです。

神の恵みに感謝して生きる。

1: 感謝と感謝の生活を送る

2: 感謝の心の力

1: コロサイ 3:17 - そして、あなたがたが言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主イエスによって神と父に感謝しなさい。

2: 詩篇 92:1 - いと高き方よ、主に感謝し、あなたの御名を賛美するのは良いことです。

エペソ 5:5 このことから、あなたがたは知っているように、売春婦も、汚れた者も、偶像礼拝者である貪欲な者も、キリストと神の国には何の相続財産も持たないのです。

エペソ人への手紙 5章5節のこの聖句は、不道徳な行為をする者、汚れた者、偶像礼拝者にはキリストと神の王国を受け継ぐ権利がないことを教えています。

1. 不道徳な行為の危険性: エペソ人への手紙 5:5 の研究

2. 救いへの道: エペソ人への手紙 5:5 の研究

1. コリント人への第一の手紙 6:9-10 - 不義な者は神の国を受け継がれないことを知らないのですか。だまされてはなりません。淫行者、偶像崇拝者、姦通者、女々しい者、人類に対して自分自身を虐待する者ではありません。

2. ローマ 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

エペソ人への手紙 5:6 だれもむなしい言葉であなたがたをだまさないようにしてください。これらのことのゆえに、神の怒りが不従順の子らの上に来るからです。

神の怒りは神の命令に従わない者に降りかかります。

1: 空虚な言葉に惑わされず、神の言葉に従いなさい。

2: 私たちが神に従順であれば、神の怒りは免れるでしょう。

1: ヨハネ 14:15、「わたしを愛するなら、わたしの戒めを守ってください。」

2: 箴言 3:5-6、「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導かれるであろう。」

エペソ人への手紙 5:7 ですから、あなたがたは彼らに加わってはなりません。

一節クリスチャンは不信者の活動に参加すべきではありません。

1. 神の道をたどる - 間違った道を避ける

2. 神聖な生活を送る - 罪を避ける

1. テサロニケ第一 5:22 - 「あらゆる悪の現れを避けなさい。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはいけません。しかし、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして自分を変えなさい。

エペソ人への手紙 5:8 あなたがたは、時には暗闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩みなさい。

信者はかつては暗闇でしたが、今は主にあって光です。彼らは光の子として生きるべきです。

1.「光の子として生きる」

2.「闇から光への変容」

1. ローマ人への手紙 13:12-14、「夜は過ぎ、昼が近づいています。ですから、闇の業を脱ぎ捨て、光の武具を身につけましょう。 13 昼のように正直に歩きましょう。暴動や酩酊ではなく、おしゃべりや放浪ではなく、争いや妬みではありません。14 しかし、あなたがたは主イエス・キリストの上に置き、肉の欲望を満たすために肉の備えをしてはならない。」

2. マタイ 5:14-16、「あなたがたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。 15 また、人はろうそくに火をつけてブッシェルの下に置くのではなく、燭台の上に置きます。そしてそれは家の中にいるすべての人に光を与えます。16 あなたの光を人々の前で輝かせて、人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父を讃えましょう。」

エペソ人への手紙 5:9 (すべての善と義と真実の中に御霊の実があるからです。)

この箇所は、善、義、真理である御霊の実について語っています。

1. 御霊の実によって生きる - エペソ 5:9

2. 生活の中で善、義、真理を培う - エペソ 5:9

1. ローマ 12:9-10 - 愛は誠実でなければなりません。悪を憎む。良いものにしがみつく。愛においてお互いに献身的になってください。自分よりもお互いを尊重しましょう。

2. ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟姉妹の皆さん、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、賞賛に値すること、優れていること、賞賛に値することがあれば、そのようなことについて考えてください。

エペソ人への手紙 5:10 主に受け入れられるものを証明すること。

この聖句は、主に喜ばれる人生を送ることの重要性を強調しています。

1. 「主に受け入れられる人生を生きる」

2.「敬虔な生活の祝福」

1. コロサイ 1:10 - 「それは、あなたがたが主にふさわしく歩み、すべての人に喜ばれ、あらゆる良い業で実を結び、神についての知識が増すためです。」

2. 1 テサロニケ 4:1-2 - 「兄弟たちよ、私たちはさらにお願いし、主イエスによって勧めます。あなたたちが私たちから受けたように、どのように歩み、神に喜ばれるべきか、そうすればあなたたちはもっと豊かになり、もっと。"

エペソ人への手紙 5:11 そして、実を結ばない暗闇の業とは交わらず、むしろ彼らを叱責しなさい。

不敬虔な行為に関わらず、むしろ叱責してください。

1. 光の中で生きる：神聖さの中で成長する

2. 御霊のうちを歩む: 罪から離れる

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. ヨハネ第一 1:7 - しかし、イエスが光の中におられるように、私たちも光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血は私たちをすべての罪から清めます。

エペソ 5:12 なぜなら、彼らに対して秘密裏に行われていることについて話すことさえ恥ずべきことだからです。

パウロはクリスチャンたちに、秘密で行われている恥ずべきことについて話さないようにと忠告しています。

1. 言葉の力 - 自分自身と他人を守るために、自分の発言をコントロールする方法。

2. すべてが語られるべきものではない - 慎重さと言葉による神への敬意の重要性についての考察。

1. 箴言 10:19 - 「言葉が多いと違反が不足することはありませんが、口を制する者は賢明です。」

2. ヤコブ 3:5-8 - 「舌も小さな部分ですが、偉大なことを誇っています。このような小さな火で森が燃え上がるとは、何と大きなことでしょう。そして舌は火であり、不義の世界です。」. 舌は私たちのメンバーの間で設定され、体全体を汚し、生涯を通じて火をつけられ、そして地獄によって火をつけられます。あらゆる種類の獣や鳥、爬虫類や海の生き物は飼い慣らすことができ、そして飼い慣らされてきました。「舌は人間によって飼い慣らされていますが、人間は舌を飼いならすことはできません。それは猛毒に満ちた休むことのない悪です。」

エペソ人への手紙 5:13 しかし、戒められることはすべて、光によって明らかにされます。明らかにするものはすべて光だからです。

エペソ人への手紙のこの一節では、光が真実の比喩として使用されています。

1. 光の中で生きる：神の御心を知り、実行する

2. 光の力: 真実を知ることで人生はどのように変わるのか

1. ヨハネ 3:19-21 - そして、これは非難です。光が世に来て、人々は自分たちの行いが悪だったため、光よりも闇を愛したということです。悪を行う者は皆、光を憎み、その行為が非難されることを恐れて光のもとに来ないからである。しかし、真理を行う者は光のもとに来て、その行為が明らかにされ、それが神にあって為されたものであることが明らかにされる。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足元の灯火であり、私の道の光です。

エペソ人への手紙 5:14 そこで彼はこう言います、「眠っている者を目覚めさせ、死者の中から起き上がりなさい。そうすればキリストはあなたに光を与えてくださるでしょう。」

パウロは信者たちに、キリストが彼らに光を与えて霊的な眠りから目覚めるよう勧めています。

1.「スピリチュアルな眠りからの目覚め」

2.「キリストの光」

1. イザヤ書 60:1-3 - 「立ち上がれ、輝け、あなたの光が来て、主の栄光があなたに昇ったからです。」

2. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上に建てられた町を隠すことはできません。また、人々はともしびに火をつけたり、それを鉢の下に置いたりしません。代わりに、それを台の上に置き、そして家の中のみんなに光を与えます。」

エペソ人への手紙 5:15 それで、あなたがたは、愚か者としてではなく、賢人として慎重に歩むように気をつけなさい。

歩き方を賢くしましょう。

1. 神との歩みにおける知恵の重要性

2. 日常生活における賢明な選択

1. 箴言 4:7 - 知恵は最も重要なものです。したがって、知恵を得てください。そして、全力を尽くして理解を得るのです。

2. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

エペソ人への手紙 5:16 日々は悪いので、その時を償うのです。

日々は悪に満ちているので、私たちは自分の時間を最大限に活用すべきです。

1.「時間を賢く使う」

2.「時間は貴重品」

1. 伝道の書3:1-8

2. コロサイ4:5-6

エペソ人への手紙 5:17 ですから、あなたがたは愚かではなく、主の御心が何であるかを理解しなさい。

神の御心を理解し、賢くなりましょう。

1: 神の御心に従って歩む

2: 主の御心を理解する知恵

1: ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試しながら識別できるようにするためです。

2: ヤコブ 4:17 - ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとってそれが罪なのです。

エペソ人への手紙 5:18 また、過剰なぶどう酒に酔ってはならない。しかし、御霊に満たされてください。

信者は、過剰に導くワインではなく、御霊に満たされるべきです。

1. 「霊の中で生きる: 霊的な豊かさへの鍵」

2.「酩酊の危険と精神に満たされる祝福」

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

2. ローマ人への手紙 8:14 - 「神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。」

エペソ 5:19 詩篇、賛美歌、霊的な歌で自分に語りかけ、心の中で主に向かって歌い、メロディーを奏でなさい。

この一節は、信者が歌と礼拝を通して自分の信仰を表現することを奨励しています。

1: 楽しい音を立てよう: 音楽を通じて信仰を表現する

2: 心を込めて主に向かって歌う

1: コロサイ 3:16-17 「キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたがたのうちに豊かに宿るようにし、詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で恵みをもって主に向かって歌いなさい。言葉においても行いにおいても、すべてを主イエスの名において行い、主イエスを通して神と父に感謝しなさい。」

2: 詩篇 98:4-5 「全地よ、主に向かって喜びの声を上げよ。大声をあげて喜び、賛美を歌え。立琴をもって主に向かって歌え。立琴とその声をもって、主に向かって歌え。」詩篇です。」

エペソ人への手紙 5:20 私たちの主イエス・キリストの御名によって、すべてのことについて常に神と父に感謝しなさい。

私たちはイエス・キリストを通して、あらゆることについて常に神に感謝しなければなりません。

1. 私たちの生活における神の恵み: 感謝祭

2. 感謝の気持ちを持って生きる：感謝祭

1. コロサイ 3:15-17 - あなたがたは一つの体の一員として平和を求められているのですから、キリストの平和があなたの心を支配しなさい。そして感謝しましょう。詩篇、賛美歌、聖霊の歌を通して知恵を尽くして互いに教え合い、戒め合い、心の中で感謝の気持ちを込めて神に歌いながら、キリストのメッセージがあなたたちの中に豊かに宿るようにしましょう。

2. 詩篇 95:1-5 - さあ、主に向かって喜び歌いましょう。私たちの救いの岩に向かって大声で叫びましょう。感謝を持って神の前に出て、音楽と歌で神を讃美しましょう。主は偉大な神であり、すべての神々の上にある偉大な王だからです。地の底は彼の手の中にあり、山の頂上は彼のものです。海は彼のものです、彼がそれを作り、彼の手で乾いた土地を形成したからです。

エペソ人への手紙 5:21 神を恐れて互いに服従しなさい。

この聖句は、信者たちが神への畏敬の念から互いに服従するよう奨励しています。

1: 「服従：敬虔な関係への鍵」

2: 「主を恐れて生きる」

1: マタイ 22:37-39 「そしてイエスは彼に言った。『あなたは、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません。」

2:1ペテロ5:5「同じように、年下の者たちも、年長者に従いなさい。「神は高ぶる者に敵対し、謙虚な者に恵みを与える」ので、皆さん、互いに謙虚な姿勢を身に着けてください。」

エペソ 5:22 妻たちよ、主に従うのと同じように、自分の夫にも服従しなさい。

この一節は、妻が主に従うように夫に従うよう勧めています。

1. 「服従の力：キリスト教結婚における妻と夫」

2. 「配偶者への服従を通じた神への従順」

1. コロサイ 3:18-19 「妻たちよ、主にあってふさわしいことであるように、自分の夫に従いなさい。夫たちよ、妻を愛してください。妻に対して恨みを抱い

てはなりません。」

2. ペテロ第一 3:1-2 - 「同じように、妻たちよ、自分の夫に服従しなさい。それは、もし言葉に従わない人がいるなら、彼らもまた、言葉なしで妻たちの会話に勝てるようになるためです。恐怖と結びついたあなたの貞淑な会話を見よ。」

エペソ 5:23 なぜなら、キリストが教会の頭であるように、夫は妻の頭であり、キリストはからだの救い主だからです。

キリストが教会の頭であり、体の救い主であるのと同じように、夫は妻の頭です。

1. 夫とキリスト: 家と教会の長

2. 夫とキリスト: 家庭と体の救い主

1. コロサイ 3:18-19 - 妻たちよ、主にあってふさわしいように、自分の夫に従いなさい。夫の皆さん、妻を愛してください。妻に対して恨みを抱いてはいけません。

2. コリント第一 11:3 - しかし、すべての人の頭はキリストであるということを知っておいていただきたいと思います。そして女性の頭は男性です。そしてキリストの頭は神です。

エペソ 5:24 ですから、教会がキリストに従うのと同じように、妻もすべてのことにおいて自分の夫に従いなさい。

教会はキリストに従うべきであり、妻はすべてのことにおいて夫に従うべきです。

1. 神の結婚計画: 服従と愛

2. 結婚契約における夫と妻の役割

1. コロサイ 3:18-19 - 妻たちよ、主にあってふさわしいように、自分の夫に従いなさい。夫の皆さん、妻を愛してください。妻に対して恨みを抱いてはいけません。

2. ペテロ第一 3:7 - 同様に、夫たちよ、知識に従って妻とともに暮らし、妻を弱い器であるかのように、また命の恵みを共に受け継ぐ者として栄誉を与えなさい。あなたの祈りが妨げられないように。

エペソ 5:25 夫の皆さん、キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、妻を愛してください。

夫は、キリストが教会を愛し、教会のためにご自身を犠牲にしたように、妻を愛するよう求められています。

1. キリストの計り知れない愛と配偶者を愛せよという呼びかけ

2. 犠牲的な愛: それは実際には何を意味しますか?

1. ヨハネ第一4:7-12

2. ローマ人への手紙 5:6-8

エペソ人への手紙 5:26 それは、御言葉による水の洗いによってそれを神聖化し、清めるためであり、

この一節は、私たちを清め、聖化する神の言葉の力を示しています。

1: 私たちを聖化し、清める神の言葉の力

2: 神の言葉に従うことの重要性

1: 詩篇 119:9-11 「若者はどこで自分の道を清めるでしょうか。あなたの言葉に従ってそれに注意を払うことによって。私は心からあなたを求めました。おお、あなたの戒めから逸れないでください。あなたに対して罪を犯さないように、私はあなたの言葉を心の中に隠しました。」

2: ヨハネ 15:3 「今、あなたがたは、わたしがあなたがたに話した言葉によって清くなりました。」

エペソ人への手紙 5:27 それは、シミやしわなどのない、輝かしい教会を自分自身にプレゼントするためでした。しかし、それは聖であり、傷のないものでなければなりません。

この聖句は、教会を栄光に満ちた神聖で完全な体として示すことの重要性について語っています。

1. 神聖な教会の美しさ

2. 私たちの教会を完成させる

1. ペテロ第一 1:15-16 – 「しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもどんな会話においても聖であってください。なぜなら、「あなたがたは聖くなりなさい。」と書かれているからです。私は聖なる者だからです。」

2. マタイ 5:48 – 「天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたも完全になりなさい。」

エペソ 5:28 同じように、男性も妻を自分の体のように愛すべきです。妻を愛する人は自分自身を愛しています。

エペソ人への手紙 5 章 28 節で、パウロは夫に、自分を愛するように妻を愛するように勧めています。

1. 妻を自分のように愛してください - エペソ 5:28

2. 妻を愛する - 聖書の観点から

1. コリント第一 13:4-7 - 「愛は忍耐強く、親切です。愛はねたんだり自慢したりしません。傲慢でも無礼でもありません。自分のやり方を主張しません。イライラしたり憤慨したりしません。愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐えます。

2. マタイ 22:37-39 - そしてイエスは彼に言った、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。

エペソ人への手紙 5:29 なぜなら、自分の肉を憎んだ人はまだいないからです。しかし、教会の主と同じように、それを養い、大切にします。

誰も自分の体を憎んだことはなく、主が教会を気遣ってくださっているのと同じように、自分の体を大切にしています。

1. 主の教会と同じように自分自身を育てる

2. セルフケアの重要性

1. コリント人への第一の手紙 6:19-20 - あなたは、自分の体が、神からいただいた聖霊の神殿であることを知らないのですか。あなたはお金を払って買われたものなので、自分のものではありません。ですから、あなたの体で神の栄光を讃えましょう。

2. ピリピ 4:5 - あなたの優しさをすべての人に知らせてください。主は近くにおられます。

エペソ人への手紙 5:30 なぜなら、私たちは神の体の一部であり、彼の肉の一部であり、彼の骨の一部だからです。

信者はキリストの体、肉、骨の一員です。

1. 受肉の謎: キリストとの結合を理解する

2. 教会の意味: キリストの体であること

1. コロサイ 1:15-20 – キリストは目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。

2. ローマ 12:4-5 – 私たちは 1 つの体の一員であり、それぞれの部分が独自の目的を持っています。

エペソ人への手紙 5:31 このため、人は父と母を離れ、妻と結ばれ、二人は一体となるでしょう。

この一節は、結婚の神聖な絆と、それが家族を離れて一緒にいる男女にどのように築かれるかについて語られています。

1.「結婚の誓約：犠牲の上に築かれた愛」

2.「二つの魂の結合：結婚の絆を強める」

1. 創世記 2:24-25、「それゆえ、人は父と母を離れて妻をしっかりと抱き、二人は一体となる。」

2. コリント人への手紙第 7 章 4 節、「妻は自分の体に対して権威を持っていませんが、夫にはあります。同様に、夫は自分の体に対して権威を持っていませんが、妻にはあります。」

エペソ人への手紙 5:32 これは大きな謎ですが、私はキリストと教会について話します。

この箇所は、キリストと教会との結合が大きな神秘であることについて語っています。

1. 教会に対するキリストの愛の謎

2. キリストと教会の謎を明らかにする

1. ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、現在のものも、これから来るものも、高さも、深さも、その他のいかなる被造物も存在しないと確信しているからです」私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるでしょう。」

エペソ 5:33 それにもかかわらず、あなたがたは特に自分の妻を自分と同じように愛しなさい。そして妻は夫を尊敬していることがわかります。

すべての人はパートナーを無条件に愛すべきであり、妻は夫を尊重すべきです。

1: 愛と尊敬: 結婚の基礎

2: 強い結婚生活を築く: 愛と敬意を育む

1: コロサイ 3:19 - 夫の皆さん、妻を愛してください。妻に厳しく接しないでください。

2: 1 ペテロ 3:7 同様に、夫たちよ、妻とともに理解のある生き方をし、弱い器である女性を尊重しなさい。なぜなら、彼らはあなたとともにいのちの恵みを受け継ぐ者だからです。妨げられた。

エペソ人への手紙 6 章は、エペソ人へのパウロの手紙の 6 番目で最後の章です。この章では、パウロは信者が直面する霊的戦いについて議論し、神の武具を身につけるための指示を提供しています。

第 1 段落: パウロはまず子供と親の関係について述べ、子供たちに主にあって親に従うように勧めています (エペソ 6:1-4)。彼はそれが正しいことを強調し、両親を敬う人たちに祝福が与えられると約束しています。パウロはまた、父親たちに、子供たちを刺激せず、むしろ主の懲らしめと教えに従って育てるように指示しています。

第 2 段落: 次にパウロは奴隷と主人の関係に注目します (エペソ 6:5-9)。彼は奴隷たちに、あたかもキリストご自身に仕えるかのように、誠実に主人に仕えるよう勧めています。主人たちは、自分たちにも天国に主人がいることを知って、奴隷たちを公正に扱うよう強く求められています。パウロは神に偏りはないことを強調し、信者間に公平性と平等性を強調しています。

第 3 段落: この章は霊的戦いに関する力強い勧めで終わります (エペソ 6:10-18)。パウロは信者たちに、悪の霊的勢力に立ち向かうために神の武具をすべて身に着け、主の強大な力において強くなるように勧めています。彼は、真理、義、平和の福音からの備え、信仰、救い、神の言葉など、それぞれの武具について説明し不可欠な武器としての祈りを強調しています。

パウロは信者たちに、常にすべての信者のために御霊によって祈るよう勧め、注意を払い粘り強く祈ります。

要約すれば、

エペソ人への手紙第 6 章では、子供と親、奴隷と主人の間など、クリスチャンの家庭内のさまざまな関係が取り上げられています。従順、名誉、公正な扱い、平等を強調します。

その後、パウロは霊的戦いに焦点を移します。彼は信者たちに、真理、正義、平和の福音からの備え、信仰、救い、そして神の言葉という完全な神の武具を身につけるよう勧めています。彼は祈りと悪の霊的な力に対して警戒することの重要性を強調しています。

この章では、クリスチャン家庭内の健全な関係、公平性、平等の重要性を強調します。また、それは霊的戦いの現実を強調し、信者が神の武具を身に着け、粘り強い祈りに従事するための指示を提供します。

エペソ人への手紙 6:1 子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。

それは道徳的義務であるため、子供は親に従うべきです。

1: 両親に従う: あなたの父と母を敬いましょう。

2: 従順の祝福: 主における子供の義務。

1: 箴言 22:6 「子をその行くべき道に育てなさい。そうすれば彼は年老いても、その道から離れることはありません。」

2: コロサイ 3:20 「子供たちよ、どんなことにおいても両親に従いなさい。それは主に喜ばれることだからです。」

エペソ人への手紙 6:2 あなたの父と母を敬え。これは約束のある最初の戒めです。

子どもたちは両親に敬意を示すべきです。

1: 両親を尊敬せよ: 約束のある戒め

2: 父と母を敬う: 神の祝福を受ける方法

1: コロサイ 3:20 - 「子供たちよ、何事においても両親に従いなさい。それが主に喜ばれるからです。」

2: 出エジプト記 20:12 – 「あなたの父と母を敬え。そうすればあなたの神、主が与えられる土地であなたの日々が長く続くであろう。」

エペソ人への手紙 6:3 あなたが無事で、地上で長生きできますように。

エペソ人への手紙 6章3節は、子供たちが長生きして成功するように親に従うよう勧めています。

1. 「従順の祝福: 信仰を通して成功を見つける」

2.「親の愛 幸福長寿への道」

1. 箴言 3:1-2 - 「わが子よ、わたしの律法を忘れるな。しかし、あなたの心にわたしの戒めを守らせなさい。長き日、長命、そして平和があなたに加えられるであろう。」

2. コロサイ 3:20 - 「子供たちよ、どんなことにおいても両親に従いなさい。それは主に喜ばれることだからです。」

エペソ6:4 また、父親たちよ、子供たちを怒らせないで、主の養育と戒めのもとに育てなさい。

親は愛情を持って子供たちを信仰と規律において指導すべきです。

1. 愛と規律を通して子供たちを教える

2. 神の懲らしめを通じて子供たちに力を与える

1. 箴言 29:17 - 子供たちを懲らしめなさい、そうすれば子供たちはあなたに平安を与えてくれるでしょう。彼らはあなたが望む喜びをもたらします。

2. コロサイ 3:21 - 父親の皆さん、子供たちが落胆しないように、子供たちを刺激しないでください。

エペソ6:5 召し使いたちよ、キリストに対するのと同じように、恐れおののきながら、あなたの主人である肉に従ってください。

クリスチャンは、あたかもキリストご自身に仕えているかのように、謙虚さと誠実さをもって地上の主人に従うよう求められています。

1. 謙虚に奉仕するというクリスチャンの呼びかけ

2. キリストに仕えるかのように他人に仕える

1. コロサイ 3:22-24 - 「しもべたちよ、肉に従って、すべてのことにおいて主人に従いなさい。人を喜ばせるように目先の奉仕をするのではなく、ただ心から神を畏れ、何をするにも、心から行いなさい。「あなたがたは主であることを知り、人にではなく、主に仕えなさい。あなたがたは主キリストに仕えているので、相続財産の報いを受けるであろうことを知りなさい。」

2. マタイ 20:25-28 - 「しかし、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「異邦人の君主たちが彼らを支配しており、また偉大な権力者たちが彼らに権威を行使していることをあなたがたは知っています。しかし、それは人々の間ではそうではありません」あなたがた：しかし、あなたがたのうちで偉い人はだれでも、あなたの奉仕者にしましょう。そして、あなたがたの間でだれでも長になろうとする人は、あなたの召使にしましょう：人の子が、仕えられるためにではなく、仕え、与えるために来たのと同じです。彼の命は多くの人にとっての身代金だ。」

エペソ人への手紙 6:6 人を喜ばせるような目の奉仕ではありません。しかし、キリストの僕として、心から神の御心を行います。

キリストの僕たちは、義務や人々を喜ばせるためではなく、誠実かつ誠実に神のご意志を行うべきです。

1. 誠実かつ誠実に神の御心を行う

2. 人を喜ばせるためではなく、神を喜ばせるために神に仕える

1. コロサイ 3:23 - 何をするにも、人のためではなく、主のために熱心に働きなさい。

2. テサロニケ第一 2:4 - しかし、私たちが福音を託されることを神から認められたのと同じように、私たちは人を喜ばせるためではなく、私たちの心を試す神を喜ばせるために話します。

エペソ6:7 人に対してではなく、主に対して善意をもって奉仕をしなさい。

この箇所は、善意を持って主に奉仕することの重要性を強調しています。

1.主への自発的な奉仕の力

2. 正しい態度で主に仕える

1. コロサイ 3:23-24 - 何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くものとして、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。

2. マタイ 25:40 - 王はこう答えます、「はっきり言いますが、あなたが私の兄弟姉妹の中で最も小さい者の一人にしてくれたことは、私にしてくれたことなのです。」

エペソ 6:8 人は、どんな良いことをしても、奴隷であろうと自由であろうと、同じように主から受けられることを知っています。

主は社会的地位に関係なく、善行に報いてくださいます。

1: 神は社会的地位に関係なく、善を行う者に報いを与えます。

2: 誰に対しても優しさと敬意を持って接すると、神の祝福がもたらされます。

1: マタイ 5:44-45 - しかし、私はあなたたちに言いますが、敵を愛し、あなたたちを迫害する人々のために祈りなさい。そうすればあなたたちは天の父の子供となれます。

2: ガラテヤ 6:7-8 - だまされてはなりません。神をあざけることはできません。人は自分が蒔いたものを刈り取ります。自分の肉を喜ばせるために種を蒔く者は、その肉から滅びを刈り取るでしょう。御霊を喜ばせるために種を蒔く人は、御霊から永遠の命を刈り取ります。

エペソ人への手紙 6:9 そして、あなたがた主人たちよ、脅迫を我慢して、彼らに対して同じことをしてください。あなたの主人も天におられることを知っていてください。彼には人に対する敬意もありません。

主人は、しもべたちも神に応えなければならないことを知り、敬意と優しさを持って接するべきです。

1.「神の光の中で生きる：優しさと敬意への呼びかけ」

2. 「マスターの模範: 指導する人々に敬意を示す」

1. マタイ 7:12 「ですから、あなたがたは、人にしてほしいと願うことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからです。」

2. コロサイ 3:22-25 - 「しもべたちよ、肉に従って、すべてのことにおいて主人に従いなさい。人を喜ばせるように目先の奉仕をするのではなく、神を畏れ、心から誠実に行いなさい。そして、何をするにも、心から行いなさい。あなたがたは、主キリストに仕えているのだから、主から相続財産の報いを受けることを知っている、人に対してではない、主である。人。"

エペソ人への手紙 6:10 最後に、兄弟たち、主とその御力によって強くなりなさい。

主とその力において強くありなさい。

1: 主の力を受け入れる

2: 私たちの内に働く神の力

1: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできる

2: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

エペソ 6:11 悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

私たちは悪魔の策略に立ち向かうために神の武具を身に着けなければなりません。

1.「敵に立ち向かう 神の武具の着方」

2.「神の武具 悪魔の策略から身を守る」

1. イザヤ書 59:17 - 彼は義を胸当てとして身に着け、頭には救いのかぶとをかぶりました。そして彼は服として復讐の衣を着、マントのように熱意をまとった。

2. ローマ 13:12 - 夜は過ぎ、昼が近づいています。ですから、闇の業を脱ぎ捨て、光の武具を身につけましょう。

エペソ人への手紙 6:12 なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にいる霊的な悪に対して戦っているからです。

私たちは悪の勢力との霊的な戦いの中にあり、戦う備えをしなければなりません。

1. アーマーアップ：霊的戦いに備える

2. 闇との戦い：悪に対して断固として立ち向かう

1. イザヤ書 59:17 - 彼は義を胸当てとして身に着け、頭には救いのかぶとをかぶりました。そして彼は服として復讐の衣を着、マントのように熱意をまとった。

2. エペソ人への手紙 6:10-18 - 最後に、主とその力の強さにおいて強くありなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。

エペソ 6:13 ですから、あなたがたは神の武具をすべて身に着けて、悪の日に耐え、すべてを尽くして耐えられるようにしなさい。

クリスチャンは神の武具を身に着けて霊的戦いに備える必要があります。

1.「神の武具：霊的戦いの準備」

2.「悪に対して毅然と立ち向かう」

1. イザヤ書 11:5 - 「義は彼の腰の帯となり、忠実は彼の腰の帯となる。」

2. ローマ人への手紙 13:12 - 「夜は遠く過ぎてしまいました。その日が近づいています。それでは、闇の業を脱ぎ捨て、光の鎧を身に着けましょう。」

エペソ人への手紙 6:14 ですから、真理で腰を締め、義の胸当てを着けて立ちなさい。

この一節は信者に義と真実の武具を身に着けるよう呼びかけています。

1. 正義の鎧: 信仰の胸当てを身につける

2. 真実の力: 正義で身を守る

1. コロサイ 3:12-14 - したがって、神に選ばれた聖なる民として、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。

2. イザヤ書 59:17 - 彼は義を胸当てとして身に着け、頭には救いのかぶとをかぶりました。彼は復讐の衣を着て、マントをまとったかのように熱意に身を包んだ。

エペソ人への手紙 6:15 そして、あなたがたの足には、平和の福音の備えが備わっていました。

この聖句は、イエス・キリストの良い知らせを世界に伝える備えをするよう私たちを励ましています。

1. 「平和の福音: イエス・キリストの良い知らせを分かち合う」

2.「神の武具を身に着ける：福音との戦いに備える」

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、信じたことのない方をどうやって呼び求めるのでしょうか。また、聞いたこともない方をどうやって信じるのでしょうか。また、誰かが説教することなく、どうやって聞くことができるのでしょうか。遣わされない限り、どうして彼らは説教できるでしょうか？」

2. エレミヤ 20:9 - 「もし私が、『彼のことについてはもう言わない、彼の名についてはもう話さない』と言うなら、私の心の中には、まるで骨の中に燃え盛る火が燃え盛るような気持ちがあり、私は疲れ果てています。それを我慢しているのですが、それができません。」

エペソ人への手紙 6:16 何よりも、信仰の盾を取りなさい。そうすれば、あなたがたは、悪人のすべての火の矢を消すことができるでしょう。

信者は信仰に頼って悪者の計略から身を守る必要があります。

1. 悪を克服する信仰の力

2. 信仰にしっかりと立つ

1. ヤコブ 4:7、「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. ペテロ第一 5:8-9、「身を慎み、用心していなさい。なぜなら、あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、食いつくされる者を求めて歩き回っているからです。信仰に堅く抵抗する者は……」

エペソ6:17 そして、救いのかぶとと、神の言葉である御霊の剣を取りなさい。

救いのかぶと、御霊の剣、つまり神の言葉は、霊的戦いに欠かせない武器です。

1. 言葉の力: 霊的戦いへのガイド

2. 救いのかぶとをかぶる: 行動への呼びかけ

1. イザヤ書 59:17 - 「彼は義を胸当てとして身に着け、頭には救いのかぶとをかぶったからです。」

2. ヘブライ 4:12 - 「神の言葉は生きており、力があり、どんな両刃の剣よりも鋭いからです。」

エペソ人への手紙 6:18 すべての聖徒のために、常に御霊によって祈りと願いを込めて祈り、忍耐と祈りを込めてそれを見守りなさい。

すべての聖徒のために執り成しをしながら、毅然として忍耐強く祈りなさい。

1. 祈りの力：聖徒のために粘り強く生きる

2. 警戒して祈る: キリストの体のために執り成す

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. テサロニケ第一 5:17 - 「絶えず祈りなさい」

エペソ人への手紙 6:19 そして、私のために、この言葉が与えられるかもしれません。それは、私が大胆に口を開いて、福音の奥義を知らせるためです。

パウロは福音の奥義を大胆に宣べ伝えられるよう祈りました。

1. 大胆に福音を宣べ伝える - エペソ 6:19

2. 福音の奥義 - エペソ人への手紙 6:19

1. ローマ人への手紙 1:16 - 私はキリストの福音を恥じていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。

2. コロサイ 4:3-4 - 同時に私たちのためにも祈っています。神が私たちに御言葉の扉を開いてくださり、キリストの奥義を語ってくださいますように。私もそのために鎖につながれています。私が言うべきことですが、それは明らかになります。

エペソ人への手紙 6:20 私がそのために大使となっているのは、その中で、語るべきことを大胆に語るためです。

パウロはキリストの大使であり、福音を大胆に語るために必要などんな困難にも喜んで耐えました。

1. 奉仕者としての召し: パウロの例

2. 大胆に福音を宣べ伝える備えをする

1. ピリピ1:12-14

2. 使徒26:16-18

エペソ6:21 しかし、あなたがたにも私の事情と私の様子を知ってもらうために、主にある愛する兄弟であり忠実な奉仕者であるティキコが、すべてのことをあなたがたに知らせるでしょう。

ティキコは愛する兄弟であり、主の忠実な奉仕者であり、パウロの出来事をすべてエペソ人に知らせます。

1. 主の忠実な奉仕者となる: エペソ 6:21

2. ティキコスの例から学ぶ: エペソ人への手紙 6:21

1. コロサイ 4:7-9 - パウロはティキコの忠実な奉仕を称賛します

2. テモテ第二 4:12 - パウロは、自分のことを知らせるためにティキコをエフェソスに送ったことについて語っています。

エペソ 6:22 わたしがこの人をあなたがたに遣わしたのは、同じ目的のためです。それは、あなたがたが私たちの事情を知り、あなたがたの心を慰めるためです。

この箇所は、パウロがエペソの教会に使者を送って、彼らの出来事の知らせを伝え、彼らの心を慰めたことが語られています。

1. 困難な時に慰めを見つける方法

2. 励ましの力

1. ローマ 15:5 - 「忍耐と励ましの神が、あなたがたがキリスト・イエスに従って、互いにそのように調和して生きることを許してくださいますように。」

2. イザヤ書 40:1-2 - 「慰めよ、わたしの民を慰めなさい、とあなたの神は言われます。エルサレムに優しく語りかけ、彼女の厳しい奉仕が完了したこと、彼女の罪が償われたこと、彼女がエルサレムから受けたものを宣言してください。」主の手は彼女のすべての罪の倍加となる」

エペソ人への手紙 6:23 兄弟たちに平和と、父なる神と主イエス・キリストから信仰による愛がありますように。

パウロは、父なる神と主イエス・キリストから、信仰を持って兄弟たちに平和と愛のメッセージを送ります。

1. 愛と信仰の力: 神および兄弟姉妹との絆をどのように強化できるか

2. 神のうちに平和と愛を見出す：どうすれば父なる神と主イエス・キリストから慰めを受けることができるか

1. ヨハネ第一 3:18 - 「小さな子供たちよ、言葉や話ではなく、行いと真実によって愛しましょう。」

2. ローマ人への手紙 5:5 - 「そして、私たちに与えられた聖霊を通して、神の愛が私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。」

エペソ人への手紙 6:24 私たちの主イエス・キリストを心から愛するすべての人たちに恵みがありますように。アーメン。

パウロは、イエス・キリストを心から愛するすべての人たちに神の恵みが与えられることを願っています。

1. 誠実に生きる - 本物のクリスチャン生活を送ることを学ぶ

2. 主を愛する - イエスとの関係の中で成長する

1. ヨハネ 15:9-10 - 「父がわたしを愛してくださったように、わたしもあなたがたを愛しました。私の愛の中に留まってください。あなたがわたしの戒めを

守るなら、わたしが父の戒めを守り、父の愛の中に留まるのと同じように、あなたもわたしの愛の中に留まるでしょう。」

2. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。」神は愛であるため、愛しない人は神を知りません。」

ピリピ人への手紙 1 章は、ピリピ人へのパウロの手紙の最初の章です。この章でパウロは、フィリピの信者たちへの愛と感謝を表明し、彼らの信仰を励まし、苦しみと福音の進歩についての見解を共有しています。

第 1 段落: パウロは、ピリピの信者に対する深い愛情を表明し、福音を広めるための彼らの協力に対して神に感謝することから始めます (ピリピ 1:3-8)。イエスは、彼らのうちに良い働きを始められた神がそれを完成させてくださると確信し、喜びと自信を持って彼らのために祈っていると彼らに保証します。パウロは、彼らの愛が知識と識別力によってますます豊かになることを切望しています。

第 2 段落: パウロは、実際に福音を前進させるのに役立った自分の投獄について語ります (ピリピ 1:12-18)。多くの人が彼の鎖によって励まされ、恐れることなく神の言葉を語る自信を得たと彼は説明する。妬みや競争心からキリストを宣べ伝える人もいますが、パウロは動機に関係なくキリストが宣べ伝えられるので喜びます。彼は、自分が生きるか死ぬかに関わらず、キリストは彼を通して讃えられるだろうと断言します。

第 3 段落: この章はパウロの生と死についての考察で終わります (ピリピ 1:19-30)。彼は、自分が恥をかかされるのではなく、彼らの祈りと聖霊の備えによって高められるという希望と期待を表明しています。彼にとって、生きることは実りある労働を意味し、死ぬことはキリストとともにいることを意味し、彼はその願望と格闘している。それにもかかわらず、彼は信者たちに、反対の中でも恐れることなく福音にふさわしい態度で行動するよう勧めています。

要約すれば、

ピリピ人への手紙第 1 章では、パウロのピリピの信者に対する深い愛と、福音を広めるための彼らの協力に対する感謝の気持ちが明らかにされています。彼は彼らの内なる神の働きに対する確信を表明しています。

パウロは、自分が投獄されているにもかかわらず、それがいかにしてキリストの宣教を促進することにつながったかを語ります。彼は他人の動機に関係なく、福音の前進を喜んでいます。彼はまた、生と死についても振り返り、実りある労働への希望とキリストと共にいたいという願いを表明しています。

この章は、信者の間での神の働きに対してパウロが抱いている喜び、感謝、自信を強調しています。この作品は、パウロの投獄が福音の普及と彼の死生観に与えたプラスの影響を浮き彫りにしています。それは信者が困難や反対の中でも福音にふさわしい生き方をするよう奨励します。

ピリピ 1:1 イエス・キリストのしもべであるパウロとテモテウス、司教や助祭とともにピリピにいるキリスト・イエスにあるすべての聖徒たちに、

パウロとテモテは、司教や執事を含むフィリピの聖徒たちに挨拶を送ります。

1. キリストの体の一致の力

2. 他者に奉仕することの重要性

1. エペソ 4:16 「神から、体全体は、あらゆる部分が自らの働きをしながら、支えられるあらゆる靭帯によって結合され、結び合わされて、愛のうちに成長し、

造り上げられていくのです。」

2. マタイ 20:25-28 - 「しかし、イエスは彼らを自分に呼んで言われました、「あなたが知っているように、異邦人の支配者たちは彼らを支配し、偉大な者たちは彼らに対して権威を行使しています。しかし、それは異邦人の間ではそうではありません」しかし、あなたがたの中で偉くなりたいと願う者は、あなたの召し使いになりなさい。また、あなたがたの中で一番になりたいと願う者は、あなたの奴隷にしなさい――ちょうど人の子が仕えるために来たのではなく、仕えるために来たのと同じように、多くの人たちの身代金として彼の命を与えるためだ。」

ピリピ人への手紙 1:2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたにあるように。

パウロはピリピの人々に神とイエス・キリストからの恵みと平和を祈ります。

1. 私たちの生活における恵みと平和の力

2. 神とイエス・キリストからの恵みと平和を喜ぶ

1. ローマ人への手紙 5:1-2 「ですから、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストによって神との間に平和があります。私たちも彼を通して、信仰によってこの恵みにアクセスすることができ、その恵みの中に立っており、神の栄光を望んで喜んでいます。」

2. エペソ人への手紙 1:2 「私たちの父なる神と主イエス・キリストからの恵みと平安があなたたちにありますように。」

ピリピ 1:3 私はあなたのことを思い出すたびに私の神に感謝します。

パウロはフィリピの教会に対して神に感謝の意を表します。

1:「あなたの人生に関わる人々に感謝の気持ちを持ちましょう」

2:「感謝は神への贈り物」

1: テサロニケ第一 5:16-18 - 常に喜び、絶えず祈り、どんな状況でも感謝しなさい。なぜなら、これがキリスト・イエスにおけるあなたに対する神の御心だからです。

2: エペソ 4:29 - 堕落させるような話をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く人たちに恵みを与えるために、その場に応じて築き上げるのに良いような話だけをしてください。

ピリピ人への手紙 1:4 あなたがた全員のための私の祈りの中で、いつも喜んでお願いしています。

この箇所には、パウロがピリピの人々のために喜んで祈ったことが語られています。

1. 祈りを通して喜びを経験する

2. 他者のために祈る力

1. ヤコブ 5:16 - 「ですから、互いに罪を告白し、いやされるようにお互いのために祈りなさい。義人の祈りは力強く、効果的です。」

2. コロサイ 1:9-12 - 「このようなわけで、あなたのことを聞いた日以来、私たちはあなたのために祈り続けています。私たちは、あらゆる知恵と理解を通して、神のご意志の知識をあなたがたに満たしてくださるよう、絶えず神に願い続けています。」御霊が与えてくださるのは、あなたが主にふさわしい人生を送り、あらゆる面で主を喜ばせるためである。あらゆる良い業で実を結び、神の知識の中で成長し、神の栄光ある力に従って全力で強められる。大きな忍耐力と忍耐力を持ち、光の王国において聖なる民の相続分を分かち合う資格を与えてくださった父に喜びの感謝を捧げてください。」

ピリピ人への手紙 1:5 最初の日から今日まで、あなたがたの福音の交わりのために。

この箇所は、最初の日から今日までの福音の交わりについて語っています。

1. 福音との交わりの重要性と、それを維持するよう努めるべき理由。

2. 福音の一貫性と、それが長年にわたりどのように持続してきたか。

1. 使徒 2:42 そして、彼らは使徒の教義と交わり、パンを裂く祈りを忠実に続けました。

2. ヘブライ 10:24-25、そして、愛と良い行いをかき立てるために、お互いを思いやり、ある人々のやり方のように、一緒に集まることを放棄するのではなく、お互いに励まし合い、なおさらのことです。その日が近づいているのがわかります。

ピリピ 1:6 このことについては、あなたがたのうちに良い働きを始めた方は、イエス・キリストの日までそれを実行してくださると確信しています。

パウロはフィリピの人々に、神を信じるように勧めています。神は彼らのうちに良い働きを始められ、イエス・キリストの日までそれを完成させ続けてくださるのです。

1. 主への信頼：神の完全な働きに頼る

2. 不確実性の真っただ中での励まし：神の約束に慰めを見出す

1. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、

助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. ヘブライ 13:5-6 - お金への執着から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。ですから私たちは自信を持ってこう言うことができます。私は恐れません。人間は私に何ができるでしょうか？」

ピリピ 1:7 私があなたたち全員についてこのように考えるのは当然のことです。なぜなら、私はあなたたちを心の中に抱いているからです。私の絆においても、福音の擁護と確認においても、あなたがたは皆、私の恵みにあずかっているのです。

パウロは、福音の弁護と確認に協力してくださったフィリピ教会に感謝の意を表します。

1. 福音の擁護と確認における教会の役割

2. 福音を守るために他の人たちとともに立つ

1. 使徒 4:29 - 「さあ、主よ、彼らの脅迫をご覧ください。そしてあなたの僕たちに、大胆にあなたの言葉を語ることができるようにしてください。」

2. ヘブライ人への手紙 10:23-25 - 「私たちは、揺るがずに自分の信仰告白を堅持しようではありませんか。（神は約束された忠実な方だからです。）そして、愛と善行を促すようお互いを考慮しましょう。集会を放棄しないでください」一部の人たちのやり方のように、私たちも一緒にいますが、お互いに励まし合っています。そして、その日が近づいているのを見ると、なおさらです。」

ピリピ人への手紙 1:8 というのは、私がイエス・キリストの腸にいるあなた方全員をどれほど切望しているかということは、神が私の記録だからです。

パウロはフィリピの信者に対する深い愛を表明しています。

1: 私たちに対する神の愛は無条件です

2: 他者への愛は神の愛を反映すべきである

1: ヨハネ第一 4:19 - 私たちが愛するのは、主が最初に私たちを愛してくださったからです。

2: ヨハネ 13:34-35 - 私があなたを愛したように、互いに愛し合いなさい

ピリピ人への手紙 1:9 そして、知識とすべての判断において、あなたがたの愛がますます豊かになるように祈ります。

パウロはフィリピの人々に、愛を通して知識とあらゆる判断力において成長するよう勧めています。

1) 愛を通して知識と判断力を成長させる方法

2) 知識と判断力における豊かな愛の力

1) コロサイ 3:14 - そして、これらのことは何よりも、完全さの絆である慈善を身につけます。

2) 1 コリント 13:13 - そして今、信仰、希望、慈善、この 3 つが存続しています。しかし、その中で最大のものは慈善活動です。

ピリピ 1:10 それは、あなたがたが優れたものを認めるためです。それは、キリストの日まで、あなたがたが誠実で、罪を犯さないようにするためです。

この聖句は信者たちに、キリストの日に非の打ち所がないと認められるように、極めて優れた、非のない人生を送るよう勧めています。

1. 素晴らしい人生を送る: ピリピ人への手紙 1:10

2. 聖性を求める努力: キリストの日まで罪を犯さずにいられる方法

1. ローマ 12:2 - 「そして、この世に適応するのではなく、心を新たにして変えられなさい。それは、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明するためです。」

2. ペテロ第一 1:15-16 「しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。『わたしは聖であるから、聖になりなさい』と書いてあるからです。」

ピリピ 1:11 イエス・キリストによる義の実で満たされて、神の栄光と賛美がもたらされます。

義の実は、神の栄光と賛美のために、イエス・キリストによって私たちに与えられます。

1: 私たちは、神の栄光のために、イエス・キリストによって与えられた義の実で祝福されています。

2: イエス・キリストを信頼することによって、私たちは義の実を獲得し、神に栄光をもたらすことができます。

1: コロサイ 1:10 - それは、あなたがたが主にふさわしく歩み、すべての人に喜ばれるようになり、あらゆる良い業で実を結び、神についての知識が増していくためです。

2: ヤコブ 3:18 - そして、義の実は、平和を実現する人々の平和の中に蒔かれます。

ピリピ 1:12 しかし、兄弟たち、私に起こった出来事はむしろ福音を促進するものではなかったということを理解していただきたいと思います。

この箇所は、パウロが経験した困難や試練がどのように有益なものに変えられ、福音を前進させたかを語っています。

1: 私たちは、苦しみから良いものをもたらしてくれる神を信頼することができます。

2: たとえ苦しみを通しても、私たちは神において希望を持つことができます。

1: ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

ピリピ人への手紙 1:13 それは、キリストにある私の絆が宮殿全体、そして他のすべての場所に現れるためです。

パウロの投獄は彼の信仰とキリストへの献身の証しであり、福音に対する彼の忠誠が揺るぎないものであることを示しました。

#1: キリストに対する私たちの忠実さは、私たちの行動すべてに表れるほど強くあるべきです。

#2: 福音に対する私たちの取り組みは、あらゆる嵐を乗り越える刑務所の独房のようにしっかりしていなければなりません。

#1: マタイ 10:32-33 - 「他の人の前で私を認める人は、私も天の父の前で認めます。しかし、他の人の前で私を否認する者は誰でも、私は天の父の前で否認します。」

#2: コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにしても、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

ピリピ 1:14 また、主にある兄弟たちの多くは、わたしの絆によって自信を深め、恐れることなく大胆に御言葉を語るようになりました。

主にある兄弟たちはパウロの絆のおかげで、恐れることなく神の言葉を語ることにさらに自信を持っています。

1. 信仰を貫く忍耐の力

2. 神への信頼と信仰を通じて恐怖を克服する

1. マタイ 10:28 - 体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂も肉体も地獄で滅ぼすことのできる神を恐れなさい。

2. ローマ 10:13-14 - 「主の御名を呼び求める者は救われる」からです。それでは、信じたことのない神をどのようにして呼び求めることができるでしょうか。そして、彼らは聞いたこともない神をどうやって信じることができるでしょうか？そして、説教者なしではどうやって彼らは聞くことができるでしょうか？

ピリピ 1:15 確かに、ねたみや争いの中でもキリストを宣べ伝える人もいます。そして、善意のものもいくつかあります。

パウロはフィリピの教会に対し、その背後にある動機に関係なく、キリストの説教を受け入れるよう勧めています。

1 - 動機が何であれ、キリストのメッセージは受け入れられ、受け入れられるべきです。

2 - 神はどんな状況でも救いのメッセージを伝えることができます。

1 - 箴言 21:1 - 王の心は主の御手の中にあります。水の川のように、彼はそれを思いのままに変えます。

2 - エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです」と主は宣言されます。

ピリピ人への手紙 1:16 ある人は、私の絆に苦しみを加えるつもりで、心からではなく、争いごとのキリストを宣べ伝えています。

パウロは投獄されても、たとえ反対に直面しても、キリストの福音を宣べ伝えることを妨げられませんでした。

1: 困難な時には信仰を強く持ち、キリストの愛を分かち合い続けてください。

2:たとえ反対に遭っても、自分の信念を決して曲げない。

1: ローマ 8:31-39 - パウロは信者たちに、反対されても落胆しないようにしっかりと立つよう励ましています。

2: マタイ 5:11-12 - イエスは追随者たちに、迫害されても強くあり続けるように教えています。

ピリピ 1:17 しかし、もう一方の愛は、私が福音を弁護する用意ができていることを知っています。

パウロは自分が福音を守るよう召されていると認識しており、その動機は愛にあります。

1. 愛の力: 愛が私たちの使命をどのように促進できるか

2. しっかりと立つ: 福音を守る勇気

1. ヨハネ第一 4:7-12 – 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。」

2. ローマ 12:1-2 – 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試してみることで識別できるようになる。」

ピリピ 1:18 それではどうなるでしょうか。それにもかかわらず、見せかけであろうと真実であろうと、あらゆる方法でキリストが宣べ伝えられています。そして私はそこで本当に喜びます、そうです、そしてこれからも喜ぶでしょう。

キリストはどんな状況においても宣べ伝えられており、パウロはそれを喜んでいます。

1: いかなる状況においても、私たちはキリストの福音の力を喜ばなければなりません。

2: クリスチャンとして、私たちはキリストのメッセージが可能な限りの方法で広められているという事実に喜びを見出さなければなりません。

1: 1 コリント 1:17-18 - なぜなら、キリストが私を遣わされたのは、洗礼を授けるためではなく、福音を宣べ伝えるためでした。キリストの十字架の力が無にならないように、知恵と雄弁によってではありませんでした。

2: ローマ人への手紙 1:16-17 - 私は福音を恥とは思っていません。福音は、最初にユダヤ人に、次に異邦人に、信じるすべての人に救いをもたらすのは神の力だからです。

ピリピ人への手紙 1:19 なぜなら、あなたの祈りとイエス・キリストの御霊の供給によって、このことが私の救いに変わることを私は知っているからです。

パウロは神の救いの計画に対する確信を表明しています。

1. 私たちの救いに対する神の計画は常に私たちの計画よりも偉大です。

2. 聖霊の力による神の恵みは私たちを支えるのに十分です。

1. エペソ人への手紙 2:8-10 - あなたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ローマ 8:26-27 - 同様に、御霊は私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきなのかわからないからです。しかし、御霊ご自身が言葉にならないほど深いうめきをもって私たちのために執り成してくださいます。

ピリピ人への手紙 1:20 私の切なる期待と希望によれば、私は何事においても恥じることはなく、いつものように大胆に、今もキリストが私の体の中で、生によっても死によっても大いなるものとされることです。。

この一節は、人生の中でキリストを大いなるものとし、結果がどうなろうとも大胆にそれを行うことの重要性を強調しています。

1: キリストのために大胆に生きる - キリストを讃える人生を送ることの大切さ。

2: キリストを恥じない - 結果がどうであれ、キリストのために生きることを恥じません。

1: マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上に築かれた街を隠すことはできません。ランプを灯してボウルの下に置く人もいません。代わりにスタンドに置くと、家にいる人全員に光が与えられます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの善行を見て、天の父に栄光を帰すことができます。

2: コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

ピリピ人への手紙 1:21 なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは利益だからです。

パウロは、キリストのために生きることは死よりも価値があるという信念を表明しています。

1: キリストのために生きることは死よりも価値がある

2: キリストを信じる信仰の力

1: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: ピリピ 3:10 - 私はキリストを知りたいです。そうです、キリストの復活の力と苦しみに参加し、死に似た者となることを知りたいのです。

ピリピ人への手紙 1:22 しかし、私が肉体で生きているとしても、これは私の労働の成果です。しかし、私が何を選択するかはわかりません。

パウロは、肉として生きるか、キリストにあって死ぬか、どちらを選択すべきか迷っていることを表明しています。

1. 選択の自由: 正しい決定を下す方法

2. 意思決定における聖書の知恵の重要性

1. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人はすべての人に惜しみなく与え、非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださるだろう。」

ピリピ人への手紙 1:23 私は二つの間で板挟みになっており、離れてキリストとともにいたいという願いを持っています。どちらがはるかに優れています:

この箇所は、この世を離れてキリストとともにいたいというパウロの願いを語っていますが、それははるかに良いことです。

1: 私たちはパウロの模範から、キリストとともにあるよう努めることによって、この世を超えてより良い人生を求めることを学ぶことができます。

2: 私たちはキリストとともにいることを切望すべきです。それはこの世が提供できるものよりもはるかに優れているからです。

1: 2 コリント 5:7-8 - 私たちは目に見えるものではなく、信仰によって歩むからです。そうです、私たちは自信を持っており、むしろ体から離れて主とともに家にいたいと思っています。

2: 黙示録 14:13 - そのとき、私は天からこう言う声を聞きました。「これを書きなさい。これから主にあって死ぬ死者たちは幸いである。」「そうです。彼らは労働から休みます。彼らの行いは彼らに従うからです。」と御霊は言います。

ピリピ 1:24 それにもかかわらず、あなたがたにとっては、肉体にとどまることのほうが大切です。

この一節は、読者が肉体を持ったままであることがより必要であると述べています。

1. 私たちが肉に留まり神を敬う必要性

2. 肉にとどまることの祝福

1. ローマ人への手紙 8:13-14 - 「もし、あなたがたが肉に従って生きるなら、あなたは死ぬでしょう。しかし、もしあなたが御霊を通して肉体の行いを悔い

改めるなら、あなたは生きるでしょう。なぜなら、御霊に導かれている者は誰でもいるからです。」神様、彼らは神の子です。」

2. ガラテヤ 5:16-17 - 「だから、わたしは言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、あなたがたは肉の欲望を満たすことができません。なぜなら、肉は御霊に対して欲情し、御霊は肉に対して欲情するからです。そしてこれらは反対です。」お互いに、そうすれば、あなたがたがやりたいことができなくなります。」

ピリピ人への手紙 1:25 そして、この確信を持って、私は、あなたがたの信仰の促進と喜びのために、あなたがた全員とともに留まり、これからも歩み続けるであろうことを知っています。

信仰の促進と喜びのために、フィリピの人々との継続的なパートナーシップに対するパウロの自信を語っています。

1: パウロのフィリピ人への信頼と、それが私たちが仲間のクリスチャンとの関係を維持するのにどのように励みになるかについて。

2: パウロとピリピの人々とのパートナーシップの例と、それを私たち自身の生活や人間関係にどのように適用できるか。

1: 使徒 20:35 - すべてのことにおいて、私たちはこのように一生懸命働くことによって弱い人たちを助けなければならないことを示しました。また、主イエスご自身がこう言われた、「受けるより与えるほうが幸いである」という主イエスの言葉を思い出してください。。」

2: コロサイ 3:13 - 互いに忍び合い、もし一方が他方に不満を持っている場合は、互いに許し合います。主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。

ピリピ 1:26 私が再びあなたがたのところに来ることによって、イエス・キリストにあってあなたがたの喜びがさらに豊かになりますように。

パウロは、ピリピの人々がイエス・キリストにおいてもっと豊かに喜ぶことができるように、再び彼らと一緒にいたいという願いを表明しています。

1. イエス・キリストを喜びなさい。イエス・キリストは私たちの喜びの源だからです。

2. イエス・キリストにおけるあふれる喜び：それが私たちにとって何を意味するか。

1. ローマ 15:13 - 希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に満ち溢れますように。

2. ヨハネ 15:11 - 私がこれらのことをあなたがたに話したのは、私の喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるためです。

ピリピ 1:27 ただ、キリストの福音となるような会話にしなさい。それは、私があなたに会いに来ても、そうでなくても、あなたの事情を聞くことができるようにするためであり、あなたがたが一つの精神でしっかりと立ち、一つの思いを持って共に努力するためである。福音の信仰のために。

パウロはピリピの人々に、敬虔に話し合い、福音のために霊と目的において団結するよう勧めています。

1. 団結の力 - 福音のために団結する

2. 会話の力 - 私たちを通して福音を語ってもらう

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主イエスによって神と父に感謝しなさい。

2. ローマ 12:2 - そして、この世に合わせてはいけません。しかし、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして自分を変えてください。

ピリピ人への手紙 1:28 そして、あなたがたの敵対者たちにとっては、何の恐れもありません。それは、彼らにとっては明らかな滅びのしるしですが、あなたがたにとっては、そして神の救いのしるしです。

パウロはフィリピの人々に、敵を恐れないように勧めています。それは滅びではなく、自分たち自身の救いのしるしだからです。

1: 逆境における勇気: 恐怖に立ち向かい、神のうちに強さを見つける

2: 救いの力: 神の恵みの証拠

1: イザヤ書 41:10 - ですから、恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。

2: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、それができないと私は確信しているからです。それは、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すためです。

ピリピ 1:29 あなたがたには、キリストに代わって、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことが与えられています。

この聖句は、イエスを信じるだけでなく、イエスのために喜んで苦しむよう私たちを励ましています。

1. キリストのための苦しみ: イエスに従うためのガイド

2. 信じる力: 信仰に生きる方法

1. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。

2. ペテロ第一 4:12-13 - 親愛なる友人の皆さん、まるで何か奇妙なことが起こったかのように、あなたを試すためにあなたに降りかかる激しい試練に驚かないでください。しかし、キリストの苦しみにあずかる限り、喜びなさい。それは、キリストの栄光が現されたときに大喜びするためである。

ピリピ 1:30 あなたがたは、私の中に見たのと同じ葛藤を抱いており、今、私の中にあると聞いています。

パウロはフィリピの人々に、迫害に直面しても彼の揺るぎない信仰に倣うよう勧めています。

1: たとえ犠牲を払っても、信仰を堅持しましょう。

2: 神を信頼し、困難な時には神が常に私たちとともにおられることを知ってください。

1: ペテロ第一 5:8-9 – 「心を冷静に保ちなさい。気をつけてください。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのようにうろつき、食いつくべき者を求めています。信仰を固く持って彼に抵抗してください。」

2: イザヤ書 41:10 – 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

ピリピ人への手紙第 2 章は、ピリピ人へのパウロの手紙の第 2 章です。この章でパウロは、信仰を実践する際にキリストの謙虚さ、一致、無私無欲に倣うよう信者たちに勧めています。

第 1 段落: パウロは信者たちに、へりくだって死に至るまで従順になったキリスト・イエスと同じ考え方を持つようにと勧めています (ピリピ 2:1-11)。彼は団結と無私無欲の重要性を強調し、他人を自分よりも重要であると考えるよう奨励します。パウロは謙虚さと、愛をもって互いに仕える意欲を求めています。

第 2 段落: パウロは、無私の心と献身の模範としてテモテとエパフロデトの例を強調しています (ピリピ 2:19-30)。彼は、自分の状況についてのニュースを伝えて彼らを励ますために、すぐにテモテを派遣する予定です。彼はテモテが彼らの福祉に対する心からの気遣いを称賛しています。同様に、ピリピ教会を代表して命を賭してエパフロディトに奉仕したことを称賛します。

第 3 段落: この章は、信者が曲がった世代の中で星のように輝くよう勧めて終わります (ピリピ 2:12-18)。パウロは、彼らのうちに働いてご自身の御心に適うことを願い実行してくださるのは神であることを知り、恐れおののきながら救いを達成するよう彼らに勧めています。彼は彼らに、不平を言ったり論争したりせず、キリストの日に誇ることができるように神の言葉をしっかりと保つように勧めています。

要約すれば、

ピリピ人への手紙第 2 章は、キリストの謙虚さ、一致、無私無欲に倣うことを強調しています。それは信者たちに、愛をもって互いに仕えながら、他人を自分よりも重要だと考えるよう呼びかけています。

パウロはテモテとエパフロデトという無私無欲の行動を通じて他人の福祉に対する真の関心を示した人々を通して例を示しています。

この章は、信仰者たちへの、恐れとおののきながら救いを達成し、神の言葉をしっかりと握り、暗闇の世界で光のように輝くよう勧めて締めくくられています。それは謙虚さ、団結、そして神の御心に忠実に従うという考え方を奨励します。

ピリピ人への手紙 2:1 ですから、もしキリストによる慰めがあれば、愛の慰めがあれば、御霊の交わりがあれば、そして慈悲があれば、

パウロはフィリピの人々に、イエス・キリストがなさったように、団結と謙虚さを持ち、同じ考えを持ち一致団結するよう勧めています。

1: 私たちは互いに一致と謙虚さを持ち、イエス・キリストに倣うよう努めるべきです。

2: わたしたちは、キリストのうちにある慰め、慰め、交わり、便り、そして憐れみを認識し、感謝すべきです。

1: ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたが互いに愛し合うことです。私があなたを愛したように、あなたもお互いを愛しなさい。これによって、もしあなたたちがお互いに愛を持っているなら、あなたたちが私の弟子であることをすべての人が知るでしょう。」

2: エペソ人への手紙 4:2-3 - 「あらゆるへりくだりと優しさをもって、忍耐をもって、愛のうちに互いに忍び合い、平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう努めなさい。」

ピリピ人への手紙 2:2 あなたがたが同じ思いを持ち、同じ愛を抱き、心を一つにし、心を一つにすること、私の喜びを満たしてください。

この聖句は、私たちが同じ考え方と態度を持って団結と愛を持って団結するよう促しています。

1. キリストの体の一致：一つの力

2. 同じ考えを持つことの喜び: 一体性への呼びかけ

1. コリント人への第一の手紙 10:17 - 私たちは多くても、パンは一つ、体は一つだからです。私たちは皆、その一つのパンにあずかるからです。

2. ヨハネ 17:20-23 - 私は彼らのためだけに祈るのではなく、彼らの言葉を通して私を信じる人々のためにも祈ります。それは、父よ、あなたが私の中にいて、私があなたの中にいるように、彼ら全員が一つになるためです。それは、彼らもわたしたちの中で一つとなり、世界があなたがわたしを遣わされたことを信じるためです。

ピリピ人への手紙 2:3 争いや虚栄心によって何事も成し遂げてはならない。しかし、へりくだった心で、お互いが自分よりも他人を尊敬しなさい。

クリスチャンは利己主義やプライドから行動すべきではなく、他人を自分よりも大切だと謙虚に考える必要があります。

1. 謙虚さの力 - 自分より他人を優先する方法とキリスト教的な謙虚さの重要性。

2. 無私無欲の美徳 - 自分より他人を大切にする価値と無私を実践する方法。

1. ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

2. マタイ 20:25-28 - イエスはこう言われました。あなたがたの間ではそうではありません。しかし、あなたがたの間で偉いと思う者はあなたの僕でなければならず、あなたがたの間で一番になりたい者はあなたの奴隷でなければなりません。」

ピリピ 2:4 すべての人は自分のことに目を向けるのではなく、他人のことにも目を向けなさい。

この一節は、自分の利益だけに焦点を当てるのではなく、他の人のことを考えるよう私たちに勧めています。

1: 神は私たちに、他人のニーズに目を向けて無私になるよう求めています。

2: 私たちは自分自身よりも他人を優先することを忘れなければなりません。

1: ガラテヤ 6:2 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

2: ローマ人への手紙 12:10 「兄弟愛をもって互いに親切に愛し合い、敬意を持って互いに愛し合いなさい。」

ピリピ人への手紙 2:5 この思いをあなたの中に持ちなさい。それはキリスト・イエスにもあったのです。

一節クリスチャンはイエスと同じ考え方を持つように努めるべきです。

1. イエスのようになる: キリストのような態度を養う方法

2. キリストの心: イエスの慈悲と謙虚さを模倣する

1. コロサイ 3:12-14 - 神に選ばれた者として、聖く愛される同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身に着けて、互いに忍び合い、もし誰かが互いに不満を持っているなら、お互いを許しましょう。他の;主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。

14 そして何よりも、これらは愛を身に着けており、それはすべてを完璧な調和で結びつけます。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

ピリピ人への手紙 2:6 誰が神の姿をしているのに、強盗が神と同等であるとは考えなかったのです。

この箇所は、神の姿をしていながらも、神と同等であることを利用されるべきものとは考えなかったイエスの謙虚さを語っています。

1. 「謙虚に生きる: イエスの模範に従うことを学ぶ」

2. 「謙虚さの力：他人を第一にするキリストの模範」

1. マタイ 16:24-25: 「それからイエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。』自分の命を救おうとする者はそれを失うが、私の為に自分の命を失う者はそれを見つけるだろう。」

2. フィリピ 4:5: 「あなたの道理をすべての人に知らせてください。主はすぐそばにおられます。」

ピリピ人への手紙 2:7 しかし、彼は評判をなくし、召使いの姿をとり、人間と同じように造られました。

ピリピ人への手紙 2章7節のこの箇所は、イエスが人間と同じになるためにへりくだり、僕の姿をとられたことについて語っています。

1. 謙虚さは偉大さへの道

2. イエスの模範: 愛を持って他人に仕える

1. マタイ 20:26-28 「しかし、あなたがたの間ではそうではありません。しかし、あなたがたの間で偉い人はだれでも、あなたの奉仕者になりなさい。あなたがたの間では、そうではありません。」「そして、あなたたちの中で誰がかしらであっても、その人をあなたのしもべにしなさい。人の子が、仕えられるためではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのと同じである。」

2. ペテロ第一 5:5-6 「同様に、年下の者たちも、年長者に従いなさい。そうだ、あなたがたは皆、互いに服従し、謙虚さを身に着けなさい。なぜなら、神は高慢な者に抵抗し、謙虚な者に恵みを与えられるからである。したがって、神の力強い御手の下で謙虚になりなさい。そうすれば、神はしかるべき時にあなたを高めてくださるでしょう。」

ピリピ人への手紙 2:8 そして、彼は人間としての流行に見出され、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順になりました。

この箇所は、イエスがへりくだって、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になったことについて語っています。

1. 神の救いの計画: イエスの犠牲

2. 謙虚さの力: キリストの模範に従う

1. イザヤ書53:5-10

2. ヘブライ人への手紙 5:7-9

ピリピ人への手紙 2:9 そこで、神も彼を高く評価し、あらゆる名に勝る名を与えられました。

この箇所はイエスと、神がどのように彼を高く評価し、あらゆる名前よりも優れた名前を彼に与えたかについて書かれています。

1. 名前の力: イエスの物語から学ぶ

2. 何よりも高められるもの: イエスの名前の重要性

1. ペテロ第一 2:21 - 「あなたがたもここに召されたのです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残してくださったからです。あなたがたがその足跡に従うように。」

2. ヘブライ人への手紙 1:3-4 - 「ご自分の栄光の輝きであり、その人の姿を表わしており、ご自分の力の言葉によってすべてを支えておられる方は、ご自分で私たちの罪を清めてくださったとき、十字架の上に座っておられました。陛下の右手は高いところにあります。」

ピリピ人への手紙 2:10 それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、そして地にあるものすべての膝がかがむことです。

イエスの御名において、天上、地上、地下の者を含め、すべての人がひざまずいて礼拝しなければなりません。

1: 聖書は、ピリピ人への手紙 2 章 10 節で、すべての人はひざまずいてイエスの名を礼拝しなければならないと述べています。

2: 私たちは、イエスの名前が言及されるたびに、ひざまずいて礼拝し、イエスに敬意を表すべきです。

1: イザヤ書 45:23 「わたしは自ら誓った。言葉は義としてわたしの口から出て、二度と戻らない。すべての膝はかがみ、すべての舌はわたしに向かって誓う。」

2: ローマ人への手紙 14:11 「『わたしは生きている、と主は言われる、すべての膝はわたしにかがみ、すべての舌は神に告白する』と書いてあるからです。」

ピリピ人への手紙 2:11 そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白すべきです。

この箇所は、イエス・キリストを主と認め、父なる神の栄光を讃美することの重要性を強調しています。

1: イエス・キリストを主と告白する力

2: 父なる神にふさわしい栄光を与える

1: ローマ 10:9 - 「イエスは主です」と口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。

2: ヨハネ 5:23 - すべての人が父を敬うのと同じように、子を敬うためです。御子を敬わない者は、御子を遣わした御父を敬わないのです。

ピリピ人への手紙 2:12 ですから、愛する人たちよ、あなたがたは、これまでいつも従ってきたように、わたしがいるときだけではなく、わたしがいないときはなおさら、恐れと震えをもって自分の救いを達成しなさい。

パウロはフィリピの人々に、神への従順を続け、恐れおののきながら自分たちの救いを達成するよう励ましています。

1. 従順の命令: なぜ神に従わなければならないのか

2. 恐怖と震えの必要性: 私たち自身の救いをどのように実現するか

1. 申命記 28:1-2 「そして、もしあなたがあなたの神、主の御声に忠実に従い、今日私があなたに命じるすべての戒めを注意深く守るならば、あなたの神、主はあなたを地上のすべての国々の上に高く上げられるであろう」. そして、あなたがあなたの神、主の声に従うなら、これらすべての祝福があなたに降りかかり、あなたを襲うでしょう。

2. ローマ 12:1-2 したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたの体を神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたがたの霊的な礼拝であるようにお願いします。この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようになります。

ピリピ 2:13 なぜなら、神は、あなたがた二人のうちに働いて、ご自分の望みどおりに行わせてくださるからです。

この一節は、神が人間の中で働いて、人間が神に喜ばれる決定を下せるようにしていることを強調しています。

1: 神は私たちに自分で決定を下す自由意志を与えてくれましたが、私たちの決定がどのように神の意志と一致するかを考えることが重要です。

2: 私たちは皆、自分の意志を神に委ね、神が私たちの内で働いて下さるのを許すとき、神のために偉大なことを行うことができます。

1: ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に合わせてはいけません。しかし、神の御心が何が善で、受け入れられ、完全であるかを証明するために、心を新たにして自分を変えなさい。」

2: エペソ人への手紙 3:20-21 「さて、私たちの内に働く力に応じて、私たちが願い、考えていることをはるかに超えて豊かに行うことができる方に、世々を通じてキリスト・イエスによって教会に栄光がありますように。」、終わりのない世界。アーメン。」

ピリピ 2:14 何事も不平や論争をせずに行いなさい。

この聖句は、不平を言ったり議論したりせずに、前向きに考えて行動するよう私たちに勧めています。

1: 喜びを選ぶ: 人生の満足感と平安を見つける

2: 他者と調和して生きる: 許しの力

1: ヤコブ 1:19 - ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

2: ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制です。これらを禁じる律法はありません。

ピリピ 2:15 それは、神の子であるあなたがたが、よこしまな曲がった国民のただ中で、とがめられることもなく、罪もなく、その中で世の光として輝くためです。

クリスチャンは、しばしば誤った方向に導かれ、曲がった世界において、罪のない無害な者として神の愛の模範となるよう求められています。

1. 暗闇の世界における神の愛の光

2. 罪を問われない神聖な人生を送る

1. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上にある町を隠すことはできません。また、人々はともしびを灯してかごの下に置くのではなく、台の上に置くと、それが光を与えます」「同じように、あなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父に栄光を帰すことができます。」

2. ペテロ第一 2:11-12 - 「愛する人たち、寄留者や亡命者であるあなたたちに、自分の魂に対して戦いを仕掛ける肉の情念を避けるよう強く勧めます。異邦

人の間での行いを名誉あるものにしてください。あなたが悪者であるとしても、彼らはあなたの善行を見て、訪問の日に神の栄光を讃えるかもしれません。」

ピリピ 2:16 命の言葉を持ち続けます。それは、私が走ったことが無駄でなく、働いたことが無駄でなく、キリストの日を喜ぶためです。

この箇所は、障害に直面しても神の言葉を広め続けることの重要性を強調しています。

1. 「神の言葉に忠実であり続ける」

2.「困難な時代における信仰の力」

1. マタイ 16:18 - 「言っておくが、あなたはペテロだ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。地獄の門もそれに打ち勝つことはできない。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。完璧で完全で、何も欠けていない。」

ピリピ 2:17 そうです、もし私があなたがたの信仰の犠牲と奉仕として捧げられるなら、私は喜び、あなたがた全員とともに喜びます。

使徒パウロはフィリピの人々の信仰に喜びを表し、喜んで奉仕と犠牲をささげています。

1. 他者に奉仕する喜び

2. 信仰をもって他者に奉仕する

1. ヨハネ 15:13 - 「友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. コロサイ 3:23 - 「何をするにも、人のためではなく、主のためのように、心を込めて働きなさい。」

ピリピ 2:18 同じ理由で、あなたがたも喜び、私と一緒に喜びましょう。

パウロはフィリピの教会に、彼の神への忠実さと福音の宣教を共に喜ぶよう勧めています。

1. 主にある喜び: 神への忠実さを喜ぶ

2. パートナーシップを楽しむ: お互いの喜びを分かち合う

1. ヨハネ 15:11 - 「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにとどまり、あなたがたの喜びが満ちるためです。」

2. ローマ 12:15 - 「喜ぶ者たちとともに喜び、泣く者たちとともに泣きなさい。」

ピリピ 2:19 しかし、私は主イエスがすぐにティモテウスをあなたのところに送ってくださることを信じています。あなたの状態を知ったら、私もまた良い慰めになるでしょう。

使徒パウロは主イエスを信頼してテモテをピリピ人に送り、彼らの状態を知って慰めを与えます。

1. 不確実な時期に主を信頼する

2. 困難な時代における神の約束

1. イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

2. 詩篇 55:22 - あなたの重荷を主にゆだねなさい。そうすれば主はあなたを支えてくださるでしょう。主は義人が動かされるのを決して許されません。

ピリピ 2:20 というのは、私には、あなたがたの状態を自然に気にかけてくれる、同じような考えを持つ人がいないからです。

パウロは、自分と同じようにピリピの教会を気遣ってくれる人を見つけたいという願望を表明しています。

1. 召使いの心: 他人を思いやる心を学ぶ

2. 真のコミュニティの課題: 互いに愛し合い、奉仕する

1. ヨハネ 13:34-35 - 私があなたに与える新しい戒めは、あなたがたは互いに愛し合うことです。私があなたを愛したように、あなたもお互いを愛しなさい。

2. ローマ 12:9-10 - 偽善のない愛を保ちましょう。悪とは何なのかを忌み嫌う。良いものにしがみつきます。お互いに敬意を表し、兄弟愛をもって互いに優しく愛情を注ぎ合いましょう。

ピリピ 2:21 というのは、人は皆、イエス・キリストのものではなく、自分のものを求めているからです。

人々はしばしば、イエス・キリストにとって何が有益かではなく、自分にとって何が有益であるかに焦点を当てます。

1. 私たちは、人生においてイエス・キリストを第一に考えることを常に忘れてはなりません。

2. 私たちは自分自身よりも他人を優先するよう努めるべきです。

1. マタイ 16:24-25 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者はそれを失いますが、命を失う者は自分の命を失うからです』私にとって人生はそれを見つけるでしょう。」

2. ガラテヤ人への手紙 2:20 「私はキリストと共に十字架につけられ、もう生きていませんが、キリストが私の内に生きておられます。今、私が肉体の中で生きている命、私は私を愛し、ご自身を与えてくださった神の御子への信仰によって生きています。」私にとって。"

ピリピ 2:22 しかし、あなたがたは、彼が父との息子として、私とともに福音に仕えてきたという証拠を知っています。

パウロはテモテの福音への献身について語り、テモテとともに奉仕したことを称賛しています。

1. テモテの決意: 私たち全員に対する模範

2. 共に奉仕する: 福音の基礎

1. コリント人への第二の手紙 5:14-15 - キリストの愛が私たちを支配しているからです。なぜなら、私たちは次のように結論づけたからです。そして彼はすべての人のために死んだ。それは、生きている人々がもはや自分のためにではなく、自分たちのために死んでよみがえらせてくださった方のために生きるためである。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。

ピリピ人への手紙 2:23 そこで私は、私がどうなるかわかり次第、すぐに彼を送りたいと思っています。

パウロはテモテをピリピ人に送るつもりですが、いつ送るかは自分の状況に基づいて決めるつもりです。

1.「神のタイミングを待つ忍耐の大切さ」

2. 「他者に奉仕するという犠牲」

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

ピリピ 2:24 しかし、私も間もなく来ると主を信頼しています。

パウロは主への信頼を表明し、すぐにピリピの人々に加わることになると信じています。

1. 神の忠実さと神への信頼

2. 神のタイミングと私たちの忍耐

1. ローマ 15:13 - 「希望の神が、あなたが神を信頼する限り、あらゆる喜びと平和であなたを満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に溢れますように。」

2. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

ピリピ人への手紙 2:25 しかし、私は、私の兄弟であり、出産の同伴者であり、戦友であり、あなたの使者であり、私の願いに応えてくれたエパフロデトを、あなたに送る必要があると考えました。

パウロはエパフロデトをピリピの人々の代表、兄弟、そして協力者として宣教を助けるために彼らに送りました。

1. 宣教における一致の重要性

2. 協力者という神の賜物を認識する

1. ヨハネ 15:12-13 - 「これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。これより大きな愛はありません。人は友のために命を捨てることです。」

2. ローマ 12:4-5 - 「私たちには一つの体の中に多くの部分があり、すべての部分が同じ役割を持っているわけではありません。ですから、私たちは多くても、キリストにあって一つの体であり、一人一人の部分が互いの部分なのです。」

ピリピ人への手紙 2:26 というのは、彼はあなたがたみんなのことを切望していて、体が重かったからです。

パウロは、フィリピの人々の病気のことを聞いて気分が重かったので、彼らに対する深い愛情と気遣いを表しています。

1. パウロのような愛情をもって愛することを学ぶ

2. 他人に対する配慮と配慮を示す

1. ローマ人への手紙 12:15 - 喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。

2. ヨハネ第一 4:7 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆神から生まれ、神を知っています。

ピリピ人への手紙 2:27 確かに、彼は死に瀕していた。しかし、神は彼を憐れんだ。そして、私が悲しみに悲しみを重ねることがないように、彼だけでなく私にも。

パウロは、神が自分と病人を憐れんで、二人が悲しみに悲しみを重ねることを免れたことを語ります。

1. 神の慈悲

2. 予期せぬ形での神の憐れみ

1. マタイ 9:36 – イエスは群衆を見て、彼らを憐れみました。なぜなら、彼らは羊飼いのいない羊のように、苦しめられ、無力だったからです。

2. 詩篇 103:8 – 主は憐れみ深く慈悲深く、怒るのが遅く、愛に溢れています。

ピリピ 2:28 ですから、私が彼を遣わしたのは、あなたがたが再び彼に会ったときに喜ぶことができ、私の悲しみが少しでも軽くなるようにするためです。

パウロがテモテを細心の注意を払って送り出すのは、フィリピの人々が再びテモテに会ったときに喜び、パウロの悲しみが和らぐためです。

1.「再会の喜び」

2.「励ましの力」

1. 詩篇 30:5: 「その怒りはほんの一瞬であり、その好意は一生続くからです。泣きは夜の間続くかもしれませんが、喜びは朝とともにやって来ます。」

2. ローマ人への手紙 12:15: 「喜ぶ人たちとともに喜び、泣く人たちとともに泣きなさい。」

ピリピ 2:29 ですから、喜んで主にあって彼を受け入れてください。そしてそのような評判を保持しています：

この一節は、主に仕える人々を自分たちのコミュニティに熱意を持って迎え入れ、敬意を持って接するよう信者に勧めています。

1. 召使を歓迎します: 忠実な者を祝う

2. 名誉と敬意: 親睦の鍵

1. ローマ人への手紙 16:2 - 「あなたがたが、聖徒となるように、彼女を主にあって受け入れ、彼女が必要とするあらゆる用事で彼女を助けてください。なぜなら、彼女は多くの人を助け、そして私も助けてくれたからです。」

2. 箴言 16:7 - 「人の道が主を喜ばせるとき、主は敵さえも彼と平和にされる。」

ピリピ 2:30 なぜなら、キリストは、自分の命に関してではなく、私に対するあなたがたの奉仕の不足を補うために、キリストの働きのために死に瀕したからです。

パウロはエパフロデトが命を賭して教会への奉仕を果たしたことを称賛しました。

1: 私たちは常に教会の奉仕のために自分の命を捨てる準備ができていなければなりません。

2: 私たちは教会を当然のことと考えてはなりません。常にその使命に積極的に身を捧げる必要があります。

1: ヨハネ 15:13 - 「友のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2: 1 ヨハネ 3:16 - 「こうやって私たちは愛とは何かを知ることができます。イエス・キリストは私たちのために命を捨ててくださったのです。そして私たちは兄弟姉妹のために命を捧げるべきです。」

ピリピ人への手紙 3 章は、ピリピ人へのパウロの手紙の 3 章です。この章では、パウロが自身の霊的な旅について話し、誤った教えに対して警告し、キリストを知るという目標に向かって突き進むよう信者を励ましています。

第 1 段落: パウロは、外部の宗教的実践に依存する偽教師に注意するよう信者に警告することから始めます (ピリピ 3:1-6)。真の割礼は単なる表面的な儀式ではなく、心の問題であると彼は強調します。ポールは敬虔なユダヤ人としての自身の経歴を共有し、彼の印象的な宗教的資格を強調しています。しかし、彼は、キリストを知ることに比べれば、それらすべての成果は損失であると考えています。

第 2 段落: パウロは、キリストを知り、キリストのうちに見出されるためには、すべてを損失だとみなしていると説明しています (ピリピ 3:7-11)。彼は、律法の行ないによってではなく、信仰によってもたらされる義をキリストにあって見いだされることを望んでいます。パウロは、キリストを親密に知りたい、つまりキリストの苦しみを分かち合い、死においてもキリストのようになり、死者の中からの復活を達成したいという切望を表明しています。

第 3 段落: この章は、信者が信仰の成熟に向かって突き進むよう勧めて終わります (ピリピ 3:12-21)。パウロは自分がまだ完全には達していないことを認めていますが、前進し続けています。彼は信者たちに、後ろにあるものを忘れて、前にあるもの、つまりキリスト・イエスにおける天からの召しに向かって前に進むよう勧めています。彼は十字架の敵として生きる人々に対して警告しますが、彼らの市民権は天国にあり、救い主の再臨を熱心に待っていると保証します。

要約すれば、

ピリピ人への手紙第 3 章は、外部の宗教的実践や成果に頼るのではなく、真の霊的変化の重要性を強調しています。

パウロは、信仰を通じてキリストを親密に知ることに比べれば、自分の宗教的資格はすべて損失であると考えながら、自分の個人的な旅について語ります。

彼は信者たちに、過去の成果や失敗を忘れ、キリスト・イエスにおける天の召しに向かって前進し、成熟に向かって突き進むよう勧めています。この章は誤った教えに対して警告し、救い主の再臨を待ち望んでいる天国の信者の最終的な市民権を強調しています。

ピリピ 3:1 最後に、兄弟たちよ、主にあって喜びなさい。あなたに同じことを書くことは、私にとっては確かに悲しいことではありませんが、あなたにとっては安全です。

主にあって喜びましょう！

1: たとえどんな状況に直面しても、主にあって喜びを見出すことを学びましょう。

2: 必要なときに主が私たちに慰めと力を与えてくださるように、主に目を向けましょう。

1: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2: ハバクク 3:17-18 - いちじくの木には花が咲かず、ぶどうの木には実もなりません。オリーブの実の収穫は失敗し、畑では肉が収穫できなくなります。群れは囲いから切り離され、馬小屋には群れがなくなる。それでも、私は主にあって喜び、私の救いの神によって喜びます。

ピリピ 3:2 犬に気をつけ、悪人に気をつけ、簡潔に気をつけなさい。

パウロはピリピ人に、偽りの教えで彼らを迷わせようとする者たちに用心するように警告しています。

1. 私たちは識別力を働かせなければならず、誤った教えに従ってはなりません

2. 人間の意見ではなく神の言葉に焦点を当て続ける

1. テサロニケ第一 5:21-22 - すべてのことを試してください。良いものをしっかりと持ち続けてください。

2. コリント人への第二の手紙 11:3-4 - しかし、私は、エバが蛇の狡猾さに騙されたのと同じように、あなた方の心もどういうわけか、キリストへの誠実で純粋な献身から迷走してしまうのではないかと心配しています。

ピリピ 3:3 私たちは割礼を受けている者であり、霊において神を礼拝し、キリスト・イエスを喜び、肉には自信を持っていません。

私たちは自分自身ではなく、キリストに信仰と信頼を置くべきです。

1: 真の喜びと満足感を得るためには、私たちは自分自身ではなくキリストに信頼を置かなければなりません。

2: キリスト・イエスを喜び、肉には自信を持ちません。これが真の喜びと満足を経験する唯一の方法です。

1: ローマ 8:37-39 – 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物のいかなるものも、私たちを神の愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスのうちにあるのです。」

2: ヨハネ 15:11 - 「わたしがこれを言ったのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたの喜びが完全になるためです。」

ピリピ 3:4 私も肉には自信があるかもしれませんが。もし他の人が、自分が肉体を信頼できるものを持っていると考えるなら、私はさらにこう言います。

パウロは自分の能力に誰よりも自信を持っていると表現しています。

1. 自信のある考え方の力

2. 自分自身を信頼するか、神を信頼するか

1. 箴言 3:5-6 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださる。」

2. ローマ人への手紙 12:3 「わたしは、あなたがたのうちにいるすべての人に、わたしに与えられた恵みを通して言います。必要以上に自分のことを高く評価しないで、神が与えられたとおりに、冷静に考えなさい。」すべての人が信仰の尺度である。」

ピリピ人への手紙 3:5 イスラエルの一族、ヘブライ人の中のヘブライ人、ベニヤミン族の者で、八日目に割礼を受けた。律法に触れるようなもの、パリサイ人。

パウロは自分自身を、8日目に割礼を受けたユダヤ人で、イスラエル国民のベニヤミン族に属し、律法に関してはパリサイ人であったと述べています。

1. 「割礼の力: パウロのユダヤ人としてのアイデンティティの考察」

2. 「パリサイ人の信仰：パウロの律法主義を理解する」

1. 創世記 17:10-14 - 割礼に関するアブラハムとの神の契約

2. マタイ 23:1-3 - パリサイ人の律法主義に対するイエスの非難

ピリピ 3:6 熱意と教会の迫害について。律法の中にある、罪のない義に触れることです。

パウロはフィリピの人々に、教会を迫害することにあまり熱心にならず、律法の義を守るよう警告しています。

1. 神の言葉に対する熱意：義の力

2. 独善の危険性: 自分の熱心さを吟味してください

1. ローマ 10:2-3 - 彼らが神への熱意を持っているが、知識によるものではないことを私は彼らに記録させます。彼らは神の義を知らず、自分の義を確立しようとしていて、神の義に服従していないからです。

2. ヘブライ 11:6 - しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければならないからです。

ピリピ 3:7 しかし、私にとって得だったものも、キリストにとっては損失だと考えました。

この一節は、キリストのために物質的な利益を犠牲にすることの重要性を強調しています。

1: 私たちは、人生において何よりもキリストを喜んで優先すべきです。

2: 私たちはキリストのために犠牲を払う用意ができていなければなりません。

1: マタイ 16:24-25 「それからイエスは弟子たちに言われた、『わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい』。」

2: マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。」

ピリピ人への手紙 3:8 確かに、わたしは、わたしの主キリスト・イエスについての優れた知識のおかげで、すべてを失ったと考えています。キリストのために、わたしはすべてを失いましたが、それを糞尿のように思っています。それは、わたしがキリストを勝ち取るためです。

この聖句は、イエス・キリストについての知識を得る価値と、イエスを得るために世俗的なものをすべて犠牲にする意欲について語っています。

1: この世で、イエス・キリストについての知識とそれに伴う喜びより価値のあるものはありません。

2: イエス・キリストを得るために、私たちは喜んで何事も放棄すべきです。イエス・キリストは、この世が提供できるものよりも価値のある方だからです。

1: マタイ 13:44-46 - 野原に隠された宝のたとえ。

2: コロサイ 3:1-4 - 地上のものではなく、上にあるものに心を留めなさい。

ピリピ人への手紙 3:9 そして、律法による私自身の義ではなく、キリストの信仰による義、信仰による神からの義を持っているのを見い出しなさい。

パウロは信者たちに、律法に基づく自分の義に頼るのではなく、キリストへの信仰を持つよう勧めています。

1. キリストに信仰を置きなさい：神が与えてくださる義

2. 信仰の力: キリストのうちに真の義を見出す

1. ローマ 3:21-22 - しかし今、律法とは別の神の義が、律法と預言者によって証しされて明らかにされ、22 神の義さえも、イエス・キリストへの信仰を通して、すべての人々、すべての人々に明らかにされています。信じる。

2. ガラテヤ 2:15-16 - 私たち自身も生まれながらにユダヤ人であり、異邦人の罪人ではありません。 16 しかし、私たちは、人は律法の行いによってではなく、イエス・キリストへの信仰によって義とされるということを知っています。ですから、私たちもまた、律法の行いによってではなく、キリストへの信仰によって義とされるために、キリスト・イエスを信じたのです。法の行いは誰も正当化されません。

ピリピ人への手紙 3:10 それは、私が彼と、彼の復活の力と、彼の死に至るまで適応させられた彼の苦しみの交わりを知るためです。

この聖句は、キリストの力と苦しみを理解することでキリストを知り、キリストの死に適応することを望んでいることについて書かれています。

1: キリストの死に一致する

2: キリストの力と苦しみを通してキリストを知る

1: ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。

2: マタイ 16:24 - それからイエスは弟子たちに言われた、「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

ピリピ人への手紙 3:11 もし、何らかの手段で死者の復活に到達できれば。

パウロは死者の復活を達成したいという願望を表明しています。

1. 忍耐の力：パウロの復活の追求

2. 天国の希望: 死者の復活

1. ローマ 8:18-25 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。

2. 1 コリント 15:12-20 - しかし実際には、キリストは死人の中からよみがえられ、眠りについた人々の初穂とされました。

ピリピ人への手紙 3:12 私はすでに達成したかのように、どちらもすでに完全でした。

パウロは信者たちに、信仰の完全さを目指して努力するよう勧めています。

1. 信仰の完全さ: 高い使命を達成する

2. クリスチャンとしての責任を果たす

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. マタイ 5:48 - したがって、あなたがたの天の父が完全であるように、あなたも完全でなければなりません。

ピリピ人への手紙 3:13 兄弟たち、私は自分自身でそれを理解したとは思っていませんが、私がしているこの一つのことは、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに手を差し伸べることです。

この一節は、過去を離れて未来に焦点を当てるよう私たちに勧めています。

1: 「先を見据えて：過去を残して」

2：「変化を通じた成長～未来へ向けて～」

1: イザヤ書 43:18-19 「昔のことを思い出してはいけない。昔のことを考えてはいけない。見よ、わたしは新しいことをしている。今それが湧き出ている。あなたがたはそれに気づかないのか。」

2: 2コリント5:17 「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去りました。見よ、新しいものが来たのです。」

ピリピ人への手紙 3:14 私は、キリスト・イエスにおける神の高い召しという賞を求めて、マークに向かって進んでいます。

この聖句は、私たちが目標に向かって努力し、その過程で私たちを助けるためにキリストの力を使うよう励ましています。

1. 「神の崇高な召命: キリストにおける私たちの目標の追求」

2. 「マークに向かって押してください: イエスとともにコースを歩み続ける」

1. マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。」

2. ガラテヤ 6:9 - 「善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、しかるべき時に収穫を得ることができるからです。」

ピリピ人への手紙 3:15 ですから、完璧な人は、このように心に留めましょう。もしあなたが何かの事で違う考えを持っているなら、神はそのことさえもあなたがたに明らかにしてくださるでしょう。

この聖句は、完璧を目指して努力するよう私たちを励まし、意見が合わない場合でも神が道を示してくださると安心させてくれます。

1. 完璧は達成可能な目標です

2. 神の道に従うことが成功の鍵です

1. エペソ人への手紙 4:13 - 「わたしたちは皆、信仰と神の御子についての知識との一致を得て、完全な人となり、キリストの満ち足りた身長に達するまでです。」

2. ヤコブ 1:4 - 「しかし、忍耐に彼女の完全な働きをさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完全で完全な者となります。」

ピリピ 3:16 それでも、私たちはすでに到達しているところなので、同じ規則に従って歩み、同じことを心に留めましょう。

信者は、すでに達成した基準に従って生活を続けるよう努めるべきです。

1. 「軌道に乗る：神との一貫した歩みを追求する」

2.「達成した基準に従って生活する」

1. ガラテヤ 5:25 - 「私たちが御霊によって生きるなら、私たちも御霊によって歩みましょう。」

2. コロサイ 2:6 - 「ですから、あなたがたは主であるキリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストのうちに歩みなさい。」

ピリピ人への手紙 3:17 兄弟たちよ、共にわたしに従う者となり、あなたがたがわたしたちを手本とするように、歩む者たちに印を付けてください。

パウロは信者たちに、キリストに捧げた人生を送るという彼の模範に従うよう勧めています。

1. パウロの足跡をたどる：神への献身的な人生を送る

2. 聖徒の模範に倣う：神聖さにおいて成長する

1. コリント第一 11:1 - 「わたしがキリストに倣う者であるように、あなたもわたしに倣う者となりなさい。」

2. ヘブライ 12:1-2 - 「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、定められたレースを忍耐強く走り抜こうではありませんか」私たちの前で、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ています。イエスは、目の前に置かれた喜びのために恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。」

ピリピ人への手紙 3:18 (というのは、多くの人が歩いているからです。私はその人たちのことを何度もあなたがたに話し、今では泣きながらあなたがたに言いますが、彼らはキリストの十字架の敵であると言いました。

)

この一節は、キリストの十字架に敵対する人々に対して警告しています。

1: キリストの道をたどる - イエスの教えと私たちのために犠牲を払って生きることの大切さ。

2: この世の誤った教えを拒絶する - 義の道を受け入れ、世の誘惑を拒絶します。

1: コロサイ 3:5-10 - したがって、あなたの内にあるこの世的なもの、つまり性的不品行、不純さ、情熱、邪悪な欲望、そして偶像崇拝である貪欲を殺しなさい。

2: 2 テサロニケ 3:6-15 - さて、兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの御名において、あなたがたに命じます。あなたがたが私たちから受けた伝統に従わず、怠惰に歩いている兄弟を遠ざけるようにしてください。。

ピリピ人への手紙 3:19 彼らの終わりは滅びであり、彼らの神は彼らの腹であり、彼らの栄光は彼らの恥であり、地上のことを気にしている人たちです。）

自分の楽しみのために生き、地上のことだけを気にする人もいますが、それは破滅につながります。

1: 滅びの道は命の道ではありません。私たちが真の喜びと平和を見つけたいのであれば、神に目を向け、人生の中で神を第一に据えなければなりません。

2: 私たちは世俗的な欲望や快楽に惑わされてはならず、むしろ自分の目的と真の喜びを求めて神を求めなければなりません。

1: コロサイ 3:2 - 地上のことではなく、天のことに心を留めてください。

2: ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるかを、試しながら識別できるようにするためです。

ピリピ 3:20 私たちの会話は天にあります。私たちはそこから救い主、主イエス・キリストを求めます。

この箇所は、私たちの救い主である主イエス・キリストを天から探すことについて語っています。

1. イエス・キリストの希望と救い - ピリピ人への手紙 3:20

2. 天の会話を信頼する - ピリピ 3:20

1. マタイ 16:27 - 人の子は御使いたちとともに父の栄光の中に来て、その時、自分のしたことに応じて各人に報いるからです。

2. ヘブライ 9:28 - それで、キリストは、多くの人の罪を負うために一度はささげられたが、罪に対処するためではなく、熱心に待ち望んでいる人々を救うために二度目に現れるであろう。

ピリピ人への手紙 3:21 誰が私たちの卑劣な体を変えて、すべてのものを自分自身に服従させることさえできる働きに応じて、その栄光の体に似たものとなるでしょう。

ピリピ人への手紙 3 章 21 節のこの箇所は、神には私たちの肉体を神の栄光の体のように変える力があることを教えています。

1. 神の似姿への私たちの変容

2. 万物を征服する神の栄光ある力

1. ローマ 8:29 - イエスは、そのことをあらかじめ知っていましたが、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿に似るようになることも予定していました。

2. コリント人への第二の手紙 3:18 - しかし、私たちはみな、主の栄光をガラスの中のように見つめながら、主の御霊によって、栄光から栄光へと、同じ姿に変えられていきます。

ピリピ人への手紙 4 章は、ピリピ人へのパウロの手紙の 4 番目で最後の章です。この章では、パウロは信者が人生の喜び、平和、満足感を維持するための実践的な指示を提供しています。

第 1 段落: パウロは信者たちに、主にあって堅く立ち、お互いの争いを和解させるよう勧めています (ピリピ 4:1-5)。彼は二人の女性、エウオディアとシンティケに主にあって同意するよう勧めています。パウロは常に喜ぶこと、そして優しさをすべての人に知らせることを強調しています。彼は信者たちに、心配するのではなく、むしろ感謝の祈りを通して自分たちの懸念を神の前に提出するよう勧めています。

第 2 段落: パウロは、積極的な美徳と敬虔な考え方に焦点を当てることの重要性を強調しています (ピリピ 4:6-9)。彼は信者たちに、何も心配せず、代わりに自分の願いを神に伝えるよう勧めています。神の平和がキリスト・イエスにあって彼らの心と思いを守るでしょう。パウロは彼らに、真実で、誉れがあり、公正で、純粋で、愛らしく、称賛に値すること、つまり賞賛に値する徳について考えるように勧めています。

第 3 段落: この章は、フィリピの人々から受けた支援に対する感謝の表現で終わります (フィリピ 4:10-23)。ポールは、刑務所にいる間、彼らが自分の必要を満たしてくれた寛大さを認めています。神はキリスト・イエスを通して、神の栄光の富に応じて、彼らの必要をすべて満たしてくださると彼は保証します。パウロは同僚たちに挨拶を送り、愛と恵みに満ちた祝福を送ります。

要約すれば、

ピリピ人への手紙第 4 章は、争いや不安の中でも、祈りをもって神に依存することによって喜び、平和、満足感を維持することを強調しています。

パウロは信者たちに、賞賛に値する美徳に焦点を当てた考え方を養いながら、主にあって堅く立ち、お互いの間の争いを和解させるよう勧めています。

彼はピリピの人々から受けた支援に感謝の意を表しつつ、神はその豊かさに応じて彼らの必要をすべて満たしてくださると約束しました。この章は、パウロと彼の同僚

からの挨拶と恵みに満ちた祝福で終わります。

この章では、神の備えに頼り、神の恵みを他の人に差し出しながら、一致、祈り、前向きな思考、感謝を優先するよう信者に勧めています。

ピリピ人への手紙 4:1 したがって、わたしの兄弟たちよ、わたしの喜びと栄冠を心から愛し、待ち望んでいたので、わたしの愛する者よ、主にあってしっかりと立ちなさい。

この聖句は、私たちが信仰を堅固にし、主に信頼し続けるよう励ましています。

1. 主にあってしっかり立つ：私たちの信仰の強さ

2. 主にしっかりと定着する: 神の言葉に忠実であり続ける

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ヘブライ 10:23 - 揺るがずに信仰告白を堅持しましょう。（彼は約束したことを忠実に守っているからです;）

ピリピ人への手紙 4:2 私はエウオディアスとシンティケに、主にあって同じ思いを持つようにお願いします。

パウロはエウオディアスとシンテュケに、主にあって共通の態度を持つよう勧めています。

1: 主において一致すること。

2: 他者と合意して生きる。

1: コロサイ 3:12-14 - それでは、神に選ばれた者として、聖なる愛される同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、そして忍耐を身につけてください。

2: ヘブライ 12:14 - すべての人との平和と、それなしでは誰も主を見ることができない神聖さのために努力してください。

ピリピ人への手紙 4:3 それから、真のくびきの仲間よ、私もあなたにお願いします。福音の中で私と一緒に働いた女性たち、クレメンス、そして命の書に名前が載っている他の私の同労者たちを助けてください。

一節 パウロは、福音書の協力者であるクレメンスや、命の書に名前が載っている他の協力者に援助を求めます。

1. 福音における協力の力

2. 命の書における名前の価値

1. ローマ人への手紙 1:16 - 私はキリストの福音を恥じていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。まずユダヤ人に、そしてギリシャ人にも。

2. 黙示録 20:15 - そして、命の書に記されていない者は火の湖に投げ込まれました。

ピリピ人への手紙 4:4 いつも主にあって喜びなさい。繰り返し言いますが、喜びなさい。

この聖句は、私たちが常に主にあって喜びと満足感を見いだすよう勧めています。

1: 主にあって喜びと満足感を見つける

2: 神の慈しみを喜ぶ

1: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇するとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2: 詩篇 16:11 - あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの臨在の中には喜びが満ち溢れています。あなたの右手には永遠の楽しみがあります。

ピリピ 4:5 あなたの節度をすべての人に知らせてください。主はすぐそばにおられます。

主は近くにおられるので、私たちは常に節度ある行動をとるべきです。

1. 節制の重要性 - ピリピ 4:5

2. 主の近さ - ピリピ 4:5

1. ヤコブ 1:19-20 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

2. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

ピリピ人への手紙 4:6 いたずらに用心しなさい。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。

私たちは何も心配する必要はありません。代わりに、感謝の気持ちを持って神に祈り、私たちの願いを神に知らせるべきです。

1. 祈りの力: 私たちは心配する代わりに神への祈りに頼ることができます。

2. 感謝する: 私たちは祈りの中で神に感謝することで、神に感謝の気持ちを示すことができます。

1. マタイ 6:25-34 - イエスは私たちに、心配しないで神に信頼するように教えています。

2. テサロニケ第一 5:16-18 - 私たちはどんな状況でも喜び、祈り、感謝しなければなりません。

ピリピ人への手紙 4:7 そして、人知を超えた神の平和が、キリスト・イエスを通してあなたがたの心と思いを保つでしょう。

人間の理解を超えた神の平和が、イエス・キリストを通して信じる者の心と思いを守ります。

1. 計り知れない神の平和 - 神がイエス・キリストを通して私たちに与えてくださる平和の深さを探ります。

2. 私たちの心と精神を守る - イエス・キリストを通して世界とその影響から自分自身を守る方法を理解します。

1. ヨハネ 14:27 - 「わたしはあなたたちに平安を残します。わたしの平和をあなたたちに与えます。世が与えるのではなく、わたしがあなたたちに与えます。あなたの心を騒がせてはなりませんし、恐れさせてはなりません。」

2. イザヤ書 26:3 - 「あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保たれます。なぜなら、彼はあなたを信頼しているからです。」

ピリピ人への手紙 4:8 最後に、兄弟たち、どんな真実なことでも、どんな正直なことでも、どんなことでも正しいことでも、どんな清いことでも、どんな美しいことでも、どんな良い報告でもあります。もし何か美徳があるなら、そして何か賞賛があるなら、これらのことについて考えてください。

パウロは信者たちに、真実で、正直で、公正で、純粋で、愛らしく、良い報告があり、徳があり、賞賛に値するものに考えを集中するように指示しています。

1. 思考の力: 私たちの思考が私たちの生活をどのように形作るか

2. 正しい考え方の重要性: 心を変えて人生を変える

1. ローマ 12:2 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. 箴言 23:7 「その人は心の中で思っているとおりに、そうなるのです。」

ピリピ人への手紙 4:9 あなたがたがわたしのうちに学び、受け、聞き、見たことが、実現します。そうすれば、平和の神があなたがたとともにおられるでしょう。

この聖句は信者たちに、イエスから学び、受け、聞き、見たことを実行し続けるよう励ましています。そうすれば神は彼らとともに平安のうちにいてくださるでしょう。

1. 主の平和: イエスから学び、神の導きに任せる

2. 私たちが知っていることを実践する：イエスに従い、主の平安を体験する

1. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿るようにしましょう。詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で主に向かって優雅に歌いましょう。

2. ヨハネ 14:27 - わたしはあなたたちに平安を残し、わたしの平安をあなたたちに与えます。世が与えるのではなく、私があなたたちに与えます。心を騒がせてはいけないし、恐れてはいけない。

ピリピ人への手紙 4:10 しかし、私は今、最後にあなたの配慮が再び栄えたことを、主にあって大いに喜びました。そこであなたがたも注意していましたが、機会がありませんでした。

話し手は、最初はその機会がなかったにもかかわらず、他の人たちの自分に対する気遣いが再び栄えてきたので、主にあって喜びました。

1. 他の人への配慮の祝福を主にあって喜びましょう。

2. 人生の中で受ける気遣いや優しさの瞬間を大切にしましょう。

1. テサロニケ人への第一の手紙 5:18 - 「すべてのことにおいて感謝しなさい。これがキリスト・イエスにおける神の御心だからです。」

2. ヘブライ 10:24 - 「そして、愛と良い行いを呼び起こすために、お互いを思いやりましょう。」

ピリピ人への手紙 4:11 私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。

この一節は、自分の状況に関係なく、満足感について語っています。

1.「満足：平和への道」

2.「満足：姿を変えた祝福」

1. マタイ 6:25-34 - イエスは、物質的な所有物について心配しないことについて教えました。

2. ヤコブ 1:2-4 - 信仰の試練と試練における喜び。

ピリピ人への手紙 4:12 私は、どのように卑しめられるか、そしてどのように豊かになるかを知っています。どこにいても、すべてのことにおいて、私は満腹することと空腹することの両方、豊かであることと欠乏に耐えることの両方を教えられています。

この聖句は、物が溢れているか、不足しているかに関わらず、どんな状況でも満足し続けるよう私たちに勧めています。

1: 「豊かさと不足の満足感」

2: 「すべてのもののバランスを見つける」

1: 詩篇 37:3-5 - 主を信頼し、善を行いなさい。土地に住み、安全な牧草地を楽しむ。主を喜びなさい、そうすれば主はあなたの心の願いを叶えてくださいます。主に道を捧げなさい。彼を信頼すれば、彼はそうしてくれるだろう。

2: ヤコブ 4:13-15 - さあ、「今日か明日、どこそこの町に行き、そこで一年過ごし、貿易をして儲けよう」と言う人たちよ、それでも明日はどうなるか分からないのです。持ってくる。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。代わりに、「主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやをするつもりです。」と言うべきです。

ピリピ人への手紙 4:13 私は、私を強めてくださるキリストによって、何でもできるのです。

この聖句は、人生のあらゆる障害を克服するのに役立つイエス・キリストの力を強調しています。

1. イエスの強さ: イエスの助けがあれば何でも達成できる

2. 不可能を達成する: あらゆる課題を克服するイエスの力

1. マタイ 19:26 - しかし、イエスは[彼ら]を見て、彼らに言われた、「人間にはそれは不可能です。しかし、神にとってはすべてのことが可能です。

2. エペソ 3:20 - さて、私たちの内に働く力に応じて、私たちが求めることや考えることをはるかに超えて豊かに行うことができる方に祈ります。

ピリピ 4:14 あなたがたはよくやったにもかかわらず、私の苦しみを伝えてくれました。

この箇所は、苦難の中でパウロの必要を満たしてくれたフィリピの人々の寛大さを物語っています。

1: 寛大さは御霊の実です。

2: 神は寛大さに報いてくださいます。

1: ルカ 6:38 「与えなさい。そうすれば、与えられます。良い量り、押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄ってあなたの胸に入れられます。なぜなら、あなたが使うのと同じ量りで、それは量られるからです」あなたに戻って。"

2: ガラテヤ 6:7-8 「だまされないでください、神はあざけられません。人が蒔いたものは、必ず刈り取ります。肉に蒔く者は肉で腐敗を刈り取りますが、蒔く者は腐敗を刈り取るからです」御霊に従うと、御霊は永遠の命を刈り取ってくださるのです。」

ピリピ人への手紙 4:15 さて、あなたがたピリピの人々も知っていますが、福音の初め、私がマケドニヤを出発したとき、授受について私と連絡を取り合ってくれた教会はなく、あなたがただけだったということです。

パウロは、フィリピの教会が自分の宣教活動に寛大な経済的支援をしてくれたことに感謝しました。

1. フィリピ教会の寛大さ: 敬虔な生活の一例

2. キリストの体において与えることと受け取ることの祝福

1. コリント人への第二の手紙 9:7 - 「人は、しぶしぶでなく、あるいは強いられてでもなく、自分の心に決めたとおりに与えなければなりません。神は喜んで与える人を愛しておられるからです。」

2. ルカ 6:38 - 「与えなさい。そうすれば、与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。なぜなら、あなたが使う尺度によって、それはあなた自身に測られるからです。」

ピリピ 4:16 あなたがたはテサロニケでも、わたしの必要のために何度も人を遣わしました。

この箇所は、ピリピ人がテサロニケのパウロに援助物資を送ったことについて書かれています。

1. 寛大さの力: 他人に与えることでどのように満たされるか

2. 他人を助ける喜び: どうすればみんなで変化を起こすことができるか

1. ルカ 6:38 - 「与えなさい、そうすれば、与えられるでしょう。良い量りを、押しつけたり、一緒に振ったり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。なぜなら、あなたが使う量りで、それは測られるからです」あなた。"

2. マタイ 10:8 - 「病人を癒し、死者をよみがえらせ、らい病の人を清め、悪霊を追い出しなさい。あなたがたは無償で受け、無償で与えなさい。」

ピリピ 4:17 私が望んでいるのは、贈り物が欲しいからではありません。むしろ、あなたがたの口座に豊かに入る実を望んでいます。

パウロはフィリピの人々に、義務からではなく、愛と喜びから宣教活動に献金するよう勧めています。

1. 喜びに満ちた寛大さ: 感謝の心で与える力

2. 与えることの祝福: 期待せずに与えるべき理由

1. コリント第二 9:6-8

2. ルカ6:38

ピリピ人への手紙 4:18 しかし、私はすべてを持っており、豊富にあります。エパフロデトからあなたから送られたもの、甘い香り、神に喜ばれる犠牲を受け取って、私は満腹です。

使徒パウロは、ピリピの人々からの寛大な贈り物によって祝福されました。それは神にとって喜ばしく受け入れられる捧げ物でした。

1. 感謝の心を育む: 神の祝福を感謝する方法

2. 寛大さの力: 純粋な心で与える方法

1. コリント人への第二 9:6-7 「これを覚えておきなさい。控えめに種を蒔く人は、刈り取りも少なくなり、惜しみなく種を蒔く人は、たっぷりと刈り取ることになる。あなた方一人一人が、しぶしぶや強制ではなく、自分の心の中で捧げようと決めたものを捧げるべきです。なぜなら、神は陽気に与える人を愛しているからです。」

2. ヘブライ 13:16 - 「そして、善を行い、他の人と分かち合うことを忘れないでください。そのような犠牲を神は喜ばれるからです。」

ピリピ人への手紙 4:19 しかし、わたしの神は、キリスト・イエスによって、栄光の富に応じて、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます。

神は、キリスト・イエスにおける神の輝かしい富に応じて、私たちの必要をすべて満たしてくださいます。

1. 神は供給者です: 神を信頼しましょう

2. 必要なときに神の備えに頼る

1. マタイ 6:25-34 - 自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、自分の体のこと、何を着るかなど心配しないでください。

2. 詩篇 145:15-16 - 主はそのすべての道において義であり、そのすべての業において慈悲深い方です。

ピリピ人への手紙 4:20 神と私たちの父に、世々限りなく栄光がありますように。アーメン。

この一節は、神とその永遠の栄光を讃美する短い聖書です。

1: 神は私たちの父であり、その永遠の栄光は私たちの賛美に値します。

2: 神の栄光が私たちの生活の中で輝けるようにすることは、他の人が神の偉大さを求めるよう奨励します。

1: ヤコブ 1:17 - すべての良い完全な賜物は上から来て、天の光の父から降りてくるものであり、移り変わる影のように変わることはありません。

2: 詩篇 145:1-3 - 私の神、王よ、私はあなたを高めます。私はあなたの御名を永遠に讃えます。私は毎日あなたを賛美し、あなたの御名を永遠に称えます。主は偉大であり、最も賞賛に値します。彼の偉大さは誰も計り知れない。

ピリピ 4:21 キリスト・イエスにあるすべての聖徒に敬意を表します。私と一緒にいる兄弟たちがあなたに挨拶しています。

この箇所は使徒パウロからフィリピの信者たちへの挨拶であり、イエスの名によって互いに挨拶するよう勧めています。

1. イエスの挨拶の力: 小さな親切の交換がどのように大きな影響を与えることができるか

2. キリストの体の一致: 信者の健全なコミュニティを育む方法

1. ヘブライ 13:1-2 「兄弟愛を続けましょう。見知らぬ人にもてなしを示すことを怠ってはなりません。そうすることで、知らず知らずのうちに天使をもてなしている人もいるからです。」

2. ローマ人への手紙 12:9-10 「愛は本物であってください。悪を憎む。良いものをしっかり持ちなさい。兄弟愛をもって互いに愛し合いましょう。名誉を示すという点でお互いを上回りなさい。」

ピリピ 4:22 すべての聖徒たち、主にカエサルの家の者たちです。

ピリピ 4章22節のこの箇所は，クリスチャンがたとえ信者でなくても権威のある人たちに敬意を示すことの重要性を強調しています。

1. クリスチャン生活における敬意の役割

2. 世界の中で塩と光として生きる

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. ペテロ第一2:13-17

ピリピ人への手紙 4:23 私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがた一同にありますように。アーメン。

この箇所は主イエス・キリストの恵みが私たち全員とともにあるようにと願う祝福の言葉です。

1. 恵みの力: イエス・キリストの恵みがあなたの人生をどのように変えることができるか

2. イエス・キリストの恵みを受けるとはどういう意味ですか?

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたがたは、信仰によって恵みによって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。」

2. ローマ人への手紙 6:14 - 「あなたがたは律法の下ではなく恵みの下にあるので、罪はあなたを支配することができません。」

コロサイ人への手紙 1 章は、コロサイ人へのパウロの手紙の最初の章です。この章でパウロは、コロサイの信徒たちの信仰と愛に感謝の意を表し、キリストの至高性を称賛し、福音の僕としての自分の奉仕を強調しています。

第 1 段落: パウロは、コロサイの信者たちの間で明らかになった信仰、愛、希望に対する感謝の気持ちを表明することから始めます (コロサイ 1:1-8)。彼は福音に対する彼らの反応と実を結ぶ生活を称賛しました。パウロは彼らのために絶えず祈り、彼らに神のご意志の知識を満たし、霊的な知恵と理解を与えてくださるよう神に求めていることを保証します。

第 2 段落: パウロは、すべての被造物に対するキリストの優位性を称賛します (コロサイ 1:9-20)。彼らが知識と霊的知恵において成長し、主にふさわしい道を歩むことができるようにと祈りました。パウロは、キリストが神の似姿であり、目に見えるものと見えないものすべての創造者であることを強調しています。彼は、万物がどのようにして彼を通して、そして彼のために創造されたかを説明しています。キリストは、十字架の死による地上での救いの働きを含め、すべてにおいて卓越した地位を占めています。

第 3 段落: この章は、キリストを宣べ伝える僕としてのパウロの宣教の説明で終わります (コロサイ 1:21-29)。彼は、彼らがかつて神から疎外されていたが、今ではキリストの犠牲によってどのように和解しているかを強調しています。パウロは、この神秘、すなわち栄光の希望を、ユダヤ人にも異邦人にも同様に分かち合うことを喜んでいます。彼は、すべての人が神の前に完全に示されるように、知恵を尽くしてキリストを宣言することによって、キリストにあって成熟した人を示すよう努めています。

要約すれば、

コロサイ人への手紙の第 1 章は、コロサイの信者たちが示した信仰と愛に対する感謝の表現から始まります。

パウロは創造物に対するキリストの優位性を称賛し、創造者としてのキリストの役割と十字架での死によって成し遂げられた救いの業を強調しています。

彼は、キリストの和解のメッセージを宣言し、キリストにおいて成熟した信者を現すために尽力する、僕としての奉仕について説明します。この章では、信仰の重要性知識の成長、そしてすべてにおけるキリストの卓越性を強調します。それは信者が主にふさわしい人生を送り、キリストにある栄光の希望を抱くよう励まします。

コロサイ 1:1 神の御心によるイエス・キリストの使徒パウロと私たちの兄弟テモテ、

パウロとテモテは、父なる神と神の御子イエス・キリストからの恵みと平和の挨拶を送ります。

パウロとテモテは、父なる神と神の御子イエス・キリストからの恵みと平和の挨拶を送ります。

1. 神の恵み: 神の憐れみをどのように受け取り、維持するか

2. イエス・キリストを通して神との平和

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. ヨハネ 14:27 - 私はあなたがたに平和を残します。私の平和をあなたに与えます。世界が与えるものと同じように私があなたに与えるものではありません。あなたがたの心を騒がせてはならず、恐れてはなりません。

コロサイ 1:2 コロサイにいる聖徒たちとキリストにある忠実な兄弟たちへ: 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、あなたがたに恵みと平安がありますように。

この箇所は、コロサイのキリストにある聖徒たちと忠実な兄弟たちに、父なる神と主イエス・キリストによって与えられた恵みと平和について語っています。

1. 神の無条件の愛: すべての人に対する神の恵みと平和

2. 信者の忠実さ: 神の恵みと平和の中で生きる

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。なぜなら、神は世を罪に定めるために御子をこの世に遣わしたのではありません。しかし、彼を通して世界が救われるためです。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

コロサイ 1:3 私たちは、私たちの主イエス・キリストの父である神に感謝し、あなたのためにいつも祈っています。

パウロはコロサイ人のために神に感謝の気持ちを表し、彼らのために祈ります。

1.「神の忠実さに感謝する」

2. 「他者のための祈りを喜ぶ」

1. イザヤ書 43:7 - わたしの名で呼ばれるすべての人、わたしが栄光のために創造した者たち。私は彼を作りました、そう、私は彼を作りました。

2. ローマ人への手紙 5:5 - そして、神の愛は私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

コロサイ 1:4 私たちは、キリスト・イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒たちに対するあなたがたの愛について聞いて以来、

パウロは、キリスト・イエスとすべての聖徒に対するコロサイの人々の信仰と愛を聞いて喜びを表します。

1.「キリストにおける信仰と愛の力」

2. 「人生で信仰と愛を育む方法」

1. ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. コリント第一 13:13 - 「そして今、信仰、希望、慈愛、この三つが保たれていますが、その中で最も大いなるものは慈愛です。」

コロサイ 1:5 それは、あなたがたは以前に福音の真理の言葉の中で聞いた、天にあなたがたのために置かれている希望のためです。

この箇所は、福音によって与えられる永遠の命の希望の重要性を強調しています。

1: 福音に希望を持つ: 永遠の約束

2: 信仰と希望をもって生きる: コロサイ人への手紙 1:5 を参照してください

1: ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2: ローマ人への手紙 5:2-5 - 「私たちも、キリストを通して、信仰によってこの恵みに自分が立っているところにアクセスすることができ、神の栄光を望んで喜んでいます。それ以上に、私たちは次のことを知って、自分の苦しみを喜んでいます。」苦しみは忍耐を生み、忍耐は人格を生み、人格は希望を生み、希望は私たちを恥じることはありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊を通して神の愛が私たちの心に注がれているからです。」

コロサイ 1:6 世界中でそうであるように、それがあなたがたにもやって来ます。そして、あなたがそれを聞いて、神の恵みを真実に知った日以来、あなたがたにもそうであるように、実を結びます。

キリストの福音はコロサイに伝わり、人々がそれを聞いて神の恵みを理解して以来、実を結んでいます。

1. 神の恵みの中で生きる - 福音を理解し、適用する

2. 王国で実を結ぶ - 福音の使命を守る

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物であり、

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようになります。

キリストの忠実な奉仕者である私たちの愛する同胞エパフラスのことを知ったように、

この一節は、エパフラスがキリストの忠実な奉仕者であると述べています。

1. 宣教における忠実さ

2. 例から学ぶ

1. コリント人への手紙第 4 章 1-2 節「人は、私たちを、キリストの僕、神の奥義の管理人として、そのように考えてみましょう。さらに、管理人には、忠実であることが求められます。」

2. テモテ第一 4:12 - 「だれもあなたの若さを軽蔑してはならない。むしろ、言葉、行い、愛、霊、信仰、純粋さにおいて、信者たちの模範となりなさい。」

コロサイ 1:8 また、御霊によってあなたの愛を私たちに宣言してくださいました。

この一節は、神の御霊が私たちにもたらす愛について語っています。

1: 神の御霊の愛

2: 主の喜びは私たちの力です

1: ローマ人への手紙 5:5 - そして希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は私たちに与えられる聖霊によって私たちの心の中に注がれるからです。

2: エペソ 3:16-17 - それは、ご自分の栄光の富に応じて、内なる人の内にある御霊によって力強く強められることを神があなたに与えてくださるためです。キリストが信仰によってあなたがたの心の中に住まわれますように。あなたが愛に根ざし、愛に根ざしていることを。

コロサイ 1:9 このような理由から、私たちも、それを聞いた日以来、あなたがたのために祈り、あらゆる知恵と霊的理解力によって神の御心を知ることができるようにと願ってやみません。

パウロはコロサイ人が神のご意志の知識と霊的な理解で満たされるように祈りました。

1. 神の御心があなたの人生に明らかにされるように祈ります

2. 神の意志に生きるために霊的理解を受け入れる

1. エレミヤ 29:13 - そして、あなたがたが心を尽くして私を捜すとき、あなたがたは私を探し、私を見つけるでしょう。

2. ヨハネ 10:10 - 盗人は来るのではなく、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためです。私が来たのは、彼らがいのちを得るため、そしてそれをより豊かに得るためです。

コロサイ 1:10 それは、あなたがたが主にふさわしく歩み、すべての人に喜ばれるようになり、あらゆる良い業で実を結び、神についての知識が増していくためです。

クリスチャンは、生産的であり、良い行いをし、神についての知識を深めながら、主に喜ばれる人生を送るよう求められています。

1: 神が私たちに求めている人生を生きる: 主にふさわしい歩みをする

2: 神についての知識が深まる

1: エペソ 4:1-3 したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、愛のうちに互いに愛し合い、召された召しにふさわしい態度で歩むよう、あなたに勧めます。、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

2: ローマ人への手紙 12:2 この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試しながら識別できるようになります。

コロサイ 1:11 その輝かしい力に応じて全力で強められ、あらゆる忍耐と喜びに満ちた忍耐に至る。

この一節は、喜びを持つためには全力と忍耐力をもって強められる必要があることを強調しています。

1: 私たちは神の栄光の力に頼って、忍耐と辛抱強さを持たなければなりません。

2: 私たちは神の力によって喜びを得るように努めるべきです。

1: ローマ 15:4-5 - 昔書かれたものはすべて、忍耐と聖書の励ましによって私たちが希望を持つことができるように、私たちの指示のために書かれたものだからです。

2: ヤコブ 1:2-3 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。

コロサイ 1:12 私たちを光の中で聖徒たちの相続にあずかる者として出会ってくださった父に感謝します。

パウロは、私たちを聖徒の相続物を光の中で受けるにふさわしい者にしてくださった御父に感謝するよう教えています。

1.「聖人の相続を受けて：感謝の旅」

2.「聖者の光：私たちへの神の尽きることのない贈り物」

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - しかし、憐れみに富んだ神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、キリストとともに私たちを生かしてくださいました（恵みによってあなたがたは救われました）。

コロサイ 1:13 神は私たちを暗闇の力から救い出し、私たちをご自分の愛する御子の王国に移してくださいました。

神は私たちを暗闇の力から救い出し、御子を通して私たちを神の王国に導き入れてくださいました。

1:神の国では、私たちは暗闇と悪の力から解放され、主の平安と喜びを体験することができます。

2: イエスの死と復活によって、私たちは暗闇の力から救われ、神の国にもたらされます。

1: ローマ人への手紙 8:1-2 「ですから、今、キリスト・イエスにある者たちは罪に定められることはありません。キリスト・イエスにある命の御霊の法則が、あなたがたを罪と死の法則から解放したからです。」

2: エペソ人への手紙 2:4-7 「しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。恵みによってあなたは救われました」そして、私たちを彼とともによみがえらせ、キリスト・イエスにあって天上の場所に一緒に座らせてくださったのは、来るべき時代に、キリスト・イエスにあって私たちに対する優しさという計り知れない恵みの豊かさを示すためでした。」

コロサイ 1:14 私たちはこのキリストによって、その血による救い、さらには罪の赦しを得ます。

コロサイ 1 章 14 節は、イエスがご自身の犠牲を通して私たちに救いと罪の許しを与えてくださったと教えています。

1. イエスの血の力: イエスの犠牲がどのようにして救いと許しを実現するか

2. 救いの希望: イエスはどのように私たちに許しと新しい命を与えてくださるのか

1. エペソ 1:7 - 私たちはこの方にあって、その血による救い、彼の豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

コロサイ 1:15 目に見えない神の似姿、あらゆる被造物の初子とは誰ですか。

この箇所では、イエスが目に見えない神の似姿であり、創造の初子であると語られています。

1: イエスは目に見えない神の象徴です。

2: イエスはすべての創造物の初子であり、私たちの尊敬に値します。

1: ヨハネ 14:9 - イエスは彼に言われた、「フィリポ、わたしは長い間あなたと一緒にいたのに、あなたはわたしのことを知らないのですか。わたしを見た人は父を見たのです。それで、どうして『見せてください』と言えるでしょうか」お父さん'？

2: 黙示録 4:11 - 「主よ、あなたは栄光と名誉と力を受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造され、あなたのご意志によってそれらは存在し、創造されたからです。」

コロサイ 1:16 天にあるもの、地にあるもの、目に見えるものも見えないものも、王座であれ、統治権であれ、君主国であれ、権力であれ、すべてのものはキリストによって創造されたからです。彼：

天と地にあるすべてのものは、目に見えるものも目に見えないものも、イエスによって、イエスのために創造されました。

1. 創造の力: イエスを通して私たちの起源を探る

2. イエスにおける私たちの目的: 宇宙における私たちの位置を理解する

1. ヨハネ 1:3 - すべてのものはキリストを通して造られ、キリストなしには造られたものは何もありませんでした。

2. エペソ人への手紙 3:9 - そして、イエス・キリストを通して万物を創造された神の中に、太古の昔から隠されてきた神秘の交わりが何であるかをすべての人に知らせるためです。

コロサイ 1:17 また、神は万物より先におられ、神によって万物は成り立っています。

イエスはすべてのものの前におられ、すべてはイエスによってまとめられています。

1. イエスはすべての基礎である - コロサイ 1:17

2. イエスの力を理解する - コロサイ 1:17

1. ヨハネ 1:3 - すべてのものはキリストを通して造られ、キリストなしには造られたものは何もありませんでした。

2. ヘブライ 1:3 - 彼は神の栄光の輝きであり、神の性質の正確な痕跡であり、その力の言葉によって宇宙を支えます。

コロサイ 1:18 そして、イエスは体、つまり教会の頭です。この方は始まりであり、死人の中から最初に生まれた方です。すべてのことにおいて彼が卓越しているかもしれないからです。

イエスは教会のかしらであり、死者の中から最初に復活された方なので、すべてのものに対して卓越した権威を持っています。

1. イエスの卓越性: イエスがどのようにすべてのものに対して卓越しているのか。

2. 教会のかしら: イエスが教会のかしらであることの重要性。

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主イエスによって神と父に感謝しなさい。

2. エペソ人への手紙 1:20-23 - 彼は、キリストを死人の中からよみがえらせ、天上でご自分の右の座に据えたとき、キリストにあってそれを成し遂げました。あらゆる支配力、権力、力強さ、支配力をはるかに上回り、そして、この世界だけでなく、来るべき世においても名前が挙げられているすべての名前は、すべてのものを彼の足の下に置き、彼の体である教会にすべてのものの頭であるように彼を与えました、すべてを満たしてくださる神の満ち足りた心。

コロサイ 1:19 なぜなら、御父は、御父のうちにすべての満ち足りたものが宿ることを喜ばれたからです。

神の喜びは、すべての満ち足りたイエスのうちに見出されます。

1: イエスにおける神の喜び

2: 神の喜びに満ちたイエス

1: エペソ人への手紙 1:9-10 - 彼はご自身の中で計画されたご自身の喜びに従って、ご意志の奥義を私たちに知らせてくださいました。それは、世の満ちる神権時代に、すべてのものを一つに集めるためでした。キリスト、天におられる方も、地上におられる方も。彼の中でも：

2: ピリピ 2:13 −神は、あなたがた二人のうちに働いて、ご自分の喜びを願い、実行させてくださるからです。

コロサイ 1:20 そして、彼の十字架の血によって平和を実現し、彼によってすべてをご自分と和解させました。それが地上のものであれ、天上のものであれ、私は彼によって言います。

キリストの十字架の死を通して、キリストは天と地にあるすべてのものをご自分と和解させました。

1.「キリストの十字架による和解の力」

2.「キリストの血による平和」

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. エペソ 2:16 - そして、あなたがたもキリストのうちに共に建てられ、神が御霊によって住む住まいとなるのです。

コロサイ 1:21 そして、あなたがたは、邪悪な行いによって、一時は疎外され、心の中で敵対されていたのに、今は和解したのです。

1: 神の恵みは、かつて敵対していた者たちの間に和解をもたらします。

2: 私たちはイエス・キリストの働きによって神に対して正しい者とされました。

1: エペソ人への手紙 2:12-18 - 神はキリストを通して私たちをご自身に近づけ、御霊において私たちを一つにしてくださいます。

2: ローマ人への手紙 5:10 - イエス・キリストの十字架の死を通して、私たちは神と和解しました。

コロサイ 1:22 あなたがたを、死を通じて肉の体において、神の目に聖く、とがめられることのない、とがめられることのないものとするために。

イエス・キリストの死により、信者は神聖で非難のない者として神に示されることが可能になりました。

1. キリストの聖性: キリストの犠牲がどのようにして私たちを義とするのか

2. 責められず、とがめられない：神の目から見て純粋な人生を生きる

1. コリント人への第二の手紙 5:21 - なぜなら、神は、罪を知らなかった私たちのために、彼を罪とされたからです。それは、私たちが彼にあって神の義とされるためです。

つまり肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は何の罪にも定められていません。

コロサイ 1:23 あなたがたが、地に足をつけて定着した信仰を続け、あなたがたが聞いており、天の下にあるすべての生き物に宣べ伝えられた福音の希望から離れないなら、そのために私パウロは牧師に任命されました。

パウロはクリスチャンに対し、すべての被造物に宣べ伝えられた信仰、希望、福音にしっかりと根を張り、堅固であり続けるよう勧めています。

1. 信仰生活を送る: 福音にしっかりと根ざした生活を続ける

2. 福音における希望: キリストのうちに私たちの人生を定着させる

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

コロサイ 1:24 彼らは今、あなたがたのためにわたしの苦しみを喜んでおり、キリストのからだである教会のために、キリストの苦しみの背後にあるものをわたしの肉体で満たしてくださっています。

パウロは、キリストの体である教会のために、自分の苦しみを喜んでいます。

1. 奉仕の喜び: パウロの教会奉仕の模範

2. キリストの愛の力：キリストの苦しみの背後にあるものを埋める

1. フィル。3:10-11 - それは、私が彼と、彼の復活の力と、彼の死に至るまで適応させられた彼の苦しみの交わりを知るためです。

2.ヘブ。12:1-2 - ですから、私たちも大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷や、いとも簡単に私たちを襲う罪を脇に置き、前に定められたレースを忍耐強く走り抜けましょう。私たち。

コロサイ 1:25 私は、あなたがたのために与えられた神の摂理に従って、神の言葉を成就するために奉仕者とされています。

パウロは神の言葉を成就するために、神によってコロサイ人への奉仕者に任命されました。

1. パウロの任命 - 神の計画はどのように私たちを奉仕に備えさせるのか

2. 御言葉を実践する - 私たちの生活における神の御心を識別する

1. エレミヤ 1:5 - 「わたしはあなたを胎内に形づくる前から知っており、生まれる前からあなたを区別し、諸国民への預言者に任命しました。」

2. マタイ 28:18-20 - 「そのとき、イエスは彼らのところに来て言われた、『天と地におけるすべての権威がわたしに与えられた。』それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。そして確かに、私は時代の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

コロサイ 1:26 はるか昔から、また何世代にもわたって隠されていた奥義も、今では聖徒たちに明らかにされています。

神の計画の謎は神の聖徒たちに明らかにされました。

1. 神の計画の謎を理解する

2. 神の計画の神秘を喜ぶ

1. エペソ人への手紙 3:6-11

2. ローマ人への手紙 16:25-27

コロサイ 1:27 神は、異邦人の間で起きているこの奥義の栄光がどれほど豊かであるかを、誰に知らせて下さるでしょうか。それはあなたの内にあるキリストであり、栄光の希望です。

神は私たちの内にあるキリストの奥義、すなわち栄光の希望を明らかにしてくださいました。

1. キリストの神秘: 栄光の希望

2. 私たちの内なるキリストの栄光の富

1. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待するでしょうか？

2. エペソ人への手紙 1:17-19 - 栄光の父である私たちの主イエス・キリストの神が、あなたがたの心の目を啓発して、彼を知る知恵と啓示の御霊をあなたに与えてくださいますように。彼があなたに呼びかけた希望が何であるかを知ってください。

コロサイ 1:28 私たちはこの方を宣べ伝え、すべての人に警告し、あらゆる知恵をもってすべての人に教えます。それは、私たちがすべての人をキリスト・イエスにおいて完全にするためです。

パウロは、各人がキリスト・イエスにあって完全であると示されるように、知恵をもってすべての人を説教し、警告し、教えることに専念しました。

1. 完璧な説教の力

2. キリスト・イエスにおける完全さ: 行動への呼びかけ

1. マタイ 28:19-20 「それゆえ、行ってすべての国の人々を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたとともにいます。」

2. ローマ 12:2 「そして、この世に適応するのではなく、心を新たにして変えられなさい。それは、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明するためです。」

コロサイ 1:29 そこで私も、私の内に力強く働いて下さる主の働きに従って努力し、働きます。

パウロは、彼の内に力強く働いてくださる神の御心に従って働くよう努めます。

1.「私たちを通して働く神の力」

2.「神への奉仕に耐える強さ」

1. エペソ人への手紙 3:20-21 - さて、私たちの内に働いている力に応じて、私たちが求めたり想像したりするすべてを計り知れないほど多くのことを成し遂げてくださる方に、教会とキリスト・イエスにおいて栄光がありますように。何世代にもわたって、永遠に！アーメン。

2. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。

コロサイ人への手紙 2 章は、コロサイ人へのパウロの手紙の第 2 章です。この章では、パウロは誤った教えについて言及し、キリストの十分性と優位性を強調します。

第 1 段落: パウロはコロサイの信者に対する懸念を表明し、説得力はあるが空虚な哲学に騙されないよう警告しています (コロサイ 2:1-8)。神は、彼らが心の

中で励まされ、愛において団結し、神の神秘、つまりキリストご自身についての完全な確信と理解を得ることができるようにと望んでおられます。パウロは彼らに、人間の伝統や基本的な霊的な力に囚われず、むしろキリストに根ざし続けるよう警告しています。

第 2 段落: パウロは教会に浸透していたさまざまな偽りの教えに反論します (コロサイ 2:9-23)。彼は、キリストのうちに神の満ち足りたすべてが肉体的に宿っていると断言します。信者は信仰を通して主の霊的な割礼を受けており、主にあって完全です。パウロは、律法主義的な慣行や禁欲主義の奴隷にならないように警告し、これらは世俗的な放縦を抑制するのに何の価値もないと強調しています。

第 3 段落: この章は、地上の規定ではなく天上の現実に焦点を当てるよう勧めて終わります (コロサイ 3:1-17)。パウロは信者たちに、地上の性質を捨てて上にあるものに心を向けるよう勧めています。イエスは彼らに、愛に根ざした思いやり、優しさ、謙虚さ、優しさ、忍耐、許しを身につけるよう勧めています。彼らは、キリストの平和が自分たちの心を支配し、キリストの言葉が彼らの間に豊かに宿るように求められています。

要約すれば、

コロサイ人への手紙第 2 章は、信者たちが空虚な哲学に惑わされず、むしろキリストに根ざし続けるようにというパウロの配慮を強調しています。

彼は誤った教えに反論し、信者はキリストだけにおいて完全であると強調します。

この章は、信者が慈悲、優しさ、謙虚さ、許しなどの美徳を示しながら、すべて愛に基づいて天の現実に焦点を当てるよう勧めて終わります。それは、世俗的な規制や伝統に対するキリストの十分性と優位性を強調します。この章は、キリストの充足という真理に根ざした信仰を堅持するよう信者に勧めています。

コロサイ 2:1 というのは、私があなたがたに対して、ラオデキアの彼らに対して、そして私の顔を生で見たことのない多くの人々に対して、どれほど大きな葛藤を抱えているかをあなたがたが知っていてほしいからです。

パウロはコロサイ人だけでなく、ラオデキアの人々やパウロに直接会ったことのない人々に対しても、大きな配慮と気遣いを表明しています。

1. 「思いやりの力: 永続的な関係を育む」

2. 「奉仕の喜び：他者への愛を生きる」

1. テサロニケ人への第一の手紙 2:8 - 「ですから、私たちは愛情を込めてあなたがたを望んでいたので、神の福音だけでなく、私たち自身の魂もあなたがたに伝えたいと思ったのです。あなたがたが私たちにとって大切な人だったからです。」

2. ピリピ 1:7-8 - 「あなたがた全員についてこのように考えるのは当然のことですが、私の心の中にはあなたがいるからです。あなたがたは、自分の絆と福音の擁護と確認の両方において、あなたがたを大切にしています。」すべての人は私の恵みにあずかっているのです。」

コロサイ 2:2 それは、彼らの心が愛によって結ばれて慰められ、理解の完全な確信と、神と父とキリストの奥義を認識することが豊かになるためです。

この一節は、神の神秘を認識するための愛と理解の重要性を強調しています。

1. 愛の力: 理解を通じて一致を達成する

2. 神の神秘: つながりを通じて明晰さを達成する

1. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです」。」

2. エペソ人への手紙 3:14-19 「このために、私は主イエス・キリストの父にひざまずきます。天と地の家族全員がこのキリストの名で呼ばれています。その栄光の富に応じて、あなたがたに与えてくださいますように」内なる人の内にある御霊によって力強く強められ、信仰によってキリストがあなたがたの心に宿るようにあなたが愛に根ざし、愛に根ざして、すべての聖徒たちとともにその広さと長さを理解できるように、深さと高さ、そして人知を超えたキリストの愛を知り、あなたが神の満ち足りたすべてで満たされるようにするためです。」

コロサイ 2:3 この人の中には、知恵と知識のすべての宝が隠されています。

パウロはクリスチャンに、知恵と知識のすべての宝が隠されているイエスに目を向け、知恵と知識を求めるよう勧めています。

1. イエスを通して知恵と知識を求める

2. イエスの隠された宝

1. 箴言 3:13-15 - 知恵を見出す者と理解を得る者は幸いである。その者から得られる利益は銀から得られるものよりも優れており、彼女の利益は金よりも優れているからである。彼女は宝石よりも貴重であり、あなたが望むものは彼女に匹敵するものはありません。

2. 詩篇 119:104 - あなたの戒めを通して、私は理解できます。したがって、私はあらゆる間違ったやり方を嫌います。

コロサイ 2:4 私がこれを言っておくのは、誰かがあなたを誘惑するような言葉で惑わされないためです。

パウロは、偽教師やその誘惑的な言葉にだまされないよう警告しています。

1. 偽教師に気をつけなさい - コロサイ 2:4

2. 欺瞞的な言葉に騙されないでください - コロサイ 2:4

1. ヨハネ第一 4:1-3 - 霊を試す

2. エペソ人への手紙 5:6-7 - 偽りの教えに騙されないでください

コロサイ 2:5 というのは、私は肉体的には不在ですが、霊においてはあなたがたといっしょにいて、あなたがたの命令と、キリストに対するあなたの信仰の堅固さを見て喜びを感じています。

この箇所は、パウロが肉体を持っていないにもかかわらず、コロサイ人への信仰を喜んでいることについて書かれています。

1. キリストへの信仰の力: 困難な時にどうやって不動を保つか

2. 交わりの祝福: キリストにおける共同体の喜び

1. ヘブライ人への手紙 10:23-25。揺るがずに信仰告白を堅持しましょう。（彼は約束したことを忠実に守っているからです;）

2. ローマ人への手紙 15:13。今、希望の神は、聖霊の力によって、あなたがたが希望に満ち溢れるように、信じることにおけるあらゆる喜びと平安であなたを満たしてくださいます。

コロサイ 2:6 ですから、あなたがたは主であるキリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストのうちに歩みなさい。

信者は、イエス・キリストを主であり救い主であると信じる信仰を反映した生き方をすべきです。

1. 信仰の生活を送る: イエスに従うとはどういう意味か。

2. コロサイ 2:6: 主に従って歩む。

1. ローマ人への手紙 6:17-18 - 「しかし、神に感謝すべきことは、あなたがたは罪の召使でしたが、あなたがたに与えられたこの形式の教義に心から従ったことです。その後、罪から解放されて、あなたがたは召使になりました」正義の。」

2. エペソ人への手紙 5:1-2 - 「だから、あなたがたは、愛する子供たちとして神に従う者となりなさい。そして、キリストも私たちを愛し、私たちのためにご自身を甘い香りのために神への捧げ物と犠牲としてささげてくださったように、愛のうちに歩みなさい」。」

コロサイ 2:7 あなたがたは教えられたとおり、キリストのうちに根を張って築き上げられ、信仰を確立し、その中に感謝があふれています。

キリストに根ざしていれば、私たちは信仰にしっかりと立ち、感謝して生きることができます。

1: 感謝の気持ちを持って信仰を堅持する

2: 主にあって喜び、信仰を強めましょう

1: ローマ人への手紙 12:12 - 希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。

2: ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

コロサイ 2:8 キリストに倣うのではなく、人間の伝統に倣い、世の初歩に倣って、哲学やむなしい欺瞞によってあなたを台無しにする人がいないように気をつけなさい。

イエス・キリストの教えに反する誤った教えに注意してください。

1: この世の哲学ではなく、イエス・キリストの教えに従って生きなさい。

2: イエスの教えに反する哲学に騙されないでください。

1: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2: 1 ヨハネ 2:15-17 - 世や世のあらゆるものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父への愛はありません。なぜなら、この世のすべてのもの、つまり肉の欲望、目の欲望、そして人生の誇りは、父からではなく、世から来るからです。世界とその欲望は過ぎ去りますが、神のご意志を行う者は永遠に生きます。

コロサイ 2:9 なぜなら、この人の内には、神である神のすべてが肉体をもって宿っているからです。

パウロはコロサイ人への手紙 2 章 9 節で、神は完全な肉体を持ったイエスのうちに宿っておられると書いています。

1.「神の内在性: 神は私たちの生活の中にどのように存在するのか」

2. 「完全に神、完全に人間: イエスの神性を祝う」

1. ヨハネ 1:1-2 - 「初めに言があった、言は神と共にあった、言は神であった。彼は初めに神と共にあった。」

2. ヨハネ 14:9 - 「イエスは彼に言われた、「わたしは長い間あなたと一緒にいたのに、あなたはわたしのことを知らないのですか、ピリポ。わたしを見た人は父を見たのです。それで、どうして『見せなさい』と言えるでしょうか」私たちが父なのですか？」

コロサイ 2:10 そして、あなたがたは、すべての支配権と権力のかしらであられる方において完全な者となっています。

神はすべての権威の支配者であるキリストを通して私たちを完全にしてくれました。

1. 不安を手放す：私たちを完全にしてくれる神の愛に頼る

2. 私たちの信仰の強さ：キリストにしっかりと身を置く

1. エペソ人への手紙 3:20-21 - さて、私たちの内に働いている力に応じて、私たちが求めたり考えたりするすべてよりもはるかに豊かに行うことができる方に、教会とキリスト・イエスにおいて栄光がありますように。何世代にもわたって、永遠に。アーメン。

2. ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物において、神の愛から私たちを引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエス。

コロサイ 2:11 あなたがたもキリストの割礼によって肉の罪の体を脱ぎ捨て、人の手を使わずに割礼を受けています。

コロサイ 2:11 でパウロは、手を使わずに行われる霊的な割礼について語っています。これは、キリストの割礼を通して肉の罪の体を脱ぎ捨てることによって達成されます。

1. キリストの割礼: なぜ私たちは罪から解放されるのか

2. 霊的割礼の力: 罪からの自由を選択する

1. ローマ 6:6-7: 「私たちは、罪の体を無力にし、もはや罪の奴隷にならないように、古い自分がイエスとともに十字架につけられたことを知っています。」

2. ガラテヤ 5:24: 「キリスト・イエスに属する者たちは、その情熱と欲望のままに肉を十字架につけました。」

コロサイ 2:12 バプテスマによってイエスとともに葬られましたが、そこであなたがたも、イエスを死者の中からよみがえらせた神の働きに対する信仰によって、イエスとともによみがえりました。

この箇所は、洗礼を受け、死からよみがえらせた神の力への信仰によってキリストとともに立ち上がることについて語っています。

1: イエスの復活における私たちの希望。

2: 神の救いの恵みに対する信仰の力。

1: ローマ 6:4 - したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られています。それは、キリストが御父の栄光によって死人の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

2: 1 ペテロ 3:21 - バプテスマでさえも行っている同様の姿が、イエス・キリストの復活によって今も私たちを救っています（肉の汚れを取り除くことではなく、神に対する正しい良心の答えです）。

コロサイ 2:13 そして、あなたがたは、罪と肉の無割礼の中で死んでいたのに、神はあなたがたすべての罪過を赦して、彼とともに元気を取り戻したのではないか。

神は私たちのすべての罪を赦し、新しい命を与えてくださいました。

1. 赦しの力：主にある私たちの希望

2. 救い出され、新しくされる: 恵みによって罪を克服する

1. イザヤ書 43:25 - 「わたしは、わたし自身が、あなたの罪を消し去り、もはやあなたの罪を思い出さない者です。」

2. 詩篇 103:12 - 東が西から遠い限り、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

コロサイ 2:14 私たちに不利な、私たちに反する儀式の手書きの文字を消して、邪魔にならないように取り除き、十字架に釘付けしました。

イエス・キリストは、人間を神から引き離す法律を十字架に釘付けにすることによって取り除きました。

1. イエスの愛は律法を克服しました - イエスの十字架上の死がどのようにして律法を恵みに置き換えたのか。

2. 十字架に釘付け - 私たちの罪が十字架に釘付けにされるとはどういう意味かを考察します。

1. ローマ人への手紙 8:1 - 「ですから、キリスト・イエスにある者には今、罪に定められることはありません。」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

コロサイ 2:15 そして、主権と権力を台無しにして、公然とそれらを見せびらかし、その中で彼らに勝利しました。

この一節は、イエスがどのようにして主権や権力に勝利したかを説明しています。

1. 罪と死に対するイエスの勝利

2. 十字架の勝利: 敵を征服されるイエス

1. ヘブライ 2:14-15 - したがって、子供たちは血と肉を共有しているので、彼自身も同様に同じものにあずかりました。それは、死の力を持つ者、つまり悪魔を死によって滅ぼすためです。

2. コリント第一 15:54-57 - 朽ちる者が朽ちないものを着、死ぬ者が不死を着るとき、「死は勝利に飲み込まれる」と書かれている言葉が実現するでしょう。おお、死よ、あなたの勝利はどこにありますか？おお、死よ、あなたの刺し傷はどこにありますか？死のとげは罪であり、罪の力が律法です。しかし、私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。

コロサイ 2:16 ですから、肉や酒、あるいは聖日や新月や安息日について、だれもあなたがたを裁いてはなりません。

パウロはコロサイの信者たちに、食べ物や飲み物、あるいは宗教上の聖日を守ることに関して、誰にも裁かれないよう勧めています。

1. 判断されない自由

2. コロサイ人への手紙におけるパウロのアドバイスに頼る

1. ガラテヤ 5:1 「ですから、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ち、再び奴隷のくびきに絡めとられてはいけません。」

2. ローマ人への手紙 14:1-4 「信仰の弱い者はあなたがたを受け入れますが、疑わしい議論には応じません。というのは、ある人は何でも食べてもよいと信じているし、また別の人は弱いのでハーブを食べるからである。食べる人は食べない人を軽蔑してはならない。食べる者は食べる者を裁いてはなりません。神が彼を受け入れてくださったからです。他人の僕を裁くあなたは何者ですか？自分の主人に対して、彼は立つか倒れるかです。そうです、彼は支えられるでしょう。神は彼を立たせることができるからです。」

コロサイ 2:17 それは来るべきものの影です。しかし、体はキリストのものです。

体はキリストのものであり、これから来るものはその影です。

1. キリストの現実: 永遠の命をキリストに信頼する

2. 未来の影：未来に希望を持って今を生きる

1. ヘブライ人への手紙 9:27-28 - 「人間は一度死ぬが、その後裁きを受けることが定められているように、キリストも一度だけ多くの人の罪を負うためにささげられました。イエスを熱心に待ち望む者たちに、イエスは罪とは別に、救いのために二度目に現れるであろう。」

2. ローマ人への手紙 8:18-19 - 「私は、今の苦しみは、私たちの内に現れるであろう栄光と比較するに値しないと考えています。というのは、被造物たちの切実な期待は、神の子たちの啓示を熱心に待っているからである。」

コロサイ 2:18 だれも、肉の思いにむなしく思い上がって、自分の見たことのない事柄に侵入して、自発的に謙虚になり、天使を崇拝することで、自分の報酬を欺いてはなりません。

パウロは、神の真理ではなく人間の想像に基づいた謙虚さと天使崇拝の教義を教えて、人々を福音の報いから遠ざけようとする偽教師たちに対して警告しています。

1: 私たちは、神から無償で与えられる福音の報いから私たちを遠ざけるような教えに注意しなければなりません。

2: 私たちは神の言葉の真理にしっかりと根ざし、人間の想像に基づいた教えを拒否するように注意しなければなりません。

1: コロサイ 1:15-17 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。なぜなら、天においても地においても、目に見えるものも目に見えないものも、王座、支配権、支配者、権威など、すべてのものは神によって創造されたからであり、すべてのものは神を通して、神のために創造されたからである。

2: エペソ人への手紙 4:14 - それは、私たちがもはや子供ではなく、波に翻弄されたり、あらゆる教義の風や人間の狡猾さ、欺瞞的な計略に振り回されたりすることがないためです。

コロサイ 2:19 また、頭を持たず、そこから体全体が関節や帯によって栄養を与えられ、結び合わされて、神の増大とともに増大します。

信者の体は、キリストを頭として結びつけるとき、成長を経験します。

1: イエスは教会の頭である - コロサイ 2:19

2: 教会は一致によって成長する - コロサイ 2:19

1: エペソ人への手紙 4:15-16 - 愛をもって真理を語るとき、私たちはあらゆる点で頭である方、キリストへと成長しなければなりません。

2: 1 コリント 12:12-13 - 体が 1 つであり、多くの部分からなり、体のすべての部分はたとえ多くても 1 つの体であるのと同じように、キリストも同様です。なぜなら、ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由民も、私たちは皆、一つの御霊によって一つの体となるバプテスマを受け、皆が一つの御霊を飲まされたからです。

コロサイ 2:20 ですから、あなたがたは、世の初めからキリストとともに死んでいるのに、なぜ、あたかもこの世に生きているかのように儀式を受けているのでしょうか。

キリストを信じる者は世の規則や規制から解放されていますが、依然としてこの世に住んでいます。

1. 死にながら世界を生きる

2. キリストを信じる者の自由と責任

1. ローマ人への手紙 6:4-6 - 私たちはキリストとともに葬られ、新たな命によみがえりました。

2. ガラテヤ 5:1 - キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ちなさい。

コロサイ 2:21 (触るな、味わうな、触るな、

)

この聖句は、この世の空虚で無駄な行為に巻き込まれないように警告しています。

1: 私たちは世の偽りの約束に騙されるのではなく、むしろイエスに真理を求めるべきです。

2: 世の空虚で価値のない習慣に囚われず、人生を変えるイエスの真理に焦点を当ててください。

1: ヘブライ 12:1-2 「ですから、私たちはこれほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、邪魔するものや、簡単に絡まる罪をすべて捨て去ろうではありませんか。そして、このレースを粘り強く走ろうではありませんか」私たち、"

2: 1 ヨハネ 2:15-17 「世や世の何ものかを愛してはなりません。世を愛する人がいるとしても、その人の中には父への愛がありません。世のすべてのもの、つまり肉の欲望、」

コロサイ 2:22 人間の戒めや教義に従えば、どれが滅びるでしょうか。

パウロは、最終的には滅びる人間の命令や教えに従うことを警告しています。

1. 人間のルールの無常性: 信仰を揺るがさないでください

2. 人間の教義は儚いものです: キリストに信頼を置きましょう

1. マタイ 6:24: 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に忠節を尽くして他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神と富に仕えることはできません。」

2. イザヤ書 55:8-9: 「『わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道はわたしの道ではないからです』と主は言われます。「天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

コロサイ 2:23 意志の崇拝、謙虚さ、肉体の軽視といったものには、確かに知恵の表れがあります。それは肉体を満足させるためではありません。

この一節は、宗教的実践に従事する際の自制心と節度の必要性について語っています。

1: 神を第一とし、肉の欲望を避ける

2: 肉体的な健康よりも精神的な健康を優先する

1: ヤコブ 4:7 - ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2: ローマ 13:14 - しかし、あなたがたは主イエス・キリストの上に置き、肉の欲望を満たすために肉の備えをしてはならない。

コロサイ人への手紙 3 章は、コロサイ人へのパウロの手紙の 3 番目の章です。この章でパウロは信者たちに、キリストにあって変えられた人生を送る方法を教え、天的な事柄に心を向け、古い罪深い行為をやめることの重要性を強調しています。

第 1 段落: パウロは信者たちに、上にあることに心を留め、地上の性質を捨てるよう勧めています (コロサイ 3:1-11)。彼は彼らに、神の右に座しておられるキリストの永遠の現実に焦点を当てるよう勧めています。信者は、性的不道徳、不純、邪悪な欲望、貪欲、怒り、中傷などの罪深い行為をやめるよう求められています代わりに、思いやり、優しさ、謙虚さ、優しさ、忍耐、許しなどの美徳を身につけるように教えられますが、これらはすべて愛に根ざしています。

第 2 段落: パウロは信者間の一致と愛を強調しています (コロサイ 3:12-17)。彼は彼らに、キリストが彼らを赦してくださったように、互いに忍耐し、赦し合うよう勧めています。何よりも、彼らは愛、つまり完全な一体性の絆を身につけるように求められています。彼らは、キリストの平和が心を支配し、どんな状況においても感謝するよう奨励されています。パウロは、互いに教え合い、戒め合うことによって、キリストの言葉が彼らの間に豊かに宿るよう勧めています。

第 3 段落: この章は、クリスチャンの家庭内のさまざまな関係についての指示で終わります (コロサイ 3:18-25; コロサイ 4:1)。妻は主にふさわしい者として夫に従うよう求められますが、夫は妻を犠牲的に愛するよう教えられます。子供は何事においても親に従うよう求められますが、父親は子供を刺激したり落胆させたりしてはなりません。奴隷（従業員）は主に従うように勤勉に働くべきであり、主人（雇用主）は奴隷を公正かつ公平に扱うべきです。

要約すれば、

コロサイ人への手紙第 3 章は、キリストにあって変えられた人生を強調し、天的な事柄に心を留め、古い罪深い行為をやめるよう信者に呼びかけています。

パウロは一致、愛、そして同情心、優しさ、謙虚さ、許しなどの美徳を奨励しますが、これらはすべて愛に根ざしています。

この章では、クリスチャンの家庭内のさまざまな関係についての指示が提供され、従順、犠牲的な愛、公平な扱いの重要性が強調されています。それは信者たちに、キリストの平和が心を支配し、キリストの言葉が彼らの間に豊かに宿るように勧めます。この章では、天の価値観に焦点を当てながら、実際的な方法で信仰を実践することの重要性を強調しています。

コロサイ 3:1 もしあなたがたがキリストとともによみがえったなら、上にあるもの、つまりキリストが神の右に座しておられる場所を探しなさい。

キリストを信じる者は、キリストが神の右に座しておられる、上にあるものを求めるべきです。

1. 上記のものを求める力：霊的な目標を認識し、達成する

2. 天に縛られた者：キリストにある人生の天からの報酬を追求する

1. マタイ 6:33 - しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

2. ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、正直なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、良い報告のあること。もし何か美徳があるなら、そして何か賞賛があるなら、これらのことについて考えてください。

コロサイ 3:2 地上のものではなく、上にあるものに愛情を向けてください。

世界ではなく神に目を向けてください。

1. 天国を念頭に置いて生きる: 私たちの思考を高めるための呼びかけ

2. 集中力: 永遠の宝物を追求するという選択

1. マタイ 6:19-21 「自分のために宝を地上に蓄えなさい。そこでは虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗むのです。むしろ、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫もさびも滅ぼされず、泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。」

2. フィリピ 4:8 - 「最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、これらのことについて考えてください。」

コロサイ 3:3 あなたがたは死んでおり、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されているからです。

信者はこの世に対して霊的に死んでおり、彼らの命はキリストと神の中に隠されています。

1.「キリストの光の中で生きる」

2.「古き自然の死」

1. マタイ 5:14-16 - 「あなたがたは世の光です。丘の上にある都市を隠すことはできません。」

2. ローマ人への手紙 6:3-7 - 「イエス・キリストへのバプテスマを受けた私たちの多くが、その死へのバプテスマを受けたことを知らないのですか。」

コロサイ 3:4 私たちのいのちであるキリストが現れるとき、あなたがたもキリストとともに栄光のうちに現れるでしょう。

クリスチャンはいつかキリストが再臨されるとき、栄光のうちにキリストとともに現れるでしょう。

1. 「キリストの再臨を待ち望みながらキリストのために生きる」

2. 「キリストの栄光の出現にあずかる特権」

1. ペテロ第一 1:13 - ですから、行動に備えて心を整えてください。自制心を持ちなさい。イエス・キリストが現されたときにあなたに与えられる恵みに希望をしっかりと置きなさい。

2. テトス 2:13 - 私たちは祝福された希望、つまり私たちの偉大な神であり救い主であるイエス・キリストの栄光の出現を待ち望みます。

コロサイ 3:5 ですから、地上にいるあなたの肢体を悔しがらせなさい。不品行、汚れ、過度の愛情、邪悪な性欲、そして偶像崇拝である貪欲。

信者は偶像崇拝である性的不品行、汚れ、情欲、強欲などの罪深い欲望を死刑にすべきです。

1. 誘惑に打ち勝つ：罪深い欲望をコントロールする方法

2. 聖性への道: 義になるために必要なこと

1. ローマ 6:11-13 - 同じように、自分自身も罪に対しては死んでいるが、キリスト・イエスにあって神に対しては生きていると考えてください。

2. ガラテヤ 5:16-17 - ですから、私は言います、御霊によって歩みなさい、そうすれば肉の欲望を満足させることはできません。

コロサイ 3:6 このため、神の怒りは不従順の子らに臨みます。

神に従わない者には神の怒りがもたらされます。

1. 神の裁き: 不従順の結果

2. 従順の選択: 神の祝福への道

1. エペソ人への手紙 5:6: 「だれも空虚な言葉であなたがたを欺いてはなりません。これらのことのゆえに、神の怒りが不従順の子らに臨むからです。」

2. 箴言 1:10-19: 「わが子よ、もし罪人たちがあなたをそそのかしても、同意してはならない。もし彼らが『私たちと一緒に来て、血を流すために横たわって待ちましょう。理由もなく罪のない人のためにひっそりと潜伏しましょう。罪のない人々のために、私たちと一緒に来てください。シェオールのように、そして穴に下る人々のように、それらを生きたまま飲み込みましょう、私たちはすべての貴重な品物を見つけ、私たちの家を略奪品で満たすでしょう...」

コロサイ 3:7 あなたがたもそこに住んでいたとき、その道を歩いたことがあります。

パウロはコロサイ人に、彼らはかつては罪深い生き方に従って生きていましたが、今はキリストの教えに従って生きなければならないことを思い出させます。

1. 変革の力: イエス・キリストの中に強さを見つける

2. キリストを中心とした人生を送る: キリストの模範に従う方法

1. コリント人への第二 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去った。見よ、新しいものが来た。

2. エペソ人への手紙 4:17-24 - 今、私は主にあって言い、また証します。あなたがたはもはや、異邦人のように空虚な思いで歩んではなりません。彼らは理解力が暗くなり、自分たちの中にある無知と心のかたくなさのために神の命から疎外されています。

コロサイ 3:8 しかし今、あなたがたもこれらすべてを延期しました。あなたの口から出る怒り、怒り、悪意、冒涜、不潔なコミュニケーション。

怒り、怒り、悪意、冒涜、不潔なコミュニケーションをやめてください。

1: 不正なコミュニケーションをやめて、愛と思いやりに置き換えましょう。

2: 古い話し方をやめて、神の言葉に置き換えましょう。

1: ヤコブ 3:9-10 - 私たちは舌で父なる主を賛美し、神に似せて造られた人間を舌で呪います。同じ口から賞賛と罵声が飛び出す。兄弟姉妹の皆さん、そんなことはあってはならないのです。

2: エペソ 4:29 - 不健全な話は一切口から出さないでください。ただ、聞く人たちの益となるように、必要に応じて他の人を築き上げるのに役立つことだけを口から出してください。

コロサイ 3:9 あなたがたは老人の行いを無視したのですから、互いに嘘をついてはなりません。

習慣のある古い自分を脱ぎ捨てているので、お互いに嘘をつかないでください。

1. 私たちの生活における誠実さの重要性

2. 古い自分を脱ぎ捨て、新しい自分を着る

1. エペソ 4:22-24 - あなたは、以前の生き方に関して、欺瞞的な欲望によって堕落しつつある古い自分を脱ぎ捨てなさいと教えられました。心の態度が新しくされること。そして、真の義と聖さにおいて神に似た者となるように創造された、新しい自分を着るのです。

2. 箴言 12:22 - 主は嘘をつく唇を嫌いますが、信頼できる人を喜ばれます。

コロサイ 3:10 そして、自分を創造した人の似姿に倣い、知識を新たにされた新しい人を着なさい。

信者は、自分たちを創造した神の似姿に従って知識を新たにされるよう努めるべきです。

1. 神についての知識を新たにする

2. 新しい男を着る

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に合わせてはいけません。むしろ、心を新たにして自分を変えてください。それは、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するためです。」

2. エペソ人への手紙 4:23-24 - 「そして、あなたの心の霊において新たになりなさい。そして、あなたがたは、神の後に義と真の聖さをもって創造された新しい人を着なさい。」

コロサイ 3:11 そこには、ギリシャ人もユダヤ人も、割礼の有無も、野蛮人もスキタイ人も、奴隷も自由もありません。しかし、キリストがすべてであり、すべてのうちにおられます。

キリストはすべてのアイデンティティの中心であり、キリストの前では誰もが平等です。

1: キリストの前では誰もが平等です - コロサイ 3:11

2: すべてのアイデンティティはキリストにとって二の次である - コロサイ 3:11

1: ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人も、絆も自由もなく、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2: エペソ人への手紙 2:14-15 - なぜなら、神は私たちの平和であり、その両方を実現し、私たちの間の隔壁の真ん中の壁を打ち破られたからです。彼の肉体において敵意、さらには儀式に含まれる戒めの律法さえも廃止した。なぜなら、自分の中に一人の新しい人間を作り、そうして平和を作るからである。

コロサイ 3:12 ですから、聖なる愛される神に選ばれた者として、いつくしみの心、優しさ、謙虚な心、柔和、忍耐を身に着けなさい。

神に選ばれた民の特徴である慈悲、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身につけてください。

1. 謙遜の力: コロサイ人への手紙 3:12 の考察

2. 神に選ばれた人の特徴を受け入れる: コロサイ 3:12 の研究

1. ヤコブ3:13-18

2. ピリピ人への手紙 2:1-11

コロサイ 3:13 互いに忍び合い、誰かと争う者がいるなら、許し合いなさい。キリストがあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも赦しなさい。

キリストが私たちを赦してくださったように、私たちもお互いを赦し合うべきです。

1. 許しの力 - イエスの模範が私たちの人生をどのように導くことができるか

2. 新しい戒め - 兄弟姉妹たちに忍耐と許しを与える

1. マタイ 6:14-15 - 「他の人があなたに対して罪を犯したときに、あなたが赦すなら、あなたの天の父もあなたを赦してくださいます。しかし、あなたが他の人の罪を赦さないなら、あなたの父はあなたの罪を赦してはくれません。」

2. エペソ人への手紙 4:31-32 - 「すべての恨み、怒り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともに、あなたがたから遠ざけましょう。互いに親切にし、心を優しくし、キリストにあって神があなたがたを赦してくださったように、互いに許し合いなさい。」。」

コロサイ 3:14 そして、これらのことは何よりも、完全さの絆である慈善を身につけます。

私たちは慈善活動を行うよう求められており、それが私たちを結び付け、私たちを完全にします。

1. 「愛の力: 慈善活動がどのように私たちの生活に完璧をもたらすことができるか」

2.「団結の強さ：完全性の絆を理解する」

1. コリント第一 13:13 - 「そして今、信仰、希望、慈愛、この三つが保たれています。しかし、その中で最も大いなるものは慈愛です。」

2. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制です。これらに反する律法はありません。」

コロサイ 3:15 そして、神の平和があなたがたの心の中に支配されるようにしなさい。あなたがたもその平和に一つの体として招かれているのです。そして感謝してください。

この聖句は、神の平和が私たちの心に支配されるように、そして一つの体に招かれたことに感謝するよう、私たちに勧めています。

1. 神の平和が私たちの心を支配するようにする

2. 一つの体への呼びかけに感謝する

1. エペソ 4:3-4 「平和のきずなのうちに御霊の一致を保つよう努めなさい。あなたがたが召されているという一つの希望をもって召されているとしても、からだは一つ、御霊も一つです。」

2. テサロニケ第一 5:16-18 「絶えず喜びなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これがあなたに関するキリスト・イエスにおける神の御心だからです。」

コロサイ 3:16 キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿るようにしましょう。詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で主に向かって優雅に歌いましょう。

クリスチャンはキリストの教えで心を満たし、詩篇、賛美歌、霊的な歌を主に向かって歌うことによって信仰を表現すべきです。

1. キリストの言葉の力

2. 心の中に賛美の歌を

1. 詩篇 95:1-2 「ああ、来て、主に向かって歌おう。救いの岩に向かって喜びの声を上げよう。感謝を込めて御前に来よう。主に喜びの声を上げよう。」賛美の歌とともに！」

2. ローマ人への手紙 15:13 - 「希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によってあなたがたは希望に満ち溢れます。」

コロサイ 3:17 そして、あなたがたが言葉であれ行いであれ、すべてを主イエスの名によって行い、主イエスによって神と父に感謝しなさい。

私たちはイエスの名においてすべてのことを行い、父なる神に感謝しなければなりません。

1.「神に感謝する：感謝の人生を生きる」

2.「名前の力：イエスの名においてすべてを行う」

1. エペソ人への手紙 5:20 - 私たちの主イエス・キリストの御名において、すべてのことについて常に神と父に感謝しなさい。

2. ピリピ人への手紙 2:9-11 - したがって、神は彼を高く評価し、あらゆる名前に勝る名前を彼に与えました。それは、イエスの名のもとに、天にあるもの、地にあるもの、すべての膝がかがむべきであるということです。地球の下にあるもの。そして、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白すべきです。

コロサイ 3:18 妻たちよ、主にあってふさわしいように、自分の夫に従いなさい。

妻は主の定めに従い、夫に従うよう奨励されています。

1. 「服従と敬意：キリストの結婚計画に従うには」

2.「主の御心に従う：結婚生活における服従」

1. エペソ人への手紙 5:22-33

2. ペテロ第一3:1-7

コロサイ 3:19 夫たちよ、妻を愛してください。妻に対して恨みを抱いてはいけません。

夫は妻に愛を示すべきであり、憤慨してはなりません。

1. 愛の力: 配偶者に愛を表現する方法

2. 苦い思いの危険性: 結婚生活における憤りを克服する

1. エペソ人への手紙 5:25-33 (キリストが教会を愛したように、夫も妻を愛すべきです)

2. ペテロ第一 3:7 (夫は理解と敬意を持って妻と一緒に暮らすべきです)

コロサイ 3:20 子供たちよ、どんなことにおいても両親に従いなさい。それは主に喜ばれることだからです。

子どもたちは主を喜ばせるために、どんなことにおいても親に従うべきです。

1. 従順の祝福を解放する: 両親に敬意を持って生きる

2. 主への祝福となる: すべてのことにおいて両親に従う

1. エペソ 6:1-3 - 子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。「あなたの父と母を敬え」――これは約束を伴う最初の戒めである――「あなたがうまくいき、地上で長生きできるようにするためである」。

2. 箴言 6:20-22 - わが子よ、父の命令を守り、母の教えを捨てないでください。常に心に留めておいてください。首に巻き付けてください。あなたが歩くとき、彼らはあなたを導いてくれるでしょう。あなたが眠っているとき、彼らはあなたを見守ってくれます。あなたが目を覚ますと、彼らはあなたに話しかけます。

コロサイ 3:21 父親の皆さん、子供たちが落胆しないように、子供たちを怒らせないでください。

子どもが落胆しないように、親は子どもに対して過度に厳しくあってはなりません。

1. 子供たちに優しさを示すことの大切さ

2. 愛情と理解をもって子どもを育てる

1. エペソ 6:4 「父親たち、子供たちを怒らせてはいけません。主の懲らしめと教えに従って育ててください。」

2. 箴言 22:6 「子供をその行くべき道に育てなさい。たとえ年老いても、彼はそこから離れることはないでしょう。」

コロサイ 3:22 しもべたちよ、肉に従って、すべてのことにおいて主人に従いなさい。男性を喜ばせるような目の保養ではありません。しかし、心を一つにし、神を畏れながら、

従順は神を喜ばせ、責任を果たすための鍵です。

1. 生活の中で従順さを育む

2. 一途な心の力

1. エペソ人への手紙 6:5-7 「召し使いたちよ、キリストに対するように、恐れとおののきながら、心一心に、肉によるあなたの主人である彼らに従順でありなさい。人を喜ばせるための目先の奉仕ではなく、召し使いとして。心から神の御心を行い、人間ではなく主に対して善意をもって奉仕を行うのです。」

2. ヤコブ 4:7 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

コロサイ 3:23 そして、あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように心から行いなさい。

私たちは何をするにしても、人のためではなく、主のためにやっているかのように、心を込めて行うべきです。

1. 心を尽くして主に仕える

2. すべての努力において主に頼る

1. エペソ人への手紙 6:5-8 「僕たちよ、キリストに対するのと同じように、恐れとおののきながら、あなたの主人である肉に従って、心から従順でありなさい。男性を喜ばせるような目のサービスではありません。しかし、キリストの僕として、心から神の御心を行います。「人に対してではなく、主に対して善意を持って奉仕するのです。どんな良いことをする人でも、奴隷であろうと自由であろうと、同じように主から受けられることを知っているのです。」

2. 申命記 6:5 「そして、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛さなければなりません。」

コロサイ 3:24 あなたがたは、主から相続財産の報いを受けることを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているからです。

主はご自分に仕える者たちに報いてくださいます。

1. 忠実な奉仕：主からの報酬

2. 主キリストに仕える: 祝福の継承

1. マタイ 6:19-21 「自分のために宝を地上に蓄えてはなりません。そこでは虫やさびが腐り、盗人が押し入って盗みます。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫もさびも滅びず、泥棒が押し入ったり盗んだりすることもありません。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

2. ヘブライ 11:6 「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がご自身であり、神を求める者たちに報いてくださる方であることを信じなければなりません。」

コロサイ 3:25 しかし、悪いことをした者は、自分が犯した罪の報いを受けなければなりません。また、人に対する敬意はありません。

社会的地位や影響力に関係なく、誰もが自分の行動に責任を負います。

1. 私たちは皆、自分の行動について責任を負います

2. グレート・イコライザー: 私たちは皆、自分の蒔いたものを刈り取る

1. 箴言 24:12 - 「もしあなたが『見よ、私たちはそれを知らなかった』と言うなら、私たちはそれを知りませんでした。」心を熟考する者はそれを考慮しないのか？そして、あなたの魂を守る者は、それを知らないのですか？そして、彼は自分の行いに従ってすべての人に奉仕をするのではないだろうか？」

2. ローマ人への手紙 2:11 - 「神の前では人を尊重しないからです。」

コロサイ人への手紙 4 章は、コロサイ人へのパウロの手紙の 4 番目で最後の章です。この章では、パウロは人間関係についての指示を与え、信者に祈りと賢明な生き方を奨励し、挨拶と最後の言葉を送ります。

第 1 段落: パウロは信者たちに、他の人に対してどのように振る舞うべきかを教えています (コロサイ 4:2-6)。彼は彼らに、注意と感謝の気持ちを持って祈りに専念するよう勧めています。パウロは、神が彼にキリストの奥義を宣べ伝える扉を開いてくださるよう、彼の代わりに祈りを求めています。彼は部外者に対して恵みと知恵を持って語り、あらゆる機会を最大限に活用するよう信者に勧めています。

第 2 段落: パウロは、一緒に働く仲間たちに挨拶を送ります (コロサイ 4:7-14)。彼は、彼の状況について最新情報を提供してくれる最愛の兄弟であるティキコスについて言及します。アリスタルコス、マルコ、ユストゥス、エパフラスも、キリストの仲間の囚人または僕として言及されています。ポールはルークの医療技術とデマスの同僚としての功績を称賛する。彼はラオデキアとニンファの家の教会から挨拶を送ります。

第 3 段落: この章はパウロの個人的な言葉で終わります (コロサイ 4:15-18)。彼はコロサイの信者たちに、ラオデキアの人々にも挨拶をしながら、自分の手紙を彼らの間でも公に読むように指示しました。アルキッポスは自分の務めを忠実に果たすよう求められています。最後に、パウロは直筆の個人的な挨拶で締めくくり福音を大胆に宣べ伝えるための祈りを求めて投獄されたことを思い出させます。

要約すれば、

コロサイ人への手紙第 4 章では、祈りの心、言葉の知恵、機会を利用することによって、他の人に対して自分自身を振る舞うことについての指示が述べられています。

パウロは、キリストにおける彼らの奉仕を称賛しながら、一緒に働く仲間たちに挨拶を送ります。

この章は、教会間の挨拶の指示、忠実な宣教への励まし、パウロの投獄の思い出などの個人的な発言で終わります。この章では、祈り、賢明な行動、信者間の団結の重要性を強調しています。それは信者が実践的な方法で信仰を実践し、福音のメッセージを広めるために互いにサポートすることを奨励します。

コロサイ 4:1 主人たち、しもべたちに公正かつ平等なものを与えてください。あなたがたにも天国に師がいることを知っています。

主人は、召使たちにも天国に主人がいることを忘れずに、正義と公平さをもって召使いたちに接するべきです。

1. 神は雇用主に公正さを期待している

2. 黄金律: 自分がしてほしいように他人に接する

1. エペソ人への手紙 6:9 - 「そして、主人たち、脅迫を我慢して、同じことを彼らにもしてください。あなたの主人も天にいると知っていてください。彼には人に対する敬意もありません。」

2. マタイ 7:12 - 「ですから、あなたがたは、人にしてほしいと願うことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからです。」

コロサイ 4:2 祈り続け、感謝しながら同じように見守りなさい。

祈り続けて感謝しましょう。

1: 私たちは感謝の気持ちを忘れず、自分の必要をすべて神に祈ってください。

2: 神に祈ることは、私たちが神に感謝と愛を示す最も重要な方法の一つです。

1: テサロニケ第一 5:17 - 絶えず祈りなさい。

2: ピリピ 4:6 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。

コロサイ 4:3 私たちのためにも、神が私たちに言葉の扉を開いて、キリストの奥義を語ってくださるように祈ります。私もそのために、絆を持っています。

パウロは、神が彼にキリストの奥義について話す機会を与えてくださるよう祈りを求めます。そのために彼は牢獄にいます。

1. 祈りの力: 祈りはどのように私たちに扉を開くのか

2. キリストの神秘: 福音の力を理解する

1. エペソ人への手紙 3:14-21 - 教会が神の愛を理解できるようにというパウロの祈り。

2. ローマ 8:38-39 - 私たちをキリストの愛から引き離すものは何もありません。

コロサイ 4:4 それは、私が語るべきことを明らかにするためです。

パウロは神の真理を適切に明らかにする方法で語りたいという願望を表現しています。

1. 正しいスピーチの力

2. 言葉を通して神の真理を明らかにする

1. ヤコブ 3:2-12 - 舌を飼いならす

2. 箴言 12:18 - 心の賢者の言葉は優雅に語られる

コロサイ 4:5 外にいる人々に向かって知恵をもって歩み、時間を救いましょう。

わたしたちは知恵を働かせて、時間を最大限に活用して教会の外の人々と交流すべきです。

1. 時間を最大限に活用する: コロサイ 4:5 についての研究

2. 知恵のうちに歩む: コロサイ 4:5 についての考察

1. 箴言 4:7、「知恵は最も重要なことである。したがって、知恵を得てください。そして、全力を尽くして理解を得るのです。」

2. エペソ人への手紙 5:15-16、「それでは、あなたがたは愚か者としてではなく、賢い者として慎重に歩み、時を償うように気をつけなさい。日々は悪いからである。」

コロサイ 4:6 すべての人にどのように答えるべきかをあなたが知ることができるように、あなたのスピーチは常に優雅で、塩で味付けされたものにしてください。

クリスチャンは、神に喜ばれる方法で他の人に答えることができるように、恵みと知恵をもってスピーチを行うべきです。

1. 私たちの言葉の力 - 箴言 18:21

2. 優しい言葉の美しさ - 箴言 15:1

1. 箴言 15:1 - 穏やかな答えは怒りを遠ざけますが、ひどい言葉は怒りを引き起こします。

2. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。

コロサイ 4:7 私の州全体は、愛する兄弟であり、主にある忠実な奉仕者であり仲間の僕であるあなたに、ティキコに宣言します。

ティキコは愛する兄弟であり、主の忠実な奉仕者でした。

1: ティキコのように主に忠実に仕えなさい。

2: 主にある兄弟姉妹として互いに愛し合い、支え合いましょう。

1: 1 コリント 16:15-16 - 「目を覚まして、信仰にしっかりと立ち、人間のように行動し、強くありなさい。すべてのことを愛のうちに行いなさい。」

2: ガラテヤ 6:10 - 「それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

コロサイ 4:8 わたしがこの人をあなたがたに遣わしたのは、同じ目的のためです。それは、あなたがたの財産を知り、あなたがたの心を慰めるためです。

パウロはコロサイ人を慰めるために愛する兄弟を送ります。

1. コミュニティの力: 教会内でどうすればお互いを慰めることができるか。

2. キリストの慰め：困難な時に神の臨在に頼る。

1. コリント人への第二 1:3-4 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。あわれみの父であり、すべての慰めの神であられます。私たち自身が神によって慰められるという慰めを持って、どんな苦難の中にもいます。

2. ヘブライ 13:20-21 - 永遠の契約の血によって、羊の大羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた平和の神が、あなたがご自分の行いをするために、すべての良いものを備えてくださいますように。イエス・キリストを通して、神の目に喜ばれることを私たちの内に働かせて、永遠に栄光がありますように。アーメン。

コロサイ 4:9 あなたがたのうちの忠実で愛する兄弟オネシモとともに。彼らはここで行われるすべてのことをあなたたちに知らせるでしょう。

オネシモはコロサイ人共同体の一員であり、コロサイ人に自分たちの居場所からのニュースを知らせてくれる忠実で最愛の兄弟です。

1. 地域社会で信仰を実践する

2. 忠実な友情の力

1. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

2. 箴言 27:17 - 鉄は鉄を研ぎ、ある人は別の人を研ぐ。

コロサイ 4:10 私の仲間の囚人アリスタルコがあなたと、バルナバの妹の息子マルクスに挨拶します（あなたが戒めを受けた人に触れてください。彼があなたのところに来るなら、彼を迎えなさい;）

パウロは、囚人仲間の二人から特別な挨拶をしてコロサイ人たちに挨拶します。

1: 私たちは常に周りの人々、特に助けを必要としている人々を受け入れ、愛を示す準備ができている必要があります。

2: 誰を受け入れて愛を示すべきかということに関しても、私たちは常にまず神の導きと指示を求めるべきです。

1: ヘブライ 13:2 - 「見知らぬ人をもてなすことを怠ってはなりません。それによって、知らず知らずのうちに天使をもてなしている人もいるからです。」

2: 1 ヨハネ 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は神だからです」愛。"

コロサイ 4:11 そして、ユストと呼ばれるイエスは、割礼の人々です。彼らだけが神の国への私の同労者であり、私にとって慰めとなっています。

パウロは、神の王国で共に働いた二人のイエスとユストについて言及し、彼らが自分にとって慰めとなったと述べています。

1. 敬虔な共同体の慰め

2. 神の王国における交わりの力

1. 伝道の書4:9-12

2. ローマ人への手紙 15:1-3

コロサイ 4:12 あなたがたのうちの一人、キリストのしもべであるエパフラスが、あなたがたが神の御心をすべて完全に遂行できるよう、いつもあなたのために熱心に祈りをささげながら、あなたに挨拶します。

エパフラスは、祈りに満ちた献身と神のご意志への取り組みを模範としました。

1: 私たちは神の意志を実現するために献身的に努力しなければなりません。

2: 私たちは神のご意志に対する祈りの献身の模範としてエパフラスに目を向けなければなりません。

1: ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは力強く、効果的です。」

2: マタイ 6:10 - 「あなたの御国が来ますように、あなたの御心が天と同じように地でも行われます。」

コロサイ 4:13 彼があなたたちとラオデキアにいる人々、そしてヒエラポリスにいる人々に対して大きな熱意を持っていることを、私は彼に記録しておきます。

パウロはエパフラスがラオデキアとヒエラポリスの教会に対して大きな熱意を持っていたことを称賛しています。

1. 神の王国に対する熱意を培う方法

2. 献身的な心の力

1. マタイ 22:37-39 - 心、魂、思いを尽くしてあなたの神、主を愛してください。

2. 1 コリント 15:58 - したがって、愛する兄弟たちよ、堅く、動かず、常に主の働きに満ちて、主にあっては自分の労苦が無駄ではないことを知ってください。

コロサイ 4:14 最愛の医師ルカとデマスがあなたに挨拶します。

この箇所は、コロサイ人に挨拶する個人としてルカとデマスを強調しています。

1. 挨拶の力: 他者との交流が私たちの信仰をどのように反映するか

2. 忠実な医師: ルカの福音への献身

1. ローマ 16:21 - 私の同労者テモテがあなたに挨拶しています。私の親戚であるルシウス、ジェイソン、ソシパテルも同様です。

2. コリント人への第二 13:12 - 聖なる口づけをしてお互いに挨拶しましょう。すべての聖徒たちがあなたに挨拶します。

コロサイ 4:15 ラオデキアにいる兄弟たち、ニンファ、そして彼の家にある教会に敬意を表します。

この箇所は、ラオデキアとニンファの仲間の信者、そして彼らの家の教会に敬意と愛を示すことの重要性について語っています。

1. 「一致して生きる：仲間の信者に敬意と愛を示す力」

2.「祈りの家：私たちの生活における教会の重要性」

1. エペソ人への手紙 4:1-3 「ですから、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに忍耐をもって、召された召しにふさわしい態度で歩むことをお勧めします」愛において、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。」

2. ローマ人への手紙 12:10 - 「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。敬意を示すことにおいては互いにしのぎなさい。」

コロサイ 4:16 この手紙があなたがたの間で読まれるときは、ラオデキアの教会でも読まれるようにしてください。そしてあなたがたも同様にラオデキアからの手紙を読んでください。

パウロはコロサイ人に、ラオデキアの教会に宛てた自分の手紙と、ラオデキアの教会からの手紙を読むように指示します。

1. 神の言葉の力: 聖書を読むことで教会がどのように団結するか

2. 聖書の力: 時空を超えて教会を結びつける

1. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。

2. コロサイ 3:12-15 - したがって、神に選ばれた聖なる民として、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。お互いに忍耐し、誰かに対して不満を抱いている人がいたら許し合いましょう。主があなたを赦してくださったように、赦してください。そして、これらすべての美徳の上に愛がかぶせられ、それがそれらすべてを完全な統一に結びつけます。

コロサイ 4:17 そしてアルキポに言いなさい、「主にあって受けた務めに注意して、それを全うしなさい。」

アルキポスは、自分に与えられた務めに注意を払い、それを遂行するよう命じられた。

1. 信仰を持ち続けて宣教を遂行する

2. 主があなたに与えてくださった務めを果たす

1. マタイ25:14-30

2. コリント人への第二の手紙 5:20-21

コロサイ 4:18 私パウロの手による挨拶です。私の絆を思い出してください。グレースがあなたと共にありますように。アーメン。

パウロはコロサイ人に自分の絆を思い出すよう励まし、彼らに恵みの祝福を与えます。

1. 祝福の力: 恵みに満ちた人生を送る

2. 遺産の強さ: 先祖を思い出す

1. エペソ人への手紙 6:18-20 - すべての聖徒のために、常に御霊によって祈りと願いを込めて祈り、忍耐と祈りを込めてそれを見守りなさい。

2. ローマ人への手紙 12:14-15 - あなたを迫害する者たちを祝福してください。祝福し、呪わないでください。喜ぶ人たちと一緒に喜び、泣く人たちと一緒に泣きましょう。

テサロニケ人への第一の手紙 1 章は、使徒パウロがテサロニケの信者たちに書いた手紙の最初の章です。それは温かい挨拶で始まり、迫害の真っただ中での彼らの信仰、愛、忍耐に対する感謝の気持ちを表します。

第 1 段落: パウロはテサロニケの信徒たちの信仰と信仰によって生み出された働きを称賛します (1 テサロニケ 1:1-3)。彼は、彼らが模範的な教会としての評判を認めており、苦難に直面しながらもキリストに従う彼らの堅実さを強調しています。パウロは彼らの忠実な証しに対して神に感謝の意を表し、彼らの信仰の知らせがいかに広範囲に広まったかについて言及しています。

第 2 段落: この章はパウロがテサロニケへの最初の訪問を回想するところから続きます (1 テサロニケ 1:4-7)。イエスは彼らに，力と確信と深い確信をもって福音のメッセージをどのように受け取ったかを思い出させます。テサロニケの人々は偶像崇拝から離れて、イエスが天から戻ってくるのを待ちながら、生ける神に熱心に仕えました。彼らの変化は言葉だけでなく行動を通しても明らかであり、他の信者の模範となった。

第 3 段落: パウロは、彼らの信仰が自分たちの共同体を超えてどのように影響を与えたかを強調して締めくくっています (1 テサロニケ 1:8-10)。彼らの改宗の知らせはさまざまな地域に伝わり、他の人々が偶像から離れて神に仕えるよう鼓舞されたと彼は述べています。使徒は、彼らが来るべき怒りから彼らを救い出してくれるであろう、神が死者の中からよみがえらせた御子であるイエスが天から戻ってくるのを心待ちにしていたと強調しています。

要約すれば、

テサロニケ人への手紙第 1 章の 1 章では、テサロニケの信者たちの模範的な信仰、愛、迫害の中での忍耐を称賛しています。

パウロは彼らがクリスチャンとしての生き方の模範であることを称賛し、彼らの信仰の知らせがいかに遠くまで広まったかを認めています。

彼は、彼らが生ける神に仕えるために偶像崇拝から離れ、福音の音信を心から受け入れたときのことを思い出します。彼らの変化は他の人たちにインスピレーションを与え、将来の裁きからの救い主としてイエスが戻ってくることを待ち望んでいた。この章では、テサロニケの人々の強い信仰、彼らが他の人たちに与えた影響、そしてキリストの再臨に対する彼らの希望に焦点を当てています。

1 テサロニケ 1:1 パウロ、シルワノ、ティモテウス、父なる神と主イエス・キリストのうちにあるテサロニケの教会へ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたにあるように。。

パウロ、シルワノ、テモテは、父なる神と主イエス・キリストのうちにあるテサロニケの教会に恵みと平和を送ります。

1. 神の恵みと平和を喜ぶ

2. 父なる神と主イエス・キリストの愛を抱きしめてください

1. ローマ 5:1-2 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。私たちも、この方を通して、信仰によってこの恵みにアクセスすることができ、その恵みの中に立っており、神の栄光を望んで喜んでいます。

2. ヨハネ 14:25-26 - 「これはすべて、私があなたがたと一緒にいる間に話したものです。しかし、父が私の名において遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、私があなたに言ったことすべてを思い出させてくれるでしょう。私はあなたに平和を残します。私の平和をあなたに与えます。世界が与えるように私はあなたに与えません。心を騒がせたり、恐れたりしないでください。

1 テサロニケ 1:2 私たちは、祈りの中であなたたちのことを言いながら、あなた方全員についていつも神に感謝しています。

私たちはテサロニケの人々のことを神に感謝しており、祈りの中でいつも彼らのことを思い出します。

1: 私たちは自分の人生に関わる人々に対して常に神に感謝し、祈りの中で彼らのことを思い出すべきです。

2: 私たちの周りの人々に対する神への感謝の気持ちと彼らのための定期的な祈りは私たちの信仰の重要な部分です。

1: コロサイ 4:2-4 「感謝を込めて目を覚まして、しっかりと祈り続けてください。同時に、私たちのためにも祈ってください。神が私たちに御言葉の扉を開いて、キリストの奥義を宣言してくださいますように。そのために私は投獄されていますが、それを明らかにできるように、それが私のすべき道なのです。話すこと。」

2: ピリピ 1:3-4 「私は、あなたがたを思い出すたびに、また、あなたがた全員が喜んで祈ってくれることをいつも祈りながら、私の神に感謝しています。」

1テサロニケ1:3 神と私たちの父の御前で、私たちの主イエス・キリストにある信仰の業、愛の労苦、そして希望の忍耐を絶えることなく思い出しなさい。

テサロニケの人々のイエス・キリストへの信仰、愛、希望は、父なる神の御前でパウロによって思い出され、称賛されます。

1. 信仰、愛、希望: 真の信者の特質

2. 忍耐力: 信仰、愛、希望を強める

クロス-

1. ガラテヤ 5:6 - 「キリスト・イエスにあっては、割礼も無割礼も何の役にも立ちません。ただ、愛によって働く信仰が役に立ちます。」

2. マタイ 24:12-13 - 「不法がはびこるから、多くの人の愛は冷たくなります。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。」

1テサロニケ1:4 愛する兄弟たちよ、あなたがたの神の選びを知ってください。

使徒パウロはテサロニケの信者たちに神による選びを思い出させます。

1. 神によるご自分の民の選び - 神の愛と恵みを喜ぶ

2. 選挙を思い出す - 信仰と従順に歩む

1. ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する人々、つまり神の目的に従って召された人々にとっては、すべてが益となるよう協力して働くことを知っています。

2. テモテ第二 2:10 - したがって、私は選ばれた人々のためにすべてを耐えます。彼らも永遠の栄光を伴うキリスト・イエスにある救いを得ることができるからです。

1テサロニケ1:5 なぜなら、私たちの福音は言葉だけではなく、力と聖霊によって、そして多くの確信をもってあなたがたに届いたからです。あなたがたが知っているように、私たちはあなたがたのために、あなたがたの間でどのような人間であったかを知っています。

パウロとその仲間たちはテサロニケの人々に福音を宣べ伝え、聖さ、力、確信の模範を示しました。

1. 福音の力: 神の言葉は私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 神聖さと確信の生活を送る: 信仰生活の送り方

1. ローマ人への手紙 1:16-17 - 私はキリストの福音を恥じていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。まずユダヤ人に、そしてギリシャ人にも。

2. ヨハネ第一 1:5-7 - これが私たちが彼について聞いたメッセージであり、あなたがたに宣言します、神は光であり、彼の中には暗闇がまったくありません。もし私たちが彼と交わりを持っていると言い、暗闇の中を歩いているなら、私たちは嘘をついていて、真実を行っていないのです。しかし、もし私たちが光の中を歩いているなら、彼が光の中にいるように、私たちは互いに交わり、そして人の血を持っています。御子イエス・キリストは私たちをすべての罪から清めてくださいます。

1テサロニケ1:6 そしてあなたがたは、苦しみの中で御言葉を受け入れ、聖霊の喜びをもって私たちと主に従う者となりました。

テサロニケの人々は多くの苦しみにもかかわらず神の言葉を受け入れ、聖霊によって喜びをもって答えました。

1. 状況にかかわらず喜びを感じましょう

2. 信者の生活における聖霊の力

1. ヘブライ 10:34-35 - 「あなたがたは、獄中にいる人たちを憐れみ、自分の財産の略奪を喜んで受け入れたのです。なぜなら、自分自身がより良い財産と永続的な財産を持っていることを知っていたからです。」

2. ローマ人への手紙 15:13 - 「希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によってあなたがたは希望に満ち溢れます。」

1テサロニケ1:7 このように、あなたがたは、マケドニア州とアカイア州で信じるすべての者の模範となったのです。

この聖句は、マケドニアとアカイアの信者たちに、他のすべての信者たちの模範となるよう勧めています。

1. 他の人にとって敬虔な模範となるにはどうすればよいか

2. 主の忠実さの模範に従う

1. コリント第一 11:1 - 「わたしがキリストに従う者であるように、あなたがたもわたしに従う者となりなさい。」

2. ペテロ第一 2:21 - 「あなたがたもここに召されたのです。なぜなら、キリストも私たちのために苦しみ、私たちに模範を残してくださったからです。あなたがたがその足跡に従うように。」

1テサロニケ1:8 あなたがたから主の言葉が響き渡ったのは、マケドニア州とアカイア州だけでなく、あらゆる場所で神へのあなたたちの信仰が広まったからです。だから私たちは何も話す必要がありません。

主の言葉はテサロニケからマケドニア州、アカイア州、さらにはその向こうにまで急速に広まったので、それ以上宣べ伝える必要はなくなりました。

1. 信仰の力: 私たちの信念は私たち自身を超えてどのように広がることができるか

2. 福音を宣べ伝える教会の責任

1. ローマ人への手紙 10:14-15 - 「それでは、彼らはどうして信じなかった方を呼び求めるのでしょうか。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教することができますか？」

2. 使徒 8:4 - 「さて、散り散りになった人々は御言葉を宣べ伝えて歩き回った。」

1 テサロニケ 1:9 なぜなら、彼ら自身が、私たちがあなたがたに対してどのような態度で入ったか、そしてあなたがたがどのように偶像から神に立ち返り、生けるまことの神に仕えたかを私たちに示しているからです。

テサロニケの人々は偶像に背を向けて、生けるまことの神に仕えました。

1. アイドルから神に仕えるために

2. 変革の力

1. テサロニケ人への第一の手紙 1:9

2. イザヤ書 57:15 永遠に住まわれる、聖なる御名を持つ、高く崇高な御方がこう言われるからです。私は高く聖なる場所に住んでおり、悔い改めて謙虚な精神を持つ彼とともに、謙虚な者の精神を復活させ、悔い改めた者の心を復活させます。

1 テサロニケ 1:10 そして、死人の中からよみがえらせた御子を天から待ち望むこと、すなわち、来るべき怒りから私たちを救ってくださったイエスを待つことです。

パウロはテサロニケの人々に、信仰を持ち、来るべき怒りから救い出してくださったイエスを待つよう勧めています。

1. イエス：私たちの救いの実現者

2. 信仰を持って主を待ち望みます

1. ローマ 5:8-10 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. 詩篇 27:14 - 主を待ち望みます。強くなり、勇気を出して主を待ち望みましょう。

テサロニケ第一 2 章は、使徒パウロがテサロニケの信者たちに書いた手紙の第 2 章です。この章では、パウロは彼らの間での奉仕を振り返り、自分の誠実さ、彼らへの愛、そして彼らの霊的な成長を見届けたいという願いを強調しています。

第 1 段落: パウロは、テサロニケの人々に、自分が彼らと過ごした期間にどのように行動したかを思い出させることから始めます (1 テサロニケ 2:1-6)。彼は、反対や苦しみにもかかわらず、自分と仲間たちが大胆に発言したことを強調した。彼らの説教は欺瞞や不純な動機によってではなく、彼らに福音を託してくださった神を喜ばせたいという心からの願いからでした。彼らは人間の承認を求めるのではなく、心を吟味してくださる神を喜ばせることを目指していました。

第 2 段落: パウロは、彼らがテサロニケの信者たちにどのように優しさと愛情をもって接したかを回想しています (1 テサロニケ 2:7-12)。彼は自分自身を、

自分の子供たちの世話をする授乳中の母親に例えます。彼らは福音を伝えることに熱意を持っていただけでなく、自分たちの人生を喜んで分かち合いました。彼らは神のメッセージを宣べ伝えながら、誰にも負担にならないよう昼も夜も懸命に働きました。彼らは、父親が子供たちにそうするように、子供たちに、神の召しにふさわしい人生を送るよう勧め、励まし、励ましました。

第 3 段落: この章は、テサロニケの信者たちが神の言葉をどのように受け取ったかについてパウロが感謝の意を表明することで終わります (1 テサロニケ 2:1 3-16)。彼は、彼らがそれを単なる人間の言葉ではなく真実として受け入れ、その言葉が自分自身の中で変革する力を認識していることを称賛します。他の教会が経験したのと同様に、同国人からの迫害に直面したにもかかわらず、彼らの信仰は強いままでした。迫害者たちは福音を広める上で障害となったが、キリストを拒否したために神の裁きに直面した。

要約すれば、

テサロニケ人への手紙第一の第 2 章では、パウロの宣教における誠実さ、テサロニケの信者に対する愛、そして彼らの福音のメッセージの受け入れに焦点を当てています。

パウロは、自分とその仲間たちが、人間の承認を求めるのではなく、神を喜ばせたいという願いと誠実さを持って説教したことを強調しています。彼らはテサロニケの人々に優しさと愛情を持って接し、福音だけでなく彼らの生活も分かち合いました。ポールは自分を、育てる母親と、価値ある人生を送るよう勧める思いやりのある父親に例えています。

彼は、彼らが神の言葉を真理として受け入れたことに感謝の意を表し、迫害に直面して耐え忍んだことを認めています。この章は、彼らに反対した人々がキリストを拒否したために神の裁きに直面したことを指摘して締めくくられています。この章では、パウロの司牧的配慮、福音を広めるための献身、そして逆境の中でのテサロニケの人々の忠実さに焦点を当てています。

1 テサロニケ 2:1 兄弟たち、私たちがあなたがたのもとへ入ったのは無駄ではなかったということを、あなたがた自身で知っておいてください。

パウロとその仲間たちはテサロニケに来たのは無駄ではなく、福音を宣べ伝える目的がありました。

1. 福音宣教の力

2. 私たちの人生に対する神の計画

1. ローマ 10:14-17 - 説教者なしではどうやって聞くことができるでしょうか。

2. 使徒 4:31 - そして彼らが祈り終わると、彼らが集まっていた場所が揺れた。そして彼らはみな聖霊に満たされ、神の言葉を大胆に語った。

1 テサロニケ 2:2 しかし、その後でも、私たちはフィリピで以前に苦しみ、恥ずべき懇願を受けたことがあり、あなたがたが知っているように、神にあって大胆に、あなたがたに神の福音を熱心に語りました。

パウロとその仲間たちはフィリピで迫害を受けましたが、それでも大胆に神の福音を宣べ伝えました。

1. 逆境に直面したとき、神の力によって強く立ちなさい。

2. 神のご意志に従順であれば、困難な時にも勇気を持ち続けることができます。

1. イザヤ書 41:10 - 恐れることはありません。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

2. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

1 テサロニケ 2:3 というのは、私たちの勧めは、偽りでも、汚れでも、悪意によるものでもありませんでした。

一節 この勧めは、偽り、不純さ、陰謀なしに行われました。

1. 本物の勧めの力

2. 励ましにおいて誠実さを示す

1. コロサイ 3:12-14 - それでは、神に選ばれた者として、聖なる愛される同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、そして忍耐を身につけてください。

2. ヤコブ 1:19-21 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

1 テサロニケ 2:4 しかし、私たちは神から福音に信頼を置くことが許されているので、それでもこうして話します。それは人を喜ばせるようなものではなく、私たちの心を試す神なのです。

パウロは、自分と他の使徒たちは福音を託されており、人々を喜ばせるためではなく神のご意志に従って語っていると説明しています。

1. 神の召しを信頼する: 勇気と権威を持って福音に従う方法

2. 神の意志に従う: 男性を喜ばせることが最優先事項ではない理由

1. イザヤ書 55:8-9 - 「私の思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地より高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の道はあなたの道よりも高いからである」自分の考えよりも考え。」

2. エレミヤ 29:11 - 「わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている」と主は宣言されます。「それはあなたを繁栄させる計画であり、あなたを傷つけることではなく、あなたに希望と未来を与える計画です。」

1 テサロニケ 2:5 というのは、あなたが知っているように、私たちは、いつでも、お世辞の言葉も、むさぼりのようなむさぼりの言葉も使いませんでした。神は証人です：

使徒パウロはテサロニケの人々に、自分とその仲間たちが福音を宣べ伝える際に決してお世辞を言ったり、それを利用しようとしたりしたことはないと断言しています。

1. 福音の宣教における正直の力

2. 神に仕えるときの誠実さの重要性

1. ヨハネ 15:13 - 「人が友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。」

2. 箴言 11:3 - 「正しい者の誠実は彼らを導く。しかし、違反者の邪悪な行為は彼らを滅ぼすであろう。」

1テサロニケ2:6 私たちは、キリストの使徒として重荷を負ったかもしれないのに、あなたがたも他の人も、誰からも栄光を求めませんでした。

使徒パウロとその仲間たちは、たとえ重荷になる権利があったとしても、テサロニケの人たちや他の誰からも栄光を求めませんでした。

1. 謙虚さの力: 負担の多い世界で負担を軽減する方法

2. 他人を自分よりも大切に思う: 使徒の例

1. ピリピ 2:3-4: 「利己的な野心や無駄なうぬぼれからは何もしません。むしろ、謙虚さをもって自分より他人を大切にし、自分の利益ではなく、あなた方一人一人が他人の利益に目を向けてください。」

2. マタイ 20:28: 「人の子が来たのは、仕えるためではなく、仕えるためであり、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのと同じです。」

1 テサロニケ 2:7 しかし、私たちは、看護師が子供たちを大切にするように、あなたがたに対して優しかったです。

パウロとその仲間たちは、看護師が子供たちを扱うように、優しさと配慮を持ってテサロニケの人々に接しました。

1.「優しさ：愛の本当の尺度」

2.「子どもを大切にする：人生のモデル」

1. テサロニケ第一 2:7

2. マタイ 11:29-30 - 「わたしのくびきを負い、わたしについて学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった者だからです。そうすればあなたたちは魂に安らぎを得るでしょう。」

1テサロニケ2:8 それで、私たちはあなたがたを心から望んでいたので、神の福音だけでなく、私たち自身の魂もあなたがたに伝えたいと思ったのです。あなたが私たちにとって大切な人だったからです。

パウロはテサロニケの人々をとても愛していたので、彼らに神の福音を伝えるだけでなく、自分自身も喜んで伝えました。

1. 愛の力 - テサロニケの人々に対するパウロの愛が彼らにどのように福音を与えたか

2. 関係の大切さ - パウロはテサロニケの人たちに自分がいかに大切であるかをどのように示したか

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 12:10 - 愛をもって互いに献身的に尽くしなさい。自分よりもお互いを尊重しましょう。

1 テサロニケ 2:9 兄弟たち、あなたがたは、私たちの労苦を覚えているでしょう。私たちは、あなたがたのうち誰にも負担をかけたくないので、昼も夜も働いて、あなたがたに神の福音を宣べ伝えたのです。

パウロとその仲間たちは、テサロニケの人々に負担をかけずに神の福音を宣べ伝えるために懸命に働きました。

1. 見返りを期待せずに神に仕える喜び

2. 困難にもかかわらず粘り強く神に仕える

1. マタイ 10:7-8 - そして、歩きながら、「天の王国は近づいた」というメッセージを宣言してください。病人を癒し、死者を蘇らせ、ハンセン病患者を清め、悪霊を追い出しなさい。あなたは無償で受け取りました。自由に与えます。

2. ヘブライ 6:10 – 神は不公平ではありません。彼はあなたの仕事と、あなたが彼の民を助け、そして彼らを助け続けるときにあなたが示した愛を忘れることはありません。

1 テサロニケ 2:10 あなたがたは証人であり、また神でもありますが、私たちが信じるあなたがたの間でどれほど聖く、正しく、そしてとがめられることのない振る舞いをしたかということです。

使徒パウロはテサロニケの信者たちに、自分とその仲間たちがいかに神聖で廉直であったかを思い起こさせます。

1. 正しい生活: パウロとその仲間たちの模範

2. 私たちの生活における聖性: パウロとその仲間たちのモデル

1. マタイ 5:48 - ですから、あなたがたの天の父が完全であるように、完全になりなさい。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

1テサロニケ2:11 あなたがたも知っているように、私たちは父親が子供たちにするように、あなたがた一人一人に次のように勧め、慰め、そして叱責しました。

パウロはテサロニケの人たちに愛情深い父親として勧め、慰め、求めました。

1. 父親の愛: 同情と励ましを示す

2. 励ましの力: 神の愛で他の人を祝福する

1. エペソ人への手紙 6:4、「父親たち、子供たちを憤慨させないでください。その代わりに、主の訓練と教えを受けて彼らを育ててください。」

2. ローマ 15:5、「忍耐と励ましを与えてくださる神が、キリスト・イエスがお互いに対して持っていたのと同じ心構えをあなたがたにも与えてくださいますように。」

1テサロニケ2:12 それは、あなたがたが神の国と栄光に召された神にふさわしい歩みをするためです。

テサロニケの人々は、彼らを神の国と栄光に招いてくださった神にふさわしい人生を送るよう励まされています。

1. 神の召しにふさわしい人生を送る

2. 神の王国と栄光に忠実であること

1. マタイ 5:16 - 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父を讃えます。」

2. エペソ人への手紙 4:1 - 「ですから、主の囚人である私は、あなたがたが召された召命にふさわしい歩みをするようにお願いします。」

1 テサロニケ 2:13 このような理由から、私たちも絶え間なく神に感謝します。なぜなら、あなたがたが私たちについて聞いた神の言葉を受け入れたとき、それを人間の言葉としてではなく、真実、人の言葉として受け入れたからです。神よ、信じるあなたの中にも効果的に働いてくださいます。

パウロとその仲間たちは、テサロニケの人々の神の言葉に対する信仰が彼らの生活に有効になったことを神に感謝しました。

1. 信じる力: 神の言葉を信じることで私たちの生活はどのように変わるか

2. 御言葉を実践する: 神の御言葉を生活に組み込む実践的な方法

1. ヘブライ人への手紙 4:12 - 神の言葉は素早く、力強く、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を引き裂くまで突き刺し、考えを識別するものだからです。そして心の意図。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

1 テサロニケ 2:14 兄弟たち、あなたがたは、ユダヤにあるキリスト・イエスにある神の諸教会に従う者となったのです。なぜなら、あなたがたも、ユダヤ人に対して受けたように、自分の同胞と同じように苦しんだからです。

テサロニケ教会はユダヤの他の教会の例に倣い、ユダヤ人と同じように自国民からの迫害に苦しんでいました。

1. 忠実な迫害の力：困難な時代を忠実に耐えることを学ぶ

2. 団結の強さ：逆境に直面しても団結する

1. ローマ 5:3-4 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

1テサロニケ2:15 彼らは主イエスと自分たちの預言者を殺し、私たちを迫害しました。そして彼らは神を喜ばせず、すべての人間に反します。

テサロニケの人たちは主イエスと自分たちの預言者を殺し、主に従う者たちを迫害しました。彼らは神に喜ばれず、すべての人間に反します。

1. 不信仰の好ましくない結果

2. 私たちの不信仰にもかかわらず、神の変わらない愛

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

2. ルカ 6:27 - しかし、聞いているあなたたちに言います、「敵を愛しなさい。あなたたちを憎む者たちに善を行いなさい。」

1 テサロニケ 2:16 異邦人が救われるように、彼らの罪を常に埋めるために、私たちが異邦人に話すことを禁じています。怒りは徹底的に彼らに臨むからです。

一節 テサロニケの人たちは、神の怒りが彼らの上にあったため、異邦人を罪から救うために異邦人に話すことを禁じられていました。

1. 救いを必要とする人々にどのようにミニスタリングを行うか

2. 神の怒りと慈悲

1. エゼキエル 18:23 - 悪者が死ぬことを私は少しでも喜んでいますか？主なる神は言われる、「それでは、彼は自分の道から戻って生きるべきではないのか？」

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

1 テサロニケ 2:17 しかし、兄弟たち、私たちは、心の中ではなく、目の前で短い間あなたがたから引き離されたので、強い望みを持ってあなたの顔を見たいと一層懸命に努力しました。

パウロとその仲間たちは、テサロニケの教会に会いたいという強い思いを抱き、できるだけ早く再び教会を訪問しようと努めました。

1. 交わりへの憧れと切望の力

2. キリスト教徒の一致の揺るぎない強さ

1. 使徒 20:38-39 「だから、目を覚ましていてください。日も時もわからないのですから。そして、この言葉で互いに励まし合いなさい。」

2. ヘブライ 10:24-25 - 「愛の行為や良い行いにお互いを励ます方法を考えましょう。また、ある人々のように、集まりを無視せず、互いに励まし合いましょう。」

1 テサロニケ 2:18 ですから、パウロですら、私たちは何度でもあなたがたのところに来たでしょう。しかしサタンが私たちの邪魔をしました。

パウロはテサロニケの教会をもう一度訪れたいと思っていましたが、彼の計画はサタンによって妨げられました。

1. 忠実な勝利者: サタンの妨害を克服する方法を学ぶ

2. 信仰を貫く: 反対に直面しても毅然とした態度で立つ

1. エペソ 6:10-12 - 最後に、主とその力の強さにおいて強くありなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的な力に対して格闘しているからです。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

1テサロニケ2:19 私たちの希望、喜び、喜びの冠とは何でしょうか。あなたがたも、私たちの主イエス・キリストの来臨の際にその臨在をしているではないか。

パウロはテサロニケの人々に、主イエスの来臨の際に彼らがどのような希望、喜び、喜びの栄冠を得るのかを尋ねます。

1. 主の御前における私たちの希望と喜び

2. イエスの再臨を喜ぶ私たちの冠

1. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待するでしょうか？しかし、目に見えないものを望むなら、私たちはそれを忍耐強く待ちます。

2. コリント第一 15:51-54 - 見よ！謎を教えます。私たちは皆眠っているわけではありませんが、最後のラッパの音とともに、一瞬のうちに、またたく間に、私たちは皆変わってしまうのです。ラッパが鳴り響き、死人は朽ちないものとしてよみがえらされ、私たちは変えられるからです。なぜなら、この朽ちる体は必ず朽ちないものを着なければならず、この死ぬべき体は不滅のものを着なければならないからです。

1テサロニケ2:20 あなたがたは私たちの栄光であり、喜びなのです。

パウロはテサロニケのクリスチャンに対する喜びと感謝の気持ちを表し、彼らが自分にとって栄光と喜びの源であることを思い出させます。

1. 旅の喜び: クリスチャンの交わりの力

2. キリスト教共同体を通じて神の栄光を讃える

1. 使徒 2:44-47 - 信じた人は皆一緒にいて、すべての共通点がありました。

2. ローマ 15:5,7 - 忍耐と励ましの神が、神の栄光のために、キリストがあなたを受け入れてくださったように、あなたが互いに調和して生き、お互いを受け入れられるようにしてくださいますように。

テサロニケ第一 3 章は、使徒パウロがテサロニケの信者に宛てて書いた手紙の第 3 章です。この章でパウロは彼らの信仰に対する懸念を表明し、試練の中で彼らを強め励ますためにテモテを送ります。

第 1 段落: パウロはテサロニケの信者に対する懸念を表明することから始めます (1 テサロニケ 3:1-5)。彼は、彼らの信仰について知らないことにもはや耐えられず、彼らを強め、励ますために同僚であり兄弟であるテモテを遣わすことに決めたと述べています。パウロは、彼らが苦難の誘惑に遭ったり、迫害によって信仰が揺らいでしまうのではないかと心配していました。

第 2 段落: パウロはテサロニケの人々の信仰に関する肯定的な報告を受けて喜びました (1 テサロニケ 3:6-9)。テモテは、主における彼らの堅固さについての良い知らせを持って戻ってきます。パウロに対する彼らの愛と再び彼に会いたいという切望は、彼に大きな喜びをもたらし、彼自身の苦悩を慰めました。彼は昼も夜も熱心に祈り、もう一度彼らを訪問する機会を与えてくださいと神に願います。

第 3 段落: この章は、信者の間で愛が増すようにという祈りで終わります (1 テサロニケ 3:10-13)。パウロは、彼らの信仰に欠けているものを補うことができるよう、彼らと直接会える道を作ってくださるよう神に願います。彼は、神が彼らの互いへの、そしてすべての人々への愛をますます豊かにしてくださるよう祈っています。最後に、彼は、イエスがすべての聖徒たちとともに来られるときに、神の御前で彼らの心を聖さにおいて非のうちどころのないものにしてくださるよう神に求めます。

要約すれば、

テサロニケ人への手紙第一の第3章は、迫害のさなかにあるテサロニケの信者たちに対するパウロの気遣いを明らかにしています。

神は彼らの信仰を強め，励ますためにテモテを自分の代表として遣わします。

テモテから肯定的な報告を受けたパウロは、彼らの堅実さを喜び、また会いたいという切望を表明します。彼は信者たちの間の愛が増すように祈り、彼らの心を聖さの中で汚れのないものにしてくださるよう神に願います。この章では、パウロの牧会的配慮、彼らの霊的幸福への願い、そして彼らの信仰と愛の継続的な成長への希望に焦点を当てています。

1 テサロニケ 3:1 ですから、私たちはもう我慢できなくなったとき、アテネに一人で残っておいてもいいと思いました。

パウロとその仲間たちは、アテネに留まることに耐えられなくなり、ここを去ることにしました。

1. 難しい決断を下す力 - テサロニケ第一 3:1

2. 恐れや不安にもかかわらず神のご意志に従う - テサロニケ第一 3:1

1. イザヤ書 55:8-9 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われます。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。

2. ヨシュア記 1:9 - わたしはあなたに命じたではありませんか。強くて勇気を持ってください。恐れることなく、落胆することもない。あなたの神、主はどこへ行くにもあなたとともにおられるからである。

1テサロニケ3:2そして、あなたがたを確立し、あなたの信仰について慰めるために、私たちの兄弟であり、神の奉仕者であり、キリストの福音における私たちの同労者であるテモテを遣わしました。

パウロはテモテを彼らの兄弟、神の奉仕者、そしてキリストの福音の同労者としてテサロニケに送り、彼らの信仰を励ましました。

1.「信仰に根ざして：危険な時代にしっかりと立つ」

2.「励ましの力：キリストの体を強める」

1. ヘブライ 10:19-25 - 「ですから、兄弟姉妹の皆さん、私たちはイエスの血によって、カーテン、つまりイエスの体を通して私たちのために開かれた新しい生きた道によって、至聖所に入る自信を持っています。そして、私たちには神の家を統べる偉大な祭司がいるのですから、誠実な心と信仰がもたらす完全な確信を持って神に近づき、心に罪悪感から清めるために振りかけられ、体を洗ってもらいましょう。純水。"

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての創造物には存在しないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

1 テサロニケ 3:3 だれもこれらの苦難に心を動かされないように、私たちがそのような苦難に任命されていることをあなたがた自身が知っているからです。

パウロはテサロニケの人々に、苦難に耐えることが任されているのですから、苦難に落胆しないようにと励ましています。

1. 「私たちは苦難のために任命されている: 試練の中で強さを見つける方法」

2. 「忍耐するための励まし：神の任命を理解する」

1. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。完璧で完全で、何も欠けていない。」

2. コリント人への手紙第二 4:17-18 「というのは、私たちが目に見えるものではなく、目に見えないものに目を向けるとき、この一時的な軽い苦しみは、どんな比較にもならない永遠の栄光の重みを私たちに備えているからです。目に見えるものは一時的ですが、目に見えないものは永遠です。」

1テサロニケ3:4確かに、私たちはあなたがたと一緒にいたとき、患難に遭わなければならないと以前言いました。それが実際に起こったときでさえ、そしてあなたがたは知っています。

使徒パウロはテサロニケの人たちに艱難に直面するだろうと警告しましたが、それは最終的に現実になりました。

1. 艱難に直面したときの信仰

2. 困難を乗り越える忍耐力

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

1テサロニケ3:5 このような理由から、私はもう我慢できなくなったので、誘惑者が何らかの方法であなたがたを誘惑し、私たちの労苦が無駄にならないように、あなたの信仰を知るために人を遣わしました。

パウロはテサロニケの人々の信仰を懸念し、誘惑者が彼らの信仰を堕落させ、パウロの働きを無効にするのを防ぐために、彼らをチェックするために人を送りました。

1. 私たちは自分の信仰と他の人の信仰を誘惑者の影響から守るために用心深くなければなりません。

2. 神への奉仕における私たちの努力は、他の人の信仰を守りたいという願望によって動機付けられるべきです。

1. ペテロ第一 5:8 - 身を慎み、用心深くありなさい。それは、あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、誰を食い尽くすべきかを求めて歩き回っているからである。

2. ガラテヤ 5:7-9 - あなたがたはよく走りました。あなたが真理に従わないように邪魔したのは誰ですか。この説得は、あなたを呼んだ人から来るものではありません。少量のパン種が塊全体を発酵させます。

1 テサロニケ 3:6 ところが、テモテがあなたがたのところから私たちのところに来て、あなたがたの信仰と慈善についての良い知らせを私たちにもたらしてくれ

たとき、あなたがたがいつも私たちのことをよく覚えていて、私たちと同じように私たちに会いたいと強く望んでいたのです。

テモテはテサロニケの人たちの信仰と愛、そしてパウロとその仲間たちとの楽しい思い出についての知らせを携えてテサロニケ人たちにやって来ました。

1. 私たちのコミュニティにおける信仰と愛の力

2. お互いを懐かしく思い出す

1. ローマ人への手紙 5:5 - 「希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は、私たちに与えられる聖霊によって、私たちの心の中に注がれるからです。」

2. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛しなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。これによって、すべての人は、あなたがたがわたしの弟子であることを知るであろう。あなたがたは互いに愛を持っています。」

1 テサロニケ 3:7 したがって、兄弟たち、私たちは、あらゆる苦しみと苦悩の中で、あなたがたの信仰によって慰められました。

テサロニケの人々は、苦難と苦悩のただ中にいる仲間の信者たちの信仰によって慰められました。

1. 信仰の慰め：困難な時に強さを見つける

2. 逆境の時に信仰を強める

1. ヘブライ 11:1、「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

2. ヤコブ 1:2-4、「兄弟たちよ、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたがたは知っているからです。そして、堅固さがその効果を最大限に発揮させてください。完璧で完全で、何も欠けていない。」

1テサロニケ3:8 あなたがたが主にあって堅く立つなら、今、わたしたちは生きています。

使徒パウロはテサロニケの人々に、主にあって強くあり続けるよう勧めています。

1. 主にあってしっかり立つ - 信仰と従順にしっかりと立つ

2. 主の力 - 神の力にどのように頼るか

1. コリント人への第一の手紙 16:13 - 用心してください。信仰にしっかりと立ちなさい。勇気を出してください。強くなってください。

2. ピリピ 4:13 - 私に力を与えてくださる方を通して、私はこのすべてを行うことができます。

1テサロニケ3:9 わたしたちは、あなたがたのために、わたしたちの神の御前で、あなたがたのために喜んでいるすべての喜びを、再び神にささげることができるでしょうか。

私たちはテサロニケの人々のおかげで経験する喜びを神に感謝します。

1. いつも主にあって喜びましょう: 人生の喜びを祝う

2. 神の祝福に対する感謝: 神の善意に感謝の意を表す

1. ローマ人への手紙 12:12- 希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。

2. ヨハネ 3:16- 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

1テサロニケ3:10 私たちがあなたの御顔を拝し、あなたの信仰に欠けているものを完全にできるようにと、昼も夜も熱心に祈っているでしょうか。

パウロはテサロニケの信者たちのために昼も夜も祈り、彼らに会って信仰が完全になるよう助けてほしいと願いました。

1. 祈りの力: パウロの献身の模範

2. 信仰を完全にする：神に近づく

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. コロサイ 1:19-20 - 「神の満ち足りたすべてがこの人の内に宿ることを喜んでおり、また、この人を通して、地上であれ、天上であれ、すべてのものをご自分と和解させ、十字架の血によって平和を実現したからです。」

1テサロニケ3:11 さて、神ご自身、私たちの父、そして私たちの主イエス・キリストが、私たちの道をあなたのところに導いてくださいますように。

パウロと仲間たちは、神とイエスが彼らをテサロニケ人への旅に導いてくださるよう祈ります。

1. あなたが神を求めるとき、神は導きを与えてくださいます。

2. 神の導きは私たちの人生に有益です。

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. 詩篇 32:8 - わたしはあなたを導き、あなたの進むべき道を教えます。愛情深い目であなたに寄り添ってアドバイスさせていただきます。

1テサロニケ3:12そして主は、私たちがあなたがたに対してしているのと同じように、あなたがたに対して、互いに、またすべての人に対する愛を増し増し、豊かにさせてくださいます。

パウロはテサロニケの人々に、自分がテサロニケ人たちを愛しているのと同じように、互いに、そしてすべての人々に対する愛を増し、豊かにするよう勧めています。

1. 愛にあふれて: テサロニケの人々の挑戦

2. あふれる愛: パウロの教えを果たす

1. ヨハネ 15:12 - 「これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。」

2. ローマ人への手紙 12:10 - 「兄弟愛をもって互いに親切に愛し合い、敬意を持って互いに愛し合いなさい。」

1 テサロニケ 3:13 私たちの主イエス・キリストがすべての聖徒たちと共に来られるとき、主は最後まであなたがたの心を神聖で、私たちの父でさえも責められることのないものとして安定させてくださるかもしれません。

パウロはテサロニケの人々に、主が来られる時までに神の御前で聖なる者として責められない者となるよう努力するよう勧めています。

1.「神聖な心」

2.「義を求める努力」

1. ローマ 12:1-2 - 「ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる神聖な生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい礼拝です。「この世の型に従うのではなく、心を一新することによって変えられるのです。そうすれば、神の御心が何であるかを試し、承認することができるでしょう。神の善で喜ばしい完全な御心です。」

2. 詩篇 119:9-11 - 「若者はどうして清さの道を歩み続けることができますか。あなたの言葉に従って生きることによってです。私は心からあなたを求めます。あなたの命令から逸れないでください。私はあなたのことを隠しました。」あなたに対して罪を犯さないようにと心の中で言いました。」

テサロニケ第一 4 章は、使徒パウロがテサロニケの信者たちに書いた手紙の第 4 章です。この章では、パウロは聖なる生活、特に性的純粋さと兄弟愛に関連した指示を提供しています。

第 1 段落: パウロはテサロニケの信者たちに、神に喜ばれる生き方をするよう勧めています (1 テサロニケ 4:1-8)。イエスは彼らに，聖なる生活を送る方法についてイエスから受けた指示を思い出させます。彼は、彼らに対する神のご意志は彼らを聖化することであり、彼らは性的不道徳を慎むべきであると強調していますパウロは、神を知らない人々のように情欲にふけることを警告し、これらの指示を無視することは人間に対する違反であるだけでなく、神ご自身に対する違反であることを強調しています。

第 2 段落: パウロはテサロニケの人々に兄弟愛に優れるよう勧めています (1 テサロニケ 4:9-10)。彼は彼らの互いへの愛を称賛しますが、それをさらに高めるよう勧めます。彼は彼らに、静かな生活を送り、自分のことに気を配り、他人に依存しないように自分の手で働くよう勧めています。そうすれば、彼らは部外者の前で適切に行動し、何の不足もなくなるでしょう。

第 3 段落: この章は、キリストの再臨とそれが信者に与える影響についての教えで終わります (1 テサロニケ 4:13-18)。パウロはキリストの再臨前に亡くなった人々についての懸念に言及し、希望のない人々のように悲しむべきではないとテサロニケの人々に保証しました。その代わりに、イエスが大声で号令とラッパの呼びかけとともに戻ってこられると、生きている信者も亡くなった信者も共に立ち上がり、空中でイエスを迎えるだろうと彼は説明する。彼らは永遠に主とともにいてすべての信者に慰めと希望を与えます。

要約すれば、

テサロニケ第一の第4章では、性的純度と兄弟愛に関する聖なる生活についての指示が述べられています。

パウロはテサロニケの人々に、性的不道徳を避け、神に喜ばれる生き方をするよう勧めています。兄弟愛に優れ、静かな生活を送り、自分のことに気を配り、勤勉に働くよう勧めています。

パウロはまた、キリストの再臨前に亡くなった人々の運命についての懸念にも言及し、キリストが再臨されるときに彼らが再び立ち上がってイエスに会うと約束しています。この章は、すべての信者にとって聖なる生活を送り、兄弟愛を育み、キリストの再臨に希望を見出すことの重要性を強調しています。

1 テサロニケ 4:1 さらに、兄弟たち、私たちはあなたたちに懇願し、主イエスによって勧めます。あなたたちが私たちから受け取ったように、どのように歩み、神に喜ばれるべきかを教えてください。そうすれば、あなたたちはますます豊かになるでしょう。

使徒パウロはテサロニケの信者たちに、神に喜ばれる生き方をするよう勧めています。

1. 信仰に富む：神に喜ばれる人生を送る

2. 従う選択: 神への献身の道

1. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。

2. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにしても、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

1テサロニケ4:2 私たちが主イエスによってどのような戒めを与えたかは、あなたがたも知っているからです。

パウロはテサロニケの人々に、主イエスの名によって与えた戒めを思い出させました。

1. 神の戒めに従う力 - 主イエスの教えに従って、神の戒めに従うことのプラスの影響を探ります。

2. 神の言葉に従うことの重要性 - 主の命令に従うことが信仰生活にとっていかに不可欠であるかを理解します。

1. 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2. 申命記 11:26-28 - 「見よ、わたしは今日、あなたの前に祝福と呪いを与える。それは、あなたが今日わたしが命じるあなたの神、主の戒めに従うなら祝福であり、もしあなたがたに命じるなら呪いである」あなたの神、主の戒めに従わず、今日私があなたに命じている道から離れなさい。」

1テサロニケ4:3 あなたがたが淫行を避けるべきであることは、あなたの聖化でさえも神の御心だからです。

神は信者が淫行を避けることを望んでいます。

1. 神の意志の力 - テサロニケ人への手紙第一 4:3

2. 聖性への呼びかけ - 信者の聖化について

1. エペソ 5:3 - しかし、あなたがたの間には、性的不道徳、いかなる不純さ、貪欲の片鱗さえあってはならない。これらは神の聖なる民にとってふさわしくないからである。

2. マタイ 5:27-28 - 「『姦淫してはならない』と言われていたのをあなたは聞いているでしょう。」しかし、私はあなたたちに言いますが、情欲を持って女性を見る者は皆、心の中ですでにその女性と姦淫を犯したのです。

1 テサロニケ 4:4 それは、あなたがた一人一人が、自分の器を聖化と名誉をもって所有する方法を知るためです。

クリスチャンは聖さと名誉をもって生きるよう努めるべきです。

1. 神聖さと名誉をもって生きる: 行動への呼びかけ

2. 私たちの器を所有する: 私たちの目的を理解する

1. エペソ人への手紙 5:3-4 「しかし、聖徒の間で当然のことであるように、あなたがたの間でも、性的不道徳やあらゆる不純なこと、あるいは貪欲を名指ししてはなりません。場違いな、不潔なこと、愚かな話、下品な冗談があってはなりません。しかし、その代わりに感謝を捧げましょう。」

2. コリント人への第二の手紙 7:1 - 「愛する人よ、私たちにはこれらの約束があるのですから、体と霊のあらゆる汚れから自分を清め、神への畏れの中で聖性を完成させましょう。」

1テサロニケ4:5 神を知らない異邦人のように、貪欲にではありません。

神を知らない人たちのように、性的不道徳を行ってはなりません。

1: 神の言葉は性的不道徳を避けるよう教えています

2: 欲望を抑える力

1: エペソ人への手紙 5:3-5 「しかし、聖徒の間で当然のことであるように、あなたがたの間でも、性的不道徳やあらゆる不純なこと、あるいは貪欲を名指ししてはなりません。場違いな、不潔な話や愚かな話、下品な冗談があってはなりません。「代わりに感謝をしなさい。あなたも確信しているかもしれないが、性的に不道徳な者、不純な者、あるいは貪欲な者（つまり偶像崇拝者）は、キリストと神の王国に相続財産を持たないのである。」

2: コロサイ 3:5-6 「だから、あなたの内にあるこの世的なもの、すなわち性的不品行、汚れ、情欲、邪悪な欲望、そして偶像崇拝である貪欲を殺しなさい。これらのゆえに神の怒りが来るのです。」

1 テサロニケ 4:6 いかなる事においても、だれもそれを超えて兄弟を騙してはならない。なぜなら、私たちもあなたがたに予告し、証言したように、主はそのような者すべてに対する復讐者だからである。

この聖句は、兄弟姉妹を利用しないように勧めています。そうする者には主が復讐されるからです。

1: 神の正義: 兄弟姉妹を利用しないでください

2: 私たちは隣人を愛するよう求められています: 隣人をだましてはいけません

1: マタイ 22:37-39 「そしてイエスは彼に言った、『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。これが最も重要な第一の

戒めである。そして第二は、同様に、あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。」

2: ガラテヤ 5:13-14 「兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ、自分の自由を肉の機会として利用しないで、愛を通して互いに仕えなさい。律法全体は、次の一言で成就するからです。」あなたの隣人をあなた自身のように愛しましょう。」

1テサロニケ4:7 神は私たちを汚れにではなく、聖に召されたのです。

神は私たちに、神聖で純粋な生活を送るよう招いておられます。

1: 神は私たちに、聖さと純粋さの生活を送るよう呼びかけています。

2: 私たちは自分の意志ではなく、神の意志に従って人生を生きなければなりません。

1: マタイ 5:48 – 「ですから、あなたがたの天の父が完全であるように、完全になりなさい。」

2: エペソ人への手紙 4:1 – 「ですから、主に仕えた囚人である私は、あなたがたに召しにふさわしい人生を送ってくださるようお願いします。あなたは神に召されたのですから。」

1テサロニケ4:8 したがって、軽蔑する者は人間を軽蔑しているのではなく、私たちに聖霊を与えてくださった神を軽蔑しているのです。

パウロは、聖霊を含め、神が私たちに与えてくださった賜物を軽蔑しないようにと励ましています。

1. 神は聖霊によって私たちを祝福してくださいました。それを当然のことと思わないようにしましょう

2. 神の賜物を受け入れ、感謝する

1. ローマ人への手紙 5:5 - 「希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は、私たちに与えられる聖霊によって、私たちの心の中に注がれるからです。」

2. マタイ 7:11 - 「では、あなたが邪悪であるのに、自分の子供たちに良い贈り物を与える方法を知っているなら、天におられるあなたがたの父は、なおさら、求める者たちに良いものを与えてくださるでしょうか。」

1 テサロニケ 4:9 しかし、感動的な兄弟愛については、私があなたがたに手紙を書く必要はありません。なぜなら、あなたがた自身も、互いに愛し合うように神から教えられているからです。

テサロニケの人々は神から互いに愛し合うように教えられており、それを思い出させる必要はありません。

1. 愛の力: 神は私たちに互いに愛し合うことをどのように教えられるか

2. 互いに愛し合う: 神の教えを生活に適用する

1. ローマ人への手紙 12:10 - 「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。名誉を示すことにおいては互いにしのぎなさい。」

2. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。なぜなら神は神だからです。」愛。"

1 テサロニケ 4:10 実際、あなたがたはマケドニア全土にいるすべての兄弟たちに対して同じことをしています。しかし、兄弟たち、私たちはあなたがたにお願いします。

パウロはテサロニケの人々に、マケドニアの仲間の信者たちに愛と思いやりを示し続け、さらに多くのことを行うよう励ましています。

1. 愛の力: 仲間の信者に気遣いを示す方法

2. 信仰において成長する: 愛と思いやりを増やす

1. コリント人への第一の手紙 13:13 - そして今、信仰、希望、愛の 3 つが残っています。しかし、その中で最も偉大なものは愛です。

2. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、そして自制です。そのようなことを禁止する法律はありません。

1テサロニケ4:11 そして、私たちがあなたがたに命じたように、あなたがたは、静かに、自分の仕事をし、自分の手で働くように勉強しなさい。

信者は主の命令に従い、平和、勤勉、勤勉な生活を送るよう求められています。

1.「平和、勤勉、勤勉：主の命令に従って生きる」

2.「静かな生活：神の言葉を実践する」

1. エペソ人への手紙 4:28 - 盗んだ者は、もう盗んではなりません。むしろ、必要とする者に与えるために、善いことを自分の手で働きながら働きなさい。

2. コロサイ 3:23 - そして、あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように心から行いなさい。

1テサロニケ4:12 それは、あなたがたが外にいる人々に向かって正直に歩み、何一つ欠けることがないようにするためです。

クリスチャンは非クリスチャンに対して正直に接するべきであり、彼らのニーズをすべて満たすよう努めるべきです。

1. 人間関係における誠実さの重要性

2. 満足のいく人生を送る

1. エペソ 4:25 - ですから、偽りを捨てて、あなたがた一人一人が隣人に対して真実を語りましょう。なぜなら、私たちはお互いの一員だからです。

2. ピリピ 4:11-13 - 私は困っていることについて話しているのではありません。私はどんな状況でも満足できることを学んだからです。私は落ち込む方法と豊かになる方法を知っています。いかなる状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。

1 テサロニケ 4:13 しかし、兄弟たち、眠っている人たちについては、希望のない他の人たちと同じように悲しまないように、あなたたちに無知であってほしくないのです。

信者は亡くなった人々のことを無知であってはなりません。彼らは希望を持たない人々のように悲しむべきではありません。

1. 永遠の命の希望：喪失の時でも喜ぶ

2. 追悼における神の慰め：悲しみの中で強さを見つける

1. ローマ 15:13 - 希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に満ち溢れますように。

2. 詩篇 34:18 - 主は心の打ち砕かれた者の近くにいて、心の打ちひしがれた者を救ってくださいます。

1 テサロニケ 4:14 というのは、イエスが死んで復活したと私たちが信じるなら、イエスのうちに眠っている人々も神はイエスとともに連れて来てくださるからです。

神は再臨されるとき、イエスにあって死んだ人々を連れて来るでしょう。

1. 神の愛と忠実さ: 悲しむ人々への慰め

2. イエスにおける永遠の命の約束

1. コリント人への第一の手紙 15:20-23 - しかし今、キリストは死人の中からよみがえられ、眠っている者たちの初穂となられました。

2. ヨハネ 14:1-3 - 心を騒がせてはいけません。あなたがたは神を信じています、私も信じてください。

1テサロニケ4:15 このため、私たちは主の言葉によってあなたがたに言いますが、生きていて主の来臨まで残っている私たちは、眠っている人々を妨げることはありません。

パウロはテサロニケの人々に、主が再臨されるときにまだ生きている人々は、すでに死んだ人々に先立つことはない、と告げています。

1. 亡くなった人々に対する主の慰めの約束: 神の愛は死を超えてどのように続くのか

2. 復活の希望: 主の再臨を信じることでどのように永遠の命がもたらされるか

1. 黙示録 21:4 - 「神は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださいます。そうすれば、死はもはやなくなり、悲しみも叫びも痛みもなくなります。以前のものは過ぎ去ったからです。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

1 テサロニケ 4:16 なぜなら、叫び声と天使長の声と神の切り札とともに、主ご自身が天から降りてくるからです。そして、キリストにある死者たちが最初によみがえります。

主は叫び声、大天使の声、神のラッパの音とともに地上に再臨され、キリストにある死者が最初によみがえります。

1. 主の再臨に備える方法

2. 蘇る死者の約束

1. ヨハネ 14:1-3 - 「心を騒がせてはいけません。あなたがたは神を信じています。わたしも信じてください。わたしの父の家には多くの大邸宅があります。もしそうでなかったら、わたしはあなたに告げていたでしょう。わたしはそこへ行きます」あなたのために場所を用意してください。」

2. ローマ 8:11 - 「しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださるでしょう。」

1テサロニケ4:17 そのとき、私たちも生きていて、雲の中に引き上げられ、空中で主にお会いすることになります。そして、私たちは永遠に主とともにいることになります。

キリストが再臨されるときにまだ生きている信者は、雲に巻き込まれて主に会い、永遠に主とともにいることになります。

1. 天国のビジョン: 主とともに喜びのうちに生きる

2. 不確実性の中の希望：永遠の命の約束

1. ヨハネ 14:2-3 - 「父の家にはたくさんの部屋があります。もしそうでなかったら、私はあなたに言っただろう。私はあなたのために場所を準備しに行きます。そして、私が行ってあなたのために場所を準備するなら、私はまた来て、あなたを自分のもとに連れて行きます、そうすれば私がいる場所にあなたもいるかもしれません。」

2. 詩篇 16:11 - 「あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの臨在の中には喜びが満ち溢れています。あなたの右手には永遠の楽しみがあります。」

1テサロニケ4:18 ですから、この言葉で互いに慰め合いましょう。

クリスチャンは聖書の言葉でお互いを慰め合うべきです。

1. 聖書の慰めの言葉の力

2. 神の言葉を知ることの慰め

1. マタイ 11:28 - すべて、働き、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。わたしはあなたたちを休ませてあげます。

2. 詩篇 27:14 - 主を待ち望みなさい。勇気を出してください。そうすれば主はあなたの心を強めてくださいます。主を待ち望みます。

テサロニケ第一 5 章は、使徒パウロがテサロニケの信者に宛てて書いた手紙の 5 番目で最後の章です。この章では、パウロはキリストの再臨への備え、教会内の人間関係、平和に暮らすよう求める呼びかけなど、クリスチャンの生活のさまざまな側面について述べています。

第 1 段落: パウロはキリストの再臨の時期について議論することから始めます (1 テサロニケ 5:1-11)。イエスが再臨される正確な時期や時期は誰にも分からない、と彼は強調する。したがって、信者は常に準備を整え、注意を払っていなければなりません。彼は闇の中にいる人々、つまり不信者を、光の子である人々、つまり信者と対比させています。彼は彼らに、信仰と愛を胸当てとして、救いの希望を兜として身に着け、冷静かつ警戒心を保つよう勧めています。信者はイエス・キリストによって救われる運命にあります。

第 2 段落: パウロはテサロニケの信徒たちに教会内の関係について指示しています (1 テサロニケ 5:12-22)。彼は、彼らの間で熱心に働く指導者を尊敬し尊重するよう勧めています。彼らは互いに平和に暮らし、怠けている人や手に負えない人を戒め、落胆している人を励まし、弱い人を助け、誰に対しても忍耐強くなければなりません。彼らは復讐を求めるのではなく、互いにとって、そしてすべての人々にとって良いことを追求すべきです。

第 3 段落: この章は、霊的実践に関する最後の勧告で終わります (1 テサロニケ 5:23-28)。パウロは、神が彼らを完全に神聖化し、イエスの来臨の際に霊的には罪のないものにして、その時まで彼らの霊、魂、体のすべてを保ってくださるよう祈っています。神は忠実であり、必ず約束を果たされるということを彼らに思い出させます。パウロは、愛情の表現である聖なる口づけですべての信者に挨拶しながら、自分のために祈るよう彼らに勧め、自分の手紙が信者の間で公に読まれるように指示しています。

要約すれば、

テサロニケ人への手紙第一の第5章では、キリストの再臨に対する備え、教会内の人間関係、霊的実践について強調しています。

パウロは信者たちに、イエスの再臨に備えて注意深く備えるよう勧めています。彼は彼らに、信仰、愛、希望を持って光の子として生きるよう教えています。

また、教会内での彼らの行動についても言及し、指導者への敬意、互いに平和に暮らし、励ましと支援の行為に従事するよう促した。パウロは、お互いにとって、そしてすべての人にとって良いことを追求することの重要性を強調しています。

この章は、キリストの再臨まで彼らが聖化され、保存されるようにという祈りで終わります。パウロは神の忠実さを確認し、自分自身のために祈りを求めると同時に、自分の手紙を信者の間で公に共有するよう指示しています。この章では、準備の緊急性、教会共同体内の調和のとれた関係の重要性、クリスチャン生活における霊的実践の重要性を強調します。

1テサロニケ5:1 しかし、兄弟たち、時と季節については、私があなたがたに手紙を書く必要はありません。

パウロはテサロニケの人々に、時期や季節について手紙を書く必要はないことを思い出させます。

1. 神のタイミングの性質: 神の完璧なタイミングを認識し、それに応答する方法

2. 神のタイミングを信頼する: どのように待ち、信仰を貫くか

1. 伝道者の書 3:1-8 - すべてのものには季節がある

2. 詩篇 27:14 - 主を待ち望みます。強くなり、勇気を出して主を待ち望みましょう。

1テサロニケ5:2 あなたがた自身、主の日が夜の盗人のように来ることをよく知っています。

主の日は、夜の泥棒のように突然やって来ます。

1. 「主の再臨を待ち望みながら生きる」

2.「主の日の予期せぬ出来事」

1. マタイ 24:42-44 (ですから、あなたがたも備えをしておいてください。あなたがたが考えているような時に、人の子は来ないからです。)

2. ペテロ第二 3:9-10 (一部の人々が怠けていると考えるように、主はご自分の約束に関して怠惰ではありません。しかし、私たち病棟に対して忍耐強く、だれかが滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに至ることを望んでおられます。)

1 テサロニケ 5:3 なぜなら、彼らが「平和だ、安全だ」と言うときだからです。そのとき、子連れの女性に苦難が降りかかるのと同じように、突然の破滅が彼らに降りかかります。そして彼らは逃げないであろう。

人々は安全で安心しているときに突然滅びが訪れると警告されています。

1. 突然の破壊に備えることの重要性

2. 罪に対する神の裁きの現実

1. マタイ 24:36-44 - イエスは人の子の予期せぬ到来について警告しています。

2. ローマ 1:18-32 - 神の怒りは不義に対して明らかにされます。

1テサロニケ5:4 しかし、兄弟たち、あなたがたは暗闇の中にいて、その日があなたがたを盗人のように襲うようなことはありません。

信者は暗闇の中にいるわけではなく、主の日に盗人のように襲われることもありません。

1.「光の中で生きる：予期せぬ災害からの神の加護」

2.「神の主権と主の日」

1. ローマ人への手紙 13:11-14。「そして、現在の時を理解してこれを行いなさい。あなたが眠りから目覚める時はすでに来ています。なぜなら、私たちの救いは私たちが最初に信じた時よりも近づいているからです。」夜はもう終わりに近づいています。その日はもうすぐそこです。だから、闇の行いを脇に置いて、光の鎧を着ましょう。」

2. イザヤ書 26:20-21。「さあ、私の民よ、自分の部屋に入り、後ろでドアを閉めてください。彼の怒りが過ぎるまで、しばらく身を隠しなさい。見よ、主は地上の人々の罪を罰するためにその住まいから出て来られる。地球は彼の怒りの表示を見て、彼の目的を理解するでしょう。」

1テサロニケ5:5 あなたがたは皆、光の子であり、昼の子です。私たちは夜の子でも闇の子でもありません。

私たちは闇の子ではなく、光の子となるべきです。

1: キリストの光 - イエスがどのように私たちの人生を照らし、暗闇から私たちを導き出してくださるか。

2: 神の光を輝かせる - 暗闇に覆われた世界に、私たちはどのようにして希望と真実の光となることができるのか。

1: ヨハネ 8:12 - イエスは言われました、「わたしは世の光です。わたしに従う者は決して暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

2: エペソ人への手紙 5:8 「あなたがたは、かつては闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として生きなさい。」

1テサロニケ5:6 ですから、他の人たちと同じように、私たちも眠ってはいけません。しかし、冷静になって見守りましょう。

私たちは他の人のように眠っているのではなく、常に警戒し続けるべきです。

1. 「目覚めて生きる: 常に警戒し警戒を続けることの重要性」

2. 「禁酒への呼びかけ: 忠実な生活を通じて目覚め続ける」

1. エペソ人への手紙 5:14-16 (死から目覚めて賢明な人生を送るために)

2. 箴言 4:23-27 (私たちの心と思いを神の真理と方向に集中させ続けるため)

1テサロニケ5:7 眠っている者は夜も眠っているのです。そして酔う者は夜も酔う。

私たちは夜に眠気や酩酊に襲われず、冷静で警戒すべきです。

1) 「The Watchful Night: 暗闇の中でも警戒を続ける」

2) 「義人の眠り: 夜の誘惑を避ける」

1) イザヤ書 21:11、「ドゥマの重荷。彼はセイルからわたしに呼びかける、見張りの人、夜はどうしたのですか。見張りの人、夜はどうしたのですか。」

2) エペソ人への手紙 5:14-15、「そこで彼はこう言われた。『眠っている者よ、目を覚ましなさい。死人の中から起き上がりなさい。そうすれば、キリストはあなたに光を与えてくださるでしょう。だから、あなたがたは愚か者としてではなく、賢明者として慎重に歩むように気をつけなさい。」

1テサロニケ5:8しかし、今日の私たちは、信仰と愛の胸当てを着けて、身を慎ましょう。そしてヘルメットには救いの希望が込められています。

今を生きている信者は、身を慎み、信仰、愛、救いの希望という武具を身に着けるべきです。

1. 神の武具を身につける: 信仰と愛の胸当てと救いの兜

2. 素面の生活への呼びかけ: 信者はなぜ素面で生活すべきなのか

1. エペソ人への手紙 6:10-18 - 神の武具

2. テトス 2:11-14 - 地味な生活への呼びかけ

1テサロニケ5:9 神は私たちを怒らせるように定められたのではなく、私たちの主イエス・キリストによる救いを得るよう定められたのです。

神は私たちが神の怒りに直面するのではなく、イエス・キリストによって救われるように定められています。

1. 神の憐れみ: イエス・キリストを通して救いを見つける

2. 神の怒り: 信仰を通じて神の罰を回避する

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 8:1 - したがって、キリスト・イエスにある者たち、つまり肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は何の罪にも定められていません。

1テサロニケ5:10 私たちのために死んでくださったのは、私たちが寝ても覚めても彼とともに生きるためです。

イエスが私たちのために死んでくださったのは、私たちが生においても死においてもイエスとともに生きることができるためです。

1. 私たちはキリストとともに生きるように召されています: 信仰と神との交わりの人生を生きる方法。

2. 永遠の命の賜物：私たちがイエスとともに永遠に生きることを知る祝福。

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. ヨハネ 14:2-3 - 父の家にはたくさんの部屋があります。そうでなかったら、私があなたのために場所を用意しに行くと言ったでしょうか？そして、もし私が行って、あなたのために場所を用意したら、また来て、あなたを自分のところに連れて行きます。そうすれば、私がいる場所にあなたもいるかもしれません。

1テサロニケ5:11 ですから、あなたがたも同じように、一緒に慰め合い、互いに啓発し合いなさい。

クリスチャンは互いに慰め、励まし合うべきです。

1. 「必要なときの神の慰め」

2.「励ましの力」

1. 詩篇 23:4 - たとえ私が最も暗い谷を歩いても、私は悪を恐れません。あなたが私と一緒にいるからです。あなたの杖とあなたの杖が私を慰めてくれます。

2. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

1テサロニケ5:12 兄弟たち、私たちはあなたがたの間で働き、主にあってあなたがたを支配している人々を知り、あなたがたを戒めるようにお願いします。

私たちは主にあって私たちの間で働き、導いている人々を認め、敬意を払わなければなりません。

1. 導いてくれた人々に感謝する: テサロニケ人への手紙第一 5:12 の研究

2. 主に従う者たちに従う: テサロニケ人への手紙第一 5:12 の説明

1. ヘブライ人への手紙 13:17 - あなたを支配している者たちに従い、服従しなさい。なぜなら、彼らは、罪を償わなければならない者たちと同じように、あなたがたの魂が悲しみではなく喜びをもってそれを行えるように、見守っているからである。あなたにとって不利益です。

2. ペテロ第一 5:5 - 同様に、年下の者たちも、年長者に従いなさい。そうだ、あなたがたは皆、互いに服従し、謙虚さを身に着けなさい。なぜなら、神は高慢な者に抵抗し、謙虚な者に恵みを与えられるからである。

1 テサロニケ 5:13 そして、その働きのために彼らを愛をもって非常に高く評価することです。そして、あなた方の間で平和になってください。

私たちはお互いを大切にし、愛し合い、平和に生きるべきです。

1: 私たちは皆、同じ神の家族の一員なのですから、お互いをそのように扱いましょう。

2: 愛と平和は、健康で調和のとれたコミュニティの不可欠な要素です。

1: ローマ人への手紙 12:10 「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。名誉を示すという点でお互いを上回りなさい。」

2: ピリピ 4:2-3 「私はエウオディアとシンティケに、主にあって同意するよう懇願します。そうです、真の友よ、あなたにもお願いします。いのちの書に名前が載っている、クレメンスや残りの同僚とともに福音の中で私とともに働いてきたこの女性たちを助けてください。」

1テサロニケ5:14 兄弟たち、私たちはあなたたちに勧めます。手に負えない者たちに警告し、心の弱い人を慰め、弱い人を助け、すべての人に対して忍耐強くなりなさい。

私たちは周囲の人たちを励まし、サポートし、忍耐強く、すべての人を理解しなければなりません。

1. 励ましの力: どうすればお互いを高め合うことができるか

2. 忍耐の強さ: あらゆる状況でどうやって理解を得ることができるか

1. 箴言 15:1-4 - 優しい答えは怒りを遠ざけますが、厳しい言葉は怒りを引き起こします。

2. ローマ 12:12 - 希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。

1テサロニケ5:15 だれも、だれに対しても悪に悪を与えることがないように気をつけなさい。しかし、あなた自身の間でも、またすべての人々に対しても、常に良いことに従いなさい。

悪に悪を返すのではなく、すべての人間関係において善を追求してください。

1. 愛を選ぶ：すべての人間関係において善を追求する

2. 逆境をチャンスに変える: 良い人生を送る

1. ローマ 12:21 - 悪に負けず、善をもって悪に打ち勝ちましょう。

2. イザヤ書 1:17 - 善を行うことを学びなさい。正義を求め、抑圧を正す。父親のいない人々に正義をもたらし、未亡人の大義を訴えます。

1テサロニケ5:16 いつまでも喜びなさい。

私たちは常に主にあって喜ぶべきです。

1. 主にあって喜ぶ：主にあって真に祝うこととは何を意味するか。

2. 主の喜び：主にあって真の永続する喜びを見出すこと。

1. 詩篇 16:11 - あなたは私に人生の道を知らせてくださいます。あなたの臨在の中には喜びが満ち溢れています。あなたの右手には永遠の楽しみがあります。

2. 詩篇 100:1-2 - 全地よ、主に向かって喜びの声をあげましょう。喜んで主に仕えましょう！歌いながら彼の前に来てください！

1テサロニケ5:17 絶えず祈りなさい。

クリスチャンは絶えず祈ることが奨励されています。

1. 祈りの力: 絶え間ない祈りが私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 絶え間なく祈る：神とのより緊密な関係を実現する

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは、大きな力を持って働きます。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 - 「何事についても心配してはなりません。すべてのことにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。」

1 テサロニケ 5:18 すべてのことにおいて感謝しなさい。これがあなたに関するキリスト・イエスにおける神の御心だからです。

私たちはすべてのことに感謝すべきです。これがイエス・キリストにおける私たちに対する神の御心だからです。

1.どんな状況でも感謝する - 感謝の気持ちを持って生きる

2. 神の御心 - 私たちの人生に対する神の計画に従うこと

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「そして、神がキリストのためにあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも互いに親切にし、心優しく、互いに赦し合いなさい。」

2. 詩篇 100:4 - 「感謝をもって神の門に入り、賛美とともにその庭に入りなさい。神に感謝し、その名を祝福せよ。」

1テサロニケ5:19 御霊を消してはならない。

信者は生活の中で聖霊の働きを抑圧すべきではありません。

1.「精霊の炎を煽る」

2.「魂の火を再燃させる」

1. エペソ人への手紙 5:18、「ぶどう酒に酔ってはなりません。それは放蕩です。御霊に満たされなさい。」

2. ガラテヤ 5:16-17、「しかし、私は言います。御霊に従って歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満足させることはできません。肉の欲望は御霊に反し、御霊の欲望は肉に反するからです。」肉よ、これらは互いに対立しており、あなたがやりたいことをするのを妨げているからです。」

1テサロニケ5:20 預言を軽蔑してはならない。

信者は預言のメッセージを軽視すべきではありません。

1. 預言的メッセージの力: 神は預言者を通してどのように語られるか。

2. 神の声を識別する: 預言的なメッセージを認識し、尊重する方法。

1. 使徒 2:17-21 - 聖霊の注ぎと預言の賜物。

2. エゼキエル 33:7-9 - 監視者に対する神の警告と、民に警告を与える責任。

1テサロニケ5:21 すべてのことを証明してください。良いものをしっかり持ちなさい。

私たちはすべての物事の真実を試し、良いものにしがみつかなければなりません。

1.「識別力：真実を試す」

2.「良いものにしがみつく」

1. ピリピ 4:8-9: 「最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、それに値することがあれば、」

2. ヨハネ 8:31-32: 「それで、イエスはご自分を信じたユダヤ人たちに言われた、『もしあなたがわたしの言葉にとどまるなら、あなたがたはまことにわたしの弟子であり、あなたは真理を知り、真理はあなたを自由にしてくれるだろう』」

1テサロニケ5:22 あらゆる悪の現れを避けなさい。

パウロはクリスチャンに対し、悪とみなされる可能性のあるものはすべて避けるよう勧めています。

1.「悪の出現を避ける：聖性への呼びかけ」

2. 「誠実に生きる：悪を避ける」

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、あなたは私の戒めを守るでしょう。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

1テサロニケ5:23そして平和の神そのものがあなたを完全に聖別してくださいます。そして私たちの主イエス・キリストが来られるまで、あなたの霊と魂と体のすべてが罪のない状態で保たれるように神に祈ります。

パウロは、テサロニケの人々が聖化され、イエス・キリストの到来のために罪のない状態に保たれるように祈ります。

1.「聖化と無罪：イエスの再臨に備える」

2. 「霊、魂、体全体：終わりの日に神聖さを保つ」

1. エペソ人への手紙 4:22-24 - 「あなたがたは、欺瞞的な欲望に従って堕落した古い人との以前の会話について脱ぎ捨て、心の霊において新たになり、新しい人を着なさい。それは神が義と真の聖さのうちに創造された後である。」

2. ペテロ第一 1:13-16 「だから、心に帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの啓示によってもたらされる恵みを最後まで待ち望みなさい。従順な子供としてではなく、「あなたがたは、無知なまま前者の欲望に従って自分を形作っている。しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもあらゆる会話において聖でありなさい。なぜなら、『あなたがたは聖でありなさい』と書いてあるからである。わたしは聖であるからである。」

1テサロニケ5:24 あなたを呼ぶ者は忠実であり、彼もまたそれを実行します。

この聖句は、神は忠実であり、約束を必ず守ってくださるということを信者に勧めています。

1. 「神の忠実さ: 慰めと希望の源」

2. 「忠実であり続け、神を信頼しなさい」

1. イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいる。そして川を通るとき、水はあなたを圧倒しない。あなたが火の中を歩くとき、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはない。」

2. ヘブライ 10:23 「私たちは、揺るがずに希望の告白をしっかりと持ち続けましょう。約束された方は真実だからです。」

1テサロニケ5:25 兄弟たち、私たちのために祈ってください。

テサロニケ人への第一の手紙の著者は、兄弟たちに自分のために祈るよう求めています。

1. 神は、神に献身的な人々の祈りに常に答えます。

2. 祈りはクリスチャンの霊的な旅の重要な部分です。

1. ピリピ人への手紙 4:6-7: 「何事についても心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝を込めて神に願いを捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

2. ヤコブ 5:16: 「ですから、互いに罪を告白し、いやされるようにお互いのために祈りなさい。義人の祈りは力強く、効果的です。」

1テサロニケ5:26 聖なる口づけをもってすべての兄弟たちに挨拶してください。

使徒パウロは信者たちに、愛と平和の聖なる接吻をもって互いに挨拶するよう勧めています。

1.「聖なるキスの力」

2.「聖なる口づけの祝福」

1. ローマ人への手紙 16:16 - 「聖なる口づけをもって互いに挨拶しなさい。」

2. ペテロ第一 5:14 - 「愛の口づけをして互いに挨拶しなさい。」

1テサロニケ5:27 この手紙がすべての聖なる兄弟たちに読まれるよう、主に誓ってあなたにお願いします。

パウロは読者に、仲間の信者全員にこの手紙を読むよう命じています。

1. キリストにある兄弟姉妹として一緒に聖書を読むことの重要性。

2. パウロの手紙が今日の信者にとってどのように重要であり続けているか。

1. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿るようにしましょう。詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で主に向かって優雅に歌いましょう。

2. ヘブライ 10:24-25 - そして、愛と良い行いを促すためにお互いを考慮しましょう。ある人々のやり方のように、自分自身が一緒に集まることを放棄しないでください。しかし、互いに励まし合っているのです。その日が近づいているのが分かると、なおさらです。

1テサロニケ5:28 私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがたにありますように。アーメン。

パウロはテサロニケの人々に祝福を送り、主イエス・キリストからの恵みを祈ります。

1. 祝福の力: テサロニケの人々に対するパウロの祝福の重要性を理解する

2. イエスからの恵み: 神の豊かな恵みを受け取り、感謝することを学ぶ

1. エペソ人への手紙 1:7-8 - 「私たちはこの方にあって、その血による救い、すなわち、神が私たちに惜しみなく与えてくださった豊かな恵みに応じて、私たちの罪の赦しを得ています。」

2. ローマ人への手紙 5:20-21 - 「さて、律法は罪を増やすために設けられましたが、罪が増えると恵みがますます豊かになり、罪が死を支配するように、恵みも義を通して支配し、永遠の命に導くことができるようになりました」私たちの主イエス・キリストを通して。」

テサロニケ第二 1 章は、使徒パウロがテサロニケの信者に宛てて書いた第 2 の手紙の最初の章です。この章でパウロは、迫害の真っただ中にあるテサロニケの信者たちに励ましと保証を表明し、神に敵対する人々に対する神の正しい裁きを断言します。

第 1 段落: パウロは、テサロニケの信徒たちの信仰と愛の成長を賞賛することから始めます (2 テサロニケ 1:1-4)。彼は、神の義なる裁きの証拠である苦難や迫害に直面したときの彼らの忍耐を認めています。パウロは、彼らの苦しみは無駄ではなく、神の正義と彼らが神の王国にふさわしいことの証しであると彼らに保証します。

第 2 段落: パウロはテサロニケ人たちに、神は彼らを苦しめる人々に公正に対処してくださると安心させます (2 テサロニケ 1:5-10)。彼は、キリストが再臨されるとき、抑圧されている信者たちに安らぎをもたらすとともに、彼らを悩ませている者たちを罰するだろうと説明している。この懲罰は神の臨在から離れた永遠の滅びを特徴とし、悪を行う者に対する神の正しい裁きを示します。

第 3 段落: この章は、テサロニケの信者の継続的な霊的成長への祈りで終わります (2 テサロニケ 1:11-12)。パウロは、神が彼らを神の召しに値するとみなし、神の力によって彼らが持つあらゆる良い目的を達成してくださるよう祈ります。彼は、神の恵みに従って、イエスの名が彼らの中で、そして彼らがイエスの中で栄光を受けることを望んでいます。最後に、彼は、生涯を通じてイエスの栄光が現われるように、信仰を実践し続けるよう彼らに勧めています。

要約すれば、

テサロニケ第二章の第 1 章では、迫害のさなかに励ましを与え、神の義なる裁きを断言します。

パウロはテサロニケの信者たちが苦難の中での忍耐によって示された信仰と愛の成長を称賛しています。

彼は、キリストが再臨されるとき、神は抑圧されている人々に救いをもたらし、彼らを悩ませる人々を罰してくださるだろうと彼らを安心させた。この罰は神の臨在から離れた永遠の滅びを特徴とします。

パウロは、彼らが神の目的を達成し、イエスの名に栄光をもたらすことを願い、彼らの霊的成長のための祈りで締めくくっています。この章では、迫害における信者の忍耐、悪を行う者に対する神の正義、そしてイエスの栄光のために信仰を実践することの重要性を強調しています。

2テサロニケ1:1 パウロ、シルワノ、テモテウス、私たちの父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケの教会に。

パウロ、シルワヌス、ティモテウスはテサロニケの教会に挨拶し、父なる神とイエス・キリストを主であることを認めます。

1.「父なる神とイエス・キリストを主と認める」

2.「教会における挨拶の力」

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ。」、私は世の終わりまで、いつもあなたと一緒にいます。」

2. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「なぜなら、イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるからです。人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからである。」

2テサロニケ1:2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、あなたがたに恵みと平安がありますように。

パウロはテサロニケの信者たちに父なる神と主イエス・キリストから恵みと平和の挨拶を送ります。

1. 神の平和と恵み - どのように神の愛を受け取り、分かち合うか

2. 神の恵みと平安を体験する - 神との関係を育む方法

1. ローマ 5:1 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。

2. コロサイ 3:15 - そして、キリストの平和があなたがたの心を支配しなさい。あなたがたはまさに、一つの体としてその平和に召されたのです。そして感謝しましょう。

2 テサロニケ 1:3 兄弟たち、私たちはいつもあなたたちのために神に感謝しなければなりません。なぜなら、あなたたちの信仰が非常に成長し、あなたたち一人一人の互いに対する慈愛が満ち溢れているからです。

テサロニケの人々は、その信仰と相互慈善の成長が称賛されています。

1. 信仰と慈善の力

2. 相互支援: 交わりの祝福

1. ローマ 15:14 - そして私自身も、兄弟たち、あなたがたは善意に満ちており、すべての知識に満たされており、互いに戒めることもできると確信しています。

2. ガラテヤ 6:2 - 互いに重荷を担い、そのようにしてキリストの律法を全うしましょう。

2テサロニケ1:4 それで、あなたがたが耐えているすべての迫害と艱難に対する忍耐と信仰を、私たち自身が神の諸教会においてあなたがたに誇りとします。

テサロニケの人々は、迫害と苦難に直面したときの信仰と忍耐が称賛されました。

1. 忍耐と信仰の力: 永続的な迫害がどのように私たちの信仰を強めるか

2. 立ち直る力の強さ：困難に直面しても希望を持ち続ける方法

1. ヘブライ 10:36 - 神のご意志を行ったときに約束を受けられるように、あなたには忍耐が必要だからです。

2. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。そして、私たちに与えられた聖霊を通して神の愛が私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

2テサロニケ1:5 これは、あなたがたが神の国にふさわしい者とみなされるための、神の義の裁きの明らかなしるしであり、そのためにあなたがたも苦しんでいます。

信者の苦しみは神の義の裁きのしるしであり、信者が神の王国に入るのにふさわしい者とされるのです。

1. 神の裁きを信頼する: 王国のために苦しみを受け入れる方法

2. 信仰の忍耐: 王国にふさわしい者であり続けるにはどうすればよいか

1. ローマ人への手紙 8:17-18 - そして子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

2. ヤコブ 1:2-3 - 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。

2テサロニケ1:6 あなたがたを悩ませている者たちに艱難を報いるのは神にとって正しいことであることを知っています。

神は義人たちに迷惑をかける者たちに報いるでしょう。

1. 神は正義の裁判官であり、常に正義を守ります。

2. 神の正義は確かであり、不当な扱いを受けている人々に必ず復讐します。

1. ローマ 12:19 - 「親愛なる友人たち、復讐をしてはなりません。むしろ、神の怒りを招く余地を残しておいてください。『復讐するのはわたしの仕事である。わたしが報復する』と主は言われるからです。」

2. 詩篇 7:11 - 「神は正しい裁判官であり、日々怒りを表される神です。」

2テサロニケ1:7 そして、悩んでいるあなたがたは、主イエスがその強力な天使たちとともに天から現れるとき、私たちとともに休んでください。

悩んでいる信者たちは、主イエスが天使たちとともに天から現されるとき、安らぎを得るでしょう。

1. 天国の希望：主の再臨に安息を見出す

2. 困難を克服する：主の力に頼る

1. 黙示録 21:3-4 - そして、私は王座からこう言う大きな声を聞きました。「見よ、神の住まいは人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らは神の民となり、神ご自身が彼らの神として彼らとともにおられるでしょう。神は彼らの目からすべての涙をぬぐい去ってくださるでしょう。そうすれば、死はもはやなくなり、悲しみも叫びも痛みもなくなります。以前のものは過ぎ去ったからです。」

2. 詩篇 55:22 - あなたの重荷を主に委ねなさい。そうすれば主はあなたを支えてくださるでしょう。神は義人が動かされることを決して許しません。

2テサロニケ1:8 燃える火の中で、神を知らず、私たちの主イエス・キリストの福音に従わない者たちに復讐します。

神は神を知らず、神に従わない者たちに復讐します。

1. 私たちは神を知らず、従わない者に数えられないようにしましょう。

2. 主はご自身の権威を認めない者を裁かれます。

1. マタイ 18:23-35 - 容赦のない僕のたとえ

2. ローマ人への手紙 2:12-16 - 罪人に対する神の裁き

2テサロニケ1:9 誰が主の臨在とその力の栄光から永遠の滅びの罰を受けるであろう。

神の御心に従わない者は、主の御前とその栄光と力から永遠の滅びの罰を受けるでしょう。

1. 不従順の結果: 神の罰の厳しさを理解する

2. 義への呼びかけ: 神の怒りによる永遠の破壊についての警告

1. ローマ 2:5-9 しかし、あなたはかたくなで悔い改めない心のせいで、神の正しい裁きが明らかにされる怒りの日に、自分のために怒りを蓄えているのです。

2. ヘブライ 10:31 生ける神の手に落ちるのは恐ろしいことです。

2テサロニケ1:10 その日、彼はその聖徒たちの中で栄光を受け、信じるすべての者たちの中で賞賛されるようになります（なぜなら、あなたがたの間での私たちの証言が信じられたからです）。

キリストの再臨の日、聖徒たちの証しを信じた信者たちは、すべての人から栄光を受け、賞賛されるでしょう。

1. 栄光の日: キリストの再臨に備える

2. 信じるとはどういう意味か: 聖徒たちの証を祝う

1. コリント人への第二の手紙 5:10 - 私たちは皆、キリストの裁きの座の前に出なければなりません。それは、良いことであろうと悪いことであろうと、自分が行ったことに応じて、すべての人が自分の体で行われたことを受け取ることができるようにするためです。

2. ローマ人への手紙 8:17 - そして子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

2テサロニケ1:11 したがって、私たちはまた、あなたがたのためにいつも祈っています。私たちの神があなたをこの召しにふさわしいとみなして、神の善良さによるすべての喜びと信仰の働きを力強く満たしてくださいますように。

パウロは、テサロニケの人たちがその召命に応え、彼らに対する神の良い目的が果たせるよう神が助けてくださるようにと祈りました。

1. 神の善なる目的: 私たちの使命にどのように応えるか

2. 信仰の力: 神に従うとはどういう意味か

1. エペソ 2:10 - 私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られ、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ用意してくださったのです。

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようになります。

2テサロニケ1:12 それは、私たちの神と主イエス・キリストの恵みによって、私たちの主イエス・キリストの御名が、あなたがたのうちに、またあなたがたがキリストのうちに栄光を受けるためです。

神とイエスの恵みに従って、イエスの御名は私たちのうちに、そして私たちのうちに栄光が讃えられるべきです。

1. 恵みによって生きる: 主イエス・キリストの恵みがあなたの人生をどのように変えることができるか

2. キリストを讃える：主イエス・キリストを賛美する力

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です。

2. ペテロ第一 4:11 - 語る者は誰でも、神の託宣を語る者として。仕える者は、神が与えてくださる力によって仕える者として、あらゆることにおいて神がイエス・キリストを通して栄光を受けるためです。

テサロニケ第二 2 章は、使徒パウロがテサロニケの信者に宛てて書いた第 2 の手紙の第 2 章です。この章では、パウロは主の再臨に関する懸念に言及し、誤解を明らかにし、欺瞞に対して警告しています。

第 1 段落: パウロは、テサロニケの信徒の間に混乱を引き起こした偽りの教えについて述べることから始めます (2 テサロニケ 2:1-4)。彼は彼らに、主の日がすでに到来したと主張する報道に簡単に驚かされたり、騙されたりしないようにと勧めています。彼は、キリストの再臨の前に、反逆と、一般に「反キリスト」と呼ばれる不法の人物の暴露が起こらなければならないと説明しています。この人物は神よりも自分を高め、しるしや不思議な業を行い、真理を愛さない人々を欺きます。

第 2 段落: パウロはテサロニケ人たちに、これらの事柄に関する彼の以前の教えについて思い出させます (2 テサロニケ 2:5-12)。彼は彼らに、自分が一緒にいたときに話したことを覚えておくべきだと言いました。不法行為の謎はすでに進行していましたが、約束の時までそれを阻止する力があったのです。その拘束が外されるとき、この不法の男の姿が明らかになるでしょう。しかし、イエスが栄光の到来とともに最終的に彼を滅ぼすことになるため、彼の統治は一時的なものになります。

第 3 段落: この章は、堅固さへの励ましと神の愛を思い出させることで終わります (2 テサロニケ 2:13-17)。パウロは、御霊による聖化と真理への信仰による救いのためにテサロニケの信者を選んでくださった神に感謝の意を表します。イエスは信仰にしっかりと立ち、書かれたものであれ、口で語られたものであれ、その教えをしっかりと守り続けるよう彼らに勧めています。最後に、彼は神の恵みによる彼らの慰めと力を祈り、あらゆる良い仕事に取り組むよう彼らの心を励ましています。

要約すれば、

テサロニケ人への手紙第二の第2章では、主の再臨についての懸念が述べられ、欺瞞に対して警告されています。

パウロは、キリストの再臨の前に反逆と不法の男の暴露が起こらなければならないことを明確にしています。同氏は信者に対し、誤報に簡単に騙されないよう呼び掛けている。この人物は神よりも自分を高め、真理を愛さない人々を欺きます。

パウロはこれらの問題に関する以前の教えを彼らに思い出させ、イエスが最終的に彼を滅ぼすため、この男の統治は一時的なものであると彼らに保証します。彼は信仰における堅固さと神の愛と救いへの感謝を奨励します。

この章は、神の恵みによる慰め、力、励ましを求める祈りで終わります。この章では、識別力、信仰にしっかりと立つこと、そして潜在的な欺瞞の中で神の約束に確信を見出すことの重要性を強調しています。

2テサロニケ2:1 兄弟たち、わたしたちは、わたしたちの主イエス・キリストが来られ、わたしたちが主のもとに集まることによって、あなたがたに懇願します。

使徒パウロは兄弟たちに、主イエス・キリストの来臨とそのもとに集まる備えをするよう呼びかけています。

1. 主の再臨: 準備はできていますか?

2. キリストのもとに集まるために心を備える

1. マタイ 24:44、「ですから、あなたがたも備えていなければなりません。人の子はあなたがたが予期しない時に来るからです。」

2. ヘブライ 10:25、「ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、互いに励まし合い、その日が近づいているのを見るとなおさらです。」

2テサロニケ2:2 あなたがたは、キリストの日が近づいているということで、霊によっても、言葉によっても、私たちからの手紙によっても、すぐに心が動揺したり、悩んだりしないようにしなさい。

この一節はクリスチャンに、キリストの日が近いという誤った教えに惑わされないよう注意を促しています。

1. 誤った教えに対して毅然と立ち向かう

2. 欺瞞的なメッセージに騙されないでください

1. コリント人への第一の手紙 16:13 - 目を覚まして、信仰にしっかりと立ち、人間らしく行動し、強くありなさい。

2. マタイ 24:24 - 偽キリストと偽預言者が立ち上がり、可能であれば選ばれた人々さえも惑わすために、大きなしるしや不思議なわざを行うからです。

2テサロニケ2:3 いかなる手段を使っても、人に騙されないでください。その日は、まず堕落が来て、その罪の人、滅びの子が明らかにされない限り、来ないからです。

一節 この一節は、堕落と罪の人間が明らかにされるまでキリストの再臨は来ないので、だまされないように警告しています。

1. 欺瞞の危険性: キリストの再臨のタイミングを理解する

2. 終わりの兆しを認識する: 堕落と罪の男

1. ローマ 16:17-18 - 兄弟たち、今私はあなたたちにお願いします。あなたたちが学んだ教義に反して分裂や違反を引き起こす者たちに注意してください。そしてそれらを避けてください。そのような者たちは、私たちの主イエス・キリストではなく、自分の腹に仕えているからです。そして、良い言葉と公正なスピーチによって、素朴な人々の心を欺きます。

2. エペソ人への手紙 5:11-12 - そして、実を結ばない暗闇の業とは交わらず、むしろ彼らを叱責しなさい。なぜなら、彼らに対して秘密裏に行われていることについて話すことさえ恥ずべきことだからである。

2テサロニケ2:4 神と呼ばれるもの、あるいは崇拝されているものすべてに敵対し、自分を高く評価する者。それで彼は神として神の神殿に座り、自分が神であることを示すのです。

この箇所は、神に敵対し、自分を神以上に高め、神の神殿に座り、自分が神であることを示している人について語っています。

1. 高慢の危険: テサロニケ第二 2:4 からの警告

2. 偽りの神に気をつけなさい: テサロニケ第二 2:4 の意味を理解する

1. 箴言 16:18 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

2. イザヤ書 14:12-14 - 「朝の子ルシファーよ、あなたはなんと天から落ちたのでしょう。国々を弱らせたあなた、なんとあなたは地に打ち倒されるのです。あなたは心の中でこう言ったからです。『わたしは』と。天に昇ります、私は神の星々の上に自分の玉座を高めます、私はまた北の最果ての会衆の山に座ります、私は雲の高さよりも上に昇ります、私は至高者のようになるでしょう高い。'"

2テサロニケ2:5 覚えていないのですか、私がまだあなたがたのところにいたときに、これらのことをあなたがたに話したのです。

パウロはテサロニケの人々に、直接会ったときに伝えた警告と情報を思い出させました。

1. 記憶の力: 最も重要なことを思い出す方法

2. パウロの例: 神の真理を見直すことの重要性

1. 詩篇 119:11 - 「私はあなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心に蓄えました。」

2. テモテ第二 3:16 - 「聖書はすべて神によって吹き出されたものであり、教え、戒め、矯正し、義を訓練するのに有益です。」

2テサロニケ2:6 さて、あなたがたは、イエスがその時代に明らかにされるために何が差し控えられているかを知っています。

この一節は、将来、時が来れば明らかになるであろう謎の人物について言及しています。

1: 神は私たち一人ひとりに計画を持っており、私たちは忍耐強く神のタイミングを信頼しなければなりません。

2: 私たちは、神が適切な時期にこの姿を明らかにし、神の到来に備えてくださるという信仰を持たなければなりません。

1: イザヤ書 55:8-9 「わたしの思いはあなたの思いではなく、あなたの道は私の道ではない、と主は言われる。天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いからです。」

2: 詩篇 27:14 「主を待ち望みなさい。勇気を出してください。そうすれば主はあなたの心を強めてくださいます。主を待ち望みなさい。」

2テサロニケ2:7 不法行為の奥義はすでに働いているからです。ただ、今行おうとする者だけが、邪魔から取り除かれるまでそれを許すのです。

悪の謎はすでに働いていますが、拘束具が外されるまで拘束されています。

1.「目に見えない悪の力」

2.「悪の抑制者」

1. マタイ 8:28-34 - 悪霊を追い出すイエスの力

2. コリント第二 10:4-5 - 悪の勢力と戦うために使用される霊的武器

2テサロニケ2:8 そして、その悪しき者が明らかになり、主はその口の霊によって彼を焼き尽くし、来臨の輝きによって滅ぼされるであろう。

主は再臨されるとき、悪者に終止符を打たれます。

1. 主の再臨: 邪悪な時代における私たちの希望

2. 主の再臨における私たちの守り

1. イザヤ書 11:4 - 「しかし、神は義をもって貧しい者を裁き、地の柔和な者たちを公平に裁く。口のむちで地を打ち、唇の息で殺す。」ウィキッド。"

2. ローマ人への手紙 12:19 - 「愛する人よ、決して自分で復讐してはなりません。神の怒りを受け入れる余地を残しておきなさい。『復讐はわたしにある、わたしが報います』と主は言われるからです。」

2テサロニケ2:9 あらゆる力としるしと偽りの奇跡を伴うサタンの働きの後に来られる方ですら、

パウロはテサロニケの人々に、サタンの霊感を受けて奇跡のしるしや不思議を伴う教えを教える偽教師や偽預言者に注意するよう警告しました。

1. 偽預言者に騙されないでください - テサロニケ第二 2:9

2. 真実と嘘を見分ける - テサロニケ第二 2:9

1. 箴言 14:15 - 「素朴な人はすべてを信じるが、思慮深い人は自分の歩みをよく考える。」

2. ヨハネ第一 4:1 - 「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出てきているからです。」

2テサロニケ 2:10 そして、滅びる者たちの中には、欺瞞に満ちた不正が存在します。なぜなら、彼らは救われるための真理の愛を受け取らなかったからです。

真理の愛を受け取らない人は、不義と欺瞞のせいで滅びます。

1. 真実の力: 真実の愛を受け取るための呼びかけ

2. 欺瞞と不義: 真実を無視することの危険

1. ローマ 1:18-32 - 神の怒りは、不義の中で真理を抑圧する人間のあらゆる不敬虔と不義に対して天から明らかにされるからです。

2. ヨハネ 8:31-32 - それからイエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしあなたがわたしの言葉に留まるなら、あなたはまさにわたしの弟子だ。そうすればあなたは真理を知り、真理はあなたを自由にするだろう。」

2 テサロニケ 2:11 このため、神は彼らに強い妄想を送り、彼らが嘘を信じるようにするでしょう。

神は真実を信じない人々に強い妄想を送り、彼らに嘘を信じさせるでしょう。

1. だまされる危険 - 偽りの教えを認識し、それに抵抗する方法

2. 真理の力 - 救いにはなぜ真理を信じることが不可欠なのか

1. 箴言 14:12 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死の道である。」

2. ヨハネ 8:31-32 - 「もしあなたがわたしの言葉に留まるなら、あなたがたはまさにわたしの弟子であり、真理を知り、真理はあなたを自由にするでしょう。」

2テサロニケ2:12 それは、真理を信じず、不義を楽しんだ者たちが皆、呪われるためである。

神は真理を受け入れることを拒否し、不義を喜ぶ人たちを罪に定めます。

1. 真理の拒否: 不義を喜ぶ者に対する神の怒り

2. 不義に対する義: 真理を信じない者に対する神の裁き

1. ローマ 1:18-25 - 真理を拒む者に対する神の怒りについてのパウロの記述

2. ヨハネ 3:16-17 - イエス・キリストを信じる者に対する神の愛と、信じない者に対する神の裁き

2テサロニケ 2:13 しかし、主に愛されている兄弟たち、私たちはあなたたちのために常に神に感謝しなければなりません。なぜなら、神は最初から、御霊の聖化と真理の信仰による救いのためにあなたたちを選んだからです。

神は、真理と御霊の聖化への信仰を通して救いを受けるためにテサロニケ人を選ばれました。

1. 神の民に対する驚くべき愛: 神はどのようにして私たちを救いのために選んだのか

2. 御霊の力: 聖化と真理への信仰を経験する

1. ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. エペソ 2:8-10 - あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。そのため、誰も誇ることができません。

2テサロニケ2:14 そこで彼は、私たちの主イエス・キリストの栄光を得るため、私たちの福音によってあなたがたを呼びました。

主イエス・キリストは、福音を通して主の栄光を得るために私たちを招いておられます。

1. 栄光を得る福音の力

2. 主の召し: 主の栄光を得るために

1. ローマ人への手紙 8:17-19 - そして子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

2. コロサイ 3:4 - 私たちのいのちであるキリストが現れるとき、あなたがたもキリストとともに栄光のうちに現れるでしょう。

言葉であれ、手紙であれ、あなたがたが教えられた伝統を守りなさい。

クリスチャンは信仰を堅く保ち、口伝えであれ書面であれ、教えられた教えを守ることが奨励されています。

1. 「信仰に堅く立ちなさい：神の教えを守りなさい」

2. 「信念を堅持せよ: 主の伝統を守りなさい」

1. ヨハネ 8:31-32 「それから、イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、『もしあなたがわたしの言葉に留まるなら、あなたたちはまさにわたしの弟子だ』。」そうすればあなたは真実を知り、真実はあなたを自由にするでしょう。」

2. ヘブライ 10:23-25 「約束された方は真実ですから、揺るがずに希望を告白しましょう。そして、愛と良い行いをかき立てるためにお互いを思いやり、ある人々のやり方のように、集まることを放棄するのではなく、お互いに励まし合い、その日が近づいているのを見るとなおさらです。」

2テサロニケ2:16 さて、私たちの主イエス・キリストご自身、そして私たちを愛し、恵みによって永遠の慰めと良い希望を与えてくださった私たちの父なる神よ、

私たちの主イエス・キリストと父なる神は、恵みを通して私たちに永遠の慰めと良い希望を与えてくださいました。

1. 恵みの永遠の慰め - 神の約束に見出される安心感と希望を探求します。

2. 愛の力 - 神の愛と、それが必要なときにどのように力を与えるかを考察します。

1. ローマ 8:37-39 - いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物のいかなるものも、私たちを神の愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスのうちにあるのです。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主に望みを持つ者は力を新たにします。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

2テサロニケ 2:17 あなたがたの心を慰め、あらゆる良い言葉と働きを安定させてください。

この聖句は信者が信仰において慰められ、良い言葉と行いを確立するよう勧めています。

1.「信仰による慰め」

2.「善行と言葉」

1. ヨハネ 14:27 - 「わたしは平安をあなたたちに残します。わたしの平安をあなたたちに与えます。わたしは世が与えるようにあなたたちに与えません。あなたたちの心を騒がせてはならず、恐れてはいけません。」

2. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟姉妹たち、信仰があると言いながら行いを持たない人がいたら、何の役に立つのでしょう。そのような信仰が彼らを救えるでしょうか。ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物もないとしましょう。もしあなたがたの誰かが彼らに、「安心して行きなさい。暖かくして十分な食事をしなさい」と言いながら、彼らの肉体的な必要について何もしてくれなかったら、それが何の役に立つでしょうか?同じように、信仰が行動を伴わないなら、信仰だけでも、死んでいる。"

テサロニケ第二 3 章は、使徒パウロがテサロニケの信者に宛てて書いた第 2 の手紙の 3 番目で最後の章です。この章では、パウロは教会内の怠惰、無秩序な行為、誤った教えに関連する具体的な問題を取り上げています。

第 1 段落: パウロはテサロニケの信者たちに、自分とその仲間たちのために祈るよう勧めています (2 テサロニケ 3:1-5)。彼は、神のメッセージが急速に広まり、他の人々の間で尊重されるように祈りを求めています。彼は、主が彼らを悪から守り、あらゆる良い業において彼らを強めてくださる忠実さに確信を表明してい

ます。パウロはまた、怠惰に過ごすのではなく、熱心に働くことによって彼の模範に従うよう彼らに勧めています。

第 2 段落: パウロは教会内の無秩序な行為についての懸念に言及しています (2 テサロニケ 3:6-15)。彼は、彼らと一緒にいたときの自分自身の行動、つまり誰にも負担をかけずに昼も夜も一生懸命働いていたことを彼らに思い出させます。神は怠惰で神から受けた伝統に従って生きていない人々に対して警告しています。パウロは、働きたくない人は食べてはならないと教えています。イエスは正しいことを行うことに疲れないように勧め，むしろ手に負えない者たちを戒めます。

第 3 段落: この章は、団結、平和、忍耐への最後の勧告で終わります (2 テサロニケ 3:16-18)。パウロは、平和の主ご自身がいつでも、あらゆる方法で彼らに平和を与えてくださるよう祈ります。彼は、自分の挨拶が本物であることのしるしとして自分の手で書かれていることを強調しています。最後にイエス・キリストからの恵みで彼らを祝福します。

要約すれば、

テサロニケ人への手紙第二の第 3 章では、教会内の怠惰、無秩序な行為、誤った教えについて取り上げられています。

パウロは、信者を守り強めてくださる神の忠実さに確信を表明しながら、神のメッセージが他の人々の間に急速に広まるように祈るよう勧めています。彼は勤勉に働くことを奨励し、怠惰を戒めています。

パウロは秩序を乱す行為に言及し、自分自身の勤勉な模範を思い出させます。働きたくない人は食べてはいけないと教え、正しいことをすることに疲れないよう勧めています。彼は団結、平和、忍耐の重要性を強調しています。

この章は、平和への祈り、パウロからの真の挨拶、そしてイエス・キリストからの恵みの祝福で終わります。この章では、教会共同体内での勤勉さ、秩序、そして健全な教えの遵守の重要性を強調します。

2テサロニケ3:1 最後に、兄弟たち、あなたたちと同じように、主の言葉が自由に伝わり、栄光を受けるように、私たちのために祈ってください。

著者は、主の御言葉が読者の間で広まり、栄光を受けることができるように、読者のために祈るよう勧めています。

1. 祈りの力：主の言葉を広めるのにどのように貢献できるか

2. 主の御言葉の重要性: どのように讃美されるべきか

1. ルカ 18:1 - 「そしてイエスは、この目的のために、人々にたとえを話されました。人々は常に祈っていて、気を失ってはなりません。」

2. 詩篇 138:2 - 「私はあなたの聖なる神殿に向かって礼拝し、あなたの慈愛とあなたの真実のためにあなたの御名をたたえます。あなたはあなたの御名すべてにまさって御言葉を尊ばれたからです。」

2テサロニケ3:2そして、理不尽で邪悪な人々から私たちが救われますように。すべての人が信仰を持っているわけではないからです。

パウロはテサロニケ教会が信仰のない人々から救われるように祈っています。

1. 神の守り - 神はどのように私たちを世の邪悪から守ってくださるのか

2. 信仰 - 私たちを守り、支える神への信仰の力

1. 詩篇 91:11 - 神はあなたの天使たちに、あらゆる道であなたを守るよう命じるからです。

2. コリント人への第二の手紙 12:9 - しかし、彼は私にこう言いました、「私の恵みはあなたに十分です。私の力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」

2テサロニケ3:3 しかし、主は真実な方であり、あなたを安定させ、悪から守ってくださいます。

主は真実な方であり、私たちを悪から守ってくださいます。

1: 神の忠実さは慰めと安全の源です。

2: 私たちは主が悪から守ってくださると信頼できます。

1: イザヤ書 46:4 - あなたの老後もわたしは彼です。髪の毛が生えても私はあなたを運びます：私は作りました、そして私は耐えます。わたしでもあなたを運び、あなたを救い出します。

2: 詩篇 91:10 - 災いがあなたに降りかかることはなく、あなたの住居の近くに疫病が来ることもありません。

2テサロニケ3:4そして私たちは、主があなたがたに触れられて、あなたがたが二人とも私たちが命じることを実行し、そして実行するであろうと確信しています。

著者は、テサロニケの人々が与えられた命令に従順であることに自信を表明しています。

1. 神の命令に忠実であり続ける: 忠実に生きる

2. 従順の人生: 神の意志に従う力

1. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって実行者ではないとしたら、その人は鏡で自分の自然な顔を観察している人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を観察し、立ち去ってしまい、自分がどんな人

間だったのかをすぐに忘れてしまうからです。しかし、完全な自由の法則を見つめ、それを継続し、聞き忘れる者ではなく、その働きを行う者は、その行いにおいて祝福されるであろう。」

2. マタイ 7:21-23 - 「わたしに『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るわけではありませんが、天におられるわたしの父の御心を行う者が天の御国に入るのです。」その日、多くの人が私にこう言うだろう、「主よ、主よ、私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行いませんでしたか？」そして私は彼らにこう宣言します、「私はあなたのことを知りませんでした。私はあなたのことを知りませんでした。」不法行為を行う者よ、私から離れなさい。」

2テサロニケ3:5そして主は、あなたがたの心を神の愛と、キリストを待ち望んでいる患者に向けてくださいます。

主は私たちに、神を愛し、辛抱強くキリストを待つことに心を向けるよう求めておられます。

1.「愛と忍耐の力」

2.「主の御心に生きる」

1. ローマ 5:8 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。」

2. ヤコブ 5:7-8 「ですから、兄弟たち、主が来られるまで辛抱してください。農夫が、早い雨と遅い雨が降るまで、大地の貴重な実りを辛抱強く待っている様子を見てください。あなたも、我慢してください。主の来臨が近づいているから、心をしっかり立てなさい。」

2テサロニケ3:6 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの御名において、私たちはあなたがたに命じます。あなたがたは、兄弟が私たちから受けた言い伝えに従うのではなく、無秩序に歩むすべての兄弟から身を引いてください。

パウロはテサロニケの人々に、イエスの教えに従わない人々から離れるように命じました。

1. 分離の力: イエスに従うことを拒否する人々から識別力を切り離す方法を学ぶ

2. 従順の祝福: イエスに従うことを拒否する人々から慎重に距離を置くという規律を受け入れる

1. ヨシュア記 24:15 「そして、主に仕えることがあなたにとって悪いことであると思われるなら、今日あなたが仕える人を選んでください。洪水の向こう側にいたあなたたちの先祖が仕えていた神々であれ、あなたたちが住んでいる土地であるアモリ人の神々であれ、しかし、私と私の家に関しては、私たちは主に仕えます。」

2. 箴言 11:28 「自分の富に頼る者は倒れる。しかし正しい者は枝のように栄える。」

2テサロニケ3:7 あなたがたがどのように私たちに従うべきかをあなたがた自身が知っているからです。私たちはあなたがたの間で無秩序な振る舞いをしたわけではありません。

パウロはテサロニケの教会に対し、パウロが教会の中で秩序正しく行動したので、その模範に従うよう指示しています。

1. 良い模範の力 - パウロの行動がテサロニケの人々にどのような影響を与えたか

2. 歩みを進める - パウロとイエスの模範に倣う

1. ヨハネ 13:15 - 「わたしがあなたがたにしたように、あなたがたも行うよう、模範を示しました。」

2. ペテロ第一 5:3 - 「神の遺産の支配者としてではなく、群れの模範としてです。」

2テサロニケ3:8 また、わたしたちはだれのパンもただで食べたわけではありません。しかし、私たちはあなた方の誰にも請求されないように、昼も夜も労働と労苦を費やして働いてきました。

使徒たちはテサロニケの人々に経済的な負担をかけないよう、昼も夜も懸命に働きました。

1. 勤勉の価値: テサロニケ第二 3:8 の研究

2. 主のために一生懸命働く: どう生きていくか テサロニケ人への手紙第二 3:8

1. 箴言 14:23 - 「すべての労苦には利益があるが、口先だけでは貧困に陥るだけである。」

2. ガラテヤ 6:9 - 「善を行うことに飽きないようにしましょう。あきらめなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。」

2テサロニケ3:9 それは、私たちに力がないからではなく、私たちに従うための模範となるためです。

使徒パウロはテサロニケの人たちに、強制されているわけではないにもかかわらず、彼の勤勉さと忍耐の模範に従うよう勧めています。

1. 困難にもかかわらず懸命に働く: パウロの例

2. 喜びを持ち続けなさい: パウロの例

1. コリント第一 9:24-27

2. ヘブライ人への手紙 12:1-3

2テサロニケ3:10 というのは、私たちがあなたがたと一緒にいたときでさえ、働かない人は食べてはならない、と命じたのです。

この聖句は、栄養を得るために労働することを奨励しています。

1. 努力の報い - 労働の大切さと産業の恩恵について話し合います。

2. 信仰による満足 - 休息と神への信頼の価値を認識します。

1. 箴言 14:23 - すべての勤勉は利益をもたらしますが、単なる口先だけは貧困を招くだけです。

2. ピリピ 4:11-13 - 私は困っているからこのように言っているのではありません。私はどんな状況でも満足することを学んだからです。私は貧しいとはどういうことかを知っていますし、豊かであるとはどういうことかを知っています。私は、十分な食事があるか空腹であるか、豊かな生活でも貧しい生活でも、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。

2テサロニケ3:11 というのは、あなたがたの間を無秩序に歩いていて、全く働かず、多忙な人たちがいると聞いているからです。

パウロはテサロニケの教会に、教会の中に仕事をせずに多忙な人々がいることについて警告しています。

1. 「多忙であることの危険性」

2. 「教会で規則正しい生活を送る」

1. 箴言 16:27-28 - 「不敬虔な人は悪を掘り起こす。その唇には燃え盛る火がある。弱気な人は争いの種をまき、ささやく人は主要な友人を引き離す。」

2. ガラテヤ 6:7-8 - 「だまされないでください。神はあざけられません。人が蒔くものは、その人も刈り取ることになるのです。自分の肉に蒔く者は、肉から腐敗を刈り取るからです。しかし、人に蒔く者は、腐敗を刈り取ります。」御霊は永遠の命を刈り取るであろう。」

2テサロニケ3:12 さて、そのような人たちに、私たちは主イエス・キリストによって、静かに働き、自分のパンを食べるように命じ、勧めます。

パウロはテサロニケの人々に、主イエス・キリストに従って静かに働き、自分たちのパンを食べるように命令し、勧めています。

1.「信仰の働きの力」

2.「人生の糧を稼いで楽しむ」

1. ガラテヤ 6:9-10 「善行に疲れないようにしましょう。失神しなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。ですから機会があるのですから、すべての人、特に彼らに善を行ないましょう」信仰の家の者たちです。」

2. ヨハネ 6:35 - 「イエスは彼らに言われた、『わたしはいのちのパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渇くことはない。』

2テサロニケ3:13 しかし、兄弟たち、あなたがたは善行に疲れてはいけません。

この一節は信者に、自分の善行に忠実で堅固であり続けるよう勧めています。

1.「忍耐力」

2. 「善い行いに疲れてはいけない」

1. ガラテヤ 6:9 善い行いに疲れないようにしましょう。気を失わなければ、しかるべき季節が来れば刈り取ることができるからです。

2. ヘブライ 10:36 あなたがたには神のご意志を行った後に約束を受けるために忍耐が必要だからです。

2テサロニケ3:14 もしこの手紙による私たちの言葉に従わない人がいるなら、その人に注意し、恥をかかないよう、その人と一緒にならないようにしなさい。

クリスチャンは聖書の教えに従わない人々と交わるべきではありません。

1. 神の言葉に従順な人生を送る

2. 不信者から自分を切り離すことの重要性

1. ローマ 12:2 - 「この世の型に従うのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。そうすれば、神の御心が何であるかを試し、承認することができるでしょう。それは、神の善で喜ばしい完全な御心です。」

2. エペソ人への手紙 5:11 - 「闇の無益な行為とは何の関係もなく、むしろそれを暴露しなさい。」

2テサロニケ3:15 しかし、彼を敵とみなすのではなく、兄弟として戒めなさい。

私たちは仲間のクリスチャンを敵とみなすべきではなく、兄弟として戒めるべきです。

1. キリストにある兄弟姉妹として互いに愛し合うには

2. 愛情深い共同体における戒めの価値

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛しなさいということです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきです。」これによって、あなた方が互いに愛を持っているなら、すべての人々はあなた方が私の弟子であることを知るでしょう。」

2. コロサイ 3:12-14 - 「それでは、神に選ばれた者として、聖く愛される者として、思いやりの心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身に着けて、互いに忍び合い、もし誰かが他の人に対して不満を持っているなら、赦しなさい。」お互い;主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。そして何よりも、これらは愛を身に着けており、それがすべてを完璧な調和で結びつけます。」

2テサロニケ3:16 さて、平和の主ご自身が、必ずあなたがたに平安を与えてくださいます。主が皆さんとともにおられます。

主はあらゆる手段を講じて平和を見つけるよう私たちを励まされ、私たち全員に平和が訪れることを望んでおられます。

1. 主の平安のうちに休む - 困難な時代に永続する平和を見つける方法

2. 主の平安 - 手放し、神の計画を信頼する

1. フィリピ 4:7 - 「そして、あらゆる人知を超えた神の平安が、キリスト・イエスにあってあなたがたの心と思いを守るでしょう。」

2. イザヤ書 26:3 - 「心が堅い人たちを、あなたは完全な平安のうちに保ってくださいます。彼らはあなたを信頼しているからです。」

2 テサロニケ 3:17 すべての手紙のしるしである、パウロ自身の手による挨拶: 私はこう書きます。

テサロニケ人へのパウロの手紙は、信憑性の証としてパウロ自身の筆跡で締めくくられています。

1. クリスチャン生活における本物であることの重要性

2.神の前で忠実に生きる

1. ヘブライ 10:22 - 心に悪い良心を振り払い、清い水で体を洗い、信仰を完全に確信して真の心をもって近づきましょう。

2. 1 コリント 4:2 - さらに、管理人には忠実であることが求められます。

2テサロニケ3:18 私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがた一同にありますように。アーメン。

パウロはテサロニケのクリスチャンたちに主イエス・キリストの恵みを祈ります。

1. 恵みの力: 神の無償の好意が人生をどのように変えるか

2. 主の無条件の愛: イエスの恵みの力を体験する

1. エペソ 2:8-9 - あなたが救われたのは恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。そのため、誰も誇ることができません。

2. ローマ 5:17 - もし、一人の人の罪によって、その一人によって死が支配したとしたら、神の豊かな恵みの備えと義の賜物を受けた人々は、なおさらその一人を通して命を支配することになるでしょう。、イエス・キリスト！

テモテ第一 1 章は、使徒パウロが若い弟子テモテに宛てて書いた最初の手紙の最初の章です。この章では、パウロは誤った教えについて言及し、健全な教義と真の愛の重要性を強調しています。

第 1 段落: パウロはテモテにエフェソスでの目的を思い出させることから始めます (1 テモテ 1:1-11)。彼は自分がキリスト・イエスの使徒であると名乗り、誤った教義を広めている人々と対決するためにエフェソスに残るようテモテに勧めました。パウロは、自分の教えの目標は純粋な心、良心、そして誠実な信仰から来る愛であると強調しています。彼は、これらの原則から逸脱し、意味のない話に走り、教師になりたいと願っているが理解力に欠けている人々に対して警告しています。

第 2 段落: パウロは神の恵みの一例として自身の回心体験を振り返っています (1 テモテ 1:12-17)。彼は、かつて自分が冒涜者、迫害者、暴力的な男だったが、不信仰の中で無知な行動をとったために慈悲を受けたことを認めています。彼は、イエス・キリストへの信仰を通して彼に注がれた神の豊かな恵みを強調しています。パウロは、キリストが罪人を救うためにこの世に来られたと宣言し、キリストを永遠の命として信じる人々の模範としての自身の立場を強調しています。

第 3 段落: この章は、偽りの教えと闘うことに関するテモテへの指示で終わります (1 テモテ 1:18-20)。パウロは信仰と正しい良心を堅持して善戦するよう彼に求めています。彼は、信仰を難破させられ、懲らしめとしてサタンに引き渡されたヒメナイオスやアレクサンダーのような人物について言及しています。これは健全な教義から逸脱することに対する警告として機能します。

要約すれば、

テモテ第一の第 1 章は、誤った教えに対処し、健全な教義を強調し、神の恵みについて考えることに焦点を当てています。

パウロはテモテに、純粋さ、良心、信仰に根ざした愛の重要性を強調しながら、エフェソスで偽りの教義を広めている人々に立ち向かうよう勧めています。

彼は神の恵みの一例として自身の回心を語り、罪人を救うというキリストの目的を強調した。パウロはテモテに信仰と正しい良心を堅持するよう求め、健全な教義から逸脱しないように警告しています。

この章は、信仰を破り懲罰を受けた人々についての警告で終わります。この章では、効果的な宣教のために、誤った教えと闘い、神の恵みを受け入れ、健全な教義を堅持することの重要性を強調します。

テモテ第一 1:1 パウロは、私たちの救い主である神と私たちの希望である主イエス・キリストの戒めによるイエス・キリストの使徒です。

パウロはテモテに、神は私たちの救い主であり、主イエス・キリストが私たちの希望であることを思い出させます。

1: たとえ困難な状況にあっても、私たちはイエス・キリストに希望を見出すことができます。

2: 私たちは神が私たちの救い主であり保護者であることを常に覚えておく必要があります。

1: イザヤ書 40:31 - 「しかし、主に望みを持つ者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2: テトス 2:13 - 「私たちは祝福された希望、つまり私たちの偉大な神であり救い主であるイエス・キリストの栄光の出現を待ち望みます。」

テモテ第一 1:2 信仰を持つわたしの息子テモテに、わたしたちの父なる神とわたしたちの主イエス・キリストからの恵みと憐れみと平和を。

この箇所はテモテに父なる神とイエス・キリストからの恵み、憐れみ、平安を求めるよう勧めています。

1. 神の驚くべき恵み - 恵みの力と、それがどのように私たちの生活に平和をもたらすのかを探ります。

2. 慈悲は裁きに勝つ - 慈悲がいかに神の愛の究極の実証であるかを見てみましょう。

1. コロサイ 3:12-15 - 憐れみと恵みの特質を身につける方法を探ります。

2. ローマ人への手紙 5:1-5 - 恵みと平和がイエス・キリストを通してどのようにもたらされるかを考察します。

1 テモテ 1:3 私がマケドニアに行ったとき、あなたにエフェソスに留まってほしいとお願いしたのは、他の教義を教えないようにと人々に非難するためでした。

パウロはテモテに、エフェソスに留まり、他の教義を教えないようにするよう指示しました。

1. 神の指示に従う - テモテ第一 1:3

2. 忠実さと勤勉 - テモテ第一 1:3

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主イエスによって神と父に感謝しなさい。

2. ヘブライ 13:7 - あなたを支配している人々、神の言葉をあなたに語った人々を思い出してください。彼らの会話の終わりを考慮すると、彼らの信仰は続きます。

テモテ第一 1:4 どちらも、信仰による敬虔な啓発ではなく、疑問を投げかける寓話や果てしなく続く系図には注意を払わないでください。

この聖句は、無益な憶測に注意を払うことを警告し、代わりに信仰を築くことを奨励しています。

1.「信仰の力：霊的な強さの基礎を築く」

2.「寓話の虚しさ: 役に立たない憶測を暴く」

1. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

2. ヘブライ 11:1 - 「さて、信仰とは、望んでいる事柄を確信するものであり、目に見えないものを確信するものです。」

1 テモテ 1:5 さて、戒めの最後は、純粋な心と良心と偽りのない信仰から出る慈善です。

戒めは、純粋な心、良心、そして真の信仰をもって慈善を行うことです。

1. 純粋な心で他人を愛すること。

2. 良心の大切さ。

1. ヨハネ第一 4:7-8 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです。

2. ローマ 12:9-10 - 愛を偽りのないようにしましょう。邪悪なものを憎みます。良いことに固執してください。兄弟愛をもってお互いに優しく愛情を注ぎましょう。お互いを優先することに敬意を表して。

テモテ第一 1:6 そこから逸れ、脇道に逸れて無駄な喧騒をする者もいる。

福音から逸れ、無益な議論に集中する人もいます。

1. 「コースを堅持する: 福音に忠実であり続ける」

2.「言葉の力：慎重に言葉を選ぶ」

1. ヤコブ 3:17 - しかし、上から来る知恵は、まず純粋で、次に平和で、優しく、喜んで譲歩し、憐れみと良い実とに満ち、偏りや偽善がありません。

2. コロサイ 3:15-17 - そして、神の平和があなたがたの心の中に支配されるようにしてください。あなたもまた、その平和に一つの体として召されています。そして感謝しましょう。キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿り、詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え合い、戒め合い、心の中で恵みをもって主に向かって歌いましょう。そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

テモテ第一 1:7 律法の教師になりたいと願っています。彼らが何を言っているのか、何を肯定しているのかを理解していません。

法の教師になりたいと思っているが、自分が何を言っているのか、何を主張しているのか理解できない人もいます。

1. 理解できないことは追求しない

2. 誤った教えを受け入れないでください

1. 箴言 3:5-7 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。

2. イザヤ書 5:20 - 悪を善と呼び、善を悪と呼ぶ者たち、闇を光に、光を闇に置き換える者たちは災いです。

1 テモテ 1:8 しかし、私たちは、人がそれを合法的に使用するのであれば、律法は良いものであることを知っています。

法律は正しく使えば良いものです。

1. 「合法的に生きる：法に従うことの善さ」

2. 「法律を善のために利用する: 正義はどのようにして内側から生まれるか」

1. ローマ人への手紙 8:4 「それは、肉に従ってではなく御霊に従って歩む私たちのうちに、律法の義が実現するためです。」

2. マタイ 5:17-20 - 「わたしが律法や預言者を滅ぼすために来たと思ってはなりません。滅ぼすために来たのではなく、成就するために来たのです。まことに、あなたがたに言います、天と地が過ぎ去るまで、一つです。すべてが満たされるまで、わずかなジョークや一つの称号が法律から外れることは賢明ではありませんしたがって、これらの最も小さな戒めの 1 つを破り、人々にそのように教える者は、その人は天国で最も小さい者と呼ばれます。しかし、それを行う者は誰でもそして彼らに教えなさい、そうすれば、同じことが天の御国で偉大と呼ばれるでしょう。」

テモテ第一 1:9 このことを知って、律法は正しい人のためにではなく、不法で不従順な者、不敬虔な罪人、不聖で不敬な者、父親を殺した者、母親を殺害した者、人殺しのために作られたのです。

律法は義人のために作られたのではなく、不法の者、不敬虔な者、罪人、不聖な者、不敬な者、殺人者、人殺しのために作られています。

1:「正義の力」

2:「不義の結果」

1: ローマ 8:1-4 - したがって、キリスト・イエスにある者たち、つまり肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は何の非難もありません。

2: 1 ヨハネ 1:5-10 - 神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエス・キリストの血が私たちをすべての罪から清めます。

1 テモテ 1:10 売春婦、人類を汚す者、メンスティーパー、嘘つき、偽証者、その他健全な教義に反するものがあれば。

テモテ第一 1章10節のこの箇所には，健全な教義に反する数多くの罪が列挙されています。

1. 「自分を汚す罪: テモテ第一 1:10 からの警告」

2. 「音の力の教義: テモテ第一 1:10 からの教訓」

1. 箴言 6:16-19 - 「主が憎むものは六つあり、主にとって忌むべきものは七つある。高慢な目、偽りの舌、罪のない血を流す手、邪悪な計画を立てる心、素早く動く足である。」悪に突き進む者、嘘を垂れ流す偽証人、そして地域社会に争いを引き起こす者。」

2. ローマ 12:2 - 「この世の型に従うのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。そうすれば、神のご意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。それは、神の善で喜ばしい完全なご意志です。」

1 テモテ 1:11 わたしの信頼に託された、祝福された神の輝かしい福音によると。

パウロには、祝福された神の輝かしいメッセージである福音を宣べ伝える責任が与えられました。

1. 福音の力: 神の輝かしいメッセージを明らかにする

2. 福音への献身: 祝福を受けて分かち合う

1. ローマ人への手紙 1:16 - 私はキリストの福音を恥じていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。

2. コリント人への第二の手紙 5:14 - キリストの愛が私たちを強制するのは、私たちが次のように判断するからです。

1 テモテ 1:12 そして私は、私を忠実であるとみなして宣教に参加させてくださったことにより、私を可能にしてくださった私たちの主キリスト・イエスに感謝します。

パウロはキリスト・イエスが奉仕者として奉仕できるようにしてくださったことに感謝しています。

1. 奉仕への呼びかけ: 信仰と奉仕の力を理解する

2. 私たちの生活における神の御手を認識する: 神の賜物に感謝の気持ちを表現する

1. 詩篇 37:23-24 - 善い人の歩みは主によって命じられ、彼はその道を喜びます。たとえ彼が倒れても、完全に打ち倒されることはない。主がその手で彼を支えてくださるからである。

2. マタイ 25:21 - 彼の主は彼に言った、「よくやった、善良で忠実な僕よ。あなたはいくつかのことに対して忠実でしたが、私はあなたを多くのことに対して支配者にしてあげます。あなたは主の喜びの中に入れてください。」

1 テモテ 1:13 前に、冒涜者、迫害者、危害を加えた者がいましたが、私は不信仰で無知な行いをしたので憐れんでもらいました。

冒涜者で迫害者から憐れみを得た者へと変化したパウロの証は、悔い改めと信仰の力を示しています。

1: 神の憐れみ: 悔い改めと信仰

2: 自分の無知を認識し、神に立ち返る

そして主に立ち返らせなさい。彼は彼を憐れんでくれるだろう。そして私たちの神に、彼は豊かに赦してくださいます。

2: ルカ 15:11-32 放蕩息子のたとえ

1 テモテ 1:14 そして、私たちの主の恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛によって非常に豊かでした。

主の恵みは豊かで、キリスト・イエスへの信仰と愛に溢れていました。

1. 神の豊かな恵みに頼ることを学ぶ

2. キリスト・イエスにおける豊かな信仰と愛の中で生きる

1. エペソ 2:8-9 - あなたがたは恵みによって救われたのですが、それは自分自身によるものではなく、信仰によって救われたのです。それは神の賜物であり、行いによるものではありません。誰も誇ることがないように。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、神を信じる者が滅びず、永遠の命を得られるようにするためです。

テモテ第一 1:15 「キリスト・イエスは罪人を救うためにこの世に来られた」ということは、忠実な言葉であり、あらゆる人に受け入れられるに値します。私がそのリーダーです。

キリスト・イエスは罪人を救うためにこの世に来られました。

1. 神の恵みはすべての人にあります: どんなに罪深い人であっても

2. イエスは世界の救い主です

1. ローマ 5:8-10 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

1 テモテ 1:16 しかし、このような理由で、私は憐れみを得ました。それは、イエス・キリストが、これから永遠の命に至るまでイエスを信じるはずの人々に模範として、まず私のうちにあらゆる忍耐を示していただくためです。

パウロがイエス・キリストによって憐れみを与えられたのは、永遠の命を得るためにイエスを信じるようになった人々に対する忍耐の模範となるためでした。

1. 「辛抱強さの例」

2.「イエス・キリストの慈悲」

1. ヨハネ第一 4:10-11 - この中に愛があります。私たちが神を愛したということではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のなだめの供え物として御子を遣わされたということです。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

1テモテ1:17 永遠、不滅、目に見えない、唯一の知恵ある神、王に、世々限りなく名誉と栄光がありますように。アーメン。

永遠、不滅、そして目に見えない王は唯一の賢明な神であり、永遠に名誉と栄光を受けるに値します。

1: 私たちの神は永遠、不滅、目に見えないお方です

2: 神を讃える: 陛下を讃える

1: イザヤ書 6:3 - 「すると、ある人は他の人に呼びかけて言った。「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主。全地が神の栄光に満ちている。」

2: ローマ人への手紙 11:33-36 - 「ああ、神の富と知恵と知識の深さよ。彼の判断はなんと調べにくく、彼のやり方はなんと不可解なのでしょう。というのは、誰が主の御心を知っていたでしょうか、あるいは誰が主の相談役であったでしょうか。それとも、誰が彼にお返しをするために贈り物をしたのでしょうか？なぜなら、すべては彼から出て、彼を通して、そして彼に至るものだからです。彼に永遠の栄光がありますように。アーメン。"

1 テモテ 1:18 テモテよ、私はあなたにこの義務を課します。あなたに対して以前に行われた預言に従って、あなたはそれによって良い戦争をすることができるようにとのことです。

パウロはテモテに、与えられた預言を使って霊的な戦いを戦うよう勧めます。

1. 神は私たちに、霊的な戦いを戦うために必要なすべての手段を与えてくださいました。

2. 神の預言は、私たちが霊的な戦いで勝利する力を与えてくれます。

1. エペソ人への手紙 6:10-18 - 神の武具を身に着ける方法についてのパウロの指示。

2. コリント人への第二 10:4-5 - 霊的な拠点を破壊するために神の武器を使うようにというパウロの指示。

テモテ第一 1:19 信仰と正しい良心を持ちなさい。信仰に関して遠ざけてしまった人たちが、それを難破させてしまったのです。

パウロは信者たちに信仰を堅持し、良心を保つよう勧め、信仰を捨てた者は滅びを経験していると警告しています。

1. 信仰と良心の重要性

2. 信仰の拒否は破壊につながります

1. ヘブライ 10:35-39 - したがって、大きな報いをもたらす自信を捨てないでください。というのは、神の御心を行ったときに約束を得るために、あなたには忍耐が必要だからです。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって実行者ではないとしたら、その人は鏡で自分の自然な顔を観察している人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を観察し、立ち去ってしまい、自分がどんな人間だったのかをすぐに忘れてしまうからです。

1テモテ1:20 その中にはヒメナイオスとアレクサンダーがいます。わたしがサタンに引き渡したのは、彼らが冒涜をしないことを学ぶためである。

パウロはヒメナイオスとアレクサンダーを神を冒涜しないよう教えるためにサタンに引き渡しました。

1. 冒涜の危険性

2. 説明責任の力

1. 箴言 12:22 - 「嘘をつく唇は主にとって忌まわしいものであるが、忠実に行動する者は主の喜びである。」

2. ヤコブ 3:10 - 「祝福と呪いが同じ口から出ます。兄弟たちよ、このようなことはあってはならないのです。」

テモテ第一 2 章は、使徒パウロが若い弟子テモテに宛てて書いた最初の手紙の第 2 章です。この章では、パウロは祈り、礼拝における適切な行動、教会内での男女の役割についての指示を与えています。

第 1 段落: パウロはすべての人のための祈りの重要性を強調しています (1 テモテ 2:1-7)。彼は、王や権力者を含むすべての人のために、嘆願、祈り、とりなし、そして感謝を捧げるよう勧めています。神はすべての人が救われ、真理を知るよう望んでおられるからです。パウロは、すべての人の身代金としてご自身を差し出した神と人類との間の仲介者としてイエス・キリストを強調しています。

第 2 段落: パウロは礼拝の集まりでの適切な行動について述べています (テモテ第一 2:8-15)。彼は男性に対し、怒りや口論をせずに、敬意を表す方法で聖なる手を上げて祈るべきだと教えています。女性は礼儀と礼儀を持って控えめな服装をし、派手な髪型や宝石ではなく、良い作品で身を飾るように教えられています。パウロはまた、女性は静かに学び、男性に対して権威を持たず、服従し続けるべきであるとも述べています。

第 3 段落: この章は教会内での女性の役割に関する教えで終わります (テモテ第一 2:11-15)。パウロは、女性が男性に対して教えたり権威を持ったりすることは認めておらず、黙って学ぶべきだと説明しています。彼は、なぜ女性が男性に対して権威を行使すべきではないのかの一例として、イブの欺瞞に言及します。しかし、信仰、愛、聖さ、自制心を持ち続ければ、出産によって救われるだろうと彼は保証します。

要約すれば、

テモテ第一の第 2 章では、祈り、礼拝の集まりでの適切な行動、教会内での男女の役割について説明しています。

パウロは、神はイエス・キリストによる人々の救いを望んでおられるため、すべての人のために祈ること、つまり権力者を含むすべての人のためになされる願いを強調します。

彼は礼拝中の適切な行動について言及し、男性には怒りや口論をせずに敬意を持って祈るよう指導し、女性には慎み深い服装をし、男性に対して権威を持たずに静かに学ぶよう指導している。

パウロはさらに、エバの欺きの例に基づいて、女性は男性に対して教えたり権威を持ったりすべきではないと説明します。しかし、神は、彼らが信仰、愛、神聖さ、自制心を持ち続ければ、出産を通じて救われると保証しています。この章では、祈りの重要性、礼拝の集まりでの適切な行動、教会内での男性と女性の役割に焦点を当てます。

テモテ第一 2:1 したがって、私は、まず第一に、すべての人のために嘆願、祈り、とりなし、そして感謝をささげるように勧めます。

私たちはすべての人のために祈り、感謝しなければなりません。

1. 感謝の祈り: すべての人々への感謝の呼びかけ

2. 他者のためのとりなし: 全人類のために嘆願する

1. ヤコブ 5:16 - 「互いに自分の過ちを告白し、癒されるように互いに祈りなさい。義人の熱心な祈りは効果的であり、大いに役立ちます。」

2. 1 ヨハネ 5:16 - 「もし誰かが、自分の兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見たなら、彼は尋ねるだろう。そうすれば、死に至ることのない罪を犯した者たちのために命を与えるであろう。死に至る罪がある。そのために祈ろうなどとは言わないでください。」

1 テモテ 2:2 王たちと権威あるすべての人たちに。それは、私たちが敬虔さと誠実さをもって静かで平和な生活を送ることができるようにするためです。

この聖句は、クリスチャンが神を敬う平和な生活を送ることができるように、権威ある人々のために祈るよう信者に勧めています。

1. 敬虔さと正直さをもって静かで平和な生活を送る方法

2. 権力者のための祈りの力

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. ペテロ第一2:13-17

1テモテ2:3 これは私たちの救い主である神の目には良いことであり、受け入れられることだからです。

通路：

神は、私たちが知っている人や好きな人だけでなく、すべての人のために祈ることを望んでおられます。テモテ第一 2章3節から4節にはこう書かれています。「これは良いことであり，すべての人が救われて真理を知るよう願っておられる救い主神はお喜びになります。」

神は、すべての人が救われ、真理を知ることができるように、私たちがすべての人のために祈ることを望んでおられます。

1. 祈り：すべての人に贈る贈り物

2. 祈りを通じて心と精神を真理に向けて開く

1. テモテ第一2:3-4

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

1 テモテ 2:4 誰がすべての人を救い、真理の知識に至らせることができるでしょうか。

一節: 聖書は、誰もが救われることができると教えています。新約聖書のテモテ第一 2章4節には，神は「すべての人が救われて真理を知るよう望んでおられる」と書かれています。

神はすべての人が救われ、真理の知識を得ることを望んでいます。

1. 神の恵みはすべての人にあります: すべての民に対する神の愛について

2. 真実の道: 救いへの道

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、神を信じる者が滅びず、永遠の命を得られるようにするためです。

2. ローマ人への手紙 10:13 - 主の御名を呼び求める者は救われるからです。

1 テモテ 2:5 なぜなら、神は一人であり、神と人との間の仲介者も一人である、人であるキリスト・イエスだからです。

神はただ一人、そして神と人類の間の仲介者はただ一人、それがイエス・キリストです。

1. 「私たちの仲介者としてのイエス・キリストの重要性」

2.「イエス・キリストの仲介の力」

1. ローマ 8:34 - 「死んだキリスト・イエスは、それ以上に復活させられ、神の右におられ、私たちのために執り成してくださっています。」

2. イザヤ書 59:16 - 「彼は誰もいないのを見て、介入する者がいないことに驚いた。それで自分の腕が勝利をもたらし、自分の義が彼を支えた。」

1 テモテ 2:6 イエスは、時が来て証言されるように、すべての人のために身代金を与えました。

神はすべての人の身代金としてご自身を与えられましたが、これはやがて証明されるでしょう。

1. 神のご自身の犠牲: 贖罪の理解と感謝

2. 私たちはどのようにして生活の中で神の恵みを証しできるでしょうか?

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通され、私たちの咎のために打ち砕かれた。彼の上に懲らしめがあり、私たちに平和をもたらし、彼

の傷によって私たちは癒された。」

2. ヨハネ 3:16-17 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるためにご自分の御子を世に遣わされたのではありません。」しかし、彼を通して世界が救われるためです。」

1 テモテ 2:7 そこで私は説教者、使徒、（私はキリストにあって真実を語り、偽りはありません）、信仰と真実において異邦人の教師に任命されました。

パウロは説教者、使徒、異邦人の信仰と真理の教師として任命されました。

1. 説教への呼びかけ: 信仰と真理の生活を送る

2. 私たちの使命に従って：献身と従順の人生を送る

1. コロサイ 4:3-4 - 常に御霊によって祈り、祈りを尽くして祈ります。そのために、すべての聖徒たちに祈りを捧げながら、あらゆる忍耐をもって警戒を続けてください。

2. 1コリント15:10 - しかし、私は神の恵みによって今の私であり、私に対する神の恵みは無駄ではありませんでした。それどころか、私は彼らの誰よりも一生懸命働きました。とはいえ、それは私ではなく、私とともにある神の恵みでした。

テモテ第一 2:8 ですから、私は、人々がどこでも、憤ったり疑うことなく、聖なる手を上げて祈るようにしたいと思います。

パウロは、怒りや疑いを持たずに、どこでも聖なる手で祈るよう人々に勧めています。

1. 祈りに応える神の力を認識する

2. 信仰と謙虚さを持って祈る

1. ヤコブ 5:16 - 義人の効果的な熱心な祈りは大いに役立ちます。

2. ピリピ 4:6-7 - 無駄に気をつけなさい。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。

1 テモテ 2:9 同様に、女性も恥を忍んで慎み深い服装で身を飾ります。編み込み髪、金、真珠、高価な装飾品などではありません。

女性は控えめな服装をし、高価な宝石や衣服を身に着けるべきではありません。

1. 私たちの価値はアパレルにはありません

2. 控えめな服装をする方法

1. ペテロ第一 3:3-4 - 「髪を編んだり、金の装飾品を身に着けたり、着ている衣服など、外面的な装飾をするのではなく、心の内に隠れた人としての装飾を行いなさい。」穏やかで静かな精神の不滅の美しさ、それは神の目から見て非常に貴重なものです。」

2. 箴言 11:22 - 「分別のない美しい女性は、豚の鼻にはめた金の指輪のようなものです。」

1 テモテ 2:10 しかし、（敬虔を告白する女性となるのは）善行を伴ったものです。

敬虔さを公言する女性は良い行いを示すべきです。

1.「信仰を生きる：善行を実践する」

2. 「敬虔さの模範: 善行への呼びかけ」

1. 箴言 19:17 - 貧しい人に親切な人は主に貸します、そうすれば主はその行いに報いてくださいます。

2. ガラテヤ 6:9-10 - 善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、適切な時期に収穫を得ることができるからです。したがって、機会があれば、すべての人々、特に信者の家族に属する人々に善を行ないましょう。

1 テモテ 2:11 女性は黙ってすべての服従をもって学びなさい。

女性は静かに敬意を持って学ぶべきです。

1. 沈黙への呼びかけ: 権威を尊重することを学ぶ

2. 従順さの美しさ: 静かな強さの力を受け入れる

1. 箴言 11:2 - 高慢が生まれると恥も生まれるが、謙虚さがあれば知恵も生まれる。

2. ペテロ第一 3:4 - しかし、穏やかで静かな霊の不滅の美しさで心の隠れた人を飾りましょう。それは神の目に非常に貴重です。

1 テモテ 2:12 しかし、私は女性が教えたり、男性に対する権威を奪ったりするのではなく、沈黙することを耐えます。

女性は教会内で男性に対して教えたり、権威を持ったりすることは許されていないが、沈黙すべきである。

1.「教会における女性の地位：聖書の権威と服従」

2. 「静かな精神の力: 神の言葉に服従して生きることを学ぶ」

1. コリント人への手紙第一 14:33-35 - 「神は混乱の神ではなく、平和の神だからです。すべての聖徒たちの教会と同様に、女性たちは教会では沈黙していなければなりません。なぜなら、彼女たちは話すことを許されていないからです。」_

2. エペソ人への手紙 5:22-24 - 「妻たちよ、主に従うのと同じように、自分の夫に従いなさい。キリストが教会の頭であり、その体の体であり、ご自身がその救い主であるのと同じように、夫も妻の頭だからです。「今、教会がキリストに従うように、妻もすべてにおいて夫に従うべきです。」

1 テモテ 2:13 なぜなら、最初にアダムが形成され、次にエバが形成されたからです。

聖書の一節には、神は最初にアダムを創造し、次にイブを創造したと述べられています。

1. 創造における神の秩序の重要性 - 神の計画が常に最初に来る方法。

2. 神の計画はいかに完璧であり、それに従うことがいかに重要であるか。

1. 創世記 1:26-27 - 神はご自分に似せて人間を創造されました。男性と女性を創造されました。

2. 箴言 14:12 - 人にとって正しいと思われる道があっても、その終わりは死への道です。

1テモテ2:14 アダムはだまされなかったが、だまされた女は罪を犯した。

アダムは蛇に騙されませんでしたが、エバは騙されて罪を犯しました。

1. 欺瞞の危険性

2. 罪に対する神の許し

1. 創世記 3:1-7 - エバを欺いた蛇の記述。

2. イザヤ書 1:18 - 神の罪の赦し。

1 テモテ 2:15 それにも関わらず、もし彼らが信仰と慈善と聖潔を禁酒で続けるなら、彼女は出産の際に救われるでしょう。

パウロはクリスチャンの女性たちに、出産を通じて救われるために信仰、慈善、聖さ、そして節制を続けるよう勧めています。

1. クリスチャン女性の生活における信仰、慈善、聖性、節制の力

2. テモテ第一 2 章 15 節の真理を生活の中で実践する

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。」

2. ペテロ第一 3:1-2 「同様に、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。そうすれば、たとえ言葉に従わない人がいても、妻の行いによって何も言わずに勝ち取られることができるのです。」

テモテ第一 3 章は、使徒パウロが若い弟子テモテに宛てて書いた最初の手紙の第 3 章です。この章では、パウロは教会内の監督と執事の資格を示し、彼らの役割と責任についての指針を示しています。

第 1 段落: パウロは、監督または長老としても知られる監督の資格について概説しています (1 テモテ 3:1-7)。彼は、監督は非の打ち所がなく、片方の配偶者と結婚し、温厚で自制心があり、礼儀正しく、もてなしができ、教える能力があり、酒に酔ったり暴力を振るったりせず、穏やかで喧嘩をせずでなければならないと述べています。彼らは自分の家庭をうまく管理し、教会の内外で良い評判を得る必要があります。さらに、彼らは最近改宗した人ではなく、信仰の成熟を示した個人であるべきです。

第 2 段落: 次にパウロは執事の資格について述べます (テモテ第一 3:8-13)。執事はまた、尊敬に値し、信仰に誠実であり、多量のワインに耽溺したり不正な利益を追求したりしないことも求められます。彼らは明確な良心をもって信仰の神秘を保持すべきです。監督と同様に、執事もその役割に任命される前にまず検査を受けなければなりません。彼らは自分の家庭をうまく管理することに忠実でなければなりません。

第 3 段落: この章は、これらの指示の重要性を強調する要約文で終わります (テモテ第一 3:14-16)。パウロはテモテをすぐに訪問したいという願望を表明していますが、これらのことを書いているのは、もし訪問が遅れた場合に、人々が「真理の柱であり基礎」である神の家族、つまり教会でどのように振る舞うべきかをテモテに知ってもらうためです。彼は、イエス・キリストを通して明らかにされた敬虔さの神秘、つまり彼の受肉、御霊による正しさの証明、天使による諸国民への宣言そして信仰によって受け入れられたことを強調しています。

要約すれば、

テモテ第一の第3章は、教会内の監督（長老）と執事の資格を規定し、彼らの役割と責任の重要性を強調しています。

パウロは監督の資格について概説し、監督の性格、行為、教える能力を強調しています。彼らは評判の良い成熟した信者でなければなりません。

次に執事の資格について言及し、執事の誠実な信仰、自制心、忠実な家庭管理を強調します。

この章は、神の家族である教会における適切な行動に対するこれらの指示の重要性を強調する要約文で終わります。パウロはイエス・キリストを、受肉、御霊による正しさ、天使による諸国民への宣言、そして信仰によって受け入れられたことを通して明らかにされた敬虔の奥義の中心人物として強調しています。この章では、教会内で健全な教義を支持し、敬虔な性格を示す資格のある指導者の重要性を強調します。

1 テモテ 3:1 これは真実の言葉です、「もし人が司教の職を望むなら、彼は良い仕事を望むのです。」

パウロは司教になろうとする人たちに、それが崇高で良い努力であることを認識するよう勧めています。

1. 司教の責任: 神の基準に従って生きる

2. 宣教への呼びかけを探る：司教として奉仕することの意味

1. ヤコブ 3:1 - 「兄弟たち、あなたがたのうち、多くの人が教師になるべきではありません。なぜなら、教える私たちがより厳しく裁かれることをあなたは知っているからです。」

2. ペテロ第一 5:2-3 - 「あなたの世話の下にある神の羊の羊飼いとなり、監督として仕えなさい。そうしなければならないからではなく、神があなたに望まれるとおりに喜んで仕えるからです。お金に貪欲ではありませんが、奉仕することに熱心です。あなたに託された者たちに対して威張り散らすのではなく、群れの模範となるのです。」

1 テモテ 3:2 司教は、とがめられるところがなく、一人の妻の夫であり、用心深く、慎み深く、行儀がよく、もてなしを心掛け、教える能力のある者でなければなりません。

パウロはテモテに、とがめられていないこと、一人の妻の夫であること、用心深く、慎み深く、行儀が良く、もてなしを心掛け、教える適性があることなど、司教としての特質を教えています。

1. ビショップの資質: リーダーシップの要件

2. ホスピタリティのある生活を送る：神の御霊の働き

1. エペソ人への手紙 4:1-2 - 「ですから、主の囚人であるわたしは、あなたがたが召された召命にふさわしく歩むように、すべてのへりくだりと柔和さをもって、忍耐をもって、愛のうちに互いに忍び合いなさいとお願いします。」

2. ペテロ第一 5:2-3 「あなたがたの中にいる神の群れを、束縛ではなく喜んで監督し、養いなさい。不潔な金のためではなく、準備ができている心のために。神の遺産の支配者としてではなく、群れの見本として。」

1 テモテ 3:3 ぶどう酒を好まない、攻撃する人をしない、不純な利益を貪らない。しかし、忍耐強く、喧嘩屋ではなく、強欲でもありません。

この一節は、ワインに執着しないこと、ストライカーではないこと、金に貪欲ではないこと、忍耐強いこと、喧嘩屋ではないこと、強欲ではないという性格特性について語っています。

1.「忍耐の力：貪欲と暴力の誘惑に打ち勝つ」

2. 「自制の責任：アルコールと争いの誘惑を拒否する」

クロス-

1. 箴言 16:32 - 「怒るのが遅い者は力ある者より優れており、自分の精神を支配する者は都市を占領する者よりも優れている。」

2. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善意、忠実、23 柔和、自制です。これらを妨げる律法はありません。」

1 テモテ 3:4 自分の家をよく治め、子供たちを徹底的に服従させる人。

リーダーは家庭を管理し、威厳のある態度で子供たちを規律保つことができなければなりません。

1. 優れたリーダーの資質

2. 親の責任

1. エペソ 6:4 - 父親の皆さん、子供たちを怒らせず、主の懲らしめと教えに従って育ててください。

2. 箴言 15:20 - 賢い息子は喜びの父親となるが、愚かな人は母親を軽蔑する。

テモテ第一 3:5 (というのは、自分の家を治める方法を知らない人は、どうやって神の教会の世話をすればよいでしょうか。)

通路：

パウロがテモテに宛てた手紙の中で、教会の監督が持つべき資格について論じられています。彼は、監督が自分の家をうまく統治する方法を知っていることが最も重要な特質の一つであると述べています。

パウロは、自分の家をうまく統治できる教会の監督を持つことの重要性を強調しています。

1.「教会指導者の資格」

2. 「クリスチャン指導者の責任」

1. エペソ人への手紙 5:21-33 - 家庭における服従と愛

2. テトス 1:5-9 - 教会指導者の資格

1 テモテ 3:6 初心者ではありません。高慢になって悪魔の非難に陥ることを避けるためです。

テモテは、高慢になって神の非難を受ける可能性があるため、初心者を教会の指導者に任命しないよう警告されています。

1. 高慢は堕落する前に起こる: テモテ第一 3:6 の例から学ぶ

2. 謙虚さの価値: テモテ第一 3:6 の知恵の中で成長する

1. ヤコブ 4:6 - 「神は高ぶる者に敵対しますが、謙遜な者には恵みを与えます。」

2. 箴言 11:2 - 「誇りがあれば恥も生まれるが、謙虚さには知恵が生まれる。」

1 テモテ 3:7 さらに、彼は外にいる人々についての良い報告を持っていなければなりません。彼が非難と悪魔の罠に陥ることのないように。

この聖句では、教会の外の人から良い報告を受けることの重要性が強調されています。それは人が悪魔の罠に陥るのを避けるのに役立つからです。

1. 良い証の力: 私たちの評判が誘惑を避けるのにどのように役立つか

2. 非難を避ける：部外者の目に良い名前が必要である

1. 箴言 22:1 - 大きな富よりも良い名が選ばれるべきであり、好意は銀や金よりも優れています。

2. ペテロ第一 2:12 - 異邦人の間であなたの行いを名誉あるものにしてください。そうすれば、異邦人があなたを悪者として非難するとき、訪問の日に彼らがあなたの善行を見て神の栄光を現すことができるでしょう。

1 テモテ 3:8 同様に、執事たちも厳粛でなければなりません。二枚舌をしたり、ぶどう酒をたくさん飲んだり、不潔な贅沢を貪ったりしてはいけません。

執事は威厳があり、正直で、節度があり、貪欲を避けなければなりません。

1. 奉仕の尊厳: テモテ第一 3:8 の研究

2. 誠実に生きる: テモテ第一 3:8 を見てみる

1. ペテロ第一 4:10 - それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良き管理者として、その賜物を用いて互いに仕えなさい。

2. 箴言 21:20 - 賢い人の住まいには貴重な宝と油があるが、愚かな者はそれをむさぼり食う。

テモテ第一 3:9 純粋な良心の中に信仰の奥義を持ちなさい。

パウロはテモテに、純粋な良心をもって信仰の奥義を保つよう勧めています。

1.「忠実に生きる：純粋な良心をもって生きる」

2.「人生の神秘について神を信頼する」

1. 使徒 24:16 - 「それで私は、神と人の前で自分の良心を常に清く保つよう努めています。」

2. ピリピ 4:8 - 「最後に、兄弟姉妹の皆さん、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、賞賛に値すること、優れていること、賞賛に値することがあれば、そのようなことについて考えてください。」

1 テモテ 3:10 そして、これらのこともまず証明してみましょう。その後、無罪となったので執事の事務所を使わせてください。

パウロはテモテに、執事が就任する前に無罪であることを確実に証明するように指示します。

1. 「非難のない模範として生きる」

2.「執事の資質」

1. ペテロ第一 2:12 - 「異邦人の間であなたの行いを名誉あるものにしなさい。それは、異邦人があなたがたを悪者として非難するとき、彼らが見守るあなたがたの善行によって、訪問の日に神の栄光を現すためです。」

2. テトス 1:6-7 - 「もし罪のない人がいるとしたら、一人の妻の夫で、暴動や無秩序の罪で告発されていない忠実な子供を持っている夫です。司教は神の管理者として、罪のない者でなければなりません。自分の意志でなく、自分の意志であってはならないからです。すぐに怒るし、ワインにもストライカーにも、汚い酒にも負けない。」

テモテ第一 3:11 それでも、妻は厳粛で中傷者ではなく、慎み深く、すべてのことにおいて忠実でなければなりません。

テモテ第一 3章11節のこの箇所は，執事の妻は厳粛で中傷者ではなく，慎み深く，すべてのことにおいて忠実でなければならないと教えています。

1. 結婚における忠実さの重要性

2. 教会における女性の役割

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻よ、主に従うように夫に従いなさい。

2. 箴言31:10-31 - 貞淑な妻

1テモテ3:12 執事たちは一人の妻の夫となり、子供たちと自分の家をよく治めなさい。

パウロは、執事は一人の妻を持つ男性であるべきであり、子供たちと家庭をうまく統治すべきであると指示しています。

1.「教会における執事の役割」

2.「福音を生きる：執事の責任」

1. エペソ人への手紙 5:21-33 - 結婚生活における服従と愛

2. テトス 1:5-9 - 教会の指導者の資格

1 テモテ 3:13 というのは、執事の職をうまく利用した人たちは、キリスト・イエスにある信仰において、かなりの程度と大きな大胆さを自分のものとしているからです。

テモテ第一 3章13節は，良い地位とイエス・キリストへの強い信仰を得るために執事たちに忠実に仕えるよう勧めています。

1. 忠実に奉仕することで偉大さを達成する

2. キリストへの大胆な信仰の力

1. マルコ 10:45 - 人の子ですら、仕えられるためではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのです。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

1 テモテ 3:14 私は、間もなくあなたのところに行きたいと思って、あなたに次のようなことを書きます。

パウロはテモテにすぐに会いに行きたいと思って手紙を書いています。

1. 他者との関係を築くことの重要性。

2. 私たちの人生における希望の力。

1. ローマ人への手紙 12:9-10 - 「愛を本物としなさい。悪を憎み、善を堅持しなさい。兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。名誉を示すことにおいては互いに勝ちなさい。」

2. 詩篇 33:20-22 - 「私たちの魂は主を待ち望んでいます。主は私たちの助けであり、私たちの盾です。私たちの心は主にあって喜んでいます。なぜなら私たちは主の聖なる御名を信頼しているからです。主よ、あなたの変わらぬ愛を祈りますように。」私たちがあなたに期待しているように、私たちにも。」

1 テモテ 3:15 しかし、もし私が長く遅れるとしたら、神の家でどのように振る舞うべきかをあなたが知るためです。神の家とは、生ける神の教会であり、真理の柱であり土台です。

生ける神の教会は真理の柱であり根拠であり、私たちはその真理を表すように行動する必要があります。

1. 神の家における私たちの行動

2. 教会: 真理の柱と根拠

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. エペソ 4:15 - しかし、愛をもって真実を語るなら、すべてのことにおいて頭であるキリストへと成長するかもしれません。

1 テモテ 3:16 そして、議論の余地なく、敬虔さの奥義は偉大です。神は肉において現され、御霊によって義とされ、天使たちに見られ、異邦人に宣べ伝えられ、世で信じられ、栄光に迎えられました。

敬虔さの奥義は、神が人間の姿で現され、御霊によって義とされ、天使によって見られ、異邦人に宣べ伝えられ、世に受け入れられ、栄光にさらされたということです。

1. 神性の神秘を信じる

2. 肉におけるイエスの啓示

1. ヨハネ 1:14 - そして、言葉は受肉して私たちの間に住まわれ、私たちは神の栄光、恵みと真理に満ちた父からの独り子のような栄光を見ました。

2. コロサイ 2:9 - なぜなら、彼の内には神の満ち満ちたものが肉体的に宿っているからです。

テモテ第一 4 章は、使徒パウロが若い弟子テモテに宛てて書いた最初の手紙の第 4 章です。この章では、パウロは誤った教えについて言及し、テモテの宣教を励ましています。

第 1 段落: パウロは、偽りの教えや悪霊の教えに対して警告します (テモテ第一 4:1-5)。彼は、後の時代には、結婚や特定の食べ物を禁じる欺瞞的な霊や教えに注意を払い、信仰から離れる人もいるだろうと述べています。パウロは、神が創造したものはすべて、感謝をもって受け取るなら良いものであると強調しています。彼はテモテに、信者たちが健全な教義に養われるように、これらのことを教え、勧めるようにと注意を促しています。

第 2 段落: パウロはテモテに、言葉、行い、愛、忠実さ、清さにおいて他の人に模範を示すように指示しています (1 テモテ 4:6-10)。彼は信仰の言葉と良い教えで自分を養うことによってキリスト・イエスの良い僕となるよう励ましています。パウロは、この世と来世の両方において、敬虔さはすべてのことにとって価値があることを強調し、生ける神に希望を置いているのだから、テモテに労苦し努力するよう勧めています。

第 3 段落: この章はテモテの宣教の指示で終わります (1 テモテ 4:11-16)。パウロは、自分の若さのせいで誰にも軽蔑されないよう、むしろ言動、愛、忠実さ、純粋さにおいて模範となるよう彼に求めています。彼は聖書の公の朗読、勧め、教育に専念するよう彼に勧めています。パウロは自分の霊的な賜物を無視せず、むしろそれを熱心に活用するようアドバイスしています。自分の進歩が誰の目にも明らかになるように、これらのことを実践するよう彼は勧めています。

要約すれば、

テモテ第一の第 4 章では、宣教の指示を与えながら偽りの教えについて取り上げています。

パウロは、神が創造されたすべてのものに対する感謝の念を強調しながら、結婚や特定の食品を禁じる誤った教義に対して警告しています。

イエスはテモテに，言葉遣い，行動，愛，忠実さ，純粋さを通して模範を示すよう教えています。パウロは敬虔の価値を強調し、テモテに宣教に努めるよう励ましています。

この章はテモテの宣教に関する指示で終わり、さまざまな分野で模範となり、聖書を読み、勧め、教えることに専念するようアドバイスしています。パウロは自分の霊的な賜物を無視せず、それを熱心に活用するよう勧めています。この章では、クリスチャン宣教における健全な教義、個人的な模範、献身が重要であることを強調します。

1 テモテ 4:1 今、御霊がはっきりと語っておられますが、後の時代には、ある人々が信仰から離れ、誘惑する霊や悪魔の教義に注意を払うようになるでしょう。

御霊は、終末には信仰を捨てて悪霊の教えに従う人もいるだろうと警告しています。

1. 背教の危険: 偽りの教えによる誘惑にどう抵抗するか

2. 欺瞞から守る: 信仰と真実にしっかりと立つ

1. エペソ 6:10-17 - 神の武具を身に着けて、悪魔の計略に立ち向かいましょう。

2. コリント人への第二 11:14 - サタンは自分自身を光の天使に、その僕たちを義の僕に変装します。

テモテ第一 4:2 話すことは偽善にあります。良心を熱したアイロンで焼き付けられる。

この一節は、人々が偽善的な方法で嘘をつき、もはや良心が善悪を区別できなくなっていることについて語っています。

1. 「偽善の危険性: 自分の信仰に誠実になる方法」

2.「真実の力：自分自身にも他人に対しても正直であること」

1. 箴言 12:22 - 「嘘をつく唇は主にとって忌まわしいことだが、忠実に行動する者は主の喜びである。」

2. エペソ人への手紙 4:25 - 「ですから、偽りを捨てて、あなたがたは一人一人、隣人に対して真実を語りましょう。私たちはお互いの一員だからです。」

テモテ第一 4:3 結婚を禁じ、肉を控えるよう命じていますが、神はそれを信じて真理を知る人々が感謝をもって迎えられるように創造されました。

パウロは、結婚を禁じたり、特定の種類の食べ物を食べることを禁じたりする教義を教えることに対して警告しています。これらはどちらも、信者で真理を理解している人が感謝とともに楽しむために神によって創造されたものだからです。

1. 結婚と食事の祝福：神の賜物を祝う

2. 偽りの教えを避ける: 神の言葉の真理を受け入れる

1. 創世記 2:24 それゆえ、人は父と母を離れ、妻に固く結ばれ、二人は一体となる。

2. マタイ 15:11 口に入るものが人を汚すわけではありません。しかし口から出るものは人を汚す。

1 テモテ 4:4 神の創造物はどれも善いものであり、感謝をもって受け入れられるなら、拒むべきものは何もありません。

神の創造物はすべて良いものであり、感謝の気持ちを持って受け入れられるべきです。

1: 私たちは神の賜物に感謝し、それを当然のことと決して考えるべきではありません。

2: どんなに小さなことであっても、神のすべての祝福に感謝しましょう。

1: 詩篇 28:7 主は私の力であり、私の盾です。私の心は彼を信頼しており、助けられています。それゆえ、私の心は大いに喜びます。そして私の歌で彼を讃美します。

2: コロサイ 3:17 そして、あなたがたが言葉であれ行いであれ、すべてを主イエスの名によって行い、主イエスを通して神と父に感謝しなさい。

1テモテ4:5 それは神の言葉と祈りによって神聖なものとされるからです。

パウロはテモテに、神の言葉と祈りを用いて神聖な生活を送るよう勧めています。

1. 神聖な生活を送る: 神の言葉と祈りが私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 聖化された生活を培う: 神の言葉と祈りの力

1. コロサイ 3:16-17 - 神の言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め合い、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いましょう。

2. エペソ人への手紙 6:18 - あらゆる祈りと願いをもって、常に御霊によって祈りなさい。そのために、すべての聖徒たちに祈りを捧げながら、あらゆる忍耐をもって警戒を続けてください。

1 テモテ 4:6 もしあなたが兄弟たちにこれらのことを思い出させるなら、あなたはイエス・キリストの良い奉仕者となり、あなたが到達した信仰の言葉と良い教義で養われるでしょう。

テモテは兄弟たちに信仰の言葉と良い教義を思い出させることによって、イエス・キリストの良い奉仕者となるよう励まされています。

1. 信仰と善の教義の重要性

2. 信仰の言葉と良い教義を他の人に思い出させる

1. ヘブライ 11:6 - 「しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神がそのとおりであり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる者であることを信じなければなりません。」

2. テトス 1:8-9 - 「しかし、もてなしを愛し、善良な人を愛する人で、節度があり、正しく、聖で、節度があり、教えられたとおりに忠実な言葉を堅持しており、健全な教義によって両方のことができるようになりました」反対論者たちを勧め、説得するためだ。」

1 テモテ 4:7 しかし、不敬な話や年老いた妻の寓話を拒否し、むしろ敬虔に努めなさい。

私たちは偽りの教えを拒否し、代わりに敬虔さにおいて成長するよう努めなければなりません。

1.「虚偽を拒否する力と必要性」

2.「敬虔な人生: 真の成就への道」

1. テトス 1:14 - 真理から離れたユダヤ人の寓話や人間の戒めに注意を払わない。

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 世や世のものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。

1 テモテ 4:8 というのは、身体を鍛えることはほとんど益にならないからです。しかし、敬虔さはすべてのことに有益であり、今の命と来るべき命の約束があるからです。

この一節は、身体的な運動よりも敬虔さの重要性を強調し、現在と将来の人生の約束を示しています。

1.「敬虔さは人生の鍵である」

2.「敬虔の約束」

1. ペテロ第一 2:11 - 「愛する人よ、旅人や巡礼者として、魂と戦う肉の欲望を慎んでください。」

2. 伝道の書 12:13 - 「この問題全体の結論を聞きましょう。神を畏れ、その戒めを守りなさい。これが人間の全義務だからです。」

テモテ第一 4:9 これは忠実な言葉であり、あらゆる人が受け入れるに値します。

パウロはテモテに、信仰の音信はすべての人に受け入れられるものであると宣言するように命じています。

1.「信仰の要点：神の愛のメッセージを受け入れること」

2. 「信仰の力: 受け入れられるに値する人生を送る」

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、自分に召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

1 テモテ 4:10 したがって、私たちは、すべての人々、特に信じる人々の救い主である生ける神に信頼しているので、苦労し、非難を受けます。

パウロはテモテに、すべての人は生ける神によって救われるが、特に神を信じる人は救われるということを思い出させています。

1. 信仰がもたらす救いの力

2. 生ける神を信頼する

1. ローマ 10:8-10 – 「しかし、そこには何と書いてあるでしょうか。「言葉はあなたの近くにあり、あなたの口と心の中にあります」（つまり、私たちが宣言する信仰の言葉）。9 なぜなら、イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるからです。

10 人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからです。」

2. フィリピ 4:19 – 「そして私の神は、キリスト・イエスにおける栄光の富に応じて、あなたのあらゆる必要を満たしてくださいます。」

テモテ第一 4:11 これらのことは命令しており、教えています。

パウロはテモテに、他の人たちを教え、命令するように命じます。

1.「信仰の模範として生きる: 神の戒めに従うとはどういう意味か」

2. 「教える力: テモテへのパウロの指示から学べること」

1. マタイ 28:19-20 - 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたことすべてに従うように教えなさい。」

2. コロサイ 3:17 - 「そして、言葉であれ行為であれ、何をするにも、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。」

テモテ第一 4:12 だれもあなたの若さを軽蔑してはならない。しかし、言葉において、会話において、慈善活動において、精神において、信仰において、純粋さにおいて、あなたは信者の模範となってください。

テモテは、言葉、会話、慈善、精神、信仰、純粋さなど、人生のあらゆる側面において信仰者の模範であると言われています。

1. 信仰と純粋さの生活を送る

2. 信者の模範となる

1. ヤコブ 1:22-25 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし言葉を実行する者ではなく聞く者がいるとしたら、その人は、ガラスの中で自分の自然な顔を眺める人間に似ているからである。なぜなら、彼は自分自身を見つめ、自分の道を進み、自分がどんな人間だったのかをすぐに忘れてしまうからである。しかし、完全な自由の法則を見つめ、それを継続し、忘れることを聞く人ではなく、働きを行う人は、その行為において祝福されるであろう。

2. ペテロ第一 2:11-12 - 親愛なる皆さん、旅人や巡礼者として、魂と戦う肉の欲望を慎んでください。異邦人の間で正直に会話してください。それは、異邦人があなたを悪者として非難する一方で、彼らが訪問の日に見るであろうあなたの善行によって神の栄光を現すためです。

テモテ第一 4:13 わたしが来るまでは、読書、勧め、教義に耳を傾けてください。

パウロはテモテに、戻ってくるまで読書、勧め、教えることに集中するように言います。

1. 「学習に熱心になれ：本を読み、勧め、教えることの重要性」

2. 「集中力: 精神的な成長への献身がもたらす報酬」

1. コロサイ 3:10-17 - 創造主の姿に倣って知識が新たにされる新しい自分を身に着けてください。

2. ペテロ第一 5:5-7 - 神に対して謙虚で従順でありなさい。そうすれば、神はやがてあなたを高めてくださるでしょう。

1 テモテ 4:14 中会の按手によって預言によってあなたに与えられた、あなたの中にある賜物を無視してはならない。

預言と按手を通して神から与えられた賜物を捨てないでください。

1. 自分の賜物を神のために使うことの重要性

2. 神があなたに与えた賜物を認識し活用する方法

1. エペソ人への手紙 4:11-12。そして彼は何人かの使徒たちを与えた。そしてある者は預言者。伝道者もいます。牧師や教師もいる。聖徒を完成させるため、奉仕の働きのため、キリストの体の徳を高めるためです。

2. ローマ人への手紙 12:6-8。したがって、預言であろうと、私たちに与えられる恵みに応じて異なる賜物があるので、信仰の割合に応じて預言しましょう。あるいは奉仕、私たちの奉仕を待ちましょう。あるいは教える人は教えることを待ちましょう。あるいは、勧める人は、勧めます。与える人は、単純にそれを行いましょう。勤勉に統治する者。朗らかに慈悲を示す者。

テモテ第一 4:15 これらのことを黙想してください。自分自身を完全に彼らに捧げなさい。あなたの利益がすべての人に現れるように。

パウロはテモテに、彼の進歩がすべての人に分かるように主の教えに専念するよう勧めています。

1. 献身の力: 神への献身がどのようにして深い成長につながるのか

2. 印象を残す: 主の教えに従うことで、どのように他の人があなたの信仰を理解できるようになるか

罪人たちの道を妨げず、あざける者の座に座らない人は幸いです。しかし、彼の喜びは主の律法であり、昼も夜も主の律法を黙想しています。

2. ヤコブ 1:22-25 - しかし、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞き手ではなく、行動する実行者となる人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。

1 テモテ 4:16 自分自身と教義に注意を払いなさい。そうすることで、あなたは自分自身と、あなたの言うことを聞く人々の両方を救うことになるからです。

クリスチャンは自分自身の教義に注意を払い、それを継続する必要があります。これは自分自身と教えている人々の両方に利益をもたらすからです。

1) 聖書とその教義を教えることの重要性

2) 福音の力: 教える側と聞く側の両方にどのような利益があるか

1) テモテ第二 3:16 - 聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に役立ちます。

2) 詩篇 19:7-8 - 主の律法は完全であり、魂を改心させます。主の証しは確かであり、単純な人を賢くします。主の掟は正しく、心を喜ばせます。主の戒めは純粋で、目を啓発します。

テモテ第一 5 章は、使徒パウロが若い弟子テモテに宛てて書いた最初の手紙の第 5 章です。この章では、パウロは未亡人、長老、奴隷を含む教会内のさまざまなグループの扱いについて指示を与えています。

第 1 段落: パウロは教会共同体の中でやもめをどのように扱うべきかについて述べています (1 テモテ 5:1-16)。彼はティモシーに、年上の女性を母親として、若い女性を姉妹として絶対的な純粋さで扱うように指示しています。パウロは特に、本当に困窮していて家族の援助もない未亡人たちに語りかけています。未亡人に子供や孫がいる場合は、教会に負担をかけずに彼女の世話をすべきだと彼はアドバイスする。しかし、未亡人が本当に孤独で、神に希望を抱いている場合には、教会からの経済的援助のリストに登録される可能性があります。

第 2 段落: パウロは長老たちに対する告発に対処するためのガイドラインを示しています (テモテ第一 5:17-25)。優れた指導を行う長老たち、特に説教と教育に尽力する長老たちは二重の栄誉を受けるに値すると彼は強調する。しかし、彼はまた、適切な証拠や調査なしに長老に対する告発を受けることに対しても警告している。長老が執拗に罪を犯したと判断された場合、他の人への警告として公に叱責されるべきである。

第 3 段落: この章は奴隷とその主人に関する指示で終わります (テモテ第一 6:1-2)。パウロは奴隷たちに、神の御名と教えが冒涜されないように、信仰を持った主人を敬うよう勧めています。信者たちが行動において真の敬虔さを示すことができるよう、テモテに全権を持ってこれらの原則を教えるよう強く勧めています。

要約すれば、

テモテ第一の第 5 章には、教会共同体内の未亡人、不正行為で告発された長老、奴隷の扱いに関する指示が示されています。

パウロは、やもめの状況に応じて適切に扱う方法、つまり家族の支援のない未亡人を世話するが、可能であれば自給自足を奨励する方法を教えています。

彼は長老に対する告発に対処するためのガイドラインを提供し、証拠の必要性と告発を受ける際の注意を強調しています。永続的な罪は公に対処されるべきです。

この章は、神の御名と教えが冒涜されないよう、奴隷が信仰を持った主人を敬うよう指示で終わります。パウロはテモテにこれらの原則を権威をもって教えるよう勧めています。この章では、未亡人に対する適切なケア、指導者層における説明責任、教会共同体内のさまざまな社会関係における敬虔な行為の重要性を強調します。

1 テモテ 5:1 長老を叱責しないで、父親として懇願しなさい。そして若い人たちを兄弟として。

年長者を父親として、年下者を兄弟として尊敬し、扱います。

1.「高齢者を敬う：教会における敬意と愛」

2. 「一致して生きる：他人を兄弟姉妹として扱う」

1. 箴言 16:31 「白髪は栄光の冠、それは正しい生活の中で得られるものである。」

2. エペソ人への手紙 6:1-3 「子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。『父と母を敬え』――これは約束のある第一の戒めです――」あなたが地上で長生きできるように。」

テモテ第一 5:2 母親としての年長の女性たち。妹は姉妹のように、純粋に。

年上の女性は母親として尊敬され扱われるべきであり、若い女性は純粋に尊敬され姉妹として扱われるべきです。

1. 尊敬と名誉: 年上の女性と若い女性を尊重することの重要性

2. 人間関係における純粋さ: 女性との交流において神聖さを維持する

1. 箴言 31:28-29 「子供たちは立ち上がって彼女を祝福者と呼びます。彼女の夫もまた彼女をほめます。『多くの娘がよくやったが、あなたはその全員に勝ります。』」

2. ペテロ第一 3:7 「同様に、夫たちよ、妻とともに理解のある生き方をしなさい。妻は自分より弱い器として敬意を表します。なぜなら、彼らはあなたとともにいのちの恵みを受け継ぐ者だからです。邪魔された。」

テモテ第一 5:3 まさにやもめであるやもめを敬え。

未亡人は尊敬され、世話されるべきです。

1.「未亡人を讃える：同情への呼びかけ」

2.「未亡人の世話：愛の戒め」

1. 詩篇 68:5 - 「父のいない者の父親、やもめの擁護者は、その聖なる住まいにおける神である。」

2. ヤコブ 1:27 - 「父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児ややもめを訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。」

1 テモテ 5:4 しかし、未亡人に子供や甥がいる場合は、まず家庭で敬虔さを示すことと、両親に報いることを学ばせてください。それは神の前に良いことであり、受け入れられることだからです。

子供や甥のいる未亡人は、両親に対して敬虔さと敬意を示すように教えるべきです。それが神に喜ばれるからです。

1. 尊敬の力：子供たちに両親を敬うよう教える

2. 敬虔さの祝福: 行動を通してどのように神を喜ばせることができるか

1. エペソ 6:1-3 - 子供たちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。「あなたの父と母を敬え」これは、「あなたが無事で、地上で長く生きることができるように」という約束を伴う最初の戒めです。

2. 箴言 1:8 - 息子よ、父の教えを聞きなさい、母の教えを捨ててはならない。

1 テモテ 5:5 今、やもめであり、寂しさを感じている彼女は、神を信頼し、昼も夜も願いと祈りを続けています。

本当に寂しい状況にあるやもめは、神を信頼し、祈り続けることで慰めを得ることができます。

1. 一人ではない：神の愛の強さを見つける

2. 祈りの力: 神とつながることで、最も寂しい人でもどのように慰められるか

1. 詩篇 46:1 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に常に存在する助けです。」

2. イザヤ書 41:10 - 「だから恐れないでください。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。」

1 テモテ 5:6 しかし、快楽に生きる者は、生きている間に死んでいるのです。

喜びと放縦に満ちた人生を送ることは、霊的な死につながる可能性があります。

1. 贅沢なライフスタイルの危険性

2. 忠実さを優先して快楽を拒否する

1. 箴言 11:19 - 義が命をもたらすように、悪を追い求める者は自らの死に至るまでそれを追い求める。

2. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

1 テモテ 5:7 そして、これらのことは、罪のないものとなるために責任を与えます。

パウロはテモテに、自分が担当する人々に罪のない状態を保つよう指示しました。

1. 責任の力: 罪を犯さないとはどういう意味か

2. 聖書の責任: 無罪を貫く義務

1. エペソ人への手紙 4:17-32 - 真理と愛のうちに歩みます。

2. マタイ 5:48 - キリストによる完全さ。

1 テモテ 5:8 しかし、もし自分自身、特に自分の家の人々に養わない人がいるなら、その人は信仰を否定したことになり、異教徒よりも悪いのです。

自分の家族を養うのは個人の責任です。そうしないと、それは信仰の否定とみなされ、信仰を持たない人よりも劣悪になります。

1. 家族を養うことは、神に忠実であるために不可欠な部分です。

2. 家族の必要を無視することは霊的な弱さの表れです。

1. ヨハネ第一 3:17-18 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見ていても、その兄弟に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人の内に宿るでしょうか。子供たちよ、言葉や言葉で愛さないようにしましょう。」口では言いますが、行為と真実で。」

2. テモテ第一 5:4 - 「しかし、やもめに子供や孫がいる場合は、まず自分の家族に対して敬虔さを実践し、両親にある程度のお返しをすることを学ばなければなりません。これは神の目に喜ばれることだからです。」

テモテ第一 5:9 一人の男の妻であった未亡人を、三十歳未満の数に加えてはならない。

この一節は、1人の男性としか結婚したことのない60歳未満の未亡人を数に含めないことについて述べています。

1. 私たちのコミュニティで死別した人たちを大切にし、世話をすることの重要性。

2. 夫を亡くした人を世話する際に神の律法と知恵を尊重することの価値。

1. ヤコブ 1:27 - 神と父の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦境にある孤児や未亡人を訪ね、世から目立たないようにすることです。

2. イザヤ書 1:17 - 善を行うことを学びなさい。正義を求め、抑圧者を叱責する。父親のいない人を擁護し、未亡人のために訴えます。

テモテ第一 5:10 良い行いについてはよく報告されています。彼女が子供たちを育てたかどうか、見知らぬ人を家に泊めたかどうか、聖徒たちの足を洗ったかどうか、苦しんでいる人々を救ったかどうか、あらゆる善行に熱心に従ったかどうか。

パウロはテモテに、子育て、見知らぬ人をもてなすこと、聖徒の足を洗うこと、苦しんでいる人を救うこと、あらゆる良い業を追求することなど、良い行いをしたやもめを讃え、支援するよう勧めています。

1. 良い行いの力: 未亡人はどのように私たちに道を示してくれるのか

2. 未亡人を支援することの重要性: ポールのビジョンを実現する

1. ガラテヤ 6:9-10 – 「善を行うことに疲れないようにしましょう。あきらめなければ、しかるべき時に収穫が得られます。ですから、機会があれば、すべての人に善を行ないましょう」特に信者の家族に属する人たちに。」

2. ヤコブ 1:27 – 「私たちの父なる神が純粋で非の打ちどころのないものとして認める宗教は、苦悩する孤児や寡婦の世話をし、世によって自分自身を汚さないようにすることです。」

1 テモテ 5:11 しかし、若いやもめたちは拒否します。なぜなら、彼らがキリストに反抗し始めたら、結婚するからです。

この一節は、若い未亡人たちに再婚を避けるようアドバイスし、キリストへの献身を続けるよう奨励しています。

1. 信仰において成長する: キリストへの献身の価値を学ぶ

2. 未亡人: 神のうちに慰めと強さを見つける

1. 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

1 テモテ 5:12 彼らは最初の信仰を捨てたので、天罰を受けています。

本来の信仰を捨てた人々は非難されて当然です。

1.「信仰を捨てる：私たちが直面する結果」

2.「自分の信念を貫くことの大切さ」

1. ヘブライ 10:26-31 - 「なぜなら、私たちが真理の知識を得た後も故意に罪を犯し続けるなら、残るのは罪のための犠牲ではなく、裁きへの恐ろしい期待と、人々を焼き尽くす炎の怒りだけです。敵対者。」

2. ガラテヤ 5:1-4 - 「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださったのです。だからしっかり立ちなさい。奴隷のくびきに再び屈しないでください。」

1 テモテ 5:13 そして彼らは、家から家へと歩き回って、怠けることを学びます。そして、怠惰なだけでなく、たどたどしい人や多忙な人も、言ってはいけないことを話します。

人々は怠けたり、すべきではないことについて噂話をしたりすることを学び始めています。

1. ゴシップの力: 噂を止めて人生を語る方法

2. 怠惰: 何もしないことの結果を理解する

1. マタイ 12:36-37 「あなたたちに言いますが、裁きの日には、人々は自分が話すあらゆる不注意な言葉の責任を負います。あなたがたは言葉によって義とされ、言葉によって罪に定められるからです。」

2. 箴言 18:8 「ささやく者の言葉はおいしい一口分のようなものである。体の内部まで浸透していきます。」

1 テモテ 5:14 ですから、私は、若い女性たちが結婚し、子供を産み、家を指導し、敵対者に非難の言葉を言う機会を与えないようにします。

パウロは若い女性たちに、敵対者に中傷の理由を与えないように、結婚し、子供を産み、家庭を管理するよう勧めています。

1. 積極的な信仰における結婚と家族の重要性

2. 家庭で神を敬うために忠実さを高める

1. 箴言31:10-31

2. エペソ人への手紙 5:22-33

1 テモテ 5:15 ある人たちはすでにサタンの後から離れてしまっているからです。

教会員の中にはサタンによって惑わされた人もいます。

1.「惑わされないでください：罪深い世界で信仰の人生を生きる」

2.「神の警告: 罪の道を歩むな」

1. ヤコブ 1:14-15 - しかし、人は誰でも、自分の邪悪な欲望に引きずられ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望は妊娠した後、罪を生み出します。そして罪が大きくなると死を生み出します。

2. 1 コリント 10:13 - 人類に共通する誘惑以外に、あなたを襲った誘惑はありません。そして神は忠実です。神はあなたが耐えられないほど誘惑されることを許しません。しかし，誘惑に遭ったときは，あなたがそれに耐えられるように，抜け出す道も備えてくださいます。

1 テモテ 5:16 信者の男性または女性に未亡人がいる場合は、彼らを解放させてください。教会を告発しないでください。それは本当に未亡人である彼らを安心させるためです。

信者は未亡人の世話をすべきであり、教会は真の未亡人を助けるべきです。

1. 未亡人を讃える: 教会における同情と支援

2. 思いやりの力: 教会への行動の呼びかけ

1. ヤコブ 1:27 - 神と父の前に汚れのない純粋な宗教とは、苦しみの中にある父親のいない人ややもめを訪ね、世から汚れないようにすることです。

2. イザヤ書 1:17 - 良い行いを学びなさい。裁きを求め、抑圧されている人を救い、父親のいない人を裁き、未亡人のために嘆願する。

1 テモテ 5:17 うまく統治する長老たち、特に言葉と教義に尽力する長老たちには二重の栄誉を与えるにふさわしい者とみなしましょう。

上手に導き、神の言葉を説教し教えることに熱心に取り組む長老たちは、二重の栄誉を受けるに値します。

1. 長老の価値: 二重の名誉の祝福

2. 教会のリーダーシップ: 二重の栄誉に値する

1. ヘブライ人への手紙 13:17 - あなたを支配している者たちに従い、服従しなさい。なぜなら、彼らは、罪を償わなければならない者たちと同じように、あなたがたの魂が悲しみではなく喜びをもってそれを行えるように、見守っているからである。あなたにとって不利益です。

2. テサロニケ第一 5:12-13 - 兄弟たち、私たちはあなたがたの間で働き、主にあってあなたを支配している人々を知り、あなたがたを戒めるようにお願いします。そして、彼らの仕事に対する愛を非常に高く評価します。そして、あなた方の間で平和になってください。

1 テモテ 5:18 聖書には、「トウモロコシを踏み出す牛に口輪を付けてはならない」と書いてあるからです。そして、その労働者は報酬を受けるに値する。

聖書は、労働者は賃金を受ける権利があると教えています。

1. 「公正であれ：自分が蒔いたものは刈り取る」

2.「仕事の価値と賃金」

1. マタイ20:1-16

2. ガラテヤ6:7-10

1 テモテ 5:19 長老に対しては告発を受けず、二人か三人の証人の前で受けなさい。

2人か3人の証人の立ち会いなしに長老に対して告発を行ってはなりません。

1. 証人の力: 告発の際に証人が必要な理由。

2. 長老とともに立つ: リーダーを尊重しサポートする方法。

1. 箴言 18:17、「最初に自分の主張を述べる人は、他の人が来て彼を調べるまでは正しいように思われます。」

2. ヤコブ 5:16、「ですから、癒されるために、互いに罪を告白し、互いに祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力を持って働いています。」

1 テモテ 5:20 罪を犯した者は、他の人たちも恐れるように、皆より先に叱責されます。

他の人に罪を恐れるよう促すために、罪を公の場で叱責する必要があります。

1. 罪の代償: 罪を叱責することがなぜ必要なのか

2. 恐れの価値: 罪を恐れることがなぜ重要なのか

1. 箴言 3:7 - 「自分の目に賢くない、主を畏れ、悪から立ち去れ。」

2. ヘブライ人への手紙 12:11 - 「さて、今の懲らしめは喜ばしいものではなく、悲しいものであるように思われます。にもかかわらず、その後、それによって行使される者たちに、平和な義の実をもたらします。」

1 テモテ 5:21 神と主イエス・キリストと選ばれた天使たちの前で、あなたにお願いします。あなたがこれらのことを守り、一方を優先することなく、決して不公平なことをしないようにしてください。

パウロはテモテに、決断を下す際に偏見や偏りを持たずに行動するように命じています。

1. 「えこひいきせずに生きる：クリスチャンの義務」

2. 「公平性の重要性: 分断された世界でバランスを見つける」

1. ヤコブ2:1-13

2. ローマ人への手紙 2:1-11

1 テモテ 5:22 突然、人に手を置いてはなりません。また、他人の罪にあずかってはいけません。自分を清く保ちなさい。

わたしたちは他人の間違った行いをすぐに判断したり巻き込まれたりしてはならず、純粋さを保つよう努めるべきです。

1. 自制の力: 他人をすぐに判断してはいけない理由

2. 真実を貫く: 純粋さを維持することの重要性

1. ヤコブ 4:11-12 - 兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟に悪口を言い、兄弟を裁く者は、律法に逆らって悪を語り、律法を裁くのです。しかし、もしあなたが法を裁くなら、あなたは法の実行者ではなく裁判官です。

2. ペテロ第一 1:15-16 - しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。「わたしが聖であるから、あなたも聖になる。」と書いてあるからです。

1 テモテ 5:23 もう水は飲まないで、あなたの胃袋とあなたのよくある病気のために、少量のワインを使いなさい。

パウロはテモテに健康のためにワインを飲むようにアドバイスします。

1. 体を大切にする: 聖書のアドバイスに従うことの身体的および霊的利点

2. 節度の力: 健康的な生活と聖書の知恵のバランスを取る方法

1. エペソ人への手紙 5:18、「また、ぶどう酒に酔ってはなりません。それは散逸です。むしろ、御霊に満たされなさい。」

2. 箴言 31:6-7、「滅びゆく者には強い酒を飲ませ、心の苦い者にはぶどう酒を飲ませなさい。彼は飲んで自分の貧しさを忘れさせ、もうその悲惨さを思い出さないようにしましょう。」

1 テモテ 5:24 ある人々の罪は、裁きを受ける前にあらかじめ明らかになっています。そして彼らが後を追う何人かの男性。

パウロはテモテに、ある人々の罪は裁かれる前に明らかになる一方、他の人は裁きの後に明らかになる、と警告しています。

1.「罪の結果」

2.「神の裁きと慈悲」

1. 箴言 16:25 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死の道である。」

2. ヨハネ第一 1:9 - 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」

1 テモテ 5:25 同様に、ある人の良い行いは前から明らかです。そして、そうでないものは隠すことができません。

ある人の良い行いは誰の目にも明らかですが、他の人はそれほど明らかではありません。

1. 善きサマリア人: 他の人に神の愛を示す方法

2. 良い行いの重要性: 神に栄光をもたらす人生を送る

1. ガラテヤ 6:9-10 「善行に疲れないようにしましょう。失神しなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。ですから機会があるのですから、すべての人、特に彼らに善を行ないましょう」信仰の家の者たちです。」

2. マタイ 5:16 - 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父をあがめることができます。」

テモテ第一 6 章は、使徒パウロが若い弟子テモテに宛てて書いた最初の手紙の 6 番目で最後の章です。この章では、パウロは偽教師、知足、敬虔さの追求など、さまざまなテーマを扱っています。

第 1 段落: パウロは偽教師と彼らの物質的な利益への欲望に対して警告します (1 テモテ 6:1-10)。彼は奴隷たちに、自分たちの主人、特に信者である主人を敬うように教えています。彼は、異なる教義を教えたり、妬みや争い、邪悪な疑惑を生む論争を促進したりする人に対して警告しています。パウロは、満足を伴う敬虔さは大きな利益であることを強調し、あらゆる種類の悪の根源として金銭を愛することに対して警告しています。テモテにこれらの誘惑から逃げて、義、敬虔、信仰愛、忍耐、そして優しさを追求するよう勧めています。

第 2 段落: パウロはテモテに、信仰の戦いを戦うよう命じます (1 テモテ 6:11-16)。彼は貪欲を避けながら正義を追求するよう勧めています。パウロは、宣教の任務を受けたとき、多くの証人の前で告白したことを彼に思い出させます。彼は神の主権を強調し、神は不滅で近寄りがたい光の中に住まわれていると描写しています。パウロはテモテに、キリストが現れるまで汚れもとがめもなく神の戒めを守るように勧めています。

第 3 段落: この章は裕福な信者への指示で終わります (テモテ第一 6:17-21)。パウロは、現代の裕福な人たちに、傲慢になったり、不確実な富に希望を置いたりするのではなく、私たちの楽しみのためにすべてを豊かに備えてくださる神に希望を置くようにとアドバイスしています。彼らは自分の富を使って良い行いをし、惜しみなく分かち合うよう奨励されています。最後に、パウロはテモテに、知識と誤って呼ばれる不謹慎なおしゃべりや矛盾を避けながら、自分に託されたものを守るよう命じます。

要約すれば、

テモテ第一の第 6 章では、偽教師、満足と貪欲、

そして裕福な信者への指示。

パウロは偽りの教えと金銭への愛を警告し、満足して敬虔さを追求するようテモテに勧めます。

彼はテモテに、神の主権と神の戒めを守ることの重要性を強調しながら、信仰の戦いを善戦するよう求めています。

この章は、裕福な信者が寛大になり、富に希望を託さないようにという指示で終わります。パウロはテモテに、空虚なおしゃべりを避けながら、自分に託されたものを守るよう勧めています。この章では、当時蔓延していた偽りの教えの中で、敬虔さ、満足感、富の責任ある管理の追求を強調しています。

1 テモテ 6:1 神の御名とその教義が冒涜されないように、くびきの下にあるできるだけ多くの僕たちは、自分をあらゆる名誉を受けるに値する主人とみなしましょう。

パウロは、神の御名と教えに栄光をもたらすために、主人を敬うように召使いたちに教えています。

1. 名誉の重要性: テモテ第一 6:1 の研究

2. 名誉をもって奉仕する: 日常生活で神の栄光を讃える方法

1. コロサイ 3:22-24 - 「奴隷たちよ、何事においても地上の主人に従いなさい。そして、彼らの目があなたに注がれて彼らの好意を集めているときだけでなく、誠実な心と主への畏敬の念を持ってそれを行いなさい。「人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。 24 あなたは報酬として主から相続財産を受けることを知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

2. エペソ人への手紙 6:5-7 - 「奴隷たちよ、キリストに従うのと同じように、敬意と恐れを持って、そして心から誠実に地上の主人に従いなさい。「しかし、キリストの奴隷のように、心から神の御心を行いなさい。7 人々ではなく主に仕えるかのように、心を込めて仕えなさい。」

1テモテ6:2 信仰のある主人を持つ者たち、彼らを軽蔑してはならない。彼らは兄弟だからである。彼らは忠実で愛されており、恩恵にあずかっているのですから、むしろ奉仕をしましょう。これらのことは教え、勧めます。

信者は主人を軽蔑すべきではなく、忠実に仕えるべきです。なぜなら彼らは忠実で愛されており、恩恵にあずかる者だからです。

1. 忠実と愛を持って主人に仕える

2. 主人に忠実に仕えることの利点

1. コロサイ 3:22-25 - 「しもべたちよ、肉に従って、すべてのことにおいて主人に従いなさい。人を喜ばせるように、目先の奉仕ではなく、神を畏れ、心から誠実に行いなさい。そして、何をするにも、心から行いなさい。あなたがたは、主キリストに仕えているのだから、主から相続財産の報いを受けることを知っている人に対してではない、主である。人。"

2. エペソ人への手紙 6:5-8 - 「召し使いたちよ、キリストに対するように、恐れと震えをもって、心一心に、肉による自分の主人である彼らに従順でありなさい。人を喜ばせる者のように、目の前の奉仕ではなく、主人として従順でありなさい。」キリストのしもべ、心の底から神の御心を行う、人に対してではなく主に対して善意を持って奉仕する、どんな良いことをする人でも、その人がどんな善いことをしても、同じように主から受けられることを知っている絆か自由か。」

1 テモテ 6:3 もし誰かがそうでないことを教え、健全な言葉、たとえ私たちの主イエス・キリストの言葉であっても、敬虔に基づく教義に同意しないなら、

この箇所は、もし誰かがイエス・キリストの言葉や敬虔な教義に反して何かを教えるなら、それは健全ではないと言っているのです。

1. 「神の教え: 義にかなった生活の基礎」

2. 「イエスの言葉: 聖性への道」

1. マタイ 7:24-27 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は誰でも、私はその人を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。」

2. 箴言 2:1-8 - 「わが子よ、もしあなたが私の言葉を受け入れ、私の戒めをあなたに隠したいのであれば、あなたは知恵に耳を傾け、理解に心を傾けてください。」

1 テモテ 6:4 彼は高慢で、何も知らず、ただ質問や言葉の争いに夢中で、そこから妬み、争い、柵、邪悪な憶測が生じます。

人は高慢で無知で、妬み、争い、悪意のある言葉につながる議論に参加します。

1. 高慢は滅びにつながる - 箴言 16:18

2. 争いの危険 - 箴言 17:14

1. ヤコブ 3:16 - ねたみと争いがあるところには、混乱とあらゆる悪の業があるからです。

2. 箴言 26:17 - 通り過ぎたり、自分に関係のない争いに干渉する者は、犬の耳をつかむようなものです。

1 テモテ 6:5 利益が敬虔であると仮定して、真理を欠き、堕落した精神を持つ人々のひねくれた論争。そのようなことから身を引いてください。

パウロはテモテに、物質的な富を得ることが敬虔さの一形態であると主張する人々を避けるように指示しています。

1.「敬虔と利益：真の道とは何か？」

2. 「堕落した心と誤った教えの危険性」

1. マタイ 6:24 - 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に忠実で他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神と富に仕えることはできません。」

2. マルコ 10:23-25 - そして、イエスは周りを見回して弟子たちに言われた、「富を持っている人たちが神の国に入るのは、なんと難しいことでしょう」。弟子たちは彼の言葉に驚いた。しかし、イエスは再び彼らに言われた、「子供たちよ、神の国に入るのはなんと難しいことだろう。金持ちが神の国に入るよりも、ラクダが針の穴を通る方が簡単だ。」

テモテ第一 6:6 しかし，満足を伴う敬虔さは大きな益となります。

神を信じて自分の人生に満足することは大きな祝福です。

1. 満足の祝福

2. 敬虔さの報いを得る

1. 詩篇 37:3-4 - 主を信頼し、善を行いなさい。土地に住み、安全な牧草地を楽しむ。主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いを叶えてくださるでしょう。

2. ピリピ 4:11-13 - 私は、どんな状況であっても満足することを学びました。私は貧しいとはどういうことかを知っていますし、豊かであるとはどういうことかを知っています。私は、十分な食事があるか空腹であるか、豊かな生活でも貧しい生活でも、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。私に力を与えてくださる神を通して、私はこれらすべてを行うことができます。

1 テモテ 6:7 私たちはこの世に何も持ち込んでいませんし、何も実行できないことは確かです。

私たちは何も持たずにこの世に生まれ、何も持たずにこの世を去ります。

1. 人生と所有物の虚しさ

2. 人生の無常

1. 伝道者の書 5:15 - 彼は母親の胎内から出てきたとき、裸で帰って、来たときと同じように行きます。そして彼は自分の労働を何も取らず、手に持って持ち去ってもよい。

2. マタイ 6:19-21 - 自分のために宝を地上に積んではなりません。そこでは虫やさびが腐敗し、盗人が侵入して盗みます。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。

1テモテ6:8 そして、食べ物と着物があるので、それで満足しましょう。

私たちは食べ物や衣服を含め、自分が持っているもので満足すべきです。

1. 満足感: 私たちの人生にとっての祝福

2. 満足感: 心配や不安からの解放

1. 箴言 19:23 - 主を恐れることは命につながります。そうすれば、人はトラブルに悩まされることなく、満足して休むことができます。

2. ピリピ 4:11-12 - 私がこのように言っているのは、私が困っているからではありません。私は、どんな状況であっても満足することを学んだからです。私は貧しいとはどういうことかを知っていますし、豊かであるとはどういうことかを知っています。私は、十分な食事があるか空腹であるか、豊かな生活でも貧しい生活でも、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。

1 テモテ 6:9 しかし、富を得ようとする者たちは、誘惑と罠に陥り、多くの愚かで有害な情欲に陥り、それが人々を滅びと滅びに溺れさせます。

富の追求は誘惑につながり、破滅をもたらす可能性があります。

1:富に集中しすぎると破壊につながる可能性があるので注意してください。

2: 富の追求に騙されないでください。それは多くの人を破滅させる可能性があるからです。

1: 箴言 11:28 - 自分の富に頼る者は倒れるが、正しい者は枝のように栄える。

2: 伝道の書 5:10 - 銀を愛する者は銀に満足しないであろう。また、豊かさをますます愛する者も同様です。これも虚栄です。

1 テモテ 6:10 なぜなら、金銭への愛はすべての悪の根源だからです。ある人々はそれを切望しながらも、信仰を誤り、多くの悲しみで自分を貫きました。

金銭への愛は人々を信仰から遠ざけ、悲しみをもたらす可能性があります。

1. お金に支配されないでください

2. 貪欲の危険性

1. 伝道の書 5:10 「お金を愛する者はお金に満足せず、富を愛する者はその収入に満足しない。」

2. ヨハネ第一 2:16 「世にあるものはすべて、肉の欲望、目の欲望、人生の高慢は、父から出たものではなく、世から出たものです。」

1テモテ6:11 しかし、神の人よ、あなたはこれらのことから逃げてください。そして義、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。

この聖句は、世俗的な欲望から逃れ、義、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めるよう私たちを励ましています。

1.「罪から逃れ、神の望みに従う」

2.「義の追求と聖性の生活」

1. ローマ 12:9-13 - 愛は誠実でなければなりません。悪を憎む。良いものにしがみつく。愛においてお互いに献身的になってください。自分よりもお互いを尊重しましょう。決して熱意を欠いてはならず、霊的な熱意を保ち、主に仕えましょう。希望を持って喜び、苦難を耐え忍び、忠実に祈りましょう。

2. コロサイ 3:12-15 - したがって、神に選ばれた聖なる民として、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。お互いに忍耐し、誰かに対して不満を抱いている人がいたら許し合いましょう。主があなたを赦してくださったように、赦してください。そして、これらすべての美徳の上に愛がかぶせられ、それがそれらすべてを完全な統一に結びつけます。

1 テモテ 6:12 信仰の戦いを戦い抜き、永遠の命を掴みなさい。あなたはそこに召され、多くの証人の前で立派な信仰を告白しました。

パウロはテモテに信仰生活を送り、多くの証人たちの前で公言してきた永遠の命を堅持するよう勧めています。

1. 忠実に生きる力: 善戦する方法

2. 信仰の職業にしっかりと立つ

1. ヘブライ 10:35-36 したがって、大きな報いをもたらす自信を捨てないでください。なぜなら、神の御心を行ったときに約束のものを受け取るためには、あなたには忍耐が必要だからです。

2. ペテロ第一 5:8-9 冷静になりなさい。気をつけてください。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのようにうろつき、食いつくべき者を求めています。世界中の同胞団が同じ種類の苦しみを経験していることを知り、信仰を固く持って彼に抵抗してください。

1 テモテ 6:13 私は、万物を生き返らせる神の御前と、ポンテオ・ピラトの前で良い告白を目撃されたキリスト・イエスの前で、あなたに告発します。

パウロはテモテに、神とキリスト・イエスの御前で、ポンテオ・ピラトの前で正しい告白をするよう求めます。

1. 良い告白の力

2. キリストを証しすることの重要性

1. マタイ 10:32-33 - 「ですから、人の前でわたしを告白する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で告白します。しかし、人の前でわたしを否認する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で否認します。」」

2. マタイ 16:24-25 - 「それからイエスは弟子たちに言われた、「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救いたいと願う者は負けるからです」しかし、わたしのために命を失った者は、それを見つけるだろう。」

1 テモテ 6:14 あなたは、私たちの主イエス・キリストが現れるまで、この戒めをきずに、とがめられることなく守りなさい。

クリスチャンは、イエス・キリストが再臨されるまで神の戒めに従うよう求められています。

1. 従順な生活を送る - テモテ第一 6:14

2. キリストの再臨 - 私たちの希望と期待

1. エペソ 5:1-2 - したがって、キリストが私たちを愛し、神への香りのよい供え物、犠牲として私たちのためにご自身をささげられたように、愛する子供たちとして神の模範に従い、愛の道を歩んでください。

2. ペテロ第一 1:13-14 - したがって、行動の準備を整えて、冷静な心を持ち、イエス・キリストの啓示によってもたらされる恵みに完全に希望を置きなさい。従順な子供たちとして、以前は無知だったころの情熱に従わないでください。

1 テモテ 6:15 彼はその時代に、誰が祝福された唯一の権力者であり、王の中の王であり、主の中の主であるかを明らかにするでしょう。

この箇所は、神が宇宙の唯一の支配者、王の中の王、主の中の主であると語っています。

1. 神はすべての至高の支配者です: テモテ第一 6:15 についての研究

2. 全能者の威光を宣言する: テモテ第一 6:15 の教え

1. イザヤ書 9:6-7 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあります。そして彼の名は素晴らしい、相談者、力強い神、永遠の父と呼ばれるでしょう, 平和の王子。

2. 黙示録 19:16 - そして、彼の服と太ももには、「王の中の王、主の中の主」と書かれた名前があります。

1 テモテ 6:16 ただ不死を持っているのは、誰も近づくことのできない光の中に住んでいる人です。誰も見たことがないし、見ることもできないお方に、永遠の名誉と力がありますように。アーメン。

この一節では、神は不死性を持ち、人間には到達できない光の中に宿り、永遠の名誉と権力に値する存在であると説明されています。

1. 計り知れない神の威厳

2. 神の不変性と色褪せない栄光を認識する

1. イザヤ書 6:1-5 - 神の聖さに関するイザヤのビジョン

2. ヨハネ 1:1-18 - イエスは神の真の光です

1 テモテ 6:17 この世で富んでいる人々に、高ぶることなく、不確実な富に頼るのではなく、私たちに享受できるすべてのものを豊かに与えてくださる生ける神に頼るように命じてください。

パウロは裕福な人たちに、高慢にならず、必要なものをすべて備えてくださった神に信頼を置くようにと教えています。

1. 神は私たちに必要なものをすべて与えてくださったので、高慢ではなく感謝しましょう。

2. 私たちの必要をすべて満たしてくださる生ける神に信頼を置きましょう。

1. 詩篇 24:1 - 地とその満ち満ちるすべて、世界とそこに住む人々は主のものです。

2. ヤコブ 1:17 - すべての良い賜物とすべての完全な賜物は上から来て、光の父から降りてきます。父には変化がなく、変わる影もありません。

1 テモテ 6:18 彼らは良いことを行い、良い行いに富み、喜んで配布し、進んでコミュニケーションを図ります。

信者は寛大になり、自分の富で他の人を助けるべきです。

1. 富による寛大さ: 他人を助けるために自分のお金をどう使うか

2. 善行と寄付: 他人を祝福するために自分の富を使うことの利点

1. 使徒 20:35 - 「私はすべてのことにおいて、このように一生懸命働くことによって弱い人たちを助けなければならないことをあなたに示しました。また、主イエスご自身がこう言われた、『与えることよりも与えることのほうが幸いである』という主イエスの言葉を思い出してください。受け取る。'"

2. 箴言 11:24-25 - 「人は惜しみなく与えても、ますます豊かになる。ある人は与えるべきものを差し控えて、ただ欠乏に苦しむだけです。祝福をもたらす者は豊かになり、水を注ぐ者は自分も注がれる。」

1 テモテ 6:19 永遠の命をしっかりと掴むことができるように、来るべき時に備えて良い土台を蓄えなさい。

この聖句は、読者に良い基礎を蓄え、永遠の命をしっかりと掴むよう勧めています。

1. 永遠の命を確実に得るために、人生の良い基盤を築くことの重要性。

2. 将来に備える必要性と、そこから得られる報酬。

1. マタイ 6:19-21 「自分のために宝を地上に蓄えてはなりません。そこでは虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗みます。しかし、あなたがたは、虫もさびも滅ぼさない天に宝を蓄えなさい。そして、泥棒が押し入ったり盗んだりしない場所に、あなたの宝のあるところにあなたの心もあるからです。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださいます。」

テモテ第一 6:20 テモテよ、不敬でむなしいおしゃべりや、誤ってそう呼ばれている科学の反対を避けて、自分の信頼に忠実に行動してください。

ティモテは、誤った空虚な議論や理論を避け、自分に託されたものを守るように指示されています。

1. 信頼を守ることの重要性を理解する

2. 誤った教えや議論を避ける

1. テトス 1:9 - 教えられた忠実な言葉をしっかりと守り、健全な教義によって反対論者たちを勧め、説得できるようにするためです。

2. コリント人への第二 10:5 - 想像力や、神の知識に対して高揚するあらゆる高尚なものを打ち捨て、キリストへの従順に対するあらゆる考えを捕らえる。

テモテ第一 6:21 これを告白する人たちの中には、信仰に関して誤りがある人もいます。恵みがあなたとともにありますように。アーメン。

この箇所は信仰と、そこから道を誤った人たちがいるという事実について書かれています。最後は読者への恵みの願いで終わります。

1.「信仰の道：コースを堅持する」

2.「恵みの力: 忠実さへのガイド」

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。

テモテ第二 1 章は、使徒パウロが愛する同僚であり弟子であるテモテに宛てて書いた第 2 の手紙の最初の章です。この章でパウロはテモテに、困難や困難にもかかわらず信仰と宣教に忠実であり続けるよう励まし、勧めています。

第 1 段落: パウロはテモテに対する深い愛情を表明します (2 テモテ 1:1-7)。彼は自分が神の御心によってキリスト・イエスの使徒であることを明らかにし、テモテを信仰における愛する子として語りました。パウロは、彼らが共有していた誠実な信仰の伝統を思い出し、それはテモテの祖母ロイスと母ユニケにも見られます彼はテモテに、按手を通して与えられた神の賜物を燃え上がらせるよう勧めています。パウロは、神が与えられたのは恐れの霊ではなく、力、愛、そして自制心であることを彼に思い出させます。

第 2 段落: パウロは、苦しみにもかかわらず忠実であり続けることの重要性を強調しています (2 テモテ 1:8-12)。彼はテモテに、自分たちの主について、あるいは福音を宣べ伝えたために投獄されているパウロについて証言することを恥じたり恐れたりしないようにと勧めています。むしろ、神の目的と恵みに従ってキリストのために苦しみに加わるよう勧めています。パウロは、キリスト・イエスを通して彼らを救い、聖なる召しをもって彼らを招いたのは神であると断言します。それは彼らの働きのためではなく、神ご自身の目的のためです。

第 3 段落: この章は、健全な教えを堅持するよう思い出させる言葉で終わります (テモテ第二 1:13-18)。パウロはテモテに、信仰と愛によって教えられた健全な言葉の模範に従うように勧めています。彼は、フィゲロスやヘルモゲネスなど、自分から背を向けた者たちに対して警告しています。しかし、彼は困難な時期に大きな励ましを与えてくれた人の例としてオネシフォロスを強調しています。

要約すれば、

テモテ第二の第一章は、パウロとテモテの間の愛情表現から始まります。

パウロは、恐れるのではなく、神の賜物である力、愛、自制心を受け入れるようにと注意を促しています。

苦しみに直面しても忠実であり続けることの重要性を強調し，健全な教えを堅持するようテモテに勧めています。この章は、パウロから離れた人々と励ましの源となった人々の例で終わります。この章は、信仰を堅固に保ち、神の賜物を受け入れ、苦しみに耐え、健全な教義に固執するようテモテに勧めています。

テモテ第二 1:1 パウロは、キリスト・イエスにある命の約束に従って、神の御心によってイエス・キリストの使徒となりました。

神の使徒であるパウロは、イエス・キリストにおける永遠の命の約束について語ります。

1. イエス・キリストによる永遠の命の約束

2. 神の御心と豊かな命

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. ヨハネ 10:10 - 盗人は盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためだけにやって来ます。私が来たのは、彼らが命を得て、それを最大限に享受できるようにするためです。

2テモテ1:2 愛する息子テモテへ、父なる神と私たちの主キリスト・イエスからの恵みと憐れみと平安がありますように。

この箇所は、父なる神とイエス・キリストからの恵み、憐れみ、平和について語っています。

1. 恵みの力: 神の無条件の愛と慈悲を信頼する

2. 平和の実践：父と子とどのように調和して生きるか

1. エペソ 2:8-9 - あなたが救われたのは恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではあり

ません。そのため、誰も誇ることができません。

2. ローマ 5:1-5 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、主イエス・キリストを通して神との平和を持っています。このキリストを通して、私たちは信仰によってこの恵みに入ることができ、今その恵みの中にいます。そして私たちは神の栄光を期待して誇ります。

テモテ第二 1:3 私は、先祖代々から清い良心をもって仕えている神に、昼も夜も祈りの中で絶えずあなたのことを思い出していることを感謝します。

パウロは、神への祈りと奉仕、そして昼も夜も祈りの中でテモテを絶えず思い出していることに対して神への感謝の気持ちを表しています。

1. 神への感謝の心を育む

2. 他者への絶え間ない祈り

1. コロサイ 4:2 - 「感謝を込めて注意深く祈りながら、熱心に祈り続けなさい。」

2. テサロニケ第一 5:17 - 「絶えず祈りなさい。」

2テモテ1:4 私は喜びで満たされるように、あなたの涙を心に留めながら、あなたにお会いしたいと強く願っています。

パウロはテモテに会いたいという気持ちを表し、テモテの涙を思い出し、それが喜びに変わることを望んでいます。

1. 喜びへの呼びかけ: 主にあって慰めを見いだす

2. 主の御前で喜ぶ：信仰を新たにする

1. ローマ人への手紙 15:13 - 「さて、希望の神が、信仰におけるあらゆる喜びと平安であなたを満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたがたが希望に満ち溢れるようになりますように。」

2. イザヤ書 12:2-3 - 「見よ、神は私の救いです。私は信頼し、恐れません。主なる神は私の力であり、歌であり、私の救いとなられたからです。」

2テモテ1:5 私があなたの内にある偽りのない信仰を思い起こすように呼びかけるとき、それは最初にあなたの祖母ロイスとあなたの母ユニケに宿っていました。そして私はあなたにもそう確信しています。

パウロは、祖母ロイスと母ユニケから受け継いだテモテの信仰を称賛し、それがテモテにも残っていると信じています。

1. 信仰を育み、それを将来の世代に伝える上での家族の重要性。

2. 信仰の力とそれがもたらす確信。

1. 詩篇 27:1、「主は私の光、私の救い。私は誰を恐れるべきでしょうか。」

2. ローマ人への手紙 10:17、「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

2テモテ1:6 そこで私は、あなたが私の手を置くことによってあなたの内にある神の賜物をかき立てたことを、あなたに思い出させます。

パウロはテモテに、按手を通して与えられた神の賜物を活用するよう勧めています。

1. 神からの贈り物の力: 神から与えられた能力を活用し活用する方法

2. 神の賜物をかき立てる：主の祝福を用いて主に仕える。

1. ローマ人への手紙 12:6-8 - 私たちに与えられた恵みに応じてさまざまな賜物を持っているので、それを使いましょう。預言であれば、私たちの信仰に応じて。サービスの場合、私たちのサービスにおいて。あるいは教える人、その教えにおいて。あるいは、勧める者、その勧めの中で。寛大に与える人。熱心に導く人。朗らかに慈悲を示す人。

2. エペソ人への手紙 4:11-13 - そして、神ご自身が、聖徒たちに宣教の働きを備えさせるため、キリストの体を徳化するために、使徒、預言者、伝道者、牧師や教師となる人たちを与えました。私たち全員が信仰と神の御子についての知識の一致、完全な人間、キリストの満ち足りた身長に達するまで。

2テモテ1:7 神は私たちに恐れの霊を与えていないからです。しかし、それは力と愛と健全な精神です。

神は私たちに、恐れの霊ではなく、力、愛、そして健全な精神を与えてくださいました。

最高

1.「力の精霊」

2.「愛と健全な精神」

最高

1. ローマ 8:15-17 - あなたがたは、再び恐怖に陥る奴隷の精神を受けたのではなく、養子の精神を受けたのです。それによって私たちは「アバ、父よ」と叫びます。

2. ヨハネ第一 4:16-18 - それで私たちは、神の私たちに対する愛を知り、信じるようになりました。神は愛であり、愛の中に留まる者は誰でも神の中に留まり、神も彼の中に留まります。

2テモテ1:8 ですから、あなたは、私たちの主のあかしや、主の囚人である私を恥じることはありません。むしろ、神の力に従って福音の苦しみにあずかりなさい。

パウロはテモテに、信仰を堅く保ち、神の力の模範となるよう励ましています。

1. 私たちの証の強さ：神の力の模範となる

2. 信仰にしっかりと立つ: 福音の苦しみにあずかる

1. ローマ人への手紙 1:16 - 私はキリストの福音を恥じていません。それは、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。

2. 2コリント12:9-10 - そして彼は私に言った、「私の恵みはあなたに十分です。私の強さは弱さの中で完全にされるからです。」したがって、キリストの力が私の上に宿るように、私はむしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います。

2 テモテ 1:9 わたしたちを救い、聖なる召しをもってわたしたちを招いてくださったのは、わたしたちの行いによるのではなく、世の始まる前にキリスト・イエスにあってわたしたちに与えられたご自身の目的と恵みによるのです。

パウロはテモテに、神が彼らを救い、聖なる召しをもって彼らを招いたのは、彼ら自身の行いのためではなく、神ご自身の目的とキリスト・イエスを通して与えられた恵みのためであることを思い出すように勧めています。

1) 神の恵みは十分です: 神の愛と慈悲の深さを探る

2) 神聖な生活を送る：神の呼びかけに応える

1) エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2) ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。イエスは、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になることを予見していました。さらに、神は誰を予定し、また彼らを召し、また、自分が召し

た者を義とし、義と認め、また栄光を与えた。

2 テモテ 1:10 しかし、それは今、福音を通して死を廃し、命と不滅を明らかにされた私たちの救い主イエス・キリストの出現によって明らかにされています。

イエス・キリストは福音を通して命と不死を明らかにされたようです。

1. イエスは死を廃止し、命と不死をもたらした

2. 福音の力: 命と不死をもたらす

1. ローマ 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を非難するためではなく、御子を通して世を救うためだったからです。

2テモテ1:11 そこで私は説教者、使徒、そして異邦人の教師に任命されました。

パウロは説教者、使徒、そして異邦人の教師として任命されました。

1. 説教への呼びかけ - 恐怖に立ち向かい、神の呼びかけを忠実に追求する

2. 使徒として召される - 福音を適切に伝える方法

1. 使徒 9:15-16 - サウロの回心と伝道への任命

2. マタイ 28:18-20 - 諸国民を宣教し弟子とする大使命

2 テモテ 1:12 そのような理由で、私もこのような目に遭っています。それでも、私は恥ずかしくありません。なぜなら、私が誰を信じたかを知っており、その人なら、あの日私が彼に約束したことを守ることができると確信しているからです。

パウロは神への信仰、神が自分を守る能力、そして自分が神に捧げたことを肯定します。

1. 私たちの信仰の強さ - テモテ第二 1 章 12 節にあるパウロの例を基に、苦難や困難の時に私たちがどのように神に頼れるかを考察します。

2. コミットメントの力 - これは、神に対して誠実なコミットメントをし、神がそれを守ってくれると信頼することの重要性を探ります。

1. ローマ人への手紙 8:25-27 - 困難の中でも神の忠実さに対するパウロの確信

2. ヘブライ 11:1 - 信仰の定義とそれがもたらす希望。

2テモテ1:13 キリスト・イエスにある信仰と愛をもって、あなたが私について聞いた健全な言葉の形をしっかりと保ちなさい。

一節: 使徒パウロはテモテに、キリスト・イエスへの信仰と愛において教えられた健全な教義を覚えて守るよう勧めています。

1. 私たちの信仰における健全な教義の力

2. 健全な教義を通じて信仰と愛を貫く

1. テモテ第二1:13

2. エペソ人への手紙 4:14-15 - 私たちは今後、人間の策略や狡猾な悪知恵によって、あちこちに翻弄され、あらゆる教義の風に翻弄され、騙そうと待ち伏せする子供ではなくなること。しかし、愛のうちに真実を語ることは、あらゆるものにおいて、頭であるキリストへと成長するかもしれません。

2テモテ1:14 あなたに託されたその善いことは、私たちの内に住んでおられる聖霊によって守られます。

この一節は信者に、自分の信仰に忠実であり続け、自分の内なる聖霊に頼るよう勧めています。

1. 私たちの生活における聖霊の力

2. 信仰を守ることの重要性

1. ローマ人への手紙 8:14-17 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. ヨハネ 14:15-17 - もしあなたがたが私を愛しているなら、私の戒めを守ってください。

2 テモテ 1:15 あなたもご存じのとおり、アジアにいるすべての者はわたしから背を向けられます。その中にはフィゲロスとヘルモゲネスが含まれる。

パウロはテモテに、アジアからの多くの人々が彼から離れていることを述べ、特にフィゲロスとヘルモゲネスという二人の名前を挙げています。

1. 拒絶の力：アジアでのポールの経験を調べる。

2. 反対にもかかわらず神に忠実であり続ける。

1. ヘブライ 11:24-27 - 信仰によって、モーセは年を重ねたとき、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒否しました。

2. ローマ 8:31-35 - では、これらのことについて何と言うでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？

2 テモテ 1:16 主はオネシフォロスの家を憐れんでください。というのは、彼はしばしば私を元気づけてくれて、私の鎖を恥じることはなかったからだ。

オネシフォロスは、苦しみの真っただ中にあっても、パウロに対する忠実さと優しさを示す素晴らしい模範でした。

1. 神の忠実さ: オネシフォロスの例から学ぶ

2. 優しさの力: オネシフォロスは苦しみの中でパウロを元気づけた

1. ヨハネ 13:35 - 「もしあなたたちが互いに愛しているなら、これによってすべての人はあなたたちが私の弟子であることを知るでしょう。」

2. ガラテヤ 6:2 - 「互いに重荷を担いなさい。そうしてキリストの律法を全うしなさい。」

2テモテ1:17 しかし、彼がローマにいたとき、熱心に私を捜し出し、見つけてくれました。

パウロはローマにいる間にテモテを探して見つけました。

1. 失われたものを探すことの大切さ。

2. 神を探せば、私たちは見つかる。

1. ルカ 19:10 - 「人の子は、失われた人たちを捜し、救うために来たからです。」

2. マタイ 7:7-8 - 「求めなさい。そうすれば与えられるでしょう。探せば見つかるだろう。ノックすればドアが開かれます。求める人は誰でも受け取ります。探す者は見つける。そしてノックする者にはドアが開かれます。」

2テモテ1:18 その日、彼が主の憐れみを受けることができるように、主が彼に与えてください。そして、彼がエフェソスで私にどれほど多くのことを仕えたか、あなたはよく知っています。

パウロは、主がテモテに憐れみを示し、エフェソスで共に奉仕したことを思い出させてくださるよう祈っています。

1. 祈りの力: 神はどのように慈悲をもって答えてくださるのか

2. 共に奉仕することの重要性: 宣教がどのように私たちを団結させるか

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは力強く、効果的です。」

2. 使徒 20:17-38 - エフェソスの教会の長老たちに対するパウロの別れの言葉。

テモテ第二 2 章は、使徒パウロが愛する同僚であり弟子であるテモテに宛てて書いた第 2 の手紙の第 2 章です。この章では、パウロはテモテに忍耐、責任、健全な教えに関して重要な指示を与えています。

第 1 段落: パウロはテモテに、忠実で規律あるキリストの兵士となるよう勧めます (2 テモテ 2:1-7)。彼はキリスト・イエスにある恵みによって強くなるようにと勧め、自分が学んだことを信頼できる人々に伝え、その人たちが他の人に教えるという使命を彼に託しました。パウロは兵士、運動選手、勤勉な農夫などの比喩を使って、宣教における規律、忍耐、集中力の必要性を説明しています。同氏は、ルールに従って競争した者が相応の報酬を受け取ることになると強調した。

第 2 段落: パウロは神の言葉を正確に扱うことの重要性を強調しています (2 テモテ 2:8-19)。彼はテモテに、イエス・キリストが死者の中から復活したことが宣教の中心であることを思い出させました。パウロは、福音を宣べ伝えるために投獄され苦しみに遭ったにもかかわらず、神の言葉は鎖につながれることはできないと述べています。彼は、破滅につながるだけの言葉をめぐって口論しないように警告していますが、聖書を正しく扱う認定された労働者に対しては聖書の熱心な研究を奨励しています。

第 3 段落: この章は、偽りの教えを避け、義を追求することについての指示で終わります (テモテ第二 2:20-26)。パウロはテモテに、純粋な心で主を呼び求める人々とともに義を追い求めながら、若い頃の情熱から逃れるよう勧めています。彼は口論を生む愚かな議論を戒めているが、相手が悔い改められるように相手を正すときは優しさを与えるようアドバイスしている。パウロはすべての人の救いに対する神の願いを強調し、世俗的な欲望のもつれを避け、純粋さを求めます。

要約すれば、

テモテへの手紙第二の第二章は、神の言葉を正確に扱うことを強調しながら、奉仕の責任における忍耐に焦点を当てています。

パウロはテモテに兵士や運動選手のように規律を正すよう励まし、信頼できる人々に教えを伝えるという任務をテモテに託します。

彼は神の言葉を正確に扱うことの重要性を強調し、言葉をめぐる争いに対して警告しています。パウロは聖書を熱心に研究し、正しく扱うことを奨励しています。

この章は、誤った教えを避け、正義を追求し、穏やかに敵を正すことについての指示で終わります。パウロは救いへの願いを強調し、クリスチャンとしての生活における純粋さを求めています。この章は、宣教において直面する課題の中で、忍耐、教える責任、義の追求を呼びかけるものです。

2テモテ2:1 ですから、わが子よ、あなたは、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。

パウロはテモテに、キリストへの信仰を強く持ち続け、その恵みに頼るよう勧めています。

1. 神の恵みは十分です - ローマ人への手紙 8:28-39

2. しっかり立ちなさいという呼びかけ - エペソ人への手紙 6:10-20

1. コリント人への第二 12:9-10 - 苦しみに直面したときのパウロの神の恵みと力への依存。

2. ヘブライ 12:1-3 - 困難に直面したときの忍耐の必要性。

2テモテ2:2 そして、あなたが多くの証人の中で私について聞いたことを、他の人にも教えることができる忠実な人々に同じように約束してください。

テモテは、パウロから聞いたことを忠実な人々に伝えるよう勧められ、彼らはやがて他の人に教えることができるようになります。

1. 神の言葉を伝える力

2. 神に忠実であることの責任

1. 箴言 11:30 - 正しい者の実は命の木である。そして魂を勝ち取る者は賢い。

2. ペテロ第二 1:12 - ですから、あなたがたがそれらのことを知っているとしても、私は常にこれらのことを思い出させ、現在の真理にしっかりと定着させることを怠りません。

テモテ第二 2:3 ですから、あなたは、イエス・キリストの良き兵士として、困難に耐えてください。

一節 パウロはテモテに、イエス・キリストの良き兵士として苦難に耐えるよう励ましています。

1. イエスのために苦難に耐える

2. キリストの良き兵士となる

1. ローマ人への手紙 8:35-39 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？

2. ヤコブ 1:2-4 - さまざまな試練に陥ったとき、それをすべて喜びと数えてください。

テモテ第二 2:4 この世の出来事に巻き込まれるような人はいません。それは、自分を兵士として選んだ人を喜ばせるためである。

パウロはテモテに、霊的な戦いをしている人は、自分を戦いに選んでくださった神を喜ばせるために、この世の出来事に気を取られてはならないとアドバイスしています。

1. 神への奉仕を人生の邪魔にしないでください

2. この世の出来事に巻き込まれないでください

1. コリント人への第一の手紙 10:31 - ですから、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、あるいは何をするにも、すべて神の栄光のために行いなさい。

2. ガラテヤ 5:1 - したがって、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ち、再び奴隷のくびきに絡めとられてはいけません。

2 テモテ 2:5 また、もし人が熟達を目指して努力したとしても、合法的に努力しない限り、その人は戴冠することはできません。

プロセスが合法的に行われない限り、勝利は保証されません。

1. 成功への道は法的手段によるものである

2. 努力は成功を保証するものではない

1. ローマ 12:10-11 - 兄弟愛をもって互いに親切に愛情を注ぎ合い、お互いに敬意を表し合いなさい。勤勉さにおいて遅れがなく、精神的に熱心で、主に仕えている。

2. 箴言 21:5 - 勤勉な人の考えは豊かさだけを考えます。しかし、望むことだけに急いでいるすべての人については。

テモテ第二 2:6 労働する農夫が最初に果実にあずかなければなりません。

パウロは、労働者はその努力に対して報われるべきであるとして、勤勉に働くことを勧めています。

1.? 勤勉の祝福??

2.? 努力の力??

1. 箴言 13:4 ???怠け者の魂は何も望まないが、何も持っていない。しかし、勤勉な者の魂は太るだろう。

2. コロサイ 3:23 ???そして、あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対して行うように心から行いなさい。

テモテ第二 2:7 私の言うことを考えてみましょう。そして主はあなたにすべてのことについて理解を与えてくださいます。

パウロはテモテに、自分の指示に注意を払い、神の理解を求めるよう勧めています。

1. すべてのことにおいて神の知恵を求めなさい: テモテ第二 2:7 の研究

2. 信仰において成長する: テモテ第二 2:7 でパウロが言ったことを考えてみましょう

1. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人はすべての人に惜しみなく与え、非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださるだろう。」

テモテ第二 2:8 ダビデの子孫であるイエス・キリストが、わたしの福音に従って死者の中からよみがえられたことを思い出してください。

パウロはテモテに、イエスが福音に従って復活したことを思い出させます。

1. 福音の力: イエスの復活はどのようにその力を実証するか

2. 復活したキリスト: イエスの復活についての考察

1. ローマ人への手紙 1:3-4 - 「御子イエス・キリストについて、私たちの主は、肉によればダビデの子孫から造られ、聖なる霊によれば、力を持つ神の子であると宣言されました。死者の中からの復活」

2. 使徒 13:30-31 - 「しかし、神は彼を死人の中からよみがえらせました。そして、彼はガリラヤからエルサレムまで一緒に上ってきた人々、つまり民に対する彼の証人である人々を何日も見られました。そして私たちはあなたがたに喜びを宣言します」知らせよ、神は先祖たちになされた約束を、私たち彼らの子供たちにも同じように実現してくださった。イエスを再びよみがえらせたということだ。詩篇第二篇にも書かれている通りだ。」

2 テモテ 2:9 そこで私は、悪を行う者として、苦難に遭い、さらには縛りを受けることさえあります。しかし、神の言葉は拘束されません。

パウロは神の言葉を宣べ伝えたために苦しみ、投獄されることもありましたが、神の言葉は拘束されず、止めることもできませんでした。

1. 神の言葉の力: 福音はどのようにしてどんなことにも耐えられるのか

2. 信仰に堅く立つ: 困難なときの励まし

1. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

2. ルカ 4:18-19 - 主の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に福音を宣べ伝えるために私に油を注いでくださったからです。彼は心の傷ついた人を癒し、捕虜に救出を説き、目の見えない人に視力の回復を説き、打ち傷を負った人たちを解放するために私を遣わしたのです。

2テモテ2:10 ですから、私は選ばれた人たちのために、すべてのことを耐えます。それは、彼らが永遠の栄光を伴うキリスト・イエスにある救いを得ることができるからです。

パウロは、選ばれた人々がイエス・キリストを通して救いを受け、永遠の栄光を経験できるように、彼らのためにすべてのことに耐えました。

1. 忍耐の力??パウロはどうですか?粘り強い意志が選ばれた人への道を切り開いた?救い_

2. 犠牲の報い?ポールはどうした?利己的な行動は選ばれた者の永遠の栄光につながった

1. ピリピ 3:10-14 ??パウロ?正義の追求と永遠の報い

2. ヘブライ 12:1-3 ??信仰における忍耐の力

2 テモテ 2:11 これは忠実な言葉です。「わたしたちが彼とともに死んだとしても、私たちは彼とともに生きることになるでしょう。」

イエスと共に死ぬなら、私たちはイエスと共に生きることになる、というのは真実な言葉です。

1. イエスとともに生きる: 永遠の命の希望

2. イエスとともに死ぬ: 永遠の命の代償

1. ローマ人への手紙 6:8-11 - さて、もし私たちがキリストとともに死んだなら、私たちはキリストとともに生きることになると信じています。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われました。쏧 は復活であり、命です。私を信じる者は死んでも生き、生きていて私を信じる者は決して死なない。

2テモテ2:12 もし私たちが苦しむなら、私たちも彼とともに統治することになります。私たちが彼を否定すれば、彼もまた私たちを否定するでしょう。

苦しみはクリスチャンの人生の一部である可能性がありますが、最終的にはキリストによる統治につながる可能性があります。キリストを否定することは、神が私たちを否定することになります。

1.「苦しみの道：永遠の報酬への道」

2. 「選択はあなた次第です: 否定するか、キリストとともに統治するか」

1. ローマ人への手紙 8:17 - 「そして、子どもであれば、相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。そうであれば、私たちがキリストとともに苦しみを受けるなら、私たちも一緒に栄光を受けることができるでしょう。」

2. ヘブライ人への手紙 10:32-39 - 「しかし、あなたがたが照らされた後、苦難との激しい戦いに耐えた昔のことを思い出してください。その一方で、あなたがたは非難と苦難の両方によって監視の対象とされた一方で、また部分的には、一方で、あなたがたは、とても使い込まれた彼らの仲間になったのです。なぜなら、あなたがたは、私が束縛されている私を憐れみ、自分の持ち物が台無しになることを喜んで受け入れ、天国にはもっと良い永続する物質があることを自分の中で知っていたからです。あなたの自信、それは大きな報いを持っています。なぜなら、あなたがたが神の御心を行った後、約束を受け取ることができるように、あなたがたには忍耐が必要だからです。まだしばらくの間、そして来る者は来ます、そしてそうするでしょう「遅らせてはならない。今、義人は信仰によって生きるであろう。だがもし誰かが後ずさりするなら、私の魂は彼を喜ばないであろう。しかし、私たちは滅びに後ずさる者ではなく、魂の救いを信じる者である」。」

2 テモテ 2:13 たとえ私たちが信じていなくても、彼は忠実であり続けます。彼は自分自身を否定することはできません。

神は常に忠実であり、ご自身を否定することはできないので、たとえ他の人が信じていなくても、パウロは信者たちに忠実であり続けるよう勧めています。

1. 不信仰に直面した神の忠実さ

2. 神を信じる力

1. エペソ人への手紙 2:8-10 - あなたは恵みによって信仰によって救われましたが、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物ですか？行いの結果ではないので、誰も誇ることができません。

2. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2 テモテ 2:14 これらのことを思い出して、無益な言葉についてではなく、聞く者を転覆させることに努めるよう主の御前に命じなさい。

パウロはテモテに、重要でない言葉について議論するのではなく、霊的な事柄に焦点を当てるよう教会に思い出させるよう勧めています。

1.「団結の力：団結すれば何が達成できるのか」

2. 「最も重要なことに焦点を当てる：私たちの言葉の精神的な意味を理解する」

1. ピリピ人への手紙 2:14-15 「すべてのことを不平や論争をせずに行いなさい。そうすれば、あなたがたは罪のない罪のない者となり、曲がりくねった世代のただ中で、傷のない神の子となり、その人々の間で世の光として輝きます。」。」

2. ヤコブ 3:13-18 - 「あなたがたのうち、知恵があり理解力のある人はだれですか。その善良な行ないによって、柔和な知恵の中で自分の行いを示しなさい。」

テモテ第二 2:15 あなたは神に認められており、真理の言葉を正しく伝える、恥じる必要のない働き人であることを示すために勉強しなさい。

テモテは神を喜ばせるために聖書を熱心に研究し、正確に解釈するよう勧められています。

1. 真の承認への道: 真理の言葉を正しく分ける

2. 聖書を理解することの重要性：神のご意志に備えるために

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分だけの理解に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ペテロ第二 1:20-21 - まず第一に、聖書の預言は誰かの独自の解釈から出たものではないということを知ってください。なぜなら、預言は決して人間の意志によって生み出されたものではなく、人間は聖霊に導かれて神から語ったものだからです。

2 テモテ 2:16 しかし、不敬でむなしいおしゃべりは避けてください。それらはさらに不敬虔な行為にまで増大するからです。

クリスチャンは不敬虔な内容や中身のない会話はさらなる不敬虔につながるので避けるべきです。

1.？쏶 hun Evil: 邪悪な発言から遠ざける??

2.？あなたの言葉の力: 不敬で無駄なおしゃべりを避ける??

1. ヤコブ 3:5-6 - ?したがって、舌は小さなメンバーであり、素晴らしいことを誇っています。見よ、小さな火が燃え上がるのはなんと素晴らしいことだろう！そして舌は火であり、不法行為の世界です。私たちの成員の間でも舌は同様であり、体全体を汚し、自然の流れを燃やします。そして地獄の火が放たれる。

2. 箴言 15:4 - ?健全な舌は生命の木ですが、その中の邪悪さは精神の侵害です。

2テモテ2:17 そして、彼らの言葉は口内炎のように食い荒らされるでしょう。ヒメナイオスとフィレトスはその一人です。

ヒメナイオスとフィレトスは癌に例えた偽りの教えを広めました。

1. 偽りの教えの危険 - 箴言 19:27

2. 偽りの教えを防ぐ - 使徒 20:28-31

1. エペソ人への手紙 4:14 - 私たちは今後、あらゆる教義の風に翻弄され、人々の策略や狡猾な狡猾さによって、騙そうと待ち伏せする子供ではなくなります。

2. テトス 1:9 - 教えられた忠実な言葉をしっかりと守り、健全な教義によって反対論者たちを勧め、説得できるようにするためです。

テモテ第二 2:18 真理に関して誤りを犯した人は、復活はすでに過ぎ去ったと言いました。そして一部の人々の信仰を覆します。

この箇所では、一部の人々の信仰が覆される可能性がある、復活に関する誤った教えの危険性について論じています。

1. 復活の真実: 偽りの教えを避ける方法。

2. 偽りの教えの力: 偽りの教えがどのように信仰を損なうのか。

1. マタイ 22:23-32 - サドカイ派の復活に対する不信仰。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスの復活による永遠の命の約束。

2 テモテ 2:19 それにもかかわらず、神の土台は確かであり、この印章を持っているので、主は彼らがご自分のものであることを知っておられます。そして、キ

リストの名を名乗る者は皆、不法行為から離れなさい。

神の土台は強いので、私たちは神に喜ばれる生き方をするよう努めるべきです。

1. 神の愛と忠実さは揺るぎないものであることを思い出し、神の御心に従って生きるべきです。

2. 私たちは神の命令に従い、罪を捨てて信仰の生活を送らなければなりません。

1. 詩篇 36:5 - 主よ、あなたの変わらぬ愛は天にまで及び、あなたの忠実さは雲にまで及びます。

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようになります。

2テモテ2:20 しかし、大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。名誉を与えるものもあれば、不名誉を与えるものもあります。

大きな家には、さまざまな種類の器があり、その中には名誉ある目的に使用されるものもあれば、不名誉な目的に使用されるものもあります。

1. 神は神の家のすべての器について計画を持っています

2. 私たちの選択が、私たちがどのような器になるかを決める

1. ローマ 9:21 - 陶器師は、同じ塊の粘土を支配して、ある器を名誉あるものにし、別の器を不名誉なものにする力を持っていたのではありませんか？

2. 箴言 16:9 - 人の心は自分の道を考案するが、主はその歩みを導かれる。

2 テモテ 2:21 したがって、もし人がこれらのものから身を清めるなら、その人は誉れを得る器となり、神聖なものとされ、主人に用いられるようになり、あらゆる善行に備えられるであろう。

あらゆる良い行いに備えるために、人はあらゆる不義から身を清めなければなりません。

1. マスターのために身を清める

2. 良い仕事をするための準備を整える

1. ペテロ第一 1:13-17 - したがって、注意を払い、完全に冷静な心を持って、イエス・キリストが来臨されるときにもたらされる恵みに希望を置きましょう。従順な子供たちとして、無知の中で生きていたときに抱いていた邪悪な欲望に従わないでください。しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたも何をするにも聖でありなさい。というのは、次のように書かれているからです。쏝 e Holy、なぜなら私は神聖だからです。

2. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。そうすれば、あなたは神が何であるかをテストし、承認することができるでしょう？셲意志は何ですか？봦は良い、楽しい、そして完璧な意志です。

2テモテ2:22 若い頃の情欲からも逃げなさい。しかし、純粋な心で主を呼び求める人々とともに、義、信仰、慈善、平和に従いなさい。

私たちは生涯を通して、若者の誘惑に抵抗し、義、信仰、慈善、そして忠実に主を呼び求める人々との平和を求めなければなりません。

1. 義の力 - 信仰と慈善を通して義にかなった人生を送る方法。

2. 平和に生きる - 信仰と慈善を通して世界に平和を見つける方法。

1. ヨハネ第一 2:15-17 - 世や世のあらゆるものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。

2. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、そして自制です。

2 テモテ 2:23 しかし、愚かで学びのない質問は、それが男女間の争いを引き起こすことを知っているので避けます。

議論や意見の相違を引き起こす可能性があるため、愚かで学びのない質問を避けることが重要です。

1. 識別力 - 特定の会話をいつ避けるべきかを理解する

2. 知恵の力 - いつ有意義な対話を行うべきかを知る

1. 箴言 15:2 - 賢者の舌は知識を正しく使いますが、愚か者の口は愚かさを吐き出します。

2. ヤコブ 3:17 - しかし、上から与えられる知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、懇願されやすく、憐れみと良い実とに満ちており、偏りや偽善がありません。

2テモテ2:24 また、主の僕は努力してはなりません。しかし、すべての人に対して優しく、教えるのが上手で、忍耐強く、

主の僕は優しく、忍耐強く、教えることができなければなりません。

1) 忍耐の力。2) 優しさの利点

1) ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、優しさ、善意、信仰、23 柔和、節制です。これらに反する律法はありません。」
2) コロサイ 3:12-14 「ですから、神に選ばれた者、聖なる愛される者として、いつくしみの心、親切心、謙虚な心、柔和さ、辛抱強さを身に着けなさい。 13 もし人がいるなら、互いに寛容し、許し合いなさい。」「キリストがあなたがたを赦してくださったように、あなたがたも赦してください。 14そして、これらすべてのことの上に、完全さの絆である慈善を身につけてください。」

2テモテ2:25 反対する者たちを柔和に教えます。もし神が偶然にも彼らに真実を認める悔い改めを与えてくださるなら。

悔い改めと真理の認識をもたらすために、テモテは柔和になり、自分に反対する人々を指導するように教えられています。

1. 柔和を私たちの使命とする：優しさと愛をもって人々をキリストに導く方法

2. 反対をチャンスに変える：優しさをもって人々を真実に導く方法

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、忠実、優しさ、そして自制です。そのようなことを禁止する法律はありません。

2. エペソ人への手紙 4:2 - あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合います。

2 テモテ 2:26 それは、彼らが悪魔の罠から立ち直るためであり、彼らは悪魔の意のままに捕らわれたのです。

テモテ第二 2章26節のこの一節は、信者が神のご意志に頼ることによってどのようにして悪魔の罠から解放されることができるかを語っています。

1. 神の意志: 悪魔の罠から自由になる鍵

2. 誘惑に負けず立ち向かう: 悪魔の罠を乗り越える方法

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. ヤコブ 1:12-13 - 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。なぜなら、その人は試練に耐えた後、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

テモテ第二 3 章は、使徒パウロが愛する同僚であり弟子であるテモテに宛てて書いた第 2 の手紙の第 3 章です。この章でパウロは、これから訪れる困難な時代

について警告し、信仰と聖書の遵守を堅持し続けるようテモテを励ましています。

第 1 段落: パウロは終わりの日の人々の特徴を説明します (テモテ第二 3:1-9)。このような時代には、人々は自分好き、お金好き、高慢、高慢、虐待的、親に反抗的、恩知らず、不浄、自制心の欠如、残忍、善を愛さない者となるだろうと警告しています。彼らは裏切り者であり、中傷者となるでしょう。パウロはテモテに、敬虔な外見を持ちながらもその力を否定するような人々に近づかないようにアドバイスしています。彼は、これらの人々の愚かさが明らかになるので、彼らの欺瞞は成功しないだろうと彼に思い出させます。

第 2 段落: パウロは聖書の価値と権威を強調しています (テモテ第二 3:10-17)。迫害に遭いながらもテモテが教えと模範に従ったことを褒めています。パウロは、キリスト・イエスにあって敬虔な生活を送りたいと願う者は皆、迫害に直面することになることを思い出させます。彼は、幼少期から学んだこと、つまりキリスト・イエスへの信仰を通して救いに向けて人を賢くすることができる神聖な文書を継続することの重要性を強調しています。パウロは、聖書はすべて神の霊感によるものであり、信者があらゆる善行に備えることができるように、教え、戒め、矯正し、義について訓練するのに有益であると主張します。

第 3 段落: この章は、御言葉を忠実に宣べ伝えるという責務で終わります (2 テモテ 3:14-17)。パウロはテモテに、幼い頃から学び、固く信じてきたことを続けるよう勧めています。なぜなら、テモテはそれを学んだ人たち、つまり祖母のロイスと母のユニスのことを知っているからです。彼が彼を励ます理由は、聖書が霊感を与えているからだけでなく、聖書が信者にあらゆる良い行いをするための備えを与えるからでもあります。パウロは彼に、季節を問わず、また季節外であっても大きな忍耐と教えをもって叱責し、叱責し、勧めながらみことばを説教するよう求めています。

要約すれば、

テモテ第二の第3章は、聖書の価値と権威を強調しながら、終わりの日の人々の特徴について警告しています。

パウロは困難な時代に蔓延するであろう行動について説明し、敬虔な外見を持ちながらもその力を否定するような人を避けるようテモテに忠告しています。

彼は、神の霊感を受けた聖書の重要性を強調し、信者を教え、あらゆる善行に備えさせるのに有益であると強調しています。パウロはテモテに、幼少の頃から学んだことを続け、忍耐と教えをもって御言葉を忠実に宣べ伝えるよう求めています。この章は、道徳の衰退に対する警告、聖書の権威の確認、そして奉仕の責任を果たしながら信仰を堅持し続けるよう求めるものとして機能します。

テモテ第二 3:1 この人たちも、終わりの日に危険な時代が来ることを知っています。

終わりの日には、困難な時代がやって来ます。

1.「困難な時代を乗り越えて：福音の希望」

2.「困難な時代を乗り越える：主にある力」

1. イザヤ書 40:29-31 - 神は気弱な者に力を与え、力のない者に力を与えます。

2. 詩篇 46:1-2 - 神は私たちの避け所であり力であり、困難の中で今すぐに助けてくださる方です。

2 テモテ 3:2 なぜなら、人は自分を愛し、貪欲で、自慢し、高慢で、冒涜し、親に従わない、感謝をしない、神聖でない、

人々は利己的で、貪欲で、高慢で、高慢で、親に対して無礼で、恩知らずで、不潔になるでしょう。

1. 利己主義の危険性: 貪欲になったり、自慢したり、無礼になったりしないようにするにはどうすればよいか

2. 感謝の力: 神聖さと名誉に満ちた人生を送る方法

1. 箴言 11:25 - 寛大な人は繁栄する。他人をリフレッシュする人は自分もリフレッシュされます。

2. ローマ 12:10 - 愛をもって互いに献身的に尽くしなさい。自分よりもお互いを尊重しましょう。

テモテ第二 3:3 自然な愛情がなければ、休戦を破る者、冤罪を訴える者、失禁する者、獰猛な者、善良な者たちを軽蔑する者、

自然な愛情を持たず、休戦協定を破り、他人を不当に非難し、自分の情熱を制御できず、獰猛で、善良な人を軽蔑する人々は非難されます。

1. 愛の力: 思いやりと優しさがなぜ重要なのか

2. 軽蔑の危険性: なぜ他人を尊重しなければならないのか

1. ローマ 12:9-10 - 愛を偽りのないようにしましょう。邪悪なものを憎みます。良いことに固執してください。

2. ヤコブ 3:14-18 - しかし、心の中に激しいねたみや争いがあるなら、誇ってはいけませんし、真理に反して嘘をついてはいけません。この知恵は上から降ってくるものではなく、地上的で、官能的で、悪魔的なものです。

テモテ第二 3:4 裏切り者、頭が高く、高慢で、神を愛する人よりも快楽を愛する人たち。

裏切り者で、頑固で、傲慢で、神への献身より快楽を優先する人々は非難されます。

1. 神の愛はこの世の喜びよりも大きい

2. 高望みで自己中心的であることの危険性

1. エペソ人への手紙 4:17-19 他の異邦人のように、空虚な思いで歩いてはなりません。 18 彼らの盲目さのせいで、理解力が暗くなり、彼らの中にある無

知によって神のいのちから疎外されています。心: 19 感情を過ぎた者は、好色な行為に身を委ね、貪欲にあらゆる汚れを働きます。

2. ヤコブ 4:6-10 - しかし、彼はさらに恵みを与えてくださいます。それゆえ、神は高慢な者には抵抗するが、謙虚な者には恵みを与える、と彼は言います。 7 ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。 8 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださるでしょう。罪人よ、手を清めなさい。そして心を清めなさい、二心の者よ。 9 苦しみ、悲しみ、泣きなさい。あなたの笑いは悲しみに、あなたの喜びは重さになります。 10 主の御前にへりくだってなさい、そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。

テモテ第二 3:5 ある種の敬虔さを持っていますが、その力を否定しています。そのような背き方からです。

人々は神のような姿をしているように見えますが、神の力を否定しています。そのような人たちから離れることが重要です。

1. 神の力 – 私たちの生活の中でその賜物をどのように認識し、受け入れるか。

2. 偽りの利益 – 本当に神の力を持っている人々と、そのように見えるだけの人々を区別します。

1. ヨハネ第一 4:1 – 「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出てきているからです。」

2. マタイ 7:15-20 – 「偽預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の皮を着てあなたのところに来るが、内心は貪欲な狼です。あなたはその果実によってそれらを認識するでしょう。ブドウはイバラの茂みから集められますか、それともイチジクはアザミから集められますか？したがって、健康な木はすべて良い実を結びますが、病気の木は悪い実を結びます。健康な木が悪い実を結ぶことはできませんし、病気の木が良い実を結ぶこともできません。良い実を結ばない木はすべて切り倒され火の中に投げ込まれます。したがって、あなたはその実によって彼らを認識するでしょう。」

2テモテ3:6 この種の奴らは、家に忍び込み、罪を背負った愚かな女たちを捕らえ、さまざまな情欲に駆り立て、

偽教師とは、家に忍び込み、罪を負い、さまざまな欲望を抱えた女性たちを連れ去る者たちです。

1. 偽教師の危険性

2. 誘惑にもかかわらず神聖な生活を送る

1. ヤコブ 1:14-15 - 「しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され、誘惑されるとき、誘惑に遭います。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は成長すると死を生み出します。」

2. 箴言 5:3-5 - 「禁じられた女の唇は蜜を滴らせ、その話し方は油より滑らかだが、最後にはよもぎのように苦く、両刃の剣のように鋭い。彼女の足は死に至るまで下がっています。彼女の歩みはシェオルへの道をたどります。彼女は人生の道について深く考えません。彼女の道はさまよいますが、彼女はそれを知りません。」

テモテ第二 3:7 ずっと学んでいるのに、決して真理の知識に達することができません。

人は人生の多くの時間を学習に費やすことができますが、決して真実の知識に到達することはありません。

1. 本当の知識を求めることがなぜ重要なのか。

2. 一時的な知識ではなく、永遠の真実を追求します。

1. ヨハネ 17:3 - そして、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知っていること、これが永遠の命です。

2. コリント人への第二の手紙 4:3-4 - そして、たとえ私たちの福音がおおいに覆われているとしても、滅びゆく人々にはおおいがかかっています。その場合、この世の神が不信者の心を盲目にして、光が見えないようにしているのです。神の似姿であるキリストの栄光の福音について。

2 テモテ 3:8 さて、ヤンネスとジャンブルがモーセに抵抗したように、この人たちも真理に抵抗します。堕落した心の人々は、信仰について非難します。

ちょうどヤンネスとジャンブルがモーセに抵抗したように、堕落した精神を持ち、信仰に関して無礼な人々が真理に抵抗しています。

1. 真実に抗う力

2. 信仰の障害を克服する

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。そして、私たちに与えられた聖霊を通して神の愛が私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

2 テモテ 3:9 しかし、彼らはこれ以上先に進むことはできません。なぜなら、彼らの愚かさがすべての人に明らかになるからです。彼らの愚かさもそうであったように。

愚かな決断を下した人々は世界中に暴露されるでしょう。

1. 神は最後には必ず真実を明らかにします。

2. 私たちは常に賢明な決定を下すよう努めるべきです。

1. 箴言 14:12 - 正しいように見えても、結局は死に至る道があります。

2. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して変えてください。

2テモテ3:10 しかし、あなたは私の教義、生き方、目的、信仰、辛抱強さ、慈善、忍耐、

パウロはテモテに、テモテから学んだ教義、生き方、目的、信仰、辛抱強さ、慈愛、忍耐を思い出させました。

1. 辛抱強く忍耐強く生きる

2. 慈善と信仰の生活の利点

1. ガラテヤ 5:22-23 - 御霊の実: 愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制

2. ローマ 12:12-13 - 希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。聖徒たちの必要に応え、もてなしの精神を示すよう努めてください。

2テモテ3:11 アンティオキア、イコニウム、ルステラで私に降りかかった迫害と苦難。私はどんな迫害に耐えましたが、それらすべてから主は私を救ってくださいました。

パウロは宣教の中で多くの困難と迫害に耐えましたが、主は彼をそのすべてから救い出してくださいました。

1. 主は苦難の時に私たちを救ってくださる方です

2. 神への信仰を持って困難を乗り越える

1. 出エジプト記 14:13-14 - そしてモーセは民に言った、「恐れるな。立ち止まって、今日あなたたちに示される主の救いを見なさい。あなたたちが今日見たエジプト人のために、あなたがたはもう永遠に彼らに会うことはないだろう。主はあなたのために戦ってくださいます、そしてあなたたちは平和を保つでしょう。

2. イザヤ書 55:8 - 私の考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではない、と主は言われます。

2テモテ3:12そうです、キリスト・イエスにあって敬虔に生きる者は皆、迫害を受けるでしょう。

敬虔な生活を送るクリスチャンは迫害に直面するかもしれません。

1.「敬虔な生活を送る - 迫害に耐える強さ」

2. 「逆境に直面しても耐える方法」

1. ペテロ第一 4:12-13 - 愛する人たち、あなたを試みる激しい試練については、何か奇妙なことがあなたに起こったかのように、不思議ではないと考えてください。しかし、あなたがたはキリストの苦しみにあずかっているのだから、喜べ。それは、神の栄光が現されるとき、あなたもまた、この上ない喜びをもって喜ぶであろう。

2. ローマ人への手紙 8:18 - なぜなら、今の苦しみは、私たちの内に明らかにされるであろう栄光と比較するに値しないと私は思うからです。

2 テモテ 3:13 しかし、悪人や誘惑者は、騙したり騙されたりしながら、ますます悪くなるでしょう。

悪人は騙すのも騙されるのもますます悪くなるでしょう。

1. 騙されていませんか？

2. 欺瞞を見抜く。

1. マタイ 24:11-13 「そして、多くの偽預言者が立ち上がり、多くの者を迷わせるでしょう。そして不法行為が増加するため、多くの人の愛は冷たくなるでしょう。」

2. ヨハネ第一 4:1 「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出て行ったからです。」

2 テモテ 3:14 しかし、あなたは、誰から学んだかを知りながら、自分が学び、確信した事柄を続けなさい。

パウロはテモテに、パウロから学んだ教えに忠実であり続け、誰がその教えを教えてくれたかを思い出すように勧めます。

1. 良い教師の力

2. 知識の力による忍耐力

1. ヨハネ 8:31-32 そこでイエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちにこう言われました。」

2. 箴言 2:3-5、そうです、もしあなたが識別力を求めて叫び、理解するために声を上げ、銀のように彼女を求め、隠された宝を探すかのように彼女を探すなら。そうすればあなたは主への畏れを理解し、神についての知識を見出すでしょう。

2 テモテ 3:15 また、あなたは子どもの頃から聖書を知っており、その聖書によって、キリスト・イエスにある信仰によって救いに至る知恵を得ることができます。

テモテは幼いころから聖文を教えられてきましたが、聖文はイエス・キリストへの信仰を通じて知恵と救いにつながるものです。

1. 聖書を通して救いを受ける方法

2. 聖書の力を通して信仰生活を生きる

1. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足元の灯火であり、私の道の光です。

2 テモテ 3:16 聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の教えに有益です。

聖書は神によって私たちに与えられ、私たちを教え、導き、義にかなった生活を送るのに役立てることができます。

1. 神の言葉の力: 聖書は私たちの生活にどのような影響を与えるのか

2. 聖書を通して義にかなった生き方を学ぶ

1. 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足元の灯火であり、私の道の光です。

2 テモテ 3:17 それは、神の人が完全であり、すべての良い行いを十分に備えているためです。

この箇所は、主に仕えるために良い行いを身につけることの重要性を強調しています。

1. 「私たちは奉仕するように召されている: 神のために良い行いをすることの重要性」

2. 「自分自身を完成させる: 良い行いを通して信仰を成長させる」

1. ヤコブ 2:14-17、「兄弟たち、信仰はあるが行ないをする人がいたら、何の役に立つのでしょう。その信仰がその人を救えるでしょうか。兄弟や姉妹が着衣が貧弱で、毎日の食べ物にも欠けているとしたら、そして、あなたがたのうちの一人が、彼らに、「安らかに行きなさい。体を温めて満たしてください。」と言い、体に必要なものを与えないのに、それが何の役に立つのでしょう。同様に、信仰も、行いがなければ、それ自体が死んだものです。」

2. エペソ人への手紙 2:8-10、「あなたがたは、恵みによって信仰によって救われたのです。これはあなたが自分で行ったものではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。それは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって創造され、私たちがその良い行いの中を歩むように神があらかじめ備えてくださったものである。」

テモテ第二 4 章は、使徒パウロが愛する同僚であり弟子であるテモテに宛てて書いた第二の手紙の第 4 章であり、最終章です。この章では、パウロは宣教の中で困難に直面するテモテに最終的な指示と励ましを与えています。

第 1 段落: パウロはテモテに御言葉を忠実に宣べ伝えるよう求めます (2 テモテ 4:1-5)。彼はキリストの将来の裁きを踏まえて御言葉を宣べ伝えるよう厳かに勧めています。パウロは、人々が健全な教えに耐えるのではなく、自分の聞きたいことを教えてくれる教師を求める時代が来るだろうと強調しています。彼はテモテに、冷静になって苦しみに耐え、伝道者としての務めを果たすよう勧めています。彼は自分自身がこの世から離れることが差し迫っていることを思い出させますが、キリストの出現を愛したすべての人には義の冠が待っていると保証します。

第 2 段落: パウロは自分の個人的な経験と交友の要請について回想しています (テモテ第二 4:6-18)。彼はすでに飲み物の捧げ物として注がれており、出発の時間が近いことを認めています。多くの人に見捨てられているにもかかわらず、彼はルークのような忠実な友人の存在に感謝の意を表します。パウロはまた、自分に多大な危害を加えた銅細工師アレクサンダーについても言及しています。それにもかかわらず、彼は、主が困難な時期に彼に寄り添い、彼を力づけてくれたと断言します。

第 3 段落: この章は個人的な挨拶と最後の挨拶で終わります (テモテ第二 4:19-22)。パウロは、プリスカ、アクイラ、オネシフォロス、エラストス、トロフィムス、エウブルス、プデンス、ライナス、クラウディア、そして兄弟全員を含むさまざまな人々から挨拶を送ります。彼は彼ら全員の上に神の恵みを祈ります。パウロは結びの言葉で、神の忠実さへの確信を表明しながら、テモテとともに神の平安があることを祈ります。

要約すれば、

テモテ第二の第4章には、パウロからの最後の指示と考察が含まれています。

彼はテモテに御言葉を忠実に説教するよう求め、人々が健全な教えを拒否する時代が来ると警告しています。

パウロは、差し迫った自分の旅立ちを振り返り、自分に害を与えた人々に敬意を表しながら、忠実な交わりに感謝の意を表します。彼は困難な時代における神の臨在と力を断言します。

この章は個人的な挨拶と神の恵みと平和への祈りで終わります。この章は、伝道において確固たる態度を保つようにという責務であり、パウロの経験を振り返り、困難のただ中での神の忠実さを思い起こさせるものです。

テモテ第二 4:1 したがって、私は神と、その出現とその王国の際に死んだ者と死んだ者を裁かれる神と主イエス・キリストの前であなたに命じます。

パウロはテモテに、神とキリストに従うように勧めています。キリストは現われるときに生きている者と死んだ者を裁かれるのです。

1. 審判の日：永遠の現実と向き合う

2. キリストの再臨の光の中で生きる

1. ヘブライ 4:13 - 「すべての創造物のうち、神の目から隠されているものは何もありません。すべては明らかにされ、私たちが説明しなければならない神の目の前にさらけ出されるのです。」

2. ローマ人への手紙 14:12 - 「それで、私たちはそれぞれ、自分自身について神に説明することになります。」

テモテ第二 4:2 御言葉を宣べ伝えなさい。季節でも季節外れでも瞬時に。忍耐と教義を尽くして叱責し、叱責し、勧めなさい。

この聖句は、状況に関係なく、神の言葉を忠実に説教するよう説教者に勧めています。

1: 神の言葉を大胆に宣べ伝える

2: 忍耐をもって神の言葉を宣べ伝える

1: 使徒 20:20-21 「私は有益なことを何も隠さず、あなたがたにそれを宣言し、神に対する悔い改めと私たちの信仰をユダヤ人だけでなくギリシャ人にも証ししながら、公に、そして家から家に教えました。主イエス・キリストよ。」

2: ヘブライ人への手紙 4:12 「神の言葉は生きていて力があり、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄の分裂にさえ刺し通し、考えを識別するものだからです」そして心の意図も。」

2 テモテ 4:3 なぜなら、彼らが健全な教義に耐えられなくなる時が来るからです。しかし、彼らは自分の欲望の後で、耳がかゆいながらも教師を山盛りにするでしょう。

人々はすぐに健全な教義を拒否し、自分たちが聞きたいことを教えてくれる教師を求めるようになるでしょう。

1. 自分の心を吟味してください: 誤った教えに従ってはいけません

2. 偽りの教えを拒否する: 神の言葉をしっかりと握りなさい

1. ペテロ第二 2:1-3 - しかし、あなたがたの中にも偽教師がいるのと同じように、民の中にも偽預言者がいました。素早い破壊。

2. 箴言 14:12 - 人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死の道である。

2テモテ4:4そして彼らは真理から耳をそらし、寓話に傾くであろう。

人々は真実から目を背け、代わりに寓話に従うようになるでしょう。

1.「真実から目を背ける危険性」

2.「神の言葉の力」

1. 詩篇 119:105、「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2. ヨハネ 14:6、「イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに来ることはできない。」

2 テモテ 4:5 しかし、あなたは何事にも気をつけて、苦難に耐え、伝道者の働きをし、自分の務めを十分に証明してください。

テモテは、苦しみに耐え、伝道者としての務めを果たすよう励まされています。

1. 忍耐：神の栄光のために苦難に耐える

2. 仕事をする: 伝道者として奉仕を果たす

1. ローマ人への手紙 8:28 そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ピリピ 1:6 このことについて、あなたがたのうちに良い働きを始めた方は、イエス・キリストの日までそれを実行してくださると確信しています。

2テモテ4:6 私は今、献げられる準備ができており、出発の時が近づいています。

パウロは申し出を受ける用意があることを表明し、出発の時が近いと述べています。

1. 「A Heart of Readiness」- 人生のあらゆる状況に備えて準備を整えておくことについて。

2. 「死の近さ」- 死を理解し、人生を最大限に生きることについて。

1. マタイ 6:34 - 「だから、明日のことを心配してはなりません。明日は自分自身のことを心配することになるからです。その日は、その日の問題だけで十分です。」

2. ローマ人への手紙 14:8 - 「私たちは、生きるなら主に対して生き、死ぬなら主に対して死ぬからです。ですから、私たちが生きていても、死んでも、私たちは主のものなのです。」

テモテ第二 4:7 私はよく戦い、自分の歩みを終え、信仰を守り続けました。

パウロは信者たちに、その歩みを終えて忠実であり続けるよう勧めています。

1. 信仰を堅持しなさい - テモテ第二 4:7

2. 忍耐する強さ - テモテ第二 4:7

1. コリント人への第一の手紙 9:24-27 - パウロはレースの運営と賞を目指す努力について語ります。

2. ヘブライ 12:1-3 - パウロは信者たちに、忍耐強くレースを走り、イエスに目を注ぐように勧めています。

2 テモテ 4:8 それ以来、私のために義の冠が置かれており、義なる裁判官である主がその日私にそれを与えてくださいます。それは私だけでなく、彼の出現を愛するすべての人にも与えられます。

パウロはテモテに、彼とイエスの出現を愛するすべての信者を待っている義の冠を思い出させます。

1. 正義の冠: 喜びなさい、私たちの報いは確実だから

2. 彼の登場を愛してください: 準備をするための呼びかけ

1. ローマ 14:10-12 - しかし、なぜあなたは自分の兄弟を裁くのですか？それともあなたは、なぜあなたの兄弟を軽蔑するのですか？なぜなら、私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになるからです。「わたしが生きるとき、すべての膝はわたしにかがみ、すべての舌は神に告白する、と主は言われる。」と書いてあるからである。

2. 黙示録 22:12 – 「見よ、わたしはすぐに来る。そして私の報酬は私とともにあり、すべての人にその働きに応じて与えることです。」

テモテ第二 4:9 すぐにわたしのもとに来られるよう、熱心に取り組んでください。

パウロはテモテに、できるだけ早く自分のところに来るように勧めます。

1.「勤勉さの大切さ」

2.「時宜を得た服従の緊急性」

1. 伝道の書 9:10 - 「あなたの手にやりたいことは何でも、全力を尽くしてやりなさい...」

2. ヘブライ 13:17 - 「あなた方の指導者たちに従いなさい。彼らに従いなさい。彼らは、これから説明をしなければならない者たちとして、あなた方の魂を見守っているからです。」

2テモテ4:10デマスは、この世を愛していた私を見捨て、テサロニケへ旅立っています。三日月からガラテヤへ、ティトゥスからダルマチアへ。

デマスはキリストよりも世を愛し、パウロを見捨て、テサロニケに、クレセンスはガラテヤに、テトスはダルマチアに行った。

1. 世のために主を見捨てないでください

2. 何よりも主を愛する

1. ヨハネ第一 2:15-17 - 世や世のものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。

2. ヘブライ 13:5 - お金への愛から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足してください。「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と主は言われたからです。

2テモテ4:11 私と一緒にいるのはルカだけです。マルコを連れて行ってください。彼は宣教のために私にとって有益だからです。

パウロはテモテに、パウロの宣教に有益であるマルコを連れて行くように指示します。

1. チームワークの価値: 協力することがどのように私たちの奉仕に役立つか

2. パートナーシップの力: 他者と協力することの祝福

1. 箴言 27:17 - 鉄が鉄を研ぐように、ある人が他の人を研ぎます。

2. 伝道の書 4:9-10 - 二人のほうが一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労苦に対して良い報いがあるからです。なぜなら、彼らが倒れても、誰かが仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れても一人で、支えてくれる者がいない人は不幸です。

2テモテ4:12 それで私はティキコをエフェソスに遣わしました。

パウロはティキコをエフェソスに送りました。

1. 送る力: パウロの例から学べること

2. 忠実さの果実: 神のご意志を行うことの報い

1. 使徒 20:17-38 - パウロのエペソの長老たちへの別れ

2. ピリピ 2:19-30 - パウロによるテモテとエパフロデトの説明

テモテ第二 4:13 わたしがカルプスとともにトロアスに残したクロークと、書物、特に羊皮紙を持って来られるときは持ってきてください。

パウロはテモテに、トロアスに残したクロークと本をカルプスと一緒にテモテが来るときに持ってくるように指示します。特にパウロは羊皮紙の重要性を強調しています。

1. 従順の重要性: パウロがテモテにクロークと書物を持ってくるよう指示したことは、神のご意志に従うことにおける従順の重要性を強調しています。

2. 良い模範の力: トロアスのカルプスにクロークと本を残したパウロの模範は、リーダーシップにおける強力な教訓であり、他の人が見習うべき良い模範を示しています。

1. マタイ 7:24 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者を、わたしは岩の上に家を建てた賢者にたとえます。」

2. 箴言 13:13 - 「言葉を軽んじる者は滅ぼされるが、戒めを恐れる者は報われる。」

2 テモテ 4:14 銅細工師アレクサンダーは私にひどいことをしました。主は彼の働きに応じて彼に報いてくださいます。

銅細工師アレクサンダーはテモテに危害を加えたので、パウロは主が自分の働きに応じて彼に報いてくださるよう求めています。

1. 主は最後の言葉を持っておられる – 神は私たちに危害を加える者たちにどのように正義をもたらすのか

2. 祈りの力 - 神はどのように私たちの願いを聞き、それに答えてくださるのか

1. 詩篇 37:28-29 - 主は正義を愛されるからです。彼は聖徒たちを見捨てません。彼らは永遠に保存されますが、悪人の子供たちは断ち切られます。

2. ローマ 12:19 - 愛する人たち、決して自分で復讐してはなりません。神の怒りに任せてください。「復讐はわたしのすること、わたしが報復する、と主は言われる。」と書いてあるからです。

2テモテ4:15 あなたもその人のことを知っています。彼は私たちの言葉によく耐えてくれたからです。

パウロはテモテに、パウロの教えに反対した特定の人物に注意するよう警告しています。

1. 私たちは神の言葉の真理に反対する人々に注意すべきです。

2. 私たちは信仰を常に警戒し、誤った教えを拒否しなければなりません。

1. コロサイ 2:8 - 空虚で欺瞞的な哲学によって、だれもあなたを捕らえないように気をつけてください。哲学は、キリストではなく人間の伝統と、この世界の基本的な霊的な力に依存しています。

2. ヨハネ第一 4:1 - 親愛なる皆さん、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出ているからです。

2 テモテ 4:16 私の最初の答えでは、誰も私に味方しませんでしたが、すべての人が私を見捨てました。私は神に、彼らの責任にされないように祈ります。

パウロは、最初に逮捕されたときに受けた支援がなかったことを反省し、神が彼らに不利にならないことを願っています。

1. 逆境に直面したときの忠実さ

2. 抑圧された人々とともに立つ

1. 詩篇 27:10 「父と母が私を見捨てるとき、主は私を拾ってくださるでしょう。」

2. ペテロ第一 4:19 「ですから、神のご意志に従って苦しむ人々は、善を行いながら、自分の魂を忠実な創造者に委ねなさい。」

2テモテ4:17 それにもかかわらず、主は私とともに立って、私を強めてくださいました。それは、わたしによって説教が完全に知られ、すべての異邦人が聞くことができるためです。そして、わたしはライオンの口から救出されました。

パウロは主によって励まされ、強められたので、すべての異邦人に宣べ伝え、危険な状況から救われることができました。

1. 主の強さ: 困難な時に勇気と慰めを見出す

2. 主の備え: 迫害の時に神に頼る

1. 詩篇 18:2 – 主は私の岩、私の要塞、私の救出者です。私の神は私の岩であり、私の避難所であり、私の救いの盾であり角であり、私の砦です。

2. イザヤ書 41:10 – だから恐れないでください。わたしはあなたとともにいます。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。

2 テモテ 4:18 そして、主はあらゆる悪業から私を救い出し、天の御国に私を守ってくださいます。栄光が世々限りなく主にありますように。アーメン。

パウロはテモテに、主に忠実であり続けるよう励ましています。主は彼を救い出し、すべての悪から守り、天の御国に連れて行ってくださるからです。

1. 主の守り: 困難な時に神を信頼する

2. 揺るぎない信仰：主のうちにしっかりと立つ

1. 詩篇 121:7-8 - 主はあなたをすべての悪から守り、あなたの魂を守ってくださいます。主はあなたの出入りをこれからも、そして永遠にさえも守ってくださるでしょう。

2. ペテロ第二 1:3-4 - 神の神聖な力が、私たちを栄光と美徳へと招いてくださった方を知ることによって、いのちと敬虔に関係するすべてのものを私たちに与えてくださったように、それによって、私たちには非常に偉大で偉大なものが与えられます。貴重な約束です。それは、これらによってあなたがたは、欲望による世界の腐敗から逃れ、神の性質にあずかる者となるためです。

テモテ第二 4:19 プリスカとアクイラ、そしてオネシフォロスの家族に敬意を表します。

パウロはプリスカ、アクイラ、そしてオネシフォロスの家族に挨拶を送ります。

1. 優しさの力: プリスカ、アクイラ、オネシフォラスが優しさと寛大さの力をどのように実証するか。

2. 励ましの力: パウロは認識と肯定を通して教会をどのように励ましたか。

1. ローマ人への手紙 16:3-4 - プリスカとアクラによろしく。キリスト・イエスにおける私の同労者であり、私の命のために首を危険にさらした人たちである。私が感謝するだけでなく、異邦人のすべての教会も彼らに感謝する。

4. テサロニケ第一 5:11 - ですから、あなたがしているように、互いに励まし合い、高め合いましょう。

テモテ第二 4:20 エラストスはコリントに住んでいたが、トロフィムスは病気になったのでミレトゥムに残した。

パウロは、病気の仲間であるトロフィムスをミレトゥムに残しました。

1. 仲間の力: ポールとトロフィムス

2. 友情の強さ：困っている人への思いやり

1. 使徒 20:4 - 「そして、ベレアのソパテルは彼に同行してアジアに入った。そしてテサロニケ人のアリスタルコスとセクンドゥス。デルベのガイウスとティモテウス。そしてアジアのティキクスとトロフィムス。」

2. 伝道の書 4:9-10 - 「二人は一人よりも優れています。彼らはその労働に対して良い報酬を得ているからです。なぜなら、彼らが倒れても、その人は仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れるときに一人でいる人は不幸です。なぜなら彼には他に助けてくれる人がいないからだ。」

テモテ第二 4:21 冬が来る前に勤勉に行ってください。エウブルスがあなた、プデンス、ライナス、クラウディア、そしてすべての同胞たちに挨拶します。

パウロはテモテに、冬になる前に急いで訪問するよう勧め、エウブルス、プデンス、ライナス、クラウディア、その他の兄弟たちに挨拶を送ります。

1. パウロのメッセージの緊急性: 冬になる前に急いで訪問してください

2. 兄弟の力: エウブルス、プデンス、ライナス、クラウディア、その他の兄弟たちへのパウロの挨拶

1. 箴言 19:2 - 「知識のない欲望は良くない。足で急ぐ者は道を誤る。」

2. ヘブライ 10:24-25 - 「そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてあなたがたほど、お互いを愛と善行に励ます方法を考えましょう。その日が近づいているのを見てください。」

テモテ第二 4:22 主イエス・キリストがあなたの霊とともにおられますように。グレースがあなたと共にありますように。アーメン。

パウロはテモテに祝福を表明し、主イエス・キリストの臨在と恵みを祈ります。

1. 祝福の力: 神の恵みを受け取り、与えることを学ぶ

2. 主の御前に生きる: キリストへの決意を新たにする

1. エペソ人への手紙 5:1-2 「ですから、キリストが私たちを愛し、神への香りのよい供え物として、またいけにえとして私たちのためにご自身をささげられたように、愛する子どもとして神に見倣い、愛の人生を送りなさい。」

2. ローマ 12:1-2 - 「ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これがあなた方の真の正しい崇拝です。「この世の型に従うのではなく、心を一新することによって変えられるのです。そうすれば、神の御心が何であるかを試し、承認することができるでしょう。神の善で喜ばしい完全な御心です。」

テトス 1 章は、使徒パウロが同僚であり宣教の仲間であるテトスに宛てて書いた手紙の最初の章です。この章では、パウロはテトスに長老の任命について指示し、偽教師に対して警告しています。

第 1 段落: パウロは長老たちの資格と責任を強調しています (テトス 1:1-9)。彼は自分が神の僕でありイエス・キリストの使徒であると認め、共通の信仰を持つテトスに手紙を書きました。パウロはテトスに、すべての町で、とがめのない忠実な夫で信仰をもつ子供たちをもつ長老たちを任命するよう勧めています。これらの長老たちは、誠実さで知られ、酒に酔ったり暴力を振るったりせず、もてなしの精神を持ち、自制心を持ち、正しく、神聖で、規律正しい人でなければなりません。彼らは教えられた信頼できる音信をしっかりと堅持して、健全な教義で他の人を励まし、それに反対する人たちを論駁できるようにすべきです。

第 2 段落: パウロは偽教師に対して警告します (テトス 1:10-16)。彼は彼らを、不誠実な利益のために教えるべきではないことを教えて家庭全体を混乱させる反抗的な人々であると説明しています。パウロはテトスに、彼らが信仰において健全であり、ユダヤ人の神話や真理を拒否する人々からの人間の命令に注意を払わないように厳しく叱責するよう勧めています。彼は、汚れた心と良心を持っている人にとって、純粋なものは何もない、と強調しています。彼らは神を知っていると公言しますが、行動によって神を否定します。これらの偽教師は憎むべき存在であり、不従順であり、いかなる良い仕事にも適していません。

第 3 段落: この章は、教会内の特定のグループに対処するための指示で終わります (テトス 1:10-16)。パウロは、恵みの真理に反する律法主義的な実践を促進するユダヤ人の中からの割礼党員などのさまざまなグループについてテトスにアドバイスします。イエスは、これらの分裂を招く教えに注意を払ったり信用したりせず、その代わりにそれらの教えが信仰において健全なものとなるようにしっかりと叱責するようにと指示しています。

要約すれば、

テトスの第一章は長老の任命に焦点を当てており、教会内の偽教師に対して警告しています。

パウロはテトスに長老たちの資格と責任について指示し、彼らの誠実さと健全な教義の遵守を強調します。

彼は家庭を崩壊させたり、真実に反する教えを広めたりする偽教師に対して警告しています。パウロはテトスに、彼らを厳しく叱責し、分裂を招く教えを信じないよう勧めています。

この章は、合法的な慣行を推進するグループに対処するための具体的な指示で終わります。この章は、資格のある指導者を任命するためのガイド、誤った教えに対する警告、教会共同体内で健全な教義を維持するための指示として役立ちます。

テトス 1:1 パウロは、神のしもべであり、神の選民の信仰と、敬虔に続く真理の認識に従って、イエス・キリストの使徒です。

パウロはイエス・キリストの使徒であり、神に選ばれた民の信仰と敬虔の真理を広めるために遣わされた神の僕です。

1. 神に選ばれた者に従い、敬虔さの真実を認識するよう求める呼びかけ

2. 神に仕え、神の真理に従って生きる

1. ローマ 1:17 - 「義人は信仰によって生きる」と書かれているように、その中で神の義は信仰による信仰から明らかにされています。

2. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、自分に召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

テトス 1:2 永遠の命への希望は、偽りのない神が世の始まる前に約束してくださったものです。

この箇所は神の永遠の命の約束と神の真実性を強調しています。

1: 神の永遠の命の約束

2: 神の揺るぎない真実さ

1: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: ヘブライ 6:18 - 神がこれをなさったのは、神にとって嘘をつくことが不可能な二つの不変の事柄によって、目の前に設定された希望を掴むために逃げてきた私たちが大いに励まされるためです。

テトス 1:3 しかし、しかるべき時が来て、私たちの救い主である神の戒めに従って私に託された説教を通して、神の言葉を明らかにしてくださいました。

パウロには、しかるべき時に御言葉を宣べ伝えるという神の命令が与えられました。

1. 説教の力と神の戒め

2. 神の言葉: 宣べ伝えられる戒め

1. テモテ第二 4:2 「御言葉を宣べ伝えなさい。季節でも季節外れでも備えをしなさい。完全な忍耐と教えをもって叱責し、叱責し、勧めなさい。」

2. イザヤ書 40:8 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に残る。」

テトス 1:4 共通の信仰を持つ私の息子テトスへ、父なる神と私たちの救い主である主イエス・キリストからの恵み、憐れみ、そして平和を。

パウロは息子テトスに手紙を書き、父なる神とイエス・キリストからの恵み、憐れみ、平安を祈りました。

1. パウロの信仰の模範から学ぶ。

2. 恵み、慈悲、平和の中で成長します。

1. テモテ第二 1:5 「私はあなたの誠実な信仰を思い出します。その信仰は最初あなたの祖母ロイスとあなたの母ユニケのうちに生きていましたが、今ではあなたの中にも生きていると私は確信しています。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを込めて、自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

テトス 1:5 このため、私があなたをクレタ島に残した理由は、あなたが不足しているものを整理し、私があなたに任命したように、すべての都市で長老たちを任命するためです。

パウロはテトスをクレタ島に残して、なすべきことを組織し、各都市に長老を任命しました。

1. 目的の力: 神の計画の中で自分の位置を見つける

2. 大使命: 他者に奉仕するために手を差し伸べる

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。

2. エペソ人への手紙 4:11-12 - それで、キリストご自身が使徒、預言者、伝道者、牧師、教師たちに、キリストの体が建てられるように、ご自分の民に奉仕の業を備えさせるよう与えました。

テトス 1:6 罪のない人がいるとすれば、それは、暴動や不法行為の罪で告発されていない忠実な子供たちを持っている、一人の妻の夫です。

この箇所は教会の長老の資格について書かれており、それにはとがめのない者であること、手に負えない忠実な妻と子供を持つことが含まれます。

1. 「罪のない人生を生きる: テトス 1:6 の研究」

2. 「長老の資格: テトス 1:6 の研究」

1. エペソ人への手紙 5:1-2 「ですから、愛する子として神に倣う者となりなさい。そして、キリストが私たちを愛し、私たちのためにご自身をささげ、神への香りのよい供え物、いけにえとして、愛のうちに歩みなさい。」

2. テモテ第一 3:2-3 「ですから、監督は非難されるべき人物でなくてはなりません。一人の妻の夫であり、冷静な考えで、自制心があり、尊敬に値し、もてなすことができ、教えることができ、大酒飲みではなく、暴力的ではなく、優しい人でなければなりません。喧嘩好きではないし、お金を愛する人でもない。」

テトス 1:7 司教は神の管理者として、非のうちどころのない者でなければなりません。わがままを言わず、すぐに怒らず、ワインに屈せず、ストライカーにも屈せず、汚い酒にも屈しない。

司教は神への模範的な奉仕生活を送らなければなりません。

1: テトス 1:7 でパウロは、私たちの人生は主のビショップとしての召しにふさわしいものでなければならないことを思い出させています。

2: 私たちは自分の行動において非難されることなく、態度において謙虚であり、貪欲や怒りから自由でなければなりません。

1: エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、あなたがたが召された召命にふさわしく、謙虚さと柔和さの限りを尽くし、忍耐強く、愛のうちに互いに寛容になって歩むようにお願いします。平和の絆の中で御霊の一致を保つよう努めます。

2: ヤコブ 3:17 - しかし、上から来る知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、扱いやすく、憐れみと良い実とに満ちており、偏りや偽善がありません。

テトス 1:8 しかし、彼はもてなしを愛し、善良な人を愛し、慎み深く、正しく、聖心的で、節度のある人でした。

1: 私たちは皆、もてなし、善意、節度、公正、神聖、そして節度を保つように努めるべきです。

2: 愛と優しさは、すべてのクリスチャンが持つべき重要な特質です。

1: ピリピ 4:8-9 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、、これらのことを考えてください。

2: ヤコブ 1:19-20 - 愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

教義によって反対論者たちを勧めたり、説得したりできるようにするためです。

この聖句は、人々が罪から離れることを確信できるように、神の忠実な言葉をしっかりと保つことを強調しています。

1. 言葉の力: 聖書の真実がどのように人生を変えることができるか

2. 偽りの教えを拒否する: 神の言葉はどのように私たちを導くか

1. テモテ第二 3:16-17 - 「聖書はすべて神の息吹であり、義を教え、叱責し、矯正し、訓練するのに役立ちます。それは神の僕があらゆる良い行いをするために徹底的に備えられるためです。」

2. ヘブライ人への手紙 4:12-13 - 「神の言葉は生きていて、活動しているからです。それはどんな両刃の剣よりも鋭く、魂と精神、関節と骨髄を分断するまで突き刺す。それは心の考えや態度を判断します。すべての創造物において神の目から隠されているものは何もありません。すべては明らかにされ、私たちが説明しなければならない神の目の前にさらけ出されるのです。」

テトス 1:10 というのは、手に負えない、うぬぼれ屋や欺瞞者、特に割礼の者が多いからです。

手に負えない人や無駄なことを言う人、特にユダヤ人の信仰を持つ人がたくさんいます。

1. 手に負えない言葉を話すことの危険性 - 手に負えない言葉を話すことの危険性と、言葉に注意する必要性について探ります。

2. 割礼の信仰 - ユダヤ人の信仰と私たちの生活におけるその重要性を探ります。

1. ヤコブ 3:6 - 「そして、舌は火であり、不法行為の世界です。私たちの成員の間でも舌は同様であり、舌は体全体を汚し、自然の流れを燃やします。そして、舌は燃え上がります」地獄の。」

2. 箴言 15:28 - 「義人の心は答えようと学ぶが、悪人の口は悪いことを注ぎ出す。」

テトス 1:11 不潔な利益のために、家全体を破壊し、教えるべきではないことを教える者たちの口は止められなければなりません。

個人的な利益のために偽りの教義を教える人々は沈黙しなければなりません。

1. 偽りの教義の危険性

2. 貪欲とその危険

1. エゼキエル 13:18-19 - そしてこう言いなさい、主なる神はこう言われる。魂を狩るためにすべての袖穴に枕を縫い付け、あらゆる身長の頭にハンカチを作る女性たちには災いあれ！あなたがたは私の民の魂を狩り、あなたのところに来る魂を生きたまま救うつもりですか？

2. テモテ第一 6:3-5 - 誰かがそうでないことを教え、健全な言葉、たとえ私たちの主イエス・キリストの言葉であっても、敬虔に基づく教義に同意しないとしたら。彼は誇り高く、何も知らず、ただ質問と言葉の衝突を溺愛しており、そこから嫉妬、争い、手すり、邪悪な憶測、堕落した精神の人々のひねくれた論争が起こり利益が敬虔さであると仮定して、真実に欠けています。あなた自身。

テトス 1:12 彼ら自身の一人、さらには自分たちの預言者さえも、「クレタ人はいつも嘘つきで、邪悪な獣で、腹が鈍いのです」と言いました。

彼ら自身の預言者は、クレタ人は嘘つきで、邪悪な獣で、腹が鈍い、と宣言しました。

1. 欺瞞の危険性

2. 善良な性格の力

1. 箴言 10:9 - 誠実に歩む者は確実に歩むが、道を曲げる者は知られるようになる。

2. 箴言 11:3 - 正しい者の誠実は彼らを導きますが、不忠実な者の倒錯は彼らを滅ぼします。

テトス 1:13 この証言は真実です。したがって、彼らが信仰において健全であるように、彼らを厳しく叱責しなさい。

パウロはテトスに、偽教師たちが信仰を堅く保つように厳しく叱責するよう指示しています。

1. 叱責の力: 誤った教えにどう対処するか

2. 信仰を堅くする: 偽教師に直面しても毅然とした態度を保つ

1. テモテ第二 4:2-5 - 御言葉を宣べ伝えます。季節でも季節外れでも瞬時に。忍耐と教義を尽くして叱責し、叱責し、勧めなさい。

2. エペソ人への手紙 4:14-15 - 私たちは今後、人間の策略や狡猾な悪知恵によって、あちこちに振り回され、教義のあらゆる風に振り回され、騙そうと待ち伏せする子供ではなくなるのです。

テトス 1:14 真理から離れたユダヤ人の寓話や人間の戒めに耳を貸さない。

パウロはテトスに、偽りの教えを無視し、代わりに真理に焦点を当てるよう勧めます。

1. 真実の力: 虚偽の時代に何が真実かを識別する方法を学ぶ

2. 寓話からの転換：人間の戒めに従うという誘惑に打ち勝つ

1. 箴言 3:5-7 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。あなた自身の目には賢明ではありません。主を畏れ、悪から離れてください。

2. コロサイ 2:8 - キリストにではなく、人間の伝統に倣い、世の初歩に倣って、哲学や無駄な欺瞞によってあなたを台無しにする人がいないように気をつけてください。

テトス 1:15 清い人にとっては、すべてのものは清いのですが、汚れた不信仰な人々にとっては、清いものは何もありません。しかし、彼らの心と良心さえも汚されています。

純粋な人にとってはすべてが純粋ですが、汚れた不信仰な人にとっては何も純粋ではありません。彼らの心と良心さえも汚されています。

1. 自分自身が汚れることを許してはなりません。純粋なものは何も残らないからです。

2. 心と良心の純粋さを維持することが重要です。

1. エペソ 4:17-32 - 古い自分を脱ぎ捨て、新しい自分を着ましょう。

2. 箴言 4:23 - 心を守りなさい、それは命の源だからです。

テトス 1:16 彼らは神を知っていると告白します。しかし、作品の中で彼らは彼を否定し、忌まわしく不従順であり、あらゆる良い作品を非難します。

私たちは、神を知っていると公言しながら、その悪い行いによって神を否定する人々に騙されてはなりません。

1: 「信仰を生きる: 善行への呼びかけ」

2: 「信仰の生活を送る: 行動は言葉よりも雄弁です。」

1: ヤコブ 2:14-17 「兄弟たちよ、信仰があると言いながら行いを持たない人がいたら、何の役に立つのでしょう。そのような信仰が彼らを救うことができますか。ある兄弟または姉妹が衣服も毎日の食べ物もないとしましょう。あなた方の一人が彼らに、「安心して行きなさい。暖かくして十分な食事をしなさい。」と言いながら、彼らの肉体的な必要については何もしてくれません。それが何の役に立つのでしょう。同じように、信仰は、行動を伴っていなければ、それ自体では意味がありません。死んだ。"

2: マタイ 7:21-23 「『主よ、主よ』とわたしに言う者が皆、天国に入るわけではありません。ただ、天におられるわたしの父の御心を行う者だけが天国に入るのです。多くの人が私にこう言います。」その日、「主よ、主よ、私たちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊を追い出し、あなたの名において多くの奇跡を行いませんでしたか？」それから私は彼らにはっきりと言います、「私はあなたのことを知りませんでした。私から離れなさい、悪人たちよ！」。

テトス 2 章は、使徒パウロが同僚であり宣教の仲間であるテトスに宛てて書いた手紙の第 2 章です。この章では、パウロは教会共同体内のさまざまなグループに実践的な指示を与え、敬虔な生活と健全な教義を強調しています。

第 1 段落: パウロはテトスに、教会内のさまざまな年齢層について指示します (テトス 2:1-10)。彼はテトスに、イエス・キリストの福音に沿った健全な教義を教えるよう勧めています。特に彼は、年配の男性に対して、冷静な考え、威厳、自制心を持ち、健全な信仰を持つよう勧めています。年配の女性は、中傷者や多量のワインの奴隷ではなく、何が良いのかを教える者として、敬虔な行動をとるように教えられています。若い男性は自制し、誠実な行動を示すことが奨励されています。奴隷は従順で忠実な召使となるよう教えられています。

第 2 段落: パウロはキリストの救いの働きと、それが信者の人生に与えた影響を強調しています (テトス 2:11-14)。彼は、神の恵みが現れてすべての人々に救いをもたらしたと強調しています。この恵みは、信者がこの現代において自制的で正しく敬虔な生活を送りながら、不敬虔と世俗の情熱を放棄するように訓練しますパウロはテトスに、信者たちは祝福された希望、つまり偉大な神であり救い主イエス・キリストの出現を熱心に待っていることを思い出させます。イエス・キリストは私たちをすべての不法から救い出し、善行に熱心な民をご自身の所有物として清めるために、私たちのためにご自身を捧げてくださったのです。

第 3 段落: この章は、テトスがこれらのことをどのように教えるべきかについての具体的な指示で終わります (テトス 2:15)。パウロはテトスに、誰も彼を無視しないように権威を持ってこれらのことを話すよう命じます。彼は、若さのせいで誰からも軽蔑されず、その代わりに、言動、愛、忠実さ、純粋さにおいて模範を示すようアドバイスしています。

要約すれば、

テトス書第 2 章では、教会共同体内のさまざまなグループに実践的な指示が与えられ、敬虔な生活と健全な教義が強調されています。

パウロはテトスに、年配の男性、年配の女性、若い男性、そして奴隷の行動や振る舞いについて指示しています。

彼はキリストの救いの働きとそれが信者の人生に与えた影響を強調し、不敬虔を捨ててキリストの再臨を待ち望んで生きる必要性を強調した。

この章は、これらのことを権威を持って教え、自分の人生で模範を示すようテトスに要請して終わります。この章は、教会共同体内で敬虔に生きるためのガイドとして機能し、神の恵みの変容の力を強調し、健全な教義に従って生きるよう信者に促します。

テトス 2:1 しかし、健全な教義となることを話してください。

1: 神の言葉と一致する真実を語ります。

2: 神の言葉を忠実かつ正確に伝えます。

1: 箴言 23:23-24 「真理を買ってください。それを売るのではありません。知恵と教えと理解を買いなさい。」

2: テモテ第二 4:2 「御言葉を宣べ伝えなさい。季節中も季節外も準備を整えてください。徹底的な忍耐と教えをもって、叱責し、叱責し、勧めなさい。」

テトス 2:2 年老いた人たちが、慎み深く、厳粛で、節度があり、信仰と慈善と忍耐において健全であるように。

年配の男性は、節制、真剣、節制、忠実、慈善、そして忍耐の生活を送るべきです。

1. 忍耐の美徳: 人生の嵐の中で落ち着きを見つける

2. 時代の知恵: 誠実な人生を送る方法

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

テトス 2:3 年老いた女性たちも同様です。彼らは、冤罪を訴える者ではなく、ぶどう酒をあまり飲まず、善いことを教える者ではなく、聖なる者として振る舞っています。

年配の女性は振る舞いにおいて神聖であり、冤罪や酩酊を避け、良いことを教えるべきです。

1. 年上の女性として神聖な生活を送る

2. 良いことを教え、悪いことを避ける

1. エペソ人への手紙 4:17-32 - 召命にふさわしい生き方をする

2. 箴言 20:1 - ワインと強い飲み物の力

テトス 2:4 それは、若い女性たちに、身を慎むこと、夫を愛すること、子供たちを愛することを教えるためです。

この聖句は、若い女性に自制心を持ち、夫を愛し、子供たちを愛するよう教えるよう勧めています。

1.「愛に生きる: 家族を大切にする」

2. 「自制の力: すべての人に祝福を」

1. エペソ人への手紙 5:21-33 - キリストへの畏敬の念から互いに服従しなさい

2. 箴言 31:10-31 - 理想的な妻の特質と行動

テトス 2:5 思慮深く、貞淑で、家を守り、善良で、自分の夫に従順であり、神の言葉が冒涜されないようにしなさい。

この一節は、神の言葉が冒涜されないように、女性が思慮深く、貞淑で、家庭を守り、善良で、夫に従順であることの重要性を強調しています。

1. 女性：神の言葉に従って生きる

2. 敬虔な女性の力

1. 箴言31:10-31

2. ペテロ第一3:1-7

テトス 2:6 若い人たちも同様に、冷静な心を保つよう勧めています。

この一節は、若い男性に冷静で分別ある態度を保つよう勧めています。

1. 知恵のある生活を送る: 冷静な考え方の価値

2. 正義の心: 若い男性の霊的な節制

1. 箴言 23:19-20 - 「わが子よ、聞け、賢くなり、あなたの心をその道に導いてください。ワイン飲み仲間に加わってはいけません。「大酒飲みと大食漢は貧困に陥り、眠気でボロ布を着るだろう。」

2. 箴言 3:21-22 - 「わが子よ、それらをあなたの目から離してはならない。健全な知恵と思慮深さを保ちなさい。そうすれば、それらはあなたの魂にとって命となり、あなたの首には恵みとなるであろう。」

テトス 2:7 すべてのことにおいて、善行の模範を示しなさい。教義においては、汚れのなさ、厳しさ、誠実さ、

この一節は、信者が良い行いを示し、良い教義を守るよう奨励しています。

1: 善行に満ちた人生を送る - テトス 2:7

2: 健全な教義を支持する - テトス 2:7

1: エペソ 2:10 - なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られ、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ備えてくださったものだからです。

2: テモテ第二 3:16-17 - 聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導にとって有益であり、神の人が完全であり、あらゆる善を完全に備えるためである。仕事。

テトス 2:8 健全な話し方、それは非難されるべきものではありません。それは、反対の立場にある人が恥を知り、あなたについて悪いことを言うことがないようにするためです。

非難されない言葉、私たちに反対する人たちに恥をかかせない言葉を話すことの大切さ。

1: 私たちの言葉の力 - 私たちの言葉がどのように良い方向に使われるか、あるいは害をもたらすか。

2: 私たちの言葉の責任 -私たちに悪影響を及ぼさない、または私たちに反対する人々に恥を与えない言葉を使う責任がある。

1: ヤコブ 3:2-10 - 舌の力と私たちの生活におけるその重要性。

2: 箴言 12:18 - 言葉には生と死をもたらす力があります。

テトス 2:9 しもべたちに、自分の主人に従順で、どんなことでも主人を喜ばせるように勧めてください。二度と答えない。

この一節は、しもべたちに、言い返さずに、どんなことでも主人に従順で喜ばせるよう勧めています。

1: 従順な人生を送る - テトス 2:9

2: 喜ばしい態度で仕える - テトス 2:9

1: エペソ 6:5-8 - 奴隷たちよ、キリストに従うのと同じように、敬意と恐れを持って、そして誠実な心をもって地上の主人に従いなさい。

2: コロサイ 3:22-24 - 奴隷たちよ、何事においても地上の主人に従いなさい。そして、彼らの目があなたに向いているとき、そして彼らの好意を勝ち取るためだけではなく、心からの心と主への畏敬の念を持ってそれを行いなさい。

テトス 2:10 盗みをするのではなく、あらゆる忠実さを示します。それは、あらゆることにおいて私たちの救い主である神の教義を飾るためです。

1. 忠実であることの力

2. 私たちの救い主である神の教義を飾る

1. 詩篇 37:3、「主を信頼して善を行い、その地に住み、安全な牧草地を楽しみなさい。」

2. ヘブル人への手紙 13:5、「お金への執着から自分の人生を守り、自分の持っているもので満足しなさい。神は、「わたしは決してあなたを離れず、あなたを見捨てない」と言われたからです。

テトス 2:11 救いをもたらす神の恵みがすべての人に現れたからです。

神の恵みがすべての人に明らかにされ、救いがもたらされました。

1. 神の無条件の愛 - 救いの恵みを探る

2. 恵みの賜物 - 神の救いを受け取る方法

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

テトス 2:12 不敬虔と世俗の欲望を否定し、この世で慎み深く、正しく、敬虔に生きるべきであることを教えています。

世俗的な欲望を否定して、この世で敬虔な生活を送りましょう。

1: 不義と世俗的な欲望の否定

2: この現在の世界で地味に、正しく、敬虔に生きる

1: 1 ヨハネ 2:15-17 - 世や世にあるものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。

2: ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。

テトス 2:13 祝福された希望と、偉大な神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの輝かしい出現を求めています。

祝福された希望は、イエス・キリストの栄光の出現です。

1. 将来に向けて: イエス・キリストの栄光の出現に備える

2. 約束されたキリストの再臨への希望

1. イザヤ書 25:9 - その日にはこう言われるでしょう、見よ、これは私たちの神です。私たちは彼を待ちました、そして彼は私たちを救ってくださいます：これは主です。私たちは彼を待ち望んでいたので、彼の救いを喜び喜ぶでしょう。

2. ローマ 8:24-25 - 私たちはこの希望によって救われましたが、目に見える希望は希望ではありません。なぜなら、なぜ人は自分が見ているものをまだ望み続けるのでしょうか？しかし、目に見えないものを望むなら、私たちはそれを熱心に忍耐強く待ちます。

テトス 2:14 イエスは、私たちのためにご自身をささげてくださいました。それは、私たちをすべての咎から救い出し、善行に熱心な特異な民をご自分で清めてくださるためです。

神は私たちをすべての罪から救い出し、善行を熱心に行う特別な民とするために、私たちのためにご自身をささげられました。

1. 救いの力: 神の犠牲が私たちの生活をどのように変えたか

2. 善行の民になる: イエスに従うとはどういう意味か

ローマの信徒への手紙3章24節から25節に「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。」とあります。

2. エペソ人への手紙 2:10 - 「私たちは神の作品であり、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られ、神は私たちが行うようにあらかじめ備えてくださったのです。」

テトス 2:15 これらのことは、権威をもって語り、勧め、叱責しています。誰もあなたを軽蔑してはならない。

この聖句は、信仰者たちに、自分自身を軽蔑されることを許さず、大胆になるよう勧めています。

1. 自分の信念をしっかりと持ち、誰からも軽蔑されないでください。

2. 自分の信念に勇気を持ち、信念のために立ち上がることを恐れないでください。

1. エペソ人への手紙 6:10-11 - 主とその力の強さにおいて強くありなさい。悪魔の策略に対してしっかりと立ち向かうことができるように、神の完全な武具を身に着けてください。

2. ペテロ第一 3:15 - しかし、あなたがたは心の中で主であるキリストを聖なる者として讃え、あなたの中にある希望の理由を尋ねてくる人に対して、いつでも弁護できるよう備えておいてください。ただし、優しさと敬意を持ってそれを行います。

テトス 3 章は、使徒パウロが同僚であり宣教の仲間であるテトスに宛てて書いた手紙の第 3 章です。この章でパウロは、良い行い、敬虔な行動、教会共同体内の一致の重要性を強調しています。

第 1 段落: パウロはテトスに、信者たちのかつての罪の状態と神の憐れみを思い出させます (テトス 3:1-7)。彼は彼らに、統治者や権威に対して従順であり、あらゆる良い仕事に取り組む準備ができているように勧めています。パウロは、信者たちはかつては愚かで、不従順で、情欲と快楽に惑わされ、悪意と妬みの中で生きていたことを強調しています。しかし、神の優しさと愛は、聖霊による再生と再生の洗いを通して彼らを救ったイエス・キリストを通して現れました。この救いは彼ら自身の正しい行いに基づくのではなく、神の憐れみによるものです。

第 2 段落: パウロは善行の重要性を強調しています (テトス 3:8-11)。彼はテトスに、信者たちが善行に専念できるようにこれらのことを主張するよう勧めています。これらの善行は人々にとって素晴らしいものであり、利益をもたらします。しかしパウロは、律法をめぐる愚かな論争、系図、意見の相違、口論は無益で価値のないものであるため、警告しています。彼はタイタスに、対立する人々に警告を与えた後、拒否するようアドバイスしました。

第 3 段落: この章は個人的な指示と挨拶で終わります (テトス 3:12-15)。パウロはテトスに、アルテマスかティキコスのどちらかがニコポリスで一緒に冬を過ごすことに決めていることを伝えます。彼は、弁護士ゼナスとアポロの旅に何事も欠けることがないように熱心に手助けするようタイタスに勧めます。最後に彼はクレタ島の信者たちに、必要な善行が実を結ばないように、必要に応じて善行に専念する方法を学ぶように指示しています。

要約すれば、

テトスの第3章は、信者に対する神の憐れみと、教会共同体内の善行と団結の重要性を強調しています。

パウロはテトスに彼らの以前の罪の状態とイエス・キリストによる神の救いの恵みを思い出させ、救いは彼ら自身の行為ではなく神の憐れみに基づいていることを強調します。

彼は善行の重要性を強調し、信者に善行に専念するよう促しながら、意見を対立させる論争に対して警告している。パウロは個人的な指示と挨拶で締めくくり、クレタ島の信者たちに、必要な必要のために善行に専念するよう勧めています。

この章は神の憐れみを思い出させ、善行への勧め、そして教会共同体内の一致への呼びかけとして機能します。

テトス 3:1 統治権と権力に服従し、政務官に従い、あらゆる良い仕事に備えるよう、彼らに心に留めておいてください。

権威に服従し、善いことを行うよう人々に思い出させてください。

1. 権威への従順: 正義への道

2. 善行の力: 福音を実践する

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. ヤコブ2:14-26

テトス 3:2 人の悪口を言わず、喧嘩をせず、すべての人に柔和でありなさい。

すべての人に対して優しく、柔和さを示し、悪口や喧嘩を避けてください。

1.「優しさの力～言葉を活かす～」

2. 「柔和の祝福: 高慢よりも謙虚さを選ぶ」

1. 箴言 15:1 「優しい答えは怒りを遠ざけますが、厳しい言葉は怒りを引き起こします。」

2. ピリピ 4:5 「あなたの優しさがすべての人に明らかになるようにしてください。」

テトス 3:3 なぜなら、私たち自身も、時には愚かで、不従順で、欺かれ、さまざまな欲望と快楽に仕え、悪意とねたみの中で生き、憎しみ、互いに憎しみ合っていたからです。

人々は愚かで、不従順で、騙される傾向があり、欲望と快楽に駆られて、悪意と羨望と憎しみの中で生きることになります。

1. 罪の危険とそれが私たちの生活に及ぼす影響

2. 罪の誘惑に打ち勝つ

1. ヤコブ 1:13-15 - 誘惑に遭ったとき、「私は神に誘惑されている」などと誰も言ってはなりません。神が悪による誘惑を受けることはあり得ませんし、ご自身も誰も誘惑されないからです。しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され誘惑されることがあります。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は完全に成長すると死をもたらします。

2. ローマ 6:12-14 - したがって、罪があなたの死ぬべき肉体を支配し、その情熱に従わせないようにしてください。あなたの肢体を不義の道具として罪に差し出してはなりません。むしろ、あなた自身を死から命に戻された者として神に差し出し、あなたの肢体を義の道具として神に差し出しなさい。あなたは律法の下ではなく恵みの下にあるので、罪はあなたを支配することができないからです。

テトス 3:4 しかしその後、私たちの救い主である神の人間に対する優しさと愛が現れました。

人類に対する神の優しさと愛が明らかになりました。

1. 神の愛と優しさの力

2. 神の無条件の愛

1. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるためにご自分の御子を世に遣わされたのではありません。」世界が、しかし彼を通して世界が救われるためです。」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を認めてお

られます。」

テトス 3:5 私たちが行った義の行いによるのではなく、神の憐れみに従って、再生の洗いと聖霊の新たな働きによって私たちを救ってくださいました。

神はご自身の憐れみによって、聖霊の再生と再生の洗いを通して私たちを救ってくださいました。

1. 神の憐れみ: 救いと再生を経験する

2. 聖霊の力: 私たちの罪を洗い流す

1. ローマ 5:8-10 しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. 詩篇 51:10 神よ、私の中に清い心を造り、私の中に不動の霊を新たにしてください。

テトス 3:6 彼は、私たちの救い主イエス・キリストを通して、それを私たちに豊かに注いでくださいました。

この箇所は、私たちの救い主イエス・キリストを通して私たちに与えられる神の恵みについて語っています。

1. 神の驚くべき恵み: テトスの研究 3:6

2. イエス・キリスト: 私たちの豊かな恵みの源

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、 9 だれも誇ることがないように、行いの結果ではありません。

2. ヘブライ 4:16 - それでは、私たちが憐れみを受け、必要なときに助ける恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。

テトス 3:7 わたしたちは神の恵みによって義と認められ、永遠の命の希望に従って相続人とされるべきです。

私たちは神の恵みによって義とされ、それによって永遠の命の相続人となることができます。

1. 神の驚くべき恵みと永遠の命の希望

2. 恵みによって義とされる: 永遠の命の相続人になる

1. ローマ人への手紙 8:17 – 「そして子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。」

2. エペソ 1:3 – 「私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあって天上のすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。」

テトス 3:8 これは忠実な言葉です。神を信じた者たちが良い行いを保つように気をつけていただくために、これらのことをあなたに絶えず断言していただきたいと思います。これらのことは人間にとって良いことであり、有益です。

この聖句は、神への信仰の結果としての善行の重要性を強調しています。

1: 善行は神への信仰にオプションで追加されるものではなく、むしろ信仰の不可欠な部分です。

2: 私たちは神への信仰の結果として善行を実践するよう注意しなければなりません。

1: ヤコブ 2:17 - 「たとえ信仰が働かなかったとしても、それは孤独であり、死んだものです。」

2: マタイ 7:15-20 - 「偽預言者に気をつけなさい。彼らは羊の皮を着てあなたがたのところに来るが、内心は貪欲な狼です。あなたがたはその実によって彼らを知るでしょう。人はいばらのぶどうを集めるのでしょうか、それともアザミのいちじくを集めるのでしょうか。それでも、すべての良い木は良い実を結びますが、腐敗した木は悪い実を結びます。良い木が悪い実を結ぶことはできませんし、腐敗した木が良い実を結ぶこともできません。良い実を結ばない木はすべて切り倒され、それで、あなたがたはその実によってそれを知ることになる。」

テトス 3:9 しかし、律法についての愚かな質問、系図、論争、争いを避けなさい。なぜならそれらは無益で虚しいからである。

私たちは、法律に関する愚かな質問、家系図、論争、議論を避けるべきです。なぜなら、それらは利益がなく、無駄だからです。

1. 不利益な議論を避ける知恵

2. 敬虔な議論を求めることの価値

1. ヤコブ 3:13-17 - あなたたちの中で、賢くて理解力のある人は誰ですか。そのことを彼らの良い生活、知恵から来る謙虚さの中で行う行為によって示してもらいましょう。

2. 箴言 14:7 - 愚かな人の中に知識の唇が感じられないときは、その人の前から立ち去れ。

テトス 3:10 最初と二回目の忠告を拒否した後、異端となった人。

分裂を拒否し、団結を受け入れる。

1: 共通の目標に向かって協力する。

2: 平和と団結の重要性。

1: エペソ人への手紙 4:1-3、「ですから、主の囚人であるわたしは、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、一つの心をもって忍耐をもって、自分に召された召しにふさわしい生き方をするよう、あなたたちに勧めます。」もう一人は愛を抱いており、平和の絆の中で御霊の一致を維持したいと切望しています。」

2: 詩篇 133:1、「見よ、兄弟たちが団結して暮らすのは、なんと素晴らしく、楽しいことだろう。」

テトス 3:11 そのような者は転覆され、罪を犯し、自分自身に罪に定められていると知っています。

この一節は、不道徳な行為をする者は自責の念に駆られ、その結果に苦しむことになると警告しています。

1: 私たちは、私たちが行う不道徳な行為は、私たち自身の非難と苦しみにつながることを認識しなければなりません。

2: たとえ私たちが罪を犯したくなるとしても、それに伴う結果に留意すべきです。

1: ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2: ヤコブ 1:14-15 - しかし、人は誰でも、自分の邪悪な欲望に引きずられ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望は妊娠した後、罪を生み出します。そして罪が大きくなると死を生み出します。

テトス 3:12 わたしがアルテマスをあなたのもとに送るとき、あるいはティキコスさん、ニコポリスまで熱心に来てください。わたしはそこで冬を過ごすことに決めているからです。

パウロはテトスに、冬を越すことを決意しているニコポリスにいる彼のところに熱心に来るように指示します。

1: 神は私たちに、熱心に信仰を持って歩むよう呼びかけておられます。

2: 私たちは神の呼びかけに応える準備ができていなければなりません。

1: ヤコブ 4:17 - したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

2: ルカ 12:35-38 - 腰を締め、光を灯しなさい。そしてあなたがた自身も、主が結婚式から帰ってくるのを待つ人々のようなものである。それは、彼が来てノックすると、彼らがすぐに彼に心を開くことができるようにするためです。

テトス 3:13 律法学者ゼナスとアポロを熱心に旅に連れて行ってください。彼らに何事も欠けることがないようにしてください。

パウロはテトスに、弁護士のゼナスとアポロが旅に必要なものをすべて持っているかどうかを確認するように指示します。

1. 勤勉の力: テトスへのパウロの教え

2. 準備の重要性: パウロの例

1. 箴言 21:5 - 勤勉な人の計画は必ず豊かさをもたらしますが、性急な者はみな貧困に陥るだけです。

2. エペソ人への手紙 5:15-16 - それでは、自分がどのように歩むかをよく見てください。愚かな者としてではなく、賢い者として、時間を最大限に活用して歩きましょう。悪しき日々が続いているからです。

テトス 3:14 また、私たちも、実を結ばないように、必要な用途のために良い行いを続けることを学びましょう。

クリスチャンは霊的な実を結ぶために、他の人を助ける良い行いを学ばなければなりません。

1.「善行の必要性」

2.「実り豊かな人生を送る」

1. マタイ 5:16 - 「あなたの光を他の人たちの前で輝かせなさい。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天のあなたの父に栄光を帰すことができます。」

2. ヤコブ 2:17 - 「同様に、信仰も、行動が伴わなければ、それ自体では死んだものになります。」

テトス 3:15 私と一緒にいる者は皆、あなたに挨拶します。信仰をもって私たちを愛してくださっている方々にご挨拶ください。恵みが皆さんとともにありますように。アーメン。

この聖句は、信者たちが愛と信仰をもって互いに挨拶し、互いに恵みを与えるよう勧めています。

1: 愛と信仰をもって互いに挨拶する力

2: 恵みをすべての人に広げることの重要性

1: エペソ人への手紙 4:2-3 「あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛のうちに互いに忍び合い、平和のきずなにおいて御霊の一致を保つよう熱心に努めなさい。」

2: コロサイ 3:14 「そして、これらの人々は何よりも愛を身に着けており、それがすべてを完璧な調和で結びつけています。」

フィレモン 1 章は、使徒パウロが仲間の信者であり奴隷所有者であるフィレモンに宛てて書いた個人的な手紙です。この手紙の中でパウロは、ローマ滞在中にクリスチャンになった逃亡奴隷オネシモに代わってフィレモンに訴えています。

第 1 段落: パウロはフィレモンの信仰と愛に感謝の意を表します (フィレモン 1:1-7)。彼は、聖徒たちを愛し、励ます人としてのフィレモンの評判を称賛しています。パウロは自分のために祈ったことを認め、主イエス・キリストとすべての聖徒たちに対するフィレモンの愛と信仰をどのように聞いたかについて述べます。彼は、フィレモンがキリストにあるあらゆる良いものを知ることによって、信仰を分かち合うことに参加することが効果的なものとなるように祈っています。

第 2 段落: パウロはオネシモに代わってフィレモンに訴えます (フィレモン 1:8-16)。彼は正しいことを自分に命じることができることを認めていますが、愛に基づいて訴えることを好みます。パウロは、かつて奴隷として無益だったオネシモが、今では彼にとってもフィレモンにとっても有益になったと述べています。彼はフィレモンに、オネシモを単なる奴隷としてではなく、キリストにある最愛の兄弟として迎え戻すよう求めます。オネシモが不当な行為をしたり借りがあるのであればパウロは自分で返済すると申し出ます。

第 3 段落: 手紙は個人的な挨拶とお願いで終わります (フィレモン 1:17-25)。パウロはフィレモンに、彼らの祈りによってすぐに刑務所から解放されることを期待しているので、客間を用意するよう勧めます。彼は、エパフラス、マルコ、アリスタルコス、デマス、ルカを含む同僚たちに挨拶を送ります。終わりの挨拶で、パウロは彼ら全員の上に神の恵みを祈ります。

要約すれば、

フィレモン書は、逃亡した奴隷オネシモについてパウロがフィレモンに訴えて書いた個人的な手紙です。

パウロはフィレモンの信仰と愛に感謝の意を表し、聖徒たちを愛し励ます人としての彼の評判を称賛しています。

彼はオネシモに代わってフィレモンに、彼を奴隷としてではなく、キリストにある愛する兄弟として迎え入れてほしいと訴えます。パウロはオネシモが負った過ちや負債を返済することを申し出ます。

フィレモン 1:1 イエス・キリストの囚人であるパウロと、私たちの兄弟テモテ、私たちの愛する愛する同胞であるフィレモンへ。

パウロがフィレモンに宛てた愛と感謝の気持ちを表す手紙。

1. 他の人に愛と感謝の気持ちを示す方法

2. 友情と親睦の力

1. ピリピ 1:3-5 - 私は、あなた方のことを思い出すたびに、また、最初の日から今に至るまで、喜びをもって願い求めているあなた方全員に対する私の祈りのたびに、いつも私の神に感謝しています。

2. 箴言 17:17 - 友はいつでも愛し、兄弟は逆境のために生まれた。

ピレモン 1:2 そして、私たちの愛するアッフィア、私たちの戦友アルキポ、そしてあなたの家の教会に、

パウロはアッフィア、アルキポ、そしてピレモンの家の教会に挨拶を送ります。

1. 教会における交わりの重要性

2. 主の軍隊で奉仕する喜び

1. ヘブライ 10:24-25 - そして、ある人々の習慣のように、集まることを怠らず、励まし合い、そしてご覧のとおりさらに励まし合う方法を考えましょう。その日が近づいている。

2. ローマ 12:9-13 - 愛は本物であってください。悪を憎む。良いものをしっかり持ちなさい。兄弟愛をもって互いに愛し合いましょう。名誉を示すという点でお互いに勝りましょう。怠惰な熱意を持たず、熱意を持って主に仕えなさい。希望を持って喜び、艱難を忍耐し、絶えず祈りなさい。聖徒たちの必要に応え、もてなしの精神を示すよう努めてください。

フィレモン 1:3 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、あなたがたに恵みと平安がありますように。

パウロは父なる神とイエス・キリストからの恵みと平和の挨拶を送ります。

1.「恵みはどこにでもある」

2.「平和は神からの贈り物」

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを込めて、自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

2. エペソ人への手紙 2:8-9 - 「あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるのです。これは自分から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることができないからです。」

ピレモン 1:4 私は祈りの中でいつもあなたのことを言いながら、私の神に感謝しています。

この聖句は、友人たちのことを神に感謝し、祈りの中で友人たちを思い出すよう勧めています。

1.「感謝の力：祈りを通して友人を祝福する」

2. 「交わりの喜び：祈りの中で愛する人たちを思い出す」

1. 詩篇 100:4-5 - 「感謝を持ってその門に入り、賛美を持って彼の庭に入りなさい。彼に感謝し、彼の御名を祝福しましょう。」

2. ローマ人への手紙 12:10 - 「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。敬意を示すことにおいては互いにしのぎなさい。」

ピレモン 1:5 あなたが主イエスとすべての聖徒たちに対して抱いている愛と信仰を聞いてください。

ピレモンは主イエスとすべての聖徒に対する愛と信仰で称賛されています。

1. イエスへの愛と信仰に満ちた人生を送る

2. 神に仕える忠実さの力

1. コリント第一 13:13 「そして今、信仰、希望、愛の三つが残っています。しかし、その中で最も偉大なものは愛です。」

2. ヘブライ 11:6 「信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者はだれでも、神が存在し、神が熱心に求める者たちに報いてくださることを信じなければならないからです。」

ピレモン 1:6 それは、あなたの中にあるすべての良いものをキリスト・イエスにあって認めることによって、あなたの信仰を伝えることが効果的なものになるためです。

キリスト・イエスの善を認めることによって、自分の信仰を効果的に伝えることができます。

1. 感謝の力: キリストのうちに良いものを見る

2. 神とのつながり：善を認めることによる効果

1. コロサイ3:12-17

2. ピリピ人への手紙 4:4-9

ピレモン 1:7 兄弟よ、聖徒たちの腸はあなたによって元気づけられるので、私たちはあなたの愛に大きな喜びと慰めを感じています。

聖徒たちはフィレモンの愛のゆえに喜びと慰めで満たされます。

1: 他人を愛する喜び

2: 他人を愛することで魂がリフレッシュされる

1: ヨハネ 13:34-35 「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、あなたがたも互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うことです。これによって、あなたがたがわたしの弟子であることをすべての人が知るでしょう。お互いへの愛。」

2: ローマ人への手紙 12:10 「兄弟愛をもって互いに親切に愛し合い、敬意を表して互いに与え合いなさい。」

ピレモン 1:8 ですから、私はキリストにあって、あなたに都合のよいことを命令するのはかなり大胆かもしれませんが、

パウロはフィレモンに、最善で都合のよいことをするよう勧めます。

1:たとえ困難なことがあっても、正しいことを行う。

2: 自分のニーズよりも他人のニーズを優先します。

1: ピリピ 2:3-5 - 利己的な野心や無駄なうぬぼれから何もせず、謙虚に他の人が自分よりも優れていると考えてください。

2: コロサイ 3:12-14 - 同情心、優しさ、謙虚さ、優しさ、忍耐を身に着けてください。

フィレモン 1:9 しかし、私は年老いたパウロのような者であり、今はイエス・キリストの囚人でもあるので、愛のためにむしろあなたにお願いします。

イエス・キリストの年老いた囚人であるパウロは、愛から行動を起こすようフィレモンに訴えます。

1. 愛の力: 愛がどのように私たちに行動を強いるか

2. 高齢だが依然として情熱：パウロの熱烈な信仰の例

1. ローマ人への手紙 5:5 - 「希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は、私たちに与えられる聖霊によって、私たちの心の中に注がれるからです。」

2. コリント第一 13:13 - 「そして今、信仰、希望、慈愛、この三つが保たれていますが、その中で最も大いなるものは慈愛です。」

ピレモン 1:10 私は、私が奴隷の状態で産んだ息子オネシモのためにあなたにお願いします。

パウロはフィレモンに、元奴隷だったオネシモをキリストにある最愛の兄弟として迎え入れるよう求めています。

1. 許しの力：オネシモを受け入れるようにというイエスの呼びかけ

2. キリストにおける新しいアイデンティティ: 兄弟として一致して生きる

1. ルカ 6:37、「裁いてはなりません。そうすれば、あなたがたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、あなたがたは罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。」

2. ローマ人への手紙 12:10、「互いに敬意を表して、兄弟愛をもって互いに親切に愛し合いなさい。」

ピレモン 1:11 それは、昔はあなたにとって不利益でしたが、今ではあなたと私にとって有益です。

1: 私たちは自分の間違いから学び、それを良いことに活かすことができます。

2: 私たちが神を信頼するなら、神は私たちの試練を喜びに変えることができます。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: 2 コリント 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去ったのです。見よ、すべてが新しくなる。

ピレモン 1:12 私はこの人を再び遣わしました。それゆえ、あなたは彼を受け入れます。つまり、私の腸です。

パウロはフィレモンに、愛と同情心を持ってオネシモを受け入れるよう勧めます。

1 - 愛と思いやり: 私たちに対する神の戒め

2 - 私たちのための神の計画を信頼する

1 - ヨハネ第一 4:19-21 - 私たちが愛するのは、主が最初に私たちを愛してくださったからです。

2 - エレミヤ 29:11 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っている、と主は言われる、あなたを傷つけることなく繁栄させる計画、あなたに希望と未来を与える計画である。

ピレモン 1:13 あなたの代わりに、福音の絆の中で私に仕えてくれるように、私はこの人を私のもとに留めておきたかったのです。

パウロはフィレモンに、元奴隷だったオネシモを愛と許しをもって受け入れてもらうよう求めます。

1. 愛と許しをもってオネシモを受け入れる: ピレモンの研究 1:13

2. 福音による絆: フィレモン 1:13 の許しと愛

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛し合うことです。わたしがあなたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきです。これによって、すべての人はあなたがわたしの弟子であることを知るでしょう」お互いに愛があれば。」

2. エペソ人への手紙 4:32 - 「神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、心を優しくし、赦し合いなさい。」

ピレモン 1:14 しかし、あなたの思いがなければ、私は何もしません。あなたの利益は、いわば必然的なものではなく、喜んで得られるものであるべきです。

パウロはフィレモンに義務としてではなく、善意から何かをしてもらいたいと考えています。

1. 自由意志の力

2. 互恵の祝福

1. ルカ 6:38 - 「与えなさい、そうすれば、与えられるでしょう。良い量りを、押しつけたり、一緒に振ったり、駆け寄ったりすると、あなたの膝に注がれます。なぜなら、あなたが使う量りで、それは測られるからです」あなた。"

2. コリント人への第二 8:7 – 「しかし、あなたが信仰、言葉、知識、完全な真剣さ、そして私たちへの愛において、すべてにおいて優れているのと同じように、この与える恵みにおいても優れていることに注目してください。」

ピレモン 1:15 おそらく、彼はあなたが彼を永遠に迎えてもらうために、しばらくの間旅立ったのではないでしょうか。

パウロはフィレモンに、オネシモを奴隷としてではなく、キリストにある愛する兄弟として受け入れるよう勧めます。

1. 「オネシモをキリストにおける愛する兄弟として受け入れる」

2.「和解の価値」

1. コロサイ 3:12-15 「それでは、神に選ばれた者として、聖なる愛される者として、憐れみの心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身に着けて、互いに忍び合い、また、もし誰かが他の人に対して不満を持っているなら、赦しなさい」「お互いに、主があなたを赦してくださったのと同じように、あなたも赦さなければなりません。そして何よりも、これらの人々は愛を身に着け、それがすべてを完全な調和で結びつけます。そして、キリストの平和があなたの心の中に支配されるようにしましょう。あなたはまさにそのために招かれたのです」体はひとつ。そして感謝しましょう。」

2. ルカ 15:11-32 - 「そして彼は言った、「ある人に二人の息子がいた。そして、息子のうちの弟が父親に言った、『父よ、私に来る財産の分け前を私にください』」。そして彼は財産を二人に分けました。それから何日も経たないうちに、次男は全財産を集めて遠い国へ旅立ち、そこで無謀な生活で財産を浪費しました。そして、すべてを使い果たしたとき、ひどい飢餓が起こりました。その国に来て、彼は困窮し始めました。そこで彼はその国の国民の一人に雇われ、豚に餌をやるために自分の畑に送り込まれました。そして彼は、豚のさやを食べさせられることを切望していました。「豚が食べ、誰も彼に何も与えませんでした。しかし、彼は我に返ったとき、言いました、「父に雇われた使用人のうち、何人が十分以上のパンを持っているのに、私はここで飢えて死ぬのです。私は立ち上がって父のところに行きます、「父よ、私は天に対してもあなたの前でも罪を犯しました。私はもうあなたの息子と呼ばれる資格はありません。私をあなたの雇われた召使いの一人として扱ってください。」そして彼は立ち上がって父親のところに来ました。しかし、彼がまだ遠く離れていた間に、彼の父親は彼を見て同情し、走って彼を抱き締め、キスをしました。」

ピレモン 1:16 今は僕としてではなく、僕以上の愛する兄弟、特に私にとってはそうですが、肉においても主においても、あなたにとってはなおさらではないでしょうか。

パウロはフィレモンに、オネシモを召使としてではなく最愛の兄弟として家に迎えるよう勧めます。

1. 愛の力: 他人をキリストの兄弟として迎える方法

2. 神の目には誰もが平等であると受け入れる

1. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男性も女性もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

2. ローマ 12:10 - 「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。名誉を示すという点でお互いを上回りなさい。」

ピレモン 1:17 もしあなたが私をパートナーだとお考えなら、彼を私自身として受け入れてください。

パウロはフィレモンに、自分がパウロを受け入れるのと同じようにオネシモを受け入れるように要求します。

1: 私たちは、自分自身に期待するのと同じ優しさと受け入れを持って他の人に接するべきです。

2: 神が私たちを受け入れて愛してくださるように、私たちも他の人を受け入れて愛すべきです。

1: ルカ 6:31 - 「自分にしてもらいたいことを、他の人にもしなさい。」

2: ローマ人への手紙 15:7 - 「では、神に賛美をもたらすために、キリストがあなたがたを受け入れてくださったように、互いに受け入れなさい。」

ピレモン 1:18 もし彼があなたに不当な扱いをしたなら、あるいはあなたに借りがあるなら、それは私の責任にしてください。

パウロはフィレモンに、自分に対するあらゆる過ちや負債をパウロの責任に負わせるよう勧めます。

1. 許し：恨みを手放す力

2. 他人に対して寛大であること: 他人のために犠牲を払うことで得られる報酬

1. エペソ人への手紙 4:32 - 「キリストによって神があなたがたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。」

2. マタイ 6:12-14 - 「そして、私たちが債務者を赦したように、私たちの負債も赦してください。そして、私たちを誘惑に導かず、悪しき者から救い出してください。」

ピレモン 1:19 わたしパウロは、この手紙を自分の手で書きました。わたしはそれをお返しします。ただし、あなたが自分自身以外に、どれほどわたしに借りがあるかはあなたには言いません。

パウロはフィレモンに手紙を書いて、借金を返済することを約束していますが、それが何であるかは明らかにしていません。

1. 神の恵みと憐れみは私たちの負債よりも大きい。

2.どんな状況においても感謝の気持ちを持って生きる。

1. エペソ人への手紙 2:4-5 「しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。恵みによってあなたは救われました」」

2. コロサイ 3:15-17 「そして、キリストの平和があなたがたの心を支配しなさい。あなたがたはまさに、一つの体としてその平和に召されたのです。」そして感謝しましょう。キリストの言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め合い、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いましょう。そして、言葉においても行いにおいても、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。」

ピレモン 1:20 そうだ、兄弟よ、主にあってあなたを喜ばせてください。主にあって私の腸を元気づけてください。

フィレモンはオネシモに、主にあって自分と和解するよう求めていました。

1. 主における和解の力

2. 主にあって一つになること

1. ローマ 15:5-6 - 忍耐と励ましの神が、あなたがキリスト・イエスに従って互いに調和して生きることを許し、声を一つにして私たちの主イエス・キリストの父なる神を讃えることができますように。。

2. コロサイ 3:13-15 - もしあなたがたの中に誰かに対して不満を抱いている人がいるなら、互いに忍耐し、許し合いましょう。主があなたを赦してくださったように、赦してください。そして、これらすべての美徳の上に愛がかぶせられ、それがそれらすべてを完全な統一に結びつけます。

ピレモン 1:21 私はあなたの従順に自信を持っていたので、あなたも私の言う以上のことをしてくださるだろうと知って、あなたに手紙を書きました。

パウロはフィレモンに、自分に求めたことを超えて行動するように勧めます。

1: 期待を超える - ピリピ 3:13-14

2: 信仰を超える - ヘブライ 11:1-2

1: ヤコブ1:22-25

2: ヨハネ第一3:18-19

ピレモン 1:22 ただし、私に宿も用意してください。あなたの祈りによって、私はあなたに与えられると信じています。

パウロはフィレモンに、祈りの力を信頼して滞在する場所を用意してほしいと頼みました。

1. 祈りの力: 祈りはどのように人生を変えることができるか

2. 従順の祝福: 神に従うことがどのように報いをもたらすか

1. ヤコブ 5:16 - 「義人の祈りは力強く、効果的です。」

2. ピリピ人への手紙 4:6-7 「何事についても心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを込めて、自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、あらゆる理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

ピレモン 1:23 そこで、キリスト・イエスにおいてわたしの仲間の囚人であるエパフラスに敬意を表します。

パウロは同じ囚人エパフラスからフィレモンに挨拶を送ります。

1. 兄弟間の交わりと一致の力

2. 困っている兄弟たちに手を差し伸べる

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - したがって、主の囚人である私は、謙虚さと優しさの限りを尽くし、忍耐をもって、互いに助け合いながら、召された召しにふさわしい態度で歩むことを強く勧めます。愛、平和の絆の中で御霊の一致を維持することに熱心です。

2. ヘブライ 13:3 - あなたも肉体の中にいるのですから、まるで一緒に刑務所にいるかのように、刑務所にいる人たちや虐待されている人たちのことを思い出してください。

ピレモン 1:24 マルクス、アリスタルコ、デマス、ルーカス、私の同胞たち。

この聖句は、良き同僚であり、調和して協力することの重要性を強調しています。

1. Together We Stand: 共通の目標に向かって取り組む力

2. 信者たちの交わり: コミュニティの祝福

1. 伝道の書 4:9-12 - 二人のほうが一人よりも優れています。なぜなら、彼らはその労苦に対して良い報いがあるからです。なぜなら、彼らが倒れても、誰かが仲間を持ち上げるからです。しかし、倒れても一人で、支えてくれる者がいない人は不幸です。繰り返しますが、二人が一緒に寝れば暖かさを保ちますが、どうやって一人で暖かく保つことができますか？そして、一人の男が孤独な一人に勝つかもしれないが、二人は彼に抵抗するだろう、三重の紐はすぐに切れるものではない。

2. ピリピ 2:3-4 - 競争心やうぬぼれから何もせず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしなさい。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。

ピレモン 1:25 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊とともにありますように。アーメン。

イエス・キリストの恵みが私たちの霊の中にあるべきです。

1. 神の恵みは、神を信じる者への最大の贈り物です。

2. イエス・キリストの愛に感謝し、その恵みを受け入れてください。

1. エペソ 4:7 - しかし、キリストが割り当ててくださったように、私たち一人一人に恵みが与えられています。

2. ローマ 5:17 - もし、一人の人の罪によって、その一人によって死が支配したとしたら、神の豊かな恵みの備えと義の賜物を受けた人々は、なおさらその一人を通して命を支配することになるでしょう。、イエス・キリスト！

ヘブライ人への手紙 1 章は、ユダヤ人のキリスト教徒に宛てて書かれた書簡であるヘブライ人への手紙の最初の章です。この章で著者は、イエス・キリストがすべての被造物よりも優れていることを強調し、イエス・キリストの神聖な性質と神の子としての役割を強調します。

第 1 段落: 著者は、すべての被造物に対するイエスの優位性を確立します (ヘブライ 1:1-4)。彼はまず、神は過去には預言者を通してご自分の民に語られましたが、この終わりの日には御子を通して私たちに語られたと述べています。御子は万物の相続者であり、御子を通して神が世界を創造されたと描かれています。御子は神の栄光を放ち、神の力強い言葉によってすべてを支えます。著者は、イエス・キリストが天使よりも優れており、彼らよりも高く評価され、彼らよりも優れた名前を受け継いでいることを強調します。

第 2 段落: 著者は、イエスの優位性についての主張を裏付けるために、旧約聖書のいくつかの箇所を引用しています (ヘブライ人への手紙 1:5-14)。彼は詩篇 2 篇 7 篇を引用し、神がイエスを御子として生み出したと宣言しています。彼はまた、サムエル第二 7:14 と申命記 32:43 を引用し、神がイエスをご自分の長子と呼び、天使たちに彼への崇拝を命じていることを断言しています。著者はさらに、王としてのイエスの永遠の統治を強調しながら、天使の一時的な性質を強調することで、天使とイエスを対比させています。

第 3 段落: この章は、天使とその奉仕的役割と、永遠の子としてのイエスの立場との比較で終わります (ヘブライ 1:13-14)。著者は、敵が神の足台にされるまで神の右に座るように言われた天使がいるかどうかを修辞的に尋ねます。これは、これほど崇高な地位や権威を持った天使はいないことを強調するのに役立ちます。さらに、天使は救いを受け継ぐ人々に仕えるために派遣された奉仕の霊であると描写されています。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙の第 1 章は、天使を含むすべての被造物に対するイエス・キリストの優位性を確立しています。

著者は、この終わりの日に神が御子を通して私たちに語りかけられたことを強調し、万物の相続者であり世界の創造者としてのイエスの役割を強調しています。

この章では、イエスの優位性を裏付けるために旧約聖書の一節を引用し、イエスを天使と対比させ、王としてのイエスの永遠の統治を強調しています。

この文書は、天使には奉仕の役割がある一方、イエスは永遠の子であり、崇拝の正当な受け手として独特の立場を保っていることを強調して締めくくられています。この章は、イエス・キリストをすべての被造物の上に高め、力と権威の両方においてイエス・キリストの卓越性を確立するために役立ちます。

ヘブライ人への手紙 1:1 神は、さまざまな時に、さまざまな方法で、預言者たちを通して先祖たちに語られました。

神は過去にさまざまな方法で先祖たちに語りかけました。

1: 私たちが孤独を感じているときでも、神は常に私たちの生活の中に存在します。

2: 神の愛の力は、神が私たちに語る方法を通して示されます。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 私は、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、不可能であると確信しているからです。それは、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すためです。

2: マタイ 28:20 - そして確かに、私は世の終わりまで、いつもあなた方とともにいます。

ヘブライ人への手紙 1:2 この終わりの日に、御子が私たちに語りかけ、御子を万物の相続人に任命され、御子によって世界も造られました。

神は御子を通して終わりの日に私たちに語りかけられ、御子をすべての相続人に任命し、御子によって世界を創造されました。

1. 私たちの父、私たちの王: 創造者および父としての神の役割

2. 万物の相続者: 父によって任命される

1. 詩篇 89:27 「また、わたしは彼をわたしの長子とし、地の王たちよりも高い者とする。」

2. ヨハネ 1:3 「万物はキリストを通して造られたのであり、造られたものは、キリストなしには何も造られなかった。」

ヘブライ人への手紙 1:3 この方は、ご自分の栄光の輝きであり、ご自身の人格の明確な姿であり、ご自分の力の言葉によってすべてを支えておられる方で、ご自身で私たちの罪を清められたとき、陛下の右手に座っておられました。高い;

神の栄光と力は、私たちの罪を清め、今神の右に座しておられるイエスに表れています。

1: イエスの罪に対する勝利

2: 神の力の確信

1: マタイ 28:18-20 - イエスには天と地におけるすべての権威が与えられています。

2: ローマ人への手紙 8:32 - 神はご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために御子を捨ててくださいました。

ヘブライ人への手紙 1:4 天使よりも優れた名を相続により得られたので、天使たちよりもはるかに優れた者とされています。

神はイエスを天使よりも優れた者とし、より優れた名前を受け継ぐものをイエスに与えました。

1: 私たちは天使よりも優れた主を持って幸いです。

2: イエスがより優れた名を受け継いだことに感謝しましょう。

1: ピリピ 2:9-11 - したがって、神は彼を最高の場所に高め、あらゆる名に勝る名を彼に与えました。

2: マタイ 3:17 - すると、天からの声がこう言いました。彼は私の息子であり、私が愛しています。彼と私はとても満足しています。

ヘブライ人への手紙 1:5 天使の中で、いつでも「あなたは私の子です、今日私はあなたを産んだのです」と言った人は誰ですか？そしてまた、私は彼にとって父親になり、彼は私にとって息子になるでしょうか？

神はご自身の独り子イエス・キリストとの排他的な関係を確立されました。

1: イエス・キリストは神ですか?最愛の息子であり私たちの救い主よ。

2: 私たちは神を信頼し、頼ることができるでしょうか? 셲は御子を通して私たちに約束してくださいます。

1: ヨハネ 3:16-17 ?あるいは、神は世をとても愛したので、ご自分の独り子をお与えになり、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つようになりました。なぜなら、神は世を罪に定めるために御子をこの世に遣わしたのではありません。しかし、彼を通して世界が救われるかもしれない。

2: イザヤ書 9:6-7 ?さもなければ、私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます：そして政府は彼の肩にあります：そして彼の名前は素晴らしい、相談者、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。ダビデの王座とその王国に、彼の政府と平和の拡大については終わりがなく、それを命令し、裁きと正義をもってそれを確立することは、今後も永遠に続くであろう。万軍の主の熱意がこれを成し遂げるでしょう。

ヘブライ人への手紙 1:6 そしてまた、彼は初子を世にもたらすとき、こう言いました、「そして神のすべての天使たちに彼を崇拝させなさい。」

神はすべての天使たちに、創造の初子であるご自分の御子イエスを崇拝するように命じられました。

1. 神の子を崇拝する: イエスへの献身と敬意を示す方法

2. 神の命令を聞くことの重要性: 天使の例

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. コロサイ 1:15-17 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の初子です。なぜなら、天においても地においても、目に見えるものも目に見えないものも、王座であれ、統治権であれ、支配者であれ、権威であれ、すべてのものは彼によって創造されたからです。すべてのものは彼を通して、そして彼のために創造されました。そして彼はすべてのものの前にあり、彼の中ですべてのものはまとまっています。

ヘブライ人への手紙 1:7 また、天使について彼はこう言います、「誰が自分の天使たちを霊にし、その奉仕者たちを火の炎にするのか」。

神は天使と奉仕者を任命し、霊や火の炎として神に仕えます。

1. 専属サーヴァントの力

2. 情熱と情熱に満ちた人生を送る

1. 詩篇 103:20-22 「力に優れ、御言葉の声に耳を傾け、主の戒めを行う御使いたちよ、主を祝福せよ。主を祝福せよ、主のすべての軍勢よ、主の奉仕者よ、「主の御業を祝福してください。主の支配のあらゆる場所における主の御業を祝福してください。主を祝福してください、おおわが魂よ。」

2. □□□ 25:31-46 □□□□

神は天と地の創造者です。

1: 私たちはすべてを創造し、私たちが人生を通じて神の栄光と名誉をもたらすことを望んでいる神に仕えます。

2: 神は生命の創造者であり、私たちが持っているものはすべて神のおかげです。

1: コロサイ 1:16-17 - 天も地も、目に見えるものも目に見えないものも、王座も支配地も支配者も権威も、すべてはキリストによって創造されたからです。すべてのものは彼を通して、そして彼のために創造されました。

2: イザヤ書 40:26 - 目を高く上げて見てください。これらを創造したのは誰ですか。彼らの軍勢を番号で導き出し、彼ら全員を名前で呼び、その力の偉大さによって、そして彼は力が強いので一人も欠けていない者です。

ヘブライ人への手紙 1:11 彼らは滅びます。しかし、あなたは残ります。そしてそれらはすべて、衣服と同じように古くなります。

たとえ物質世界が変化しても、神の言葉は永遠に残ります。

1: この世のことを信じないで、主を信頼しなさい。主は永遠に残るからです。

2: 人生が追いつかないほどの速さで変化していると感じたときは、主は変わらず、永遠に留まるということを思い出してください。

1: イザヤ書 40:8 - 草は枯れ、花はしぼむが、私たちの神の言葉は永遠に残る。

2: マタイ 24:35 - 天と地は過ぎ去りますが、私の言葉は決して過ぎ去りません。

ヘブライ人への手紙 1:12 そして、あなたはそれを衣服のように折り畳むべきです。そうすれば、それらは変わります。しかし、あなたは同じであり、あなたの年は衰えることはありません。

神は不変であり、神の年は決して終わることがありません。

1. 神の不変の性質

2. 神の永遠の力

1. マラキ書 3:6 - 「主であるわたしは変わらない。したがって、ヤコブの子らよ、あなたがたは滅ぼされない。」

2. 詩篇 102:27 - 「しかし、あなたは同じです。あなたの年には終わりがありません。」

ヘブライ人への手紙 1:13 しかし、天使の中で、いつでも、「あなたの敵をあなたの足台にするまでは、私の右に座っていてください」と言った人は誰ですか？

神は天使に、敵が足台になるまで神の右に座るように宣言されました。

1. 神の主権はイエスをどのように指し示すか

2. 救いの計画における天使の役割

1. ダニエル 7:13-14 - 夜の幻の中で私が見ると、私の前に人の子のような人が天の雲に乗ってやって来ました。彼は日の古人に近づき、彼の前に導かれました。彼には権威、栄光、主権が与えられました。すべての国とあらゆる言語の人々が彼を崇拝しました。彼の支配は過ぎ去ることのない永遠の支配であり、彼の王国は決して破壊されないものです。

2. コロサイ 1:15-17 - 彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の上に生まれた初子です。なぜなら、彼によってすべてのもの、天にあるもの、地にあるもの、目に見えるもの、見えないもの、王座や権力、支配者や権威など、すべてが創造されたからです。すべてのものは彼によって、そして彼のために創造されました。神はすべてのものの前に存在し、彼の中ですべてのものはまとまっています。

ヘブライ人への手紙 1:14 彼らは皆、救いの相続人となる人々のために仕えるために遣わされた、仕える霊ではないでしょうか。

天使は救われる人々に奉仕するために派遣されます。

1. 神の恵みと愛: 天使は神の意志の代理人としてどのように仕えるか

2. 救いの希望：私たちを神に近づけるために天使はどのように働くのか

1. 詩篇 34:7 - 主の天使は、彼を恐れる者の周りに陣を張り、彼らを救い出します。

2. ルカ 1:26-38 - 天使ガブリエルはマリアを訪ねて、イエスの誕生における彼女の役割を伝えます。

ヘブライ人への手紙 2 章はヘブライ人への手紙の第 2 章であり、著者はそこでイエス・キリストの優位性を強調し続けています。この章では、著者はイエスの人間性、大祭司としてのイエスの役割、そして私たちの救いを無視しないことの重要性に焦点を当てます。

第 1 段落: 著者はイエスの人間性とその救いの働きに焦点を当てています (ヘブライ 2:1-9)。彼は読者に対し、聞いたことから離れてしまわないように、聞いたことに細心の注意を払うよう勧めています。天使を通して伝えられたメッセージは信頼できるものであることが証明されましたが、イエスご自身によってもたらされ

たメッセージに留意することはどれほど重要でしょうか。現在、私たちはすべてがイエスに服従しているのを目にすることはできませんが、しばらくの間天使以下にされたイエスの姿を見ることができます。十字架上の苦しみと死を通して、イエスはすべての人に死を味わわれ、イエスを信じる人々にとって救いの源となりました。

第 2 段落: 著者は、イエスが私たちと同じようにされることがなぜふさわしいかを説明しています (ヘブライ 2:10-18)。神は多くの息子や娘たちに栄光をもたらしているので、イエスが苦しみを通して完全になるのは当然のことであった。イエスと信者は彼らを兄弟姉妹と呼んでおり、共通の起源を持っています。イエスは人間となることによって、死を支配する者、つまり悪魔を滅ぼし、死の恐怖によって奴隷状態にあった人々を解放しました。憐れみ深い大祭司として、イエスは罪のための犠牲としてご自身を捧げ、誘惑に遭っている人々を助けることができるように、あらゆる面で完全に人間となられました。

第 3 段落: この章は、救いを無視することに対する警告で終わります (ヘブライ 2:1-4)。著者は、キリストご自身が告げたこのような偉大な救いから遠ざかることのないよう警告しています。もし、より小さなメッセージの下での違反が重大な結果をもたらしたとしたら、この偉大な救いを無視することは、どれほど裁きにつながるでしょうか？神はまた、しるし、奇跡、奇跡、聖霊の賜物を通して証しをされました。著者は、神の証言はメッセージの真実性を裏付けるものであり、それに注意を払うことが重要であると強調します。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙第 2 章では、イエスの人間性と救いの働きを強調しながら、引き続きイエスの優位性を強調しています。

著者は読者に、少しの間天使以下になったが、すべての人に死を味わわせ、救いの源となったイエスご自身がもたらしたメッセージから離れないよう勧めます。

この章では、イエスが私たちと同じようにされることがなぜふさわしいのかを説明し、死の力を打ち破り、私たちを奴隷状態から解放した慈悲深い大祭司としてのイエスの役割を強調しています。イエスはあらゆる面で完全に人間となり、罪の犠牲としてご自身を捧げ、誘惑に遭っている人々を助けることができました。

この章は、キリストご自身が告げたこの偉大な救いを無視してはならないという警告で終わります。著者は、逸脱しないように警告し、神の証言がその真実を裏付けるものであると強調します。この章は、イエスの人間性、私たちのためのイエスの救いの働き、そして私たちの救いを無視しないことの重要性を思い出させるのに役立ちます。

ヘブライ人への手紙 2:1 ですから、私たちは、聞いたことを、いつでも聞き漏らさないように、もっと真剣に注意を払うべきです。

私たちは聞いた教えを忘れないように細心の注意を払う必要があります。

1. 注意することの重要性: ヘブライ人への手紙 2:1 の A

2. 神の言葉を思い出してください: ヘブライ人への手紙 2:1 の A

1. 申命記 4:9 - 自分の目で見たものを忘れないように、そして生涯を通じてそれらが心から離れないようにするために、自分自身にだけ注意し、熱心に自分を保ちなさい。

2. 詩篇 119:11 - あなたに対して罪を犯さないように、私はあなたの言葉を心の中に隠しました。

ヘブライ人への手紙 2:2 というのは、もし天使たちが語った言葉が堅固であり、あらゆる罪と不従順が正当な報いを受けるとしたら、

神の言葉は揺るぎないものであり、不従順には結果が伴います。

1: 神の言葉に忠実であれ

2: 不従順の結果

1: 1 コリント 10:12-13 ーだから、立っていると思う人は、倒れないように気をつけなさい。人間にとって珍しい誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

2: 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

ヘブル人への手紙 2:3 これほど偉大な救いを無視したら、どうやって逃れることができるでしょうか。それは最初に主によって語られ始め、それを聞いた人々によって私たちに確認されました。

神の偉大な救いを無視すると、悲惨な結果が生じます。

1: 私たちは神の救いの重要性を認識し、それを真剣に受け止めなければなりません。

2: イエスを通して語られ、イエスを聞いた人々によって確認された神の言葉を軽視すべきではありません。

1:1 テサロニケ人への手紙 5:9 −神は私たちを怒りに任せるのではなく、私たちの主イエス・キリストによる救いを得るよう定められたからです。

2: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ヘブライ人への手紙 2:4 神はまた、ご自身の意志に従って、しるしと不思議、さまざまな奇跡と聖霊の賜物をもって、彼らを証しなさるでしょうか。

神はご自身の御心に従って、さまざまな奇跡と聖霊の賜物によって人類を証しされました。

1. 神の意志は揺るぎなく否定できない

2. 神の奇跡は神の臨在のしるしである

1. ヨハネ 4:24 - 神は霊であり、神を崇拝する者は霊と真理によって崇拝しなければなりません。

2. 使徒 4:29-30 - 主よ、さあ、彼らの脅迫を考慮し、あなたの僕たちが大胆に御言葉を語れるようにしてください。あなたの手を差し伸べて、聖なる僕イエスの御名を通して癒し、しるしや奇跡を行ってください。

ヘブル人への手紙 2:5 なぜなら、私たちが話している来るべき世界を天使たちに服従させなかったのです。

来るべき世界は天使の支配下に置かれていません。

1: 私たちは天使ではなく神に信頼、信仰、希望を置かなければなりません。

2: 私たちは、来るべき世界は天使によってではなく、神によって統治されることを認識しなければなりません。

1: 1 ペテロ 1:3-5 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神に賛美あれ。イエス・キリストの深い憐れみによって、イエス・キリストの死者の中からの復活を通して、私たちに生ける希望と、決して滅びたり、腐ったり、色あせたりすることのない相続財産へと新たに誕生させてくださいました。この相続財産は、終わりの時に明らかにされる救いの到来まで、信仰を通して神の力によって守られているあなた方のために天に保管されています。

2: 詩篇 33:20-22 - 私たちは主を待ち望んでいます。彼は私たちの助けであり、私たちの盾です。私たちは主の聖なる御名を信頼しているので、私たちの心は主にあって喜びます。主よ、私たちがあなたに希望を託しているように、あなたの変わらぬ愛が私たちの上に留まりますように。

ヘブライ人への手紙 2:6 しかし、ある場所で、ある人が証言して、「人間とは何なのか、あなたは人間のことを考えているのか」と証言しました。それとも人の子よ、あなたは彼を訪ねますか？

人間はほとんど重要ではありませんが、それでも神は人間に注目しています。

1. 神の恵みと人間の無価値

2. 人間の謙虚さと神の主権

1. 詩篇 8:4-5 - あなたは人間とは何ですか。そして人の子よ、あなたが彼を訪ねるとは？あなたは彼を天使たちより少し低くし、彼に栄光と名誉の冠をかぶせたからです。

2. イザヤ書 40:17-18 - 彼の前ではすべての国々は無に等しい。そしてそれらは彼にとっては何もない、虚しいものに等しいと考えられています。それではあなたは神を誰に例えますか？あるいは、あなたは彼にどのような似ているだろうか？

ヘブライ人への手紙 2:7 あなたは彼を天使たちより少し低くされました。あなたは彼に栄光と名誉の冠を与え、あなたの手の業の上に彼を置きました。

神は人類を天使よりほんの少し低いものとして創造し、彼らに栄光と名誉の冠を与え、彼らを神のすべての業の上に置きました。

1. 人類の比類のない価値：神の似姿に創造されたことの尊厳を讃える

2. 謙虚さの威厳: 神の手作りの像の担い手として創造の中での私たちの立場を受け入れる

1. 創世記 1:26-27 - そこで神は言われました、「私たちに似せて、私たちに似せて人間を造ろう。そうすれば彼らは海の魚、空の鳥、家畜とすべてのものを支配できるようになる」野生動物、そして地面に沿って移動するすべての生き物たち。」

2. 詩篇 8:4-5 - あなたが彼らに気を配っている人間、あなたが彼らを気遣っている人間とは何ですか。あなたは彼らを天使よりも少し低くし、彼らに栄光と名誉の冠を与えました。

ヘブライ人への手紙 2:8 あなたはすべてのものを御足の下に服従させました。なぜなら、彼はすべてを自分の下に服従させたという点で、自分の下に置かれていないものは何も残さなかったからです。しかし今、私たちはまだすべてが彼の下に置かれているのを見ていません。

イエスはすべてのものに対する権威を与えられ、それらをご自分に服従させましたが、まだすべてがイエスの権威の下にあるわけではありません。

1. イエスの権威: 私たちに与えられた力を理解する

2. 天の王国: イエスに対する万物の服従

1. ピリピ人への手紙 2:10 - 「天にあるもの、地にあるもの、そして地の下にあるものすべてが、イエスの名によってひざをかがめることです。」

2. エペソ人への手紙 1:22 - 「そして、彼はすべてのものを彼の足の下に置き、彼をすべてのものの上の頭として教会に与えました。」

ヘブル人への手紙 2:9 しかし、私たちは、死の苦しみのために天使たちよりも少し低くされたイエスが、栄光と名誉の冠をかぶせられているのを見ます。神の恵みによって、彼はすべての人に死を味わわせるべきである。

イエスは、すべての人が救いを得られるように、天使よりも低くされ、死に苦しみました。

1. 私たちの苦しみの救い主イエス：神の恵みを理解する

2. 栄光の冠: イエスの栄誉を体験する

1. イザヤ書 53:5 「しかし、彼は私たちの罪のために刺し通されました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。」

2. ローマ 5:8 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいました。」

ヘブライ人への手紙 2:10 というのは、万物は誰のためにあり、また万物は誰によってあるのかというと、多くの息子たちを栄光に導き、苦しみを通して彼らの救いの指導者を完全なものとされたのです。

神は苦しみを通して私たちの救いの隊長を完成させ、多くの息子たちが栄光に帰すことができるようにしてくださいます。

1. 私たちの救いの船長の苦しみ

2. 多くの息子たちを待つ輝かしい未来

1. ローマ人への手紙 8:17 - そして、子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

2. マタイ 16:24 - それからイエスは弟子たちに言われた、「もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」

ヘブル人への手紙 2:11 なぜなら、聖化する者も聖化される者もみな一つであるからです。そのため、神は彼らを兄弟と呼ぶことを恥じません。

私たちは皆、神の中の一つの家族であるため、イエスは私たちをご自分の兄弟姉妹と呼ぶことを恥じません。

1: イエスは私たちを家族と呼んでいます - ヘブライ人への手紙 2:11

2: 神のうちに家族として生きる - ヘブライ人への手紙 2:11

1: ローマ 8:15-17 - あなたがたは恐れるほどの束縛の霊を再び受けていないからです。しかし、あなたがたは養子縁組の御霊を受けました。それによって私たちは叫びます、アバ、父よ。

2: ガラテヤ 4:4-7 - しかし、時が満ちたとき、神は律法のもとに造られた女からなる御子を遣わされました。それは、律法のもとにあった人々を贖うためであり、私たちが養子縁組を受けることができるようにするためでした。息子たちの。

ヘブル人への手紙 2:12 「わたしはあなたの御名を兄弟たちに宣言し、教会の真ん中であなたに賛美を歌います。」

ヘブル人への手紙の著者は教会の真ん中で神の名を宣言し、神を賛美します。

1. 賛美の力: 地域社会で神の名を讃える

2. 礼拝への呼びかけ: 共に主にあって喜びましょう

1. コロサイ 3:16 - 詩篇、賛美歌、御霊の歌を通して知恵を尽くして互いに教え、戒め、心の中で感謝の気持ちを込めて神に歌いながら、キリストのメッセージがあなたがたの間に豊かに宿るようにしましょう。

2. エペソ 5:19-20 - 詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌って互いに語り合いましょう。私たちの主イエス・キリストの御名において、心の中で主に向かって歌い、音楽を奏で、すべてのことについて常に父なる神に感謝しなさい。

ヘブライ人への手紙 2:13 そしてもう一度言いますが、私は彼に信頼を置きます。そしてもう一度、見よ、私と神が私に与えてくださった子供たちを。

ヘブライ人への手紙の著者は、神への信頼を宣言し、神が彼に与えた子供たちを認めています。

1. あらゆる状況において神を信頼する

2. 神の約束に頼る

1. イザヤ書 12:2 - 「見よ、神は私の救いです。私は信頼し、恐れません。主エホバは私の力であり、私の歌だからです。彼も私の救いとなります。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼しなさい。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道を導いてくださる。」

ヘブライ人への手紙 2:14 ですから、子供たちは肉と血にあずかったのと同じように、イエスご自身も同様にその一部にあずかったのです。それは死を通して、死の力を持つ者、つまり悪魔を滅ぼすためでした。

イエスは私たちを死と悪魔から救うために人間となられました。

1: イエスは私たちを死と悪魔から救うために天の命を捨てました。

2: イエスは人間としての死によって死と悪魔を征服しました。

1: ピリピ 2:5-11 - イエスはへりくだり、十字架の死に至るまで従順になりました。

2: 1 コリント 15:26 - 滅ぼされる最後の敵は死です。

ヘブライ人への手紙 2:15 そして、死の恐怖によって生涯を通じて奴隷にされた人々を救い出してください。

ヘブライ 2:15 は、イエスが私たちを死の恐怖から救い出すために来られたと説明しています。死の恐怖によって私たちは生涯奴隷にされていました。

1. 恐怖に対する勝利: イエスは私たちを死の恐怖から解放し、自由と喜びの中で生きられるようにするために来られました。

2. 束縛からの救い: イエスを通して、私たちは恐怖の束縛から解放され、人生の充実を経験することができます。

1. ヨハネ 8:36 - 「だから、御子があなたを自由にしてくれるなら、あなたは確かに自由になるでしょう。」

2. ローマ 8:15 - 「あなたがたは、再び恐れを抱く奴隷にする霊を受けたのではなく、子としての御霊を受けたからです。そして私たちは彼のそばで『アバ、父よ』と叫びます。」

ヘブライ人への手紙 2:16 確かに、彼は天使の性質を受け入れなかったのです。しかし彼は彼にアブラハムの子孫を与えました。

イエスは人類を罪から救うために人間となられました。

1. イエスの偉大さ: 人間になって私たちを救うというイエスの使命を理解する。

2. 人類の価値: 神の目から見た人間の価値を認識する。

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

2. ガラテヤ 4:4-5 - 「しかし、定めの時が完全に来たとき、神は、律法のもとに生まれた人々を贖うために、女から生まれ、律法のもとに生まれたご自分の御子を遣わされました。それは、私たちが養子として息子として受け入れられるようにするためです。」

ヘブル人への手紙 2:17 したがって、彼は、神に関係する事柄において慈悲深く忠実な大祭司となり、民の罪を和解させるために、あらゆることにおいて兄弟たちと同じようにされるのが義務でした。

イエスは、慈悲深く忠実な大祭司となり、人々を神と和解させるために、兄弟姉妹のようになられました。

1. 大祭司としてのイエスの憐れみと忠実さ

2. イエスの和解と贖罪

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. ペテロ第一 3:18 - なぜなら、キリストも、義なる者が不正な者のためにかつて罪のために苦しみ、私たちを神のもとに導くためであり、肉においては死に処せられましたが、御霊によって生かされたからです。

ヘブライ人への手紙 2:18 というのは、ご自身も誘惑に遭われたからこそ、誘惑されている人たちを助けることがおできになるのです。

イエスは私たちの苦しみを理解し、私たちの苦しみを理解してくださったので、私たちを助けてくださいます。

1: イエスは困っている友人です - ヘブライ人への手紙 2:18

2: キリストの憐れみによって慰めを受ける - ヘブライ 2:18

1: イザヤ書 53:3-5 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶され、悲しみの人であり、悲しみを知っていました。そして人々が顔を隠す者として彼は軽蔑され、私たちは彼を尊敬しませんでした。

2: 2 コリント 1:3-4 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神、憐れみの父であり、あらゆる慰めの神がほめたたえられますように。私たち自身が神によって慰められるという慰めを持って、どんな苦難の中にもいます。

ヘブライ人への手紙 3 章はヘブライ人への手紙の 3 番目の章であり、そこで著者は不信仰の危険性について読者に勧め、警告し続け、キリストへの信仰を堅持するよう勧めています。

第 1 段落: 著者はイエスとモーセを比較し、イエスの優位性を強調します (ヘブル 3:1-6)。彼はイエスを、モーセよりも大きな栄光に値する、私たちの告白の使徒であり大祭司であると説明しています。モーセは神の家で僕として忠実でしたが、イエスは神の家に対して子として忠実でした。著者は読者に、最後まで自信と希望を持ち続ければ、キリストにあずかることを思い出させます。彼は彼らに、先祖たちが反乱の時にしたように心をかたくなにするのではなく、むしろ毎日互いに励まし合うよう勧めています。

第 2 段落: 著者は荒野におけるイスラエルの例を用いて不信仰に対して警告しています (ヘブライ3:7-11)。彼は詩篇 95 篇を引用して、イスラエルが荒野で反逆したときの神の言葉を思い出させます。彼らの心はかたくなになり、40年間神の働きを目の当たりにしてきたにもかかわらず、神を試しました。その結果、その世代は神の安息に入ることができませんでした。著者は不信仰な心をもつことを戒めていますが、その代わりに、だれも罪の欺瞞によってかたくなにならないように、日々互いに励まし合うよう勧めています。

第 3 段落: この章はイスラエルの不従順に基づいた勧告で終わります (ヘブライ 3:12-19)。著者は、邪悪な不信仰な心によって生ける神から離れてしまわないように警告しています。むしろ、罪によって誰もかたくなにならないように、まだ「今日」と呼ばれている間は毎日互いに励まし合うよう勧めています。ヨシュアを通して約束された神の安息にイスラエルが入ることができなかったのは不信仰のせいだと彼は指摘します。したがって、彼は読者に、同じ間違いを繰り返さず、信仰を通してその安息に入るよう努めるよう勧めています。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙 3 章では、モーセに対するイエスの優位性が強調され、荒野におけるイスラエルの例を用いて不信仰に対して警告されています。

著者はイエスが神の家に対する忠実な御子であることを強調し、読者にイエスへの信頼を堅持するよう勧めています。

イスラエルが荒野でしたように、かたくなな不信仰な心を持たないよう警告し、日々互いに励まし合い、罪の欺瞞のせいで神から離れないよう勧めています。

この章はイスラエルの不従順に基づいた勧告で終わり、信仰と神の約束された安息に入ろうと努力することの重要性を強調しています。この章は、イエスの優れた点を思い出させ、不信仰に対する警告、そして信者が信仰を貫くよう励ますものとして機能します。

ヘブライ人への手紙 3:1 したがって、天からの召しに参加する聖なる兄弟の皆さん、私たちの職業の使徒であり大祭司であるキリスト・イエスについて考えてください。

この聖句は、イエスを私たちの使徒であり大祭司であると考えるよう私たちに勧めています。

1. 私たちの主イエス・キリストの偉大さ

2. イエスについて黙想する: 私たちの大祭司

1. ピリピ人への手紙 2:5-11。イエスはへりくだり、死に至るまで従順でした

2. ヘブライ人への手紙 4:14-16。イエスは私たちの弱さに同情してくださる偉大な大祭司です

ヘブライ人への手紙 3:2 モーセが家全体で忠実であったように、彼は自分を任命した者に忠実でした。

この箇所は神の家におけるモーセの忠実さについて語っています。

1: 私たちは神への奉仕において神に忠実でなければなりません。

2: わたしたちはモーセのようになり、神の家で忠実であるよう努めることができます。

1: ルカ 16:10 最も小さいことに忠実な人は、多くのことにも忠実であり、最も小さいことに不正をする者は、多くのことにも不正です。

2: ガラテヤ 5:22-23 しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制です。これらを禁じる律法はありません。

、家を建てた人は家よりも名誉があるのと同じように、この人はモーセよりも多くの栄光に値すると考えられていたからです。

イエスはモーセよりも栄光に満ちています。なぜなら、家を建てた人は家そのものよりも名誉があるからです。

1. イエスの栄光 - ヘブライ人への手紙 3:3 におけるイエスの栄光の考察

2. 建築者の知恵 - ヘブライ人への手紙 3:3 で家を建てる者の名誉を探る

1. イザヤ書 66:1 - 主はこう言われる、「天はわたしの王座、地はわたしの足台である。あなたがたがわたしのために建てる家はどこにあるのか。」

2. マタイ 7:24-27 - したがって、私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は誰でも、私はその人を岩の上に家を建てた賢者にたとえます。

ヘブライ人への手紙 3:4 どの家も、誰かによって建てられるものです。しかし、万物を造られた方は神です。

人間は家を建てますが、神は宇宙全体を創造しました。

1. 神はマスタービルダーです: 神の創造力が私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 神の性質は愛です：私たちは人生で神の祝福をどのように受け取ることができるか

1. コロサイ 1:16-17 - 天も地も、目に見えるものも目に見えないものも、王座も統治領も支配者も権威も、すべてはキリストによって創造されたからです。すべてのものは彼を通して、そして彼のために創造されました。

2. イザヤ書 40:28 - あなたは知らなかったのですか？聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失ったり、疲れたりすることはありません。彼の理解は探ることができない。

ヘブライ人への手紙 3:5 そしてモーセは、これから話されることについて証しをするために、召使いとして家中どこでも忠実でした。

モーセは僕としてのすべての義務に忠実であり、後に続く人々に模範を示しました。

1. モーセの例: すべての行いに忠実に生きる

2. モーセの忠実な模範にどのように従うことができるか

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたがあらゆる方法で神を認めなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. コロサイ 3:23 - 何をするにも、人間のためではなく、主のために熱心に働きなさい。

ヘブライ人への手紙 3:6 しかし、キリストはご自分の家を治める息子です。私たちが最後まで確信と希望の喜びをしっかり持ち続けるなら、私たちは誰の家になります。

私たちが最後まで信仰と希望を堅持するなら、私たちはキリストの家です。

1.「揺るぎない信仰：キリストに希望を持ち続ける」

2. 「キリストにある希望にしっかりと立つ」

1. ローマ人への手紙 8:24-25。「この希望の中で、わたしたちは救われたのです。今、目に見える希望は希望ではありません。なぜなら、誰が目に見えるものを望むのですか？しかし、目に見えないものを望むなら、忍耐強くそれを待ちます。」

2. コリント第一 15:58; 「ですから、愛する兄弟たちよ、堅く、動かず、常に主の働きに精を出し、主にあってはあなたの労苦が無駄ではないことを知ってください。

ヘブライ人への手紙 3:7 したがって、（聖霊が言われるように、もしあなたがたがその声を聞くなら、今日、

聖霊は信者たちに今日神の声に耳を傾けるよう勧めています。

1. 神の声を聞くために：忠実な従順への呼びかけ

2. 聖霊の声を聞く

1. イザヤ書 55:3 - 「耳を傾けて、わたしのもとに来なさい。聞け、そうすればあなたの魂は生きるでしょう。」

2. ヨハネ 10:27 - 「私の羊は私の声を聞き、私は彼らを知っており、彼らは私に従ってきます。」

ヘブライ人への手紙 3:8 荒野での誘惑の日のように、挑発のように心をかたくなにしてはいけません。

ヘブライ人への手紙の著者は、荒野で誘惑されたイスラエル人のように心をかたくなにしないよう読者に警告しています。

1. 困難によって心をかたくなにしないでください

2. 誘惑の中で信仰を選択する

1. 詩篇 95:7-8 ?あるいは、彼は私たちの神であり、私たちは彼の牧場の民であり、彼の手の羊です。今日、彼の声を聞いたら、心をかたくなにしないでください。

2. ローマ人への手紙 11:20-22 ? 쏷帽子は本当です。彼らは不信仰のゆえに断ち切られましたが、あなたは信仰によってしっかりと立っています。ですから、誇りに思うのではなく、恐れてください。なぜなら、神が自然の枝を容赦しなかったとしても、あなたも容赦しないでしょう。

ヘブライ人への手紙 3:9 あなたの先祖たちが四十年間わたしを誘惑し、証明し、わたしの行いを見ていたときのことです。

ヘブライ人への手紙の著者は、40年間神の働きを試し、見てきた過去の父親たちの行動を回想しています。

1.？父親から稼ぐ: 忍耐強い信仰の力??

2.？神を忠実に守る: 父祖たちの不朽の遺産??

1. 申命記 8:2、?では、あなたの神、主が荒野で40年間あなたを導いて、あなたを謙虚にし、あなたを証明し、あなたの心に何があるか、あなたが神の戒めを守るか否かを知るために導かれた道をすべて覚えているだろうか？?

2. 詩篇 95:10、?十年もの間、私はこの世代に対して悲しみ、こう言いました。

ヘブライ人への手紙 3:10 そこで、私はその世代について悲しみ、こう言いました。「彼らはいつも心の中で間違いを犯します。そして彼らは私のやり方を知りませんでした。

この箇所は、絶えず間違いを犯し神の道に従わない神の民に対する神の不快感を語っています。

1. 神の言葉の力: 神の道に従って生きる

2. 悔い改め: 間違いから学ぶ

1. 申命記 8:3 - 「そして彼はあなたを謙虚にし、あなたを飢えさせ、あなたもあなたの先祖たちも知らなかったマナをあなたに与えました。それは、人はパンだけで生きるものではないことをあなたに知らせるためでした」しかし、主の口から出る一つ一つの言葉によって人は生きるのである。」

2. エレミヤ 17:9 - 「心は何よりも欺瞞的で、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。」

ヘブライ人への手紙 3:11 そこで私は怒りをもって誓います、彼らは私の安息に入らないと。）

神はイスラエル人に、神の命令に従わないなら神の安息には入れないと警告されました。

1. 神に従い、神の安息に入る

2. 不服従の結果

1. 申命記 1:19-33 - イスラエル人は神に従うことを反抗的に拒否しましたか?コマンド。

2. イザヤ書 11:10 - 神?民に安息をもたらすと約束する。

生ける神から離れて、あなたがたの中に不信仰の邪悪な心がないように気をつけなさい。

神から背を向ける不信仰の心に気をつけてください。

1: 私たちの心は魂の入り口です。私たちが決して主から離れたくなることがないように、注意深く彼らを守ってください。

2: 不信仰を心に根付かせてはなりません。不信仰はあなたを生ける神から遠ざけてしまいます。

1: マタイ 15:18-20 ?口から出たものは心から出て、それが人を汚すのです。なぜなら、邪悪な考え、殺人、姦淫、性的不道徳、窃盗、偽りの証言、中傷などが心から出てくるからです。これらは人を汚すものです。

2: エレミヤ 17:9-10 ?彼の心は何よりも欺瞞的であり、ひどく病んでいます。誰がそれを理解できるでしょうか？?主は心を探り、心を試し、すべての人にその道に従って、その行いの成果に従って与えてくださいます。

ヘブライ人への手紙 3:13 しかし、「今日」と呼ばれている間は、毎日互いに勧め合いなさい。あなたがたのうちの誰かが、罪の欺瞞によってかたくなになることがないように。

私たちは罪の欺瞞から遠ざかるよう日々励まし合う必要があります。

1. 罪の嘘に騙されるな

2. 罪に直面しても強くなる

1. ヤコブ 1:13-15 - 誘惑に遭ったとき、誰も「？」と言ってはならない。神は悪に誘惑されることはできませんし、人を誘惑することもありません。14 しかし、人はそれぞれ、自分の邪悪な欲望に引きずられて誘惑されるとき、誘惑に遭うのです。15 そして、欲望は孕んだ後、罪を生みます。そして罪が大きくなると死を生み出します。

2. 箴言 24:16 - 義人は七度倒れても再び立ち上がるが、悪人は災いが起こるとつまずくからである。

ヘブル人への手紙 3:14 なぜなら、私たちが最初の確信を最後まで堅く保つなら、私たちはキリストにあずかる者とされるからです。

私たちはキリストへの信頼を忠実に保ち、キリストの勝利にあずかる必要があります。

1: キリストの勝利に近づくために信仰を堅持し続ける

2: キリストの約束を経験する希望を持ち続けなさい

1: ヤコブ 1:2-4 - 信仰の試みは忍耐を生み出すので、さまざまな試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。

2: ローマ 5:3-5 - 苦しみが忍耐を生み、忍耐が人格を生み、人格が希望を生むことを知っているので、私たちは苦しみを喜びます。

ヘブライ人への手紙 3:15 「今日、もしあなたがたが彼の声を聞きたいなら、挑発のように心をかたくなにしてはいけません」と言われています。

今日は神の声を聞くこと、そして心をかたくなにしないことの大切さについてです。

1.「神の声を聞く賜物」

2.「神の意志に従うことを選択する」

1. エレミヤ 29:13 - 「あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し、私を見つけるでしょう。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださいます。」

ヘブライ人への手紙 3:16 というのは、これを聞いたある人たちは、「しかし、モーセによってエジプトから出てきた者がすべてではないのではないか」と憤慨したからである。

ヘブライ 3:16 は、神の言葉を聞いてそれを挑発した人々について語っていますが、モーセとともにエジプトを出た人全員がそうしたわけではありません。

1. 神の言葉を心に留めてください：忍耐強くという呼びかけ

2. 神の言葉に忠実であり続ける: 従順への呼びかけ

1. ルカ 9:23-25 - 「そしてイエスは皆に言った、もしだれかがわたしを追って来るなら、自分を捨て、毎日自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。自分の命を救おうとする者は、それを失うことになるが、しかし、私のために命を落とす者は、それを救うだろう。」

2. ヨシュア記 24:15 - 「そして、主に仕えることがあなたの目に悪いことであるなら、今日、誰に仕えるかを選びなさい。あなたの先祖が川の向こうの地域で仕えていた神々か、それともその地に住むアモリ人の神々か。しかし、私と私の家に関しては、私たちは主に仕えます。

ヘブライ人への手紙 3:17 しかし、彼は四十年間も誰とともに悲しんでいたのでしょうか。罪を犯したのは彼らであり、その死骸が荒野に落ちたのではないか？

神は罪を犯し、その遺体が荒野に落ちたイスラエル人を40年間悲しませられました。

1. 罪を犯した人々に対する神の忍耐

2. 不服従の結果

1. 詩篇 95:10-11 - ?あるいは40年間、私はその世代に対して怒りを感じていました。私は言いました、？おい、彼らは心が道に迷った民であり、私のやり方を知らないのだ。??そこで私は怒りの中で誓いを立ててこう宣言した。ねえ、私の休息には決して入ってはいけません。ユーロ?

2. 出エジプト記 32:7-8 - そこで主はモーセに言われた。ああ、落ち込んでください。なぜなら、あなたがエジプトから育てたあなたの民が堕落したからです。彼らは私の命令からすぐに背を向け、子牛の形をした偶像になりました。彼らはそれにひれ伏し、それに犠牲を払い、こう言いました。イスラエルよ、これがあなたの神であり、あなたをエジプトから導き出したのです。ユーロ?

ヘブライ人への手紙 3:18 また、信じなかった者たち以外に、自分の安息には入れないと誰が誓ったでしょうか。

神は、信じない者は神の安息に入らないと誓いました。

1. 神を信じることの重要性

2. 安息に入る祝福

1. ヨハネ 3:16 - 「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. 詩篇 116:7 - 「私の魂よ、休息に帰りなさい。主はあなたによくしてくださったからです。」

ヘブル人への手紙 3:19 したがって、彼らは不信仰のために中に入ることができなかったことが分かります。

イスラエルの民は信仰がなかったため、約束の地に入ることができませんでした。

1.「信仰の力: 私たちの信念が私たちの運命をどのように決定するか」

2. 「不信仰の危険: 神の約束に踏み込むことを拒否する」

1. ローマ人への手紙 10:17、「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

2. マタイ 17:20、「イエスは彼らに言った、『あなたの信仰が小さいからだ。本当に言っておくが、からし種一粒のような信仰があるなら、あなたはこの山にこう言うだろう。ここからあそこへ、??そしてそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

ヘブライ人への手紙 4 章はヘブライ人への手紙の 4 章であり、著者はそこで読者に、イエス・キリストへの信仰を通して神の安息に入るよう勧め、励まし続けています。この章では、信仰、神の言葉、そして大祭司としてのイエスの重要性を強調しています。

第 1 段落: 著者は、信仰を通して神の安息に入るという約束を強調しています (ヘブライ 4:1-10)。彼は、信じないことによってこの約束を果たさないように警告しています。荒野のイスラエルが不従順と不信仰のせいで神の安息に入ることができなかったのと同じように、読者もその間違いを繰り返さないように勧められます。著者は、神の民には安息日の休み、つまりキリストへの信仰を通して得られる霊的な休みが残っていると説明しています。神が七日目に御業を休まれたのと同じように、信じた者たちはこの安息に入った。

第 2 段落: 著者は神の言葉の力と権威を強調します (ヘブライ 4:11-13)。彼は読者に対し、イスラエルの不従順の模範に倣って誰も堕落することがないよう、その安息に入るよう熱心に努力するよう勧めています。神の言葉は生きていて活動的であり、心の思いや意図を識別できるものとして描写されています。彼の目には何

も隠されていません。すべてが神の前に明らかになります。したがって、信者は私たちの弱さを理解してくださる神の前に自信を持って近づくべきです。

第 3 段落: この章は、イエスが私たちの同情的な大祭司であることを強調して終わります (ヘブライ 4:14-16)。著者は、信者たちに、天国そのものを通過された偉大な大祭司、イエスがいるから、自分の告白を堅持するよう勧めています。地上の大祭司とは異なり、イエスはあらゆる面で誘惑を受けながらも罪を犯さなかったので、私たちの弱さに同情することができます。したがって、信者たちは、慈悲を受け、必要なときに助けの恵みを得ることができるように、自信を持って神の恵みの御座に大胆に近づくよう招かれています。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙第 4 章は、神の安息に入る上での信仰、神の言葉、そして大祭司としてのイエスの重要性を強調しています。

著者は不従順や不信仰によってこの約束を果たさないように警告し、読者にキリストへの信仰を通してその安息に入るよう熱心に努力するよう勧めています。

彼は、心の思いや意図を見分ける神の生ける言葉の力と権威を強調しています。信者たちは、私たちの弱さを理解してくださる神の前に自信を持って近づくよう勧められています。

この章は、イエスを私たちの弱さに同情する同情的な大祭司として称賛することで終わります。信者は、必要なときに慈悲と助けを求めて神の恵みの御座に大胆に近づくよう招かれています。この章は、信仰の重要性、神の言葉の力、そして憐れみ深い大祭司としてのイエスの役割に慰めを見出すことの重要性を思い出させるのに役立ちます。

ヘブル人への手紙 4:1 ですから、私たちは、イエスの安息に入るという約束が私たちに残されているのに、あなたがたのうちのだれかがそれに届かないように思われないように、恐れましょう。

ヘブライ人への手紙の著者は、主の安息に入るという約束を逃さないように、主を恐れるように勧めています。

1. 「主への畏れ: 約束された休息を逃すな」

2.「神の安息の約束：それを当然のことだと思わないでください」

1. 詩篇 34:11-「子供たちよ、来てください。私は主を恐れることをあなたに教えます。」

2. イザヤ書 30:15 - 「イスラエルの聖なる神、主はこう言われた、『帰って休むとき、あなたは救われるであろう。静けさと信頼があなたの力になる。」

ヘブライ人への手紙 4:2 なぜなら、彼らと同じように、私たちにも福音が宣べ伝えられたのです。しかし、宣べ伝えられた言葉は、彼らに益をもたらすことはなく、それを聞いた人たちへの信仰と混ざることはありませんでした。

福音はイスラエル人にも私たちにも宣べ伝えられましたが、彼らは福音を信じていなかったので、彼らにとっては有益ではありませんでした。

1. 福音を信じる：祝福の必要性

2. 信仰の力を理解する

1. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。

2. ヨハネ 8:31-32 - それからイエスは、自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしあなたがたが私の言葉を信じ続けるなら、あなたがたは確かに私の弟子だ。そしてあなたがたは真実を知り、真実はあなたを自由にするだろう。

ヘブライ人への手紙 4:3 なぜなら、彼が言ったように、「わたしが怒りの中で誓ったとおり、もし彼らがわたしの安息に入るなら、信じたわたしたちも安息に入るからです。たとえ世の初めから業が終わっていたとしてもです。」

私たち信じる者は神の安息に入ります。

1: 神の約束に安らぐ

2: 信仰生活を送る

1: イザヤ書 26:3 - あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保たれます。なぜなら、彼はあなたを信頼しているからです。

2: 詩篇 46:10 - 静かに、そして私が神であることを知ってください。私は異教徒の間でも高められ、地でも高められます。

ヘブライ人への手紙 4:4 というのは、彼は七日目のある場所で、この賢明なことについて語った、そして神は七日目にそのすべての業を休まれたからである。

神は働きを終えた後7日目に休みました。

1: 私たちもゆっくり休んで、自分の仕事を神に委ねるべきです。

2: 安息日は神を認め敬うために取っておかれる休息の日です。

1: 創世記 2:2-3 「そして七日目に、神はご自身がなされた御業を終えられた。そして七日目に彼は自分が行ったすべての仕事を終えて休みました。そして神は七日目を祝福し、それを聖別した。なぜなら、その日、彼は神が創造し創造したすべての働きから休んだからである。」

2: 出エジプト記 20:8-11 「安息日を聖く保つために、安息日を覚えなさい。六日間、あなたは働き、すべての仕事をしなければならない。しかし、七日目はあなたの神、主の安息日である。その日は、あなたも、あなたの息子も、あなたの娘も、あなたの下男も、あなたの下女も、どんな仕事もしてはいけない。あなたの家畜も、あなたの門の中にあるあなたの見知らぬ人も、主は六日間で天と地と海とその中にあるすべてのものを造り、七日目に休まれたからです。それゆえ、主は安息日を祝福されました。それを神聖化したのです。」

ヘブライ人への手紙 4:5 そして、彼らが私の安息に入るなら、またこの場所にいます。

ヘブライ人への手紙 4 章 5 節のこの一節は、神の恵みを受け入れる人は神の安息に入ることを明らかにしています。

1: 神の休息は誰にでもあります - 神の恵みを受け入れることが、休息を見つける唯一の方法です。

2: 神の安息は約束されている - 神への信仰を通して、私たちは神の安息を確信することができます。

1: 詩篇 95:11 「だから、私は怒りをもって誓った、『彼らは私の安息に入らない』。」

2: マタイ 11:28-29 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。あなたは魂の休息を見つけるでしょう。」

ヘブライ人への手紙 4:6 したがって、ある人々はその中に入らなければなりませんが、最初にこの言葉が宣べ伝えられた人々は、不信仰のためにそこに入らなかったのです。

神はご自分を信じる者たちに安息を約束されましたが、最初にこの約束がなされた人々は不信仰のために安息に入りませんでした。

1. 安息の約束: 永遠の救いを求めて神を信じなさい

2. 不信仰: 神の約束を当然のことと思わないでください

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. ペテロ第一 1:23 - あなたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わらない神の言葉によってです。

ヘブライ人への手紙 4:7 もう一度、彼は特定の日を限定して、ダビデでこう言っています。言われているように、今日、もしあなたが彼の声を聞くなら、心をかたくなにしてはいけません。

神は私たちが神を受け入れなければならない期間に制限を設けています。私たちは今彼を受け入れなければなりません、さもなければ私たちの心をかたくなにします。

1: 心をかたくなにしないでください - 今こそ神を受け入れる時です

2: 目に見えない時計 - 神があなたに与えた時間を最大限に活用しましょう

1: 伝道者の書 9:11-12 - 「私は太陽の下で別のものを見た。競争は足の速い者に与えられるものでも、強い者に与えられる戦いでもない。また、知恵のある者に食物が与えられることも、優秀な者に富が与えられることも、知識のある者に恩恵が与えられることもない。;しかし、時間と偶然は誰にも起こります。」

2: 詩篇 95:7-8 - 「彼は私たちの神であり、私たちは彼の牧場の民、彼の世話の下にある群れだからです。今日、もし彼の声を聞いたら、メリバでしたように、あの日荒野のマサでしたように、心をかたくなにしてはいけません。」

ヘブライ人への手紙 4:8 もしイエスが彼らに休息を与えていたら、その後、別の日のことを話さなかっただろうからです。

イエスは人々に休息を与えた後の別の日のことを話します。

1. イエスのうちに安らぎを見つける

2. 将来を見据えて

1. マタイ 11:28-30 - 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。「あなたはあなたの魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の重荷は軽いからです。」

2. イザヤ書 40:28-31 - 「知らなかったのですか。聞いたことはありませんか。主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は気を失うことも、疲れることもありません。彼の理解力は探ることができません。主は、永遠の神、地の果ての創造者です。」気弱な者には力を与え、力のない者には力を増す。若者でさえ気を失い疲れ果て、疲れ果てるだろう。しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、翼を持って立ち上がるだろう。鷲のように、走っても疲れず、歩いても気絶しない。」

ヘブライ人への手紙 4:9 したがって、神の民には休息が残されています。

神の民には休息が与えられます。

1: 神の休息: 神の民への贈り物

2: 神の休息の恩恵を受ける

1: マタイ 11:28-30 - すべて働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。

2: イザヤ書 30:15 - イスラエルの聖なる神、主はこう言われました。静けさと信頼があなたの力になる。」

ヘブライ人への手紙 4:10 安息に入った者は、神が自分の業をやめたように、自分の業もやめたのです。

神の恵みの中で休むことは平安をもたらし、努力からの自由をもたらします。

1.「安息の祝福：努力をやめて神の恵みに信頼する」

2.「神の安息の中に生きる：手放し、神の働きに任せる」

1. ピリピ人への手紙 4:6-7 「どんなことでも心配してはなりません。どんな状況でも、祈りと願いによって、感謝の気持ちを込めて、自分の願いを神に捧げなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平和が、あなたの願いを守ってくれるでしょう。」心も思いもキリスト・イエスにあってください。」

2. イザヤ書 26:3 - 「心が堅い人たちを、あなたは完全な平安のうちに保ってくださいます。彼らはあなたを信頼しているからです。」

ヘブライ 4:11 ですから、だれも同じ不信仰の例に陥らないように、その安息に入るために努力しましょう。

私たちは、先人たちのように不信仰に屈しないように、神の安息に入るよう努めるべきです。

1. 前の人たちのようにならないでください: 神の安息を求めて努力しましょう

2. 安息に向けて努力する: 不信仰の例に従わないでください

1. マタイ 11:28-30 - 「すべて、働いている人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたたちを休ませてあげます。わたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。わたしは心優しく、へりくだった人間だからです。「あなたはあなたの魂に安らぎを見つけるでしょう。私のくびきは軽く、私の重荷は軽いからです。」

2. 詩篇 62:1-2 - 「まことに私の魂は神のうちに安らぎを見出します。私の救いは神から来るのです。まことに彼は私の岩であり、私の救いです。彼は私の砦です。私は決して動揺しません。」

ヘブライ人への手紙 4:12 なぜなら、神の言葉は素早く、力強く、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を引き裂くまで突き刺し、人の考えや意図を識別するからです。心臓。

神の言葉は速く、力強く、洞察力があります。

1. 神の言葉の力

2. 神の言葉の識別力

1. 詩篇 119:105 「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2. テモテ第二 3:16 「聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に有益です。」

ヘブライ人への手紙 4:13 また、神の目には現れていない生き物は一つもありません。しかし、私たちがしなければならない神の目には、すべてのものが裸であり、開かれています。

神は私たちの人生で起こるすべてを見て、私たちの心を知っています。

1: たとえ他に誰もいないと思っていても、神は私たちを見守ってくださっているということを常に覚えておかなければなりません。

2: 神は私たちのあらゆる行動をご覧になり、私たちのあらゆる考えをご存知であるため、私たちは神のご意志に従って生きるように努めなければなりません。

1: 詩篇 33:13-15 - 主は天から見ます。彼はすべての人の子らを見ます。彼は自分の居住地から地球上のすべての住民を眺めます。神は彼らの心を同じように形作ります。彼は彼らのすべての作品を考慮します。

2: 箴言 15:3 - 主の目はあらゆる場所にあり、悪と善を見ています。

ヘブル人への手紙 4:14 そこで、私たちには天に渡された偉大な大祭司、神の子イエスがいるのを見て、自分たちの信仰を堅持しようではありませんか。

私たちは神の御子、天に召された偉大な大祭司であるイエスへの信仰をしっかりと保つべきです。

1. イエスにしがみつく - 私たちの偉大な大祭司の忠実さ

2. 私たちの偉大な大祭司の光の中で生きる

1. ヘブライ人への手紙 4:14

2. ピリピ人への手紙 2:5-11 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスのうちにあるものです。キリストは神の姿をしていましたが、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身を無にしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。そして、人間の姿で発見された彼は、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、謙虚になりました。それゆえ、神は彼を高く評価し、あらゆる名に勝る名を彼に授けました。

ヘブル人への手紙 4:15 なぜなら、私たちには、私たちの弱さを感じさせない大祭司がいないからです。しかし、あらゆる点で私たちと同じように誘惑に遭いましたが、罪はありませんでした。

この聖句は、イエスが私たちの苦しみを理解していることを思い出させます。イエスは私たちと同じように誘惑を経験しましたが、それでも罪を犯さなかったのです。

1.「十字架の力：イエスを通して誘惑に打ち勝つ」

2. 「救い主の希望：イエスの慰めを経験する」

1. コリント人への第一の手紙 10:13 - 「人間によくある誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり，あなたが自分の能力を超えた誘惑に遭うことはお許しになりませんが，誘惑に耐えられるように，誘惑の際には逃げ道も備えてくださるのです。」

2. ヤコブ 1:12-15 - 「試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。誘惑に遭ったときに、「私は神に誘惑されている」などと誰も言ってはなりません。神が悪の誘惑を受けることはあり得ませんし、ご自身も誰も誘惑されないからです。しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され誘惑されることがあります。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は成長すると死を生み出します。」

ヘブライ人への手紙 4:16 ですから、私たちは、憐れみを受け、困ったときに助けていただける恵みを得るために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

慈悲を求めて大胆に恵みの御座に近づき、必要なときに助けてくれる恵みを見つけます。

1: 必要なときに神に近づく。

2: 神に近づく信仰と大胆さを成長させます。

1: ヤコブ 4:8 - 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。

2: イザヤ書 41:10 - 恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。

ヘブライ人への手紙 5 章はヘブライ人への手紙の第 5 章で、著者は大祭司の資格と役割について論じ、究極の大祭司としてのイエスに焦点を当てています。この章では、イエスの従順、神によるイエスの任命、信者の霊的成熟の必要性が強調されています。

第 1 段落: 著者は大祭司の資格と義務について論じます (ヘブライ 5:1-4)。彼は、大祭司はすべて人間の中から選ばれ、神に関係する事柄において人間を代表するよう任命されると説明しています。大祭司は罪のために贈り物や犠牲をささげ、無知で道に迷っている人々に同情を示します。彼ら自身も弱さの影響を受けておりそれが彼ら自身の罪のためにも犠牲をささげるように促します。この栄誉を自分自身で引き受ける人はいません。彼は神に呼ばれるに違いない。

第 2 段落: 著者はイエスが大祭司に任命されたことを強調しています (ヘブライ 5:5-10)。詩篇 2 章 7 節と詩篇 110 篇 4 節を引用して、キリストは自らを高めて大祭司になられたのではなく、「あなたはわたしの子、今日わたしはあなたを産んだ」と言われた神によって任命されたと宣言しています。イエスは神の子でしたが、苦しみを通じて従順を学びました。地上での生涯において、イエスはご自分を死から救ってくださる方に大声で叫び、涙を流して祈りをささげられました。イエスはその完全な従順のおかげで、従うすべての人にとって永遠の救いの源となりました。

第 3 段落: この章は、霊的成熟についての戒めで終わります (ヘブライ 5:11-14)。著者は、イエスがメルキゼデクの命令に従って大祭司であったことについては、まだ語るべきことがたくさんあるが、読者の聴覚が鈍くなっているため説明するのが難しいと不満を表明している。霊的真理の理解が進む代わりに、成熟した信者に適した固形食品の代わりに牛乳を依然として必要としています。牛乳だけを飲む人は信仰においては幼児ですが、実践を通じて善悪を見分ける訓練を積んだ人は成熟しています。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙 5 章では、大祭司の資格と役割について論じており、イエスが私たちの究極の大祭司であることに焦点を当てています。

著者は、大祭司は人間の中から選ばれ、罪のために犠牲をささげ、憐れみを示すと説明しています。彼ら自身も弱さを持っており、神に呼び出される必要があります。

イエスは神によって私たちの大祭司に任命されました。彼は苦しみを通して従順を学び、涙を流しながら祈りをささげました。イエスの完全な従順は、イエスに従う者にとって永遠の救いの源となります。

この章は、読者の聴覚が鈍くなったことへの不満を表明し、精神的な成熟についての忠告で終わります。理解が進むどころか、成熟した信者にふさわしい固形食品の代わりに牛乳が依然として必要とされています。霊的な成熟は実践と善と悪の識別によって達成されます。この章は、イエスが大祭司に任命されたこと、従順の重要性、そして信者が霊的な成長と成熟を目指して努力する必要性を思い出させるのに役立ちます。

ヘブライ人への手紙 5:1 なぜなら、人の中から選ばれた大祭司は皆、神に関わる事柄において人のために任命されており、罪のための贈り物といけにえの両方をささげることができるからです。

大祭司は、人類の罪のために贈り物と犠牲を捧げるように神によって任命されています。

1. 許しの力: 大祭司は神の憐れみの代理人としてどのように仕えるか

2. 大祭司の務め: 私たちはどのようにして神を代表し、神に仕えることができるか

1. 出エジプト記 28:1 - そして、イスラエルの子らの中から、あなたの兄弟アロンとその息子たちを連れて行き、アロン、ナダブ、アビフ、エレアザル、イタマルも祭司の職でわたしに仕えさせてください。, アーロンの息子たち。

2. ヨハネ 1:29 - 次の日、ヨハネはイエスが自分のところに来られるのを見て、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ」と言った。

ヘブライ人への手紙 5:2 無知な人々や道から外れた人々に対して誰が憐れみを抱くことができますか。なぜなら、彼自身もまた、弱さを抱えているからである。

誰もが弱さに直面しているので、思いやりが不可欠です。

1. 思いやり：すべてのクリスチャンにとって不可欠な美徳

2. 共感: 他人の苦労を理解する

1. ヤコブ 5:11-12 - 「見よ、私たちは耐え忍ぶ人々を幸せだと思う。あなたがたはヨブの忍耐について聞いており、主の最後を見ました。主は非常に憐れみ深く、優しい憐れみを持っておられることを。」

2. ペテロ第一 4:8 - 「そして何よりも、あなたがたの間で熱烈な慈愛を持ちなさい。慈愛は多くの罪を覆うからです。」

ヘブライ人への手紙 5:3 そして、これを理由として、彼は民に対してと同じように、自分自身に対しても罪の償いをしなければなりません。

イエスは大祭司として、他人の罪のための犠牲としてご自身をささげられました。

1. 究極の犠牲：私たちの罪のためのイエスの死

2. 許しの力: イエスの和解の奉仕

1. ローマ人への手紙 5:10-11 - なぜなら、私たちが敵であったときに御子の死によって神と和解したのなら、ましてや和解した今、私たちは神の命によって救われることになるからです。

2. イザヤ書 53:5-6 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。私たち羊のような者は皆、道に迷ってしまったのです。私たちは向きを変えましたか？とても一つですか？自分のやり方で。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせた。

ヘブライ人への手紙 5:4 そして、アロンのように、神から召された者以外には、この栄誉を独り占めする人はいません。

アロンは神によってイスラエルの大祭司として召され、任務のために神に選ばれたことの重要性を強調しました。

1: 神はご意志を行うよう私たちに呼びかけています - ヘブライ人への手紙 5:4

2: 私たちは神の召しに対して謙虚でなければなりません - ヘブライ 5:4

1: マタイ 22:14 - 「召される人は多いが、選ばれる人は少ないからです。」

2: ローマ人への手紙 12:3 「わたしに与えられた恵みによって、あなたがたのうちのすべての人に言います。自分を必要以上に高く評価せず、神が定められた信仰の尺度に従って、冷静な判断をもって考えなさい。」割り当てました。」

ヘブライ人への手紙 5:5 同じように、キリストも大祭司にされるためにご自身を栄光化されたのではありません。しかし、彼に言った者、「あなたは私の子です。今日、私はあなたを産みました。」

キリストは自分自身を栄光化したのではなく、神によって栄光を与えられました。

1. 神の栄光に対して謙虚さを保つ

2. 謙虚さと感謝の気持ちを持って神に仕える

1. ピリピ人への手紙 2:6-7 「この人は、神の姿をしていながらも、神との平等を把握すべきものとは考えず、召使いの姿をとり、神に似て生まれることで、自分を無にしました」男性の。」

2. ペテロ第一 5:5-6 - 「同様に、年下の者たちよ、年長者に従いなさい。あなたがたは皆、互いに謙虚な態度で服を着なさい。なぜなら、人間は高慢な者には敵対するが、謙虚な者には恵みを与えるからである」.??

ヘブライ人への手紙 5:6 彼が別の場所でも言っているように、あなたはメルキセデクの命令を受けて永遠に祭司です。

ヘブライ人への手紙の著者は、イエスがメルキセデクの命令に従って永遠に祭司であると神の言葉を引用しています。

1. イエス：永遠の大祭司

2. メルキセデク教団: 信仰の神権

1. ヘブライ人への手紙 7:17 - ?それとも、彼について目撃されています、あなたはメルキセデクの命令に従って永遠に司祭です。

2. 詩篇 110:4 - ?主は誓った、そして悔い改めはしない、あなたはメルキセデクの命令に従って永遠に祭司である。

ヘブライ人への手紙 5:7 この人は、肉の時代に、強い叫びと涙を流しながら祈りと願いをささげていたとき、それが彼を死から救うことができ、恐れていたことを聞き入れてくれました。

キリストはご自身の経験を通して、謙虚さと真剣な祈りは神に聞かれ答えられることを実証されました。

1. 祈りの力：弱さの中で神を信頼し、頼る

2. 信仰生活を送る: キリストの絶え間ない祈りの模範に倣う

1. ヤコブ5:13-18

2. マタイ6:9-13

ヘブライ人への手紙 5:8 彼は息子でしたが、苦しみながらも従順を学びました。

イエスは進んで苦しみに耐えることによって神への従順を示しました。

1. 従順の力: 例としてのイエス

2. 苦しみの必要性: イエスを通して従順を学ぶ

1. ピリピ 2:5-8 - イエス?死に至るまでの神への謙虚な従順

2. ローマ 5:3-5 - 苦しみの力とそれがもたらす希望

ヘブライ人への手紙 5:9 そして完全にされたので、彼に従うすべての人に永遠の救いの作者となりました。

イエスは完全になり、彼に従うすべての人に永遠の救いをもたらした方です。

1. イエスの完全性と永遠の救いの約束

2. イエスに従い、永遠の救いを受ける

1. ローマ 10:9-10 - イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるということです。

2. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

ヘブライ人への手紙 5:10 メルキセデクの命令を受けて神から大祭司に召された。

この一節では、神がメルキセデクの命令に従って大祭司を召されたことが語られています。

1. 神の召しの力

2. 神の命令に従う

1. ローマ 8:29 - 神は、多くの兄弟姉妹の間で長子となるために、御子の似姿にされるようあらかじめ定めておられた人々のためにも。

2. イザヤ書 49:5-6 - そして今、主はこう仰いますか？ヤコブを彼のところに連れ戻し、イスラエルを自分のもとに集めるために、子宮の中で私を彼の僕として形作ったのは誰ですか？私は主の目に光栄であり、私の神が私の力だったからです。봦 e は言います: ?あなたがわたしのしもべとなってヤコブの部族を回復しわたしが守ってきたイスラエルの部族を取り戻すなどということは、あまりにも小さなことです。また、わたしの救いが地の果てまで届くように、あなたを異邦人の光とします。

ヘブライ人への手紙 5:11 この人について、私たちは言いたいことがたくさんありますが、あなたがたは耳が遠いので、言い表すのは難しいです。

ヘブライ人への手紙の著者は言いたいことがたくさんありましたが、理解が難しい人たちにそれを伝えるのは困難でした。

1. 明確なコミュニケーションの力

2. 教えられる心の利点

1. 箴言 8:5-9 - 「単純な人よ、知恵を理解せよ。そして愚か者よ、理解力のある心を持ちなさい。聞いてください。わたしはすぐれたことについて話します。そうすれば、わたしの唇が開くことは正しいことになるでしょう。」私の口は真実を語るからです。そして悪は私の唇には忌まわしいものです。私の口の言葉はすべて正義の中にあります。そこには卑劣なことや邪悪な点は何もありません。理解する者にとってはすべて明白であり、見つける者にとっては正しいことです。知識。"

2. テモテ第二 2:15 - 「自分が神に認められている、真理の言葉を正しく伝える、恥じる必要のない働き人であることを示すために勉強しなさい。」

ヘブライ人への手紙 5:12 なぜなら、あなたがたが教師にならなければならないとき、神の託宣の第一原則である教師からもう一度教えてもらう必要があるからです。そして強い肉ではなく牛乳を必要とするようになる。

ヘブライ人への手紙の著者は、神の神託の第一原則を教えられているはずなので、読者はすでに教師になっているはずであることを読者に思い出させています。しかし子供たちはこれらの原則にあまり慣れていないため、ミルクが必要なようにもう一度教える必要があります。

1. 信者の乳と肉の必要性: 神の神託の最初の原則を再確立する方法

2. 教師の責任: 神の神託の最初の原則を再確立する

1. ペテロ第一 2:2 - 「生まれたばかりの赤ん坊のように、あなたがたはそれによって成長するために、御言葉の誠実な乳を望みなさい。」

2. コロサイ 2:8 - 「キリストに従うのではなく、人間の伝統に倣い、世界の初歩に倣い、哲学や無駄な欺瞞によってあなたを台無しにする人がいないように気をつけなさい。」

ヘブライ人への手紙 5:13 乳を使う者はみな、義の言葉が下手です。その人は赤ん坊だからです。

義の言葉を理解する点で未熟な人は皆、牛乳しか飲めない赤ん坊のようなものです。

1. 義の言葉についての知識が深まる

2. 神の御心を理解する上で成熟する

1. ピリピ人への手紙 3:15-16 - ですから、完璧な人は、このように心に留めましょう。そして、もしあなたが何かのことで違う考えを持っているなら、神はそれさえもあなたに明らかにしてくださいます。それにも関わらず、私たちはすでに到達しているところなので、同じルールに従って歩み、同じことを心に留めましょう。

2. ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

ヘブライ人への手紙 5:14 しかし、丈夫な肉は、成人した人、つまり、用法によって善悪を識別するために感覚を鍛えている人のものです。

霊的に成熟した信者は、修行を通じて感覚が発達するため、善と悪を識別することができます。

1. 識別への道

2. 善と悪の知識の中で成長する

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ローマ 12:2 - この世に適応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試しながら識別できるようになります。

ヘブライ人への手紙 6 章はヘブライ人への手紙の 6 章であり、著者はそこで霊的成長の重要性について言及し、信仰から離れないように警告しています。この章では、神との関係における成熟、忍耐、確信の必要性を強調しています。

第 1 段落: 著者は読者に、初歩的な教えを超えて成熟を目指して努力するよう勧めています (ヘブライ 6:1-3)。死んだ行いからの悔い改め、神への信仰、洗い、按手、死者の復活、永遠の裁きについての指導などの基本的な原則を捨てるよう勧めています。代わりに、より深い理解を進めるべきです。著者は、神のご意志であれば、彼らにこの機会を与えてほしいという願いを表明しています。

第 2 段落: 著者は信仰から離れないように警告しています (ヘブライ人への手紙 6:4-8)。彼は、神の言葉の良さを味わい、来るべき時代の力を経験した人々が離れていくという仮説的なシナリオを説明しています。もし彼らが啓示を受けて聖霊の働きに参加した後でキリストを拒否した場合、彼らを再び悔い改めに戻すことは不可能であろう。そのような人々は、雨を飲んでもいばらとアザミだけを生み出す土地のようなものであり、価値がなく、破壊に近いものとなるでしょう。

第 3 段落: この章は、信者が信仰を貫くよう励ましで終わります (ヘブライ 6:9-20)。著者は、読者は堕落する人々ではなく、神の聖徒たちに仕えることで神の御名への愛を示す人々に属すると自信を表明している。信仰と忍耐によって約束されたものを受け継ぐことができるよう，最後まで熱心に希望を実現するよう励ましています。彼らをさらに安心させるために、彼は、神がどのようにして神の約束の確認としてアブラハムに誓いを立てたかを指摘します。その約束は、イエスが大祭司として天国に入られたことを通して、私たちの魂の拠り所となる不変の約束です。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙 6 章では、霊的成長の重要性が強調され、信仰から離れてしまわないように警告し、信者に忍耐強く励むよう勧めています。

著者は読者に、基本的な教えを超えて、神の言葉の理解が成熟するよう努めるよう勧めています。

彼は信仰から離れてしまうことに対する警告を発し、キリストの善良さを体験し聖霊の働きに参加した後にキリストを拒否する人々が悲惨な結果を招くことを説明している。

この章は、信仰への自信を表明し、信者たちに忍耐強く続けるよう励ますことで終わります。著者は彼らに、最後まで希望を実現するために勤勉さを示すよう勧めています。イエスは、大祭司としてのイエスの役割を通じて、神の不変の約束が私たちの魂の錨として役立つことを彼らに保証します。この章は、霊的な成長、信仰の忍耐神の約束への確信の必要性を思い出させるものです。

ヘブライ人への手紙 6:1 したがって、キリストの教義の原則を離れて、完全を目指して進みましょう。死んだ行いからの悔い改めと神への信仰の基礎を再び築くことはありません。

ヘブライ人への手紙の著者はクリスチャンに対し、罪深い行いからの悔い改めや神への信仰などの基本を繰り返す必要はなく、キリストの教義の基本原則を超えて信仰を成長させ続けるよう勧めています。

1.「基礎を離れる：信仰において成長する」

2.「基本を超えて：信仰において次の一歩を踏み出す」

1. マタイ 5:48 - 「天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたも完全になりなさい。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「そして、この世に合わせてはいけません。むしろ、心を新たにして自分を変えてください。それは、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するためです。」

ヘブライ人への手紙 6:2 洗礼、按手、死者の復活、永遠の裁きの教義について。

この箇所では、バプテスマ、按手、死者の復活、永遠の裁きの教義について説明しています。

1. 信者の人生における洗礼の重要性

2. 神の民の生活における永遠の裁きの必要性

1. ローマ人への手紙 6:3-4、「キリスト・イエスへのバプテスマを受けた私たち全員が、その死へのバプテスマを受けたことを知らないのですか。ですから、私たちは、キリストと同じように、死へのバプテスマによってキリストとともに葬られました。」御父の栄光によって死者の中からよみがえらされたなら、私たちもまた新たな命の中を歩むことができるでしょう。」

2. マタイ 25:31-32、「人の子がすべての天使たちとともに栄光のうちに来るとき、彼はその栄光の王座に座ります。すべての国々が彼の前に集められ、羊飼いが羊を山羊から分けるように、彼は人々を一人一人引き離すであろう。」

ヘブライ人への手紙 6:3 もし神がお許しになるならば、私たちはそうするでしょう。

ヘブライ人への手紙の著者は、神が許すなら彼らは行動するだろうと述べています。

1. 私たちが行うすべてのことにおいて神の御心に従わなければならないことを認識することが重要です。

2. 私たちの計画と行動は常に神の意志の範囲内で行われるべきです。

1. エレミヤ 29:11-13 - わたしはあなたがたのために持っている計画を知っているからです」と主は宣言されます。

12 そのとき、あなたはわたしを呼んで来て祈ってください。わたしはあなたの言うことを聞きます。 13 あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を捜し求め、私を見つけるでしょう。

2. ヤコブ 4:13-15 - さて、聞いてください、「今日か明日、私たちはあちこちの町に行き、そこで一年過ごし、商売をしてお金を稼ぐつもりです。」 14 なんということでしょう、あなたは明日何が起こるかさえ知りません。あなたの人生は何ですか？あなたは一瞬現れて消える霧です。15 そうではなく、「主のご意志ならば、私たちは生きてあれこれするつもりです。」と言うべきです。

ヘブライ人への手紙 6:4 なぜなら、かつて悟りを開かれ、天からの賜物を味わい、聖霊にあずかる者とされた人々には、それは不可能だからです。

一度神の恵みと力を体験すると、神から目を背けることは不可能です。

1: 神の恵みを当然のことと思わないようにしましょう

2: 神の福音に忠実であり続ける

1: ローマ人への手紙 11:22 - それゆえ、神の慈しみと厳しさを見よ。倒れた者たちには厳しさがあった。しかし、あなたに対しては、善良な方、もしあなたが彼の善良さを保ち続けるなら、そうでなければあなたも断ち切られるでしょう。

2: 1 コリント 10:12 - ですから、立っていると思う人は、倒れないように気をつけなさい。

ヘブライ人への手紙 6:5 そして神の良い言葉と来るべき世の力を味わいました。

この一節は、神の言葉の良さと来るべき世の力を味わうことについて語っています。

1.「神の言葉の力」

2.「神の言葉の良さを発見する」

1. 詩篇 119:103 - 「あなたの言葉は私の口には何と甘美で、私の口には蜂蜜よりも甘いのです！」

2. イザヤ書 55:10-11 - 「雨と雪が天から降って、そこに戻らずに地に水を与え、芽を出し、種を蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与えるように、私の言葉は私の口から出たものであって、それは空しく私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。」

ヘブライ人への手紙 6:6 もし彼らが離れていっても、彼らを再び悔い改めに新たにするためです。彼らが神の御子を再び十字架につけ、公然たる恥をさらすのを見て。

救いを体験した後に堕落した人々は、イエスを再び十字架につけて恥をかかせる危険にさらされています。

1. 自分の救いを当然のことだと思わないでください

2. イエスの犠牲を忘れるな

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. ヘブライ 10:26-27 - なぜなら、もし私たちが真理の知識を得た後も故意に罪を犯し続けるなら、そこにはもはや罪の犠牲ではなく、裁きに対する恐ろしい期待と、敵対者を焼き尽くす炎の怒りが残るからです。。

薬草を生み出す地は、それをまとった人々に会い、神から祝福を受けるからです。

地球は実りをもたらし、そこで働く人々に薬草を供給することで神から祝福を受けています。

1. 神は慈悲深く、一生懸命働く人を祝福してくださいます。

2. 私たちは自然から学び、生活の中で神の祝福を見ることができます。

1. マタイ 5:45: 「あなたがたが天の父の子となるためです。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、義人にも不正人にも雨を降らせます。」

2. 詩篇 104:14: 「神は家畜のために草を生やし、人々に栽培させる植物を育て、地から食物を生み出します。すなわち、人の心を喜ばせるぶどう酒、顔を輝かせる油、そして心を支えるパンです。」

ヘブライ人への手紙 6:8 しかし、いばらやいばらを生むものは拒絶され、呪いに近いものです。その終わりは焼かれることになる。

神は神を信頼しない者を拒絶し、滅びに追い込みます。

1. 神を拒否すると滅びに至る

2. 神への信頼は祝福をもたらす

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ペテロ第一 5:7 - 神はあなたのことを気にかけてくださっているので、あなたの不安をすべて神に投げかけてください。

ヘブライ人への手紙 6:9 しかし、愛する皆さん、私たちはこのように話していますが、あなたについてもっと良いこと、そして救いに伴うことを確信しています。

ヘブライ人への手紙の著者は、救いを伴うより良いものを求めて努力するよう読者に勧めています。

1. より良いものを追求する：信仰において成長する私たちの責任

2. 救いを伴う: 神とのより緊密な関係を実現する

1. フィリピ 3:12-14 - 私はすでにこれを手に入れたわけでも、すでに完全であるわけでもありません。しかし、私はそれを自分のものにしようと努力しています。なぜなら、キリスト・イエスが私をご自分のものとしてくださったからです。兄弟たち、私はそれを自分のものにしたとは思っていません。しかし、私がしていることは一つです。後ろにあるものを忘れ、前にあるものに向かって力を尽くし、キリスト・イエスにおける神の上向きの呼びかけという賞を得るために、目標に向かって突き進んでいきます。

2. コロサイ 3:1-3 - もしあなたがキリストとともによみがえったのなら、上にあるもの、神の右に座しておられるキリストがおられる場所を探してください。地上のものではなく、上にあるものに心を向けなさい。あなたは死んでしまい、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されているからです。

ヘブライ人への手紙 6:10 なぜなら、神は、あなたがたが聖徒たちに仕え、実際に仕えてきたという点で、神の名に対して示してきた愛の働きと労苦を忘れるという不正をされるわけではありません。

神はクリスチャンが他の人に仕えるために行った愛の業を忘れることはありません。

1. 行動における愛: 他者に奉仕する力

2. 忠実な奉仕の報酬

1. ヨハネ第一 3:17-18 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見ていても、その兄弟に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人の内に宿るでしょうか。子供たちよ、言葉や言葉で愛さないようにしましょう。」口では言いますが、行為と真実で。」

2. ガラテヤ 5:13 - 「兄弟たち、あなたがたは自由に召されたのです。ただ、自分の自由を肉の機会として利用せず、愛によって互いに仕えなさい。」

ヘブライ人への手紙 6:11 そして私たちは、あなたがた一人一人が、最後まで希望を完全に確信するために同じ熱心さを示してほしいと願っています。

ヘブライ人への手紙の著者は、最後まで希望の保証を求める熱心な姿勢を示しながら、信仰を貫くよう読者に勧めています。

1. 信仰を貫きなさい: ヘブライ 6:11

2. 終わりの希望: ヘブライ人への手紙 6:11 の研究

1. ローマ 5:1-5 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。

2. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待するでしょうか？

ヘブライ人への手紙 6:12 それは、あなたがたが怠け者ではなく、信仰と忍耐によって約束を受け継ぐ彼らに従う者となるためです。

神の約束を受け入れるために、私たちは信仰と忍耐をもって生きるよう努めるべきです。

1: 常に忍耐強く、信仰と忍耐をもって生きる

2: 忍耐の力: 神の約束を達成する

1: ローマ 8:25 - しかし、まだ持っていないものを望むなら、私たちはそれを辛抱強く待ちます。

2: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

ヘブライ人への手紙 6:13 神がアブラハムに約束されたとき、アブラハムは自分以上の者に対して誓うことができなかったので、自分自身で誓ったのです。

アブラハムに対する神の約束は非常に重要だったので、神は自ら誓ったのです。

1. 神の約束は破られない

2. 神の言葉の力

1. 創世記15:1-6

2. イザヤ書55:11

ヘブライ人への手紙 6:14 言います、「確かに祝福します、わたしはあなたを祝福します、そして増えればわたしはあなたを増やします。」

神は、ご自分に従う者たちを祝福し、増やすと約束しておられます。

1. 「従順の祝福: 神はどのようにして私たちの祝福を倍加してくださるのか」

2.「神の約束：神の祝福を受けて増えなさい」

1. 申命記 28:1-14 – 主に従う者に対する主の祝福の約束

2. イザヤ書 1:19 – あなたが進んで従うなら、その土地で一番良いものを食べるでしょう。

ヘブライ人への手紙 6:15 それで、彼は辛抱強く耐えた後、約束を得ました。

神は辛抱強く耐えて約束を得ました。

1. 忍耐の力：信仰にしっかりと立つ

2. 神の約束を受け取る方法: 忍耐の祝福

1. ローマ人への手紙 8:22-25、「私たちは、今に至るまで、すべての被造物が産みの苦しみのようにうめいていることを知っています。そして、私たち信者もまた、たとえ私たちの内に聖霊が予感として与えられているとしても、うめきます。」私たちもまた、神が私たちに約束された新しい体を含め、神の養子としての完全な権利を与えてくださる日を切望して待っています。私たちは救われたときにこの希望を与えられました。」

2. ヤコブ 5:7-8、「それでは、兄弟姉妹の皆さん、主が来られるまで辛抱してください。農夫が、秋と春の雨を辛抱強く待って、土地が貴重な作物を実らせるのをどのように待っているかを見てください。あなたも、主の来臨は近づいているので、忍耐強く立ちなさい。」

ヘブライ人への手紙 6:16 というのは、人はまことに偉大な方にかけて誓います。そして、堅信の誓いは、彼らにとってすべての争いを終わらせるものなのです。

人々は紛争を解決するために誓いを立て、自分よりも大きなものに誓って誓います。

1. 約束の力

2. 誓いの強さ

1. マタイ 5:33-37 - イエスは追随者たちに誓いと約束を守るよう励ましています。

2. ヤコブ 5:12 - 正義の誓いの力。

ヘブライ人への手紙 6:17 神は、約束の相続人たちに、ご自分の勧告が不変であることを惜しみなく示そうとされ、誓いによってそれを確認されました。

神の約束は信頼できるものであり、変わることはありません。

1. 神の約束 - 不確実な時代の錨

2. 神の変わらぬ言葉 - 希望の礎

1. イザヤ書 40:8 - 草は枯れ、花はしぼみますが、私たちの神の言葉は永遠に残ります。

2. 詩篇 33:11 - 主の勧告は永遠に続き、その御心の計画は世々に伝わる。

ヘブライ人への手紙 6:18 それは、神が嘘をつくことは不可能であった二つの不変の事柄によって、目の前に設定された希望をつかむために避難してきた私たちが強い慰めを受けるためです。

神は、二つの不変の真理を通して、破ることのできない希望の約束を私たちに与えてくださいました。

1. 不変の真理における希望 - ヘブライ人への手紙 6:18

2. 避難のために逃げる - ヘブライ人への手紙 6:18

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. テトス 1:2 - 永遠の命を望みます。それは、偽りのない神が世界の始まる前に約束されたものです。

ヘブライ人への手紙 6:19 この希望は、確かで揺るぎない、心の支えとして私たちにあり、ベールの中でその希望に入ります。

信者の希望は魂の錨であり、堅さと安定をもたらし、信者を神の臨在へと導きます。

1. 魂の希望：神のうちに堅さと安定を見出す

2. ベールの中のアンカー：神の臨在を体験する

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. エペソ人への手紙 3:17-19 - 「それは、キリストが信仰によってあなたがたの心の中に住まわれるためであり、あなたが愛に根ざし、愛に根ざしているので、すべての聖徒たちとともに広さ、長さ、深さがどのようなものであるかを理解することができますように。そして、あなたがたが神の満ち足りたすべてで満たされるように、人知を超えたキリストの愛を知ることです。」

ヘブライ人への手紙 6:20 私たちにとって先駆者がいる所に、イエスも入って、メルキセデクの命令の後、永遠に大祭司とされました。

イエスはメルキセデクの命令を受けて永遠の大祭司とされました。

1. 永遠の大祭司：イエス・キリスト

2. メルキセデク教団: 永遠の祝福

1. ヘブライ 7:17 - 彼は、「あなたはメルキセデクの命令に従って永遠に祭司である」と証言しているからです。

2. 詩篇 110:4 - 主は誓いました、そして悔い改めません、あなたはメルキセデクの命令に従って永遠に祭司です。

ヘブライ人への手紙 7 章はヘブライ人への手紙の 7 章で、著者はメルキゼデクの神権の優位性と、メルキゼデクの命令に従ってイエスの神権がどのように確立されたかについて論じています。この章では、イエスの永遠の祭司職、仲介者としての役割、そして完全に救うイエスの能力を強調しています。

第 1 段落: 著者はメルキゼデクを紹介し、アブラハムに対するメルキゼデクの優位性を強調します (ヘブライ 7:1-10)。彼は、サレムの王でありいと高き神の祭司であるメルキゼデクが、戦いから戻ったアブラハムを祝福したと説明しています。アブラハムは自分の全財産の十分の一を彼に与えました。著者は、アブラハムの子孫であり、イスラエルの体制において祭司となったレビが、アブラハムを通じてメルキゼデクに十分の一を納めたと指摘しています。これは、メルキゼデクの神権がレビの神権よりも大きく、より重要な意味を持っていることを示しています。

第 2 段落: 著者は、イエスの祭司職がレビ族の祭司職をどのように超えているかを説明します (ヘブライ 7:11-24)。彼は、もしレビ族の祭司職によって完全が達成できたなら、メルキゼデクの命令に従って別の祭司を置く必要はなかったであろうと主張する。しかし、聖職者が変わったのですから、律法も変わらなければなりません。イエスは別の部族、ユダ族に属しており、伝統的に祭司が来た部族の出身ではありません。彼は系図によってではなく、不滅の人生によって司祭になりました。

第 3 段落: この章はイエスの永遠の祭司職の確認で終わります (ヘブライ 7:25-28)。著者は、イエスは常に生きていて彼らのために執り成しているので、イエスを通して神のもとに来る人々を完全に救うことができると宣言します。自分の罪だけでなく他人の罪のためにも毎日犠牲をささげる必要があった地上の大祭司とは異なり、イエスは十字架上でご自身を犠牲にしたとき、一度だけご自身をささげました。神は聖であり、非のないお方であり、純粋であり、天の上に崇められています

神は繰り返し犠牲をささげる必要はなく、罪のための完全な犠牲としてご自身を一度だけささげられました。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙 7 章では、メルキゼデクの神権の優位性と、メルキゼデクの命令に従ってイエスの神権がどのように確立されたかについて説明しています。

著者はメルキゼデクがアブラハムやレビよりも優れていることを強調し、彼の神権がより重要な意味を持つことを強調しています。

彼は、イエスの祭司職がレビ族の祭司職をどのように上回っているかを説明します。聖職者に変化があったのですから、律法にも変化がなければなりません。イエスは系図によってではなく、不滅の命によって祭司になりました。

この章はイエスの永遠の祭司職の確認で終わります。神が完全に救うことができるのは、常に生きて信者のために執り成してくださっているからです。繰り返しの犠牲を必要とした地上の大祭司とは異なり、イエスは罪のための完全な犠牲としてご自身を一度だけ捧げました。この章は、メルキゼデクの命令によるイエスの優れた神権と、信者のための犠牲の働きを通して完全に救うイエスの能力を思い出させるものとして機能します。

ヘブライ人への手紙 7:1 このメルキセデクはサレムの王であり、いと高き神の祭司であり、王たちの虐殺から帰ってきたアブラハムを出迎え、彼を祝福した。

サレムの王であり、いと高き神の祭司であるメルキセデクは、アブラハムが王たちを殺して戻ってきたとき、彼を祝福しました。

1. 神の祝福 - 人生で神の祝福をどのように受け取ることができるか

2. 祭司王 - メルキセデクと聖書における彼の役割

1. 創世記 14:17-20 - アブラハムはメルキセデクと出会い、彼から祝福を受ける

2. 詩篇 110:4 - 神はメルキセデクを永遠の祭司と宣言する

ヘブライ人への手紙 7:2 アブラハムもまた、全体の十分の一を彼に与えました。最初は正義の王、その後はセーラムの王、つまり平和の王と解釈されています。

アブラハムは全財産の十分の一を義の王、平和の王であるサレムの王として知られるメルキゼデクに与えました。

1: 私たちは、義と平和の王メルキゼデクに惜しみなく謙虚に与えたアブラハムの例から学ぶことができます。

2: アブラハムは模範を通して、与えることの大切さと、それがどのように私たちを神に近づけるかを教えてくれます。

1: ルカ 6:38 - 「与えなさい、そうすれば与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。なぜなら、あなたが使う尺度によって、それはあなた自身に測られるからです。」

2: 箴言 11:24-25 - 「ある人は惜しみなく与えても、さらに多くのものを得ます。ある者は不当に差し控えたが、貧困に陥る。寛大な人は成功します。他の人をリフレッシュする人は、自分もリフレッシュされます。」

ヘブライ人への手紙 7:3 父もなく、母もなく、家系もなく、人生の始まりも終わりもありません。しかし、神の子と同じように造られました。絶えず祭司を住まわせている。

ヘブライ 7 章 3 節のこの聖句は、始まりも終わりもないイエス・キリストの永遠の祭司職について語っています。

1.「イエス・キリストの永遠の神権」

2.「私たちの救世主の尽きない愛」

1. ヨハネ 1:1-3、「初めに言があった、言は神と共にあった、言は神であった。彼は初めに神と共にあった。万物は彼を通して造られたのであり、彼なしには存在しなかった。」作られたものは何でも。」

2. ヨハネ第一 4:9-10、「このことによって、神の愛が私たちの間に明らかにされました。神がご自分の独り子を世に遣わしてくださったのは、私たちが御子を通して生きるためでした。この中にあるのは愛であり、私たちが持っている愛ではありません。」神を愛していましたが、それは神が私たちを愛し、私たちの罪のなだめの供え物として御子を遣わされたということでした。」

ヘブライ 7:4 さて、族長アブラハムさえも戦利品の十分の一を彼に与えたこの男がどれほど偉大だったか考えてみましょう。

この箇所は、アブラハムさえも自分の財産の十分の一を与えた人物の偉大さを物語っています。

1. 神の僕たちの偉大さ: アブラハムの模範から学ぶ

2. 忠実な管理者であることの意味: 礼拝の行為として10分の1を捧げる

1. 創世記 14:17-20 (アブラハムが戦利品の 10 分の 1 を与える)

2. ルカ 16:10-12 (忠実な執事のたとえ)

ヘブライ人への手紙 7:5 また、レビの子孫で祭司の職を受けている人々には、律法に従って民、つまり自分たちの兄弟から、たとえ出自があったとしても十分の一を取るという戒めがある。アブラハムの腰:

レビ人の祭司たちは、たとえ彼らが皆アブラハムの子孫であるとしても、同胞のイスラエル人から十分の一を取るという戒めを持っています。

1. 神の戒めに従って生きることの大切さ。

2. 聖書における什一の重要性。

1. 申命記 14:22-23: 「あなたは、毎年畑から出てくる種の収穫物をすべて十分の一を納めなければなりません。そして、あなたの神、主の御前に、主が選ばれる場所に、その名を住まわせなければなりません。」そこであなたは、自分の穀物、ぶどう酒、油の十分の一、また牛と羊の初子を食べて、常にあなたの神、主を畏れることを学びなさい。」

2. マタイ 23:23: 「偽善者である律法学者とパリサイ人たちよ、あなたたちは災いです。あなたたちはミントとディルとクミンの十分の一を納め、律法の最も重要な事柄、つまり正義と慈悲と忠実さを無視しました。これらはあなたたちが行うべきでした。他のものを無視することなく。」

ヘブライ人への手紙 7:6 しかし、彼らの子孫に数えられない人は、アブラハムから十分の一を受け取り、約束のある人を祝福しました。

神秘的な人物であるメルキゼデクは、アブラハムとは血統上の血縁関係がなかったにもかかわらず、アブラハムから十分の一を受け取り、彼を祝福しました。

1. 神の神秘的な方法による祝福

2. 見知らぬ土地での信仰の力

1. ローマ人への手紙 4:13-17 - 信仰の約束

2. 創世記 14:17-20 - メルキゼデクの謎

ヘブライ人への手紙 7:7 そして、何の矛盾もなく、より少ない人がより良い人に祝福されます。

小さい者は大きい者によって祝福されます。

1. 大いなる者に頼ることの祝福

2. 神の祝福の力

1. エペソ人への手紙 3:20 - 「さて、私たちの内に働いている御力に応じて、私たちが願い、想像するすべてを計り知れないほど多くのことを成し遂げてくださる方に、ささげます。」

2. ヤコブ 4:6-7 - 「しかし、神は私たちにさらに恵みを与えてくださいます。それが、聖書が『神は高ぶる者に敵対し、謙虚な者に恵みを示す』と言っている理由です。」

ヘブライ人への手紙 7:8 そして、ここで死んだ人は十分の一を受け取ります。しかしそこで彼は彼らを受け入れ、彼が生きていることが目撃されています。

地上の人々は他の人々に十分の一を納めますが、天では十分の一は生きている神に納められます。

1. イエスは私たちの十分の一を納めるに値する生ける神です

2. 十分の一献金は生ける神への信頼の象徴です

1. ヘブライ人への手紙 7:8

2. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

ヘブライ人への手紙 7:9 そして、言っておきますが、十分の一を受け取るレビも、アブラハムに十分の一を納めました。

レビはアブラハムの子孫であり、十分の一を受け取り、十分の一を納めました。

1. 神への従順は信仰の祝福をもたらします。

2. 神に仕えるには、神にお返しをする必要があります。

1. 創世記 14:20 - そして、あなたの敵をあなたの手に渡されたいと高き神に祝福あれ。そして彼は彼にすべての十分の一を与えました。

2. マラキ書 3:10 - わたしの家に肉があるように、十分の一の献金をすべて倉庫に持ってきて、今ここでわたしを証明しなさい、と万軍の主は言われる、もしわたしがあなたたちに天の窓を開け、水を注がなければあなたは祝福を与えられますが、それを受け取るのに十分な余地はありません。

ヘブライ人への手紙 7:10 メルキセデクが彼に会ったとき、彼はまだ父親の腰にいたからである。

この箇所は、イエスがアブラハムと出会ったとき、どのようにしてメルキセデクの姿でそこにいたのかを説明しています。

1. 目に見えないもののパワー：メルキセデクという人物を通してイエスの以前の臨在が意味するものを探る

2. 時間の相互関連性: アブラハムとメルキセデクの出会いにイエスがどのように臨在したか

1. 創世記 14:18-20 - アブラムは戦利品の 10 分の 1 をメルキセデクに与える

2. ローマ人への手紙 5:12-14 - どのようにして死はある人を通してやって来て、別の人を通して命をもたらしたのか

ヘブライ人への手紙 7:11 したがって、完全さがレビ族の祭司職によるものであるとしたら、（民はその祭司職の下で律法を受けたからです）、アロンの命令に従って召されずに、メルキセデクの命令に従って別の祭司が立つ必要がさらにあるでしょうか。

レビ人の祭司職は完全をもたらすには十分ではなかったため、アロンの騎士団ではなく、メルキセデクの騎士団から新しい祭司が任命されました。

1. 偉大な司祭による完全さ

2. メルキセデク勲章の意義

1. 詩篇 110:4 - 主はこう誓いました、そしてその考えを変えることはありません、「あなたは永遠にメルキゼデクの祭司です。」

2. ローマ 10:4 - キリストは、信じるすべての人に義を与える律法の終わりだからです。

ヘブライ人への手紙 7:12 祭司職が変更されると、必然的に律法も変更されます。

神権が変わったのだから、律法も変わらなければなりません。

1: 神の法則は、神の民のニーズを満たすために常に変化し、適応しています。

2: イエスの神権は私たちの信仰の基礎であり、イエスを通して私たちは救いを見出すことができます。

1: ガラテヤ 3:13 - キリストは、私たちのために呪いとされ、律法の呪いから私たちを救い出してくださいました。

2: ヨハネ 1:17 - 律法はモーセによって与えられましたが、恵みと真理はイエス・キリストによってもたらされたからです。

ヘブライ人への手紙 7:13 なぜなら、これらのことが語られている人は、祭壇に出席する人が誰もいなかった別の部族に属するからです。

この箇所は、祭壇に出席する人々と同じ部族に属さない人のことを語っています。

1. 信仰における一致と共同体の重要性。

2. 神の恵みは、人種や民族に関係なく、すべての人に及びます。

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛し合うことです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うことです。これによって、あなたがたがわたしの弟子であることをすべての人が知るでしょう。お互いに愛を持ってください。」

2. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人もいない、奴隷も自由人もいない、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」

ヘブライ人への手紙 7:14 なぜなら、私たちの主がユダから出てきたことは明らかだからです。この部族のモーセは祭司職について何も語らなかった。

ヘブライ人への手紙 7 章 14 節には、イエス・キリストがユダ族の出身であり、モーセはその部族出身の祭司職について語っていないと述べられています。

1. イエス・キリスト：私たちの偉大な大祭司

2. 神の恵みによる私たちの救い

1. マタイ 1:1-17 - アブラハムの子ダビデの子イエス・キリストの系図。

2. ローマ人への手紙 5:17-19 - もし、一人の人の罪によって、その一人の人を通して死が支配したとしたら、神の豊かな恵みの備えと義の賜物を受けた人々は、なおさら、神の恵みを通して命を支配することになるでしょう。一人の男、イエス・キリスト。

ヘブライ人への手紙 7:15 そして、それはさらに明らかです。なぜなら、メルキセデクの似顔絵の後に、別の祭司が現れるからです。

この箇所は、メルキセデクが示した模範の後、別の祭司が立ち上がったと述べています。

1. 良い例の力: メルキセデクの足跡をたどることがどのように変化をもたらすことができるか

2. 新しい司祭の希望: 不確実な時代に強さを見つける方法

1. 箴言 13:20 - 賢者とともに歩む者は賢くなり、愚か者の仲間は滅ぼされる。

2. 1 コリント 10:23-24 - すべては私にとって合法ですが、すべてが方便ではありません。すべては私にとって合法ですが、すべてが徳を高めるわけではありません。誰も自分の富を求めるのではなく、すべての人が他人の富を求めてください。

ヘブライ人への手紙 7:16 人は、肉の戒めの律法に従ってではなく、終わりのない命の力に従って造られています。

ヘブライ 7:16 は、イエスが地上の戒めの律法に従ってではなく、終わりのない命の力に従って造られたと説明しています。

1. 「永遠の命の力: それは私たちにとって何を意味しますか?」

2.「律法を超えて生きる：イエスと終わりのない命の力」

1. ヨハネ 10:10 - 「盗人は、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためだけに来たのです。わたしが来たのは、彼らがいのちを得て、それを最大限に生かすためです。」

2. ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにおける永遠の命です。」

ヘブライ人への手紙 7:17 なぜなら、彼は、「あなたはメルキセデクの命令に従って永遠に祭司である」と証言しているからです。

ヘブライ人への手紙の著者は、イエスがメルキセデクの命令に従って永遠に祭司であると証言しています。

1. イエス：永遠の司祭

2. メルキセデク: イエスの絵

1. ピリピ 2:5-8 - イエスはへりくだって私たちの大祭司として仕えました。

2. 創世記 14:17-20 - 祭司および王としてのメルキセデクの役割

ヘブライ人への手紙 7:18 なぜなら、以前の戒めは、その弱さと不利益のために、まさに無効にされるからです。

以前の戒めは弱くて役に立たなかったために廃止されました。

1. 変化の力: 弱さと不採算をどう克服するか

2. 新しい契約の美しさ: どうすれば主のうちに強さを見つけることができるか

1. ローマ人への手紙 8:1-2 「ですから、キリスト・イエスにある者たち、肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は罪に定められることはありません。なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則が私を自由にしてくださったからです」罪と死の法則から。」

2. コリント人への手紙第二 12:9-10 「そして彼は私に言った。『わたしの恵みはあなたに十分です。わたしの力は弱さの中でこそ完全にされるからです。ですから、わたしはキリストの力が休むように、むしろ喜んで自分の弱さを誇りたいと思います。』「私は、キリストのために、弱さ、非難、困窮、迫害、苦難を喜んで受け入れます。なぜなら、私が弱いとき、私は強いからです。」

ヘブライ人への手紙 7:19 律法によって完全なものは何もありませんでしたが、より良い希望がもたらされたことによって完全なものとなったのです。それによって私たちは神に近づきます。

改行 ヘブライ人への手紙 7:19 では、律法は不完全なものとみなされ、私たちが神に近づくことを可能にするより良い希望が示されています。

1. 神への希望: 私たちの信仰がどのようにして神に近づくのか

2. 信仰の完成: 希望を通して神を知る

1. ローマ人への手紙 5:2 - 私たちも、このキリストを通して、信仰によってこの恵みにアクセスすることができ、その恵みの中に立っており、神の栄光を望んで喜んでいます。

2. エペソ 2:18 - なぜなら、私たちはこの方を通して、一つの御霊によって御父に近づくことができるからです。

ヘブライ人への手紙 7:20 そして、宣誓なしには祭司に任命されませんでした。

ヘブライ人への手紙の著者は、イエスがどのようにして宣誓によって祭司に任命されたのかについて語ります。

1. 約束のある祭司: ヘブライ人への手紙 7:20 の誓いの重要性

2. 主の祭司：最高祭司としてのイエス・キリスト

1. 創世記 22:16-17 - そして言った、「私は自分自身で誓った、と主は言われる。なぜなら、あなたはこのようなことをし、あなたの息子、あなたの独り子を差し控えなかったからだ。

2. 詩篇 110:4 - 主は誓いました、そして悔い改めません、あなたはメルキゼデクの命令に従って永遠に祭司です。

ヘブライ人への手紙 7:21 (というのは、これらの祭司たちは誓いなしに任命されたのです。しかし、これには、「主は誓って悔い改めない、あなたはメルキセデクの命令に従って永遠に祭司である」と言った者による誓いがあったのです。)

旧約聖書の祭司たちは宣誓なしで叙階されましたが、イエスは神ご自身によって宣誓によって叙階されました。

1. 破れない誓い: イエスに対する主の約束

2. イエスの神権: 上位の秩序

1. 詩篇 110:4 - 「主は、『あなたはメルキゼデクの命令に従って永遠に祭司である』と誓いましたし、その考えを変えることはありません。」

2. 創世記 14:18-20 - 「そのとき、サレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持ってきた。彼はいと高き神の祭司でした。そして彼は彼を祝福して言った、「天と地の所有者、いと高き神のアブラムに祝福あれ。そして、あなたの敵をあなたの手に渡されたいと高き神が祝福されますように。』そして彼は彼にすべての十分の一を与えました。」

ヘブライ人への手紙 7:22 イエスは、より良い遺言の保証人となったのです。

イエスは、神がイスラエルの民と結んだ契約よりも良い契約の保証として与えられました。

1. イエス - より良い契約の保証

2. イエスがより良い聖書を保証したことの重要性

1. エレミヤ 31:31-34 「見よ、わたしがイスラエルの家とユダの家と、彼らの先祖たちと結んだ契約とは異なる、新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。」わたしが彼らの手を取ってエジプトの地から連れ出した日、わたしが彼らの夫であったにもかかわらず、彼らが破ったというわたしの契約は、主の御告げであるしかし、これが、その日の後にわたしがイスラエルの家と結ぶ契約である、と主は宣言される、「わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、それを彼らの心に書き記す」。そして私は彼らの神となり、彼らは私の民となるでしょう。そして、もはや、各自が隣人や各兄弟に、「主を知れ」と言って教えることはない。彼らは、最も小さい者から最も大きい者まで、皆、わたしを知るようになる、と主は言われる。わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪をもう思い出さないからである。」

2. エゼキエル 36:25-27 - 「わたしはあなたに清い水を振りかけます。そうすればあなたはすべての汚れから清められ、すべての偶像からあなたを清めます。」そして私はあなたに新しい心と新しい精神をあなたの中に与えます。そして私はあなたの肉体から石の心を取り除き、肉の心をあなたに与えます。そしてわたしはあなたの中にわたしの霊を宿し、あなたがわたしの掟に従って歩むようにし、わたしの規則に注意深く従うようにさせます。」

ヘブライ人への手紙 7:23 そして、彼らは本当に多くの祭司でした。なぜなら、彼らは死によって祭司を続けることができなかったからです。

旧約聖書に登場する多くの祭司たちは、死によって祭司を続けることができなくなりました。

1: イエスは決して死ぬことのない私たちの偉大な大祭司です。

２：私たちは、変わらぬ大祭司イエスを信頼することができます。

1: ヘブライ 4:14 - それでは、私たちには天に渡された偉大な大祭司、神の子イエスがいるのを見て、自分たちの信仰を堅持しようではありませんか。

2: ヘブル人への手紙 10:21 - そして、神の宮を司る大祭司がいる。

ヘブライ 7:24 しかし、この人は永遠に続くので、不変の神権を持っています。

旧約聖書の祭司職とは異なり、イエスの祭司職は不変です。

1. 不変の愛: イエス・キリストの不変の神権

2. イエスの司祭としての完全さ：変わらない、衰えることのない、終わりのないもの

1. ヘブライ 5:6 「彼が別の場所でも言っているように、あなたはメルキセデクの命令を受けて永遠に祭司です。」

2. ローマ人への手紙 8:35-39 「誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか。艱難か苦悩か迫害か飢餓か裸か危険か剣か？書かれているとおり、「あなたのために、私たちは一日中殺されます。」私たちは屠殺される羊とみなされます。いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神を通して、私たちは征服者以上の存在なのです。なぜなら、死も、生も、天使も、支配者も、権力も、今あるものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のどんな生き物も、私たちを愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。それは私たちの主キリスト・イエスのうちにある神のものです。」

ヘブライ人への手紙 7:25 したがって、彼は、自分によって神のみもとに来る人々を、彼らのために執り成すために生きておられるのを見て、徹底的に救うこともできるのです。

イエスはご自分に頼る人々を救うことができ、彼らのために絶えず執り成してくれます。

1. イエス：究極の救い主

2. イエス：私たちのとりなし者

1. ヨハネ 14:6、「イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできな

い。」

2. ローマ 8:26-27、「同様に、御霊は私たちの弱さを助けてくださいます。私たちは何を祈るべきか分かりませんが、御霊ご自身が言葉にならないほど深いうめきをもって私たちのために執り成してくださいます。」

ヘブライ人への手紙 7:26 このような大祭司が私たちとなられたのです。この大祭司は、聖で、無害で、汚れがなく、罪人から分離され、天よりも高くされたのです。

イエスは私たちの大祭司であり、聖であり、無害で、汚れがなく、罪人から離れておられます。彼は天よりも高いのです。

1. イエス：私たちの完璧な大祭司

2. イエス・キリストの神聖さ

1. ペテロ第一 1:15-16 - 「しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもどんな会話においても聖でありなさい。『あなたがたは聖でありなさい。わたしは聖であるから』と書いてあるからです。」

2. マタイ 5:48 - 「天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたがたも完全になりなさい。」

ヘブライ人への手紙 7:27 彼らは、大祭司のように、まず自分の罪のために、次に民のために、毎日犠牲をささげる必要はありません。そのために、彼は一度だけ、自分自身をささげたときにそうしました。

大祭司は自分と人々の罪のために犠牲をささげましたが、イエス・キリストは一度だけご自身をささげる必要がありました。

1. イエス・キリストの犠牲：彼の変わらぬ愛を思い出させる

2. 私たちの人生におけるイエスの犠牲の重要性を理解する

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. エペソ 2:4-5 - しかし、憐れみに富む神は、私たちに対する大きな愛のゆえに、私たちが罪で死んでいたときでさえ、キリストとともに生かしてくださいました。あなたが救われたのは恵みによるのです。

ヘブライ人への手紙 7:28 というのは、律法では、病人を大祭司としているからです。しかし、律法以来の誓いの言葉が、御子を永遠に聖別するのです。

この箇所は、モーセの律法が弱さによって制限されている人間を大祭司にするのに対し、誓いの言葉がイエス・キリストを永遠に聖別される御子にする方法について語っています。

1. キリストの神権の尽きることのない希望

2. キリストの奉献の完成

1. ローマ人への手紙 8:1-4 - したがって、今ではキリスト・イエスにある人々が罪に定められることはありません。

2. ピリピ 2:5-11 - 彼は死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になり、自分を低くしました。

ヘブライ人への手紙 8 章はヘブライ人への手紙の 8 章で、著者はイエス・キリストによって確立された新しい契約について論じ、モーセの時代の古い契約と対比させています。この章では、新しい契約の優位性と有効性、その約束、そしてその仲介者としてのイエスの役割が強調されています。

第 1 段落: 著者は、天の聖所における大祭司としてのイエスの奉仕の優位性について説明します (ヘブライ 8:1-6)。彼は、イエスが神の右に座し、真の幕屋、つまり神によって設立された天の幕屋で奉仕者として仕えていると説明しています。地上の幕屋は天に存在するものの写しであり、影としての役割を果たしました。イエスの宣教が優れているのは、イエスがより良い犠牲、つまりご自身を捧げ、より良い約束に基づいてより優れた宣教を行っているからである。モーセを通して結ばれた古い契約は一時的で不完全なものでしたが、イエスはより優れた永続的な奉仕の職を得ました。

第 2 段落: 著者は古い契約と新しい契約を対比しています (ヘブル 8:7-13)。彼はエレミヤ 31:31-34 を引用して、神がご自分の民と新しい契約を結ぶと約束されたことを実証しました。イスラエルがその契約を継続しなかったため、古い契約には欠陥がありました。彼らは神の律法を破り、不従順でした。しかし、神は古い契約とは異なる新しい契約、つまり石の板ではなく彼らの心に書かれた契約を結ぶと約束されました。この新しい契約には、すべての神の民に対する罪の赦しと神についての深い知識が含まれます。

第 3 段落: この章は、イエスの働きによって、最初の契約が時代遅れになったことを強調して終わります (ヘブライ 8:13)。それを「時代遅れ」と呼ぶことによって、より良いもの、つまりキリストによる新しい契約が確立されたことは明らかです。この確立により、かつては一時的であったものが永続的ではるかに優れたものになりました。イエスによって提供されたこの新しくより良い方法を通じて、信者は赦し、神との個人的な関係、そして神の約束の成就にアクセスすることができます。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙第 8 章では、イエス・キリストによって確立された新しい契約の優位性と有効性について、モーセ統治下の古い契約と対比しながら論じています。

著者は、天の聖所における大祭司としてのイエスの宣教を描写し、地上の幕屋に対するその奉仕の優位性とその一時的な性質を強調しています。

彼は古い契約と新しい契約を対比し、心に書かれた新しい契約を確立するという神の約束を強調しています。古い契約はイスラエルの不従順により欠陥がありましたがイエスの働きによって新しくより良い方法が確立されました。

この章は、イエスの働きによって、最初の契約が時代遅れになったことを強調して終わります。この新しくより良い方法の確立により、信者は罪の赦し、神についての深い知識、神の約束へのアクセスを得ることができます。この章は、新しい契約を確立する際の仲介者としてのイエスの役割の優位性と有効性を思い出させるものとして機能します。

ヘブライ人への手紙 8:1 さて、私たちが話した事柄の要約は次のとおりです。私たちにはこのような大祭司がおり、天の陛下の御座の右に座しています。

私たちには神の右に座される偉大な大祭司がいます。

1. 私たちの大祭司の偉大さと力

2. 大祭司の模範に倣う

1. マタイ 3:17 - すると、天からの声がした、こう言う、「これはわたしの愛する子、わたしはこの子を喜ぶ。」

2. ペテロ第一 2:21 - あなたがたもここに召されたのは、キリストも私たちのために苦しみ、あなたがたが彼の足跡に従うようにと、私たちに模範を残されたからです。

ヘブライ人への手紙 8:2 聖所と、人ではなく主が建てられた真の幕屋の奉仕者。

この箇所は、契約の大祭司であるイエス・キリストが、人ではなく主が設けられた真の幕屋の奉仕者であることについて語っています。

1. イエス：契約の大祭司

2. 主の幕屋: 主の忠実さのしるし

1. ヘブライ 10:20、「カーテン、つまり彼の体を通して、新しい生きた道が私たちのために開かれました。」

2. ヨハネ 1:14、「そして、ことばは肉となって、わたしたちの間に住まわれました。わたしたちはその栄光、すなわち、恵みと真理に満ちた、父からのひとり子のような栄光を見ました。」

ヘブライ人への手紙 8:3 すべての大祭司は贈り物やいけにえをささげるように命じられているから、この人も何らかのささげ物をしなければならないのは必然である。

すべての大祭司は犠牲を捧げるように命じられています。つまり、イエスも何かを捧げなければなりません。

1. イエスの必要性 - ヘブライ人への手紙 8:3 を見ると、イエスと私たちへのイエスの捧げ物の重要性が思い出されます。

2. イエスの神権 - ヘブライ人への手紙 8:3 を調べると、イエスが大祭司として私たちの生活の中で重要な役割を果たしていることが分かります。

1. ヘブライ 9:14-15 - ましてや、永遠の御霊によって、汚れのないご自身を神にささげたキリストの血は、生ける神に仕えるために、あなたの良心を死んだ行いから取り除くことになるでしょうか。そして、この目的のために、彼は新約の仲介者であり、死によって、第一約の下での罪の贖いのために、召された者は永遠の相続の約束を受けることができるのです。

2. レビ記 17:11 - 肉の命は血の中にあるからです。そして、私はそれをあなたがたの魂の贖いをするために祭壇の上に与えました。魂の贖いをするのは血だからです。

ヘブライ人への手紙 8:4 もし彼が地上にいたとしたら、律法に従って贈り物をささげる祭司たちがいるのですから、祭司になるべきではないからです。

ヘブライ人への手紙 8 章 4 節のこの一節は、律法に従って贈り物をささげる祭司がすでにいるのに、イエスが地上では祭司ではないことを説明しています。

1. 私たちの大祭司としてのイエスの特異性

2. 律法に従い、司祭としての責任を理解する

1. ヘブライ人への手紙 7:23-28

2. レビ記4:1-35

ヘブライ人への手紙 8:5 モーセが幕屋を作ろうとしたときに神から戒められたように、天的なものの模範と影に仕える者たちです。マウント。

ヘブライ 8 章 5 節で、モーセは神から、幕屋について示された模範に従うことの大切さを思い出させられています。

1. 従順の力：神の人生のパターンを受け入れる

2. 神の模範に従うことの報酬: 神の祝福を経験する

1. 出エジプト記 25:40 - 「見よ、山であなたに示された型に倣って、それらを作っているのです。」

2. 詩篇 119:105 - 「あなたの言葉は私の足の灯、私の道の光です。」

ヘブライ人への手紙 8:6 しかし、今では彼はさらに優れた奉仕の職を得たのであり、それだけ、より良い約束に基づいて設立された、より良い契約の仲介者でもあるのです。

イエスの新しい宣教はより優れており、より良い約束に基づいて確立されています。

1. イエスの宣教の優位性

2. より良い契約が私たちにもたらすもの

1. エレミヤ 31:31-34 - 新しい契約

2. ローマ人への手紙 5:6-11 - イエスの贖いの犠牲

ヘブライ人への手紙 8:7 というのは、もし最初の契約に欠陥がなかったのなら、第二の契約を求める余地はなかったはずだからです。

最初の契約には欠点がなかったわけではないため、2 番目の契約が必要でした。

1. 第二契約における神の規定

2. 第一契約の不完全性

1. エレミヤ 31:31-34 「見よ、わたしがイスラエルの家とユダの家と、彼らの先祖たちと結んだ契約とは異なる、新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。」わたしが彼らの手を取ってエジプトの地から連れ出した日、わたしが彼らの夫であったにもかかわらず、彼らが破ったというわたしの契約は、主の御告げであるしかし、これが、その日の後にわたしがイスラエルの家と結ぶ契約である、と主は宣言される、「わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、それを彼らの心に書き記す」。そして私は彼らの神となり、彼らは私の民となるでしょう。そして、もはや、各自が隣人や各兄弟に、「主を知れ」と言って教えることはない。彼らは、最も小さい者から最も大きい者まで、皆、わたしを知るようになる、と主は言われる。わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪をもう思い出さないからである。」

2. ガラテヤ 3:13-14 - 「キリストは、私たちにとってのろいとなることによって、律法の呪いから私たちを救い出してくださいました。『木に吊るされている者は皆呪われている』と書いてあるからです。そのため、キリスト・イエスにおいて祝福が与えられるのです。」アブラハムの神が異邦人のところに来て、私たちが信仰を通して約束の御霊を受けることができるようにするためです。」

ヘブライ人への手紙 8:8 彼らのあらを見つけて、彼は言った、「見よ、主は言われる、わたしがイスラエルの家とユダの家と新しい契約を結ぶ日が来る。

神はイスラエルとユダの民と新しい契約を結びます。

1. 新しい契約: 新たなスタート

2. 刷新の力: 新しい契約

1. エレミヤ31:31-33

2. ローマ人への手紙 11:26-27

ヘブライ人への手紙 8:9 それは、わたしが彼らの手をとってエジプトの地から導き出した日に、彼らの先祖たちと結んだ契約によるものではありませんでした。なぜなら、彼らはわたしの契約を継続しなかったし、わたしも彼らを考慮しなかったからである、と主は言われる。

神とその民との契約は、彼らの従順を条件としていません。

1: 神の忠実さは私たちの忠実さに依存しません。

2: 主は私たちの限界によって制限されません。

1: ヨハネ 3:16 - 「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2: ローマ人への手紙 8:38-39 「というのは、私は、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての被造物には存在しないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

ヘブライ人への手紙 8:10 主は言われる、これこそが、その日の後にわたしがイスラエルの家と結ぶ契約である、と主は言われる。わたしはわたしの律法を彼らの心に刻み込み、彼らの心に書き記す。そうすれば、わたしは彼らにとって神となり、彼らはわたしにとって民となるだろう。

神はご自身の律法をイスラエルの人々の心と心に刻み込むと約束されています。

1. 神の変わらぬ愛の契約

2. 神の御心に従順な人生を送る

1. エレミヤ 31:33 - しかし、これがわたしがイスラエルの家と結ぶ契約である。その日々の後、わたしはわたしの律法を彼らの内面に置き、彼らの心に書き記す、と主は言われる。

2. ヨハネ 14:15 - もしあなたがたが私を愛しているなら、私の戒めを守ってください。

ヘブライ人への手紙 8:11 また、彼らはすべての人に隣人やすべての人に自分の兄弟を教えてはいけない、「主を知れ。小さい者から大きい者まで、すべての人がわたしを知るからである」と。

主は最も小さい者から最も偉大な者まで、すべての人に知られるでしょう。

1: 主とその偉大さを知る

2: 主について他の人に教えることの重要性

1: エレミヤ 31:34 「そして、彼らはもはや、隣人すべての人、兄弟すべてに、『主を知れ』と教えてはならない。彼らは、最も小さい者から最も大きい者に至るまで、皆、わたしを知るであろう、と言う。」主：わたしは彼らの咎を赦し、もう彼らの罪を思い出さないからである。」

2: ヨハネ 17:3 - 「そして、これが永遠の命です。それは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知るためです。」

ヘブライ人への手紙 8:12 わたしは彼らの不義を憐れみ、彼らの罪と咎をもう思い出すことはありません。

悔い改めて神に立ち帰る者に対する神の憐れみと恵みの約束。

1.「神の許しの力」

2.「神の憐れみで新たなスタート」

1. イザヤ書 43:25 - 「わたし、つまりわたしこそが、自分のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者です。」

2. 詩篇 103:12 - 「東が西から遠く離れているように、神はこれまで私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。」

ヘブライ人への手紙 8:13 彼はこう言いました、「新しい契約を、最初の古い契約を結ばれたのです。」今、朽ち果てて老いていくものは、消え去る準備ができています。

神は古い契約に代わる新しい契約を結びましたが、古い契約は消え去ろうとしています。

1.「新たな契約：永遠の約束」

2.「新しい契約における信仰の力」

1. エレミヤ 31:31-34: 「見よ、その日が来る、と主は言われる。わたしがイスラエルの家とユダの家と新しい契約を結ぶ。彼らと結んだ契約によらない。「わたしが父たちを手を取ってエジプトの地から連れ出したあの日、わたしは彼らの夫であったにもかかわらず、彼らがわたしの契約を破った、と主は言われる。しかし、これがわたしが結ぶ契約である」と主は言われる。「イスラエルの家。その日の後、主は言われる、わたしはわたしの律法を彼らの内面に置き、彼らの心に書き記す。そして彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。そして彼らはもうすべての人に教えないであろう」隣人の男も兄弟もみな、こう言う、「主を知れ。一番小さい者から一番偉い者に至るまで、彼らは皆、わたしを知るであろう、と主は言われる。わたしは彼らの咎を赦し、彼らの咎を思い出すからである」もう罪を犯さないでください。」

2. ヘブライ 10:16: 「これが、その日の後にわたしが彼らと結ぶ契約である、と主は言われる、わたしはわたしの律法を彼らの心に入れ、彼らの思いの中に書き記す。」

ヘブライ人への手紙 9 章はヘブライ人への手紙の 9 章で、著者は古い契約の儀式や犠牲と比較したキリストの犠牲の重要性と優位性を探求しています。この章は、大祭司としてのイエスの役割、完全な犠牲としてご自身をささげられたこと、そして信者のために得られた永遠の救いを強調しています。

第 1 段落: 著者は地上の幕屋とその儀式について詳しく説明しています (ヘブル 9:1-10)。彼は、神の臨在へのアクセスが特定の個人、特に年に一度血の犠牲を捧げて至聖所に入る大祭司のみにどのように制限されていたかを説明しています。これらの犠牲は一時的かつ象徴的なものであり、人々の良心を罪から清めることはできませんでした。それらは永久的な許しを与えるというよりはむしろ、罪を思い出させるものとして機能しました。

第 2 段落: 著者はこれらの地上の儀式をキリストの優れた犠牲と対比しています (ヘブライ 9:11-22)。彼は、私たちの大祭司であるイエスがご自身の血とともに天国に入り、信者たちに永遠の贖いを獲得されたと宣言しています。毎年繰り返す必要があった一時的な動物の犠牲とは異なり、イエスはご自身を永遠に一度だけ捧げられました。イエスの犠牲は私たちの良心を死んだ行いから清め、私たちが生ける神に仕えることができるようにします。古い契約の下で清めのために血が必要であったのと同じように、新しい契約の下での赦しにはイエスの流された血が不可欠です。

第 3 段落: この章は、旧約聖書の預言の成就におけるキリストの役割を強調して終わります (ヘブライ 9:23-28)。著者は、神のパターンによれば、浄化には天上のものそのもの、つまり天の聖域が必要であり、地上で捧げられるものよりも優れた犠牲が必要だったと説明しています。キリストは世の終わりに一度、ご自身を犠牲にして罪を取り除くために現れました。人は一度死んでから裁きを受けることが定められているように、キリストも一度は罪を負うために捧げられましたが、罪とは無関係に再び現れ、彼を待ち望む人々に救いをもたらすのです。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙第 9 章では、地上の儀式や犠牲と比較したキリストの優れた犠牲について考察しています。

著者は、古い契約の下で一時的な動物の犠牲によって神へのアクセスがどのように制限されていたかを詳しく説明しています。

彼は、これらの地上の儀式を、永遠の救いを得て罪から私たちの良心を清める、完全な犠牲としてご自身を捧げたイエスと対比させています。

この章は、キリストが犠牲の働きを通して旧約聖書の預言を成就されたことを強調し、キリストを待ち望む人々に救いをもたらすために将来再臨されることを約束して終わります。この章は、ご自身を完全な犠牲、つまり永遠の救いをもたらす効果と能力においてはるかに優れた犠牲として捧げた大祭司としてのイエスの役割を思い出させるものとして役立ちます。

ヘブライ 9:1 それで、確かに、最初の契約には、神への奉仕の儀式と、世の聖所も含まれていました。

神とその民との間の最初の契約には、礼拝と物理的な聖域に関する規定が含まれていました。

1. 古い契約を通して従順の力を学ぶ

2. 古い契約の聖域の重要性

1. 出エジプト記 25:8-9 そして彼らに私を聖所としてください。私が彼らの間に住むことができるように。幕屋の型とそのすべての道具の型に倣って、わたしがあなたに示したすべてに従って、あなたがたはそれを作るであろう。

2. エゼキエル 37:26-28 さらに、わたしは彼らと平和の契約を結びます。それは彼らとの永遠の契約となる。そしてわたしは彼らを置き、彼らを増やし、彼らの真ん中に永遠に私の聖所を置く。

ヘブライ人への手紙 9:2 幕屋が造られたからである。1つ目は、燭台とテーブルとシューブレッドがありました。それは聖域と呼ばれます。

聖書の最初の幕屋には燭台、テーブル、供えのパンがあり、聖所と呼ばれていました。

1. 神の聖域の神聖さ

2. 幕屋の調度品の重要性

1. 出エジプト記 25:31-40 (神はモーセに幕屋作りの指示を与える)

2. 出エジプト記 26:1-37 (幕屋の幕を作るための神の指示)

ヘブライ人への手紙 9:3 そして、第二の幕の後には、最も聖なる幕屋と呼ばれる幕屋があります。

最も神聖なものは、ヘブライ人への手紙の第二の幕の後ろにある幕屋でした。

1. 神聖さの力

2. 幕屋における神の聖さ

1. 出エジプト記 25:8-9、「そして、彼らに私を聖所としてください。私が彼らの間に住むことができるように。私があなたに示したすべてによると、幕屋の型

とそのすべての道具の型に倣って、それであなたもそれを成し遂げましょう。」

2. ヘブル人への手紙 10:19-20、「ですから、兄弟たち、イエスの血によって大胆に、イエスが私たちのためにベールを通して聖別してくださった新しい生きた道によって、最も聖なる所に入るのです。つまり、彼の肉体。」

ヘブライ人への手紙 9:4 そこには金の香炉と、周囲を金で覆った契約の箱があり、そこにはマナの入った金の壺と、芽吹いたアロンの杖と契約の台があった。

この一節は、黄金の香炉、マナ、アロンの杖、そして契約のテーブルが入っていた契約の箱について語っています。

1. 契約の箱：神の民との契約の象徴

2. 契約の箱の中にある品物の重要性

1. 出エジプト記 16:33-34、「モーセはアロンに言った。『壺を取り、その中にマナをたっぷり入れたオメルを入れ、それを主の前に置き、代々保管しなさい。主はモーセに命じられたとおりである。それでアロンはそれを証言の前に置いて、保管しておきました。」

2. 民数記 17:8、「そして、翌日、モーセが証しの幕屋に入ると、見よ、レビの家のためのアロンの杖が芽を出し、芽を出し、花を咲かせた」そしてアーモンドができました。

ヘブライ人への手紙 9:5 そして、その上に栄光のケルビムが慈悲の座を影で覆いました。それについては今は特に話すことはできません。

ヘブライ人への手紙には、ケルビムで覆われた慈悲の座について説明されていますが、詳細は記載されていません。

1. 神の慈悲は慈悲の座を通して明らかにされる

2. ケルビムが表す神の栄光

1. 出エジプト記 25:17-22 - そして、純金で慈悲の座を作りなさい。その長さは二キュビト半、幅は一キュビト半でなければなりません。

2. エゼキエル 10:1-5 - それから私が見ると、見よ、ケルビムの頭の上の大空に、まるでサファイアの石のように、玉座のようなものがケルビムの上に現れました。

ヘブライ人への手紙 9:6 さて、これらのことがこのように定められたとき、祭司たちは常に第一幕屋に入り、神への奉仕を行った。

古い契約の祭司たちは、神の定めに従って最初の幕屋で奉仕を行うよう指示されていました。

1. 司祭の奉仕: 奉仕と犠牲のモデル

2. 古い契約: 新しい契約のための基盤

1. ローマ 12:1-2 - 「ですから、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な崇拝です。この世界では、しかし、あなたの心を一新することによって変えられ、それによって、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試すことによって識別できるようになるのです。」

2. レビ記 10:1-3 「さて、アロンの子であるナダブとアビフは、それぞれ香炉を手に取り、それに火をつけ、その上に香を置き、主が命じてもいないのに、主の御前に許可なく火をささげた。するとモーセはアロンに言った、「主はこう仰せられた。『わたしは近くにいる者たちの中で、またすべての民の前で聖別されるであろう』」私は栄光を受けるでしょう』」そしてアロンは平和を保った。

ヘブライ人への手紙 9:7 しかし、大祭司は年に一度、一人で第二の場所に入り、自分自身と民の過ちのために血をささげました。

大祭司は年に一度聖所の第二部分に入り、自分と人々の罪のために血の犠牲を捧げました。

1: 私たちの大祭司イエスは、私たちと私たちの罪のために完全な犠牲を払ってくださいました。

2: 私たちはイエス・キリストの完全で効果的な犠牲によって救われます。

1: ヘブライ 10:10-14 - 私たちは、イエス・キリストの体を一度だけ捧げることによって、その御意志によって聖化されます。

2: ヘブライ 4:14-16 - それでは、私たちには天に渡された偉大な大祭司、神の子イエスがいるのを見て、自分たちの信仰を堅持しようではありませんか。

ヘブライ人への手紙 9:8 聖霊は、最初の幕屋がまだ立っていたのに、最も聖なる場所に入る道がまだ明らかにされていないことを意味しています。

聖霊は、最初の幕屋がまだ立っていた間、至聖所への道がまだ明らかにされていないことを示していました。

1. すべての中で最も神聖なもの: 聖霊が啓示したこと

2. 幕屋の重要性: ヘブライ人への手紙 9:8 の概要

1. 出エジプト記 40:34-35 - そのとき雲が会見の天幕を覆い、主の栄光が幕屋を満たした。モーセは雲が立ち込めて会見の天幕に入ることができず、主の栄光が幕屋を満たした。

2. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

ヘブライ人への手紙 9:9 これは、贈り物と犠牲の両方が捧げられた当時の数字であり、良心に関するものとして奉仕を行った人を完全にすることはできませんでした。

この箇所では、キリスト以前の時代に神に贈り物や犠牲をささげることを表すヘブライ人への手紙 9章9節の人物について論じています。

1. イエス・キリスト: 完全な犠牲

2. キリストにおける良心の約束

1. ヘブライ人への手紙 10:1-4

2. ローマ人への手紙 6:22-23

ヘブライ人への手紙 9:10 それは、宗教改革の時まで彼らに課せられた、肉と飲み物、さまざまな洗い物、そして肉の儀式にのみ存在していました。

この聖句は、旧約聖書の律法が宗教改革の時までは食事、洗濯、規制に関するものだけであったことを説明しています。

1. 改革の力: 私たちが生活をより良く変えるとき

2. 旧約聖書の律法: 規定の目的を理解する

1. ローマ 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなことに対しては法律はありません。」

ヘブル人への手紙 9:11 しかし、キリストは、手で作られたものではなく、つまりこの建物で作られたものではなく、より大きく、より完全な幕屋によって、来るべき善いことを行う大祭司として来られます。

キリストは来るべき善いことを司る大祭司であり、手で造られた幕屋からではなく、より偉大でより完全な方です。

1. より大きく、より完全なキリストの幕屋

2. キリストを通して起こる良いこと

1. ローマ人への手紙 8:18-25 - キリストによる将来の救いの希望と栄光

2. コロサイ 1:19-20 - すべての被造物に和解と平和をもたらすキリストの力

ヘブライ人への手紙 9:12 イエスは、やぎや子牛の血によってではなく、ご自身の血によって一度聖所に入り、私たちのために永遠の救いを得てくださいました。

イエスはご自身の血とともに聖所に入り、私たち全員に永遠の救いを与えてくださいました。

1. 「償いの代償：私たちの救いの多大な代償」

2.「血の力：イエスの真の犠牲を理解する」

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. ペテロ第一 1:18-19 「あなたがたは、先祖から受け継がれてきた空虚な生き方から救われたのは、銀や金などの朽ちる物によってではなく、神の尊い血によってなされたことを知っているからです。」キリストよ、傷も欠陥もない子羊よ。」

ヘブライ人への手紙 9:13 というのは、もし、雄牛や山羊の血や、汚れた者に振りかける未経産牛の灰が、肉を清めるのに聖別するのであれば、

雄牛やヤギの血、未経産牛の灰は肉を浄化することができます。

1: 私たちは清められなければなりません。

2: 私たちが清くなるのは、キリストの血によってです。

1: 1 ヨハネ 1:7 - しかし、イエスが光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエス・キリストの血は私たちをすべての罪から清めます。

2: ローマ 5:8-9 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにおいて、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されています。ましてや、今は彼の血によって義とされているので、私たちは彼を通して怒りから救われるでしょう。

ヘブライ人への手紙 9:14 まして、永遠の御霊によって、汚れのないご自身を神にささげたキリストの血は、生ける神に仕えるために、あなたの良心を死んだ行いからどれだけ清算するでしょうか。

キリストの血は私たちの良心を清め、生ける神に仕えることができるようにします。

1. 私たちの良心を清めるキリストの血の力

2. 生ける神に仕えるという呼びかけ

1. エペソ人への手紙 1:7 - わたしたちはこの方において、その血による救い、神の豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

2. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを考慮して、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。

ヘブライ人への手紙 9:15 そして、この目的のために、彼は新約の仲介者です。それは、死によって、第一約の下での罪の贖いとして、召された人々が永遠の相続の約束を受けることができるようにするためです。

新約聖書の調停者は、永遠の相続の約束を得るために、第一約聖書に基づく違反を贖う責任があります。

1. キリストの契約を理解する: 罪の贖いについての考察

2. 永遠の相続という神の約束: 新約聖書の意義

1. ローマ 3:23-25 - すべての人は罪を犯して神の栄光を受けられませんが、恵みによって、私たちはイエス・キリストを信じる信仰を通して救われます。

2. ヨハネ 3:16-17 - 神はご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

ヘブライ人への手紙 9:16 遺言があるところには、必然的に遺言者の死も存在しなければなりません。

遺言が有効になるには遺言者の死亡が必要です。

1. 遺言の成立における遺言者の死亡の重要性

2. 避けられない遺言者の死に適切に備えるにはどうすればよいか

1. ローマ 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。」

2. 伝道の書 12:7 - 「そして、塵は元の土に戻り、霊はそれを与えてくださった神に帰ります。」

ヘブライ人への手紙 9:17 というのは、遺言は人間が死んだ後でも効力を持ちますが、そうでなければ遺言者が生きている間は全く効力を持ちません。

遺言は遺言者の死亡後にのみ有効となります。

1. 証言の力: 私たちの言葉は死んだ後もどのように生き続けるのか

2. 私たちの証言の価値: 私たちが将来の世代に何を残すか

1. 箴言 13:22 - 善良な人は自分の子孫に相続財産を残しますが、罪人の富は義人のために蓄えられます。

2. 詩篇 49:17 - 彼は死ぬとき、何も持ち去らないからです。彼の栄光は彼の後に降りることはありません。

ヘブライ人への手紙 9:18 したがって、第一の遺言も血なしでは奉献されませんでした。

第一の遺言は血を流すことによって奉献されました。

1. 血の力: 犠牲の血の重要性を理解する

2. 血の遺産：初約聖書の奉献の影響

1. レビ記 17:11、「肉の命は血の中にあるので、私はあなたがたの魂を贖うためにそれを祭壇の上に与えました。命によって贖うのは血だからです。」

2. 出エジプト記 24:8、「モーセはその血を取り、民に投げかけて言った、『見よ、主がこれらすべての言葉に従ってあなたと結んだ契約の血だ』。」

ヘブライ人への手紙 9:19 モーセは律法に従ってすべての戒めを民すべてに語った後、子牛と山羊の血を水、緋色の羊毛、ヒソプとともに取り、その書と民すべてに振りかけたからである。、

モーセは律法の一環として民に語りかけ、子牛や山羊の血、水、緋色の羊毛、ヒソップを混ぜたものを本と民に振りかけました。

1. 神の律法に従い、本と人々に血を流す儀式を遂行することの大切さ。

2. 振りかけられる血の象徴的な性質と、イエスがいかに私たちの罪のための究極の犠牲であるか。

1. レビ記 16:14-16 - 犠牲動物の血を振りかける儀式について説明しています。

2. ヨハネ第一 1:7 - 「しかし、イエスが光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血は私たちをすべての罪から清めます。」

ヘブライ人への手紙 9:20 「これは、神があなたがたに命じられた聖書の血です。」

この聖句は、私たちとの神の契約を履行するためにイエスの血が流されたことを示しています。

1. キリストの血による救いの約束

2. 盟約の血の力

1. イザヤ書 53:5 - 「しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平和をもたらした罰は彼の上にあり、彼の傷によって私たちは癒された。」

2. ヨハネ第一 1:7 - 「しかし、イエスが光の中におられるように、私たちも光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が私たちをすべての罪から清めてくださいます。」

ヘブライ人への手紙 9:21 さらに彼は、幕屋と奉仕の道具すべてに血を振りかけました。

ヘブライ人への手紙 9 章の著者は、幕屋内の血と宣教に使用されるすべての物品の重要性を強調しています。

1. 血の力：幕屋の血の意味と重要性を探る

2. 幕屋の奉仕: 幕屋とその器の重要性に関する研究

1. 出エジプト記 24:3-8;そこでモーセが来て、主のすべての言葉とすべての裁きを民に告げた。すると民はみな声を揃えて答えて言った、「主が言われたすべての言葉をわたしたちは実行しよう。」モーセは主の言葉をすべて書き記し、朝早く起きて丘の下に祭壇を築き、イスラエルの十二部族に合わせて十二本の柱を立てたそしてイスラエルの子らの若者たちを遣わし、彼らは燔祭をささげ、和解のいけにえとして牛を主にささげた。そしてモーセは血の半分を取り、それをベーソンに入れました。そして血の半分を祭壇に振りかけた。そして彼は契約の書を取り、聴衆の前で読み上げた。すると彼らは言った、「主が言われたことをすべてわたしたちは実

行し、従順であろう。」

2. レビ記 17:11。肉の命は血の中にあるからです。そして私はあなたの魂の贖いをするためにそれを祭壇の上にあなたに与えました。魂の贖いをするのは血だからです。

ヘブライ人への手紙 9:22 そして、ほとんどすべてのものは律法によって血で清められています。そして血を流さなければ寛解はありません。

法律では、寛解するには血液を流す必要があると定めています。

1. 許しの代償: イエスはどのように究極の代償を支払ったのか

2. イエスの血の意義は何ですか?

1. レビ記 17:11 - 肉の命は血の中にあるからです。そして私はそれをあなたがたの魂の贖いをするために祭壇の上に与えました。魂の贖いをするのは血だからです。

2. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

ヘブライ人への手紙 9:23 したがって、天上の物事の模様をこれらによって清める必要がありました。しかし、天上のもの自体は、これらよりも優れた犠牲を払っています。

天上のものは、地上のものよりも優れた犠牲を払って浄化されなければなりません。

1. 犠牲的な愛の力

2. 神への従順の重要性

1. ローマ 12:1-2 したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい礼拝です。

2. ヘブライ 10:19-22 したがって、兄弟姉妹の皆さん、私たちはイエスの血によって、カーテン、つまりイエスの体を通して私たちのために開かれた新しい生きた道によって至聖所に入ることができると確信しています。私たちには神の家を統べる偉大な祭司がいるのですから、罪の意識から清めるために心に振りかけられ清い水で体を洗われながら、誠実な心と信仰がもたらす完全な確信をもって神に近づこうではありませんか。。

ヘブライ人への手紙 9:24 なぜなら、キリストは、真実の姿である手で造られた聖所には入れられないからです。しかし、天国そのものへ、今は私たちのために神

の御前に現れます。

キリストは私たちに代わって神の前に現れるために天国に入りました。

1. キリストの犠牲：私たちのために神の前に現れたキリスト

2. キリストによる私たちのとりなしの力

1. ローマ人への手紙 8:34 - 「誰が罪に定められるでしょうか。キリスト・イエスは死んだ方であり、それ以上に復活させられた方であり、神の右におられ、まさに私たちのために執り成してくださっているのです。」

2. ヘブライ 4:16 - 「それでは、私たちが憐れみを受け、必要なときに助ける恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

ヘブライ人への手紙 9:25 また、大祭司が毎年他人の血を持って聖所に入るのと同じように、頻繁に自分自身をささげるべきではありません。

ヘブライ人への手紙の著者は、毎年他人の血を捧げる必要があった大祭司とは異なり、イエスは自らを犠牲として絶えず捧げる必要がなかったと説明しています。

1: イエスが一度だけご自身を犠牲にされただけで、私たちに救いをもたらすのに十分でした。

2: イエスの犠牲が私たちの罪を覆うのに十分だったことに感謝できます。

1: ローマ人への手紙 6:10 - 彼が死んだのは、一度きりの罪に対して死んだのですが、その人生は神に対して生きているのです。

2: 1 ペテロ 3:18 - なぜなら、キリストも、私たちを神のもとに導くために、義人が不義な者のために、一度は罪のために苦しみを受けたからです。

ヘブライ人への手紙 9:26 というのは、彼は世の初め以来、しばしば苦しみを受けてきたに違いありません。しかし、今一度、世の終わりに、彼は自分を犠牲にして罪を取り去ったように見えたのです。

1: イエス・キリストは、私たち全員のためにご自身を犠牲にして罪を取り除くために来られました。

2: イエス・キリストは、ご自身の犠牲を通して罪を取り除くために、世の終わりに一度現れました。

1: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: 1 ヨハネ 2:2 - 彼は私たちの罪のためのなだめの物であり、私たちだけの罪ではなく、全世界の罪のためでもあります。

ヘブライ人への手紙 9:27 そして、人間には一度死ぬことが定められているが、その後には裁きが下される。

人は皆、いつかは死に、その後は裁きを受けることになります。

1. 全員の終着点 生と死と審判

2. 死の確実性と判決の不確実性

1. 伝道者の書 12:7-8 (そして、塵は元の土に戻り、霊はそれを与えてくださった神のもとに帰ります。「すべては無意味です」と教師は言います、「まったく無意味です!」)

2. ルカ 16:19-31 (「ある金持ちが、紫と上質の亜麻布を着て、毎日贅沢な食事をしていました。そして、彼の門のところに、傷だらけでラザロという名の貧しい男が横たわっていました。金持ちの食卓から落ちたものを食べさせた。さらに犬までがやって来て、彼の傷口をなめてくれた。）

ヘブライ人への手紙 9:28 それで、キリストはかつて多くの人の罪を負うためにささげられました。そして彼を捜し求める者たちに、彼は罪を犯さずに二度目に現れて救いを得るであろう。

キリストは一度は多くの人の罪を負うために捧げられましたが、二度目にも救いのために現れます。

1: イエスは私たちを罪から救うために来られ、私たちに救いをもたらすために再び来られます。

2: イエスの血はすでに私たちのために流され、いつかイエスは戻ってきて私たちを救いの恵みに導きます。

1: ローマ 5:8-9 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。私たちは今や彼の血によって義とされたのですから、ましてや私たちは彼を通して神の怒りから救われることでしょう。

2: イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

ヘブライ人への手紙 10 章はヘブライ人への手紙の 10 章であり、著者はそこでキリストの犠牲の優位性と十分性を強調し続けています。この章では、イエスの犠牲がいかに古い契約の犠牲を超えているかを探り、キリストによる救いの確信を確信して信仰を貫くよう信者に呼びかけています。

第 1 段落: 著者は、古い契約の下では動物の犠牲が不十分であることを強調しています (ヘブライ 10:1-18)。これらの犠牲は罪を取り除くことはできず、

年々罪を思い出させるものだったと彼は説明します。対照的に、イエスの犠牲は完全で完全です。ご自分の体を一度だけ捧げることによって、神は信者たちを神聖化し彼らを永遠に完成させました。聖霊はまた、この新しい契約の下では神はもはや彼らの罪を覚えておられないことを証します。

第 2 段落: 著者は信者たちに、イエスを通して自信を持って神に近づくよう勧めています (ヘブライ 10:19-25)。私たちはイエスの血によって神の御前に入る自信があるので、誠実な心と信仰の完全な確信をもって近づくべきであると彼は強調しています。神は約束に忠実であるため、信者は揺るがずに自分の告白を堅持することが求められます。また、定期的に集まって励まし合うことで、愛と善行に向けてお互いを鼓舞する方法を検討する必要もあります。

第 3 段落: この章は故意の罪に対する警告で終わります (ヘブライ 10:26-39)。著者は、誰かが真実の知識を得た後も意図的に罪を犯し続ける場合、罪に対する犠牲は残らず、裁きと激しい怒りに対する恐ろしい期待だけが残ると警告しています。信者は、自信を捨てるのではなく、約束されたもの、つまり神からの報酬を受け取ることができるように信仰を貫くよう思い出させられます。彼らは、ひるむことなく、信仰を持ち、自分の魂を守る人になるよう奨励されています。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙第10章は、古い契約の下での動物の犠牲と比較して、キリストの優れた犠牲を強調しています。

著者は、イエスの犠牲がいかに完璧で完全であり、信者を永遠に聖化するかを強調しています。

信者は、イエスの血を通して自信を持って神に近づき、揺るがずに告白を堅持することが奨励されています。彼らは愛と善行において相互に励まし合うために集まるよう勧められています。

この章は故意の罪に対する警告で終わり、信仰を捨てるのではなく、約束されたもの、つまり神からの報酬を受け取るまで信仰を貫くようにと信者に思い出させます。この章はキリストの十分な犠牲を思い出させるものとして機能し、永遠の救いに向かう旅路で互いに励まし合いながら、完全な確信を持って信仰を貫くよう信者に呼びかけています。

ヘブライ人への手紙 10:1 というのは、律法は、来るべき良い事柄の影を持っており、その事柄そのものの姿ではなく、彼らが毎年捧げる犠牲によって、そこにやって来た者たちを絶えず完全にすることは決してできないからです。

旧約聖書の律法は、来るべき完全なものの影にすぎませんでした。犠牲を払っても崇拝者を完全にすることはできません。

1. イエスの死は旧約聖書では成し得なかったものを完成させた

2. イエスの死の完全性: 旧約聖書の成就

1. ローマ人への手紙 10:4 - キリストは、信じるすべての人に義を与える律法の終わりだからです。

2. ガラテヤ 3:24–25 - したがって、私たちが信仰によって義とされるために、キリストが来られるまで、律法は私たちの守護者でした。しかし信仰が生まれた今、私たちはもはや保護者の下にいません。

ヘブライ人への手紙 10:2 そうすれば、それらはささげられるのをやめることができなかったでしょうか。なぜなら、一度粛清された崇拝者たちはもはや罪の良心を持っていないはずだからです。

神の崇拝者は清められており、もはや罪の良心を持たないはずです。

1. 浄化の力: 償いの重要性を理解する

2. 良心を自由にする：浄化の自由を体験する

1. 詩篇 103:12 - 東が西から遠い限り、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

2. ヨハネ第一 1:7-9 - しかし、イエスが光の中におられるように、私たちも光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血は私たちをすべての罪から清めます。

ヘブライ人への手紙 10:3 しかし、それらの犠牲の中で、毎年、罪が再び思い出されます。

ヘブライ人への手紙の著者は、旧約聖書では罪を思い出させるために毎年犠牲が捧げられたと述べています。

1. 記憶の力: 旧約聖書から学ぶ

2. 犠牲の意味: 償いを通して再生を見つける

1. イザヤ書 43:25 - 「わたし、つまりわたしこそが、自分のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者です。」

2. ルカ 22:19-20 - 「そしてイエスはパンを取り、感謝をささげて裂き、彼らに与えて言われた、「これは、あなたがたのために与えられたわたしの体です。あなたがたのために与えられたものです。」私を偲んでこれをしなさい。」

ヘブライ人への手紙 10:4 雄牛や山羊の血が罪を取り除くことは不可能だからです。

雄牛やヤギの血は罪を取り除くことはできません。

1. 私たちの罪を取り除くイエスの血の力

2. 私たちを赦す神の恵みの力

1. ローマ 3:24-26 - キリスト・イエスによる救いを通して、神の恵みによって無償で義とされる。

2. コロサイ 1:13-14 - なぜなら、神は私たちを暗闇の支配から救い出し、愛する御子の王国に私たちを導き入れてくださったからです。

ヘブライ人への手紙 10:5 それゆえ、彼は世に来るとき、こう言いました、「あなたはいけにえや捧げ物をしたくありませんが、あなたは私に体を用意してくださいました。」

神は犠牲と捧げ物を望んでいたのではなく、自分のために用意された体を望んだのです。

1: キリストの体 - 神がなぜ自分のために用意された体を望んだのかを見てみましょう。

2: 自分自身を犠牲にする - 自分自身を生きた犠牲として神に捧げるということが何を意味するのかを考察します。

1: ピリピ 2:5-8 - キリスト・イエスにもあったこの思いをあなたの中に持ちましょう。キリストは神の姿をしていて、神と同等であることが強盗ではないと考えました。しかし、自分自身を何の評判も持たず、そして、彼は召使の姿をとり、人間と同じように造られました。そして、人間としての姿で見出され、へりくだって死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

2: ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、あなたがたは自分の体を神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとして捧げてください、それがあなたがたの当然の奉仕です。そして、この世に順応するのではなく、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして変えられなさい。

ヘブライ人への手紙 10:6 あなたは、罪のために全焼のいけにえや犠牲をささげても、何の喜びも感じませんでした。

神は罪のための全焼のいけにえや犠牲を喜ばれません。

1. 神の憐れみは私たちの罪よりも大きい

2. 悔い改めと許しの力

1. イザヤ書 1:11-17 — 「あなたの犠牲の多さは、私にとって何でしょうか。」主は言われる。「わたしは雄羊の全焼のいけにえと、よく食べた獣の脂肪にはもう飽きた。私は雄牛や子羊やヤギの血を喜ばない。

2. 詩篇 51:16-17 - あなたは犠牲を喜ばないでしょう、さもなければ私はそれを捧げます。あなたは全焼のいけにえを喜ばないでしょう。神の犠牲は砕かれた精神です。打ち砕かれ悔い改めた心を神よ、あなたは軽蔑されません。

ヘブライ人への手紙 10:7 それから私は言いました、「ああ、神よ、私はあなたのご意志を行うために来ました（本の中に私のことが書かれています）」。

この箇所は、イエスが地上に来られることによって神の意志が成就されることを語っています。

1.「神の意志は常に成就する」

2.「神の意志に従う」

1. ローマ人への手紙 8:28-30 「そして、私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神がすべてのことにおいて益となるように働いてくださることを知っています。神は、その御計画に従って召された者たちに対して、神の似姿に似るようにあらかじめ定められたのです。」」

2. 詩篇 40:7-8 「それから私は言いました、「私はここに来ました、巻物に私のことが書いてあります。私の神よ、私はあなたのご意志を行いたいと思っています。あなたの律法は私の心の中にあります。」

ヘブライ人への手紙 10:8 上で彼が言ったとき、「いけにえといけにえと全焼のいけにえと罪のためのいけにえを、あなたは望まないし、それを喜ぶこともできない。法律によって提供されるもの。

主は律法で定められた捧げ物を拒否されました。

1: イエスは私たちを罪から救うために律法を成就されました。

2: 私たちはキリストを信じる信仰を通して神のもとに行くことができます。

1: ローマ 3:25-26 - イエスの犠牲が神に正しくされる唯一の方法です。

2: ヘブライ 9:14 - キリストの死は私たちの罪のための完全な犠牲でした。

ヘブライ人への手紙 10:9 それから彼は言いました、「見よ、神よ、私はあなたのご意志を行うために来ました。」彼は最初のものを取り除き、二番目のものを確立することができます。

イエスは神のご意志を実現し、古い契約を新しい契約に置き換えるために来られました。

1. イエス：神の意志の実現者

2. 新しい契約: 古い契約に取って代わる

1. ヨハネ 3:16-17 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるためにご自分の御子を世に遣わされたのではありません。」世界だけでなく、彼を通して世界を救うためです。」

2. ヘブライ人への手紙 8:6-7 「しかし実際、イエスが受けた奉仕は彼らの奉仕よりも優れており、イエスが仲介者となっている契約が古い契約よりも優れており、それはより良い約束に基づいています。最初の契約には何の問題もなかったし、別の契約を求める余地もなかったでしょう。」

ヘブライ人への手紙 10:10 私たちは、イエス・キリストのからだを一度だけ捧げることによって、その御意志によって聖化されます。

イエス・キリストの体を捧げることによって、私たちは一度だけ聖化されます。

1: 私たちはイエス・キリストの究極の犠牲によって神聖なものとされ、救いの賜物を与えられました。

2: 私たちは、イエスの体が私たちを永遠に聖化するために永遠の犠牲として捧げられたことを知ることで確信を持つことができます。

1: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

ヘブライ人への手紙 10:11 そして、すべての祭司は毎日立って奉仕し、しばしば同じいけにえをささげますが、それは決して罪を取り除くことはできません。

ヘブライ人への手紙 10 章 11 節の聖句では、祭司は毎日犠牲をささげますが、その犠牲は罪を取り除くことはできないと教えています。

1: 私たちは神への生きたいけにえとして自分の命を捧げるように召されています。

2: 犠牲によって私たちの罪を取り除くことはできないので、私たちは神を敬うような生き方をするよう努めなければなりません。

1: ローマ 12:1-2 「ですから、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分のからだをささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい礼拝です。」この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。」

2: イザヤ書 1:16-17 「身を洗って清くなさい。あなたの悪行を私の目から消してください。間違ったことをやめてください。正しく行うことを学びましょう。正義を求めます。抑圧されている人々を守ります。父親のいない問題を取り上げてください。未亡人の訴訟を起こしてください。」

神の右に座った。

この箇所では、イエスが人類の罪のために一つの犠牲をささげ、神の右の座に着かれたことが語られています。

1: イエスのたった一度の犠牲は、今も永遠に私たちの罪をすべて覆うのに十分です。

2: 許しと永遠の命の賜物を受け取るために、私たちはイエスの犠牲を受け入れなければなりません。

1: ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2: エペソ 2:8-9 - あなたが救われたのは、恵みによる、信仰によるからです。これはあなた自身から出たものではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。そのため、誰も誇ることができません。

ヘブライ人への手紙 10:13 これからは、敵が足台にされるまで待ち続けます。

この箇所は、イエスが敵が自分の足台になることを期待していることを語っています。

1. 忍耐の力：神の約束が果たされるのを待つ

2. 信仰の勝利: 私たちの人生に対する神の計画を信頼する

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. 詩篇 37:7-9 - 主の前に静まり、辛抱強く主を待ちなさい。人々が自分のやり方で成功したとき、彼らが邪悪な計画を実行したとき、心配しないでください。怒りを慎み、怒りから立ち直りなさい。心配しないでください。それは悪につながるだけです。悪を行う者は滅ぼされるが、主に望みを持つ者はその地を受け継ぐからである。

ヘブライ人への手紙 10:14 なぜなら、神は一つのささげ物によって、聖化された者たちを永遠に完成させたからです。

イエスのたった一つの捧げ物によって、聖化された人々は永遠に完全にされたのです。

1. キリストの犠牲の力: イエスはどのようにして私たちを永遠に完全にしてくださったのか

2. 聖化の完成: イエスの捧げものによって私たちはどのようにして完全になるのか

1. ローマ人への手紙 8:1-4 - したがって、今ではキリスト・イエスにある人々が罪に定められることはありません。

2. ヘブライ人への手紙 9:11-14 - しかし、キリストが、到来した良い事柄の大祭司として現れたとき、より大きく、より完全な天幕（手で作られたものではない、つまり、この創造物で作られたものではありません）を通って、一度入ってくださいました。なぜなら、ヤギや子牛の血ではなく、ご自身の血によって、すべての人が聖所に送られ、こうして永遠の救いが確保されるからです。

ヘブライ人への手紙 10:15 聖霊もまた、私たちに対する証人です。その後、聖霊は前にこう言われたからです。

聖霊は、私たちが大胆に神の前に出ることができると証ししてくださいます。

1：「果敢に神に近づく」

2: 「キリストへの信頼の力」

1: ローマ 8:34 - 「キリスト・イエスは死んだ方であり、それ以上に復活させられた方であり、神の右におられ、まさに私たちのために執り成してくださっています。」

2: 1 ヨハネ 4:17–18 - 「これによって、私たちに対する愛が完成します。そうすれば、私たちは裁きの日に向けて確信を持つことができます。なぜなら、彼がそうであるように、この世にいる私たちも同じだからです。」愛には恐れはありませんが、完全な愛は恐れを追い出します。」

ヘブライ人への手紙 10:16 これが、その日の後にわたしが彼らと結ぶ契約である、と主は言われる、「わたしはわたしの律法を彼らの心に入れ、彼らの心の中にそれを書き記す。

神の恵みの契約は、神の律法を私たちの心と思いに書き記すことを約束しています。

1. 私たちの生活における神の契約の力

2. 従順を通じて恵みを経験する

1. エレミヤ 31:33 - 「しかし、これがわたしがイスラエルの家と結ぶ契約である。その日々の後、主は言われる、わたしはわたしの律法を彼らの内側の部分に置き、彼らの心に書き記す。そして、彼らの神となり、彼らは私の民となるであろう。」

2. 申命記 30:11-14 - 「今日わたしがあなたに命じるこの戒めは、あなたから隠されておらず、遠く離れたところにあるわけでもありません。あなたが言うべきことは天にあるわけではありません。『誰が私たちのために上っていくだろうか』「だれが私たちのために海を越えて、私たちのところに持ってきて、私たちが聞くことができるように、天に行って、私たちに持ってきてください。私たちがそれを聞いて実行できるようにするには、海の彼方でもありません。あなたが言うには誰が海を越えて私たちにそれを持ってきてくださいますか」それをするのですか？しかし、あなたの口と心の中に、あなたがそれを行うことができるという言葉があなたの近くにあります。」

ヘブライ人への手紙 10:17 そして、彼らの罪と咎を私はもう思い出すことはありません。

ヘブライ人への手紙 10 章のこの一節は、神はもはや私たちの罪や不法を覚えておられないので、神の終わりのない憐れみと恵みを思い出させます。

1: 神の絶えることのない恵み - ヘブライ人への手紙 10:17

2: 忘れられない慈悲 - ヘブライ人への手紙 10:17

1: イザヤ書 43:25 - 「わたし、つまりわたしこそが、自分のためにあなたの罪を消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者です。」

2: ミカ 7:19 - 「神は再び私たちを憐れんでくださいます。彼は私たちの不法行為を足で踏みつけるでしょう。あなたは私たちの罪をすべて海の深みに投げ込んでくださいます。」

ヘブライ人への手紙 10:18 さて、これらの罪が赦されたところでは、もはや罪のためのいけにえはありません。

ヘブライ人への手紙の著者は、神の許しが受け入れられると、罪のために動物の犠牲を捧げる必要がなくなると説明しています。

1. 許しの力: 神の救いの贈り物を受け取る方法

2. 赦免の意味：犠牲の捧げ物の重要性を理解する

1. ローマ 5:8 - しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

2. イザヤ書 53:4-5 - 確かに神は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。しかし、私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、苦しんでいると尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に受けた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちは癒されました。

ヘブライ人への手紙 10:19 ですから、兄弟たち、イエスの血によって大胆に最も聖なる所に入ってください。

この箇所は、イエスの犠牲を通して神の前に出る私たちの大胆さを語っています。

1. 神の御前における私たちの大胆さ - ヘブライ 10:19

2. イエスの血の力 - ヘブライ人への手紙 10:19

1. エペソ 3:12 - 私たちは、神において、そして神への信仰を通して、自由と自信を持って神に近づくことができます。

2. ヨハネ 10:7-9 - イエスは言われました。「はっきりと言いますが、私は羊の門です。わたしの前に来た者はみな泥棒や強盗ですが、羊たちは彼らの言うことを聞きませんでした。私は門です。私を通して入る者は誰でも救われます。彼らは出入りし、牧草地を見つけます。

ヘブライ人への手紙 10:20 新しく生きた道によって、神は私たちのためにベール、つまりご自分の肉を通して神聖化してくださいました。

1: イエスの犠牲により、私たちは神との直接のつながりと永遠の命への道を得ることができました。

2: イエスの死と復活は、イエスのうちにある新しい救いの命への扉を開きました。

1: ヨハネ 10:9 - 「わたしは門です。わたしを通して入る者はだれでも救われます。」

2: ローマ人への手紙 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。」

ヘブライ人への手紙 10:21 また、神の宮には大祭司がいる。

この箇所は、神の家に大祭司がいることの重要性について語っています。

1. 神の家における大祭司の重要な役割

2. 神の家における大祭司の意義

1. 出エジプト記 28:1 - 「それでは、イスラエルの人々の中から、あなたの兄弟アロンとその息子たちを、祭司として私に仕えるためにあなたのところに連れて来てください。アロンとアロンの息子たち、ナダブとアビフ、エレアザルとイタマルです。」

2. ヘブライ 4:14-16 - 「それ以来、私たちには天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスがいるのですから、私たちの告白を堅持しましょう。なぜなら、私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司がいるのではなく、あらゆる点で私たちと同じように誘惑を受けながらも、罪を犯していない大祭司がいるからです。そうすれば、私たちが慈悲を受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

ヘブライ 10:22 私たちは、心に悪い良心を振り払い、清い水で体を洗い、信仰を完全に確信して、真の心をもって近づきましょう。

信仰と確信をもって神に近づきましょう。

1: 清い心と清い良心

2: 自信を持って神に近づく

1: 詩篇 51:10 「神よ、わたしのうちに清い心を創造してください。そして私の中に正しい精神を新たにします。」

2: ヤコブ 4:8 「神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたに近づいてくださいます。」

ヘブライ人への手紙 10:23 揺るがずに自分の信仰告白を堅持しましょう。（彼は約束したことを忠実に守っているからです;）

神は忠実であり、必ず約束を果たされるので、クリスチャンは信仰を堅固に保つ必要があります。

1. 「信仰を堅持しなさい」

2.「神の忠実さ」

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. 1 コリント 15:58 - 「ですから、愛する兄弟たちよ、あなたがたはしっかりして、動かず、常に主の働きに精を出しなさい。あなたがたは、自分の労苦が主にあって無駄ではないことを知っているからです。」

ヘブライ人への手紙 10:24 そして、愛と善行を促すために互いに思いやりを持ちましょう。

クリスチャンは、他者を愛し、善行を行うよう努めるよう互いに励まし合うべきです。

1. 「励ましの力：愛と善行のために他人に投資する」

2. 「行動への呼びかけ: 愛と善行に向けてお互いを推進する方法」

1. ローマ人への手紙 12:10 「兄弟愛をもって互いに親切に愛し合い、敬意を持って互いに愛し合いなさい。」

2. ガラテヤ 6:10 「せっかくですから、すべての人に、特に信仰の家庭に属する人たちに善を行ないましょう。」

ヘブライ人への手紙 10:25 ある人々のように、自分たちで集まることを放棄しません。しかし、互いに励まし合っているのです。その日が近づいているのが分かると、なおさらです。

信者は、特に主の日が近づくにつれて、集まって互いに励まし合うことを怠ってはなりません。

1. 交わりの力: 団結することで信仰がどのように強化されるか

2. 共に耐える: 困難な時期でもつながりを保つ

1. 使徒 2:42-47 - 初代教会の交わりに対する取り組み

2. エペソ人への手紙 4:2-3 - キリストの体の一致の重要性

ヘブライ人への手紙 10:26 というのは、私たちが真理の知識を得た後で故意に罪を犯したとしても、罪のための犠牲はもう残されていないからです。

この箇所は、真理の知識を得た後に故意に罪を犯した場合には、それ以上の罪の犠牲は存在しないと警告しています。

1. 故意の罪の結果

2. 神の揺るぎない真実

1. 詩篇 51:3-4 「私は自分の罪を認めています。私の罪は常に私の前にあります。私はあなたに対して、あなたに対してだけです。私は罪を犯し、あなたの目にこの悪を行いました。」

2. 箴言 28:13 「自分の罪を隠す者は栄えない。しかし、告白して罪を捨てる者は憐れみを受けるであろう。」

ヘブライ人への手紙 10:27 しかし、敵対者を食い尽くすであろう裁きと激しい憤りを、ある種の恐るべき期待で見ている。

ヘブライ人への手紙 10章27節の一節は、神に従わない人々に対する裁きと激しい憤りが来ることを警告しています。

1. 恐れるな：裁きに直面したときの恵みの保証

2. 聖性の中で成長する: 主の激しい憤り

1. ローマ人への手紙 8:1-2 「ですから、キリスト・イエスにある者たち、肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は罪に定められることはありません。なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則が私を自由にしてくださったからです」罪と死の法則から。」

2. イザヤ書 26:9 「わたしは魂をもって、夜のうちにあなたを求めました。まことに、わたしの内にある霊をもって、早くあなたを求めます。あなたの裁きが地にあるとき、世の住民は義を学ぶからです。」

ヘブライ人への手紙 10:28 モーセの律法を軽蔑した者は、二人か三人の証人の下で容赦なく死んだ。

ヘブライ人への手紙 10 章 28 節の一節は、モーセの律法を拒否する者は、二人か三人の証人が彼らに不利な証言をすれば容赦なく罰せられることを明らかにしています。

1. 神の律法に従うことの重要性。

2. 神の律法に従わなかった場合の結果。

1. マタイ 5:17-20 - イエスは律法に従うことの大切さを説明します。

2. 出エジプト記 20:1-17 - 十戒が明らかになります。

ヘブライ人への手紙 10:29 神の御子を踏みにじり、契約の血を数え、それによって自分が神聖とされ、不聖なことを行った者が、どんなにひどい懲罰を受けても、ふさわしいと思われるだろうか。恵みの御霊にもかかわらず？

ヘブライ人への手紙 10章29節のこの箇所は、神の御子を踏みにじり、契約の血を無視した者が受けるであろう、より悲惨な懲罰について語っています。

1. イエスの犠牲を拒否した結果

2. 神の臨在を軽視することの代償を理解する

1. ヨハネ第一 1:7-9 - しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエス・キリストの血は私たちをすべての罪から清めます。

2. ローマ人への手紙 3:25 - 神は、その血への信仰によってなだめの者として、また神の寛容によって過去の罪の赦しのために自分の義を宣言するために、この人を立てました。

ヘブライ人への手紙 10:30 「復讐はわたしにある、わたしが報復する、と主は言われる」と言われた方をわたしたちは知っています。そして再び、主はご自分の民を裁かれるでしょう。

復讐は主だけのものであるため、主はご自分の民を裁かれます。

1. 主は私たちの正義の裁判官です

2. 復讐を自分の手で起こさないでください

1. ローマ人への手紙 12:19 - 「愛する人たち、決して自分で復讐してはなりません。神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのすること、わたしが報復する、と主は言われる。』と書いてあるからです。」

2. 申命記 32:35 - 「復讐は私のものであり、彼らの足が滑るときの報いです。彼らの災いの日は近づいており、彼らの破滅は急速に来るからです。」

ヘブル人への手紙 10:31 生ける神の手に落ちるのは恐ろしいことです。

ヘブライ 10:31 は神の聖で力強い性質を思い出させ、神の手に落ちることは恐ろしいことであることを強調しています。

1.「主への畏れ：神の力を認識する」

2. 「ただの言葉ではない：ヘブライ人への手紙 10:31 の警告に留意せよ」

1. 詩篇 33:8 - 「全地は主を恐れよ。全世界の住民はみな主を畏れ敬え。」

2. 箴言 1:7 - 「主を恐れることは知識の始まりである。愚か者は知恵と教えを軽蔑する。」

ヘブライ人への手紙 10:32 しかし、あなたがたが照らされた後、苦難との激しい戦いに耐えた昔のことを思い出してください。

信者たちは過去に光を受け、苦難に耐えました。

1. 試練や艱難を耐え忍ぶ

2. 困難な時には神の力に頼る

1. ヤコブ 1:2-3 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。

2. ペテロ第一 5:7 - 神はあなたのことを気にかけてくださっているので、すべての思い煩いを神に投げかけてください。

ヘブライ人への手紙 10:33 部分的には、あなたがたは非難と苦難によって監視の対象とされました。そして部分的には、あなたがたはそのように使われた彼らの仲間になった。

この一節は、非難や苦難を通して監視者にされること、そして同じことを経験する人々の仲間になることについて語っています。

1. 試練の最中でも変わらぬ信仰を

2. 苦しみの中でのコミュニティの力

1. コリント人への第一の手紙 10:13 - 人間にとって珍しい誘惑はあなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

2. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

ヘブライ人への手紙 10:34 なぜなら、あなたがたは、私が束縛されているときに同情し、自分の財産が損なわれることを喜んで受け入れ、自分が天にもっと良い永続する物質を持っていることを自分の中で知っていたからです。

この一節は、天国ではより大きな報いが待っていることを知って、苦しみの中でも喜びを持つことについて語っています。

1. 苦しみの中にある喜び：永遠の報酬を知ることで慰めを得る

2. 天国の実体: より良い永続的な報酬を信じること

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のような翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。彼らは歩いて気を失うことはない。

2. 詩篇 73:24-26 - あなたはご自分の助言で私を導き、その後、私を栄光に迎え入れてくださいます。私は天国にあなた以外に誰がいますか？そして、あなた以外に私が望むものは地球上に何もありません。私の肉体と私の心は衰えるかもしれませんが、神は私の心の強さであり、私の分を永遠に支えてくださいます。

ヘブライ人への手紙 10:35 ですから、大きな報いがあるあなたの自信を捨てないでください。

私たちの信仰は大きな報いを受けるので、諦めるべきではありません。

1.「信仰の報い」

2.「自信にしがみつく」

1. ヤコブ 1:12 - 「誘惑に耐えた人は幸いです。その人は、試みられるとき、命の冠を受けるでしょう。それは、主が自分を愛する者たちに約束されたものです。」

2. テモテ第二 4:7-8 - 「私はよく戦い、自分の歩みを終え、信仰を守り続けました。これから、義の冠が私のために設けられます。義なる裁き主である主は、これを私に与えられます。その日、私にそれを与えてください。それは私だけでなく、彼の出現を愛するすべての人にも与えられます。」

ヘブライ人への手紙 10:36 あなたがたには忍耐が必要であり、神のご意志を行った後、約束を受けることができるからです。

神の御心を行った後に神の約束を受け取るには忍耐が必要です。

1.「忍耐の約束」

2.「神の意志を行うことによって神の約束を得る」

1. ローマ 8:25-27 - 「しかし、目に見えないものを望むなら、私たちは忍耐強くそれを待ちます。」

2. ヤコブ 5:7-8 - 「ですから、兄弟たち、主が来られるまで辛抱してください。農夫が、早い雨と遅い雨が降るまで、大地の貴重な実りを辛抱強く待っている様子を見てください。」

ヘブライ人への手紙 10:37 まだしばらくの間、来る者は来ます、そして、遅れることはありません。

主は間もなく来られ、遅れることはありません。

1. 備えへの緊急の呼びかけ - 主はすぐに来られる

2. 救いが近づいていることを知る慰め - 主は遅らせられません

1. ペテロ第二 3:8-9 - しかし、愛する人よ、この一つのことを知らないではいけません。それは、主とともにある一日は千年と同じであり、千年は一日と同じであるということです。ある人々が怠けていると考えるように、主はご自分の約束に関して怠けているわけではありません。しかし、私たちに対しては辛抱強く、誰も滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに来ることを望んでいます。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

ヘブライ人への手紙 10:38 さて、正しい人は信仰によって生きるでしょう。しかし、誰かが後ずさりするなら、私の魂は彼を喜ばないでしょう。

義人は信仰によって生きるが、後退する人は神から喜ばれないであろう。

1. 義人は信仰によって生きる: 神の力に頼る

2. 後退しないでください: 神の計画に忠実であり続ける

1. ハバクク 2:4: 「見よ、高められたその魂は彼の中で正しくない。しかし正しい者はその信仰によって生きるであろう。」

2. ローマ 1:17: 「そこには、信仰から信仰へと神の義が明らかにされています。『義人は信仰によって生きる』と書いてあるとおりです。」

ヘブライ人への手紙 10:39 しかし、私たちは滅びに向かって後退する者ではありません。しかし、魂の救いを信じる者たちについては。

信者は一歩も引かず、むしろ自分の魂の救いにつながる信仰を持ちます。

1. 主のうちに留まれば、主はあなたの内にとどまってくださいます

2. 魂の救いを信じてしっかり立ちなさい

1. ヨハネ 15:4-7 - わたしのうちにとどまり、わたしもあなたの中にとどまってください。枝はブドウの木に留まらなければ、それ自体で実を結ぶことができないのと同じです。あなたがたがわたしのうちに留まっている以外には、それ以上はできない。

5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。わたしにつながっている者と、わたしもその人につながっており、同じように多くの実を結びます。わたしなしでは、あなたがたは何もできないからです。

2. ヤコブ 1:12 - 誘惑に耐えた人は幸いです。その人は試練を受けるとき、主が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

ヘブライ人への手紙 11 章は、「信仰の殿堂」とも呼ばれ、ヘブライ人への手紙の 11 章です。この本は信仰についての力強い解説を提供し、神への大きな信仰を示した人々の旧約聖書からの数多くの例に焦点を当てています。

第 1 段落: 著者は信仰とその重要性を定義します (ヘブライ 11:1-7)。信仰は、期待されている事柄の保証、目に見えない事柄の確信として説明されています。歴史を通じて、人々は信仰によって神から賞賛を受けてきました。著者は、神が御言葉によって宇宙を創造されたことを私たちが理解できるのは信仰を通してであると強調します。アベルの捧げ物、エノクの神との歩み、ノアの箱舟建造における従順などが、揺るぎない信仰によって神を喜ばせた例として挙げられています。

第 2 段落: 著者はさらに並外れた信仰の例を語り続けます (ヘブライ 11:8-31)。アブラハムが祖国を離れる際の従順と、将来の世代に関するイサクの祝福は、神の約束に対する彼らの揺るぎない信頼を示しています。サラ、モーセの両親、モーセ自身、ラハブなどの他の人物も、その驚くべき信仰の行為として表彰されています。彼らは、困難や不確実な状況に直面したときでも、勇気、忍耐、そして神への信頼を示しました。

第 3 段落: この章は、これらすべての忠実な人々が神への信頼を通じてどのようにして良い証を得たかを強調して終わります (ヘブライ 11:32-40)。信仰のゆえに勝利や奇跡を経験した人もいますが、迫害や苦しみに直面した人もいます。それにもかかわらず、彼らは神が備えてくださった天の都を待ち望んでいたので、揺るぎない態度を保ちました。彼らの揺るぎない信仰は、今日の信者たちが、完全な信仰の究極の例であるイエスに目を向けながら試練の中でも耐え忍ぶためのインスピレーションとなっています。

要約すれば、

ヘブライ人への手紙第 11 章では、旧約聖書の人物から数多くの例を取り上げて信仰の力と重要性を称賛しています。

著者は信仰を、目に見えない現実に対する保証と確信、つまり歴史を通じて神によって賞賛された人々によって実証されてきたものであると定義しています。

この章では、アベルの捧げものからラハブの守りに至るまで、並外れた信仰を示すさまざまな行為が詳述され、これらの人々が神への信頼を通じてどのようにして良い証を得たかが強調されています。

この章は、これらの忠実な人々が神が備えてくださった天の都を待ち望んでいたため、困難や苦しみにもかかわらずどのように耐え忍んだかを強調して締めくくられています。彼らの感動的な模範は、今日の信者たちに、試練の中でも揺るぎない信頼を示しながら、イエスに目を注ぐよう促します。これは、真の信仰の永続する力の証です。

ヘブライ人への手紙 11:1 さて、信仰は望んでいる事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。

信仰は私たちの希望を保証するものであり、目に見えないものの証拠です。

1. 私たちの生活における信仰の力

2. 不確実な時代に信仰がどのように私たちを強めるか

1. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待するでしょうか？

2. ペテロ第一 1:3-5 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神に祝福あれ！神の偉大な憐れみにより、イエス・キリストの死者の中からの復活を通して、私たちが生ける希望へと生まれ変わらせてくださいました。その相続財産は、朽ちず、汚れも、色褪せることもなく、神の力によってあなたのために天に保たれています。

終わりの時に明らかにされる救いのために、信仰によって守られているのです。

ヘブライ人への手紙 11:2 それによって長老たちは良い報告を得たからです。

長老たちは信仰によって良い報告を得ました。

1. 信仰の力 - 信仰はどのようにして霊的な事柄と世俗的な事柄の両方において良い報告をもたらすことができるか。

2. 長老たちに倣う – 私たちの生活に良い報告をもたらすために、長老たちの信仰からどのように学ぶことができるか。

1. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことによって生まれ、聞くことは神の言葉によって始まります。

2. ヤコブ 2:17-18 - それでも、信仰は、行いがなければ、それ自体で死んだものです。そうです、ある人は、「あなたには信仰があり、私には行いがある」と言うかもしれません。あなたの行いなしであなたの信仰を私に示してください。そうすれば、私は私の行いによってあなたの信仰を示します。

ヘブル人への手紙 11:3 信仰を通して、私たちは、世界は神の言葉によって形作られており、目に見えるものは実際に現れるものでできているのではないことを理解します。

私たちは信仰を通して、神が目に見えるものではなく、言葉によって世界を創造されたことを理解します。

1. 神の忠実さ: 神は決して私たちを裏切らないことを知る

2. 神の力: 神の言葉がどのように世界を創造できるか

1. エレミヤ 32:17 ああ、主なる神よ！見よ、あなたはあなたの偉大な力と伸ばした腕によって天と地を造られました。あなたにとって難しすぎることは何もありません。

2. 詩篇 33:6 主の言葉によって天は造られた。そして彼らのホスト全員が彼の口の息によって。

ヘブライ人への手紙 11:4 信仰によって、アベルはカインよりもすぐれたいけにえを神にささげ、それによって彼は義人であるという証しを得、神は彼の賜物を証ししてくださいました。そしてそれによって彼は死んでも語ります。

信仰によってアベルはカインよりも優れた犠牲をささげ、神から自分の義の証を得ました。彼は今でも墓の中から語り続けています。

1. 私たちの生活における信仰の力

2. 義にかなった人生を送る

1. ヤコブ 2:21-24 - 私たちの父アブラハムは、息子イサクを祭壇にささげたとき、行いによって義と認められたのではありませんか。信仰がその行いによってどのように成し遂げられたか、そして行いによって信仰が完全なものとなったかがわかりますか。

2. ヨハネ第一 3:12 - あの邪悪な者から出て兄弟を殺したカインとは違います。それでなぜ彼を殺したのか？自分の行いは悪であり、兄の行いは正義だったからである。

ヘブライ人への手紙 11:5 信仰によって、エノクは死を見てはならないと翻訳されました。神が彼を翻訳したため、見つかりませんでした。なぜなら、翻訳する前に、彼は神を喜ばせたという証言を持っていたからです。

エノクは神を喜ばせた信仰の男の一例です。

1: 私たちが神のために生きるとき、神は私たちが想像できないような方法で私たちに報いてくださいます。

2: 神への信仰を持つと、私たちが不可能だと思っていた扉が開かれます。

1: ヤコブ 2:17 - 「たとえ信仰が働かなかったとしても、それは孤独であり、死んだものです。」

2: マタイ 6:33 - 「しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

ヘブライ人への手紙 11:6 しかし、信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。なぜなら、神のもとに来る者は、神が真実であり、熱心に神を求める者たちに報いてくださる方であることを信じなければならないからです。

神を喜ばせるためには、信仰を持ち、神が存在し、神を求める者に報いてくださることを信じなければなりません。

1.「信仰：神を喜ばせる鍵」

2. 「熱心に神を求めなさい。神はあなたに報いてくださるでしょう」

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたはあらゆる点で神に服従しなさい、そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ローマ 10:17 - したがって、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

ヘブライ人への手紙 11:7 信仰によって、ノアはまだ見たことのない事柄について神から警告を受け、恐れを抱いて、家を救うために箱舟を準備しました。それによって彼は世を罪に定め、信仰による義の相続人となりました。

ノアは神には見えない事柄について警告され、恐れを持って行動し、家族を救うために箱舟を準備しました。彼は信仰によって世を罪に定め、義の継承者となりました。

1. 信仰の力: ノアの模範から学ぶ

2. 信仰を通して義を理解する: ノアの遺産

1. ローマ人への手紙 10:10 「人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからです。」

2. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟たち、信仰があるのに行いがない人がいたら、何の役に立つのでしょう。その信仰がその人を救えるでしょうか。兄弟や姉妹が着衣が貧弱で、毎日の食べ物にも欠けているとしたら、そして、あなたがたのうちの一人が、彼らに、「安らかに行きなさい。体を温めて満たしてください。」と言い、体に必要なものを与えないのに、それが何の役に立つのでしょう。同様に、信仰も、行いがなければ、それ自体が死んだものです。」

ヘブライ人への手紙 11:8 信仰によって、アブラハムは、後に相続財産として受け取るべき場所に出て行くように召されたとき、従った。そして彼はどこへ行ったのか分からずに出て行きました。

アブラハムは、未知の場所に行くように召されたとき、それが自分にとって何を意味するのかわからなかったにもかかわらず、神に従いました。

1. 不確実性にもかかわらず神に従う: アブラハムの信仰から学ぶ

2. 神と神の計画を信頼する: アブラハムの例

1. 創世記 12:1-4 - アブラハムに家を出て新しい地に行くようにという主の呼びかけ

2. ローマ人への手紙 4:13-17 - 神に対するアブラハムの信仰と、神の義が認められたこと

ヘブライ人への手紙 11:9 信仰によって、彼は見知らぬ国にいるかのように約束の地に滞在し、同じ約束の相続人であるイサクとヤコブと一緒に幕屋に住みました。

アブラハムは信仰の人で、家族とともに異国の地に引っ越したときも神の約束に頼りました。

1. 信仰の約束: 奇妙な状況でも神を信頼する

2. 共に住む：アブラハム、イサク、ヤコブと家族の絆

1. 創世記 12:1-4; 15:7-21 - アブラハムに対する神の約束

2. 創世記 26:1-5; 28:10-15 - アブラハム、イサク、ヤコブの約束の地への滞在

ヘブライ人への手紙 11:10 なぜなら、彼は、神がその建設者また造り主である基礎を備えた都市を探していたからです。

アブラハムは神が建てた基礎のある都市を待ち望んでいました。

1. 永遠の都におけるアブラハムの信仰

2. 神に対する私たちの希望の基盤

1. イザヤ書 26:4 - 永遠に主を信頼しなさい。主なる神において、あなたは永遠の岩を持っているからです。

2. コリント人への第二 5:1 −なぜなら、私たちの地上の家である天幕が破壊されたとしても、私たちは神から与えられた建物、つまり手で造られたものではない天に永遠の家を持っていることを知っているからです。

ヘブライ人への手紙 11:11 サラ自身も信仰によって、子を宿す力を得、年齢を過ぎてから子供を授かりました。

サラは、その約束は不可能に思えたにもかかわらず、信仰によって、高齢になっても子供を妊娠する力を与えられました。

1: 信仰は、一見不可能に見えることを克服する力を私たちに与えてくれます。

2: 神は忠実であり、たとえそれがどんなに不可能に思えても、約束を守ります。

1: ローマ人への手紙 4:19-21 - そして、信仰が弱くなかった彼は、約百歳のときに自分の体が死んでいるとは考えておらず、サラの胎内が死んでいることもまだ考えていませんでした。彼は神の約束によろめきませんでした。不信仰によって。しかし信仰は強く、神に栄光を帰していました。そして、彼が約束したとおりに演奏することもできたと完全に説得されました。

2: ルカ 1:37 - 神にとって不可能なことは何もありません。

ヘブライ人への手紙 11:12 そこで、ひとりでも死んだも同然の者が、空の無数の星のように、また海岸の無数の砂のように、そこに湧き出た。

アブラハムは死んだも同然だと考えられていましたが、神は彼の子孫が空の星や海岸の砂のように多くなると約束されました。

1. アブラハムの信仰: 神の約束の力

2. 無から有へ：信仰の力

1. ローマ人への手紙 4:17-20 - アブラハムは子孫を残すことが不可能であるにもかかわらず神を信じました

2. ヘブライ 10:22-23 - 神に近づき、神の約束をしっかり守る信仰の力

ヘブライ人への手紙 11:13 これらの人々は皆、約束を受け取ったのではなく、それを遠くに見て説得され、抱きしめ、自分たちが地上では旅人であり巡礼者であることを告白して、信仰を持って死にました。

ヘブライ人への手紙 11 章 13 節の一節は、神の約束を決して受け取らなかったが、それでも約束が果たされることを信じて信仰を持って死んだ人々について語っています。

1. 神の約束を信頼する - ヘブライ 11:13

2. よそ者として、また巡礼者として生きる - ヘブライ人への手紙 11:13

1. ローマ人への手紙 8:24-25 - この希望によって私たちは救われたからです。今、目に見える希望は希望ではありません。誰が彼の目にするものを期待するでしょうか？しかし、目に見えないものを望むなら、私たちはそれを忍耐強く待ちます。

2. ペテロ第一 2:11 - 愛する皆さん、寄留者や亡命者である皆さんに、魂に対して戦争を仕掛ける肉の情念を避けるようお勧めします。

ヘブライ人への手紙 11:14 このようなことを言う人たちは、国を求めているとはっきりと宣言しているからです。

より良い国を求める人々は、その願望を言葉で表現します。

1. 夢の実現: 信仰は目標を達成するのにどのように役立つか

2. より良い未来を信じる価値

1. 箴言 13:12 - 望みを先延ばしにすると心が病むが、満たされた願望は命の木となる。

2. 詩篇 37:4 - 主を喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いをかなえてくださいます。

ヘブライ 11:15 そして実際、もし彼らが出国した国のことを心に留めていたら、戻ってくる機会があったかもしれません。

ヘブライ人への手紙の筆者は、読者に自分たちの祖先のルーツを思い出させ、彼らには来たところへ戻る機会があったかもしれないと示唆しています。

1. 記憶の力: 私たちのルーツを受け入れる

2. 洞察と指針を得るために過去に目を向ける

1. 創世記 12:1-3 - さて、主はアブラムに言われた、「あなたをあなたの国から、あなたの親族から、あなたの父の家から出て、わたしがあなたに案内する土地へ行きなさい。」

2. ピリピ 3:13-14 - 兄弟たち、私は自分自身でそれを理解したとは思っていませんが、私がしていることは、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに手を差し伸べることです。

ヘブライ人への手紙 11:16 しかし今、彼らはより良い国、つまり天の国を望んでいます。ですから神は彼らの神と呼ばれることを恥じません。神は彼らのために都を備えておられるからです。

神の民はより良い国、天国を望んでおり、神は彼らのために都市を用意したので、彼らの神と呼ばれることを恥じません。

1. 神への信仰生活を送ることは、永遠の家への道です。

2. 神の約束は確かであり、神の忠実さは永遠です。

1. ヨハネ 14:1-3 心を騒がせてはなりません。あなたがたは神を信じています、私も信じてください。私の父の家にはたくさんの大邸宅があります。そうでなかったら、私はあなたに話したでしょう。あなたの為に場所を用意しに行きます。

2. イザヤ書 26:1 その日、この歌はユダの地で歌われるでしょう。私たちには強力な都市があります。神は城壁や防波堤に救いを定めてくださいます。

ヘブライ人への手紙 11:17 信仰によって、アブラハムは裁判にかけられたとき、イサクを差し出しました。そして、約束を受けた者は、自分の独り子を差し出しました。

アブラハムの信仰は、イサクを犠牲として捧げたときに証明されました。

1. 信仰の力: アブラハムの信仰は神への信頼をどのように証明したか

2. 犠牲の愛: 神へのアブラハムの無条件服従

1. 創世記22:1-19

2. ヤコブ2:21-23

ヘブライ人への手紙 11:18 この人についてはこう言われました、「あなたの子孫はイサクにおいてこう呼ばれるでしょう。

神はたとえそれが不可能に見えるときでも、約束を忠実に守ってくださいます。

1: 不可能な状況に直面したときの神の忠実さ

2: 人生に予期せぬことが起こったとき、神の約束を信頼する

1: 創世記 17:19 - そして神は言われた、「あなたの妻サラは確かにあなたに息子を産むでしょう。」そして、あなたは彼の名前をイサクと呼ぶでしょう。そして私は彼と永遠の契約を結び、彼の子孫との契約を確立します。

2: ローマ人への手紙 4:17-21 - (書いてあるとおり、わたしはあなたを多くの国民の父とした) 彼が信じた神の御前で、死者を生き返らせ、あたかもそうでないものを呼び起こす神を。だった。希望に反して希望を信じた人は、自分が多くの国の父になるかもしれないということを信じた。話されたことによると、あなたの子孫はそのようになります。そして、信仰が弱くなかった彼は、約 100歳のときに自分の体が死んでいるとは考えておらず、サラの子宮が死んでいるとも考えていませんでした。彼は不信仰によって神の約束によろめきませんでした。しかし信仰は強く、神に栄光を帰していました。

ヘブライ人への手紙 11:19 神は彼を死人の中からでもよみがえらせることができたと考えられています。そこから彼は彼を姿で迎え入れました。

ヘブライ人への手紙の筆者は、神がイエスを死からよみがえらせることができたことを認めています。

1: 神の力: 神はどのようにして不可能を可能にするのか

2: 復活: 神の勝利のしるし

1: ローマ 8:11 - 「しかし、もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた

方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだも生かしてくださるでしょう。」

2: ヨハネ 11:25 - 「イエスは彼女に言われた、『わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。』」

ヘブライ人への手紙 11:20 イサクは信仰によって、今後のことについてヤコブとエサウを祝福しました。

イサクは将来に関する信仰によって息子ヤコブとエサウを祝福しました。

1. 信仰の力: イサクの祝福がどのように私たちにインスピレーションを与えるのか

2. 今を生きる: イサクの祝福の意義

1. 創世記 27:27-29 - イサクのヤコブの祝福

2. 創世記 27:30-40 - イサクによるエサウの祝福

ヘブライ人への手紙 11:21 ヤコブは臨終のとき、信仰によってヨセフの息子二人を祝福しました。そして杖の先に寄りかかって礼拝した。

ヤコブは死に近づいたとき、息子たちを信仰によって祝福しました。

1. 困難な時代における信仰の力

2. 子供たちへの祝福の遺産

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. 箴言 13:22 -善人は自分の子孫に相続財産を残しますが、罪人の富は義人のために蓄えられます。

ヘブライ人への手紙 11:22 信仰によって、ヨセフは死の際、イスラエルの子らの旅立ちについて言及しました。そして彼の骨に関して戒めを与えた。

信仰の人であるジョセフは、亡くなる前にイスラエル人の出エジプトについて言及し、自分の骨について指示を与えました。

1. 信仰の力: ジョセフの模範

2. 神の御心に従う: ジョセフの最後の言葉からの教訓

1. ローマ人への手紙 1:17 - 「『義人は信仰によって生きる』と書いてあるとおり、その中には信仰による信仰から神の義が明らかにされているからです。」

2. ヨハネ 15:14 - 「わたしの命令を守るなら、あなたたちはわたしの友です。」

ヘブライ人への手紙 11:23 信仰によって、モーセは生まれたとき、両親に三か月間隠れていました。そして彼らは王の命令を恐れませんでした。

モーセは生まれて神の意志に従って隠れたとき、信仰の模範でした。

1: 神への信仰は、どんな犠牲を払っても常に私たちを危害から守ってくれます。

2: たとえ困難なときでも、私たちは神の計画を信頼し、神のご意志を行う信仰を持たなければなりません。

1: 出エジプト記 2:2-4 女は身ごもって男の子を産んだが、その子が良い子であるのを見て、三か月隠した。

2: マタイ 10:28-29 肉体を殺しても魂を殺すことができない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と肉体の両方を地獄で滅ぼすことができる方を恐れなさい。

ヘブライ人への手紙 11:24 信仰によって、モーセは成人したとき、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒否しました。

モーセは自分のアイデンティティよりも信仰を選びました。

1. 神の忠実さは常に地上のアイデンティティに優先します。

2. 神を信じることは、世俗的な願望よりも信仰を選択する強さを私たちに与えます。

1. ガラテヤ 5:1、「キリストが私たちを自由にしてくださったのは、自由のためです。ですから，しっかり立って，再び奴隷のくびきを負わないようにしてください。」

2. テモテ第二 1:7、「神は私たちに臆病の霊を与えたのではなく、力と愛と自制の霊を与えてくださったからです。」

ヘブライ人への手紙 11:25 一時的に罪の楽しみを楽しむよりも、むしろ神の民とともに苦難に苦しむことを選ぶ。

モーセは、罪による一時的な喜びを楽しむよりも、神の民とともに困難に耐えることを選びました。

1. 忠実な忍耐の力

2. 罪深い快楽の一時的な性質

1. ガラテヤ 6:9 「善行に疲れないようにしましょう。私たちが失神しなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。」

2. ローマ人への手紙 8:18 「今の苦しみは、私たちの内に現される栄光に比べれば値しないと私は考えています。」

ヘブライ人への手紙 11:26 キリストの非難を、エジプトの宝よりも大きな富とみなしました。キリストは、その報いを尊重していたからです。

キリストの非難はこの世の富よりも価値があります。彼は天からの報いを楽しみにしていました。

1. 十字架を負うことの価値

2. 永遠の報酬への投資の知恵

1. マタイ 16:24-26 – 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしについて来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。』自分の命を救う者はそれを失うであろうし、私のために自分の命を失う者はそれを見つけるであろう。全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、人に何の得があるでしょうか？それとも、人は自分の魂と引き換えに何を与えるでしょうか？」

2. コロサイ 3:1-4 – 「もしあなたがキリストとともによみがえったのなら、上にあるもの、つまりキリストが神の右に座しておられる場所を探しなさい。地上のものではなく、上にあるものに愛情を向けてください。あなたがたは死んでおり、あなたの命はキリストとともに神の中に隠されているからです。私たちのいのちであるキリストが現れるとき、あなたがたもキリストとともに栄光のうちに現れるでしょう。」

ヘブライ人への手紙 11:27 彼は、王の怒りを恐れず、信仰によってエジプトを捨てました。目に見えない方を見るかのように耐え忍んだからです。

モーセは信仰によってエジプトを捨て、目に見えない神を見たために王の怒りにもかかわらず耐え忍びました。

1. 恐怖と逆境を克服する信仰の力。

2. 目に見えない神を信頼することの大切さ。

1. イザヤ書 26:3-4 - あなたは、あなたに心を留めている彼を完全な平安に保ってくださいます。なぜなら、彼はあなたを信頼しているからです。あなたがたは永遠に主に信頼しなさい。主にあってエホバは永遠の力だからである。

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、現在のものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のいかなる被造物も、ないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるでしょう。

ヘブライ人への手紙 11:28 彼は信仰によって、初子を滅ぼした者が彼らに触れないように、過越の祭りと血の振りかけを守りました。

モーセは信仰によって過越の食事を守り、長子を滅ぼす者がイスラエル人を傷つけないように小羊の血を振りかけました。

1. 信仰の力: モーセがどのように神を信頼してイスラエル人を自由に導いたか

2. 過越の祭りの力: 小羊の血がどのようにしてイスラエル人の救いを確保したか

1. 出エジプト記 12:12-15。21-28 - モーセはイスラエル人に過越の祭りをし、彼らの戸に小羊の血で印を付けるように指示する

2. 出エジプト記 11:1-10 - 主はモーセに、長子の死が近づいていることをファラオに警告するよう指示されました。

ヘブライ人への手紙 11:29 信仰によって、彼らは陸地を通るように紅海を通り抜けましたが、そうしようとしていたエジプト人たちは溺死しました。

信仰により、イスラエル人は紅海を陸地であるかのように渡りましたが、エジプト人は同じ試みで溺死しました。

1. 神への信仰は奇跡的な結果をもたらします。

2. 神の力を決して過小評価しないでください。

1. 出エジプト記 14:21-22 - それからモーセは海の上に手を差し伸べました。すると主はその夜ずっと強い東風で海を逆流させ、海を乾いた陸地とし、水は分けられた。

2. ヨシュア記 3:13-17 - そして、全地の主である主の箱を運ぶ祭司たちの足の裏がヨルダンの水の中にとどまるやいなや、ヨルダンの水が上から流れてくる水と遮断されるように。そして彼らは山の上に立つでしょう。

ヘブライ人への手紙 11:30 信仰によって、エリコの城壁は約七日かけて取り囲まれた後、崩れ落ちました。

信仰により、イスラエル人が7日間かけてエリコの周囲を周回したとき、エリコの城壁は崩壊しました。

1. 信仰の力: どのようにして困難を克服できるか

2. 神を信頼することの重要性

1. ヨシュア記6:1-20

2. マタイ 17:20 - 「イエスは彼らに言った、『あなたたちの信仰が小さかったためです。本当に言っておくが、からし種一粒のような信仰を持っているなら、この山に向かって『ここからあそこに移動しなさい』と言えば山は動き、あなたにとって不可能なことは何もないからだ。」

ヘブライ人への手紙 11:31 信仰によって、娼婦ラハブは斥候たちを平和に受け入れたとき、信じない者たちとともに滅びませんでした。

神へのラハブの信仰は彼女を滅びから救いました。

1: たとえ圧倒的な不利な状況に直面しても、神が私たちを救ってくださると信頼できます。

2: ラハブの信仰は、私たちに神への信仰を抱かせるはずです。

1: ヤコブ 2:25 「同様に、娼婦ラハブも、使者を受け入れて別の道に送り出したとき、行ないによって義と認められたのではありませんか。」

2: ヨシュア記 2:1-3 「さて、ヌンの子ヨシュアは、アカシアの森から二人の男を送り出し、密かに偵察させ、こう言った。『行って、その地、特にエリコを見なさい。』そこで彼らは行って、エリコの家に来た。そのことがエリコの王に告げられ、「見よ、今夜イスラエルの子らの中から人々がこの国を探索するためにここに来た」と告げられた。

ヘブライ人への手紙 11:32 これ以上何を言うべきでしょうか。というのは、ゲデオン、バラク、サムソン、エフタエのことは時間が経てば語れないからである。ダビデ、サムエル、そして預言者たちについても、

聖書には多くの忠実な信仰の英雄たちの物語が語られています。

1. 忠実な英雄：ゲデオン、バラク、サムソン、エフタイ、ダビデ、サムエル、預言者の模範を称える

2. 信仰を積極的に追求する: ゲデオン、バラク、サムソン、エフタエ、ダビデ、サムエル、預言者たちの生涯から学ぶ

1. ヤコブ 2:17-18 - 「それでも、もし信仰が働かなければ、孤独では死んだものです。そうです、人はこう言うかもしれません、あなたには信仰があり、私には行いがあります。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください、そして、わたしの行いによってわたしの信仰をあなたに示しましょう。」

2. 1 コリント 10:11 - 「さて、これらのことはすべて、例として彼らに起こった。そしてそれらは、世の終わりが来る私たちへの戒めのために書かれたのである。」

ヘブライ人への手紙 11:33 この方は、信仰によって王国を征服し、義を成し、約束を得て、獅子の口を止め、

この箇所は、信仰によって偉大なことを成し遂げた人々について語っています。

1: 信仰を持ち、勇敢であれ - ヘブライ人への手紙 11:33

2: 自分を信じれば何でもできる - ヘブライ人への手紙 11:33

1: ヤコブ 1:6 - しかし、何の動揺もせず、信仰をもって尋ねてください。なぜなら、揺れ動く者は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからである。

2: ローマ人への手紙 4:20-21 - 彼は不信仰による神の約束によろめきませんでした。しかし信仰は強く、神に栄光を帰していました。そして、彼が約束したとおりに演奏することもできたと完全に説得されました。

ヘブライ人への手紙 11:34 火の猛威を鎮め、剣の刃から逃れ、弱さの中から強くなり、戦いで勇敢になり、異国の軍勢を敗走させた。

彼らは困難な試練を耐え忍んで信仰を強くされました。

1: 信仰はあらゆる障害を克服する力を与えます

2: 弱さの中の強さ

1: イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2: ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。そして、私たちに与えられた聖霊を通して神の愛が私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

ヘブライ人への手紙 11:35 女性たちは死者を生き返らせてもらいましたが、救出を受け入れずに拷問を受けた人もいます。彼らがより良い復活を得ることができるように。

聖書の中の女性は、迫害や死に直面したときの信仰と立ち直りの例でした。

1. 逆境に直面したときの信仰の力と回復力

2. たとえ死に直面しても、より良い未来を受け入れることの大切さ

1. ヘブライ人への手紙 11:35

2. ローマ人への手紙 8:18 - 私は、この時の苦しみは、私たちの内に現されるであろう栄光と比較するに値しないと考えているからです。

ヘブライ人への手紙 11:36 また、残酷な嘲笑や鞭打ち、さらには束縛や投獄の裁判を受けた人たちもいます。

ヘブライ 11:36 は、残酷な嘲笑、鞭打ち、束縛、投獄など、信仰を持つ人々が耐える試練や苦難について語っています。

1.「信仰の勇気：逆境の中でもしっかりと立つ」

2.「神の力 最大の試練も乗り越える」

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと数えてください。

2. ペテロ第一 1:6-7 - このことであなたがたは喜んでいますが、必要に応じて今しばらくの間、さまざまな試練によって悲しんでいます。

ヘブライ人への手紙 11:37 彼らは石で打たれ、鋸で引き裂かれ、誘惑に遭い、剣で殺され、羊や山羊の皮を着て歩き回った。困窮し、苦しみ、苦しめられている。

ヘブライ人への手紙 11 章 37 節には、石で打たれたり、鋸で引き裂かれたり、誘惑されたり、剣で殺されたりするなど、信仰の民が耐えた苦難が語られています。彼らは適切な衣服や食料を持たずにさまよい、貧困に陥り、苦しみ、苦しめられました。

1. 「火によって磨かれた信仰：逆境を乗り越える」

2.「忠実な者の強さ：苦難に耐え、乗り越える」

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. ローマ人への手紙 8:35-37 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？艱難か、苦難か、迫害か、飢餓か、裸か、危険か、それとも剣か？次

のように書かれています。「あなたのために、私たちは一日中殺されています。私たちは屠殺される羊とみなされるのです。」いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神を通して、私たちは征服者以上の存在なのです。

ヘブライ人への手紙 11:38 (世は彼らにふさわしくありませんでした:) 彼らは砂漠や山々、地の穴や洞窟をさまよった。

この聖句は、自分たちが生きている世界にふさわしくなかったにもかかわらず、信仰のために極度の困難に耐えた人々について語っています。

1. 「信仰の強さ: 信じていることのために耐える困難」

2.「世界の無価値さ: 拒絶されながらも忠実に生きる」

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。川を通って、水があなたに溢れ出ることはありません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたに燃え上がることもありません。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。しかし、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完璧で完全なものになることができます。

ヘブライ人への手紙 11:39 そして、これらの人たちはみな、信仰によって良い報告を得たのですが、次の約束を受け入れませんでした。

ヘブライ人への手紙 11 章 39 節で、著者は私たちより先に行って表彰されながらも約束を受けられなかった多くの人々の信仰について説明しています。

1.「信仰の力：見ずに信じること」

2.「約束のない世界で信仰を持って生きる」

1. ローマ人への手紙 4:18-21

2. ヤコブ2:14-26

ヘブライ人への手紙 11:40 神は、私たちの外にいる人々が完全にされないように、私たちにもっと良いものを備えてくださいました。

神は私たちが完全になるためのより良い方法を備えてくださいました。

1: より良い方法 - 私たちは、自分の人生を完璧にするための神の計画に頼ることを選択できます。

2: 信仰による完全さ - 私たちは信仰をもって歩み、神の目に完全とされることを選択できます。

1: ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2: ヘブライ 12:2 - 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ます。この人は、自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。

ヘブライ人への手紙 12 章は、新約聖書のヘブライ人への手紙の 12 章です。この章では、キリスト教信仰における忍耐と忍耐のテーマに焦点を当て、スポーツのイメージを使用して、目の前に設定されたレースを走るよう信者を奨励します。

第 1 段落: この章は、目の前に設定されたレースを耐え忍んで走り抜けることができるように、妨げとなるあらゆる重荷と罪を脇に置くよう信者に勧めることから始まります。彼らは、自分たちの信仰の創始者であり完成者でもあるイエスに目を注ぐよう奨励されています(ヘブライ12:1-2)。著者はイエスの苦しみの忍耐と最終的な勝利を彼らに思い出させ、疲れたり、落胆したりしないように励ましています。

第 2 段落: 3 節から 13 節には、信者がイエスの模範を考慮し、神からの懲らしめとして苦難に耐えるよう勧められています。愛情深い父親が子供たちの利益のために懲らしめるのと同じように、神は霊的な成長と神聖さのために子供たちを懲らしめます。信者は神の懲らしめを軽蔑したり落胆したりせず、むしろそれを神の愛の証拠として見るように勧められます(ヘブライ12:5-6)。著者は彼らに、平和的な義の実を結ぶことを目指して苦難に耐えるよう勧めています。

第 3 段落: 14 節以降、すべての人々との平和と、それなしでは誰も主を見ることができない聖性を追求することが強調されています。信者は、恨みや不道徳によって自分を汚さず、むしろ自分たちの間の平和を目指して努力するよう勧められています（ヘブライ 12:14-17）。著者は、シナイ山のイスラエルのように神の声を拒否しないように警告しますが、信者たちに、彼らはシオンの山、つまり天のエルサレムに来て、そこでイエス・キリストを通して神に近づくことができると励ましています（ヘブライ 12:18-24）。この箇所は、信者がキリストを通して揺るぎない王国を受け取ったということを強調して終わります。したがって、私たちの神は焼き尽くす火であるため、彼らは敬意と畏怖の念を持って受け入れられる礼拝を捧げるべきです（ヘブライ12:25-29）。

要約すると、ヘブライ人への手紙 12 章は、レースのランナーのように信仰を貫くよう信者に勧めています。それは、神からの懲らしめとして困難に耐えながら、模範としてイエスに目を留めることを強調しています。私たちはキリストを通して神に近づくことができることを認識し、平和と聖さを追求するよう求められています。結局のところ、私たちは自分たちが揺るぎない王国に属しており、神がまだ愛情を持ってご自分の子供たちを懲らしめておられることを知り、畏敬の念を持って神を礼拝すべきであることを思い出させられます。

ヘブライ人への手紙 12:1 ですから、私たちも大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷や、いとも簡単に私たちを襲う罪を脇に置き、目の前に定められたレースを忍耐強く走り抜けましょう。

私たちは大勢の証人に囲まれているので、私たちを阻む罪と重荷を取り除き、神が私たちに与えてくださったレースを忍耐強く走らなければなりません。

1.「罪の重みを脇に置く」

2.「神様が定めたレースを忍耐強く走る」

1. 箴言 4:23 - 「何よりも自分の心を守りなさい。あなたの行動はすべて心から出てくるからです。」

2. ローマ 12:2 - 「この世の型に従うのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。そうすれば、神のご意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。それは、神の善で喜ばしい完全なご意志です。」

ヘブライ人への手紙 12:2 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見なさい。この人は、自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。

イエスは目の前に与えられた喜びのために十字架に耐え、今は神の御座の右に座っておられます。

1. 十字架の喜び: イエスの模範がどのように私たちに忍耐を促すのか

2. イエスの義: イエスは神の救いの計画をどのように実現したか

1. ピリピ 3:7-8 - しかし、私が得たものは何であれ、キリストのために損失とみなしました。確かに、私の主キリスト・イエスを知ることの計り知れない価値のゆえに、私はすべてを損失とみなします。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺し貫かれました。彼は私たちの不法行為のために打ちひしがれました。彼に与えられた懲罰は私たちに平安をもたらし、彼の傷によって私たちは癒されました。

ヘブル人への手紙 12:3 というのは、あなたがたが疲れて気を失ってしまうことのないように、自分に対して罪人たちのそのような矛盾に耐えたイエスのことを考えてください。

ヘブライ人への手紙の筆者は読者が疲れて信仰を失わないよう、罪人たちの反対に直面したイエスについて考えるよう勧めています。

1: イエスは私たちの忍耐のモデルです

2: 反対の最中でも気を失わないでください

1: ピリピ人への手紙 4:12-13 「私は、困っていることがどういうことかを知っていますし、たくさんあることがどういうことなのかも知っています。私は、十分に食べていても、お腹が空いていても、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。豊かに暮らしていても、不足していても。私に力を与えてくださる方を通して私はこれらすべてを成し遂げることができます。」

2: イザヤ書 40:28-31 - 「知らないのですか？聞いていませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は疲れたり疲れたりすることがなく、彼の理解は誰にもできません」「主は疲れた者に力を与え、弱い者に力を加えてくださる。若者でさえ疲れ、疲れ果て、つまずき、倒れる。しかし、主に望みを持つ者は力を新たにする。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立つ。」彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

ヘブライ人への手紙 12:4 あなたがたは、まだ血を流すほど抵抗して罪と闘ったことがない。

クリスチャンは、たとえ自分の命を犠牲にすることになっても、信仰を貫き、罪の誘惑に抵抗するよう奨励されています。

1. 「忍耐の力: 誘惑に打ち勝ち、最大限の可能性に到達する方法」

2. 「弟子としての代償：キリストに従うために全力を尽くす」

1. ヨブ 1:21 - 「主は与え、主は取られた。主の御名が讃美されますように。」

2. ピリピ 3:7-8 - 「しかし、私にとって得だったものは何であれ、今ではキリストのために損だと考えています。さらに、私の主キリスト・イエスを知ることの計り知れない価値のゆえに、私はすべてを損失だと考えています。キリスト・イエスのゆえに、私はすべてを失ったのです。」

ヘブライ人への手紙 12:5 また、あなたがたは、子らのようにあなたがたに語った勧めを忘れています。わが子よ、主の懲らしめを軽蔑してはならないし、主を叱責されても気を失うことはない。

ヘブライ人への手紙の著者は、主の懲らしめを軽蔑したり、正されても落胆したりしないようにと読者に勧めています。

1. 主の懲らしめ - 神の刑罰を喜んで受け入れることを学ぶ

2. 懲らしめと叱責 - 鍛錬を通じて神に近づく

1. 箴言 3:11-12 - わが子よ、主の懲らしめを軽蔑したり、主の叱責にうんざりしたりしてはいけない。主は愛する者を、父として、また喜びとする息子として叱責されるからである。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

ヘブライ人への手紙 12:6 主は愛する者のために、受け入れるすべての子を懲らしめ、鞭打たれる。

神は愛する人たちを懲らしめ、彼らに正しい道を示します。

1. 鍛錬の力: 神の愛はどのように私たちに正しい道を示してくれるのか

2. 鍛錬の強さ：神の愛はどのように私たちに力を与えるのか

1. ローマ 5:3-4 - 「それだけではなく、苦しみが忍耐を生み、忍耐が人格を生み、人格が希望を生むことを知っているので、私たちは苦しみを喜びます。」

2. 箴言 3:11-12 - 「わが子よ、主の懲らしめを軽蔑してはならない。また、主の叱責にうんざりしてはならない。主は愛する者を、父として、また喜んでいる子として叱責されるからである。」

ヘブライ人への手紙 12:7 あなたがたが懲らしめに耐えるなら、神はあなたを子らと同じように扱ってくださいます。というのは、父親が懲らしめない息子が一体何なのか？

神は私たちを愛しているので、父親が息子を懲らしめるように、私たちを懲らしめてくださいます。

1. 愛の賜物として規律を受け入れることを学ぶ

2. 神の懲らしめ: 父親としての愛のしるし

1. 箴言 3:11-12 - 「わが子よ、主の懲らしめを軽蔑してはならない。また、主の叱責にうんざりしてはならない。主は愛する者を父として、また喜んでいる子として叱責されるからである。」

2. ヤコブ 1:1-4 - 「兄弟たちよ、さまざまな種類の試練に遭遇するとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなた方は知っているからです。そして、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。完璧で完全で、何も欠けていない。」

ヘブライ人への手紙 12:8 しかし、もしあなたがたが皆が刑罰にあずかるのに懲罰を受けていないとしたら、あなたがたはろくでなしであり、息子ではありません。

すべての信者は刑罰の対象となり、刑罰を受け入れないということは、信者が真の神の子ではないことを意味します。

1. 神の鍛錬: 真の子への道

2. 懲罰の祝福: 受け入れの報いを得る

1. 箴言 3:11-12: 「わが子よ、主の懲らしめを軽んじたり、主の叱責にうんざりしたりしてはならない。主は愛する者を、父として、また喜んでいる子として叱責されるからである。」

2. ヤコブ 1:12: 「試練を受けても堅く立つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。」

ヘブライ人への手紙 12:9 さらに、私たちには、私たちを正してくれる肉の父親がいて、彼らに敬意を払ってきました。私たちはむしろ霊の父に服従して生きるべきではないでしょうか。

私たちが生きるためには、神を畏れ、神に服従しなければなりません。

1. 神の権威の力

2. 神に従う私たちの責任

1. 箴言 3:11-12 - わが子よ、主の懲らしめを軽蔑したり、主の叱責にうんざりしたりしてはいけない。主は愛する者を、父として、また喜びとする息子として叱責されるからである。

2. ローマ人への手紙 8:14-15 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。なぜなら、あなたがたは、再び恐怖に陥る奴隷の精神を受けたのではなく、養子として養子となる御霊を受け、私たちはその御霊によって「アバ！」と叫びます。父親！"

ヘブライ人への手紙 12:10 彼らは、実に数日間、自分たちの快楽のために私たちを懲らしめたのです。しかし、彼は私たちの利益のため、私たちが神の聖さにあずかれるためです。

神は私たち自身の利益のために私たちを懲らしめ、私たちが神の聖さにあずかるようにしてくださいます。

1. 「懲らしめの祝福: 神の懲らしめはどのように私たちを神に近づけるのか」

2. 「神聖さの賜物：神の鍛錬を通して神の神聖さにあずかる」

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. 箴言 3:11-12 - わが子よ、主の懲らしめを軽蔑したり、主の叱責にうんざりしたりしてはいけない。主は愛する彼を、父として、また喜ぶ息子として叱責されるからである。

ヘブライ人への手紙 12:11 さて、現在の懲らしめは喜ばしいものとは思えませんが、むしろ悲惨なものです。それでも、その後、それによって行使される者たちに、平和な義の実をもたらします。

懲らしめはその時は楽しくないように思えるかもしれませんが、後には義にかなった平和な実を結ぶことになります。

1: 義の報いを得るために人生の困難を受け入れる。

2: 神の鍛錬の結果を喜ぶ。

1: ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟し、完全になるために、忍耐がその働きを終えてください。

2: 箴言 3:11-12 - わが子よ、主の懲らしめを軽蔑したり、その叱責に憤慨したりしないでください。主は、父として愛する子として、愛する人を懲らしめられるからです。

ヘブライ人への手紙 12:12 ですから、垂れ下がっている手と弱い膝を上げなさい。

この一節は、私たちに強くなり、諦めないようにと励ましています。

1. 立ち上がって耐え忍ぶ: 信仰をもって困難を克服する方法

2. 信仰を強める：困難な時にどうやってしっかりと立つか

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者たちは力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. コリント人への第一の手紙 16:13 - 「あなたがたは気をつけなさい。信仰にしっかりと立ちなさい。人間のようにやめなさい。強くあれ。」

ヘブライ人への手紙 12:13 そして、足の不自由な者が道を外されないように、まっすぐな道を作りなさい。しかし、むしろ癒されましょう。

私たちはまっすぐで正しい道を目指して努力し、困っている人を無視するのではなく助けるべきです。

1.「義の道」

2.「足の不自由な人を助ける」

1. 箴言 14:12 - 正しいように見えても、結局は死に至る道があります。

2. ヤコブ 1:27 - 私たちの父なる神が純粋で非の打ちどころのないものとして認めている宗教は、苦しんでいる孤児や未亡人の世話をし、世によって自分自身を汚さないようにするための宗教です。

ヘブル人への手紙 12:14 すべての人々との平和と聖性を追い求めなさい。それなしには、だれも主を見ることができません。

私たちは平和と聖さを求めて努力すべきです。それがなければ誰も主を見ることができないからです。

1.神聖さは神との関係に不可欠です

2. 平和の追求は喜びへの道である

1. ペテロ第一 1:15-16 - しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたも何をするにも聖でありなさい。「わたしは聖なる者であるから、聖なる者となりなさい。」と書いてあるからである。

2. ローマ 12:18 - 可能であれば、あなた次第ですが、みんなと平和に暮らしてください。

ヘブライ人への手紙 12:15 だれも神の恵みを逃さないように、熱心に目を向けなさい。湧き出る苦い根があなたを悩ませ、それによって多くの人が汚されないように。

苦い思いがあなたの人生に入り込んで他の人を汚すことがないように、神の恵みを熱心に求めてください。

1. 苦い思いを人生に根付かせてはいけない

2. 恵みを求め、誘惑を避ける

1. エペソ人への手紙 4:26-27 - キリストによって神があなたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。

2. ヤコブ 1:14-15 - しかし、人は誰でも、自分の邪悪な欲望に引きずられ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望は妊娠した後、罪を生み出します。そして罪が大きくなると死を生み出します。

ヘブライ人への手紙 12:16 一口の肉のために長子の権利を売ったエサウのような、不品行な者、つまり不敬な者が出てはなりません。

エサウの無謀さは、世俗的な欲望に簡単に誘惑されないようにという警告として機能します。

1: 一時的な快楽のために生得の権利を放棄したエサウのようにならないでください。

2: 一時的な快楽に誘惑されて神の約束から引き離される傾向に注意してください。

1: ヤコブ 4:3-4 - あなたが求めても受け取らないのは、それを自分の楽しみに使ってほしいと願っているのが間違っているからです。

2: 2 テモテ 2:22 - 若い頃の情欲からも逃げなさい。しかし、純粋な心で主を呼び求める人々とともに、義、信仰、慈善、平和に従いなさい。

ヘブル人への手紙 12:17 なぜなら、その後、彼が祝福を受け継ぐはずだったときに、どのように拒絶されたかをあなたがたは知っているからです。彼は涙を流しながら注意深くそれを求めましたが、悔い改めの場所が見つからなかったからです。

この箇所は、エサウが心から悔い改めたにも関わらず、父イサクから求めていた祝福を受けることができなかったことを語っています。

1. 真の悔い改めの必要性: エサウの物語を考察する

2. 神の祝福を受ける方法：エサウの物語から学ぶ

1. コリント第二 7:10 - 「敬虔な悲しみは後悔のない救いに至る悔い改めを生み出しますが、世の悲しみは死を生み出すからです。」

2. ヤコブ 4:8 - 「神に近づきなさい。そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。罪人よ、手を清めよ、二心の君よ、心を清めよ。」

ヘブライ人への手紙 12:18 あなたがたは、触れられそうな山、火で焼かれる山、暗闇、暗闇、嵐に至る山に来たのではありません。

この一節は、イスラエル人がシナイ山で受けたような肉体的な試練にクリスチャンが耐える必要がなかったと語っています。

1: 私たちは肉体的な試練ではなく、生きた信仰に招かれています。

2: 私たちは物質的な契約ではなく、霊的な契約で祝福を受けています。

1: 出エジプト記 19:12-13 – モーセはイスラエル人に、彼らが耐えることになる肉体的な試練について警告しています。

2: ヘブライ 10:22 – 私たちは内なる義を生み出す信仰を持つよう招かれています。

ヘブライ人への手紙 12:19 また、ラッパの音と言葉の声が聞こえた。その声を聞いた人々は、その言葉をもう自分たちに話さないようにと懇願した。

ラッパを通して語られる神の声を聞いた人々は、その言葉をもう自分たちに語らないようにと懇願しました。

1. 神の声の力: 私たちの対応はどうあるべきか

2. 聞いて従おうという呼びかけ: ヘブライ人への手紙 12:19 から学ぶこと

1. イザヤ書 30:21 - そして、あなたの耳はあなたの後ろから、「これが道だ、あなたがたが右に曲がるときも、左に曲がるときも、そこを歩きなさい」という言葉を聞くでしょう。

2. ヤコブ 1:22 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

ヘブライ人への手紙 12:20 (彼らは、もし獣が山に触れるようなことがあれば、石で打ち殺されるか、矢で突き刺されるであろうという命令に耐えることができなかったからである。

この一節は、神が山の上からイスラエル人に語りかけ、「触らないように、さわらないと罰せられるぞ」と命じられたときの、イスラエル人たちのシナイ山に対する恐怖について語っています。

1. 主を恐れることは知恵の始まりです。

2. 神は聖であり、私たちに聖さを求めます。

1. 出エジプト記 19:12-13 - 主がシナイ山からイスラエル人に語られたとき、彼らは恐れて距離を置きました。

2. イザヤ 6:1-3 - イザヤが見た神聖な主のビジョン。

ヘブライ人への手紙 12:21 そして、その光景はあまりにも恐ろしいもので、モーセはこう言いました、「私は非常に恐れて震えています:)」

モーセはシナイ山で神の栄光を目の当たりにしたとき、恐怖を感じました。

1.「恐れるな：神への恐れを見つめる」

2.「神の力：神の栄光を体験する」

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. 詩篇 27:1 - 「主は私の光であり、私の救いです。私は誰を恐れるべきでしょうか。主は私の人生の砦です。私は誰を恐れるべきでしょうか。」

ヘブライ人への手紙 12:22 しかし、あなたがたはシオンの山、生ける神の都、天のエルサレム、そして無数の天使の一団に来ています。

ヘブライ人への手紙の著者は、生ける神の都シオン山と、無数の天使の一団が待つ天のエルサレムに来るよう読者に勧めています。

1. 天国の比類のない美しさ

2. シオン山への招待

1. 詩篇 48:1-2 「主は偉大であり、私たちの神の都で最も賞賛に値する方です。彼の聖なる山は、標高が美しく、全地の喜びである、はるか北にあるシオンの山、偉大な王の都市である。」

2. 黙示録 3:12 「勝利する者を、わたしは神の宮に柱を立てる。彼らは二度とそこから離れることはありません。わたしはそれらに、わたしの神の御名と、わたしの神の都市、わたしの神のもとから天から下って来る新しいエルサレムの名前を書き記す。そして、そこに私の新しい名前も書きます。」

ヘブライ人への手紙 12:23 天に記されている総会と長子の教会、すべての者を裁く神、そして完全にされた正しい人の霊に、

この箇所は、天に書かれている長子教会の総会について、すべての者の裁き主である神と、完全にされた義人の霊について語っています。

1. 神聖な生活を送る - キリストにおける完全さを目指して努力することの重要性

2. 天の教会 - 天に書かれている教会の重要性を理解する

1. エペソ人への手紙 4:1-3 - 私たちが召された召しにふさわしい生き方をする

2. コロサイ 3:12-17 - 新しい自分を着て、互いに愛と平和のうちに生きる

ヘブライ人への手紙 12:24 また、新しい契約の仲介者であるイエスと、アベルよりも良いことを語る振りかける血に対してもです。

ヘブライ人への手紙の著者であるイエスは新しい契約の仲介者であり、アベルの血よりも良いことを語る振りかけの血です。

1. 新しい契約の仲介者イエス - 彼の犠牲がどのように私たちに希望を与えるか

2. 振りかける血を通して語るより良いもの - イエスの犠牲に感謝する

1. 創世記 4:10 - そしてイエスは言われた、「あなたは何をしたのですか？」あなたの兄弟の血の声が地面から私に叫びます。

2. ヨハネ第一 1:7 - しかし、イエスが光の中におられるように、私たちも光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエス・キリストの血は私たちをすべての罪から清めます。

ヘブライ人への手紙 12:25 あなたがたは、語る者を拒まないように気をつけなさい。なぜなら、地上で語られた方を拒否した者たちが逃げなかったのなら、ましてや、天から語られた方から背を向けるなら、わたしたちは逃れることはできないからです。

私たちは神の言葉を拒否すべきではありません。なぜなら、地上でそれを聞いた人々が罰を逃れることができなかったとしても、天から語られる神に背を向けても、間違いなくそうすることはできないからです。

1. 神の言葉の拒絶: 危険な選択

2. 神の言葉を拒否する: その結果

1. エレミヤ 17:9-10 - 心は何よりも欺瞞的で、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。主なるわたしは心を探り、手綱を試み、すべての人にその道に従って、その行いの成果に従って与えることさえする。

2. ローマ 2:3-4 - おお、そのようなことを実践している人々を裁きながら、自分でもそれを行っているあなたは、神の裁きを逃れられると思いますか。それとも、神の親切があなたを悔い改めに導くためにあることを知らずに、神の親切、忍耐、忍耐の豊かさを過信しているのでしょうか。

ヘブライ人への手紙 12:26 そのとき、その声は地を震わせました。しかし今、彼はこう約束されました、「もう一度、わたしは地だけでなく天も震わせます。」

神は再び地と天を揺るがすことを約束されました。

1. 神の約束: 天地を揺るがす

2. 神の約束の力

1. イザヤ書 34:4 そして、天の軍勢はすべて溶け、天は巻き物のように巻き上げられる。そして、その軍勢はすべて、ぶどうの木から葉が落ちるように、またぶどうの木から落ちるイチジクのように、倒れるだろう。イチジクの木。

2. イザヤ書 13:13 それゆえ、万軍の主の怒りとその激しい怒りの日に、わたしは天を揺るがし、地はその場所から取り除かれるであろう。

ヘブライ人への手紙 12:27 そして、この言葉は、もう一度言いますが、揺るぎないものを残すために、造られたものと同じように揺るがされたものを取り除くこ

とを意味します。

ヘブライ 12章27節の著者は，この「もう一度」という言葉は，揺るがすことのできる被造物を取り除いて，揺るぎないものだけを残すことを指していると説明しています。

1. 「万物の揺れ: ヘブライ人への手紙 12:27 から何を学べるか?」

2. 「揺るぎない基礎の上に立つ: ヘブライ人への手紙 12:27 を生活の中で実践する」

1. イザヤ書 66:1-2 - 「主はこう言われる。「天はわたしの王座、地はわたしの足台である。あなたがわたしを建てる家はどこにあるのか。そしてわたしの安息の地はどこにあるのか。それらすべてのことのために」わたしの手で造った、そしてそれらのものはすべて存在する」と主は言われます。

2. マタイ 7:24-27 「ですから、わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると、雨が降り、洪水が起こり、風が吹きました」「その家は、風を吹き、たたきましたが、岩の上に建てられていたので、倒れませんでした。しかし、わたしのこれらの言葉を聞いて実行しない者は、砂の上に家を建てた愚かな人のようになるでしょう。「そして、雨が降り、洪水が来て、風が吹いてその家を打ちつけ、そしてそれは倒れた。その倒れ方は大きかった。」

ヘブライ人への手紙 12:28 ですから、私たちは動かされることのない王国を受け入れているので、敬意と敬虔な畏れを持って受け入れられるように神に仕えることができるように恵みを与えてください。

揺るぎない神の王国を受け入れるために、私たちは畏敬の念と敬虔な畏れを持って神に仕えなければなりません。

1. 敬意と神への畏れを持って生活する

2.神の国を受け入れる

1. 伝道の書 12:13 この問題全体の結論を聞きましょう。神を畏れ、神の戒めを守りなさい。これが人間の全義務だからです。

2. マタイ 6:33 しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

ヘブル人への手紙 12:29 私たちの神は焼き尽くす火だからです。

神は力強く情熱的な存在であり、私たちの心を焼き尽くしたいと望んでおられます。

1: 私たちの神は情熱の火です - ヘブライ人への手紙 12:29

2: 神の火の力 - ヘブライ人への手紙 12:29

1: 申命記 4:24 - あなたの神、主は焼き尽くす火、ねたみの神だからです。

2: 出エジプト記 24:17 - そして、主の栄光の出現は、イスラエルの人々の目には山の頂上で焼き尽くされる火のようでした。

ヘブライ人への手紙 13 章は、新約聖書のヘブライ人への手紙の 13 番目で最後の章です。この章には、信者に対するさまざまな勧告と指示が含まれており、実践的なクリスチャン生活と、愛、もてなし、従順の重要性が強調されています。

第 1 段落: この章は、兄弟愛を継続するよう信者に勧めることから始まります。知らずに天使をもてなした人もいるように、見知らぬ人にもてなしを示すことが奨励されています。著者は、信者たちは刑務所にいる人たちや虐待されている人たちを、あたかも自分自身が苦しんでいるかのように覚えておくべきだと強調しています（ヘブライ人への手紙 13:1-3）。結婚は尊重され、性的不道徳は戒められます。お金への愛よりも、自分が持っているもので満足することが強調されます(ヘブライ13:4-6)。

第 2 段落: 7 節から 17 節には、神の言葉を彼らに語った指導者たちを思い出し、彼らの生き方を信仰の模範として考えるよう勧められています。信者は、多様な教えに流されず、むしろキリストの恵みにしっかりと留まるように勧められています（ヘブル 13:8-9）。彼らは、イエスの名を通して賛美の犠牲を絶えず捧げ、他の人たちと分かち合いながら良い行いをするよう奨励されています(ヘブライ13:15-16)。霊的指導者は魂を見守り、説明をしてくれるので、霊的指導者に対する従順が強調されます。

第 3 段落: 18 節以降、著者に代わって祈りを求め、すぐに訪問できるように回復を望みます (ヘブライ 13:18-19)。著者は、イエス・キリストを通して人々とともにいてほしいという、あらゆる理解を超えた神の平和への願いを表明する祝祷で締めくくられています。彼はイタリアにいる人々（おそらく仲間の信者）に挨拶を送り、聖なる口づけをして互いに挨拶するよう勧めています。最後に、神の恵みが彼ら全員とともにあるようにと祈ります（ヘブライ人への手紙 13:20-2 5）。

要約すると、ヘブライ人への手紙 13 章には、クリスチャンとしての生活についての実践的な指示が記されています。それは、兄弟愛、見知らぬ人に対するもてなし、苦しんでいる人や投獄されている人たちへの追悼、性的不道徳を避けながら結婚を尊重することを強調しています。それは富への貪欲さよりも満足感を奨励します。この章ではまた、多様な教えの中でも恵みを堅持しながら、忠実な指導者の模範に従うことの重要性も強調しています。良い行いをし、他の人と分かち合いながら、イエスの名を通して賛美の犠牲を捧げることとともに、霊的指導者に対する従順が強調されます。著者は、彼らに代わって祈りを求めます。回復を求めます。彼らの上に神の平安を望みます。イタリアから挨拶を送ります。信者同士の相互の挨拶を促します。これは、すべての人に対する神の恵みへの願いを表しています。

ヘブライ 13:1 兄弟愛を続けましょう。

ヘブライ人への手紙の著者は、読者に兄弟愛を示し続けるよう勧めています。

1. 「愛の力: 兄弟愛をどのように証明できるか」

2. 「兄弟愛の挑戦: どうすれば愛情ある関係を育むことができるか」

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しいおきては、互いに愛しなさいということです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきです。」これによって、あなた方が互いに愛を持っているなら、すべての人々はあなた方が私の弟子であることを知るでしょう。」

2. ヨハネ第一 4:7-8 「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。」神は愛であるため、愛しない人は神を知りません。」

ヘブライ人への手紙 13:2 見知らぬ人をもてなすことを忘れないでください。それによって、気づかずに天使をもてなした人もいるからです。

見知らぬ人をもてなすことを忘れないでください。知らず知らずのうちに天使をゲストとして迎え入れている人もいます。

1. もてなしの大切さと見知らぬ人を歓迎すること。

2. もてなしをすることで、知らず知らずのうちに神の恵みをどのように広げられるか。

1. 創世記 18:1-8 - アブラハムとサラは見知らぬ三人を歓迎します。

2. ルカ 10:25-37 - 善きサマリア人のたとえ。

ヘブライ人への手紙 13:3 束縛されている人々を、彼らと結びついていることを思い出してください。逆境に苦しむ人たちも、あなたたち自身も体の中にいるのと同じです。

私たちは自分自身を思い出すのと同じように、刑務所にいる人たちや苦しんでいる人たちのことを思い出すべきです。

1. 私たちは仲間を愛し、気遣うよう求められています

2. 苦労している人や抑圧されている人たちへの思いやり

1. マタイ 25:36-40 - 「私は刑務所にいたのですが、あなたは私を訪ねてきました」

2. ローマ人への手紙 12:15 - 「喜ぶ人たちとともに喜びなさい。泣く人たちと一緒に泣きましょう。」

ヘブライ人への手紙 13:4 結婚はすべてにおいて尊いものであり、床は汚れていません。しかし、売春婦と姦通者は神によって裁かれます。

結婚は尊重されるべき神聖な制度です。性的不道徳は神によって罰されないわけではありません。

1: 結婚は神からの贈り物です。それを尊重すれば神が祝福してくれるでしょう。

2: 神は最高の裁判官です: 売春婦と姦淫者には気をつけてください

1: エペソ 5:25-33 - 夫の皆さん、キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、妻を愛してください。

2: 1 コリント 6:18-20 - 淫行から逃げてください。人が行うあらゆる罪は肉体を持たずに行われます。しかし、淫行を犯す者は自分の体に対して罪を犯します。

ヘブライ人への手紙 13:5 貪欲な会話をしないようにしましょう。そして、あなたがたが持っているようなもので満足しなさい。なぜなら、彼は言ったからです、私は決してあなたを離れず、あなたを見捨てません。

神は決して私たちを見捨てたり、見捨てたりしないと約束してくださっているので、私たちは言葉を惜しみなく持ち、自分が持っているもので満足すべきです。

1. 神の変わらぬ愛の約束

2. 争いのない世界での満足感

1. 申命記 31:6 - 強く勇敢であれ。彼らのせいで恐れたり恐れたりしないでください。あなたの神、主があなたとともに行かれます。彼は決してあなたを離れたり、見捨てたりしません。

2. ピリピ 4:11-13 - 私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。私は、どのように卑屈になるか、そしてどのように豊かになるかを知っています。どこにいても、すべてのことにおいて、満腹することと空腹であることの両方、豊かであることと欠乏に耐えることの両方を教えられています。

ヘブライ人への手紙 13:6 それは、私たちが大胆に「主は私の助け手です。人が私に何をするかを私は恐れません」と言えるためです。

神は私たちの助け手であり、私たちは人間ができることを何も恐れる必要はありません。

1: 神への信仰をもって恐怖に立ち向かう

2: 迫害に直面しても神に頼る

1: 詩篇 46:1-2 「神は私たちの避け所であり力であり、苦難のときのまさに今の助けです。ですから、たとえ地が取り除かれ、山々が海の真ん中に持ち込まれようとも、私たちは恐れることはありません。」

2: イザヤ書 41:10 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください。わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを強めます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます。」私の正義。」

ヘブル人への手紙 13:7 あなたを支配している人々、神の言葉をあなたに語った人々を思い出してください。彼らの会話の終わりを考慮すると、彼らの信仰は続きます。

神の言葉を語った人々の模範を思い出し、それに倣いましょう。

1. 模範となるべきである

2. 今日が最後の日であるかのように生きる

1. ピリピ 3:17 - 兄弟姉妹の皆さん、私に倣い、あなたが私たちに示してくださった模範に従って生きている人たちを観察してください。

2. ヤコブ 4:14 - 明日何が起こるかさえわかりません。あなたの人生は何ですか？あなたは一瞬現れて消える霧です。

ヘブライ人への手紙 13:8 イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に同じです。

イエス・キリストは常に不変です。

1: 神は真実です - 私たちは神の約束を信頼し、神の確固たる性格を信頼することができます。

2: 神は変わらない - 神のご性質は昨日も今日も永遠に同じです。

1: イザヤ書 40:8 - 草は枯れ、花はしぼむが、私たちの神の言葉は永遠に残る。

2:1ペテロ1:25 ーしかし、主の言葉は永遠に残ります。そしてこの言葉はあなたに宣べ伝えられた良い知らせです。

ヘブライ 13:9 いろいろなことや奇妙な教義に振り回されてはなりません。心が優雅に確立されるのは良いことだからです。肉についてはそうではありません。そこで占領されている人々には利益がありませんでした。

ヘブライ人への手紙の著者は、外部の規制を気にするよりも恵みのうちに確立される方が良いので、さまざまな教えに振り回されないように読者に勧めています。

1. 神の恵みは律法主義よりも大きい

2. 神の恵みの中で心を確立する

1. ガラテヤ 5:1-4 - したがって、キリストが私たちを自由にしてくださった自由の中にしっかりと立ち、再び奴隷のくびきに絡めとられてはいけません。

2. ローマ人への手紙 8:1-2 - したがって、キリスト・イエスにある者たち、つまり肉に従ってではなく御霊に従って歩む者たちには、今は何の非難もありません。

ヘブライ人への手紙 13:10 私たちには祭壇がありますが、幕屋に仕える彼らには食べる権利がありません。

この箇所は、幕屋に仕える者と祭壇を持つ者との分裂を強調しています。

1. 忠実な者の特権: 幕屋に仕える者と祭壇を持つ者の違いを探る

2. 祭壇の重要性: 祭壇へのアクセスの重要性を理解する

1. コリント人への第一の手紙 10:18 - 「見よ、肉に従うイスラエル。犠牲を食べる者は祭壇にあずかる者ではないのか。」

2. 出エジプト記 24:4-8 - 「モーセは主の言葉をすべて書き記し、朝早く起きて、丘の下に祭壇を築き、イスラエルの十二部族に応じて十二本の柱を立てた。」

ヘブライ人への手紙 13:11 罪のために大祭司によって聖所にその血がもたらされた獣の体は、宿営の外で焼かれるからです。

大祭司が犠牲動物の血を罪の聖所に持ち込んだ後、犠牲動物の遺体が宿営の外で焼かれることが記載されています。

1: 私たちは、私たちを罪から救ってくれたイエスの犠牲とその憐れみに感謝すべきです。

2: 私たちは、旧約聖書における犠牲制度の重要性と、それがイエスの完全な犠牲をどのように示しているかを認識する必要があります。

1: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: イザヤ書 53:4-5 - しかし、彼を打ち砕いて苦しませるのは主のご意志でした。主は彼の命を罪の捧げ物とされますが、彼の子孫を見て、彼の寿命を延ばします。主は御手の中で栄えます。

ヘブライ人への手紙 13:12 そこで、イエスも、ご自分の血で民を聖別するために、門のないところで苦しみました。

イエスが人々を聖化するために自らを犠牲にしたことは、自己犠牲の究極の例です。

1: イエスの究極の自己犠牲の例。

2: イエスの犠牲の意義。

1: マルコ 10:45 - 人の子ですら、仕えるために来たのではなく、仕え、多くの人の身代金として自分の命を与えるために来たのです。

2: ヨハネ 15:13 - 友人のために命を捨てること以上に大きな愛はありません。

ヘブル人への手紙 13:13 そこで、私たちは彼の非難を耐えながら、陣営の外で彼のところへ出て行きましょう。

ヘブライ人への手紙の著者は読者に、イエスの非難を受け入れ、宿営を離れてイエスのもとに行くよう勧めています。

1: イエスの非難を受け入れ、この世の価値観を拒否する

2: イエスの非難に耐え、神の真理を擁護する

1: イザヤ書 53:3-5 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2: マタイ 10:39 - 自分の命を見つける者はそれを失います。そして、私のために自分の命を失う者はそれを見つけるでしょう。

ヘブライ人への手紙 13:14 ここには、継続する都市はありませんが、私たちは来るべき都市を求めています。

信者たちは決して滅びることのない天上の都市を待ち望んでいます。

1.「私たちは天国の家を探しています」

2. 「地上の安全なしで生きる」

1. コリント人への第二 5:1-4 −なぜなら、私たちは、この幕屋という地上の家がなくなっても、私たちは神の建物、手で造ったものではない永遠の家を天に持つことを知っているからです。

2. 黙示録 21:1-2 - そして、私は新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は過ぎ去ったからである。そして海はもうありませんでした。そして私ヨハネは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように準備されて、神のもとから天から降りてくるのを見ました。

ヘブライ人への手紙 13:15 ですから、私たちは、この方によって、賛美の犠牲を絶えず神にささげ、すなわち、御名に感謝する唇の実をささげましょう。

賛美の犠牲は神への捧げ物であり、継続的にささげられるべきです。

1. 賛美の犠牲: 神への捧げ物 2. 神に感謝する: 賛美の行為

1. 詩篇 100:4-5 感謝をもって神の門に入り、賛美とともにその宮廷に入りなさい。彼に感謝してください。彼の名を祝福してください！2. コロサイ 3: 15-17 そして、キリストの平和があなたがたの心を支配しなさい。あなたがたはまさに、一つの体としてその平和に召されているのです。そして感謝しましょう。キリストの言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め合い、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いましょう。

ヘブル人への手紙 13:16 しかし、善を行い、コミュニケーションをとることを忘れてはなりません。そのような犠牲を払って、神は大いに喜ばれるからです。

善を行い、他の人に与えることは神に喜ばれます。

1: イエスの同情心と寛大さの模範は、何が神に喜ばれるかを思い出させます。

2: 他人に優しさを示し、与えることは神に敬意を払う方法です。

1: 使徒 10:38、「神はナザレのイエスに聖霊と力を注いで、善を行い、悪魔に抑圧されているすべての人々を癒して回った。神は共におられたからである。」

2: ガラテヤ 6:10、「ですから、機会があれば、すべての人、特に信仰の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

ヘブライ人への手紙 13:17 あなたを支配している者たちに従い、服従しなさい。彼らは、罪を償わなければならない者たちと同じように、あなたがたの魂が悲しみではなく喜びをもってそれを行えるように見守っているからです。それはあなたにとって利益がないからです。。

私たちは霊的指導者に従い、服従すべきです。なぜなら、彼らは私たちの魂に責任を持ち、私たちの世話について説明してくれるからです。

1. 霊的権威に従うことの重要性

2. 神が定めた指導者を支援する喜び

1. ペテロ第一 5:5、「同じように、年下の者たちも、長老に従いなさい。そうだ、あなたがたは皆、互いに服従し、謙虚さを身に着けなさい。神は高慢な者に抵抗し、謙虚な者に恵みを与えられるからである。」

2. イザヤ書 9:6-7、「私たちに子が生まれ、息子が与えられます。そして政府はその肩にあります。そしてその名は素晴らしいと呼ばれます、相談者、力強い神、永遠のもの父よ、平和の君。ダビデの王座とその王国に、彼の政府と平和の拡大については終わりがなく、それを命令し、裁きと正義をもってそれを確立することは、今後も永遠に続くであろう。万軍の主の熱意がこれを成し遂げるであろう。」

ヘブライ 13:18 私たちのために祈ってください。私たちは自分が正しい良心を持っていると信じており、何事においても正直に生きたいと思っています。

私たちは、誠実に生きようとし、正しい良心を持っている人たちのために祈るべきです。

1. 祈りの力: 祈りを使って意欲的で正直な人をサポートする

2. 良心の重要性: 誠実さと正直さを持って生きる

1. 箴言 11:3 (正しい者の誠実は彼らを導きますが、不実な者の曲がったことは彼らを滅ぼします。)

2. ペテロ第一 3:16 (そうすれば、あなたが中傷されたときに、キリストにあるあなたの善行をののしる人々が恥をかくことができるよう、正しい良心を持ちなさい。)

ヘブライ人への手紙 13:19 しかし、私はむしろそうするようにお願いします。

ヘブライ人への手紙の筆者は、すぐに戻ってくることができるように、読者に何かをするよう勧めています。

1: 正しいことを行えば、神はあなたに報いてくださいます。

2: 私たちが良いことをするために団結するとき、神は私たちを祝福してくださいます。

1: ローマ人への手紙 12:10-13 - 兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いましょう。名誉を示すという点でお互いに勝りましょう。

2: ガラテヤ 6:9-10 - そして、良いことをすることに飽きないようにしましょう。あきらめなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。それでは、機会があれば、すべての人に、特に信仰の家族に属する人たちに善を行いましょう。

ヘブライ人への手紙 13:20 さて、平和の神は、永遠の契約の血によって、あの偉大な羊飼いである私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせ、

平和の神は、永遠の契約を通して偉大な羊飼いであるイエスを復活させます。

1: 私たちは神の永遠の平和契約に頼ることができます。

2: イエスは私たちの偉大な羊飼いであり、私たちは彼の永遠の契約を信頼することができます。

1: イザヤ書 53:5-6 「しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。彼は私たちの罪のために傷つきました。」そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。私たち羊のような者は皆、道に迷ってしまったのです。私たちはすべての人を自分の道に向けました。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせた。」

2: エレミヤ 32:40 「そして、わたしは彼らと永遠の契約を結びます。彼らから離れず、彼らに善を施します。しかし、私は彼らの心に私の恐れを植え付け、彼らが私から離れないようにするでしょう。」

ヘブライ人への手紙 13:21 イエス・キリストを通して、神の御心にかなうことをあなたの内で働き、神のご意志を行うためにあらゆる善い業においてあなたを完全にしなさい。誰に永遠に栄光がありますように。アーメン。

神は私たちに神に仕え、神のご意志を行うよう呼びかけておられ、イエス・キリストは私たちにそうする力を与えてくださいます。

1. 神聖で神に喜ばれる人生を送る

2. 私たちの生活におけるイエス・キリストの力

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、何をするにしても、すべて主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。

2. ピリピ 4:13 - 私を強めてくださる方を通して、私は何でもできるのです。

ヘブライ人への手紙 13:22 兄弟たち、私はあなたがたにお願いします。勧めの言葉を受け入れてください。私はあなたがたに短い言葉で手紙を書いたからです。

ヘブライ人への手紙 13章22節の著者は、少ない言葉で読者に手紙を書き、その勧めに耳を傾けるよう勧めています。

1. 少ない言葉の力: 賢く話すことを学ぶ

2. 聞くことの祝福: 勧めの言葉に耳を傾ける

1. 箴言 10:19 - 多くの言葉の中で罪を望まない。しかし、口を控える者は賢い。

2. コロサイ 4:6 - すべての人にどのように答えるべきかを知ることができるように、あなたのスピーチは常に優雅で、塩で味付けされていてください。

ヘブライ人への手紙 13:23 私たちの兄弟テモテが釈放されたことをあなたがたは知っています。もし彼がすぐに来たら、私はあなたに会いましょう。

私たちの兄弟テモテは釈放され、近いうちに私たちを訪ねてくるかもしれません。

1. 団結の自由: 他者のサポートで強さを見つける

2. 新しい章: 変化の機会を受け入れる

1. ローマ人への手紙 8:31 - 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか？」

2. エペソ人への手紙 4:2-3 - 「[2] あらゆる謙虚さと優しさ、忍耐をもって、愛をもって互いに忍び合い、[3] 平和のきずなにおいて御霊の一致を維持することに熱心です。」

ヘブライ人への手紙 13:24 あなたを支配しているすべての人々とすべての聖徒たちに敬意を表します。イタリアの彼らはあなたに敬意を表します。

ヘブライ人への手紙の著者は、権威者やすべての聖徒たちに挨拶するよう読者に勧め、イタリアの人々も挨拶を送っていることを伝えています。

1.「権威ある人たちへの挨拶」

2.「すべての聖徒たちに愛を示す」

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. ペテロ第一5:5-7

ヘブライ人への手紙 13:25 恵みが皆さんとともにありますように。アーメン。

ヘブライ人への手紙の著者は、神の恵みがすべての人とともにあることを読者に思い出させます。

1.「恵みの力」

2.「神の恵みの祝福」

1. エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたのです。これはあなたが自分でしたことではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」

2. ヨハネ 1:17 - 「律法はモーセを通して与えられ、恵みと真理はイエス・キリストを通して与えられたからです。」

ヤコブ 1 章は、新約聖書のヤコブの手紙の最初の章です。この章では、クリスチャン生活における試練、知恵、忍耐などのさまざまなトピックを扱います。

第 1 段落: この章は、試練に耐えることの価値を強調し、それを成長の機会として考えることから始まります。信者たちは、さまざまな試練に直面したとき、それをすべて喜びとみなすように勧められています。なぜなら、それは忍耐を生み出し、最終的には成熟につながるからです（ヤコブ 1:2-4）。著者は、知恵のない人は、とがめられることなく惜しみなく知恵を与えてくださる神に尋ねるべきであると強調しています。しかし、彼らは疑うことなく信仰をもって求めなければなりません。なぜなら、二心のある人は主から何も与えられることを期待すべきではないからです(ヤコブ1:5-8)。

第 2 段落: 9 節から 18 節では、謙虚さと満足感が強調されています。世の富は一時的なものであるため、身分の低い兄弟は自分の高揚を誇るように勧められますが、金持ちは屈辱を誇るべきです。信者たちは、罪と死につながる可能性のある欲望にだまされないよう警告されています（ヤコブ 1:12-15）。むしろ、すべての良い賜物は、移り変わる影のように変わらない神から来ます。神は真理の言葉によって私たちを生み出し、私たちが神の被造物の中で初穂のようなものとなるようにしてくださいました(ヤコブ1:16-18)。

第 3 段落：19 節以降、信者に対して、「聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅い」という勧めがあります。人間の怒りは正義を生み出しません。したがって、信者は、自分の魂を救うことができる植え付けられた言葉を柔和に受け入れながら、すべての汚れと蔓延する悪を遠ざけるように促されています（ヤコブ 1:19
- 21）。この章は、単に神の言葉を聞くのではなく、積極的な従順を呼びかけて終わります。真の宗教には、自分自身を世から汚さないようにしながら、苦悩している孤児や未亡人を訪問することが含まれます（ヤコブ 1:22-27）。この聖句は、試練を耐え忍ぶこと、忠実に神からの知恵を求めること、世俗的な地位に関係なく謙虚さと満足感を実践すること、神の御言葉の前での柔和さによって言葉と怒りを制御することの重要性を強調しています。

ヤコブ 1:1 神の僕、主イエス・キリストの僕ヤコブが、海外に散らばっている十二部族の皆さんに挨拶しています。

神と主イエス・キリストの僕であるヤコブが、世界中に散らばっているイスラエルの12部族に挨拶を送ります。

1. ヤコブの例に従い、心を尽くして神に仕えましょう。

2. 違いにもかかわらず、私たちは皆、神への愛で団結した一つの家族の一員です。

1. ローマ 12:10 - 愛をもって互いに献身的に尽くしなさい。自分よりもお互いを尊重しましょう。

2. コロサイ 3:12-14 - したがって、神に選ばれた聖なる民として、心から愛されている者として、同情心、優しさ、謙虚さ、優しさと忍耐を身に着けてください。お互いに忍耐し、誰かに対して不満を抱いている人がいたら許し合いましょう。主があなたを赦してくださったように、赦してください。そして、これらすべての美徳の上に愛がかぶせられ、それがそれらすべてを完全な統一に結びつけます。

ヤコブ 1:2 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。

この聖句は、誘惑の時にも喜びを見つけるよう信者に勧めています。

1. 試練を勝利に変える：困難な時に喜びを見つける

2. 誘惑: どうすれば苦労の中に喜びを見いだせるでしょうか?

1. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。

2. ペテロ第一 1:6-7 - このことをあなたがたは大いに喜んでいますが、今ではしばらくの間、あらゆる種類の試練で悲しみを経験しなければならなかったかもしれません。これらは、イエス・キリストが現されたときに、あなたの信仰の真正性が証明され、火によって精製されても消えてしまう金よりも価値があり、賞賛、栄光、名誉をもたらすためです。

ヤコブ 1:3 このことを知っているなら、信仰の試みには忍耐が必要です。

この聖句は、試練や艱難によって忍耐力が強化され、培われるとして、忍耐力の重要性を強調しています。

1. 「信仰において耐え忍ぶ: 忍耐がどのように私たちの忍耐を強めるか」

2.「忍耐の強さ：試練を乗り越えて成長する方法」

1. ローマ 5:3-4 「そればかりでなく、私たちは自分の苦しみを誇りに思っています。なぜなら、苦しみは忍耐を、忍耐は品性を、そして品性は希望を生み出すことを私たちは知っているからです。」

2. ヘブライ 10:36 「神のご意志を行った後に約束を受けるためには、あなたがたには忍耐が必要です。」

ヤコブ 1:4 しかし、あなたがたが完全で完全で、何も望まない者となるために、忍耐が彼女の完全な働きをしなさい。

忍耐は霊的に成長し、欠乏のない人生を達成するために不可欠です。

1: 忍耐は精神的な成熟につながる美徳です。

2: 忍耐力を養うことは、何も欠けていない完全な人生につながります。

1: ピリピ 4:12-13 - 私は、どのようにして低くされるかを知っており、どのようにして豊かになるかを知っています。いかなる状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。

2: 詩篇 37:7-8 - 主の前に静まり、辛抱強く主を待ちなさい。自分の道で繁栄する者や邪悪な策略を実行する者のことを心配しないでください。

ヤコブ 1:5 あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

ヤコブは、知恵のない人々に神にそれを求めるよう勧めています。神は叱責することなく惜しみなく与えてくださるからです。

1. 神の寛大さ: 神の知恵を受け入れることを学ぶ

2. 尋ねる知恵: ヤコブ 1:5 を私たちの生活に当てはめる

1. イザヤ書 55:6-7 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。彼が近くにいる間に彼を呼びなさい。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。彼を主に立ち返らせてください。そうすれば、彼は彼を憐れみ、私たちの神に憐れみを与えることができます。なぜなら、彼は豊かに赦してくださるからです。

2. 箴言 2:6-7 - 主は知恵を与えてくださるからです。彼の口からは知識と理解が生まれます。彼は正しい人のために健全な知恵を蓄えます。彼は誠実に歩む者にとっての盾です。

ヤコブ 1:6 しかし、何の動揺もせず、信仰をもって尋ねてください。なぜなら、揺れ動く者は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからである。

この聖句は、私たちが迷ったり、振り回されたりするのではなく、信仰と確信をもって神の助けを求めるよう勧めています。

1. 「信仰と確信に満ちた人生を送る」

2.「疑いへの誘惑に抵抗する」

1. ローマ人への手紙 4:17-21 - 神の約束に対するアブラハムの信仰は彼の義と認められました。

2. イザヤ 7:9 - 自分の信仰にしっかり立たなければ、まったく立つことはできません。

ヤコブ 1:7 その人は、主から何かを受け取るだろうと思ってはなりません。

この箇所は、主を信頼しない人には主は何も与えられないことを強調しています。

1.「主を信頼する：主の祝福を受けるために必要な態度」

2.「信仰の力: 主の祝福を解き放つ」

1. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心から主を信頼しなさい。自分の理解力に頼ってはならない。あなたのすべての道において主を認めなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。」

ヤコブ 1:8 二心のある人は、あらゆる点で不安定です。

二重の心を持っている人は、人生のあらゆる面で信頼できません。

1. 両思いにならず、自分の信念をしっかりと貫きなさい - ヤコブ 1:8

2. 両想いな人の不安定な人生 - ヤコブ 1:8

1. 箴言 11:3 - 正しい者の誠実は彼らを導きますが、不実な者の曲がったことは彼らを滅ぼします。

2. 箴言 4:23 - 心を常に警戒していてください。そこから命の泉が湧き出るからです。

ヤコブ 1:9 身分の低い兄弟は高められたことを喜びましょう。

この一節はクリスチャンに、たとえそれがどれほど謙虚なものであっても、自分の地位に喜びを見出すよう勧めています。

1. あらゆる状況において満足することの重要性について。

2. より大きなキリスト教共同体の一員であることで得られる喜びについて。

1. ピリピ 4:11-13 - 私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。

2. ローマ人への手紙 12:15-16 - 喜ぶ者たちとともに喜び、泣く者たちとともに泣きなさい。互いに同じ心を持ちなさい。高いことは気にせず、身分の低い男性には見下してください。自分自身のうぬぼれを賢明に考えないでください。

ヤコブ 1:10 しかし、金持ちは、身分が低いという点で、草の花のように過ぎ去ってしまうからです。

金持ちは、自分の富が草に咲いた花のようにあっという間に過ぎ去るので、謙虚になるでしょう。

1. 富の虚栄心: プライドがどのようにして謙虚さにつながるのか

2. 真の富を求めて：地上の所有物の無常

1. 箴言 21:20 - 「賢者の家には貴重な宝と油がある。しかし愚かな人はそれを使い果たしてしまう。」

2. 伝道者の書 5:10-11 - 「銀を愛する者は銀に満足してはならない。また、増えて豊かを愛する者も、これは虚しいことである。財が増えると、それを食べる者も増える。そして、そこに何の善があるのか」その所有者に、彼らの目で見ることを救うことができるでしょうか？」

ヤコブ 1:11 というのは、太陽は燃えるような熱を持って昇るやいなや、草は枯れ、花は散り、その流行の恵みも滅びます。同じように、金持ちもその道から消え去ってしまうのです。

この一節は、物質的な富の一時的な性質と、それがいかに永遠に続くことができないかを語っています。

1. 「富のはかなさ」- 物質的な富はつかの間で一時的なものであるという聖書の真実を探ります。

2. 「富の無常性」- 富がいかに永続的な喜びや充足を保証するものではないことを考察します。

1. マタイ 6:19-20 「自分のために、虫がさびて滅び、盗人が押し入って盗む地上に宝を蓄えてはなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさない天に宝を蓄えなさい。泥棒は侵入して盗みません。」

2. 伝道者の書 5:10 - 「お金を愛する者は、決して十分なお金を持たない。富を愛する者は、自分の収入に決して満足しない。これも無意味である。」

ヤコブ 1:12 誘惑に耐えた人は幸いです。その人は、試練を受けるとき、主が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

この聖句は、永遠の命の祝福を受けるために、試練や誘惑に耐え忍ぶことの重要性を強調しています。

1. 「忍耐の祝福: 試練に耐え、命の冠を受け取る方法」

2.「約束された報い：主を愛する者に永遠の命の祝福」

1. ローマ人への手紙 8:17 - そして、子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

2. マタイ 5:10-12 - 義のために迫害されている人々は幸いです。天の国は彼らのものだからです。わたしのために、人々があなたをののしり、迫害し、あなたに対して偽りのあらゆる悪口を言うとき、あなたがたは幸いである。喜んで、大いに喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいからです。

ヤコブ 1:13 だれも、誘惑されているとき、「私は神から誘惑されている」とは言わないでください。神が悪によって誘惑されることはあり得ませんし、人を誘惑することもありません。

神は悪をもって人を誘惑することはありませんし、神が誘惑すると考えるのは間違いです。

1. 神の力によって誘惑に打ち勝つ

2. 神に対する不当な告発に注意する

1. コリント人への第一の手紙 10:13 - 人間にとって珍しい誘惑はあなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

2. ヘブライ 2:18 - ご自身も誘惑されたときに苦しんだので、誘惑されている人たちを助けることができるからです。

ヤコブ 1:14 しかし、人は誰でも、自分の欲望から遠ざかり、誘惑されるとき、誘惑に遭います。

自分の欲望が自分を迷わせるとき、誰でも誘惑に遭います。

1. 「警戒せよ：誘惑から身を守る」

2.「私たち自身の欲望の危険性」

1. 箴言 16:18 – 高慢は滅びの前にあり、高慢な精神は堕落の前にあります。

2. ヘブライ 2:18 - ご自身も誘惑に遭われたので、誘惑されている人たちを助けることがおできになるからです。

ヤコブ 1:15 情欲がはらむと罪が生じ、罪が終わると死が生じます。

ヤコブは、罪の結果、つまり死について警告します。

1. 罪の危険性: 私たちの選択の結果を理解する

2. 従順の力: 義を通して命を見つける

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. 箴言 11:19 - 真に正しい人は命を得るが、悪を追い求める人は死に至る。

ヤコブ 1:16 愛する兄弟たち、間違えないでください。

通路：

ヤコブ 1:16-17: 「愛する兄弟たち、間違えないでください。すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来て、光の父から降りてくるものであり、彼には変化がなく、変化する影もありません。」

ヤコブは信者たちにだまされないように励まし、すべての良い完璧な賜物は決して変わらない神から来ていることを思い出させます。

1. 神の不変の愛 - 神の愛がどのように決して揺るがないのか、そしてどのようにして神の堅実さを信頼できるのかを探る

2. 神の完全さ - すべての善良で完全な賜物がどのようにして神から与えられるのか、また神の慈悲と恵みにどのように感謝すべきかを議論します。

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. 詩篇 145:8-9 - 「主は慈悲深く、憐れみ深く、怒るのが遅く、確固たる愛に満ちています。主はすべての人に慈しみ深く、その憐れみは彼の造られたすべてのものの上にあります。」

ヤコブ 1:17 すべての良い賜物とすべての完璧な賜物は上から来て、光の父から下って来ます。父には変化がなく、変わる影もありません。

神はすべての良い賜物の源であり、変わることはありません。

1: 神はあらゆる良い賜物を与えて下さる方であり、神の性格は一貫していて不変です。

2: 神が変わらぬ愛と恵みの源であることを知り、神が私たちに与えてくださった賜物を喜びなさい。

1: マラキ書 3:6 「わたしは主だから、わたしは変わらない。だから、ヤコブの子らは滅びない。」

2: ヘブル人への手紙 13:8 「イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に同じです。」

ヤコブ 1:18 神は、私たちを神の被造物の初穂のような者となるよう、ご自身の意志で真理の言葉を私たちに与えてくださいました。

神は私たちをご自身の願望から、そして神の真理をもって、神の創造の最初の部分として創造されました。

1: 神は私たちを望んでおり、その真実性をもって私たちを神の被造物の最初のものとして造られました。

2: 神はご自身の愛によって、私たちをご自身の被造物の最初のものとして創造されることを選び、ご自身の真実をもってそうされました。

1: エペソ人への手紙 2:10 「私たちは神の作品であり、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られました。神はその良い行いの中を歩むようにと、前から定めておられました。」

2: コロサイ 3:10 - 「そして、自分を創造した方に似せて知識を新たにされた新しい人を着なさい。」

ヤコブ 1:19 ですから、愛する兄弟たちよ、人はみな、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

この聖句は、私たちがもっと聞くこと、話すことを減らすこと、そして自分の感情をコントロールすることを奨励しています。

1: 「忍耐の力: 自分の感情に耳を傾け、コントロールすることを学ぶ」

2: 「速度を落とすことの祝福: 速く聞こえるようになる」

1: 箴言 12:23 - 賢明な人は知識を隠すが、愚か者の心は愚かさを公言します。

2: ヤコブ 1:5 - あなたがたのうちに知恵のない人がいるなら、その人は神に求めなさい。神はすべての人に惜しみなく与え、非難することはありません。そしてそれは彼に与えられるであろう。

ヤコブ 1:20 人の怒りは神の義を働かせないからです。

この箇所は、人間の怒りが神の義を生み出すことはできないことを強調しています。

1：「正義の力 怒りを超えて」

2: 「聖性への道：怒りの克服」

1: エペソ人への手紙 4:31-32 「すべての恨み、怒り、怒り、大声、悪口を、すべての悪意をもってあなたがたから遠ざけましょう。そして、あなたがたは互いに親切にし、心優しく、互いに許し合いなさい」たとえ神がキリストのためにあなたを赦してくださったのと同じように。」

2: 詩篇 37:8 - 「怒りをやめ、憤りを捨てなさい。悪を行うのに何の知恵も思い煩うな。」

ヤコブ 1:21 ですから、すべての汚れと余分ないたずらを捨て、あなたがたの魂を救うことができる接ぎ木された御言葉を柔和に受け入れてください。

私たちはすべての悪と邪悪を取り除き、私たちの魂を救うことができる神の言葉を謙虚に受け入れるべきです。

1.「言葉の力」

2.「不潔の結果」

1. マルコ 4:24-25 - 「そしてイエスは彼らに言った、『あなたがたの聞いていることに気をつけなさい。あなたがたが何を測るかで、それはあなたがたに測られるであろう。そして聞く者には、さらに多くのものが与えられるであろう。持っている者には、彼には与えられるであろう、そして、持っていない者には、持っているものさえも彼から取り上げられるであろう。」

2. ヨハネ 3:16-17 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神は、罪に定めるためにご自分の御子を世に遣わされたのではありません。」世界が、しかし彼を通して世界が救われるためです。」

ヤコブ 1:22 しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

自己欺瞞を避けるために、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりましょう。

1. 言葉を聞くだけでなく、言葉を実行してください

2. 行動を通じて自己欺瞞を避ける

1. マタイ 7:24-27 - 私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は皆、岩の上に家を建てた賢者のようなものです。

25 雨が降り、川が増して、風が吹いてその家を打ちつけた。しかし、岩の上に基礎があったので倒れませんでした。

2. ヤコブ 4:17 - ですから、しなければならない良いことを知っていながらそれをしない人がいるなら、それはその人にとって罪です。

ヤコブ 1:23 というのは、もしみことばを行う者ではなく聞く者がいるとしたら、その人はガラスの中で自分のありのままの顔を眺める人に似ているからです。

この箇所では、神の言葉に耳を傾けながらもそれに基づいて行動しない人を、鏡に映った自分の姿を見る人に例えています。

1. 神の言葉は私たちの魂の鏡である

2. 神の言葉の中で自分自身を見つめる

1. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、優しさ、自制です。そのようなものに対しては法律はありません。

2. ヤコブ 1:22 - しかし、自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

ヤコブ 1:24 なぜなら、彼は自分自身を見つめ、自分の道を進み、自分がどんな人間だったのかをすぐに忘れてしまうからです。

この聖句は、より良い人間になれるよう努力できるように、自分自身を正直に見つめ、自分の弱さを認識するよう勧めています。

1. 内省の力: 私たちの生活に前向きな変化をもたらす方法

2. 自己反省による障害の克服

1. フィリピ 4:8 「最後に、兄弟姉妹の皆さん、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れていること、賞賛に値することがあれば、そのようなことについて考えてください。」

2. 箴言 11:14 「導きのないところには民は倒れるが、助言者が豊富にあれば安全である。」

ヤコブ 1:25 しかし、自由の完全な律法を見つめ、その律法を継続し、忘れることを聞く人ではなく、働きを行う人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。

完全な自由の法則を見つめ、それに一貫して従い、忘れがちな聞き手ではなく仕事を実行する者となる人は、その行為において祝福されるでしょう。

1. 実行者の祝福: 完全な自由の法則に従うことで利益を得る方法

2. 忠実な服従を通じて真の自由を達成する

1. ガラテヤ 5:1 - 「キリストが私たちを自由にしてくださったのは、自由のためです。ですから、しっかりしなさい。奴隷のくびきを再び負わないでください。」

2. コロサイ 3:23-24 - 「何をするにしても、人間の主人のためではなく、主のために働くように、心を尽くしてそれに取り組みなさい。報酬として主から相続財産を受け取ることができると知っているからです。あなたが仕えているのは主キリストです。」

ヤコブ 1:26 もしあなたがたの中に、宗教的で、舌を制せずに自分の心を欺いている人がいるとしたら、その人の宗教は無駄です。

この箇所は、真の信仰を持つためには舌を制御することの重要性について語っています。

1. 舌の力: 真の信仰のために言葉をコントロールする方法

2. 真の宗教に生きる：舌を制する

1. エペソ 4:29-31 - 堕落させるような話をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く人たちに恵みを与えるために、その場に応じて築き上げるのに役立つような話だけを出してください。

2. 箴言 16:23-24 - 賢い人の心は、そのスピーチを思慮深くし、その唇に説得力を与えます。優しい言葉は蜂の巣のようなもので、心には甘さを与え、体には健康を与えます。

ヤコブ 1:27 神と父の前に汚れのない純粋な宗教とは、苦しみの中にある父のいない人ややもめを訪ね、世から汚れないようにすることです。

純粋な宗教は、困っている人を助け、世俗的な影響から汚れない状態を保つことです。

1. 純粋な人生を送ることの重要性

2. 困っている人を助ける方法

1. ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟姉妹の皆さん、真実なこと、高貴なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、称賛に値すること、優れていること、賞賛に値することがあれば、そのようなことについて考えてください。

2. イザヤ書 1:17 - 正しいことをすることを学びなさい。正義を求めます。抑圧されている人々を守ります。父親のいない問題を取り上げてください。未亡人の訴訟を起こす。

ヤコブ 2 章は、新約聖書のヤコブの手紙の第 2 章です。この章は信仰と行いのテーマに焦点を当て、真の信仰は単なる知的信念によってではなく、正しい行動によって示されることを強調します。

第 1 段落: この章は、キリスト教共同体内のえこひいきと偏りの問題を扱うことから始まります。著者は、貧しい人々を無視したり虐待したりしながら、富裕層を優遇することを強く非難します。彼は信者たちに、そのような行動は隣人を自分のように愛せよという神の命令に反していることを思い出させます(ヤコブ2:1-9)。真の信仰は偏りを示さず、すべての人を平等と敬意を持って扱います。

第 2 段落: 10 ～ 17 節では、信仰と行いとの切り離せない関係が強調されています。著者は、法律全体を遵守していても、ある点で違反した者はすべての法律を破った罪になると述べています。彼は、行いのない信仰は死んだものであると主張し、それを霊のない体に例えています（ヤコブ 2:14-17）。本物の信仰は、神の愛と義を反映する具体的な行動を生み出します。

第 3 段落: 18 節以降、信仰があると主張しながらもそれに対応する行いを持たない人々に対する直接的な挑戦があります。著者は、「あなたの行いとは別に、あなたの信仰を私に示してください。そうすれば、私の信仰を私の行いによって示します。」（ヤコブの手紙2:18b）と言って彼らに挑戦します。彼はアブラハムやラハブのような例を用いて、彼らの行動がいかに神への真の信頼を示しているかを説明しています。アブラハムがイサクを犠牲として差し出す意欲は積極的な従順を示し、スパイに対するラハブのもてなしは神への信仰を明らかにしました（ヤコブ 2:21-26）。この聖句は、真の救いの信仰は、単なる知的な同意や空虚な職業ではなく、正しい行いによって証明されることを強調しています。

要約すると、ヤコブ 2 章はキリスト教共同体内での公平性の重要性を強調し、世俗的な地位に基づくえこひいきを非難します。それは、真の信仰が義にかなった行動と切り離せないものであることを強調し、信者に対し、他者に対する愛ある行為を通じて自らの信念を示すよう求めています。それは、対応する業を持たずに信仰を持っていると主張する人々に異議を唱え、真の救いの信仰は神への信頼に根ざした積極的な従順によって証明されると断言します。

ヤコブ 2:1 兄弟たちよ、人に対する敬意に関して、栄光の主である私たちの主イエス・キリストへの信仰を持っていません。

ヤコブは信者たちに、どんな人に対しても偏見を持たずに信仰を実践するよう勧めています。

1.「栄光の主：偏見のない信仰への呼びかけ」

2.「個人を尊重せず、すべての人を祝う」

1. コリント第一 12:13 - 「というのは、ユダヤ人であろうと異邦人であろうと、奴隷であろうと自由であろうと、私たちは皆、一つの御霊によって一つの体となるバプテスマを受けており、皆一つの御霊を飲まされているのです。」

2. ガラテヤ 3:28 - 「ユダヤ人もギリシャ人もなく、絆も自由もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」

ヤコブ 2:2 というのは、もしあなたがたの集会に、金の指輪をし、立派な服装をした男が来たり、下品な服装をした貧しい男が来たりするとしたら、

この一節は、人々の外見に基づく好意について語っています。

1. 隣人を愛しなさい: えこひいきは受け入れられません

2. 信仰を実践する: 偏見を拒否する

1. ルカ 6:31 - 自分にしてもらいたいことを他の人にもしなさい。

2. ガラテヤ 5:14 - 律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」というこの 1 つの命令を守ることによって成就されるからです。

ヤコブ 2:3 そして、あなたがたは、同性愛者の服を着ている人に敬意を持って、彼にこう言いなさい。そして貧しい人たちにこう言いなさい、「あなたはそこに立っているか、あるいは私の足台の下に座っていてください。」

この一節は、裕福な人を尊重し、貧しい人を無視するという内容です。

1. 「真の豊かさ: すべての人を大切にする呼びかけ」

2.「福音の寛大さ: 困っている人に手を差し伸べる」

1. ルカ 14:12-14、「そこで、イエスは主催者に言われた、『昼食や夕食をするときは、友人、兄弟、親戚、裕福な近所の人たちを招いてはなりません。もし招いたら、彼らがあなたを招待するかもしれません』そうすればあなたがたは報われるでしょう。しかし、宴会を開くときは、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。そうすればあなたは祝福されるでしょう。彼らはあなたに報いられませんが、義人の復活のときにあなたは報われるでしょう。」」

2. マタイ 25:34-36、「その時、王は右にいる者たちに言うだろう、『来なさい、わたしの父に祝福された者たちよ、世の創造の時からあなたたちのために用意されていた王国を、あなたの相続地として取りなさい。わたしは、お腹が空いていたのにあなたは私に何か食べるものをくれた、私は喉が渇いていたのにあなたは飲み物をくれた、私は見知らぬ人だったのにあなたは家に招き入れた、私は服が必要だったのであなたは私に服を着せてくれた、私は病気だったのであなたは私の世話をしてくれた、私はそうだった刑務所にいるのに、あなたは私を訪ねて来たのです。」

ヤコブ 2:4 それでは、あなたがたは自分自身を偏っていて、悪い考えを裁いているのではありませんか。

この一節は、批判的で偽善的になることの危険性について語っています。

1: すぐに判断しないでください

2: 神の前で謙虚であれ

1: マタイ 7:1-5 「裁いてはなりません。裁かれないようにするためです。あなたが宣告する裁きによってあなたは裁かれ、あなたが用いる尺度によってそれはあなたに測られるからです。」

2: ローマ人への手紙 2:1-3 「ですから、裁く人たちよ、あなたたちには弁解の余地はありません。他人に裁きを下すとき、あなたたちは自分自身を有罪としているのです。なぜなら、裁判官であるあなたも、まったく同じことをしているからです。」

ヤコブ 2:5 聞け、愛する兄弟たち、神は信仰に富んだこの世の貧しい人々、そしてご自分を愛する人々に約束された神の国の相続人を選ばれたのではないか。

神は貧しい人々を信仰によって祝福することを選び、彼らが神を愛しているのであれば、神の王国に入れると約束されました。

1. 人生におけるあなたの立場に関係なく、神の愛は神を愛するすべての人に与えられます。

2. 神の目には私たちは皆平等であり、神はご自分を愛する人たちに報われます。

1. ガラテヤ 3:26-29 - なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって、信仰によって神の子だからです。

2. ヨハネ第一 4:7-11 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。

ヤコブ 2:6 しかし、あなたがたは貧しい人々を軽蔑してきた。金持ちたちがあなたを抑圧し、あなたを裁判の席に引きずり出すのではありませんか？

ヤコブ 2 章 6 節の一節は、金持ちがどのように貧しい人を抑圧し、裁判の席に引き渡すかについて語っています。

1. 貧しい人々を抑圧する危険性: 恵まれない人々を虐待し抑圧することの結果について。

2. 私の隣人は誰ですか? A 疎外された人々を敬意と優しさをもって扱う責任。

1. 出エジプト記 22:21-24 - 「あなたは寄留者を不当に扱ったり、抑圧してはならない。あなたがたはエジプトの地に寄留者だったからである。あなたは、やもめや父のいない子を虐待してはならない。もしあなたが彼らを虐待し、彼らが叫び声を上げたら、わたしに、わたしは必ず彼らの叫びを聞き、わたしの怒りは燃え上がり、わたしは剣であなたを殺し、あなたの妻たちは未亡人となり、あなたの子供たちは父のない者となるだろう。

2. 箴言 31:8-9 - 「口がきけない人のために、すべての貧しい人々の権利のために口を開いてください。口を開いて、正しく裁き、貧しい人々や貧しい人々の権利を守りなさい。」

ヤコブ 2:7 彼らは、あなたがたに呼ばれているそのふさわしい名前を冒涜しているのではありませんか。

この一節は、クリスチャンが呼ばれる神の名を冒涜することに対する警告です。

1.「名前の力: なぜ神の名を尊重すべきなのか」

2. 「名前の祝福: 神の御名をどのように称えることができるか」

1. イザヤ書 42:8 - 「わたしは主である。それがわたしの名である。わたしの栄光は誰にも与えず、また、彫られた偶像にはわたしの賛美を与えない。」

2. エペソ人への手紙 3:14-15 - 「このため、私は父の前にひざまずきます。天と地のすべての家族の名前は父から来ています。」

ヤコブ 2:8 もしあなたが、聖書に従って「隣人を自分のように愛さなければならない」という王法を実行するなら、それはうまくいくでしょう。

ヤコブは、隣人を自分自身のように愛するという聖書の王法を実践するよう私たちに勧めています。

1. 愛の力: 隣人を自分自身のように愛する方法

2. 王室の愛の法則: 隣人を愛することについて聖書が教えていること

1. ヨハネ第一4:7-12

2. マルコ12:28-31

ヤコブ 2:9 しかし、もしあなたがたが人に対して敬意を持っているなら、あなたがたは罪を犯し、律法を違反者であると確信していることになります。

人を尊重することが罪につながるべきではなく、そうでなければ法律が破られてしまいます。

1. 社会的地位に関係なくすべての人を尊重します

2. 互いに愛し合い、法を守る

1. エペソ人への手紙 6:9 - 主人たちも、奴隷たちを同じように扱ってください。彼らを脅さないでください。なぜなら、彼らの主人であり、あなたの主人でもある彼が天国におり、彼に好意はないことをあなたは知っているからです。

2. マタイ 22:37-39 - イエスはこう答えました。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これは第一で最大の戒めです。そして第二もこれと同じで、「隣人を自分のように愛しなさい」です。

ヤコブ 2:10 律法全体を守っていても、一点だけ違反する者は、すべての罪を犯しているのです。

無罪を保つためには法律全体が守られなければなりません。1 点で足りない場合は、すべての点で有罪となることを意味します。

1. 「完璧な基準: 法律全体を守る」

2.「義の達成：完璧を目指す」

1. マタイ 5:48 - 「天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたも完全になりなさい。」

2. ガラテヤ人への手紙 3:10-11 - 「律法の行ないはすべて呪いの下にあるからです。律法の書に書かれていることすべてに継続しない者は皆呪われていると書いてあるからです」しかし、神の前に律法によって義と認められる人は誰もいないことは明らかです。なぜなら、義人は信仰によって生きるからです。」

ヤコブ 2:11 「姦淫してはならない」と言う者は、「殺してはならない」とも言ったのである。さて、もしあなたが姦淫を犯さなかったとしても、もしあなたが人を殺したら、あなたは法の違反者になります。

この聖句は、姦淫を犯さないだけでは十分ではなく、義であり続けるためには殺してはならないことを説明しています。

1.「正しく生きる：姦淫と殺人を避ける」

2. 「神の律法: 十戒すべてに従う」

1. 出エジプト記 20:13 - 「あなたは殺してはならない。」

2. マタイ 5:27-28 - 「昔の人たちが『姦淫してはならない』と言われていたことをあなたがたは聞いています。しかし、私はあなたたちに言います。女を見て情欲を抱く者は、その女と姦淫を犯したのです。」すでに彼の心の中にある。」

ヤコブ 2:12 このように、自由の律法によって裁かれる者たちと同じように、あなたがたも語りなさい。

クリスチャンは自由の法則に従って人生を送り、自由の法則によって裁かれる方法で発言し、行動する必要があります。

1. 自由の法則: 神の意志に従って人生を生きる

2. 自由の判断: 人生における正しい選択

1. ルカ 6:46 なぜあなたがたは私を「主よ、主よ」と呼んでいるのに、私の言うことを信じないのですか。

2. ローマ 8:1-2 したがって、今ではキリスト・イエスにある人々が罪に定められることはありません。なぜなら、キリスト・イエスを通して、いのちの御霊の法則が私を罪と死の法則から解放したからです。

ヤコブ 2:13 なぜなら、憐れみを示さなかった者には、憐れみのない裁きが下されるからです。そして慈悲は裁きを喜びます。

この聖句は神の裁きと憐れみについて語っています。他人に憐れみを示す人は神から憐れみを受けますが、そうでない人は憐れみを受けません。

1. 「慈悲の人生を生きる：許しの力」

2.「神の慈悲と正義：慈悲と義のバランス」

1. ミカ 6:8 「おお、主はあなたに、何が良いことであるかを教えられました。そして、正義を行い、親切を愛し、謙虚にあなたの神と共に歩むこと以外に、主があなたに求められることは何でしょうか。」

2. エペソ人への手紙 2:4-5 「しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。恵みによってあなたは救われました」。」

ヤコブ 2:14 兄弟たち、人は信仰があると言いながら行いをしていないとしても、それが何の益になるのでしょうか。信仰は彼を救うことができるでしょうか？

ヤコブは、信仰に行動が伴わなければ何の役に立つのかと尋ねます。

1) 行いのない信仰は死んだものです、2) 私たちの行動は私たちの信仰を示します。

1) ローマ人への手紙 10:17、「ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことによって生まれます。」 2) マタイ 7:21-23、「わたしに『主よ、主よ』と言う者が皆、御国に入るわけではありません。」「主よ、主よ、私たちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊を追い出し、そして実行したのではありませんか。」あなたの名において偉大な作品がたくさんあるのですか？』そして私は彼らにこう宣言するだろう、『私はあなたのことを知らなかった、不法を働く者たちよ、私から離れなさい』。」

ヤコブ 2:15 もし兄弟や姉妹が裸で、毎日の食べ物に困っているとしたら、

この一節は、困っている人たちに物を与える必要性について語っています。

1. 「慈悲の心：貧しい人々や貧しい人々を愛し、世話すること」

2. 「善行を行う: ヤコブ 2:15 の命令を遂行する」

1. マタイ 25:35-36 - 「私はお腹が空いていたのに、あなたは何か食べるものを与え、のどが渇いていたのに、あなたは私に飲み物を与え、私は見知らぬ人でしたが、あなたは私を家に招き入れました。」

2. イザヤ書 58:6-7 - 「これは、私が選んだ断食ではありませんか。悪の束縛を解き、重荷を解き、抑圧されている人々を解放し、すべてのくびきを断つことです。飢えた人たちにパンを分け与え、追い出された貧しい人たちを自分の家に連れてくることではないでしょうか。裸を見るとき、あなたは彼を覆い、自分の肉体から身を隠さないのですか？」

ヤコブ 2:16 そして、あなたがたのうちの一人が彼らに言った、「安らかに出発し、あなたがたは暖かくなり、満たされます。それにもかかわらず、あなたは体に必要なものを彼らに与えません。それは何の利益があるのですか？

この一節は、単にお互いの無事を祈るだけでは十分ではなく、お互いに慈善と親切の行為を示すことの重要性を強調しています。

1.「すべての中で最大の贈り物：思いやり」

2.「優しさと慈悲の力」

1. ヨハネ第一 3:17-18: 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見ていても、その人に対して心を閉ざしている人がいるとしたら、どうして神の愛がその人のうちに宿るでしょうか。子どもたちよ、言葉や言葉で愛さないようにしましょう。」口では言いますが、行為と真実で。」

2. 箴言 19:17: 「貧しい人に寛大な者は主に貸します。そうすれば主はその行いに報いてくださいます。」

ヤコブ 2:17 たとえ信仰が働かなかったとしても、それは孤独であり、死んだものです。

信仰はそれだけでは十分ではなく、効果を発揮するには行動が伴わなければなりません。

1.「行いのない信仰は死んだ」

2. 「行動における信仰の力」

1. ローマ 4:20-21 - 「彼は神の約束に関して不信仰によって動揺することはなく、神には約束されたことを実行する力があると完全に確信して、信仰が強められ、神に栄光を帰しました。」

2. ヤコブ 1:22 - 「ただ御言葉に耳を傾けるだけではなく、自分を欺いてはいけません。御言葉に書かれていることを行いなさい。」

ヤコブ 2:18 そうです、ある人は、「あなたには信仰がありますが、私には行いがあります。あなたの行いなしであなたの信仰を見せてください。そうすれば、私の行いによって私の信仰を示します。」と言うかもしれません。

ヤコブは読者に、信仰が本物であることを作品を通して実証するよう要求します。

1. 信仰の力: 私たちの行動が私たちの信念をどのように証明するか

2. 信仰の証拠: 行動を通じて信念を示す

1. ローマ 10:17 - ですから、信仰は聞くことから始まり、キリストの言葉を通して聞くことになります。

2. エペソ人への手紙 2:8-10 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られたからであり、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ備えてくださったものだからです。

ヤコブ 2:19 あなたは神が唯一であることを信じています。あなたはよくやった。悪魔も信じて震えている。

唯一の神を信じることは賞賛に値しますが、人を罪の結果から救うにはそれだけでは十分ではありません。

1: 救われたいなら、私たちはイエスとその死と復活を信じなければなりません。

2: 私たちはただ神を信じるということを超えて、自分の人生の生き方の中で信仰を実践しなければなりません。

1: ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2: エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

ヤコブ 2:20 しかし、むなしい人よ、行いのない信仰は死んだものであることをあなたは知っているでしょうか。

ヤコブ 2章20節は、対応する行いのない信仰は無益であると教えています。

1.「信仰を生きる: あなたの作品があなたの信念をどのように反映しているか」

2.「信仰と行動の結びつきの重要性」

1. マタイ 7:16-20 (その実を見ればそれがわかるでしょう)

2. コロサイ 1:9-11 (主にふさわしく歩み、主を大いに喜ばせ、あらゆる良い行いで実を結びなさい)

ヤコブ 2:21 私たちの父アブラハムは、息子イサクを祭壇にささげたとき、行いによって義と認められたのではありませんか。

この箇所では、アブラハムが息子イサクを祭壇に捧げたとき、自分の行いによってどのように義とされたかについて説明しています。

1: 私たちの行動は言葉よりも雄弁です。

2: アブラハムの神への信仰と従順は、彼の行いによって証明されました。

1: ヘブライ 11:17-19 - 信仰によって、アブラハムは試みられたとき、イサクを差し出し、約束を受けた者は自分の独り子を差し出しました。

2: 創世記 22:1-18 - アブラハムは主に従い、息子イサクを犠牲として捧げました。

ヤコブ 2:22 信仰がその行いによってどのように成し遂げられたか、そして行いによって信仰が完全になったかわかりますか。

ヤコブ 2 章 22 節は、信仰と行いは連動する、つまり信仰は良い行いを伴ってこそ完全になる、と教えています。

1.「信仰と行い：完璧を目指して協力する」

2.「忠実な行動の力」

1. ローマ 4:20-21 - 「不信仰によって神の約束に関して動揺することはありませんでしたが、神に栄光を帰すにつれて信仰が強くなり、神は約束したことを実行できると完全に確信しました。」

2. ヘブライ人への手紙 11:17-19 - 「信仰によって、アブラハムは試みられたとき、イサクを差し出しました。そして、約束を受けた者は、自分の独り子を差し出す行為をしていたのです。その息子については、『イサクを通して』と言われました」あなたの子孫には名前が付けられますか。』彼は、神は自分を死者の中から蘇らせることさえでき、比喩的に言えば、実際に自分を死者の中から受け入れてくれたと考えていた。」

ヤコブ 2:23 そして、次の聖書の言葉が成就した。「アブラハムは神を信じたので、それが彼の義とみなされた。そして彼は神の友と呼ばれた」。

アブラハムは神を信じたときに神から義を与えられ、「神の友」という称号を与えられました。

1. 信仰の力: アブラハムと神との関係に関する研究

2. 義の祝福: アブラハムに対する神の愛を理解する

1. 創世記 15:6 - そして彼は主を信じた。そして彼はそれを義とみなした。

2. イザヤ書 41:8 - しかし、イスラエルよ、あなたは私の僕、私の選んだヤコブ、私の友人アブラハムの子孫です。

ヤコブ 2:24 それで、人は信仰だけによってではなく、行いによってどのように義とされるかがわかります。

ヤコブは、救いは信仰だけではなく善行によって得られると教えています。

1. 救いを達成するには良い行いが必要である

2. 信仰と行いの重要性

1. ローマ 2:13 - 「律法を聞く人が神の前に義とされるのではなく、律法を行う人が義とされるのです。」

2. エペソ 2:10 - 「私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られました。神は、私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。」

ヤコブ 2:25 同様に、娼婦ラハブも、使者を受け入れ、別の方法で送り出したとき、行ないによって義と認められたのではなかったか。

娼婦ラハブは神の使者を守ったとき、その行いによって義と認められました。

1. 行いのない信仰は死んだ

2. 行動を起こすことの大切さ

1. ヘブライ 11:31 - 「信仰によって、売春婦ラハブは不従順な者たちとともに滅びませんでした。彼女はスパイたちを友好的に歓迎したからです。」

2. マタイ 25:35-36 - 「私はお腹が空いていたのに、あなたは何か食べるものを与え、喉が渇いていたのに、あなたは私に飲み物を与え、見知らぬ私を招き入れてくれました。」

ヤコブ 2:26 霊のない体が死んだのと同じように、行いのない信仰も死んだものです。

霊のない肉体が死んだのと同じように、行いのない信仰は死んだものです。

1.「信仰と行いの力」

2.「信仰と行いの必要性」

1. レビ記 19:18「あなたは隣人を自分のように愛さなければなりません」

2. ローマ人への手紙 12:10、「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合い、敬意を示すことにおいて互いに勝りなさい。」

ヤコブ 3 章は、新約聖書のヤコブの手紙の 3 章です。この章では主に、言葉をコントロールする力と重要性に焦点を当て、飼いならされていない舌によって引き起こされる潜在的な害を強調します。

第 1 段落: この章は、キリスト教共同体の中で教師やリーダーになることに伴う責任と影響力について信者に警告することから始まります。著者は、教える人たちの言葉には重みがあり、他の人に影響を与えるため、より厳しく裁かれることになると強調しています（ヤコブ 3:1-2）。次に、小さなハミが馬を制御し、小さな舵が大きな船を操縦し、同様に小さな舌が大きな影響を与えることができることを、鮮やかなイメージを使って説明します。舌は森全体を燃やすことができる火として描写されています(ヤコブ3:3-6)。

第 2 段落: 7 ～ 12 節では、人間の発話の矛盾した性質についての探求が行われています。著者は、人間がさまざまな動物を飼い慣らして飼いならしてきたにもかかわらず、自分の舌を飼いならすのに苦労していることを強調します。彼は、祝福と呪いの両方が同じ口から出てくるが、そうであってはならないと指摘しています

（ヤコブ 3:9-10）。彼はこの矛盾を、同じ泉から流れる淡水と海水、あるいはオリーブを生産するイチジクの木やイチジクを生産するブドウの木に例えています。このような矛盾は知恵の欠如を明らかにします。

第 3 段落: 13 節以降では、空虚な言葉ではなく、良い行為によって示される真の知恵が強調されています。著者は、ねたみ、利己的な野心、無秩序を特徴とする地上の知恵と、純粋さ、平和、優しさ、合理性、慈悲、公平さ、誠実さを特徴とする天の知恵を区別しています(ヤコブ3:14-18)。真の知恵は義にかなった生活をもたらし、他者との関係において良い実をもたらします。

要約すると、ヤコブ 3 章は、言論の力と、それが危害と祝福の両方をもたらす可能性を強調しています。それは、舌を不用意に、または破壊的に使うことを警告していますが、信者に自分の言葉を自制するよう奨励しています。それは、真の知恵は、空虚な言葉や世俗的な野心ではなく、謙虚さと正義を特徴とする一貫した行動によって明らかにされることを強調しています。最終的には、嫉妬、利己主義、無秩序な行為を避けながら、純粋さ、優しさ、慈悲に基づいた平和な関係を育む天の知恵を信者に追求するよう求めています。

ヤコブ 3:1 兄弟たちよ、私たちがさらに大きな非難を受けることを知って、多くの主人になってはいけません。

この一節は、私たちにより大きな判断力を与える可能性があるため、性急に教えたり指導的な役割を引き受けないよう警告しています。

1. 主の宣教のリーダーであることを軽視すべきではありません。

2. 私たちは謙虚さと慎重さを持って主の宣教におけるリーダーシップに取り組むべきです。

1. マタイ 23:8-10 - 「しかし、あなたがたをラビと呼んではなりません。あなたの主は一人であり、キリストです。そしてあなたがたは皆兄弟です。そして、地上でだれもあなたの父と呼んではなりません。なぜなら、あなたがたの父は一人だからです。天国にいます。あなたがたを主人と呼んではなりません。なぜなら、一人があなたの主人、つまりキリストだからです。」

2. ペテロ第一 5:2-3 - 「あなたがたのうちにいる神の群れを養いなさい。束縛によってではなく喜んで、その監督を引き受けなさい。不潔な利益のためではなく、準備万端な精神をもってしなさい。神の群れを支配する者としてではないのです。」遺産ではありますが、群れのサンプルです。」

ヤコブ 3:2 なぜなら、多くのことにおいて、私たちはすべての人を傷つけるからです。言葉以外で気分を害する人がいるとしても、その人は完璧な人であり、全身を拘束することもできます。

誰もが間違いを犯しますが、完璧な人は自分の体全体をコントロールすることができます。

1.「セルフコントロールの力」

2.「完璧な男」

1. ガラテヤ 5:22-23 - 「しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実、柔和、自制です。そのようなものに対して律法はありません。」

2. 箴言 16:32 - 「怒るのが遅い者は力ある者よりも優れており、自分の精神を制御する者は都市を占領する者よりも優れています。」

ヤコブ 3:3 見よ、私たちは馬が私たちに従うように、馬の口にビットを入れます。そして私たちは彼らの体全体を振り返ります。

ヤコブ 3章3節は，人間がハミを使って馬を制御し，馬を従わせる方法を示しています。

1) 従順の力: 神に従い、神に支配される方法

2) 服従の力: 神の意志に服従することを学ぶ

1) 箴言 16:9 - 「人は心の中で自分の進路を計画するが、主はその歩みを確立される。」

2) マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。」

ヤコブ 3:4 また、見よ、船はとても大きいのに、激しい風で動かされているのに、総督が聞いているところへ、非常に小さな舵で向きを変えているのです。

この一節は、風の方向を制御することによって船などの大きな物体を動かす小さな力の力を強調しています。

1. 大きな世界における小さな行動の力

2. 変化の風を利用する方法

1. 箴言 21:5 - 勤勉な人の計画は必ず豊かさをもたらしますが、性急な者はみな貧困に陥るだけです。

2. マタイ 17:20 - 彼は彼らに言った。それはあなたの小さな信仰のせいです。本当に、あなたに言いますが、からし種一粒のような信仰を持っているなら、あなたはこの山にこう言うでしょう。ここからあそこへ、そしてそれは動きます、そしてあなたにとって不可能なことは何もありません。

ヤコブ 3:5 それでも、舌は小さな部分ですが、大きなことを誇ります。見よ、小さな火が燃え上がるのはなんと素晴らしいことだろう！

舌は体の小さな部分ですが、大きな破壊を引き起こす可能性があります。小さな火の粉が大きな炎を引き起こす可能性があります。

1. 舌の力 - 私たちの言葉がいかに大きな破壊を引き起こすか

2. 小さな火 – 小さな火花がどのようにして大きな炎を生み出すのかを見てみましょう

1. ヤコブ 1:26 - 自分は宗教的だと思っていて、舌を巻くことはせずに心を欺いている人がいるなら、その人の宗教には価値がありません。

2. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。

ヤコブ 3:6 そして、舌は火であり、不法行為の世界です。私たちの成員の間でも舌は同様であり、体全体を汚し、自然の流れを燃やします。そして地獄の火が放たれます。

舌は破壊を引き起こし、体全体を汚す可能性のある強力な力であり、地獄によって燃やされます。

1. 言葉の力 - 舌は善にも悪にもどのように使われるか

2. 地獄からの火 - 罪の破壊力

1. 箴言 18:21 – 死も命も舌の力にある

2. エペソ人への手紙 4:29 - あなたの口から腐敗した情報を伝えてはなりません

ヤコブ 3:7 あらゆる獣、鳥、蛇、そして海の生き物は飼い慣らされており、人間に飼い慣らされてきました。

人類は野生の獣、鳥、海の生き物を飼いならす能力を実証してきました。

1. 飼いならす力: 自然からの教訓

2. 家畜化の祝福: 私たちの可能性の発見

1. 箴言 16:32 - 怒るのが遅い者は力ある者より優れており、自分の精神を制御する者は都市を占領する者よりも優れています。

2. ローマ人への手紙 8:14 - 神の御霊に導かれる者は神の子だからです。

ヤコブ 3:8 しかし、舌を飼いならすことは誰にもできません。それは手に負えない悪であり、猛毒に満ちています。

舌は飼い慣らすことができず、悪と破壊の源です。

1. あなたの言葉の力: 私たちの舌の影響を理解する

2. 舌をなじませる：私たちの言葉の力の検証

1. 箴言 18:21 - 死も命も舌の力にある。

2. 伝道の書 5:2 - 神の前で性急に口を出したり、心で急いで何かを言ったりしてはなりません。

ヤコブ 3:9 それによって、私たち神、父を祝福してください。そしてそれによって、神の似姿に倣って造られた私たち人間を呪うのです。

ヤコブ 3 章 9 節の一節は、神の似姿に創造された人々を呪うのではなく、どのように神を祝福すべきかを語っています。

1: 私たちは皆、神の似姿に造られたので、違いに関係なく、他の人に神の愛を示すよう努めるべきです。

2: 私たちは舌を使って人を呪うのではなく、神に愛を示し、感謝を捧げるべきです。

1: エペソ 4:29 - 腐敗した情報をあなたの口から出さないでください。ただ、聞く人に恵みを与えるために、啓発に役立つものを口から出してください。

2: コロサイ 3:8-10 - しかし今、あなたがたもこれらすべてを延期しました。あなたの口から出る怒り、怒り、悪意、冒涜、不潔なコミュニケーション。

ヤコブ 3:10 同じ口から祝福と呪いが語られます。兄弟たち、これらのことはそうあるべきではありません。

ヤコブは、同じ口から祝福と呪いの両方を語るべきではないと警告しています。

1. 言葉の力: 舌をコントロールする

2. 祝福か呪いか：生き抜くこと ヤコブ 3:10

1. エペソ人への手紙 4:29 - ?あなたの口からは腐敗するような話は出てはいけませんが、その場に応じて、聞く人に恵みを与えることができるような、築き上げるのに良い話だけをしてください。

2. 箴言 18:21 - ?食べるものと命は舌の力の中にあり、それを愛する者はその果実を食べるでしょう。

ヤコブ 3:11 泉は、甘い水と苦い水を同じ場所から湧き出させますか。

ヤコブ 3章11節は，泉が同じ場所から甘い水と苦い水の両方を生み出すことができるかどうかを尋ねています。

1. 「私たちの言葉の力: ヤコブの手紙 3:11 の考察」

2.「人生の甘くて苦い：ヤコブの手紙 3:11 を探る」

1. 箴言 16:24 - 「心地よい言葉は蜂の巣のようで、魂には甘さ、骨には健康を与えます。」

2. イザヤ書 5:20 - 「悪を善と呼び、善を悪と呼び、闇を光に、光を闇に、苦を甘いに、甘いを苦に変える人々は災いです。」

ヤコブ 3:12 兄弟たち、いちじくの木はオリーブの実を結ぶことができますか。ブドウの木か、イチジクか？したがって、塩水と淡水の両方を生み出す噴水はあり得ません。

何かが二つの相反するものを同時に生み出すことは不可能です。

1. 「反対のことを期待することの非現実性」

2.「妥協の力」

1. ルカ 6:37-38 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたがたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、あなたがたは罪に定められません赦しなさい。そうすれば、あなたがたは赦されます。」

2. ガラテヤ 5:22-23 「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、優しさ、善意、信仰、柔和、節制です。これらに反する律法はありません。」

ヤコブ 3:13 あなたたちの中で、知恵があり、知識に恵まれている人は誰ですか。楽しい会話の中から、柔和な知恵で自分の作品を見せてもらいましょう。

知恵と知識は、良い行いと優しさを通して表現されなければなりません。

1. 善行の知恵

2. 知識と柔和な生活を送る

1. □□ 16:22-24 - □□□□

ヤコブのこの聖句は、ねたみと争いが存在すると、混乱と悪が続くことを教えています。

1: ねたみや争いによってあなたの人生の平穏が奪われないようにしてください。

2: ねたむのではなく、主が与えてくださったものに満足するよう努めてください。

1: 箴言 15:17 「愛のある場所での薬草の夕食は、憎しみを抱いた肥えた子牛にまさる。」

2: ピリピ人への手紙 4:11-13 「私は欠乏について言っているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。私は、どのように卑屈になるかを知っていますし、どのように豊かになるかを知っています。「そこでは、そしてすべてのことにおいて、私は満腹することも飢えることも、豊かになることも必要に耐えることも教えられています。私を強めてくださるキリストを通して、私はすべてのことを行うことができます。」

ヤコブ 3:17 しかし、上からの知恵は、まず純粋であり、次に平和で、優しく、扱いやすく、憐れみと良い実とに満ちていて、偏りや偽善がありません。

ヤコブ 3 章 17 節は、上からの知恵は純粋で、平和で、優しく、懇願しやすく、憐れみと良い実とに満ちていて、偏りや偽善のないものであると述べています。

1. 「上の知恵: 偏愛と偽善を手放す」

2. 「慈悲と良い実りに満ちた人生を送る」

1. マタイ 7:12 「ですから、あなたがたは、人にしてほしいと願うことはすべて、人にしなさい。これが律法と預言者だからです。」

2. ヨハネ 15:12 - 「これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。」

ヤコブ 3:18 そして、義の実は、平和を実現する人々の平和の中に蒔かれます。

平和は、平和を実現するために尽力する人々によって蒔かれる義の実です。

1. 平和は選択です: 正義の種を植える方法

2. 義の力: 平和な心を育む

1. ピリピ 4:4-7 - いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜んでください！あなたの優しさがみんなに伝わりますように。主は近くにおられます。

何も心配しないでください。すべてにおいて、感謝の祈りと願いによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. ローマ 12:18 - 可能であれば、あなた次第ですが、すべての人たちと平和に暮らしてください。

ヤコブ 4 章は、新約聖書のヤコブの手紙の 4 章です。この章では、争い、世俗的な欲望、神の前での謙虚さに関するさまざまな問題を扱います。

第 1 段落: この章は、信者間の対立や口論の根本原因を取り上げることから始まります。著者は、これらの紛争は個人の内部で戦争を起こす利己的な欲望によるものであると考えています。彼は、人々が間違った動機で物を求めたり、自分の楽しみを満足させようとしたりすると、神から求めたものは得られない、と強調しています (ヤコブ4:1-3)。著者は彼らに、神に服従し、悪魔に抵抗し、悔い改めによって神に近づくようにと忠告します。

第 2 段落: 4 ～ 10 節では、世界とその価値観との友情の危険性が強調されています。著者は、この世と友達になることは神との敵対につながるからと警告しています。彼は、世との友情は霊的な姦淫と、神と世俗的な追求との間で分けられる忠誠によって特徴づけられることを強調しています(ヤコブ4:4-6)。その代わりに、信者は神の前にへりくだり、神の主権を認識し、神の恵みを求めるよう求められています。彼らは罪から手を清め、真の悔い改めを通して心を清めるよう奨励されています。

第 3 段落: 11 節以降は、お互いに対する批判的な態度を避けることに焦点が当てられています。著者は、悪口を言ったり、仲間の信者を裁いたりすることは、裁き人としての神の役割を奪うことに等しいため、警告します(ヤコブ4:11-12)。彼は、立法者であり裁判官であるのは神ご自身だけであり、信者は自分の立場が誤りを犯しやすい人間であることを謙虚に認識すべきであると強調しています。彼らは、将来の計画について誇るのではなく、自分たちの人生が神のご意志に依存していることを認めるように勧められています(ヤコブ4:13-17)。この聖句は、神の前で謙虚であること、争いにつながる利己的な欲望に抵抗すること、悔い改めを通して神との親密さを求めながら世の価値観との友情を避けること、自分の理解力が限られていることを認識して他者に対して批判的な態度を慎むことの必要性を強調しています。

要約すると、ヤコブ 4 章は、個人の中にある利己的な欲望から生じる対立に関連する問題を扱っています。この章は、世俗的な価値観の追求を警告し、代わりに服従、悪への抵抗、真の悔い改めを通じて神との親密さを求めるよう信者に促しています。主権ある裁判官の前で謙虚さを強調しながら、仲間の信者に対する批判的な態度を警告しています。この章は自己吟味と浄化を求めています。罪から解放され、個人的な計画を誇るのではなく神のご意志に頼ります。

ヤコブ 4:1 あなたがたの間で戦争や争いが起こるのはどこからですか。それゆえ、彼らはあなたのメンバーの中で争いを起こすあなたの欲望さえも引き起こさないのですか？

人間は利己的な欲望のために常に争いを続けています。

1.利己的な欲望は争いを引き起こす

2.利己主義の代償

1. ヤコブ 1:14-15 「しかし、人は誰でも、自分の悪い欲望に引きずり込まれ、誘惑されるとき、誘惑に遭います。そして、欲望は孕んだ後に罪を生み、罪が成長すると、死を生みます。」

2. 箴言 14:12 「正しいように見える道もあるが、結局は死に至る。」

ヤコブ 4:2 あなたがたは、欲望するが、持たない。あなたがたは、殺し、手に入れようとするが、得られない。あなたがたは争ったり戦争したりするが、求めていないからである。

人間は常に自分の欲望を満たそうとしますが、助けを求めないために満たされないことがよくあります。

1. 祈りの力: 助けを求めることがどのように満たされるのか

2. 人間の欲望の限界: 満たされない願いに直面して満足感を見つける

1. ピリピ 4:11-13 - 私は欠乏について話しているのではありません。私は、自分がどのような状態であっても、それで満足することを学んだからです。私は、どのように卑屈になるか、そしてどのように豊かになるかを知っています。どこにいても、すべてのことにおいて、満腹することと空腹であることの両方、豊かであることと欠乏に耐えることの両方を教えられています。

13 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2. マタイ 6:25-34 - したがって、私はあなたがたに言います。自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むかなど考えてはいけません。また、あなたが身に着ける物についてもまだです。命は肉以上のものであり、肉体は衣服以上のものではないでしょうか？見よ、空の鳥たち。彼らは種を蒔かず、刈り取りもせず、納屋に集めもしないからである。しかし、あなたがたの天の父は彼らを養ってくださいます。あなたがたは彼らよりもはるかに優れているのではありませんか？

ヤコブ 4:3 あなたがたが求めても、受け入れられないのは、自分の欲望に従ってそれを消費するために、あなたがたが間違っているからです。

私たちは自分の欲望を満たすだけのものを神に求めるべきではありません。

1: 私たちは自分自身の破滅につながるだけのものを求めるべきではありません。

2: 私たちの祈りは、私たち自身の利己的な欲望ではなく、神の御心を求めることに焦点を当てるべきです。

1: ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、どんな状況でも、感謝を込めて祈りと願いによって、自分の願いを神に伝えてください。

2: ヤコブ 1:5 - もしあなたがたの中に知恵の足りない人がいるなら、神に頼んでください。神はすべての人に、あら探しをすることなく惜しみなく与えてくださいます。そうすれば、知恵は与えられるでしょう。

ヤコブ 4:4 姦淫する者も姦淫する者も、世の友情は神との敵対であることを知らないのですか。したがって、世の友人となる者は誰でも神の敵です。

世との友情は神との友情への裏切りです。 1: 世俗的な事柄への愛が神への愛から気をそらされてはなりません。2: 世界に対する愛が神との関係の障害になってはなりません。1: ヨハネ第一 2:15-17、「世や世のものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。なぜなら、この世にあるすべてのもの、つまり肉の欲望、目の欲望、そして人生の誇りは、父からではなく、世から来ているからです。そして世界はその欲望とともに過ぎ去っていきますが、神の意志を行う者は永遠に残ります。」2: ローマ人への手紙 12:2、「この世に合わせてはいけません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

ヤコブ 4:5 あなたがたは、聖書に「私たちの内に住む霊はねたみを欲している」と書いてあるのが無駄だと思っているのか。

聖書は、私たちの中に住んでいる霊がねたみを望んでいることを警告しています。

1. 妬みをコントロールし、謙虚さを実践する方法を学びましょう。

2. 自分の欲望に惑わされないでください。

1. 箴言 14:30 - 「平和な心は体に命を与えるが、ねたみは骨を腐らせる。」

2. ガラテヤ 5:16-17 - 「しかし、私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、あなたは肉の欲望を満足させることはできません。なぜなら、肉の欲望は御霊に反し、御霊の欲望は欲望に反するからです。」肉よ、これらは互いに対立しており、あなたがやりたいことをするのを妨げているからです。」

ヤコブ 4:6 しかし、神はさらに恵みを与えてくださいます。それゆえ、神は高慢な者には抵抗するが、謙虚な者には恵みを与える、と彼は言います。

神は謙虚な者には恵みを与えますが、高慢な者には抵抗します。

1. 神の恵み: 謙虚さを受け入れ、プライドを拒絶する

2. 謙虚さの力: 神の恵みの贈り物を受け取る

1. 箴言 22:4 - 「謙虚さは主を恐れることであり、その報酬は富と名誉と命です。」

2. ペテロ第一 5:5-6 - 「互いに謙虚さを身に着けなさい。『神は高ぶる者に敵対し、謙遜な者には恵みを与えられる』からです。」ですから、神の力強い御手の下で謙虚になり、しかるべき時に神があなたを高めてくださるようにしてください。」

ヤコブ 4:7 ですから、神に従いなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

私たちは神に服従し、悪魔に抵抗すべきです。そうすれば悪魔は私たちから逃げ出すでしょう。

1. 服従の力: 悪魔に抵抗する方法

2. 誘惑に打ち勝つ：神の御心に従う

1. ペテロ第一 5:8-9 - 「心を静め、気をつけなさい。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのようにうろつき、誰かをむさぼり食おうとしています。同じ種類の苦しみがあることを知って、信仰を固く持って彼に抵抗してください。」世界中のあなた方の兄弟愛が経験しているのです。」

2. エペソ人への手紙 6:10-11 - 「最後に、主にあって、その力の強さによって強くなりなさい。悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。」

ヤコブ 4:8 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださるでしょう。罪人よ、手を清めなさい。そして心を清めなさい、二心の者よ。

神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださいます。自分の罪を悔い改め、動機を清めましょう。

1: 神はいつも近くにおられますが、私たちが神に近づくのを待っておられます。

2: 自分の心を吟味し、罪から目を背け、神に近づきます。

1: イザヤ書 55:6 主が見つかるまでに主を求めなさい。主が近くにいる間に主を呼び求めてください。

2: 詩篇 32:8 わたしはあなたを導き、あなたの行くべき道を教えます。愛情深い目であなたに寄り添ってアドバイスさせていただきます。

ヤコブ 4:9 苦しみ、嘆き、泣きなさい。笑いを悲しみに、喜びを重さに変えなさい。

この聖句は、私たちが死すべき運命にあることを認識し、喜びや笑いから悲しみや悲しみに目を背けるよう促しています。

1.「嘆きの力：喜びから悲しみへ目を向ける」

2. 「死すべき運命の重み: 苦しみを利用して人生に焦点を合わせ直す」

1. 伝道の書 3:4 - 「泣くのに時があり、笑うのに時がある。嘆くのに時があり、踊るのに時がある」

2. イザヤ書 61:3 - 「シオンで悲しむ人々を慰め、灰に代わる美を、悲しみに喜びの油を、重苦しさの霊に賛美の衣を与えるために。それはそれらが義の木と呼

ばれるためであり、主が栄光を受けるために植えられたものである。」

ヤコブ 4:10 主の御前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。

この聖句は、主が私たちを高めてくださるよう、主の前で謙虚になるよう私たちに勧めています。

1. 神の愛と導き: 謙虚さはどのように私たちの信仰の成長につながるのか

2. 謙虚さの中に強さを見つける：神の計画に従う

1. マタイ 5:5 - 「柔和な人々は幸いです。彼らは地を受け継ぐからです。」

2. 詩篇 25:9 - 「神は謙虚な者たちを正しいことに導き、彼らに御自分の道を教えます。」

ヤコブ 4:11 兄弟たち、互いに悪口を言ってはなりません。兄弟の悪口を言い、兄弟を裁く者は、法の悪口を言い、法を裁くのである。しかし、もしあなたが法を裁くなら、あなたは法の実行者ではなく、裁判官である。

法律違反ですので、お互いの悪口を言わないでください。

1. 舌を守れ：言葉の力

2. 生きた神の律法: 裁くことを避ける

1. マタイ 12:36-37 「しかし、言っておくが、人はみな、自分の言った空虚な言葉すべてについて、裁きの日に責任を負わなければならない。なぜなら、あなたの言葉によってあなたは無罪となり、あなたの言葉によって有罪判決を受けるからである」」

2. エペソス 4:29 「不健全な話は一切口から出さないでください。ただ，聞く人たちの益となるように，必要に応じて他の人を築き上げるのに役立つことだけを口から出してください。」

ヤコブ 4:12 立法者は一人ですが、その人を救うことも滅ぼすこともできます。他の人を裁くあなたは誰ですか。

ヤコブは、最終的な判断者は神だけであり、他の人を判断しようとしてはいけないことを思い出させます。

1. 神は裁判官です - 私たちは、批判することなく他人の視点を理解するよう努めるべきです。

2. 誇りと謙虚さ - 神だけが判断できることを認識し、謙虚に他の人に接する必要があります。

1. ローマ 14:10-13 - 私たちはそれぞれ、自分自身について神に説明します。

2. マタイ 7:1-5 - 神だけが裁くことができるので、他人を裁いてはなりません。

ヤコブ 4:13 「今日か明日、私たちはそのような町に行き、そこに一年続けて、売り買いして利益を得ようと言う者たちよ、さあ行きなさい。

この聖句は私たちに人生の不確実性を思い出させ、自分の将来について計画を立てるのではなく神に信頼を置くよう促します。

1. 主への信頼: 人生の不確実性

2. 手放し、神に任せることを学ぶ

1. 詩篇 46:10 - 「静まって、私が神であることを知りなさい。」

2. 箴言 3:5-6 - 「心を尽くして主を信頼し、自分の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において主に従いなさい。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにしてくださいます。」

ヤコブ 4:14 一方、あなたがたは、明日何が起こるか知りません。あなたの人生は何のためにありますか？それは蒸気でさえ、少しの間現れて、そして消えていきます。

私たちの人生は短く不確実で、明日何が起こるかわかりません。

1. 地上での私たちの命は儚いものです - ヤコブ 4:14

2. 時間を最大限に活用する - ヤコブ 4:14

1. エペソ 5:15-17 - それでは、自分の生き方に非常に注意してください。賢くないのではなく賢いように、あらゆる機会を最大限に活用してください。悪しき日々が続いているからです。

2. 詩篇 90:12 - 知恵の心を得るために、自分の日数を数えるよう教えてください。

ヤコブ 4:15 そのためには、あなたがたは、「主が御心なら、私たちは生きて、あれやこれやをするだろう」と言うべきなのです。

この聖句は、神の御心に服従し、将来のために神を信頼することの重要性を強調しています。

1. 「満足に生きる：神の意志に従う」

2.「未来のために神を信頼する」

1. 箴言 3:5-6 - 心から主を信頼し、自分の理解力に頼らないでください。

6. 詩篇 37:3-5 - 主を信頼し、善を行いなさい。土地に住み、安全な牧草地を楽しむ。主にあって喜びなさい。そうすれば主はあなたの心の願いを叶えてくださるでしょう。主に道を捧げなさい。神を信頼してください。そうすれば神はそうしてくださるでしょう。

ヤコブ 4:16 しかし、今、あなたがたは自分の誇ることを楽しんでいます。そのような喜ぶことはすべて悪です。

この箇所は、高慢なプライドを喜ぶのは邪悪な行為であると警告しています。

1. 高慢は罪である: 自慢して喜ぶのは悪である

2. 高慢なプライドを避け、それを喜ぶ

1. 箴言 16:18-19 - 高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立ちます。高慢な者たちと戦利品を分け合うよりも、貧しい者たちに対して謙虚な精神で接するほうがよいのです。

2. ローマ人への手紙 12:3 - 私に与えられた恵みによって、あなたがた全員に言いますが、自分自身を必要以上に高く評価せず、神が持っておられる信仰の尺度に応じて、冷静な判断力を持って考えてください。割り当てられました。

ヤコブ 4:17 したがって、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪です。

何が正しいかを知っている人には、良いことを行うことが期待されています。

1. 正しいことを行うことが私たちに期待されています

2. 善を行う義務を果たす

1. ヤコブ 1:22 - しかし、あなたがたは、自分自身を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

2. ミカ 6:8 - ああ、神はあなたに、何が善いかを教えてくださいました。そして主があなたに求められるのは、正義を行い、慈悲を愛し、謙虚にあなたの神と共に歩むこと以外に何でしょうか？

ヤコブ 5 章は、新約聖書のヤコブの手紙の 5 番目で最後の章です。この章では、富、苦しみの中での忍耐、祈り、真理からさまよった人々を回復することの重要性など、さまざまなトピックに焦点を当てています。

第 1 段落: この章は、富とその潜在的な落とし穴の問題を扱うことから始まります。著者は富裕層に差し迫った裁きについて警告し、彼らに降りかかるであろう悲惨さのために泣き叫ぶよう勧めている。彼は、彼らの富が腐り、衣服が虫食いされ、金銀が腐食した様子を強調しています(ヤコブ5:1-3)。著者は、これらの物質的な所有物は彼らを救うことはできず、むしろ他人を搾取する彼らに対する証拠として役立つことを強調します。彼は信者に対し、神の裁きが近づいているので苦しみに耐えるよう呼び掛けている。

第 2 段落: 7 ～ 12 節では、試練の時の忍耐と忍耐が強調されています。著者は信者たちに、農作物が実を結ぶのを待つ農夫のように忍耐強くあるよう勧めています。主の来臨が近づいているので、彼らは心を確立するよう勧められています(ヤコブ5:7-8)。彼は、互いに不平を言ったり不平を言ったりしないようにアドバイスし、むしろ、苦しみに毅然と耐えたヨブのような例を見るよう勧めています(ヤコブ5:9-11)。信者は、裁きに陥らないように、「はい」を「はい」とし、「いいえ」を「いいえ」にしておくべきであることを思い出させられます。

第 3 段落: 13 節以降は、共同体の中での祈りと回復に焦点が当てられています。著者は、苦しんでいる人にも明るい人にも、それが癒しのためであれ、感謝のためであれ、祈ることを奨励し、信仰を持ってささげる祈りには力があることを共有しています（ヤコブ 5:13-16）。信者たちはまた、癒されるために互いに罪を告白するよう勧められています。彼らは、祈りの有効性を認めて、お互いのために祈り合うよう求められています(ヤコブ5:16b)。最後に、真実からさまよった人々を、愛と魂への配慮を通じて取り戻すことによって、彼らを取り戻すことに重点が置かれています。

要約すると、ヤコブ 5 章は富に関する問題を取り上げ、その一時的な性質を強調しながら、個人的な利益のために他者を搾取することに対して警告しています。それは信仰者に対し、神の最終的な裁きを待ち望みながら、試練の時に忍耐強く耐えるよう呼びかけています。祈りは、苦しみのときと感謝のときの両方のときに強力な手段として強調されており、信者間の罪の告白と、お互いのためのとりなしを強調しています。また、この章では、真実から離れてしまった人たちを愛情を込めて呼び戻すことによって、私たちの必要性を認識し、共同体の中で回復することも強調しています。忍耐、忍耐、そして相互支援。

ヤコブ 5:1 あなたがた金持ちよ、さあ、行って、あなたがたに降りかかるであろう悲惨のために泣き叫びなさい。

この一節は、富裕層が自分たちの行動に注意し、その結果起こるであろう悲惨さのために泣き叫び叫ぶよう警告しています。

1. 貪欲の危険性: 富によって魂を堕落させない方法

2. 満足感：足りないものではなく、持っているものに喜びを見つける

1. 箴言 11:28 - 「自分の富に頼る者は倒れる。しかし正しい者は枝のように栄える。」

2. マタイ 6:19-21 - 「自分のために宝を地上に積んではなりません。そこでは虫やさびが腐敗し、盗人が侵入して盗みます。しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫もさびも腐敗しません。そして、泥棒が侵入したり盗んだりしない場所に、あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

ヤコブ 5:2 あなたの富は朽ち、あなたの衣は朽ち果てています。

この一節は、裕福で自分の富に信頼を置いている人々に対するヤコブからの警告です。彼は、彼らの富はやがて腐敗し、衣服は虫食いになるだろうと警告しています。

1. 富を信頼しない - 自分の富が永遠に続くと考えることの危険性

2. 富の無常性 - ヤコブ 5:2 は私たちの富が避けられない腐敗について警告しています

1. 箴言 11:28 - 「自分の富に頼る者は倒れるが、正しい者は緑の葉のように繁栄する。」

2. マルコ 8:36 - 「人は全世界を手に入れても、自分の魂を失ったら、何の得があるでしょうか。」

ヤコブ 5:3 あなたの金銀は傷だらけです。そして彼らのさびはあなたに対する証拠となり、あなたの肉を火のように食べるでしょう。あなたがたは終わりの日のために宝を積み上げてきました。

聖書はヤコブ 5 章 3 節で、富を蓄えることの危険について警告しています。なぜなら、その富のさびが彼らに対する証人となり、彼らの肉を火のように食べるからです。

1. 富を蓄えることの危険に注意する

2. 貪欲の腐食力

1. 箴言 11:28 - 「自分の富に頼る者は倒れるが、正しい者は緑の葉のように栄える。」

2. 伝道の書 5:10 - 「お金を愛する者は、決して十分ではありません。富を愛する者は決して自分の収入に満足しない。」

ヤコブ 5:4 見よ、詐欺によってあなたがたの畑を刈り取った雇われ労働者たちが叫び、刈り取った彼らの叫びがサバオトの主の耳に入る。

ヤコブ 5章4節のこの一節は，詐欺や貪欲から労働者の賃金を差し控えることに対する警告です。

1: 神は抑圧された人々の叫びを聞き、彼らを抑圧する人々を裁かれる

2: 貪欲の危険と正義が果たされる必要性

1: 箴言 22:16 - 富を増やすために貧しい人を抑圧する者、富む者に与える者は必ず困窮するであろう。

2: イザヤ書 58:6 - これは私が選んだ断食ではないでしょうか。悪の束縛を解き、重荷を解き、抑圧されている人々を解放し、すべてのくびきを打ち破るためですか？

ヤコブ 5:5 あなたがたは地上で享楽的に暮らしながら、放縦な生活を送ってきました。あなたがたは、虐殺の日のように心を養ってきた。

この一節は、贅沢な生活を送り、快楽に耽溺してきた人たちに、清算の時が近づいているという警告です。

1. 清算の日: 今の贅沢な暮らしは永遠には続かない

2. 屠殺の日に備えて心に栄養を与えましょう: ジェームズからの警告

1. 伝道の書 11:9 - 若者よ、若い時に喜びなさい。そして、あなたの若い日々に、あなたの心を元気づけて、あなたの心の道を、あなたの目の前で歩きなさい。しかし、あなたは、これらすべてのことのために、神があなたを裁くだろうということを知っておいてください。

2. 黙示録 3:17-18 - あなたが言うから、私は金持ちで、物が増えて、何も必要としません。そして、あなたが惨めで、惨めで、貧しく、盲目で、裸であることを知りません。私はあなたに、あなたが金持ちになるために、火で試された金を私から買うように勧めます。そして白い衣服、あなたが服を着ていて、あなたの裸の恥が現れないように。そしてあなたの目に目薬を塗ってください。

ヤコブ 5:6 あなたがたは正しい人たちを罪に定め、殺しました。そして彼はあなたに抵抗しません。

この一節は、正義の人たちが自分たちを非難し殺害する人たちにいかに抵抗しないかを語っています。

1. 慈悲の力: 私たちを不当に扱った人々にどのように対応するか

2. すぐに判断しないでください: 許しの力

1. ルカ 6:37-38 - 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、あなたは赦されます。」

2. ローマ人への手紙 12:19 - 「親愛なる友人たち、仕返しをしないでください。神の怒りを招く余地を残しておきなさい。『復讐するのはわたしのことだ。わたしが報復する』と主は言われるからです。」

ヤコブ 5:7 ですから、兄弟たち、主の再臨まで辛抱してください。見よ、農夫は大地の貴重な実りを待ち、早い雨と遅い雨が降るまで長い間忍耐している。

この聖句は、主がやがて究極の報いをもたらしてくださるので、主への忍耐と信仰を奨励します。

1. 主を待ち望む：忍耐と神のタイミングへの信仰

2. 豊かな人生を送る: 主を待ち望むことの報い

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. 詩篇 27:14 - 主を待ち望みなさい。勇気を出してください。そうすれば主はあなたの心を強めてくださいます。主を待ち望みます。

ヤコブ 5:8 あなたがたも忍耐強くありなさい。心を安定させなさい。主の来臨が近づいているからである。

主の来臨を待つには忍耐が不可欠です。

1: 主の再臨を待つとき、私たちは忍耐強く信仰を堅持しなければなりません。

2: 主の再臨を待ち望むとき、私たちの心は堅固で忍耐に満ちていなければなりません。

1: ローマ人への手紙 8:25 「しかし、まだ持っていないものを望むなら、私たちはそれを辛抱強く待ちます。」

2: 詩篇 27:14 「主を待ち望みなさい。強くなり、勇気を出して主を待ち望みなさい。」

ヤコブ 5:9 兄弟たち、互いに恨みを抱いてはなりません。あなたがたは罪に定められることのないように。見よ、裁判官が戸口の前に立っておられます。

お互いに対する恨みや恨みを悪化させず、代わりに許し、和解してください。

1. 許しの力: 恨みを手放す

2. 和解への呼びかけ: 恨みを克服する

1. コロサイ 3:13 - 互いに忍耐し、もし一方が他方に不満を持っている場合は、互いに許し合います。主があなたを赦してくださったように、あなたも赦さなければなりません。

2. エペソ 4:31-32 - すべての恨み、憤り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともにあなたから遠ざけましょう。神がキリストにあってあなたを赦してくださったように、互いに親切にし、心を優しくし、許し合いなさい。

ヤコブ 5:10 兄弟たち、主の御名によって語った預言者たちを、苦難と忍耐の例として考えてみましょう。

主の預言者は苦しみの中での忍耐と忍耐の模範です。

1. 苦しみの中での忍耐と忍耐 - ヤコブ 5:10

2. 預言者の模範 - ヤコブ 5:10

1. ヘブライ 12:1-3 - ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、前に定められた競争を忍耐強く走り抜こうではありませんか。私たちは、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見ています。イエスは、目の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座しておられます。

2. ローマ 5:3-5 - それ以上に、私たちは苦しみを喜びます。苦しみは忍耐を生み、忍耐は人格を生み、人格は希望を生み、希望は私たちを恥じることはありません。神の愛が注がれているからです。私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心の中に。

ヤコブ 5:11 見よ、私たちは耐え忍ぶ人々を幸福だと考えます。あなたがたはヨブの忍耐について聞いており、主の最後を見ました。主は非常に憐れみ深く、優しい憐れみ深い方であることを。

この聖句は、忍耐強く困難に耐え、最終的には神の憐れみで報われたヨブの例から学ぶことができるように、試練において忍耐強くなるように私たちに勧めています。

1. 「仕事の忍耐: 試練に耐えるためのガイド」

2.「神は慈悲深い: 忠実な忍耐の報いを体験する」

1. ローマ 5:3-5 - 「それだけではなく、私たちは自分の苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐、忍耐、品性、そして品性、希望を生み出すことを私たちは知っているからです。そして、希望は私たちを恥じることはありません。なぜなら、神は神のものだからです。」私たちに与えられた聖霊を通して、愛が私たちの心に注がれています。」

2. コリント人への第二の手紙 12:9-10 - 「しかし、彼は私に言った、「私の恵みはあなたには十分です。私の力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」それゆえ、私はキリストの力が私に宿るように、ますます喜んで自分の弱さを誇ります。だから、私はキリストのゆえに、弱さ、侮辱、困難、迫害、困難を喜びます。弱ければ、私は強いのです。」

ヤコブ 5:12 しかし、何よりもまず、兄弟たちよ、天にかけても、地にかけても、他のいかなる誓いによっても誓ってはなりません。そして、あなたのいいえ、いいえ。あなたがたが非難に陥ることのないように。

この聖句は、誓いを立てることなく正直に話すよう私たちに勧めています。

1. 真実の力: 宣誓の必要性を克服する

2. 言葉を守る: 約束を守る責任

1. エペソ 4:29 - 腐敗した情報をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く人に恵みを与えるために、啓発に役立つことを口から出してください。

2. マタイ 5:33-37 - 「また、昔の人たちに、『偽りの誓いをしてはならず、主への誓いを果たさなければならない』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、私はあなたに言います、決して誓わないでください、それは神の王座であるため、天によっても、神の足台であるため、地によっても、偉大な王の都市であるためエルサレムによっても誓わないでください。髪一本を白くしたり黒くしたりすることはできないので、自分の頭で誓ってください。しかし、「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」にしなさい。なぜなら、これらを超えるものはすべて悪からのものだからです。

ヤコブ 5:13 あなたがたの中に苦しんでいる人はいますか。彼に祈らせてください。何か陽気ですか？彼に詩篇を歌わせてください。

この一節は、自分の感情や状況に応じて祈りと歌を使うことを勧めています。

1. 「痛みを乗り越えて賛美する: 私たちの信仰がどのようにして克服を可能にするか」

2. 「楽しく歌いましょう: 音楽があなたの精神をどのように再生できるか」

1. フィリピ 4:4-7: いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います、喜びなさい。あなたの合理性を皆に知らせてください。主はすぐそばにおられます。何事も心配しないでください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. イザ 61:3: シオンで悲しむ人々に、灰の代わりに美しい頭飾りを、嘆きの代わりに喜びの油を、かすかな霊の代わりに賛美の衣を与えるために。それは、それらが義の樫の木、主の植えられたものと呼ばれ、主が栄光を受けるためです。

ヤコブ 5:14 あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼んでもらいましょう。そして彼らに彼のために祈り、主の名において彼に油を注ぎなさい。

この聖句は、病気のときに教会の長老たちに助けを求め、主の御名によって油の注ぎを受けるよう勧めています。

1: 祈りの癒しの力 - ヤコブ 5:14

2: 神の助けを求めて手を差し伸べる - ヤコブ 5:14

1: イザヤ書 53:4-5 「確かに、彼は私たちの悲しみを担い、私たちの悲しみを担ってくださいました。それでも、私たちは彼が打ちのめされ、神に打たれ、苦しめられたと尊敬しました。しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために打たれました」：我々の平和に対する懲罰が彼に課せられ、彼の打ち傷によって我々は癒された。」

2: マルコ 6:13 - 「彼らは多くの悪霊を追い出し、多くの病人に油を注いで彼らをいやした。」

ヤコブ 5:15 そして、信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださいます。そしてもし彼が罪を犯したなら、それは赦されるであろう。

この聖句は、病人を癒し、罪の赦しを与える祈りにおける信仰の力について語っています。

1. 信仰の癒しの力: 祈りがどのように健康と許しをもたらすか

2. 神の絶対的な約束: 祈りに対する神の答えの確かさ

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の右の手であなたを支える。」

2. ペテロ第一 5:7 - 「あなたの思い煩いをすべて彼に投げかけてください。彼はあなたを気遣っているからです。」

ヤコブ 5:16 あなたがたが癒されるように、互いに自分の過ちを告白し、互いに祈りなさい。義人の効果的な熱心な祈りは大いに役に立ちます。

お互いに告白し、お互いの癒しを祈りましょう。義人の力強い祈りは非常に効果的です。

1. 祈りの力: 癒しのツールとして祈りを使う

2. 告白: 回復と癒しへの道

1. イザヤ書 40:28-31 – 「知らないのですか。聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は疲れたり疲れたりすることはなく、彼の理解力は誰も理解できません。神は疲れた者に力を与え、弱い者に力を与えます。若者でさえ疲れて疲れ果て、若者はつまずいて転んでしまいます。しかし、主に望みを持つ者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ヨハネ 14:12-14 – 「まことに真実に言いますが、わたしを信じる者は、わたしが行ってきた業を行い、またそれよりもさらに大きな業を行うでしょう。なぜなら、わたしは父のもとに行くからです。」そして、父が子によって栄光を受けることができるように、わたしの名においてあなたが求めることは何でも行います私の名前で何でも聞いてください、そうしてあげます。」

ヤコブ 5:17 エリアスは、私たちと同じように情念を抱く人で、雨が降らないようにと熱心に祈りました。そして、三年六か月の間、地上には雨が降りませんでした。

3年半雨が降らないようにと熱心に祈りましたが、雨は降りませんでした。

1. 祈りの力: エリアスの例から学ぶ

2. 弱さの強さ：祈りの中で人間らしさを受け入れる

1. ダニエル 6:10 - 「さて、ダニエルはその文書が署名されていることを知り、自分の家に入りました。そしてエルサレムに向かう部屋の窓は開いており、以前と同じように、日に三回ひざまずいて祈り、神の前に感謝をささげた。」

2. ピリピ人への手紙 4:6 - 「何のことはないので気をつけなさい。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。」

ヤコブ 5:18 そして、もう一度祈ると、天は雨を降らせ、地は実を結びました。

この箇所は、エリヤが雨が降るように二度神に祈り、その祈りが聞き届けられたことを説明しています。

1: 神は祈りに答えてくださるので、私たちは神が祈りを叶えてくださるという信仰を持つべきです。

2: 私たちは粘り強く祈り、必要なものを神に求め続けるべきです。

1: マタイ 7:7-8 「求めなさい。そうすれば、与えられます。探せば見つかるだろう。ノックしてください、そうすれば開かれます。だれでも求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれるからである。」

2: 1 ヨハネ 5:14-15 「さて、これが私たちが神に対して抱いている確信です。すなわち、私たちが神の御心に従って何かを求めるなら、神は聞いてくださるということです。そして、私たちが何を求めても、神が私たちの声を聞いてくださると知っているなら、私たちは神に求めた願いを持っていることがわかります。」

ヤコブ 5:19 兄弟たち、もしあなたがたのうちの誰かが真理から逸脱し、誰かが彼を改宗させたら、

この聖句は、正しい道を歩むようお互いに助け合うよう私たちを励ましています。

1: 「救いの手」- 私たちは皆、時々助けの手を必要とします。私たちは他の人が正しい道を歩み続け、真実から逸れないように進んで支援する必要があります。

2: 「誠実であり続ける」- 私たちは皆、真実に忠実であり続け、他の人が同じようにできるよう支援しなければなりません。私たちの兄弟姉妹が正しい道を歩み続けるのを助けるのは私たちの責任です。

1: 箴言 27:17 - 「鉄が鉄を研ぐように、ある人は他の人を研ぐ。」

2: ガラテヤ 6:1 - 「兄弟姉妹の皆さん、もし誰かが罪に陥っているなら、御霊によって生きるあなたがたは、その人を優しく回復させるべきです。しかし、自分自身を気をつけていなければ、あなたも誘惑に遭うかもしれません。」

ヤコブ 5:20 罪人をその道の誤りから改心させる者は、魂を死から救い、多くの罪を隠すであろうということを彼に知らせてください。

この聖句は、真理から逸脱した人々を助け、義に立ち返らせるよう勧めています。そうすることで魂を死から救い、多くの罪をカバーできるからです。

1.「変換の力」

2.「許しの慈悲」

1. エゼキエル 18:20-21 - 「罪を犯した魂は死ぬ。子は父の咎のために苦しむことはなく、父も子の咎のために苦しむことはない。義人の義は自分自身に課される。そして悪人の悪事はその身に降りかかるであろう。」

2. マタイ 18:15-17 - 「もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行ってその罪を彼に言いなさい。あなたと彼だけの間で。もし彼があなたの言うことを聞くなら、あなたはあなたの兄弟を得たことになります。しかしもし彼が聞かないなら、あなたは取りなさい。」あなたの他に一人か二人、二人か三人の証人の証拠によってあらゆる容疑が立証されるようにしてください。もし彼が彼らの言うことを聞かないなら、それを教会に伝えてください。そして彼が教会の言うことさえも聞くことを拒否するなら、彼に聞かせてください。異邦人、徴税人としてあなたがたによろしく。」

ペテロ第一 1 章は、新約聖書のペテロの第一の手紙の最初の章です。この章では、試練や苦しみの中での救い、信仰、希望などのテーマに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、信者の生きた希望とイエス・キリストを通して受け継ぐものを強調することから始まります。著者は、キリストの復活によって信者たちに生ける希望を与えてくださった神の豊かな憐れみを讃美します(1ペテロ1:3)。彼は、この相続財産は朽ちず、汚れも、色褪せることもなく、信仰によって神の力に守られている人々のために天に保管されていると強調しています（ペテロ第一 1:4-5）。信仰を試すさまざまな試練に直面しながらも、信者はその試練を通じて自分の信仰が黄金のように磨かれていくので喜ぶことができます。

第 2 段落: 6 節から 12 節には、苦しみの中にある喜びの逆説的な性質が探求されています。著者は、信者がさまざまな試練によって悲しみや苦しみを経験する可能性があることを認めていますが、そのような試練には信仰を磨き、神に栄光をもたらすという目的があることを思い出させます。彼は、彼らがキリストの苦しみを共にしているのですから、たとえこのような困難にあっても喜ぶよう勧めています(1ペテロ1:6-7)。著者はまた、救いを受けることによって信者に与えられる栄誉と特権にも焦点を当てています。この救いは、昔の預言者によって熱心に期待されていましたが、イエス・キリストを通して完全に明らかにされました(1ペテロ 1:10-12)。

第３段落：１３節以降、神の恵みを基盤とした聖なる生活への呼びかけがあります。信者は、行動に向けて心を準備し、イエスの啓示によってもたらされる恵みに完全に希望を置くとき、冷静な心を持つことが求められています(1ペテロ1:13)。彼らは、以前の無知なやり方に従わず、代わりに神のご性質を反映した聖なる生活を送る従順な子供たちになるよう求められています(1ペテロ14-16)。著者は、救いにはキリストの貴重な血という高価な費用がかかったと強調し、信者の間に誠実な兄弟愛を呼びかけています（1ペテロ18-22）。

要約すると、ペテロ第一 1 章は、試練に直面しているにもかかわらず、イエス・キリストを通して信者が生きる希望と受け継いでいることを強調しています。信仰を磨きながら、喜びが苦しみとどのように共存できるかを探ります。それは、神の恵みに基づく聖なる生活を強調すると同時に、キリストを通して私たちが朽ちない相続物であることを認識し、お互いへの誠実な愛に根ざした従順を呼びかけます。

1 ペテロ 1:1 イエス・キリストの使徒であるペテロから、ポントス、ガラテヤ、カッパドキア、アジア、ビテュニアの各地に散在する異邦人たちに、

イエス・キリストの使徒であるペテロは、小アジアのさまざまな地域に散らばっている見知らぬ人たちに手紙を書きます。

1. 神の愛は、どこにいても、すべての人に広がります。

2. 遠くまで届く彼の福音の力。

1. ローマ 10:18: 「しかし尋ねますが、彼らは聞いていませんか。確かに彼らはそうしました。「彼らの声は全地に、彼らの言葉は世界の果てにまで届いた」からです。

2. マタイ 28:19-20: 「それゆえ、行ってすべての国民を弟子とし、彼らに父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。」

1 ペテロ 1:2 父なる神の予知に従って、御霊の聖化を通して、従順になり、イエス・キリストの血を注ぐ者を選びなさい。あなたがたに恵みと平和が増し加えられますように。

この一節は、信者がどのように神の予知によって、御霊の聖化を通して、従順に選ばれ、イエス・キリストの血を注ぐかについて語っています。

1.「神の予知の力: 私たちは神の愛によってどのように選ばれるのか」

2.「霊の聖化：神に従って生きる」

1. ローマ人への手紙 8:29-30 - 「イエスは、誰についてあらかじめ知っていましたか。また、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になれるよう予定しておられました。さらに、誰を予定しておられたか、彼らを召されたのです。」：そして、彼が呼んだ人々を、彼はまた彼らを義とし、彼が義とした人々を、彼はまた彼らに栄光を与えた。」

2. ヨハネ 14:15-17 - 「もしあなたがたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守ってください。そしてわたしは父に祈ります。そうすれば、彼は永遠にあなたとともにおられるように、もう一人の助け主をあなたに与えてくださいます。真理の御霊さえも、その人です。」世は彼を受け入れることができない、なぜなら彼を見ない、彼を知らないからである：しかし、あなたがたは彼を知っている、なぜなら彼はあなたとともに住んでおり、あなたの中にいるからである。」

1ペテロ1:3 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。主はその豊かな憐れみによって、イエス・キリストの死者の中からの復活によって、私たちを再び生み、生き生きとした希望を与えてくださいました。

神の豊かな憐れみを通して、神はイエスの死者の中からの復活を通して、私たちに生ける希望を与えてくださいました。

1. 神の憐れみとあふれる愛

2. 生きる希望の力

1. ローマ人への手紙 5:5 - そして希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は私たちに与えられる聖霊によって私たちの心の中に注がれるからです。

2. ヨハネ 11:25-26 - イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも、生きるであろう。生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはない。」あなたはこれを信じますか？

1ペテロ 1:4 あなたがたのために天に蓄えられている、朽ちず、汚れがなく、消えることのない相続財産に、

ペテロは信者たちに、彼らには決して滅びることのない天の相続財産があると励ましています。

1. 天国の希望: 永遠の相続がどのように私たちに力を与えるのか

2. キリストにおける安心感：色褪せない天の継承を理解する

1. ローマ 8:16-17 - 聖霊は、私たちが神の子であること、そして子であるなら相続人、つまり神の相続人であり、キリストとの相続人であることを、私たちの霊とともに証ししてくださいます。

2. コロサイ 3:1-4 - 上にあるもの、神の右に座しておられるキリストがおられる場所を探してください。地上のものではなく、上にあるものに心を向けなさい。

1ペテロ1:5 彼らは信仰によって神の力によって保たれており、終わりの時に現される救いに備えられています。

ペテロ第一 1:5 では、信者は信仰によって神の力に保たれ、終わりの時に救いを受けると書かれています。

1. 神の揺るぎない力: 救いの約束

2. 信仰と希望: 神の計画を信頼する

1. ローマ人への手紙 8:38-39 – 「死も命も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. ヘブライ 11:1 – 「さて、信仰は、望んでいる事柄を保証し、目に見えない事柄を確信するものです。」

1ペテロ 1:6 ここで、あなたがたは非常に喜んでいますが、必要に応じて今は一時的なものではありますが、さまざまな誘惑によって重苦しさを感じています。

クリスチャンは、さまざまな誘惑によって苦しみを経験するとしても、喜ぶべきです。

1. 苦しみの時に神を信頼する

2. 困難があっても喜ぶ喜び

1. ローマ 8:28 - そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。しかし、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完璧で完全なものになることができます。

1ペテロ 1:7 それは、あなたがたの信仰の試練が、火で試されても朽ちる金よりもはるかに貴重であり、イエス・キリストの出現のときに、賞賛と名誉と栄光に至るためです。

この箇所は、信仰の試練は金よりも貴重であり、イエス・キリストの出現によって賞賛と名誉と栄光がもたらされることが分かると語っています。

1. イエス・キリストへの信仰の価値

2. 信者の真の富

1. ヤコブ 1:2-3 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

1ペテロ1:8 あなたがたは見たことのない人を愛しています。あなたがたは、今は彼を見ませんが、まだ信じていますが、あなたがたは、言葉では言い表せないほどの喜びと栄光に満ちたその人を楽しんでいます。

クリスチャンは、現在イエスを見ることができなくても、喜びにつながる信仰を持っています。

1. 信仰の喜び: 不確実性にもかかわらず、主にあって喜ぶ方法

2. 目に見えない希望の祝福: キリスト教信仰を通じて喜びを体験する

1. ローマ 5:1-5 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

1ペテロ1:9 あなたの信仰の終わり、さらにはあなたの魂の救いを受け取ります。

ペテロはクリスチャンに、神への信仰を持ち、救いが待っているという知識を持って生きるよう勧めています。

1.「信仰の力：神への信仰の報いを得る」

2.「信仰に生きる：私たちの生活における神の愛を理解する」

1. マタイ 19:26 - 「しかし、イエスは彼らを見て言われた、『人間にはそれは不可能だが、神にはどんなことでも可能だ。』」

2. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

1ペテロ 1:10 預言者たちは、その救いについて熱心に尋ね求め、あなたがたに来るはずの恵みについて預言しました。

旧約聖書の預言者たちは、恵みによって与えられる救いを熱心に探し求めました。

1. 旧約聖書の預言者たちはどのようにして救いの約束を発見したか

2. 救いの探求と恵みの賜物

1. ルカ 24:25-27 - そしてイエスは彼らに言った、「ああ、愚か者たち、そして預言者が言ったことをすべて信じるには心の鈍い者たち。キリストはこれらのことを経験して、その栄光に入るべきではなかったのか。」そしてモーセとすべての預言者から始めて、彼はすべての聖典の中で自分に関する事柄を彼らに説明した。

2. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

1 ペテロ 1:11 彼らのうちにおられたキリストの御霊が、キリストの苦しみと後に来るはずの栄光を前もって証ししたとき、それが何を、あるいはどのような時に意味したのかを調べてください。

キリストの御霊は、キリストの苦しみとその後に起こる栄光について前もって証言しました。

1. キリストの苦しみと栄光

2. キリストの御霊の重要性

1. イザヤ書 53:3-5 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人で、悲しみをよく知っていたので、私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2. ローマ人への手紙 8:17 そして、子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦しむなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。

1ペテロ1:12 彼らは、天から遣わされた聖霊によってあなたがたに福音を宣べ伝えた人々によって今報告されている事柄を、自分たちにではなく、私たちに奉仕したことが明らかになりました。天使たちはそれを調べたいと思っています。

この聖句は、最初は預言者たちに啓示され、その後聖霊の力を持つ者たちによって宣べ伝えられた福音の力について語っており、このメッセージは天使たちさえも理解したいと望んでいます。

1. 福音の力: 私たちの言葉はどのようにして天と地に届くのか

2. 天使の願い: 福音はどのようにして人間の理解を超えるのか

1. ローマ人への手紙 1:16-17 - 私は福音を恥とは思っていません。なぜなら、福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人を含め、信じるすべての人に救いをもたらす神の力だからです。なぜなら、その中で「義人は信仰によって生きる」と書かれているように、神の義は信仰による信仰から明らかにされるからです。

2. マタイ 28:19-20 - それゆえ、行って、すべての国民を弟子とし、父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

1ペテロ 1:13 ですから、心に帯を締め、冷静になって、イエス・キリストの啓示によってもたらされる恵みを最後まで待ち望みなさい。

わたしたちはイエス・キリストが再臨されるときに与えられる恵みを期待して、熱心に希望を持ち続ける必要があります。

1. 希望をもって耐え忍びなさい - ペテロ第一 1:13

2. 心を引き締めて冷静になりなさい - ペテロ第一 1:13

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主に望みを持つ者は力を新たにします。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

1ペテロ 1:14 従順な子供として、無知なまま以前の情欲に従って自分を形作らないようにしなさい。

クリスチャンは古い欲望に従って生きるべきではなく、神に従って生きなければなりません。

1. 誘惑に直面しても神に従う

2. 私たちの生活における従順の力

1. ローマ人への手紙 6:12-13 - 「ですから、罪があなたの死ぬべき肉体を支配してはなりません。それは、あなたがたが欲望のままに罪に従うべきであるということです。あなたがたも、自分の体を不正の道具として罪に屈服させてはいけません。むしろ、あなたがた自身を、それらの者として神に委ねなさい。」彼らは死者の中から生き返り、あなたがたの会員は神への義の道具となるのです。」

2. テトス 2:11-12 - 「救いをもたらす神の恵みがすべての人に現れ、不敬虔と世俗の欲望を否定して、この世で慎み深く、正しく、敬虔に生きるべきであることを教えてくださったからです。」

1ペテロ1:15 しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもどんな会話においても聖でありなさい。

クリスチャンは、自分たちを召してくださった神のご性質を反映して、聖なる生活を送るべきです。

1. 神聖な生活を送る – ペテロ第一 1:15

2. 神の聖さの基準 - ペテロ第一 1:15

1. レビ記 19:2 - 「イスラエルの子らのすべての会衆に言いなさい。『あなたがたは聖なる者となる。あなたの神、主であるわたしが聖であるからである。』」

2. マタイ 5:48 - 「天におられるあなたがたの父が完全であるように、あなたがたも完全になりなさい。」

1ペテロ 1:16 「あなたがたは聖くなりなさい。」と書いてあるからです。私は聖なる者だからです。

ペテロは信者たちに、神は聖なるお方であるため、聖なる生活を送るよう勧めています。

1.「聖なるように召されて：神の聖性を受け入れる」

2. 「神の神聖さの力: 純粋な人生を送る」

1. レビ記 11:44-45 - 「わたしはあなたの神、主だから、あなたがたは自分を聖別しなさい。そうすればあなたがたは聖になる。わたしは聖だから…」

2. テサロニケ人への第一の手紙 4:3-5 - 「これは神のご意志であり、あなたがたが聖化されることも、淫行を避けることです。つまり、あなたがた一人一人が聖化と名誉をもって自分の器を所有する方法を知ることです...」

1 ペテロ 1:17 もしあなたがたが、人を尊重することなく、あらゆる人の働きに応じて裁かれる父を呼び求めるなら、ここでの滞在を恐れながら過ごしてください。

私たちは自分の行いに応じて裁かれる神に対して責任を負っているので、敬虔に敬意を持って生きるべきです。

1. 一人の聴衆のために生きる：敬意を持って生きるという呼びかけ

2. 恐れるな、神には希望があるから: 不確実性の真っただ中で信仰を持って生きる

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいるから。落胆するな。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助け、わたしの義の

右の手であなたを支える。」

2. ヘブライ人への手紙 4:13 - 「そして、神の目から隠されている生き物は一人もいません。しかし、すべては裸で神の目にさらされており、私たちはそのことに責任を負わなければなりません。」

1 ペテロ 1:18 あなたがたは、先祖たちからの言い伝えとして受け取った無駄な会話から、銀や金のような朽ちやすいもので贖われたのではないことを知っています。

信者は物質的なものによってではなく、神の恵みによって罪から救われました。

1. 救いの力: 神の恵みが私たちをどのように救うか

2. キリストにおける人生の自由: 伝統から自由に生きる方法

1. ローマ 3:24 - キリスト・イエスにある救いを通して、神の恵みによって無償で義とされる。

2. コロサイ 2:6-7 - したがって、あなたがたは主であるキリスト・イエスを受け入れたのと同じように、キリストのうちに歩みなさい。あなたがたが教えられたように、キリストのうちに根を張って築き上げられ、信仰を確立し、その中で感謝に満ちあふれなさい。

1ペテロ1:19 しかし、傷もしみもない小羊のように、キリストの尊い血があれば、

通路：

使徒ペテロは、イエス・キリストは傷もシミもない究極の子羊であり、イエスの血は貴重であると書きました。

使徒ペテロは、イエス・キリストは完全で罪のない子羊であり、その血は非常に価値のあるものであると教えています。

1. 完璧な子羊: イエス・キリストがいかに私たちの救い主であるか

2. キリストの尊い血: キリストの犠牲の意味を理解する

1. イザヤ書 53:7 - 彼は抑圧され、苦しめられましたが、それでも口を開けませんでした。彼は子羊として屠殺場に連れて行かれ、毛を刈る者の前に立つ羊のように口が利けないので、口を開かなかったのです。

2. コロサイ 1:20 - そして、彼の十字架の血によって平和を実現し、彼によってすべてをご自分と和解させました。それが地上のものであれ、天上のものであれ、

私は彼によって言います。

1ペテロ 1:20 この方は、まことに、天地の基が置かれる前にあらかじめ定められていましたが、この終わりの時に、あなたがたのために現われました。

この箇所は、イエスが天地の基礎の前にあらかじめ定められ、終わりの時に現れたと述べています。

1. イエスの素晴らしい予告

2. 終わりの時代のイエスの顕現

1. エペソ人への手紙 1:4 - 神が世の基が置かれる前に私たちをご自分のうちに選んでくださったように、私たちは神の御前で愛のうちに聖く、とがめられることのない者となるべきです。

2. ヨハネ第一 3:8 - 罪を犯す者は悪魔から出た者です。悪魔は最初から罪を犯しているからです。この目的のために、神の御子は悪魔の業を滅ぼすために現れました。

1ペテロ1:21 この人によって、彼を死人の中からよみがえらせ、栄光を与えてくださった神を信じる人はいます。あなたの信仰と希望が神にあるように。

この聖句は、信仰と希望が神にあるように、イエスを死者の中からよみがえらせ、栄光を与えてくださった神を信頼するよう信者に勧めています。

1: 困難な時に主に信頼する

2: 神への信仰と希望の力

1: ローマ人への手紙 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2: ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されている事柄の本質であり、目に見えない事柄の証拠です。

1 ペテロ 1:22 あなたがたが、兄弟たちへの偽りのない愛に至るまで、御霊によって真理に従って自分の魂を清めてきたのを見て、清い心で熱心に互いに愛し合っていることに注目してください。

信者は御霊の真理に従うことによって魂を清めており、純粋な心で互いに愛し合うべきです。

1. 純粋な心で愛し合う方法

2. 偽りのない愛の力

1. ローマ 12:9-10 - 愛は誠実でなければなりません。悪を憎む。良いものにしがみつく。

2. エペソ人への手紙 4:32 - キリストにおいて神があなたを赦してくださったように、互いに親切にし、同情心を持ち、互いに赦し合いなさい。

1ペテロ 1:23 新しく生まれるのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生きて永遠に残る神の言葉によってです。

この一節は、神の言葉を通して新しく生まれることの大切さを語っています。

1. 神の言葉による新しい命

2. 神の言葉でさわやかにスタート

1. ヨハネ 1:12-13 - しかし、イエスを受け入れた人々は、その名を信じる者たちにさえ、神の子となる力を与えました。肉でも、人間の意志でもなく、神の意志です。

2. ヤコブ 1:18 - 神ご自身の意志で、私たちが神の被造物の初穂のような者となるよう、真理の言葉を私たちに与えてくださいます。

1ペテロ1:24 すべての肉は草のようであり、人の栄光はすべて草の花のようです。草は枯れ、花は散る。

人間の栄光はすべてはかないもので、野の草や花のように消えていきます。

1. 儚さを受け入れる：今この瞬間に喜びを見つける

2. 生命を大切にする: 儚い性質にもかかわらず、生命の美しさを讃える

1. ヤコブ 1:10-11 - 「しかし、金持ちは、身分が低いという点で、草の花のように過ぎ去ってしまうからです。太陽はすぐに灼熱の熱をもって昇りませんが、草は枯れてしまうからです」そしてその花は散り、その流行の恵みは滅びる。」

2. イザヤ書 40:6-7 - 「その声は、『叫びなさい』と言った。そして彼は言った、『何を叫べばよいのか。すべての肉は草であり、そのすべての善は野の花のようである。草は枯れ、花はしぼむ。」：主の霊がその上に吹くからである：確かに民は草である。」

1ペテロ1:25しかし、主の言葉はとこしえに残る。これが福音によってあなたがたに宣べ伝えられた言葉です。

主の言葉は永遠であり、福音を通して私たちに宣べ伝えられます。

1. 主の永遠の御言葉

2. 救いの福音を宣べ伝える

1. イザヤ書 40:8: 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に立つ。」

2. マルコ 1:14-15: 「ヨハネが牢獄に入れられた後、イエスはガリラヤに来られ、神の国の福音を宣べ伝えて言われた、『時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」

ペテロ第一 2 章は、新約聖書のペテロの第一の手紙の第 2 章です。この章では、霊的な成長、神に選ばれた民として生きる、キリストの模範に従うなどのテーマに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、信者に対する悪意、欺瞞、偽善、ねたみ、中傷を取り除くよう勧めることから始まります。彼らは、救いにおいて成長するために、純粋な霊的な乳を望むように召されています(1ペテロ2:1-3)。著者は、彼らが闇から神の驚くべき光の中に呼び出された、聖なる祭司職であり王国民である選ばれた民であることを強調しています（ペテロ第一 2:9）。信者は神の卓越性を宣言し、神に栄光をもたらす名誉ある人生を送ることが奨励されています。

第 2 段落: 4 節から 10 節では、生ける石としてのイエス・キリストと、霊的な家に建てられる生ける石としての信者が強調されています。著者は、イエスが人々に拒絶されたにもかかわらず、神によって隅の親石、つまりすべてが築かれる基礎として選ばれた経緯を強調しています（1ペテロ2:4-8）。信者は選ばれた種族、王の祭司職、神聖な国民として描写されており、神の賛美を宣言するために召されています。彼らはかつては民ではありませんでしたが、今ではキリストを通して憐れみを受けています。

第３段落：11 節以降、信者に対して、未信者の間で正しく生きるよう勧められています。著者は、自分の魂と戦いを繰り広げる罪深い欲望を慎み、その代わりに、自分に敵対する者でさえも訪問の日に神の栄光を現すような、名誉ある振る舞いをするよう彼らに勧めています(1ペテロ2:11-12)。信者は、主のために、つまり支配者や権威に服従し、仲間の信者を深く愛しつつ、すべての人を敬うことが求められています（1ペテロ2:13-17）。著者はまた、家庭関係についても取り上げ、使用人にはたとえ不当な扱いであっても従順であるよう呼びかけ、夫と妻には理解と敬意を持ってそれぞれの役割を果たすよう奨励している。

要約すると、ペテロ第一 2 章は、霊的な成長を望みながら罪深い態度を取り除くよう信者に呼びかけています。それは、イエス・キリストを通して神の驚くべき光の中にもたらされた選ばれた人々としての彼らのアイデンティティを強調しています。それは、信者が霊的な家に建てられる礎石としてキリストを強調し、同時に未信者の名誉ある行動を奨励します。また、社会構造内での服従にも言及し、愛、尊敬、恵みによって選ばれた人々としての使命を認識して自分の役割を果たすことに基づいた家庭関係の指針を提供します。

1ペテロ 2:1 ですから、すべての悪意、すべての陰謀、偽善、ねたみ、そしてすべての悪口を脇に置き、

ペテロは信者たちに、否定的な性質や行動をすべて脇に置くよう勧めています。

1. 美徳の人生を送る: ポジティブな特質を伸ばす方法。

2. 魂を浄化する：罪深い誘惑を捨てる。

1. ピリピ 4:8 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、考えてください。これらのことについて。

2. コロサイ 3:12 - ですから、神に選ばれた者として、聖なる、愛される、思いやりのある心、優しさ、謙虚さ、柔和、そして忍耐を身に着けてください。

1 ペテロ 2:2 生まれたばかりの赤ん坊のように、み言葉の誠実な乳を望み、それによって成長することができます。

新しいクリスチャンは霊的に成長するために、神の言葉の純粋な乳を望むべきです。

1. 御言葉の中で成長する: 私たちの生活における神の御言葉の重要性を理解します。

2. 霊的なミルク: 生まれたばかりのクリスチャンとして神の言葉の重要性を学びます。

1. ヘブライ人への手紙 5:12-14 - 「あなたがたは、いつか教師にならなければならないとき、神の神託の第一原則であることをもう一度人から教えてもらう必要があり、乳が必要な者になるのです。乳を使う人は皆、義の言葉を巧みに使っていないからだ。彼は赤ん坊だからである。しかし、強い肉は、成人した者に属するものであり、使用のために感覚が鍛えられている者であっても、善も悪も見分けなさい。」

2. ペテロ第一 2:1-3 「ですから、すべての悪意、すべての陰謀、偽善、ねたみ、そしてすべての邪悪な言葉を脇に置き、生まれたばかりの赤ん坊のように、み言葉の誠実な乳を望み、それによって成長することができます。もしそうなら、あなたがたは主が慈しみ深い方であることを味わったでしょう。」

1ペテロ 2:3 そうであれば、あなたがたは、主が慈しみ深い方であることを味わったことがあるでしょう。

信者は主が慈しみ深い方であることを認識し、感謝すべきです。

1. 主の慈しみに対して感謝の気持ちを示す

2. 神の慈しみを認識し、親切に応答する

1. エペソ 2:4-7 - しかし、神は憐れみに富んでおり、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリスト

とともに生かしてくださいました。恵みによってあなたは救われました。 ――そして私たちをキリスト・イエスとともによみがえらせ、天上の場所に彼とともに座らせてくださいました。

2. 詩篇 84:11 - 主なる神は太陽であり盾であるからです。主は恵みと栄誉を与えてくださいます。まっすぐに歩く者たちに良いことを差し控えることはありません。

1ペテロ2:4 生きた石のように来られる方は、人には決して許されていないのに、神に選ばれ、尊い方です。

この一節では、イエスが生きた石であり、人々からは拒絶されているが、神にとっては選ばれ、貴重であると描写されています。

1. 神にとって貴重なもの：人々によるイエスの拒絶を考察する

2. 生きている石: キリストの中に私たちのアイデンティティを見つける

1. イザヤ書 53:3 - 彼は人々から軽蔑され、拒絶されています。悲しみの人であり、悲しみを知っている。そして私たちは彼から顔を隠しました。彼は軽蔑されており、私たちは彼を尊敬していませんでした。

2. 詩篇 118:22 - 建築家たちが断った石が隅の頭石となる。

1ペテロ 2:5 あなたがたもまた、生きた石のように、イエス・キリストによって神に受け入れられる霊的な犠牲をささげるために、霊的な家、聖なる祭司職を建てられています。

信者は霊的な家の中の生きた石であり、イエス・キリストを通して神に霊的な犠牲を捧げるように召されています。

1.「ザ・リビング・ストーンズ：精神的犠牲への呼びかけ」

2.「聖性への召し：信者の神権」

1. イザヤ書 28:16 - 「それゆえ、主なる神はこう言われる。見よ、わたしはシオンに土台として石、試された石、貴重な隅の石、確かな土台を置いた。信じる者は急いではならない。」

2. 出エジプト記 19:6 - 「そして、あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これがあなたがイスラエルの子らに語る言葉である。」

1 ペテロ 2:6 したがって、聖書にはこう書かれています。見よ、わたしはシオンに、選ばれた貴重な隅の親石を置きます。そして、彼を信じる者は当惑することはありません。

ペテロ第一 2 章 6 節には、選ばれた貴重な隅の親石を信じる者は恥じることはないと書かれています。

1: 神は私たちを選び、貴重なものにしてくださいました。私たちは神の王国の礎石であり、私たちが神を信頼するとき、神は決して私たちを失望させません。

2: イエスは神の国の礎石です。私たちが神に信仰を置くとき、神は私たちを失望させません。神に対する私たちの信頼は決して無駄にはなりません。

1: イザヤ書 28:16 - それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに土台として、石、試された石、貴重な隅の石、確かな土台を置いた。信じる者は急いではならない。」

2: エペソ人への手紙 2:20 - そして、それらは使徒と預言者という土台の上に建てられており、イエス・キリストご自身がその主要な隅の石となっています。

1 ペテロ 2:7 したがって、この方は貴重であると信じるあなたがたには、しかし不従順な者にとっては、家を建てる者が許可しなかった石が隅の頭とされ、

信者は神にとって貴重ですが、神に従わない者は拒絶されます。

1. 神から見て尊いもの: 神から大切にされるとはどういう意味ですか?

2. 神の礎石を拒否する: 従わないとどうなりますか?

1. マタイ 21:42 - イエスは彼らに言われた、「聖書で『家を建てる者たちが捨てた石が隅の親石となった。主がこれをなさった。それは私たちの目には驚くべきことである』と書かれているのを読んだことがないのか。」

2. 詩篇 118:22 - 家を建てる人たちが捨てた石が礎石になりました。

1ペテロ2:8 また、み言葉につまずいて不従順な者たちにとっても、つまずきの石、罪の岩である。彼らもまた、そこに任命されたのである。

ペテロ第一 2章8節のこの箇所は，不従順で神の言葉につまずく人々がどのようにして目的のために任命されるかを説明しています。

1. 不信者に対する神の計画: 不従順の目的を明らかにする

2. 神の言葉の力: 私たちの反応の影響を理解する

1. イザヤ書 8:14 - そして彼は聖所となるでしょう。しかし、イスラエル両家にとってはつまずきの石と侮辱の石となり、エルサレムの住民にとってはジンと罠となる。

2. ローマ人への手紙 9:33 - 書いてあるとおり、見よ、わたしはシオンにつまずきの石、罪の岩を置いた。彼を信じる者は誰でも恥じることはない。

1ペテロ 2:9 しかし、あなたがたは選ばれた世代であり、王の祭司職であり、聖なる国民であり、特異な民です。それは、あなたがたを暗闇からその驚くべき光の中に呼び出してくださった方への賛美を表わすためです。

信者は王の祭司職、聖なる国民、そして特異な民として選ばれており、神の賛美を表わさなければなりません。

1. 区別された人々として生きるように召されている

2. 神を讃えるために召された

1. イザヤ書 43:7 - わたしの名で呼ばれるすべての人、わたしが栄光のために創造し、形作り、造った者たち。

2. エペソ人への手紙 3:10 - 彼の意図は、今、教会を通して、神の多種多様な知恵が天の領域の支配者と権威者に知らされることでした。

1ペテロ 2:10 昔は民ではなかったが、今は神の民です。彼らは憐れみを受けていませんでしたが、今は憐れみを得ています。

ペテロ第一のこの一節は、かつては神の民ではなかったが、今では憐れみを得て神の民とみなされた民の変容を肯定しています。

1. 変革の力: 神の慈悲がどのように人生を変えることができるか

2. 愛するコミュニティ: 神の計画における私たちの位置を理解する

1. ローマ人への手紙 5:20-21 - 「しかし、罪があふれたところには、恵みがさらに豊かになりました。それは、罪が死に至るまで支配したように、恵みが義を通して支配し、私たちの主イエス・キリストによって永遠の命に至るためです。」

2. エペソ人への手紙 2:4-5 - 「しかし、憐れみ豊かな神は、私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、キリストとともに私たちを生かしてくださいました。（恵みによって、あなたがたは救われました。））」

魂と戦う肉の欲望を慎んでください。

ペテロは信者たちに罪深い欲望を避けるよう励まし、聖なる生活を送るよう勧めています。

1. 神聖さの中を歩む: 肉の欲望を避ける

2. 私たちの魂との戦い: 罪深い欲望に抵抗する

1. ローマ人への手紙 6:12-13 - 「ですから、罪があなたの死ぬべき肉体を支配してはなりません。それは、あなたがたが欲望のままに罪に従うべきであるということです。あなたがたも、自分の体を不正の道具として罪に屈服させてはいけません。むしろ、あなたがた自身を、それらの者として神に委ねなさい。」彼らは死者の中から生き返り、あなたがたの会員は神への義の道具となるのです。」

2. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

1ペテロ 2:12 異邦人の間で正直に話しなさい。それは、彼らが悪を行う者としてあなたがたを非難する一方で、彼らが訪問の日に見るであろうあなたがたの善行によって神の栄光を現すためです。

クリスチャンは、神の栄光が讃えられるよう、誠実に行動し、非信者の間で善行を行うべきです。

1. 暗闇の世界で誠実に生きる

2. 日常生活における良い例の力

1. マタイ 5:16 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめることができます。」

2. テトス 2:7-8 「あらゆることにおいて、善行の模範を示しなさい。教義においては、不潔さ、厳粛さ、誠実さ、健全な話し方、非難されるべきものではないことを示しなさい。そうすれば、反対の立場にある人が恥を知り、あなたについて悪いことを言うことがなくなります。」

1ペテロ 2:13 主のために、人間のあらゆる定めに従いなさい。

たとえ政府がキリスト教徒でなくても、キリスト教徒は政府の法律に従うべきである。

1. 国の法律を遵守する

2. 忠実な市民権

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. テモテ第一2:1-3

1ペテロ 2:14 あるいは総督たち、つまり悪を行う者たちを懲らしめるため、また善行を行った者たちを称賛するために神から遣わされた者たちに。

クリスチャンは政府当局に服従すべきであり、悪人を罰する場合でも、善を行った人を賞賛する場合でも、政府当局に従順であるべきです。

1. 政府当局に従うキリスト教徒の義務

2. 善を行い悪を避ける: 社会に対する私たちの義務

1. ローマ人への手紙 13:1-7

2. テトス3:1-2

1ペテロ 2:15 それは、あなたがたが善行を行うことによって、愚かな人々の無知を沈黙させるという神の御心も同じだからです。

私たちに敵対する人々が沈黙するように、私たちは正しく善いことをすべきです。

1. 反対に直面しても善を行う

2. 善行の力

1. ヤコブ 1:27 - 神と父の前に汚れのない純粋な宗教とは、苦しみの中にある父親のいない人ややもめを訪ね、世から汚れないようにすることです。

2. 箴言 3:27 - あなたの手に力があるとき、善を与えられるべき者にそれを差し控えてはなりません。

1ペテロ2:16 自由な者として、そして悪意の塊のために自由を利用するのではなく、神の僕として。

クリスチャンは、その自由を悪事を行うために利用するのではなく、神に仕えるために利用すべきです。

1. 悪を行うのではなく、神に仕えるために自分の自由を使いなさい。

2. 神の呼びかけを受け入れ、自分の自由を使って正しいことを行いましょう。

1. ガラテヤ 5:13 - 「兄弟たち、あなたがたは自由を得るために召されているのです。自由を肉の目的のために利用するのではなく、愛によって互いに仕えなさい。」

2. ローマ人への手紙 6:18 - 「それから、あなたがたは罪から解放されて、義の僕となった。」

1ペテロ2:17 すべての人を敬え。兄弟愛を愛してください。神を恐れる。王を讃えよ。

私たちはすべての人々を尊重し、クリスチャンの家族を愛し、神を畏れ、指導者を尊敬すべきです。

1. 尊敬の力: なぜすべての人を尊重すべきなのか

2. 神を畏れ、兄弟愛を愛する: クリスチャンの交わりの重要性

1. ペテロ第一2:17

2. ローマ人への手紙 13:1-7

1ペテロ2:18 しもべたちよ、恐れることなく主人に従いなさい。善良で優しい人だけでなく、前向きな人にも。

ペテロはしもべたちに、気質に関係なく主人に従順であるようにと教えています。

1. 「権威への服従: 召使いのためのガイド」

2.「神の従順への期待」

1. コロサイ 3:22-24 - 「しもべたちよ、肉に従って、すべてのことにおいて主人に従いなさい。人の望むように目先の奉仕ではなく、ただ心から神を畏れ、何をするにも心から行いなさい。「人に対してではなく、主に対してである。主について知っているので、あなたがたは相続財産の報いを受けるであろう。あなたがたは主キリストに仕えているからである。」

2. エペソ人への手紙 6:5-8 - 「召し使いたちよ、キリストに対するように、恐れと震えをもって、心一心に、肉による自分の主人である彼らに従順でありなさい。人を喜ばせる者のように、目の前の奉仕ではなく、主人として従順でありなさい。」キリストのしもべ、心の底から神の御心を行う、人に対してではなく主に対して善意を持って奉仕する、どんな良いことをする人でも、その人がどんな善いことをしても、同じように主から受けられることを知っている絆か自由か。」

1ペテロ 2:19 もし人が神に対して良心のある人が不当な苦しみを受けながら悲しみに耐えるなら、それはありがたいことです。

クリスチャンは、たとえそれが不当に与えられたものであっても、神に対する良心のために苦しみに耐えるべきです。

1.「良心のための苦しみ」

2. 「明確な良心をもって苦しみに耐える」

1. マタイ 5:10-12、「義のために迫害されている人たちは幸いです。天の国は彼らのものだからです。他人があなたをののしり、迫害し、私の罪に偽ってあらゆる種類の悪をあなたに向けるとき、あなたは幸いです。」喜びなさい、喜びなさい、あなたの報いは天で大きいのです、なぜなら彼らはあなたの前にいた預言者たちをそのように迫害したからです。

2. ヘブライ 12:1-3、「ですから、私たちは大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷と、まとわりつく罪を脇に置いて、定められたレースを忍耐強く走り抜こうではありませんか」私たちの前で、私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎながら、このイエスは、目の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に座っておられます。罪人たちが自分に対してそのような敵意を抱いているのは、あなたが疲れたり、気が弱くなったりしないようにするためである。」

1ペテロ 2:20 もしあなたがたが、自分の落ち度のために打ちのめされたとき、それを忍耐強く耐えるとしたら、それがどれほどの栄光になるでしょうか。しかし、もしあなたが良いことをして、そのために苦しむとき、それを辛抱強く受け入れるなら、それは神に受け入れられるでしょう。

善を行うときに辛抱強く苦しむことは神に受け入れられます。

1. 善いことをするための忍耐の力

2. 苦しみと神への受け入れ

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. ローマ 5:3-5 - それだけでなく、苦しみは忍耐を生み、忍耐は品性を生み、品性は希望を生むことを知っているので、私たちは苦しみを喜びます。私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれます。

1ペテロ2:21 あなたがたがここに召されたのは、キリストも私たちのために苦しみ、あなたがたがその足跡に従うようにと、模範を残してくださったからです。

クリスチャンはイエスの模範に従い、義のために苦しむよう求められています。

1. 私たちはキリストの模範に従うよう招かれています

2. 正義のための苦しみの力

1. マタイ 16:24-25 - 「それから、イエスは弟子たちに言われた、『もしだれかがわたしの後について来るなら、その人は自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従ってきなさい。』自分の命を救おうとする者はそれを失うが、私の為に自分の命を失う者はそれを見つけるだろう。」

2. ローマ人への手紙 8:17 - 「そして、子供であれば相続人、つまり神の相続人であり、キリストとの仲間の相続人です。ただし、私たちもキリストと共に栄光を受けるために、キリストと共に苦しみます。」

1ペテロ 2:22 この人は罪を犯さなかったし、その口には悪意も見られませんでした。

この箇所では、イエスは罪を犯しておらず、口に悪意もなかったと説明されています。

1. イエス・キリストの神聖さ: 彼の完璧さがどのように信者に模範を示すか

2. 純粋な舌の力: イエスの言葉は私たちの生活をどのように変えることができるか

1. マタイ 22:37-40 – 心、魂、思いを尽くしてあなたの神、主を愛してください。

2. エペソ 4:29-32 – 堕落させるような話をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く人に恵みを与えるために、その場に応じて築き上げるのに良い話だけをしてください。

1ペテロ 2:23 彼はののしられても、再びののしりませんでした。苦しんでいるときも、脅迫はしなかった。しかし、正しく裁く方に身を委ねなさい。

イエス・キリストは報復することなく苦しみ、神が正しく裁いてくださると信頼しました。

1. 赦しの力: イエスは苦しみにどう対処するかを私たちに教えてくださった

2. 困難な時に神を信頼する: イエスの模範

1. マタイ 5:38-42 - 敵を愛し、報復してはならないというイエスの教え。

2. イザヤ 53:7 - イエスの苦しみと神への信頼についてのイザヤの預言。

1ペテロ2:24 御自身が、木の上でご自分の体で私たちの罪を負ってくださったのは、罪に対して死んでいる私たちが義に生きるためであり、その打ち傷によってあなたがたは癒されたのです。

この箇所は、私たちが癒されて正しく生きることができるように、十字架で私たちの罪を負ってくださったイエスについて語っています。

1. イエスの犠牲の力: イエスは私たちの救いのために究極の代償をどのように支払われたか

2. 癒しの賜物: イエスはどのように私たちに義の新しい生活を与えてくださるのか

1. イザヤ書 53:5 しかし、彼は私たちの罪のために負傷し、私たちの咎のために傷を負いました。私たちの平和の懲罰が彼にありました。そして彼の打ち傷によって私たちは癒されるのです。

2. エペソ人への手紙 2:4-5 しかし、憐れみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、私たちが罪の中で死んでいたときでさえ、キリストとともに私たちを生かしてくださいました（恵みによってあなたがたは救われました）。

1ペテロ2:25 あなたがたは、迷える羊のようでした。しかし今は、あなた方の魂の羊飼いであり司教の元に返されています。

クリスチャンは義の道から外れてしまいますが、魂の羊飼いであり司教であるイエスに立ち返れば、戻る道を見つけることができます。

1. 迷える羊を導く羊飼いイエス

2. 私たちの魂の司教であるイエスに立ち返る

1. イザヤ書 53:6 – 羊のような私たちは皆、迷いました。私たちはすべての人を自分の道に向けました。そして主は私たち全員の咎を彼に負わせました。

2. ヨハネ 10:11 – わたしは良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捧げます。

第一ペテロ 3 章は、新約聖書のペテロの第一の手紙の 3 章です。この章は主に、結婚や未信者との交流を含むさまざまな関係に関する指示に焦点を当てています。

第 1 段落: この章は妻と夫への指示から始まります。妻は、たとえ言葉に従わないとしても、夫の敬虔な行ないが妻を魅了することを望み、自分の夫に服従するよう奨励されています(1ペテロ3:1-2)。著者は、妻を特徴付ける貴重な特質として、外見的な装飾よりもむしろ内面の美しさと穏やかな精神を強調しています(1 ペテロ3:3-4)。一方、夫は妻とともに思いやりを持って生活し、神の恵みの仲間としての栄誉を妻に示すよう教えられています(1ペテロ3:7)。

第 2 段落: 8 節から 12 節では、一致、思いやり、善をもって悪を克服することが強調されています。信者は互いに調和し、同情的であり、兄弟姉妹のように愛情深く、心優しく、謙虚な態度で互いに交流するよう求められています(1ペテロ3:8)。彼らは、悪には悪を、侮辱には侮辱を返すのではなく、自分自身も祝福を受け継ぐために他の人を祝福するよう勧められています（1ペテロ3:9-12）。著者は、人生を愛し、良い日々を過ごしたいと願う人は、悪から離れて正義を追求

しなければならないことを強調しています。

第 3 段落: 13 節以降、信者に対する、反対や迫害に直面したときに自分の信仰を弁護する用意ができているようにとの勧めがあります。著者は、自分たちを傷つけるかもしれない人々を恐れるのではなく、心の中でキリストを主として神聖化するよう勧めています。彼らは、他の人に対して優しく敬意を持った態度を保ちながら自分の希望の理由を常に説明できるようにしておかなければなりません(1ペテロ3:14-16)。著者はまた、悪を行って苦しむよりも善を行って苦しむほうが良いと指摘し、不当に苦しみながらも最終的には死と復活によって罪に勝利したキリストの例を強調しています。

要約すると、ペテロ第一 3 章はキリスト教共同体内のさまざまな関係についての指示を与えています。それは、服従、敬意、相互の名誉を強調する妻と夫の役割に焦点を当てています。それは信者に団結、共感、そして報復ではなく祝福を通して悪を克服するよう呼びかけます。また、それを認識する他の人に対して穏やかな態度を維持しながら、自分の信仰を守る準備を奨励します。この章では、人間関係の中で敬虔な原則に従って生きること、希望を証しすること、迫害に忠実に耐えることを強調しています。

1ペテロ 3:1 同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。言葉に従わない人がいるなら、言葉がなくても妻たちの会話で勝ち取られる可能性もあります。

妻は夫に服従すべきであり、そうすることで夫は説教をせずに説得されるかもしれません。

1. 神の計画に従う: 夫に服従する

2. 結婚における敬虔な模範の力

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻たちよ、主に従うのと同じように夫に従いなさい。

2. コロサイ 3:18-19 - 妻たちよ、主にふさわしいとおり、夫に従いなさい。

1ペテロ3:2 彼らはあなたの貞淑な会話と恐怖を見つめている間。

信者は神への敬意を反映するような生き方をすべきです。

1. 神への畏敬の念を反映した生活を送る。

2. 行動を通じて信仰を示します。

1. コロサイ 3:12-17 - 同情心、優しさ、謙虚さ、柔和、忍耐を身につけてください。

2. ヤコブ 2:26 - 行いのない信仰は死んだものです。

1ペテロ 3:3 その装飾は、髪を編んだり、金を着たり、衣服を着たりするような外見的な装飾であってはなりません。

ペテロは信者たちに、凝った髪型や高価な衣服などの外見に焦点を当てないよう勧めています。

1.「世界の美の基準を覆す、内側からの美しさ」

2.「真の装飾：見た目と性格」

1. イザヤ書 61:10 - 「わたしは主にあって大いに喜びます。わたしの魂はわたしの神にあって喜びます。神はわたしに救いの衣を着せ、義の衣をわたしに着せてくださったからです。」

2. コロサイ 3:12 - 「それでは、神に選ばれた者として、聖なる、愛される心、憐れみの心、優しさ、謙虚さ、柔和、そして忍耐を身に着けなさい。」

1ペテロ3:4 しかし、それは、朽ちることのない心の隠れた人、つまり柔和で静かな霊の飾りであり、神の目には非常に貴重なものであるべきです。

クリスチャンは神に高く評価される柔和で静かな精神を培うよう努めるべきです。

1.「柔和で静かな精神の美しさ」

2. 「柔和で静かな精神の価値」

1. ヤコブ 1:19-20 - 「愛する兄弟たち、このことを知ってください。すべての人は、聞くのが早く、話すのが遅く、怒るのが遅いようにしなさい。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。」

2. イザヤ書 66:2 - 「それらすべてのものはわたしの手で造られ、それらのものはすべて存在する」と主は言われます。「しかし、私はこの人に目を向けます。貧しく、悔い改めた精神を持ち、私の言葉におののく人に目を向けます。」

1 ペテロ 3:5 というのは、昔の聖なる女性たちもこのようにして、神を信頼し、自分の夫に服従して身を飾りました。

昔の聖女たちは夫に服従しながらも神を信頼し、自分を飾りました。

1. 敬虔な妻の力

2. 神と神の結婚計画への信頼

1. エペソ人への手紙 5:22-24 - 妻は夫に従いなさい

2. 箴言31:10-31 - 貞淑な妻

1 ペテロ 3:6 サラがアブラハムを主と呼んで従ったように、あなたがたはその娘です、うまくやっていて、何の驚きも恐れない限り。

クリスチャンはアブラハムに従い、彼を主と呼んだサラの例に倣うべきであり、善を行い恐れなければ祝福されるでしょう。

1. 従順の力: サラの模範から学ぶ

2. 恐れるな：不安を克服し、信仰の祝福を得る

1. 創世記 21:12 - そして神はアブラハムに言った、「若者とあなたの奴隷女のせいで、あなたの目に悲惨なことが起こらないように。」サラがあなたに言ったすべてのことについて、彼女の声に耳を傾けてください。イサクのうちにあなたの子孫が呼ばれるからです。

2. ヘブライ 13:7 - あなたを支配している人々、神の言葉をあなたに語った人々を思い出してください。彼らの会話の終わりを考慮すると、彼らの信仰は続きます。

1ペテロ 3:7 同様に、夫たちよ、知識に従って妻とともに暮らし、妻を弱い器であるかのように、また命の恵みをともに受け継ぐ者であるかのように、妻に敬意を表しなさい。あなたの祈りが妨げられないように。

夫は妻を敬い、祈りが妨げられないように敬意を持って接するべきです。

1. 結婚における相互尊重の力

2. 配偶者を敬う: 祈りが聞かれるまでの道

1. エペソ 5:25-33 - キリストが教会を愛したように、夫も妻を愛すべきです。

2. コロサイ 3:19 - 夫は妻に対して親切で優しい心を持つべきです。

1ペテロ 3:8 最後に、あなたがたは心を一つにし、互いに思いやりを持ち、兄弟のように愛し、哀れみを持ち、礼儀正しくありなさい。

一節ペテロはキリスト教徒が互いに心を一つにし、親切で、愛情深く、礼儀正しく接するよう勧めています。

1. 「一致して生きる：なぜキリストにある兄弟姉妹を愛する必要があるのか」

2. 「教会における思いやり: どうすればお互いに優しさを示せるか」

1. ヨハネ 13:34-35 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたは互いに愛しなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。あなたたちが互いに愛を持っているなら、これによってすべての人はあなたたちが私の弟子であることを知るでしょう。」

2. ローマ人への手紙 12:10 「兄弟愛をもって互いに親切に愛し合いなさい。お互いを優先することに敬意を表して。」

1ペテロ 3:9 悪には悪を、あるいは手すりには手すりを与えるのではなく、逆に祝福を与えます。あなたたちがそこに召されていること、祝福を受け継ぐべきであることを知っています。

私たちは悪に対してさらなる悪で対応すべきではなく、代わりに、神からの祝福を受け継ぐことが私たちの使命であることを理解して、私たちに悪いことをする人たちを祝福すべきです。

1: 悪に対してさらなる悪で応じないでください。代わりに、神が祝福を受けるようにあなたを呼んでいることを知って、あなたに悪いことをする人たちを祝福してください。

2: 私たちは自分に対して行われた悪事に対する復讐を求めるべきではありません。その代わりに、私たちを傷つけた人々を祝福し、神が私たちに祝福を与えてくださると信頼すべきです。

1: ローマ人への手紙 12:14-21 - あなたを迫害する人々を祝福してください。彼らを呪わないでください。

2: マタイ 5:43-48 - 敵を愛し、あなたを迫害する人々のために祈りましょう。

1 ペテロ 3:10 人生を愛し、良い日々を過ごしたい人は、悪を語らないように舌を慎み、悪口を言わないように唇を震わせなさい。

愛と喜びに満ちた人生を送るためには、悪口や陰険な言葉を慎まなければなりません。

1. 言葉の力: 人生と愛を語る方法

2. 良い日を育む: 悪を避ける方法

1. ヤコブ 3:5-12 - 舌を飼いならす

2. 箴言 12:18 - 義の言葉は喜びと命をもたらす

1ペテロ 3:11 悪を避けて善を行いなさい。彼に平和を求めさせ、それを実現させてください。

クリスチャンは悪から離れて善を行い、平和を追求し、それを追求し続ける必要があります。

1.「平和の道を選ぶ」

2.「悪から離れる」

1. ローマ人への手紙 12:18 - 「できれば、あなた次第である限り、すべての人と平和でいてください。」

2. フィリピ 4:8 - 「最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、評判の良いこと、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、こういったことにこだわってください。」

1ペテロ3:12 主の目は義人たちに注がれ、その耳は彼らの祈りに開かれている。しかし主の御顔は悪を行う者たちに向けられている。

主は義人の祈りに耳を傾け、悪を行う者たちに敵対されます。

1. 神は義人の祈りを聞き、彼らを守ってくださいます。

2. 私たちは主の目に正しいことを行うように努めなければなりません。主は悪に反対されるからです。

1. 詩篇 34:15 - 主の目は義人たちに注がれ、その耳は彼らの叫びに開かれている。

2. 箴言 15:29 - 主は悪者から遠く離れますが、義人の祈りを聞きます。

1ペテロ 3:13 もしあなたがたが善いことに従うなら、あなたに危害を加える者は誰でしょうか。

キリストを信じる者は、善を行うことが保護をもたらすので、反対する者たちからの危害を恐れるべきではありません。

1. 神に従う者たちを神は守ってくださるので、神に敵対する者たちを恐れないでください。

2. 神に信頼を置けば、危害から身を守ることができます。

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるから、落胆しないでください。わたしはあなたの神だからです。わたしはあなたを強めます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます」私の正義について。」

2. 詩篇 34:7 - 「主の御使いは、主を恐れる者の周りに陣を張り、彼らを救い出す。」

1ペテロ 3:14 しかし、もしあなたがたが義のために苦しむとしても、あなたがたは幸いです。彼らの恐怖を恐れることも、悩むこともありません。

クリスチャンは、神への信仰のために迫害を受けることを恐れるべきではありません。迫害は彼らに喜びをもたらします。

1. 心を騒がせないでください: 迫害を通して主がどのように私たちを慰めてくださるか

2. 主にあって喜ぶ：義のために苦しむことに喜びを見出す

1. イザヤ書 41:10 - 「恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。」

2. コリント人への第二の手紙 4:17-18 - 「私たちの軽い苦しみは、ほんの一瞬ですが、はるかに大きな永遠の栄光の重みを私たちにもたらします。私たちは見えるものではなく、見えないものを見ます。なぜなら、見えるものは一時的なものだからです。しかし、目に見えないものは永遠です。」

1ペテロ3:15 しかし、あなたがたの心の中で主なる神を聖別しなさい。そして、あなたの中にある希望の理由を尋ねるすべての人に、柔和と恐れをもっていつでも答えられるように備えておいてください。

クリスチャンは常に謙虚さと敬意を持って自分の信仰を説明する用意ができていなければなりません。

1. 信仰生活を送り、それを他の人に説明できることの大切さ。

2. 優しさと敬意をもって福音の希望を分かち合う方法。

1. マタイ 5:16 - 人々があなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父を讃えるように、あなたの光を人々の前で輝かせてください。

2. コロサイ 4:5-6 - 外にいる人々に向かって知恵をもって歩み、時間を救います。すべての人にどのように答えるべきかを知ることができるように、あなたの

スピーチは常に優雅で、塩で味付けされたものにしてください。

1ペテロ3:16 正しい良心を持ちなさい。それは、彼らが悪を行う者のように、あなたの悪口を言う一方で、あなたがキリストにある善良な会話を誤って非難することを恥じるためである。

この一節は、迫害者が冤罪を恥じないよう、クリスチャンに良心を保つよう勧めています。

1. 「良心: クリスチャンとしての生活の基礎」

2.「光の中で生きる：良心を通して迫害を克服する」

1. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。

2. コリント人への第一の手紙 10:31 - ですから、食べるにしても、飲むにしても、何をするにしても、すべて神の栄光のために行いなさい。

1ペテロ 3:17 もし神のご意志がそうであれば、あなたがたが善行のために苦しむ方が、悪行のために苦しむよりも良いからです。

神の御心に従って、悪を行って苦しむよりも、善を行って苦しむ方が良いのです。

1. 善を行う力: 敬虔な苦しみの人生を生きる方法

2. 義なる苦しみの報い：神のご意志に従って生きることを学ぶ

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

2. ピリピ 1:29 - あなたがたには、キリストのために、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも与えられているからです。

1ペテロ 3:18 なぜなら、キリストも、義なる者が不正な者のためにかつて罪のために苦しみ、それは、私たちを神のもとに導くためであり、肉においては死に処せられましたが、御霊によって生かされたからです。

キリストは私たちを神のもとに導くために苦しみ、死なれましたが、御霊によって生かされました。

1.「正しい者と不正な者：キリストの究極の犠牲」

2.「復活の力」

1. イザヤ書 53:5 - しかし、彼は私たちの罪のために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれました。私たちに平和をもたらした罰は彼にあり、彼の傷によって私たちは癒されました。

2. ローマ 8:11 - そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたの中に住んでいるなら、キリストを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住んでおられる御霊のゆえに、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

1ペテロ 3:19 それによって、彼はまた獄中の霊たちに行って宣べ伝えました。

イエスは獄中で霊たちに説教しました。

1. イエスの力: 神のメッセージをすべての人に届ける。

2. イエスの福音は、最も絶望的に見える人さえもどのように変えることができるか。

1. エペソ 4:8-10 - したがって、「高い所に昇られたとき、彼は大勢の捕虜を率い、人々に贈り物を与えた」と書かれています。（「彼は昇天した」と言うとき、彼はより低い領域、つまり地球にも降臨したということ以外に何を意味しますか？降臨した彼は、すべてのものを満たすために、すべての天のはるか上に昇った人でもあります。）

2. ヘブライ 2:14-15 - したがって、子供たちは血と肉を分かち合っているので、彼自身も同様に同じものにあずかりました。それは、死の力を持つ者、つまり悪魔を死によって滅ぼすためであり、死の恐怖によって生涯奴隷状態にあったすべての人々を救い出します。

1 ペテロ 3:20 かつてノアの時代に神の忍耐が待っていたとき、彼らは箱舟が備えられていたとき、少数の、つまり八人の魂が水によって救われました。

ノアの時代、神は箱舟が準備されるまで辛抱強く待ち、最終的に救われたのはわずか8人の魂だけでした。

1. 神が約束を守ってくださると信じて、辛抱強く神を待つことを学ぶ。

2. 神の御心に従うことの重要性。

1. 創世記 6:5-7 - そして神は、地上では人間の邪悪がはびこっており、人間の心の思いを想像することは常に悪でしかないことをご覧になりました。そして主は、自分が地上に人を造ったことを悔い改め、心の中で悲しんだ。そして主は言われた、「わたしはわたしが地の表面から創造した人間を滅ぼす。人間も、獣も、這うものも、空の鳥も。私がそれらを作ったことを悔い改めているからです。

2. ローマ 5:6-8 - 私たちにまだ力がなかったとき、やがてキリストは不敬虔な人々のために死んでくださいました。というのは、義人にとっては滅多に死ぬことはないのに、善人にとってはあえて死ぬことさえある人もいるからである。しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにおいて、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されています。

1 ペテロ 3:21 バプテスマでさえも行う同様の姿が、今ではイエス・キリストの復活によって私たちを救います（肉の汚れを取り除くことではなく、神に対する正しい良心の答えです）。

バプテスマは、イエス・キリストの復活によってもたらされる救いの表れとみなされており、それは私たちに神の前に正しい良心をもたらします。

1. 洗礼は、イエス・キリストによる私たちの救いの強力な象徴です。

2. 私たちはイエス・キリストの復活を通して神の前に正しい良心を持たなければなりません。

1. ローマ人への手紙 6:3-4 - イエス・キリストへのバプテスマを受けた私たちの多くが、その死へのバプテスマを受けたことを知らないのですか。したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られます。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちもまた新たな命の中を歩むべきなのです。

2. ローマ人への手紙 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心から正義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。

1ペテロ3:22 だれが天に行って神の右にいるのか。天使と権威と権力が彼に服従するのです。

この箇所は、すべての天使と権威と権力がキリストに服従する、キリストの至高性と権威について語っています。

1. キリストの威厳と力

2. キリストの主権を理解する

1. コロサイ 1:15-17 目に見えない神の似姿、あらゆる被造物の初子とは誰ですか。

2. 黙示録 5:11-14 そして、天と地と地の下にあるすべての生き物、そして海の中にいるものとその中にいるすべてのものは、わたしが「祝福と栄光あれ」と言うのを聞いた。そして栄光と力が、世々限りなく、玉座に座る者と小羊にありますように。

第一ペテロ 4 章はペテロの最初の手紙の 4 章であり、そこで使徒は信者に語りかけ、キリストにおける新しいアイデンティティに照らして生きるよう彼らに勧めています。この章では、神の目的のために生きること、苦しみに耐えること、そしてお互いに愛とおもてなしを実践することの重要性を強調しています。

第 1 段落: ペテロは信者たちにキリストの考え方で武装するよう勧めています (1 ペテロ 4:1-6)。イエスは、キリストが地上の生涯で苦しみを受けたのだから、彼らも同様に苦しむ備えをしておくべきであると思い出させます。罪深い欲望に溺れるのではなく、神のご意志に焦点を当てた考え方を採用することによって、彼らは地上での残りの時間を神の目的に従って生きることができます。使徒は、彼らの前世は世俗的な行動によって特徴付けられていたが、今では人間の欲望に従うのではなく神を敬うという、異なる生き方をするよう求められていると強調しています。

第 2 段落: ペテロは信者たちに、互いに深く愛し合い、もてなしの精神を発揮するよう勧めています (1 ペテロ 4:7-11)。彼は万物の終わりが近づいていることを強調し、心を清く保ち、自制心を持って祈るよう勧めています。愛は多くの罪をカバーするので、彼らは互いに熱烈に愛し合うべきです。信者はまた、イエス・ キリストを通して神に栄光をもたらすために、話すことでも奉仕することでも、お互いに忠実に奉仕するために霊的な賜物を活用することが奨励されています。

第 3 段落: この章は、クリスチャンであることによる苦しみについて言及して終わります (1 ペテロ 4:12-19)。ペテロは信者たちに、激しい試練に直面しても、何か奇妙なことが起こっているかのように驚かないでください、と保証しています。むしろ、彼らはキリストの苦しみを分かち合っているので、喜ぶべきでありそれは喜びと将来の栄光の原因なのです。キリストの名を名乗るために迫害されたとしても、信者は祝福されます。それは、信者の上に栄光の御霊が宿っていることを示すからです。彼らは、神の忠実な配慮に身を委ねながら、たとえ迫害の最中であっても、恥じることなく神の栄光を現すよう奨励されています。

要約すれば、

ペテロ第一の第 4 章は信者に、神の御心を中心として考え方を変えて生きるよう勧めています。

ペテロは彼らに、世俗的な行いを離れ、キリストの苦しみにあずかる者として苦しみを受け入れるように勧めます。

信者は互いに深く愛し合い、自分たちの霊的賜物を忠実に使ってもてなしを行うことが奨励されています。

この章は、クリスチャンであるために迫害や試練に直面するかもしれないが、キリストの苦しみと将来の栄光を共有していると知って喜ぶことができると信者に保証して締めくくられています。彼らは恥じることなく、代わりに神の忠実な配慮に身を委ねながら、苦難の中でも神に栄光を帰すよう求められています。

1ペテロ 4:1 ですから、キリストが私たちのために肉において苦しみを受けられたのと同じように、あなたも同じ思いで武装しなさい。肉において苦しみを受けた人は罪をやめたからです。

クリスチャンはキリストの模範に従い、キリストが私たちのために苦しみ、罪を止められたのと同じ考え方で武装すべきです。

1. 犠牲の人生を生きる: キリストの模範に従う方法

2. 罪をやめる: 神聖な生活を送る方法

1. ローマ人への手紙 6:1-2 - 「それでは、何と言おうか。恵みが豊かになるように、罪の中に留まり続けるべきだろうか。神はそれを禁じている。罪に対して死んだ私たちは、どうやってこれ以上罪の中に生きられるだろうか。」

2. ガラテヤ 5:24 - 「そして、キリストのものである者たちは、愛情と欲望をもって肉を十字架につけました。」

1ペテロ4:2 それは、彼がもはや肉において残りの時間を人間の欲望に従って生きるのではなく、神の御心に従って生きるためである。

信者はもはや人間の欲望に従って生きるのではなく、神の意志に従って生きるべきです。

1. 神の意志の力: 従順な人生を生きる方法

2. 自分の欲望よりも神の意志を選択する

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. エペソ人への手紙 5:15-17 - それでは、自分がどのように歩むかをよく見てください。愚かな者としてではなく、賢い者として、時間を最大限に活用して歩きましょう。悪しき日々が続いているからです。したがって、愚かではなく、主の御心が何であるかを理解してください。

1 ペテロ 4:3 私たちの生涯のうち、好色、情欲、過剰なぶどう酒、酒宴、宴会、そして忌まわしい偶像崇拝の中を歩んできた過去の期間で十分かもしれません。

私たちの過去の人生は、罪深い行為にふけったり、偶像を崇拝したりするなど、異邦人の欲望に従って過ごしてきました。

1. 悔い改めの力

2. 神の許しの良さ

1. イザヤ書 55:7 - 悪者は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。そして彼を主に立ち返らせなさい。そうすれば主は彼を憐れんでくださるでしょう。そして私たちの神に、彼は豊かに赦してくださいます。

2. ローマ 5:8- しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を称賛されます。

1ペテロ 4:4 そこで彼らは、あなたがたが悪口を言いながら、同じ行き過ぎの暴動に一緒に走らないのは奇妙だと考えています。

キリスト教徒は、仲間たちと同じ罪深い活動に参加していないとして批判されている。

1. 罪深い行為を慎み、世に合わせることを拒否する

2. 世界に合わせるのではなく、心を一新して変革しましょう

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 世や世のものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。なぜなら、この世に存在するすべてのもの、つまり肉の欲望、目の欲望、所有物に対する誇りは、父からではなく、世から来たものだからです。そして世界はその欲望とともに過ぎ去っていきますが、神の御心を行う者は永遠に残ります。

1ペテロ4:5 生きている者と死んだ者を裁こうとしている者に、誰が責任を負うでしょうか。

一節: 誰もが自分の行動を神に報告しなければなりません。神は生きている者も死者も裁く用意ができています。

1. 誰も神の裁きから逃れることはできません。私たちは備えなければなりません。

2. 私たちは皆、裁きの日を恐れる必要がないように、神に喜ばれる人生を送らなければなりません。

1. ヘブライ人への手紙 9:27 - そして、人間には一度死ぬことが定められているが、その後には裁きが下される。

2. ローマ人への手紙 14:12 - ですから、私たちは皆、神に対して自分自身の説明をしなければなりません。

1ペテロ4:6 このような理由から、死んだ人たちにも福音が宣べ伝えられたのは、彼らが肉においては人間に従って裁かれても、霊においては神に従って生きるためである。

福音が宣べ伝えられたのは、亡くなった人々が肉においては人間によって裁かれても、神の霊の中で生きることができるようにするためです。

1. 福音の力: 福音はどのように人生を変えることができるか

2. 命を与える神の霊: 聖霊によってリフレッシュされた人生を経験する

1. ヨハネ 6:63 - 命を与えるのは御霊です。肉はまったく役に立ちません。

2. ローマ 8:11 - イエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊があなたがたのうちに住んでいるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたの内に住む御霊を通して、あなたの死ぬべきからだにも命を与えてくださるでしょう。

1ペテロ 4:7 しかし、すべての終わりは近づいています。だから、あなたがたは心を静め、祈りに気をつけていなさい。

私たちは世界の終わりに備えて警戒し、祈りに集中すべきです。

1. 終わりが近づいたとき: 不確実な時代に祈ることの重要性

2. 素面になって祈る：世界の終わりに備える方法

1. マタイ 6:5-13 - 祈りに関するイエスの教え

2. テサロニケ第一 5:6-8 - 用心深く注意深くあることに関するパウロの教え

1ペテロ4:8 そして、何よりもまず、あなたがた自身の間に熱烈な慈愛を持ちましょう。慈愛は多くの罪を覆うからです。

愛は多くの罪を覆うので、クリスチャンは互いに熱烈な愛を持つべきです。

1.「愛の力: 愛は私たちの罪をどのようにカバーするか」

2.「熱烈な慈善：すべての最大の戒め」

1. コリント人への手紙第一 13:4-7 - 「愛は忍耐強く、愛は親切です。それはねたまない、自慢しない、高慢ではありません。他の人の名誉を傷つけることはありません、利己的ではありません。」

2. ヤコブ 5:16 - 「ですから、癒されるために、互いに罪を告白し、互いに祈りなさい。義人の祈りは大きな力を持って働いています。」

ペテロ第一 4:9 恨みを持たずに互いにもてなしなさい。

クリスチャンは文句を言わずに互いにもてなしを示すべきです。

1. 寛大さ: ペテロ第一 4:9 からの教訓

2. ホスピタリティの力: 信者の仲間に愛を示す

1. ローマ 12:13 - 困っている神の民と分かち合いましょう。ホスピタリティを実践しましょう。

2. ヘブライ 13:2 - 見知らぬ人にもてなしを示すことを忘れないでください。そうすることで、知らず知らずのうちに天使にもてなしを示している人もいるからです。

1ペテロ 4:10 すべての人が賜物を受けているのと同じように、神のさまざまな恵みの良き管理人として、同じ人を他の人に仕えなさい。

クリスチャンは自分の賜物を利用して、謙虚さと感謝の気持ちを持って互いに仕えるべきです。

1.「神の恩寵の管理人」

2. 「他者に奉仕する謙虚さ」

1. マタイ 25:14-30 - 才能のたとえ

2. エペソ人への手紙 4:7 - 私たち一人一人には、キリストの体の益のために活用する賜物があります。

1ペテロ4:11 だれかが語るなら、神の託宣として語らせなさい。もし奉仕する人がいるなら、神が与えてくださった能力に従ってそれをしなさい。それは、神がイエス・キリストを通してすべてのことにおいて栄光を受けられ、神が永遠に賛美と支配とされるようにするためである。アーメン。

クリスチャンは自分の言葉と能力を用いて、イエス・キリストを通して神の栄光を現わすべきです。

1.「イエス・キリストを通して神の栄光を現す」

2. 「言葉と能力を使って神を敬う」

1. エペソ 2:10: なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られたからです。神は、私たちがその良い行いの中を歩むように、あらかじめ用意してくださったのです。

2. コロサイ 1:10: それは、主にふさわしい生き方をし、主に十分に喜ばれ、あらゆる良い行いで実を結び、神についての知識を増すためです。

1ペテロ4:12 愛する人よ、あなたを試みる激しい試練については、何か奇妙なことがあなたに起こったかのように、不思議ではないと考えてください。

ペテロは信者たちに、試練に直面しても驚かないように勧めています。試練はクリスチャンの経験の一部だからです。

1.「信仰を持って試練に立ち向かう：困難な時に強さを見つける方法」

2. 「火の試練: 信者の人生における試練を理解する」

1. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭ったとき、それをすべて喜びと考えなさい。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなた方は知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮しなさい。」

2. ローマ 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えています。」

1ペテロ4:13 しかし、あなたがたはキリストの苦しみにあずかっているのですから、喜びなさい。それは、神の栄光が現されるとき、あなたがたもまた、この上ない喜びをもって喜ぶであろう。

信者は苦しみを喜びとするべきです。それはキリストに従う者であることの一部だからです。そして、キリストの栄光が現されるとき、彼らは喜びで満たされるでしょう。

1. 苦しみを喜ぶ：苦しみの中で喜びを見つける方法

2. キリストの栄光: 明らかにされたその素晴らしさから喜びを得る

1. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、苦しみは忍耐を生み、忍耐は品性を生み、品性は希望を生み、希望は私たちに恥じることがないことを知っているので、私たちは苦しみを喜びます。

2. イザヤ書 35:10 - そして、主の身代金は歌いながら戻ってきてシオンに来るでしょう。永遠の喜びが彼らの頭にあるでしょう。彼らは喜びと喜びを獲得し、悲しみとため息は消え去ります。

1ペテロ 4:14 もしあなたがたがキリストの名のために非難されるなら、あなたがたは幸いです。栄光と神の霊があなた方の上に留まっているからです。彼らの側では彼は悪口として語られていますが、あなた方の側では彼は栄光を受けています。

キリストを信じる者は、キリストの名によって非難されることを恥じるべきではありません。それは神の御霊が彼らの上に留まり、キリストが栄光を受けているしるしだからです。

1. 非難を喜ぶ：キリストのために迫害を祝う

2. 御霊の祝福: 批判に直面しながらも神の安息を体験する

1. テモテ第二 3:12 - キリスト・イエスにあって敬虔な生活を送りたいと願う人は皆、迫害されます。

2. 使徒 5:41 - 使徒たちは、自分たちがイエスの名のために不名誉を受けるに値するとみなされたことを喜びました。

1ペテロ 4:15 しかし、あなたがたはだれも、人殺し、盗人、悪を行う者、あるいは他人の事で煩わしい者として苦しんではいけません。

クリスチャンは、殺人者、泥棒、悪行者、またはおせっかい者であることを理由に、いかなる形でも苦しむべきではありません。

1.「純粋な人生を送る」

2.「神の意志に従って生きる」

1. 箴言 11:3 - 正しい者の誠実は彼らを導きますが、不実な者の曲がったことは彼らを滅ぼします。

2. エペソ 4:28 - 盗人はもう盗むのではなく、困っている人に何かを分け与えることができるように、自分の手で正直に働いて働かせてください。

1ペテロ 4:16 しかし、クリスチャンとして苦しんでいる人がいるとしても、恥じることはありません。しかし、このために彼に神の栄光をもたらしましょう。

クリスチャンは信仰のために苦しむことを恥じるべきではなく、そうすることで神に栄光を帰すべきです。

1. 「信仰の力: 苦しみを乗り越える方法」

2.「信念の強さ：逆境に負けず耐える」

1. ローマ 5:3-5 - それだけではなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。 4 忍耐力、性格。そして性格、希望。5 また、神の愛は、私たちに与えられた聖霊を通して、私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。 3 なぜなら、信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているからです。4 忍耐力を働かせて、何一つ欠けることのない成熟した完全な者となるようにしましょう。

1ペテロ4:17 裁きが神の家から始まらなければならない時が来たのです。もしそれがまず私たちから始まるとしたら、神の福音に従わない者たちはどうなるでしょうか。

神の家から裁きが始まる時が来ました。その場合、神の福音に従わない人々はどうなるでしょうか？

1. 「来たるべき神の審判: 準備はできていますか?」

2.「福音：神の裁きを逃れる唯一の方法」

1. ローマ人への手紙 2:5-11

2. ヤコブ2:13-17

1ペテロ4:18 もし義人がほとんど救われないとしたら、不敬虔な者や罪人はどこに現れるでしょうか。

ペテロは修辞的な質問をして、不敬虔な人や罪人は義人に比べて良い結果をもたらさないことを示唆しています。

1: 私たちは救われるために、神の恵みを信頼して正しい人生を歩むように努めなければなりません。

2: 私たちが救われるためには、私たちの信仰は神を中心とし、行動は神の義に従っていなければなりません。

1: マタイ 7:13-14 「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は広く、その道は広いからです。そこから入る人はたくさんいます。門は狭くて、その道は難しいからです」命につながる道だが、それを見つけられる人はほとんどいない。」

2: エペソ人への手紙 4:17-19 「ですから、わたしは主にあって言いますし、証します。あなたがたは、他の異邦人たちが、自分の理解力が暗くなり、疎外されて、無益な思いで歩むのと同じように、もはや歩むべきではないのです」彼らの中にある無知と心の盲目のせいで、神のいのちから遠ざけられ、感情を通り越して淫らな行為に身を委ね、貪欲にあらゆる汚れを働かせているのである。」

、忠実な創造者に対するように、自分の魂を善行において保つことを神に委ねなさい。

この一節は信者たちに自分の魂を神に委ね、良い行いをするよう勧めています。

1.「神を信じる力」

2.「良い仕事をすることの大切さ」

1. マタイ 6:25-34 - 心配しないで、神を信頼し、まず神の国を求めてください。

2. ヤコブ 2:14-26 - 行いのない信仰は死んだものです。行動を通して信仰を示してください。

第一ペテロ 5 章はペテロの第一の手紙の 5 番目で最後の章であり、そこで使徒は年長者と若い信者の両方に指示を与え、謙虚さ、神の配慮への信頼、悪魔の攻撃に対する抵抗を強調しています。

第 1 段落: ペテロは長老たちに呼びかけ、謙虚に神の群れを牧するよう勧めます (1 ペテロ 5:1-4)。イエスは彼らに，強制されたからではなく，神の民の世話をしたいという純粋な願いから進んで監督として仕えるよう勧めています。長老たちは、他人に対して自分の権威を誇示するのではなく、謙虚さの模範となるよう求められています。彼らはキリストが現れるとき、キリストからの永遠の報いを心待ちにしなければなりません。

第 2 段落: ペテロは若い信者たちに注意を向け、互いに謙虚さを身につけるように指示しています (1 ペテロ 5:5-7)。彼は、神は高慢な者には敵対するが、謙虚な者には恵みを与えると強調しています。若い信者たちは、神が彼らを気遣ってくださっているので、すべての不安を神に委ねながらも、神の力強い御手のもとに服従するよう奨励されています。彼らは、やがて神が彼らを高めてくださることを思い出させられます。

第 3 段落: この章は、悪魔の攻撃について警告し、堅固さを奨励することで終わります (1 ペテロ 5:8-14)。信者たちは、敵である悪魔が食いつく者を求めて徘徊しているため、冷静になって用心深くなるように促されている。彼らは、世界中の他の信者が同様の試練に直面していることを知って、信仰をもって断固として彼に抵抗すべきです。使徒はマルコからの挨拶を送り、各地の信者に愛を持ってどのように挨拶し合うべきかを教えています。

要約すれば、

ペテロ第一の第 5 章では、長老と若い信者の両方に指示が与えられています。

長老たちは永遠の報いを待ち望みながら、謙虚に神の群れを牧するよう勧められています。

若い信者たちは、互いに対して謙虚さを身に着け、思い煩いを神に託す際に神の配慮の下に服従するよう奨励されています。

この章は悪魔の攻撃について警告し、悪魔に抵抗する断固とした姿勢を勧めて終わります。信者たちは、マークからの挨拶と、愛を持って互いに挨拶し合うよう指示を受けながら、世界中で同様の試練に直面している仲間のクリスチャンのことを思い出します。

1ペテロ5:1 あなたがたのうちの長老たちに、わたしは次のように勧めます。彼らも長老であり、キリストの苦しみの証人であり、また、明らかにされる栄光にあずかる者でもあります。

ペテロ自身も長老であり、信者の中の他の長老たちに、キリストの苦しみを証しし、これから明らかにされる栄光にあずかるように勧めています。

1. キリストを証しする: キリストの苦しみの光の中で生きる

2. 神の栄光を喜ぶ：キリストを通して神の反映を体験する

1. ヨハネ第一 1:7 - しかし、イエスが光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエス・キリストの血は私たちをすべての罪から清めます。

2. コリント人への第二の手紙 3:18 - しかし、私たちはみな、主の栄光をガラスの中のように見つめながら、主の御霊によって、栄光から栄光へと、同じ姿に変えられていきます。

1ペテロ5:2 あなたがたの中にいる神の群れを、束縛するのではなく、進んで監督し、養いなさい。不潔な金のためではなく、準備ができている心のために。

ペテロは牧師たちに、物質的な利益を期待せずに進んで神の群れを導くように指示しています。

1. 進んで奉仕することの利点

2. 神の群れの羊飼いであることの祝福

1. 使徒 20:28-35 - エフェソス教会の長老たちに対するパウロの勧め

2. エレミヤ 3:15 - 神の羊飼いたちへの神の呼びかけ。

1ペテロ5:3 それは、神の遺産の支配者としてではなく、群れの模範としてです。

クリスチャンは横暴であってはならず、むしろ群れの模範となるべきです。

1. 「模範として奉仕する: 神の民を導くとはどういう意味か」

2. 「キリストの体におけるリーダーシップ: 謙虚さの重要性」

1. マタイ 20:25-27 - イエスはこう言われました。あなたがたの間ではそうではありません。しかし、人の子が仕えられるためではなく奉仕するために、そして多くの人の身代金として自分の命を捧げるために来たのと同じように、あなたがたの中で偉いと思う人はあなたの僕でなければならず、あなたがたの間で一番になりたい人はあなたの奴隷でなければなりません。」

2. コリント第一 11:1 - わたしがキリストに見倣う者であるように、あなたもわたしに見倣う者となりなさい。

1ペテロ5:4 そして、羊飼いのかしらが現れるとき、あなたがたは消えることのない栄光の冠を受けるでしょう。

羊飼いのかしらイエス・キリストが現れるとき、信者は永遠の栄光の冠を与えられます。

1. 信じることの報い: ペテロ第一 5:4 を見てください

2. キリストの永遠の栄光: ペテロ第一 5:4 の栄光の冠を理解する

1. 詩篇23:1-4

2. マタイ25:31-46

1ペテロ5:5 同じように、年下の者たちも、年長者に従いなさい。そうだ、あなたがたは皆、互いに服従し、謙虚さを身に着けなさい。なぜなら、神は高慢な者に抵抗し、謙虚な者に恵みを与えられるからである。

神が高慢な者に敵対し、謙虚な者に恵みを示されるように、クリスチャンは互いに服従し、謙虚さを身に着けるべきです。

1. 高慢と謙虚さ: なぜ神は一方を軽蔑し、他方を愛するのか

2. 「謙虚さを身につける」: 神の命令に従うとはどういう意味ですか?

1. ヤコブ 4:6 - 「神は高ぶる者には抵抗しますが、へりくだる者には恵みを与えます。」

2. ピリピ 2:3-8 - 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。あなたがたは一人一人、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

1ペテロ5:6 ですから、神の力強い御手の下で謙虚になってください。そうすれば、神はしかるべき時にあなたがたを高めてくださいます。

私たちは神の前にへりくだり、時が来たら神が私たちを高めてくださるようにすべきです。

1. 謙虚さの重要性と、それがどのように神の恵みをもたらすか。

2. 神の祝福のタイミングとそれが常に完璧であること。

1. ヤコブ 4:10 - 主の御前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。

2. 箴言 16:18 - 高慢は滅びの前にあり、高慢な精神は堕落の前にあります。

1ペテロ5:7 あなたのすべての配慮を彼に注ぎなさい。彼はあなたのことを気にかけているからです。

通路：

ペテロは教会に宛てた最初の手紙の中で、信者たちに、主が彼らを気遣ってくださっているので、自分の心配や気遣いを主に委ねるよう勧めています。

ペテロはクリスチャンたちに、神は彼らに忠実に配慮してくださるので、自分たちの不安や心配を神に信頼するよう勧めています。

1. 「主はご自分の民を気遣う」

2. 「主に思いを寄せる」

1. マタイ 6:25-34 - 心配しないことに関するイエスの教え

2. 詩篇 55:22 - あなたの重荷を主に委ねなさい。そうすれば主はあなたを支えてくださるでしょう。

1ペテロ5:8 身を慎み、用心していなさい。なぜなら、あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、誰を食い尽くすべきかを求めて歩き回っているからです。

悪魔は常に存在し、攻撃の機会を狙っているため、信者は警戒と冷静さを保たなければなりません。

1. 悪魔は常に潜んでいる: 警戒の必要性を理解する。

2. 冷静な思考の力: 敵に対して警戒を続ける。

1. エペソ 6:10-18 - 神の武具を身に着けて悪魔の計略に立ち向かう。

2. ヤコブ 4:7 - 悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げます。

1ペテロ 5:9 彼らは、世にいるあなたがたの兄弟たちにも同じ苦しみが起こっていることを知っていて、信仰に堅く立ち向かっています。

聖書は信者たちに、苦しみに直面しても信仰を堅持するよう勧めています。信者の仲間の多くも同様に苦しんでいます。

1. 信仰を堅持しなさい: ペテロ第一 5:9 の研究

2. 信仰によって試練を克服する: ペテロ第一 5:9

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。なぜなら、信仰の試みが堅実さを生み出すことをあなたは知っているからです。

2. ヘブライ 10:35-36 - ですから、大きな報いがある自信を捨てないでください。というのは、神の御心を行ったときに約束されたものを受け取るためには、あなたには忍耐が必要だからです。

1ペテロ5:10 しかし、あらゆる恵みの神は、キリスト・イエスによって私たちをその永遠の栄光に招いてくださいました。あなたがたがしばらく苦しんだのに、あなたがたを完全にし、安定させ、強め、落ち着かせてくださいます。

すべての恵みの神は、私たちがしばらく苦しんだ後、イエス・キリストを通して私たちを永遠の栄光に招いてくださいます。

1. 神の恵みを信頼する: 困難な時に強さを見つける

2. 神の永遠の栄光: 私たちの最高の使命に到達する

1. イザヤ書 40:31 – しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ローマ 8:18 – 私は、この時の苦しみは、私たちの内に明らかにされる栄光と比較するに値しないと考えているからです。

1ペテロ5:11 栄光と支配が世々限りなく彼にありますように。アーメン。

ペテロは信者たちに、永遠に賛美と栄光をもって神を敬うよう勧めています。

1. 賛美の力: 神を敬うことはどのようにして永遠の報いをもたらすのか

2. 主にあって喜ぶ：神の栄光ある支配を祝う

1. 詩篇 103:19–22—主は天に御座を確立され、その王国はすべてを支配します。

2. 黙示録 5:12 ― 屠られた小羊こそ、力と富と知恵と力と名誉と栄光と賛美を受けるに値するのです。

1 ペテロ 5:12 あなたがたにとって忠実な兄弟であるシルワノによって、私は手短に書き、これがあなたがたに立っている神の真の恵みであることを勧め、証ししました。

シルヴァヌスは信者たちに短い手紙を書き、彼らが神の真の恵みの中に立っていることを証しました。

1. 神の真の恵みの中に立つ

2. 神の恵みを受ける特権

1. エペソ人への手紙 2:8-9 あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2. テトス 2:11-12 なぜなら、神の恵みが現れて、すべての人々に救いをもたらし、現代において不敬虔と世俗の情念を捨て、自制心をもって正しく敬虔に生きるよう私たちを訓練してくださったからです。

1ペテロ5:13 あなたとともに選ばれたバビロンの教会が、あなたに挨拶します。私の息子のマーカスもそうです。

バビロン教会は信者の皆様に敬意を表します。

1. 神の愛には限界がなく、遠く離れた場所にいる信者にさえも及びます。

2. どんなに遠く離れていても、私たちは皆、キリストの体においてつながっています。

1. 使徒 2:44-45 - 「そして、信じた人たちは皆、集まって、すべてのことを共有していました。そして、必要に応じて、持ち物や所持品を売り、その収益を全員に分配していました。」

2. エペソ人への手紙 4:4-6 - 「体は一つ、御霊は一つです。あなたが自分の召しに属する一つの希望に召されたのと同じように、一つの主、一つの信仰、一つの洗礼、一つの神でありすべての父です。すべてを超え、すべてを貫き、すべての中にある。」

1ペテロ5:14 愛の口づけをして互いに挨拶しなさい。キリスト・イエスにあるすべての人たちに平安がありますように。アーメン。

信者は慈善のキスでお互いに挨拶し、キリスト・イエスにある人々の平和を祈ることで、お互いへの愛を示さなければなりません。

1. 互いに愛し合う：慈善のキスの意義

2. キリスト・イエスのうちにいることの祝福：平和を経験する

1. ローマ人への手紙 12:10 - 「兄弟のような愛情をもって互いに愛し合いなさい。名誉を示すことにおいては互いにしのぎなさい。」

2. コロサイ 3:15 - 「そして、キリストの平和があなたがたの心を支配しなさい。あなたがたはまさに、一つの体として召されたのです。そして感謝しなさい。」

第二ペテロ 1 はペテロの第二の手紙の最初の章であり、そこで使徒は信者に信仰において成長するよう励まし、キリストとともに歩む中での知識、美徳、確信の重要性を思い出させます。

第 1 段落: ペテロは信仰と知識の重要性を強調することから始めます (2 ペテロ 1:1-4)。彼は使徒たちと同等の立場にある信仰を受けた人々に宛てて手紙を書きました。神の神聖な力を通して、信者は人生と敬虔さのために必要なものすべてを与えられています。キリストとその約束を知ることによって、彼らは世俗的な欲望によって引き起こされる堕落から逃れ、神の神性にあずかることができます。

第 2 段落: ペテロは信者たちに、徳、知識、自制心、堅実さ、敬虔さ、兄弟愛、愛を信仰に加えるように勧めています (2 ペテロ 1:5-11)。これらの特質を熱心に追求し、成長することによって、信者はイエス・キリストについての知識を効果的に実り豊かなものにすることができます。これらの特質を欠いている人は近視または盲目と呼ばれます。ペテロは、信者がこれらの美徳を十分に実践すれば、決してつまずくことはなく、むしろ永遠の王国への豊かな歓迎を受けることができると強調しています。

第 3 段落: この章は、ペテロが差し迫った死について読者に思い出させるところで終わります (2 ペテロ 1:12-21)。彼は、自分がいなくなった後も、彼らにこれらのことを常に思い出してもらいたいと考えています。彼は、キリストを宣べ伝える際に巧妙に考え出された神話に従ったのではなく、聖なる山でキリストの威厳を直接目撃したのだと彼らに保証します。さらに彼は、聖書の預言は人間の解釈から来たものではなく、聖霊の霊感を受けた人々を通して与えられたものであると強調しています。

要約すれば、

ペテロ第二の第 1 章では、生活にさまざまな美徳を加えることによって信仰を成長させるよう信者に呼びかけています。

ペテロは、神の力によって、彼らが人生と敬虔さに必要なものすべてをどのように与えられたかを強調しています。

信者は、知識、自制心、敬虔さ、兄弟愛、

そして信仰とともに愛することで、効果と実りをもたらします。

この章は、キリストの威厳についてのペテロの直接の証言を強調しながら、差し迫ったペテロの死について思い出させて終わります。

彼は、聖書は人間の解釈に基づいたものではなく、聖霊に触発された人々によって書かれたものであり、信者にとって信頼できる導き手としての聖書の権威の証であると断言します。

2 ペテロ 1:1 イエス・キリストのしもべであり使徒であるシモン・ペテロから、神の義と救い主イエス・キリストを通して私たちと同じように尊い信仰を得た人々に、こう言います。

イエス・キリストの僕であり使徒であるシモン・ペテロは、義によって神とイエス・キリストに対する同じ信仰を得た人々に手紙を書いています。

1. イエス・キリストの尊い信仰

2. 神とイエス・キリストを通して義を得る

1. ローマ人への手紙 3:21-22、「しかし今、律法とは別の神の義が、律法と預言者によって証しされて、イエス・キリストへの信仰を通して、すべての人々とすべての人々に明らかにされています。信じる。"

2. ガラテヤ人への手紙 2:16、「人は律法の行ないではなく、イエス・キリストへの信仰によって義とされると知っているので、私たちも行ないではなくキリストへの信仰によって義とされるために、キリスト・イエスを信じてきました。律法の行いによっては、いかなる肉体も義とされないからである。」

2ペテロ1:2 神と私たちの主イエスについての知識を通して、あなたがたに恵みと平安が増し加えられますように。

ペテロ第二 1 章 2 節は、恵みと平和をもたらす神とイエスについての知識を求めるよう信者に勧めています。

1. 神とイエスを知ることは平安と喜びをもたらします。

2. 神についての知識が増えると、霊的な成長がもたらされます。

1. エレミヤ 29:13 - あなたが心を尽くして私を捜すとき、あなたは私を探し、私を見つけるでしょう。

2. ガラテヤ 5:22-23 - しかし、御霊の実は愛、喜び、平和、忍耐、親切、善意、忠実です。

わたしたちを栄光と徳に招いてくださった方を知ることによって、神の神力が命と敬虔に関係するすべてのものをわたしたちに与えてくださったとおりです。

神は、私たちを聖く、善を行うよう召してくださったイエスを知ることを通して、人生と敬虔な生活に必要なものすべてを私たちに与えてくださいました。

1. 神の賜物である命と敬虔さを受け入れる

2. 神の召命に従って人生を生きる

1. ローマ人への手紙 8:28-29 – 「そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。神は、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子に似せられることを予知しておられたのです。」

2. エペソ 2:10 – 「私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られ、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ備えてくださったのです。」

2ペテロ 1:4 それによって、私たちには、非常に大きく貴重な約束が与えられています。それは、これらによって、あなたがたが、情欲によって世にある腐敗から逃れ、神の性質にあずかる者となるためです。

神は私たちに多くの偉大で貴重な約束を与え、私たちが神の神性にあずかり、私たちの欲望によって引き起こされる世界の腐敗から逃れられるようにしてくださいました。

1. 神の約束: 神の神聖な性質にあずかる者になる

2. 欲望の腐敗した影響から逃れる

1. ローマ人への手紙 8:14-17 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

2. エペソ 2:1-10 あなたがたは恵みによって救われたのですが、それは自分自身によるものではなく、信仰によって救われたのです。それは神の贈り物です。

2ペテロ1:5 これに加えて、あらゆる努力を払って、あなたの信仰に徳を加えてください。そして知識を美徳すること。

信者は自分の信仰に徳と知識を熱心に加えるべきです。

1. 勤勉な信仰の力: 美徳と知識を成長させる方法

2. 強力な基盤の構築: 信仰、美徳、知識

1. ヤコブ 1:5 - 「あなたがたの中に知恵のない人がいるなら、その人はすべての人に惜しみなく与え、非難しない神に求めなさい。そうすれば、それは与えられるでしょう。」

2. コロサイ 3:14-15 - 「そして、これらのことすべてに加えて、完全さの絆である慈善を身につけなさい。そして、神の平和があなたがたの心に支配され、あなたがたもその平和に一つの体として召されているのです。あなたがたは感謝しています。」

2ペテロ 1:6 そして知識を慎みなさい。そして忍耐を控えること。そして忍耐強く敬虔に。

ペテロはクリスチャンに、信仰に知識、節制、忍耐、敬虔さを加えるように勧めています。

1. 敬虔さにおいて成長する: クリスチャンの旅

2. ペースの速い世界で忍耐と節制を養う

1. ヤコブ 1:2-4 – 「兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するときはいつでも、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。あなたが何一つ欠けることなく成熟して完全になるように、忍耐がその仕事を終えてください。」

2. ローマ 5:3-5 – 「それだけでなく、私たちは苦しみを誇りに思っています。苦しみが忍耐を生み出すことを私たちは知っているからです。忍耐力、性格。そして性格、希望。神の愛は私たちに与えられた聖霊を通して私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。」

2ペテロ 1:7 そして敬虔な兄弟のような優しさ。そして兄弟のような優しさの慈善活動に。

ピーターは読者に敬虔さ、兄弟のような優しさ、慈善を追求するよう勧めています。

1.「敬虔と愛：より高い使命を追求するための招待状」

2.「聖性への道：兄弟の優しさと慈愛を表現する」

1. ローマ人への手紙 12:10 - 「愛をもって互いに献身しなさい。自分よりもお互いを敬いなさい。」

2. ヨハネ第一 3:16-18 - 「こうすることで、私たちは愛が何であるかを知ることができます。イエス・キリストは私たちのために命を捨ててくださいました。そして私たちは兄弟姉妹のために命を捨てるべきです。物質的な所有物を持っていて、見る人がいるなら、」

2ペテロ 1:8 もしこれらのものがあなたがたのうちにあり、豊かであれば、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストを知ることで、不妊にも実を結ばずに済むようになるからです。

生活の中に確実に存在するようにすることで、イエス・キリストについての知識を実り豊かにするよう勧めています。

1. 豊かな実り：キリストにあって善い人生を培う

2. 知識への道: 信仰、美徳、節制、忍耐、敬虔さにおいて成長する

1. コロサイ 3:16-17 - キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿るようにしましょう。詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で主に向かって優雅に歌いましょう。

2. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たちよ、あなたがさまざまな誘惑に陥るとき、それはすべて喜びであると考えてください。このことを知っていれば、信仰を試すには忍耐が必要です。しかし、忍耐に彼女の完璧な仕事をさせてください。そうすれば、あなたがたは何も望まず、完璧で完全なものになることができます。

2ペテロ1:9 しかし、これらのものが欠けている人は、目が見えず、遠くを見ることができず、自分が古い罪から清められたことを忘れています。

信仰、美徳、知識、節制、忍耐、敬虔さ、兄弟のような優しさ、慈愛といった本質的な特質を持たない人は霊的に盲目であり、過去の罪の許しを忘れています。

1.「信仰を持つことの利点」

2.「神の許しの力」

1. ヨハネ 8:12 - イエスは再び人々に語られたとき、こう言われました。私に従う者は決して暗闇の中を歩むことはなく、命の光を持つでしょう。」

2. ローマ 8:1-2 - したがって、キリスト・イエスにある人々は今、罪に定められることはありません。なぜなら、命を与える御霊の法則が、キリスト・イエスを通して、あなたを罪と死の法則から解放したからです。

2ペテロ 1:10 ですから、兄弟たち、むしろ、自分の召しと選出を確実なものとするために、熱心に努力してください。もしあなたがたがこれらのことを行うなら、決して倒れることはありません。

信者は自分の召命と選出を確実にするよう努めるべきであり、そうすることで絶対に倒れないことが保証されるからである。

1. 「天職を確保せよ: 忍耐への道」

2.「自信を持って生きる：選挙を確実にする」

1. ローマ 8:28-30 - そして私たちは、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。イエスは、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になることを予見していました。さらに、神は誰を予定し、また彼らを召し、また、自分が召した者を義とし、義と認め、また栄光を与えた。

2. ヘブライ 3:12-14 - 兄弟たち、生ける神から離れようとする不信仰の邪悪な心があなたたちの中に残らないように気をつけてください。しかし、それが「今日」と呼ばれている間は、毎日互いに勧め合いなさい。あなたがたのうちの誰かが、罪の欺瞞によってかたくなになることがないように。なぜなら、私たちが最初の自信を最後まで堅く保つなら、私たちはキリストにあずかる者とされるからです。

2ペテロ 1:11 このようにして、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永遠の御国への入口が、あなたがたに豊かに与えられるからです。

に、キリストの永遠の王国への豊かな入り口を得ることができるように、信仰を強めるためにあらゆる努力をするよう勧めています。

1: 神は、信仰を強めようと努力する信者たちに、神の王国への豊かな入り口を約束しておられます。

2: イエスへの信仰を強めようと努力することによって、私たちは永遠の喜びを経験することができます。

1: ヤコブ 2:14-17 – 行いのない信仰は死んだものです。

2: 1 コリント 15:58 – したがって、愛する兄弟たちよ、堅く、動かず、常に主の働きに満ちて、主にあってはあなたの労苦が無駄ではないことを知ってください。

2 ペテロ 1:12 ですから、あなたがたがこれらのことを知っているとしても、私は常にこれらのことを思い出させ、現在の真理にしっかりと定着させることを怠りません。

ピーターは読者に、真理を思い出し、真理の中に定着するよう勧めています。

1. 真実を思い出すことの大切さ。

2. 真実の中で自分自身を確立する。

1. イザヤ 26:3 - あなたを信頼するすべての人、あなたに思いを留めているすべての人を、あなたは完全な平和の中に保ってくださいます。

2. 詩篇 119:11 - 私はあなたに対して罪を犯さないように、あなたの御言葉を心の中に隠しました。

2ペテロ 1:13 そうですね、私がこの幕屋にいる限り、あなたがたを思い出させて奮起させるのは適切だと思います。

ペテロは信者たちに、現在の状況に関係なく、福音に忠実であり続けるよう勧めています。

1. 信仰にしっかりと立ちなさい: 困難な時にどうやって信念を貫くか

2. 思い出す力: 福音に忠実であり続ける方法

1. イザヤ書 40:31 - しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。

2. ヘブライ 13:5 - 貪欲な会話をしないようにしましょう。そして、あなたがたが持っているようなもので満足しなさい。なぜなら、彼は言ったからです、私は決してあなたを離れず、あなたを見捨てません。

2ペテロ 1:14 私たちの主イエス・キリストが私に示されたように、間もなくこの幕屋を脱ぎ捨てなければならないことを知っています。

使徒ペテロは、イエスが示されたように、自分の地上の体が間もなく滅びること、そして死に備えなければならないことを認識しています。

1. 死の影の中で生きることを学ぶ

2. 永遠に備える

1. ルカ 12:20 - 「しかし、神は彼に言われた、『愚か者よ。今晩、あなたの命は迫られるだろう』。」

2. ピリピ人への手紙 1:20-21 - 「私は、決して恥じることなく、十分な勇気を持って、今もいつものように、生であろうが死にであろうが、私の体の中でキリストが高められることを心から期待し、望んでいます。私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益なのです。」

2ペテロ 1:15 さらに、わたしの死後も、あなたがたがこれらのことを常に思い出していただけるよう、努力いたします。

『ペテロ第二』の著者は、自分の死後に自分が教えている真理を思い出すよう読者に勧めています。

1. 神の約束を思い出す: どうすれば信仰を貫くことができるか

2. 記憶の力: 神の真理を振り返る

1. 詩篇 119:11 「私はあなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心に蓄えました。」

2. ピリピ人への手紙 4:8 「最後に、兄弟たち、真実なこと、名誉あること、正しいこと、清いこと、美しいこと、称賛に値すること、優れたことがあれば、賞賛に値することがあれば、考えてください。これらのことについて。」

2ペテロ 1:16 なぜなら、私たちは、私たちの主イエス・キリストの力と来臨をあなたがたに知らせたとき、巧妙に考え出した寓話に従ったのではなく、主イエス・キリストの威厳の目撃者だったからです。

ペテロ第二の手紙の著者はイエス・キリストの力と来臨の目撃者であり、このメッセージを伝える際に捏造された物語に頼ることはありませんでした。

1. イエスの信頼できる証人: ペテロ第二 1:16 の考察

2. イエスの威厳: ペテロ第二 1:16 の探求

1. マタイ 17:1-8 - イエスの変容

2. 使徒 1:3-8 - イエスの昇天

2ペテロ 1:17 なぜなら、彼は父なる神から栄誉と栄光を受けたからである。そのとき、優れた栄光の中から、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者である」というような声が彼に臨んだのである。

一節 優れた栄光からの声が、イエスがご自分の最愛の子であり、ご自分に喜ばれると宣言したとき、父なる神はイエスに栄誉と栄光をお与えになりました。

1. イエスの計り知れない価値 - イエスが父から受けた名誉と栄光を探る。

2. 父の喜び - イエスにおける父の喜びの重要性を理解する。

1. イザヤ書 42:1 - 「見よ、わたしのしもべ、わたしが支持する者、わたしの選んだ者、わたしの魂が喜ぶ者。わたしは自分の霊を彼に置いた。彼は異邦人に裁きを下すであろう。」

2. マタイ 3:17 - 「見よ、天からの声、『これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者だ』。」

2ペテロ1:18 そして、聖なる山で彼と一緒にいたとき、私たちは天から来たこの声を聞きました。

ペテロ第二の著者は、聖なる山にいたときに天からの声を聞いたときのことを語ります。

1. 神の声を聞く力

2. 神聖さの重要性

1. イザヤ書 30:21 - そして、あなたの耳はあなたの後ろから、「これが道だ、あなたがたが右に曲がるときも、左に曲がるときも、そこを歩きなさい」という言葉を聞くでしょう。

2. マタイ 7:24-27 - したがって、私のこれらの言葉を聞いて実行する者は誰でも、岩の上に家を建てた賢者にたとえてみましょう。すると、雨が降り、洪水が来て、風が吹いて、その家を叩きました。しかし、それは落ちませんでした。それは岩の上に基礎があったからです。

2ペテロ 1:19 さらに確かな預言の言葉があります。夜が明け、昼の星が心に現れるまで、暗い場所に輝く光のように注意を払うのが良いことです。

ペテロは、預言の確かな言葉はイエスが戻ってくるまで暗闇の中で人々を導く光であるため、その言葉に注意を払うよう読者に勧めています。

1. 預言の光: 神の言葉を信頼する

2. 神の揺るぎない言葉: 人生の信頼できる導き手

1. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足の灯であり、私の道の光です。

2. イザヤ書 8:20 - 律法と証しに対して：もし彼らがこの言葉に従って語らないとしたら、それは彼らのうちに光がないからである。

2ペテロ 1:20 まず最初に知っておいてほしいのは、聖書の預言には個人的な解釈が含まれていないということです。

聖書は神の霊感によるものであり、聖書の文脈全体を考慮せずに解釈すべきではありません。

1. 神の言葉としての聖書: その預言をどう解釈するか

2. 文脈の理解: 聖書解釈へのガイド

1. 申命記 29:29 - 「秘密なことは私たちの神、主のものですが、明らかにされたことは永遠に私たちと私たちの子供たちのものです。それは私たちがこの律法の言葉をすべて実行するためです。」

2. イザヤ書 28:10-11 - 「戒めには戒めを、戒めを戒め、列に列、列に列、ここには少し、あそこには少し。」

2ペテロ 1:21 なぜなら、預言は昔、人間の意志によってなされたのではなく、神の聖なる者たちが聖霊に動かされて語ったからです。

聖書の預言は人間の意志からではなく、神の聖なる人々に霊感を与えた聖霊から来ました。

1.「預言の力：人間を通した神の声」

2. 「聖書預言の独自性: 私たちに対する神の言葉」

1. イザヤ書 59:21 - 「わたしに関しては、これが彼らとのわたしの契約である、と主は言われる。あなたの上にあるわたしの霊と、あなたの口に入れたわたしの言葉は、あなたの口から離れることはなく、また、あなたの種の口から、あなたの種の種の口から、これからも永遠に、と主は言われる。」

2. ヘブライ人への手紙 1:1-2 - 「神は、さまざまな時に、さまざまな方法で、過去の預言者たちによって先祖たちに語られました。この終わりの日に、御子によって私たちに語られ、その子をすべての相続人に任命されました」物事、彼が世界を作ったのも誰だ。」

第二ペテロ 2 はペテロの第二の手紙の第 2 章であり、そこで使徒は偽教師と教会内の彼らの破壊的な影響力に対して警告しています。彼は彼らの欺瞞的な行為を暴露し、差し迫った裁きについて説明し、真実に忠実であり続けるよう信者を励ましています。

第 1 段落: ペテロは偽預言者と偽教師の存在を強調することから始めます (2 ペテロ 2:1-3)。過去に神の民の中に偽預言者がいたように、彼らの中にも破壊的な異端を持ち込む偽教師が現れるだろうと警告しています。これらの欺瞞的な人々は、欺瞞的な言葉で信者を利用し、彼らを買い取ってくださった主さえも否定します。彼らの貪欲さと操作は多くの人々を迷わせ、自らに破滅をもたらすでしょう。

第 2 段落: 使徒は、神の権威を拒否する人々に対する神の裁きを説明するために歴史の例を挙げています (2 ペテロ 2:4-10a)。神は天使たちが罪を犯したときに容赦せず、地獄に投げ込んだと彼は指摘します。彼はまた、悪に対する神の裁きの例として、ノアの世代とソドムとゴモラについても言及しています。しかし、彼は信者たちに、神は、不義な者たちには罰を与えずに、敬虔な者たちを試練から救い出す方法を知っていると断言する。ペテロは、罪にふけり権威を軽蔑する人は特に滅びやすいと強調しています。

第 3 段落: ペテロは偽教師の特徴についての説明を続けます (2 ペテロ 2:10b-22)。彼は彼らを、天体を冒涜したり、理解できないものに対して悪口を言うことをためらわない傲慢で利己的な人物として描いています。彼らは肉の欲望に突き動かされ、結果からの自由を約束しながら他人を不道徳に誘惑します。しかし、彼ら自身も腐敗の奴隷です。使徒は彼らを貪欲に突き動かされた預言者バラムに喩え、彼らの運命を嘔吐物に戻る犬や、洗って泥の中に戻る豚に喩えます。

要約すれば、

ペテロ第二の第 2 章は、教会に侵入する偽教師に対する警告となっています。

ペテロは彼らの欺瞞的な行為を暴露し、彼らがどのようにキリストを否定し、個人的な利益のために信者を搾取しているかを強調します。

彼は、神の権威を拒否する人々に対する神の裁きを示す歴史的な例を示しています。

悪者には罰を与えずに、神は敬虔な者を救う方法を知っていると信者たちに保証する。

この章は、偽教師（罪深い欲望に駆り立てられた傲慢な個人）のさらなる特徴を説明して終わります。彼らは、自分自身は腐敗の奴隷でありながら、他人を不道徳に誘惑します。

ペテロは彼らをバラムと不利に比較し、彼らの運命を霊的堕落と最終的な破壊によって特徴づけられるものとして描いています。

2ペテロ 2:1 しかし、民の中にも偽預言者がいました。あなたがたの中にも偽教師がいるのと同じように、彼らはひそかに忌まわしい異端を持ち込んで、自分たちを買い取ってくださった主さえ否定し、速やかな滅びを自らにもたらすでしょう。

偽預言者や偽教師は過去にも存在し、これからも存在し続けます。彼らは異端を持ち込み、自分たちを買い取ってくださった主を否定し、自らを破滅へと導きます。

1. 偽預言者と偽教師の危険

2. 主を否定した結果

1. エレミヤ 23:16-17 - 「万軍の主はこう言われる、『あなたたちに預言する預言者の言葉に耳を傾けるな。それらはあなたを無価値にしてしまいます。彼らは主の口からではなく、自分自身の心のビジョンを語ります。」

2. マタイ 7:15-20 - 「偽預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたたちのところに来るが、内心は貪欲な狼です。あなたはその実を見ればそれを知ることができるでしょう。人はいばらの茂みからブドウを集めますか、それともアザミからイチジクを集めますか？それでも、良い木は良い実を結びますが悪い木は悪い実を結びます。良い木が悪い実を結ぶことはできませんし、悪い木が良い実を結ぶこともできません。良い実を結ばない木はすべて切り倒され、火の中に投げ込まれます。それゆえ、あなたがたはその実によって彼らを知ることになる。」

2ペテロ2:2そして多くの人がその邪悪な道に従うでしょう。誰のせいで真理の道が悪と言われることになるのか。

多くの人が悪い例に倣い、その結果、真実が中傷されることになります。

1. 模範の力: 誠実な生活を送る

2. 他人に自分の真実を定義させないでください

1. 箴言 22:1 - 「大きな富よりも良い名が選ばれるべきであり、好意は銀や金よりも優れています。」

2. ペテロ第一 3:16 - 「正しい良心を持ちなさい。そうすれば、あなたが中傷されたときに、キリストにあるあなたの善行をののしる者たちが恥をかかれるからです。」

2ペテロ2:3 そして、彼らは貪欲さによって、偽りの言葉であなたを商品にするでしょう。彼らの長年の裁きは今も長続きせず、彼らの罰は眠りません。

人々は他人から金を儲けるために欺瞞的な言葉を使い、そのために裁かれ罰せられることになる。

1. だまされてはいけない：貪欲の危険

2. 心を守れ: 貪欲の危険

1. 箴言 28:25 - 高慢な心の者は争いを引き起こす。しかし、主に信頼する者は太る。

2. エペソ人への手紙 5:3-5 - しかし、不品行とすべての汚れ、または貪欲は、聖徒になるために、あなたがたの間で一度も名前を付けてはならない。不潔なこと、愚かな話、冗談など都合の悪いことではなく、むしろ感謝を捧げることです。このため、あなたがたは知っているように、売春婦も、汚れた者も、偶像礼拝者である貪欲な者も、キリストと神の王国では何の相続財産も持たないのです。

2ペテロ 2:4 もし神が、罪を犯した天使たちを容赦せず、地獄に投げ込み、裁きに備えて闇の鎖に引き渡したとしたら、

神は罪を犯して悔い改めない者を裁かれます。

1. 神の憐れみと裁き

2. 義と悔い改め

1. ヘブライ 10:30 「『復讐はわたしにある、わたしが報復する』と言われた方をわたしたちは知っています、と主は言われる。そして再び、主はご自分の民を裁かれるであろう。」

2. エゼキエル 18:30-32 「イスラエルの家よ、わたしはみな、その道に従ってあなたを裁く、と主なる神は言われる。悔い改めて、すべての罪から立ち去りなさい。そうすれば、不法行為があなたの破滅となることはありません。あなたが犯したすべての罪をあなたから捨て去りなさい。そして、あなたを新しい心と新しい霊にしてください。イスラエルの家よ、なぜあなたがたは死ぬのですか？「わたしは死ぬ者の死を喜ばないからである、と主なる神は言われる、だから立ち返って生きなさい。」

2ペテロ 2:5 そして、古い世界を救わなかったが、正義の説教者であるノア8世を救い、不敬虔な世界に洪水をもたらしました。

神は旧世界の人々を容赦せず、義を説いたノアを救い、不敬虔な者たちを罰するために洪水を引き起こしました。

1.「ノア：不利な状況における信仰の模範」

2.「ノアの箱舟物語における神の正義と慈悲」

1. ローマ人への手紙 1:18-32 – 不義に対する神の怒り

2. ヘブライ 11:7 – ノアの神への信仰と従順

2ペテロ 2:6 そして、ソドムとゴモラの町を灰に変えたことで、彼らは打倒の罪に定められ、後に不敬虔に生きる者たちの見本となった。

神はソドムとゴモラを灰に変え、不敬虔な生き方をする者たちの見せしめとして彼らを非難しました。

1. 不義の結果: ソドムとゴモラからの警告

2. 正しく生きる: ソドムとゴモラに対する神の有罪判決から得た教訓

1. ローマ 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

2. イザヤ書 1:16-17 - あなたを洗い、清めてください。あなたの行いの悪を私の目の前から遠ざけてください。悪を行うのをやめる。うまくやる方法を学びましょう。裁きを求め、抑圧されている人を救い、父親のいない人を裁き、未亡人のために嘆願する。

2ペテロ 2:7 そして、悪人の不潔な会話に腹を立てていたロトだけを救い出しました。

ロトは神によって邪悪な人々から救われました。神は彼らの不道徳な発言に心を痛めていました。

1. 悪を克服する神の力

2. 不道徳な会話の危険性

1. ローマ 12:2 - 「そして、この世に適応するのではなく、心を新たにして変えられなさい。それは、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明するためです。」

2. 箴言 4:23 - 「心を一生懸命に保ちなさい。人生の問題はそこから出てくるからです。」

2 ペテロ 2:8 (というのは、彼らの間に住んでいた義人は、見たり聞いたりしながら、日ごとに彼らの不法行為のせいで義人の魂を悩ませていたからです。)

邪悪な人々の中に住んでいた義人は、彼らの不法の行為によって毎日胸が張り裂けるような苦しみを受けていました。

1. 神の言葉を見聞きする力

2. 罪と義の悲痛な思い

1. 詩篇 119:136 (人々があなたの律法を守らないので、私の目には涙が流れました。)

2. 箴言 24:11 (死に連れて行かれる者を救い出し、虐殺につまずく者を引き留めなさい。)

2ペテロ2:9 主は敬虔な者たちを誘惑から救い出し、不正な者たちを裁きの日まで罰せられる方法を御存じです。

神は正しい人を試練から救う方法を知っており、裁きの日に悪人を罰します。

1.神の力: 神がどのようにして民を救い、裁くのか

2. 義人と悪人: 神の正義を信頼する

1. 詩篇 37:39-40 - しかし、義人の救いは主からのものです。主は苦難の時の彼らの力です。そして、主は彼らを助け、彼らを救ってくださいます。彼らは彼に信頼しているので、彼は彼らを悪者から救い出し、彼らを救います。

2. ローマ人への手紙 12:19 - 愛する人よ、自分で復讐するのではなく、むしろ怒りに身を任せてください。「復讐は私のものである」と書いてあるからです。わたしが報いる、と主は言われる。

2ペテロ 2:10 しかし、主に汚れを求めて肉に従って歩み、政府を軽蔑する人々です。彼らは傲慢で、利己的で、威厳を悪く言うことを恐れません。

ペテロは、肉の欲望に生きて権威を無視する人々に対して、彼らは高慢で権力者の悪口を言うので警告しています。

1: 権威を尊重する

2: 神聖さの中を歩む

1: ローマ人への手紙 13:1-2 - すべての魂は高次の力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

2: テトス 3:1-2 - 君主と権力に服従し、判事に服従し、あらゆる善行に備え、人の悪口を言わず、暴言を吐かず、柔和ですべてを示すよう心に留めておいてください。すべての人に柔和を。

2ペテロ 2:11 一方、天使たちは力も力も優れているので、主の前で彼らを激しく非難しません。

天使は人間よりも強力で強力なので、主の前で人間を非難しません。

1.「私たちの信仰における天使の重要性」

2.「神の憐れみと恵みの力」

1. ヘブライ 1:14 - 「彼らは皆、救いの相続人となる人々のために奉仕するために遣わされた奉仕の霊ではないでしょうか。」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を認めておられます。」

2ペテロ 2:12 しかし、これらの者たちは、捕らえられて滅ぼされるために造られた自然の野獣として、自分たちが理解できないことについて悪口を言います。そして自らの堕落の中で完全に滅びるだろう。

ペテロは、理解できないことについて悪口を言う人たちに対して、彼らは自らの堕落によって滅びることになると警告しています。

1. 自分が理解できないことについて悪口を言うことに注意してください

2. 知らないことの悪口を言った場合の結果

1. ヤコブ 3:1-2 - 兄弟たちよ、多くの人が教師にならないようにしてください。教師になると、より厳しい裁きを受けることになるからです。なぜなら、私たちは皆、さまざまな点でつまずくからです。言うことにつまずかなければ、その人は完璧な人であり、体全体を制御することもできます。

2. 箴言 18:13- 聞く前に答える者は愚かであり、恥ずべきことである。

2ペテロ2:13 そして、昼間に暴動を起こすことを喜びとする者たちと同じように、不義の報いを受けるであろう。彼らはあなたとごちそうをしている間、自分自身の欺瞞で自分自身を楽しませます。

偽教師は不義であり、他の人たちとの付き合いを楽しみながらも、自分の罪を楽しんでいます。

1.「不義者に対する神の裁き」

2. 「罪深い世界で正しく生きる」

1. ローマ人への手紙 6:23、「罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。」

2. ヤコブ 4:17、「ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪なのです。」

2ペテロ 2:14 目は姦淫でいっぱいで、それは罪をやめることができません。魅惑的な不安定な魂：貪欲な実践によって鍛えられた心。呪われた子供たち:

姦淫に満ちた目を持ち、罪をやめることのできない人々は、不安定な魂を誘惑し、貪欲な習慣で心を鍛え、その結果、呪われた子供たちを生み出します。

1. 誘惑に負けないでください - ペテロ第二 2:14

2. 貪欲な習慣の呪い - ペテロ第二 2:14

1. ヤコブ 1:13-15 誘惑に遭ったとき、「私は神に誘惑されている」などと言ってはなりません。なぜなら、神は悪に誘惑されることはなく、また神ご自身が人を誘惑することもないからです。

2. コロサイ 3:5 したがって、地上にいるあなたがたの成員である不品行、汚れ、情欲、邪悪な欲望、そして偶像礼拝である貪欲を殺しなさい。

2ペテロ2:15 彼らは正しい道を捨て、不義の代価を愛したボソルの子バラムの道に従って、迷いました。

ペテロは、誤った道を歩み、経済的利益を求めたバラムの道に従っている偽教師たちに対して警告します。

1. 偽教師の危険性

2. 世のやり方ではなく神のやり方に従う

1. エレミヤ 17:9、「心は何よりも欺瞞的で、ひどく邪悪です。誰がそれを知ることができますか。」

2. ヤコブ 4:7-8、「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたたちから逃げます。神に近づきなさい。そうすれば神はあなたたちに近づくでしょう。罪人たちよ、手を清めなさい。そしてあなたの手を清めなさい。」心よ、あなたたちは二重の心を持っています。」

2ペテロ 2:16 しかし、彼の不法行為を叱責された。人の声で話す愚かなロバは、預言者の狂気を禁じた。

ペテロは名もない人の悪行を叱責し、人間の声で話すロバが預言者の愚かさを叱責しました。

1. 愚かになってはいけない - ピーターとロバの物語からの教訓

2. 叱責の力 - たった 1 つの声がいかに人生を変えるか

1. ペテロ第二 2:16 - しかし、彼の不法行為を叱責されました。人の声で話す愚かなロバは、預言者の狂気を禁じました。

2. 民数記 22:28-30 - それから主がロバの口を開かれると、ロバはバラムに言った、「あなたが三度も私を打ったとは、私があなたに何をしたというのか。」そしてバラムはろばに言った、「あなたがわたしをからかったからです。手に剣があればよかったのに、今ならあなたを殺していたでしょう。」それでロバはバラムに言った、「私はあなたのものになってから今日まで、あなたが乗ってきたあなたのロバではないでしょうか？」私があなたにこんなことをする気になったことはありますか？」そして彼は「いいえ」と言いました。

2ペテロ 2:17 これらは水のない井戸、嵐とともに運ばれる雲です。闇の霧は永遠にその人に残されています。

神に従わない人は、水のない井戸や雨のない雲のようなもので、永遠に暗闇に陥る運命にあります。

1: 神は、私たちが悪の暗闇ではなく、神の真理の光の中で生きることを選択することを望んでいます。

2: 私たちは時間をかけて神を求め、神の真理を見つけ、罪の暗闇から導かれるようにしなければなりません。

1: ヨハネ 8:12 - イエスは人々に言われた、「わたしは世の光である。わたしに従う者は決して暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つであろう。」

2: イザヤ書 60:19-20 – 「主はあなたの永遠の光となり、あなたの神はあなたの栄光となります。あなたの太陽は二度と沈むことはなく、月が欠けることもありません。主はあなたの永遠の光となり、あなたの悲しみの日々は終わります。」

2ペテロ 2:18 なぜなら、彼らがむなしい言葉を大きく膨らませて話すとき、彼らは肉の欲望を通して、多くの放縦を通して、誤った生活をしている彼らから清い人たちを誘惑するからです。

大げさな言葉やお世辞を使って聴衆を誘惑する人は、聴衆を罪深い欲望に耽らせる可能性があります。

1. 偽預言者とその欺瞞的な言葉に気をつけなさい

2. 欲望と誘惑の危険性

1. エレミヤ 23:17 - 彼らは主の口からではなく、自分の心の幻を語ります。

2. マタイ 5:27-28 - あなたたちは昔、「姦淫してはならない」と言われたことを聞いたことがあるでしょう。しかし、私はあなたたちに言います、女を見て情欲を抱く者は、すでにその女と姦淫を犯しているのです。彼の心の中で。

2ペテロ 2:19 彼らは自由を約束していますが、彼ら自身は堕落の僕です。人はそのために征服され、同じように奴隷にされています。

偽教師は自由と自由を約束しますが、実際には奴隷化と腐敗をもたらします。

1. 偽りの教えの危険性: 罪の奴隷状態を避けるには

2. 神に従う自由: 真の自由への道

1. ガラテヤ 5:1 「自由のために、キリストは私たちを自由にしてくださったのです。だからしっかり立ちなさい。奴隷のくびきに再び屈しないでください。」

2. ヨハネ 8:36 「ですから、もし御子があなたを自由にしてくださるなら、あなたは確かに自由になるでしょう。」

2ペテロ 2:20 なぜなら、もし彼らが、主であり救い主であるイエス・キリストを知ることによって世の汚染から逃れた後、再びそこに巻き込まれ、それに打ち勝ったとしても、後の終わりは最初よりも彼らにとってさらに悪いことになるからです。

人々が世界の腐敗から救われた後、再びその世界に陥った場合、彼らの罰は以前よりも重くなるでしょう。

1. 神から離れることの結果を理解する

2. 罪の生活に戻る危険性

1. ヘブライ人への手紙 10:26-31 - 救いを受け入れた後に離れてしまうことに対する警告

2. ローマ 6:1-2 - 救いを受け入れた後は、私たちはもはや罪の奴隷ではないことを説明する

2ペテロ 2:21 彼らにとって、義の道を知った後で、自分たちに与えられた聖なる戒めから離れるよりは、それを知らなかった方が良かったのです。

ペテロ第二のこの箇所は、義の道を知った後にそれから背けないよう警告しています。

1. 道を歩み続ける: 正義の道を歩み続けることの重要性

2. 戒めから離れることの結果: ペテロ第二からの警告

1. ローマ 6:12-14 - 「ですから、罪があなたの肉体を支配し、その情欲に従わないようにしてください。自分の肢体を不正の道具として罪にさらすのではなく、招かれた者として神に自分自身を差し出しなさい。」」

2. 箴言 4:25-27 - 「目をまっすぐ前に向けなさい。あなたの視線はあなたの前にまっすぐにあります。自分の足の道をよく考えてください。そうすればあなたのすべての道は確かになります。右にも左にもそれてはなりません」; 悪から足を遠ざけなさい。」

2ペテロ 2:22 しかし、真実のことわざによれば、彼らの身に、「犬は再び自分の嘔吐物に向かう。」ということが起こります。そして洗われた雌豚は泥沼に潜り込んでいた。

一節 人は、変えるためにどれだけ努力しても、古い習慣や行動に戻ってしまうことがよくあります。

1. たとえそれがどんなに難しいように見えても、神は私たちが古い習慣や行動を打ち破るのを助けてくださいます。

2. 古いやり方に自分を定義させないでください。神にはあなたが自由になるのを助ける力があります。

1. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはいけません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

2. ガラテヤ 5:16 - 「しかし、私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満足させることはできません。」

第二ペテロ 3 章はペテロ第二の手紙の 3 番目で最後の章であり、使徒はそこでキリストの再臨を疑問視する嘲笑者の問題を取り上げています。彼は信者に神の約束を思い出すよう励まし、差し迫った裁きについて警告し、キリストの再臨を待ち望んで聖なる生活と不動心を保つ必要性を強調しています。

第 1 段落: ペテロはキリストの再臨を疑ったり嘲ったりする人々に語りかけます (2 ペテロ 3:1-7)。彼は信者たちに、過去に預言者たちが語った言葉と、イエスが使徒たちを通して与えた戒めの両方を思い出すよう促しています。この終わりの日に嘲笑する者たちが立ち上がり、キリストの再臨の約束を嘲笑するでしょう。しかし、彼らは、神が御言葉によってすべてを創造されたこと、天と地が裁かれ火で滅ぼされる日が近づいていることを意図的に見逃しています。

第 2 段落: 使徒は、神は約束に関して忍耐強いと信者たちを安心させます (2 ペテロ 3:8-10)。神にとって一日は千年に似ており、その逆もまた然りであることを忘れないようにと彼は彼らに思い出させます。キリストの再臨が明らかに遅れていることは、遅さとしてではなく、悔い改めと救いの機会として解釈されるべきです。裁きの日は、天が轟音を立てて過ぎ去り、元素が焼き尽くされ、地とその働きが露出するとき、泥棒のように予期せずやって来ます。

第 3 段落: ペテロは信者たちに、キリストの再臨を待ちながら聖なる生活を送るよう勧めています (2 ペテロ 3:11-18)。このようにしてすべてが解消されるので、神聖さと敬虔さを特徴とする生活を送ることがいかに重要であるかを彼は強調します。信者は義が宿る新しい天と新しい地を待ち焦がなければなりません。彼らは、イエス・キリストについての知識を深めながら、信仰を堅固にして、神の前に非のない者と認められるようあらゆる努力をするよう求められています。結論として、ペテロは不法な人々に流されないよう警告しますが、今も永遠にイエスの栄光を讃えながら恵みのうちに成長するよう彼らを励ましています。

要約すれば、

ペテロ第二の第 3 章では、キリストの再臨に関する懐疑について言及しています。

ペテロは信者たちにこの出来事についての預言の言葉を思い出すよう促しながら、それを嘲笑する者たちについて警告しています。

人間の観点からは遅れがあるように見えるかもしれないが、彼は彼らに次のように保証します。

神が忍耐強いのは、裁きが突然火のように来る前に悔い改めを望んでおられるからです。

信者は、神が約束された新しい天と地を熱心に待ち望みながら、敬虔さを特徴とする聖なる生活を送るよう奨励されています。彼らは信仰を堅固に保ち、不法行為から守りながらイエス・キリストについての知識を深めていくよう求められています。

ペテロは、今も永遠にイエスに栄光を帰しつつ、恵みのうちに成長するよう勧めて締めくくっています。

2ペテロ 3:1 愛する人よ、この第二の手紙を今あなたがたに書きます。どちらの内容も、思い出としてあなたの純粋な心を呼び起こします。

ペテロは読者に福音の真理を思い出すよう勧め、その教えを心に留めておくことの重要性を強調しています。

1. 福音を思い出し、その教えに従って生きることの大切さ

2. 福音の真理はどのようにして私たちが迷走しないようにできるか

1. ペテロ第一 1:13-16 - したがって、心に帯を締め、冷静になって、イエス・キリストの啓示によってもたらされる恵みに完全に希望を置きなさい。従順な子供として、無知なときのように以前の欲望に従うことはありません。しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。「わたしは聖であるから、聖になりなさい」と書いてあるからです。

2. ローマ 12:2 - そして、この世に順応するのではなく、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして変えられなさい。

2ペテロ 3:2 それは、聖なる預言者たちが以前に語った言葉と、主であり救い主の使徒である私たちに対する戒めを、あなたがたが心に留めるためです。

ペテロは信者たちに、聖なる預言者の言葉と、主であり救い主の使徒たちの戒めを思い出すよう促しています。

1. 神の言葉を思い出すことの重要性

2. キリストに従う者として神の戒めに従う

1. イザヤ書 40:8 - 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に残る。」

2. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、あなたは私の戒めを守るでしょう。」

2ペテロ3:3 終わりの日には、自分の欲望に従って歩むあざける者たちが来るであろうということを、まず知っておいてください。

終わりの日には、自分の欲望を嘲笑し、それに従う人々が現れるでしょう。

1. 神の光の中を歩む: 世俗的な欲望の誘惑を避ける

2. 終わりの時代に生きる: 人間のやり方ではなく神のやり方に従う

1. マタイ 6:24 - 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神とお金に仕えることはできない。」

2. 詩篇 1:1-2 - 「悪人の計らいに従って歩まず、罪人たちの道を妨げず、あざける者の座に座らない人は幸いです。しかし、彼の喜びは主の律法であり、昼も夜もその律法を黙想している。」

2ペテロ3:4そして言った、「彼の再臨の約束はどこにあるのか」。なぜなら、父祖たちが眠りに就いて以来、万物は創造の初めからそのまま続いているからです。

人々は、父祖たちは眠りにつき、万物は天地創造の初めからそのまま続いているのに、イエスが来られるという約束はどこにあるのかと尋ねています。

1.「イエスを待ち望む：不確実な時代における忍耐と希望」

2. 「神の約束の保証: なぜ私たちはイエスを信じるのか」

1. イザヤ書 40:31 - 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにし、鷲のように翼を広げて乗り、走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。」

2. ローマ人への手紙 8:24-25 - 「この希望によって、私たちは救われたのです。今、目に見える希望は希望ではありません。なぜなら、誰が目に見えるものを望むのでしょうか。しかし、目に見えないものを望むなら、私たちはそれを待ちます。」忍耐強く。」

2ペテロ3:5 彼らは、神の言葉によって天は古くからあり、地は水の中から出て水の中に立っていたということを、進んで知らないのです。

神が御言葉を通して天と地を創造されたという事実を、人々は進んで知りません。

1. 神の言葉が創造する力

2. 人間の故意の無知

1. 創世記 1:1-31 - 神は御言葉を通して世界を創造されます。

2. ローマ 1:21-23 - 人々は意図的に神の真理を知りません。

2ペテロ 3:6 それにより、当時あった世界は水であふれて滅びました。

大洪水以前に存在した世界は水によって破壊されました。

1. 裁きの水 - 神の怒りと慈悲を探求する。

2. 洪水の現実: 神聖な計画における私たちの立場を理解する。

1. 創世記 6-9 章 - ノアの洪水の物語。

2. 詩篇 29:10 - 主の声は水を震えさせる。

2ペテロ 3:7 しかし、同じ言葉によって、今ある天と地は、不敬虔な人々の裁きと滅びの日に備えて、火に備えて蓄えられているのです。

聖書は、天と地を創造したのと同じ言葉によってもたらされる、不敬虔な人々の裁きの日と滅びについて語っています。

1. 審判の日の現実: なぜ今自分の選択を気にすべきなのか

2. 火と硫黄: 神の言葉が私たちの道徳的決定をどのように形作るか

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとって罪です。

2ペテロ 3:8 しかし、愛する人よ、この一つのことを知らないではいけません。それは、主とともにある一日は千年と同じであり、千年は一日と同じであるということです。

ペテロは信者たちに、神の時間の認識は私たちの時間の認識とは大きく異なることを覚えておくよう勧めています。

1. 神の時間の超越性: 永遠に照らして時間をどのように見るべきか

2. 時間の認識を再考する: ペテロの言葉から学べること

1. 伝道の書 3:11 - 神はすべてをその時々に応じて美しくされました。神はまた、人間の心に永遠を設定しました。しかし、神が何をなされたかを最初から最後まで理解できる人は誰もいません。

2. イザヤ書 40:28 - 知らないのですか？聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は疲れたり疲れたりすることはなく、彼の理解力は誰も理解できません。

2ペテロ 3:9 ある人々が怠けていると考えるように、主はご自分の約束に関して怠惰ではありません。しかし、私たちに対しては辛抱強く、誰も滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに来ることを望んでいます。

神は忍耐強く愛情深く、すべての人が罪から離れて救われることを望んでおられます。

1. 神の愛と忍耐: 主の終わりのない憐れみ

2. 悔い改めの力: 人生の流れを逆転させる

1. イザヤ書 55:6-7 - 主が見つかるまでに主を求めなさい。主が近くにいる間に主を呼び求めてください。悪人は自分の道を捨て、不義の人は自分の考えを捨てなさい。彼を主に立ち返らせなさい。そうすれば主は彼を憐れんでくださるでしょう。そして私たちの神に、神は豊かに赦してくださるからです。

2. ルカ 15:11-32 - 放蕩息子のたとえ。

2ペテロ3:10 しかし、主の日は夜の盗人のように来るでしょう。その中で、天は大きな音を立てて過ぎ去り、諸要素は熱烈な熱で溶け、地とその中にある作品も焼き尽くされるであろう。

主の日は突然やって来て、大きな音を立てて元素が溶け、地球とその働きが焼き尽くされるでしょう。

1. 神のタイミングの予測不可能性

2. 不信仰の結果

1. マタイ 24:36-44 - 再臨のしるしに関するイエスの話

2. イザヤ書 65:17-18 - 新しい天と新しい地に関する主の約束

2ペテロ 3:11 それでは、これらすべてのことが解消されることを考えると、あなたがたは、あらゆる神聖な会話と敬虔さにおいて、どのような態度をとるべきでしょうか。

この世のすべてのものはいつかは過ぎ去ってしまうので、ペテロは信者たちに聖なる生活を送るよう勧めています。

1. この世の諸行無常：これを踏まえて私たちはどう生きるべきか？

2. 神聖さ：真の信者の証。

1. イザヤ書 40:8 - 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に残る。」

2. ヤコブ 4:14 - 「しかし、あなたは明日何が起こるか知りません。あなたの人生は何ですか？あなたは、少しの間現れて、そして消える霧だからです。」

2ペテロ 3:12 神の日の到来を待ち望み、それを急いでいるでしょうか。その日、燃え盛る天は溶け、諸要素は熱烈な熱で溶けるでしょう。

ペテロは信者たちに、キリストの再臨を心待ちにするよう勧めています。キリストの再臨では、天は火で溶け、要素は激しい熱で溶けます。

1. 再臨: 準備を整えて備える

2. 主の日: 私たちの希望と自信

1. ローマ人への手紙 13:11-12 - 「そして、今の時を理解してこれを行いなさい。あなたが眠りから目覚める時はすでに来ています。なぜなら、私たちの救いは私たちが最初に信じた時よりも近づいているからです。夜はもうすぐ終わります。」; その日はもうすぐそこまで来ています。」

2. テサロニケ第一 4:16-17 「というのは、大声の号令と天使長の声と神のラッパの呼びかけとともに、主ご自身が天から降りて来られ、キリストにある死人が最初によみがえるからです。それは、まだ生きていて残された私たちも、彼らと一緒に雲に巻き込まれ、空中で主にお会いすることです。そして、私たちは永遠に主とともにいることになるのです。」

2ペテロ 3:13 それにもかかわらず、私たちは神の約束に従って、義が住む新しい天と新しい地を求めます。

クリスチャンは、義が標準となる新しい天と地の約束を楽しみにすべきです。

1.「新天地の約束」

2.「新しい地球を見据えて正しく生きる」

1. イザヤ書 65:17、「見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。そして、前者は思い出されることも、思い浮かぶこともない。」

2. ローマ人への手紙 8:19-21、「被造物は神の子たちが現れるのを切望して待っているからです。なぜなら、被造物は自ら望んでではなく、被造物そのものが堕落の束縛から解放され、神の子の栄光の自由を得るという希望を持って、それを服従させた神のせいで無益にさらされたからである。なぜなら、被造物全体がこれま

で出産の苦しみの中で共にうめき続けてきたことを私たちは知っているからです。」

2ペテロ 3:14 ですから、愛する人よ、あなたがたがそのようなものを探し求めているのを知って、あなたがたが、平安のうちに、傷もなく、罪のない状態で主に見い出されるように、熱心に努めなさい。

信者は勤勉で、傷も非難もなく、平安のうちに見つかるように努めるべきです。

1: 私たちは信仰に勤勉になり、義のために努力するよう求められています。

2: 私たちは神の前に罪のない者と認められ、平和に暮らせるよう努力しなければなりません。

1: ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2: ヤコブ 1:22 - ただ御言葉に耳を傾けるだけで自分を欺いてはいけません。言われたことを実行してください。

2ペテロ 3:15 そして、私たちの主の辛抱強さが救いであると説明してください。私たちの愛する兄弟パウロも、彼に与えられた知恵に従ってあなたがたに手紙を書いたように。

ペテロは信者たちに、主の忍耐が救いの手段であることを思い出し、パウロが著書の中で与えた知恵に留意するよう勧めています。

1. 神の忍耐は救いをもたらす

2. パウロの著作の知恵

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心から正義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。

2. テモテ第二 3:16-17 - 聖書はすべて神の霊感によって与えられたものであり、教義、戒め、矯正、義の指導に有益です。それは、神の人が完全であり、すべての善に完全に備えられるためです。動作します。

2ペテロ 3:16 また、彼のすべての書簡でも同様に、その中でこれらのことが語られています。その中には、理解するのが難しい事柄がいくつかあり、無学で不安定な人々は、他の経典と同様に、自らの破滅に至るまでそれをもぎ取っています。

ペテロは、聖書を誤解して自ら破滅を引き起こす人々について警告しています。

1. 聖書を誤解する危険性

2. 聖書を理解する必要性

1. 箴言 3:5-6 - 心を尽くして主を信頼しなさい。そして自分自身の理解に頼らないでください。あなたのすべての道において彼を認めなさい、そうすれば彼はあなたの道を導くでしょう。

2. イザヤ書 28:10-13 - 戒めには戒めを、戒めには戒めを重ねなければなりません。ラインにライン、ラインにライン。ここにも少し、あそこにも少し: というのは、彼はどもる唇と別の舌でこの民に語りかけるからである。彼は彼に言った、「これがあなたが疲れた人を休ませるための休息です。」そしてこれはさわやかなことですが、それでも彼らは聞きませんでした。しかし、主の言葉は彼らにとって、戒めに戒め、戒めに戒めを加えた。ラインにライン、ラインにライン。ここにも少し、あそこにも少し。彼らが行って後ろに倒れ、打ち砕かれ、罠にかかり、捕らえられるかもしれないからです。

2ペテロ 3:17 ですから、愛する人よ、あなたがたはこれらのことを以前から知っているのですから、悪人の過ちに導かれて、自分自身の堅固さから落ちないように気をつけてください。

信者は邪悪な者の間違いを認識し、信仰を堅持し続けるべきです。

1. 信仰にしっかりと立ちなさい

2. 悪者の過ちを避ける

1. マタイ 10:22 - 「そして、あなたがたは、わたしの名のゆえに、すべての人に憎まれるでしょう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。」

2. コロサイ 1:23 - 「確かに、あなたが信仰を堅持し、根拠と確固たる姿勢を保ち、聞いた福音の希望から離れないようであれば。」

2ペテロ 3:18 しかし、恵みのうちに成長し、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストについての知識を深めてください。彼に今も永遠に栄光がありますように。アーメン。

イエス・キリストについての恵みと知識の中で成長することは、現在と永遠に栄光をもたらします。

1. 恵みの中で生きる: 充実への道

2. イエスを知る: 平和が続く鍵

1. エペソ人への手紙 2:8-10 - あなたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにあって造られたからで

あり、神は私たちがその良い行いの中を歩むようにあらかじめ備えてくださったものだからです。

2. ヨハネ 14:27 - 私はあなたがたに平和を残します。私の平和をあなたに与えます。世界が与えるものと同じように私があなたに与えるものではありません。あなたがたの心を騒がせてはならず、恐れてはなりません。

まずヨハネ 1 章はヨハネの最初の手紙の冒頭の章であり、そこで使徒は神との交わり、そしてお互いの交わり、罪を認めて光の中を歩むことの重要性を強調しています。

第 1 段落: ヨハネは、イエス・キリストとの直接の経験を宣言することから始めます (1 ヨハネ 1:1-4)。彼は、命の言葉であるイエスを見て、聞いて、触れたことがあると証言します。彼の宣言の目的は、他の人たちを彼と神との交わりに招くことです。この交わりに参加することによって、信者は真の喜びを経験し、その喜びを完全なものとすることができます。

第 2 段落: ヨハネは光の中を歩くことの重要性を強調しています (1 ヨハネ 1:5-7)。彼は神は光であり、神には闇がないと宣言します。信者たちが闇の中で生きているとき、つまり罪に特徴付けられたライフスタイルをしながら、神との交わりがあると主張するなら、彼らは自分自身を欺いていることになります。しかし、キリストが光の中におられるように、彼らも光の中を歩むなら、キリストの血がすべての罪から清めてくださるので、彼らは互いに真の交わりを持つことができます。

第 3 段落: 使徒は自分の罪深い本性を否定する人々に語りかけます (1 ヨハネ 1:8-10)。彼は、もし誰かが罪がないと主張するなら、その人は自分自身を欺き、神を嘘つきであると決めつけている、と主張します。しかし、信者が神の前に自分の罪を正直に告白し、赦しが必要であることを認めれば、神は忠実であり、すべての不義から彼らを清めながら彼らを赦してくださるのです。自分の罪深い状態を認識し、告白によって許しを求めることによって、信者は神との正しい関係を維持することができます。

要約すれば、

ヨハネ第一の第一章は、神との交わり、そしてお互いの交わりを強調しています。

ヨハネは、この交わりへの招きとして、イエス・キリストとの個人的な経験について証言しています。

信者は、光の中を歩み、神の原則に従って生活し、罪に特徴付けられるライフスタイルを避けることが奨励されています。光の中を歩くことによって真の交わりを経験することができ、キリストの血によって罪からの清めが起こります。

この章は、自分の罪深い性質を否定する人々に言及して終わります。

信者は、許しと不義からの清めを求めて神の前に自分の罪を正直に告白するよう促されています。これは神との正しい関係を維持するために不可欠な側面です。

1ヨハネ1:1 初めからあった命の言葉、私たちが聞いたこと、目で見たこと、見つめ、手で扱ったこと。

使徒ヨハネは、自分と他のクリスチャンが、初めから存在していた命の言葉を聞き、見、触れてきたと書いています。

1. 生きた言葉: 生活の中でイエスの臨在をどのように体験するか

2. 接触から変容へ: 過去を手放し、キリストのうちに新たさを見つける方法

1. ピリピ 3:8-11 - イエスとその復活の力、そして苦しみを分かち合う交わりを知り、死に際にイエスと同じようになり、そしてどういうわけか死者の中からの復活に到達する。

2. ヨハネ 14:1-3 - イエスは弟子たちに言った、「心を騒がせてはいけません。神を信頼してください。また、わたしを信頼してください。わたしの父の家にはたくさんの部屋があります。もしそうでなかったら、私はそうしていただろう」言ってくれました。私はあなたのために場所を用意するためにそこに行きます。」

1 ヨハネ 1:2 (というのは、いのちが現れたからです。そして、私たちはそれを見て、証しし、あなたがたにその永遠のいのちを示しました。それは父とともにあり、私たちに現れたのです。)

一節: ヨハネは、父とともにあった命が私たちに現れ、私たちはそれを見、聞き、目撃したと書いています。

1. 神は常にご自身とご自身の愛を私たちに明らかにしてくださいます。

2. 神の命の証人となる喜び。

1. ヨハネ第一 4:9 - この中には、私たちに対する神の愛が表れています。なぜなら、神はご自分の独り子を世に遣わして、私たちがその独り子を通して生きることができるようにしてくださったからです。

2. コリント人への第二の手紙 4:6 - 暗闇から光が輝くように命じられた神は、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を知る知識の光を与えるために、私たちの心の中で輝いてくださったからです。

1 ヨハネ 1:3 私たちが見聞きしたことから、あなたがたも私たちと交わりを持つことができるように、あなたがたに宣言します。そして、本当に私たちの交わりは父とその御子イエス・キリストとなのです。

一節 私たちはイエス・キリストの経験を分かち合い、他の人たちも私たちと、また父なる神と御子イエス・キリストとの交わりを分かち合うことができるようにします。

1. イエス・キリストの交わり: 私たちの経験を共有することがどのようにして霊的な一致につながるのか

2. 交わりの力: 他者とのつながりがどのようにして私たちを神に近づけるのか

1. ローマ 5:1-2 - したがって、私たちは信仰によって義とされたので、主イエス・キリストを通して神との平和を持っています。このキリストを通して、私たちは信仰によってこの恵みに入ることができ、今その恵みの中にいます。

2. ピリピ人への手紙 2:1-3 - ですから、もしあなたがキリストと一つになることで励ましがあるなら、キリストの愛で慰めがあるなら、御霊を分かち合うなら、優しさと思いやりがあるなら、次のようにして私の喜びを完全なものにしてください。- 心を持ち、同じ愛を持ち、精神的にも心を一つにしていること。

1 ヨハネ 1:4 そして、あなたがたの喜びが満たされるように、私たちはこれらのことをあなたがたに書き送っています。

ヨハネ第一の著者は、読者に喜びをもたらすために書いています。

1. 交わりの喜び: コミュニティを通じて神の愛を体験する

2. 喜びの回復: 神の言葉を通して真の喜びを発見する

1. ネヘミヤ 8:10 - 「主の喜びがあなたの力です」

2. ピリピ 4:4-7 - 「いつも主にあって喜びなさい。繰り返し言いますが、喜びなさい。」

1 ヨハネ 1:5 これが私たちが彼について聞いたメッセージであり、あなたがたに宣言します、神は光であり、彼の中には暗闇がまったくありません。

私たちが神から聞いたメッセージは、神は光の源であり、神には闇が含まれていないということです。

1. 神は私たちの光と希望の源であり、私たちを義への道に導いてくださいます。

2. 神は私たちの保護者であり、供給者であり、私たちを決して誤らせることはありません。

1. 詩篇 119:105、「あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。」

2. マタイ 5:14-16、「あなたは世の光です。丘の上に建てられた町を隠すことはできません。また、人々はともしびを灯して鉢の下に置くこともありません。その代わりに、それを台の上に置き、「それは家の中の皆に光を与えます。同じように、あなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天の父に栄光を帰すことができます。」

1 ヨハネ 1:6 もし私たちが、神と交わっていて暗闇の中を歩いていると言うなら、それは偽りであり、真実ではありません。

私たちが暗闇の中で生きているなら、それは真理に反しているので、神との交わりを持っていると主張することはできません。

1. 神の真理の光の中を歩む

2. 神との交わりの中で生きる

1. エペソ 5:8-10 - あなたがたはかつては闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として生きてください。

2. ヨハネ 8:12 - イエスはもう一度人々に向かって言われました。「わたしは世の光です。私に従っていれば、命につながる光が得られるので、暗闇の中を歩む必要はありません。」

1ヨハネ 1:7 しかし、イエスが光の中におられるように、私たちも光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエス・キリストの血は私たちをすべての罪から清めます。

この聖句は、光の中を歩むことによって互いに交わりがもたらされ、イエス・キリストの血の清めの力がもたらされることを強調しています。

1. 光あふれる暮らしの力

2. イエスの清めの血

1. イザヤ書 2:5 - ヤコブの家よ、来てください、主の光の中を歩ませてください。

2. 黙示録 7:14 - そこで私は彼に言った、「先生、あなたはご存知でしょう。」そして彼は私に言った、「これらは大患難から出てきて、彼らの服を洗い、小羊の血で白くした人たちです。」

1ヨハネ 1:8 もし私たちが自分には罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いていることになり、真理は私たちの中にありません。

罪のない人はいないので、それについて正直になることが重要です。

1. 私たちは皆、罪と闘っています: ヨハネ第一 1:8 に照らして自分の行動を検討してください

2. 正直さの力: ヨハネ第一 1:8 に照らして自分の間違いを認めることを学ぶ

1. ローマ人への手紙 3:23 - すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。

2. ヤコブ 5:16 - ですから、お互いに罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りましょう。

1ヨハネ 1:9 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

一節: 聖書は、私たちが自分の罪を告白すれば、神は私たちを許し、罪を清めてくださると教えています。

私たちは神に立ち返り、自分の罪に対する神の許しを求めることができます。

1. 告白の力: 自分の罪を認識し、許しを求める

2. 神の忠実さと正義: 清めと憐れみを神に求める

1. 詩篇 51:1-5 – 「神よ、あなたの変わらぬ愛に従って、私を憐れんでください。あなたの豊かな憐れみにより、私の罪を消してくださいます。私の咎から私を徹底的に洗い、私の罪から私を清めてください！なぜなら、私は自分の罪を知っており、私の罪は常に私の前にあるからです。あなたに対して、あなたに対してだけ私は罪を犯し、あなたの目に悪であることを行いました。それは、あなたがあなたの言葉で義とされ、あなたの裁きで無罪になるためです。見よ、私は不法のうちに生まれ、母は罪のうちに私を身ごもったのです。」

2. エゼキエル 36:25-27 – 「わたしはあなたに清い水を振りかけます。そうすればあなたはすべての汚れから清められ、すべての偶像からあなたを清めます。」そして私はあなたに新しい心と新しい精神をあなたの中に与えます。そして私はあなたの肉体から石の心を取り除き、肉の心をあなたに与えます。そしてわたしはあなたの中にわたしの霊を宿し、あなたがわたしの掟に従って歩むようにし、わたしの規則に注意深く従うようにさせます。」

1ヨハネ 1:10 もし私たちが、自分は罪を犯していないと言うなら、私たちは彼を偽り者にすることになり、彼の言葉は私たちの中にありません。

これは神の御言葉に直接反することになるため、私たちは自分の罪を否定することはできません。

1. 神の言葉は真実であり、不変です。私たちは自分の罪を否定することはできません

2. 自己欺瞞の餌食にならないでください: 私たちは皆罪深いです

1. ローマ人への手紙 3:23 - 「すべての人は罪を犯しており、神の栄光を受けられないからです。」

2. ヤコブ 3:2 - 「私たちは皆、さまざまな面でつまずきます。そして、自分の言うことにつまずかない人がいるなら、その人は完全な人であり、全身を制することもできます。」

第一ヨハネ2章は、新約聖書のヨハネの第一の手紙の第2章です。この章では、神の戒めへの従順、互いへの愛、真実と偽りの識別などのテーマについて説明します。

第 1 段落: この章は、著者が読者に「私の親愛なる子供たち」と呼びかけ、彼らが罪を犯さないようにという願望を表明することから始まります。しかし、もし誰か

が罪を犯したとしても、その人には御父の代弁者、つまり私たちの罪の贖いの犠牲であるイエス・キリストがいるということを彼は認めています(1ヨハネ2:1-2)。著者は、神の戒めを守ることは神への愛の表れであると強調しています(1ヨハネ2:3-5)。神を知っていると主張しながらも神の戒めを守らない者は嘘つきであるが、神の言葉に本当に従う者は神の愛が自分たちの内に完成されている、と彼は述べています(1ヨハネ2:4-5)。

第 2 段落: 7 ～ 11 節では、互いに愛し合うことが強調されています。著者は、読者に向けて新しい戒めを書いていると述べています。この戒めは、イエス・キリストにおいて成就されたので、古くて新しいものです(1ヨハネ2:7-8)。彼は信者たちに、兄弟や姉妹を憎んでつまずかず、光の中を歩むよう勧めています。むしろ、兄弟や姉妹を愛する者は光の中に生きているので、彼らは互いに愛し合うべきです(1ヨハネ2:9-10)。著者はこれを他人を憎む人々と対比させます。彼らはまだ暗闇の中で暮らしており、どこへ行くのか分かりません。

第 3 段落: 12 節以降、章の終わりまで、著者はコミュニティ内での精神的成熟のさまざまな段階、つまり子供、若者、父親について言及します (12 -14)。彼は、赦された者としてのアイデンティティを思い出させることで、彼らを励まします。強い者たち、そして神を知る者たち (12 -14) 著者は、世を愛する人がいるとしても、その人の中に父の愛は存在しないと述べて、世の愛に対して警告しています (1 ヨハネ 2:15)。彼は信者たちに、識別力を持ち、すべての霊を信じるのではなく、それらが神から出たものであるかどうかを試してみるように勧めています(1ヨハネ2:18-19)。彼は、キリストにとどまる者は自信を持ち、キリストの来臨を恥じることはない、と強調しています(1ヨハネ2:28)。

要約すると、使徒ヨハネによる第一の手紙の第 2 章は、神への愛の表れとして神の戒めに従うことを強調しています。それは信者たちに互いに愛し合うよう呼びかけ、他人を憎まないように警告している。この章では、コミュニティ内の精神的な成熟のさまざまな段階について取り上げ、真実と偽りの識別を奨励します。結局のところそれはキリストのうちに留まり、キリストの到来を確信することの重要性を強調しています。

1 ヨハネ 2:1 私の幼い子供たちよ、あなたがたが罪を犯さないように、これらのことから私はあなたに書きます。そして、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちには御父の代弁者、義人イエス・キリストがいます。

ヨハネ第一 2章1節でヨハネは、読者に罪を犯さないように注意を促していますが、もし罪を犯した場合、イエス・キリストが御父とともに彼らの代弁者であるという保証を与えています。

1. イエス・キリストの保証: 御父に対する私たちの弁護者

2. イエス・キリストに頼って罪を克服する

1. ローマ人への手紙 8:34 - 「誰が罪に定められるでしょうか。キリスト・イエスは死んだ方であり、それ以上に復活させられた方であり、神の右におられ、まさに私たちのために執り成してくださっているのです。」

2. ヘブライ 4:15-16 - 「私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司がいるのではなく、あらゆる点で私たちと同じように誘惑を受けながらも、罪を犯していない大祭司がいます。そうすれば、私たちが慈悲を受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

1 ヨハネ 2:2 そして、彼は私たちの罪のためのなだめの品です。それは私たちの罪のためだけではなく、全世界の罪のためでもあります。

この箇所は、イエスが全世界の罪に対するなだめの者であると説明しています。

1. イエスの犠牲はすべての人のためです - ヨハネ第一 2:2 の意味を探る

2. 救いの賜物 - イエスの贖いの範囲についての考察

1. ローマ人への手紙 3:24-26 - イエス・キリストへの信仰を通してすべての人が義とされる

2. ヘブライ 10:14 - 私たちの罪のためのイエスの完全な犠牲

1 ヨハネ 2:3 そして、私たちが神の戒めを守るなら、私たちはここで神を知っていることがわかります。

神の戒めを守るなら、私たちは神を知ることができます。

1. 神の愛の中にとどまる：神の命令を守るとき、私たちは神の愛の充足を経験することができます。

2. 主にある従順: 神の命令に従うことが、私たちが神を知る唯一の方法です。

1. ローマ人への手紙 8:14-16 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子なのです。

2. 詩篇 119:165 - あなたの律法を愛する者たちに大いなる平安がありますように。そして何も彼らを傷つけることはありません。

1ヨハネ 2:4 「わたしはその人を知っているが、その戒めを守らない」と言う人は偽り者であり、その人の中に真理はありません。

この箇所は、神についての知識は神の戒めに従うことによって証明されることを強調しています。

1. 従順を通して神を愛することを学ぶ

2. 信仰を生きる力

1. ヨハネ 14:15 - 「もしあなたが私を愛しているなら、あなたは私の戒めに従うでしょう。」

2. ヤコブ 1:22 - 「ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。」

1 ヨハネ 2:5 しかし、神の言葉を守る者は、まさにその人の内に神の愛が完全になっています。これによって、私たちは神の中にいることを知ります。

神の言葉を守るとき、私たちは神の愛の中にいると確信できます。

1. 神の言葉を守る：神の完全な愛のしるし

2. 神の愛の確信の中で生きる: 神の言葉にとどまる

1. 箴言 3:1-2、「わが子よ、わたしの律法を忘れるな。しかし、あなたの心をわたしの戒めを守りなさい。日の長さ、命の長さ、そして平安が、あなたに加えられるであろう。」

2. ヨハネ 14:15、「もしあなたがたがわたしを愛するなら、わたしの戒めを守りなさい。」

1 ヨハネ 2:6 自分のうちにとどまっていると言う人は、自分が歩いたように、自分もそのように歩むべきです。

信者はイエスの生き方と一致する生き方をすべきです。

1. イエスとして歩む：神聖な人生を生きる

2. キリストとともに留まる: 生き方のモデル

1. マタイ 11:29 - 「わたしのくびきを負い、わたしのことを学びなさい。わたしは柔和で心のへりくだった者だからです。そうすればあなたたちは魂に安らぎを得るでしょう。」

2. ローマ人への手紙 13:14 - 「しかし、あなたがたは主イエス・キリストの上に着なさい。肉の欲望を満たすために肉の備えをしてはならない。」

1ヨハネ 2:7 兄弟たち、私はあなたがたに新しい戒めを書きませんが、あなたがたが最初から持っていた古い戒めを書きます。古い戒めは、あなたがたが最初から聞いていた言葉です。

ヨハネは兄弟たちに、初めから聞いてきた古い戒めを思い出させています。

1. 最初から神の言葉に従うことの重要性。

2. 時代を超えて私たちを支える神の言葉の力。

1. 申命記 6:4-9 - 聞け、イスラエルよ、私たちの神、主は唯一である。心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。

1 ヨハネ 2:8 もう一度、私はあなたがたに新しい戒めを書きます。このことは彼とあなたのうちに真実です。なぜなら、暗闇は過ぎ去り、今は真の光が輝いているからです。

第一ヨハネ 2 章 8 節で、著者は新しい戒めを教えていますが、今や暗闇は去り、真の光が輝いているので、この戒めは彼と読者の両方の中で真実となっています。

1. 「真の光はここにある: 従うべき新たな戒め」

2.「暗闇の過ぎ去り：成長への新たな希望」

1. ヨハネ 8:12 - 「イエスは再び人々に語られたとき、こう言われました。「わたしは世の光です。わたしに従う者は決して暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

2. エペソ人への手紙 5:8 - 「あなたがたは、かつては闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として生きなさい。」

1ヨハネ 2:9 自分は光の中にいると言いながら兄弟を憎む者は、今に至るまで闇の中にいます。

自分は光の中にいると主張しながらも、自分の兄弟を憎んでいる者たちは、依然として暗闇の中にいます。

1.「愛の光 憎しみを乗り越える」

2.「同胞団の力 闇を拒む」

1. ルカ 6:31 - 自分にしてもらいたいことを他の人にもしなさい。

2. ローマ人への手紙 12:14-21 - あなたを迫害する人々を祝福します。

1ヨハネ 2:10 兄弟を愛する者は光の中にとどまり、その人のうちにつまずくことはありません。

兄弟を愛することは、人を光の中に保ち、つまずくことを防ぎます。

1.「愛の光: 他者を愛することで光の中に留まる」

2. 「兄弟たちを愛する: 精神的な純粋さへの道」

1. マタイ 5:14-16 – 「あなたは世の光です。丘の上に築かれた街を隠すことはできません。ランプを灯してボウルの下に置く人もいません。代わりにスタンドに置くと、家にいる人全員に光が与えられます。同じように、他の人たちの前であなたの光を輝かせて、彼らがあなたの善行を見て、天の父に栄光を帰してください。」

2. 箴言 10:9 – 「誠実に歩む者は安全に歩むが、曲がった道を歩む者は必ず暴かれる。」

1 ヨハネ 2:11 しかし、兄弟を憎む者は暗闇の中におり、暗闇の中を歩き、暗闇が彼の目を隠しているので、どこへ行くのか知りません。

兄弟への憎しみは暗闇と盲目につながり、進むべき道を見つけることが困難になります。

1. 「兄弟たちの中に神の愛を見る」

2.「憎しみの危険性」

1. 箴言 10:12 – 憎しみは争いを引き起こしますが、愛はすべての罪をカバーします。

2. エペソ 4:31-32 - すべての恨み、憤り、怒り、叫び声、中傷を、すべての悪意とともにあなたから遠ざけましょう。神がキリストにあってあなたを赦してくださったように、互いに親切にし、心を優しくし、許し合いなさい。

1 ヨハネ 2:12 幼い子供たちよ、私はあなたがたに書きます。なぜなら、あなたの罪は神の御名のために赦されたからです。

信者はイエス・キリストを通して罪を赦されます。

1. イエスの御名による罪の赦し

2. 許しを経験する: イエスを信じる

1. コロサイ 1:14 - 神は私たちのすべての罪を赦してくださいました。

2. 詩篇 103:12 - 東が西から遠い限り、神は私たちの罪を私たちから取り除いてくださいました。

1ヨハネ 2:13 父親たち、私があなたがたに書きます。あなたがたは、初めからこの方を知っているからです。若い皆さん、私はあなたたちに手紙を書きます。なぜなら、あなたたちは邪悪な者に打ち勝ったからです。幼い子供たちよ、私はあなたたちに手紙を書きます。なぜなら、あなたたちは父を知っているからです。

ヨハネ第一の著者は、父親、若い男性、小さな子供たちという 3 つの異なるグループの人々に手紙を書いています。イエスと父なる神についての知識を持つよう彼らに勧めています。

1. イエスと父を知る: 悪を克服する道

2. 父親、若者、幼い子供たち: 父親とイエスを知る

1. マタイ 11:25-30 - イエスは、ご自分のもとに来る人々に御父を現されます。

2. ヨハネ 10:14-18 - イエスはご自分の羊と父を知っている良い羊飼いです。

1ヨハネ 2:14 父親たち、わたしがあなたがたに手紙を書きました。あなたがたは、初めからこの方を知っているからです。若者たちよ、私があなたたちに手紙を書きました。なぜなら、あなたたちは強く、神の言葉があなたたちの内に宿っており、あなたたちは邪悪な者に勝ったからです。

ヨハネは、イエスを最初から知っている父親と、信仰が強く邪悪な者に打ち勝った若者という、2つの異なるグループの人々に手紙を書きます。

1. 信仰における若者の強さ

2. イエスについての知識を深めていく

1. ヨハネ第一2:14

2. 詩篇119:9-11

1ヨハネ 2:15 世を愛してはならず、世にあるものを愛してはなりません。この世を愛する人がいるとしても、その人の中には御父の愛はありません。

世界を愛することは神を愛していないことを意味するため、私たちは世界やその中にあるものを愛すべきではありません。

1. 「世界を愛するとはどういう意味ですか?」: 世界を愛することの意味と、それが神との関係にどのような影響を与えるかを考察します。

2. 「世ではなく神を愛する方法」: 世の誘惑を避けながら神に近づく方法を探る

1. ヤコブ 4:4 - 「姦淫する者、姦淫する者たちよ、世の友情が神との敵対であることを知らないのか。したがって、世の友人となる者は神の敵である。」

2. マタイ 6:24 - 「人は二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、さもなければ一方に固執して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。あなたがたは神と富に仕えることはできません。」

1ヨハネ 2:16 世にあるすべてのもの、肉の欲望、目の欲望、人生の誇りは、父から出たものではなく、世から出たものだからです。

この世は、神から出たものではない、肉の欲望、目、高ぶりから来る誘惑で満ちています。

1. プライドは破壊につながる

2. 世界の誘惑に打ち勝つ

1. エペソ人への手紙 4:22-24 – 欺瞞的な欲望によって堕落しつつある古い自分を脱ぎ捨て、心の霊において新たになり、真の義と神に似た者となるように創造された新しい自分を身に着けなさい。神聖さ。

2. ヤコブ 1:14-15 – しかし、人は誰でも、自分の邪悪な欲望に引きずられ、誘惑されるときに誘惑されます。そして、欲望は妊娠した後、罪を生み出します。そして罪が大きくなると死を生み出します。

1ヨハネ 2:17 そして、世とその欲望は過ぎ去ります。しかし、神の御心を行う者は永遠にとどまります。

世界とその欲望は過ぎ去りますが、神のご意志を行う者たちは永遠に残ります。

1. 神の御心: 永遠の命への道

2.煩悩の無常

1. 詩篇 103:15-16 - 人間にとって、その日々は草のようです。彼は野の花のように咲き誇ります。なぜなら、風がその上を通り過ぎると、それは消え去り、その場所はもはや分からないからです。

2. マタイ 6:19-21 - 「虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗むような地上に自分のために宝を蓄えてはなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさない天に宝を

蓄えなさい。泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

1 ヨハネ 2:18 幼い子供たちよ、これが最後の時です。反キリストが来るとあなたがたは聞いているように、今でも多くの反キリストがいます。それによって私たちはそれが最後であることを知ります。

この一節は多くの反キリストの存在について語っており、これが最後であることを示しています。

1. 終わりの時が近づいている: イエスの再臨に備える

2. 善と悪の戦い: 反キリストの認識と回避

1. マタイ 24:4-14 - 終末のしるしに関するイエスの説明

2. テサロニケ第二 2:3-4 - 偽預言者と反キリストに対するパウロの警告

1ヨハネ 2:19 彼らは私たちから出て行きましたが、私たちの仲間ではありませんでした。なぜなら、彼らが私たちの仲間だったら、間違いなく私たちと一緒にいただろうからです。しかし、彼らは出て行ったのは、彼らが私たち全員ではないことを明らかにするためでした。

グループの一員だったが、最終的にはグループから離れてしまい、本当の意味でグループの一員ではなかったことを示す人もいました。

1. 私たちは、自分の周囲に誰がいるかについて、識別力を持たなければなりません。見た目と異なる人もいるからです。

2. 人々の行動は、その人の本性や集団に対する意図を明らかにすることがあります。

1. マタイ 7:15-16 「偽預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたたちのところに来るが、内心は貪欲な狼です。あなたはその果実によってそれらを認識するでしょう。」

2. テモテ第二 3:13 「しかし、悪人や詐欺師は、騙したり騙されたりしながら、ますます悪くなるでしょう。」

1ヨハネ 2:20 しかし、あなたがたは聖なる方からの恵みを受けており、すべてのことを知っています。

信者は聖霊の油注ぎを受け、あらゆることについての知識を与えられます。

1. 神の油注ぎ: 私たちの内なる聖霊の力

2. すべてを知る: 働く聖霊の力

1. ヨハネ 14:26 - しかし、父が私の名によって遣わされる弁護者、聖霊は、あなたにすべてのことを教え、私があなたに言ったことすべてを思い出させてくださいます。

2. テモテ第二 3:16-17 - 聖書はすべて神の息吹であり、教え、叱責、矯正し、義について訓練するのに役立ちます。それにより、神の僕はあらゆる良い働きに完全に備えることができます。

1 ヨハネ 2:21 私があなたがたに手紙を書いたのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、あなたがたがそれを知っているからであり、嘘は真実ではないということを知っているからです。

この聖句は、真実を認識することの重要性と、嘘は真実ではないことを強調しています。

1. 神の真実が重要 - 人生の指針として神の真実をどのように活用できるか。

2. 嘘と欺瞞 - なぜ私たちは生活の中で嘘と欺瞞を避けなければならないのか。

1. コロサイ 3:9 - 「習慣で古い自分を脱ぎ捨てているので、互いに嘘をついてはなりません。」

2. 箴言 12:22 - 「嘘をつく唇は主にとって忌まわしいものであるが、忠実に行動する者は主の喜びである。」

1ヨハネ 2:22 イエスがキリストであることを否定する者のほかに、だれが嘘つきでしょうか。彼は反キリストであり、父と子を否定します。

ヨハネ第一 2章22節のこの一節は、イエスをキリストとして否定することと、そうすることがどのようにして人を反キリストにしてしまうのかについて語っています。

1. イエス・キリストを神の子として受け入れることの重要性について。

2. イエスを否定することの意味と、そのようなことをした場合の結果について。

1. ヨハネ 14:6 - 「イエスは彼に言われた、『わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。」

2. ヨハネ第一 1:3 - 「私たちが見聞きしたことをあなたがたにも宣言します。それは、あなたがたも私たちと交わりを持つためです。そして実際、私たちの交わりは御父とその御子イエス・キリストとの間にあるのです。」

1 ヨハネ 2:23 子を否定する者には父がいません。子を認める者には父もいます。

この箇所は、父を持つためには息子を認めなければならないことを強調しています。

1. 父なる神との関係を持ちたいなら、私たちはイエスを神の子として認めなければなりません。

2. 私たちはイエスを否定しても、父なる神とのつながりを期待することはできません。

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしが道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. 使徒 4:12 - そして、他の誰にも救いはありません。なぜなら、私たちが救われるために天の下で人間の間に与えられた名前は他にないからです。

1 ヨハネ 2:24 ですから、あなたがたが最初から聞いていたことを、あなたがたのうちに留めておきなさい。もしあなたがたが最初に聞いたことがあなたの中に残るなら、あなたがたもまた御子の中に、そして父の中に残り続けるであろう。

私たちは最初から聞いてきたイエスの言葉に留まり続ける必要があります。そうすることで、御子と御父とのつながりを保つことができます。

1. 神の言葉にとどまりなさい: イエスとのより緊密な関係への道

2. 福音の真理に留まる：神とのつながりを保つ鍵

1. ヨハネ 15:4-5 - わたしのうちにとどまり、わたしもあなたの中にとどまってください。枝はブドウの木に留まらなければ、それ自体で実を結ぶことができないのと同じです。あなたがたがわたしのうちに留まっている以外には、それ以上はできない。

2. コロサイ 3:16 - キリストの言葉があらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに宿るようにしましょう。詩篇、賛美歌、霊的な歌によって互いに教え、戒め合い、心の中で主に向かって優雅に歌いましょう。

1ヨハネ 2:25 そして、これが神が私たちに約束してくださった約束、つまり永遠の命です。

ヨハネは永遠の命という神の約束を表現しています。

1. 永遠の命という神の約束 - ヨハネ第一 2:25

2. 救いの希望 - ヨハネ第一 2:25

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

1 ヨハネ 2:26 私は、あなたがたを誘惑する者たちについて、これらのことをあなたがたに書きました。

ヨハネは読者に手紙を書き、読者を迷わせようとする者たちについて警告しました。

1. 欺瞞の危険性: 偽りの教えを見分けて避ける

2. 神の言葉に忠実であり続ける: 偽預言者から身を守る

1. エペソ 6:11-13 - 悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2. エレミヤ 29:8-9 - 私があなたを亡命させた都市の平和と繁栄を求めてください。それを主に祈ってください。それが繁栄すれば、あなたも繁栄するでしょう。

1 ヨハネ 2:27 しかし、あなたがたが彼から受けた油注ぎは、あなたがたのうちにとどまっているので、だれかに教えてもらう必要はありません。同じ油注ぎがすべてのことをあなたに教えるのと同じで、それは真実であり、偽りではありません。それがあなたに教えたように、あなたがたは彼の内にとどまるであろう。

信者がイエスから受けた油注ぎは彼らの中に残り、すべてのことを教えます。油注ぎは真実で信頼できるものであるため、人に教えてもらう必要はありません。

1. 神の油注ぎ: 信頼できる真理の源

2. 油注ぎを通してイエスのうちにとどまる

1. イザヤ書 10:27 - 「その日、彼の重荷はあなたの肩から取り除かれ、彼のくびきはあなたの首から取り除かれ、そのくびきは油注ぎのゆえに破壊されるでしょう。」

2. ヤコブ 1:25 - 「しかし、自由の完全な律法を見つめ、それを継続し、忘れることを聞く人ではなく、働きを行う人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。」

1 ヨハネ 2:28 そして今、幼い子供たちよ、イエスの内にとどまりなさい。それは、彼が現れるとき、私たちが自信を持って、彼の再臨の際に彼の前で恥じるこ

とがないようにするためです。

キリストが再臨されるときに、恥ではなく自信を持てるように、私たちは神の臨在の中に留まるべきです。

1. キリストの再臨の光の中で生きることの大切さ

2. 神が再臨されるときに神の恵みと憐れみを体験するために神のうちにとどまる

1. イザヤ書 26:20 - 来て、私の民よ、部屋に入り、後ろで扉を閉めなさい。怒りが収まるまで、しばらく身を隠してください。

2. ローマ 8:1 - したがって、キリスト・イエスにある人々には今、罪に定められることはありません。

1 ヨハネ 2:29 もしあなたがたが彼が義人であることを知っているなら、義を行う者はみな彼から生まれたことを知っているでしょう。

信者は神が義なる方であり、義を行う者は神から生まれたことを知ることができます。

1. 「義とは何か、そしてそれをどのように実践できるのか?」

2. 「神から生まれるとはどういう意味ですか?」

1. ローマ人への手紙 6:16-17 「あなたがたは、自分を従順な奴隷として誰かに示すなら、死に至る罪の奴隷であるか、死に至る従順の奴隷であることを知らないのか」しかし、かつて罪の奴隷であったあなた方が、自らが課した教えの基準に心から従順になったことを神に感謝します。」

2. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、自分を欺き、ただ聞くだけでなく、御言葉を行う者になりなさい。もし誰かが御言葉を聞く者であって、行う者ではないとしたら、その人は自分の本性を熱心に見つめている人のようなものだからです」鏡に映る顔は自分自身を見て立ち去り、すぐに自分がどのようなものだったのか忘れてしまうからであるが、完璧な法、自由の法則を見つめ、耐え忍ぶ者は、忘れる聞く者ではなく、行動する実行者である。、彼はその行いにおいて祝福されるだろう。」

第一ヨハネ 3 章は、新約聖書のヨハネの第一の手紙の 3 章です。この章では、私たちに対する神の愛、神の子として生きること、義と愛の大切さなどのテーマに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、神が私たちを神の子と呼んで与えてくださった信じられないほどの愛に対する著者の驚きの表現から始まります (1 ヨハネ 3:1)。彼は、たとえ私たちが将来どうなるのか完全には理解できていなくても、キリストが現われるとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るので、キリストに似た者になることを知っていると強調しています(1ヨハネ3:2)。著者は、キリストが清いのと同じように、信者たちに自分自身を清めるよう勧めています(1ヨハネ3:3)。彼は、罪は不法であり、罪を犯し続ける人は真に神から生まれたわけではないことを強調しています(1ヨハネ3:4-9)。

第 2 段落: 10 ～ 18 節では、義と愛が強調されています。著者は神の子と悪魔の子を行動に基づいて区別します。義を実践し、兄弟姉妹を愛する人は神から出

た者ですが、義を実践せず、他人を憎む者は神から出た者ではありません(1ヨハネ3:10-15)。著者は、イエスが私たちのために命を捨てられたのと同じように、お互いのために自分の命を犠牲にするよう信者たちに呼びかけています(1ヨハネ3:16)。彼は、本物の愛は単なる言葉ではなく行動によって示されることを強調しています。

第 3 段落: 19 節以降、章の終わりまで、著者は神の前に自信を持つことについて信者を安心させます。たとえ私たちの心が私たちを非難しているとしても、神は私たちの心よりも大きく、すべてをご存じであると彼は述べています（1ヨハネ3:20）。著者は、神の戒めを守る者は望むものは何でも与えられるので、信仰を持って祈り、神の御心に従って求めるよう信者たちに勧めています(1ヨハネ3:21-22)。神を愛する者は神の戒めを守るので、神の戒めを守り、愛に留まることが重要であると彼は強調しています(1ヨハネ3:23-24)。

要約すると、使徒ヨハネによる第一の手紙の第 3 章は、私たちに対する神の信じられないほどの愛と、神の子としての私たちのアイデンティティを強調しています。それは信者に純粋さと義を追求し、行動に基づいて神の子と悪魔の子を区別するよう呼びかけています。この章は愛の犠牲的な性質を強調し、信者がお互いのために自分の命を捨てることを奨励します。それは神の前に自信を持つことについて信者を安心させ、神の戒めを守り、神の愛の中に留まるように促します。

1 ヨハネ 3:1 見よ、私たちが神の子と呼ばれるように、父は私たちにどれほどの愛を与えてくださったのでしょうか。したがって、世は私たちを知りません。なぜなら、世はイエスを知らなかったからです。

この聖句は、神が私たちを神の子とすることで示してくださった信じられないほどの愛について語っています。1. 神の愛: 父の恵みを体験する 2. 世界の拒絶: 壊れた世界でイエスを知る。1. ローマ人への手紙 8:14-17: 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。2. ヨハネ 17:14-19: わたしは彼らにあなたの言葉を与えました。そして、私が世のものではないのと同じように、彼らも世のものではないので、世は彼らを憎んでいます。

1 ヨハネ 3:2 愛する人たち、今私たちは神の子です。私たちがどのようになるかはまだわかりません。しかし、彼が現れるとき、私たちは神のようになるということを私たちは知っています。私たちは彼をありのままに見ることになるからです。

私たちは神の子であり、神が現れるときは神のようになるでしょう。

1. 私たちは至高の神の子供たちです

2. キリストの再臨を待ち望みながら信仰生活を送る

1. ローマ 8:29 - イエスは、そのことをあらかじめ知っていましたが、多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿に似るようになることも予定していました。

2. コロサイ 3:4 - 私たちのいのちであるキリストが現れるとき、あなたがたもキリストとともに栄光のうちに現れるでしょう。

1 ヨハネ 3:3 そして、自分のうちにこの希望を持つ人は皆、自分が清いのと同じように自分自身を清めます。

イエスが純粋であるように、信者も自分自身を清めるべきです。

1: イエスの清さの模範は私たちの模範となるべきです。

2: イエスに従う者として、私たちは清さを求めて努力しなければなりません。

1: ピリピ人への手紙 2:5 - 「キリスト・イエスにもあったこの思いをあなたの中に持ちなさい。」

2: テトス 2:11-12 - 「救いをもたらす神の恵みがすべての人に現れて、不敬虔と世俗の欲望を否定して、この世で慎み深く、正しく、敬虔に生きるべきであることを教えてくださったからです。」

1ヨハネ 3:4 罪を犯す者は、律法にも違反します。罪は律法に違反するからです。

この一節では、罪は律法に違反することであると述べられています。

1. 私たちは神の律法を尊重する生活を送るよう努めるべきです。

2. 私たちは罪に人生を左右されるのではなく、むしろ神の律法に従って生きるよう努めるべきです。

1. ローマ人への手紙 6:2-4 「私たちは律法から解放され、書かれた法典という古いやり方ではなく、御霊の新しいやり方で仕えるようになりました。それでは、何と言うでしょうか?律法は罪深いのでしょうか?」? 確かにそうではありません! それにもかかわらず、律法がなかったら、私は罪が何であるかを知らなかったでしょう。なぜなら、もし律法がこう言っていなければ、貪欲が実際に何であるかを私は知らなかったでしょう。

2. ヤコブ 1:25 - 「しかし、自由の完全な律法を熱心に見つめ、それを貫く人は、忘れることを聞く人ではなく、働く人なのでしょうか。その人は、その行いにおいて祝福されるでしょう。」

1ヨハネ 3:5 そして、あなたがたは、彼が私たちの罪を取り除くために現れられたことを知っています。そして彼の中には何の罪もありません。

イエスは私たちの罪を取り除くために明らかにされ、罪から解放されました。

1. イエスは私たちを罪から救い、新しい命を与えるために地上に来られました。

2. キリストには罪がないので、私たちはキリストのようになろうと努力すべきです

1. ヘブライ 4:15 - 私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司がいるのではなく、あらゆる点で私たちと同じように誘惑を受けながらも、罪を犯していない大祭司がいます。

2. ローマ人への手紙 8:1-4 - したがって、今ではキリスト・イエスにある人々が罪に定められることはありません。なぜなら、いのちの御霊の法則が、キリスト・イエスにおいてあなたを罪と死の法則から解放したからです。というのは、神は、肉によって弱められた律法ではできなかったことをしてくださったからです。罪深い肉に似た御子を罪のために遣わすことによって、イエスは肉において罪を非難されました。それは、肉に従ってではなく御霊に従って歩む私たちの中で律法の義の要求が満たされるためです。

1 ヨハネ 3:6 だれでも、キリストのうちにとどまっている者は、罪を犯しません。罪を犯す者は、だれでも、キリストを見たこともなければ、知ったこともありません。

一節 キリストのうちに住む者は罪を犯しませんが、罪を犯す者はキリストを見たことも、知ったこともありません。

1. キリストにとどまる: 義への道

2. イエスを知る: 聖性への道

1. ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して、賜物としての神の恵みによって義とされるからです。

2. ヨハネ第一 1:8-9 - もし私たちが自分に罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いていることになり、真実は私たちの中にありません。私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

1 ヨハネ 3:7 子供たちよ、だれにもだまされてはなりません。義を行う者は、義であるのと同じように義なのです。

信者は騙されるべきではなく、むしろ神が義であるのと同じように義になれるように努めるべきです。

1. 神は私たちに義なる者となるよう呼びかけており、その努力において私たちを助けてくださるでしょう。

2. 神は私たちに義の基準を持たせており、私たちはその基準を満たすよう努力する必要があります。

1. ヤコブ 1:22-25 - 自分を欺いて、ただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。

2. ピリピ 4:8-9 - 最後に、兄弟たち、真実なこと、正直なこと、正しいこと、純粋なこと、美しいこと、良い報告があること。もし何か美徳があるなら、そして何か賞賛があるなら、これらのことについて考えてください。

1ヨハネ 3:8 罪を犯す者は悪魔から出た者です。悪魔は最初から罪を犯しているからです。この目的のために、神の御子は悪魔の業を滅ぼすために現れました。

神の御子は、初めから罪を犯した悪魔の業を滅ぼすために現れました。

1. 罪を克服する神の子の力

2. 悪魔の性質と私たちの生活への影響

1. ヨハネ 8:44 - 「あなたは自分の父である悪魔に属しており、あなたは父の望みを実行したいのです。彼は最初から殺人者であり、真理を保持していませんでした。彼の中に真理がないからです。彼は嘘つきであり、嘘の父だから、自分の母国語を話します。」

2. エペソ人への手紙 6:11-12 - 「悪魔の計略に対して立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。私たちの闘いは血肉に対するものではなく、支配者、権威、権力に対するものだからです。この暗黒の世界の力と、天上の領域の悪の霊的勢力に対抗します。」

1ヨハネ 3:9 神から生まれた者はだれでも罪を犯しません。彼の種は彼の中に残っているからです。そして、彼は神から生まれたので、罪を犯すことはできません。

この一節は、信者は神から生まれ、神の子孫が彼らの中に残っているので、罪を犯すことができないと述べています。

1. 信者の神聖な性質: 神の種がどのようにして罪に抵抗する力を与えてくれるのか

2. 聖性の新たな誕生: 神の子となり義を受け入れる

1. ヨハネ第一 4:7 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。

2. ローマ 8:15 - あなたがたは、恐れるほどの束縛の霊を再び受けていないからです。しかし、あなたがたは養子縁組の御霊を受けました。それによって私たちは叫びます、アバ、父よ。

1 ヨハネ 3:10 ここには、神の子たちと悪魔の子たちが明らかにされています。義を行わない者は神から出たものではなく、兄弟を愛さない者も同様です。

この聖句は、真に神の子になる方法は神の命令に従い、隣人を愛することであると強調しています。

1.「義の道：神を愛し、他者を愛する」

2.「二つの正体 神の子と悪魔の子」

1. マタイ 22:36-40 - 心を尽くしてあなたの神、主を愛し、あなたの隣人を自分のように愛しなさい

2. ヤコブ 2:8 - 聖書に従って王法を真に実行するなら、隣人を自分のように愛するでしょう。

1ヨハネ 3:11 これは、あなたがたが最初から聞いていた、「互いに愛し合いなさい」という音信だからです。

これは私たちが最初から聞いてきたメッセージであるため、私たちは互いに愛し合うべきです。

1. 愛の力: 神が命じられたとおりに互いに愛し合う方法

2. キリスト教の核心: 愛がいかに私たちの信仰の重要な要素であるか

1. マタイ 22:37-40 - イエスは彼に言われました。쒋 € 쁚あなたは、心を尽くし、魂を尽くし、精神を尽くしてあなたの神、主を愛しましょう。これは第一の偉大な戒めです。そして 2 番目は次のようになります。あなたはあなたの隣人をあなた自身のように愛さなければなりません。

2. ローマ 12:9-10 - 偽善のない愛を保ちましょう。悪とは何なのかを忌み嫌う。良いものにしがみつきます。お互いに敬意を表し、兄弟愛をもって互いに優しく愛情を注ぎ合いましょう。

1ヨハネ 3:12 あの邪悪な者の一員で、兄弟を殺したカインとは違います。それでなぜ彼を殺したのか？自分の行いは悪であり、兄の行いは正義だったからである。

この一節は、邪悪な行為の結果と、それがどのように悲劇を引き起こす可能性があるかを語っています。

1: 私たちは自分自身の行動が他人に危害を与える可能性があるため、善を行うよう努めなければなりません。

2: 私たちは義であるよう努めなければなりません。なぜなら、私たち自身の義が私たちと私たちの周りの人たちを悪から守ることができるからです。

1: 箴言 10:9 - 「誠実に歩む者は確実に歩む。しかし、自分の道を曲げる者は知られるであろう。」

2: ガラテヤ 6:7-8 「だまされないでください、神はあざけられません。人が蒔いたものは、必ず刈り取ります。肉に蒔く者は肉で腐敗を刈り取りますが、蒔く者は腐敗を刈り取るからです」御霊に向かって、御霊は永遠の命を刈り取ってくださるのです。」

1ヨハネ 3:13 兄弟たちよ、世があなたがたを憎んでいても、驚くことはありません。

信者はたとえ世界から嫌われても驚くべきではありません。

1. 信者に対する世界の憎しみは失敗の兆候ではなく、成功の兆候です。

2. 私たちはこの世界に属さずに生きるように召されています。

1. ローマ 12:2 - この世に順応するのではなく、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。

2. ヨハネ 15:18-19 - もし世があなたを憎んでいるなら、あなたがたを憎む前から私を憎んでいたことを知りなさい。もしあなたがこの世のものなら、世界はあなたを自分のものとして愛するでしょう。しかし、あなたは世のものではありませんが、私があなたを世から選んだので、世はあなたを憎んでいます。

1ヨハネ 3:14 私たちは兄弟たちを愛しているので、自分が死から命に移ったことを知っています。兄弟を愛さない者は死に留まる。

信者は兄弟姉妹を愛しているため、霊的な死から霊的な命に移りました。兄弟姉妹を愛さない人は霊的に死んだままです。

1. 「キリストにおける新しい人生：互いに愛し合う」

2.「愛を通じて死から生へ」

1. ヨハネ 13:34-35 - 「わたしがあなたがたに与える新しい戒めは、あなたがたも互いに愛しなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛しなさい。これによって、すべての人はあなたがたがわたしの弟子であることを知るであろう。あなたがたは互いに愛を持っています。」

2. ガラテヤ 5:13-14 - 「兄弟たち、あなたがたは自由を得るために召されているのです。自由を肉体のためだけに使うのではなく、愛によって互いに仕えなさい。というのは、すべての律法は一言で成就するからです。このことにおいて、あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。」

1ヨハネ 3:15 自分の兄弟を憎む者は誰でも殺人者です。そしてあなたがたは、どんな殺人者にも永遠の命が宿っていないことを知っています。

他人への憎しみは殺人と同等であり、殺人者には永遠の命はありません。

1.「敵を愛せよ」

2.「憎しみの結果」

1. マタイ 5:43-45 - 「あなたがたは、『隣人を愛し、敵を憎め』と言われているのを聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います、敵を愛し、あなたを呪う者を祝福し、彼らに善を行いなさい。あなたを憎み、あなたを不当に利用し、迫害する彼らのために祈っています。

2. ローマ人への手紙 12:17-21 - 「悪には悪に報いてはならない。すべての人の目に正直に物事を行いなさい。できれば、自分の心にある限り、すべての人と平和に暮らしてください。愛する人よ、復讐してください。」「あなたがた自身ではなく、むしろ怒りに身を委ねなさい。「復讐はわたしのすることである。わたしが報復する」と主は言われる、だから、あなたの敵が飢えているなら食べさせなさい、渇いているなら水を飲ませなさい、そうすることであなたはそうするであろうから。頭には火の炭を積む、悪に打ち勝つのではなく、善をもって悪に打ち勝つのだ。

1 ヨハネ 3:16 これによって、私たちは神の愛を認識します。なぜなら、神は私たちのために命を捨てられたからです。そして私たちは兄弟たちのために自分の命を捨てるべきです。

この一節は、神がご自身の命を犠牲にすることで私たちへの愛を示してくださったこと、そして私たちも兄弟姉妹のために命を犠牲にすることで愛を示すことが期待されているということを伝えています。

1. 神への愛と他人への愛: ヨハネ第一 3:16 の考察

2. 愛の代償：他人の利益のために自分を犠牲にする

1. マタイ 22:37-40 - ?私たちは心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛さなければなりません。これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。すべての律法と預言者はこれら 2 つの戒めに依存しています。

2. ローマ人への手紙 5:8 - ?私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことで、神は私たちに対する愛を示してくださいます。

自分の同情心を兄弟から閉ざしている人がいるとしたら、どうしてその人の中に神の愛が宿るのでしょうか。

信者は困っている人たちに思いやりを示さなければなりません、そうでなければ彼らの中に神の愛は存在しないでしょう。

1. 行動する愛: 困っている人たちに思いやりを示す

2. 神の心: 慈悲は神の愛をどのように反映するか

1. コリント第一 13:4-7 - 愛は忍耐強く、親切で、ねたみを言わず、自慢せず、傲慢でなく、無礼でなく、利己的でなく、簡単に怒らず、悪事を記録に残さないものです。

2. マタイ 25:35-40 - 飢えた人に食事を与え、裸の人に服を着せ、病人を見舞い、刑務所にいる人たちを訪問します。

1ヨハネ 3:18 私の幼い子供たちよ、言葉でも舌でも愛してはなりません。しかし、行為と真実において。

私たちは愛を言葉で表現するだけでなく、行動でも誠意を持って表現する必要があります。

1. 行動は言葉よりも雄弁??A ヨハネ第一 3:18

2. 行為と真実における愛 ??A ヨハネ第一 3:18

1. ヤコブ 2:14-17 ???兄弟たちよ、もし誰かが自分には信仰はあるが行いはないと言うなら、それは良いことなのでしょうか? その信仰が彼を救うことができるでしょうか? 兄弟または姉妹が粗末な衣服を着ていて、毎日の食べ物にも欠けていて、あなたたちのどちらかが彼らにこう言ったら、 ?ああ、安らかに、暖かくなり、満たされますか? 体に必要なものを与えずに、それが何の役に立つでしょうか? 同様に、行いがなければ信仰自体も死んだものになります。

2. ルカ 6:46-49 ???どうして私に電話するの? お願い、主よ、私の言うことを聞かないのですか? わたしのもとに来て、わたしの言葉を聞き、それを実行するすべての人に、わたしは彼がどのような人間であるかを見せてやろう。彼は家を建てる人のようなもので、深く掘って岩の上に基礎を築いた。そして洪水が起こると、川がその家に衝突しましたが、その家はしっかりと建てられていたため、揺れることはありませんでした。しかし、聞いてもそれを行わない人は、土台のない地面に家を建てた人のようなものです。小川がそこに向かって決壊すると、すぐに倒れて、その家は大きく廃墟になりました。

1 ヨハネ 3:19 そして、これによってわたしたちは、自分が真理に属していることを知り、神の御前で自分の心を確信することになります。

神を知り、神を信頼することによって、私たちは真理を知っていると確信することができます。

1. 神への信頼は確信につながる

2. 真実は神との関係の中で見つかる

1. エレミヤ 17:7-8 「主に信頼する人は幸いです。その信頼者は主です。その人は水のほとりに植えられ、根を流れのほとりに出す木のようで、暑さが来ても恐れません。」というのは、その葉は緑色を保っており、実を結ぶのをやめないので、干ばつの年でも心配しないからです。」

2. ローマ人への手紙 5:5 「そして、私たちに与えられた聖霊を通して、神の愛が私たちの心に注がれているので、希望は私たちを恥じることはありません。」

1 ヨハネ 3:20 なぜなら、もし私たちの心が私たちを罪に定めているとしても、神は私たちの心よりも偉大であり、すべてをご存じだからです。

私たちの心は私たちを非難することがありますが、神は私たちの心よりも偉大であり、すべてを知っています。

1. 「全能者の力」 - 神は私たちの内なる疑いや心配よりも強力です。

2. 「全知の神」 - 神は私たちの心と私たちの行動のすべてを知っているので、私たちは心配や恐れを神に信頼することができます。

1. ピリピ 4:6-7 - 何事についても思い煩わないで、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、自分の願いを神に知らせてください。そ

して、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2. 詩篇 73:25-26 - 私は天国にあなた以外に誰がいますか?そして、あなた以外に私が望むものは地球上に何もありません。私の肉体と私の心は衰えるかもしれませんが、神は私の心の強さであり、私の分を永遠に支えてくださいます。

1 ヨハネ 3:21 愛する皆さん、心が私たちを罪に定めていないなら、私たちは神に対して確信を持つことができます。

自分の心が私たちを罪に定めなければ、私たちは神を信頼することができます。

1. 明晰な良心の力: 神に対して自分が正しいと知ることでどのように自信が持てるのか

2. 心の戦い：非難を克服し、神への信頼を見出す

1. ヘブライ 10:22 - 「悪い良心を振り払って心を清め、信仰を完全に確信して真の心をもって近づきましょう。」

2. ローマ人への手紙 8:1 - 「ですから、キリスト・イエスにある者たちは今、罪に定められることはありません。」

1ヨハネ 3:22 私たちは神の戒めを守り、神の目に喜ばれることを行っているので、何を求めても神から受け入れられます。

神の戒めを守り、神に喜ばれることを行う信者は、求めたものを神から受け取るでしょう。

1. 行動における信仰: 信念を実践する

2. 祈りの力: 効果的に祈る方法

1. ヤコブ 4:2-3 - あなたが求めていないので、あなたは持っていません。

2. マタイ 7:7-8 - 尋ね、探し、たたきなさい。

1 ヨハネ 3:23 そして、これが神の戒めです。「わたしたちは御子イエス・キリストの御名を信じ、神が戒めを与えてくださったように互いに愛し合いなさい。」

私たちはイエス・キリストを信じ、イエスが命じられたとおりに互いに愛し合うように命じられています。

1. 互いに愛する力: 神の戒めが私たちの人生をどのように変えるのか

2. イエスへの信仰: 神の戒めに対する私たちの従順

1. ヨハネ第一 4:7-8 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものだからです。そして愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです。

2. ヨハネ 14:15 - もしあなたがたが私を愛しているなら、私の戒めを守ってください。

1ヨハネ 3:24 そして、自分の戒めを守る者はその人の内に住んでおり、その人も彼の内にいます。そしてこれによって、私たちは、神が私たちに与えてくださった御霊によって、神が私たちの内にとどまっておられることを知ります。

神の戒めを守る人は神との特別な関係を享受し、聖霊が内住していることを認識できるようになります。

1: 神の愛は選ばれた少数の人たちだけではなく、神に従うことを選んだ私たち全員に向けられています。

2: 神に近づけば近づくほど、神の聖霊の臨在をより多く体験するようになります。

1: ローマ 8:9-14 - 神の御霊は、私たちをより神に似たものにするために、私たちの生活の中で働いてくださいます。

2: ヤコブ 1:22-25 - 私たちは神の言葉に耳を傾けるだけでなく、神の言葉を実行しなければなりません。

第一ヨハネ 4 章は、新約聖書のヨハネの第一の手紙の 4 章です。この章では、霊の試み、私たちに対する神の愛、互いに愛しなさいという命令などのテーマに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、すべての霊が神から来たわけではないため、霊を試すようにという警告から始まります。著者は、偽預言者たちが世に出て行ったことを強調し、霊がイエス・キリストが肉体となって来られたことを告白しているかどうかを識別するよう信者に勧めています(1ヨハネ4:1-3)。イエスは彼らに、彼らが神から出た者であり、これらの偽りの霊に打ち勝ったことを思い出させます。なぜなら、彼らのうちにいる方は世にいる方よりも偉大だからです (1ヨハネ4:4)。著者は信者たちに神の真理に耳を傾け、神を知る者は神の教えに耳を傾けることを認識するよう勧めています(1ヨハネ4:5-6)。

第 2 段落: 7 ～ 12 節では、私たちに対する神の愛と、互いに愛し合うようにという私たちの呼びかけが強調されています。著者は、神は愛であるため、愛は神から来ると宣言しています(1ヨハネ4:7-8)。彼は、神が私たちの罪の贖いの犠牲として御子を遣わすことによって、ご自身の愛を実証されたことを指摘しています(1ヨハネ4:9-10)。私たちはこの信じられないほどの愛を経験したので、互いに愛し合うように求められています。著者は、私たちが本当に互いに愛し合うなら、神の愛は私たちの内にとどまり、私たちの内で完全になると強調しています（1ヨハネ4:11-12）。

第 3 段落: 13 節以降、章の終わりまで、著者は信者たちに神の御霊を通して神との関係について安心させます。神は私たちに御霊を与えてくださったので、私たちが神の内にとどまっていること、そして神が私たちの内にとどまって下さることを知ることができる、と神は述べています(1ヨハネ4:13)。この内住の御霊は、イエスが神の子であることを証しし、私たちがイエスとの関係に確信を持つことができるようにします(1ヨハネ4:14-16)。著者は最後に、完全な愛は恐怖を

追い出すものであり、恐怖を抱く人は愛において完全になっていないと強調しています。神は信者たちに、神が最初に私たちを愛してくださったために私たちが愛することを思い出させます(1ヨハネ4:17-19)。

要約すると、使徒ヨハネによる第一の手紙の第 4章は、信者に霊を試して真実を識別するよう勧めています。それは、私たちに対する神の愛と、神の信じられないほどの愛への応答として互いに愛し合うという私たちの呼びかけを強調しています。この章は、御霊を通しての神との関係について信者を安心させ、御霊の証しとそれがもたらす自信を強調しています。この文書は、完全な愛が恐怖を追い出すことを強調し、神が最初に私たちを愛してくださったために私たちが愛するという基本的な真実を信者に思い出させることで締めくくられています。

1 ヨハネ 4:1 愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、その霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。なぜなら、多くの偽預言者が世に出ているからです。

世界には多くの偽預言者が存在するため、私たちはすべての霊を盲目的に信じるのではなく、それらが神から出たものであるかどうかをテストする必要があります。

1. 偽預言者に注意してください: 私たちに話しかける霊を調べる

2. 識別力: 私たちの生活の中の真の霊を特定する

1. マタイ 24:24、「偽メシアや偽預言者が現れて、可能であれば選ばれた人々さえも欺くために、大きなしるしや不思議なわざを行うからです。」

2. エレミヤ 29:8、「万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、『あなたがたの中にいる預言者や占い師たちに欺かれてはならない、彼らが見る夢に耳を傾けてはいけない』。」

1 ヨハネ 4:2 これによって、あなたがたは神の霊であることを知りましょう。イエス・キリストが肉となって来られたことを告白するすべての霊は、神から出たものです。

神の御霊を知ることは、イエス・キリストが肉体となって来られたことを知ることです。

1. イエスの力: キリストの神性を理解する

2. 救いの約束: なぜ私たちはイエスを信じるのか

1. ピリピ人への手紙 2:5-11 - イエスはへりくだって人となり、十字架で死なれました。

2. イザヤ書 53:4-6 - 苦しみの僕として世の罪を負ったイエス

1ヨハネ 4:3 そして、イエス・キリストが肉となって来られたことを告白しないすべての霊は、神から出たものではありません。そしてこれは、あなたがたが来るべきだと聞いている反キリストの霊です。そして今でもそれはすでに世界にあります。

イエス・キリストが肉となって来られたことを認識することが重要です。これを告白しない霊は、すでに世にいる反キリストの霊であるからです。

1. イエス・キリストを告白する力

2. あなたは反キリストに反対しますか?

1. ヨハネ第一4:3

2. マタイ 1:18-25 (イエス・キリストの誕生)

1 ヨハネ 4:4 あなたがたは神から出た子供たちであり、彼らに打ち勝ったのです。なぜなら、あなたがたのうちにいる者は、世にいる者よりも偉大だからです。

信者は神のものであり、彼らの内にある神のより大きな力のおかげで世界を克服しました。

1. 神の強さ：立ちはだかるすべてを乗り越える

2. 私たちの信仰の力：神の力に頼って世界を克服する

1. ヨハネ 16:33 - ? 쏧があなたにこれらのことを話したのは、あなたが私の中に平和をもたらすためです。この世界では、あなたは困難を経験するでしょう。しかし、気を取り直してください！私は世界を克服しました。

2. ローマ人への手紙 8:37 - ?ああ、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった彼を通して、私たちは征服者以上の存在です。

1 ヨハネ 4:5 彼らは世のものです。ですから、彼らは世について語り、世は彼らの言うことを聞きます。

信者は世の影響を受けるべきではなく、むしろ世が聞くことができるように神から出たことを語るべきです。

1. 私たちの言葉の力: 嘘だらけの世界で神の真実を語る

2. 世界のメッセージ vs. 神のメッセージ: 真実に耳を傾け、真実に生きる方法

1. □□ 119:11 - □□□□

2. 神を理解することは、愛を理解することから始まります。

1. マタイ 22:37-40 - イエスはこう言いました。心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

2. コリント第一 13:13 - ?そして今、この三つが残っています：信仰、希望、愛です。しかし、その中で最も偉大なものは愛です。

1 ヨハネ 4:9 この中に、私たちに対する神の愛が表れています。なぜなら、神はご自分の独り子を世に遣わして、私たちが彼によって生きるようにされたからです。

この一節は、私たちに対する神の愛を明らかにしており、それは神の独り子を世に遣わすことによって明らかにされています。

1. 神の愛: ヨハネ第一 4:9 の考察

2. 神の愛を通して希望と信仰を見出す

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

1ヨハネ 4:10 ここに愛があるのは、私たちが神を愛したことではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のなだめの供え物として御子を遣わされたことです。

一節: 私たちに対する神の愛は非常に大きいので、私たちの罪を取り除くために御子を遣わされました。

1: 神の愛は無条件です

2: 神の憐れみは絶えることがない

1: ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2: エペソ 2:4-5 - しかし、憐れみに富む神は、私たちに対する大きな愛のゆえに、私たちが罪を犯して死んでいたときでさえ、キリストとともに生かしてくださったのでしょうか。あなたが救われたのは恵みによるのです。

1ヨハネ 4:11 愛する皆さん、神が私たちをこれほど愛してくださったのなら、私たちも互いに愛し合うべきです。

神は私たちを愛してくださっているので、私たちはそれに応えて互いに愛し合うべきです。

1.「神の愛と私たちの愛: 相互尊重の力」

2. 「汝の隣人を愛せよ：神が私たちを愛してくださるように、他の人を愛しなさい」

ローマ13:8-10 - 「互いに愛し合うという継続的な負債を除いて、負債を残してはなりません。他人を愛する者は律法を全うしたのですから。戒めは、「姦淫をしてはならない」という戒めです。人を殺してはいけない、盗んではいけない、貪ってはならない、その他どんな命令があっても、これらはこの 1 つの命令に要約されます。愛は隣人を傷つけない、ゆえに愛は律法を成就する。

2. マタイ 22:37-40 - ? 쏪 esus はこう答えました: ? 쒋 € 쁋心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を守りなさい。これが第一で最大の戒めである。そして 2 番目は次のようになります。あなた自身のようにあなたの隣人を超えなさい。??すべての律法と預言者はこれら 2 つの戒めにかかっています。??

1ヨハネ 4:12 これまで神を見た人は誰もいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちの内に宿り、神の愛は私たちの中で完全になります。

私たちが互いに愛し合うとき、神の愛は私たちの中で完全になります。

1: 神の完全な愛は、私たちが隣人を愛するときに実現されます。

2: 私たちのお互いへの愛は、神が私たちに対して抱いている愛を反映しています。

1: ガラテヤ人への手紙 5:13-14 - ?そうでなければ、兄弟たち、あなたは自由に召されたのです。ただ自分の自由を肉の機会として利用せず、愛を通して互いに仕えなさい。なぜなら、律法全体は次の一言で満たされるからです。あなたは自分のように隣人を愛さなければなりません。

2: ヨハネ第一 3:11 - ?それとも、これはあなたが最初から聞いていた、私たちはお互いを愛すべきだというメッセージです??

1 ヨハネ 4:13 これによって、わたしたちはキリストの内に住んでおり、キリストもわたしたちの内に住んでいることが分かります。なぜなら、神は御霊をわたしたちに与えてくださったからです。

私たちは、神が私たちの中にいて、神が私たちに御霊を与えてくださったので、私たちが神の中にいることを理解できます。

1. 聖霊の力: 神の霊が私たちの内にどのように宿るか

2. 神の愛を分かち合う：神の霊を通して神の臨在を体験する

1. ローマ 8:9 - 「しかし、本当に神の御霊があなたがたのうちに住んでいるのであれば、あなたがたは肉の中にあるのではなく、御霊の中にいます。さて、キリストの御霊を持たない人がいるなら、その人は神のものではありません。」

2. ガラテヤ 4:6 - 「そして、あなたがたは息子であるため、神は御子の御霊をあなたがたの心に遣わし、「アバ、父よ！」と叫びました。

1ヨハネ 4:14 そして私たちは、父が御子を世の救い主として遣わされたことを見て、実際に証しています。

ヨハネは、神が御子イエスを世の救い主として遣わされたと証しています。

1. 世界の救い: イエスという神の贈り物を理解する

2. イエス：愛の最大の贈り物

1. イザヤ書 9:6 - 私たちに子供が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

1ヨハネ 4:15 イエスが神の子であると告白する者はだれでも、神はその人の内に住まわれ、その人も神の内に宿ります。

人々に対する神の愛は、人々の中にイエスが臨在することによって示されます。

1. 私たちに対する神の無条件の愛を理解する

2. 私たちの中のイエスの臨在が私たちの生活をどのように変えるか

1. ヨハネ 3:16 - 「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「私は、死も生も、天使も悪魔も、現在も未来も、いかなる力も、高さも深さも、その他すべての創造物には存在しないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

1ヨハネ 4:16 そして私たちは、神の私たちに対する愛を知り、信じてきました。神は愛である;そして愛の中に住む者は神の中に住み、神も彼の中に住んでいるのです。

私たちは神の私たちに対する愛を理解し、信じることができます。神は愛であり、私たちが愛に生きるとき、私たちは神の中に生き、神も私たちの中に生きます。

1. 神は愛です: 神の愛の中で生きることを学ぶ

2. 愛に留まる：神の臨在を体験する

1. 第一コリント 13:4-8 - 愛は忍耐強く、愛は親切です。妬まない、自慢しない、誇りに思わない。

2. ローマ人への手紙 5:5 - そして希望は恥じることはありません。なぜなら、神の愛は私たちに与えられる聖霊によって私たちの心の中に注がれるからです。

1 ヨハネ 4:17 ここに私たちの愛が完全にされています。それは、私たちが裁きの日に大胆になれるためです。なぜなら、彼がそうであるように、私たちもこの世にいるからです。

神の愛は、裁きの日において私たちに自信と確信をもたらします。私たちはこの世においてイエスに似ているので、イエスの愛と恵みを確信することができます。

1. 完璧な愛は大胆さをもたらす：審判の日の自信

2. イエスがそうであるように、私たちも同様です: 神の愛と恵みに対する私たちの確信

1. ローマ人への手紙 8:31-39 - 苦しみの中での神の愛の確信

2. ヘブライ 10:19-25 - イエスの血を通して天の場所に入る大胆さ

1ヨハネ 4:18 愛には恐れがありません。しかし、完全な愛は恐怖を追い出します。なぜなら、恐怖は苦痛を与えるからです。恐れる者は愛において完全にされていない。

恐怖が私たちを苦しめ、愛において完全になるのを妨げるので、完全な愛は恐怖を追い出します。

1.「恐れるな：神の完全な愛を受け入れる」

2.「恐れることはない：完璧な愛の力を解放する」

1. ローマ人への手紙 8:15 - 「あなたがたは、再び恐怖につながる奴隷の精神を受けていないが、養子として養子としての精神を受けているので、それによって

私たちは叫びます。「お父さん！？お父さん！？」

2. マタイ 10:28 - ?体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れるな。むしろ、魂も肉体も地獄で滅ぼす者を恐れよ。

1 ヨハネ 4:19 私たちが彼を愛しているのは、彼が最初に私たちを愛してくださったからです。

神は私たちを愛しておられ、その愛のゆえに私たちも神を愛します。

1. 私たちに対する神の愛: ヨハネ第一 4:19 の考察

2. 愛の力: 神の愛と私たちの対応

1. ローマ 5:8 - しかし、神はこの点で私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。

2. ヨハネ第一 3:1 - 私たちが神の子と呼ばれるように、御父がどれほど大きな愛を私たちに注いでくださったか見てください。

1 ヨハネ 4:20 もし人が、「私は神を愛しているが、その兄弟を憎んでいる」と言うなら、その人は嘘つきです。見たことのある兄弟を愛さない人に、どうして見たこともない神を愛することができますか。

神を真に愛するためには、兄弟姉妹を愛さなければなりません。

1. 神への愛は、私たち同胞への愛から切り離すことはできません。

2. 私たちは兄弟姉妹を愛することによって、神への愛を行動に移さなければなりません。

1. マタイ 22:36-40 - ?それぞれ、律法の中で最も重要な戒めはどれですか???イエスはこう答えました。 € 嚢心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を守りなさい。これが第一で最大の戒めである。そして 2 番目は次のようになります。あなた自身のようにあなたの隣人を超えなさい。??すべての律法と預言者はこれら 2 つの戒めにかかっています。??

2. ヤコブ 2:8 - 聖書にある王法を本当に守っているなら、?自分と同じように隣人を超えなさい、あなたは正しいことをしています。

1 ヨハネ 4:21 そして、この戒めは私たちに彼から与えられたものです、「神を愛する者は自分の兄弟も愛するように」です。

私たちは神を愛し、兄弟を愛するように命じられています。

1. 兄弟を愛することで神を愛する

2. 兄弟愛の力

1. マタイ 22:37-40: 「そしてイエスは言われた、『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の戒めである。. そして 2 つ目は次のようなものです: ? 쁚 ou will love your neighbour as you.??

2. ローマ 12:10: 「兄弟愛をもって互いに親切に愛し合い、敬意を表して互いに与え合いなさい。」

第一ヨハネ 5 章は、新約聖書のヨハネの第一の手紙の 5 番目で最後の章です。この章では、イエス・キリストへの信仰、世に対する勝利、永遠の命の保証などのテーマに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は信仰と愛の関係についての記述から始まります。著者は、イエスがキリストであると信じる者は皆、神から生まれたのであり、神を愛する者は神の子供たちも愛するだろうと宣言します(1ヨハネ5:1)。神を愛するとは神の戒めを守ることであり、神の戒めは重荷ではない、と彼は強調しています(1ヨハネ 5:2-3)。著者は、私たちの信仰が私たちが世に打ち勝つことを可能にするものであると主張し、イエスが水と血を通して来られた神の子であると特定しています（1ヨハネ5:4-6）。

第 2 段落: 7 節から 12 節では、イエスが神の子であることを証する 3 人の証人、御霊、水、血が強調されています。著者は、この三人の証人は一つの意見として一致していると述べています(1ヨハネ5:7-8)。彼は、もし私たちがイエスを神の子として信じるなら、私たちの中にこの証しがあると断言しています(1 ヨハネ5:9-10)。著者は、キリストにある永遠の命を持つ人は、神の御心に従って祈っているので、自信を持って自分の願いを神に近づくことができると信者に保証します(1ヨハネ5:13-15)。

第 3 段落: 16 節以降、章の終わりまで、著者は共同体内の罪を犯した兄弟または姉妹について言及します。神は死に至る罪と死に至らない罪を区別しています。彼は信者たちに、死に至ることのない罪を犯した人たちが神によって命を与えられるように祈るよう勧めています(1ヨハネ5:16-17)。しかし、彼は死に至る罪があり、そのために祈ることを勧めていないと明言しています(1ヨハネ5:16)。著者は最後に、神から生まれた者には永遠の命が確実にあることを確認し、真実な方によって安全に守られており、神との関係に自信を持つことができることを信者に思い出させます（1ヨハネ5:18-21）。

要約すると、使徒ヨハネによる第一の手紙の第 5 章は、信仰、愛、神の戒めへの従順の関係を強調しています。それは、信者がイエス・キリストへの信仰を通して世界に対して獲得した勝利を強調しています。この章では、イエスが神の子であることを証する 3 人の証人、御霊、水、血が紹介されています。それは信者たちにキリストにおける永遠の命を保証し、祈りに自信を持って神に近づくよう彼らを励まします。この章はまた、共同体内の罪についても言及し、神から生まれた人々の永遠の命の確実性を確認して終わります。

1 ヨハネ 5:1 イエスがキリストであると信じる者はだれでも、神から生まれたのです。そして、生まれた者を愛する者は皆、神から生まれた者も愛します。

イエスをキリストとして信じることは神から生まれた証拠であり、神を愛する人は神から生まれた人たちも愛します。

1. 信仰は私たちと神との関係の基礎です。

2. 神への愛は、私たちのお互いへの愛を通して表現されます。

1. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

2. ガラテヤ 5:14 - すべての律法は、この一言でさえも成就されます。あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。

1 ヨハネ 5:2 このことから、私たちが神を愛し、神の戒めを守るとき、私たちは神の子たちを愛していることが分かります。

神を愛し、神の戒めを守ることは、他の神の子供たちに対する愛を示す方法です。

1. 神を愛し、神の戒めを守る力

2. 神に従うことによって他人を愛する喜び

1. ローマ 8:28 - そして私たちは、神を愛する者たち、つまりご自身の目的に従って召された者たちに、神があらゆることにおいて益となるように働いてくださることを知っています。

2. マタイ 22:36-40 - 「先生、律法の中で最も重要な戒めは何ですか?」イエスはこう答えられました。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これは第一で最大の戒めです。そして第二もこれと同じで、「隣人を自分のように愛しなさい」です。すべての律法と預言者はこの 2 つの戒めにかかっています。」

1 ヨハネ 5:3 わたしたちが神の戒めを守ることこそが神の愛であり、神の戒めは悲しいものではありません。

神は私たちを愛しており、私たちがそれに従うことを望んでおられるので、神の戒めは従うのがそれほど難しいことではありません。

1.「神の愛: 従順への呼びかけ」

2.「神の戒め：愛の表現」

1. 詩篇 119:32 - あなたが私の心を大きくしてくださるとき、私はあなたの戒めの道を走ります。

2. 申命記 30:11-14 - 私が今日あなたに命じるこの戒めは、あなたから隠されておらず、遠く離れたものでもありません。「誰が私たちのために天に上がって、私たちがそれを聞いて実行できるように、それを私たちに持ってきてくれるでしょうか？」とあなたが言うべきことは天国ではありません。「誰が私たちのために海を越えて、私たちにそれを持ってきて、私たちがそれを聞いて実行できるでしょうか？」とあなたが言うのは海の向こうではありません。しかし、あなたの口と心の中に、あなたがそれを実行できるように、その言葉はあなたのすぐ近くにあります。

1 ヨハネ 5:4 なぜなら、神から生まれたものはすべて、世に勝つからです。そしてこれは、世に打ち勝つ勝利であり、私たちの信仰さえも打ち勝つのです。

世界に対する勝利は神への信仰によって達成されます。

1: 神への信仰は、人生の逆境に対する最大の武器です。

2: 神への信仰を通して、私たちは人生で投げかけられるどんな困難も克服することができます。

1: マタイ 17:20 - 彼は答えました、「あなたは信仰が薄いからです。実を言いますが、からし種ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここからあそこに移動しなさい』と言えば、山は動きます。あなたにとって不可能なことは何もありません。

2: ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、私たちが望んでいることを確信し、私たちが見ていないことを確信することです。

1ヨハネ 5:5 世に勝つ者とは、イエスが神の子であると信じる者以外に誰でしょうか。

イエス・キリストを信じる者は、世を克服した人たちです。

1. 「イエスへの信仰によって世を克服する」

2.「イエスを神の子として信じる力」

1. ローマ 12:2 - 「この世の型に従うのではなく、心を新たにして自分を変えなさい。」

2. ガラテヤ人への手紙 6:14 - 「しかし神は、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇ることを禁じられています。この十字架によって、世は私に対して十字架につけられ、私も世に対して十字架につけられました。」

1ヨハネ 5:6 これは水と血によって来た方、すなわちイエス・キリストです。水だけではなく、水と血によって。そして、証しをするのは御霊です。なぜなら、御霊は真理だからです。

この箇所は、イエス・キリストが水と血によって地上に来られたことの重要性、そして真理を証しするのは御霊であることを強調しています。

1. イエス・キリストの再臨の意義: 水と血の象徴的意味を探る

2. 御霊の力: 真理の権威を認識する

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. ローマ 8:14 - 神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。

1 ヨハネ 5:7 天に記録を残しているのは、父、御言葉、聖霊という三つであり、この三つは一つであるからです。

聖三位一体は父、御言葉、聖霊から構成されており、それらは一つです。

1. 父、御言葉、聖霊の一体性を認識し、理解しましょう。

2. 聖三位一体の愛、平和、一致の中で生きるよう努めましょう。

1. マタイ 28:19-20 - それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまでです。アーメン。

2. ヨハネ 14:16-17 - そして、私は父に祈ります。そうすれば、父はあなたに別の慰め手を与えて、永遠にあなたと一緒にいてくださるようにしてくださいます。真理の御霊さえも。世界は彼を受け入れることができません。なぜなら、世界は彼を見ず、彼を知りません。しかし、あなたがたは彼を知っています。なぜなら彼はあなたとともに住んでおり、あなたの中にいるからです。

1 ヨハネ 5:8 そして、地で証しするのは三つ、御霊、水、血です。そして、この三つは一つに一致します。

御霊、水、血は真実を証ししており、その三つすべてが一致しています。

1. 団結の力: 私たちが団結するとき、真実に対する私たちの証言は強化されます。

2. 救いの証人: 御霊、水、血は私たちの救いを証しします。

1. 使徒 2:38 - そこでペテロは彼らに言った、「悔い改めて、あなたがた一人一人、罪の赦しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすればあなたがたは聖霊の賜物を受けるでしょう」。

2. ローマ 6:3-4 - イエス・キリストへのバプテスマを受けた私たちの非常に多くが、その死へのバプテスマを受けたことを知らないのですか。したがって、私たちは死へのバプテスマによってキリストとともに葬られます。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちもまた新たな命の中を歩むべきなのです。

1 ヨハネ 5:9 もし私たちが人間の証しを受け取るなら、神の証しはさらに偉大です。これは神が御子について証しされた神の証だからです。

神は御子について証しをされたので、神の証しは人間の証しよりも偉大です。

1. 神の証人をどのように知ることができますか?

2. 人間の証人と神の証人の違い

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ人への手紙 10:9 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。

1ヨハネ5:10 神の御子を信じる者は、自分自身のうちに証しを持っています。神を信じない者は、神を偽り者にしたのです。それは神が御子について与えられた記録を信じていないからである。

イエスを神の子として信じることは、自分の中に神の証しをもたらしますが、イエスを信じないことは、神が御子について与えた証しを受け入れないため、神を嘘つきにしてしまいます。

1. 信じる力: イエスへの信仰がどのように私たちの生活に神の証人をもたらすか

2. 証しの賜物: 神はイエスを通してどのように愛を明らかにされるか

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、人は心で信じて義とされ、そして心で信じて義とされるからです」人が告白して救われる口。」

2. ヨハネ 3:16 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

1 ヨハネ 5:11 これは、神が私たちに永遠の命を与えてくださったという記録であり、この命は御子の中にあるのです。

神は御子を通して私たちに永遠の命という贈り物を与えてくださいました。

1. 永遠の命という神聖な賜物

2. イエス、私たちの永遠の命の源

1. コリント第一 15:51-55 - 見よ、私はあなたに奥義を示します。私たちは皆眠っているわけではありませんが、必ず変わります。

2. ヨハネ 17:3 - そして、これは永遠の命であり、彼らが唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わしたイエス・キリストを知るためです。

1ヨハネ 5:12 御子を持つ者は命を持っています。そして神の御子を持たない者には命がありません。

神の御子を持っている信者には永遠の命がありますが、神の御子を持たない信者には命がありません。

1. 永遠の命を得るためにイエス・キリストを信じる信仰の重要性

2. 救いのために神の御子を受け入れることの重要性

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ人への手紙 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心から正義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。

1 ヨハネ 5:13 わたしは神の子の御名を信じるあなたがたにこれらのことを書きました。それは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知り、神の御子の御名を信じるためです。

ヨハネは信者たちに永遠の命とイエス・キリストへの信仰を保証するために手紙を書いています。

1. イエス・キリストへの信仰による救いの確信

2. 神の御名に対する信仰の重要性

1. ローマ人への手紙 10:9-10 - 「もしあなたが口で『イエスは主です』と告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるのです。なぜなら、あなたが救われるのはあなたの心によるからです。」信じて義とされ、口で告白して救われるのです。」

2. テトス 3:5-7 - 「神が私たちを救ってくださったのは、私たちが正しいことをしたからではなく、ご自分の憐れみによるものです。彼は私たちに注がれた聖霊による再生と再生の洗いを通して私たちを救ってくださいました。それは、私たちが彼の恵みによって義とされ、永遠の命の希望を持つ相続人となるためです。」

1 ヨハネ 5:14 そして、私たちが御心に従って何かを求めるなら、神は聞いてくださるという、私たちが神に対して抱いている確信は次のとおりです。

神を信じる者として、私たちは神のご意志に従って物事を神に求めるなら、神は聞いてくださると確信することができます。

1. 神への信頼を祝う

2. 神の御心に従って祈る

1. ヤコブ 4:3 - 「あなたが求めているのに、受け取らないのは、それを自分の情熱に費やそうと間違って求めているからです。」

2. ローマ 8:32 - 「ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、どうして御子とともに、私たちにすべてのものを慈しみ深く与えて下さらないのでしょうか。」

1 ヨハネ 5:15 そして、私たちが何を求めても、神が聞いてくださると知っているなら、私たちは神に望んでいた願いを持っていることが分かります。

ヨハネは信者たちに、神が彼らの願いを聞いて答えてくださることを知って、信仰をもって祈るよう勧めています。

1. 祈り: 神の祝福を受ける鍵

2. 信じて受け取る：自信を持って祈る

1. マタイ 21:22 - そして、信仰があれば、祈りで求めるものは何でも与えられます。

2. ヤコブ 1:6-7 - しかし、疑うことをせずに、信仰をもって尋ねましょう。疑う者は、風に煽られ、翻弄される海の波のようなものだからです。

1 ヨハネ 5:16 もし誰かが、自分の兄弟が死に至ることのない罪を犯しているのを見たなら、その人は尋ねて、死に至ることのない罪を犯した者たちのために命を与えてくださいます。死に至る罪があります。私は彼がそれのために祈るべきだとは言いません。

ヨハネは私たちに、罪を犯した人々のために祈るよう指示していますが、罪が死に至る人々のために祈るのではありません。

1. 神の恵みと許し: 他者のために祈ることを学ぶ

2. 祈りの力: 許しを求め、許しを得る方法

1. ヤコブ 5:13-16 - あなたたちの中に苦しんでいる人はいますか。彼に祈ってもらいましょう。陽気な人はいますか？彼に詩篇を歌わせてください。

2. マタイ 6:14-15 - あなたが人々の罪過を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたを赦してくださるでしょう。しかし、あなたが人々の罪過を赦さないなら、あなたの父もあなたの罪過を赦さないでしょう。

1 ヨハネ 5:17 すべての不義は罪です。死に至らない罪もあります。

ヨハネは、すべての不義は罪であるが、死に至らない罪も存在することを強調します。

1.「正しく生きる：いのちへの道」

2. 「罪の危険性: 不義の代償」

1. 箴言 14:12 - 「人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死への道である。」

2. ヨハネ第一 1:9 - 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」

1ヨハネ 5:18 私たちは、神から生まれた者はだれでも罪を犯さないことを知っています。しかし、神から生まれた者は自分を守り、邪悪な者は彼に触れません。

神から生まれた人は罪を犯さず、邪悪な者から守られます。

1. 神聖な生活を送る：神から生まれたことの祝福。

2. 神から生まれたことの安全性: 邪悪な者からの保護。

1. マタイ 5:8 - 心の清い人たちは幸いです、彼らは神を見るでしょう。

2. ペテロ第一 1:14-15 - 従順な子供たちとして、以前は無知だったころの情念に従わないでください。しかし、あなたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。

1 ヨハネ 5:19 そして、私たちは自分たちが神から出た者であり、全世界が悪に横たわっていることを知っています。

世界は邪悪な状態にありますが、神を信じる者は神のものです。

1. 世界の邪悪さと信者の救い。

2. 邪悪な世界でしっかりと立つ。

1. エペソ人への手紙 6:10-18 - 神の武具を身に着けて悪魔に立ち向かう。

2. ローマ 12:2 - この世の型に従ってはなりません。

1 ヨハネ 5:20 そして、私たちは、神の御子が来られ、真実な方を知ることができるように、また真実な御子のうちに、御子イエス・キリストのうちにいるという理解を私たちに与えてくださったことを知っています。これが真の神であり、永遠の命です。

神の子が来て私たちに理解を与えてくださったのは、私たちが唯一の真の神であるイエス・キリストを知り、永遠の命を得ることができるようにするためです。

1. イエスは永遠の命への道です。

2. 神を知ろうとすることは、イエスを知ろうとすることです。

1. ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2. ヘブライ 11:6 - また、信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神に近づこうとする者は、神が存在し、神がご自分を求める者たちに報いてくださることを信じなければなりません。

1ヨハネ 5:21 幼い子供たちよ、偶像から身を守ってください。アーメン。

一節 クリスチャンは偶像を崇拝すべきではありません。

1. 偶像崇拝の危険性とそれを避けるべき理由。

2. 偶像崇拝から離れ、神との関係を目指す。

1. 申命記 5:7-8 「あなたには、わたしのほかに他の神があってはならない。あなたは、自分のために、上の天にあるもの、下の地にあるもの、あるいはこの世のものに似た彫刻や像を作ってはならない。」地球の下の水の中です。」

2. イザヤ書 44:9-10 「偶像を造る者は皆無であり、彼らが喜ぶことは何の益にもなりません。彼らの証人たちは、彼らが恥をかかされるために、見ることも知ることもありません。誰が神を造ったり、その像を鋳造したりするのですか。」無駄に儲かるの？」

2ヨハネ1章は使徒ヨハネが書いた短い手紙です。この章では、真理のうちを歩むこと、従順を通じて愛を示すこと、欺瞞を避けることなどのテーマに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、著者が選ばれた女性とその子供たちに語りかけ、彼らへの愛を真実に表明することから始まります。彼は、真理を知っている人は他にもいるので、彼らの信仰は一人ではない、と強調しています(2ヨハネ1:1-2)。著者は、神の戒めに従い、真理と愛のうちを歩むよう彼らに勧めています（ヨハネ第二 1:4-6）。イエスは，互いに愛しなさいというこの戒めが最初からあったことを思い出させ，それに従って生き続けるよう励まします。

第２段落：7-11節には、欺瞞者に対する警告があります。著者は、キリストの教えに忠実であり、イエス・キリストが肉となって来られたと告白しない人々に惑わされないことの重要性を強調しています(2ヨハネ1:7-9)。彼は、キリストの教えを超えた者には神がいないと警告しています(2ヨハネ1:9)。著者は信者たちに、偽りの教えを家に持ち込んだり、彼らの仕事を支援したりする人たちを受け入れたり挨拶したりしないように勧めています。そうすることは彼らの邪悪な行為に加担することになるからです(2ヨハネ1:10-11)。

第 3 段落: 12 節以降、章の終わりまで、著者はすべてを書き留めるのではなく、個人的に彼らを訪問したいという願望を表明して手紙を締めくくります。彼は彼らに、言いたいことはたくさんあるが、より大きな喜びを得るために対面でコミュニケーションすることを好むと保証します(2ヨハネ1:12)。著者は信仰で知られる人々から挨拶を送り、神の戒めに従って愛を持って互いに挨拶し合うよう信者に勧めています（ヨハネ第二 1:13）。

要約すると、使徒ヨハネによる第二の手紙の第一章は、神の戒めに従いながら真理と愛の中を歩むことを強調しています。イエス・キリストの受肉を否定する欺瞞者に対して警告し、信者にキリストの教えに忠実であり続けるよう促しています。この章は信者に対し、偽りの教えをもたらす人々を支持したり歓迎したりしないよう奨励している。それは彼らの邪悪な行為に加担することになるからである。著者は個人的な訪問に対する願いを表明し、最後に挨拶を送り、神の戒めに従って愛を持って互いに挨拶し合う習慣を奨励することで締めくくっている。

2ヨハネ1:1 選ばれた婦人とその子供たちの長老であり、私は彼らを真実に愛しています。そして私だけではなく、真実を知っているすべての人たちも同様です。

長老であるジョンは、選ばれた女性とその子供たち、そして真実を知るすべての人に愛を送ります。

1. 真実の愛の力

2. 真実を知ることの大切さ

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. エペソ人への手紙 4:15 - しかし、愛をもって真理を語ることは、すべてのことにおいて頭であるキリストへと成長するかもしれません。それはキリストでさえもです。

2ヨハネ 1:2 それは、真理がわたしたちの内に宿っており、永遠にわたしたちとともにあるからです。

真実は私たちの中に宿っており、永遠に私たちとともにあります。

1. 私たちの救いの希望は、私たちの内に宿る真理にあります。

2. 私たちは決して私たちを離れることのない真実を信じることができます。

1. ヨハネ第二1:2

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2ヨハネ1:3 父なる神と父の御子主イエス・キリストから、真実と愛をもって、恵みがあなたがたにあり、憐れみと平安がありますように。

この聖句は、真理と愛を通してもたらされる神とイエスからの恵み、憐れみ、平和の祝福を表しています。

1. 「愛と真実の力: 恵み、慈悲、平和が私たちの生活をどのように変えることができるか」

2. 「神とイエスの祝福: 彼らの臨在を通じて平安と慰めを得る」

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. ヨハネ 14:27 - 私はあなたがたに平和を残します。私の平和をあなたに与えます。世界が与えるものと同じように私があなたに与えるものではありません。あなたがたの心を騒がせてはならず、恐れてはなりません。

2 ヨハネ 1:4 私たちは御父から戒めを受けたので、あなたの子供たちが真理のうちに歩んでいることを知り、とても喜びました。

ヨハネは、自分の子供たちの多くが父の戒めに従って真理のうちに歩んでいることを見て喜んでいます。

1. 真理のうちを歩む: 父の戒めに従って生きることを学ぶ

2. 喜びに満ちた従順: 真理のうちを歩み、父の道を喜ぶ

1. 詩篇 119:1 「その道に非難のない者、主の律法に従って歩む者は幸いです。」

2. ヨハネ第一 2:3-4 「そして、このことによって、私たちが彼の戒めを守るなら、私たちが神を知るようになったことがわかります。「彼を知っていますか」と言いながら、彼の戒めを守らない人は偽り者であり、真実です。彼の中にはないよ。」

2 ヨハネ 1:5 さて、お嬢さん、私はあなたに新しい戒めを書いたかのようにではなく、私たちが最初から持っていた、互いに愛し合うようにお願いします。

この聖句は、私たちが互いに愛し合うよう勧めていますが、これは初めから定められている戒めです。

1. 互いに愛し合いなさい: 初めからの戒め

2. 愛の力: 愛が私たちの生活をどのように変えるのか

1. ヨハネ第一 4:7-8 - 愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出たものであり、愛する者は神から生まれ、神を知っています。神は愛であるため、愛のない人は神を知りません。

2. ローマ 13:8-10 - 互いに愛し合うこと以外には、だれにも何の義務もありません。人を愛する者は律法を全うしているからです。戒めについては、?姦淫してはならない、殺してはならない、盗んではいけない、貪ってはならないなどの戒めは、この言葉に集約されています。쏽あなたは自分自身のようにあなたの隣人を愛さなければなりません。??愛は隣人に悪いことをしません。したがって、愛は律法を履行することなのです。

2ヨハネ 1:6 そして、私たちが神の戒めに従って歩むこと、これが愛です。これは、あなたがたが最初から聞いていたように、あなたがたはその中を歩むべきであるという戒めである。

愛は、初めから聞かされていた主の戒めに従うことによって示されます。

1. 愛に生きる：神の戒めに従って歩む

2. 愛の人生: 神の指示に従って歩む

1. ヨハネ第一 5:3 - 私たちが神の戒めを守ることこそが神の愛です。そして神の戒めは悲しいものではありません。

2. ローマ 6:17 - しかし、神に感謝すべきは、あなたがたが罪の僕であったにもかかわらず、あなたに伝えられたこの形式の教義に心から従ったことです。

2 ヨハネ 1:7 というのは、イエス・キリストが肉体となって来られたことを告白しない、多くの欺瞞者が世に入ってきているからです。これは詐欺師であり、反キリストです。

イエス・キリストが肉体となって来られたという真実を否定し、欺瞞者であり反キリストである多くの人々がこの世に現れています。

1. 真実のために立ち上がる: イエス・キリストは肉において来られたと告白する必要性

2. 偽預言者と詐欺師: 反キリストを見分ける方法

1. ヨハネ第一 4:1-3 - 愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出ているからです。

2. ピリピ人への手紙 2:5-8 - この心を持ちなさい。それはキリスト・イエスにあってのものです。キリストは神の姿であったにもかかわらず、神との平等を把握すべきものとは考えず、自分自身をむなしくしました。召使の姿をとり、人間と同じように生まれる。

2ヨハネ1:8 私たちが自分の努力したものを失うことなく、十分な報いを受けられるように、自分に気を付けてください。

ジョンは読者に、働いて得た報酬を失わないようにと勧めています。

1. 報酬を育む: セルフケアと勤勉さの重要性

2. 蒔いたものを刈り取る：私たちの努力の成果

1. ガラテヤ 6:7-8: だまされてはなりません。神は嘲笑されることはありません。人がまくものは、神も刈り取るからです。自分の肉に種を蒔く人は肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るからです。

2. 箴言 11:24-25: 人は惜しみなく与えても、ますます豊かになります。ある人は与えるべきものを差し控えて、ただ欠乏に苦しむだけです。祝福をもたらす者は誰でも豊かになり、水を注ぐ者は自分自身も注がれます。

2ヨハネ 1:9 罪を犯し、キリストの教義に従わない者には、神はいません。キリストの教義にとどまる者は、父と子の両方を持っています。

キリストの教義に従う人には父と子の両方がいますが、罪を犯してキリストの教義に従わない人には神がいません。

1. キリストの教義を喜ぶ

2. キリストの教義に忠実に従う

1. 詩篇 1:2 - 「しかし、彼の喜びは主の律法であり、その律法を昼も夜も黙想している。」

2. テモテ第二 3:16 - 「聖書はすべて神によって吹き出されたものであり、教え、戒め、矯正し、義を訓練するのに有益です。」

2ヨハネ1:10 もし誰かがあなたのところに来て、この教義を持ってこないなら、その人をあなたの家に迎え入れてはならず、また、神よ急いでくださいと命じてはいけません。

信者は、キリストの真の教義をもたらさない人を受け入れたり、幸福を願ったりしないように求められています。

1. キリストの真の教義に従う: なぜ偽りの教えを拒否しなければならないのか

2. 主にあって幸福を願う: 真実を知ることの重要性

1. ヨハネ 16:13 - 「真理の御霊が来るとき、彼はあなたをすべての真理に導きます。彼は自分の権威に基づいて話すのではなく、聞いたことは何でも話し、あなたに物事を宣言するからです」それはこれから来ることだ。」

2. テトス 1:9 - 「彼は、教えられた信頼できる言葉をしっかりと堅持しなければなりません。そうすれば、健全な教義を教え、それに反する人たちを叱責できるようになります。」

2ヨハネ1:11 神速を命じた者は、その悪行に加担するのである。

信者は、悪行に従事している信者仲間を奨励すべきではありません。

1. 悪事に加担する危険性

2. 罪を思いとどまらせる力

1. ローマ 6:12-14 - したがって、罪があなたの死ぬべき肉体を支配して、その邪悪な欲望に従わないようにしてください。自分の一部を悪の道具として罪に捧げるのではなく、死から命に戻された者として自分自身を神に捧げてください。そして自分のすべての部分を義の道具として神に捧げなさい。

14. コリント第二 6:14-17 - 不信者と一緒にくびきを負わないでください。正義と悪にはどのような共通点があるのでしょうか。あるいは、光は闇とどのような交わりを持ち得るのでしょうか？キリストとベリアルの間にはどのような調和があるでしょうか?あるいは、信者と不信者の共通点は何でしょうか？神の神殿と偶像の間にはどのような一致があるでしょうか。なぜなら、私たちは生ける神の神殿だからです。

2ヨハネ 1:12 あなたがたに書きたいことがたくさんあるので、紙とインクでは書きたくありません。しかし、私たちの喜びが満たされるように、あなたがたのところに来て、面と向かって話したいと思います。

ジョンは、コミュニティに来て直接話して、コミュニティの喜びが完全なものになるようにしたいという願望を表明しています。

1. 本当の交わりの喜び

2. 対面の関係の祝福

1. ピリピ 2:2 - 同じ思い、同じ愛を持ち、完全に一致して心を一つにすることによって、私の喜びを完成させてください。

2. ローマ 15:13 - 希望の神が、あなたがたを信仰のすべての喜びと平安で満たしてくださいますように。そうすれば、聖霊の力によって、あなたが希望に満ち溢れますように。

2ヨハネ1:13 あなたの選ばれた姉妹の子供たちがあなたに挨拶しています。アーメン。

この一節は、ジョンから選ばれた妹とその子供たちへの挨拶です。

1. 愛と感謝: シンプルな挨拶の力

2. 誠実さとつながり: 愛する関係を大切にする

1. ローマ人への手紙 12:10 - ?兄弟愛を持ってお互いを大切にします。名誉を示すという点でお互いに勝ってください。

2. テサロニケ第一 5:11 - ?あなたがそうしているように、これからもお互いを励まし合い、高め合いましょう。

3ヨハネ1章は使徒ヨハネが書いた短い手紙です。この章では、もてなし、仲間の信者の支援、善と悪の例の対比などのテーマに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、著者がガイオに宛てて、ガイオが真理の中を歩み、仲間の信者たちに愛を示していると聞いて喜びを表明するところから始まります (3 ヨハネ 1:1-4)。著者は、福音を広めている旅行中の兄弟たちに対するガイオのもてなしを称賛しています(3ヨハネ1:5-6)。彼はガイウスに、キリストの名のためにこれらの働き人たちを支援し続けるよう勧めています。

第 2 段落: 9 ～ 10 節には、否定的な例であるディオトレフェスについての言及があります。著者はディオトレフェスの高慢な振る舞いと使徒指導者からの権威の受け入れを拒否していると批判している。彼は、自分が来るときはディオトレフェスの行動に注意を促すだろうと警告しています(3ヨハネ1:9-10)。一方、著者はデメトリオスを、すべての人から、そして真理そのものから良い証を得た良い模範として称賛します（3ヨハネ1:11-12）。

第 3 段落: 13 節以降、章の終わりまで、著者はガイウスに直接会いたいという願望を表明して手紙を締めくくります。彼は、彼とガイオの両方を知っている友人たちから挨拶を送ります(3ヨハネ1:13-14)。著者はガイオと平和が訪れることを望み、友人を代表して個別に挨拶を送ります（3ヨハネ1:15）。

要約すると、使徒ヨハネによる第三の手紙の第 1 章は、福音を広めている旅する兄弟たちに対するガイオのもてなしを称賛しています。キリストの名においてこれらの労働者への継続的な支援を奨励します。この章ではまた、権威を受け入れることを拒否するディオトレフェスの否定的な例に焦点を当て、それを良い証言を受けるデ

メトリオスの肯定的な例と対比させます。著者は個人的な訪問への願望を表明し、最後に共通の友人からの挨拶と平和への願いを表明しています。

3 ヨハネ 1:1 愛するガイオの長老、わたしは真理において彼を愛しています。

長老のヨハネは、真理を愛しているガイウスに励ましの手紙を書きます。

1. 真実と本物の愛の価値

2. 励まし、元気を与える言葉の力

1. ローマ 12:9-10 - 偽善のない愛を保ちましょう。悪を憎む。良いものにしがみつく。お互いに敬意を表し、兄弟愛をもって互いに優しく愛情を注ぎ合いましょう。

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:11 ーですから、あなたがたもそうしているように、互いに慰め合い、互いに啓発し合いなさい。

3 ヨハネ 1:2 愛する皆さん、私は何よりも、あなたの魂が繁栄するように、あなたが繁栄し、健康でいられることを願っています。

ジョンはガイウスに、精神的な成長を求めると同時に繁栄と健康を求めるよう勧めます。

1：人生の豊かさを追求する

2: 精神的な成長と健康

1: ピリピ 4:12-13 - 私は、貧しいとはどういうことかを知っていますし、豊かであるとはどういうことかを知っています。私は、十分な食事があるか空腹であるか、豊かな生活でも貧しい生活でも、どんな状況でも満足する秘訣を学びました。

2: マタイ 6:33 - しかし、まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたにも与えられるでしょう。

3 ヨハネ 1:3 あなたが真理のうちを歩むのと同じように、兄弟たちがやって来て、あなたの内にある真理について証ししたとき、私はとても喜んだからです。

ヨハネ第３章の著者は、兄弟たちが、自分たちが言及している人物の内にある真理について証言したとき、喜びでいっぱいでした。

1. 真実に生きる喜び - 真実に生きることで真の喜びを見つける方法。

2. 証言の力 – 証言の重要性と、それが周囲の人々にどのようにポジティブな影響を与えることができるか。

1. コロサイ 3:17 - そして、言葉であれ行為であれ、すべてを主イエスの名において行い、主イエスによって神と父に感謝しなさい。

2. ローマ 12:2 - そして、この世に合わせてはいけません。しかし、神の善い、受け入れられる、完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして自分を変えてください。

3 ヨハネ 1:4 私の子供たちが真理のうちに歩んでいることを聞いて、これ以上の喜びはありません。

ジョンは子供たちが真理に従って生きていると聞いて深い喜びを表します。

1. 子供たちが真実に向かって歩いていることを知る喜び

2. 神の栄光のために子供たちを育てる

1. 箴言 22:6 - 子供をその進むべき道に訓練しなさい。そうすれば彼は年老いても、その道から離れることはありません。

2. エペソ 6:4 - 父親の皆さん、子供たちを怒らせず、主の懲らしめと教えに従って育ててください。

3 ヨハネ 1:5 愛する人よ、あなたは兄弟たちに対して、また見知らぬ人に対して行うことはすべて忠実に行います。

ヨハネは、信者と非信者の両方に対するガイウスの忠実な奉仕を称賛しています。

1. 忠実な奉仕の力: 私たちの行動は言葉よりも雄弁です

2. 見知らぬ人に対する優しさの価値: 3 ヨハネからの教訓

1. ガラテヤ 6:10: 「ですから、機会があれば、すべての人、特に信者の家族に属する人たちに善を行ないましょう。」

2. ヘブライ 13:1-3: 「兄弟姉妹として互いに愛し合い続けてください。見知らぬ人にもてなしを示すことを忘れないでください。そうすることで、知らず知らずのうちに天使にもてなしを示している人がいるからです。刑務所にいる人たちのことを思い出し続けてください」あたかも刑務所にいる彼らや虐待されている人々と一緒にいるかのように、まるで自分自身が苦しんでいるかのように。」

3 ヨハネ 1:6 教会の前であなたの慈善を証しした人たちです。もしあなたが敬虔な道をたどって旅に連れ出すなら、きっとうまくいくでしょう。

ヨハネは読者に、敬虔な態度で困っている人を助けるよう勧めています。

1. 神は私たちに、他者を愛し、他者に仕えるよう呼びかけておられる

2. 生活の中で敬虔な慈善を実践する

1. ヨハネ第一 3:17 - 「しかし、この世の財産を持っていて、自分の兄弟が困っているのを見て、その人に対して心を閉ざす人がいるとしたら、どうして神の愛がその人のうちに宿るでしょうか。」

2. ヤコブ 1:27 - 「父なる神の前に純粋で汚れのない宗教とは、苦悩している孤児ややもめを訪ね、世から自分を汚さないようにすることです。」

3 ヨハネ 1:7 それは、彼らがイエスの名のために、異邦人から何も奪わずに出て行ったからです。

信者は、見返りを期待せずに、困っている人を助けることが奨励されています。

1.「無私無欲の与える力」

2.「他者に奉仕する喜び」

1. マタイ 6:1-4 「人に見られるために、人の前で慈善行為をしないように気をつけなさい。そうでなければ、あなたは天の父から報われることはありません。したがって、慈善行為を行うときは、偽善者たちが人々から栄光を得るために会堂や街路で行うように、あなたの前でラッパを吹き鳴らしてはならない。確かに、あなたに言いますが、彼らには報いがあります。しかし、慈善行為をするときは、右手がしていることを左手に知らせてはいけません。」

2. 使徒 20:35 「わたしは、このように労苦することによって、弱い人たちを支えなければならないことをあらゆる面であなたがたに示しました。そして主イエスの言葉を思い出してください。「受けるより与える方が幸いである」と言われました。」

3 ヨハネ 1:8 したがって、真理を助ける仲間となるために、私たちはそのようなものを受け取るべきです。

私たちは真理の普及に協力してくれる人々を歓迎すべきです。

1.「真実の推進者を歓迎する」

2.「真実の推進者を助ける」

1. ピリピ 2:3-4 - 「利己的な野心やうぬぼれから何事も行ってはなりません。謙虚に自分よりも他の人のことを大切にしなさい。各自、自分の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けなさい。」

2. 箴言 11:25 - 「祝福をもたらす者は豊かになり、水を注ぐ者は自分も潤される。」

3 ヨハネ 1:9 私は教会に書きました。しかし、ディオトレフェスは彼らの間で優位に立つことを望んでいますが、私たちを受け入れません。

ヨハネは、自分が優位に立つことを好み、ヨハネの受け入れを拒否するディオトレフェス教会に警告します。

1. ディオトレフェスのようにならないで、卓越性よりも謙虚さを求めてください。

2. 教会を分裂させず、他者を受け入れることの大切さ。

1. ピリピ 2:3-4 「利己的な野心やむなしいうぬぼれから何事も行ってはなりません。むしろ、謙虚に自分よりも他人を大切にし、自分の利益ではなく、各自が他人の利益に目を向けなさい。」

2. ローマ 15:7 「では、キリストがあなたがたを受け入れてくださったように、神に賛美をもたらすために、互いに受け入れなさい。」

3 ヨハネ 1:10 ですから、もし私が来たら、悪意のある言葉で私たちをののしりながら、彼が行っている行為を思い出します。そしてそれに満足せず、彼自身も兄弟たちを迎え入れたり、そうしようとする者たちを禁じたり、追い出したりはしません。教会の。

ヨハネは、読者に悪意を持って発言し、仲間の信者を受け入れず、教会から追い出すことさえする男について警告しています。

1. 悪意のある言葉を口から出させず、仲間の信者を両手を広げて歓迎します。

2. 壊すのではなく築き上げるために、優しさと愛を持って話しましょう。

1. エペソ 4:29 - 堕落させるような話をあなたの口から出してはなりません。ただ、聞く人たちに恵みを与えるために、その場に応じて築き上げるのに良いような話だけをしてください。

2. ローマ 12:10 - 兄弟のような愛情をもって互いに愛し合います。名誉を示すという点でお互いに勝りましょう。

3 ヨハネ 1:11 愛する人たち、悪いものではなく、良いものに従いなさい。善を行う者は神から出た者ですが、悪を行う者は神を見ていません。

悪ではなく善に従いなさい。善を行う者は神から出た者であり、悪を行う者は神を見ていないからです。

1) 善の力: 善の道に従うことがどのように私たちを神に近づけるかについて。

2) 悪の危険性: 悪がどのようにして私たちを神から遠ざけるかについて。

1) ローマ人への手紙 12:9-10: 愛は本物でありましょう。悪を憎む。良いものをしっかり持ちなさい。

2) ヤコブ 4:17: ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとってそれが罪なのです。

3 ヨハネ 1:12 デメトリオスはすべての人間と真理そのものについて良い報告をしています。そうです、私たちも記録を残しています。そしてあなたがたは、私たちの記録が真実であることを知っています。

ディメトリアスはその善良な性格から尊敬され賞賛されました。私たちは彼の名誉ある行為を証明することができます。

1: 良い評判を持つディメトリアスの例から学ぶことができます。

2: 私たちのキャラクターがディメトリアスと同じくらい名誉あるものとなり、優れた作品で知られるように努力しましょう。

1: 箴言 22:1 「大きな富よりも良い名が選ばれるべきであり、好意は銀や金よりも優れています。」

2: 1 テモテ 3:7 「さらに、彼は非難と悪魔の罠に陥らないように、外にいる人々の間で良い証しをしなければなりません。」

3 ヨハネ 1:13 書きたいことがたくさんありましたが、インクとペンであなたに書きません。

手紙の筆者には言いたいことがたくさんあったが、書く代わりに話すことを選んだ。

1: 私たちの言葉は、私たちが書いているものよりも雄弁です。

2: 神は私たちが言葉を使ってコミュニケーションをとることを望んでいます。

1: ヤコブ 3:5-6 - それでも、舌は小さな部分にすぎず、大きなことを誇ります。見よ、小さな火が燃え上がるのはなんと素晴らしいことだろう！そして舌は火であり、不法行為の世界です。私たちの成員の間でも舌は同様であり、体全体を汚し、自然の流れを燃やします。そして地獄の火が放たれます。

2: コロサイ 4:6 - すべての人にどのように答えるべきかをあなたが知ることができるように、あなたのスピーチは常に優雅で、塩で味付けしてください。

3 ヨハネ 1:14 しかし、私は間もなくあなたにお会いして、面と向かって話すことになると信じています。あなたに平安あれ。私たちの友人たちがあなたに敬意を表します。友達に名前を呼んで挨拶します。

著者はこの手紙の受取人にすぐに会えることを望んでおり、彼らに祝福を送ります。彼はまた、受取人の友人に敬意を表し、名前を呼んで挨拶するよう求めています。

1: 私たちは、自分の人生の中で人々に感謝し、彼らに愛と敬意を示すことの重要性を決して忘れてはなりません。

2: 私たちは常に周囲の人々と有意義な関係を維持するよう努めるべきであり、これには名前を呼んで挨拶する努力も含まれます。

1: ピリピ 2:3-5 - 決して利己的な野心やうぬぼれから行動せず、謙虚に自分よりも他の人を大切にしましょう。皆さんも自分自身の利益だけでなく、他の人の利益にも目を向けましょう。キリスト・イエスにあってあなたのものである、この心を自分自身の中に持ちなさい。

2: ルカ 6:31 - 自分にしてもらいたいことを他の人にもしなさい。

ユダ 1 は、ヤコブの兄弟でありイエス・キリストの僕であるユダによって書かれた短い手紙です。この章では、信仰をめぐる争い、偽教師に対する警告、信者に堅実さを保つよう勧めるなどのテーマに焦点を当てています。

第 1 段落: この章は、父なる神に召され、イエス・キリストのために守られている人々にユダが手紙を宛てることから始まります (ユダ 1:1)。彼は彼らの共通の救いについて書くという当初の意図を表明しているが、特定の人々が気づかれないように忍び込んでいるから、かつて聖徒たちに伝えられた信仰をめぐって真剣に戦うよう彼らに勧めざるをえないと感じている――神の恵みを官能に曲解し、イエス・キリストを否定する不敬虔な人々である（ユダ）1:3-4）。ユダは、神に背を向けた人々に対する過去の裁きを読者に思い出させ、これらの偽教師たちは同様の結末に直面するだろうと警告しています(ユダ1:5-7)。

第 2 段落: 8 節から 16 節では、これら偽教師の特徴と行動の描写に重点が置かれています。ユダは彼らを、神への反逆で知られる歴史上の人物であるカイン、バラム、コラと比較します。彼は彼らの不敬虔な行動、理解できないことを悪く言い、性的不道徳にふけり、権威を拒否し、信者の間に分裂を引き起こしていることを強調しています（ユダ 1:8-16）。著者はさらに、彼らを不平不満を言う人、聖霊に導かれるのではなく、自分の欲望によって動かされる欠点探し者であると説明しています。

第 3 段落: 17 節以降、この章の終わりまで、ユダは読者に、前回これらの嘲笑者たちに関して使徒たちが与えた警告を思い出すように勧めています。彼は信者たちに、聖霊によって祈りながら最も神聖な信仰を強めるよう勧めています（ユダ 1:17-20）。著者は、疑う者に対しては憐れみを示すだけでなく、洞察力を持ち、火の中から人を救い出すことによって他の人を救うようにとアドバイスしています（ユダ 1:22-23）。ユダは、信者たちのつまずきを防ぎ、神の御前に彼らを罪のない状態で大喜びで示すことができる神への賛美を表明して手紙を締めくくります(ユダ1:24-25)。

要約すると、ユダの手紙の第 1 章は、信者たちに信仰を争うよう促し、神の恵みを曲げる偽教師に対して警告します。これらの詐欺師の特徴と行動を、神への反逆で知られる歴史上の人物と比較しながら説明しています。この章は信者たちに、使徒たちが与えた警告を思い出し、信仰を築き、疑う者に対して憐れみを示し、識別力を働かせるよう勧めています。この物語は、信者をつまずかせないようにし、神の前で彼らを罪のない状態に保つ神の能力を称賛して終わります。

ユダ 1:1 イエス・キリストのしもべであり、ヤコブの兄弟であるユダは、父なる神によって聖められ、イエス・キリストに保たれている人々に、こう呼びかけています。

ユダは、神によって分けられ、イエス・キリストによって安全に守られ、召された人々に手紙を書いています。

1. 神に召された特権

2. イエス・キリストを通して聖化された人生を生きる

1. コリント人への手紙第一 1:2 - 「コリントにある神の教会の皆さん、キリスト・イエスにあって聖化された人々、あらゆる場所で私たちの主イエス・キリストの御名を呼び求めるすべての人々とともに、聖人となるよう召された人々の皆さん、主よ、そして私たちのものです。」

2. ペテロ第一 1:15-16 「しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。『わたしが聖であるから、あなたも聖になる。』と書いてあるからです。」

Jude 1:2 あなたに憐れみを、そして平和と愛が増し加えられますように。

ジュードは信者たちに、豊かな慈悲、平和、愛を経験するよう勧めています。

1. 豊かな憐れみ：神の変わらぬ愛を体験する

2. 豊かな平和：人生の嵐の中に定着する

1. ローマ人への手紙 5:20-21 - 「しかし、罪が増えると、恵みはさらに増し加えられました。そのため、罪が死を支配したように、恵みも義を通して支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命に至ります。」

2. イザヤ書 26:3 - 「心が堅い人たちを、あなたは完全な平安のうちに保ってくださいます。彼らはあなたを信頼しているからです。」

ユダ 1:3 愛する人よ、私が懸命に共通の救いについてあなたがたに手紙を書いたとき、あなたがたに手紙を書き、かつて聖徒たちに伝えられた信仰のために真剣に戦うよう勧める必要があったのです。

ジュードは信者たちに、聖人たちに与えられた信仰のために戦うよう勧める。

1. 信仰の土台の上にしっかりと立つ

2. なぜ信仰のために争わなければならないのか

1. ヘブライ 10:23-24 - 約束してくださった方は忠実ですから、揺るがずに希望の告白をしっかりと持ち続けましょう。そして、愛と善行に向けて互いに励まし合う方法を考えてみましょう。

2. エペソ人への手紙 6:13-17 - ですから、あなたが邪悪な日に耐えることができるように、神の武具をすべて身に着けて、すべてをやり遂げてしっかり立ちなさい。したがって、真理の帯を締め、義の胸当てを着けて立ちなさい。

Jude 1:4 なぜなら、昔からこの罪に定められていた不敬虔な人たちで、私たちの神の恵みを好色に変え、唯一の主なる神と私たちの主イエス・キリストを否認する不敬虔な人々が、何も知らずに忍び込んでいるからです。

ジュードは、教会に侵入し、神の恵みを放縦に変え、神の唯一の主であり救い主であるイエス・キリストを否定する不敬虔で不義な人々に対して警告します。

1. ユダ 1:4 に従って敬虔な生活を送る

2. 唯一の主なる神と私たちの主イエス・キリストを否定することの危険性

1. ローマ人への手紙 6:1-2、それでは何と言いましょうか。恵みが豊かになるために、私たちは罪を犯し続けるべきでしょうか？神は禁じます。罪に対して死んだ私たちは、どうやってこれ以上その中で生きられるでしょうか？

2. ヘブライ人への手紙 10:29、神の御子を踏みにじり、神聖なものとされた契約の血を数えた者は、どれほどのひどい刑罰を受けるに値するとあなたがたは思うだろうか。

Jude 1:5 そこで私は、主が民をエジプトの地から救い出してから、その後、信じない者たちを滅ぼされたことを、あなたがたもかつて知っていたとはいえ、思い起こしてもらいたいと思います。

ジュードは信者たちに神の救いの力と、信じない者に対する神の裁きを思い出させています。

1. 神の忠実さと裁き

2. 不信仰と不信仰の結果

1. ローマ人への手紙 8:28 そして、神を愛する者たち、神の目的に従って召された者たちにとって、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。

2. 詩篇 37:28 主は裁きを愛し、その聖徒を見捨てられないからである。それらは永遠に保存されます。しかし、悪者の種は断ち切られます。

Jude 1:6 また、最初の財産を守らず、自分たちの住居を離れた天使たちを、神は大いなる日の裁きに至るまで、暗闇の下で永遠の鎖に留めておかれました。

この一節は、元の場所に留まらず、代わりに裁きの日のために暗闇の中で鎖につながれた天使について語っています。

1. 不従順の危険: ユダの研究 1:6

2. 反逆の結果: ユダの考察 1:6

1. イザヤ書 14:12-15: 明けの明星よ、夜明けの子よ、あなたはなんと天から落ちたのでしょう。かつて諸国民を屈服させた者よ、あなたは地に投げ落とされたのです！

2. ペテロ第二 2:4-9: もし神が天使たちが罪を犯したときに容赦せず、彼らを地獄に送り、裁きを受けるために闇の鎖に入れたのなら。

ユダ 1:7 ソドムとゴモラ、そして同様にその周囲の町々が、不品行に身を委ね、奇妙な肉を追い求めるように、永遠の火の復讐に苦しんでいる例として示されています。

ソドムとゴモラの邪悪な都市が例として挙げられ、永遠の火の復讐に苦しんでいます。

1. 奇妙な肉体に従うことの危険と罪の結果。

2. 永遠の火の復讐による神の正義と慈悲。

1. ローマ人への手紙 1:18-32 - 不義に対する神の怒り。

2. ペテロ第二 2:6-9 - 悪人に対する神の裁き。

Jude 1:8 同様に、これらの汚い夢想家たちも、肉体を汚し、支配を軽蔑し、尊厳を悪く言います。

これらの夢想家たちは肉体を汚し、権威を軽蔑し、神の任命された権威に対して冒涜的なことを言っています。

1: 神の任命された権威に従い、その権威を尊重します。

2: 肉を汚したり、神の任命された権威に対して冒涜的なことを言ったりしてはなりません。

1: ローマ人への手紙 13:1-2 すべての魂は高次の力に服従しましょう。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。

2: 1 ペテロ 2:13-15 主のために、人間のあらゆる定めに従いなさい。あるいは、悪行者を懲らしめ、善行を行った者を称賛するために神から派遣された総督たちに。なぜなら、あなたがたが善行を行うことで、愚かな人々の無知を沈黙させることができるという神の御心も同様だからである。

Jude 1:9 しかし、御使のかしらミカエルは、モーセの死体について悪魔と論じ争った時、決して激しく非難するのではなく、「主がおまえを叱責されるように」と言った。

大天使ミカエルは悪魔と闘っているときも神への敬意を示し、悪魔に対して非難の声を上げることを拒否しました。

1. いかなる状況においても神の権威を尊重することの重要性。

2. 悪魔を叱責する神の力。

1. エペソ 6:12 - なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にある霊的な邪悪に対して格闘しているからです。

2. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

Jude 1:10 しかし、彼らは自分たちが知らないことについて悪口を言います。むしろ、野獣のように自然に知っていることを、それらのことで自分自身を堕落させます。

これらの人々は知識なしに発言し、自らの行動を堕落させています。

1. 知識なしで話すことの危険性

2. 腐敗した行為: 無知に対する警告

1. 箴言 12:15 - 愚か者の道はその人の目には正しい。しかし、助言に耳を傾ける者は賢い。

2. ヤコブ 1:19 - ですから、愛する兄弟たちよ、人は皆、聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。

ユダ 1:11 彼らは不幸だ。なぜなら、彼らはカインの道を歩み、報酬を求めてバラムの過ちを貪欲に追いかけ、コアの反対意見で滅びたからである。

この一節は、カインの道に従う人々、バラムの誤り、そしてコアの反対意見を非難します。

1. 誤った道を歩む者に対する神の警告

2. 貪欲と利益追求の危険性

1. 箴言 15:27 利を貪る者は自分の家を苦しめる。しかし賜物を憎む者は生きるであろう。

2. コリント人への第一の手紙 6:9-10 あなたがたは、不義な者は神の国を受け継がれないことを知らないのですか。だまされないでください。不品行な者も、偶像を崇拝する者も、姦通する者も、女々しい者も、人類に対して自分自身を虐待する者も、泥棒も、貪欲な者も、大酒飲みも、ののしり、強奪する者も、神の国を受け継ぐことはできません。

Jude 1:12 これらは、あなたがたの慈善の祭りの斑点です。彼らはあなたがたと一緒に食事をし、恐れることなく自分自身を養います。雲は水がなく、風に運ばれます。実が枯れ、実がならず、二度枯れて根もぎ取られた木々。

1. 私たちの善良さを利用する人たちに警戒する

2. 主のために実を結ぶよう努める

1. マタイ 7:15-20 - 羊の皮を着てあなたのところに来るが、内心は貪欲な狼である偽預言者に気をつけなさい

2. ヤコブ 5:7-8 - ですから、兄弟たち、主の到来まで辛抱してください。見よ、農夫は大地の貴重な実りを待ち、早い雨と遅い雨が降るまで長い間忍耐している。

Jude 1:13 海の荒れ狂う波は、自らの恥を泡立てて出る。さまよえる星たち、闇の闇は永遠にその人たちに留保されている。

荒れ狂う波とさまよう星は、神の恵みと慈悲の外にあり、永遠の暗闇に耐えることになる人々を表しています。

1: 神の恵みと憐れみは、暗闇ではなく救いと永遠の命への道を提供します。

2: 私たちは神のご意志に従って生きることによって、神の恵みと憐れみの中にとどまるように努めなければなりません。

1: エペソ人への手紙 2:4-5 「しかし、神は憐れみに富んで、私たちが罪過で死んでいたときでさえ、私たちを愛してくださった大きな愛のゆえに、私たちをキリストとともに生かしてくださいました。あなたがたは恵みによって、救われた。」

2: テトス 3:4-7 - 「しかし、私たちの救い主なる神の慈しみと愛に満ちた親切が現れたとき、彼は私たちが義に従って行った行いのせいではなく、ご自身の憐れみに従って、再生と洗礼によって私たちを救ってくださいました。それは、神が私たちの救い主イエス・キリストを通して私たちに豊かに注いでくださった聖霊を新たにすることであり、それは私たちが彼の恵みによって義とされ、永遠の命の希望に従って相続人となるためでした。」

Jude 1:14 また、アダムから七番目のエノクも、これらのことを預言してこう言った、「見よ、主はその聖徒一万人とともに来られる、

アダムから7世代目であるエノクの預言、主は多くの聖徒たちとともに来られるというもの。

1. 主の再臨の希望：エノクの預言の言葉を理解する

2. 神の忠実な臨在: 世代を超えて神とともに歩む

1. 詩篇 50:3-5 - 私たちの神は来られますが、沈黙を保たれません。火が彼の前を焼き尽くし、彼の周りは非常に嵐になるでしょう。神は上から天と地に呼びかけて、ご自分の民を裁くであろう。私の聖徒たちを私のもとに集めてください。犠牲によって私と契約を結んだ人たち。

2. イザヤ書 60:1-5 - 立ち上がれ、輝きなさい。あなたの光が来て、主の栄光があなたに昇るからです。見よ、暗闇が地を覆い、人々はひどい暗闇になるからである。しかし、主はあなたの上に立ち上がり、彼の栄光があなたの上に見られるであろう。そして異邦人はあなたの光のもとに来て、王たちはあなたの立ち上がりの輝きのもとに来るでしょう。周りの目を上げて見なさい。彼らは皆集まってあなたのところに来る。あなたの息子たちは遠くから来て、あなたの娘たちはあなたのそばで乳を飲むだろう。

Jude 1:15 すべての人に対して裁きを下し、彼らのうちの不敬虔な者たちに、彼らが不敬虔に犯したすべての不敬虔な行いと、不敬虔な罪人たちが彼に対して言ったすべての厳しい言葉について納得させるためです。

ジュードは私たちに、敬虔な生活を送り、不敬虔な行為や言葉で罪人を裁き、有罪判決を下すよう思い出させています。

1.「敬虔な生活を送る：ジュードの緊急の呼びかけ」

2.「罪人を断罪する：ジュードの勧め」

1. ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟姉妹の皆さん、神の憐れみを心に留めて、神に喜ばれる聖なる生きたいけにえとして自分の体をささげることをお勧めします。これが皆さんの真の正しい崇拝です。この世のパターンに従うのではなく、心を一新することで変化してください。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。

2. ガラテヤ 6:7-8 - だまされてはなりません。神をあざけることはできません。人は自分が蒔いたものを刈り取ります。自分の肉を喜ばせるために種を蒔く者は、その肉から滅びを刈り取るでしょう。御霊を喜ばせるために種を蒔く人は、御霊から永遠の命を刈り取ります。

Jude 1:16 この人たちは不平を言い、不平を言い、自分の欲望に従って歩いています。そして彼らの口は大きく膨らむ言葉を語り、その利点のために人々を賞賛します。

ジュードは信者たちに、偽善的で利益を得るためにお世辞を言う人たちに注意するよう警告している。

1. お世辞の偽善に注意してください

2. 偽りの約束に惑わされないでください

1. 詩篇 12:2-3 - 「彼らは互いに偽りを言います。彼らはへつらいの唇と二重の心で話します。主がすべてのへつらいの唇、偉大なことを語る舌を切り取ってくださいますように。」

2. 箴言 26:28 - 「偽りの舌はそれに押しつぶされる者を憎み、へつらいの口は破滅をもたらす。」

Jude 1:17 しかし、愛する人たち、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの使徒たちの前で語られた言葉を思い出してください。

イエス・キリストの使徒たちは覚えておくべき言葉を語りました。

1: 「使徒の言葉: イエスの弟子たちの言葉を思い出す」

2: 「思い出すことの大切さ: イエスの使徒たちの言葉」

1: 使徒 20:35 - 「私はすべてのことにおいて、このように一生懸命働くことによって弱い人たちを助けなければならないことをあなたに示しました。また、主イエスご自身がこう言われた、『与えることよりも与えることのほうが幸いである』という主イエスの言葉を思い出してください。受け取る。'"

2: ルカ 6:47-48 「わたしのところに来て、わたしの言葉を聞いてそれを実行する者はみな、その人がどのような人であるかを見せてやろう。彼は、家を建て、地面を深く掘って基礎を築いた人のようなものである。」そして洪水が起こったとき、川がその家に衝突しましたが、その家はしっかりと建てられていたため、揺れることはありませんでした。」

Jude 1:18 前回、彼らは、自分の不敬虔な欲望に従って歩むべきあざける者がいるはずだとあなた方に言いました。

人々は自らの罪深い欲望のために、終わりの時代に神の教えを嘲笑するでしょう。

1: たとえ自分自身の罪深い欲望にどれほど誘惑されても、私たちは常に神とその教えへの信仰を保たなければなりません。

2: 私たちは信仰において常に用心深くなければなりません。終わりの時代には神の教えをあざける者が増えるばかりだからです。

1: マタイ 6:24 - 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に忠実で他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神と富に仕えることはできません。」

2: ヤコブ 4:4 - 「姦淫する者、姦淫する者たちよ。世との友情は神との敵対であることを知らないのですか。ですから、世の友人になろうとする者は、自分自身を神の敵にするのです。」

Jude 1:19 このような人たちは、霊を持たず、官能的で、自分自身を切り離している人たちです。

ユダは、御霊を持たず、信仰から離れている人々に対して警告します。

1. 霊から離れる危険

2. 御霊にとどまることの重要性

1. ガラテヤ 5:22-25 - 御霊の実

2. コリント人への第二の手紙 3:17 - さて、主は御霊であり、主の御霊のあるところには自由があります。

ユダ 1:20 しかし、愛する人よ、あなたがたは、聖霊によって祈りながら、最も聖なる信仰の上に自分を築き上げ、

ジュードは信者たちに聖霊の祈りを通して信仰を築くよう勧めています。

1. 聖霊による祈りの力

2. 聖霊の助けを受けて信仰を強める

1. ローマ 8:26-27 - 同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。なぜなら、私たちは何を祈るべきか分からないからですが、御霊ご自身が、言葉にならないうめきをもって私たちのために執り成しをしてくださるからです。

2. エペソ 6:18 - すべての聖徒のために、常に御霊によって祈りと願いを込めて祈り、忍耐と祈りを込めてこの目的を守りなさい。

Jude 1:21 永遠の命に至る私たちの主イエス・キリストの憐れみを求めて、神の愛のうちに留まりなさい。

神の愛に忠実を保ち、永遠の命を与えてくれるイエス・キリストの憐れみを期待してください。

1. 永遠の命に対するイエス・キリストの憐れみ

2. 神の愛の中に自分を保つ

1. ヨハネ 3:16、「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」

2. 詩篇 136:26、「天の神に感謝せよ。その変わらぬ愛は永遠に続く。」

ユダ 1:22 また、思いやりを持って変化をもたらす人もいます。

ジュードはクリスチャンに思いやりを示し、他の人の生活に変化をもたらすよう勧めています。

1. 思いやりの力: 他人の生活にどのように変化をもたらすことができるか

2. 神の愛の実践: 日常生活の中で思いやりを生きる

1. マタイ 22:37-40: 心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2. ガラテヤ 6:1-2: 互いに重荷を担いなさい、そうすればキリストの律法を全うできるのです。

Jude 1:23 また、火の中から引き上げて恐れを抱いて救う者もいる。肉がついた衣服さえも憎む。

ジュードは信者たちに、たとえ罪に汚れていたとしても、恐れと愛から危険にさらされている人を救うよう勧めます。

1. 「愛への呼びかけ: 火事から他人を救う」

2.「裁かないで 罪に染まった者を救い出す」

1. ローマ 5:8 - 「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

2. ルカ 6:37 - 「裁いてはなりません。そうすれば、あなたは裁かれません。罪に定めないでください。そうすれば、罪に定められることはありません。赦してください。そうすれば、あなたは赦されます。」

Jude 1:24 さて、あなたがたを堕落から守り、非のないあなたをご自分の栄光の御前に、この上ない喜びをもって差し出すことができる方に、

神は私たちを堕落から守り、神の栄光の御前に喜びを持って私たちを非の打ちどころのない状態で示すことができます。

1. 神の臨在の中で喜びを経験する

2. 神の加護のもとに留まる

1. ヘブライ 2:18 - 「ご自身も苦しみ、誘惑されたのですから、誘惑されている人たちを助けることがおできになるのです。」

2. ヨハネ第一 5:4 - 「神から生まれたものはすべて、世に勝つからです。そしてこれが世界を克服した勝利、つまり私たちの信仰なのです。」

ユダ 1:25 私たちの救い主である唯一の賢明な神に、今も永遠にも栄光と威厳、支配と力がありますように。アーメン。

この一節は神を唯一の賢明で力強い救い主として讃えています。

1: 私たちの救い主としての神の力

2: 唯一の賢明な神

1: イザヤ書 40:28 - 「知らないのか。聞いたことはありませんか？主は永遠の神、地の果ての創造者です。彼は疲れたり疲れたりすることはなく、彼の理解力は誰も理解できません。」

2: 詩篇 147:5 - 「私たちの主は偉大であり、力は強力です。彼の理解には限界がありません。」

黙示録 1 章は、使徒ヨハネによって書かれた黙示録の最初の章です。この章は本全体の舞台を設定し、神の啓示、キリストの栄光と権威、7 つの教会へのメッセー ジなどのテーマに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、ヨハネが自分自身を著者であることを明らかにし、イエス・キリストからこの啓示を受けたことを述べる序文で始まります (黙示録 1:1)。彼は小アジアの7つの教会に宛てて手紙を書き(黙示録1:4)、神からの恵みと平和の挨拶を述べています。次にヨハネは、主の日に見た幻の説明を続けます。そこで彼は、栄光の中にあるイエス・キリストを見たということです（黙示録 1:9-18）。その描写には、人の子のようなキリストの姿、火の炎のような目、激流のような声、右手に七つの星を持っているなどの詳細が含まれています。

第 2 段落: 17 ～ 20 節では、死に対するキリストの権威とヨハネへのキリストのメッセージが強調されています。ヨハネはこの畏怖の念を抱かせるイエスの幻を見たとき、死んだかのようにイエスの足もとにひれ伏します。しかし、イエスは、ご自分は永遠に生きており、死と冥府の鍵を持っていると言って彼を安心させます

(黙示録1:17-18)。次にイエスはヨハネに、自分が見たこと、現在起こっていること、そして将来起こることを書き留めるように命じます（黙示録 1:19）。イエスはまた、7つの星のそれぞれが各教会の天使または使者を表し、7つの燭台がそれらの教会そのものを象徴していることも明らかにされました(黙示録1:2 0)。

第 3 段落: 12 節以降、この章の終わりまで、ヨハネはこれら 7 つの教会のそれぞれについての具体的なメッセージを受け取ります。彼は、彼らの長所に対する賞賛と欠点に対する叱責の両方を、自分が見たものを書き留めます。これらのメッセージには教会に対する勧告、警告、約束が含まれており、教会が直面する課題にどのように対応すべきかについての指針を提供します（黙示録 1:20-3:22）。この章は、御霊が諸教会に語ることを聞くようにという呼びかけと、勝利する者たちへの祝福の保証で終わります（黙示録 2:7、11、17、26; 3:5、12、21）。

要約すると、黙示録の第 1 章はこの本の導入部として機能します。それは、ヨハネが著者であることを確認し、彼の栄光の中にあるイエス・キリストのビジョンを明らかにすることから始まります。この章では、死とハデスに対するキリストの権威と、キリストがヨハネに見たことを書き留めるように命じられたことが強調されています。また、小アジアの 7つの教会を紹介し、各教会特有のメッセージも掲載しています。この章は、御霊の言葉に耳を傾けるよう呼びかけ、勝利する人々に祝福を約束することで終わります。

黙示録 1:1 イエス・キリストの啓示。神は、間もなく起こることをその僕たちに示すために彼に与えた。そして彼は、天使によってそれをしもべヨハネに送り、それを表わした。

イエス・キリストの啓示は、間もなく起こる出来事を彼の僕たちに示すために神によって彼に与えられました。それは天使によってヨハネに伝えられました。

1. 神が支配しておられる: イエス・キリストの啓示を振り返る

2. 神の言葉を聞く: イエス・キリストの啓示を考える

1. エペソ人への手紙 3:3-5 - イエス・キリストの啓示が御霊によってどのように使徒と預言者に知らされたか

2. ヘブライ 1:1-3 - イエスがどのようにして万物の相続者に任命され、神を通して宇宙を創造されたのか。

黙示録 1:2 神の言葉、イエス・キリストの証、そしてイエスが見たすべてのことを記録した人。

この箇所は、イエス・キリストの証しと、イエスが見た神の言葉について語ります。

1: イエスは真理と導きの究極の源です。

2: 神の言葉はイエス・キリストの証しを通して明らかにされます。

1: ヨハネ 14:6 - イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。私を通してでなければ、誰も父のもとに来ません。

2: イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉もそのようになるでしょう。それは空になって私に戻ってくることはなく、私の目的を達成し、私がそれを送った目的を達成するでしょう。

黙示録 1:3 この預言の言葉を読む人、およびこの預言の言葉を聞いてそこに書かれていることを守る人は幸いです。時は近づいているからです。

黙示録は、読者と聴衆にその言葉に従うよう求めています。

1. 神の言葉を受け入れる: 啓示はどのように私たちに生き方を教えているか

2. 終わりの時代に生きる: 主の再臨を理解し、それに備える

1. マタイ 24:44 - 「ですから、あなたがたも備えていなければなりません。人の子は予期せぬ時に来るからです。」

2. テモテ第二 3:16-17 - 「聖書はすべて神によって吹き出されたものであり、神の人が完全であり、あらゆる善い業に備えることができるように、教え、戒め、矯正し、義を訓練するのに有益です。」

ヨハネの黙示録 1:4 アジアにある 7 つの教会へのヨハネよ、あなたがたに恵みと平和が、今ある方、かつてあった方、これから来る方から与えられますように。そして彼の玉座の前にある7つの精霊から。

ヨハネはアジアの7つの教会に神と7つの御霊からの恵みと平和を迎えます。

1. 私たちの生活における恵みと平和の重要性

2. 神の七つの御霊が私たちの生活の中でどのように働くか

1. エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたは恵みによって、信仰を通して救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の贈り物です。

2. イザヤ 11:2-3 - そして、主の霊、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊が彼の上にとどまる。

黙示録 1:5 また、忠実な証人であり、死者の中から最初に生まれた方であり、地上の王たちの君であるイエス・キリストから。私たちを愛し、ご自身の血で私たちの罪を洗い流してくださった方に、

この箇所は、忠実な証人であり、最初に死者の中から生まれ、地上の王たちの君であり、私たちを愛し、ご自身の血で私たちの罪を洗ってくださったイエス・キリストについて語っています。

1: 「イエス、私たちの愛する救い主」- イエスは私たちのために死んで、ご自身の血で私たちの罪を洗い流し、私たちに対する深い愛を示してくださいました。

2: 「忠実な証人」- イエスは忠実な証人であり、死者の中から最初に生まれた者であり、地上の王たちの王子です。彼はいつも忠実で信頼できる人です。

1: ヘブライ 10:19-22、「ですから、兄弟たち、私たちはイエスの血によって、つまりイエスがカーテンを通して、つまりイエスの肉を通して私たちのために開いてくださった新しい生きた道によって、聖所に入ることができると確信しています。」「そして、わたしたちには神の家を統べる偉大な祭司がいるのですから、悪い良心を振り払って心を清め、体を清い水で洗いながら、信仰を完全に確信して真の心をもって近づこうではありませんか。」

2:1 ヨハネ 1:7、「しかし、イエスが光の中におられるように、私たちも光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血は私たちをすべての罪から清めてくださいます。」

黙示録 1:6 そして、私たちを神とその父の前の王また祭司とされました。彼に栄光と支配が世々限りなくありますように。アーメン。

神は私たちを王と祭司にして、神と御父に仕えるようにしてくださいました。

1. 神に仕えることの尊厳

2. 王の神権を喜ぶ

1. ペテロ第一2:5-9

2. イザヤ書61:6

黙示録 1:7 見よ、彼は雲に乗って来る。そしてすべての目は彼を見るだろう、そして彼を刺した者たちもまた彼を見るだろう：そして地球上のすべての同族は彼のために嘆くだろう。それにしても、アーメン。

黙示録は、イエスが再臨されるとき、すべての目がイエスを見、地上のすべての人々が悲しむことを明らかにしています。

1. イエスの再臨: 世界の希望

2. イエスを見る：これが私たちの人生にとって何を意味するか

1. イザヤ書 40:10-11 - 「見よ、主なる神が強い手をもって来られ、その腕が彼のために支配される。見よ、彼の報酬は彼とともにあり、彼の働きは彼の前にある。彼は自分の群れを同じように養うだろう」羊飼い：腕で子羊を集めて胸に抱き、子羊たちを優しく導く。」

2. イザヤ書 25:9 - 「その日にはこう言われるだろう、見よ、これは私たちの神だ。私たちは彼を待ち望んでいた。そして彼は私たちを救ってくれるだろう。これが主だ。私たちは彼を待ち望んでいた、私たちは救われるだろう」彼の救いを嬉しく思い、喜びなさい。」

黙示録 1:8 わたしはアルファでありオメガであり、始まりであり終わりである、と全能者である主は言われます。

主は始まりであり終わりであり、アルファでありオメガです。

1: 神は永遠であり、全能であり、不変です。

2: 私たちの周りの世界は常に変化していますが、神は揺るぎない唯一のお方です。

1: マラキ書 3:6 「わたしは主だから、わたしは変わらない。それゆえ、ヤコブの息子たちよ、あなた方は滅ぼされないのです。」

2: ヘブライ 13:8 「イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に変わらない。」

黙示録 1:9 わたしヨハネは、あなたの兄弟であり、患難の友であり、イエス・キリストの御国と忍耐の同胞でもありますが、神の言葉とイエス・キリストの証しのために、パトモスと呼ばれる島にいました。。

ヨハネ第一世はパトモス島に流刑になり、そこで神の言葉とイエス・キリストの証しを記した黙示録を書くことができました。

1. 艱難時代における忠実の力

2. 神の愛の不変の性質

1. ヤコブ 1:2-4 - 兄弟たち、さまざまな試練に遭遇するとき、それはすべて喜びであると考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことを知っているからです。そして、忍耐がその完璧な結果をもたらし、あなたが何一つ欠けることのない完璧で完全な者となるようにしましょう。

・キリストの死者の中からの復活を通して、私たちを生ける希望へと生まれ変わらせてくださいました。朽ちず、汚れず、消え去ることのない相続財産を手に入れてください。それは、終わりの時に明らかにされる救いのために、信仰を通して神の力によって守られているあなた方のために天に取っておかれています。

黙示録 1:10 主の日、私は御霊の中にいて、後ろからラッパのような大きな声を聞きました。

私は主の日に神からビジョンを与えられました。

1. 主の日: 神とともに歩むことを学ぶ

2. 神の声: 神の呼びかけを聞く方法

1. 使徒 2:1-4 - 聖霊が降ったとき、吹き荒れる強い風の音と火の舌が現れました。

2. エゼキエル 1:4-14 - 火の渦に囲まれた神のエゼキエルの幻視。

黙示録 1:11 「わたしはアルファでありオメガであり、最初であり最後の者である。そして、あなたが見たものを本に書いて、アジアにある七つの教会に送りなさい。」と言いなさい。エフェソスへ、スミルナへ、ペルガモスへ、ティアティラへ、サルディスへ、フィラデルフィアへ、そしてラオデキアへ。

神はジョンに、示されたことを書き留めてアジアの7つの教会に送るように指示しました。

1. 神の命令に従うことの重要性。

2. 神の言葉の力。

1. 申命記 30:11-14 - 私が今日あなたに命じるこの戒めは、あなたから隠されておらず、遠く離れたものでもありません。

2. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

黙示録 1:12 そこで私は振り返って、私に話しかける声を見ました。そして振り向くと、7つの金の燭台が見えました。

ヨハネは神の声と7つの金の燭台を見た。

1: 私たちは神の声を聞く可能性に対して常にオープンであり、神が私たちに必要な霊的な導きを与えてくださると信頼しなければなりません。

2: 7 つの黄金の燭台は黙示録の 7 つの教会を表し、私たちの生活における強力な精神的基盤とサポートの必要性を思い出させます。

1: マタイ 7:7-8、「求めなさい、そうすれば与えられます。捜しなさい、そうすれば見つかります。門をたたきなさい、そうすれば開かれます。求める者はみな受けます。捜す者は見つけます。そして、求めなさい。そうすれば開けられます。」ノックする者には開かれるであろう。」

2: 詩篇 145:18、「主はご自分を呼び求めるすべての人に、真実に呼び求めるすべての人に近くにおられます。」

黙示録 1:13 そして、七つの燭台の真ん中には人の子に似た者がおり、足まで着物を着ており、乳房の周りに金の帯を締めています。

ヨハネは7つの燭台の真ん中に人の子のような人物を見る。彼は足まで衣服を着ており、胸には金色の帯を締めています。

1. キリストの性格に倣う: 黙示録 1:13 からの教訓

2. 神の神聖さの色褪せない美しさ: 黙示録の研究 1:13

1. マタイ 5:16 - 「あなたの光を人々の前で輝かせてください。そうすれば、人々はあなたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめることができます。」

2. ペテロ第一 2:9 「しかし、あなたがたは選ばれた世代であり、王の祭司職であり、聖なる国民であり、特異な民である。それは、あなたがたを暗闇からその驚くべき光の中に召してくださった方への賛美を表わすべきである。」

黙示録 1:14 彼の頭と髪は羊毛のように白く、雪のように白かった。そして彼の目は炎のようだった。

ヨハネの黙示録 1 章におけるイエスの幻は、キリストが白い髪と炎のような目をした神聖な人物であることを明らかにしています。

1: 私たちの主であり救い主であるイエス・キリストは、超越的な存在を持つ神聖な人物です。

2: キリストの神性は黙示録 1 章で、白い髪と燃えるような目で明らかにされています。

1: イザヤ書 1:18 - 「さあ、一緒に論じましょう、と主は言われる、たとえあなたの罪が緋のようでも、それは雪のように白くなるでしょう。」

2: ダニエル 7:9 - 「私が見ていると、玉座が置かれ、日の老いた者がその席に着いた。彼の衣は雪のように白く、頭の毛は純毛のようだった。」

黙示録 1:15 その足は、かまどで焼かれたように、立派な真鍮のようでした。そして彼の声は多くの水の音のようでした。

ヨハネは、燃える真鍮のような足と多くの水の音のような声を持つイエスの幻を見ました。

1. イエスの揺るぎない強さ

2. イエスの雄大な声

1. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたとともにいます。川を通って、水があなたに溢れ出ることはありません。あなたが火の中を歩くとき、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたに燃え上がることもありません。

2. ダニエル 3:25 - 彼は答えて言いました。「見よ、四人の男が火の中を解き放されて歩いているのが見えるが、彼らには怪我はない。そして四番目の姿は神の子に似ています。

黙示録 1:16 彼は右手に七つの星を持ち、口からは鋭い両刃の剣が出ており、その顔は太陽のように力強く輝いていた。

ヨハネは、右手に七つの星を持ち、口から両刃の剣が出ている人物を見て、その顔は太陽のように全力で輝いています。

1. イエスの輝く光: 黙示録 1:16 の考察

2. 主の力: 黙示録 1:16 は主の力をどのように示しているか

1. エペソ人への手紙 6:10-18 - 神の武具

2. 黙示録 19:11-16 - 力と栄光を帯びたイエスの再臨

黙示録 1:17 そして、彼を見たとき、私は死んだように彼の足もとにひれ伏しました。そして彼は右手を私の上に置き、「恐れるな。」と言った。私が最初で最後です:

ジョンは幻の中に人影を見て恐れて足元にひれ伏しましたが、その人影は「恐れるな。私が最初で最後だ」と言って彼を慰めました。

1. 神は常に臨在し、恐怖の時に慰めを与えてくださいます。

2. 私たちは主の力と主権を信頼できます。

1. 詩篇 46:1-2 - 「神は私たちの避け所であり、力であり、困難の中に常に存在する助けです。ですから、たとえ地が崩れ、山が海の中心に落ちても、私たちは恐れることはありません。」

2. イザヤ書 41:10 - 「だから、恐れるな。わたしはあなたとともにいるから。狼狽することはない。わたしはあなたの神だから。わたしはあなたを力づけ、助けよう。わたしの義の右の手であなたを支える。」

黙示録 1:18 生きている者も死んだ者もわたしです。そして見よ、私は永遠に生きている、アーメン。そして地獄と死の鍵を持っています。

イエス・キリストは生きておられ、生と死を司る力を持っておられます。

1. イエス・キリストの力

2. イエス・キリスト: 永遠の命への鍵

1. ヨハネ 10:17-18、「このような理由で、父は私を愛してくださいます。私が自分の命を捨てたのは、再びそれを取り戻すためです。誰も私からそれを取り上げませんが、私は自分の意志でそれを捨てました。」

2. ヘブル人への手紙 2:14-15、「ですから、子らは血と肉を分かち合っているのですから、彼自身も同様に同じものにあずかりました。それは、死の力を持つ者、つまり悪魔を死によって滅ぼすためでした。そして死の恐怖によって生涯奴隷にされたすべての人々を救い出します。」

黙示録 1:19 あなたが見たこと、今あること、これから起こることを書きなさい。

ジョンは、見たこと、現在あること、そしてこれから起こることを書き留めるように指示されています。

1. 物事を書き留めることの重要性: 経験を記録することがどのように私たちの成長に役立つのか

2. 未来の希望: まだ来るべきことに対する信仰が、どのように私たちが耐え忍ぶのに役立つか

1. 詩篇 37:25 - 「私は若かったが、今は年をとった。しかし、私は義人が見捨てられるのを見たことがないし、その子孫がパンを乞うのも見たことがない。」

2. ルカ 21:25-28 - 「そして、太陽にも、月にも、星にもしるしがあるでしょう。そして地上では諸国民が困惑しながら苦悩している。海と波の轟音。人々の心は恐れのため、また地上に起こる事柄に気を配ることができなくなります。天の力が揺るがされるからです。そして彼らは、人の子が力と偉大な栄光を持って雲に乗って来るのを見るであろう。そして、これらのことが実現し始めたら、顔を上げて頭を上げてください。あなたの救いが近づいているからです。」

黙示録 1:20 あなたが私の右手に見た七つの星と、七つの金の燭台の神秘。七つの星は七つの教会の天使であり、あなたが見た七つの燭台は七つの教会です。

7 つの星と 7 つの金の燭台は 7 つの教会を表しています。

1. 教会に対する神の保護と導き

2. 世界における教会の使命

1. エペソ人への手紙 3:10-11 - 神のさまざまな知恵が教会によって天上の諸侯と権力に知られるようになるためです。

2. 使徒 2:42 - そして彼らは、使徒の教義と交わり、パンを裂く祈りを毅然として続けました。

黙示録 2 は黙示録の第 2 章であり、7 つの教会へのメッセージが続きます。この章では、これらの教会のうち、エフェソス、スミルナ、ペルガモン、ティアティラの 4 つの教会に宛てられた具体的なメッセージに焦点を当てます。

第 1 段落: この章はエフェソスの教会へのメッセージから始まります。イエスは彼らの働き、労働、忍耐を称賛しますが、初恋を捨てたことを叱責されます(黙示録 2:1-4)。主は彼らに、主に対する最初の愛を思い出し、今の状態から悔い改めなければ、燭台の撤去に直面するよう勧めています(黙示録2:5)。

第 2 段落: 次のメッセージはスミルナの教会に向けられています。イエスは彼らの艱難と貧困を認めますが、彼らが霊的に豊かであることを保証します(黙示録2: 8-9)。イエスは彼らに、たとえ死に至るまで忠実であったなら、命の冠を受けるであろうから、迫害や投獄を恐れないようにと励ましています(黙示録2:10)。

第 3 段落: 以下のメッセージはペルガモンとテアティラに向けたものです。イエスはペルガモンに対して、教会内の誤った教えについての懸念を述べ、特にバラムの教えにしがみついて性的不道徳に従事する人々について言及しました（黙示録 2:14-15）。彼らが悔い改めない限り、神は来て、御言葉をもって彼らと戦うだろうと警告しています(黙示録2:16)。テアティラに関して、イエスは彼らの愛の業を称賛しますが、ご自分の僕たちを性的不道徳と偶像崇拝に導くイゼベルという偽預言者を容認しているとして彼らを叱責されます(黙示録2:19-20)。彼らがこれらの習慣から悔い改めない限り、深刻な結果が生じるだろうと彼は警告しています（黙示録 2:21-23）。

要約すると、黙示録の第 2 章には、7 つの教会のうち 4 つへの具体的なメッセージが含まれています。イエスはエフェソスの教会の働きを賞賛しながらも、初恋に立ち返るよう勧められました。彼は迫害に直面しているスミルナの教会に忠実を保つよう励まし、命の冠を約束します。イエスはペルガモンとテアティラの教会内での誤った教えと不道徳な行為についての懸念に言及し、彼らが悔い改めなければ結果を招くと警告しました。これらのメッセージは称賛と叱責の両方を強調し、教会内の忠実さと義の重要性を強調しています。

黙示録 2:1 エフェソス教会の天使にこう書きなさい。右手に七つの星を持ち、七つの金の燭台の真ん中を歩く者はこう言う。

キリストは7つの金のろうそくの間を歩き、右手に7つの星を持っています。

1. キリストの光: キリストの臨在の中を歩む

2. キリストの光に従う: キリストの約束を堅持する

クロス-

1. マタイ 5:14-16 - 「あなたは世の光です。丘の上に建てられた町を隠すことはできません。また、人々はともしびに火をつけたり、それを鉢の下に置いたりしません。代わりに、それを台の上に置き、「それは家の中の皆に光を与えます。同じように、あなたの光を他の人たちの前で輝かせてください。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天の父に栄光を帰すことができます。」

2. フィリピ 4:19 - 「私の神は、キリスト・イエスにおけるご自身の栄光の富に応じて、あなたの必要をすべて満たしてくださいます。」

黙示録 2:2 わたしは、あなたの行い、あなたの労苦、忍耐を知っています。そして、あなたがどのようにして悪に耐えられないのかを知っています。そして、あなたは使徒であると主張する者たちを試し、そうでない者たちを試し、彼らが嘘つきであることを突き止めました。

この一節は、人々の働き、労働、忍耐についての神の知識と、善悪を見分ける能力について語っています。

1. 識別と導きを求めて主を信頼することの重要性。

2. 神との霊的な歩みにおける忍耐と勤勉の力。

1. 箴言 3:5-6 心から主を信頼し、自分の理解力に頼ってはならない。あらゆる面で神を認めなさい。そうすれば神はあなたの道をまっすぐにしてくれるでしょう。

2. ヤコブ 1:2-4 兄弟たち、さまざまな種類の試練に遭ったとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、何一つ欠けることのない完璧で完璧な者となるために、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。

黙示録 2:3 そして、耐え、忍耐し、私の名のために苦労し、気を失うことはありませんでした。

この箇所は、気を失うことなく神の名のために忍耐し、忍耐し、努力することの重要性を強調しています。

1. 神に従う忍耐と忍耐の強さ

2. 神に仕える忠実さの力

1. コリント人への第二の手紙 4:7-9 - 「しかし、私たちはこの宝を土の器の中に入れています。それは、その優れた力が私たちから出たものではなく、神から出たものであるためです。私たちはあらゆる面で悩んでいますが、それでも悩んでいません。私たちは当惑しています。」、しかし絶望していない; 迫害されているが見捨てられていない; 打ち倒されているが破壊されていない。」

2. ガラテヤ 6:9 - 「善行に疲れないようにしましょう。私たちが失神しなければ、時が来れば刈り取ることができるからです。」

黙示録 2:4 それにもかかわらず、あなたは初恋の人を去ったので、私はあなたに多少反対しています。

エフェソスの教会が初恋の人を捨てたので、神は彼らに対して何かを持っています。

1. 神への情熱を再燃させる

2. 初恋に戻る

1. ホセア書 6:4 - 「エフライムよ、わたしはあなたに何をしましょうか。ユダよ、わたしはあなたに何をしましょうか。あなたの慈しみは朝の雲のようであり、朝露のように消え去るからです。」

2. エレミヤ 31:3 - 「主は昔、わたしに現れて言われた、『ああ、わたしは永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、わたしは慈しみをもってあなたを引き寄せた。』

黙示録 2:5 それゆえ、自分がどこから堕落したのかを思い出し、悔い改めて最初の行いをしなさい。さもなければ、あなたが悔い改めない限り、私はすぐにあなたのところに行き、あなたの燭台を彼の場所から取り除きます。

神は信者たちに、自分たちがどこから来たのかを思い出し、悔い改めるように警告しています。さもなければ、神は彼らをその場所から追い出すでしょう。

1. 悔い改めるか滅びるか - 悔い改めの必要性に改めて焦点を当てる

2. 悔い改めの必要性 - 信仰の基本を無視しないこと

1. ルカ 13:3 - 「言っておくが、そうではない。しかし、悔い改めない限り、あなたがたはみな同じように滅びるであろう。」

2. エゼキエル 18:30-32 - 「それゆえ、イスラエルの家よ、わたしはあなたを裁くであろう。すべての人はその道に従って、と主なる神は言われる。」罪を犯し、あなたのすべての罪から立ち返れ。「あなたの破滅にならないでください。あなたが犯したすべての罪をあなたから捨て去り、新しい心と新しい精神を取り戻してください。イスラエルの家よ、なぜあなたは死ぬ必要がありますか？私は人の死を喜ばないからです」死ぬ、??主なる神は仰せられる。

黙示録 2:6 しかし、あなたはニコライ人の行いを憎んでいるのです。私もそれを憎んでいます。

神はエフェソスの教会がニコライ派の行為を憎んでいることを賞賛されますが、神もまたニコライ派を憎んでいます。

1. 誤った教えに従うことの危険性

2. 教会に対する神の愛

1. マタイ 7:15-20 (文脈: 偽預言者に気をつけなさい)

2. ヨハネ第一 4:7-10 (文脈: 私たちと神の子供たちに対する神の愛)

黙示録 2:7 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利する者に、私は神の楽園の真ん中にある命の木の実を食べさせよう。

黙示録 2 章 7 節を通して、神は御霊の言うことに耳を傾けるよう教会に勧め、勝利した者には神の楽園にある命の木へのアクセスが与えられます。

1. 乗り越える力：信仰を通じて天国に到達する

2. 御霊の声に耳を傾ける：忠実な生活における識別力

1. ローマ人への手紙 8:37 - 「いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて、私たちは勝利者以上の存在です。」

2. ヨハネ 15:5 - 「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝です。わたしにつながっている者、そしてわたしもその人につながっており、同じように多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからです。」

黙示録 2:8 スミルナの教会の天使にこう書きなさい。これらのことは、最初と最後、死んでいた人、そして生きている人を言います。

黙示録のこの節は、神が始まりであり終わりであり、神が死を征服されたことを強調しています。

1. 計り知れない神の力：神の主権の深さを探る

2. 究極の勝利: 死に対する生の勝利を祝う

1. コリント人への第一の手紙 15:54-57 - そこで彼は、あらゆる知恵と思慮深さで私たちに満ちあふれてくださいました。

2. 詩篇 136:1-3 - 主に感謝します。なぜなら、彼は善良だからです。彼の慈悲は永遠に続くからです。

黙示録 2:9 わたしはあなたの業と艱難と貧困を知っています（しかしあなたは金持ちです）。また、自分たちはユダヤ人であるのにユダヤ人ではなく、サタンの会堂であると言う彼らの冒涜も知っています。

神はたとえ信仰が豊かであっても、艱難と貧困に苦しむ人々の業をご存じです。彼はまた、ユダヤ人であると主張しながら、実際にはサタンの会堂の一員である人々の冒涜を知っています。

1. 神は私たちの困難をご存じです: 黙示録 2:9

2. 偽りの忠誠の危険: 黙示録 2:9

1. マタイ 6:19-21 - 地上ではなく天に宝を蓄えなさい。

2. ヨハネ 8:31-32 - 真理を知り、そこにとどまりなさい。

黙示録 2:10 あなたが受けるであろうどんなことも恐れないでください。見よ、悪魔はあなたがたを裁判にかけるため、あなたがたのうちの何人かを牢獄に投げ込むでしょう。そして、あなたがたは十日間艱難を受けるだろう。死ぬまで忠実であれ、そうすれば私はあなたに命の冠を与えよう。

クリスチャンは苦しみを恐れるべきではありません。死に至るまで忠実であり続ければ、神は彼らに永遠の命を与えてくださるからです。

1. 苦しみにもかかわらず信仰を貫く

2. 忠実な弟子に対する永遠の命の報い

1. ヤコブ 1:12 - 試練を受けても毅然とした態度を保つ人は幸いです。その人は試練に耐えたとき、神が自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2. ローマ人への手紙 8:17 - そして子供なら相続人になるのでしょうか？神の御子であり、キリストとの仲間の相続人であるなら、私たちもキリストと共に栄光を受けるために、キリストと共に苦しみなさい。

黙示録 2:11 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利した者は第二の死で傷つくことはない。

聖霊は教会に語りかけ、勝利する者は第二の死によって害を受けることはないと告げます。

1. イエスへの信仰によって第二の死を克服する

2. 克服する力: 克服者になる

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 8:37-39 - いや、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も、生も、天使も、支配者も、権力も、今あるものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のどんな生き物も、私たちを愛から引き離すことはできないと私は確信している

からです。それは私たちの主キリスト・イエスのうちにある神のものです。

黙示録 2:12 ペルガモスの教会の天使にこう書きなさい。両刃の鋭い剣を持つ者はこう言う。

イエスはペルガモスの教会の天使に語り、自分は鋭い両刃の剣を持っていると宣言しました。

1. イエス・キリストの力: 彼の権威を理解する

2. 主の剣: 聖書におけるその意義

1. ヘブライ人への手紙 4:12 - 「神の言葉は生きていて活動しており、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を突き刺し、人々の考えと意図を識別します。心臓。"

2. エペソ人への手紙 6:17 - 「そして、救いのかぶとと、神の言葉である御霊の剣を取りなさい。」

黙示録 2:13 わたしはあなたの業と、あなたがどこに住んでいるか、サタンの座がどこにあるかさえ知っています。そして、あなたはわたしの名を堅く守り、アンティパスがあなたたちの間で殺されたわたしの忠実な殉教者であったあの時代でさえ、わたしの信仰を否定しませんでした。、サタンが住んでいる場所。

イエスは、忠実な殉教者アンティパスが殺害された困難な時期にあっても信仰を否定しなかったペルガモスの教会の働きを認められました。

1. 信仰にしっかりと立つ

2. 信仰をもって反対を克服する

1. エペソ人への手紙 6:10-18、主とその偉大な力において強くありなさい。

2. ペテロ第一 5:8-9、目を覚まし、冷静な心を持ちなさい。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのように、食いつくべき者を探して歩き回っています。

黙示録 2:14 しかし、私はあなたに対していくつかのことを言います。あなたはバラムの教義を信じる者たちを持っているからです。バラムはバラクに、イスラエルの子らの前につまずきを投げ、偶像に捧げられたものを食べ、淫行をするように教えました。

主はペルガモス教会に対し、バラムの教えに従う人々が偶像に捧げられた食べ物を食べたり、不道徳を犯したりするよう人々を誘導することを許可しているため、いくつかの苦情を述べておられます。

1. 神の基準: 自分自身を聖く保つ

2. 誤った教えの危険性

1. コリント第一 10:20-21 - 「いいえ、私が言いたいのは、異教徒が捧げるものは神ではなく悪霊に捧げられるということです。私はあなたがたに悪霊の参加者になってほしくないのです。あなたは主の杯とその杯を飲むことはできません」あなたは主の食卓と悪霊の食卓に加わることはできません。」

、結婚を禁じ、良心を焼き付けられた嘘つきたちの不誠実さによって、人を欺く霊や悪霊の教えに専念して信仰から離れる者が出てくるだろうと、はっきりと告げています」そして、真理を信じ、知っている人たちに感謝をもって受け入れられるように神が創造した食物を控えることを要求します。」

黙示録 2:15 わたしが憎むニコライ派の教義を信じる者たちも、あなたも同じことをしているのです。

神はニコライ派の教義を憎んでいます。

1. 神の憎しみ: それが私たちにとって何を意味するか

2. 誤った教義に従うことの危険性

1. 箴言 8:13 - 「主を畏れるのは悪を憎むことである。私は高慢と傲慢と邪悪な道とひねくれた口を憎む。」

2. マタイ 7:15-20 - 「偽預言者に気をつけなさい。羊に乗ってあなたたちのところに来る者たち。着飾っているが、内心は貪欲な狼だ。あなたたちはその実によって彼らだとわかるだろう。」

黙示録 2:16 悔い改めなさい。さもなければ、私はすぐにあなたのところに行き、私の口の剣で彼らと戦うでしょう。

悔い改めるか、神の裁きの結果に直面するか。

1: 悔い改めて神に立ち返る。

2: 神の口の剣。

1: エゼキエル 18:30-32 - 悔い改めて邪悪な道を離れて生きなさい。

2: ヘブライ 4:12-13 - 神の言葉の力は、どんな両刃の剣よりも鋭いです。

黙示録 2:17 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利する者に、私は隠されたマナを食べさせ、白い石を与え、その石には、それを受け取る者以外には誰も知らない新しい名前が書かれている。

聖霊は教会に語りかけ、克服するよう励まし、隠されたマナと新しい名前が書かれた白い石という報酬を約束します。

1. 「克服する方法: 黙示録 2:17 の約束に強さを見つける」

2. 「新しい名前の力: 黙示録 2:17 についての考察」

1. ヨハネ 6:31-35 - イエス??天からのマナの約束

2. イザヤ書 62:2 - 神が与えた新しい名前の約束

黙示録 2:18 テアティラの教会の天使にこう書きなさい。これらのことを神の御子は言います、その目は火の炎のようであり、その足は立派な真鍮のようです。

神の御子は、火の炎のような目と上質な真鍮のような足でティアティラの教会に語りかけます。

1. 目的と情熱を持って人生を生きる

2. 信仰を強く持つこと

1. ローマ 12:2 - そして、この世に適応するのではなく、神の善で受け入れられる完全な御心が何であるかを証明するために、心を新たにして変えられなさい。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足の灯であり、私の道の光です。

黙示録 2:19 私はあなたの行い、慈善、奉仕、信仰、あなたの忍耐、そしてあなたの働きを知っています。そして最後のものは最初のものよりも優れています。

神はクリスチャンの信仰、慈善、奉仕、忍耐、そして働きを認め、信仰を高め続けるよう励まされます。

1. 行いの力: 善い行いが信仰を強めるのにどのように役立つか

2. 信仰において成長する: 逆境に直面してもどうやって耐えるか

1. ヤコブ 2:14-17 - 「兄弟たち、もし誰かが自分には信仰があるが行いがないと言ったら、何の益があるのでしょうか。信仰がその人を救うことができます

か。兄弟や姉妹が裸で毎日の食べ物に欠けているとしたら、そして自分はあなたがたは彼らにこう言います、「安らかに別れなさい、暖かくなり、満たされなさい。」しかし、あなたは彼らに体に必要なものを与えないのに、それが何の益になるのでしょう。信仰がなければ、それ自体も信仰です。動作します、死んでいます。」

2. ローマ人への手紙 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことによって生じ、聞くことは神の言葉によって起こります。」

黙示録 2:20 それにもかかわらず、私はあなたに対していくつかのことを言います。なぜなら、あなたは、女預言者を自称するあの女イゼベルに、私のしもべたちに淫行を教えたり、誘惑したり、偶像に捧げられたものを食べさせたりするのを容認しているからです。

使徒ヨハネは、テアテラの教会に、不品行を犯し、偶像に捧げられたものを食べるよう教えて教会を迷わせている偽預言者イゼベルについて警告します。

1: 「誤った教えの危険性」

2: 「忠実な弟子の力」

1: マタイ 7:15-20 - 「偽預言者に気をつけなさい。羊に乗ってあなたがたのところに来る者たち。着ているのに、中身は貪欲な狼だ。あなたは彼らをその実で見分けられるだろう。ぶどうはいばらの茂みから集められるのか、いちじくはアザミから集められるのか。それで」、すべての健康な木は良い実を結びますが、病気の木は悪い実を結びます。健康な木が悪い実を結ぶことはできませんし、病気の木が良い実を結ぶこともできません。良い実を結ばない木はすべて切り倒されて火の中に投げ込まれます。そうすれば、あなたはその実によってそれらを認識できるでしょう。」

2: 1 ヨハネ 4:1-3 「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、その霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。多くの偽預言者が世に出て行ったからです。これによってあなたは神の霊を知ることができます。」: イエス・キリストが肉となって来られたと告白するすべての霊は神から出たものであり、イエスを告白しないすべての霊は神から出たものではありません。これは反キリストの霊であり、あなたがたが到来すると聞いていたものであり、今はすでにこの世にいます。」

黙示録 2:21 そして私は彼女に淫行を悔い改める余地を与えました。そして彼女は悔い改めませんでした。

この一節は、神が誰かに罪を悔い改める機会を与えたが、彼らはそうしなかったことを明らかにしています。

1: 私たちは神が与えてくださった悔い改めの機会を活用しなければなりません。

2: 悔い改めは重大な問題であり、軽視すべきではありません。

1: 箴言 28:13 - 「罪を隠す者は繁栄しないが、罪を告白して放棄する者は憐れみを受ける。」

2: ルカ 13:3 - 「言っておくが、そうではない。しかし、悔い改めなければ、あなた方も皆滅びるであろう。」

□□□ 2:22 □□□□

1. 神の慈しみ深い保護：主はどのようにご自分のことを気遣ってくださるのか

2. 神の愛と憐れみ：重荷を負わないという主の約束

1. 詩篇 55:22 ???あなたの重荷を主に負わせなさい、そうすれば主はあなたを支えてくださるでしょう。主は義人が動かされるのを決して耐えられません。

2. ヘブライ人への手紙 12:1-3 ???このようにして、私たちも大勢の証人たちに取り囲まれているのを見て、あらゆる重荷と、いとも簡単に私たちを襲う罪を脇に置き、イエスを仰ぎながら、目の前に設定されたレースを忍耐強く走ろうではありませんか。私たちの信仰の創始者であり完成者。この人は、自分の前に置かれた喜びのために、恥を軽んじて十字架に耐え、神の御座の右に据えられました。というのは、あなたがたが疲れ果てて気を失ってしまわないように、自分自身に対する罪人のそのような矛盾に耐えた彼のことを考えてください。

黙示録 2:25 しかし、あなたがたがすでに持っているものは、わたしが来るまでしっかりと保っています。

信者は、キリストが再臨されるまで、すでに持っている信仰にしがみつくように求められています。

1. 今この瞬間にキリストのために生きる

2. イエスの再臨まで信仰を貫く

1. ヘブライ人への手紙 10:35-36 ??したがって、自信を捨てないでください。それは大きな報いをもたらします。あなたには忍耐が必要なので、神の御心を行ったときに約束のものを受け取ることができるからです。

2. ローマ人への手紙 12:12 ???希望を持って喜び、苦難を耐え忍び、祈りを捧げます。

黙示録 2:26 そして、勝利し、私の業を最後まで守り続ける者に、私は諸国を治める権威を与えよう。

最後まで神の業に忠実であり続ける者は、国々を支配する権力を与えられるでしょう。

1. 逆境の克服：忠実さの報いを得る

2. 果敢に耐え忍ぶ：忍耐を通じて強さを得る

1. ローマ 8:37 - いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて私たちは征服者以上の存在です。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主に望みを持つ者は力を新たにします。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

黙示録 2:27 そして、彼は鉄の棒で彼らを支配するでしょう。陶器師の器が震えるほど壊れるのと同じように、私が父から受けたように。

イエスは、父から受けたように、鉄の棒で人々を支配し、鍋であるかのように人々を打ち砕きます。

1. 「イエスの規則: 私たちを壊し、形作る」

2. 「父の意志: イエスの支配への服従」

1. 詩篇 2:9 - あなたは鉄の棒でそれらを打ち砕き、陶器師のように粉々に打ち砕くでしょうか？船。

2. エペソ人への手紙 5:22-24 - 妻たちよ、主に対するのと同じように、自分の夫に従いなさい。なぜなら、キリストが教会の頭であり、その体であり、ご自身が教会の救い主であるのと同じように、夫は妻の頭だからです。さて、教会がキリストに従うように、妻もすべてにおいて夫に従うべきです。

黙示録 2:28 そして、わたしは彼に明けの明星を与えます。

神は世の誘惑に打ち勝つ者に明けの明星を与えると約束しています。

1. 明けの明星の約束: 黙示録の研究 2:28

2. 誘惑に打ち勝って神の祝福を得る

1. イザヤ書 14:12-14、サタンの堕落について説明

2. ピリピ人への手紙 2:9-11 では、イエスを明けの明星として描写しています。

黙示録 2:29 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。

黙示録 2 章 29 節では、信者は聖霊が教会に語られることに耳を傾けるよう勧められています。

1. 御霊の声を聞く力

2. 神の言葉に従うことの価値

1. ヤコブ 1:19-20 - ?さて、愛する兄弟たちよ、すべての人が早く聞くように、ゆっくり話すように、そしてゆっくり怒るようにしましょう。人間の怒りは神の義を生み出さないからです。

2. イザヤ書 55:3 - ?耳を傾けて私のところに来てください。聞いてください、あなたの魂が生きられるように。

黙示録 3 は黙示録の 3 章であり、7 つの教会へのメッセージが続きます。この章では、これらの教会のうち、サルディス、フィラデルフィア、ラオデキアの 3 つの教会に宛てられた特定のメッセージに焦点を当てます。

第 1 段落: この章はサルディスの教会へのメッセージから始まります。イエスは彼らが生きているという評判を認めていますが、彼らが霊的に死んでいると警告しています(黙示録3:1)。神は彼らに、残っているものを強め、自己満足から悔い改めるように勧めます。さもなければ、神は盗人のように彼らに襲いかかるでしょう（黙示録3:2-3）。

第 2 段落: 次のメッセージはフィラデルフィアの教会に向けられています。イエスは、力が限られているにもかかわらず彼らの忠実さを称賛し、誰も閉じることのできない扉を彼らのために開いてくださったと保証されます（黙示録 3:7-8）。神は、彼らが神の言葉を守り、神の名を否定しなかったので、全世界に訪れる試練の時から彼らを守ってくださると約束されました(黙示録3:10)。

第 3 段落: 最後のメッセージはラオデキアに対するものです。イエスはこの教会が温かくも冷たくもなく生ぬるいことを叱責し、もし彼らが悔い改めないなら彼らを御自分の口から吐き出すだろうと警告されました(黙示録3:15-16)。彼らが豊かで十分であると自己認識しているにもかかわらず、イエスは彼らの霊的な貧しさを暴露し、主から真の富を求めるよう彼らに勧告します（黙示録 3:17-18）。イエスは、ご自分の声を聞いた人々に、中に入って一緒に食事をするためにドアを開けるよう勧めます（黙示録 3:20）。

要約すると、黙示録の第 3 章には、7 つの教会のうち 3 つへの具体的なメッセージが含まれています。イエスはサルディスの霊的な死について語り、悔い改めを勧めます。フィラデルフィアに対して、主は忠実さを称賛し、来るべき試練からの保護を約束されました。ラオデキアでイエスは生ぬるさを叱責し、悔い改めを求め、真の霊的富を得る機会を提供されました。これらのメッセージは、神の承認と祝福を受けるために、真の信仰、自己満足からの悔い改め、義の熱心な追求の必要性を強調しています。

黙示録 3:1 サルデスの教会の天使にこう書きなさい。神の七つの霊と七つの星を持つ者はこう言う。私はあなたの作品を知っています、あなたは生きていて死んでいるという名前を持っています。

サルディスの教会の天使に呼びかけると、その天使には七つの神の霊と七つの星が宿っていることが明らかになります。サルディスの教会の作品が明らかになり、生きていることを暗示する名前が付けられているが、実際には死んでいることがわかります。

1. 死んだ信仰の危険性: 黙示録 3:1 を調べる

2. 人生を最大限に生きる: 黙示録 3:1 の考察

1. エレミヤ 29:13 - 「そして、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるとき、あなたがたはわたしを捜し求め、わたしを見つけるであろう。」

2. ヨハネ 10:10 - 「盗人は盗むため、殺すため、滅ぼすために来るのではありません。わたしが来たのは、彼らがいのちを得るため、そしてそれをより豊かに得るためです。」

黙示録 3:2 目を覚まして、今にも残っているもの、死のうせているものを強めなさい。わたしはあなたの行いが神の前で完全であるとは思っていないからである。

クリスチャンは用心深く、神の目から見て自分の業を完璧にするよう努めるべきです。

1. 信仰を強める：神の目に私たちの働きを完全なものとして見せるには

2. 常に警戒し続けるよう求める呼びかけ: なぜ信仰を強めるべきなのか

1. ヤコブ 4:17 - 「ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪なのです。」

2. ヨハネ第一 3:18 - 「子たちよ、言葉や舌で愛するのではなく、行いと真実によって愛しましょう。」

黙示録 3:3 それゆえ、あなたがどのように受け、聞いたかを思い出し、しっかりと持ち、悔い改めなさい。したがって、もしあなたが見ていないなら、私は泥棒としてあなたに襲いかかります、そしてあなたは私が何時にあなたに襲いかかるかわかりません。

黙示録 3 章 3 節の一節は、クリスチャンに、聞いた教えを思い出し、しっかりと守り、悔い改めるよう思い出させます。彼らはまた、もし見張っていなければイエスが泥棒のように来て、イエスがいつ来るのか分からなくなるだろうと警告されています。

1. 悔い改めの力: 悔い改めの人生を生きる方法

2. イエスの来臨: イエスの再臨の現実

1. ルカ 13:3 - 「悔い改めない限り、あなたがたはみな同じように滅びるでしょう。」

2. テサロニケ人への第一の手紙 5:2-3 「主の日が夜の盗人のように来ることは、あなたがた自身がよく知っているからです。人々は『平和で安全だ』と言っている間に、妊婦に陣痛が襲うように突然滅びが襲いかかり、逃げ出すことはできない。」

ヨハネの黙示録 3:4 あなたはサルディスにも、衣服を汚していない名前をいくつか持っています。そして彼らは白い服を着て私と一緒に歩くでしょう：彼らは価値があるからです。

サルディスの数少ない名前は忠実であり続け、永遠の命を与えられるでしょう。

1: 忠実を保ち、永遠の命を得る

2: 困難な時期を乗り越える

1: ローマ人への手紙 8:28 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを私たちは知っています。」

2: コロサイ 3:23 「あなたがたは何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。」

黙示録 3:5 勝利する者は白い衣を着なければならない。そして私は彼の名前を命の書から消し去るつもりはありませんが、私の父と彼の天使たちの前で彼の名前を告白します。

試練を乗り越えて忠実を保つ信者には白い衣が与えられ、神とその天使たちに認められるでしょう。

1. 忠実さの報酬 - たとえ不利な状況にもかかわらず、信者に白い服を着せるという神の約束を探ります。

2. 勝利を収めた人たち - 信者がどのようにして逆境にしっかり立ち向かい、神の祝福を受けることができるかを考察します。

1. マタイ 24:13 - 「しかし、最後まで堅く立つ者は救われます。」

2. コリント人への第二の手紙 5:10 - 「というのは、私たちは皆、キリストの裁きの座の前に出なければなりません。そうすれば、私たち一人一人が、善であれ悪であれ、肉体にいる間になされた事柄に対して、当然の報いを受けることができるからです。」

黙示録 3:6 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。

黙示録 3 章 6 節で、イエスは耳のある人々に、御霊が諸教会に告げていることを聞くよう勧めています。

1. 御霊の声を聞くことの大切さ

2. 教会で霊的な識別力を養う

1. 使徒 17:11 - さて、ベレア人はテサロニケ人よりも高貴な性格でした。なぜなら、彼らは非常に熱心に音信を受け取り、パウロの言っていることが真実かどうかを確認するために毎日聖書を調べたからです。

2. ヤコブ 1:19 - 親愛なる兄弟姉妹の皆さん、次のことに注意してください。誰もがすぐに聞き、ゆっくりと話し、ゆっくり怒るべきです。

黙示録 3:7 フィラデルフィアの教会の天使にこう書きなさい。聖なる者、真実な者、ダビデの鍵を持つ者、開く者、そして誰も閉じる者はいない、これらのことを言う。そして閉まってしまい、誰も開けません。

イエスはドアを開け閉めする力を持った方であり、フィラデルフィアの教会に語りかけます。

1.「扉を開ける鍵」

2.「私たちの生活における神の主権」

1. イザヤ書 22:22 - 「そして、ダビデの家の鍵を彼の肩に置きます。そうすれば、彼は開きますが、誰も閉めることはありません。そして、彼が閉めると、誰も開かないでしょう。」

2. コリント人への第二の手紙 5:17-20 - 「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去りました。見よ、新しいものが来ました。これらすべては神から出たものであり、神はキリストを通して私たちを和解させてくださいました。」すなわち、神はキリストにあって世界をご自分と和解させ、彼らに対する彼らの罪を考慮せず、和解のメッセージを私たちに託されました。それゆえ、私たちはキリストの大使であり、神はご自分の訴えを行っておられるのです。私たちを通して、キリストに代わって、あなたが神と和解してくださるよう祈ります。」

黙示録 3:8 わたしはあなたの業を知っています。見よ、わたしはあなたの前に開いた扉を設けましたが、誰もそれを閉めることはできません。あなたには少しの力があり、わたしの言葉を守り、わたしの名を否認しなかったからです。

この聖句は、神が私たちの前に開いてくださった扉と、私たちが神の言葉を守り、神の名を否定してはならない強さを強調しています。

1. 神の力に頼って困難を克服する

2. 開かれたチャンスの扉が私たちを待っています

1. ピリピ 4:13 - 「私を強めてくださる方によって、私は何でもできるのです。」

2. イザヤ書 43:19 - 「見よ、わたしは新しいことをしている。今それが湧き出ている。あなたはそれに気づかないのか。」

黙示録 3:9 見よ、わたしは、自分たちはユダヤ人であると言いながら、実際はそうではない、と偽っている者たちを、サタンの会堂に加える。見よ、わたしは彼らに来てあなたの足元に礼拝させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。

神は、ユダヤ人であると偽りながらユダヤ人ではない人々に裁きを下し、忠実な人々に対する神の愛を彼らに認識させます。

1. 神は忠実な者を裁く方です

2. 信仰を通して神の愛を認識する

1. ローマ人への手紙 2:28-29 - 外見上だけのユダヤ人は一人もいないし、外見的、肉体的な割礼も受けていないからです。しかし、ユダヤ人は内的には一人であり、割礼は文字によるものではなく、御霊による心の問題です。彼の賛美は人間からではなく神からのものです。

2. ヤコブ 2:14-17 - 兄弟たち、信仰はあるが行ないをする人がいるとしたら、それが何の役に立つでしょうか。その信仰が彼を救うことができるでしょうか？兄弟や姉妹が粗末な着衣を着ており、毎日の食べ物にも欠けているとき、あなたのどちらかが彼らに、体に必要なものを与えずに、「安らかに行きなさい。体を温めてお腹を満たしなさい」と言ったら、それが何の役に立つでしょうか。同様に、信仰自体も、行いがなければ死んだものである。

黙示録 3:10 あなたはわたしの忍耐の言葉を守ってくださったので、わたしも、地上に住む者たちを試みるために全世界に襲いかかる誘惑の時からあなたを守ります。

神は、ご自分の言葉を守る者たちを、世界に訪れる誘惑の時から守ってくださいます。

1. 神の言葉を守る: 誘惑に負けずに強くなりなさい

2. 信仰を貫きなさい: 困難な時期に神が守ってくださるという約束

1. ヤコブ 1:12-15 - 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。なぜなら、その人は試練に耐えた後、主がご自分を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。

2. コリント人への第一の手紙 10:13 - 人間によくある誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実な方であり、あなたが自分の能力を超えた誘惑にさらされることはありませんが、誘惑に対しては、あなたがそれに耐えることができるように、逃げ道も備えてくださいます。

黙示録 3:11 見よ、わたしは急いで来ます。だれもあなたの冠を奪わないように、あなたの持っているものをしっかりと持ちなさい。

イエスは、誰も私たちの王冠を奪うことのないように、忠実に従うよう私たちに警告しています。

1. 忠実の冠: イエスに忠実であり続けるにはどうすればよいか

2. 王冠を見失わないでください: イエスに集中し続ける

1. 1 コリント 9:25-27 - 試合に出場する人は皆、厳しい訓練を受けます。彼らは永続しない王冠を得るためにそれをしますが、私たちは永遠に続く王冠を得るためにそれを行います。

2. ヘブライ 3:12-14 - 兄弟姉妹の皆さん、生ける神から背を向ける罪深い不信仰な心を持っている人がいないように気をつけてください。しかし、「今日」と呼ばれる限り、毎日互いに励まし合い、あなたがたの誰も罪の欺瞞によってかたくなにならないようにしてください。私たちが最初の信念を最後までしっかりと持ち続けるなら、私たちはキリストにあずかるようになりました。

黙示録 3:12 勝利する者は、わたしの神の神殿に柱を建てます。そうすれば、彼はもう外に出ません。そして、わたしはその上に、わたしの神の名と、わたしの神の都市の名を書きます。それは新しいエルサレムであり、それは私の神のもとから天から下って来ます。そして私は彼に私の新しい名前を書きます。

勝利した者は神の神殿の柱となり、決して離れることはありません。彼らの名前は神の名と神の都市、つまり神から来る新しいエルサレムで書かれ、神の新しい名前も彼らの上に書かれます。

1. 神の約束: 神殿の柱になる

2. 克服と報い：神は私たちに御名を記してくださる

1. イザヤ書 28:16 - それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに石、試された石、堅く据えられた土台のための高価な礎石を置いている者である。それを信じる者は動揺しません。

2. ヨハネ 14:2-3 - 私の父の家にはたくさんの部屋があります。そうでなかったら、私はあなたに言っただろう。私はあなたのために場所を準備するためにそこに行きます。そして、私が行ってあなたのために場所を準備するなら、私は戻ってきて、あなたを私と一緒に連れて行き、あなたも私のいる場所にいるかもしれません。

黙示録 3:13 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。

イエスは教会に語りかけ、聖霊に耳を傾け、神の命令に従うように勧めます。

1.「従順に生きる：御霊の呼びかけに従う」

2.「御霊の言うことを聞く：神の御心を理解する」

1. ローマ人への手紙 8:14 - 「神の御霊に導かれる者は皆、神の子だからです。」

2. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、自分を欺き、ただ聞くだけでなく、御言葉を行う者になりなさい。もし誰かが御言葉を聞く者であって、行う者ではないとしたら、その人は自分の本性を熱心に見つめている人のようなものだからです」鏡に映る顔は自分自身を見て立ち去り、すぐに自分がどのようなものだったのか忘れてしまうからであるが、完璧な法、自由の法則を見つめ、耐え忍ぶ者は、忘れる聞く者ではなく、行動する実行者である。、彼はその行いにおいて祝福されるだろう。」

黙示録 3:14 ラオデキアの教会の天使にこう書きなさい。これらのことは、神の創造の始まりである、忠実で真実の証人であるアーメンは言います。

忠実で真実の証人であり創造の始まりである主が、ラオデキア教会の天使に語りかけます。

1.「主の忠実さ」

2.「創造の始まり」

1. ローマ人への手紙 3:3-4 - 「もし、信じない人がいたらどうなるでしょうか。彼らの不信仰によって、神の忠実さが無効になってしまうでしょうか。決してそうではありません。実際、神は真実であって、人はすべて嘘つきであるとしましょう。」

2. コロサイ 1:15-17 - 「彼は目に見えない神の似姿であり、すべての創造物の上に生まれた初子です。なぜなら、天にあるもの、地にあるもの、目に見えるもの、目に見えないもの、王座であれ支配権であれ、すべてのものは彼によって創造されたからです」」

黙示録 3:15 私はあなたの行いを知っています、あなたが寒くも暑くもないことを。私はあなたが寒かったり暑かったりしたいと思います。

主は人々の業をご存じですが、彼らが自分たちの信仰に完全に献身することを望んでおられます。

1: 主は私たちが完全に献身することを望んでいます

2: 暑いか寒いか - 主は私たちに選択を望んでいます

1: ヤコブ 4:17 - 「ですから、善を行うことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪なのです。」

2: マタイ 6:21 - 「あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。」

黙示録 3:16 それで、あなたは生ぬるいし、冷たくも熱くもないので、私はあなたを私の口から吐き出します。

神は信仰が生ぬるい人を拒絶します。

1. 生ぬるい信仰の危険性

2. 信仰における熱意の重要性

1. ヤコブ4:4-10

2. マタイ25:1-13

黙示録 3:17 あなたが言うのは、私は金持ちで、物が増えたので、何も必要としません。そしてあなたは惨めで、惨めで、貧しく、盲目で、裸であることを知りません。

この一節は、裕福で何も必要ないと思っている人々に対する神の警告を明らかにしています。

1: どんなに富を持っていても、神の裁きから救うことはできません。

2: 私たちが主ではなく富に信頼を置くなら、富は霊的な貧しさの一形態になる可能性があります。

1: テモテ第一 6:17-19 - 「この世で富んでいる人々に、うぬぼれたり、富の不確かさに希望を抱いたりするのではなく、楽しむべきすべてのものを私たちに豊かに与えてくださる神に頼るよう教えてください。良いことを行い、良い行いで豊かになり、寛大で喜んで分かち合い、将来のための良い基盤となる宝を蓄えるように教えてください。そうすれば、彼らは本当に人生そのものをしっかりと掴むことができます。」

2: ヤコブ 5:1-6 - 「さあ、金持ちよ、来なさい。あなたに降りかかる悲惨のために泣き叫びなさい。あなたの富は腐り、あなたの衣服は虫食いになっています。あなたの金と銀は腐食しており、その腐食はあなたに不利な証拠となり、火のようにあなたの肉体を蝕むでしょう。あなたは終わりの日に宝を蓄えました。見よ、あなたが詐欺で抑えていた畑を刈る労働者たちの賃金があなたに対して叫び声を上げており、刈り取り人たちの叫びが万軍の主の耳に届いている。あなたは地上で贅沢に、そして自分勝手に生きてきました。虐殺の一日であなたは自分の心を太らせました。あなたは正義の人を非難し、殺害しました。彼はあなたに抵抗しません。」

黙示録 3:18 あなたが金持ちになるために、火で焼かれた金を私から買うようにあなたに勧めます。そして白い衣服、あなたが服を着ていて、あなたの裸の恥が現れないように。そしてあなたの目に目薬を塗ってください。

この一節は読者に、火で試した金、裸を隠すための白い服、見えるようになるための目薬を神から購入するよう勧めています。

1. 神の霊的富: 危機の最中に豊かさを見つける方法

2. 信仰の力: 必要なときに救いの衣を受け取る方法

1. コリント人への第二 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去った。見よ、新しいものが来た。

2. イザヤ書 61:10 - 私は主にあって大いに喜びます。私の魂は私の神にあって喜ぶでしょう。神は私に救いの衣を着せてくださったからです。花婿が美しい頭飾りで司祭のように身を飾り、花嫁が宝石で身を飾るように、彼は私を正義のローブで覆ってくれました。

黙示録 3:19 わたしは愛する人たちと同じように、叱責し、懲らしめます。ですから、熱心になり、悔い改めなさい。

神は私たちを愛し、私たちを神に近づけるために訓練してくださいます。

1. 神の愛と規律

2. 熱心な悔い改め

1. ヘブライ人への手紙 12:4-11 - 神の鍛錬

2. ルカ 15:11-32 - 悔い改めに見られる神の愛

ヨハネの黙示録 3:20 見よ、わたしは戸口に立ってノックしている。もしだれかがわたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは彼のところに入り、彼と一緒に食事をし、彼も私と一緒に食事をするだろう。

この箇所は、イエスが人の心の扉をノックし、その扉を開けるとイエスが入ってきて交わりを持ってくださる、ということが語られています。

1. イエスとの親密な関係への誘い

2. イエスとの関係への扉を開く

1. ヨハネ 15:4-5 - 「わたしのうちにとどまり、わたしもあなたの中にとどまりなさい。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、枝が単独で実を結ぶことができないように、あなたも、わたしのうちにとどまっていなければ、実を結ぶことができません。私はブドウの木です。あなたは枝です。わたしのうちにとどまり、わたしもその人の中にとどまる者は、多くの実を結ぶ者である。なぜなら、わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。」

2. エペソ人への手紙 3:17-19 「それは、信仰を通してキリストがあなたがたの心の中に住まわれるためです。それは、あなたが愛に根ざし、愛に根ざしていて、すべての聖徒とともに広さと長さ、高さ、深さがどのようなものであるかを理解する力を持つためです。」そして知識を超えたキリストの愛を知り、神の満ち足りたもので満たされるように。」

黙示録 3:21 勝利した者に、わたしとともに王座に座ることを許します。わたしもまた勝利し、父とともに王座に着いているのと同じです。

イエスはすでに勝利し、御父とともに御座に座っておられるので、勝利する者たちと御座を分かち合うことを約束されます。

1.「王座の約束：イエスとともに乗り越える」

2. 「勝利に生きる: キリストとともに玉座に座る」

1. フィリピ 2:5-11 - イエスはへりくだり、死に至るまで、さらには十字架の死に至るまで従順になりました。

2. ヘブライ 12:1-2 - 私たちの信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎながら、目の前に定められた競走を忍耐強く走り抜きましょう。

黙示録 3:22 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。

黙示録のこの節は、聖霊が教会に語っていることに耳を傾けるよう信者に勧めています。

1. 「耳を傾ける教会になろう：御霊の言うことを聞く」

2.「従順に生きる：御霊の語りかけに応える」

1. ヨハネ 10:27、「わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従ってきます。」

2. ローマ人への手紙 12:2、「この世に合わせてはいけません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

黙示録 4 は黙示録の第 4 章であり、物語の重要な変化を示しています。この章では、ヨハネが見た天の御座の間とそこで行われる礼拝に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、ヨハネが天に開かれた扉について説明するところから始まり、ヨハネは、上って行って、これらの事の後に何が起こるかを見てくださいと勧める声を聞きます (黙示録 4:1)。すぐに、ヨハネは御霊に捕らえられ、神の御座の前にいることに気づきます。彼は、権威と純粋さを表す白い衣を着た 24人の長老たちに囲まれ、御座に座る神との壮大な場面を見ます(黙示録4:2-5)。玉座からは稲妻、地鳴り、雷鳴が聞こえ、神の威厳を象徴する力強い表現となります。

第 2 段落: 6 ～ 8 節で、ヨハネは神の御座の前に 4 匹の生き物について描写しています。これらの生き物は全知を象徴する目で周りを覆われており、ライオン、牛、人間、鷲などさまざまな顔を持っています(黙示録4:6-7)。彼らは昼も夜も絶えず神を礼拝し、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能の神、主は」（黙示録4:8）と言って神の聖さを宣言します。彼らの崇拝は、24人の長老たちが玉座に座る神の前にひれ伏し、降伏と崇拝の行為として王冠を神の前に投げるという雰囲気につながります（黙示録4:9-11）。

第 3 段落: この章の焦点は主に、天の玉座の間で起こる畏怖の念を抱かせる栄光と崇拝を描くことにあります。それは読者に、地上の理解を超えた天上の現実を垣間見ることができます。稲妻、轟音、複数の目を持つ生き物など、使用されているイメージは、神の臨在に伴う壮大さと敬意の両方を伝えるのに役立ちます。生き物と二十四人の長老たちの継続的な礼拝は、礼拝の永遠の性質を強調し、神の聖さ、主権、そして名誉と栄光を受けるに値することを強調します。

要約すると、黙示録の第 4 章は、天の御座の間のヨハネのビジョンを描いています。彼は、神が 24人の長老と4匹の生き物に囲まれて玉座に座っている場面を目撃します。この章では、これらの天上の存在たちが提供する鮮やかな描写と継続的な礼拝を通して、神の素晴らしさと神聖さを強調しています。それは、神がすべて

の創造物を超えて崇高であり、永遠の崇拝に値するお方であることを力強く思い出させるものとして機能します。

黙示録 4:1 この後、私が見ると、見よ、天に扉が開いた。そして私が聞いた最初の声は、まるで私に話しかけているラッパのような声だった。それは言った、「ここに上がって来なさい。そうすればこれから起こるべきことをあなたに見せましょう」。

ジョンはトランペットに似た声によって天国に誘われ、これから起こることを示されます。

1. 過去の扉を閉じ、未来の扉を開けることを恐れないでください。

2. 私たちは神の約束の中にいつでも将来への希望を見出すことができます。

1. イザヤ書 43:19 - 「見よ、わたしは新しいことをしている。今それが湧き出ています、あなたはそれを認識しませんか？荒野や砂漠の川に道を作ります。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰とは、望んでいる事柄を保証するものであり、目に見えない事柄を確信するものです。

黙示録 4:2 すると、すぐに私は霊の中にいた。すると、見よ、天に玉座が置かれ、一人がその玉座に座っていた。

ジョンは霊に取り込まれ、天国にある玉座に誰かが座っているのを見ます。

1. 神の偉大さと力を信頼する方法

2. 天の威厳

1. イザヤ書 6:1-2 - ウジヤ王が亡くなった年、私は主が高く高く上げられた王座に座っているのを見ました。そして彼の列は神殿を満たしました。

2. 詩篇 103:19 - 主は天に御座を定め、その王国はすべてを支配します。

黙示録 4:3 そして、座っている者は碧玉や鰯の石のように見えた。玉座の周りにはエメラルドのように見える虹があった。

玉座に座っているものは、碧玉と鰯の石のような外観を持ち、エメラルドの形をした虹が玉座を取り囲んでいると描写されています。

1. 神の威光は人智を超えている

2. 聖書における色とりどりの虹の象徴性

1. エゼキエル 1:28 - 「雨の日の雲の中の弓の様子と同じように、周囲の明るさの様子も同様でした。これは主の栄光の似姿でした。」

2. 黙示録 21:11 - 「神の栄光を受け、彼女の光は最も貴重な石のようであり、水晶のように澄んだ碧玉の石のようでした。」

黙示録 4:4 そして、玉座の周りには四二十席があった。その席には、白い着物を着た四二十人の長老たちが座っているのが見えた。彼らは頭に金の冠をかぶっていました。

24人の長老たちが神の御座の周りに座っており、白いローブと金の冠をかぶっているのが見えます。

1.「天の威厳：神の玉座の性質を理解する」

2.「神の僕としての私たちの役割：24人の長老の意義」

1. イザヤ書6:1-3

2. ペテロ第一5:1-4

黙示録 4:5 御座からは、稲妻と雷鳴と声が聞こえた。そして御座の前で七つの火のともし火が燃えていたが、これは神の七つの霊である。

天にある神の御座は、神の七つの霊を象徴する七つの火のランプで囲まれており、雷鳴、稲妻、声が伴います。

1. 七つの神の力

2. 天にある神の玉座の威厳

1. イザヤ 11:2-3 - 主の霊、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊が彼の上にとどまる。

2. エペソ人への手紙 4:4-6 - あなたが召されたのと同じように、からだも霊も一つです。それは、あなたが自分の召しに属する一つの希望、すなわち、一つの主、一つの信仰、一つの洗礼、一つの神でありすべての父である方に召されたのと同じです。すべてにわたって、すべてを通じて、そしてすべてにおいて。

黙示録 4:6 そして、御座の前には水晶のようなガラスの海があり、御座の真ん中と御座の周りには、前後に目がいっぱいの四匹の獣がいました。

神の玉座はガラスの海とその前後に目を持つ四匹の獣に囲まれています。

1. 神の玉座の威厳

2. 神の僕たちの用心深さ

1. エゼキエル 1:4-14 - 神の御座の前の被造物の幻。

2. 出エジプト記 24:17 - モーセと長老たちは主の栄光を見ます。

黙示録 4:7 そして、第一の獣はライオンのようで、第二の獣は子牛のようで、第三の獣は人のような顔をし、第四の獣は空飛ぶ鷲のようでした。

4 匹の獣についての説明があり、それぞれがライオン、子牛、人間、鷲に似ています。

1. 神の雄大な生き物たち: 創造の美しさを探る

2. 変革の力: 神が私たちに意図した人物になる

1. 詩篇 104:24 - 主よ、あなたの業はどれほど多いでしょうか。あなたは知恵によってそれらをすべて作りました。地球はあなたの生き物でいっぱいです。

2. イザヤ書 40:31 - しかし、主に望みを持つ者は力を新たにします。彼らは鷲のように翼を広げて飛び立ちます。彼らは走っても疲れず、歩いても気を失うことはない。

黙示録 4:8 そして、四匹の獣はそれぞれ、彼の周りに六つの翼を持っていました。そして、彼らは内に目で満ちていて、昼も夜も休まず、「聖なる、聖なる、聖なる、全能の神、主よ、かつても今も、そして来られるのです」と言いました。

神の聖さは無限であり、時代を超えています。

1. 天の軍勢への終わりのない賛美

2. 神の威厳を熟考する

1. イザヤ書 6:3 - そして、ある者は別の者に叫んで言った、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主。全地は彼の栄光に満ちている。」

2. ペテロ第一 1:15-16 - しかし、あなたがたを呼んでくださった方が聖であるように、あなたもどんな会話においても聖であってください。なぜなら、「あなたがたは聖くなりなさい。」と書かれているからです。私は聖なる者だからです。

黙示録 4:9 そして、それらの獣たちが、永遠に生きておられる王座に座っておられる方に栄光と栄誉と感謝を捧げるとき、

天の生き物たちは永遠に生きておられる神に栄光と栄誉を与えます。

1. 神は永遠です: 黙示録 4:9 についての考察

2. 永遠に神を崇拝せよ: 黙示録 4:9 の考察

1. 詩篇 90:2 - 「山々が生み出される前、あるいは永遠から永遠に至るまで、あなたが地と世界を造られる前から、あなたは神です。」

2. ローマ人への手紙 11:36 - 「すべては彼から、そして彼を通して、そして彼にあるのです。誰に栄光がとこしえにありますように。アーメン。」

黙示録 4:10 四人二十人の長老たちは、王座に座っておられる方の前にひれ伏し、世々限りなく生きておられる方を礼拝し、王冠を王座の前に投げてこう言いました。

24 人の長老たちは、神を崇拝し、冠を置くことによって神への敬意を表します。

1. 「私たちの生活における礼拝の意味」

2.「神の力と権威に服従する」

1. 詩篇 95:6 - 「さあ、礼拝の中でひれ伏し、私たちの造り主である主の前にひざまずきましょう。」

2. ピリピ人への手紙 2:10-11 - 「天においても地においても地の下においても、イエスの御名によってすべての膝がかがみ、父なる神の栄光のために、すべての舌がイエス・キリストが主であることを認めるべきである。」

黙示録 4:11 主よ、あなたは栄光と栄誉と力を受けるにふさわしい方です。あなたはすべてのものを創造され、あなたの喜びのためにそれらは存在し、創造されたからです。

神は栄光、名誉、力を受けるにふさわしい方です。神はご自分の喜びのために万物を創造されたからです。

1: 宇宙の創造者である神は名誉と賞賛に値するお方です

2: すべてのものは神の喜びと栄光のために創造されました

1: コロサイ 1:16 天にあるもの、地にあるもの、目に見えるものも見えないものも、王座であれ、統治権であれ、君主国であれ、権力であれ、すべてのものはキリストによって創造されたからです。そして彼にとって：

2: イザヤ書 43:7 わたしの名で呼ばれるすべての人であっても、わたしは自分の栄光のために彼を創造し、彼を形作ったのである。はい、私が彼を作りました。

黙示録 5 章は黙示録の 5 章であり、天の玉座の間でのヨハネの幻視の続きです。この章は、7つの封印のある巻物と、それを開くに値する小羊に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、ヨハネが神の右手に七つの封印が施された巻物を見るところから始まります (黙示録 5:1)。天使が大声で宣言し、巻物を開いて封印を解くのにふさわしいのは誰かと尋ねます。天にも地にも、そうするに値する者は一人もいないので、ヨハネは涙を流します(黙示録5:2-4)。しかし、長老の一人は、ダビデの根であるユダのライオンが勝利し、巻物を開くことができるので泣くなと言います（黙示録5：5）。

第 2 段落: 6 ～ 7 節で、ヨハネは神の御座に屠られたかのように小羊が立っているのを見ます。小羊は力を象徴する 7本の角と全知を表す7つの目を持っており、これらの属性により小羊は神の意志を実行することができます(黙示録5:6)。天と地のすべての被造物からの大いなる崇拝と崇拝のただ中で、小羊は神の右から巻物を受け取ります（黙示録 5:8-14）。彼らは、神と小羊の血による救いの働きを称賛する新しい歌を歌います。

第 3 段落: この章は、ユダのライオンであるイエス・キリストだけが罪と死に勝利したことを明らかにしています。彼だけが、神の計画に従って展開される将来の出来事を記した巻物を開くに値すると認められる。屠られた小羊としてのイエスの描写は、黙示録全体を通しての中心テーマである、人類に代わっての犠牲的な死を強調しています。すべての被造物が捧げる崇拝は、完全に神的（崇拝に値する）であり、完全に人間（殺された者）の両方としてのイエスの独特の役割を強調しています。この章は、イエスの救いの働きと神の目的の成就に対する期待と喜びを伝えています。

要約すると、黙示録の第 5 章は、神の右手に 7 つの封印が施された巻物に対するヨハネの幻を示しています。それは、ユダの勝利のライオンと犠牲の小羊として描かれたイエス・キリストだけが巻物を開くに値することを明らかにしています。この章は、イエスの犠牲の死による救いの働きを強調し、天と地のすべての被造物がイエスに与えた崇拝と崇拝を強調しています。それは、将来の出来事が神の計画に従って展開し、最終的には悪に対する神の最終的な勝利につながるという期待感を伝えます。

黙示録 5:1 そして私は、王座に座る彼の右手に、その内側と裏面に書かれ、七つの封印が施されている本を見ました。

ヨハネは、玉座に座る右手に七つの封印が施された一冊の本を見た。

1. 封印の書：神の意志の謎を解く

2. 玉座の力 封印の書を解く

1. ダニエル 7:9-14 - ダニエルが見た古代の日と書物についてのビジョン

2. ヘブライ 10:19-20 - 自信と大胆さを持って神の御前に入る

黙示録 5:2 そして私は、強い天使が大声でこう宣言しているのを見た、「誰がその本を開いてその封印を解くのにふさわしいだろうか？」

強い天使は、本を開いて封印を解くのにふさわしいのは誰かと尋ねます。

1. ふさわしい者を求める神の終わりのない探求

2. 価値があるためには何が必要ですか?

1. ヘブライ 4:15-16 - 私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司がいるのではなく、私たちと同じようにすべてのことにおいて誘惑に遭いながらも、罪を犯していない大祭司がいるからです。したがって、私たちが慈悲を受け、必要なときに助けてくれる恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。

2. テモテ第二 2:20-21 - しかし、大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。名誉を与えるものもあれば、不名誉を与えるものもあります。したがって、もし人がこれらから身を清めれば、その人は名誉を受ける器となり、神聖にされ、主人に用いられるのに適し、あらゆる善行に備えられるであろう。

黙示録 5:3 そして、天にも地にも地の下にも、だれもその本を開くことも、見ることもできなかった。

誰も本を開くことも、見ることさえできませんでした。

1. 神の計画は私たちの理解を超えています

2. 神の言葉の力

1. イザヤ書 55:8-9 - 「わたしの考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではありません」と主は言われます。「天が地よりも高いように、わたしの道はあなたの道よりも高く、わたしの考えはあなたの考えよりも高い。

2. 詩篇 19:7-11 - 主の律法は完全であり、魂をさわやかにします。主の掟は信頼できるものであり、単純な人を賢くします。主の戒めは正しく、心に喜びを与えます。主の命令は輝き、目に光を与えます。主への恐れは純粋であり、永遠に続きます。主の法令は堅固であり、それらはすべて正しいものです。

黙示録 5:4 そして、私は大いに泣きました。なぜなら、その本を開いて読むにも、中身を見るにもふさわしい人が誰もいなかったからです。

黙示録 5 章の本を読むのにふさわしい人を探すことはできませんでした。

1.「神の価値の独自性」

2.「価値を求める価値」

1. イザヤ書 6:3 - 「そして、ある人は互いに叫び合って言った、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主。全地はその栄光に満ちている。」

2. 詩篇 145:3 - 「主は偉大であり、大いにほめたたえられるべきである。そしてその偉大さは探り知れない。」

黙示録 5:5 そして長老の一人が私に言った、「泣くな。見よ、ダビデの根であるユダ族のライオンが勝利して本を開き、その七つの封印を解いた。」

長老はヨハネに、泣かないように慰めます。ダビデの根であるユダ族のライオンが本を開いて七つの封印を解く権利を勝ち取ったからです。

1. 運命の書を開くことができるのはイエスだけです

2. イエスの権威：ユダ族のライオン

1. イザヤ書 11:1-3 - 「エッサイの切り株から芽が出て、根から枝が生える。主の霊、知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主への畏れの霊が彼の上にとどまる。彼の喜びは主を畏れることである。」

2. イザヤ書 53:7-8 - 「彼は抑圧され、苦しんでいましたが、口を開かなかったのです。彼は子羊のように屠殺場に導かれ、毛を刈る者の前で沈黙する羊のように、口を開かなかった。抑圧と裁きによって彼は連れ去られました。しかし、彼の世代で誰が抗議したでしょうか？彼は生者の地から切り離されたからである。私の民の罪により、彼は罰せられました。」

黙示録 5:6 そしてわたしは見た、見よ、王座と四匹の獣の真ん中と長老たちの真ん中に、七つの角と七つの目を持った、屠られたままの小羊が立っていた。神の七つの霊が全地に送り出されました。

玉座と四匹の獣と長老たちの真ん中に、屠られたような小羊が立っており、七本の角と七つの目は世界に送り出された神の七つの霊を表していました。

1. イエス・キリストの力: 玉座の前に立つ子羊

2. 神の七つの霊: 神の意志の象徴的表現

1. ヨハネ 1:29 - 「翌日、ヨハネはイエスが自分の方に来られるのを見て、『見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ』と言った。」

2. ゼカリヤ 4:10 - 「これらの小さな始まりを軽蔑してはなりません。主は働きが始まるのを見て喜んでおられるからです」と全能の主は言われます。

黙示録 5:7 すると、イエスは来て、玉座に座っている彼の右手からその本を取り上げた。

黙示録 5 章 7 節で、イエスは玉座に座っている人の右手から本を取り上げます。

1. イエスの力: イエスは自分のものを奪うために自分の権威をどのように利用するか

2. 神の玉座: イエスがその上に座っている者から本を取り上げるということは何を意味するのか

1. マタイ 28:18-20 - そして、イエスが来て彼らに言われた、「天と地におけるすべての権威がわたしに与えられました。それゆえ、行って、すべての国の弟子を作り、彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

2. ヨハネ 17:1-11 - イエスはこれらの言葉を語り、目を天に上げて言われました。あなたが彼に与えたすべての人に永遠の命を与えるために、すべての肉を支配する権威を彼に与えたので、息子があなたの栄光を称えるようにあなたの息子に栄光をもたらしてください。そして、これが永遠の命です。彼らは、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わしたイエス・キリストを知っているのです。あなたが私に与えた仕事を成し遂げて、私は地上であなたの栄光を讃えました。そして今、父よ、世界が存在する前に私があなたとともに持っていた栄光で、あなたの御前で私に栄光を与えてください。」

黙示録 5:8 そして彼がその書を手に取ると、四匹の獣と四二十人の長老たちが小羊の前にひれ伏し、それぞれが竪琴と、聖徒たちの祈りである匂いで満たされた金の小瓶を持っていた。

小羊には一冊の本が与えられ、四匹の獣と二十四人の長老たちがハープと聖徒たちの祈りが詰まった器を持って礼拝にひれ伏します。

1. 祈りの力: 私たちの祈りはどのようにして天に届くのか

2. 子羊を崇拝する: 子羊の前にひれ伏すという呼びかけ

1. 詩篇 141:2 - 「私の祈りが香のようにあなたの前にささげられますように。そして夕方の犠牲として私の手を上げました。」

2. ヘブライ 4:16 - 「それでは、私たちが憐れみを受け、必要なときに助ける恵みを見つけることができるように、自信を持って恵みの御座に近づこうではありませんか。」

黙示録 5:9 彼らは新しい歌を歌い、こう言った、「あなたはその本を取り、その封印を解くのにふさわしい人です。あなたは殺され、あらゆる血族と言語の中からあなたの血によって私たちを神に贖ってくださったのです。そして人々、そして国家。

あらゆる国の神から救い出された人々は、新しい歌を歌い、殺され、あらゆる言語、民族、国家から彼らを救い出したイエスを賛美します。

1. 救いの力: イエスがどのようにしてあらゆる国から私たちを救い出したか

2. ふさわしい子羊: 本を手に取り、封印を解く価値がある

1. エペソ 1:7 - 私たちはこの方にあって、その血による救い、彼の豊かな恵みに応じた罪の赦しを持っています。

2. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

黙示録 5:10 そして、私たちを私たちの神に王と祭司としてくださったので、私たちは地上で統治することになります。

神は私たちを王と祭司とし、地上を統治する権威を与えてくださいました。

1. 神の権威の力 - 黙示録 5:10

2. 神の王としての権威を主張する - 黙示録 5:10

1. 出エジプト記 19:6 - そして、あなたがたはわたしにとって祭司の王国、そして聖なる国民となるであろう。

2. ルカ 10:19 - 見よ、わたしはあなたに、蛇やサソリを踏み、敵のあらゆる力を制する力を与える。そして、あなたを傷つけるものは決してない。

黙示録 5:11 わたしは見ていると、王座の周り、獣、長老たちの周りで多くの天使たちの声を聞いた。その数は一万倍一万、数千人であった。

ヨハネは、玉座、獣、長老たちを取り囲む膨大な数の天使を見聞きしました。

1.「明らかにされた天国の美しさ: 神の豊富な天使の群れ」

2.「神の驚異: 天の威厳」

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 「死も命も、天使も支配者も、今あるものもこれから来るものも、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、何も存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

2. 詩篇 148:2 - 「彼のすべての天使たちよ、彼を讃美せよ。彼のすべての軍勢よ、彼を讃美せよ！」

黙示録 5:12 大声で言う、「力と富と知恵と力と名誉と栄光と祝福を受けるために屠られた小羊はふさわしい」。

小羊は力、富、知恵、強さ、名誉、栄光、祝福を受けるに値します。

1. イエスのふさわしさ: イエスの愛の豊かさを受け取りましょう

2. 神の子羊: その偉大な犠牲の力

1. ローマ 8:32 - ご自分の御子を惜しまず、私たち全員のために差し出してくださった方は、私たちにもすべてを与えてくださるのではないでしょうか。

2. エペソ人への手紙 1:3-6 - 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。彼は、世の基が置かれる前にキリストにあって私たちを選んだのと同じように、天上のあらゆる霊的祝福をもってキリストにあって私たちを祝福してくださいました。それは、私たちが神の御前で聖く、罪のない者となるためです。神は、ご自身の御意志の目的に従い、愛する者において私たちを祝福してくださったその輝かしい恵みを称賛するために、愛によって私たちをイエス・キリストを通して養子となるようあらかじめ定めてくださいました。

黙示録 5:13 そして、天と地と地にあるすべての生き物、そして海の中にいるものとその中にいるすべてのものは、わたしが「祝福と、名誉と、栄光と」と言うのを聞いた。力よ、玉座に座る者と小羊に、世々限りなくありますように。

天、地、海のすべての生き物は、永遠に神と子羊に賛美と敬意を捧げます。

1. 神を賛美することの栄光

2. 共に礼拝することによる永遠の祝福

1. 詩篇 148:1-5 - 天から主を讃美しましょう

2. 黙示録 4:8-11 - 玉座にある者と四匹の生き物への賛美

黙示録 5:14 すると、四匹の獣は、「アーメン」と言った。そして、四人と二十人の長老たちはひれ伏し、永遠に生きておられる方を崇拝した。

黙示録 5 章 14 節のこの箇所は、四匹の獣と二十四人の長老たちがひれ伏して、永遠に生きておられる神を崇拝したことを明らかにしています。

1. 「全能者の崇拝: 私たちの賛美が神の永遠の性質をどのように反映しているか」

2. 「一致の力: 礼拝で協力することでどのように私たちの賛美が高まるのか」

1. 詩篇 103:17 - 「しかし、とこしえからとこしえまで、主の愛は主を畏れる者たちとともにあり、主の義はその子らの子らとともにある。」

2. ヘブライ 13:8 - 「イエス・キリストは、昨日も今日も永遠に同じです。」

黙示録 6 章は黙示録の 6 章であり、巻物の封印を解くヨハネの幻視の続きです。この章は最初の 6つの封印の開封に焦点を当て、神の裁きと終末の出来事の始まりを意味する出来事を明らかにします。

第 1 段落: この章は、イエスが最初の封印を解き、白い馬に乗ったライダーを解き放つところから始まります。この乗り手は征服や勝利を表しており、おそらく偽りの平和や世界で働いている欺瞞的な勢力を象徴していると考えられます（黙示録 6:1-2）。2 番目の封印には、争いと流血を表す赤い馬に乗っている者が描かれています (黙示録 6:3-4)。3番目の封印では、秤を持つ乗り手を持つ黒い馬が登場し、欠乏と経済的困難を表しています（黙示録 6:5-6）。4番目の封印は、ハデスを伴った死自身が乗る青白い馬を明らかにします。彼らは、剣、飢餓、疫病、野獣などのさまざまな手段を通じて、地球の 4分の1に死と破壊をもたらします(黙示録6:7-8)。

第 2 段落: これらの出来事の後、イエスは第 5 の封印を開き、信仰のために殉教した魂を祭壇の下で明らかにします。彼らは神に正義を求めて叫び、更なる正しさの証明を待つ間、白いローブを与えられます（黙示録 6:9-11）。イエスが第 6 の封印を解くと、暗くなった太陽、血のように赤い月、流れ星などの宇宙の混乱を伴う大地震が発生します。これらはすべて大変動を示す兆候です (黙示録 6:12-14)。あらゆる階層の人々は、これらの出来事が彼らに対する神の裁きを示していることを認識しながらも、恐怖の中で避難所を求めています(黙示録6:15-17)。

第 3 段落: 第 6 章では、終末における人類に対する神の裁きに関連した一連の出来事が始まります。封印が解かれると、偽りの平和、紛争、経済的困難、死と破壊、信者の迫害、宇宙の混乱などの出来事の進行が明らかになります。これらの出来事は、終わりが近づいていることを示す警告と指標として機能します。この章は、悔い改めない世界に対する神の裁きの厳しさと、信仰のために苦しんだ人々の忠実な忍耐の両方を強調しています。

要約すると、黙示録の第 6 章では、イエスが持っていた巻物の最初の 6 つの封印が解かれることが明らかにされています。それぞれの印章は、偽りの平和、紛争、経済的苦難、死と破壊、信者への迫害、宇宙的混乱など、終末における人類に対する神の裁きのさまざまな側面を表しています。これらのイベントは、今後のより重要なイベントへの警告および前兆として機能します。この章では、反逆的な世界に対する神の裁きと、試練の中での忠実な信者たちの忍耐の両方が強調されています。

黙示録 6:1 そして、小羊が封印の一つを開いたとき、私は雷の音のように、四匹の獣のうちの一匹が「来て見なさい」と言っているのを聞きました。

ヨハネは小羊が封印の一つを開いているのを見て、雷のような音を聞き、続いて四匹の獣のうちの一匹が彼を「見に来てください」と誘います。

1: 私たちは神が適切なタイミングで私たちに真実を明らかにしてくださると信頼できます。

2: 何が起こっているのか理解できなくても、私たちは神の力と慈しみを確信できます。

1: イザヤ書 55:8-9 「わたしの考えはあなたの考えではなく、あなたのやり方は私のやり方ではありません」と主は言われます。「天が地よりも高いように、

私の道はあなたの道よりも高く、私の考えはあなたの考えよりも高いのです。」

2: エレミヤ 33:3 「わたしを呼んでください。わたしはあなたに答えて、あなたが知らない偉大で調べようのないことを話しましょう。」

黙示録 6:2 そして、わたしは白い馬を見ました。それに乗っている者は弓を持っていました。そして王冠が彼に与えられ、彼は征服し、征服するために出て行った。

白い馬の乗り手は弓と王冠を持って征服に出かけました。

1: 戴冠した征服者の力

2: 弓で征服する

1: 詩篇 45:4-5 「そして、真実と柔和と義によって、あなたの威厳のもとに繁栄を遂げてください。そしてあなたの右手はあなたに恐ろしいことを教えるでしょう。あなたの矢は王の敵の中心を鋭く刺します。そうすれば民はあなたの下に倒れます。」

2: イザヤ書 41:2 「だれが東から正しい人を起こし、その足もとに呼び寄せ、彼の前に諸国民を与え、王たちを統治させたでしょうか。彼はそれらを剣の塵として、弓に打ち抜かれた切り株として与えた。」

黙示録 6:3 そして、彼が第二の封印を開いたとき、私は第二の獣が「来て見なさい」と言うのを聞きました。

黙示録の第二の封印が開かれ、第二の獣が人々に来て見に来るよう呼びかけます。

1: 神は私たちに、神に対して心を開き、逆境に直面しても勇敢になるよう求めておられます。

2: 私たちは、神が私たちの人生でなさったことの証人となり、神の物語を他の人たちと共有するように求められています。

1: イザヤ書 43:1-3 「恐れるな。わたしはあなたをあがなったからである。わたしはあなたを名指しで呼んだ。あなたはわたしのものである。あなたが水の中を通るときも、私はあなたとともにいる。あなたが川を通るときも、私はあなたとともにいる」「彼らはあなたを襲うことはありません。火の中を歩いても、あなたは火傷をすることはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。」

2: ローマ人への手紙 8:31-39 「それでは、これらのことに答えて何と言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。ご自分の御子を惜しまず、私たちのために御子を捨ててくださった神です。」すべて――神もまた、ご自分とともに、すべてのものを慈しみ深く私たちに与えて下さらないのはどうしてでしょうか?神が選んだ人たちを誰が告発するでしょうか?義とされるのは神です。では、罪に定めるのは誰でしょうか?誰もではありません。キリスト・イエスは、死んだ人、それ以上に生き返った人は神の右にいて、私たちのために執り成しもしています。」

黙示録 6:4 また、また赤い馬が出て行った。その上に乗っていた馬には、地から平和を奪い、互いに殺し合う力が与えられた。そして、彼には大きな剣が与えられ

た。

黙示録の 4 番目の騎士は、地球から平和を奪い、人々を殺し合うために使用された偉大な剣をもたらしました。

1. 紛争の危険性: 戦争と紛争が私たちの生活に及ぼす影響を理解する

2. 正義の剣: 世界に平和と正義をもたらすにはどうすればよいか

1. ヤコブ 4:1 - あなたがたの間に口論や争いが起こるのはなぜですか。あなたの情熱があなたの中で戦争しているのではありませんか？

2. ローマ 12:18 - 可能であれば、あなた次第ですが、すべての人たちと平和に暮らしてください。

黙示録 6:5 そして、彼が第三の封印を開いたとき、私は第三の獣が「来て見なさい」と言うのを聞きました。そして私は黒い馬を見た。そして彼の上に座っていた人は手に天秤を持っていました。

ジョンは、第三の獣が第三の封印を解くように命令するのを聞き、そのとき、一対の天秤を運ぶ乗り手を持つ黒い馬が見えました。

1. バランスのとれた生活: 人生における健康的なバランスを見つける方法。

2. 大封印: 黙示録の封印の重要性。

1. コロサイ 3:15-17 - 「そして、神の平安があなたがたの心に支配しなさい。あなたがたも一つの体として召されたのですから。そして感謝しなさい。キリストの言葉が、あらゆる知恵をもってあなたの内に豊かに住み、教えと教えを与えてください。」」

2. 箴言 16:11 - 「正しい天秤と天秤は主のもの、袋の重さはすべて主の仕業である。」

黙示録 6:6 わたしは、四匹の獣の真ん中でこう言う声を聞いた。「小麦一セアで一ペニー、大麦三セアで一ペニー。油とワインを傷つけないようにしてください。

四匹の獣の真ん中で、油とワインを傷つけないよう警告する声が聞こえました。

1. 神の言葉の力

2. 聖書における油とワインの重要性

1. 創世記 27:28 (そして神があなたに天の露と大地の肥沃な恵みと、豊かな穀物とぶどう酒を与えてくださいますように。)

2. 詩篇 104:15 (そして人の心を喜ばせるぶどう酒、顔を輝かせる油、そして人の心を強めるパン。)

黙示録 6:7 そして彼が第四の封印を開いたとき、私は第四の獣が言う「来て見なさい」という声を聞いた。

黙示録の 4 番目の封印が開かれ、4 番目の獣が語りかけ、何が見られるのかを目撃するよう読者を誘います。

1. 啓示の力: 第 4 の封印のしるしと不思議を探る

2. 証人への呼びかけ: 4番目の獣の招待に耳を傾ける

1. イザヤ書 25:9-10 - そしてその日にはこう言われるでしょう、見よ、これは私たちの神です。私たちは彼を待ちました、そして彼は私たちを救ってくださいます：これが主です。私たちは彼を待ち望んでいたので、彼の救いを喜び喜ぶでしょう。

10 というのは、この山には主の手が置かれ、糞塚のわらが踏みつけられるように、モアブもその下に踏みつけられるからである。

2. ヘブライ 11:1 - さて、信仰は期待されているものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

黙示録 6:8 そこで私が見ると、見よ、青白い馬がいた。その馬に乗っていたその名は死であり、地獄も彼を追った。そして彼らには、地の4分の1を支配する権限が与えられ、剣と飢えと死と地の獣を使って殺すことができた。

死、地獄、そして地上の獣には、地球の4分の1を殺す力が与えられました。

1. 計り知れない世界における信仰の必要性

2. 恐怖に直面してもしっかりと立つ

1. マタイ 10:28 (肉体を殺しても魂を殺すことができない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂と肉体の両方を地獄で滅ぼすことができる者を恐れなさい。)

2. イザヤ書 41:10 (恐れるな。わたしはあなたとともにいるから: 落胆しないでください。わたしはあなたの神だから: わたしはあなたを強めます。そうです、わたしはあなたを助けます。そうです、わたしは右手であなたを支えます。私の正義。）

黙示録 6:9 そして、彼が第五の封印を開いたとき、私は祭壇の下に、神の言葉と彼らが行った証言のために殺された人々の魂を見た。

第五の封印は、神への信仰のゆえに殺された人々の魂を明らかにします。

1. 信仰の力: 迫害に直面してもしっかりと立つ

2. 殉教者の証言: 私たちはキリストのためにどのように大胆に生きることができるか

1. 使徒 7:54-60 - ステパノの殉教

2. ヘブライ人への手紙 11:35-38 - 昔の殉教者の信仰

黙示録 6:10 彼らは大声で叫んで言った、「聖にして真実なる主よ、あなたはいつまで裁いて、地上に住む者たちに私たちの血の復讐をしないのですか。」

人々は、自分たちを不当に扱った人々に対する神の正義と復讐を求めて神に叫びます。

1.「義人の叫び：神のタイミングで正義と復讐を求める」

2.「神の正義の裁き：正義の時を信頼する」

1. イザヤ書 30:18 - 「それゆえ、主はあなたに慈しみを注いで下さるのを待ち望んでおり、それゆえにご自分を高めてあなたに憐れみを示されるのである。主は正義の神だからである。主を待ち望むすべての者は幸いである。」

2. 詩篇 37:34 - 「主を待ち望み、その道を守りなさい。そうすれば主はあなたを高めてその地を受け継がれるでしょう。あなたは悪人が断ち切られるのを見守るでしょう。」

黙示録 6:11 そして彼ら全員に白い衣が与えられた。そして彼らには、彼らと同じように殺されるはずの同胞たちとその兄弟たちの罪が果たされるまで、まだ少しの間休むべきだと言われた。

信仰のために殉教した人々の魂には白いローブが与えられ、同じ運命をたどる兄弟姉妹も殉教するまで休むように言われました。

1. 聖徒たちの忍耐: 忠実な殉教者たちが教会に信仰を堅持するようどのように励ましているか

2. 終わりのない忠実さ: 死に直面しても聖徒たちの揺るぎない献身についての考察

1. ヘブライ 11:35-38 - 「女性たちは死者を受け入れ、生き返らせました。他の人たちは、より良い復活を得るために拷問を受け、釈放を拒否しました。ある人たちは野次や鞭打ち、さらには鎖や投獄に直面しました。「彼らは石打ちで殺され、鋸で真っ二つにされ、剣で殺された。彼らは羊の皮や山羊の皮を着て歩き回り、極貧で、迫害され、虐待されていた。世界は彼らにふさわしくなかった。彼らは砂漠や山をさまよった」そして地面の洞窟や穴の中にも。

2. 使徒 5:41-42 - 「使徒たちは、御名のために恥辱を受けるに値するとみなされたことを喜びながら、サンヘドリンを去りました。来る日も来る日も、神殿の中庭や家々で、彼らは教え、宣べ伝えることを決してやめませんでした」イエスがメシアであるという良い知らせです。」

黙示録 6:12 そして、彼が第六の封印を解いたとき、見よ、大きな地震が起きた。そして太陽は荒布の毛のように黒くなり、月は血のようになった。

黙示録の第六の封印が開かれ、大地震が起こり、太陽と月がそれぞれ黒と赤に変わります。

1. 主の日: 主の到来のしるし

2. 神の力: 神の栄光を体験する

1. マタイ 24:7-8 - 「国は国に対して、王国は王国に対して立ち上がるからです。そして、さまざまな場所で飢餓、疫病、地震が起こるでしょう。これらはすべて悲しみの始まりです。」

2. イザヤ書 13:10 - 「天の星とその星座は光を発しないからです。太陽は出て行くと暗くなり、月はその光を輝かせません。」

黙示録 6:13 そして、いちじくの木が強風に揺れるとき、時機を逸したいちじくを投げるように、天の星が地に落ちた。

強風に揺れて実を落とすイチジクの木のように、天の星々が地に落ちます。

1.「神の偉大な力と主権」

2.「止められない風の力」

1. 詩篇 147:4 - 神は星の数を決め、それぞれを名前で呼びます。

2. マタイ 7:24-27 - 私のこれらの言葉を聞いてそれを実行する人は皆、岩の上に家を建てた賢者のようなものです。

黙示録 6:14 そして、天は巻かれると巻物のように去った。そしてすべての山や島はその場所から移されました。

天は来たるべき裁きのしるしとして去った。

1: 来たるべき審判 - 黙示録 6:14

2: 裁きのしるし - 黙示録 6:14

1: イザヤ書 34:4 - 「天の万軍は朽ち果て、空は巻物のように巻き上がる。彼らの宿主はみな、ぶどうの木から葉が落ちるように、イチジクの木から葉が落ちるように、倒れるであろう。」

2: ヘブライ 12:26-27 - 「その時、彼の声は地を揺るがしましたが、今、彼はこう約束されました、「もう一度、地だけでなく天も揺るがします。」この「もう一度」という言葉は、揺るぎないものを残すために、揺さぶられたもの、つまり作られたものを取り除くことを示しています。」

黙示録 6:15 そして、地の王たち、偉人たち、金持ちたち、長たち、力ある者たち、あらゆる奴隷たち、あらゆる自由人たちは、洞窟や岩の中に隠れた。山脈;

王、偉人、金持ち、船長、奴隷と自由人を含むあらゆる階級や地位の人々が、黙示録 6 章に記されている出来事を恐れて洞窟や山に隠れました。

1.「主の日: 恐怖と畏怖の時」

2.「国富：危機時の不平等」

1. ルカ 12:15 - 「イエスは彼らに言われた、『気をつけて、むさぼりに気をつけなさい。人の命は、その人が持っている物の豊かさによって決まるのではないからである。』

2. イザヤ書 2:19-22 - 「そして彼らは、主を畏れ、その威光の栄光のために、岩の穴や地の洞穴に入るでしょう。そのとき、主が立ち上がって激しく揺れるとき、その日、人は自分が崇拝するためにそれぞれ作った銀の偶像と金の偶像をモグラやコウモリに投げ、岩の裂け目や岩の裂け目に入るでしょう。荒れ果てた岩の頂上は、主を恐れるためであり、主が立ち上がって大地を激しく揺るがすときの威光の栄光のためである。」

黙示録 6:16 そして山と岩に言った、「わたしたちの上に倒れ、王座に座しておられる方の顔と小羊の怒りからわたしたちを隠してください。」

地上の人々は小羊の怒りを恐れて身をすくめます。

1: 私たちは悔い改めをもって神に立ち返り、神の怒りからの救いを神に信頼しなければなりません。

2: 私たちは小羊を恐れるのではなく、むしろ小羊の力と愛を認めるべきです。

1: ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2: ローマ 10:9 - 「イエスは主です」と口で宣言し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。

黙示録 6:17 主の怒りの大いなる日が来るからである。そして誰が耐えられるでしょうか？

神の怒りが来て、誰も立っていられなくなります。

1. 「主の日: それは何を意味しますか?」

2. 「清算の時: 神が来たらどうする?」

1. イザヤ書 2:12-17 - 主の日は清算と裁きの時です。

2. ヨエル 3:14-16 - 国々は裁きに直面し、神はご自分の民を救い出してくださいます。

黙示録 7 章は黙示録の 7 章であり、一連の封印の判決に一時停止を与えます。この章では、イスラエルの 12 部族からの 144,000 人の封印と、各国からの大群衆の 2 つのグループに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、ヨハネが地の隅に立って、神の僕たちが証印を押されるまで害を防ぐために風を抑えている 4 人の天使を見るところから始まります (黙示録 7:1-3)。別の天使が東から昇り、生ける神の印章を携えています。彼はこれら四人の天使に、イスラエルの各部族から来た 14万4,000人の僕を額に封印するように指示しました（黙示録7:4-8）。これらの封印された人々は、終わりの時に神に仕える保護され選ばれたグループを表しています。

第 2 段落: この封印のプロセスを目撃した後、ヨハネは、誰も数えることのできない膨大な群衆が神の御座の前に立っているのを見ます。彼らは白いローブを着てヤシの枝を持ち、勝利と勝利を表しています（黙示録 7:9-10）。この大群衆は、あらゆる国、部族、民族、言語から来た、大患難を乗り越えてきた人々で構成されています。彼らは自分たちの衣をイエスの血で洗い、昼も夜もイエスを崇拝しています（黙示録 7:13-15）。

第 3 段落: この章は、大患難から抜け出すこれらの人々が神ご自身によって保護されるという説明で終わります。神が彼らを生きた水の泉に導いてくださるので、彼らはもう飢えも渇くこともありません。神は彼らの目から涙をすべてぬぐってくださいます(黙示録7:16-17)。この描写は、信者が神の臨在の中で究極の慰めと回復を経験する未来の状態を描いています。

要約すると、黙示録の第 7 章では、終わりの時に重要な役割を果たす 2 つの異なるグループ、つまりイスラエルからの封印された 14 万 4,000 人の僕たちと、あらゆる国々からの膨大な数の人々が紹介されています。 144,000人の封印は、神に仕える彼らが選ばれた地位と保護を意味します。この大群衆は、衣をイエスの血で洗い、艱難から勝利を収めたあらゆる背景の信者を表しています。彼らは神の臨在の中で永遠の崇拝と慰めを享受し、そこで神は彼らの必要を満たし、あらゆる涙をぬぐってくださるのです。この章では、神の民に対する神の忠実さと、あらゆる国や背景の人々を包含する神の救いの計画の包括性を強調します。

黙示録 7:1 これらの事の後、私は、四人の天使が地の四隅に立って、地の四方の風をつかんで、地にも、海にも、どの木にも風が吹かないようにするのを見た。

4人の天使が地球の四隅に立って、地球、海、木々に害を及ぼさないように地球の風を抑えています。

1. 天使の力: 神の使者の強さを振り返る

2. 神の保護: 神はご自分の民を守り、配慮してくださる

1. 詩篇 91:4 - 彼はあなたを羽で覆い、その翼の下にあなたは避難所を見つけるでしょう。彼の忠実さがあなたの盾となり城壁となるでしょう。

2. イザヤ書 43:2 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして、あなたが川を通過するとき、川はあなたを押し流すことはありません。火の中を歩いても火傷することはありません。炎があなたを燃え上がらせることはありません。

黙示録 7:2 また、私は、生ける神の印章を持ったもう一人の天使が東から登って来るのを見た。そして、彼は地と海を傷つける使命を与えられた四人の天使に向かって大声で叫んだ。

天使が神の印章を持って東から昇っていくのが見られ、他の4人の天使に地球と海に危害を加えるように命じています。

1. 神の臨在の力

2. 神の意志の主権

1. イザヤ書 11:3-5、「そして彼は国々の間で裁き、多くの民を叱責するであろう。そして彼らは剣を打ち砕いて鋤に、槍を打ち砕いて剪定鉤にするであろう。国家は国家に向かって剣を掲げてはならない。また、国家もまた剣を掲げてはならない」「彼らはもう戦争を学びます。ヤコブの家よ、来てください、主の光の中を歩ませてください。あなたは彼の重荷のくびきを打ち砕き、肩の杖を、圧制者の杖を打ち砕いたからです。ミディアンの日。

2. マタイ 5:5、「柔和な人々は幸いです。彼らは地を受け継ぐからです。

黙示録 7:3 こう言う、「わたしたちの神の僕たちを彼らの額に封印するまでは、地も海も木も傷つけてはならない。」

地球、海、木々に害が及ぶ前に、神の僕たちは封印されなければなりません。

1. 神の加護の力

2. 神の民の尊さ

1. 詩篇 91:4 - 彼はあなたを羽で覆い、その翼の下にあなたは避難所を見つけるでしょう。彼の忠実さがあなたの盾となり城壁となるでしょう。

2. エペソ人への手紙 1:13-14 - そして、真理の音信、救いの福音を聞いたとき、あなたもキリストに加えられました。あなたが信じたとき、あなたは神の中に約束された聖霊の印を押されました。

黙示録 7:4 わたしは、封印された者の数を聞いた。イスラエルの子らのすべての部族のうち、百四十万四千人が封印されていた。

イスラエルの12部族から封印された人の数は14万4,000人です。

1. 神の御心に従うことの重要性

2. 神に選ばれたことの祝福

1. マタイ 22:14 - 「召される人は多いが、選ばれる人は少ないからです。」

2. エレミヤ 31:33 - 「しかし、これが、その日の後にわたしがイスラエルの家と結ぶ契約である、と主は言われる。わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、それを彼らの心に書き記す。」そして私は彼らの神となり、彼らは私の民となるでしょう。」

黙示録 7:5 ユダ族のうち一万二千人が封印された。ルベンの部族のうち1万2千人が封印されました。ガド族のうち1万2千人が封印された。

ユダ、ルベン、ガドの各部族から1万2千人が封印されました。

1. たとえ試練の時であっても、神の選ばれた民に対する神の忠実さ。

2. たとえ困難に直面しても、神に仕え続け、神に従い続ける必要性。

1. ローマ 11:1-2 - 「それでは、私は尋ねます。神はご自分の民を拒絶したのですか？決してそうではありません。私自身もベニヤミン族のアブラハムの子孫であるイスラエル人です。神はご自分の民を拒絶しませんでした。予知していました。」

2. 詩篇 105:7-11 - 「彼は私たちの神、主です。彼の裁きは全地にあります。彼は永遠にその契約、彼が命じた言葉、千世代にわたって覚えています、アブラハムと結んだ契約、誓い彼はイサクに誓い、ヤコブには法令として、イスラエルには永遠の契約としてそれを確認した、「わたしはあなたにカナンの地をあなたが相続する分として与えます。」

黙示録 7:6 アセル族のうち一万二千人が封印された。ネフタリム部族のうち1万2千人が封印された。マナセス族のうち1万2千人が封印された。

黙示録には、アセル、ネフタリム、マナセスの部族から1万2,000人が封印されたと記載されています。

1. 神の加護: 黙示録 7:6 の研究

2. 黙示録における12部族の重要性

1. ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物には不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2. 創世記 49:26 - あなたの父の祝福は、私の先祖の祝福を超え、永遠の丘の恵みに及ぶほど強力です。それらがヨセフの頭の上にあり、兄弟たちから分け隔てられた彼の額の上にありますように。

黙示録 7:7 シメオン族のうち一万二千人が封印された。レビ族のうち1万2千人が封印されました。イッサカル部族のうち1万2千人が封印されました。

イスラエルの十二部族は黙示録 7 章 7 節で、各部族から 1 万 2,000 人ずつ封印されました。

1.「神の民の統一」

2.「神に選ばれた者の祝福」

1. 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。」ヨハネ 3:16

2. 「そしてイエスは彼らに言われた、『全世界に出て行って、全造物に福音を宣べ伝えなさい』」 マルコ 16:15

黙示録 7:8 ザブロン族のうち一万二千人が封印された。ヨセフの部族のうち1万2千人が封印されました。ベニヤミン族のうち1万2千人が封印されました。

イスラエルの部族は黙示録に封印されました。

1. 神の約束に対する忠実さ: 黙示録 7:8 の考察

2. 終末におけるイスラエル12部族の重要性

1. 創世記 49:22-26 - イスラエルの 12 部族の祝福

2. ローマ人への手紙 11:26-27 - イスラエルの救い主と万物の回復

黙示録 7:9 この後、わたしは見ました、見よ、あらゆる国民、血族、民族、異国語からの、誰も数えることのできないほどの大群衆が、白い衣を着て玉座の前と小羊の前に立っているのを見た。、そして手のひらを握ります。

あらゆる国、部族、言語から来た大勢の人々が、白いローブを着て手のひらを握り、玉座と子羊の前に立っています。

1. 数え切れないほどの群衆: 神の包括的な王国の約束

2. 白いローブと手のひら：私たちの救いのしるし

1. イザヤ書25:6–9

2. ピリピ2:5–11

黙示録 7:10 そして、大声で叫んで言った、「御座に座しておられる私たちの神と小羊に救いがありますように」。

人々は神と小羊の救いを称賛しました。

1. 神と小羊に感謝と賛美を忘れないでください。

2. 神と小羊を通してもたらされる救いに感謝しましょう。

1. 詩篇 107:1-2 - 「ああ、主に感謝せよ。主は善良であり、その変わらぬ愛は永遠に続くからだ。主が苦難から救い出してくださった主の救い主にそう言わせてください。」

2. エペソ人への手紙 5:20 - 「私たちの主イエス・キリストの御名において、常に、またあらゆることについて父なる神に感謝しなさい。」

黙示録 7:11 天使たちはみな、王座の周り、長老たちと四匹の獣の周りに立ち、王座の前にひれ伏して神を礼拝した。

天使、長老、四匹の獣は神の御前に立ち、礼拝の中で神の前に頭を下げました。

1. 時間をかけて立ち止まり、神を礼拝してください。

2. 敬意を持って神を礼拝することの重要性。

1. 詩篇 95:6-7 - 「さあ、礼拝の中でひれ伏しましょう。私たちの造り主である主の前にひざまずきましょう。彼は私たちの神であり、私たちは彼の牧場の民であり、彼の世話の下にある群れだからです。」

2. ピリピ人への手紙 2:10-11 - 「天においても、地においても、地の下においても、イエスの御名によってすべての膝がかがみ、すべての舌がイエス・キリストが主であることを認め、父なる神の栄光を現わさなければなりません。」

黙示録 7:12 「アーメン、祝福と栄光と知恵と感謝と栄誉と力と力が世々限りなく私たちの神にありますように」と言います。アーメン。

神の民は力を合わせて神のすべての力と力に賛美と感謝をささげます。

1: 神に感謝する: 主の力を認める

2: 神の強さと力をたたえる: 感謝の気持ちをどのように表せるか

1: 詩篇 136:1-3 - 「主に感謝せよ。主は善い方であり、その変わらぬ愛は永遠に続くからである。神の中の神に感謝しましょう、その変わらぬ愛は永遠に続くからです。主の中の主に感謝せよ、その変わらぬ愛は永遠に続くからだ。」

2: コロサイ 3:15-17 - 「そして、キリストの平和があなたがたの心を支配しなさい。あなたがたはまさに、一つの体としてその平和に召されたのです。そして感謝しましょう。キリストの言葉があなたの内に豊かに宿り、知恵を尽くして互いに教え、戒め合い、心の中で神に感謝しながら詩篇、賛美歌、霊的な歌を歌いましょう。そして、言葉においても行いにおいても、すべてを主イエスの名において行い、主を通して父なる神に感謝しなさい。」

黙示録 7:13 すると長老の一人が答えて言った、「この白い衣を着ているのは何ですか。」そして彼らはどこから来たのですか？

長老は、白いローブを着た人々がどこから来たのか尋ねました。

1. 神の備えの力

2. 神の民の素晴らしさ

1. イザヤ書 61:10 - 私は主にあって大いに喜び、私の魂は私の神にあって喜ぶでしょう。神は私に救いの衣を着せ、義の衣を私に着せてくださったからです。

2. ルカ 15:22 - しかし、父親は家来たちに言った、「一番よい上着を持ってきて、それを着せなさい。」そして手には指輪をはめ、足には靴を履かせました。

黙示録 7:14 そこで私は彼に言った、「先生、あなたはご存知でしょう。」そして彼は私に言った、「これらは大患難から出てきて、彼らの服を洗い、小羊の血で白くした人たちです。」

これらは艱難を経験したが、イエスの血によって救われた人々です。

1. イエスの血の力: 患難から私たちをどのように救い出すか

2. 神の恵みの偉大さ: 艱難を経験しながらも神の血によって救われる

1. イザヤ書 1:18 - 「さあ、一緒に論じましょう、と主は言われる、たとえあなたの罪が緋のようであっても、それは雪のように白くなるでしょう。たとえ深紅のように赤くても、それらは羊毛のようになるでしょう。」

2. ローマ 5:8 - 「しかし、神は、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、私たちに対する愛を示してくださいました。」

黙示録 7:15 それゆえ、彼らは神の御座の前にあり、昼も夜も神の宮で神に仕えている。そして、御座に座っている者は彼らの間に住むであろう。

神の聖徒たちは主の御前にいて、昼も夜も神殿で主を礼拝しています。神は彼らの間に住まわれます。

1. 礼拝の喜び：神の家における神の臨在を体験する

2. 永遠の報酬: 神殿で昼も夜も主に仕えること

1. イザヤ書 6:1-7 - 預言者イザヤが見た神殿の主の御座の幻。

2. 詩篇 23:6 - 主は私たちの羊飼いであり、私たちは永遠に主の家に住みます。

黙示録 7:16 彼らはもはや飢えず、渇くこともない。太陽の光も熱も当てません。

主に救われた者は、二度と飢え、渇き、暑さを経験することはありません。

1: 豊かな人生という神の約束

2: 神の救いの慰めの中で生きる

1: ヨハネ 6:35 「わたしはいのちのパンです。わたしのもとに来る者は飢えず、わたしを信じる者は決して渇きません。」

2: イザヤ書 49:10 「彼らは飢えも渇きもせず、砂漠の暑さや太陽も彼らを襲うことはない。彼らを憐れむ神は彼らを導き、水の泉のほとりに導いてくださるからである。」

黙示録 7:17 王座の真ん中にいる小羊は彼らを養い、彼らを生きた水の泉に導き、神は彼らの目から涙をすべてぬぐってくださるでしょう。

この箇所は、神の民に永遠の糧と慰めを与えるという神の約束を強調しています。

1: 子羊の慰め - 神の守りを信頼する

2: 生ける水を歓迎する - 主のさわやかさを体験する

1: イザヤ書 25:8 - 彼は勝利のうちに死を飲み込みます。そうすれば主なる神はすべての顔から涙をぬぐってくださるでしょう。

2: 詩篇 23:2 - 神は私を緑の牧草地に寝かせます。彼は私を静かな水辺に導いてくれます。

黙示録 8 章は黙示録の 8 章であり、終末の出来事についてのヨハネのビジョンの続きです。この章は、地上にさまざまな裁きをもたらす 7つのラッパの響きにつながる第7の封印の開封に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、イエスが第 7 の封印を開いた後、約 30 分の天の沈黙から始まります (黙示録 8:1)。次に、7人の天使に7つのラッパが与えられ、別の天使が神の祭壇の前ですべての聖徒の祈りとともに香をささげます（黙示録 8:2-4）。天使は香炉を取り、祭壇の火で満たし、それを地に投げると、雷、稲妻、地震が起こります（黙示録 8:5）。

第 2 段落: それぞれの天使が裁きのラッパを吹き鳴らすと、一連の壊滅的な出来事が起こります。最初のラッパは、地上の植物を破壊する血の混じった雹と火をもたらします（黙示録 8:6-7）。第二のラッパとともに、火で燃える大きな山が海に投げ込まれ、海の生き物の三分の一が死に、船が破壊されます（黙示録 8:8-9）。3番目のラッパでは、よもぎと呼ばれる大きな星が天から落ち、川と泉の3分の1を汚染する様子が描かれています(黙示録8:10-11)。

第 3 段落: 12 ～ 13 節に記載されているさらなるラッパ裁きが続きます。ラッパを鳴らした後。4番目のラッパは太陽、月、星の3分の1を暗くし、昼と夜の光を減少させます(黙示録8:12)。次に、一羽の鷲が中天を飛び、まだ鳴り響いていない残りの三回のラッパの吹鳴のために、地上に住む人々に降りかかる三つの災いを告げます（黙示録 8:13）。

要約すると、黙示録の第 8 章は、第 7 の封印が解かれた後の重要な出来事を描いています。7人の天使には7つのラッパが与えられ、ラッパが吹かれるたびに新たな裁きが地上に解き放たれます。これらの判決には、植生の破壊、海の荒廃、水源の汚染、天体の乱れなどが含まれます。この章は、広範囲にわたる荒廃をもたらし、地上に住む人々への警告となる神の裁きの厳しさを強調しています。ワシの宣言は、後続の章で今後起こるさらなる災難を予感させます。

黙示録 8:1 そして彼が第七の封印を開いたとき、約半時間ほど天に沈黙があった。

7番目の封印が開かれ、天国では30分間の沈黙が続きました。

1. 生活の中で沈黙をどう感謝するか

2. 第七の封印の力

1. 詩篇 46:10 - 静かに、私が神であることを知りなさい。

2. 伝道の書 3:1-8 - 天の下では、何事にも時があり、あらゆる活動に季節があります。

黙示録 8:2 そして、私は神の前に立っている七人の天使を見た。そして彼らには七つのラッパが与えられました。

7人の天使には神の御前で7本のラッパが与えられます。

1. 7 の力: 聖書における 7 という数字の重要性を理解する

2. 神の大いなる日: 黙示録 8 章の 7 つのラッパの意味

1. 創世記 7:4 - 7 日以内に地に雨が降るからです。

2. 民数記 14:34 - あなたがたはその地を捜した日数、たとえ 40 日、1 年間毎日、その咎を 40 年でも負わなければなりません。

黙示録 8:3 すると、別の天使が来て、金の香炉を持って祭壇に立った。そして彼に多くの香が与えられ、玉座の前にある黄金の祭壇にすべての聖徒の祈りとともにそれを捧げるようになった。

天使がやって来て、金の香炉を持って祭壇に立ち、玉座の前ですべての聖徒の祈りを捧げるためにたくさんの香を与えられました。

1. 祈りの力 - 神への祈りがどのように奇跡をもたらすのか

2. 信仰の重要性 - 信仰を持つことがどのように祝福につながるのか

1. ヤコブ 5:16 - 「ですから、互いに罪を告白し、いやされるようにお互いのために祈りなさい。義人の祈りは力強く、効果的です。」

2. ローマ 10:17 - 「ですから、信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストの言葉を通して始まります。」

黙示録 8:4 すると、聖徒たちの祈りとともに出た香の煙が、天使の手から神の前に立ち上った。

聖徒たちの祈りは神の御前に届きます。

1: 私たちは、神が私たちの声を聞いてくださることを知って、自信を持って神に祈りをささげなければなりません。

2: 祈るとき、私たちの祈りは神にとって甘い香りであることを思い出しましょう。

1: ピリピ人への手紙 4:6-7 ?何事も心配しないでください。しかし、何事においても、感謝を込めて祈りと願いを捧げることによって、あなたの願いを神に知らせてください。そして、あらゆる理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあってあなたの心と思いを守るでしょう。

2: 詩篇 66:17-19 ? 쏧は私の口で彼に叫びました、そして私の舌には高い賛辞がありました。もし私が心の中で不法行為を大切にしていたら、主は耳を貸されなかったでしょう。しかし本当に神は耳を傾けてくださいました。彼は私の祈りの声に耳を傾けてくれました。

黙示録 8:5 天使は香炉を取り、祭壇の火で満たし、それを地に投げ込んだ。すると、声と雷鳴と稲妻と地震が起こった。

天使が祭壇の火を香炉に満たして地に投げ込んだところ、大きな声、雷鳴、稲妻、地震が発生しました。

1.「主の力: 神の火はどのようにして驚異的な影響を生み出すのか」

2.「神の火の祝福: 主の火がいかに力と守りをもたらすか」

1. 出エジプト記 19:16-19 - 主は火と煙とともにシナイ山に降臨し、民は恐怖に震えた。

2. 詩篇 29:3-9 - 主の御声は力強い。主の御声は威厳に満ちています。主は洪水の上に王座に座しておられます。主は永遠に王として即位されます。

黙示録 8:6 そして、七つのラッパを持った七人の御使いたちは、鳴り響く準備をした。

7 つのラッパを持った 7 人の天使たちは、音を鳴らす準備をしました。

1. 神の呼びかけを受け入れる：天国のラッパを聞くことを学ぶ

2. 黙示録における7つのラッパの意味

1. イザヤ書 27:13、?そしてその日、大きなラッパが吹き鳴らされ、アッシリアの地で滅びようとしていた人々と、エジプトの地で追放された人々がやって来て、その地で主を礼拝するであろう。エルサレムの聖なる山。

2. 黙示録 11:15-19、?そして第七の天使が声を上げた。すると天に大きな声が聞こえてこう言った、「この世の王国は私たちの主とそのキリストの王国となる。そして彼は永遠に統治するでしょう。そして、神の前に椅子に座っていた四人と二十人の長老たちは、ひれ伏して神を礼拝し、こう言った、「主よ、全能の神よ、今も昔もこれからも、あなたに感謝します」。あなたはあなたの偉大な力を手に入れて統治したからです。そして国々は怒った、そしてあなたの怒りが来ています、そして死者の時が来ています、彼らは裁かれるべきです、そしてあなたはあなたのしもべである預言者と聖人たちとあなたの名を恐れる者たちに報酬を与えるべきです、小さな者たちそして素晴らしい。そして地球を破壊する者たちを滅ぼすべきです。そして、神の神殿が天に開かれ、神の神殿に遺言の箱が見えました。そして、稲妻、声、雷鳴、地震、そして大雹が起こりました。

黙示録 8:7 最初の御使いの声が響き、その後、雹と血と火が混じり、それらは地に投げ込まれ、木の三分の一は焼け、緑の草はすべて焼け落ちた。

最初の天使の声が響き、地球に雹、火、血が降り注ぎ、その結果、木々の 3 分の 1 と緑の草がすべて焼き尽くされました。

1. 神に対する罪と反逆の結果

2. 裁きにおける神の力

1. イザヤ書 9:19 - 万軍の主の怒りにより、地は暗くなり、民は火の燃料となる。誰も兄弟を惜しまない。

2. ローマ人への手紙 12:19 - 愛する人よ、自分で復讐するのではなく、むしろ怒りに身を任せてください。「復讐は私のものである」と書いてあるからです。わたしが報いる、と主は言われる。

黙示録 8:8 すると、第二の御使いの声がした。すると、まるで火が燃え盛る大きな山が海に投げ込まれたように、海の三分の一は血となった。

第二の天使の声が響き、燃える山が海に投げ込まれ、海の三分の一が血に変わりました。

1. 神の力: 主はどのようにしるしを用いてご自分の力を示されるか

2. 神の主権: 神の裁きがどのように変化をもたらすか

1. 出エジプト記 14:21-22 - そしてモーセは海の上に手を差し伸べた。すると主はその夜、強い東風で海を逆流させ、海を乾いた陸地とし、水は分けられた。

2. エゼキエル 38:20 - 海の魚、天の鳥、野の獣、地を這うすべての生き物、そして地表にいるすべての人間も同様である。地はわたしの前で震え、山々は崩れ落ち、険しい場所は崩れ、あらゆる壁は地面に崩れ落ちるだろう。

黙示録 8:9 そして、海にいて命を持っていた生き物の三分の一は死んだ。そして船の3番目の部分は破壊されました。

海の生き物の3分の1と船の3分の1が死んだ。

1. 神の憐れみ: 滅びの時であっても

2. 管理の重要性: 神の創造物への配慮

1. エゼキエル書 33:11 - ?彼らにとってはそうですか？「私は生きている！？」と主なる神は宣言されます。悪人の死を喜ぶのではなく、悪人が自分の道から背を向けて生きることを喜ぶのです。ユーロ?

2. 詩篇 8:6-8 - ?あなたは彼を天上の存在より少し低くし、彼に栄光と名誉の冠を与えました。あなたは彼にあなたの手の業に対する支配権を与えました。あなたはすべてのもの、すべての羊と牛、そして野の獣を彼の足の下に置きました。

黙示録 8:10 そして、第三の天使の声がした。そして、大きな星が天から落ち、まるでランプのように燃え、それは川の三分の一と水の泉の上に落ちた。

天使が3番目のラッパを吹き鳴らしたところ、大きな星が地球に落ち、ランプのように燃え上がり、川と噴水の3分の1に影響を与えました。

1. 神の力: 主はどのようにして私たちの生活を瞬時に変えることができるか

2. 水の重要性: 黙示録 8:10 についての考察

1. エレミヤ 2:13 - 「わたしの民は二つの悪を犯した。彼らは生ける水の泉であるわたしを捨て、水をためることのできない水溜め、壊れた水溜めを切り出した。」

2. エゼキエル 47:1-5 - 「その後、イエスは私を再び家の戸口まで連れて行った。すると、見よ、家の敷居の下から東に向かって水が湧き出た。家の最前部が東に向かって立っていたからである。水は家の右側、祭壇の南側から下から流れてきました。

黙示録 8:11 そして、その星の名前はよもぎと呼ばれます。そして、水の三分の一はよもぎになりました。そして多くの人が水で死んだ。水が苦くなったからである。

水の3番目の部分は苦くなり、多くの人が亡くなりました。

1: 神の裁きは厳しく、私たちが飲む水からも感じられます。

2: 手遅れになる前に悔い改めることの重要性。

1: 申命記 30:19 私は天と地に、あなたに対してこの日を記録するよう呼びかけます。私はあなたの前に生と死、祝福と呪いを定めました。それゆえ、あなたとあなたの子孫が生きるために、命を選びなさい。

2: エレミヤ 2:13 わたしの民は二つの悪を犯しました。彼らは私に生ける水の泉を放棄し、水をためることのできない壊れた貯水池を切り出しました。

黙示録 8:12 すると、第四の天使が声を上げ、太陽の三分の一、月の三分の一、星の三分の一が打たれた。そのため、それらの 3分の1は暗くなり、その3分の1は日が当たらず、夜も同様でした。

第 4 の天使が音を立て、太陽、月、星の 3 分の 1 が打たれて暗くなりました。

1. 神の力と裁き - 黙示録 8:12

2. 神の裁きの影響 - 黙示録 8:12

1. イザヤ書 13:10 - 天の星とその星座は光を発しないからです。太陽は出て行くと暗くなり、月はその光を輝かせません。

2. マタイ 24:29 - 当時の艱難の直後、太陽は暗くなり、月は光を与えず、星は天から落ちるでしょう。

黙示録 8:13 そして、わたしは見、また、天使が天の真ん中を飛んで、大声で、「災い、災い、災い、三人の天使のラッパの他の声のために、地の住民に災い、災い、災い」と言っているのを聞いた。、まだ鳴っていません！

地球の住人たちに警告の声が大きく響く。

1: 天使の警告に耳を傾けてください!

2: 天の声を聞いて従いましょう!

1: 使徒 10:15 - そして、二度目に声が彼に告げた、「神が清めてくださったもの、あなたを普通のものとは呼びません。」

2: ヤコブ 1:19-20 - ですから、愛する兄弟たちよ、すべての人は聞くのに早く、話すのに遅く、怒るのに遅くありなさい。人の怒りは神の義を働かせないからです。

黙示録 9 章は黙示録の 9 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章では、恐ろしい悪魔の力と激しい戦争を引き起こす第 5 と第 6 のラッパの響きに焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、第 5 の天使がラッパを吹き鳴らし、その結果、星が天から地に落ちるところから始まります。この星は底なしの穴への鍵を与えられ、それを開き、太陽と空気を暗くする煙を放出します(黙示録9:1-2)。この煙からサソリのような力を持つイナゴのような生き物が現れ、神に封印された者たちに危害を加えず、神の封印を受けていない者たちを 5か月間苦しめるように命じられました(黙示録9:3-6)。これらの生き物には、「破壊者」を意味するアバドンまたはアポリオンという名前の王がいます(黙示録9:11)。

第 2 段落: 第 6 の天使がラッパを吹き鳴らして、ユーフラテス川に縛られていた 4 人の天使を解き放ちます。これらの天使たちは、戦いのために装備された二億騎の軍隊を指揮しています（黙示録 9:13-16）。馬はライオンのような頭を持ち、口からは火、煙、硫黄が出ています。彼らは人類の 3分の1を火、煙、硫黄で殺します(黙示録9:17-19)。このような破壊を目の当たりにしたにもかかわらず、人類は偶像崇拝や邪悪な行為を悔い改めません。

第 3 段落: この章の悪魔のようなイナゴと破壊的な騎士の描写全体を通して、神を拒否する人々に対する神の裁きが強調されています。これらの生き物が与える苦痛は、神に封印されていない人々が経験する霊的苦痛を表しており、神の保護からの分離を象徴しています。大規模な軍隊は、多大な死傷者をもたらす容赦ない戦争を象徴しています。神の裁きの一環として人類に降りかかるこれらの警告や災難にもかかわらず、悔い改めも神に立ち返ることもなく、人間の心のかたくなさを浮き彫りにしています。

要約すると、黙示録の第 9 章では、恐ろしい力を地球に解き放つ第 5 と第 6 のラッパの音が描かれています。イナゴのような悪魔のような生き物が神の封印を持たない者たちを苦しめる一方で、破壊的な騎士の巨大な軍隊が広範囲に死と破壊をもたらします。これらの出来事は、神を拒絶する人々に対する警告と裁きとして機能し、彼らの霊的苦痛と悔い改めない心の結果を浮き彫りにします。この章では、神の裁きの厳しさと、人類が悔い改めにおいて神に立ち返る必要性が強調されています。

黙示録 9:1 そして、第五の御使いの声がした。そして、私は星が天から地に落ちるのを見た。そして、彼に底なしの穴の鍵が与えられた。

第五の天使の声が響き、星が天から地に落ちました。この星に底なし沼の鍵が与えられた。

1. 第五の天使の力: 黙示録 9:1 の重要性を探る

2. より深い意味のロックを解除する: 底なし沼の中で希望を見つける

1. イザヤ書 14:12-15 - 明けの明星よ、夜明けの子よ、あなたはなんと天から落ちたのでしょう！かつて諸国民を屈服させた者よ、あなたは地に投げ落とされたのです！

2. ルカ 8:31 - 彼らは、深淵に入るように命令しないでくださいと繰り返しイエスに懇願しました。

黙示録 9:2 そして彼は底なしの穴を開いた。すると、穴からは大きな炉の煙のように煙が立ち上りました。そしてピットの煙のせいで太陽も空気も暗くなった。

底なしの穴が開いて、太陽と空気を暗くする大きな炉から出るような煙を発しました。

1. 神はしばしば困難な状況を利用してご自身の意志を実現させます。

2.神の力は暗闇の中でも見ることができます。

1. イザヤ書 60:2 - 見よ、闇が地を覆い、深い闇が民を覆う。しかし、主はあなたの上に立ち上がり、主の栄光があなたの上に見られます。

2. 創世記 1:2 - 地には形がなく、空虚でした。そして暗闇が深淵の面を覆った。そして神の霊が水面の上に浮かんでいました。

黙示録 9:3 すると、煙の中からイナゴが地に出てきました。そして、地のサソリが力を持っているように、彼らにも力が与えられました。

イナゴは煙の中からサソリに似た力で地上に送られました。

1. 神の力は最も小さな生き物を通してもどのように表れるか

2. 自然の生き物から学ぶことの大切さ

1. ヨブ記 39:20-22 - 「鷹はあなたの知恵によって飛び立ち、南に向かって翼を広げますか? 鷲はあなたの命令に乗って高いところに巣を作りますか? 彼女は岩の上に住み、とどまります。」岩の岩の上、そして強い場所の上に。」

2. 詩篇 104:24-25 - 「主よ、あなたの業は何と多岐に渡ります。あなたは知恵によってそれらをすべて造りました。地球はあなたの富で満ちています。この大きくて広い海も同様で、小さな獣も大きな獣も、無数のものが這い回っています。」

黙示録 9:4 また、彼らは、地の草も、どんな緑のものも、どんな木も傷つけてはならないと命じられた。ただし、額に神の印を押されていない人に限ります。

神は、額に神の印を押していない者を除いて、地上のいかなる生き物も傷つけてはならないと命じられました。

1. 神の印章の力: なぜ私たちは主の印章を守り支持すべきなのか

2. 地上のものの保護と神の憐れみ

1. エペソ 1:13-14 - 真理の言葉、救いの福音を聞いた後、あなたもキリストに信頼しました。あなたもまた、この方を信じたので、約束の聖霊によって証印を押されました。

2. 詩篇 33:18-19 - 見よ、主の目は主を畏れる者たち、主の憐れみによって魂を死から救い出し、飢餓の中でも生かしてくださると願う者たちに注がれている。

黙示録 9:5 また、彼らには、殺してはならず、五か月間苦しめられることが与えられた。その苦しみは、サソリが人を襲うときのような苦しみであった。

人々はサソリに刺されたかのように5か月間苦しみ続けています。

1. 苦しみの針: 神のために苦しみに耐える方法

2. 忍耐力の強さ：苦しみの中に希望を見出す

1. ローマ 8:18-39 - 私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。

2. ペテロ第一 4:12-19 - 愛する人たち、あなたを試みる激しい試練があなたに降りかかったとしても、何か奇妙なことが起こったかのように驚かないでください。

黙示録 9:6 その時代には、人々は死を求めますが、それは見つかりません。そして死を望むであろう、そして死は彼らから逃げるだろう。

人々は死を求めますが、それは見つかりません。彼らは死にたいと願うだろうが、死は彼らを避けてくれるだろう。

1. 死の到達不能性: 黙示録 9:6 の研究

2. 平和の探求: 死ではなく、生の中で平和を見つけることを学びましょう

1. ヨブ 3:21-22: 「なぜ、悲惨な状況にある者には光が与えられ、死を待ち望む心の苦い者には命が与えられるのに、それは来ないのですか。そして隠された宝物を探すよりもそれを掘り出しましょう。」

2. ローマ人への手紙 8:38-39: 「死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての創造物には存在しないと私は確信しています。私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すことができるのです。」

黙示録 9:7 そして、いなごの形は戦いに備えた馬に似ていた。彼らの頭にはまるで金のような冠があり、顔は人間の顔のようでした。

黙示録 9 章 7 節で、ヨハネは、戦いに備えた馬のような形をしており、金の冠をかぶり、人間に似た顔をしたイナゴについて説明しています。

1. 戦争への呼びかけ: 戦いに備える方法

2. 私たちが身に着けているマスク: 私たちの外見と内面はどのように異なるのか

1. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。

2. エペソ 6:10-17 - 悪魔の計略に対して立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けてください。

黙示録 9:8 彼らの髪は女の髪のようで、歯は獅子の歯のようでした。

この一節には、女性のような髪とライオンのような歯を持つ人々のグループが描写されています。

1. 神の力は人類の独特の特徴にどのように見られるか。

2. 信仰の強さと優しさ。

1. イザヤ書 11:6 - オオカミは子羊とともに住み、ヒョウは子ヤギとともに横たわり、子牛とライオンと肥えた子牛は一緒に寝ます。そして小さな子供が彼らを導くでしょう。

2. 詩篇 34:10 - 若いライオンは欠乏と飢えに苦しんでいます。しかし、主を求める人には良いものがないわけではありません。

黙示録 9:9 また、彼らには鉄の胸当てのような胸当てがあった。そして彼らの翼の音は、戦いに走る多くの馬の戦車の音のようでした。

黙示録 9 章 9 節の天使たちは、鉄の胸当てを着け、多くの馬や戦車が戦いに走る音を立てていると描写されています。

1. 天使の力: 戦いにおいて神の天の軍勢がどのように私たちをサポートするか

2. しっかりと立つ：困難な時に天のホストの模範に倣う

1. エペソ 6:13-17 - 神の武具を身に着けて、悪魔の計略に立ち向かいましょう。

2. ローマ 8:35-39 - キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すものは何もありません。

黙示録 9:10 彼らにはサソリのような尾があり、その尾には針があり、その力は人を五か月間傷つけるほどであった。

黙示録 9章10節にあるサソリのような生き物の力は、5か月間人々を傷つけることでした。

1. 神の裁きの力: 黙示録 9:10 からの教訓

2. 神の裁きに備える方法: 黙示録 9:10 からの考察

1. 詩篇 103:8-14 - 主は憐れみ深く慈しみ深く、怒るのが遅く、揺るぎない愛に満ちておられます。

2. イザヤ書 30:18 - それゆえ、主はあなたに慈悲深くあられるよう待ち、それゆえに高められ、あなたを憐れんでくださるでしょう。主は裁きの神だからです。彼らはすべて幸いです。それは彼を待っています。

黙示録 9:11 彼らには王がいました。それは底なしの穴の天使で、その名はヘブライ語でアバドンですが、ギリシア語ではアポリオンといいます。

底なし沼の天使は、ヘブライ語ではアバドン、ギリシャ語ではアポリオンとして知られています。

1.「私たちの王：アバドンとアポリオン」

2. 「あなたの王を知る：アバドンとアポリオン」

1. イザヤ書28:15-18

2. ヤコブ1:2-4

黙示録 9:12 一つの災難は過ぎ去った。そして見よ、この後さらに二つの災難が起こる。

聖書の最後の書である黙示録には、一つの災難は過ぎ去り、さらに二つの災難がこれから起こると述べられています。

1: 神の愛は人生の困難や試練を通しても持続します。

2: たとえそれがどれほど困難であっても、私たちは信仰を強く持ち、私たちに対する神の計画を信頼しなければなりません。

1: ローマ人への手紙 8:28、「そして私たちは、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるよう共に働くことを知っています。」

2: 詩篇 18:2、「主はわたしの岩、わたしの砦、わたしの救い主、わたしの神、わたしの岩、わたしの避け所、わたしの盾、わたしの救いの角、わたしの砦。」

黙示録 9:13 そのとき、第六の天使が声を上げ、神の御前にある金の祭壇の四本の角から声が聞こえました。

第六の天使が鳴り響き、神の御前にある黄金の祭壇の四本の角から声が聞こえます。

1. 悔い改めを促す神の声

2. 第六天使の音の力

1. イザヤ書 1:18-20 - 「さあ、さあ、一緒に論じましょう、と主は言われる。たとえあなたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなるでしょう。たとえ深紅のように赤くても、それらは羊毛のようになります。」「もしあなたがたが喜んで従順であれば、あなたがたはその土地の良いものを食べるであろう。しかし、もしあなたが拒否して反抗するならば、あなたがたは剣で食い尽くされるであろう。主の口がそれを語られたからである。」

2. エゼキエル 33:11 - 「彼らに言いなさい、『わたしは生きている、と主なる神は言われる、わたしは悪人の死を喜ばない。しかし、悪人はその道から離れて生きるように』イスラエルの家よ、なぜあなたがたは死ぬのですか？」

黙示録 9:14 ラッパを持った第六の天使に言った、「ユーフラテスの大河で縛られている四人の天使を解き放ってください。」

第6の天使は、ユーフラテスの大河に拘束されていた4人の天使を解放するように指示されました。

1. 信仰の力: 神を信頼する強さを理解する

2. 団結の力: 協力することの影響を認識する

1. 使徒 16:25-26 - 真夜中、パウロとシラスは神に祈り、賛美の歌を歌いました。囚人たちはそれを聞きました。そして突然、大きな地震が起こり、刑務所の基礎が揺さぶられました。そしてすぐにすべてのドアが開き、全員の帯が緩められました。

2. マタイ 18:20 - 二人や三人がわたしの名のもとに集まっているところ、その中にわたしもいるのです。

黙示録 9:15 そして、人間の三分の一を殺すために、一時間、一日、一月、一年のために用意されていた四人の天使が解き放たれた。

4人の天使は人類の3分の1を殺す準備ができています。

1.神の力: 神はどのように天使を用いて人類を罰したか

2. 苦しみの目的: 人類に対する神の計画を理解する

1. エゼキエル 14:21 - 「主なる神はこう言われる。わたしがエルサレムに四つの痛ましい裁き、剣、飢餓、騒々しい獣、疫病を送り、人間をそこから断ち切るなら、なおさらだろう」そして獣？

2. ローマ人への手紙 11:33-36 - 「ああ、神の知恵と知識の富の深さよ! 神の裁きと、それを知ることの先の道は、なんと探り知れないことだろう! 誰が主の心を知っていたのか?あるいは誰が? 」

黙示録 9:16 騎兵の軍勢は二十万、わたしはその数を聞いた。

騎兵の軍隊の数は二億であった。

1. 神の軍隊の力は広大かつ無限です。

2. 私たちは神の軍隊の力を決して過小評価してはなりません。

1. エペソ人への手紙 6:10-13 - 主とその力の強さにおいて強くありなさい。

2. イザヤ 59:19 - 敵が洪水のように押し寄せるとき、主の御霊は彼に対して旗を掲げます。

黙示録 9:17 こうして、わたしは幻の中で馬と、その上に座っている馬を見た。火とヤシンスと硫黄の胸当てをしており、馬の頭は獅子の頭のようであった。そして彼らの口からは火と煙と硫黄が出た。

幻の中で、馬とその乗り手が火、ジャシンス、硫黄の胸当てをしているのが見え、馬の頭はライオンの頭のようで、口からは火、煙、硫黄が出ていました。

1.神の軍隊の強さ

2. 神の言葉の力

1. エペソ人への手紙 6:10-20 - 神の武具

2. 詩篇 103:19-20 - 主の威厳と力

黙示録 9:18 この三人によって、人間の三分の一は、火と煙と彼らの口から出た硫黄によって殺された。

人類の 3 分の 1 は、火、煙、硫黄の組み合わせによって殺されました。

1. 神の裁きの力

2. 神の怒りを理解する

1. 詩篇 11:6 - 神は燃える石炭と硫黄を邪悪な者たちに降らせ、灼熱の風が彼らの運命となる。

2. ローマ 2:5 - しかし、あなたの頑固さと悔い改めない心のせいで、あなたは神の正しい裁きが明らかにされる神の怒りの日のために、自分に対する怒りを蓄えているのです。

黙示録 9:19 なぜなら、彼らの力は彼らの口と尻尾にあるからです。彼らの尻尾は蛇のようで、頭があり、それによって彼らは傷つけられるからです。

黙示録 9章19節に記されている生き物の力は、頭のある蛇のような口と尾にあり、害を及ぼすことができます。

1.「権力を持つとはどういう意味ですか?」

2.「言葉の力」

1. 箴言 18:21 - 「死も命も舌の力にあり、舌を愛する者はその実を食べる。」

2. ヤコブ 3:5-6 - 「舌も小さな部分ですが、偉大なことを誇っています。このような小さな火で森が燃え上がるとは、何と大きなことでしょう。舌は火であり、不義の世界です。」。」

黙示録 9:20 また、これらの疫病によって命を落とさなかった残りの人たちは、自分たちの手の業を悔い改めず、悪魔や、金、銀、真鍮、石、偶像などを崇拝してはならないと言いました。木: 見ることも聞くことも歩くこともできません。

疫病を生き延びた人々は悔い改めることを拒否し、偽りの偶像を崇拝し続けました。

1. 真の悔い改めの力を発見する

2. なぜ偽りの偶像を拒否すべきなのか

1. イザヤ書 44:9-20 - 偽りの偶像を崇拝することの愚かさを説明

2. ヨハネ 4:23-24 - 霊と真理をもって神を礼拝することの重要性を説明する

黙示録 9:21 彼らは、自分たちの殺人も、魔術も、淫行も、窃盗も悔い改めませんでした。

この聖句は、殺人、魔術、不道徳、窃盗など、人々の悔い改めない罪について語っています。

1. 悔い改めない罪の危険性 - 悔い改めずに罪を犯し続けることの結果についてのメッセージ。

2. 悔い改めの力 - 罪から目を背け、神に向かうことの重要性についてのメッセージ。

1. 箴言 28:13 - 自分の罪を隠す者は繁栄しない。しかし、告白して罪を捨てる者は憐れみを受けるであろう。

2. ヨハネ第一 1:9 - 私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

黙示録 10 章は黙示録の 10 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章は強力な天使と小さな巻物に焦点を当て、裁きと神の使命の両方を強調しています。

第 1 段落: この章は、雲と虹を頭上にかぶった別の強力な天使が天から降りてくるのをヨハネが見るところから始まります。その顔は太陽のように輝き、足は火の柱のようです（黙示録 10:1-2）。彼の手には、開いた小さな巻物が握られています。天使は右足を海に置き、左足を地に置き、すべての創造物に対する権威を象徴しています（黙示録 10:2-3）。それから彼は7つの雷を発しますが、彼らが言ったことを書き留めないようにヨハネに指示します（黙示録10：4）。

第 2 段落: 5 節に続き、天使は右手を天に上げ、永遠に生きておられる方によって、神の裁きの計画にこれ以上の遅れがないことを誓います (黙示録 10:5-6)。天使は、第七のラッパが鳴るとき、神の奥義は、神がその僕たちである預言者たちに宣言したとおりに成就すると宣言します(黙示録10:7)。その後、ヨハネは天使の手から小さな巻物を取り、それを食べるように指示されます。口の中では甘く感じますが、胃の中で苦くなります（黙示録 10:8-11）。

第 3 段落: この章では、神の権威と任務の両方に焦点を当てています。強力な天使の出現は、すべての創造物に対する天の力を意味します。彼が開いた巻物を所有していることは、神の明らかにされた目的または預言を表しています。しかし、記録されていない七雷の言葉によって、明らかにされていない部分もある。天使によってなされた誓いは、時間はもはや遅れることはないことを強調しています。神の究極の計画は、第 7 のラッパの響きを通して成就します。ヨハネが巻物を食べた経験は、彼の同化と神のメッセージの宣言を象徴しており、最初は甘さをもたらしますが、後に苦味に変わり、その内容の挑戦的で厳粛な性質を示しています。

要約すると、黙示録の第 10 章では、開いた小さな巻物を持った強力な天使が登場します。天使の出現は、創造物に対する神の権威と力を意味します。彼の誓いは、神の裁きの計画がもはや遅れることはなく、神の神秘が預言の啓示に従って成就されることを強調しています。ヨハネが巻き物を消費することに参加したことは、神のメッセージを宣べ伝えるというヨハネの使命を象徴しており、それは最初の甘さとその後の苦味の両方をもたらします。この章は、神の権威、神の目的の成就、そして神の言葉の使者としてヨハネに託された責任を強調しています。

黙示録 10:1 そして、私はまた別の力強い天使が、雲をかぶって天から降りてくるのを見た。その頭には虹がかかり、顔は太陽のようで、足は火の柱のようだった。

この一節には、頭に虹、太陽のような顔、火柱のような足を持って天から降りてくる天使が描かれています。

1. 神の素晴らしさと威厳: 天国における天使の役割

2. 虹の約束: 神はどのようにして私たちと契約を結ぶのか

1. エゼキエル1:26-28

2. イザヤ書6:1-3

黙示録 10:2 そして、彼は手に小さな本を開いて、右足を海に、左足を地に踏み、

手に小さな本を持った人物は、片足を海に、もう片足を地に置いています。

1. 神の言葉の力: それがどのように天と地を結びつけるのか

2. 神の言葉を諸国民に宣べ伝えることの重要性

1. イザヤ書 11:9 彼らはわたしの聖なる山全体を傷つけたり破壊したりすることはない。水が海をおおうように、地は主の知識で満ちるからである。

2. マタイ 28:19-20 それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を教え、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じたことをすべて守るように教えなさい。、見よ、私はいつもあなたとともにいます、たとえ世界の終わりまで。アーメン。

黙示録 10:3 そして、獅子がほえるときのように、大声で叫びました。そして彼が叫んだとき、七つの雷がその声を発しました。

天使がライオンのような大きな声で叫び、七つの雷がそれに応えました。

1: 私たちの神の強さ - 黙示録 10 章 3 節は、私たちの神が力強く、力強く、ライオンの咆哮よりも大きな声を持っておられることを示しています。

2: 神の咆哮に従う - 黙示録 10 章 3 節は、神の声を聞き、神の雷鳴のような咆哮の呼びかけに耳を傾けるように私たちに呼びかけています。

1: イザヤ書 40:10-11 - 「見よ、主なる神は力をもって来られ、その御腕が彼を支配する。見よ、彼の報いは彼とともにあり、彼の報いは彼の前にある。彼は羊飼いのように自分の群れを世話するであろう。子羊たちを腕に集め、胸に抱き、子羊たちを優しく導くであろう。」

2: 詩篇 29:3-4 「主の声は水の上に響きわたる。栄光の神、主よ、多くの水の上に雷鳴がとどろく。主の声は力強く、主の声は威厳に満ちている。」。」

黙示録 10:4 そして、七つの雷が声を発したとき、私は書こうとしていた。すると、天から私に言う声が聞こえた、「七つの雷が発したものを封印し、それを書いてはならない」。

ジョンは七つの雷が話しているのを聞きましたが、彼らが言ったことを書き留めないように指示されました。

1. 神の声の力: 珍しい方法で神の声を聞く

2. 七つの雷の謎：困難な時代に神の意志を理解する

1. イザヤ書 40:8 - 「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉は永遠に残る。」

2. マタイ 7:24-27 - 「わたしのこれらの言葉を聞いて実行する者は皆、岩の上に家を建てた賢者のようになるでしょう。そして雨が降り、洪水が起こり、風が吹いてその家を打ちましたが、岩の上に建てられていたので倒れませんでした。」

黙示録 10:5 そして、私が見た天使は海の上と地の上に立って、手を天に上げました。

神の天使は手を天に上げました。

1: 神は常に私たちを導き、守ってくださいます。私たちがどこにいても、神は常に存在します。

2: たとえ困難な時であっても、神がどの段階においても私たちと共におられると知ると、私たちは慰められることができます。

1: 詩篇 121:1-2 「目を上げて山を見上げます。私の助けはどこから来ますか?」私の助けは天地の造り主である主から来ます。」

2: イザヤ書 41:10 「だから恐れるな。わたしがあなたとともにいるからである。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、あなたを助けます。わたしは義なる右手であなたを支えます。」

黙示録 10:6 そして、永遠に生きておられる方、天とその中にあるもの、地とその中にあるもの、海とその中にあるものを創造された方にかけて誓いましょう。もう時間がないはずです:

時間はいつか終わりを迎えます。その日のためにすべての準備を整えなければなりません。

1: 終末に備えて今すぐ準備をしましょう

2: 遅らせないでください: 時の終わりに備える心を持ちましょう

1: マタイ 24:36-44 - 終末がいつ来るかは誰にもわかりません。ですから、備えをしておいてください。

2: 伝道の書 3:1-8 - 何事にも時があり、今が終わりに備える時です。

黙示録 10:7 しかし、第七の御使いの声が響き始める日には、神がその僕たち預言者たちに宣言されたとおり、神の奥義は完成するはずです。

第七の天使は、預言者たちに啓示された神の奥義の完成を告げる声を上げます。

1. 第七の天使を通して明らかにされる神の真実

2. ついに明かされる神の謎

1. エペソ人への手紙 3:4-5 - 「これを読むと、キリストの神秘についての私の洞察がわかります。それは、今では神の聖なる使徒たちと人々に明らかにされているのですが、他の世代の人の子らには知らされていませんでした」御霊による預言者です。」

2. イザヤ書 48:3-6 - 「わたしは以前のことをずっと前に宣言しました。それらはわたしの口から出て、告げました。突然、わたしが行動し、それが実現しました。なぜなら、あなたが頑固であること、そしてあなたの意志が堅固であることを、わたしは知っているからです」首は鉄の筋で、あなたの額は真鍮です、私は昔からあなたにそれらを宣言しました、それらが実現する前に、あなたが「私の偶像が彼らをやった、私の彫刻された像と私の金属の像が彼らに命じた」と言わないように私はあなたにそれらを宣言しました。」「あなたは聞いたでしょう。さあ、このすべてを見てください。そしてそれを宣言しませんか。これから私はあなたに新しいこと、あなたが知らなかった隠されたことを発表します。」

黙示録 10:8 すると、天から聞いた声が再びわたしに告げて言った、「行って、海と地の上に立っている天使の手に開かれている小さな本を取りに行きなさい。」

天からの声がナレーターに語りかけ、天使から開いた本を受け取るように言いました。

1. 神の言葉：開かれた本を手に取り、私たちの真の可能性を解き放つ

2. 神の御心を達成するために神の声を聞くにはどうすればよいか

1. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足のともしび、私の道の光です。

2. ヨハネ 16:13 - 真理の御霊が来るとき、彼はあなたをすべての真理に導きます。

黙示録 10:9 そこで私は天使のところに行って、「この小さな本をください」と言った。そして彼は私に言った、「それを取って食べなさい」。そしてそれはあなたの腹を苦くするでしょう、しかしそれはあなたの口の中では蜂蜜のように甘いでしょう。

天使はヨハネに、小さな本を取り出して食べるように指示しました。それは彼の腹には苦いが、口には甘いでしょう。

1. 神の御心に従う甘くて苦い喜び

2. 従順の報酬: 主の甘さを味わう

1. エレミヤ 15:16 - あなたの言葉が見つかり、私はそれを食べました。そしてあなたの言葉は私にとって喜びであり、私の心の喜びとなりました。万軍の神、主よ、私はあなたの御名で呼ばれているからです。

2. 詩篇 19:10 - それらは金よりも、さらには純金よりも望ましいものです。蜂蜜や蜂の巣のしずくよりも甘い。

黙示録 10:10 そして、私は天使の手から小さな本を取り、それを食べました。口の中は蜂蜜のように甘く、食べるとすぐにお腹が苦くなりました。

ナレーターは、天使が彼らに小さな本を与え、それを食べると、最初は甘いが、やがて胃の中で苦くなるというビジョンを説明します。

1. 神の言葉の甘さは、私たちがそれに注意を払わない場合、苦い経験につながる可能性があります。

2. 私たちは神の言葉を自分の中に取り入れて、それが私たちの生活の一部になるようにしなければなりません。

1. 詩篇 19:10 - 「それらは金よりも、さらには純金よりも望ましい。蜂蜜や蜂の巣の滴りよりも甘い。」

2. ローマ 6:23 - 「罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。」

黙示録 10:11 そして彼は私に言った、「あなたは再び多くの民族、諸国民、異国語、王たちの前で預言しなければなりません。」

この箇所は、多くの人々の前で預言する必要性について語っています。

1. 神の言葉を宣べ伝える呼びかけ: 神の言葉を宣べ伝えることの重要性と、社会的または文化的背景に関係なく、すべての人々に対するその関連性。

2. 預言の力: 神の言葉を宣べ伝える力と、それがどのように人生を変え、希望をもたらすのかを探ります。

1. イザヤ書 55:10-11 - 雨が降り、雪が天から降って、そこに戻るのではなく、地に水を与え、芽を出し、種を蒔く人に種を与えるように、食べる人にパンを。私の口から出た私の言葉はそのようになります。それは私に無駄に返されることはありませんが、それは私が望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. マタイ 28:18-20 - そして、イエスが来て彼らに語って言われた、「天においても地においても、すべての力がわたしに与えられている。」それゆえ、あなたがたは行って、父と子と聖霊の名においてバプテスマを授け、すべての国民を教えなさい。わたしがあなたに命じたことをすべて守るように教えなさい。そして、見よ、わたしはいつもあなたとともにいる。、たとえ世界の終わりまで。アーメン。

黙示録 11 章は黙示録の 11 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章では、神殿の寸法、二人の証人、そして第七のラッパの吹奏に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、ヨハネが物差しを与えられ、神の神殿とその祭壇とそこで礼拝する人々を測るよう指示されるところから始まります (黙示録 11:1-2)。しかし、彼は、外庭は異邦人に与えられており、それを 42ヶ月間踏みにじるから測らないようにと言われています（黙示録 11：2）。この測定は、異邦人の支配期間を許容しながら、神が神の忠実な僕たちを保護し、保護していることを意味します。

第 2 段落: この章では、1,260 日間預言する権限を与えられた 2 人の証人が紹介されます。それらは神の前に立つ2本のオリーブの木と2つの燭台として描写されています(黙示録11:3-4)。これらの証人たちは、証言中に雨が降らないように天を閉め、水を血に変え、望むだけ何度でも疫病で地上を襲い、神の保護によって敵に勝つ力を持っています（黙示録11:5-6）。

第 3 段落: 彼らの証言が終わりに近づくと、深淵から獣が現れ、これらの証言者を殺します。彼らの遺体は、人々が彼らの死を祝う間、エルサレムで3日半にわたって公衆の面前に置かれる。しかし、この期間の後、この出来事を目撃した人々の間で大きな恐怖が広がる中、彼らは神の力によって復活します(黙示録11:7-13)。彼らの復活の発表に続いて、7番目のラッパが鳴り響きます。天の大きな声は、キリストが永遠にすべての王国の王となったことを宣言します。これは神の御座の前に座っている24人の長老たちからの賛美を引き起こします(黙示録11:15-18)。

要約すると、黙示録の第 11 章にはいくつかの重要な出来事が記されています。神殿の寸法は、神が異邦人の支配を許容しながらも、その忠実な僕たちを保護していることを意味します。二人の証人の紹介は、指定された期間における彼らの預言的権威と奇跡的な力を強調します。彼らの最終的な殉教と復活は、生と死に対する神の力を示しており、観察者に大きな恐怖を引き起こします。最後に、7番目のラッパの音が鳴り響き、キリストの永遠の王権が告げられ、天の存在たちからの賛美が引き起こされます。この章では、神の主権、神の真理を宣言する証人の役割、地上のあらゆる権力に対するキリストの最終的な勝利を強調します。

黙示録 11:1 そこで、杖のような葦が私に与えられた。すると、天使が立って、「立って、神の宮と祭壇と、そこで礼拝する人々を測りなさい」と言った。

天使はヨハネに、神殿、祭壇、神殿の崇拝者を測るように指示しました。

1. 神の憐れみ: 私たちの命の尺度

2. 礼拝の重要性: 神殿で礼拝することは何を意味しますか?

1. 詩篇 139:1-4 - 「主よ、あなたは私を捜し、私を知っておられます。私がいつ座るか、いつ立ち上がるかをご存知です。あなたは遠くから私の考えを見分けてくださいます。あなたは私の道と横たわっている私の道を探し、そして私を調べてくださいました。」「彼らは私のすべての道を知っています。私の舌に言葉が出る前から、見よ、主よ、あなたはそれを完全に知っています。」

2. エゼキエル 40:1-3 - 「私たちが流刑になってから 25 年目の年の初め、その月の 10 日、都市が破壊されてから 14 年目のまさにその日に「主の手が私の上にあり、彼は私を都市に連れて行きました。神の幻の中で、彼は私をイスラエルの地に連れて行き、非常に高い山に私を置きました。その上に都市のような建物がありました」南。"

黙示録 11:2 しかし、神殿の外にある法廷は除外し、それを測定しない。それは異邦人に与えられるからである。そして、彼らは聖なる都を四十二か月足で踏みしめるであろう。

神は神殿の外の庭を測らないようにと命じています。それは異邦人に与えられており、彼らは42か月間聖都を踏みにじることになるからです。

1. 困難な時に神を信頼することの大切さ

2. 神の権威を拒否した場合の結果

1. イザヤ書 28:16-17 - それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに土台として石、試された石、貴重な隅の石、確かな土台を置いた。信じる者は急いではならない。」私はまた、裁きを賭けて、正義を急落させます。

2. コリント人への第二の手紙 4:16-18 - したがって、私たちは気を失うことはありません。私たちは外面的には消耗しつつありますが、内面的には日々新しくされています。なぜなら、私たちの軽い一時的な困難は、それらすべてをはるかに上回る永遠の栄光を私たちにもたらしているからです。したがって、私たちは見えるものではなく、見えないものに目を向けます。なぜなら、見えるものは一時的なものですが、見えないものは永遠だからです。

黙示録 11:3 そして、わたしは二人の証人に権威を与え、彼らは荒布を着て千二百三十日預言するであろう。

神は二人の証人に荒布を着て1,260日間説教する権限を与えます。

1. 神の証人の力と献身

2. 勇気ある従順への呼びかけ

1. イザヤ書 61:1-3 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。神は心の傷ついた人々を癒し、捕虜に自由を宣言し、縛られている人々に刑務所の開放を宣言するために私を遣わしました。

2. 使徒 20:22-24 - そして見よ、今、私は霊に縛られてエルサレムに行くが、そこで私に何が起こるかは分からない、ただ、聖霊がすべての都市で証しして、鎖と艱難が私を待っていると言われるということ。しかし、これらのことはどれも私を感動させませんでした。また、喜びをもってレースを終え、主イエスから受けた神の恵みの福音を証しする奉仕を終えるため、自分の命を大切にしているわけでもありません。

地の神の前に立つ二本のオリーブの木と二本の燭台です。

この一節は、世界における神の臨在と力を表す二人の人物について説明しています。

1. 私たちの生活における神の臨在の力

2. 二人の力: 信仰を持って団結する

1. ゼカリヤ 4:3-6 - 2 本のオリーブの木は神の力と恵みを視覚的に表しています。

2. マタイ 5:14-16 - 私たちは世の光であり、信仰をもって団結すべきです。

黙示録 11:5 もし誰かが彼らを傷つけようとすれば、火が彼らの口から出て彼らの敵を焼き尽くします。もし誰かが彼らを傷つけようとすれば、その人はこの方法で殺されなければなりません。

神の民に危害を加えようとする者は口から出る火によって滅ぼされるという警告が与えられます。

1. 神の民の力

2. 神の民の保護

1. 詩篇 35:1-2 - 「主よ、私とともに奮闘する者たちとともに私の大義を弁護してください。私と戦う者たちと戦ってください。盾と座屈者をつかみ、私の助けのために立ち上がってください。」

2. コリント人への第二 10:4 - 「私たちの戦争の武器は肉的なものではなく、神にあって要塞を打ち破る強力なものだからです。」

黙示録 11:6 これらの者たちは、天を閉ざし、彼らの預言の日に雨が降らないようにする力を持っています。また、水を支配して水を血に変え、あらゆる災いで地を何度でも襲う力を持っています。

2人の目撃者は天候をコントロールし、地球に疫病を引き起こす力を持っています。

1. 信仰の力: 神の奇跡的な能力にアクセスする方法

2. 神の約束を信頼する: 困難な時に神の守りに頼る

1. 列王下 7:1-2 - 腐った小麦粉によるエリシャの奇跡

2. 出エジプト記 7:17-18 - ナイル川の血の疫病

黙示録 11:7 彼らが証言を終えると、底なしの穴から上がってくる獣が彼らと戦い、彼らに打ち勝ち、彼らを殺すであろう。

二人の証人がエルサレムで預言し、最終的には底なしの穴から獣に襲われます。

1. 逆境にもかかわらず耐える方法 - 黙示録 11:7 についての仲介

2. 信仰の強さと忍耐力: 黙示録 11:7 の A

1. マタイ 10:22 - ?わたしの名前のせいで、あなたは皆から嫌われることになるのですか？日本酒。しかし、最後まで耐えた者は救われる。

2. ヘブライ人への手紙 11:1 - ?信仰は、期待されるものの本質であり、目に見えないものの証拠です。

黙示録 11:8 そして彼らの死体は、霊的にはソドムとエジプトと呼ばれる大都市の通りに横たわるであろう、そこでは私たちの主も十字架につけられた。

二人の証人の死体は、イエスが十字架につけられた霊的都市ソドムとエジプトに横たわることになる。

1. イエスの十字架の意味と意義

2. 都市の精神的な性質

1. ルカ 23:33-34 - 彼らはカルバリと呼ばれる場所に来ると、そこでイエスと罪人たちを、一人は右手に、もう一人は左手に十字架につけました。

2. エゼキエル 16:49-50 - 見よ、これはあなたの妹ソドムの咎でした。彼女とその娘は高慢で、食べ物が豊富で、怠惰が多かったです。貧しい人々の手を強めることもありませんでした。そして彼らは傲慢で、わたしの前で忌まわしい行為を行った。したがって、私は適当と判断してそれらを取り上げました。

黙示録 11:9 また、民、同族、国語、国民の者たちは、三日半の間、自分たちの死体を見なければならない。また、その死体が墓に納められるのを容認してはならない。

神の証人2人が殺害され、遺体は3日半埋葬されずに放置される。

1. 神に選ばれた人々は迫害されるでしょうが、困難にもかかわらず忠実であり続けます。

2. 苦しみに対する私たちの対応は、忠実であり続け、神を信頼することであるべきです。

1. イザヤ書 43:2-3 - あなたが水の中を通過するとき、私はあなたと一緒にいます。そして川を通って、彼らはあなたを圧倒することはありません。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれることはなく、炎があなたを焼き尽くすことはありません。

2. マタイ 5:10-12 - 義のために迫害されている人々は幸いです。天国は彼らのものだからです。他の人があなたを罵り、迫害し、私のせいであなたに対して偽りのあらゆる種類の悪を言うとき、あなたは幸いです。喜んで喜んでください。天国でのあなたの報いは大きいからです。

黙示録 11:10 地上に住む者たちは彼らを喜び、喜び、互いに贈り物を送り合うであろう。それは、この二人の預言者が地上に住む者たちを苦しめたからである。

二人の預言者が地上の人々を苦しめ、人々が喜び、お互いに贈り物を送り合うようになりました。

1. 喜びの力 - 苦しみの時に喜びを見つける方法

2. 贈り物の力 – 私たちがお互いに贈り物をする理由

1. ヤコブ 1:2-3 - 兄弟姉妹の皆さん、さまざまな種類の試練に直面するたびに、それを純粋な喜びと考えてください。信仰の試みが忍耐を生み出すことをあなたは知っているからです。

2. 使徒 20:35 - 私は、主イエスご自身が言われた次の言葉を思い出しながら、私たちが行うすべてのことにおいて、このような勤勉によって弱い人たちを助けなければならないことを示しました。受け取るより与えるほうが幸せです。

黙示録 11:11 そして、三日半後、神からの命の霊が彼らの中に入り、彼らは立ち上がった。そして彼らを見た者たちに大きな恐怖が襲い掛かった。

3日半後、神からの命の霊が二人の証人に入り、彼らは立ち上がって、それを見た人々に大きな恐怖を引き起こしました。

1. 聖霊の復活の力

2. 主への畏れ: 私たちの信仰に必要な部分

1. エゼキエル書 37:1-14 (乾いた骨の谷の幻視)

2. 詩篇 111:10 (主を恐れることは知恵の始まり)

黙示録 11:12 すると彼らは、天から大きな声が彼らに告げるのを聞いた、「ここに上って来なさい」。そして彼らは雲に乗って天に昇っていきました。そして彼らの敵は彼らを見た。

敵が見守る中、二人の証人が雲に乗って天に昇っていく。

1.「神の力: 証人たちの昇天」

2.「天国の証人 神の偉大なる声」

1. エゼキエル 37:1-14 - 乾いた骨の幻視

2. 使徒 1:9-11 - イエスの昇天

黙示録 11:13 そのとき、大地震が起こり、町の十分の一が崩壊し、地震で七千人が殺され、残った者たちは恐れて、天の神に栄光を帰した。

大地震が発生し、市の10分の1が崩壊し、7,000人が死亡した。生き残った人々は恐れを抱き、神を賛美しました。

1. 自然に対する神の力

2. 困難時の神の主権

1. ヨブ 37:5-6 - 「神?声は驚くべき方法で雷鳴をとどろかせます。神は私たちの理解を超えた偉大なことをなさります。神は雪に向かって『地に降れ』と言い、雨に向かって『力強い者になれ』と言います。土砂降り。'"

2. 詩篇 29:3-5 - 「主の声は水の上に響きます。栄光の神は雷鳴を轟かせ、主は強大な水の上に雷鳴をとどろかせます。主の声は力強く、主の声は力に満ちて

います。」威厳。主の声は杉を折る、主はレバノンの杉を折る。」

黙示録 11:14 第二の災いは過ぎ去りました。そして見よ、第三の災いはすぐにやってくる。

第三の災いが間もなくやってくる。

1: 準備を整えてください: 第三の災いがやってくる

2: 遅らせるな: 第三の災いが近づいている

1: 1 コリント 16:13 - 目を覚まして、信仰にしっかりと立ち、人間らしく行動し、強くありなさい。

2: マタイ 24:44 - したがって、あなたも準備をしなければなりません。人の子はあなたが予期しない時間に来るからです。

黙示録 11:15 すると、第七の天使が声を上げた。すると天に大きな声が聞こえてこう言った、「この世の王国は私たちの主とそのキリストの王国となる。そして彼は永遠に統治するでしょう。

第七の天使が鳴り響き、天は神の国が永遠に統治することを宣言した。

1. 神の永遠の王国の良いたよりを喜ぶ

2. 第七の天使の重要性を理解する

1. 詩篇 146:10 - 「シオンよ、あなたの神よ、主は世々限りなく統治されます。主をほめたたえましょう。」

2. ダニエル 2:44 - 「そして、それらの王たちの時代に、天の神は決して滅ぼされることのない王国を建て、またその王国が他の人々に残されることもありません。それはこれらすべての王国を粉々に打ち砕き、もたらすでしょう。」それらを最後まで終わらせれば、それは永遠に残るだろう。」

黙示録 11:16 そして、神の前に座っていた四二十人の長老たちは、ひれ伏して神を礼拝した。

天の二十四人の長老たちはひれ伏して神を礼拝しました。

1. 心と魂と力を尽くして神を礼拝する

2. 人生のあらゆる瞬間に神の臨在を求める

1. 申命記 6:5 - 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

2. 詩篇 27:4 - 私が主にお願いすることはただ一つ、これだけです。それは、生涯ずっと主の家に住めるようにすることです。

黙示録 11:17 こう言います。あなたはあなたの偉大な力を手に入れて統治したからです。

神はその偉大な力と主権について、私たちが感謝し、賞賛するに値します。

1. 神の主権を認識し、感謝する

2. 神の偉大な力に対する感謝

1. 詩篇 33:4-5 - 主の言葉は正しく真実です。彼は自分のやることすべてに忠実です。主は義と正義を愛されます。地球は彼の変わらぬ愛で満たされています。

2. 詩篇 145:1-3 - 私の神、王よ、私はあなたを高めます。私はあなたの御名を永遠に讃えます。私は毎日あなたを賛美し、あなたの御名を永遠に称えます。主は偉大であり、最も賞賛に値します。彼の偉大さは誰も計り知れない。

ヨハネの黙示録 11:18 諸国の民は怒った、あなたの怒りが来た、死者の時が来た、彼らは裁かれるべきであり、あなたはあなたの僕たちである預言者と聖徒たちと恐れる者たちに報酬を与えるべきである。あなたの名前は小さくても偉大です。そして地球を破壊する者たちを滅ぼすべきです。

国々は怒り、神の怒りが到来し、死者が裁かれる時が来た。神はその忠実な僕たち、預言者、聖人、そして小さい者も偉大な者も含めて神の名を恐れる者たちに報われるだろう。そして彼は地球に害を与える者たちを滅ぼします。

1. 恐ろしい信仰生活を送る

2. 審判の日は来る

1. ローマ人への手紙 14:12 - それで、私たち一人一人は神に対して自分自身の説明をしなければなりません。

2. 詩篇 145:19 - 彼は彼を恐れる者たちの願いをかなえます。また、彼らの叫びを聞き、彼らを救います。

黙示録 11:19 すると、天にある神の宮が開かれ、その宮の中に神の遺言の箱が見えた。そして、稲妻、声、雷鳴、地震、そして大雹が起こった。

天に神の神殿が開かれ、神の遺言の箱が見えました。稲妻、声、雷鳴、地震、そして大規模なひょうもありました。

1: 神への私たちの信仰は、混乱と混乱の真っ只中でも揺るぎません。

2: 私たちは常に神の戒めを守り、神の約束を信頼するよう努めるべきです。

1: 申命記 10:5 ?次に、私はあなたに石の板と、私が書いた律法と戒めを与えます。彼らに教えてもらえるように。

2: ヘブライ人への手紙 10:22 ?私たちは、心に邪悪な良心を振り払い、清い水で体を洗い、信仰を完全に確信して、真の心をもって近づきます。

黙示録 12 章は黙示録の 12 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章は、善と悪の勢力間の大宇宙的な戦いの象徴的な描写に焦点を当て、サタンと女性の間の対立を描いています。

第 1 段落: この章は、太陽をまとい、月の上に立ち、12 の星の冠をかぶった女性のビジョンで始まります。彼女は陣痛に苦しんでおり、出産の準備が整っています（黙示録 12:1-2）。7つの頭と10本の角を持つ赤い大きな竜が彼女の前に現れ、子供が生まれるとすぐに食べようとします（黙示録 12:3-4）。その女性は、鉄の笏を持ってすべての国を統治する運命にある男の子を産みます。しかし、彼女の子供は竜の手から逃れて神の御座に引き上げられました（黙示録 12: 5-6）。

第 2 段落: マイケルとその天使たちがドラゴンとその天使たちと戦う中、天国で戦争が勃発します。サタンまたは悪魔として識別されたドラゴンはこの戦いに負け、堕天使たちとともに地上に投げ落とされます（黙示録 12:7-9）。キリストの犠牲と、死に至るまでキリストに勝利する信者たちの証しによって、天にある大きな声がサタンに対する勝利を宣言します(黙示録12:10-11)。

第 3 段落: 天での敗北後、サタンは地上での信者の迫害に注意を向けます。彼は男児を産んだ女性を追跡するが、彼女に直接危害を加えることができなかった。むしろ、口から水を川のように吐き出して、彼女を押し流そうとします(黙示録12:13-16)。しかし、神はこの大洪水を地に飲み込ませることによって、ご自分の民を保護してくださいます(黙示録12:16)。激怒したドラゴンは、神の戒めを守り、イエスの証しを堅持する残りの女性の子孫に対して戦争を続けます（黙示録 1 2:17）。

要約すると、黙示録の第 12 章は、善と悪の間の宇宙的な戦いの象徴的な描写を示しています。この女性は歴史を通じてイスラエル、あるいは神の忠実な民を代表しています。彼女はキリストを象徴する男児を出産し、宇宙の統治を運命づけられています。サタンと識別されたドラゴンはこの子供を貪り食おうとしますが、神の玉座に追いつかれて失敗します。天の戦争が起こり、その結果サタンは天から追放され、その後地上の信者が迫害されました。しかし、神は神の民をサタンの攻撃から守りキリストの犠牲と彼らの忠実な証によって最終的な勝利を保証します。

黙示録 12:1 すると、天に大きな不思議な出来事が現れた。太陽をまとい、足の下には月があり、頭には12個の星の冠をかぶった女性。

天に大きな不思議が現われ、女性は太陽の衣をまとい、月は足元にあり、頭には12の星の冠をかぶっていました。

1. 神の創造の驚異: 黙示録 12:1 の象徴性の検討

2. 私たちの栄光の冠: 黙示録 12:1 における女性の重要性を理解する

1. イザヤ書 26:3 - 「あなたは、心の堅い人たちを完全な平安のうちに保ってくださいます。彼らはあなたを信頼しているからです。」

2. イザヤ書 60:1 - 「立ち上がれ、輝け。あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に昇る。」

黙示録 12:2 彼女は子供を連れて、産みの苦しみ、苦しみながら泣きました。

黙示録 12 章に登場する妊婦は、子供を産むための陣痛の中で痛みの叫びを上げています。

1.「出産の苦しみ: 痛みを通して信仰を成長させる」

2.「解放の痛み：苦しみの中に希望を見つける」

1. ローマ人への手紙 8:18 - 「私は、今の苦しみは、私たちに明らかにされる栄光に比べれば価値がないと考えているからです。」

2. ヤコブ 1:2-4 - 「兄弟たちよ、さまざまな種類の試練に遭遇したとき、それをすべて喜びと考えてください。信仰の試みが堅固さを生み出すことをあなたは知っているからです。そして、堅固さが最大限の効果を発揮するようにしましょう。完璧で完全で、何も欠けていない。」

黙示録 12:3 そして、天に別の不思議が現れた。そして見よ、7つの頭と10本の角、そして頭に7つの冠をもつ大きな赤い竜を見よ。

7つの頭、10本の角、7つの冠を持つ赤い大きな竜が天に現れました。

1. 堕落した世界の現実 - レッドドラゴンの象徴性を理解する

2. 神の守りの力 - 黙示録 12:3 と全能者の強さ

1. イザヤ書 27:1 - 「その日、主は痛くて大きくて強い剣をもって、刺す蛇のリヴァイアサンを、あの曲がった蛇のリヴァイアサンをも罰するであろう。そうすれば彼は海の中の竜を殺すだろう。」

2. ダニエル 7:7 - 「この後、私は夜の幻の中で見た、そして見よ、恐ろしく恐ろしい、そして非常に強い四番目の獣だった。そしてそれは大きな鉄の歯を持っていました。それは食べて粉々に砕き、残りを足で踏みつけました。そしてそれはそれ以前のすべての獣とは異なっていました。それには10本の角がありました。」

ヨハネの黙示録 12:4 そして、彼の尾は天の星の三分の一を引き寄せ、それを地に投げつけた。そして竜は、産まれる準備ができている女の前に立った。それは、産まれるとすぐにその子を食い尽くすためだった。。

空から星を引き寄せることができる尾を持つドラゴンが、出産を控えた女性の前に立ち、我が子を貪り食おうとしている。

1. 罪のない人々に対する神の保護: 黙示録 12:4 の重要性を検討する

2. 信仰の力: 危険に直面しても逆境を克服する

1. イザヤ書 54:17 - あなたに対して作られたいかなる武器も成功しない

2. 詩篇 91:4 - 彼はあなたを羽で覆い、あなたはその翼の下に避難するでしょう。彼の忠実さがあなたの盾となり、締めつけ者となるでしょう。

黙示録 12:5 彼女は男の子を産んだが、その子は鉄の杖ですべての国々を統治することになっていた。そして彼女の子は神のもとに、そしてその王座に引き上げられた。

女性は鉄の杖ですべての国々を統治する運命にある子供を産み、その子供は神とその王座に取り上げられました。

1. 諸国を統治するというイエスの神聖な召し

2. イエスの力と権威

1. イザヤ書 9:6-7 私たちに子が生まれ、私たちに息子が与えられます。そして政府は彼の肩にあり、彼の名前は素晴らしい顧問、力強い神、永遠の父、平和の君と呼ばれるでしょう。ダビデの王座とその王国の上に、ダビデの政府と平和を拡大し、それを確立し、正義と義をもってこれを維持することは、これからも永遠に終わりがありません。

2. 詩篇 2:6-8 「わたしに関して言えば、わたしは聖なる丘であるシオンに王を立てました。」その法令についてお話します。主は私にこう言われました。「あなたは私の子です。あなたは私の子です。」今日、私はあなたを生みました。私に求めてください。そうすれば、国々をあなたの遺産とし、地の果てをあなたの所有物とします。

黙示録 12:6 そこで女は荒野に逃げた。そこには神が用意された場所があり、そこで千二百三日養うことになった。

女性には荒野に避難場所が与えられ、そこで1260日間世話されることになった。

1. 苦難の時の神の加護

2. 困難な時代における神の備え

1. 詩篇 46:1 - 「神は私たちの避け所であり力であり、困難の中に今もいる助けです。」

2. マタイ 6:25-34 「だから、わたしはあなたたちに言います。自分の命のこと、何を食べるか、何を飲むか、あるいは自分の体のこと、何を着るかについて心配するのはやめてください。命は食べ物以上のものであり、体はもっと重要なものではないでしょうか」」

黙示録 12:7 そして、天では戦争があった。ミカエルとその天使たちは竜と戦った。そしてドラゴンとその天使たちは戦った、

黙示録 12 章 7 節には、天国でミカエルとその天使たち、および竜とその天使たちとの間で戦争が起こったことが書かれています。

1. 天における神の勝利: マイケルとドラゴンの戦い

2. 信仰の力: ドラゴンに立ち向かう

1. ダニエル 10:13 - 「しかし、ペルシャ王国の君主は 1 日と 20 日耐えてくれました。しかし、見よ、主君の一人であるミカエルが私を助けに来てくれました。それで私はペルシャの王たちと一緒にそこに留まりました。」」

2. エペソ人への手紙 6:12 - 「私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にある霊的な邪悪に対して戦っているのです。」

黙示録 12:8 しかし、勝てませんでした。天国にも彼らの居場所はもう見つからなかった。

サタンとその追随者たちは神への攻撃に成功せず、天から追放されました。

1. 止められない神の力

2. サタンの敗北

1. ヨハネ 4:4 - 「あなたがたは新しく生まれなければなりません。」

2. 詩篇 46:10 - 「静まって、私が神であることを知りなさい。」

黙示録 12:9 そして、全世界を惑わす、悪魔、サタンと呼ばれる、あの古い蛇である大きな竜が追放されました。彼は地に追放され、彼の天使たちも彼とともに追放されました。

サタンは天から追放され、天使たちを連れて地上に送られました。

1. サタンの敗北: イエスはどのようにして世を欺く者に打ち勝ったか

2. 神の主権: サタンに対する神の裁きの力

1. ヨハネ 16:11 - 「裁きについては、この世の支配者が裁かれるからです」

2. エペソ人への手紙 2:2 - 「あなたはかつて、この世の流れに従って、空中の力の君、不従順の子らの中に今働いている霊に従って、その道を歩んできました。」

黙示録 12:10 そして、私は天で大声がこう言うのを聞いた。「今、救いと力と私たちの神の国とキリストの力が来た。前に彼らを告発した私たちの兄弟たちを告発した者は打ち倒されたからである」私たちの神は昼も夜も。

神の国は今や確立され、キリストの力が救いと力をもたらすようになりました。サタンは沈黙し、もはや神の前で兄弟たちを告発することができなくなりました。

1: 神の王国 - 私たちの救いと強さ

2: キリストの力 - サタンに対する勝利

1: ローマ人への手紙 8:31 「それでは、これらのことについて何と言えばよいでしょうか。神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対できるでしょうか。」

2: ヨハネ 16:33 - 「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしのうちに平安を得るためです。世ではあなたがたに患難があるでしょう。しかし元気でいてください。わたしは世に勝ったのです。」

黙示録 12:11 そして彼らは、小羊の血と自分たちのあかしの言葉によって彼に勝利した。そして彼らは死ぬまで自分の命を愛しませんでした。

小羊の血と私たちのあかしの言葉が敵に勝つ手段です。私たちは喜んでキリストを愛し、そのために自分の命を捨てることさえしなければなりません。

1. 子羊の血の力

2. 証言の費用

1. ヨハネ 15:13 - 人が友人のために自分の命を捨てること以上に大きな愛はありません。

2. 使徒 5:41 - 彼らは、自分たちが神の名のために辱めを受けるに値するとみなされたことを喜びながら、評議会の前から立ち去った。

黙示録 12:12 それゆえ、天よ、そしてそこに住む者よ、喜べ。地と海の住民には災いあれ！なぜなら、悪魔は自分の時間が短いことを知っているので、激しい怒りを持ってあなたのところに下って来るからです。

悪魔は激しい怒りを持って地上にやって来たので、天はこれを喜ぶべきです。

1. 神の正義を喜ぶ: 黙示録の研究 12:12

2. 悪魔の怒りの危険: 黙示録 12:12 からの警告

1. ヤコブ 4:7 - したがって、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

2. ペテロ第一 5:8 - 身を慎み、用心深くありなさい。それは、あなたがたの敵である悪魔が、ほえるライオンのように、誰を食い尽くすべきかを求めて歩き回っているからである。

黙示録 12:13 竜は自分が地に投げ込まれたのを見て、男の子を産んだ女を迫害した。

竜は地に投げ込まれ、男児を産んだ女を迫害した。

1. 迫害における神の加護

2. 信仰を通じて逆境を克服する

1. ローマ人への手紙 8:35-39 - 誰が私たちをキリストの愛から引き離すのでしょうか？

2. 詩篇 91:1-2 - いと高き方の秘密の場所に住む者は、全能者の影の下にとどまる。

黙示録 12:14 そして、その女には、荒野に飛んで自分の場所に入ることができるように、大鷲の両翼が与えられました。蛇。

女性は、しばらくの間、何度も、そして半分の間、栄養を与えられる場所に飛ぶための大鷲の翼を与えられました。

1. 困難な時に神の加護がどのように私たちを助けてくれるのか

2. 困難な時にキリストから力を得る

1. 申命記 32:11-12 - 鷲が巣をかき回して、その雛の上に止まり、羽を広げて抱き上げ、翼に乗せて運ぶように、主だけが彼を導き、外国の神はいなかった彼と一緒に。

2. 詩篇 91:4 - 彼はあなたをその歯車で覆い、その翼の下にあなたは避難所を見つけるでしょう。彼の忠実さは盾であり座屈者です。

黙示録 12:15 そして、蛇は口から水を洪水のように吐き出して、女の後に流そうとした。

サタンはその女性とその子孫を大水で溺れさせようとします。

1. サタンの嘘の圧倒的な力

2. 神の約束の守り

1. エペソ 6:10-18 - 神の武具を身に着けて、悪魔の計略に立ち向かいましょう。

2. 詩篇 46:1-3 - 神は避け所であり力であり、困難の中で現存する助けです。

黙示録 12:16 すると、地は女を助け、地は彼女の口を開き、龍が口から出した洪水を飲み込んだ。

大地は女を助け、龍からの洪水を飲み込む。

1. 神は危険と混乱の真っ只中に保護を与えてくださいます。

2. 神が私たちの味方であれば、どんな敵も私たちに勝つことはできません。

1. 詩篇 34:7 - 主の天使は主を恐れる者の周りに陣を張り、彼らを救い出します。

2. イザヤ書 54:17 - あなたに対して作られたいかなる武器も成功することはなく、裁きにおいてあなたに対して立ち上がるあらゆる舌はあなたが罪に定められ

るであろう。

黙示録 12:17 すると、竜は女に対して激怒し、神の戒めを守り、イエス・キリストの証を持っている彼女の子孫の残りの者たちと戦いに行った。

ドラゴンは神の戒めを守り、イエス・キリストを信じる人々に対して怒っています。

1: 私たちは常にイエス・キリストへの信仰を堅固に保ち、神の戒めを守らなければなりません。

2: ドラゴンはいつでも私たちを攻撃する準備ができているので、私たちは警戒を怠らず、怒りや誘惑に屈してはならない。

1: ローマ人への手紙 12:19-21 「愛する人たち、決して自分で復讐してはなりません。神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのすること、わたしが報復する、と主は言われる』と書いてあるからです。」それどころか、「敵がお腹を空かせているなら食べさせなさい。喉が渇いているなら何か飲み物を与えなさい。そうすることによって、燃える石炭を彼の頭に山盛りにすることになるからです。」悪に負けるのではなく、善をもって悪を克服してください。

2: マタイ 22:37-40 イエスは彼に言われた、「あなたは心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。これは偉大な第一の戒めです。そして第二も同様です：あなたは自分自身のように隣人を愛さなければなりません。すべての律法と預言者はこの二つの戒めに依存しています。」

黙示録 13 章は黙示録の 13 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章では、サタンと同盟関係にある政治的および宗教的権力を表す、海からと地から現れる二匹の獣に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、ヨハネが、7 つの頭と 10 本の角を持ち、冒涜的な名前が書かれた獣が海から上がってくるのを見ることから始まります。この獣はヒョウに似ていますが、クマのような足とライオンのような口を持っています（黙示録 13:1-2）。それは竜（サタン）から力を受け、その権威に驚嘆する地上の多くの人々の崇拝の対象となります（黙示録 13:3-4）。この獣には42か月間活動し続ける権限が与えられており、その間、神を冒涜し、聖徒たちと戦争をし、すべての国々を支配します(黙示録13:5-7)。

第 2 段落: 別の獣が地から現れ、子羊のような 2 本の角を持ち、ドラゴンのように話します。それは偽預言者として機能し、人々を欺いて最初の獣を崇拝させるために大きなしるしを行います（黙示録 13：11-14）。この第二の獣は、経済取引を行うために全員に右手または額に刻印を強制します。マークには最初の獣の名前か番号、666 が刻まれており、それがなければ誰も売買できません（黙示録 13:16-18）。

第 3 段落: この章では、これらの獣を通してサタンの欺瞞的な戦術を強調します。最初の獣は、偶像崇拝を促進しながら台頭し、国家に対して権威を行使する政治権力を表しています。その兆候を実行する能力により、多くの人がその冒涜的なやり方に従うように騙されます。 2番目の獣は宗教的欺瞞を象徴しており、最初の獣を支援するために奇跡を行うことで人々を惑わす偽預言者として活動します。獣の刻印の強制は、経済統制と、サタンと連携した政治的および宗教的制度への忠誠を確認する手段を意味します。獣を崇拝したり、獣の刻印を受けることを拒否した者は、厳しい迫害に直面します。

要約すると、黙示録の第 13 章では、終末の出来事の際に現れる 2 匹の獣、1 匹は政治的な獣、もう 1 匹は宗教的な獣が登場します。最初の獣はサタンから権威を得て崇拝の対象となり、限られた期間で国々を支配します。2番目の獣は偽預言者として機能し、人々を欺いて最初の獣に従わせるためのしるしを行い、獣の刻印を通じて経済支配を強化します。この章は、サタンの欺瞞的な戦略、政治的および宗教的領域におけるサタンの影響力、そして激しい迫害の中で神に忠実を保つ人々が直面する課題を強調しています。

黙示録 13:1 わたしは海の砂の上に立って、獣が海から起き上がるのを見た。その獣は七つの頭と十本の角を持ち、その角には十の冠があり、その頭には冒涜の名があった。

ヨハネは、7つの頭、10本の角、10の冠を持ち、冒涜の名を冠した獣が海から上がってくるのを見ます。

1. 冒涜の力: 黙示録 13:1 を理解する

2. 獣の刻印: 黙示録 13:1 の海からの獣の研究

1. 黙示録 17:3-4、「それから、御使いは御霊に乗って私を荒野に連れて行きました。そこで私は、冒涜的な名前で覆われ、七つの頭と十本の角を持った緋色の獣に乗っている女を見ました。」

2. イザヤ書 27:1、「その日、主はその剣――激しく、大きく、強力な剣――滑空する蛇リヴァイアタン、とぐろを巻く蛇リヴァイアサンを懲らしめ、海の怪物を殺すであろう。」

黙示録 13:2 わたしが見た獣はヒョウのようで、その足はクマの足のようで、その口はライオンの口のようだった。そして龍は彼に力と座を与えた。偉大な権威。

この通路に出てくる獣は、ヒョウ、クマ、ライオンの組み合わせとして描写されています。ドラゴンによってその力、座、権威が与えられています。

1.「神の権威と野獣：宇宙における私たちの位置を知る」

2. 「獣の性質: 象徴的表現の力を理解する」

1. ダニエル 7:3-7 - 「そして、四匹の大きな獣が海から上がってきましたが、それぞれ違っていました。最初の獣はライオンのようで、鷲の翼を持っていました。そして、私が見ていると、その翼はもぎ取られ、そして、地面から持ち上げられ、人間と同じように二本足で立たせられ、それに人間の心が与えられた。」

2. イザヤ書 11:6-8 - 「オオカミは子羊とともに住み、ヒョウは子とともに横たわり、子牛とライオンと太った動物が一緒に寝ます。そして、幼子が彼らを導きます。牛と熊草を食み、子どもたちは一緒に寝そべり、ライオンは牛のように藁を食べるだろう。」

黙示録 13:3 そして私は、彼の頭の一つが瀕死の重傷を負っているのを見た。そして彼の致命的な傷は癒されました。そして全世界がその獣のことを不思議に思いました。

全世界が獣の致命傷が治癒したことに驚いた。

1. 癒しと変容をもたらす神の力

2. 世界の驚くべき不思議

1. マタイ 8:2-3 - イエスはハンセン病の人を治した

2. 詩篇 33:9 - 主はご意志を計画し、実行されます。

黙示録 13:4 彼らは、獣に力を与えた竜を拝んだ。そして彼らは、「誰がその獣に似ているだろうか」と言って獣を拝んだ。誰が彼と戦争をすることができますか？

人々は獣に力を与えたドラゴンを崇拝し、誰が彼と戦争をできるのかを尋ねながら獣を崇拝しました。

1. 偽りの神を崇拝する危険性

2. 神の力と獣の力の比較

1. 出エジプト記 20:3-6 - 「あなたには、わたしのほかに神があってはならない。あなたは、上の天にあるもの、下の地にあるもの、あるいは地下の水の中にあるものの形であろうと、自分のために偶像を作ってはならない。あなたは彼らにひれ伏したり、崇拝したりしてはならない。というのは、あなたの神、主であるわたしはねたむ神であり、親の不法行為のゆえに子供たちを罰し、わたしを拒絶する者の三世代、四世代に至るまで罰を与えるからである。

2. 黙示録 17:14 - 「彼らは小羊に戦いを仕掛け、小羊は彼らを征服するでしょう。彼は主の中の主、王の中の王であり、彼とともにいる者たちは召され、選ばれ、忠実だからです。」

黙示録 13:5 そして彼には、偉そうなことや冒涜を語る口が与えられた。そして彼には42ヶ月継続する権限が与えられた。

人物には大きな口が与えられ、42か月間継続する権限を与えられながら冒涜を言います。

1. 冒涜の力

2. 素晴らしいことを話すことの結果

1. マタイ 12:31-32 「だから、あなたがたに言います。人々は、あらゆる罪と冒涜は赦されますが、御霊に対する冒涜は赦されません。そして、人の子に逆らう言葉を言う者は誰でも赦されるが、聖霊に逆らう者は、この時代でも来るべき時代でも赦されない。」

2. 箴言 8:13 「主を恐れることは悪を憎むことである。私はプライドと傲慢さ、邪悪で倒錯した言論が大嫌いです。」

黙示録 13:6 そして彼は神を冒涜する言葉で口を開いて、神の名、神の幕屋、そして天に住む者たちを冒涜しようとした。

この一節は、神、神の御名、そして天に住む人々に対する冒涜について語っています。

1. 神とその民に対する冒涜の深刻さ。

2. 神の戒めを無視した場合の結果。

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. レビ記 24:16 - 主の御名を冒涜する者は誰でも死刑に処せられる。会衆全員が冒涜者に石を投げなければならない。

黙示録 13:7 そして、聖徒たちと戦い、彼らに勝つことが彼に与えられた。そして、すべての血族、言語、国家を支配する力が彼に与えられた。

黙示録の獣には、信者たちと戦争をし、彼らに勝つ力が与えられ、すべての民族、言語、国家を支配する力が与えられました。

1. 聖者の忍耐: 獣の試練に耐える

2. 神の主権: 獣の力

1. ダニエル 7:21-22 - 「私は、この角が聖なる民と戦い、彼らを打ち負かすのを見ました。そして、日の古き者が来て、いと高き聖なる民に有利な裁きを下すまで、そして彼らが彼らを裁く時が来ました。」王国を掌握した。」

2. ローマ人への手紙 8:31-39 - 「では、これらのことについて、私たちは何を言えばよいでしょうか。もし神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵対するのでしょうか。ご自分の御子を引き留めず、私たち全員のために御子を差し出した神は、そうするでしょう。」彼は一緒にいないのに、他のすべても私たちに与えてくれるのですか? 誰が神の選民に対して何らかの告発をするのでしょうか? 義とされるのは神です。誰が罪に定められるのでしょうか? それは死んだキリスト・ イエスです、そうです、よみがえられた方、右におられるのです本当に私たちのために執り成してくださる神からのことです。」

黙示録 13:8 そして、地に住むすべての者は、世の初めから屠られた小羊のいのちの書に名前が記されていない者を崇拝するであろう。

地上の人々はその獣を崇拝しますが、小羊のいのちの書に名前が記されている人々は崇拝しません。

1. 信仰の力：逆境に直面してもしっかりと立つ

2. 神の愛の強さ：子羊のいのちの書における永遠の安全

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほど、世を愛されました。それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ人への手紙 8:38-39 - 私は、死も、命も、天使も、支配者も、権力も、今あるものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のいかなる被造物も、ないと確信しているからです。私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことができるでしょう。

黙示録 13:9 耳のある人は、聞いてください。

この箇所は、主とその御言葉に注意深く耳を傾けるよう呼びかけています。

1. 「耳を傾ける呼びかけ: 神の言葉に従うことの重要性」

2. 「警告に耳を傾ける: 神の言葉への従順は命につながる」

1. 申命記 30:19-20 - 「わたしはあなたの前に生と死、祝福と呪いを置いた。それゆえ、あなたとあなたの子孫が生きるために命を選び、あなたの神、主を愛し、その声に従い、しっかりしがみつこう。なぜなら、主があなたの先祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った地にあなたが住むための、あなたの命であり、日数だからである。」

2. ヤコブ 1:22-25 - 「しかし、自分を欺いてただ聞くだけではなく、御言葉を実行する者になりなさい。なぜなら、もし誰かが御言葉を聞く者であって、実行する者ではないとしたら、その人は鏡の中の自分の自然な顔を熱心に見つめている人のようなものだからです。なぜなら、彼は自分自身を見て立ち去ってしまい、すぐに自分がどのような人であったかを忘れてしまうからです。しかし、完全な律法、自由の法則を見つめ、粘り強く努力し、忘れる聞く者ではなく実行する者は、その行いにおいて祝福されるであろう。」

黙示録 13:10 捕らわれに導く者は捕らわれ、剣で殺す者は剣で殺されなければなりません。ここに聖徒たちの忍耐と信仰があります。

黙示録 13 章 10 節は、他人を捕虜に導く者は自らも捕虜となり、剣で殺す者は剣で殺されるという正義の概念について語っています。この聖句は聖徒たちの忍耐と信仰についても語っています。

1. 神の正義: 黙示録 13:10 における忍耐と信仰

2. 正義の剣を理解する: 黙示録における忍耐と信仰 13:10

1. ローマ人への手紙 12:19 - 「愛する人たち、決して自分で復讐してはなりません。神の怒りに任せてください。「復讐はわたしのすること、わたしが報復する、と主は言われる。」と書いてあるからです。

2. イザヤ書 11:4 - 「しかし、神は義をもって貧しい者を裁き、地の柔和な者たちを公平に裁き、口のむちで地を打ち、唇の息で地を打つであろう。」悪者を殺せ。」

黙示録 13:11 そして、私はまた別の獣が地から出てくるのを見た。彼には子羊のような2本の角があり、龍のように話しました。

2番目の獣は子羊のような2本の角を持ち、ドラゴンとして話します。

1. 獣の欺瞞: サタンの嘘を認識する

2. 子羊と竜: 善と悪のコントラストを理解する

1. マタイ 7:15-20 – 「偽預言者に気をつけなさい。彼らは羊の皮をかぶってあなたたちのところにやって来ますが、内心は貪欲な狼です。」

2. ヨハネ第一 4:1-6 – 「愛する人たち、すべての霊を信じるのではなく、その霊が神から出たものであるかどうかを試してみてください。なぜなら、多くの偽預言者が世に出ているからです。」

黙示録 13:12 そして、彼は彼の前で最初の獣の力をすべて行使し、地球とそこに住む人々に、致命的な傷が癒された最初の獣を崇拝させます。

第二の獣は第一の獣の力をすべて行使し、致命傷が癒された第一の獣を世界に崇拝させる。

1. 影響力の力: 崇拝の力を探る

2. 礼拝の結果: 偶像崇拝の影響を探る

1. ローマ 1:25 - 「彼らは神の真実を偽りと交換し、永遠に讃美される創造主ではなく被造物を崇拝し仕えました。アーメン。」

2. コリント人への第一の手紙 10:14 - 「ですから、親愛なる皆さん、偶像崇拝から逃げてください。」

黙示録 13:13 また、彼は人々の目の前で天から地に火を降らせるほどの大きな不思議を行い、

獣の力は、天から火を降らせる彼の能力に見られます。

1. ビースト：予期せぬ力の可能性

2. 天の火: 驚くべき奇跡

1. ルカ 9:54-55 - 弟子のヤコブとヨハネはこれを見て、「主よ、彼らを滅ぼすために天から火を降らせてほしいですか?」と尋ねました。

2. ヘブライ 11:3 - 信仰によって、私たちは宇宙が神の命令によって形成されたので、目に見えるものは目に見えるものから作られたのではないことを理解します。

黙示録 13:14 そして、彼が獣の目の前で行う力を持っていた奇跡によって、地上に住む人々を欺きます。地上に住む者たちに、剣で傷を負いながらも生きていた獣の像を造るように言った。

野獣は奇跡の力を使って地上に住む人々を欺き、剣で傷を負ったもののまだ生きていた野獣の像を作るように命じます。

1. 偽りの神に従うことの結果

2. 欺瞞の悪

1. エレミヤ 17:5-8 - 偶像ではなく主に信頼する

2. コリント第二 11:13-15 - 偽預言者とその欺瞞的な戦術

黙示録 13:15 また、イエスには、獣の像に命を与える力があり、獣の像が言葉を発し、獣の像を拝まない者を殺させることができました。

野獣は自分の像を動かしてすべての人々に崇拝を要求し、従わない者を処刑する力を持っていました。

1. 礼拝生活をどのように送るか: 黙示録の研究 13:15

2. 従順の祝福: 黙示録の研究 13:15

1. マタイ 4:8-10 - サタン崇拝へのイエスの誘惑

2. ダニエル 3:16-18 - ネブカドネザルの黄金の像を崇拝することを拒否したシャデラク、メシャク、アベドネゴ

黙示録 13:16 そして神は、小さい者も大きい者も、富める者も貧しい者も、自由な者も束縛された者も、すべての人に、その右手、あるいは額に刻印を与えられます。

その獣はすべての人々に右手または額に刻印を与えます。

1: 私たちは野獣の要求に屈して刻印を受け入れてはなりません。

2: 私たちは獣に対して断固として立ち向かい、その刻印に誘惑されてはなりません。

1: ピリピ 4:13 - 私を強めてくださるキリストによって、私は何でもできるのです。

2: イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

黙示録 13:17 それは、刻印、獣の名前、またはその名前の数字を持っている者以外は、誰も売り買いすることができないためです。

獣のマーク、名前、番号を持っていない限り、誰も売買することはできません。

1. キリストに従う代償: 私たちはどれくらい犠牲を払うつもりですか?

2. 獣の刻印の危険性: 偽りの約束を避ける。

1. マタイ 16:24-26 - それからイエスは弟子たちにこう言われました。「わたしの弟子になりたい者は、自分を捨て、十字架を背負ってわたしに従いなさい。

2. ローマ 12:2 - この世の型に従うのではなく、心を一新して自分を変えてください。そうすれば、あなたは神の意志、つまり神の善良で喜ばしい完全な意志が何であるかを試し、承認することができるでしょう。

黙示録 13:18 ここに知恵があります。理解のある人は獣の数を数えてください。それは人間の数だからです。彼の番号は603スコア6です。

666 という獣の数を見分けるには、知恵と理解が必要です。

1. サタンの欺瞞: 獣の数を認識する方法

2. 理解と知恵: 霊的真理を識別する方法

1. 箴言 3:13-18 - 知恵は主を信頼することに見出されます。

2. コリント人への第二 11:14 - サタンは光の天使に変装します。

黙示録 14 章は黙示録の 14 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章では、小羊と 144,000人、3人の天使の宣言、地球の収穫など、さまざまな幻に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、神によって額に封印された 144,000 人の人々とともにシオンの山に立っている小羊の幻で始まります。彼らは神と小羊への初穂として人類の中から贖われたと描写されています(黙示録14:1-5)。これらの忠実な人々は、キリストが行かれるところはどこへでもついて行き、彼らだけが学ぶことのできる新しい歌を歌います（黙示録 14:3）。彼らは神の前に非がなく、神に捧げられた特別なグループとして奉仕します。

第 2 段落: 3 人の天使が連続して現れ、それぞれが異なるメッセージを宣言します。最初の天使は、あらゆる国、部族、言語、人々に永遠の福音を宣べ伝え、神を畏れ、神に栄光を帰し、神のみを崇拝するよう呼びかけます（黙示録 14:6-7）。第二の天使は、神の統治に反対するすべての体制の象徴であるバビロンの崩壊を告げ、その腐敗に加担しないよう警告します(黙示録14:8)。第三の天使は、獣の刻印を受けること、あるいは獣の像を崇拝することについて、恐ろしい警告を発します。そうする人は、休息も安らぎもなく神の怒りを経験することになります(黙示録14:9-11)。

第 3 段落: これらの宣言に続いて、ヨハネは、金の冠をかぶって雲の上に座っている人の子のような人の幻を目撃します。彼は手に鋭い鎌を持っています。天使は彼に、裁きの時が来たので刈り取るように命じます。つまり、地の収穫が来ました（黙示録 14:14-16）。別の天使が神殿から現れ、この人の子にブドウの房を集めて神の怒りの大きなぶどう搾り場に投げ込むように指示しました。ぶどう搾り場は街の外で踏みにじられ、そこから血が約 1,600スタディアの距離にわたって流れ出ます（黙示録14:17-20）。

要約すると、黙示録の第 14 章にはいくつかの幻と宣言が示されています。小羊と封印された 14万4,000人の幻は、神への奉仕に専念する特別なグループを浮き彫りにします。3 人の天使がメッセージを宣言します。永遠の福音、バビロンの滅亡、そして獣を崇拝したり獣の刻印を受けたりすることに対する警告です。これらのメッセージは、神の主権、神に敵対する者に対する裁き、そして世の圧力の中でも忠実であり続けるよう求める呼びかけを強調しています。鎌を振るう人の子の幻は、差し迫った裁き、すなわち収穫を象徴しており、神を拒む者は象徴的なぶどう搾り場で神の怒りに直面することになる。この章では、神への献身、神の宣言、霊的妥協に対する警告、悪行者に対する最終的な裁きなどのテーマが強調されています。

黙示録 14:1 そこでわたしが見ると、見よ、小羊がシオンの山の上に立っていて、それとともに十四万四千人がいて、彼らの額には父の名が記されていた。

ヨハネはシオンの山で、額に神の名を書かれた14万4,000人の人々を伴う小羊を見ます。

1. 名前の力 - 神の名を持つとはどういう意味ですか?

2. シオンの山 - シオンの山に立つとはどういう意味ですか?

1. イザヤ書 11:10 - 「その日にはエッサイの根があり、それは民の旗を表すでしょう。異邦人はそれを求めます。そして彼の安息は輝かしいものになるでしょう。」

2. イザヤ書 59:20 - 「そして、救い主はシオンに来る、そしてヤコブの罪から立ち返る者たちに、主は言われる。」

黙示録 14:2 そして、わたしは天から、多くの水の声、大きな雷の声のような声を聞いた。また、竪琴を奏でる竪琴の声を聞いた。

天からの声は多くの水と大きな雷のように聞こえ、ハーパーがハープで歌うのが聞こえます。

1. 賛美の力: 神の声は音楽を通してどのように聞こえるのか

2. 礼拝への呼びかけ: 天の声の象徴的な性質を探る

1. 詩篇 150:3-5 - トランペットの音で主を賛美しなさい。詩篇と竪琴で主を賛美しなさい。

2. イザヤ書 55:12 - あなたがたは喜びをもって出て行き、平和のうちに導かれるでしょう。山と丘はあなたの前で歌い出し、野のすべての木は手をたたきます。

黙示録 14:3 そして彼らは、玉座と四匹の獣と長老たちの前で、新しい歌を歌うかのように歌った。そして、地から救い出された十四万四千人以外には、その歌を学ぶことができた者はいなかった。

14万4,000人が自分たちだけが覚えられる新しい歌を歌った。

1: 神は特別な歌で 144,000 人を祝福しました。

2: 地球の救われた者は、144,000 人の歌に参加することができます。

1: エペソ人への手紙 2:8-9 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われました。そしてそれはあなた自身からのものではありません。それは神の賜物です。行いからのものではありません。誰も誇ることがないように。

2: ピリピ 2:13 −神は、あなたがた二人のうちに働いて、ご自分の喜びを願い、実行させてくださるからです。

黙示録 14:4 これらは女に対して汚れていない者たちである。彼らは処女だからだ。これらは小羊が行くところどこへでも従う者たちです。これらは人間の中から贖われ、神と小羊への初穂となった。

これらの人たちは罪によって堕落しておらず、神と子羊に献身し続けている人たちです。

1: たとえ犠牲を払っても、私たちは神と子羊に献身し続けなければなりません。

2: 私たちは罪から救われ、神と小羊の初穂となることができます。

1: 1 コリント 6:19-20 - あなたは、自分の体が、神からいただいた聖霊の神殿であることを知らないのですか。あなたはお金を払って買われたものなので、自分のものではありません。ですから、あなたの体で神の栄光を讃えましょう。

2: ローマ 12:1-2 - したがって、兄弟たち、神の憐れみによって、私はあなたたちにお願いします。あなたたちの体を、神に受け入れられる、神聖な生きたいけにえとしてささげること、それがあなたたちの霊的な礼拝です。この世に順応するのではなく、心を一新することによって変えられなさい。そうすれば、何が神の御心なのか、何が善で、受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようになります。

黙示録 14:5 彼らの口には何の罪も見つからなかった。神の御座の前で彼らには何の落ち度もないからである。

あるグループの人々は、口に偽りがなかったので、神の御座の前で何の罪も無いと認められるでしょう。

1. 正直さの力 – 真実と誠実な人生を送ることで、私たちはどのように神に近づくことができるのか。

2. 謙遜の祝福 - 主の前に謙虚になり、主の道を歩むことの重要性。

1. 箴言 19:1 - 「誠実に歩む貧しい人は、言葉が曲がって愚かな人よりも優れています。」

2. 詩篇 15:1-2 - 「主よ、だれがあなたの天幕に泊まるでしょうか。だれがあなたの聖なる丘に住むでしょうか。とがめられることなく歩み、正しいことを行い、心に真実を語る人です。」

黙示録 14:6 そして、私は、もう一人の天使が天の真ん中を飛んで、地上に住む者たち、すべての国、同族、言語、民族に永遠の福音を宣べ伝えるのを見た。

永遠の福音が地上のすべての人々に宣べ伝えられていました。

1. 永遠の福音の力

2. 福音の包括性

1. ローマ人への手紙 1:16 福音は、信じるすべての人に救いをもたらす神の力であるため、私は福音を恥とは思っていません。

2. ガラテヤ 3:28 ユダヤ人も異邦人も、奴隷も自由人も、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

黙示録 14:7 「神を畏れ、神に栄光を帰せよ。」と大声で言いなさい。神の裁きの時が来たからである。そして、天と地と海と水の泉を造られた方を崇拝せよ。

この一節は、神の裁きの時が到来することを説明し、万物の創造主への畏敬、栄光、崇拝を呼びかけています。

1. 神を畏れるとはどういう意味ですか?

2. 創造主を崇拝する: 敬意と感謝の心。

1. 詩篇 34:9-11 「主を畏れよ、聖徒たちよ。主を恐れる者には何も不足はない。若い獅子たちは欠乏し、飢えに苦しんでいる。しかし、主を求める者は何の益も望まないであろう」「さあ、子供たちよ、わたしの言うことを聞いてください。わたしはあなたたちに主への畏れを教えます。」

2. イザヤ書 43:7 「わたしの名で呼ばれるすべての人であっても、わたしは自分の栄光のために彼を創造したのです。わたしは彼を形造ったのです。そうです、わたしは彼を造ったのです。」

黙示録 14:8 すると、別の天使が続いて言った、「バビロンは倒れた、あの大都市も倒れた。彼女がその不品行の怒りのぶどう酒をすべての国民に飲ませたからだ。」

天使は、バビロンがその不品行とすべての国民にその怒りを飲ませたために崩壊したと発表しました。

1. 淫行の結果

2. 国々を裁く神の正義

1. イザヤ書47:1-15

2. エレミヤ51:6-8

黙示録 14:9 第三の天使は彼らを追って、大声で言った、「もしだれかがその獣とその像を拝み、その額か手にその刻印を受けるなら、

この一節は、獣を崇拝し、その刻印を受けた結果について書かれています。

1. 偶像崇拝の危険性: 黙示録 14:9 の A

2. 獣を崇拝する代償: 黙示録 14:9 が教えていること

1. 出エジプト記 20:4-5 - 「あなたは、自分のために、上の天にあるもの、下の地にあるもの、あるいは地下の水にあるものに似た像、またはそれに似たものを作ってはならない。あなたは彼らにひれ伏したり、彼らに仕えたりしてはならない。あなたの神、主であるわたしは嫉妬深い神だからである。」

2. 申命記 5:8-9 - 「あなたは、自分のために、上の天にあるもの、下の地にあるもの、あるいは地下の水の中にあるものに似た像、またはそれに似たものを作ってはならない。あなたは彼らにひれ伏したり、彼らに仕えたりしてはならない。あなたの神、主であるわたしは嫉妬深い神だからである。」

黙示録 14:10 同じ者は、神の憤りの杯に混じりなく注がれた神の怒りのぶどう酒を飲むであろう。そして彼は聖なる天使たちの前と小羊の前で火と硫黄で責め苦に遭わされるであろう。

獣に従う者は神の怒りに直面し、聖なる天使と子羊の前で火と硫黄で罰せられるでしょう。

1. 神の怒り: それは何を意味しますか?

2. 神への不従順の結果

1. ローマ 2:5 - しかし、あなたの頑固さと悔い改めない心のせいで、あなたは神の正しい裁きが明らかにされる神の怒りの日のために、自分に対する怒りを蓄えているのです。

2. ヘブライ 10:31 - 生ける神の手に落ちることは恐ろしいことです。

黙示録 14:11 そして、彼らの苦しみの煙は世々限りなく立ちのぼり、獣とその像を崇拝し、その名の印を受ける者には昼も夜も休むことがない。

獣とその像を崇拝する者、そしてその刻印を負う者は、休むことのない永遠の苦しみに苦しむことになります。

1. 不浄な崇拝の中で生きる - 偽りの偶像に仕えることの結果

2. 天国か地獄かの選択 - 私たち全員が下さなければならない究極の決断

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. ヤコブ 4:17 - したがって、正しいことを知っていながらそれを実行しない者は、その人にとって罪です。

黙示録 14:12 ここに聖徒たちの忍耐があります。神の戒めとイエスの信仰を守る者たちがいます。

聖人たちは忍耐強く、神とイエスに従順です。

1. 神に従う忍耐の力

2. 神とイエスへの従順: 祝福への道

1. 詩篇19:7-11

2. ヤコブ1:2-4

黙示録 14:13 そして、私は天から私に言う声を聞いた、「書きなさい、これから主にあって死ぬ死者たちは幸いである、そうです、御霊は言われます、彼らが労働から休めるように。そして彼らの作品もそれに続きます。

天からの声は、主にあって死ぬ者は祝福され、労働から休み、彼らの行いは彼らに続くだろうと告げています。

1. 信仰生活を生きる: 主にあって死ぬ祝福

2. 私たちの作品をフォローしてください: 信仰の遺産

1. マタイ 11:28–30 - イエスは、ご自分のところに来て魂の休息を見つけるように私たちを招いておられます。

2. ヘブライ 4:11 - 神の安息に入るよう努力しましょう。

黙示録 14:14 そこでわたしが見ると、白い雲があった。その雲の上に、頭に金の冠をかぶせ、手には鋭い鎌を持った人が人の子のように座っていた。

ヨハネは、白い雲の上に金の冠をかぶり、手に鋭い鎌を持った人影を目にします。

1. 人の子の到来: イエスの再臨は私たちの生活にどのような影響を与えるか

2. 種を蒔く人と収穫する人のたとえ話：逆境に直面したときの忠実さについての教訓

1. マタイ13:18-23

2. 黙示録19:11-16

黙示録 14:15 すると、もうひとりの天使が神殿から出てきて、雲の上に座っている者に向かって大声で叫びました。地の収穫は熟しているからである。

地球の収穫を刈り取る時が来ました。

1. 今がその時です: 地球の収穫を刈り取る

2. 実を結ぶ：大地の収穫を刈り取る

1. マタイ 3:8、「ですから、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。」

2. ヨハネ 4:35-36 「あなたたちは、『まだ四か月あるから、収穫が来る』と言わないのか。」見よ、あなたに言いますが、目を上げて畑を見てください。畑はすでに収穫のために真っ白になっています。」

黙示録 14:16 雲の上に座っていた者は、鎌を地に突き立てた。そして地球は刈り取られた。

神の裁きは予期せず迅速に下されます。

1. 神の裁きに備えてください - 満足してはいけません。

2. 神の裁きは正しく、避けられないものです。

1. ローマ人への手紙 2:5-6 「しかし、あなたがたはかたくなで悔い改めない心のせいで、神の正しい裁きが現れる怒りの日に、自分のために怒りを蓄えているのです。」

2. ヘブライ 10:27 「しかし、裁きに対するある種の恐ろしい期待と、敵対者を食い尽くすであろう激しい憤り。」

黙示録 14:17 また、天にある神殿から別の天使が出てきて、彼も鋭い鎌を持っていました。

天使が鋭い鎌を持って天の神殿から出てきました。

1. 魂の収穫: 鋭い鎌を持つ天使は私たちが天国の報酬を得るのをどのように助けてくれるのか

2. 鎌の力: 天の力をどのように活用し、永遠の報酬を得ることができるか

1. マタイ 9:35-38 - イエスは、説教をし、多くの人の魂を刈り取るために弟子たちを派遣します。

2. ルカ 10:1-2 - イエスは、宣教と魂の収穫を集めるために 72 人を派遣します。

黙示録 14:18 また、火を支配する力を持つ別の天使が祭壇から出てきた。そして、鋭い鎌を持っている者に大声で叫び、こう言いました、「あなたの鋭い鎌を突き刺して、地の蔓の房を集めなさい。」彼女のブドウは完全に熟しているからです。

火を支配する力を持つ天使が祭壇から出てきて、ブドウが完全に熟したので、鋭い鎌を持った天使に、地のブドウの房を集めるよう呼びかけました。

1. 収穫の強さ: 黙示録 14:18 からの希望のメッセージ

2. 刈り取る者の責任: 黙示録 14:18 の収穫における私たちの役割の検討

1. マタイ 9:37-38 「それからイエスは弟子たちに言われた、『収穫は多いが、働き手が少ない。したがって、収穫の主に労働者を派遣してくださるよう熱心に祈りなさい。」

2. ヤコブ 5:7-8 「ですから、兄弟たち、主が来られるまで辛抱してください。農夫が、早い雨と遅い雨が降るまで、大地の貴重な実りを辛抱強く待っている様子を見てください。あなたも、我慢してください。主の来臨が近づいているから、心をしっかり立てなさい。」

黙示録 14:19 そして、天使は鎌を地に突き立て、地のぶどうの木を集め、神の怒りの大きなぶどう搾り場に投げ入れました。

天使が地のぶどうの木を集め、神の怒りをもたらす大きなぶどう搾り場に投げ込みます。

1. 神の力：怒りに直面しても毅然として立つ

2. 主を拒絶する危険: 神の裁き

1. イザヤ書 63:3-4 - 「わたしはひとりでぶどう搾り場を踏んだ。そして民の中でわたしと一緒にいた者は誰もいなかった。わたしはわたしの怒りで彼らを踏みつけ、怒りで彼らを踏みにじるからである。そして彼らの血はその上に振りかけられるだろう」私の衣服を汚してしまいます。」

2. ローマ人への手紙 2:5-6 - 「しかし、あなたのかたくなで悔い改めない心の後、怒りの日に対する怒りと神の正しい裁きの啓示を自分自身に蓄えました。誰がすべての人にその行いに応じて罰を与えるでしょう。」

黙示録 14:20 そして、ぶどう搾り場は町の外で踏まれ、血がぶどう搾り場から千六百ハロンにわたって馬の手綱にまで流れ出た。

ぶどう搾り場は街の外で踏まれ、血は遠くまで流れ出た。

1. イエスの血: 私たちの強さと保護の源

2. 十字架の力: 罪と死の克服

1. イザヤ書 63:1-4 - 主の力強い救いの業

2. ヘブライ人への手紙 9:22 - 救いのためのイエスの血

黙示録 15 章は黙示録の 15 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章は、7 つの災いを伴う 7 人の天使の紹介と、神の最後の審判への準備に焦点を当てています。

第 1 段落: この章は、ヨハネが天にある偉大で驚くべきしるし、つまり獣とその像を征服し、その刻印を受けた人々を明らかにする場面から始まります。彼らは、火が混じったガラスの海のそばに立って、神に賛美を歌っている姿が描かれています（黙示録 15:2-4）。これらの勝利者は神の義なる行為を認め、神の聖なる性質を崇拝します。

第 2 段落: 7 人の天使が、金色の帯を締めたきれいな白い亜麻布を着て、天の神殿から現れます。彼らは神の怒りで満たされた7つの金の鉢を運んでいます(黙示録15:5-7)。4 つの生き物のうちの 1 つが、完全な神の裁きを表すこれらのボウルを彼らに与えます。その後、神殿は神の栄光と力から出る煙で満たされ、神の臨在を表します。

第 3 段落: 地上に鉢を注ぐ前奏として、天使の一人が、これらの裁きが完了するまでは誰も神殿に出入りしてはならないと宣言します (黙示録 15:8)。次の章では、神に対して同盟を結んだ人々に降り注ぐ最後の災いについて詳しく説明します。この章は幻と幻の間の幕間として機能し、差し迫った神の裁きの舞台を設定するとともに、忠実であり続けた人々による賞賛と崇拝を強調します。

要約すると、黙示録の第 15 章では、勝利した人々が火の混じったガラスの海のそばに立って神の義なる行為を賛美する天国の場面が紹介されています。 7 人の天使が神の怒りで満たされた黄金のボウルを持って現れ、地上に最後の審判を下す準備をしています。この章では、差し迫った裁きの中での礼拝と神の聖性の認識に焦点を当てています。それは、神の義、悪に対する勝利、忠実であり続けた人々による神の崇拝などのテーマを強調しながら、来るべき疫病の舞台を設定します。

黙示録 15:1 そして、私は天に、偉大で驚くべきもう一つのしるしを見た。七人の天使が最後の七つの災いを持っている。彼らの中には神の怒りが満ちているからです。

黙示録 15 章 1 節で、ヨハネは、神の怒りが成就することを示す、7 人の天使が最後の 7 つの災いを抱えている、天にある偉大で驚くべきしるしを見ています。

1. 神の怒り: 正義が果たされるとき

2. 天国のしるし: 最後の疫病の啓示

1. 申命記 32:35-36 - 「復讐は私のものであり、彼らの足が滑るときの報いです。彼らの災いの日は近づいており、彼らの破滅は急速に来るからです。」なぜなら、主はご自分の民の力が失われ、絆も自由も何も残っていないのを見るとき、ご自分の民を正し、しもべたちを憐れんでくださるからです。

2. イザヤ書 66:15-16 - 「見よ、主は火の中で、その戦車はつむじ風のように来られ、その怒りを激怒させ、その叱責を火の炎で与えるであろう。なぜなら、主は火によって、またその剣によってすべての肉をもって裁きを受けるからである。そして主によって殺された者は多くなるであろう。

黙示録 15:2 そして、私は、それが火と混ざり合ったガラスの海であるように見ました。獣と、その像と、その刻印と、その名の数とに勝利した者たちは、その獣の上に立っています。ガラスの海、神の竪琴を持つ。

獣の力を克服した者は神の竪琴とともにガラスの海に立つ。

1. 克服する力: 黙示録 15:2 の考察

2. 勝利の祝福: 忠実さの報いを得る

1. 1 コリント 15:57-58 - しかし、私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。したがって、愛する兄弟たちよ、あなたがたは堅く、動かず、常に主の働きに満ちていてください。なぜなら、あなたがたの労苦が主にあって無駄ではないことを知っているからです。

2. ローマ 8:37-39 - いや、これらすべてのことにおいて、私たちを愛してくださった神によって、私たちは征服者以上の存在です。なぜなら、死も、生も、天使も、支配者も、権力も、今あるものも、これから来るものも、高さも、深さも、他のどんな生き物も、私たちを愛から引き離すことはできないと私は確信しているからです。それは私たちの主キリスト・イエスのうちにある神のものです。

黙示録 15:3 そして、彼らは神の僕モーセの歌と小羊の歌を歌い、こう言います、「全能の神、主よ、あなたの行いは偉大で、驚くべきものです。」あなたのやり方は正しくて真実です、聖者の王よ。

黙示録 15 章 3 節の天使たちは、モーセと小羊の歌を歌い、全能の神の偉大さと正義を宣言しています。

1. 神の揺るぎない正義: 黙示録 15:3 の背後にある意味を探る

2. モーセと子羊の歌：全能の神の威厳を祝う

1. 申命記 32:4 - 「彼は岩であり、その働きは完全であり、彼のすべての道は正しい。忠実な神は何も悪いことをせず、正しく正しくおられます。」

2. 詩篇 33:4-5 - 「主の言葉は正しく真実です。彼は自分のやることすべてに忠実です。主は義と正義を愛されます。地球は彼の変わらぬ愛で満たされていま

す。」

黙示録 15:4 主よ、だれがあなたを恐れず、あなたの御名をあがめないでしょうか。あなただけが聖なるのです。すべての国々があなたの前に来て礼拝するでしょう。あなたの判断が明らかにされるからです。

神は聖なるお方であり、神の裁きが知らされることにより、すべての国が神を崇拝するようになるでしょう。

1. 神の聖性を理解する

2. 神への崇拝の必要性

1. 出エジプト記 15:11 - 「主よ、神々の中で、あなたに似た者はだれでしょうか。あなたと同じように、聖さにおいて輝かしく、賛美において恐れをなし、奇跡を行った者はだれでしょうか。」

2. イザヤ書 6:3 - 「そして、ある人は互いに叫び合って言った、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主です。全地はその栄光に満ちています。」

黙示録 15:5 その後、私が見ると、見よ、天にあるあかしの幕屋の神殿が開かれていた。

証しの幕屋の神殿が天に開かれました。

1. 証言の力: 私たちの真実の物語が世界に与える影響

2. 天国の約束: イエスの神殿開設が私たちにとって何を意味するか

1. ヘブライ 4:14-16 - それ以来、私たちには天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスがいるのですから、私たちの告白を堅持しましょう。

2. ヘブライ 9:1-3 - さて、最初の契約にも礼拝と地上の聖所に関する規定がありました。テントが準備され、最初のセクションには燭台、テーブル、御臨在のパンが置かれていました。そこは聖地と呼ばれています。

黙示録 15:6 七人の天使は、七つの災いを抱え、純白の亜麻布を着て、胸に金の帯を締めて神殿から出てきた。

七人の天使は七つの災いを抱えて神殿から出てきて、白い亜麻布と金の帯を着ていました。

1. 主の力: 黙示録 15:6 の七人の天使の権威の検討

2. 神の備え: 黙示録 15:6 の白いリネンと金のガードルの重要性を理解する

1. 出エジプト記 28:4 - 彼は聖なる亜麻布のコートを着、肉体に亜麻布のズボンを着、亜麻布の帯を締め、亜麻布の留め具を着なければなりません。これらは聖なる衣服です。;それゆえ、彼は自分の肉体を水で洗い、それを着るであろう。

2. イザヤ書 61:10 - 私は主にあって大いに喜び、私の魂は私の神にあって喜びます。花婿が装飾品で身を飾り、花嫁が宝石で身を飾るように、主は私に救いの衣を着せ、義の衣を私に着せてくださったからです。

黙示録 15:7 そして、四匹の獣のうちの一匹は、永遠に生きる神の怒りが満たされた七つの金の小瓶を七人の天使に与えました。

四匹の獣は七人の天使に、神の怒りで満たされた七つの黄金の小瓶を与えます。

1. 神の意志に従わなかった場合の結果

2. 神の慈悲と正義

1. ヤコブ 1:13-15 - 神が悪に誘惑されることはなく、神ご自身も誰も誘惑されないため、誰も悪を行うよう誘惑されるべきではありません。

2. ヘブライ 4:15-16 - イエスは私たちの弱さを理解しています。なぜなら、イエスは私たちと同じ試練に直面しましたが、罪を犯されなかったからです。

黙示録 15:8 すると神殿は神の栄光と神の力から出る煙で満たされた。そして、七人の天使による七つの災いが終わるまで、誰も神殿に入ることができませんでした。

神殿は神の栄光と力の煙で満たされ、七人の天使の七つの災いが終わるまでは誰も中に入ることができなかった。

1.神の力は無敵であり、止められない

2. 神の警告に従わなかった結果

1. 詩篇 29:10 - 「主は洪水の上に座しておられます。主は永遠に王として座しておられます。」

2. イザヤ書 59:2 - 「しかし、あなたの咎があなたとあなたの神との間に引き離し、あなたの罪が神の顔をあなたから隠して、神に聞こえさせないようにしました。」

黙示録 16 章は黙示録の 16 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章は、神の怒りが七つの鉢から注がれ、神を拒絶した者たちに厳しい裁きが下されることに焦点を当てています。

第 1 段落: この章は、最初の天使が自分の鉢を地に注ぐところから始まり、その結果、獣の刻印を負い、その像を崇拝する人々に痛みを伴うただれが生じます (黙示録 16:2)。第二の天使はボウルを海に注ぎ、それを死人のような血に変えます。その結果、海の生き物はすべて死にます(黙示録16:3)。第三の天使はその鉢を川と泉に注ぎ、それらを血に変えます（黙示録 16:4-6）。天使は、血を流す者には血を飲む資格があるため、これらの裁きは正当であると宣言します。

第 2 段落: 第 4 の天使はその器を太陽に注ぎ、激しい熱で人々を焦がします (黙示録 16:8-9)。この苦しみを経験しているにもかかわらず、人々は悔い改めを拒否し、むしろ神を冒涜しています。第五の天使は自分のボウルを獣の王座に注ぎ、その王国を暗闇に陥れます。人々は苦しみながら舌を噛んでいますが、それでも自分たちの悪行を悔い改めません（黙示録 16:10-11）。

第 3 段落: 第 6 の天使は、神との戦いのために東からの王たちが集まるのに備えて、大河ユーフラテスにボウルを注ぎ、川を乾かします。世界中の人々を欺くためにしるしを行う悪霊の中から、カエルに似た３匹の汚れた霊が出てきます（黙示録１６：１２－１４）。これらの霊はハルマゲドンでの戦いのために王たちを集めます。ハルマゲドンは、神に敵対する善と悪の勢力の間で最終的な衝突が起こる象徴的な場所です（黙示録 16:15-16）。

要約すると、黙示録の第 16 章は、神を拒絶した人々に神の怒りの七つの鉢が注がれることを説明しています。その裁きには、痛みを伴うただれ、海と水源の血への変化、灼熱の熱、獣の王国を覆う暗闇、そして悪魔の欺瞞が含まれます。これらの深刻な疫病を経験しているにもかかわらず、人々は悔い改めることを拒否し、神を冒涜し続けています。この章では、ハルマゲドンでの最後の戦いの準備についても紹介します。この章は、悔い改めない悪行者に対する神の裁きを強調し、神の主権を認めて邪悪な道から立ち返ることを頑なに拒否していることを強調しています。

黙示録 16:1 わたしは神殿から大きな声が七人の天使たちにこう言うのを聞いた。「行きなさい。神の怒りの小瓶を地上に注ぎ出してください。」

神殿からの大きな声が、神の怒りの小瓶を地上に注ぐように7人の天使に指示します。

1. 神の怒り: 不従順の結果を理解する

2. 怒りのただ中での神の憐れみ

1. ローマ人への手紙 1:18-32 - 人間のあらゆる不敬虔と不義に対して神の怒りが天から明らかにされました。

2. ペテロ第二 3:9 - 主はだれかが滅びることを望まれず、すべての人が悔い改めることを望んでおられます。

黙示録 16:2 そして最初の人は行って、自分の小瓶を地に注ぎ出した。そして、獣の刻印を持った人々と、その像を崇拝していた人々の上に、騒がしく悲惨なただれ物ができた。

最初の天使は自分の小瓶を地上に注ぎ出し、獣の刻印を持つ者たちとその像を崇拝する者たちに恐ろしく痛みを伴うただれを引き起こしました。

1. 偶像崇拝の代償: 偽りの偶像崇拝の結果

2. 神の裁き: 神の言葉に従わなかった場合の結果

1. ローマ 1:21-23 - 彼らは神を知っていましたが、神として神を敬わず、感謝もせず、考えることが無駄になり、愚かな心は暗くなってしまいました。彼らは賢いと主張して愚か者となり、不滅の神の栄光を、死すべき人間、鳥、動物、這うものに似た像と交換しました。

2. 詩篇 119:105 - あなたの御言葉は私の足の灯であり、私の道の光です。

黙示録 16:3 そして、第二の天使は小瓶を海に注ぎました。そしてそれは死んだ男の血のようになり、生きている魂はすべて海で死にました。

第二の天使は小瓶を注ぎ出し、海を死人の血のように変え、その中に生きているすべての魂を殺しました。

1. 神の意志を拒否した場合の結果 - 黙示録 16:3

2. 神の裁きの力 - 黙示録 16:3

1. エゼキエル 32:6 - 「わたしはまた、あなたの血で、あなたが泳いでいる土地、山々にまで水を注ぎます。そうすれば川はあなたたちでいっぱいになるでしょう。」

2. 詩篇 46:3 - 「たとえその水がとどろき、騒がしくても、山々はそのうねりで震えます。」

黙示録 16:4 そして、第三の天使はその小瓶を川と水の泉に注ぎました。そしてそれらは血になった。

第三の天使は小瓶を川や水の泉に注ぎ、それらを血に変えました。

1. 神の裁きの力

2. 聖書における水の重要性

1. 出エジプト記 7:17-21 - モーセがナイル川を血に変える

2. 詩篇 78:44 - 神は天の水門を開き、地の塵のように水を与えます

黙示録 16:5 そして私は、水の御使いがこう言うのを聞きました。「主よ、あなたは義人です。今も昔も、これからもそうされるのは、あなたがこのように判断されたからです。」

水の天使は、悪人を裁く神の義を称賛します。

1. 神の正義の裁き - 私たちの人生における神の正義の重要性を検討します。

2. 神の慈悲 - 神の慈悲と裁きのバランスについての議論。

1. ローマ 3:23-24 - なぜなら、人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、キリスト・イエスによる贖いを通して、賜物としての神の恵みによって義とされるからです。

2. 詩篇 145:17 - 主はそのすべての道において義であり、そのすべての業において慈悲深い方です。

黙示録 16:6 彼らは聖徒や預言者の血を流し、あなたは彼らにその血を飲ませてくださいました。彼らには価値があるからです。

この一節は、聖人や預言者の血を流した人々がその血を飲むためにどのように与えられたかを語っており、彼らがそのような刑罰に値することを示唆しています。

1. 正義の重要性: 神の裁きの正しさを理解する

2. 迫害の代償: 抑圧の結果を考察する

1. ローマ人への手紙 12:19 - 「愛する人たち、決して自分で復讐してはなりません。神の怒りに任せてください。「復讐はわたしのすること、わたしが報復する、と主は言われる。」と書いてあるからです。

2. 詩篇 106:38 - 「彼らは罪のない血、つまりカナンの偶像に犠牲として捧げた息子や娘の血を流しました。そしてその地は彼らの血によって冒涜されました。」

黙示録 16:7 また、私は祭壇の中から別の人がこう言うのを聞いた。「それでも、全能の神、主よ、あなたの裁きは真実で義です。」

神の裁きは真実であり、正義です。

1. 神の真理に生きる: 神の裁きの正しさを理解する

2. 神の忠実さ: 神の正義の裁きに安らぐ

1. 詩篇 19:9 - 主への畏れは清く、永遠に続く。主の規則は真実であり、完全に義です。

2. イザヤ書 45:21 - 自分の主張を宣言し、提示してください。一緒に相談しましょう！ずっと前に誰がこんなことを言いましたか？誰がそれを古いと宣言しましたか？それは主である私ではなかったでしょうか？そして、私のほかに神はありません、義なる神であり救い主です。私以外には誰もいません。

黙示録 16:8 そして、第四の天使はその小瓶を太陽に注いだ。そして人間を火で焼き尽くす力が彼に与えられた。

神の裁きは厳しくて正しいです。

1: 私たちは神の裁きを軽々しく受け止めず、神の御心に従う信仰生活を送らなければなりません。

2: 神の罰は、私たちを神のもとに導き、悔い改めて神の恵みを求める必要性を思い出させることを目的としています。

1: ルカ 13:3 - いいえ、そうではありません。しかし、あなたが悔い改めない限り、あなたがたは皆同様に滅びるでしょう。

2: ローマ 2:5-6 - しかし、あなたはかたくなで悔い改めない心のせいで、神の正しい裁きが明らかにされる怒りの日に、自分のために怒りを蓄えているのです。

黙示録 16:9 人々は激しく燃え上がり、これらの災いを治める力を持つ神の御名を冒涜し、神に栄光を帰さなかったことを悔い改めた。

人々は猛暑で重度の火傷を負いながらも、疫病を止める力を持つ神を讃美することを拒みました。

1. 神の力: それをどのように認識し、どのように対応するか

2. 神を讃えることを拒否することの危険性

1. ローマ 1:21-22 - 「彼らは神を知っていましたが、神として神を讃えず、感謝もせず、その考えは空しく、愚かな心は暗くなりました。」

2. ヤコブ 4:17 - 「ですから、なすべき正しいことを知っていながらそれを行わない者にとって、それは罪なのです。」

黙示録 16:10 そして、第五の天使は獣の座に小瓶を注ぎました。そして彼の王国は暗闇に満ちていました。そして彼らは痛みのために舌を噛んだ、

第五の天使は獣の座に小瓶を注ぎ、彼の王国を暗闇と痛みで満たしました。

1. 野獣の破壊とその結果

2. 獣の力に対する神の力

1. ヨハネ 3:19-20 - 「そして、これが裁きです。光が世に来ました。そして人々は、自分たちの行いが悪かったので、光よりも闇を愛しました。なぜなら、悪を行う者は皆、光を憎み、行うからです」彼の作品が暴露されないように、明るみに出ないでください。」

2. ダニエル 7:11-12 - 「そのとき、角笛の大きな言葉が聞こえたので、私は見ました。そして、私が見ていると、その獣は殺され、その体は破壊され、火で焼かれるために引き渡されました。残りの獣たちに関しては、その支配権は剥奪されたが、彼らの命は一時期と一時期だけ延長された。」

黙示録 16:11 そして彼らの痛みとただれのゆえに天の神を冒涜し、自分たちの行いを悔い改めなかった。

人々は大きな痛みや傷に苦しんでも自分たちの行いを悔い改めることを拒否し、天の神を冒涜しました。

1. 悔い改めるか滅びるか: 悔い改めを拒否した場合の結果

2. 私たちの反逆にもかかわらず、神の憐れみと憐れみ

1. ルカ 13:3–5、「言っておくが、そうではない。しかし、悔い改めなければ、あなた方も滅びてしまいます。」

2. ローマ 5:8、「しかし、神はこのことによって私たちに対するご自身の愛を明らかにしています。私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださいました。」

黙示録 16:12 そして、第六の天使は大河ユーフラテスに小瓶を注ぎました。そしてその水は枯れ、東の王たちの道が整えられた。

第六の天使は東の王たちの道を備えるために、ユーフラテス川に小瓶を注ぎ、川を干上がらせました。

1: 神は主権者であり、荒野に道を切り開くことがおできになります。

2: 困難な時に神の力と導きを求める。

1: イザヤ書 43:19 - 「見よ、わたしは新しいことをしている。今それが湧き出ています、あなたはそれを認識しませんか？荒野や砂漠の川に道を作ります。

2: イザヤ書 41:10 - 「恐れるな、わたしはあなたとともにいる。落胆しないでください、私はあなたの神だからです。わたしはあなたを強め、助け、私の義の右手であなたを支えます。」

黙示録 16:13 そして、私は、カエルのような三つの汚れた霊が、竜の口、獣の口、偽預言者の口から出てくるのを見た。

竜、獣、偽預言者はカエルのような３つの汚れた霊を放ちました。

1: 私たちは、信頼できない人たちを通して悪の影響が及ぶ可能性があることに注意しなければなりません。

2: 私たちは欺瞞の危険性と誤った教えの根源を認識しなければなりません。

1: エペソ 6:12 - なぜなら、私たちは血肉に対してではなく、支配者に対して、権威に対して、この現在の暗闇を支配する宇宙の力に対して、天上の悪の霊的な力に対して戦うからです。

2: ペテロ第一 5:8 - 冷静になりなさい。気をつけてください。あなたの敵である悪魔は、ほえるライオンのようにうろつき、食いつくべき者を求めています。

黙示録 16:14 なぜなら、彼らは悪魔の霊であり、奇跡を起こし、全能の神の大いなる日の戦いに彼らを集めるために、地上と全世界の王たちに向かって出て行くからである。

悪魔の霊たちは、全能の神の大いなる日の戦いに地球と全世界の王たちを集めるために奇跡を行っています。

1. 悪魔の奇跡に騙されないでください。それは破滅につながるからです。

2. 私たちは全能の神の大いなる日に備え、悪魔の欺瞞に対してしっかりと立ち向かわなければなりません。

1. エペソ 6:10-17 - 悪魔の計略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2. コリント人への第二 11:14 - サタンでさえ光の天使に変装するからです。

黙示録 16:15 見よ、わたしは盗人として来た。裸で歩いたり、人々に彼の恥を見られたりしないように、自分の衣服を守り、見守っている人は幸いです。

イエス・キリストは、自分の衣を守って守る人は祝福されるが、そうでない人は恥をかくだろうと警告されました。

1. 「従順の祝福: わがままな世界で自分自身を守る」

2.「守りの約束：忠実な生活の中で警戒を続ける」

1. マタイ 24:43 - 「しかし、これを理解してください。家の所有者が、泥棒が何時に来るかを知っていたら、自分の家に侵入させなかったでしょう。」

2. 箴言 6:27 - 「人は胸の横に火を抱えていて、衣服が焼けないことができるだろうか。」

黙示録 16:16 そしてイエスは彼らを、ヘブライ語でハルマゲドンと呼ばれる場所に集めた。

黙示録 16 章 16 節には、神が人々をハルマゲドンと呼ばれる場所に集めると述べられています。

1. ハルマゲドンの到来: 知っておくべきこと

2. ハルマゲドンへの備え：終末に対する神の計画

1. イザヤ書 34:1-17 - 諸国民に対する神の裁き

2. ヨエル 3:2 - 神はヨシャファトの谷での戦いのために諸国民を集める

黙示録 16:17 そして、第七の天使は小瓶を空中に注ぎました。すると天の神殿、玉座から大きな声が聞こえてきて、「終わった」と言った。

第七の天使が小瓶を空中に注ぎ出し、天の玉座から大きな声がそれが完了したと宣言した。

1. 神の声の力 - 神の言葉の権威を探る

2. 完了の意味 - 完全に完了するという意味を理解する

1. 詩篇 29:3-4 - 主の声は水の上に響きます。栄光の神、主よ、多くの水の上に雷鳴がとどろきます。主の御声は力強いです。主の御声は威厳に満ちています。

2. イザヤ書 40:8 - 草は枯れ、花はしぼみますが、私たちの神の言葉は永遠に残ります。

黙示録 16:18 そのとき、声と雷鳴と稲妻が起こった。そして、人類が地球上に存在して以来のような大地震が発生した。これほど強力で、非常に大きな地震だった。

地球は未曾有の大地震に見舞われた。

1: 破壊と混乱があるときでも、神は支配しておられます。

2: 混乱の真っ只中でも、神は今も私たちとともにおられます。

1: イザヤ書 28:2 「見よ、主には力強く強い方がおられる。雹の嵐のように、破壊的な嵐のように、強大な溢れ出る水の嵐のように、神はそれらを御手で地に投げ下ろされる。」

2: イザヤ書 43:2 「あなたが水の中を通るとき、わたしはあなたとともにいます。川を通って、あなたがたに氾濫することはない。火の中を歩いても、火傷することはなく、炎があなたを焦がすこともありません。」

黙示録 16:19 すると、大都市は三つに分かれ、諸国民の都市は滅び、大バビロンは記念として神の御前に来て、神の激しい怒りのぶどう酒の杯を彼女に与えた。

大都市は三つの部分に分けられ、諸国民の都市は崩壊し、バビロンは神に記憶され、彼女に怒りの杯を与えられた。

1. 神の怒り: バビロンの裁きを理解する

2. 内なる敵: プライドと貪欲の危険性を認識する

1. イザヤ書 13:9-11 - 見よ、主の日が来て、怒りと激しい怒りをもって残酷にその地を荒廃させ、その罪人をそこから滅ぼすであろう。

10 天の星とその星座は光を発しないからである。太陽は出て行くと暗くなり、月はその光を輝かせることはない。

11 そして、わたしは彼らの悪のために世を罰し、彼らの咎のために悪者を罰する。そして私は高慢な者の傲慢さをやめさせ、恐ろしい者の傲慢さを低くします。

2. エレミヤ 25:15-17 - イスラエルの神、主はわたしにこう言われる。この怒りのワインカップを私の手に取り、私があなたを派遣するすべての国々にそれを飲ませてください。

16 そして、わたしが彼らの間に送る剣のゆえに、彼らは飲み、感動し、激怒するであろう。

17 それから私は主の手から杯を取り、主が私を遣わされたすべての国々に飲ませた。

黙示録 16:20 そしてすべての島は逃げ去り、山々は見つからなかった。

第七の天使が怒りのボウルを注いだとき、島と山は消えました。

1. 主の怒り: 第七の天使がボウルを注いだとき

2. 消えゆく島々や山々：神の裁きのしるし

1. イザヤ書 13:9-13 - 見よ、主の日が来る、残酷な怒りと激しい怒りをもって、その地を荒廃させ、そこから罪人を滅ぼす。

2. イザヤ書 24:1-6 - 主は地を空にし、荒廃させ、それをひっくり返し、その住民を散らします。

黙示録 16:21 そのとき、天から大いなる雹が人々の上に降った。すべての石は一タラントほどの重さだった。人々は雹の災いのゆえに神を冒涜した。その疫病が非常に大きかったからである。

非常に大きな雹が空から降ったため、人々はその厳しさから神を冒涜しました。

1. 神の力: 黙示録 16:21 の雹の大きさ

2. 冒涜の結果: 黙示録 16:21 で人はなぜ冒涜をしたのか

1. 詩篇 18:12-14 - 彼は矢を放って敵を散らし、大きな稲妻を起こして敵を敗走させました。主よ、あなたの叱責によって、あなたの鼻孔から吹き出す息の勢いによって、海の谷が露出し、地の基礎がむき出しになりました。

2. ヨブ記 38:22-23 - 「あなたは雪の倉に入ったことがありますか、あるいは、私が戦争や戦闘の日々のために、苦難の時のために取っておきます、雹の倉を見たことはありますか。」

黙示録 17 章は黙示録の 17 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章では、大いなるバビロンとして知られる謎の女性と、彼女が乗る獣の説明と判断に焦点を当てます。

第 1 段落: ヨハネは御霊に導かれ、7 つの頭と 10 本の角を持つ緋色の獣に座っている女性を見る。女性は豪華な衣装を着ており、金、宝石、真珠で飾られています（黙示録 17:3-4）。彼女は忌まわしいもので満たされた金の杯を持ち、額に「神秘、大いなるバビロン、売春婦と地上の忌まわしいものたちの母」（黙示録 17:5）と書いています。この女性は王と国家を統治する大都市を表しています。

第 2 段落: 天使はヨハネに、7 つの頭は女性が座っている 7 つの山 (政治権力の象徴) と 7 つの王または王国の両方を表していると説明します。5人は倒れ、1人は現在支配しており、もう 1人はまだ滅ぼされるまでの短期間に来ます(黙示録17:9-11)。10本の角は、獣とともに 1時間権威を受ける 10 人の王を表しています。彼らは神に対して戦争を仕掛けますが、最終的には神に敗北します(黙示録17:12-14)。

第 3 段落: 天使はさらに、これらの王たちがバビロン (女性) に敵対し、彼女を完全に滅ぼすであろうことを明らかにします。神は、彼らにこの偽りの制度を憎ませることで神の目的を遂行するよう彼らの心に入れておられます(黙示録17:16-18)。この章は、この大都市バビロンが悪の化身としてどのように判断されるか

を説明して終わります。それは霊的腐敗、偶像崇拝、不道徳、経済的搾取、信者に対する迫害を表しています。その破壊は、神に敵対するすべての星系に対する神の裁きを意味します。

要約すると、黙示録の第 17 章では、王と国々を統治する大都市を象徴する大バビロンとして知られる神秘的な女性が登場します。彼女は 7つの頭と 10本の角を持つ緋色の獣の上に座っているように描かれています。この章では、この女性が霊的堕落を表し、さまざまな形の悪を体現していることが明らかになります。天使は神に敵対する政治的権力構造を示す、7つの頭、山、王、角の象徴性を説明しています。最終的に、これらのシステムはバビロンに敵対し、神の導きの下でバビロンを破壊します。この章は、悪に対する神の裁きを強調し、神の統治に反対する世の権力の欺瞞的な性質を明らかにします。

黙示録 17:1 すると、七つの小瓶を持った七人の天使のうちの一人が来て、私と話し、こう言いました。私はあなたに、多くの水の上に座っている大売春婦の裁きを見せます。

天使は黙示録の著者に語りかけ、来て多くの水の上に座っている大売春婦の裁きを見に来るように言いました。

1. 偶像崇拝の現実とその結果

2. 精神的な不倫の深刻さ

1. イザヤ書1:21-23

2. エゼキエル書 16:15-43

黙示録 17:2 地の王たちは彼女と淫行を犯し、地の住民は彼女の淫行のぶどう酒に酔った。

地上の王たちは邪悪な存在と霊的姦淫を犯し、地球の住民はその影響力に酔いしれています。

1. 精神的な姦淫の危険性

2. 人を酔わせる罪の影響

1. ヤコブ 1:14-15 - 「しかし、人は誰でも、自分の欲望に誘惑され、誘惑されるとき、誘惑に遭います。そして、欲望は妊娠すると罪を生み、罪は成長すると死を生み出します。」

2. 箴言 23:29-35 - 「誰が不幸を経験するだろうか。誰が悲しみを持っていますか？争いごとがあるのは誰ですか？誰が苦情を言っていますか？理由もなく傷を負っている人はいますか？目が赤い人は誰ですか？ワインを飲みながら長居する人。ミックスワインを試しに行く人。ワインが赤くなっているとき、カップの中でキラキラ輝いていて、滑らかに喉を通ってしまうときは、ワインを見ないでください。最後には蛇のように噛みつき、毒蛇のように刺します。あなたの目は奇妙なものを見、あなたの心は邪悪なことを言うでしょう。」

黙示録 17:3 それで、彼は私を霊に乗って荒野に連れ去った。すると、ある女が、冒涜の名で満ちた、七つの頭と十本の角を持った緋色の獣の上に座っているのが見えた。

ジョンは幻の中で荒野に連れて行かれ、そこで、冒涜的な名前でいっぱいの、7つの頭と10本の角を持つ緋色の獣に乗った女性の姿を目にします。

1. 偶像崇拝の危険性: 黙示録 17 の考察

2. 冒涜と偽りの崇拝: 黙示録 17 章からの警告

1. 詩篇 97:7 (口語訳): 「彫られた像に仕え、偶像を誇る者たちは皆当惑します。すべての神々よ、彼を崇めなさい。」

2. ローマ人への手紙 1:21-25 (口語訳): 「それは、彼らが神を知ったとき、神として栄光を帰さず、感謝もせず、空想的になり、愚かな心は暗くなったからです。彼らは賢明で愚か者となり、朽ちない神の栄光を、朽ちる人間、鳥、四本足の獣、はうものに似せた像に変えた。そのため、神はまた、彼ら自身の心の欲望によって彼らを汚れに引き渡されたのである。「誰が神の真実を嘘に変え、永遠に祝福される創造主よりも被造物を崇拝し仕えるのです。アーメン。」

黙示録 17:4 女は紫と緋色の服を着て、金や貴石や真珠で飾り、手には忌まわしい淫行と不潔さで満たされた金の杯を持っていた。

女性は豪華な服と宝石を身に着け、罪が入った杯を持っていました。

1. 世俗的な欲望の虚しさ

2. 偶像崇拝の危険性

1. ヤコブ 4:4 - 「姦淫する人たちよ、世との友情は神に対する敵意を意味することを知らないのですか。ですから、世の友人になることを選ぶ者は誰でも神の敵になります。」

2. ヨハネ第一 2:15-17 - 「世や世の何ものかを愛してはなりません。世を愛する人がいるとしても、その人の中には父への愛がありません。世のすべてのもの、つまり肉の欲望、」

黙示録 17:5 そして、彼女の額には、「神秘、大いなるバビロン、売春婦と地上の忌まわしい者の母」という名前が書かれていました。

黙示録 17 章 5 節には、額に「大いなるバビロン、売春婦と地の忌まわしい者の母」という神秘的な名前が書かれた女性について書かれています。

1. 大いなるバビロンの謎: 名前の意味を探る

2. 地球の忌まわしいもの: バビロンが世界に与えた影響に関する研究

1. 箴言 7:6-27 - 不倫する女性を避けるためのアドバイス

2. イザヤ書 47:1-15 - 傲慢と高慢に対するバビロンの裁き

黙示録 17:6 私は、聖徒たちの血とイエスの殉教者の血に酔っている女を見た。そして、彼女を見たとき、私は非常に感嘆して驚いた。

黙示録 17 章の女性は、イエスの聖徒と殉教者の血に酔っているように見えます。

1. キリストの力: 聖人と殉教者はどのように私たちに道を示したか

2. 迫害と苦しみ: 聖徒と殉教者の血を見る

1. ローマ 8:17-19 - なぜなら、私たちがキリストとともに苦しみを受けるなら、私たちはキリストとの共同相続人だからです。そうすれば、私たちもキリストとともに栄光を受けることができます。

2. ヘブライ 12:1-3 - ですから、私たちはこれほど大勢の証人たちに囲まれているのですから、あらゆる重荷とまとわりついている罪を取り除き、前に定められたレースを粘り強く走り抜けましょう。私たち。

黙示録 17:7 すると、天使は私に言った、「なぜあなたは驚いたのですか。」わたしはあなたに、この女の謎と、彼女を運ぶ七つの頭と十本の角を持つ獣の謎を教えましょう。

この一節は、女性と 7 つの頭と 10 本の角を持つ獣の神秘的な正体を明らかにします。

1. 神の奥義の解明: 黙示録の重要性を理解する 17:7

2. 啓示の力: 私たちの人生における神の目的を解き放つ

1. イザヤ書 25:1 - 「主よ、あなたはわたしの神です。私はあなたを高めます。私はあなたの御名を讃えます。あなたは素晴らしいことを成し遂げ、古くから忠実で確かな計画を立てられたからです。」

2. 詩篇 25:14 - 「主の秘密は彼を恐れる者たちと共にあり、主は彼らに契約を示される。」

黙示録 17:8 あなたが見た獣は、かつてはありましたが、そうではありません。そして、底なしの穴から出てきて、滅びに入るでしょう。そして、地上に住む人々は、世界の初めから命の書にその名前が書かれていなかった獣を見たとき、不思議に思うでしょう。そうではありませんが、まだそうです。

黙示録でヨハネが見た獣が底なしの穴から現れ、命の書に名前が書かれていない人々がその姿を見て、彼らに驚きを与えるでしょう。

1. 「昔も今もいない獣」

2.「野獣の不思議」

1. ダニエル 7:7-8、「この後、私は夜の幻で見た、そして見よ、恐ろしく恐ろしく、非常に強い第四の獣であった。そしてそれは大きな鉄の歯を持っていました。それは食べて粉々に砕き、残りを足で踏みつけました。そしてそれはそれ以前のすべての獣とは異なっていました。それには 10本の角がありました。私は角を考えました、そして、見よ、それらの中から別の小さな角が出てきました。その前に、最初の角のうちの 3本が根に引き抜かれていました。そして見よ、この角には人間の目のような目がありました。口は素晴らしいことを話します。」

2. エペソ人への手紙 1:4、「神が私たちを世の基が置かれる前に、ご自分にあって選んでくださったとおり、私たちは神の御前で愛のうちに聖く、とがめられることのない者となるためです。」

黙示録 17:9 ここに知恵のある心がある。七つの頭は七つの山であり、その上に女性が座っています。

黙示録 17 章 9 節の七つの頭は、女性が座っている 7 つの山です。

1. 黙示録の山々: 黙示録 17:9 の研究

2. 黙示録の知恵: 神の導きを見つける方法

1. 詩篇 125:1 - 「主を信頼する者はシオンの山のようであり、動かすことはできず、永遠にとどまります。」

2. イザヤ書 12:2 - 「見よ、神は私の救いです。私は信頼し、恐れません。主なる神が私の力であり、私の歌だからです。彼は私の救いにもなりました。」

黙示録 17:10 王は七人いる。五人は倒れ、一人は倒れ、もう一人はまだ来ていない。そして彼が来たら、短いスペースを続けなければなりません。

黙示録 17:10 のこの箇所は、7 人の王について語っていますが、そのうち 5 人はすでに倒れ、1 人は生きており、もう 1 人はまだ来ておらず、王の統治は短期間だけです。

1. 人間の力のはかなさ：無常を踏まえて私たちはどう生きるべきか

2. 神の主権: 永続する平和と慰めのために主を信頼する

1. イザヤ書 40:6-8 「人はみな草のようで、その栄光はすべて野の花のようです。草は枯れ、花は散ります。しかし、私たちの神の言葉は永遠に残ります。」

2. ヤコブ 4:14 - 「なぜでしょう、あなたは明日何が起こるかさえ知りません。あなたの人生は何ですか？あなたは少しの間現れて、そして消える霧です。」

黙示録 17:11 そして、かつて存在した、そして存在しない獣、彼は七匹のうちの八番目であり、滅びに行きます。

かつて存在した、そして存在しない獣は、7 匹のうちの 8 匹目であり、滅びます。

1. 獣と滅び: 黙示録の重要性を理解する 17:11

2. 第八の獣: 黙示録 17:11 の研究

1. マタイ 25:41—「それから彼は左側にいる者たちに言うでしょう、『呪われた者たちよ、わたしから離れて、悪魔とその天使たちのために用意された永遠の火の中に入れなさい』。」

2. ダニエル 7:11—「その時、私は角笛の偉大な言葉の音が聞こえたので目を向けました。そして私が見ていると、その獣は殺され、その体は破壊され、火で焼かれるために引き渡されました。」

黙示録 17:12 また、あなたが見た十本の角は、まだ王国を受けていない十人の王です。しかし、獣と一緒に一時間、王としての力を受け取ります。

この一節には、まだ王国を与えられていないが、一時間だけ獣と並んで王としての力を得る10人の王が描かれています。

1. 王の力: 権威を受けることが何を意味するかを理解する

2. 権威の一時的な性質: 神の主権がいかにして最高位に君臨するか

1. ダニエル 7:17-18 - 「これらの四匹の大きな獣は、地から生じる四人の王です。しかしいと高き者の聖徒たちは王国を奪い、永遠に、さらに永遠にその王国を所有するであろう。」

2. ローマ人への手紙 13:1-2 - 「すべての魂は高次の力に服従しなさい。神以外に力はないからです。その力は神によって定められています。したがって、権力に抵抗する者は神の定めに抵抗することになり、抵抗する者は自らに天罰を受けるであろう。」

黙示録 17:13 これらは心を一つにして、自分たちの力と力を獣に与えるでしょう。

ひたむきな考えを持つ人々は、自分の力と強さを獣に与えます。

1. 団結の力 - 共通の目的に個人の力と強さを委ねることで、私たちが力を合わせてどのようにして偉大な成果を達成できるか。

2. 私たちの中の獣 - 私たち自身の利己的な欲望に身を委ねることが、いかに私たちの破滅につながるか。

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. マタイ 6:24 - 「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に専念して他方を軽蔑するかのどちらかだからです。神とお金に仕えることはできません。」

黙示録 17:14 これらの者たちは小羊と戦い、小羊は彼らに勝つでしょう。彼は主の中の主、王の中の王だからです。そして彼とともにいる者たちは召され、選ばれ、忠実です。

小羊はすべての敵に打ち勝つでしょう。彼は主の中の主であり、王の中の王であり、小羊とともにいる者たちは召され、選ばれ、忠実だからです。

1: 私たちの主より偉大な力はありません。主に従う者は主の保護が保証されます。

2: 私たちの主は主の中の主、王の中の王であり、主に従う者は召され、選ばれ、忠実である。

1: イザヤ書 41:10 - 恐れるな。わたしはあなたとともにいるのですから、がっかりしないでください。私はあなたの神だから、私はあなたを強めます。はい、私はあなたを助けます。そうだ、私は私の義の右手であなたを支えます。

2: ヨシュア記 1:9 - わたしはあなたに命じたではありませんか。強くて勇気を持ってください。恐れることなく、落胆することもない。あなたの神、主はどこへ行くにもあなたとともにおられるからである。

黙示録 17:15 そして彼は私に言った、「あなたが見た水、売春婦が座っているところには、人々、群衆、国民、異言がある。」

黙示録 17 章 15 節に登場する水は、世界のさまざまな民族、群衆、国家、言語を象徴しています。

1. 神の憐れみはすべての人に及ぶ: 黙示録 17:15 についての考察

2. 異文化の理解: 黙示録の研究 17:15

1. 詩篇 86:9 - 主よ、あなたが造られたすべての国々はあなたの前に来て礼拝します。彼らはあなたの名に栄光をもたらすでしょう。

2. 使徒 17:26 - 神は一人の人からすべての国々を造り、全地に住まわせました。そして彼は歴史上の彼らの定められた時代と彼らの土地の境界をマークしました。

黙示録 17:16 また、あなたが獣に見た十本の角、これらは娼婦を憎み、彼女を荒廃させ、裸にし、その肉を食べ、火で焼くであろう。

獣の十本の角が売春婦を憎み、彼女を滅ぼし、彼女の肉を食い尽くし、火で焼くでしょう。

1. 本当の憎しみは、罪とその破壊の結果から生じます。

2. 私たちの人生は儚いものであり、私たちの行動には結果が伴います。

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の無償の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. ヤコブ 4:14 - しかし、明日何が起こるかはわかりません。あなたの人生は何ですか？なぜなら、あなたは一瞬現れて、そして消える霧だからです。

黙示録 17:17 なぜなら、神は、神の言葉が成就するまで、ご自分の意志を実現し、同意して、彼らの王国を獣に与えるために、彼らの心を入れておられるからです。

神の意志が成就するまで、獣には王国を支配する権威が与えられます。

1. 神の究極の権威と意志を理解する

2. 神の御心に従うことの重要性

1. マタイ 6:10 - 「あなたの御国が来ますように、あなたの御心が天と同じように地でも行われます。」

2. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

黙示録 17:18 そして、あなたが見た女性は、地上の王たちを統治するあの大都市です。

幻の中の女性は、地上の王たちを統治する大都市の象徴です。

1: 諸国に対する神の主権

2: 教会の優位性

1: ダニエル 7:27 - そして王国と支配権、そして全天の下の王国の偉大さはいと高き聖徒の民に与えられ、その王国は永遠の王国であり、すべての支配権は奉仕するであろう。そして彼に従ってください。

2: 詩篇 2:10-12 - したがって、王たちよ、今こそ賢くなりなさい。地の裁判官たちよ、教えを受けなさい。恐れをもって主に仕え、震えながら喜びなさい。息子が怒らないように、息子に口づけしなさい。そうすれば、ほんの少しでも彼の怒りが燃え上がったときに、あなたがたは途中で滅びるでしょう。彼に信頼を寄せるすべての人は幸いです。

黙示録 18 章は黙示録の 18 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章は、神に敵対する腐敗した偶像崇拝的な体制を象徴する大いなるバビロンの堕落と裁きに焦点を当てています。

第 1 段落: この章は、天使が天から降りてきて、バビロンが崩壊したことを力強い声で宣言するところから始まります。この宣言は彼女の滅びを告げ、彼女が悪霊の住処となり、あらゆる汚れた霊のたまり場となり、あらゆる汚れた鳥の檻となったことを宣言しています(黙示録18:2)。国々は彼女の魔術、不道徳、経済的搾取によって欺かれてきました(黙示録18:3)。天からの別の声は、神の民に、バビロンの罪に加担したり、災いに加担したりしないようにバビロンから出て来るように呼びかけています（黙示録18:4-5）。

第 2 段落: この章では、バビロンに関連する莫大な富と贅沢について説明します。商人たちは、金、銀、貴石、高級織物、香辛料、ワイン、油、家畜、奴隷などの商品、さらには人間の魂さえも、もう誰も買ってくれないので、彼女の破滅を嘆いています（黙示録 18:11-13）。彼らは燃え盛る街から煙が立ち上るのを目撃しながら、失われた利益を嘆きます(黙示録18:15-19)。

第３段落：バビロンの裁きに対して天では喜びが起こる。天使は強力な石を海に投げ込み、バビロンは暴力によって投げ落とされ、二度と発見されないと宣言します（黙示録 18:21）。都市の破壊は完全な荒廃として説明されています。城壁内では音楽や職人の音が聞こえなくなります。そこにはもはや光は輝きません（黙示録 18:22-23）。バビロンは歴史を通じて預言者や聖徒たちの血を流す責任があることが強調されています（黙示録 18:24）。この章は、バビロンの滅亡を通して神がご自分の民に復讐したという保証で終わります。

要約すると、黙示録の第 18 章は、腐敗した偶像崇拝的な体制の象徴である大いなるバビロンの堕落と裁きを描いています。この章では、彼女の欺瞞的な行為、経済的搾取、不道徳行為に焦点を当てています。天使は彼女の破壊を宣言し、神の民に彼女の影響から離れるように呼びかけます。この章では、失われた利益を悲しむ商人たちと、バビロンの裁きを天で喜ぶ様子が描かれています。それはバビロンの完全な荒廃を強調し、この邪悪な体制に対して神の民に復讐する神の正義を確認します。この章は、霊的腐敗、経済的搾取に対する神の裁きのテーマを強調し、神に敵対する世俗の体制から離れたままであることを信者に呼びかけます。

黙示録 18:1 これらの事の後、私は、大きな力を持った別の天使が天から降りてくるのを見た。そして地球は彼の栄光で明るくなりました。

天使が天から降りてきて、地上に偉大な力と栄光をもたらします。

1. 天の力: 神の栄光が私たちの生活をどのように変えることができるか

2. 天の栄光: 神の偉大さの光の中で私たちはどのように生きることができるか

1. 詩篇 19:1 - 天は神の栄光を宣言します。空が彼の手の働きを告げる。

2. イザヤ書 6:3 - そして彼らは互いに呼び合っていました。「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能の主。全地が神の栄光に満ちている。」

黙示録 18:2 そして、彼は強い声で叫んで言った、「大いなるバビロンは倒れた、倒れた、そして悪魔の住処となり、あらゆる汚れた霊のつかみとなり、あらゆる汚れた憎むべき鳥の檻となった。」

大都市バビロンは崩壊し、悪と闇の場所と化しました。

1. バビロンに対する神の裁き: 今日への警告

2. 神の光を受け入れ、バビロンの闇を拒絶する。

1. イザヤ書 21:9 - 「バビロン、王国の栄光、カルデア人の誇りの美しさは、神がソドムとゴモラを打倒されたときのようになるでしょう。」

2. エレミヤ 51:8 - 「バビロンは突然倒れて滅ぼされました。彼女のために吠えなさい。彼女が癒されるなら、彼女の痛みに香油を取りなさい。」

黙示録 18:3 すべての国々は彼女の淫行の怒りのぶどう酒を飲み、地の王たちは彼女と淫行を犯し、地上の商人たちは彼女の豊富な珍味によって富を得ているからである。

世界の国々、王、商人はみな腐敗しており、バビロンが提供する豊富な贅沢品によって裕福になりました。

1. バビロンの罪: 贅沢と貪欲の国から学べること

2. 世の富の危険性: 富の誘惑を避ける方法

1. ヤコブ 4:4 - 「姦淫する人たちよ、世との友情は神に対する敵意を意味することを知らないのですか。ですから、世の友人になることを選ぶ者は誰でも神の敵になります。」

2. 箴言 11:28 - 「自分の富に頼る者は倒れるが、正しい者は緑の葉のように繁栄する。」

黙示録 18:4 また、私は天から、こう言う声を聞きました。「私の民よ、彼女から出て行きなさい。彼女の罪にあずからず、彼女の災いを受けないように。」

神は信者たちに、罪深い都市から出てきてその懲罰から解放されるよう呼びかけています。

1.「罪の都市：誘惑の疫病を避ける」

2.「神の呼びかけに従う：罪の結果を後にする」

1. エレミヤ 51:45 - 「私の民よ、彼女から出て行き、あなたがた一人一人を主の激しい怒りから救いなさい。」

2. ローマ人への手紙 12:2 - 「この世に合わせてはなりません。むしろ、心を一新して自分を変えてください。それは、何が神の御心なのか、何が善で、何が受け入れられ、完全であるのかを、試して識別できるようにするためです。」

黙示録 18:5 彼女の罪は天にまで達し、神は彼女の咎を覚えておられたからである。

神は人々の罪を覚えており、彼らの罪は天にまで達しました。

1. 罪の結果 - 私たちは最終的に自分の罪に対して責任を負うことになります。

2. 罪を軽く考えないでください - 神は常に見守っており、私たちの悪行を覚えておられます。

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. エゼキエル 18:20 - 罪を犯した魂は死ぬ。息子は父親の咎のために苦しまない、また父親も息子の咎のために苦しまない。正しい者の正義は自分自身にかかり、悪人の悪は自分自身にかかります。

黙示録 18:6 彼女があなたに報酬を与えたのと同じように、彼女にも報酬を与え、彼女の行いに従って彼女の倍を倍にしてください。彼女が満たした杯を彼女の倍まで満たしてください。

神は私たちに、善をもって悪に報い、受けたものの倍を与えるよう命じておられます。

1. 善をもって悪を償う: 憎しみに立ち向かう愛の力

2. 悪に善で報いる: 戦う代わりに許すことの利点

1. マタイ 5:38-39 「『目には目を、歯には歯を』と言われていたのを聞いたことがあるでしょう。」しかし、言っておくが、悪人に逆らうな。誰かがあなたの右の頬を平手打ちするなら、もう片方の頬も彼らに向けなさい。」

2. ローマ人への手紙 12:19-21 「親愛なる友人たち、仕返しをしないでください。むしろ、神の怒りを招く余地を残しておきなさい。『復讐するのはわたしの仕事である。わたしが報復する』と主は言われるからです。それどころか、次のように書かれています。「敵がお腹が空いているなら食べさせなさい。喉が渇いているなら何か飲み物をあげなさい。そうすることで、燃える石炭を彼の頭に山盛りすることになるでしょう。」悪に負けず、善をもって悪を克服してください。」

黙示録 18:7 彼女はどれほど自分を栄光にし、楽しく暮らしていたのに、あまりにも多くの苦しみと悲しみを彼女に与えているのです。彼女は心の中でこう言っています、「私は王妃であり、未亡人ではないので、悲しみを見ることはありません」。

神は贅沢に暮らし、自分の高揚を誇る者は罰と悲しみを受けるだろうと警告しています。

1. 自慢したり贅沢な暮らしをすることの危険性

2. 私たちが蒔いたものを刈り取る: 無駄なプライドの結果

1. 箴言 16:18 – 高慢は滅びの前にあり、高慢な精神は堕落の前にあります。

2. ヤコブ 4:6 - しかし、彼はさらに恵みを与えてくださいます。それゆえ、神は高慢な者には抵抗するが、謙虚な者には恵みを与える、と彼は言います。

黙示録 18:8 それゆえ、彼女には死と悲しみと飢餓という災いが一日のうちに訪れるであろう。そして彼女は火で完全に焼かれるでしょう。彼女を裁く主なる神は強いからです。

主なる神は、一日のうちに、死、悲しみ、飢餓、火をもってバビロンを裁かれます。

1: 神の正義は強力で止められない

2: 主の愛を拒否した場合の結果

1: イザヤ書 26:9 - 「あなたの裁きが地上に下るとき、世の人々は義を学びます。」

2: 詩篇 9:8 - 彼は義をもって世を裁きます。彼は正義をもって人々を統治します。

黙示録 18:9 地上の王たちは、不品行を犯し、彼女と仲良く暮らしていたが、彼女が燃える煙を見ると、彼女を嘆き、彼女のために嘆くだろう。

地の王たちはバビロンの滅びを目の当たりにして、バビロンを悼むでしょう。

1. バビロンの崩壊: 罪の結果

2. 神の怒りと悪人の滅亡

1. エレミヤ 51:7-8 「バビロンは主の手の中の金の杯で、全地を酔わせた。諸国の民は彼女のぶどう酒を飲んだ。そのため諸国の民は狂っている。バビロンは突然倒れ、滅ぼされる。彼女のために吠えよ。」; 彼女の痛みに香油を服用してください、そうすれば彼女は治るかもしれません。」

2. イザヤ書 47:8-9 「だから、今これを聞いてください。快楽に身を任せ、不注意に暮らし、心の中で『私は私であり、私の隣には誰もいない』と言う人よ。私はやもめとして座ることはありませんし、私も妻として座ることはありません」私は子供の喪失を知っています：しかし、これらの二つのことは一日のうちに瞬時にあなたに訪れるでしょう、子供たちの喪失、そして未亡人です：それらはあなたの魔術の多数と多大な豊かさのために完全な状態であなたに訪れるでしょう。あなたの魔法の。」

黙示録 18:10 彼女の苦しみを恐れて遠くに立って言った、「ああ、ああ、あの大いなる都バビロン、あの強大な都！」一時間以内にあなたの裁きが下されるからです。

一時間以内に、大都市バビロンは裁かれ、有罪とされるでしょう。

1. 正義の神: 私たちは正義と裁きの神に仕えます

2. 正義の必然性: 私たちは蒔いたものを刈り取る

1. ローマ人への手紙 2:8-10 「しかし、利己的で真理に従わず、不義に従う者には怒りと激怒があるでしょう。悪を行うすべての人間には、ユダヤ人を筆頭にギリシャ人にも艱難と苦難が訪れるだろうが、善を行うすべての人には、ユダヤ人をはじめギリシャ人にも栄光と名誉と平和が訪れるだろう。」

2. 詩篇 9:16 「主はその正義の行いによって知られます。悪人は自分たちの手の業によって罠にかかるのです。」

黙示録 18:11 そして、地上の商人たちは彼女のことで泣き悲しみます。もう彼らの商品を買う人はいないからです。

地上の商人たちは、誰も自分たちの商品を買わなくなって嘆いています。

1. 不確実な時代にどのように神の備えに頼ることができるか

2. 喪失の中でも感謝を持って生きる

1. イザヤ書 55:1-2 「渇いている人はみな、水に来なさい。お金のない人は来て、買って食べてください！さあ、お金も値段もなしにワインと牛乳を買ってください。なぜパンにならないものにお金を使い、満足しないものに労力を使うのでしょうか？私の言うことをよく聞いて、おいしいものを食べて、豊かな食事を楽しみなさい。」

2. ピリピ 4:11-12 「私は困っていることについて話しているのではありません。私はどんな状況でも満足できることを学んだのです。私は落ち込む方法と豊かになる方法を知っています。いかなる状況においても、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。」

黙示録 18:12 金、銀、宝石、真珠、亜麻布、紫、絹、緋色の商品、あらゆる木材、あらゆる象牙の器、あらゆる器最も貴重な木材、真鍮、鉄、大理石、

黙示録 18 章 12 節の一節には、金、銀、宝石、真珠、上質な亜麻布、紫、絹、緋色、木材、象牙、真鍮、鉄、大理石など、さまざまな貴重品について記述されています。

1. 虚栄心の代価: 黙示録 18:12 に記述されている事柄の研究

2. 地球の素晴らしさ: 黙示録 18:12 に記されている美しさについての考察

1. テモテ第一 6:17 - この世で裕福な人たちに、傲慢にならず、非常に不確実な富に希望を置くのではなく、私たちのためにすべてを豊かに与えてくださる神に希望を置くように命じてください。楽しみ。

2. ヤコブ 5:1-6 - さあ、金持ちよ、あなたに降りかかる悲惨のために泣き叫んでください。あなたの富は腐り、あなたの衣服は虫食いになっています。あなたの金と銀は腐食しており、その腐食はあなたに不利な証拠となり、火のようにあなたの肉体を蝕むでしょう。あなたは終わりの日に宝を蓄えました。

黙示録 18:13 また、肉桂、香料、軟膏、乳香、ぶどう酒、油、小麦粉、小麦、獣、羊、馬、戦車、奴隷、および人の魂。

黙示録 18 章 13 節には、香辛料、香水、軟膏、乳香、ワイン、油、小麦粉、小麦、動物、馬、戦車、奴隷、さらには人間の魂を含むさまざまな物品や材料について言及されています。

1. 富の崇拝: 物質的な所有物への愛がどのように私たちを誤らせるのか

2. すべての所有物を司る神: 神はその豊かさによってどのように私たちの必要を満たしてくださるのか

1. 箴言 11:4-「怒りの日には富は無価値だが、義は死から救い出す。」

2. マタイ 6:19-21 「自分のために宝を地上に蓄えてはなりません。そこでは虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗みます。しかし、あなたがたは、虫やさびが滅ぼさない天に宝を蓄えなさい。「そして、泥棒が押し入って盗まない場所です。あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。」

黙示録 18:14 そして、あなたの魂が切望した果物はあなたから去り、上品で良いものはすべてあなたから離れ、あなたはもはやそれらを見つけることはありません。

人生の贅沢は私たちから奪われてきました。

1: 主に留まり、主の備えに信頼しなさい

2: 苦しみの中での満足感

1: ピリピ人への手紙 4:11-13 「私は、困っていることについて話しているのではありません。私は、どんな状況でも満足することを学んだのです。私は、どのようにして落ち込むかを知っていますし、どのようにして豊かになるかを知っています。あらゆる状況において、私は豊かさと飢え、豊かさと必要に直面する秘訣を学びました。

2: マタイ 6:25-27 「だから、わたしはあなたたちに言います。何を食べるか、何を飲むか、自分の命のこと、何を着るか、自分の体のことを思い煩ってはなりません。命は食べ物以上のものではありません。空の鳥を見てください。彼らは種を蒔くことも、刈り取ることも、納屋に集めることもありませんが、あなたがたの天の父は彼らに餌を与えます。あなたは彼らよりも価値があるのではありませんか？

黙示録 18:15 彼女によって富を得たこれらの物の商人たちは、彼女の苦しみを恐れて遠くに立って、泣き叫び、

世界中の商人たちはバビロンに対する神の裁きを見て恐れと悲しみでいっぱいになるでしょう。

1. 世の富ではなく、神のうちに安心を見い出しましょう。

2. 神の究極の正義を信じます。

1. 詩篇 112:7 - 彼らは悪い知らせを恐れることはありません。彼らの心は堅固で、主を信頼しています。

2. マタイ 6:19-21 - 「虫やさびが滅び、盗人が押し入って盗むような地上に自分のために宝を蓄えてはなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさない天に宝を蓄えなさい。泥棒は侵入して盗みません。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

黙示録 18:16 そして言った、「ああ、ああ、あの大きな都は、上等の亜麻布と紫と緋色の服を着て、金と宝石と真珠で飾られていたのです。」

この大都市は、金、宝石、真珠を使った豪華な衣装で飾られていました。

1. 都市の美しさ: 黙示録 18:16 からの教訓

2. 敬虔さで身を飾る: 大都市は私たちに何を教えてくれましたか?

1. 箴言 31:25: 「強さと威厳は彼女の衣服であり、彼女は来るべき時に笑う。」

2. ペテロ第一 3:3-4: 「髪を編んだり、金の装飾品を身に着けたり、着ている衣服など、外面的な装飾をするのではなく、心の内に隠れた人としての装飾をしなさい。優しく静かな精神の不滅の美しさ、それは神の目から見て非常に貴重なものです。」

黙示録 18:17 あれほどの富は一時間で無になってしまうからです。そして、船長全員、船の仲間全員、船員たち、そして海で貿易をしている人たち全員が遠くに立っていました。

世界の莫大な富は一時間で無になってしまいます。

1. 富のはかなさ: 私たちの富はいかに儚いものであるか

2. 権力と富を追求することの虚しさ

1. マタイ 6:24-34 - 誰も二人の主人に仕えることはできません

2. 詩篇 39:6 – 確かに人は皆、空虚なショーを歩む

黙示録 18:18 そして彼らは、彼女の燃える煙を見て叫んで言った、「この大きな都市にとって、どんな都市だろう！」

人々は大都市バビロンの破壊を嘆きました。

1. バビロンの破壊: 高慢と貪欲について私たちに教えていること

2. 神の力: 神はどのようにして悪者を裁くのか

1. 箴言 16:18 - 「高慢は滅びに先立ち、高慢な精神は堕落に先立つ。」

2. イザヤ書 13:19-20 - 「そして、王国の栄光、カルデア人の誇りの美しさであるバビロンは、神がソドムとゴモラを打倒されたときのようになるでしょう。そこには決して人が住むことはなく、何世代にもわたって定住することもありません」世代。"

黙示録 18:19 彼らは頭に塵をかぶせて、泣き叫びながら言った。というのは、一時間もすれば彼女は荒廃してしまうからだ。

人々は、一時間で荒廃した大都市を悲しみに泣き叫びました。

1. 神の憐れみと裁き

2. 地上の宝物の無常性

1. 哀歌 3:22-24 - 主の変わらぬ愛は決して絶えることがありません。彼の慈悲は決して終わることがありません。それらは毎朝新しくなります。あなたの忠実さは素晴らしいです。

2. マタイ 6:19-21 - 虫とさびが滅び、盗人が押し入って盗む地上に自分のために宝を積んではなりません。むしろ、虫もさびも滅ぼさず、盗人がいない天に宝を積んでください。侵入したり盗んだりしないでください。あなたの宝があるところには、あなたの心もあるからです。

黙示録 18:20 天よ、聖なる使徒と預言者よ、彼女のことを喜びなさい。神が彼女に対してあなたに復讐したからです。

神は罪の都バビロンによって不当な扱いを受けた人々に復讐されました。

1: 神の正義は勝利し、不当な扱いを受けた人々に必ず復讐します。

2: 神の正義を喜び、神の保護に感謝の意を表しましょう。

1: ローマ 12:19 - 愛する人たち、決して自分で復讐しないでください。神の怒りに任せてください。「復讐はわたしのすること、わたしが報復する、と主は言われる。」と書いてあるからです。

2: 詩篇 7:11 - 神は義なる裁判官であり、日々憤りを感じられる神です。

黙示録 18:21 そして、力強い天使が大きな石臼のような石を取り上げ、海に投げ入れて言った、「こうして、あの大都市バビロンは暴力によって打ち倒され、もはや全く見つからなくなるであろう。」

強力な天使が大きな石臼を海に投げ込み、大都市バビロンの破壊を象徴しました。

1. バビロンの破壊：主の到来のしるし

2. 不従順の結果: バビロンの崩壊

1. エレミヤ 51:63-64 「そして、この本を読み終えたら、それに石を結びつけ、ユーフラテスの真ん中に投げ込みなさい。そして、あなたはこう言うだろう、こうなるだろう」バビロンは沈み、わたしが彼女にもたらす悪から立ち上がることはないだろう。」

2. イザヤ書 13:19-20 「そして、諸王国の栄光、カルデア人の卓越性の美しさであるバビロンは、神がソドムとゴモラを打倒されたときのようになるであろう。そこには決して人が住むことはなく、また、何世代にもわたって住むこともない。」何世代にもわたって、アラビア人もそこにテントを張ることはなく、羊飼いもそこに群れを作ることはありません。」

黙示録 18:22 そして、ハーパー、音楽家、笛吹き、ラッパ吹きの声は、もはやあなたの中にまったく聞こえなくなります。そして、どんな工芸品であっても、もはやあなたの中に職人は見出されないでしょう。そうすれば、石臼の音はもうあなたの中でまったく聞こえなくなります。

バビロンは、突然終わりを迎えた莫大な富と贅沢の場所として描かれています。

1. 世俗的な楽しみの虚しさ

2. 地上の富のはかなさ

1. 伝道の書2:1-11

2. イザヤ書47:8-10

黙示録 18:23 そして、ろうそくの光はもはやあなたの中ではまったく輝かなくなります。そして、花婿と花嫁の声はあなたの中にもうまったく聞こえなくなります。あなたの商人は地球の偉人だったからです。あなたの魔術によってすべての国々が騙されたからです。

街の商人たちは世界の影響力のある人々であり、彼らの魔術はすべての国を欺いていました。

1. 欺瞞の力

2. 商人の影響

1. マタイ 24:4-5 - するとイエスは答えて彼らに言った、「だれにもだまされないように気をつけなさい」。というのは、多くの人が私の名によって来て、私はキリストだ、と言うからである。そして多くの人を欺くだろう。

2. 箴言 12:5 - 義人の考えは正しいが、悪人の助言は欺瞞である。

黙示録 18:24 そして彼女の中には預言者、聖徒、そして地上で殺されたすべての者の血が見つかった。

黙示録 18:24 は、預言者、聖人、そして地上で殺されたすべての人々の血が彼女の中から見つかったことを明らかにしています。

1. 正義を求める呼びかけ: 諦めなかった殉教者たち

2. 愛の力 全てを犠牲にした聖者たち

1. マタイ 10:28 - 「体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂も肉体も地獄で滅ぼす者を恐れなさい。」

2. ヘブライ 11:35-38 - 「女性は復活によって死者を取り戻しました。より良い生活に再び立ち上がるために解放を受け入れることを拒否し、拷問を受けた人もいた。嘲笑や鞭打ち、さらには鎖や投獄を受けた人もいた。彼らは石で打たれ、鋸で真っ二つにされ、剣で殺されました。彼らは羊や山羊の皮をかぶって、極貧で苦しみ、虐待を受け、この世に値しない者たちとして、砂漠や山々、そして地上の穴や洞窟をさまよった。」

黙示録 19 章は黙示録の 19 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章は、キリストの栄光の再臨、小羊の結婚の晩餐、そして悪の力の敗北に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、大群衆が神の正しい裁きを称賛する天の場面から始まります。彼らは「ハレルヤ！」と叫びます。彼らは神に敵対する腐敗した体制を象徴するバビロンの破壊を喜んでいます(黙示録19:1-3)。24 人の長老と 4 人の生き物が礼拝に加わり、神の主権を認め、神の救いと栄光を讃美します（黙示録 1 9:4-6）。

第 2 段落: ジョンは、「忠実で真実」と呼ばれる白い馬とその乗り手の幻を目撃します。彼は義をもって裁き、戦争を行うイエス・キリストであると認められます (黙示録19:11)。彼は血に染まったローブを着ており、悪の勢力に対する勝利を表しています。天の軍隊は白い馬に乗り、同じく上質の亜麻布を着てイエスに従います(黙示録19:14)。鋭い剣が神の口から出て諸国民を打ち倒し、正義をもって統治する神の権威を示しています(黙示録19:15)。

第 3 段落: 野獣、つまり反キリストとその偽預言者はキリストに捕らえられ、生きたまま火の湖に投げ込まれます。彼らの追随者たちはキリストの口から出る剣によって殺されます（黙示録 19:20-21）。それから天使は、小羊の結婚の晩餐、つまり花婿としてのキリストと花嫁としての彼の忠実な追随者との結合である小羊の結婚の晩餐に参加するようすべての人に勧めます（黙示録 19:9）。この祝賀は、キリストとキリストに忠実であった人々との間の楽しい交わりを意味します。

要約すると、黙示録の第 19 章には、神の正しい裁きに対する賛美に満ちた場面が描かれています。それは、悪の勢力との戦いで勝利を収めた天の軍隊を率いて、白い馬に乗ったキリストの栄光の再臨を描いています。この章では、正義の裁判官としてのキリストの役割と、すべての反対者を打ち破るキリストの権威が強調されています。獣と偽預言者とその追随者たちの敗北が説明され、続いて小羊の結婚の晩餐、つまりキリストとその忠実な追随者の間の結合と交わりを象徴する祝賀会への招待が記されています。この章は、礼拝、悪に対する神の勝利、そしてキリストとの永遠の交わりへの喜びに満ちた期待のテーマを強調しています。

黙示録 19:1 これらの事の後、私は天で多くの人々がこう言う大きな声を聞きました。私たちの神、主に救いと栄光と名誉と力を。

主の救い、栄光、名誉、力に対する賛美と感謝の祭典。

1.「神を賛美する力」

2.「神の計り知れない愛：礼拝への呼びかけ」

1. 詩篇 150:6 - 「息あるものはすべて主をほめたたえよ。主を讃美しましょう！」

2. ローマ 11:33-36 - 「ああ、神の富と知恵と知識の深さよ！彼の判断はなんと調べにくく、彼のやり方はなんと不可解なのでしょう。というのは、誰が主の御心を知っていたでしょうか、あるいは誰が主の相談役であったでしょうか。それとも、誰が彼にお返しをするために贈り物をしたのでしょうか？なぜなら、すべては彼から出て、彼を通して、そして彼に至るものだからです。彼に永遠の栄光がありますように。アーメン。"

黙示録 19:2 なぜなら、彼の裁きは真実であり、正しいからです。神は、不品行で地を堕落させた大淫婦を裁き、彼女の手で家来たちの血の復讐をしたからです。

神は地球を堕落させ、その僕たちの血の復讐を果たした大売春婦を裁いた。

1. 神の正義の裁き - 黙示録 19:2

2. 地球の腐敗と忠実な者の血の復讐 - 黙示録 19:2

1. 詩篇 33:5 - 「彼は正義と正義を愛し、地は主の変わらぬ愛で満たされています。」

2. エゼキエル 16:38-39 - 「そして、婚姻を破って血を流した女が裁かれるように、わたしはあなたたちを裁き、私の怒りとねたみの怒りの血の復讐をあなたたちにもたらす。そして、私はあなたたちをあなたの手に引き渡す。」恋人たちよ、そして彼らはあなたの塚を壊し、あなたの崇高な神殿を破壊し、あなたの服を剥ぎ取り、あなたの美しい宝石を奪い、あなたを裸で裸のままにするでしょう。」

黙示録 19:3 そして彼らは再び言った、「アレルヤ」。&nbsp;そして彼女の煙は永遠に立ち上った。

天の人々は神を賛美し、その賛美の煙は永遠に立ち上りました。

1. 賛美の力: 私たちの賛美がどのように神に栄光を与えるのか

2. 私たちの賛美の影響: 私たちの賛美はどのようにして永遠に続くのか

1. 詩篇 145:3 - 主は偉大であり、大いにほめたたえられます。そして彼の偉大さは探ることができない。

2. ヘブライ 13:15 - ですから、私たちはこの方によって、賛美の犠牲を絶えず神にささげましょう。つまり、御名に感謝する唇の実をささげましょう。

黙示録 19:4 そこで、四二十人の長老と四匹の獣はひれ伏して、玉座に座しておられる神を拝んで、「アーメン、アーメン。」と言いました。アレルヤ。

長老たちと野獣たちは神の栄光と力を称賛しました。

1. 神は私たちの賞賛と崇拝に値するお方です。

2. 私たちは常に神の偉大さと力を認めるべきです。

1. 詩篇 19:1 - 「天は神の栄光を宣言し、上空は神の御業を宣言します。」

2. ピリピ人への手紙 2:10-11 「それは、天においても地においても地においても、イエスの御名によってすべての膝がかがみ、すべての舌がイエス・キリストが主であることを告白し、父なる神の栄光を現すためである。」」

黙示録 19:5 すると、御座から声が出てこう言った、「すべての神の僕よ、そして小さい者も大きい者も神を恐れる者たちよ、わたしたちの神を讃えよ。」

神の栄光は、小さい者も大きい者も含め、神の僕たち全員によって称賛されるべきです。

1. 神の偉大さ: 賛美への呼びかけ

2. 主の目にはすべての人が平等です: 礼拝への呼びかけ

1. 詩篇 150:6 - 息あるものはすべて主を讃えましょう。

2. ローマ人への手紙 11:33-36 - おお、神の知恵と知識の富の深さよ！彼の判断と、それを見つけ出すことを超えた彼の道は、なんと探求しがたいものなのでしょう。誰が主の心を知っていたでしょうか？あるいは彼のカウンセラーは誰だったのでしょうか？それとも、誰が最初に彼に与えたのでしょうか、そしてそれは再び彼に報われるでしょう？なぜなら、彼から、彼を通して、そして彼にとって、すべてのものがあるからです。誰に永遠の栄光がありますように。アーメン。

黙示録 19:6 そして、私は、大群衆の声のように、多くの水の声のように、そして激しい雷鳴の声のように、「アレルヤ：全能の主なる神が統治されるからである」と言うのを聞きました。

たくさんの水の音や雷の音のように、大勢の声が「アレルヤ！」と歌いました。神の統治を讃えて。

1. いかなる状況においても神を賛美しなさい: 黙示録 19:6 についての考察

2. 神の統治を喜ぶ: 黙示録 19:6 の意味を探る

1. 詩篇 29:2-3 - 「御名にふさわしい栄光を主に帰し、その聖性の輝きの中で主を礼拝せよ。主の声は水の上に響く。栄光の神は雷鳴を上げ、主はその上に雷鳴を轟かせる。雄大な水。」

2. イザヤ書 25:1 - 「主よ、あなたはわたしの神です。わたしはあなたを高めます。わたしはあなたの御名をほめたたえます。あなたはすばらしいことを成し遂げ、古くから忠実で確実な計画を立てられたからです。」

黙示録 19:7 私たちは喜び、喜び、彼に敬意を表しましょう。小羊の結婚が到来し、彼の妻は準備を整えているからです。

小羊の結婚が到来し、彼の妻は準備ができています。

1: 子羊の結婚の喜び

2: 子羊の結婚に参加する準備をする

1: エペソ人への手紙 5:25-27 - 夫の皆さん、キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、妻を愛してください。それは、御言葉による水の洗いによってそれを神聖化し、清めるためであった。

2: マタイ 22:1-14 - 結婚の宴のたとえ。

黙示録 19:8 そして彼女には、清く白い亜麻布を着ることが許されました。亜麻布は聖徒の義だからです。

聖人の正義は、上質な白い亜麻布を着ることで象徴されます。

1. 義の意味: 黙示録 19:8 の象徴を探る

2. 義を受け入れて受け入れる: 白いリネンを着る意義

1. ピリピ 3:9: 「そして、律法による私自身の義ではなく、キリストの信仰による義、つまり信仰による神からの義を持っているのを見い出しなさい。」

2. ローマ人への手紙 10:3-4: 「彼らは神の義を知らず、自分の義を立てようとしていて、神の義に従わなかったのです。キリストはすべての人に義を与える律法の終焉だからです。それは信じます。」

黙示録 19:9 そして彼は私に言った、「小羊の結婚の晩餐に呼ばれた人々は幸いである、と書きなさい」。そして彼は私に言った、「これらは神の本当の言葉で

す。」

神の天使はヨハネに、小羊の結婚の晩餐に招待された人は祝福されており、この言葉は神の真実の言葉であると書くように言いました。

1. 子羊の結婚の晩餐への招待状 - 召された者の特別な特権を探る

2. 小羊の結婚の晩餐への招待状を受け取る人々の祝福

1. マタイ 22:1-14 - 婚宴のたとえ

2. ルカ 14:15-24 - 大宴会のたとえ

黙示録 19:10 そして私は彼の足元にひれ伏して礼拝しました。そして彼は私に言った、「そんなことはしないでください。私はあなたの同胞であり、イエスの証を持つあなたの兄弟の一員です。神を崇拝しなさい。イエスの証しは預言の霊だからです。」

黙示録 19:10 の一節は、イエスは神の同胞であるため、他の存在ではなく神を崇拝することの重要性を強調しています。

1. 礼拝の力: 神のみを礼拝することの重要性を理解する

2. イエスの証し: 預言の霊を認識する

1. 出エジプト記 20:3-5;申命記 5:7-10 - 十戒

2. ヨハネ第一 5:9-12 - イエスの証しは真実であり、命を与えます。

黙示録 19:11 すると、私は天が開いて、白い馬が見えた。そして彼の上に座った者は忠実で真実と呼ばれ、義によって裁き、戦争を行います。

黙示録 19 章 11 節では、正義に基づいて裁き、戦争を行っている「忠実で真実」と呼ばれる白馬とその乗り手による天の幻が明らかにされています。

1. 忠実で真実な人: 義の力

2. ホワイトホース: 天国のビジョン

1. イザヤ書 11:4-5 - 「しかし、彼は義をもって貧しい人々を裁き、地の柔和な者たちを公平をもって叱責し、その口のむちと唇の息で地を打つであろう」彼

は悪人を殺すであろう。そして義は彼の腰の帯となり、忠実は彼の手綱となるであろう。」

2. 黙示録 19:8 - 「そして彼女には、清く白い亜麻布を着ることが許されました。亜麻布は聖徒の義だからです。」

黙示録 19:12 その目は炎のようで、頭にはたくさんの冠がありました。そして彼には名前が書かれていたが、彼自身以外は誰も知らなかった。

彼は王の中の王であり、主の中の主であり、その名前は彼だけが知っています。

1. 神は偉大かつ強力であり、その名は神のみが知っています。

2. イエスは王の中の王、主の中の主であり、私たちは何よりもイエスを讃えるべきです。

1. イザヤ書 9:6-7 - 「わたしたちに子が生まれ、息子が与えられる。そして政府はその肩に乗り、その名は、すばらしい助言者、力ある神、永遠の父、君と呼ばれるであろう」ダビデの王座とその王国の上に、ダビデの政府と平和を拡大し、それを確立し、正義と義をもってこれを維持することは、これからも永遠に終わりがありません。万軍の主がそうしてくださるでしょう。」

2. ピリピ人への手紙 2:9-11 - 「それゆえ、神は彼を高く上げ、あらゆる名に勝る名を彼に与え、天においても地においても、地の下においても、イエスの名においてすべての膝がかがむようにされました。そして父なる神の栄光のために、あらゆる舌がイエス・キリストが主であると告白します。」

黙示録 19:13 彼は血に浸した衣を着ており、その名は神の言葉と呼ばれています。

天の軍隊は、血に濡れた衣を着た主イエスに従うでしょう。

1. キリストにおける勝利 - 神の言葉の力

2. 戦いに備えて - イエスの犠牲によって勝利を身に着けた

1. イザヤ書63:1-3

2. エペソ人への手紙 6:10-18

黙示録 19:14 すると、天にいた軍隊が、白く清らかな亜麻布を着た白い馬に乗ってイエスを追った。

イエスは白い服を着た天の住人の軍隊を率いて戦います。

1. 信仰をもってイエスに従う: イエスのリーダーシップを信頼することを学ぶ

2. 愛の力: 天に住む者の軍隊を率いるイエス

1. 歴代誌第二 20:12-17 - ユダの人々が自分たちにとって大きすぎる敵に直面したとき、神は彼らに、他の誰でもなく神を信頼するようにと言われました。

2. マタイ 5:44-45 - イエスは私たちに、戦いの最中であっても敵を愛するように教えられます。

黙示録 19:15 そして、彼の口からは鋭い剣が出て、それによって諸国民を打ち、鉄の棒で彼らを支配するであろう。そして彼は全能の神の激しさと怒りのぶどう酒搾り場を踏む。

神はその力を用いて国々に正義をもたらすでしょう。

1. 神の正義: 慈悲と怒りのバランス

2. 言葉の力: 主の剣

1. イザヤ書 11:4 - 「しかし、彼は義をもって貧しい人たちを裁き、地の柔和な者たちを公平をもって叱責し、口のむちで地を打ち、唇の息で地を打つであろう。」悪者を殺しなさい。」

2. イザヤ書 63:3-4 - 「わたしはひとりでぶどう搾り場を踏んだ。そして民の中でわたしと一緒にいた者は誰もいなかった。わたしは怒りで彼らを踏みつけ、怒りで彼らを踏みにじる。そして彼らの血はその上に振りかけられるだろう」私の衣服を汚してしまいます。」

ヨハネの黙示録 19:16 また、彼の衣と太ももには、「王の中の王、主の中の主」と書かれた名前がある。

この箇所は、王の中の王、主の中の主としてのイエスの力と権威を強調しています。

1. イエスの威厳: 彼の王権と主権

2. イエスの主権: すべてのものに対するイエスの権威

1. ピリピ 2:5-11 - イエスは十字架上で死に至るまで従順になるために自らを謙虚にされました。

2. コロサイ 1:15-20 - すべての被造物に対するイエスの卓越性と至高性。

黙示録 19:17 そして、私は天使が太陽の中に立っているのを見た。そして彼は大声で叫び、天の真ん中を飛ぶすべての家禽たちに、「さあ、偉大なる神の晩餐に集まってください。」と言いました。

天使は鳥たちに、神の素晴らしい晩餐のために集まるように命じました。

1. 神の晩餐への招待: 黙示録 19:17 の探求

2. 神の無条件の招き: 黙示録 19:17 を理解する

1. ルカ 14:15-24 - 大宴会のたとえ。

2. イザヤ書 25:6-8 - 大宴会に関する主の約束。

黙示録 19:18 それは、あなたがたが、王たちの肉、隊長たちの肉、力ある者の肉、馬とそれに乗っている者の肉、そして自由な者も含めたすべての人の肉を食べるためである。小さくても大きくても絆。

神は忠実な者たちに、王、船長、有力者、馬、それに乗る者たちの肉、さらには身分に関係なくすべての人々の肉を食べることを許しておられます。

1. 平等の祝福: 神は地位に関係なくすべての人をどのように尊重するか

2. 謙虚さの必要性: 神は他人に奉仕する人々をどのように支持されるか

1. ガラテヤ 3:28 - ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、男性も女性もありません。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。

2. ヤコブ 4:10 - 主の前で謙虚になりなさい。そうすれば主はあなたを高めてくださいます。

黙示録 19:19 そして、わたしは、その獣と、地の王たちとその軍隊が、馬に乗っている彼とその軍勢と戦おうと集まっているのを見た。

獣と地上の王たちは神と戦争をするために集まった。

1: 神との戦い - 野獣の軍勢に加わるという誘惑にどう立ち向かうか

2: 反撃 - 悪の勢力に対するキリストにおける勝利

1: エペソ 6:10-13 - 悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。

2: ヤコブ 4:7 - ですから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。

黙示録 19:20 そして、獣と、彼の前に奇跡を行った偽預言者も連れて行かれ、獣の刻印を受けた人々とその像を崇拝する人々を欺いた。この二人は生きたまま硫黄が燃える火の湖に投げ込まれました。

獣と偽預言者は生きたまま硫黄が燃える火の湖に投げ込まれました。

1. 罪の結果: 火の湖での神の罰

2.神の力:神の正義は勝つ

1. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

2. マタイ 25:41 - それから彼は左側の人々にこう言います、「呪われている者たちよ、わたしから離れて、悪魔とその天使たちのために用意された永遠の火の中に入れ」。

黙示録 19:21 そして、残りの者たちは、馬に座っていた彼の口から出た剣で殺され、すべての家禽はその肉で満たされた。

イエスが来て、口から出る剣で悪を倒し、悪は鳥に食べられるままにします。

1. 神の言葉は強力です: 主の剣

2. 最後の審判：イエスの正義の剣

1. イザヤ書 11:4 - 「しかし、彼は義をもって貧しい人々を裁き、地の柔和な者たちを公平をもって叱責する。そして彼はその口のむちで地を打ち、その唇の息で地を打つであろう。」悪者を殺しなさい。」

2. ヘブライ 4:12 - 「神の言葉は素早く、力強く、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を引き裂くまで突き刺し、心の思いや意図。」

黙示録 20 章は黙示録の 20 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章はサタンの束縛、キリストの統治、そして最後の審判に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、鍵と大きな鎖を持った天使が天から降りてくるところから始まります。彼はサタンを捕らえ、千年間縛りつけ、深淵に投げ込み、その間に諸国民を欺くことのできないように封印した（黙示録 20:1-3）。この千年を「千年」あるいは「千年」と呼びます。この期間中、信仰のために殉教した人々はキリストとともに統治し、キリストの権威にあずかります(黙示録20:4-6)。

第 2 段落: 千年が完了した後、サタンは牢獄から解放されます。彼は多くの国々を欺き、神の民との戦いのために集めます(黙示録20:7-9)。しかし、天から火が降りてきて彼らを焼き尽くします。その後、サタンは火の湖に投げ込まれ、そこで永遠に苦しめられることになります(黙示録20:10)。

第 3 段落: サタンに対するこの裁きの後、ヨハネは神が座されている大きな白い玉座を見る。死者は――小さい者も大きい者も――復活して神の前に立つのです。裁かれるすべての人の行為の記録が記された本が開かれます(黙示録20:11-12)。命の書に名前が書かれていない人々は、死そのものとハデスとともに、第二の死である火の湖に投げ込まれます（黙示録 20:13-15）。この最後の審判は、神を拒絶した人々にとって神からの永遠の分離を意味します。

要約すると、黙示録の第 20 章は、終末の審判に関連する重要な出来事について説明しています。それはサタンが千年間拘束され、その間キリストとその忠実な追随者が統治する様子を描いています。千年王国の後、サタンが解放され、多くの国々を欺き、火による滅亡に導きます。その後、サタンは火の湖に投げ込まれます。この章は、すべての人々が復活し、その行いに応じて裁かれる偉大な白い玉座の裁きのビジョンで終わります。命の書に名前が載っていない者は、火の湖で永遠の罰を受けることになる。この章では、サタンに対する神の裁き、キリストとその追随者の統治、そして神の玉座における全人類に対する最終的な責任を強調します。

黙示録 20:1 そして私は、底なしの穴の鍵と大きな鎖を手に持った天使が天から降りてくるのを見た。

黙示録 20 章 1 節では、天使が鍵と大きな鎖を手に天から降りてくると描写されています。

1. 天使の力: 神の使者の強さを探る

2. 王国への鍵: 鍵と鎖の象徴的な意味を明らかにする

1. イザヤ書 22:22 - 「そして、ダビデの家の鍵を彼の肩に置きます。そうすれば、彼は開きますが、誰も閉めることはありません。そして、彼が閉めると、誰も開かないでしょう。」

2. マタイ 16:19 - 「そして、わたしはあなたに天の国の鍵を与えましょう。あなたが地上でつなぐものはすべて天でもつながれるでしょう。そして、あなたが地上で解くものはすべて天でも解かれるでしょう。」

黙示録 20:2 そして彼は、悪魔でありサタンであるその年老いた蛇である竜を捕らえ、千年の間彼を縛り付け、

悪魔とサタンは千年にわたり神によって束縛されていました。

1: 神は常に悪に勝利します。

2: 私たちは神の力と保護を信頼しなければなりません。

1: ローマ人への手紙 8:38-39 - 死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来も、力も、高さも深さも、その他すべての被造物においては、決して不可能であると私は確信しています。それは、私たちの主キリスト・イエスにおける神の愛から私たちを引き離すためです。

2: イザヤ 54:17 - あなたに対して作られたどんな武器も成功しません。そして、あなたは裁きであなたに向かって立ち上がるすべての舌を反駁しなければなりません。敵と戦うとき、あなたは勝利するでしょう。

黙示録 20:3 そして、彼を底なしの穴に投げ込み、閉じ込め、封印をした。それは、千年が終わるまで、彼がこれ以上国々を欺くことがないようにするためである。そして、その後、彼は少し解き放たれるに違いない。季節。

サタンは底なしの穴に投げ込まれ、千年が経過した後に短期間の自由が与えられるまで千年間拘束される。

1. 用心深く、悪魔の誘惑に抵抗してください。

2. 闘争や誘惑の時は神に頼ってください。

1. ヤコブ 4:7 - 「だから、神に服従しなさい。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば悪魔はあなたから逃げます。」

2. コリント人への手紙第一 10:13 - 「人間にありがちな誘惑があなたを襲ったことはありません。神は真実ですので、能力を超えた誘惑には遭わせませんが、誘惑とともに逃れる道も備えてくださいます。あなたがそれに耐えることができるように。」

黙示録 20:4 そして、わたしは玉座を見た、そして彼らはその上に座し、彼らに裁きが与えられた。そしてわたしは、イエスの証しと神の言葉のために首をはねられ、礼拝をしなかった人々の魂を見た。獣は、その像も、彼らの額にも、手にも、彼の刻印を受けていませんでした。そして彼らはキリストとともに千年間生き、統治した。

ヨハネは玉座と、そこに座っている人々が裁きを与えられているのを見ます。彼はまた、イエスとその言葉への信仰のゆえに殉教し、獣やその像に屈せず、迫害にもかかわらず信仰を守り続けた人々の魂を見ます。

1. 地球上の時間を最大限に活用する - 信仰と勇気を持って人生を生きる方法

2. 最後まで耐え忍ぶ - 逆境に直面しても信仰を堅持する方法

1. ローマ人への手紙 8:17-18 - そして子供であれば相続人です。神の相続人であり、キリストとの共同相続人です。もしそうなら、私たちが彼と一緒に苦し

むなら、私たちも一緒に栄光を受けることができます。なぜなら、この現在の苦しみは、私たちの内に明らかにされるであろう栄光と比較するに値しないと私は考えているからです。

2. マタイ 10:22 - そして、あなたがたは、わたしの名のためにすべての人から憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

黙示録 20:5 しかし、残りの死者は千年が終わるまで再び生き返ることはなかった。初めての復活です。

黙示録のこの一節は、千年が終わった後に起こる最初の復活について語っています。

1. 復活の希望: それが私たちにとって何を意味するか

2. 最初の復活を詳しく見る

1. コリント第一 15:20-26 - アダムにあってすべての人が死ぬのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるからです。

2. ローマ 6:3-5 - したがって、私たちは死のバプテスマによってキリストとともに葬られました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命の中を歩むためです。

黙示録 20:6 第一の復活にあずかった者は幸いであり、聖である。そのような第二の死には力はないが、彼らは神とキリストの祭司となり、千年間キリストとともに統治するであろう。

最初の復活は祝福であり、それに参加する者は第二の死に直面することはありません。彼らは神とキリストの祭司となり、千年間神とともに統治するでしょう。

1. 最初の復活の祝福

2. 永遠の命の報いを得る

1. ローマ 6:23 - 罪の報酬は死だからです。しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストによる永遠の命です。

2. 1 コリント 15:54–57 - したがって、この堕落する者が不滅の者を着、この死すべき者が不滅の者を着るとき、「死は勝利に飲み込まれる」と書かれている言葉が実現するでしょう。おお、死よ、あなたの刺し傷はどこにありますか？おお墓よ、あなたの勝利はどこにあるのですか？死のとげは罪です。そして罪の強さは律法です。しかし、私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。

黙示録 20:7 そして千年が終わるとき、サタンはその牢獄から解き放たれるであろう。

千年の時が過ぎ、サタンは刑務所から解放されます。

1. 千年の終わりとサタンの解放: 千年紀の意味

2. 千年王国のフィナーレ: サタンの解放の重要性を理解する

1. イザヤ書 14:12-15 - 神よりも偉大になりたいというサタンの願望

2. ペテロ第二 2:4-9 - サタンの性格と意図

黙示録 20:8 そして、地の四方にある諸国民、ゴグとマゴグを欺くために出て行って、彼らを集めて戦いを起こさせる。その数は海の砂のようである。

地球の四隅からの国々からなる大軍が強大な力に騙され、戦いのために集結することになる。

1. 世界の国々が戦いのために集まるとき、私たちの神への信仰は試されます。

2. 信仰にしっかりと立ち、神の保護と導きに頼る準備をしてください。

1. イザヤ書 59:19 こうして彼らは西から主の御名を恐れ、日の昇る主の栄光を恐れるであろう。敵が洪水のように押し寄せるとき、主の霊は彼に対して旗を掲げるであろう。

2. エペソ 6:11-13 悪魔の策略に立ち向かうことができるように、神の武具を身に着けなさい。なぜなら、私たちは血肉に対して戦っているのではなく、公国に対して、権力に対して、この世の闇の支配者に対して、高き所にいる霊的な邪悪に対して戦っているからです。したがって、あなたがたは邪悪な日に耐えることができ、すべてを尽くして立ち上がることができるように、神の武具をすべて身に着けなさい。

黙示録 20:9 それから彼らは地の果てに上って行き、周囲の聖徒たちの陣営と愛する都を取り囲んだ。すると、天から火が神から下って来て、彼らを焼き尽くした。

悪者たちが上って来て、聖徒たちの陣営と愛する都市を取り囲んだとき、天から神から火が降ってきて、聖徒たちを滅ぼした。

1. 悪の結果: 黙示録 20:9 の考察

2. 神の義と聖徒たちの保護: 黙示録 20:9 の考察

1. イザヤ書 66:15-16 - 「見よ、主は火をもって来られ、その戦車とともに旋風のように来られ、その怒りを激しい怒りで、その叱責を火の炎で与えるからである。主はすべての肉なる者に剣を懇願され、主に殺される者は多くなるであろう。」

2. 詩篇 37:20 - 「しかし、悪者は滅び、主の敵は子羊の脂肪のようになり、彼らは焼き尽くされ、煙となって焼き尽くされるでしょう。」

黙示録 20:10 そして、彼らを欺いた悪魔は、獣と偽預言者がいる火と硫黄の湖に投げ込まれ、昼も夜も永遠に苦しめられることになる。

悪魔、野獣、偽預言者は火の湖に投げ込まれ、永遠に苦しめられるでしょう。

1. 永遠の責め苦の力: 黙示録 20:10 についての研究

2. 欺瞞の危険性: 黙示録 20:10 における悪魔の運命に関する研究

1. テサロニケ第二 2:9-10 - 不法の者の到来は、あらゆる力と偽りのしるしと奇跡を伴うサタンの活動によるものです。

2. マタイ 25:41 - それから彼は左側の人々に言います、「呪われた者よ、私から離れて、悪魔とその天使のために用意された永遠の火の中へ。」

黙示録 20:11 そして、私は大きな白い玉座と、その上に座っておられる方を見た。その顔から地も天も逃げ去った。そして彼らの居場所は見つからなかった。

ヨハネは、大きな白い玉座と、その玉座に座っている人を見ます。その顔から地と天が逃げて、彼らに場所を残していません。

1. イエスの威厳: 偉大な白い玉座を見る

2. イエスの力: 逃げる地と天

1. 詩篇 97:2 - 雲と深い闇が彼の周りにあり、義と裁きが彼の王座の住処です。

2. イザヤ書 6:1 - ウジヤ王が亡くなった年、私はまた、主が高く高く上げられた玉座に座し、その列が神殿を埋め尽くしているのを見ました。

黙示録 20:12 そして私は、小さい者も大きい者も、死者たちが神の前に立っているのを見た。そして、本が開かれました。そして、別の本が開かれました。それは、命の本です。そして、死者は、その行いに従って、本に書かれた事柄から裁かれました。

すべての死者は神の前に立ち、本に書かれているように、その行いに応じて裁かれることになります。

1. 私たちの行動における説明責任と責任の必要性

2. 奉仕的な生活を送ることの重要性

1. 伝道者の書 12:14 - 神は、すべての行い、すべての秘密の事柄、それが善であるか悪であるかにかかわらず、裁きを受けるからです。

2. ローマ人への手紙 2:6-8 - 神は「すべての人に、その行いに応じて、栄光と名誉と不滅を求めて忍耐強く善行を続ける者には、永遠の命を与えてくださいます。しかし、争いを起こして行う者には、永遠の命を与えてくださいます。」真理に従うのではなく、不義、憤り、怒りに従いなさい。

黙示録 20:13 そして海は、その中にいた死人を放った。そして死と地獄は彼らの中にいる死者たちを救い出し、彼らはすべての人をその行いに応じて裁いた。

海と死と地獄が死者を放棄した後、死者はその行いに基づいて裁かれました。

1. 死者の審判: 正義の人生を生きる

2. 審判の日: 永遠の視点で生きる

1. 詩篇 62:12 - 「主よ、憐れみはあなたに属します。あなたはすべての人に、その行いに応じて慈しみを与えてくださいます。」

2. マタイ 16:27 - 「人の子は、天使たちとともに父の栄光のうちに来ます。そしてそのとき、彼はすべての人にその行いに応じて報いるでしょう。」

黙示録 20:14 そして、死と地獄は火の湖に投げ込まれた。これで二度目の死です。

死と地獄は火の湖に投げ込まれ、これが第二の死です。

1. 死と地獄の終焉

2. 火の湖 神の最後の審判

1. イザヤ書 25:8 - 彼は永遠に死を飲み込み、主なる神はすべての顔から涙をぬぐい去ってくださいます

2. ヨハネ 5:24 - わたしの言葉を聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は永遠の命を持っており、裁かれることなく、死から命に渡ったのです。

黙示録 20:15 命の書に記されていない者は、火の湖に投げ込まれた。

いのちの書に載っていない者は火の湖に投げ込まれる。

1. 信仰生活を送ることの重要性

2. 神の愛を拒否した場合の結果

1. ローマ 10:9-10 - 「もしあなたが口で『イエスは主である』と宣言し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われます。なぜなら、あなたが信じて義とされるのは心によってであり、信仰を告白して救われるのは口だからである。」

2. ヨハネ 3:16-17 - 「神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。神が御子を世に遣わされたのは、世を非難するためではなく、御子を通して世を救うためだったからです。」

黙示録 21 章は黙示録の 21 章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンの続きです。この章は、新しい天、新しい地、そして聖都、新しいエルサレムの説明に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、新しい天と新しい地のビジョンから始まります。かつての天と地は過ぎ去り、もはや海はありません（黙示録 21:1）。ヨハネは、聖なる都、新しいエルサレムが夫のために美しく着飾った花嫁として天から降りてくるのを見ます(黙示録21:2)。大きな声が、神の住まいが今や神の民の間にあることを宣言する。神は彼らとともに住み、彼らは神の民となる。神ご自身が彼らの神として彼らと共におられます(黙示録21:3)。

第 2 段落: 新しいエルサレムについての説明が続きます。神の栄光によって輝かされた都市です。それは宝石で飾られた花嫁にたとえられます(黙示録21:11-12)。その城壁は高く、イスラエルの 12 部族にちなんで名付けられた 12 の門で飾られています。礎石には 12 使徒の名前が刻まれています (黙示録 2 1:12-14)。この都市は完全に対称的で、長さ、幅、高さが 1 万 2,000 スタディアあり、これはその完璧さと完全性を意味しています (黙示録 21:1 6)。

第 3 段落: ヨハネは新しいエルサレムのさまざまな側面、つまり純金の街路の輝きについて説明します。その基礎は宝石で飾られています。その門は真珠で作られています。そしてその神殿は神の栄光に満たされており、神の臨在がすべてを照らしているので太陽も月も必要ありません（黙示録 21:18-23）。もう涙も死もありません。悲しみも痛みも、以前のものはすべて過ぎ去りました（黙示録 21:4）。小羊のいのちの書に名前が記されている者だけがこの栄光の都に入り、彼らは神と共に永遠に統治することになる(黙示録21:27)。

要約すると、黙示録の第 21 章は、新しい天と新しい地の幻を示しています。聖都、新しいエルサレムは、神の民の間に住む神の象徴として天から降ってきました。この説明では、その輝く美しさと完璧な対称性が強調されています。都市の基礎には 12 使徒の名前が刻まれており、その門にはイスラエルの 12 部族の名前が刻まれています。新しいエルサレムは、悲しみも痛みもなく、神の栄光がすべてを照らす場所として描かれています。小羊の命の書に名前が書かれている者だけが、この永遠の住まいに入り、神と共に永遠に統治するのです。この章は、信者たちが永遠に神との密接な交わりの中に住むことになる、完成された未来の創造に対する希望を描いています。

黙示録 21:1 そして、私は新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は過ぎ去ったからである。そして海はもうありませんでした。

最初の天と地は過ぎ去り、新しい天と新しい地がそれに取って代わり、海はもうありません。

1. 新しい天と地の約束を探る

2. 新たな創造を希望して生きる

1. 創世記 1:1-2 - 初めに、神は天と地を創造されました。

2. イザヤ書 65:17 - 見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。そして前者は記憶に残らないし、思い浮かばないでしょう。

黙示録 21:2 そして、わたしヨハネは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように備えられて、神のもとから天から下りてくるのを見た。

聖なる都、新しいエルサレムは、夫のために飾られた花嫁として準備され、神のもとから天から降りてきます。

1.神の国の美しさ

2. 花婿と花嫁の喜び

1. イザヤ書 61:10 - 「わたしは主にあって大いに喜びます。私の魂は私の神にあって喜ぶでしょう。神は私に救いの衣を着せてくださったからです。花婿が美しい頭飾りで司祭のように身を飾り、花嫁が宝石で身を飾るように、彼は私を正義のローブで覆ってくれました。」

2. ヨハネ 3:29 - 「花嫁は花婿のものです。花婿に付き添う友人は、花婿の声を聞いて喜びでいっぱいです。その喜びは私のものであり、それは今完成しました。」

黙示録 21:3 すると、私は天から大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ、神の幕屋は人々とともにあり、神は彼らとともに住み、彼らは神の民となり、神ご自身が彼らとともにおられ、彼らとなるであろう」神。

神はご自分の民とともにいて、彼らとともに住み、彼らをご自分のものにしてくださいます。

1. 神の絶えることのない臨在 - 主の永遠の臨在がどのように私たちに慰めと確信をもたらすか。

2. 神とともに住む - 私たちの生活の中で神の臨在が約束されていることを理解します。

1. 詩篇 139:7-10 - あなたの御霊からどこへ行くことができますか?あるいはあなたの御前からどこへ逃げればよいのでしょうか？

2. ヨハネ 14:23 - イエスは答えて言われた、「もしわたしを愛する人なら、その人はわたしの言葉を守ります。そしてわたしの父もその人を愛し、わたしたちは彼のところに行って、彼と一緒に家を作ります。」

黙示録 21:4 そして神は彼らの目から涙をすべてぬぐってくださるでしょう。そして、もはや死はなく、悲しみも泣き声も、痛みももはや存在しないでしょう。なぜなら、以前のものは過ぎ去ったからです。

神はすべての苦しみを終わらせ、永遠の喜びをもたらすと約束しています。

1: 私たちは永遠の喜びと慰めという神の約束の中に希望を見出すことができます。

2: 最も暗い瞬間であっても、神が私たちとともにいてくださると信頼できます。

1: ローマ人への手紙 8:18 - なぜなら、今の苦しみは、私たちの内に現されるであろう栄光と比較するに値しないと私は思うからです。

2: イザヤ書 25:8 - 彼は勝利のうちに死を飲み込みます。そうすれば主なる神はすべての顔から涙をぬぐってくださるでしょう。

黙示録 21:5 そして、玉座に座っていた者は、「見よ、わたしはすべてのものを新しくする」と言った。そして彼は私に言った、「書きなさい。これらの言葉は真実であり、忠実だからです。」

神はすべてのものを新しくしてくださいます。

1. 神の揺るぎない約束: 神はどのようにすべてのものを新しくするか

2. 刷新を受け入れる：神の約束への希望を持って生きる

1. イザヤ書 43:18-19 - 「昔のことを思い出してはなりません。また、昔のことを考えてはいけません。見よ、わたしは新しいことをしています。今それが湧き出ています。あなたがたは気づかないのですか。わたしは道を作ります。荒野と砂漠の川。」

2. コリント人への第二の手紙 5:17 - 「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去りました。見よ、新しいものが来たのです。」

黙示録 21:6 すると彼は私に言った、「終わった」。私はアルファでありオメガであり、始まりであり終わりです。わたしは命の水の泉を渇望する者に、惜しみなく与えよう。

神は永遠の命を与えるという約束を果たしました。

1. 神による永遠の命の約束の成就

2. アルファとオメガ: 最初から最後まで

1. ヨハネ 3:16-17 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、神を信じる者が滅びず、永遠の命を得られるようにするためです。

2. イザヤ書 55:1 - 「渇いている人はみな、水に来なさい。お金のないあなたは、来て、買って、食べてください！さあ、お金もコストもかからずにワインと牛乳を買ってください。

黙示録 21:7 勝利する者はすべてを受け継ぎます。そして私は彼の神となり、彼は私の息子となるでしょう。

勝利する者はすべてのものを受け継ぎ、神と特別な関係を持ちます。

1. 神への信仰を通じて勝利を達成する

2. 主からの力で困難を克服する

1. ヨハネ第一 5:4-5 - 神から生まれたものはすべて、世に勝つからです。そしてこれが世界を克服した勝利、つまり私たちの信仰です。

2. ローマ 8:37 - いいえ、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことにおいて私たちは征服者以上の存在です。

黙示録 21:8 しかし、恐ろしい者、不信仰な者、忌まわしい者、殺人者、売春婦、魔術師、偶像崇拝者、そしてすべての嘘をつく者は、火と硫黄で燃える湖の中でその役割を担うことになる。それが第二の死である。。

不義の生活を送る人は第二の死でその行いの結果に苦しむことになります。

1: 私たちはすべての行動において義にかなうように努めなければなりません。

2: 神を畏れ、不正を追い求めないでください。

1: 箴言 14:2 - 「正しく歩む者は主を畏れ、道を誤る者は主を軽蔑する。」

2: マタイ 6:33 - 「しかし、まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたに加えられるでしょう。」

黙示録 21:9 すると、最後の七つの災いを満たした七つの小瓶を持った七人の天使のうちの一人が私のところに来て、私に話しかけて言った、「ここにおいで、小羊の妻である花嫁をお見せします」。

天使は使徒ヨハネに、小羊の妻である小羊の花嫁を明らかにします。

1. 新郎新婦: 神の愛の絵

2. キリストの花嫁: キリストの家族の一員であることの意味

1. エペソ人への手紙 5:22-33 - 妻は主にあって夫に従いなさい

2. 黙示録 19:7-9 - 小羊の結婚の晩餐

黙示録 21:10 そして、彼は私を霊に乗って大きく高い山に連れて行き、神のもとから天から降りてくるあの大きな都、聖なるエルサレムを見せてくれました。

ヨハネは聖都エルサレムが天から降って来るのを見た。

1: いつか神が私たちのために天国に新しい家を建ててくださると知ると、私たちは希望を見出すことができます。

2: 私たちは聖都エルサレムにふさわしい生活を送るよう努めるべきです。

1: イザヤ書 65:17-19 「見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。そして、前者は思い出されることも、思い浮かぶこともない。しかし、あなたがたは、わたしが創造したものを永遠に喜び、喜びなさい。見よ、わたしはエルサレムを喜びとし、その民を喜びとして創造するからである。」

2: 黙示録 22:17 「すると、御霊と花嫁は言います、『来なさい。そして聞く者は「来なさい」と言わせてください。そして渇いている者を来させなさい。そして望む者は、命の水を自由に飲ませてください。」

黙示録 21:11 神の栄光を持っています。そして彼女の光は、最も貴重な石のようであり、碧玉のように、水晶のように澄んでいました。

ヨハネは、神の栄光と、水晶のように透明な貴重な碧玉のような光のある都市の幻を見ました。

1. 神の栄光は教会を通して輝く、黙示録 21:11

2. 神の都とその栄光、黙示録 21:11

1. コリント人への第二の手紙 4:6 - 「闇から光が輝け」と言われた神は、私たちの心の中で輝いて、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を知る光を与えてくださったからです。

2. 詩篇 36:9 - いのちの泉はあなたとともにあります。あなたの光の中に私たちは光を見ます。

黙示録 21:12 そこには大きくて高い城壁があり、十二の門があり、その門には十二人の天使がいて、そこにはイスラエルの子らの十二部族の名前である名前が書かれていた。

黙示録 21 章には、それぞれが天使によって守られている 12 の門のある城壁について述べられており、各門にはイスラエルの 12 部族のうちの 1 つの名前が刻まれています。

1. 黙示録 21 章の壁と門の意味

2. 黙示録 21 章におけるイスラエルの 12 部族の重要性を理解する

1. イザヤ書 54:12 - 「わたしはあなたの胸壁をルビーで、あなたの門を輝く宝石で、あなたの城壁をすべて宝石で造ろう。」

2. エペソ人への手紙 2:19-22 - 「ですから、あなたがた異邦人は、もはやよそ者でも外国人でもありません。あなた方は神の聖なる民全員と同じ国民です。あなたたちは神の家族の一員です。私たちは共に、使徒と預言者の基礎の上に建てられた神の家です。そしてその礎石はキリスト・イエスご自身です。私たちは主のうちに注意深く結ばれ、主のための聖なる神殿となります。あなたがた異邦人も、彼を通して、神が御霊によって生きておられるこの住まいの一部とされているのです。」

黙示録 21:13 東の三つの門に。北の3つの門。南には3つの門。そして西の3つの門。

黙示録 21 章 13 節には、各側に 3 つずつ計 12 の門がある新しいエルサレムの建設について説明されています。

1. 都市の力: 新しいエルサレムの門は地上の天国をどのように表現しているか

2. 一致の象徴: 黙示録 21:13 の 12 の門の重要性を理解する

1. イザヤ書 60:11 - あなたたちの門は常に開かれています。彼らは昼も夜も閉まることはなく、人々が王たちを先頭にして行列を組んで国々の富をあなたにもたらすことができるようにするためです。

2. 詩篇 107:16 - 彼はその地に飢餓を呼び起こしました。彼はパンの杖を全部割ってしまいました。

黙示録 21:14 都の城壁には十二の土台があり、その中に小羊の十二使徒の名が刻まれていた。

黙示録 21 章の新しいエルサレムの壁には 12 の土台があり、それぞれの土台には子羊の 12 使徒のうちの 1 人の名前が付いています。

1. 揺るぎない基礎: 使徒と子羊

2. 新しいエルサレム：揺るぎない強さの都市

1. マタイ 16:18 - 私はあなたに言います、あなたはペテロです、そして私はこの岩の上に私の教会を建てます、そして地獄の門はそれに打ち勝つことはできません。

2. エペソ 2:19-20 - ですから、あなたがたはもはや見知らぬ人や異邦人ではなく、聖徒たちと同じ国民であり、神の家族の一員であり、使徒と預言者の基礎の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその主であられます。礎石。

黙示録 21:15 また、私と話した人は、町とその門と城壁を測るために金の葦を持っていました。

天使が金の葦で街、門、城壁を測っています。

1. 天国の完璧な尺度 2. 神の都の絶対的な尺度

1. イザヤ書 40:12 だれが手のくぼみで水を測り、その幅で天を測ったでしょうか。2. エゼキエル 40:3-5 そして、彼は私をそこに連れて行きました、そして、見よ、そこには真鍮のような外見をした男がいて、手に亜麻の線と測定リードを持っていました。そして彼は門に立った。すると男は私に言った、「人の子よあなたの目で見、あなたの耳で聞き、私があなたに示すすべてのことにあなたの心を置いてください。」わたしがそれらをあなたに見せるという意図で、あなたはここに持ってきました。あなたが見ているすべてのものをイスラエルの家に宣言してください。

黙示録 21:16 町は四方四方で、長さは幅と同じである。そして彼は葦で町を測ると、一万二千ハロンであった。縦も横も高さも同じです。

新しいエルサレムは、長さ、幅、高さが 12,000 ハロンの完全な正方形です。

1. 新しいエルサレムの完全性 - 神の完全な計画が新しいエルサレムにどのように反映されるか

2. 信仰の尺度 - 新しいエルサレムの完全性を受け入れるために何が必要か

1. ヤコブ 1:17 - すべての良い完全な賜物は上から来て、天の光の父から降りてくるものであり、移り変わる影のように変わることはありません。

2. ルカ 6:38 - 与えなさい、そうすれば与えられるでしょう。押しつけられ、一緒に振られ、駆け寄って、あなたの膝に良い尺度が注がれます。なぜなら、あなたが使う尺度によって、それはあなたに合わせて測られるからです。

黙示録 21:17 そして彼がその壁を測ると、人間、すなわち天使の寸法に従って百四十四キュビトあった。

天使は新しいエルサレムの町の城壁を測ると、144キュビトでした。

1. 神の民に対する神のビジョン: 人間の尺度

2. 地上の天国: 人間の尺度

1. イザヤ書 60:18 - 「そこにはもはや、泣き声も、苦しみの叫びも聞こえない。」

2. マタイ 6:10 - 「あなたの御国が来ますように、あなたの御心が天で行われるように、地でも行われます。」

黙示録 21:18 その城壁の建物は碧玉でできており、その町は透き通ったガラスのように純金であった。

黙示録の都市は碧玉でできた壁があり、都市自体は透明なガラスのような純金でできていると描写されています。

1. 黙示録の都市がいかに神の美しさと栄光を反映しているか

2. 黙示録の都市のように神聖さを認識し、そのために努力することの重要性

1. ローマ人への手紙 8:28-30 「そして、神を愛する者たち、つまり神の目的に従って召された者たちには、すべてのことが益となるように働くことを私たちは知っています。また、彼が予見した人々のために、彼が多くの兄弟たちの中で長子となるために、御子の似姿になることをあらかじめ定めておられました。そして、自分があらかじめ定めた者たちをまた呼び、自分が呼んだ者たちを義とし、義とした者たちに栄光も与えた。

2. ペテロ第一 1:15-16 「しかし、あなたがたを呼んだ方が聖であるように、あなたもすべての行いにおいて聖であってください。「わたしが聖であるから、あなたも聖になる。」と書いてあるからです。

黙示録 21:19 そして、都の城壁の基礎はあらゆる宝石で飾られた。最初の基盤は碧玉でした。 2番目はサファイアです。3番目はカルセドニーです。4番目はエメラルド。

聖都の基礎は、それぞれ異なる色の宝石で飾られています。

1. 神の王国の美しさ: 神の栄光が都市の基礎にどのように現れるか

2. 教会の尊さ: 神の民は神にとってどのように大きな価値があるのか

1. イザヤ書 54:11-12 - おお、苦しみ、嵐に翻弄され、慰められないあなたよ、見よ、わたしはあなたの石をきれいな色で置き、あなたの土台をサファイアで据える。

2. コリント人への第二 5:17 - したがって、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものは過ぎ去りました。見よ、すべてが新しくなった。

黙示録 21:20 五番目、サードニクス。6番目、サルディウス。7番目、クリソライト。8番目、ベリル。9番目はトパーズ。10番目はクリソプラスス。11番目はジャシンス。12番目はアメジスト。

黙示録 21 章 20 節の一節には、新エルサレムの城壁の基礎に使用されている 12 種類の宝石が列挙されています。

1. 天国の美しさ: 天国の門はどのように輝き、輝くのか

2. 新しいエルサレムの素晴らしさ: 光輝と栄光の都市

1. イザヤ書 54:11-12 「おお、嵐に翻弄され慰められない苦しむ者よ、見よ、わたしはあなたの石をアンチモンで置き、あなたの土台をサファイアで築く。あなたの尖塔を瑪瑙で作り、あなたの門をカーバンクルで作る。そして貴石の壁も全部。」

2. エゼキエル 28:13 - 「あなたはエデン、神の園にいました。サルディウス、トパーズ、ダイヤモンド、ベリル、オニキス、碧玉、サファイア、エメラルド、カーバンクルなど、あらゆる宝石があなたのおおいでした。そして金で作られていました」それはあなたの設定と彫刻でした。」

黙示録 21:21 十二の門は十二の真珠であり、いくつかの門ごとに一個の真珠であった。そして町の通りは、透明なガラスと同じように純金であった。

新しいエルサレムの門は真珠でできており、通りは純粋な透明な金でできています。

1. 天国の美しさ: 新しいエルサレムの素晴らしさについての議論

2. 私たちの魂の価値：天国の価値についての考察

1. マタイ 6:20 - 「しかし、自分のために宝を天に蓄えなさい。そこでは虫もさびも腐らず、盗人も押し入ったり盗んだりすることはありません。」

2. イザヤ書 54:11-12 - 「おお、嵐に翻弄され、苦しみ、慰められないあなたよ、見よ、わたしはあなたの石をきれいな色で置き、あなたの土台をサファイアで築きます。そしてあなたの窓を瑪瑙で作り、あなたの門はカーバンクルで、あなたの境界線はすべて心地よい石でできています。」

黙示録 21:22 そして、私はそこに神殿を見ませんでした。全能の神、主と小羊がその神殿だからです。

全能の神である主と小羊は天の神殿です。

1. 天国の聖さ：全能の神である主と子羊を崇拝する

2. 天国の神聖さ: 神に捧げられた場所

1. 黙示録 7:15 – 「それゆえ、彼らは神の御座の前にあり、昼も夜も神の神殿で神に仕えています。そして、御座に座っている者は彼らの間に住むでしょう。」

2. ヨハネ 4:21-24 – 「イエスは彼女に言われた、『女よ、信じなさい。あなたがたがこの山でも、まだエルサレムでも、父を礼拝してはならない時が来ます。』あなたがたは何を崇拝しているのかわかりません。私たちは自分が何を崇拝しているのか知っています。なぜなら救いはユダヤ人からのものだからです。しかし真の崇拝者たちが霊と真理をもって御父を礼拝する時が来ます、そして今です。御父はそのような者たちに御自分を崇拝するよう求めておられるからです。神は霊ですそして神を崇拝する者は、霊と真理をもって神を崇拝しなければなりません。」

黙示録 21:23 この都市は、太陽も月もその中で輝く必要がなかった。神の栄光がそれを照らしたからであり、小羊はその光である。

神の都は神と小羊の栄光によって照らされます。

1. 子羊の光: 私たちの生活の中に神の栄光を見る

2. 神の都市: 子羊の光の中で生きる

1. ヨハネ 8:12 - イエスは言われました、「わたしは世の光です。わたしに従う者は決して暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

2. ヨハネ第一 1:5 - これは私たちが彼から聞いてあなたに宣言するメッセージです：神は光です。彼の中にはまったく暗闇がありません。

黙示録 21:24 そして、救われた国々の民はその光の中を歩み、地上の王たちはその光に栄光と名誉をもたらします。

救われた国々は神の栄光の中を歩み、地の王たちはその名誉と栄光をそこにもたらすでしょう。

1. 救われた国々: 神の光の選択

2. 地の王たち: 神の栄光を讃える

1. イザヤ書 60:1-3 - 立ち上がれ、輝きなさい。あなたの光が来て、主の栄光があなたに昇るからです。

2. 詩篇 145:11-12 - 彼らはあなたの王国の栄光について語り、あなたの力について語るでしょう。彼の偉大な行為と彼の王国の栄光の威厳を人の子らに知らせるためです。

黙示録 21:25 また、その門は昼の間、まったく閉ざされない。そこには夜がないからである。

新しいエルサレムの門は決して閉まらない、なぜなら夜はないからである。

1. 永遠の光の中で生きる

2. 闇の終わり: 神の都市に生きる

1. ヨハネ 8:12 - 「わたしは世の光です。わたしに従う者は決して暗闇の中を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

2. イザヤ書 60:19-20 - 「あなたはもはや、昼に輝く太陽も、夜に光を放つ月も必要ありません。主があなたの永遠の光となり、あなたの神があなたの栄光となるからです。あなたの太陽。二度と沈むことはなく、あなたの月はもう衰えることはありません。主はあなたの永遠の光となり、あなたの悲しみの日々は終わります。」

黙示録 21:26 そして彼らは国々の栄光と栄誉をそこにもたらすであろう。

神はすべての国の栄光と名誉を新しいエルサレムにもたらします。

1: イエスは真の栄光と名誉への唯一の道です。

2: 私たちはイエスとその権威に服従することによって、真の栄光と栄誉を経験することができます。

1: マタイ 6:33 - しかし、あなたがたはまず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらすべてがあなたに加えられるでしょう。

2: ローマ人への手紙 10:9-10 - もしあなたが口で主イエスを告白し、神が彼を死人の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。人は心から正義を信じているからです。そして口による告白は救いに至るのです。

黙示録 21:27 また、汚すもの、忌まわしいこと、嘘をつくことは決してその中に入れてはならない。ただし、小羊のいのちの書に記されているものは除く。

1. 神に喜ばれる人生を送る

2. 正直に生きることの大切さ

1. エペソ 5:8-10 あなたがたは、時には暗闇でしたが、今は主にあって光です。光の子として歩みなさい。(9) 御霊の実はすべての善と正義と真実の中にあるからです。(10) 主に受け入れられるものを証明する。

2. ヤコブ 4:7-8 ですから、神に従いなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。(8) 神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださるでしょう。罪人よ、手を清めなさい。そして心を清めなさい、二心の者よ。

黙示録 22 章は黙示録の最終章であり、終末の出来事に関するヨハネのビジョンを締めくくっています。この章では、命の川、命の木、そしてイエスの再臨の約束についての説明に焦点を当てます。

第 1 段落: この章は、新しいエルサレムの神の御座と小羊から流れる命の川の描写から始まります。それは水晶のように透明であり、純粋さと永遠のさわやかさを象徴していると描写されています(黙示録22:1)。川の両岸には命の木があり、月ごとに1つずつ、12種類の実を結び、その葉は癒しと回復のためのものです（黙示録22:2）。罪によって人類に降りかかった呪いはもはやなくなり、神の民は神の臨在のもとで永遠の命にアクセスできるようになります。

第 2 段落: ヨハネは、神ご自身が彼らの光となるため、新しいエルサレムにはもはや暗闇や夜はないことを強調しています。神の栄光はすべてを照らし、神の民は永遠に統治します(黙示録22:5)。天使は、これらの言葉は忠実で真実であり、神ご自身によって与えられたものであると断言します。ヨハネは、この預言の成就が近づいているので、この預言を封印しないよう警告されています（黙示録 22:6-10）。

第 3 段落: イエスご自身が、「見よ、私はすぐに来ます!」という約束とともに、差し迫った帰還を宣言します。（黙示録 22:7）。彼はこの本に書かれた言葉を守る人たちに祝福があると繰り返し述べています。ヨハネはイエスの足下にひれ伏して礼拝しますが、天使によって正され、神だけを礼拝するよう思い出させられます（黙示録 22:8-9）。イエスは追随者たちに、ご自身が始まりと終わりの両方において「アルファでありオメガ」であること、つまりダビデの根であり子孫であることを保証し、渇きを求めるすべての人に、生ける水の源であるイエスから自由に飲むよう勧めています（黙示録 22:12-17））。この章は、この預言の言葉を追加したり削除したりすることに対する警告と、「アーメン。来てください、主イエス！」というイエスの再臨を求める最後の祈りで終わります。（黙示録 2 2:18-21）。

要約すると、黙示録 22 章は、永遠のさわやかさと癒しを象徴する、新しいエルサレムの神の御座から流れる命の川の幻を示しています。命の木が両側に立っており、神の民のために豊かな実を結びます。神ご自身が彼らの永遠の光となるにつれて、闇は追放されます。イエスは差し迫った再臨を認め、この本の言葉を守る人々に祝福を約束されます。神はすべての人に、生きた水の源として神にあずかれるよう招いておられます。この章は、この預言の改ざんに対する警告とイエスの再来への祈りで終わります。これは、希望、回復、そして悪に対するキリストの最終的な勝利への期待を強調するこの本の締めくくりにふさわしいものです。

黙示録 22:1 そして彼は、神と小羊の御座から流れ出る、水晶のように澄んだ、命の水の清い川を私に見せてくれました。

命の川は純粋で清らかで、神と小羊から流れ出ています。

1. 無限の命の源: キリストの恵みによって私たちはどのようにして豊かな命を得ることができるのか

2. 生きた水の贈り物: 絶えることのない命の源を受け取り、分かち合う方法

1. ヨハネ 4:10-14 - イエスはご自分が差し出される生ける水について語られます。

2. ヨハネ 7:37-38 - イエスは喉が渇いた人に生きた水を差し出す

黙示録 22:2 そこの通りの真ん中、川の両側に、命の木がありました。その木は十二種類の実を結び、毎月実を結びました。そして、その木の葉は、国々の癒し。

川の真ん中にある生命の木は、国々を癒すことができる12種類の実と葉を実らせました。

1. 神の癒しの力

2. 豊かな実り：神の祝福のたとえ

1. イザヤ書 61:1-3 - 主なる神の御霊が私の上にあります。なぜなら、主は貧しい人々に良い知らせを宣べ伝えるために私に油を注がれたからです。神は心の傷ついた人々を癒し、捕虜に自由を宣言し、縛られている人々に刑務所の開放を宣言するために私を遣わしました。

2. ヤコブ 5:14-16 - あなたたちの中に病気の人はいますか。彼に教会の長老たちを呼び、彼らに彼のために祈り、主の名において油を注いでもらいましょう。そして信仰の祈りは病人を救い、主は彼をよみがえらせてくださいます。そして、もし彼が罪を犯したとしても、赦されるでしょう。お互いに自分の罪を告白し、癒されるようにお互いのために祈りましょう。義人の効果的で熱心な祈りは大いに役立ちます。

黙示録 22:3 そして、もはやのろいはありません。しかし、神の御座と小羊の御座がその中にあります。そして彼の家臣たちは彼に仕えるであろう。

神と小羊は新しいエルサレムに住み、彼らの僕たちは彼らに仕えます。

1. 神と子羊に仕える喜び

2. 新しいエルサレムの神の祝福

1. マタイ 25:21 - 「主人は彼に言った。『よくやった、善良で忠実な僕よ。あなたは少し以上忠実だったが、私はあなたに多くのことを課してやる。あなたの主人を喜ばせなさい。』。」

2. 黙示録 21:3-4 - 「すると、わたしは玉座からこう言う大きな声を聞いた。『見よ、神の住まいは人間とともにある。神は彼らとともに住み、彼らは神の民となり、神ご自身もそうされるであろう』』

黙示録 22:4 そして彼らは彼の顔を見るであろう。そして彼の名が彼らの額に残るであろう。

この箇所には、神に従う者は神の顔を見ることができ、額に神の名が刻まれるだろうと述べられています。

1. 神の名を持つことの意味

2. 神の臨在を体験する

1. 出エジプト記 33:18-23

2. 詩篇100:2-5

黙示録 22:5 そして、そこには夜はありません。そして彼らはろうそくも太陽の光も必要としません。主なる神が彼らに光を与えてくださるからです。そうすれば彼らは世々限りなく統治するでしょう。

神はご自身を信頼する者に永遠の光と喜びをもたらします。

1. 神の光を喜ぶ: 黙示録 22:5 の A

2. 永遠の統治: 神を信頼する祝福について

1. イザヤ書 60:19-20 - 太陽はもはや昼間のあなたの光ではなくなります。月があなたに光を与えることはありません。しかし、主はあなたに永遠の光となり、あなたの神はあなたの栄光となります。あなたの太陽はもう沈むことはありません。あなたの月も消えません。主があなたの永遠の光となり、あなたの嘆きの日々が終わるからです。

2. 詩篇 36:9 - いのちの泉はあなたとともにあります。あなたの光の中に、私たちは光を見るでしょう。

黙示録 22:6 そして彼は私に言った、「これらの言葉は忠実で真実です。そして、聖なる預言者の神、主は御使いを遣わして、間もなくしなければならないことをそのしもべたちに示されました。」

聖なる預言者の神、主によって天使が遣わされ、間もなく起こることをその僕たちに示しました。

1. 神の言葉の忠実さ

2. 神の権威と力

1. イザヤ書 55:11 - 私の口から出る私の言葉は、そのようになります。それは私に無駄に返されることはなく、私の望むことを達成し、私が送ったもので繁栄するでしょう。

2. ヘブライ 1:14 - 彼らは皆、救いの相続人となる人々のために奉仕するために遣わされた奉仕の霊ではないでしょうか。

黙示録 22:7 見よ、わたしはすぐに来る。この書の預言の言葉を守る者は幸いである。

黙示録は、イエスがすぐに戻ってきて、預言の言葉を守る者は祝福されると約束しています。

1. 従順の祝福: 黙示録の預言に従って生きる

2. イエスの再臨を待ち見守る

1. 申命記 28:1-2 - 「そして、もしあなたがあなたの神、主の声に忠実に従い、今日私があなたに命じるすべての戒めを注意深く守るなら、あなたの神、主はあなたをすべての国々の上に高く上げてくださるでしょう。」そして、もしあなたがあなたの神、主の声に従うなら、これらすべての祝福があなたに降りかかり、あなたを襲うでしょう。」

2. マタイ 24:44 - 「ですから、あなたがたも備えていなければなりません。人の子はあなたがたが予期しない時に来るからです。」

黙示録 22:8 わたしヨハネはこれらのことを見て、聞いた。そして、私が聞いて見たとき、私はこれらのことを私に示した天使の足の前にひれ伏して礼拝しました。

使徒ヨハネは黙示録に啓示されている事柄を見聞きしました。

1: 一人で神を崇拝する - ヨハネの例は、他の誰にもひれ伏すのではなく、一人で神を崇拝することを教えています。

2: 聞いて従う - 超自然的なことに直面したときでも、ジョンは天使の指示に耳を傾け、従いました。

1: 出エジプト記 20:3-6 「あなたはわたしのほかに他の神を持ってはならない。あなたは自分のために、上の天にも、下の地にも、下の水にも、いかなるものの形をした像を作ってはならない。身をかがめてはならない。」彼らに近づくか、彼らを崇拝するか、あなたの神、主であるわたしはねたむ神だからです。」

2: ヨハネ 4:24 「神は霊であり、神を崇拝する者はその霊と真理によって礼拝しなければなりません。」

黙示録 22:9 それから彼は私に言った、「あなたはそんなことをしないでください。私はあなたの同胞であり、あなたの兄弟の預言者であり、この本の言葉を守る人々の一員だからです：神を礼拝しなさい。」。

天使はヨハネに話しかけ、天使を崇拝するのではなく、神を崇拝するように指示します。なぜなら、天使は預言者やこの本の言葉を守る人々の仲間だからです。

1. 預言者の目的: 神はその僕たちを通してどのように私たちに語られるのか

2. 礼拝の力: 神にふさわしい栄光を与える

1. 申命記 10:20 - 「あなたの神、主を畏れ、ただ主に仕え、主の名において誓いを立てなさい。」

2. 使徒 10:34-35 - 「それからペテロはこう話し始めました。「神はえこひいきを示さず、ご自分を畏れ正しいことを行う者をすべての国から受け入れてくださるということが、いかに真実であるか今では分かりました。」

黙示録 22:10 そして彼は私に言った、「この書の預言の言葉を封印してはならない。時が迫っているからである。」

ヨハネは、時が近づいているため、黙示録の預言の言葉を封印しないよう指示されています。

1. 今がその時です: 黙示録の預言の重要性を発見する

2. 予言の封印：今この瞬間を生きる選択

1. マタイ 24:36 - 「しかし、その日とその時刻については誰も知りません。天の天使も子も知らず、父だけが知っています。」

2. ローマ 13:11-12 - 「これに加えて、あなたは時が来たこと、つまり眠りから目覚める時間が来たことを知っています。なぜなら、私たちが最初に信じた時よりも今の方が救いは私たちに近づいているからです。」

黙示録 22:11 不正な者は、なお不正であれ、汚れた者は、なおも汚れたままであり、正しい者は、なおも正しくありなさい。そして、聖なる者は、なお聖なる者でありなさい。。

この一節は、各個人がその行いに応じて裁かれることを強調しています。

1. 神聖であれ：正義の選択をする

2. 恵みの力: 不正義を正義にする

1. ヨハネ第一 2:15-17 - 世を愛してはなりません

2. ローマ人への手紙 6:17-18 - あなたの人生に罪を支配させないでください

黙示録 22:12 見よ、わたしはすぐに来る。そして私の報酬は私とともにあり、すべての人にその働きに応じて与えることです。

イエス・キリストはすぐに来られ、忠実な追随者には彼らの働きに応じて報酬が与えられます。

1.「永遠の視点で生きる」

2.「永遠の報酬の約束」

1. マタイ 16:27 - 人の子は御使いたちとともに父の栄光のうちに来られ、そのとき神はそれぞれの働きに応じて報われるからです。

2. コロサイ 3:23-24 - そして、何をするにも、人に対してではなく主に対して行うように、心から行いなさい。あなたは主から相続財産の報いを受けることを知っています。あなたは主キリストに仕えているからです。

黙示録 22:13 わたしはアルファでありオメガであり、始まりであり終わり、最初であり最後である。

神は万物の始まりであり終わりであり、すべての命と力の源です。

1. 神の永遠の力

2. 生命の神聖な起源

1. ローマ 11:36 - すべては彼から出て、彼を通して、そして彼に至るからです。彼に永遠の栄光がありますように！

2. ヨハネ 1:3 - すべてのものは彼を通して造られ、彼なしに造られたものは何もありませんでした。

ヨハネの黙示録 22:14 神の戒めを守る者たちは幸いである、それは彼らが命の木に対する権利を持ち、門を通って町に入ることができるためである。

神の命令に従う者には、生命の樹と天の都の門へのアクセスが与えられる。

1. 従順の祝福：神のご意志に従う喜びを抱く

2. 生命の樹の約束: 忠実さの報いを得る

1. 申命記 11:26-28 - 従順に対する祝福

2. 創世記 2:9 - エデンの園の生命の木

黙示録 22:15 外には犬、魔術師、売春婦、殺人者、偶像崇拝者、そして愛したり嘘をついたりする者はいない。

イエスを受け入れない者は神の国から締め出されます。

1. 1: 私たちが神の国に入るには、イエス・キリストを私たちの主であり救い主として受け入れなければなりません。

2. 2: 私たちは神の言葉に従って聖なる生活を送るよう努めなければなりません。

1. 1: エペソ人への手紙 2:8-9 「あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われたのです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、行いの結果ではありません。誰も誇ることができないようにするためです。」」

2. 2: ローマ人への手紙 10:9-10 - 「イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死人の中からよみがえらせたと心で信じるなら、あなたは救われます。人は心で信じて義とされるからです。そして口で告白して救われるのです。」

黙示録 22:16 私イエスは、諸教会でこれらのことをあなたがたに証しするために、私の天使を遣わしました。わたしはダビデの根であり子孫であり、輝く明けの明星です。

ダビデの根であり子孫であるイエスは、教会に証言するために天使を送りました。

1. イエスは、明るく明けの明星であるダビデの根であり子孫です。

2. 教会における天使を通してのイエスの証し。

1. イザヤ書 11:1-5 - エッサイの切り株から芽が出ます。その根から枝が実を結びます。

2. ルカ 1:32-33 - 彼は偉大になり、いと高き者の子と呼ばれるでしょう。主なる神は彼に父ダビデの王座を与え、彼は永遠にヤコブの子孫を統治します。彼の王国は決して終わることはありません。

黙示録 22:17 すると、御霊と花嫁が言います、「来なさい」。そして聞く者は「来なさい」と言わせてください。そして渇いている者を来させなさい。そして、望む者は誰でも、命の水を自由に摂取させてください。

神はすべての人を、ご自身のもとに来て自由に命の水を飲むよう招いておられます。

1. 神の招き - 私たちが神のところに来て救われるようにという招きです。

2. 命の無償の贈り物 - 永遠の命の無償の贈り物を受け取る機会。

1. ヨハネ 3:16 - 神は、ご自分の独り子をお与えになったほどに、世を愛されました。それは、彼を信じる者が一人も滅びず、永遠の命を持つためです。

2. ローマ 6:23 - 罪の代償は死ですが、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命だからです。

黙示録 22:18 わたしはこの書の預言の言葉を聞くすべての人に証言します、もし誰かがこれらのことに加えれば、神はその人にこの書に書かれている災いを加えるであろう。

神は、黙示録の預言の言葉を追加することに対して警告しています。追加する者はそこに書かれている疫病で罰せられるからです。

1. 神の言葉に付け加えることの危険性

2. 神の言葉に従うことの重要性

1. 箴言 30:5-6 (神の言葉はすべて純粋です。神は神に信頼を置く者にとっての盾です。神の言葉に付け加えてはなりません。神があなたを叱責し、あなたが嘘つきだと思われないようにするためです。)

2. 申命記 4:2 (あなたがたは、わたしがあなたに命じるあなたの神、主の戒めを守るために、わたしが命じる言葉を付け加えてはならない。また、その言葉から減じてはならない。)

黙示録 22:19 また、もし誰かがこの預言の書の言葉を取り除くなら、神はその人の分を命の書、聖なる都、そしてこの預言の書に書かれている事柄から取り除くであろう。本。

この預言の書の言葉を削除したり変更したりする者は、命の書、聖都、そしてその書に書かれている事柄から名前が削除されることになります。

1. 神の言葉は不変です: 神の言葉に従うことの重要性

2. 神の言葉に従わない場合の結果

1. 申命記 4:2 - 「あなたは、わたしが命じるあなたの神、主の戒めを守るために、わたしが命じている言葉に付け加えたり、それを取り除いたりしてはならない。」

2. ガラテヤ 6:7-8 - 「だまされないでください。神はあざけられることはありません。人が蒔いたものは、それも刈り取ります。自分の肉に種を蒔く人は、その肉から腐敗を刈り取りますが、御霊に種を蒔く人は御霊から永遠の命を刈り取るでしょう。」

黙示録 22:20 これらのことを証言する者はこう言います、「わたしはすぐに来ます」。アーメン。それでも来てください、主イエスよ。

黙示録 22:20 の話者はイエスの到来を断言しています。

1. イエスの再臨の希望: 苦難の時の励まし

2. イエスの再臨の確かさ: 不確実な時代の安心感

1. イザヤ書 40:31 – 「しかし、主を待ち望む者は力を新たにするでしょう。彼らは鷲のように翼を持って登るだろう。彼らは走っても疲れることはない。そうすれば彼らは歩くことができ、気を失うことはない。」

2. ヘブライ 10:23-25 – 「揺るがずに信仰告白を堅持しましょう。（彼は約束した忠実な方だからです。）そして、愛と良い行いを促すためにお互いを考慮しましょう。ある人々のように、一緒に集まることを放棄しないでください。しかし、互いに励まし合っているのです。そして、その日が近づいているのを見ると、なおさらです。」

黙示録 22:21 私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがた一同にありますように。アーメン。

黙示録 22:21 の筆者は、神の恵みがすべての信者とともにあることを願っています。

1: 神の恵みに感謝し、自分の行動すべてにおいてそれを他の人に示しましょう。

2: 試練や困難の時にも、私たちは神の恵みを信頼することができます。

1: エペソ人への手紙 2:8-10 - あなたがたは恵みによって、信仰によって救われたからです。そして、これはあなた自身の行いではありません。それは神の賜物であり、誰も誇ることができないように、行いの結果ではありません。

2: 2 コリント 12:9-10 - しかし、彼は私に言った、「私の恵みはあなたに十分です。私の力は弱さの中で完全に発揮されるからです。」ですから、キリストの力が私の上に宿るように、私はますます喜んで自分の弱さを誇りましょう。